２０２５年度

講義概要

シラバス　　-SYLLABUS-

想いのすべてを、医療の力に。

森ノ宮医療大学

看護学部

看　護　学　科

総合リハビリテーション学部

理学療法学科

作業療法学科

言語聴覚学科

医療技術学部

臨床検査学科

臨　床　工　学　科

診療放射線学科

鍼　灸　学　科

大学院

保健医療学研究科　保健医療学専攻(修士課程)
保健医療学研究科　看護学専攻(博士前期課程)
保健医療学研究科　医療科学専攻(博士後期課程)
保健医療学研究科　看護学専攻(博士後期課程)

専攻科

助産学専攻科

授業科目名	基礎ゼミナール（看護）				
主担当教員	岩佐　由美		担当教員	岩佐　由美／吉村　弥須子／阿部　秀高／川添　英利子／小林　妙子／米花　紫乃／丸山加寿子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20001	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

【看護学科教員】　本演習は、新入生が大学生としての生活にできるだけ早く適応するよう、学生を支援することを目的としている。　具体的には、学生を少人数のグループに分け、担当教員に配属し、以下の内容を学修しながら大学生に求められる一般常識や態度を涵養する。なお原則として、本演習の担当教員がチューターとなる。

(1) 大学での学修の特徴　(2) 情報の収集や文献の検索の方法　(3) 論文の読み方、レポート作成　(4)プレゼンテーション　【阿部秀高】　森ノ宮医療大学生として必要な学園、大学への理解を深め、これから本学での学びの意欲を高めるために、大学における学び方の基礎となる社会人基礎力の向上を図る。そのために必要となる学びの技能を基礎から学び習得していくことを目指す。

学修目標

【看護学科教員】　1．大学生として主体的に活動することができる。DP④　2．これまでの高等学校と違い、大学における学修の特徴を述べることができる。DP④　3．他者の話を聞く、他者の話を理解する、自分の意見を述べる、といった基本的なコミュニケーション力を表現できる。DP②③　4．学修した知識や技術を活用して、レポートを書くことができる。DP④　5．基礎的な論文や雑誌・報告書等を読んでまとめることができる。DP④　6．文献等を検索し、取り寄せることができる。DP④　7．プレゼンテーションができるDP④　【阿部秀高】　森ノ宮医療大学生としての意識を持ち、大学生として求められる資質・能力の基礎力向上を目指す。自分の考えを論理的に表現し、他者と協働する力を伸ばす。具体的には、　①学修方法としての傾聴・記録に関するトレーニングDP②③④　②資料活用、大学図書館の利用方法（文献検索）DP②③④　③論理的文章表現について（大学のレポートにふさわしい用語・符号の使い方や構成など文章表現）を学んでいく。DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

【看護学科教員】　ひとりひとりが積極的に参加すること。グループとしてのまとまりも期待する。　普段から、学生自身のみならず、身近な、あるいは国内外で生起している事柄に関心を寄せる習慣をつけること。　学生は、担当教員と綿密に連絡を取りながら進めること。　【阿部秀高】　森ノ宮医療大学の学生としてのアイデンティティーを持ち、大学生としての基礎的な資質・能力の向上させるために、次の３点の意識を高めてください。　1．森ノ宮医療大学生として自覚と誇りを持ち、将来への見通しを持つ。　2．大学生として自分自身を振り返り、マナーや礼節を重んじる。　3．大学生としての学びの姿勢を身につけ、目標を持って学ぶ。

教科書

【看護学科教員】　使用しない。　【阿部秀高】　特に指定はしない。授業時にプリントを配布するので、各自紛失しないようにファイリングし毎回持参すること。

参考書

【看護学科教員】　担当教員が必要に応じて紹介する。　【阿部秀高】　講義内で適宜指示する

研究室／オフィスアワー

第８回授業時に担当教員のオフィスアワーを確認すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション（講義への取り組み方・大学	予習はシラバスの確認。　復習は授業内で	阿部秀高

	生としての自分を見つめる）	指示する。	
2	大学生として身につけたい力	予習の課題はなし。　復習は授業内で指示する。	阿部秀高
3	大学生として身につけたい学び方	予習・課題は特に無し。　復習は授業内で指示する。	阿部秀高
4	コミュニケーションスキル・学修スキル向上	予習・課題は特に無し。　復習は授業内で指示する。	阿部秀高
5	論理的文章の書き方・資料活用の方法	予習・課題は特に無し。　復習は授業内で指示する。	阿部秀高
6	プレゼンテーション・スキル	予習・課題は特に無し。　復習は授業内で指示する。	阿部秀高
7	本授業における学びのまとめ・振り返り	予習・課題は特に無し。　復習は授業内で指示する。	阿部秀高
8	8 回目以降は看護学科教員によるゼミナール初回は全体講義（ガイダンス）を行う。　全体講義の後に、各ゼミナールグループごとの学習に取り組む。　講義の最終回に、各ゼミナールグループごとに学習したことを発表する。	グループごとの課題に取り組む。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加寿子
9	図書館オリエンテーション、文献の検索　各ゼミナールグループごとの学習に取り組む。	グループごとの課題に取り組む。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加寿子　図書館司書
10	各ゼミナールグループごとの学習に取り組む。図書館オリエンテーション、文献の検索	グループごとの課題に取り組む。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加寿子　図書館司書
11	各ゼミナールグループごとの学習に取り組む。	グループごとの課題に取り組む。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加寿子
12	各ゼミナールグループごとの学習に取り組む。	グループごとの課題に取り組む。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加寿子
13	各ゼミナールグループごとの学習に取り組む。	グループごとの課題に取り組む。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加寿子
14	各ゼミナールグループごとの学習に取り組む。	次回の発表準備に取り組む。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加寿子
15	各ゼミナールグループごとに学習したことを発表する。	復習として、発表内容について振り返りを行う。	岩佐由美、吉村弥須子、川添英利子、小林妙子、米花紫乃、丸山加

			寿子
成績評価方法と基準			割合
【看護学科教員】　レポートとプレゼンテーションで評価する。(ルーブリック評価)　DP②③④　　テーマ「基礎ゼミナールの成果」 A4 1 枚　　フォント：10.5　マージン：上下：20㎜　左：20㎜　右：10㎜　　提出日は後日連絡するので期限を厳守すること。　　【阿部秀高】　平常点評価（授業毎回の振り返りなど）６０%、講義最終回に作成した課題レポート４０%。　DP②③④			【看護学科教員　ゼミナールグループごとの取り組み】　50% 【阿部秀高】50%

授業科目名	物理学（看護）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

さまざまな自然現象をよく観察してみると簡単な基本原理に基づいていることがわかる。物理学とはそのような基本原理を論理的に説明する学問であり、工学はもとより生物学、医学などの幅広い分野の基礎となっている。本講義は力学・熱力学・電磁気学などについて幅広い知識を学修し、医療現場で実際に活用できる知識を習得できる授業構成である。

学修目標

水の比熱と日本の気候との関係について　てこの原理の人体中での応用　注射針の先端が皮膚に及ぼす圧力について　血圧とは電磁気の基本知識　　上記の内容を学修していく。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識する。　２．配布された資料を使用し、講義を行う。　３．出席は重視する。　４．身近な自然現象を物理学の観点で考察する。　５．疑問点は大切にし、解決に向けて行動する。

教科書

プリント使用

参考書

ベッドサイドを科学する　平田雅子　著　Gakken

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜　木曜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	水の性質・比熱について	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **水の物理的特性**：- 密度、比熱容量、熱伝導率について学ぶ。　- 水の特異性（例：4℃での最大密度）を確認する。　2. **水の状態変化**　3. **日常的な例**：　- 水が冷える、温まる、蒸発する、凍るといった現象を調べる。　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：	久国　正章

		1. **水の物理特性**： - 水の比熱容量が高いことが気候や生物に与える影響を考える。 - 水の熱伝導率が生活や技術にどのように応用されているかを整理する。 2. **水の状態変化**：氷が浮く理由や、凍結や融解の際のエネルギー変化を図示する。	
3	代謝　重力　運動の法則	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使って以下の内容を確認してください： 1. **代謝とエネルギー**： - 代謝が生体エネルギーをどのように生み出すか調べる。 - ATP（アデノシン三リン酸）生成と消費におけるエネルギー変換の仕組みを理解する。 - 身体活動が代謝とエネルギー消費に与える影響を調べる。 2. **重力の影響**： - 重力が人体に及ぼす影響を調べる。 - 重力加速度について確認する。 3. **運動の法則**： - ニュートンの運動の3法則（慣性の法則、加速度の法則、作用・反作用の法則）の基礎を学ぶ。 - 身近な運動（例：ジャンプ、ランニング）を運動の法則で説明してみる。 **復習課題** - 重力が代謝や運動に及ぼす具体的な例を挙げ、関連性を考察してください。 - スポーツや日常動作を例に取り、代謝、重力、運動の法則がどのように関わるかをまとめてください。	久国　正章
4	運動の法則　作用反作用の法則について	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **運動方程式**： - ニュートンの第2法則 - 力と運動の関係を理解する（例：加速度が力に比例し、質量に反比例する）。 - 運動方程式の具体的な例（例：物体を押す、車が加速する）。 2. **作用反作用の法則**： - ニュートンの第3法則： 「すべての作用には、それと大きさが等しく、方向が逆の反作用がある」。 - 作用と反作用が異なる物体に働くことを理解する。 - 実生活の例：ジャンプ、ボールを投げる、ロケットの推進。 3. **日常的な例**： - 自転車をこぐとき、足でペダルを押す力（作用）とペダルからの反作用。 - 地面を蹴る力（作用）と地面からの反作用で進む歩行。 **復習** 1. **運動方程式**： - 力、質量、加速度の関係を理解する。 - 斜面や摩擦力が加わる場合の運動方程式を整理する。 2. **作用反作用の法則**： - 実生活の現象を例に挙げ、作用と反作用のペアを見つけて整理する。 - ロケット推進や船が水を押し返す際の力の流れを図示する。	久国　正章
5	圧力、気圧について	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を用いて、以下の内容を確認してください： 1. **圧力の定義**：圧力（P）は単位面積あたりに働く力として定義される（P = F / A）。 2. **圧力の単位**：パスカル（Pa）を基本単位とし、N/m?との関係を理解する。 3. **気圧の概念**：大気圏中の圧力の性質、標準気圧（1気圧 = 101325 Pa）について調べる。 **復習** - 授業内容を復習し、以	久国　正章

		下の点を整理してください： 1. 圧力の計算方法と、力や面積の変化が圧力にどう影響するかを理解する。 2. 気圧が高度や温度によってどのように変化するかを図を用いて整理する。 3. 圧力や気圧の知識が、日常生活や専門分野でどのように応用されるかを考える。	
6	水圧・沸点　酸素ボンベ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **水圧**： - 水深と水圧の関係：水圧が深さに比例して増加することを理解する。 2. **沸点**： - 沸点は外部圧力に依存すること（低圧環境では沸点が低下し、高圧環境では上昇する）。 - 標準沸点（100℃）とそれが気圧の変化でどのように変化するかを調べる。 3. **酸素ボンベ**： - 酸素ボンベの仕組みと用途。 **復習** 1. **水圧**： - 水圧の公式を用いて、異なる水深での圧力を計算する練習をする。 - 潜水時に体にかかる圧力の影響を整理する（例：耳の痛み、窒素酔い）。 2. **沸点**： - 圧力が沸点に与える影響を具体的な例（例：圧力鍋、登山での調理）を通じて理解する。 - 沸点の変化を示すグラフを作成し、気圧との関係をまとめる。 3. **酸素ボンベ**： - 酸素ボンベの中の圧縮ガスの圧力を確認し、それが使用時にどのように変化するかを考える。 - ボンベの容量、圧力、酸素供給量の関係を計算する問題を解く。	久国　正章
7	ベルヌーイの定理について	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **ベルヌーイの定理**： - ベルヌーイの定理の公式： - 高速で流れる流体では圧力が低下する現象の理解。 2. **日常的な例**： - 飛行機の翼（揚力の発生）。 - 水道ホースの先を細めると流速が速くなる仕組み。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **ベルヌーイの定理の理解**： - ベルヌーイの公式を使った計算問題を解き、圧力、流速、高さの関係を理解する。 - 実験や観察から得られた結果をベルヌーイの定理で説明する。 2. **応用例の分析**：飛行機の揚力がベルヌーイの定理でどのように説明されるかを考える。 3. **具体例の考察**：ベルヌーイの定理が日常生活で観察できる例を挙げ、それを図や文章で説明する。	久国　正章
8	力のモーメント　第１種のてこ　第２種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **力のモーメント**： - 力のモーメントの定義 - モーメントの単位（N・m）とその意味。 2. **てこの原理**：てこがどのように力を増幅または減少させるかを確認する。 3. **3種類のてこ**： - **第１種のてこ**：支点が力点と作用点の間にある（例：シーソー、てこの棒）。 - **第2種のてこ**：作用点が支点と力点の間にある（例：くるみ割り器、荷車）。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてくださ	久国　正章

		い： 1. **力のモーメント**： - 力のモーメントを用いた問題を解き、力と距離の関係を理解する。 - 力点の距離が増えるとモーメントがどのように変化するかを考える。 2. **てこの原理**：てこの効率（例：力を少なくして重い物を動かす）の仕組みを整理する。 3. **応用例を考察**： - 実生活で使われているてこ（例：ハサミ、ペンチ）の動作原理を考え、力のモーメントと関連付ける。 - スポーツや医療分野でのてこの役割（例：野球のスイング、リハビリ器具）について考える。	
9	力のモーメント　第３種のてこ	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： **3 種類のてこ**： - **第 1 種のてこ**：支点が力点と作用点の間にある（例：シーソー、てこの棒）。 - **第 2 種のてこ**:作用点が支点と力点の間にある（例：くるみ割り器、荷車）。 - **第 3 種のてこ**:力点が支点と作用点の間にある（例：ピンセット、人間の腕）。 **復習** ３種類のてこについて、筋肉に働く力の違いについて確認しておきましょう。	久国　正章
10	腰にかかる力について　運動量	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **腰にかかる負担の基礎**：- 腰にかかる負担（モーメント）と姿勢の関係。 - 力のモーメントを用いた計算：- 前屈姿勢や物を持ち上げる際に腰にかかる力を増幅させる要因。 2. **運動量の基礎**： - 運動量の定義： 運動量 = 質量 × 速度 - 運動量保存の法則：- 外力が働かない限り、運動量の総和は一定。 - 衝突や物体の移動における運動量の変化。 3. **日常的な例**： - 腰に負担がかかる例：重い荷物を前かがみで持つ。 - 運動量の例：走っている車と止まっている車の衝突。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：1. **腰にかかる負担の理解**： - 腰にかかるモーメントが姿勢によってどう変化するかを考える。 - 腰への負担を軽減するための方法（例：膝を曲げて物を持ち上げる）を整理する。 2. **運動量の応用**：運動量が変化するときの力（衝撃力）の計算と、その軽減方法（例：クッション材の利用）を考察する。 **復習課題**: - 運動量保存則を使った衝突問題を解いて、計算結果を確認してください。 - 腰に負担をかけない持ち方や姿勢を図示し、それを説明してください。	久国　正章
11	運動量と衝撃力　静電気	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **運動量と衝撃力**： - **運動量の定義**： 運動量 = 質量 × 速度 - **衝撃力**：運動量の変化を時間で割ったもの。 - 衝突時の運動量保存則： 「閉じた系では運動量の総和が一定」。 2. **静電気**： - 静電気の発生：摩擦により電子が移動し、物体が帯電する。 - 帯電の種類：正の電荷、負の電荷。 - クーロンの法則 3. **日	久国　正章

		常的な例**： - 衝撃力：車のエアバッグやスポーツでの衝突時の衝撃緩和。 - 静電気：衣類のまとわりつき、静電気除去ブラシの利用。 **復習** 1. **運動量と衝撃力**： - 衝突時に衝撃力を減らすための手段（例：クッションやエアバッグ）を考える。 - 運動量保存則を使って、2 物体の衝突後の速度を計算する練習をする。 2. **静電気**： - 静電気が発生する仕組みと、その制御方法（例：湿度調整、導電性素材の使用）を整理する。 - クーロンの法則を用いた電気力の計算問題を解き直す。 3. **応用例を考察**： - 衝撃力の緩和技術（例：スポーツ用品、交通安全装置）の原理をまとめる。 - 静電気の応用例（例：コピー機、塗装技術、静電除去器具）を調べる。	
12	電気　オームの法則	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください。 1. **電流の定義と基本式**：- 電流の定義：単位時間あたりに流れる電荷の量。 - 電流の流れる方向（電子の流れる方向とは逆）。 2. **オームの法則**：電圧（単位：ボルト [V]） 電流（単位：アンペア [A]） 抵抗（単位：オーム [Ω]） 3. **日常的な例**： - 電流が流れる例：電池を使ったライトや電子機器。- 電流が体験できる例：乾電池で点灯する LED ライト。 **復習** 1. **電流の特性**： - 電流の定義と計算方法を具体例で確認する。 - 電流の大きさが電圧と抵抗によってどのように決まるかをオームの法則を使って考える。 **復習課題**- 電圧が異なる場合、抵抗が一定なら電流がどのように変化するかグラフにして整理してください。 - 電流を利用した技術の例（例：充電器、ヒーター）を 1 つ挙げ、その仕組みを簡単に説明してください。	久国　正章
13	交流　電磁誘導	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **交流（AC）の基本**： - 交流の定義：電流が周期的に方向を変える電流。 - 周波数（Hz）と周期（秒）の関係： - 実生活での例：家庭用電源（例：日本では 50 Hz または 60 Hz）。 2. **電磁誘導の原理**：ファラデーの法則 3. **日常的な例**： - 交流：発電機、電灯、電化製品。 - 電磁誘導：自転車のダイナモライト、電磁調理器。 **復習** 1. **交流の理解**： 2. **電磁誘導の応用**： 3. **応用例を考察**： - 発電機や電動機の仕組みを電磁誘導を使って説明する。 - 交流と電磁誘導が使われている技術（例：送電、家電）を調べる。	久国　正章
14	音　デシベル	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **音の基本的な性質**： - 音波は媒質を伝わる縦波であり、周波数、振幅、速度の基本概念を確認する。 - 音の周波数（Hz）が音の高さ（高音・低音）を決め、振幅が音の大きさを決める。 2. **デシベル（dB）**：デシベルは音圧レベルの対数スケールで表現される。 3. **日常的	久国　正章

		な例**：　　- 音の例：会話（60 dB）、図書館（30 dB）、ロックコンサート（120 dB）。- 音の大きさと健康への影響（例：騒音、聴覚保護の重要性）。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **音と周波数の理解**：　　- 音波の基本的な性質（周波数、振幅）を整理する。　- 音の高低や大きさが物理量としてどのように表現されるかを具体例とともに確認する。 2. **デシベル**：　　- 音圧レベルの計算練習を行い、基準音圧との関係を明確にする。　　- 音圧レベルが 2 倍、4 倍、10 倍になる場合の変化を計算して整理する。 3. **応用例を考察**：　　- 音の大きさが健康に与える影響（例：騒音公害、耳栓の利用）を考える。　　- 音響機器（例：スピーカー、マイク）や医療（例：聴覚検査）でのデシベルの役割を調べる。	
15	光・紫外線	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **光の基本的な性質**：　- 光は電磁波の一種であり、波長によって可視光、紫外線、赤外線に分けられる。　- 光の波長と色の関係：　　- 短波長（紫～青）：高エネルギー。　　- 長波長（赤）：低エネルギー。 2. **紫外線（UV）の特性**：　　- 紫外線は可視光より波長が短く、高エネルギー。　　- 紫外線の種類：- UVA（長波長、320-400 nm）：肌の老化に影響。　　- UVB（中波長、280-320 nm）：日焼けや DNA 損傷の原因。　　- UVC（短波長、200-280 nm）：地表にはほぼ到達せず、殺菌効果がある。　　- 紫外線の影響と防止策（例：日焼け止め、UV カット素材）**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **光の理解**：光の波長、振動数、エネルギーの関係式を確認する 2. **紫外線の応用と影響**：　　- 紫外線が生体や材料に与える影響（例：皮膚の健康、プラスチックの劣化）。　　- 紫外線の技術応用（例：殺菌）を調べる。 3. **応用例を考察**：日常での紫外線防止策の効果を具体例で考える。	久国　正章
成績評価方法と基準			割合
毎回の小テスト課題をもって評価します。１００点<DP③>			100%

授業科目名	生物学（看護）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

専門科目の理解を深めるための基礎的な生物学を学習する。　具体的には、下記単元を中心に、ヒトのからだについて理解を深める。　【細胞の構造】細胞小器官の種類とその働き　【代謝】代謝・消化・吸収　【個体の恒常性と調節】恒常性の維持・ホルモン

学修目標

ヒトの生命の仕組みについて、その基本的事項を習得することを目的とする。〈DP③〉　好気呼吸の過程を理解する。〈DP③〉　恒常性について理解を深める。〈DP③〉　体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講座を通して基礎用語を確認することが出来ます。高校で生物を学習していない、または不得意科目であった学生はぜひ受講して下さい。

教科書

書籍名：視覚でとらえる生物図録　著者名：鈴木孝仁　監修　出版社名：数研出版

参考書

カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第 1 巻 細胞生物学

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜、水曜・木曜の午前中、金曜の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	細胞の構造とその働き　遺伝子	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「遺伝子」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：核、細胞膜、細胞質、ミトコンドリア、リボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソームなど - 細胞小器官の役割（例：ミトコンドリアはエネルギー産生、リボソームはタンパク質合成）　- DNA と RNA の違い	久国
2	細胞の構造とその働き　細胞を構成する物質(有機物と無機物)　浸透	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「浸透」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：細胞膜、細胞壁（植物細胞の場合）、細胞質、細胞小器官（核、ミトコンドリア、小胞体など） - 細胞膜の構造とその機能（選択的透過性）　- 浸透の定義と原理：浸透圧、半透膜、溶液の種類（高張液、等張液、低張液）	久国
3	物質の輸送(能動輸送と受動輸送)　細胞を構成する物質（タンパク質）	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「物質の輸送」と「タンパク質」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- **物質の輸送**　- 細胞膜の構造（リン脂質二重層、タンパク質の埋め込み）　- 輸送の種類：拡散、浸透、能動輸送、受動輸送　- **タ	久国

		ンパク質とは**	
4	タンパク質の立体構造　タンパク質の種類と働き	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「タンパク質の構造」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ タンパク質の一次構造：アミノ酸の配列とペプチド結合　－ 二次構造：α ヘリックス、β シートの形成と水素結合の役割　－ 三次構造：立体構造を形成するジスルフィド結合など　－ 四次構造：複数のポリペプチド鎖が集合して形成される機能的タンパク質（例：ヘモグロビン）　－ タンパク質の構造と機能の関連性を示す例（例：酵素の活性部位）を調べ、予習として理解を深める。	久国
5	炭水化物　組織	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「炭水化物の構造と分類」に関する章を読み、主要な用語（単糖、二糖、多糖など）を確認する。　組織における炭水化物の役割について簡単に調べる。　必要に応じて、授業で取り扱う関連動画や資料を視聴し、基礎的な概念を理解する	久国
6	酵素の性質と働き　外呼吸と内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　活性部位、基質特異性、酵素-基質複合体、最適条件（温度、pH)、酵素阻害　酵素が化学反応の速度をどのように変化させるのかを簡単に調べる。　酵素の具体例（アミラーゼ、カタラーゼなど）を調べる。	久国
7	内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　外呼吸：肺でのガス交換（酸素の取り込みと二酸化炭素の排出）　内呼吸：細胞でのガス交換（酸素の利用と二酸化炭素の生成）　外呼吸と内呼吸の違いと関連性について簡単にまとめておく。	久国
8	消化器	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「消化器系」の章を読み、以下の用語を確認する：　－ 主な消化器官（口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）－ 各器官の役割（例：胃はタンパク質の消化、小腸は栄養素の吸収）　－ 消化酵素（ペプシン、アミラーゼ、リパーゼなど）の働きと分泌場所　食物が消化器系を通過する過程（消化・吸収の流れ）を簡単にまとめる。	久国
9	恒常性　血球	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「恒常性と血球」に関する章を読み、以下の概念を確認する：　－ 恒常性の定義と重要性 － 血球の種類（赤血球、白血球、血小板）とその役割　－ 赤血球：酸素運搬 － 白血球：免疫反応　－ 血小板：血液凝固	久国
10	酸素解離曲線　血液凝固	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の以下の章を読み、基本的な用語を確認する：－ 酸素解離曲線：ヘモグロビンと酸素の結合に関する曲線(酸素分圧、飽和度）　－ 酸素解離曲線の右方シフト・左方シフトの要因（pH、二酸化炭素濃度、体温など）－ 血液凝固の基本プロセス：血小板の役割、フィブリン形成の流れ	久国
11	伴性遺伝　血管	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「伴性遺伝」と「血管」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ **伴性遺伝**：性染色体（X染色体）に関連する遺伝の特徴。　－ X連鎖性疾患（例：血友	久国

		病、色覚多様性）の具体例　　－ 伴性遺伝の遺伝形式（家系図での遺伝のパターン）　　－ **血管の構造と機能**：動脈、静脈、毛細血管の違いと役割。	
12	心臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「心臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　　－ 心臓の構造（心房、心室、弁：三尖弁、僧帽弁、大動脈弁、肺動脈弁）　　－ 血液循環（肺循環と体循環の違い）　　－ 心拍の基本的な仕組み（洞房結節、刺激伝導系）　　－ 血液の流れを模式図にして、自分で描いて確認する（酸素を含む血液と二酸化炭素を含む血液の流れを明確に）。	久国
13	肝臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「肝臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する　　－ 肝臓の構造（肝細胞、肝小葉、肝門脈、肝動脈、胆管）　　－ 肝臓の主要な機能（代謝、解毒、胆汁の生成、栄養素の貯蔵）　　－ 肝臓が行う物質代謝（炭水化物、脂質、タンパク質）　　－ 胆汁が生成される仕組みとその役割（脂肪の乳化）を簡単に調べる。	久国
14	腎臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「腎臓」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　　－ 腎臓の構造　　－ 尿生成の流れ（糸球体でのろ過 → 尿細管での再吸収・分泌 → 集合管での尿濃縮）　－ 腎臓が体液の恒常性をどのように維持しているかを簡単に調べる。	久国
15	総復習	＜復習 4 時間＞　第１回～第１４回の復習問題を扱います。	久国
成績評価方法と基準			割合
①定期試験１００点のうち、６０点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	化学（看護）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解することができる。それらが生理機能に密接に連関することを認識できる。　＜DP③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「コ・メディカル　化学」　裳華房

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	電子配置とイオン化	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	化学結合	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	物質の三態	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	化学平衡と反応速度論 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
6	化学平衡と反応速度論 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講	安部　辰夫

		義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	化学のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP③＞			1　100%

授業科目名	情報処理（看護 B）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	情報処理（看護 A）					
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊		
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 2 限	
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	統計学（看護）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20006	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

統計学の基礎や概念を学び、実験や調査で得られたデータをどのような統計手法を用いて分析し、どのように解釈すればよいかを理解し、それらを元に実際に自分たちでデータを分析することによって、基礎的な統計処理を身につけることを目指す。

学修目標

1．統計学の基礎を理解する〈DP③〉　2．推定と検定の考え方を理解し，説明することができる〈DP③〉　3．量的データに対して適切な分析方法を選択することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の授業のつながりが非常に重要です．また，毎回小テストを実施しますので，欠席のないように留意すること

教科書

向後千春・冨永敦子，ファーストブック 統計学がわかる，技術評論社，ISBN13: 978-4774131900

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　「統計学」とはどのような学問か，また，医療従事者にとって統計学がなぜ必要なのかについて解説する．	シラバスを確認して，テキスト「はじめに」を読む（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）．【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	統計の基本概念とキーワード１:統計学に必須の基礎的知識　数の分類，測定値の性質について解説する．	数の分類や，尺度水準に関して参考書，web 等を利用してそれぞれの用語について調べる．【3】　MORIPA 上の小テストに回答する．【1】	井手口
3	統計の基本概念とキーワード２:統計学に必須の基礎的知識　母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度について解説する．	母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度に関して，教科書（１章，２章），参考書，web 等を利用して調べる，【3】　MORIPA 上の小テストに回答する．【1】	井手口
4	相関：２変数のデータの関係の表現方法　「データの記述」の観点から，「相関」及び「相関係数」について解説する．	教科書では取り扱っていない内容なので，参考書や web を活用して，ピアソンの積率相関係数，スピアマンの順位相関係数，ケンドールの順位相関係数について調べる．【3】　MORIPA 上の小テストに回答する．【1】	井手口
5	検定の原理:検定法の共通原理　統計学的な手法は多様であるが，共通する部分も存在する．ここでは，多くの手法に共通する考え方について解説する．	教科書３章１節を読み．一般的な検定の流れについて調べておく．特に，「帰無仮説」とはなにか考える．【2】　MORIPA 上の小テストに回答する．【2】	井手口

6	検定：頻度・割合の検定１　　前回解説した「検定法の共通原理」に基づいた具体的な検定手法について，頻度・割合の検定を例に，「観測値」と「期待値」の考え方について解説する.	教科書３章２節，３節を読む.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
7	検定：頻度・割合の検定２　　観測値と期待値についておさらいしつつ，「カイ２乗検定」について解説し，実際に，検定統計量（カイ２乗値）や，その生起確率を求め，検定結果について判定を行う.	教科書３章４節を読み，必要な指標の求め方を調べておく.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
8	推定：平均値の信頼区間　　標本（得られた測定値）の平均値は，母集団の平均値（母平均）と一致しているかどうか検討するため，推定の手法について解説する.	教科書２章３節を読み，推定の考え方について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
9	推定：平均値の差の信頼区間　　１標本の平均値から母平均の信頼区間を求めることを拡張し，２標本の平均値の差の信頼区間を求める方法について解説する.	教科書４章１節，２節を読み，平均値の差の推定の考え方について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
10	検定：ｔ検定（対応のない２群の平均値の差の検定）　　収集したデータの「対応」とは何かを解説し，２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がない場合（特にウェルチの方法）について解説する．ウェルチの方法については，教科書に記述がないため，資料を配布する.	参考書，あるいは web を調べて．対応のないｔ検定の中でも，「ウェルチの方法」について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
11	検定：ｔ検定（対応のある２群の平均値の差の検定）　　２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がある場合について解説する.	教科書５章を読み，対応のある２群の平均値の差の検定について調べ，参考書，web を活用して「一標本ｔ検定」について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
12	３群以上の差の検定１-1：一元配置分散分析（１要因分散分析）　　ｔ検定は，測定条件が３群以上になると適用することができなくなる．３群以上の条件がある場合の検定について解説する.	教科書６章１節，２節を読み，条件が３群以上になるとｔ検定が利用できなくなる理由について調べつつ，分散分析の原理・考え方について理解する.【4】	井手口
13	３群以上の差の検定１-2：一元配置分散分析（１要因分散分析)演習　　前回解説した，１要因で，３水準以上の条件がある場合の検定に関する演習を行う.	教科書６章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順を調べる.【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
14	３群以上の差の検定２-1：二元配置分散分析（２要因分散分析）　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定について解説する.	教科書７章１節，２節を読み，「要因」と「水準」の考え方を再度確認し，２要因ある場合の分散分析の計算手順を調べる.【4】	井手口
15	３群以上の差の検定：二元配置分散分析（２要因分散分析）演習　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定に関する演習を行う.	教科書７章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順，及び，新たな要素である「交互作用」について調べる【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
成績評価方法と基準			割合
① 定期試験〈DP③〉　② 小テスト〈DP③〉			① 80%　② 20%

授業科目名	心理学（看護）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

日常生活では、科学的な方法論を用いない心や行動の法則性が流布し、それに伴い学問としての心理学も誤解されることが多い。心理学とは、多様で複雑な心と行動を細分化し、その法則性、関係性を科学的に立証することを試みる学問である。本講義では、我々にとって身近な心と行動にまつわる、心理学の基礎的な研究分野をテーマごとに概説し、それら基礎的な知識とともに、心理学における科学的なデータの読み解き方の修得を目指す。

学修目標

①心理学における科学的な思考法について説明できる。〈DP③〉　②心と行動の法則性に関する研究知見について、基礎的、応用的な側面から説明できる。〈DP③〉　③心と行動の法則性を日常生活や、医療人としてどう応用していくかについて説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1 講義につき、２から 3 回のグループワークを実施するため、積極的な参加を求めます。また、グループワーク形式と講義形式が切り替わるため、速やかに切り替えをしていただくことが求められます。

教科書

教科書は使用しない。

参考書

大川一郎・土田宣明・高木美保 編著,「基礎から学べる 医療現場で役立つ心理学」, ミネルヴァ書房　樫村正美・野村俊明 編著,「医療系のための心理学」, 講談社　大竹文雄・平井啓 編著,「医療現場の行動経済学―すれ違う医者と患者―」, 東洋経済新報社　その他、適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 4／講義に関する質問はアポイントを取っていただければ適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心理学の定義と歴史的変遷	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
2	心理学の研究手法①　因果関係と相関関係	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
3	心理学の研究手法②　実験法・調査法・事例研究法・質的研究法	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
4	感覚・知覚と注意機能	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
5	学習①　古典的条件づけ・オペラント条件づけ	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直し	高木　悠哉

		て知識を確認すること。	
6	学習②　観察学習・洞察学習・潜在学習	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
7	記憶のシステムと働き	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
8	感情の理論・制御	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
9	動機づけ①　生理的動機づけ	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
10	動機づけ②　社会的動機づけ	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
11	社会的認知と自己	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
12	社会的影響力と社会的関係	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
13	問題解決・推論	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
14	パーソナリティ	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
15	ストレスと健康	〈予習・復習各 2 時間〉　予習として配布資料を熟読すること。復習として講義スライドおよびリフレクションシートを見直して知識を確認すること。	高木　悠哉
成績評価方法と基準			割合
①毎講義実施される、グループワークにおける課題解決〈DP③〉　②毎講義実施される、個人で実施するリフレクションシート（MORIPA 上で実施する小テスト）〈DP③〉　③定期試験〈DP③〉			①25%　②25% ③50%

授業科目名	生命倫理学（看護）				
主担当教員	神田　靖士		担当教員	神田　靖士	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

生命をめぐる倫理（道徳･規範）的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における今日的かつ具体的問題に対処できる思考能力を養います。生命科学・医学研究の発展は目覚しく､その成果をもとにした先端医療技術はわれわれに希望をもたらすとともに多くの新たな問題を提起しています。本講義では、生命倫理の誕生と展開を概説し、続いてどのように日本に受容されたのかを論じます。特に人権尊重を視野に入れ､最近の生命倫理学上の事例をとり入れつつ論じます。授業は、講義を中心として、ＶＴＲ，質疑、グループ討論を交えて行います。

学修目標

生命倫理学の歴史的背景と法律並びに国際比較することにより現在の問題点について理解し､具体的な倫理的問題を包括的な観点から把握することを目標とします。特に最近の医療領域（出生前診断と妊娠中絶、脳死と臓器移植、終末期医療、再生医療、遺伝情報の取り扱い）において生じた倫理的諸問題を個別に取り上げ、討論を行いながら個々の倫理観を構築することを到達目標とします。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．生命倫理は医療関係を志す者として根底にある倫理的な考え方を学習する科目であるので、自ら疑問及び興味を持ち積極的に講義に臨むことを強く希望します。　２．グループ討論には積極的に参加すること。　３．出席者は、私語・スマホの使用は厳禁。講義中の私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。　４．最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

特に指定なし。講義資料を適宜配布します。

参考書

伏木信次、樫　則章、霜田　求　『生命倫理と医療倫理』　金芳堂　小林亜津子　『看護のための生命倫理』　ナカニシヤ出版　グレゴリー・ペンス　『医療倫理Ⅰ・Ⅱ』　みすず書房

研究室／オフィスアワー

在室時は訪問可。　質問がある場合は授業終了時に各自申し出て下さい。また、メールでも随時受付を行います。　メールアドレス：kandas@hirakata.kmu.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理概論（生命倫理とはどのような学問か）	※隔週でグループ討論を行うので、前の週に行った授業内容に関して復習をし、分からない箇所の理解を深めた上でグループ討論に臨むこと。　本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
2	尊厳死と安楽死	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
3	尊厳死と安楽死について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士
4	着床前診断と出生前診断	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
5	着床前診断と出生前診断について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士

6	臓器移植と脳死	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
7	臓器移植と脳死について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士
8	再生医療とクローン技術	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
9	再生医療とクローン技術について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
10	代理出産における倫理観	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
11	代理出産における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
12	インフォームド･コンセント(十分な説明と同意、告知）	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
13	インフォームド･コンセント(十分な説明と同意、告知）における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
14	動物を対象とした研究における倫理観	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
15	動物を対象とした研究における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
成績評価方法と基準			割合
・定期試験は行わず、平常評価（レポート等）で総合評価する。　①グループ討論への参加状況<DP③>　②討論後の発表<DP③>　③課題レポート<DP③>			①20%　②20%　③60%

授業科目名	哲学（看護）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	火曜１限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「人の生き方」や「世界の真理」に関する直球の（「あなたはこう生きなさい」とか「これが世界の真理です」といった）答えを求める人にはあまり受講をオススメできないことは先に申し上げておきたい。　また、数学の証明やある理論の歴史を解説していく場合のように、哲学上の問題を設定して議論を追いかけていくには出発点とその結末だけでなく、議論の過程が大事になってくる。講義内のトピックもそれぞれ関連しているため、あるトピックで出てきたキーワードが別のトピックで登場することもある。そのため毎回の授業に滞りなくついてくるためには最低限、これまでの話の流れを押さえるための復習が必要となることに留意されたい。　本講義の基本的な採点方法は第１回の授業で説明する。シラバスは講義の大まかな流れを示したものであ

り、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解度に応じて内容を一部変更したりするなど、多少の変更がありうることをご承知いただきたい。また、授業中、他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠、無許可での退室、遅刻、私語など）はしないこと。妨害行為が著しい場合は退室を命ずることがある。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	社会福祉学（看護）				
主担当教員	掛川　直之		担当教員	掛川　直之	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

〈貧困〉という問題をつうじて、社会福祉の基礎を学ぶ。社会福祉にかんする考え方、制度、課題等について、時事的な問題や映像素材などをとおして、医療との関係にも留意しながら具体的に学んでいく。一方通行にならないように、受講生の意見を聴いたり、グループワークをとりいれるなど、できるだけ退屈にならないような参加型の講義を心がける。

学修目標

日本社会に生起するさまざまな社会（福祉）問題とその背景について、社会福祉の観点から理解することで、その解決に向けて自分の考えを自分のことばで説明できるコメディカルとなることを目標とする。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義の進め方や成績評価の方法等の詳細については、初回の授業において説明する。なお、講義毎に、質問や感想を記したコミュニケーションペーパーの提出を moripa 上に求める。ここで出された質問等については、次回の講義の冒頭で解説をくわえる。

教科書

使用しない。毎回の講義においてレジュメを moripa にアップするので各自必要に応じてプリントアウト等をおこない活用されたい。

参考書

岩田正美『社会福祉への招待』（放送大学教育振興会、2016 年）　圷洋一・金子充・室田信一『問いからはじめる社会福祉学：不安・不利・不信に挑む』（有斐閣、2016 年）　掛川直之『犯罪からの社会復帰を問いなおす：地域共生社会におけるソーシャルワークのかたち』（旬報社、2020 年）

研究室／オフィスアワー

講義の前後、あるいはメール等にて質問等を受け付ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	〔オリエンテーション〕貧困問題から社会福祉を考える：あなたはどんな「溜め」をもっている？	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
2	〔社会福祉の基本①〕社会（福祉）問題の見方を身につける：ワードがワールドをつくる	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
3	〔社会福祉の基本②〕自助・共助・公助？：人間はひとりでは生きられない	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
4	〔社会福祉の基本③〕社会保障のしくみ：国や自治体の役割を考える	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
5	〔社会福祉の基本④〕ソーシャルワークの考え方：ソーシャルワーカーは何をする人なのか？	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
6	〔社会福祉の基本⑤〕ドラマ『サイレント・プア』から考えるソーシャルワーク：ソーシャルワーカーと連携していくために	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
7	〔社会福祉の分野①〕拡大する高齢者の貧困：地	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内	掛川　直之

	域包括ケアシステムについて考える	容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	
8	〔社会福祉の分野②〕病気や障害をもつ人と貧困：適切な医療を受けるために	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
9	〔社会福祉の分野③〕女性やマイノリティは貧困に陥りやすい？：ジェンダーについて考える	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
10	〔社会福祉の分野④〕漫画『健康で文化的な最低限度の生活』から考える生活保護制度：生きるための最後の砦	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
11	〔社会福祉の分野〕映画『わたしは、ダニエル・ブレイク』から考える生活保護受給とバッシング：差別と偏見の背後にある誤解	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
12	〔社会福祉の応用①〕釜ヶ崎とホームレス問題：医療・保健・福祉の機能が集約された逃れのまち	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
13	〔社会福祉の応用②〕どうして〈犯罪者〉に福祉が必要なの？：貧困・社会的排除のスパイラル	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
14	〔社会福祉の応用③〕社会の〈障害〉をみつける：社会を変えることはできるのか？	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
15	〔社会福祉の応用④〕医療と福祉はつながっている　：第 1 回～第 14 回のまとめ	＜予習・復習 各 2 時間＞　本講義全体を見直す	掛川　直之
成績評価方法と基準			割合
①定期試験<DP③>　②コミュニケーションペーパー<DP③>　＊各回、0.5 点（ほとんど授業内容を理解できてない感想・質問しか書けていない）/1 点/（あまり授業内容が理解できていない感想・質問しか書けていない）1.5 点（概ね授業内容を理解した感想・質問が書けている）/2 点（十分に授業内容を理解した感想・質問が書けている）の 4 段階で評価する　＊出席はとらない			①70%　②30%

授業科目名	日本国憲法（看護）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、コ・メディカルをもとに、診療の補助の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 看護学科における『保健師・助産師・看護師法』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の現状とその是非についての理解を深める。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田　重幸
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田　重幸
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田　重幸
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福追求権)　　包括的基本権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸

6	基本的人権規定③　　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸
7	人権問題　　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田　重幸
8	衛生法並び衛生行政　　衛星法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田　重幸
9	関係法規①　　コ・メディカルに対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認　復習：講義内容をもとに、施術者の役割を確認する	植田　重幸
10	関係法規②　　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
11	医療過誤と法的責任①　　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
12	医療過誤と法的責任②　　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：医療過誤に関する事例を調べる　復習：特に民事責任に関して確認を行う	植田　重幸
13	日本の政治体制と三権分立　　国会・内閣規定により、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習：1 票の格差問題について理解を深める	植田　重幸
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田　重幸
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：講義事項についての確認	植田　重幸
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	東洋史概説（看護）				
主担当教員	重信　あゆみ		担当教員	重信　あゆみ	
科目ナンバリング	LA20012	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、人々の行動の積み重ねである歴史を公認心理師の観点から再検討する。そのうえで、現代社会における課題を歴史的事例を通して考えていく。

学修目標

1.多様性について理解し、事例を挙げながら説明することができる。　2.現代社会における課題（教育・福祉・医療・産業など）を取り上げ、歴史を通じて解決の糸口を考えることができる。　〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 配付された資料には必ず目を通すこと。　2. 出席は重視する。　3. 疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書

川口幸弘『文化人類学へようこそ。異文化のフィールドワークをするあなたへ』、昭和堂、2017 年。　福島哲夫、 尾久裕紀、山蔦圭輔　『公認心理師必携テキスト 改訂第 2 版』、学研メディカル秀潤社、2020 年。

研究室／オフィスアワー

授業後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1 現代社会と歴史　歴史は､人間の行動を記したものである。また、文字のない時代にも人間は生活を営み活動をしていた。今なぜ歴史を学ぶのかについて考え、今後の講義の概要を述べる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　半期でする時代の流れを復習すること。また、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
2	2．教育について①　アドラー心理学を取り上げ、古代中国のおける「礼」と比較し、現代社会での「礼」について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　アドラー心理学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
3	3.教育について②　発達障害について講義をする。そして、応用行動分析法を用いて、教育現場での事例を検討していく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　教育、保育現場の事例を検討し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
4	4．家族とは①　人間は、古代より集団で社会生活を営んできた。なぜ、集団で生活するのかについて､古代の人類を比較して考える。そのうえで、人間のライフサイクル理論を見ていく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　ライフサイクル理論について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
5	5．家族とは②　「夫婦」や「家族」について考える。古代の家族形態である宗族を学び、現代社会における愛着形成の課題を取り上げる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　愛着形成について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
6	6.宗教とは①　人間はときによりどころとして宗教を選択することがある。宗教とは何かを定義づける。そして、中国の宗教である道教の神である西王母を取り上げ､中国文化の基礎について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　中国文化の基礎である道教について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
7	7.宗教とは②　送葬儀礼や死後の世界を考えることは、人間の一つの特徴である。それは、想像力の賜物であると同時に見えないものへの不安でもある。どのような世界を描いていたのかを図	＜復習・課題 各 1 時間＞　グリーフケアについて考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ

	像を通してみていく。そのうえで、グリーフケアについて考える。		
8	８．不老不死と安楽死　高齢化社会の中で、不老不死の研究もんでいる。この不老不死は、古代中国では願われていたことである。一方で、「安楽死」という問題も残っている。長寿社会において医療人はどのように寄りそっていくべきかを心理的ケアより見ていく。	＜復習・課題 各１時間＞　不老不死と安楽死、そして、心理的ケアについて復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
9	９．人間の本質とは①　「人間の本質とは？」は古来より考えられてきた課題である。本講義では、人間の本質を中国の戦国時代に生きた孟子の思想より考える。	＜復習・課題 各１時間＞　孟子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
10	10．人間の本質とは②　本講義では、中国の戦国時代末期に活動した荀子についてみていく。そして、荀子が唱えた「性悪説」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　荀子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
11	11．健康について①　古代中国における予防医学について考える。古代中国においてすでに言われていた「未病」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　予防医学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
12	12．健康について②　食育について考える。「医食同源」といわれるように、食と健康とは切ってもきれないものである。幼児期の子どもたちにどのように食事の楽しさ、そして、大切さを伝えていくのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　食育について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
13	13．文化の伝播について①　古代中国の東西交流を見ていく。外来のものをどのように受容し、そして変容させたのか。それを踏まえて現代の地域における多様性について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　東西交流の中でおきた受容と変容について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
14	14．文化の伝播について②　日本語の表記には、漢字、カタカナ、ひらがなの３種類があります。これらの文字は、漢字から生まれたものである。本講演では、東アジア世界の中の日本という視点から、３世紀末から８世紀にかけて、文字のない日本で漢字がどのように受容されたかを考察する。そして、現代の教育界で課題となっているLDの子どもにどのように対応するのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　事例検討を行い、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
15	15．文化の伝播について③　東アジアの儒教「論語」 明治維新前の東アジアでは「論語」は常識であった。しかし、「論語読みの論語知らず」と言われるように、現在では『論語』の位置づけが変わってきている。なぜそのような言葉が生まれたのか。本講演では、東アジアにおける『論語』の位置づけを再確認し、今後の教育のあり方について受講生と一緒に考えてみたい。	＜復習・課題 各１時間＞　現代教育について考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
成績評価方法と基準			割合
①授業ごとの課題<DP③>　②小レポート課題<DP③>　③レポート課題<DP③>			①50%　②20% ③30%

授業科目名	西洋史概説（看護）				
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太	
科目ナンバリング	LA20013	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜１限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

明治維新以降、日本は西欧列強の国々から様々な知識や技術を得て、今日まで長らえてきた。そのなかで近年はヨーロッパの考え方に対して、たとえば「こういう考え方は日本にはなじまない」とか、逆に「日本はこういう考え方を取り入れるべきだ」といった議論がなされることが多くある。しかし、その意見はなぜ正当化されるのだろう。よくあるのは歴史上の事実を取り上げて「西欧はこうだけど日本はこうだからだ」とか、「西欧はこれでうまくいったんだから日本もこうするべきだ」という議論だ。でも、その証拠を評価するにはまず、自分の国の歴史や伝統のみならず、相手が歩んできた歴史の流れを知っておく必要があるだろう。本講義では政治史と社会史上の幾つかのトピックに話を絞って、西洋について基本的な歴史的概説を行う。こうした作業を通じて西洋史の大づかみの概要を学びつつ、普段私たちが用いる言葉や考え方そのものが場合によっては歴史の正しい理解を妨げうること、教科書的な記述にとどまらない事実をめぐる様々な議論がある点などに特に注意を促したい。　　また本学は医療大学であるため、本講義では西洋における医学史についても毎回少しずつ紹介したい。日本では中医学から影響を受けた漢方も発達してきたが、やはり現代の医療の多くは西洋で培われてきた種々の知識や理論に負うところが大きい。西洋において医学をめぐる考え方がどのように変遷していったのかを理解することは、現代の医の在り方を考える上でも重要な視点を与えてくれるだろう。

学修目標

１．歴史学がどのようなことを試みる学問かを踏まえたうえで、毎回各時代に１，２のテーマを設定し、西洋史を概観する。このことによって中高の世界史の授業ではしばしば省略される西洋史の大枠をつかむための歴史理論や、考えるべきだが見落とされがちなポイントなどを学習し、われわれの来し方行く末を考える材料としてもらう。　２．西洋史の概説に加えて今日まで影響を持ついくつかの医学史上の重要なポイントについても理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの授業で特別必要な用意はない。これまでの人生経験に即して、西洋社会についていくらかのイメージを持っていればよい。高校時代の世界史の授業とは異なり様々なポイントを省略することがあるが、初修者でも理解しやすく努めるつもりであるし、高校の世界史を知らないことで成績評価に不利益が生じないように成績評価基準を設計する。歴史学の分野でも昔は認められていた事柄が否定されたり、表記が変わっていたりすることがあるため、中学・高校時代に世界史を履修された学生は、当時の参考書の内容が現在では改訂されている可能性があることを気に留めておくこと。また、シラバスは講義中で取り扱う内容の大まかな流れを示したものであり、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解に応じて内容を一部変更して講義を行ったりするなど、実際の講義をそのまま反映したものではないことに注意されたい。　残念ながら時間の制約上、西洋史を古代から現代までとにかく大急ぎで追いかける形になる。それゆえに、講義と講義の接続は丁寧に行うつもりだが、前に話した内容をある程度は復習し覚えておいていただくことが試験や期末レポートの前提となる。　本講義の進め方や採点基準といった基本方針は第１回の授業で説明する。授業中はその他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠や私語など）はしないこと。妨害行為が酷い場合は退室を命じる。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。　最後に。本講義は関西万博による交通の混雑のため、ライブではなくオンライン講義となる可能性がある。その際は MORIPA を通じて告知をするため、通知を確認できるようにしておくこと。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニテストに解答できるわけではな

い。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意・「歴史学」ってそもそも何？	（予習）西洋社会・文化について自分がどういうイメージを抱いているのかを考えておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。(2 時間)	中元　洸太
2	古代ギリシア	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
3	古代ローマ	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
4	中世キリスト教社会の成立①	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
5	中世キリスト教社会の成立②	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
6	ルネサンス、宗教改革、三十年戦争	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
7	近世の国家形成と科学革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
8	期末レポート作成上の注意	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
9	プロト工業化と「啓蒙」の時代	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	産業革命とフランス革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太

11	ウィーン体制と国民国家の形成	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	南北アメリカの独立	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	第一次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	第二次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	冷戦から現在へ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は数回にかけて随時行うミニテスト 60%、期末レポート 40%で採点する。　ミニテストは第 1 回～第 15 回の授業内容に即し、随時実施する予定である。試験中、レジュメやノートの閲覧は自由であるが、テストの方法・回数・〆切・制限時間の設定については第 1 回授業のガイダンスで指示する。授業内容の確認テストの色彩が強いため解説などのフィードバックは行わない。　期末レポートでは指定した範囲内で興味を持ったトピックを選んでもらい、その内容を一定の字数以上で要約できるか、それに対し受講生がどのように感想や意見を表明でき		①ミニテスト 60%　②期末レポート 40%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(看護B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉　基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction　/ Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			

23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉 ②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉 2/3 以上の出席が必要。			①50% ②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(看護A)				
主担当教員	田中 友理		担当教員	田中 友理／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟1階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			

23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉 ②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉 2/3 以上の出席が必要。			①50% ②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(看護B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉　英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉　簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）　英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Social network	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	長尾

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(看護A)				
主担当教員	田中 友理		担当教員	田中 友理／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021） 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟1階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
4	Social network	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	田中

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英会話（看護）				
主担当教員	Kiarra Waldburg		担当教員	Kiarra Waldburg	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②>： ②小テスト<DP②> ③確認テスト<DP②> 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	医学英語（看護）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20017	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため、臨床現場で患者の主訴等の発話を正確に理解したり、患者に正確な指示を伝えたりするために必要となる表現や語彙を習得する。また、医学関連の文献や論文、その他情報の収集方法と論文の構成を習得し、専門分野における最先端の研究情報を得るためのスキルを身につける。　将来医療従事者となる皆さんに、ぜひ受講をお勧めする。

学修目標

最低限患者とコミュニケーションがとれる。〈DP②〉　最低限の医学用語が理解できる。〈DP②〉　医学分野の英語の論文がどのような構成になっているのか理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　　宿題や予習（特にリーディング）は必ずしてから授業に臨むこと。　携帯電話の使用、私語は慎むこと。

教科書

実践看護英語（竹林修一、英宝社、2014）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Medical terminology / Getting to know the patients 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
2	Getting to know the patients 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
3	Getting to know the patients 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
4	Getting to know the patients 4	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
5	Examination 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾　晋宏

		おくこと	
6	Examination 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
7	Instructing medication	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
8	Treating the patients 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
9	Treating the patients 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
10	Treating the patients 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
11	Operation / Pubmedについて、論文の構成について	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
12	Pregnancy / Articles on Nursing 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
13	In the hospital / Articles on Nursing 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
14	Emergencies / Articles on Nursing 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
15	Living a healthy life / Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
小テスト〈DP②〉　プレゼンテーションおよびその他課題〈DP②〉　　授業参加態度〈DP②〉　2/3 回以上の出席が必要。			30%　40% 30%

授業科目名	基礎英語演習（看護）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾　晋宏

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（看護）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉　TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita　/ 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
3	Unit 9 Advertising	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
5	Unit 10 Meetings	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	長尾　晋宏

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Unit 11 Finance	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
8	接続詞（理由・譲歩・時）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
9	Unit 12 Offices	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
10	前置詞・接続詞対比	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
11	Unit 13 Daily Life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　③Review Test<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②20% ③40%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(看護)				
主担当教員	下岡 ちえ		担当教員	下岡 ちえ／木村 清子／前川 佳敬／高木 悠哉／朝倉 智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。 また、履修に関することや教育課程（カリキュラム）、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。 医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③〉 ・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③〉 ・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③〉 ・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。 ＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】 【理事長､学長×学部長対談！】 テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上) 復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長 内田学部長 前川学部長 森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上) 復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】 【学科長対談！】 テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職について調べる。(1 時間以上) 復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上) 復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁

5	コミュニケーション入門【コスモホール】　（コミュニケーションって何？コミュニケーションのメリットは？「話を聞く」、「伝える」ってどういうこと？）　テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 橋本　弘子
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上)　IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】　テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上)　復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【D②③】　②レポート課題　テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【D②③】　＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。　①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30%　②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（看護）				
主担当教員	寺田　美和子		担当教員	寺田　美和子／宮本　佳子／川添　英利子／八幡　久美子／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についてし知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8 学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁
3	IPW 論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁

成績評価方法と基準	割合
レポート課題<DP②③>　「施設見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」1600 字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。	100%

授業科目名	医療コミュニケーション（看護）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

ケア対象者、ケアチームメンバーとの効果的なコミュニケーションを推進するために必要な知識と技術の基本を学び、保健医療の場で看護職に期待されるコミュニケーションのあり方について考える。

学修目標

1．コミュニケーションの定義、構成要素について説明でき、コミュニケーションとは何か、人間にとってのコミュニケーションの意味について考えることができる。DP①　2．ケアを必要としている人とナースとの間の効果的なコミュニケーションのあり方について考えることができる。DP①②③　3．人間関係形成過程から看護を論じた看護論をふまえて、ケアとしてのコミュニケーションの意義を説明できる。DP①②③　4．クライエント中心の医療ケアを支える協働型インフォームド・コンセントの必要性について説明できる。DP①②③　5．保健医療システムにおけるコミュニケーションのネットワークと多職種による連携機能について説明できる。DP①②③　6．保健医療専門職間のコミュニケーションの重要性と課題について考えることができる。DP①②③　7．医療の質・安全におけるコミュニケーションの重要性とその効果的な方法の基本について説明できる。DP①②③　8．保健医療チームの協働の要としての看護師の役割と機能、協働推進における課題について説明できる。DP①②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本科目は、看護の基盤である人間関係の形成について学ぶ重要な位置づけです。問題意識を持って積極的に自分の問いを追究し、主体的に学ぶことを期待します。　授業は随所にロールプレイを組み込むなど、実感を伴う体験型の授業を展開します。知識の習得を超えて、コミュニケーションのあり方について塾講する機会としてください。

教科書

系統看護学講座　基礎分野　人間関係論　医学書院

参考書

①『人間関係の看護論―精神力学的看護の概念枠』ヒルデガード・E・ペプロウ/稲田八重子訳、医学書院､1973　②『人間対人間の看護』ジョイス・トラベルビー/長谷川浩他訳、医学書院、1974　?『ケアの本質』ミルトン・メイヤロフ/田村誠他訳、ゆるみ出版　1993 年　④『ケアリングの理論と実践―コミュニケーションによる癒し』キャロル・レッパネン・モンゴメリー/神郡博他訳、医学書院、1995　⑤『ワトソン看護論（第 2 版）―ヒューマンケアリングの科学』ジーン・ワトソン/稲岡文昭他訳、医学書院、2014　⑥『看護のた

研究室／オフィスアワー

研究室：西棟 2 階 239　　オフィスアワー：時間を調整するのでメール（hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp）でアポを取ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ロールプレイ。 人間対人間のコミュニケーション、コミュニケーションの概念、定義、構成要素	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	内田宏美
2	「クライエント-ナース」間のコミュニケーション　ロールプレイを通して考える	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業	内田宏美

		テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	
3	治療的人間関係の形成過程と看護､ケアとしてのコミュニケーション	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	内田宏美
4	インフォームド･コンセント再考､ペイシェント･センタードケアを支えるコミュニケーション	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	内田宏美
5	保健医療システムにおけるコミュニケーションのネットワークと多職種連携	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	内田宏美
6	「看護師-看護師･他職種」間のコミュニケーション　ロールプレイを通して考える	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	内田宏美
7	医療の質・安全とコミュニケーション､コミュニケーション・エラーとコンフリクトへの対応	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	内田宏美
8	保健医療チームのキーパーソンとしての看護師の役割と機能	予習：テキストや事前配布資料、ゆとりがあれば参考図書に目を通し、授業内容の概要についてまとめておく。　復習：学修を振り返り、知識を整理するとともに、授業テーマに対する自分の考えや課題を整理しておく。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
①グループワーク等、授業に臨む姿勢、レアクションペーパーの学びの深さ　?まとめのレポート　＜DP②③＞			①50% ②50%

授業科目名	チーム医療論（看護）				
主担当教員	岩佐　由美		担当教員	岩佐　由美／増山　祥子／国宗　翔／松岡　小百合／丸山　加寿子／門野　杏子／前川　佳敬／松尾　明彦／藤江　建朗／大久保　さやか／中西　一／由利　禄巳／船橋　正夫／松﨑　伸介／大橋　明日香／五十嵐　淳介／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは,「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と看護師がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

上田敏著「ICF の理解と活用第 2 版　入門編」　資料を配布する

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	岩佐由美、丸山加寿子、笹井佐和子　他
2	医療系専門職種の介入｜1【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を	授業内にて案内

		理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	
3	医療系専門職種の介入｜2【診療放射線技師】	予習：本学診療放射線学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で診療放射線技師の仕事について調べておくこと。(30分)　復習：診療放射線技師の職能や役割を理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	授業内にて案内
4	医療系専門職種の介入｜3【臨床検査技師】	予習：本学臨床検査学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床検査技師の仕事について調べておくこと。(30分)　復習：臨床検査技師の職能や役割を理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜4【臨床工学技士】	予習：本学臨床工学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床工学技士の仕事について調べておくこと。(30分)　復習：臨床工学技士の職能や役割を理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜5【理学療法士】	予習：本学理学療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で理学療法士の仕事について調べておくこと。(30分)　復習：理学療法士の職能や役割を理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜6【作業療法士】	予習：本学作業療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で作業療法士の仕事について調べておくこと。(30分)　復習：作業療法士の職能や役割を理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の理解｜7【言語聴覚士】	予習：本学言語聴覚学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で言語聴覚士の仕事について調べておくこと。(30分)　復習：言語聴覚士の職能や役割を理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜8【鍼灸師】	予習：本学鍼灸学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で鍼灸師の仕事について調べておくこと。(30分)　復習：鍼灸師の職能や役割を理解し，看護師との接点を理解する。(30分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の介入｜9【看護師】	予習：看護師の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での看護師の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30分)	科目担当者 ゲスト
12	症例検討｜1	予習：看護師の職能・役割等を再確認しておく。(30分)　復習：症例を通してチーム医療内での看護師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30分)	岩佐由美、丸山加寿子、笹井佐和子　他

13	症例検討｜２	予習：看護師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での看護師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	岩佐由美、丸山加寿子、笹井佐和子　他
14	症例検討｜3	予習：看護師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での看護師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	岩佐由美、丸山加寿子、笹井佐和子　他
15	授業全体のまとめ	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習：チーム医療での看護師の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	岩佐由美、丸山加寿子、笹井佐和子　他
成績評価方法と基準			割合
①「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(他職種)についての報告　②「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(自職種)についての報告　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①と②で100%

授業科目名	IPW 論（看護）				
主担当教員	吉村　弥須子		担当教員	吉村　弥須子／黒岩　志紀／小林　妙子／渡邉　敦子／清水　理恵／原　明子／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20005	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各学科において、他学科の連携や知識・技術に触れることを目的に看護学・理学療法学・作業療法学・臨床検査学・臨床工学・診療放射線学・鍼灸学を学び、IPW（Interprofessional Work = 専門職連携）を 7 学科協働で演習形式にて実践する。　各分野の特徴やチーム内での役割とその専門性を学び、その上で各分野で共通する疾患や障害を基に、IPW の実際について、討議・経験・学修する。他職種と連携する中で違った視点や新たな知識を学ぶ機会となり、キャリアをデザインしていく上で考えておくべき多様な視点を学修することができる。

学修目標

各分野の講義を通じ専門性を理解しつつ、実際の症例を基に IPW を経験し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と倫理観を養う。<DP①②③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。　3）グループワークに積極的に参加し活発なカンファレンスを行う。　4）　出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。

教科書

資料の配布あり

参考書

適宜提示する

研究室／オフィスアワー

吉村研究室　西棟 236

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　顔合わせ、概要説明、チーム医療論の復習等　症例提示におけるアプローチ立案とその考察	2 年次の医療コミュニケーションの内容をふり返っておく	吉村　渡邉 小林　黒岩 原　清水
2	症例提示におけるアプローチ立案とその考察	課題として出された症例について、各自、看護問題、計画を立案してくる 1 時間	吉村　渡邉 小林　黒岩 原　清水
3	症例提示におけるアプローチ立案とその考察 看護学科のグループワークで話し合った問題点と計画をまとめ､他学科に発表できるように準備を行う。	予習：グループワークに備え資料準備、問題・目標の整理 1 時間	吉村　渡邉 小林　黒岩 原　清水
4	ディスカッション（4 回～6 回は 3 コマ連続）	多職種とのグループワークで出てきた疑問点を修正する	全学科教員
5	ディスカッション（4 回～6 回は 3 コマ連続）	多職種とのグループワークで出てきた疑問点を修正する	全学科教員
6	ディスカッション（4 回～6 回は 3 コマ連続）	多職種とのグループワークで出てきた疑問点を修正する	全学科教員
7	ディスカッション	多職種とのグループワークで出てきた疑問点を修正する	全学科教員

8	プレゼンテーション	多職種とのグループワークで話し合った問題点と計画をまとめ、発表できるように準備を行う。　予習発表準備1時間	全学科教員
成績評価方法と基準			割合
①ディスカッション時におけるプロセス評価<DP②③④>　②プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）<DP②③④>　出席は2/3以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①30%　②70%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(看護)				
主担当教員	濱口　幹太		担当教員	濱口　幹太	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける。〈DP③④〉　・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する。〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・大学生として節度ある態度で授業に臨むこと

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年

研究室／オフィスアワー

非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認（2 時間）　復習：内容の確認（2 時間）	濱口　幹太
2	健康・体力の概念	予習：健康に関する記事をチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
3	アルコールの影響とは	予習：身体に及ぼす影響をチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
4	喫煙について	予習：身体に及ぼす影響をチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
5	高脂血症・動脈硬化症	予習：どのような症状があるかチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
6	高血圧・脳卒中・心臓病	予習：どのような症状があるかチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
7	糖尿病・メタボリックシンドローム	予習：どのような症状があるかチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
8	前半まとめ	予習：今まで内容の確認（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
9	身体活動の必要性	予習:運動習慣のチェック(2 時間)　復習:今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
10	肥満について	予習:体型をチェック（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太

11	薬物乱用について	予習：薬物の影響のチェック（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
12	救急法	予習：心肺蘇生法のチェック（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
13	スポーツトレーニング	予習：スポーツの種目のチェック（2 時間） 復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
14	健康に関する VTR	予習:健康に関する記事をチェック(2 時間) 復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
15	後半まとめ	予習:今までの内容の確認(2 時間)　復習:今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
成績評価方法と基準			割合
定期試験で評価する。〈DP③④〉　15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。			100%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（看護）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、健康や疾病予防に関する基礎的な知識と健康管理に関する方法を学修する。また、運動不足の健康への影響を学び、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

学生のための健康管理学（改訂 3 版） 山野美容芸術短期大学 教授・副学長 木村康一 著 山野美容芸術短期大学 教授 永松俊哉 著 ISBN 978-4-525-62053-0

参考書

健康・スポーツ科学の基礎（出村慎一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	予習：シラバス・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
2	健康の指標と現状（なぜ健康が重要なのか？）	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
3	生活習慣と健康について１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
4	生活習慣と健康について２	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
5	生活習慣と健康について３	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
6	生活習慣と健康について４	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
7	生活習慣と健康について５	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
8	生活習慣と健康について６	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
9	疾病の予防１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
10	疾病の予防２	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二

11	疾病の予防３	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
12	健康のための運動１	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
13	健康のための運動２，健康管理の考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
14	総合復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
15	期末試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP③④〉			①70%　②30%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（看護）				
主担当教員	伊黒　浩二		担当教員	伊黒　浩二	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない　②喋らない　③内職しない　④スマホを触らない　以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

特にありません

参考書

学生のための健康管理学（木村康一，永松俊哉・南山堂）　健康・スポーツ科学の基礎（出村愼一監修・杏林書院）　健康・スポーツ科学テキスト　トレーニング科学（北川薫編集・文光堂）　特定健診・保健指導に役立つ　健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂)、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康について	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
2	健康の現状	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
3	中高年者の身体的特徴と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
4	骨粗鬆症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
5	変形性関節症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
6	生活習慣病と運動１　メタボリックシンドローム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
7	生活習慣病と運動２　高血圧症	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
8	生活習慣病と運動３　糖尿病	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
9	生活習慣病と運動４　高脂血症	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二

10	生活習慣病と運動５　虚血性心疾患	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
11	運動（エクササイズ）の基本と考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
12	筋力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
13	全身持久力と筋持久力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
14	ウォーミングアップとクーリングダウンの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
15	講義全体のまとめ	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　〈DP③④〉　授業の 2/3 回以上の出席が必要			①70%　②30%

授業科目名	栄養学（看護）				
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀	
科目ナンバリング	CS20010	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

栄養素の種類や働きを学び、消化吸収と代謝経路およびその調節系を理解する。

学修目標

1）三大栄養素（糖・脂質・タンパク質）の消化吸収・代謝の基礎を説明できる。〈DP③〉　2）食事摂取基準および身体活動に応じた消費エネルギー算出の理論を説明できる。〈DP③〉　3）ビタミンの作用と欠乏症について説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を中心に講義を行いますが、板書内容や配布資料も参考にして理解を深めてください。

教科書

『イラスト基礎栄養学』大口健司　他著/東京教学社

参考書

系統看護学講座　栄養学　人体の構造と機能 ③

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	栄養の概念	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
2	食物の摂取	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
3	炭水化物の栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
4	炭水化物の栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
5	たんぱく質の栄養	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
6	脂質の栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
7	脂質の栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行う	森　美侑紀

		こと。	
8	エネルギー代謝・カロリー計算	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
9	消化・吸収と栄養素の体内動態①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
10	消化・吸収と体内動態②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
11	ビタミンの栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
12	ビタミンの栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
13	ミネラルの栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
14	ミネラルの栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も併せて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	森　美侑紀
成績評価方法と基準			割合
1. 授業内レポート＜DP③＞　2. 筆記試験〈DP③〉　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。			1. 10%　2. 90%

授業科目名	身体運動科学（看護）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	CS20011	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

運動・身体活動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズム、適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法および運動療法の実施について学修する。

学修目標

１．運動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズムについて理解し、具体的に述べることができる。【DP③】　２．適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法について理解し、具体的に述べることができる。【DP③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．シラバスに明記されている予習復習を必ず行うこと。　２．授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　３．運動・身体活動に関わる学問であり、解剖学・生理学・運動学の復習が必要です。　４．質問等があれば、授業後に直接研究室に来る、もしくは MORIPA クラスプロファイル「Q&A」から連絡ください。

教科書

資料を配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

杉本　圭： E 棟 4 階研究室／水曜日 4 限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	なぜ、運動が必要なのか？　-運動を無理なく続けられる秘訣を探ってみよう！-	予習：身体にとって運動が必要な理由について考えておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が必要な理由について理解する。(2 時間)	杉本
2	筋肉はどのように収縮するのか？　-運動で用いられる骨格筋について学ぼう！-	予習：骨格筋の構造と収縮の仕組みについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が骨格筋に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
3	セルフチェック①　-まずは自分の身体に目を向けてみよう！-	予習：身体組成に関わる評価方法について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、評価結果と効果的な運動療法の実践について理解する。(2 時間)	杉本
4	運動時の生理機能は？　-運動による身体の反応について学ぼう！-	予習：運動時の生理機能について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の生理機能について理解する。(2 時間)	杉本
5	疾病の予防と治療のための栄養・運動　-生活習慣病予防に必要な取り組み方を学ぼう！-	予習：生活習慣病とは何か調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、生活習慣病の予防と治療のための栄養管理と運動療法について理解する。(2 時間)	杉本
6	ストレッチングの基礎と実際　-使えていない関節を探してみよう！-	予習：ストレッチングの種類、生理学について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、ストレッチングが運動に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本

7	有酸素運動の基礎と実際　-効率の良い走り方とは？-	予習：有酸素運動はどのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、有酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
8	無酸素運動の基礎と実際　-筋肉量が増えるのは良いことか？-	予習：無酸素運動は、どのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、無酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
9	運動と環境　-運動すると体温はどうなる？-	予習：熱中症の病態について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の熱中症の予防および治療方法について理解する。(2 時間)	杉本
10	運動と栄養・食生活　- 青年・中年期の生活習慣を見直そう -	予習：栄養素の役割および食事バランスガイドを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、日常の食事と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
11	運動と疲労　-運動して疲れた身体を超回復！-	予習：運動における疲労について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動と疲労の関係について理解する。(2 時間)	杉本
12	エイジング（加齢、老化）と運動　-歳を重ねると身体はどうなる？-	予習：加齢によって起こる身体の変化について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、老化と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
13	運動と心の健康：メンタルヘルス　-運動の精神機能への影響は？-　セルフチェック②　-継続は力なり。身体は変化する！-	予習：メンタルヘルスについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動習慣定着のための介入方法を理解する。(2 時間)	杉本
14	運動と医療　-運動と医療の関わりについて考えてみよう！-	予習：運動が身体に及ぼす影響について確認しておく．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，運動と医療の関係性について理解する．(2 時間)	杉本
15	講義全体のまとめ	予習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)　復習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)	杉本
成績評価方法と基準			割合
１．筆記試験【DP③】　２．毎回の授業後に課すレポート課題【DP③】　＊試験・課題に対して，必要に応じて随時解説を実施する。			１．60%　２．40%

授業科目名	東洋医療概論（看護）				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	CS20012	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

主要な補完代替医療である東洋医学の概要について講義し、初歩的な理論や治療を解説する。　実際の鍼灸に触れる機会を作る。

学修目標

東洋医学の基本を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

下記の授業計画表に記載の講義とともに、可能な範囲で灸体験などを実施する。　西洋医学とは異なる体系であることを理解する。

教科書

平馬直樹・浅川要・辰巳洋監、　東洋医学の教科書、　ナツメ社、　ISBN コード 978-4-8163-5540-0

参考書

東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学概論、　医道の日本社　東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学臨床論（はりきゅう編）、　南江堂

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス	復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
2	東洋医学の歴史	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
3	陰陽・五行学説、天人相関思想ほか中国思想	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
4	陰陽・五行の相互関係	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
5	医学における陰陽・五行	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
6	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
7	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
8	臓腑学説	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
9	臓腑学説	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
10	病因	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
11	四診	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
12	経絡・経穴	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
13	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野

14	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
15	これまでの授業全体のまとめ	予習:これまでの講義を振り返る　復習:これまでの資料・教科書を見る	熊野
成績評価方法と基準			割合
・期末試験（筆記試験、レポート、小テストなど）　・授業態度			90%　10%

授業科目名	統合医療概論（看護）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／増山 祥子／森 美侑紀	
科目ナンバリング	CS20013	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:必修 スポーツ:選択

授業概要

統合医療という言葉が医療の中で使われるようになってきたが、実際に統合医療が何を指し、どうあるべきなのかについては合意が得られていない。本授業では、統合医療の概念と現状について解説するとともに、統合医療の重要な構成要素である EBM と補完療法について概説する。また、各種治療の有効性と安全性について、エビデンスにもとづく批判的吟味のポイントについても解説する。

学修目標

1．統合医療の概念と現状について理解する。 2．EBM の概念と手法について理解する。 3．補完療法の種類と概要について説明できる。 4．主要な補完療法についてエビデンスにもとづく批判的吟味ができる。 〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療や行政において統合医療は賛否両論である。医師その他の医療従事者も支持派と反対派に分かれる。なぜ賛否両論があるのか、よく考えながら受講していただきたい。

教科書

資料を配布する。

参考書

各教員が必要に応じて授業担当時に紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下 仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療におけるエビデンスの重要性	健康関連商品の広告に目を通す	山下
2	EBM	EBM について調べる	山下
3	EBM シミュレーション	自分の専門領域のエビデンスについて調べる	増山
4	EBM と診療ガイドライン	自分の専門領域または興味のある疾患の診療ガイドラインを調べる	山下
5	健康産業と研究倫理・利益相反	利益相反状態と利益相反行為の違いについて調べる	山下
6	補完療法概論	代替医療と補完医療の違いについて調べる	山下
7	代表的な補完療法	自分が興味のある補完療法についてネットや図書館で調べる	山下
8	鍼灸のエビデンス	鍼灸に関する書籍や雑誌を図書館で調べる	山下
9	アロマセラピー①	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
10	アロマセラピー②	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
11	ヨガ・マインドフルネス	ヨガ・マインドフルネスに関するネット動画を見る	増山

12	サプリメント	興味のあるサプリメントを幾つか選んでその広告の内容に関する疑問点を調べる	山下
13	統合医療とスピリチュアルと NBM	スピリチュアルという概念について調べる	山下
14	緩和ケア・難病ケアと統合医療	末期がんまたは難病の患者の実情について調べる	増山
15	総括：統合医療は何を統合するのか	14 回までに習った内容を整理する	山下
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②課題提出物　　〈DP③〉			①70%　②30%

授業科目名	基礎体育（看護）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／濱口　幹太／小田　啓之／内田　昌孝／藤戸　靖則	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ・・トレーニング種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンス、レジスタンス運動など多種多様なスポーツ・トレーニング種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲーム等を自主的に運営する能力を養う。また、スポーツ・トレーニングの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツ・トレーニングを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業について　本科目は、学外施設を使用して実施する関係上、履修者の人数を把握してからクラス編成を行います。初回オリエンテーション時の服装等は下記と同様として、必ず出席すること。　集合場所：学内体育館 9:00 集合　　服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計、装飾品の紛失・破損、貴重品の盗難などについて担当教員は責任を負わない。ピアスやネックレスなどの装飾品は必ず外し、スマートホンなど科目に不必要なモノはカバンやロッカーで管理すること。　　注意事項　（１）集合場所　　日にち（特に雨天時）によって、各クラス担当教員ごとに、授業を行う場所やバス運行時刻等が変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。　　（２）各運動施設までの移動手段について　　本学体育館や近隣の代替運動施設を利用して、基礎体育を行います。近隣（バスで約 10～20 分）の運動施設までの移動には、大学前から現地まで貸し切りバスをチャーターし、みなさんを送迎します。現地集合の設定などは適宜アナウンス致します。　（３）運動実施に伴う配慮について　　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス スポーツ種目の選択、コースの決定	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。	中原　英博、小田　啓之、伊奈新太郎、信江彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
2	オリエンテーション クラス分けガイダンス スポーツ種目の選択、コースの決定	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈新太郎、信江彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
3	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈新太郎、信江彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
4	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈新太郎、信江彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈新太郎、信江彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
6	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈新太郎、信江彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
7	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈新太郎、信江彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
8	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
9	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
10	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
11	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
12	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、

			伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
13	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
14	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
15	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
16	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
17	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
18	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
19	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
20	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
21	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
22	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	予習・復習１時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹

			太、内田 昌孝
23	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
24	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
25	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
26	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
27	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
28	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
29	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
30	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤	予習・復習 1 時間	中原　英博、小田　啓之、伊奈　新太郎、信江　彩加、濱口　幹太、内田 昌孝
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(20 コマ)以上出席すること（本授業科目においては１日で２コマ分の授業となっているので 10 日以上出席が必要です)。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日には成績評価対象のレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			100%

授業科目名	形態機能学Ⅰ（看護）				
主担当教員	木田　岩男		担当教員	木田　岩男	
科目ナンバリング	SB20C001	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜2限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

形態機能学Ⅰでは、消化器系、呼吸器系、血液・造血器系、循環器系といった、人体の器官系それぞれの正常な構造（解剖学）について学習する。また、人体の機能（生理学）的な特徴と構造との関係を十分に考察することで、疾病を理解する為に必要な知識を身につける。また、シミュレーションセンターのアナトマージテーブルを用いて、人体構造の立体的な理解を促す。

学修目標

（1）細胞の構造、組織の概要、細胞・組織・器官の層序性を説明できる（DP②③）　（2）各内臓系を構成する臓器の位置と形態が分かるとともに、各臓器の構造を機能との関わりから説明できる（DP②③）　（3）消化器系、呼吸器系、血液・造血器系、循環器系の基本的構造を説明できる（DP②③）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．講義前には予習として教科書の該当箇所を一読しておく。　2．講義は配布資料（レジュメ）を用いて進める。　3．講義ではメモをとり、後でノートにまとめながら復習する。　4．疑問点があればすぐに質問し、解決してから次に進むようにする。　5．講義への出席を重視する。

教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能［1］　解剖生理学　坂井建雄／岡田隆夫／宇賀貴紀（医学書院）

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

研究室：S棟5階　研究室16　オフィスアワー：月曜5限・水曜5限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	解剖学を学ぶための基礎知識	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
2	細胞と組織（上皮組織・筋組織・結合組織・神経組織）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
3	消化器系の構造（口・咽頭・食道）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
4	消化器系の構造（腹部消化管）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
5	消化器系の構造（膵臓・肝臓・胆嚢・腹膜）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
6	呼吸器系の構造（鼻腔・喉頭）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
7	呼吸器系の構造（気管・気管支）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男

8	呼吸器系の構造（肺・胸膜）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	木田　岩男
9	血液・造血器系	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	木田　岩男
10	循環器系の構造（脈管）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	木田　岩男
11	循環器系の構造（心臓）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	木田　岩男
12	循環器系の構造（動脈）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	木田　岩男
13	循環器系の構造（静脈）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	木田　岩男
14	循環器系の構造（微小循環・リンパ系）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	木田　岩男
15	シミュレーションセンターのアナトマージテーブルを用いた人体構造の立体的理解	予習：講義プリントを用いた復習（1 時間） 復習：アナトマージテーブルで得られた 3D イメージについての感想レポート（1 時間）	木田　岩男
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③）。筆記試験は 100 点満点とし、60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には、筆記試験の再試験を 1 回のみ行う。			筆記試験 100%

授業科目名	形態機能学Ⅱ（看護）				
主担当教員	木田　岩男		担当教員	木田　岩男	
科目ナンバリング	SB20C002	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

形態機能学Ⅱでは、消化器系、呼吸器系、血液・造血器系、循環器系といった、人体の器官系それぞれの正常な機能（生理機能）について学習する。また、これら器官系の連携による生体の恒常性維持機構についても理解する。さらに、人体の形態（解剖）的な特徴と機能との関係を十分に考察することで、疾病を理解する為に必要な知識を身につける。

学修目標

１．各器官系統別に、人体の正常な機能を、その形態（構造）と関連付けて理解する。〈DP②③〉　２．各器官系統別に、人体の各機能の調節機構について理解する。〈DP②③〉　３．各器官系の連携とホメオスタシスについて理解する。　〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．講義前には予習として教科書の該当箇所を一読しておく。　２．講義は配布資料（レジュメ）を用いて進める。　３．講義ではメモをとり、後でノートにまとめながら復習する。　４．疑問点があればすぐに質問し、解決してから次に進むようにする。　５．講義への出席を重視する。

教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能［1］　解剖生理学　坂井建雄／岡田隆夫／宇賀貴紀（医学書院）

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

研究室：S 棟 5 階　研究室 16　オフィスアワー：月曜 5 限・水曜 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	機能からみた人体とホメオスタシス	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
2	消化器系の機能（口腔・食道・胃）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
3	消化器系の機能（小腸・大腸）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
4	消化器系の機能（膵臓・肝臓・胆嚢）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
5	呼吸器系の機能（呼吸運動）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
6	呼吸器系の機能（呼吸気量）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
7	呼吸器系の機能（ガス交換とガスの運搬）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
8	呼吸器系の機能（呼吸運動の調節）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男

9	血液・造血器系の機能（赤血球・白血球・血小板）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
10	血液・造血器系の機能（血漿蛋白・血液凝固・血液型）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
11	循環器系（肺循環と体循環）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
12	循環器系の機能（心臓の興奮と心電図）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
13	循環器系の機能（心臓のポンプ機能）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
14	循環器系の機能（血圧の調節と血流の再配分）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
15	循環器系の機能（微小循環・リンパ系）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
成績評価方法と基準			割合
①期末試験として筆記試験を行う。〈DP②③〉　期末試験（６０点以上で単位認定）			①100%

授業科目名	形態機能学Ⅲ（看護）				
主担当教員	木田　岩男		担当教員	木田　岩男	
科目ナンバリング	SB20C003	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

形態機能学Ⅲでは、腎・泌尿器系、内分泌系、神経系、感覚器系、運動器系、免疫系、生殖器系の構造を学習する。すなわち、これらの系に属する解剖構造を、細胞・組織のレベルから理解し、同時並行的に学習する機能（形態機能学Ⅳ）と関連させつつ習得する。腎・泌尿器系、内分泌系、神経系、感覚器系では、人体内外での情報の受容、伝達、処理、統合、出力の仕組み、さらには体内環境を一定に保つ調節の仕組みを理解する。骨と筋から構成される運動器系では、体の動く仕組みを理解する。また、シミュレーションセンターのアナトマージテーブルを用いて、人体構造の立体的な理解を促す。

学修目標

（1）腎・泌尿器系の構造を機能面から説明できる（DP②③）　（2）内分泌系器官の構造を機能面から説明できる（DP②③）　（3）中枢神経系の形態と、各部の役割を説明できる（DP②③）　（4）末梢神経系の構成と分布、主要神経の役割を説明できる（DP②③）　（5）感覚器の構造を機能面から説明できる（DP②③）　（6）人体を構成する骨の名称と部位を述べることができる（DP②③）　（7）人体を構成する筋の名称と部位、役割を述べることができる（DP②③）　（8）受精と胎児の発生の概要を説明できる（DP②③）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

1．講義前には予習として教科書の該当箇所を一読しておく。　2．講義は配布資料（レジュメ）を用いて進める。　3．講義ではメモをとり、後でノートにまとめながら復習する。　4．疑問点があればすぐに質問し、解決してから次に進むようにする。　5．講義への出席を重視する。

教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能［1］　解剖生理学　坂井建雄／岡田隆夫／宇賀貴紀（医学書院）

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

研究室：S 棟 5 階　研究室 16　オフィスアワー：月曜 5 限・水曜 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	神経系の構造（脳と脊髄）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
2	全身の内分泌腺と内分泌細胞	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
3	神経系の構造（脳神経と脊髄神経）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
4	骨格系の構造（体幹の骨）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
5	骨格系の構造（四肢の骨）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
6	筋系の構造（体幹の筋）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男

7	筋系の構造（四肢の筋）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
8	腎・泌尿器系の構造（腎臓）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
9	腎・泌尿器系の構造（泌尿器）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
10	全身の内分泌腺と内分泌細胞	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
11	内分泌系の構造（視床下部－下垂体系・甲状腺）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
12	内分泌系の構造（膵臓・副腎・性腺）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
13	生殖器系の構造	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
14	受精と胎児の発生、胎児循環	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
15	シミュレーションセンターのアナトマージテーブルを用いた人体構造の立体的理解	予習：講義プリントを用いた復習（1 時間） 復習：アナトマージテーブルで得られた 3D イメージについての感想レポート（1 時間）	木田　岩男
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③）。筆記試験は 100 点満点で 60%以上の得点でもって合格とする。　合格点に達しない場合には、筆記試験の再試験を 1 回のみ行う。			筆記試験 100%

授業科目名	形態機能学Ⅳ(看護)				
主担当教員	木田　岩男		担当教員	木田　岩男	
科目ナンバリング	SB20C004	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜2限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

形態機能学Ⅳでは、腎・泌尿器系、内分泌系、神経系、感覚器系、運動器系、免疫系、生殖器系といった、人体の器官系それぞれの正常な機能（生理機能）について学習する。また、これら器官系の連携による生体の恒常性維持機構についても理解する。さらに、人体の形態（解剖）的な特徴と機能との関係を十分に考察することで、疾病を理解する為に必要な知識を身につける。

学修目標

1．各器官系統別に、人体の正常な機能を、その形態（構造）と関連付けて理解する。〈DP②③〉　2．各器官系統別に、人体の各機能の調節機構について理解する。〈DP②③〉　3．各器官系の連携とホメオスタシスについて理解する。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．講義前には予習として教科書の該当箇所を一読しておく。　2．講義は配布資料（レジュメ）を用いて進める。　3．講義ではメモをとり、後でノートにまとめながら復習する。　4．疑問点があればすぐに質問し、解決してから次に進むようにする。　5．講義への出席を重視する。

教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能［1］　解剖生理学　坂井建雄／岡田隆夫／宇賀貴紀（医学書院）

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

研究室：S棟5階　研究室16　オフィスアワー：月曜5限・水曜5限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	感覚器系の機能（眼・耳・鼻）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
2	感覚器系の機能（皮膚）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
3	神経系の機能（自律神経系）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
4	神経系の機能（脳）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
5	神経系の機能（脊髄）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
6	神経系の機能（脳神経・脊髄神経）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
7	運動器系の機能（骨と関節）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	木田　岩男
8	運動器系の機能（骨格筋）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノー	木田　岩男

		トの加筆と修正（１時間）	
9	腎・泌尿器系の機能（腎機能評価）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
10	腎・泌尿器系の機能（排尿）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
11	内分泌系の機能（視床下部－下垂体系）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
12	内分泌系の機能（甲状腺・副腎）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
13	内分泌系の機能（膵臓・性腺）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
14	生体の防御機構（免疫系の機能・体温調節）	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
15	生殖器系の機能と発生・老化	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	木田　岩男
成績評価方法と基準			割合
①期末試験として筆記試験を行う。〈DP②③〉　期末試験（６０点以上で単位認定）			①100%

授業科目名	フィジカルアセスメント（看護）				
主担当教員	原　明子		担当教員	原　明子／下岡　ちえ／水本　英佑／松岡　小百合／渡邉　敦子	
科目ナンバリング	SB20C005	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本科目では、診療の補助に必要となる基本的な知識と看護技術を修得する。　検査や医療処置に関する援助技術の基礎知識を理解したうえで、器具・器材を使用する目的や適切かつ安全に取り扱う方法を学ぶ。さらに、検査や医療処置を必要とする人の身体面・心理面に配慮するとともに、根拠に基づいた安全・安楽な援助技術を修得する。　※本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。

学修目標

1. 診療、検査、治療過程に伴う援助技術における看護師の役割を述べることができる。〈DP1〉　2. 各援助技術の目的を述べることができる。〈DP1〉　3. 各援助技術の方法・留意点を根拠をもとに述べることができる。〈DP1・4〉　4. 検査や処置を必要とする人の身体面・心理面に配慮して、安全・安楽な援助技術を実施できる。〈DP1・3・4〉　5. 各援助技術の原理・原則を、〔安全性〕〔安楽性〕〔ボディメカニクス〕〔作業域と行動の組み立て〕〔清潔と不潔〕〔経済性〕〔反応の観察と対応〕〔個別性〕〔対象者との協働〕の観点から効果的に活用するための方法を考察できる。〈DP1・3・4〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 出席が前提である。　2. 演習時は身だしなみを整える。(原則、ユニフォームを着用する)　3. 提出物の期限は厳守する。　4. 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、フィジカルアセスメント、生活援助論ⅠⅡの学修内容と本科目の関係性を理解して臨む。5. 演習物品などの準備、後片付け、基礎看護学実習室の整備は学生が自立して行う。　6. 看護技術の修得には、事前事後の自己学習および自己練習が必要である。

教科書

1. 系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[2]　基礎看護技術Ⅰ　茂野香おる（医学書院）　ISBN 978-4-260-04992-4　2. 系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[3]　基礎看護技術Ⅱ　任和子（医学書院）　ISBN 978-4-260-04212-3　3. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　任和子・井川順子（医学書院）　ISBN 978-4-260-04790-6

参考書

1. 系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能［1］　解剖生理学　坂井建雄／岡田隆夫／宇賀貴紀（医学書院）　ISBN 978-4-260-04687-9

研究室／オフィスアワー

原研究室（W335/随時）（事前にメール連絡があるとスムーズです）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	科目ガイダンス　医療安全①	予習：シラバスを確認する。　復習：授業内容を整理する。　（合計 1 時間）	原
2	医療安全②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計 1 時間）	原
3	食事援助技術（経管栄養法）①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計 1 時間）	松岡
4	食事援助技術（経管栄養法）②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計 1 時間）	松岡

5	【演習】　食事援助技術（経管栄養法）①	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。　　演習前レポートを作成する。復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
6	【演習】　食事援助技術（経管栄養法）②	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。　　演習前レポートを作成する。復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
7	呼吸・循環を整える技術①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	松岡
8	呼吸・循環を整える技術②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	松岡
9	【演習】　呼吸・循環を整える技術（酸素投与、吸引、吸入）①	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
10	【演習】　呼吸・循環を整える技術（酸素投与、吸引、吸入）①	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
11	感染防止の技術（洗浄、消毒・滅菌の基礎技術）①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原
12	感染防止の技術（洗浄、消毒・滅菌の基礎技術）②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原
13	【演習】　感染防止の技術（鑷子の取り扱い、無菌操作、滅菌手袋の装着）①	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
14	【演習】　感染防止の技術（鑷子の取り扱い、無菌操作、滅菌手袋の装着）②	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
15	創傷管理技術①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	水本
16	創傷管理技術②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	水本
17	【演習】　創傷管理技術（消毒法、包帯法）①	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
18	【演習】　創傷管理技術（消毒法、包帯法）②	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
19	【演習】　創傷管理技術（褥瘡ケア）①	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
20	【演習】　創傷管理技術（褥瘡ケア）②	予習：事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
21	症状・生体管理技術（検査、採血）①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原

22	症状・生体管理技術（検査、採血）②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読しておく。 復習:授業内容を整理する。 （合計１時間）	原
23	【演習】 症状・生体管理技術（血管の選定、シリンジの取り扱い）①	予習:事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	全員
24	【演習】 症状・生体管理技術（採血）①	予習:事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	全員
25	【演習】 症状・生体管理技術（採血）②	予習:事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	全員
26	【演習】 症状・生体管理技術（採血）③	予習:事前に配布される演習要項を読み、テキストや参考書、映像教材を確認しておく。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	全員
27	技術チェック①	予習:技術の自己練習をする。 復習:技術項目を振り返る。 （合計１時間）	全員
28	技術チェック②	予習:技術の自己練習をする。 復習:技術項目を振り返る。 （合計１時間）	全員
29	まとめ①	予習:テキスト、レジメ等を振り返る。 復習：授業内容を整理する。 （合計１時間）	原
30	まとめ②	予習:テキスト、レジメ等を振り返る。 復習：授業内容を整理する。 （合計１時間）	原
成績評価方法と基準			割合
1. 4/5 以上の出席が必要である。 2. 60 点以上を単位認定とする。 3. 成績評価方法 1）筆記試験〈DP1・4〉 2）技術チェック〈DP1・4〉 3）平常点（小テスト、演習レポート、身だしなみ等）〈DP1・3・4〉 4. 小テスト、演習レポートのフィードバック方法 1）小テストは、講義の始めに実施し講義内でフィードバックする。 2）演習レポートは、適宜フィードバックする。			1. 筆記試験 50% 2. 技術チェック 20% 3. 平常点 30%

授業科目名	生化学（看護）				
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀	
科目ナンバリング	SB20C006	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生体の恒常性維持に必要な基本物質の構造と機能、それらの代謝に関する知識を学ぶ。

学修目標

1）細胞の基本構造と細胞内小器官の役割について説明できる。〈DP②〉 2）三大栄養素（タンパク質・糖質・脂質）の構造と機能、代謝の概略について説明できる。〈DP②〉 3）酵素の反応機構ならびに調節機構の概略を説明できる。〈DP②〉 4）核酸の構造と機能、遺伝情報からのタンパク質合成について説明できる。〈DP②〉 5）無機質やホルモンの作用について説明できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を中心に講義を行いますが、配布資料も参考にして理解を深めてください。

教科書

『イラスト　生化学入門ー栄養素の旅ー』相原英孝　他著/東京教学社

参考書

医学書院　生化学　人体の構造と機能②

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人体の仕組み	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
2	生体の恒常性を保つシステム	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。　予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
3	水・無機質のはたらき	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
4	生体の防御システムー免疫ー	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
5	核酸の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
6	核酸の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
7	酵素の性質とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行う	森　美侑紀

		こと。	
8	酵素の性質とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
9	タンパク質の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
10	タンパク質の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
11	糖質の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
12	糖質の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。　予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
13	脂質の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
14	脂質の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	森　美侑紀
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験<DP②>　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。			①100%

授業科目名	発達心理学（看護）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉／岩崎　久志	
科目ナンバリング	SB20C007	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 1 限、金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本講義では、人間の発達を生涯的展望からとらえ、人間が誕生し、成長発達、成熟、やがて死に至るといったライフサイクルにおける精神の発達過程を学修する。ここでは、各発達段階（新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期・壮年期・熟年期・前期高齢期・後期高齢期）の精神発達の特徴と人間関係の諸相について、いくつかの発達理論をもとに学修する。

学修目標

1. 人間のライフサイクルの全体像を理解する。〈DP②③〉　2. ライフサイクルの各段階の特徴を理解する。〈DP②③〉　3. 新生児期から後期高齢期までの各過程の発達課題とその要因について理解する。〈DP②③〉　4. ライフサイクルと健康との関連を理解する。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 「心理学」、および、「看護学」各領域の概論の講義と関連づけて考えること。

教科書

特に指定しない

参考書

・看護のための人間発達学-第 4 版-,舟島なおみ,2011　・生涯人間発達論,服部祥子, 医学書院, 2010　・その他、授業の中で適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

高木：E 棟 4 階研究室 4／講義に対する質問は、アポイントを取っていただければ適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生涯発達と発達段階	シラバスの確認（2 時間．以下，文末の括弧内の数は，予習復習の時間を示す）	高木
2	発達の生物学的基礎（遺伝と環境）と発達の研究法	第 1 回配布資料の復習(4)	高木
3	新生児・乳幼児期・児童期までの発達①　感覚と運動の発達	第 2 回配布資料の復習(4)	高木
4	新生児・乳幼児期・児童期までの発達②　愛着の発達と個人差	第 3 回配布資料の復習(4)	高木
5	新生児・乳幼児期・児童期までの発達③　認知の発達	第 4 回配布資料の復習(4)	高木
6	新生児・乳幼児期・児童期までの発達④　社会性の発達	第 5 回配布資料の復習(4)	高木
7	新生児・乳幼児期・児童期までの発達⑤　感情と自己の発達	第 6 回配布資料の復習(4)	高木
8	新生児・乳幼児期・児童期までの発達⑥　遊びと対人関係の発達	第 7 回配布資料の復習，および，全体の振り返り(6)	高木
9	青年期の心理①	予習:自身が看護師を志望するきっかけとなったことについて、振り返っておく。(2) 復習:講義やグループ討議を踏まえて考察を追記し、次回提出する。(2)	岩崎
10	青年期の心理②	予習:青年期の発達課題について、エリクソンのアイデンティティ概念について調べ	岩崎

		る。(2)　復習:講義やグループ討議を踏まえて考察を追記し、次回提出する。(2)	
11	青年期の心理③	予習:自らのアイデンティティとそれに基づく今後の人生設計について考えておく。(2)　復習:講義やグループ討議を踏まえて考察を追記し、次回提出する。(2)	岩崎
12	中年期の心理①(壮年期)	予習:中年期の発達課題について調べておく。(2)　復習:講義やグループ討議を踏まえて考察を追記し、次回提出する。(2)	岩崎
13	中年期の心理②(熟年期)	予習:自身の家族や身近な中年期にある人物を観察し、気づいたことを整理しておく。(2)　復習:講義やグループ討議を踏まえて考察を追記し、次回提出する。(2)	岩崎
14	老年期の心理①(前期高齢期)	予習:老年期の発達課題について調べておく。(2)　復習:講義やグループ討議を踏まえて考察を追記し、次回提出する。(2)	岩崎
15	老年期の心理②(後期高齢期)	予習:老年期に特徴的な疾病や障害を抽出し、支援の立場から高齢者のニーズを調べる。(2)　復習:講義全般の内容を整理し、レポート課題に取り組む準備を行う。(2)	岩崎
成績評価方法と基準			割合
1. グループワークによる課題およびリフレクションシート　(高木悠哉)〈DP②③〉　2. レポート試験①(高木悠哉)〈DP②③〉　2. レポート試験②(岩崎久志)〈DP②③〉			1. 15%　2. 35%　3. 50%

授業科目名	微生物学（看護）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	SB20C008	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床の現場では感染についての知識は必須である。また一方で、近年新たな感染が世間の耳目を集める事例も多くなってきている。よって、医療従事者はますます感染、ひいては微生物に対する知識や理解が求められている。そこで馴染みのある微生物から新興感染症を引き起こす微生物までを網羅的に講義していく。

学修目標

各種微生物について、その分類と感染経路、感染の機序とその症状、予防や治療などが理解できる。さらに生体防御のシステム、特に免疫系の働きについても併せて講義するので、生体がどのように微生物と戦っているのかについても理解を深めることができる。　<DP①･②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

情報量が多くなるため、必ず予習と復習をしておいて欲しい。

教科書

「疾病の成り立ちと回復の促進　感染制御学・微生物学」　メヂカルフレンド社

参考書

標準微生物学　　医学書院

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	微生物学について	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
2	細菌の性質と分類	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
3	真菌の性質と分類	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
4	原虫の特徴	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
5	ウイルスの性質と分類	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
6	感染経路と発症 1	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
7	感染経路と発症 2	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
8	感染症の治療と対策	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
9	グラム陽性菌について 1	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
10	グラム陽性菌について 2	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
11	グラム陰性菌について 1	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
12	グラム陰性菌について 2	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫

13	ＤＮＡウイルスについて	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
14	ＲＮＡウイルスについて	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
15	真菌、原虫について	テキストやノートなどで予習や復習を行うこと。(1 時間)	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
１　期末試験　＜DP①・②＞			１ 100%

授業科目名	病理学（看護）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	SB20C009	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患を中心に、その病因や成り立ち、病態を理解できるよう、さまざまな疾患についての詳細な説明と演習を行う。

学修目標

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患について、その病因や成り立ち、病態を理解することができる。 <DP①･②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

病理学の専門用語やいろいろな病態に対する概念は、他の医学分野でも共通に用いるものである。それらをしっかりと理解し、自らも用いることができ、かつ的確に表現できなければならない。そのためにはそれらを確実に理解し、記憶に留めておかなければならない。

教科書

疾病のなりたちと回復の促進１　病理学　　医学書院

参考書

「新病理学（Ｑシリーズ)」　日本医事新報社

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病理学の概要	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	病因論	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	先天異常	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	遺伝子異常	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	代謝障害１	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫

6	代謝障害２	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
7	循環障害	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	炎症	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	アレルギー	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	感染症	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	腫瘍１	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	腫瘍２	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	老化	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	総論のまとめ１	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	総論のまとめ２	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
１　期末試験　＜DP①・②＞			１ 100%

授業科目名	臨床薬理学（看護）				
主担当教員	木田　岩男		担当教員	木田　岩男	
科目ナンバリング	SB20C010	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

疾病の治療や予防に用いられる薬物に関しての基本的な知識を修得することで、薬物を用いた医療行為の円滑な実践と、薬物に　よる医療事故の防止を実践できるようにする。

学修目標

1.主要な薬物の作用機序を理解する。〈DP①②〉　2.主要な薬物の主な作用と重篤な副作用についての知識を得る。〈DP①②〉　3.薬物の適正な使い方を、事例を通して理解する。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．配布資料は教科書の補足資料として学修の参考にする。　2．講義前には予習として教科書の該当箇所を一読しておく。　3．講義中に指示するので、教科書の重要箇所にアンダーラインを引き、そこは必ず復習する。　4．疑問点があれば何でも質問し、解決してから次に進むようにする。　5．出席は重視する。

教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進［3］　薬理学　大鹿英世／吉岡充弘／井関健（医学書院）

参考書

1．日本臨床薬理学会編集「臨床薬理学」医学書院

研究室／オフィスアワー

研究室：S 棟 5 階　研究室 16　オフィスアワー：月曜 5 限・水曜 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床薬理学の概要	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：教科書の該当箇所を一読する。　復習：身近にある薬の添付文書を調べる。	木田　岩男
2	抗感染症薬	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：微生物学の復習をする。教科書の該当箇所を一読する。　復習：抗菌薬と抗ウイルス薬についてまとめる。	木田　岩男
3	抗がん薬	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：癌について調べる。教科書の該当箇所を一読する。　復習：代表的な抗癌薬の副作用についてまとめる。	木田　岩男
4	免疫治療薬	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：免疫系の復習をする。教科書の該当箇所を一読する。　復習：免疫抑制薬の副作用についてまとめる。	木田　岩男
5	抗アレルギー薬・抗炎症薬	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：炎症の機序について調べる。教科書の該当箇所を一読する。　復習：ステロイド製剤の副作用についてまとめる。	木田　岩男
6	末梢での神経活動に作用する薬物	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：自律神経について復習する。教科書の該当箇所を一読する。　復習：自律神経作動薬についてまとめる。	木田　岩男
7	中枢神経系に作用する薬物	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：中枢神経系の機能を復習する。教科書の該当箇所を一読する。　復習：向精神薬の副作用に	木田　岩男

		ついてまとめる。	
8	心臓・血管系に作用する薬物	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：循環器系の機能を復習する。教科書の該当箇所を一読する。　復習：心臓と血管に作用する薬についてまとめる。	木田　岩男
9	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：呼吸器系と消化器系の機能を復習する。教科書の該当箇所を　一読する。　復習：呼吸器系と消化器系疾患に用いる薬をまとめる。	木田　岩男
10	物質代謝に作用する薬物	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：糖代謝と脂質代謝について復習する。教科書の該当箇所を一読する。　復習：糖尿病治療薬と高脂血症治療薬についてまとめる。	木田　岩男
11	皮膚に使用する薬物	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：皮膚の構造と機能を復習する。教科書の該当箇所を一読する。　復習：皮膚疾患に用いる薬をまとめる。	木田　岩男
12	眼科外用薬	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：眼の構造と機能を復習する。教科書の該当箇所を一読する。　復習：眼疾患に用いる薬をまとめる。	木田　岩男
13	救急の際に使用される薬物	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：ショックの種類について調べる。教科書の該当箇所を一読する。　復習：アドレナリン、ノルアドレナリン、ドパミンの違いについてまとめる。	木田　岩男
14	漢方薬	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：教科書の該当箇所を一読する。　復習：漢方薬の副作用について調べる。	木田　岩男
15	消毒薬	＜予習・復習（1 時間）＞　予習：教科書の該当箇所を一読する。　復習：消毒薬の特徴についてまとめる。	木田　岩男
成績評価方法と基準			割合
①期末試験として筆記試験を行う。〈DP①②〉　期末試験（６０点以上で単位認定）			①100%

授業科目名	臨床病態学Ⅰ（看護）				
主担当教員	青木　元邦		担当教員	青木　元邦	
科目ナンバリング	SB20C011	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜1限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①②に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。　1．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①②に対応　2．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①②に対応　3．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。　DP①②に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．病態学は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。　2．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。　3．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずレジメ・ノートに板書内容を記載すること。試験前に教科書を読んで全部覚えるのは不可能です。レジメ・ノートに沿って教科書を活用してください。　4．疾患について論理的に理解する努力をすること。　5．疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。　6．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を与えることはできません。　7．私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。

教科書

浅野嘉延・吉山直樹編　看護のための臨床病態学　南山堂

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜午後・水曜日・金曜日午後（ただし会議等でいないこともあります）　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。　質問・ご意見等はメールでも可。aoki@morinomiya-u.ac.jp　MORIPAではなく、こちらにメールいただく方がレスポンスが早いです。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心臓の基本的な働きと循環器疾患の病態･治療の理解1	＜予習・復習1時間＞　心臓の解剖・生理機能について、予習復習を行うこと。	青木　元邦
2	心臓の基本的な働きと循環器疾患の病態･治療の理解2	＜予習・復習1時間＞　心臓の解剖・生理機能について、予習復習を行うこと。	青木　元邦
3	循環器疾患の病態・治療の理解3	＜予習・復習1時間＞　循環器疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
4	循環器疾患の病態・治療の理解4	＜予習・復習1時間＞　循環器疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木元邦
5	肺の基本的な働きと呼吸器疾患の病態･治療の理解1	＜予習・復習1時間＞　肺の解剖・生理機能について、予習復習を行うこと。	青木　元邦
6	肺の基本的な働きと呼吸器疾患の病態･治療の理解2	＜予習・復習1時間＞　呼吸器疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所	青木　元邦

		見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	
7	呼吸器疾患の病態・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　呼吸器疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
8	呼吸器疾患の病態・治療の理解 4	＜予習・復習 1 時間＞　呼吸器疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
9	消化管の基本的な働きと消化器疾患の病態･治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　消化管の解剖・生理機能について、予習復習を行うこと。	青木　元邦
10	消化器疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　消化器疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
11	消化器疾患の病態・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　消化器疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
12	肝臓・膵臓・胆嚢の基本的な働きと肝胆膵疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　肝臓・膵臓・胆嚢の解剖･生理機能について、予習復習を行うこと。	青木　元邦
13	肝胆膵疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　肝胆膵疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
14	血液疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　血液疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
15	血液疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　血液疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
成績評価方法と基準			割合
定期試験（DP①②）　マークシートです。			100%

授業科目名	臨床病態学Ⅱ（看護）				
主担当教員	青木　元邦		担当教員	青木　元邦	
科目ナンバリング	SB20C012	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①②に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。　1．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①②に対応　2．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①②に対応　3．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。　DP①②に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．病態学は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。　2．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。　3．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずレジメ・ノートに板書内容を記載すること。試験前に教科書を読んで全部覚えるのは不可能です。レジメ・ノートに沿って教科書を活用してください。　4．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。　5．疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。　6．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を与えることはできません。　7．私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。

教科書

浅野嘉延・吉山直樹編　看護のための臨床病態学　南山堂

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜午後・水曜日・金曜日午後（ただし会議等でいないこともあります）　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。　質問・ご意見等はメールでも可。aoki@morinomiya-u.ac.jp　MORIPA ではなく、こちらにメールいただく方がレスポンスが早いです。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	代謝性疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　代謝性疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
2	代謝性疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　代謝性疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
3	代謝性疾患の病態・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　代謝性疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
4	内分泌疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　内分泌疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦

5	内分泌疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　内分泌疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
6	内分泌疾患の病態・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　内分泌疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
7	膠原病・アレルギー疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　アレルギー疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
8	膠原病・アレルギー疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　膠原病の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
9	膠原病・アレルギー疾患の病態・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　膠原病の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
10	腎臓疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　腎臓疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
11	腎臓疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　腎臓疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
12	腎臓疾患の病態・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　腎臓疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
13	神経・筋疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　神経・筋疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
14	神経・筋疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　神経・筋疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
15	神経・筋疾患の病態・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　神経・筋疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
成績評価方法と基準			割合
定期試験（DP①②）　マークシートです。			100%

授業科目名	臨床病態学Ⅲ(看護)				
主担当教員	久保　忠彦		担当教員	久保　忠彦	
科目ナンバリング	SB20C013	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講座では、外科学の基礎を学び、兆候から診断、治療について、総合的に理解することを目標とする。特に、実践看護への応用が得られるよう学習を進める。

学修目標

外科学の基礎を理解し、代表的疾患を通じてその病態生理の理解と、応用ができる学力を養成することを目標とする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は基本的に教科書に準じて進め、試験も講義内容から出題するため、日々の講義内容を理解することに努め、予習復習を旨として欲しい。評価に際し、出席、小テストは重視します。

教科書

新体系看護学全書別館　臨床外科看護学Ⅰ，ⅠⅠ　編集：渡邊五郎、宗村美江子　メディカルフレンド社

参考書

クエスチョンバンク　看護師国家試験問題解説　医療情報科学研究所　MEDIC MEDIA 社　　分かりやすい外科学（馬場秀夫著、文光堂）

研究室／オフィスアワー

アポイントメント:大阪ベイクリニック 06-6655-0057

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション：授業計画、総論	予習：　復習：　学習時間：	久保　忠彦
2	循環器系の外科１：心筋梗塞、心停止、ショック、弁置換術など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
3	循環器系の外科２：心筋梗塞、心停止、ショック、弁置換術など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
4	呼吸器系および胸部の外科：肺がんなど	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
5	消化器系の外科１：胃がん、大腸がん、食道がん、胆石など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
6	消化器系の外科２：胃がん、大腸がん、食道がん、胆石など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
7	消化器系の外科３：胃がん、大腸がん、食道がん、胆石など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
8	まとめ	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
9	乳腺、内分泌の外科：乳がん、子宮がんなど	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
10	脳神経系の外科：脳腫瘍、脳動脈瘤など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
11	整形外科：人工関節置換術、脊椎手術、先天性股関節脱臼など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
12	腎・泌尿器の外科：前立腺肥大、前立腺がん、膀胱がんなど	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
13	麻酔学：全身、硬膜外麻酔など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦

14	救急・外傷	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
15	まとめ	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験 DP1,2　２．小テスト DP1,2			1. 90%　2. 10%

授業科目名	臨床病態学Ⅳ(看護)				
主担当教員	前川 佳敬		担当教員	前川 佳敬／野木 怜	
科目ナンバリング	SB20C014	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

精神科、産科・婦人科、小児科領域における主要疾患・病態及び治療について講義する。

学修目標

1）各種疾患・病態を理解し、論理的に説明できる。〈DP①②〉 2）病態から治療が合理的に説明できる。〈DP①②〉 3）病態・治療の理解を援助論に応用できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床病態学は、看護学（精神看護学、母性看護学、小児看護学）の土台であり、援助論の根拠となるものである。学生は、病態・治療が、看護援助にどのようにつながっているかに留意しながら講義に臨んでほしい。 注意事項 1．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。 2．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。 3．疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。 4．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を与えることはできません。 5．私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。 6．学生証を忘れて、カードリーダーを通せなかった場合は、出席の確固たる証拠の提示がなければ欠席です。また、後日の「この日は出席していました」は一切認めない。 7．最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

系統看護学講座 精神看護学[1] 医学書院 系統看護学講座 精神看護学[2] 医学書院 系統看護学講座 母性看護学[1] 医学書院 病気がみえる vol.10 産科 メディックメディア 新体系看護学全書 小児看護学２ 健康障害をもつ小児の看護 メヂカルフレンド社

参考書

必要時、提示する

研究室／オフィスアワー

前川（C棟研究室２）／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	産科・婦人科1. 性と生殖に関する身近な疾患①	＜予習・復習1時間＞ 性感染症と予防、母子感染（HIV含む）の病態・治療の理解を深める。	前川
2	産科・婦人科2. 性と生殖に関する身近な疾患②	＜予習・復習1時間＞ 出生前診断、不妊症の病態・治療の理解を深める。	前川
3	産科・婦人科3. 妊娠に伴う循環器系・内分泌系疾患の病態・治療①	＜予習・復習1時間＞ 糖代謝異常、妊娠高血圧症候群・HELLP症候群の病態・治療の理解を深める。	前川
4	産科・婦人科4. 妊娠に伴う循環器系・内分泌系疾患の病態・治療②	＜予習・復習1時間＞ 糖代謝異常、妊娠高血圧症候群・HELLP症候群の病態・治療の理解を深める。	前川
5	産科・婦人科5. 染色体異常,新生児疾患	＜予習・復習1時間＞ 分娩障害、染色体異常による疾患（21トリソミー、18トリソミー等）の理解を深める。	前川
6	小児科1. 小児期感染症	＜予習・復習1時間＞ 小児期感染症（麻疹、風疹など）の病態・治療の理解を深め	前川

		る。	
7	小児科 2. 腎・泌尿器疾患、川崎病、二分脊椎、先天性心疾患	＜予習・復習 1 時間＞　腎・泌尿器疾患、川崎病、二分脊椎、先天性心疾患の病態・治療の理解を深める。	前川
8	小児科 3. 血液、造血器、悪性新生物	＜予習・復習 1 時間＞　造血器腫瘍、脳腫瘍、神経芽腫の病態・治療の理解を深める。	前川
9	小児科 4. 消化器疾患①	＜予習・復習 1 時間＞　幽門狭窄、イレウス、ヒルシュスプルング病、胆道閉鎖、鎖肛、直腸肛門奇形の病態・治療の理解を深める。	前川
10	小児科 5. 消化器疾患②	＜予習・復習 1 時間＞　幽門狭窄、イレウス、ヒルシュスプルング病、胆道閉鎖、鎖肛、直腸肛門奇形の病態・治療の理解を深める。	前川
11	精神科 1. 精神科疾患の診断と分類、精神症状論と状態像	＜予習・復習 1 時間＞　精神科疾患の診断と分類、精神症状論と状態像を理解する（精神看護学[1]第 2 章、4 章）	野木
12	精神科 2. 統合失調症の病態・治療	＜予習・復習 1 時間＞　統合失調症の病態・治療を理解する（精神看護学[1]第 4 章、5 章）	野木
13	精神科 3. 気分（感情）障害の病態・治療	＜予習・復習 1 時間＞　気分（感情）障害の病態・治療を理解する（精神看護学[1]第 4 章、5 章）	野木
14	精神科 4. 神経症性障害・ストレス関連障害および身体表現性障害の病態・治療　生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群、パーソナリティ障害の病態・治療	＜予習・復習 1 時間＞　神経症性障害・ストレス関連障害および身体表現性障害の病態・治療の理解を深める（精神看護学[1]第 4 章、5 章）　生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群、パーソナリティ障害の病態・治療の理解を深める（精神看護学[1]第 4 章、5 章）	野木
15	精神科 5. 知的障害、心理的発達の障害、小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、心身症の病態・治療　器質性精神障害、てんかんの病態と治療	＜予習・復習 1 時間＞　知的障害、心理的発達の障害、小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、心身症の病態・治療の理解を深める（精神看護学[1]第 4 章、5 章）　器質性精神障害、てんかんの病態と治療理解を深める（精神看護学[1]第 4 章、5 章）	野木
成績評価方法と基準			割合
配点割合は、精神科領域が 50%、産科・婦人科・小児科領域が 50%とする。　精神科領域：筆記テストで評価する。〈DP①②〉　産科・婦人科・小児科領域：筆記テストで評価する。〈DP①②〉			精神科領域：筆記テスト 50 点、産科・婦人科・小児科領域：筆記テスト 50 点

授業科目名	臨床病態学Ⅴ（看護）				
主担当教員	青木　元邦		担当教員	青木　元邦	
科目ナンバリング	SB20C015	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜1限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学・感覚器学・老年医学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①②に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。　1．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①②に対応　2．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①②に対応　3．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。　DP①②に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．病態学は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。　2．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。　3．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずレジメ・ノートに板書内容を記載すること。試験前に教科書を読んで全部覚えるのは不可能です。レジメ・ノートに沿って教科書を活用してください。　4．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。　5．疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。　6．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を与えることはできません。　7．私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。

教科書

浅野嘉延・吉山直樹編 看護のための臨床病態学　南山堂

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜午後・水曜日・金曜日午後（ただし会議等でいないこともあります）　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。　質問・ご意見等はメールでも可。aoki@morinomiya-u.ac.jp　MORIPAではなく、こちらにメールいただく方がレスポンスが早いです。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	脳血管障害の病態・治療の理解1	＜予習・復習1時間＞　脳血管疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
2	脳血管障害の病態・治療の理解2	＜予習・復習1時間＞　脳血管疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
3	認知症	＜予習・復習1時間＞　認知症について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
4	各種感染症の原因・症状・治療の理解1	＜予習・復習1時間＞　病原微生物の特性について予習復習を行うこと。	青木　元邦
5	各種感染症の原因・症状・治療の理解2	＜予習・復習1時間＞　感染症の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治	青木　元邦

		療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	
6	各種感染症の原因・症状・治療の理解 3	＜予習・復習 1 時間＞　感染症の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
7	眼科疾患の病態と治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　眼の解剖・生理機能について予習復習を行うこと。	青木　元邦
8	眼科疾患の病態と治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　眼科疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
9	耳鼻科疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　耳・鼻・咽頭の解剖・生理機能について予習復習を行うこと。	青木　元邦
10	耳鼻科疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　耳鼻科疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
11	皮膚科疾患の病態・治療の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　皮膚科疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
12	皮膚科疾患の病態・治療の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　皮膚科疾患の病態について予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
13	老年症候群の理解 1	＜予習・復習 1 時間＞　加齢に伴う生理機能の変化について予習復習を行うこと。	青木　元邦
14	老年症候群の理解 2	＜予習・復習 1 時間＞　高齢者に特有の症候と老年医療のアプローチについて予習し、病態・ケアを合理的に説明できるように復習しておくこと。	青木　元邦
15	講義全体の総復習	授業での総復習を確認しつつ、総合的な復習を 1 時間自宅で行うこと。	青木　元邦
成績評価方法と基準			割合
定期試験（DP①②）　マークシートです。			100%

授業科目名	臨床心理学（看護）				
主担当教員	海蔵寺　陽子		担当教員	海蔵寺　陽子	
科目ナンバリング	SB20C016	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

臨床心理学は、人間の不適応行動の研究や治療を目的とする心理学です。授業では、人の心の構造のほか、具体的な心理検査や心理療法について学習します。

学修目標

1．心の病気とその症状を理解する〈DP①②③〉　2．各種の心理検査について理解し、その特徴を説明できる〈DP①②③〉　3．各種の心理療法について理解し、その特徴を説明できる〈DP①②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．身近な経験を臨床心理学的に考えてみること　2．疑問を大切にし、解決に向けて行動すること

教科書

初めての講義　リハビリテーションのための臨床心理学　牧瀬英幹　著　　南江堂

参考書

はじめての臨床心理学　　森谷寛之・竹松志乃　編著　　北樹出版

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床心理学とは	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　教科書の確認　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
2	心理療法とは	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　心の健康について考えてみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
3	精神力動的心理療法 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　心の働きについて新聞・テレビ・メディア記事などをひとつ調べる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
4	精神力動的心理療法 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　精神分析について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
5	精神力動的心理療法 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　自分の見た夢を記録してみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
6	行動療法 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　行動療法について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
7	行動療法 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　学習理論について調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
8	クライエント中心療法	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　傾聴について調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
9	森田療法	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　心理療法に関する新聞･テレビ･メディア記事などをひとつ調べておく　復習：　授業をもと	海蔵寺　陽子

		にノート、教科書の確認	
10	内観療法	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理療法に関する新聞･テレビ･メディア記事などをひとつ調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
11	家族療法	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理療法に関する新聞･テレビ･メディア記事などを調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
12	心理テスト1	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理テストを実施する際、注意すべきことは何か考えてみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
13	心理テスト2	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　性格や知能について考える、またそれらについて新聞･テレビ･メディア記事などを使って調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
14	心理テスト3	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　けがや病気によって失われる知的機能について、新聞･テレビ･メディア記事などを使って調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
15	講義全体のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理療法、心理テストを実施するときの注意点について考えてみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
成績評価方法と基準			割合
①期末試験〈DP①②③〉　②平常点（レポート、授業態度など）〈DP①②③〉			①80%　②20%

授業科目名	医療概論（看護）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美／五十嵐　淳介	
科目ナンバリング	SB20C017	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

医療専門職である看護職には、保健医療福祉等の健康支援関連サービスに携わる人々と連携・協働して、社会の人々がより良い健康生活を実現していけるように活動することが期待されている。この期待に応えるためには、保健医療福祉システムの現状と成り立ち、そして内包する課題とその背景にある社会情勢や環境について理解し、看護職の役割を熟考しなければならない。医療は、少子高齢化の進行、人口減少、経済の低迷、格差や分断の進行等、社会の動向に呼応して、病院中心の医療から地域包括ケアのネットワークの中で人々の健康を護るシステムへと大きく転換している。一方、IT化の進展と治療技術の急速な発展、パンデミックへの対応など、医療の最前線の現場の状況は様変わりし、新たな課題への挑戦を続けている。　本科目では、現代医療の背景にある社会環境の動向、医学の進歩の歴史と医療システムの成り立ち、現代の先端的医療のとその課題、医療システムから保健医療福祉による包括ケアへの進展の様相、チームによる協働の必然性と質保証の課題、当事者中心主義の実現と課題などをテーマに、現代医療の光と影に焦点を当て、医療とは何か、看護職の役割とは何かを洞察することを主眼に置く。

学修目標

1）科学としての医学の発展と医療の成り立ちについて概要を説明できる。(DP①)　2）種々の先端医療とその課題について概要を説明できる(DP①)　3）社会の健康ニーズと保健医療福祉システム構築の関連および課題について概要を説明できる（DP①、DP②)　4）チーム医療における協働の必然と課題について説明できる（DP①、DP②)　5）チーム活動による医療の質・安全の保証の仕組みと課題について説明できる（DP①、DP②)　6）当事者中心の保健医療福祉の実現のための方法と課題について説明できる（DP①、DP②)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　1）テキストを熟読し、自ら文献や資料を探索し、問題意識を持って授業に臨む。　2）随時問いかけを行い、対話により、深く考え、自分の考えを整理していく。　3）気づいたこと、疑問に思ったこと、腑に落ちたことなど、その時々に認知したことはメモに残し、復習として、自己の考えを整理して記述する習慣をつける

教科書

【系統看護学講座 専門基礎分野】　医療概論　医学書院

参考書

1）厚生の指標　国民衛星の動向　2022/2023 厚生労働統計協会　2）マーガレット･ガータイス『ペイシェンツ･アイズ ―患者中心の医療･介護をすすめる七つの視点―』日経BP　2001　3）その他、授業の中で随時提示

研究室／オフィスアワー

メールでアポを取ってください。時間を調整します。 内田宏美　:W239研究室/　hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp
五十嵐淳介：C15研究室/　junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医学はどのようにして発展してきたか　:医学の萌芽～科学としての医学の発展	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業をとおして自己の見解を整理する。	五十嵐淳介
2	医学はどのようにして発展してきたか　:エビデンスの探求と被検者の権利の保障の両立へ	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業	五十嵐淳介

		をとおして自己の見解を整理する。	
3	医学の進歩と先端医療､その光と影　:再生医療、移植医療など	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業をとおして自己の見解を整理する。	五十嵐淳介
4	医学の進歩と先端医療、その光と影　:遺伝子治療、生殖医療など	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業をとおして自己の見解を整理する。	五十嵐淳介
5	医学の進歩と先端医療、その光と影　:創薬、ワクチン開発、薬害	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業をとおして自己の見解を整理する。	五十嵐
6	社会の健康ニーズの変化と保健医療福祉システムの発展	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
7	人々の健康を支える保健医療福祉システムの仕組み　:制度による保証とソーシャルキャピタル	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
8	人々の健康を支える保健医療福祉システムの仕組み　:制度による保証とソーシャルキャピタル	予習：教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習：授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
9	チーム医療から地域包括ケアチームへ　:チーム活動の必然性と課題　:チームとして機能するには？	予習:教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習:授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
10	チームで医療の質と安全を保証する　:医療安全の取り組みの経緯と動向	予習:教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習:授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
11	チームで医療の質と安全を保証する　:医療実践に潜むリスク	予習:教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習:授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
12	チームで医療の質と安全を保証する　:リスクにどう向き合うか	予習:教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習:授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
13	チームで医療の質と安全を保証する　:リスクにどう向き合うか	予習:教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習:授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
14	患者中心の医療、患者と医療者の協働　:患者の権利と医療者の責務　:インフォームドコンセント再考	予習:教科書の該当箇所、および、関連する資料に目をとおし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習:授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
15	まとめ　：医療における看護職の役割について⇒GWと意見交換により自己の認識を深める	予習：テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。　復習:授業をとおして自己の見解を整理する。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
１．平常点：授業ごとの学びの小レポートの合算＜DP①②＞　　２．期末筆記試験<DP①②>			１．60%　２．40%

授業科目名	公衆衛生学（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰	
科目ナンバリング	SB20C018	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

公衆衛生学は、人々の健康の維持、増進を実践する方法や技術を学ぶ学問である。すなわち、何が健康に影響を与えているのか、何をすれば健康が守れるのか、どのような仕組みを作れば健康の維持、増進にプラスになるのかなどを科学的に解析し、それらを実践する学問である。　本講義では、公衆衛生学の総論、環境保健について学習する。

学修目標

1，国民の基本的人権としての健康を保障するための科学、技術、倫理を医学の観点から理解することができる。(DP①②)　2，国民の健康を守るべき看護学生として、国民の健康状態と保健・医療・福祉の体制を正しく理解し、国民の健康を守るための保健医療サービスと公衆衛生事業のしくみと方法について理解することができる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

人々の健康は国内外で起こる様々な出来事の影響を受けています。健康をまもることを目的とする公衆衛生学は社会との関連が深いため、講義以外でも各種メディアを通して学習する習慣をもちましょう。

教科書

公衆衛生がみえる 2025-2026

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義オリエンテーション　公衆衛生の概念	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
2	健康の定義	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
3	WHO の役割	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
4	プライマリヘルスケア	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
5	ヘルスプロモーション	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
6	健康の社会的決定要因	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
7	健康増進と政策	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
8	日本における公衆衛生	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
9	保健所の機能	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
10	保健センターの機能	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
11	環境保健	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
12	地球温暖化による健康影響	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布	関口敏彰

		資料、教科書の確認（2 時間）	
13	紫外線や放射線による健康影響	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
14	公害による健康影響	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
15	公衆衛生学総括	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料、教科書の確認（2 時間）	関口敏彰
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験<DP①②>			1.100%

授業科目名	看護関係法規（看護）				
主担当教員	西山　忠博		担当教員	西山　忠博／関口　敏彰／齋藤　雅子／寺田美和子	
科目ナンバリング	SB20C019	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

人のライフサイクルには、疾病、負傷、障がい、失業、災害など様々な危機が存在するが、人々が健康に過ごすためには、保健・医療・福祉とともに社会制度や仕組みを理解することが必要である。　この授業では、法的根拠に基づいた個人の権利を保障するため、看護職として必要な健康支援と社会保障制度について学修し、対象者の立場に立った看護サービスの提供ができることを目的とする。　また、看護活動の質を高め、対象者のＱＯＬの向上に寄与することができることを理解し、母性看護（齋藤／3 コマ）、公衆衛生看護（関口／6 コマ）、老年看護（外村／3 コマ）、精神看護（西山／3 コマ）の各領域から学修する構成とする。

学修目標

１．社会人として基本となる法的、倫理的問題の考え方を理解する。DP①　２．看護職として必要な社会保障制度について理解する。DP①　３．看護活動を展開する上で、各領域との関係性、連携について理解する。DP①

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．看護職として活動するために必要な保健・医療・福祉・社会制度の基礎的知識であることを認識する。　２．指示された課題については，主体的に自分で書籍や研究文献でしっかり調べること。　３．提出期限については厳守すること。

教科書

公衆衛生がみえる:医療情報科学研究所：メディックメディア　母性看護学概論、小児看護学概論、成人看護学概論、精神看護の基礎、精神看護の展開、在宅看護論、老年看護学概論（購入済み）

参考書

国民衛生の動向

研究室／オフィスアワー

西山研究室　S13、齋藤研究室　W237、関口研究室　S12、寺田研究室　W336　オフィスアワーは、当該教員より連絡あり

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　(4 月 7 日)　精神保健に関する法律　①障害者基本法･障害者総合支援法　②障害者差別解消法	予習：該当する他領域における既存の学習資料や教科書の該当ページを参照し、本法律の基本理念ならびに概要について学習しておくこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	西山　忠博
2	日本国憲法第 25 条とその関連法　(4 月 14 日)　社会保障・社会福祉・公衆衛生	予習：日本国憲法第 25 条について教科書で確認すること。憲法と法律の違いを予習しておくこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	関口　敏彰
3	社会保障制度と地域保健　(4 月 21 日)	予習：社会保障制度（公的医療保険・年金保険・介護保険など）について確認しておくこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	関口　敏彰
4	医療法、保健師助産師看護師法、看護師等人材確保法　(4 月 28 日)	予習：医療法、保健師助産師看護師法、看護師等人材確保法について確認しておくこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	関口　敏彰
5	保健と福祉－感染症・食品衛生対策－　(5 月 12 日)　感染症法・食品衛生法	予習：主要感染症の動向、感染症法、検疫法、食品保健、食中毒について確認してお	関口　敏彰

		くこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	
6	学校保健、産業保健（5 月 19 日）　（学校保健安全法・労働基準法・労働安全衛生法・男女雇用機会均等法）	予習：学校保健安全法、労働基準法、労働安全衛生法、男女雇用機会均等法について確認しておくこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	関口　敏彰
7	成人保健と健康増進　（5 月 26 日）　（健康増進法、高齢者医療確保法、がん対策基本法、難病法）	予習：健康増進に関する施策・生活習慣病の発症予防・重症化予防について確認しておくこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	関口　敏彰
8	女性、子・母・父、子育てに関する法律（6 月 2 日）　②育児・介護休業法、戸籍法、母体保護法、DV 防止法、児童虐待防止法	予習：教科書と母性看護学概論・小児看護学概論の該当ページを読む。(1.5 時間) 復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	齋藤　雅子
9	高齢者保健・福祉に関する法律(6 月 9 日）　①高齢者虐待防止法　②成年後見制度など	予習：教科書の該当範囲と老年看護学（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	寺田　美和子
10	高齢者保健･福祉に関する法律　(6 月 16 日）　①介護保険法　②老人福祉法	予習：教科書の該当範囲と老年看護学（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	寺田　美和子
11	認知症対策に関する法律（6 月 23 日）　終末期医療と死の概念　（臓器移植法等）	予習：教科書の該当範囲と老年看護学　臓器移植法について確認しておくこと(1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料(1.5 時間）	寺田　美和子
12	女性、子・母・父、子育てに関する法律(6 月 30 日）　②育児・介護休業法、戸籍法、母体保護法、DV 防止法、児童虐待防止法	予習：教科書と母性看護学概論・小児看護学概論の該当ページを読む。(1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	齋藤　雅子
13	女性、子・母・父、子育てに関する法律(7 月 7 日）③予防接種法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、児童虐待防止	予習：教科書と母性看護学概論・小児看護学概論の該当ページを読む。(1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	齋藤　雅子
14	精神保健に関する法律　(7 月 14 日）　①精神保健及び精神障害者福祉に関する法律　②心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）　③犯罪被害者基本法	予習：精神看護学および精神看護援助論Ⅰにおける既存の学習内容と本教科書の該当ページを学習しておくこと（1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	西山　忠博
15	精神保健に関する法律　(7 月 28 日）　①自殺対策基本法　②アルコール健康障害対策基本法	予習：本教科書の該当ページ自己学習しておくこと。また、厚生労働省におけるアルコール対策・自殺対策法について調べ学習をしておくことを奨励する。(1.5 時間）　復習：本日の授業内容、配布資料（1.5 時間）	西山　忠博
成績評価方法と基準			割合
定期試験（DP①）　＜試験に向け 15 時間の学習をすること＞　※出題範囲：授業で扱った範囲　※2/3 以上の出席を必要とする。			100%

授業科目名	保健統計学（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰	
科目ナンバリング	SB20C020	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

保健統計学は、主に健康に関連する数量的比較を基礎として、多くの事実を統計的に観察し、処理する方法を研究する学問である。本講義では国が調査する保健統計から日本国民の保健の現状を理解し、また、統計的方法についても学修し、保健の現状を科学的に解釈できることを目指す。そして、それらが地域における保健活動や健康管理にどのように応用されているかについて理解する。

学修目標

１．国が行う保健統計から日本の保健の現状を理解することができる〈DP①〉　２．統計学的な知識・スキルについて，正しく説明することができる〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．毎回の授業のつながりが非常に重要であるため、欠席のないように留意すること　２．統計学について復習も取り入れますので、苦手意識をもっていても安心して受講すること

教科書

公衆衛生がみえる

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	保健統計について	予習：１年次に学習した統計学の内容を復習し，記述統計（母集団，標本，代表値，散布度，相関）について，説明できるようにしておく.【4 時間】	関口敏彰
2	国勢調査とデータの種類・分布	予習：国勢調査とデータの種類・分布について教科書で確認しておくこと【２時間】 復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
3	人口動態統計と主な健康指標	予習：人口動態統計と主な健康指標について教科書で確認しておくこと【２時間】 復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
4	国民生活基礎調査と代表値	予習：国民生活基礎調査と代表値について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
5	患者調査と医療施設調査	予習：患者調査と医療施設調査について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
6	学校保健統計	予習：学校保健統計について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
7	感染症発生動向調査	予習：感染症発生動向調査について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授	関口敏彰

		業内容を復習しておくこと【２時間】	
8	食中毒統計	予習：食中毒統計について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
9	国民健康・栄養調査	予習：国民健康・栄養調査について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
10	地域保健・健康増進事業報告	予習：地域保健・健康増進事業報告について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
11	身体障害児・者等実態調査	予習：身体障害児・者等実態調査について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
12	国民医療費	予習：国民医療費について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
13	介護サービス施設・事業所調査	予習：介護サービス施設・事業所調査について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
14	統計分析方法	予習：統計分析方法について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
15	統計分析結果の読み取り方	予習：統計分析結果の読み取り方について教科書で確認しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習しておくこと【２時間】	関口敏彰
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験〈DP①〉			1.　100%

授業科目名	疫学（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰	
科目ナンバリング	SB20C021	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

疫学は、健康に関連する事象の分布や決定要因を明らかにする科学であり、公衆衛生や医療の基盤となる学問である。本授業では、疫学の基本概念や方法論を理解し、地域や集団の健康問題を科学的に分析・評価する力を養う。疫学的視点をもとにした保健医療施策の立案や評価に応用できる知識を身につけることを目指す。

学修目標

１．疫学の基本概念を説明することができる〈DP１〉　２．曝露の効果指標を計算し、結果を解釈することができる〈DP１〉　３．研究デザインの種類、特徴を説明することができる〈DP１〉　４．研究結果を批判的に評価するためのバイアスリスクに関する知識を習得できる〈DP１〉　５．公衆衛生上の課題の特定、対策実施における疫学研究の重要性を理解できる〈DP１〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

疫学では、初めて学ぶ用語や計算が多く登場します。一度聞いただけでは理解が難しい場合もありますので、授業後の復習をしっかり行いましょう。知識の定着に向けて、小テストを実施します。　＊保健師課程には必須科目

教科書

授業ごとに資料を配布するが、以下に示す参考資料があるとさらに良い。

参考書

「はじめて学ぶ やさしい疫学」改定第４版 日本疫学会監修　南江堂　「基礎から学ぶ 楽しい疫学」中村好一著 医学書院

研究室／オフィスアワー

＊事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	疫学の定義	予習：疫学の定義について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
2	疫学の基本：曝露、疾病の自然史、因果	予習：曝露、疾病の自然史、因果について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
3	疫学で用いられる指標：疾病の頻度	予習：疫学指標について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
4	疫学で用いられる指標：曝露の効果①	予習：曝露効果の指標（相対危険、寄与危険、寄与危険割合）について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
5	疫学で用いられる指標：曝露の効果②	予習：曝露効果の指標（人口寄与危険、人口寄与危険割合）について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
6	疫学研究のデザイン①	予習：記述研究、生態学的研究、横断研究について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
7	疫学研究のデザイン②	予習：コホート研究、症例対照研究について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	

8	疫学研究のデザイン③	予習：介入研究について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
9	疫学研究の質：母集団と標本	予習：母集団と標本について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
10	疫学研究の質：バイアス	予習：バイアスについて予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
11	スクリーニング検査	予習：スクリーニング方法について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
12	サーベイランスと疾病登録	予習：サーベイランスと疾病登録について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
13	臨床疫学と EBM	予習：臨床疫学について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
14	健康の社会的決定要因	予習：社会疫学について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
15	政策疫学	予習：政策疫学について予習しておくこと【２時間】　復習：授業内容を復習すること【２時間】	
成績評価方法と基準			割合
1. リアクションペーパー 30%〈DP１〉　2. 小テスト（4 回） 20%〈DP１〉　　小テストのフィードバックは終了後に授業内で実施する。　3.　試験 50%〈DP１〉			1.　30%　2.　20%　3.　50%

授業科目名	看護学概論（看護）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング	FN20C101	科目区分	専門分野Ⅰ	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜3限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

看護とは？　この講義は、この問いに対する解を探求するものであり、以下の観点から、看護専門職による実践の根源である看護学の全体像を概観する。　・ヒューマン・ケアリングと看護倫理を基盤とした看護の原点を学ぶ。　・看護実践における対象論・目的論・方法論の概要を学ぶ。　・人間科学としての看護学の視座をふまえて，人間を多面的・統合的・全体的存在として捉える看護の人間観を育む。　・人間科学としての看護学の視座をふまえて，環境との相互作用の中で営まれる人間の健康生活をとらえる看護の健康観を育む。　・豊かな看護実践を支える看護学の知識体系とその構築の重要性を学ぶ。　・人々の健康ニーズを充足する保健医療福祉教育システム構築における看護専門職の機能と役割を展望する。

学修目標

1.看護職に期待される役割と機能、看護専門職育成の現状と課題について説明できる。DP①　2.近代看護の成り立ちにおけるナイチンゲールの業績について説明できる。DP①　3.看護の対象、目的、方法をふまえた看護の定義、及び、看護の構成要素を説明できる。DP①　4.看護の対象である人間の特質を、成長・発達、ライフサイクルの側面から説明できる。DP①?　5.看護の対象である人間の特質を、ニードの充足、自律性の側面から説明できる。DP①?　6.看護の対象である人間の特質を、環境との相互作用、適応の側面から説明できる。DP①?　7.人間科学としての看護の視座、及び、看護実践過程の構造について説明できる。DP①?　8.看護実践の源泉としてのヒューマン・ケアリング、及び、専門職としての実践における倫理的責務について説明できる。DP①?

履修上の注意(学生へのメッセージ)

『看護学概論』は、看護のものの見方考え方の基本を学ぶ、全ての専門科目の基盤を成す科目です。　講義だけでは、十分に学習を深めることが難しいため、直接関連する基礎看護学科目「生活援助論Ⅰ」の時間の一部を使って演習を取り入れるなど、じっくり学べるよう工夫しています。　主体性的に取り組んで下さい。　予習・復習・課題は一定の時間をかけて果たし、ノート・PC等にまとめておくこと。学修習慣を深めて下さい。　配布された資料はよく読み、整理しておくこと。　身近な経験を通して看護を考え、考えたことはクラスメート等と語って下さい。　疑問点は大切にし、解決のためによく調べて下さい。　クラスメートとよく話し、よく聞き、コミュニケーション力を高めること。

教科書

茂野香おる他著　＜系統看護学講座　専門分野１＞[基礎看護学１]　看護学概論　　医学書院

参考書

1.フローレンス・ナイチンゲール/薄井坦子他訳:『看護覚え書』、現代社、2016　2.ミルトン・メイヤロフ『ケアの本質生きることの意味』ゆるみ出版 、1993　3.高橋みや子監修『日本の看護120年―歴史を作るあなたへ』日本看護協会出版会　4.「看護法令要覧」　日本看護協会出版会、2018　5.E・H・エリクソン/村瀬孝雄他訳『ライフサイクル、その完結』みすず書房　6.中野明『マズロー心理学入門―人間性心理学の源流を求めて』アルテ　7.サラ T.フライ/片田範子他訳『看護実践の倫理（第3版）倫理的意思決

研究室／オフィスアワー

研究室：西棟2階239　/　オフィスアワー：時間を調整するのでメールでアポを取ること　hiromi_uchida@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教科目ガイダンス　現代の看護,専門職としての看護職に期待される役割と責務､専門職としての看護職の育成	予習：看護職（保健師・助産師・看護師）の活動内容について調べまとめる。→授業の際に発表・質問できるように準備してお	内田宏美

		く。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	
2	看護の起源と看護学､ナイチンゲールの業績と近代看護の成り立ち、看護の定義	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
3	「生活援助論Ⅰ」の中で　【演習】　ナイチンゲールの看護の視点で「ジョニーは戦場へ行った」DVD鑑賞：2コマ　GW：ナイチンゲールの視点でDVDの場面を振り返り、?何が看護で、何が看護でないのか?を考える：1コマ	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美　下岡ちえ　渡邉敦子　新任教員　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
4	人間科学としての看護･看護学、看護の本質的あり方としてのヒューマンケアリング	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
5	全人的理解と看護：看護の構成要素、人間－健康－看護：成長?発達する人間	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
6	全人的理解と看護：人間－健康－看護：ニードを充足する人間	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
7	全人的理解と看護：人間－健康－看護：環境との相互作用、文化と役割	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
8	全人的理解と看護：人間－健康－看護：適応する人間	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートや	内田宏美

		PCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	
9	全人的理解と看護：看護実践のプロセス；治療的人間関係としての看護過程	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
10	全人的理解と看護：看護実践のプロセス；問題解決過程としての看護過程	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
11	看護実践における倫理と看護職の責務	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美
12	「生活援助論Ⅰ」の中で学習　【演習】　看護実践における倫理(事例演習) 2コマ　まとめ1コマ	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美　下岡ちえ　渡邉敦子　新任教員　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
13	「生活援助論Ⅰ」の中で学習　【演習】　看護実践における倫理(事例演習) 2コマ　まとめ1コマ	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。授業をとおして感じたり考えたりしたことを記述し、自分の考えを整理しておく。	内田宏美　下岡ちえ　渡邉敦子　新任教員　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
14	まとめ：筆記試験	予習：授業の全過程を振り返り、重要語句、重要な概念について、説明できるようにしておく。ノートを活用する　復習：不十分だった学習内容について、納得いくまで押さえ直しておく。	内田宏美　下岡ちえ　渡邉敦子　新任教員　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
15	まとめ：解説	復習：不十分だった学習内容について、納得いくまで押さえ直しておく。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
1．(時間割内で実施する) 筆記試験　2．毎回の課題レポート			1．筆記試験：70% 2．毎回の課

	題レポート：30%

授業科目名	看護理論（看護）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング	FN20C102	科目区分	専門分野Ⅰ	ディプロマポリシー該当項目	DP①　DP③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

看護理論は、看護の本質を筋道立てて、体系的に説明する知識の組み合わせであり、人間科学としての看護学の基盤である。看護理論はF.Nightingale に端を発し、その後アメリカで創生、普及しており、数多くのものが紹介されている。この授業では、代表的な看護理論や看護現象を理解するための諸理論を概観し、それらの理論の看護への活用事例の検討をとおして、看護理論が論理的で科学的な看護実践の基盤となることを学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 看護学が、人文科学、社会科学、自然科学等の諸科学に支えられて発展してきたことを説明できる。DP1①④　2. 看護理論の発展過程、及び、看護の定義・主要概念による看護理論の分類について説明できる。DP1①④　3. 大理論と中範囲理論の実践への適用について説明できる。DP1①④　4. 看護現象を理解するための諸理論の特徴、及び、どのような状況で活用できるかについて説明できる。DP1①④　1)マズローの自己実現論　2)発達理論　3)危機理論　4)ストレス・コーピング理論　5)保健行動論　5. 主要な看護理論の特徴について説明できる。DP1①④　1) ナイチンゲール　2)ヘンダーソン　3)オレム　4)ペプロウ　5)トラベルビー　6)ワトソン　7)ベナー　8)ロイ　6. 看護実践に看護理論を活用する必要性と意義について考察することができる。DP1①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

「理論」とは何か？　看護理論とは？　敬遠しないで著作を読み、よく考える。　看護学あるいは看護実践と理論の関係を機会あるごとに考える。　GWでは個人学修した内容や課題等を意見交換し、個人学修の参考にする。

教科書

１．V.Henderson　湯槇ます他訳「看護の基本となるもの」日本看護協会出版会　２．筒井真優美　看護理論ー看護理論21の理解と実践への応用(改訂第3版)　南江堂

参考書

1. E・H・エリクソン/村瀬孝雄他訳『ライフサイクル、その完結』みすず書房　2. 中野明『マズロー心理学入門―人間性心理学の源流を求めて』アルテ　3. 小島操子『看護における危機理論・危機介入―フィンク/コーン/アグィレラ/ムース/家族の危機モデルから』KINPODO　4. アン・マリナー・トメイ他　都留伸子監訳「看護理論家とその業績」医学書院　5. セシル・ウーダム＝スミス著/武山満智子･小南吉彦訳「フロレンス・ナイチンゲールの生涯(全二巻)」現代社　6. 湯槇ます他編訳「新訳・ナイチンゲール書簡集」現代社　7.

研究室／オフィスアワー

研究室：西棟2階239　オフィスアワー：調整するのでメールでアポを取ること　hiromi_uchida@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	看護学を支える諸科学と看護学の主要概念､看護理論の発展過程、看護理論の構成要素、　看護理論と看護過程、理論の範囲：大範囲理論、中範囲理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
2	看護現象を理解するための諸理論(中範囲理論)：マズローの自己実現論、発達理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返	内田宏美

		り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	
3	看護現象を理解するための諸理論(中範囲理論):ストレス・コーピング理論、危機理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
4	看護現象を理解するための諸理論(中範囲理論):保健行動論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
5	ニードを満たす看護:ヴァージニア・ヘンダーソン、ウィデンバックの各看護理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
6	人間と環境の相互作用で考える看護論:ロジャーズ、ロイの各看護理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
7	セルフケアを中心に据えた看護:オレム看護理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
8	看護師－患者の信頼関係の生成に基づく看護論:ペプロウ、オーランド、トラベルビーの各看護理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習：授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
9	ヒューマン・ケアリングの科学:ワトソン看護理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習:授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
10	ナラティブによる看護の言語化：ベナー看護理論、看護学と人類学の融合:レイニンガー看護理論	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習:授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
11	看護理論と看護実践:ロイ看護理論を活用するということ（事例演習）	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習:授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
12	看護理論と看護実践:ロイ看護理論を活用するということ（事例演習）	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習:授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美

13	看護理論と看護実践:ヘンダーソン看護理論を活用するということ（事例演習）	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習:授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
14	看護理論と看護実践:ヘンダーソン看護理論を活用するということ（事例演習）	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習:授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
15	看護理論と看護実践:ヘンダーソン看護理論を活用するということ（事例演習）	予習：テキストの授業内容に関連する箇所をよく読み、関連図書に目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをまとめておく。　復習:授業を振り返り、ノートやPCの内容に加筆して、知識及び自分の考えを整理しておく。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験＜DP①＞　　※出題範囲：授業で扱った内容　２．毎回の学びのリアクションペーパーと課題レポート「V.Henderson看護論の枠組みのアセスメントガイド」「事例のアセスメント」＜DP①③＞			1．70%　2．30%

授業科目名	生活援助論Ⅰ（看護）				
主担当教員	渡邉 敦子		担当教員	渡邉 敦子／下岡 ちえ／水本 英佑／松岡 小百合／内田 宏美／原 明子	
科目ナンバリング	FN20C103	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜3限、水曜4限
授業形態		単位数	2単位	必修･選択	

授業概要

【授業内容：看護基盤技術・看護学概論】　人間の基本的欲求を看護の視点で捉え、それに基づいた生活行動を整える看護活動を「看護技術」という側面から理解し、修得する。看護技術とは何か、その問いに対し、理論と身近な生活体験をすり合わせるプロセスを通して本質を理解する。　本科目では、人間の生活基盤となる関係形成技術（コミュニケーション)、感染防止技術（標準予防策)、と環境調整技術（ベッドメーキング）について日常生活上での意味を考え、健康が障害された場合の患者のニーズを理解し、援助するための技術を学修する。　人間の健康生活を環境との相互作用の観点から捉え、環境に働きかけ自然治癒力を高める看護の機能を理解する。　看護実践の基盤を成す看護の倫理的責務について、具体的な現象や行為と結びつけて理解する。

学修目標

1.生活体験を言語化し、その意味を述べることができる。〈DP①③〉　2.コミュニケーションの本質を理解し、実践できる。〈DP①②〉　3. 感染防止技術の意義を理解し、方法を実践できる。〈DP①④〉　4. 環境調整技術の意義を理解し、方法を実践できる。〈DP①④〉　5.　援助技術の原理・原則を、〔ボディメカニクス〕〔作業域と行動の組み立て〕〔清潔と不潔〕〔経済性〕〔反応の観察と対応〕〔個別性〕〔対象者との協 働〕〔安楽性〕〔安全性〕の観点から効果的に活用するための方法を模索し、簡単な状況設定の基での活用ができる。<DP①③④>　6．ナイチンゲールの看護の視点を手掛かりとして、物理的・人的環境が人の健康生活に及ぼす影響を分析し、看護の働きの重要性を考察できる。　〈DP①?④〉　7．ケア実践の場面で発生している具体的な事象を倫理的観点から分析することができ、且つ、看護職者の倫理的責務について考察することができる。〈DP①?④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．出席が前提である。　2．演習時は臨地実習と同様にユニフォームを着用し、身だしなみを整える。　3．提出物の提出期限は厳守する。　4．演習物品等の準備、後片付け、基礎看護学実習室の美化は、学生が自律して行う。　5.　講義・演習前後の自学自習を必須とする。　　※　第5回、6回、7回、22回、23回、25回、26回、27回、28回の計9回分は、〔看護学概論〕の教授内容となる。

教科書

1.〈系統看護学講座　専門分野Ⅰ〉[基礎看護学2] 基礎看護技術Ⅰ,医学書院　2.〈系統看護学講座　専門分野Ⅰ〉[基礎看護学3] 基礎看護技術Ⅱ,医学書院　3.　根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術，医学書院　4.〈系統看護学講座　専門分野Ⅰ〉[基礎看護学1]　看護学概論，医学書院

参考書

1．ヴァージニア・ヘンダーソン（著），湯槙ます，小玉香津子（訳)：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会　2．フロレンス・ナイチンゲール（著），湯槙ます，薄井坦子，小玉香津子他（訳)：看護覚え書，現代社

研究室／オフィスアワー

渡邉 敦子 研究室（W335）/＊メール等であらかじめ予約をとってください。　内田 宏美 研究室（W239）/＊メール等であらかじめ予約をとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生活援助論Ⅰ（看護基盤技術）ガイダンス：　生活とは、生活援助とは。	予習：シラバスの確認。　復習：授業の日時と内容を確認・整理しておく。　（合計1時間）	渡邉敦子

2	感染防止の技術： 手指衛生、個人防護具、感染経路別予防策	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。 復習：授業内容を確認・整理しておく。 （合計 1 時間）	渡邉敦子
3	【演習】感染防止の技術：標準予防策（手指衛生）	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
4	【演習】感染防止の技術：標準予防策（個人防護具）	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
5	〔看護学概論〕 【演習】DVD 鑑賞	予習：ナイチンゲールの看護の視点を整理しておく 復習：DVD の内容をナイチンゲールの看護の視点(何が看護で何が看護でないか)で読み解き、感想、考えたことをまとめておく。	内田宏美
6	〔看護学概論〕 【演習】DVD 鑑賞	予習：ナイチンゲールの看護の視点を整理しておく 復習：DVD の内容をナイチンゲールの看護の視点(何が看護で何が看護でないか)で読み解き、感想、考えたことをまとめておく。	内田宏美
7	〔看護学概論〕 【演習】ナイチンゲールの視点で?何が看護で何が看護でないか?を考える	予習：DVD の内容をナイチンゲールの看護の視点(何が看護で何が看護でないか)で読み解き、感想、考えたことをまとめておく。 復習：GW や全体での意見交換を踏まえて、?看護とは？?についての自己の考えを言語化する。	内田宏美
8	環境調整技術：療養生活の環境①	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。 復習：授業内容を確認・整理しておく。 （合計 1 時間）	渡邉敦子
9	環境調整技術：療養生活の環境②	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。 復習：授業内容を確認・整理しておく。 （合計 1 時間）	渡邉敦子
10	【演習】環境調整技術：実習室オリエンテーション	予習：演習前レポート（30 分） 復習：演習後レポート（30 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
11	【演習】環境調整技術： リネン類の取り扱い・ベッドメーキング①	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
12	【演習】環境調整技術：ベッドメーキング②	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
13	【演習】環境調整技術：ベッドメーキング③	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
14	関係形成技術：コミュニケーションとは	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。 復習：授業内容を確認・整理しておく。 （合計 1 時間）	渡邉敦子

15	関係形成技術：　看護・医療におけるコミュニケーション	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。 復習：授業内容を確認・整理しておく。 （合計 1 時間）	渡邉敦子
16	関係形成技術：　コミュニケーションの構成要素と成立過程	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。 復習：授業内容を確認・整理しておく。 （合計 1 時間）	渡邉敦子
17	関係形成技術：　関係構築のためのコミュニケーションの基本	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。 復習：授業内容を確認・整理しておく。 （合計 1 時間）	渡邉敦子
18	【演習】関係形成技術：　効果的なコミュニケーションの実際①	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
19	【演習】関係形成技術：　効果的なコミュニケーションの実際②	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
20	【演習】関係形成技術：　効果的なコミュニケーションの実際③	予習：演習前レポート（45 分） 復習：演習後レポート（45 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
21	【演習】関係形成技術：　効果的なコミュニケーションの実際④	予習：演習前レポート（30 分） 復習：演習後レポート（30 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
22	〔看護学概論〕 【演習】看護実践における倫理（事例演習）①	予習：演習前レポート（30 分） 復習：演習後レポート（30 分）	内田宏美・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
23	〔看護学概論〕 【演習】看護実践における倫理（事例演習）②	予習：演習前レポート（30 分） 復習：演習後レポート（30 分）	内田宏美・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
24	生活援助論Ⅰ（看護基盤技術）まとめ①	予習：本科目で学んだことを想起しておく。復習：総論と援助技術を統合して復習する。（合計 1 時間）	渡邉敦子
25	〔看護学概論〕 【演習】看護実践における倫理（事例演習）?	予習：演習前レポート（30 分） 復習：演習後レポート（30 分）	内田宏美・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
26	〔看護学概論〕 【演習】看護実践における倫理（事例演習）④	予習：演習前レポート（30 分） 復習：演習後レポート（30 分）	内田宏美・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂

			子
27	〔看護学概論〕　【演習】看護実践における倫理（事例演習）⑤	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	内田宏美・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
28	〔看護学概論〕　【演習】看護実践における倫理（事例演習）⑥	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	内田宏美・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
29	まとめ②	予習：本科目で学んだことを想起しておく。 復習：総論と援助技術を統合して復習する。（合計 2 時間）	渡邉敦子
30	まとめ③	予習：本科目で学んだことを想起しておく。 復習：総論と援助技術を統合して復習する。（合計 1 時間）	渡邉敦子
成績評価方法と基準			割合
1. 筆記試験〈DP①④〉　2. 平常点（演習前後のレポート、身だしなみ等）〈DP①④〉　※定期試験を受験するには、4/5 以上の出席が必要である。　※〔看護学概論〕の授業内容は生活援助論Ⅰの評価の範囲に含めない			1. 60%　2. 40%

授業科目名	生活援助論Ⅱ（看護）				
主担当教員	下岡　ちえ		担当教員	下岡　ちえ／水本　英佑／松岡　小百合／渡邉　敦子／原　明子	
科目ナンバリング	FN20C104	科目区分	専門分野Ⅰ	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜3限、火曜4限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

日常生活援助技術の原則とその根拠の理解を基盤とする。また基礎看護学実習Ⅰの学びを活用し、殊に健康に障害を持つ人々に対する日常生活援助技術を探求・修得することをねらいとする。各種清潔の維持のための看護ケアを中心に学習する。その演習においては、事前学習を基本とし、学生自身が創意工夫を重ねながら看護技術を実施する。また看護者として看護技術の一連のプロセスを体験し、ケアを受ける患者の体験を通し、また第三者として行なわれたケアを観察･評価し、看護者･患者･観察者の３つの視点からの気づきを考察し記録を行なうことで学習を深める。看護技術のあり方についてはテキストのみにとらわれない方法論について、その根拠を明確にし、様々な看護場面に応じた援助技術のレディネスを養う。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 日常生活援助技術の原則とその根拠を理解することができる。〈DP①〉　2. 学内演習を通して、患者、看護者、観察者の視点から援助技術の実施方法を探求できる。〈DP①③④〉　3. 援助技術についてクリティカルな視点で実践、考察ができる。〈DP①〉　4. 生活の主軸となる人間の活動、すなわち活動・休息、食事、排泄、衣生活、清潔に関する概念を看護の視点から理解し、アセスメントに基づきそれらの基 本的援助を実施することができる。〈DP①④〉　5.　援助技術の原理・原則を、〔ボディメカニクス〕〔作業域と行動の組み立て〕〔清潔と不潔〕〔経済性〕〔反応の観察と対応〕〔個別性〕〔対象者との協　働〕〔安楽性〕〔安全性〕の観点から効果的に活用するための方法を模索し、簡単な状況設定の基での活用ができる。<DP①③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 出席が前提である（特に演習）。　2. 演習時は臨地実習と同様にユニフォームを着用し、身だしなみを整える。　3. 提出物の提出期限は厳守する。　4. 演習物品等の準備、後片付け、基礎看護学実習室の美化は、学生が自律して行う。　5. 看護技術の習得には事前事後の自己練習を必須とする。

教科書

1.（系統看護学講座　専門分野Ⅰ）[基礎看護学2] 基礎看護技術Ⅰ,医学書院　2.（系統看護学講座　専門分野Ⅰ）[基礎看護学3] 基礎看護技術Ⅱ,医学書院　3.　根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術,医学書院

参考書

1. 深井喜代子（監修）：ケア技術のエビデンス，へるす出版

研究室／オフィスアワー

下岡研究室（W338）／随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教科目ガイダンス、活動休息技術とは	予習：シラバスの確認　復習：授業内容の整理　（合計1時間）	下岡ちえ
2	活動・休息援助技術：活動とは、ボディメカニクスと体位、体位変換	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。　復習：授業内容を確認・整理しておく。　（合計1時間）	下岡ちえ
3	【演習】活動・休息援助技術：体位変換・体位保持	予習：演習前レポート（30分）　復習：演習後レポート（30分）	全員
4	【演習】活動・休息援助技術：体位変換・体位保持	予習：演習前レポート（30分）　復習：演習後レポート（30分）	全員

5	【演習】活動・休息援助技術：移乗・移送	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
6	【演習】活動・休息援助技術：移乗・移送	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
7	食事援助技術	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。　復習：授業内容を確認・整理しておく。　（合計 1 時間）	松岡小百合
8	排泄援助技術	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。　復習：授業内容を確認・整理しておく。　（合計 1 時間）	水本英佑
9	【演習】食事援助技術：食事摂取の介助/口腔ケア	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
10	【演習】食事援助技術：食事摂取の介助/口腔ケア	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
11	【演習】排泄援助技術：自然排尿・排便の介助	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
12	【演習】排泄援助技術：自然排尿・排便の介助	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
13	衣生活援助技術	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。　復習：授業内容を確認・整理しておく。　（合計 1 時間）	下岡ちえ
14	清潔援助技術	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。　復習：授業内容を確認・整理しておく。　（合計 1 時間）	下岡ちえ
15	【演習】寝衣交換	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
16	【演習】寝衣交換	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
17	【演習】足浴	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
18	【演習】足浴	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
19	【演習】陰部洗浄	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
20	【演習】陰部洗浄	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
21	【演習】洗髪①	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
22	【演習】洗髪①	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
23	【演習】洗髪②	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
24	【演習】洗髪②	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
25	【演習】全身清拭①	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
26	【演習】全身清拭①	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
27	【演習】全身清拭②	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
28	【演習】全身清拭②	予習：演習前レポート（30 分）　復習：演習後レポート（30 分）	全員
29	「生活」の振り返り	予習：シラバス内容の範囲の章を熟読しておく。　復習：授業内容を確認・整理しておく。　（合計 1 時間）	下岡ちえ
30	まとめ	予習：本科目で学んだことを想起しておく。復習：総論と援助技術を統合して復習する。（合計 1 時間）	下岡ちえ
成績評価方法と基準			割合
1. 筆記試験〈DP①④〉　2. 平常点（演習前後のレポート、身だしなみ等）〈DP①④〉　※定期試験を受験するには、4/5 以上の出席が必要である。			1. 60%　2. 40%

授業科目名	診療援助論Ⅰ（看護）				
主担当教員	原　明子		担当教員	原　明子／下岡　ちえ／水本　英佑／松岡　小百合／渡邉　敦子	
科目ナンバリング	FN20C105	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限、木曜 5 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

本科目では、フィジカルアセスメントに関連する知識と技術を修得する。　看護におけるヘルスアセスメント/フィジカルアセスメントの意義および目的を理解した上で、人体の構造と機能に関連した既習の知識を活用しながらフィジカルイグザミネーションを実施し、得られた結果の判断ができる力を修得する。　※本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。

学修目標

1. 看護におけるフィジカルアセスメントの目的と必要性を述べることができる。〈DP1〉　2. フィジカルイグザミネーション（問診・視診・打診・触診・聴診）の原則と方法を述べることができる。〈DP1〉　3. 基本的なフィジカルアセスメントの技術を、正確かつ安全に実施できる。〈DP1・4〉　4. フィジカルイグザミネーションで得られた結果を正しく記録することができる。〈DP1・4〉　5. フィジカルアセスメントで得られた結果から、対象者の状態について看護の視点で評価することができる。〈DP1・3・4〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 出席が前提である。　2. 演習時は身だしなみを整える。　3. 提出物の期限は厳守する。　4. 形態機能学Ⅰ～Ⅳの学修内容と本科目の内容の関係性を理解して臨む。　5. 演習物品などの準備、後片付け、基礎看護学実習室の整備は学生が自立して行う。　6. 看護技術の修得には、事前事後の自己学習および自己練習が必要である。

教科書

1. 系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[2]　基礎看護技術Ⅰ　茂野 香おる（医学書院）ISBN 978-4-260-04992-4　2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　任和子・井川順子（医学書院）ISBN 978-4-260-04790-6

参考書

1. 看護がみえる vol.3　フィジカルアセスメント　岡庭豊（メディックメディア）ISBN 978-4-89632-781-6　2. 系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能［1］　解剖生理学　坂井建雄／岡田隆夫／宇賀貴紀（医学書院）ISBN 978-4-260-04687-9

研究室／オフィスアワー

原研究室（W335）/随時（事前にメール連絡があるとスムーズです）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	科目ガイダンス　看護におけるヘルスアセスメント・フィジカルアセスメントとは	予習：シラバスを確認する。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原
2	フィジカルアセスメントの基本技術・身体計測	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読しておく。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原
3	頭部・頸部・眼・耳・鼻・口腔の外表のアセスメント	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原
4	【演習】　頭部・頸部・眼・耳・鼻・口腔の外表のアセスメント	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポートを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員

5	筋・骨格系のアセスメント	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原
6	【演習】　筋・骨格系のアセスメントと看護への活用	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポ―トを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
7	神経系のアセスメント	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	原
8	【演習】　神経系のアセスメント	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポ―トを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
9	バイタルサインサイン①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	水本
10	バイタルサイン②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	水本
11	【演習】　バイタルサイン測定①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポ―トを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
12	【演習】　バイタルサイン測定②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポ―トを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
13	【演習】　バイタルサイン③	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポ―トを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
14	【演習】　バイタルサイン④	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポ―トを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
15	呼吸器系のアセスメント①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	松岡
16	呼吸器系のアセスメント②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。　復習：授業内容を整理する。　（合計１時間）	松岡
17	【演習】　呼吸器系のアセスメント①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。 演習前レポ―トを作成する。　復習：演習後レポートを作成する。　（合計１時間）	全員
18	【演習】　呼吸器系のアセスメント②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体	全員

		診査ができるよう予行演習を行う。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	
19	循環器系のアセスメント①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。 復習:授業内容を整理する。 （合計１時間）	松岡
20	循環器系のアセスメント②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。 復習:授業内容を整理する。 （合計１時間）	松岡
21	【演習】 循環器系のアセスメント①	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	全員
22	【演習】 循環器系のアセスメント②	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	全員
23	腹部・消化器系のアセスメント	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書を熟読し、既習の知識を活用しながら自己学習ノートにまとめる。 復習:授業内容を整理する。 （合計１時間）	水本
24	【演習】 腹部・消化器系のアセスメント	予習：シラバス内容が書かれているテキストや参考書、映像教材を確認し、他者の身体診査ができるよう予行演習を行う。演習前レポートを作成する。 復習:演習後レポートを作成する。 （合計１時間）	全員
25	技術チェック①	予習:技術の自己練習をする。 復習:技術項目を振り返る （合計１時間）	全員
26	技術チェック②	予習:技術の自己練習をする。 復習:技術項目を振り返る。 （合計１時間）	全員
27	技術チェック③	予習:技術の自己練習をする。 復習:技術項目を振り返る。 （合計１時間）	全員
28	技術チェック④	予習:技術の自己練習をする。 復習:技術項目を振り返る （合計１時間）	全員
29	まとめ①	予習:テキスト、レジメ、自己学習ファイルを振り返る。 復習：授業内容を整理する。（合計１時間）	原
30	まとめ②	予習:テキスト、レジメ、自己学習ファイルを振り返る 復習：授業内容を整理する。（合計１時間）	原
成績評価方法と基準			割合
1. 4/5 以上の出席が必要である。 2. 60 点以上を単位認定とする。 3. 成績評価方法 1）筆記試験〈DP1・4〉 2）技術チェック〈DP1・3・4〉 3）平常点（小テスト、演習レポート、自己学習ファイル、身だしなみ等）〈DP1・3・4〉 4. 小テスト、演習レポートのフィードバック方法 1）小テストは、講義の始めに実施し講義内でフィードバックする。 2）演習レポートは、適宜フィードバックする。			1. 筆記試験 50% 2. 技術チェック 20% 3. 平常点 30%

授業科目名	診療援助論Ⅱ（看護）				
主担当教員	渡邉 敦子		担当教員	渡邉 敦子／下岡 ちえ／水本 英佑／松岡 小百合／原 明子	
科目ナンバリング	FN20C106	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

健康に障害をきたした人に対する診療および治療を受ける際に必要な侵襲性の高い看護技術を学修することをねらいとする。　健康に障害をきたした対象（家族を含む）が、診療および治療を受ける際に、必要な看護者としての基本的な援助技術を学修する。　人間の基本的欲求を自分で充足することが困難な状態において、治療・看護を通して、生命の維持および欲求の充足につながる援助技術を学修する。

学修目標

1. 診療及び治療を受ける際に必要な侵襲性の高い看護技術の原理・原則とその EBN が理解できる。(DP①)　2. 対象者の疾病からの回復を助けるために、必要な診療援助について看護の視点から考えることができる。(DP①②)　3. 対象者の個別性、ニーズ、状況、および倫理的配慮をふまえた看護援助を考えることができる。(DP①③④)　4. 援助技術の原理・原則を、〔ボディメカニクス〕〔作業域と行動の組み立て〕〔清潔と不潔〕〔経済性〕〔反応の観察と対応〕〔個別性〕〔対象者との協働〕〔安楽性〕〔安全性〕の観点から効果的に活用するための方法を模索し、簡単な状況設定の基での活用ができる。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 出席が前提である。　2. 演習時は身だしなみを整える（演習は原則ユニフォーム）。　3. 演習は常に緊張感を持ち、言葉づかいを含め、医療人を目指す者としてふさわしい態度で臨む。　4. 提出物の期限は厳守する。　5. 演習物品などの準備、後片付け、基礎看護学実習室の整備は学生が自立して行う。　6. 原則、途中退席は認めない。ただし、やむを得ない場合はこの限りではない。

教科書

系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[2]　基礎看護技術Ⅰ　医学書院　茂野香おる　ISBN 978-4-260-04992-4　系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[3]　基礎看護技術Ⅱ　医学書院　任和子　ISBN 978-4-260-04212-3　根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　医学書院　任和子・井川順子　ISBN 978-4-260-04790-6

参考書

看護がみえる vol.1　基礎看護技術　(株)メディックメディア　岡庭豊　ISBN 978-4-89632-733-5　看護がみえる vol.2　基礎看護技術　(株）メディックメディア　岡庭豊　ISBN 978-4-89632-734-2

研究室／オフィスアワー

渡邉敦子　研究室（W335）　＊メール等であらかじめ予約をとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	科目ガイダンス　排泄の援助技術（導尿）①	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	渡邉敦子　松岡小百合
2	排泄の援助技術（導尿）②	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	松岡小百合
3	【演習】排泄の援助技術（導尿）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	松岡小百合･下岡ちえ･渡邉敦子･原明子･水本英佑･松村比呂子

4	【演習】排泄の援助技術（導尿）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	松岡小百合･下岡ちえ･渡邉敦子・原明子・水本英佑･松村比呂子
5	排泄の援助技術（浣腸）①	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	水本英佑
6	排泄の援助技術（浣腸）②	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	水本英佑
7	【演習】排泄の援助技術（浣腸）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	水本英佑･下岡ちえ・渡邉敦子・原明子・松岡小百合･松村比呂子
8	【演習】排泄の援助技術（浣腸）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	水本英佑・下岡ちえ・渡邉敦子・原明子・松岡小百合・松村比呂子
9	与薬の技術①（与薬の基礎知識）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	渡邉敦子
10	与薬の技術②（与薬の基礎知識・経口与薬・口腔内与薬）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	渡邉敦子
11	与薬の技術③（与薬の基礎知識・経口与薬・口腔内与薬）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	渡邉敦子
12	与薬の技術④（吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	松岡小百合
13	与薬の技術⑤（注射の基礎知識・皮下注射・皮内注射・筋肉内注射）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	渡邉敦子
14	与薬の技術⑥（注射の基礎知識・皮下注射・皮内注射・筋肉内注射）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	渡邉敦子
15	【演習】与薬の技術（注射器の取り扱い・薬液の吸い上げ）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
16	【演習】与薬の技術（注射器の取り扱い・薬液の吸い上げ）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
17	【演習】与薬の技術（筋肉注射）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
18	【演習】与薬の技術（筋肉注射）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
19	与薬の技術⑦（静脈内注射・点滴静脈内注射・輸血）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	原明子
20	与薬の技術⑧（静脈内注射・点滴静脈内注射・輸血）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読　復習：授業内容の整理　（合計１時間）	原明子

21	【演習】与薬の技術（輸液管理①）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	原明子・下岡ちえ・渡邉敦子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
22	【演習】与薬の技術（輸液管理②）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	原明子・下岡ちえ・渡邉敦子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
23	【演習】与薬の技術（輸液管理③）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	原明子・下岡ちえ・渡邉敦子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
24	【演習】与薬の技術（輸液管理④）	予習：シラバス内容に準じた範囲の章を熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	原明子・下岡ちえ・渡邉敦子・松岡小百合・水本英佑・松村比呂子
25	【演習】複合演習①	予習：テキストの熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	松岡小百合・原明子・下岡ちえ・渡邉敦子・水本英佑・松村比呂子
26	【演習】複合演習②	予習：テキストの熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	松岡小百合・原明子・下岡ちえ・渡邉敦子・水本英佑・松村比呂子
27	【演習】複合演習③	予習：テキストの熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	水本英佑・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・松村比呂子
28	【演習】複合演習④	予習：テキストの熟読、映像教材の視聴、演習前レポ―ト（１時間）　復習：演習後レポート（30 分）	水本英佑・渡邉敦子・下岡ちえ・原明子・松岡小百合・松村比呂子
29	【講義】まとめ①	予習：テキストの熟読、これまで実施した演習レポート熟読　復習：授業内容の整理	渡邉敦子
30	【講義】まとめ②	予習：テキストの熟読、これまで実施した演習レポート熟読　復習：授業内容の整理	渡邉敦子
成績評価方法と基準			割合
1.4/5 以上の出席が必要　2.60 点以上を単位認定とする。　3.評価対象　①筆記試験　②平常点（演習前後のレポート、身だしなみ等）			① 60%　② 40%

授業科目名	看護過程演習（看護）				
主担当教員	下岡　ちえ		担当教員	下岡　ちえ／水本　英佑／松岡　小百合／渡邉　敦子／原　明子	
科目ナンバリング	FN20C107	科目区分	専門分野Ⅰ	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

看護実践を支える看護過程の展開について、事例患者の看護を計画的に実施するための一連の思考過程を V.Henderson のモデルを用いた模擬的実践をとおして学ぶ。この演習によって、看護学実習時（看護実践）に必要な、対象者との人間関係の形成を基盤とした、患者の健康問題の系統的解決法の基本を習得するとともに、ヒューマンケアリングに基づく看護理論を用いて看護を実践することの意義について、認識する機会とする。

学修目標

模擬患者に対して看護過程のプロセスを辿る下記の体験を通して、対象者との関係形成を基盤とした看護問題の解決課程としての看護過程の全容と各段階の留意点を理解し、実践へのイメージを持つことができる。(DP①④)　①看護過程の目的や意義を理解し、記述する。　②ヘンダーソンの視点を用いて、全体像をアセスメントするために必要な情報内容（アセスメントガイド）を整理する。　③模擬患者の心身の状態と取り巻く環境を踏まえて、系統的・合理的な情報収集実施計画を立てる。　④上記に基づき、模擬患者の状態や心情に配慮しつつ情報収集を実施し、必要な振り返りを行う。　⑤模擬患者の反応からニーズの充足状況とその原因・誘因についてアセスメントし、模擬患者への援助の必要性を判断する。　⑥情報と情報のつながりを整理し、必要に応じて関連図を作成し、ニーズの充足の観点から、模擬患者の全体像を整理する。　⑦模擬患者の全体像から、ニーズを充足するための看護の必要を「看護診断」として焦点化する　⑧模擬患者のニーズ充足の観点から優先度・重要度を吟味して「看護診断」リストを作成する。　⑨看護診断リストから重要度優先度の高い看護診断１つをピックアップし、看護計画を立案する。　⑩看護計画のケア又は教育プランの１つについて、実施計画を立案する。　⑪模擬患者の心身の状態と取り巻く環境を考慮しつつ、反応を見ながら計画した看護を実施する。　⑫看護に対する模擬患者の反応から、看護の効果を評価するとともに、看護計画全体を見直す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

これまでに履修した「看護学概論」「看護理論」「生活援助論Ⅰ・Ⅱ」「診療援助論Ⅰ･Ⅱ」「フィジカルアセスメント」の授業で学習したことを整理して授業に臨むこと。　また、事例の理解においては、形態機能学、生化学、栄養学、病理学等の復習、臨床病態学、臨床薬理学、発達心理学、臨床心理学等、身体的・心理社会的存在としての人間を理解するための学習内容が必要不可欠となるので、必要に応じて知識を紐づけできるように整理しておくこと。　　自ら調べ、考えるなど、主体的・能動的な学習を基本とする。授業は、自学自習を前提として進めるので、事前課題(予習)、事後課題(復習や課題)は必ず行うこと。　グループワークを中心に授業を進めるので、各人が予習復習をして授業に臨むことが前提となる。

教科書

系統看護学講座　専門Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学③　医学書院　野嶋佐由美編集「看護学の概念と理論」日本看護協会出版会

参考書

任　和子著　看護過程展開ガイド　照林社

研究室／オフィスアワー

下岡ちえ：研究室　W338、chie_shimoka@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義：既存の知識の想起と統合　　・看護理論と	〔予習〕　　・テキスの看護過程の内容を	下岡ちえ

	看護過程。　・人間の基本的ニーヅの充足に焦点を当てたヘンダーソン看護理論を使うということ。 教科ガイダンス　・模擬事例の初期情報の提示。　・思考を助けるための記録の様式と使い方。	想起しておく。　・１年次の課題「ヘンダーソン看護理論を活用するためのアセスメントガイド」を整理しておく。 〔復習〕　・自前のアセスメントガイドを手掛かりにして、所定の様式に沿って事例のニーズの充足状態について、何をどのように情報収集すればよいかを整理しておく。	
2	GW:模擬事例を用いて現時点での健康状態をアセスメントする①　・表３：B さんの全体像アセスメントに沿って、アセスメントに必要な情報、収集した実際の情報について「①酸素化」を分析する。　・アセスメントに必要な情報、取集した実際の情報をもとに、アセスメント（１）充足／不充足、アセスメント（２）充足状態の要因の査定（２）、アセスメント（３）看護の必要性に関する総合的判断を行う。「①酸素化」	〔復習〕　・事例をもとに所定の書式に沿って、アセスメントに必要な情報、収集した実際の情報までを「②栄養」「③排泄」「④移動」「⑤活動・睡眠休息」について整理してくる。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
3	GW:模擬事例を用いて現時点での健康状態をアセスメントする②　・アセスメントに必要な情報、取集した実際の情報をもとに、アセスメント（１）充足／不充足、アセスメント（２）充足状態の要因の査定（２）、アセスメント（３）看護の必要性に関する総合的判断を行う。「②栄養」「③排泄」「④移動」「⑤活動・睡眠休息」	〔復習〕　・事例をもとに所定の書式に沿って、アセスメントに必要な情報、収集した実際の情報までを「⑥から⑭」について整理してくる。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
4	GW:模擬事例を用いて現時点での健康状態をアセスメントする③　・アセスメントに必要な情報、取集した実際の情報をもとに、アセスメント（１）充足／不充足、アセスメント（２）充足状態の要因の査定（２）、アセスメント（３）看護の必要性に関する総合的判断を行う。「⑥から⑭」	〔復習〕　・授業で未実施分を完成させる。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
5	GW:全体像アセスメントのための情報収集戦略を練る①　・各自の事前学習(=復習)の資料を持ち寄って協働で知恵を絞り、アセスメント実施計画を作る。表４:B さんの情報収集戦略　(1)基本的ニーズの充足状態をアセスメントするために、収集すべき情報は抽出できているか。　(2)その情報は、どのような手段・方法で、どのような順序・流れで収集するのか。　(3)情報収集に際しての環境をどのように整えるのか。　(4)メンバー間のロールプレイにより実施シミュレーションを行い、行動計画を修正して、模擬患者へのアプローチに備える	〔復習〕　・授業で未実施分を完成させる。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
6	GW:全体像アセスメントのための情報収集戦略を練る②　・各自の事前学習(=復習)の資料を持ち寄って協働で知恵を絞り、アセスメント実施計画を作る。表４:B さんの情報収集戦略　(1)基本的ニーズの充足状態をアセスメントするために、収集すべき情報は抽出できているか。　(2)その情報は、どのような手段・方法で、どのような順序・流れで収集するのか。　(3)情報収集に際しての環境をどのように整えるのか。　(4)メンバー間のロールプレイにより実施シミュレーションを行い、行動計画を修正して、模擬患者へのアプローチに備える	〔復習〕　・授業で未実施分を完成させる。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
7	演習:模擬患者に対する情報収集と全体像アセスメントの実施　・グループの代表１名がナース役になり、グループのアセスメント実施計画に沿って模擬患者の情報収集を実施する。 （聞き逃したこと等は、補足収集できる）　・１Ｇ配当時間 30 分　準備・片付け：計 10 分、実施：15 分、フィードバック：5 分	〔復習〕　・未実施分を完成させる。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑　松岡小百合　松村比呂子
8	ＧＷ：模擬患者の反応から得られた情報（収集した実際の情報追加）を整理し、アセスメント	〔復習〕　・各自、得られた情報を整理し、基本的ニーズの充足状態をアセスメントしておく。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑

			松岡小百合 松村比呂子
9	GW:ニーズの充足に援助を要する看護問題(＝看護診断)の焦点化　・各自の事前学習(＝復讐)の資料を持ち寄って協働で知恵を絞り、看護問題をリストアップする。表５：要因関連図、表６：看護診断リスト　(1)14 の視点から、模擬患者のニーズの充足状態を評価する。 (2)ニーズの充足・不充足をもたらす原因・要因(知力・意思力・体力)を査定する。 (3)要因関連図を用いてニーズの不充足状態と原因の関連を整理する。 (4)援助を要する看護問題を特定し、命名する(=看護診断する)。 (5)優先度・重要度の観点から援助の必	〔復習〕　・各自、要因関連図を整理し、看護診断リストとの整合性を付けておく。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑 松岡小百合 松村比呂子
10	ＧＷ：看護計画の立案　・優先度・重要度の高い看護診断を一つ選び、ニーズを充足するための看護計画を立案する。表７：看護計画　(1)患者のニーズが充足された最終到達点を、評価可能な長期目標として設定する。 (2)当面のニーズが充足された状態を、評価可能な短期目標として設定する。 (3)短期目標を達成するための看護プラン（①ケアプラン、②教育プラン、③観察プラン）を５Ｗ１Ｈで立案する。	〔復習〕　・グループで手分けして、プランに必要な知見を入手する。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑 松岡小百合 松村比呂子
11	GW:ケアプラン又は教育プランの実施計画の立案　・具体的な実施方法（看護の流れ、準備物品、手順）について、根拠とともに明示する。表８：看護実施のための行動計画　・シミュレーションして、流れ、手順をグループで共有する。	〔復習〕　・各自、実施計画に沿って実践を想定した練習をしておく。　・必要に応じて、実習室で練習しておく。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑 松岡小百合 松村比呂子
12	演習：模擬患者に対する看護の実践　・グループの代表１名が看護師になり、看護実施計画に沿って模擬患者に看護を実施する。表９:看護の実施・評価　・１Ｇ配当時間 30 分　準備：10 分、実施：15 分、フィードバック：5 分、片付け：10 分　・ＧＷ：全員で、模擬患者の反応から得られた情報を整理し、看護の成果を評価する。	〔復習〕　・各自、患者の反応を整理し、目標を達成しニーズは充足できたかを評価する。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑 松岡小百合 松村比呂子
13	ＧＷ：模擬患者に実施した看護の評価　・看護実施時の模擬患者の反応から、以下を評価する。表 10：看護実践と評価のサマリー　(1)模擬患者のニーズは充足されたのか、設定した目標は達成できたのか。 (2)実施プロセスでよかったところ,こうすればよかったと思うこと。 (3)実施計画の内容・方法の良かったところ、もっと工夫できたと思えるところ。 (4)看護計画自体に見直しが必要なところはないか（内容、目標の設定等）。 (5)看護診断自体に見直しは必要ないか。	〔復習〕　・各自、看護計画の評価をまとめておく。・各自、模擬患者に対する「看護計画～看護の実施～評価」のプロセスをまとめておく。　・各自、「看護過程の展開学習を通して学んだこと」をまとめておく。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑 松岡小百合 松村比呂子
14	GW:まとめの発表準備　・模擬患者に対する「看護計画～看護の実施～評価」のプロセスをまとめる。	〔復習〕　・発表資料を完成させる。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑 松岡小百合 松村比呂子
15	まとめの発表（90 分）：1G5 分（発表 3 分＋質疑 2 分）×15G　・発表内容：看護の実施～評価の概要,看護過程の展開から学んだこと。	〔復習〕　①看護過程演習記録（個人）を見直し、必要に応じて加筆し、教員へ提出する。 ②発表会での学びも含めて「看護過程の展開学習を通して学んだこと」を課題管理へ提出する。　※指定の日時までに①②を提出する。	下岡ちえ　渡邉敦子　原明子　水本英佑 松岡小百合 松村比呂子
成績評価方法と基準			割合
①課題のレポート　※提出期限より 1 週間未満（6 日間）の遅れについては減点の対象とする。　1 週間以上（7 日間）の提出遅れについては未提出と同等の扱いとする。 ②筆記試験　※受験には、4/5 以上の出席が必要である。			①30% ②70%

授業科目名	基礎看護学実習Ⅰ（看護）				
主担当教員	渡邉　敦子		担当教員	渡邉　敦子／下岡　ちえ／水本　英佑／松岡　小百合／原　明子	
科目ナンバリング	FN20C108	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態		単位数	1単位	必修･選択	

授業概要

基礎看護学実習Ⅰでは、看護の対象となる全ての人の生活を知るために、地域で生活される方やそれを支える活動や現状を知る。また健康であれば通常、意識し難い人間の日常生活に対する援助が看護の基本であることを理解する。健康に障害を来した場合、日常生活の様々な側面に影響を及ぼすことを看護師と患者との直接的かかわりを通して具体的に知る。本実習は、教室の学修とは違い、人々の生活の場である地域、また看護が実践されている現場での学修を主とする。したがって、看護職が患者の健康問題に対してどのような側面から援助する専門家であるか、援助はどのような性質を持つのかをよく観る、聴く、あるいは積極的に五感と身体を使ってよく活動して考えを深め、今後の学修の動機づけにする。また、健康な方をはじめ、療養中の対象者とのコミュニケーションを通して看護におけるコミュニケーションの意義について考察する機会とする。

学修目標

1. 人間の生活についてその特徴を理解する。 2. 実習施設の場の構造や機能について理解する。 3. 対象者の生活や社会的役割などを通して人（全体像）を理解する。 4. 人間の基本的欲求に基づく日常生活行動について理解する。 5. 健康障害による基本的欲求の変化と生活への影響を理解する。 6. 患者の自立できない日常生活行動に対する援助の意味を理解する。 7. 対象者との関わりを通し、看護におけるコミュニケーションを理解する。 8. 専門家としての看護師の活動を理解する。 ＜ＤＰ①②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 補習実習はできないので、体調を整えて全出席すること。 2. 全体あるいはグループごとのオリエンテーションには必ず出席すること。 3. 学修の場が地域の施設や医療施設であることをよくわきまえ、看護学生としての自覚と責任、緊張感を持って臨むこと。

教科書

ガイダンスで指示する。

参考書

ガイダンスで指示する。

研究室／オフィスアワー

渡邉研究室　W335　＊メール等であらあじめ予約をとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. 実習期間　2025年8月18日(月)～8月22日(金)　2. 実習場所　大阪急性期・総合医療センター　大阪国際がんセンター　JCHO 大阪みなと中央病院　JCHO 星ヶ丘医療センター　3. 実習方法　8月19日(火)～21日(木)　病院実習　8月18日（月)、22日(金)　学内実習	実習での疑問・不明点を自主的に調べる	渡邉敦子･下岡ちえ・原明子・松岡小百合･水本英佑･松村比呂子

成績評価方法と基準	割合
日々の行動、カンファレンスの参加状況、実習レポート、看護師からの情報等を総合して60点以上を単位認定する。　詳細は別途配布する、基礎看護学実習Ⅰ要項による。 ＜DP①②③④＞	100%

授業科目名	基礎看護学実習Ⅱ(看護)				
主担当教員	下岡 ちえ		担当教員	下岡 ちえ／水本 英佑／松岡 小百合／渡邉 敦子／原 明子	
科目ナンバリング	FN20C109	科目区分	専門分野Ⅰ	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

これまで代表的な看護理論やそれを適用するための「看護過程」について学修してきた。基礎看護学実習Ⅱでは、時事刻々と変化している臨床現場において、これまでに学修した看護理論と看護過程を駆使してケアの成立過程やその意義を実際の活動を通して学修する。ケアの成立過程は、アセスメント・看護診断・計画・ケアの実践・評価というプロセスを経る。この実習は、実際に入院中の受け持ち患者を通して学修する。

学修目標

1. 対象との良好な人間関係の形成〈DP①②③〉 2. 看護過程の展開〈DP①②③④〉 3. 日常生活の援助〈DP①②③④〉 4. 看護専門職を目指す者としての基本的態度・行動〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

補修実習はできないので、体調を整えて全出席すること。 実習前の全体オリエンテーションおよび施設・グループオリエンテーションには必ず出席すること。 学修の場が医療施設であることをよくわきまえておくこと。 社会情勢などをふまえ、実習施設、実習方法を変更する場合がある。 先修条件（基礎看護学実習Ⅱは以下の科目を履修し、単位を修得しておかなければ履修できない） 看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ 看護理論 生活援助論Ⅰ・Ⅱ 診療援助論Ⅰ・Ⅱ 看護過程演習

教科書

ガイダンスで指示する。

参考書

ガイダンスで指示する。

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. 実習期間 ①2026年2月 2日(月)～2月13日(金) ②2026年2月 9日(月)～2月20日(金) ③2026年2月24日(火)～3月 7日(金) 2. 実習場所（以下のいずれかの施設） 大阪急性期･総合医療センター 大阪国際がんセンター 大阪鉄道病院 関西メディカル病院 3. 実習方法 施設実習8日間、学内実習2日間（各週1日） 5名/Gを編成し、医療施設の病棟にて患者を1名受け持ち、看護過程を展開する。	・全体オリエンテーションへの参加 ・施設オリエンテーションへの参加 ・学習ノートを作成し、実習病院について、実習病棟の特徴的な疾患、病態生理、看護についてまとめる。 ・バイタルサイン測定、日常生活援助技術の練習をしておく。 ・実習レポート作成 ※その他、各担当教員の指示に従う。	基礎看護学教員全員

成績評価方法と基準	割合
①日々の行動、カンファレンスの参加状況、実習レポート、看護師からの情報などを総合して60 点以上を単位認定する（DP①②③④）	①100%

授業科目名	成人看護学概論（看護）				
主担当教員	吉村　弥須子		担当教員	吉村　弥須子／久木元　由紀子	
科目ナンバリング	AN20C201	科目区分	専門分野	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

ライフサイクルの中で、特に成人期における看護の特徴を、発達、行動、社会、健康の側面から総合的に学修する。成人看護学の対象となる成人各期の発達段階の特徴や生活習慣に関連する健康問題、疾病罹患などを現在の社会背景をふまえて理解する。そのうえで成人期の患者の看護ケアに必要な理論や看護のアプローチ方法について学修する。急性期・回復期・慢性期・終末期にある患者の特徴を理解するとともに、活用する理論を中心に学修する。　（吉村弥須子／9 回・久木元由紀子／6 回）　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. ライフサイクルにおける成人各期の特徴について説明できる。〈DP①〉 2. 成人期における健康問題と疾病罹患について説明できる。〈DP①〉 3. 成人期にある対象の看護に必要な理論について説明できる。〈DP①〉 4. 成人期にある対象の健康問題に対する看護のアプローチ方法が説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 理論は予習をして授業に臨む。 2. 事前・事後に課題レポートを提出する。事前課題レポートを活用して授業を行う。 3. グループワークやロールプレイには積極的に参加する。

教科書

大西和子他編：成人看護学　成人看護学概論第 3 版　ヌーヴェルヒロカワ

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

吉村　弥須子：西棟 236 研究室／水曜日 5 時限目　久木元　由紀子：さくら棟研究室 11、月曜日 5 時限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	成人看護学の概要　成人期にある人の理解（1）成人の発達課題／成人各期の特徴　青年期	予習：シラバス・教科書の確認　青年期の発達課題について学習し、自分自身の体験と照らし合わせて考える。（ 1 時間）　復習：配布資料・教科書の確認　（1 時間）	吉村　弥須子
2	成人期にある人の理解(2)　成人各期の特徴　壮年期・向老期／成人保健の動向	予習：シラバス・教科書の確認　自分の身近な壮年期・向老期の人の体験について話を聞き、壮年期・向老期の発達課題について考える。（ 1 時間）　復習：配布資料・教科書の確認　（1 時間）	吉村　弥須子
3	成人を対象とした看護援助（1）　患者の意思を尊重した看護　倫理的配慮　意思決定	予習：教科書の確認（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認。（１時間）	久木元　由紀子
4	成人を対象とした看護援助（2）　健康障害の段階に応じた看護	予習：教科書の確認（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認。（１時間）	久木元　由紀子
5	成人を対象とした看護援助（3）　健康障害の特徴に応じた看護　治療･処置を受ける患者の看護	予習：教科書の確認（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認。事後レポートを提出する。（１時間）	久木元　由紀子
6	成人期の疾病罹患と看護援助　がん	予習：教科書の確認　がんについて学修してくる。　（1 時間）　復習：配布資料・教科書の確認　（1 時間）	吉村　弥須子
7	成人看護学に活用される理論（1）　ケアリング	予習：教科書の確認　（1 時間）　復習：配布資料・教科書の確認　（1 時間）	久木元　由紀子

8	成人看護学に活用される理論(2)ストレス理論・ストレスコーピング理論	予習：教科書の確認　事前レポートを提出する　(3時間)　復習：配布資料・教科書の確認　(1時間)	吉村　弥須子
9	成人看護学に活用される理論（3）　危機理論	予習：授業資料、教科書の確認、危機理論について学修してくる。　（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認　(1時間)	吉村　弥須子
10	成人期に活用される理論（4）　自己効力理論	予習：教科書の確認　事前レポートを提出する　(3時間)　復習：配布資料・教科書の確認。（１時間）	吉村　弥須子
11	成人期に活用される理論（5）　学習理論	予習：教科書の確認、学習理論について学修しておく。（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認。（１時間）	吉村　弥須子
12	成人期に活用される理論（6）　病みの軌跡	予習：教科書の確認、病みの軌跡理論について学修しておく。（１時間）　復習：事例を用いた事後課題に取り組み、レポートを提出する。（３時間）	久木元　由紀子
13	終末期の看護　死の受容過程、緩和ケア、悲嘆、グリーフケア	予習：教科書を確認し、終末期看護のイメージをつけておく。（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認。事後レポートを提出する。(3時間)	久木元　由紀子
14	成人期に活用される理論（7）　エンパワーメント	予習：教科書の確認、エンパワーメントについて学修しておく。（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認。（１時間）	吉村　弥須子
15	多様なケア環境とチーム医療における看護援助 災害看護　ゲストスピーカー:クリティカルケア認定看護師	予習：教科書を確認しておく。災害看護について学習しておく。（１時間）　復習：配布資料・教科書の確認。事後レポートを提出する。（１時間）	吉村　弥須子
成績評価方法と基準			割合
①課題レポート<DP①>　・事前レポート　・事後レポート　ルーブリック評価表をもとに評価する。　事前レポートは授業で活用しフィードバックする。　②筆記試験<DP①>			①40%　②60%

授業科目名	成人看護援助論Ⅰ（看護）				
主担当教員	吉村　弥須子		担当教員	吉村　弥須子／久木元　由紀子／宮本　佳子／小林　妙子／八幡　久美子／木村　清子	
科目ナンバリング	AN20C202	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

周手術期から回復期にある患者およびその家族の看護について学修する。手術を受ける患者の特徴と麻酔・手術侵襲によって生じる生体反応や術後合併症を理解し、手術前から手術後の合併症予防、苦痛の緩和、ADL 拡大、機能回復、退院後の社会復帰を視野に入れた看護について学修する。周手術期ならびに急性期を経過し、回復過程にある成人期の患者がスムーズに社会復帰できるような看護支援について理解し、回復期の患者および家族に必要な看護を学修する。（吉村／11 回）（小林／3 回）（木村／1 回）

学修目標

1. 周手術期から回復期にある患者およびその家族の特徴が説明できる。〈DP①〉　2. 麻酔・手術侵襲によって生じる生体反応が説明できる。〈DP①〉　3. 術後合併症予防のための看護が説明できる。〈DP①④〉　4. 疾患の病態生理と手術の特徴をふまえた手術前～手術後の看護が説明できる。〈DP①④〉　5. 術後回復過程にある患者および家族が望む社会復帰に必要な看護が説明できる。〈DP①④〉　6.周術期患者に必要な看護過程を個人/グループワークを通して紙面上で展開することができる。〈DP①③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 形態機能学、臨床病態学、成人看護学概論の復習をして授業に臨む。 2. 事前学修を行って授業に臨む。 3.看護過程の個人ワークの課題を提出しなければグループワークに参加できない。 4.グループワークには積極的に参加する。

教科書

・明石恵子編： 周術期看護 メヂカルフレンド社 ISBN978-4-8392-3326-6 ・鎌倉やよい他：周術期の臨床判断を磨くⅠ 第 2 版 手術侵襲と生体反応から導く看護 医学書院

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

吉村：西棟 236 研究室　木曜日 16:00～18:00 随時相談可。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	周手術期看護の概要　　到達目標　①周手術期にある患者の特徴と周手術期看護が説明できる。②手術侵襲と術後合併症が説明できる。	予習：シラバス・教科書の確認　復習：配布資料・教科書の確認　予習・復習合わせて 1 時間	吉村
2	手術中の看護　ゲストスピーカー:手術室看護師　到達目標　①手術室看護師の役割と手術中の看護が説明できる。	予習：教科書の確認　課題：学んだことをレポートにまとめて提出する　課題 2 時間	ゲストスピーカー・吉村
3	消化器疾患患者の周手術期の看護　－胃がんの手術－　　到達目標：　①胃がん患者の術前・術後の看護のポイントが理解できる。 ②胃がん切除術後の術後合併症と予防のための看護が理解できる。	予習：胃の解剖生理、臨床病態学Ⅲ、胃がんの病態生理について学修してくる　復習：配布資料・教科書の確認　　予習・復習合わせて 1 時間	吉村
4	看護過程の展開①　課題・アセスメントの視点・関連図説明　個人ワーク：アセスメント・関連図の作成　　胃がんの事例を用いた看護過程　到達目標：　①胃がんの患者に起こる手術侵襲・全身麻酔に伴う生体反応と回復過程､発生しやすい	予習：胃の解剖生理、臨床病態学Ⅲ、胃がんの病態生理について学習、看護過程、関連図、アセスメント、これまでの配布資料・教科書の確認　復習：事例の学修、関連図・アセスメントの課題　予習・復習合	吉村

	合併症についてアセスメントでき、合併症を防ぎ回復を促す看護について看護過程を通して理解できる。	わせて 1 時間	
5	運動器疾患患者の周手術期の看護　ー関節の手術ー　　到達目標　①人工股関節全置換術(THA)の患者の看護に必要な知識が理解できる。 ②人工股関節全置換術（THA）の術後合併症と看護が述べられる。	予習：教科書の確認、骨格筋の解剖生理、臨床病態学Ⅲ、変形性股/膝関節症などの病態生理について学習の病態生理について学修してくる　復習：配布資料・教科書の確認　予習・復習合わせて 1 時間	吉村
6	呼吸器疾患患者の周手術期の看護(1)　ー胸腔鏡下肺がんの手術ー　　到達目標　①肺がん手術を受ける患者の術前･術後のポイントが理解できる。 ②肺がん手術後の術後合併症と予防のための看護が理解できる。	予習：肺がんの授業の復習、術後侵襲・麻酔・術後合併症について、看護過程の学習 復習：配布資料・教科書の確認　予習・復習合わせて 1 時間	小林
7	消化器疾患患者の周手術期の看護(2)　ー腹腔鏡下胆のうの手術ー　　到達目標　①胆のう手術を受ける患者の術前･術後のポイントが理解できる。 ②胆のう手術後の術後合併症と予防のための看護が理解できる。	予習：胆のうの解剖生理、臨床病態学Ⅲ、胆石の病態について学習　復習：配布資料・教科書の確認　予習・復習合わせて 1 時間ーー腹腔鏡下胆のうの手術ー	小林
8	消化器疾患患者の周手術期の看護(3)　ストーマケアとその管理方法　ゲストスピーカー：皮膚・排泄ケア認定看護師　　到達目標　①ストーマ造設患者の心理を理解するとともにストーマケアの説明ができる。 ②ストーマの管理とトラブルが生じた場合の対処方法を説明できる。	予習：大腸がん・ストーマに関して教科書を読んでおく　課題：学んだことをレポートにまとめて提出する　課題 2 時間	ゲストスピーカー・吉村
9	運動器疾患患者の周手術期の看護　ー脊椎の手術ー　　到達目標　①脊椎･脊髄疾患患者の周手術期看護に必要な知識が理解できる。 ②頸椎手術・腰椎手術の術後合併症と看護が述べられる。	予習：教科書の確認、脊椎の解剖生理、臨床病態学Ⅲ、脊椎疾患の病態生理について学修しておく　復習：配布資料･教科書の確認 予習・復習合わせて 1 時間	吉村
10	腎･泌尿器疾患患者の周手術期の看護　ー前立腺肥大、前立腺がん、膀胱がんの手術ー　　到達目標：　①腎・泌尿器手術を受ける患者の術前・術後の看護のポイントが理解できる。 ②腎・泌尿器術後の術後合併症と予防のための看護が理解できる。	予習：教科書の確認、腎･泌尿器の解剖生理、臨床病態学Ⅲ、前立腺肥大、前立腺がん、膀胱がんの病態生理について学習　復習：配布資料･教科書の確認　予習･復習合わせて 1 時間	小林
11	性・生殖器疾患患者の周手術期の看護　ー乳がん・子宮がんの手術ー　　到達目標　①乳がん・子宮がん患者の特徴を説明できる。 ②乳がん・子宮がん患者の術前･術後の看護のポイントが理解できる。 ③乳がん・子宮がん切除術後の術後合併症と予防のための看護が理解できる。	予習：教科書の確認、乳房･子宮の解剖生理、臨床病態学Ⅲ、乳がん･子宮がんの病態生理について学習　復習：配布資料･教科書の確認　予習・復習合わせて 1 時間	木村
12	看護過程の展開②　個人ワークの振り返り･グループワーク　看護計画立案　　到達目標　①看護上の問題の優先度を考慮して看護計画を立案することができる。	予習：胃がんの関連図について学修する 復習：グループワークの結果をまとめる 予習・復習合わせて 1 時間	吉村
13	看護過程の展開③　グループワーク　看護計画立案　到達目標　　①看護上の問題の優先度を考慮して看護計画を立案することができる。	予習：看護計画立案の準備を行う。　復習：グループワークの結果をまとめる。　予習・復習合わせて 1 時間	吉村
14	看護過程の展開④　看護計画発表会　　到達目標　①看護計画の発表、ディスカッションができる。	予習：看護計画の発表準備　復習：他のグループの看護計画などの配布資料の確認　予習・復習合わせて 1 時間	吉村
15	看護過程の展開⑤　振り返り・全体のまとめ 到達目標　①看護過程の自身の課題に対して客観的に振り返ることができる。	予習：これまでの授業内容の確認　復習：課題の振り返り　予習・復習合わせて 1 時間	吉村
成績評価方法と基準			割合
①事後レポート・看護過程の展開〈DP①③④〉　・事後レポート：評価基準はルーブリックを提示します。　・看護過程：個人ワークの課題は授業で返却しフィードバックします。グループワークの課題は資料で配布し発表会でフィードバックします。　②筆記試験〈DP①〉　4/5 回以上の出席が必要			①40%　②60%

授業科目名	成人看護援助論Ⅱ（看護）				
主担当教員	久木元　由紀子		担当教員	久木元　由紀子／吉村　弥須子／宮本　佳子／小林　妙子／八幡　久美子／木村　清子	
科目ナンバリング	AN20C203	科目区分	専門分野	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

慢性期、終末期にある成人患者及びその家族の看護について学修する。　慢性的な経過をたどる対象の身体的・精神的・社会的側面において、家族を含めた特徴を理解し、対象を取り巻く社会環境や家族看護の視点を含め QOL を向上できるような看護について学修する。　成人期慢性疾患患者の特性や多様性について、豊かな感性と洞察力をもって理解・共感するために必要な内容を学修する。

学修目標

１．慢性期にある人の心理や社会的特徴を知り、病気を持ちながら生活する人の困難やその人らしく生活するとは何かを説明できる。　<DP①③④>　２．慢性期にある人とその家族に対する看護援助を説明できる。<DP①③>　３．終末期にある患者・家族の心理的課題や予期的悲嘆を理解し、援助方法について説明できる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．形態機能学、臨床病態学、成人看護学概論の復習をして授業に臨む。　２．病気と共にその人らしく生活ができるようセルフケアの方法を学ぶ。　３．事前課題や事後課題にレポートについては授業や MORIPA にて連絡する。課題には主体的・積極的に取り組むこと。　４．ゲストスピーカーの授業に関する連絡は授業や MORIPA にておこなう。　５．グループワークや課題発表には積極的に参加すること。

教科書

編集　鈴木久美　簇持知恵子　佐藤直美　成人看護学　慢性期看護　南江堂

参考書

授業内で紹介もしくは配布

研究室／オフィスアワー

久木元：水曜日 12 時 30 分～14 時 30 分（さくら棟 11）　八幡：水曜日 16 時 10 分～17 時（西棟 235）　宮本：水曜日 13 時～14 時（西棟 335）　※実習帰校日が水曜日以外の場合は不在のこともあるため、事前に予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	担当教員紹介、授業ガイダンス、慢性期看護の概要について　内分泌･代謝障害患者の看護①　Ⅱ型糖尿病患者の看護　到達目標:　Ⅱ型糖尿病の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：Ⅱ型糖尿病の臨床病態学について予習しておく（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	八幡
2	慢性期看護の概要　到達目標:　慢性期における看護の概念について説明できる	予習：慢性期に関する成人看護学概論、形態機能学、臨床病態学について予習しておく（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	久木元
3	循環機能障害と看護①　慢性心不全患者の看護の看護　到達目標：　慢性心不全の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：慢性心不全の臨床病態学について予習しておく（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	久木元
4	循環機能障害と看護②　　不整脈患者の看護の看護　到達目標:　高血圧･不整脈の病態･検査･治療･看護について説明できる循環機能障害と看護②	予習：高血圧・不整脈の臨床病態学について予習しておく（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	久木元
5	呼吸機能障害のある患者の看護　慢性閉塞性肺疾患患者の看護　到達目標:　慢性閉塞性肺疾患	予習：慢性閉塞性肺疾患の臨床病態学について予習する（2 時間）　復習：本日の学	宮本

	の病態・検査・治療・看護について説明できる	修を振り返る（2 時間）	
6	免疫機能障害患者の看護　関節リウマチ・SLE 患者の看護　到達目標：　関節リウマチ・SLE の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：関節リウマチ・SLE の臨床病態学について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	八幡
7	腎機能障害患者の看護患者の看護　　慢性腎不全患者の看護　到達目標：　慢性腎不全の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：慢性腎不全の臨床病態学について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	久木元
8	脳神経機能障害患者の看護　ALS の患者の看護到達目標：　ALS の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：ALS の臨床病態学について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	久木元
9	造血機能障害患者の看護　再生不良性貧血･白血病患者の看護　到達目標：　再生不良性貧血･白血病の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：再生不良性貧血･白血病の臨床病態学について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	八幡
10	消化･吸収機能障害患者の看護　肝硬変の患者の看護　到達目標：　肝硬変の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：肝硬変の臨床病態学について予習しておく（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	宮本
11	内分泌･代謝障害患者の看護②　甲状腺機能障害患者の看護　到達目標：　甲状腺機能障害の病態・検査・治療・看護について説明できる	予習：甲状腺機能障害の臨床病態学について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	久木元
12	がん看護について	予習：がんの臨床病態学について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	久木元
13	がんと化学療法を受ける患者の看護　到達目標：がんと化学療法について病態・検査・治療・看護などを説明できる	予習：がんの臨床病態学･化学療法について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	吉村
14	放射線療法を受ける患者の看護　到達目標：　放射線療法を受ける患者・家族を理解し、援助方法について説明できる。	予習：がんの臨床病態学･放射線療法について予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	放射線看護認定看護師
15	緩和ケアの看護と実際について　到達目標：　終末期にある患者･家族の心理的課題や予期的悲嘆を理解し､緩和ケアなどの援助方法について説明できる。	予習：終末期ケアや緩和ケアについて予習する（2 時間）　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	緩和ケア認定看護師
成績評価方法と基準			割合
１．筆記試験　　＊出題範囲：授業で扱った範囲とする　２．授業への参加　３．出席基準　　＊4/5 回以上の出席が必要　〈DP①③④〉			１．筆記試験　：70% ２．小テスト：30%（3 点×10 回）

授業科目名	成人看護援助論Ⅲ(看護)				
主担当教員	小林 妙子		担当教員	小林 妙子／吉村 弥須子／久木元 由紀子／宮本 佳子／八幡 久美子／木村 清子	
科目ナンバリング	AN20C204	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

急性期にある対象は突然の発症、健康状態の急激な変化により生命の危機的状況におかれている。急性期の看護においては対象を的確に把握しアセスメントするための基礎的知識、アセスメントに基づく計画的な実践が求められる。本科目ではこのような急性期にある対象およびその家族に必要な看護について学修する。

学修目標

1.急性期にある対象および家族の特性について説明できる。DP①③ 2.急性期にある対象および家族に必要な看護について説明できる。DP①③ 3.急性期にある対象に必要な看護技術についてロールプレイ・モデルを活用し実施できる。DP①③④ 4.心肺蘇生法についてモデルを活用し実施できる。DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.形態機能学、臨床病態学、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱを復習し、授業に臨む。 2.看護技術の演習の前には必ず事前学習を行い演習に臨む。 3.演習には積極的に参加する。 4.心肺蘇生法は必ず習得する。

教科書

・①益田美津美、明石恵子他編：新体系 看護学全書 経過別 成人看護学①急性期看護 クリティカルケア メヂカルフレンド社 ISBN：978-4-8392-3385-3 ・②嶌田 理佳、明石恵子他編：新体系看護学全書 経過別成人看護学②周手術期看護 メヂカルフレンド社 ISBN：978-4-8392-3386-0(2 年次に購入済) ・③鎌倉やよい、深田 順子：周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 医学書院 ISBN 978-4-260-05077-7（2 年次に購入済）

参考書

・北島泰子他編：急性期実習に使える！周術期看護ぜんぶガイド 照林社 ISBN 9784796524988 ・井上智子：パーフェクト臨床実習ガイド成人看護Ⅰ 照林社 ISBN：9784796523943 ・石塚睦子：よくわかる周手術期看護 学研 ISBN：978-4-7809-1272-2

研究室／オフィスアワー

小林：研究室東棟 17、随時相談可。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス 急性期の看護 到達目標: ①急性期にある対象および家族の特性･看護について説明できる。	予習：教科書①の第 1 章の確認(1 時間) 復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認（1 時間）	小林
2	心停止患者の看護 心肺蘇生法 到達目標: ①心肺停止状態にある対象の特性・一次救命処置・二次救命処置について説明できる。	予習：教科書①の p211～221 の確認(1 時間) 復習：授業をもとに教科書の確認（1 時間）	吉村
3	術前後の看護（術後ベッド・病室内の環境・DVT 予防と初回離床） 到達目標： ①術前後の看護が理解でき説明できる。	予習：教科書②の第 3 章の確認(1 時間) 復習：授業をもとに教科書の確認（1 時間）	木村
4	術前後の看護（術後観察・ドレーン管理・清潔ケア） 到達目標： ①術前後の看護が理解でき説明できる。	予習：教科書②の第 5 章の確認(1 時間) 復習：授業をもとに教科書の確認（1 時間）	小林
5	急性期の患者に必要な看護技術（演習①） 到達目標： ①BLS(Basic Life Support)アルゴリズムに基づく心肺蘇生法（AED の活用を含む）が実施できる（モデルの活用による）。	予習：演習フォーマットの記載準備（1 時間） 復習：演習で行ったことをもとに記録を追記・修正（1 時間）	吉村

6	術後の看護（演習②）　到達目標：　①術後１日目の対象に合わせた初回離床の方法について説明できる(ペーパーペイシェントの活用による)。	予習：演習フォーマットの記載準備（1 時間）　復習：演習で行ったことをもとに記録を追記・修正（1 時間）	木村
7	術前後の看護（演習③）　到達目標：　①術前後の看護をアセスメントに基づき実践するために、弾性ストッキングの着用方法・術後ベッド・病室内の準備が説明できる。	予習：演習フォーマットの記載準備（1 時間）　復習：演習で行ったことをもとに記録を追記・修正（1 時間）	木村
8	術後の看護（演習④）　到達目標：　①術直後の対象に対する身体状態の観察方法が説明できる（ペーパーペイシェントの活用による)。	予習：演習フォーマットの記載準備（1 時間）　復習：演習で行ったことをもとに記録を追記・修正（1 時間）	小林
9	急性循環機能障害と看護　到達目標：　①急性循環機能障害のある対象および家族の特性､看護について説明できる。	教科書①②の確認､臨床病態学Ⅲ､心臓の解剖生理､心筋梗塞の病態生理､心電図､モニタリングに用いる ME 機器について学習（1 時間）　復習：配布資料・教科書の確認、レポートの作成（1 時間）	救急・重症患者看護専門看護師
10	脳血管障害患者の看護　復習：配布資料・教科書の確認　①脳血管障害のある対象および家族の特性・看護について説明できる。	予習：教科書①②の確認(1 時間)　復習：授業をもとに教科書の確認、レポートの作成(1 時間)	摂食・嚥下障害看護認定看護師
11	急性呼吸機能障害と看護　到達目標：　①急性呼吸機能障害のある対象および家族への看護について説明できる。	予習：教科書①p138～148 の確認､呼吸器の解剖生理､臨床病態学Ⅲ､酸素吸入､人工呼吸器･気管内吸引について学習(1 時間)　復習：配布資料・教科書の確認（1 時間）	木村
12	クリティカルケアを受ける患者の看護　到達目標：　①クリティカルな状態にある対象および家族の特性・看護について説明できる。	予習：教科書①3 章の確認(1 時間)　復習：授業をもとに教科書の確認(1 時間)	小林
13	救急医療を受ける患者の看護　到達目標：　①救急医療を受ける対象および家族の特性･看護について説明できる。	予習：教科書の確認(1 時間)　復習：授業をもとに教科書の確認、レポートの作成(1 時間)	救急看護認定看護師
14	周手術期看護の看護　到達目標：　①クリニカルパス､術後の対象に合わせた退院指導について説明できる。	予習：教科書②6 章について学習（1 時間） 復習：配布資料・教科書の確認（1 時間）	小林
15	講義全体のまとめ	予習：第 1～14 回授業の復習(1 時間)　復習：講義と教科書､配布資料の確認(1 時間)	小林
成績評価方法と基準			割合
1. 演習課題レポート・レポート（ルーブリック評価）による評価（評価方法は授業中に説明する）<DP①③④>　2. 定期試験（筆記試験）による評価<DP①③④>　3. 4/5 回以上の出席が必要　【フィードバック方法】演習課題には必要に応じコメントを付記して返却する。			1. 40%　2. 60%

授業科目名	成人看護援助論Ⅳ(看護)				
主担当教員	久木元　由紀子		担当教員	久木元　由紀子／吉村　弥須子／宮本　佳子／小林　妙子／八幡　久美子／木村　清子	
科目ナンバリング	AN20C205	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

紙上事例をもとに患者の健康機能についてゴードンの機能的健康パターンを活用しながらアセスメント・分析し、看護上の問題の抽出および個別性に応じた看護計画を立案する。　慢性的な経過をたどる対象の身体的・精神的・社会的側面において、家族を含めた特徴を理解し、対象を取り巻く社会環境や家族看護の視点を含め QOL を向上できるような看護について学修する。　成人期慢性疾患患者の特性や多様性について、豊かな感性と洞察力をもって理解・共感するために必要な内容を学修する。　慢性疾患患者に対する看護技術の演習を通して、セルフマネジメントに必要な知識・技術について学修する。

学修目標

1．慢性期の事例患者の情報を整理し、ゴードンの機能的健康パターンを用いてアセスメント･分析を行い、発表できる。<DP①③> 2．事例患者の情報分析をもとに関連図に描きながら看護上の問題を抽出することができる。<DP①③④> 3．看護上の問題の解決に向けて実現可能な目標を設定し、個別性に応じた看護計画を立案し発表できる。<DP①③④> 4．慢性期にある患者の身体･心理･社会的特徴を知り、病気を持ちながら生活する人の困難やその人らしく生活するとは何かを説明できる。<DP①③④> 5．慢性期にある人の心理や社会的特徴を知り、病気を持ちながら生活する人の困難やその人らしく生活するとは何かを説明できる。<DP①③④> 6．慢性期にある人とその家族に対する看護援助が実践できる。<DP①③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．形態機能学、臨床病態学、成人看護学概論の復習をして授業に臨む。 2．病気と共にその人らしく生活ができるようセルフケアの方法を学ぶ。 3．事前課題や事後課題にレポートについては授業や MORIPA にて連絡する。課題には主体的・積極的に取り組むこと。 4．ゲストスピーカーの授業に関する連絡は授業や MORIPA にておこなう。 5．課題発表には積極的に参加すること。

教科書

・編集　鈴木久美/旗持知恵子/佐藤直美　成人看護学　慢性期看護　改訂第 4 版　南江堂

参考書

授業内で提示する

研究室／オフィスアワー

八幡：水曜日 16 時 10 分～17 時（西棟 235）　久木元：水曜日 16 時 10 分～17 時（さくら棟 11）　宮本：水曜日 16 時 10 分～17 時（西棟 335）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	担当教員紹介､教科のガイダンス　看護過程について①　(課題説明/事例紹介/ゴードンの 11 の機能的健康パターンについて)	予習：2 年次で学修した慢性期の看護の振り返りをする　(2 時間)　復習：本日の学修の振り返りと事例情報に対する学修（2 時間）	久木元
2	看護過程について②　脳梗塞疾患と看護　脳梗塞の病態、症状マネージメント、増悪因子のコントロールと生活の再調整などの理解を深める	予習：2 年次の脳梗塞の講義/病態について復習をする　(2 時間)　復習：本日の学修の振り返りと事例情報に対する学修（2 時間）	宮本
3	看護過程について③　ゴードンの 11 の機能的健康パターン：健康知覚、自己知覚　慢性期看護の	予習：事前課題の学修をする　(2 時間) 復習：ゴードンの 11 の機能的健康パター	八幡

	視点：セルフケア、学習能力、行動変容、病みの軌跡、ボディイメージ、障がい受容	ンの情報分析	
4	看護過程について④　ゴードンの 11 の機能的健康パターン：栄養、排泄　慢性期看護の視点：誤嚥、感染、便秘	予習：事前課題の学修をする　(2 時間) 復習：ゴードンの 11 の機能的健康パターンの情報分析	宮本
5	看護過程について⑤　ゴードンの 11 の機能的健康パターン:活動､睡眠　慢性期看護の視点:ADL、セルフケア不足、誤嚥性肺炎、高血圧、リハビリテーション	予習：事前課題の学修をする（2 時間） 復習：ゴードンの 11 の機能的健康パターンの情報分析	久木元
6	看護過程について⑥　ゴードンの 11 の機能的健康パターン：認知、役割、性、コーピング、価値 慢性期看護の視点：家族、その人らしい生活	予習：事前課題の学修をする　(2 時間) 復習：ゴードンの 11 の機能的健康パターンの情報分析	八幡
7	看護過程について⑦　看護問題の抽出(関連図提出)　血糖測定演習オリエンテーション	予習：事前課題の学修をする　(2 時間) 復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	全員
8	看護過程について⑧　看護計画の立案	予習：事前課題の学修をする　(2 時間) 復習：看護計画の立案と発表の準備を行う（2 時間）	全員
9	看護過程について⑨　看護計画の発表	予習：発表の準備をする　(2 時間)　復習：発表内容を振り返る（2 時間）	全員
10	自己血糖測定・インスリン自己注射演習	予習：演習項目に関する実施計画の立案（2 時間)　復習：演習内容に関する課題レポート作成（2 時間）	全員
11	自己血糖測定・インスリン自己注射演習	予習：演習項目に関する実施計画の立案（2 時間)　復習：演習内容に関する課題レポート作成（2 時間）	全員
12	成人期の慢性疾患患者のリハビリテーション ①理学療法士の役割と活動内容・評価、看護師との連携　②運動器疾患や麻痺など生活機能障害のある成人患者を中心としたリハビリテーション　③慢性期におけるリハビリテーションとチームアプローチ	予習：事前課題の学修をする（2 時間)　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	ゲストスピーカー
13	障がいについて考える（ギランバレー症候群） 障がいを持つ人の特徴と病気を持ちながら生活する人の困難やその人らしく生活するとは何かを理解する	予習：事前課題の学修をする（2 時間)　復習：本日の学修を振り返る（2 時間）	ゲストスピーカー
14	患者教育（指導案作成）	予習：事前課題の学修をする（2 時間)　復習：患者教育を振り返る（2 時間）	八幡
15	臨床推論入門	予習：これまで学修した病態生理や成人看護の講義内容を学修する	久木元
成績評価方法と基準			割合
１．演習課題レポートの取り組み　　＊看護過程および演習における課題、演習の取り組み状況を評価する　　＊提出期限や作成方法は授業内で説明する　２．筆記試験　　＊出題範囲；授業で扱った範囲とする　３．出席基準　　＊4/5 回以上の出席が必要　〈DP①③④〉			1．演習・レポートの取り組み：　50% 2．筆記試験　：50%

授業科目名	老年看護学概論（看護）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／川添　英利子／寺田　美和子	
科目ナンバリング	GN20C206	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

老年期を生きる人々を多角的にとらえ、発達課題について学ぶ。老年期の特徴や加齢に伴う心身の諸機能の変化と生活への影響を理解し、高齢者ケアにおける看護の役割とその活動を概観する。特に高齢者の健康障害や生活の質を尊重した看護、ライフスタイルを考慮した生活支援、高齢者の QOL や権利擁護などのケアの基本的な視点や考え方を学修する。また、高齢社会における保健医療福祉サービスの現状や家族支援等を学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 老年期を生きるとは何かについて説明できる。DP①④ 2. 高齢者の心身の変化とその生活に与える影響について理解できる。DP①④ 3. 老年期を生きる高齢者の発達課題と成熟について理解できる。DP①④ 4. 高齢者や家族のニーズと保健医療福祉サービスの現状と課題について説明できる。DP①④ 5. 高齢者の権利擁護と倫理的課題について理解することができる。DP①③④ 6. 老年看護に活用できる理論について理解できる。DP①④ 7. 老年看護のあり方とその役割について説明できる。DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 配布された講義資料は必ず目を通しておくこと。 2. 出席および授業中の態度は重視する。 3. 身近な高齢者の生活や、高齢者に関するメディア等の情報を通して看護を考えてみること。

教科書

老年看護学概論　正木治恵他　南江堂　ISBN: 978-4-524-26062-1

参考書

老年医学系統講義テキスト　日本老年医学会　西村書店　ISBN：978-4-89013-430-4　北川公子他　「系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学」　第 9 版　医学書院　ISBN: 978-4-260-03186-8

研究室／オフィスアワー

外村昌子　west port3 階 331 研究室／前期(水曜５限)　寺田美和子　west port3 階 336 研究室／前期(水曜５限)
川添英利子　sakura port5 階合同研究室／前期(水曜５限)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教科ガイダンス　第 1 章　老年看護学を理解するための基盤	予習：シラバスと老年看護学のテキスト「第 1 章」を読んでくる　復習：配付資料を確認する　自己学修 2 時間	外村
2	第 2 章　老年看護の理念と目標	予習：教科書の「第 2 章」高齢社会の統計的傾向、介護保険についてテキストを読んでおく　復習：配付資料を復習する　自己学修 2 時間	外村
3	第 3 章　①老年看護に活用できる理念・概念	予習：教科書の「第 3 章」を読んでおく　復習：配付資料を復習する　自己学修 2 時間	外村
4	第 3 章　②老年看護に活用できる理念・概念	予習：教科書の「第３章」を読んでおく　復習：配付資料を復習する　自己学修 2 時間	外村
5	第 4 章　老年看護の対象理解	予習：教科書の第４章を読んでおく　復習：配付資料を復習する　自己学修 2 時間	寺田
6	ライフヒストリーを聴く　グループインタビュー	予習：教科書のライフヒストリーについて読んでおく。質問内容を考える　復習：質	外村

		問への解答をまとめる　自己学修 2 時間	
7	ライフヒストリーまとめ　グループ発表	予習：まとめた内容を確認しておく　復習：学びのレポートを作成する　自己学修 2 時間	外村
8	第 5 章　対象把握のためのアセスメント	予習：教科書の第 5 章を読んでおく　復習：配布資料を復習する　自己学修 2 時間	寺田
9	第 6 章　高齢者の健康維持・回復への支援	予習：　復習:配布資料を復習する　自己学修 2 時間	外村
10	第 7 章　高齢者の療養生活の支援	予習:教科書の第 7 章を読んでおく　復習:配布資料を復習する　自己学修 2 時間	寺田
11	認知症サポーター養成講座	予習:事前配布資料を読んでおく、認知症について調べておく　復習：配布資料を復習する　自己学修 2 時間	外村
12	第 8 章　災害時の高齢者への支援	予習:教科書の第 10 章を読んでおく　復習:配布資料を復習する　自己学修 2 時間	川添
13	高齢者疑似体験①	予習:事前資料を読んでおく　復習:配付資料を復習する　　自己学修 2 時間	全員
14	高齢者疑似体験②	予習:配布資料を読み、高齢者の身体変化について復習しておく　復習：演習のふり返り、課題を記載する。　自己学修 2 時間	全員
15	まとめ	予習：全体を通しての質問事項などをまとめておく　復習：課題を復習する　自己学修 2 時間	外村　寺田　川添
成績評価方法と基準			割合
①定期試験　DP1～２　＊出題範囲：授業で扱った範囲　②レポート　DP1　　＊授業時間内にテーマを示します。　提出期限・作成方法は授業内で説明します。評価基準はルーブリックを提示します。　③授業中に行う小テスト　DP1　＊授業内で採点し、解説します。　上記を合計し 60 点以上で単位認定する。　なお、2/3 以上の出席が必須である。			①60%　②20%　③20%

授業科目名	老年看護援助論Ⅰ（看護）					
主担当教員	寺田　美和子		担当教員		寺田　美和子／外村　昌子／川添　英利子	
科目ナンバリング	GN20C207	科目区分			ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	月曜 5 限
授業形態		単位数	1 単位		必修･選択	

授業概要

高齢者の特徴を身体的、心理,精神的、社会的側面から学ぶ。　加齢による変化や健康障害が日常生活に与える影響を理解し、アセスメントの視点について学ぶ。　高齢者やその家族とのコミュニケーション及び関係の成立について理解し、あらゆる健康障害に応じた看護のあり方を学ぶ。

学修目標

１．老年期特有の健康障害や生活機能障害のアセスメントの視点を理解できる③④　2.　健康障害や生活機能をもつ高齢者の健康レベルに応じた看護及び他職種の連携について理解できる①②④　３．認知症をもつ高齢者の理解と看護の方法について理解できる①④　４．終末期における高齢者とその家族の援助について理解できる①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

予め履修が望ましい教科目　　老年看護学概論　１．　配布資料は必ず熟読する　２．　出席および授業中の態度は重視する　３．　身近な高齢者の生活を通して看護を考えてみること

教科書

真田弘美他 著「老年看護学技術」改定第 4 版　南江堂

参考書

１.鳥羽研二他著　「系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護病態・疾患論」第 5 版　医学書院

研究室／オフィスアワー

寺田美和子　west port3 階 336 研究室／後期金曜 16 時 30 分～17 時 30 分　　外村昌子　　west port3 階 332 研究室／後期金曜 16 時 30 分～17 時 30 分　　川添英利子　sakura port5 階 17 研究室／後期金曜 16 時 30 分～17 時 30 分

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教科ガイダンス　現代の高齢者とその理解/ヘルスアセスメント　呼吸、循環、体温	予習：教科書のヘルスアセスメント　呼吸、循環、体温　を読んでおく。 復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	寺田
2	高齢者の生活と看護/食事、摂食・嚥下障害、脱水、低栄養	予習：教科書の食事、摂食・嚥下障害、脱水、低栄養を読んでおく。　復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	川添
3	高齢者に特徴的な症状と看護/尿失禁、便秘、下痢、清潔	予習：教科書の排泄、尿失禁、便秘、下痢、清潔を読んでおく。　復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	寺田
4	高齢者の生活と看護/動作と移動、睡眠、コミュニケーション、性	予習：教科書の動作と移動、睡眠、コミュニケーション、性を読んでおく。　復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間） 教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	外村
5	高齢者に特徴的な症状と看護/起立・歩行障害、感覚機能障害	予習：教科書の起立・歩行障害、感覚機能障害を読んでおく。　復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	外村
6	高齢者に特徴的な症状と看護/転倒、骨折　高齢者に特徴的な疾患と看護/大腿骨頸部骨折　寝たきり	予習：教科書の転倒、骨折、大腿骨頸部骨折、寝たきりを読んでおく　復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	川添
7	高齢者に特徴的な症状と看護/皮膚掻痒感､痛み、褥瘡、感染症	予習：教科書の皮膚掻痒感、痛み、褥瘡、感染症を読んでおく　復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	寺田

8	高齢者に特徴的な症状と看護/ 歯科疾患の理解（ゲストスピーカー）	予習：教科書の摂食・嚥下障害を読んでおく。 復習：教科書、資料の確認（自己学修1時間）	外村
9	高齢者に特徴的な症状と看護/不眠、うつ、せん妄	予習：教科書の不眠、うつ、せん妄を読んでおく。 復習：教科書、資料の確認（自己学修1時間）	寺田
10	高齢者に特徴的な症状と看護/パーキンソンダンス（ゲストスピーカー）	予習：教科書のパーキンソン病を読んでおく 複習：教科書、資料の確認（自己学修1時間）	寺田
11	高齢者に特徴的な疾患と看護/認知機能障害の看護（アルツハイマー病）	予習：教科書の認知機能障害の看護（アルツハイマー病）を読んでおく 複習：教科書、資料の確認（自己学修1時間）	寺田
12	高齢者に特徴的な疾患と看護/慢性閉塞性肺疾患	予習：教科書の慢性閉塞性肺疾患を読んでおく 復習：教科書、資料の確認（自己学修1時間）	川添
13	高齢者に特徴的な疾患と看護/慢性心不全	予習：教科書の慢性心不全を読んでおく 復習：教科書、資料の確認（自己学修 1 時間）	川添
14	高齢者に特徴的な疾患と看護/胃がん・大腸がん	予習：教科書 急性期の看護（胃がん）、緩和ケア（大腸がん）を読んでおく 復習：教科書、資料の確認（自己学修1時間）	外村
15	緩和ケアとエンドオブライフケア	予習：教科書 緩和ケア（大腸がん）を読んでおく 復習：教科書、資料の確認（自己学修1時間）	外村
成績評価方法と基準			割合
4/5 回以上の出席が必要 ①筆記試験（60%） ②レポート（20%） ③課題提出（20%） 上記①、②、③の 60%以上で単位認定する。 DP①②④			①60% ②20% ③20%

授業科目名	老年看護援助論Ⅱ(看護)					
主担当教員	川添　英利子		担当教員		川添　英利子／外村　昌子／寺田　美和子	
科目ナンバリング	GN20C208	科目区分			ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 5 限
授業形態		単位数	1 単位		必修･選択	

授業概要

高齢患者の看護過程の展開、健康障害のある高齢者の特徴とそれらに応じた生活援助技術について学修することで、高齢者やその家族の QOL を高めるための看護支援方法について考える力を養うことができる。講義とシミュレーション形式で行い、老年看護に必要な看護援助を体験することで技術を習得する。

学修目標

1.　高齢者ケアの基本・リスクマネジメントについて理解できる。　①③　2.　高齢患者の事例展開を通して看護過程が理解できる。①③④　3.　生活機能障害がある高齢者の生活援助技術について理解できる。①③④　4.　認知症高齢者と家族の看護、コミュニケーション方法について理解できる。①③④　5　高齢者のアクティビティケアについて理解できる。①③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

予め履修が望ましい教科目:老年看護概論, 老年看護援助論Ⅰ　1.　講義は教科書を中心にして、参考書やプリント、視覚教材としてパワーポイントを用いて行う。　2.　演習は主に実習室で行う。　　・技術演習時は指定の服装に着替えた上で受講する。事前にアナウンスがあるため確認する。　　・事前課題が未提出の場合は技術演習に出席できない。　3.　出席と授業中の態度などは成績評価に加味する。

教科書

看護学テキスト NiCE「老年看護学技術　最後までその人らしく生きることを支援する」真田弘美/正木治恵 編集/南江堂 ISBN　978-4-524-26063-8

参考書

1.　「基本から学ぶ看護過程と看護診断」Rosalinda Alfaro-LeFevre 著（本郷 久美子監訳）/医学書院　ISBN-13 : 78-4260016896　2.　「看護診断ハンドブック　」Lynda Juall Carpenito 著(黒江ゆり子監訳)/医学書院　ISBN : 978-4-260-03451-7　3.　「看護がみえる vol.4 看護過程の展開　」医療情報科学研究所編集（発行者岡庭豊）/メディックメディア　ISBN :978-4-89632-801-1　4.　「カ

研究室／オフィスアワー

外村昌子　　west port3 階 331 研究室／前期(水曜５限)　　寺田美和子　west port3 階 336 研究室／前期(水曜５限)
川添英利子　sakura port5 階合同研究室／前期(水曜５限)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教科ガイダンス　高齢者ケアの基本･リスクマネジメント	予習：シラバス、教科書の確認 老年期の援助技術について教科書などで予習 しておく。　復習:講義資料を確認する。　自修時間 1 時間	川添
2	生活援助技術(1)　障害のある高齢者のポジショニング	予習：高齢者の姿勢と体位変換、体圧分散ケアについて教科書などで予習する。　復習：講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川 添　外 村　寺田
3	生活援助技術(2)　障害のある高齢者への移乗・移動援助	予習：高齢者の動作・移乗について教科書などで予習する。　復習：講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川 添　外 村　寺田
4	生活援助技術(3)　障害のある高齢者の口腔ケアと食事援助 No1	予習：高齢者の口腔ケアについて教科書などで予習する。　復習：講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川 添　外 村　寺田

5	生活援助技術(3)　障害のある高齢者の口腔ケアと食事援助 No2	予習：高齢者の摂食・嚥下障害について教科書などで予習する。　復習：講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川 添　　外 村 寺田
6	生活援助技術(4)　障害のある高齢者の清潔援助と排泄援助 No1	予習：高齢者の清潔について教科書などで予習する。　復習：講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川 添　　外 村 寺田
7	生活援助技術(4)　障害のある高齢者の清潔援助と排泄援助 No2	予習：高齢者の排泄について教科書などで予習する。　復習：講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川 添　　外 村 寺田
8	認知症高齢者と家族の看護実践	予習:認知症高齢者の看護、家族サポートについて教科書などで予習しておく。　復習：講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	外部講師
9	看護過程の概要	予習：看護過程の概要について予習しておく。　復讐：講義資料を確認、事前課題を作成する。　自修時間 1 時間	川添
10	看護過程の展開	予習：看講義資料を基に事例を用い展開する。　復習:自身の看護過程の展開を振り返る、事前課題を作成する。　自修時間 1 時間	川添　外村 寺田
11	看護過程の展開	予習：看講義資料を基に事例を用い展開する。　復習:自身の看護過程の展開を振り返る、事前課題を作成する。　自修時間 1 時間	川添　外村 寺田
12	アクテイビテイケア	予習:「高齢者のヘルスアセスメント」「心身の活動性を高めるケア」について教科書で予習しておく。　復習:講義資料の確認とレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川添　外村 寺田
13	アクテイビテイケアの実際	予習:講義資料を確認する。　復習：演習内容の振り返りとレポートを作成する。　自修時間 1 時間	川添　外村 寺田
14	看護過程の展開	予習：看講義資料を基に事例を用い展開する。　復習:自身の看護過程の展開を振り返る、事前課題を作成する。　自修時間 1 時間	川添　外村 寺田
15	看護過程の展開	予習：看講義資料を基に事例を用い展開する。　復習:自身の看護過程の展開を振り返る、事前課題を作成する。　自修時間 1 時間	川添　外村 寺田
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験 DP①④　②看護過程課題　DP①④　③演習レポート（事前課題含む）　DP①③④　筆記試験(40%)、看護過程課題(40%)、演習レポート（事前課題含む）20%　上記の平均点の結果、60 点以上で単位認定をする。なお、4/5 回以上の出席が必要。			①40%　②40% ③20%

授業科目名	母性看護学概論（看護）				
主担当教員	齋藤　雅子		担当教員	齋藤　雅子／勝田　真由美／三宅　知里	
科目ナンバリング	MN20C209	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生命の起源である発生・受精・分化から、生命誕生の仕組みを知り、生きることの尊さ、 体と性の働きを理解した「性別」や「性差」をもつ個そして human sexuality について学修する。　性と生殖に関する健康と権利「リプロダクティブヘルス・ライツ」の視点から、女性の各ライフステージにおける生涯を通じた健康課題ならびに健康支援について学修する。健康な女性の性周期に伴う内分泌、身体、心理的変化と影響を理解し、周産期における身体的・心理社会的変化と適応にむけて学修する。

学修目標

1.母性看護の基盤となる概念を理解できる。(DP①)　2.母性看護に関わる法律や施策から日本の社会の変遷と現状を理解できる。(DP①)　3.母性看護の役割、法的責任と倫理について説明できる。(DP①)　4.各ライフステージにおける女性におこりやすい性と生殖に関する形態と機能を理解し、女性と家族を支援するための基礎的知識を理解できる。(DP①)　5.日本の産育習俗の意味、目的、ゆえんをグループワークし、お産と文化との関係を理解する。(DP①)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・全ての人は性と生殖に関する健康を享受する権利を持っています。人の生と性、生殖、次世代を育む家族について理解するための母性看護学の基礎的科目になります。　・いのちへの尊厳、豊かな看護観が醸成されることを期待します。

教科書

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学［1］　母性看護学概論　医学書院

参考書

1.ナーシング・グラフィカ　母性看護学①　概論・リプロダクティブヘルスと看護　メディカ出版　2.母性看護学①　母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護　メジカルフレンド社

研究室／オフィスアワー

齋藤研究室　西棟 238、三宅研究室　西棟 235　アポイントメントで可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、母性看護学の概要（4 月 7 日）	予習：形態機能学で既習した受精から着床、女性の性周期とホルモンの学習（1.5H）　復習：本日授業（1.5H）	齋藤
2	母性看護学の基盤となる概念①:母性とは、母性看護の理論・概念（4 月 14 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	齋藤
3	母性看護の基盤となる概念②:母性看護のあり方と生命倫理（4 月 21 日）	・予習：該当する教科書範囲(1.5H)　・復習：本日授業（1.5H）	齋藤
4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状①:母性看護の変遷と母子保健統計（4 月 28 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	ゲストスピーカー　木野
5	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状②:母性看護に関する組織と法律、施策（5 月 12 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	ゲストスピーカー　木野
6	母性看護の対象理解：性周期と妊娠の成立（5 月 19 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	非常勤講師　三宅
7	早産児の子育て支援と当事者の体験の体験レポート作成・提出（5 月 26）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・授業中：レポートの作成　・復習：本日授業（1.5H）	ゲストスピーカー渡邉他
8	母性看護の対象理解②:ジェンダー･性同一性（6 月 2 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	ゲストスピーカー　木野

9	女性のライフサイクルと健康課題　ー思春期～更年期ー　（6 月 9 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	勝田
10	日本の虐待の現状と母子関係・愛着（6 月 19 日 5 時限）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	ゲストスピーカー　笠松
11	リプロダクティブヘルスケア:家族計画と性感染症（6 月 23 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	非常勤講師　三宅
12	Baby Friendly Hospital　(BFH)の認定施設の地域での親子の継続的な支援　（6 月 30 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	ゲストスピーカー　永谷
13	お産と文化：グループワーク　（7 月 7 日）	・予習：該当する教科書範囲（1.5H）　・復習：本日授業（1.5H）	齋藤
14	お産と文化：グループワーク発表①	予習：発表の準備（1.5H）　復習：本日授業（1.5H）	齋藤
15	お産と文化②グループワーク発表②	予習：発表の準備、これまでの疑問点・自己学習で理解できない点について、質問できるように準備する（1.5H）　復習：本日授業（1.5H）	齋藤
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験（DP①）　　出題範囲：授業で扱った範囲　　テストは返却しませんが、希望者には評価を開示します。　2.　レポート（DP1）　　提出期限・作成方法は授業内で説明します。　　評価基準は授業内でルーブリックを提示します。　　レポートは返却しませんが、希望者には評価を開示します。　3.　グループワーク発表および成果物（DP1）　　提出期限・作成方法は授業内で説明します。　　評価基準は授業内でルーブリックを提示します。　　成果物は返却しませんが、希望者には評価を開示します。　　＊評価には、2/3			1.60%　2.20%　3.20%

授業科目名	母性看護援助論Ⅰ（看護）				
主担当教員	齋藤　雅子		担当教員	齋藤　雅子／勝田　真由美／清水　理恵／三宅　知里／田中　宏幸	
科目ナンバリング	MN20C210	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜2限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

周産期における妊産褥婦および新生児の基礎的知識を修得し、母子と家族の支援について学修する。

学修目標

1.妊娠・分娩・産褥期の正常な身体的・心理的・社会的変化とその適応を理解する。<DP①④>　2.妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児の健康を向上するための看護の必要性を理解する。<DP①④>　3.妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における正常からの逸脱を予防し、より良い経過を促進するための看護を理解する。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義でなく演習授業であることを自覚し、主体的に授業に参加してください。　授業中の私語やメール等には厳しく対処します。

教科書

1.母性看護学〈2〉マタニティサイクル―母と子そして家族へのよりよい看護実践（看護学テキストNiCE）南江堂

参考書

病気がみえる　vol.10　産科　メディックメディア　　ナーシング・グラフィカ　母性看護学③母性看護技術　メディカ出版　根拠がわかる母性　看護技術　南江堂

研究室／オフィスアワー

齋藤研究室　西棟238、清水研究室　西棟533、三宅研究室　西棟235　アポイントメントで可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、母性看護概論授業の復習、妊娠期の概観（10月7日）	予習：前期に既習した母性看護概論を復習しておく（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	齋藤
2	妊娠期　妊娠とは､妊娠にともなう生理的変化と胎児の健康状態アセスメント（10月14日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	齋藤
3	妊娠期　親になっていく過程のアセスメント援助（10月21日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	齋藤
4	妊娠期　正常からの逸脱（10月28日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	非常勤講師田中
5	妊娠期・分娩期　胎児心拍陣痛図（CTG）と胎児の健康状態のアセスメントと看護）（11月4日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	非常勤講師田中
6	分娩期の概観、分娩とは（11月11日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	清水
7	分娩期　正常分娩の経過とアセスメントと援助（11月18日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	清水
8	分娩期　正常からの逸脱と看護　　妊娠期･分娩期の振り返り小テスト	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）　復習：本日の授業内容（0.5H）	齋藤　清水
9	産褥期　産褥期の概観と産褥の経過（12月2日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）復習：本日の授業内容（0.5H）	非常勤講師三宅
10	産褥期　産褥期の身体状態のアセスメントと援助、親になっていく過程のアセスメントと援助（12月9日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）復習：本日の授業内容（0.5H）	非常勤講師三宅
11	産褥期　母乳育児支援（12月16日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H）復習：本日の授業内容（0.5H）	ゲストスピーカー　渡邊

12	産褥期　正常経過からの逸脱　帝王切開を受ける妊産褥婦の看護（12 月 23 日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H） 復習：本日の授業内容（0.5H）	非常勤講師 三宅
13	新生児　新生児とは、新生児の生理的特徴（1 月 6 日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H） 復習：本日の授業内容（0.5H）	齋藤
14	新生児　新生児の子宮外生活適応のアセスメントと援助（1 月 13 日）	予習：該当する教科書の範囲を予習（0.5H） 復習：本日の授業内容（0.5H）	齋藤
15	新生児　新生児の正常経過からの逸脱と看護、新生児の事故防止と安全　産褥・新生児期の振り返り小テスト	予習：該当する教科書の範囲を予習 これまでの疑問点・自己学習で理解できない点について、復習し、質問できるように準備する。　復習：本日の授業内容（0.5H）	齋藤　非常勤講師　三宅
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験（DP①④）　出題範囲：授業で扱った範囲を開示します。　2.授業中に行う小テスト 2 回（DP①④）　出題範囲：授業内で説明します。　小テストは返却しませんが、テスト時に解答を開示します。　希望者には評価を開示します。　＊2/3 以上の出席を必要とする。			1.60%　2.40%

授業科目名	母性看護援助論Ⅱ(看護)				
主担当教員	三宅 知里		担当教員	三宅 知里／齋藤 雅子／勝田 真由美／清水 理恵	
科目ナンバリング	MN20C211	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜3限、金曜4限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

人間のライフサイクルにおける性と生殖について基礎的知識を修得し、産み育てる女性の健康支援について学修する。

学修目標

1. ウェルネスの看護過程に基づき、看護を展開できる。(DP1, 4) 2. 事例を通してヘルスアセスメントを行い、健康レベルを評価できる。(DP1, 4) 3. 妊娠・分娩・産褥期における女性と新生児の健康を向上するための看護を理解できる。(DP1, 4) 4. 妊娠・分娩・産褥期における女性と新生児の正常からの逸脱を予防し、より良い経過を促進するための看護を理解できる。(DP1, 4)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 演習は、口頭試問で基礎的知識を確認しながら実施するため、事前学習すること。 2. 授業展開および授業計画書の内容を確認し、該当する授業内容について30分の予習を行うこと。 3. 適切な身だしなみは、臨地実習要綱に準ずるものとする 4. 授業後は30分の復習を行うこと。

教科書

1. 大平光子(編). 母性看護学〈2〉マタニティサイクル:母と子そして家族へのよりよい看護実践 (看護学テキストNiCE). 南江堂. 2. 病気がみえる vol.10:産科. メディックメディア. 3. 森恵美(編). 系統看護学講座 専門分野II 母性看護学[1] 母性看護学概論. 医学書院. 4. 荒木奈緒(編). 母性看護技術 (ナーシンググラフィカ 母性看護学(3)). メディカ出版. (1. 2. 3購入済)

参考書

1. 平澤美恵子ら. 写真でわかる母性看護技術 褥婦・新生児の観察とケア、母乳育児を理解しよう!. インターメディカ.

研究室／オフィスアワー

〈研究室〉三宅:W235研究室、齋藤:W238研究室、清水:W533研究室 アポイントメントで可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、ウェルネス看護過程:ウェルネス看護過程とは 、健康教育について	予習:シラバスを読む、母性看護援助論Iの復習(0.5H) 復習:本時の授業内容(0.5H)	三宅・齋藤・清水
2	ウェルネス看護過程:妊娠期の事例紹介、健康状態のアセスメント	予習:看護過程の復習(0.5H) 復習:本時の授業内容、課題を行う(0.5H)	三宅・清水
3	ウェルネス看護過程:産褥期および新生児の事例紹介、看護計画の立案	予習:看護過程の予習(0.5H) 復習:本時の授業内容、看護計画の立案(0.5H)	三宅・清水
4	妊婦の看護にかかわる技術(妊婦モデルのシミュレータを 用いた妊娠期の観察)演習① 胎児の健康評価CTG判読に関する技術含む	予習:該当する範囲の予習(0.5H) 復習:本時の授業内容(0.5H)	三宅・斎藤・清水
5	妊婦の看護にかかわる技術(妊婦モデルのシミュレータを 用いた妊娠期の観察)演習② 胎児の健康評価CTG判読に関する技術含む	予習:該当する範囲の予習(0.5H) 復習:本時の授業内容(0.5H)	三宅・斎藤・清水
6	新生児の看護計画の発表	予習:発表の準備(0.5H) 復習:本時の授業内容(0.5H)	三宅・清水
7	新生児の看護にかかわる技術 (新生児の観察)演習①	予習:該当する範囲の予習(0.5H) 復習:本時の授業内容(0.5H)	三宅・清水

8	新生児の看護にかかわる技術（新生児の看護）演習②	予習：該当する範囲の予習（0.5H）　復習：本時の授業内容（0.5H）	三宅・清水
9	地域母子支援：母子を対象とした健康教育計画グループワーク	予習：発表準備（0.5H）　復習：健康教育計画書の修正および本時の授業内容（0.5H）	三宅・斎藤・清水
10	褥婦の看護計画の発表	予習：発表の準備（0.5H）　復習：本時の授業内容、看護計画の修正（0.5H）	三宅・清水
11	褥婦の看護にかかわる技術(褥婦モデルのシミュレータを 用いた産褥期の観察）演習①	予習：該当する範囲の予習（0.5H）　復習：本時の授業内容（0.5H）	三宅・斎藤・清水
12	褥婦の看護にかかわる技術(褥婦モデルのシミュレータを 用いた産褥期の看護）演習②	予習：該当する範囲の予習（0.5H）　復習：本時の授業内容（0.5H）	三宅・斎藤・清水
13	褥婦の看護にかかわる技術(褥婦モデルのシミュレータを 用いた産褥期の看護）演習②	予習：該当する範囲の予習（0.5H）　復習：本時の授業内容（0.5H）	三宅・清水
14	地域母子支援:母子を対象とした健康教育計画のデモストレーション	予習：デモストレーションの準備（0.5H） 復習：健康教育内容の修正（0.5H）	三宅・斎藤・清水
15	ウェルネス看護過程:帝王切開を受ける女性の看護	予習：該当する範囲の予習（0.5H）　復習：本時の授業内容（0.5H）	三宅
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験（DP1）　出題範囲：授業で扱った範囲。テストは返却しない。希望者には評価を開示する。　2. 課題・演習の成果物の評価（DP1, 4）　評価基準は、授業内でルーブリックを提示する。成果物は返却しない。希望者には評価を開示する。　※4/5 以上の出席を必要とする。			1. 60%　2. 40%

授業科目名	小児看護学概論（看護）				
主担当教員	黒岩　志紀		担当教員	黒岩　志紀／山岡　直子	
科目ナンバリング	PN20C212	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

小児看護学概論は、小児看護学における最初の講義となる。小児看護の理念，歴史的変遷と意義，小児の人権の尊重について学び，子どもの権利を擁護する小児看護のあり方について理解し，子どもを主体とした小児看護を修得する。　本格的な少子高齢社会を迎えて，子どもを取り巻く環境は急速に変化している。子どもの健康問題や子ども取り巻く社会・医療の現状と小児看護の課題．子どもを守る法律と施策を学習し、小児看護のもつ課題について考察することにより、これからの小児看護が果たす役割を理解する。　小児看護で用いられる理論，子どもの成長・発達の特徴を学び，小児看護の対象である子どもとその家族について理解を深めることができる。そして子どもと家族の発達課題，成長発達を支援する看護が実践できるようになる。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1.小児看護の目的･役割について説明することができる。<DP①>　2.子どもの成長･発達と発達課題を説明することができる。<DP①>　3.小児看護における代表的な発達理論の概要を説明することができる。<DP①>　4.子どもの各期の特徴を総合的に説明することができる。<DP①>　5.子どもと家族を取り巻く社会と特徴的な問題について説明することができる。<DP①>　6.子どもの権利や倫理について考えを述べることができる。<DP①>　7.健康障害や健康問題、入院が小児と家族に与える影響を説明することができる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.自分の子ども時代の記憶を振り返り、身の回りの子どもの姿や行為、行動を観察する。　2.メディアで扱われる子どもに関する報道に関心をもち、背景や意味を考える。

教科書

松尾宣武・濱中喜代編　新体系看護学全書　小児看護学①小児看護学概論　小児保健　メヂカルフレンド社　第６版

参考書

小野寺 敦子「手にとるように発達心理学がわかる本」かんき出版　　舟島 なをみ　「看護のための人間発達学」医学書院　奈良間 美保「小児看護学概論　小児看護学総論」医学書院　中野 綾美「小児の発達と看護」ナーシンググラフィカ

研究室／オフィスアワー

W234 研究室（黒岩志紀）/月曜日 14：30～16：00　E4 階 16 研究室（山岡直子）/月曜日 14：30～16：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　小児看護学とは　１）小児看護の対象と目的・役割　２）小児看護の場と特徴	予習：シラバス・該当する内容を教科書で確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
2	小児看護、医療における諸統計とその変遷・展望	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
3	小児の形態機能学１　1）成長･発達の概念と定義　2）系統臓器別形態機能	予習：該当するテキストの内容を確認する形態機能学の復習をする(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
4	小児の形態機能学 2	予習：該当するテキストの内容を確認する形態機能学の復習をする(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
5	小児看護における概念と理論 1	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認	黒岩

		(1.0H)	
6	小児看護における概念と理論 2	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
7	子どもの成長・発達 1　乳児～1 歳 6 か月	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
8	子どもの成長・発達 2　２～4 歳	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
9	子どもの成長・発達 3　５～７歳	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
10	子どもの成長・発達 4　学童期～思春期・青年期	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
11	発達の評価　子どもの成長・発達　中間試験	予習：該当するテキストの内容を確認する。子どもの成長・発達に関する内容を復習し試験に臨むこと(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	黒岩
12	子どもと家族を支える施策　1)母子保健施策 2)児童福祉施策　3)予防接種　小児期感染症に関する抗体価についてワーク	予習：該当する内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)　課題の事前準備：講義内で示す必要書類を準備し持参すること	黒岩・山岡
13	小児医療と子どもの権利　（ｐ49-57）　1)医療の場における子どもの権利　2)プレパレーション	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	山岡
14	子どもの安全と事故予防　　1)子どもの安全 2)子どもの事故の特徴と事故防止　児童虐待の予防と防止（ｐ66-67）	予習：該当するテキストの内容を確認する(1.0H)　復習：講義の内容、資料の確認(1.0H)	山岡
15	健康問題･障害が小児と家族に与える影響　まとめ	予習：講義の内容を振り返る(1.0H)　復習：定期テストに向けたこれまでの講義の内容、資料の確認	黒岩
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験（DP①）　　出題範囲：授業で扱った範囲　　テストは返却しない。　2.中間試験（DP①）　出題範囲：子どもの成長・発達　　テストは返却しない。　3. 個人ワークレポート（DP①）　　第 12 回の授業内で取り組み、提出してもらいます。　　2/3 以上の出席を必要とします。			1. 75%　2. 20%　3. 5%

授業科目名	小児看護援助論Ⅰ（看護）				
主担当教員	黒岩　志紀		担当教員	黒岩　志紀／山岡　直子	
科目ナンバリング	PN20C213	科目区分	専門分野	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜3限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

小児看護学概論、臨床病態学Ⅲ・Ⅳ（小児疾病論）で学んだ内容を基礎に、健康障害や入院が子どもの成長発達、あるいは家族に及ぼす影響を学び、子どもと家族への看護について学ぶ。また、さまざまな健康障害や健康レベル、状況にある子どもと家族の特徴、およびアセスメントの視点について学ぶ。

学修目標

1. 健康障害や入院が、子どもの成長発達と家族に及ぼす影響が理解できる<DP①③④>　2. 急性期から慢性期、終末期の各期と在宅療養における子どもと家族の看護が理解できる<DP①②④>　3. 小児期の主な症状や疾患、その看護について理解できる<DP①②④>　4. さまざまな発達段階にある健康障害をもつ子どもと家族に対するアセスメント能力が養える<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 予め履修が望ましい教科目　　小児看護学概論・形態機能学・医療概論・発達心理学（選択）・臨床病態学Ⅰ～Ⅴ　2. クリニカルに小児の疾患を解説します。既習の知識の確認をして講義に臨んでください。　3. レポート提出は日時厳守してください。　4. 予告なくシラバスは変更となる可能性があります。

教科書

小林京子・高橋孝雄 編.（2022）. 新体系 看護学全書 小児看護学②健康障害をもつ小児の看護. メヂカルフレンド社. ISBN：978-4-8392-3402-7

参考書

五十嵐隆 編.(2019).小児科診療ガイドライン第４版.総合医学社.　　ISBN:978-4-88378-672-5　大薗恵一 監.(2022).小児科診療指針エッセンス. 中外医学社.　　ISBN：978-4-498-14576-4　桑野タイ子 監.（2019）. 疾患別小児看護ー基礎知識・関連図と実践事例ー. 中央法規.　　ISBN：978-4-8058-3451-0　浅野みどり他 編.（2021）. 発達段階からみた小児看護過程. 医学書院.　　ISBN：978-4-260-04676-3　馬場一雄 監.（

研究室／オフィスアワー

W234研究室（黒岩志紀）/月曜日 16：20～18：00　E4階 16研究室（山岡直子）/月曜日 16：20～18：00　※事前にメール予約をお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス　　それぞれの発達段階に応じた看護　演習：抱っこ	予習：小児看護学概論の復習、教科書の確認（p.9-23、25-72、182-187）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	黒岩
2	小児にみられる主な症状と看護①	予習：教科書の確認（p75-126）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	山岡
3	小児にみられる主な症状と看護②	予習：教科書の確認（p75-126）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	山岡
4	経過の特徴と看護の展開	予習：教科書の確認（p127-165）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	山岡
5	特別な状況、その他の状況と看護	予習：教科書の確認（p75-126、187-192）復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	山岡

6	外来、地域における小児医療	予習：教科書の確認（p182-186）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	ゲストスピーカー（医師）
7	小児の地域・在宅看護	予習：教科書の確認（p271-287）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	ゲストスピーカー
8	新生児の特徴と疾患	予習：教科書の確認（p375-404）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	ゲストスピーカー
9	系統臓器別疾患①（呼吸器疾患、感染症）	予習：教科書の確認（p441-452）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	黒岩
10	系統臓器別疾患②（循環器疾患）	予習：教科書の確認（p452-470）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	山岡
11	系統臓器別疾患③(消化器疾患､アレルギー疾患)	予習：教科書の確認　復習：講義内容、資料の確認（ｐ470-489､573-580）　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	黒岩
12	系統臓器別疾患④（腎・泌尿器疾患）	予習：教科書の確認（p489-506）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	黒岩
13	系統臓器別疾患⑤（感覚器系疾患、運動器疾患）	予習：教科書の確認（p406-441、507-547）復習：講義内容､資料の確認　　上記内容について予習復習を1時間行うこと	黒岩
14	系統臓器別疾患⑥(血液疾患と腫瘍､神経発達症群)	予習：教科書の確認（p533-547、605-611）復習：講義内容､資料の確認　　上記内容について予習復習を各1時間行うこと	黒岩
15	系統臓器別疾患⑦(内分泌・代謝系疾患)　まとめ	予習：教科書の確認（p561-572）　復習：講義内容、資料の確認　　上記内容について予習復習を各1時間行うこと	黒岩
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験＜DP①④＞　　出題範囲：授業内で扱った範囲　2. 小テスト＜DP①④＞　　ゲストスピーカーによる講義は講義内で知識確認試験を実施します。　3. 課題レポート＜DP①④＞　　※提出期限・作成方法等は授業内で説明します　4. 4/5 以上の出席			1. 定期試験 80%　2. 小テスト 15%　3. 課題レポート 5%

授業科目名	小児看護援助論Ⅱ(看護)					
主担当教員	黒岩 志紀		担当教員		黒岩 志紀／山岡 直子	
科目ナンバリング	PN20C214	科目区分	専門分野Ⅱ		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期		曜日・時限	金曜3限、金曜4限
授業形態	演習	単位数	1単位		必修・選択	必修

授業概要

小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、および臨床病態学Ⅲ・Ⅳ（小児疾病論）で学んだ内容を基礎に、子どもが健康障害をもつことや入院することによる子どもと家族への影響を理解し、看護実践の具体的な方法を学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1. 子どもが健康障害をもつことや入院することによる、子どもと家族への影響を理解できる<DP①④>　2. 小児各期の発達段階をふまえてフィジカルアセスメントを行い、看護過程を展開する能力を養う<DP①④>　3. 健康障害をもつ子どもに対する基本的な小児看護技術を習得する<DP①④>　4. 子どもの発達段階、および日常生活をふまえて、個別性のある援助を説明できる<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 基本的に看護過程演習（事例展開）と技術演習は2クラスに分かれて行う　2. 技術演習の身だしなみは、臨地実習要綱「服装・身だしなみ」の「ユニフォームを着用する場合」に準ずること　3. 技術演習には、講義の内容を復習し、事前学習（課題）をしたうえで臨むこと　4. 講義、演習での態度や身だしなみなどは、成績評価に加味する　5. MORIPAを通じて授業に関するアナウンスを行うことがあるため確認すること

教科書

小林京子, 高橋孝雄 編集. (2022). 健康障害をもつ小児の看護. メヂカルフレンド社.　ISBN 978-4-8392-3402-7

参考書

添田恵子,鈴木千絹他 編著.(2022).看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 第3版.メヂカルフレンド社.　ISBN 978-4-8392-1695-5　茎津智子 編著. (2022). 発達段階を考えたアセスメントにもとづく 小児看護過程 第2版. 医歯薬出版.　ISBN 978-4-263-23755-7　浅野みどり, 杉浦太一, 大村知子 編集. (2021). 発達段階からみた 小児看護過程＋病態関連図（第4版). 医学書院.　ISBN 978-4-260-04676-3

研究室／オフィスアワー

W234研究室（黒岩志紀）/月曜日 14：30～16：00　E4階 16研究室（山岡直子）/月曜日 14：30～16：00　※事前にメール予約をお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス　看護過程演習について　技術演習について　小児の看護技術（講義）　到達目標　①小児看護技術の特徴を理解できる　②小児看護における子どもとのコミュニケーションについて理解できる	予習：教科書の確認（p2-23, p271-276）復習：講義内容、資料の確認　上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩 、山岡
2	看護過程（講義）　・小児看護における看護過程の展開　・ゴードンの機能的健康パターンを用いたアセスメント　・看護過程演習課題の提示　到達目標　①小児看護における看護過程を理解できる　②看護過程の記載方法がわかる	予習：1回目の授業資料　小児看護援助論Ⅰで配付した病態関連図　復習：講義内容、資料の確認　上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩
3	小児のフィジカルアセスメント（講義）　到達目標　①小児のバイタルサイン測定・身体各部の計測の重要性と意義を理解できる　②発達段階に応じた測定用具・測定方法・基準値を理解できる	予習：教科書の確認（p289-318）　復習：講義内容、資料の確認　上記内容について予習・復習を1時間行うこと	山岡

4	小児のバイタルサイン測定･身体計測(技術演習) 到達目標 ①発達段階に応じた測定用具･測定方法を説明できる （モデルの活用による） ②測定値を正しく総合的にアセスメントする重要性がわかる	予習：教科書の確認（p289-318） 3回目の授業資料・事前課題 復習：技術演習内容 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
5	看護過程（演習） 到達目標 ①事例の病態関連図を作成することができる ②事例の情報を整理・分類できる	予習：1回目・2回目の授業資料 小児看護援助論Ⅰで配付した病態関連図 復習：看護過程演習内容 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
6	小児の日常生活の援助（講義） 清潔・排泄・栄養 到達目標 ①小児の皮膚の構造と機能、皮膚トラブルについて理解できる ②小児の排泄行動の発達を理解できる ③発達段階や病状に応じた清潔ケアがわかる ④発達段階や病状に応じた栄養摂取の特徴と支援方法がわかる	予習：教科書の確認（p37-74） 小児看護援助論Ⅰで配付した小児看護学 解剖生理 復習：講義内容、資料の確認 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	山岡
7	小児の日常生活の援助（技術演習） 清潔・排泄 到達目標 ①小児の安全に配慮した清潔ケアが実施できる （モデルの活用による） ②発達段階や病状に応じた清潔ケアがわかる	予習：教科書の確認（p37-74） 6回目の授業資料・事前課題 復習：技術演習内容 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
8	看護過程（演習） 到達目標 事例の情報を整理・分類し分析、解釈、推理・推論ができる	予習：1回目・2回目の授業資料 小児看護援助論Ⅰで配付した病態関連図 復習：看護過程演習内容 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
9	小児の検査や処置の手技と看護（講義） 到達目標 ①検査や処置の看護について､小児の解剖学的･生理学的根拠とともに理解できる ②小児にとって安全で苦痛を最小限にする看護について説明できる	予習：教科書の確認（p319-348） 復習：講義内容、資料の確認 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	山岡
10	小児の検査や処置の手技と看護（技術演習） 到達目標 ①検査や処置に必要な物品がわかる ②小児にとって安全で苦痛を最小限にする看護について説明できる （モデルの活用による）	予習：教科書の確認（p319-348） 9回目の授業資料･事前課題 復習:技術演習内容 上記内容について予習･復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
11	看護過程（演習） 到達目標 事例の問題点を抽出し看護問題リストを作成できる	予習：1回目・2回目の授業資料 小児看護援助論Ⅰで配付した病態関連図 復習：看護過程演習内容 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
12	救急処置が必要な小児と家族への看護（講義） 到達目標 ①小児の救命の連鎖について理解できる ②救急処置が必要な小児の状況と処置の方法がわかる	予習：教科書の確認（p192-198） 復習：講義内容、資料の確認 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	山岡
13	講義全体のまとめ 小児の看護過程 小児の看護技術	予習:これまでの授業の復習 復習:これまでの授業の復習	黒岩、山岡
14	小児の急変時の対応（技術演習） 到達目標 ①PBLS アルゴリズムに従って乳児の一次救命処置ができる （モデルの活用による） ②アドレナリン自己注射薬（エピペン）の使用方法がわかる （練習用トレーナー使用による）	予習：教科書の確認（p192-198） 12回目の授業資料･事前課題 復習:技術演習内容 上記内容について予習･復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
15	看護過程（演習） 到達目標 事例の看護計画を立案できる	予習：1回目・2回目の授業資料 小児看護援助論Ⅰで配付した病態関連図 復習：看護過程演習内容 上記内容について予習・復習を1時間行うこと	黒岩、山岡
成績評価方法と基準			割合
①定期試験＜DP①④＞ 出題範囲：授業内で扱った範囲 ②看護過程演習課題（ルーブリック評価）・技術演習の事前課題とレポート＜DP①④＞ ・技術演習の事前課題とレポートは授業内で説明します ・看護過程演習課題の詳細は授業内で説明します ・評価基準は授業内で説明します ・講義、演習での態度や身だしなみなども評価対象とします ③4/5 以上の出席が必要です ④看護過程演習課題および技術演習の提出物は必要に応じ返却し理解をサポートします			①30% ②70%

授業科目名	精神看護学概論（看護）				
主担当教員	西山　忠博		担当教員	西山　忠博／米花　紫乃	
科目ナンバリング	OMN20C215	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

精神看護学概論では、精神疾患がもたらす様々な症状や生活上の困難について学び、理解を深める。また、精神看護の対象となる人にケアを提供するために必要な基本的な知識と理論的枠組みについて学修し、対象者への援助のあり方について理解を深める。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

・精神看護の対象となる人々のおかれた現状と課題について理解し、自分なりの意見を述べることができる。<DP①④>　・精神看護の対象となる人々にケアを提供するために必要な理論・モデルを理解し説明できる。<DP①>　・精神看護の対象となる人を支えるためのしくみと諸制度について理解し説明できる。<DP?>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・本科目は精神看護学科目の基盤であることに加え、精神看護学実習の先修条件科目であることを自覚したうえで主体的に学んでください。　・正当な理由なく、課題提出の期限を過ぎた場合は受け取らないため注意してください。　・出席数はMORIPAで随時確認し、各自で管理してください。　・出欠確認は、授業前と授業後の２回行います。２回とも確認できた場合を出席、片方しか確認できない場合は遅刻または早退となります。スマートフォンによるQRコード読み込みにて行うため、忘れず持参してください。電車遅延で遅刻した場合は、授業終了後に教員に遅延証明書と最寄り駅確認のため学生証の裏面または定期券を提示してください。

教科書

系統看護学講座　精神看護学[1]　精神看護の基礎　医学書院　系統看護学講座　精神看護学[2]　精神看護の展開　医学書院

参考書

必要に応じて提示します。

研究室／オフィスアワー

メールで要件を伝え、アポイントをとってください。　桜棟５階　研究室13（西山）　tadahiro_nishiyama@morinomiya-u.ac.jp　東棟４階　共同研究室（米花）　shino_beika@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	精神の健康とは（精神保健の考えかた）（4月10日）　到達目標：　・精神看護学の基本的な考え方が理解できる。　・精神障がいの捉え方が理解できる。　・精神の健康について自分なりに考えることができる。	予習：教科書[１]P2～4、P24～30、P49～53を読む。　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
2	心のはたらきと人格の形成１（自我と防御機制）（4月18日）　到達目標：　・心のしくみとはたらきについて、生物学的・心理学的・社会学的側面から理解できる。	予習：教科書［１］P56～79を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
3	心のはたらきと人格の形成２（発達理論）（4月25日）　到達目標：　・自己が形成されるしくみについて、様々な学説を通して理解できる。	予習：教科書［１］P79～114を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
4	精神の病気・障害と生きにくさ（5月2日）　・精神障がいを持つ人の生きにくさについて、自分なりに考え、意見をもつことができる。	予習：教科書［１］P5～9を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山

5	精神障害と治療の歴史(5月9日)　到達目標:　・精神疾患･障がいとその治療の歴史について理解することができる。　・日本における精神医学・精神医療の流れについて理解することができる。	予習：教科書[１]P298～314 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
6	現代の精神医療の現状と課題１(5 月 16 日)　到達目標：　・世界の精神医療の動向と日本の精神医療の現状・課題について理解できる。　・精神疾患・障がいと地域・文化との結びつきを知り、その多様性と普遍性を理解できる。	予習：教科書[１]P9～21、P314～321 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
7	現代の精神医療の現状と課題２(5 月 23 日)　到達目標：　・世界の精神医療の動向について理解できる。　・精神疾患・障がいと地域・文化との結びつきを知り､その多様性と普遍性を理解できる。	予習：教科書[1]P9～21、P314～321 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
8	精神看護における諸理論・モデル（5 月 30 日）　到達目標：　・精神看護に関連する諸理論・モデルについて理解することができる。	予習：教科書[１]P24～53 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
9	ケアの人間関係（6 月 5 日）　・精神科ケアにおける患者－看護師関係の前提と原則について理解できる。　・精神障がいや精神疾患をかかえた人の尊厳をいかにして守るかについて理解できる。　・精神科におけるチーム医療について理解できる。	予習：教科書[２]P2～68 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
10	入院治療の意味１（6 月 12 日）　・精神科の入院形態、精神科病棟の機能・構造・設備について理解することができる。　・患者にとっての精神科受診の意味を理解することができる。　・精神科入院のメリット､デメリットについて理解できる。	予習：教科書[２]P196～254 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
11	入院治療の意味２（6 月 19 日）　・精神科では、入院中にどのようなケアが行われているのか理解できる。　・入院中の観察とアセスメントの基本について理解できる。	予習：教科書[２]P196～254 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
12	地域におけるケアと支援１（7 月 3 日）　・病院中心の精神科医療から地域におけるケアに向かう現在の日本の地域精神保健の動きを知ることができる。　・精神障がい者が安定した地域生活を送ることができるよう､援助者が心得ておくべき原則について理解できる。　・精神障がい者の地域生活を支える社会制度とその基盤となる考え方を理解できる。	予習：教科書[２]P116～178 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
13	地域におけるケアと支援２（7 月 10 日）　・事例を通して､精神障がい者が安定して地域で生活するにはどのような支援が必要か､自分なりに考え、意見をもつことができる。	予習：教科書[２]P116～178 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
14	医療の場におけるメンタルヘルス(7 月 17 日)　・リエゾン精神看護とその活動･意味について理解することができる。	予習：教科書[２]P353～372、P390～411 を読む　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	米花
15	精神障害と法制度（7 月 24 日）　・精神科看護師として知っておくべき法制度について理解できる。	予習：教科書[１]P335～370 を読む、事前課題　復習：授業で取り上げた内容をもう一度見直し、理解を深める。	西山
成績評価方法と基準			割合
①定期試験(筆記)　②レポート　・60 点以上を単位認定とする　・2/3 以上の出席基準が定期試験受験資格となるが、先修条件科目であることから、原則として欠席は認めない			①80%　②20%

授業科目名	精神看護援助論Ⅰ（看護）					
主担当教員	西山　忠博		担当教員	西山　忠博／米花　紫乃		
科目ナンバリング	OMN20C216	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜2限	
授業形態	演習	単位数	1単位	必修･選択		

授業概要

精神看護援助論Ⅰでは、精神看護実践の対象となる人々を理解し、人々のセルフケアの維持・向上をめざすために必要な基本的知識と基礎的な力を身に着ける。精神看護学概論で学んだ基本的知識と理論的枠組みをさらに深め、精神看護実践の対象となる人々の状態や状況を理解する力を習得する。また、行われている治療と看護、リカバリー志向の看護を学び、精神障害をもつ人の回復を支援する看護のあり方について考えていく。

学修目標

目標１：学習した理論やモデル、概念を用いて、精神看護の対象となる人の状態や状況を説明することができる（DP①②）　目標２：主な精神症状をあげて、その状態像を説明することができる（DP①）　目標３：危機状況にある人の精神の健康と、ストレス対処、危機予防についてわかる。(DP①)　目標４：精神障害をもつ人の病の体験に関心を持ち、回復を支援する看護のあり方について意見を述べることができる（DP③④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・本科目は、精神看護学概論・精神看護援助論Ⅱと関連する。精神看護学概論の復習をして授業に臨むこと。　・臨床病態学Ⅳ（精神科）で学ぶ精神疾患の病態と治療の知識とつなぎ合わせて学習を進めること。　・正当な理由なく、課題提出の期限を過ぎた場合は受け取らないため注意すること。　・出席数はMORIPAで随時確認し、各自で管理すること。　・出欠確認は、授業前と授業後の２回行う。２回とも確認できた場合を出席、片方しか確認できない場合は遅刻または早退となる。スマートフォンによるQRコード読み込みにて行うため、忘れず持参すること。電車遅延で遅刻した場合は、授業終了後に教員に遅延証明書を提示すること。

教科書

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　精神看護学 [1] [2] 医学書院

参考書

適宜提示します

研究室／オフィスアワー

メールで要件を伝え、アポイントと取ってください。　西山　さくら棟５階　研究室 13　tadahiro_nishiyama@morinomiya-u.ac.jp　米花　東棟４階　共同研究室　shino_beika@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	精神看護における重要な概念（自我の機能と発達、危機、ストレス・コーピング、セルフケア、ストレングス、リカバリー）	該当範囲：教①p.28-38, 83-111	西山
2	災害時のこころの反応とその対応　～状況的危機としての現象理解、PTSD、レジリエンス～	該当範囲：教①p.9,33-36,47-48　教②p.195-197,374-388	西山
3	ストレスと疾患　～ストレス･コーピング理論を用いた現象理解、ストレス関連疾患～	該当範囲：教①p.31-38,199-201	西山
4	精神疾患とセルフケア　～精神看護におけるセルフケア理論、オレム・アンダーウッド理論）	該当範囲：教②p.59	西山
5	精神看護における精神症状の査定（MSE）	該当範囲：教①p.56-57,144-162	西山
6	精神症状の査定（MSE）	残った場合はホームワーク	西山
7	セルフケア理論の展開	残った場合はホームワーク	西山

8	全体像の検討	グループワーク	西山
9	統合失調症をもつ人の理解と看護	該当範囲：教①ｐ.162-182	米花
10	気分障害をもつ人の理解と看護	該当範囲：教①182-191	米花
11	アディクション（依存症）をもつ人の理解と看護	該当範囲：教①ｐ.201-207,363-366,教②ｐ.146-150	米花
12	精神科の治療と看護①　薬物療法、電気けいれん療法、生活療法	該当範囲：教①ｐ.265-287, 288-295, 教②ｐ.283-297	西山
13	精神科の治療と看護②　リラクゼーション、心理教育、認知行動療法	該当範囲：教①ｐ.242-252,教②ｐ.103-105	西山
14	精神科の治療と看護③　集団精神療法、SST、断酒会	該当範囲：教①ｐ.242-252,教②ｐ.103-105	西山
15	地域で暮らす精神障がい者への看護支援の実際 ゲストスピーカー：未定	授業内提出物	西山
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（目標２、３、４）　②授業中の提出物および授業外課題（目標１、４）　①②で総合的に評価し、60 点以上を単位認定とする。　単位認定には全授業回数の 2/3 以上の出席を必要とする。出席の代理行為が発覚した場合は、双方とも欠席扱いとする。			①60%　②40%

授業科目名	精神看護援助論Ⅱ（看護）					
主担当教員	西山　忠博		担当教員		西山　忠博／米花　紫乃	
科目ナンバリング	OMN20C217	科目区分	専門分野Ⅱ		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰで学習した知識を生かし、精神を病む人々に対して必要な看護を展開するための実践的な知識と技術を学ぶ。　具体的には、精神を病む人々への安全・安楽に配慮した援助の在り方、および患者ー看護師の治療的関係の基盤となるコミュニケーションの在り方、オレム・アンダーウッド理論を基盤とした看護援助の展開について学び理解を深める。

学修目標

・自分自身が治療的道具となるために、自己理解・他者理解をすることができる。＜ＤＰ①＞　・精神看護におけるコミュニケーション技法を学び、自己のコミュニケーション傾向について振り返ることができる。<DP①②>　・患者の自由や権利を制限せざるを得ない状況がある精神科治療において、精神障がいや精神疾患を抱えた人への尊厳を意識した看護援助の在り方について理解を深め、自分なりの意見を述べることができる。<DP①④>　・代表的な精神疾患の事例を用いて、オレム・アンダーウッド理論による看護過程の展開ができる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・本科目は、精神科語学実習の先修条件科目です。精神看護実践だけでなく全ての看護実践にも関係することを自覚した上で、主体的に学ぶ姿勢を心がけてください。　・教科書は常に持参し、講義にあたって配布する資料とあわせて学習してください。　・演習はグループワークが中心となります。グループメンバーと互いに協力し、グループの一員としての責任を果たすよう心がけてください。　・課題提出の期限は厳守してください。

教科書

系統看護学講座　精神看護学[1]　精神看護の基礎　医学書院　系統看護学講座　精神看護学[2]　精神看護の展開　医学書院

参考書

必要に応じて指定する。

研究室／オフィスアワー

メールで要件を伝え、アポイントをとってください。　桜棟５階　研究室 13（西山）　tadahiro_nishiyama@morinomiya-u.ac.jp　東棟４階　共同研究室（米花）shino_beika@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ケアの前提（講義）(4 月 8 日)　【学修内容】　・ケアの前提と原則　・患者－看護師関係　・人間の尊厳を理解した看護者の関わり　・チームのダイナミクス	教科書[２]P2～13、63～68	西山
2	精神科面接技法（講義）(4 月 15 日)　【学修内容】　・患者への接近の仕方、言語・非言語を介した患者とのかかわり　・看護師自身の感情や考え方の扱い方　・精神疾患をかかえた人へのケアの特徴的な方法	教科書[２]P14～68	西山
3	精神科入院環境とリスクマネジメント（講義）(4 月 22 日)　【学修内容】　・精神科医療における安全の基本的な考え方　・患者の安全を守るためのリスクマネジメント	教科書[２]P312～348	西山
4	プロセスレコード(講義･演習)(4 月 30 日)　【学修内容】　・プロセスレコードの目的と意味　・	教科書[２]P28～41　【課題】プロセスレコードの作成	西山　米花

	プロセスレコードの書き方　・プロセスレコードの作成		
5	地域生活を考える（講義）(5 月 13 日)　【学修内容】　当事者の地域生活と支援（ゲストスピーカーによる講義）	講義内容についての課題を期限までに提出	西山
6	オレム･アンダーウッド理論での看護過程の展開 1-①（講義･演習)(5 月 20 日)　【学修内容】　・オレム･アンダーウッド理論での看護過程の展開について　･情報収集とセルフケアレベルのアセスメント（個人作業）	精神看護援助論Ⅰで学修したオレム・アンダーウッド理論について復習しておく 【課題】授業中に終了しなかった課題について、次回までに完成させておく。	西山　米花
7	看護過程の展開 1-②（演習）(5 月 27 日)　【学修内容】　･情報収集とセルフケアレベルのアセスメントと統合（グループワーク）　･セルフケアレベルのアセスメントを統合し､グループ内で情報共有し､グループとしてのアセスメントをまとめる。	【課題】授業時間内にできなかった課題はグループで話し合って、次回までに完成させておく。	西山　米花
8	看護過程の展開１-③（演習）(6 月 10 日)　【学修内容】　･アセスメントの発表　･グループでアセスメントした内容を発表し、全体で共有する。　･他のグループの発表を聞くことにより、自らのアセスメントを振り返って､さらに学びを深める。	【課題】　･発表を聞いた上で個人のアセスメントを修正する。　･個人、グループのアセスメントを期日までに提出する。	西山　米花
9	看護過程の展開２-?（演習）(6 月 17 日)　【学修内容】　･情報収集と情報の整理（個人作業）	事前に配布された資料を読み、概要をつかんでおく。【課題】授業時間内にできなかった課題について、次回までに完成させておく。	西山　米花
10	看護過程の展開２-②（演習）(6 月 24 日)　【学修内容】　･セルフケアレベルのアセスメント(個人作業)	【課題】授業時間内にできなかった課題について、次回までに完成させておく。	西山　米花
11	看護過程の展開２-③（演習）(7 月 1 日)　【学修内容】　･セルフケアレベルのアセスメント(グループワーク)　･個人でアセスメントしたものをグループ内で共有し、意見を交換する。　･不足している情報を明らかにして､患者から直接聞きたい情報を明確にする。　･必要に応じて自分のアセスメントを修正する｡｡	【課題】授業時間内にできなかった課題について、次回までに完成させておく。	西山　米花
12	看護過程の展開２-④（演習）(7 月 8 日)　【学修内容】　･情報収集とセルフケアレベルのアセスメント（患者とのコミュニケーション：シミュレーション演習）	【課題】授業時間内にできなかった課題について、次回までに完成させておく。	西山　米花
13	看護過程の展開２-⑤（演習）(7 月 15 日)　【学修内容】　･総合アセスメント、看護計画の立案（個人作業）　･模擬患者から得た情報も加えて各自のアセスメントを修正した上でアセスメントを統合し、長期目標･短期目標、看護計画を立案する。	【課題】授業時間内にできなかった課題について、次回までに完成させておく。	西山　米花
14	看護過程の展開２-⑥（演習）(7 月 22 日)　【学修内容】　･総合アセスメント、看護計画の立案（グループワーク）	【課題】授業時間内にできなかった課題について、次回までに完成させておく。	西山
15	看護過程の展開２-⑦（演習）(7 月 29 日)　【学修内容】　･アセスメント、看護計画発表　･グループでアセスメントした内容とそれに基づいた看護計画を発表し、全体で共有する。　･他のグループの発表を聞くことにより､自らのアセスメントを振り返って、さらに学びを深める。	【課題】　･発表を聞いた上で、個人のアセスメントを修正し、個人とグループのアセスメントを期日までに提出。	西山
成績評価方法と基準			割合
提出物と発表内容により評価する。　①プロセスレコード　②事例１の課題　③事例２の課題　④ゲストスピーカーのレポート			①20% ②30% ③40% ④10%

授業科目名	成人看護学実習Ⅰ(急性)(看護)				
主担当教員	小林　妙子		担当教員	小林　妙子／吉村　弥須子／久木元　由紀子／木村　清子	
科目ナンバリング	AN20C218	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	3.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

周手術期にある患者およびその家族の手術前・手術中・手術後の看護を実践する。手術を受ける患者の特徴を発達段階、病態生理をふまえてとらえ、病態生理的、状況的、治療的関連因子から予測される問題をアセスメントし、必要な看護を見出す。麻酔・手術侵襲によって生じる生体反応や心理的反応を理解し、手術前から手術後の合併症予防、回復促進、退院後の QOL も視野に入れた看護を実践する。さらに、生命の危機状態にある患者の治療の場の見学を通して、クリティカルな状態にある患者の特徴と看護を学ぶ。

学修目標

1.手術を受ける患者の特徴を発達段階、病態生理をふまえて理解することができる。DP①④　2.手術を受ける患者および家族の術前の看護を実施することができる。DP①②③　3.手術中の看護を理解することができる。DP①　4.麻酔・手術侵襲に伴って生じる生体反応を理解することができる。DP①　5.術後の合併症予防、苦痛の緩和、ADL 拡大の看護を実施することができる。DP①②③④　6.患者および家族の心理状態に応じた看護を実施することができる。DP①②③④　7.患者および家族の社会的役割・機能に基づく退院支援について考えることができる。DP①③　8.周手術期にある患者の看護過程の展開を実施することができる。DP①②③④　9.クリティカルな状態にある患者の特徴とその看護を理解することができる。DP①②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.3 年次前期までの履修科目の復習をして実習に臨む。　2.受持ち患者の発達段階、疾患に関する解剖生理学、病態生理学、治療、術式、術後合併症、看護など十分に学習する。　3.看護技術の復習、練習を行って実習に臨む。

教科書

・益田美津美、明石恵子他編：新体系 看護学全書 経過別 成人看護学急性期看護：クリティカルケア メヂカルフレンド社　ISBN：978-4-8392-3385-3（２年次購入）　・嶌田　理佳、明石恵子他編：新体系 看護学全書 経過別成人看護学周術期看護新体系　メヂカルフレンド社　ISBN：978-4-8392-3386-0（3 年次購入）　・鎌倉やよい他：周手術期の臨床判断を磨く　手術侵襲と生体反応から導く看護　医学書院　ISBN: 978-4-260-05077-7（２年次購入）

参考書

・講義資料　・浅野嘉延、吉山直樹編：　看護のための臨床病態学　南山堂　ISBN：978-4-525-50515-8　・坂井　建雄、岡田　隆夫、 宇賀 貴紀：解剖生理学　人体の構造と機能①　医学書院　ISBN：978-4-260-04687-9　・吉岡充弘著：系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 3 薬理学　医学書院　ISBN：978-4-260-04716-6　・石塚睦子：よくわかる周手術期看護　学研　ISBN：978-4-7809-1272-2　・井上智子：パーフェクト臨床実習ガイ

研究室／オフィスアワー

小林　東棟 16 研究室：随時相談可。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1.実習期間　3 週間　2.実習場所　大阪急性期・総合医療センター、大阪鉄道病院、日本生命病院、大阪公立大学医学部付属病院、国立病院機構大阪医療センター　3.実習方法　1）クリティカルケア実習:救命救急センターとそれに関連する施設の見学と、超急性期にある患者への看護の実際を見学する。　2）病棟実習：手術を受け	1.事前学習課題　実習開始までに下記の課題を行いメモ帳にまとめる。　1）発達段階：成人期・老年期の特徴　2）周手術期看護：術前、術中、術後の看護、術後合併症とその予防　3）疾患と看護：実習に行く病棟の代表的な疾患に関する解剖、生理、病態、疫学、症状、診断（検査)、治	小林　木村　吉村

	る患者を1名受持ち、看護過程を展開する。 3）見学実習：病院実習初日に、手術室、ICU見学実習を行う。受け持ち患者が手術を受ける際、患者とともに手術室に入室し、手術および手術看護の実際を見学する	療、看護 4）看護技術：術前訓練、酸素吸入療法、深部静脈血栓症予防、フィジカルアセスメント、ドレーン管理、術後患者の全身清拭・寝衣交換など 2.「成人看護学実習Ⅰの抱負」を実習初日に提出する。3.実習記録 1）行動計画表を毎日記載し、担当看護師に発表する。 2）行動計画表に基づき実施したことを、実施した看護とその結果に記載する。 3）カンファレンスまでに、情報の整理とアセスメント、関連図、看護計画立案を行う。 4）看護計画に基づき実施したことを、実施・評価に記載する。 5）見学実習記録を記載する。 6）実習記録は、実習最終日の16:00までに提出する。 4.中間合同カンファレンス 1）関連図と看護計画を提示し説明する。 2）カンファレンスの司会・進行、時間調整、場所の確認は学生が行い、主体的に取り組む。 5.日々の予習復習 1）事前学習の復習 2）日々の看護に必要な学習 3）臨地実習指導者や教員から指導や助言のあった学習 6.「成人看護学実習Ⅰの学び」を実習最終日の16:00までに提出する。	
成績評価方法と基準			割合
実習態度、実習内容、実習記録等を総合的に評価する。 原則として全出席が評価の対象。DP①②③④			100%

授業科目名	成人看護学実習Ⅱ(慢性)(看護)				
主担当教員	宮本 佳子		担当教員	宮本 佳子／久木元 由紀子／八幡 久美子	
科目ナンバリング	AN20C219	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	3.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

慢性期にある対象者の身体的・精神的・社会的側面を理解し、その人らしい生活を支援するために必要な看護の役割と看護実践を学ぶ。

学修目標

1．慢性期にある対象者の発達課題、身体的・精神的・社会的側面を理解できる。　2．慢性期にある対象者のその人らしい生活に向けて、健康レベルに応じた看護過程を展開できる。　3．慢性期において生涯にわたり疾病の管理を必要とする対象者と家族への看護を学ぶことができる。　4．慢性期にある対象者と家族を支える継続看護、多職種連携について理解できる。　5．終末期に患者および家族に行われている緩和ケアの内容を理解できる。　6．看護者として誠実かつ責任ある態度で主体的に学修・行動し、自己の言動を振り返って課題を明らかにし、改善に向けて取り組むことができる。　<DP①②③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．3 年次前期までの履修科目の復習をして実習に臨む。　2．事前学習で提示した内容を十分学修した上で実習に臨む。　3．受け持ち患者の発達段階、疾患に関する解剖生理学、病態生理学、治療、検査、看護などを十分学習する。　4．看護技術の復習や練習をした上で実習に臨む。

教科書

成人看護学や形態機能学、臨床病態学、フィジカルアセスメント等の授業で使用したテキスト、講義資料

参考書

適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

久木元：(桜棟 11)　八幡：(西棟 235)　宮本：(西棟 335)　※実習で不在のこともあるため、事前に予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	1．実習期間：3 週間　2．実習場所　大阪鉄道病院、大阪急性期・総合医療センター、日本生命病院、大阪国際がんセンター、日本ライトハウス、ReHOPE 堺北　3．実習方法　1）病棟実習：慢性疾患の患者を受け持ち、看護過程を展開する。また、外来実習、障害者施設実習、在宅ホスピス実習を通して多職種連携・継続看護について学修する。　2）見学実習：実習期間中に検査・処置・リハビリテーション等がある場合、可能な範囲でその介助や活動、看護の実際を見学する。　3）学内実習：患者の看護過程に関する学習、看護技術練習、実	1.事前学習課題　共通課題と、病院・病棟別課題を別途提示する。　2.「成人看護学実習Ⅱの抱負」を実習初日に提出する。　3.実習記録　1）行動計画表を毎日記載し、担当看護師に発表する。　2）中間カンファレンスまでに、情報の整理とアセスメント、関連図、看護計画立案を行う。　3）行動計画表や看護計画に基づき実施したこと、その他見学したことについて実施・評価に記載する。　4）実習記録は「成人看護学実習Ⅱの学び」も含め、実習最終日の 16:00 までに提出する。　4.中間カンファレンス　1）関連図と看護計画を提示し説明する。　2）カンファレンスの司会・進行、時間調整、場所の確認は学生が行い、主体的に取り組む。　5.日々の学習について　1）事前学習の復習　2）日々の看護に必要な学習　3）臨地実習指導者や教員から指導や助言のあった学習	久木元　由紀子　八幡　久美子　宮本　佳子

成績評価方法と基準	割合

１．実習評価表をもとに、実習内容や実習記録、実習態度等を総合評価する。　　＊記録提出期限・方法は担当教員より提示　　＊フィードバック方法として実習評価表（自己評価）をもとに個別面談を実施　２．原則として全出席が評価の対象。　＜DP①②③④＞	１．総合評価：100%

授業科目名	老年看護学実習Ⅱ :別途開講				
主担当教員	外村 昌子		担当教員	外村 昌子	
科目ナンバリング	GN20C221	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3年	開講学期	後期	曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

高齢者施設の概要、生活する高齢者の健康問題や生活過程を理解する。また、施設における看護職の役割を学ぶ。

学修目標

1.高齢者施設等の特徴と機能および役割が理解できる。DP①②④ 2.高齢者の生活史や価値観についてコミュニケーションを通して理解できる。DP②③④ 3.高齢者施設における看護職の役割が理解できる。DP①②④ 4.多職種と連携した援助の在り方を学ぶことができる。DP②④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

追実習や再実習は、病院の受け入れ状況により非常に困難であるので、健康管理に留意して欠席しないこと。 予め履修が望ましい教科目：老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ

教科書

老年看護学概論や援助論で用いたすべてのテキスト その他、実習中に適宜紹介する。

参考書

北川公子他著 系統看護学講座「老年看護学」 第９版 医学書院 ISBN: 978-4-260-03186-8 鳥羽研二他著 系統看護学講座「老年看護・病態・疾患論」第5版 医学書院 ISBN: 978-4-260-03172-1

研究室／オフィスアワー

外村昌子 west port3階331研究室/ 後期木曜17時～18時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	1.実習期間 1週間 2.実習場所 特別養護老人ホーム 浜木綿苑 特別養護老人ホーム阪和帝塚山苑 介護老人保健施設 雅秀苑 デイサービス ひなた 就労継続支援B型事業所 ひのき 障がい者支援施設 わかば 3.実習方法 1) 利用者の生活援助を見学、経験する。 2) 通所者のデイケア、またはデイサービスを見学する。 4.詳細は老年看護学実習Ⅱ要項を参照。	1.事前学習 1）老年期における心身の特徴, 高齢者とのコミュニケーション方法 2）介護保険法と高齢者施設の概要 2.「老年看護学実習Ⅱの抱負」を実習初日 3.実習記録 1）行動計画表を毎日記載する。 2）体験、見学、学びについて記録する。 4. カンファレンス・振り返り会 会の運営、時間調整を主体的に取り組む。 5.実習日誌と「老年看護学実習Ⅱの学び」を実習 終了後、指定日時に提出する。	全教員

成績評価方法と基準	割合
①実習内容・態度 ②実習記録を総合して評価する。 〈DP①②③④〉 ①②を総合して評価する 原則として全出席が評価の対象。	①60% ②40%

授業科目名	母性看護学実習（看護）				
主担当教員	齋藤　雅子		担当教員	齋藤　雅子／勝田　真由美／清水　理恵	
科目ナンバリング	MN20C222	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

リプロダクティブヘルスの視点で生み育てる女性の健康支援における基礎的能力を養うとともに、看護実践を通して周産期における母性看護の特性と役割を学ぶ。

学修目標

1. 対象を通して、産褥･新生児期のフィジカルアセスメントを行い、健康状態を評価することができる。(DP1,2,3,4)　2. Wellnessの視点で、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象のアセスメントを行い、看護課題を見　出し、看護目標と計画が立案できる。(DP1,2,3,4)　3. 対象の健康が向上するための看護の必要性が理解できる。(DP1,2,3,4)　4. 対象を通して、母子相互作用、愛着形成、親役割獲得過程、家族の再構築について理解する。(DP1,2,3,4)　5. 母子と家族とエンパワーメントするための支援を理解する。(DP1,2,3,4)　6. 母子を支える社会資源の活用と看護の役割を理解する。(DP1,2)　7. 母子保健システムに関する各職種の役割について理解する。(DP1,2)　8. 母性看護学実習を通して、自身のセクシュアリティについて内省し尊重することができる。(DP4)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 原則として記録の提出がない場合は、看護実践に関わることができない。　2. 母子の観察および看護実践については、必ず実習指導者、病棟スタッフ、担当教員の指導のもとで実践する。　3. 原則として男子学生は女子学生とペアになり病院実習を行う。許可が得られた場合には、男子学生 1 名が 1 組の母子を受け持つこともある。　4. 産み育てる女性と家族を尊重した姿勢で学修する。

教科書

購入した既習教科書全て

参考書

母性看護学援助論Ⅰ、Ⅱで配布した資料　その他各自が必要とするもの

研究室／オフィスアワー

齋藤研究室　西棟 237、清水研究室　西棟 533　アポイントメントで可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	産科病棟において周産期の母子を受け持ち、ウェルネスの看護の視点に基づきアセスメントし、必要な看護を実践し評価する。	1.受け持ち開始時より母子のフィジカルアセスメントができるように事前学習を深めておくこと。　２．分娩期の実習は、ケアの実践ができるように、必要な看護計画を事前に準備しておくこと。	母性看護学教員
2	地域の”つどいの広場”で、子育てする母子とその家族に対してエンパワーメントの視点で関わり、対象理解を深める。また健康教育を実践・評価する。	1. 現代社会における子育てに関する問題について調べておくこと　2. 母子を支えるための社会資源とその役割について調べておくこと　3. 健康教育の指導計画書案作成、媒体準備、実施練習を事前にしておくこと	母性看護学教員

成績評価方法と基準	割合
1.母性看護学実習要項評価基準に基づき評価する。(DP1,2,3,4)　　評価は返却しないが、実習終了日に面談し評価を開示する。　　＊4/5 以上の出席が必要である。	1.母性看護学実習評価表に基づく。 100%

授業科目名	小児看護学実習（看護）				
主担当教員	黒岩　志紀		担当教員	黒岩　志紀／山岡　直子	
科目ナンバリング	PN20C223	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

あらゆる健康状態の成長発達段階にある対象に応じた看護実践の基礎的能力を養う。

学修目標

1. 健康障害が成長発達段階にある小児と家族に与える影響について理解できる。<DP①②③> 2. 健康障害をもつ小児、およびその家族を取り巻く状況をアセスメントし、必要とされる援助を導き出し、エビデンスに基づいた看護過程を　　展開できる。<DP①②③④> 3. 小児各期に応じた看護技術を小児の人権を尊重し実施できる。<DP①②③④> 4. 対象を取り巻く保健医療福祉チームの連携のなかで小児看護の役割、継続看護の実際を理解できる。<DP①②④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

※「看護学臨地実習要綱」と「小児看護学実習要項」は必携とする。　実習要綱の「健康管理と感染症の予防」に記載されている内容に準拠した運用を行う。　原則として欠席は認められないので、常に自己の健康管理に十分配慮すること。保育所実習については、検便の実施（すべて陰性であること）が要件である。

教科書

小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト、配布資料等

参考書

添田恵子,鈴木千絹他 編著.(2022).看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 第3版.メヂカルフレンド社.　ISBN 978-4-8392-1695-5　茎津智子 編著.（2022）. 発達段階を考えたアセスメントにもとづく 小児看護過程 第2版. 医歯薬出版.　ISBN 978-4-263-23755-7　浅野みどり, 杉浦太一, 大村知子 編集.（2021）. 発達段階からみた 小児看護過程＋病態関連図. 医学書院.　ISBN 978-4-260-04676-3　その他診療ガイドライン

研究室／オフィスアワー

W234 研究室（黒岩志紀）/水曜日 16：20～18：00　E4 階 16 研究室（山岡直子）/水曜日 16：20～18：00　※事前にメール予約をお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	保育所実習では、保育に参加し、子どもの成長発達を理解するとともに保育士の園児への関わりから発達段階に応じた養護の実際を学ぶ。 クリニック実習では、地域で生活する小児と家族への医療や看護を理解する。 病棟実習では、患児を受け持ち、看護過程（アセスメント-看護計画立案-実施-評価）を展開する。	予習：アセスメントおよび計画立案-実施-評価等、日々の記録を記載するためには、看護過程を十分に理解していなければならない。また、各発達段階の成長発達、解剖生理、小児疾患とその病態生理、治療、検査、必要な看護などの復習を十分にしておく。施設ごとの疾患の傾向から予習をしておくこと。　復習：以降は担当教員からの指示による。	全教員

成績評価方法と基準	割合
①ルーブリックによる評価<DP①②③④>　原則として全出席が評価の対象となる	①100%

授業科目名	精神看護学実習（看護）				
主担当教員	西山　忠博		担当教員	西山　忠博／米花　紫乃	
科目ナンバリング	OMN20C224	科目区分	専門分野Ⅱ	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

精神看護学実習では、精神看護実践の対象者について理解を深め、看護師としての必要な援助が実践できる基礎的能力を養う。

学修目標

1. 対象者と専門的援助関係の形成・展開ができる。　2. オレムーアンダーウッド理論を用いた対象理解および看護過程の展開を行い、対象者の自己決定を前提としたセルフケア能力の維持・向上を図る計画が立案できる。　3. 対象者のセルフケアを支える看護の実践および評価ができる。　4. プロセスレコードを用いて対象者との関わりを再構成し、コミュニケーションによる相互作用や自己理解を通して治療的コミュニケーションの意味が考えられる。　5. 対象者に関する倫理配慮を遵守し、看護を学ぶ者として行動できる。　・具体的到達目標は、「臨地実習要項」「精神看護学実習要項」に記す。　＜DP①②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・本科目は、「基礎看護学実習Ⅱ」「精神看護学概論」「精神看護援助論Ⅰ」「精神看護援助論Ⅱ」を履修し、単位を修得しておかなければ履修できない(先修条件)　・臨地実習における具体的な注意事項は、「看護学臨地実習要項」「精神看護学実習要項」に記す。

教科書

系統看護学講座　精神看護学[1][2]　医学書院

参考書

精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ・Ⅱ、臨床病態学Ⅲ（精神）、家族看護学（精神）、関係法規（精神）の講義資料および各科目で提示した参考図書・文献など　ストレングスからみた精神看護過程：萱間真美　編、医学書院

研究室／オフィスアワー

メールで事前にアポイントをとってください。　西山：　tadahiro_nishiyama@morinomiya-u.ac.jp　　研究室：桜棟５階研究室 13　米花：　shino_beika@morinomiya-u.ac.jp　　研究室：東棟４階共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	精神看護学実習要項　参照	精神看護学実習要項 参照	西山、米花

成績評価方法と基準	割合
・実習態度および達成度を総合的に評価し、60 点以上を単位認定とする　・原則として全出席が評価の対象となる　　＊詳細は、「臨地実習要項」「精神看護学実習要項」に記す　＜DP①②③④＞	100%

授業科目名	健康教育論（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	Ip20C305	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

本授業では、健康教育において重要な健康行動理論や対人対応スキルを学び、これらの知識を基に、健康教育プログラムを実際に作成し、実施する。授業を通じて、健康課題に対する効果的な介入方法を学び、個人や集団の健康を向上させるための基礎的な知識と実践的なスキルを習得することを目指す。

学修目標

1. 健康教育に関連する主要な健康行動理論を理解し、説明できる。<DP１＞　2. 健康教育に必要な対人対応スキルを学び、適切に活用できる。<DP１＞　3. 対象者や集団の健康課題を明確にし、対象者のニーズにあった健康教育プログラムをグループで協力して作成できる。<DP１、2＞　4. 健康教育の実施プロセスを通して、課題解決に向けた対象者理解や意図的な企画の重要性を理解できる。<DP１＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の前半では健康教育に関する知識や理論を学び、後半ではグループで健康教育を作成します。企画書や健康教育をグループで作成するプロセスを通して、コミュニケーション能力、チームワーク、そして実践力を高めましょう。

教科書

授業ごとに配布

参考書

松本千明著. 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に 第２版. 医歯薬出版. 2024 年

研究室／オフィスアワー

西棟 533：笹井　＊事前にアポイントを取ってください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康教育の定義	予習：健康教育という言葉について調べる 復習：講義内容の復習	
2	健康行動と行動変容①	予習：人々の行動を変える「行動理論」について調べる　復習：講義内容の復習	
3	健康行動と行動変容②	予習：人々の行動を変える「行動理論」について調べる　復習：講義内容の復習	
4	健康行動と行動変容③	予習：人々の行動を変える「行動理論」について調べる　復習：講義内容の復習	
5	情報の伝え方	予習：現在自分たちが実施している情報収集や他者への情報提供に関する課題について調べる　復習：講義内容の復習	
6	健康教育に関連する理論および実践への応用	予習：個人に対する保健指導を実施する際の対人スキルを調べる　復習：講義内容の復習	
7	健康教育における教育技術	予習：健康教育における目的、目標の作り方や教育方法に関して調べる　復習：講義内容の復習	
8	健康教育の準備（テーマと目的の検討）	予習：今までの講義で学習した内容を踏まえ、企画書を作成する　復習：グループで作成した企画書の内容に関して吟味する	
9	健康教育の準備（計画書の作成）	予習：グループで作成した企画書が目的・目標を達成できるものとなっているか確認する　復習：目的・目標を達成するための健康	

		教育の内容を考える	
10	健康教育の準備（構成の検討）	予習:今まで学修した内容を踏まえて、指導案を考える　復習：企画書の内容を踏まえた指導案となっているか考える	
11	健康教育の準備（媒体の作成）	予習:目的・目標を達成するための適切な媒体を考える　復習：作成した媒体が対象者に適したものとなっているか考える	
12	健康教育の準備（準備した媒体の確認と修正）	予習:健康教育全体の流れに関して目的・目標を達成するために適切なものとなっているか確認する　復習：講義内容の復習	
13	健康教育の発表（前半グループ）	予習：計画した健康教育がスムーズに実施できるよう確認し、練習する　復習:実施した健康教育が目的・目標を達成できていたかふりかえり、評価する	
14	健康教育の発表（後半グループ）	予習：計画した健康教育がスムーズに実施できるよう確認し、練習する　復習:実施した健康教育が目的・目標を達成できていたかふりかえり、評価する	
15	健康教育の企画・実施・評価のふりかえり（まとめ）	予習：自分たちや他のグループの実施した健康教育をふりかえり学びを深める　復習:講義全体を通して、人々の健康課題解決に向けた保健専門職の役割について考える	
成績評価方法と基準			割合
1. リアクションペーパー ＜DP1＞　2. 小テスト＜DP1＞　　小テスト終了後に授業内で回答のフィードバックを行う　3. 提出課題（４つの課題）＜DP1＞　4. 健康教育の実践をルーブリック評価表をもとに評価する＜DP1・2＞			1. 30%　2. 10%　3. 30%　4. 30%

授業科目名	家族看護学（看護）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／久木元　由紀子／黒岩　志紀／米花　紫乃	
科目ナンバリング	Ip20C306	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

現代社会における個人と家族を取り巻く社会は多様性を極めているが、家族は看護職が看護の対象とする社会の最小単位である。家族看護論では、「家族」について学び、ライフサイクルにおける健康問題と家族との関係性、家族に対するアセスメントと介入に必要な理論と方法について学修し、家族看護の役割を理解する。

学修目標

1. 家族の概念、形態、機能について理解することができる。DP①②　2. 家族の一員の健康問題による影響をうける家族へのアセスメント・介入の方法を理解することができる。DP①②　3. 家族のセルフケア機能を高める家族看護の役割について理解することができる。DP①②

履修上の注意(学生へのメッセージ)

家族看護はあらゆる領域に共通した家族援助である。家族のセルフケア機能を高める援助とは何かを意識してください。

教科書

家族看護学　理論と実践　第 5 版　鈴木和子・渡辺裕子・佐藤律子 著　日本看護協会出版会　978-4-8180-2208-9

参考書

系統看護学講座　別巻　家族看護学 第 1 版著者代表：上別府圭子　医学書院　ISBN 978-4-260-03192-9

研究室／オフィスアワー

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義オリエンテーション　家族看護とは	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する　復習：学習内容を整理する	外村
2	家族看護の対象理解　家族看護における看護者の理解	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する　復習：学習内容を整理する	外村
3	乳幼児をもつ家族への援助	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する　復習：学習内容を整理する。	黒岩
4	障害のある乳幼児の家族への援助	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する。　復習：学習内容を整理する	黒岩
5	救急医療・集中治療の場における家族への看護	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する。　復習：学習内容を整理する	久木元
6	終末期医療における家族への看護	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する。　復習：学習内容を整理する	久木元
7	精神疾患をもつ家族への看護	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する。　復習：学習内容を整理する	米花
8	高齢者介護における家族への看護	予習：テキストの該当箇所を読み疑問を整理する。　復習：学習内容を整理する	外村

成績評価方法と基準	割合
①定期試験　②課題レポート	①定期試験 60%、　②課題レポート 40% 2/3 以上の出席が必要。

授業科目名	看護管理論（看護）					
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美		
科目ナンバリング	Ip20C307	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

看護管理とは何か？　その範囲は？　誰が、何のために、何をどのように行うことなのか？　　本授業では、これらの問いを探求する。看護専門職としての質の高い看護サービス提供に対する責務の観点から，看護管理の必要性と重要性を認識するとともに，その展開における基本的方法についての理解を深め，実践への見通しを持つ。

学修目標

1. 看護管理の定義、目的、社会における看護職の役割と責務について理解し、看護管理を学ぶ意義を考察できる　2. 組織とは何か、組織の構造、組織が機能する仕組み、組織の目的・目標を達成するためのマネジメントプロセスを理解し、説明できる。　3. 看護のサービスの質とは何か、質保証の基盤となる医療・看護体制の仕組みを理解し、質の高い看護サービスを提供するための看護管理のあり方について、健康な働き方の観点から考察できる。　4. 看護サービスを生み出す資源であるヒト、モノ、カネ、情報の管理の実際を理解し、説明できる　5. 我が国の医療安全の取り組みの経緯、医療安全管理の考え方と方法の基本を理解し、説明できる　6. 医療・看護実践に伴うリスクを踏まえた予防的安全管理の方法の基本を理解し、医療安全管理における看護職の役割と責務について考察できる　7. 組織集団を方向付けるリーダーシップ機能の重要性と必要性、多様なリーダーシップ理論の看護管理への活用について理解し、説明できる　8. 看護専門職のキャリア発達を支援する卒後継続教育や研修等の仕組みを理解し、看護専門職のキャリア・ディベロップメントと主体的生涯学習の意義、及び、看護専門職のキャリアを支援する組織及び社会の責務について考察できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習での見聞も踏まえて、卒業後は当事者となることを見据えて、興味を持って主体的に学習してください。　毎回、リアクションペーパーにより、学習の深度を確認します。

教科書

吉田千文他著　ナーシング・グラフィカ　看護の統合と実践① 看護管理　メディカ出版

参考書

1. 中西睦子:『看護サービス管理　第４版』, 医学書院　2.久保真人他:『よくわかる看護組織論』ミネルヴァ書房　3.任和子編著:『病棟マネジメントに役立つみんなの看護管理』南江堂　4.エドガー・シャイン/金井寿宏訳:『キャリア・アンカー』白桃書房　　5.佐藤エキ子編：新体系看護学全書　看護の統合と実践（１）　『看護実践マネジメント/医療安全』メディカルフレンド社　6.L.コーン他，米国医療の質委員会，医学ジャーナリスト協会翻訳，『人は誰でも間違える－より安全な医療を目指して』，日本評論社　7.内田宏美

研究室／オフィスアワー

研究室：西棟 2 階 239　オフィスアワー：調整するのでメール hiromi_uchida@でアポをとること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　社会の中の看護:保健医療福祉のネットワークの要としての看護職の役割と責務 看護管理概説：看護管理の定義（協議・広義)、看護管理の目的､プロセスの概要　到達目標　①看護管理の定義、目的、社会における看護職の役割と責務について理解し､説明できる　②看護学生が看護管理を学ぶ意義を考察できる	予習：臨地実習での「看護管理」に関する体験を想起しておく　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートや PC に整理しておく。	内田宏美
2	看護専門職のキャリア･ディベロップメントとキャリア支援　到達目標　①看護専門職のキャリ	予習：教科書の当該箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通して、授業で	内田宏美

	ア発達を支援する卒後継続教育や研修等の仕組みを理解し、説明できる	確認できるようにノートやPCにポイントをピックアップしておく。　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートやPCに整理しておく。	
3	看護専門職のキャリア･ディベロップメントとキャリア支援　到達目標　①看護専門職のキャリアを支援する組織及び社会の責務について考察できる　②自身のキャリアを展望できる	予習：教科書の当該箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをピックアップしておく。　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートやPCに整理しておく。	内田宏美
4	組織とマネジメント　到達目標　①組織とは何か、組織の構造、組織が機能する仕組みについて理解し、説明できる。　②組織目的・目標を達成するためのマネジメントプロセスを理解し、説明できる。　合理的質保証のための資源管理（人材管理、物品管理、コスト管理、情報管理）　到達目標　①看護サービスを生み出す資源であるヒト、モノ、カネ、情報の管理の実際を理解し、説明できる	予習：教科書の当該箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをピックアップしておく。　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートやPCに整理しておく。	内田宏美
5	医療・看護サービスマネジメントと医療・看護の質保証　到達目標　①看護のサービスの質とは何か、質保証の方策の基本について理解し、説明できる。　②質保証の基盤となる医療・看護体制の仕組みを理解し、説明できる　③質の高い看護サービスを提供するための看護管理のあり方について、健康な働き方の観点から考察できる。	予習：教科書の当該箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをピックアップしておく。　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートやPCに整理しておく。	内田宏美
6	医療･看護の質保証と医療安全管理　到達目標　①我が国の医療安全の取り組みの経緯、医療安全管理の考え方と方法の基本を理解し、説明できる	予習：教科書の当該箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをピックアップしておく。　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートやPCに整理しておく。	内田宏美
7	医療･看護の質保証と医療安全管理　到達目標　①医療･看護実践に伴うリスクを踏まえた予防的安全管理の方法の基本を理解し、説明できる　②医療安全管理における看護師の役割と責務について考察できる	予習：教科書の当該箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをピックアップしておく。　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートやPCに整理しておく。	内田宏美
8	看護管理におけるリーダーシップ　到達目標　①組織集団を方向付けるリーダーシップ機能の重要性と必要性について理解し、説明できる　②多様なリーダーシップ理論の看護管理への活用について理解し、説明できる	予習：教科書の当該箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通して、授業で確認できるようにノートやPCにポイントをピックアップしておく。　復習：到達目標に沿って、学習内容をノートやPCに整理しておく。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
1. 平常点（毎回の学びのレアクションペーパー、及び、まとめの課題レポート）　2. 最終回時間内の筆記試験			1．平常点（毎回の学び：30%、まとめの課題レポート：20%）　2．筆記試験：50%

授業科目名	災害･国際看護論（看護）				
主担当教員	久木元　由紀子		担当教員	久木元　由紀子／水本　英佑／渡邉　敦子／藤田　さやか	
科目ナンバリング	Ip20C308	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

災害看護では、災害が人間、健康、生活環境、社会にどのような影響をもたらすのか現（事）象を通して考えられる。また、災害から人々の生命の健康・生活を守るために必要な看護支援と看護職の役割について学び、災害前から災害時・中・長期にわたる看護支援活動に必要な知識と技術を理解する。　国際看護では、日本が実施している国際支援を知ることを通して、異文化理解の重要性と世界の健康課題における看護の役割を理解する。

学修目標

・災害の種類や災害サイクルについて理解できる。〈DP1〉　・災害時の医療救護活動のフェーズと各期の看護について理解できる。〈DP1〉　・災害看護活動の場における生活への援助、身体的・精神的健康管理について理解できる。〈DP1、 3、 4〉　・災害時の医療チームの役割と看護の役割を理解する。〈DP2、 4〉　・看護における異文化理解の重要性を理解する。〈DP1、 2、3、4〉　・国際支援における看護の役割を理解する。〈DP1、3、4〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

私たち看護職が予期しない出来事による、生命や生活の脅威に対して立ち向かわなければならない課題の一つが災害です。自分の住んでいる地域社会や世界で起こっている災害に目を向け、災害から自分も含めて生命や健康・生活を守るために何が必要なのか看護の視点で考えられることがこの講義のポイントです。災害に関連する新聞記事や被災した人の体験記録など関心を持って情報収集し、主体的に学ぶ姿勢を求めます。

教科書

授業にて配布する

参考書

小原真理子，酒井明子監修：改訂 3 版　災害看護　心得ておきたい基本的な知識.南山堂，2019.　酒井明子，長田恵子，三澤寿美編：ナーシング・グラフィカー看護の統合と実践③災害看護．メディカ出版，2017.　「ICN Framework of Disaster Nursing Competencies」ICN.WHO，2009.　山本保博，鵜飼卓監修，国際災害研究会編：トリアージーその意義と実際．荘道社，1999.　黒田裕子，神崎初美：事例を通して学ぶ避難所・仮設住宅の看護ケア．日本看

研究室／オフィスアワー

*事前にアポイントをとること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業ガイダンス　災害看護の定義と分類､災害サイクル、法制度	予習：近年発生した災害について（2h） 復習：授業内容（2h）	藤田
2	災害サイクル急性期における健康課題と看護　トリアージ	予習：災害サイクル、トリアージ（2h） 復習：授業内容（2h）	藤田
3	災害サイクル中長期における健康課題と看護、避難所・仮設住宅における支援	予習：避難所、仮設住宅における健康課題（2h）　復習：授業内容（2h）	藤田
4	災害時の心のケア､災害看護の倫理　要支援者支援	予習：配布資料の熟読、看護の倫理原則（2h）　復習：授業内容（2h）	藤田
5	災害への備え（自助・共助・公助）	予習：防災マップの入手、学校探索（2h） 復習：授業内容（2h）	藤田
6	国際看護１：国際看護における異文化理解	予習：日本の国際協力（2h）　復習：授業内容（2h）	

7	国際看護２：様々な国際援助	予習：国際支援、特に途上国について（2h）　復習：授業内容（2h）	
8	国際看護３：世界の健康課題と対策	予習：世界の保健課題について（2h）　復習：授業内容（2h）	
成績評価方法と基準			割合
災害看護　①筆記テスト 30 点、 ②レポート課題 30 点＜DP1・2・3・4＞　国際看護　③小テスト 10 点＜DP1・3・4＞、④レポート 10 点＜DP1・3・4＞、⑤発表 20 点 ＜DP1・2・3・4＞　小テストのフィードバックは終了後に授業内で実施する。			① 30%　② 30%　③ 10%　④ 10%　⑤ 20%

授業科目名	養護概説（看護）				
主担当教員	浪花　裕子		担当教員	浪花　裕子	
科目ナンバリング	Ip20C309	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

養護教諭の「養護」について体系的に学ぶ。養護教諭の歴史的変遷を理解し、養護教諭の職務の特性と専門性を活かし、創造的な養護教諭の実践能力を身に付ける。さらに、養護教諭に必要な教育者としての資質・能力を培い、児童生徒等の心身の健康の保持増進を目的に実践する教育職員であることを学ぶ。

学修目標

①養護の概念を体系的に学ぶと共に養護教諭独自の養護活動の展開について、具体的に考えることができる。<DP①>　②養護教諭の歴史的変遷を理解し、学校教育に果たす養護教諭の専門性と役割について、説明することができる。<DP①>　③学校教育を基本として、効果的な保健教育や保健指導が実践できるようにする。<DP①>　④保健室の機能と養護教諭の活動課程を理解し、養護教諭に求められる資質・能力を身に付ける。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

養護教諭の専門的役割は、看護学・教育学で学んだ知識・技術をもとに、教育者として児童生徒等の心身の健康を保持増進することです。時代のニーズに応じ変化しながらも、養護実践能力を身に付けてください。

教科書

「新版養護学概論－養護教諭の専門性と根拠に基づく養護実践―」東山書房　竹鼻ゆかり　齋藤千景　籠谷恵編著

参考書

「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」文部科学省　「学校保健概説」浪花　裕子　（株）ERP

研究室／オフィスアワー

東棟１階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　「養護」とは　養護教諭の専門性と歴史的変遷	予習：養護教諭の専門性を考える(2H)　復習：教科書で復習（総論第１・２・３章）(2H)	浪花裕子
2	養護教諭と学校保健活動　学校保健計画	予習：学校保健計画を作成する(2H)　復習：教科書で復習（総論第６章）(2H)	浪花裕子
3	養護教諭と保健室　保健室経営	予習：保健室のレイアウトを考える(2H) 復習：教科書で復習（総論第７章）(2H)	浪花裕子
4	養護教諭の活動課程と組織活動	予習：学校保健委員会の内容を考える(2H) 復習：教科書で復習（総論第８章各論第４章）(2H)	浪花裕子
5	保健管理―救急処置	予習：救急処置での養護教諭の役割を考える(2H)　復習：教科書で復習（各論第１章５）(2H)	浪花裕子
6	保健管理―健康診断	予習：健康診断での養護教諭の役割を考える(2H)　復習：教科書で復習（各論第１章２）(2H)	浪花裕子
7	保健管理―健康観察	予習：健康観察での養護教諭の役割を考える(2H)　復習：教科書で復習（各論第１章１）(2H)	浪花裕子
8	保健管理―疾病の管理と感染症予防	予習：感染症予防の養護教諭の役割を考える(2H)　復習：教科書で復習（各論第１章３・４）(2H)	浪花裕子

9	保健管理―環境衛生	予習：環境衛生での養護教諭の役割を考える(2H)　復習：教科書で復習（各論第１章６）(2H)	浪花裕子
10	保健教育	予習:指導案を一つ作成する(2H)　復習:教科書で復習（各論第２章）(2H)	浪花裕子
11	健康相談	予習：相談内容の事例を収集する(2H)　復習：教科書で復習（各論第３章）(2H)	浪花裕子
12	保健指導	予習:指導略案を一つ作成する(2H)　復習:教科書で復習（各論第３章）(2H)	浪花裕子
13	現代的健康課題と多職種連携	予習：多職種とはどのような職種か調べる(2Ｈ)　復習：教科書で復習（総論第５章）(2Ｈ)	浪花裕子
14	危機管理と学校安全	予習：危機管理での養護教諭の役割を考える(2H)　復習：教科書で復習（総論第５章５）(2H)	浪花裕子
15	特別なニーズのある児童生徒等への支援　養護概説のまとめ	予習:「特別なニーズのある児童生徒」とはどのような児童生徒か考える(2H)　復習:教科書で復習（第１章・第２章）(2H)	浪花裕子
成績評価方法と基準			割合
①レポート・課題　②講義中の発表・発言　③筆記試験			①２０％　②２０％　③６０％

授業科目名	学校保健（看護）				
主担当教員	浪花　裕子		担当教員	浪花　裕子	
科目ナンバリング	Ip20C310	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

学校保健の目的、学校保健安全法及び学校関連教育法規、学校における保健管理と保健教育の基礎的かつ重要な事項について学ぶ。またそれぞれの領域について、主体的に考え積極的に参加し、学生相互の研鑽により実践能力を身に付ける。

学修目標

①学校保健の目的・領域・構造と内容を理解し、学校保健担当者の役割を説明できる。　②学校保健推進に必要な学校保健安全法をはじめ関連法規を理解する。　③保健教育について、その体系や内容について理解し、実践できるようにする。　④保健管理について理解し、実践力を身に付ける。　⑤学校における疾病の予防と管理に関して、看護学で学んだことを実践できるようにする。⑥学校保健の現代的健康課題を理解し、その対応に取り組む実践力を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

養護教諭の強みは、教育学と看護学が基礎にあることです。看護学を学ぶ中で、養護教諭に必要な知識・技術に関連する分野を意識して学び、学校保健を円滑に推進できるよう応用能力を身に付けてください。

教科書

「学校保健概説」浪花　裕子　（株）ERP

参考書

学校保健の課題とその対応―令和 2 年度改訂―日本学校保健会

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　「学校保健」とは　学校保健の目的・領域・構造	予習：自身の学校生活を振り返り、学校保健に関する行事や出来事を調べる(2H)　復習：教科書で復習（第１章第１節）(2H)	浪花裕子
2	学校における救急処置	予習：病院に移送するけがの処置や対応について経験談かニュースを調べる(2H)　復習：教科書で復習（第３章第１節）(2H)	浪花裕子
3	学校における健康診断	予習：病院に移送するけがの処置や対応について経験談かニュースを調べる(2Ｈ)　復習：教科書で復習（第３章第１節）(2Ｈ)	浪花裕子
4	学校における健康観察	予習：健康観察結果をどのように活用すればよいか考える(2H)　復習：教科書で復習（第３章第３節）(2H)	浪花裕子
5	学校における疾病の管理と感染症予防	予習：学校で予防すべき感染症について調べる(2H)　復習：教科書で復習（第３章第４節）(2H)	浪花裕子
6	学校における環境衛生	予習：水質検査（水道水・プール）の方法を調べる(2H)　復習：教科書で復習（第３章第５節）(2H)	浪花裕子
7	学校における健康相談	予習：健康相談内容にはどのようなものがあるか調べる(2H)　復習：教科書で復習（第５章第１節）(2H)	浪花裕子
8	学校における保健指導	予習：保健指導を自分がするとしたらどのような内容か考える(2H)　復習：教科書で復習（第５章第２節）(2H)	浪花裕子

9	学校における保健教育	予習：担任と一緒に（T・T）授業をするならどのような内容か考える(2Ｈ)　復習：教科書で復習（第４章）(2Ｈ)	浪花裕子
10	学校安全と危機管理	予習：学校で起こった事故・事件とその対応を調べる(2H)　復習：教科書で復習（第２章第５節）(2H)	浪花裕子
11	現代的健康課題と心の健康問題	予習：現代的健康課題にはどのようなものがあるか調べる(2H)　復習：教科書で復習（第２章第４節）(2H)	浪花裕子
12	養護教諭の職務と保健室経営	予習：養護教諭の職務はどのようなものがあるか調べる（具体的に）(2H)　復習：教科書で復習（第２章第１節３節）(2H)	浪花裕子
13	配慮を要する児童生徒への対応と組織活動	予習：多職種連携をしてうまくいった事例を調べる(2H)　復習：教科書で復習（第６章第２章第２節）(2H)	浪花裕子
14	学校保健計画・学校安全計画	予習：特別支援教育の現状を調べ、心理学等で学んだ発達障害について復習しておく。(2H)　復習：授業の復習(2H)	浪花裕子
15	食育と学校給食　学校保健のまとめ	予習：アレルギー対応について調べる(2Ｈ) 復習：教科書で復習（第１章第１節）(2Ｈ)	浪花裕子
成績評価方法と基準			割合
①レポート・課題　②講義中の発表・発言等　③筆記試験　＜DP①＞			①20%　②20% ③60%

授業科目名	健康相談活動論（看護）				
主担当教員	浪花　裕子		担当教員	浪花　裕子	
科目ナンバリング	Ip20C311	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年児童生徒等の健康問題が多様化・複雑化しており、児童生徒のみならず、保護者・担任等からの相談も多く、養護教諭の健康相談が重要視されている。養護教諭の職務の特性や保健室の機能を生かした健康相談の基礎・基本及び健康相談の実践力と力量を身に付ける。また一人で抱え込まず、連携・協働の在り方も学ぶ。

学修目標

①養護教諭の特性と保健室の機能を生かした健康相談を習得する。　②保健室来室場面で、心身に問題を持つ児童生徒等のニーズを理解するためのアセスメント・支援能力を習得する。　③健康相談に必要な専門知識と技術を身に付け、応用・実践できる能力を習得する。　④保護者・担任等、教職員や関係職員が協働して支援し、校内外の関係機関との連携ができるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

養護教諭は、児童生徒等の悩みの相談や身体症状の裏にある心の問題に気を配りながら職務を行っている。児童生徒の訴えや心の叫びに耳を傾け、ニーズを見極め判断し対応できる専門的力量を学んでください。

教科書

「新版養護教諭の行う健康相談」東山書房　大谷尚子・鈴木美智子・森田光子編

参考書

教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引き－令和３年度改訂―日本学校保健会

研究室／オフィスアワー

東棟１階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	養護教諭の行う健康相談（養護教諭の役割と活動）の基本的理解	予習：養護教諭の行う健康相談の内容を考える(2H)　復習：教科書で復習（第１章第１節）(2H)	浪花裕子
2	健康相談と保健室	予習：健康相談に向いている保健室のレイアウトを考える(2H)　復習：教科書で復習（第１章第２節）(2H)	浪花裕子
3	健康相談の過程	予習：教科書 A 子の事例を読み、どのような言葉をかけるか考える(2H)　復習：教科書で復習（第２章第１節）(2H)	浪花裕子
4	健康相談の対象理解と見立て	予習：事例をみつけ、自分なりの見立てを考える(2H)　復習：教科書で復習（第２章第２節）(2H)	浪花裕子
5	支援のための連携と協働	予習：支援のための連携・協働するスタッフはどのような人がいるか調べる(2H)　復習：教科書で復習（第２章第３節）(2H)	浪花裕子
6	保健室を想定した健康相談･ロールプレイイング１	予習：ロールプレイイングの準備をする(2H)　復習：教科書で復習（第４章第２節）(2H)	浪花裕子
7	保健室を想定した健康相談･ロールプレイイング２	予習：ロールプレイイングの準備をする(2H)　復習：教科書で復習（第４章第２節）(2H)	浪花裕子
8	場面や「問題」に応じた健康相談	予習：健康相談における「問題」とは何か考える(2H)　復習：教科書で復習（第３章）(2H)	浪花裕子

9	健康相談に必要な力量と学びの方法	予習：健康診断に必要な力量とはどのようなものか考える(2H)　復習：教科書で復習（第４章第２節）(2H)	浪花裕子
10	事例検討の進め方・記録のとり方	予習：事例について考える(2H)　復習：教科書で復習（第４章第３節）(2H)	浪花裕子
11	事例検討１	予習:事例について考える(2H)　復習:教科書で復習（第５章）(2H)	浪花裕子
12	事例検討２	予習:事例について考える(2H)　復習:教科書で復習（第５章）(2H)	浪花裕子
13	保健室を想定した健康相談･ロールプレイイング３	予習：ロールプレイイングの準備をする(2H)　復習：教科書で復習（第５章）(2H)	浪花裕子
14	保健室を想定した健康相談･ロールプレイイング４・評価	予習：ロールプレイイングの準備をする(2H)　復習：教科書で復習（第５章）(2H)	浪花裕子
15	健康相談のまとめ	予習：どんな言葉がけ態度が必要か考える(2H)　復習：教科書で復習（第２章）(2H)	浪花裕子
成績評価方法と基準			割合
①レポート・課題　②講義・演習中の発言、参加・活動状況　③筆記試験			①２０％　②２０％　③６０％

授業科目名	公衆衛生看護学概論（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰	
科目ナンバリング	PHN20C312	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

公衆衛生看護の対象はすべてのライフステージにある人々であり、あらゆる健康レベルの人々である。この授業では、日本における公衆衛生看護の理念、活動と体制、そしてそれを支える法制度を理解しながら、代表的な健康課題への支援について学ぶ。プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの理念を理解し、公衆衛生看護活動の展開における理論や方法論の基盤を理解することを目指す。

学修目標

1. 公衆衛生看護の定義と目的を理解できる。〈DP 1〉 2. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの理念とキーワードを理解できる。〈DP 1〉 3. 公衆衛生看護が対象とする代表的な健康課題を理解できる。〈DP 1〉 4. 公衆衛生看護活動の場、活動内容、方法を理解できる。〈DP 1〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１年次で学んだ公衆衛生学を踏まえ、地域住民が抱えやすい健康問題について学修しますので、公衆衛生学をよく復習して臨んでください。

教科書

公衆衛生がみえる 2024-2025（１年次の公衆衛生学で購入した教科書）

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生看護とはなにか（理念と歴史）	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
2	日本における公衆衛生看護	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
3	公衆衛生看護活動の地域診断	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
4	公衆衛生看護活動の方法としての保健相談	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
5	公衆衛生看護活動の方法としての家庭訪問	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
6	成人保健	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
7	母子保健の支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
8	児童福祉の支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
9	高齢者保健の支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
10	障害者・難病保健福祉と支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
11	精神保健福祉と支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰

12	健康危機管理と支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
13	感染症対策と支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
14	学校保健と支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
15	産業保健と支援の実際	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験（DP①）　＊2/3 以上の出席が必要			1.100%

授業科目名	公衆衛生看護学演習（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	PHN20C313	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限、木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を基盤に、乳幼児期、成人期、高齢期といった各発達段階を対象とした具体的な支援方法として、家庭訪問、保健指導、健康教育を計画・実践する。これにより、現場で活用可能な知識と技能の習得を目指す。

学修目標

1. 家庭訪問、保健指導、健康教育の意義と手法を理解し、それぞれの活動が地域住民の健康課題解決にどのように寄与するかを説明できる。<DP1・4> 2. 家庭訪問の技術を習得し、対象者の健康状態や生活環境を包括的にアセスメントし、適切な支援計画を立案できる。<DP1・4> 3. 行動変容を目指した特定保健指導の計画と実施ができる。<DP1・4> 4. 地域住民に多く見られる健康課題を踏まえた健康教育プログラムを企画し、対象者に合わせた教育方法で効果的に実施できる。<DP1・4>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．演習には積極的に参加し、他の履修学生と協力して学修することを心がけましょう。　２．この授業で学ぶ技術は４年次の保健師実習で不可欠なものになりますので、十分な予習と復習をして臨みましょう。　３．保健師課程の学生は履修が必須です。

教科書

授業時に提示します。

参考書

授業毎に提示する

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 S12：関口　　西棟研究室 W533：笹井　＊事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション（授業日程、演習の進め方） 公衆衛生看護における支援方法（家庭訪問、保健指導、健康教育）	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
2	健康教育：課題の明確化	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
3	健康教育：企画書作成①	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
4	健康教育：企画書作成②	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
5	健康教育：指導案の作成①	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習してお	関口敏彰　笹井佐和子

		く。	
6	健康教育：指導案の作成②	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
7	健康教育：媒体作成①	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
8	健康教育：媒体作成②	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
9	健康教育のデモンストレーション	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
10	健康教育の内容の修正	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
11	健康教育のデモンストレーション	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
12	健康教育の内容の修正①	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
13	健康教育の内容の修正②	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
14	健康教育の実践①	公衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。また、および健康教育論で学んだ内容も復習しておく。	関口敏彰　笹井佐和子
15	健康教育の実践②	実践した健康教育の目的目標が達成できたかどうか、良かった点、修正が必要な点を整理しておく	関口敏彰　笹井佐和子
16	健康教育のふりかえり・評価	ふりかえり・評価を踏まえて、健康教育実施時に支援者として必要な知識・技術を確認する	関口敏彰　笹井佐和子
17	家庭訪問の意義と技術	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
18	家庭訪問：乳幼児健康診査	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
19	家庭訪問の演習①	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
20	家庭訪問の演習②	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
21	家庭訪問のふりかえりと評価	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子

22	生活習慣病ハイリスク者への保健指導:特定健診	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
23	保健指導計画①	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
24	保健指導計画②	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
25	保健指導内容の作成①	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
26	保健指導内容の作成②	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
27	保健指導に使用する媒体の作成①	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
28	保健指導に使用する媒体の作成②	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
29	保健指導の実践（ロールプレイ）	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
30	実施した保健指導のふりかえり・評価	衆衛生看護活動論Ⅰ、Ⅱで学んだ地域の課題や対象者の特性を復習し、それらに基づく支援の基礎を再確認する。	関口敏彰　笹井佐和子
成績評価方法と基準			割合
1. 家庭訪問、特定保健指導、健康教育のそれぞれをルーブリック評価表をもとに評価する＜DP1・2＞　2. 提出課題（保健指導計画、健康教育企画書）＜DP1・2＞　＊単位取得には 4/5 以上の出席が必要			1. 60%　2. 40%

授業科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	PHN20C314	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

公衆衛生看護は地域で生活するあらゆる健康レベルの人々を対象として、健康レベルや生活の質の向上を目的とする。本講義では、保健師活動の対象となる地域で生活する人々（個人・家族・集団）の健康問題やその関連要因について具体的に学ぶ。主として、乳幼児期、成人期、高齢期のライフサイクルに応じた公衆衛生看護活動を展開するための基盤について学修する。

学修目標

1. 対象別の公衆衛生看護活動の考え方が理解できる。＜DP１＞　2. 対象別の公衆衛生看護活動を展開するうえで必要な情報について把握し読み取ることが出来る。＜DP１＞　3. 予防活動の対象となる疾患や健康問題について理解する。＜DP１＞　4. 活動の根拠となる法律や制度および連携機関について理解できる。＜DP１・２＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．公衆衛生看護学概論を基礎として保健師に必要な具体的な活動を学ぶ科目であるため、保健師課程を希望する学生は本科目の履修が必要です（公衆衛生看護活動論Ⅱも必ず履修すること）。また、公衆衛生看護の視点は看護師においても重要です。保健師課程の希望者以外の学生も履修してください。

教科書

公衆衛生看護学.jp　第 6 版　１年次に購入した「公衆衛生がみえる」も使用します。

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。　桜棟共同研究室（笹井）随時（事前に連絡ください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生看護活動の概要	予習：公衆衛生看護学概論で学んだことを確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子 関口敏彰
2	妊娠期の健康問題と支援制度	予習：教科書で妊娠期に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
3	乳児期の健康問題と支援制度	予習：教科書で乳児期に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
4	幼児期の健康問題と支援制度	予習：教科書で幼児期に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
5	保護者の健康問題と支援制度	予習：教科書で母子保健に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
6	メタボリックシンドロームと特定健診	予習：教科書で特定健診に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
7	メタボリックシンドロームと特定保健指導	予習：教科書で特定保健指導に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
8	栄養関連問題と栄養指導	予習：教科書で特定保健指導に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
9	喫煙と禁煙指導	予習：事前に配布する禁煙支援マニュアルを確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
10	悪性新生物とがん検診	予習：教科書でがん検診に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰

11	要介護･要支援高齢者の健康問題と介護保険制度	予習：教科書で介護保険制度に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
12	サービス事業対象者と地域支援事業	予習：教科書で介護保険制度に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
13	高齢者の健康課題と地域包括支援センター	予習：教科書で地域包括支援センターを確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
14	認知症高齢者と支援	予習：教科書で認知症に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
15	高齢者虐待と支援	予習：教科書で高齢者虐待に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験（DP①②）			1.100%

授業科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰	
科目ナンバリング	PHN20C315	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

公衆衛生看護活動の展開過程を通して、地域で生活する人々（個人・家族・集団）が抱える健康問題に対する支援に必要な基本的技術を学修しながら、行政機関（保健所・市町村保健センター）における公衆衛生看護活動の基本的な考え方と保健師の活動の実際を理解する。本講義では、主として、対象別支援としての家庭訪問や保健指導、相談支援について学修する。

学修目標

1. 対象別の公衆衛生看護活動の考え方と活動方法が理解できる。<DP１・４＞　2. 対象別の公衆衛生看護活動を展開するうえで必要な情報について把握し読み取ることが出来る。<DP１・４＞　3. 保健師活動の方法について理解し、その方法を用いた支援を検討することができる。<DP１・２・４＞　4. 保健師活動に求められる対象者を理解し、寄り添う姿勢を身につけることができる。<DP3>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．公衆衛生看護学概論を基礎に保健師に必要な具体的な活動を学ぶ科目であるため、保健師課程を希望する学生は本科目の履修が必要です（公衆衛生看護活動論Ⅰも必ず履修すること)。また、公衆衛生看護の視点は看護師においても重要です。保健師課程の希望者以外の学生も履修してください。

教科書

公衆衛生看護学.jp　第 6 版　１年次に購入した「公衆衛生がみえる」も使用します。

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。　桜棟共同研究室（笹井）随時（事前に連絡ください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	保健師活動における支援方法	予習：シラバスを確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子 関口敏彰
2	家庭訪問を通じた情報収集	予習：教科書で家庭訪問に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
3	家庭訪問を通じた情報提供	予習：教科書で家庭訪問に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
4	乳幼児健診における問診	予習：教科書で乳幼児健診に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
5	乳幼児健診における相談支援	予習：教科書で相談支援に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	笹井佐和子
6	特定健診における問診と結果説明	予習：教科書で特定健診を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
7	特定保健指導における目標設定と動機づけ	予習：教科書で特定保健指導とヘルスビリーフモデルを確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
8	食生活バランスガイドを用いた保健指導	予習：教科書で食事バランスガイドを確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
9	禁煙指導マニュアルを活用した保健指導	予習：事前に配布する禁煙支援マニュアルを確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰

10	がん検診の受診勧奨	予習：事前に配布するナッジ理論の資料を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
11	要介護の対象者からの情報収集と適切なサービスの紹介	予習:教科書で介護保険制度を確認　復習:授業内容を復習	関口敏彰
12	要支援の対象者からの情報収集と適切なサービスの紹介	予習:教科書で介護保険制度を確認　復習:授業内容を復習	関口敏彰
13	高齢者支援の他職種・他機関との連携と助言	予習：教科書で地域包括支援センターを確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
14	認知症高齢者への相談支援	予習：教科書で認知症に該当する箇所を確認　復習：授業内容を復習	関口敏彰
15	高齢者虐待の加害家族への相談支援	予習:教科書で高齢者虐待を確認　復習:授業内容を復習	関口敏彰
成績評価方法と基準			割合
1. レポート等の提出物＜DP1・2・3・4＞			1.100%

授業科目名	公衆衛生看護活動論Ⅲ(看護)				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子／西内　恭子	
科目ナンバリング	PHN20C316	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限、水曜 4 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

○学校保健　学校保健の概要や関係法規、学校保健推進に関わる職務内容やその特質について学ぶ。また、痩せ・肥満、視力低下、アレルギー、不登校、いじめ、児童虐待、不登校、薬物乱用、心の問題等の学童期・思春期の健康課題について知識を習得し、かつ理解を深め、学校保健と関係機関および関係職種との連携や学校保健における看護職の役割について自らの考えを述べることができるよう学修する。　○産業保健　産業保健では、その目指すものを認識するとともに職場環境と労働者との相互作?により?ずる健康問題を理解して、働く?々が安全で快適な労働?活を送ることができ、企業の活性化にも繋がるよう?援する産業保健活動の基礎的な知識を学修する。また、社会・経済状況の変化に影響される労働者の健康課題やその対策についてクリティカルに考え、さらに産業看護職の役割と職務について考察できるように学修する。

学修目標

○学校保健　1. 学校保健の概念や学校保健に関連する基本的な知識を身につけることができる。〈DP①〉 2. 学童期・思春期の健康課題を理解した上で、学校保健経営について考えることができる。〈DP①〉 3. 学校保健と地域保健の協働・連携について理解を深め、学校における看護職の役割や意義について自らの考えを述べることができる。〈DP①②〉　○産業保健　1.産業保健の目指すものを理解し、その重要性を認識する。<DP①②> 2.産業保健の動向と現状を理解し、健康課題を認識する。<DP①> 3.産業保健の推進体制と推進活動に係わる基礎知識を習得する。<DP①> 4.産業保健における看護職の役割と職務を理解する。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

○学校保健　1. 講義には積極的に参加し、疑問点がある場合は解決できるよう行動する。 2. 講義を通して、学校における看護職の役割や意義について考える。　○産業保健　1. レポート課題は期?までに提出する。 2. 講義には積極的に参加する。

教科書

○学校保健　公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書を使用します　○産業保健　なし

参考書

○学校保健　・学校保健概論　光生館　・国民衛生の動向　○産業保健　・国?衛?の動向

研究室／オフィスアワー

学校保健については、西棟共同研究室 W533（笹井）随時（事前に連絡ください）　産業保健については講義日に質問対応を受け付ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学校保健の概要および関連法規	予習：学校保健安全法について教科書で予習する　復習：講義内容の復習	笹井佐和子
2	学校保健制度	予習：学校保健安全法について教科書で予習する　復習：講義内容の復習	笹井佐和子
3	学童期・思春期の健康課題の現状　健康観察	予習：学童期・思春期の健康課題について教科書で予習する　復習：講義内容の復習	笹井佐和子
4	学童期・思春期の健康課題の支援	予習：学童期・思春期の健康課題について教科書で予習する　復習：講義内容の復習	笹井佐和子
5	学童期・思春期の健康課題の支援	予習：学童期・思春期の健康課題について教科書で予習する　復習：講義内容の復習	笹井佐和子

6	学童期・思春期の健康課題に対する他機関連携	予習：学童期・思春期の健康課題について教科書で予習する　復習：講義内容の復習	笹井佐和子
7	学校保健活動の実際	これまでの授業内容を復習する。	関口敏彰
8	養護教諭の活動の実際	これまでの授業内容を復習する。	関口敏彰
9	オリエンテーション　地域保健における産業保健の位置づけ	予習:産業保健について調べる(2 時間)　復習：キーワードの確認（2 時間）	西内　恭子
10	産業保健の目標	予習：産業保健の目標について情報収集し講義に臨む（2 時　間）　復習：キーワードの確認（2 時間）	西内　恭子
11	産業保健の歴史	予習：産業保健の歴史について情報収集し講義に臨む（2 時　間）　復習：キーワードの確認（2 時間）	西内　恭子
12	労働者の健康問題の動向と現状　中間レポートの課題提?	予習：前回の授業から労働者の健康課題について過去と現代　との違いを考えてくる（2 時間）　復習：キーワードの確認（2 時間）	西内　恭子
13	中間レポートの発表　企業と健康	予習：中間レポートの作成(2 時間)　復習：キーワードの確認（2 時間）	西内　恭子
14	産業保健活動の課題と展望	予習：過労死と過労?殺について情報収集し講義に臨む（2 時　間）　復習：キーワードの確認（2 時間）	西内　恭子
15	労働衛?の基礎知識　労働衛??政と管理業務　最終レポートの課題提?	予習：労働衛?管理業務について情報収集し講義に臨む（2 時　間）　復習：最終レポートの作成（2 時間）	西内　恭子
成績評価方法と基準			割合
○学校保健　課題等成果物：25%　期末試験：75%　○産業保健　中間レポート 40%　最終レポート 60%			学校保健 50%　産業保健　50%

授業科目名	公衆衛生看護活動論Ⅳ（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	PHN20C317	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

現在我が国は様々な健康リスクに直面している。地震や豪雨等の災害に度々罹災し、我が国では今後も南海トラフ地震をはじめとした多様な災害に直面するリスクがある。罹災時の健康影響が想定されるため、対象特性に応じた対策が重要となる。また、国内外で問題となる気候変動や環境汚染等は我々の健康に直接的・間接的な影響も与え、特に社会的弱者が最も影響を受けやすく対策の検討が必要である。他にも新型コロナウイルスのように１類感染症等の極めて危険な感染症が国内で蔓延する恐れも考えられる。このような健康影響のリスクに対して、これまで学んだ公衆衛生看護活動を基盤にし、対象特性を考慮した保健支援について学修する。

学修目標

１．環境の変化に伴い予想される健康影響とその対策を社会的弱者への支援も含めて理解できる。(DP１)　２．災害の各時期に想定される健康課題とその対策を対象特性を考慮し理解できる。(DP１)　３．感染症法に基づく類型に応じた支援を理解できる。(DP１)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．保健師課程の学生は履修が必須です。　２．これまで学んだ公衆衛生看護学を基盤に学ぶ科目であるため、十分に復習して臨みましょう。

教科書

公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書を用います。

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。　西棟共同研究室 W634（笹井）随時（事前に連絡ください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	災害の各時期の健康課題	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	笹井佐和子
2	災害の各時期の保健師活動の実際	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	笹井佐和子
3	災害時のこころのケア	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	笹井佐和子
4	対象特性に応じた災害時の支援	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	笹井佐和子
5	対象特性に応じた災害への備え	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	笹井佐和子
6	感染症に関する国内外の現状	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
7	感染症法に基づく国内の感染症サーベイランス	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
8	検疫法に基づく検疫感染症の侵入防止	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
9	積極的疫学調査による感染症の蔓延防止	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰

10	積極的疫学調査の実際	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
11	保健所における DOTS 等の結核管理の実際	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
12	保健所における感染症対策の連携の実際	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
13	気候変動に伴う健康影響の問題	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
14	気候変動に伴う健康影響への対策	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
15	社会的弱者を考慮した気候変動に伴う健康影響への対策	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業内容の復習（2 時間）	関口敏彰
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験　２．レポート課題　2/3 以上の出席が必要。			１．80% ２．20%

授業科目名	公衆衛生看護管理論（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	PHN20C318	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

地域で公衆衛生看護活動を展開するうえで必要な管理について、その知識、技術を学修する。公衆衛生看護管理には、地区管理、事例管理、健康危機管理などがあり、この授業では主に上述の管理を中心に学ぶ。地区管理では、地域で生活する個人、家族、地域の特性を把握・アセスメントし、地域の健康問題や健康課題を抽出してこれを改善する方策の検討を通して、地域診断の概念と方法論を学ぶ。健康危機管理では、感染症対策の概要を中心に学ぶ。事例管理では、児童虐待などに対する他機関連携とケース管理および対応を学ぶ。

学修目標

1. 地域で生活する個人、家族、地域の特性をアセスメントするための地域診断について理解することができる。〈DP①〉　2. 地域の健康課題、健康問題について考えることができる。〈DP①〉　3. 公衆衛生看護活動の計画立案、実施、評価、改善について理解する。〈DP①〉　4. 公衆衛生看護活動を展開する上で必要な組織管理、事業・業務管理、人材育成、人事管理、社会資源管理、事例管理、情報管理、予算管理、リスクマネジメント、健康危機管理について理解する。〈DP①〉　5. 感染症の蔓延を予防する方策について理解する。〈DP①〉　6. 虐待の事例管理を通して対象者支援の方策について理解する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．地域診断の実践については各自の取り組みが重視されるため、積極的に学習しましょう。　２．保健師課程の学生は履修が必須です。

教科書

授業時に提示します。

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）、西棟共同研究室 W533（笹井）事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生看護における 10 の管理	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
2	地区管理と地域診断	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
3	地域診断の構成	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
4	地域診断で活用できる情報とその分析	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
5	地域診断を通した健康課題の把握	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
6	地域診断で明らかになった健康課題への支援の検討	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
7	地域診断で明らかになった健康課題への支援の評価	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
8	健康危機管理としての感染症対策	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
9	組織管理、人材育成、人事管理、予算管理	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰

10	社会資源管理、情報管理、リスクマネジメント	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	関口敏彰
11	事例管理としての虐待対策	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	笹井佐和子
12	通告・通報の受理とその後の対応	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	笹井佐和子
13	要保護児童対策地域協議会などの連絡会議の体制と対象者の管理	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	笹井佐和子
14	対象者の支援と他機関連携	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	笹井佐和子
15	家族への支援と他機関連携	予習：教科書の確認（1.5 時間）　復習：授業内容の復習（1.5 時間）	笹井佐和子
成績評価方法と基準			割合
１．地域診断の課題　２．定期試験			１．地域診断の課題 30% ２．虐待対策の課題 30% ３．定期試験 40%

授業科目名	保健医療福祉行政論（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰	
科目ナンバリング	PHN20C319	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

保健医療福祉行政は、地域に暮らす人々が健康で安心して暮らせるための「地域づくり」であり、それを推進する仕組みである。保健師の活動は、この保健医療福祉行政を具体化する実践であり、その実践には保健医療福祉に関する自治体以外の他機関・保健師以外の他職種との連携、各種制度の活用が欠かせない。特に精神障害を抱える対象者は多様な健康課題を持つ傾向があり、特に先述の取り組みが重要となる。保健医療福祉に関する行政と他機関・他職種との連携を通して保健師活動を理解することを目的とする。

学修目標

1. 保健医療福祉の地域づくりを推進する行政のしくみと機能を理解できる。〈DP1〉 2. 保健医療福祉行政と公衆衛生の専門職としての保健師の役割を理解できる。〈DP1〉 3. 保健医療福祉に関連する機関と職種を理解できる。〈DP1・2〉 4. 精神障害を抱える対象者の健康課題と支援を理解できる。〈DP1・2・4〉 5. 保健医療福祉の地域づくりを推進する保健師活動を学修する。〈DP1・2・3・4〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．保健師活動の対象は全ての世代にわたっており、全ての法律の基盤は日本国憲法である。保健医療福祉行政の全体像を把握し、法や制度の位置づけを理解することが必要です。　２．地域での主な法的基盤を復習するとともに、現代社会の仕組みについても復習が必要です。　３．保健師課程の学生は履修が必須です。

教科書

公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書を用います。

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	保健医療福祉行政の基本	公衆衛生看護学概論で学修したヘルスプロモーション、公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した法律について復習しておくこと。【予習・復習で４時間】	関口敏彰
2	保健医療福祉行政を推進する行政の仕組みと機能	事前に指定する教科書の範囲を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
3	行政における保健師の役割	事前に渡す「保健師活動指針 活用ガイド」の指定する範囲を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
4	保健医療福祉行政における計画と住民参画	事前に渡す資料を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
5	生活保護制度の仕組み	事前に渡す資料を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
6	生活保護制度の活用とケースワーカーとの連携	事前に指定する教科書の範囲を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
7	民生委員の役割と活動	事前に指定する計画の概要版を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
8	社会福祉協議会の機能と福祉制度	事前に指定する計画（範囲も事前に指定）を読んで予習しておくこと。　【予習・復	関口敏彰

		習で４時間】	
9	成年後見制度の仕組みと活用	事前に指定する教科書の範囲を予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
10	健康推進員制度と地域活動の推進	事前に配布する資料を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
11	精神保健福祉センターと精神保健福祉士との連携	事前に配布する資料を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
12	精神障害者が抱えやすい医療の課題とその支援	事前に配布する資料を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
13	精神障害者が抱えやすい保健の課題とその支援	事前に配布する資料を読んで予習しておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
14	精神障害者が抱えやすい福祉の課題とその支援	地域の保健・医療・福祉・介護の主なサービスについて復習しておくこと。【復習で４時間】	関口敏彰
15	民間ネットワークを活用した地域包括ケアシステムの構築	地域包括ケアシステムの現状を調べてまとめておくこと。　【予習・復習で４時間】	関口敏彰
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験<DP1>			1.100%

授業科目名	公衆衛生看護学実習（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	PHN20C320	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	4.00 単位	必修･選択	選択

授業概要

地域で生活する個人、家族、集団を対象とした疾病予防と健康増進に関する公衆衛生看護活動の理解を深め、保健師の機能である実態把握、計画策定・評価、相談・支援、教育・普及啓発、実際の調整・ネットワーク機能などを実践的に学ぶ。また公衆衛生看護活動を展開していくうえで必要なシステムや施策について考える力を養う。

学修目標

１）地域の健康課題を明らかにし、解決・改善する方向性を見出すことができる。DP①②③④　２）健康課題を解決、改善し健康増進能力を高める活動の展開について理解し、その一部を実施することができる。DP①②③④　３）地域の人々や関係機関との協働および社会資源の活用について理解できる。DP①②③④　４）地域の健康危機管理について理解できる。DP①②③④　５）公衆衛生看護活動について他者に伝えることができる。DP①②③④　６）実習を通して健康課題の対応策を考え地域看護計画を立案し、計画の根拠について明文化することができる。DP①②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１、３年次までの各領域に関する復習を行い、地域看護学領域に関しては、概論から活動論、保健福祉行政論を十分に学習して臨むこと。　２、主題実習Ⅰで行った地域診断を本実習で確認・検討を重ねる。　３、訪問・面接技術の復習・練習をしておくこと。　４、実習中に行う健康教育の準備工程を十分に持ち臨むこと。

教科書

これまでに使用した教科書

参考書

随時紹介する。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。　西棟共同研究室 W634（笹井）随時（事前に連絡ください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習期間　　4 年次前期	1. 実習施設で行われる事業について事前に学習する。　2. 主題実習Ⅰで行った地域診断について、不足している情報を収集し、完成させる。　3. 地域診断から明らかになった健康課題について、事業計画を立案し、評価について考える。	関口敏彰　笹井佐和子
2	実習場所　　大阪府内保健所および市町村保健センター	学修目標に従い、実習要項を確認すること。　実習施設で行う実習内容について情報収集すること。健康教育の実施については、実習前から計画的に行い、実習施設指導者と連携をはかりつつ、十分に練習を重ねること。	関口敏彰　笹井佐和子
3	実習方法　実習施設の事業予定に従い､担当保健師の指導の下に行う｡詳細は公衆衛生看護活動論実習要項を参照	グループカンファレンスを十分に行い、情報を共有すること。	関口敏彰　笹井佐和子

成績評価方法と基準	割合
（DP①②③④）　実習態度、実習内容、実習記録等を総合的に評価する　実習は全日出席が前提である	100%

授業科目名	主題実習Ⅰ（看護）				
主担当教員	西山　忠博		担当教員	西山　忠博／吉村　弥須子／外村　昌子／関口　敏彰／久木元　由紀子／黒岩　志紀／宮本　佳子／川添　英利子／齋藤　雅子／小林　妙子／岩佐　由美／武　ユカリ／下岡　ちえ／八幡　久美子／寺田　美和子／木村　清子／水本　英佑／松岡　小百合／内田　宏美／勝田　真由美／山岡　直子／笹井　佐和子／渡邉　敦子／清水　理恵／石崎　美保／原　明子／米花　紫乃／丸山　加寿子／門野　杏子	
科目ナンバリング	TOP20C403	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本実習は、3 年次までに修得した知識や技術あるいは臨地実習における学修を統合し、各自が掲げた主題（テーマ）を主体的に追究・実践することにより、看護実践能力育成に繋がることを目指したものである。　学生は、過去の学修を振り返り、各領域（基礎・成人急性・成人慢性・老年・母性・小児・精神・在宅・公衆衛生）が定めた多様なサブカテゴリーを基に主題（テーマ）の焦点を絞り、実習希望領域を選択する。主題（テーマ）はこれまでの実習における制限や限界をこえて視野を拡大したもの、経験を活かしてさらに専門性を深めるもの、今後の看護実践能力に繋がるようなものについて焦点を絞る。これは卒業研究と連携することが可能である。　学生は、確定した領域の指導のもと、各自の主題（テーマ）に応じた実習計画を立案し、実践する。さらには、一連の過程をまとめ、プレゼンテーションする。　詳細は別途、全体オリエンテーションおよび各領域オリエンテーションで説明する。

学修目標

1.これまでの学修経験を統合して課題を認識することができる。　2.各自が選択した領域のサブカテゴリーを基に主題（テーマ）を絞ることができる。　3.主題（テーマ）の意義を説明することができる。　4.主題（テーマ）に関する知識や先行研究を活用することができる。　5.主題（テーマ）に関する実践現場の現実を認識することができる。　6.実現可能な実習計画を立案することができる。　7.計画のもとに主体的に実践することができる。　8.一連の過程をまとめ、プレゼンテーションすることができる。
DP①②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.主題実習Ⅰは、専門分野Ⅱ「臨地実習」（急性・慢性・老年・母性・小児・精神）15 単位を修得し、単位を修得しておかなければ履修できない。(2023 年度以降入学生)　（詳しくは学生便覧、看護学臨地実習要綱参照)。　※2023 年度以前入学生については、学生便覧参照　2.実習領域については、事前に希望調査を行う。学生は希望の 3 領域を選択し、希望調査票に記載し提出する。ただし各領域の担当学生人数を超える場合は、希望の領域で実習できないことがある。　3.領域によって、在宅看護論実習と重なっている時期がある。在宅看護論実習の時期を確認し、領域の選択をする。　4.公衆衛生看護学領域での実習は、保健師課程学生のみが対象となる。　5.各領域、実習内容が異なるため、実習に関する詳細は担当教員の指示に従う。　6.各領域のサブカテゴリーは、下記の「学修内容」参照。

教科書

担当教員の指示を受ける

参考書

担当教員の指示を受ける

研究室／オフィスアワー			
担当教員の指示を受ける			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	基礎看護学　１）継続看護　２）医療安全　３）感染管理	担当教員の指示を受ける	全教員
2	成人看護学（急性期）　１）急性期の看護　２）手術室の看護　　上記に、チーム医療、継続看護、看護マネジメント・看護管理、災害看護などを含む	担当教員の指示を受ける	全教員
3	成人看護学（慢性期）　１）多職種連携（地域医療連携・退院支援等）　２）障がい受容　3）行動変容	担当教員の指示を受ける	全教員
4	老年看護学　１）老年期の看護（高齢者施設等における継続看護、多職種連携）　２）認知症高齢者に関する看護（認知症対応型グループホームなどにおける看護）	担当教員の指示を受ける	
5	母性看護学　1）周産期における妊産褥婦・新生児看護の統合（個別保健指導の実施、産後健診等）2）周産期におけるハイリスク妊産褥婦・新生児の看護　　上記に、看護管理を含む。	担当教員の指示を受ける	
6	小児看護学　小児と家族の発達段階に応じた看護	担当教員の指示を受ける	
7	精神看護学　1）精神疾患患者の健康の段階に応じた看護　2）精神疾患患者の地域生活を支える看護	担当教員の指示を受ける	全教員
8	在宅看護論　地域包括ケア、訪問看護利用者とその家族の看護　・地域包括ケアシステム、多職種連携、チーム医療、リスクマネジメント　・難病、慢性期、終末期、小児、精神疾患を持つ利用者を支援する看護	担当教員の指示を受ける	
9	公衆衛生看護学　１）学校における保健活動（保健教育、保健指導、学校環境管理等の理解）　２）産業における保健活動（就業者の健康課題の把握および職場環境管理を踏まえた保健活動の理解）３）地域における保健活動（地域包括支援センターや保健福祉行政における健康課題の把握および支援体制の理解）	担当教員の指示を受ける	
成績評価方法と基準			割合
担当教員が実習態度、実習内容、実習記録等を総合的に評価する。　原則として全出席が評価の対象。DP①②③④			評価表　100%

授業科目名	主題実習Ⅱ（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	TOP20C404	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

地域で障がいを抱えながら生活する人々や家族の生活や健康課題、地域で生活している障がい者の支援体制、障がい者がその人らしく生きることのできる地域社会づくりについて理解を深め、保健師としての必要な能力を養う。

学修目標

1.地域で生活している障がい者の生活や健康課題について理解する。DP①②③④　2.障がい者を支える家族の生活や健康課題について理解する。DP①②③④　3.地域の障がい者支援体制について理解する。DP①②③④　4.障がい者支援にかかわる専門職とその役割について理解する。DP①②③④　5.障がい者に焦点を当てたヘルスプロモーションについて理解する。DP①②③④　6.障がい者がその人らしく生きることのできる地域社会づくりや支援体制について考えることができる。DP①②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１、地域看護活動論実習の集大成と考え取り組むこと。

教科書

今までに使用した教科書、資料とする。

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。　桜棟共同研究室（笹井）随時（事前に連絡ください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	障がいのある方を対象とした､就労継続支援事業所､生活介護事業所､障害者支援施設での実習を行う。	各施設の特徴や対象者について事前学習を行う。　関係法規や社会資源について確認する。　グループメンバー間での情報の共有をし、学びを深めること	関口敏彰　笹井佐和子

成績評価方法と基準	割合
（DP①②③④）　実習態度、実習内容、実習記録等を総合的に評価する　原則として全出席をもって評価の対象とする	100%

授業科目名	看護研究（看護）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／川添　英利子／小林　妙子／下岡　ちえ／八幡　久美子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	GR20C501	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

看護学が発展するためには、新たな知識を獲得し拡大していく必要がある。また今日では専門職に EBN と EBM に基づく実践が強く求められている。これは看護実践者が、専門職として看護における未解決な課題に取り組み、実践に新たな知見を活用することが重要であることを意味している。本科目では、看護研究に対する基礎知識（テーマ決定から結論を得るまでの基礎的な研究プロセスや研究デザイン等）を理解し、4 年次の卒業研究に活用できることを目指す。また本科目は将来、看護職として活動する場合、しばしば必要となる内容であり、看護実践に研究から得られた知見を活用する方略も含んでいる。

学修目標

1．研究倫理について理解することができる。〈DP①③〉　2．看護研究の目的と意義を述べることができる。〈DP①〉　3．看護研究における基本的人権と倫理上の原則を述べることができる。〈DP①③〉　4．自己の「こだわり・疑問点」に関する先行研究を検索し、内容をまとめることができる。〈DP①④〉　5．学術論文のクリティークを理解することができる。〈DP①④〉　6．主な研究デザイン（質的および量的研究）の概要を説明することができる。〈DP①④〉　7．研究計画書を作成することができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

これまで学修してきた知識や技術あるいは臨地実習の経験をフィードバックし、身近な体験からの「おや？」を大切にし、興味・関心・疑問を想起しておくこと。このことは研究へ着手する際に重要なことです。　また「統計学」は復習しておくこと。

教科書

系統看護学講座別巻「看護研究」医学書院

参考書

看護研究　メディカ出版　看護と研究　根拠に基づいた実践　南江堂

研究室／オフィスアワー

W 棟 3 階 331（外村）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教科目ガイダンス　看護研究について　看護研究の目的と意義、研究材料の発見、研究と基本的人権・倫理上の原則　研究疑問について	予習：テキストの「序章」を読み、看護研究の必要性を、同様に第 4 章「研究における倫理的配慮」を読み、倫理の必要性を考えておくこと。テキストの研究疑問について読み、研究疑問の課題を行う　復習：講義内容についてテキストで確認すること。自己の研究疑問について整理する。(1 時間)	外村
2	文献検索と文献整理　到達目標　①文献検索データベースを活用することができる　②看護研究に適した文献検索方法について説明できる	予習: テキスト「ｐ54-63351-352、73-82、」を読み、検索の基礎知識である「and」「or」「not]について理解しておく 復習：文献検索のキーワードを考える。授業の整理（1 時間）	下岡
3	文献検索ワーク	予習：第 3 回の授業資料を復習しておく 復習：授業内容を復習する	全教員

4	質的研究・ケーススタディ	予習：テキストの質的研究デザインについて読んでおく　復習：授業の整理。(1 時間)	外村
5	文献研究	予習：テキストの文献研究について読んでおく　復習：授業の整理。(1 時間)	小林
6	量的研究	予習：　テキストの量的研究デザインについて読んでおく　復習：授業の整理。(1 時間)	高木
7	実験研究	予習：　テキストの実験研究について読んでおく　復習：授業の整理。(1 時間)	外村
8	文献クリティーク　到達目標　①文献クリティークの概要について説明できる　②医学中央雑誌ｗｅｂ版を用いた文献リスト作成方法について説明できる	予習：文献文献クリティークに関するテキスト「ｐ66-69」を読んでおく。また「情報処理」で学んだ Word、Excel の基本的な操作方法について復習しておくこと。　復習：授業の整理と自身の研究テーマについて文献リストを作成する（1 時間)。	川添
9	文献クリティーク（グループワーク）　到達目標　①文献クリティークの概要について説明できる	予習：第 5 回目の授業内容を復習する。資料を読み自身の意見をまとめておく　復習：授業の整理。(1 時間)	全員
10	研究計画書の作成（講義）　研究倫理・APA について	予習：テキストの研究計画書を読んでおく。復習：授業の整理（1 時間)。	八幡
11	研究計画書の作成（演習）	各自、研究計画書を作成する。(1 時間)	全教員
12	研究計画書の作成（演習）	各自、研究計画書を作成する。(1 時間)	全教員
13	研究計画書の作成（演習）	各自研究計画書を作成する(1 時間)	全教員
14	研究計画書の作成（演習）	各自、研究計画書を作成する。(1 時間)	全教員
15	研究計画書の作成・提出	各自、計画書を作成する。(1 時間)	全教員
成績評価方法と基準			割合
①定期試験（DP①③④）　②課題・レポート　ルーブリック評価表を用いて評価する（DP①③④）　4/5 の出席を必要とする			①５０％　②５０％

授業科目名	卒業研究（看護）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／吉村　弥須子／関口　敏彰／久木元　由紀子／黒岩　志紀／宮本　佳子／川添　英利子／齋藤　雅子／小林　妙子／岩佐　由美／西原　かおり／武　ユカリ／下岡　ちえ／八幡　久美子／寺田　美和子／木村　清子／水本　英佑／松岡　小百合／内田　宏美／西山　忠博／勝田　真由美／山岡　直子／笹井　佐和子／渡邉　敦子／清水　理恵／石﨑　美保／原　明子／米花　紫乃／丸山　加寿子／門野　杏子／安部　辰夫／森　美侑紀／高木　悠哉		
科目ナンバリング	GR20C502	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

これまでの既修得知識や演習、臨地実習等の経験を想起し、3 年前期に学修した「看護研究」の知識や技術を活用し、各自が立てた研究計画をもとにデータ収集、解析、考察を深め、卒業論文としてその成果をまとめる。

学修目標

1. 研究倫理について理解することができる。(DP①④)　2. 既修得知識や臨地実習経験の中から興味を持ったことについてテーマを絞ることができる。(DP①④)　3. 先行研究について文献検索し、そのテーマに取り組む意味を理解することができる。(DP①④)　4. テーマに対する実現可能な研究計画を立案することができる。(DP①④)　5. 計画に沿って研究を実行することができる。(DP①④)　6. 研究のデータを集計、解析し結果を出すことができる。(DP①④)　7. 結果を分析し、考察することができる。(DP①④)　8. 一連の過程を論文としてまとめる（プレゼンテーションを含む）ことができる。(DP①④)　9. ゼミ活動において主体的に参加し、コミュニケーションをとることができる。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

≪先修条件≫　卒業研究は次の要件を充足しなければ履修できない。なお、卒業研究のテーマに関連する領域の必修科目（在宅看護論実習を除く）を修得しておくこと。　(1)教養科目群の必修科目 14 単位のうち 10 単位　(2)専門基礎分野のうち、「人体の構造と機能」及び「疾病の成り立ちと回復の促進」の中の必修科目 14 単位　(3)専門分野Ⅱ「臨地実習」（急性・慢性・老年・母性・小児・精神）15 単位のうち 9 単位　※論文集と抄録集を作成し大学で保管する。

教科書

担当教員より指示する。

参考書

担当教員より指示する。

研究室／オフィスアワー

ガイダンス時に担当教員より指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス　1. 卒業研究は通常の講義ではなく、担当教員ごとのゼミナール活動とする。　2. 4 年前期に開講されている「主題実習Ⅰ」と関連させることができる。　3. ガイダンスで目的・1 年間	予習：既習の看護研究（復習 0.5H）　復習：次回準備（課題 0.5H）	外村

	のスケジュール等の方法、論文提出に関する規定、評価方法などを説明する。 4. ゼミ活動は担当教員と協議しながら主体的に進める。 5. 個人の活動計画は研究計画にそって主体的に決める。 6. 論文の提出、プレゼンテーションや参加態度が単位認定の対象となる。		
2	【基礎看護学領域】テーマは以下の①～③からから選択する。 ①看護教育（基礎教育、卒後教育、専門職教育） ②看護管理（医療安全、感染管理、キャリア支援） ③看護技術（清拭，足浴，手浴，洗髪，罨法，手指巧緻性，コミュニケーション等）	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
3	【成人】テーマは以下から選択する。 ① 周手術期にある患者および家族への看護 ② がん患者の看護 ③ 救命救急、集中治療室、手術室における看護 ④ 慢性期にある患者および家族への看護（QOL・セルフケア、セルフマネージメント、継続看護、患者教育、多職種連携等） ⑤ 終末期にある患者および家族への看護（緩和ケア、意思決定支援、ACP、多職種連携等） ⑥ 看護職のキャリア・専門性について	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
4	【地域・在宅看護領域】 ①地域で生活する人、在宅療養者、家族へのケアや支援に関する研究 ②訪問看護師のケアや支援に関する研究 ③地域包括ケア、地域連携、退院支援など地域・在宅看護に関する研究	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
5	【老年看護学領域】テーマは以下から選択する。 ① 老年看護学全般に関連したテーマ ② 認知症高齢者に関する看護 ③ 障害のある高齢者への看護援助（移乗、食事など）	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
6	【母性看護学領域】テーマは以下から選択する。 ① ハイリスク女性の妊娠、出産、育児に関するテーマ ② セクシャリティやジェンダーに関するテー	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
7	【小児看護領域】 ① 子どもと家族に関するテーマ	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
8	【精神看護領域】テーマは以下の①～④から選択する。 ① 精神科病棟での看護実践にかかわる内容 ② 地域精神医療保健福祉にかかわる内容 ③ メンタルヘルスにかかわる内容 ④ 精神疾患をもつ人およびその家族に関する内容	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
9	【基礎教育領域】テーマは以下から選択する。 ① 病理学からみる病態の解析・研究 ② アロマセラピーに関する基礎的研究 ③ 教育心理学に関わる調査研究	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
10	【公衆衛生看護学領域】テーマは以下の①～④から選択する。 ① 地域で生活する人が抱える健康課題 ② 予防に視点をおいた支援のあり方（各対象別保健活動） ③ 健康教育にかかわる内容 ④ 保健医療福祉に関する課題	領域と担当教員からの指示をうけること	担当教員全員
成績評価方法と基準			割合
1.卒業論文とプレゼンテーション、活動のプロセス全体を総合して次の視点で評価する。(DP①④) 評価基準（ルーブリックを活用します。初回で提示します） ①テーマの有用性 ②方法の妥当性 ③解析の確実性 ④考察の客観性 ⑤論旨の一貫性 ⑥プレゼンテーション ⑦ゼミへの主体的参加 ⑧主張、今後の発展性 2.4/5 以上の出席が必要 提出した論文は返却しない。希望者には評価を提示する。			卒業論文 100%

授業科目名	臨床看護学セミナーⅠ（看護）				
主担当教員	木田　岩男		担当教員	木田　岩男	
科目ナンバリング	IP20C601	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限、水曜 3 限、水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

形態機能学（解剖生理学）・生化学・微生物学・臨床薬理学・病理学・臨床病態学・看護学で学んだ知識を統合することで、看護の実践に役立てる事が出来る方法論の獲得を目標とする。具体的には、呼吸器系・循環器系・消化器系・腎泌尿器系・内分泌代謝系・血液造血器系・免疫系・神経系・運動器系・生殖器系の各系統別に、それぞれ代表的な疾患を取り上げ、その病理病態、治療、看護についてそれぞれの関連性を明らかにし、エビデンスに基づいた看護が出来る能力を修得する。各テーマの説明に先立って、学生に治療や看護の根拠を考えることを通じて、看護の実践における考える力を養う。

学修目標

臨床において必要な基礎知識と看護の実践における考える力を習得する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．配布資料は教科書の補足資料として学習の参考にする。　２．講義前には予習として教科書の該当箇所を一読しておく。　３．講義中に指示するので、教科書の重要箇所にアンダーラインを引き、そこは必ず復習する。　４．ノートを必ずとる。　５．出席は重視する。

教科書

レビューブック 2024（第 25 版）　出版社：株式会社メディックメディア

参考書

クエスチョン・バンク看護師国家試験問題解説 2024（第 24 版）　出版社：株式会社メディックメディア

研究室／オフィスアワー

研究室：S 棟 5 階　研究室 16　オフィスアワー：月曜 5 限・水曜 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	呼吸器系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
2	呼吸器系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
3	呼吸器疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
4	循環器系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
5	循環器系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
6	循環器疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
7	消化器系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
8	消化器系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
9	消化器系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	木田　岩男
10	腎泌尿器系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時	木田　岩男

		間）	
11	腎泌尿器系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
12	腎泌尿器系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
13	内分泌代謝系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
14	内分泌代謝系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
15	内分泌代謝系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
16	血液造血器系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
17	血液造血器系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
18	血液造血器系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
19	免疫系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
20	免疫系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
21	免疫系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
22	神経系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
23	神経系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
24	神経系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
25	運動器系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
26	運送器系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
27	運動器系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
28	生殖器系の解剖生理	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
29	生殖器系の主な疾患	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
30	生殖器系疾患の治療と看護	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間）	木田　岩男
成績評価方法と基準			割合
①学力評価試験<DP①>　②平常点（授業態度・授業への参加姿勢）で評価する。<DP①>　4/5 以上の出席を必要とする			①80%　②20%

授業科目名	臨床看護学セミナーⅡ（看護）				
主担当教員	木田　岩男		担当教員	木田　岩男／吉村　弥須子／外村　昌子／関口　敏彰／齋藤　雅子／武　ユカリ／西山　忠博／山岡　直子／渡邉　敦子	
科目ナンバリング	IP20C602	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限、火曜 3 限、火曜 4 限、木曜 3 限、木曜 4 限、金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

形態機能学（解剖生理学）・生化学・微生物学・臨床薬理学・病理学・臨床病態学・看護学で学んだ知識を統合することで、看護の実践に役立てる事が出来る方法論の獲得を目標とする。具体的には、基礎看護学・公衆衛生・在宅看護論・成人看護学・老年看護学・小児看護学・母性看護学・精神看護学・統合分野・災害国際看護の領域について、主な症例・事例の分析・検討を通して、エビデンスに基づいた看護が出来る能力を修得する。各テーマの説明に先立って、学生に治療や看護の根拠を考えることを通じて、看護の実践における考える力を養う。

学修目標

臨床において必要な基礎知識と看護の実践における考える力を習得する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．配布資料は教科書の補足資料として学習の参考にする。　２．講義前には予習として教科書の該当箇所を一読しておく。　３．講義中に指示するので、教科書の重要箇所にアンダーラインを引き、そこは必ず復習する。　４．ノートを必ずとる。　５．出席は重視する。

教科書

レビューブック 2025 第 26 版　出版社：株式会社メディックメディア

参考書

クエスチョン・バンク看護師国家試験問題解説 2025 第 25 版　出版社：株式会社メディックメディア

研究室／オフィスアワー

研究室　オフィスアワー：随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	基礎看護学総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	渡邉 敦子
2	基礎看護学各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	渡邉 敦子
3	基礎看護学まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	渡邉 敦子
4	公衆衛生総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	関口 敏彰
5	公衆衛生各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	関口 敏彰
6	公衆衛生まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	関口 敏彰
7	在宅看護論総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	武 ユカリ

8	在宅看護論各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	武 ユカリ
9	在宅看護論まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	武 ユカリ
10	成人看護学（急性期）	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	吉村 弥須子
11	成人看護学（慢性期）	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	吉村 弥須子
12	成人看護学まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	吉村 弥須子
13	老年看護学総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	外村昌子
14	老年看護学各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	外村昌子
15	老年看護学まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	外村昌子
16	小児看護学総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	山岡
17	小児看護学各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	山岡
18	小児看護学まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	山岡
19	母性看護学総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	齋藤雅子
20	母性看護学各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	齋藤雅子
21	母性看護学まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	齋藤雅子
22	精神看護学総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	西山
23	精神看護学各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	西山
24	精神看護学まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	西山
25	統合分野総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	
26	統合分野各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	
27	統合分野まとめ		
28	災害国際看護総論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	
29	災害国際看護各論	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	
30	災害国際看護まとめ	予習：教科書の該当箇所を一読する。(1 時間)	
成績評価方法と基準			割合
①学力評価試験〈DP①〉 ②平常点（授業態度・授業への参加姿勢）で評価する。〈DP①〉 4/5 以上の出席を必要とする			①80% ②20%

授業科目名	公衆衛生看護セミナー（看護）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／笹井　佐和子	
科目ナンバリング	IP20C603	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 2 限、火曜 3 限、火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

これまでの授業で学修したように地域には多様な健康課題を有する住民がおり、継続的かつ包括的な支援が必要である。本授業では保健師活動による対象者支援について集団支援および個別支援について、議論を交えながら具体的に検討および立案することを通して実践的に学修する。　これらの経験を通じて、卒業後の公衆衛生看護実践能力の向上を目指す。

学修目標

1. 特定の地域について分析し、健康課題を抽出することができる。　2. 検討した健康課題を改善する施策を立案することができる。　3. 検討した健康課題を改善する健康教育を検討することができる。　4.　豊かな人間力を基盤として支援困難な対象者を理解し、保健師として何をすべきか考えを述べることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．事前学習に際して、保健統計等資料を把握すること。　２．グループワーク、発表に積極的に参加すること。　３．保健師課程の学生は履修が必須です。

教科書

これまでに使用した教科書、参考書、配布資料とし、不足は適宜配布する。

参考書

授業中に適宜紹介します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。　桜棟共同研究室（笹井）随時（事前に連絡ください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	行政における計画	予習：保健医療福祉行政論で学んだ行政計画を復習すること（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子
2	行政における予算	予習：保健医療福祉行政論で学んだ予算について復習する（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子
3	行政計画につながる地域診断の具体例	予習：公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子
4	地域診断に活用できる保健統計	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子
5	地域診断の分析対象自治体に関する特徴の把握	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
6	人口静態統計を活用した年齢区分人口等に関する分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子

7	人口動態統計を活用した人口増減等に関する分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
8	人口動態特殊報告書を活用した標準化死亡比等に関する分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
9	国民生活基礎調査を活用した世帯・健康・介護等に関する分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
10	地域保健･健康増進事業報告を活用した地域保健分野の分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
11	地域保健･健康増進事業報告を活用した健康増進分野の分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
12	自治体資料を活用した母子･高齢者保健分野の分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
13	自治体資料を活用した成人保健分野の分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
14	自治体資料を活用した精神･難病保健分野の分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
15	自治体資料を活用した感染症対策等の分析	予習：保健統計で学修した内容と公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
16	健康課題の抽出	予習：公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
17	健康課題の対策案の検討	予習：公衆衛生看護間理論で学修した地域診断の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
18	対策の予算案の検討	予習：保健医療福祉行政論で学修した予算の内容について復習する(1.5 時間)　復習:情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
19	健康課題に関連した健康教育のテーマと内容に関する検討	予習：公衆衛生看護学演習で学修した健康教育の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
20	健康課題に関連した健康教育の資料の検討	予習：公衆衛生看護学演習で学修した健康教育の内容について復習する（1.5 時間）　復習：情報を整理する。(1.5 時間)	関口敏彰　笹井佐和子
21	複合的な健康課題を有する対象者の現状	予習:公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子
22	複合的な健康課題を有する対象者の実例	予習:公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子
23	複合的な健康課題を有する対象者への支援の実際	予習:公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子
24	複合的な健康課題を有する対象者への支援と他機関連携	予習:公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5 時間）　復習：授業内容を復習する（1.5 時間）	関口敏彰　笹井佐和子

25	複合的な健康課題を有する対象者への支援と他職種連携	予習：公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5時間）　復習：授業内容を復習する（1.5時間）	関口敏彰　笹井佐和子
26	複合的な健康課題を有する対象者へのアプローチ方法の検討	予習：公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5時間）　復習：授業内容を復習する（1.5時間）	関口敏彰　笹井佐和子
27	複合的な健康課題を有する対象者への面接技法の検討	予習：公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5時間）　復習：授業内容を復習する（1.5時間）	関口敏彰　笹井佐和子
28	複合的な健康課題を有する対象者への支援内容の検討	予習：公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5時間）　復習：授業内容を復習する（1.5時間）	関口敏彰　笹井佐和子
29	検討した内容の発表	予習：公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5時間）　復習：授業内容を復習する（1.5時間）	関口敏彰　笹井佐和子
30	検討した内容に関する評価	予習：公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学修した内容について復習する（1.5時間）　復習：授業内容を復習する（1.5時間）	関口敏彰　笹井佐和子
成績評価方法と基準			割合
1．地域診断の成果物　　2．健康教育の検討案　3．事例検討に関するレポート　　4/5以上の出席が必要			1．60%　2．10%　3．30%

授業科目名	臨床看護技術セミナー（看護）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／吉村　弥須子／松村　比呂子／水本　英佑／松岡　小百合／門野　杏子	
科目ナンバリング	IP20C604	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限、木曜 4 限、木曜 5 限、金曜 3 限、金曜 4 限、金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療現場や地域社会において必要とされる看護ケアを認識し、対象の状況に応じた看護が実践できる能力を養う。これまでに学修した専門的知識と技術、臨地実習での体験を統合し、根拠や倫理観に基づく看護ケアを立案し実践する。事例患者の看護技術の演習を通して、自己の看護実践における課題を明確にする。また、自己の課題とした研究内容を発表し、課題解決につなげる方略を学修する。

学修目標

1.事例患者に必要なケア計画が立案できる。<DP①②③>　2.ケア計画に基づき看護技術を実施し評価できる。<DP①②③④>
3.研究発表により自己の課題を評価できる。<DP①②③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　演習に積極的に参加する。　2. 看護技術演習の際は、臨地実習に準じた身だしなみに整える。　　3．主体的に研究を発表する。

教科書

1.これまでの授業や実習などで使用した教科書、参考書　2.授業資料

参考書

必要時配布する。

研究室／オフィスアワー

西棟 334　外村（木 5 限）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　3 年度末の看護師教育の技術項目と卒業時の到達度の確認　事例とグループの説明	予習：自己の看護師教育の技術項目と卒業時の到達度で未達成項目の確認　復習：事例患者の看護ケアに必要な学習　*予習・復習 1 時間	外村
2	事例の内容学修　情報の整理・アセスメント	予習：事例患者のケア計画に必要な学修 復習：事例患者のケア計画に必要な学修 *予習・復習 1 時間	全教員
3	事例の内容学修　ケア計画の作成	予習：事例患者のケア計画に必要な学修 復習：事例患者のケア計画に必要な学修 *予習・復習 1 時間	全教員
4	グループワーク　　グループでケア計画立案	予習：事例患者のケア計画に必要な学修 復習：事例患者のケア計画に必要な学修 *予習・復習 1 時間	全教員
5	看護技術演習①　実践・評価　*実施計画に基づき、グループで看護師役と患者役、評価者を決めて、準備から実践・評価を行う。　*学生全員が各役割を実践	予習：事例患者のケア計画に必要な学修 復習：事例患者のケア計画の実践について評価する　*予習・復習 1 時間	全教員
6	看護技術演習②　実践・評価　*実施計画に基づき、グループで看護師役と患者役、評価者を決めて、準備から実践・評価を行う。　*学生全員が各役割を実践	予習：事例患者のケア計画に必要な学修 復習：事例患者のケア計画の実践について評価する　*予習・復習 1 時間	全教員

7	看護技術演習③　実践・評価　*実施計画に基づき、グループで看護師役と患者役、評価者を決めて、準備から実践・評価を行う。　*学生全員が各役割を実践	予習：事例患者のケア計画に必要な学修 復習：事例患者のケア計画の実践について評価する　*予習・復習 1 時間	全教員
8	看護技術演習④　実践・評価　*実施計画に基づき、グループで看護師役と患者役、評価者を決めて、準備から実践・評価を行う。　*学生全員が各役割を実践	予習：事例患者のケア計画に必要な学修 復習：事例患者のケア計画の実践について評価する　*予習・復習 1 時間	全教員
9	看護研究発表準備(森ノ宮医療大学学術大会　特別講演参加　10 月 26 日))	予習:プレゼンテーションの準備　復習:自己評価と課題を明確にする　*予習・復習 1 時間	全教員
10	看護研究発表準備	予習:プレゼンテーションの準備　復習:自己評価と課題を明確にする　*予習・復習 1 時間	全教員
11	看護研究発表①（発表７分+質疑３分）	予習:プレゼンテーションの準備　復習:自己評価と課題を明確にする　*予習・復習 1 時間	全教員
12	看護研究発表②（発表７分+質疑３分）	予習:プレゼンテーションの準備　復習:自己評価と課題を明確にする　*予習・復習 1 時間	全教員
13	看護研究発表③（発表７分+質疑３分）	予習:プレゼンテーションの準備　復習:自己評価と課題を明確にする　*予習・復習 1 時間	全教員
14	看護研究発表④（発表７分+質疑３分）	予習:プレゼンテーションの準備　復習:自己評価と課題を明確にする　*予習・復習 1 時間	全教員
15	まとめ　4 年度末の看護師教育の技術項目と卒業時の到達度の確認　*各自レポートの作成・提出	予習：自己の看護実践の課題の達成状況を評価　復習：今後の課題を明確化する　*予習・復習 1 時間	外村

成績評価方法と基準	割合
1.　レポート　「ケア実践における課題の達成状況と課題」<DP①②③④>　　A41 枚（40 字×30 字）　ルーブリックに基づき教員が評価（ルーブリックを 1 回目に提示）　２．レポート「学術大会講演の学び」　　A41 枚（40 字×30 字）　　ルーブリックに基づき教員が評価（ルーブリックを 1 回目に提示）　３．演習課題レポート（授業内で配布）　　レポートは返却しない。希望者には評価を開示する。4/５の出席が必要。演習時の授業態度も評価項目に含む。	1.40%　2.30% 3.30%

授業科目名	地域･在宅看護概論（看護）				
主担当教員	武　ユカリ		担当教員	武　ユカリ／岩佐　由美／丸山　加寿子／門野　杏子	
科目ナンバリング	FN22C108	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

地域に暮らす援助の対象者と家族の生きることを支え、一人ひとりの生き方に応じた医療とケアを提供することは、看護の基本である。本科目の目的は、地域で暮らすあらゆる年代の様々な健康レベルにある人の生活と健康を支えるための、地域・在宅看護の基礎的な知識や機能を修得することである。本科目では地域で暮らす、あらゆる年代の様々な健康レベルにある人の生活と健康について理解し、地域のシステムや連携する多機関、多職種から提供されるケアの概観をふまえ、地域・在宅看護の目的、対象、役割、法制度、基本倫理を理解する。

学修目標

・ 地域で暮らすあらゆる年代の様々な健康レベルにある人の、生活と健康について理解する。DP1　・ 地域のシステムや連携する多機関、多職種と提供されるケアについて理解する。DP1　・ 地域・在宅看護の目的、対象、役割について理解する。DP1　・ 地域・在宅看護に関連する法制度について理解する。DP1　・ 地域・在宅看護の基本となる倫理ついて理解する。DP1

履修上の注意(学生へのメッセージ)

他の専門領域で学習した内容もふまえ、予習・復習に取り組み、講義に臨むこと。

教科書

系統看護学講座　「地域・在宅看護論１　地域・在宅看護の基盤」　医学書院　　系統看護学講座　「地域・在宅看護論２　地域・在宅看護の実践」　医学書院

参考書

日本医療ソーシャルワーク研究会「医療福祉総合ガイドブック 2025 年度版」医学書院　その他、適宜提示

研究室／オフィスアワー

武：W240（水）12-13 時　岩佐：W237（水）12-13 時　丸山：W335（水）12-13 時　門野：W533（水）12-13 時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人々の暮らしと地域･在宅看護　暮らしの基盤としての地域の理解	予習：教科書 1）第 1 章「人々の暮らしと地域・在宅看護」第 2 章「暮らしの基盤としての地域の理解」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	武
2	暮らしと地域の理解､地域包括ケアシステムと地域共生社会	予習：前回の講義資料を参考に、事前課題に取り組む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	武
3	地域・在宅看護の対象　地域による多様性、地域に暮らす家族と対象者の理解	予習：教科書 1）第 3 章「地域・在宅看護の対象」の「ライフステージによる多様性」「健康レベルの多様性」「家族の理解」「地域に暮らす対象者の理解と看護」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。予習 2 時間、復習 2 時間	武
4	地域･在宅看護の対象　地域に暮らす家族と対象者の看護	予習：前回の講義資料を参考に、事前課題に取り組む。　復習：教科書、講義資料の確認を行い、課題レポートに取り組む。予習 2 時間、復習 2 時間	門野
5	暮らしの場で看護をするための心構えと看護技	予習：教科書 2）第 2 章「暮らしを支える	武

	術	看護技術」の「暮らしの場で看護をするための心構え」「セルフケアを支える対話・コミュニケーション」「地域・在宅看護における安全をまもる」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	
6	暮らしを支える地域・在宅看護	予習：教科書 1）第 4 章「地域における暮らしを支える看護」の「暮らしを支える地域・在宅看護」「広がる看護の対象と提供方法」「地域における家族への看護」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認　予習 2 時間、復習 2 時間	武
7	地域におけるライフステージに応じた看護	予習：教科書 1）第 4 章「地域における暮らしを支える看護」の「地域におけるライフステージに応じた看護」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	武
8	地域･在宅看護に関わる制度とその活用　介護保険・医療保険制度、訪問看護制度	予習：教科書 1）第 6 章「地域・在宅看護に関わる制度とその活用」の「介護保険・医療保険制度」「訪問看護制度」を読む。復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	武
9	地域･在宅看護に関わる制度とその活用　法制度と権利保障	予習：教科書 1）第 6 章「地域・在宅看護に関わる制度とその活用」の「地域保健に関わる制度」「高齢者に関する法制度」「障害者・難病に関する法制度」「公的負担医療に関する法制度」「権利保障に関連する制度」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	岩佐
10	地域・在宅看護実践の場と連携	予習：教科書 1）第 5 章「地域・在宅看護実践の場と連携」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	丸山
11	からだと暮らしを支える訪問看護の実践	予習：教科書 2）第 1 章「地域・在宅看護の展開」、A「地域・在宅看護における看護過程」、第 3 章「地域・在宅看護における時期別の看護」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	ゲストスピーカー（訪問看護師）予定
12	家で､地域で暮らす人たちを支えるための多職種との連携・協働の実際	予習：教科書 2）第 6 章「地域・在宅看護マネジメント」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	ゲストスピーカー（地域包括支援センター）予定
13	暮らしの中で治し支える医療の実践	予習：教科書 2）第 5 章「地域共生社会における多職種連携･多職種チームでの協働」を読む。　復習:教科書､講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間　ゲストスピーカー（訪問看護師）予定	ゲストスピーカー（在宅医）予定
14	地域での暮らしにおけるリスクの理解･災害対策	予習：教科書 1）第 4 章「地域における暮らしを支える看護」の「地域での暮らしにおけるリスクの理解」「地域での暮らしにおける災害対策」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	丸山
15	地域・在宅看護の倫理	予習：教科書 1）第 2 章「暮らしの基盤としての地域の理解」を読む。　復習：教科書、講義資料の確認。　予習 2 時間、復習 2 時間	武
成績評価方法と基準			割合
1.　筆記試験<DP①>　2.　ワーク・レポート<DP①>			1：70%　2：30%

授業科目名	地域･在宅看護援助論Ⅰ（看護）				
主担当教員	岩佐　由美		担当教員	岩佐　由美／武　ユカリ／丸山　加寿子／門野　杏子	
科目ナンバリング	FN22C109	科目区分	専門分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

地域・在宅看護では、地域で暮らす人々を対象とし、対象者とその家族の「生きること」を支えるためにひとり一人の生き方に応じた医療とケアを提供する専門性が必要となる。地域・在宅看護援助論Ⅰでは、地域における暮らしを支える看護をエビデンスに基づいて実践するための、知識・技術・態度を修得する。　対象者やその家族との信頼関係を形成し、セルフケア力を高める援助、安全な暮らしを守る技術について学修する。

学修目標

1. 地域で暮らす対象者とその家族との対話、コミュニケーションについて理解し、意思決定を支える看護について説明できる。(DP②③)　2. 暮らしの場で提供される医療と生活面へのケアの必要性について説明できる。(DP①③)　3. 暮らしの場をイメージし、対象者とその家族のセルフケアの向上をうながし、エビデンスに基づいた具体的な看護ケアを考えることができる。(DP①②④)　4. 暮らしを支える多機関・多職種との連携・協働について説明できる。(DP③④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. これまで学修した人体の構造と機能、基礎看護学の内容をふまえ予習・復習し講義や体験に臨むこと。　2. 体験時は円滑に体験できるよう互いに協力しあうこと。体験時は、実習に準じた身だしなみに整え、服装は大学指定のジャージ（上下)、紺ポロシャツ、白靴下、ナースシューズで臨むこと。身だしなみは評価の対象となるので注意すること。　3. 体験時の教室は、異なる場合があるためしっかり確認すること。　4. レポートなど課題は指定された時間を厳守し提出すること。　5. 欠席した場合は、欠席回の授業担当教員にアポイントメントをとり、資料、課題内容の確認などを相談すること。

教科書

河原加代子編 系統看護学講座　「地域・在宅看護論１　地域・在宅看護の基盤」　医学書院　　河原加代子編 系統看護学講座　「地域・在宅看護論２　地域・在宅看護の実践」　医学書院

参考書

授業で適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

岩佐：西棟 233 研究室　　武：西棟 240 研究室　丸山：西棟 335 研究室　門野：西棟 533 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　　暮らしの場で看護を行う心構え	予習：シラバスの確認、教科書「地域・在宅看護論２」p.50～69 読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐
2	療養環境調整に関する地域・在宅看護技術	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p.86～93 を読む　復習：レポート課題（自己の環境のアセスメントと改善)、教科書、講義資料の確認	岩佐
3	暮らしにおける活動とその援助?	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p93～104 を読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐
4	暮らしにおける活動とその援助?	予習：前回講義資料、教科書「地域・在宅看護論２」p.94～104 を読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐

5	食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術①	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p.105～135 を読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
6	食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術②	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p.124～136 を読む、資料参照、課題取り組み　復習：課題の整理、教科書、講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
7	食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術③	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p.124～136 を読む、資料参照、課題取り組み　復習：課題の整理、教科書、講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
8	在宅呼吸療法支援機器	予習：既存の呼吸器構造、機能、疾患について復習、教科書「地域・在宅看護論２」p.183～205 を読む　復習：講義内容振り返り	岩佐
9	暮らしにおける呼吸とその援助?	予習：既存の呼吸器構造、機能、疾患について復習、教科書「地域・在宅看護論２」p.174～190 を読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐
10	暮らしにおける呼吸とその援助②	予習：在宅人工呼吸器療法、排痰支援等、教科書の確認　復習：教科書「地域・在宅看護論２」p190～205、講義資料の確認	岩佐
11	創傷に関する地域・在宅看護技術	予習：皮膚の構造と機能、創傷治癒課程復習、教科書「地域・在宅看護論２」p.206～219 を読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
12	暮らしにおける清潔とその援助①	予習：講義資料、教科書の復習　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
13	暮らしにおける清潔とその援助②	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p.160～171 を読む　復習：講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
14	暮らしにおける排泄とその援助?	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p.136～150 を読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
15	暮らしにおける排泄とその援助②	予習：教科書「地域・在宅看護論２」p150～160 を読む　復習：教科書、講義資料の確認	岩佐　武　丸山　門野
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験　2. ワーク、レポートなど課題の評価（提出期限、内容、必要な追加修正など）　※提出した課題は原則として返却しない。　3. 授業時間数の 2/3 回以上の出席が必要となる。			1. 80%　2. 20%

授業科目名	地域･在宅看護援助論Ⅱ（看護）				
主担当教員	岩佐　由美		担当教員	岩佐　由美／武　ユカリ／丸山　加寿子／門野　杏子	
科目ナンバリング	FN22C110	科目区分	専門分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

地域・在宅看護援助論では地域、在宅で療養する発達段階、健康レベル、障害の程度、生活背景など多様な人々を対象とし、対象とその家族の特徴を理解し、在宅看護実践を展開するための看護援助、支援方法について学修する。援助論Ⅱでは多様な対象とその家族への病状や状態に応じた看護援助（療養生活支援・医療的ケア）と社会資源の活用について学修する。また紙上事例を通して、在宅療養者とその家族の特徴を理解し、訪問看護の特徴を考慮した在宅看護過程の展開方法について学修する。

学修目標

１．在宅療養者・家族の病状や状態に応じた療養生活支援の方法について理解できる(DP①)　２．在宅療養者・家族を理解し、訪問看護の特徴を考慮した看護過程展開の方法について理解し、看護計画を立案できる（DP①②④）　３．在宅療養者とその家族の病状や状態に応じた具体的援助方法について習得できる（DP①②④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．地域・在宅看護概論、地域・在宅看護援助論Ⅰならびに既習の疾患の看護、看護過程を復習して臨むこと。　２．グループワーク等に積極的に参加し、与えられた課題を期限内に自主的に行うこと。

教科書

河原加代子編 系統看護学講座　「地域・在宅看護論１　地域・在宅看護の基盤」　医学書院　（2 年次使用テキスト）　河原加代子編 系統看護学講座　「地域・在宅看護論２　地域・在宅看護の実践」　医学書院　（2 年次使用テキスト）

参考書

関連図で理解する在宅看護過程　正野逸子・本田彰子　メヂカルフレンド社　その他、必要に応じて紹介する

研究室／オフィスアワー

岩佐：西棟 233 研究室　武：西棟 240 研究室　丸山：西棟 335 研究室　門野：西棟 533 研究室　（実習中のため、メールで連絡して対応可能時間を確認することが望ましい。）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　在宅看取り期の看護、緩和ケア	予習：シラバス内容を見ておく、在宅看護における自己の関心や課題を考える　復習：「地域・在宅看護論２」p245～248、330-337 を読み理解を深める　合計 30 分	岩佐
2	脳卒中の在宅療養者への看護、リハビリテーション	予習：既存の脳血管疾患の病態と治療に関する知識の整理　復習：「地域・在宅看護論２」p266～272 を読み理解を深める　合計 30 分	武
3	小児の在宅療養者への看護	予習：小児期の対象者の理解を深める（「地域・在宅看護論 1」p59～63 を読んでおく）　復習：「地域・在宅看護論 2」p252～265 を読み理解を深める　合計 30 分	武
4	認知症をもつ在宅療養者への看護	予習：認知症療養者に関する老年看護学の知識の整理　復習：地域・在宅看護論 2」p318-330 などで認知症療養者の看護の理解を深める、レポート　合計 90 分	丸山
5	難病の生活者の理解、コミュニケーション、看護	予習：障害者・難病に関する法制度の復習（「地域・在宅看護論 1」p204～206 を読ん	外部講師　（岩佐）

		でおく） 復習：授業内レポート、「地域・在宅看護論 2」p296～308(パーキンソン病)、p283～296(ALS)を読み理解を深める 合計 30 分	
6	精神障害を持つ在宅療養者への看護	予習：既存の精神疾患の症状や治療について復習、精神科訪問看護制度について整理 復習：精神疾患の療養者に対する在宅看護の事例展開(「地域・在宅看護論 1」p309～318(統合失調症))を読み理解を深める 合計 30 分	門野
7	代謝・内分泌疾患をもつ在宅療養者への看護、服薬支援	予習：糖尿病に関する既存の知識(疾患、看護)の復習 復習：講義内容の復習、「地域・在宅看護論 2」p219～226(与薬)を読み知識を整理する 合計 30 分	丸山
8	確認テスト 在宅看護過程の展開：COPD の在宅療養者の看護 ①在宅看護過程の特徴と在宅で求められる看護、事例の理解	予習：確認テストに向けてこれまでの講義プリントを学習する 復習：事例の疾患について自己学習課題、在宅の看護過程展開方法の学習を行う(以下の 8～15 回は「地域・在宅看護論 1」p12～48 参照） 合計 150 分	岩佐
9	在宅看護過程の展開：COPD の在宅療養者の看護 ②在宅療養者のアセスメントと望みの把握	予習：事例の疾患に関する自己学習 復習：看護過程課題 フェースシート記入と望みの把握、アセスメント 合計 90 分	岩佐
10	在宅看護過程の展開：COPD の在宅療養者の看護 ③呼吸器疾患のリハビリテーション、援助方法	予習：呼吸器疾患の解剖生理、症状と治療について復習(在宅看護援助論Ⅰの授業資料も参考にする） 復習：呼吸器リハビリテーションについて事例の自己学習課題用紙への追加 合計 30 分	外部講師 （岩佐）
11	在宅看護過程の展開：COPD の在宅療養者の看護 ④看護目標、看護課題、生活状況図	予習：看護過程課題 フェースシート記入と望みの把握、アセスメント 復習：看護過程課題 看護目標、看護課題、生活状況図 合計 60 分	岩佐
12	在宅看護過程の展開：COPD の在宅療養者の看護 ⑤看護計画の立案、グループ共有	予習：看護過程課題 看護目標、看護課題、生活状況図 復習：看護過程課題 看護計画の立案、グループ課題の続き 合計 90 分	岩佐
13	在宅看護過程の展開：慢性疾患をもつ在宅療養者の看護 ⑥看護課題と看護計画の共有(グループワーク)	予習：看護過程課題 復習：グループで看護課題と計画を共有しグループ発表の準備をする 合計 90 分	全員
14	在宅看護過程の展開：COPD の在宅療養者の看護 ⑦グループ発表	予習：グループ発表準備、媒体の作成 復習：自己の看護過程課題の修正、発表の振り返りの記入 合計 60 分	全員
15	在宅看護過程の展開：COPD の在宅療養者の看護 ⑧グループ発表予備、看護の評価、まとめ	予習：グループ発表準備、媒体の作成 復習：自己の看護過程課題の修正、発表の振り返りの記入 合計 60 分	全員
成績評価方法と基準			割合
1. 授業内確認テスト(DP①②) 2. レポートおよび看護過程課題（DP①②④）ルーブリックにより評価を行う 4/5 回以上の出席を必要とする フィードバック方法：レポートは原則として返却しない、看護過程課題は後日返却する			1.50% 2.50%

授業科目名	外来看護論（看護）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング	FN22C111	科目区分	統合分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

【教授内容：看護管理理論前半】　科目名は「外来看護」であるが、外来における看護活動の内容にとどまらず、看護マネジメントの観点から看護管理論の内容を学ぶ。4 年生後期開講の「看護管理論」と併せて、看護管理の学習内容を網羅する。　　本科目では、保健医療福祉のネットワークの中で人々の健康を支える看護専門職の役割と責務の観点から，看護を組織的展開するための看護管理の必要性と重要性を学ぶ。看護管理理論前半では、地域包括ケアシステムでのチーム医療活動における看護職の役割と機能、看護の質を保証するための看護活動の場、体制、人材育成に関する仕組みと課題を学び、併せて、自身の看護専門職としての将来像を展望する。

学修目標

1. 看護管理の定義、目的、社会における看護職の役割と責務について理解し、説明できる　2. 時間・空間の広がりと連続性の中で看護の質を保証する仕組みを理解し、説明できる。　3. 看護専門職のキャリア発達を支援する卒後継続教育や研修等の仕組みを理解し、説明できる　4. 我が国の高度看護実践者の育成制度、効果的活用の取り組みについて理解し、説明できる　5. 我が国の医療安全の取り組みの背景と経緯を理解し、説明できる　6. 医療・看護実践に伴うリスクを踏まえた予防的安全管理の方法の基本を理解し、説明できる　7. チームの協働による医療安全文化の醸成と看護職の役割について理解し、説明できる　8. 看護専門職の生涯学習の意義と責務を認識し、自己の生涯学習ビジョンを描くことができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

選択科目であるが、4 年次後期開講の「看護管理論」と対になる重要な科目であるので、履修することを強く推奨します。科目名は「外来看護」であるが、外来における看護活動の内容にとどまらず、看護マネジメントの観点から看護管理論の内容を学びます。　看護師の実践活動を時間と空間の広がりで俯瞰し、看護職に期待される役割と機能について捉え直す機会としてください。　３年次後期からの専門領域別実習での視点の広がり、深まりを期待します。併せて、自己のキャリアについて、考える機会としてください。

教科書

1.吉田千文他著　ナーシング・グラフィカ　看護の統合と実践① 看護管理　メディカ出版

参考書

1. 中西睦子:『看護サービス管理　第４版』, 医学書院　2.久保真人他:『よくわかる看護組織論』ミネルヴァ書房　3.任和子編著:『病棟マネジメントに役立つみんなの看護管理』南江堂　4.エドガー・シャイン/金井寿宏訳:『キャリア・アンカー』白桃書房　　5.佐藤エキ子編：新体系看護学全書　看護の統合と実践（1）　『看護実践マネジメント/医療安全』メディカルフレンド社　6.L.コーン他，米国医療の質委員会，医学ジャーナリスト協会翻訳，『人は誰でも間違える－より安全な医療を目指して』，日本評論社　7.内田宏美

研究室／オフィスアワー

内田宏美　研究室：W240/メール：hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp　　個別に対応するのでメールでアポを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	教科目ガイダンス　社会の中の看護:保健医療福祉のネットワークの中で人々の健康を支える看護職の役割と責務　看護管理概説:看護管理の定義（協議・広義)、看護管理の目的、プロセスの	予習：授業内容について、テキスト等で調べて授業に臨む　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述	内田宏美

	概要　到達目標　①看護管理の定義、目的、社会における看護職の役割と責務について理解し、説明できる　②看護学生が看護管理を学ぶ意義を考察できる	し、自己の考えを整理しておく。	
2	医療・看護の質を保証する看護体制、看護専門職のキャリア・ディベロップメントとキャリア支援　到達目標　①時間・空間の広がりと連続性の中で看護の質を保証する仕組みを理解し、説明できる。　・病院の機能と看護体制　・看護必要度の活用　②看護専門職のキャリア発達を支援する卒後継続教育や研修等の仕組みを理解し、説明できる　・新人看護職員研修制度　・クリニカルラダー・システムによるジェネラリストの育成　・キャリアカウンセリング	予習：授業内容について、テキスト等で調べて授業に臨む　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述し、自己の考えを整理しておく。	内田宏美
3	医療・看護の質向上のための人材の育成と活用　到達目標　①我が国の高度看護実践者の育成制度について理解し、説明できる　・スペシャリストの育成　・臨床看護教育者の育成　・看護管理者の育成　②高度看護実践者の効果的活用の取り組みについて理解し、説明できる　・スペシャリストによる看護専門外来の活動　・スペシャリストによる現場の看護実践の支援	予習：授業内容について、テキスト等で調べて授業に臨む　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述し、自己の考えを整理しておく。	内田宏美
4	看護専門職の生涯学習とキャリア　到達目標　①看護専門職の生涯学習の意義と責務を認識し、自己の生涯学習ビジョンを描くことができる　・キャリアアンカー　・ライフサイクルと生涯学習　・専門職のキャリアと学習	予習：授業内容について、テキスト等で調べて授業に臨む　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述し、自己の考えを整理しておく。	内田宏美
5	ゲストスピーカー（大阪国際がんセンター外来部門看護師長）による特別授業　「外来というフィールドを活用した看護専門職の活動」	予習：大阪国際がんセンターについてホームページで調べ、質問事項を整理しておく。　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述し、自己の考えを整理しておく。	内田宏美　ゲストスピーカー：大阪国際がんセンター外来部門看護師長
6	チーム医療による医療の質保証における看護職の役割と責務：医療安全管理・感染管理を手掛かりとして　到達目標　①我が国の医療安全の取り組みの背景と経緯を理解し、説明できる　・歴史　・医療安全情報共有の仕組み	予習：授業内容について、テキスト等で調べて授業に臨む　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述し、自己の考えを整理しておく。	内田宏美
7	チーム医療による医療の質保証における看護職の役割と責務：医療安全管理・感染管理を手掛かりとして　到達目標　①医療・看護実践に伴うリスクを踏まえた予防的安全管理の方法の基本を理解し、説明できる　・ヒューマンエラー　・医療安全体制　テクニカルスキルによるマネジメント	（1 時間）　復習：授業内容の振り返り（1 時間）	予習：授業内容について、テキスト等で調べて授業に臨む　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述し、自己の考えを整理しておく。
8	チーム医療による医療の質保証における看護職の役割と責務：医療安全管理・感染管理を手掛かりとして　到達目標　①チームの協働による医療安全文化の醸成と看護職の役割について理解し、説明できる　・ノンテクニカルアプローチ	予習：授業内容について、テキスト等で調べて授業に臨む　復習：授業内容を振り返り、ポイントをノート等に整理しておく。授業で感じたり考えたりしたことを記述し、自己の考えを整理しておく。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
１．授業ごとの学びの深さ：リアクションペーパーの内容　２．まとめの課題レポート：「医療の質・安全管理における看護専門職の責務」（40 字×40 行）1500 字以上			１．授業ごとの学びの深さ：40% ２．まとめの

	課題レポート：60%

授業科目名	地域･在宅看護論実習Ⅰ（看護）				
主担当教員	武　ユカリ		担当教員	武　ユカリ／岩佐　由美／山岡　直子／米花　紫乃／丸山　加寿子／門野　杏子	
科目ナンバリング		科目区分	専門分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

地域住民を対象に様々な支援活動を行う施設、団体の活動の見学、あるいは活動への参加を通して、様々な地域で実践されている看護や地域活動について知り、地域で暮らす様々な発達段階、健康レベルの人々の健康上のニーズについて考え、地域包括ケアシステムの中で提供される看護について考察する。

学修目標

1.　地域で実践されている看護や地域活動について調べ、活動の目的、組織や機関が担っている役割、そこで活動している人たちの職種や立場、活動内容を説明できる。(DP1)　2. 臨地での体験を通して、地域で実践されている看護や地域活動について知り、地域で暮らす様々な発達段階、健康レベルの人々の健康上のニーズについて考える。(DP1,2,3)　3.　上記の１)、２）より学んだことから、地域包括ケアシステムの中で提供される看護について考察する。(DP1,2,3,4)　4. 臨地実習において必要な態度が実践できる。(DP2,3)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

地域包括ケアシステムについて学習したことを振り返り、事前課題を行う。臨地の実習施設における様々な活動は、施設を利用する人たちの様々なニーズに応じて実践される地域活動であるため、その妨げになる行為をしてはならない。多施設への訪問マナーを遵守し、学生として学ぶ姿勢を大切にする。必要に応じた報告、相談が必須であるため、担当教員と適宜連絡をとる。

教科書

老年看護学、小児看護学、母性看護学、地域・在宅看護学、公衆衛生看護学など、各領域で指定されたテキスト

参考書

適宜、提示する。

研究室／オフィスアワー

武：w240（水）12-13 時、yukari_take@morinomiya-u.ac.jp　岩佐：w233（水）12-13 時、yumi_iwasa@morinomiya-u.ac.jp　丸山：w335　（月）12-13 時、kazuko_maruyama@morinomiya-u.ac.jp　山岡：E4F 研究室 16（水）16 時 20 分-18 時、naoko_yamaoka@morinomiya-u.ac.jp　米花：E4F 研究室 16（火）　15 時-16 時、shino_beika@morinomiya-u.a

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	？ 事前学習や実習施設指導者からのオリエンテーション内容から、地域で生活する子ども、高齢者に対する支援施設、医療機関の活動の概要を知り、多様な世代、健康レベルの方への支援について学ぶ。 ？ 地域で様々な実践活動を行うゲストスピーカーによる講義内容と臨地実習での体験から対象に応じた実践について学ぶ。 ？ 学習目標を意識して学生同士（担当教員を交えて）のカンファレンスを行い、自分自身の疑問や課題、その日に学び得たことを明らかにし、学びを深める。 ？ グループでテーマを決め、本実習における学びについてディスカッ	予習　・ 自分自身の居住地域（自身に馴染みのある地区でも可）について、地域の特性、地域活動の特徴について調べる。　・ 地域包括ケアシステムについて復習して実習に臨む。　・ 臨地実習施設の概要について調べる。　課題：本科目の課題を意識し、実習記録用紙に記録を行う。　・ 各実習施設での体験や指導に基づき、必要な学習を積極的に行う。　・ 適宜、自ら指導者・教員に質問し、指導を受ける。　・　実習のまとめを発表し、記録物を提出する。	武、岩佐、丸山、山岡、米花、門野、森川

成績評価方法と基準	割合

次の提出物などで、ルーブリック評価表に基づき、総合的に評価する。①事前課題、②実習記録の他、③実習態度やカンファレンスの参加状況(DP1,2,3,4)　評価点 60 点以上で単位を認定する。単位認定には 4/5 以上の出席が必要である。	①20%、 ②70%、 ③10%

授業科目名	地域･在宅看護論実習Ⅱ（看護）				
主担当教員	武　ユカリ		担当教員	武　ユカリ／岩佐　由美／丸山　加寿子／門野　杏子	
科目ナンバリング		科目区分	専門分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

訪問看護ステーションの訪問看護師などと同行訪問し、様々な疾病や障害を持ちながら生活する在宅療養者とその家族に対する訪問看護師の看護実践を通して、療養生活を理解し、援助の対象者が地域でより良い生活を維持するための看護実践について理解する。また地域包括ケアシステムにおける多様な場で生活するする人々への切れ目のない看護を学び、在宅療養を支える看護職の役割について理解を深める。

学修目標

１．疾病や障害を持ちながら訪問看護を利用している人とその家族の生活状況が理解できる。(DP①②③)　２．利用者とその家族に応じた看護について考えることができる。(DP①②③)　３．在宅療養を支える地域包括ケアシステムと訪問看護制度について理解できる。(DP②)　４．訪問看護に必要な態度が実践できる。(DP①②③④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

今までの在宅看護論講義・演習内容および他領域の講義、実習を復習し統合させて実習に臨む。　特に、介護保険制度・訪問看護制度についてはよく復習をしておく。事前課題を行うと共に、日常生活援助技術の修得も各自行い実習に臨む。利用者宅を訪問する意味をよく考え、指示された訪問時の身だしなみを守り、訪問マナー等実習での言動に注意を払う。また、実習中担当教員と適宜連絡を取り、相談・報告を怠らないように注意する。　実習に先立ち、事前に実習に最低限必要な技術演習を実施するので、必ず参加すること。

教科書

系統看護学講座　統合分野　地域・在宅看護論１　河原加代子　医学書院（2 年,3 年次使用テキスト）　系統看護学講座　統合分野　地域・在宅看護論２　河原加代子　医学書院（2 年,3 年次使用テキスト）

参考書

角田直枝著：実践できる在宅看護技術ガイド　学研メディカル秀潤社　河野あゆみ編：強みと弱みからみた　地域・在宅看護過程　医学書院　押川真喜子監：写真でわかる訪問看護アドバンス　インターメディカ

研究室／オフィスアワー

武　　w240 / （水） 12:00～13:00　yukari_take@morinomiya-u.ac.jp　岩佐　　w237 / （水） 12:00～13:00　yumi_iwasa@morinomiya-u.ac.jp　丸山　　w335 / （水） 12:00～13:00　kazuko_maruyama@morinomiya-u.ac.jp　門野　w533 / （水）12:00～13:00　kyoko_kadono@morinomiya-u.ac.jp　実習期間中を含め、オフィスアワ

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	? 配置されたステーションの概要､管轄範囲の地域の特徴､利用者の状況等を事前学習や管理者からのオリエンテーション内容から理解を深める。 ? 訪問看護ステーションの訪問看護師との同行訪問により､在宅で療養する人やその家族の生活状況､看護の実際について学修し､在宅での看護の個別性について理解を深める。 ? 地域での多職種､他機関との連携の場を体験し､その必要性と具体的方法について学ぶ。 ? 学習目標を意識して日々の学生同士（指導者を交えて）のカンファレンスを行い､自分自身の疑問や課題､その日に学び得たことを明	予習：指定の予習（事前学習）課題を行ったうえで実習に臨む　・ 実習ステーションの地区の状況、対象者の特徴　・ 介護保険制度、訪問看護制度、介護保険と医療保険での訪問看護の利用の違い　・ 地域包括ケアシステムと社会資源　・ 在宅看護の対象者に多い疾患　　・ 在宅で行われる医療処置　　・ 日常生活援助（在宅での工夫点・留意点）　・ 在宅対象者のアセスメントに必要な情報等　・ その他（授業内容）　　実習中：実習記録用紙に記録をする　・ 実習中に指導者から与え	武　　岩佐　丸山　門野

		られた課題、在宅看護を理解するために必要な学習を積極的に行う。　・ 適宜、自ら指導者・教員に質問し、指導を受ける。実習中間・終了後：提示した課題に沿って、実習のまとめを発表及び記録物を提出する。	
成績評価方法と基準			割合
次の事項を総合的に勘案して評価する。①事前課題、②実習記録、③実習態度やカンファレンスの参加状況、④指導者の評価など (DP1,2,3,4)　ルーブリック評価表に基づき、個別面談を行いフィードバックする。　評価点 60 点以上で単位を認定する。単位認定には 4/5 以上の出席が必要である。			①②③88%、④12%

授業科目名	老年看護学実習（看護）					
主担当教員	外村　昌子			担当教員	外村　昌子／川添　英利子／寺田　美和子	
科目ナンバリング		科目区分	専門分野		ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	後期		曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	3.00 単位		必修・選択	必修

授業概要

健康障害や生活機能障害を持つ高齢患者の看護過程を展開できる基礎的能力を養う。また、高齢患者の意思決定や生活の質を尊重した看護を学ぶ。また、高齢患者および家族への継続看護や社会資源の活用方法について理解する。さらに、医療チームにおける多職種連携を学ぶ。さらに、高齢者施設の概要、生活する高齢者の健康問題や生活過程を理解する。また、施設における看護職の役割を学ぶ。

学修目標

1.老年期の特徴をふまえて、高齢患者の多様性やその人らしさを理解できる。DP①　2.健康障害や生活機能障害を持つ高齢患者受け持ち、看護過程が展開できる。DP①③④　3.高齢患者のもてる力を活かし、社会生活への適応や自立を促す援助について学ぶことができる。DP①④　4.高齢患者の自尊心、意思決定、生活の質を尊重した看護を理解できる。DP①③　5.高齢患者の生活過程を考慮した継続看護、社会資源の活用方法が理解できる。DP①③　6.医療チームにおける多職種連携の必要性が理解できる。DP①②　7.高齢者施設等の特徴と機能および役割が理解できる。DP①②④　8.高齢者の生活史や価値観についてコミュニケーションを通して理解できる。DP②③④　9.高齢者施設における看護職の役割が理解できる。DP①②④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

追実習や再実習は、病院の受け入れ状況により非常に困難であるので、健康管理に留意して欠席しないこと。　予め履修が教科必要な教科目　老年看護学概論　老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ

教科書

老年看護学概論ならびに老年看護援助論で用いたテキスト　その他、実習中に適宜紹介する。

参考書

老年看護学実習ハンドブック　南江堂

研究室／オフィスアワー

外村昌子　　west port3 階 331 研究室/　後期木曜 17 時～18 時　　寺田美和子　west port3 階 336 研究室/　後期木曜 17 時～18 時　　川添英利子　桜 port5 階共同研究室/　　後期木曜 17 時～18 時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	（老年看護学実習）　1.実習期間　　3 週間（病棟 2 週間、施設 1 週間）　2.実習場所　　藤井会リハビリテーション病院　　日本生命病院　阪和記念病院　　特別養護老人ホーム 浜木綿苑　特別養護老人ホーム 阪和帝塚山苑　　介護老人保健施設　　雅秀苑　　デイサービス　　ひなた　　就労継続支援 B 型事業所　ひのき　　社会福祉法人　若草会　わかば　3.実習方法　1）病棟実習：健康障害を持つ患者を 1 名受持ち、看護過程を展開する。　2）　施設実習：利用者の生活援助を見学、経験する。　詳細は老年看護	老年看護学実習　病棟実習　1.事前学習　1）老年期の心身特徴、老年期の疾患と看護、日常生活援助などの基礎看護技術　2.「老年看護学実習の抱負」を実習初日に提出　3.実習記録　1）行動計画表を記載し担当指導者に発表する。　2）行動計画表に基づき実施内容を評価する。　3）看護過程を展開する。(情報の整理とアセスメント、全体図、看護計画立案、評価)　4）看護計画に基づき経過記録を記載する。　5）カンファレンスを実施する。資料を作成、運営や時間調整は学生が 主体的に取り組む。　6）日々の予習復習　受け持ち患者の看護などに必要な学習　7）実習日誌は実習最終日の 16:00 までに提出　施設実習　1.事前学習　　1）老年期における心身の特徴，高齢者とのコミュニケーション方法　　2）介護保険法と高齢者施	全教員

		設の概要　2.実習記録　　1）行動計画表を毎日記載する。　　2）体験、見学、学びについて記録する。　4. カンファレンス・振り返り会　　会の運営、時間調整を主体的に取り組む。	
成績評価方法と基準			割合
老年看護学実習　①実習内容・態度　②実習記録　〈DP①②③④〉　原則として全出席が評価の対象。			老年看護学実習　①60% ②40%

授業科目名	教職論（教職課程:看護）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング	SE608	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について理解し、教職への意欲を高め、さらに適性を判断しながら、必要となる資質能力の習得に見通しを持つ。

学修目標

１．教職の意義及び教師の役割に関する基礎的知識を習得する。　２．教師の課題解決に必要な考え方と行動を理解する。　３．教職に関わる制度を理解する。　４．教職の未来を描き、意欲や志望意識を高める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の課題に対して自分の学びをレポートすることによって、教職に対する理解を深め、自らの将来像をイメージすることに役立ててもらいたい。

教科書

人間教育を実践する教師への道―教師の仕事と教育行政　株式会社 ERP

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４階第５研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業の目的、概要―学習ルールとマナー、評価、参考文献の紹介等	シラバスを読んでおく。学んだことを簡潔にまとめておく。	阿部
2	教育とは何―教員としてのあり方､教員を目指す学生のあり方　教育の目的	「教員の役割」について既習事項をまとめる。教員を目指すものとしての意識をまとめる。	阿部
3	学級経営―学級経営の課題と方法､そこから見える教員としてのあり方、授業力と生徒指導力	前回の授業のポイントを確認しておく。 授業力と生徒指導力の関係についてまとめる（課題）	阿部
4	求められる教員のあり方―教員採用試験合格者から分析した教員としてのあり方	教員採用試験合格ために必要なことについてまとめる。	阿部
5	教員採用試験から見えてくる求められる教員の資質・能力―教育委員会の文書、教員採用試験の面接・場面指導・模擬授業等から分析した教員としての在り方	教員として求められる資質能力についてまとめる。	阿部
6	教員の仕事―小学校、中学校、特別支援学校の教員の一日	教員の仕事について既有知識を確認しておく。　各学校種に応じた教師の仕事をまとめる。(課題)	阿部
7	学校の組織力―職員会議、校務分掌、学年経営、学校経営、危機管理	前回の授業のポイントを確認しておく。 学校の組織図を作る。	阿部
8	教員の身分と服務―教員の服務、身分保障と分限・懲戒処分	前回の授業のポイントを確認しておく。 教員の身分と服務についてまとめる。	阿部
9	教員の問題行動とメンタルヘルス―教職員の不祥事、教員の精神疾患	前回の授業のポイントを確認しておく。近年の教師の問題行動について調査レポートをする。(課題)	阿部
10	教員の資質向上と研修―研修について､初任者研修、10 年目研修、校内研修、官制研修	教員研修についての既有知識を確認しておく。　教員研修の必要性について考えをまとめる。	阿部

11	教員養成の歴史―戦前、戦後の教員養成	教員採用の歴史についてまとめる。	阿部
12	学習指導要領（１）―3 つの柱	思考力･表現力の育成、人間性の涵養についてポイントをまとめる。	阿部
13	学習指導要領（２）―主体的で深い学び、ICT、個別最適化、協働力の育成	学習指導要領のトピックを選んでレポートする。（課題）	阿部
14	教育実習の意義と心得―教育実習の目的､求められる実習生の意欲・態度	教育実習について既有知識を確認しておく。教育実習に向けての思いをまとめる。	阿部
15	まとめ―獲得できた学びと課題を振り返り､まとめ、交流する。進路選択への視点を明確にする。	これまで書いた各回の振り返りをもとに自分の問題意識をレポートする準備をしておく	阿部
成績評価方法と基準			割合
①毎回行う振り返りレポート　②課題　③論述試験としての最終レポート　④授業内での発言・プレゼン			①３０％　②３０％　③３０％　④１０％

授業科目名	教育原理（教職課程:看護）					
主担当教員	松田　智子		担当教員		松田　智子	
科目ナンバリング	SE609	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期		曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

①教育の基礎・基本的な原理を学ぶために教育の歴史や思想などの視点から各時代において教育や学校がどのように位置づけられてきたかについて理解を深める。　②諸外国の教育について学び、現在の日本の教育がどのような思想的・歴史的背景を有しているのかを理解することで、学校教育や社会教育の在り方について理解する。　③現代における教育の課題や教育改革等の動きにも理解を深め、現代に求められる教師として必要な資質能力を習得できるようにする。

学修目標

①教育の基礎･基本的な原理を学ぶために教育の歴史や思想などの視点から各時代において教育や学校がどのように現れてきたかについて理解を深める。　②諸外国の教育について学び、現在の日本の教育がどのような思想的･歴史的背景を有しているのかを理解することで、学校教育や社会教育の在り方について理解する。　③これまでの教育や学校の営みがどのようにとらえられ、変遷してきたかを理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を購入して、その日の学習部分は事前に予習して、読んでくること。　授業の終わりに、毎時間、理解度をチェックするミニレポートを書くので、予習は不可欠である。

教科書

「哲学する教育原理」教育情報出版　伊藤潔志編集　（２０１９年）

参考書

授業中に適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業に関して何か質問等ありましたら、メールで、学籍番号・氏名を明記した上で送信してください（携帯メール不可）。
東棟　4 階　松田研究室　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育学と教育の成り立ちについての､学び方の基本を身に付ける。 自分が受けてきた教育を振り返り、日本の教育の特色を理解する。	予習：「教育とは何か」について考えをまとめる（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
2	西洋の教育思想を学ぶ(古代・近世)　古代ギリシヤから近世までの社会的な背景と教育の関係を理解する	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
3	西洋の教育思想を学ぶ(近代・現代)　義務教育の概念が広がった以降から現在までの教育の変遷を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
4	日本の教育思想を学ぶ（古代・中世・近世）　日本の飛鳥時代から江戸時代までの､社会的な背景と教育の関係を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
5	日本の教育思想を学ぶ(近代・戦後)　明治以降の義務教育の変遷と､戦後から現在までの教育の変遷と目的を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
6	教育を基礎から考える（教育とは何か）　今までの西洋と日本の教育史を振り返り､現在の教育がどのように成立したかを考え､教育の本質を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
7	教育を基礎から考える（子どもとは何か）　ルソ	予習：前時を振り返り、記録を読み返す	松田　智子

	一から子ども観が変わる過程を理解し、現在の子どもの状況と権利について知る。	（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	
8	教育を基礎から考える（学校とは何か）　学校が歴史的に果たした役割の変化に焦点を当てて、現在の学校の長所と課題を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
9	教育を哲学する　・どうすれば学校で哲学が可能になるのか、学校組織と人的な構成から考え、哲学できる教室にするため必要なことを知る。　・対話・会話・議論の違いを理解し、対話が学習となる学級の在り方、教師の在り方を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
10	教育することの倫理　・教育は善と、古代ギリシャから言われてきたが、歴史的過程において教育とは何かを理解する。　・教育の本質を、哲学的に対話を通して、学校で実現するための方策を身に付ける。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
11	教師と子供の関係性　・教師と子どもの信頼関係は、教育には不可欠であるが、現代の学校教育での現状を知る。　・子どもと教師の信頼関係を獲得するために、具体的な方策を身に付ける。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
12	公教育の役割と位置づけ　・公教育の意義とともにデメリットを理解する　・義務教育制度の成果と課題について、世界と比較しつつ日本の教育を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
13	学校園と理論を結ぶ哲学　・幼児教育の現場と理論について理解する。　・就学するまでに育てたい 10 の力と学校教育の関連性を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
14	学校園と理論を結ぶ哲学　・初等教育の現場と理論を知る。　・中学校と小学校のシステムの違いを理解し、義務教育学校の在り方を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
15	学校園と理論を結ぶ哲学　・中等教育の現場と理論を理解する。　・高大連携やキャリア教育の在り方を考える。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田　智子
成績評価方法と基準			割合
①毎回の授業後のレポート　②定期試験			①70%　②30%

授業科目名	教育心理学（教職課程:看護）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE611	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 6 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育心理学は心理学で得られた知見を教育現場に応用する科学である。学校教育を考える上で、教育心理学に関するさまざまな知識や技術を習得し、それらを利用しながら教育に関わる現象を分析的に捉えることは重要である。また、近年、「不登校」「いじめ」「学級崩壊」「学習障害」といった学校をめぐる出来事が社会問題化してきている。この授業では、教育心理学の基本的知識を正確に理解し、実際の教育現場をイメージしながら考える基礎を養うことを主な目的としている。

学修目標

(1) 乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達及び発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得している。 (2) 主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方などについて、発達の特徴と関連づけて理解している (3) 教育における心理学の意義を理解し、具体的な問題解決を志向する態度を身につけている。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業前に配布する資料を熟読して授業に備えること。授業後には講義内容を復習し、次回授業冒頭の小テストに備えること。小テストは自己採点して、答えられなかった部分については、前回資料をよく復習して、知識を確実なものにしておくこと。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	発達と教育①　－乳幼児期～幼児期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
2	発達と教育②　－学童期～思春期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
3	発達と教育③　－青年期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
4	記憶のしくみを知る　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
5	記憶に残る教授法を考える　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
6	学習のしくみを知る　－学習心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
7	行動のしくみを知る　－応用行動分析－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テス	高木

		トを見直して知識を確認すること	
8	「やる気」の心理学　ー動機づけ心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
9	授業に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
10	評価の心理的影響を知る	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
11	性格の把握と学べる集団作りを知る　ー性格心理学・社会心理学―	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
12	発達障害への対応を知る　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
13	児童生徒に見られる心の問題　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
14	教師の専門性とカウンセリングマインド　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
15	個別指導に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習としてまとめテストに備えること、復習としてまとめテストの誤答を見直して知識を確認すること	高木
成績評価方法と基準			割合
①毎回の講義で実施される、グループワークによる課題　②毎回の講義で個人で作成する、講義内容に関するリフレクションシート　③期末テスト			①25%　②25%　③50%

授業科目名	教育行政学（教職課程:看護）				
主担当教員	松田　智子		担当教員	松田　智子	
科目ナンバリング	SE610	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育行政とは、「国や地方公共団体の自治体が、教育政策を実現するため、教育法規を基礎に教育制度を運営し、教育条件の整備と教育活動の規制・助成を行うこと」である。　教育行政学に関して、受講者がこれまでの学校教育の中で経験した教育行政の一端を振り返り、安全や防災も含めた現状の学校での法的な課題等を理解する。　教育行政施策に関するマスコミ報道等を手掛かりとしながら、日本の教育行政の現状と今後の課題について把握し、法律を教職生活に有効に活用できるようにする。

学修目標

１．現代の学校教育について制度的事項について基本的な知識を身につける　２．教育行政を巡る今日的な課題について理解することができる。　３．学校と地域との連携に関する課題や今後の在り方を理解する。　４．学校安全への対応に関する基本的知識を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーナーになること。　２．限られた時間内で一定程度の文章を書く習慣を身に付けること。　３．問題意識を持って受講すること。　４．授業中の携帯電話等の使用はしないこと。

教科書

「人間教育を実践する教師への道―教師の仕事と教育行政―」　阿部秀高著　　株式会社 ERP

参考書

必要に応じて紹介する。

研究室／オフィスアワー

事前にメールで連絡を取り、来室すること。随時受け付ける。　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　「教育行政学」の学びのアウトラインを知る	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに今後の学修方法を確認する（2 時間）	松田　智子
2	公教育の原理と思想について学ぶ　公教育の概念や公教育の原理について、憲法と教育基本法を中心に学ぶ	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：三原則の具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
3	教育基本法と憲法の関係性を理解する。　日本の法体系の基本を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：憲法・教育基本法・(2 時間)	松田　智子
4	教育基本法を根底とした学校教育法を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめ、ミニテストの学習をする。(2 時間)	松田　智子
5	学校教育法と学校教育法施行規則を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：法律と政令と規則と条例の関係についてまとめる 400 字（2 時間）	松田　智子
6	教育職員免許法と同法施行規則を理解する。　教員養成法の歴史的な流れと、今後に期待されていることを理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：現在の教員制度の課題を３つまとめる(2 時間)	松田　智子
7	地方教育行政の組織及び運営に関する法律について理解する　地方教育行政の役割と教育委員会の制度について理解する。　学校教育法から地方教育委員会の条例への連続性について把握する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：教育委員会の法的な業務が、自分の学校生活にどのように関係をしていたかを振り返る（2 時間）	松田　智子

8	教育課程行政　教育課程に関する法制度と教科書採択等について理解する　義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：義務教育諸学校の教科用図書の無償措置の 5 条について具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
9	教育財政と学校財務　教育費の基本原理や教職員にかかる経費について学ぶ　学校における財政を具体的に把握して、教育財政を身近なものと理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
10	学校保健安全法と同法施行規則を理解する。 防犯・安全対策及び学校事故への安全対策と災害に対する備えについて学ぶ　学校事故の現状を理解し、過去の判例から具体的に教員の安全義務の責務を知る　感染症等の対応や健康診断の位置づけを理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校保健安全について、国と都道府県と市町村と学校の義務と責任について整理する。	松田　智子
11	地方公務員法について理解する　公立学校の教師としての禁止事項、制限事項、義務等について理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：過去の具体的な教師の問題行動を調べ、地方公務員法と照らし合わせる（2 時間）	松田　智子
12	教育公務員特例法について理解する　公務員である教員と一般公務員との違いを理解する。 公立学校と地域と社会との連携の重要性を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
13	いじめ防止対策法について理解する　いじめ問題への対応及び学校における衛生・健康管理について、法的な根拠を明確にして学ぶ　いじめの 4 層構造と学級構造の関係を理解し、過去の判例から具体的に教員の責務を知る　いじめ防止に対しての学校と地域との連携の役割を知る	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：実際の事例から、いじめ防止対策法の成果と限界について調べる（2 時間）	松田　智子
14	労働基準法について理解する　教師も社会人の一員として働く基本の法律を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校の教員の働き方改革と労働基準法との関係を調べる(2 時間)	松田　智子
15	課題レポート　講義全体を振り返り、学修状況を確認する。	予習：講義内容の振り返りをしておく（2 時間）　復習：振り返りのミニレポートを書く 8000 字（2 時間）	松田　智子
成績評価方法と基準			割合
１．授業中記録した学びの履歴シート【５０%】　２．最終回の課題レポート【３０%】　３．授業での発言、主体的な学びの姿勢【２０%】			１．５０% ２．３０% ３．２０%

授業科目名	教育課程論（教職課程:看護）				
主担当教員	安藤　福光		担当教員	安藤　福光	
科目ナンバリング	SE612	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

変化の著しい現代社会では、教育課程に求められる内容もまた著しい変化を余儀なくされている。本講義においては、先の変化に対応した教育課程編成を実行できるようにするため、教育課程に関する基本的な知識、これまでの学習指導要領の変遷を扱いながら、教育課程の現代的な課題について、受講生の理解を深めることを目的とする。あわせてそれを実際の編成に生かすための考え方、方法について受講生と検討する。

学修目標

・教育課程の基本的な知識について、理解することができる　・学習指導要領の変遷を理解することができる　・教育課程の現代的な課題を理解し、実践に生かすことができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・自身の学校教育経験を振り返りながら受講すること。　・周囲の迷惑になる私語等は厳禁とする。

教科書

とくに指定しない

参考書

・根津朋実・樋口直宏編著（2019)『教育内容・方法［改訂版]』培風館　・森山賢一編著（2021)『教育課程編成論（改訂版)』学文社　・文部科学省（2017)『小学校学習指導要領』　・文部科学省（2017)『中学校学習指導要領』　・文部科学省（2018)『高等学校学習指導要領』

研究室／オフィスアワー

授業中に指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育課程とカリキュラム:それぞれの概念の整理	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
2	教育課程と学習指導要領:学習指導要領について	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
3	教育課程行政：文部科学省と教育委員会の役割	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
4	アメリカのカリキュラム改革:アメリカのカリキュラム改革の歴史	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
5	戦前の教育課程の歴史:明治期から終戦直後まで	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
6	学習指導要領の歴史的展開（1)：昭和 22 年版（試案、社会科、家庭科、自由研究)、昭和 26 年版（試案、%）学習指導要領	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
7	学習指導要領の歴史的展開（2)：昭和 33 年版（法的拘束力、道徳)、昭和 43 年版（教育内容の現代化)、昭和 52 年版学習指導要領（教育内容の精選）	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
8	学習指導要領の歴史的展開（3)：平成元年版（生活科、地理歴史科・公民科)、平成 10 年版（平成 15 年一部改正含む）（ゆとり、生きる力、教育内容の厳選、総合的な学習の時間）学習指導要領	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
9	21 世紀の学習指導要領：平成 20 年版学習指導要領（習得・活用・探究、外国語活動、言語活動)、	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光

	平成 29 年版学習指導要領（社会に開かれた教育課程、カリキュラム・マネジメント）		
10	教育課程の編成と評価:教育課程の編成と評価の方法、カリキュラム・マネジメント、カリキュラム評価	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
11	教科と教科外の教育課程:教科と教科外活動の教育課程の内容	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
12	各校種の教育課程：小学校、中学校、高等学校の教育課程の構成	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
13	学習指導要領と教科書：教科書の定義、教科書検定と教科書採択制度	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
14	総合的な学習の時間：創設の趣旨、教科・領域横断学習の意義と必要性（カリキュラム・マネジメントおよびカリキュラム評価の観点の必要性）、特色ある取り組み	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
15	教育課程の現代的な課題：一貫教育の教育課程、学力と教育課程、地域とともにある学校の教育課程（社会に開かれた教育課程）、カリキュラム評価、教科・領域・学年を越境する学習活動（カリキュラム・マネジメント）など	講義資料にもとづき復習をすること。	安藤　福光
成績評価方法と基準			割合
到達目標に関する期末試験で判定する。			100%

授業科目名	道徳教育論（教職課程:看護）				
主担当教員	福島　信也		担当教員	福島　信也	
科目ナンバリング	SE617	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業では、『特別の教科・道徳』の授業づくり（小学校４５分、中学校５０分）を実践的に学びます。　2018 年度から小学校、2019 年度から中学校で特別の教科「道徳科」になり、教科書が配布されています。「ローテーション道徳」として、養護教諭も道徳科授業を担当する学校もあります。　また、新高等学校学習指導要領(2019.4/1～2022.3/31 移行期間.2022 年 4/1 より施行)の主な改善事項の一つに、「道徳教育の充実」が挙げられ、全ての教師が協力して道徳教育を展開することを規定(総則)しています。　児童・生徒たちが興味をもって深い学びを得られる授業をどうしたらできるでしょうか。　学校現場の様子(出前授業等の録画視聴もあります)も説明しながら、受講者同士の話し合い（グループ活動)、教材や授業方法の検討、学習指導案作成、プチ模擬授業(個人またはグループ)などを通して、これらの問題を考えていきます。

学修目標

※学校における道徳教育の位置づけやねらい、内容について理解する　●『中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編（平成 29 年 7 月)』 の重要事項について、答えることができる。　●「道徳とは何か」、「なぜ必要なのか」など、説明することができる。　※道徳科授業の実践に資する知識や技能を身につける　●児童・生徒たちの道徳性の発達や興味・関心、社会的要請などを踏まえ、50 分の道徳科指導案を作成する。（全員必修）　●作成した学習指導案をもとに、プチ模擬授業(個人またはグループ)をする。(全員必修)　●道徳科授業に興味・関心をもち、養護実習では道徳科授業(生命尊重など)や保健指導に活かすことができるようにする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

●授業で配布したプリントは、必ずファイル（綴じ込んで保存） すること。　●プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること。　●授業で配布した課題プリントは、必ず提出すること。　●教材をじっくり読み込んで(何回も)、学習指導案を作成をすること。

教科書

使用しない。プリントを配布します。

参考書

●文部科学省「中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」平成２９年７月　●授業は配布するプリントに基づいて行います。　学校現場で役立つ内容が含んでいるプリントを用意します。　プリントは実践に活かすことができるので、ファイルして保存すること。　その他、参考となる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	道徳科の素晴らしさ　～ オリエンテーション・出前授業の様子 ～　【プリント以外で配布するもの】　・学習指導要領解説(特別の教科 道徳編)　・道徳教材集(冊子)	道徳教材集を読む(2 時間)	福島信也
2	道徳科授業を知る（１）　～ 流れ知る！ 導入・展開・終末 ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む（1.5 時間)	福島信也
3	道徳科授業を知る（２）　～ 展開・板書について ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む（1.5 時間)	福島信也

4	「特別の教科 道徳」の改訂のポイント　～ 教科化になった理由など ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む（1.5 時間）　「道徳教材集」読む（1 時間）	福島信也
5	道徳科授業の指導法（１）　～ 指導案作成のポイント ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む（1.5 時間）　「道徳教材集」読む（1 時間）	福島信也
6	道徳科授業の指導法（２）　～ 評価・中心発問について ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む（1.5 時間）　「道徳教材集」を読み、教材分析（1 時間）	福島信也
7	道徳科授業の指導法（３）　～　発問の工夫・教材分析について ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1 時間)　「道徳教材集」を読み、教材分析(1 時間)	福島信也
8	道徳科授業の指導法(４)　～ 多様な手法を使って、多面的・多角的な思考を促す ～　・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)　「道徳教材集」読む（1 時間）	福島信也
9	道徳科授業の指導法（５）　～ 問題解決的な学習・体験的な学習について ～	プリント復習(1 時間)　指導案作成(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間)	福島信也
10	道徳科授業の指導法（６）　～ 「総合学習」と関連させた授業(展開)について ～　・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説道徳編」読む(1 時間)　指導案作成(２時間)	福島信也
11	道徳科授業の指導法（７）　～ 指導案をチェックして、指導案作成に役立てる ～　・研究授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説道徳編」読む　(1 時間)　指導案作成(2 時間)	福島信也
12	道徳科授業の指導法（８）　～指導案をグループで高め合う、授業のトラブル＆ピンチ について ～　・プチ模擬授業の準備　・指導案提出	プリント復習、模擬授業準備（1 時間)　指導案作成(２時間)	福島信也
13	プチ模擬授業(個人またはグループ)(１)　～ みんなで討議 ～　　・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間)　「道徳教材集」読む（1.5 時間)　模擬授業の評価・自己評価	福島信也
14	プチ模擬授業(個人またはグループ)(２)　～ みんなで討議 ～　　・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間)　「道徳教材集」読む（1.5 時間)　模擬授業の評価・自己評価	福島信也
15	プチ模擬授業(個人またはグループ)(３)　～ みんなで討議　、まとめ(理想の道徳科授業)　～　　・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間)　「道徳教材集」読む（1.5 時間)　模擬授業の評価・自己評価	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●プチ模擬授業は全員が行います。　●学習指導案は全員が提出します。(学習指導案は、コメント等を記載してから返却します)　●授業では、課題(プリント、学びのプロセス 等) を提出します。(課題プリントは、コメント等を記載してから返却します)			・プチ模擬授業(個人またはグループ)：20～25%　・道徳指導案　：20～25%　・授業内課題　：50～60%

授業科目名	特別活動論（教職課程:看護）				
主担当教員	松田　智子		担当教員	松田　智子	
科目ナンバリング	SE618	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

特別活動では「集団や社会の形成者」としての見方・考え方を働かせ、その目的に応じた様々な集団活動があることを知り、特別活動の教育的意義を理解する。　すべての教育活動の基礎となる学級集団作りを中心に望ましい合意形成・意思決定の指導方法、生徒会や学校行事等の基本的な考え方と指導法を習得する。

学修目標

・特別活動は学校のおける様々な集団活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい学校生活を目指して行う活動の総体であることを知る　・特別活動の意義を理解し「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点や「チーム学校」の視点をもつ重要性を理解する　・学年による違による活動の差異、各教科との往還的な関連、地域住民等との関連など、特別活動の特質を踏まえた指導方法を身につける

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学習指導要領の解説、特別活動編を熟読すること（育てたい資質・能力に着目すること）

教科書

中学校学習指導要領解説 特別活動編（平成 29 年 6 月 文部科学省）　高等学校学習指導要領解説 特別活動編編（平成 29 年 6 月 文部科学省）　特別活動＆総合的な学習（探求）の時間の指導法(松田智子、新川靖、林真太郎)

参考書

授業中に適宜資料を配付する

研究室／オフィスアワー

事前にメールで日時を設定し、質問会や面談を行うこと　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　科目の概要説明と学習指導要領に基づく特別活動の意義と目標	予習：自己の中学校・高等学校の特別活動を思い出してレポートする（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子
2	学校全体における教育課程における特別活動の位置づけと育てたい資質・能力を知る	予習：学習指導要領の特別活動の解説編の目標と育てたい資質・能力を読む（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子
3	学級活動（１）学級活動の目的と内容について理解する､学級活動の 3 つの種類を具体的に把握する。	予習：自己の学級活動のテーマを書き出す（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子
4	学級活動（２）事例研究を考える　（合意形成と意思決定の指導の方法について話し合い､具体的な助言について知る）	予習：自己の経験の合意形成や意思決定を思い出して書く（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子
5	生徒会活動（１）生徒会活動の目標と内容について知る	予習：自己の生徒会の活動について書く（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子
6	生徒会活動（２）事例研究から考える　（生徒会組織のありかたと､指導の方法について具体的に理解する）	予習：自らの生徒会の経験を提起する（2 時間）　復習：自治的、自発的な社会活動の方法を考える（2 時間）	松田　智子
7	学校行事（１）学校行事の目的と内容　（学校行事の５つの種類と具体例とそれぞれの目的について理解する）	予習：自己の学校行事と目的を書く（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子

8	学校行事（２）事例研究から考える　（学校行事の指導計画作成と指導の留意点について、学校の現状に合わせて作成する）	予習：自らの学校行事の経験を提起する（2 時間）　復習：学習で印象に残った学校行事の在り方を考えレポートする（2 時間）	松田　智子
9	特別活動が果たす教育的意義　特に「なすことにより学ぶ」という意味についての議論と通して理解する　他の教科との関連性において、特別活動の位置を理解する。	予習：自らの特別活動の経験を提起する（2 時間）　復習：特別活動の教育的意義をまとめる（2 時間）	松田　智子
10	総合的は学習の時間と特別活動との関連と具体的な指導例について理解する　学習の活動形態が似ているが、その目的と学習過程の違いについて把握する	予習：自らの総合的な学習の時間を提起する（2 時間）　復習：具体的なテーマを選択してまとめる（2 時間）	松田　智子
11	教科指導と特別活動との関連と具体的な指導例を理解する。 学校行事を通して行われる機会が多い、各教科との連携を把握する	予習：自らの教科学習で印象に残った学習活動を提起する（2 時間）　復習：具体的な教科を選択しまとめる（2 時間）	松田　智子
12	特別の教科「道徳」と特別活動との関連と指導例を理解する　道徳の教科の特性と特別活動の特性の違いを明確に把握する	予習：自らが印象に残っている道徳授業を提起する（2 時間）　復習：具体的な価値を選択しまとめる（2 時間）	松田　智子
13	特別活動と地域家庭や社会との連携と指導例を理解する　学校行事だけでなく、日常的な連携もある事を配慮する	予習：自らの地域活動経験を提起する（2 時間）　復習：具体的な事例を選択しまとめる（2 時間）	松田　智子
14	特別活動の評価と改善の方法を理解する　学習指導要録と通知表における評価の具体例を把握する	予習：自己はどのように評価されていたか思い出して書く（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子
15	講義全体のまとめと振り返り	予習：振り返りを書く（2 時間）　復習：本時の振り返りとまとめ（2 時間）	松田　智子
成績評価方法と基準			割合
①毎回の授業で提出する授業後のレポート　②授業への参加態度と貢献度			①70%　②30%

授業科目名	生徒指導論(養護教諭)（教職課程:看護）					
主担当教員	杉山　雅		担当教員	杉山　雅		
科目ナンバリング	SE620	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

現代社会を生きる子ども達の心身の健全な発達について、学校行事・生徒会行事・ＨＲ指導や個別指導を中心に、生徒指導の観点から考察します。子どもの権利条約の基本原理を学び、厳罰主義をのりこえ、生徒の自主性を尊重する指導法を身につけることができます。又、教育現場で蓄積された優れた教育実践を取り上げて学び、生徒指導の実践的な指導力を身につけることができるようになります。又、養護教諭という立場では、どのような生徒指導が求められるのか、その点に重点を置いて考察します。

学修目標

・思春期を生きる子どもたちの発達の課題を理解し、自立への筋道を学ぶことができる。　・体罰や暴言などの不適切な指導をのり越え、生徒の内面に響く、しなやかな指導のあり方を身につけることができる。　・生徒への個別接近の方法を学び、生徒の内面を共感的に理解し、教育実践を進めることができる。　・問題行動への取り組み方と専門機関との連携の仕方を学ぶことができる。　・集団があれば、必ずトラブルが発生します。学校は、そのトラブルを話し合いで解決する方法を学ぶところです。子どもたちにそのような力を育む教師の　　実践力を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

特に、復習に力を入れてください。受講後、授業で配布された資料を読みなおしたり、授業資料の中にある設問を再考してください。　又、テーマと関連のある参考書の部分にも目を通し、理解を深めてください。　授業中、疑問や質問が浮かんだら、積極的に質問してください。　生徒指導において養護教諭の専門的領域を活用できる能力を養ってください。

教科書

毎回、授業テーマに基づいたレジュメと資料を配布しますので、自分なりに分析し、考察しておいて下さい。

参考書

「教師の仕事を考える」杉山雅　2012 年　学文社　その他、必要な資料は、毎時間、適宜配付します。

研究室／オフィスアワー

○講義日の非常勤講師控室　　緊急の時は、mack-.sugiyama @nifty.com　へ連絡してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生徒指導とは何か。子どもの権利条約に基づいて、その基本的な指導理念を学ぶ。　子どもの権利条約第 3 条「子どもの最善の利益」や第 12 条「意見表明権」を生徒指導の中でどのように活かすことができるのかを考察する。　又、18 才成人や体罰の全面禁止などの法改正が、具体的な生徒指導に及ぼす影響についても考察します。	＜予習・復習各 2 時間＞　予習：講義の復習	杉山
2	体罰とは何か。その定義を学び、体罰がいかに子どもたちの心身に悪影響を与えるかを理解する。2019 年 2 月に、日本も体罰全面禁止国になり、学校だけでなく、家庭も含め、いかなる場合においても体罰を振るうことは禁じられています。体罰を克服した教育実践を紹介し、体罰を克服する指導法を身につけることができます。	＜予習・復習各 2 時間＞　予習：講義の復習	杉山
3	部活動における　体罰が一番多く振るわれているのが、放課後の部活動の時間帯です。　なぜ、体罰が学校教育の中に取り入れられたのか、その	＜予習・復習各 2 時間＞　予習：講義の復習	杉山

	歴史的な経過を学ぶ。 さらに、18 世紀後半に、イギリスの学生たちが暴力を排除し、科学的な指導を確立した近代スポーツの精神を学び、部活動の在り方を再考する。 又、最近、スポーツからしごきや暴力的な指導を排除し、「ペップトーク」の指導等のポジティブな指導の在り方を紹介します。		
4	掃除のサボりの指導や遅刻の指導は、個別指導とクラス全体で取り組む集団指導が相まってこそ大きな成果を得ることができます。 そのためには、クラスを分析し、リーダーを育て、討論を喚起し、具体的な目標を立て、班活動等を展開することが求められます。 そのような地道な指導の結果、自主的で、民主的なクラス集団が育っていきます。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
5	行事の指導について、学校行事や生徒会行事の在り方を学びます。 又、学校事故の観点からも考察し、事故を予防する能力を高める。 学校と保護者と地域が手を結んで行事を創造した教育実践から学ぶ。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
6	登校拒否・不登校の概念と、その変遷について学ぶ。 登校拒否・不登校は、基本的には病気ではありません。登校拒否・不登校の原因を考察し、子どもたちが直面している自立の課題について考察します。 子どもの数が急激に減少しているのに、不登校、登校拒否の児童・生徒数は増え続けています。国連の「子どもの権利委員会の勧告」を参考に、まずは、その現象の分析をします。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
7	登校拒否・不登校を克服する筋道を、4 段階にわけて考察する。 「アタッチメント」、「心のエネルギー」、「社会的能力」をキイワードとして、立ち直りへの筋道を考察します。 登校拒否・不登校の生徒への対応や専門機関との連携の仕方について学ぶ。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：課題ミニレポート『不登校・登校拒否について』	杉山
8	いじめについて、その定義と現状について学ぶ。まず、いじめの 3 つのピークについて学ぶ。「いじめ四層構造論」に基づいて、いじめが起こるメカニズムを考察する。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
9	いじめを克服する筋道を展望する。 「いじめの六層構造論」を学び、いじめ克服の諸問題を考察する。 いじめを克服した素晴らしい教育実践（小・中・高）を学び、いじめを克服する展望を考察する。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
10	児童虐待について考察する。 児童虐待とは、何か。その定義を学び、児童虐待の現状を考察する。児童虐待の背景に横たわる問題点を理解する。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
11	児童虐待を克服する筋道を展望する。 そのため、専門機関と連携し、チームとして取り組む方法を学ぶ。 児童虐待に取り組んだ教育実践に学ぶ。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
12	広義の虐待と DV について考察する。 DV が低年齢化し、中学、高校生の間にも広がっている現状を学ぶ。 DV とは何か。又、その原因は何か。DV から身を守る方法を学ぶ。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
13	子どもの貧困問題を考察する。 子どもの貧困問題とは、何か。先進国と発展途上国とでは、その現われ方がどのように違うのか。 子どもの貧困問題に取り組む教育実践を学び、解決への筋道を学ぶ。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山
14	子どもの貧困問題を考える。 子どもの貧困問題について、どのような取り組みがなされているのか、その実践例を紹介する。 又、ヤングケアラーへの支援の在り方を考察する。	＜予習・復習各 2 時間＞ 予習：講義の復習	杉山

15	講義全体のまとめ及び確認テスト	＜予習・復習各 2 時間＞　予習：講義の復習	杉山
成績評価方法と基準			割合
①定期試験（筆記）　②ミニレポート（筆記）			①70%　②30%

授業科目名	教育相談の基礎と方法（教職課程:看護）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE621	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育相談は、児童・生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしたながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。原題社会の児童・生徒の発達の状況を理解し、個々の心理的特質や教育的課題を適切にアセスメントし、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。

学修目標

（1）学校における教育相談の意義と理論を理解できるようになる。　（2）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（アセスメント法・カウンセリング技法）を理解できるようになる。　（3）教育相談の具体的な進め方やポイント、組織的な取組や連携の必要性を説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ロールプレイ・議論等のアクティブ・ラーニングを実施しますので、積極的な参加を期待します。

教科書

文部科学省『生徒指導提要』教育図書

参考書

講義時に適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育相談の意義と課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
2	教育相談の定着に向けた課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
3	教育相談に関わる心理学の基礎理論	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
4	学校教育におけるカウンセリングマインドの意義と問題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
5	カウンセリングの技法：受容・傾聴・共感的理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及	高木

		び各自のノートを学習しておくこと。	
6	カウンセリングの基礎（1）：行動療法	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
7	カウンセリングの基礎（2）：認知行動療法とマインドフルネス	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
8	カウンセリングの基礎(3):パーソンセンタード・アプローチとブリーフ・カウンセリング	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
9	教育相談計画：チーム学校と保護者理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
10	教育相談の展開（1）：いじめ・不登校	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
11	教育相談の展開（２）：虐待・非行	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
12	予防的な教育相談:アセスメントとソーシャルスキル	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
13	協働としての教育相談：カウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
14	専門機関（医療・福祉・心理等）との連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	講義全体の配布資料を確認しておくとともに、重要部分について復習をしておく。	高木
成績評価方法と基準			割合
毎回の講義で、グループワークによる課題解決型の課題を実施する。また、個人の課題としてリフレクションシートを毎講義作成する。講義の最後に、講義全体に対する確認テストを行う。			グループワーク課題（20%）　リフレクションシート（30%）　確認テスト（50%）

授業科目名	養護実習(事前事後指導含む)(教職課程:看護)				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／荒木　寛巳／松田　智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE626	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限、実習
授業形態	実習	単位数	5 単位	必修･選択	必修

授業概要

養護実習事前指導としては、これまで身につけてきた教職科目・養護専門科目における学びを活用して、学校現場において実践するために確認する。　養護実習事後指導としては、養護実習の報告を通して、養護教諭や児童生徒との関わりによって得た学びについて確認、自覚を促す。

学修目標

事前指導目標：養護実習に臨むための準備、心構えができる。　養護実習目標：実習校において、養護教諭の仕事を理解し、最後まで粘り強く実習をやり遂げる。　事後指導目標：養護実習全体を振り返り、成果と課題を明らかにし、養護教諭に必要な資質/能力を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

養護実習を通して、自らの養護教諭に懸ける思いを寄り確かなものにしてください。

教科書

改定「養護実習ハンドブック」東山書房　大谷尚子他編著

参考書

必要に応じて提示する。

研究室／オフィスアワー

イスートポート 4 階 研究室 5・13・20

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	･授業計画について　･養護実習の目標･内容　･実習日誌の書き方	予習：養護実習要綱を読んでおく（１時間）　復習：本時で学んだことをまとめる（１時間）	阿 部　高 木 松田　荒木
2	･養護実習の評価について　･保健室来室者への対応について	予習：前時の学びを振り返る（１時間） 復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿 部　高 木 松田　荒木
3	･保健室で行う外科的･内科的救急処置について	予習：前時の学びを振り返る（１時間） 復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿 部　高 木 松田　荒木
4	･保健室で行う健康相談について	予習：前時の学びを振り返る（１時間） 復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿 部　高 木 松田　荒木
5	･健康診断の知識･技術　･身体計測･視力検査･視力検査などについて　･健康診断表の記録について	予習：前時の学びを振り返る（１時間） 復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿 部　高 木 松田　荒木
6	･保健教育の目的と意義	予習：前時の学びを振り返る（１時間） 復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿 部　高 木 松田　荒木
7	･指導案の構成と書き方について　･模擬授業の教材選定、教材研究	予習：前時の学びを振り返る（１時間） 復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿 部　高 木 松田　荒木
8	･模擬授業の指導案作成、授業資料、教材の作成	予習：前時の学びを振り返る（１時間） 復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿部　高木 松田　荒木
9	･養護教諭の専門性を活かした保健授業（小学校）	予習：前時の学びを振り返る（１時間）　復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿部　高木 松田　荒木
10	･養護教諭の専門性を活かした保健授業（中学校）	予習：前時の学びを振り返る（１時間）　復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿部　高木 松田　荒木
11	･養護教諭の専門性を活かした保健授業(高等学	予習：前時の学びを振り返る（１時間）　復	阿部　高木

	校）	習：本時の学びをまとめる（１時間）	松田　荒木
12	・養護実習体験談から学ぶ	予習：前時の学びを振り返る（１時間）　復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿部　高木 松田　荒木
13	・災害共済給付制度について	予習：前時の学びを振り返る（１時間）　復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿部　高木 松田　荒木
14	・実習報告会①（小学校）	予習：前時の学びを振り返る（１時間）　復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿部　高木 松田　荒木
15	・実習報告会②（中学校・高等高等学校）	予習：前時の学びを振り返る（１時間）　復習：本時の学びをまとめる（１時間）	阿部　高木 松田　荒木
成績評価方法と基準			割合
①養護実習校での提出・内容　②課題の提出・内容　③振り返りシートの提出・内容			①70% ②20% ③10%

授業科目名	教職実践演習(養護教諭)(教職課程:看護)				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／荒木　寛巳／松田　智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE627	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

○　教員としての必要な知識,技能を確認するとともに、教職に就くにあたり、自己の課題を把握し、解決の道筋を探る能力を身に付ける内容を学修する。　○　教育実習で体得した教育の基礎的技術をより応用の効く技術にするため、事例研究、グループ討議、模擬授業を適切に組み合わせて授業を展開できる能力を身に付ける内容を学修する。

学修目標

○　これまで学修してきた教科、教職に関する事項を確認し、教員としての基礎基本の定着を図る。　○　教科内容の理解を深め、学習指導案作成や授業スキルの修得を図る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教える立場としての意識を持って授業に臨み、積極的に授業に参加する姿勢を持つこと。

教科書

適宜指示する。

参考書

高等学校学習指導要領（文部科学省）　中学校学指導要領要領（文部科学省）　教育法規（教育開発研究所）

研究室／オフィスアワー

東棟４F　5 研究室　火曜日１６時３０分～１８時の予定

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション､演習の進め方と評価方法の説明、 教育実習の振り返りー教育実習全体の課題整理	予習：積極的な討議参加するため教育実習の体験をまとめておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びをレポートに記入する。(1 時間)	阿部　荒木　高木　松田
2	教育実習を振り返る---前時にまとめた教育実習の課題について、課題解決方策についての検討	予習：教科指導での課題を整理しグループ内で発表できるようにしておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木　高木　松田
3	自分自身の教師適性を確認する～自分の強みと課題	予習：履修カルテを確認しておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木　高木　松田
4	自分の教師適性、課題についてまとめ、発表する（課題）	予習：成績を踏まえて、課題をまとめておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木　高木　松田
5	自分の学習計画を立てる（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育などから自分の課題を選択）	予習：自分に必要な再学習分野を決める（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木　高木　松田
6	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）①　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木　高木　松田
7	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）②　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木　高木　松田

8	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）③　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
9	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）④　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
10	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑤　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
11	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑥　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
12	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑦　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
13	教師に求められる資質・能力について、教職経験者との意見交流①	予習：自身の教師の仕事への思い、意見をまとめておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
14	教師に求められる資質・能力について、教職経験者との意見交流②	予習：最近の学校での課題を整理しておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
15	演習のまとめ　教師として求められる資質・能力を身につけることができたかどうかについて振り返る。	予習：これまでの授業内容について課題等を整理する。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
成績評価方法と基準			割合
1　指導案作成内容，　2　実技実践への積極的態度　3　授業参加姿勢　3　教職理解			1 20%　2 30% 3 20%　4 30%

授業科目名	特別支援教育概論（教職課程:看護）				
主担当教員	加藤　美朗		担当教員	加藤　美朗	
科目ナンバリング	SE627	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

通常の学級にも在籍している特別な教育的ニーズを有する幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法、および特別支援教育を推進するための施策や連携のあり方等について学修する。

学修目標

１．障害のある幼児、障害特性および基本的な支援について説明できる。　２．特別支援教育の基本的理念やシステムについて説明できる。　３．障害者に対する差別の現状と課題について背景も含めて理解し、理解啓発について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．毎回の授業で課すワークシートへの記入を行うこと。　２．授業全般をとおして、より適切な自己の障害観の構築に努めること。　３．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

なし

参考書

大阪府教育センター作成冊子「大阪の支援教育（https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/9319/r6_pdf.pdf)」　上記以外にも授業中に適宜資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟１階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	特別支援教育の前提となる障害者の処遇や歴史	予習：「大阪の支援教育」をダウンロードして目をとおしておく　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
2	近年の障害者施策(ノーマライゼーションからインクルージョンへ)	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
3	特別支援教育の特徴およびシステム	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
4	知的障害あるいは自閉症のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
5	発達障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
6	肢体不自由や重複障害のある児童生徒の障害特性および自立活動	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗

7	視覚障害や聴覚障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
8	外国人やLGBTQである児童生徒について、および授業全体の振り返りと確認テスト	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：これまでの講義についてふり返る	加藤　美朗
成績評価方法と基準			割合
１．毎回提出するワークシート　２．最終授業内に行うテスト　　※評価基準：ルーブリックを提示します			１．25%　２．75%

授業科目名	総合的な学習の時間の指導法（教職課程:看護）				
主担当教員	福島　信也		担当教員	福島　信也	
科目ナンバリング	SE628	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

「総合的な学習の時間」について、創設された背景やその後の経過を知り、その理念や意義について理解する。　また、「総合的な学習の時間」の目標や内容を理解するとともに、下記の項目について理解を深める。　〇新学習指導要領における「総合的な学習の時間」で育てようとする資質や能力について理解する　〇横断的・総合的な学習や探究的な学習について理解する　〇指導計画の作成について理解する　「総合的な学習の時間」は、授業内容や方法は各学校の指導にゆだねられているので、創意工夫を生かした特色ある　教育活動を展開する必要がある。中学校の具体的な実践事例などを通して、「総合的な学習の時間」を構想できる基　礎的・基本的な知識・技能を身につけることを主眼としている。

学修目標

・「総合的な学習の時間」は、探究的な見方考え方を働かせて横断的・総合的な学習を通して、よりよく課題を解決する学びであることを知る。　・上記の課題解決を通して、自己の生き方を考えていくための資質能力を育成することが最終の目標であることを理解する。　・各教科等での学びを活用し、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会の課題を発見する能力を身につける。　・具体的な指導計画の作成、指導の仕方、学習活動に対する評価についての知識・技能を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)」などは、講義の中で適宜取り上げていきますが、全てを網羅することはできません。授業後は必ずプリントを読み返し、理解を深めてください。　※授業で配布したプリントは、必ずファイル(綴じ込んで保存)すること　※プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること　※授業で配布した課題プリントは、必ず提出すること

教科書

使用しない。　プリントを配布します。

参考書

〇文部科学省「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」　〇ぎょうせい 「平成 29 年改正 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間」　その他、参考になる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	「総合的な学習の時間」の導入について　～ オリエンテーション・導入された背景等について ～　【プリント以外で配布するもの】　・中学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
2	育成する資質・能力の意義について　～ 意義・学力の関係など ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
3	教育課程と校内体制　その 1　～ 教育課程における位置づけ ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
4	教育課程と校内体制　その 2　～「総合的な学習の時間」の学習内容 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也

5	全体計画・年間計画・単元計画　～ 指導計画の基本的な考え方 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
6	「総合的な学習の時間」の評価　～ 評価のポイント・評価方法 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
7	総合的な学習の時間」の学習指導 ①　～『思考ツール』の活用 ～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
8	「総合的な学習の時間」の学習指導 ②　～【情報の収集】【まとめ・表現】について ～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
9	「総合的な学習の時間」の学習指導 ③　～「保健体育」や「道徳」と組み合わせて考える ～	プリント復習(1 時間)　事例集を読む(1 時間)	福島信也
10	単元計画の作成①　～ 事例から単元計画を作成しよう ～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(2 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
11	単元計画の作成②　～ 「作成を工夫する(検討会) ～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(2 時間)　課題プリント（1 時間）	福島信也
12	持続可能な世界を創るために　～ 発表会① ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
13	持続可能な世界を創るために　～ 発表会② ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
14	持続可能な世界を創るために　～ 発表会③ ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
15	これからの「総合的な学習の時間」の授業づくり ～ 森ノ宮中学校の総合学習を考えよう ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●12～14 回の発表会で、全員が提出したレポートの内容を【まとめ・表現】として発表します　●授業では、課題（プリント・コメントシート等）を提出します			●レポート：20%～25%　●発表：20%～25%　●授業内課題：50%～60%

授業科目名	東洋史概説（理学）				
主担当教員	重信　あゆみ		担当教員	重信　あゆみ	
科目ナンバリング	LA20012	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、人々の行動の積み重ねである歴史を公認心理師の観点から再検討する。そのうえで、現代社会における課題を歴史的事例を通して考えていく。

学修目標

1.多様性について理解し、事例を挙げながら説明することができる。　2.現代社会における課題（教育・福祉・医療・産業など）を取り上げ、歴史を通じて解決の糸口を考えることができる。　〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 配付された資料には必ず目を通すこと。　2. 出席は重視する。　3. 疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書

川口幸弘『文化人類学へようこそ。異文化のフィールドワークをするあなたへ』、昭和堂、2017 年。　福島哲夫、 尾久裕紀、山蔦圭輔　『公認心理師必携テキスト 改訂第 2 版』、学研メディカル秀潤社、2020 年。

研究室／オフィスアワー

授業後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1 現代社会と歴史　歴史は､人間の行動を記したものである。また、文字のない時代にも人間は生活を営み活動をしていた。今なぜ歴史を学ぶのかについて考え、今後の講義の概要を述べる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　半期でする時代の流れを復習すること。また、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
2	２．教育について①　アドラー心理学を取り上げ、古代中国のおける「礼」と比較し、現代社会での「礼」について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　アドラー心理学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
3	３.教育について②　発達障害について講義をする。そして、応用行動分析法を用いて、教育現場での事例を検討していく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　教育、保育現場の事例を検討し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
4	４．家族とは①　人間は、古代より集団で社会生活を営んできた。なぜ、集団で生活するのかについて､古代の人類を比較して考える。そのうえで、人間のライフサイクル理論を見ていく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　ライフサイクル理論について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
5	５．家族とは②　「夫婦」や「家族」について考える。古代の家族形態である宗族を学び、現代社会における愛着形成の課題を取り上げる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　愛着形成について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
6	６.宗教とは①　人間はときによりどころとして宗教を選択することがある。宗教とは何かを定義づける。そして、中国の宗教である道教の神である西王母を取り上げ､中国文化の基礎について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　中国文化の基礎である道教について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
7	７.宗教とは②　送葬儀礼や死後の世界を考えることは、人間の一つの特徴である。それは、想像力の賜物であると同時に見えないものへの不安でもある。どのような世界を描いていたのかを図	＜復習・課題 各 1 時間＞　グリーフケアについて考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ

	像を通してみていく。そのうえで、グリーフケアについて考える。		
8	８．不老不死と安楽死　高齢化社会の中で、不老不死の研究もんでいる。この不老不死は、古代中国では願われていたことである。一方で、「安楽死」という問題も残っている。長寿社会において医療人はどのように寄りそっていくべきかを心理的ケアより見ていく。	＜復習・課題 各１時間＞　不老不死と安楽死、そして、心理的ケアについて復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
9	９．人間の本質とは①　「人間の本質とは？」は古来より考えられてきた課題である。本講義では、人間の本質を中国の戦国時代に生きた孟子の思想より考える。	＜復習・課題 各１時間＞　孟子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
10	10．人間の本質とは②　本講義では、中国の戦国時代末期に活動した荀子についてみていく。そして、荀子が唱えた「性悪説」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　荀子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
11	11．健康について①　古代中国における予防医学について考える。古代中国においてすでに言われていた「未病」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　予防医学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
12	12．健康について②　食育について考える。「医食同源」といわれるように、食と健康とは切ってもきれないものである。幼児期の子どもたちにどのように食事の楽しさ、そして、大切さを伝えていくのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　食育について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
13	13．文化の伝播について①　古代中国の東西交流を見ていく。外来のものをどのように受容し、そして変容させたのか。それを踏まえて現代の地域における多様性について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　東西交流の中でおきた受容と変容について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
14	14．文化の伝播について②　日本語の表記には、漢字、カタカナ、ひらがなの３種類があります。これらの文字は、漢字から生まれたものである。本講演では、東アジア世界の中の日本という視点から、３世紀末から８世紀にかけて、文字のない日本で漢字がどのように受容されたかを考察する。そして、現代の教育界で課題となっているLDの子どもにどのように対応するのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　事例検討を行い、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
15	15．文化の伝播について③　東アジアの儒教「論語」 明治維新前の東アジアでは「論語」は常識であった。しかし、「論語読みの論語知らず」と言われるように、現在では『論語』の位置づけが変わってきている。なぜそのような言葉が生まれたのか。本講演では、東アジアにおける『論語』の位置づけを再確認し、今後の教育のあり方について受講生と一緒に考えてみたい。	＜復習・課題 各１時間＞　現代教育について考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
成績評価方法と基準			割合
①授業ごとの課題<DP③>　②小レポート課題<DP③>　③レポート課題<DP③>			①50%　②20% ③30%

授業科目名	西洋史概説（理学）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20013	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜１限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

明治維新以降、日本は西欧列強の国々から様々な知識や技術を得て、今日まで長らえてきた。そのなかで近年はヨーロッパの考え方に対して、たとえば「こういう考え方は日本にはなじまない」とか、逆に「日本はこういう考え方を取り入れるべきだ」といった議論がなされることが多くある。しかし、その意見はなぜ正当化されるのだろう。よくあるのは歴史上の事実を取り上げて「西欧はこうだけど日本はこうだからだ」とか、「西欧はこれでうまくいったんだから日本もこうするべきだ」という議論だ。でも、その証拠を評価するにはまず、自分の国の歴史や伝統のみならず、相手が歩んできた歴史の流れを知っておく必要があるだろう。本講義では政治史と社会史上の幾つかのトピックに話を絞って、西洋について基本的な歴史的概説を行う。こうした作業を通じて西洋史の大づかみの概要を学びつつ、普段私たちが用いる言葉や考え方そのものが場合によっては歴史の正しい理解を妨げうること、教科書的な記述にとどまらない事実をめぐる様々な議論がある点などに特に注意を促したい。　　また本学は医療大学であるため、本講義では西洋における医学史についても毎回少しずつ紹介したい。日本では中医学から影響を受けた漢方も発達してきたが、やはり現代の医療の多くは西洋で培われてきた種々の知識や理論に負うところが大きい。西洋において医学をめぐる考え方がどのように変遷していったのかを理解することは、現代の医の在り方を考える上でも重要な視点を与えてくれるだろう。

学修目標

１．歴史学がどのようなことを試みる学問かを踏まえたうえで、毎回各時代に１，２のテーマを設定し、西洋史を概観する。このことによって中高の世界史の授業ではしばしば省略される西洋史の大枠をつかむための歴史理論や、考えるべきだが見落とされがちなポイントなどを学習し、われわれの来し方行く末を考える材料としてもらう。　２．西洋史の概説に加えて今日まで影響を持ついくつかの医学史上の重要なポイントについても理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

第１回までの授業で特別必要な用意はない。これまでの人生経験に即して、西洋社会についていくらかのイメージを持っていればよい。高校時代の世界史の授業とは異なり様々なポイントを省略することがあるが、初修者でも理解しやすく努めるつもりであるし、高校の世界史を知らないことで成績評価に不利益が生じないように成績評価基準を設計する。歴史学の分野でも昔は認められていた事柄が否定されたり、表記が変わっていたりすることがあるため、中学・高校時代に世界史を履修された学生は、当時の参考書の内容が現在では改訂されている可能性があることを気に留めておくこと。また、シラバスは講義中で取り扱う内容の大まかな流れを示したものであり、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解に応じて内容を一部変更して講義を行ったりするなど、実際の講義をそのまま反映したものではないことに注意されたい。　残念ながら時間の制約上、西洋史を古代から現代までとにかく大急ぎで追いかける形になる。それゆえに、講義と講義の接続は丁寧に行うつもりだが、前に話した内容をある程度は復習し覚えておいていただくことが試験や期末レポートの前提となる。　本講義の進め方や採点基準といった基本方針は第１回の授業で説明する。授業中はその他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠や私語など）はしないこと。妨害行為が酷い場合は退室を命じる。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。　最後に。本講義は関西万博による交通の混雑のため、ライブではなくオンライン講義となる可能性がある。その際は MORIPA を通じて告知をするため、通知を確認できるようにしておくこと。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニテストに解答できるわけではな

い。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意・「歴史学」ってそもそも何？	（予習）西洋社会・文化について自分がどういうイメージを抱いているのかを考えておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。(2 時間)	中元　洸太
2	古代ギリシア	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
3	古代ローマ	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
4	中世キリスト教社会の成立①	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
5	中世キリスト教社会の成立②	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
6	ルネサンス、宗教改革、三十年戦争	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
7	近世の国家形成と科学革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
8	期末レポート作成上の注意	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
9	プロト工業化と「啓蒙」の時代	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	産業革命とフランス革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太

11	ウィーン体制と国民国家の形成	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	南北アメリカの独立	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	第一次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	第二次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	冷戦から現在へ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太

成績評価方法と基準	割合
成績評価は数回にかけて随時行うミニテスト 60%、期末レポート 40%で採点する。　ミニテストは第 1 回～第 15 回の授業内容に即し、随時実施する予定である。試験中、レジュメやノートの閲覧は自由であるが、テストの方法・回数・〆切・制限時間の設定については第 1 回授業のガイダンスで指示する。授業内容の確認テストの色彩が強いため解説などのフィードバックは行わない。　期末レポートでは指定した範囲内で興味を持ったトピックを選んでもらい、その内容を一定の字数以上で要約できるか、それに対し受講生がどのように感想や意見を表明できるかを問う（ノートやレジュメなどを参照してかまわない）。レポート課題の詳細や採点基準は授業内で伝え、希望者のみ得点の開示を行う。課題の要求が専門的な文献解釈などを要するレベルのものではないため、また課題の性質上それぞれの学生が取り上げるテーマはバラバラになるため、レポート執筆における一般的な注意がある場合を除き、全体に対するフィードバックは行わない。	①ミニテスト 60%　②期末レポート 40%

授業科目名	IPW 論（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／河村　知範／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20005	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限、木曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各学科において、他学科の連携や知識・技術に触れることを目的に看護学・鍼灸学・作業療法学・臨床検査学・臨床工学・放射線技術学および理学療法学を学び、IPW（Interprofessional Work = 専門職連携）を 7 学科協働で演習形式にて実践する。　2 年次後期「チーム医療論」で学んだ各分野の特徴やチーム内での役割とその専門性を理解しつつ、看護・鍼灸・作業療法・臨床検査・臨床工学・診療放射線・理学療法の各分野で共通する疾患や障害を基に、IPW の実際について、討議・経験・学修する。他職種と連携する中で違った視点や新たな知識を学ぶ機会となり、キャリアをデザインしていく上で考えておくべき多様な視点を学修することができる。

学修目標

各分野の専門性を理解しつつ、実際の症例を基に IPW を経験し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と倫理観を養う。＜DP②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。　3）出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

必要であれば、各自準備すること

研究室／オフィスアワー

都度、指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　（チームの顔合せ、授業概要の説明、チーム医療論の復習等）	予習：各分野の専門性について復習し、Case Conference を再度視聴しておく。IPW(Interprofessional Work =専門職連携）について再確認しておく。（１時間以上）　復習：IPW(Interprofessional Work =専門職連携）についてまとめる。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
2	症例提示におけるアプローチ立案とその考察①	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
3	症例提示におけるアプローチ立案とその考察②	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
4	IPW①【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
5	IPW②【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議した	担当教員　ゲスト　朝倉

		ことをまとめておく。（１時間以上）	智仁
6	IPW③【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
7	IPW④【ディスカッション】	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
8	IPW⑤【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備。（１時間以上）　復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①ディスカッション時におけるプロセス評価＜DP②③④＞　②プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP②③④＞　出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①30% ②70%

授業科目名	統合医療概論（理学）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／増山 祥子／森 美侑紀	
科目ナンバリング	CS20013	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:必修 スポーツ:選択

授業概要

統合医療という言葉が医療の中で使われるようになってきたが、実際に統合医療が何を指し、どうあるべきなのかについては合意が得られていない。本授業では、統合医療の概念と現状について解説するとともに、統合医療の重要な構成要素である EBM と補完療法について概説する。また、各種治療の有効性と安全性について、エビデンスにもとづく批判的吟味のポイントについても解説する。

学修目標

1．統合医療の概念と現状について理解する。 2．EBM の概念と手法について理解する。 3．補完療法の種類と概要について説明できる。 4．主要な補完療法についてエビデンスにもとづく批判的吟味ができる。 〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療や行政において統合医療は賛否両論である。医師その他の医療従事者も支持派と反対派に分かれる。なぜ賛否両論があるのか、よく考えながら受講していただきたい。

教科書

資料を配布する。

参考書

各教員が必要に応じて授業担当時に紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下 仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療におけるエビデンスの重要性	健康関連商品の広告に目を通す	山下
2	EBM	EBM について調べる	山下
3	EBM シミュレーション	自分の専門領域のエビデンスについて調べる	増山
4	EBM と診療ガイドライン	自分の専門領域または興味のある疾患の診療ガイドラインを調べる	山下
5	健康産業と研究倫理・利益相反	利益相反状態と利益相反行為の違いについて調べる	山下
6	補完療法概論	代替医療と補完医療の違いについて調べる	山下
7	代表的な補完療法	自分が興味のある補完療法についてネットや図書館で調べる	山下
8	鍼灸のエビデンス	鍼灸に関する書籍や雑誌を図書館で調べる	山下
9	アロマセラピー①	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
10	アロマセラピー②	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
11	ヨガ・マインドフルネス	ヨガ・マインドフルネスに関するネット動画を見る	増山

12	サプリメント	興味のあるサプリメントを幾つか選んでその広告の内容に関する疑問点を調べる	山下
13	統合医療とスピリチュアルと NBM	スピリチュアルという概念について調べる	山下
14	緩和ケア・難病ケアと統合医療	末期がんまたは難病の患者の実情について調べる	増山
15	総括：統合医療は何を統合するのか	14 回までに習った内容を整理する	山下
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②課題提出物　　〈DP③〉			①70%　②30%

授業科目名	スポーツ医学（理学）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BPTC025	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

2 年次の整形外科学で学んだ運動器の解剖とスポーツ傷害について、メディカルチェックや症状、対処法などについてより理解を深め、またスポーツ外傷における救急処置の重要性についても学ぶ。あわせてスポーツ現場で遭遇しやすい内科疾患についてもメディカルチェックや症状について学ぶ。

学修目標

1. 重症度と緊急度を理解し、スポーツ現場で発生する最も重篤な心肺停止に対応できるようになること、また、発生頻度の高い脳震盪と頭部外傷、熱中症の病態を理解し、発生現場における予防や救急処置法を習得する。〈DP①②〉　2. さらにスポーツ現場で遭遇する運動器の外傷や障害、内科疾患についてのメディカルチェックや対処法についても習得する。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

スポーツ医学は、運動器の解剖学、生理学を土台にするもので、他の講義で学んだ局所解剖や運動機能の評価方法、理学所見の取り方等を質問することから始める。ほとんどの授業内容は、資料として配付するスライドを中心に進めるので、講義に出席せず、資料だけを見ても理解困難である。心停止や頭部外傷、熱中症等の傷害発生の理論的なイメージを獲得する努力をすることが重要である。

教科書

配布プリント（適宜配布いたします。）

参考書

1. 臨床医学各論（第 2 版）医歯薬出版 179 頁～185 頁、288 頁～301 頁　2. 救急蘇生法の指針 2015（医療従事者用、改訂第 5 版）へるす出版　3. 標準整形外科学 第 12 版.中村利孝/松野丈夫 監修.医学書院.2014.　4. 新版 スポーツ整形外科マニュアル.福林徹 監修. 中外医学社.2013.　5. スポーツ整形外科学.中嶋寛之 編集.南江堂.1998 年.

研究室／オフィスアワー

松﨑伸介（S 棟研究室 508）／部屋にいれば、いつでも訪問可です。確実に連絡とる場合は、shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp までメールください。　川畑浩久（C 棟研究室 707）／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	スポーツ障害の総論：　1）運動器疾患に対する健診およびメディカルチェック　2）運動器外傷に対する応急処置　3）内科的疾患に対する健診およびメディカルチェック	予習：スポーツにより発生する主な運動器疾患ならびに内科的疾患について予習しておくこと（臨床医学各論の該当箇所）　復習：これまで学んだ運動器疾患ならびに内科的疾患の検査法、治療法などについて復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	肩関節のスポーツ外傷・障害：　1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：肩関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照）　復習：授業で学んだ肩関節の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論（教科書）の該当箇所参照）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

3	肩関節のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：肩関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ肩関節の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
4	肘関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：肘関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ肘関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
5	手関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症 状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：手関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ手関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
6	指関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：指関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ指関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	股関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：股関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ股関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	膝関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：膝関節の解剖学、運動学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ膝関節の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	膝関節のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：膝関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ膝関節の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	下腿部・足関節・足部のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：下腿、足関節、足部の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ下腿、足関節、足部の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	下腿部・足関節・足部のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：下腿、足関節、足部の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ下腿、足関節、足部の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	体幹（頚部、胸部、腰部）のスポーツ外傷・障害：1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法(スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：頚部、胸部、腰部の解剖学、運動学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ頚部、胸部、腰部の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ	川畑

		2 時間は行うこと。	
13	スポーツ外傷の救急処置：　重症度と緊急度、心肺蘇生について	予習：整形外科学の外傷部分（臨床医学総論、各論の当該箇所）　復習：配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所を参照　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	松﨑
14	スポーツ外傷の救急処置：　脳震盪と頭部外傷、脊髄損傷、熱中症について	予習：スポーツにより発生する重篤な外傷として、頭部外傷や脊髄損傷、熱中症の講義が他の講座で行われていれば、その部分をみなおしておくこと（臨床医学総論、各論の当該箇所参照）　復習：配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所を参照なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	松﨑
15	スポーツによる内科的疾患：　1）循環器・呼吸器疾患における慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法　2）消化器・泌尿器疾患における慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：スポーツにより発生する主な循環器、呼吸器、消化器、泌尿器などの疾患の症状などについて予習しておくこと（臨床医学総論、各論の当該箇所）　復習：これまで学んだ循環器、呼吸器、消化器、泌尿器疾患について復習すること（配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験〈DP①②〉　2. 試験に対するフィードバックの方法：授業内の小テストは翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示し、必要に応じて解説を行う。			1.100%

授業科目名	理学療法触診法（理学）				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎／堤　真大／河西　謙吾／中田光海／沼澤　俊	
科目ナンバリング	SS20BPTC002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法士は手で対象者の症状を診て，治療します．その基本となる技術を習得する科目です．具体的には骨部位の正確な触診，筋の正確な触診の技術を学びます．またこれまで学習してきた人体の構造と機能を最新機器を用いて再確認することで、定着を図ります。特に症例を想定した実技の練習することで，正確な解剖学的な情報に基づく評価・徒手療法をおこなう基礎が身に付きます．

学修目標

１．骨指標、筋が正確に触診できる．　２．運動器の構造と機能を説明できる．　３．触診のために必要な動作を対象者に指示し、実施できる．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・授業中に教員が到達度チェックを行い、それが成績に反映されるため、集中して練習に取り組むこと。　・触診部位を露出できる格好を準備して下さい．（男性；スパッツ，女性；スパッツ&キャミソール）　・水性のサインペン（黒・青・赤・緑）を用意して下さい．（蛍光ペンは不可）　・ジャージを用意して下さい．　・バスタオルを用意してください（ベッドの汚れ防止のため）。

教科書

工藤慎太郎（編著），機能解剖と触診，羊土社

参考書

運動療法のための機能解剖学的触診技術（メジカルビュー社）

研究室／オフィスアワー

各担当教員にメール等で予約をとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーションと解剖学の基礎知識の確認	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田、堤、沼澤
2	股関節の骨部位の触診と可動性の徒手的評価	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田、沼澤
3	膝関節の触診１/変形性膝関節症に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田、堤、沼澤
4	膝関節の触診１/変形性膝関節症に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復	工藤，河西，中田，堤、沼澤

		習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	
5	大腿前面の触診/変形性膝関節症に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
6	大腿前面の触診/変形性膝関節症に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
7	大腿後面の触診/変形性膝関節症に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
8	大腿後面の触診/変形性膝関節症に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
9	足関節の触診/前距腓靭帯損傷に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
10	足関節の触診/前距腓靭帯損傷に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
11	下腿部の触診/前距腓靭帯損傷に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
12	下腿部の触診/前距腓靭帯損傷に対する触診	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
13	足部の触診/実習で評価した症例に対する触診と徒手療法	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
14	足部の触診/実習で評価した症例に対する触診と徒手療法	予習：教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習：授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが	工藤，河西，中田，堤、沼澤

		望ましい。(30 分)	
15	まとめ	予習:教科書または資料を読み、理解が難しい箇所を明確にしておく。(30 分)　復習:授業で練習したことのポイントを教科書および資料に書き込むなどしておく。可能であれば、学生同士で再度練習しておくのが望ましい。(30 分)	工藤，河西，中田，堤、沼澤
成績評価方法と基準			割合
・講義中の到達度チェック　・期末試験（筆記試験）・基準：4/5 以上の出席を必要とする。			・講義中の到達度チェック 20%　・期末試験（筆記試験）　80% ＊合計 60 点以上で単位を認定する。

授業科目名	基礎理学療法学Ⅱ(理学)				
主担当教員	堤 真大		担当教員	堤 真大	
科目ナンバリング	SS20BPTC004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜2限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

基礎理学療法は、理学療法と基礎医学を結び付ける学問体系である。基礎医学の分野は多岐にわたるが、本講義では解剖学、病理学、運動学・運動力学、運動生理学といった分野を中心に取り扱う。それぞれの分野における最先端研究の取り組みを紹介しながら、基礎医学がどのように理学療法へ応用可能なのか、そして、理学療法的視点がどのように基礎医学の発展に役立つのかについても触れる。基礎と臨床を双方向性に結びつけることの重要性を実例を通して学んでほしい。

学修目標

理学療法のプロセスを、解剖学、病理学、運動学・運動力学、運動生理学の観点から理解することができる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

到達目標の達成には２年次までに学習した基礎医学についての知識とその評価プロセス実践のトレーニングが必要となる。 これらについての学習が不足していた場合、目標達成は困難になるので自己学習に努めることを強く推奨する。 講義の一部をゲストスピーカーを招いて行う都合上、講義日程が変則的になる場合がある。日程が変則的となる場合には事前に連絡するので、適宜 MORIPA の掲示登録などの確認を行ってほしい。

教科書

なし。適宜資料を配布する。

参考書

なし。

研究室／オフィスアワー

C 棟 6 階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 在室時は適宜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	【オリエンテーション】	予習：シラバスの確認・２年次の復習（1時間） 復習：授業内容にしたがって復習する（1時間）	堤
2	【筋の基本構造・運動生理】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1時間） 復習：授業内容にしたがって復習する（1時間）	堤
3	【関節の基本構造】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1時間） 復習：授業内容にしたがって復習する（1時間）	堤
4	【関節疾患の病理】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1時間） 復習：授業内容にしたがって復習する（1時間）	川畑
5	【関節のバイオメカニクス研究①】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1時間） 復習：授業内容にしたがって復習する（1時間）	堤
6	【関節のバイオメカニクス研究②】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1時間） 復習：授業内容にしたがって復習する（1時間）	堤
7	【肩の解剖】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1時間） 復習：授業内容にしたがって復習する（1時間）	堤

8	【肘の解剖】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
9	【臀部・大腿の解剖】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
10	【股関節の解剖】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
11	【膝の解剖】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
12	【足の解剖】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
13	【基礎理学療法研究の最先端①】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
14	【基礎理学療法研究の最先端②】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
15	【基礎理学療法研究の最先端③】	予習：事前配布資料にしたがって予習する（1 時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
・成績評価　１．小テストおよび授業内における課題＜DP①＞　２．期末試験＜DP①＞　・基準：4/5 以上の出席を必要とする。			１．40%　２．60%

授業科目名	職場管理(教育を含む)(理学)				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔	
科目ナンバリング	SS20BPTC006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法士として勤務する場合、対象者のもっているリスクを把握することは当然のこと、危機を防ぐマネジメント能力が不可欠である。本授業では、実習や各領域での臨床場面を中心に管理・マネジメント全般について取り上げ、理解を深める。

学修目標

１．病院・施設・在宅などでの対象者に対する課題の把握とリスク管理やマネジメントについて理解できる。　２．病期別の対象者に対して必要なマネジメントが理解できる。　３．実習時のマネジメントが理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．ディスカッションなどの場面では積極的に参加すること。　２．実習先での振る舞い、また自身のキャリア構築を意識して授業に臨むこと。

教科書

なし

参考書

奈良勲編：理学療法管理学，医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

金曜日以外で空いている時間。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	組織運営とマネジメント	予習：病院内におけるリハビリテーション部門について過去の実習を振り返っておく（１時間）　復習；授業をもとにテキストの確認（１時間）	三木屋
2	理学療法士の職場管理	予習：病院内におけるリハビリテーションの組織の危機管理について調べる（１時間）　復習；授業をもとにテキストの確認（１時間）	三木屋
3	人材育成について	予習：キャリア教育について過去の職業体験について振り返る（１時間）　復習；授業をもとにテキストの確認（１時間）	三木屋
4	実習時のマネジメント	予習：実習における行動について過去の実習を振り返っておく（１時間）　復習；授業をもとに内容の確認（１時間）	三木屋
5	理学療法業務のマネジメント	予習：理学療法業務について理学療法学を復習しておく（１時間）　復習；授業をもとにテキストの確認（１時間）	三木屋
6	医療機能の分化とチーム医療について	予習：今後の自身の理学療法士キャリアについて考えておく（１時間）　復習；授業をもとにテキストの確認（１時間）	三木屋
7	急性期、回復期、維持期、地域領域でのマネジメント	予習：地域の各期の病院、施設について調べておく（１時間）　復習；授業をもとにテキストの確認（１時間）	三木屋
8	将来のキャリアについてレポートまとめ	予習：将来進むキャリアについて考えをまとめる（１時間）　復習；キャリアについてレポートを作成する（１時間）	三木屋

成績評価方法と基準	割合
１．レポート課題　　※提出期限・作成方法等は授業内で説明します　　※評価基準：ルーブリックを提示します　　※【フィードバック方法】　　ルーブリック評価の結果とともに必要に応じてコメントを付記して返却する。　《出席基準》　２／３以上の出席にて評価対象とする。	１．レポート課題：１００％

授業科目名	職業倫理（理学）				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔	
科目ナンバリング	SS20BPTC007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

昨今、社会性、道徳観や倫理観などについて、社会から理学療法士へ向けられる目が厳しくなっている。以上のことを踏まえ、本授業では理学療法士の職業倫理、研究倫理、さらに臨床現場で生じるコンフリクトマネジメントを中心に学修する。

学修目標

１．コンプライアンス・法令違反について説明できる　２．ハラスメントについて説明できる　３．医療広告ガイドラインについて説明できる　４．研究倫理について説明できる　５．対象者・他職種との利害衝突ならびにコンフリクトマネジメントについて説明できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．ディスカッションなどには積極的に参加すること

教科書

無し

参考書

理学療法管理学：医歯薬出版, 奈良勲編

研究室／オフィスアワー

平日金曜日以外の夕方に対応。事前にアポイントとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	職業倫理について	予習：医学の職業倫理ガイドラインを参考にする（１時間）　復習；授業をもとにガイドラインの確認（１時間）	三木屋
2	尊厳死と理学療法士の職業倫理について	予習：安楽死、尊厳死について事前に調べる（１時間）　復習；授業をもとに配布資料の確認（１時間）	三木屋
3	ハラスメントについて	予習：ハラスメントについて事前に調べる（１時間）　復習；授業をもとに配布資料の確認（１時間）	三木屋
4	医療広告ガイドライン、研究倫理について	予習：医療広告、研究倫理について事前に調べる（１時間）　復習；授業をもとに配布資料の確認（１時間）	三木屋
5	コンフリクトマネジメントについて	予習：コンフリクトマネジメントについて事前に調べる（１時間）　復習；授業をもとに配布資料の確認（１時間）	三木屋
6	IPI 分析について	予習：IPI 分析について事前に調べる（１時間）　復習；授業をもとに振り返り（１時間）	三木屋
7	医療現場でのトラブルロールプレイ	予習：メディエーションについて事前に調べる（１時間）　復習；授業をもとに振り返り（１時間）	三木屋
8	IPI 分析に基づいたレポートをまとめる	予習：課題について事前に調べる（１時間）　復習；授業をもとに振り返り（１時間）	三木屋

成績評価方法と基準	割合
１．レポート課題　　※提出期限・作成方法等は授業内で説明します　　※評価基準：ルーブリックを提示します　　※【フィードバック方法】　　ルーブリック評価の結果とともに必要に応じてコメントを付記して返却する。　《出席基準》　２／３以上の出席にて評価対象とする。	１，レポート課題：１００％

授業科目名	臨床理学療法評価学(動作分析)(理学)				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔／杉本　圭	
科目ナンバリング	SS20BPTC010	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床理学療法評価学では、人の各正常動作のメカニズムを理解し、実演を交えながら学修する。正常を理解することで異常動作のメカニズムを理解し、観察から評価項目を上げつつ、推論力を高める。

学修目標

1、人の姿勢について理解できる　2、人の寝返り動作について理解、実演できる　3、人の起き上がり動作について理解、実演できる　4、人の起立・着座動作について理解、実演できる　5、人の歩行動作について理解、実演できる　6、異常動作について理解、実演できる〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．基礎日常生活活動学、臨床運動学、基礎運動療法総論、各論を復習しておいてください。　2．教科書を読みこまないと理解できないので、十分教科書を活用してください。　3．実技を行う時はジャージで臨んでください。

教科書

石井慎一郎著：動作分析臨床活用講座．メジカルビュー

参考書

畠中泰彦編：姿勢・動作・歩行分析.羊土社　　K.G. Neumann 『観察による歩行分析』 医学書院

研究室／オフィスアワー

平日金曜日以外の夕方に対応。事前にアポイントとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	障害論	予習・復習：障害構造について講義資料を確認する（1時間）	三木屋
2	動作分析総論	予習・復習：動作分析について講義資料を確認する（1時間）	三木屋
3	姿勢観察	予習・復習：姿勢観察について講義資料を確認する（1時間）	三木屋、杉本
4	寝返り動作の概要	予習・復習：寝返り動作の概要について教科書Ⅲ章1を確認する（1時間）	三木屋
5	寝返り動作分析	予習・復習：寝返り動作の概要について教科書Ⅲ章2・3を確認する（1時間）	三木屋、杉本
6	起き上がり動作の概要	予習・復習：起き上がり動作の概要について教科書Ⅳ章1を確認する（1時間）	三木屋
7	起き上がり動作分析	予習・復習：起き上がり動作の概要について教科書Ⅳ章2・3を確認する（1時間）	三木屋、杉本
8	起立・着座動作の概要	予習・復習：起立・着座動作の概要について教科書Ⅴ章1を確認する（1時間）	三木屋
9	起立・着座動作分析	予習・復習:起立・着座動作の概要について教科書Ⅴ章2・3を確認する（1時間）	三木屋
10	正常歩行動作の概要	予習・復習:正常歩行動作の概要について教科書Ⅵ章1を確認する（1時間）	三木屋
11	正常歩行動作のメカニズム	予習・復習:正常歩行動作の概要について教科書Ⅵ章2を確認する（1時間）	三木屋
12	目視による歩行動作分析①	予習・復習:正常歩行動作の概要について教科書Ⅵ章3を確認する（1時間）	三木屋
13	目視による歩行動作分析②	予習・復習:正常歩行動作の概要について教科書Ⅵ章3を確認する（1時間）	三木屋

14	症例歩行動作分析	予習・復習：症例歩行を理解し評価項目を想起する（１時間）	三木屋
15	動作分析まとめ	予習・復習：症例を理解し記載すべきことを確認する（１時間）	三木屋
成績評価方法と基準			割合
1．レポート課題＜DP①②＞　※提出期限・作成方法等は授業内で説明します　※評価基準：ルーブリックを提示します　※【フィードバック方法】　ルーブリック評価の結果とともに必要に応じてコメントを付記して返却する。　２．筆記試験＜DP①②＞　※出題範囲：授業内の配布資料、教科書で扱った範囲　《出席基準》　４／５以上の出席にて評価対象とする。			１．レポート課題２０％ ２．筆記試験８０％

授業科目名	臨床理学療法評価学実習（理学）				
主担当教員	木内　隆裕		担当教員	木内　隆裕／三木屋　良輔／仲本　正美／杉本　圭／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTC011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 4 限)、後期(水曜 4 限、水曜 5 限、木曜 4 限、木曜 5 限)
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法評価について、これまでの授業で得られた知識と技術を一連の流れとして構成する能力をトレーニングする。本授業は通年で実施するものであり、4～7 月には動画などで提示した症例に基づく動作観察・動作分析の記述を通して、統合と解釈に関する基礎レベルのトレーニングを行う。それと並行して、10 月までの期間に学術大会や新人症例発表会へ参加し、臨床の有資格者によるリーズニングや、理学療法評価にまつわる諸問題について学習する。10 月～翌年 1 月はベイクリニック実習のご協力の下、検査・測定によって得られたデータを学術文献と照らし合わせて解釈する能力を養う。その後は、臨床総合実習で比較的よく出会う症例に対するリーズニングをトレーニングするため、現場の事例を提示し、教員及び臨床の有資格者からのフィードバックを受けながら一連の理学療法評価を学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1）臨床上必要な最低限の知識・技術・態度について理解し、修得する。【DP①】　2）理解し、習得した知識・技術・態度を臨床で活用することができる。【DP①】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）実技の授業の際はジャージを着用すること。　2）履修時点までの学修内容をベースに授業を展開するため、既修得単位の内容については各自で復習を怠らないこと。　3）臨床実習要項を熟読しておくこと。

教科書

なし（適宜資料を配布する）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

教員毎に事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習復習：２年次までに学修した人体の構造、機能ならびに理学療法の基礎についての知識を整理する。	木内
2	動作観察・動作分析の記述①	予習：1・2 年生で学んだ内容の整理　復習：動作観察・動作分析の記述、統合と解釈の記述	三木屋、杉本、仲本、木内
3	動作観察・動作分析の記述②	予習：1・2 年生で学んだ内容の整理　復習：動作観察・動作分析の記述、統合と解釈の記述	三木屋、杉本、仲本、木内
4	動作観察・動作分析の記述③	予習：1・2 年生で学んだ内容の整理　復習：動作観察・動作分析の記述、統合と解釈の記述	三木屋、杉本、仲本、木内
5	動作観察・動作分析の記述④	予習：1・2 年生で学んだ内容の整理　復習：動作観察・動作分析の記述、統合と解釈の記述	三木屋、杉本、仲本、木内

6	動作観察・動作分析の記述⑤	予習：1・2 年生で学んだ内容の整理　復習：動作観察・動作分析の記述、統合と解釈の記述	三木屋、杉本、仲本、木内
7	動作観察・動作分析の記述⑥	予習：1・2 年生で学んだ内容の整理　復習：動作観察・動作分析の記述、統合と解釈の記述	三木屋、杉本、仲本、木内
8	学術大会・新人症例発表会への参加①	予習：学術大会等の抄録を熟読する。　復習：学んだ内容をレポートにまとめる。	木内
9	学術大会・新人症例発表会への参加②	予習：学術大会等の抄録を熟読する。　復習：学んだ内容をレポートにまとめる。	木内
10	学術大会・新人症例発表会への参加③	予習：学術大会等の抄録を熟読する。　復習：学んだ内容をレポートにまとめる。	木内
11	学術大会・新人症例発表会への参加④	予習：学術大会等の抄録を熟読する。　復習：学んだ内容をレポートにまとめる。	木内
12	図書館での文献検索	予習：自宅で文献検索をする。　復習：図書館で文献検索をする。	仲本
13	ベイクリニック実習①	予習：臨床実習要項を確認する。　復習：経験症例記録をまとめる。	仲本
14	ベイクリニック実習②	予習：運動器疾患について復習しておく。復習：経験内容について学術文献と照らし合わせながら考察を整理する。	仲本
15	ベイクリニック実習③	予習：運動器疾患について復習しておく。復習：経験内容について学術文献と照らし合わせながら考察を整理する。	仲本
16	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価①：症例提示	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：提示された情報を整理する。	仲本
17	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価②：追加情報提示	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：質疑応答の内容を整理し理解を深める。	ゲストスピーカー
18	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価③：グループワーク	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：症例に関する統合と解釈をまとめる。	宮下
19	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価④：解説・まとめ	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：解説を聞き、評価内容や統合と解釈を修正する。	ゲストスピーカー
20	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価⑤：症例提示	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：提示された情報を整理する。	仲本
21	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価⑥：追加情報提示	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：質疑応答の内容を整理し理解を深める。	ゲストスピーカー
22	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価⑦：グループワーク	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：症例に関する統合と解釈をまとめる。	宮下
23	よく出会う疾患を有する症例の理学療法評価⑧：解説・まとめ	予習：臨床実習でよく出会った疾患について復習しておく。　復習：解説を聞き、評価内容や統合と解釈を修正する。	ゲストスピーカー
成績評価方法と基準			割合
【成績】講義内で適宜課題を提示する。　【出席】4/5 以上の出席を必要とする。			100%

授業科目名	運動器系理学療法学Ⅱ（理学）				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎／河西　謙吾／中田　光海／沼澤　俊	
科目ナンバリング	SS20BPTC017	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

運動器疾患に対する理学療法評価と運動療法（徒手療法）の技術について解説する。　特に近年，中心となっている運動器の機能解剖に基づいた理学療法理論を紹介するとともに，臨床実践を見越した技術を指導する．実際の同級生の機能障害と歩行異常に対する理学療法評価と運動療法の効果の客観的な分析を通じて、運動器系理学療法学の理解を深める。

学修目標

１．運動器疾患に対する理学療法の基礎理論とその背景が説明できる（DP①）　２．解剖学・運動学と運動器疾患の病態を結びつけ，治療の進め方を説明できる（DP①）　３．運動器疾患に対する基本的な治療技術を実施できるようにする（DP①）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．臨床で最も多く遭遇し、評価・治療できなくてはならない領域であることを理解する。　２．解剖学、運動学、評価学、物理療法学、基礎運動療法および整形外科学の知識がこの講義を受けるベースとして必要である。したがって、予習が大切である。　３．講義の都度、理解が確実であるかを判断し、不十分な点については速やかに担当教員に質問すること。

教科書

機能解剖と運動療法（羊土社）工藤慎太郎

参考書

運動機能障害の『なぜ？』がわかる評価戦略（医学書院）工藤慎太郎

研究室／オフィスアワー

各担当教員ともに、実習施設訪問などで不在のことがあるため、必ず予約を取った上で来室してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：運動器系理学療法学Ⅰの復習（120 分）　復習：復習テストで間違えた内容の整理（120 分）	工藤、河西、中田、沼澤
2	股関節機能障害に対する理学療法１	予習：教科書の該当ページを確認する（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	河西、工藤、中田、沼澤
3	股関節の機能障害に対する理学療法２	予習：教科書の該当ページを確認する（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	河西、工藤、中田、沼澤
4	膝関節の機能障害に対する理学療法１	予習：教科書の該当ページを確認する（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤・河西・中田、沼澤
5	膝関節の機能障害に対する理学療法２	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤・河西・中田、沼澤
6	足関節の機能障害に対する理学療法１	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピック	工藤、河西、中田、沼澤

		アップし、自己学習する（120 分）。	
7	腰部の機能障害に対する理学療法	予習：教科書の該当ページを確認する（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	中田、工藤、河西、沼澤
8	歩行分析と運動機能評価	予習：歩行周期の理解と異常歩行の原因を理解する。(120 分)。　復習：理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤、河西、中田、沼澤
9	運動機能評価に基づく理学療法	予習：教科書の該当ページを確認する（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤、河西、中田、沼澤
10	肩の機能障害に対する理学療法１	予習：教科書の該当ページを確認する（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤、河西、中田、沼澤
11	肩の機能障害に対する理学療法２	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤・河西・中田、沼澤
12	肩の機能障害に対する理学療法３	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤・河西・中田、沼澤
13	運動療法の効果検証	予習：教科書の該当ページを確認する（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤、河西、中田、沼澤
14	運動療法の効果発表１	予習：資料を読み、不明な用語については調べておく（120 分）。　復習：理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤、河西、中田、沼澤
15	運動療法の効果発表２	予習：資料を読み、不明な用語については調べておく（120 分）。　復習：理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤、河西、中田、沼澤
成績評価方法と基準			割合
期末試験（DP①）/　運動療法効果発表（DP①・②）			筆記試験 80% 運動療法効果発表 10% 60%以上で単位認定する。 ＊4/5 以上の出席が必要。

授業科目名	運動器系理学療法学Ⅲ（理学）				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎／河西　謙吾／中田　光海	
科目ナンバリング	SS20BPTC018	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

運動器疾患に対する理学療法評価と運動療法（徒手療法）について解説する。　特に近年，中心となっている運動器の機能解剖に基づいた理学療法理論を紹介するとともに，臨床実践を見越した技術を指導する.

学修目標

１．運動器疾患に対する理学療法の基礎理論とその背景が説明できる（DP①）　２．解剖学・運動学と運動器疾患の病態を結びつけ，治療の進め方を説明できる（DP①）　３．運動器疾患に対する基本的な治療技術を実施できるようにする（DP①）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．臨床で最も多く遭遇し、評価・治療できなくてはならない領域であることを理解する。　２．解剖学、運動学、評価学、物理療法学、基礎運動療法および整形外科学の知識がこの講義を受けるベースとして必要である。したがって、予習が大切である。　３．講義の都度、理解が確実であるかを判断し、不十分な点については速やかに担当教員に質問すること。

教科書

運動器疾患の『なぜ？』がわかる臨床解剖学（医学書院）工藤慎太郎

参考書

運動機能障害の『なぜ？』がわかる評価戦略（医学書院）工藤慎太郎

研究室／オフィスアワー

各担当教員ともに、実習施設訪問などで不在のことがあるため、必ず予約を取った上で来室してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	凍結肩の理学療法	復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤
2	投球障害に対する理学療法	予習：予習動画を確認し，必要な事項を教科書等を用いて調べておく（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤
3	前十字靭帯債権術後の理学療法	予習：必要な事項を教科書等を用いて調べておく（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤
4	前距腓靭帯損傷後の理学療法	予習：必要な事項を教科書等を用いて調べておく（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤
5	腰椎分離症の理学療法	予習：必要な事項を教科書等を用いて調べておく（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	中田
6	症例検討	予習：必要な事項を教科書等を用いて調べておく（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤

7	まとめ（１－６回）	予習：必要な事項を教科書等を用いて調べておく（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤、中田
8	脊柱管狭窄症の理学療法	予習：資料を読み、不明な用語などについて調べておく（120 分）。　復習：理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	中田
9	腰椎椎間板ヘルニアの理学療法	予習：資料を読み、不明な用語などについて調べておく（120 分）。　復習：理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	中田
10	大腿骨頸部骨折の理学療法	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	河西
11	大腿骨転子部骨折の理学療法	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	河西
12	人工股関節全置換術後の理学療法	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	河西
13	変形性膝関節症の理学療法	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	工藤
14	人工膝関節全置換術後の理学療法	予習：教科書や資料の該当範囲を読む（120 分）。　復習：ノートや講義資料を見直して理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	河西
15	まとめ	予習：資料を読み、不明な用語については調べておく（120 分）。　復習：理解ができていないところをピックアップし、自己学習する（120 分）。	河西、中田、工藤
成績評価方法と基準			割合
期末試験（DP①）課題（小テスト（DP①））で総合的に判断する.			筆記試験 90%，小テスト（各 10%）60%以上で単位認定する。＊４/５以上の出席が必要。

授業科目名	神経系理学療法学Ⅱ(理学)					
主担当教員	木内 隆裕		担当教員	木内 隆裕／仲本 正美／宮下 創		
科目ナンバリング	SS20BPTC020	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 4 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

神経疾患の障害像、及び、重症度・進行度を把握する評価手法を学び、対象者の生活機能障害について推論する能力を養う。

学修目標

中枢神経疾患の障害に対する検査・測定を理解し、実践できる。【DP①】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 講義科目であるため、必要出席時間数は「授業時数の 3 分の 2 以上」を採用する。 2) コマ担当者によって曜日が異なるため、注意すること。 3) 指定された教科書を毎回の授業に持参すること。 4) 実技を行う授業形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して受講すること。また、ジャージの内側には肘や膝を露出できるシャツを着用すること。

教科書

① 森岡周, 阿部浩明(編). 標準理学療法学. 神経理学療法学. 第 3 版, 医学書院, 2022.
② 医療情報科学研究所(編). 病気がみえる. 脳･神経. 第 2 版, メディックメディア, 2017.
③ 鈴木則宏(編). 神経診察クローズアップ. 正しい病巣診断のコツ. 改訂第 3 版, メジカルビュー社, 2020.
④ 潮見泰蔵, 下田信明(編). PT・OT ビジュアルテキスト. リハビリテーション基礎評価学. 第 2 版, 羊土社, 2020.
⑤ 岩崎洋(編). 脊髄損傷マニュアル. 第 3 版, 文光堂, 2020.

参考書

1) 道免和久(編). 脳卒中機能評価・予後予測マニュアル. 医学書院, 2013. 2) 田崎義昭, 斎藤佳雄, 坂井文彦(著). ベッドサイドの神経の診かた. 改訂 18 版, 南山堂, 2016. 3) Shumway-Cook & Woollacott(著). 田中繁, 蜂須賀研二(訳). モーターコントロール. 原著第 5 版, 医歯薬出版, 2020. 4) Schenkman ML ら(著). 水野昇ら(監訳). 臨床神経科学とリハビリテーション, 西村書店, 2020.

研究室／オフィスアワー

木内隆裕：研究室／火曜日・金曜日 4 時限目以降
仲本正美：研究室／水曜日 4 時限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	脳血管障害の評価①： 障害構造と総合評価（CPSS, NIHSS, SIAS など）	予習：教科書①pp.63-79 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	木内
2	脳血管障害の評価②: 運動麻痺と異常筋緊張の評価	予習：教科書①pp.98-111、126-136 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	木内
3	脳血管障害の評価③: 運動麻痺と感覚障害の評価	予習：教科書①pp.102-117 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本
4	脳血管障害の評価④: 姿勢バランス障害・姿勢定位障害の評価	予習：教科書①pp.174-184 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	仲本
5	脳血管障害の評価⑤： 運動失調の評価と治療	予習：教科書①pp.137-152 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 30 分間以上	木内

		を目安に行うこと。	
6	脳血管障害の評価⑥： 高次脳機能障害（失語・失行・失認）の評価と治療	予習：教科書①pp.162-173 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
7	脳血管障害の評価⑦： 起居・移乗動作障害の評価と治療	予習：動作分析の授業で学んだ内容など 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	仲本
8	中間まとめ	まとめの範囲：第 1 講～第 7 講	仲本
9	脳血管障害の評価⑧： 歩行障害の評価と治療	予習：教科書①pp.254-263 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	仲本
10	脳血管障害の評価⑨・神経難病の評価①： 脳神経障害の評価と治療	予習：教科書③pp.8-61 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	仲本
11	神経難病の評価②： Parkinson 病の評価	予習：教科書①pp.309-324 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	木内
12	神経難病の評価③： 脊髄小脳変性症及び筋萎縮性側索硬化症などの評価	予習：教科書①pp.327-341、342-356、357-369 の通読 復習:上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	宮下
13	脊髄障害の評価①： 総合評価（ASIA-ISNCSCI、SCIM など）	予習：教科書⑤pp.8-13、42-56 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	宮下
14	脊髄障害の評価②： 急性期～回復期（起居・移乗動作障害など）	予習：教科書⑤pp.42-67、84-90、91-135 を読んでおくこと。 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	宮下
15	脊髄障害の評価③： 急性期～回復期（移動動作障害など）	予習：教科書⑤pp.177-202、258-267、276-316 の通読 復習:上記範囲の再読 ※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	宮下
成績評価方法と基準			割合
1） 授業内で行う試験（範囲：第 1 講～第 7 講）【DP①②】 2） 定期試験（範囲：第 9 講～第 15 講）【DP①②】			1） 50% 2） 50%

授業科目名	神経系理学療法学Ⅲ(理学)					
主担当教員	木内 隆裕		担当教員		木内 隆裕／仲本 正美／宮下 創	
科目ナンバリング	SS20BPTC021	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日・時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

神経系理学療法学Ⅰや神経系理学療法学Ⅱで学修した神経疾患に対する評価・理学療法の知識を現場で活用できるものにすることを目指す。主に脳血管障害、神経難病、脊髄障害について取り上げ、実技や患者モデル（paper-patient）を用いて、理学療法評価や理学療法プログラムを自ら立案・実践する能力を養う。

学修目標

神経系の解剖学・生理学的理解を深め、それらの病態や障害構造を理解し、より実践的な理学療法の知識と技術を身につける。【DP①】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 演習科目であるため、必要出席時間数は「授業時数の 5 分の 4 以上」を採用する。 2) コマ担当者によって曜日が異なるため、注意すること。 3) 指定された教科書を毎回の授業に持参すること。 4) 実技を行う授業形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して受講すること。また、ジャージの内側には肘や膝を露出できるシャツを着用すること。

教科書

① 森岡周, 阿部浩明(編). 標準理学療法学. 神経理学療法学. 第 3 版, 医学書院, 2022.
② 医療情報科学研究所(編). 病気がみえる. 脳･神経. 第 2 版, メディックメディア, 2017.
③ 鈴木則宏(編). 神経診察クローズアップ. 正しい病巣診断のコツ. 改訂第 3 版, メジカルビュー社, 2020.
④ 潮見泰蔵, 下田信明(編). PT・OT ビジュアルテキスト. リハビリテーション基礎評価学. 第 2 版, 羊土社, 2020.
⑤ 岩崎洋(編). 脊髄損傷マニュアル. 第 3 版, 文光堂, 2020.

参考書

1) 道免和久(編). 脳卒中機能評価・予後予測マニュアル. 医学書院, 2013. 2) Shumway-Cook & Woollacott(著). 田中繁, 蜂須賀研二(訳). モーターコントロール. 原著第 5 版, 医歯薬出版, 2020. 3) 河村廣幸(編). ここがポイント! 脳卒中の理学療法. 第 1 版, 金原出版, 2018.

研究室／オフィスアワー

木内隆裕：研究室／火曜日・金曜日 4 時限目以降
仲本正美：研究室／水曜日 4 時限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	脳血管障害の理学療法①： 早期離床	予習：教科書①pp.266-278 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
2	脳血管障害の理学療法②： 運動麻痺、筋緊張異常の治療	予習：教科書①pp.98-111、126-136 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
3	脳血管障害の理学療法③： 運動麻痺、感覚障害の治療	予習：教科書①pp.102-117 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本
4	脳血管障害の理学療法④： 姿勢バランス障害・姿勢定位障害の治療	予習：教科書①pp.174-184 の通読 復習：上記範囲の再読 ※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本
5	脳血管障害の理学療法⑤: 脳卒中後疼痛の評価	予習：教科書①pp.243-253 の通読 復習：	仲本

	と治療	上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	
6	脳血管障害の理学療法⑥:　半側空間無視の評価と治療	予習：教科書①pp.162-173 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
7	中間まとめ	範囲：第 1 講～第 6 講	木内，仲本
8	脳血管障害の理学療法⑦:　二次性機能障害・転倒・再発の評価と予防	予習：教科書①pp.200-210、211-224 の通読　復習：上記範囲、及び、配布資料の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本
9	脳血管障害の理学療法⑧:　歩行障害の治療（装具療法）	予習：教科書①pp.２００-２１０、２１１-２２４の通読　復習：上記範囲、及び、配布資料の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
10	脳血管症障害の理学療法⑨･神経難病の理学療法①:　嚥下障害の評価と治療	予習：教科書③pp.325-326 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	木内
11	神経難病の理学療法②:　Parkinson 病の治療	予習：教科書③pp.309-324 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	木内
12	神経難病の理学療法②:　脊髄小脳変性症及び筋萎縮性側索硬化症などの治療	予習：教科書①pp.327-341、342-356，357-369 の通読　復習:上記範囲の再読　※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	宮下
13	脊髄障害の理学療法①:　総合評価の実践(ASIA-ISNCSCI など)	予習：教科書③pp.8-13、42-59 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	宮下
14	脊髄障害の理学療法②:　急性期～回復期(起居･移乗動作障害など)	予習：教科書⑤pp.42-67、84-90、91-135 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	宮下
15	脊髄障害の理学療法③:　急性期～回復期（移動動作障害など）	予習：教科書⑤pp.177-202、258-267、276-316 の通読　復習:上記範囲の再読　※それぞれ 120 分間以上を目安に行うこと。	宮下
成績評価方法と基準			割合
1)　授業内で行う試験（範囲：第 1 講～第 6 講）【DP①②】　2)　定期試験（範囲：第 8 講～第 15 講）【DP①②】　※単位認定のための必要出席時間数は「授業時数の 4/5 以上」とする。			1）50% 2）50%

授業科目名	内部障害系理学療法学Ⅱ（理学）					
主担当教員	堀　竜次		担当教員		堀　竜次／角田　晃啓／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTC023	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

(概要)オムニバス方式にて内部障害に起因する運動機能・生活機能の低下について、その理学療法プロセス、日常生活動作指導の基礎知識を教授する。　【呼吸器疾患 堀　竜次 】呼吸器疾患の病理学的特性やそれに起因する運動機能・生活機能障害を理解し、その理学療法プロセス、日常生活動作指導の基礎知識を教授する。　【循環器疾患 河村知範】循環器疾患の病理学的特性やそれに起因する運動機能・生活機能障害を理解し、その理学療法プロセス、日常生活動作指導の基礎知識を教授する。　【代謝性疾患 角田晃啓】糖尿病などの代謝性疾患に起因する運動機能・生活機能障害を理解し、その理学療法プロセス、日常生活動作指導の基礎知識を教授する。

学修目標

内部障害系障害の成り立ちや評価方法を理解し、運動療法の組み立てが理解できる。<DP①>　リスク管理が理解できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 内部障害系の理学療法は理学療法を進めるにあたり必要な科目であることを認識すること　2. 小テストを行いますので教科書の出題範囲を必ず予習すること。　3. 疑問点について、必ず解決の行動をとること

教科書

松尾善美 編. PT・OT ビジュアルテキスト 内部障害理学療法学. 羊土社　ISBN：978-4-7581-0217-9　医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.2 循環器. MEDIC MEDIA　ISBN：978-4-89632-643-7　医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.4 呼吸器. MEDIC MEDIA　ISBN：978-4-89632-730-４

参考書

医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.3 糖尿病・代謝・内分泌. MEDIC MEDIA

研究室／オフィスアワー

堀：金曜 3・4 限目（研究室）　角田：在室時は随時（研究室）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【運動生理】　1.運動生理の基礎	予習：事前に渡す資料に目を通しておく（120 分）　復習：講義資料を基に運動生理の基礎について整理して理解する（120 分）	角田
2	【運動生理】　2.運動負荷試験と運動処方	予習：事前に渡す資料に目を通しておく（120 分）　復習：講義資料を基に運動生理の基礎について整理して理解する（120 分）	角田
3	【循環器疾患】　1. 心大血管リハビリテーション総論	予習：事前に渡す資料に目を通しておく（120 分）　復習：講義資料を基に心大血管リハビリテーション総論について整理して理解する（120 分）	河村・堀
4	【循環器疾患】　2. 虚血性心疾患・慢性心不全	予習：教科書（内部障害理学療法学：P148-165,P175-183 病気が見える循環器：P38-55,P286-296）を確認する（120 分） 復習：講義資料を基に虚血性心疾患・慢性心不全の理学療法について整理して理解する（120 分）	河村・堀

5	【循環器疾患】　3. 末梢動脈疾患	予習：教科書（内部障害理学療法学：P175-183,病気が見える循環器：P286-296）を確認する（120 分）　復習：講義資料を基に末梢動脈疾患の理学療法について整理して理解する（120 分）	河村・堀
6	【呼吸器疾患】　１．気道クリアランス法	予習：教科書（内部障害理学療法学：P243-257）を確認する（120 分）　復習：講義資料を基に気道クリアランス法について整理して理解する（120 分）	堀
7	【呼吸器疾患】　2. 慢性呼吸不全の ADL 指導	予習：事前配布資料にて ADL 指導を確認する（120 分）　復習：授業内容を基に ADL 指導について整理して理解する（120 分）	堀
8	【代謝性疾患】　１．糖尿病①	予習：教科書（内部障害理学療法学：P263-280）を確認すること（120 分）　復習：授業は連続性をもって進むので当日の配布資料を復習し、各回で消化してすすめること（120 分）	角田
9	【代謝性疾患】　２．糖尿病②	予習：教科書（内部障害理学療法学：P263-280）を確認すること（120 分）　復習：授業は連続性をもって進むので当日の配布資料を復習し、各回で消化してすすめること（120 分）	角田
10	【代謝性疾患】　３．患者教育	予習：教科書（内部障害理学療法学：P314-326）を確認すること（120 分）　復習：授業は連続性をもって進むので当日の配布資料を復習し、各回で消化してすすめること（120 分）	角田
11	【代謝性疾患】　4. 行動変容アプローチ	予習：教科書（内部障害理学療法学：P314-326）を確認すること（120 分）　復習：授業は連続性をもって進むので当日の配布資料を復習し、各回で消化してすすめること（120 分）	角田
12	【呼吸器疾患】　3. COPD の理学療法	予習：教科書（内部障害理学療法学：P184-200、病気が見える呼吸器：P206-221）を確認する(120 分）　復習:講義資料を基に COPD について整理して理解する（120 分）	堀
13	【呼吸器疾患】　4. 間質性肺炎の理学療法	予習：教科書（内部障害理学療法学：P184-200、病気が見える呼吸器：P190-205）を確認する（120 分）　復習：講義資料を基に間質性肺炎について整理して理解する（120 分）	堀
14	【呼吸器疾患】　5. 肺炎の理学療法	予習：事前配布資料にて肺炎について確認する（120 分）　復習：講義資料を基に肺炎について整理して理解する（120 分）	堀
15	全体講義のまとめ	予習：これまでの小テスト・課題について見直してから望むこと（120 分）　復習：小テストの解説を元に内部障害の理学療法について整理して理解する（120 分）	堀・角田・河村
成績評価方法と基準			割合
１．学期末の筆記試験により評価する（呼吸器系：45%、循環器系：25%、代謝系：30%）＜DP①＞　２．授業中に実施される課題レポート・小テストを評価の対象とする　＜DP①＞			１．80% ２．20%

授業科目名	内部障害系理学療法学Ⅲ(理学)					
主担当教員	堀　竜次			担当教員	堀　竜次／角田　晃啓／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTC024	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

(概要)オムニバス方式にて呼吸循環器疾患および生活習慣病等の理学療法プロセス、日常生活動作指導について、理学療法の実際、リスク管理、再評価などの技術を学習する。　【内部疾患 / 堀竜次/角田晃啓/河村知範】内部障害の運動負荷試験および運動処方について学習する。　【循環器疾患 / 河村知範】循環器疾患の病態把握として胸部画像・心電図（不整脈）について学習する。　【呼吸器疾患 / 堀竜次】主に呼吸器系障害の理学療法技術について学習する。　【代謝性疾患 / 角田晃啓】主に代謝系障害の理学療法技術について学習する。　【症例検討 / 堀竜次/角田晃啓/河村知範】内部障害事例から評価・プログラムの立案について学習する。

学修目標

1．内部障害患者に対する運動処方の理解と理学療法プログラムの立案ができる<DP①>　2．理学療法プログラムを実施し、再評価ができる<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．講義内容は特殊なものではなく、多くの障害に対して理学療法を進める上で必要だと認識すること。　2．疑問点について、必ず解決の行動をとること。　3．下記授業計画は時系列ではなく、授業内容はあくまでも各教員ごとに展開されるので注意すること。　　また、一部の実技内容について、グループ毎に実施日を分けることがあるので、担当教員の指示に従うこと。

教科書

松尾善美 編. PT･OT ビジュアルテキスト 内部障害理学療法学. 羊土社　ISBN:978-4-7581-0217-9　堀　竜次.呼吸コンディショニングテクニック.メディカ出版　ISBN:978-4-8404-5363-9　医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.2 循環器. MEDIC MEDIA　医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.4 呼吸器. MEDIC MEDIA

参考書

医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.3 糖尿病・代謝・内分泌. MEDIC　安達仁編著.CPX・運動療法ハンドブック改訂４版　中外医学社

研究室／オフィスアワー

堀：金曜 3・4 限目（研究室）　角田：在室時は随時（研究室）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【呼吸器・循環器・代謝性疾患】　1．運動負荷試験　ランプ負荷（実技）	予習：教科書および事前資料を確認すること（30 分）　復習：測定値から運動処方を考えること（30 分）	角田
2	【呼吸器・循環器・代謝性疾患】　2．運動処方（演習）	予習：教科書および事前資料を確認すること（30 分）　復習：測定値から運動処方を考えること（30 分）	角田
3	【循環器疾患】　1.心臓エコー検査	予習：教科書（病気が見える循環器：P380-386)に目を通しておく（30 分）　復習：講義資料を基に心臓エコー検査について整理して理解する（30 分）	河村
4	【呼吸器・循環器疾患】　2.血液検査	予習：事前に渡す資料に目を通しておく（30 分）　復習：講義資料を基に血液検査について整理して理解する（30 分）	堀
5	【呼吸器疾患】　4．喀痰吸引の基礎知識	予習：教科書（呼吸コンディショニングテクニック：P110-125）に目を通しておくこ	堀

		と（30 分）　復習：講義資料を基に吸引に必要な知識について整理し理解すること（30 分）	
6	【呼吸器疾患】　1.コンディショニング（実技）	予習：教科書（呼吸コンディショニングテクニック：P10-33）に目を通しておくこと（30 分）　復習：実技を反復して練習すること（30 分）	堀・角田・河村
7	【呼吸器疾患】　2.呼吸介助基本手技（実技）	予習：教科書（呼吸コンディショニングテクニック：P72-105）および事前資料を確認すること（30 分）　復習：実技を反復して練習すること（30 分）	堀・角田・河村
8	【呼吸器疾患】　3.呼吸介助応用手技（実技）	予習：教科書（呼吸コンディショニングテクニック：P72-105）および事前資料を確認すること（30 分）　復習：実技を反復して練習すること（30 分）	堀・角田・河村
9	【呼吸器疾患】　4.気道クリアランス法（実技）	予習:教科書(呼吸コンディショニングテクニック:P98-105)に目を通しておくこと(30 分)　復習:咳嗽介助について注意するポイントについて整理し理解すること（30 分）	堀・角田・河村
10	【呼吸器疾患】　５.呼吸練習・ADL 指導（実技）	予習:事前に渡す資料に目を通しておく(30 分)　復習：実技を反復して練習すること（30 分）	堀・角田・河村
11	【呼吸器疾患】　６．吸引療法（実技）	予習:教科書(呼吸コンディショニングテクニック：P110-125）に目を通しておくこと（30 分）　復習：吸引の実際について注意するポイントについて整理し理解すること（30 分）	堀
12	【代謝性疾患】　１．血糖測定演習（実技）	予習：血糖変動について学習する（30 分）復習：実習内容をレポートにまとめる（30 分）	角田
13	【呼吸器・循環器・代謝性疾患】　４．症例検討（循環器）	予習：事前資料を元に病態を理解し理学療法プログラムを立案する(60 分)　復習：講義内容をグループワークの中で積極的に討論し、討議内容を整理復習しておく（60 分）	堀・河村
14	【呼吸器・循環器・代謝性疾患】　５．症例検討（代謝）	予習：事前資料を元に病態を理解し理学療法プログラムを立案する(60 分)　復習：講義内容をグループワークの中で積極的に討論し、討議内容を整理復習しておく（60 分）	角田
15	【呼吸器・循環器・代謝性疾患】　６．症例検討（呼吸器）	予習：事前資料を元に病態を理解し理学療法プログラムを立案する(60 分)　復習：講義内容をグループワークの中で積極的に討論し、討議内容を整理復習しておく（60 分）	堀　角田
成績評価方法と基準			割合
【成績評価】　１．授業中に実施される課題レポート・小テストを評価の対象とする＜DP①＞　　単位認定のための必要出席回数は「授業時間の 5 分の 4 以上」とする			1.100%

授業科目名	発達障害理学療法学（理学）				
主担当教員	澤田　優子		担当教員	澤田　優子	
科目ナンバリング	SS20BPTC025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

小児の理学療法は、疾患や障害の特性のみならず、発達について知る必要がある。また、小児の発達を支える環境調整についても学び、その中で理学療法士の役割について考えることが重要である。　本講義では小児理学療法を実施するための発達・疾患・障害および環境調整について理解することを目的とする。

学修目標

１．小児の発達を理解する。　２．小児の疾患・障害を理解する。　３．小児の理学療法の評価、治療を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義前、講義後に教科書を読んでおくこと。　随時確認テストを実施します。

教科書

Crosslink 小児理学療法学　藪中良彦（編）　メジカルビュー(2 年後期小児科学で使用)

参考書

小児理学療法学テキスト（改訂第 3 版）　細田多穂監修　南江堂　小児科学（第 4 版）　富田豊（編）　医学書院

研究室／オフィスアワー

月曜日 3 時限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	小児理学療法学概論 1	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
2	小児理学療法学概論 2	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
3	子どもの発達と評価 1	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
4	子どもの発達と評価 2	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
5	子どもの発達と評価 3	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
6	疾患別理学療法（低出生体重児・ハイリスク児）	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
7	疾患別理学療法（脳性麻痺 1	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
8	疾患別理学療法（脳性麻痺 2)	予習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
9	疾患別理学療法（重症心身障害）	予習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田

10	疾患別理学療法（小児整形疾患 1）	予習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
11	疾患別理学療法（小児整形疾患 2）	予習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
12	疾患別理学療法（筋ジストロフィー）	予習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
13	疾患別理学療法（ダウン症）	予習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
14	疾患別理学療法（発達障害）	予習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(1 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
15	地域学校での理学療法	予習(1 時間)：これまでの講義内容を復習し、疑問点を整理しておく　復習(1 時間)：教科書を熟読し、理解を深める	澤田
成績評価方法と基準			割合
成績評価＜DP①＞　1. 課題（各講義）　2. 筆記試験　2/3 以上の出席が必要			成績評価　1. 20%　2. 80%

授業科目名	臨床理学療法治療学実習（理学）				
主担当教員	澤田　優子		担当教員	澤田　優子／角田　晃啓／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTC027	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 2 限)、後期(水曜 2 限)
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法プロセスの理解は、効果的な治療を展開するうえで重要である。本講義では自身の理学療法士としてのキャリア形成を視野に入れ、症例検討や学術・研究活動の研鑽を通じて、理学療法プロセスへの理解を深めることを目的とする。
※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1）理学療法士としての自身のキャリアデザインを、多角的かつ具体的に検討できる。【DP①】　2）理学療法の実践に必要となる基盤として、理学療法プロセスを理解できる。【DP①】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）実技の授業の際はジャージを着用すること。　2）履修時点までの学修内容をベースに授業を展開するため、既修得単位の内容については各自で復習を怠らないこと。　3）以下に記載の授業展開はテーマごとに記載してあり、時系列とは異なる場合があるため、授業実施時の説明を確認すること。

教科書

なし（適宜資料を配布する）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

教員毎に事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	症例検討 1	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤 田　角 田　河村
2	症例検討 2	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤 田　角 田　河村
3	症例検討 3	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤 田　角 田　河村
4	症例検討 4	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤 田　角 田　河村
5	症例検討 5	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤 田　角 田　河村
6	症例検討 6	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤 田　角 田　河村
7	症例検討 7	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤 田　角 田　河村
8	症例検討 8	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田　河村
9	症例検討 9	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田　河村
10	キャリアセミナー1	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田　河村
11	キャリアセミナー2	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田　河村
12	キャリアセミナー3	予習復習：該当範囲についてこれまでに学	澤田　角田

		修した知識を整理する。	河村
13	学術活動の実際 1	予習復習：理学療法の関連学会に参加し、演題・講演などを聴講する。	澤田　角田 河村
14	学術活動の実際 2	予習復習：理学療法の関連学会に参加し、演題・講演などを聴講する。	澤田　角田 河村
15	研究方法論 1	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
16	研究方法論 2	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
17	研究方法論 3	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
18	研究方法論 4	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
19	研究方法論 5	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
20	研究方法論 6	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
21	研究方法論 7	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
22	研究方法論 8	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
23	研究方法論 9	予習復習：該当範囲についてこれまでに学修した知識を整理する。	澤田　角田 河村
成績評価方法と基準			割合
【成績】講義内で適宜課題を提示する。　　症例検討 1～9：30%　キャリアセミナー1～3：20% 学術活動の実際 1～2：20%　研究方法論 1～9：30%　【出席】4/5 以上の出席を必要とする。			100%

授業科目名	老年期理学療法学（理学）				
主担当教員	澤田　優子		担当教員	澤田　優子／角田　晃啓	
科目ナンバリング	SS20BPTC030	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限、金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

老年期の理学療法においては、老年期の特性を正しく認識し、総合的に機能を把握することが必要である。　本講義では、老年期の特性について、運動機能面、認知機能面など、多側面から解説する。また、症例検討やグループワークを実施し、理学療法の実際を理解することを目標とする。

学修目標

１．老年期の特徴を理解する　２．老年期の理学療法の実際を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義前、講義後に配布資料を読んでおくこと。　グループワークに積極的に参加すること。

教科書

荒井秀典、山田実（編）:最新　リハビリテーション基礎講座　「老年学」. 医歯薬出版株式会社、2023. ISBN　978-4-263-26710-3

参考書

リハビリテーション基礎評価学：潮見泰藏（編集）羊土社　日常生活活動学・生活環境学：奈良勲（監修）鶴見隆正／隆島研吾（編集）医学書院　高齢者理学療法学テキスト 細田多穂（監修）南江堂　高齢者の理学療法　森本 榮（編集）　三輪書店　高齢者の機能障害に対する運動療法　運動療法学各論 市橋 則明（編集）　文光堂　高齢者理学療法学 島田裕之（総編集）　医歯薬出版　Crosslink 理学療法学テキスト 高齢者理学療法学　池添冬芽（編）　メジカルビュー社

研究室／オフィスアワー

月曜日の 3 限（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　老年期の特徴 1	予習(1 時間)：老年学についてのこれまでの知識を整理しておく。　復習(1 時間)：配布資料の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田　角田
2	老年期の特徴 2	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
3	老年期の特徴 3	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
4	老年期の特徴 4	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
5	老年期の評価 1	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
6	老年期の評価 2	予習：教科書または配布資料の当該箇所を	澤田　角田

		読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	
7	老年期の評価 3	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
8	老年期の評価 4	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
9	老年期の理学療法 1	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
10	老年期の理学療法 2	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
11	老年期の理学療法 3	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：症例検討をすすめる。(1 時間)	澤田　角田
12	老年期の理学療法 4	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：症例検討をすすめる。(1 時間)	澤田　角田
13	老年期の理学療法 5	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：症例検討をすすめる。(1 時間)	澤田　角田
14	老年期の理学療法 6	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：症例検討をすすめる。(1 時間)	澤田　角田
15	高齢社会の課題と展望、まとめ	予習：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	澤田　角田
成績評価方法と基準			割合
1）2/3 以上の出席が必要。　2）課題（20%）と試験（80%）で評価する。			課題：20%　試験：80%

授業科目名	理学療法臨床推論演習（理学）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	SS20BPTC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

理学療法士にとって、臨床推論は「患者さんや対象となる方にとってよりよい理学療法を実践する」ために必要不可欠なものである。臨床場面ではその臨床推論を繰り返す必要があり、またそれによって理学療法士としての専門性を磨くことができる。　本演習授業では理学療法評価をトップダウン的に経験し、臨床推論の過程について演習を通して学修する。

学修目標

1. 能動的学習方法を理解し、実践できる。【DP①】　2. 理学療法評価における「動作観察・動作分析」の力を養うことができる。【DP①④】　3. 症例の問題を解決するための理学療法臨床推論を経験し、実践できる。【DP①④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 授業中は、積極的に質問や発言を行ってください。　2. 担当教員と十分なコミュニケーションを図ってください。　3. 授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　＊質問があれば，直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

有馬慶美 編：基本編 ケースで学ぶ理学療法臨床思考 第 2 版、文光堂、2019　有馬慶美 編：実践編 ケースで学ぶ理学療法臨床思考 第 2 版、文光堂、2019　豊田輝 編：症例動画でわかる 理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト、羊土社、2021

研究室／オフィスアワー

杉本　圭：研究室／木曜日 4・5 時限目（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　理学療法における臨床推論とは？【復習含む】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
2	模擬症例【脳血管障害回復期】｜1　病態の理解とリスク管理①	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
3	模擬症例【脳血管障害回復期】｜2　動作観察・分析①【立ち上がり（観察)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
4	模擬症例【脳血管障害回復期】｜3　動作観察・分析②【立ち上がり（分析)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
5	模擬症例【脳血管障害回復期】｜4　動作観察・分析③【立ち上がり（まとめ)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
6	模擬症例【脳血管障害回復期】｜5　動作観察・分析④【歩行（観察)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
7	模擬症例【脳血管障害回復期】｜6　動作観察・分析⑤【歩行（分析)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本

8	模擬症例【脳血管障害回復期】｜7　動作観察・分析⑥【歩行（まとめ)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
9	模擬症例【脳血管障害回復期】｜8　動作観察・分析⑦【起き上がり（観察)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
10	模擬症例【脳血管障害回復期】｜9　動作観察・分析⑧【起き上がり（分析)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業後の課題に取り組む。(30 分)	杉本
11	模擬症例【脳血管障害回復期】｜10　動作観察・分析⑨【起き上がり（まとめ)】	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業後の課題に取り組む。(30 分)	杉本
12	模擬症例【脳血管障害回復期】｜11　これまでの授業のまとめ（実技）	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業後の課題に取り組む。(30 分)	杉本
13	模擬症例【脳血管障害回復期】｜12 統合と解釈①	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業内容を振り返り、その理解を深める。(30 分)	杉本
14	模擬症例【脳血管障害回復期】｜13 統合と解釈②	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：授業後の課題に取り組む。(30 分)	杉本
15	授業全体のまとめ	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(30 分)　復習：ポートフォリオシートの作成。(30 分)	杉本
成績評価方法と基準			割合
1.　第 5・8・11 回の授業後の課題【DP①④】　2.　模擬症例におけるポートフォリオシート【DP①④】 【出席】4/5 以上の出席を必要とする。			1. 30%　2. 70%

授業科目名	総合リハビリテーション IPW 演習（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／澤田　優子／河村　知範／松下太／鍵野　将平／勝原　勇希	
科目ナンバリング	SS20BPTC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

リハビリテーション医療は、応用的動作能力や社会適応能力の回復などを目的とした作業療法、言語聴覚能力の回復などを目的とした言語聴覚療法、基本的動作能力の回復などを目的とした理学療法により構成される。いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われるものである。本授業では，リハビリテーション医療を担う専門職の中でも作業療法士と理学療法士を養成する２学科協働で共通演習形式にて実践する。互いの専門性を理解しつつ、患者モデル（Paper patient=紙上患者）を用いて、リハビリテーション医療におけるチームアプローチを討議・経験・学修する。

学修目標

①リハビリテーション医療におけるチームアプローチの重要性を述べることができる。　②リハビリテーション医療における IPW を経験し、他職種と相互に作用することの重要性を知る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。　3）出席は 4/5 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。　＊質問があれば，直接研究室にお越しください。また，MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

必要であれば，各自準備すること

研究室／オフィスアワー

各教員のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーションと症例提示	予習：リハビリテーション医療における専門性を復習しておく。作業療法士（理学療法士）の役割を再確認しておく。(30 分) 復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるように準備しておく。(30 分)	角田　澤田 河村
2	作業療法と理学療法の接点	予習：作業療法士（理学療法士）の役割を再確認しておく。(30 分)　復習：作業療法と理学療法の違いと接点をまとめておく。(30 分)	角田　澤田 河村
3	症例検討｜１	予習：作業療法士（理学療法士）の役割を再確認しておく。(30 分)　復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるように準備しておく。(30 分)	角田　澤田 河村
4	症例検討｜２	予習：作業療法士（理学療法士）の役割を再確認しておく。(30 分)　復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるように準備しておく。(30 分)	角田　澤田 河村
5	症例検討｜３	予習：作業療法士（理学療法士）の役割を再確認しておく。(30 分)　復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるよ	角田　澤田 河村

		うに準備しておく。(30 分)	
6	リハビリテーションカンファレンスの実際 【教員による Case Conference】	予習：作業療法士と理学療法士の専門性（職能・役割など）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ、リハビリテーション医療におけるチーム医療の重要性を理解する。(30 分)	角 田　澤 田 河村
7	リハビリテーション IPW｜１	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	角 田　澤 田 河村
8	リハビリテーション IPW｜２	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	角田　澤田 河村
9	リハビリテーション IPW｜３	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習:IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	角田　澤田 河村
10	リハビリテーション IPW｜４	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習:IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	角田　澤田 河村
11	プレゼンテーション｜１	予習：プレゼンテーションの準備（30 分） 復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(30 分)	角田　澤田 河村
12	プレゼンテーション｜２	予習：プレゼンテーションの準備（30 分） 復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(30 分)	角田　澤田 河村
13	プレゼンテーション｜３	予習：プレゼンテーションの準備（30 分） 復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(30 分)	角田　澤田 河村
14	授業全体のまとめ｜１（グループでの振り返り）	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習:リハビリテーション医療の重要性についてまとめる。(30 分)	角田　澤田 河村
15	授業全体のまとめ｜２（学科でのまとめ）	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習:リハビリテーション医療における作業療法士・理学療法士の役割や重要性についてまとめる。(30 分)	角田　澤田 河村
成績評価方法と基準			割合
①プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）　②最終レポート　【出席】4/5 以上の出席を必要とする。　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。　レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。			①70% ②30%

授業科目名	理学療法特論Ⅰ（理学）					
主担当教員	木内　隆裕		担当教員	木内　隆裕／仲本　正美		
科目ナンバリング	SS20BPTC034	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

これまでに学んだ種々の領域の(a)代表的疾患の病態、(b)それらに対する理学療法（評価及び治療）について説明し、(c)それらを理解するために必要な解剖学・生理学・病理学・運動学の知識との関係を学修する。これにより、代表的疾患の病態理解から理学療法プログラム立案までをつなぐ論理的思考能力を向上させる。

学修目標

1) 代表的疾患の病態と、その理解の基盤となる解剖学・生理学・病理学の知識を関係づけることができる。【DP①】 2) 代表的疾患に対する典型的な理学療法（評価及び治療）と、その理解の基盤となる解剖学・生理学・運動学の知識を関係づけることがきでる。【DP①】 3) 代表的疾患の病態と、それらに対する典型的な理学療法（評価及び治療）の知識を関係づけることがきでる。【DP①】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 領域横断的な学習が必須となるため、本授業で指定する 4 冊全ての教科書を自主的に活用すること（他の問題集に取り組むことは推奨しない)。 2) 本授業においては下記「授業展開及び授業計画表」は時系列ではなく、あくまで講義担当を示すものとして活用すること。 3) グループワークは 2 コマ分を 1 セットとして 4 セット実施するが, 日程については後期開始以前に MORIPA で配信する。 4) グループワークの準備・片付けは各グループ内での輪番制とし、2 回目以降は授業開始前に準備を完了しておくこと。

教科書

1) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　専門基礎分野 基礎医学 2025, 医歯薬出版. 2) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　専門基礎分野 臨床医学 2025, 医歯薬出版. 3) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　基礎 PT 学 2025, 医歯薬出版. 4) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　障害別 PT 治療学 2025, 医歯薬出版.

参考書

1) リハドリル. アイペック社.

研究室／オフィスアワー

在室時は随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　発展的学習の方法	予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。 復習：教科書を購入し演習を進めること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
2	基礎医学と理学療法評価①	予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。 復習：教科書を購入し演習を進めること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
3	基礎医学と理学療法評価②	予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。 復習：教科書を購入し演習を進めること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
4	運動器障害と理学療法評価	予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。 復習：教科書を購入し演習を進	木内、仲本

		めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	
5	神経系障害と理学療法評価	予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
6	内部障害と理学療法評価	予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
7	中間まとめ（範囲：第 1 講～第 6 講）	予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
8	総合演習 1-1：基礎医学	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。 予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
9	総合演習 1-2：基礎医学	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。　予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
10	総合演習 2-1：運動器障害	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。　予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
11	総合演習 2-2：運動器障害	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。　予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
12	総合演習 3-1：神経系障害	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。　予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
13	総合演習 3-2：神経系障害	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。　予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
14	総合演習 4-1：内部障害	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。　予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本
15	総合演習 4-2：内部障害	講義内で扱った内容に加えて新規の内容も含み、これも定期試験の範囲とする。　予習：教科書を購入し導入部分を読んでおくこと。　復習：教科書を購入し演習を進めること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	木内、仲本

成績評価方法と基準	割合
1）授業内で行う試験（範囲：第 1 講～第 6 講）【DP①】 2）小テスト（各総合演習で扱った範囲）【DP①】 3）定期試験（全範囲）【DP①】 ※ 全体で 2/3 以上の出席を必要とする。 ※ 小テストは授業時間内の解答のみを有効解答として扱い、通常欠席の場合はスコアなしとする。 ※ 総合成績で 60%以上（小数切り捨て）の得点を取得した場合に単位を認定する。 ※ 再試験のスコア配分は試験 100% とする。	1）20%　2）20%　3）60%

授業科目名	理学療法特論Ⅱ（理学）					
主担当教員	仲本　正美		担当教員		仲本　正美／木内　隆裕／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTC035	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

これまでに修得した解剖学や生理学などの基礎分野から理学療法学の評価及び治療までを網羅し、理学療法士として臨床で働くために必要な知識体系を統合的理解を促進する。対象は小児から高齢者までを含み、理学療法士を取り巻く法律や社会保障制度などに関することもこの科目の範疇とする。

学修目標

以下について、本学科のカリキュラム全体のうち 3 年次までを修了したときに到達していることが期待される水準で問題を理解できること。【DP①】

1) 解剖学、生理学、運動学、病理学などの基礎医学

2) 理学療法の対象となる方が有する疾病及び異常

3) 障害を有する患者に対する理学療法評価

4) 障害を有する患者に対する経験的あるいは標準的な理学療法

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 領域横断的な学習が必須となるため、本授業で指定する 4 冊全ての教科書を自主的に活用すること（他の問題集に取り組むことは推奨しない)。

2) 本授業においては下記「授業展開及び授業計画表」は時系列ではなく、あくまで講義担当を示すものとして活用すること。

3) 講義及びグループワークの日程については、前期開始以前に MORIPA で配信する。

4) 「本授業で配布する問題集 A～E についても、前期開始以前に MORIPA で配信する。

5) 小テストは授業時間内においてのみ実施する。

教科書

1) 医歯薬出版編. 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　専門基礎分野 基礎医学 2025, 医歯薬出版. 2) 医歯薬出版編. 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　専門基礎分野 臨床医学 2025, 医歯薬出版. 3) 医歯薬出版編. 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　基礎 PT 学 2025, 医歯薬出版. 4) 医歯薬出版編. 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　障害別 PT 治療学 2025, 医歯薬出版.

参考書

1) リハドリル. アイペック社.

研究室／オフィスアワー

仲本　正美：月曜日 4 限・5 限　木内　隆裕：火曜日 4 限・5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　理学療法の総合的知識①：演習	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
2	理学療法の総合的知識②：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以	仲本

		上を目安に行うこと。	
3	理学療法の総合的知識③：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
4	理学療法の総合的知識④：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
5	理学療法の総合的知識⑤：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
6	中間まとめ（範囲：第 2 講～第 5 講）	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
7	理学療法の総合的知識⑥：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
8	理学療法の総合的知識⑦：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。　復習：上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。　※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
9	理学療法の総合的知識⑧：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。 復習:上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
10	理学療法の総合的知識⑨：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。 復習:上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
11	理学療法の総合的知識⑩：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。 復習:上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
12	理学療法の総合的知識⑪：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。 復習:上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
13	理学療法の総合的知識⑫：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。 復習:上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
14	理学療法の総合的知識⑬：演習及び小テスト	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を行っておくこと。 復習:上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	仲本
15	最後のまとめ（範囲：第 7 講～第 14 講）	予習：上記教科書の 4 冊にわたって演習を	仲本

		行っておくこと。 復習:上記教科書の解説ページなどを使って暗記時間を作りながら学習すること。 ※それぞれ 60 分間以上を目安に行うこと。	
成績評価方法と基準			割合
1) 小テスト:毎回の授業で修得内容を問う。【DP①】 2)リハドリル課題。【DP①】 3) 最後のまとめ:マークシート形式。【DP①】 ※ 2/3 以上の出席を必要とする。 ※ 小テストは授業時間内の解答のみを有効解答として扱い、通常欠席の場合はスコアなしとする。 ※ 総合成績で 60%以上（小数切り捨て）の得点を取得した場合に単位を認定する。 ※ 再試験のスコア配分は試験 100% とする。			1) 35% 2) 5% 3) 60%

授業科目名	理学療法特論Ⅲ(理学)				
主担当教員	木内 隆裕		担当教員	木内 隆裕／仲本 正美／安部 辰夫／海蔵寺 陽子／宮下 創	
科目ナンバリング	SS20BPTC036	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

解剖学や生理学などの基礎分野から理学療法学の評価及び治療までを網羅し、障害を有する患者に対する経験的あるいは標準的理学療法の知識体系による問題解決能力を向上させる。対象は小児から高齢者までを含み、理学療法士を取り巻く法律や社会保障制度などに関することもこの科目の範疇とする。授業は基本的にオンライン形式の講義・演習（オンデマンド動画配信）とし、適宜、対面形式の講義・演習を行う。

学修目標

以下について､本学科のカリキュラム全体を修了したときに到達していることが期待される水準で問題を識別･解決できること。【DP①】 1) 解剖学、生理学、運動学、病理学などの基礎医学 2) 理学療法の対象となる方が有する疾病及び異常 3) 障害を有する患者に対する理学療法評価 4) 障害を有する患者に対する経験的あるいは標準的な理学療法 5) 理学療法士を取り巻く法律、社会保障制度など

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 本授業においては下記「授業展開及び授業計画表」は時系列ではなく、あくまで講義担当を示すものとして活用すること。 2) オンライン形式の授業（オンデマンド動画等）URL、並びに、対面形式の授業日程については、後期開始以前に MORIPA で配信する。 3) 各授業範囲に該当する教科書を必ず持参すること。 4) 各授業範囲に該当する書籍のうち、問題集以外に自己学習でよく参照している書籍 1 冊を持参すること。 5) 授業時間外に課されている課題に適宜取り組み、指定された期限までに提出すること。

教科書

1) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 2025, 医歯薬出版. 2) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野 臨床医学 2025, 医歯薬出版. 3) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎 PT 学 2025, 医歯薬出版. 4) 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別 PT 治療学 2025. 医歯薬出版.

参考書

1) リハドリル. アイペック社. その他、各自で標準的かつ最小限の書籍をみつけること。

研究室／オフィスアワー

各担当教員の他科目のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	神経の解剖・生理学と臨床 A	※画像検査, 神経伝導検査を含む。 少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間)。	木内、仲本
2	神経の解剖・生理学と臨床 B	※画像検査, 神経伝導検査を含む。 少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間)。	木内、仲本
3	内臓の解剖・生理学と臨床 A	※画像検査, 心電図を含む。 少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間)。	木内、仲本

4	内臓の解剖・生理学と臨床 B	※画像検査，心電図を含む。　少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
5	骨関節の解剖・生理学と臨床 A	※画像検査を含む。　少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
6	骨関節の解剖・生理学と臨床 B	※画像検査を含む。　少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
7	病理学・がん・感染症	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	安部（対面形式）
8	基礎評価学	ROM テストや MMT などの基礎的な評価方法を中心に、領域横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
9	運動学・運動療法	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
10	物理療法	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
11	義肢・装具 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
12	義肢・装具 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
13	呼吸障害 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
14	呼吸障害 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
15	循環障害 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
16	循環障害 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
17	代謝障害 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
18	代謝障害 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
19	運動器障害 A	X 線画像・MRI 画像など、医療画像について予習し（1 時間）、基本的な運動器疾患の理学療法について復習すること（1 時間）。	木内、仲本
20	運動器障害 B	X 線画像・MRI 画像など、医療画像について予習し（1 時間）、基本的な運動器疾患の理学療法について復習すること（1 時間）。	木内、仲本
21	運動器障害 C（熱傷など）	X 線画像・MRI 画像など、医療画像について予習し（1 時間）、基本的な運動器疾患の理学療法について復習すること（1 時間）。	木内、仲本
22	精神医学・臨床心理学 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	海蔵寺（対面形式）
23	精神医学・臨床心理学 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	海蔵寺（対面形式）
24	神経変性疾患・神経筋疾患	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこ	木内、仲本

		と（2 時間）。	
25	脳卒中 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
26	脳卒中 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
27	脊髄損傷 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
28	脊髄損傷 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
29	小児 A	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
30	小児 B	少なくとも、教科書の中で左記範囲に該当する範囲を横断的に予習・復習しておくこと（2 時間）。	木内、仲本
成績評価方法と基準			割合
1）一次試験：マークシート形式の試験を複数回行い、その合計点（小数切り捨て）が全体の 60%以上であった者に二次試験（最終試験）の受験資格を与える。【DP①】　2）二次試験：マークシート形式の試験を１回行い、その得点率（小数切り捨て）が 60%以上であった者に単位を認定する。【DP①】　※ 2/3 以上の出席を必要とする。　※ 再評価の機会は一次試験において設けることとし、マークシート形式の試験を２回行ってその合計点（小数切り捨て）が全体の 60%以上であったときに二次試験（最終試験）の受験資格を与える。【DP①】			試験 100%

授業科目名	運動器系理学療法セミナー（理学）				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎／河西　謙吾／中田　光海	
科目ナンバリング	SS20BPTC037	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

臨床理学療法を効率的に進めるには，多職種連携が必須になる．特に運動器においては，整形外科医との連携が重要であるし，スポーツ現場ではスポーツ医やアスレティックトレーナーとの連携が重要になる．そこで，関連多職種が理学療法士に期待することを学び，運動器系理学療法を効果的に進められる理学療法士になるために必要となる知識を学ぶ．とくに近年注目されている治療に関する知識と技術を習得する．講義はオムニバス形式で行います．

学修目標

１．運動器系理学療法に関連する多職種との連携に必要な理学療法士としての知識と技術を習得する．　２．理学療法士としてのキャリアを描くことができる　３．基本的な超音波画像診断装置の特徴を説明し，基本的な描出ができる　４．歩行動作を運動力学的に説明し，異常について力学的に仮説を立てることができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．十分な予習と復習が必要になります．　２．基本的な解剖学と運動学を習得している必要があります．　３．毎回の講義で課題が出題されますので，必ず課題提出するようにしてください．

教科書

みえる！エコーガイド下運動療法　（文光堂）

参考書

観察による歩行分析　（医学書院）

研究室／オフィスアワー

各教員とも実習訪問などで不在になる事もあるため、あらかじめ予約すること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	【予習】理学療法と理学療法士としてのキャリアとは何か資料を集めておく（２時間）　【課題】自身の理学療法士としてのキャリアプランを考えまとめる（２時間）	工藤
2	教員のキャリア紹介	【予習】自身のキャリアプランについて具体的にまとめる（２時間）　【課題】講義内容と自身のキャリアプランを比べて、考察する（２時間）	工藤
3	運動器理学療法トピックス	【課題】講義内容の復習（1 時間）	工藤
4	運動器理学療法トピックス	【課題】講義内容をまとめ、より講義内容を理解するための資料を集める（２時間）	工藤
5	キャリア紹介（河西謙吾）	【課題】講義内容の復習（1 時間）	河西
6	運動器理学療法トピックス	【課題】講義内容の復習（1 時間）	河西
7	運動器理学療法トピックス	【課題】講義内容の復習（1 時間）	河西
8	キャリア紹介（中田）	【課題】講義内容の復習（1 時間）	中田
9	運動器理学療法トピックス	【課題】講義内容の復習（1 時間）	中田
10	運動器理学療法トピックス	【課題】講義内容の復習（1 時間）	中田

11	歩行解析１	歩行の運動力学解析について	工藤，河西，中田
12	歩行解析２	歩行の運動力学解析について	工藤，河西，中田
13	歩行解析３	歩行の運動力学解析について	工藤，河西，中田
14	学生発表：将来の自分のキャリアについて①	【予習】自分の将来希望するキャリアをまとめておく（２時間）　【課題】他の人のキャリアについてまとめる（２時間）	工藤　河西　中田
15	学生発表：将来の自分のキャリアについて②	【予習】自分の将来希望するキャリアをまとめておく（２時間）　【課題】他の人のキャリアについてまとめる（２時間）	工藤　河西　中田
成績評価方法と基準			割合
発表会の内容と課題の到達度にて総合的に判定する．　4/5 以上の出席を必要とする。			課題 50%　発表会 50%

授業科目名	神経系理学療法セミナー（理学）					
主担当教員	木内　隆裕		担当教員	木内　隆裕／仲本　正美／宮下　創		
科目ナンバリング	SS20BPTC038	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

神経系疾患に対するリハビリテーションの臨床で用いられる概念的枠組みや応用的知識・技術について学ぶ。また、歴史的背景から最近のトピックスまでを取り上げながら、神経系の解剖学的・生理学的理解、並びに、神経系疾患に対するリハビリテーションの理解を深める。

学修目標

1) 神経系理学療法の歴史的背景を理解し、発展的な知識・技術までを概説できる。【DP①】

2) 臨床で遭遇する典型的な事象に対する問題点の発見方法について概説できる。【DP①】

3) 臨床で遭遇する典型的な事象に対する問題点の解決方法について概説できる。【DP①】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 単位判定のためには「授業回数の 2/3 以上」の出席が必要となる。　2) 授業進行はシラバスの記載順と異なり、別に配布される授業日程表に記載された順序に従う。　3) 対面授業を原則とするが、スケジュールの都合上、一部オンデマンド授業とすることもある。　4) 臨床総合実習も意識しながら、基本的な内容から応用的な内容までを扱う。

教科書

① 吉尾雅春, 森岡周, 阿部浩明(編). 標準理学療法学. 神経理学療法学. 第 2 版, 医学書院, 2018. ② 岩崎洋(編). 脊髄損傷マニュアル. 第 3 版, 文光堂, 2020. ③ 市橋則明(編). 運動療法学. 障害別アプローチの理論と実際. 第 2 版, 文光堂, 2014.

参考書

1) 長谷公隆(編著). 運動学習理論に基づくリハビリテーションの実践. 第 2 版, 医歯薬出版, 2016. 2) Shumway-Cook & Woollacott(著). 田中繁, 蜂須賀研二(訳). モーターコントロール. 原著第 5 版, 医歯薬出版, 2020. 3) 庄本康治(編). エビデンスから身につける物理療法. 第 1 版, 羊土社. 2017. 4) 医療情報科学研究所(編). 病気がみえる. 脳･神経. 第 2 版, メディックメディア, 2017. 5) Schenkman

研究室／オフィスアワー

木内隆裕：研究室／火曜日・金曜日 4 時限目以降

仲本正美：研究室／水曜日 4 時限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	神経系理学療法における運動学習①:理論的基礎	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
2	神経系理学療法における運動学習②:課題指向型アプローチ	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
3	神経系理学療法における運動学習③：運動観察、運動イメージ、運動錯覚	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
4	神経系理学療法における予後予測の実践	予習：これまでの臨床実習で経験した症例の情報整理　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	宮下
5	神経系理学療法における姿勢制御①	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容、及び、物理療法学で学んだ内容　復	仲本

		習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	
6	神経系理学療法における姿勢制御②	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容、及び、物理療法学で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	仲本
7	神経系理学療法における姿勢制御③	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	仲本
8	神経系理学療法における姿勢制御④	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	仲本
9	神経系理学療法における物理療法①：運動麻痺・筋緊張異常への介入	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
10	神経系理学療法における物理療法②：運動麻痺・筋緊張異常への介入	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
11	神経系理学療法における物理療法③:高次脳機能障害への介入	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
12	神経難病に対するリハビリテーションの実践①	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
13	神経難病に対するリハビリテーションの実践②	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
14	脊髄損傷に対するリハビリテーションの実践①	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
15	脊髄損傷に対するリハビリテーションの実践②	予習：神経系理学療法学 1・2・3 で学んだ内容　復習：授業で学んだ内容　※合計で 60 分間以上を目安として行うこと。	木内
成績評価方法と基準			割合
1）小レポート： 担当教員ごとに出題し、そのスコア配分はコマ数の割合で按分する。【DP①】　※2/3 以上の出席を必要とする。			1）　100%

授業科目名	内部障害系理学療法セミナー（理学）					
主担当教員	堀　竜次		担当教員		堀　竜次／角田　晃啓／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTC039	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期		曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	選択

授業概要

(概要)オムニバス方式にて内部障害理学療法学の臨床応用として呼吸理学療法技術・急性期管理および生活習慣病等の理学療法を学習する。　【呼吸器疾患 堀　竜次、角田晃啓】主に呼吸理学療法技術について学習する。　【急性期管理 堀　竜次、河村知範】主に急性期管理と理学療法について学習する。　【代謝性疾患 角田晃啓】主に代謝系障害の理学療法について学習する。

学修目標

1．内部障害患者に対する臨床応用技術の習得ができる<DP①>　2．急性期管理を理解し急性期理学療法プログラムを立案できる<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．講義・実技内容は、理学療法以外の知識を必要とするが、理学療法を進める上で必要だと認識すること。　2．疑問点について、必ず解決の行動をとること。　3．下記授業計画は時系列ではなく、授業内容はあくまでも各教員ごとに展開されるので注意すること。　　また、一部の実技内容について、グループ毎に実施日を分けることがあるので、担当教員の指示に従うこと。

教科書

松尾善美 編. PT･OT ビジュアルテキスト 内部障害理学療法学. 羊土社　ISBN：978-4-7581-0217-9　堀　竜次.呼吸コンディショニングテクニック.メディカ出版　ISBN：978-4-8404-5363-9　医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.2 循環器. MEDIC MEDIA　ISBN：978-4-89632-643-7

参考書

大阪はびきの医療センターIRCU　はじめての人工呼吸器　パワーアップ版　メディカ出版　ISBN　978-4-8404-5618-0

研究室／オフィスアワー

堀：金曜 3・4 限目（研究室）　角田：在室時は随時（研究室）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【呼吸器疾患】　1．コンディショニング・呼吸介助 1(実技)	予習：教科書（呼吸コンディショニングテクニック：P10-26）に目を通しておく（30 分）　復習：実技を反復して練習すること（30 分）	堀
2	【呼吸器疾患】　2．コンディショニング・呼吸介助２（実技）	予習：教科書（呼吸コンディショニングテクニック：P72-88）を確認すること（30 分）　復習：実技を反復して練習すること（30 分）	堀
3	【急性期管理】　1. 酸素療法・HFNC・NPPV（講義）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習：講義資料を基に酸素療法・HFNC・NPPV について整理し理解すること（30 分）	堀・河村
4	【急性期管理】　2. 人工呼吸管理の基礎知識(講義)	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習：講義資料を基に人工呼吸管理の基礎知識について整理し理解すること（30 分）	堀・河村
5	【急性期管理】　3. 呼吸循環の超音波エコー評価（実技）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習：講義資料を基に呼吸循環の超音波エコー評価について整理し理解するこ	堀・角田

		と（30 分）	
6	【急性期管理】　4. 人工呼吸管理と呼吸理学療法（講義）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習：講義資料を基に人工呼吸管理と呼吸理学療法について整理し理解すること（30 分）	堀
7	【急性期管理】　5. 嚥下メカニズムと嚥下機能評価（講義）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習：講義資料を基に嚥下メカニズムと嚥下機能評価について整理し理解すること（30 分）	堀
8	【急性期管理】　6. 上気道へのアプローチ（実技）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習：講義資料を基に上気道へのアプローチについて整理し理解すること（30 分）	堀
9	急性期管理】　7. 人工呼吸器実習①（実技）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習:講義資料を基に人工呼吸器について整理し理解すること（30 分）	堀・角田・河村
10	【急性期管理】　8. 人工呼吸器実習②（実技）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習:講義資料を基に人工呼吸器について整理し理解すること（30 分）	堀・角田・河村
11	【代謝性疾患】　1．糖尿病足病変の評価（講義）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習:講義資料を基に糖尿病足病変の評価について整理し理解すること（30 分）	角田
12	【代謝性疾患】　2．糖尿病足病変の評価（実技）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習:講義資料を基に糖尿病足病変の評価について整理し理解すること（30 分）	角田
13	【代謝性疾患】　3．運動負荷と血糖変動（講義）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習:講義資料を基に運動負荷と血糖変動について整理し理解すること（30 分）	角田
14	【代謝性疾患】　4．運動負荷と血糖変動（実技）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習:講義資料を基に運動負荷と血糖変動について整理し理解すること（30 分）	角田
15	【代謝性疾患】　5．近年の糖尿病のトピックス（講義）	予習：事前資料に目を通しておくこと（30 分）　復習:講義資料を基に近年の糖尿病のトピックスについて整理し理解すること（30 分）	角田
成績評価方法と基準			割合
【成績評価】　1．課題、小テストを評価の対象とする＜DP①＞　単位認定のための必要出席回数は「授業時間の 5 分の 4 以上」とする			1.100%

授業科目名	地域理学療法セミナー（理学）				
主担当教員	澤田　優子		担当教員	澤田　優子	
科目ナンバリング	SS20BPTC040	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

小児から老年期まで、地域で生活するすべての世代を対象とした地域理学療法を学ぶ。　地域理学療法の概念および関連制度について理解し、理学療法学的支援の実際を学ぶ。　症例やグループディスカッションを通じて、実践に結び付く知識と技術を習得することを目的とする。

学修目標

１．地域理学療法の概念および関連制度を理解する　２．地域理学療法のトピックを理解する　３．地域理学療法技術としての調査手法を習得する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義前、講義後に教科書および配布資料を読んでおくこと　随時課題を実施する

教科書

適宜資料を配布する

参考書

地域リハビリテーション学テキスト(改訂第 3 版)　備酒伸彦　南江堂　地域リハビリテーション原論 大田 仁史　(著)　医歯薬出版株式会社　地域理学療法学　重森健太(著)　羊土社

研究室／オフィスアワー

月曜日 3 時限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ヘルスプロモーション 1	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
2	ヘルスプロモーション 2	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
3	ヘルスプロモーション 3	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
4	ヘルスプロモーション 4	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
5	ヘルスプロモーション 5	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
6	ヘルスプロモーション 6	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
7	生涯発達ケア 1	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当	澤田

		該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	
8	生涯発達ケア 2	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
9	生涯発達ケア 3	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
10	生涯発達ケア 4	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
11	生涯発達ケア 5	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
12	生涯発達ケア 6	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
13	地域包括ケアシステム 1	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
14	地域包括ケアシステム 2	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
15	地域包括ケアシステム 3	予習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習（1 時間）: 教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
成績評価方法と基準			割合
1. 課題　　2/3 の出席が必要			1. 100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(理学):杉本				
主担当教員	杉本 圭		担当教員	杉本 圭	
科目ナンバリング	SS20BPTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜5限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め，先行研究レビュー，研究計画作成を行う。 学習成果として，研究計画を中間発表会で報告する。 理学療法の分野の中でも特に，「神経発達症児への運動介入の効果に関する研究」「身体活動時にヒトがどこを視ているのかに関する研究」「患者の知覚・認知領域に関する研究」について，理学療法士の評価技術や運動療法の必要性や効果について研究を行う。具体的には，関連分野の基本文献ならびに各自（各グループ）の研究テーマに即した論文を輪読し，各自またはグループ単位で卒業研究に向けた予備的研究を実施する。

学修目標

1．研究倫理について理解することができる。【DP①④】 2．専門領域における資料および文献収集ができる。【DP①④】 3．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。【DP①④】 4．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。【DP①④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

原則的に週1回のペースでゼミを行う。定められたゼミ時間以外でも事前事後学習に積極的に取り組み，何事も楽しむこと。 学生主体のゼミではあるが，各学生の状況に合わせながら，担当教員と報告・連絡・相談をしっかり行いながら進めて行く。

教科書

特に定めない。

参考書

松本茂 他：大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法，玉川大学出版部，2014 佐藤望 編：アカデミック・スキルズ大学生のための知的技法入門 第2版，慶應義塾大学出版会，2012

研究室／オフィスアワー

木曜日 4・5限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション/卒業研究について説明する。	事前学習として，授業において紹介する書籍や資料の事前読了，先行研究の調査と要約を求める場合がある。(1時間) 事後学習として，計画書の作成，データの取りまとめ，プレゼンテーション資料の作成を求める場合がある。(1時間)	杉本 圭
2	卒業論文テーマの見つけ方/テーマの見つけ方について説明する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
3	卒業論文執筆について/論文執筆方法について説明する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
4	文献読解と要約の方法/テキストや文献，論文の読解と要約方法を説明する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
5	文献抄読①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
6	文献抄読②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
7	文献抄読③	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭

8	文献抄読④	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
9	文献抄読⑤	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
10	文献抄読⑥	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
11	研究テーマの検討①/2-3 名ずつ，各自の研究テーマについて発表を行う。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
12	研究テーマの検討②/2-3 名ずつ，各自の研究テーマについて発表を行う。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
13	研究テーマの検討③/2-3 名ずつ，各自の研究テーマについて発表を行う。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
14	研究テーマの決定①/各自，研究テーマについて担当教員と話し合い，決定する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
15	研究テーマの決定②/各自，研究テーマについて担当教員と話し合い，決定する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
16	オリエンテーション/後期の取り組みを説明する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
17	研究テーマ①/2-3 名ずつ，前期で決定した研究テーマのあらましを発表する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
18	研究テーマ②/2-3 名ずつ，前期で決定した研究テーマのあらましを発表する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
19	研究テーマ③/2-3 名ずつ，前期で決定した研究テーマのあらましを発表する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
20	研究計画の仮立案①/教員と話し合いながら，研究計画の仮立案を行う。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
21	研究計画の仮立案②/教員と話し合いながら，研究計画の仮立案を行う。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
22	プレ卒業研究の検討①/準備①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
23	プレ卒業研究の検討②/準備②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
24	プレ卒業研究の実験①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
25	プレ卒業研究の実験②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
26	研究計画書の作成①/担当教員と話し合いをしながら作成する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
27	研究計画書の作成②/担当教員と話し合いをしながら作成する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
28	研究計画書の作成③/担当教員と話し合いをしながら作成する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
29	研究計画書の作成④/担当教員と話し合いをしながら作成する。	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
30	中間報告会	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う。(事前１時間，事後１時間)	杉本　圭
成績評価方法と基準			割合
１．中間報告会での発表＜DP①④＞　２．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　4/5 以上の出席が必要			１．70% ２．30%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（理学):前田				
主担当教員	前田　薫		担当教員	前田　薫／檜垣　奨	
科目ナンバリング	SS20BPTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー、研究計画作成を行う。　学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。　当卒業研究では、立位姿勢制御機構および IT を利用した身体的エクササイズについての検討を大テーマとする。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．専門領域における資料および文献収集ができる。　３．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。　４．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。

教科書

文献、資料、記事等を随時配布する。

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

水曜 13 時～14 時 30 分を基本とするが、事前に予約をすること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	先行研究レビュー①	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
2	先行研究レビュー②	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
3	先行研究レビュー③	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
4	先行研究レビュー④	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
5	先行研究レビュー⑤	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
6	先行研究レビュー⑥	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
7	先行研究レビュー⑦	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記	前田　薫

		録する。(60 分)	
8	先行研究レビュー⑧	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
9	先行研究レビュー⑨	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
10	先行研究レビュー⑨	予習：事前に配布する文献を読み要約を作成する。(60 分)　復習：文献の内容について授業で討論したことを研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
11	研究計画書の作成①	予習：研究計画書をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづいて研究計画書を修正する。(60 分)	前田　薫
12	研究計画書の作成②	予習：研究計画書をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづいて研究計画書を修正する。(60 分)	前田　薫
13	研究計画書の作成③	予習：研究計画書をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづいて研究計画書を修正する。(60 分)	前田　薫
14	研究計画書の作成④	予習：研究計画書をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづいて研究計画書を修正する。(60 分)	前田　薫
15	研究計画書の作成⑤	予習：研究計画書をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづいて研究計画書を修正する。(60 分)	前田　薫
16	研究計画書の作成⑥	予習：研究計画書をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづいて研究計画書を修正する。(60 分)	前田　薫
17	倫理申請書の作成①	予習：研究倫理についての配布資料を読み、それにもとづいて倫理申請書類をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論内容にもとづいて申請書を修正する。(60 分)	前田　薫
18	倫理申請書の作成②	予習：研究倫理についての配布資料を読み、それにもとづいて倫理申請書類をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論内容にもとづいて申請書を修正する。(60 分)	前田　薫
19	倫理申請書の作成③	予習：研究倫理についての配布資料を読み、それにもとづいて倫理申請書類をあらかじめ作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論内容にもとづいて申請書を修正する。(60 分)	前田　薫
20	予備的実験①	予習：予備的実験の手順を確認しておく(60 分)　復習：予備的実験の実施結果から生じた問題点を研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
21	予備的実験②	予習：予備的実験の手順を確認しておく(60 分)　復習：予備的実験の実施結果から生じた問題点を研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
22	予備的実験③	予習：予備的実験の手順を確認しておく(60 分)　復習：予備的実験の実施結果から生じた問題点を研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
23	予備的実験④	予習：予備的実験の手順を確認しておく(60 分)　復習：予備的実験の実施結果から生じた問題点を研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫
24	予備的実験⑤	予習：予備的実験の手順を確認しておく(60 分)　復習：予備的実験の実施結果から生じた問題点を研究ノートに記録する。(60 分)	前田　薫

25	研究計画の修正①	予習：予備的実験の結果にもとづき、研究計画の修正案をつくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづき、研究計画を修正する。(60 分)	前田　薫
26	研究計画の修正②	予習：予備的実験の結果にもとづき、研究計画の修正案をつくる。(60 分)　復習：授業での討論にもとづき、研究計画を修正する。(60 分)	前田　薫
27	研究計画のプレゼンテーションの準備①	予習：研究計画のプレゼンテーションのスライドを作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にとづいて、スライドの修正を行う。(60 分)	前田　薫
28	研究計画のプレゼンテーションの準備②	予習：研究計画のプレゼンテーションのスライドを作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にとづいて、スライドの修正を行う。(60 分)	前田　薫
29	研究計画のプレゼンテーションの準備③	予習：研究計画のプレゼンテーションのスライドを作成してくる。(60 分)　復習：授業での討論にとづいて、スライドの修正を行う。(60 分)	前田　薫
30	研究計画のプレゼンテーション	予習：プレゼンテーションの練習（60 分） 復習：質疑応答の内容をもとに研究計画の修正が必要であればそれを行う。(60 分)	前田　薫
成績評価方法と基準			割合
１．中間報告会での発表＜DP①④＞ 70%　２．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞ 30%　4/5 以上の出席が必要			１．中間報告会での発表 70%　２．ゼミ内でのディスカッション 30%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（理学）:澤田				
主担当教員	澤田　優子		担当教員	澤田　優子	
科目ナンバリング	SS20BPTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー、研究計画作成を行う。　学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。　研究テーマは、小児の理学療法および地域で実施する健康増進などとする。　研究手法として、調査研究を実施する。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．専門領域における資料および文献収集ができる。　３．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。　４．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。

教科書

配布資料、文献など

参考書

随時紹介する

研究室／オフィスアワー

月曜日１限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの決定（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
2	研究テーマの決定（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
3	研究テーマの決定（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
4	研究テーマの決定（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
5	研究テーマの決定（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
6	関心領域の文献検討（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
7	関心領域の文献検討（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
8	関心領域の文献検討（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
9	関心領域の文献検討（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
10	関心領域の文献検討（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
11	研究計画作成（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
12	研究計画作成（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
13	研究計画作成（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田

14	研究計画作成（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
15	研究計画作成（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
16	倫理審査申請（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
17	倫理審査申請（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
18	倫理審査申請（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
19	倫理審査申請（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
20	倫理審査申請（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
21	予備調査（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
22	予備調査（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
23	予備調査（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
24	予備調査（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
25	予備調査（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
26	中間報告会準備（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
27	中間報告会準備（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
28	中間報告会準備（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
29	中間報告会準備（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
30	中間報告会準備（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　実施テーマに関する事前、事後の自己学習を行う	澤田
成績評価方法と基準			割合
１．中間報告会での発表＜DP①④＞　　２．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　　4/5 以上の出席が必要			１．70% ２．30%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(理学):工藤				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎／河西　謙吾／中田　光海／沼澤　俊	
科目ナンバリング	SS20BPTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー、研究計画作成を行う。　学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。　　運動器系理学療法・スポーツ理学療法の臨床研究，基礎研究を行います．三次元動作解析，超音波エコーを用いた運動解析を行います．運動器理学療法やスポーツ理学療法に興味のある学生が履修することを望みます．

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．専門領域における資料および文献収集ができる。　３．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。　４．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。　　特に運動器・スポーツ理学療法に関わるテーマの臨床研究・基礎研究に関わります．

教科書

特に指定はありません．ゼミ活動の進捗に応じて適宜必要な資料は指導教員から提示します．

参考書

特に指定はありません．ゼミ活動の進捗に応じて適宜必要な資料は指導教員から提示します．

研究室／オフィスアワー

木曜日 4－5 限　東棟 4F17 研究室（要事前アポイントメント）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマ決定のための文献抄読と講義	研究テーマに関する文献検索	工藤　慎太郎
2	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
3	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
4	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
5	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
6	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
7	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
8	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
9	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
10	研究テーマ決定のための文献抄読と講義		工藤　慎太郎
11	実験仮説と方法の立案		工藤　慎太郎
12	実験仮説と方法の立案		工藤　慎太郎
13	実験仮説と方法の立案		工藤　慎太郎
14	プレ実験		工藤　慎太郎

15	プレ実験		工藤　慎太郎
16	実験計画書作成		工藤　慎太郎
17	実験計画書作成		工藤　慎太郎
18	実験計画書作成		工藤　慎太郎
19	実験計画書作成		工藤　慎太郎
20	実験開始		工藤　慎太郎
21	実験開始		工藤　慎太郎
22	実験開始		工藤　慎太郎
23	実験開始		工藤　慎太郎
24	実験開始		工藤　慎太郎
25	実験開始		工藤　慎太郎
26	実験開始		工藤　慎太郎
27	実験開始		工藤　慎太郎
28	実験開始		工藤　慎太郎
29	実験開始		工藤　慎太郎
30	実験結果のまとめ		工藤　慎太郎
成績評価方法と基準			割合
１．中間報告会での発表＜DP①④＞ 70%　２．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞ 30%　4/5 以上の出席が必要			中間報告会１００％

授業科目名	卒業研究Ⅰ（理学):木内				
主担当教員	木内　隆裕		担当教員	木内　隆裕／仲本　正美／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー、研究計画作成を行う。学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。ヒトを対象とした実験研究（主に神経生理学、実験心理学）の初歩について学び、シンプルな実験を計画することを目標とする。その目標達成のため、各自の進捗状況に合わせて適宜、課題を課す（英語論文の部分抄読を含む)。

学修目標

1．研究倫理について理解することができる。　2．専門領域における資料および文献収集ができる。　3．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。　4．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。　【DP①④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

･3 年次前期の選択科目「統計学」の履修を推奨する。　･指導教員への報告・連絡・相談を意識的に行うこと。　･実験補助には積極的に参加し、互いに助け合うこと。　･プレゼンテーション課題が課されたときは自ら資料を提出して添削を受けること。　･実験機器は丁寧かつ慎重に扱うこと。

教科書

① 市橋則明(編)．運動療法学．障害別アプローチの理論と実際．第 2 版，文光堂，2014.

参考書

1)　水野昇，野村嶬，三谷章(監訳)．臨床神経科学とリハビリテーション．西村書店，2020.　2)　神田善伸(著)．フリー統計ソフト EZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析．第 1 版，南江堂，2014.

研究室／オフィスアワー

随時（ただし、授業及び会議の時間以外）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究入門①：研究テーマ考案の準備	予習：教員が設定している範囲内で研究テーマを考える。　復習：授業内容を踏まえて研究テーマを再考する。	木内　隆裕
2	卒業研究入門②：研究倫理	予習：教員が設定している範囲内で研究テーマを考える。　復習：授業内容を踏まえて研究テーマを再考する。	木内　隆裕
3	卒業研究入門③：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	木内　隆裕
4	卒業研究入門④：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	木内　隆裕
5	卒業研究入門⑤：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	木内　隆裕
6	卒業研究入門⑥：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	木内　隆裕
7	卒業研究入門⑦：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作	木内　隆裕

		成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	
8	卒業研究入門⑧：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	木内　隆裕
9	卒業研究入門⑨：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	木内　隆裕
10	卒業研究入門⑩：研究デザイン、研究論文	予習：自由に論文を探し、説明用資料を作成する。また、指定された研究デザインの説明用資料を作成する。　復習：指摘・質問を受けた箇所について調べ直す。	木内　隆裕
11	研究内容に関するディスカッション①	予習：関心のある研究を検索し、抄録を読んでおく。　復習：特に関心をもった発表、講演、シンポジウムなどについて説明できるようにしておく。	木内　隆裕
12	研究内容に関するディスカッション②	予習：特に関心をもった発表、講演、シンポジウムなどについての説明用資料を準備する。　復習：他のメンバーの発表内容のうち、理解できなかった箇所を見直しておく。	木内　隆裕
13	実験の練習①	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
14	実験の練習②	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
15	実験の練習③	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
16	実験の練習④	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
17	予備実験および研究内容の具体化①	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
18	予備実験および研究内容の具体化②	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
19	予備実験および研究内容の具体化③	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
20	予備実験および研究内容の具体化④	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
21	予備実験および研究内容の具体化⑤	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
22	予備実験および研究内容の具体化⑥	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
23	予備実験および研究内容の具体化⑦	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
24	予備実験および研究内容の具体化⑧	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
25	中間報告会用スライド作成①	予習：中間報告会用スライドの作成を進め、繰り返し添削を受ける。　復習：添削された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕

26	中間報告会用スライド作成②	予習：中間報告会用スライドの作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
27	中間報告会用スライド作成③	予習：中間報告会用スライドの作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
28	中間報告会（予演会）	予習：中間報告会用スライドを事前に完成させ、分担発表の練習を行う。 復習：予演会で指摘された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
29	中間報告会	予習：中間報告会用スライドを事前に完成させ、分担発表の練習を行う。 復習：中間報告会で指摘された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
30	研究計画の修正	予習：中間報告会で指摘された箇所についてスライドを修正するとともに、研究計画を修正する。 復習：添削された箇所をできるかぎり早く修正し、期日までに提出する。	木内　隆裕
成績評価方法と基準			割合
１．中間報告会での発表＜DP①④＞　２．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　4/5 以上の出席が必要			１．70% ２．30%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（理学):堀				
主担当教員	堀　竜次		担当教員	堀　竜次／角田　晃啓／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー、研究計画作成を行う。　学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。　呼吸理学療法トピックスを知るため、呼吸理学療法講習会等へ参加する。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。〈DP①〉　２．専門領域における資料および文献収集ができる。〈DP①④〉　３．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。〈DP①④〉　４．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員と話し合って研究活動を進めるが、学生自身が主体的に取り込むこと。

教科書

教科書を使用しない　資料は随時配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

金曜日３・４限（研究室)、それ以外は個別に相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
2	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
3	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
4	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
5	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
6	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
7	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
8	研究課題の決定と情報収集	文献を検索、整理しておく	堀
9	研究計画およびスケジュール立案	配布資料を読んでおく	堀
10	研究計画およびスケジュール立案	配布資料を読んでおく	堀
11	研究計画およびスケジュール立案	配布資料を読んでおく	堀
12	研究計画およびスケジュール立案	配布資料を読んでおく	堀
13	研究計画およびスケジュール立案	配布資料を読んでおく	堀
14	研究計画およびスケジュール立案	配布資料を読んでおく	堀
15	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀

16	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀
17	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀
18	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀
19	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀
20	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀
21	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀
22	パイロット・スタディの実施	測定機器等の準備を行う	堀
23	研究計画書作成とプレゼンテーション	プレゼンテーション事前準備を行う	堀
24	研究計画書作成とプレゼンテーション	プレゼンテーション事前準備を行う	堀
25	研究計画書作成とプレゼンテーション	プレゼンテーション事前準備を行う	堀
26	研究計画書作成とプレゼンテーション	プレゼンテーション事前準備を行う	堀
27	研究計画書作成とプレゼンテーション	プレゼンテーション事前準備を行う	堀
28	研究計画書作成とプレゼンテーション	プレゼンテーション事前準備を行う	堀
29	研究計画書作成とプレゼンテーション	プレゼンテーション事前準備を行う	堀
30	中間報告会発表	発表後、意見をもとに計画書を修正する	堀
成績評価方法と基準			割合
１．提出された研究計画書の内容を評価対象とする　２．中間報告会での発表および討議内容を評価対象とする　３．単位認定のための必要出席回数は、4/5 以上とする〈DP①④〉			1.50%　2.50%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(理学):三木屋				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔	
科目ナンバリング	SS20BPTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー、研究計画作成を行う。　学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。　本ゼミのメインテーマは、教育支援活動である。その中で若者から高齢者を対象に、骨格筋増強、運動耐容能向上、QOL 向上、栄養に関する教育、支援につながる研究を展開する。特に地域高齢者の介護予防については、高齢者の行動変容を生み出す動画作成やシステム作りも目指す。更に、後輩への実技指導教育など人材育成手法についても学ぶ。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。〈DP①④〉　２．専門領域における資料および文献収集ができる。〈DP①④〉　３．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。〈DP①④〉　４．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．グループ討議には積極的に参加すること。　２．指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。　３．自身が知りたいことを具現化する努力をすること。

教科書

無し

参考書

市橋則明　著：運動療法学．文光堂　鈴木隆雄　監修：完全版介護予防マニュアル．法研

研究室／オフィスアワー

火曜日午後、金曜日以外の時間に予めアポイントを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ゼミオリエンテーション	予習：シラバス・年間行動予定の確認（１時間）　復習：年間行動予定の立案（１時間）	三木屋
2	研究概論	予習：研究課題を考えておく（１時間） 復習：研究課題のデザインを確認（１時間）	三木屋
3	体操実技演習	予習：予防体操を予習する（１時間）　復習：体操の確認（１時間）	三木屋
4	地域介護予防活動１	予習：予防体操の準備（１時間）　復習：予防体操の振り返り（１時間）	三木屋
5	筋力測定実技演習	予習：MMT について予習しておく（１時間）　復習：検査の注意事項振り返り（１時間）	三木屋
6	可動域測定実技演習	予習：ROM-T を予習しておく（１時間） 復習：検査の注意事項振り返り（１時間）	三木屋
7	文献抄読会 1	予習：高齢者認知症に関する課題文献を予習しておく（１時間）　復習：高齢者認知症に関する課題文献を読み直す（１時間）	三木屋
8	文献抄読会 2	予習：要介護に関する課題文献を予習しておく（１時間）　復習：要介護に関する課題文献を読み直す（１時間）	三木屋

9	文献抄読会 3	予習：熱中症に関する課題文献を予習しておく（１時間）　復習 : 熱中症に関する課題文献を読み直す（１時間）	三木屋
10	文献抄読会４	予習 : 関節トルクについて予習しておく（１時間）　復習 : 筋力測定器の使用方法振り返り（１時間）	三木屋
11	文献抄読会５	予習：高齢者運動習慣と抑うつに関する課題文献を予習しておく（１時間）　復習 : 高齢者運動習慣と抑うつに関する課題文献を読み直す（１時間）	三木屋
12	文献抄読会６	予習：高齢者筋力トレーニングに関する文献を予習しておく（１時間）　復習 : 高齢者筋力トレーニングに関する文献を読み直す（１時間）	三木屋
13	文献抄読会７	予習：高齢者骨折術後の栄養摂取に関する文献を予習しておく（１時間）　復習 : 高齢者骨折術後の栄養摂取に関する文献を読み直す（１時間）	三木屋
14	症例検討会	予習：臨床データに妥当性ついて予習しておく（１時間）　復習 : 臨床データの信頼性について復習する（１時間）	三木屋
15	4 年生発表会	予習：発表会に参加し質問を考える（１時間）　復習：発表内容の振り返り（１時間）	三木屋
16	研究デザインの具体化	予習：研究デザインのテーマを予め絞っておく（１時間）　復習 : 研究デザイン作成を修正する（１時間）	三木屋
17	研究デザインの想起	予習：研究デザインのテーマを複数想起する（１時間）　復習 : 研究デザインテーマの振り返り（１時間）	三木屋
18	実習の準備	予習 : 臨床に役立つ文献を整理しておく（１時間）　復習 : 臨床に役立つ文献を読み直す（1 時間）	三木屋
19	臨床での評価実技演習	予習：臨床で必要な評価項目を想起しておく（１時間）　復習 : 臨床での評価実技のポイントを整理する（１時間）	三木屋
20	研究背景について	予習 : 研究背景について予習しておく（１時間）　復習 : 研究背景について確認する（１時間）	三木屋
21	研究デザインにおける対象・方法について	予習 : 研究の対象確保・実現性について予習しておく（１時間）　復習 : 実現性について確認する（１時間）	三木屋
22	地域介護予防活動２	予習：予防体操の準備（１時間）　復習 : 予防体操の振り返り（１時間）	三木屋
23	研究アウトカムについて	予習：研究方法のアウトカムについて予習しておく（１時間）　復習 : アウトカムについて確認する（１時間）	三木屋
24	アウトカムの妥当性、信頼性について	予習 : アウトカムの妥当性、信頼性について予習しておく（１時間）　復習 : アウトカムについて確認する（１時間）	三木屋
25	地域介護予防活動３	予習：予防体操の準備（１時間）　復習 : 予防体操の振り返り（１時間）	三木屋
26	研究計画作成 1	予習：実施予定の研究計画を立てる。（１時間）　復習：実施予定の研究計画を確認する。（１時間）	三木屋
27	研究計画作成 2	予習：実施予定の研究計画を立てる。（１時間）　復習：実施予定の研究計画を確認する。（１時間）	三木屋
28	研究計画作成 3	予習：実施予定の研究計画を立てる。（１時間）　復習：実施予定の研究計画を確認する。（１時間）	三木屋
29	倫理委員会申請書類の作成	予習 : 倫理委員会申請書類の準備をする（１時間）　復習：倫理委員会申請書類の確認（１時間）	三木屋

30	中間発表会	予習：中間発表会の準備をする（１時間） 復習：中間発表会の反省（１時間）	三木屋
成績評価方法と基準			割合
１．中間報告会での発表＜DP①④＞　　２．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　　4/5 以上の出席が必要			１．中間報告会７０％ ２．ゼミ内でのディスカッション３０％

授業科目名	卒業研究Ⅱ（理学）:森谷				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究を進め、学習成果として、卒業論文を作成する。　動物実験により口腔顔面領域の感覚情報伝達、運動制御に関わる神経機構の解明を目指す。動物実験の実施に関わる倫理規程等を習得すると共に、基本的な実験手技、データの記録と取りまとめ、実験結果の整理について学ぶ。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．研究計画に基づき、研究をすすめることができる。　３．収集したデータを解析、解釈し、論理的解釈にもとづき論文執筆ができる。　４．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。　　動物実験に関わる教育訓練を受講すること。

教科書

教科書として指定する書物はないが、必要に応じて資料等を配布する。

参考書

必要に応じて資料等を配布する。

研究室／オフィスアワー

葵棟５階研究室１（森谷研究室）　原則、月曜日～木曜日の昼休み時間帯は研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	学生は、学修目標が達成できるよう、ゼミ担当教員と密に連絡をとり、学修計画を立てる。卒業研究Ⅰの中間報告会での成果発表内容を検証し、必要に応じて研究計画の修正を行う。	計画を立て、実施しする。	森谷
2	動物実験①（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
3	動物実験②（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
4	動物実験③（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
5	動物実験④（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
6	動物実験⑤（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
7	動物実験⑥（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
8	動物実験⑦（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
9	動物実験⑧（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
10	動物実験⑨（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
11	動物実験⑩（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷

12	動物実験⑪（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
13	動物実験⑫（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
14	これまでのデータ整理	これまでの収集データを取りまとめて、研究指導者と内容を検証できるように整理しておくこと。	森谷
15	動物実験⑬（データ収集）	前回のデータの取りまとめで明らかとなった問題点を修正する。適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
16	動物実験⑭（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
17	動物実験⑮（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
18	動物実験⑯（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
19	動物実験⑰（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
20	動物実験⑱（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
21	動物実験⑲（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
22	動物実験⑳（データ収集）	適正な実験の実施と正確な記録を取れるように準備しておくこと。	森谷
23	動物実験の経過と結果の整理	研究指導者に動物実験の経過と結果を説明できるように準備しておくこと。	森谷
24	動物実験結果の整理（統計処理）	研究指導者と共に実験結果の統計処理ができるように準備しておくこと。	森谷
25	動物実験結果の整理（図表の作成）	研究指導者と共に実験結果を図表にまとめることができるように準備しておくこと。	森谷
26	卒業論文の作成（緒言、材料と方法）	研究指導者の指導の下、「緒言」と「材料と方法」を記述することができるように準備しておくこと。	森谷
27	卒業論文の作成（結果、図表）	研究指導者の指導の下、「結果」と説明用の図表を記載できるように準備しておくこと。	森谷
28	卒業論文の作成（考察、図表）	研究指導者の指導の下、「考察」と説明用の図表を記載できるように準備しておくこと。	森谷
29	卒業論文の作成（引用文献、要約）	研究指導者の指導の下、「引用文献」と「要約」を記述することができるように準備しておくこと。	森谷
30	卒業論文の作成（最終）と報告会の準備	卒業論文の内容を確認すると共に、発表会の準備をしておくこと。	森谷
成績評価方法と基準			割合
最終報告会での発表、卒業論文（抄録を含む）を評価対象とする　4/5 以上の出席が必要　動物実験に関わる教育訓練を受講すること　①最終報告会での発表　②卒業論文（抄録を含む）			①50% ②50%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(理学):杉本				
主担当教員	杉本 圭		担当教員	杉本 圭	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め，先行研究レビュー，研究計画作成を行う． 学習成果として，研究計画を中間発表会で報告する． 理学療法の分野の中でも特に，「神経発達症児への運動介入の効果に関する研究」「身体活動時にヒトがどこを視ているのかに関する研究」「患者の知覚・認知領域に関する研究」について，理学療法士の評価技術や運動療法の必要性や効果について研究を行う．具体的には，関連分野の基本文献ならびに各自（各グループ）の研究テーマに即した論文を輪読し，各自またはグループ単位で卒業研究に向けた予備的研究を実施する．卒業研究Ⅰと卒業研究Ⅱを通じた最終的な成果物として，各自（各グループ）の研究テーマについての卒業論文と発表を行ってもらう．

学修目標

1．研究倫理について理解することができる．【DP①④】 2．研究計画に基づき，研究をすすめることができる．【DP①④】 3．収集したデータを解析，解釈し，論理的解釈にもとづき論文執筆ができる．【DP①④】 4．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる．【DP①④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

原則的に週1回のペースでゼミを行う．定められたゼミ時間以外でも事前事後学習に積極的に取り組み，何事も楽しむこと． 学生主体のゼミではあるが，各学生の状況に合わせながら，担当教員と報告・連絡・相談をしっかり行いながら進めて行く．

教科書

特に定めない．

参考書

小笠原喜康：新版 大学生のためのレポート・論文術，講談社現代新書，2009 戸田山和久：論文の教室 レポートから卒論まで，NHK ブックス，2010

研究室／オフィスアワー

木曜日：4・5限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション/卒業研究Ⅱについて詳細を説明する．	事前学習として，授業において紹介する書籍や資料の事前読了，先行研究の調査と要約を求める場合がある．(1時間) 事後学習として，計画書の作成，データの取りまとめ，プレゼンテーション資料の作成を求める場合がある．(1時間)	杉本 圭
2	研究構想の紹介①/2-3 名ずつ，各自の研究計画を発表する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
3	研究構想の紹介②/2-3 名ずつ，各自の研究計画を発表する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
4	研究構想の紹介③/2-3 名ずつ，各自の研究計画を発表する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
5	研究計画の確認①/担当教員と研究計画について最終確認を行う．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭
6	研究計画の確認②/担当教員と研究計画について最終確認を行う．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．(事前1時間，事後1時間)	杉本 圭

7	卒業研究の実験①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
8	卒業研究の実験②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
9	卒業研究の実験③	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
10	卒業研究の実験④	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
11	卒業研究の実験データの確認①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
12	卒業研究の実験データの確認②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
13	卒業研究の実験データの分析方針の確認①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
14	卒業研究の実験データの分析方法の確認②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
15	発表会/進捗状況の発表を行う．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
16	オリエンテーション/論文執筆方法について再度，説明する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
17	卒業研究の実験データの分析①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
18	卒業研究の実験データの分析②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
19	卒業論文の構想の検討①/2-3 名ずつ，各自の卒業論文の構想について発表を行う．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
20	卒業論文の構想の検討②/2-3 名ずつ，各自の卒業論文の構想について発表を行う．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
21	卒業論文の構想の検討③/2-3 名ずつ，各自の卒業論文の構想について発表を行う．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
22	卒業論部執筆①/担当教員と相談をしながら執筆する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
23	卒業論部執筆②/担当教員と相談をしながら執筆する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
24	卒業論部執筆③/担当教員と相談をしながら執筆する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
25	卒業論部執筆④/担当教員と相談をしながら執筆する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
26	発表会/進捗状況の発表を行う．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
27	卒業論部執筆⑤/担当教員と相談をしながら執筆する．	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
28	卒業論文のまとめと最終報告会の準備①	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
29	最終報告会の準備②	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
30	最終報告会	実施テーマに関する事前，事後の自己学習を行う．（事前１時間，事後１時間）	杉本　圭
成績評価方法と基準			割合
１．卒業論文抄録＜DP①＞　２．最終報告会での発表＜DP①④＞　３．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　4/5 以上の出席が必要			１．40% ２．40% ３．20%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（理学）:角田				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究を進め、学習成果として、卒業論文を作成する。

学修目標

1．研究倫理について理解することができる。<DP①>　2．研究計画に基づき、研究をすすめることができる。<DP①④>　3．収集したデータを解析、解釈し、論理的解釈にもとづき論文執筆ができる。<DP①④>　4．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。<DP④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。

教科書

特に無し

参考書

適宜必要な文献を探すこと

研究室／オフィスアワー

在室時は随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	本実験①	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
2	本実験②	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
3	本実験③	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
4	本実験④	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
5	本実験⑤	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
6	データの見直し①	必要に応じて計画を修正する	角田　晃啓
7	データの見直し②	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
8	本実験⑥	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
9	本実験⑦	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
10	本実験⑧	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
11	本実験⑨	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
12	本実験⑩	計画を立て、実施する。	角田　晃啓
13	統計解析①	自身の研究に必要な統計手法を選択する	角田　晃啓
14	統計解析②	自身の研究に必要な統計手法を理解し、解析を行う	角田　晃啓
15	統計解析③	自身の研究に必要な統計解析を実行し、結	角田　晃啓

		果の解釈を行う	
16	論文作成①	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
17	論文作成②	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
18	論文作成③	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
19	論文作成④	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
20	論文作成⑤	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
21	論文作成⑥	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
22	論文作成⑦	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
23	論文作成⑧	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
24	論文作成⑨	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
25	論文作成⑩	適宜関連領域の研究を review する	角田　晃啓
26	研究発表①	プレゼンテーションの準備を行う	角田　晃啓
27	研究発表②	プレゼンテーションの準備を行う	角田　晃啓
28	研究発表③	プレゼンテーションの準備を行う	角田　晃啓
29	研究報告会①	プレゼンテーションの準備を行う	角田　晃啓
30	研究報告会②	プレゼンテーションの準備を行う	角田　晃啓
成績評価方法と基準			割合
１．卒業論文抄録＜DP①＞　２．最終報告会での発表＜DP①④＞　３．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　4/5 以上の出席が必要			１．40% ２．40% ３．20%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（理学）:澤田				
主担当教員	澤田　優子		担当教員	澤田　優子／角田　晃啓	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究を進め、学習成果として、卒業論文を作成する。　研究テーマは、小児の理学療法および地域で実施する健康増進などとする。　研究手法として、調査研究を実施する。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．研究計画に基づき、研究をすすめることができる。　３．収集したデータを解析、解釈し、論理的解釈にもとづき論文執筆ができる。　４．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。

教科書

配布資料、文献など

参考書

随時紹介する

研究室／オフィスアワー

月曜日 1 時限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	データ収集（１）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
2	データ収集（２）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
3	データ収集（３）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
4	データ収集（４）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
5	データ収集（５）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
6	データ解析（１）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
7	データ解析（２）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
8	データ解析（３）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
9	データ解析（４）	＜予習 1 時間・復習 1 時間＞　事前準備、	澤田

		事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	
10	データ解析（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
11	最終報告会準備（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
12	最終報告会準備（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
13	最終報告会準備（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
14	最終報告会準備（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
15	最終報告会準備（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
16	文献検討（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
17	文献検討（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
18	文献検討（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
19	文献検討（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
20	文献検討（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
21	論文執筆（１）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
22	論文執筆（２）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
23	論文執筆（３）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
24	論文執筆（４）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
25	論文執筆（５）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
26	論文執筆（６）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
27	論文執筆（７）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
28	論文執筆（８）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
29	論文執筆（９）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田

30	論文執筆（１０）	＜予習１時間・復習１時間＞　事前準備、事後の整理を行い、計画を立てて研究を進める	澤田
成績評価方法と基準			割合
１．卒業論文抄録＜DP①＞　２．最終報告会での発表＜DP①④＞　３．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　4/5 以上の出席が必要			１．40% ２．40% ３．20%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（理学):工藤				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎／河西　謙吾／中田　光海／沼澤　俊	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究を進め、学習成果として、卒業論文を作成する。　運動器系理学療法・スポーツ理学療法の臨床研究，基礎研究を行います．三次元動作解析，超音波エコーを用いた運動解析を行います．運動器理学療法やスポーツ理学療法に興味のある学生が履修することを望みます.

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．研究計画に基づき、研究をすすめることができる。　３．収集したデータを解析、解釈し、論理的解釈にもとづき論文執筆ができる。　４．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。　研究成果の外部への公開（学会発表）を積極的に進めましょう.

教科書

特になし．必要資料は指導教員から適宜配布します.

参考書

特になし．必要なものは適宜，指導教員から配布します.

研究室／オフィスアワー

個別にアポイントメントを取って応じます.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	追加実験	計画を立て、実施する。	工藤　慎太郎
2	追加実験		工藤　慎太郎
3	追加実験		工藤　慎太郎
4	追加実験		工藤　慎太郎
5	追加実験		工藤　慎太郎
6	追加実験		工藤　慎太郎
7	追加実験まとめ		工藤　慎太郎
8	追加実験まとめ		工藤　慎太郎
9	卒業論文作成		工藤　慎太郎
10	卒業論文作成		工藤　慎太郎
11	卒業論文作成		工藤　慎太郎
12	プレゼンテーション資料作成		工藤　慎太郎
13	プレゼンテーション資料作成		工藤　慎太郎

14	プレゼンテーション資料作成		工藤　慎太郎
15	プレゼンテーション資料作成		工藤　慎太郎
16	プレゼンテーション資料作成		工藤　慎太郎
17	プレゼンテーション練習		工藤　慎太郎
18	プレゼンテーション練習		工藤　慎太郎
19	プレゼンテーション練習		工藤　慎太郎
20	プレゼンテーション練習		工藤　慎太郎
21	卒業研究発表予演		工藤　慎太郎
22	追加データ分析		工藤　慎太郎
23	追加データ分析		工藤　慎太郎
24	追加データ分析		工藤　慎太郎
25	追加データ分析		工藤　慎太郎
26	卒業研究発表予演		工藤　慎太郎
27	卒業研究発表会		工藤　慎太郎
28	卒業論文修正		工藤　慎太郎
29	卒業論文修正		工藤　慎太郎
30	卒業論文完成		工藤　慎太郎
成績評価方法と基準			割合
１．卒業論文抄録＜DP①＞ 40%　２．最終報告会での発表＜DP①④＞ 40%　３．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞ 20%　4/5 以上の出席が必要			卒業論文１００%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(理学):木内				
主担当教員	木内　隆裕		担当教員	木内　隆裕／仲本　正美／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究を進め、学習成果として、卒業論文を作成する。ヒトを対象とした実験研究（主に神経生理学、実験心理学）で得られたデータを統計学的に解析し、その結果を丁寧に洞察しながら論文にまとめることを目標とする。その目標達成のため、各自の進捗状況に合わせて、ラボのメンバーでデータ検討を重ねる（プレゼンテーションを含む）。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．研究計画に基づき、研究をすすめることができる。　３．収集したデータを解析、解釈し、論理的解釈にもとづき論文執筆ができる。　４．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。　【DP①④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・指導教員への報告・連絡・相談を意識的に行うこと。　・実験補助には積極的に参加し、互いに助け合うこと。　・プレゼンテーション課題が課されたときは、資料を自分で準備すること。　・実験機器は丁寧かつ慎重に扱うこと。

教科書

① 市橋則明(編). 運動療法学. 障害別アプローチの理論と実際. 第 2 版, 文光堂, 2014.

参考書

1) 水野昇, 野村嶬, 三谷章(監訳). 臨床神経科学とリハビリテーション. 西村書店, 2020. 2) 神田善伸(著). フリー統計ソフト EZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析. 第 1 版, 南江堂, 2014.

研究室／オフィスアワー

随時（ただし、授業及び会議の時間以外）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究計画に基づく実験①	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
2	研究計画に基づく実験②	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
3	研究計画に基づく実験③	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
4	研究計画に基づく実験④	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
5	研究計画に基づく実験⑤	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
6	研究計画に基づく実験⑥	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
7	研究計画に基づく実験⑦	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕

8	研究計画に基づく実験⑧	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。　復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
9	研究計画に基づく実験⑨	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
10	研究計画に基づく実験⑩	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
11	研究計画に基づくテータ解析①	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
12	研究計画に基づくテータ解析②	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
13	研究計画に基づくテータ解析③	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
14	研究計画に基づくテータ解析④	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
15	研究計画に基づくテータ解析⑤	予習：実験に必要な知識を整理し、必要な物品や書類を準備する。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
16	研究計画に基づくテータ解析⑥	予習：解析のためにノート PC を持参し、分からない点を明らかにしておく。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
17	研究計画に基づくテータ解析⑦	予習：解析のためにノート PC を持参し、分からない点を明らかにしておく。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
18	研究発表ポスターの作成①	予習：解析のためにノート PC を持参し、分からない点を明らかにしておく。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
19	研究発表ポスターの作成②	予習：解析のためにノート PC を持参し、分からない点を明らかにしておく。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
20	研究発表ポスターの作成③	予習：解析のためにノート PC を持参し、分からない点を明らかにしておく。 復習：実験ノートに記録する。	木内　隆裕
21	最終発表スライド作成①	予習：最終発表会用スライドの作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する	木内　隆裕
22	最終発表スライド作成②	予習：最終発表会用スライドの作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する	木内　隆裕
23	最終発表スライド作成③	予習：最終発表会用スライドの作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する	木内　隆裕
24	最終発表会（予演会）	予習：最終発表会用スライドの作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する	木内　隆裕
25	最終発表会	予習：最終発表会用スライドを事前に完成させ、分担発表の練習を行う。 復習：予演会で指摘された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
26	卒業研究抄録の作成①	予習：論文と抄録の作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
27	卒業研究抄録の作成②	予習：論文と抄録の作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
28	卒業研究抄録の作成③	予習：論文と抄録の作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習：添削された箇所につい	木内　隆裕

		て修正し、提出する。	
29	卒業研究抄録の作成④	予習:論文と抄録の作成を進め、繰り返し添削を受ける。 復習:添削された箇所について修正し、提出する。	木内　隆裕
30	卒業研究抄録の作成⑤	予習:論文と抄録の作成を進め、両方とも期日までに完成させる。 復習:所定の書式との整合性を確認し、最終版を提出する。	木内　隆裕
成績評価方法と基準			割合
１．卒業論文抄録＜DP①＞　40%　２．最終報告会での発表＜DP①④＞　40%　３．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　20%　4/5 以上の出席が必要			１．40% ２．40% ３．20%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（理学):前田				
主担当教員	前田　薫		担当教員	前田　薫／檜垣　奨	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究を進め、学習成果として、卒業論文を作成する。　当卒業研究では、立位姿勢制御機構、またはIT を利用した身体的エクササイズについての検討を大テーマとする。

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。　２．研究計画に基づき、研究をすすめることができる。　３．収集したデータを解析、解釈し、論理的解釈にもとづき論文執筆ができる。　４．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。

教科書

文献、資料、記事等を随時配布する。

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

水曜 13 時～14 時 30 分とするが、事前に予約をすること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実験の準備と実施①	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間)。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間)。	前田　薫
2	実験の準備と実施②	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間)。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間)。	前田　薫
3	実験の準備と実施③	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間)。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間)。	前田　薫
4	実験の準備と実施④	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間)。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間)。	前田　薫
5	実験の準備と実施⑤	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間)。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間)。	前田　薫

6	実験の準備と実施⑥	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間）。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間）。	前田　薫
7	実験の準備と実施⑦	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間）。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間）。	前田　薫
8	実験の準備と実施⑧	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間）。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間）。	前田　薫
9	実験の準備と実施⑨	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間）。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録し、次回の実験で修正できるよう準備する（１時間）。	前田　薫
10	実験の準備と実施⑩	予習：計画にもとづいた実験の準備を行い手順を確認しておく（１時間）。　復習：実験の実施全般にわたる問題点を研究ノートに記録する（１時間）。	前田　薫
11	データ分析①	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１時間）。	前田　薫
12	データ分析②	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１時間）。	前田　薫
13	データ分析③	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１時間）。	前田　薫
14	データ分析④	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１時間）。	前田　薫
15	データ分析⑤	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１時間）。	前田　薫
16	データ分析⑥	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１時間）。	前田　薫
17	データ分析⑦	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１時間）。	前田　薫
18	データ分析⑧	予習：データの分析手順を確認してくる（１時間）。　復習：授業において担当教員から得たアドバイスをもとに、分析手順を見直し、それにもとづいたデータ分析を行う（１	前田　薫

		時間)。	
19	データの解釈と論文作成①	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
20	データの解釈と論文作成②	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
21	データの解釈と論文作成③	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
22	データの解釈と論文作成④	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
23	データの解釈と論文作成⑤	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
24	データの解釈と論文作成⑥	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
25	データの解釈と論文作成⑦	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
26	データの解釈と論文作成⑧	予習:データの分析結果の解釈を考え、研究ノートに記載してくる（１時間)。　復習：授業における討論にもとづいて論文を作成する（１時間)。	前田　薫
27	研究プレゼンテーションの準備①	予習：研究全般にわたるプレゼンテーションのスライドを作成してくる（１時間)。 復習:授業での討論にもとづいて、スライドを修正する（１時間)。	前田　薫
28	研究プレゼンテーションの準備②	予習：研究全般にわたるプレゼンテーションのスライドを作成してくる（１時間)。 復習:授業での討論にもとづいて、スライドを修正する（１時間)。	前田　薫
29	研究プレゼンテーションの準備③	予習：研究全般にわたるプレゼンテーションのスライドを作成してくる（１時間)。 復習:授業での討論にもとづいて、スライドを修正する（１時間)。	前田　薫
30	研究プレゼンテーションの実施	予習：プレゼンテーションの練習（１時間) 復習：質疑応答の内容にもとづいて論文に必要な修正を行う（１時間)。	前田　薫
成績評価方法と基準			割合
１．卒業論文抄録＜DP①＞　２．最終報告会での発表＜DP①④＞　３．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　4/5 以上の出席が必要			１．卒業論文抄録 40% ２．最終報告会での発表 40%　３．ゼミ内でのディスカッション 20%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(理学):堀				
主担当教員	堀　竜次		担当教員	堀　竜次／角田　晃啓／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究を進め、学習成果として、卒業論文を作成する。　内科系理学療法トピックスを知るため、学会等へ参加する。　研究成果のあったものは、学会発表にエントリーする。.

学修目標

１．研究倫理について理解することができる。〈DP①〉　２．研究計画に基づき、研究をすすめることができる。〈DP①④〉　３．収集したデータを解析、解釈し、論理的解釈にもとづき論文執筆ができる。〈DP①④〉　４．研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員と話し合って研究活動を進めるが、学生自身が主体的に取り込むこと。

教科書

教科書は使用しない　資料は随時配布する

参考書

フリー統計ソフト EZR(EasyR)で誰でも簡単統計解析,２０１５、南江堂、神田善信著

研究室／オフィスアワー

金曜日３・４限（研究室)、それ以外は個別に相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
2	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
3	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
4	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
5	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
6	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
7	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
8	研究計画に基づきデータ測定	予習：データ測定の準備をする　復習：測定したデータ管理を行う	堀
9	研究計画に基づきデータ測定	予習:データ測定の準備をする　復習:測定したデータ管理を行う	堀
10	研究計画に基づきデータ測定	予習:データ測定の準備をする　復習:測定したデータ管理を行う	堀
11	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
12	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめ	堀

		る	
13	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
14	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
15	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
16	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
17	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
18	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
19	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
20	データの解析および統計	予習：教科書等を利用して事前にデータ解析を行う　復習：データ解析結果をまとめる	堀
21	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
22	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
23	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
24	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
25	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
26	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
27	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
28	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
29	論文作成および研究発表準備	予習:論文・プレゼンテーション資料を事前に準備しておく　復習:論文・プレゼンテーション資料を修正する	堀
30	最終研究発表会	予習：論文を最終修正し完成させておく	堀
成績評価方法と基準			割合
１．提出された卒業論文抄録の内容を評価対象とする〈DP①④〉　２．最終報告会での発表および討議内容を評価対象とする〈DP①④〉　３．単位認定のための必要出席回数は、4/5 以上とする			1.50%　2.50%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(理学):三木屋				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔	
科目ナンバリング	SS20BPTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー、研究計画作成を行う。　学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。　本ゼミのメインテーマは、教育支援活動である。その中で若者から高齢者を対象に、骨格筋増強、運動耐容能向上、QOL 向上、栄養に関する教育、支援につながる研究を展開する。特に地域高齢者の介護予防については、高齢者の行動変容を生み出す動画作成やシステム作りも目指す。更に、後輩への実技指導教育など人材育成手法についても学ぶ。

学修目標

1．研究倫理について理解することができる。〈DP①④〉　2．専門領域における資料および文献収集ができる。〈DP①④〉　3．専門領域における実験または調査などの研究方法を理解する。〈DP①④〉　4．研究計画を作成し、プレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．グループ討議には積極的に参加すること。　2．指導教員とよく話し合って研究活動を進めること。　3．自身が知りたいことを具現化する努力をすること。

教科書

無し

参考書

市橋則明　著：運動療法学．文光堂　鈴木隆雄　監修：完全版介護予防マニュアル．法研

研究室／オフィスアワー

火曜日午後、金曜日以外の時間に予めアポイントを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ゼミオリエンテーション	予習：シラバス・年間行動予定の確認（1時間）　復習：年間行動予定の立案（1時間）	三木屋
2	研究資料の作成	予習：研究資料を揃える（1時間）　復習：研究資料を印刷する（1時間）	三木屋
3	体操実技演習	予習：予防体操を予習する（1時間）　復習：体操の確認（1時間）	三木屋
4	地域介護予防活動1	予習：予防体操の準備（1時間）　復習：予防体操の振り返り（1時間）	三木屋
5	筋力測定実技演習	予習：MMT について予習しておく（1時間）　復習：検査の注意事項振り返り（1時間）	三木屋
6	可動域測定実技演習	予習：ROM-T を予習しておく（1時間） 復習：検査の注意事項振り返り（1時間）	三木屋
7	データ収集1	予習：研究データの収集を準備する（1時間）　復習：収集したデータを整理する（1時間）	三木屋
8	データ収集2	予習：研究データの収集を準備する（1時間）　復習：収集したデータを整理する（1時間）	三木屋

9	データ収集３	予習：研究データの収集を準備する（１時間）　復習：収集したデータを整理する（１時間）	三木屋
10	データ解析１	予習：研究データの解析を準備する（１時間）　復習：解析したデータを整理する（１時間）	三木屋
11	データ解析２	予習：研究データの解析を準備する（１時間）　復習：解析したデータを整理する（１時間）	三木屋
12	解析結果の考察	予習：解析した研究データ結果の考察を準備する（１時間）　復習：考察を整理する（１時間）	三木屋
13	解析結果のまとめ	予習：解析した研究データ結果をまとめる準備する（１時間）　復習：まとめた結果を整理する（１時間）	三木屋
14	症例検討会	予習：臨床データに妥当性ついて予習しておく（１時間）　復習：臨床データの信頼性について復習する（１時間）	三木屋
15	最終研究発表会	予習：発表会に参加し質問を考える（１時間）　復習：発表内容の振り返り（１時間）	三木屋
16	地域介護予防活動２	予習：予防体操の準備（１時間）　復習：予防体操の振り返り（１時間）	三木屋
17	抄録作成準備	予習：卒業研究抄録について準備する（１時間）　復習：抄録について確認する（１時間）	三木屋
18	実習の準備	予習：臨床に役立つ文献を整理しておく（１時間）　復習：臨床に役立つ文献を読み直す（1 時間）	三木屋
19	臨床での評価実技演習	予習：臨床で必要な評価項目を想起しておく（１時間）　復習：臨床での評価実技のポイントを整理する（１時間）	三木屋
20	抄録作成１：研究背景について	予習：研究背景について予習しておく（１時間）　復習：研究背景について確認する（１時間）	三木屋
21	抄録作成２：研究デザインにおける対象・方法について	予習：研究の対象確保・実現性について予習しておく（１時間）　復習：実現性について確認する（１時間）	三木屋
22	地域介護予防活動３	予習：予防体操の準備（１時間）　復習：予防体操の振り返り（１時間）	三木屋
23	抄録作成３：研究アウトカムについて	予習：研究方法のアウトカムについて予習しておく（１時間）　復習：アウトカムについて確認する（１時間）	三木屋
24	抄録作成４：アウトカムの妥当性、信頼性について	予習：アウトカムの妥当性、信頼性について予習しておく（１時間）　復習：アウトカムについて確認する（１時間）	三木屋
25	地域介護予防活動４	予習：予防体操の準備（１時間）　復習：予防体操の振り返り（１時間）	三木屋
26	抄録作成：結果について	予習：研究結果を確認する。（１時間）　復習：研究限界を確認する。（１時間）	三木屋
27	抄録の仮完成	予習：抄録の体裁を確認する。（１時間）　復習：抄録を読み返す。（１時間）	三木屋
28	抄録の仮提出	予習：抄録のフォーマットを確認する。（１時間）　復習：抄録を担当教員に提出する。（１時間）	三木屋
29	抄録の修正	予習：修正抄録を確認する（１時間）　復習：抄録を修正する（１時間）	三木屋
30	抄録完成版の提出	予習：完成した抄録を確認する（１時間） 復習：完成版を提出する（１時間）	三木屋
成績評価方法と基準			割合
１．卒業論文抄録＜DP①＞　　２．最終報告会での発表＜DP①④＞　３．ゼミ内でのディスカッション＜DP④＞　　4/5 以上の出席が必要			１．卒業論文抄録４０％ ２．最終報告会での発表４

	０％　３．ゼミ内でのディスカッション　２０％

授業科目名	臨床評価実習（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／三木屋　良輔／前田　薫／澤田　優子／仲本　正美／工藤　慎太郎／堀　竜次／杉本　圭／檜垣　奨／河西　謙吾／中田　光海／河村　知範／沼澤　俊／木内　隆裕／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	4 単位	必修・選択	必修

授業概要

これまで修得した知識と技術をもとに、対象者への検査・測定の実施を通じて、理学療法評価の実践能力を向上させることを目的とした 4 週間の実習です。

学修目標

問診と検査・測定の実戦を通じて、対象者の生活機能を理解することを目標とする。これを実現するための行動目標を以下のとおりとする。　①対象者への問診を通じて、対象者の主訴や Hope を理解できる。【DP①③④】　②疾病の症候学を理解し、必要な検査・測定項目を挙げることができる。【DP①③④】　③実習指導者の指導のもと、安全に配慮した検査・測定を経験する。【DP①③④】　④統合と解釈の上、問題点を想起し、目標設定を考察することができる。【DP①③④】

履修上の注意（学生へのメッセージ）

１．医療人であるという自覚をもって実習態度には十分に注意する。　２．履修要件として、臨床見学実習、検査測定実習、基礎理学療法学Ⅰ、基礎理学療法学実習の単位を取得しておくこと。　３．臨床実習のため，原則欠席は認めない。　４．「臨床実習要項」を熟読し、理解しておくこと。　５．実習前後のオリエンテーション、ホームルームには必ず参加すること。これがなされない場合、実習への参加が認められない場合がある。

教科書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

参考書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

研究室／オフィスアワー

各実習施設担当教員のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	病院・施設における理学療法部門の位置づけおよび現場における理学療法士の業務全般・他職種との役割分担やチーム活動を学ぶ。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
2	対象者と直接かかわり、医療人としての医療倫理に基づく基本的マナーを身につける。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
3	対象者情報の収集を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
4	対象者への接遇場面を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
5	検査・測定・理学療法評価を経験する。	検査・測定の記録など、実施した内容を経験症例記録にまとめる。	科目担当教員各位
6	１週間を振り返り、次週の課題と目標を確認する。	１週間の学習内容をまとめて Weekly ノートに記載する。	科目担当教員各位
7	実習開始時と現在までの変化を自覚し、弱点の克服に努める。	前日までの学習内容をまとめて Daily ノートに記載する。　実習後レポートを提出する。	科目担当教員各位

成績評価方法と基準	割合
１．CBT・OSCE など【DP①③④】　２．実習課題・症例報告会など【DP①③④】　の総合評価にて 60 点以上の評価に値する内容で単位認定する。	１．70%　２．30%

授業科目名	臨床総合実習Ⅰ（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	堀　竜次／三木屋　良輔／前田　薫／角田　晃啓／澤田　優子／仲本　正美／工藤　慎太郎／杉本　圭／檜垣　奨／河西　謙吾／中田　光海／河村　知範／沼澤　俊／木内　隆裕／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTC047	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	7 単位	必修･選択	必修

授業概要

これまで履修した理学療法全般にわたる知識と技術、評価実習で習得した理学療法評価の実践能力をもとに、臨床実習指導者の指導のもと、自己で計画した理学療法プログラムの実践を経験することを目的とした 7 週間の実習である。　臨床総合実習Ⅱとあわせ、4 年次を通じて 14 週間行う。

学修目標

対象者の生活機能の理解を通じて、理学療法プログラムを立案し、これを実施することを目標とする。これを実現するための行動目標を以下のとおりとする。　①理学療法評価の経験を通じて、対象者の生活機能を推測できる。【DP①③④】　②対象者の生活機能をふまえた理学療法プログラムを立案できる。【DP①③④】　③実習指導者の指導の下、安全に配慮した理学療法介入を経験する。【DP①③④】　④理学療法介入を通じて、対象者が日々変化していることを認識する。【DP①③④】　⑤対象者の変化を通じて、理学療法評価の内容を再度検証する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．医療人であるという自覚をもって実習態度には十分に注意すること。　２．履修要件として、臨床理学療法評価学、基礎理学療法学Ⅱ、臨床理学療法評価学演習、臨床評価実習の単位を取得しておくこと。　３．臨床実習のため，原則欠席は認めない。　４.「臨床実習要項」を熟読し、理解しておくこと。　５．実習前後のオリエンテーション、ホームルームには必ず参加すること。これがなされない場合、実習への参加が認められない場合がある。

教科書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

参考書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

研究室／オフィスアワー

各実習施設担当教員のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病院･施設における理学療法部門の位置づけおよび現場における理学療法士の業務全般･他職種との役割分担やチーム活動を学ぶ。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
2	対象者と直接かかわり、医療人としての医療倫理に基づく基本的マナーを身につける。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
3	対象者情報の収集を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
4	対象者への接遇場面を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
5	検査・測定・理学療法評価を経験する。	検査・測定の記録を経験症例記録にまとめる。	科目担当教員各位
6	問題点の抽出と理学療法プログラムの立案を経験する。	検査・測定の記録を経験症例記録にまとめる。	科目担当教員各位

7	理学療法プログラムの実施を経験する。	治療プログラムを実施する。実施においてはこれまでの学習内容を復習し、最大限の注意を払うこと。	科目担当教員各位
8	再評価・考察を経験する。	実施した理学療法プログラムの効果について検証する。　できる限り客観的に他者に対して説明しうる内容であることが望ましい。	科目担当教員各位
9	１週間を振り返り、次週の課題と目標を確認する。	１週間の学習内容をまとめてWeeklyノートに記載する。	科目担当教員各位
10	実習開始時と現在までの変化を自覚し、弱点の克服に努める。	前日までの学習内容をまとめて Daily ノートに記載する。　実習後レポートを提出する。	科目担当教員各位
成績評価方法と基準			割合
１．事前課題・CBT など【DP①③④】　２．実習課題・症例報告会など【DP①③④】　の総合評価にて 60 点以上の評価に値する内容で単位認定する。			１．30%　２．70%

授業科目名	臨床総合実習Ⅱ（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	堀　竜次／三木屋　良輔／前田　薫／角田　晃啓／澤田　優子／仲本　正美／工藤　慎太郎／杉本　圭／檜垣　奨／河西　謙吾／中田　光海／河村　知範／沼澤　俊／木内　隆裕／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTC048	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	7 単位	必修･選択	必修

授業概要

3 年次までに履修した理学療法全般にわたる知識と技術、評価実習で習得した理学療法評価の実践能力をもとに、臨床実習指導者の指導のもと、自己で計画した理学療法プログラムの実践を経験することを目的とした 7 週間の実習である。臨床総合実習Ⅰとあわせ、4 年次を通じて 14 週間行う。

学修目標

対象者の生活機能の理解を通じて、理学療法プログラムを立案し、これを実施することを目標とする。これを実現するための行動目標を以下のとおりとする。 ①理学療法評価の経験を通じて、対象者の生活機能を推測できる。【DP①③④】 ②対象者の生活機能をふまえた理学療法プログラムを立案できる。【DP①③④】 ③実習指導者の指導の下、安全に配慮した理学療法介入を経験する。【DP①③④】 ④理学療法介入を通じて、対象者が日々変化していることを認識する。【DP①③④】 ⑤対象者の変化を通じて、理学療法評価の内容を再度検証する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．医療人であるという自覚をもって実習態度には十分に注意する。 ２．履修要件として、臨床総合実習Ⅰの単位を取得しておくこと。 ３．臨床実習のため，原則欠席は認めない。 ４．「臨床実習要項」を熟読し、理解しておくこと。５．実習前後のオリエンテーション、ホームルームには必ず参加すること。これがなされない場合、実習への参加が認められない場合がある。

教科書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

参考書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

研究室／オフィスアワー

各実習施設担当教員のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病院･施設における理学療法部門の位置づけおよび現場における理学療法士の業務全般･他職種との役割分担やチーム活動を学ぶ。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
2	対象者と直接かかわり、医療人としての医療倫理に基づく基本的マナーを身につける。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
3	対象者情報の収集を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
4	対象者への接遇場面を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
5	検査・測定・理学療法評価を経験する。	検査・測定の記録を経験症例記録にまとめる。	科目担当教員各位
6	問題点の抽出と理学療法プログラムの立案を経験する。	検査・測定の記録を経験症例記録にまとめる。	科目担当教員各位

7	理学療法プログラムの実施を経験する。	理学療法プログラムを実施する。実施においてはこれまでの学習内容を復習し、最大限の注意を払うこと。	科目担当教員各位
8	再評価・考察を経験。	実施した理学療法プログラムの効果について検証する。　できる限り客観的に他者に対して説明しうる内容であることが望ましい。	科目担当教員各位
9	１週間を振り返り、次週の課題と目標を確認する。	１週間の学習内容をまとめてWeeklyノートに記載する。	科目担当教員各位
10	実習開始時と現在までの変化を自覚し、弱点の克服に努める。	前日までの学習内容をまとめて Daily ノートに記載する。　実習後レポートを提出する。	科目担当教員各位
成績評価方法と基準			割合
１．事前課題・OSCE など【DP①③④】　２．実習課題・症例報告会など【DP①③④】　の総合評価にて60 点以上の評価に値する内容で単位認定する。			１．55%　２．45%

授業科目名	基礎ゼミナール（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／阿部　秀高／高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20001	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限、金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

第 1，3，5，7，9，11，13，15 回（角田担当分）　あらゆる学問において基礎知識（または基礎力）は欠かせないものである。理学療法学では一定の科学的（生物・物理・化学）、数学的知識が必須となる。本演習では以下のことを目標とする。　・自己（学生）の基本的な科学、数学的知識の現状を正しくとらえる。　・上述の知識がなぜ大切なのかを知る。　・上述の知識を正しく円滑に用いられるよう練習する。　　第 2，4，6，8，10，12，14 回（阿部・高木担当分）　本演習では，本学の沿革と教育理念の理解，主体的学習態度の育成、アカデミックスキルズの習得を目標とする。　また、幅広く明確な職業観を養うために必要な社会人基礎力を理解することも目標とし、さらには、自分や他者と向き合い、刺激しあい、思考を深め、創造するというコミュニケーションの本質を理解する。

学修目標

第 1，3，5，7，9，11，13，15 回（角田担当分）　1）学生が自己の基礎学力を正しくとらえる。【DP②③】　2）学生が基礎学力と理学療法学の関係を述べることができる。【DP②③】　3）学生が基礎学力の不足分を自主的に補うために行動できるようになる。【DP②③④】　　第 2，4，6，8，10，12，14 回（阿部担当分）　1）自大学理解（森ノ宮医療大学の教育理念が理解できる。）【DP③】　2）大学におけるアカデミックスキルズを身につけることができる。【DP④】　3）コミュニケーションスキルが構築できる。【DP②】　4）幅広く明確な職業観を身につける。【DP②③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業中は、積極的に質問や発言を行い、担当教員と十分なコミュニケーションを図ること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書

第 1，3，5，7，9，11，13，15 回（角田担当分）：　　特に指定しない　　第 2，4，6，8，10，12，14 回（阿部担当分）：佐藤望編：アカデミック・スキルズ大学生のための知的技法入門第 2 版，慶応義塾大学出版会，2012　　松本 茂他：大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法第 2 版，玉川大学出版部，2017

研究室／オフィスアワー

阿部秀高：在室時は随時　角田晃啓：在室時は随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション、基礎学力チェック（１）	予習：当科目のシラバスならびに学生手帳、特に履修案内の内容を確認する（2 時間）　復習：基礎学力チェックにて自身の学力が不足していると感じた課題を復習する（2 時間）	角田
2	オリエンテーション（講義への取り組み方・大学生としての自分を見つめる）	予習：シラバスの確認（２時間）　復習：学びの履歴シートによる大学生として必要な資質/能力についてのまとめ（２時間）	阿部・高木
3	化学・生物と理学療法学の関係　化学・生物の基礎知識が理学療法にどうかかわるのか	予習：事前配布資料をよく読み、内容を確認する（2 時間）　　＊その内容に基づいた小テストを授業の冒頭で実施する。復習：講義内容を振り返り、表題についての理解を深める（2 時間）	角田

4	アカデミックスキルズ｜１　大学生としての学びの姿勢　授業における記録の取り方・扱い方	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと（2 時間）　復習：学びの履歴シートをもとに講義を振り返りまとめる（2 時間）	阿部・高木
5	数学・物理と理学療法の関係　数学・物理の基礎知識が理学療法にどうかかわるのか	予習：事前配布資料をよく読み、内容を確認する（2 時間）　　＊その内容に基づいた小テストが授業の冒頭で実施される。　復習：講義内容を振り返り、表題についての理解を深める（2 時間）	角田
6	アカデミックスキルズ｜２　資料･文献の活用法　意見の述べ方・交流の仕方　討論の作法	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと（2 時間）　復習：学びの履歴シートをもとに講義を振り返りまとめる（2 時間）	阿部・高木
7	実験レポートの作成（１）	予習：実験レポートの作成に必要な内容について調べておく　復習：実験レポートを作成してみる	角田
8	アカデミックスキルズ｜３　論理的な文章（レポート）の書き方①	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと（2 時間）　復習：これまで３回の学びの履歴シートをまとめる（2 時間）	阿部・高木
9	実験レポートの作成（２）	予習:実験レポートを作成する　復習:実験レポートの内容を見直す	角田
10	アカデミックスキルズ｜４　論理的な文章（レポート）の書き方②　場に応じた適切な表現方法	予習:事前配布資料をよく読み、内容を確認する（2 時間）　　＊その内容に基づいた小テストが授業の冒頭で実施される。復習:講義内容を振り返り、表題についての理解を深める（2 時間）	阿部・高木
11	実験レポートの作成（３）	予習:実験レポートを作成する　復習:実験レポートの内容を見直す	角田
12	アカデミックスキルズ｜５　プレゼンテーションスキル	予習：プレゼンテーションについて高校までに学んだことを想起しておく（２時間）復習:プレゼンテーションの作り方、発表の仕方についてまとめる（２時間）	阿部・高木
13	実験レポートの作成（４）	予習:実験レポートを作成する　復習:実験レポートの内容を見直す	角田
14	第 2，4，6，8，10，12 回分の授業における学びのまとめ・振り返り	予習：自分の作成したプレゼンテーションの練習（２時間）　復習：７回の講義で学んだ社会人基礎力に関してまとめておく（２時間）	阿部・高木
15	第 1，3，5，7，9，11，13 回分のまとめ	予習：これまでの授業内容を振り返っておく　復習：まとめの内容を見直す	角田
成績評価方法と基準			割合
第 1，3，5，7，9，11，13，15 回（角田担当分）：　①講義内で行う小テストならびにレポート【DP②③】 第 2，4，6，8，10，12，14 回（阿部担当分）：　②レポート課題【DP②③④】　　①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①50% ②50%

授業科目名	物理学（理学）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	

授業概要

さまざまな自然現象もよく観察してみると簡単な基本原理に基づいていることがわかります。物理学とはそのような基本原理を論理的に説明する学問であり、工学はもとより生物学、医学などの幅広い分野の基礎となっています。本講義は力学、熱力学に絞り、理学療法士として最低限必要な物理学の教養を身につけることができるようにしてあります。

学修目標

物理量・単位　力のつりあい　力のモーメント　てこの原理の人体中での応用　血圧とは　　上記の内容を学習していきます。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識して下さい。　２．配布された資料を使用し、講義を行います。

教科書

プリントを使用します。

参考書

ベッドサイドを科学する　平田雅子　著　Gakken

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜と木曜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	力のモーメント	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **力のモーメント**：- 力のモーメントの定義　- モーメントの単位（N・m）とその意味。　2. **てこの原理**：てこがどのように力を増幅または減少させるかを確認する。　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **力のモーメント**：　- 力のモーメントを用いた問題を解き、力と	久国　正章

		距離の関係を理解する。　　- 力点の距離が増えるとモーメントがどのように変化するかを考える。　2. **てこの原理**：てこの効率（例：力を少なくして重い物を動かす）の仕組みを整理する。	
3	合力　重力	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **合力の基本概念**：- 合力は複数の力をベクトルとして合成した結果の力。　　- 平行四辺形の法則や三角形の法則を用いて、力の合成と分解を学ぶ。　2. **重力の基本特性**：　　- 重力は質量を持つ物体に働く地球からの引力。　　- 重力の大きさ　**復習課題**:- 授業で扱った力の合成・分解の計算問題を解き直し、正確に解答できるようにする。　　- 斜面上にある物体の重力を分解し、運動や静止条件を考察する。　　- 日常生活で合力や重力が関与する例を挙げ、それぞれの力の役割を説明してください。	久国　正章
4	分力　斜面　力のモーメント	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **分力の基本概念**：- 力をx軸（斜面に平行）とy軸（斜面に垂直）に分解する方法。　　- 分力の計算式：　　- 斜面に平行な力　　- 斜面に垂直な力　2. **斜面上の物体の力学**：　　- 斜面上における力の釣り合いの条件。　　- 斜面上での摩擦力の役割：**復習課題**:　　- 授業で扱った分力計算や斜面上の運動に関する問題を再度解き、正確に答えられるようにする。　　- 斜面上で静止している物体が動き出す条件を計算し、その動きを予測する。　　- 日常生活で分力や斜面の力学が関与する場面を挙げ、物理法則に基づいて説明してみましょう。	久国　正章
5	分力　作用・反作用の法則　力のモーメント	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **分力**：　　- 力を成分に分解する基本概念。　　- 分力の計算式：　　- 水平方向（x軸）　　- 鉛直方向（y軸）　　- ベクトル図を描き、力の成分を視覚化する。　2. **作用反作用の法則**：　　- ニュートンの第3法則：　　「すべての作用には、それに等しく反対の反作用がある。」　3. **力のモーメント**：　　- 力のモーメントとは、回転の原因となる力の効果：　　- 力のモーメントの単位（N・m）とその意味。　4. **日常的な例**：　　- 分力：坂道を転がる荷物。　　- 作用反作用：ボートを漕ぐ動作。　　- 力のモーメント：ドアを開けるときの力のかけ方。　**復習課題**:　　- 授業で扱った分力、作用反作用、モーメントの計算問題を解き直し、理解を深める。　　- モーメントが関与する実際の装置の動作を分析し、その仕組みを説明する。　　- 作用反作用が使われている例を日常生活から探し、それを物理法則に基づいて説明してみましょう。	久国　正章
6	第１種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認して	久国　正章

		ください： 1. **てこの基本原理**： - てこの原理：力と力の作用点の距離（モーメント）が釣り合うことで回転の平衡が保たれる。 - モーメントの計算式： 2. **第1種のてこの特性**： - 第1種のてこでは、支点が作用点と力点の間に位置する。 - 例：シーソー、てこ式のはさみ。 3. **日常的な例**： - 第1種のてこ：釘抜き、バール、シーソー。 **復習課題**: - 授業で扱った第1種のてこに関する問題を解き直し、正確に答えられるようにする。 - 支点、作用点、力点の位置を変更したときに力がどのように変化するかをシミュレーションする。 - 実生活で使う道具を1つ選び、その仕組みを物理的に説明してください。	
7	第１種のてこ２回目　片足立ちのケースを扱います。	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： **片足立ち時の人体の力学**： - 支点（片足の関節）が体重を支えるためのモーメントの中心になる。 - 上半身の重心が片足の支点に対してどのように力を及ぼすかを考える。 - 支点からの重心の位置が増すほど筋力が必要になる理由を学ぶ。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **第1種のてこの応用**： - 支点、力点、作用点(荷重点)の位置が変化すると必要な力やモーメントがどう変わるかを理解する。 - 具体的な計算例を再確認する。 2. **片足立ち時の力学**： - 重心が片足の支点に与える影響を整理する。 - 支点にかかる力とモーメントを計算し、体の安定性との関係を考える。	久国　正章
8	第１種のてこ 杖を使ったケース　第２種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **片足立ち時にかかる力** 2. **第2種のてこの基本原理**： - 第2種のてこでは、作用点(荷重点)が力点と支点の間に位置する。 3. **日常的な例**： - 片足立ち：バランス運動、日常動作。 - 第2種のてこ：荷物運搬車（台車)、栓抜き。 **復習課題**: - 授業で扱った片足立ちや第2種のてこに関する計算問題を解き直し、正確に答えられるようにする。 - 第2種のてこを使った道具を1つ選び、その動作を物理的に説明してください。 - 自分で片足立ちを試し、バランスが取れない場合にどの力が不足しているのかを考察してみよう。	久国　正章
9	第２種のてこ　第３種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **第 2 種のてこの特性**： - **基本構造**： - 支点が端にあり、力点が支点よりも遠くに位置。 - 力点 → 作用点(荷重点) → 支点 の順。 - **特徴**： - 作用点が支点に近いほど、力が効率化される。 - 必要な力が小さくなるが、動かす距離が長くなる。 - **具体例**：台車（荷物運搬車)、栓抜き。 2. **第3種のてこの特性**： - **基本構造**： - 支点が端にあり、力点が作用点よりも近い位置。 - 作用点(荷	久国　正章

		重点）→ 力点 → 支点 の順。　　- **特徴**：　　- 動かす距離が短く、速度や精密さが必要な動作に適している。　　- 必要な力が大きくなるが、精密な制御が可能。　　- **具体例**：ピンセット、ホチキス、釣り竿。 3. **モーメントの計算式** **復習課題**:　　- 授業で扱った第2種および第 3 種のてこに関する計算問題を解き直し、正確に答えられるようにする。 - 実生活で使われる第 2 種または第 3 種のてこの例を 1 つ挙げ、その動作を物理法則に基づいて説明する。	
10	第３種のてこ　腰にかかる力	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **腰にかかる負担の基礎**：- 腰にかかる負担（モーメント）と姿勢の関係。　　- 力のモーメントを用いた計算：- 前屈姿勢や物を持ち上げる際に腰にかかる力を増幅させる要因。 2. **日常的な例**：　　- 腰に負担がかかる例：重い荷物を前かがみで持つ。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **腰にかかる負担の理解**：　　- 腰にかかるモーメントが姿勢によってどう変化するかを考える。　　- 腰への負担を軽減するための方法（例：膝を曲げて物を持ち上げる）を整理する。 **復習課題**:　　- 腰に負担をかけない持ち方や姿勢を図示し、それを説明してください。	久国　正章
11	腰にかかる負担　圧力	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を用いて、以下の内容を確認してください：　　1. **圧力の定義**：圧力（P）は単位面積あたりに働く力として定義される（P = F / A）。　　2. **圧力の単位**：パスカル（Pa）を基本単位とし、N/m²との関係を理解する。　　3. **気圧の概念**：大気圏中の圧力の性質、標準気圧（1 気圧 = 101325 Pa）について調べる。 **復習** - 授業内容を復習し、以下の点を整理してください：　　1. 圧力の計算方法と、力や面積の変化が圧力にどう影響するかを理解する。　　2. 気圧が高度や温度によってどのように変化するかを図を用いて整理する。 3. 圧力や気圧の知識が、日常生活や専門分野でどのように応用されるかを考える。	久国　正章
12	水圧　沸点	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **水圧**：　　- 水深と水圧の関係：水圧が深さに比例して増加することを理解する。 2. **沸点**：　　- 沸点は外部圧力に依存すること（低圧環境では沸点が低下し、高圧環境では上昇する）。 - 標準沸点（100℃）とそれが気圧の変化でどのように変化するかを調べる。 **復習** 1. **水圧**：　　- 水圧の公式を用いて、異なる水深での圧力を計算する練習をする。　　- 潜水時に体にかかる圧力の影響を整理する（例：耳の痛み、窒素酔い）。 2. **沸点**：　　- 圧力が沸点に与える影響を具体的な例（例：圧力鍋、登山での調理）を通じて理解する。　　- 沸点の変化を示すグラフを作成し、気圧との関係をまとめる。	久国　正章

13	ベルヌーイの定理	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **ベルヌーイの定理**： - ベルヌーイの定理の公式： - 高速で流れる流体では圧力が低下する現象の理解。 2. **日常的な例**： - 飛行機の翼（揚力の発生）。 - 水道ホースの先を細めると流速が速くなる仕組み。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **ベルヌーイの定理の理解**： - ベルヌーイの公式を使った計算問題を解き、圧力、流速、高さの関係を理解する。 - 実験や観察から得られた結果をベルヌーイの定理で説明する。 2. **応用例の分析**：飛行機の揚力がベルヌーイの定理でどのように説明されるかを考える。 3. **具体例の考察**：ベルヌーイの定理が日常生活で観察できる例を挙げ、それを図や文章で説明する。	久国　正章
14	音　デシベル	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **音の基本的な性質**： - 音波は媒質を伝わる縦波であり、周波数、振幅、速度の基本概念を確認する。 - 音の周波数（Hz）が音の高さ（高音・低音）を決め、振幅が音の大きさを決める。 2. **デシベル（dB）**：デシベルは音圧レベルの対数スケールで表現される。 3. **日常的な例**： - 音の例：会話（60 dB）、図書館（30 dB）、ロックコンサート（120 dB）。 - 音の大きさと健康への影響（例：騒音、聴覚保護の重要性）。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **音と周波数の理解**： - 音波の基本的な性質（周波数、振幅）を整理する。 - 音の高低や大きさが物理量としてどのように表現されるかを具体例とともに確認する。 2. **デシベル**： - 音圧レベルの計算練習を行い、基準音圧との関係を明確にする。 - 音圧レベルが2倍、4倍、10倍になる場合の変化を計算して整理する。 3. **応用例を考察**： - 音の大きさが健康に与える影響（例：騒音公害、耳栓の利用）を考える。 - 音響機器（例：スピーカー、マイク）や医療（例：聴覚検査）でのデシベルの役割を調べる。	久国　正章
15	運動量　衝撃力	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **運動量と衝撃力**： - **運動量の定義**：運動量 = 質量 × 速度 - **衝撃力**：運動量の変化を時間で割ったもの。 - 衝突時の運動量保存則： 「閉じた系では運動量の総和が一定」。 2. **日常的な例**： - 衝撃力：車のエアバッグやスポーツでの衝突時の衝撃緩和。 **復習** 1. **運動量と衝撃力**： - 衝突時に衝撃力を減らすための手段（例：クッションやエアバッグ）を考える。 - 運動量保存則を使って、2物体の衝突後の速度を計算する練習をする。 2. **応用例を考察**： - 衝撃力の緩和技術（例：スポーツ用品、交通安全装置）の原理をまとめる。	久国　正章

成績評価方法と基準	割合
①毎回の小テスト課題<DP③>	①100%

授業科目名	生物学（理学）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

専門科目の理解を深めるための基礎的な生物学を学習する。　具体的には、下記単元を中心に、ヒトのからだについて理解を深める。　【細胞の構造】細胞小器官の種類とその働き　【代謝】代謝・消化・吸収　【個体の恒常性と調節】恒常性の維持・ホルモン

学修目標

ヒトの生命の仕組みについて、その基本的事項を習得することを目的とする。〈DP③〉　好気呼吸の過程を理解する。〈DP③〉　恒常性について理解を深める。〈DP③〉　体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講座を通して基礎用語を確認することが出来ます。高校で生物を学習していない、または不得意科目であった学生はぜひ受講して下さい。

教科書

書籍名：視覚でとらえる生物図録　著者名：鈴木孝仁　監修　出版社名：数研出版

参考書

カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第 1 巻 細胞生物学

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜、水曜・木曜の午前中、金曜の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	細胞の構造とその働き　遺伝子	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「遺伝子」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：核、細胞膜、細胞質、ミトコンドリア、リボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソームなど - 細胞小器官の役割（例：ミトコンドリアはエネルギー産生、リボソームはタンパク質合成）　- DNA と RNA の違い	久国
2	細胞の構造とその働き　細胞を構成する物質(有機物と無機物)　浸透	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「浸透」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：細胞膜、細胞壁（植物細胞の場合）、細胞質、細胞小器官（核、ミトコンドリア、小胞体など） - 細胞膜の構造とその機能（選択的透過性）　- 浸透の定義と原理：浸透圧、半透膜、溶液の種類（高張液、等張液、低張液）	久国
3	物質の輸送(能動輸送と受動輸送)　細胞を構成する物質（タンパク質）	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「物質の輸送」と「タンパク質」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- **物質の輸送**　- 細胞膜の構造（リン脂質二重層、タンパク質の埋め込み）　- 輸送の種類：拡散、浸透、能動輸送、受動輸送　- **	久国

		タンパク質とは**	
4	タンパク質の立体構造　タンパク質の種類と働き	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「タンパク質の構造」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ タンパク質の一次構造：アミノ酸の配列とペプチド結合　－ 二次構造：α ヘリックス、β シートの形成と水素結合の役割　－ 三次構造：立体構造を形成するジスルフィド結合など　－ 四次構造：複数のポリペプチド鎖が集合して形成される機能的タンパク質（例：ヘモグロビン）　－ タンパク質の構造と機能の関連性を示す例（例：酵素の活性部位）を調べ、予習として理解を深める。	久国
5	炭水化物　組織	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「炭水化物の構造と分類」に関する章を読み、主要な用語（単糖、二糖、多糖など）を確認する。　組織における炭水化物の役割について簡単に調べる。　必要に応じて、授業で取り扱う関連動画や資料を視聴し、基礎的な概念を理解する	久国
6	酵素の性質と働き　外呼吸と内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　活性部位、基質特異性、酵素-基質複合体、最適条件（温度、pH)、酵素阻害　酵素が化学反応の速度をどのように変化させるのかを簡単に調べる。　酵素の具体例（アミラーゼ、カタラーゼなど）を調べる。	久国
7	内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　外呼吸：肺でのガス交換（酸素の取り込みと二酸化炭素の排出）　内呼吸：細胞でのガス交換（酸素の利用と二酸化炭素の生成）　外呼吸と内呼吸の違いと関連性について簡単にまとめておく。	久国
8	消化器	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「消化器系」の章を読み、以下の用語を確認する：　－ 主な消化器官（口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）－ 各器官の役割（例：胃はタンパク質の消化、小腸は栄養素の吸収）　－ 消化酵素（ペプシン、アミラーゼ、リパーゼなど）の働きと分泌場所　食物が消化器系を通過する過程（消化・吸収の流れ）を簡単にまとめる。	久国
9	恒常性　血球	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「恒常性と血球」に関する章を読み、以下の概念を確認する：　－ 恒常性の定義と重要性 － 血球の種類（赤血球、白血球、血小板）とその役割　－ 赤血球：酸素運搬 － 白血球：免疫反応　－ 血小板：血液凝固	久国
10	酸素解離曲線　血液凝固	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の以下の章を読み、基本的な用語を確認する：－ 酸素解離曲線：ヘモグロビンと酸素の結合に関する曲線(酸素分圧、飽和度）　－ 酸素解離曲線の右方シフト・左方シフトの要因（pH、二酸化炭素濃度、体温など）－ 血液凝固の基本プロセス：血小板の役割、フィブリン形成の流れ	久国
11	伴性遺伝　血管	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「伴性遺伝」と「血管」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ **伴性遺伝**：性染色体（X染色体）に関連する遺伝の特徴。　－ X連鎖性疾患（例：血友	久国

		病、色覚多様性）の具体例　　－ 伴性遺伝の遺伝形式（家系図での遺伝のパターン）　　－ **血管の構造と機能**：動脈、静脈、毛細血管の違いと役割。	
12	心臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「心臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　　－ 心臓の構造（心房、心室、弁：三尖弁、僧帽弁、大動脈弁、肺動脈弁）　　－ 血液循環（肺循環と体循環の違い）　　－ 心拍の基本的な仕組み（洞房結節、刺激伝導系）　　－ 血液の流れを模式図にして、自分で描いて確認する（酸素を含む血液と二酸化炭素を含む血液の流れを明確に）。	久国
13	肝臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「肝臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する　　－ 肝臓の構造（肝細胞、肝小葉、肝門脈、肝動脈、胆管）　　－ 肝臓の主要な機能（代謝、解毒、胆汁の生成、栄養素の貯蔵）　　－ 肝臓が行う物質代謝（炭水化物、脂質、タンパク質）　　－ 胆汁が生成される仕組みとその役割（脂肪の乳化）を簡単に調べる。	久国
14	腎臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「腎臓」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　　－ 腎臓の構造　　－ 尿生成の流れ（糸球体でのろ過 → 尿細管での再吸収・分泌 → 集合管での尿濃縮）　－ 腎臓が体液の恒常性をどのように維持しているかを簡単に調べる。	久国
15	総復習	＜復習 4 時間＞　第１回～第１４回の復習問題を扱います。	久国
成績評価方法と基準			割合
①定期試験１００点のうち、６０点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	化学（理学）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解することができる。それらが生理機能に密接に連関することを認識できる。　＜DP③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「コ・メディカル　化学」　裳華房

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	電子配置とイオン化	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	化学結合	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	物質の三態	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	化学平衡と反応速度論 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
6	化学平衡と反応速度論 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講	安部　辰夫

		義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	化学全体のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP③＞			1　100%

授業科目名	情報処理（理学 B）					
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊		
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 4 限	
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③④〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③④〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③④〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作･機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習･復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作･機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③④〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③④〉　③Power Point発表資料〈DP③④〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	情報処理（理学 A）					
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊		
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 2 限	
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③④〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③④〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③④〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作･機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習･復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作･機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③④〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③④〉　③Power Point発表資料〈DP③④〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	統計学（理学）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20006	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

統計学の基礎や概念を学び、実験や調査で得られたデータをどのような統計手法を用いて分析し、どのように解釈すればよいかを理解し、それらを元に実際に自分たちでデータを分析することによって、基礎的な統計処理を身につけることを目指す。

学修目標

1．統計学の基礎を理解する〈DP③〉　2．推定と検定の考え方を理解し，説明することができる〈DP③〉　3．量的データに対して適切な分析方法を選択することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の授業のつながりが非常に重要です．また，毎回小テストを実施しますので，欠席のないように留意すること

教科書

向後千春・冨永敦子，ファーストブック 統計学がわかる，技術評論社，ISBN13: 978-4774131900

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　「統計学」とはどのような学問か，また，医療従事者にとって統計学がなぜ必要なのかについて解説する.	シラバスを確認して，テキスト「はじめに」を読む（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）.【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	統計の基本概念とキーワード１:統計学に必須の基礎的知識　数の分類,測定値の性質について解説する.	数の分類や，尺度水準に関して参考書，web 等を利用してそれぞれの用語について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
3	統計の基本概念とキーワード２:統計学に必須の基礎的知識　母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度について解説する.	母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度に関して，教科書（１章，２章），参考書，web 等を利用して調べる，【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
4	相関：２変数のデータの関係の表現方法　「データの記述」の観点から，「相関」及び「相関係数」について解説する.	教科書では取り扱っていない内容なので，参考書や web を活用して，ピアソンの積率相関係数，スピアマンの順位相関係数，ケンドールの順位相関係数について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
5	検定の原理:検定法の共通原理　統計学的な手法は多様であるが，共通する部分も存在する．ここでは,多くの手法に共通する考え方について解説する.	教科書３章１節を読み．一般的な検定の流れについて調べておく．特に，「帰無仮説」とはなにか考える.【2】　MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口

6	検定：頻度・割合の検定１　　前回解説した「検定法の共通原理」に基づいた具体的な検定手法について，頻度・割合の検定を例に，「観測値」と「期待値」の考え方について解説する.	教科書３章２節，３節を読む.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
7	検定：頻度・割合の検定２　　観測値と期待値についておさらいしつつ，「カイ２乗検定」について解説し，実際に，検定統計量（カイ２乗値）や，その生起確率を求め，検定結果について判定を行う.	教科書３章４節を読み，必要な指標の求め方を調べておく.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
8	推定：平均値の信頼区間　　標本（得られた測定値）の平均値は，母集団の平均値（母平均）と一致しているかどうか検討するため，推定の手法について解説する.	教科書２章３節を読み，推定の考え方について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
9	推定：平均値の差の信頼区間　　１標本の平均値から母平均の信頼区間を求めることを拡張し，２標本の平均値の差の信頼区間を求める方法について解説する.	教科書４章１節，２節を読み，平均値の差の推定の考え方について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
10	検定：ｔ検定（対応のない２群の平均値の差の検定）　　収集したデータの「対応」とは何かを解説し，２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がない場合（特にウェルチの方法）について解説する．ウェルチの方法については，教科書に記述がないため，資料を配布する.	参考書，あるいは web を調べて．対応のないｔ検定の中でも，「ウェルチの方法」について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
11	検定：ｔ検定（対応のある２群の平均値の差の検定）　　２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がある場合について解説する.	教科書５章を読み，対応のある２群の平均値の差の検定について調べ，参考書，web を活用して「一標本ｔ検定」について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
12	３群以上の差の検定１-1：一元配置分散分析（１要因分散分析）　　ｔ検定は，測定条件が３群以上になると適用することができなくなる．３群以上の条件がある場合の検定について解説する.	教科書６章１節，２節を読み，条件が３群以上になるとｔ検定が利用できなくなる理由について調べつつ，分散分析の原理・考え方について理解する.【4】	井手口
13	３群以上の差の検定１-2：一元配置分散分析（１要因分散分析)演習　　前回解説した，１要因で，３水準以上の条件がある場合の検定に関する演習を行う.	教科書６章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順を調べる.【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
14	３群以上の差の検定２-1：二元配置分散分析（２要因分散分析）　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定について解説する.	教科書７章１節，２節を読み，「要因」と「水準」の考え方を再度確認し，２要因ある場合の分散分析の計算手順を調べる.【4】	井手口
15	３群以上の差の検定：二元配置分散分析（２要因分散分析）演習　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定に関する演習を行う.	教科書７章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順，及び，新たな要素である「交互作用」について調べる【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
成績評価方法と基準			割合
① 定期試験〈DP③〉　② 小テスト〈DP③〉			① 80%　② 20%

授業科目名	心理学（理学）				
主担当教員	海蔵寺　陽子		担当教員	海蔵寺　陽子	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

心理学は、人の心の仕組みや働きがどのようになっているかを研究する学問です。授業では人の性格、知覚や感情のほか、人の成長過程や人間関係の心理などについても学習します。

学修目標

１．人間の一般的心理、基本的心理、行動を理解することができる〈DP③〉　２．身近な経験について心理学的に説明することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．身近な経験を心理学的に考えてみること　２．疑問点を大切にし、解決に向けて行動すること

教科書

イラストレート心理学入門　　齋藤勇　著　　誠信書房

参考書

心理学の基礎　　今田寛・宮田洋・賀集寛　共編　　培風館

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心理学とは	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　教科書の確認　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
2	知覚と認知 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　認知機能について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
3	知覚と認知２	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　ヒトの情報処理システムについて教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
4	感情と情動	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　情動表出について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
5	欲求と動機づけ 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　生理的欲求、心理的欲求について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
6	欲求と動機付け 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　達成動機について新聞・テレビ・メディア記事などを一つ調べる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
7	学習 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　条件反射について新聞・テレビ・メディア記事などを一つ調べる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
8	学習２	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　学習理論について教科書を読んでおく　復習：	海蔵寺　陽子

		授業をもとにノート、教科書の確認	
9	記憶	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　記憶について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
10	性格と気質	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　性格とは何か考える　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
11	臨床心理	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心の健康について新聞･テレビ･メディア記事などを一つ調べる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
12	無意識と深層心理1	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　無意識について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
13	無意識と深層心理2	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　自我防衛機制について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
14	発達心理	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　発達段階とその特徴について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート､教科書の確認	海蔵寺　陽子
15	社会心理1	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　自己評価について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP③〉　②平常点（レポート、授業態度など）〈DP③〉			①80%　②20%

授業科目名	生命倫理学（理学）				
主担当教員	神田　靖士		担当教員	神田　靖士	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

生命をめぐる倫理（道徳･規範）的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における今日的かつ具体的問題に対処できる思考能力を養います。生命科学・医学研究の発展は目覚しく､その成果をもとにした先端医療技術はわれわれに希望をもたらすとともに多くの新たな問題を提起しています。本講義では、生命倫理の誕生と展開を概説し、続いてどのように日本に受容されたのかを論じます。特に人権尊重を視野に入れ､最近の生命倫理学上の事例をとり入れつつ論じます。授業は、講義を中心として、ＶＴＲ，質疑、グループ討論を交えて行います。

学修目標

生命倫理学の歴史的背景と法律並びに国際比較することにより現在の問題点について理解し､具体的な倫理的問題を包括的な観点から把握することを目標とします。特に最近の医療領域（出生前診断と妊娠中絶、脳死と臓器移植、終末期医療、再生医療、遺伝情報の取り扱い）において生じた倫理的諸問題を個別に取り上げ、討論を行いながら個々の倫理観を構築することを到達目標とします。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．生命倫理は医療関係を志す者として根底にある倫理的な考え方を学習する科目であるので、自ら疑問及び興味を持ち積極的に講義に臨むことを強く希望します。　２．グループ討論には積極的に参加すること。　３．出席者は、私語・スマホの使用は厳禁。講義中の私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。　４．最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

特に指定なし。講義資料を適宜配布します。

参考書

伏木信次、樫　則章、霜田　求　『生命倫理と医療倫理』　金芳堂　小林亜津子　『看護のための生命倫理』　ナカニシヤ出版　グレゴリー・ペンス　『医療倫理Ⅰ・Ⅱ』　みすず書房

研究室／オフィスアワー

在室時は訪問可。　質問がある場合は授業終了時に各自申し出て下さい。また、メールでも随時受付を行います。　メールアドレス：kandas@hirakata.kmu.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理概論（生命倫理とはどのような学問か）	※隔週でグループ討論を行うので、前の週に行った授業内容に関して復習をし、分からない箇所の理解を深めた上でグループ討論に臨むこと。　本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
2	尊厳死と安楽死	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
3	尊厳死と安楽死について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士
4	着床前診断と出生前診断	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
5	着床前診断と出生前診断について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士

6	臓器移植と脳死	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
7	臓器移植と脳死について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士
8	再生医療とクローン技術	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
9	再生医療とクローン技術について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
10	代理出産における倫理観	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
11	代理出産における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
12	インフォームド･コンセント(十分な説明と同意、告知）	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
13	インフォームド･コンセント(十分な説明と同意、告知）における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
14	動物を対象とした研究における倫理観	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
15	動物を対象とした研究における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
成績評価方法と基準			割合
・定期試験は行わず、平常評価（レポート等）で総合評価する。　①グループ討論への参加状況<DP③>　②討論後の発表<DP③>　③課題レポート<DP③>			①20%　②20%　③60%

授業科目名	哲学（理学）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。			
研究室／オフィスアワー			
授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	社会福祉学（理学）				
主担当教員	伊東　香純		担当教員	伊東　香純	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

本講義では、社会福祉学の基本的な概念や理論を学習し、それらを用いて社会を観察、分析する力を養う。家族や地域、病院など身近なテーマについて、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

学修目標

家族や地域、病院など福祉に関する身近なテーマについて、社会福祉学の基本的な概念や理論を用いて批判的、相対的な視点から考察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進捗状況等により、講義の順序や内容は変更する可能性がある。

教科書

指定なし

参考書

授業の中で適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

連絡先電子メール：itokasumi24(at)gmail.com (at)→@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
2	障害者の自立生活運動	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
3	介助の現場	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
4	社会保障制度の歴史	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
5	生活保護制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
6	家族制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
7	少子高齢社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペ	伊東

		ーパーの提出	
8	グローバルエイズ	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
9	国際協力	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
10	在日コリアン	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
11	開発原病・帝国医療	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
12	リスク社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
13	医療化	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
14	ジェンダー	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
15	自己決定？	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
成績評価方法と基準			割合
授業参加度（コミュニケーションペーパー）（ＤＰ③）　最終レポート（ＤＰ③）			60%　40%

授業科目名	日本国憲法（理学）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、コ・メディカルをもとに、診療の補助の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 理学療法学科における『理学療法士及び作業療法士法』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の現状とその是非についての理解を深める。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田　重幸
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田　重幸
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田　重幸
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福追求権)　　包括的基本権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸

6	基本的人権規定③　　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸
7	人権問題　　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田　重幸
8	衛生法規並び衛生行政　　衛生法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田　重幸
9	関係法規①　　コ・メディカルに対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認　復習：講義内容をもとに、施術者の役割を確認する	植田　重幸
10	関係法規②　　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の中の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
11	医療過誤と法的責任①　　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
12	医療過誤と法的責任②　　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
13	日本の政治体制と三権分立　　国会・内閣規定より、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習：1 票の格差問題について理解を深める	植田　重幸
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田　重幸
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：講義事項についての確認	植田　重幸
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(理学B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉　基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction　/ Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(理学A)				
主担当教員	吉村 幸		担当教員	吉村 幸	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題(特にリーディングの予習)は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking (角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟1階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(理学 B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語 I に引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉　英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉　簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）　英語 I で使用したテキストを引き続き使用する。英語 I を履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	長尾

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(理学 A)				
主担当教員	吉村 幸		担当教員	吉村 幸	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021） 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟１階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	吉村

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英会話（理学）				
主担当教員	Corinne Pitt		担当教員	Corinne Pitt	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜2限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②③〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②③〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②③> ②小テスト<DP②③> ③確認テスト<DP②③> 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	医学英語（理学）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20017	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため、臨床現場で患者の主訴等の発話を正確に理解したり、患者に正確な指示を伝えたりするために必要となる表現や語彙を習得する。また、医学関連の文献や論文、その他情報の収集方法と論文の構成を習得し、専門分野における最先端の研究情報を得るためのスキルを身につける。　将来医療従事者となる皆さんに、ぜひ受講をお勧めする。

学修目標

最低限患者とコミュニケーションがとれる。　最低限の医学用語が理解できる。　医学分野の英語の論文がどのような構成になっているのか理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　　宿題や予習（特にリーディング）は必ずしてから授業に臨むこと。　携帯電話の使用、私語は慎むこと。

教科書

実践看護英語（竹林修一、英宝社、2014）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Medical terminology / Getting to know the patients 1	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
2	Getting to know the patients 2	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
3	Getting to know the patients 3	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
4	Getting to know the patients 4	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
5	Examination 1	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
6	Examination 2	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏

7	Instructing medication	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
8	Treating the patients 1	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
9	Treating the patients 2	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
10	Treating the patients 3	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
11	Operation / Pubmedについて、論文の構成について	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
12	Pregnancy / Articles on PT 1	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
13	In the hospital / Articles on PT 2	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
14	Emergencies / Articles on PT 3	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
15	Living a healthy life / Review	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
小テスト　プレゼンテーションおよびその他課題　　授業参加態度　2/3回以上の出席が必要。			30%　40% 30%

授業科目名	基礎英語演習（理学）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②③〉　TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita　/ 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾　晋宏

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
①小テスト〈DP②③〉　②その他課題・授業態度・参加〈DP②③〉　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（理学）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。　TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita　/ 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
3	Unit 9 Advertising	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
5	Unit 10 Meetings	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
7	Unit 11 Finance	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをも	長尾　晋宏

		う一度確認しておくこと。	
8	接続詞（理由・譲歩・時）	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
9	Unit 12 Offices	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
10	前置詞・接続詞対比	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
11	Unit 13 Daily Life	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
15	Review	次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　②その他課題・授業態度・参加　③Review Test　2/3 以上の出席が必要。			①40%　②20% ③40%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(理学)				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／河村　知範／前川　佳敬／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。　また、履修に関することや教育課程（カリキュラム）、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。　医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③④〉　・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③④〉　・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③④〉　・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】【理事長､学長×学部長対談！】　テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上)　復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長　内田学部長　前川学部長　森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】【学科長対談！】　テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁

5	コミュニケーション入門【コスモホール】　（コミュニケーションって何？コミュニケーションのメリットは？「話を聞く」、「伝える」ってどういうこと？）　テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 橋本　弘子
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上)　IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】　テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上)　復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【DP②③④】　②レポート課題　テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【DP②③④】　＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。　①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30%　②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／三木屋　良輔／杉本　圭／河村　知範／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についてし知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉　智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8 学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉　智仁
3	IPW 論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉　智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉　智仁

成績評価方法と基準	割合
レポート課題<DP②③④>　「見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」1600 字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。	100%

授業科目名	医療コミュニケーション（理学）				
主担当教員	檜垣　奨		担当教員	檜垣　奨	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療従事者にとってコミュニケーションは，単に意思疎通を図るだけでなく，信頼関係の構築や患者の問題点・障害を理解するうえで重要な技術のひとつである．本科目では，コミュニケーション理論から社会人として良好な人間関係を構築するための技術，医療現場で取り扱う情報まで幅広く学修する．そのためにも，自分自身の性格や特性を理解し，ペアワークやグループワークにより実践的なコミュニケーション能力を身につける．

学修目標

1．社会人として求められるコミュニケーション能力を身につける．　2．理学療法士として患者・家族・他職種と関わる上で求められるコミュニケーション能力を身につける．　〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．講義の中で学ぶ内容は日々の生活でも応用できる理論ばかりです．知識だけでなく，実践を通じて身につけていくことに重点を置いてください．　2．コミュニケーション技術は知識だけでなく実践が重要です．そのため，講義の中で考えたことや感じたことを可能な限り言語化するよう心掛けてください．

教科書

なし（随時配布）

参考書

三宅わか子・他編：理学療法コミュニケーション論．医歯薬出版　ISBN978-4-263-26582-6　山口美和：PT・OT のためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド第 3 版、医学書院．ISBN 978-4-260-05351-8

研究室／オフィスアワー

檜垣：4 階研究室/水曜日（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	コミュニケーション理論	予習：医療従事者，医療系大学生として必要なコミュニケーションについて調べる．復習：コミュニケーション理論についてまとめる．　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う．	檜垣
2	社会人基礎力と自己分析	予習：社会人基礎力について調べる．　復習：分析結果をもとに，実践方法の検討し日々の生活で実践する．　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う．	檜垣
3	コミュニケーションスキル①	予習：コミュニケーションの種類，スキルについて調べる．　復習：自身の特性を理解したうえで，コミュニケーションスキルを説明・実践できる．　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う．	檜垣
4	コミュニケーションスキル②	予習：第 3 講で学習した内容を復習する．復習：自身の特性を理解したうえで，コミュニケーションスキルを説明・実践できる．　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う．	檜垣
5	医療現場におけるコミュニケーション①	予習：理学療法評価として必要な問診，医療面接について調べる．　復習：医療現場で求められる知識およびコミュニケーショ	檜垣

		ンスキルについて，理解・説明できる. ※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う.	
6	医療現場におけるコミュニケーション②	予習：第 5 講で学習した内容を復習する. 復習：医療現場で求められる知識およびコミュニケーションスキルについて，日々の生活で実践する.　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う.	檜垣
7	コミュニケーションの実践①	予習：これまで学んだコミュニケーション理論，スキルを振り返る.　復習：学生生活，臨床現場で必要なコミュニケーションを理解し，実践する.　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う.	檜垣
8	コミュニケーションの実践②	予習：これまで学んだコミュニケーション理論，スキルを振り返る.　復習：学生生活，臨床現場で必要なコミュニケーションを理解し，実践する.　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う.	檜垣
成績評価方法と基準			割合
単位認定には，2/3 以上の出席が必要.　授業内課題およびレポート成績の合計が 60%以上で単位認定します.　<DP②③④>			1. 授業内課題 30%　2. レポート 70%

授業科目名	チーム医療論（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／河村　知範／前川　佳敬／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは，「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と理学療法士がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
2	医療系専門職種の介入｜1【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。（30 分）	授業内にて案内
3	医療系専門職種の介入｜2【診療放射線技師】	予習：本学診療放射線学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で診療放射線技師の仕事について	授業内にて案内

		調べておくこと。(30 分)　復習：診療放射線技師の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。(30 分)	
4	医療系専門職種の介入｜３【臨床検査技師】	予習：本学臨床検査学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床検査技師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床検査技師の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜４【臨床工学技士】	予習：本学臨床工学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床工学技士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床工学技士の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜５【理学療法士】	予習：理学療法士の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜６【作業療法士】	予習：本学作業療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で作業療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：作業療法士の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の介入｜７【言語聴覚士】	予習：本学言語聴覚学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で言語聴覚士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：言語聴覚士の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜８【鍼灸師】	予習：本学鍼灸学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で鍼灸師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：鍼灸師の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の介入｜９【看護師】	予習：本学看護学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で看護師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：看護師の職能や役割を理解し，理学療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での理学療法士の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	科目担当者 ゲスト
12	症例検討｜１	予習：理学療法士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での理学療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
13	症例検討｜２	予習：理学療法士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での理学療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
14	症例検討｜3	予習：理学療法士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチー	授業内にて案内

		ム医療内での理学療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	
15	授業全体のまとめ	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習：チーム医療での理学療法士の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	授業内にて案内
成績評価方法と基準			割合
①「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(他職種)についての報告　②「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(自職種)についての報告　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①と②で100%

授業科目名	基礎体育（理学 B）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③④〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③④〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　･クラス分けを行うため、必ず出席のこと　･運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)･体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　･飲料用水分は事前

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス、軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信

			江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加
9	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③④〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	基礎体育（理学 A）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

1．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③④〉　2．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　3．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③④〉　4．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　･クラス分けを行うため、必ず出席のこと　･運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)･体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　･飲料用水分は事前

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス、軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、、

			信江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③④〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(理学)				
主担当教員	濱口　幹太		担当教員	濱口　幹太	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける。〈DP③④〉　・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する。〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・大学生として節度ある態度で授業に臨むこと

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年

研究室／オフィスアワー

非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認（2 時間）　復習：内容の確認（2 時間）	濱口　幹太
2	健康・体力の概念	予習：健康に関する記事をチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
3	アルコールの影響とは	予習：身体に及ぼす影響をチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
4	喫煙について	予習：身体に及ぼす影響をチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
5	高脂血症・動脈硬化症	予習：どのような症状があるかチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
6	高血圧・脳卒中・心臓病	予習：どのような症状があるかチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
7	糖尿病・メタボリックシンドローム	予習：どのような症状があるかチェック（2 時間）　復習：今回の内容を再確認（2 時間）	濱口　幹太
8	前半まとめ	予習：今まで内容の確認（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
9	身体活動の必要性	予習:運動習慣のチェック(2 時間)　復習:今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
10	肥満について	予習:体型をチェック（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太

11	薬物乱用について	予習：薬物の影響のチェック（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
12	救急法	予習：心肺蘇生法のチェック（2 時間）　復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
13	スポーツトレーニング	予習：スポーツの種目のチェック（2 時間） 復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
14	健康に関する VTR	予習:健康に関する記事をチェック(2 時間) 復習：今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
15	後半まとめ	予習:今までの内容の確認(2 時間)　復習:今回の内容の再確認（2 時間）	濱口　幹太
成績評価方法と基準			割合
定期試験で評価する。〈DP③④〉　15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。			100%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（理学）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、健康や疾病予防に関する基礎的な知識と健康管理に関する方法を学修する。また、運動不足の健康への影響を学び、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

学生のための健康管理学（改訂 3 版） 山野美容芸術短期大学 教授・副学長 木村康一 著 山野美容芸術短期大学 教授 永松俊哉 著 ISBN 978-4-525-62053-0

参考書

健康・スポーツ科学の基礎（出村慎一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	予習：シラバス・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
2	健康の指標と現状（なぜ健康が重要なのか？）	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
3	生活習慣と健康について１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
4	生活習慣と健康について２	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
5	生活習慣と健康について３	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
6	生活習慣と健康について４	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
7	生活習慣と健康について５	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
8	生活習慣と健康について６	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
9	疾病の予防１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
10	疾病の予防２	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二

11	疾病の予防３	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
12	健康のための運動１	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
13	健康のための運動２，健康管理の考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
14	総合復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
15	期末試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP③④〉			①70%　②30%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（理学）				
主担当教員	伊黒　浩二		担当教員	伊黒　浩二	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない　②喋らない　③内職しない　④スマホを触らない　以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

特にありません

参考書

学生のための健康管理学（木村康一，永松俊哉・南山堂）　健康・スポーツ科学の基礎（出村愼一監修・杏林書院）　健康・スポーツ科学テキスト　トレーニング科学（北川薫編集・文光堂）　特定健診・保健指導に役立つ　健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂)、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康について	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
2	健康の現状	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
3	中高年者の身体的特徴と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
4	骨粗鬆症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
5	変形性関節症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
6	生活習慣病と運動１　メタボリックシンドローム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
7	生活習慣病と運動２　高血圧症	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
8	生活習慣病と運動３　糖尿病	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
9	生活習慣病と運動４　高脂血症	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二

10	生活習慣病と運動５　虚血性心疾患	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
11	運動（エクササイズ）の基本と考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
12	筋力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
13	全身持久力と筋持久力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
14	ウォーミングアップとクーリングダウンの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
15	講義全体のまとめ	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　〈DP③④〉　授業の 2/3 回以上の出席が必要			①70%　②30%

授業科目名	栄養学（理学）				
主担当教員	南方　克之		担当教員	南方　克之	
科目ナンバリング	CS20010	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

国民総医療費は 38 兆 5850 億円に達し、その医療費の 55.6%は 65 歳以上の高齢者が占めているとのことである。2013 年度の高齢者数は 3190 万人（全人口の 25.1%）であるが、2030 年度には 3685 万人（31.6%）に達すると予測されている。総医療費の半分以上を占める高齢者が、15 年後には 3 人に 1 人の割合になることを考えると、いかにして高齢者の健康寿命を長くするかがとても重要になる。1 人でも多くの高齢者が健康で過ごせるように医療従事者が食事指導できることが大切と考え、健康の保持増進に欠くことのできない「栄養」に関する正しい知識を学修する。

学修目標

1．栄養素の種類と働きについて理解し、食生活と疾病の関係性について説明できる。　2．消化と吸収およびエネルギー代謝について説明できる。　3．ライフサイクルと栄養摂取について理解し、栄養アセスメントについて説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．「人体の仕組み」に興味を持って授業に臨んでください。　2．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

『イラスト基礎栄養学第 4 版』大口健司・小野廣紀・田村明／東京教学社

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

森ノ宮医療大学：E 棟 1F 非常勤講師控室／授業外対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	第 1 章「栄養の概念」	予習：教科書（P1～13）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
2	第 2 章「食物の摂取」	予習：教科書（P15～21）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
3	第 3 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」①	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
4	第 4 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」②	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
5	第 4 章「炭水化物の栄養」①	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
6	第 4 章「炭水化物の栄養」②	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
7	第 5 章「脂質の栄養」①	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
8	第 5 章「脂質の栄養」②	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
9	第 6 章「たんぱく質の栄養」①	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
10	第 6 章「たんぱく質の栄養」②	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
11	第 7 章「ビタミンの栄養」①	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方

12	第 7 章「ビタミンの栄養」②	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
13	第 8 章「ミネラルの栄養」①	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
14	第 8 章「ミネラルの栄養」②	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
15	第 9 章「水・電解質の栄養的意義」	予習：教科書（P127～136）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
成績評価方法と基準			割合
定期試験　出題範囲：授業内で扱った範囲			定期試験 100%

授業科目名	身体運動科学（理学）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	CS20011	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

運動・身体活動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズム、適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法および運動療法の実施について学修する。

学修目標

１．運動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズムについて理解し、具体的に述べることができる。【DP③】　２．適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法について理解し、具体的に述べることができる。【DP③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．シラバスに明記されている予習復習を必ず行うこと。　２．授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　３．運動・身体活動に関わる学問であり、解剖学・生理学・運動学の復習が必要です。　４．質問等があれば、授業後に直接研究室に来る、もしくは MORIPA クラスプロファイル「Q&A」から連絡ください。

教科書

資料を配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

杉本　圭： E 棟 4 階研究室／水曜日 4 限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	なぜ、運動が必要なのか？　-運動を無理なく続けられる秘訣を探ってみよう！-	予習：身体にとって運動が必要な理由について考えておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が必要な理由について理解する。(2 時間)	杉本
2	筋肉はどのように収縮するのか？　-運動で用いられる骨格筋について学ぼう！-	予習：骨格筋の構造と収縮の仕組みについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が骨格筋に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
3	セルフチェック①　-まずは自分の身体に目を向けてみよう！-	予習：身体組成に関わる評価方法について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、評価結果と効果的な運動療法の実践について理解する。(2 時間)	杉本
4	運動時の生理機能は？　-運動による身体の反応について学ぼう！-	予習：運動時の生理機能について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の生理機能について理解する。(2 時間)	杉本
5	疾病の予防と治療のための栄養・運動　-生活習慣病予防に必要な取り組み方を学ぼう！-	予習：生活習慣病とは何か調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、生活習慣病の予防と治療のための栄養管理と運動療法について理解する。(2 時間)	杉本
6	ストレッチングの基礎と実際　-使えていない関節を探してみよう！-	予習：ストレッチングの種類、生理学について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、ストレッチングが運動に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本

7	有酸素運動の基礎と実際　-効率の良い走り方とは？-	予習：有酸素運動はどのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、有酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
8	無酸素運動の基礎と実際　-筋肉量が増えるのは良いことか？-	予習：無酸素運動は、どのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、無酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
9	運動と環境　-運動すると体温はどうなる？-	予習：熱中症の病態について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の熱中症の予防および治療方法について理解する。(2 時間)	杉本
10	運動と栄養・食生活　- 青年・中年期の生活習慣を見直そう -	予習：栄養素の役割および食事バランスガイドを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、日常の食事と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
11	運動と疲労　-運動して疲れた身体を超回復！-	予習：運動における疲労について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動と疲労の関係について理解する。(2 時間)	杉本
12	エイジング（加齢、老化）と運動　-歳を重ねると身体はどうなる？-	予習：加齢によって起こる身体の変化について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、老化と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
13	運動と心の健康：メンタルヘルス　-運動の精神機能への影響は？-　セルフチェック②　-継続は力なり。身体は変化する！-	予習：メンタルヘルスについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動習慣定着のための介入方法を理解する。(2 時間)	杉本
14	運動と医療　-運動と医療の関わりについて考えてみよう！-	予習：運動が身体に及ぼす影響について確認しておく．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，運動と医療の関係性について理解する．(2 時間)	杉本
15	講義全体のまとめ	予習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)　復習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)	杉本
成績評価方法と基準			割合
１．筆記試験【DP③】　２．毎回の授業後に課すレポート課題【DP③】　＊試験・課題に対して，必要に応じて随時解説を実施する。			１．60%　２．40%

授業科目名	人体の構造演習Ⅰ(運動器)(理学)				
主担当教員	堤 真大		担当教員	堤 真大	
科目ナンバリング	SB20BPTA001	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜3限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

人体の構造演習(運動器)（理学）のⅠとⅡでは、人体の基礎を構成し、運動器の中心的な役割を担う骨格系と筋肉系を学習する。骨格系については、骨の分類・構造などの総論と、個々の骨の解剖構造や形態的特徴、ならびに隣接骨間の連結などを、講義のみならず骨模型実習を通して学習する。筋肉系については、筋肉（筋）の分類・構造などの総論に加えて、個々の筋の起始、停止、支配神経、作用などを学習する。これらの学習を通じて、骨と筋が運動器として機能するときにどのような連携しているか考えるとともに、運動時に重要な役割を果たしている関節や靱帯の形態と機能についても理解を深める。 前期に実施する「人体の構造演習Ⅰ(運動器)(理学)」では、骨格系・骨の連結・筋肉系の総論、ならびに上肢の骨格系と筋肉系を学習する。

学修目標

（1）骨の構造と連結の概要、ならびに全身の骨格系の概要が説明できる（DP①②③） （2）筋肉の構造とはたらきの概要、ならびに筋肉系を支える構造の概略が説明できる（DP①②③） （3）上肢の各骨の主要構造や主要部位の名称が言えるとともに、これらがどう配置しているかが説明できる（DP①②③） （4）上肢の各筋の存在部位とはたらき、ならびに他筋との位置関係が説明できる（DP①②③） （5）上肢の主要関節の構造とそれに係わる筋の作用が説明できる（DP①②③）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義内容（スライド）はPDFにして、あらかじめに配布するので、これを元に予習ノートを作成する。講義前に簡易な小テストを行い予習の程度を評価する。実習は講義室とは別の部屋で行われる。実習では口頭試問を行い、これを成績評価に含める。

教科書

「標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野 解剖学(第5版) 」　編集　野村　嶬　（医学書院）

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

C棟6階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	解剖学とは・オリエンテーション	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
2	組織学総論	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
3	骨・関節学総論1	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
4	骨・関節学総論2	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
5	筋学総論1	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノー	堤

		トの加筆と修正（1 時間）	
6	筋学総論２	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
7	骨学各論：上肢の骨と連結１	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
8	骨学実習：上肢の骨の観察１(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
9	骨学実習：上肢の骨の観察２(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
10	骨学各論：上肢の骨と連結２	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
11	骨学実習：上肢の骨の観察３(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
12	骨学実習：上肢の骨の観察４(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
13	筋学各論：浅背筋群と浅胸筋群	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
14	筋学各論：上肢帯の筋と上腕の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
15	筋学各論：前腕の筋と手の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP①②③）。筆記試験は 60 点満点、これに 30 点満点の口頭試問、講義前の 10 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり口頭試問と小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 口頭試問 30% 小テスト 10%

授業科目名	人体の構造演習Ⅱ(運動器)(理学)				
主担当教員	堤　真大		担当教員	堤　真大	
科目ナンバリング	SB20BPTA002	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体の構造演習(運動器)（理学）のⅠとⅡでは、人体の基礎を構成し、運動器の中心的な役割を担う骨格系と筋肉系を学習する。骨格系については、骨の分類・構造などの総論と、個々の骨の解剖構造や形態的特徴、ならびに隣接骨間の連結などを、講義のみならず骨模型実習を通して学習する。筋肉系については、筋肉（筋）の分類・構造などの総論に加えて、個々の筋の起始、停止、支配神経、作用などを学習する。これらの学習を通じて、骨と筋が運動器として機能するときにどのような連携しているか考えるとともに、運動時に重要な役割を果たしている関節や靱帯の形態と機能についても理解を深める。 後期に実施する「人体の構造演習Ⅱ(運動器)(理学)」では、下肢と体幹（頭蓋・脊柱・胸郭）の骨格系と筋肉系を学習する。

学修目標

（１）下肢と体幹の各骨の主要解剖構造や主要部位の名称が言えるとともに、これらがどう配置しているかが説明できる(DP①②③)　（２）下肢と体幹の各筋の存在部位とはたらき、ならびに他筋との位置関係が説明できる(DP①②③)　（３）下肢と体幹の主要関節の構造とそれに係わる筋の作用が説明できる(DP①②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義内容（スライド）は PDF にして、あらかじめに配布するので、これを元に予習ノートを作成する。講義前に簡易な小テストを行い予習の程度を評価する。実習は講義室とは別の部屋で行われる。実習では口頭試問を行い、これを成績評価に含める。

教科書

「標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野 解剖学(第 5 版) 」　編集　野村　嶬　（医学書院）

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

C 棟 6 階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木　昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	骨学各論：下肢の骨と連結１	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
2	骨学実習：下肢の骨の観察１(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
3	骨学実習：下肢の骨の観察２(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
4	骨学各論：下肢の骨と連結２	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
5	骨学実習：下肢の骨の観察３(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤

6	骨学実習：下肢の骨の観察４(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
7	筋学各論：下肢帯の筋と大腿の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
8	筋学各論：下腿の筋と足の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
9	骨学各論：脊柱・胸郭	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
10	骨学実習：脊柱・胸郭の観察(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
11	骨学各論：頭蓋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
12	骨学実習：頭蓋の観察(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
13	筋学各論：表情筋・咀嚼筋・頸部の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
14	筋学各論：深胸部の筋と腹部の筋・深背部の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
15	まとめ・予備日	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP①②③）　。筆記試験は 60 点満点、これに 30 点満点の口頭試問、講義前の 10 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり口頭試問と小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 口頭試問 30% 小テスト 10%

授業科目名	人体の構造Ⅰ(神経系)(理学)				
主担当教員	堤 真大		担当教員	堤 真大	
科目ナンバリング	SB20BPTA003	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

人体の構造Ⅰ（神経系）では、系統解剖学の立場から、中枢神経系、末梢神経系、感覚器について学習する。末梢神経系では、感覚器により得られた外界の情報を中枢神経に送り、中枢神経で処理された出力情報を末梢効果器に伝えるシステムについて学修する。 さらに運動神経系、感覚神経系、自律神経系の機能と形態との関連性について学修する。中枢神経系では、外界からの様々な情報 を処理・統合して行動、情動、思考、記憶など高度な機能を営むシステムについて学修する。感覚器では、外界の情報を受容する組織・器官の構造と機能について学修する。これらの学修を通じて、生体が外界からの情報処理と統合を行うシステムの形態学的構成・特徴について理解を深める。

学修目標

（1）感覚器の種類と基本的構造を説明できる（DP②③） （2）末梢神経系の基本的構成を説明できる（DP②③） （3）中枢神経系の基本的構成を説明できる（DP②③） （4）感覚器、末梢神経系、中枢神経系による情報処理の仕組みの概要を説明できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義の進捗によってはシラバスに提示している講義の順番を多少前後入れ替えることがある。その場合は、授業前に都度説明する。講義内容（スライド）はPDFにして、あらかじめに配布する。講義後に簡易な小テストを行い、講義の理解度を評価する。

教科書

野村嶬 編集 『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学（第5版)』 医学書院

参考書

藤田恒太郎『人体解剖学 改訂第42版』(南江堂) クロスマン、ニアリー（水野、野村 訳)『神経解剖カラーテキスト第2版』(医学書院)

研究室／オフィスアワー

C棟6階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	神経系総論・神経組織	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
2	脊髄	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
3	脳幹	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
4	小脳・間脳	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
5	終脳	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤

6	髄膜と脳室	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
7	脳の血管	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
8	下行性伝導路	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
9	上行性伝導路	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
10	脳神経①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
11	脳神経②・自律神経	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
12	脊髄神経①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
13	脊髄神経②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
14	感覚器①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
15	感覚器②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③）。筆記試験は 60 点満点、これに 40 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 小テスト 40%

授業科目名	人体の構造Ⅱ(循環・内臓)(理学)				
主担当教員	堤 真大		担当教員	堤 真大	
科目ナンバリング	SB20BPTA004	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

人体の構造Ⅱ（循環・内臓）では、循環系と内臓系とを中心に人体の正常構造について系統解剖学の立場から基本的な概念と知識の習得を目指す。臨床系専門科目に先駆けて、心臓血管系、リンパ系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、内分泌系など多岐におよぶ学習範囲を系統立てて学修する。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者として基盤となる知識や論理性のある思考能力を身につける。

学修目標

①循環系（心臓血管系、リンパ系など）の基本的構成を説明できる。(DP②③)　②内臓系（消化器、呼吸器、泌尿器、生殖器、内分泌器など）の基本的構成を説明できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義の進捗によってはシラバスに提示している講義の順番を多少前後入れ替えることがある。その場合は、授業前に都度説明する。講義内容（スライド）は PDF にして、あらかじめに配布する。講義後に簡易な小テストを行い、講義の理解度を評価する。

教科書

野村嶬　編集　『標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学（第 5 版)』　医学書院

参考書

藤田恒太郎『人体解剖学　改訂第 42 版』(南江堂)

研究室／オフィスアワー

C 棟 6 階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	循環器系総論	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
2	心臓①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
3	心臓②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
4	動脈系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
5	動脈系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
6	静脈系・リンパ系	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
7	呼吸器系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤

8	呼吸器系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
9	消化器系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
10	消化器系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
11	消化器系③	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
12	泌尿生殖器系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
13	泌尿生殖器系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
14	泌尿生殖器系③	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
15	内分泌系・まとめ	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③）。筆記試験は 60 点満点、これに 40 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 小テスト 40%

授業科目名	人体の構造実習（理学）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久	
科目ナンバリング	SB20BPTB005	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体の構造的、機能的最小単位である細胞には様々な形態を有しているものがあり、器官・臓器はそれらが一定の秩序に従って構成されている。本実習ではヒトの身体から頂いた組織標本の顕微鏡観察を通じて、これまで学習した「人体の構造」と「人体の機能」について、ミクロからマクロまで関連づけながら理解を深めるとともに、生命の尊厳についても学習する。

学修目標

生物の最小単位である細胞がいかなる「形態」を有し、どのような「機能」を発揮しうるのかについて「観察」を通じて理解を深めることで、各器官・臓器の機能についてもより深く理解し、さらに疾病における形態変化がどのような機能障害を生じるかについても考察できるようにする。〈DP①②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 組織学の理解を深めることは、解剖学や生理学のみならず病理学や病態学の理解を深めることにつながることから、積極的に学習すること。　2. 顕微鏡観察においては観察力を身につける努力をすること。　3. 毎回テーマが異なるため極力欠席をしないようにすること。　4. 実習で扱う顕微鏡やプレパラートは精密機器かつ貴重な資料であることから、丁寧に取り扱うこと。　5. 実習室は精密機器を扱うことから飲食を禁止する。　6. 受講にあたっては最低限の礼儀をわきまえること。また私語などは授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる場

教科書

適宜プリントを配布する

参考書

1. 伊藤隆、阿部和厚　著. 組織学　第 19 版.　南山堂. 2005 年.　2. 野上晴雄　著. 新組織学（Q シリーズ）改訂第 6 版. 日本医事新報社. 2016 年.

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室 707：木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習の進め方、組織学の歴史、組織学総論（4 大組織）についての解説、顕微鏡の使用方法	予習：人体の構造、機能で学んだ組織・細胞の確認（解剖学 p8-18）　復習： 4 大組織について復習すること（解剖学 p11-18、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	上皮組織 1：上皮組織（皮膚組織）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p11-14、p327-330）の確認　復習：観察した上皮組織および皮膚組織の構造について復習すること（解剖学 p11-14、p327-330、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
3	消化器系 1：消化管（食道、胃）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p374-376、生理学 p150-155）の確認　復習：観察した食道、胃の構造について復習すること（解剖学 p374-376、生理学 p150-155、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

4	消化器系 2：消化管（小腸、大腸）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p376-379、生理学 p155-159）の確認　復習：観察した小腸、大腸の構造について復習すること（解剖学 p376-379、生理学 p155-159、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
5	消化器系 3：肝臓、膵臓（外分泌）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p379-382、生理学 p155-160）の確認　復習：観察した肝臓、膵臓（外分泌）の構造について復習すること（解剖学 p376-379、生理学 p155-160、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
6	消化器系 4：甲状腺、膵臓（ランゲルハンス島）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p381-382、408、生理学 p169-173）の確認　復習：観察した甲状腺、膵臓（ランゲルハンス島）の構造について復習すること（解剖学 p381-382、408、生理学 p169-173、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	呼吸器系：気管、肺についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p384-390、生理学 p124-131）の確認　復習：観察した気管、肺の構造について復習すること（解剖学 p384-390、生理学 p124-131、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	循環器系：心・血管（動静脈）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p339-344、生理学 p96-109）の確認　復習：観察した心・血管（動静脈）の構造について復習すること（解剖学 p339-344、生理学 p96-109、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	泌尿器系：腎（糸球体および尿細管）についての観察および解説	予習：シラバス・教科書（解剖学 p392-397、生理学 p137-144）の確認　復習：観察した腎、膀胱の構造について復習すること（解剖学 p392-397、生理学 p137-144、配布資料）なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	筋組織：横紋筋、平滑筋、心筋についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p163-167、生理学 p49-62）の確認　復習：観察した筋組織の構造について復習すること（解剖学 p163-167、生理学 p49-62、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	骨格系：骨・軟骨組織（気管軟骨・骨端軟骨）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p15-16、生理学 p63-64）の確認　復習：観察した骨・軟骨組織の構造について復習すること（解剖学 p15-16、生理学 p63-64、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	神経組織：神経組織（脊髄、大脳、小脳）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p239-243、260-263、266-271、生理学 p19-28）の確認　復習：観察した神経組織の構造について復習すること（解剖学 p239-243、260-263、266-271、生理学 p19-28、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
13	生殖器系：生殖腺（精巣、前立腺、卵巣、子宮）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p399-404、生理学 p188-195）の確認　復習：観察した精巣、卵巣、子宮の構造について復習すること（解剖学 p399-404、生理学 p188-195、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
14	生殖器系：感覚器（眼球（角膜・網膜））についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p330-333、生理学 p70-74）の確認　復習：観察した眼球（角膜・網膜）の構造について復習すること（解剖学 p330-333、生理学 p70-74、配布	川畑

		資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	
15	組織学のまとめ:これまで観察してきた正常組織像の総復習	予習：これまでの講義を振り返る（教科書、配布資料）　復習：教科書、配布資料などの振り返りを行うこと。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 実習レポートの提出〈DPDP①②③④〉　（※実習レポートは授業終了後必ず提出すること。評価基準は授業開始時に提示する。なおレポートの未提出は欠席とみなす場合もある。）　2. 定期試験〈DP④〉　3. 4/5 以上の出席が必要　4. 実習レポートに対するフィードバックの方法：実習レポートや授業内の小テストは翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示する。			1. 50%　2. 50%

授業科目名	人体の機能Ⅰ(動物性機能)(理学)				
主担当教員	竹下　ひかり		担当教員	竹下　ひかり	
科目ナンバリング	SB20BPTA006	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学について学ぶ。人体の正常な機能について学習し、医学の他の分野を学ぶための基礎を身につけることを目的とする。人体の機能Ⅰでは、神経系と血液を中心に取り扱う。

学修目標

細胞の構造と機能のあらましを述べることができる。(DP①②③)

神経細胞とシナプスについて概説することができる。(DP①②③)

中枢神経の主要部位の構造とその主な機能を述べることができる。(DP①②③)

感覚の受容について述べることができる。(DP①②③)

筋肉の収縮・弛緩について述べることができる。(DP①②③)

血液の組成と、それぞれの成分の役割を説明できる。(DP①②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

生理学　第6版(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)　執筆：岡田隆夫、鈴木敦子、渡邉 マキノ　ISBN978-4-260-05318-1 医学書院

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室はC棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripaでご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生理学序論	予習：要さない　復習：講義プリント　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
2	生命現象と人体	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
3	細胞の構造と機能	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
4	神経の興奮伝導と末梢神経（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
5	神経の興奮伝導と末梢神経（2）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
6	中枢神経（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
7	中枢神経（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
8	講義前半振り返りまとめ授業　中枢神経（３）・感覚（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり

9	感覚（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
10	感覚（３）・骨	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
11	筋肉（その１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
12	筋肉（その２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
13	振り返りまとめ授業　血液（その１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
14	血液（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間　（別途、練習問題を解く時間を要する）	竹下　ひかり
15	講義全体の総復習　定期試験	予習・復習：第１～１５回講義　定期試験準備	竹下　ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験（DP①②③）			100%

授業科目名	人体の機能Ⅱ(植物性機能)(理学)				
主担当教員	竹下 ひかり		担当教員	竹下 ひかり	
科目ナンバリング	SB20BPTA007	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学について学ぶ。人体の正常な機能について学習し、医学の他の分野を学ぶための基礎を身につけることを目的とする。人体の機能 II では、循環器・消化器をはじめとした内臓を中心に取り扱う。

学修目標

心臓と血管のあらましを説明できるとともに、循環調節について概説することができる。〈DP①②③〉

呼吸力学とガスの運搬を概説できるとともに、呼吸調節について説明できる。〈DP①②③〉

腎臓の働きについて説明できるとともに、体液調節の仕組みについて述べることができる。〈DP①②③〉

消化と吸収の仕組みを概説できる。〈DP①②③〉

さまざまなホルモンの分泌の仕組みと働きについて説明できる。〈DP①②③〉

代謝と体温の調節について概説できる。〈DP①②③〉

生殖と発生のあらましを説明できる。〈DP①②③〉

運動に伴う人体の機能変化について説明できる。〈DP①②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

生理学　第 6 版(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)　執筆：岡田隆夫、鈴木敦子、渡邉 マキノ　ISBN978-4-260-05318-1 医学書院

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室は C 棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripa でご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	呼吸（１）	予習：必要ありません。　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
2	呼吸（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
3	腎臓（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
4	腎臓（２）・酸塩基平衡	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
5	消化（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
6	消化（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり

7	代謝と体温	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
8	振り返りまとめ授業　内分泌（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
9	内分泌（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
10	生殖と発生	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
11	循環（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
12	循環（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
13	振り返りまとめ授業　循環（３）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
14	運動生理	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間　（別途、練習問題を解く時間を要します。）	竹下　ひかり
15	講義全体の総復習・定期試験	予習：練習問題　復習：第１～１５回講義　学習所要時間目安：合計二時間　（別途、定期試験準備の必要があります。）	竹下　ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験〈DP①②③〉			100%

授業科目名	基礎運動学（理学）				
主担当教員	中田　光海		担当教員	中田　光海	
科目ナンバリング	SB20BPTA008	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

基礎運動学では、人体の構造と機能（骨、筋、神経）をふまえ、人体が空間のなかでどのように動くかを学習する。　特に重力の影響を受けた状態での運動について理解することを目的とする。

学修目標

空間の中での身体の運動を理解できる。<DP①②>　身体の運動に関与している骨、関節、靱帯、筋について説明できる。<DP①②>　　また、各関節固有の運動について用語を理解・記憶し、他者に対して説明できる。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

解剖学・生理学の知識が必要となるため必ず復習すること。

教科書

中村隆一　『基礎運動学』　医歯薬出版

参考書

Donald A. Neumann　『筋骨格系のキネシオロジー』　医歯薬出版　A.I.Kapandji　『カパンジー　関節の生理学』　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

中田：木曜 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：教科書該当ページを呼んで予習する。(60 分)　復習：資料を基に講義内容について復習する。(60 分)	中田
2	力学の基礎～速度と加速度，エネルギーを理解する～	予習：教科書該当ページを呼んで予習する。(60 分)　復習：資料を基に講義内容について復習する。(60 分)	中田
3	力学の基礎～関節モーメントと重心位置を理解する～	予習：教科書該当ページを呼んで予習する。(60 分)　復習：資料を基に講義内容について復習する。(60 分)	中田
4	姿勢～姿勢とアライメントと重心動揺～	予習：教科書該当ページを呼んで予習する。(60 分)　復習：資料を基に講義内容について復習する。(60 分)	中田
5	股関節の構造と機能	予習：事前予習動画を視聴し，課題を実施する。(60 分)　復習：予習動画を再度視聴し，課題を復習する。(60 分)	中田
6	膝関節の構造と機能	予習：事前予習動画を視聴し，課題を実施する。(60 分)　復習：予習動画を再度視聴し，課題を復習する。(60 分)	中田
7	膝関節の構造と機能	予習：事前予習動画を視聴し，課題を実施する。(60 分)　復習：予習動画を再度視聴し，課題を復習する。(60 分)	中田
8	足関節の構造と機能	予習：事前予習動画を視聴し，課題を実施する。(60 分)　復習：予習動画を再度視聴し，課題を復習する。(60 分)	中田
9	足部の構造と機能	予習:事前予習動画を視聴し,課題を実施する。(60 分)　復習:予習動画を再度視聴し，課題を復習する。(60 分)	中田

10	肘関節の構造と機能	予習:事前予習動画を視聴し,課題を実施する。(60 分)　復習:予習動画を再度視聴し,課題を復習する。(60 分)	中田
11	手関節・手指の構造と機能	予習:事前予習動画を視聴し,課題を実施する。(60 分)　復習:予習動画を再度視聴し,課題を復習する。(60 分)	中田
12	肩関節の構造と機能	予習:事前予習動画を視聴し,課題を実施する。(60 分)　復習:予習動画を再度視聴し,課題を復習する。(60 分)	中田
13	脊柱の構造と機能	予習:事前予習動画を視聴し,課題を実施する。(60 分)　復習:予習動画を再度視聴し,課題を復習する。(60 分)	中田
14	歩行	予習:教科書該当ページを呼んで予習する。(60 分)　復習:資料を基に講義内容について復習する。(60 分)	中田
15	まとめ	予習:事前予習動画を視聴し,課題を実施する。(60 分)　復習:予習動画を再度視聴し,課題を復習する。(60 分)	中田
成績評価方法と基準			割合
課題<DP①>　期末試験<DP①②>			課題:20% 定期試験:80%　60%以上で単位認定とする.

授業科目名	臨床運動学（理学）				
主担当教員	河西　謙吾		担当教員	河西　謙吾／中田　光海	
科目ナンバリング	SB20BPTB009	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

動作や運動の障害を治療する理学療法士にとって関節運動の異常を運動学的に分析することは重要な能力である。なぜ？このような異常な関節運動が生じるのかを解剖学・運動学の知識から各関節における臨床的な応用について学ぶ。

学修目標

1．バイオメカニクスの観点から運動器疾患の病態を理解する（DP①②④）　2．代表的な関節運動の異常を運動学的に説明できる（DP①②④）　3．理学療法における運動学の臨床応用を理解する（DP①②④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．　1年次に行った解剖学・運動学を復習して臨んでください　2．　授業と並行して取り組んでいただく演習課題がありますので、計画的に遂行してください　3．　わからないことは積極的に担当教員と連携をとって進めて下さい

教科書

運動器疾患の『なぜ？』がわかる臨床解剖学　医学書院　工藤慎太郎

参考書

中村隆一：基礎運動学

研究室／オフィスアワー

各担当教員に個別にアポイントメントを取ってください。適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：解剖学・運動学について復習する。（60 分）　復習：資料を基に講義内容について復習する。(60 分)	河西
2	肩関節拘縮の病態運動学１-挙上制限を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
3	肩関節拘縮の病態運動学２-動的安定化機構を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
4	投球障害肘の病態運動学-内側支持機構を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
5	変形性股関節症の病態運動学１-静的安定化機構を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
6	変形性股関節症の病態運動学２-動的安定化機構を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西

7	講義前半まとめ	予習：該当範囲の基礎理論を、教科書とノートで復習しておく（60 分）。　復習：演習を含めた授業内容の応用を考案し、実践する（60 分）。	河西
8	変形性膝関節症の病態運動学１-屈曲制限を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
9	変形性膝関節症の病態運動学２-伸展制限を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
10	足関節捻挫の病態運動学-背屈制限を理解する	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
11	歩行のバイオメカニクス	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
12	腰痛の病態運動学-体幹の安定化機構を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田
13	頚椎症の病態運動学-頸椎の異常運動を理解する-	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田
14	講義後半のまとめ	予習：該当範囲の基礎理論を、教科書とノートで復習しておく（60 分）。　復習：演習を含めた授業内容の応用を考案し、実践する（60 分）。	河西・中田
15	講義全体のまとめ	予習：該当範囲の基礎理論を、教科書とノートで復習しておく（60 分）。　復習：演習を含めた授業内容の応用を考案し、実践する（60 分）。	河西・中田
成績評価方法と基準			割合
・小テスト（DP①②④）　・筆記試験（DP①②④）			筆記試験（70%）、小テスト（30%）

授業科目名	運動学実習（理学）				
主担当教員	前田　薫		担当教員	前田　薫／檜垣　奨	
科目ナンバリング	SB20BPTA010	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業において、学生は、運動学の知識を測定・解析に用いる方法の概略と論理的思考の基礎を習得することを目指し、各種測定機器を用いて、基礎～発展レベルの測定および実験を実施する。専門的な機器の操作は難解なため、教員の指示にしたがって実施する。そして、実験の目的に沿ったデータ解析を経験する。

学修目標

・運動学の知識を測定・解析に用いる方法の概略と論理的思考の課程を説明できる（DP①②④）　・測定および実験のプロセスに基づくデータ解析が実践できる（DP①②④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・グループワークが中心です。

教科書

中村隆一　『基礎運動学』　医歯薬出版

参考書

指定なし。

研究室／オフィスアワー

各教員に事前にアポイントメントを取ってください。具体的には各担当教員から指示があります。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【オリエンテーション】　・実習の進め方の説明	予習：予習資料を確認しておく（0.5 時間）。　復習：講義ノートを参照しながら予習資料を再確認する（0.5 時間）。	前田、檜垣
2	実験および測定の説明①	予習：予習資料を確認しておく（30 分）。復習：講義ノートを参照しながら予習資料を再確認する（30 分）。	前田、檜垣
3	実験および測定の説明②	予習：予習資料を確認しておく（30 分）。復習：講義ノートを参照しながら予習資料を再確認する（30 分）。	前田、檜垣
4	実験および測定の説明③	予習：前回までのノートを資料を確認しておく（0.5 時間）。　復習：筆記試験で知識が不確実であったと感じた項目について、ノートを参照して復習する（0.5 時間）。	前田、檜垣
5	実験および測定の説明④	予習：前回までのノートを資料を確認しておく（0.5 時間）。　復習：筆記試験で知識が不確実であったと感じた項目について、ノートを参照して復習する（0.5 時間）。	前田、檜垣
6	実験および測定の説明⑤	予習：実施する測定および実験について、ノートを参照して手順を確認しておく（0.5 時間）　復習：実施した測定よび実験の目的と手順を文章化しておく（0.5 時間）	前田、檜垣
7	実験および測定の説明⑥	予習：実施する測定および実験について、ノートを参照して手順を確認しておく（0.5 時間）　復習：実施した測定よび実験の目的と手順を文章化しておく（0.5 時間）	前田、檜垣

8	実験および測定の説明⑦	予習：実施する測定および実験について、ノートを参照して手順を確認しておく（0.5 時間）　復習：実施した測定よび実験の目的と手順を文章化しておく（0.5 時間）	前田、檜垣
9	実験および測定の説明⑧	予習:実施する測定および実験について、ノートを参照して手順を確認しておく(0.5 時間)　復習:実施した測定よび実験の目的と手順を文章化しておく（0.5 時間）	前田、檜垣
10	実験および測定の説明⑨	予習:実施する測定および実験について、ノートを参照して手順を確認しておく(0.5 時間)　復習:実施した測定よび実験の目的と手順を文章化しておく（0.5 時間）	前田、檜垣
11	実験および測定の説明⑩	予習:実施する測定および実験について、ノートを参照して手順を確認しておく(0.5 時間)　復習:実施した測定よび実験の目的と手順を文章化しておく（0.5 時間）	前田、檜垣
12	実験および測定の説明⑪	予習：データ解析の手順を復習しておく（0.5 時間)。　復習：次回の進行目標を具体的にしておく（0.5 時間)。	前田、檜垣
13	実験および測定の説明⑫	予習：データ解析の手順を復習しておく（0.5 時間)。　復習：解析結果の解釈をしておく（0.5 時間)。	前田、檜垣
14	実験および測定の説明⑬	予習：データ解析の手順を復習しておく（0.5 時間)。　復習：次回の進行目標を具体的にしておく（0.5 時間)。	前田、檜垣
15	実験および測定の説明⑭	予習：データ解析の手順を復習しておく（0.5 時間)。　復習：解析結果の解釈をしておく（0.5 時間)。	前田、檜垣
成績評価方法と基準			割合
中間試験（DP①②④）　グループ発表（DP①②④）			中間試験 40%　グループ発表 60%　2/3 以上の出席が必要。　フィードバック：理解をよりよくするために必要と思われた事項を伝える。

授業科目名	臨床心理学（理学）				
主担当教員	海蔵寺　陽子		担当教員	海蔵寺　陽子	
科目ナンバリング	SB20BPTA011	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床心理学は、人間の不適応行動の研究や治療を目的とする心理学です。授業では、人の心の構造のほか、具体的な心理検査や心理療法について学習します。

学修目標

1．心の病気とその症状を理解する〈DP①②③〉　2．各種の心理検査について理解し、その特徴を説明できる〈DP①②③〉　3．各種の心理療法について理解し、その特徴を説明できる〈DP①②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．身近な経験を臨床心理学的に考えてみること　2．疑問を大切にし、解決に向けて行動すること

教科書

初めての講義　リハビリテーションのための臨床心理学　牧瀬英幹　著　　南江堂

参考書

はじめての臨床心理学　　森谷寛之・竹松志乃　編著　　北樹出版

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床心理学とは	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　教科書の確認　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
2	心理療法とは	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　心の健康について考えてみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
3	精神力動的心理療法 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　心の働きについて新聞・テレビ・メディア記事などをひとつ調べる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
4	精神力動的心理療法 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　精神分析について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
5	精神力動的心理療法 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　自分の見た夢を記録してみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
6	行動療法 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　行動療法について教科書を読んでおく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
7	行動療法 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　学習理論について調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
8	クライエント中心療法	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　傾聴について調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
9	森田療法	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：　心理療法に関する新聞･テレビ･メディア記事などをひとつ調べておく　復習：　授業をもと	海蔵寺　陽子

		にノート、教科書の確認	
10	内観療法	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理療法に関する新聞･テレビ･メディア記事などをひとつ調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
11	家族療法	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理療法に関する新聞･テレビ･メディア記事などを調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
12	心理テスト1	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理テストを実施する際、注意すべきことは何か考えてみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
13	心理テスト2	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　性格や知能について考える、またそれらについて新聞･テレビ･メディア記事などを使って調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
14	心理テスト3	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　けがや病気によって失われる知的機能について、新聞･テレビ･メディア記事などを使って調べておく　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
15	講義全体のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習：　心理療法、心理テストを実施するときの注意点について考えてみる　復習：　授業をもとにノート、教科書の確認	海蔵寺　陽子
成績評価方法と基準			割合
①期末試験〈DP①②③〉　②平常点（レポート、授業態度など）〈DP①②③〉			①80%　②20%

授業科目名	リハビリテーション概論（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／前田　薫／澤田　優子／工藤慎太郎／堀　竜次／木内　隆裕	
科目ナンバリング	SB20BPTA012	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

リハビリテーションについて、理学療法を中心にその概要を教授する。

学修目標

1. リハビリテーションをとりまく一般的な知識が理解できる。【DP①②③】　2. リハビリテーションにおける理学療法の領域、位置づけが理解できる。【DP①②③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

下記授業計画は時系列でなく、授業内容はあくまでも教員ごとに展開されるので注意すること。

教科書

なし（適宜資料を配布する）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

各教員のオフィスアワーに準じる

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：リハビリテーションについて現時点での自分の考えをまとめる　復習：リハビリテーションについて講義内容とあわせて考えをまとめる	堀
2	リハビリテーションと理学療法	予習：リハビリテーションにおける理学療法の位置づけについて現時点での自分の考えをまとめる　復習：リハビリテーションにおける理学療法の位置づけについて講義内容とあわせて考えをまとめる	角田
3	疾患と障害、ICIDH と ICF	予習：疾患と障害の関係、国際生活機能分類について現時点での自分の考えをまとめる　復習：疾患と障害の関係、国際生活機能分類について講義内容とあわせて考えをまとめる	角田
4	ADL、QOL の概念と理学療法評価	予習：ADL、QOL について現時点での自分の考えをまとめる　復習：ADL、QOL について講義内容とあわせて考えをまとめる	角田
5	運動器系領域の理学療法 1	予習：運動器系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：運動器系理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	工藤
6	運動器系領域の理学療法 2	予習：運動器系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：運動器系理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	工藤
7	神経系領域の理学療法 1	予習：神経系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：神経系理学	木内

		療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	
8	神経系領域の理学療法２	予習：神経系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：神経系理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	木内
9	内部障害系領域の理学療法１	予習：内部障害系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：内部障害系理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	堀
10	内部障害系領域の理学療法２	予習：内部障害系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：内部障害系理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	堀
11	地域系領域の理学療法１	予習：地域理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：地域理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	澤田
12	地域系領域の理学療法２	予習：地域理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：地域理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	澤田
13	基礎系領域の理学療法１	予習：基礎系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：基礎系理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	前田
14	基礎系領域の理学療法２	予習：基礎系理学療法について現時点での自分の考えをまとめる　復習：基礎系理学療法について講義内容とあわせて考えをまとめる	前田
15	これまでのまとめ	予習：リハビリテーションにおける理学療法の展開について現時点での自分の考えをまとめる　復習：リハビリテーションにおける理学療法の展開について講義内容とあわせて考えをまとめる	角田
成績評価方法と基準			割合
講義の中で適宜課題を提示する			100%

授業科目名	公衆衛生学（理学）				
主担当教員	下埜　敬紀		担当教員	下埜　敬紀	
科目ナンバリング	SB20BPTB013	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床医学が個人の疾病を対象とするのに対して、衛生学、公衆衛生学は集団の健康を対象とする。衛生学、公衆衛生は人間の健康に関係するあらゆる事象を研究し健康の維持増進をはかる学問である。「公衆」はどういう集団を指すのか具体的な事象と対策、法規を学び、将来の健康づくりと疾病の予防に貢献できる力を養う。

学修目標

・産業保健、食品衛生、感染症対策、生活習慣病対策、国際保健、医療・介護の保障制度など公衆衛生が取り扱う主要な分野について個々に学習し、健康・疾病と生活を支える保健医療福祉制度や法的枠組みについて理解する　・集団における健康問題を把握するための方法である疫学や保健統計の基礎について理解する　ことを目標とする。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

公衆衛生学は、学生時代には把握しにくい学問です。しかし、保健医療従事者として現場に立つと多用な面で公衆衛生学の重要性をあらためて実感する時がきますので、そのことを踏まえて学習に取り組んで下さい。

教科書

指定の教科書はありません。講義時に資料を配布します。

参考書

わかりやすい公衆衛生学（第 4 版）　発行：ヌーヴェルヒロカワ

研究室／オフィスアワー

非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	公衆衛生とは	課題：公衆衛生とは何か、健康の概念、国際協力活動について説明できる。	下埜
2	健康の指標（保健統計） 1	課題：社会環境の変動、人口静態統計について説明できる。	下埜
3	健康の指標（保健統計） 2	課題：人口動態統計、死因統計について説明できる。	下埜
4	健康の指標（保健統計） 3	課題：健康状態と受療状況、疾病統計について説明できる。	下埜
5	生活環境の保全（環境保健）	課題：環境と健康疾病との関係、気候変動・対策、公害対策、ゴミ・廃棄物の処理について説明できる。	下埜
6	感染症とその予防（感染症対策）、食品保健 1	課題：感染症とは、予防接種に意義と現状、病原対策（消毒・滅菌）について説明できる。食中毒の分類、現状について説明できる。	下埜
7	感染症とその予防（感染症対策）、食品保健 2	課題：感染症とは、予防接種に意義と現状、病原対策（消毒・滅菌）について説明できる。食中毒の分類、現状について説明できる。	下埜
8	生活習慣病とその予防（成人保健）	課題：社会環境の変動、人口静態統計について説明できる。	下埜
9	疫学的方法 1	課題：疫学の概念、疫学研究のデザインについて説明できる。	下埜
10	疫学的方法 2	課題：疫学・検査の指標（スクリーニングテスト、感度・特異度等）について説明できる。	下埜

11	疫学的方法３	課題：相対危険度、寄与危険度、オッズ比を求めることができる。	下埜
12	医療（社会保障と医療経済）・介護の保障制度１	課題：日本における医療保障、医療保険、国民医療費について説明できる。	下埜
13	医療（社会保障と医療経済）・介護の保障制度２	課題：わが国の高齢者医療制度、介護保険制度について説明できる。	下埜
14	地域保健活動	課題：保健所、市町村保健センターの機能、医療サービスの供給体制、救急医療、災害医療について説明できる。	下埜
15	定期試験		下埜
成績評価方法と基準			割合
試験（90%）と授業態度（10%）で成績を評価する。　単位認定基準及び試験受験資格は大学の規定に従う。			試験 90%　受講態度 10%

授業科目名	生化学（理学）				
主担当教員	南方　克之		担当教員	南方　克之	
科目ナンバリング	SB20BPTB014	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

ヒトが生きていくためにはまずエネルギーが必要である。このエネルギーを生み出す仕組みはどうなっているのか。また体内の恒常性を維持する仕組みはどうなっているのか、生体防御の仕組みはどうなっているのか。これらの仕組みの必要性をまずは大きな枠で捉え、その細部のシステムについて、我々の体の中で起こっている様々な化学反応について学修する。

学修目標

1．人体の仕組みについて理解し、説明できる。　2．栄養素の種類とその構造・はたらきについて理解し、説明できる。　3．生体の恒常性を保つシステムと防御するシステムについて理解し、説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．「人体の仕組み」について興味を持って授業に臨んでください。　2．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

「イラスト生化学入門第 4 版」相原英孝他／東京数学社

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

森ノ宮医療大学：E 棟 1F 非常勤講師控室／授業外対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	第 1 章「人体の仕組み」	[予習]教科書（P2～12）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
2	第 2 章「たんぱく質の構造とはたらき」①	[予習]教科書（P13～32）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
3	第 2 章「たんぱく質の構造とはたらき」②	[予習]教科書（P13～32）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
4	第 3 章「糖質の構造とはたらき」①	[予習]教科書（P33～50）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
5	第 3 章「糖質の構造とはたらき」②	[予習]教科書（P33～50）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
6	第 4 章「脂質の構造とはたらき」①	[予習]教科書（P51～62）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
7	第 4 章「脂質の構造とはたらき」②	[予習]教科書（P51～62）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
8	第 5 章「核酸の構造とはたらき」	[予習]教科書（P63～75）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
9	第 6 章「酵素の性質とはたらき」	[予習]教科書（P77～88）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
10	第 7 章「ビタミンの種類とはたらき」	[予習]教科書(P89～100)の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
11	第 8 章「水・無機質のはたらき」	[予習]教科書（P101～114）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
12	第 9 章「栄養素の消化・吸収」	[予習]教科書（P115～126）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之

13	第 10 章「生体の恒常性を保つシステム」	[予習]教科書（P127～136）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
14	第 11 章「エネルギーの消費と供給」	[予習]教科書（P137～150）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
15	第 12 章「生体の防御システム～免疫～」	[予習]教科書（P151～158）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
成績評価方法と基準			割合
定期試験　出題範囲：授業内で扱った範囲			定期試験 100%

授業科目名	病理学（理学）				
主担当教員	竹下　ひかり		担当教員	竹下　ひかり	
科目ナンバリング	SB20BPTB015	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患を中心に、その病因や成り立ち、病態を理解できるよう、さまざまな疾患についての詳細な解説を行う。

学修目標

病気の成り立ちを十分に理解し、その知識を将来臨床の場で生かせるようにする。(DP①)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

『病理学　第 5 版　シリーズ 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野』　監修 横井 豊治　ISBN 978-4-260-04986-3

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室は C 棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripa でご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病理学とは　　退行性病変と進行性病変①	・教科書第三章　の退行性病変（壊死、アポトーシス、変性、萎縮）について理解でき、退行性病変を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
2	退行性病変と進行性病変②	・教科書第三章の進行性病変（肥大、過形成、化生）について理解でき進行性病変を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
3	炎症①	・教科書第七章の急性炎症、慢性炎症について理解でき、説明できる。　・予習・復習に２時間	竹下　ひかり
4	炎症②　　再生と創傷治癒	・教科書第七章の炎症の種類について理解でき、説明できる。教科書第三章の再生と創傷治癒について理解し、説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
5	循環傷害①	・教科書第五章の循環障害（浮腫、充血とうっ血、出血）について理解でき、浮腫、充血とうっ血、出血を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
6	循環傷害②	・教科書第五章の循環障害（血栓症、塞栓症、虚血と梗塞、高血圧、側副循環）について理解でき血栓症、塞栓症、虚血と梗塞、高血圧、側副循環を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり

7	免疫と感染症①	・教科書第六章の免疫（自然免疫と獲得免疫）について理解でき自然免疫と獲得免疫、免疫にかかわる細胞、抗体について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
8	免疫と感染症②	・教科書第六章の免疫について理解できアレルギー、免疫不全について理解できる。感染症について理解でき説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
9	腫瘍①	・教科書第八章の腫瘍（腫瘍の定義、腫瘍の命名と分類）について理解でき腫瘍の定義、腫瘍の命名と分類について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
10	腫瘍②	・教科書第八章の腫瘍（腫瘍の形態、転移、腫瘍の発生病理と原因）について理解でき腫瘍の形態、転移、腫瘍の発生病理と原因について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
11	先天異常と奇形①	・教科書第十章の先天異常について理解でき単一遺伝子疾患、メンデルの法則に従わない遺伝性疾患について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
12	先天異常と奇形②	・教科書第十章の先天異常について理解でき染色体異常症について説明できる。　奇形について理解でき発生原因、種類について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
13	振り返りまとめ授業　代謝異常①	・教科書第四章の代謝異常（アミノ酸代謝障害、核酸代謝障害、脂質代謝傷害）について理解し、説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
14	代謝異常②	・教科書第四章の代謝異常（糖質代謝障害、色素代謝傷害）について理解し、説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
15	重点項目の復習・定期試験	講義全体の振り返り　定期試験対策	竹下　ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末試験（DP②③）			100%

授業科目名	臨床病態学Ⅰ（理学）				
主担当教員	五十嵐　淳介		担当教員	五十嵐　淳介	
科目ナンバリング	SB20BPTB016	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①②に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。　1．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①③に対応　2．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①③に対応　3．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。DP①③に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．内科学（疾病の理解）は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。　2．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。　3．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずノートに板書内容を記載すること。　4．試験前に全部覚えるのは不可能であるから、日常からノートに沿って教科書を活用すること。　5．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。　6．疑問点は大切にし、解決に向けて自発的に行動を起こすこと。　7．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を

教科書

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野（医学書院、ISBN：978-4-260-05608-3）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜日昼休みのうち、掲示するもの。C棟七階15番研究室。電子メールによる面談予約を推奨。junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp　※上記以外の希望時間がある場合、事前にメールで相談すること。面談予約なき訪問には対応しない場合がある。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	循環器疾患（その１）：動脈硬化性疾患総論・血圧の異常	心血管系の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
2	循環器疾患（その２）：虚血性心疾患・心筋の疾患・心不全	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
3	循環器疾患（その３）：心臓弁膜症	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
4	循環器疾患（その４）：心不全・不整脈	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
5	循環器疾患（その５）：先天性心疾患・血管の疾	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態に	五十嵐　淳介

	患	ついて１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	
6	呼吸器疾患（その１）：呼吸器系解剖生理学・呼吸器感染症（１）	呼吸器系の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
7	呼吸器疾患（その２）：呼吸器感染症（２）・拘束性肺疾患	呼吸器系の解剖生理と呼吸器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
8	呼吸器疾患（その３）：閉塞性肺疾患・呼吸調節の異常を伴う疾患	呼吸器系の解剖生理と呼吸器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
9	呼吸器疾患（その４）：肺癌・その他の呼吸器疾患	呼吸器系の解剖生理と呼吸器疾患の病態について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見･治療を合理的に説明できるように1時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
10	腎・尿路疾患（その１）：泌尿器系解剖生理学・慢性腎臓病・糸球体疾患	泌尿器系の解剖生理について1時間予習し、学んだ疾患の病態･所見･治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
11	腎・尿路疾患（その２）：全身性疾患に伴う腎臓病・尿路感染症と結石・泌尿器系腫瘍・前立腺疾患	泌尿器系の解剖生理と腎･尿路疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見･治療を合理的に説明できるように1時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
12	腎・尿路疾患（その３）：電解質と酸塩基平衡の異常	体液とホメオスタシスの生理学的事項を一時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
13	血液疾患（その１）：血液総論・赤血球の疾患・白血球の疾患（１）	血液と血球系の生理学的事項を一時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
14	血液疾患（その２）：白血球の疾患（１）・血小板と凝固の異常	血液と血球系の生理学的事項と血液疾患の病態を一時間予習し、学んだ疾患の病態･所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
15	総括：確認テスト問題の振り返り	期間中に学んだ疾患の病態・所見・治療を１時間予習し、講義後には確認テスト問題や教科書を利用して1時間復習しておくこと。また、本授業の総まとめを 30 時間自宅学習すること。	五十嵐　淳介
成績評価方法と基準			割合
＜成績評価＞　１）１～１４コマの講義終了後に確認テストを実施する（小テスト）。選択式。MORIPA アンケート利用。講義資料・教科書を見ながら解答して構わない。講義終了後７２時間以内に提出せよ。正答率とともに、期限内に提出したか否かを重視する。未提出者は当該テストの評点を０点とする。（DP①③）　２）期末試験。マークシート式。定期試験期間内に実施。(DP①③)　※追再試験は規程に基づき一回だけ実施する。　＜フィードバックの方法＞　確認テストの解答は期間中に数回に分けて公表する。また確認テスト問題の内容につい			評価：　１）30%　２）70%

授業科目名	臨床病態学Ⅱ（理学）				
主担当教員	五十嵐　淳介		担当教員	五十嵐　淳介	
科目ナンバリング	SB20BPTB017	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜１限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①③に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。　１．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①③に対応　２．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①③に対応　３．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。DP①③に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．内科学（疾病の理解）は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。　２．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。　３．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずノートに板書内容を記載すること。　４．試験前に全部覚えるのは不可能であるから、日常からノートに沿って教科書を活用すること。　５．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。　６．疑問点は大切にし、解決に向けて自発的に行動を起こすこと。　７．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を

教科書

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野（医学書院、ISBN：978-4-260-05608-3）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜日昼休み。Ｃ棟七階１５番研究室。電子メールによる面談予約を推奨。　junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp
※上記以外の希望時間がある場合、事前にメールで相談すること。面談予約なき訪問には対応しない場合がある。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	消化器疾患（その１）：口腔と食道の疾患・胃の良性疾患	消化器系の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
2	消化器疾患（その２）：胃癌・炎症性腸疾患・大腸癌	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
3	消化器疾患（その３）：種々の消化管疾患・肝疾患総論・ウイルス性肝炎	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
4	消化器疾患（その４）：その他の肝疾患	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
5	消化器疾患（その５）：胆道疾患・膵疾患	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１	五十嵐　淳介

		時間復習しておくこと。	
6	内分泌疾患（その１）：内分泌器官の解剖生理学・視床下部-下垂体疾患・副腎疾患（１）	内分泌器官の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
7	内分泌疾患（その２）：副腎疾患（２）・甲状腺疾患（１）	内分泌器官の解剖生理と内分泌疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
8	内分泌疾患（その３）：甲状腺疾患（２）・副甲状腺疾患　代謝疾患（その１）：生体代謝の概観・糖尿病	内分泌器官の解剖生理・生体代謝・内分泌疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
9	代謝疾患（その２）：脂質異常症・尿酸代謝の異常・骨粗鬆症	生体代謝と代謝疾患の病態について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
10	膠原病・アレルギー疾患（その１）：生体防御総論・アレルギー・膠原病総論・膠原病各論（１）	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
11	膠原病・アレルギー疾患（その２）：膠原病各論（２）・膠原病類縁疾患・免疫不全症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
12	感染症（その１）：感染症総論・細菌感染症（１）	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
13	感染症（その２）：細菌感染症（２）・真菌症・原虫、寄生虫感染症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
14	感染症（その３）：ウイルス感染症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
15	総括：確認テスト問題の振り返り	期間中に学んだ疾患の病態・所見・治療を１時間予習し、講義後には確認テスト問題や教科書を利用して１時間復習しておくこと。また、本授業の総まとめを 30 時間自宅学習すること。	五十嵐　淳介
成績評価方法と基準			割合
＜成績評価＞　１）１～１４コマの講義終了後に確認テストを実施する（小テスト）。選択式。MORIPA アンケート利用。講義資料・教科書を見ながら解答して構わない。講義終了後７２時間以内に提出せよ。正答率とともに、期限内に提出したか否かを重視する。未提出者は当該テストの評点を０点とする。（DP①③）　２）期末試験。マークシート式。定期試験期間内に実施。(DP①③)　※追再試験は規程に基づき一回だけ実施する。　＜フィードバックの方法＞　確認テストの解答は期間中に数回に分けて公表する。また確認テスト問題の内容につい			評価：　１）30%　２）70%

授業科目名	臨床病態学Ⅲ(理学)				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BPTB018	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

よき医療人として必要不可欠な病態学の知識・考え方について講義します。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようになること、各種疾患の病態・治療を論理的に理解・説明できるようになること、を学ぶと同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を修得する。また、リハビリテーションの実施中やスポーツ中に不慮の心肺停止が起こることを想定し、それに対応できる知識と処置の実際を学びます。その一例として、医療従事者として必要な心肺蘇生法について学びます。

学修目標

1．老化に関係する各種疾病の本質・病態を論理的に理解し、臨床症状・治療法・ケアが合理的に説明できる能力を修得する。 2．症状・徴候を学び、それらか示す意味を理解することで、患者の状態を説明・イメージできる能力を修得する。 3．心・呼吸停止、心肺蘇生について理論的に説明・イメージできるようになるとともに、心肺蘇生法の基本を学び修得する。 4．中枢神経系の解剖生理を通じ脳神経系共通の病態生理の理解を行う。これに基づき、各種疾患（神経・筋疾患）の論理的に理解し、臨床症状・治療法・ケアが合理的に説明できる能力を修得する。 5．その他の領域として、皮膚科（熱傷）、眼科、婦人科・泌尿器科疾患について各種疾病の本質・病態を論理的に理解し、臨床症状・治療法・ケアが合理的に説明できる能力を修得する 〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 初回講義を除き次回の講義範囲について指示しますので、参考書などの関連項目に目を通してきてください。 2. 講義項目毎に復習課題を提示しますので、それらを中心に講義内容を復習してください。 3. 復習課題をもとに出席を兼ねた復習テストを実施し、成績評価に使用します。 4. 講義中の質問等は問題ございませんが私語は慎んでください。積極的な参加も成績評価に加味します。

教科書

なるほどなっとく！脳神経内科学　南山堂　ISBNｺｰﾄﾞ：978-4-525-24971-7　本体価格：3,600円

参考書

標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野　内科学(第3版)　ISBN978-4-260-01707-7（医学書院）　看護のための臨床病態学　改定5版（南山堂）　病気が見えるシリーズ

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟5階 508研究室　　部屋にいれば基本的にはいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。 確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。 e-mail： shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	救急医療の特徴､救急医療体制と搬送システム死の判定と心肺停止の基準　循環の 3 要素とショックの分類、ショック時の体液・循環動態と輸液療法の基本、心肺蘇生術	予習：特に必要なし　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
2	中枢神経系の解剖生理　頭部外傷	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
3	脳血管障害1	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
4	脳血管障害２	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、	松﨑

		復習テストに備えること。	
5	認知症（アルツハイマー病・脳血管性認知症）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
6	大脳基底核疾患	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
7	運動神経・骨格筋の疾患	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
8	脳腫瘍、感染性疾患、てんかん、など	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
9	老年性疾患（１）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
10	老年性疾患（２）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
11	老年性疾患（３）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
12	その他の疾患（皮膚科・眼科・婦人科・泌尿器科疾患）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
13	症候学･症候論と老年症候群における代表的な症候の理解（１）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
14	症候学･症候論と老年症候群における代表的な症候の理解（2）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
15	授業全体の総復習テスト	予習:講義内で指示します　復習:講義内容を復習し定期テストに備える	松﨑
成績評価方法と基準			割合
①講義内実施小テスト：最大 30 点程度（3 回程度予定）　②総まとめテスト　①については、理由の如何に関わらず再試験・追試験は実施しない　②講義内容全範囲に対する理解度を確認する　最終成績評価は、①②の合計を最終成績とする。　出席は受験資格の判定のみに使用する。　出席回数は点数化はしないが、講義開始時に行う小テストは成績へと点数化される。　〈DP①②〉			①小テスト最大 30 点程度として　②総まとめテスト①と②の合計点(満点を 100 点)で成績評価を行う

授業科目名	整形外科学（理学）				
主担当教員	宮田　重樹		担当教員	宮田　重樹	
科目ナンバリング	SB20BPTB019	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限、水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

整形外科疾患は、理学療法士が治療する中心の一つである。　四肢・体幹疾患の理学療法を行う上で知っておくべき整形外科学を学ぶ。　実習に際して必要な知識、国家試験に際して必要な知識、理学療法士として仕事するうえで必要な知識を学ぶ。　教科書、スライドを中心に進め、知識を深める。

学修目標

1. 整形外科疾患をどのように診断するのか学ぶ。　2. 整形外科疾患をどのように治療するのか学ぶ。　3. 整形外科疾患の保存療法と手術療法を学ぶ。　4. 整形外科疾患に対する治療をすすめる上で必要な整形外科学基礎知識を学ぶ。　5. 整形外科疾患が原因の身体障害者に対する基本的動作能力の回復を図るには、何が必要か学ぶ。　6. 運動器の問題を見つける目を育てる。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

私語ｅｔｃ授業の妨げとなる生徒は退場してもらう。

教科書

整形外科テキスト　改訂５版　南江堂

参考書

整形外科疾患の理学療法　金原出版　運動機能障害症候群のマネジメント　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

講義日の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	運動器の構造と機能、姿勢、アライメント	授業に使うスライドのプリント	宮田　重樹
2	整形外科的診断法、整形外科的治療法	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
3	脊椎・脊髄（頸椎）疾患	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
4	脊椎・脊髄（腰椎）疾患	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
5	上肢疾患（肩、肘、手）とリハビリ	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
6	下肢疾患（股、膝、足）とリハビリ	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
7	骨代謝疾患・骨関節系統疾患	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
8	関節症・骨壊死	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
9	骨端症・関節リウマチ・感染性骨関節疾患・骨軟部腫瘍	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
10	ロコモ,フレイル、介護予防、介護保険	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
11	外傷 1	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
12	外傷 2	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
13	末梢神経障害、脊椎損傷	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹

14	脊髄損傷	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
15	スポーツ障害（肩、肘、手、膝、足）	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
成績評価方法と基準			割合
①定期試験　②小テスト　〈DP①③〉			①86% ②14%

授業科目名	小児科学(人間発達学)(理学)				
主担当教員	澤田 優子		担当教員	澤田 優子	
科目ナンバリング	SB20BPTB020	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

小児の正常発達および疾患・治療について講義する。小児の特性について、運動機能面、認知機能面、言語機能面などの多側面から解説する。また、小児疾患に関わる多職種の役割についても解説する。講義中には症例検討やグループワークを実施し、治療の実際を理解することを目標とする。

学修目標

１．人間発達について理解する。　２．小児の疾患・障害を理解する。　３．小児疾患の治療を理解する。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義前、講義後に教科書を読んでおくこと。　随時確認テストを実施します。

教科書

Crosslink 理学療法学テキスト 小児理学療法学　藪中良彦　メジカルビュー社

参考書

１．イラストでわかる人間発達学　上杉 雅之（監修） 医歯薬出版株式会社　２．イラストでわかる小児理学療法　上杉雅之（監修） 医歯薬出版株式会社　３．リハビリテーションのための発達科学入門　浅野大喜（著）出版社：協同医書出版社　その他、講義中に紹介する

研究室／オフィスアワー

月曜日 3 時限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	全般的発達 1	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
2	全般的発達 2	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
3	全般的発達 3	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
4	全般的発達 4	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
5	全般的発達 5	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
6	全般的発達 6	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
7	全般的発達 7	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
8	全般的発達 8	予習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田

9	姿勢と粗大運動 1	予習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
10	姿勢と粗大運動 2	予習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
11	姿勢と粗大運動 3	予習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
12	姿勢と粗大運動 4	予習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
13	姿勢と粗大運動 5	予習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
14	その他の小児疾患 1	予習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
15	その他の小児疾患 2	予習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書の講義該当箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
成績評価方法と基準			割合
成績評価 〈DP①③〉　1.課題（各講義）　2.筆記試験　2/3 の出席が必要			・成績評価 1.20%　2.80%

授業科目名	精神医学（理学）				
主担当教員	正木　慶大		担当教員	正木　慶大／杉本　圭	
科目ナンバリング	SB20BPTB021	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では精神医学を総論的に学ぶ。医学・医療における精神医学の意義と役割り、基本的な理念、精神医療の歴史を概観したのち、多様な精神症状の概念的知識と評価・検査法を体系的に学ぶとともに、身体的基盤を有する精神障害から環境や心理的側面の関与が大きい精神障害に至るまで精神障害の成因論と、薬物・身体療法および精神療法に関する基本的知識を体系的に習得する。

学修目標

1．精神医学の意義と基本的理念を理解し、説明できる。　2．基本的な精神症状の概念を理解し、用語を正しく使用できる。　3．精神障害を生物・心理・社会的な観点から多面的に捉えることができる。　4．精神疾患の分類体系を理解し、その概要を説明できる。　5．代表的な精神疾患の特徴を理解し、その概要を説明できる。　6．精神科的治療の種類と方法を理解し、その概要を説明できる。DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

将来医療従事者となる自覚を持ち、精神医学を学んでください。普段臨床の場で起こった出来事を交えながら講義を行っていく予定です。精神疾患は意外に身近な疾患です。精神疾患は一見するととっつきにくい言葉も多く難しい印象がありますが、理解すればわかりやすく自身のメンタルヘルスにも生かせることがあります。精神医学を楽しく学びましょう。

教科書

精神医学マイテキスト 改訂 2 版、金芳堂　B5 判・216 頁、定価（本体 3,800 円＋税）

参考書

「精神神経疾患ビジュアルブック」学研メディカル秀潤社　　B5 判・326 頁、定価（本体 3,600 円＋税）

研究室／オフィスアワー

非常勤講師なので質問は講義終了後に教室内で受けることにします。Web 講義の場合はメール等で対応する予定です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	精神医学概論	予習：教科書 39～44、195～203　復習：精神科の歴史・法律・医療体系などを見直す。	正木　慶大
2	中枢神経の解剖と生理	予習：教科書 30～38　復習：精神科に関連する中枢神経の解剖、生理学の基礎知識を見直す。	正木　慶大
3	神経徴候	予習：教科書 15～29　復習：精神状態の異常（意識障害・記憶障害・失語）特にせん妄も含めて理解する。	正木　慶大
4	F1 精神作用物質による精神および行動の障害	予習：教科書 109～115　復習：アルコール依存症、その他の依存症を理解する。	正木　慶大
5	F2 統合失調症圏①総論	予習：教科書 63～74　復習：統合失調症の概要（疫学や仮説について）理解する。	正木　慶大
6	F2 統合失調症圏②各論	予習：教科書 63～74　復習：統合失調症の治療について理解する。	正木　慶大
7	F3 気分障害①総論	予習：教科書 75～84　復習：気分障害の概要を理解する。	正木　慶大
8	F3 気分障害②各論	予習：教科書 75～84　復習：気分障害の治療および自殺について理解する。	正木　慶大

9	F0 器質性精神障害①総論	予習：教科書 117～129　復習：認知症の概要を理解する。	正木　慶大
10	F0 器質性精神障害②各論	予習：教科書 117～129　復習：代表的な認知症の症状や治療介入について症例を交えて理解する。	正木　慶大
11	F4 神経症性・ストレス関連障がい	予習：教科書 85～10　復習：パニック障害・不安障害・強迫性障害・ストレス反応・身体表現性障害等を理解する。	正木　慶大
12	F5 生理的障がい・身体的要因に関連した行動症候群	予習：教科書 139～148、157～169　復習：睡眠障害・摂食障害等を理解する。	正木　慶大
13	F6 人格障害	予習：教科書 103～108　復習：人格障害について理解する。	正木　慶大
14	てんかん、心理検査、児童思春期の精神障がい、など	予習：教科書 45～51、131～138、149～156 復習：てんかん、発達障害、心理検査等の理解をする。	正木　慶大
15	授業全体のまとめ	予習：1～14 を見直す。	正木　慶大
成績評価方法と基準			割合
定期試験 DP①③			100%

授業科目名	リハビリテーション医学（理学）					
主担当教員	前田　薫			担当教員	前田　薫	
科目ナンバリング	SB20BPTB022	科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

本講義では、リハビリテーション医学の全体像について説明する。リハビリテーション医学の基礎と思われる事項について講義を行う。

学修目標

リハビリテーション医学の概要を説明できる。　(DP①②)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容が多岐に渡る。したがって、講義内容をより良く理解するためには、各回に指定されている予習・復習を行うことが重要である。

教科書

なし

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

水曜 13 時～14 時 30 分が基本ですが、メールなどでの予約をおすすめします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	総論、ICF、ICIDH	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
2	画像のみかた	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
3	薬剤・栄養・検査値①	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
4	薬剤・栄養・検査値②	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
5	予防	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
6	神経筋疾患①	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
7	神経筋疾患②	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田

8	ADL（FIM を中心に）①	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
9	ADL②	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
10	脳卒中①	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
11	脳卒中②	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
12	脊髄損傷①	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
13	脊髄損傷②	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
14	脳性麻痺	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	前田
15	現在のリハビリテーション医学の現場	予習：配布資料をひと通り読み、理解につとめる（120 分）。　復習：講義ノートを参照しながら配布資料を再度確認し、不明部分について調べておく（120 分）。	ゲストスピーカー（後日連絡）、前田
成績評価方法と基準			割合
レポート提出（4 回程度）（DP①②）			レポート 100%　60%以上の得点率で単位を認定する。 フィードバック：希望者にはレポートの講評を行う。

授業科目名	チームリハビリテーション概論（理学）				
主担当教員	小川　泰弘		担当教員	小川　泰弘／橋本　弘子／金森　幸／鮎澤俊平／南都　智紀／芝　さやか／中谷　謙	
科目ナンバリング	SB20BPTB023	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

近年、社会・医療現場におけるリハビリテーションのニーズが高まる中、QOL の向上、質の高いリハビリテーションの提供には、各専門職の役割・専門性を理解し、共通の目標に向け互いに専門性を活かし合いながら協働・連携することが不可欠である。そのため本講義では、チームリハビリテーションの概念や重要性、リハビリテーション専門職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割・専門性を理解、学修し、社会・医療現場での多職種連携を卒前より想起できるよう教授する。　（作業療法概論　小川　泰弘、東泰弘、金森みゆき、松下太／5 回）　作業療法と作業療法士の定義、概念、作業療法の手段、役割と専門性、リハビリテーションチームの他の関連分野との連携等について教授する。　（芸術療法概論　橋本　弘子／5 回）　芸術療法（ダンスセラピー、補完医療など）の体験を通じて自身や他者に表れた身体的・精神的効果を実感し、その効果がなぜ表れるのかを脳機能からも理解し、芸術療法がどのようにリハビリテーションに生かされるのかについて教授する。　（言語聴覚療法概論　中谷　謙、芝さやか、南都智紀、鮎澤俊平／５回）　言語・高次脳機能障害におけるコミュニケーション障害の内容と評価・訓練方法について教授する。　摂食嚥下のメカニズムと嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎予防のアプローチについて教授する。　小児領域の言語聴覚療法について教授する。

学修目標

理学療法士として作業療法、言語聴覚士などの役割、専門性を理解し、リハビリテーションチームにおける協業と連携の重要性を考える事が出来る。〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

〈作業療法概論〉　作業療法は、大きく分けて４つの領域（身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害）がある。このような幅広い領域の概論を 5 回の講義にて理解を深める。作業療法の歴史を理解し、作業療法の職種としての専門性を学ぶことで、理学療法の専門性についての理解が深まることを期待したい。 〈芸術療法論〉　体験することで自身に起こった変化を鋭敏に察知して、それらが身体や精神、認知に与える影響などを考える機会としてほしい。そのため 4 回の講義をひとくくりと考え欠席をしないでください。　1.芸術療法の概念を学ん

教科書

＜作業療法概論＞　特に定めない　配布プリント等で対応する　＜芸術療法＞　特に定めない　配布プリント等で対応する 〈嚥下障害学＞　特に定めない　配布プリント等で対応する　＜言語聴覚療法＞　特に定めない　配布プリント等で対応する

参考書

・表現アートセラピー入門　小野京子　誠信書房

研究室／オフィスアワー

作業療法学科教員：木曜日（10：40～12：10)、その他 C 棟 7 階研究室にて、授業・会議などない時間で随時対応する（橋本：C 棟 7 階 22　）　堀：金曜日の３・４限目（研究室）　戸名・渋谷：講義後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	［作業療法概論］　作業療法の歴史と定義、領域	予習：作業療法の定義について日本作業療法士協会の HP を参照し、あらかじめ知識を得ておく　復習：配布資料を理解する	小川

		（予習復習含めて４時間）	
2	［作業療法概論］　老年期障害領域の作業療法	予習：認知症の病態について予習をしておく　復習：配布資料を理解する　（予習復習含めて４時間）	松下
3	［作業療法概論］　身体障害領域の作業療法	予習：脳血管障害の病態について予習をしておく　復習：配布資料を理解する　（予習復習含めて４時間）	東
4	［作業療法概論］　小児・発達障害領域の作業療法	予習：自閉症スペクトラム障害の病態について予習をしておく　復習：配布資料を理解する　（予習・復習含めて 4 時間）	金森
5	［作業療法概論］　精神障害領域の作業療法	予習：脳血管障害の病態について予習をしておく　復習：配布資料を理解する　（予習復習含めて４時間）	小川
6	ニューロダンス	予習：リハビリテーションにおけるダンスの在り方について調べておく。　復習：ダンスを体験し、身体的および精神的変化を体験する。体験した事について認知機能面からレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
7	絵画療法	予習：絵画療法について調べておく。　復習：絵画療法を体験し、精神的変化を体験する。体験した事について自身の考えをレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
8	ボディーパーカッション	予習：ボディーパーカッションについて予習を行う　復習：経験したことで自身の行動や精神面がどのように変化したかを考察しまとめる　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
9	ボディーパーカッション	予習：ボディーパーカッションについて予習を行う　復習：経験したことで自身の行動や精神面がどのように変化したかを考察しまとめる　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
10	タッチアップセラピー	予習：タッチアップセラピーについて調べておく。　復習：絵画療法を体験し、身体的および精神的変化を体験する。体験した事について認知機能面からレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
11	言語聴覚療法について	予習：事前資料をもとに言語聴覚療法について予習しておく(120 分)　復習：言語聴覚療法について復習する(120 分)	中谷
12	失語・コミュニケーション	予習：事前資料をもとに失語・コミュニケーションについて予習しておく(120 分)　復習：失語・コミュニケーションについて復習する(120 分)	芝
13	摂食・嚥下障害１	予習：事前資料をもとに摂食・嚥下障害について予習しておく(120 分)　復習：摂食・嚥下障害について復習する(120 分)	南都
14	摂食・嚥下障害２	予習：事前資料をもとに摂食・嚥下障害について予習しておく(120 分)　復習：摂食・嚥下障害について復習する(120 分)	南都
15	小児領域の言語聴覚療法	予習：事前資料をもとに小児領域の言語聴覚療法について予習しておく(120 分)　復習：小児領域の言語聴覚療法について復習する(120 分)	鮎澤
成績評価方法と基準			割合
1.提出物・レポート・小テスト<DP②③④>　これらを総合的に評価する			1.　100%

授業科目名	介護学概論･ボランティア活動論（理学）				
主担当教員	前田　薫		担当教員	前田　薫／檜垣　奨	
科目ナンバリング	SB20BPTB024	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

【介護学概論】地域包括ケアおよび介護保険の仕組みについて学び、将来その関係者と協業する時に必要な基礎を形成する。また、利用者の身体アセスメントおよび介助ついての基礎を理解するための実技練習を行う。　【ボランティア活動論】ボランティアの概念をに理解したうえで、世界的に知られている NPO/NGO 法人について概観する。加えて、理学療法士として将来活躍できるフィールドの拡がりについてイメージを形成する。

学修目標

1.日本の社会保障制度（主に介護保険制度）について説明できる（DP②③④）　2.高齢者や障害のある人の支援の方法について説明できる（DP②③④）　3.将来ボランティアとして活躍しうるフィールドについて説明できる（DP②③④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実技を行う回があります。

教科書

教科書の指定なし。　資料を配布する。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

水曜 13 時～14 時 30 分が基本ですが、事前にメールなどでの予約をおすすめします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	日本における介護の現状と問題点を考える①	予習：授業資料を読み、不明な用語の意味を理解しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
2	日本における介護の現状と問題点を考える②	予習：授業資料を読み、不明な用語の意味を理解しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
3	認知症と記憶①	予習：授業資料を読み、不明な用語の意味を理解しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
4	認知症と記憶②	予習：授業資料を読み、不明な用語の意味を理解しておくく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
5	認知症患者の介護	予習：授業資料を読み、不明な用語の意味を理解しておくく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
6	介護現場で必要なフィジカルアセスメント①	予習：授業資料を読み、不明な用語の意味を理解しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣

7	介護現場で必要なフィジカルアセスメント②	予習：授業資料を読み、不明な用語の意味を理解しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
8	介助技術練習	予習：事前配布資料を参照し、実技の手順をイメージしておく（30 分）。　復習：授業で実施した内容を練習しておく（30 分）。	前田、檜垣
9	「ボランティア」とは何か？	予習：予習動画（教員が作成）を視聴しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
10	NGO/NPO とは何か？	予習：予習動画（教員が作成）を視聴しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
11	人権 NGO	予習：予習動画（教員が作成）を視聴しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
12	環境 NGO	予習：予習動画（教員が作成）を視聴しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
13	医療 NGO	予習：予習動画（教員が作成）を視聴しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
14	こどもを支援する NPO	予習：予習動画（教員が作成）を視聴しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣
15	国際協力	予習：予習動画（教員が作成）を視聴しておく（30 分）。　復習：講義ノートや資料を参照しながら予習動画を再度視聴する（30 分）。	前田、檜垣

成績評価方法と基準	割合
レポート課題（3 回程度）（DP②③④）	レポート課題 100%（各 50%）　＊合計 60 点以上で単位を認定する。　希望者にはレポートの講評を行う。

授業科目名	テーピング技術論（理学）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二／杉本 圭／岸上 知可	
科目ナンバリング	SB20BPTB026	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

リハビリテーション分野の臨床技術として利用価値が高い外傷の応急処置に必要な包帯法、副子固定法および骨折や軟部組織損傷に対する鑑別法を教授する。また、スポーツ中に起こり得る外傷及び障害について学び、それら処置の必要性を理解するとともに処置法を習得する。さらにテーピングの技術に必要な基礎知識および関節の固定と運動の制限、組織の圧迫等に用いられるテーピング法、応急処置や再発防止も含めた外傷の予防、運動の矯正に加えテーピング前の診断、材料・用具の使用法、テーピング後の確認、巻き替えや除去を学び、上・下肢の運動器傷害のテーピング法・応急処置法についても学習する。

学修目標

1．基本包帯法について理解し実践できる。　2．骨折、脱臼の応急処置を理解し実践できる。　3．軟部組織損傷の応急処置について理解し実践できる。　4．テーピングの基本的知識を習得し説明できる。　5．各部のテーピング法について理解し実践できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．受講に関して材料費として 8,000 円が必要である。(指定した材料を購入していない場合は受講不可とする)　2．実習室を使用する際には白衣もしくはスポーツウエアの着用を義務付ける。

教科書

授業時に配付する資料

参考書

特にありません

研究室／オフィスアワー

授業の前後は非常勤講師控え室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	運動器の外傷について　1	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本 圭
2	運動器の外傷について　2	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本 圭
3	外傷の応急処置　1	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本 圭
4	外傷の応急処置　2	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本 圭
5	テーピングの基礎的知識と技術	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本 圭
6	足関節のテーピング 1	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本 圭
7	足関節のテーピング 2	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本

		について練習	圭
8	足関節のテーピング 3	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
9	足関節の応急処置テーピング，足底・足趾のテーピング	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
10	膝関節のテーピング 1	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
11	膝関節のテーピング 2，膝関節の応急処置テーピング	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
12	筋のサポートテーピング	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
13	手指のテーピング、総合練習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
14	総合練習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
15	実技試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認、実施した実技について練習	伊黒 浩二、岸上 知可、杉本圭
成績評価方法と基準			割合
１．出席は 2/3 以上を必要とし、基準を満たした者について試験を実施する。　２．実技試験（80%）と提出課題（20%）で評価する。　　実技試験は 15 回目の講義時に足関節テーピングをルーブリック評価する。　３．60 点以上で単位認定する。			2．100%

授業科目名	医療関係法規論（理学）				
主担当教員	李　庸吉		担当教員	李　庸吉	
科目ナンバリング	SS20BPTA001	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

ここで勉強することになる分野は「医事法」と称される領域になりますが、それは憲法をはじめ民法、刑法、行政法等、複数の法の複合領域ともいえます。そこで、まず医事法全体を概観しながら法の基本的な概念を身につけていき、次いで理学療法士にとって関連の深い諸法について学び、裁判例などにも触れてみたいと思います。また、実際の報道事例や医療ドラマ、法廷ドラマなども活用し、法の実践がどのようになされているかある種の疑似体験を通して一緒に考え、学ぶことも予定しています。

学修目標

１．理学療法士に関連を有する法律並びに行政について理解させる。　２．基本的な法概念と法感覚を身につけた上、理学療法士及び作業療法士法を理解させる。　３．医師法はじめとする医療関係者法並びに医療法の概要、さらに理学療法士の法的な位置づけについての知識を習得させる。　４．また責任法という観点から、法を学ぶことが医療者の行動指針につながることも理解させる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

他の教科もそうでしょうが、法学も一夜漬けでどうこうできるものではありません。欠席が多いと訳が分からなくなるのは必至でしょうから、毎回の出席と復習が何より大事だと思います。

教科書

手嶋豊『医事法入門[第６版]』（有斐閣アルマ）

参考書

授業の中で適宜ご紹介いたします。

研究室／オフィスアワー

非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	イントロダクション、医療者が法を学ぶ意義	配布資料を基に復習することが望ましいと思います。まずは用語に慣れることも念頭においておくとよいでしょう。	李　庸吉
2	法とは何か、法の種類と体系	同上　最初は予習より復習の方に主眼をおくことでよいと思います。	李　庸吉
3	医療と人権（総説）	同上　個別具体的な事項については講義の中で適宜お伝えします。	李　庸吉
4	自己決定権、プライバシー権等	同上	李　庸吉
5	医療における刑法上の問題（総説）	同上	李　庸吉
6	終末期医療、安楽死、尊厳死等	同上	李　庸吉
7	医療における民法上の問題（総説）	同上	李　庸吉
8	医療契約、不法行為、医療事故	同上	李　庸吉
9	生殖補助医療と生命倫理	同上	李　庸吉
10	理学療法士及び作業療法士法①	同上	李　庸吉

11	理学療法士及び作業療法士法②	同上	李　庸吉
12	医療関係者法（医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法等）	同上	李　庸吉
13	医療法（医療提供の理念、医療提供の施設及びその管理等）	同上加えて参考資料等を適宜紹介するようにします。	李　庸吉
14	医療安全（医療の質、リスクマネジメント等）	同上	李　庸吉
15	講義全体のまとめと振り返り	試験に向けて総復習となるでしょうが、とにかく反復すること、考えることがしっかりした理解にも結びつきます。　法学は決して暗記オンリーの科目ではないことに留意する必要があるでしょう。	李　庸吉
成績評価方法と基準			割合
筆記試験			100%

授業科目名	基礎理学療法学Ⅰ（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／澤田　優子／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTB003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では理学療法の実践における思考過程を解剖学・生理学・運動学の知識に基づいて教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

種々の疾患や病態を、解剖学・生理学・運動学の観点から理解することができる。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

到達目標の達成には１年次に学習した解剖学・生理学・運動学の内容に基づいて思考していくプロセスが必要です。　1年次に学習した解剖学・生理学・運動学の知識について復習してから望んでください。　これについての学習が不足していた場合、目標達成は困難になるので自己学習に努めて下さい。

教科書

なし。適宜資料を配布する。

参考書

適宜資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

在室時は適宜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション、問題提示	予習：シラバスの確認・１年次の復習（2時間）　復習：Pre テストの見直し（2 時間）	角 田　澤 田 河村
2	【運動学】下肢	予習：配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（２時間）	角 田　澤 田 河村
3	【運動学】下肢	予習：配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（２時間）	角 田　澤 田 河村
4	【運動学】上肢	予習：配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（２時間）	角 田　澤 田 河村
5	【運動学】上肢	予習：配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（２時間）	角 田　澤 田 河村
6	【運動学】まとめ	予習：配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（２時間）	角 田　澤 田 河村
7	【運動器疾患】下肢（１）	予習：配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（２時間）	角 田　澤 田 河村
8	【運動器疾患】下肢（２）	予習：配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習：授業内容にしたがって復習する（２時間）	角田　澤田 河村
9	【運動器疾患】下肢（３）	予習:配布課題にしたがって予習する（２時間）　復習:授業内容にしたがって復習する	角田　澤田 河村

		（２時間）	
10	【運動器疾患】まとめ	予習:配布課題にしたがって予習する（２時間） 復習:授業内容にしたがって復習する（２時間）	角田　澤田　河村
11	【中枢神経系疾患】Parkinson 病（１）	予習:配布課題にしたがって予習する（２時間） 復習:授業内容にしたがって復習する（２時間）	澤田　角田　河村
12	【中枢神経系疾患】Parkinson 病（２）	予習:配布課題にしたがって予習する（２時間） 復習:授業内容にしたがって復習する（２時間）	澤田　角田　河村
13	【中枢神経系疾患】Parkinson 病（３）	予習:配布課題にしたがって予習する（２時間） 復習:授業内容にしたがって復習する（２時間）	澤田　角田　河村
14	【中枢神経系疾患】まとめ	予習:配布課題にしたがって予習する（２時間） 復習:授業内容にしたがって復習する（２時間）	澤田　角田　河村
15	全体「まとめ」	予習:配布課題にしたがって予習する（２時間） 復習:授業内容にしたがって復習する（２時間）	澤田　角田　河村
成績評価方法と基準			割合
・成績評価　１．確認試験＜DP①②＞　２．期末試験＜DP①②＞　・基準：4/5 以上の出席を必要とする。			１．60%　２．40%

授業科目名	基礎理学療法学実習（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／工藤　慎太郎／堀　竜次／河西　謙吾／中田　光海／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTB005	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(月曜 4 限)、後期(月曜 4 限、月曜 5 限)
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法の基礎となる人体の構造、機能の知識について、最新の知見を反映した講義や最新機器を用いた実習、課外活動を通じて学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1）理学療法の基礎となる人体の構造、機能について理解できる。【DP①②④】　2）理解し、習得した知識・技術・態度を臨床で活用することができる。【DP①②④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）実技の授業の際はジャージを着用すること。　2）履修時点までの学修内容をベースに授業を展開するため、既修得単位の内容については各自で復習を怠らないこと。　3）以下に記載の授業展開はテーマごとに記載してあり、時系列とは異なる場合があるため、授業実施時の説明を確認すること。

教科書

なし（適宜資料を配布する）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

教員毎に事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習復習：1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、河西
2	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域１_肩関節前面のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
3	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域２_肩関節後面のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
4	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域３_肩関節下方のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
5	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域４_肘関節前面のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
6	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域５_肘関節後面のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
7	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域６_股関節外側面から前面のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
8	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域７_臀部から大腿後面のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田

9	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域８_膝関節前面から内側のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
10	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域９_膝関節後面から下腿後面のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
11	体表解剖学実習と超音波解剖_運動器領域 10_足関節周囲のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	工藤、河西、中田
12	体表解剖学実習と超音波解剖_内部障害領域１_上肢血管の触知・エコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
13	体表解剖学実習と循環機能評価_内部障害領域２_血圧測定	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
14	体表解剖学実習と超音波解剖_内部障害領域３_下肢血管の触知・エコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
15	体表解剖学実習と呼吸機能評価_内部障害領域４_肺の表面解剖・肺音聴診	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
16	体表解剖学実習と呼吸機能評価_内部障害領域５_肺機能検査	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
17	体表解剖学実習と循環機能評価_内部障害領域６_心音聴診・打診	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
18	体表解剖学実習と循環機能評価_内部障害領域７_心電図検査	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
19	体表解剖学実習と超音波解剖_内部障害領域８_頸部補助呼吸筋の評価・エコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
20	体表解剖学実習と超音波解剖_内部障害領域９_横隔膜の評価・エコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
21	体表解剖学実習と超音波解剖_内部障害領域 10_肺エコー評価・肺のエコー解剖	予習復習：該当範囲について 1 年次で学修した人体の構造、機能についての知識を整理する。	堀、角田、河村
22	学術活動の実際（課外活動含む）	予習・復習：理学療法の関連学会に参加する。	科目担当教員
23	まとめ、理解度の確認	授業を通じて得た知識、技術について再度理解を深める	科目担当教員
成績評価方法と基準			割合
【成績】試験。　【出席】4/5 以上の出席を必要とする。			100%（運動器領域、内部障害領域の合算で評価するが、どちらの領域についても合格しなければ本科目の合格として評価されない。）

授業科目名	理学療法評価学総論（理学）				
主担当教員	沼澤　俊		担当教員	沼澤　俊／檜垣　奨	
科目ナンバリング	SS20BPTA008	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法評価は対象者の生活機能を分析する方法の一つであり、リハビリテーション計画の立案やその効果判定等を目的として実施されるものである。本科目では、理学療法評価のプロセスについて学び、情報収集、医療面接、基本的評価手技の一部を修得する。これらの評価項目について意義・目的を理解し、その内容を対象者に説明して測定できることを目標とする。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1)　理学療法評価の意義、目的、およびプロセスについて概説できる。　2)　生活機能・障害の分類（ICD、ICIDH、ICF）について概説できる。　3)　形態測定、関節可動域測定、脈拍と血圧測定の意義や目的について説明できる。　4)　上記の基本的評価手技を、筋骨格系の解剖学の知識と結びつけて説明できる。　5)　上記の基本的評価手技を実施することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　本科目は演習科目に該当し、必要出席回数は 「授業回数の 5 分の 4 以上」 を採用します。　2)　指定された教科書を毎回の授業に持参すること。　3)　実技形式の場合には、ジャージー上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。また、インナーには、すぐに肘、膝、足部を露出できるものを着用すること。

教科書

1)　潮見泰藏, 下田信明(編).　PT・OT ビジュアルテキスト. リハビリテーション基礎評価学. 第 2 版, 羊土社, 2019. ISBN 978-4-7581-0245-2　2)　青木 隆明 監修, 林典雄 執筆. 改訂第 2 版 運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 下肢・体幹, 株式会社メジカルビュー社, 2022. ISBN978-4-7583-2094-8　3）青木 隆明 監修, 林典雄 執筆. 改訂第 2 版 運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 上肢, 株式会社メジカルビュー社, 20

参考書

1)　Neumann DA(原著). Andrew PD, 有馬慶美・日高正巳(監訳).　筋骨格系のキネシオロジー, 原著第 3 版, 医歯薬出版, 2018.

研究室／オフィスアワー

在室時は随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　理学療法評価の概論､ICF、医療面接	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
2	How to touch, ポジショニング　ランドマークの触診	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
3	形態測定 1	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
4	形態測定 2	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
5	形態測定 3	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣

6	バイタルサイン 1	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
7	バイタルサイン 2	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
8	中間まとめ	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
9	関節可動域測定 1	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
10	関節可動域測定 2	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
11	関節可動域測定 3	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
12	関節可動域測定 4	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
13	関節可動域測定 5	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
14	関節可動域測定 6	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
15	全体まとめ	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
成績評価方法と基準			割合
1)　単位認定のための必要出席回数は「総授業回数の 5 分の 4 以上」とする。　2)　実技試験（配分 60%）と筆記試験（配分 40%）で評価する。　3)　実技テストの評価には事前に配付するルーブリックを使用する。　4）総合成績の得点率 60%以上を単位認定基準とする。			実技試験 60% 筆記試験 40%

授業科目名	理学療法評価学各論（理学）				
主担当教員	沼澤　俊		担当教員	沼澤　俊／檜垣　奨	
科目ナンバリング	SS20BPTB009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法評価は対象者の生活機能を分析する方法の一つであり、リハビリテーション計画の立案やその効果判定等を目的として実施されるものである。本科目では 1 年次「理学療法評価学総論」から継続して基本的評価手技を修得する。また、臨床で対象者に検査測定を実施する際の心構え、考え方、症例に応じた工夫についても学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1) 徒手筋力検査に必要な解剖学・生理学・運動学の知識を述べることができる。 2) 徒手筋力検査を適切な方法で実施することができる。 3) 感覚検査・反射検査に必要な解剖学・生理学の知識を述べることができる。 4) 感覚検査・反射検査を適切な方法で実施することができる。 5) 症例に応じた検査測定方法を検討し実施することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 本科目は演習科目であり、必要出席回数は 「授業回数の 5 分の 4 以上」 を採用する。 2) 指定された教科書を毎回の授業に持参すること。 3) 実技形式の場合には、ジャージ一上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。また、インナーには、すぐに肘、膝、足部を露出できるものを着用すること。

教科書

1. 潮見泰藏, 下田信明(編). リハビリテーション基礎評価学. 第 2 版, 羊土社, 2019. ISBN 978-4-7581-0245-2 2. Avers & Brown(著). 津山直一, 中村耕三(訳), 新・徒手筋力検査法. 原著第 10 版, 協同医書出版社, 2020. ISBN 9784763900418 3. 鈴木則宏(編). 神経診察クローズアップ. 正しい病巣診断のコツ. 第 3 版, メジカルビュー社, 2020. ISBN978-4-7583-1812-9

参考書

1. 青木隆明(監), 林典雄(著). 運動療法のための機能解剖学的触診技術. 動画プラス. 上肢, メジカルビュー社, 2022. 2. 青木隆明(監), 林典雄(著). 運動療法のための機能解剖学的触診技術. 動画プラス. 下肢・体幹, メジカルビュー社, 2022. 3. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第 5 版, 医学書院, 2020

研究室／オフィスアワー

仲本　正美：月曜日の 3・4 限（時間は事前に相談することが望ましい）　檜垣　奨　：水曜日の 3・4 限（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　理学療法評価について	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：資料の講義該当箇所を読み、内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
2	徒手筋力検査 1	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
3	徒手筋力検査 2	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
4	徒手筋力検査 3	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間)　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
5	徒手筋力検査 4	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1	沼澤／檜垣

		時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	
6	徒手筋力検査 5	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
7	徒手筋力検査 6	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
8	徒手筋力検査 7	予習：教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
9	徒手筋力検査 8	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
10	徒手筋力検査 9	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
11	運動麻痺と感覚障害	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：講義内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
12	感覚検査 1	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
13	「徒手筋力検査」まとめ 1	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
14	「徒手筋力検査」まとめ 2	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
15	感覚検査 2	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
16	感覚検査 3	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
17	反射検査 1	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
18	反射検査 2	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
19	反射検査 3	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
20	反射検査 4	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
21	認知・精神機能の評価	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
22	バランス機能の評価	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
23	「感覚検査・反射検査」まとめ 1	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
24	「感覚検査・反射検査」まとめ 2	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
25	姿勢・動作分析 1	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1 時間)	沼澤／檜垣
26	姿勢・動作分析 2	予習:教科書の当該箇所を読んでおく。(1 時間）　復習：学習範囲の実技練習を行う。(1	沼澤／檜垣

		時間）	
27	Case study1	予習：これまで学んだ検査・測定の意義・方法について復習しておく。(1 時間)　復習：講義内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
28	Case study2	予習：これまで学んだ検査・測定の意義・方法について復習しておく。(1 時間)　復習：講義内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
29	Case study3	予習：これまで学んだ検査・測定の意義・方法について復習しておく。(1 時間)　復習：講義内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
30	Case study4	予習：これまで学んだ検査・測定の意義・方法について復習しておく。(1 時間)　復習：講義内容をまとめる。(1 時間)	沼澤／檜垣
成績評価方法と基準			割合
1)　単位認定のための必要出席回数は 「総授業回数の 5 分の 4 以上」 とする。　2)　実技試験 2 回（配分 60%)、筆記試験 1 回（配分 40%）で評価する。　3)　実技テストの評価には事前に配付するルーブリックを使用する。　4)　総合成績の得点率 60%以上を単位認定基準とする。			実技試験 60% 筆記試験 40%

授業科目名	基礎日常生活活動学（理学）				
主担当教員	澤田 優子		担当教員	澤田 優子／角田 晃啓	
科目ナンバリング	SS20BPTA012	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜4限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

この科目では、人間の日常生活の基本として遂行される食事、排泄、整容、更衣、移動、移乗などの代表的な動作を取り上げ、それらの動作および動作遂行に必要な条件を解説する。また Barthel Index、FIM などの日常生活活動の代表的な評価スケールと動作の実用性、自立尺度について教授する。さらに演習を通じて、移動補助具（杖、車椅子）や自助具などの使用方法、基本動作の運動学的分析や症例別の指導方法について教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1．基礎日常生活活動（ADL）の概念を理解し動作の自立度・実用性について理解できる。【DP①②③】　2．日常生活活動の評価スケールを適切に使用できる。【DP①②③】　3．基本動作（寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗、歩行）を理解できる。【DP①②③】　4．移動補助具（杖、車椅子）や自助具の使用方法について理解でき、適切に使用できる。【DP①②③】　5．症例毎のリスク管理と動作指導について理解できる。【DP①②③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．演習日時が変更になる場合があるため担当教員の指示に従うこと。　2．演習では大学指定のジャージ、シューズを着用すること。　3．授業内容の予習復習については自分で調べる学習を意識し、特に演習を通して学んだことは必ず復習し、知識を整理すること。　4．人が行う日常生活活動について、解剖学・生理学・運動学の知識と統合させるように復習すること。

教科書

細田多穂：シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト 改訂第3版，南江堂，2019.　ISBN 978-4524245789

参考書

奈良勲・他：標準理学療法学 日常生活活動・生活環境学 第6版，医学書院，2021.　潮見泰藏，下田信明（編）：PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 第2版，羊土社，2019.　石井慎一郎：動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践観察による歩行分析，メジカルビュー社，2013.

研究室／オフィスアワー

在室時は随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	日常生活活動とは	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1時間）　復習：講義内容をまとめる（1時間）	澤田　角田
2	移動（歩行・移動補助具・車椅子）（１）	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1時間）　復習：演習内容をまとめる（1時間）	澤田　角田
3	移動（歩行・移動補助具・車椅子）（２）	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1時間）　復習：演習内容をまとめる（1時間）	澤田　角田
4	移動（歩行・移動補助具・車椅子）（３）	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1時間）　復習：演習内容をまとめる（1時間）	澤田　角田
5	住環境整備（１）	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1時間）　復習：演習内容をまとめる（1時	澤田　角田

		間）	
6	住環境整備（２）	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1 時間）　復習：演習内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
7	基本動作・起居動作（１）	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1 時間）　復習：演習内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
8	基本動作・起居動作（２）	予習：教科書該当範囲を読んでおく（1 時間）　復習：演習内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
9	基本動作・起居動作（３）	予習:教科書該当範囲を読んでおく(1 時間) 復習：演習内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
10	起居動作・移乗・移動のまとめ	予習:教科書該当範囲を読んでおく(1 時間) 復習：演習内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
11	身の回り動作と ADL 支援機器（１）	予習:教科書該当範囲を読んでおく(1 時間) 復習：演習内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
12	身の回り動作と ADL 支援機器（２）	予習:教科書該当範囲を読んでおく(1 時間) 復習：演習内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
13	日常生活活動の評価（１）	予習:教科書該当範囲を読んでおく(1 時間) 復習：講義内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
14	日常生活活動の評価（２）	予習:教科書該当範囲を読んでおく(1 時間) 復習：講義内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
15	日常生活活動の評価（３）・まとめ	予習:教科書該当範囲を読んでおく(1 時間) 復習：講義内容をまとめる（1 時間）	澤田　角田
成績評価方法と基準			割合
１．ワークシート課題【DP①②③】　　２．筆記試験【DP①②③】　《出席基準》２/３以上の出席にて評価対象とする。			１．20%　２．80%

授業科目名	基礎運動療法学総論（理学）				
主担当教員	河西　謙吾		担当教員	河西　謙吾／中田　光海	
科目ナンバリング	SS20BPTB013	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

理学療法での運動療法において、筋力低下や関節可動域制限などの機能障害およびこれらに起因する歩行能力の低下などの動作障害を対象とすることが多い。運動療法として、関節可動域練習や筋力強化トレーニング、運動学習理論に基づく動作練習が重要である。本科目では各運動療法の基礎知識や概論を理解し、健常者における運動療法の検討と実践することを目的とする。座学だけでなくグループワークとその後の発表、実技を通じて対象者に適した理学療法プログラムを考案していくための基礎を形成する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．関節可動域制限の病理とストレッチの理論を理解し，健常者に対するストレッチを提案できる（DP①②④）　２．筋力トレーニングの理論を理解し，健常者に対するトレーニングを提案できる（DP①②④）　３．運動学習理論を理解し，健常者の運動学習を進めるトレーニングを提案できる（DP①②④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．　１年次に行った解剖学・運動学を復習して臨んでください　２．　授業と並行して取り組んでいただく演習課題がありますので、計画的に遂行してください　３．　わからないことは積極的に担当教員と連携をとって進めて下さい

教科書

1.　市橋則明編．運動療法学．障害別アプローチの理論と実際，文光堂，2014

参考書

沖田実：関節可動域制限―病態の理解と治療の考え方　畠中康彦：理学療法のための筋力トレーニングと運動学習 動作分析から始める根拠に基づく運動療法　長谷公隆：運動学習理論に基づくリハビリテーションの実践 第 2 版

研究室／オフィスアワー

各担当教員に個別にアポイントメントを取ってください。適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	復習：講義を踏まえて，学習項目を整理して，資料にまとめる（60 分）。	河西
2	関節可動域制限に対する運動療法の理論と実際１	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田・河西
3	関節可動域制限に対する運動療法の理論と実際２	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：グループワークでの内容をパワーポイントでまとめる（60 分）。	中田・河西
4	関節可動域制限に対する運動療法の理論と実際３	予習：グループワークの内容を発表する準備をする（60 分）。　復習：理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田・河西
5	関節可動域制限に対する運動療法の理論と実際４	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田・河西

6	筋力強化の理論と実際１	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60分）。	河西
7	筋力強化の理論と実際２	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60分）。　復習：グループワークでの内容をパワーポイントでまとめる（60分）。	河西
8	筋力強化の理論と実際３	予習：グループワークの内容を発表する準備をする（60分）。　復習：理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60分）。	河西・中田
9	筋力強化の理論と実際４	予習:教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60分）。復習:理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60分）。	河西・中田
10	運動学習理論と実際１	予習:教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60分）。	河西
11	運動学習理論と実際２	予習:教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60分）。復習：グループワークでの内容をパワーポイントでまとめる（60分）。	河西
12	運動学習理論と実際３	予習：グループワークの内容を発表する準備をする（60分）。　復習:理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60分）。	河西・中田
13	運動学習理論と実際４	予習:教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60分）。復習:理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60分）。	河西・中田
14	講義全体のまとめ１	予習:該当範囲の基礎理論を、教科書とノートで復習しておく（60分）。　復習:演習を含めた授業内容の応用を考案し、実践する（60分）。	河西・中田
15	講義全体のまとめ２	予習:該当範囲の基礎理論を、教科書とノートで復習しておく（60分）。　復習:演習を含めた授業内容の応用を考案し、実践する（60分）。	河西・中田
成績評価方法と基準			割合
・小テスト（DP①②④）　・演習発表（DP①②④）　・筆記試験（DP①②④）　4/5以上の出席を必要とする。			筆記試験（70%）　演習発表（20%）　小テスト（10%）　＊合計60点以上で単位を認定する。

授業科目名	基礎運動療法学各論（理学）				
主担当教員	河西　謙吾		担当教員	河西　謙吾／中田　光海	
科目ナンバリング	SS20BPTB014	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

解剖学・運動学・臨床運動学および基礎運動療法総論の内容をふまえて、実際の症例に対する病態解釈とともに最適な運動療法プログラムを検討する。これにより、３年次に行う評価実習および疾患別理学療法での思考過程の基盤を形成する.
※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．運動療法のプログラムを実際の症例の病態に合わせて立案することができる（DP①②④）　２．運動療法の効果と適応を理解することができる（DP①②④）　３．運動療法を実施する上での注意点を説明することができる（DP①②④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．解剖学・運動学（基礎・臨床）・基礎運動療法総論の内容を復習して臨んでください　２．授業と並行して文献的調査が必要です　３．わからないことは積極的に担当教員と連携をとって進めて下さい

教科書

市橋則明編．運動療法学．障害別アプローチの理論と実際，文光堂，2014

参考書

工藤慎太郎：運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学　畠中康彦：理学療法のための筋力トレーニングと運動学習 動作分析から始める根拠に基づく運動療法

研究室／オフィスアワー

各担当教員に個別にアポイントメントを取ってください。適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	復習：講義を踏まえて，学習項目を整理する（60 分）。	河西
2	臨床で用いる関節可動域練習の理論と実際１	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
3	筋間の滑走性低下を伴う関節可動域制限に対する運動療法の理論と実際２	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西・中田
4	末梢神経に起因する関節可動域制限に対する運動療法の理論と実際３	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西・中田
5	隣接関節の関節可動域制限に対する運動療法の理論と実際４	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田・河西
6	臨床で用いる筋力強化の理論と実際１	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなか	中田

		った点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	
7	下肢に対する筋力強化の理論と実際２	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西・中田
8	上肢に対する筋力強化の理論と実際３	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。　復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西・中田
9	体幹に対する筋力強化の理論と実際４	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田・河西
10	臨床で用いる運動学習の理論１	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西
11	Biofeedback を用いた運動学習の理論と実際２	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	中田・河西
12	歩行障害に対する運動学習の理論と実際３	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西・中田
13	機器を用いた運動学習の理論と実際４	予習：教科書の該当範囲を読み、理解ができなかったところを明確にしておく（60 分）。復習：予習段階で理解ができなかった点について、授業を通してどのように解決できたのかをまとめる（60 分）。	河西・中田
14	講義全体のまとめ１	予習：該当範囲の基礎理論を、教科書とノートで復習しておく（60 分）。　復習：演習を含めた授業内容の応用を考案し、実践する（60 分）。	河西
15	講義全体のまとめ２	予習：該当範囲の基礎理論を、教科書とノートで復習しておく（60 分）。　復習：演習を含めた授業内容の応用を考案し、実践する（60 分）。	河西・中田
成績評価方法と基準			割合
小テスト（(DP①②④)）・筆記試験（(DP①②④)）　出席状況：4/5 以上の出席が必要			筆記試験（80%）　小テスト（20%）

授業科目名	物理療法学（理学）				
主担当教員	仲本　正美		担当教員	仲本　正美	
科目ナンバリング	SS20BPTA015	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医学的リハビリテーションにおける物理療法の位置付け、目的を理解する。物理療法で用いられる手段が人体に作用する機序を種類別に理解し、それに関連付けてそれぞれの適応と禁忌を想起できるようにする。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

物理療法の位置付け、目的が理解できる。　種類別に作用機序・適応・禁忌が想起できる。　物理療法の機器を操作することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．演習の日時は講義の曜日と異なる場合がある。　２．演習では大学指定のジャージ、シューズを着用すること。　３．演習で機器の操作を体験することがあるが、安全のために必ず教員の指示に従うこと。　４．演習を通して理解した後、必ず復習し、知識を整理すること。　５．授業内容の予習復習では、自分で調べる学習を意識すること。

教科書

最新理学療法学講座　物理療法学：烏野大・川村博文，医歯薬出版株式会社

参考書

物理療法学　改訂第 3 版：松澤正・江口勝彦，金原出版株式会社　標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野　生理学 第 6 版：岡田 隆夫・鈴木 敦子・渡邉 マキノ，医学書院

研究室／オフィスアワー

平日 9:00-16:00　授業時間以外　※必ず予約をとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理療法学総論　リスク管理	予習：教科書 1 章を読む（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
2	温熱・寒冷の生理学的作用	予習：教科書 2・3・4 章を読む（1 時間）復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
3	温熱・寒冷療法の各論	予習：教科書 3・4 章を読む（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
4	高周波療法・光線療法	予習：教科書 5・9 章を読む（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
5	水治療法・牽引療法	予習：教科書 10・11 章を読む（1 時間）復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
6	演習①　温熱・寒冷療法・水治療法・牽引療法の体験	予習：第 1～5 講の授業内容（1 時間）　復習：演習で体験した内容をまとめる（1 時間）	仲本
7	演習②　最新の物理療法機器２	予習：第 1～5 講の授業内容（1 時間）　復習：演習で体験した内容をまとめる（1 時間）	仲本／ゲストスピーカー
8	中間まとめ	予習：第 1～7 講の授業内容（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識	仲本

		を調べる（1 時間）	
9	超音波療法（１）	予習：教科書６章を読む（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
10	超音波療法（２）	予習：教科書６章を読む（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
11	電気刺激療法（１）	予習：教科書 7・8 章を読む（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
12	電気刺激療法（２）	予習：教科書 7・8 章を読む（1 時間）　復習：講義で出てきた解剖学・生理学の知識を調べる（1 時間）	仲本
13	演習③　超音波・電気刺激療法の体験	予習：第 9～12 講の授業内容（1 時間）　復習：演習で体験した内容をまとめる（1 時間）	仲本
14	演習④　最新の物理療法機器２	予習：第 9～12 講の授業内容（1 時間）　復習：演習で体験した内容をまとめる（1 時間）	仲本／ゲストスピーカー
15	全体まとめ	予習：第 8～14 講の授業内容（1 時間）　復習：講義内容をまとめる（1 時間）	仲本
成績評価方法と基準			割合
①演習ワークシート：演習中に記載し提出する　②中間試験：筆記試験（範囲：第 1 講～第 7 講）　③定期試験：筆記試験（範囲：第 9 講～第 14 講）　①＋②＋③の得点率 60%以上（小数点切捨て）の場合に単位を認定する。　2/3 以上の出席が必要。			①10%　②30%　③60%

授業科目名	運動器系理学療法学Ⅰ（理学）				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎	
科目ナンバリング	SS20BPTB016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

運動器に対する理学療法評価の臨床的思考過程を経験し，各種運動器疾患に対する理学療法評価を説明できるようにする．　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．臨床的思考過程を説明できる．　２．運動器の各構造の障害に対する理学療法評価と理学療法を運動学的，解剖学的に説明できる．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．自分たちで十分な量の文献的調査が必要です．分からないことは積極的に担当教員と密に連携をとって進めて下さい．

２．オンデマンド教材も併用して講義を行います、期日を守って視聴してください。

教科書

工藤慎太郎．運動機能障害の「なぜ？」がわかる評価戦略

参考書

工藤慎太郎　運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学　工藤慎太郎　機能解剖と触診

研究室／オフィスアワー

A 棟 5F4 研究室 or キャナルポート６F インクルーシブ医科学研究所　火曜 2 限または時間が空いているときに対応します（要予約）．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
2	運動器理学療法評価における評価戦略(解剖学的評価)	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
3	運動器理学療法評価における評価戦略(運動学的評価)	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
4	症例を通じた運動器理学療法評価における評価戦略の理解１	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
5	症例を通じた運動器理学療法評価における評価戦略の理解２	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
6	運動器の構造	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
7	筋・腱損傷の理学療法	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
8	靭帯損傷の理学療法	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
9	腱付着部障害に対する理学療法評価と運動療法	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分	工藤

		からないところを調べる（60 分）	
10	滑膜炎に対する理学療法評価と運動療法	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
11	末梢神経障害に対する理学療法評価と運動療法	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
12	術後症例の理学療法評価と運動療法	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
13	骨折に対する理学療法評価と運動療法	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
14	まとめ	（予習）教科書の該当箇所を読み，整理する（60 分）　（復習）講義内容を整理し，分からないところを調べる（60 分）	工藤
15	Topics 1	すべての復習	工藤
成績評価方法と基準			割合
定期試験により単位認定を行う．　4/5 以上の出席を必要とする。			90%：試験 10%：課題提出状況

授業科目名	神経系理学療法学Ⅰ（理学）				
主担当教員	木内 隆裕		担当教員	木内 隆裕／仲本 正美／宮下 創	
科目ナンバリング	SS20BPTB019	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

中枢神経疾患と末梢神経疾患の病態や発症メカニズム、並びにそれら疾患に対する理学療法の理論と実際について学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1)　神経系の構造と機能を理解し、図表などを用いて説明できる。【DP①②】　2)　中枢神経疾患と末梢神経疾患の病態や発症メカニズムについて理解し、具体的に説明できる。【DP①②】　3）中枢神経疾患と末梢神経疾患に対する理学療法について、大枠での方針を説明できる。【DP①②】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　演習科目であるため、必要出席時間数は「授業時数の 5 分の 4 以上」を採用する

2)　指定された教科書を毎回の授業に持参すること。

3)　授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。

教科書

① 森岡周，阿部浩明(編)．標準理学療法学．神経理学療法学．第 3 版，医学書院，2022.

② 医療情報科学研究所(編)．病気がみえる．脳･神経．第 2 版，メディックメディア，2017.

③ 鈴木則宏(編)．神経診察クローズアップ．正しい病巣診断のコツ．改訂第 3 版，メジカルビュー社，2020.

④ 潮見泰蔵，下田信明(編)．PT・OT ビジュアルテキスト．リハビリテーション基礎評価学．第 2 版，羊土社，2020.

参考書

1)　田崎義昭，斎藤佳雄(著)．ベッドサイドの神経の診かた．改訂 18 版，南山堂，2016.　2)　Shumway-Cook & Woollacott(著)．田中繁，蜂須賀研二(訳)．モーターコントロール．原著第 5 版，医歯薬出版，2020.　3)　Schenkman ML ら(著)．水野昇ら(監訳)．臨床神経科学とリハビリテーション，西村書店，2020.

研究室／オフィスアワー

木内隆裕：研究室／火曜日・金曜日 4 時限目以降

仲本正美：研究室／水曜日 4 時限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	神経系理学療法学の概要　中枢神経系の構造と脳画像　中枢神経系のネットワークと機能障害	予習：教科書①pp.4-31、32-52、63-79 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
2	脳血管障害①：　脳卒中の病態と回復メカニズム、急性期管理	予習：教科書①pp.80-93 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
3	脳血管障害②：　運動麻痺、異常筋緊張	予習：教科書①pp.53-62、98-111 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
4	脳血管障害③：　運動麻痺、感覚障害	予習：教科書①pp.112-125、243-252 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本
5	脳血管障害④：　姿勢バランス障害、姿勢定位障害	予習：教科書①pp.174-184 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本
6	脳血管障害⑤：　高次脳機能障害（スクリーニン	予習：教科書⑤pp.102-133 の通読　復習：	木内

	グ・記憶・注意）	上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	
7	脳血管障害⑥：　二次性機能障害（疼痛など）、転倒・再発	予習：教科書?254-263 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本
8	中間まとめ	まとめの範囲：第 1 講～第 7 講	木内、仲本
9	神経変性疾患①：　Parkinson 病	予習：教科書①pp.309-324 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
10	神経変性疾患②：　脊髄小脳変性症、及び、運動失調	予習：教科書①pp.137-152、327-341 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
11	神経変性疾患③、筋疾患：　筋萎縮性側索硬化症、重症筋無力症など	予習：教科書①pp.342-356 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	仲本／宮下
12	脱髄性疾患：　多発性硬化症、Guillain-Barré 症候群	予習：教科書①pp.357-369、370-377 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
13	外傷性疾患①：　脊髄損傷	予習：教科書①pp.397-411、412-420、421-436 の通読　復習:上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内／宮下
14	外傷性疾患②：　頭部外傷	予習：教科書①pp.381-393、教科書②pp.530-547 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
15	脳腫瘍	予習：教科書②pp.496-529 の通読　復習：上記範囲の再読　※それぞれ 30 分間以上を目安に行うこと。	木内
成績評価方法と基準			割合
1)　授業内で行う試験（範囲：第 1 講～第 7 講）【DP①②】　2)　定期試験（範囲：第 9 講～第 15 講）【DP①②】　※単位認定のための必要出席時間数は、「授業時数の 4/5 以上」とする。			1)　50%　2)　50%

授業科目名	内部障害系理学療法学Ⅰ（理学）				
主担当教員	堀　竜次		担当教員	堀　竜次／角田　晃啓／河村　知範	
科目ナンバリング	SS20BPTB022	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

(概要)オムニバス方式にて内部障害に起因する運動機能・生活機能の低下について、理学療法評価を中心に教授する。【内部障害の基礎 堀　竜次/ 角田晃啓　全 4 回】呼吸・循環・代謝を担う諸器官の解剖学的・生理学的知識から、内部障害の基礎知識と運動生理までを教授する。　【呼吸器疾患 堀　竜次 全 4 回】呼吸器疾患の病理学的特性やそれに起因する運動機能・生活機能障害を理解し、これに対する理学療法評価に必要な基礎知識とその実践について教授する。　【循環器疾患 河村知範 全 4 回】循環器疾患の病理学的特性やそれに起因する運動機能・生活機能障害を理解し、これに対する理学療法評価に必要な基礎知識とその実践について教授する。　【代謝性疾患 角田晃啓 全 3 回】糖尿病などの代謝性疾患に起因する運動機能・生活機能障害を理解し、これに対する理学療法評価に必要な基礎知識とその実践について教授する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．内部障害の病理学的特性やそれに起因する運動・生活機能の低下を理解できる。<DP①②>　2．内部障害患者の抱える問題点について理解し、それに対する理学療法評価を実践できる。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．小テストを行いますので教科書の出題範囲を必ず予習すること。　2．疑問点について、必ず解決の行動をとること

教科書

松尾善美 編. PT・OT ビジュアルテキスト 内部障害理学療法学. 羊土社　ISBN：978-4-7581-0217-9　医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.2 循環器. MEDIC MEDIA　ISBN：978-4-89632-643-7　　医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.4 呼吸器. MEDIC MEDIA　ISBN：978-4-89632-730-４

参考書

医療情報科学研究所 編. 病気が見える vol.3 糖尿病・代謝・内分泌. MEDIC MEDIA　安達仁編著.CPX・運動療法ハンドブック改訂４版　中外医学社

研究室／オフィスアワー

堀　：金曜 3・4 限　角田：木曜５限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【内部障害の基礎 全 1 回】　1. 内臓諸器官の構造と機能	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習をしてから望むこと（60 分）　復習：講義資料を基に内部疾患について整理して理解する（60 分）	角田
2	【呼吸器疾患 全 6 回】　1. 肺機能検査	予習：教科書「病気がみえる・呼吸器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に肺機能検査について整理して理解する（60 分）	堀
3	【呼吸器疾患 全 6 回】　2. 血液ガス検査	予習：教科書「病気がみえる・呼吸器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に血液ガス検査について整理して理解する（60 分）	堀
4	【呼吸器疾患 全 6 回】　3.胸部画像のみかた	予習：教科書「病気がみえる・呼吸器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に胸部画像検査につい	堀

		て整理して理解する（60 分）	
5	【循環器疾患 全 4 回】 1. 心電図(正常、心筋虚血）	予習：教科書「病気がみえる・循環器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に心電図について整理して理解する（60 分	河村・堀
6	【循環器疾患 全 4 回】 2. 心電図（不整脈）	予習：教科書「病気がみえる・循環器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に不整脈について整理して理解する（60 分）	河村・堀
7	【循環器疾患 全 4 回】 3. 循環器疾患のフィジカルアセスメント 1（講義）	予習：教科書「病気がみえる・循環器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に循環のフィジカルアセスメントについて整理して理解する（60 分）	河村・堀
8	【呼吸器疾患 全６回】 4. 呼吸のフィジカルアセスメント 1(講義）	予習：教科書「病気がみえる・呼吸器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に呼吸のフィジカルアセスメントについて整理して理解する（60 分）	堀
9	【循環器疾患 全 4 回】 4. 循環器疾患のフィジカルアセスメント 2（演習）	予習：教科書「病気がみえる・循環器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に循環のフィジカルアセスメントについて整理して理解する(60 分)	堀・角田・河村
10	【呼吸器疾患 全６回】 5. 呼吸のフィジカルアセスメント２（演習）	予習：教科書「病気がみえる・呼吸器」の該当箇所を予習・復習すること（60 分） 復習：講義資料を基に呼吸のフィジカルアセスメントについて整理して理解する(60 分)	堀・角田・河村
11	【代謝性疾患 全 3 回】 １．血糖の調節機構	予習：該当箇所について教科書・配布資料を確認し、予習をしてから望むこと。(60 分) 復習：講義資料を基に血糖の調節機構について整理して理解する（60 分）	角田
12	【代謝性疾患 全 3 回】 2. 糖尿病合併症	予習：該当箇所について教科書・配布資料を確認し、予習をしてから望むこと。(60 分) 復習：講義資料を基に糖尿病合併症について整理して理解する（60 分）	角田
13	【代謝性疾患 全 3 回】 3. 運動負荷と乳酸（演習）	予習：該当箇所について教科書・配布資料を確認し、予習をしてから望むこと。(60 分) 復習：講義資料を基に運動負荷と乳酸について整理して理解する（60 分）	角田
14	【呼吸器疾患 全 6 回】 ６．歩行負荷テスト（演習）	予習：該当箇所について教科書・配布資料を確認し、予習をしてから望むこと。(60 分) 復習：講義資料を基に歩行負荷テストについて整理して理解する（60 分）	堀・河村
15	講義全体のまとめ	予習：これまでの小テスト・課題について見直してから望むこと（60 分） 復習：小テストの解説を元に内部障害の病態について整理して理解する（60 分）	堀・角田・河村
成績評価方法と基準			割合
１．学期末の筆記試験により評価する（概論：10%、呼吸器系：40%、循環器系：30%、代謝系：20%）<DP①②> ２．授業中に実施される課題レポート・小テストを評価の対象とする<DP①②> 2/3 以上の出席が必要			1.80% 2.20%

授業科目名	義肢装具学（理学）				
主担当教員	檜垣　奨		担当教員	檜垣　奨／前田　薫	
科目ナンバリング	SS20BPTB026	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

義肢および装具の種類や構造、機能などの基礎知識について学び、臨床における患者への適応や理学療法士の役割について理解することを目的とする。また、義肢・装具の導入が歩行能力・運動能力へ及ぼす影響だけでなく、日常生活活動や QOL 拡大への影響についても理解することを目指す。そのために、特に理学療法士がかかわることの多い、下肢および体幹を中心に学修する。

学修目標

1. 義肢・装具の基本的な種類・名称・構造・機能について説明できる。　2. 義肢・装具の適応を理解し、説明できる。　3. 義肢・装具療法にかかわる理学療法士の役割を理解し、説明できる。　〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

義肢装具の活用次第で身体機能の低下を補うことが可能です。その効果をより良いものにするためには名称や構造、機能の理解はもちろんのこと、導入する意義・目的の理解が重要です。 暗記しなくてはいけないことが多いかと思いますが、意義・目的は常に意識するようにしてください。

教科書

石川朗 総編集：15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 義肢学 第 2 版. 中山書店　ISBN978-4-521-74490-2　石川朗 総編集：15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 装具学 第 2 版. 中山書店 ISBN 978-4-521-74491-9

参考書

日本整形外科学会 監：義肢装具のチェックポイント 第 9 版. 医学書院 ISBN 978-4-260-04589-6　高田治実 監：PT・OT ビジュアルテキスト 義肢・装具学 第 2 版. 羊土社 ISBN978-4-7581-0263-6

研究室／オフィスアワー

檜垣：5 階研究室（時間は事前に相談することが望ましい）　前田：5 階研究室（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	義肢学総論	予習：教科書の該当範囲を確認し、これまでに学んだ切断の疫学、原因等について予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
2	下腿・大腿義足①	予習：教科書の該当範囲を予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
3	下腿・大腿義足②	予習：教科書の該当範囲を予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
4	下腿・大腿義足③	予習：教科書の該当範囲を予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
5	その他の義足	予習：教科書の該当範囲を予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田

6	義肢：理学療法と臨床適応	予習：第 1-5 講で学習した切断者に用いる義肢の名称、特徴、機能等を復習する。 復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
7	これまでのまとめ	予習：これまでに学んだことの再学習・まとめを作成し、自身の理解度を確認する。 復習：当該講で生じた疑問点について復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
8	装具学総論	予習：教科書の該当範囲を確認し、装具の適応となる疾患や意義・目的等について予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
9	整形疾患に対する装具①	予習：教科書の該当範囲を確認し、適応となる整形疾患（上肢・下肢・体幹）について予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
10	整形疾患に対する装具②	予習：教科書の該当範囲を確認し、適応となる整形疾患（上肢・下肢・体幹）について予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
11	中枢神経疾患に対する装具①	予習：教科書の該当範囲を確認し、適応となる中枢神経疾患（主に脳卒中）について予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
12	中枢神経疾患に対する装具②	予習：教科書の該当範囲を確認し、適応となる中枢神経疾患（主に脳卒中）について予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
13	小児の装具	予習：教科書の該当範囲を確認し、適応となる小児疾患について予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
14	特殊装具	予習：教科書の該当範囲を予習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
15	装具：理学療法と臨床適応	予習：第 8-14 講で学習した疾患別に用いる装具の名称、特徴、機能等を復習する。　復習：配布資料および教科書の該当範囲を復習する。　※予習・復習はそれぞれ 1 時間以上を目安に行う。	檜垣・前田
成績評価方法と基準			割合
単位認定には 2/3 以上の出席が必要。　1. 中間試験（第 7 講）　2. 期末試験　これらの合計得点率が 60%以上で単位認定します。　<DP①②>			中間試験 40% 期末試験 60%

授業科目名	地域理学療法学（理学）				
主担当教員	澤田　優子		担当教員	澤田　優子	
科目ナンバリング	SS20BPTB028	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

地域理学療法は疾患特性を踏まえたうえで、地域でどのような生活をしていくかを考えていくことが重要である。　本講義では、地域理学療法の概念および介護保険制度などの関連制度について解説する。　また、症例検討やグループワークを積極的に実施し、地域理学療法の実際を理解できることを目標とする。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．地域理学療法の概念を理解する　2．地域理学療法に関する制度を理解する　3．地域理学療法の実際を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義前、講義後に教科書および配布資料を読んでおくこと　随時確認テストを実施する

教科書

最新理学療法学講座 地域理学療法学　牧迫飛雄馬・吉松竜貴（編著）医歯薬出版株式会社

参考書

Crosslink 地域理学療法学　浅川康吉（編）メジカルビュー　地域リハビリテーション学テキスト（改訂第 3 版）　備酒伸彦　南江堂　ビジュアルレクチャー地域理学療法学　浅川育世　医歯薬出版株式会社　地域包括リハビリテーション実践マニュアル 河野眞（編）　羊土社

研究室／オフィスアワー

月曜日 3 時限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	地域における理学療法士の役割	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
2	介護保険制度の理解	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
3	地域理学療法に求められる医学的管理	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
4	地域での理学療法評価 1	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
5	地域での理学療法評価 2	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
6	サービス種別にみる地域理学療法の実際 1	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義	澤田

		内容をまとめる	
7	サービス種別にみる地域理学療法の実際 2	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
8	サービス種別にみる地域理学療法の実際 3	予習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間)：教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
9	サービス種別にみる地域理学療法の実際 4	予習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
10	疾患別にみる地域理学療法の特異性 1	予習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
11	疾患別にみる地域理学療法の特異性 2	予習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
12	疾患別にみる地域理学療法の特異性 3	予習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
13	疾患別にみる地域理学療法の特異性 4	予習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
14	その他の地域理学療法 1	予習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる	澤田
15	その他の地域理学療法 2	予習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読んでおく　復習(2 時間):教科書または配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる。これまでの講義内容を復習しておく。	澤田
成績評価方法と基準			割合
成績評価＜DP①③④＞　1.課題(各回)　2.筆記試験　2/3 の出席が必要			1.20%　2.80%

授業科目名	生活環境論（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／澤田　優子	
科目ナンバリング	SS20BPTB029	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

この科目では、障がいのある人や高齢者の日常生活は、個人の障がいの因子だけでなく周りの環境と相互に影響を及ぼすことを、国際生活分類（ICF）などに基づき解説する。また対象者の生活環境における問題解決のためにどのようなことが理学療法士に求められているのか、生活動作・活動および環境因子のそれぞれの側面から実技演習も含めて学ぶ。具体的には、対象者の日常生活や心身機能、動作介助について述べるとともに、福祉のまちづくり、住宅改修、その他の福祉用具（起居関連用具・移乗関連用具・入浴関連用具・自助具関連・排泄関連）について述べる。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1. リハビリテーションの視点での生活環境における環境調整･支援について理解できる。【DP①③④】 2. 国際生活機能分類(ICF)について理解できる。【DP①③④】 3. 対象者の心身機能や日常生活について、生活環境と相互作用するものとして捉えて理解できる。【DP①③④】 4. 福祉用具や住宅に関する評価、環境調整・支援方法について理解できる。【DP①③④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．講義前、講義後には配布資料を読んでおくこと。　２．実技形式の演習では、大学指定のジャージ、シューズを着用すること。　３．講義および実技演習においても重要な内容はメモをとり、学んだことを復習して整理すること。

教科書

細田多穂：シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト 改訂第 3 版, 南江堂, 2019.　ISBN 978-4524245789

参考書

細田多穂：シンプル理学療法学シリーズ 生活環境学テキスト 改訂第 2 版, 南江堂, 2020.　臼田滋（編）：Crosslink リハビリテーションテキスト 生活環境学, メジカルビュー社, 2023.　奈良勲・他：標準理学療法学 日常生活活動・生活環境学 第 6 版, 医学書院, 2021.

研究室／オフィスアワー

金曜日の 5 限（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生活環境とは・ICF について	予習：1 年次で修得した ADL に関する知識を振り返っておく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
2	生活環境調整備に関わる仕組み・福祉用具	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
3	基本動作・起居動作と生活環境整備（1）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
4	基本動作・起居動作と生活環境整備（2）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
5	基本動作・起居動作と生活環境整備（3）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
6	基本動作・起居動作と生活環境整備（4）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく	角田　澤田

		（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	
7	移動（歩行・車椅子）と生活環境整備（1）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
8	移動（歩行・車椅子）と生活環境整備（2）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
9	移動（歩行・車椅子）と生活環境整備（3）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
10	生活環境整備の進め方（福祉用具・住宅改修）(1)	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
11	生活環境整備の進め方（福祉用具・住宅改修）(2)	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
12	生活環境整備の進め方（福祉用具・住宅改修）(3)	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
13	移動・外出支援と生活環境整備（1）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
14	移動・外出支援と生活環境整備（2）	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
15	移動・外出支援と生活環境整備（3）・まとめ	予習：配布資料の当該箇所を読んでおく（1 時間）　復習：配布資料の当該箇所を読み、講義内容をまとめる（1 時間）	角田　澤田
成績評価方法と基準			割合
１．課題【DP①③④】　　２．試験【DP①③④】　《出席基準》２／３以上の出席にて評価対象とする。			１．20%　２．80%

授業科目名	理学療法臨床推論概論（理学）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	SS20BPTB031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

これまでに修得した知識・技術を整理し，理学療法評価における臨床推論を向上させる。そのため，授業内で患者モデル（Paper patient＝紙上患者）を用いて，理学療法評価における情報の収集（観察，検査・測定)」の必要性を理解し，「情報の分析（統合と解釈，問題点の抽出)」の過程について演習を通して学修する。

学修目標

1. 能動的学習方法を理解し，実践できる。【DP①④】　2. 症例の問題を解決するための理学療法臨床推論の経験し，実践できる。【DP①④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 授業中は，積極的に質問や発言を行ってください。　2. 担当教員と十分なコミュニケーションを図ってください。　3. 授業が実技形式の場合には，ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　＊質問があれば，直接研究室にお越しください。また，MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

有馬慶美 編：基本編 ケースで学ぶ理学療法臨床思考 第 2 版，文光堂，2019　有馬慶美 編：実践編 ケースで学ぶ理学療法臨床思考 第 2 版，文光堂，2019　豊田輝 編：症例動画でわかる 理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト，羊土社，2021

研究室／オフィスアワー

杉本　圭：研究室／水曜日 4・5 時限目（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　PBL の進め方	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本
2	理学療法における「臨床推論」とは？　理学療法における障害モデル	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本
3	病態を理解する	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本
4	リスク管理を実践する	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本
5	検査測定を考える	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本
6	これまでの授業のまとめ（ポートフォリオ作成）	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本
7	これまでの授業のまとめ（実技）	予習：事前に配布する資料を読み，事前に配信すると動画を視聴しておくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本

8	統合と解釈	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと。(2 時間)　復習：講義内容を振り返り，その理解を深める（2 時間）	杉本
成績評価方法と基準			割合
①各授業後の課題【DP①】　②模擬症例におけるポートフォリオシート【DP①】　＊各授業後の課題については授業中に解説を行う。			①40%　②60%

授業科目名	臨床見学実習（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／三木屋　良輔／前田　薫／澤田　優子／仲本　正美／工藤　慎太郎／堀　竜次／杉本　圭／檜垣　奨／河西　謙吾／中田　光海／河村　知範／沼澤　俊／木内　隆裕／／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTA043	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

これまでに修得した知識と技術をもとに、対象者との接触を通じて、社会人、医療人としての対応力を向上させることを目的とした1週間の実習である。また、学内での履修内容だけでなく社会的マナーやTPOに応じたコミュニケーションを経験し、その能力を向上させることを目的とする。

学修目標

対象者や職員とコミュニケーションを図り、社会における理学療法士の役割を認識することを目標とする。これを実現するための行動目標を以下のとおりとする。 ①病院、施設などの全体的な業務と機能を知る。 【DP①②③④】 ②理学療法士の臨床業務の概要を知る。 【DP①②③④】 ③実習施設における理学療法部門の位置づけを把握し、チーム医療の一員としての理学療法の役割や責任および協調の必要性を自覚する。 【DP①②③④】 ④実習指導者が対象者に対して理学療法を実践した内容を認識できる。 【DP①②③④】 ⑤医療福祉を司る者としての自覚を深め、可能であれば、対象者との信頼関係を築く。 【DP①②③④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．医療人であるという自覚をもって実習態度には十分に注意する。 2．臨床実習のため，原則欠席は認めない。 3．「臨床実習要項」を熟読し、理解しておくこと。 4．実習前後のオリエンテーション、ホームルームには必ず参加すること。これがなされない場合、実習への参加が認められない場合がある。

教科書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

参考書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

研究室／オフィスアワー

各実習施設担当教員のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	病院・施設における理学療法部門の位置づけおよび現場における理学療法士の業務全般・他職種との役割分担やチーム活動を学ぶ。	日々の学習内容をDailyノートに整理する。	科目担当教員各位
2	対象者と直接かかわり、医療倫理に基づく医療人としての基本的マナーを身につける。	日々の学習内容をDailyノートに整理する。	科目担当教員各位
3	医学的兆候を知る為の血圧測定や脈拍の計測などのバイタルチェックや問診などの実技も経験する。	日々の学習内容をDailyノートに整理する。	科目担当教員各位
4	今まで履修した分野の知識を臨床の場で確認する。	日々の学習内容をDailyノートに整理する。	科目担当教員各位
5	実習開始時と現在までの変化を自覚し、弱点の克服に努める。	前日までの学習内容をまとめてDailyノートに記載する。 実習後レポートを提出する。	科目担当教員各位

成績評価方法と基準	割合
１．事前課題・CBT など【DP①②③④】　２．実習課題・実習報告会など【DP①②③④】　の総合評価にて 60 点以上の評価に値する内容で単位認定する。	１．50%　２．50%

授業科目名	検査測定実習（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓／三木屋　良輔／前田　薫／澤田　優子／仲本　正美／工藤　慎太郎／堀　竜次／杉本　圭／檜垣　奨／河西　謙吾／中田　光海／河村　知範／沼澤　俊／木内　隆裕／／宮下　創	
科目ナンバリング	SS20BPTB044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

これまでに修得した知識と技術をもとに、対象者への検査・測定を経験し、臨床評価実習へむけた技術を向上させることを目的とした 1 週間の実習である。　また、専門職、社会人としてのマナーやルールに基づいて行動し、リハビリテーションチームの構成について学び、理学療法士の役割を把握することを目的とする。

学修目標

理学療法士の臨床業務の概要を把握し、対象者への検査・測定の技術を向上させることを目標とする。これを実現させるための行動目標を以下のとおりとする。　①実習施設におけるリハビリテーションチームの構成及び理学療法部門の位置づけを把握できる。【DP①②③④】　②実習指導者が対象者に対して理学療法を実践した内容を認識できる。【DP①②③④】　③問診・医療面接を経験する。【DP①②③④】　④実習指導者の指導のもと、安全に配慮した検査・測定を経験する。【DP①②③④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．医療人であるという自覚をもって実習態度には十分に注意する。　2．臨床実習のため，原則欠席は認めない。　3．「臨床実習要項」を熟読し、理解しておくこと。　4．実習前後のオリエンテーション、ホームルームには必ず参加すること。これがなされない場合、実習への参加が認められない場合がある。

教科書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

参考書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

研究室／オフィスアワー

各実習施設担当教員のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病院･施設における理学療法部門の位置づけおよび現場における理学療法士の業務全般･他職種との役割分担やチーム活動を学ぶ。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
2	対象者と直接かかわり､医療人としての医療倫理に基づく基本的マナーを身につける。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
3	対象者情報の収集を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
4	問診・医療面接を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
5	必要な検査・測定項目の想起を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
6	検査・測定の実施を経験する。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
7	実習開始時と現在までの変化を自覚し､弱点の克服に努める。	前日までの学修内容をまとめて Daily ノートに記載する。　実習後レポートを提出する。	科目担当教員各位

成績評価方法と基準	割合
１．事前課題・CBT など【DP①②③④】　２．実習課題・実習報告会など【DP①②③④】　の総合評価にて 60 点以上の評価に値する内容で単位認定する。	１．50%　２．50%

授業科目名	地域理学療法実習（理学）				
主担当教員	角田　晃啓		担当教員	角田　晃啓、河村　廣幸、三木屋　良輔、前田　薫、澤田　優子、仲本　正美、工藤　慎太郎、堀　竜次、杉本　圭、松尾　浩希、檜垣　奨、林　真太郎、国宗　翔、河西　謙吾、中田　光海、木内　隆裕	
科目ナンバリング	SS20BPTC046	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	3 年生後期 ～4 年生前期	開講学期	後期･前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

４年次までに履修した理学療法全般にわたる知識と技術、評価実習で習得した理学療法評価の実践能力をもとに、地域ケアシステムにおける理学療法の役割を理解することを目的とした１週間の実習である。

到達目標

地域理学療法の見学・実践を通じて、地域ケアシステム（特に通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション）における理学療法士の役割を理解することを目標とする。これを実現するための行動目標を以下のとおりとする。
１．地域ケアシステム（通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションなど）における病院、施設などの全体的な業務と機能を知る。【DP①③④】
２．地域ケアシステムにおける理学療法士の役割について理解できる。【DP①③④】
３．対象者の生活機能をふまえた安全に配慮した理学療法評価・介入を行うことができる。【DP①③④】
４．実習指導者が対象者に対して理学療法を実践した内容を認識できる。【DP①③④】
５．対象者のケアプランの立案過程を説明できる。【DP①③④】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．医療人であるという自覚をもって実習態度には十分に注意する。
２．臨床実習のため，原則欠席は認めない。
３．「臨床実習要項」を熟読し、理解しておくこと。
４．実習前後のオリエンテーション、ホームルームには必ず参加すること。これがなされない場合、実習への参加が認められない場合がある。

教科書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

参考書

適宜、実習に必要なことを各自で調べること。

研究室／オフィスアワー

各実習施設担当教員のオフィスアワーに準ずる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病院・施設における理学療法部門の位置づけおよび現場における理学療法士の業務全般・他職種との役割分担やチーム活動を学ぶ。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
2	通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションにおける理学療法士の位置づけを学ぶ。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
3	利用者と直接かかわり、医療人としての医療倫理に基づく基本的マナーを身につける。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
4	利用者情報の収集の実際。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
5	利用者に対する接遇の実際。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
6	地域ケアシステムにおける理学療法の検査・測定・評価の実際。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位
7	ケアプラン立案の実際。	日々の学習内容を Daily ノートに整理する。	科目担当教員各位

8	実習開始時と現在までの変化を自覚し、弱点の克服に努める。	前日までの学習内容をまとめてDailyノートに記載する。 実習後レポートを提出する。	科目担当教員各位
成績評価方法と基準			割合
１．ポートフォリオ作成など【DP①③④】 ２．実習報告会【DP①③④】 の総合評価にて60点以上の評価に値する内容で単位認定する。			１．70% ２．30%

授業科目名	東洋史概説（作業）				
主担当教員	重信　あゆみ		担当教員	重信　あゆみ	
科目ナンバリング	LA20012	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、人々の行動の積み重ねである歴史を公認心理師の観点から再検討する。そのうえで、現代社会における課題を歴史的事例を通して考えていく。

学修目標

1.多様性について理解し、事例を挙げながら説明することができる。　2.現代社会における課題（教育・福祉・医療・産業など）を取り上げ、歴史を通じて解決の糸口を考えることができる。　〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 配付された資料には必ず目を通すこと。　2. 出席は重視する。　3. 疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書

川口幸弘『文化人類学へようこそ。異文化のフィールドワークをするあなたへ』、昭和堂、2017 年。　福島哲夫、 尾久裕紀、山蔦圭輔　『公認心理師必携テキスト 改訂第 2 版』、学研メディカル秀潤社、2020 年。

研究室／オフィスアワー

授業後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1 現代社会と歴史　歴史は､人間の行動を記したものである。また、文字のない時代にも人間は生活を営み活動をしていた。今なぜ歴史を学ぶのかについて考え、今後の講義の概要を述べる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　半期でする時代の流れを復習すること。また、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
2	2．教育について①　アドラー心理学を取り上げ、古代中国のおける「礼」と比較し、現代社会での「礼」について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　アドラー心理学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
3	3.教育について②　発達障害について講義をする。そして、応用行動分析法を用いて、教育現場での事例を検討していく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　教育、保育現場の事例を検討し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
4	4．家族とは①　人間は、古代より集団で社会生活を営んできた。なぜ、集団で生活するのかについて､古代の人類を比較して考える。そのうえで、人間のライフサイクル理論を見ていく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　ライフサイクル理論について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
5	5．家族とは②　「夫婦」や「家族」について考える。古代の家族形態である宗族を学び、現代社会における愛着形成の課題を取り上げる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　愛着形成について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
6	6.宗教とは①　人間はときによりどころとして宗教を選択することがある。宗教とは何かを定義づける。そして、中国の宗教である道教の神である西王母を取り上げ､中国文化の基礎について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　中国文化の基礎である道教について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
7	7.宗教とは②　送葬儀礼や死後の世界を考えることは、人間の一つの特徴である。それは、想像力の賜物であると同時に見えないものへの不安でもある。どのような世界を描いていたのかを図	＜復習・課題 各 1 時間＞　グリーフケアについて考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ

	像を通してみていく。そのうえで、グリーフケアについて考える。		
8	８．不老不死と安楽死　高齢化社会の中で、不老不死の研究もんでいる。この不老不死は、古代中国では願われていたことである。一方で、「安楽死」という問題も残っている。長寿社会において医療人はどのように寄りそっていくべきかを心理的ケアより見ていく。	＜復習・課題 各１時間＞　不老不死と安楽死、そして、心理的ケアについて復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
9	９．人間の本質とは①　「人間の本質とは？」は古来より考えられてきた課題である。本講義では、人間の本質を中国の戦国時代に生きた孟子の思想より考える。	＜復習・課題 各１時間＞　孟子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
10	10．人間の本質とは②　本講義では、中国の戦国時代末期に活動した荀子についてみていく。そして、荀子が唱えた「性悪説」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　荀子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
11	11．健康について①　古代中国における予防医学について考える。古代中国においてすでに言われていた「未病」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　予防医学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
12	12．健康について②　食育について考える。「医食同源」といわれるように、食と健康とは切ってもきれないものである。幼児期の子どもたちにどのように食事の楽しさ、そして、大切さを伝えていくのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　食育について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
13	13．文化の伝播について①　古代中国の東西交流を見ていく。外来のものをどのように受容し、そして変容させたのか。それを踏まえて現代の地域における多様性について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　東西交流の中でおきた受容と変容について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
14	14．文化の伝播について②　日本語の表記には、漢字、カタカナ、ひらがなの３種類があります。これらの文字は、漢字から生まれたものである。本講演では、東アジア世界の中の日本という視点から、３世紀末から８世紀にかけて、文字のない日本で漢字がどのように受容されたかを考察する。そして、現代の教育界で課題となっているLDの子どもにどのように対応するのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　事例検討を行い、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
15	15．文化の伝播について③　東アジアの儒教「論語」 明治維新前の東アジアでは「論語」は常識であった。しかし、「論語読みの論語知らず」と言われるように、現在では『論語』の位置づけが変わってきている。なぜそのような言葉が生まれたのか。本講演では、東アジアにおける『論語』の位置づけを再確認し、今後の教育のあり方について受講生と一緒に考えてみたい。	＜復習・課題 各１時間＞　現代教育について考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
成績評価方法と基準			割合
①授業ごとの課題<DP③>　②小レポート課題<DP③>　③レポート課題<DP③>			①50%　②20% ③30%

授業科目名	西洋史概説（作業）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20013	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜１限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

明治維新以降、日本は西欧列強の国々から様々な知識や技術を得て、今日まで長らえてきた。そのなかで近年はヨーロッパの考え方に対して、たとえば「こういう考え方は日本にはなじまない」とか、逆に「日本はこういう考え方を取り入れるべきだ」といった議論がなされることが多くある。しかし、その意見はなぜ正当化されるのだろう。よくあるのは歴史上の事実を取り上げて「西欧はこうだけど日本はこうだからだ」とか、「西欧はこれでうまくいったんだから日本もこうするべきだ」という議論だ。でも、その証拠を評価するにはまず、自分の国の歴史や伝統のみならず、相手が歩んできた歴史の流れを知っておく必要があるだろう。本講義では政治史と社会史上の幾つかのトピックに話を絞って、西洋について基本的な歴史的概説を行う。こうした作業を通じて西洋史の大づかみの概要を学びつつ、普段私たちが用いる言葉や考え方そのものが場合によっては歴史の正しい理解を妨げうること、教科書的な記述にとどまらない事実をめぐる様々な議論がある点などに特に注意を促したい。　　また本学は医療大学であるため、本講義では西洋における医学史についても毎回少しずつ紹介したい。日本では中医学から影響を受けた漢方も発達してきたが、やはり現代の医療の多くは西洋で培われてきた種々の知識や理論に負うところが大きい。西洋において医学をめぐる考え方がどのように変遷していったのかを理解することは、現代の医の在り方を考える上でも重要な視点を与えてくれるだろう。

学修目標

１．歴史学がどのようなことを試みる学問かを踏まえたうえで、毎回各時代に１，２のテーマを設定し、西洋史を概観する。このことによって中高の世界史の授業ではしばしば省略される西洋史の大枠をつかむための歴史理論や、考えるべきだが見落とされがちなポイントなどを学習し、われわれの来し方行く末を考える材料としてもらう。　２．西洋史の概説に加えて今日まで影響を持ついくつかの医学史上の重要なポイントについても理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

第１回までの授業で特別必要な用意はない。これまでの人生経験に即して、西洋社会についていくらかのイメージを持っていればよい。高校時代の世界史の授業とは異なり様々なポイントを省略することがあるが、初修者でも理解しやすく努めるつもりであるし、高校の世界史を知らないことで成績評価に不利益が生じないように成績評価基準を設計する。歴史学の分野でも昔は認められていた事柄が否定されたり、表記が変わっていたりすることがあるため、中学・高校時代に世界史を履修された学生は、当時の参考書の内容が現在では改訂されている可能性があることを気に留めておくこと。また、シラバスは講義中で取り扱う内容の大まかな流れを示したものであり、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解に応じて内容を一部変更して講義を行ったりするなど、実際の講義をそのまま反映したものではないことに注意されたい。　残念ながら時間の制約上、西洋史を古代から現代までとにかく大急ぎで追いかける形になる。それゆえに、講義と講義の接続は丁寧に行うつもりだが、前に話した内容をある程度は復習し覚えておいていただくことが試験や期末レポートの前提となる。　本講義の進め方や採点基準といった基本方針は第１回の授業で説明する。授業中はその他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠や私語など）はしないこと。妨害行為が酷い場合は退室を命じる。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。　最後に。本講義は関西万博による交通の混雑のため、ライブではなくオンライン講義となる可能性がある。その際は MORIPA を通じて告知をするため、通知を確認できるようにしておくこと。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニテストに解答できるわけではな

い。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意・「歴史学」ってそもそも何？	（予習）西洋社会・文化について自分がどういうイメージを抱いているのかを考えておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。(2 時間)	中元　洸太
2	古代ギリシア	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
3	古代ローマ	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
4	中世キリスト教社会の成立①	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
5	中世キリスト教社会の成立②	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
6	ルネサンス、宗教改革、三十年戦争	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
7	近世の国家形成と科学革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
8	期末レポート作成上の注意	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
9	プロト工業化と「啓蒙」の時代	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	産業革命とフランス革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太

11	ウィーン体制と国民国家の形成	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	南北アメリカの独立	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	第一次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	第二次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	冷戦から現在へ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太

成績評価方法と基準	割合
成績評価は数回にかけて随時行うミニテスト 60%、期末レポート 40%で採点する。　ミニテストは第 1 回～第 15 回の授業内容に即し、随時実施する予定である。試験中、レジュメやノートの閲覧は自由であるが、テストの方法・回数・〆切・制限時間の設定については第 1 回授業のガイダンスで指示する。授業内容の確認テストの色彩が強いため解説などのフィードバックは行わない。　期末レポートでは指定した範囲内で興味を持ったトピックを選んでもらい、その内容を一定の字数以上で要約できるか、それに対し受講生がどのように感想や意見を表明できるかを問う（ノートやレジュメなどを参照してかまわない）。レポート課題の詳細や採点基準は授業内で伝え、希望者のみ得点の開示を行う。課題の要求が専門的な文献解釈などを要するレベルのものではないため、また課題の性質上それぞれの学生が取り上げるテーマはバラバラになるため、レポート執筆における一般的な注意がある場合を除き、全体に対するフィードバックは行わない。	①ミニテスト 60%　②期末レポート 40%

授業科目名	IPW 論（作業）				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	松下　太／橋本　弘子／中西　一／金森　幸／小川　泰弘／由利　禄巳／兼田　敏克／鍵野　将平／勝原　勇希／塚越　千尋／中井俊輔／上野　慶太／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20005	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各学科において、他学科の連携や知識・技術に触れることを目的に看護学・鍼灸学・理学療法学・作業療法学・臨床検査学・臨床工学・放射線技術学を学び、IPW（Interprofessional Work = 専門職連携）を 7 学科協働で演習形式にて実践する。　2 年次後期「チーム医療論」で学んだ各分野の特徴やチーム内での役割とその専門性を理解しつつ、看護・鍼灸・理学療法・作業療法・臨床検査・臨床工学・診療放射線の各分野で共通する疾患や障害を基に、IPW の実際について、討議・経験・学修する。他職種と連携する中で違った視点や新たな知識を学ぶ機会となり、キャリアをデザインしていく上で考えておくべき多様な視点を学修することができる。

学修目標

各分野の専門性を理解しつつ、実際の症例を基に IPW を経験し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と倫理観を養う。＜DP②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。　3）出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

必要であれば、各自準備すること

研究室／オフィスアワー

都度、指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　（チームの顔合せ、授業概要の説明、チーム医療論の復習等）	予習：各分野の専門性について復習し、Case Conference を再度視聴しておく。IPW(Interprofessional Work =専門職連携）について再確認しておく。（１時間以上）　復習：IPW(Interprofessional Work =専門職連携）についてまとめる。（１時間以上）	担当教員 朝倉　智仁
2	症例提示におけるアプローチ立案とその考察①	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
3	症例提示におけるアプローチ立案とその考察②	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員

4	IPW①【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。(１時間以上)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員 朝倉　智仁
5	IPW②【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。(１時間以上)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員 朝倉　智仁
6	IPW③【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。(１時間以上)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員 朝倉　智仁
7	IPW④【ディスカッション】	予習：各分野の専門性について復習しておく。(１時間以上)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員 朝倉　智仁
8	IPW⑤【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備。(１時間以上)　復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①ディスカッション時におけるプロセス評価<DP②③④>　②プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）<DP②③④>　出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①30% ②70%

授業科目名	東洋医療概論（作業）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	CS20012	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

主要な補完代替医療である東洋医学の概要について講義し、初歩的な理論や治療を解説する。

学修目標

東洋医学の基本を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

下記の授業計画表に記載の講義を中心とするが、鍼灸実技も行う。　西洋医学とは異なる体系であることを理解する。

教科書

平馬直樹・浅川要・辰巳洋監、　東洋医学の教科書、　ナツメ社、　ISBN コード 978-4-8163-5540-0

参考書

東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学概論、　医道の日本社　東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学臨床論（はりきゅう編)、　南江堂

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス	復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
2	東洋医学の歴史	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
3	陰陽・五行学説、天人相関思想ほか中国思想	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
4	陰陽・五行の相互関係	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
5	医学における陰陽・五行	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
6	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
7	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
8	臓腑学説	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
9	臓腑学説	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
10	病因	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
11	四診	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
12	経絡・経穴	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
13	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻

14	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
15	まとめ	予習:これまでの講義を振り返る　復習:これまでの資料・教科書を見る	辻
成績評価方法と基準			割合
期末試験　授業態度			90%　10%

授業科目名	統合医療概論（作業）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／増山 祥子／森 美侑紀	
科目ナンバリング	CS20013	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:必修 スポーツ:選択

授業概要

統合医療という言葉が医療の中で使われるようになってきたが、実際に統合医療が何を指し、どうあるべきなのかについては合意が得られていない。本授業では、統合医療の概念と現状について解説するとともに、統合医療の重要な構成要素である EBM と補完療法について概説する。また、各種治療の有効性と安全性について、エビデンスにもとづく批判的吟味のポイントについても解説する。

学修目標

1．統合医療の概念と現状について理解する。 2．EBM の概念と手法について理解する。 3．補完療法の種類と概要について説明できる。 4．主要な補完療法についてエビデンスにもとづく批判的吟味ができる。 〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療や行政において統合医療は賛否両論である。医師その他の医療従事者も支持派と反対派に分かれる。なぜ賛否両論があるのか、よく考えながら受講していただきたい。

教科書

資料を配布する。

参考書

各教員が必要に応じて授業担当時に紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下 仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療におけるエビデンスの重要性	健康関連商品の広告に目を通す	山下
2	EBM	EBM について調べる	山下
3	EBM シミュレーション	自分の専門領域のエビデンスについて調べる	増山
4	EBM と診療ガイドライン	自分の専門領域または興味のある疾患の診療ガイドラインを調べる	山下
5	健康産業と研究倫理・利益相反	利益相反状態と利益相反行為の違いについて調べる	山下
6	補完療法概論	代替医療と補完医療の違いについて調べる	山下
7	代表的な補完療法	自分が興味のある補完療法についてネットや図書館で調べる	山下
8	鍼灸のエビデンス	鍼灸に関する書籍や雑誌を図書館で調べる	山下
9	アロマセラピー①	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
10	アロマセラピー②	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
11	ヨガ・マインドフルネス	ヨガ・マインドフルネスに関するネット動画を見る	増山

12	サプリメント	興味のあるサプリメントを幾つか選んでその広告の内容に関する疑問点を調べる	山下
13	統合医療とスピリチュアルと NBM	スピリチュアルという概念について調べる	山下
14	緩和ケア・難病ケアと統合医療	末期がんまたは難病の患者の実情について調べる	増山
15	総括：統合医療は何を統合するのか	14 回までに習った内容を整理する	山下
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②課題提出物　　〈DP③〉			①70%　②30%

授業科目名	リハビリテーション医学(画像診断・予防・栄養含む)(作業)				
主担当教員	松下　太		担当教員	松下　太／藤江　建朗／辻　義弘／中村　有希／上野　慶太／前田　留美子	
科目ナンバリング	SB20BOTC022	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

リハビリテーションの理念、リハビリテーション医学の体系、および包括的なリハビリテーヨン医療の考え方を学習する。また、リハビリテーション医療の対象となる各種の疾患・障害および、自立支援、予防、地域包括ケアシステム、職業リハビリテーション等々について学び理解を深める。

学修目標

リハビリテーション医学の概要を説明できる。　(DP①②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容が多岐に渡る。したがって、講義内容をより良く理解するためには、各回に指定されている予習・復習を行うことが重要である。

教科書

安保雅博（監修），リハビリテーション医学，羊土社

参考書

千野直一（監修），現代リハビリテーション医学，金原出版　久保俊一（総編集），リハビリテーション医学・医療コアテキスト，医学書院　上月正博，高橋仁美（編集），リハビリテーション医学，メジカルビュー社

研究室／オフィスアワー

月曜 2 限，木曜 2 限（不在のことがあるため事前にアポイントメントをとることが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	リハビリテーション医学・医療の理念、障害、チーム医療　各ステージごとのリハビリテーション医療と特徴	予習：指定教科書第Ⅰ章①②③④を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	松下
2	運動療法と物理療法	予習：指定教科書第Ⅰ章⑤⑥を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	松下
3	リスク管理　薬物療法と手術療法	予習：指定教科書第Ⅰ章⑫を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	松下
4	廃用症候群（褥瘡含む）	予習：指定教科書第Ⅰ章⑬を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	松下
5	循環器とその医療機器	予習：循環に関わる医療機器について学修を行う（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	中村有希
6	呼吸器とその医療機器	予習：呼吸に関わる医療機器について学修を行う（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	藤江建朗

7	腎臓の機能と腎臓リハビリテーション	予習：腎臓の構造と機能について学修を行う（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	辻 義弘
8	画像検査①（脳画像）	予習：指定教科書第Ⅰ章⑮を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	上野　慶太
9	画像検査①（Ｘ線検査）	予習：指定教科書第Ⅰ章⑮を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	上野　慶太
10	摂食嚥下、言語障害	予習：指定教科書第Ⅱ章⑤⑥を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	前田留美子
11	障害各論①（運動障害）	予習：指定教科書第Ⅱ章①を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	松下
12	障害各論②（その他）	予習：指定教科書第Ⅱ章③④⑦⑧⑨を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	松下
13	地域包括ケアシステム　地域リハビリテーション医療　職業リハビリテーション	予習：指定教科書第Ⅰ章⑩を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに指定教科書の該当範囲を再度熟読し内容の理解に努める（120 分）	松下
14	予防医学と介護予防　リハビリテーションと栄養管理	予習：指定教科書第Ⅲ章⑮を熟読する。栄養と筋力増強の関係についてネット等を調べておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとに，栄養がリハビリテーションにとって重要とされるポイントについてまとめる（120 分）	松下
15	リハビリテーション医療の今後の展望と社会貢献	予習：指定教科書のコラム②③を熟読しておくこと（120 分）　復習：講義内容をもとにリハビリテーション医療の今後の展望についてまとめる（120 分）	松下
成績評価方法と基準			割合
①定期試験（DP①②③）　※単位認定には 2/3 以上の出席が必要			①100%

授業科目名	スポーツ医学（作業）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BOTC026	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

2 年次の整形外科学で学んだ運動器の解剖とスポーツ傷害について、メディカルチェックや症状、対処法などについてより理解を深め、またスポーツ外傷における救急処置の重要性についても学ぶ。あわせてスポーツ現場で遭遇しやすい内科疾患についてもメディカルチェックや症状について学ぶ。

学修目標

1. 重症度と緊急度を理解し、スポーツ現場で発生する最も重篤な心肺停止に対応できるようになること、また、発生頻度の高い脳震盪と頭部外傷、熱中症の病態を理解し、発生現場における予防や救急処置法を習得する。〈DP①②③〉　2. さらにスポーツ現場で遭遇する運動器の外傷や障害、内科疾患についてのメディカルチェックや対処法についても習得する。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

スポーツ医学は、運動器の解剖学、生理学を土台にするもので、他の講義で学んだ局所解剖や運動機能の評価方法、理学所見の取り方等を質問することから始める。ほとんどの授業内容は、資料として配付するスライドを中心に進めるので、講義に出席せず、資料だけを見ても理解困難である。心停止や頭部外傷、熱中症等の傷害発生の理論的なイメージを獲得する努力をすることが重要である。

教科書

配布プリント（適宜配布いたします。）

参考書

1. 臨床医学各論（第 2 版）医歯薬出版 179 頁～185 頁、288 頁～301 頁　2. 救急蘇生法の指針 2015（医療従事者用、改訂第 5 版）へるす出版　3. 標準整形外科学 第 12 版.中村利孝/松野丈夫 監修.医学書院.2014.　4. 新版 スポーツ整形外科マニュアル.福林徹 監修. 中外医学社.2013.　5. スポーツ整形外科学.中嶋寛之 編集.南江堂.1998 年.

研究室／オフィスアワー

松﨑伸介（S 棟研究室 508）／部屋にいれば、いつでも訪問可です。確実に連絡とる場合は、shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp までメールください。　川畑浩久（C 棟研究室 707）／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	スポーツ障害の総論：　1）運動器疾患に対する健診およびメディカルチェック　2）運動器外傷に対する応急処置　3）内科的疾患に対する健診およびメディカルチェック	予習：スポーツにより発生する主な運動器疾患ならびに内科的疾患について予習しておくこと（臨床医学各論の該当箇所）　復習：これまで学んだ運動器疾患ならびに内科的疾患の検査法、治療法などについて復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	肩関節のスポーツ外傷・障害：　1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：肩関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照）　復習：授業で学んだ肩関節の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論（教科書）の該当箇所参照）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

3	肩関節のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：肩関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ肩関節の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
4	肘関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：肘関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ肘関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
5	手関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：手関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ手関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
6	指関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：指関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ指関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	股関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：股関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ股関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	膝関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：膝関節の解剖学、運動学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ膝関節の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	膝関節のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：膝関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ膝関節の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	下腿部・足関節・足部のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：下腿、足関節、足部の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ下腿、足関節、足部の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	下腿部・足関節・足部のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：下腿、足関節、足部の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ下腿、足関節、足部の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	体幹（頚部、胸部、腰部）のスポーツ外傷・障害：1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法(スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：頚部、胸部、腰部の解剖学、運動学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ頚部、胸部、腰部の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

13	スポーツ外傷の救急処置：　重症度と緊急度、心肺蘇生について	予習：整形外科学の外傷部分（臨床医学総論、各論の当該箇所）　復習：配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所を参照　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	松﨑
14	スポーツ外傷の救急処置：　脳震盪と頭部外傷、脊髄損傷、熱中症について	予習：スポーツにより発生する重篤な外傷として、頭部外傷や脊髄損傷、熱中症の講義が他の講座で行われていれば、その部分をみなおしておくこと（臨床医学総論、各論の当該箇所参照）　復習：配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所を参照なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	松﨑
15	スポーツによる内科的疾患：　1）循環器・呼吸器疾患における慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法　2）消化器・泌尿器疾患における慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：スポーツにより発生する主な循環器、呼吸器、消化器、泌尿器などの疾患の症状などについて予習しておくこと（臨床医学総論、各論の当該箇所）　復習：これまで学んだ循環器、呼吸器、消化器、泌尿器疾患について復習すること（配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験〈DP①②③〉　2. 試験に対するフィードバックの方法：授業内の小テストは翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示し、必要に応じて解説を行う。			1.100%

授業科目名	職場管理(教育を含む)(作業)				
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太	
科目ナンバリング	SS20BOTC004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

作業療法士の業務は，クライエントへの介入（治療，訓練，援助）はもちろんのこと，近年では作業療法部門における人材育成，医療安全管理，経営管理などの必要性が高まり，作業療法士一人ひとりが組織の管理運営に責任を負う時代となっている． 本科目では，リハビリテーション部門および作業療法部門の組織体系について理解し，作業療法業務の管理運営（マネジメント）とそのための基本的知識を学習する．また，作業療法士が後進育成に必要な教育法についての理解を深める．

学修目標

①作業療法部門の管理・運営（マネジメント）について説明できる。 ②作業療法に関わる職能団体の役割と運営について説明できる。 ③医療機関の中における他部門と作業療法部門の役割を理解する。 ④作業療法部門の管理・運営に関する法律・制度について理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

事前に「基礎ゼミ」や「作業療法概論」で学習した内容を復習しておくこと． 授業には，ディスカションを多く取り入れる予定であるため，授業内での積極的な発言や学習態度を期待する．

教科書

大庭潤平編著：作業療法管理学．医歯薬出版株式会社

参考書

澤田辰徳編集：作業で結ぶマネジメント．医学書院，2016.

研究室／オフィスアワー

南棟 7 階研究室 17／木曜日 2 限目，昼休み（10：40-12：10，12：10-13：00）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	作業療法とマネジメント	予習：作業療法におけるマネジメントとは何か？（2 時間） 復習：あなたの身近にある課題に対してマネジメント課題を立案する（2 時間）	松下 太
2	組織の成り立ちとマネジメント	予習：組織の管理運営に必要な基本的条件を調べる（2 時間） 復習：作業療法部門の労務管理の項目をまとめる（2 時間）	松下 太
3	作業療法と医療サービス	予習：サービスの基本的特性と構成についてまとめる（2 時間） 復習：質の高い作業療法サービスを提供するためのマネジメントについてまとめる（2 時間）	松下 太
4	医療安全・作業療法業務のマネジメント	予習：アクシデントとは何か，インシデントとアクシデントの違いについて調べる（2 時間） 復習：ヒューマンエラーを防止する方法および標準予防策についてまとめる（2 時間）	松下 太
5	作業療法における教育論（後輩育成）	予習：教育の基本原理、佐伯のドーナツ論について調べる（2 時間） 復習：認知的徒弟制の重要性についてまとめる（2 時間）	松下 太
6	作業療法業務のマネジメントの実際（1）	復習：医療機関でのリハビリテーション部門における管理者の役割についてまとめる	松下 太

		（4 時間）	
7	作業療法業務のマネジメントの実際（2）	復習：地域・行政で活躍する作業療法士の役割についてまとめる（4 時間）	松下　太
8	作業療法業務のマネジメントの実際（3）	復習：災害時の作業療法士の役割についてまとめる（4 時間）	松下　太
成績評価方法と基準			割合
１）レポート＜DP①＞　２）定期試験＜DP①＞　＊定期試験・再試験は返却しませんが希望者には開示します.			１）40% ２）60%

授業科目名	職業倫理（作業）				
主担当教員	塚越　千尋		担当教員	塚越　千尋	
科目ナンバリング	SS20BOTC005	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

一般社会における倫理的問題について認識し，倫理原則や価値観について理解を深める．　その上で，医療や福祉における倫理的判断や行動について，その重要性を認識して，医療人として必要な生命倫理について学ぶ．さらに作業療法士としての基本的姿勢と態度を学び，患者の権利擁護（アドボカシー）をめざした作業療法士の行動について考察する．

学修目標

①倫理とは何かを説明できる　②作業療法士を取り巻く臨床での倫理的問題について理解する　③臨床での倫理的問題を解決するための原則を理解する　④専門職である作業療法士の職業規範について説明できる　⑤倫理的問題に対し皆が納得できる解決策を，その根拠とともに説明できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業では，ディスカッションやグループワークを多く取り入れる予定であるため，授業には積極的な態度で臨むこと．

教科書

大庭潤平編著：作業療法管理学．医歯薬出版株式会社

参考書

適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

南棟 7 階研究室 17／木曜日 2 限目，昼休み（10：40-12：10，12：10-13：00）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	作業療法士の役割と職域	予習：作業療法に関連する法律および定義をまとめる（2 時間）　復習：職能団体の意義・役割、作業療法の領域についてまとめる（2 時間）	塚越　千尋
2	作業療法士の職業倫理（1）	予習：倫理的態度についてまとめる（2 時間）　復習：作業療法士の職業倫理・研究倫理についてまとめる（2 時間）	塚越　千尋
3	作業療法士の職業倫理（2）	予習：患者・対象者（児）の権利と尊厳についてまとめる（2 時間）　復習：ハラスメントとその防止についてまとめる（2 時間）	塚越　千尋
4	作業療法士のキャリア開発	予習：ワークライフバランスとは何かをまとめる（2 時間）　復習：あなた自身のキャリア開発について考えをまとめる（2 時間）	塚越　千尋
5	作業療法士のキャリア開発の実際（1）	復習：自分自身のキャリア開発を熟考する（4 時間）	塚越　千尋
6	作業療法士のキャリア開発の実際（2）	復習：自分自身のキャリア開発を熟考する（4 時間）	塚越　千尋
7	作業療法士のキャリア開発の実際（3）	復習：自分自身のキャリア開発を熟考する（4 時間）	塚越　千尋
8	作業療法士のキャリア開発の実際（4）	復習：自分自身のキャリア開発を熟考する（4 時間）	塚越　千尋
成績評価方法と基準			割合

１）レポート＜DP①＞　２）定期試験＜DP①＞　＊定期試験・再試験は返却しませんが希望者には開示します.	１）40% ２）60%

授業科目名	身体障害作業療法治療学総論（作業）				
主担当教員	塚越　千尋		担当教員	塚越　千尋／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTC012	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

身体障害領域における作業療法の治療的介入方法を知り、疾患の特性に合わせた治療および支援・技術を学ぶ。治療学として、評価の選択・評価の実施・問題点の抽出・目標設定・治療プログラム立案の経過に合わせ、患者自身の「生活」を支援する技術を学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1.作業療法的介入を学び、作業療法士の役割を考える〈DP①〉 2.疾患別に評価から治療までの経過を説明することができる〈DP①〉 3.作業療法で用いられる治療的支援技術について学修する〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．基礎医学の知識の総まとめとして疾患に展開できるよう、解剖学・生理学・運動学など復習しておく　２．作業療法的介入を考えるにあたり、作業遂行や作業科学について復習しておく　３．作業の遂行を考えるにあたり、日常生活活動学について復習しておく　４．総合臨床実習に向けて SOAP 法を含めた学習を行いましょう

教科書

作業療法学　ｺﾞｰﾙﾄﾞﾏｽﾀｰﾃｷｽﾄ４　身体障害作業療法学　長崎重信編集監修　MEDICAL VIEW

参考書

１.PT/OT ビジュアルテキスト　リハビリテーション基礎評価学　羊土社　２.リハビリテーションビジュアルブック　学研　３．病気が見える７　脳・神経　MEDIC MEDIA　４．絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版　医学書院　５．標準作業療法学　専門分野　身体機能作業療法学　第３版　６．作業療法学全書　４　作業治療学１　身体障害　日本作業療法士会　共同医書出版　７．クリニカル作業療法シリーズ　身体領域の作業療法　第２版　中央法規　８．リハビリテーションリスク管理ハンドブック　第４版　亀田メディカ

研究室／オフィスアワー

月曜 5 限，木曜３，４限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	理論：作業療法治療モデルと作業療法的介入	予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
2	治療学概論：中枢神経障害１：脳血管障害	予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
3	身体障害作業療法治療学　中枢神経障害２:脳血管障害（ADL）	予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
4	身体障害作業療法治療学　中枢神経障害 3:脳血管障害（高次脳）	CVA 症例を用い，評価から治療計画立案について学ぶ．予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
5	評価―治療（中枢神経障害）	脳血管疾患に関する評価から治療の流れについて学ぶ．予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
6	身体障害作業療法治療学：整形外科①上肢	上肢骨折の作業療法について学ぶ．予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習	塚越、上野

		し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	
7	身体障害作業療法治療学：整形外科②上肢・手	上肢・手の骨折機序と治療について学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
8	身体障害作業療法治療学：整形外科?下肢骨折	股関節頚部骨折など主要な下肢骨折（圧迫骨折含む）と治療について学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
9	身体障害作業療法治療学:整形外科④高齢者の整形疾患	高齢者に多い整形外科疾患の作業療法について学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
10	評価―治療（上肢 ROM 訓練，その他上肢に関する基本手技）	関節可動域訓練等の実施方法について学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
11	評価ー治療（下肢基本手技，物品操作訓練など）	治療に関する基本手技について学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
12	評価ー治療（まとめ）	治療について実践例から学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
13	リスク管理（基本ー実践）	臨床で必要なリスク管理について学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
14	SOAP 法①基本編	臨床実習で必要な SOAP 法について学ぶ. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
15	SOAP 法②実践編	臨床実習で必要な SOAP 法について演習を交えて学習する. 予習・復習：シラバスに該当する内容ついて予習し、授業内容を確認しまとめる（4 時間）	塚越、上野
成績評価方法と基準			割合
2/3 回の出席必要　1．期末テストによる評価<DP①>			1.100%

授業科目名	精神障害作業療法治療学総論（作業）				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子／小川　泰弘	
科目ナンバリング	SS20BOTC013	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

精神科疾患の特徴を理解しながら、日常生活における問題点について学修する。日常生活における問題点を国際生活機能分類（ICF:International Classification of Functioning）に基づいて心身機能・参加・活動・環境因子・個人因子から把握できるようにし、相互依存や相対的独立の関連性をみつけ、精神科疾患の行動特性と脳機能を関連させて考察できるように学修する。さらに精神科作業療法実践における基本的理論について学修し、精神科作業療法における論理的な思考を習得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1.国際生活機能分類（ICF:International Classification of Functioning）に基づいた心身機能・参加・活動・環境因子・個人因子における相互依存や相対的独立の関連性を理解する〈DP①〉 2.精神科疾患の行動特性と脳機能を関連させて考察できる〈DP①〉 3.精神科作業療法における理論を理解する〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各因子の関連性、理論、脳機能を統合的に考えることによって、対象者一人一人にどのように治療すればいいかが見えてきます。 様々な要因を統合的に考えられる思考過程を身につけましょう。 授業内で実施する小テストは 8 割を超えるように、毎回の授業の復習をしてください。

教科書

1)『精神障害と作業療法　新版』　山根　寛/三輪書店 ISBN978-4-89590-583-1　2）統合失調症患者の行動特性　その支援とＩＣＦ［第三版］　昼田源四郎　金剛出版 ISBN978-4-7724-1793-8　3）作業療法学　ゴールド・マスター・テキスト　精神障害作業療法学（第 3 版） 山口　芳文　メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-2046-7　4)　国際機能分類―国際障害分類改訂版ー　ＷＨＯ　中央法規 ISBN978-4-8058-4417-5

参考書

1）作業療法実践のための 6 つの理論―理論の形成と発展　岩崎テル子監訳　共同医書出版社　2)『国際生活機能分類 ICF の理解と活用』　上田敏/萌文社

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限（10：40～12：10）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	精神科作業療法のにおける評価と治療の視点	予習：これまでに実施した精神科作業療法の授業から評価から治療までのプロセスについて教科書、レジュメ等で復習しておく 復習：精神科作業療法の評価から治療までのプロセスについて、リカバリー概念について　課題：「I am a person, not an illness」についての自分の考え　（予習・復習含めて 4 時間）	小川
2	回復状態に応じた作業療法の役割	予習：疾患の回復状態について予習　復習：回復状態に応じた作業療法の役割　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
3	ICF の特性と各因子の関連性	予習：回復状態に応じた作業療法の役割について小テスト　復習：ICF の特性と各因子の関連性について教科書を熟読　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本

4	ICF における精神機能１　―全般的精神機能・個別精神機能（高次認知機能）―	予習：全般的機能・個別精神機能（高次認知機能）について配布資料を見ておく　復習：全般的機能・個別精神機能（高次認知機能）について理解し憶える　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
5	ICF における精神機能 2　―行動特性と高次認知機能―　小テスト実施	予習：全般的機能・高次認知機能について小テスト準備　復習：行動特性と高次認知機能について配布資料を見ておく　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
6	ICF における精神機能 3　―生活と高次認知機能の関連―　小テスト実施	予習：個別的機能について小テスト　復習：生活と高次認知機能の関連について配布資料を見ておく　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
7	ICF における精神機能 4　―社会的認知機能―	予習：社会的認知機能について　復習：高次認知機能等について配布資料を見ておく（予習・復習含めて 4 時間）	小川
8	ICF における精神機能 5　―行動特性と社会的認知機能―	予習：行動特性について教科書を見ておく復習：行動特性について教科書を見ておく（予習・復習含めて 4 時間）	小川
9	ICF における精神機能 6　―精神機能に対する治療的介入―	予習：行動特性について教科書を見ておく復習：行動特性について教科書を見ておく（予習・復習含めて 4 時間）	小川
10	理論とは？	予習：理論について教科書を見ておく　復習：理論について教科書を見ておく　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
11	精神科作業療法における理論とその技法　―心理社会的治療法を中心に―	予習：精神科作業療法における理論について教科書を熟読　復習：精神科作業療法における理論についてまとめ理解する　（予習・復習含めて 4 時間）	小川
12	症例検討１　精神科領域の治療･援助の場について	予習:精神科作業療法､精神科デイケアについて理解しておく　復習：治療プロセスに関するこれまでの配布資料を見ておく､教科書熟読　課題：事例の年表作成等　（予習・復習含めて 4 時間）	小川
13	事例検討２：　回復期に応じた作業療法の実践	予習：症例を熟読　復習：(入院時)､(デイケア開始時)､(就労準備期)事例のそれぞれの全体像について復習する　課題：事例のまとめ（ICF）　（予習・復習含めて 4 時間）	小川
14	事例検討３：　事例のリカバリープロセス	予習:症例を熟読　復習:事例のリカバリープロセスを理解する　課題：感想文	小川
15	症例検討 4　まとめ	予習：精神科病院で実践されている作業療法について学び理解する　復習：治療プロセスに必要な治療的要素を整理し理解する（予習・復習含めて 4 時間）	小川
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験<DP①>開示しません　2.小テスト　小テストは返却し解答を示す　3.課題レポート 基本的に返却はしません。全体に講評を行います。希望者には個別にフィードバックを行う。　2/3 以上の出席を必要とする			1.70%　2.10%　3.20%

授業科目名	高齢期障害作業療法治療学総論（作業）					
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太		
科目ナンバリング	SS20BOTC014	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

この科目では、身体機能低下・脳血管障害・骨関節疾患・認知症等の変性疾患・自立生活困難・健康維持など高齢者が抱える生活上の問題を加齢や生涯発達という枠組みの中で捉えながら介入していく視点と、介入技術や作業療法プログラムについて学修する。また入院・入所や廃用性低下など環境の変化や周囲からの関わり方が活動・参加に及ぼす影響をプラス面だけでなくマイナス面からも理解する包括的な視野を養う。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1.高齢社会とその問題点について説明できる。<DP①>　2.高齢者を対象に作業療法を実施する場合に考慮すべき加齢現象を列挙し，かつその内容を簡潔に説明できる。<DP①>　3.高齢期の対象者に対する作業療法士の役割を説明できる。<DP①>　4.高齢期の特徴的な疾患に対する作業療法の評価，介入について説明できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

必ず復習をして十分に理解してください。　常日頃より，高齢者問題に関心を持って，新聞やニュース等のメディアを通じて情報を取り入れてください。

教科書

1）松房利憲，新井健五 編，標準作業療法学専門分野，高齢期作業療法学，医学書院　2）宮口英樹 監修，認知症をもつ人への作業療法アプローチ，メジカルビュー社

参考書

1.小川敬之，竹田徳則，認知症の作業療法，医歯薬出版　　2.山口晴保，認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント，協同医書出版　　3.宮永和夫 編，若年認知症－本人・家族が紡ぐ７つの物語－，中央法規

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 17／木曜日 2 限目，14:00～16:30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	高齢社会とその課題　高齢期障害作業療法の概念	高齢社会の問題や課題について予習・復習すること.（予習復習に 2 時間）	松下
2	加齢に伴う身体・精神的変化と特徴（1）	加齢に伴う心身変化と特徴について予習復習すること.（予習復習に 2 時間）	松下
3	加齢に伴う身体・精神的変化と特徴（2）	心理学や精神医学等で学修した「知能」や「記憶」に関して予習しておくこと.（予習復習に 2 時間）	松下
4	認知症総論（サポーター養成講座兼ねる）	（予習）4 大認知症疾患の概要（1 時間）（復習）4 大認知症疾患の症状特徴（1 時間）	松下
5	認知症疾患各論	（予習）4 大認知症疾患の病態特徴（1 時間）　（復習）4 大認知症疾患の特徴を踏まえた関わり方（1 時間）	松下
6	認知症の人に対するパーソン・センタード・ケアとコミュニケーション（1）	パーソン・センタード・ケアの概念を復習すること.　（予習復習に 2 時間）	松下
7	認知症の人に対するパーソン・センタード・ケアとコミュニケーション（2）	パーソン・センタード・ケアの「認知症の人の心理的ニーズ」「well being、ill being」を復習すること.（復習に 2 時間）	松下

8	認知症の人に対するパーソン・センタード・ケアとコミュニケーション（3）	パーソン・センタード・ケアを基本に認知症の人とのコミュニケーションについて復習する（復習に 2 時間）	松下
9	認知症の人に対する OT 評価（1）	（予習）認知症の人に対する評価項目（1 時間） （復習）認知症の人に対する評価の内容（1 時間）	松下
10	認知症の人に対する OT 評価（2）	認知症の人に対する OT 評価の実際を予習復習しておくこと.（予習復習に 2 時間）	松下
11	老年期の障害別作業療法（認知症疾患 1）	（予習）4 大認知症の病態（1 時間） （復習）4 大認知症の特徴と作業療法（1 時間）	松下
12	老年期の障害別作業療法（認知症疾患 2）	（予習）非薬物療法の理論（1 時間） （復習）非薬物療法の実際（1 時間）	松下
13	老年期の障害別作業療法（認知症疾患 3）	（予習）認知症の人の作業療法の特徴（1 時間） （復習）認知症の人の作業療法の実際（1 時間）	松下
14	老年期の障害別作業療法（中枢性疾患，運動器疾患，廃用性症候群など）	（予習）身体障害作業療法治療学の中でで学んだ中枢神経障害や骨関節系障害に対する作業療法について（1 時間） （復習）高齢者における中枢神経障害や骨関節系障害に対する作業療法の実際（1 時間）	松下
15	介護保険施設における作業療法について	（予習）介護保険施設の特徴と概要(1 時間)（復習） 介護保険施設における作業療法の特徴（1 時間）	松下
成績評価方法と基準			割合
１）定期試験＜DP①＞ ２）授業内発表 or レポート＜DP①＞ ※定期試験・再試験は返却しませんが希望者にはフィードバックします.			１）70% ２）30%

授業科目名	発達障害作業療法治療学総論（作業）				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／勝原　勇希	
科目ナンバリング	SS20BOTC015	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

障がいのある子どもの発達と作業療法士のアプローチを学びます。障がいや年齢にそった日常生活や学業の支援技術を教科書にそって学びながら、より具体的な対応方法を検討します。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

①作業療法概論・小児科学・発達障害作業療法評価学をふまえ、子どもの発達課題を疾患別に理解します。<DP①>　②ICF を基盤とし、事例を通じて対象者の機能と生活との関係を理解し目標設定できるようにします。<DP①>　③生活の場で必要となる機能を目標に、子ども自身が主体的に取り組める「作業」を見出します。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①1，2 年生の復習をしっかり行う事（教科書・ノートの活用）　②教科書、図書館などを利用して事前学習をしてください。　③基本的な作業療法士の在り方を考えてください。

教科書

イラストでわかる発達障害の作業療法　監修上杉雅之、編集辛島千恵子　医歯薬出版株式会社　ISBN 978-4263217177
「小児リハ評価ガイド　統合と解釈を理解するための道しるべ」　楠本泰士/メジカルビュー社　ISBN 978-4758319485

参考書

発達を学ぶ　森岡周著　協同医書出版社

研究室／オフィスアワー

火曜日 13:00～15:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション・小児の作業療法過程	予習：2 年次の学習（小児科学・評価学）の復習。教科書の通読(P.1-11)(2 時間) 復習：こどものライフステージ、ピアジェ、エリクソン(2 時間)	金森、勝原
2	評価・治療・援助のための基礎知識（心身機能と発達過程）	予習：発達課程と評価表、発達の各項目の整理。教科書通読(P.13-61)(2 時間)　復習：小児の評価と検査(1 時間)視覚・上肢機能・口腔運動の発達(1 時間)	金森、勝原
3	発達障害:自閉症スペクトラム(広汎性発達障害)	予習：感覚情報処理過程。教科書通読(P.63-79)(2 時間)　復習：疾患特性、感覚統合療法、コミュニケーション(2 時間)	金森、勝原
4	発達障害：注意欠如・多動症、学習障害	予習：粗大運動発達と ADL。教科書通読(P.81-90)、眼球運動と教科学習。教科書通読(P.91-102)（2 時間）　復習：疾患特性、時間空間概念、視覚支援プログラム、応用行動分析（2 時間）	金森、勝原
5	神経発達障害児の感覚の偏りと行動特性	予習：神経発達障害の疾患特性、体性感覚（2 時間）　復習：センソリープロファイル、特別支援教育(2 時間)	金森、勝原
6	発達障害：症例を通した評価・介入	予習：ICF、アセスメントシート。教科書通読(P.4-61)(2 時間)　復習：疾患特性に合わせた具体的な支援方法(2 時間)	金森、勝原
7	脳性麻痺：痙直型脳性麻痺	復習：GMFCS と二次障害予防。教科書通読(P.103 -125)(2 時間)　復習：各タイプの ADL 及び支援技術(2 時間)	金森、勝原

8	脳性麻痺：アテトーゼ型脳性麻痺	予習：上肢操作と二次障害。教科書通読(P.127-145)(2 時間)　復習：姿勢・介助方法など(2 時間)	金森、勝原
9	重症心身障害	予習：三間表・感覚評価・医療ケア。教科書通読(147-158)(2 時間)　復習：姿勢介助・環境設定 (2 時間)	金森、勝原
10	脳性麻痺：症例を通した評価・介入	予習：ICF、アセスメントシート。教科書通読(P.4-61)(2 時間)　復習:疾患の症状に合わせた具体的な支援方法(2 時間)	金森、勝原
11	知的障害・ダウン症	予習：聴覚認知・ワーキングメモリ・言語発達。教科書通読(P.159-175)(2 時間)　復習:言語発達の支援(2 時間)	金森、勝原
12	デュシャンヌ型筋ジストロフィー	予習：特別支援教育と IT 支援。教科書通読(P.177-191)(2 時間)　復習：ホームプログラム(2 時間)	金森、勝原
13	小児整形外科疾患（二分脊椎・分娩麻痺・骨形成不全症）	予習：子どもの最善の利益とインフォームドアセント。教科書通読(P.193-210)(2 時間)　復習：Hoffer と Sharrard の評価(2 時間)	金森、勝原
14	障がい児リハビリテーションにおける作業療法評価・介入の検討	予習：児童福祉法、年齢、疾患と制度。母子相互作用、家族支援、地域支援。教科書通読(P.211-232)　ICF、発達障害児に対する評価、教科書通読(P.13-61)(2 時間)　復習：発達障害児に対する評価、症例検討、児童福祉法、特別支援教育、自立・移行期支援・子育て支援(2 時間)	金森、勝原
15	障がい児リハビリテーションにおける作業療法評価・介入の検討　知識の整理	予習:関連する国家試験の確認(2 時間)　復習：活動参加支援について(2 時間)	科目担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業態度（主体性と積極性)、授業内課題　＜DP①＞　②筆記試験　＜DP①＞			①20%　②80%

授業科目名	身体障害作業療法治療学各論（作業）				
主担当教員	鍵野　将平		担当教員	鍵野　将平	
科目ナンバリング	SS20BOTC016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

身体障害領域における作業療法の治療的介入方法を知り、疾患の特性に合わせた治療および支援・技術を学ぶ。治療学として、評価の選択・評価の実施・問題点の抽出・目標設定・治療プログラム立案の経過に合わせ、患者自身の「生活」を支援する技術を学ぶ。

学修目標

1.作業療法的介入を学び、作業療法士の役割を考える<DP①>　2.疾患別に評価から治療までの経過を説明することができる<DP①>
3.作業療法で用いられる治療的支援技術について学修する<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 基礎医学の知識の総まとめとして疾患に展開できるよう、解剖学・生理学・運動学など復習しておく　2. 作業療法的介入を考えるにあたり、作業遂行や作業科学について復習しておく　3. 作業の遂行を考えるにあたり、日常生活活動学について復習しておく　4. 総合臨床実習に向けて事例検討を行う

教科書

クリニカル作業療法シリーズ　身体領域の作業療法　第 2 版　大嶋伸雄編集　中央法規

参考書

1. PT/OT ビジュアルテキスト　リハビリテーション基礎評価学　羊土社　2. リハビリテーションビジュアルブック　学研　3. 病気が見える７　脳・神経　MEDIC MEDIA　4. 絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版　医学書院　5. 標準作業療法学　専門分野　身体機能作業療法学　第３版　6. 作業療法学全書　４　作業治療学１　身体障害　日本作業療法士会　共同医書出版　7. クリニカル作業療法シリーズ　身体領域の作業療法　第２版　中央法規

研究室／オフィスアワー

研究室 C 棟 7 階 8 号室と共同研究室にて、授業・会議などない時間で随時対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	身体障害作業療法治療学　各論:　コースオリエンテーション	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
2	身体障害作業療法治療学　各論:　認知症	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
3	身体障害作業療法治療学　各論:　脊髄損傷①	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
4	身体障害作業療法治療学　各論:　脊髄損傷②	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
5	身体障害作業療法治療学　各論:　神経難病①	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
6	身体障害作業療法治療学　各論:　神経難病②	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
7	身体障害作業療法治療学　各論:　ハンドセラピー①	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する	鍵野

		（4 時間）	
8	身体障害作業療法治療学　各論:　ハンドセラピー②	予習・復習：シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
9	身体障害作業療法治療学　各論:　パーキンソン病	予習・復習:シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
10	身体障害作業療法治療学　各論:　脊髄小脳変性症・癌	予習・復習:シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
11	身体障害作業療法治療学　各論:　嚥下・吸引①	予習・復習:シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
12	身体障害作業療法治療学　各論:　嚥下・吸引②	予習・復習:シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
13	身体障害作業療法治療学　各論　関節リウマチ①	予習・復習:シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
14	身体障害作業療法治療学　各論　関節リウマチ②	予習・復習:シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
15	身体障害作業療法治療学　各論　国家試験対策	予習・復習:シラバスに該当する内容について予習し、授業内容をまとめ確認する（4 時間）	鍵野
成績評価方法と基準			割合
2/3 回の出席必要　1.期末テスト<DP①>			1.100%

授業科目名	精神障害作業療法治療学各論（作業）				
主担当教員	小川　泰弘		担当教員	小川　泰弘	
科目ナンバリング	SS20BOTC017	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限、水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各精神科疾患に対する精神科作業療法の治療の実際について学ぶ。各疾患の障害像の概要、その作業療法の目的と課題、回復過程にあった援助、留意点を学ぶ。そして学習したことを事例を通して、その症例にあった治療法を立案し、治療法について理解を深めていく。

学修目標

1.　各疾患に対する障害像を理解する<DP①>　2.　各疾患にあった作業療法の目的と課題を考えることができる<DP①>　3.　各疾患にあった評価方法を立案できる<DP①>　4.　プログラムを立案できる<DP①>　5.　回復過程に応じた作業療法を考えることができる<DP①>　6.　作業療法実施上の留意点について述べることができる<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

これまで学習してきたことの集大成となります。自ら考え問題解決行動をとるように授業に参加してください。

教科書

1)『精神障害と作業療法　新版』　山根　寛/三輪書店　ISBN978-4-89590-583-1　2)統合失調症患者の行動特性　　その支援とＩＣＦ　[第三版]　　昼田源四郎　金剛出版 ISBN978-4-7724-1793-8　3）作業療法学　ゴールド・マスター・テキスト　精神障害作業療法学（改訂第２版）　改訂第２版 山口　芳文　メジカルビュー社　ISBN978-4-7583-1675-0　　4）PT/OT 国家試験　必修ポイント　障害別ＯＴ治療学　身体障害領域　発達障害領域　精神障害領域　医歯薬出版編 I

参考書

1）作業療法実践のための 6 つの理論―理論の形成と発展　岩崎テル子監訳　共同医書出版社　2)『国際生活機能分類 ICF の理解と活用』　上田敏/萌文社　3）国際機能分類―国際障害分類改訂版ー　ＷＨＯ　中央法規

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限（10:40~12:10）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	精神科作業療法　疾患別アプローチについて 統合失調症に対する作業療法 1	予習：統合失調症の症状、経過、薬物療法について予習しておく　復習：病期に応じた統合失調症の評価、治療についての復習 ※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
2	統合失調症に対する作業療法 2	予習：統合失調症の症状、経過、薬物療法について予習しておく　復習：病期に応じた統合失調症の評価、治療についての復習 ※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
3	気分障害に対する作業療法 1	予習：気分障害の症状、経過、薬物療法について予習しておく　復習：病期に応じた気分障害の評価、治療についての復習　小テスト：統合失調症に対する作業療法　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
4	気分障害に対する作業療法 2	予習：気分障害の症状、経過、薬物療法について予習しておく　復習：病期に応じた気分障害の評価、治療についての復習　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
5	神経症性障害に対する作業療法 1	予習：神経症性障害の分類、診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：神経症生障害の評価、治療についての復習	小川

		小テスト：気分障害に対する作業療法　※予習、復習 2 時間ずつ行う	
6	神経症性障害に対する作業療法 2	予習：神経症性障害の分類、診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：神経症性障害の評価、治療についての復習　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
7	摂食障害､パーソナリティ障害に対する作業療法 1	予習：摂食障害、パーソナリティ障害の診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：摂食障害、パーソナリティ障害の評価、治療についての復習　小テスト：神経症性障害に対する作業療法　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
8	摂食障害､パーソナリティ障害に対する作業療法 2	予習：摂食障害、パーソナリティ障害の診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：摂食障害、パーソナリティ障害の評価、治療についての復習　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
9	てんかん、アルコール・薬物依存に対する作業療法 1	予習：てんかんの分類、依存症の診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：てんかん、依存症の評価、治療についての復習　小テスト：摂食障害、パーソナリティ障害に対する作業療法　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
10	てんかん、アルコール・薬物依存に対する作業療法 2	予習：てんかんの分類、依存症の診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：てんかん、依存症の評価、治療についての復習　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
11	神経発達症に対する作業療法 1	予習：神経発達症の診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：神経発達症の診断基準、評価、治療についての復習　小テスト：依存症、てんかんに対する作業療法　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
12	神経発達症に対する作業療法２	予習：神経発達症の診断基準、評価、治療について予習しておく　復習：神経発達症の診断基準、評価、治療についての復習　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
13	精神疾患を対象とした各種心理社会的治療 1	予習：SST, NEAR, SCIT, MCT などの心理社会的治療について調べておく　復習：SST, NEAR, SCIT, MCT などの心理社会的治療についての復習　小テスト：依存症、てんかんに対する作業療法　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
14	精神疾患を対象とした各種心理社会的治療２	予習：SST, NEAR, SCIT, MCT などの心理社会的治療について調べておく　復習：SST, NEAR, SCIT, MCT などの心理社会的治療についての復習　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
15	まとめ	予習：これまでの範囲　復習：これまでの範囲　※予習、復習 2 時間ずつ行う	小川
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト＜DP1＞　2. 提出課題＜DP1＞　3. 定期試験＜DP1＞　小テストは翌週に返却する。その際に解答を開示する。			1. 15%　2. 5%　3. 80%

授業科目名	高齢期障害作業療法治療学各論（作業）				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳／兼田　敏克	
科目ナンバリング	SS20BOTC018	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

高齢期障害の作業療法とともに，認知機能に関連する記憶・注意・遂行などの高次機能障害の作業療法治療の方法・根拠について学修する.

学修目標

高齢期における作業療法の理解を有機的に深め，高齢期の各種疾患や機能障害に対する作業療法実践の根拠を説明できる.＜DP①＞　高次機能障害の作業療法治療プログラムについて説明できる＜DP①＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 認知機能障害と高次機能障害の治療について学びます．認知症・高次機能障害の基本的な知識は各自整理してください.

教科書

１）『標準作業療法学専門分野，高齢期作業療法学』 松房利憲，新井健五 編/ 医学書院 ISBN 978-4-260-02440-2　２）『認知症をもつ人への作業療法アプローチ　ー視点・プロセス・理論ー』 宮口英樹 監修/ メジカルビュー社　ISBN 978-4-7583-1944-7

参考書

1. 小川敬之、竹田徳則、認知症の作業療法 第 2 版、医歯薬出版　　2. 山口晴保、認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 第 3 版、協同医書出版　　3. 宮永和夫 編、若年認知症－本人・家族が紡ぐ 7 つの物語－、中央法規　4. 本田哲三編、高次機能障害のリハビリテーション　実践的アプローチ　医学書院　5. 能登真一編、標準作業療法学専門分野　高次機能作業療法学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由利　木曜日 2 限目　由利研究室　兼田　木曜日 2 限目　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション･認知症のリハビリテーションと作業療法	予習：3 年前期開講の「老年期障害作業療法治療学総論」で学んだことを，復習しておく.（2 時間）　復習：講義概要のポイントをまとめる（2 時間）	由利・兼田
2	薬物療法と非薬物療法	予習：薬物療法・非薬物療法の目的，方法について調べる（2 時間）.　復習：講義のポイントをまとめる（2 時間）.	由利
3	疾患別認知症の作業療法	予習：疾患別認知症の症状と治療法について調べる（2 時間）.　復習：講義のポイントをまとめる（2 時間）.	由利
4	高次機能障害に対する治療総論と注意障害･半側空間無視に対する作業療法	予習：高次機能障害の治療総論，注意障害・半側空間無視に対する作業療法の目的，方法について調べる（2 時間）.　復習：講義のポイントをまとめる（2 時間）.	兼田
5	記憶障害に対する作業療法	予習：記憶障害に対する作業療法の目的，方法について調べる（2 時間）.　復習：講義のポイントをまとめる（2 時間）.	兼田
6	行為・行動障害に対する作業療法	予習：行為・行動障害に対する作業療法の目的，方法について調べる（2 時間）.　復習：講義のポイントをまとめる（2 時間）.	兼田

7	遂行機能障害に対する作業療法	予習：遂行機能障害に対する作業療法の目的，方法について調べる（2 時間）．　復習：講義のポイントをまとめる（2 時間）.	兼田
8	認知症に対する作業療法･高次機能障害に対する作業療法まとめ	予習：高齢期障害・認知機能障害に対する作業療法の目的，方法について調べる（2 時間）．　復習：講義のポイントをまとめる（2 時間）.	由利・兼田
成績評価方法と基準			割合
１）講義時に提示するレポート課題を提出.＜DP①②＞　２）認知症・高次機能障害の作業療法治療に関する試験＜DP①②＞　質問は基本的に講義内でフィードバックします．定期試験の結果は再試験対象者には解説を行います.			１）レポート課題 20% ２）定期試験 80%

授業科目名	発達障害作業療法治療学各論（作業）				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／勝原　勇希	
科目ナンバリング	SS20BOTC019	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

１，２年生で学んだ、健常児の発達や小児の病理を基盤に、疾患をもつ子どもの年齢に応じた作業療法プログラムの実際を学び、介入方法や治療の考え方についてを学修する。

学修目標

発達領域でよく使われる治療手法を理解する。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

具体的な支援技術を学びます。　基本的な学習は前期ですませておいてください。

教科書

「イラストでわかる発達障害の作業療法」　監修上杉雅之、編集辛島千恵子　医歯薬出版株式会社 ISBN　978-4263217177

「小児リハ評価ガイド　統合と解釈を理解するための道しるべ」　楠本泰士/メジカルビュー社　ISBN　978-4758319485

参考書

作業療法学ゴールドマスターテキスト「発達障害作業療法学」Medical View 社　標準作業療法学　専門分野　発達経過作業療法学　第 2 版　医学書院

研究室／オフィスアワー

火曜日

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　乳幼児期の作業療法介入（発達支援）	予習：今までの教科書を振り返り、定型発達や疾患への基本的対応を確認する.　復習：発達の遅れと小児疾患とに留意した発達支援についてを確認する.　関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原
2	乳幼児期の作業療法介入(異常性への気づきと早期介入)　障害児への運動発達支援	予習：定型発達の運動発達・脳性麻痺児の分類や評価、運動パターンの特徴を確認しておく　復習：運動発達の重要性と治療場面に必要な技術の確認　関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原
3	感覚統合を応用した神経発達障害への介入と生活支援	予習：神経発達障害の病態・特性、感覚評価の確認、感覚統合療法の基本的考え方を確認　復習：疾患を踏まえ、年齢にそって、二次障がいを防ぐ対応を考える　課題：感覚統合障害を考慮した支援方法、生活における支援　関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原
4	上肢機能への介入と環境整備	予習：脳性麻痺の病態と種類・評価、上肢機能の発達について確認　復習：上肢機能障害が起こりやすい疾患と生活への影響・支援方法を整理しておく　課題：上肢機能の評価介入、生活における支援と環境整備関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原

5	活動参加支援（ICT の活用）	予習：脳性麻痺等の肢体不自由児の病態・評価・運動面の特徴等の確認　復習：姿勢評価や上肢操作、ICT の活用について　関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原
6	教育現場での作業療法介入（支援学校）	予習：学童期の発達段階、教育制度、生活支援における環境整備についての確認　復習：教育現場での障害児に対する関わり方、支援方法の確認　関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原
7	認知・コミュニケーション・社会性へのアプローチ	予習：認知・コミュニケーション・社会性の発達、知的障害の分類及び段階に沿った支援内容の確認　復習：発達支援を行う視点、実際の母親・家族、保育所や学校での支援について整理しておく　課題：言語発達の基盤作りと日常生活指導、集団の中での社会性の育成　関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原
8	発達障害児の地域生活	予習：今までの授業を振り帰り、各年齢ごとの生活・発達段階、疾患に対する作業療法介入について確認しておく　復習：これから作業療法に求められる地域支援についてをまとめる　課題：地域生活における目標設定・多職種との連携・家族支援　関連内容に関しての予習・復習を各 2 時間ずつ行うこと。	金森、勝原
成績評価方法と基準			割合
①授業態度、授業内課題＜DP①＞　②定期試験＜DP①＞			①20%　②80%

授業科目名	作業療法特論Ⅰ（作業）				
主担当教員	小川　泰弘		担当教員	小川　泰弘／松下　太／橋本　弘子／中西一／金森　幸／由利　禄巳／兼田　敏克／鍵野　将平／勝原　勇希／塚越　千尋／中井俊輔／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTC021	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

解剖学・生理学・運動学や一般臨床医学などの基礎分野から，基礎作業療法学・作業療法評価学・作業療法治療学・地域作業療法学などの専門分野まで，国家試験の出題範囲の主要な箇所に焦点を当て，アクティブラーニング（グループワーク）を中心に体系的かつ網羅的に学修する.

学修目標

臨床において必要な基礎知識と作業療法の実践における考える力を習得する。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学修の進行において、日々の予習・復習が必須となるため、怠らないように注意すること。

教科書

1）医歯薬出版編：理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント専門基礎分野 基礎医学　2）医歯薬出版編：理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント専門基礎分野 臨床医学　3）クエスチョンバンク OT 専門問題

参考書

3 年次までの全ての授業で使用した教科書

研究室／オフィスアワー

各教員のオフィスアワーに準ずる.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	解剖生理学（植物機能、動物機能）	中枢神経，末梢神経，骨格筋，感覚、循環器系，消化器系，泌尿器系，呼吸器系，代謝，内分泌系，発生と組織など（4 時間）	学科全教員
2	運動機能学	骨，関節，体表解剖，上肢，下肢，脊柱，四肢・体幹の筋，神経支配，正常歩行，バイオメカニクス，立位姿勢，運動学習など（4 時間）	学科全教員
3	人間発達学	小児の運動発達，小児の反射・反応，小児の歩行など（4 時間）	学科全教員
4	病理学	創傷治癒，組織の病理変化，炎症，感染，腫瘍，病理所見，病因など（4 時間）	学科全教員
5	内科学	循環器疾患，代謝性疾患，呼吸器疾患，消化器疾患，肝疾患，内分泌疾患，膠原病・自己免疫疾患，慢性腎不全，薬物療法など	学科全教員
6	整形外科学	骨折，骨髄腫，関節リウマチ，脊椎，変形性関節症，四肢血行障害，末梢神経障害，小児整形外科疾患，脊髄損傷，切断，骨粗鬆症など（4 時間）	学科全教員
7	神経内科学	脳血管障害，高次脳機能障害，変性疾患，嚥下障害，頭蓋内圧亢進，正常圧水頭症，運動ニューロン疾患，脱髄性疾患，神経筋	学科全教員

		接合部疾患，筋疾患，複合問題，脳波，髄膜刺激症候など（4 時間）	
8	臨床心理学	防衛機制，心理療法，心理検査，障害受容，学習理論，心理発達など（4 時間）	学科全教員
9	精神医学	統合失調症，気分（感情）障害，認知症，せん妄，依存症，薬物療法，てんかん，神経症性障害・ストレス関連障害・身体表現性障害，摂食障害，パーソナリティ障害/種々のパーソナリティ障害，高齢者の精神・心理障害，青年期の精神・心理障害，小児期の精神・心理・発達障害，精神疾患，自殺など（4 時間）	学科全教員
10	リハビリテーション医学、リハビリテーション概論	廃用症候群，老年症候群，小児疾患，クリニカルパス，ADL，IADL，個人情報保護法，脳卒中治療ガイドライン，リハビリテーション栄養，予防医学、　国際生活機能分類（ICF），ユニバーサルデザイン，ノーマライゼーション，バリアフリー新法，身体障害者障害程度等級表，介護保険法など（4 時間）	学科全教員
11	作業療法の基礎	作業療法の歴史，関連法規，管理運営，作業療法の理論，作業分析，正常動作分析など（4 時間）	学科全教員
12	作業療法評価学	運動系感覚系の評価，発達の評価，高次脳機能障害の評価，日常生活活動の評価，作業能力・職業関連活動の評価，日常生活活動・作業能力・職業関連活動の総合評価など（4 時間）	学科全教員
13	作業療法治療学、障害別治療学（身体障害領域）	基本介入手段，義肢・装具学，自助具・福祉用具、身体障害領域の OT（骨関節系障害領域，中枢神経系障害領域，神経筋系障害領域，内部障害領域）など（4 時間）	学科全教員
14	障害別治療学（精神障害領域、発達障害領域）	精神障害総論，精神科集団作業療法，統合失調症・気分（感情）障害等の精神心理障害領域、脳性麻痺・Down 症候群・重症心身障害児・二分脊椎等の運動発達障害領域，知的障害・自閉症スペクトラム障害・注意欠如・多動性障害（ADHD）・障害児療育/感覚統合的アプローチ・プレイセラピー等の精神心理発達障害領域など（4 時間）	学科全教員
15	地域作業療法学	地域生活支援・家庭生活支援など（4 時間）	学科全教員
成績評価方法と基準			割合
1）国家試験形式に準じた最終試験と日頃の学習態度で評価する．＜DP①④＞　2）必要出席回数は「授業回数の 5 分の 4 以上」を採用する．　＊最終試験は返却しません．			1）最終試験：10 割　2）学習態度：減点方式

授業科目名	作業療法特論Ⅱ（作業）				
主担当教員	中西　一		担当教員	中西　一／松下　太／小川　泰弘／兼田　敏克	
科目ナンバリング	SS20BOTC022	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法特論Ⅰで学修した下記 15 回分の国家試験出題範囲について，国家試験に準じた内容・時間で 4 回の模擬試験を実施し，国家試験前の総仕上げを行う.

学修目標

本学で設定している難易度（国家試験の準じる）の問題を 6 割以上解答できること．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）国家試験の出題形式・内容・時間に準じた模擬試験を 4 回実施する．　2）国家試験に準じるため遅刻は厳禁とする．3）2 時間 40 分の試験時間で途中退席することなく，試験時間を有効活用する．　4）マークシートの記載用に HB の鉛筆を用意しておくこと.

教科書

なし

参考書

1）医歯薬出版編：理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント専門基礎分野 基礎医学　2）医歯薬出版編：理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント専門基礎分野 臨床医学　3）クエスチョン・バンク作業療法士　国家試験問題解説　4）3 年次までの全ての授業で使用した教科書

研究室／オフィスアワー

各教員のオフィスアワーに準ずる.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	解剖生理学（植物機能、動物機能）	中枢神経，末梢神経，骨格筋，感覚、循環器系，消化器系，泌尿器系，呼吸器系，代謝，内分泌系，発生と組織など（4 時間）	学科全教員
2	運動機能学	骨，関節，体表解剖，上肢，下肢，脊柱，四肢・体幹の筋，神経支配，正常歩行，バイオメカニクス，立位姿勢，運動学習など（4 時間）	学科全教員
3	人間発達学	小児の運動発達，小児の反射・反応，小児の歩行など（4 時間）	学科全教員
4	病理学	創傷治癒，組織の病理変化，炎症，感染，腫瘍，病理所見，病因など（4 時間）	学科全教員
5	内科学	循環器疾患，代謝性疾患，呼吸器疾患，消化器疾患，肝疾患，内分泌疾患，膠原病・自己免疫疾患，慢性腎不全，薬物療法など	学科全教員
6	整形外科学	骨折，骨髄腫，関節リウマチ，脊椎，変形性関節症，四肢血行障害，末梢神経障害，小児整形外科疾患，脊髄損傷，切断，骨粗鬆症など（4 時間）	学科全教員
7	神経内科学	脳血管障害，高次脳機能障害，変性疾患，嚥下障害，頭蓋内圧亢進，正常圧水頭症，運動ニューロン疾患，脱髄性疾患，神経筋接合部疾患，筋疾患，複合問題，脳波，髄	学科全教員

		膜刺激症候など（4 時間）	
8	臨床心理学	防衛機制，心理療法，心理検査，障害受容，学習理論，心理発達など（4 時間）	学科全教員
9	精神医学	統合失調症，気分（感情）障害，認知症，せん妄，依存症，薬物療法，てんかん，神経症性障害・ストレス関連障害・身体表現性障害，摂食障害，パーソナリティ障害/種々のパーソナリティ障害，高齢者の精神・心理障害，青年期の精神・心理障害，小児期の精神・心理・発達障害，精神疾患，自殺など（4 時間）	学科全教員
10	リハビリテーション医学、リハビリテーション概論	廃用症候群，老年症候群，小児疾患，クリニカルパス，ADL，IADL，個人情報保護法，脳卒中治療ガイドライン，リハビリテーション栄養，予防医学、　国際生活機能分類（ICF），ユニバーサルデザイン，ノーマライゼーション，バリアフリー新法，身体障害者障害程度等級表，介護保険法など（4 時間）	学科全教員
11	作業療法の基礎	作業療法の歴史，関連法規，管理運営，作業療法の理論，作業分析，正常動作分析など（4 時間）	学科全教員
12	作業療法評価学	運動系感覚系の評価，発達の評価，高次脳機能障害の評価，日常生活活動の評価，作業能力・職業関連活動の評価，日常生活活動・作業能力・職業関連活動の総合評価など（4 時間）	学科全教員
13	作業療法治療学、障害別治療学（身体障害領域）	基本介入手段，義肢・装具学，自助具・福祉用具、身体障害領域の OT（骨関節系障害領域，中枢神経系障害領域，神経筋系障害領域，内部障害領域）など（4 時間）	学科全教員
14	障害別治療学（精神障害領域、発達障害領域）	精神障害総論，精神科集団作業療法，統合失調症・気分（感情）障害等の精神心理障害領域、脳性麻痺・Down 症候群・重症心身障害児・二分脊椎等の運動発達障害領域，知的障害・自閉症スペクトラム障害・注意欠如・多動性障害（ADHD）・障害児療育/感覚統合的アプローチ・プレイセラピー等の精神心理発達障害領域など（4 時間）	学科全教員
15	地域作業療法学	地域生活支援・家庭生活支援など（4 時間）	学科全教員
成績評価方法と基準			割合
1）4 回の模擬試験において 6 割以上の成績を単位認定する．＜DP①④＞　2）必要出席回数は「授業回数の 5 分の 4 以上」を採用する．　＊各試験は返却しません．			試験の成績 10 割

授業科目名	身体障害作業療法治療学演習（作業）				
主担当教員	鍵野　将平		担当教員	中西　一／鍵野　将平／塚越　千尋／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTC023	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

身体障害領域における作業療法の治療的介入方法を知り、疾患の特性に合わせた治療および支援・技術を学ぶ。治療学として、評価の選択・評価の実施・問題点の抽出・目標設定・治療プログラム立案の経過に合わせ、患者自身の「生活」を支援する技術を学ぶ。

学修目標

1.作業療法的介入を学び、作業療法士の役割を考える〈DP①④〉　2.疾患別に評価から治療までの経過を説明することができる〈DP①④〉　3.作業療法で用いられる治療的支援技術について学修する〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．基礎医学の知識の総まとめとして疾患に展開できるよう、解剖学・生理学・運動学など復習しておく　２．作業療法的介入を考えるにあたり、作業遂行や作業科学について復習しておく　３．作業の遂行を考えるにあたり、日常生活活動学について復習しておく　４．総合臨床実習に向けて事例検討を行う

教科書

特に定めない　配布プリント

参考書

１.PT/OT ビジュアルテキスト　リハビリテーション基礎評価学　羊土社　２.リハビリテーションビジュアルブック　学研　３．病気が見える７　脳・神経　MEDIC MEDIA　４．絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版　医学書院　５．標準作業療法学　専門分野　身体機能作業療法学　第３版　６．作業療法学全書　４　作業治療学１　身体障害　日本作業療法士会　共同医書出版　７．クリニカル作業療法シリーズ　身体領域の作業療法　第２版　中央法規

研究室／オフィスアワー

研究室 C 棟 7 階共同研究室にて、授業・会議などない時間で随時対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション、臨床評価実習の振り返り	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1 時間）　臨床評価実習で経験した症例を振り返り共有する。	鍵野
2	身体作業療法治療学演習:　臨床評価実習の振り返り	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1 時間）　臨床評価実習で経験した症例を振り返り共有する。	鍵野
3	身体作業療法治療学演習:　評価実技グループ学習	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1 時間）　臨床評価実習で経験した症例に対して実施した評価をグループ単位で復習し実践する。	鍵野
4	身体作業療法治療学演習:　評価実技グループ学習	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1 時間）　臨床評価実習で経験した症例に対して実施した評価をグループ単位で復習し実践する。	鍵野
5	身体作業療法治療学演習:　paper　patient レジュメ作成	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1 時間）　paper patient に対しての統合と解釈を実施し、プログラム立案をするまでのレジュメを作成する。	鍵野

6	身体作業療法治療学演習: paper patient レジュメ作成	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1時間） paper patientに対しての統合と解釈を実施し、プログラム立案をするまでのレジュメを作成する。	鍵野
7	身体作業療法治療学演習: プログラム立案と実技	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1時間） paper patientに対して立案したプログラムをグループ内で実践する。	鍵野
8	身体作業療法治療学演習: プログラム立案と実技	予習・復習：演習の準備と振り返り学修を行う（1時間） paper patientに対して立案したプログラムをグループ内で実践する。	鍵野
9	身体作業療法治療学演習: OSCE（プログラム実施）	予習・復習:演習の準備と振り返り学修を行う（1時間） 実践したプログラムの実技試験をOSCE形式で実施する。	鍵野・塚越・中西
10	身体作業療法治療学演習: OSCE（プログラム実施）	予習・復習:演習の準備と振り返り学修を行う（1時間） 実践したプログラムの実技試験をOSCE形式で実施する。	鍵野・塚越・中西
11	身体作業療法治療学演習 画像診断や観察の仕方など実習に準ずる演習を実施する。	予習・復習:演習の準備と振り返り学修を行う（1時間）	鍵野
12	身体作業療法治療学演習 画像診断や観察の仕方など実習に準ずる演習を実施する。	予習・復習:演習の準備と振り返り学修を行う（1時間）	鍵野
13	身体作業療法治療学演習 画像診断や観察の仕方など実習に準ずる演習を実施する。	予習・復習:演習の準備と振り返り学修を行う（1時間）	鍵野
14	身体作業療法治療学演習 画像診断や観察の仕方など実習に準ずる演習を実施する。	予習・復習:演習の準備と振り返り学修を行う（1時間）	鍵野
15	身体作業療法治療学演習 画像診断や観察の仕方など実習に準ずる演習を実施する。	予習・復習:演習の準備と振り返り学修を行う（1時間）	鍵野
成績評価方法と基準			割合
4/5回は出席必要 1．OSCE<DP①④> 2．提出物<DP①④> など総合的に評価する。 なお、OSCE試験およびレポートなどの提出物はルーブリックを用いて評価する。			1.70% 2.30%

授業科目名	精神障害作業療法治療学演習（作業）					
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子／小川　泰弘		
科目ナンバリング	SS20BOTC024	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限、水曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

“私にとってリカバリーは、自分の人生の運転席に座り続けようとすることです。病気が私の人生をコントロールすることのないようにしています“　これは当事者の Deegan さんの言葉である。なぜこのような言葉があったかというと、Deegan さん自身が、病による症状だけではなく、精神医療や人々からの偏見など、外からの弊害によって主体性を奪われ、傷つけられ、希望を失いかけた経験を持っているからである。　臨床で出会う方の中には、自分の人生の運転席に座り、そのハンドルをしっかりと握ることができている方もおられる。主体的な生活を取り戻されている方も、これまでの経験の中で、自分の運転席に座ることができなかった時期があるかもしれない。演習の前半パートでは、自分の人生を取り戻し、主体的な生き方を選択できている方々との交流を経験し、その方の生き方や価値観に触れる経験をする。　一方で、臨床で出会う方の多くは、自分の運転席に座りつづけられなくなっている状況かもしれない。これまでの授業の中で、精神疾患からのリカバリーに大切な要素は、「希望」、「自分の責任（主体性）」、「学ぶこと」、「自分自身の権利擁護」、「サポート」であることを学んできた。そして精神医学や、それに伴う障害についても学習を深めた。演習の後半パートでは、実際の臨床事例の情報を用いた演習を行う。その方が再び自分の人生の運転席に座ることができるよう、作業療法士として何ができるかグループワークを通じて考えを深める。

学修目標

1.　対象者にあった作業療法の目的と課題を考えることができる<DP①④>　2.　評価方法を立案できる<DP①④>　3.　理論をベースにした治療法を考えることができる<DP①④>　4.　プログラムを立案できる<DP①④>　5.　治療実施計画を立案できる<DP①④>　6. 論理的な思考に基づいて評価から治療計画までが一貫して立案、実施できるようになる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この授業は主に症例検討をグループで行います。臨床的疑問を持ち、それをグループ内で言語化しながら、それらを明らかにしていく過程を身につけられるように、積極的に授業に参加してください。またチーム内で、相手の意見を尊重し協力しながら進められるスキルを身につけてください。成績はグループワークに対する個人の取り組む姿勢を含みます。

教科書

1）『精神障害と作業療法　新版』　山根　寛/三輪書店　ISBN978-4-89590-583-1　2）統合失調症患者の行動特性　その支援とＩＣＦ　［第三版］　昼田源四郎　金剛出版　ISBN978-4-7724-1793-8　3）改訂第 2 版　作業療法学　ゴールド・マスター・テキスト　精神障害作業療法学　ISBN978-4-7583-1675-0

参考書

1）作業療法実践のための 6 つの理論―理論の形成と発展　岩崎テル子監訳　共同医書出版社　2）『国際生活機能分類 ICF の理解と活用』　上田敏/萌文社　3）国際機能分類―国際障害分類改訂版ー　ＷＨＯ　中央法規

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限（10:40~12:10）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	前半オリエンテーション　当事者との交流１（事前準備・計画）	予習：面接技法を中心に予習を行う　復習：事例の情報を熟読する　※予習、復習 2 時間ずつ行う	橋本・小川
2	当事者との交流２（事前準備・計画）	予習：面接技法を中心に予習を行う　復習：事例の情報を熟読する　※予習、復習 1 時間ずつ行う	橋本・小川

3	当事者との交流３（実施）	予習：面接技法を中心に予習を行う　復習：事例との関わりを振り返る　※予習、復習１時間ずつ行う	橋本・小川
4	当事者との交流４（振り返り・まとめ）	復習：発表準備　予習：発表準備　全体像を考え本人の希望、ニーズと照らし合わせる　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	橋本・小川
5	当事者との交流５（発表準備）	復習：発表準備　予習：発表準備　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	橋本・小川
6	当事者との交流６（発表、シェアリング）	復習：発表の振り返り　予習：発表準備　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	橋本・小川
7	後半オリエンテーション･事例学習グループワーク①	復習：事例の情報を熟読する　予習：評価から治療までのプロセスについて　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	小川・橋本
8	事例学習グループワーク②	復習：発表準備　予習：評価のまとめ、焦点化、目標設定について　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	小川・橋本
9	事例学習グループワーク③	復習：発表準備　予習：評価のまとめ、焦点化、目標設定について　課題：事例の ICF まとめ　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	小川・橋本
10	事例学習グループワーク④	復習：発表準備　予習：評価のまとめ、焦点化、目標設定について　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	小川・橋本
11	事例学習グループワーク⑤	復習：発表準備　予習：評価のまとめ、焦点化、目標設定について　課題：事例の解釈・焦点化　※予習、復習ともに 1 時間ずつ行う	小川・橋本
12	事例発表	復習：発表内容と FB について振り返る　予習：発表準備　※予習、復習ともに 1 時間ずつ行う	小川・橋本
13	事例発表	復習：発表内容と FB について振り返る　予習：発表準備　※予習、復習ともに 1 時間ずつ行う	小川・橋本
14	事例解説	復習：発表振り返り　予習：事例振り返り　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	小川・橋本
15	事例解説・まとめ	復習：事例振り返り　予習：事例振り返り　※予習、復習ともに１時間ずつ行う	小川・橋本
成績評価方法と基準			割合
1.発表＜DP1,4＞（ルーブリック評価）　2.課題レポート＜DP1,4＞　3.取り組みの評価（ルーブリック評価）　4/5 以上の出席を成績評価対象とする			1.60%　2.20%　3.20%

授業科目名	高齢期障害作業療法治療学演習（作業）					
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳／兼田　敏克		
科目ナンバリング	SS20BOTC025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限、金曜 5 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

老年期障害領域における作業療法の主要な対象疾患である認知症の非薬物療法について再確認し、実際に学外の施設等に出向いて認知症高齢者とのコミュニケーションをはかり、認知症高齢者とのコミュニケーション力を養うとともに、観察力を通じてアセスメントを行い、非薬物療法の理論に基づいた集団療法について、グループごとに企画する。企画した集団療法は、先に出向いた学外の施設等でコミュニケーションをはかり観察をした認知症高齢者を対象に行う。また、集団療法実施後に振り返りを行い、更に作業療法士として認知症高齢者に対する非薬物療法、そして集団療法の担い手となれるよう、その能力を養う.

学修目標

老年期障領域におけるさまざまな問題を理解し，作業療法のより実践的な知識と技術を身につける. <DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．集団療法をグループごとに企画・実施するため，グループ内でのディスカッションや実践が中心となる．そのため，各自が積極的に取り組むこと　２．単なるレクリェーションにとどまらず，非薬物療法（特に回想法や RO や音楽療法）の理論を取り入れた集団療法を考えること．　２．学外施設での体験が多いため、遅刻等は厳禁である．感染症対策が不十分な場合は学外施設実習の参加を認めないことがある．　３．健康管理に関する提出物・その他レポート等の提出期限・時間は厳守すること.

教科書

１）『標準作業療法学専門分野，高齢期作業療法学』 松房利憲，新井健五 編/ 医学書院 ISBN 978-4-260-02440-2　２）『認知症をもつ人への作業療法アプローチ　ー視点・プロセス・理論ー』 宮口英樹 監修/ メジカルビュー社　ISBN 978-4-7583-1944-7

参考書

1.小川敬之、竹田徳則、認知症の作業療法 第 2 版、医歯薬出版　　2.山口晴保、認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 第 3 版、協同医書出版　　3.宮永和夫 編、若年認知症－本人・家族が紡ぐ７つの物語ー、中央法規

研究室／オフィスアワー

由利研究室／木曜日 2 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション・非薬物療法とは	あらかじめ，老年期作業療法治療学総論や各論で学修した，認知症の人に対する非薬物療法について復習しておくこと.（予習復習 2 時間）	由利・兼田
2	非薬物療法・コミュニケーション実施計画	予習：認知症高齢者の症状とコミュニケーションの留意点について調べる　復習：非薬物療法の目的、方法について復習し、施設実習におけるコミュニケーションと情報収集の計画を立案する（2 時間）	由利・兼田
3	学外施設における施設におけるコミュニケーション演習	予習：施設の方からの情報収集項目，集団療法の対象となる認知症高齢者のアセスメント項目（観察や会話）をイメージする（2 時間）.　復習：施設の方から得られた情報，集団療法の対象となる認知症高齢者	由利・兼田

		について観察・コミュニケーション記録をSOAP法で記録する（2時間）.	
4	学外施設における施設におけるコミュニケーション演習	予習：施設の方からの情報収集項目，集団療法の対象となる認知症高齢者のアセスメント項目（観察や会話）をイメージする（2時間）. 復習：施設の方から得られた情報，集団療法の対象となる認知症高齢者について観察・コミュニケーション記録をSOAP法で記録する（2時間）.	由利・兼田
5	学外施設における施設におけるコミュニケーション演習	予習：施設の方からの情報収集項目，集団療法の対象となる認知症高齢者のアセスメント項目（観察や会話）をイメージする（2時間）. 復習：施設の方から得られた情報，集団療法の対象となる認知症高齢者について観察・コミュニケーション記録をSOAP法で記録する（2時間）.	由利・兼田
6	コミュニケーション演習の振り返り　非薬物療法計画立案	予習：グループで情報収集項目や対象者の情報を共有する（2時間）. 復習：集団療法計画書の作成と提出（2時間）	由利・兼田
7	介護老人保健施設における非薬物療法の実践	予習：グループで情報収集項目や対象者の情報を共有する（2時間）. 復習：集団療法計画書の作成と提出（2時間）	由利・兼田・ゲストスピーカー
8	グループディスカッション（非薬物療法計画立案）	予習：グループで情報収集項目や対象者の情報を共有する（2時間）. 復習：集団療法計画書の作成と実施準備（2時間）	由利・兼田
9	学外施設における体験学習（集団療法の実施）	予習：非薬物療法実施計画作成と実施準備（2時間）. 復習：事後課題（対象者への効果・振り返り）の作成（2時間）.	由利・兼田
10	学外施設における体験学習（集団療法の実施）	予習：非薬物療法実施計画作成と実施準備（2時間）. 復習：事後課題（対象者への効果・振り返り）の作成（2時間）.	由利・兼田
11	学外施設における体験学習（集団療法の実施）	予習：非薬物療法実施計画作成と実施準備（2時間）. 復習：事後課題（対象者への効果・振り返り）の作成（2時間）.	由利・兼田
12	学外施設における体験学習（集団療法の実施）の報告（発表）	予習：実施した非薬物療法の実施内容・対象者への効果，振り返りについて発表資料にまとめる（2時間）. 復習：他のグループの発表を聴いて，非薬物療法の効果，実施における注意点，作業療法士の役割についてまとめる（2時間）.	由利・兼田
13	学外施設における体験学習（集団療法の実施）の報告（発表）	予習：実施した非薬物療法の実施内容・対象者への効果，振り返りについて発表資料にまとめる（2時間）. 復習：他のグループの発表を聴いて，非薬物療法の効果，実施における注意点，作業療法士の役割についてまとめる（2時間）	由利・兼田
14	学外施設における体験学習（集団療法の実施）の報告（発表）	予習：実施した非薬物療法の実施内容・対象者への効果，振り返りについて発表資料にまとめる（2時間）. 復習：他のグループの発表を聴いて，非薬物療法の効果，実施における注意点，作業療法士の役割についてまとめる（2時間）	由利・兼田
15	老年期障害作業療法治療学演習のまとめ　治療実施とは	予習：他のグループの発表を聴いて，非薬物療法の効果，実施における注意点，作業療法士の役割についてまとめる（2時間） 復習：老年期障害作業療法治療演習で学んだことをまとめる（2時間）.	由利・兼田
成績評価方法と基準			割合
1）個人課題：学外施設でのコミュニケーション実習計画書・同結果報告書（SOAP）・レクリエーション実施における行動目標・実施結果報告書（SOAP）・その他必要な提出レポート、実習参加時の取り組み態度（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP①④＞　2）グループ課題：グループで作成する計画書・振り返りレポート、発表課題（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP①④＞　3）演習科目であ			1）70%　2）30%

るため、必要出席回数は「授業回数の 5 分の 4 以上」を採用する　課題に対するフィードバックは講義時・レポート返却時・実施計画書提出時に行う.	

授業科目名	発達障害作業療法治療学演習（作業）				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／勝原　勇希	
科目ナンバリング	SS20BOTC026	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

各論と合わせて発達領域の主だった疾患の作業療法の実際や技術を外部講師(臨床実習地教育者)の講義で学ぶ。並行して、これまでにで学んだ知識や評価を用いて、実際の臨床場面に基づいて年齢や障害を配慮した作業を創造する。

学修目標

要請にこたえる支援技術の獲得<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

日頃から素材の確保やアイデアの集積を行う　対象者や集団の全体像を把握した支援機器の作成・活動の創造を心掛ける

教科書

「小児リハ評価ガイド　統合と解釈を理解するための道しるべ」　楠本泰士/メジカルビュー社　ISBN　978-4758319485

参考書

学童期の作業療法入門　小林隆司他/クリエイかもがわ　改訂第 2 版　子どもの能力から考える　発達障害領域の作業療法アプローチ　小西紀一他/メジカルビュー社

研究室／オフィスアワー

金曜日

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション､ライフステージに応じた作業療法介入	ライフステージに応じた発達課題について、自己の治療的応用、作業の活用　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
2	インクルーシブ実習（フィールドワーク①）	予習：定型発達、各年齢（1 歳から小学校 6 年まで）に求められる学習内容や発達課題の確認　復習：実際に観察した子どもの様子と発達段階の確認　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
3	インクルーシブ実習（フィールドワーク②）	予習：定型発達、各年齢（1 歳から小学校 6 年まで）に求められる学習内容や発達課題の確認　　疾患特性とその特徴、対象者や集団の目的、対象者や集団の暦年齢および発達年齢の特徴の確認　復習：実際に観察した子どもの様子と発達段階の確認　対象者の全体像の確認、作業療法士に求められる支援についての検討　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
4	インクルーシブ実習（フィールドワーク③）	予習：疾患特性とその特徴、対象者や集団の目的、対象者や集団の暦年齢および発達年齢の特徴の確認　復習：対象者の全体像の確認、作業療法士に求められる支援についての検討　課題：対象者や集団の全体像のまとめ　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
5	発達を促進するハンドリング	予習：正常発達、姿勢反応、運動学、姿勢分析、座位と上肢機能の関係性　復習：ハンドリング技術の確認、方法の整理　予	ゲストスピーカー･科目担当教員

		習・復習を合計 1 時間行うこと。	
6	障害を踏まえた介助技術と早期介入	予習：正常発達、作業分析、小児疾患の知識、道具を用いた治的療介入や支援　復習：身体介助方法の練習、観察評価の確認障害特性・発達段階を意識した発達年齢に合わせた介入・生活支援　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	ゲストスピーカー･科目担当教員
7	感覚運動遊び（運動あそびと感覚）と生活課題	予習：姿勢反応、感覚について、発達障害児の特性の確認　復習：感覚特性が及ぼす生活への影響、感覚統合理論の考え方と支援方法、遊具使用時のリスク管理についての確認　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員・ゲストスピーカー
8	姿勢保持具と生活支援	予習：肢体不自由児の障害像の確認、上肢運動機能、小児の ADL、小児補装具、生活環境と ADL 動作についての確認　復習：小児分野の補装具の適応と生活への活用について　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	ゲストスピーカー・科目担当教員
9	インクルーシブ実習（目標設定）	予習:対象者やその集団の全体像の整理、ニーズの確認、作業療法介入についての確認復習：対象疾患や設定した目標に合った介入方法の検討　課題：介入方法を検討するための情報収集　予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
10	インクルーシブ実習（計画）	予習:対象者やその集団の全体像の整理、ニーズの確認、介入方法を検討するための情報の準備　復習：実施可能な実施場面を想定した計画の検討　課題：計画内容の検討予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
11	インクルーシブ実習（介入準備）	予習:計画した介入内容のまとめ･確認、必要物品の列挙　復習:介入の方法･準備物の確認、準備、デモンストレーションの実施予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
12	インクルーシブ実習（介入）	予習:検討した介入方法に必要な準備･デモンストレーションを行う　復習：実施した介入の内容･結果について確認する　予習･復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
13	インクルーシブ実習（介入のまとめ・発表準備）	予習：実施した介入の内容と結果の確認復習:発表資料の整理と発表準備　課題:介入内容のまとめの作成・発表資料の作成予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
14	インクルーシブ実習（発表①）	予習:発表準備、定型発達及び障害特性に関する復習　復習：発表内容に関連した発達や傷害に関する知識の整理　課題：他者の発表に対する自身の考えについてまとめる予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
15	インクルーシブ実習（発表②）・まとめ	予習:発表準備、定型発達及び障害特性に関する復習　復習：発表内容に関連した発達や傷害に関する知識の整理　課題：他者の発表に対する自身の考えについてまとめる予習・復習を合計 1 時間行うこと。	科目担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業中の取り組み＜DP①④＞　②作品やレポート、提出物＜DP①④＞　③プレゼンテーション＜DP①④＞　評価にはルーブリックを使用する　4/5 以上の出席が必要			①20%　②20%　③60%

授業科目名	総合リハビリテーション IPW 演習（作業）				
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太／角田 晃啓／澤田 優子／河村 知範／鍵野 将平／勝原 勇希	
科目ナンバリング	SS20BOTC027	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

リハビリテーション医療は、応用的動作能力や社会適応能力の回復などを目的とした作業療法、言語聴覚能力の回復などを目的とした言語聴覚療法、基本的動作能力の回復などを目的とした理学療法により構成される。いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われるものである。本授業では，リハビリテーション医療を担う専門職の中でも作業療法士と理学療法士を養成する２学科協働で共通演習形式にて実践する。互いの専門性を理解しつつ、患者モデル（Paper patient=紙上患者）を用いて、リハビリテーション医療におけるチームアプローチを討議・経験・学修する。

学修目標

①リハビリテーション医療におけるチームアプローチの重要性を述べることができる。 ②リハビリテーション医療における IPW を経験し、他職種と相互に作用することの重要性を知る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。 2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。 3）出席は 4/5 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。 ＊質問があれば，直接研究室にお越しください。また，MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

必要であれば，各自準備すること

研究室／オフィスアワー

松下 太：C 棟 7 階研究室／木曜日２限目・昼休み（時間は事前に相談することが望ましい） 鍵野将平：C 棟 共同研究室／木曜日２限目・昼休み（時間は事前に相談することが望ましい） 田丸佳希：C 棟 7 階研究室／木曜日２限目・昼休み（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーションと症例提示	予習：リハビリテーション医療における専門性を復習しておく。理学療法士（作業療法士）の役割を再確認しておく。(30 分) 復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるように準備しておく。(30 分)	松下 勝原 鍵野
2	作業療法と理学療法の接点	予習：作業療法士（理学療法士）の役割を再確認しておく。(30 分) 復習：作業療法と理学療法の違いと接点をまとめておく。(30 分)	松下 勝原 鍵野
3	症例検討 1	予習：理学療法士（作業療法士）の役割を再確認しておく。(30 分) 復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるように準備しておく。(30 分)	松下 勝原 鍵野
4	症例検討２	予習：理学療法士（作業療法士）の役割を再確認しておく。(30 分) 復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるように準備しておく。(30 分)	松下 勝原 鍵野

5	症例検討３	予習：理学療法士（作業療法士）の役割を再確認しておく。(30 分)　復習：立案したアプローチをわかりやすく説明できるように準備しておく。(30 分)	松 下　勝 原 鍵野
6	リハビリテーションカンファレンスの実際　【教員による Case Conference】	予習：作業療法士と理学療法士の専門性（職能・役割など）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ、リハビリテーション医療におけるチーム医療の重要性を理解する。(30 分)	松 下　勝 原 鍵野
7	リハビリテーション IPW｜１	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	松 下　勝 原 鍵野
8	リハビリテーション IPW｜２	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	松下　勝原 鍵野
9	リハビリテーション IPW｜３	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習:IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	松下　勝原 鍵野
10	リハビリテーション IPW｜４	予習：作業療法士と理学療法士の専門性について復習をしておく。(30 分)　復習:IPW で討議したことをまとめておく。(30 分)	松下　勝原 鍵野
11	プレゼンテーション｜１	予習：プレゼンテーションの準備（30 分） 復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(30 分)	松下　勝原 鍵野
12	プレゼンテーション｜２	予習：プレゼンテーションの準備（30 分） 復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(30 分)	松下　勝原 鍵野
13	プレゼンテーション｜３	予習：プレゼンテーションの準備（30 分） 復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(30 分)	松下　勝原 鍵野
14	授業全体のまとめ｜１（グループでの振り返り）	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習:リハビリテーション医療の重要性についてまとめる。(30 分)	松下　勝原 鍵野
15	授業全体のまとめ｜２（学科でのまとめ）	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習:リハビリテーション医療における理学療法士(作業療法士)の役割や重要性についてまとめる。(30 分)	松下　勝原 鍵野
成績評価方法と基準			割合
①プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）　②最終レポート　【出席】4/5 以上の出席を必要とする。　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①70% ②30%

授業科目名	地域作業療法学（作業）					
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳		
科目ナンバリング	SS20BOTC028	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らすために必要な制度や社会資源を理解した上で，その人が地域生活を営むための基本的な知識・技術について学ぶ．地域特性をとらえる地域評価，地域リハビリテーションの概念，生活モデルの視点など地域作業療法における基本的な作業療法について教授する．この授業では地域で生活する人への支援において，多職種とどのように協働していけばよいのか，その中で，作業療法理論がどのように実践されるのかについて学ぶ．また，作業に焦点を当てた生活行為を向上させる作業療法を提供するための支援ツールである「生活行為向上マネジメント（MTDLP)」の基本的な実施手順を教授する．さらに，地域包括ケアシステムや総合事業において健康づくりを支援する予防作業療法について教授する．

学修目標

1）地域リハビリテーションの概念を理解し，説明できる．<DP①>　2）地域作業療法に関わる法制度・社会資源・施策とのつながりを理解し，説明できる．<DP①>　3） 地域評価を実践し，地域の特性を捉え，理解し，報告することができる．<DP①④>　4） 予防作業療法について理解し，説明できる．<DP①>　5） 生活向上マネジメント（MTDLP）の基本的な実施手順を理解・説明し，各シートの作成ができる．<DP①②>　6）地域作業療法に関わる多職種との連携について理解し，説明できる．<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1） 積極的に地域リハビリテーション実践者の症例報告を読み、地域における作業療法の役割について考えましょう．　2）地域評価ではフィールドワークも推奨します．他職種の役割を知ることが作業療法の役割を知ることにつながります．　3） 日本だけでなく、世界の社会保障制度や世界情勢と日本の社会的背景にも関心を持ち，社会における作業療法の役割についても考えましょう．

教科書

『標準作業療法学専門分野，地域作業療法学』大熊明・加藤明子編/医学書院．　ISBN 978-4-260-03165-3

参考書

1）『地域リハビリテーション論　第 5 版』　大田仁史，下斗米貴子，澤俊二，浜村明徳 / 三輪書店　2)『 PT・OT ビジュアルテキスト　地域リハビリテーション学』　重森健太，横井賀津志/羊土社．

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限目（10：40-12：10）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	地域リハビリテーションの歴史，対象，法制度，実施施設．	予習：法制度を整理する（2 時間）．　復習：地域リハビリテーションの概念をまとめる（2 時間）．	由利
2	地域リハビリテーションの制度（医療保健、介護保険と介護予防日常生活支援総合事業）	予習：地域リハビリテーションのプロセスを図示する（2 時間）．復習：医療保健、介護保険の制度および関連施設、利用方法についてまとめる(2 時間)．	由利
3	地域リハビリテーションの制度(ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、CBR、障害者総合支援法)	予習・復習：地域リハビリテーションの制度（ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、CBR、障害者総合支援法）について調べ、理解したことをまとめる（4 時間）．	由利

4	地域包括ケアシステムとは	予習：地域包括ケアシステムについて調べる（2 時間）． 復習：地域包括ケアシステムに関する制度や社会資源および自助，互助，共助，公助について整理する（2 時間）．	由利
5	予防作業療法の目的と意義，プログラム，自助・共助を促進する方法，一次、二次、三次予防とヘルスプロモーション	予習：予防作業療法の文献を読む（2 時間）． 復習：1,2,3 次予防・ヘルスプロモーションとは何かをまとめる．予防作業療法に関連した評価・プログラムなどについて整理する（2 時間）．	由利
6	地域評価：地域の特徴と地域資源について発表・各地域の特徴と地域資源について小グループで発表する	予習：自分の関連する地域の特徴と地域資源について調べまとめる（2 時間）． 復習：自分の関連する地域の特徴と地域資源についてパワーポイントで発表できるよう準備する（2 時間）．	由利
7	各地域の特徴と地域資源について発表する	予習・復習：地域の特性とそれに応じた地域資源の違いについてまとめる（4 時間）．予習・復習：地域の特性とそれに応じた地域資源の違いについてまとめる（4 時間）．	由利
8	生活行為向上マネジメント（MTDLP）とは	予習：MTDLP の背景について調べる（2 時間）． 復習：生活行為と生活行為の障害について説明する（1 時間）．	由利
9	事例を通した生活行為向上マネジメント(MTDLP)の理解①アセスメント	予習:MTDLP を用いた事例について調べる(2 時間）． 復習：模擬事例について MTDLP の各シートに記載する（2 時間）．	由利
10	事例を通した生活行為向上マネジメント(MTDLP)の理解②プラン	予習:MTDLP を用いたプランについて調べる（2 時間）． 復習:模擬事例について MTDLP の各シートに記載する（2 時間）．	由利
11	事例を通した生活行為向上マネジメント(MTDLP)の理解②連携	予習:MTDLP を用いた連携について調べる(2 時間）． 復習：模擬事例について MTDLP の各シートに記載する（2 時間）．	由利
12	地域包括ケアシステムにおける作業療法の実践	予習：地域包括ケアシステムの概念図を書いて理解し，作業療法の位置づけをまとめる（2 時間）． 復習：作業療法士が実践する論文を講読する（2 時間）．	由利・ゲストスピーカー
13	予防作業療法の実践（総合事業）	予習：介護予防に関する総説を講読する（2 時間）． 復習：予防作業療法の実践から作業療法の役割について考えをまとめる(2 時間)．	由利・ゲストスピーカー
14	訪問作業療法の実践	予習：訪問作業療法の役割をまとめる（2 時間）． 復習：訪問作業療法の流れを図示する（2 時間）．	由利・ゲストスピーカー
15	・地域作業療法の知識と技術の確認 ・国家試験問題のレビュー ・地域社会における作業療法の役割のまとめ	予習・復習:地域作業療法で学んだことを整理する（2 時間）．	由利
成績評価方法と基準			割合
①定期試験＜DP①②＞ ②レポート（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP①②＞ ③発表（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP①④＞ レポート課題や発表へのフィードバックは講義内で行う．質問がある場合は講義内及びメールで受け付ける．定期試験は返却はしないが，1 週間程度の期間で希望者には説明を行う．			①70% ②20% ③10%

授業科目名	生活環境論（作業）				
主担当教員	兼田　敏克		担当教員	兼田　敏克／勝原　勇希／塚越　千尋	
科目ナンバリング	SS20BOTC029	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法は機能の回復を目指すことはもちろんであるが、障害とともに自身の環境下で生活を営むことへの支援も重要である。福祉用具の選択や活用技術、住宅改修などの生活環境論を学び、その人らしい生活を支援することが作業療法の核であり、専門性である。身体機能・精神心理的機能・社会的背景など生活に必要なすべての要因を広く捉え、作業療法士として、人の行為を支えることについて考え、学修する

学修目標

1.福祉用具について学び、名称や特徴、使用方法など説明できる〈DP①④〉　2.住宅環境について学び、略式平面図など簡易に作成し改造案を考えることができる〈DP①④〉　3.人とモノの総合的な適応を考えることができる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

作業療法の専門分野である生活環境の調整において、福祉用具や住宅改修を学び、作業療法士としての役割を考えることができるよう、１・２年生で履修した日常生活活動学などの科目の復習を行う。

教科書

テクニカル作業療法シリーズ　「福祉用具・住環境整備の作業療法」　玉垣努・渡辺慎一編集　中央法規

参考書

標準作業療法学専門分野「日常生活活動・社会生活行為学」　浜口豊太編集　医学書院　作業療法学ｺﾞｰﾙﾄﾞﾏｽﾀｰﾃｷｽﾄ「日常生活活動･福祉用具学」木之瀬隆編集　Medical View　リハビリテーションテキスト「生活環境学」臼田滋編集　Medical View　福祉住環境コーディネーター検定試験 3 級公式テキスト　東京商工会議所編　福祉住環境コーディネーター検定試験 2 級公式テキスト　東京商工会議所編　作業療法ジャーナル増刊号保存版　テクニカルエイド　生活の視点で役立つ選び方・使い方　三輪書店

研究室／オフィスアワー

研究室 C 棟 7 階 19 号室にて、授業・会議などない時間で随時対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生活環境論　総論	教科書の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	兼田
2	福祉用具の概念と種類	福祉用具の種類を知り、名称や特徴などを学ぶ。目的や場面による選定や活用についても学ぶ。教科書の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	兼田
3	ADL と疾患（移乗・移動・入浴動作関連）	杖・歩行器・車いす・クッション・リフト・スリング・ボード・シートなどを学ぶ教科書の予習と配布物の復習を行う。入浴に関連する、リフトやｽﾘﾝｸﾞ・シャワーチェアーを学び、洗体に関連する自助具についても学ぶ。(1 時間)	兼田・塚越・勝原
4	ADL と疾患（食事動作関連）	食事用具などの自助具を学ぶ。教科書の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	兼田
5	ADL と疾患（排泄動作関連）	排泄関連用具を学び、おむつなどの装着体験と解除技術を体験する教科書の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	勝原
6	ADL と疾患（整容・更衣動作関連）	整容・更衣動作から衣類の工夫や動作分析を行い、自助具などについて学ぶ。教科書	塚越

		の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	
7	ADL と疾患（コミュニケーション・環境制御装置関連）	コミュニケーション機器を体験し、使用方法を学ぶ教科書の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	勝原
8	体験型学習①（福祉用具・住環境整備）	移乗・移動・入浴・食事・排泄・更衣・コミュニケーションなどの ADL に関わる福祉用具・住環境整備について体験し、使用方法を学ぶ。教科書の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	兼田・塚越・勝原
9	体験型学習②（福祉用具・住環境整備）	移乗・移動・入浴・食事・排泄・更衣・コミュニケーションなどの ADL に関わる福祉用具･住環境整備について体験し､使用方法を学ぶ。教科書の予習と配布物の復習を行う(1 時間)	兼田・塚越・勝原
10	福祉用具プランニングの実際１	事例１(準備を行い資料を作成する 1 時間)	兼田
11	福祉用具プランニングの実際２	事例１(準備を行い資料を作成する 1 時間)	兼田
12	福祉用具プランニングの実際３	事例２(準備を行い資料を作成する 1 時間)	塚越
13	福祉用具プランニングの実際４	事例 2(準備を行い資料を作成する 1 時間)	塚越
14	福祉用具プランニングの実際５	事例 3(準備を行い資料を作成する 1 時間)	勝原
15	福祉用具プランニングの実際６	事例 3(準備を行い資料を作成する 1 時間)	勝原
成績評価方法と基準			割合
4/5 回の出席が必要　1.期末テスト<DP①④>　　2.小テスト、課題、レポートなど<DP①④>　　これらを総合的に評価する			1.70%　2.30%

授業科目名	障害者地域生活支援論（作業）				
主担当教員	小川　泰弘		担当教員	小川　泰弘／鍵野　将平／勝原　勇希	
科目ナンバリング	SS20BOTC030	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

この授業では、地域における現代の社会課題に関心を持ち、子どもや成人障害者の社会参加を支援するために必要な知識を主体的に探究する力を養うことを目的とする。履修者はそれぞれ自身の関心に基づいたテーマを深掘りし、その成果を発表することが求められる。また、他の履修者の発表を注意深く聴き、疑問を持ちながら探究心を深め、自分の意見を積極的に述べることが期待される。これらのプロセスを通じて、障害者の地域生活支援に関する知識や経験を共有し、討議を重ねながら学びを深める。

学修目標

・地域における社会課題を理解し、子どもや成人障害者の社会参加支援に必要な知識を探究できるようになる。<DP①②③>　・自身の関心に基づいたテーマについて深く考察し、成果を論理的かつ明確に発表できるようになる。<DP①②③>　・他者の意見を尊重しながら発表を批判的に受け止め、自分の意見を積極的に表現し、議論を通じて新たな視点を獲得できるようになる。<DP①②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

発表人数：それぞれの課題発表枠は５名前後（３～６名）　発表内容：テーマの概要とキーワードが与えられる。その他、キーワードにないことであっても、テーマに即していれば発表内容に含めてよい。キーワードは全て含める必要はない。それぞれの領域の教員に適宜相談しながら進めること。　発表時間：40 分～50 分と大きな枠組みで設定。後半の 30 分は全体の質疑応答やディスカッションの時間とする。　発表方法：学生が自分自身で PC などの準備を行う。資料は前日の１５時までに提出したものを教員が印刷するが、資料の配布は学生自身が行う。その他、準備物が必要な場合は適宜教員に相談する。

教科書

特になし。各自で HP や図書館、フィールドワークで調査すること。

参考書

ケアからエンパワメントへ　北野誠一　ミネルヴァ書房

研究室／オフィスアワー

木曜日　9:30-10:30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習・復習：授業概要をもとに、自身の興味のあるテーマについて調べておく（1 時間）	小川、鍵野、勝原
2	障害者の地域生活支援（概論）	予習・復習：授業概要をもとに、自身の興味のあるテーマについて調べておく（1 時間）	ゲストスピーカー
3	障害者の地域生活支援（精神障害領域・小児発達障害領域）	予習・復習：精神障害領域・小児発達障害領域の地域生活支援について（1 時間）	小川、鍵野、勝原
4	障害者の地域生活支援（身体障害領域・老年期障害領域）	予習・復習：身体障害領域・老年期障害領域の地域生活支援について（1 時間）	小川、鍵野、勝原
5	地域課題の解決に関する実践	予習・復習：就労移行支援、放課後等デイサービス、自費リハビリテーションについて（1 時間）	ゲストスピーカー

6	課題発表①（小児発達障害領域）　子どもの育ちを支える（制度的側面）	予習・復習：児童発達支援/放課後等デイサービス/保育所等訪問支援（作業療法士による支援）、子ども家庭センター、障害者手帳、受給者証、医療的ケア児支援法、医療的ケア児等総合支援事業（1 時間）	勝原、小川、鍵野
7	課題発表②（小児発達障害領域）　子どもの学びを支える	予習・復習：インクルーシブ教育システム、合理的配慮、基礎的環境整備、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室、GIGA スクール構想、医療的ケア、家庭と教育と福祉の連携（トライアングルプロジェクト）、学校作業療法（School-Based Occupational Therapy）、放課後児童クラブ（学童保育）×作業療法について（1 時間）	勝原、小川、鍵野
8	課題発表③（小児発達障害領域）　その他、社会参加（子ども～家族を支える）	予習・復習：乳幼児健診、5 歳児健診（作業療法士による支援）、児童相談所、家族会/当事者会、啓発（啓発デー/啓発週間）、きょうだい支援（例：しぶたね）、スポーツ（例：ボッチャ、知的障がい者サッカー、ダンス：LOVE JUNX、電動車椅子サッカー）について（1 時間）	勝原、小川、鍵野
9	課題発表④（精神障害領域）　精神障害者が地域で安心して暮らすための支援	予習・復習：精神科救急医療体制（一次救急、二次救急、三次救急など）、地域相談支援（地域移行支援/地域定着支援）、共同生活援助（グループホーム）、宿泊型自立訓練（一人暮らしに向けて）、訪問看護（作業療法士による訪問看護）、ACT、居宅介護、ショートステイ、など（1 時間）	小川、鍵野、勝原
10	課題発表⑤（精神障害領域）　就労支援、復学支援、制度的な経済支援	予習・復習：就労移行支援、IPS、就労定着支援、就労継続支援 A 型・B 型、障害者雇用促進法、障害者差別解消法、自立訓練（生活訓練）、精神科デイケア、障害年金、生活保護、障害者手帳、など（1 時間）	小川、鍵野、勝原
11	課題発表⑥（精神障害領域）　その他、社会参加支援（地域課題、ピアグループ、家族支援、など）	予習・復習：ソーシャルスポーツ（ソーシャルフットボール、ソーシャルバスケ）、依存症自助グループ、地域(施設)コンフリクト・偏見、家族会、家族の相談窓口（精神保健福祉センター）、ピアサポーター、など（1 時間）	小川、鍵野、勝原
12	課題発表⑦（身障・老年期領域）　Driving and community mobility　自動車運転について	予習・復習：脳損傷者の自動車運転再開支援、高齢者の安全運転延伸、発達・精神領域の自動車運転支援、ドライビングシミュレーター、実車評価、法規制と免許更新、改造車、他職種との連携（教習所や免許センター）（1 時間）	鍵野、小川、勝原
13	課題発表⑧（身障・老年期領域）　Driving and community mobility　地域移動について	予習・復習：運転終活、運転中止のカウンセリング、公共交通機関や移動手段の選択肢、地域での移動サービス、家族や地域との協力、他職種との連携について（1 時間）	鍵野、小川、勝原
14	課題発表⑨（身障・老年期領域）　高齢者の生活支援ニーズと地域リソース	予習・復習：地域包括ケアシステム、介護保険制度、地域ケア会議、通いの場（高齢者サロン）、ご当地体操など(1 時間)	鍵野、小川、勝原
15	まとめ	予習・復習：これまでの発表の振り返り（1 時間）	小川、鍵野、勝原
成績評価方法と基準			割合
①授業態度・提出物<DP①②③>　②プレゼンテーション<DP①②③>　4/5 以上の出席を必要とする			①40%　②60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):中井				
主担当教員	中井 俊輔		担当教員	中井 俊輔	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	科目区分	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的な内容は、主に高齢期（認知症など）や身体障害領域（上肢機能や高次脳機能障害など）の作業療法に結びつくような研究テーマを取り上げる．研究領域としては脳血管疾患（上肢機能や高次脳機能障害など）の病識やADL、介護負担または生成AI（LLM）などを用いた調査などである．基本的には各学生の興味関心に沿って研究テーマの立案、計画、調査、解析してまとめていく予定である．

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④> 2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④> 3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④> 4）研究計画書を作成できる．<DP①④> 5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④> 6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④> 7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④> 8）プレゼンテーションができる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと 2）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと 3）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること 4）期日や時間は必ず守ること 5）学生自身が主体的に取り組むこと

教科書

1）竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017 2）山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012

参考書

指定する参考書はなし（研究内容に合わせて選定してください）

研究室／オフィスアワー

毎週木曜日2時限目 C棟7F共同研究室 上記以外の曜日時間でも相談可能（事前連絡は必要）

shunsuke_nakai@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究を始めるにあたって（1） ・研究とは？ ・臨床倫理と研究倫理 ・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を読む。（予習に1時間） 復習：予習と同様（復習に1時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2） ・研究対象者の選定 ・アウトカム	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を読む。（予習に1時間） 復習：予習と同様（復習に1時間）	松下
3	研究の種類とデザイン ・量的研究、調査研究、質的研究、事例研究、尺度開発、文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる。（予習に1時間） 復習：調査研究、事例研究、文献研究について調べる（復習に1時間）	松下

4	文献レビューと研究計画	予習：興味のあるテーマについて文献検索をする。(予習に 1 時間)　復習：研究疑問を考え、研究計画を推敲する。(復習に 1 時間)	松下
5	研究計画、小テスト	予習：統計の基礎について学習する。(予習に 1 時間)　復習：研究疑問を考え、研究計画を推敲する。(復習に 1 時間)	松下
6	研究課題決定と文献検索・文献抄読	文献レビュー方法を確認し、研究疑問に関するキーワードの検討、キーワードに関する文献を検索する（予習に 2 時間）	中井
7	研究課題決定と文献検索・文献抄読	文献レビュー方法を確認し、研究疑問に関するキーワードの検討、キーワードに関する文献を検索する（予習に 2 時間）	中井
8	研究課題決定と文献検索・文献抄読・文献レビューの作成	検索した文献から文献レビューを作成する（予習復習に 2 時間）	中井
9	研究課題決定と文献検索・文献抄読・文献レビューの作成	検索した文献から文献レビューを作成する（予習復習に 2 時間）	中井
10	研究計画の作成	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	中井
11	研究計画の作成	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	中井
12	研究計画の作成	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	中井
13	研究計画発表	ゼミ内で研究計画を発表し、研究計画の確定を行う（予習復習に 2 時間）	中井
14	研究実施準備	倫理審査書類の作成をおこなう　必要な物品を準備する（予習復習に 2 時間）	中井
15	データ収集（プレ）	研究計画に基づいて予備調査としてデータを収集する（予習復習に 2 時間）	中井
16	データ収集（プレ）	研究計画に基づいて予備調査としてデータを収集する（予習復習に 2 時間）	中井
17	データ分析（プレ）	研究計画に基づいて予備調査として収集したデータを分析する（予習復習に 2 時間）	中井
18	中間発表準備	中間発表資料の作成（予習復習に 2 時間）	中井
19	中間発表準備	中間発表資料の作成（予習復讐に 2 時間）	中井
20	中間発表	予習：発表の準備（1 時間）　復習：発表会後の振り返り・修正（1 時間）	中井
21	データ収集	研究計画に基づいてデータを収集、保管、管理する（復習に 2 時間）	中井
22	データ収集	研究計画に基づいてデータを収集、保管、管理する（復習に 2 時間）	中井
23	データ収集	研究計画に基づいてデータを収集、保管、管理する（復習に 2 時間）	中井
24	データ分析・まとめ	統計処理ソフトを用いてデータの分析、結果のまとめを行う（予習復習に 2 時間）	中井
25	データ分析・まとめ	統計処理ソフトを用いてデータの分析。結果のまとめを行う（予習復習に 2 時間）	中井
26	データ分析・まとめ	統計処理ソフトを用いてデータの分析、結果のまとめを行う（予習復習に 2 時間）	中井
27	卒業研究発表の準備	予習：研究発表の資料を作成する（1 時間） 復習:ゼミ内での質疑応答を通じて、内容の修正をする（1 時間）	中井
28	卒業研究発表の準備	予習：研究発表の資料を作成する（1 時間） 復習:ゼミ内での質疑応答を通じて、内容の修正をする（1 時間）	中井
29	卒業研究発表の準備	予習：研究発表の資料を作成する（1 時間） 復習:ゼミ内での質疑応答を通じて、内容の修正をする（1 時間）	中井
30	卒業研究発表の予演会	予習：研究発表の資料を作成する（1 時間） 復習:ゼミ内での質疑応答を通じて、内容の修正をする（1 時間）	中井

成績評価方法と基準	割合
1）小テスト＜DP①④＞　2）研究進捗中間発表＜DP①④＞　3）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする	1）20%　2）60%　3）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):塚越				
主担当教員	塚越 千尋		担当教員	塚越 千尋／松下 太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的には、身体障害領域（脳卒中や頭部外傷などによる高次脳機能障害、障害を持つ方の就労支援、社会参加への支援）の作業療法に結びつくような研究テーマに取り組む。研究手法は，主に観察研究や介入研究を中心とした量的研究であり，調査票（アンケート）等を用いた研究や，近赤外光イメージング装置（fNIRS : functional Near-Infrared Spectroscopy）を使った脳血流測定の実験研究を指導することもある.

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④> 2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④> 3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④> 4）研究計画書を作成できる．<DP①④> 5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④> 6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④> 7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④> 8）プレゼンテーションができる．<DP①④> 9）倫理的な配慮を理解し，研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと． 2）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと．3）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．4）期日や時間は必ず守ること． ＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること.

教科書

1）竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017． 2）山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

対馬栄輝、SPSSで学ぶ医療系データ解析 第2版

研究室／オフィスアワー

C棟7階研究室8／月曜日3限目・昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって(1) ・研究とは？ ・臨床倫理と研究倫理 ・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に0.5時間） 復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に0.5時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2） ・研究対象者の選定 ・アウトカム ・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に0.5時間） 復習：興味あるテーマについて文献検索をする（予習に0.5時間）	松下
3	研究の種類とデザイン ・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に0.5時間） 復習：調査研	松下

		究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 0.5 時間）	
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に 0.5 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に 0.5 時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に 1 時間）	松下
6	研究テーマの検討＆文献検索（1）	リサーチクエスチョンからキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 1 時間）	塚越
7	文献検索（2）	リサーチクエスチョンからキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 1 時間）	塚越
8	文献レビュー（文献抄録）の作成	文献レビュー表（文献カードもしくは抄録）を作成する．（予習復習に 1 時間）	塚越
9	研究計画（プロトコール）作成 1＜テーマの焦点化＞	研究計画書の推敲（予習復習に 1 時間）	塚越
10	研究計画（プロトコール）作成 2＜対象と方法＞	研究計画書の推敲（予習復習に 1 時間）	塚越
11	研究計画（プロトコール）作成 3＜分析方法，その他＞	予習:統計手法について学習する(0.5 時間)　復習：研究計画書の推敲（0.5 時間）	塚越
12	研究計画（プロトコール）の作成 4＜研究計画確定＞	研究計画書を完成させる．（予習復習に 1 時間）	塚越
13	研究環境の整備	研究対象者への説明書や同意書など必要な物を準備し、その方法を練習する．（予習復習に 1 時間）	塚越
14	研究環境の整備・研究対象のリクルート	対象者を選定・依頼する．対象者には同意書を得る．（予習復習に 1 時間）	塚越
15	調査実施	計画に準じ，調査を実施する．（予習復習に 1 時間）	塚越
16	調査実施	計画に準じ，調査を実施する．（予習復習に 1 時間）	塚越
17	調査実施	計画に準じ，調査を実施する．（予習復習に 1 時間）	塚越
18	中間発表に向けた準備	PowerPoint を用いた発表の準備（予習復習に 1 時間）	塚越
19	中間発表に向けた予演会	予習：PowerPoint を用いた発表の準備（0.5 時間）　復習：予演会での指摘事項を踏まえて発表資料を修正する（0.5 時間）	塚越
20	研究進捗中間発表	中間発表に向けた準備（PowerPoint での発表資料）をする（0.5 時間）中間発表での指摘事項をまとめ研究計画を修正する(0.5 時間)	塚越
21	研究計画の見直し	中間発表会での指摘事項を踏まえて研究計画を見直す．（1 時間）	塚越
22	研究倫理審査会申請資料の準備	研究倫理審査会に提出する書類を準備する（予習復習に 1 時間）	塚越
23	研究倫理審査会申請資料完成および申請	予習：研究倫理審査会に提出する書類を作成する（0.5 時間）　復習：研究倫理審査会への提出資料の推敲（0.5 時間）	塚越
24	調査実施	計画に準じ，調査を実施する．（予習復習に 1 時間）	塚越
25	調査実施	計画に準じ，調査を実施する．（予習復習に 1 時間）	塚越
26	調査実施	計画に準じ，調査を実施する．（予習復習に 1 時間）	塚越
27	データの分析	解析ソフトで統計処理を行なう．（予習復習に 1 時間）	塚越
28	データの分析	統計処理したデータを解釈する．（予習復習に 1 時間）	塚越

29	結果に対する考察の熟考	研究結果を解釈する.（予習復習に 1 時間）	塚越
30	考察のまとめ	研究結果の解釈から考察をまとめる.（予習復習に 1 時間）	塚越
成績評価方法と基準			割合
①小テスト＜DP①④＞　②研究進捗中間発表＜DP①④＞　③ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			①20% ②60% ③20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):勝原				
主担当教員	勝原　勇希		担当教員	勝原　勇希／松下　太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的な内容は，小児・発達障害領域を中心とした生活支援に貢献できるテーマを見つけ，自身の疑問を質的研究法を用いて分析・考察し，将来の臨床における問題解決の思考過程を身に着ける。テーマの見つけ方，文献検索および文献抄読の方法，調査・データ収集の実施方法，研究計画書作成，倫理審査の方法と書類作成，研究論文の基本的な構成，研究発表の方法などを教授する．さらに，卒業論文作成に向けての準備も指導する．

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④>　2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④>　3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④>　4）研究計画書を作成できる．<DP①④>　5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④>　6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④>　7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④>　8）プレゼンテーションができる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと．　２）テーマが決まっていない場合も皆でアイデアを出し合いゼミで議論しテーマを決めていくため，他者の意見を否定せず建設的な態度で参加すること．　３）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと．　４）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　５）期日や時間は必ず守ること．

教科書

竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017．　山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

山田実編著：PT・OTのための臨床研究はじめの一歩，羊土社，2016.

研究室／オフィスアワー

C棟7階研究室／木曜日1・2・3限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって(1)　・研究とは？　・臨床倫理と研究倫理　・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間）　復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に1時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2）　・研究対象者の選定　・アウトカム　・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間）　復習：興味あるテーマについて文献検索をする（予習に1時間）	松下

3	研究の種類とデザイン　・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に 1 時間）　復習：調査研究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 1 時間）	松下
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に 1 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に 1 時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に 1 時間）	松下
6	文献検索（１）	研究疑問からキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 2 時間）	以降、ゼミ担当教員
7	文献検索（２）	研究疑問からキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 2 時間）	
8	文献レビュー（文献抄録）の作成（1）	文献レビューを作成する．（予習復習に 2 時間）	
9	文献レビュー（文献抄録）の作成（２）	文献レビューを作成する．（予習復習に 2 時間）	
10	研究計画作成 1（研究疑問・テーマの焦点化）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	
11	研究計画作成 2（対象と方法）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	
12	研究計画作成 3（分析方法，その他）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	
13	研究計画の作成 4（研究計画確定）	研究計画書を完成させる．同時に，倫理委員会への申請準備を進める．（予習復習に 2 時間）	
14	フィールドワーク（研究環境の整備，研究環境・研究対象の確保）	研究計画を確定させて，研究フィールドにおいて研究環境を整備する．　同時に，倫理委員会への申請準備を進める．（予習復習に 2 時間）	
15	フィールドワーク（研究環境の整備，研究環境・研究対象の確保）	研究環境を確定し，対象者を選定・依頼する．対象者には同意書を得る．　同時に，倫理委員会への申請準備を進める．（予習復習に 2 時間）	
16	フィールドワーク（研究環境の整備，研究環境・研究対象の確保）	研究環境を確定し，対象者を選定・依頼する．対象者には同意書を得る．　同時に，倫理委員会への申請を行う．（予習復習に 2 時間）	
17	研究実施準備	倫理申請を完了する．研究計画を微調整する．必要物品を準備する．（予習復習に 2 時間）	
18	中間発表準備①	中間発表の発表資料の作成（2 時間）	
19	中間発表準備②	中間発表の発表資料の作成（2 時間）	
20	研究進捗中間発表	PowerPoint を用いた発表の準備．（１時間） 中間発表で受けた質問内容・助言の振り返り、解釈（1 時間）	
21	中間発表の振り返り	中間発表の内容をもとに研究内容の修正、情報整理．（復習に 2 時間）	
22	データ収集	研究実施ノートを作成する．（復習に 2 時間）	
23	データ収集	研究実施ノートを作成する．（復習に 2 時間）	
24	データ収集	研究実施ノートを作成する．（復習に 2 時間）	
25	データ収集	研究実施ノートを作成する．（復習に 2 時間）	
26	データ分析	データを分析する．（予習復習に 2 時間）	
27	データ分析	データを分析する．（予習復習に 2 時間）	

28	データ分析	データを分析する.（予習復習に 2 時間）	
29	データ分析	データを分析する.（予習復習に 2 時間）	
30	結果に対する考察	先行文献を整理する.（復習に 2 時間）	
成績評価方法と基準			割合
１）小テスト＜DP①④＞　２）研究進捗中間発表＜DP①④＞　３）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			１）20% ２）60% ３）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):鍵野				
主担当教員	鍵野　将平		担当教員	鍵野　将平／松下　太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的な内容は，主に高齢期や身体障害（高次脳機能含む）領域の作業療法に結びつくような研究テーマを取り上げる．研究領域・対象としては，自動車運転支援，認知症，フレイル，脳血管疾患（高次脳機能障害含む），ADL，IADL，自己効力感，多職種連携などである．研究手法は，観察研究や介入研究，尺度開発，アンケート等を用いた調査研究などの量的研究である。基本的には各学生の興味関心に沿って研究を実施する予定であるが，希望があれば指導教員が現在進行中の研究（主に高齢者・障害者の方の自動車運転支援に関する研究）の一部を提供し研究を進めることも可能である。

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④>　2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④>　3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④>　4）研究計画書を作成できる．<DP①④>　5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④>　6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④>　7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④>　8）プレゼンテーションができる．<DP①④>　9）倫理的な配慮を理解し，研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと．　２）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと．＊　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　４）期日や時間は必ず守ること．　＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること．

教科書

1）竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017.　2）山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

山田実編著：PT・OT のための臨床研究はじめの一歩，羊土社，2016.　その他，ゼミ活動の進捗に応じて適宜必要な参考書，論文，資料等は指導教員から提示する．　文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること．

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 17／木曜日 2 限目・昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって（1）　・研究とは？　・臨床倫理と研究倫理　・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に 0.5 時間）　復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に 0.5 時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2）　・研究対象者の選定　・アウトカム　・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に 0.5 時間）　復習：興味あるテーマについて文献検索をする	松下

		（予習に 0.5 時間）	
3	研究の種類とデザイン　・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に 0.5 時間）　復習：調査研究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 0.5 時間）	松下
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に 0.5 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に 0.5 時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に 1 時間）	松下
6	研究テーマの検討＆文献検索（1）	リサーチクエスチョンからキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
7	文献検索（2）	研究テーマからキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
8	文献レビュー（文献抄録）の作成	文献レビュー表（文献カードもしくは抄録）を作成する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
9	研究計画（プロトコール）作成 1＜テーマの焦点化＞	研究計画書の推敲（予習復習に 1 時間）	鍵野
10	研究計画（プロトコール）作成 2＜対象と方法＞	研究計画書の推敲（予習復習に 1 時間）	鍵野
11	研究計画（プロトコール）作成 3＜分析方法，その他＞	予習:統計手法について学習する(0.5 時間)　復習：研究計画書の推敲（0.5 時間）	鍵野
12	研究計画（プロトコール）の作成 4＜研究計画確定＞	研究計画書を完成させる．（予習復習に 1 時間）	鍵野
13	研究環境の整備	研究計画を確定させて，研究環境を整備する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
14	研究環境の確保・研究対象のリクルート	研究環境を確定し，対象者を選定・依頼する．対象者には同意書を得る．（予習復習に 1 時間）	鍵野
15	プレ実験 1	計画に準じプレ実験を実施する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
16	プレ実験 2	計画に準じ，プレ実験を実施する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
17	プレ実験の結果の解釈と研究計画の微調整	プレ実験の結果に基づき，研究計画を微調整する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
18	中間発表に向けた PowerPoint 資料の作成	PowerPoint を用いた発表の準備（予習復習に 1 時間）	鍵野
19	中間発表に向けた予演会	予習：PowerPoint を用いた発表の準備（0.5 時間）　復習：予演会での指摘事項を踏まえて発表資料を修正する（0.5 時間）	鍵野
20	研究進捗中間発表	中間発表に向けた準備（PowerPoint での発表資料）をする（0.5 時間）　中間発表での指摘事項をまとめ研究計画を修正する（0.5 時間）	全教員
21	研究計画の見直し	中間発表会での指摘事項を踏まえて研究計画を見直す．（1 時間）	鍵野
22	研究倫理審査会申請資料の準備	研究倫理審査会に提出する書類を準備する（1 時間）	鍵野
23	研究倫理審査会申請資料完成および申請	予習：研究倫理審査会に提出する書類を作成する（0.5 時間）　復習：研究倫理審査会への提出資料の推敲（0.5 時間）	鍵野
24	データの収集	研究経過ノート（progress note）を作成する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
25	データ収集	研究経過ノート（progress note）を作成する．（予習復習に 1 時間）	鍵野
26	データの分析 1	解析ソフトで統計処理を行なう．（予習復習に 1 時間）	鍵野

27	データの分析 2	統計処理したデーターを解釈する.（予習復習に 1 時間）	鍵野
28	データの分析 3	統計処理したデーターを解釈する.（予習復習に 1 時間）	鍵野
29	結果に対する考察の熟考	研究結果の解釈のために必要な文献を取り寄せ、研究結果を解釈する.（予習復習に 1 時間）	鍵野
30	考察のまとめ	先行文献を整理する（予習復習に 1 時間）	鍵野
成績評価方法と基準			割合
１）小テスト＜DP①④＞　２）研究進捗中間発表＜DP①④＞　３）ゼミのおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			１）20% ２）60% ３）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):兼田				
主担当教員	兼田 敏克		担当教員	兼田 敏克／松下 太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保険・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり、臨床実践の質を高め、社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要となる。この科目では、作業療法研究における必要性と意義を理解し、作業療法発展につながる研究を進めるための方法を修得する。具体的な内容としては、研究指導教員の元で研究テーマを決め、先行研究のレビュー、研究計画の作成を行う。学習成果として、研究計画を中間発表会で報告する。研究領域は、主に身体障害領域の作業療法に結びつくような研究テーマを取り上げる。対象としては、脳血管障害（高次脳機能障害を含む)、上肢機能、ADL、IADL、家族支援、介護負担などである。研究手法は、観察研究や調査研究、複数の関連を調べる関連性の研究、介入研究、尺度開発などの量的研究である。

学修目標

1．研究倫理について理解することができる。<DP①④>　2．科学的・論理的に自分の意見を表現する。<DP①④>　3．作業療法研究の必要性と意義を説明できる。<DP①④>　4．専門領域における資料及び文献収集ができる。<DP①④>　5．専門領域における調査などの研究方法を理解する。<DP①④>　6．研究計画を作成できる。<DP①④>　7．予備調査や予備実験ができる。<DP①④>　8．結果を分析し、解釈することができる。<DP①④>　9．卒業論文作成の準備ができる。<DP①④>　10．プレゼンテーションができ

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．研究準備学習として、関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと　2．図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと　3．常に、指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら、指導教員とよく話し合って研究を進めること。　4．学生自身が主体的に取り組むこと。　5．期日や時間は必ず守ること

教科書

1)竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017　2)山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

事前に話し合って日時を相談する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって（1）　･研究とは？　･臨床倫理と研究倫理　･臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を読む。(予習に1時間)　復習：予習と同様（復習に1時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2）　･研究対象者の選定　･アウトカム	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を読む。(予習に1時間)　復習：予習と同様（復習に1時間）	松下
3	研究の種類とデザイン　･量的研究、調査研究、質的研究、事例研究、尺度開発、文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる。(予習に1時間)　復習：調査研	松下

		究、事例研究、文献研究について調べる（復習に 1 時間）	
4	文献レビューと研究計画	予習：興味のあるテーマについて文献検索をする。（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え、研究計画を推敲する。（復習に 1 時間）	松下
5	研究計画、小テスト	予習：統計の基礎について学習する。（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え、研究計画を推敲する。（復習に 1 時間）	松下
6	研究課題決定と文献検索・文献抄読	文献レビュー方法を確認し、研究疑問に関するキーワードの検討、キーワードに関する文献を検索する（予習に 2 時間）	兼田
7	研究課題決定と文献検索・文献抄読	文献レビュー方法を確認し、研究疑問に関するキーワードの検討、キーワードに関する文献を検索する（予習に 2 時間）	兼田
8	研究課題決定と文献検索・文献抄読・文献レビューの作成	検索した文献から文献レビューを作成する（予習復習に 2 時間）	兼田
9	研究課題決定と文献検索・文献抄読・文献レビューの作成	検索した文献から文献レビューを作成する（予習復習に 2 時間）	兼田
10	研究計画作成	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	兼田
11	研究計画の作成	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	兼田
12	研究計画の作成	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	兼田
13	研究計画発表	ゼミ内で研究計画を発表し、研究計画の確定を行う（予習復習に 2 時間）	兼田
14	予備調査	研究計画に基づいた資料の作成と実際にゼミ内で行う（予習復習に 2 時間）	兼田
15	予備調査	研究計画に基づいた資料の作成と実際にゼミ内で行う（予習復習に 2 時間）	兼田
16	予備調査	予備調査を結果をまとめて研究計画の修正を確認し、ゼミ内で共有する資料を作成する（予習復習に 2 時間）	兼田
17	研究実施準備	倫理審査書類の作成をおこなう　必要な物品を準備する（予習復習に 2 時間）	兼田
18	中間発表準備	中間発表資料の作成（予習復習に 2 時間）	兼田
19	中間発表準備	中間発表資料の作成（予習復習に 2 時間）	兼田
20	研究進捗中間発表	予習：発表の準備（1 時間）　復習：発表で受けた質問や助言を振り返り、まとめる（1 時間）	兼田
21	中間発表の振り返り	中間発表の内容をもとに研究計画の修正、整理を行う（復習に 2 時間）	兼田
22	データ収集	収集したデータの保管と実施した記録をエクセルデータとして記録する（復習に 2 時間）	兼田
23	データ収集	収集したデータの保管と実施した記録をエクセルデータとして記録する（復習に 2 時間）	兼田
24	データ収集	収集したデータの保管と実施した記録をエクセルデータとして記録する（復習に 2 時間）	兼田
25	データ分析	収集したデータをゼミ内で報告する（予習復習に 2 時間）	兼田
26	データ分析	統計処理ソフトを用いてデータの分析を実施する準備を行う（予習復習に 2 時間）	兼田
27	データの分析	統計処理ソフトを用いてデータの分析を行う（予習復習に 2 時間）	兼田
28	データの分析	統計処理ソフトを用いてデータの分析を行う（予習復習に 2 時間）	兼田
29	結果の考察	結果を発表する形にまとめる　結果と先行研究との関連を検討しながら行う（予習復	兼田

		習に 2 時間）	
30	結果の考察	結果を発表する形にまとめる　結果と先行研究との関連を検討しながら行う（予習復習に 2 時間）	兼田
成績評価方法と基準			割合
１）小テスト＜DP①④＞　２）研究進捗中間発表＜DP①④＞　３）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			１）20% ２）60% ３）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):由利				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳／松下　太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法における対象者の支援につながる研究を進めるための方法を修得する．具体的には主に高齢者の生活に関して作業療法に結びつくような研究テーマを取り上げる．対象は地域在住高齢者を主とするが，実験研究の場合は学生を対象に行うこともある．内容は身体機能の低下や認知症，心理的側面，活動・参加の側面に関して，観察研究，アンケートなどを用いた調査研究や実験的な介入研究などであり，量的研究を用いて高齢者の生活を支援する作業療法研究を指導する。

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④>　2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④>　3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④>　4）研究計画書を作成できる．<DP①④>　5）予備実験ができる．<DP①④>　6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④>　7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④>　　8）プレゼンテーションができる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと．　２）図書館で雑誌「作業療法」や「作業療法ジャーナル」などの原著論文や総説を積極的に読んでおくこと．　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　４）期日や時間は必ず守ること．

教科書

1）竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017.　ISBN 978-4-263-21676-7　2）山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.　ISBN 978-4-524-24641-0

参考書

ゼミ活動の進捗に応じて適宜必要な参考書，論文，資料等は指導教員から提示する．

研究室／オフィスアワー

由利研究室／木曜日 2 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって（１）　･研究とは？　･臨床倫理と研究倫理　･臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する．（予習に 1 時間）　復習：興味のある研究テーマを検討する．（復習に 1 時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（２）　･研究対象の選定　･アウトカム　･文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する．（予習に 1 時間）　復習：興味のある研究テーマについて文献検索をする．（復習に 1 時間）	松下
3	研究の種類とデザイン　･量的研究，質的研究，調査研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる．（予習に 1 時間）　復習：調査研	松下

		究，事例研究，文献研究について調べる．（復習に 1 時間）	
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推定統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する．（予習に 1 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する．（復習に 1 時間）	松下
5	研究に関する小テスト	・１～４回で学んだ研究に関する基礎的な知識について復習して小テストに備える．（予習に 2 時間）	松下
6	文献検索	研究疑問からキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 2 時間）	由利
7	文献レビュー（文献抄録）の作成 1	文献レビューを作成する．（予習復習に 2 時間）	由利
8	文献レビュー（文献抄録）の作成 2	文献レビューを作成する．予習復習に 2 時間）	由利
9	研究計画作成 1（テーマの焦点化）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	由利
10	研究計画作成 2（対象と方法）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	由利
11	研究計画作成 3（解析方法，その他）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	由利
12	研究計画の作成 4（研究計画確定）	研究計画書を完成させる．（予習復習に 2 時間）	由利
13	研究進捗中間発表 1	PowerPoint を用いた発表の準備（予習に 2 時間）	由利
14	研究進捗中間発表 2	PowerPoint を用いた発表の準備（予習に 2 時間）	由利
15	研究進捗中間発表 3	PowerPoint を用いた発表の準備（予習に 2 時間）	由利
16	研究進捗中間発表 4	PowerPoint を用いた発表の準備（予習に 2 時間）	由利
17	研究準備：環境・研究対象の確保	研究計画をもとに研究対象者の選定・依頼や研究環境の準備を進める．（予習・復習に 2 時間）	由利
18	研究環境・研究対象の確保と準備	研究計画をもとに研究対象者の選定・依頼や研究環境の準備を進める．（予習・復習に 2 時間）	由利
19	研究計画のブラッシュアップ	計画に基づき、研究倫理審査委員会の申請準備を進める．（予習・復習に 2 時間）	由利
20	研究計画のブラッシュアップ	計画に基づき、研究倫理審査委員会の申請準備を進める．（予習・復習に 2 時間）	由利
21	研究計画の微調整	研究計画を微調整する．研究倫理審査委員会の申請書類を作成する．（予習復習に 2 時間）	由利
22	データ収集	研究実施ノートを作成する．（復習に 2 時間）	由利
23	データ収集	研究実施ノートを作成する．（復習に 2 時間）	由利
24	データの分析 1	統計処理したデータを解釈する．（予習復習に 2 時間）	由利
25	データの分析 2	統計処理したデータを解釈する．（予習復習に 2 時間）	由利
26	結果のまとめ（結果表作成） 1	エクセルで図表の作成する．（予習に 2 時間）	由利
27	結果のまとめ（結果表作成）2	エクセルで図表の作成する．（予習に 2 時間）	由利
28	結果のまとめ（結果表作成）3	エクセルで図表を作成する．（予習に 2 時間）	由利
29	結果に対する考察	先行研究と結果を比較して考察する．（復習に 2 時間）	由利
30	結果に対する考察	先行研究と結果を比較して考察する．（復習に 2 時間）	由利
成績評価方法と基準			割合

１）小テスト＜DP①④＞　２）研究進捗中間発表＜DP①④＞　３）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする	１）20% ２）60% ３）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):中西				
主担当教員	中西　一		担当教員	中西　一／松下　太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(月曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的な内容は、身体障害領域の疾患（パーキンソン病などの神経難病中心)、運動イメージ想起能力や運動時の脳活動、表情認知や情動反応などの計測、眼球運動をもとにした注意集中の計測などである。主に観察研究や介入研究を中心とした量的研究である。

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④>　2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④>　3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④>　4）研究計画書を作成できる．<DP①④>　5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④>　6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④>　7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④>　8）プレゼンテーションができる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと．　２）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと．　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　４）期日や時間は必ず守ること．

教科書

竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017.　山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

飯尾淳，世界一やさしい統計学の教科書，ソーテック社，2021.

研究室／オフィスアワー

月曜 5 限　C 棟 7 階共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって（1）　・研究とは？　・臨床倫理と研究倫理　・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に 1 時間）　復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に 1 時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2）　・研究対象者の選定　・アウトカム　・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に 1 時間）　復習：興味あるテーマについて文献検索をする（予習に 1 時間）	松下
3	研究の種類とデザイン　・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に 1 時間）　復習：調査研究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 1 時間）	松下

4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に1時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に1時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に1時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に1時間）	松下
6	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に1時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
7	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に1時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
8	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に1時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
9	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
10	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
11	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
12	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
13	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
14	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
15	研究計画	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
16	研究計画・調査実施	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
17	研究計画・調査実施	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
18	研究計画・調査実施	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西
19	研究計画・調査実施	予習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、研究計画を推敲する（復習に1時間）	中西

20	中間発表	予習:発表資料の作成,研究計画を推敲する（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに､研究計画を推敲する(復習に 1 時間)	中西
21	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
22	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
23	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
24	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
25	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
26	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
27	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
28	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
29	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
30	研究計画・調査実施	予習：調査の実施準備、データ処理を行う（予習に 1 時間）　復習：フィードバックをもとに、調査の実施準備とデータ処理を行う（復習に 1 時間）	中西
成績評価方法と基準			割合
1）小テスト＜DP①④＞　2）研究進捗中間発表＜DP①④＞　3）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			1）20% 2）60% 3）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):小川				
主担当教員	小川　泰弘		担当教員	小川　泰弘／松下　太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的な内容は、主に精神障害の作業療法に結びつくような研究テーマを取り上げる。ひとの心は、身長や体重のように直接測定することはできない。しかし、心の中の特定の要素を測定するための「物差し」を使えば、研究として扱うことが可能である。そのような「物差し」を用いて測定された心理的な変数を扱う観察研究や介入研究を中心とした量的研究に関する指導を行う。なお、心理学的な変数は、不安、抑うつ、防衛規制などの精神病理学的な変数、認知スキーマやストレスコーピングなどの認知行動的変数、幸福感や健康感などの主観的な変数、睡眠などの身体的な変数、ADHD や ASD などの傾向や人格特性など幅広く扱う。

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④>　2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④>　3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④>　4）研究計画書を作成できる．<DP①④>　5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④>　6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④>　7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④>　8）プレゼンテーションができる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと．　２）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと．　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　４）期日や時間は必ず守ること．

教科書

竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017．　山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

宮本聡介・宇井美代子編著　質問紙調査と心理測定尺度―計画から実施・解析まで，サイエンス社，2014

研究室／オフィスアワー

C棟７階共同研究室／木曜日昼休み・３限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって（1）　・研究とは？　・臨床倫理と研究倫理　・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間）　復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に1時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2）　・研究対象者の選定　・アウトカム　・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間）　復習：興味あるテーマについて文献検索をする（予習に1時間）	松下

3	研究の種類とデザイン　・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に 1 時間）　復習：調査研究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 1 時間）	松下
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に 1 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に 1 時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に 1 時間）	松下
6	先行研究論文抄読①　・研究テーマに関する論文を解説する　・その中で理解できたこと/できなかったことを整理し、全体での学習を深める　・論文の抄読を通じて各自の研究計画をブラッシュアップする	予習：興味のある論文を解説するための資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：論文抄読を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
7	先行研究論文抄読②　・研究テーマに関する論文を解説する　・その中で理解できたこと/できなかったことを整理し、全体での学習を深める　・論文の抄読を通じて各自の研究計画をブラッシュアップする	予習：興味のある論文を解説するための資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：論文抄読を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
8	先行研究論文抄読③　・研究テーマに関する論文を解説する　・その中で理解できたこと/できなかったことを整理し、全体での学習を深める　・論文の抄読を通じて各自の研究計画をブラッシュアップする	予習：興味のある論文を解説するための資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：論文抄読を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
9	先行研究論文抄読④　・研究テーマに関する論文を解説する　・その中で理解できたこと/できなかったことを整理し、全体での学習を深める　・論文の抄読を通じて各自の研究計画をブラッシュアップする	予習：興味のある論文を解説するための資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：論文抄読を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
10	先行研究論文抄読⑤　・研究テーマに関する論文を解説する　・その中で理解できたこと/できなかったことを整理し、全体での学習を深める　・論文の抄読を通じて各自の研究計画をブラッシュアップする	予習：興味のある論文を解説するための資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：論文抄読を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
11	研究計画発表①　・研究計画の発表　・質疑応答	予習：研究計画の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：発表、質疑応答を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
12	研究計画発表②　・研究計画の発表　・質疑応答	予習：研究計画の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：発表、質疑応答を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
13	研究計画発表③　・研究計画の発表　・質疑応答	予習：研究計画の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：発表、質疑応答を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
14	研究計画発表④　・研究計画の発表　・質疑応答	予習：研究計画の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：発表、質疑応答を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
15	研究計画発表⑤　・研究計画の発表　・質疑応答	予習：研究計画の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：発表、質疑応答を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
16	研究倫理について　・研究倫理審査申請書の作成方法についての講義	予習：研究倫理審査についての例を熟読する（1 時間）　復習：自身の研究計画を基に、倫理審査申請書を作成する（1 時間）	小川
17	研究倫理審査申請書作成①	予習：自身の研究計画を基に、倫理審査申請書を作成する（1 時間）　復習：ゼミ内で指摘された点を修正する（1 時間）	小川

18	研究倫理審査申請書作成②	予習：自身の研究計画を基に、倫理審査申請書を作成する（1 時間）　復習：ゼミ内で指摘された点を修正する（1 時間）	小川
19	研究中間発表準備	予習：研究計画の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：プレ発表、質疑応答を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
20	研究進捗中間発表	予習：研究計画の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：発表、質疑応答を通じて、自身の研究計画のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
21	研究データの収集・進捗報告①	予習：進捗報告資料の作成（1 時間）　復習：指摘事項の修正（1 時間）	小川
22	研究データの収集・進捗報告②	予習：進捗報告資料の作成（1 時間）　復習：指摘事項の修正（1 時間）	小川
23	研究データの収集・進捗報告③	予習：進捗報告資料の作成（1 時間）　復習：指摘事項の修正（1 時間）	小川
24	データ分析・進捗報告①	予習：進捗報告資料の作成（1 時間）　復習：指摘事項の修正（1 時間）	小川
25	データ分析・進捗報告②	予習：進捗報告資料の作成（1 時間）　復習：指摘事項の修正（1 時間）	小川
26	データ分析・進捗報告③	予習：進捗報告資料の作成（1 時間）　復習：指摘事項の修正（1 時間）	小川
27	卒業研究発表準備①	予習：研究発表の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：プレ発表、質疑応答を通じて、自身の発表内容のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
28	卒業研究発表準備②	予習：研究発表の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：プレ発表、質疑応答を通じて、自身の発表内容のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
29	卒業研究発表準備③	予習：研究発表の資料（スライド）を作成する（1 時間）　復習：プレ発表、質疑応答を通じて、自身の発表内容のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
30	卒業研究発表　予演	予習：研究発表の完成スライドを作成する（1 時間）　復習：予演、質疑応答を通じて、自身の発表内容のブラッシュアップを行う（1 時間）	小川
成績評価方法と基準			割合
１）小テスト＜DP①④＞　２）研究進捗中間発表＜DP①④＞　３）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			１）20% ２）60% ３）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):金森				
主担当教員	金森 幸		担当教員	金森 幸／松下 太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的な内容は，小児・発達障害領域を中心とした生活支援に貢献できるテーマを見つけ，自身の疑問を質的研究法を用いて分析・考察し，将来の臨床における問題解決の思考過程を身に着ける。テーマの見つけ方，文献検索および文献抄読の方法，調査・データ収集の実施方法，研究計画書作成，倫理審査の方法と書類作成，研究論文の基本的な構成，研究発表の方法などを教授する．さらに，卒業論文作成に向けての準備も指導する．

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④> 2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④> 3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④> 4）研究計画書を作成できる．<DP①④> 5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④> 6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④> 7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④> 8）プレゼンテーションができる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと． ２）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと． ３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること． ４）期日や時間は必ず守ること．

教科書

竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017． 山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

ゼミ活動の進捗に応じて適宜必要な参考書，論文，資料等は指導教員から提示する.

研究室／オフィスアワー

C棟7階研究室／木曜日1・2・3限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって(1) ・研究とは？ ・臨床倫理と研究倫理 ・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間） 復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に1時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2） ・研究対象者の選定 ・アウトカム ・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間） 復習：興味あるテーマについて文献検索をする（予習に1時間）	松下
3	研究の種類とデザイン ・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に1時間） 復習：調査研	松下

		究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 1 時間）	
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に 1 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に 1 時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に 1 時間）	松下
6	文献検索（１）	研究疑問からキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 2 時間）	以降、ゼミ担当教員
7	文献検索（２）	研究疑問からキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 2 時間）	
8	文献レビュー（文献抄録）の作成（1）	文献レビューを作成する．（予習復習に 2 時間）	
9	文献レビュー（文献抄録）の作成（２）	文献レビューを作成する．（予習復習に 2 時間）	
10	研究計画作成 1（研究疑問・テーマの焦点化）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	
11	研究計画作成 2（対象と方法）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	
12	研究計画作成 3（分析方法，その他）	研究計画書の推敲（予習復習に 2 時間）	
13	研究計画の作成 4（研究計画確定）	研究計画書を完成させる．同時に，倫理委員会への申請準備を進める．（予習復習に 2 時間）	
14	フィールドワーク（研究環境の整備，研究環境・研究対象の確保）	研究計画を確定させて，研究フィールドにおいて研究環境を整備する．　同時に，倫理委員会への申請準備を進める．（予習復習に 2 時間）	
15	フィールドワーク（研究環境の整備，研究環境・研究対象の確保）	研究環境を確定し，対象者を選定・依頼する．対象者には同意書を得る．　同時に，倫理委員会への申請準備を進める．（予習復習に 2 時間）	
16	フィールドワーク（研究環境の整備，研究環境・研究対象の確保）	研究環境を確定し，対象者を選定・依頼する．対象者には同意書を得る．　同時に，倫理委員会への申請を行う．（予習復習に 2 時間）	
17	研究実施準備	倫理申請を完了する．研究計画を微調整する．必要物品を準備する．（予習復習に 2 時間）	
18	中間発表準備①	中間発表の発表資料の作成（2 時間）	
19	中間発表準備②	中間発表の発表資料の作成（2 時間）	
20	研究進捗中間発表	PowerPoint を用いた発表の準備．（１時間） 中間発表で受けた質問内容・助言の振り返り、解釈（1 時間）	
21	中間発表の振り返り	中間発表の内容をもとに研究内容の修正、情報整理．（復習に 2 時間）	
22	データ収集	研究実施ノートを作成する．(復習に 2 時間）	
23	データ収集	研究実施ノートを作成する．(復習に 2 時間）	
24	データ収集	研究実施ノートを作成する．(復習に 2 時間）	
25	データ収集	研究実施ノートを作成する．(復習に 2 時間）	
26	データ分析	データを分析する．（予習復習に 2 時間）	
27	データ分析	データを分析する．（予習復習に 2 時間）	
28	データ分析	データを分析する．（予習復習に 2 時間）	

29	データ分析	データを分析する.（予習復習に 2 時間）	
30	結果に対する考察	先行文献を整理する.（復習に 2 時間）	
成績評価方法と基準			割合
１）小テスト＜DP①④＞　２）研究進捗中間発表＜DP①④＞　３）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			１）20% ２）60% ３）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):松下				
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．具体的な内容は，主に高齢期障害や身体障害（高次脳機能含む）の作業療法に結びつくような研究テーマを取り上げる．研究領域・対象としては，認知症，認知症の人に対する非薬物療法，コミュニケーション，笑いの効用，認知症予防，介護予防，脳機能，前頭葉機能，注意機能，多発性硬化症（MS），高次脳機能障害，認知機能障害などである．研究手法は，主に観察研究や介入研究を中心とした量的研究であり，調査票（アンケート）等を用いた研究や，近赤外光イメージング装置（fNIRS : functional Near-Infrared Spectroscopy）を使った脳血流測定の実験研究を指導することもある．また、研究テーマが特に見つからないという学生には、希望があれば指導教員が現在進行中の研究（主に認知症のコミュニケーションに関する研究）の一部を提供し研究を進めることも可能である。

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④> 2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④> 3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④> 4）研究計画書を作成できる．<DP①④> 5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④> 6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④> 7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④> 8）プレゼンテーションができる．<DP①④> 9）倫理的な配慮を理解し，研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと． ２）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと．＊ ３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること． ４）期日や時間は必ず守ること． ＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること．

教科書

1）竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017. 2）山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

山田実編著：PT・OTのための臨床研究はじめの一歩，羊土社，2016. その他，ゼミ活動の進捗に応じて適宜必要な参考書，論文，資料等は指導教員から提示する． 文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること．

研究室／オフィスアワー

C棟7階研究室17／木曜日1・2限目・昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究を始めるにあたって(1) ・研究とは？ ・臨床倫理と研究倫理 ・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に0.5時間） 復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に0.5時間）	松下

2	研究を始めるにあたって（2）　・研究対象者の選定　・アウトカム　・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に 0.5 時間）　復習：興味あるテーマについて文献検索をする（予習に 0.5 時間）	松下
3	研究の種類とデザイン　・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に 0.5 時間）　復習：調査研究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 0.5 時間）	松下
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に 0.5 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に 0.5 時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に 1 時間）	松下
6	研究テーマの検討＆文献検索（1）	リサーチクエスチョンからキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 1 時間）	松下
7	文献検索（2）	研究テーマからキーワードの検討，キーワードに関連する文献を検索する．（予習復習に 1 時間）	松下
8	文献レビュー（文献抄録）の作成	文献レビュー表（文献カードもしくは抄録）を作成する．（予習復習に 1 時間）	松下
9	研究計画（プロトコール）作成 1＜テーマの焦点化＞	研究計画書の推敲（予習復習に 1 時間）	松下
10	研究計画（プロトコール）作成 2＜対象と方法＞	研究計画書の推敲（予習復習に 1 時間）	松下
11	研究計画（プロトコール）作成 3＜分析方法，その他＞	予習:統計手法について学習する(0.5 時間)　復習：研究計画書の推敲（0.5 時間）	松下
12	研究計画（プロトコール）の作成 4＜研究計画確定＞	研究計画書を完成させる．（予習復習に 1 時間）	松下
13	研究環境の整備	研究計画を確定させて，研究環境を整備する．（予習復習に 1 時間）	松下
14	研究環境の確保・研究対象のリクルート	研究環境を確定し，対象者を選定・依頼する．対象者には同意書を得る．（予習復習に 1 時間）	松下
15	プレ実験 1	計画に準じプレ実験を実施する．（予習復習に 1 時間）	松下
16	プレ実験 2	計画に準じ，プレ実験を実施する．（予習復習に 1 時間）	松下
17	プレ実験の結果の解釈と研究計画の微調整	プレ実験の結果に基づき，研究計画を微調整する．（予習復習に 1 時間）	松下
18	中間発表に向けた PowerPoint 資料の作成	PowerPoint を用いた発表の準備（予習復習に 1 時間）	松下
19	中間発表に向けた予演会	予習：PowerPoint を用いた発表の準備（0.5 時間）　復習：予演会での指摘事項を踏まえて発表資料を修正する（0.5 時間）	松下
20	研究進捗中間発表	中間発表に向けた準備（PowerPoint での発表資料）をする（0.5 時間）　中間発表での指摘事項をまとめ研究計画を修正する（0.5 時間）	全教員
21	研究計画の見直し	中間発表会での指摘事項を踏まえて研究計画を見直す．（1 時間）	松下
22	研究倫理審査会申請資料の準備	研究倫理審査会に提出する書類を準備する（1 時間）	松下
23	研究倫理審査会申請資料完成および申請	予習：研究倫理審査会に提出する書類を作成する（0.5 時間）　復習：研究倫理審査会への提出資料の推敲（0.5 時間）	松下
24	データの収集	研究経過ノート（progress note）を作成する．（予習復習に 1 時間）	松下
25	データ収集	研究経過ノート（progress note）を作成する．（予習復習に 1 時間）	松下

26	データの分析 1	解析ソフトで統計処理を行なう.（予習復習に 1 時間）	松下
27	データの分析 2	統計処理したデーターを解釈する.（予習復習に 1 時間）	松下
28	データの分析 3	統計処理したデーターを解釈する.（予習復習に 1 時間）	松下
29	結果に対する考察の熟考	研究結果の解釈のために必要な文献を取り寄せ、研究結果を解釈する.（予習復習に 1 時間）	松下
30	考察のまとめ	先行文献を整理する（予習復習に 1 時間）	松下
成績評価方法と基準			割合
1）小テスト＜DP①④＞　2）研究進捗中間発表＜DP①④＞　3）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			1）20% 2）60% 3）20%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(作業):橋本				
主担当教員	橋本 弘子		担当教員	橋本 弘子／松下 太	
科目ナンバリング	SS20BOTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜5限)、後期(月曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，作業療法発展に繋がる研究を進めるための方法を修得する．研究領域・対象・内容は精神科領域に関すること、老年期におけるフレイルやサルコペニアに対するヘルスプロモーションに関すること、各疾患に対する補完医療・代替医療に関すること、ニューロリハビリテーションに関すること、発達障害の生活障害に関すること、パーキンソン病のリハビリテーションに関すること、脳機能・認知機能に関すること、ニューロダンスに関することなどである。研究手法は主に介入研究を中心とした量的研究や調査研究（アンケート）である。

学修目標

1）研究倫理について理解することができる．<DP①④> 2）科学的・論理的に自分の意見を表現する．<DP①④> 3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる．<DP①④> 4）研究計画書を作成できる．<DP①④> 5）予備調査や予備実験ができる．<DP①④> 6）結果を分析し，解釈することができる．<DP①④> 7）卒業論文作成の準備ができる．<DP①④> 8）プレゼンテーションができる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）研究準備学習として，関心のあるテーマを幾つか提示できるように準備しておくこと． ２）図書館で「作業療法」や「作業療法ジャーナル」をはじめとする各学術雑誌の原著論文や総説を積極的に読んでおくこと． ３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること． ４）期日や時間は必ず守ること．

教科書

竹田徳則・大浦智子編著，作業療法研究法，医歯薬出版株式会社，2017． 山本澄子・谷浩明監修，すぐできる！リハビリテーション統計，南江堂，2012.

参考書

ゼミ活動の進捗に応じて適宜必要な参考書、論文、資料等を提示する

研究室／オフィスアワー

C棟7階研究室22 連絡をください。随時対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究を始めるにあたって(1) ・研究とは？ ・臨床倫理と研究倫理 ・臨床疑問と研究の種類	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間） 復習：興味ある研究テーマを検討する（復習に1時間）	松下
2	研究を始めるにあたって（2） ・研究対象者の選定 ・アウトカム ・文献レビュー	予習：「作業療法」や「作業療法ジャーナル」等の作業療法関連の学術雑誌の原著論文を熟読する（予習に1時間） 復習：興味あるテーマについて文献検索をする（予習に1時間）	松下
3	研究の種類とデザイン ・量的研究，調査研究，質的研究，事例研究，尺度開発，文献研究	予習：量的研究と質的研究の違いについて調べる（予習に1時間） 復習：調査研	松下

		究，事例研究，文献研究について調べる（復習に 1 時間）	
4	統計の基礎　・なぜ「統計」が必要なのか？　・統計学的手法の種類と選定方法　・母集団と標本　・推計統計学とバイアス　・度数分布・正規分布・標準偏差	予習：教科書の「統計の基礎」の章を熟読する（予習に 1 時間）　復習：教科書の例題を熟読し理解する（復習に 1 時間）	松下
5	研究計画，小テスト	予習：統計の基礎について学習する（予習に 1 時間）　復習：研究疑問を考え，研究計画を推敲する（復習に 1 時間）	松下
6	文献検索と文献レビュー作成 1	研究疑問からキーワードを検討し、キーワードの関する文献を検索する。そして文献レビューを作成する。(予習復習に 2 時間)	橋本
7	文献検索と文献レビュー作成 2	研究疑問からキーワードを検討し、キーワードの関する文献を検索する。そして文献レビューを作成する。(予習復習に 2 時間)	橋本
8	文献検索と文献レビュー作成３	研究疑問からキーワードを検討し、キーワードの関する文献を検索する。そして文献レビューを作成する。(予習復習に 2 時間)	橋本
9	研究計画作成 1（テーマの焦点化と方法の検討）	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	橋本
10	研究計画作成 2（方法と対象を明確にする）	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	橋本
11	研究計画作成 3（研究方法と分析方法を確定する）	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	橋本
12	研究計画作成 4（研究計画確定）	研究計画の推敲（予習復習に 2 時間）	橋本
13	研究倫理審査委員会へ申請書提出準備	研究倫理審査申請内容の推敲(予習復習に 2 時間)	橋本
14	研究倫理審査申請書提出とプレ実験・調査	研究計画に必要なプレ実験を実施する（予習復習に 2 時間）	橋本
15	研究計画修正・完成	研究計画に必要なプレ実験を実施する。プレ実験・調査も踏まえて研究計画を完成させる（予習復習に 2 時間）	橋本
16	研究開始・データー収集 1	研究実施状況の把握とデータの整理（復習に 2 時間）	橋本
17	データー収集 2	研究実施状況の把握とデータの整理（復習に 2 時間）	橋本
18	データー収集 3・中間発表に向けて準備	研究実施状況の把握とデータの整理。中間発表に向けて準備（復習に 2 時間）	橋本
19	中間発表に向けて準備	研究実施状況の把握とデータの整理。中間発表に向けて準備（復習に 2 時間）	橋本
20	研究進捗中間発表	研究実施状況の把握とデータの整理。発表内容の振り返り（復習に 2 時間）	橋本
21	データの分析 1	解析ソフトで統計処理を行う(予習復習に 2 時間)	橋本
22	データの分析 2	解析結果の考察を行う（予習復習で 2 時間）	橋本
23	分析結果の考察 1	解析結果を先行文献などとともに考察を行う（予習復習で 2 時間）	橋本
24	分析結果の考察 2	解析結果を先行文献などとともに考察を行う（予習復習で 2 時間）	橋本
25	分析結果の考察 3	解析結果を先行文献などとともに考察を行う（予習復習で 2 時間）	橋本
26	分析結果の考察 3	解析結果を先行文献などとともに考察を行う（予習復習で 2 時間）	橋本
27	卒業研究発表準備 1	これまでの結果を踏まえて「要旨、はじめに、研究方法、結果、考察、研究の限界、今後の展望、終わりに」を論理だてて power point 作成を行う（2 時間）	橋本
28	卒業研究発表準備２	これまでの結果を踏まえて「要旨、はじめに、研究方法、結果、考察、研究の限界、今	橋本

		後の展望、終わりに」を論理だてて power point 作成を行う（2 時間）	
29	卒業研究発表準備 3	これまでの結果を踏まえて「要旨、はじめに、研究方法、結果、考察、研究の限界、今後の展望、終わりに」を論理だてて power point 作成を行う（2 時間）	橋本
30	卒業研究発表準備 4	これまでの結果を踏まえて「要旨、はじめに、研究方法、結果、考察、研究の限界、今後の展望、終わりに」を論理だてて power point 作成を行う（2 時間）	橋本
成績評価方法と基準			割合
１）小テスト＜DP①④＞　２）研究進捗中間発表＜DP①④＞　３）ゼミにおける参加態度・積極性など＜DP①④＞　※単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする			１）20% ２）60% ３）20%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(身体障害)(作業):中井				
主担当教員	中井 俊輔		担当教員	中井 俊輔	
科目ナンバリング	SS20BOTC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

「運動学」,「日常生活活動学」,「身体障害作業療法学」等で学んだ動作分析，ＡＤＬ，身体障害領域の知識や技術，病院，施設，在宅における課題を中心に，担当教員の指導の下に研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエッションを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，作業療法分野の論文完成を目指す

学修目標

1）研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している〈DP①④〉　2）自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる〈DP①④〉　3）研究プロトコールに基づいて実験やリサーチなどが遂行できる〈DP①④〉 4）研究結果を踏まえ，追実験することができる〈DP①④〉　5）実験結果を適切な統計解析方法を用いて分析できる〈DP①④〉 6）研究成果を論文にすることができ，抄録ならびにパワーポイントを用いて発表できる〈DP①④〉　7）研究成果を論文

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）自らの研究テーマに関する論文や書籍を定期的に検討・入手し積極的に熟読しておくこと ※ 2）卒業研究Ⅰで得られたデーターの統計解析方法について検討しておくこと 3）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること 4）期日や時間は必ず守ること 5）学生自身が主体的に取り組むこと ※文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること

教科書

指定する教科書はなし

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します 文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること

研究室／オフィスアワー

毎週木曜日 2 時限目　C 棟 7F 共同研究室　上記以外の曜日時間でも相談可能（事前連絡は必要）
shunsuke_nakai@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究全体のまとめ研究の限界の振り返り 抄録および発表用 PowerPoint 作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをし，研究の限界についてまとめをする．卒業発表会に向けて抄録および PowerPoint でプレゼン資料を作成する	中井
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し発表の練習（予宴会）をする．卒論発表での指摘事項を整理し，考察を中心に論文全体を見直す．また，研究の限界についてまとめておく	中井
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する	中井

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする 1)研究成果発表:成績評価基準はルーブリックにて提示します.＜DP①④＞ 2）論文作成＜DP①④＞	1）70% 2）30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(身体障害)(作業):塚越				
主担当教員	塚越　千尋		担当教員	塚越　千尋	
科目ナンバリング	SS20BOTC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

担当教員指導の下に研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチをクエスチョン明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータ収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．また，その総括として，の論文を執筆し，研究成果をまとめる．

学修目標

1．研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している．<DP①>　2．自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる．<DP①④>　3．研究プロトコールに基づいた実験やリサーチ等を遂行できる．<DP①④>　4．研究結果を踏まえ，追実験することができる．<DP①④>　5．実験やリサーチ等の結果を適切な統計解析方法を用いて分析することができる.<DP①④>　6．研究成果を抄録ならびにパワーポイントを用いて発表できる．<DP①④>　7．研究成果を論文にすることが

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）自らの研究テーマに関する論文や書籍を定期的に検索・入手し積極的に熟読しておくこと．　2）卒業研究Ⅰで得られたデータの統計解析方法について検討しておくこと．　3）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．4）期日や時間は必ず守ること．　＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること．

教科書

指定する教科書はなし．

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します．

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 8／月曜日 3 限目・昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究全体のまとめと研究の限界の振り返り　抄録および発表用 PowerPoint 作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをし、研究の限界についてのまとめをする．卒論発表会に向けて抄録および PowerPoint でプレゼン資料を作成する．	塚越
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し発表の練習（予演会）をする．卒論発表での指摘事項を整理し，考察を中心に論文全体を見直す．また，研究の限界についてまとめておく．	塚越
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する．	塚越

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする．　① 研究成果発表：成績評価基準はルーブリックにて提示します．<DP①④>　② ②論文作成<DP①④>	①70%　②30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(身体障害)(作業):鍵野				
主担当教員	鍵野　将平		担当教員	鍵野　将平	
科目ナンバリング	SS20BOTC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

「運動学」,「日常生活活動学」,「身体障害作業療法学」等で学んだ動作分析，ＡＤＬ，身体障害領域の知識や技術，病院，施設，在宅における課題を中心に，担当教員の指導の下に研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエッションを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，地域作業療法分野の論文完成を目指す.

学修目標

1. 研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している.〈DP①④〉　2. 自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる.〈DP①④〉　3. 倫理的な配慮を理解し、研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる.〈DP①④〉　4. 研究プロトコールを作成できる.〈DP①④〉　5. 予備的研究結果を踏まえ，実験することができる.〈DP①④〉　6. 実験結果を解釈し，考察することができる.〈DP①④〉　7. 研究成果を論文にすることができ，抄録ならびにパワーポイン

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）自らの研究テーマに関する論文や書籍を定期的に検討・入手し積極的に熟読しておくこと．※　２）卒業研究Ｉで得られたデーターの統計解析方法について検討しておくこと　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　４）期日や時間は必ず守ること．　※文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること

教科書

指定する教科書はなし.

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します．　文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること .

研究室／オフィスアワー

月曜日 5 限目 (16：20-17：50)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究全体のまとめ研究の限界の振り返り　抄録および発表用 PowerPoint 作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをし，研究の限界についてまとめをする．卒業発表会に向けて抄録および PowerPoint でプレゼン資料を作成する.	鍵野
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し発表の練習（予宴会）をする．　卒論発表での指摘事項を整理し，考察を中心に論文全体を見直す．また，研究の限界についてまとめておく.	鍵野
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する.	鍵野

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする　①研究成果発表:成績評価基準はルーブリックにて提示します.＜DP①④＞　②論文作成＜DP①④＞	①70%　②30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(身体障害)(作業):兼田				
主担当教員	兼田　敏克		担当教員	兼田　敏克	
科目ナンバリング	SS20BOTC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

「運動学」,「日常生活活動学」,「身体障害作業療法学」等で学んだ動作分析，ＡＤＬ，身体障害領域の知識や技術，病院，施設，在宅における課題を中心に，担当教員の指導の下に研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエッションを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，作業療法分野の論文完成を目指す.

学修目標

1. 研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している.〈DP①④〉　2. 自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる.〈DP①④〉　3. 研究プロトコールに基づいて実験やリサーチなどが遂行できる.〈DP①④〉 4. 研究結果を踏まえ，追実験することができる.〈DP①④〉　5. 実験結果を適切な統計解析方法を用いて分析できる.〈DP①④〉 6. 研究成果を論文にすることができ，抄録ならびにパワーポイントを用いて発表できる.〈DP①④〉　7. 研究成果を論文

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自身の研究テーマに関連する論文を講読し，文献レビューを作成、熟読しておくこと.　卒業研究Ｉで得られたデータの統計解析方法を検討しておくこと.　指導教員に研究の進捗状況の報告、連絡相談をしながらよく話し合って研究を進めること.　期日や時間は守ること.

教科書

指定する教科書はなし.

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します.

研究室／オフィスアワー

事前に話し合って日時を相談する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究全体のまとめと研究の限界の振り返り　抄録および発表用のパワーポイントの作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをして研究の限界についてまとめを行う．卒論発表会に向けて抄録およびパワーポイントでプレゼンテーション資料を作成する.	兼田
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し、発表の練習（予演会）を行う．卒論発表会での指摘事項を整理して考察を中心に論文全体を見直す．また、研究の限界についてまとめておく.	兼田
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する.	兼田

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする.　①論文作成.〈DP①④〉　②研究成果発表.〈DP①④〉	①30%　②70%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(身体障害)(作業):中西				
主担当教員	中西　一		担当教員	中西　一	
科目ナンバリング	SS20BOTC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

「運動学」,「日常生活活動学」,「身体障害作業療法学」等で学んだ動作分析，ＡＤＬ，身体障害領域の知識や技術，病院，施設，在宅における課題を中心に，担当教員の指導の下に研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエッションを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，地域作業療法分野の論文完成を目指す.

学修目標

1. 研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している.〈DP①④〉　2. 自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる.〈DP①④〉　3. 倫理的な配慮を理解し、研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる.〈DP①④〉　4. 研究プロトコールを作成できる.〈DP①④〉　5. 予備的研究結果を踏まえ，実験することができる.〈DP①④〉　6. 実験結果を解釈し，考察することができる.〈DP①④〉　7. 研究成果を論文にすることができ，抄録ならびにパワーポイン

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）自らの研究テーマに関した論文や書籍を定期的に入手、通読し、取れらを熟読しておくこと　２）卒業研究１で得られたデータの統計解析方法について検討しておくこと　３）常に、指導教員には研究の進捗状況を報告・連絡・相談しながら、指導教員とよく話し合って研究活動を進める事　４）期日や期限は守ること　＊文献複写が必要な場合は、指導教員に申し出る事

教科書

指定する教科書はなし.

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します.

研究室／オフィスアワー

月曜日 5 限目（16：20-17：50）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究全体のまとめと研究の限界の振り返り　抄録および発表用 PowerPoint の作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体mのまとめをし、研究の限界についてのまとめをする。卒論発表会に向けて抄録および PowerPoint でのプレゼン資料を作成する。	中西
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し、発表の練習（予演会）をする。卒論発表での指摘事項を整理し、考察を中心に論文全体を見直す。また研究の限界についてまとめておく。	中西
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する。	中西

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする.　①研究成果発表.〈DP①④〉　②論文作成.〈DP①④〉	①70%　②30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(精神障害)(作業):小川				
主担当教員	小川　泰弘		担当教員	小川　泰弘	
科目ナンバリング	SS20BOTC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

「精神障害作業療法に関する科目」,「地域作業療法学」,「精神医学」,「心理学」で学んだことを中心に担当教員指導のもとに研究テーマに沿って研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエスチョンを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，精神医学，心理学または精神障害，地域作業療法分野の論文完成を目指す.

学修目標

1. 研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し、それらの詳細を理解している〈DP①〉 2. 自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる〈DP①④〉 3. 研究プロトコルに基づいた実験やリサーチを遂行できる〈DP①④〉 4. 研究結果を踏まえ，つい実験することができる〈DP①④〉 5. 実験やリサーチ等の結果を適切な統計解析方法を用いて分析することができる〈DP①④〉 6. 研究結果を抄録ならびにパワーポイントを用いて発表できる〈DP①④〉 7. 研究成果を論文にすることが

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）自らの研究テーマに関する論文や書籍を定期的に検索・入手し積極的に熟読しておくこと＊　２）研究Ｉで得られたデータの統計解析方法についてゼミ担当教員と検討しておくこと　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること　４）期日や時間は必ず守ること　＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること

教科書

指定する教科書はない.

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します.　　文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限 (10:40～12:10)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究全体のまとめと研究の限界の振り返り　抄録および発表用 PowerPoint 作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをし，研究の限界についてのまとめをする.　卒業研究発表会に向けて抄録および PowerPoint でプレゼン資料を作成する.	小川
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し発表の練習（予演会）をする.　卒論発表での指摘事項を整理し、考察を中心に論文全体を見直す．また研究の限界についてまとめておく.	小川
3	論文作成・投稿	投稿規定に従って論文を作成する.	小川

成績評価方法と基準	割合
4/5 の出席を必要とする.　①研究成果発表：成績評価基準はルーブリックにて提示します.〈DP①④〉 ②論文作成〈DP①④〉	①70%　②30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(精神障害)(作業):橋本				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子	
科目ナンバリング	SS20BOTC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

作業療法士は保健・医療・福祉領域のリハビリテーション専門職であり，臨床実践の質を高め，社会に貢献していくためには実践の内容について研究していくことが重要な位置を占める．この科目では，作業療法研究における必要性と意義を理解し，調査研究と実験研究を進めるための方法を修得する．卒業研究Ⅰで考えた調査・実験の実施方法について、データの収集と分析、結果の考察というプロセスを、段階を踏みながら習得する。その総括として，卒業論文作成と研究発表に向けての準備する.

学修目標

1）研究倫理について理解することができる〈DP①④〉 2）科学的・論理的に自分の意見を表現する〈DP①④〉 3）作業療法研究の必要性と意義を説明できる〈DP①④〉 4）研究計画書を作成できる〈DP①④〉 5） 予備実験ができる〈DP①④〉 6）結果を分析し，解釈することができる〈DP①④〉 7）卒業論文作成ができる〈DP①④〉　 8）プレゼンテーションができる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自身の研究目的に沿って、研究疑問を明らかにすべく主体的に取り組むようにしてください。

教科書

研究領域に関連する書籍，資料，論文，記事を随時提示します.

参考書

研究領域に関連する書籍，資料，論文，記事を随時提示します.

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究計画の検討	中間発表を踏まえて研究計画書を見直し修正する.　(1 時間)	橋本　弘子
2	研究計画の検討	研究実施のための具体的なプラン作成(1 時間)	橋本　弘子
3	研究計画実施の準備	研究実施のための物品等の準備(1 時間)	橋本　弘子
4	データを収集	方法に準じ依頼からデータ収集と整理までを実施　(1 時間)	橋本　弘子
5	データを収集	方法に準じ依頼からデータ収集と整理までを実施 (1 時間)	橋本　弘子
6	データを収集	方法に準じ依頼からデータ収集と整理までを実施(1 時間)	橋本　弘子
7	データを収集	方法に準じ依頼からデータ収集と整理までを実施(1 時間)	橋本　弘子
8	データを収集	方法に準じ依頼からデータ収集と整理までを実施　(1 時間)	橋本　弘子
9	データを収集	方法に準じ依頼からデータ収集と整理までを実施　(1 時間)	橋本　弘子
10	データを収集	方法に準じ依頼からデータ収集と整理までを実施 (1 時間)	橋本　弘子
11	データの分析	結果の解析(1 時間)	橋本　弘子

12	データの分析	結果の解析(1 時間)	橋本　弘子
13	データの分析	結果の解析(1 時間)	橋本　弘子
14	データの分析	結果の解析(1 時間)	橋本　弘子
15	分析結果の考察	分析結果を先行文献などとともに考察を深める　(1 時間)	橋本　弘子
16	分析結果の考察	分析結果を先行文献などとともに考察を深める(1 時間)	橋本　弘子
17	分析結果の考察	分析結果を先行文献などとともに考察を深める(1 時間)	橋本　弘子
18	分析結果の考察	分析結果を先行文献などとともに考察を深める(1 時間)	橋本　弘子
19	論文作成	これまでの結果を踏まえ、「要旨、はじめに、方法、結果、考察、研究の限界、今後の展望、おわりに」を論理だてて書き進める(1 時間)	橋本　弘子
20	論文作成	これまでの結果を踏まえ、「要旨、はじめに、方法、結果、考察、研究の限界、今後の展望、おわりに」を論理だてて書き進める(1 時間)	橋本　弘子
21	論文作成	これまでの結果を踏まえ、「要旨、はじめに、方法、結果、考察、研究の限界、今後の展望、おわりに」を論理だてて書き進める(1 時間)	橋本　弘子
22	論文作成	これまでの結果を踏まえ、「要旨、はじめに、方法、結果、考察、研究の限界、今後の展望、おわりに」を論理だてて書き進める(1 時間)	橋本　弘子
23	論文作成と発表準備	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
24	論文作成と発表準備	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
25	卒業論文発表	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
26	卒業論文発表	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
27	卒業論文発表	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
28	卒業論文発表	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
29	卒業論文発表	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
30	卒業論文発表	論文を作成しながら、パワーポイントで発表原稿を作成する(1 時間)	橋本　弘子
成績評価方法と基準			割合
1.論文の作成<DP①④>　2.論文発表）の評価基準となるルーブリックを提示します。　＜DP①④＞　4/5 の出席を必要とする			1.60%　2.40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域)(作業):由利				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳	
科目ナンバリング	SS20BOTC034	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

「高齢期障害作業療法に関する科目」,「作業科学入門」,「地域作業療法学」で学んだ作業の健康への貢献，認知症に対する作業療法，介護予防の知識や技術，施設や在宅における課題を中心に，担当教員指導の下に研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエッションを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，老年期障害または地域作業療法分野の論文完成を目指す.

学修目標

1. 研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している．<DP①>　2. 自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる．<DP①④> 3. 倫理的な配慮を理解し，研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる．<DP①④> 4. 研究プロトコールを作成できる．<DP①④> 5. 予備的研究結果を踏まえ，実験することができる．<DP①④> 6. 実験結果を解釈し，考察することができる．<DP①④> 7. 研究成果を抄録ならびにパワーポイントを用いて発表できる．<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）自らの研究テーマに関連する論文や書籍を検索・入手し熟読しておくこと．＊　2）卒業研究Ｉで得られたデータの統計解析方法について検討しておくこと．　3）常に，指導教員に研究進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　4）期日や時間は必ず守ること．　＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申しでること.

教科書

指定する教科書はなし.

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します．　文献複写が必要な場合は，ゼミ担当に申し出ること.

研究室／オフィスアワー

木曜日午前中

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究の意義・目的から結果・考察・研究限界の振り返り　抄録および発表用 PowerPoint の作成	予習・復習：研究方法の振り返り，研究結果をまとめ・整理する．先行研究と比較して研究結果について考察し，研究限界を検討する．　発表に向けて抄録および PowerPoint でプレゼン資料を作成する.	由利
2	卒論発表会	予習・復習：卒論発表会の発表原稿を作成し，発表の練習（予演会）を行う．　卒論発表会後に，指摘事項を整理し，考察を中心に論文全体を見直す．また，研究の限界についてまとめておく.	由利
3	卒業論文作成・投稿	予習・復習：投稿規定に沿って論文を作成する.	由利

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする．　①研究成果発表：成績評価基準はルーブリックにて提示します．＜DP①④＞　②論文作成＜DP①④＞　希望者には評価を開示する。	①70%　②30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域)(作業):松下				
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太	
科目ナンバリング	SS20BOTC034	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

「高齢期障害作業療法に関する科目」,「地域作業療法学」で学んだ作業の健康への貢献，認知症に対する作業療法，介護予防の知識や技術，脳血流を測定するNIRS（近赤外分光法）を用いた認知機能障害や認知症予防の研究など，担当教員指導の下に研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエッションを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，老年期障害または地域作業療法分野の論文完成を目指す.

学修目標

1. 研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している．<DP①>　2. 自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる．<DP①④>　3. 研究プロトコールに基づいた実験やリサーチ等を遂行できる．<DP①④>　4. 研究結果を踏まえ，追実験することができる．<DP①④>　5. 実験やリサーチ等の結果を適切な統計解析方法を用いて分析することができる.<DP①④>　6. 研究成果を抄録ならびにパワーポイントを用いて発表できる．<DP①④>　7. 研究成果を論文にすることが

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）自らの研究テーマに関する論文や書籍を定期的に検索・入手し積極的に熟読しておくこと．＊　２）卒業研究Ｉで得られたデーターの統計解析方法について検討しておくこと．　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること．　４）期日や時間は必ず守ること．　＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること.

教科書

指定する教科書はなし.

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します．　文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること.

研究室／オフィスアワー

木曜日2限目（10：40-12：10）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究全体のまとめと研究の限界の振り返り　抄録および発表用PowerPoint作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをし、研究の限界についてのまとめをする．　卒論発表会に向けて抄録およびPowerPointでプレゼン資料を作成する.	松下
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し発表の練習（予演会）をする．　卒論発表での指摘事項を整理し，考察を中心に論文全体を見直す．また，研究の限界についてまとめておく.	松下
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する.	松下

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする．　①研究成果発表：成績評価基準はルーブリックにて提示します．<DP①④>　②論文作成<DP①④>	①70%　②30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(発達障害)(作業):勝原				
主担当教員	勝原　勇希		担当教員	勝原　勇希	
科目ナンバリング	SS20BOTC035	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

「発達障害作業療法に関する科目」で学んだことを中心に担当教員指導のもとに研究テーマに沿って研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエスチョンを明確にし，研究計画を作成し，実験等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として作業療法士としての論文完成を目指す．

学修目標

1．研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し、それらの詳細を理解している〈DP①〉 2．自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる〈DP①④〉 3．研究プロトコルに基づいた実験やリサーチを遂行できる〈DP①④〉
4．研究結果を踏まえ，つい実験することができる〈DP①④〉 5．実験やリサーチ等の結果を適切な統計解析方法を用いて分析することができる〈DP①④〉 6．研究結果を抄録ならびにパワーポイントを用いて発表できる〈DP①④〉
7．研究成果を論文にすることができる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）自らの研究テーマに関する論文や書籍を定期的に検索・入手し積極的に熟読しておくこと＊　２）研究Ⅰで得られたデータの統計解析方法についてゼミ担当教員と検討しておくこと　３）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること　４）期日や時間は必ず守ること　＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること

教科書

指定する教科書はない．

参考書

研究領域に関連する資料，論文，記事を随時提示します．　文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること．

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階共同研究室／事前に相談して決定します

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究全体のまとめと研究の限界の振り返り　抄録および発表資料の作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをし、研究の限界についてのまとめをする．　卒論発表会に向けて抄録，PowerPoint でプレゼン資料を作成する．	勝原
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し発表の練習（予演会）をする．　卒論発表での指摘事項を整理し，考察を中心に論文全体を見直す．また，研究の限界についてまとめておく．	勝原
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する．	勝原

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする．　①研究成果発表：成績評価基準はルーブリックにて提示します．＜DP①④＞　②論文作成＜DP①④＞	①70%　②30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(発達障害)(作業):金森				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸	
科目ナンバリング	SS20BOTC035	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

「質的研究の進め方、まとめ方」を参考にして、各自ですすめている研究計画にそって、文献研究や結果の考察をすすめる。担当教員には、適時経過を報告し、研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する．研究テーマに基づき，リサーチクエッションを明確にし，研究計画を作成し，インタビューやフィールドワーク等によるデータの収集と分析，結果の考察というプロセスを修得する．その総括として，作業療法士としての論文完成を目指す．

学修目標

1．研究テーマに関する先行研究について検索・入手・通読し，それらの詳細を理解している．<DP①④> 2．自分の計画した研究のオリジナリティと限界を説明することができる．<DP①④> 3．倫理的な配慮を理解し、研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる．<DP①④> 4．研究プロトコールを作成できる．<DP①④> 5．予備的研究結果を踏まえ，観察、インタビューやフィールドワークを行うことができる．<DP①④> 6．実験・リサーチ結果を解釈し，考察することができる．<DP①④> 7．研究成果を論文にすること

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）自らの研究テーマに関する論文や書籍を定期的に検索・入手し積極的に熟読すること．＊ 2）自身の研究テーマに関連する，文献レビューを作成する． 3）常に，指導教員には研究の進捗状況の報告・連絡・相談をしながら，指導教員とよく話し合って研究活動を進めること． 4）研究活動は、各自で自覚をもって主体的に取り組んむこと． ＊文献複写が必要な場合は，ゼミ担当教員に申し出ること．

教科書

特に指定はありません

参考書

「質的研究入門」小田博志著.春秋社 「改訂版エスノグラフィー入門」小田博志著.春秋社 「質的研究の考え方」大谷尚.名古屋大学出版会 「質的データ分析法」佐藤郁哉．新曜社

研究室／オフィスアワー

教員のオフィスアワーを確認し、事前に相談御予約を取ってください（基本週に 1 回以上は経過を報告する）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究全体のまとめと研究の限界の振り返り 抄録および発表用の PowerPoint 作成	これまでの研究計画・実施内容・実験データ・考察など研究全体のまとめをし，研究の限界についてのまとめをする． 卒論発表会に向けて抄録および PowerPoint でプレゼン資料を作成する．	金森
2	卒論発表会	卒論発表会の発表原稿を作成し発表の練習（予演会）をする．卒論発表での指摘事項を整理し，考察を中心に論文全体を見直す．また，研究の限界についてまとめておく．	金森
3	論文作成・投稿	投稿規定に沿って論文を作成する．	金森

成績評価方法と基準	割合
4/5 以上の出席を必要とする． ①研究成果発表:成績評価基準はルーブリックにて提示します<DP①④> ②論文作成<DP①④> 随時研究の進行状況に応じて、研究内容や方法、報告内容及び提出物に対	①70% ②30%

して FB する。	

授業科目名	地域作業療法実習（作業）				
主担当教員	中西　一		担当教員	中西　一／松下　太／橋本　弘子／金森　幸／小川　泰弘／由利　禄巳／兼田　敏克／鍵野　将平／勝原　勇希／塚越　千尋／中井　俊輔／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTC038	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

地域作業療法実習では，通所リハビリテーション，通所介護などの通所系サービスおよび訪問看護，訪問リハビリテーションなどの訪問系サービスにおける実習を通して，地域で暮らす人のニーズに対応するための知識・技術を学修し，さらに保健・医療・福祉の専門職としての人間性を磨く．また地域特性を知り，その地域に住む人・環境・作業を分析し，作業療法介入を経験するとともに，地域での多職種連携に必要な知識・技術と地域包括ケアの中での作業療法士の役割と位置づけを学修する．

学修目標

地域リハビリテーション施設やサービスの現場見学を通して地域包括ケアにおける作業療法士の役割やクライエントを把握し，専門職や社会人としてのマナーに基づいた行動を修得するとともに，自己の作業療法士としての将来像を構築して説明できることを目的とする．<DP①②③④>　1）地域在住生活を送るクライエントと家族を取り巻く社会環境を含めた包括的な社会的リハビリテーションアプローチを見学し，説明できる．<DP①②③④>　2）地域リハビリテーションにおける作業療法士の役割を理解し，合わせて他の関連職種の役割や諸制度，地域

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．地域作業療法実習実習を履修するためには実習前後に開催される実習セミナー（オリエンテーション含む）に必ず出席し，必要な課題を提出しなければならない．　２．地域作業療法実習前に配布される実習の手引きを熟読し，分からない点は質問すること．　３．標準感染予防策を遂行し，体調管理に努めること．実習開始 2 週間前から実習開始まで体調管理表の提出を求める．感染対策が不十分な場合は実習地での実習に参加できないことがある．

教科書

1）『PT・OT のためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド』山口美和／医学書院．ISBN　978-4-260-02787-8　2）『図解作業療法技術ガイド』石川齊，古川宏編／文光堂．　ISBN　978-4-8306-4589-1

参考書

4 年次までの全ての授業で使用した教科書

研究室／オフィスアワー

各施設担当教員のオフィスアワーに準ずる．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習前セミナー　実習オリエンテーション	予習：実習ポートフォリオを用い，これまでの実習経験から自己の課題を分析し，実習個人資料と自己目標シートを作成する．標準予防策を遂行し，体調管理表を記録し実習に備える．実習施設担当教員と面談を行い，実習個人資料，誓約書と自己目標シートを完成させる．　復習：実習オリエンテーションで説明した実習内容を十分に理解した上で，実習施設の概要についてまとめる．	学科教員

2	臨床実習指導者（作業療法士）の臨床場面を見学し，地域作業療法について学修する.	予習：事前学習課題として実習施設の概要をまとめる．標準予防策を遂行すること．課題：日々の実習内容をデイリーノートに整理する．客観的事実と考察を記録する．実習中に疑問に感じたことを言語表出するとともに，解決するための手立てを記録する．臨床実習経験チェックシートに経験したことを記録する．　復習：知識・技術・態度の面から振り返りを行い，今後の自己の課題について検討する．施設で学んだことをまとめ発表資料の準備を行う.	学科教員
3	3 実習後セミナー・発表・実習施設担当教員との面談	予習：実習で学んだ内容の発表資料を作成する．実習を振り返り自己目標シートを作成する．　課題：実習で指導を受けたことを踏まえ，今後の自己課題について振り返る．実習施設担当教員と面談を行い，実習ポートフォリオを作成し，事前学習課題・デイリーノート・自己目標シート・臨床実習経験チェックシートを用いて実習全体を通した自己課題と今後の取り組みを報告する．　復習：発表で指導を受けた内容について発展的に学習する.	学科教員
成績評価方法と基準			割合
１）実習地での成績＜DP①②③④＞　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示する．　２）実習に関連する提出物，発表＜DP①②③④＞　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示する．　4/5 以上の出席を必要とする.			１）60%　２）40%

授業科目名	臨床評価実習（作業）				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳／松下　太／橋本　弘子／中西一／金森　幸／小川　泰弘／兼田　敏克／鍵野　将平／勝原　勇希／塚越　千尋／中井俊輔／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTC039	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	4.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床現場での実習を通して，作業療法評価の一連の過程を経験し，修得することを目的とする．作業療法評価の一連の過程とは，情報収集・面接・観察・検査・測定を行い，クライエントの作業ニーズと生活機能の関連を構造的に捉え，クライエントの強み（肯定的側面）と弱み（否定的側面）を検討して全体像を把握し，作業療法で取り組む課題の抽出・目標設定を行うものである．それらをもとに可能な範囲で作業療法介入プログラムを立案することを含む．実習では，臨床実習指導者が実施する評価を見学・模倣して経験を積み重ねるプロセスを重視する．さらに，臨床実習指導者（作業療法士）が実施する対象者に応じた作業療法評価場面の見学などを通し，作業療法評価の特性を教授する．以下に 4 週間のおおまかな実習概要を記載する．　第 1 週　評価計画を立案し実施する．　第 2 週　評価の実施，作業ニーズの把握，実施した評価結果からクライエントの全体像をまとめる．　第 3 週　追加評価実施と作業療法で取り組む課題の抽出と目標設定を行う．　第 4 週　追加評価実施と目標達成に向けた作業療法プログラムを立案し，実習全体を振り返る．

学修目標

1 日の行動計画を立てるとともに，実習指導者の指導のもと作業療法評価を実施できる．評価した内容をデイリーノートにまとめる．デイリーノートには評価内容の事実と，事実に対する考察を記録できる．　1．作業療法実習生として，基本的な態度や行動をとることができる．＜DP①②③④＞　2．評価計画を立案し，計画した評価をクライエントの状況に合わせて実施することができる．＜DP①②③④＞　3．得られた評価結果からクライエントの全体像を把握し，作業療法で取り組む課題の抽出・目標設定を行い，作業療法介入プログラムを立案すること

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．臨床評価実習を履修するためには実習前後に開催される実習セミナー（オリエンテーション含む）に必ず出席し，必要な課題を提出しなければならない．　２．OSCE 試験合格は実習地での実習に参加するための条件とします．　３．臨床評価実習前に配布される実習の手引きを熟読し，分からない点は質問すること．　４．標準感染予防策を遂行し，体調管理に努めること．実習開始 2 週間前から実習開始まで体調管理表の提出を求める．感染対策が不十分な場合は実習地での実習に参加できないことがある．　５．履修要件として，3 年次前期までの学科専門科目の必修単位を取得しなければならない．

教科書

1）『PT・OT のためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド』山口美和／医学書院．ISBN　978-4-260-02787-8　2）『図解作業療法技術ガイド』石川齊，古川宏編／文光堂．　ISBN　978-4-8306-4589-1

参考書

随時提示する．

研究室／オフィスアワー

各実習施設の担当教員のオフィスアワーに準ずる．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習前セミナー（客観的臨床能力試験（OSCE）を	予習：客観的臨床能力試験（OSCE）の準	学科教員

	含む）　実習オリエンテーション	備．実習ポートフォリオを用い，これまでの実習経験から自己の課題を分析し，実習個人資料と自己目標シートを作成する．標準予防策を遂行し，体調管理表を記録し実習に備える．実習施設担当教員と面談を行い，実習個人資料，誓約書と自己目標シートを完成させる．　復習：実習オリエンテーションで説明した実習内容を十分に理解した上で，実習施設の概要についてまとめる．	
2	臨床実習指導者（作業療法士）の指導のもと，以下の課題を計画的に取り組む．　1）評価場面を見学・模倣し，客観的事実と考察を記録する．2）情報収集・面接・観察・検査・測定などの作業療法評価を遂行する．　3）クライエントの強み（肯定的側面）と弱み（否定的側面）を明確にして，ICF を用いて生活機能を分析し，全体像をまとめる．　4）リハビリテーションゴール，作業療法の長期目標と短期目標を設定し，可能な範囲で作業療法介入プログラムを立案する．	予習：事前学習課題として実習施設の概要をまとめる．実習の領域に応じた「作業療法評価学」および「作業療法総論」をすべて復習しておくこと．特に，領域別・疾患別評価の目的を整理し，一般的な評価計画を立案しておくことが望ましい．2 年次に実施した検査・測定は正確に実施できるように繰り返し練習しておくこと．標準予防策を遂行すること．　予習・復習：日々の実習内容をデイリーノートに整理する．実習中に疑問に感じたことを言語表出するとともに，解決するための手立てを記録する．　課題：学生自身で実習の中間評価を行い，臨床実習指導	学科教員
3	実習後セミナー・症例報告・実習施設担当教員との面談	予習：実施した評価項目・方法・結果について再確認する．実施した評価の結果から考察について再検討し，担当症例のレジュメを作成する．実習を振り返り自己目標シートを作成する．　課題：実習で指導を受けたことを踏まえ，今後の自己課題について振り返る．実習施設担当教員と面談を行い，実習ポートフォリオを作成し，事前学習課題・デイリーノート・自己目標シート・臨床実習経験チェックシートを用いて実習全体を通した自己課題と今後の取り組みを報告する．　復習：症例報告で指導を受けた内容について発展的に学習する．	学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）実習地での成績＜DP①②③④＞　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示する．　2）実習に関連する提出物,症例発表＜DP①②③④＞　評価基準:実習の手引きで評価基準を提示する．　3）実習セミナーにおける客観的臨床能力試験（OSCE）＜DP①②③④＞　評価基準：提示するルーブリックに基づき評価する．　4/5 以上の出席を必要とする．			1）60%　2）40%　3）実習参加の条件とする．

授業科目名	臨床総合実習（作業）				
主担当教員	小川　泰弘		担当教員	小川　泰弘／松下　太／橋本　弘子／中西一／金森　幸／由利　禄巳／兼田　敏克／鍵野　将平／勝原　勇希／塚越　千尋／中井俊輔／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTC040	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	16.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

3 年次までに履修した作業療法全般にわたる知識と技術，臨床評価実習で習得した作業療法評価の実践能力をもとに，臨床現場で臨床教育実習指導者の指導のもと，「評価→プログラム立案→プログラム実施→再評価→プログラム検討・修正」という作業療法の過程を経験し修得することを目的とする．作業療法を実施する中で，クライエントおよび自己の変化を捉え，プログラムの検討を行う．それに加えて，クライエントへの援助方法や治療的存在としての作業療法士の態度や行動を身につけ，多職種連携チームの中の作業療法士の役割を学修する．　1 カ所の実習施設において 8 週間の実習を行い，4 年次を通じて 2 カ所の実習施設で，計 16 週間実施する．

学修目標

臨床現場での実習を通いて，クライエントのニーズを把握し，クライエントへの面接，観察，評価実施と生活場面の情報収集から，クライエントの生活障害を構造的に捉える．そして，全体像をまとめ，予後予測・焦点化をおこない，作業療法プロセスを実施し，学生自身で検討・修正できることを目標とする．これを実現するための目標を以下の通りとする．<DP①②③④>　①職業人として望ましい態度や行動をとることができる．　②クライエントの全体像を把握できる．　③クライエントへの作業療法介入計画を立案できる．　④クライエントへ治療・指

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）臨床総合実習を履修するためには実習前後に開催される実習セミナー（オリエンテーション含む）に必ず出席し，必要な課題を提出しなければならない．　2）OSCE 試験合格は実習地での実習に参加するための条件とします．　3）履修要件として，学科専門科目群・専門基礎科目の必修科目の単位を取得しておくこと．　4）実習態度には十分に注意する．（言葉遣い，身だしなみ，時間・期限の厳守など，前医療人・学生としての規律やマナーの遵守）　5）臨床総合実習前に配布される実習の手引きを熟読し，分からない点は質問すること．　6）標準感染予防策を遂行し，体調管理に努めること．実習開始 2 週間前から実習開始まで体調管理表の提出を求める．感染対策が不十分な場合は実習地での実習に参加できないことがある．

教科書

1）『PT・OT のためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド』山口美和／医学書院．ISBN　978-4-260-02787-8　2）『図解作業療法技術ガイド』石川齊，古川宏編／文光堂．　ISBN　978-4-8306-4589-1

参考書

随時提示する．

研究室／オフィスアワー

各臨床実習施設の担当教員のオフィスアワーに準ずる．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習前セミナー（客観的臨床能力試験（OSCE）を含む）　実習オリエンテーション	予習：客観的臨床能力試験（OSCE）の準備．実習ポートフォリーを用い，これまでの実習経験から自己の課題を分析し，実習個人資料と自己目標シートを作成する．標	学科教員

		準予防策を遂行し，体調管理表を記録し実習に備える．実習施設担当教員と面談を行い，実習個人資料，誓約書と自己目標シートとを完成させる．　復習：実習オリエンテーションで説明した実習内容を十分に理解した上で，実習施設の概要についてまとめる．	
2	1 期目の実習施設において臨床実習指導者（作業療法士)の指導の下，以下の課題を実施する。 1）クライエントの情報収集を行い，臨床教育指導者の指導のもと評価計画を立案する．　2）面接・観察・検査・測定を含めた作業療法評価を遂行する．　3）実施した作業療法評価をもとに，クライエントの強み（肯定的側面）と弱み（否定的側面)を明確にして，臨床教育指導者の指導のもと，全体像をまとめる．　4）作業療法評価の一連のプロセスをまとめ，目標を立案し，クライエントのニーズを踏まえ，作業療法介入プログラムを立案する．　5）計画	各学修内容に対する予習と復習は以下の通りである。 1）各領域の「作業療法評価学」および「作業療法総論」をすべて復習しておくこと．特に，領域別・疾患別評価の目的を整理しておく．　2）2 年および 3 年次の授業で実施した検査・測定等の評価技術は正確に実施できるように繰り返し練習しておくこと．実施内容をケースノートに記載・整理する．実習中に疑問に感じたことを言語表出するとともに，解決するための手立てを講じる．　3）実施内容等をケースノートに整理する．実習中に疑問に感じたことを言語表出するとともに，解決するための手立	学科教員
3	実習後セミナー・症例報告・実習施設担当教員と面談	予習：実施した評価・介入プログラム・再評価について再確認する．実施内容の結果からの考察について再検討し，担当症例のレジュメを作成する．実習を振り返り自己目標シートを作成する．　課題：実習で指導を受けたことを踏まえ，今後の自己課題について振り返る．実習施設担当教員と面談を行い，実習ポートフォリオを作成し，事前学習課題・デイリーノート・自己目標シート・臨床実習経験チェックシートを用いて実習全体を通した自己課題と今後の取り組みを報告する．　復習：症例報告で指導を受けた内容について発展的に学習する．	学科教員
4	2 期目の実習施設において臨床実習指導者（作業療法士)の指導の下，以下の課題を実施する。 1）クライエントの情報収集を行い，臨床教育指導者の指導のもと評価計画を立案する．　2）面接・観察・検査・測定を含めた作業療法評価を遂行する．　3）実施した作業療法評価をもとに，クライエントの強み（肯定的側面）と弱み（否定的側面)を明確にして，臨床教育指導者の指導のもと，全体像をまとめる．　4）作業療法評価の一連のプロセスをまとめ，目標を立案し，クライエントのニーズを踏まえ，作業療法介入プログラムを立案する．　5）計画	各学修内容に対する予習と復習は以下の通りである。 1）各領域の「作業療法評価学」および「作業療法総論」をすべて復習しておくこと．特に，領域別・疾患別評価の目的を整理しておく．　2）2 年および 3 年次の授業で実施した検査・測定等の評価技術は正確に実施できるように繰り返し練習しておくこと．実施内容をケースノートに記載・整理する．実習中に疑問に感じたことを言語表出するとともに，解決するための手立てを講じる．　3）実施内容等をケースノートに整理する．実習中に疑問に感じたことを言語表出するとともに，解決するための手立	学科教員
5	実習後セミナー・症例報告・実習施設担当教員と面談	予習：実施した評価・介入プログラム・再評価について再確認する．実施内容の結果からの考察について再検討し，担当症例のレジュメを作成する．実習を振り返り自己目標シートを作成する．　課題：実習で指導を受けたことを踏まえ，今後の自己課題について振り返る．実習施設担当教員と面談を行い，実習ポートフォリオを作成し，事前学習課題・デイリーノート・自己目標シート・臨床実習経験チェックシートを用いて実習全体を通した自己課題と今後の取り組みを報告する．　復習：症例報告で指導を受けた内容について発展的に学習する．	学科教員

成績評価方法と基準	割合
１）実習地での成績＜DP①②③④＞　　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示する.　２）実習に関連する提出物,症例発表＜DP①②③④＞　　評価基準:実習の手引きで評価基準を提示する.　３）実習セミナーにおける客観的臨床能力試験（OSCE）＜DP①②③④＞　　評価基準：提示するルーブリックに基づき評価する.　4/5 以上の出席を必要とする.	１）60%　２）40%

授業科目名	基礎ゼミナール（作業）				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／阿部　秀高／塚越　千尋／高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20001	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限、火曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本演習は，新入生が大学生としての役割を身につけることができるように，学生を支援することを目的としている．具体的には，学生を少人数のグループに分けて担当教員に配属し，(1)大学での学修に必要で，かつ高等学校までの教育において習得すべき内容の教育，(2)講義ノートの取り方・教科書の読み方，レポート・論文の書き方や文献の探し方，(3)大学生に求められる一般常識や態度，(4)専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育などについて，ディスカッションを交えて演習を行う．（オムニバス方式/全 15 回）　（阿部秀高/前半 7 回）　(1)大学での学修に必要で，かつ高等学校までの教育において取得すべき内容のリメディアル教育　(2)講義ノートの取り方・教科書の読み方，レポート・論文の書き方や文献の探し方　(3)大学生に求められる一般常識や態度について解説する．　（作業療法学科教員/後半 8 回）（共同）　専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育などについて，ディスカッションを交えて演習を行う．

学修目標

1. 受動的ではなく自ら学ぶ意志を示す．<DP②③④>　2. 自ら課題を見つけそれを解決するための手段がわかる．<DP②③④>　3. 集団構成メンバーと積極的に関わる態度が見られる．<DP②③④>　4. 意欲的に発表し，意見や質問を積極的に行う．<DP②③④>　5. 講義ノートの取り方を理解し，実行できる．<DP②④>　6. 基礎的なレポートやレジュメを作成できるようになる．<DP②④>　7. 論理的に自分の意見を表現できるようになる．　<DP②③④>　8. 課題に対する文献検索の方法を知っており，実行できる．<DP②③④>　9. グループで討議したことを論理的に発表することができる．<DP②③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

準備学習として，ノートを授業後に整理して復習をしてください．また，図書館でレポートの書き方や文章の書き方などに関する図書を積極的に読んでください．

教科書

論文，記事，関連資料を適宜配布する．教科書の指定はない．

参考書

授業内で随時提示します．

研究室／オフィスアワー

担当教員のオフィスアワーに準ずる．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	大学での学び（作業療法士としての視点から）	予習・復習：高校での学びと大学での学びの違いを考え，作業療法士になるための学習力を養うための方法をまとめる（4 時間）.	担当教員
2	学び方：レポート，グループワークの実践方法	予習：大学で取り組む課題に求められる技能を確認する（2 時間）.　復習：講義後に今後の学習を進めるにあたって達成したい目標を設定する（2 時間）. グループワークのルールや役割分担について今後の講義で活用する	担当教員
3	「医療従事者に求められるもの」①　グループ討	予習：脳卒中について調べる（2 時間）.	担当教員

	議	復習：実際の事例と出会い，作業療法士としてどのようなことができるか考える．グループ討議後に再検討する（2 時間）.	
4	「医療従事者に求められるもの」②　ゲストスピーカーの体験談から	予習・復習：脳血管疾患とそれに伴い起こる症状について学び，人，環境，作業の理解について考える（4 時間）.	担当教員・ゲストスピーカー
5	「医療従事者に求められるもの」③　グループ討議	予習・復習：脳血管疾患とそれに伴い起こる症状について学び，人，環境，作業の理解について考える（4 時間）.	担当教員・ゲストスピーカー
6	「医療従事者に求められるもの」④　発表（プレゼンテーション）準備と学習の進め方	予習・復習：発表資料作成と発表準備（4 時間）.	担当教員
7	「医療従事者に求められるもの」③　発表会	予習・復習：発表資料作成と発表準備（4 時間）.	担当教員，ゲストスピーカー
8	まとめ：「医療従事者に求められるもの」と「作業療法士の魅力」	予習：講義 5，6，7 を振り返り，まとめる（1 時間）.　復習：講演後の気づきを踏まえレポートを作成し提出する（3 時間）.	担当教員・ゲストスピーカー
9	オリエンテーション（講義への取り組み方・大学生としての自分を見つめる）	予習：シラバスの確認。（２時間）　復習：学びの履歴シートによる大学生として必要な資質/能力についてのまとめ（２時間）	阿部秀高
10	大学生として身につけたい力	予習：大学生としての学び方の確認。（２時間）　復習：講話から学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
11	大学生として身につけたい学び方	予習：大学生として身につけたい学び方の復習（２時間）　復習：講話から学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
12	コミュニケーションスキル・学修スキル向上	予習：レポートの書き方について高校までに学んだことを想起しておく（２時間）　復習：学んだレポートの書き方について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
13	論理的文章の書き方・資料活用の方法	予習：言語技術について、高校までに学んだことを想起しておく（２時間）　復習：学んだ言語技術について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
14	プレゼンテーション・スキル	予習：プレゼンテーションについて高校までに学んだことを想起しておく。（２時間） 復習：プレゼンテーションの作り方、発表の仕方についてまとめる。（２時間）	阿部秀高
15	本授業における学びのまとめ・振り返り	予習：自分の作成したプレゼンテーションの練習）（２時間）　復習：７回の講義で学んだ社会人基礎力に関してまとめておく。（２時間）	阿部秀高
成績評価方法と基準			割合
【作業療法学科教員】　①授業内での課題 ＜DP②③④＞　②発表課題＜DP②③④＞　【阿部秀高】③平常点評価（授業毎回の振り返りなど）６０％＜DP②③④＞　④講義最終回に作成した課題レポート４０％＜DP②③④＞			【学科教員】 ①70%　②30% 【阿部秀高】 ③60%　④40% ①から④の平均とする.

授業科目名	物理学（作業）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	

授業概要

さまざまな自然現象もよく観察してみると簡単な基本原理に基づいていることがわかります。物理学とはそのような基本原理を論理的に説明する学問であり、工学はもとより生物学、医学などの幅広い分野の基礎となっています。本講義は力学、熱力学に絞り、理学療法士として最低限必要な物理学の教養を身につけることができるようにしてあります。

学修目標

物理量・単位　力のつりあい　力のモーメント　てこの原理の人体中での応用　血圧とは　　上記の内容を学習していきます。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識して下さい。　２．配布された資料を使用し、講義を行います。

教科書

プリントを使用します。

参考書

ベッドサイドを科学する　平田雅子　著　Gakken

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜と木曜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	力のモーメント	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **力のモーメント**：- 力のモーメントの定義　- モーメントの単位（N・m）とその意味。　2. **てこの原理**：てこがどのように力を増幅または減少させるかを確認する。　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **力のモーメント**：　- 力のモーメントを用いた問題を解き、力と	久国　正章

		距離の関係を理解する。　　- 力点の距離が増えるとモーメントがどのように変化するかを考える。　2. **てこの原理**：てこの効率（例：力を少なくして重い物を動かす）の仕組みを整理する。	
3	合力　重力	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **合力の基本概念**：- 合力は複数の力をベクトルとして合成した結果の力。　　- 平行四辺形の法則や三角形の法則を用いて、力の合成と分解を学ぶ。　2. **重力の基本特性**：　　- 重力は質量を持つ物体に働く地球からの引力。　　- 重力の大きさ　**復習課題**:- 授業で扱った力の合成・分解の計算問題を解き直し、正確に解答できるようにする。　　- 斜面上にある物体の重力を分解し、運動や静止条件を考察する。　　- 日常生活で合力や重力が関与する例を挙げ、それぞれの力の役割を説明してください。	久国　正章
4	分力　斜面　力のモーメント	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **分力の基本概念**：- 力をx軸（斜面に平行）とy軸（斜面に垂直）に分解する方法。　　- 分力の計算式：　　- 斜面に平行な力　　- 斜面に垂直な力　2. **斜面上の物体の力学**：　　- 斜面上における力の釣り合いの条件。　　- 斜面上での摩擦力の役割：**復習課題**:　　- 授業で扱った分力計算や斜面上の運動に関する問題を再度解き、正確に答えられるようにする。　　- 斜面上で静止している物体が動き出す条件を計算し、その動きを予測する。　　- 日常生活で分力や斜面の力学が関与する場面を挙げ、物理法則に基づいて説明してみましょう。	久国　正章
5	分力　作用・反作用の法則　力のモーメント	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **分力**：　　- 力を成分に分解する基本概念。　　- 分力の計算式：　　- 水平方向（x軸）　　- 鉛直方向（y軸）　　- ベクトル図を描き、力の成分を視覚化する。　2. **作用反作用の法則**：　　- ニュートンの第3法則：　　「すべての作用には、それに等しく反対の反作用がある。」　3. **力のモーメント**：　　- 力のモーメントとは、回転の原因となる力の効果：　　- 力のモーメントの単位（N・m）とその意味。　4. **日常的な例**：　　- 分力：坂道を転がる荷物。　　- 作用反作用：ボートを漕ぐ動作。　　- 力のモーメント：ドアを開けるときの力のかけ方。　**復習課題**:　　- 授業で扱った分力、作用反作用、モーメントの計算問題を解き直し、理解を深める。　　- モーメントが関与する実際の装置の動作を分析し、その仕組みを説明する。　　- 作用反作用が使われている例を日常生活から探し、それを物理法則に基づいて説明してみましょう。	久国　正章
6	第１種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認して	久国　正章

		ください： 1. **てこの基本原理**： - てこの原理：力と力の作用点の距離（モーメント）が釣り合うことで回転の平衡が保たれる。 - モーメントの計算式： 2. **第1種のてこの特性**： - 第1種のてこでは、支点が作用点と力点の間に位置する。 - 例：シーソー、てこ式のはさみ。 3. **日常的な例**： - 第1種のてこ：釘抜き、バール、シーソー。 **復習課題**: - 授業で扱った第1種のてこに関する問題を解き直し、正確に答えられるようにする。 - 支点、作用点、力点の位置を変更したときに力がどのように変化するかをシミュレーションする。 - 実生活で使う道具を1つ選び、その仕組みを物理的に説明してください。	
7	第１種のてこ２回目　片足立ちのケースを扱います。	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： **片足立ち時の人体の力学**： - 支点（片足の関節）が体重を支えるためのモーメントの中心になる。 - 上半身の重心が片足の支点に対してどのように力を及ぼすかを考える。 - 支点からの重心の位置が増すほど筋力が必要になる理由を学ぶ。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **第1種のてこの応用**： - 支点、力点、作用点(荷重点)の位置が変化すると必要な力やモーメントがどう変わるかを理解する。 - 具体的な計算例を再確認する。 2. **片足立ち時の力学**： - 重心が片足の支点に与える影響を整理する。 - 支点にかかる力とモーメントを計算し、体の安定性との関係を考える。	久国　正章
8	第１種のてこ 杖を使ったケース　第２種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **片足立ち時にかかる力** 2. **第2種のてこの基本原理**： - 第2種のてこでは、作用点(荷重点)が力点と支点の間に位置する。 3. **日常的な例**： - 片足立ち：バランス運動、日常動作。 - 第2種のてこ：荷物運搬車（台車)、栓抜き。 **復習課題**: - 授業で扱った片足立ちや第2種のてこに関する計算問題を解き直し、正確に答えられるようにする。 - 第2種のてこを使った道具を1つ選び、その動作を物理的に説明してください。 - 自分で片足立ちを試し、バランスが取れない場合にどの力が不足しているのかを考察してみよう。	久国　正章
9	第２種のてこ　第３種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **第 2 種のてこの特性**： - **基本構造**： - 支点が端にあり、力点が支点よりも遠くに位置。 - 力点 → 作用点(荷重点) → 支点 の順。 - **特徴**： - 作用点が支点に近いほど、力が効率化される。 - 必要な力が小さくなるが、動かす距離が長くなる。 - **具体例**：台車（荷物運搬車)、栓抜き。 2. **第3種のてこの特性**： - **基本構造**： - 支点が端にあり、力点が作用点よりも近い位置。 - 作用点(荷	久国　正章

		重点）→ 力点 → 支点 の順。　　- **特徴**：　　- 動かす距離が短く、速度や精密さが必要な動作に適している。　　- 必要な力が大きくなるが、精密な制御が可能。　　- **具体例**：ピンセット、ホチキス、釣り竿。 3. **モーメントの計算式** **復習課題**:　　- 授業で扱った第2種および第 3 種のてこに関する計算問題を解き直し、正確に答えられるようにする。 - 実生活で使われる第 2 種または第 3 種のてこの例を 1 つ挙げ、その動作を物理法則に基づいて説明する。	
10	第３種のてこ　腰にかかる力	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **腰にかかる負担の基礎**：- 腰にかかる負担（モーメント）と姿勢の関係。　　- 力のモーメントを用いた計算：- 前屈姿勢や物を持ち上げる際に腰にかかる力を増幅させる要因。 2. **日常的な例**：　　- 腰に負担がかかる例：重い荷物を前かがみで持つ。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **腰にかかる負担の理解**：　　- 腰にかかるモーメントが姿勢によってどう変化するかを考える。　　- 腰への負担を軽減するための方法（例：膝を曲げて物を持ち上げる）を整理する。 **復習課題**:　　- 腰に負担をかけない持ち方や姿勢を図示し、それを説明してください。	久国　正章
11	腰にかかる負担　圧力	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を用いて、以下の内容を確認してください：　　1. **圧力の定義**：圧力（P）は単位面積あたりに働く力として定義される（P = F / A）。　　2. **圧力の単位**：パスカル（Pa）を基本単位とし、N/m²との関係を理解する。　　3. **気圧の概念**：大気圏中の圧力の性質、標準気圧（1 気圧 = 101325 Pa）について調べる。 **復習** - 授業内容を復習し、以下の点を整理してください：　　1. 圧力の計算方法と、力や面積の変化が圧力にどう影響するかを理解する。　　2. 気圧が高度や温度によってどのように変化するかを図を用いて整理する。 3. 圧力や気圧の知識が、日常生活や専門分野でどのように応用されるかを考える。	久国　正章
12	水圧　沸点	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **水圧**：　　- 水深と水圧の関係：水圧が深さに比例して増加することを理解する。 2. **沸点**：　　- 沸点は外部圧力に依存すること（低圧環境では沸点が低下し、高圧環境では上昇する）。 - 標準沸点（100℃）とそれが気圧の変化でどのように変化するかを調べる。 **復習** 1. **水圧**：　　- 水圧の公式を用いて、異なる水深での圧力を計算する練習をする。　　- 潜水時に体にかかる圧力の影響を整理する（例：耳の痛み、窒素酔い）。 2. **沸点**：　　- 圧力が沸点に与える影響を具体的な例（例：圧力鍋、登山での調理）を通じて理解する。　　- 沸点の変化を示すグラフを作成し、気圧との関係をまとめる。	久国　正章

13	ベルヌーイの定理	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **ベルヌーイの定理**： - ベルヌーイの定理の公式： - 高速で流れる流体では圧力が低下する現象の理解。 2. **日常的な例**： - 飛行機の翼（揚力の発生）。 - 水道ホースの先を細めると流速が速くなる仕組み。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **ベルヌーイの定理の理解**： - ベルヌーイの公式を使った計算問題を解き、圧力、流速、高さの関係を理解する。 - 実験や観察から得られた結果をベルヌーイの定理で説明する。 2. **応用例の分析**：飛行機の揚力がベルヌーイの定理でどのように説明されるかを考える。 3. **具体例の考察**：ベルヌーイの定理が日常生活で観察できる例を挙げ、それを図や文章で説明する。	久国　正章
14	音　デシベル	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **音の基本的な性質**： - 音波は媒質を伝わる縦波であり、周波数、振幅、速度の基本概念を確認する。 - 音の周波数（Hz）が音の高さ（高音・低音）を決め、振幅が音の大きさを決める。 2. **デシベル（dB）**：デシベルは音圧レベルの対数スケールで表現される。 3. **日常的な例**： - 音の例：会話（60 dB）、図書館（30 dB）、ロックコンサート（120 dB）。 - 音の大きさと健康への影響（例：騒音、聴覚保護の重要性）。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **音と周波数の理解**： - 音波の基本的な性質（周波数、振幅）を整理する。 - 音の高低や大きさが物理量としてどのように表現されるかを具体例とともに確認する。 2. **デシベル**： - 音圧レベルの計算練習を行い、基準音圧との関係を明確にする。 - 音圧レベルが2倍、4倍、10倍になる場合の変化を計算して整理する。 3. **応用例を考察**： - 音の大きさが健康に与える影響（例：騒音公害、耳栓の利用）を考える。 - 音響機器（例：スピーカー、マイク）や医療（例：聴覚検査）でのデシベルの役割を調べる。	久国　正章
15	運動量　衝撃力	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **運動量と衝撃力**： - **運動量の定義**：運動量 = 質量 × 速度 - **衝撃力**：運動量の変化を時間で割ったもの。 - 衝突時の運動量保存則： 「閉じた系では運動量の総和が一定」。 2. **日常的な例**： - 衝撃力：車のエアバッグやスポーツでの衝突時の衝撃緩和。 **復習** 1. **運動量と衝撃力**： - 衝突時に衝撃力を減らすための手段（例：クッションやエアバッグ）を考える。 - 運動量保存則を使って、2物体の衝突後の速度を計算する練習をする。 2. **応用例を考察**： - 衝撃力の緩和技術（例：スポーツ用品、交通安全装置）の原理をまとめる。	久国　正章

成績評価方法と基準	割合
①毎回の小テスト課題<DP③>	①100%

授業科目名	生物学（作業）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療人にとって必要な生物学的知識を学習し、この後に展開する基礎医学への理解を容易にする。

学修目標

生物に共通する生体のシステムやその仕組みについて理解を深めることができ、人体と連関して思考できる。<DP③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生物学自体は高校までの教科としてすでに学んでいるかもしれないが、医学に直結する領域についてはまだ学んでいないか、理解が不十分であろうと思われる。既に学んでいる、知っている学問という認識は排除して新たな教科を学ぶ姿勢で臨んでほしい。

教科書

「新しい教養のための生物学」　裳華房

参考書

生物学　カレッジ版　医学書院

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命と栄養と代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
2	糖質の種類	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
3	糖代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
4	脂質とその代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
5	ビタミンの種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
6	細胞の構造とオルガネラ	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
7	核酸の種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
8	転写と翻訳	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
9	タンパク質の種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫

10	細胞のシグナル伝達	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
11	細胞分裂と増殖	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
12	発生と分化	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
13	免疫システム	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
14	細胞の初期化と再生医療	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
15	細胞死とアポトーシス	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
1　定期試験　＜DP③＞			1 100%

授業科目名	化学（作業）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解することができる。それらが生理機能に密接に連関することを認識できる。　＜DP③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「コ・メディカル　化学」　裳華房

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	電子配置とイオン化	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	化学結合	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	物質の三態	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	化学平衡と反応速度論 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
6	化学平衡と反応速度論 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講	安部　辰夫

		義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	化学のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP③＞			1　100%

授業科目名	情報処理（作業）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	統計学（作業）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20006	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

統計学の基礎や概念を学び、実験や調査で得られたデータをどのような統計手法を用いて分析し、どのように解釈すればよいかを理解し、それらを元に実際に自分たちでデータを分析することによって、基礎的な統計処理を身につけることを目指す。

学修目標

1．統計学の基礎を理解する〈DP③〉　2．推定と検定の考え方を理解し，説明することができる〈DP③〉　3．量的データに対して適切な分析方法を選択することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の授業のつながりが非常に重要です．また，毎回小テストを実施しますので，欠席のないように留意すること

教科書

向後千春・冨永敦子，ファーストブック 統計学がわかる，技術評論社，ISBN13: 978-4774131900

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　「統計学」とはどのような学問か，また，医療従事者にとって統計学がなぜ必要なのかについて解説する.	シラバスを確認して，テキスト「はじめに」を読む（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）.【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	統計の基本概念とキーワード１:統計学に必須の基礎的知識　数の分類,測定値の性質について解説する.	数の分類や，尺度水準に関して参考書，web 等を利用してそれぞれの用語について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
3	統計の基本概念とキーワード２:統計学に必須の基礎的知識　母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度について解説する.	母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度に関して，教科書（１章，２章），参考書，web 等を利用して調べる，【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
4	相関：２変数のデータの関係の表現方法　「データの記述」の観点から，「相関」及び「相関係数」について解説する.	教科書では取り扱っていない内容なので，参考書や web を活用して，ピアソンの積率相関係数，スピアマンの順位相関係数，ケンドールの順位相関係数について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
5	検定の原理:検定法の共通原理　統計学的な手法は多様であるが，共通する部分も存在する．ここでは,多くの手法に共通する考え方について解説する.	教科書３章１節を読み．一般的な検定の流れについて調べておく．特に，「帰無仮説」とはなにか考える.【2】　MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口

6	検定：頻度・割合の検定１　　前回解説した「検定法の共通原理」に基づいた具体的な検定手法について，頻度・割合の検定を例に，「観測値」と「期待値」の考え方について解説する.	教科書３章２節，３節を読む.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
7	検定：頻度・割合の検定２　　観測値と期待値についておさらいしつつ，「カイ２乗検定」について解説し，実際に，検定統計量（カイ２乗値）や，その生起確率を求め，検定結果について判定を行う.	教科書３章４節を読み，必要な指標の求め方を調べておく.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
8	推定：平均値の信頼区間　　標本（得られた測定値）の平均値は，母集団の平均値（母平均）と一致しているかどうか検討するため，推定の手法について解説する.	教科書２章３節を読み，推定の考え方について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
9	推定：平均値の差の信頼区間　　１標本の平均値から母平均の信頼区間を求めることを拡張し，２標本の平均値の差の信頼区間を求める方法について解説する.	教科書４章１節，２節を読み，平均値の差の推定の考え方について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
10	検定：ｔ検定（対応のない２群の平均値の差の検定）　　収集したデータの「対応」とは何かを解説し，２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がない場合（特にウェルチの方法）について解説する．ウェルチの方法については，教科書に記述がないため，資料を配布する.	参考書，あるいは web を調べて．対応のないｔ検定の中でも，「ウェルチの方法」について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
11	検定：ｔ検定（対応のある２群の平均値の差の検定）　　２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がある場合について解説する.	教科書５章を読み，対応のある２群の平均値の差の検定について調べ，参考書，web を活用して「一標本ｔ検定」について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
12	３群以上の差の検定１-1：一元配置分散分析（１要因分散分析）　　ｔ検定は，測定条件が３群以上になると適用することができなくなる．３群以上の条件がある場合の検定について解説する.	教科書６章１節，２節を読み，条件が３群以上になるとｔ検定が利用できなくなる理由について調べつつ，分散分析の原理・考え方について理解する.【4】	井手口
13	３群以上の差の検定１-2：一元配置分散分析（１要因分散分析)演習　　前回解説した，１要因で，３水準以上の条件がある場合の検定に関する演習を行う.	教科書６章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順を調べる.【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
14	３群以上の差の検定２-1：二元配置分散分析（２要因分散分析）　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定について解説する.	教科書７章１節，２節を読み，「要因」と「水準」の考え方を再度確認し，２要因ある場合の分散分析の計算手順を調べる.【4】	井手口
15	３群以上の差の検定：二元配置分散分析（２要因分散分析）演習　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定に関する演習を行う.	教科書７章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順，及び，新たな要素である「交互作用」について調べる【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
成績評価方法と基準			割合
① 定期試験〈DP③〉　② 小テスト〈DP③〉			① 80%　② 20%

授業科目名	心理学（作業）				
主担当教員	神澤　創		担当教員	神澤　創	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

心理学は、人の心の仕組みや働きがどのようになっているかを研究する学問です。授業では性格や認知のほか、こころの健康や人間関係の心理などについても学習します。基本的には講義形式で行いますが必要に応じて、視聴覚教材の活用や心理検査実習、ロールプレイなどを導入する予定です。LA20B0TA007

学修目標

１．心理学の基本的な研究方法について説明できる　２．心理学の諸理論について説明ができる　３．心理学の諸問題と日常生活上の諸問題を結びつけて理解、解決ができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業計画表はあくまでも予定ですので、進度に合わせて変更することもあります。

教科書

西川隆三他著,「新自己理解の心理学」福村出版

参考書

適宜指示します。

研究室／オフィスアワー

非常勤講師なので質問は講義終了後に教室内で受けることにします

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：テキスト第 1 章を読む　（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）	神澤　創
2	性格のタイプと特性	予習：テキスト第 1 章、第 2 章を読む　復習：自分の性格について考えてみる。	神澤　創
3	心の深層を探る	予習：テキスト第 3 章を読む　復習：無意識の働きについて考えてみる。	神澤　創
4	行動から心を見る	予習：テキスト第 4 章を読む　復習：行動や経験の働きについて考えてみる。	神澤　創
5	認知と性格	予習：テキスト第 5 を読む　復習：「認知」の働きについて考えてみる	神澤　創
6	「自己」を見つめて	予習：テキスト第 5 章を読む　復習：自分を好きになる方法について考えてみる。	神澤　創
7	対人関係と行動	予習：テキスト第 7 章を読む　復習：他者とののかかわり方について考えてみる。	神澤　創
8	親子関係と愛着	予習：テキスト第 9 章を読む　復習：「愛着」の形成とその意味について考えてみる。	神澤　創
9	ライフサイクルと心の健康①	予習：テキスト第 10 章を読む　復習：人生の各段階におけるこころの健康について考えてみる。	神澤　創
10	ライフサイクルと心の健康②	予習：テキスト第 10 章を読む　復習：成人期のこころの健康について考えてみる。	神澤　創
11	ライフサイクルと心の健康③	予習：テキスト第 10 章を読む　復習：老年期のこころの健康について考えてみる。	神澤　創

12	ストレスと心の病理	予習：テキスト第 11 章を読む　復習：自分が感じるストレスについて考えてみる。	神澤　創
13	人間関係と癒し	予習：テキスト第 12 章を読む　復習：他者とのかかわりとこころの癒しについて考えてみる。	神澤　創
14	自殺予防ゲートキーパー研修	予習：自殺の現状について調べてみる　復讐：自殺予防対策について自分なりに理解する	神澤　創
15	授業全体の振返り	後期に学んだ内容について整理する	神澤　創
成績評価方法と基準			割合
①定期試験 60 点以上　②平常点（レポート、授業態度など）			①80%　②20%

授業科目名	生命倫理学（作業）				
主担当教員	田中　美子		担当教員	田中　美子	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

「生命倫理学」の主なトピックを取り上げながら、その是非について一緒に真剣に考える時間をもちます。また、いのちの大切さについても考えます。授業は講義が中心ですが、ディスカッションも行う予定です。

学修目標

1.「『いのち』は誰が決めるのか」と、どの現場でも考えられる習慣を身につける。〈DP③〉　2.「誰のための医療か」「誰のためのケアか」を、他の人の立場でも考えられる。(DP③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書『はじめて学ぶ生命倫理』を購入してください。　ノートなどを用意してください。　授業の内容は、時事問題等の関係で、変更することがあります。

教科書

『はじめて学ぶ生命倫理』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書 167（筑摩書房）　2011 年

参考書

『シリーズ　大学生の学びをつくる　生命の倫理学』　三崎和志他著　大月書店　2023 年　『生命倫理学とは何か』　アラステア・Ｖ・キャンベル著　山本圭一郎他訳　勁草書房　2016 年　『生命倫理の教科書』　黒崎剛・野村俊明編著　ミネルヴァ書房　2014 年　『生命倫理・医事法』塚田敬義・前田和彦編　医療科学社　2015 年　『QOL って何だろう』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書　2018 年 『看護師という生き方』 宮子あずさ著　ちくまプリマー新書　2013 年 『いのちはなぜ大切なのか』　小澤竹俊著　ちくまプリマー新書　2007 年　『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』　安藤泰至著　岩波ブックレット　2019 年　『安楽死が合法の国で起こっていること』児玉真美著　ちくま新書 2023 年　『境を超えて Part1　このまま死ねるか?』岡部宏生著　ぶどう社　2023 年

研究室／オフィスアワー

授業の前後に、質問等を受け付けます。　出校日には、非常勤講師控室でも対応します。　自宅への電話でも受け付けます。番号は改めてお伝えします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理学で考えること	いのちに関わる問題をピックアップしておきましょう。	田中　美子
2	いのちはなぜ大切なのか	いのちとはどういうものか、自分の言葉で考えてみましょう。	田中　美子
3	人体実験からインフォームドコンセントへ	自己決定が求められるようになった歴史的背景を知りましょう。	田中　美子
4	言葉のポリティクス	言葉の使用法に込められた意図を考えてみましょう。	田中　美子
5	いのちをめぐる自己決定	教科書第１章を読みましょう。	田中　美子
6	安楽死・尊厳死の現在	いのちの終わりをめぐる現在の状況を知りましょう。	田中　美子
7	判断能力の判断は誰がするのか	教科書第３章を読みましょう。	田中　美子
8	認知症当事者の声	当事者の立場から認知症を捉え直してみましょう。	田中　美子

9	中高生の自己決定	教科書第 2 章を読みましょう。	田中　美子
10	人のいのちと心を支えるもの	自分にとっての支えが何かを考えてみましょう。	田中　美子
11	いのちの始まりはいつからか	教科書第 7 章を読みましょう。	田中　美子
12	いのちの尊厳の根拠	いのちはなぜ大切なのかを、改めて考えましょう。	田中　美子
13	いのちの質は誰が決めるのか	教科書第 4 章を読みましょう。	田中　美子
14	生殖医療の現在	いのちの始まりをめぐる現在の状況について調べましょう。	田中　美子
15	いのち・時間・美	いのちを大切にすることがどういうことか、多角的に考えてみましょう。	田中　美子
成績評価方法と基準			割合
①毎授業の「振り返り（ミニレポート）」。〈DP③〉　　授業の内容が反映されていること。 ②学期末の「レポート」。〈DP③〉　　調べた内容が客観的にまとめられていること。　　自分の考察が書かれていること。			①約 50%　②約 50%

授業科目名	哲学（作業）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。			
研究室／オフィスアワー			
授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	社会福祉学（作業）				
主担当教員	伊東　香純		担当教員	伊東　香純	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

本講義では、社会福祉学の基本的な概念や理論を学習し、それらを用いて社会を観察、分析する力を養う。家族や地域、病院など身近なテーマについて、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

学修目標

家族や地域、病院など福祉に関する身近なテーマについて、社会福祉学の基本的な概念や理論を用いて批判的、相対的な視点から考察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進捗状況等により、講義の順序や内容は変更する可能性がある。

教科書

指定なし

参考書

授業の中で適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

連絡先電子メール：itokasumi24(at)gmail.com (at)→@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
2	障害者の自立生活運動	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
3	介助の現場	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
4	社会保障制度の歴史	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
5	生活保護制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
6	家族制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
7	少子高齢社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペ	伊東

		ーパーの提出	
8	グローバルエイズ	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
9	国際協力	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
10	在日コリアン	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
11	開発原病・帝国医療	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
12	リスク社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
13	医療化	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
14	ジェンダー	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
15	自己決定？	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
成績評価方法と基準			割合
授業参加度（コミュニケーションペーパー）（ＤＰ③）　最終レポート（ＤＰ③）			60%　40%

授業科目名	日本国憲法（作業）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、コ・メディカルをもとに、診療の補助の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 作業療法学科における『理学療法士及び作業療法士法』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の現状とその是非についての理解を深める。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田　重幸
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田　重幸
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田　重幸
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福追求権)　　包括的基本権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸

6	基本的人権規定③　　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸
7	人権問題　　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田　重幸
8	衛生法規並び衛生行政　　衛生法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田　重幸
9	関係法規①　　コ･メディカルに対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の中の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
10	関係法規②　　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の中の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
11	医療過誤と法的責任①　　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
12	医療過誤と法的責任②　　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
13	日本の政治体制と三権分立　　国会･内閣規定より、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習:1 票の格差問題について理解を深める	植田　重幸
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田　重幸
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より､キーワードの確認　復習:講義事項についての確認	植田　重幸
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(作業B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜4限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉　基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction　/ Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(作業A)				
主担当教員	田中 友理		担当教員	田中 友理	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜4限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題(特にリーディングの予習)は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking (角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟1階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(作業 B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期科目の英語 I に引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉　英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉　簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）　英語 I で使用したテキストを引き続き使用する。英語 I を履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	長尾

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(作業 A)				
主担当教員	田中 友理		担当教員	田中 友理	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021） 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟１階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	田中

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英会話（作業）				
主担当教員	Corinne Pitt		担当教員	Corinne Pitt	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC 総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②>： ②小テスト<DP②> ③確認テスト<DP②> 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	医学英語（作業）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20017	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため、臨床現場で患者の主訴等の発話を正確に理解したり、患者に正確な指示を伝えたりするために必要となる表現や語彙を習得する。また、医学関連の文献や論文、その他情報の収集方法と論文の構成を習得し、専門分野における最先端の研究情報を得るためのスキルを身につける。　将来医療従事者となる皆さんに、ぜひ受講をお勧めする。

学修目標

最低限患者とコミュニケーションがとれる。〈DP②〉　最低限の医学用語が理解できる。〈DP②〉　医学分野の英語の論文がどのような構成になっているのか理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　　宿題や予習（特にリーディング）は必ずしてから授業に臨むこと。　携帯電話の使用、私語は慎むこと。

教科書

実践看護英語（竹林修一、英宝社、2014）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Medical terminology / Getting to know the patients 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
2	Getting to know the patients 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
3	Getting to know the patients 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
4	Getting to know the patients 4	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
5	Examination 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重　仁子

		おくこと	
6	Examination 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
7	Instructing medication	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
8	Treating the patients 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
9	Treating the patients 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
10	Treating the patients 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
11	Operation / Pubmedについて、論文の構成について	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
12	Pregnancy / Articles on OT 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
13	In the hospital / Articles on OT 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
14	Emergencies / Articles on OT 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
15	Living a healthy life / Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重　仁子
成績評価方法と基準			割合
小テスト〈DP②〉　プレゼンテーションおよびその他課題〈DP②〉　　授業参加態度〈DP②〉　2/3 回以上の出席が必要。			30%　40% 30%

授業科目名	基礎英語演習（作業）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重　仁子

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
成績評価方法と基準			割合
①確認テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（作業）				
主担当教員	藤重　仁子		担当教員	藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
3	Unit 9 Advertising	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
5	Unit 10 Meetings	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	藤重　仁子

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Unit 11 Finance	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
8	接続詞（理由・譲歩・時）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
9	Unit 12 Offices	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
10	前置詞・接続詞対比	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
11	Unit 13 Daily Life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　③Review Test<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②20% ③40%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(作業)				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／前川　佳敬／橋本　弘子／鍵野　将平／勝原　勇希／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。　また、履修に関することや教育課程（カリキュラム）、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。　医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③〉　・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③〉　・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③〉　・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】【理事長､学長×学部長対談！】　テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上)　復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長　内田学部長　前川学部長　森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】【学科長対談！】　テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁

5	コミュニケーション入門【コスモホール】　（コミュニケーションって何？コミュニケーションのメリットは？「話を聞く」、「伝える」ってどういうこと？）　テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 橋本　弘子
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上)　IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】　テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上)　復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【D②③】　②レポート課題　テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【D②③】　＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。　①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30%　②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（作業）				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／橋本　弘子／鍵野　将平／勝原勇希／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についてし知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8 学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
3	IPW 論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁

成績評価方法と基準	割合
レポート課題<DP②③>　「見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」1600 字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。	100%

授業科目名	医療コミュニケーション（作業）				
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

対人援助に携わる作業療法士として必要なコミュニケーションの理論と実践について学修する。 さらに、チーム医療に必要となるコミュニケーションについて理解を深め、実践力を得ることを目指す。

学修目標

1. 対人援助者として求められるコミュニケーション能力を身に付ける。<DP②③> 2. コミュニケーションの種類やスキルを理解し説明できる。<DP②> 3. チーム医療におけるコミュニケーションの特性と重要性を理解し説明できる。<DP②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 作業療法士として必要不可欠なコミュニケーションの学習ですから、興味を持って、積極的に、楽しく学んでください。 2. 講義で学ぶ内容は、日々の生活の中でも応用できることばかりです。知識だけでなく、学んだことはすぐに実践を通じて身に付けていってください。 3. 会話だけでなく態度を含めたコミュニケーション力（見る力、聞く力、理解する力、思考する力、伝える力）の向上とこれらを使えるスキルの向上に努力してくだい。 4. グループワークでは積極的に参加してください。

教科書

山口美和：PT・OT のためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド第 2 版、医学書院. ISBN978-4-260-02787-8

参考書

1）澤俊二、鈴木孝治：コミュニケーションスキルの磨き方. 医歯薬出版 2）大嶋伸雄：作業療法カウンセリング. 三輪書店

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限 (10：40-12：10) ※不在のこともあるので、事前にアポイントメントを取っておくことが望ましい

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	対人援助職を目指す OT 学生に必要なコミュニケーションとは？	予習：作業療法士という職業特性から必要なコミュニケーション能力について調べる（2 時間） 復習：自己肯定感を高める方法についてまとめる（2 時間）	松下
2	自分を理解する	予習：メタ認知能力とは何かを調べる（2 時間） 復習：ポーターの態度類型の中で自分が取りやすい態度を理解し、状況に応じて態度の修正ができるように学習する（2 時間）	松下
3	コミュニケーションの種類①	予習・復習：コミュニケーションの種類について調べまとめる（4 時間）	松下
4	コミュニケーションの種類②	予習：傾聴について調べ、日頃の自己のコミュニケーションにおける傾聴力について振り返る（2 時間） 復習：傾聴についてまとめ、傾聴を意識したコミュニケーションを日常生活で実践する（2 時間）	松下
5	社会人のマナーとしてのコミュニケーション	予習：日常での挨拶や声かけについて振り返る（2 時間） 復習：電話応対やお礼状の書き方について復習する（2 時間）	松下
6	臨床で役立つコミュニケーションスキル①	予習：医療面接とは何かについて調べる（2 時間） 復習：バックトラッキングについてまとめ、実際に会話の中で使用する	松下

		（2 時間）	
7	臨床で役立つコミュニケーションスキル②	予習：オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンについて調べる（2 時間） 復習：クライエントを想定して、オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンを使ったコミュニケーションを練習する（2 時間）	松下
8	臨床で役立つコミュニケーションスキル③	予習：コミュニケーションにおけるリーディングについて調べる（2 時間）　復習：認知症の人に対するコミュニケーションについてまとめる（2 時間）	松下
成績評価方法と基準			割合
課題発表・レポート・提出物＜DP②＞			100%

授業科目名	チーム医療論（作業）				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳／前川　佳敬／中西　一／上野　慶太／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは，「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と作業療法士がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
2	医療系専門職種の介入｜1【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。（30 分）	授業内にて案内
3	医療系専門職種の介入｜2【診療放射線技師】	予習：本学診療放射線学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で診療放射線技師の仕事について	授業内にて案内

		調べておくこと。(30 分)　復習：診療放射線技師の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。(30 分)	
4	医療系専門職種の介入｜３【臨床検査技師】	予習：本学臨床検査学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床検査技師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床検査技師の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜４【臨床工学技士】	予習：本学臨床工学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床工学技士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床工学技士の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜５【理学療法士】	予習：本学理学療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で理学療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：理学療法士の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜６【作業療法士】	予習：作業療法士の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の介入｜７【言語聴覚士】	予習：本学言語聴覚学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で言語聴覚士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：言語聴覚士の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜８【鍼灸師】	予習：本学鍼灸学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で鍼灸師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：鍼灸師の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の介入｜９【看護師】	予習：本学看護学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で看護師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：看護師の職能や役割を理解し，作業療法士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での作業療法士の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	科目担当者 ゲスト
12	症例検討｜１	予習：作業療法士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での作業療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
13	症例検討｜２	予習：作業療法士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での作業療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
14	症例検討｜3	予習：作業療法士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチー	授業内にて案内

		ム医療内での作業療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	
15	授業全体のまとめ	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習：チーム医療での作業療法士の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	授業内にて案内
成績評価方法と基準			割合
①「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(他職種)についての報告　②「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(自職種)についての報告　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①と②で100%

授業科目名	基礎体育（作業 B）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

1．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　2．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　3．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　4．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　･クラス分けを行うため、必ず出席のこと　･運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)･体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　･飲料用水分は事前

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス 軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信

			江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	基礎体育（作業 A）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

1．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　2．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　3．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　4．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　･クラス分けを行うため、必ず出席のこと　･運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)･体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　･飲料用水分は事前

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス 、軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信

			江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(作業)				
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける (DP③)。　・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する (DP③)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回配布する資料を用いて、必ず復習してください。

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年　田中喜代次編「健康運動の支援と実践」金芳堂、2006 年

研究室／オフィスアワー

東棟 4F　火曜 15:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康とは？	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
2	運動・栄養と肥満症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
3	運動・栄養と糖尿病との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
4	運動・栄養と脂質異常症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
5	三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
6	微量栄養素（ビタミン・ミネラル）と水の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
7	消化器の構造と機能	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
8	食品群の理解と応用	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
9	エネルギー摂取量と消費量との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
10	運動時におけるエネルギー産生メカニズム	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
11	運動処方の原則と実際	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
12	運動と食欲の関係－最新のトピックス－	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
13	日本人の食事摂取基準について	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田

14	健康づくりに関する本邦の取り組み	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
15	講義全体のまとめと振り返り	予習： これまでのプリントの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
成績評価方法と基準			割合
①授業内試験で評価する（DP③）。 15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 課題・テスト後、各設問の解答を解説する。希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			①100%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（作業）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、健康や疾病予防に関する基礎的な知識と健康管理に関する方法を学修する。また、運動不足の健康への影響を学び、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

学生のための健康管理学（改訂 3 版） 山野美容芸術短期大学 教授・副学長 木村康一 著 山野美容芸術短期大学 教授 永松俊哉 著 ISBN 978-4-525-62053-0

参考書

健康・スポーツ科学の基礎（出村慎一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	予習：シラバス・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
2	健康の指標と現状（なぜ健康が重要なのか？）	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
3	生活習慣と健康について１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
4	生活習慣と健康について２	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
5	生活習慣と健康について３	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
6	生活習慣と健康について４	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
7	生活習慣と健康について５	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
8	生活習慣と健康について６	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
9	疾病の予防１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
10	疾病の予防２	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二

11	疾病の予防３	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
12	健康のための運動１	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
13	健康のための運動２，健康管理の考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
14	総合復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
15	期末試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP③④〉			①70%　②30%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（作業）				
主担当教員	伊黒　浩二		担当教員	伊黒　浩二	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない　②喋らない　③内職しない　④スマホを触らない　以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

特にありません

参考書

学生のための健康管理学（木村康一，永松俊哉・南山堂）　健康・スポーツ科学の基礎（出村愼一監修・杏林書院）　健康・スポーツ科学テキスト　トレーニング科学（北川薫編集・文光堂）　特定健診・保健指導に役立つ　健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂)、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康について	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
2	健康の現状	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
3	中高年者の身体的特徴と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
4	骨粗鬆症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
5	変形性関節症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
6	生活習慣病と運動１　メタボリックシンドローム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
7	生活習慣病と運動２　高血圧症	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
8	生活習慣病と運動３　糖尿病	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
9	生活習慣病と運動４　高脂血症	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二

10	生活習慣病と運動５　虚血性心疾患	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
11	運動（エクササイズ）の基本と考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
12	筋力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
13	全身持久力と筋持久力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
14	ウォーミングアップとクーリングダウンの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
15	講義全体のまとめ	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　〈DP③④〉　授業の 2/3 回以上の出席が必要			①70%　②30%

授業科目名	栄養学（作業）				
主担当教員	南方　克之		担当教員	南方　克之	
科目ナンバリング	CS20010	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

国民総医療費は 38 兆 5850 億円に達し、その医療費の 55.6%は 65 歳以上の高齢者が占めているとのことである。2013 年度の高齢者数は 3190 万人（全人口の 25.1%）であるが、2030 年度には 3685 万人（31.6%）に達すると予測されている。総医療費の半分以上を占める高齢者が、15 年後には 3 人に 1 人の割合になることを考えると、いかにして高齢者の健康寿命を長くするかがとても重要になる。1 人でも多くの高齢者が健康で過ごせるように医療従事者が食事指導できることが大切と考え、健康の保持増進に欠くことのできない「栄養」に関する正しい知識を学修する。

学修目標

1．栄養素の種類と働きについて理解し、食生活と疾病の関係性について説明できる。　2．消化と吸収およびエネルギー代謝について説明できる。　3．ライフサイクルと栄養摂取について理解し、栄養アセスメントについて説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．「人体の仕組み」に興味を持って授業に臨んでください。　2．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

『イラスト基礎栄養学第 4 版』大口健司・小野廣紀・田村明／東京教学社

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

森ノ宮医療大学：E 棟 1F 非常勤講師控室／授業外対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	第 1 章「栄養の概念」	予習：教科書（P1～13）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
2	第 2 章「食物の摂取」	予習：教科書（P15～21）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
3	第 3 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」①	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
4	第 4 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」②	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
5	第 4 章「炭水化物の栄養」①	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
6	第 4 章「炭水化物の栄養」②	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
7	第 5 章「脂質の栄養」①	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
8	第 5 章「脂質の栄養」②	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
9	第 6 章「たんぱく質の栄養」①	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
10	第 6 章「たんぱく質の栄養」②	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
11	第 7 章「ビタミンの栄養」①	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方

12	第 7 章「ビタミンの栄養」②	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
13	第 8 章「ミネラルの栄養」①	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
14	第 8 章「ミネラルの栄養」②	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
15	第 9 章「水・電解質の栄養的意義」	予習：教科書（P127～136）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
成績評価方法と基準			割合
定期試験　出題範囲：授業内で扱った範囲			定期試験 100%

授業科目名	身体運動科学（作業）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	CS20011	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

運動・身体活動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズム、適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法および運動療法の実施について学修する。

学修目標

１．運動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズムについて理解し、具体的に述べることができる。【DP③】　２．適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法について理解し、具体的に述べることができる。【DP③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．シラバスに明記されている予習復習を必ず行うこと。　２．授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　３．運動・身体活動に関わる学問であり、解剖学・生理学・運動学の復習が必要です。　４．質問等があれば、授業後に直接研究室に来る、もしくは MORIPA クラスプロファイル「Q&A」から連絡ください。

教科書

資料を配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

杉本　圭： E 棟 4 階研究室／水曜日 4 限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	なぜ、運動が必要なのか？　-運動を無理なく続けられる秘訣を探ってみよう！-	予習：身体にとって運動が必要な理由について考えておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が必要な理由について理解する。(2 時間)	杉本
2	筋肉はどのように収縮するのか？　-運動で用いられる骨格筋について学ぼう！-	予習：骨格筋の構造と収縮の仕組みについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が骨格筋に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
3	セルフチェック①　-まずは自分の身体に目を向けてみよう！-	予習：身体組成に関わる評価方法について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、評価結果と効果的な運動療法の実践について理解する。(2 時間)	杉本
4	運動時の生理機能は？　-運動による身体の反応について学ぼう！-	予習：運動時の生理機能について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の生理機能について理解する。(2 時間)	杉本
5	疾病の予防と治療のための栄養・運動　-生活習慣病予防に必要な取り組み方を学ぼう！-	予習：生活習慣病とは何か調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、生活習慣病の予防と治療のための栄養管理と運動療法について理解する。(2 時間)	杉本
6	ストレッチングの基礎と実際　-使えていない関節を探してみよう！-	予習：ストレッチングの種類、生理学について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、ストレッチングが運動に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本

7	有酸素運動の基礎と実際　-効率の良い走り方とは？-	予習：有酸素運動はどのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、有酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
8	無酸素運動の基礎と実際　-筋肉量が増えるのは良いことか？-	予習：無酸素運動は、どのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、無酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
9	運動と環境　-運動すると体温はどうなる？-	予習：熱中症の病態について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の熱中症の予防および治療方法について理解する。(2 時間)	杉本
10	運動と栄養・食生活　- 青年・中年期の生活習慣を見直そう -	予習：栄養素の役割および食事バランスガイドを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、日常の食事と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
11	運動と疲労　-運動して疲れた身体を超回復！-	予習：運動における疲労について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動と疲労の関係について理解する。(2 時間)	杉本
12	エイジング（加齢、老化）と運動　-歳を重ねると身体はどうなる？-	予習：加齢によって起こる身体の変化について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、老化と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
13	運動と心の健康：メンタルヘルス　-運動の精神機能への影響は？-　セルフチェック②　-継続は力なり。身体は変化する！-	予習：メンタルヘルスについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動習慣定着のための介入方法を理解する。(2 時間)	杉本
14	運動と医療　-運動と医療の関わりについて考えてみよう！-	予習：運動が身体に及ぼす影響について確認しておく．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，運動と医療の関係性について理解する．(2 時間)	杉本
15	講義全体のまとめ	予習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)　復習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)	杉本
成績評価方法と基準			割合
１．筆記試験【DP③】　２．毎回の授業後に課すレポート課題【DP③】　＊試験・課題に対して，必要に応じて随時解説を実施する。			１．60%　２．40%

授業科目名	東洋医療概論（作業）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	CS20012	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

主要な補完代替医療である東洋医学の概要について講義し、初歩的な理論や治療を解説する。

学修目標

東洋医学の基本を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

下記の授業計画表に記載の講義を中心とするが、鍼灸実技も行う。　西洋医学とは異なる体系であることを理解する。

教科書

平馬直樹・浅川要・辰巳洋監、　東洋医学の教科書、　ナツメ社、　ISBN コード 978-4-8163-5540-0

参考書

東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学概論、　医道の日本社　東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学臨床論（はりきゅう編)、　南江堂

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス	復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
2	東洋医学の歴史	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
3	陰陽・五行学説、天人相関思想ほか中国思想	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
4	陰陽・五行の相互関係	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
5	医学における陰陽・五行	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
6	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
7	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
8	臓腑学説	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
9	臓腑学説	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
10	病因	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
11	四診	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
12	経絡・経穴	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
13	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻

14	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
15	まとめ	予習:これまでの講義を振り返る　復習:これまでの資料・教科書を見る	辻
成績評価方法と基準			割合
期末試験　授業態度			90%　10%

授業科目名	統合医療概論（作業）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／増山 祥子／森 美侑紀	
科目ナンバリング	CS20013	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:必修 スポーツ:選択

授業概要

統合医療という言葉が医療の中で使われるようになってきたが、実際に統合医療が何を指し、どうあるべきなのかについては合意が得られていない。本授業では、統合医療の概念と現状について解説するとともに、統合医療の重要な構成要素である EBM と補完療法について概説する。また、各種治療の有効性と安全性について、エビデンスにもとづく批判的吟味のポイントについても解説する。

学修目標

1．統合医療の概念と現状について理解する。 2．EBM の概念と手法について理解する。 3．補完療法の種類と概要について説明できる。 4．主要な補完療法についてエビデンスにもとづく批判的吟味ができる。 〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療や行政において統合医療は賛否両論である。医師その他の医療従事者も支持派と反対派に分かれる。なぜ賛否両論があるのか、よく考えながら受講していただきたい。

教科書

資料を配布する。

参考書

各教員が必要に応じて授業担当時に紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下 仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療におけるエビデンスの重要性	健康関連商品の広告に目を通す	山下
2	EBM	EBM について調べる	山下
3	EBM シミュレーション	自分の専門領域のエビデンスについて調べる	増山
4	EBM と診療ガイドライン	自分の専門領域または興味のある疾患の診療ガイドラインを調べる	山下
5	健康産業と研究倫理・利益相反	利益相反状態と利益相反行為の違いについて調べる	山下
6	補完療法概論	代替医療と補完医療の違いについて調べる	山下
7	代表的な補完療法	自分が興味のある補完療法についてネットや図書館で調べる	山下
8	鍼灸のエビデンス	鍼灸に関する書籍や雑誌を図書館で調べる	山下
9	アロマセラピー①	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
10	アロマセラピー②	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
11	ヨガ・マインドフルネス	ヨガ・マインドフルネスに関するネット動画を見る	増山

12	サプリメント	興味のあるサプリメントを幾つか選んでその広告の内容に関する疑問点を調べる	山下
13	統合医療とスピリチュアルと NBM	スピリチュアルという概念について調べる	山下
14	緩和ケア・難病ケアと統合医療	末期がんまたは難病の患者の実情について調べる	増山
15	総括：統合医療は何を統合するのか	14 回までに習った内容を整理する	山下
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②課題提出物　　〈DP③〉			①70%　②30%

授業科目名	人体の構造演習Ⅰ(運動器)(作業)				
主担当教員	堤 真大		担当教員	堤 真大	
科目ナンバリング	SB20BOTA001	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜5限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

人体の構造演習(運動器)（作業）のⅠとⅡでは、人体の基礎を構成し、運動器の中心的な役割を担う骨格系と筋肉系を学習する。骨格系については、骨の分類・構造などの総論と、個々の骨の解剖構造や形態的特徴、ならびに隣接骨間の連結などを、講義のみならず骨模型実習を通して学習する。筋肉系については、筋肉（筋）の分類・構造などの総論に加えて、個々の筋の起始、停止、支配神経、作用などを学習する。これらの学習を通じて、骨と筋が運動器として機能するときにどのような連携しているか考えるとともに、運動時に重要な役割を果たしている関節や靱帯の形態と機能についても理解を深める。 前期に実施する「人体の構造演習Ⅰ(運動器)(作業)」では、骨格系・骨の連結・筋肉系の総論、ならびに上肢の骨格系と筋肉系を学習する。

学修目標

（1）骨の構造と連結の概要、ならびに全身の骨格系の概要が説明できる（DP②③④） （2）筋肉の構造とはたらきの概要、ならびに筋肉系を支える構造の概略が説明できる（DP②③④） （3）上肢の各骨の主要構造や主要部位の名称が言えるとともに、これらがどう配置しているかが説明できる（DP②③④） （4）上肢の各筋の存在部位とはたらき、ならびに他筋との位置関係が説明できる（DP②③④） （5）上肢の主要関節の構造とそれに係わる筋の作用が説明できる（DP②③④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義内容（スライド）はPDFにして、あらかじめに配布するので、これを元に予習ノートを作成する。講義前に簡易な小テストを行い予習の程度を評価する。実習は講義室とは別の部屋で行われる。実習では口頭試問を行い、これを成績評価に含める。

教科書

「標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野 解剖学(第5版) 」　編集　野村　嶬　（医学書院）

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

C棟6階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	解剖学とは・オリエンテーション	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
2	組織学総論	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
3	骨・関節学総論1	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
4	骨・関節学総論2	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
5	筋学総論1	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間） 復習：授業を元に予習ノー	堤

		トの加筆と修正（1 時間）	
6	筋学総論２	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
7	骨学各論：上肢の骨と連結１	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
8	骨学実習：上肢の骨の観察１(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
9	骨学実習：上肢の骨の観察２(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
10	骨学各論：上肢の骨と連結２	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
11	骨学実習：上肢の骨の観察３(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
12	骨学実習：上肢の骨の観察４(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
13	筋学各論：浅背筋群と浅胸筋群	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
14	筋学各論：上肢帯の筋と上腕の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
15	筋学各論：前腕の筋と手の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③④）。筆記試験は 60 点満点、これに 30 点満点の口頭試問、講義前の 10 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり口頭試問と小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 口頭試問 30% 小テスト 10%

授業科目名	人体の構造演習Ⅱ(運動器)(作業)				
主担当教員	堤　真大		担当教員	堤　真大	
科目ナンバリング	SB20BOTA002	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体の構造演習(運動器)（作業）のⅠとⅡでは、人体の基礎を構成し、運動器の中心的な役割を担う骨格系と筋肉系を学習する。骨格系については、骨の分類・構造などの総論と、個々の骨の解剖構造や形態的特徴、ならびに隣接骨間の連結などを、講義のみならず骨模型実習を通して学習する。筋肉系については、筋肉（筋）の分類・構造などの総論に加えて、個々の筋の起始、停止、支配神経、作用などを学習する。これらの学習を通じて、骨と筋が運動器として機能するときにどのような連携しているか考えるとともに、運動時に重要な役割を果たしている関節や靱帯の形態と機能についても理解を深める。 後期に実施する「人体の構造演習Ⅱ(運動器)(作業)」では、下肢と体幹（頭蓋・脊柱・胸郭）の骨格系と筋肉系を学習する。

学修目標

（１）下肢と体幹の各骨の主要解剖構造や主要部位の名称が言えるとともに、これらがどう配置しているかが説明できる(DP②③④)　（２）下肢と体幹の各筋の存在部位とはたらき、ならびに他筋との位置関係が説明できる(DP②③④)　（３）下肢と体幹の主要関節の構造とそれに係わる筋の作用が説明できる(DP②③④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義内容（スライド）は PDF にして、あらかじめに配布するので、これを元に予習ノートを作成する。講義前に簡易な小テストを行い予習の程度を評価する。実習は講義室とは別の部屋で行われる。実習では口頭試問を行い、これを成績評価に含める。

教科書

「標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野 解剖学(第 5 版) 」　編集　野村　嶬　(医学書院)

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

C 棟 6 階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	骨学各論：下肢の骨と連結１	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
2	骨学実習：下肢の骨の観察１(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
3	骨学実習：下肢の骨の観察２(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
4	骨学各論：下肢の骨と連結２	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
5	骨学実習：下肢の骨の観察３(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤

6	骨学実習：下肢の骨の観察４(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
7	筋学各論：下肢帯の筋と大腿の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
8	筋学各論：下腿の筋と足の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
9	骨学各論：脊柱・胸郭	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
10	骨学実習：脊柱・胸郭の観察(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
11	骨学各論：頭蓋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
12	骨学実習：頭蓋の観察(実習)	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
13	筋学各論：表情筋・咀嚼筋・頸部の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
14	筋学各論：深胸部の筋・腹部の筋・深背部の筋	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
15	まとめ・予備日	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（１時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（１時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③④）。筆記試験は 60 点満点、これに 30 点満点の口頭試問、講義前の 10 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり口頭試問と小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 口頭試問 30% 小テスト 10%

授業科目名	人体の構造Ⅰ(神経系)(作業)				
主担当教員	堤 真大		担当教員	堤 真大	
科目ナンバリング	SB20BOTA003	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

人体の構造Ⅰ（神経系）では、系統解剖学の立場から、中枢神経系、末梢神経系、感覚器について学習する。末梢神経系では、感覚器により得られた外界の情報を中枢神経に送り、中枢神経で処理された出力情報を末梢効果器に伝えるシステムについて学修する。 さらに運動神経系、感覚神経系、自律神経系の機能と形態との関連性について学修する。中枢神経系では、外界からの様々な情報 を処理・統合して行動、情動、思考、記憶など高度な機能を営むシステムについて学修する。感覚器では、外界の情報を受容する組織・器官の構造と機能について学修する。これらの学修を通じて、生体が外界からの情報処理と統合を行うシステムの形態学的構成・特徴について理解を深める。

学修目標

（1）感覚器の種類と基本的構造を説明できる(DP②③)　（2）末梢神経系の基本的構成を説明できる(DP②③)　（3）中枢神経系の基本的構成を説明できる(DP②③)　（4）感覚器、末梢神経系、中枢神経系による情報処理の仕組みの概要を説明できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義の進捗によってはシラバスに提示している講義の順番を多少前後入れ替えることがある。その場合は、授業前に都度説明する。講義内容（スライド）はPDFにして、あらかじめに配布する。講義後に簡易な小テストを行い、講義の理解度を評価する。

教科書

野村嶬　編集　『標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学（第5版)』　医学書院

参考書

藤田恒太郎『人体解剖学　改訂第42版』(南江堂)　クロスマン、ニアリー（水野、野村　訳)『神経解剖カラーテキスト第2版』(医学書院)

研究室／オフィスアワー

C棟6階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	神経系総論・神経組織	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
2	脊髄	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
3	脳幹	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
4	小脳・間脳	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤
5	終脳	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1時間）	堤

6	髄膜と脳室	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
7	脳の血管	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
8	下行性伝導路	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
9	上行性伝導路	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
10	脳神経①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
11	脳神経②・自律神経	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
12	脊髄神経①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
13	脊髄神経②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
14	感覚器①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
15	感覚器②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③）。筆記試験は 60 点満点、これに 40 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 小テスト 40%

授業科目名	人体の構造Ⅱ(循環・内臓)(作業)				
主担当教員	堤 真大		担当教員	堤 真大	
科目ナンバリング	SB20BOTA004	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

人体の構造Ⅱ（循環・内臓）では、循環系と内臓系とを中心に人体の正常構造について系統解剖学の立場から基本的な概念と知識の習得を目指す。臨床系専門科目に先駆けて、心臓血管系、リンパ系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、内分泌系など多岐におよぶ学習範囲を系統立てて学修する。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者として基盤となる知識や論理性のある思考能力を身につける。

学修目標

①循環系（心臓血管系、リンパ系など）の基本的構成を説明できる。(DP②③)　②内臓系（消化器、呼吸器、泌尿器、生殖器、内分泌器など）の基本的構成を説明できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書の内容を中心に、構造の理解に不可欠な図を多く取り込んだパワーポイント（スライド）を用いて行う。講義の進捗によってはシラバスに提示している講義の順番を多少前後入れ替えることがある。その場合は、授業前に都度説明する。講義内容（スライド）は PDF にして、あらかじめに配布する。講義後に簡易な小テストを行い、講義の理解度を評価する。

教科書

野村嶬　編集　『標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学（第 5 版)』　医学書院

参考書

藤田恒太郎『人体解剖学　改訂第 42 版』(南江堂)

研究室／オフィスアワー

C 棟 6 階インクルーシブ医科学研究所(655)／月～木 昼休み

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	循環器系総論	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
2	心臓①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
3	心臓②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
4	動脈系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
5	動脈系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
6	静脈系・リンパ系	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
7	呼吸器系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤

8	呼吸器系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
9	消化器系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
10	消化器系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
11	消化器系③	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
12	泌尿生殖器系①	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
13	泌尿生殖器系②	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
14	泌尿生殖器系③	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
15	内分泌系・まとめ	予習：講義プリントに沿って予習ノート作成（1 時間）　復習：授業を元に予習ノートの加筆と修正（1 時間）	堤
成績評価方法と基準			割合
学期末に筆記試験を行う（DP②③）。筆記試験は 60 点満点、これに 40 点満点の小テストを合わせて合計 100 点満点とし、その 60%以上の得点でもって合格とする。合格点に達しない場合には筆記試験の再試験を１回のみ行い、やはり小テストを合わせた 60%以上の得点でもって合格とする。			筆記試験 60% 小テスト 40%

授業科目名	人体の構造実習（作業）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久	
科目ナンバリング	SB20BOTB005	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体の構造的、機能的最小単位である細胞には様々な形態を有しているものがあり、器官・臓器はそれらが一定の秩序に従って構成されている。本実習ではヒトの身体から頂いた組織標本の顕微鏡観察を通じて、これまで学習した「人体の構造」と「人体の機能」について、ミクロからマクロまで関連づけながら理解を深めるとともに、生命の尊厳についても学習する。

学修目標

生物の最小単位である細胞がいかなる「形態」を有し、どのような「機能」を発揮しうるのかについて「観察」を通じて理解を深めることで、各器官・臓器の機能についてもより深く理解し、さらに疾病における形態変化がどのような機能障害を生じるかについても考察できるようにする。〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 組織学の理解を深めることは、解剖学や生理学のみならず病理学や病態学の理解を深めることにつながることから、積極的に学習すること。　2. 顕微鏡観察においては観察力を身につける努力をすること。　3. 毎回テーマが異なるため極力欠席をしないようにすること。　4. 実習で扱う顕微鏡やプレパラートは精密機器かつ貴重な資料であることから、丁寧に取り扱うこと。　5. 実習室は精密機器を扱うことから飲食を禁止する。　6. 受講にあたっては最低限の礼儀をわきまえること。また私語などは授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる場

教科書

適宜プリントを配布する

参考書

1. 伊藤隆、阿部和厚　著. 組織学　第 19 版.　南山堂. 2005 年.　2. 野上晴雄　著. 新組織学 (Q シリーズ) 改訂第 6 版. 日本医事新報社. 2016 年.

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室 707：木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習の進め方、組織学の歴史、組織学総論（4 大組織）についての解説、顕微鏡の使用方法	予習：人体の構造、機能で学んだ組織・細胞の確認（解剖学 p8-18）　復習： 4 大組織について復習すること（解剖学 p11-18、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	上皮組織 1：上皮組織（皮膚組織）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p11-14、p327-330）の確認　復習：観察した上皮組織および皮膚組織の構造について復習すること（解剖学 p11-14、p327-330、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
3	消化器系 1：消化管（食道、胃）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p374-376、生理学 p150-155）の確認　復習：観察した食道、胃の構造について復習すること（解剖学 p374-376、生理学 p150-155、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

4	消化器系 2：消化管（小腸、大腸）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p376-379、生理学 p155-159）の確認　復習：観察した小腸、大腸の構造について復習すること（解剖学 p376-379、生理学 p155-159、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
5	消化器系 3：肝臓、膵臓（外分泌）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p379-382、生理学 p155-160）の確認　復習：観察した肝臓、膵臓（外分泌）の構造について復習すること（解剖学 p376-379、生理学 p155-160、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
6	消化器系 4：甲状腺、膵臓（ランゲルハンス島）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p381-382、408、生理学 p169-173）の確認　復習：観察した甲状腺、膵臓（ランゲルハンス島）の構造について復習すること（解剖学 p381-382、408、生理学 p169-173、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	呼吸器系：気管、肺についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p384-390、生理学 p124-131）の確認　復習：観察した気管、肺の構造について復習すること（解剖学 p384-390、生理学 p124-131、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	循環器系：心・血管（動静脈）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p339-344、生理学 p96-109）の確認　復習：観察した心・血管（動静脈）の構造について復習すること（解剖学 p339-344、生理学 p96-109、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	泌尿器系：腎（糸球体および尿細管）についての観察および解説	予習：シラバス・教科書（解剖学 p392-397、生理学 p137-144）の確認　復習：観察した腎、膀胱の構造について復習すること（解剖学 p392-397、生理学 p137-144、配布資料）なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	筋組織：横紋筋、平滑筋、心筋についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p163-167、生理学 p49-62）の確認　復習：観察した筋組織の構造について復習すること（解剖学 p163-167、生理学 p49-62、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	骨格系：骨・軟骨組織（気管軟骨・骨端軟骨）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p15-16、生理学 p63-64）の確認　復習：観察した骨・軟骨組織の構造について復習すること（解剖学 p15-16、生理学 p63-64、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	神経組織：神経組織（脊髄、大脳、小脳）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p239-243、260-263、266-271、生理学 p19-28）の確認　復習：観察した神経組織の構造について復習すること（解剖学 p239-243、260-263、266-271、生理学 p19-28、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
13	生殖器系：生殖腺（精巣、前立腺、卵巣、子宮）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p399-404、生理学 p188-195）の確認　復習：観察した精巣、卵巣、子宮の構造について復習すること（解剖学 p399-404、生理学 p188-195、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
14	生殖器系：感覚器（眼球（角膜・網膜））についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（解剖学 p330-333、生理学 p70-74）の確認　復習：観察した眼球（角膜・網膜）の構造について復習すること（解剖学 p330-333、生理学 p70-74、配布	川畑

		資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	
15	組織学のまとめ:これまで観察してきた正常組織像の総復習	予習：これまでの講義を振り返る（教科書、配布資料）　復習：教科書、配布資料などの振り返りを行うこと。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 実習レポートの提出〈DP②～④〉　（※実習レポートは授業終了後必ず提出すること。評価基準は授業開始時に提示する。なおレポートの未提出は欠席とみなす場合もある。）　2. 定期試験〈DP④〉　3. 4/5 以上の出席が必要　4. 実習レポートに対するフィードバックの方法：実習レポートや授業内の小テストは翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示する。			1. 50%　2. 50%

授業科目名	人体の機能Ⅰ(動物性機能)(作業)				
主担当教員	竹下　ひかり		担当教員	竹下　ひかり	
科目ナンバリング	SB20BOTA006	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学について学ぶ。人体の正常な機能について学習し、医学の他の分野を学ぶための基礎を身につけることを目的とする。人体の機能Ⅰでは、神経系と血液を中心に取り扱う。

学修目標

細胞の構造と機能のあらましを述べることができる。(DP①②③)

神経細胞とシナプスについて概説することができる。(DP①②③)

中枢神経の主要部位の構造とその主な機能を述べることができる。(DP①②③)

感覚の受容について述べることができる。(DP①②③)

筋肉の収縮・弛緩について述べることができる。(DP①②③)

血液の組成と、それぞれの成分の役割を説明できる。(DP①②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

生理学　第6版(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)　執筆：岡田隆夫、鈴木敦子、渡邉 マキノ　ISBN978-4-260-05318-1 医学書院

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室はC棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripaでご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生理学序論	予習：要さない　復習：講義プリント　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
2	生命現象と人体	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
3	細胞の構造と機能	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
4	神経の興奮伝導と末梢神経（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
5	神経の興奮伝導と末梢神経（2）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
6	中枢神経（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
7	中枢神経（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
8	講義前半振り返りまとめ授業　中枢神経（３）・感覚（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり

9	感覚（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
10	感覚（３）・骨	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
11	筋肉（その１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
12	筋肉（その２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
13	振り返りまとめ授業　血液（その１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
14	血液（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間　（別途、練習問題を解く時間を要する）	竹下　ひかり
15	講義全体の総復習　定期試験	予習・復習：第１～１５回講義　定期試験準備	竹下　ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験（DP①②③）			100%

授業科目名	人体の機能Ⅱ(植物性機能)(作業)				
主担当教員	竹下 ひかり		担当教員	竹下 ひかり	
科目ナンバリング	SB20BOTA007	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学について学ぶ。人体の正常な機能について学習し、医学の他の分野を学ぶための基礎を身につけることを目的とする。人体の機能IIでは、循環器・消化器をはじめとした内臓を中心に取り扱う。

学修目標

心臓と血管のあらましを説明できるとともに、循環調節について概説することができる。〈DP②③〉

呼吸力学とガスの運搬を概説できるとともに、呼吸調節について説明できる。〈DP②③〉

腎臓の働きについて説明できるとともに、体液調節の仕組みについて述べることができる。〈DP②③〉

消化と吸収の仕組みを概説できる。〈DP②③〉

さまざまなホルモンの分泌の仕組みと働きについて説明できる。〈DP②③〉

代謝と体温の調節について概説できる。〈DP②③〉

生殖と発生のあらましを説明できる。〈DP②③〉

運動に伴う人体の機能変化について説明できる。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　2）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　3）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

『生理学　第6版　(シリーズ 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)』　医学書院　編集 岡田 隆夫 / 鈴木 敦子 / 渡邉 マキノ　ISBN 978-4-260-05318-1

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室はC棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripaでご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	呼吸（1）	予習：必要ありません。　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
2	呼吸（2）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
3	腎臓（1）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
4	腎臓（2）・酸塩基平衡	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
5	消化（1）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
6	消化（2）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり

7	代謝と体温	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
8	振り返りまとめ授業　内分泌（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
9	内分泌（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
10	生殖と発生	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
11	循環（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
12	循環（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
13	振り返りまとめ授業　循環（３）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下　ひかり
14	運動生理	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間　（別途、練習問題を解く時間を要します。）	竹下　ひかり
15	講義全体の総復習・定期試験	予習：練習問題　復習：第１～１５回講義　学習所要時間目安：合計二時間　（別途、定期試験準備の必要があります。）	竹下　ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験（DP②③）			100%

授業科目名	基礎運動学（作業）				
主担当教員	中西　一		担当教員	中西　一／中井　俊輔	
科目ナンバリング	SB20BOTA008	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜1限、月曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

1. 身体運動の仕組みを運動器の構造と機能を中心に理解する。　2. 解剖学で学んだ運動器の知識をもとに、学生相互の身体で構造等を確認する。

学修目標

①関節運動と運動に関与する筋がいえる。<DP3>　②各筋の支配神経（末梢神経)、脊髄レベルがいえる。<DP3>　③体表から観察できる筋・腱・ランドマーク等を正確に触知できる。<DP3>　④筋の弛緩・収縮および収縮の程度を触知判別できる。<DP3>　⑤運動を力学的に説明できる。<DP3>　⑥観察された現象を客観的に、専門用語を用いて記載できる。<DP3>　⑦観察された現象を、運動学（関節運動・筋活動・力学）の観点から記載できる。<DP3>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①身体運動や筋収縮を実際に触知し、確認・学習する機会がある科目は、作業療法士の教育課程では限られている。数少ない学習機会に、確実に習得するという自覚を持って臨むこと。　②学習部位の触知がしやすい衣類を着用。　③グループで実習を行う。全員で協力して取り組むこと。

教科書

『PT・OTのための運動学テキスト』小柳・西村・山下・大西編　金原出版株式会社　PT・OT基礎から学ぶ 運動学ノート 医歯薬出版株式会社　運動療法のための 機能解剖学的触診技術 上肢　MEDICAL VIEW　運動療法のための 機能解剖学的触診技術 下肢・体幹　MEDICAL VIEW

参考書

『基礎運動学』中村・斎藤・長崎著　医歯薬出版　『図解　四肢と脊椎の診かた』野島元雄監訳　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

C棟7階 研究室8・共同研究室　/月曜3限目・火曜5限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	コースオリエンテーション・総論	予習：教科書P2-62　復習：教科書・プリント　予習復習時間は4時間	中西　中井
2	筋の起始停止・走行・作用	予習：教科書P2-62　復習：教科書・プリント　予習復習時間は4時間	中西　中井
3	運動学の基礎①	予習：教科書P2-62　復習：教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は4時間	中西　中井
4	運動学の基礎②	予習：教科書P2-62　復習：教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は4時間	中西　中井
5	肩甲骨・肩関節の骨関節運動と筋	予習：該当部位の筋骨系解剖学　復習：教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は4時間	中西　中井
6	肘・前腕の骨関節運動と筋	予習：該当部位の筋骨系解剖学　復習：教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は4時間	中西　中井
7	手関節の骨関節運動と筋	予習：該当部位の筋骨系解剖学　復習：教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は4時間	中西　中井
8	上肢の骨関節運動（まとめ）	予習：該当部位の筋骨系解剖学　復習：教	中西　中井

		科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	
9	骨盤帯・股関節の骨関節運動と筋	予習 : 該当部位の筋骨系解剖学　復習 : 教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	中西　中井
10	膝関節・下腿の骨関節運動と筋	予習 : 該当部位の筋骨系解剖学　復習 : 教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	中西　中井
11	足関節・足の骨関節運動と筋	予習 : 該当部位の筋骨系解剖学　復習 : 教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	中西　中井
12	頸部・体幹の骨関節運動と筋	予習 : 該当部位の筋骨系解剖学　復習 : 教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	中西　中井
13	下肢・体幹のまとめ	予習 : 該当部位の筋骨系解剖学　復習 : 教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	中西　中井
14	運動学習	予習 : 該当部位の筋骨系解剖学　復習 : 教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	中西　中井
15	全体のまとめ	予習 : 今までの範囲の復習　復習 : 教科書・プリントの授業終了範囲、ワークシートの完成　予習復習時間は 4 時間	中西　中井
成績評価方法と基準			割合
平常点 : 20%（小テスト、提出物など）　定期試験 : 80%　平常点と定期試験の点数を合わせて 100 点とする。			平常点 20% 定期試験 80%

授業科目名	臨床運動学（作業）				
主担当教員	中西　一		担当教員	中西　一／中井　俊輔	
科目ナンバリング	SB20BOTB009	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1 年次の基礎運動学をもとに、基本的動作の運動学的理解を深め、臨床における動作分析の基礎技術を習得する

学修目標

１．身体活動を運動学的に記述できる＜DP③④＞　①正確に専門用語が使える　２．身体活動を運動学的に分析できる＜DP③④＞　①相分類ができる　②各関節運動を記載できる　③各部位の運動の主動筋を言える　④ランドマークや筋・腱が触知できる　④運動様式の違いを言える　⑤基底面と姿勢の安定性、力学的および運動軌跡の観点から運動を分析できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①授業計画を常に確認し、教科書の該当単元を予習する　②グループでの実習が多くなるので、全員が協力し、積極的に参加する　③時間内に課題が終了できるよう、速やかに行動する　④動きやすい服装(原則ジャージの上下)で授業に臨む

教科書

PT・OT のための運動学テキスト　小柳・西村・山下・大西編　金原出版株式会社

参考書

『基礎運動学』中村・斎藤・長崎著　医歯薬出版　『図解　四肢と脊椎の診かた』野島元雄監訳　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階共同研究室/月曜、火曜の 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	運動分析とは	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：終了範囲の教科書・プリント ワークシートの完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井
2	姿勢	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：同上　予習復習時間は 60 分	中西　中井
3	姿勢	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：ワークシート完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井
4	寝返り・起き上がり	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：同上　予習復習時間は 60 分	中西　中井
5	立ち座り	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：ワークシート完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井
6	歩行	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：ワークシート完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井
7	杖歩行	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：同上　予習復習時間は 60 分	中西　中井
8	階段昇降	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：ワークシート完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井
9	車椅子移動	予習：教科書の該当ページを読むこと　復習：ワークシート完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井

10	腕たせ伏せ	予習:授業中に提示　復習:ワークシート完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井
11	トイレ動作	予習:授業中に提示　復習:ワークシート完成　予習復習時間は 60 分	中西　中井
12	運動分析	予習：授業中に提示　復習：授業中に提示　予習復習時間は 60 分	中西　中井
13	運動分析	予習：授業中に提示　復習：授業中に提示　予習復習時間は 60 分	中西　中井
14	運動分析(自由課題)　発表	予習：発表用レジュメ提出と発表の準備　予習復習時間は 60 分	中西　中井
15	講義全体のまとめ・質問	予習：疑問点のまとめ　予習復習時間は 60 分	中西　中井
成績評価方法と基準			割合
平常点 20%(提出物・小テスト)、定期試験 80%　2/3 以上の出席が必要			平常点 20% 定期試験 80%

授業科目名	リハビリテーション概論（作業）				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳／金森　幸／小川　泰弘／勝原勇希／上野　慶太	
科目ナンバリング	SB20BOTA010	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

リハビリテーション概論では，リハビリテーション全体像を理解し，作業療法のあり方を教授する．その主な指導内容は，リハビリテーションの概念，理念，歴史，障害と病気の違い，障害者の心理と受容過程，対象者の生活機能の理解（国際障害分類および国際生活機能分類），人の生活の理解（ADL,IADL），社会保障制度，記録と個人情報保護などである．作業療法のさまざまな領域の実践を専門教員からの講義を通して対象者，目的，役割について教授するとともに，臨地見学実習の準備学習を行う．

学修目標

1．リハビリテーションの歴史，目的，概念や理念や定義を説明することができる．<DP①②③>　2．ICF，ICIDH といったリハビリテーションにおける基本的な分析方法について説明ができる．<DP①②③>　3．社会におけるリハビリテーションの位置づけについて説明することができる．<DP①②③>　4．病気と障害の関係，障害受容と心理について説明することができる．<DP①②③>　5．社会保障制度（施設別，病期別）と施設の社会的役割（医療・介護・療育・就労支援など）について説明できる．<DP①②③>　6．作業療法の 4 領域（身体障害，精神障害，老年期障害，発達障害）において学ぶ視点の説明ができる．<DP①②③>　7．臨床現場における健康管理・感染予防の必要性について説明ができる<DP①②③>　8．臨地見学実習で必要なマナー・対応・リスクの必要性について説明ができる<DP①②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

リハビリテーションを学ぶ上で必要な基礎知識を学修します．リハビリテーションとは何か？リハビリテーションの役割とは何か？を問いながら学んでください．　臨地見学実習を視野に入れ，必要な知識を身に着けていけるよう指導します．臨床現場をイメージしながら学んでください．　作業療法の様々な分野について，経験ある先生方からの講義があります．レポート課題など，指示された課題は期限内に提出してください．

教科書

1）『医学生・コメディカルのための手引書　リハビリテーション概論』田島文博編著/永井書店，ISBN 978-4-8159-1922-1　2）『図解作業療法技術ガイド』石川齊，古川宏編/文光堂　ISBN 978-4-8306-4589-1

参考書

1．リハビリテーションビジュアルブック　第 2 版　落合慈之　学研　2．最新リハビリテーション医学　第 3 版　江藤文夫，里宇明元　医歯薬出版　3．ICF 国際生活機能分類ー国際障害分類改定版ー　中央法規出版

研究室／オフィスアワー

由利：木曜日の午前中　金森：木曜日の午前中

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	リハビリテーションの概念 1　理念・歴史・定義	予習・復習：リハビリテーションの概念・歴史、リハビリテーションの理念（IL 運動、ノーマライゼーション）についてまとめる（4 時間）.	由利
2	リハビリテーションの概念 2　健康と疾病（病気）と障害	予習：障害を起こす代表的な疾病、廃用症候群についてまとめる（2 時間）.　復習：疾病（病気）と障害の違いについて考え，まとめる（2 時間）.	由利

3	リハビリテーションの理解１(社会におけるリハビリテーションの位置付け・役割), リハビリテーションと心理（障害の受容過程）	予習・復習：当事者の資料を視聴し，社会におけるリハビリテーションの位置づけ・役割，心理と障害受容に関して理解したことをまとめる（4 時間).	由利
4	日常生活活動（ADL), 生活関連活動（IADL), 生活の質（QOL）	予習・復習：ADL, IADL, QOL について内容を理解し感想をまとめる（2 時間).	由利
5	生活機能の理解（生活機能分類）（ICIDH と ICF）	予習・復習：ICIDH, ICF について理解したことをまとめる（4 時間).	由利
6	社会保障制度とリハビリテーション関連施設(施設別、病期別)（医療・介護・療育・就労支援など）	予習・復習：リハビリテーションに関連する社会保障制度と施設についてまとめる. 施設に関して調べる項目をまとめる（４時間).	由利・金森
7	身体障害領域のリハビリテーション（作業療法, チームアプローチ, 手段, 対象者, 実習について).	予習：身体障害領域のリハビリテーションについてまとめる（2 時間). 復習：臨地見学実習で学ぶ視点についてまとめる（２時間).	由利
8	発達障害領域のリハビリテーション（作業療法, チームアプローチ, 手段, 対象者, 実習について).	予習：発達障害領域のリハビリテーションについてまとめる（2 時間). 復習：臨地見学実習で学ぶ視点についてまとめる（２時間).	金森
9	精神障害領域のリハビリテーション（作業療法, チームアプローチ, 手段, 対象者, 実習について).	予習：精神障害領域のリハビリテーションについてまとめる（2 時間). 復習：臨地見学実習で学ぶ視点についてまとめる（２時間).	小川
10	老年期障害・地域のリハビリテーション（介護老人保健施設リハビリテーションの展開（作業療法，チームアプローチ，手段，対象者，実習について).	予習:老年期障害・地域リハビリテーションについてまとめる（2 時間). 復習：臨地見学実習で学ぶ視点についてまとめる（２時間).	由利
11	臨床現場における衛生管理・感染対策・健康管理	予習・復習:臨床現場で求められる求められる健康管理及び感染予防、臨地見学実習中のリスクについてまとめる	由利
12	歩行補助具・移動補助具・施設物品・福祉用具について	予習・復習:車椅子の名称や車椅子の操作方法，臨地見学実習中の行動についてまとめる. 臨床現場で用いる歩行補助具・移動補助具・施設物品・福祉用具についてまとめる(4 時間).	金森・勝原
13	リハビリテーションにおける協業　臨地見学実習に必要な知識と技術（実技）	予習・復習:臨地見学実習で必要なマナー・対応，臨地見学実習中のリスクについてまとめる（4 時間).	金森・勝原
14	リハビリテーションにおける協業　臨地見学実習に必要な知識と技術（実技）	予習・復習:臨地見学実習で必要なマナー・対応，臨地見学実習中のリスクについてまとめる（4 時間).	金森・勝原
15	リハビリテーションにおける協業　臨地見学実習に必要な知識と技術（実技）	予習・復習:臨地見学実習で必要なマナー・対応，臨地見学実習中のリスクについてまとめる（4 時間).	金森・勝原
成績評価方法と基準			割合
①定期試験＜DP①②③＞　②個人ワーク課題（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP①②③＞ ③実技課題（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP①②③＞　レポート課題のフィードバックは講義内で行います.　定期試験の結果は再試験対象者には解説を行います.			①50%　②30% ③20%

授業科目名	公衆衛生学（作業）				
主担当教員	下埜　敬紀		担当教員	下埜　敬紀	
科目ナンバリング	SB20BOTA011	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床医学が個人の疾病を対象とするのに対して、衛生学、公衆衛生学は集団の健康を対象とする。衛生学、公衆衛生は人間の健康に関係するあらゆる事象を研究し健康の維持増進をはかる学問である。「公衆」はどういう集団を指すのか具体的な事象と対策、法規を学び、将来の健康づくりと疾病の予防に貢献できる力を養う。

学修目標

・産業保健、食品衛生、感染症対策、生活習慣病対策、国際保健、医療・介護の保障制度など公衆衛生が取り扱う主要な分野について個々に学習し、健康・疾病と生活を支える保健医療福祉制度や法的枠組みについて理解する　・集団における健康問題を把握するための方法である疫学や保健統計の基礎について理解する　ことを目標とする。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

公衆衛生学は、学生時代には把握しにくい学問です。しかし、保健医療従事者として現場に立つと多用な面で公衆衛生学の重要性をあらためて実感する時がきますので、そのことを踏まえて学習に取り組んで下さい。

教科書

指定の教科書はありません。講義時に資料を配布します。

参考書

わかりやすい公衆衛生学（第 4 版）　発行：ヌーヴェルヒロカワ

研究室／オフィスアワー

非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	公衆衛生とは	課題：公衆衛生とは何か、健康の概念、国際協力活動について説明できる。	下埜
2	健康の指標（保健統計） 1	課題：社会環境の変動、人口静態統計について説明できる。	下埜
3	健康の指標（保健統計） 2	課題：人口動態統計、死因統計について説明できる。	下埜
4	健康の指標（保健統計） 3	課題：健康状態と受療状況、疾病統計について説明できる。	下埜
5	生活環境の保全（環境保健）	課題：環境と健康疾病との関係、気候変動・対策、公害対策、ゴミ・廃棄物の処理について説明できる。	下埜
6	感染症とその予防（感染症対策）、食品保健 1	課題：感染症とは、予防接種に意義と現状、病原対策（消毒・滅菌）について説明できる。食中毒の分類、現状について説明できる。	下埜
7	感染症とその予防（感染症対策）、食品保健 2	課題：感染症とは、予防接種に意義と現状、病原対策（消毒・滅菌）について説明できる。食中毒の分類、現状について説明できる。	下埜
8	生活習慣病とその予防（成人保健）	課題：社会環境の変動、人口静態統計について説明できる。	下埜
9	疫学的方法 1	課題：疫学の概念、疫学研究のデザインについて説明できる。	下埜
10	疫学的方法 2	課題：疫学・検査の指標（スクリーニングテスト、感度・特異度等）について説明できる。	下埜

11	疫学的方法３	課題：相対危険度、寄与危険度、オッズ比を求めることができる。	下埜
12	医療（社会保障と医療経済）・介護の保障制度１	課題：日本における医療保障、医療保険、国民医療費について説明できる。	下埜
13	医療（社会保障と医療経済）・介護の保障制度２	課題：わが国の高齢者医療制度、介護保険制度について説明できる。	下埜
14	地域保健活動	課題：保健所、市町村保健センターの機能、医療サービスの供給体制、救急医療、災害医療について説明できる。	下埜
15	定期試験		下埜
成績評価方法と基準			割合
試験（90%）と授業態度（10%）で成績を評価する。　単位認定基準及び試験受験資格は大学の規定に従う。			試験 90%　受講態度 10%

授業科目名	生化学（作業）				
主担当教員	南方　克之		担当教員	南方　克之	
科目ナンバリング	SB20BOTB012	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

ヒトが生きていくためにはまずエネルギーが必要である。このエネルギーを生み出す仕組みはどうなっているのか。また体内の恒常性を維持する仕組みはどうなっているのか、生体防御の仕組みはどうなっているのか。これらの仕組みの必要性をまずは大きな枠で捉え、その細部のシステムについて、我々の体の中で起こっている様々な化学反応について学修する。

学修目標

1．人体の仕組みについて理解し、説明できる。　2．栄養素の種類とその構造・はたらきについて理解し、説明できる。　3．生体の恒常性を保つシステムと防御するシステムについて理解し、説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．「人体の仕組み」について興味を持って授業に臨んでください。　2．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

「イラスト生化学入門第 4 版」相原英孝他／東京数学社

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

森ノ宮医療大学：E 棟 1F 非常勤講師控室／授業外対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	第 1 章「人体の仕組み」	[予習]教科書（P2～12）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
2	第 2 章「たんぱく質の構造とはたらき」①	[予習]教科書（P13～32）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
3	第 2 章「たんぱく質の構造とはたらき」②	[予習]教科書（P13～32）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
4	第 3 章「糖質の構造とはたらき」①	[予習]教科書（P33～50）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
5	第 3 章「糖質の構造とはたらき」②	[予習]教科書（P33～50）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
6	第 4 章「脂質の構造とはたらき」①	[予習]教科書（P51～62）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
7	第 4 章「脂質の構造とはたらき」②	[予習]教科書（P51～62）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
8	第 5 章「核酸の構造とはたらき」	[予習]教科書（P63～75）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
9	第 6 章「酵素の性質とはたらき」	[予習]教科書（P77～88）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
10	第 7 章「ビタミンの種類とはたらき」	[予習]教科書(P89～100)の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
11	第 8 章「水・無機質のはたらき」	[予習]教科書（P101～114）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
12	第 9 章「栄養素の消化・吸収」	[予習]教科書（P115～126）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之

13	第 10 章「生体の恒常性を保つシステム」	[予習]教科書（P127～136）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
14	第 11 章「エネルギーの消費と供給」	[予習]教科書（P137～150）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
15	第 12 章「生体の防御システム～免疫～」	[予習]教科書（P151～158）の確認　[復習]授業をもとに授業内容の確認	南方　克之
成績評価方法と基準			割合
定期試験　出題範囲：授業内で扱った範囲			定期試験 100%

授業科目名	病理学（作業）				
主担当教員	竹下　ひかり		担当教員	竹下　ひかり	
科目ナンバリング	SB20BOTB013	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患を中心に、その病因や成り立ち、病態を理解できるよう、さまざまな疾患についての詳細な解説を行う。

学修目標

病気の成り立ちを十分に理解し、その知識を将来臨床の場で生かせるようにする。(DP①)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

『病理学　第 5 版　シリーズ 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野』　監修 横井 豊治　ISBN 978-4-260-04986-3

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室は C 棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripa でご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病理学とは　　退行性病変と進行性病変①	・教科書第三章　の退行性病変（壊死、アポトーシス、変性、萎縮）について理解でき、退行性病変を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
2	退行性病変と進行性病変②	・教科書第三章の進行性病変（肥大、過形成、化生）について理解でき進行性病変を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
3	炎症①	・教科書第七章の急性炎症、慢性炎症について理解でき、説明できる。　・予習・復習に２時間	竹下　ひかり
4	炎症②　　再生と創傷治癒	・教科書第七章の炎症の種類について理解でき、説明できる。教科書第三章の再生と創傷治癒について理解し、説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
5	循環傷害①	・教科書第五章の循環障害（浮腫、充血とうっ血、出血）について理解でき、浮腫、充血とうっ血、出血を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
6	循環傷害②	・教科書第五章の循環障害（血栓症、塞栓症、虚血と梗塞、高血圧、側副循環）について理解でき血栓症、塞栓症、虚血と梗塞、高血圧、側副循環を説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり

7	免疫と感染症①	・教科書第六章の免疫（自然免疫と獲得免疫）について理解でき自然免疫と獲得免疫、免疫にかかわる細胞、抗体について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
8	免疫と感染症②	・教科書第六章の免疫について理解できアレルギー、免疫不全について理解できる。感染症について理解でき説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
9	腫瘍①	・教科書第八章の腫瘍（腫瘍の定義、腫瘍の命名と分類）について理解でき腫瘍の定義、腫瘍の命名と分類について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
10	腫瘍②	・教科書第八章の腫瘍（腫瘍の形態、転移、腫瘍の発生病理と原因）について理解でき腫瘍の形態、転移、腫瘍の発生病理と原因について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
11	先天異常と奇形①	・教科書第十章の先天異常について理解でき単一遺伝子疾患、メンデルの法則に従わない遺伝性疾患について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
12	先天異常と奇形②	・教科書第十章の先天異常について理解でき染色体異常症について説明できる。　奇形について理解でき発生原因、種類について説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
13	振り返りまとめ授業　代謝異常①	・教科書第四章の代謝異常（アミノ酸代謝障害、核酸代謝障害、脂質代謝傷害）について理解し、説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
14	代謝異常②	・教科書第四章の代謝異常（糖質代謝障害、色素代謝傷害）について理解し、説明できる。　・予習・復習に 2 時間	竹下　ひかり
15	重点項目の復習・定期試験	講義全体の振り返り　定期試験対策	竹下　ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末試験（DP②③）			100%

授業科目名	臨床病態学Ⅰ（作業）				
主担当教員	五十嵐 淳介		担当教員	五十嵐 淳介	
科目ナンバリング	SB20BOTB014	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①②に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。 1．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①②に対応 2．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①②に対応 3．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。DP①②に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．内科学（疾病の理解）は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。 2．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。 3．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずノートに板書内容を記載すること。 4．試験前に全部覚えるのは不可能であるから、日常からノートに沿って教科書を活用すること。 5．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。 6．疑問点は大切にし、解決に向けて自発的に行動を起こすこと。 7．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を

教科書

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野（医学書院、ISBN：978-4-260-05608-3）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜日昼休みのうち、掲示するもの。C棟七階15番研究室。電子メールによる面談予約を推奨。junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp ※上記以外の希望時間がある場合、事前にメールで相談すること。面談予約なき訪問には対応しない場合がある。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	循環器疾患（その１）：動脈硬化性疾患総論・血圧の異常	心血管系の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐 淳介
2	循環器疾患（その２）：虚血性心疾患・心筋の疾患・心不全	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐 淳介
3	循環器疾患（その３）：心臓弁膜症	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐 淳介
4	循環器疾患（その４）：心不全・不整脈	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐 淳介
5	循環器疾患（その５）：先天性心疾患・血管の疾	心血管系の解剖生理と循環器疾患の病態に	五十嵐 淳介

	患	ついて１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	
6	呼吸器疾患（その１）：呼吸器系解剖生理学・呼吸器感染症（１）	呼吸器系の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
7	呼吸器疾患（その２）：呼吸器感染症（２）・拘束性肺疾患	呼吸器系の解剖生理と呼吸器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
8	呼吸器疾患（その３）：閉塞性肺疾患・呼吸調節の異常を伴う疾患	呼吸器系の解剖生理と呼吸器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
9	呼吸器疾患（その４）：肺癌・その他の呼吸器疾患	呼吸器系の解剖生理と呼吸器疾患の病態について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見･治療を合理的に説明できるように1時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
10	腎・尿路疾患（その１）：泌尿器系解剖生理学・慢性腎臓病・糸球体疾患	泌尿器系の解剖生理について1時間予習し、学んだ疾患の病態･所見･治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
11	腎・尿路疾患（その２）：全身性疾患に伴う腎臓病・尿路感染症と結石・泌尿器系腫瘍・前立腺疾患	泌尿器系の解剖生理と腎･尿路疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見･治療を合理的に説明できるように1時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
12	腎・尿路疾患（その３）：電解質と酸塩基平衡の異常	体液とホメオスタシスの生理学的事項を一時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
13	血液疾患（その１）：血液総論・赤血球の疾患・白血球の疾患（１）	血液と血球系の生理学的事項を一時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
14	血液疾患（その２）：白血球の疾患（１）・血小板と凝固の異常	血液と血球系の生理学的事項と血液疾患の病態を一時間予習し、学んだ疾患の病態･所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
15	総括：確認テスト問題の振り返り	期間中に学んだ疾患の病態・所見・治療を１時間予習し、講義後には確認テスト問題や教科書を利用して1時間復習しておくこと。また、本授業の総まとめを 30 時間自宅学習すること。	五十嵐　淳介
成績評価方法と基準			割合
＜成績評価＞　１）１～１４コマの講義終了後に確認テストを実施する（小テスト）。選択式。MORIPA アンケート利用。講義資料・教科書を見ながら解答して構わない。講義終了後７２時間以内に提出せよ。正答率とともに、期限内に提出したか否かを重視する。未提出者は当該テストの評点を０点とする。（DP①②）　２）期末試験。マークシート式。定期試験期間内に実施。(DP①②)　※追再試験は規程に基づき一回だけ実施する。　＜フィードバックの方法＞　確認テストの解答は期間中に数回に分けて公表する。また確認テスト問題の内容につい			評価：　１）30%　２）70%

授業科目名	臨床病態学Ⅱ（作業）				
主担当教員	五十嵐　淳介		担当教員	五十嵐　淳介	
科目ナンバリング	SB20BOTB015	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①②に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。　1．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①②に対応　2．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①②に対応　3．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。DP①②に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．内科学（疾病の理解）は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。　2．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。　3．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずノートに板書内容を記載すること。　4．試験前に全部覚えるのは不可能であるから、日常からノートに沿って教科書を活用すること。　5．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。　6．疑問点は大切にし、解決に向けて自発的に行動を起こすこと。　7．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を

教科書

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野（医学書院、ISBN：978-4-260-05608-3）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜日昼休みのうち、掲示するもの。C棟七階15番研究室。電子メールによる面談予約を推奨。junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp　※上記以外の希望時間がある場合、事前にメールで相談すること。面談予約なき訪問には対応しない場合がある。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	消化器疾患（その１）：口腔と食道の疾患・胃の良性疾患	消化器系の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
2	消化器疾患（その２）：胃癌・炎症性腸疾患・大腸癌	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
3	消化器疾患（その３）：種々の消化管疾患・肝疾患総論・ウイルス性肝炎	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
4	消化器疾患（その４）：その他の肝疾患	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
5	消化器疾患（その５）：胆道疾患・膵疾患	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態に	五十嵐　淳介

		ついて１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	
6	内分泌疾患（その１）：内分泌器官の解剖生理学・視床下部-下垂体疾患・副腎疾患（１）	内分泌器官の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
7	内分泌疾患（その２）：副腎疾患（２）・甲状腺疾患（１）	内分泌器官の解剖生理と内分泌疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
8	内分泌疾患（その３）：甲状腺疾患（２）・副甲状腺疾患　代謝疾患（その１）：生体代謝の概観・糖尿病	内分泌器官の解剖生理・生体代謝・内分泌疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
9	代謝疾患（その２）：脂質異常症・尿酸代謝の異常・骨粗鬆症	生体代謝と代謝疾患の病態について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
10	膠原病・アレルギー疾患（その１）：生体防御総論・アレルギー・膠原病総論・膠原病各論（１）	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
11	膠原病・アレルギー疾患（その２）：膠原病各論（２）・膠原病類縁疾患・免疫不全症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
12	感染症（その１）：感染症総論・細菌感染症（１）	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
13	感染症（その２）：細菌感染症（２）・真菌症・原虫、寄生虫感染症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
14	感染症（その３）：ウイルス感染症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐　淳介
15	総括：確認テスト問題の振り返り	期間中に学んだ疾患の病態・所見・治療を１時間予習し、講義後には確認テスト問題や教科書を利用して１時間復習しておくこと。また、本授業の総まとめを 30 時間自宅学習すること。	五十嵐　淳介
成績評価方法と基準			割合
＜成績評価＞　１）１～１４コマの講義終了後に確認テストを実施する（小テスト）。選択式。MORIPA アンケート利用。講義資料・教科書を見ながら解答して構わない。講義終了後７２時間以内に提出せよ。正答率とともに、期限内に提出したか否かを重視する。未提出者は当該テストの評点を０点とする。（DP①②）　２）期末試験。マークシート式。定期試験期間内に実施。(DP①②)　※追再試験は規程に基づき一回だけ実施する。　＜フィードバックの方法＞　確認テストの解答は期間中に数回に分けて公表する。また確認テスト問題の内容につい			評価：　１）30%　２）70%

授業科目名	臨床病態学Ⅲ（作業）				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BOTB016	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

よき医療人として必要不可欠な病態学の知識・考え方について講義します。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようになること、各種疾患の病態・治療を論理的に理解・説明できるようになること、を学ぶと同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を修得する。また、リハビリテーションの実施中やスポーツ中に不慮の心肺停止が起こることを想定し、それに対応できる知識と処置の実際を学びます。その一例として、医療従事者として必要な心肺蘇生法について学びます。

学修目標

1．老化に関係する各種疾病の本質・病態を論理的に理解し、臨床症状・治療法・ケアが合理的に説明できる能力を修得する。　2．症状・徴候を学び、それらか示す意味を理解することで、患者の状態を説明・イメージできる能力を修得する。　3．心・呼吸停止、心肺蘇生について理論的に説明・イメージできるようになるとともに、心肺蘇生法の基本を学び修得する。　4．中枢神経系の解剖生理を通じ脳神経系共通の病態生理の理解を行う。これに基づき、各種疾患（神経・筋疾患）の論理的に理解し、臨床症状・治療法・ケアが合理的に説明できる能力を修得する。　5．その他の領域として、皮膚科（熱傷）、眼科、婦人科・泌尿器科疾患について各種疾病の本質・病態を論理的に理解し、臨床症状・治療法・ケアが合理的に説明できる能力を修得する　〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 初回講義を除き次回の講義範囲について指示しますので、参考書などの関連項目に目を通してきてください。　2. 講義項目毎に復習課題を提示しますので、それらを中心に講義内容を復習してください。　3. 復習課題をもとに出席を兼ねた復習テストを実施し、成績評価に使用します。　4. 講義中の質問等は問題ございませんが私語は慎んでください。積極的な参加も成績評価に加味します。

教科書

なるほどなっとく！脳神経内科学　南山堂　ISBNｺｰﾄﾞ：978-4-525-24971-7　本体価格：3,600 円

参考書

標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野　内科学(第 3 版)　ISBN978-4-260-01707-7（医学書院）　看護のための臨床病態学　改定 5 版（南山堂）　病気が見えるシリーズ

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟 5 階 508 研究室　　部屋にいれば基本的にはいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。　確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。　e-mail：　shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	救急医療の特徴､救急医療体制と搬送システム死の判定と心肺停止の基準　循環の 3 要素とショックの分類、ショック時の体液・循環動態と輸液療法の基本、心肺蘇生術	予習：特に必要なし　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
2	中枢神経系の解剖生理　頭部外傷	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
3	脳血管障害 1	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
4	脳血管障害２	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、	松﨑

		復習テストに備えること。	
5	認知症（アルツハイマー病・脳血管性認知症）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
6	大脳基底核疾患	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
7	運動神経・骨格筋の疾患	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
8	脳腫瘍、感染性疾患、てんかん、など	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
9	老年性疾患（１）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
10	老年性疾患（２）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
11	老年性疾患（３）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
12	その他の疾患（皮膚科・眼科・婦人科・泌尿器科疾患）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
13	症候学･症候論と老年症候群における代表的な症候の理解（１）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
14	症候学･症候論と老年症候群における代表的な症候の理解（2）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。	松﨑
15	授業全体の総復習テスト	予習:講義内で指示します　復習:講義内容を復習し定期テストに備える	松﨑
成績評価方法と基準			割合
①講義内実施小テスト：最大 30 点程度（3 回程度予定）　②総まとめテスト　①については、理由の如何に関わらず再試験・追試験は実施しない　②講義内容全範囲に対する理解度を確認する　最終成績評価は、①②の合計を最終成績とする。　出席は受験資格の判定のみに使用する。　出席回数は点数化はしないが、講義開始時に行う小テストは成績へと点数化される。　〈DP①②〉			①小テスト最大 30 点程度として　②総まとめテスト①と②の合計点(満点を 100 点)で成績評価を行う

授業科目名	整形外科学（作業）				
主担当教員	宮田　重樹		担当教員	宮田　重樹	
科目ナンバリング	SB20BOTB017	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限、水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

整形外科（運動器）疾患は、作業療法士が治療する中心の一つである。　四肢・体幹疾患の作業療法を行う上で知っておくべき整形外科学を学ぶ。　実習に際して必要な知識、国家試験に際して必要な知識、作業療法士として仕事するうえで必要な知識を学ぶ。　教科書、スライドを中心に進め、知識を深める。

学修目標

1. 整形外科疾患をどのように診断するのか学ぶ。　2. 整形外科疾患をどのように治療するのか学ぶ。　3. 整形外科疾患の保存療法と手術療法を学ぶ。　4. 整形外科疾患に対する治療をすすめる上で必要な整形外科学基礎知識を学ぶ。　5. 整形外科疾患が原因の身体障害者に対する基本的動作能力の回復を図るには､何が必要か学ぶ。 6. 運動器の問題を見つける目を育てる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

私語ｅｔｃ授業の妨げとなる生徒は退場してもらう。

教科書

整形外科テキスト　改訂５版　南江堂

参考書

整形外科疾患の理学療法　金原出版　運動機能障害症候群のマネジメント　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

講義日の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	運動器の構造と機能、姿勢、アライメント	授業に使うスライドのプリント	宮田　重樹
2	整形外科的診断法、整形外科的治療法	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
3	脊椎・脊髄（頸椎）疾患	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
4	脊椎・脊髄（腰椎）疾患	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
5	上肢疾患（肩、肘、手）とリハビリ	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
6	下肢疾患（股、膝、足）とリハビリ	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
7	骨代謝疾患・骨関節系統疾患	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
8	関節症・骨壊死	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
9	骨端症・関節リウマチ・感染性骨関節疾患・骨軟部腫瘍	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
10	ロコモ, フレイル、介護予防、介護保険	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
11	外傷 1	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
12	外傷 2	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
13	末梢神経障害、脊椎損傷	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
14	脊髄損傷	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹

15	スポーツ障害、痛み	授業に使うスライドのプリント　小テスト	宮田　重樹
成績評価方法と基準			割合
①定期試験　②小テスト〈DP①②〉			①84%　②16%

授業科目名	小児科学(人間発達学)(作業)				
主担当教員	伊藤　直子		担当教員	伊藤　直子／金森　幸	
科目ナンバリング	SB20BOTB018	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

作業療法の対象となる様々な小児疾患を知り、作業療法士として対峙するための手順を学習する。これまで学習した医療の基礎知識を再確認するとともに実際に子どもに出会ったときの健康管理、リスク管理ができること。チーム医療で必要な各種疾患の理解と作業療法との関係を説明し，次年度の治療学にむけた準備を行う。国家試験で求められる知識水準を取得し、様々な職域で対応できるように学習する。この授業は予習内容のプレゼンテ―ションを行う問題解決型のアクティブラーニングです。

学修目標

①1 年で学んだ基礎知識を再確認し、病態や検査法を理解する.<DP①②>　②出産後の機能的変化と、その後の発達期のリスクを理解する。<DP①②>　③作業療法の対象となった場合の、作業療法士の役割を理解する。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各疾患について 1 年生で学んだ内容を復習し、作業療法士として基本的な支援策を理解する形式の授業です。少子高齢化がすすむ社会で、低出生体重児や発達障害児の増加は重大な国民的課題である。作業療法士はひとりひとりの子どもの発達を見守り、健全な育成をはかる役割を担っている。病院や地域で出会う子どもたちの健康に配慮し、安全な教育環境ではぐくむための医療職としての基本的な知識と態度を学んでほしい。生活障がいと各種検査の関連、バイタルや聴診の意味を理解し,医療職に求められる技術水準を理解してください。

教科書

標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野「小児科学」第 6 版　医学書院　ISBN 978-4260050135　イラストでわかる発達障害の作業療法　監修上杉雅之、編集辛島千恵子　医歯薬出版株式会社 ISBN 978-4263217177　「小児リハ評価ガイド　統合と解釈を理解するための道しるべ」　楠本泰士/メジカルビュー社　ISBN　978-4758319485

参考書

リハビリテーションのための人間発達学第２版　編集大城昌平　メディカルプレス

研究室／オフィスアワー

月曜日か金曜日の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	小児科学概論・診断と治療の概要	予習：授業の進め方の理解。教科書の通読（序説・1 章・2 章）　復習：教科書全体の通読・様々な疾患の確認(2 時間)	伊藤
2	新生児・未熟児と疾患	予習：母子手帳の確認・教科書の通読（3 章)、授業シートの記入。　復習：地域の検診システムの調査等(2 時間)	澤田(理学療法学科)
3	先天異常と遺伝病	予習：教科書の通読（4 章)・小児にかかわる倫理指針　復習：早期の発達評価(2 時間)	伊藤・金森
4	神経筋骨系疾患	予習：神経筋障害の理解(解剖学・生理学・運動学)。教科書の通読(5 章)　復習：脳性麻痺・二分脊椎・筋ジストロフィーとその評価(2 時間)	伊藤・勝原
5	発達障害とその周辺、二次障害	予習：教科書の通読(6 章)・CT/MRI の見方 復習：LD,ADHD,ASD、知的障害とその評価(2 時間)	伊藤・金森

6	骨・関節疾患	予習：整形外科・教科書の通読(7章・21章)・レントゲンの見方　復習：子どもの事故防止(2時間)	伊藤・勝原
7	循環器疾患	予習：教科書の通読(8章)・心電図　復習：聴診①・移行期支援と作業療法(2時間)	伊藤・金森
8	呼吸器疾患・感染症	予習：教科書の通読(9章・10章)・バイタル・肺機能評価　復習：聴診②、スパイロメータ、排痰・吸引	伊藤・勝原
9	内部障害①	予習：教科書の通読(11章～14章)・血液検査の理解①、摂食嚥下障害・VF/VE　復習：糖尿病予防・健康管理(2時間)	伊藤・金森
10	内部障害②	予習：教科書通読(15章・16章)・血液検査の理解②　復習:栄養サポートチーム、緩和ケア(2時間)	伊藤・勝原
11	習癖・睡眠関連病態・心身医学的疾患	予習：教科書通読(17章)・「病弱・身体虚弱児教育」　復習:子どものヘルスプロモーション・不登校・学業不振(2時間)	伊藤・金森
12	重症心身障害児・医療的ケア児	予習:教科書通読(18章)・超重症/準超重症・CFCS　復習：生活の評価にそったコミュニケーション支援・アドボケートの技法(2時間)	伊藤・勝原
13	眼科的疾患・耳鼻科的疾患	予習:教科書通読(19章・20章)視覚と聴覚、体性感覚　復習:盲児・聾児・ロービジョンケア(2時間)	伊藤・金森(眼科)・勝原(耳鼻科)
14	子どもの評価の実際	予習：教科書通読(セルフアセスメント)・ICF　復習：試験準備(2時間)	伊藤・金森・勝原
15	全体を通じた確認事項	予習:教科書通読(全体)　復習:個々の疾患に作業療法の評価計画が立案できること(2時間)	伊藤・金森・勝原
成績評価方法と基準			割合
①出席/授業シートの提出　授業態度　<DP①②>　②定期試験　<DP①②>　各自の担当の調査や発表、質問の内容と態度。授業シート内容のまとめなど、提出物やテストで判断します。			①40%　②60%

授業科目名	精神医学（作業）				
主担当教員	正木　慶大		担当教員	正木　慶大	
科目ナンバリング	SB20BOTB019	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では精神医学を総論的に学ぶ。医学・医療における精神医学の意義と役割り、基本的な理念、精神医療の歴史を概観したのち、多様な精神症状の概念的知識と評価・検査法を体系的に学ぶとともに、身体的基盤を有する精神障害から環境や心理的側面の関与が大きい精神障害に至るまで精神障害の成因論と、薬物・身体療法および精神療法に関する基本的知識を体系的に習得する。

学修目標

１．精神医学の意義と基本的理念を理解し、説明できる。　２．基本的な精神症状の概念を理解し、用語を正しく使用できる。　３．精神障害を生物・心理・社会的な観点から多面的に捉えることができる。　４．精神疾患の分類体系を理解し、その概要を説明できる。　５．代表的な精神疾患の特徴を理解し、その概要を説明できる。　６．精神科的治療の種類と方法を理解し、その概要を説明できる。DP①②

履修上の注意(学生へのメッセージ)

将来医療従事者となる自覚を持ち、精神医学を学んでください。まず前期では精神疾患の概要を学んでもらいます。普段臨床の場で起こった出来事を交えながら講義を行っていく予定です。精神疾患は意外に身近な疾患です。精神疾患は一見するととっつきにくい言葉も多く難しい印象がありますが、理解すればわかりやすく自身のメンタルヘルスにも生かせることがあります。精神医学を楽しく学びましょう。そして後期の精神医学につなげていきます。

教科書

精神医学マイテキスト 改訂 2 版、金芳堂　B5 判・216 頁、定価（本体 3,800 円＋税）

参考書

「精神神経疾患ビジュアルブック」学研メディカル秀潤社　　B5 判・326 頁、定価（本体 3,600 円＋税）

研究室／オフィスアワー

非常勤講師なので質問は講義終了後に教室内で受けることにします。Web 講義の場合はメール等で対応する予定です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	精神医学概論	予習：教科書 39～44、195～203　復習：精神科の歴史・法律・医療体系などを見直す。	正木　慶大、小川　泰弘
2	中枢神経の解剖と生理	予習：教科書 30～38　復習：精神科に関連する中枢神経の解剖、生理学の基礎知識を見直す。	正木　慶大、小川　泰弘
3	神経徴候	予習：教科書 15～29　復習：精神状態の異常（意識障害・記憶障害・失語）特にせん妄も含めて理解する。	正木　慶大、小川　泰弘
4	F1 精神作用物質による精神および行動の障害	予習：教科書 109～115　復習：アルコール依存症、その他の依存症を理解する。	正木　慶大、小川　泰弘
5	F2 統合失調症圏①総論	予習：教科書 63～74　復習：統合失調症の概要（疫学や仮説について）理解する。	正木　慶大、小川　泰弘
6	F2 統合失調症圏②各論	予習：教科書 63～74　復習：統合失調症の治療について理解する。	正木　慶大、小川　泰弘
7	F3 気分障害①総論	予習：教科書 75～84　復習：気分障害の概要を理解する。	正木　慶大、小川　泰弘
8	F3 気分障害②各論	予習：教科書 75～84　復習：気分障害の治療および自殺について理解する。	正木　慶大、小川　泰弘

9	F0 器質性精神障害①総論	予習：教科書 117～129　復習：認知症の概要を理解する。	正木　慶大、 小川　泰弘
10	F0 器質性精神障害②各論	予習：教科書 117～129　復習：代表的な認知症の症状や治療介入について症例を交えて理解する。	正木　慶大、 小川　泰弘
11	F4 神経症性・ストレス関連障がい	予習：教科書 85～10　復習：パニック障害・不安障害・強迫性障害・ストレス反応・身体表現性障害等を理解する。	正木　慶大、 小川　泰弘
12	F5 生理的障がい・身体的要因に関連した行動症候群	予習：教科書 139～148、157～169　復習：睡眠障害・摂食障害等を理解する。	正木　慶大、 小川　泰弘
13	F6 人格障害	予習：教科書 103～108　復習：人格障害について理解する。	正木　慶大、 小川　泰弘
14	てんかん、心理検査、児童思春期の精神障がい、など	予習：教科書 45～51、131～138、149～156 復習：てんかん、発達障害、心理検査等の理解をする。	正木　慶大、 小川　泰弘
15	授業全体のまとめ	予習：1～14 を見直す。	正木　慶大、 小川　泰弘
成績評価方法と基準			割合
定期試験 DP①②			100%

授業科目名	精神医学各論（作業）				
主担当教員	正木 慶大		担当教員	正木 慶大	
科目ナンバリング	SB20BOTB020	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期で学習した精神医学についての復習を行い、興味ある分野についてさらに掘り下げて講義を行う。また症例について知る機会を作る。さらに全員に対してプレゼンテーションする機会を作る。

学修目標

1. 前期で学習した精神医学に基づき、精神症候の機能領域・精神疾患の症候学的分類にもとづいて体系的に理解することを身につける。 2. 前期で学習した精神医学に基づき、代表的な精神疾患の病態・診断・治療に関する基本的知識をさらに充実させる。3.「精神医学とは何か？」を bio-psycho-social という 3 視点で考える姿勢を身につける。 4. 発表等のプレゼンテーション能力を身につける。DP①②

履修上の注意(学生へのメッセージ)

前期は講義中心でまず精神医学の知的を身に着けていただきました。後期はその復習からスタートし、興味分野の研究について紹介します。また座学だけではなく、参加型の模擬症例見学、全員を班に分けて班ごとに課題を与えてプレゼンテーションを行ってもらいます。

教科書

精神医学マイテキスト 改訂 2 版、金芳堂 B5 判・216 頁、定価（本体 3,800 円＋税）

参考書

「精神神経疾患ビジュアルブック」学研メディカル秀潤社 B5 判・326 頁、定価（本体 3,600 円＋税）

研究室／オフィスアワー

非常勤講師なので質問は講義終了後に教室内で受けることにします

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション・復習①	予習：前期の講義資料 復習：講義内容を振り返る。	正木 慶大、小川 泰弘
2	復習②	同上	正木 慶大、小川 泰弘
3	テーマ学習①内容は選択	予習：特になし 復習：講義内容を振り返る。	正木 慶大、小川 泰弘
4	テーマ学習②内容は選択	同上	正木 慶大、小川 泰弘
5	演習①（症例学習）	予習；教科書 53～62 復習：講義内容を振り返る。	正木 慶大、小川 泰弘
6	演習②（症例学習）	同上	正木 慶大、小川 泰弘
7	課題発表①統合失調症	予習：あらかじめ論文を発表班はプレゼンテーションを作る。質問班は質問を考える。その他の班は論文を読む。 復習：理解を深める。	正木 慶大、小川 泰弘
8	課題発表②統合失調症	同上	正木 慶大、小川 泰弘
9	課題発表③気分障害	同上	正木 慶大、小川 泰弘
10	課題発表④気分障害	同上	正木 慶大、小川 泰弘

11	課題発表⑤認知症	同上	正木　慶大、 小川　泰弘
12	課題発表⑥認知症	同上	正木　慶大、 小川　泰弘
13	課題発表⑦精神作用物質	同上	正木　慶大、 小川　泰弘
14	課題発表⑧精神作用物質	同上	正木　慶大、 小川　泰弘
15	最終講義	予習：特になし　復習：最終課題について考える。	正木　慶大、 小川　泰弘
成績評価方法と基準			割合
各プレゼンテーションの出来栄えについて＋提出課題 DP①②			100%

授業科目名	臨床心理学（作業）				
主担当教員	神澤　創		担当教員	神澤　創	
科目ナンバリング	SB20BOTB021	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床心理学は心の健康を維持・増進するための理論と技法からなり、その背景には長年にわたる、科学的心理学と臨床実践の積み重ねがある。本講義では、心理的健康に関する基本的な理論とアセスメントおよび心理的支援技法について学ぶことを目的とする。基本的には講義形式で行うが必要に応じて、視聴覚教材の活用や心理検査実習、ロールプレイなどを導入する。

学修目標

１．　患者・利用者・クライエントなどと呼ばれる人たちの心理的側面に配慮できるようになる。　２．作業療法評価の一つとして、臨床心理学的視点を加えられるようになる。　３．講義で学んだ知識や技術を実際に臨床場面で活用できるようになる。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業計画表はあくまでも予定ですので、進度に合わせて変更することもあります。

教科書

適宜資料を配布します。

参考書

「臨床心理面接の実践」心理学のポイント・シリーズ」第９巻　臨床心理学、玉瀬耕治編、学文社　「PACT モデル～精神保健コミュニティケア　プログラム～」Ｄ．オールネス著亀島信也・神澤創監訳,メディカ出版

研究室／オフィスアワー

講義日_非常勤講師なので質問は講義終了後に教室内で受けることにします.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　臨床心理学とは何か	予習：こころとからだを柔らかくしてくる。　復習：推奨される文献を読み、映画を観る。	神澤
2	臨床心理学の基礎理論　1　力動論	予習：「夢」を記録してみる。　復習：「無意識」について考えてみる。	神澤
3	臨床心理学の基礎理論　2　行動論	予習：犬と猫ではどちらが「賢い」か考えてみる　復習：「学習」の意味を確認する	神澤
4	臨床心理学の基礎理論　3　人間性心理学	予習：「自分らしさ」について考えてみる 復習：心の「成長」について考えてみる。	神澤
5	心理アセスメント　1　検査と面接	予習：アセスメントの目的について考える 復習：アセスメントの意味を確認する	神澤
6	心理アセスメント　2　投影法	予習：精神力動論を復習しておく。　復習：無意識の意味について確認する。	神澤
7	心理アセスメント　3　質問紙法	予習：「占い」と「心理テスト」の違いについて考えてくる。　復習：質問紙の特性について理解する。	神澤
8	心理療法の実際　1　カウンセリングの基本	予習：できれば映画グッドウイルハンティング」か「普通の人々」を観る。　復習：人の話しを聴いてみる	神澤
9	心理療法の実際　2　ブリーフセラピー	予習：MRI（Mental Rsearch Instittute）の HP をのぞいておく　復習：使えそう技法を練習する。	神澤

10	心理療法の実際　３　認知行動療法とＳＳＴ	予習：ＳＳＴ普及協会のＨＰをのぞいてくる　復習：実習先での活動を見学する	神澤
11	心理療法の実際　４　表現療法「コラージュ療法」	予習：自分が気になった絵や写真を集めておく　復讐：ひとりでやってみる	神澤
12	心理療法の実際　５　サイコドラマ	予習：テレビなどでコントや漫才のロールプレイを観ておく　復讐：「役割」と「本当の自分」の違いについて考える	神澤
13	デス・エデュケーション	予習：グリーフケアについて調べてみる　復習：自分にできそうなグリーフケアについて考える	神澤
14	若者の自殺と SOS の受け止め方	予習：日本自殺予防学会のホームページをのぞいてくる　復習：自分にできそうな自殺対策について考える	神澤
15	講義全体のまとめと振り返り	後期に学んだ内容について整理する	神澤
成績評価方法と基準			割合
筆記試験　60 点以上　平常点　〈DP②③〉			100%

授業科目名	医療関係法規論（作業）				
主担当教員	李 庸吉		担当教員	李 庸吉	
科目ナンバリング	SB20BOTB023	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

ここで勉強することになる分野は「医事法」と称される領域になりますが、それは憲法をはじめ民法、刑法、行政法等、複数の法の複合領域ともいえます。そこで、まず医事法全体を概観しながら法の基本的な概念を身につけていき、次いで作業療法士にとって関連の深い諸法について学び、裁判例などにも触れてみたいと思います。また、実際の報道事例や医療ドラマ、法廷ドラマなども活用し、法の実践がどのようになされているかある種の疑似体験を通して一緒に考え、学ぶことも予定しています。

学修目標

1. 作業療法士に関連を有する法律並びに行政について理解させる。 2. 基本的な法概念と法感覚を身につけた上、理学療法士及び作業療法士法を理解させる。 3. 医師法はじめとする医療関係者法並びに医療法の概要、さらに作業療法士の法的な位置づけについての知識を習得させる。 4. また責任法という観点から、法を学ぶことが医療者の行動指針につながることも理解させる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

他の教科もそうでしょうが、法学も一夜漬けでどうこうできるものではありません。欠席が多いと訳が分からなくなるのは必至でしょうから、毎回の出席と復習が何より大事だと思います。

教科書

手嶋豊『医事法入門[第６版]』（有斐閣アルマ）

参考書

授業の中で適宜ご紹介いたします。

研究室／オフィスアワー

非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	イントロダクション、医療者が法を学ぶ意義	配布資料を基に復習することが望ましいと思います。まずは用語に慣れることも念頭においておくとよいでしょう。	李 庸吉
2	法とは何か、法の種類と体系	同上　また、最初は予習より復習の方に主眼をおくことでよいと思います。	李 庸吉
3	医療と人権（総説）	同上　個別具体的な事項については講義の中で適宜お伝えします。	李 庸吉
4	自己決定権、プライバシー権等	同上	李 庸吉
5	医療における刑法上の問題（総説）	同上	李 庸吉
6	終末期医療、安楽死、尊厳死等	同上	李 庸吉
7	医療における民法上の問題（総説）	同上	李 庸吉
8	医療契約、不法行為、医療事故	同上	李 庸吉
9	生殖補助医療と生命倫理	同上	李 庸吉
10	理学療法士及び作業療法士法①	同上	李 庸吉
11	理学療法士及び作業療法士法②	同上	李 庸吉

12	医療関係者法（医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法）	同上	李 庸吉
13	医療法（医療提供の理念、医療提供施設及びその管理等）	同上加えて参考資料等を適宜紹介するようにします。	李 庸吉
14	医療安全（医療の質、リスクマネジメント等）	同上	李 庸吉
15	講義全体のまとめと振り返り	試験に向けて総復習となるでしょうが、とにかく反復すること、考えることがしっかりした理解にも結びつきます。　法学は決して暗記オンリーの科目ではないことに留意する必要があるでしょう。	李 庸吉
成績評価方法と基準			割合
筆記試験			100%

授業科目名	チームリハビリテーション概論（作業）				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔／橋本　弘子／鮎澤　俊平／南都　智紀／芝　さやか／中谷　謙	
科目ナンバリング	SB20BOTB024	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

近年、社会・医療現場におけるリハビリテーションのニーズが高まる中、QOL の向上、質の高いリハビリテーションの提供には、各専門職の役割・専門性を理解し、共通の目標に向け互いに専門性を活かし合いながら協働・連携することが不可欠である。そのため本講義では、チームリハビリテーションの概念や重要性、リハビリテーション専門職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割・専門性を理解、学修し、社会・医療現場での多職種連携を卒前より想起できるよう教授する。　（理学療法学　三木屋　良輔／5 回）　リハビリテーションにおける理学療法の位置づけを理解し，理学療法の概念，歴史，理論，具体的手段にについて学修する．　（芸術療法　橋本　弘子／５回）　芸術療法（ダンスセラピー、補完医療など）の体験を通じて自身や他者に表れた身体的・精神的効果を実感し、その効果がなぜ表れるのかを脳機能からも理解し、芸術療法がどのようにリハビリテーションに生かされるのかについて教授する。　（言語聴覚療法学　中谷謙、芝さやか、南都智紀、鮎澤俊平／５回）　リハビリテーションにおける言語聴覚療法の位置づけを理解し、失語・コミュニケーション、摂食嚥下、小児領域について学修する.

学修目標

（理学療法学）　・理学療法を概観し，理解する.　・作業療法と理学療法の違いを理解する.　・理学療法に関する基本的知識を知る.　（芸術療法　橋本　弘子／5 回）　・芸術療法（集団療法、ダンスセラピー、補完医療など）の体験する.　・芸術療法を経験し身体的・精神的効果がなぜ表れるのかを脳機能からも理解する.　（言語聴覚療法）　・言語障害について理解し、意思伝達時の留意点・工夫などを体得する。　・嚥下障害について理解し、理学療法士・作業療法士がどのように介入できるかを考えられるようになる.　〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・理学療法では、運動療法を中心に講義を展開しますが、リハビリテーション場面では作業療法と関わることが多いので、積極的に講義に参加してください。　・芸術療法論においては、体験することで自身に起こった変化を鋭敏に察知して、それらが身体や精神、認知に与える影響などを考える機会としてほしい。そのため 5 回の講義をひとくくりと考え欠席をしないでくださ　い。　1. 芸術療法の概念を学んだ後、体験を通し理解を深める　2. 体験を通して身体とこころのあり方を学ぶ　・言語聴覚療法の講義内容は、作業療法士にとって有用な内

教科書

（理学療法）　・適宜，資料を配布する　（芸術療法）　・特に定めない　（言語聴覚療法）　・適宜，資料を配布する

参考書

＜芸術療法＞　表現アートセラピー入門　小野京子　誠信書房

研究室／オフィスアワー

理学療法学科教員：金曜日午後以外（三木屋：葵棟５階）　作業療法学科教員：研究室 C 棟 7 階研究室にて、授業・会議などない時間で随時対応する（橋本：C 棟 7 階 22　）　言語聴覚学科教員：葵棟研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	リハビリテーション医療と理学療法	予習：１年次のリハビリテーション概論を復習しておく。　復習：授業内容をまとめ，作業療法、理学療法の共有点、相違点	三木屋

		を理解する.　（1 時間）	
2	運動と身体	予習：1 年次に学修した「人体の機能Ⅰ・Ⅱ」について復習しておく.　復習：授業内容をまとめ，運動中に生じる身体の機能と変化に理解する.　（1 時間）	三木屋
3	運動療法	予習：１年次の基礎運動学（関節運動）を復習しておく。　復習：授業内容をまとめ，関節可動域の治療について理解する.（1 時間）	三木屋
4	物理療法	予習：事前に配布した資料を熟読し，物理療法の知識を深めておく.　復習：授業内容をまとめ，物理療法の適応と禁忌について理解する.　（1 時間）	三木屋
5	理学療法の実際と授業のまとめ	予習：運動学・力学を復習しておく.　復習：授業内容を身体機能と照らし合わせて理解する.　（1 時間）	三木屋
6	ニューロダンス	予習：リハビリテーションにおけるダンスの在り方について調べておく。　復習：ダンスを体験し、身体的および精神的変化を体験する。体験した事について認知機能面からレポートにまとめ提出する　（1 時間）	橋本
7	化粧療法	予習：化粧療法について調べておく。　復習：化粧療法を体験し、身体的および精神的変化を体験する。体験した事について感想や自身の考えをレポートにまとめ提出する。　（1 時間）	橋本
8	化粧療法	予習：化粧療法について調べておく。　復習：化粧療法を体験し、身体的および精神的変化を体験する。体験した事について感想や自身の考えをレポートにまとめ提出する。　（1 時間）	橋本
9	動物介在療法	予習：動物介在療法について予習を行う復習：学んだこと経験したことで自身の考えがどのように変化したか、今後の作業療法との接点を考察しまとめる　（1 時間）	橋本
10	動物介在療法	予習：動物介在療法について予習を行う復習：学んだこと経験したことで自身の考えがどのように変化したか、今後の作業療法との接点を考察しまとめる　（1 時間）	橋本
11	言語聴覚療法について	予習：言語聴覚療法と言語聴覚士の役割について調べておく。　復習:学修内容をまとめ、理解する。　（1 時間）	中谷謙
12	摂食・嚥下障害　その１	予習：摂食・嚥下障害について調べておく。復習：学修内容をまとめ、理解する。　（1 時間）	南都智紀
13	小児領域の言語聴覚療法	予習:小児の発達について調べておく。　復習：学修内容をまとめ、理解する。　（1 時間）	鮎澤俊平
14	失語・コミュニケーション	予習：失語症と対人コミュニケーションの方法について調べておく。　復習:学修内容をまとめ、理解する。　（1 時間）	芝さやか
15	摂食・嚥下障害　その２	予習：摂食・嚥下障害について調べておく。復習：学修内容をまとめ、理解する。　（1 時間）	南都智紀
成績評価方法と基準			割合
①提出物・レポート・小テスト・出席状況（2/3）＜DP②③④＞　これらを総合的に評価する			①100%

授業科目名	介護学概論･ボランティア活動論（作業）				
主担当教員	上田　喜敏		担当教員	上田　喜敏	
科目ナンバリング	SB20BOTB025	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

介護学概論では、日本の高齢者や障害のある人々のケア（介護）ついて述べる。具体的には介護に必要な基本技術について述べてゆき、理解を深める。将来介護保険などの関係者と協業したり、介護保険現場に就職した時に必要な介護の基本について理解する。ボランティア活動論ではボランティアについての理解と医療人として障害のある人々や高齢者の方を思える人間形成として学ぶ。

学修目標

1.ケア（介護）について理解する。<DP②>　2.日本の社会制度について理解することができる。<DP②>　3.ボランティアについて理解することができる。<DP③>　　4.車いす介助操作を理解する。<DP①>　5.自発性を養うことができる。<DP③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.必ず復習はすること（初めての言葉等が多いので）　2.興味を持つこと　3.講義中は携帯電話等はカバンに入れること　4.車いす介助の実技がある（季節によって前にする場合がある）

教科書

配布資料ですすめる。

参考書

介護支援専門員テキスト

研究室／オフィスアワー

上田：研究室 7/木曜日午前

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	社会保障について	予習：初回でなし　復習：社会保障について確認（2 時間）	上田　喜敏
2	社会保障と社会構造	予習：社会保障制度について（2 時間） 復習：社会保障制度と社会構造の変化について確認（2 時間）	上田　喜敏
3	社会保障（介護保険の背景）について と介護目的	予習：介護居ついて調べる（2 時間）　復習：介護の目的について確認（2 時間）	上田　喜敏
4	車いす	予習：車いすに就て調べる（2 時間）　復習：車いすについて確認（2 時間）	上田　喜敏
5	介護保険	予習：介護保険について調べる（2 時間） 復習：介護保険制度について確認する（2 時間）	上田　喜敏
6	介護保険（居宅サービス）	予習：居宅サービスについて調べる（2 時間）　復習：居宅サービスについて確認（2 時間）	上田　喜敏
7	介護保険（その他と施設）	予習：施設について調べる（2 時間）　復習：その他のサービスと施設について確認（2 時間）	上田　喜敏
8	高齢者支援	予習：介護について調べる（2 時間）　復習：介護と食事介護について確認（2 時間）	上田　喜敏
9	排泄	予習:排泄について調べる(2 時間)　復習:排泄についてまとめる（2 時間）	上田　喜敏
10	褥瘡と安眠	予習:褥瘡について調べる(2 時間)　復習:褥瘡・安眠についてまとめる。	上田　喜敏

11	入浴と口腔	予習：浴槽で入りについて調べる（2 時間） 復習：入浴と口腔について確認	上田　喜敏
12	ボランティアとコミュニケーション	予習:ボランティアについて調べる(2 時間) 復習：ボランティアについて確認	上田　喜敏
13	言葉遣いと虐待	予習:虐待について調べる(2 時間)　復習: 言葉遣いと虐待について確認（2 時間）	上田　喜敏
14	車いす介助	実技での練習	上田　喜敏
15	福祉用具について	実技での練習	上田　喜敏
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験（90 点）　2.レポート等（10 点）　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP①②③〉			1. 90%　2. 10%

授業科目名	基礎作業学（作業）				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳／橋本　弘子／小川　泰弘／塚越　千尋	
科目ナンバリング	SS20BOTA001	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義は，作業療法の治療手段である作業の体験を通し作業を多面的に理解することを目的とする．　作業活動を行うために必要な認知・身体機能，作業活動が人に及ぼす心理・認知・身体への影響，さらには作業活動が人と人との関係に及ぼす社会的な影響について理解を深める.加えて，作業活動の分析を通して作業や作品の持つ特性，リスク，文化的な側面など，作業の特徴を踏まえた治療的応用についても学修する．　本講義を通し，作業療法の核である「人が営む作業」に関心を持ち，集団の中で協調して動くことができるようになることが目標である．各種作業活動に関心を抱き，感性豊かに探究心を持って挑んでほしい．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です.全教員が全ての講義を担当します.

学修目標

・作業療法で用いる作業活動の実践を通し，作業活動に必要な工程を知る〈DP①④〉　・作業活動と心理面・認知機能面・身体機能面との関連を理解し説明できる〈DP①④〉　・作業活動の工程分析を通じ，作業活動に含まれる治療効果について理解する〈DP①④〉　・作業活動の準備・計画・実施を行うことができる〈DP①④〉　・作業活動を行い，その作業実施に必要な環境・身体機能・材料・手順を説明することができる〈DP①④〉　・作業分析を通し，作業の特徴（要素）を理解し説明できる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

作業活動を経験しながら学びます．準備物は適宜指示します．　作業活動の実践を通し，自分自身の心理面や身体面の変化を感じ、言語化して説明するよう努力してください．　グループワークでは，意見交換や役割を担うなど積極的に参加してください．　制作した作品やレポート課題の提出は期限を厳守すること．　陶芸は外部施設での体験になるため，授業日程が変更される可能性があります．　グループで分析した手工芸は地域在住高齢者の方々の協力を得て実際の作業提供を経験します．十分な計画・準備が必要です．作業療法学生としてふさわしい失礼

教科書

『標準作業療法学　専門分野　基礎作業学』濱口豊太編/医学書院　ISBN 978-4-260-03055-7

参考書

1）『 つくる・あそぶを治療にいかす作業活動実習マニュアル」監修：古川宏/　医歯薬出版株式会社　2）「基礎作業学（作業療法学全書）改訂第 3 版 澤田 雄二（著，編集)』 日本作業療法士協会（監修，監修)/ 協同医書出版社

研究室／オフィスアワー

担当教員の研究室／木曜日午前

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション：基礎作業学とは（講義の目的・実施方法）　作業分析の方法と理解	予習：教科書を読み基礎作業学の学修目的を理解する（２時間）．　復習：作業分析の方法についてまとめる（２時間）．	全教員
2	折り紙①:作業活動を行うために必要な身体機能の理解	予習・復習：作業活動（折り紙・くす玉づくり）に関連する身体機能についてまとめる（２時間）．	全教員
3	折り紙②:作業活動を行うために必要な認知機能の理解	予習・復習：作業活動（折り紙）に関連する認知機能についてまとめる（２時間）．	全教員
4	折り紙③：作業活動と心理機能・リスクの関連.	予習：作業活動（折り紙）に関連する心理機能とリスクについてまとめる（２時	全教員

		間）．　復習：くす玉づくりの作業分析をテキストを見ながらまとめる（2 時間）．	
5	七宝焼き①（金工）：作業活動の特徴・工程・技法・環境・リスクの理解	予習：七宝焼きの制作方法，工程，準備物，リスクについて調べる（2 時間）．　復習：七宝焼きの特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスクについてまとめる（2 時間）．	全教員
6	七宝焼②（金工）：作業活動の特徴・身体的側面の理解．	予習：七宝焼きの特徴について調べる（2 時間）．　復習：七宝焼きの特徴・身体的側面について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
7	手工芸①：実施する作業活動（手工芸）の歴史と文化，特徴・工程・道具と材料・技法・環境の理解．	予習：実施する手工芸の歴史と文化，製作方法，工程，準備物，リスクについて調べ，作品案を考える（2 時間）．　復習：担当教員に相談しながら実施計画書を作成し，製作できるよう準備する（2 時間）．	全教員
8	革細工①：革細工の歴史と文化，特徴，工程，道具と材料の管理・使用方法，技法，環境の理解．	予習：革細工の歴史と文化，工程，道具と材料の管理・使用方法，技法，環境について調べる．　復習：革細工の特徴について理解したことをまとめる（２時間）．	全教員
9	革細工②：革細工の特徴，工程，道具と材料の管理・使用方法，技法，環境と身体的側面の理解．	予習：革細工の特徴，工程，仕様物品の管理・使用方法，技法，環境と身体的側面について調べる（2 時間）．　復習：革細工の特徴について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
10	革細工②：革細工の特徴，工程，仕様物品の管理・使用方法，技法，環境・リスクの理解と身体的側面の関連．	予習：革細工の特徴，工程，仕様物品の管理・使用方法，技法，環境と身体的側面について調べる（2 時間）．　復習：革細工の特徴について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
11	革細工④：革細工の特徴，工程，仕様物品の管理・使用方法，技法，環境・リスクと学習・認知的側面の関連．	予習：革細工の特徴，工程，仕様物品の管理・使用方法，技法，環境・リスクと学習・認知的側面の関連について調べる（2 時間）．　復習：革細工に関連する学習・認知的側面について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
12	革細工⑤：革細工の特徴，工程，仕様物品の管理・使用方法，技法，環境・リスクと心理的側面との関連．革細工の治療的応用の理解．	予習：革細工の特徴，工程，仕様物品の管理・使用方法，技法，環境・リスクと心理的側面の関連および治療的応用について調べる．復習：革細工の心理的側面と治療的応用についてまとめる（2 時間）．	全教員
13	手工芸②：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスクの理解．	予習：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスクについて調べる（2 時間）．　復習：実施する手工芸の作業活動の特徴について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
14	手工芸③：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスク・身体的側面との関連．	予習：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスク・身体的側面について調べる（2 時間）．　復習：実施する手工芸の作業活動の特徴について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
15	手工芸③：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスク・認知的側面との関連．	予習：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスク・認知的側面の関連について調べる（2 時間）．　復習：実施する手工芸の作業活動の特徴について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
16	手工芸⑤：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスク・心理的側面との関連．	予習：実施する手工芸の作業活動の特徴・工程・道具と材料・技法・環境・リスク・心理的側面の関連について調べる（2 時間）．　復習：実施する手工芸の作業活動の特徴について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員
17	陶芸①：作業活動の特徴と治療的応用の理解．ひもづくりで作る小鉢，手回しろくろで作るマグカップ　陶芸の基本的な流れ（作成ー素焼きー色付けー焼成）について学ぶ．	予習：陶芸の技法，制作方法，工程，技法，道具と材料，環境，リスクについて調べる（2 時間）．　復習：陶芸の特徴について理解したことをまとめる（2 時間）．	全教員

18	陶芸②:作業活動の特徴と治療的応用の理解．ひもづくりで作る小鉢,手回しろくろで作るマグカップ　陶芸の基本的な流れ(作成一素焼き一色付け一焼成）について学ぶ.	予習：陶芸の技法，制作方法，工程，技法，道具と材料,環境,リスクについて調べる(2時間）．　復習：陶芸の特徴について理解したことをまとめる（2時間).	全教員
19	陶芸③：まとめ・陶芸の心身への影響・治療的応用の理解	予習:陶芸の心身への影響・治療的応用について調べる（2時間）．　復習：陶芸の心身への影響・治療的応用について理解したことをまとめる（2時間).	全教員
20	教授法：作業の治療的応用の理解・目的・手段としての作業の理解	予習:他者へ提供する際のポイント・留意点について調べる（2時間）．　復習：他者へ提供する計画と準備を行う（2時間).	全教員
21	手工芸⑥:提供する手工芸の治療的応用の理解と提供準備	予習：提供する手工芸の準備を担当教員への相談とともに、グループで相談して行う（2時間）．　復習：提供する手工芸の計画と準備を行う（2時間).	全教員
22	手工芸⑦：地域在住高齢者への手工芸作業提供.	予習：提供する手工芸の準備を担当教員への相談とともにグループで協力して行う（2時間）．　復習：参加した高齢者から聴取した感想や意見を踏まえ，提供方法の振り返りや治療的応用について考える（2時間).	全教員
23	手工芸⑧：地域在住高齢者への手工芸作業提供.	予習：提供する手工芸の準備を担当教員への相談とともにグループで協力して行う（2時間）．　復習：参加した高齢者から聴取した感想や意見を踏まえ提供方法の振り返りや治療的応用について考える（2時間).	全教員
24	手工芸⑨:実施した手工芸の特徴と治療的応用の理解	予習：提供した手工芸について高齢者の感想や意見を踏まえ，作業活動の特徴を理解する（2時間）．　復習：作業活動の特徴をまとめ，作業分析の発表準備を行う（2時間).	全教員
25	手工芸⑨：手工芸の製作・提供を通した特徴（歴史的・文化的意味，工程・道具・材料・技法の理解，身体的・認知的・心理的側面との関連，治療的応用）の理解	予習：手工芸を用いた作業療法の文献を調べる（2時間）．　復習：手工芸を用いた治療的応用についてまとめ，発表準備を行う（2時間).	全教員
26	手工芸⑩：実施・提供した手工芸の治療的応用の発表・理解	予習：グループで協力して発表準備を行う（2時間）．　復習：他の発表を聴いて理解したことをまとめる（2時間).	全教員
27	手工芸⑪：実施した手工芸の治療的応用の発表・理解	予習：グループで協力して発表準備を行う（2時間）．　復習：他の発表を聴いて理解したことをまとめる（2時間).	全教員
28	手工芸⑫：実施した手工芸の治療的応用の発表・理解	予習：グループで協力して発表準備を行う（2時間）．　復習：他の発表を聴いて理解したことをまとめる（2時間).	全教員
29	手工芸⑬：手工芸の特徴（作業の要素）の理解	予習:発表で聞いた手工芸作業の特徴・要素について調べる（2時間）．　復習：他の発表を聴いて理解したこと（作業の特徴・要素）をまとめる（2時間).	全教員
30	目的としての作業・手段としての作業の理解	予習:目的としての作業・手段としての作業に関連した文献を読む（2時間）．　復習：基礎作業学で学修したことをまとめてレポートする（2時間).	全教員
成績評価方法と基準			割合
1.作業活動実施後に作業活動の結果の作品やレポート課題<DP①④>　2.作業活動の準備・計画・実施・発表課題＜DP①④＞　　3.定期試験（作業の治療的目的と作業分析，治療効果についての設問と基礎作業学領域における国家試験に出題される問題＜DP①④＞　　・4/5 以上の出席が必要。　レポート課題や発表へのフィードバックは講義内で行う．質問がある場合は講義内及びメールで受け付ける．定期試験は返却はしないが，1週間程度の期間で希望者には説明を行う.			1.40%　2.20% 3.40%

授業科目名	作業科学入門（作業）				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子／塚越　千尋	
科目ナンバリング	SS20BOTA002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

作業を分析して利用することは作業療法の核である．中でも大切なことは，クライエントが必要とする作業が，個人にとってどのような意味を持ち，どの程度ニーズに沿ったものであるのかということである．対象者を作業的存在として捉え，クライエント中心の援助が行えるよう作業の概念を構築する．また，実際の作業場面を通して，その人らしさや作業ニーズをとらえる技術を教授する．　（東泰弘：前半 7 回）　作業療法評価および介入の核となる作業について，作業の意味，機能，形態の解説を行い，人の生活・人生と作業との関係について教授する．（作業の形態，作業の意味，作業の機能，作業の領域）できるようにする．加えて，作業療法の作業の歴史を振り返ることの重要性を知り，作業的存在の意味を考察できるようにする．　（橋本　弘子：後半 7 回）　人が日々の生活へ参加・従事することは，毎日の生活における満足感や健康を達成する可能性を担っている．そこでまず自身の生活を振り返り，その日常生活についてどのような環境のもと活動参加が可能になっているかを分析的に捉えることができるようにする．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. すべての人によりよい作業があることを知り，その人を定義づけられる作業に関心を持つ．（作業とは何かを説明できる）<DP①>　2. 作業により，その人が存在するという考えを持つようになる．（作業的存在を説明できる）<DP①>　3. その人にとって必要な作業の形態，意味，機能が何であるかを考えるようになる．（作業の特性を説明できる）<DP①>　4. クライエント中心の作業療法実践のために，作業を分析し，必要とする作業を引き出すためのマネジメントツールを使用できる．そして，マネジメントが生活行為向上につながることを説明できる．（作業ニーズを捉えることができる．作業基盤の介入プロセスを説明できる）<DP①②>　5. 人にとっての「生活」の意味を考えながら、日常生活における意味ある作業とは何かを考える視点を持つことができるようになる．（作業の視点で人を捉えることができる）<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業後にノートを整理して復習してください．また，図書館で雑誌「作業療法」や「作業療法ジャーナル」の中で，作業に焦点を当てた特集を積極的に読んでください．

教科書

1）『「作業」って何だろう　作業科学入門』吉川ひろみ/ 医歯薬出版　ISBN 978-4-263-21667-5　2）『標準作業療法学専門分野　基礎作業学』濱口豊太編/医学書院　ISBN 978-4-260-03055-7

参考書

1）Ruth Zemke（編著），Florence Clark（編著），佐藤 剛（翻訳）：作業科学―作業的存在としての人間の研究．三輪書店．　2）エリザベス・タウンゼン（編著），ヘレン・ポラタイコ（編著），吉川ひろみ（監訳），吉野英子（監訳）：作業療法の視点 続 作業を通しての健康と公正．大学教育出版．　3）吉川ひろみ：カナダモデルで読み解く作業療法．シービーアール．

研究室／オフィスアワー

東：木曜日 2 限　(10：40-12：10)　橋本：木曜日 2 限　(10：40-12：10)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	「作業」とは何であるか	予習：「作業」の定義をまとめる．作業と活動の違いをまとめる（2 時間）．　復習：自分の作業と他者の作業を比較する（2 時	橋本

		間).	
2	「作業」に焦点をあてた実践　人 - 環境 - 作業モデル	予習:「作業」の 3 つの特性をまとめる（2 時間).　復習:「作業」に共通する特性とは何かをまとめる（2 時間).	橋本
3	「作業」に焦点をあてた実践　人間作業モデル	予習・復習：身内の「作業」の意味を分析する（4 時間).	橋本
4	COPM(Canadian Occupational Performance Measure)について	予習・復習：COPM を実施する（4 時間).	橋本
5	作業遂行プロセスモデルと人間作業モデル	予習・復習：作業遂行プロセスモデルと人間作業モデルについて調べ、理解したことをまとめる（4 時間).	橋本
6	ライフステージと作業	予習・復習：ライフステージと作業の関連をまとめる（4 時間).	橋本
7	作業の意味・形態・機能	予習・復習：作業の意味・形態・機能とは何か,前半の講義をまとめ理解する（4 時間).	橋本
8			
9			
10	考え方を考える　生・老・病・死を考える	予習:テーマ（老・病気）について考えまとめる（2 時間）　復習:テーマ（老・生・死）について考えまとめる（2 時間	橋本
11	生活における作業の重要性について知る	予習：作業の視点に該当する教科書の部分を読んでおく（2 時間）　復習:授業をもとにシラバス・教科書の確認（2 時間）	橋本
12	作業的存在と作業的公正/不公正について	予習:作業的存在と作業公正/不公正に該当する教科書の部分を読んでおく（2 時間） 復習:作業的存在と作業公正/不公正に関するレポート提出（2 時間）	橋本
13	作業療法における集団の治療的要素について学ぶ	予習：集団の治療的要素について教科書で調べておく（2 時間）　復習:授業をもとにシラバス・教科書の確認（2 時間）（2 時間）	橋本
14	作業療法の視点「作業ができること」の意味を考える	予習:作業療法の視点「作業ができること」に該当する教科書の部分を読んでおく(2 時間）　復習:「作業ができること」というのはその人にとってどんな意味があるのかに関するレポート提出（2 時間）	橋本
15	作業科学の考え方、視点について	予習：これまでの学習内容について見直しておく（2 時間）　復習:作業科学に関するレポートを提出（2 時間）	橋本
成績評価方法と基準			割合
①定期試験＜DP①②＞　②課題レポート，グループワーク課題および発表（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP①②＞　基本的にレポートは返却しません。また採点も公表しません。全体に向けて講評は行います。希望者には個別にフィードバックします。(橋本)　レポート課題や発表へのフィードバックは講義内で行う．質問がある場合は講義内及びメールで受け付ける．定期試験は返却はしないが，1 週間程度の期間で希望者には解説を行う．（東）			①80%　②20%

授業科目名	作業療法概論（作業）				
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太／橋本 弘子	
科目ナンバリング	SS20BOTA003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜1限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

世界と日本の作業療法の歴史を学び、作業療法が人の健康と幸福に貢献する専門職であることを確認する。我が国における各領域の先人の功績を知る機会を通じて、自分たちがどのような作業療法士になりたいのか自らイメージできるように、自分自身で調べ創造する姿勢を身につける。社会に貢献できる将来の作業療法士のキャリアデザインを行い、自分の人生とともにある作業療法を構築する。この授業は予習内容を発表して自分の考えや情報を共有するプレゼンテーションの技術を高める。※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．世界と日本の作業療法の歴史を説明できる。〈DP①〉 2．自分や家族の健康な生活に必要な「作業」を捉えることができる。〈DP①〉 3．どんなに重い障害をもっていても、人を「作業的存在」として捉えることができる。〈DP①〉 4．障害を受けた人に必要な「作業療法」を説明できる。〈DP①〉 5．「どのような作業療法士になりたいか」現実的に説明できる。〈DP①〉 6．「作業療法」を支える理論的枠組みを説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

これから、自分が取り組む「作業療法士」という職業を正しく理解し、学校や地域で学ぶ姿勢を高めてほしい。人との出会いや地域での医療と生活に向き合うことで、人の「作業」を理解し、社会や地域に貢献できる作業療法士になることを、自分自身の成長の課題として、現実的に捉えてほしい。

教科書

作業療法学ゴールドマスターテキスト「作業療法概論」Medical View

参考書

能登真一編、作業療法概論、医学書院　日本作業療法士協会著、事例で学ぶ生活行為向上マネジメント、医歯薬出版　作業療法ジャーナル、三輪書店

研究室／オフィスアワー

7階研究室5　月曜日：13:00～14:30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	イントロダクション、作業療法は難しいか	予習：教科書（P0-23）を熟読する　復習：資料を作成し家族や友人に作業療法を説明する。自分の担当領域を決める。	松下
2	作業療法の歴史①	予習：教科書（P25-51）を熟読する　復習：分担領域の作業療法の歴史を調べる	松下
3	作業療法の歴史②	予習：教科書（P52-84）を熟読する　復習：年表を作成する	松下
4	作業療法の定義	予習：教科書(P85-95)を熟読する　復習：作業療法の定義をまとめ、作業療法士に求められる倫理観についてまとめる	松下
5	作業療法の対象①：身体障害領域	予習：教科書(P98-114)を熟読する　復習：身体障害作業療法の現状をまとめる(急性期・回復期・生活期・終末期)	松下
6	作業療法の対象②：精神障害領域	予習：教科書(P115-124)を熟読する　復習：精神障害作業療法の現状をまとめる	松下
7	作業療法の対象③：発達障害領域（特別支援学校含む）	予習：教科書（P125-159、215-222）を熟読する　復習：発達障害領域の作業療法を	松下

		まとめる（疾患、発達段階や、施設によっての作業療法をまとめる）	
8	作業療法の対象④：高齢期障害領域（地域含む）	予習：教科書（P160-174、195-207）を熟読する　復習：高齢期障害領域や地域での作業療法についてまとめる	松下
9	作業療法の対象：その他	予習:教科書(P115-242)を熟読する　復習:精神障害領域の作業療法の現状をまとめる	松下
10	身体障害領域での作業療法の役割:アクティブラーニング	予習：教科書（P115-222）を参考に、分担した内容をまとめる　復習：他の学生が発表した内容を精査する	松下
11	精神障害領域での作業療法の役割:アクティブラーニング	予習：教科書（P115-122）を参考に、分担した内容をまとめる　復習：他の学生が発表した内容を精査する	松下　橋本
12	高齢期・地域領域での作業療法の役割：アクティブラーニング	予習：教科書（P160-173）を参考に、分担した内容をまとめる　復習：他の学生が発表した内容を精査する	松下
13	発達障害領域での作業療法の役割:アクティブラーニング	予習：教科書（P125-159）を参考に、分担した内容をまとめる　復習：他の学生が発表した内容を精査する	松下
14	その他領域での作業療法の役割:アクティブラーニング	予習：教科書(P175-240)を参考に分担した内容をまとめる　復習：他の学生が発表した内容を精査する	松下
15	作業療法の将来性	予習：自分の目指す作業療法を考える　復習：自分の目指す作業療法を達成するために何をするか考える	松下
成績評価方法と基準			割合
①授業シートの提出、授業態度　〈DP①〉　②発表　〈DP②③④〉　③定期試験　〈DP①〉			①10%　②40% ③50%

授業科目名	作業療法評価学総論（作業）					
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太／橋本 弘子／鍵野 将平		
科目ナンバリング	SS20BOTA006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

作業療法を実施するには，クライエントの作業ニーズを把握する必要がある．そして，クライエントの心身機能とクライエントを取りまく環境，クライエントが必要とする作業の 3 つの側面と治療計画が適切に関係づけられなければならない．そのためには作業を基盤とした評価が重要になる．評価は，作業ニーズの把握，作業遂行の観察，検査測定から得た情報を整理・分析・解釈することで対象者の全体像を把握し，問題点と強みを明らかにして作業療法での対応課題を導き出していく一連の過程である．この講義では，作業療法評価の意義と目的，対象と過程，評価の流れなど講義形式で評価の概要について学修する．そして，今後習得する領域別の評価学に結び付けるための手掛かりとする．　松下・鍵野（前半 10 回）　作業療法を必要としている全てのクライエントを対象に，作業療法プロセスで必要となる評価（「作業ニーズの特定」，「各種の検査・測定，観察・面接」，「評価のまとめ（統合・解釈）」，「目標設定とプログラム立案」）の流れについて学修する．また，評価に必要なバイタルサイン，四肢形態計測について演習を行う．　橋本（後半 5 回）　精神障害における対象者の生活上の困り事と必要な作業ニーズを把握するため，精神障害リハビリテーションの歴史，精神障害の実態とニーズ，精神障害リハビリテーションの基本的な考え方を教授する．その上で精神障害作業療法評価に対するプロセスを教授する．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．障がいのある「その人」を評価するという ICF の概念を学び，「その人」に関心を持つ．<DP①>　2．作業療法評価の意義と目的を理解し，口頭で説明できるようになる．<DP①>　3．作業療法プロセスについて図を用いて表出できるようになる．<DP①>　4．作業療法全体のプロセスを理解した上で，作業療法評価を正しく捉えることができる．<DP①>　5．作業療法のリスク管理に繋がるバイタルサインおよび四肢形態計測が正しく測定できる．<DP①>　6．精神科作業療法の必要性について述べ評価の視点について説明できるようになる．<DP①>

履修上の注意（学生へのメッセージ）

準備学習として，ノートを授業後に整理して復習をしてください．　また，図書館で雑誌「作業療法」や「作業療法ジャーナル」の作業療法評価関連の特集を積極的に読んでください．　松下・鍵野（前半 10 回）　授業では，他者の身体を触る機会があるため，爪を短く切り清潔な身だしなみで受講するようにしてください．　本科目を受講するためには，骨を正確に触知できる必要があるため，解剖学（特に体表から触知できる骨および骨の特徴的構造物）を復習しておいてください．　教科書は，10 回の授業すべてにおいて，下記の１）を持参してください

教科書

1）岩崎テル子他，標準作業療法学・専門分野/作業療法評価学，医学書院　2）林典雄 編著，機能解剖学的触診技術上肢，メジカルビュー社　3）林典雄 編著，機能解剖学的触診技術下肢・体幹，メジカルビュー社　4）石川齊，古川宏編，図解作業療法技術ガイド，文光堂　5）『国際生活機能分類 ICF の理解と活用』　上田敏/萌文社　ISBN978-4-89491-096-6　6）『精神障害と作業療法　新版』　山根　寛/三輪書店　ISBN978-4-89590-583-1

参考書

授業内で随時提示します．

研究室／オフィスアワー

松下：木曜日（昼休み及び 14：00-16：30）　鍵野：木曜日（昼休み及び 14：00-16：30）　橋本：木曜日（昼休み及び 14：00-16：30）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	作業療法における評価とは？　作業療法の過程と評価の流れ	予習：教科書第１章Ⅰ「作業療法と評価」の「A 評価とは」を読み込む（2 時間）. 復習：作業評価の流れ（過程）についてまとめる（2 時間）.	松下
2	情報収集（面接、観察含む）　評価のまとめと目標設定	予習：教科書第１章Ⅰ「作業療法と評価」の「C 情報収集段階」を読み込む（2 時間）.　復習：医療面接における傾聴の重要性について調べる（2 時間）.	松下
3	記録・報告　面接・観察	予習：教科書第１章Ⅲ「記録・報告の意義と特徴」を読み込む（2 時間）.　復習：教科書第２章Ⅰ「面接法・観察法」を読み込む（2 時間）.	鍵野
4	リスク管理とバイタルサイン　リハビリテーション中止基準について	予習：生理学（特に体温、脈拍、血圧）の復習（2 時間）.　復習：リハビリテーションの中止基準を覚える（2 時間）.	松下
5	血圧測定の概要	予習：YouTube にて血圧測定の実際の動画を視聴し予習する（2 時間）.　復習：YouTube にて血圧測定の実際の動画を視聴し復習する（2 時間）.	松下
6	血圧測定の実際（演習）	予習：YouTube にて血圧測定の実際の動画を視聴する（2 時間）.　復習：バイタルサインの正常値や異常値について調べて理解する（2 時間）.	松下、鍵野
7	血圧測定の実際（演習）	予習：YouTube にて血圧測定の実際の動画を視聴する（2 時間）.　復習：リハビリテーションの中止基準について学修する。また,次の授業日までに血圧測定の教員チェックを受け合格できるようにする（2 時間）.	松下、鍵野
8	小テスト　四肢形態計測の概要	予習：教科書「機能解剖学的触診技術上肢」肩峰（p16－19)、上腕骨上腕骨外側上顆（p45－48)、橈骨茎状突起（p64-66）をよく読んでランドマークの触知ができるようにする（2 時間）.　復習：教科書「機能解剖学的触診技術下肢」上前腸骨棘（p5－6)、大腿骨大転子（p18－21）をよく読んでランドマークの触知ができるようにする（2 時間）.	松下
9	四肢形態計測の実際（演習）	予習：教科書「機能解剖学的触診技術下肢」上前腸骨棘（p5－6)、大腿骨大転子（p18－21)、大腿骨外側上顆（p43－45）をよく読んで触知ができるようにする（2 時間）.　復習：教科書「機能解剖学的触診技術上肢」肩峰（p16－19)、上腕骨上腕骨外側上顆（p45－48)、橈骨茎状突起（p64-66）をよく読んでランドマークの触知が確実にできるようにする（2 時間）.	松下、鍵野
10	四肢形態計測の実際（演習）	予習：教科書「機能解剖学的触診技術下肢」上前腸骨棘（p5－6)、大腿骨大転子（p18－21)、大腿骨外側上顆（p43－45）をよく読んで確実に触知ができるようにするに（2 時間）.　復習：次の授業日までに四肢長計測について教員チェックを受けて合格できるようにする（2 時間）.	松下、鍵野
11	精神障碍者のとらえ方について考える.　精神障害リハビリテーションの歴史と精神障害者に対するスティグマ（偏見）について学ぶ	予習:自分たちが考えている､イメージしている精神科医療やリハビリテーションとはどういうものかを考える　(2 時間)　復習:現在の精神障害に対する医療と法律そしてリハビリテーションについてまとめる。(2 時間)	橋本
12	精神障害に対する医療の現状　精神障害者に対	予習：精神障害者に対するスティグマ（偏	橋本

	するスティグマ（偏見）について学ぶ　精神科リハビリテーションのモデルを学ぶ	見）およびリカバリーモデルについて調べておく　(2 時間)　復習:精神科における歴史、医療、スティグマ、リハビリテーションについて理解する　(2 時間)	
13	精神科医療を取り巻く状況　精神科リハビリテーションの考え方（リカバリーモデル/ストレングスモデル）	予習:精神障害の患者数、入院患者数の推移を調べておく。精神科の入院形態について調べておく。　精神障害領域におけるリカバリーモデルとストレングスモデルについて調べておく　(2 時間)　復習:精神科リハビリテーションについて理解する(2 時間)	橋本
14	精神障害者と精神科医療とを取り巻く状況を把握し　精神科リハビリテーションの考え方(リカバリーモデル/ストレングスモデル）を考える	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく。(2 時間)　復習:講義内容とシラバスに該当する教科書の部分の復習　(2 時間)	橋本
15	精神科作業療法の目的と役割および治療構造について学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく。(2 時間)　復習:精神科作業療法がおこなわれる場と治療構造について理解(2 時間)	橋本
成績評価方法と基準			割合
①定期試験＜DP①＞　定期試験は開示しない　②レポート課題,発表および小テスト＜DP①＞　レポート課題や小テストについては必要に応じてフィードバックを行う			①80%　②20%

授業科目名	身体障害作業療法評価学（作業）				
主担当教員	兼田 敏克		担当教員	兼田 敏克／鍵野 将平／上野 慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTB007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限、金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

身体障害を有する人々に作業療法を実践していくには、クライエントの作業ニーズを把握した上で、身体機能の状態を正しく捉えてクライエントの障害像を明確に理解する必要がある。この講義では、身体機能障害の障害像を正確に捉えるための評価プロセスや方法、技術（検査・測定）を学修する。特に関節可動域測定、徒手筋力テスト、感覚検査、反射検査などの主要な身体機能評価についてその概要や方法、あるいは基礎技法を実習し修得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1)　関節可動域測定の意義や目的について説明できる。<DP①④>　2)　筋力検査の意義や目的について説明できる。<DP①④>　3)　感覚検査、反射検査、上肢機能検査の意義や目的を説明できる。<DP①④>　4)　上記の基本的評価手技を、解剖学・生理学・運動学の知識と結びつけて説明できる。<DP①>　5)　上記の基本的評価手技を適切な方法で実施することができる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　本科目は演習科目であり、必要出席時間数は「授業時数の 5 分の 4 以上」を採用する。　2)　指定された教科書を毎回の授業に持参すること。　3)　関節可動域測定実習の授業時にはゴニオメーター、伸張反射・病的反射検査の授業時には打腱器を持参すること。　4)　実習形式の場合には、本学指定のジャージ一上下、ポロシャツを着用して参加すること。また、骨や筋の触知等を行なうため、肩甲帯・上腕部・大腿部が露出できるようアンダーウエア（ノースリーブ、タンクトップ、短パン等）を着用しておくこと。　5)　身だしなみについては臨

教科書

1)　矢谷令子 監修：標準作業療法学専門分野 作業療法評価学、医学書院、2011　2)　津山直一、中村耕三 訳：新・徒手筋力検査法、協同医書出版社、2014　3)　田崎義昭、斎藤佳雄 著：ベッドサイドの神経の診かた、南山堂、2016　4)　林典雄 編著：機能解剖学的触診技術上肢、メジカルビュー社、2011　5)　林典雄 編著：機能解剖学的触診技術下肢・体幹、メジカルビュー社、2012

参考書

1)　佐竹勝、石井文康 編：作業療法評価学、メジカルビュー社　2)　青木主税 著：動画で学ぶ関節可動域測定法 ROM ナビ、ラウンドフラット　3)　伊藤俊一 監修：PT・OT のための測定評価 DVD シリーズ 1・2・3・4・7、三輪書店

研究室／オフィスアワー

兼田　敏克：C 棟 7 階教職員室　鍵野　将平：C 棟 7 階教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	関節可動域測定 1：概論　関節可動域測定 2：実習（上肢）	予習：1.教科書「作業療法評価学（第 2 版）P81-89 を熟読しておくこと　2.左記部位におけるランドマーク位置　※予習・復習に要する時間 80 分	全員
2	関節可動域測定 3：実習（上肢・手指）	予習：左記部位におけるランドマーク位置 ※予習・復習に要する時間 80 分	全員
3	関節可動域測定 4：実習（下肢）	予習：左記部位におけるランドマーク位置 ※予習・復習に要する時間 80 分	全員
4	関節可動域測定 5：実習（体幹）	予習：左記部位におけるランドマーク位置 ※予習・復習に要する時間 80 分	全員

5	OSCE（ROM-T の確認実技テスト）	予習：それまで学習した ROM-T のすべて ※予習に要する時間 80 分以上	全員
6	徒手筋力検査法 1：原理原則、注意点　握力、ピンチ力測定法	予習：教科書「作業療法評価学（第 2 版）P104-108 を熟読しておくこと　※予習・復習に要する時間 80 分	全員
7	徒手筋力検査法 2：実習（上肢）	予習：左記の運動に関わる筋の起始、停止、及び支配神経　※予習・復習に要する時間 80 分	全員
8	徒手筋力検査法 3：実習（上肢・手指）	予習：左記の運動に関わる筋の起始、停止、及び支配神経　※予習・復習に要する時間 80 分	全員
9	徒手筋力検査法 4：実習（手指・体幹）	予習：左記の運動に関わる筋の起始、停止、及び支配神経　※予習・復習に要する時間 80 分	全員
10	徒手筋力検査法 5：実習（下肢）	予習：左記の運動に関わる筋の起始、停止、及び支配神経　※予習・復習に要する時間 80 分	全員
11	徒手筋力検査法 6：実習（下肢・頭頸部）　小テスト	予習：左記の運動に関わる筋の起始、停止、及び支配神経　小テスト範囲：筋の神経支配（髄節レベル）と MMT の代償動作　※予習・復習に要する時間 80 分以上	全員
12	OSCE（MMT の確認実技テスト）	テスト範囲：上肢、手指、頭頸部、体幹、下肢の MMT　※予習に要する時間 80 分以上	全員
13	感覚検査	予習：生理学で学んだ表在感覚の伝導路、デルマトームについて復習しておくこと　※予習・復習に要する時間 80 分以上	全員
14	伸張反射・病的反射検査・上肢機能検査	予習：解剖学や生理学で学んだ反射弓、錐体路、錐体外路について復習しておくこと ※予習・復習に要する時間 80 分	全員
15	上肢機能検査（STEF、片麻痺機能テストなど）	予習：教科書「作業療法評価学」の「上肢機能検査」の単元を熟読しておくこと　※予習・復習に要する時間 80 分	全員
成績評価方法と基準			割合
１）実技テスト＜DP①＞　２）小テスト＜DP①＞　３）定期試験＜DP①④＞　※先修条件科目であることから、原則として欠席は認めない。単位認定のための必要出席時間数は「5 分の 4 以上」とする。　※レポートは基本的に返却します．定期試験・再試験は返却しません．各試験（実技テスト含む）の結果は希望者には開示します．			１）30% ２）10% ３）60%

授業科目名	精神障害作業療法評価学（作業）				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子／小川　泰弘	
科目ナンバリング	SS20BOTB008	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

精神障害作業療法における評価は、一通りの評価を終えてから治療を開始するといった方法が取りにくい。初回の面接時から援助関係を築きながら評価を随時行っていく事となる。その評価の基本的な流れ（導入評価→初期評価→再評価→最終評価）といった、評価のプロセス、そして面接、観察の具体的方法、基本的な留意点について学修し、実施できるようにする。また対象者主体に考えた評価項目（過去・現在の生活、これからの生活、環境因子、個人因子、自己理解と受容）と評価の視点を理解し、精神科作業療法における評価手段を習得する。

学修目標

1. 精神科作業療法評価の意義と目的を理解し、口頭で説明できるようになる<DP①>　2. 精神科作業療法評価のプロセスを説明できるようになる<DP①>　3. 精神科作業療法評価の評価項目について学修し、説明できるようになる<DP①>　4. 精神科作業療法評価における基本的技法である面接、観察の具体的方法を学び実施できるようにする<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業後には復習を必ず行い、理解を深めてください。　また精神科作業療法に関する文献などを積極的に読むようにしてください。

教科書

1)「精神障害と作業療法　新版」　山根　寛/三輪書店 ISBN978-4-89590-583-1　2)「国際生活機能分類ＩＣＦの理解と活用」　上田　敏/萌文社 ISBN978-4-89491-096-6　3)作業療法学　ゴールド・マスター・テキスト　精神障害作業療法学（改訂第２版）　改訂第２版 山口　芳文　メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-1675-0

参考書

1)「国際生活機能分類ー国際障害分類改訂版ー」　/WHO

研究室／オフィスアワー

木曜日（１０：４０～１２：１０）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	精神科作業療法評価のプロセスについて学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習：精神科作業療法プロセスを図示する　予習復習ともに 2 時間行う	橋本・小川
2	精神障碍とはどんな病気かを知る①	予習：これまでの授業の復習を行い、実際の精神障害者の生活を想像しておく　課題：当事者のＤＶＤを見てレポートを提出　予習課題ともに 2 時間ずつ行う	橋本
3	精神障碍とはどんな病気かを知る　②	予習：DVD の内容と自身の抱いた感想について内省を深めておく　復習：他者の感想と自身の感想を比較し、理解を深める　予習課題ともに 2 時間ずつ行う	橋本
4	精神科作業療法における評価項目について学ぶ　１　基本情報・他部門情報の収集	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習：精神科作業療法評価の流れと情報収集の位置付けについて理解する　予習復習ともに 2 時間行う	小川
5	神科作業療法の評価項目について学ぶ　２　（外観、第一印象、対人パターン、コミュニケーション）	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習・課題：精神科作業療法の評価項目について説明できる　レポートを提出する（ウォッチングリスト、対人パ	橋本

		ターンチェックリスト)　予習復習ともに2時間行う	
6	精神科作業療法の評価項目について学ぶ　3（精神機能、日常生活機能評価、社会参加能力評価など）	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習：精神科作業療法の評価項目について理解する（日常生活機能評価・社会参加能力評価など)。　予習復習ともに2時間行う	小川
7	精神科作業療法の評価項目について学ぶ　4（作業遂行機能評価）	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習：精神科作業療法の評価項目について説明できる（作業遂行機能評価)。第10回の授業で小テストあり。　予習復習ともに2時間行う	橋本
8	精神科作業療法における検査・評価表（尺度）について学ぶ（BACS-J, LASMI, 等）	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習：：授業をもとに、シラバス、教科書の確認　予習復習ともに2時間行う	小川
9	精神科作業療法評価と ICF について学ぶ　阻害因子、促進因子	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　精神科作業療法における ICF を理解し、図示しながら説明する　予習復習ともに2時間行う	橋本
10	精神科作業療法の面接について学ぶ（講義）	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習：授業をもとに、シラバス、教科書の確認　予習復習ともに 2 時間行う	小川
11	精神科作業療法の観察について学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習・課題:作業活動を通した観察評価ができるように、その内容をレポートにまとめる.　予習復習ともに 2 時間行う	橋本・小川
12	精神科作業療法の作業を通した観察評価を実践する１	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習・課題:作業活動を通した観察評価ができるように、その内容をレポートにまとめる.　予習復習ともに 2 時間行う	橋本・小川
13	精神科作業療法の作業を通した観察評価を実践する２	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習：作業活動を通した観察評価についてレポート提出　予習復習ともに2時間行う	橋本・小川
14	精神科作業療法評価の集団について学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習・課題:集団作業療法について. レポート作成　予習復習ともに 2 時間行う	小川
15	精神科作業療法における評価の視点と目標設定について学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の部分を読んでおく　復習・課題:授業内容についてレポート提出する　予習復習ともに 2 時間行う	小川・橋本
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験＜DP①＞　※出題範囲：授業で扱った範囲　2.レポート課題＜DP①④＞レポートは返却しないが、全体へ講評を行う。　3.授業中に行う小テスト＜DP①＞　小テストは返却し、解答を示す。			1.70%　2.20%　3.10%

授業科目名	発達障害作業療法評価学（作業）					
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／勝原　勇希		
科目ナンバリング	SS20BOTB009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

子どもの月齢や年令による変化や行動を観察できるようにする。乳幼児期からの発達を身体運動面から理解し、それに伴う感覚・知覚・認知発達、対象操作や言語コミュニケーション能力との関連を理解する。授業は実技と観察を中心とし、治療者としての身体イメージの獲得、医療者としての表象（言語や文章・描画による）、を高める。各種評価尺度の理解を含みます。

学修目標

1. 月齢による運動発達の変化と連続性を理解する<DP①>　2. 感覚・知覚・認知発達を理解する<DP①>　3. 身体企画・身体イメージ･身体概念を理解する<DP④>　4. 自律反応と自発運動の関係を理解する<DP①④>　5. 言語発達の基盤を理解する<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業では、実技演習を重視します。実習用の服装と態度で臨んでください。自分の身体的特徴を十分理解し、健康管理と準備（柔軟性の獲得や協調運動の理解）を日ごろから行ってください。自身のボディイメージを整備し、健康を維持しておくことは、スポーツ選手と同様、医療職としてのパフォーマンスを最大化するために重要です。

教科書

「イラストでわかる人間発達学」上杉雅彦/医歯薬出版株式会社　ISBN　978-4263219454　「小児リハ評価ガイド　統合と解釈を理解するための道しるべ」　楠本泰士/メジカルビュー社　ISBN　978-4758319485

参考書

写真でみる乳児の運動発達　Lois Bly　協同医書出版　発達を学ぶ　森岡周著　協同医書出版社　リハビリテーションのための人間発達学［第 3 版］ 編集大城昌平　メディカルプレス　人間発達学（Crosslink basic リハビリテーションテキスト） 浅野 大喜　メジカルビュー社　正常発達第２版　脳性まひの治療アイデイア　Jung Sun Hong 三輪書店

研究室／オフィスアワー

研究室：金曜日午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	総論:正常発達を学ぶ意義　授業の進め方　第２章：人間発達(発達理論)　第３章：発達検査(遠城寺・デンバー)	予習：教科書の概覧(第１章)発達概念　教科書通読　復習：柔軟体操・可動域確認、観察のポイントの理解、シートの準備(２時間)	科目担当教員
2	第４章：姿勢反射/反応　小児の評価・運動分析の視点	予習：子どもの観察. 教科書通読、運動学の復習　復習：原始反射の意義. Milani-Comparetti 運動発達評価表. 身体の観察評価.	科目担当教員
3	第５章：（０～３ヶ月）頭のコントロール、対称的姿勢の獲得	予習：教科書通読. 肩関節の構造・運動学　復習：視覚の発達・肩甲上腕関節の重要性（２時間）	科目担当教員
4	第６章:運動発達(４～６ヶ月児)抗重力姿勢の発達、四肢の運動、随意運動の発達のしくみ	予習：抗重力活動。教科書通読　復習：体幹・四肢の発達・リーチの発達(２時間)	科目担当教員
5	第７章：(７～９ヶ月)：寝返りの獲得、視覚と体性感覚の統合　座位に至る過程	予習：体軸内回旋. 教科書通読(177-222)　復習：視覚と体性感覚の統合・上下肢、左右の分離(２時間)	科目担当教員
6	第８章：(10 ヶ月から 12 か月）座位の獲得と三項関係の理解	予習：四つ這い移動教科書通読　復習：座位の獲得・上肢機能や認知発達との関連性	科目担当教員

		（２時間）	
7	第９章：(13～18 か月）立位の獲得、平衡反応、両手動作、巧緻運動	予習：上肢機能の発達. 平衡反応：教科書通読　復習：リーチ・グラスプ・リリース・マニュプレーション(２時間)	科目担当教員
8	実技練習・運動発達のまとめシート作成	予習：0 ヶ月～12 か月発達の復習　復習：まとめシートの作成・実技練習（2 時間）	科目担当教員
9	実技練習・臨床応用の確認	予習：主要月齢に関するプレゼンテーションの練習、臨床実習での接遇・態度　復習：主要月齢に関するプレゼンテーションの練習（2 時間）	科目担当教員・臨床アシスタント
10	ノートの編集と実技テスト	予習:実技試験の準備　復習:ノートの完成と提出(２時間)	科目担当教員・臨床アシスタント
11	第 10 章:姿勢反射反応と 6 歳までの発達　第 11 章：上肢機能の発達	予習：ピアジェ：発生的認知論　K-ABC、WISK-4、新版 K 式発達検査　復習：感覚運動期・前概念、両手動作・道具操作・手内操作(２時間)	科目担当教員
12	第 13 章：感覚・知覚・認知・社会性の発達	予習:定型運動発達過程　　復習:ボウルビー:母子相互作用・アタッチメント理論、言葉の習得家庭(1 時間)	科目担当教員
13	第 12 章：ADL の発達(遊び・食事・排泄・更衣)発達領域の評価・検査	予習:集団遊びの発達、ICF、人間発達(発達理論)、発達検査(遠城寺・デンバー)、教科書通読　復習:発達段階の評価法、観察評価(1 時間)	科目担当教員
14	視知覚の発達・視覚の評価	予習：視機能に関する解剖・生理学の復習　復習：視機能の評価、生活への影響	ゲストスピーカー
15	第 14 章:学童・青年・成人・老年期の発達　第 15 章：まとめ	予習:視知覚認知発達、日常生活技能・ライフスキル・マズロー　復習:エリクソンの心理社会的発達、教科学習の基礎(文部科学省)（２時間）	科目担当教員
成績評価方法と基準			割合
①発達ノートの作成・提出＜DP①④＞　②実技平常点（参加態度を含む)・実技試験＜DP①④＞　③定期試験（筆記試験；基礎知識の確認）＜DP①④＞　4/5 以上の出席が必要			①30%　②40%　③30%

授業科目名	高次脳機能障害作業療法評価学（作業）				
主担当教員	塚越　千尋		担当教員	塚越　千尋	
科目ナンバリング	SS20BOTB010	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本演習では，人間が日常生活や社会生活を営む上で必要な高次脳機能の働きについて学ぶ．また，様々な高次脳機能の評価方法を実際の評価・検査・測定を用いて学習する．　臨床で接する，高次脳機能障害を呈する対象者に対し，適切な評価を選択し，かつその評価結果を解釈する力を養う機会となることを期待している．そのためには，脳の機能局在や神経の成り立ちを含めた解剖学・生理学の知識が必要である．本演習で学習する様々な脳の働きは，我々が普段行っている活動を支えている．演習を通じて，生活活動の分析がより深く行えるようになるために，評価の方法だけでは区，幅広い視点で学習していくことを目指している．それゆえに，定期試験では選択式ではなく，記述式の解答を求めることがある．また，評価の演習では，セラピストとしての態度を含めて指導する．演習中は作業療法士としての振る舞いを求められていることを忘れず，礼節のある態度をとること．

学修目標

1）認知機能の定義や評価の目的について説明できる<DP①④>　2）注意機能，遂行機能の定義や評価項目，評価の目的について説明できる<DP①④>　3）講義で紹介した評価や検査に関連する用語について，解剖学・生理学の知識と結び付けて理解できる<DP①④>　4）講義で紹介し評価を適切な方法で実施することができる<DP①④>　5）高次脳機能障害の臨床症状や評価項目，評価の目的について説明できる<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）講義では配布されたプリントは全てファイリングし，必要に応じ持参すること　2）本演習を履修するには，脳と神経にかかわる解剖学・生理学の知識が必要であるため，復習をしておくこと　3)本講義は演習であるため，必要出席時間数は「授業時数の 5 分の 4 以上」を採用する．　4)学習状況の確認のために小テストを実施することがある

教科書

1）石合純夫：高次脳機能障害学（第 2 版），医歯薬出版株式会社，2012 年　2）田崎義昭，斎藤佳雄著，坂井文彦改訂：ベッドサイドの神経の診かた（改訂 17 版），南山堂，2010 年．　3）岩﨑テル子他編．標準作業療法学専門分野　作業療法評価学（第 2 版），医学書院，2011.

参考書

能登真一　編：標準作業療法学専門分野　高次脳機能作業療法学．医学書院，2012 年．　生田宗博　編：作業療法学全書第 3 巻　作業療法評価学（第 3 版），協同医書出版社，2009 年．　渕　雅子　編：作業療法学全書第 8 巻　作業治療学５高次脳機能障害（第 3 版），共同医書出版社，2011 年．　森岡　周：リハビリテーションのための脳・神経科学入門（改訂第 2 版），共同医書出版社，2016 年．　石原　健司：CD-ROM でレッスン脳画像の読み方　医歯薬出版株式会社，2010 年.

研究室／オフィスアワー

東泰弘：7 階共同研究室／木曜日 2・3 限目　中村めぐみ：7 階共同研究室／月曜 5 限，木曜日 1・2・3 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	高次脳機能とは　脳の図を書く，意識の評価を学ぶ（JSC,GCS）	予習：「高次脳機能作業療法学」p.1-21.「ベッドサイド神経の診かた」p.281-306. 復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
2	脳の局在と機能を学ぶ	予習：「高次脳機能作業療法学」p.10-21.「ベッドサイド神経の診かた」p.129-142.　復習：予習範囲の教科書の見直し	塚越

		予習復習時間は 60 分	
3	注意機能の評価（CAT）と評価バッテリーの採点，活用について	予習：「高次脳機能作業療法学」p.193-197.　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
4	前頭葉機能とは：前頭葉機能の評価（FAB 他）	予習：「高次脳機能作業療法学」p.136-154,「作業療法評価学」p.220-231.　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
5	記憶について：記憶障害の評価（三宅式，WMS-R，リバーミード行動記憶検査，ベントン視覚記名検査等）	予習：「高次脳機能作業療法学」p.197-219.「ベッドサイド神経の診かた」p.133.　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
6	高次脳機能障害の評価：失認について（視空間認知障害（BIT 等）	予習：「高次脳機能作業療法学」p.151-180.「ベッドサイド神経の診かた」p.259-265.　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
7	高次脳機能の評価：身体失認	予習：「高次脳機能作業療法学」p.179-188.「ベッドサイド神経の診かた」p.259-265　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
8	高次脳機能障害の評価：失語症等	予習：「高次脳機能作業療法学」p.23-57.「ベッドサイド神経の診かた」p.247-258.　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
9	高次脳機能の評価：失行	予習：「高次脳機能作業療法学」p.61-104.「ベッドサイド神経の診かた」p.259-265.　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
10	臨床における高次脳機能障害の評価と理解	予習：「高次脳機能作業療法学」3 章・4 章　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
11	臨床における高次脳機能障害の評価と理解	予習：「高次脳機能作業療法学」3 章・4 章　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
12	臨床における高次脳機能障害の評価と治療	予習：「高次脳機能作業療法学」3 章・4 章　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
13	遂行機能とは：遂行機能の評価（BADS，レーブン色彩マトリックス検査，WCST，ハノイの塔，ティンカートイテスト等）	予習：「高次脳機能作業療法学」6 章　復習：予習範囲の教科書の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
14	評価のまとめ，実技体験	予習：各自学習・実習したい評価バッテリーの資料を持参する　復習：演習課題作成（配点 10 点）　予習復習時間は 60 分	塚越
15	評価のまとめ，実技体験	予習：各自学習・実習したい評価バッテリーの資料を持参する　復習：予習範囲の見直し　予習復習時間は 60 分	塚越
成績評価方法と基準			割合
1）①定期試験<DP①④>により採点する.　2）必要出席時間は授業時数の 5 分の 4 以上である.　3）講義で配布した資料はファイリングして次回以降も必ず持参すること.　4）教科書はテーマに合わせ忘れず持参すること			①100%

授業科目名	日常生活活動学（作業）				
主担当教員	兼田 敏克		担当教員	兼田 敏克／勝原 勇希／塚越 千尋	
科目ナンバリング	SS20BOTA011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

日常生活動作とその概念を知り、疾病や障がいをもたらす問題点や課題を考える。誰もが繰り返し毎日営む、その人らしい日常生活動作を分析し、その過程を通して作業や活動の特性・個別性を知り、人としての生きる力を支えることへの理解を深める。作業療法士としてQOLを支える基本動作（起居・移乗移動）・セルフケア（食事・排泄・整容・更衣・入浴・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ等）・応用動作・生活関連動作等の評価及び支援技術を理解し、QOLを向上させるためのADL支援について学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１ADLの概念や評価方法について説明できる<DP①>　２動作分析・活動分析により日常生活活動の特性・個別性が理解できる<DP①>　３障がいﾓﾃﾞﾙと生活環境整備などの関連付けが説明できる<DP①>　４作業療法としてのADL支援技術・適応技術について理解できる<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

<授業の進め方>　視聴覚教材・配布教材を用いた講義と、演習・ｸﾞﾙｰﾌﾟ討議・発表などを並行して行う

教科書

作業療法学全書　作業療法技術学３　日常生活動作：協同医書出版：日本作業療法士協会監修

参考書

新版　日常生活活動（ADL）評価と支援の実際　：　医歯薬出版：編集伊藤利之ら　ADL（PTOTビジュアルテキスト）第1版　：羊土社：柴喜崇編集

研究室／オフィスアワー

研究室：C棟7階共同研究室にて、授業・会議などない時間で随時対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　ADLの概念を知り、視聴覚教材にて理解を深める	予習：シラバスに該当する教科書の確認<2時間>　復習：授業をもとにした教科書の確認<2時間>	兼田・塚越・勝原
2	ADLの総論：ADL・APDL・QOL　障がいの有無にかかわらず、人生を通しての生活を知る。生活機能から見たADLの位置付けを知る。	予習：シラバスに該当する教科書の確認<2時間>　復習：授業をもとにした教科書の確認<2時間>	兼田・塚越
3	ADL各論：摂食活動の基礎　摂食嚥下の基本を知り、評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認<2時間>　復習：授業をもとにした教科書の確認<2時間>	兼田・塚越
4	ADL各論：排泄活動の基礎　排泄活動の基本を知り、評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認<2時間>　復習：授業をもとにした教科書の確認<2時間>	兼田・塚越・勝原
5	ADL各論：更衣・整容・入浴活動の基礎　更衣・整容・入浴活動の基本を知り、評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認<2時間>　復習：授業をもとにした教科書の確認<2時間>	兼田・塚越・勝原
6	ADL各論：移乗・移動の基礎　移乗・移動の基本を知り、評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認<2時間>　復習：授業をもとにした教科書の確認<2時間>	兼田・塚越
7	ADL各論：コミュニケーションの基礎　コミュニケーションの基本を知り、評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認<2時間>　復習：授業をもとにした教科書の確認<2時間>	勝原

8	学外研修：学外にて体験実習を行う	予習：今まで学習した ADL 各論の復習＜2 時間＞　復習：学外研修で学んだことをレポートにまとめる＜2 時間＞	兼田・塚越
9	ADL 応用：義肢装具と ADL　機能の代償である義肢装具の活用について評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認＜2 時間＞　復習：授業をもとにした教科書の確認＜2 時間＞	兼田・塚越
10	ADL 応用：自助具・福祉用具と ADL　機能の代償である福祉用具の評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認＜2 時間＞　復習：授業をもとにした教科書の確認＜2 時間＞	兼田・塚越
11	ADL 応用：自助具・福祉用具と ADL　自助具を作成、発表する	予習：シラバスに該当する教科書の確認＜2 時間＞　復習：授業をもとにした教科書の確認＜2 時間＞	兼田・塚越
12	ADL 評価１　ADL の構成要素や評価方法を知る	予習：シラバスに該当する教科書の確認＜2 時間＞　復習：授業をもとにした教科書の確認＜2 時間＞	兼田・塚越
13	ADL 評価２　各評価方法の特性を学び、体験する	予習：シラバスに該当する教科書の確認＜2 時間＞　復習：授業をもとにした教科書の確認＜2 時間＞	兼田・塚越
14	ADL 応用：居住環境と ADL　機能の代償である居住環境の評価や支援の理論を学ぶ	予習：シラバスに該当する教科書の確認＜2 時間＞　復習：授業をもとにした教科書の確認＜2 時間＞	兼田・塚越・勝原
15	疾患別 ADL 支援技術　疾患別の特性に基づいた ADL の事例を通して、作業療法の生活機能向上支援技術としての ADL 支援を理解する	予習：シラバスに該当する教科書の確認＜2 時間＞　復習：授業をもとにした教科書の確認＜2 時間＞	兼田・塚越・勝原
成績評価方法と基準			割合
2/3 回以上の出席が必要　1.期末テスト＜DP①＞　2.小テスト、レポート（ルーブリックにて評価）、課題提出＜DP①＞　これらを総合的に評価する			1.70%　2.30%

授業科目名	義肢装具学（作業）				
主担当教員	兼田　敏克		担当教員	兼田　敏克／中井　俊輔／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTB020	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

義肢・装具・補装具における、種類・機能・構造を知り、適応・処方などが理解できるよう学修する。また日常生活活動における機能の代償・代替・補完としての義肢装具療法を知り、QOL の維持拡大について考えることが出来るよう学修する。

学修目標

1．義肢・装具・補装具の基本的な種類・構造・機能について説明できる〈DP①④〉　2．各義肢・装具の適応について考えることが出来る〈DP①④〉　3．作業療法における基本的な装具療法を考えることが出来る〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書・参考書・視聴覚教材・配付資料など全ての内容に目を通すこと。　＜授業の進め方＞　1総論・各論は視聴覚教材を導入した一斉講義を行う　2装具制作実習では演習・グループ討議・発表などを行う

教科書

作業療法学　ゴールドマスターテキスト　義肢装具学　長﨑重信監修　山中武彦・中村恵一編著　メジカルビュー社

参考書

義肢装具と作業療法　評価から実践まで　大庭潤平・西村誠次・柴田八衣子編著　医歯薬出版株式会社　作業療法学全書　改訂第 3 版　作業療法技術学 1　「義肢装具学」　古川宏編集　共同医書出版

研究室／オフィスアワー

研究室 C 棟 7 階共同研究室にて、水曜講義時間後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション（学修の目的･授業内容について）　義肢装具・義肢装具に必要な解剖に関するオリエンテーション	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
2	義肢装具に関する解剖、義肢装具の歴史・切断について	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
3	自首の種類・用語について	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
4	義手のチェックアウトについて	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
5	スプリントの種類	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
6	スプリント作成に関するオリエンテーション	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
7	スプリント作成①	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
8	スプリントの作成②	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
9	スプリント作成③	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
10	スプリント作成④	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
11	義肢・装具の構造と機能・下肢装具について	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員
12	義肢装具士との連携:上肢装具と体幹装具について　歴史とリハ職種との連携	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1 時間）	全員・ゲストスピーカー

13	義肢装具士との連携：義足・下肢装具について 義肢装具の歴史と概要，義肢・装具の種類と分類	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1時間）	全員
14	義手の構造と機能，義手適応の実際①義手の構造と機能，義手適応の実際②	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1時間）	全員・ゲストスピーカー
15	義手の構造と機能，義手適応の実際③チェックアウト	教科書で予習し配布プリント等で復習する（1時間）	全員・ゲストスピーカー
成績評価方法と基準			割合
2/3 回以上の出席が必要　1.期末テスト<DP①④>　2.課題提出と発表<DP①④>　これらを総合的に評価する			1.80%　2.20%

授業科目名	臨地見学実習（作業）				
主担当教員	金森　幸		担当教員	金森　幸／松下　太／橋本　弘子／中西　一／小川　泰弘／由利　禄巳／兼田　敏克／鍵野　将平／勝原　勇希／塚越　千尋／中井　俊輔／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTA036	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

保健・医療・福祉領域における臨地・臨床現場 2 施設での見学実習を通して，作業療法の対象となる人々の特性を理解し，専門職，社会人としてのルールやマナーに基づいて行動できるようになることを目的にする．それに加えて，作業療法で用いる作業（セルフケア，生産活動，レジャー）の目的を考え，対象者とコミュニケーションの取り方についても学修する．さらに，対象者を中心としたリハビリテーションチームの構成について学び，その役割を把握する．

学修目標

1. 1 年前期に開講される「リハビリテーション概論」や「基礎作業学」、「作業科学入門」などの知識を実際の臨床現場で確認できる．<DP①>　2. 1 日の行動予定を立てるとともに，参加・見学した内容をデイリーノートにまとめる．デイリーノートには見たこと，体験したことなどの事実を記録し，事実に対する考察を記録できる．<DP①④>　3. 実習生としての基本的態度をとることができる．<DP①②③④>　4. 対象者を一人の人間として尊重する．<DP①②③>　5. 実習指導者に必要な報告、連絡、相談ができる．<DP①②④>　6. 自ら対象者とのコミュニケーションの機会を持つことができる．<DP②③④>　7. 対象者の話を傾聴できる．対象者に不安を与えない対応ができる．<DP②③④>　8. 見学した施設における作業療法の役割を述べることができる．<DP①②>　9. 見学した施設におけるチームの役割を述べることができる．<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 臨地見学実習を履修するためには実習前後に開催される実習セミナー（オリエンテーション含む）に必ず出席し，必要な課題を提出しなければならない．　2. 臨地見学実習前に配布される実習の手引きを熟読し，分からない点は質問すること．　3. リハビリテーション概論で学んだ医療人としての対応、施設概要の調べ方等について復習し、活用すること．
4. 標準感染予防策を遂行し，体調管理に努めること．実習開始 2 週間前から実習開始まで体調管理表の提出を求める．感染対策が不十分な場合は実習地での実習に参加できないことがある．

教科書

1）『PT・OT のためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド』山口美和／医学書院．ISBN　978-4-260-02787-8　2）『図解作業療法技術ガイド』石川齊，古川宏編／文光堂．　ISBN　978-4-8306-4589-1

参考書

必要に応じて紹介する

研究室／オフィスアワー

各実習施設担当教員のオフィスアワーに準ずる．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習前セミナー　実習オリエンテーション　1）臨地見学実習の目的・課題．　2）事前学習の実施．　3）保健・医療・福祉の専門職としての基本的マナー・接遇．	予習・復習：実習前学習やオリエンテーション，リハビリテーション概論で説明した実習内容を十分に理解した上で，見学する施設の概要と作業療法の役割についてまとめる．また，疑問に感じたことを言語化して表出する準備を行う．　課題：1）実習前学習に参加し，臨地見学実習の内容と目	学科教員

		的，心構えを理解する．また，実習関連資料の記載方法，実習前にすべき手続きについて理解し実行する．標準予防策を遂行し，体調管理表を記録し実習に備える．実習個人資料，誓約書，自己目標シートについては実習施設担当教員と面談を行い，指導を受けて作成し提出する．　2）リハビリテーション概論で学修した作業療法士が働く領域や施設・関連制度についての知識を深める．　3）保健・医療・福祉の専門職としての基本マナー・接遇を学び，実習オリエンテーションで行うロールプレイにて実施し，自身の課題を把握する．	
2	臨床実習指導者（作業療法士）の指導のもと、以下の課題を計画的に取り組む．　1）病院・施設見学および作業療法場面を見学する．　2）施設の概要と作業療法の役割について学ぶ．　3）保健・医療・福祉の専門職としての基本的マナーを学ぶ．　4)「作業」の目的を学ぶ．　5）チーム医療について学ぶ．	予習・復習：日々の学習内容をデイリーノートに整理する．また，疑問に感じたことを言語化して表出する準備を行う．経験したことについては臨床実習経験チェックシートに記録する．標準予防策を遂行すること。	学科教員
3	実習後セミナー・発表・実習施設担当教員との面談	予習：見学した内容について知識・技術・態度の面から再検討し，実習で学んだことをまとめる．実習で指導を受けた内容について発展学習する．見学施設の概要と作業療法の役割をまとめ発表準備を行う．　課題：見学実習の概要と作業療法の役割をまとめ発表する．実習で指導を受けたことを踏まえ，今後の自己課題について振り返る．実習施設担当教員と面談を行い，実習ポートフォリオを作成し，事前学習課題・デイリーノート・自己目標シート・臨床実習経験チェックシートを用いて実習全体を通した自己課題と今後の取り組みを報告する．　復習：他の学生の発表から，各施設の特徴や作業療法の役割についてまとめる．他の学生と情報交換を行い，次の実習準備を行う．	学科教員
4	臨床実習指導者（作業療法士）の指導のもと、以下の課題を計画的に取り組む．　1）病院・施設見学および作業療法場面を見学する．　2）施設の概要と作業療法の役割について学ぶ．　3）保健・医療・福祉の専門職としての基本的マナーを学ぶ．　4)「作業」の目的を学ぶ．　5）チーム医療について学ぶ．	予習・復習：日々の学習内容をデイリーノートに整理する．また，疑問に感じたことを言語化して表出する準備を行う．経験したことについては臨床実習経験チェックシートに記録する．標準予防策を遂行すること。	学科教員
5	実習後セミナー・発表・実習施設担当教員との面談	予習：見学した内容について知識・技術・態度の面から再検討し，実習で学んだことをまとめる．見学実習の概要と作業療法の役割をまとめ発表準備を行う．　課題：見学実習の概要と作業療法の役割をまとめ発表する．実習で指導を受けたことを踏まえ，今後の自己課題について振り返る．実習施設担当教員と面談を行い，実習ポートフォリオを作成し，事前学習課題・デイリーノート・自己目標シート・臨床実習経験チェックシートを用いて実習全体を通した自己課題と今後の取り組みを報告する． 復習：実習で指導を受けたことを踏まえ発展学習する．	学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）実習地での成績＜DP①②③④＞　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示します．　2）学内でのセミナー，提出物＜DP①②④＞　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示します．　4/5 以上の出席を必要とする．			1）60%　2）40%

授業科目名	臨床検査実習（作業）				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子／松下　太／中西　一／金森　幸／小川　泰弘／由利　禄巳／兼田　敏克／鍵野　将平／勝原　勇希／塚越　千尋／中井　俊輔／上野　慶太	
科目ナンバリング	SS20BOTB037	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床現場での実習を通じて，作業療法プロセスで必要となる心身機能，身体構造，活動，参加，個人因子，環境など ICF で分類されている項目の検査・測定を実践する機会とする．これまで修得してきた各領域での作業療法の面接・観察および検査・測定を，クライエントに正確に実施できる技術を修得する．さらに，得られた検査・測定結果に対して解釈を加え，その結果が生活場面にどのように影響するかを予測できるようになることも目的とする．

学修目標

1．2 年前後期に開講される各領域の「作業療法評価学」の知識を活用し，情報収集・面接・観察・検査・測定を実際の臨床現場で明らかな誤りのない範囲で遂行できる．そのために，以下の 4 つの下位目標を提示する．１）場所の設定や必要な道具の準備をする，２）クライエントの状況に合わせて目的を適切に説明する，３）クライエントが理解できる言葉で手順を説明する，４）クライエントの安全に配慮する，５）クライエントの状態を観察し，必要に応じて柔軟に内容を変更する．DP＜①②③④＞　2．作業療法士の面接・観察および検査・測定場面を見学・模倣し，その内容を客観的に記録できる．DP＜①②③④＞　3．　1 日の行動計画を立てるとともに，経験した内容をデイリーノートにまとめる．デイリーノートには事実と事実に対する考察が記録できる．DP＜①②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．臨床検査実習を履修するためには実習前後に開催される実習セミナー（オリエンテーション含む）に必ず出席し，必要な課題を提出しなければならない．　２．臨床検査実習前に配布される実習の手引きを熟読し，分からない点は質問すること．　３．OSCE 試験合格は実習地での実習に参加するための条件とします．　４．標準感染予防策を遂行し，体調管理に努めること．実習開始 2 週間前から実習開始まで体調管理表の提出を求める．感染対策が不十分な場合は実習地での実習に参加できないことがある．

教科書

１）『PT・OT のためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド』山口美和／医学書院．ISBN　978-4-260-02787-8　２）『図解作業療法技術ガイド』石川齊，古川宏編／文光堂．　ISBN　978-4-8306-4589-1

参考書

2 年次までの全ての授業で使用した教科書

研究室／オフィスアワー

各実習施設の担当教員のオフィスアワーに準ずる．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習前セミナー（客観的臨床能力試験（OSCE）を含む）　実習オリエンテーション	予習：客観的臨床能力試験（OSCE）の準備．各領域の「作業療法評価学」を復習しておくこと．特に，検査・測定の目的を整理し，実施できるように繰り返し練習しておくこと．実習ポートフォリオを用い，これまでの実習経験から自己の課題を分析し，実習個人資料，自己目標シートを作成	学科教員

		する．標準予防策を遂行し，体調管理表を記録し実習に備える．実習施設担当教員と面談を行い，実習個人資料，誓約書と自己目標シートとを完成させる．　復習：実習オリエンテーションで説明した実習内容を十分に理解した上で，実習施設の概要についてまとめる．	
2	臨床実習指導者（作業療法士）の指導のもと，以下の課題を計画的に取り組む．　1）作業療法場面を見学･模倣し，客観的事実と考察を記録する．2）情報収集・面接・観察・検査・測定などの作業療法評価を遂行する．具体的には，1．場所を設定し，必要な道具を準備する，2．クライエントに目的を適切に説明する，2．クライエントに手順を説明する，4．クライエントの状態に応じて柔軟に対応するが含まれる．	予習：事前学習課題として実習施設の概要をまとめる．実習の領域に応じた「作業療法評価学」および「作業療法総論」をすべて復習しておくこと．特に，領域別・疾患別評価の目的を整理し，実技の練習をしておくことが望ましい．標準予防策を遂行すること．　予習・復習：日々の実習内容をデイリーノートに整理する．実習中に疑問に感じたことを言語表出するとともに，解決するための手立てを記録する．臨床実習経験チェックシートに経験したことを記録する．　復習：知識・技術・態度の面から振り返りを行い，今後の自己の課題について検討する．実習で経験した作業療法評価についてまとめる．	学科教員
3	実習後セミナー・発表・実習施設担当教員との面談	予習：実施した評価項目・方法・結果について再確認する．発表資料を作成する．実習を振り返り自己目標シートを作成する．課題：実習で指導を受けたことを踏まえ，今後の自己課題について振り返る．実習施設担当教員と面談を行い，実習ポートフォリオを作成し，事前学習課題・デイリーノート・自己目標シート・臨床実習経験チェックシートを用いて実習全体を通した自己課題と今後の取り組みを報告する．　復習：発表で指導を受けた内容について発展的に学習する．	学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）実習地での成績＜DP①②③④＞　　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示する．　2）実習に関連する提出物，発表．＜DP①②③④＞　　評価基準：実習の手引きで評価基準を提示する．　3）実習セミナーにおける客観的臨床能力試験（OSCE）＜DP①②③④＞　　評価基準：提示するルーブリックに基づき評価する．　4/5 以上の出席を必要とする．			1）60%　2）40%　3）実習参加の条件とする．

授業科目名	英会話（言語）				
主担当教員	Corinne Pitt		担当教員	Corinne Pitt	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP①②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP①②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC 総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度〈DP①②〉 ②小テスト〈DP①②〉 ③確認テスト〈DP①②〉 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	医学英語（言語）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20017	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため、臨床現場で患者の主訴等の発話を正確に理解したり、患者に正確な指示を伝えたりするために必要となる表現や語彙を習得する。また、医学関連の文献や論文、その他情報の収集方法と論文の構成を習得し、専門分野における最先端の研究情報を得るためのスキルを身につける。　将来医療従事者となる皆さんに、ぜひ受講をお勧めする。

学修目標

最低限患者とコミュニケーションがとれる。〈DP①②〉　最低限の医学用語が理解できる。〈DP①②〉　医学分野の英語の論文がどのような構成になっているのか理解できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　　宿題や予習（特にリーディング）は必ずしてから授業に臨むこと。　携帯電話の使用、私語は慎むこと。

教科書

実践看護英語（竹林修一、英宝社、2014）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Medical terminology / Getting to know the patients 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
2	Getting to know the patients 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
3	Getting to know the patients 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
4	Getting to know the patients 4	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
5	Examination 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾　晋宏

		おくこと	
6	Examination 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
7	Instructing medication	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
8	Treating the patients 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
9	Treating the patients 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
10	Treating the patients 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
11	Operation / Pubmedについて、論文の構成について	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
12	Pregnancy / Articles on Nursing 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
13	In the hospital / Articles on Nursing 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
14	Emergencies / Articles on Nursing 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
15	Living a healthy life / Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
小テスト<DP①②>　プレゼンテーションおよびその他課題<DP①②>　　授業参加態度<DP①②>　2/3 回以上の出席が必要。			30%　40% 30%

授業科目名	基礎英語演習（言語）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP①②〉　TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita　/ 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾　晋宏

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾　晋宏
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP①②>　②その他課題・授業態度・参加<DP①②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（言語）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP①②〉　TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita　/ 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Unit 9 Advertising	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Unit 10 Meetings	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	藤重

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Unit 11 Finance	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	接続詞（理由・譲歩・時）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Unit 12 Offices	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	前置詞・接続詞対比	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Unit 13 Daily Life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP①②>　②その他課題・授業態度・参加<DP①②>　③Review Test<DP①②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②20%　③40%

授業科目名	医療コミュニケーション（言語）				
主担当教員	前田　留美子		担当教員	前田　留美子／南都　智紀／舘　幸枝／芝さやか／中谷　謙	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療現場において、医療の専門性を発揮し適切な医療を行うためには、患者とのコミュニケーションは欠かせない。また、他の医療従事者と連携して患者の治療にあたることが求められるが、コミュニケーションは連携のための重要な手段の一つである。患者や医療従事者とコミュニケーションをとるために必要な知識・技術を教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1）コミュニケーションについて理解する　2）医療の場におけるコミュニケーションについて理解する　3）異なる世代とのコミュニケーションに必要なこと、必要なものを考えて準備できる　4）1）2）3）を踏まえてコミュニケーションを実践できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

バイザー会議や実習では、異なる世代の大人や子どもとコミュニケーションを取ることになります。また、臨床の場でのコミュニケーションは、信頼関係を作るために欠かせないものである他、情報収集によって対象者・児への理解を深める場でもあります。医療の視点も踏まえて、対象者・児と良好なコミュニケーションを取るには事前の準備が欠かせません。今回は協力者の方々にお越しいただいて実際にコミュニケーションを取る機会を考えています。積極的に参加して今の自分の改善しておくべき課題を見つけ、実習までに準備を進めてください。

① 演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。

② 受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。

③ 授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

配付資料

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

各教員研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	コミュニケーションとは。医療の場におけるコミュニケーションとは。	予習：普段行っているコミュニケーションの対象、方法、話題などについて考えておいてください。　復習：授業の内容を振り返り、要点をまとめておきましょう。	言語聴覚学科教員
2	グループワーク（情報収集、資料作成）	予習：前回の授業を振り返り、何が必要かを考えておく　復習：作成したい資料の参考になる情報を収集しておく	言語聴覚学科教員
3	グループワーク（資料作成）	予習：情報収集、資料収集　復習：集めた情報を基に資料を完成させる	言語聴覚学科教員
4	グループワーク(対話会の役割分担に沿って当日に向けての計画立案、準備開始)	予習：役割別のマニュアルの熟読　復習：グループ内での準備の遂行	言語聴覚学科教員
5	対話会①	予習：対話会グループ内での役割分担の確認、個人で作成したコミュニケーション用資料の確認。観察ポイントの確認。　復	言語聴覚学科教員　（ゲストスピーカー調

		習：反省点のレポート作成、他グループの良かった点、さらに工夫できる点について記述	整中）
6	対話会②	予習：対話会グループ内での役割分担の確認、個人で作成したコミュニケーション用資料の確認。観察ポイントの確認。　復習：反省点のレポート作成、他グループの良かった点、さらに工夫できる点について記述	言語聴覚学科教員　（ゲストスピーカー調整中）
7	全体報告会	予習：対話会の反省点および他グループの良かった点、さらに工夫できる点について発表用資料作成　復習：各自レポート作成	言語聴覚学科教員
8	対話会や報告会を通して明らかになった各自の課題について､実習までに準備できることを考える	予習：各自の課題解決方法について考えておく　復習：具体的な準備の開始	言語聴覚学科教員
成績評価方法と基準			割合
提出物（レポート，コメント等）　原則として全出席が評価の対象			100%

授業科目名	チーム医療論（言語）				
主担当教員	中谷　謙		担当教員	中谷　謙／前川　佳敬／戸田　淳氏／舘　幸枝／芝　さやか／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは，「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と言語聴覚士がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
2	医療系専門職種の介入｜1【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。（30 分）	授業内にて案内
3	医療系専門職種の介入｜2【診療放射線技師】	予習：本学診療放射線学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で診療放射線技師の仕事について	授業内にて案内

		調べておくこと。(30 分)　復習：診療放射線技師の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。(30 分)	
4	医療系専門職種の介入｜３【臨床検査技師】	予習：本学臨床検査学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床検査技師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床検査技師の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜４【臨床工学技士】	予習：本学臨床工学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床工学技士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床工学技士の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜５【理学療法士】	予習：本学理学療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で理学療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：理学療法士の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜６【作業療法士】	予習：本学作業療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で作業療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：作業療法士の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の介入｜７【言語聴覚士】	予習：言語聴覚士の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜８【鍼灸師】	予習：本学鍼灸学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ(以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で鍼灸師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：鍼灸師の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の介入｜９【看護師】	予習：本学看護学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ(以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で看護師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：看護師の職能や役割を理解し，言語聴覚士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での言語聴覚士の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	科目担当者 ゲスト
12	症例検討｜１	予習：言語聴覚士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での理学療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
13	症例検討｜２	予習：言語聴覚士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での理学療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
14	症例検討｜3	予習：言語聴覚士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチー	授業内にて案内

		ム医療内での理学療法士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	
15	授業全体のまとめ｜1	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習:チーム医療での言語聴覚士の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	授業内にて案内
成績評価方法と基準			割合
①「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(他職種)についての報告　②「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(自職種)についての報告　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①と②で100%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（言語）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、健康や疾病予防に関する基礎的な知識と健康管理に関する方法を学修する。また、運動不足の健康への影響を学び、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP①③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

学生のための健康管理学（改訂 3 版） 山野美容芸術短期大学 教授・副学長 木村康一 著 山野美容芸術短期大学 教授 永松俊哉 著 ISBN 978-4-525-62053-0

参考書

健康・スポーツ科学の基礎（出村慎一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	予習：シラバス・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
2	健康の指標と現状（なぜ健康が重要なのか？）	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
3	生活習慣と健康について１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
4	生活習慣と健康について２	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
5	生活習慣と健康について３	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
6	生活習慣と健康について４	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
7	生活習慣と健康について５	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
8	生活習慣と健康について６	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
9	疾病の予防１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
10	疾病の予防２	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二

11	疾病の予防３	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
12	健康のための運動１	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
13	健康のための運動２，健康管理の考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
14	総合復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
15	期末試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP①③④〉			①70%　②30%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（言語）				
主担当教員	伊黒　浩二		担当教員	伊黒　浩二	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP①③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない　②喋らない　③内職しない　④スマホを触らない　以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

特にありません

参考書

学生のための健康管理学（木村康一，永松俊哉・南山堂）　健康・スポーツ科学の基礎（出村愼一監修・杏林書院）　健康・スポーツ科学テキスト　トレーニング科学（北川薫編集・文光堂）　特定健診・保健指導に役立つ　健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康について	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
2	健康の現状	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
3	中高年者の身体的特徴と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
4	骨粗鬆症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
5	変形性関節症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
6	生活習慣病と運動１　メタボリックシンドローム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
7	生活習慣病と運動２　高血圧症	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
8	生活習慣病と運動３　糖尿病	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
9	生活習慣病と運動４　高脂血症	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二

10	生活習慣病と運動５　虚血性心疾患	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
11	運動（エクササイズ）の基本と考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
12	筋力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
13	全身持久力と筋持久力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
14	ウォーミングアップとクーリングダウンの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
15	講義全体のまとめ	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　〈DP①③④〉　授業の 2/3 回以上の出席が必要			①70%　②30%

授業科目名	栄養学（言語）				
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀	
科目ナンバリング	CS20010	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

栄養素の種類や働きを学び、消化吸収と代謝経路およびその調節系を理解する。

学修目標

1）三大栄養素（糖・脂質・タンパク質）の消化吸収・代謝の基礎を説明できる。〈DP①③〉　2）食事摂取基準および身体活動に応じた消費エネルギー算出の理論を説明できる。〈DP①③〉　3）ビタミンの作用と欠乏症について説明できる。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を中心に講義を行いますが、板書内容や配布資料も参考にして理解を深めてください。

教科書

『イラスト基礎栄養学』大口健司　他著/東京教学社

参考書

系統看護学講座　栄養学　人体の構造と機能 ③

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	栄養の概念	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
2	食物の摂取	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
3	炭水化物の栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
4	炭水化物の栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
5	タンパク質の栄養	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
6	脂質の栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
7	脂質の栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行う	森

		こと。	
8	エネルギー代謝・カロリー計算	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
9	消化・吸収と栄養素の体内動態①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
10	消化・吸収と栄養素の体内動態②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
11	ビタミンの栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
12	ビタミンの栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
13	ミネラルの栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
14	ミネラルの栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も併せて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	森
成績評価方法と基準			割合
1. 授業内レポート＜DP①③＞　2. 筆記試験〈DP①③〉　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。			1. 10%　2. 90%

授業科目名	身体運動科学（言語）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	CS20011	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

運動・身体活動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズム、適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法および運動療法の実施について学修する。

学修目標

１．運動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズムについて理解し、具体的に述べることができる。【DP①③】　２．適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法について理解し、具体的に述べることができる。【DP①③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．シラバスに明記されている予習復習を必ず行うこと。　２．授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　３．運動・身体活動に関わる学問であり、解剖学・生理学・運動学の復習が必要です。　４．質問等があれば、授業後に直接研究室に来る、もしくは MORIPA クラスプロファイル「Q&A」から連絡ください。

教科書

資料を配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

杉本　圭： E 棟 4 階研究室／水曜日 4 限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	なぜ、運動が必要なのか？　-運動を無理なく続けられる秘訣を探ってみよう！-	予習：身体にとって運動が必要な理由について考えておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が必要な理由について理解する。(2 時間)	杉本
2	筋肉はどのように収縮するのか？　-運動で用いられる骨格筋について学ぼう！-	予習：骨格筋の構造と収縮の仕組みについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が骨格筋に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
3	セルフチェック①　-まずは自分の身体に目を向けてみよう！-	予習：身体組成に関わる評価方法について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、評価結果と効果的な運動療法の実践について理解する。(2 時間)	杉本
4	運動時の生理機能は？　-運動による身体の反応について学ぼう！-	予習：運動時の生理機能について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の生理機能について理解する。(2 時間)	杉本
5	疾病の予防と治療のための栄養・運動　-生活習慣病予防に必要な取り組み方を学ぼう！-	予習：生活習慣病とは何か調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、生活習慣病の予防と治療のための栄養管理と運動療法について理解する。(2 時間)	杉本
6	ストレッチングの基礎と実際　-使えていない関節を探してみよう！-	予習：ストレッチングの種類、生理学について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、ストレッチングが運動に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本

7	有酸素運動の基礎と実際　-効率の良い走り方とは？-	予習：有酸素運動はどのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、有酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
8	無酸素運動の基礎と実際　-筋肉量が増えるのは良いことか？-	予習：無酸素運動は、どのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、無酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
9	運動と環境　-運動すると体温はどうなる？-	予習：熱中症の病態について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の熱中症の予防および治療方法について理解する。(2 時間)	杉本
10	運動と栄養・食生活　- 青年・中年期の生活習慣を見直そう -	予習：栄養素の役割および食事バランスガイドを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、日常の食事と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
11	運動と疲労　-運動して疲れた身体を超回復！-	予習：運動における疲労について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動と疲労の関係について理解する。(2 時間)	杉本
12	エイジング（加齢、老化）と運動　-歳を重ねると身体はどうなる？-	予習：加齢によって起こる身体の変化について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、老化と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
13	運動と心の健康：メンタルヘルス　-運動の精神機能への影響は？-　セルフチェック②　-継続は力なり。身体は変化する！-	予習：メンタルヘルスについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動習慣定着のための介入方法を理解する。(2 時間)	杉本
14	運動と医療　-運動と医療の関わりについて考えてみよう！-	予習：運動が身体に及ぼす影響について確認しておく．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，運動と医療の関係性について理解する．(2 時間)	杉本
15	講義全体のまとめ	予習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)　復習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)	杉本
成績評価方法と基準			割合
１．筆記試験【DP①③】　２．毎回の授業後に課すレポート課題【DP①③】　＊試験・課題に対して，必要に応じて随時解説を実施する。			１．60%　２．40%

授業科目名	病理学（言語）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患を中心に、その病因や成り立ち、病態を理解できるよう、さまざまな疾患についての詳細な説明と演習を行う。

学修目標

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患について、その病因や成り立ち、病態を把握し　<DP①>　理解できる。<DP②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

病理学の専門用語やいろいろな病態に対する概念は、他の医学分野でも共通に用いるものである。それらをしっかりと理解し、自らも用いることができ、かつ的確に表現できなければならない。そのためにはそれらを確実に理解し、記憶に留めておかなければならない。

教科書

「疾病の成り立ちと回復の促進　病理学　第 3 版」　メヂカルフレンド社

参考書

「新病理学（Ｑシリーズ)」　日本医事新報社

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病気と病理学	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	老化と死	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	生体の基本反応１　細胞傷害と修復	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	創傷治癒	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	急性炎症	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫

6	慢性炎症	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
7	免疫のしくみ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	アレルギー（Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ　型）	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	アレルギー（ⅠⅠⅠ・Ⅳ　型）	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	移植と拒絶反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	循環障害１　出血・止血・水腫	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	循環障害２　血栓・塞栓・うっ血・浮腫	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	先天異常	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	腫瘍	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	難病	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP①・②＞			1　100%

授業科目名	臨床病態学Ⅰ(形成外科学含む)(言語)					
主担当教員	松﨑 伸介		担当教員	松﨑 伸介		
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜3限	
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修	

授業概要

医療人として必要不可欠な内科学の知識・考え方について学修する。 診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。 各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療（外科治療を含む）を論理的に理解・説明できるようにする。

学修目標

1．各種臓器の働きを理解する。 2．症状・症候の病的意義が説明できる。 3．各種疾病の病態を理解し、それら知識に基づき臨床症状・治療（外科治療を含む）が合理的に説明できる。 〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書と補助プリントを併用して行ないます。初回講義を除き、次回の講義範囲について指示する教科書の範囲に目を通してきてください。 講義項目毎に復習課題を提示しますので、それらを中心に講義内容を復習してください。 復習課題をもとに出席を兼ねた復習テストを実施し、成績評価に使用します。 講義中の質問等は問題ございませんが私語は慎んでください。 積極的な参加も成績評価に加味します。

教科書

看護のための臨床病態学 改定5版 南山堂 解剖生理と疾病の特性 改定3版 南山堂 ISBNｺｰﾄﾞ:978-4-525-50903-3 本体価格：2,500円

参考書

病気が見えるシリーズ なるほどなっとく！内科学（改定2版）(南山堂） わかりやすい内科学 （第4版）(文光堂） 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学(第4版） (医学書院） 人体のメカニズムから学ぶ画像診断技術学 (MEDICAL VIEW)

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟5階 508研究室 部屋にいればいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。 確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。 e-mail：shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	血液疾患（１）	予習：特に必要なし 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。 学習時間：3時間	松﨑
2	血液疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。 学習時間：3時間	松﨑
3	外科総論（１）	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。 学習時間：3時間	松﨑
4	形成外科（１）	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。 学習時間：3時間	松﨑
5	形成外科（２）	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。 学習時間：3	松﨑

		時間	
6	循環器疾患（１）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
7	循環器疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
8	循環器疾患（３）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
9	循環器疾患（４）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
10	呼吸器疾患（１）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
11	呼吸器疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
12	呼吸器疾患（３）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
13	腎・尿路疾患（1）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
14	腎・尿路疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
15	総まとめ学習（定期試験）		松﨑
成績評価方法と基準			割合
①講義内実施小テスト（4 回程度予定）　②総まとめテスト　③加点課題を実施する可能性あり（絶対ではない）　①については、理由の如何に関わらず再試験・追試験は実施しない　②問題に出てくる症例に対する理解力を見るための試験である。　マーク式試験または記述試験を実施することを予定している。　最終成績評価は、①②③を用いて算出する。　出席は受験資格の判定のみに使用する。出席回数は点数化はしないが、講義期間中に行う小テストは成績へと点数化される。　〈DP①②〉			①最大 40 点程度　①②の合計で 100 点満点とする ③加点課題（最大 20 点程度）　①-③の合計で成績評価を行う。

授業科目名	臨床病態学Ⅱ（言語）				
主担当教員	五十嵐　淳介		担当教員	五十嵐　淳介	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、患者の訴え・状態から検査・治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

DP①②に対応し、チーム医療実践で必要な専門的知識を獲得するための授業科目です。

１．各種臓器の働きを理解し説明できる。DP①②に対応

２．各種疾病の本質・病態を論理的に理解し説明できる。DP①②に対応

３．各種疾病の臨床症状・治療法・ケアを合理的に説明できる。DP①②に対応

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．内科学（疾病の理解）は現代医療の基礎知識であることを認識して取り組むこと。

２．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。

３．学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずノートに板書内容を記載すること。

４．試験前に全部覚えるのは不可能であるから、日常からノートに沿って教科書を活用すること。

５．疾患について論理的なイメージを理解する努力をすること。

６．疑問点は大切にし、解決に向けて自発的に行動を起こすこと。

７．努力をしない学生・態度不良の学生には単位を与えないので注意のこと。

８．私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる。その場合、速やかに退室すること。

９．最低限の礼儀をわきまえること。

１０．多くのコマで「確認テスト（小テスト)」を実施する。必ず期限内に提出すること。

教科書

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野（医学書院、ISBN：978-4-260-05608-3）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

月曜日昼休みのうち、掲示するもの。Ｃ棟七階１５番研究室。電子メールによる面談予約を推奨。

junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp

※上記以外の希望時間がある場合、事前にメールで相談すること。面談予約なき訪問には対応しない場合がある。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	消化器疾患（その１）：口腔と食道の疾患・胃の良性疾患	消化器系の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
2	消化器疾患（その２）：胃癌・炎症性腸疾患・大腸癌	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐

3	消化器疾患（その３）：種々の消化管疾患・肝疾患総論・ウイルス性肝炎	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
4	消化器疾患（その４）：その他の肝疾患	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
5	消化器疾患（その５）：胆道疾患・膵疾患	消化器系の解剖生理と消化器疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
6	内分泌疾患（その１）：内分泌器官の解剖生理学・視床下部-下垂体疾患・副腎疾患（１）	内分泌器官の解剖生理について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
7	内分泌疾患（その２）：副腎疾患（２）・甲状腺疾患（１）	内分泌器官の解剖生理と内分泌疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
8	内分泌疾患（その３）：甲状腺疾患（２）・副甲状腺疾患 代謝疾患（その１）：生体代謝の概観・糖尿病	内分泌器官の解剖生理・生体代謝・内分泌疾患の病態について１時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
9	代謝疾患（その２）：脂質異常症・尿酸代謝の異常・骨粗鬆症	生体代謝と代謝疾患の病態について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように 1 時間復習しておくこと。	五十嵐
10	膠原病・アレルギー疾患（その１）：生体防御総論・アレルギー・膠原病総論・膠原病各論（１）	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
11	膠原病・アレルギー疾患（その２）：膠原病各論（２）・膠原病類縁疾患・免疫不全症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
12	感染症（その１）：感染症総論・細菌感染症（１）	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと	五十嵐
13	感染症（その２）：細菌感染症（２）・真菌症・原虫、寄生虫感染症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
14	感染症（その３）：ウイルス感染症	生体防御と免疫について 1 時間予習し、学んだ疾患の病態・所見・治療を合理的に説明できるように１時間復習しておくこと。	五十嵐
15	総括：確認テスト問題の振り返り	期間中に学んだ疾患の病態・所見・治療を１時間予習し、講義後には確認テスト問題や教科書を利用して1時間復習しておくこと。また、本授業の総まとめを 30 時間自宅学習すること。	五十嵐
成績評価方法と基準			割合
＜成績評価＞ １）１～１４コマの講義終了後に確認テストを実施する（小テスト）。選択式。MORIPA アンケート利用。講義資料・教科書を見ながら解答して構わない。講義終了後７２時間以内に提出せよ。正答率とともに、期限内に提出したか否かを重視する。未提出者は当該テストの評点を０点とする。(DP①②) ２）期末試験。マークシート式。定期試験期間内に実施。(DP①②) ※追再試験は規程に基づき一回だけ実施する。 ＜フィードバックの方法＞ 確認テストの解答は期間中に数回に分けて公表する。また確認テスト問題の内容については１５コマ目で講評する。			評価：　１）30%　２）70%

授業科目名	耳鼻咽喉科学（言語）					
主担当教員	前川　佳敬		担当教員	前川　佳敬		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

言語聴覚士にとって必要な耳鼻咽喉科学領域の知識・考え方について講義する。講義を通して耳鼻咽喉科学領域の理解を深めることで、医療の現場で応用できるようにする。

学修目標

１．各種器官の働きを理解する。〈DP①②〉　２．各種疾病の本質・病態を論理的に理解する。〈DP①②〉　３．各種疾病の臨床症状・検査法・治療法が合理的に説明できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

耳鼻咽喉科学に関する知識や情報を習得するだけではなく、自分の意見をもち、かつそれを表出できるようになってほしい。　講義内容にあらかじめ目を通し、自分の考えをもっておくことが望ましい。

教科書

言語聴覚士のための基礎知識　耳鼻咽喉科学（医学書院）

参考書

病気がみえる　耳鼻咽喉科　MEDIC MEDIA

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室２／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	耳科学の構造と機能１	学習予定の教科書の部分を予習すること。授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
2	耳科学の構造と機能２	〃	前川
3	耳科学の疾患・症候・診断・治療１	〃	前川
4	耳科学の疾患・症候・診断・治療２	〃	前川
5	鼻科学の構造と機能	〃	前川
6	鼻科学の疾患・症候・診断・治療１	〃	前川
7	鼻科学の疾患・症候・診断・治療２	〃	前川
8	口腔・咽頭科学の構造と機能１	〃	前川
9	口腔・咽頭科学の構造と機能２	〃	前川
10	口腔・咽頭科学の疾患・症候・診断・治療１	〃	前川
11	口腔・咽頭科学の疾患・症候・診断・治療２	〃	前川
12	喉頭科学の構造と機能	〃	前川
13	喉頭科学の疾患・症候・診断・治療	〃	前川
14	気管・食道科学の構造と機能	〃	前川
15	気管・食道科学の疾患・症候・診断・治療	〃	前川

成績評価方法と基準	割合
筆記テスト〈DP①②〉	筆記テスト 100%

授業科目名	臨床歯科医学(口腔外科学を含む)(言語)				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

言語聴覚士の業務は音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図ることであり、歯科・口腔外科領域と密接な関係を持っている。本講義では、歯科・口腔外科領域が対象とする歯・口腔・顎・顔面の構造、機能および関連疾患の病態、診断、治療についての基本を学修し、言語聴覚士として必要な概念と知識を身につける。

学修目標

①歯科・口腔外科領域の構造と機能の基本を説明できる（DP①②）　②歯科・口腔外科領域の疾患と処置の基本を説明できる（DP①②）　③口腔機能障害や発達不全などに対する歯科医学的対応の基本を説明できる（DP①②）　④加齢による口腔機能障害の基本を説明できる（DP①②）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）教科書と配布資料を用いて講義を進行します。また、課題の提出を課すので、必ず提出して下さい。　２）初回講義時に講義の進行と単位認定について説明します。学習内容の特性を踏まえて、積極的に学習に取り組んで下さい。

教科書

道　健一、髙橋浩二、代田達夫、近津大地、野原幹司　「臨床歯科医学・口腔外科学」　医歯薬出版

参考書

夏目長門　「臨床歯科医学・口腔外科学（第 2 版)」　医学書院

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	歯、歯周組織、顔面・頸部、口腔・顎の形態と構造	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
2	咽頭の構造と機能、顔面・顎・口腔・歯の発生と発育	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
3	咀嚼機能、摂食嚥下機能	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
4	構音機能、その他の機能	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
5	歯・口腔・顎・顔面の診察法	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
6	歯･歯周組織の疾患および歯科医学的処置(う蝕、歯髄炎、歯周炎、硬組織疾患、外傷)	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
7	歯・歯周組織の疾患および歯科医学的処置（歯列不正、欠損、形態・形成異常)	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
8	口腔・顎・顔面の先天異常・発育異常	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷

9	口腔・顎・顔面の外傷、炎症、感染症	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	口腔・顎・顔面の嚢胞、腫瘍および類似疾患	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	唾液腺疾患、口腔乾燥症	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	顎関節疾患、口腔粘膜疾患、口腔に症状を現す血液疾患	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	口腔・顎・顔面の神経系疾患、精神的要因が関与する口腔・顎・顔面の病態、口腔ケア	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	口腔機能障害、口腔機能発達不全症に対する歯科医学的対応	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	中枢性疾患、加齢による口腔機能障害と歯科医学的対応	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（DP①②）　②課題等の提出（DP①②）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。課題等の解説は講義時間内に行います。			①80% ②20%

授業科目名	チームリハビリテーション概論（言語）				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔／橋本　弘子／金森　幸／小川泰弘	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

近年、社会・医療現場におけるリハビリテーションのニーズが高まる中、QOL の向上、質の高いリハビリテーションの提供には、各専門職の役割・専門性を理解し、共通の目標に向け互いに専門性を活かし合いながら協働・連携することが不可欠である。そのため本講義では、チームリハビリテーションの概念や重要性、リハビリテーション専門職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割・専門性を理解、学修し、社会・医療現場での多職種連携を卒前より想起できるよう教授する。　（理学療法　三木屋　良輔／5 回）　リハビリテーションにおける理学療法の位置づけを理解し，理学療法の概念，歴史，理論，具体的手段にについて学修する．　（芸術療法概論　橋本　弘子／5 回）　芸術療法（ダンスセラピー、補完医療など）の体験を通じて自身や他者に表れた身体的・精神的効果を実感し、その効果がなぜ表れるのかを脳機能からも理解し、芸術療法がどのようにリハビリテーションに生かされるのかについて教授する。　（作業療法概論　小川泰弘　松下太　鍵野将平　金森みゆき／５回）　作業療法と作業療法士の定義、概念、作業療法の手段、役割と専門性、リハビリテーションチームの他の関連分野との連携等について教授する。

学修目標

（理学療法　三木屋　良輔／５回）　・理学療法を概観し，理解する．　・言語聴覚療法と理学療法の違いを理解する．　（芸術療法　橋本　弘子／5 回）　・芸術療法（集団療法、ダンスセラピー、補完医療など）の体験する．　・芸術療法を経験し身体的・精神的効果がなぜ表れるのかを脳機能からも理解する．　（作業療法）　・作業療法を概観し、理解する．　・言語聴覚療法と作業療法の違いを理解する．　〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

＜理学療法＞　理学療法では、運動療法を中心に講義を展開しますが、リハビリテーション場面では言語聴覚療法と関わることが多いので、積極的に講義に参加してください。　〈芸術療法論〉　体験することで自身に起こった変化を鋭敏に察知して、それらが身体や精神、認知に与える影響などを考える機会としてほしい。そのため 4 回の講義をひとくくりと考え欠席をしないでください。　1. 芸術療法の概念を学んだ後、体験を通し理解を深める　2. 体験を通して身体とこころのあり方を学ぶ　＜作業療法＞　作業療法は、大きく分けて４つの領域（身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害）があります。その４領域を網羅的に講義します。リハビリテーション場面では言語聴覚療法と関わることが多いので、積極的に講義に参加してください。

教科書

＜理学療法＞　適宜，資料を配布する　＜芸術療法＞　特に定めない　配布プリント等で対応する　＜作業療法＞　特に定めない　配布プリント等で対応する

参考書

＜芸術療法＞　表現アートセラピー入門　小野京子　誠信書房

研究室／オフィスアワー

理学療法学科教員:金曜日午後以外（三木屋：葵棟 5 階）　作業療法学科教員：木曜日（10：40～12：10)、その他 C 棟 7 階研究室にて、授業・会議などない時間で随時対応する（橋本：C 棟 7 階 22　）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当

1	リハビリテーション医療と理学療法	予習：１年次のリハビリテーション概論を復習しておく。　復習：授業内容をまとめ，言語聴覚療法、理学療法の共有点、相違点を理解する.　（1 時間）	三木屋
2	運動と身体	予習：1 年次に学修した「人体の機能Ⅰ・Ⅱ」について復習しておく.　復習：授業内容をまとめ，運動中に生じる身体の機能と変化に理解する.　（1 時間）	三木屋
3	運動療法	予習：１年次の基礎運動学（関節運動）を復習しておく。　復習：授業内容をまとめ，関節可動域の治療について理解する.（1 時間）	三木屋
4	物理療法	予習：事前に配布した資料を熟読し，物理療法の知識を深めておく.　復習：授業内容をまとめ，物理療法の適応と禁忌について理解する.　（1 時間）	三木屋
5	理学療法の実際と授業のまとめ	予習：運動学・力学を復習しておく.　復習：授業内容を身体機能と照らし合わせて理解する.　（1 時間）	三木屋
6	ニューロダンス	予習：リハビリテーションにおけるダンスの在り方について調べておく。　復習：ダンスを体験し、身体的および精神的変化を体験する。体験した事について認知機能面からレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
7	絵画療法	予習：絵画療法について調べておく。　復習：絵画療法を体験し、精神的変化を体験する。体験した事について自身の考えをレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
8	ボディーパーカッション	予習：ボディーパーカッションについて調べておく。　復習：ボディパーカッションを体験し、精神的変化を体験する。体験した事について自身の考えをレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
9	ボディパーカッション	予習：ボディパーカッションについて調べておく。　復習:ボディパーカッションを体験し、精神的変化を体験する。体験した事について自身の考えをレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
10	タッチアップセラピー	予習：タッチアップセラピーについて調べておく。　復習:タッチアップセラピーを体験し、身体的、精神的変化を体験する。体験した事について自身の考えをレポートにまとめ提出する。　（予習・復習含めて 4 時間）	橋本
11	［作業療法概論］　作業療法の歴史と定義、領域	予習：作業療法の定義について日本作業療法士協会の HP を参照し、あらかじめ知識を得ておく　復習:配布資料を理解する　（予習復習含めて４時間）	小川
12	［作業療法概論］　老年期障害領域の作業療法	予習：認知症の病態について予習をしておく　復習:配布資料を理解する　（予習復習含めて４時間）	松下
13	［作業療法概論］　身体障害領域の作業療法	予習：脳血管障害の病態について予習をしておく　復習:配布資料を理解する　（予習復習含めて４時間）	鍵野
14	［作業療法概論］　小児・発達障害領域の作業療法	予習：自閉症スペクトラム障害の病態について予習をしておく　復習：配布資料を理解する　（予習・復習含めて 4 時間）	金森
15	［作業療法概論］　精神障害領域の作業療法	予習：脳血管障害の病態について予習をしておく　復習:配布資料を理解する　（予習復習含めて４時間）	小川

成績評価方法と基準	割合
①提出物・レポート・小テスト・出席状況（2/3）＜DP②③④＞　これらを総合的に評価する	①100%

授業科目名	臨床心理学（言語）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床心理学は、心理学の領域の1つであり、人間の心に生じる悩みや困りごとから、日常生活を送りにくくなった方々を対象として、専門的な援助を実践していくための知識や技能を学ぶ学問である。本講義では、臨床心理学の成り立ちや代表的な理論を学び、基礎的な知識を身に付けることを目標とする。それを通じて、医療場面での支援のあり方や援助に求められる態度を醸成する。

学修目標

①臨床心理学の成り立ちについて説明できる。〈DP①②〉　②臨床心理学の主要な理論と、支援のための基礎的な技法について理解できるようになる。〈DP①②〉　③臨床心理学の知見を、日常生活や医療場面での支援における態度に応用できるようになる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本講義では、グループワークや実際の心理検査の体験、ロールプレイなどを実施します。そのため、講義場面とワーク場面の切り替えが非常に重要となります。皆さんのご協力をお願いいたします。

教科書

教科書は使用しない。適宜、資料を配付する。

参考書

臨床心理学概論（公認心理師スタンダード），下山晴彦・石丸径一郎（著），ミネルヴァ書房，2020年　カウンセリングにおけるアセスメントの原理と適用　［第4版］，スーザン C.ウィストン）（著），金子書房，2018年　言語聴覚士のための心理学 第2版，山田弘幸（編），医歯薬出版，2020年

研究室／オフィスアワー

E棟4階研究室4／授業についての質問は、アポイントを取っていただければ適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床心理学の基本的概念	以下、括弧内は時間数を示す　予習:臨床心理学について持っているイメージを書き出しておく。(2)　復習:授業資料を熟読する。(2)	高木　悠哉
2	臨床心理学の成り立ち①　精神分析学と力動的心理療法	予習:フロイトについてインターネット等で調べておく。(2)　復習:授業資料を熟読する。(2)	高木　悠哉
3	臨床心理学の成り立ち②　行動理論と行動療法	予習:古典的条件づけとオペラント条件づけについて、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
4	臨床心理学の成り立ち③　人間性心理学とクライエント中心療法	予習:マズローの自己実現理論について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
5	臨床心理学の成り立ち④　認知理論と認知行動療法	予習:マインドフルネスについて、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
6	臨床心理学の成り立ち⑤　心理療法の諸理論	予習:家族療法、森田療法を中心とした事	高木　悠哉

		前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	
7	心理的アセスメントの成り立ち	予習:アセスメントの定義について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
8	アセスメントの理論と技法①　面接者の基本的態度と種々の面接法	予習:臨床心理学の面接の基本的な考え方について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
9	アセスメントの理論と技法②　知能検査・発達検査・パーソナリティ検査の実際	予習:検査法の信頼性と妥当性について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2	高木　悠哉
10	アセスメントの理論と技法③　観察法・参与観察の基本的な考え方と実際	予習:観察法の意義について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
11	アセスメントの理論と技法④　ケースフォーミュレーションと異常心理学	予習:正常と異常の考え方について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
12	心理療法の実際	予習:第 6 回講義の様々な心理療法を、今一度熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
13	臨床心理学的実践と研究（１）　臨床心理学の研究法	予習:事例研究、折衷法について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
14	臨床心理学的実践と研究（２）　治療効果と検証手法―RCT とメタ分析を中心に―	予習:対照試験、無作為割付対照試験について、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
15	臨床心理学的実践と研究（３）　心理療法のガイドライン	予習:心理療法場面でのガイドラインについて、事前配付資料を熟読しておく。(2)　復習:授業資料および前回リフレクションシートを熟読する。(2)	高木　悠哉
成績評価方法と基準			割合
①各講義におけるグループワーク課題　②各講義におけるリフレクションシート　③確認テスト			①15%　②25%　③60%

授業科目名	医療関係法規論(社会保障制度・関係法規含む)(言語)					
主担当教員	南都　智紀		担当教員		南都　智紀／大根　茂夫／芝　さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日・時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

言語聴覚士に直接間接を問わず関連のある法律並びに行政について理解させる。その主な内容は、言語聴覚士法、医療法（病院)、医師法ほか医療関係者関連法の概要、社会福祉関連法（特に身体障害者福祉法および老人福祉法）と行政、介護保険法と行政、老人保健法と行政等のほか、医療における言語聴覚療法関係の診療保険点数ならびに介護保険点数についても言及し、言語聴覚士の法的な位置づけについての知識を修得させる。

学修目標

1）言語聴覚士法や医療法（病院)、医師法などの医療関係者に関連する法規の概要を理解し、言語聴覚士としての法的責任や役割を理解する。　2）身体障害者福祉法、老人福祉法、介護保険法、老人保健法などの社会福祉関連法の基本的な内容を理解する。
3）言語聴覚療法の診療報保険点数や介護保険点数について基礎的な知識を習得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）医療関係法規、社会保障制度に関する基礎知識を学修します。言語聴覚療法および言語聴覚士に関わる内容について正しく理解し、今後の学びの礎としてください。
2）日常生活の中で問題意識を持ち、授業の内容に対して問題意識を持つようにしてください。
3）演習やグループワークへは積極的に取り組んでください。
4）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。
5）授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

南都・芝：葵棟５階　共同研究室/時間は事前に相談してください。　大根：葵棟 5 階　研究室 15/時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	社会福祉と社会保障制度	予習：社会福祉と社会保障制度について調べる。（２時間）　復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	南都
2	医療法（病院)、医師法	予習：医療法（病院)、医師法について調べる。（２時間）　復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	大根
3	医療関係者関連法	予習：医療関係者関連法について調べる。（２時間）　復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	大根
4	言語聴覚士法	予習：言語聴覚士法について調べる。（２時間）　復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	大根
5	職業倫理、倫理綱領	予習：職業倫理、倫理綱領について調べる。（２時間）　復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	南都

6	医療にかかわる制度（診療保険点数）	予習：医療にかかわる制度（診療保険点数）について調べる。（２時間）　復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	南都
7	介護保険法、老人保健法	予習：介護保険法、老人保健法について調べる。（２時間）　復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	芝
8	地域リハビリテーションと地域包括ケアシステム	予習：地域リハビリテーションと地域包括ケアシステムについて調べる。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	芝
成績評価方法と基準			割合
１．提出課題（小テスト、レポート等）　２．定期試験			１．30% ２．70%

授業科目名	失語・高次脳機能障害学概論（言語）				
主担当教員	中谷　謙		担当教員	中谷　謙／大根　茂夫／戸田　淳氏	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

失語・高次脳機能障害学概論では、失語症および高次脳機能障害の概要を教授する。脳損傷後に生じる諸症状、障害像、発現機序について、脳の構造と機能、損傷部位や局在と関連づけて基礎的知識を教授する。失語症の定義、主な症状、タイプ分類と特徴、言語聴覚士が実施する言語訓練や介入事例を教授し、コミュニケーション障害にも言及する。失語症以外の高次脳機能障害のさまざまな病態とその発現機序、介入方法、対象児・者とその家族への支援の概要を学修させる。
※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1．失語症および高次脳機能障害の基本的な定義と、それらの障害が発生するメカニズムを理解し、主要な症状を簡潔に説明できる。　2．失語症の分類（例：ブローカ失語、ウェルニッケ失語）および高次脳機能障害（例：記憶障害、注意障害、失行、失認）の主要な種類を挙げ、それぞれの特徴と相違点を説明できる。　3．失語症や高次脳機能障害における評価およびリハビリテーションの重要性を理解し、言語聴覚士としての役割を他者にわかりやすく説明できる。　4．失語症や高次脳機能障害がコミュニケーション、社会生活、さらには人間関係に与える

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　復習を行い、関連する書籍や文献などを調べ、知識の定着につとめること。臨床場面での活用や実践を意識して受講すること。　2.　提出物（例：レポート課題、リフレクションシート、小テスト等）についてはその目的を理解して主体的かつ丁寧に取り組み、提出期限を厳守すること。　3.　演習やグループワークに積極的に参加すること。　4.　受講マナーを守ること。授業の録画、録音は原則禁止、とする。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得ること。

教科書

言語聴覚療法シリーズ 3　改訂 高次脳機能障害　長谷川賢一　編著　ISBN　978-4-7679-4523-1　2860 円（税込）

参考書

絵でみる脳と神経　第 4 版　しくみと障害のメカニズム　馬場 元毅　著　ISBN 978-4-260-02783-0　3080 円（税込）

研究室／オフィスアワー

中谷：葵棟 5 階研究室 17／時間は事前に相談してください。　大根：葵棟 5 階研究室 15／時間は事前に相談してください。　　戸田：葵棟 5 階研究室 18 共同研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	高次脳機能とその障害について	予習：教科書 P.23～37 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
2	意識・注意	予習：教科書 P.42～44 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
3	記憶・認知症	予習：教科書 P.44～61 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
4	失行・失認	予習：教科書 P.70～79 、P.82～94 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
5	言語聴覚障害と高次脳機能障害	予習：教科書 P.95～112 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学	中谷

		修内容を理解する。(2 時間)	
6	視空間認知の障害	予習：教科書 P.79～82 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
7	高次脳機能障害と言語聴覚士の役割	予習：事前配布の講義資料に一度目を通しておくこと。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ、学修内容を理解する。(1 時間)	大根
8	失語症の定義、失語症の原因疾患	予習：失語症の原因疾患について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
9	自発話の障害	予習：失語症の自発話の障害について調べておく。(２時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
10	聴覚的理解の障害	予習：失語症の聴覚的理解の障害について調べておく。(２時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
11	呼称の障害、復唱の障害	予習：失語症の呼称、復唱の障害について調べておく。(２時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
12	読字の障害、書字の障害	予習：失語症の読字、書字の障害について調べておく。(２時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
13	失語症候群	予習：失語症のタイプ分類について調べておく。(２時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
14	失語症の予後とリハビリテーション	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ学習内容を理解する。(1 時間)	大根
15	生活と社会における失語症	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ学習内容を理解する。(1 時間)	大根
成績評価方法と基準			割合
定期試験　小テスト・提出物			70%　30%

授業科目名	失語症学演習（言語）				
主担当教員	戸田 淳氏		担当教員	戸田 淳氏／大根 茂夫／芝 さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜1限、月曜2限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

失語症学演習では、「失語・高次脳機能障害学概論」で学修した内容を基盤に、失語症の言語症状と発現機序、失語症の各タイプの特徴、評価と鑑別、訓練方法について教授する。脳の機能局在との関連性について CT/MRI などの画像所見の活用を含めて解説し、脳の器質的損傷によって出現する失語症に随伴しやすいさまざまな障害、他の言語障害、認知症と周辺症状、右半球損傷後のコミュニケーション障害との鑑別点についても言及する。

学修目標

1）失語症の定義やタイプ分類について理解できる。　2）失語症の神経解剖学基盤の知識を習得する。　3）失語症の評価法と診断について理解できる。　4）失語症のリハビリテーションについて理解できる。　5）失語症の社会的・心理的影響について理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）本演習を履修するには、脳と神経にかかわる解剖学・生理学の知識が必要となるため、復習しておくこと。　2）本講義は、「授業時間数の2/3以上の出席」をしなければ成績評価の対象になりません。　3）学習状況を確認するために小テストを実施することがある。　4）演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。　5）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

失語症学 第3版（標準言語聴覚障害学） 藤田郁代 編著 ISBN 9784260043076　5500円（税込）

参考書

中村光 著：失語症の言語訓練～言語情報処理モデルとエビデンスに基づく音声単語のセラピー～，協同医書出版社，2024年　中川良尚 著：実践!失語症のリハビリテーション～症例から学ぶ訓練プランの組み立て方～，新興医学出版社，2022年

研究室／オフィスアワー

大根茂夫：葵棟5階 研究室15/時間は事前に相談してください。　戸田淳氏：葵棟5階 共同研究室/時間は事前に相談してください。　芝さやか：葵棟5階 共同研究室/時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	失語症の基礎復習	予習：失語高次脳脳機能障害学概論の講義内容を復習する（1時間）　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。（1時間）	戸田
2	Broca失語・ウェルニッケ失語	予習：「失語症学」p74－82　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
3	伝導失語・健忘失語・超皮質性失語・全失語	予習：「失語症学」p83－100　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
4	その他の失語症、失読・失書（皮質下性失語、交叉性失語、小児失語）	予習：「失語症学」p101－107　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
5	原発性進行性失語	予習：「失語症学」p132－142　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
6	失語症の神経機構（1）	予習：「失語症学」p. 11―23に一度目を通しておくこと。(30分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ学習内容を理解する。	大根

		（1 時間）	
7	失語症と神経機構（２）	予習：「失語症学」p. 23―32 に一度目を通しておくこと。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ学習内容を理解する。（1 時間）	大根
8	失語症と脳画像	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ学習内容を理解する。(1 時間)	大根
9	失語症の言語治療理論（１）	予習：「失語症学」ｐ204－218　復習：講義中の資料を参考に言語治療の基本原則や治療計画の立案の流れを復習する。	芝
10	失語症の言語治療理論（２）	予習：「失語症学」ｐ218－249　復習：講義中の資料を参考に言語治療の理論について整理する。	芝
11	単語レベルの評価・訓練	予習：「失語症学」ｐ261-271　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
12	文レベルの評価・訓練	予習：「失語症学」ｐ272-286　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
13	読字、書字の評価・訓練	予習：「失語症学」287-296　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
14	発語失行、重度失語症訓練	予習：「失語症学」ｐ296－328　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
15	失語症の社会的支援	予習：「失語症学」ｐ315－318、ｐ324－332、失語症に関する社会資源について調べる。復習：講義資料を参考に社会資源についての情報をまとめる。	芝
成績評価方法と基準			割合
①定期試験　②小テスト・提出物			①70% ②30%

授業科目名	高次脳機能障害学演習（言語）				
主担当教員	中谷　謙		担当教員	中谷　謙／戸田　淳氏／芝　さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

高次脳機能障害学演習では、「失語・高次脳機能障害学概論」で学修した内容を基盤に、高次脳機能障害の原因疾患、多様な症状と臨床像、評価と鑑別、言語聴覚士が実施する訓練の内容と方法、他職種による介入や役割分担について教授する。脳の機能と構造を頭部 CT/MRI 画像と関連づけて理解し、遂行機能障害、注意障害、失行・失認、視空間性認知障害、記憶障害、右半球症候群等、高次脳機能障害の諸症状とその発現機序、評価・訓練、指導や支援について説明できることを目標とする。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1.　大脳の構造と機能を理解し、その損傷の結果として生じる高次脳機能障害の障害機序について説明できる。　2.　各々の高次脳機能の症状を理解し、大脳の損傷部位や原因疾患と関連づけて説明できる。　3.　障害像を理解し、対象児者の社会生活における影響や問題点について考察できる。　4.　言語聴覚士としての役割を理解し、適切な支援やリハビリテーションについて考案できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　復習を行い、関連する書籍や文献などを調べ、知識の定着につとめること。臨床場面での活用や実践を意識して受講すること。　2.　提出物（例：レポート課題、リフレクションシート、小テスト等）についてはその目的を理解して主体的かつ丁寧に取り組み、提出期限を厳守すること。　3.　演習やグループワークに積極的に参加すること。　4.　受講マナーを守ること。授業の録画、録音は原則禁止、とする。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得ること。

教科書

高次脳機能障害学 第 3 版　著：石合純夫　医歯薬出版株式会社　ISBN：978-4-263-26651-9

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

中谷：葵棟 5 階研究室 17／時間は事前に相談してください。　戸田：葵棟 5 階研究室 18 共同研究室／時間は事前に相談してください。　芝　：葵棟 5 階研究室 18 共同研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	高次脳機能障害について	予習：教科書 P.1～3 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
2	臨床における注意点と評価の実際（意識・注意の基礎を含む）	予習：教科書 P.3～5 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
3	神経心理学	予習：教科書 P.5～6 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
4	脳の局在と側性化　脳梁離断症状	予習：教科書 P.6～9 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
5	脳画像について	予習：教科書 P.10～20 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷

6	失行　行為・行動の障害①	予習：教科書 P.63～89 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	芝
7	失行　行為・行動の障害②	予習：教科書 P.89～101 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	芝
8	失認と関連症状	予習：教科書 P.111～152 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
9	視空間認知の障害	予習：教科書 P.157～178 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
10	無視症候群　構成障害	予習：教科書 P.179～195 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
11	注意とその障害	予習：教科書 P.201～205 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	戸田
12	記憶と認知症①	予習：教科書 P.206～230 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
13	記憶と認知症②	予習：教科書 P.249～274 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
14	遂行機能とその障害	予習：教科書 P.233～242 を予習しておく。（2 時間）　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷
15	症状の見方とまとめ方	予習：これまでの学修内容とその関連領域について学修しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、学修内容を理解する。(2 時間)	中谷・戸田・芝
成績評価方法と基準			割合
定期試験　提出物			70%　30%

授業科目名	失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ（言語）					
主担当教員	戸田　淳氏		担当教員	戸田　淳氏／大根　茂夫／芝　さやか		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 1 限、月曜 2 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

本授業では、失語症の基礎から臨床応用までを包括的に学び、評価・診断能力を養うことを目的とします。失語症は脳損傷などにより生じる言語機能の障害であり、その症状は多岐にわたります。本授業では、失語症の種類や症状、神経学的背景を理解した上で、評価方法の選択や結果の解釈に必要な知識を身につけます。さらに、臨床現場で用いられる総合的失語症検査やスクリーニング検査の実施方法を演習を通じて学習します。また観察やインテーク面接の技術を習得し、失語症の特性に応じたアプローチを検討します。授業は講義と演習を組み合わせた形式で行い、実践的なスキルの向上を図ります。本授業を通じて、失語症患者への支援や介入を行う上で必要な基礎力を身につけ、臨床での即戦力となることを目指します。

学修目標

1）失語症の評価・診断方法を体系的に理解する。　2）臨床で使用される失語症の評価方法を習得する。　3）観察および臨床的スキルの向上を目指す。　4）検査結果を的確に分析できる能力を養う。　5）臨床応用能力を高める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）本演習は、「授業時間数の２/３以上の出席」をしなければ成績評価の対象となりません。　2）本演習を履修するには、失語症の基本的知識が必要となるため復習しておくこと。　3）検査の習得状況を確認するため実技試験を行う。　4）演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。　5）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

なし

参考書

藤田郁代 著：失語症学 第 3 版（標準言語聴覚障害学），医学書院，2021 年　中村光 著：失語症の言語訓練～言語情報処理モデルとエビデンスに基づく音声単語のセラピー～，協同医書出版社，2024 年　中川良尚 著：実践!失語症のリハビリテーション～症例から学ぶ訓練プランの組み立て方～，新興医学出版社，2022 年　一般社団法人日本高次脳機能障害学会編：標準失語症検査マニュアル 改定第 2 版，新興医学出版社，2013 年

研究室／オフィスアワー

大根 茂夫：葵棟 5 階 研究室 15/時間は事前に相談してください。　戸田 淳氏：葵棟 5 階 共同研究室/時間は事前に相談してください。　芝 さやか：葵棟 5 階 共同研究室/時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	失語症の評価・診断	予習：失語症の基礎知識を確認する。　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
2	標準失語症検査＜SLTA＞（１）	予習：失語症の聴覚理解障害について復習する。　復習：検査用紙を用いて、聴く項目の教示、検査手順の流れを確認する。	戸田、大根
3	標準失語症検査＜SLTA＞（２）	予習：失語症の話す項目の障害について復習する。　復習：SLTA の検査用紙を参考に、話す項目の教示、検査手順の流れを確認する。	戸田、大根

4	標準失語症検査＜SLTA＞（３）	予習：失語症の読む項目の障害について復習する。　復習：SLTA の検査用紙を用いて、読む項目の教示、検査手順の流れを確認する。	大根、戸田
5	標準失語症検査＜SLTA＞(4)	予習：失語症の書く・計算項目の障害について復習する。　復習：検査用紙を用いて、書く・計算項目の教示、検査手順の流れを確認する。	大根、戸田
6	標準失語症検査＜SLTA＞(5)	予習：標準失語症検査の記録用紙を参考に、検査内容や教示方法について復習する。　復習：標準失語症検査の実技試験に向けて準備を進める。	大根、戸田
7	標準失語症補助検査＜SLTA－ST＞	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。　復習：講義後、実際の検査器具に触れ、記録用紙を見ながら検査演習を行ってみる。	大根
8	標準失語症検査の総括	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。　復習：講義後、実際の検査器具に触れ、記録用紙を見ながら検査演習を行ってみる。	大根
9	WAB/重度失語症/CADL/失語症鑑別	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。　復習：講義後、実際の検査器具に触れ、記録用紙を見ながら検査演習を行ってみる。	大根
10	失語症語彙検査	予習：単語の情報処理モデルについて復習しておく。「失語症学」p234―236　復習：SALA の失語症語彙検査の検査用紙を参考に、検査の手順を復習する。	戸田、芝
11	SALA	予習：単語の情報処理モデルについて復習しておく。「失語症学」p234―236　復習：失語症語彙検査の検査用紙を参考に、検査の手順を復習する。	戸田、芝
12	失語症構文検査/Token test	予習：失語症の文レベルの障害について復習する。「失語症学」ｐ163－164　復習：失語症構文検査/Token test の検査用紙を参考に、検査の手順を復習する。	戸田、芝
13	語音弁別検査/モーラ抽出・分解検査／　抽象語理解検査	予習：失語症の語音認知や音韻操作の障害について復習する。「失語症学」ｐ164　復習：検査の目的や内容について確認し、検査の手順を復習する。	芝、戸田
14	評価サマリーの書き方(1)	予習：「失語症学」ｐ178－184　復習：講義中に説明する復習課題を実施する。	戸田
15	評価サマリーの書き方（２）	予習：「失語症学」ｐ185―189　復習：作成した評価サマリーの見直しをする。	戸田
成績評価方法と基準			割合
①定期試験　②実技試験　③小テスト・提出物			①60% ②20% ③20%

授業科目名	言語発達障害学Ⅰ（言語）				
主担当教員	鮎澤　俊平		担当教員	鮎澤　俊平／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

「言語発達学」で学修した知識を基盤として、言語発達障害およびコミュニケーション障害の定義、要因、症状、臨床像、言語発達障害の評価、診断、訓練の流れに関する基本事項を理解することを目標とする。健常児の言語発達の順序と過程、言語発達障害の早期発見の重要性と言語聴覚士の役割について解説し、知的障害、特異的言語発達障害、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、学習障害、脳性麻痺、後天性要因等と言語発達障害との関連、重複障害について教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1.　言語発達障害と関連する障害分類とそれぞれの特徴について理解できる。　2.　言語発達障害と関連する主な障害の特性や言語症状について説明できる。　3.　言語発達各期や言語発達障害の基本的な評価法について理解できる。　4.　家族支援及び関連職種との連携について理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　言語発達障害を理解するために、各発達期における言語発達の様相と、関連する運動、認知、社会性の発達について理解を深めておいてください。　2.　主体的に教科書や配布資料を読み、言語発達障害と評価法について説明できるようになることを期待します。　3.　グループワークでは、お互いの意見を肯定的に捉えて学びを深めてください。　4.　授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

最新　言語聴覚学講座　言語発達障害学　編著：石坂郁代　水戸陽子　医歯薬出版株式会社　ISBN：978-4-263-27072-1

参考書

標準言語聴覚障害学シリーズ 言語発達障害学（第3版） 医学書院　よくわかる!言語発達障害の臨床 井﨑基博著 大塚裕一編 医学と看護社　新版 発達と障害を考える本（全5巻） ミネルヴァ書房　新訂第2版 写真でわかる重症心身障害児(者)のケア アドバンス［動画付］ インターメディカ

研究室／オフィスアワー

葵棟5階研究室18共同研究室／時間は事前に相談してください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	前言語期、幼児期前期の言語発達と健診	予習：教科書P1～15、P232～233を読む。（1時間）　復習：授業内容をまとめ、幼児期までの発達と乳幼児健診について理解する。(1時間)	鮎澤
2	幼児期後期、学童期の言語発達と障害	予習：教科書P16～26を読む。(1時間) 復習：授業内容をまとめ、学童期までの発達と障害を理解する。(1時間)	鮎澤
3	言語発達障害の定義、臨床の流れ、疾患	予習：教科書P27～52を読む。(2時間) 復習：授業内容をまとめ、障害の定義、臨床の流れ、疾患について理解する。(2時間)	鮎澤
4	言語発達障害の評価、後天性言語発達障害	予習：教科書P66～117、196～204を読む。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、評価、後天性言語発達障害について理解する。(2時間)	鮎澤

5	言語発達障害各論：特異的言語発達障害	予習：教科書 P120～127 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、特異的言語発達障害について理解する。(1 時間)	末次
6	言語発達障害各論：限局性学習症①	予習：教科書 P128～143 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、限局性学習症について理解する。(1 時間)	末次
7	言語発達障害各論：限局性学習症②	予習：教科書 P128～143 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、限局性学習症について理解する。(1 時間)	末次
8	言語発達障害各論：知的発達症①	予習：教科書 P145～153 を読む。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、知的発達症について理解する。(2 時間)	鮎澤
9	言語発達障害各論：知的発達症②	予習：教科書 P145～153 を読む。(1 時間) 復習:授業内容をまとめ、知的発達症について理解する。(1 時間)	鮎澤
10	言語発達障害各論：自閉スペクトラム症①	予習：教科書 P154～175 を読む。(2 時間) 復習:授業内容をまとめ、自閉スペクトラム症について理解する。(2 時間)	鮎澤
11	言語発達障害各論：自閉スペクトラム症②	予習：教科書 P154～175 を読む。(1 時間) 復習:授業内容をまとめ、自閉スペクトラム症について理解する。(1 時間)	鮎澤
12	言語発達障害各論：注意欠如多動症①	予習：教科書 P176～182 を読む。(2 時間) 復習:授業内容をまとめ、注意欠如多動症について理解する。(2 時間)	末次
13	言語発達障害各論：注意欠如多動症②	予習：教科書 P176～182 を読む。(1 時間) 復習:授業内容をまとめ、注意欠如多動症について理解する。(1 時間)	末次
14	言語発達障害各論：脳性麻痺、重複障害①	予習：教科書 P183～195 を読む。(2 時間) 復習:授業内容をまとめ、脳性麻痺、重複障害について理解する。(2 時間)	鮎澤
15	言語発達障害各論：脳性麻痺、重複障害②	予習：教科書 P183～195 を読む。(1 時間) 復習:授業内容をまとめ、脳性麻痺、重複障害について理解する。(1 時間)	鮎澤　末次
成績評価方法と基準			割合
1. 提出課題（小テスト、リフレクションペーパー等）　小テストは翌週以降に解答を開示して解説をする。　2. 定期試験			1.30%　2.70%

授業科目名	言語発達障害学Ⅱ（言語）					
主担当教員	鮎澤　俊平			担当教員	鮎澤　俊平／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

「言語発達障害学Ⅰ」の学修内容を基盤として、言語発達障害児の具体的な評価、指導、訓練、支援や関わり方の実践についての学びを深めさせる。言語発達障害児が呈する症状や問題点を理解するために必要となる知見、観察による情報収集、代表的な検査法の概要、実施方法と採点方法、評価結果に基づいた指導・訓練・支援プログラムについて解説するとともに、対象児の全体像を理解することや環境調整の重要性、関係する多職種との連携についても教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1.　言語発達各期の特徴を理解して、目標設定や基本的な支援内容について説明できる。　2.　言語発達障害を呈する疾患や障害の特性を理解して、目標設定や基本的な支援内容について説明できる。　3.　障害児の進路決定や就労支援における言語聴覚士の枠割について理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　言語発達障害児の目標や支援内容を理解するために、関連する疾患や障害の特性について説明できるようにしておくこと。　2.　主体的に教科書や配布資料を読み、言語発達障害の支援について説明できるようになることを求める。　3.　グループワークでは、お互いの意見を肯定的に捉えて学びを深めること。　4.　授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

最新　言語聴覚学講座　言語発達障害学　編著：石坂郁代　水戸陽子　医歯薬出版株式会社　ISBN：978-4-263-27072-1
【※2 年前期　言語発達障害学Ⅰの教科書と同じ】

参考書

標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第 3 版 シリーズ監修 藤田郁代 医学書院　イラストでわかる ABA 実践マニュアル: 発達障害の子のやる気を引き出す行動療法 藤坂龍司 合同出版　自閉症児のための TEACCH ハンドブック 学研のヒューマンケアブックス 佐々木 正美　学習研究社　自閉症児と絵カードでコミュニケーション PECS と AAC 第 2 版 アンディ・ボンディ他　二瓶社

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階研究室 18 共同研究室／時間は事前に相談してください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	言語発達障害の指導の概要と目標　発達論的アプローチ　カウンセリングマインド	予習：教科書 P36.206～209.216 を読む。（1 時間）　復習：授業内容をまとめ、理解する。(1 時間)	鮎澤　末次
2	言語発達段階に即した支援･訓練　前言語期～学童期の支援	予習：教科書 P206～216 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(1 時間)	鮎澤
3	言語発達段階に即した支援･訓練①　玩具と絵本の使い方	予習：教科書 P206～216 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(1 時間)	鮎澤
4	言語発達段階に即した支援･訓練②　玩具と絵本の使い方	予習：教科書 P206～216 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(1 時間)	鮎澤

5	特異的言語発達障害への支援・訓練	予習：教科書 P120～127 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	末次
6	言語発達障害の支援・訓練　認知・言語的アプローチ	予習：教科書 P126.218 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(1 時間)	末次
7	限局性学習症への支援・訓練	予習：教科書 P128～144 を読む。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	末次
8	知的発達症への支援・訓練	予習：教科書 P145～154 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	鮎澤
9	言語発達障害の支援･訓練　インリアルアプローチ、拡大・代替コミュニケーション	予習：教科書 P219～221 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(1 時間)	鮎澤　末次
10	自閉スペクトラム症への支援・訓練①　TEACCH、PECS、コミック会話	予習：教科書 P154～174.218 を読む。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	鮎澤
11	自閉スペクトラム症への支援・訓練②　TEACCH、PECS、コミック会話	予習：教科書 P154～174.218 を読む。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	鮎澤
12	注意欠如多動症への支援・訓練	予習：教科書 P176～182 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	末次
13	言語発達障害の支援･訓練　学習理論に基づく方法	予習：教科書 P216～218 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	鮎澤　末次
14	脳性麻痺、重複障害への支援・訓練	予習：教科書 P183～195 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	鮎澤
15	進路決定、就労支援、全講義のまとめ	予習：教科書 P232～243 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	鮎澤　末次
成績評価方法と基準			割合
1. 提出課題（小テスト、リフレクションペーパー、ワークシート等）　小テストは翌週以降に解答を開示して解説をする。　2. 定期試験			1.30%　2.70%

授業科目名	言語発達障害学演習Ⅰ（言語）				
主担当教員	鮎澤　俊平		担当教員	鮎澤　俊平／舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜3限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床場面で使用する代表的な言語検査、知能検査、発達検査の検査方法の検査手順、検査手技、記録方法や結果のまとめ方について、実際の検査場面に即した演習形式で修得させる。各種の検査方法の概要と目的を理解し、対象児の特性や対象児が呈する問題点の評価に適した検査の選択、適切な方法と手技による検査の実施、正確な記録、検査結果の正しい解釈と分析に基づいたまとめができるようになることを目標とする。※本科目は実務経験のある教員等による授業科目である。

学修目標

1.　小児領域の各種検査法の概要について理解し、意義や目的が説明できる。　2.　各種検査法の演習を通して検査手順を覚え、手技や記録方法を修得する。　3.　各種検査結果の解釈と分析方法を学修し、正しく結果をまとめられるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　座学で検査方法を学修した後に実技演習を行います。　2.　実技演習ではペアまたはグループでの学修が中心となります。　3.　各種検査法の修得のために、積極的に復習を行うことを期待します。　4.　受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。　5.　授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

最新　言語聴覚学講座　言語発達障害学　編著：石坂郁代　水戸陽子　医歯薬出版株式会社　ISBN：978-4-263-27072-1
【※2年前期　言語発達障害学Ⅰの教科書と同じ】

参考書

言語発達遅滞の言語治療　改訂第2版　小寺富子著　診断と治療社

研究室／オフィスアワー

葵棟5階研究室18共同研究室／各教員：時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	各種検査法の概要、ことばのテスト絵本	予習：教科書P66～P73と、言語発達障害学の関連資料を読む。(2時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2時間)	鮎澤　芝　末次
2	絵画語い発達検査、質問応答関係検査	予習：教科書P92～P93.P96と、言語発達障害学の関連資料を読む。(2時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2時間)	芝　鮎澤
3	遠城寺乳幼児分析的発達検査法　乳幼児精神発達診断法（津守・稲毛式）	予習：教科書P75～P76と、言語発達障害学の関連資料を読む。(2時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2時間)	末次　鮎澤
4	S－M 社会生活能力検査　大脇式知的障害児用知能検査　太田ステージ評価　グッドイナフ人物画知能検査	予習：教科書P86.P152.P167.P219と、言語発達障害学の関連資料を読む。(2時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2時間)	鮎澤　芝
5	新版K式発達検査2020：概要・手順	予習：教科書P74～P75と、言語発達障害	芝　末次

		学の関連資料を読む。(2 時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	
6	新版 K 式発達検査 2020：手順・演習	予習：第 5 回授業資料を読む。(2 時間) 復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	芝　末次
7	新版 K 式発達検査 2020：演習	予習：第 5、6 回の授業資料を読む。(2 時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	芝　末次
8	新版 K 式発達検査 2020：演習	予習：第 5～7 回の授業資料を読む。(2 時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	芝　末次
9	ウェクスラー知能検査、田中ビネー知能検査：概要・手順	予習：教科書 P78～P85 と、言語発達障害学の関連資料を読む。(2 時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	末次　舘　鮎澤
10	WISCⅣ・WISCⅤ：手順	予習：第 9 回の授業資料を読む。(2 時間) 復習:授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	末次　舘　鮎澤
11	WISCⅣ・WISCⅤ：演習	予習：第 9、10 回の授業資料を読む。(2 時間)　復習:授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	末次　舘　鮎澤
12	WISCⅣ・WISCⅤ：演習	予習：第 9～11 回の授業資料を読む。(2 時間)　復習:授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	末次　舘　鮎澤
13	国リハ式 S-S 法言語発達遅滞検査：概要・手順	習：教科書 P90～P92 と、言語発達障害学の関連資料を読む。(2 時間)　復習：授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	鮎澤　芝
14	国リハ式 S-S 法言語発達遅滞検査：手順	予習：第 13 回の授業資料を読む。(2 時間) 復習:授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	鮎澤　芝
15	国リハ式 S-S 法言語発達遅滞検査：演習	予習：第 13、14 回の授業資料を読む。(2 時間)　復習:授業内容について理解し、実技練習に取り組む。(2 時間)	鮎澤　芝
成績評価方法と基準			割合
1. 提出課題（記録用紙の記入、検査結果のまとめ等）　翌週以降に返却し、解説を行う。　2. 定期試験			1.40%　2.60%

授業科目名	発声発語・嚥下障害学Ⅱ（言語）					
主担当教員	南都　智紀		担当教員	南都　智紀		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

発声発語・嚥下障害学Ⅱでは、「発声発語・嚥下障害学Ⅰ」の学修を基盤として、運動障害性構音障害の発現機序と病態、情報収集、評価と鑑別診断の方法、タイプ分類、訓練法について教授する。運動性構音障害の代表的な検査の概要と実施方法、検査結果の分析に基づいた目標設定、訓練・支援の方法、言語聴覚士の役割と関わり方についての基本事項を解説する。運動障害性構音障害に随伴しやすい症状の理解や、運動性構音障害と発声発語に関する他の症状との鑑別を含む。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1．運動障害性構音障害の発現機序と病態について理解する。　2．運動障害性構音障害の評価法と鑑別診断の方法を習得し、適切な情報収集やタイプ分類を行う能力を養う。　3．運動障害性構音障害に対する訓練法を学び、患者に適した目標設定、訓練立案の技術を習得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）遅刻や欠席の場合には必ず授業開始前に連絡をすること。
2）言語聴覚士を目指す学生として自覚を持つとともに、礼節をわきまえた上で、積極的な姿勢で授業や実技に参加すること。
3）言語聴覚士になるという自覚を持ち、積極的な姿勢で演習に臨むこと。
4）授業内で説明する重要な事項は必ず復習を行うこと。また日頃より、他者の構音や口腔運動を観察する習慣を身に着けること。
5）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出すること。
6）授業の録画、録音は原則禁止とする。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てから行うようにすること。

教科書

ディサースリア臨床標準テキスト第 2 版西尾正輝著／医歯薬出版株式会社（ISBN：978-4263266656）　標準ディサースリア検査新装版西尾正輝著／インテルナ出版（ISBN：978-4900637177）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

研究室：葵棟５階共同研究室／オフィスアワー：担当教員のオフィスアワーを確認するようにしてください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	発声発語器官の構造と神経機構	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
2	構音障害の概要と運動性構音障害	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
3	運動障害性構音障害のタイプ分類と原因疾患、運動機能障害／「発話の解剖生理」まとめ	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都

4	聴覚的な発話特徴	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
5	タイプごとの病態特徴と重症度（痙性、弛緩性、UUMN）／「運動障害性構音障害概要」のまとめ	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
6	タイプごとの病態特徴と重症度（失調性、運動低下性、運動過多性）	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
7	運動障害性構音障害の評価（検査の概要、一般的情報の収集）／「発話の聴覚的特徴」まとめ	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
8	運動障害性構音障害の評価（発話の検査、発声発語器官検査）	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
9	運動障害性構音障害の評価（発声発語器官検査）／中間まとめ・振り返り「発話の解剖生理」「運動障害性構音障害概要」「発話の聴覚的特徴」「病態特徴と重症度」	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
10	運動障害性構音障害の治療（姿勢、呼吸、発声）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
11	運動障害性構音障害の治療（共鳴、構音）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
12	運動障害性構音障害の治療（共鳴、構音）／「標準ディサースリア検査」まとめ	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
13	運動障害性構音障害の治療（補綴的治療、発話速度の調整）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
14	運動障害性構音障害の治療（AAC）／「運動障害性構音障害の治療」まとめ	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
15	運動障害性構音障害の治療（気管切開への対応）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
成績評価方法と基準			割合
1）提出課題　2）授業中に実施する小テスト　3）定期試験 4）振り返りテスト上記1）～3）の合計が60点を下回った場合に4）の点数を加点する。			1）15% 2）15% 3）70%

授業科目名	発声発語･嚥下障害学Ⅲ（言語）					
主担当教員	前田　留美子			担当教員	前田　留美子／大根　茂夫	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

摂食嚥下に関与する器官の解剖、正常な摂食嚥下の仕組み、摂食嚥下障害の発現機序と多様な病態、嚥下障害の分類について教授する。摂食嚥下障害のリハビリテーションにおける言語聴覚士の役割や他職種との連携、本人と家族への指導を含む。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1）正常な摂食嚥下機能を理解する　2）摂食嚥下機能の加齢に伴う変化を理解する　3）成人の摂食嚥下障害について理解する　4）摂食嚥下障害のリハビリテーションにおける言語聴覚士の役割とチームアプローチについて理解する　5）VF･VE について理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

「食べる」ことは、生命を維持するために欠かせない栄養補給である他、生きる楽しみ、生活のリズムを作る、人との触れ合いの場である等、さまざまな意味を持ちます。摂食嚥下障害のリハビリテーションは、ST の業務のなかでも大きな割合を占めるようになってきています。

摂食嚥下障害のリハビリテーションに関する基礎知識を身に着けて、実習や臨床に備えましょう。

①　受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。

②　授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害』シリーズ監修：藤田郁代･編集：椎名英貴、倉智雅子／医学書院　ISBN978-4-260-04310-6　『摂食嚥下ビジュアルリハビリテーション』編集：稲川利光／株式会社学研メディカル秀潤社／　ISBN978-4-7809-1253-1

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

各教員研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	解剖（脳神経、感覚、頭頸部）①　CrossLink 言語聴覚療法学テキスト『 発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学』第３章（１年時に購入済）	予習：配付資料、教科書の該当ページを読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	大根
2	解剖（脳神経、感覚、頭頸部）②　CrossLink 言語聴覚療法学テキスト『 発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学』第３章（１年時に購入済）	予習：配付資料、教科書の該当ページを読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	大根
3	咀嚼､呼吸①　CrossLink 言語聴覚療法学テキスト『 発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学』第３章（１年時に購入済）	予習：配付資料、教科書の該当ページを読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	大根
4	咀嚼･呼吸②　CrossLink 言語聴覚療法学テキスト『 発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学』第３章（１年時に購入済）	予習：配付資料、教科書の該当ページを読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	大根
5	正常な嚥下、加齢、姿勢①　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.10～28）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田

6	正常な嚥下、加齢、姿勢②　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.10～28）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
7	運動障害に伴う摂食嚥下障害　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.65～76）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
8	悪性腫瘍に伴う摂食嚥下障害　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.86～93）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
9	高次脳機能障害、認知症に伴う摂食嚥下障害　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.93～96）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
10	加齢に伴う摂食嚥下障害（サルコペニア、フレイルとの関係）　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.99～102）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
11	その他の原因による摂食嚥下障害　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.105～109）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
12	合併症とリスク管理、感染症対策　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.129～149）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
13	合併症とリスク管理、栄養管理　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.129～149）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
14	言語聴覚士の役割とチームアプローチ　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.152～168）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
15	VF・VE について　標準言語聴覚障害学　摂食嚥下障害	予習：配付資料、教科書の該当ページ（P.203～212）を読んでおくこと。　復習：授業内容の要点を確認し、ノートにまとめておくこと。	前田
成績評価方法と基準			割合
１．小テスト　２．定期試験			１．30% ２．70%

授業科目名	音声障害学（言語）					
主担当教員	福永　真哉		担当教員	福永　真哉		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限、月曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

音声障害学では、ヒトの発声のメカニズム、発声器官の解剖と生理、音声障害の発現機序と病態、情報収集と評価の方法、治療法について教授し、音声障害の評価から訓練における言語聴覚士の役割、言語聴覚士が主に担当する音声機能検査（GRBAS 評価、音響分析、最長発声持続時間など）や治療（声の衛生指導など）、無喉頭音声とリハビリテーション、気管切開を伴う発声、音声障害に合併し得る関連障害についての基礎的知識を解説する。音声障害を起因とする問題点や支援までを含む。

学修目標

音声障害の診断、検査と訓練に対する基礎知識を獲得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

音声障害は文化の問題であり、社会的背景が関わっているため、日常から、自分の声，他人の声に注意して、良い声とは？悪い声とは？を考え、分析する習慣を身につけて本講義を受講してください。

教科書

藤田 郁代『発声発語障害学 第 3 版（標準言語聴覚障害学)』(医学書院)(2022)(ISBN:978-4-260-04289-5)

参考書

宮田恵里，佐藤剛史，村上健『声をみるいちばんやさしい音声治療実践ハンドブック』（医歯薬出版)(2021)(ISBN:9784263266434)

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	発声のしくみ	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	福永真哉
2	音声障害の基礎と発声発語器官の解剖	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	福永真哉
3	声の発達，成熟，老化	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	福永真哉
4	音声障害をきたす疾患	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	福永真哉
5	音声障害の分類と特徴	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	福永真哉
6	音声障害の評価について	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を	福永真哉

		基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	
7	音声障害の訓練について	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	福永真哉
8	音声外科治療と無喉頭音声	予習：学習内容について、教科書で確認し、予習する　1.0 時間、復習：教科書を基に授業内容を整理して理解する　1.0 時間	福永真哉
成績評価方法と基準			割合
［定期試験］90%（授業全般にわたっての理解を，記述式を中心にした試験により確認する。）　［受講態度・その他］10%（質問を行うなど，授業に積極的に参加しているかどうか，受講態度も評価する。）			90%　10%

授業科目名	発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ（言語）				
主担当教員	南都　智紀		担当教員	南都　智紀／大根　茂夫／舘　幸枝／芝　さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

発声発語・嚥下障害学演習Ⅰでは、「発声発語・嚥下障害学Ⅱ」で運動障害性構音障害について学修した内容を発展させ、臨床場面で言語聴覚士が実施する各種検査法、訓練法について、音声サンプルや事例提示を交えながら、演習形式で実技を中心に実践的に教授する。観察と問診、検査の選択と実施、結果の解釈と問題点の抽出、症状と障害の重症度を考慮したリハビリテーション・プログラムの立案、記録とレポート作成ができるようになることを目標とする。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

・症例情報、口腔運動、発話から運動障害性構音障害の分類と発話特徴の抽出ができる。　・運動障害性構音障害の評価に関して、基本的な発声発語器官機能検査、聴覚印象評価の手技を実施できる。　・リハビリテーションの流れを把握し、発声、共鳴、構音に関して代表的な訓練方法を立案、実施ができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）遅刻や欠席の場合には必ず授業開始前に連絡をすること。

２）言語聴覚士を目指す学生として自覚を持つとともに、礼節をわきまえた上で、積極的な姿勢で授業や実技に参加すること。

３）言語聴覚士になるという自覚を持ち、積極的な姿勢で演習に臨むこと。

４）授業内で説明する重要な事項は必ず復習を行うこと。また日頃より、他者の構音や口腔運動を観察する習慣を身に着けること。

５）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出すること。

６）授業の録画、録音は原則禁止とする。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てから行うようにすること。

教科書

ディサースリア臨床標準テキスト第 2 版　西尾正輝著／医歯薬出版株式会社（ISBN：978-4263266656）

標準ディサースリア検査新装版　西尾正輝著／インテルナ出版（ISBN：978-4900637177）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

研究室：葵棟５階共同研究室、個人研究室／オフィスアワー：担当教員のオフィスアワーを確認するようにしてください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	検査の種類と概要	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
2	GRBAS 尺度による評価、機器を用いた発話の評価（空気力学的評価、Praat）	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都・大根・舘・芝
3	開鼻声の評価（ナゾメーター、鼻息鏡）、オーラルディアドコキネシス	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布	南都・大根・舘・芝

		資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	
4	標準失語症検査補助テスト―発声発語器官および構音の検査①	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都･大根･舘･芝
5	標準失語症検査補助テスト―発声発語器官および構音の検査②	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都･大根･舘･芝
6	発話特徴抽出検査／標準ディサースリア検査（AMSD）①	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都･大根･舘･芝
7	標準ディサースリア検査（AMSD）②	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都･大根･舘･芝
8	標準ディサースリア検査（AMSD）③	予習：教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都・大根・舘・芝
9	標準ディサースリア検査（AMSD）④	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都・大根・舘・芝
10	実技の確認（発声発語器官の評価）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都・大根・舘・芝
11	実技の確認（発話の評価）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
12	訓練（姿勢・呼吸の訓練）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都・大根・舘・芝
13	訓練（発声・共鳴）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
14	訓練（構音）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
15	訓練（構音、発話速度の調整法）	予習:教科書の該当項目を読んでおく。(2 時間)　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都・大根・舘・芝
成績評価方法と基準			割合
１．実技評価（発声発語器官、発話の評価）　２．課題提出（症例報告書の作成、評価・訓練の実施動画）			１．50% ２．50%

授業科目名	聴覚障害学Ⅱ（言語）				
主担当教員	舘　幸枝		担当教員	舘　幸枝／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

聴覚障害学Ⅱでは、「聴覚障害学Ⅰ」の学習内容を発展させ、補聴器・人工内耳の構造と特性、対象者・児の症状や特性に合わせた補聴器の適合判定、選定、装用指導および人工内耳の適応基準（難聴の早期診断やその必要性、新生児聴覚スクリーニングを含む）と手術について教示するとともに、補聴器の調整（フィッティング）・人工内耳の調整（マッピング）について学び、聴覚障害に関わる言語聴覚士の担う役割と難聴支援の実践力のための知識を身に着けることを目標とする。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1．補聴器・人工内耳の構造と機能が説明できる。　2．補聴器の適合判定、人工内耳の適応基準が説明できる。　3．新生児聴覚スクリーニングの種類およびその重要性が説明できる。　4．補聴器および人工内耳の基本的な調整に関する知識を身に着ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．1 年生で学んだ耳の解剖、耳疾患についての知識を定着させたうえで、講義に臨んでください。　2．数回の小テストを行います。学習した内容の復習をきちんと行っておきましょう。　3．授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

標準言語聴覚障害学　聴覚障害学　第３版　医学書院　藤田郁代　ISBN978-4-260-04350-2

参考書

病気が見える Vol.13 耳鼻咽喉科　MEDIC MEDIA　ISBN978-4-89632-815-8（１年前期使用教科書）　聴覚検査の実際　改訂第５版　南山堂　日本医学会　ISBN978-4-525-37045-9(１年後期使用教科書）　言語聴覚士のための聴覚障害学　医歯薬出版　喜多村健　ISBN978-4-263-21265-3（１年後期使用教科書）

研究室／オフィスアワー

舘　：研究室／時間は事前に相談してください。　末次：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	聴覚補償機器について：補聴器１　構造と機能	予習：聴覚器の解剖についてまとめておく、p130-138　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
2	聴覚補償機器について:補聴器２　補聴器の特性測定１	予習：p138-145　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
3	聴覚補償機器について:補聴器２　補聴器の特性測定２	予習：p138-145　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
4	聴覚補償機器について:補聴器３　適合の理論と実際（成人）	予習：p145-155　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
5	聴覚補償機器について:補聴器４　適合の理論と実際Ⅱ（成人）	予習：p145-155　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
6	聴覚補償機器について：適合の理論と実際Ⅲ（小児）	予習：p155-161　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
7	聴覚補償機器について：適合の理論と実際Ⅳ（小児）	予習：p155-161　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
8	聴覚補償機器について：まとめ	予習：p138-161　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
9	聴覚補償機器について:人工内耳　人工内耳の種類・適応とマッピング１	予習:p162-186　復習:学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘

10	聴覚補償機器について:人工内耳　人工内耳の種類・適応とマッピング２	予習:p162-186　復習:学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
11	聴覚補償機器について:人工内耳　人工内耳の種類・適応とマッピング３	予習:p162-186　復習:学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
12	聴覚補償機器について:人工内耳　幼児期の人工内耳の適応とマッピング１	予習:p186-197　復習:学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
13	聴覚補償機器について:人工内耳　幼児期の人工内耳の適応とマッピング２	予習:p186-197　復習:学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
14	聴覚補償機器について:人工内耳　幼児期の人工内耳の適応とマッピング３	予習:p186-197　復習:学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
15	聴覚補償機器について：人工内耳７（まとめ）	予習:p162-197　復習:学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
成績評価方法と基準			割合
１．定期テスト　２．中間テスト			１．70% ２．30%

授業科目名	聴覚障害学Ⅲ(言語)					
主担当教員	舘　幸枝			担当教員	舘　幸枝／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	前期		曜日･時限	金曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位		必修･選択	必修

授業概要

聴覚障害学Ⅲではこれまでに学修した聴覚障害と関連疾患、補聴機器についての内容を基盤に、視覚聴覚二重障害を含む聴覚障害者・児の問題点を整理し、聴覚障害の発症年齢別の特性、遺伝的要因と問題点、日常生活への影響や配慮すべき点、対象者・児への効果的な支援と介入方法について教授する。小児の場合は、発達段階や子どもの特性に応じた検査方法の選択や指導・介入、成人の場合は、聴覚障害者（中途失聴者含む）の心理的問題やコミュニケーションの問題点への配慮の必要性についても教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1．成人難聴に対する評価および結果の解釈、指導・支援について理解できる。　2．小児難聴に対する評価および結果の解釈、指導・支援について理解できる。　3．視覚聴覚二重障害での問題点、支援の留意点について理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．聴覚障害学Ⅰ（1年後期)・Ⅱ（2年前期）で学んだ知識を踏まえて講義を行います。必ず復習をしてから講義に臨んでください。　2．中間テスト等で学習定着度の確認を行います。日頃から復習をきちんと行っておきましょう。　3．授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。　4．受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。

教科書

標準言語聴覚障害学　聴覚障害学　第３版　医学書院　藤田郁代　ISBN978-4-260-04350-2（聴覚障害学Ⅱ同様）

参考書

病気が見える Vol.13 耳鼻咽喉科　MEDIC MEDIA　ISBN978-4-89632-815-8（１年前期使用教科書）　聴覚検査の実際　改訂第５版　南山堂　日本医学会　ISBN978-4-525-37045-9(１年後期使用教科書）　言語聴覚士のための聴覚障害学　医歯薬出版　喜多村健　ISBN978-4-263-21265-3（１年後期使用教科書）

研究室／オフィスアワー

舘　：研究室／時間は事前に相談してください。　末次：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	成人難聴のリハビリテーション:概要と評価について１	予習：p206-221　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
2	成人難聴のリハビリテーション:概要と評価について２(事例)	予習：p206-221　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
3	成人難聴の指導・支援１	予習：p221-243　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
4	成人難聴の指導・支援２	予習：p221-243　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
5	成人難聴の指導・支援３（事例）とまとめ	予習：p221-243　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
6	小児難聴のリハビリテーション　概要と評価について１	予習：p246-279　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
7	小児難聴のリハビリテーション　概要と評価について２	予習：p246-279　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
8	小児難聴のリハビリテーション　概要と評価について３（事例）	予習：p246-279　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
9	小児難聴の指導・支援１	予習:p280-340　復習:学習内容を学習ノー	末次・舘

		トにまとめる	
10	小児難聴の指導・支援２	予習：p280-340　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
11	小児難聴の指導・支援３	予習：p280-340　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
12	小児難聴の指導・支援４	予習：p280-340　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
13	小児難聴の指導・支援（事例）とまとめ	予習：p280-340　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・舘
14	視覚聴覚二重障害１	予習：p354-390　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
15	視覚聴覚二重障害２（社会資源含む）	予習：p354-390　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験　２．中間試験　３．提出物			１．70% ２．20% ３．10%

授業科目名	聴覚障害学演習Ⅱ（言語）					
主担当教員	舘　幸枝		担当教員		舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

検査手技演習を通して、各種聴力検査（標準純音聴力検査、語音聴力検査、幼児聴力検査に加えてインピーダンスオージオメトリー、音場聴覚検査）の手技に習熟し、検査結果の解釈と分析、根拠に基づいた考察、支援プログラムの立案や家族指導、レポート作成や報告書が作成できるようになることを目標とする。また補聴器・人工内耳に関する実技も取り入れる。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

１．各種聴力検査結果を解釈し、適切な補聴器や人工聴覚機器が選択できる。　２．人工聴覚機器に関する検査・調整に関する知識習得、実践ができる。　３．人工内耳のマッピングに関する知識習得、実践ができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．聴覚障害学Ⅰおよび聴覚障害学演習Ⅰで学んだ解剖、疾患、検査、人工聴覚機器に関する知識をもとに講義をすすめていきますので、復習をしてから授業に参加してください。　２．演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。　３．演習内容によってはシラバス順が一部変更となることがあります。　４．受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。　５．授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

聴覚検査の実際　改訂 5 版　日本聴覚医学会／南山堂、ISBN978-4-525-37045-9（１年後期聴覚障害学演習Ⅰ使用教科書と同様）　標準言語聴覚障害学　聴覚障害学　第３版　医学書院　藤田郁代　ISBN978-4-260-04350-2（聴覚障害学Ⅱ・Ⅲ同様）

参考書

病気が見える Vol.13 耳鼻咽喉科　MEDIC MEDIA　ISBN978-4-89632-815-8（１年前期使用教科書）　言語聴覚士のための聴覚障害学　医歯薬出版　喜多村健　ISBN978-4-263-21265-3（１年後期使用教科書）

研究室／オフィスアワー

舘　：研究室／時間は事前に相談してください。　芝　：研究室／時間は事前に相談してください。　末次：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	標準純音・語音聴力検査１	予習：純音聴力検査、語音聴力検査の結果から鑑別診断ができるようにしておく。 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
2	標準純音・語音聴力検査２	予習：純音聴力検査、語音聴力検査の結果から鑑別診断ができるようにしておく。 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
3	補聴器適合検査と装用指導１	予習：p.145-161　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
4	模擬演習	予習：聴覚検査、補聴器について学んだ知識をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次
5	模擬演習	予習：聴覚検査、補聴器について学んだ知識をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次

6	補聴器適合検査と装用指導２	予習：p.145-161　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次
7	インピーダンスオージオメトリー(ティンパノメトリー、レフレックス)	予習：純音聴力検査、語音聴力検査の結果から鑑別診断ができるようにしておく。 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次
8	模擬演習	予習：聴覚検査、補聴器について学んだ知識をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次
9	模擬演習	予習：聴覚検査、補聴器について学んだ知識をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次
10	人工内耳の基礎	予習：p.162-203　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次
11	人工内耳のマッピング１	予習：p.162-203　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	芝・末次
12	人工内耳のマッピング２	予習：p.162-203　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
13	人工内耳のマッピング３	予習：p.162-203　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次
14	模擬演習	予習：聴覚検査、人工内耳について学んだ知識をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	末次・芝
15	模擬演習	予習：聴覚検査、人工内耳について学んだ知識をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・芝・末次

成績評価方法と基準	割合
１．定期テスト　２．中間テスト　３．提出物	１．70% ２．20% ３．10%

授業科目名	聴覚障害学演習Ⅲ（言語）					
主担当教員	舘　幸枝		担当教員		舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

聴覚障害学演習Ⅲでは、これまでに学修した聴覚障害領域の学習内容を統合し、視覚聴覚二重障害を含む聴覚障害者・児の事例提示や症例データによる演習を行い、多覚的な視点から情報を分析・考察して、聴覚障害者・児の全体像の把握、問題点の抽出、検査の選択と評価、訓練や支援プログラムの立案、報告書作成までの一連の流れを理解して実践できるようになることを目標とする。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

・データをもとに問題点を抽出し、症例に関する一連の言語聴覚評価・訓練を実践できる。　・症例に関する報告書を作成することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．聴覚障害学Ⅰ・Ⅱおよび聴覚障害学演習Ⅰ・Ⅱの内容を復習してから授業に臨んでください。　２．模擬症例時間に適宜講義が入ります。　３．演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。　４．受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。　５．授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

標準言語聴覚障害学　聴覚障害学　第３版　医学書院　藤田郁代　ISBN978-4-260-04350-2（聴覚障害学Ⅱ・Ⅲ同様）

参考書

言語聴覚士のための聴覚障害学　医歯薬出版　喜多村健　ISBN978-4-263-21265-3（１年後期使用教科書）　聴覚検査の実際　改訂５版　日本聴覚医学会　南山堂　ISBN978-4-525-37045-9（１年後期聴覚障害学演習Ⅰ使用教科書と同様）　病気が見える Vol.13　耳鼻咽喉科　メディックメディア　ISBN978-4-89632-815-8（1 年前期音声言語聴覚医学使用教科書と同様）

研究室／オフィスアワー

舘　：研究室／時間は事前に相談してください。　芝　：研究室／時間は事前に相談してください。　末次：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	難聴を伴う重複障害の原因疾患	予習：教科書、参考書籍で該当するページを確認しておく。　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
2	視覚聴覚二重障害に関する訓練・援助１	予習：教科書、参考書籍で該当するページを確認しておく。　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
3	視覚聴覚二重障害に関する訓練・援助２	予習：教科書、参考書籍で該当するページを確認しておく。　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
4	その他の特異的な聴覚障害	予習：教科書、参考書籍で該当するページを確認しておく。　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
5	情報保障と社会資源	予習：教科書、参考書籍で該当するページを確認しておく。　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次

6	模擬症例の検討１	予習：教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
7	模擬症例の検討２	予習：教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
8	模擬症例の検討３	予習：教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
9	模擬症例の検討４	予習:教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
10	模擬症例の検討５	予習:教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
11	模擬症例の検討６	予習:教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
12	模擬症例検討７	予習:教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
13	模擬症例検討８	予習:教科書関連書籍を準備し、検討事項に備えられるようにしておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
14	模擬症例について１	予習：症例について検討した事項をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
15	模擬症例について２	予習：症例について検討した事項をまとめておく　復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘、芝、末次
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験　２．提出物（症例に関するレポート提出）			１．70% ２．30%

授業科目名	臨床実習基礎セミナー（言語）				
主担当教員	前田　留美子		担当教員	前田　留美子／松尾　安希子／大根　茂夫／鮎澤　俊平／戸田　淳氏／南都　智紀／舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳／冨田　哲也／中谷　謙	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床現場での言語聴覚士および関連する他職種の業務、職業人としての接遇、個人情報の守秘、社会や臨床現場における問題解決や危険回避など、実習生が現場で求められる基本的な能力や適切な言動についての理解を深める。組織内の指示系統、管理体制、医療従事者としての倫理観、緊急時対応について学ぶ。観察の方法やポイント、対象者・児やスタッフとの効果的なコミュニケーション技術、対象者・児やその家族への配慮について学び、実践力を高める。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

１）臨床実習について、養成課程における位置づけ、制度、仕組み、協力体制について学ぶ。

２）実習を行うにあたっての約束事（個人情報の守秘、医療従事者としての倫理観、その他）について理解する。

３）社会に出る前の準備（マナー、接遇、身だしなみ、実習生としての態度、緊急時対応、対象者・児とのコミュニケーションと配慮、他）を知り、実践できるように準備・練習する。

４）実習に出る前の準備（言葉使い、感染症の予防、事故発生時の対応、ハラスメント防止等）を知り、準備・練習する。

５）実習指導者会議の概要と各自の役割を理

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床実習を円滑に進めるための心構えや準備について説明します。必ず受講して、各自実習準備を進めてください。

①　演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。

②　受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。

③　授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『これで解決！PT・OT・ST 臨床実習まるごとガイド』監修（代表）大塚裕一／株式会社金芳堂　ISBN978-4-7653-1710-8

学生手帳　臨床実習要項（配付資料）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

各教員研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床実習の概要について	予習：教科書 P.2～7 と P.18～19、学生手帳の該当ページを読んでおく。　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
2	心構え、服装・身だしなみ、社会人としてのマナー、礼節について	予習：教科書 P.10～14、P.22～42、48～49、54～56、実習要項の該当ページを読んでおく。　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
3	服装・身だしなみの確認、実習に臨む態度について	予習：教科書 P.10～14、P.22～42、48～49、54～56、実習要項の該当ページを読ん	言語聴覚学科教員

		でおく。　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	
4	実習に臨む態度、言葉遣い、電話について	予習：教科書 P.10～14、P.22～42、48～49、54～56、実習要項の該当ページを読んでおく。　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
5	挨拶、患者様への対応について	予習：教科書 P.48～49、54～56、実習要項の該当ページを読んでおく。　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
6	感染症、事故、個人情報、SNS について	予習：教科書 P.44～46、P.58～59、実習要項の該当ページを読んでおく。　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
7	ハラスメント防止について	予習：実習要項の該当ページをを読んでおく。　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
8	バイタルの基礎と実践	予習：　復習：授業を振り返り要点をまとめておく。	看護教員（調整中）
9	トランスファー	予習：　復習:授業を振り返り要点をまとめておく。	理学療法学科教員（調整中）
10	実習前後の課題について（実習報告会を含む）	予習:実習要項を読んでおく。　復習:授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
11	バイザー会議について、個人票の記入	予習:教科書 P.8～9 を読んでおく。　復習:授業を振り返り要点をまとめておく。個人票の下書きを書く。	言語聴覚学科教員
12	実習日誌（デイリーノート）の書き方①	予習：教科書 P.64～67、実習要項の該当ページを読んでおく。　復習:授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
13	実習日誌（デイリーノート）の書き方②	予習：教科書 P.64～67、実習要項の該当ページを読んでおく。　復習:授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
14	実習日誌（デイリーノート）の書き方③	予習：教科書 P.64～67、実習要項の該当ページを読んでおく。　復習:授業を振り返り要点をまとめておく。	言語聴覚学科教員
15	実習に関する諸注意と各種手続きの説明・確認、お礼状の下書きを書く	予習：教科書 P44～45、50～51 を読んでおく。　復習:授業を振り返り要点をまとめておく。お礼状の下書きを仕上げて提出する。	言語聴覚学科教員
成績評価方法と基準			割合
１．課題　２．提出物　原則として全出席が評価の対象。			１．30% ２．70%

授業科目名	臨床実習Ⅰ（見学実習）（言語）				
主担当教員	前田　留美子		担当教員	前田　留美子／松尾　安希子／大根　茂夫／鮎澤　俊平／戸田　淳氏／南都　智紀／舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳／冨田　哲也／中谷　謙	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床実習は、学内で学習した知識と技術を臨床現場で実践する場である。臨床実習Ⅰでは、学内で学習した知識や技能と「臨床実習基礎セミナー」での学びを基盤に、臨床現場における言語聴覚士や関連する他職種の役割や業務内容についての理解を深めることを目標とする。臨床実習指導者の指導の下、対象者・児に対する必要な情報の収集と観察を行い、問題点を大まかに把握し、見学した臨床場面を記録する。必要に応じて臨床記録や報告書を作成する。

学修目標

1）言語聴覚障害をもつ人が抱える問題とその背景について知る　2）言語聴覚士の役割と業務について、その一部を理解する
3）見学する施設の特徴と地域における役割について知る　4）職業倫理（守秘義務など）について、その重要性を理解する

履修上の注意（学生へのメッセージ）

1）実習における自分の「目標」や「課題」についてよく考えましょう。
2）事前に出来る準備は、時間をかけて取り組みましょう。
3）素直に一生懸命取り組みましょう。
4）医療人であるという自覚をもって実習態度には十分注意しましょう
5）臨床実習であり、原則欠席は認められません。（学生手帳 P. 38）
6）「臨床実習要項」を熟読して理解しておきましょう
7）実習前後のセミナー、オリエンテーション、ホームルームには必ず出席すること。
　　欠席すると実習への参加が認められない場合があります。

教科書

なし

参考書

臨床実習要項（配付資料）　学生手帳

研究室／オフィスアワー

各教員研究室／随時相談に応じます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	1）実習期間：２週間 2）実習施設：別途連絡 3）学習内容 ①実習オリエンテーション、施設見学 ②前日の記録提出、臨床場面見学、病棟内訓練見学、記録 ③前週の記録提出、情報収集・言語聴覚療法場面の見学、記録 ④前日の記録提出、情報収集、見学、自由会話参加、反省点の記録 ⑤前日の記録提出、他職種の治療場面見学・	①　実習での疑問・不明点を自主的に調べる ②　１日を振り返って実習日誌に記載する ③　実習終了後、報告会に向けてレジュメとスライドの準備を行う	実習指導者

	情報収集、自由会話参加、反省点の記録 ⑥実習全体の振り返り・まとめ		
2	実習報告会	①　スライドの作成 ②　発表練習	学科教員
成績評価方法と基準			割合
１．実習前後の課題の到達度　２．実習中の評価（評価表）　原則として全出席が評価の対象。			１．60% ２．40%

授業科目名	高齢期リハビリテーション概論（言語）				
主担当教員	中谷　謙		担当教員	中谷　謙／大根　茂夫／戸田　淳氏／前田留美子／南都　智紀	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

高齢者を対象としたリハビリテーションでは、介入や目標は画一的であってはならず、広い視野で個別性を考慮する必要がある。本科目では、“高齢者の特性”を学び、加齢により失うものだけでなく、得ていくものにも目を向け、高齢者の“多様性”を理解させる。また、高齢者個人の問題のみならず、超高齢社会に突入した日本が抱える具体的な社会問題を理解し、地域在住高齢者の生活像を考察させる。

学修目標

1.　高齢者の特性や多様性について理解できる。〈DP①②④〉　2.　高齢期と関連する主な障害の特性や症状について説明できる。〈DP①②④〉　3.　高齢者を対象としたリハビリテーションや支援について理解できる。〈DP①②④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　本科目では、３学科合同で実施する科目である。　2.　グループワーク等では、お互いの意見を肯定的に捉えて、協力しながら学びを深めること。　3.　テーマと関連した資料を読む等、主体的かつ積極的に情報収集をすること。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

A 棟または C 棟の各担当教員の研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習・復習：高齢期に関する理論をまとめる（４時間）	科目担当教員
2	高齢期を知る①	予習・復習：高齢期に関する理論をまとめる（４時間）	科目担当教員
3	高齢期を知る②	予習・復習：高齢期に関する理論をまとめる（４時間）	科目担当教員
4	高齢期リハビリテーションの理解①	予習・復習：高齢期リハビリテーションについてまとめる（４時間）	科目担当教員
5	高齢期リハビリテーションの理解②	予習・復習：高齢期リハビリテーションについてまとめる（４時間）	科目担当教員
6	高齢期リハビリテーションの取り組み①	予習・復習：高齢期リハビリテーションの取り組みについてまとめる（４時間）	科目担当教員
7	高齢期リハビリテーションの取り組み②	予習・復習：高齢期リハビリテーションの取り組みについてまとめる（４時間）	科目担当教員
8	振り返りとまとめ	予習・復習：これまでの学びについてまとめる（４時間）	科目担当教員

成績評価方法と基準	割合
レポート・提出課題	100%

授業科目名	小児リハビリテーション概論（言語）				
主担当教員	鮎澤　俊平		担当教員	鮎澤　俊平／舘　幸枝／芝　さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

小児リハビリテーション概論では、周産期・子どもの発達・ライフステージ・生育環境について学修させ、小児リハビリテーションにおける多職種連携の重要性を理解させる。さらに、当事者や保護者・支援者との交流を通して、小児リハビリテーションにおける課題や社会的な問題を理解させ、その解決策を模索させることを目的とする。

学修目標

1.　小児の特性や多様性について理解できる。〈DP①②④〉 2.　小児と関連する主な障害の特性や症状について説明できる。〈DP①②④〉 3.　小児を対象としたリハビリテーションや支援について理解できる。〈DP①②④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　本科目では、３学科合同で実施する科目である。 2.　グループワーク等では、お互いの意見を肯定的に捉えて、協力しながら学びを深めること。 3.　テーマと関連した資料を読む等、主体的かつ積極的に情報収集をすること。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

A 棟または C 棟の各担当教員の研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習・復習：小児に関する理論や小児の発達についてまとめる（４時間）	科目担当教員
2	小児期を知る①	予習・復習：小児に関する理論や小児の発達についてまとめる（４時間）	科目担当教員
3	小児期を知る②	予習・復習：小児に関する理論や小児の発達についてまとめる（４時間）	科目担当教員
4	小児リハビリテーションの理解①	予習・復習：小児リハビリテーションについてまとめる（４時間）	科目担当教員
5	小児リハビリテーションの理解②	予習・復習：小児リハビリテーションについてまとめる（４時間）	科目担当教員
6	小児リハビリテーションの取り組み①	予習・復習：小児リハビリテーションの取り組みについてまとめる（４時間）	科目担当教員
7	小児リハビリテーションの取り組み②	予習・復習：小児リハビリテーションの取り組みについてまとめる（４時間）	科目担当教員
8	振り返りとまとめ	予習・復習：これまでの学びについてまとめる（４時間）	科目担当教員

成績評価方法と基準	割合
レポート・提出課題	100%

授業科目名	精神･心理リハビリテーション概論（言語）				
主担当教員	鮎澤　俊平		担当教員	鮎澤　俊平	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

精神・心理リハビリテーション概論では、メンタルヘルスに関する発展的な知識や理論を理解し、健康を維持するための予防的視点や早期支援の重要性を学ぶ。また、対象者の精神や心理を深く理解するための基本スキルである「傾聴」を習得することを目的とする。本授業を通じて、臨床現場においてクライエントの精神・心理に配慮できる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士としての資質を養う。さらに、リハビリテーション関連職種間での連携に加え、精神・心理における多職種連携の重要性についても理解を深めることを目指す。

学修目標

1.　精神・心理に関連する発展的な知識や理論について理解できる。〈DP①④〉 2.　精神・心理と関連する社会的な問題について説明できる。〈DP①④〉 3.　精神・心理に関連する予防的観点やその支援方法について理解できる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　本科目では、３学科合同で実施する科目である。 2.　グループワーク等では、お互いの意見を肯定的に捉えて、協力しながら学びを深めること。 3.　テーマと関連した資料を読む等､主体的かつ積極的に情報収集をすること。 4.　履修者にはメンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種試験の受験を推奨しているため、検定試験合格に向け、各自が計画的に学習を進めること。 5.　メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種試験の受験には別途検定料（4500 円程度）が必要。

教科書

『サクッとわかる! メンタルヘルス・マネジメント検定 II 種・III 種テキスト&問題集』内藤友子著/ナツメ社　ISBN 4816373098 『メンタルヘルス・マネジメント(R)検定試験 III 種セルフケアコース過去問題集〈2025 年度版〉』　春木未歩子編/中央経済グループパブリッシング　ISBN　4502511315

参考書

『メンタルヘルス・マネジメント検定試験公式テキスト　III 種　セルフケアコース〔第 5 版〕』　大阪商工会議所編/中央経済社　ISBN 4502388319

研究室／オフィスアワー

A 棟、C 棟の各教員の研究室／事前にご相談ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習・復習：精神・心理に関する理論をまとめる（４時間）	小川、鮎澤、角田
2	精神・心理を知る①	予習・復習：予習・復習：精神・心理に関する理論をまとめる （４時間）	小川、鮎澤、角田
3	精神・心理を知る②	予習・復習：予習・復習：精神・心理に関する理論をまとめる （４時間）	小川、鮎澤、角田
4	精神・心理リハビリテーションの理解①	予習・復習：精神・心理リハビリテーションについてまとめる （４時間）	小川、鮎澤、角田
5	精神・心理リハビリテーションの理解②	予習・復習：精神・心理リハビリテーションについてまとめる （４時間）	小川、鮎澤、角田
6	精神・心理リハビリテーションの取り組み①	予習・復習：精神・心理リハビリテーションの取り組みについてまとめる （４時間）	小川、鮎澤、角田
7	精神・心理リハビリテーションの取り組み②	予習・復習：精神・心理リハビリテーションの取り組みについてまとめる （４時間）	小川、鮎澤、角田

8	振り返りとまとめ	予習・復習：これまでの学びについてまとめる（４時間）	小川、鮎澤、角田
成績評価方法と基準			割合
成績評価方法と基準 割合 ①レポート提出課題＜DP①④＞			① 100%

授業科目名	物理学（言語）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

言語聴覚士を目指すにあたり戸惑う教科の一つに『音響学』があります。この科目は相当に専門性の高い科目であり、高度な数学（三角関数・対数関数・微分積分）・物理（力学・波・電気）の知識を必要とします。そのため、教科書や参考書も少ない上、理系上級学年向けに書かれているものがほとんどです。本講座は、文系学生や数学・物理を苦手とする学生を対象とし、音響学を学ぶ前に、最低限知っておきたい内容を丁寧に学習していく講座となります。

学修目標

三角比　波　音波　音圧・音の強さ　音圧レベル・音の強さレベル　音の回折・屈折・反射・干渉・共鳴・うなり・ドップラー効果　　上記の内容を学習していきます。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識して下さい。　２．配布された資料を使用し、講義を行います。

教科書

プリントを使用します。

参考書

言語聴覚士の音響学入門　吉田友敬　著　海文堂出版

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜　木曜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	波とは何か？　波の性質ついて	＜予習・復習 各２時間＞　### **予習** - 教科書や参考資料を使用し、以下の内容を調べてください：　1. 波とは何か？（波の定義と例）　2. 波の基本的な要素（波長、振幅、周期、周波数）を理解する。	久国　正章
3	音響学の勉強は､サイン波についておさらいすることが出発点となります｡サイン波は､三角関数（三角形の角度と長さの関係を表す関数)の一つ	＜復習 各 2 時間＞　**予習**　教科書を用いて以下を学習してください：　1. **三角形の基本的な性質**：直角三角形の	久国　正章

	である正弦関数によって定義される波形です。三角関数の前に、三角比の復習をしていきましょう。	各辺（斜辺、隣辺、対辺）の関係を確認する。　2. **三角比の定義**：　- サイン（sin）= 対辺 / 斜辺　- コサイン（cos）= 隣辺 / 斜辺　- タンジェント（tan）= 対辺 / 隣辺　**アドバイス**　音響学ではサイン波が基本となります。授業で三角比を学ぶ際、波形の周期性や振幅との関連性を意識させると実用的な理解が深まります。	
4	縦波と横波　三角比	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を学習してください：　1. 波の基本的な性質（例：波動の定義、波を伝える媒体の役割）。　2. 縦波（例：音波）と横波（例：水面波）の違いを調べる。　- 縦波：媒質の振動方向が波の進行方向と同じ。　- 横波：媒質の振動方向が波の進行方向と垂直。　3. 縦波と横波の代表的な例（音波、地震波、水面波など）を挙げ、それらの波がどのように発生するかを理解する。　**復習**　授業内容を復習し、以下の点を整理してください： 1. 縦波と横波の違いを図やイラストを用いて説明できるようにする。　2. それぞれの波の性質（振動方向、進行方向）を日常的な例と関連付けて覚える。　3. 授業で取り扱った縦波と横波の具体的な例（音波、水面波、地震波など）について、それぞれがどのような場面で使われるかを考える。	久国　正章
5	縦波と疎密波　音速	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **縦波**の定義と特性：縦波が媒質中でどのように伝わるか（振動方向と進行方向の関係）。　2. **疎密波**の概念：縦波における圧縮（密）と膨張（疎）の繰り返しを理解する。 3. **音速**の基本知識：音速と温度の関係　**復習**　授業内容を復習し、以下の点を整理してください：　1. 縦波の疎密波としての性質を説明できるようにする。　2. 音速が媒質の温度にどのように影響されるかを考える。	久国　正章
6	圧力・気圧	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を用いて、以下の内容を確認してください：　1. **圧力の定義**：圧力（P）は単位面積あたりに働く力として定義される（P = F / A）。　2. **圧力の単位**：パスカル（Pa）を基本単位とし、N/m²との関係を理解する。　3. **気圧の概念**：大気圏中の圧力の性質、標準気圧（1 気圧 = 101325 Pa）について調べる。	久国　正章
7	音圧レベル	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使って以下の内容を確認してください：　1. **音圧レベルの定義**：音圧レベル（L）は、基準音圧に対する音圧の対数比として定義される（単位：デシベル、dB）。　2. **基準音圧**：空気中の基準音圧について学ぶ。　3. **日常的な音圧レベルの例**：静かな部屋（約 30 dB）、会話（約 60 dB）、交通騒音（約 80 dB）など。　**復習**　授業内容を復習	久国　正章

		し、以下の点を整理してください： 1. 音圧レベルの公式の使い方と、基準音圧との関係を説明できるようにする。 2. 音圧レベルの対数スケール（dB スケール）に慣れるため、異なる音圧の音を比較し、その変化を感覚的に理解する。	
8	音の強さのレベル	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使って、以下の内容を確認してください： 1. **音の強さの定義**：単位面積あたりに伝わる音のエネルギー量（単位：W/m²）。 2. **音の強さレベルの定義**：基準強さに対する音の強さの対数比（単位：デシベル、dB）。 3. **音の強さと音圧レベルの関係**： - 音圧レベルと音の強さレベルは関連があり、媒質の密度や音速に依存する。 **復習** 授業内容を復習し、以下の点を整理してください： 1. 音の強さレベルの計算方法を理解し、基準強さとの関係を説明できるようにする。 2. 音の強さと音圧レベルの関係を図や表で整理する。	久国 正章
9	音圧と音の強さ１	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **音圧の定義**：音波によって媒質内に生じる圧力の変化（単位：Pa）。 2. **音の強さの定義**：単位面積あたりの音波のエネルギー（単位：W/m²）。 3. **音圧と音の強さの関係** **復習** 授業内容を復習し、以下の点を整理してください： 1. 音圧と音の強さの定義を説明できるようにする。 2. 音圧と音の強さの関係式を具体的な数値を用いて計算する。	久国 正章
10	音圧と音の強さ２	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 1 回目の授業内容を復習し、以下のポイントを再確認してください： 1. **音圧と音の強さの関係式**： 2. 音圧が倍増した場合、音の強さがどのように変化するか（音の強さは音圧の 2 乗に比例する）。 3. **デシベルスケールの復習**：音圧レベルと音の強さレベルの計算方法。	久国 正章
11	音の回折と屈折	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使って、以下の内容を確認してください： 1. **音の回折**： - 回折とは音波が障害物や隙間を回り込んで伝わる現象。 - 波長が長いほど回折が起こりやすいことを理解する。 2. **音の屈折**： - 屈折とは音波が異なる媒質に進む際に進行方向が変わる現象。 - 音速の異なる媒質間で屈折が起こる理由（スネルの法則）。 3. **日常的な例**： - 回折：壁の後ろで話し声が聞こえる。 - 屈折：水中での音の伝わり方が空気中と異なる。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **音の回折**： - 障害物の大きさや隙間の幅が音波の波長とどう関係しているか説明できるようにする。 2. **音の屈折**： - 温度や媒質の違いによる音速の変化をまとめる。	久国 正章
12	音の反射・干渉	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **音の反射**： - 音波が異なる媒質の境界に到達した際、元	久国 正章

		の媒質に戻る現象。　　- 反射角と入射角が等しいこと（反射の法則）。　　- 実生活の例：エコーや反響（例：山間部での声の反射）。　2. **音の干渉**：　　- 2つ以上の音波が重なり合い、強め合ったり弱め合ったりする現象。　　- 建設的干渉（強め合う場合）と破壊的干渉（弱め合う場合）。　　- 実生活の例：ノイズキャンセリングヘッドホン、音叉の共鳴。 **復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　　1. **音の反射**：- 境界条件が音の反射にどう影響するか。- 実験で観察した反射の例をまとめ、反射角と入射角を比較する。　2. **音の干渉**：　　- 干渉の条件（波の位相差）を具体的に整理する。　　- 実生活の干渉例（例：部屋の中で特定の位置で音が大きく聞こえたり小さく聞こえたりする）を探す。3. **応用例を考察**：　　- コンサートホールの設計における反射の活用。- ノイズキャンセリング技術における干渉の応用。	
13	音の共鳴　定常波	＜予習・復習 各2時間＞ **予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **音の共鳴**：　　- 共鳴とは、振幅が増大する現象。　　- 実生活の例：ギターの弦が特定の音で振動する、コップを叩いたときの音の高さ。2. **定常波**：　　- 2つの波が重なり合い、進行波が打ち消し合って形成される波。　　- 節（振動しない点）と腹（振動が最大の点）の特徴。　　- 閉管での定常波の発生条件。　3. **具体例**：　　- 管楽器（例：フルート、トランペット）での共鳴と定常波の役割。 **復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　　1. **音の共鳴**：- 振動がどのように増幅されるか説明できるようにする。　　2. **定常波**：- 定常波の形成条件と、節・腹の位置を確認する。　　- 閉管での定常波の模式図を作成し、波長や周波数との関係を説明する。	久国　正章
14	音のうなり　ドップラー効果	＜予習・復習 各2時間＞ **予習**　講義資料を使って、以下の内容を確認してください：　1. **音のうなり**：　　- うなりとは、わずかに異なる周波数の音が重なることで発生する周期的な強弱。- うなりの発生条件とその周期（うなりの周波数）について学ぶ。　　2. **ドップラー効果**：音源または観測者が移動しているときに、音の周波数が変化して聞こえる現象。　3. **日常的な例**：　　- うなり：楽器の調律中の音の強弱。　　- ドップラー効果：救急車のサイレンが近づいたり遠ざかったりする際の音の変化。**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **音のうなり**：うなりの発生条件と周波数の計算方法を理解する。　2. **ドップラー効果**	久国　正章
15	復習回	＜復習　3時間＞　第２回目～第１４回目の演習問題を解きなおしましょう。	久国　正章
成績評価方法と基準			割合

①毎回の小テスト課題をもって評価します。１００点<DP①③>	①100%

授業科目名	生物学（言語）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

専門科目の理解を深めるための基礎的な生物学を学習する。　具体的には、下記単元を中心に、ヒトのからだについて理解を深める。　【細胞の構造】細胞小器官の種類とその働き　【代謝】代謝・消化・吸収　【個体の恒常性と調節】恒常性の維持・ホルモン

学修目標

ヒトの生命の仕組みについて､その基本的事項を習得することを目的とする｡〈DP①③〉　好気呼吸の過程を理解する｡〈DP①③〉　恒常性について理解を深める。〈DP①③〉　体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講座を通して基礎用語を確認することが出来ます。高校で生物を学習していない、または不得意科目であった学生はぜひ受講して下さい。

教科書

書籍名：視覚でとらえる生物図録　著者名：鈴木孝仁　監修　出版社名：数研出版

参考書

カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第 1 巻 細胞生物学

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜、水曜・木曜の午前中、金曜の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	細胞の構造とその働き　遺伝子	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「遺伝子」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：核、細胞膜、細胞質、ミトコンドリア、リボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソームなど - 細胞小器官の役割（例：ミトコンドリアはエネルギー産生、リボソームはタンパク質合成）　- DNA と RNA の違い	久国
2	細胞の構造とその働き　細胞を構成する物質(有機物と無機物)　浸透	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「浸透」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：細胞膜、細胞壁（植物細胞の場合）、細胞質、細胞小器官（核、ミトコンドリア、小胞体など） - 細胞膜の構造とその機能（選択的透過性）　- 浸透の定義と原理：浸透圧、半透膜、溶液の種類（高張液、等張液、低張液）	久国
3	物質の輸送(能動輸送と受動輸送)　細胞を構成する物質（タンパク質）	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「物質の輸送」と「タンパク質」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- **物質の輸送**　- 細胞膜の構造（リン脂質二重層、タンパク質の埋め込み）　- 輸送の種類：拡散、浸透、能動輸送、受動輸送　- **タ	久国

		ンパク質とは**	
4	タンパク質の立体構造　タンパク質の種類と働き	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「タンパク質の構造」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ タンパク質の一次構造：アミノ酸の配列とペプチド結合　－ 二次構造：α ヘリックス、β シートの形成と水素結合の役割　－ 三次構造：立体構造を形成するジスルフィド結合など　－ 四次構造：複数のポリペプチド鎖が集合して形成される機能的タンパク質（例：ヘモグロビン）　－ タンパク質の構造と機能の関連性を示す例（例：酵素の活性部位）を調べ、予習として理解を深める。	久国
5	炭水化物　組織	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「炭水化物の構造と分類」に関する章を読み、主要な用語（単糖、二糖、多糖など）を確認する。　組織における炭水化物の役割について簡単に調べる。　必要に応じて、授業で取り扱う関連動画や資料を視聴し、基礎的な概念を理解する	久国
6	酵素の性質と働き　外呼吸と内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　活性部位、基質特異性、酵素-基質複合体、最適条件（温度、pH)、酵素阻害　酵素が化学反応の速度をどのように変化させるのかを簡単に調べる。　酵素の具体例（アミラーゼ、カタラーゼなど）を調べる。	久国
7	内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　外呼吸：肺でのガス交換（酸素の取り込みと二酸化炭素の排出）　内呼吸：細胞でのガス交換（酸素の利用と二酸化炭素の生成）　外呼吸と内呼吸の違いと関連性について簡単にまとめておく。	久国
8	消化器	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「消化器系」の章を読み、以下の用語を確認する：　－ 主な消化器官（口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）－ 各器官の役割（例：胃はタンパク質の消化、小腸は栄養素の吸収）　－ 消化酵素（ペプシン、アミラーゼ、リパーゼなど）の働きと分泌場所　食物が消化器系を通過する過程（消化・吸収の流れ）を簡単にまとめる。	久国
9	恒常性　血球	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「恒常性と血球」に関する章を読み、以下の概念を確認する：　－ 恒常性の定義と重要性 － 血球の種類（赤血球、白血球、血小板）とその役割　－ 赤血球：酸素運搬 － 白血球：免疫反応　－ 血小板：血液凝固	久国
10	酸素解離曲線　血液凝固	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の以下の章を読み、基本的な用語を確認する：－ 酸素解離曲線：ヘモグロビンと酸素の結合に関する曲線(酸素分圧、飽和度）　－ 酸素解離曲線の右方シフト・左方シフトの要因（pH、二酸化炭素濃度、体温など）－ 血液凝固の基本プロセス：血小板の役割、フィブリン形成の流れ	久国
11	伴性遺伝　血管	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「伴性遺伝」と「血管」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ **伴性遺伝**：性染色体（X染色体）に関連する遺伝の特徴。　－ X連鎖性疾患（例：血友	久国

		病、色覚多様性）の具体例　　－ 伴性遺伝の遺伝形式（家系図での遺伝のパターン）　　－ **血管の構造と機能**：動脈、静脈、毛細血管の違いと役割。	
12	心臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「心臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　　－ 心臓の構造（心房、心室、弁：三尖弁、僧帽弁、大動脈弁、肺動脈弁）　　－ 血液循環（肺循環と体循環の違い）　　－ 心拍の基本的な仕組み（洞房結節、刺激伝導系）　　－ 血液の流れを模式図にして、自分で描いて確認する（酸素を含む血液と二酸化炭素を含む血液の流れを明確に）。	久国
13	肝臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「肝臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する　　－ 肝臓の構造（肝細胞、肝小葉、肝門脈、肝動脈、胆管）　　－ 肝臓の主要な機能（代謝、解毒、胆汁の生成、栄養素の貯蔵）　　－ 肝臓が行う物質代謝（炭水化物、脂質、タンパク質）　　－ 胆汁が生成される仕組みとその役割（脂肪の乳化）を簡単に調べる。	久国
14	腎臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「腎臓」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　　－ 腎臓の構造　　－ 尿生成の流れ（糸球体でのろ過 → 尿細管での再吸収・分泌 → 集合管での尿濃縮）　－ 腎臓が体液の恒常性をどのように維持しているかを簡単に調べる。	久国
15	総復習	＜復習 4 時間＞　第１回～第１４回の復習問題を扱います。	久国
成績評価方法と基準			割合
①定期試験１００点のうち、６０点以上で単位認定する。〈DP①③〉　※ただし、オンデマンド配信時には変更あり。			①100%

授業科目名	化学（言語）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解し、それらが生理機能に密接に連関することを理解して欲しい。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「コ・メディカル　化学」　裳華房

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	電子配置とイオン化	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	化学結合	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	物質の三態	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	化学平衡と反応速度論 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
6	化学平衡と反応速度論 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめ	安部　辰夫

		るよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	「化学」のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
①期末試験			①100%

授業科目名	情報処理（言語 B）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	情報処理（言語 A）					
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊		
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限	
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	心理学（言語）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

日常生活では、科学的な方法論を用いない心や行動の法則性が流布し、それに伴い学問としての心理学も誤解されることが多い。心理学とは、多様で複雑な心と行動を細分化し、それら１つ１つの法則性、関係性を科学的に解明することを試みる学問である。その手法は実験や調査であり、得られた結果には客観性、再現性が求められる。本講義では、我々にとって非常に身近な心と行動の問題についての、心理学の基礎的な研究分野をテーマごとに概説し、それら基礎知識とともに、心理学における科学的なデータの読み解き方の修得を目指す。

学修目標

①心理学における科学的な思考法について説明できる。　②心と行動の法則性に関する研究知見について、基礎的、応用的な側面から説明できる。　③心と行動の法則性を日常生活にどう応用するかについて説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

グループワークを実施するため、積極的な参加を求めます。グループワークと講義の切り替えが本講義の一番大切な点ですので、素早く切り替えられるようにご協力をお願いいたします。場合により、PC 持参をお願いすることがあります。

教科書

教科書は使用しない。

参考書

岡市廣成・鈴木直人（監修）「心理学概論　第２版」ナカニシヤ出版　ISBN: 4779508304

研究室／オフィスアワー

E 棟４階研究室４／講義に対する質問はアポイントを取っていただければ、適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心理学の定義と歴史的変遷	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
2	心理学の研究手法①　因果関係と相関関係	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
3	心理学の研究手法②　実験法・調査法・事例研究法・質的研究法	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
4	感覚・知覚と注意機能	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
5	学習①　古典的条件付け・オペラント条件付け	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
6	学習②　観察学習・洞察学習・潜在学習	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
7	記憶のシステムと働き	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木

8	感情の理論・制御	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
9	動機づけ①　生理的動機づけ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
10	動機づけ②　社会的動機づけ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
11	社会的認知と自己	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
12	社会的影響力と社会的関係	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
13	問題解決・推論	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
14	ストレスと健康	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
15	まとめ及び確認テスト	＜予習・復習 各2時間＞　講義の総復習として各授業資料を確認すること、テスト結果を踏まえ必要な授業資料を再読すること。	高木
成績評価方法と基準			割合
①毎講義実施されるグループワーク課題　②毎講義実施される個人によるリフレクションシート　②確認テスト			①25%　②25%　③50%

授業科目名	生命倫理学（言語）				
主担当教員	神田　靖士		担当教員	神田　靖士	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生命をめぐる倫理（道徳･規範）的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における今日的かつ具体的問題に対処できる思考能力を養います。生命科学・医学研究の発展は目覚しく､その成果をもとにした先端医療技術はわれわれに希望をもたらすとともに多くの新たな問題を提起しています。本講義では、生命倫理の誕生と展開を概説し、続いてどのように日本に受容されたのかを論じます。特に人権尊重を視野に入れ､最近の生命倫理学上の事例をとり入れつつ論じます。授業は、講義を中心として、ＶＴＲ，質疑、グループ討論を交えて行います。

学修目標

生命倫理学の歴史的背景と法律並びに国際比較することにより現在の問題点について理解し､具体的な倫理的問題を包括的な観点から把握することを目標とします。特に最近の医療領域（出生前診断と妊娠中絶、脳死と臓器移植、終末期医療、再生医療、遺伝情報の取り扱い）において生じた倫理的諸問題を個別に取り上げ、討論を行いながら個々の倫理観を構築することを到達目標とします。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．生命倫理は医療関係を志す者として根底にある倫理的な考え方を学習する科目であるので、自ら疑問及び興味を持ち積極的に講義に臨むことを強く希望します。　２．グループ討論には積極的に参加すること。　３．出席者は、私語・スマホの使用は厳禁。講義中の私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。　４．最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

特に指定なし。講義資料を適宜配布します。

参考書

伏木信次、樫　則章、霜田　求　『生命倫理と医療倫理』　金芳堂　小林亜津子　『看護のための生命倫理』　ナカニシヤ出版　グレゴリー・ペンス　『医療倫理Ⅰ・Ⅱ』　みすず書房

研究室／オフィスアワー

在室時は訪問可。　質問がある場合は授業終了時に各自申し出て下さい。また、メールでも随時受付を行います。　メールアドレス：kandas@hirakata.kmu.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理概論（生命倫理とはどのような学問か）	※隔週でグループ討論を行うので、前の週に行った授業内容に関して復習をし、分からない箇所の理解を深めた上でグループ討論に臨むこと。　本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
2	尊厳死と安楽死	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
3	尊厳死と安楽死について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士
4	着床前診断と出生前診断	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
5	着床前診断と出生前診断について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士

6	臓器移植と脳死	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
7	臓器移植と脳死について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート（2 時間）	神田　靖士
8	再生医療とクローン技術	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
9	再生医療とクローン技術について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
10	代理出産における倫理観	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
11	代理出産における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
12	インフォームド･コンセント(十分な説明と同意、告知）	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
13	インフォームド･コンセント(十分な説明と同意、告知）における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
14	動物を対象とした研究における倫理観	本時についての予習・復習に各 2 時間	神田　靖士
15	動物を対象とした研究における倫理観について討論及び発表	本時についての予習 2 時間　レポート(2 時間）	神田　靖士
成績評価方法と基準			割合
・定期試験は行わず、平常評価（レポート等）で総合評価する。　①グループ討論への参加状況<DP③>　②討論後の発表<DP③>　③課題レポート<DP③>			①20%　②20%　③60%

授業科目名	哲学（言語）				
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「人の生き方」や「世界の真理」に関する直球の（「あなたはこう生きなさい」とか「これが世界の真理です」といった）答えを求める人にはあまり受講をオススメできないことは先に申し上げておきたい。　また、数学の証明やある理論の歴史を解説していく場合のように、哲学上の問題を設定して議論を追いかけていくには出発点とその結末だけでなく、議論の過程が大事になってくる。講義内のトピックもそれぞれ関連しているため、あるトピックで出てきたキーワードが別のトピックで登場することもある。そのため毎回の授業に滞りなくついてくるためには最低限、これまでの話の流れを押さえるための復習が必要となることに留意されたい。　本講義の基本的な採点方法は第１回の授業で説明する。シラバスは講義の大まかな流れを示したものであ

り、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解度に応じて内容を一部変更したりするなど、多少の変更がありうることをご承知いただきたい。また、授業中、他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠、無許可での退室、遅刻、私語など）はしないこと。妨害行為が著しい場合は退室を命ずることがある。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	社会福祉学（言語）				
主担当教員	伊東　香純		担当教員	伊東　香純	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

本講義では、社会福祉学の基本的な概念や理論を学習し、それらを用いて社会を観察、分析する力を養う。家族や地域、病院など身近なテーマについて、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

学修目標

家族や地域、病院など福祉に関する身近なテーマについて、社会福祉学の基本的な概念や理論を用いて批判的、相対的な視点から考察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進捗状況等により、講義の順序や内容は変更する可能性がある。

教科書

指定なし

参考書

授業の中で適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

連絡先電子メール：itokasumi24(at)gmail.com (at)→@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
2	障害者の自立生活運動	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
3	介助の現場	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
4	社会保障制度の歴史	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
5	生活保護制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
6	家族制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
7	少子高齢社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペ	伊東

		ーパーの提出	
8	グローバルエイズ	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
9	国際協力	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
10	在日コリアン	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
11	開発原病・帝国医療	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
12	リスク社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
13	医療化	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
14	ジェンダー	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
15	自己決定？	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
成績評価方法と基準			割合
授業参加度（コミュニケーションペーパー）（DP①③）　最終レポート（DP①③）			60%　40%

授業科目名	日本国憲法（言語）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、コ・メディカルをもとに、診療の補助の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 看護学科における『保健師・助産師・看護師法』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の現状とその是非についての理解を深める。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田　重幸
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田　重幸
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田　重幸
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福追求権)　　包括的基本権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸

6	基本的人権規定③　　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸
7	人権問題　　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田　重幸
8	衛生法並び衛生行政　　衛星法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田　重幸
9	関係法規①　　コ・メディカルに対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認　復習：講義内容をもとに、施術者の役割を確認する	植田　重幸
10	関係法規②　　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
11	医療過誤と法的責任①　　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
12	医療過誤と法的責任②　　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：医療過誤に関する事例を調べる　復習：特に民事責任に関して確認を行う	植田　重幸
13	日本の政治体制と三権分立　　国会・内閣規定により、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習：1 票の格差問題について理解を深める	植田　重幸
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田　重幸
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：講義事項についての確認	植田　重幸
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(言語B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜2限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP①②〉　基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie　共著、金星堂、2016年初版)　ISBN 978-4-7647-4011-2

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction　/ Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	It’s so nice to see you!	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	挨拶をする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Is he a popular professor?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	自己紹介をする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾

		おくこと。	
6	He showed me a way.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	感想を述べる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	For here or to go？	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	注文をする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	She is so beautiful.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	お願いをする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	Catching a cab	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	場所を説明する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	How romantic! 人を描写する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test : Unit 1-7	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP①②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP①②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(言語 A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP①②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題(特にリーディングの予習)は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie 共著、金星堂、2016 年初版) ISBN 978-4-7647-4011-2

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	It’s so nice to see you!	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	挨拶をする	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	Is he a popular professor?	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	自己紹介をする	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重

		おくこと。	
6	He showed me a way.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	感想を述べる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	For here or to go？	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	注文をする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	She is so beautiful.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	お願いをする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	Catching a cab	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	場所を説明する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	How romantic! 人を描写する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test : Unit 1-7	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP①②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP①②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(言語 B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期科目の英語 I に引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP①②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP①②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie 共著、金星堂、2016 年初版) ISBN 978-4-7647-4011-2 英語 I で使用したテキストを引き続き使用する。英語 I を履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / I’m not feeling well.	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	体調を述べる	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Tickets for a Yankee game	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	誘う	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	What’s on the shopping list?	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	長尾

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	誘いを断る	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	MoMA is fun!	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	聞き直す	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	The ”Fourth of July” is coming up.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	予定を尋ねる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	Who is that guy?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	提案する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	You are my best friend.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	We are going to be late！	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test: Unit 8-15	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP①②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP①②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(言語 A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP①②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP①②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie 共著、金星堂、2016 年初版) ISBN 978-4-7647-4011-2 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / I’m not feeling well.	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	体調を述べる	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Tickets for a Yankee game	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	誘う	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	What’s on the shopping list?	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	藤重

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	誘いを断る	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	MoMA is fun!	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	聞き直す	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	The ”Fourth of July” is coming up.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	予定を尋ねる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Who is that guy?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	提案する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	You are my best friend.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	We are going to be late！	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test: Unit 8-15	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP①②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP①②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(作業 B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期科目の英語 I に引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉　英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉　簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）　英語 I で使用したテキストを引き続き使用する。英語 I を履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	長尾

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(作業 A)				
主担当教員	田中 友理		担当教員	田中 友理	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021） 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟１階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	田中

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	田中
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(言語)				
主担当教員	戸田 淳氏		担当教員	戸田 淳氏／前川 佳敬／南都 智紀／中谷 謙／朝倉 智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。 また、履修に関することや教育課程（カリキュラム）、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。 医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③〉 ・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③〉 ・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③〉 ・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。 ＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】 【理事長､学長×学部長対談！】 テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上) 復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長 内田学部長 前川学部長 森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上) 復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】 【学科長対談！】 テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職について調べる。(1 時間以上) 復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上) 復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁

5	コミュニケーション入門【コスモホール】　（コミュニケーションって何？コミュニケーションのメリットは？「話を聞く」、「伝える」ってどういうこと？）　テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 橋本　弘子
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上)　IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】　テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上)　復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【D②③】　②レポート課題　テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【D②③】　＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。　①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30%　②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（言語）				
主担当教員	芝 さやか		担当教員	芝 さやか／前田 留美子／中谷 謙／朝倉 智仁	
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜4限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についての知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
3	IPW論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPWで討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁

成績評価方法と基準	割合
レポート課題<DP②③>　「見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」1600字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。	100%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(言語)				
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける。　・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回配布する資料を用いて、必ず復習してください。

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年　田中喜代次編「健康運動の支援と実践」金芳堂、2006 年

研究室／オフィスアワー

東棟 4F　火曜 15:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康とは？	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
2	運動・栄養と肥満症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
3	運動・栄養と糖尿病との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
4	運動・栄養と脂質異常症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
5	三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
6	微量栄養素（ビタミン・ミネラル）と水の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
7	消化器の構造と機能	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
8	食品群の理解と応用	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
9	エネルギー摂取量と消費量との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
10	運動時におけるエネルギー産生メカニズム	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
11	運動処方の原則と実際	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
12	運動と食欲の関係－最新のトピックス－	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
13	日本人の食事摂取基準について	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田

14	健康づくりに関する本邦の取り組み	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
15	講義全体のまとめと振り返り	予習： これまでのプリントの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
成績評価方法と基準			割合
①授業内試験で評価する。 15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 課題・テスト後、各設問の解答を解説する。希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			①100%

授業科目名	言語学（言語）				
主担当教員	家村　雅子		担当教員	家村　雅子	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

言語学は、世界のあらゆる言語を同じ尺度・同じ基準で分析し人間の言語の構造を理解する手段です。その言語学の基本を学び、同時に日本語をその基準で分析することで理解を深めていきます。

学修目標

① 言語学の基本的概念を理解する。(DP1)　② 日本語を客観的に観察し言語学的な説明ができるようになる。(DP4)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

言語学とはいえ、中高校の国語で学んだ国文法と重なる部分が多いです。前もって国文法を見直すこと、そして並行しながら国文法で使われる用語や説明の仕方を見るようにしてください。また普段から“不思議な日本語”に敏感になるようにしください。

教科書

斎藤純男（2010)『言語学入門』三省堂 ISBN: 9784385364216

参考書

授業で適宜案内します。

研究室／オフィスアワー

・非常勤講師室在室時は訪問可。　質問がある場合は授業終了時に各自申し出て下さい。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	言語学とは何か：イントロダクション	予習：シラバス内容確認　復習：確認小テストで復習	松本
2	人間言語の特徴	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
3	形態論(1)形態素の考え方	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
4	形態論(2)語形成の方法と種類	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
5	形態論(3)練習	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
6	統語論(1)文の構造	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
7	統語論(2)複文構造	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
8	意味論と語用論	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
9	動詞(1)動詞の分類と形態	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
10	動詞(2)動詞述語と文法カテゴリー	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
11	音韻論	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
12	動詞と統語：練習	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
13	社会言語学	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本

14	言語類型論	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
15	総まとめ	予習：全体を振り返っておく　復習：総復習して試験対策する	松本
成績評価方法と基準			割合
１　授業内外で行う小テスト　２　定期試験　＊3 分 2 以上の出席			30%　70%

授業科目名	音声学（言語）				
主担当教員	家村　雅子		担当教員	家村　雅子	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

世界で話されている音声言語の音声を記述されるために作られた国際音声字母（IPA）を理解した上で、その表記方法を使って日本語の音声を記述する。また日本語らしい音の使い方、アクセントの記述の仕方を理解する。

学修目標

① 日本語の音声を IPA を使って表記することができるようになる。(DP1)　② 実際の音声を聞き取りより正確に書き取り、標準的な発音をの違いを発見できる。(DP4)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

暗記すべきことはしっかり覚えてくること。その覚えたことを使って次の学習事項に進む積み重ね型なので覚えないでのぞむとどんどん分からなくなります。また、不明な点があればすぐに質問してください。遅ければ遅いほど理解が悪くなります。

教科書

斎藤純男（2006)『日本語音声学入門（改訂版)』三省堂、ISBN 9784385345888

参考書

授業で適宜案内します。

研究室／オフィスアワー

・非常勤講師室在室時は訪問可。　質問がある場合は授業終了時に各自申し出て下さい。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクションと音声器官	予習：シラバス内容を確認　復習：確認小テストで復習	松本
2	音声産出について	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
3	IPA について・母音(1)基本	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
4	母音(2)　母音に関するその他	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
5	子音(1)子音の基本	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
6	子音(2)閉鎖音・摩擦音	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
7	子音(3)その他の音	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
8	日本語の音(1)50 音図	予習：教科書の該当を読んでおく　復習：確認小テストで復習	松本
9	日本語の音(2)日本語の様々な音	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
10	日本語の音(3)日本語の音声表記	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
11	音韻論	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
12	音節とモーラ	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
13	超分節素(1)アクセント	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本

14	超分節素(2)イントネーション	予習:教科書の該当を読んでおく　復習:確認小テストで復習	松本
15	総まとめ	予習:全体を振り返っておく　復習:全体をまとめて試験対策する	松本
成績評価方法と基準			割合
1　授業内外で行う小テスト　2　定期試験　＊3分2以上の出席			30%　70%

授業科目名	音響学(聴覚心理学を含む)(言語)					
主担当教員	南都 智紀			担当教員	南都 智紀／舘 幸枝／末次 由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期		曜日・時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修・選択	必修

授業概要

音響学の基本概念、音声の物理的特性（周波数、振幅、位相を含む）について学び、音声言語の生成と知覚、言語の音響学的特性、音声の分析方法（共鳴、基本周波数、フォルマント、超音節的要素を含む）を学びます。音声知覚および聴覚心理学についても学びます。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

・物理現象である音について理解し、その性質を説明できるようになる。　・音響分析（波形、スペクトログラムスペクトル）について理解し、基本的な分析方法を実施できるようになる。　・音が心理的にどのように知覚されるのか理解し、説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）私たちは「音」に囲まれて生活をしています。日常生活の「音」について音響学や聴覚心理学の視点から考えるようにしてください。

２）実験を通して学んだことは必ず教科書を見て知識の整理を行い、数式や計算についても仕組みを理解できるようにしてください。

３）言語聴覚療法および言語聴覚士との関連性を意識しながら、音響学や聴覚心理学に関わる内容について正しく理解してください。

４）演習やグループワークへは積極的に取り組んでください。

５）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。

６）授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

Crosslink 言語聴覚療法学テキスト　音響・音声学　編集：竹内　京子、稲田　朋晃　出版社：メジカルビュー社　ISBN：978-4-7583-2068-9

参考書

授業中に適宜指示をします。

研究室／オフィスアワー

研究室：葵棟５階共同研究室／オフィスアワー：各担当教員のオフィスアワーを確認するようにしてください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	音の物理的側面・音響分析ソフト Praat	予習：教科書 P58～61 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
2	音の強さ①　圧力変化としての音	予習：教科書 P62～66 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
3	音の強さ②　音速・波長・減衰／音の伝わり方	予習：教科書 P66～70 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
4	スペクトル①　音のスペクトルとは／1～3 回目の振り返り	予習：教科書 P71～77 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次

5	スペクトル②　音のスペクトルの分析	予習：教科書 P71～77 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
6	共鳴・共振①　音の共鳴（共振）、空気振動／４～5 回目の振り返り	予習：教科書 P78～79 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
7	共鳴・共振②　音響管の共鳴と共鳴周波数①	予習：教科書 P79～80 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
8	共鳴・共振③　音響管の共鳴と共鳴周波数②	予習：教科書 P79～80 を確認する。　復習：授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
9	共鳴・共振④　母音の共鳴周波数の分析	予習:教科書 P81～83 を確認する。　復習:授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
10	中間まとめ・振り返り／音声生成の音響理論	予習:教科書 P84～89 を確認する。　復習:授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
11	言語音の生成と知覚	予習:教科書 P90～96 を確認する。　復習:授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
12	音声の記録方法とデジタル信号処理／10～11 回目の振り返り	予習：教科書 P97～100 を確認する。　復習:授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	南都・舘・末次
13	聴覚の仕組み　音の心理物理学	予習：教科書 P102～112 を確認する。　復習:授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	舘・南都・末次
14	音の大きさ・高さの知覚　マスキング現象	予習：教科書 P113～126 を確認する。　復習:授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	舘・南都・末次
15	両耳の聴こえ　環境と聴覚	予習：教科書 P127～135 を確認する。　復習:授業資料と教科書の該当箇所を見直す。	舘・南都・末次
成績評価方法と基準			割合
１）提出課題(授業内での提出課題・レポート)　２）授業中に実施する小テスト　３）定期試験　４）振り返りテスト　上記１）～３）の合計が 60 点を下回った場合に 4）の点数を加点する。			１）15% ２）15% ３）70%

授業科目名	医学総論（言語）					
主担当教員	大根　茂夫			担当教員	大根　茂夫／五十嵐　淳介	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1年	開講学期	前期		曜日・時限	水曜3限
授業形態	講義	単位数	1単位		必修・選択	必修

授業概要

本教科目は，これから言語聴覚学の各教科を学ぶに先立って、現代医療のしくみについて全体像を把握することを目的とする。今日、少子高齢化が進展し、医療施設においてはIT化、入院期間の短縮化、疾病に対する高度な治療技術が進行している。またこれまで病院中心であった医療が地域社会へと転換している時代を迎えている。　ここでは、現代医療をめぐる社会環境の動向を把握し、患者やクライエント（あるいは一般市民）を中心とした医療が成果をあげるために、まずは今日の進展する医療の実態を把握するとともに、専門職のチームワークが重要であることを広い視点から学修する。医療の本質、現代医療の課題とEBM（Evidence Based Medicine)、医療の対象としての個人や集団、インフォームド・コンセント、医療の最前線とあらたな課題、脳死、臓器移植、医療経済、専門職の役割、医療安全等について学修する。

学修目標

1．社会環境や疾病構造の変化について説明できる。DP①　2．患者をはじめとしたクライエントに提供されている医療の実態を把握し、現状を説明することができる。DP①　3．医療の対象としての人間（個人・家族，生と死）について説明することができる。DP①②　4．医療の成果を挙げるための仕組みやチーム医療について説明することができる。DP②　5．チーム医療における各専門職の役割について説明することができる。DP②　6．脳死判定や臓器移植とコーディネイターの役割について説明することができる。DP①　7．入院期間の短縮化と連携医療の必要性について説明することができる。DP①　8．患者の権利宣言や医療倫理に関する事項を説明することができる。DP①②

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．「医療総論」は医療する側の原点であることを認識する。　2．わが国の医療の仕組みを理解する。　3．高齢社会における健康管理と予防医学の重要性を認識する。　4．上手な受診と医療者のモラルを考える。　5．日々の生活の中から現代医療に関する情報を収集し考える習慣をつける。　講義は教科書と医療の現場を反映した詳細な補助プリントを併用して行います。初回講義を除き、次回の講義範囲について指示する教科書の範囲に目を通してきてください。講義終了後に、毎回、復習の小テストを行います。この解答の提出をもって出席とします。配布プリントは復習の教材として、保存して下さい。復習テストの結果は成績評価に加味しますが、期末テストも行います。講義内容の確認や、疑問点の質問は、他の学生の理解にもつながりますので、大歓迎です。

教科書

【系統看護学講座 専門基礎分野】健康支援と社会保障制度[1]　医療概論　医学書

参考書

1．厚生の指標　増刊　国民衛生の動向　2020/2021　厚生労働統計協会.　2．日本看護協会編 看護に活かす基準・指針・ガイドライン集2018　日本看護協会出版会.　3．公衆衛生がみえる　2024-2025　医療情報科学研究所　メディックメディア　2024年

研究室／オフィスアワー

五十嵐：junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jpまで照会ください。　大根：葵棟　研究室15/時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション、医療コミュニケーション：医療、看護の原点、森ノ宮医医療学園クレド、医療倫理、医薬品と薬害	予習：教科書P2～53およびp155-166を読んでくること（2時間）　復習：配布プリントを復習の教材として、再度目を通し、	五十嵐

		保存する（１時間）	
2	医療を取り巻く環境、救急医療・災害医療、診療録、インフォームドコンセント	予習：教科書 P60～P63 および P101～P116 を読んでくること（１時間）　復習：配布プリントを復習の教材として、再度目を通し、保存する（１時間）	五十嵐
3	医療過誤と医療事故、医療事故の紛争化、医療事故の発生要因・内容、インシデント、アクシデント、インシデントレポート、医療事故報告書、医療安全、患者確認、薬剤確認	予習：教科書 P151～155 を読んでくるとともに、インターネット等でキーワード検索を実施しておくこと（2 時間）　復習：配布プリントを復習の教材として、再度目を通し、保存する（１時間）。	五十嵐
4	ヒトの生と生命倫理:ヒトの出生､人工妊娠中絶、不妊治療、出生前診断、再生医療　ヒトの死に連なる諸問題：安楽死と尊厳死、終末期、ACP、リビングウイル、DN（A）R、緩和医療、臓器移植と脳死、死にゆく患者の心理過程	予習：教科書 P166-178 および p26-40 を読んでくること（2 時間）　復習：配布プリントを復習の教材として、再度目を通し、保存する（１時間）。	五十嵐
5	予防医学（一次・二次・三次予防）、疾病・死亡の指標（有病率・罹患率・死亡率・致命率・生存率）、スクリーニング検査、　感度・特異度・カットオフ値、分布（代表値　正規分布と標準偏差）、死因順位　等	予習：事前に配布する講義資料に目を通しておく（1 時間）。　復習：授業の重要ポイントをまとめ理解する（1 時間）。	大根
6	社会保障制度、医療保障制度　等	予習：事前に配布する講義資料に目を通しておく（1 時間）。　復習：授業の重要ポイントをまとめ理解する（1 時間）。	大根
7	成人保健と健康増進：健康増進法、健康日本 21（三次）、生活習慣病の概念　等	予習：事前に配布する講義資料に目を通しておく（1 時間）。　復習：授業の重要ポイントをまとめ理解する（1 時間）。	大根
8	感染症の成り立ち、予防接種　等	予習：事前に配布する講義資料に目を通しておく（1 時間）。　復習：授業の重要ポイントをまとめ理解する（1 時間）。	大根
成績評価方法と基準			割合
①講義期間中に実施する復習テスト：30 点　＜DP①②＞		②期末テスト：70 点<DP①②>	①30%　②70%

授業科目名	人体の構造Ⅰ（言語）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体に関する基本事項を形態機能学を基盤に学修する。当科目では細胞・組織など生体を構成する要素の概要、神経系、運動器系、感覚器系を取り扱う。臨床系専門科目に先駆けて、細胞・組織、神経系、運動器系、感覚器系を系統立てて学修し理解を深める。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者としてヒトの身体の基盤となる知識や論理的思考能力を身につける。

学修目標

生命現象の基盤となる細胞や組織の概要について説明できる。(DP①②③)　神経系、運動器系、感覚器系の機能と形態について概要を説明できる。(DP①②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）講義は教科書を中心に進めます。適宜「参考書」を活用しつつ、自発的な予習と復習を心掛けて下さい。　2)「資料」を配付します。復習時に活用して理解を深めて下さい。　3）講義の進行・予定や単位認定の詳細等については、初回講義時に説明します。学習内容の特性を踏まえて、積極的に学習に取り組んで下さい。　4)「人体の機能Ⅰ」と共通の教科書で並行して講義が進行します。両科目での学習項目を整理して十分に理解するように心掛けて下さい。

教科書

上田晃、内田さえ、鍵谷方子、原田彰宏「人体の構造と機能（第 6 版)」　医歯薬出版

参考書

坂井建夫　岡田隆夫　『専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①』　医学書院　日本人体解剖学（南山堂)、人体解剖学（南江堂)、標準生理学（医学書院)、生理学テキスト（文光堂）など

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義の概要、生命現象、細胞	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
2	組織・器官・器官系	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
3	神経細胞と神経組織	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
4	大脳	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
5	大脳、間脳、脳幹	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
6	小脳、脊髄、神経伝導路	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
7	神経伝導路、末梢神経系	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を	森谷

		参考に復習して下さい（2 時間）。	
8	細胞・組織・器官・器官系、神経系の形態と機能のまとめ	細胞・組織・器官・器官系、神経系の形態と機能について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
9	運動器系総論（骨と関節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	運動器系総論（骨格筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	運動器系総論（運動の調節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	感覚の一般的性質、視覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	聴覚と平衡感覚、味覚と嗅覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	体性感覚と内臓感覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	運動器系と感覚器系の形態と機能に関するまとめ	運動器系と感覚器系の形態と機能について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（90%）（DP①②③）　②課題等の提出（10%）（DP①②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。			①90% ②10%

授業科目名	人体の構造Ⅱ（言語）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

人体に関する基本事項を形態機能学を基盤として学修する。当科目では局所解剖と、内分泌、生殖と妊娠、体温調節と生体リズムについて恒常性維持の視点から形態機能学的特徴を取り扱う。臨床系専門科目に先駆けて、局所解剖と恒常性維持に関わる器官系について学修し理解を深める。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者として基盤となる知識や論理性のある思考能力を身につける。

学修目標

局所解剖について概要を学修する（DP①②③）。　内分泌系の機能と形態について概要を説明できる（DP①②③）。　体温調節、生体リズムの形成に関わる仕組みの概要について説明できる(DP①②③)。 生殖と成長・加齢について概要を説明できる(DP①②③)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）教科書と配布資料を用いて講義を進行します。また、課題の提出を課すので、必ず提出して下さい。　２）前期の「人体の構造Ⅰ」、「人体の機能Ⅰ」と密接に関連している事項を学習します。必要に応じて、前期の関連項目を十分に復習して下さい。　３）初回講義時に講義の進行について説明します。学習内容の特性を踏まえて、積極的に学習に取り組んで下さい。　４)「人体の機能Ⅱ」と共通の教科書で並行して講義が進行します。両科目での学習項目を十分に整理して理解するように心掛けて下さい。

教科書

上田晃、内田さえ、鍵谷方子、原田彰宏「人体の構造と機能（第 6 版)」　医歯薬出版

参考書

坂井建夫　岡田隆夫　『専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①』　医学書院　日本人体解剖学（南山堂)、人体解剖学（南江堂)、標準生理学（医学書院)、生理学テキスト（文光堂）など

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	人体の腔所、全身の骨格（脊柱、胸郭）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
2	全身の骨格（四肢の骨と関節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
3	全身の骨格（頭蓋骨)、全身の骨格筋（体幹の筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
4	全身の骨格筋（四肢の筋、頭頸部の筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
5	末梢神経系（脳神経、脊髄神経）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
6	末梢神経系（脊髄神経)、体循環（動脈系）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷

7	体循環（静脈系、胎児循環、リンパ系）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
8	局所解剖のまとめ	局所解剖について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
9	内分泌系（総論、視床下部・下垂体）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	内分泌系（甲状腺・副甲状腺・膵島）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	内分泌系（副腎皮質・副腎髄質）、体温調節・生体リズム	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	生殖（女性生殖器）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	生殖（男性生殖器）、妊娠と発生	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	身体の加齢変化	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	内分泌系、体温調節、生体リズム、妊娠と発生、身体の加齢変化のまとめ	内分泌系、体温調節、生体リズム、妊娠と発生、身体の加齢変化について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（DP①②③）　②課題等の提出（DP①②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。課題等の解説は講義時間内に行います。			①90%　②10%

授業科目名	人体の機能Ⅰ（言語）				
主担当教員	今村　行雄		担当教員	今村　行雄	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、言語聴覚士として必要な基礎医学の一環として、人体の機能に関する基本的な知識を学びます。　特に、循環器系や血液の構造と機能に焦点を当て、各器官や組織の役割と相互関係を理解することを目的とします。　これにより、臨床現場での実践力を養い、患者さんの症状や状態を的確に把握できる能力を培います。

学修目標

・人体の基本構造の理解：循環器系や血液の構造と機能を正しく説明できる。　・各器官・組織の役割の把握：各器官や組織の役割とその相互関係を理解し、説明できる。　・臨床応用力の育成：得た知識を基に、臨床現場での具体的な症例に適切に対応できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本講義は、言語聴覚士としての専門知識を深めるための重要な基礎となります。　講義内容を確実に理解するために、事前の予習と講義後の復習を徹底してください。　また、関連する解剖学や生理学の知識も積極的に学び、総合的な理解を深めることが求められます。　疑問点があれば、積極的に教員に質問し、理解を深めてください。

教科書

上田　晃他　著　『人体の構造と機能（第 6 版)』　医歯薬出版株式会社

参考書

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	循環器(1)：循環系とは	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
2	循環系(2)：心臓の構造	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
3	循環系(3)：心臓の活動	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
4	循環器(4)：血管の構造と機能	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
5	循環器(5)：血液循環と循環調節	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
6	循環器(6)：リンパ系	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
7	前半のまとめと小テスト	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
8	血液(1)：総論、赤血球	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
9	血液(2)：白血球と血小板	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
10	血液(3)：生体防御とは	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
11	血液(4)：生体防御における白血球の役割	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄

12	液性因子と免疫応答 1	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
13	液性因子と免疫応答 2	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
14	リンパ系組織	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
15	後半のまとめと小テスト	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
成績評価方法と基準			割合
①定期試験（筆記試験）　　講義内容の理解度を測るための筆記試験を実施します。試験では、循環器系や血液の構造・機能に関する知識を問う問題が出題されます。　②課題・レポート　　授業中または授業後に出される課題・レポートの提出と内容を評価します。具体的には、講義内容の要約や人体構造に関する簡単な考察を含むレポートが対象です。　③授業への参加態度　　講義中の積極的な参加姿勢、質疑応答への取り組み、学びに対する姿勢を評価します。　④小テスト　　各学期中に実施される小テストの結果を基に評価します。小テストは主に前回の			①60%　②20% ③10%　④10%

授業科目名	人体の機能Ⅱ（言語）				
主担当教員	今村　行雄		担当教員	今村　行雄	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、言語聴覚士として必要な基礎医学の知識を深めるため、呼吸器系、泌尿器系、消化器系、代謝に関する人体の構造と機能を学びます。　各臓器や系統の機能的相互関係を理解し、臨床での応用を見据えた知識の習得を目指します。

学修目標

・呼吸器系の基本構造と機能の理解：呼吸調節や疾患の概要を説明できる。　・泌尿器系・体液の理解：体液の調節機構や酸塩基平衡の基本を説明できる。　・消化器系と代謝の知識：消化と栄養に関する知識を活用し、代謝の仕組みを理解できる。　・臨床への応用：人体の構造と機能に基づき、疾患のメカニズムや対応方法を考えられる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

授業で扱う内容は、言語聴覚士の臨床実践に直結する重要な知識です。　予習・復習を欠かさず行い、関連する内容を復習する習慣を身につけてください。　また、講義で疑問に思ったことはその場で解決し、実践に活用できる知識を確実に習得してください。

教科書

上田　晃他　著　『人体の構造と機能（第 6 版）』　医歯薬出版株式会社

参考書

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	呼吸器系(1)： 換気、気道、肺、胸郭	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
2	呼吸器系(2)：呼吸の調節 1	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
3	呼吸器(3)： 呼吸の調節 2 と疾患	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
4	泌尿器(1)： 泌尿器系・腎臓の機能と尿生成	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
5	泌尿器(2)：腎機能と排尿	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
6	体液(1)： 体液と物質移動	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
7	体液(2)： 浸透圧と酸塩基平衡	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
8	前半のまとめと小テスト	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
9	消化器系(1)： 消化器系、咀嚼と嚥下	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
10	消化器系(2)： 胃・小腸	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
11	消化器系(3)： 大腸	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
12	消化器(4)： 膵臓など	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄

13	代謝と栄養(1):同化と異化など	復習:講義プリント。　学習所要時間目安1時間以上	今村　行雄
14	代謝と栄養(2): 糖質、脂質など	復習:講義プリント。　学習所要時間目安1時間以上	今村　行雄
15	後半のまとめと小テスト	復習:講義プリント。　学習所要時間目安1時間以上	今村　行雄
成績評価方法と基準			割合
①定期試験（筆記試験）　授業で学んだ呼吸器系、泌尿器系、消化器系、代謝に関する知識を総合的に評価します。　②課題・レポート　各講義内容に基づいた課題や簡単なレポートを通じて、学習内容の理解度を確認します。　③授業への参加態度　授業中の発言や積極的な態度を評価します。　④小テスト　講義内での確認テストを実施し、学習内容の定着度を評価します。			①60%　②20% ③10%　④10%

授業科目名	音声･言語･聴覚医学（言語）				
主担当教員	前田　留美子		担当教員	前田　留美子／大根　茂夫／南都　智紀／舘幸枝／芝　さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限、水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	3.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

発声発語器官の解剖、神経系および聴覚系の構造、機能、病態を学ぶ。音声・言語・聴覚の正常なメカニズム、音声言語を用いたコミュニケーション成立の過程を理解する。発声発語障害に関する疾患や病態について学び、リハビリテーションの概要を理解する。難聴の生理、聴覚障害の検査法と診断、補聴の原理、検査機器の基本原理、幼少児聴覚検査、新生児聴覚スクリーニングについて学び、聴覚系の疾患の病態と治療、およびリハビリテーションの概要を理解する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1）発声発語器官の解剖、神経系および聴覚系の構造、機能、病態について理解できる。　2）音声・言語・聴覚の正常なメカニズム、音声言語を用いたコミュニケーション成立の過程とリハビリテーションについて理解できる。　3）聴覚系の疾患の病態と治療、およびリハビリテーションの概要について理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）　言語聴覚士が担当する領域の基礎とリハビリテーションの概要を学ぶ科目です。

2）　解剖学等の人体構造や機能と言語聴覚士の専門領域の繋がりを理解しておくことは、評価や訓練法を考える上でのベースになります。

3）　予習・復習を十分に行って、知識を定着させてください。

①受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。

②授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科』　医療情報科学研究所（編集）／メディックメディア　ISBN978-4896328158

参考書

『基本のきほん摂食嚥下の機能解剖』　阿部伸一／医歯薬出版株式会社　ISBN978-4263444191

研究室／オフィスアワー

各教員研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	神経系の全体像と大脳の外観　配付資料	予習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
2	神経系の細胞と機能：ニューロンとグリア細胞　膜電位とシナプス伝達　配付資料	予習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
3	中枢神経系①　大脳皮質の全体像　　前頭葉　後頭葉　配付資料	予習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
4	中枢神経系②　側頭葉　　頭頂葉　　大脳辺縁系　配付資料	予習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
5	中枢神経系③　大脳基底核　　間脳　　脳幹　小脳　配付資料	予習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまと	大根

		めておくこと	
6	神経系の機能と伝導路①　概論　配付資料	予習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
7	神経系の機能と伝導路②　運動　配付資料	予習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
8	脳神経①　三叉神経　　顔面神経　配付資料	習：配付資料を見ておくこと　復習：授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
9	脳神経②　内耳神経　　舌咽神経　　迷走神経　配付資料	予習:配付資料を見ておくこと　復習:授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
10	脳神経③　舌下神経　　副神経　　脳神経まとめ　配付資料	予習:配付資料を見ておくこと　復習:授業内容について要点を確認しノートにまとめておくこと	大根
11	呼吸機能、共鳴機能と病態　「病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科」,資料配布	予習:教科書Ｐ２１４～２１７を予習する。(2時間)　復習:授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
12	構音機能と病態　「病気が見えるｖｏｌ.13 耳鼻咽喉科」,資料配布	予習：P204 - P211、P220 - P225、P365-366)を予習する(2時間)　復習:授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2時間)	南都
13	摂食嚥下機能を理解するために必要な解剖学的基礎知識（頭頸部の構造①）　配付資料	予習:配付資料を埋めてみてください。　復習：授業内容ノートにまとめておくこと	前田
14	摂食嚥下機能を理解するために必要な解剖学的基礎知識（頭頸部の構造②）　配付資料	予習:配付資料を埋めてみてください。　復習：授業内容ノートにまとめておくこと	前田
15	摂食嚥下機能を理解するために必要な解剖学的基礎知識（唾液分泌と咀嚼①）　配付資料	予習:配付資料を埋めてみてください。　復習：授業内容ノートにまとめておくこと	前田
16	摂食嚥下機能を理解するために必要な解剖学的基礎知識（唾液分泌と咀嚼②）　配付資料	予習:配付資料を埋めてみてください。　復習：授業内容ノートにまとめておくこと	前田
17	摂食嚥下機能を理解するために必要な解剖学的基礎知識（嚥下のメカニズム）　配付資料	予習:配付資料を埋めてみてください。　復習：授業内容ノートにまとめておくこと	前田
18	聞こえの仕組み、外耳・中耳の生理・機能　「病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科」	予習：p2-9,　復習：授業内容ノートにまとめておくこと	舘・芝
19	外耳・中耳の生理・機能、外耳・中耳の疾患　「病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科」	予習：p2-9, 61-95　復習：授業内容をノートにまとめておくこと	舘・芝
20	内耳の生理機能、聴覚伝導路　「病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科」	予習:p10-17　復習:授業内容をノートにまとめておくこと	舘・芝
21	内耳の生理機能、内耳の疾患　「病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科」	予習：p10-17, p96-124　復習：授業内容をノートにまとめておくこと	舘・芝
22	内耳疾患、後迷路疾患　「病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科」	予習：p96-124　復習：授業内容をノートにまとめておくこと	舘・芝
23	聴覚検査の目的と種類　「病気が見えるｖｏｌ．13 耳鼻咽喉科」	予習:p26-41　復習:授業内容をノートにまとめておくこと	舘・芝
成績評価方法と基準			割合
方法　１．定期試験　２．小テストや提出物　基準　解剖学的知識を基盤として、ＳＴが対象とする機能（発声発語嚥下、聴覚）と障害について説明することができれば合格。			１．　60% ２．　40%

授業科目名	言語発達学（言語）					
主担当教員	鮎澤　俊平			担当教員	鮎澤　俊平	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期		曜日・時限	火曜1限
授業形態	講義	単位数	1単位		必修・選択	必修

授業概要

ことばの発達には、生物学的要因、環境的要因など、様々な要因が相互に関与する。言語発達学では、言語発達の生理学的基盤と理論について教授する。乳幼児期から児童期にわたる言語発達の過程と各期の概要について教授し、認知とコミュニケーション、読み書きの発達、語音認知、社会性の観点もふまえて、子どもの発達を理解させる。これらの知識を基盤として、各領域で苦手さを持つ子どもの特徴について理解を深めさせる。言語と臨界期、談話の種類や構造、談話分析を含む。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1.　言語発達に関する理論や専門用語を理解して、言語発達を支援する医療職として適切に表現できる。　2.　言語の発達過程や心身の変化について学び、主に乳幼児期から学童期の特徴や概念を説明することができる。　3.　グループワークを通じて、他者とコミュニケーションを図りながら各発達段階を正しく想像できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　教科書や配布資料を読み、発達の順序や用語を説明できるようになることを期待します。　2.　受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。　3.　グループワークでは、お互いの意見を肯定的に捉えて学びを深めてください。　4.　授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『Crosslink 言語聴覚療法学テキスト　言語学.言語発達学』　岩田 一成 (編集), 岩﨑 淳也 (編集)／メジカルビュー社　ISBN-10：4758320705、ISBN-13：978-4758320702

参考書

言語聴覚士のための基礎知識　音声学・言語学　第 2 版　今泉　敏　医学書院, ISBN978-4-260-04127-0　　絵でわかる言語障害　言葉のメカニズムから対応まで　第2版　毛束真知子　Gakken, ISBN978-4-7809-1088-9

研究室／オフィスアワー

葵棟5階 研究室18 共同研究室／時間は事前に相談してください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	言語発達の概要、小児領域の言語聴覚士の役割	予習：教科書の第2章全般に目を通す。(2時間)　復習：用語集作成のための準備。(1時間)	鮎澤
2	言語発達を説明する理論　学習説、生得説、認知説、社会的相互交渉説	予習：教科書P102～114を読む。(1時間) 復習：授業内容をもとに用語集を作成する。(1時間)	鮎澤
3	言語区分、動画で学ぶ定型発達	予習：事前に配布する発達ワークを行う。(1時間)　復習：動画に関する発達項目を調べる。(2時間)	鮎澤
4	前言語期のコミュニケーション発達　原始反射と喃語の種類①	予習：教科書P115～131を読む。(1時間) 復習：授業内容をもとに用語集を作成する。(1時間)	鮎澤
5	前言語期のコミュニケーション発達　原始反射と喃語の種類②	予習：教科書P115～131を読む。(1時間) 復習：授業内容をもとに用語集を作成する。(1時間)	鮎澤

6	1～2 歳の言語発達　初語の出現、大人の役割、象徴機能の発達	予習：教科書 P132～152 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をもとに用語集を作成する。(1 時間)	鮎澤
7	幼児期の語彙、構文、談話、音韻意識の発達	予習：教科書 P153～170 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をもとに用語集を作成する。(1 時間)	鮎澤
8	学童期の読み書き、構文、談話能力の発達　動画で学ぶ定型発達	予習：教科書 P171～186 を読む。(1 時間) 復習：授業内容をもとに用語集を作成する。(1 時間)	鮎澤
成績評価方法と基準			割合
1. 提出課題（用語集、ワークシート等）　2. 定期試験			1.30%　2.70%

授業科目名	発達心理学（言語）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

人間は、生まれてから死に至るまで生涯にわたり様々な観点から発達を遂げる。発達心理学は、乳幼児期から老年期までの人間の心や行動の発達について、科学的な視点に基づく研究からその法則性を見出そうとする分野と言える。本講義では、各発達段階の特徴的な心理学的研究を紹介するとともに、それら知見を受講者のこれまでの生活、これからの生活にどのように活かしていくかについても学修する。

学修目標

①生涯発達の心理学の全体像について説明できる。 ②各発達段階の特徴と、それらを見出した心理学的研究について説明できる。③発達心理学の研究知見をどのように生活に活用するかについて説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

グループワークを実施するため、積極的な参加を求めます。本講義で一番重要であるのは、グループワークから講義に移る際の切り替えです。皆さんのご協力をお願いいたします。

教科書

教科書は使用しない。適宜講義資料を配付する。

参考書

下山晴彦・佐藤隆夫・本郷一夫（監修）「発達心理学」ミネルヴァ書房　ISBN: 978-4-623-08622-1

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室４／講義に関する質問はアポイントを取っていただければ適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	発達段階と生涯発達の概念	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
2	発達心理学の研究法	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
3	発達の生物学的基礎　－遺伝と環境－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
4	新生児・乳幼児期・児童期の発達①　－感覚運動－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
5	新生児・乳幼児期・児童期の発達②　－愛着－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
6	新生児・乳幼児期・児童期の発達③　－思考・言語－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
7	新生児・乳幼児期・児童期の発達③　－社会性・感情・遊び－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
8	青年期の発達①　－身体の発達－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木

9	青年期の発達②　－自己と他者の在り方とアイデンティティの形成－	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
10	成人期の発達　－職業選択・家族形成－	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
11	中年期の発達　－養育行動・健康－	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
12	高齢者の発達①　―身体､認知機能のエイジング―	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
13	高齢者の発達②　―エイジングへの適応と幸福感―	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
14	非定型発達の理解と援助	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること。	高木
15	まとめ及び確認テスト	＜予習・復習 各2時間＞　講義の総復習として各授業資料を確認すること、テスト結果を踏まえ必要な授業資料を再読する事。	高木
成績評価方法と基準			割合
①毎講義のグループワーク課題　②毎講義の個人ごとのリフレクションシート　②確認テスト			①25%　②25% ③50%

授業科目名	言語聴覚障害学概論Ⅰ（言語）				
主担当教員	中谷　謙		担当教員	中谷　謙／大根　茂夫／鮎澤　俊平／戸田　淳氏／前田　留美子／南都　智紀／舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜2限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

言語聴覚障害の特性・種類・原因、言語聴覚療法の基本概念、言語聴覚士の職務内容と専門性、について概観する。言語聴覚障害の定義のほか、言語聴覚療法の歴史と現状、言語聴覚士に求められる資質・知識・技能、言語聴覚士と連携する他職種とその役割について学修する。科学的根拠に基づく臨床、医療現場の倫理、臨床の基本的な手順についても学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1）言語聴覚療法の基本概念と役割、言語聴覚士の職務内容と専門性について理解できる。　2）言語聴覚療法の各専門領域、対象と症状の多様性について理解できる。　3）今後の学びの進行を理解し、自らのキャリアをイメージできる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）言語聴覚療法に関する基礎知識を学修します。言語聴覚療法および言語聴覚士について正しく理解し、今後の学びの礎としてください。　2）言語聴覚士とその臨床について知り、医療専門職としての自らの将来像をイメージしてみてください。　3）疑問点を大切にして、まずは各自で調べて解決するように行動してください。　4）演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。　5）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。6）授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『最新　言語聴覚学講座　言語聴覚障害学概論』編著　倉智雅子　植田恵　城間将江／医歯薬出版株式会社, ISBN-10：4263270711、ISBN-13：978-4263270714

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

各教員：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	言語聴覚士：職務、活躍の場　感染症、バリアフリー	予習：教科書 P.1～13 を予習しておく。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、職務、活躍の場について理解する。(2時間)	中谷、大根、芝
2	グループ演習：医療、介護、言語聴覚士について知る	予習：医療、介護と言語聴覚士の関わりについて調べる。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、言語聴覚士のかかわりについて理解する。(2時間)	中谷、南都、芝
3	情報整理（資料整理)、スケジュール管理	予習：情報整理（資料整理)、スケジュール管理の方法について調べておく。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、役割とリハビリテーションについて理解する。(2時間)	芝、南都
4	言語聴覚療法学に関するレポートの書き方	予習：レポートの書き方について調べておく。JOB GUIDEBOOK でレポート作成について調べる。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、レポートの書き方について理解す	南都

		る。(2 時間)	
5	言語聴覚療法の実際：高次脳機能障害	予習：高次脳機能障害について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、高次脳機能障害について理解する。(2 時間)	中谷
6	言語聴覚療法の実際：嚥下障害	予習：嚥下障害について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、嚥下障害について理解する。(2 時間)	前田
7	言語聴覚療法の実際：失語・高次脳機能障害	予習：失語・高次脳機能障害について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、失語・高次脳機能障害について理解する。(2 時間)	戸田
8	言語聴覚療法の実際：発声発語・嚥下障害	予習：発声発語・嚥下障害について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、発声発語・嚥下障害について理解する。(2 時間)	南都
9	言語聴覚療法の実際：小児領域	予習：小児領域について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，小児領域について理解する。(2 時間)	鮎澤
10	言語聴覚療法の実際：小児用玩具、AAC 等の体験	予習：小児用玩具、AAC 等について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、小児用玩具、AAC 等について理解する。(2 時間)	末次、鮎澤
11	言語聴覚療法の実際：聴覚障害・小児領域	予習：聴覚障害・小児領域について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、聴覚障害・小児領域について理解する。(2 時間)	舘
12	言語聴覚療法の実際：地域言語聴覚療法（訪問リハ）	予習：地域言語聴覚療法（訪問リハ）について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、地域言語聴覚療法（訪問リハ）について理解する。(2 時間)	芝
13	言語聴覚士：役割とリハビリテーション	予習：言語聴覚士の役割とリハビリテーションについて調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、言語聴覚士の役割とリハビリテーションについて理解する。(2 時間)	大根
14	グループ基礎演習：ST 領域を体験する	予習：本科目におけるこれまでの学修内容について再確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、演習内容について理解する。(2 時間)	南都、舘
15	言語聴覚療法の学び：討論	予習：本科目におけるこれまでの学修内容について再確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、討論した内容について理解する。(2 時間)	戸田
成績評価方法と基準			割合
1.　提出課題（コメントシート、調べ学修等）　2.　レポート課題　3.　定期試験　　1 と 2 の提出方法については，別途お知らせします。			1. 20% 2. 40% 3. 40%

授業科目名	言語聴覚障害学概論Ⅱ（言語）					
主担当教員	中谷　謙			担当教員	中谷　謙／芝　さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期		曜日・時限	火曜2限
授業形態	講義	単位数	1単位		必修・選択	必修

授業概要

言語聴覚障害学概論Ⅱでは、「言語聴覚障害学概論Ⅰ」の学修内容を基盤として、言語聴覚士の役割とその遂行のために必要とされる知識や技能についての学びを深めさせる。言語聴覚障害学各論の導入科目として、言語聴覚療法各領域の概要、対象とする症状とその発現機序、障害像、評価と診断、訓練や介入事例、対象者・児およびその家族との関わり方について教授する。言語聴覚士法と職業倫理、緊急時の対応やバイタルサインを含む。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1）言語語聴覚士の役割とその遂行のために必要とされる知識や技能について理解できる。　2）言語聴覚療法の各専門領域、対象とする症状とその発現機序、障害像、評価と診断、訓練や介入事例について理解できる。　3）言語聴覚士法と職業倫理について理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）言語聴覚療法の各論について学修します。正しく理解し、今後の学びの礎としてください。　2）言語聴覚士とその臨床、対象者・児との関わり方について知り、業務内容と職責をイメージしてみてください。　3）疑問点を大切にして、まずは各自で調べて解決するように行動してください。　4）演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。5）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『最新　言語聴覚学講座　言語聴覚障害学概論』編著　倉智雅子　植田恵　城間将江／医歯薬出版株式会社, ISBN-10：4263270711、ISBN-13：978-4263270714　　【※1年前期　言語聴覚障害学概論Ⅰの教科書と同じ】

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

中谷　：研究室／時間は事前に相談してください。　芝　　：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　関係法規　基礎演習	予習：教科書 P.15～16 を予習しておく。（2時間）　復習：授業内容をまとめ、関連法規について理解する。(2時間)	中谷
2	グループ演習1：身体を知る	予習：バイタルについて予習しておく。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2時間)	中谷　芝
3	グループ演習2：多様性を知る	予習：これまでに学修した検査手技について予習しておく。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2時間)	中谷　芝
4	各論1：高次脳機能障害	予習：教科書 P.49～57, P.82～89 を予習しておく。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2時間)	中谷
5	各論2：失語症	予習：教科書 P.49～57, P.82～89 を予習しておく。(2時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2時間)	芝

6	各論 3：認知症	予習：教科書 P.49～57, P.82～89 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	中谷
7	各論 4：音声障害	予習：教科書 P.92～95 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	中谷
8	各論 5：嚥下障害	予習：教科書 P.98～102 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	中谷
9	各論 6：吃音	予習：教科書 P.95～98 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	中谷
10	各論 7：小児領域	予習：教科書 P.76～82 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	芝
11	各論 8：聴覚障害	予習：教科書 P.102～111 を予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	芝
12	各論 9：地域言語聴覚療法	予習：訪問リハ、デイサービスについて予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	芝
13	ST 演習 1：コミュニケーションの実践	予習：フリートークの方法と重要性について予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	中谷　芝
14	ST 演習 2：コミュニケーションの多様性	予習：コミュニケーションの重要性について予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	中谷　芝
15	ST 演習 3：「難しさ」の体験　まとめ	予習：言語聴覚療法の対象領域について予習しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、理解する。(2 時間)	中谷　芝
成績評価方法と基準			割合
1.　提出課題（コメントシート、小テスト等）　2.　レポート課題　3.　定期試験　　1 と 2 の提出方法については，別途お知らせします。			1.40% 2.20% 3.40%

授業科目名	発声発語・嚥下障害学Ⅰ（言語）					
主担当教員	南都　智紀		担当教員	南都　智紀／大根　茂夫／舘　幸枝		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜2限	
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修	

授業概要

発声発語・嚥下障害学Ⅰでは、構音のメカニズム、構音器官の構造と生理、構音障害の発現機序と病態、情報収集と評価の方法、訓練法について教授する。本科目では、主に器質性構音障害と機能性構音障害を対象に、それらの要因と症状、評価と目標設定、訓練・支援の方法、言語聴覚士の役割と関わり方、機能性構音障害の鑑別や関連する諸問題の理解、についての基本事項を解説する。鼻咽腔閉鎖機能不全、口唇口蓋裂の治療と訓練を含む。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

（1） 構音機能のメカニズム、構音器官の構造と生理を理解し、正常な構音機能について説明できる。　（2） 機能性構音障害、器質性構音障害の発生メカニズムの違いや代表的な疾患等の理解することができ、各構音障害のタイプについて発話の特徴を説明できる。　（3） 機能性構音障害によって生じる問題点を理解し、正確な評価に基づいたアプローチが立案できる。　（4） 口唇口蓋裂によって生じる問題点を理解し、正確な評価に基づいたアプローチが立案できる。　（5） 頭頸部がんによって生じる問題点を理解し、正確な評価に基づいたアプローチが立案できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）遅刻や欠席の場合には必ず授業開始前に連絡をすること。

2）言語聴覚士を目指す学生として自覚を持つとともに、礼節をわきまえた上で、積極的な姿勢で授業や実技に参加すること。

3）言語聴覚士になるという自覚を持ち、積極的な姿勢で演習に臨むこと。

4）授業内で説明する重要な事項は必ず復習を行うこと。また日頃より、他者の構音や口腔運動を観察する習慣を身に着けること。

5）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出すること。

6）授業の録画、録音は原則禁止とする。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てから行うようにすること。

教科書

Crosslink 言語聴覚療法学テキスト（メジカルビュー社）ISBN：978-4-7583-2272-0

参考書

・岡崎恵子、加藤正子、北野市子編.【第３版】口蓋裂の言語臨床. 医学書院,　・溝尻源太郎編著. 口腔・中咽頭がんのリハビリテーション　構音障害、摂食・嚥下障害. 医歯薬出版, 嚥下障害　・藤田郁代監修. 標準言語聴覚障害学 発声発語障害学　第３版　医学書院, 2022. ISBN 978-4-260-04289-5

研究室／オフィスアワー

大根　茂夫・南都　智紀・舘　幸枝：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	発声発語器官の基本構造と機能（1）	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておく。(30分)　復習：授業の重要ポイントをノートにまとめながら覚える。（1時間）	大根
2	発声発語器官の基本構造と機能（2）	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておく。(30分)　復習：授業の重要ポイントをノートにまとめながら覚える。	大根

		（1 時間）	
3	発声発語器官の病態と医学的診断	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておく。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをノートにまとめながら覚える。（1 時間）	大根
4	機能性構音障害の基礎知識	予習：教科書の該当項目を読んでおく。 復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	舘
5	機能性構音障害の評価１	予習：教科書の該当項目を読んでおく。 復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	舘
6	機能性構音障害の評価２	予習：教科書の該当項目を読んでおく。 復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	舘
7	機能性構音障害の発話へのアプローチ	予習：教科書の該当項目を読んでおく。 復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	舘
8	器質性構音障害の基礎知識と発話の障害	予習：シラバスの項目を確認し、器質性構音障害の基礎知識と発話の障害について予習する（2 時間）　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
9	口唇口蓋裂の発話の評価１	予習：シラバスの項目を確認し、口唇口蓋裂の発話の評価について予習する。(2 時間) 復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
10	口唇口蓋裂の発話の評価２	予習：シラバスの項目を確認し、口唇口蓋裂の発話の評価について予習する。(2 時間) 復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
11	口唇口蓋裂の発話へのアプローチ	予習：シラバスの項目を確認し、口唇口蓋裂の発話へのアプローチについて予習する。（2 時間）　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	舘
12	頭頸部がんの基礎知識と発話の障害	予習：シラバスの項目を確認し、頭頸部がんの基礎知識と発話の障害について予習する（2 時間）　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
13	頭頸部がんの発話の評価	予習：シラバスの項目を確認し、頭頸部がんの発話の評価について予習する（2 時間） 復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
14	頭頸部がんの発話へのアプローチ（１）	予習：シラバスの項目を確認し、頭頸部がんの発話へのアプローチについて予習する（2 時間）　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
15	頭頸部がんの発話へのアプローチ（２）	予習：シラバスの項目を確認し、頭頸部がんの発話へのアプローチについて予習する（2 時間）　復習：授業の内容を教科書、配布資料で確認する。小テスト及び課題に向けた準備を行う。(2 時間)	南都
成績評価方法と基準			割合

（１）授業内で実施する小テストまたはレポート（計３回）　　授業の理解状況を把握するため実施する。各課題については担当教員が授業内で指定する。　（２）定期試験　　本科目での理解度および到達度を選択または記述形式で確認する。	30%　　70%

授業科目名	聴覚障害学Ⅰ（言語）				
主担当教員	舘　幸枝		担当教員	舘　幸枝／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜1限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

聴覚障害学Ⅰでは、「音声・言語・聴覚医学」の聴覚およびその障害に関する学修を基盤として、聴こえのメカニズム、聴覚に関わる疾患と病態、各種検査法、小児と成人の聴覚障害、聴覚障害がコミュニケーションにもたらす影響について教授し、補聴器や人工内耳などのメカニズムや使用方法の概要についても言及する。言語聴覚療法における聴覚障害の概要、および聴覚障害に関わる言語聴覚士の役割と実践内容を理解することを目標とする。

※本科目は言語聴覚士の実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．聴覚の構造と機能および耳疾患の説明ができる。

2．聴覚検査・平衡機能検査について学び、各検査の特徴が説明できる。

3．補聴器・人工聴覚器の構造と機能が説明できる。

4．ライフステージごとの聴覚障害の問題を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．　講義前に前回の講義内容に関する小テストを実施します。

2．　小テストの解説は講義中に行います。

3．授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『標準言語聴覚障害学　聴覚障害学　第3版』　藤田郁代／医学書院　ISBN978-4-260-04289-5

『病気が見える　vol.13　耳鼻咽喉科』MEDIC MEDIA　ISBN978-4-89632-815-8

参考書

『聴覚検査の実際　改訂4版』　日本聴覚医学会／南山堂　ISBN978-4-525-37044-2

（※後期の聴覚障害学演習Ⅰでも使用、2年以降の演習Ⅱでも使用、国家試験対策にも使用）

研究室／オフィスアワー

舘：研究室／時間は事前に相談してください。

末次：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	きこえの仕組みと耳の疾患①	予習：p46-66 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
2	きこえの仕組みと耳の疾患②	予習：p46-66 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
3	成人の聴覚検査とマスキング1（純音聴力検査とマスキングの基礎）	予習：p78-100 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
4	成人の聴覚検査とマスキング2（純音聴力検査とマスキングの理解）	予習：p78-100 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
5	成人の聴覚検査とマスキング3（マスキングの理解とその他の聴力検査）	予習：p78-100 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
6	聴覚障害がライフステージに及ぼす影響	予習：p7-13 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
7	成人難聴と支援　概要	予習：p.206-241 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次

8	乳幼児の聴覚検査、中間のまとめ	予習：p114-126 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
9	小児難聴と支援　概要	予習：p246-338 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
10	補聴器と人工聴覚機器について１	予習：p.130-155 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
11	補聴器と人工聴覚機器について２	予習：p162-184 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
12	聴覚障害とコミュニケーション支援(補聴援助システム)	予習：p197-202 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
13	耳鳴りと耳管について	予習：p66, 103-104 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
14	めまいを生じる疾患と平衡機能検査	予習：p66-77, 108-114 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次
15	視覚聴覚二重障害について	予習：p354-361 復習：学習内容を学習ノートにまとめる	舘・末次

成績評価方法と基準	割合
１．授業中に実施する小テスト（第 2～15 回） ２．定期試験＜DP1＞	１．20% ２．80%

授業科目名	聴覚障害学演習Ⅰ（言語）				
主担当教員	舘　幸枝		担当教員	舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

聴覚障害学演習Ⅰでは、「聴覚障害学Ⅰ」の学修内容を基盤として、乳幼児および成人に対するさまざまな聴覚検査の目的や原理について教授し、その後に各検査の実施方法を実際の検査手技演習を通して修得させる。特に、標準純音聴力検査、語音聴力検査、幼児聴力検査を中心に実技演習を反復して行わせる。検査手技の習熟とともに、各検査の目的を理解し、対象者・児の症状や特性に適した検査の選択が出来るようになることを目標とする。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目である。

学修目標

1．各種聴力検査の目的を理解し、対象児・者に合わせた検査が選択できる。　2．各種聴力検査を実施することができる。　3．聴力検査の結果を解釈し、理解ができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．　座学で実施方法を学習した後に実際に演習で取り組みます。　2．　実技はペアまたはグループ学習が中心となります。　3．　演習中に実技テストを実施します。　4．　空き時間に行う検査練習のルールについては、講義時に説明します。　5．演習やグループワークへの積極的な取り組みを期待します。　6．受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。　7．授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

『聴覚検査の実際　改訂5版』　日本聴覚医学会／南山堂、ISBN978-4-525-37045-9　【1年後期　聴覚障害学Ⅰの参考書と同じ】（※後期の聴覚障害学演習Ⅰでも使用、2年以降の演習Ⅱでも使用、国家試験対策にも使用）

参考書

病気が見える Vol.13 耳鼻咽喉科　MEDIC MEDIA　ISBN978-4-89632-815-8（1年前期使用教科書）

研究室／オフィスアワー

舘　：研究室／時間は事前に相談してください。　芝　：研究室／時間は事前に相談してください。　末次：研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	成人の聴覚検査と鑑別診断の基礎（予備知識）	予習：聴覚検査に使用する機器について調べる p.2-44　復習：学習内容をまとめておく	舘・芝・末次
2	成人の聴覚検査と鑑別診断１（標準純音聴力検査）	予習：p.46-62　復習：気導聴力検査の実施法の手順をまとめる	舘・芝・末次
3	模擬演習	予習：気導聴力検査の実施手順を確認する 復習：気導聴力検査を学生同士で実施する	舘・芝・末次
4	成人の聴覚検査と鑑別診断２　（標準純音聴力検査とマスキング）	予習：p.46-62　復習：マスキングまでを含めた標準純音聴力検査の実施手順をまとめる	舘・芝・末次
5	模擬演習	予習：標準純音聴力検査を正しく実施できるように準備をしておく　復習：学生同士で標準純音聴力検査を実施する	舘・末次
6	成人の聴覚検査と鑑別診断３（語音聴力検査）	予習：p77-92　復習：語音聴力検査の手順をまとめておく、学生同士で語音聴力検査を実施する。	舘・芝・末次

7	模擬演習	予習：標準純音聴力検査、語音聴力検査を実施する　復習：学生同士で検査を実施する。結果を正しく記載し、まとめる。	舘・末次
8	成人の聴覚検査と鑑別診断４（自記オージオメトリ、閾値上聴力検査、インピーダンスオージオメトリ）	予習：p.63-76 p.93-103　復習：講義で行った検査の種類、実施方法、結果の記入・解釈を行う	舘・芝・末次
9	模擬演習	予習：これまでの検査手順を把握し、実施できる　復習：講義で行った検査の種類、実施方法、結果の記入・解釈を行う	舘・芝・末次
10	模擬演習	予習：これまでの検査手順を把握し、実施できる　復習：講義で行った検査の種類、実施方法、結果の記入・解釈を行う	舘・芝・末次
11	聴覚検査の評価基準	予習：p.112-120, p157-174　復習：講義内容をノートにまとめる	舘・芝・末次
12	乳幼児の聴覚検査	予習：p.142-156　復習：乳幼児に対する聴力検査の実施法をまとめる	舘・芝・末次
13	模擬演習	予習：聴性行動反応聴力検査に使用する玩具類の周波数・音圧測定方法を確認する 復習：聴性行動反応聴力検査の実施レポートをまとめる	舘・末次
14	誘発反応聴力検査	予習：他覚的聴力検査を調べる　p.121-141 復習：講義内容をノートにまとめる	舘・末次
15	平衡機能検査	予習：配布資料　復習：講義内容をノートにまとめる	舘・芝・末次
成績評価方法と基準			割合
１．実技テスト　２．定期試験　３．提出物			20%　60% 20%

授業科目名	基礎ゼミナール(言語聴覚療法の基盤含む)(言語)				
主担当教員	中谷　謙		担当教員	中谷　謙／阿部　秀高／大根　茂夫／鮎澤　俊平／戸田　淳氏／前田　留美子／南都　智紀／舘　幸枝／芝　さやか／末次　由佳／高木　悠哉	
科目ナンバリング		科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

大学生としての学修技能を身につけること、言語聴覚療法の基盤となる知識を習得することを目的とする。 (1)大学での学修に必要で、かつ高等学校までの教育において習得すべき内容の教育、(2)講義ノートの取り方・教科書の読み方、レポート・論文の書き方や文献の探し方、(3)大学生に求められる一般常識や態度、(4)専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育、(5) 言語聴覚療法の基盤となる知識の習得などについて、講義と演習型式で学修する。 （言語聴覚学科教員/8 回）（共同） 大学生としての知識や学修技能、言語聴覚療法の基盤となる知識について、講義、演習、討論を交えて学修する。

学修目標

1. 大学生としての学修技能について理解できる。 2. 講義ノートの取り方、基本的なレポートの書き方などを理解し、実行することができる。 3. 論理的に自分の意見を他者に伝えることができるようになる。 4. 文献や情報の検索方法を理解し、目的に応じて実行することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 受動的ではなく、自ら学ぶ姿勢を身に着けてください。 2. 疑問点を大切にして、まずは各自で調べて問題解決するように行動してください。 3. グループワークや演習、構成メンバーとのコミュニケーションに積極的に取り組んでください。 4. 本科目で学修した内容を大学生活で活用してください。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

各教員：研究室／時間は事前に相談してください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	大学での学び（言語聴覚士としての視点から）	予習・復習：高校での学びと大学での学びの違いを考え、言語聴覚士になるための学習力を養うための方法をまとめる。(4 時間)　大学でつけたい社会人基礎力について	阿部・高木
2	PROG テスト①リテラシーと解説	予習：大学で身に付けたい能力について確認する。(2 時間)　復習：講義後に今後の学習を進めるにあたって達成したい目標を設定する。(2 時間) グループワークのルールや役割分担について今後の講義で活用する。	阿部・高木
3	PROG②ジェネリックスキルの解説	予習：ジェネリックスキルについて調べる。(2 時間)　復習：実際の事例と出会い、言語聴覚士としてどのようなこと必要	阿部・高木

		か考える。グループ討議後に再検討する。（2 時間）	
4	医療大学生に求められるコミュニケーション能力	医療人に求められるコミュニケーション能力について調べる。(4 時間)	阿部・高木
5	アカデミックライティングについて	レポートの書き方についての学びを振り返る（4 時間）	阿部・高木
6	プレゼンテーションについて	予習・復習：発表資料作成と発表準備。(4 時間)	阿部・高木
7	今後のキャリア形成についての希望と見通し	予習・復習：これまでの学びのまとめと発表資料作成（4 時間）	阿部・高木
8	大学での学び	予習：大学での学びと高校の学びの違いについて考える。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	鮎澤・中谷・南都
9	情報検索、図書館の利用方法	予習：図書館の利用にあたっての注意点を学生手帳で確認する（１時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	学科教員・図書館
10	これまでの学び方	予習：高校から大学入学までの勉強方法について振り返る。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	南都・芝
11	社会人基礎力	予習：社会人基礎力について必要な要素を考える。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	前田・芝
12	論理的思考・批判的思考	予習：論理的思考・批判的思考について調べ、自分なりの考えをまとめる。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	中谷・鮎澤
13	リフレーミング	予習：リフレーミングについて各自で調べてる。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	南都
14	言語聴覚療法の学び：臨床実習、キャリアデザイン	予習：言語聴覚士の臨床実習やキャリアデザインについて調べておく。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	戸田・前田・中谷
15	対人援助職の実際（基礎的・臨床的コミュニケーションスキル）	予習：対人援助職におけるコミュニケーションの役割や方法について調べておく。（２時間） 復習：学修内容をまとめ、理解する。（２時間）	戸田

成績評価方法と基準	割合
【言語聴覚学科教員】 1. 提出課題（コメントシート、調べ学修等） 2. レポート課題 【阿部・高木】 3. 平常点評価（授業毎回の振り返りなど） 4. 講義最終回に作成した課題レポート 提出方法については，別途お知らせします。 上記 1・2、3・4 を平均して 60 点以上を合格とします。	1. 40% 2. 60% 3. 60% 4. 40%

授業科目名	基礎体育（言語）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング		科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ・トレーニング種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンス、レジスタンス運動など多種多様なスポーツ・トレーニング種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲーム等を自主的に運営する能力を養う。また、スポーツ・トレーニングの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツ・トレーニングを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について（オリエンテーション+軽運動を実施）　　授業開始時間には、C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(学科指定の更衣室にて更衣後、C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること）　・運動が可能なスポーツウェア（NG：綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です）　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　　以下は毎回の注意事項　服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計などの破損、貴重品や装飾品の紛失について担当教員は責任を負わない。授業に不必要なモノはロッカーを利用して各自が管理すること。　　注意事項　（１）集合場所　：C 棟体育館　　日にち（特に雨天時）によって、授業を行う場所を変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。　　（２）運動施設　　C 棟学内体育館、グリーンスクエア（屋外人工芝グラウンド）を使用します。　（３）運動種目　　フットサル、バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール、アルティメット、ボッチャ、モルックなど　（４）運動実施に伴う配慮について　　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
2	オリエンテーション クラス分けガイダンス スポーツ種目の選択、コースの決定	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
3	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
4	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
6	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
7	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
8	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
9	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
10	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
11	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
12	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
13	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
14	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
15	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
16	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
17	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
18	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
19	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
20	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
21	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
22	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則

23	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
24	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
25	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
26	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
27	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
28	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
29	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則
30	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤	予習・復習１時間	伊奈　新太郎、藤戸　靖則

成績評価方法と基準	割合
授業回数の 2/3(20 コマ)以上出席すること（本授業科目においては１日で２コマ分の授業となっているので 10 日以上出席が必要です)。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。	100%

授業科目名	社会保障・教育とリハビリテーション（言語）				
主担当教員	中谷　謙		担当教員	中谷　謙／大根　茂夫／鮎澤　俊平／南都智紀／芝　さやか	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

リハビリテーションの全体像を教授し、全体の中での言語聴覚療法のあり方を理解することを目標とする。リハビリテーションの概念、役割、目的、リハビリテーションの対象となる障害（国際障害分類および国際生活機能分類）、コミュニケーションとその障害、運動機能と ADL、リハビリテーションチームの構成と多職種連携、リスク管理、リハビリテーションの諸制度と関係法規、業務の流れ等について学修する。

学修目標

1）リハビリテーションの概念、位置づけや役割，目的について理解できる。　2）リハビリテーションにおける基本的な分析方法（ICF）、疾病と障害の関係性、多職種連携、リスクと安全管理について理解できる。　3）リハビリテーションに関連する社会保障制度について理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）リハビリテーションに関する基礎知識を学修します。　2）疑問点を大切にして、まずは各自で調べて解決するように行動してください。　3）受講マナーを守り、課題は指定された方法で期限内に提出してください。授業の録画、録音は原則禁止とします。必要な場合は、事前に担当教員に相談して許可を得てください。

教科書

なし。適宜、資料を配布する。

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

中谷謙　　：A 棟 17 研究室／時間は事前に相談してください。　大根茂夫　：A 棟 15 研究室／時間は事前に相談してください。　南都智紀　：A 棟 5 階 共同研究室／時間は事前に相談してください。　鮎澤俊平　：A 棟 5 階 共同研究室／時間は事前に相談してください。　芝さやか　：A 棟 5 階 共同研究室／時間は事前に相談してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	社会福祉と社会保障制度	予習：社会福祉と社会保障制度について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，社会福祉と社会保障制度について理解する。(2 時間)	南都
2	医療にかかわる社会保障制度	予習：医療にかかわる社会保障制度について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，医療にかかわる社会保障制度について理解する。(2 時間)	南都
3	リハビリテーションの概要	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ学習内容を理解する。(1 時間)	大根
4	リハビリテーション医療	予習：事前に配布する講義資料に一度目を通しておくこと。(30 分)　復習：授業の重要ポイントをまとめ学習内容を理解する。(1 時間)	大根
5	リスク管理	予習：医療現場におけるリスクについて調	中谷・鮎澤

		べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，リスク管理について理解する。(2 時間)	
6	安全管理	予習：医療現場における安全管理について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，安全管理について理解する。(2 時間)	中谷・鮎澤
7	学校教育と制度	予習：学校教育と制度について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，学校教育と制度について理解する。(2 時間)	鮎澤
8	リハビリテーション（地域)、地域包括ケアシステム、多職種連携	予習：リハビリテーション（地域)、地域包括ケアシステム、多職種連携について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，リハビリテーション（地域)、地域包括ケアシステム、多職種連携について理解する。(2 時間)	芝
成績評価方法と基準			割合
1.　提出課題（コメントシート、調べ学修等）　2.　レポート課題　提出方法については，別途お知らせします。			1. 40%　2. 60%

授業科目名	東洋史概説（検査）				
主担当教員	重信　あゆみ		担当教員	重信　あゆみ	
科目ナンバリング	LA20012	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、人々の行動の積み重ねである歴史を公認心理師の観点から再検討する。そのうえで、現代社会における課題を歴史的事例を通して考えていく。

学修目標

1.多様性について理解し、事例を挙げながら説明することができる。　2.現代社会における課題（教育・福祉・医療・産業など）を取り上げ、歴史を通じて解決の糸口を考えることができる。　〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 配付された資料には必ず目を通すこと。　2. 出席は重視する。　3. 疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書

川口幸弘『文化人類学へようこそ。異文化のフィールドワークをするあなたへ』、昭和堂、2017 年。　福島哲夫、 尾久裕紀、山蔦圭輔　『公認心理師必携テキスト 改訂第 2 版』、学研メディカル秀潤社、2020 年。

研究室／オフィスアワー

授業後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1 現代社会と歴史　歴史は､人間の行動を記したものである。また、文字のない時代にも人間は生活を営み活動をしていた。今なぜ歴史を学ぶのかについて考え、今後の講義の概要を述べる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　半期でする時代の流れを復習すること。また、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
2	2．教育について①　アドラー心理学を取り上げ、古代中国のおける「礼」と比較し、現代社会での「礼」について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　アドラー心理学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
3	3.教育について②　発達障害について講義をする。そして、応用行動分析法を用いて、教育現場での事例を検討していく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　教育、保育現場の事例を検討し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
4	4．家族とは①　人間は、古代より集団で社会生活を営んできた。なぜ、集団で生活するのかについて､古代の人類を比較して考える。そのうえで、人間のライフサイクル理論を見ていく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　ライフサイクル理論について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
5	5．家族とは②　「夫婦」や「家族」について考える。古代の家族形態である宗族を学び、現代社会における愛着形成の課題を取り上げる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　愛着形成について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
6	6.宗教とは①　人間はときによりどころとして宗教を選択することがある。宗教とは何かを定義づける。そして、中国の宗教である道教の神である西王母を取り上げ､中国文化の基礎について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　中国文化の基礎である道教について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
7	7.宗教とは②　送葬儀礼や死後の世界を考えることは、人間の一つの特徴である。それは、想像力の賜物であると同時に見えないものへの不安でもある。どのような世界を描いていたのかを図	＜復習・課題 各 1 時間＞　グリーフケアについて考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ

	像を通してみていく。そのうえで、グリーフケアについて考える。		
8	８．不老不死と安楽死　高齢化社会の中で、不老不死の研究もんでいる。この不老不死は、古代中国では願われていたことである。一方で、「安楽死」という問題も残っている。長寿社会において医療人はどのように寄りそっていくべきかを心理的ケアより見ていく。	＜復習・課題 各１時間＞　不老不死と安楽死、そして、心理的ケアについて復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
9	９．人間の本質とは①　「人間の本質とは？」は古来より考えられてきた課題である。本講義では、人間の本質を中国の戦国時代に生きた孟子の思想より考える。	＜復習・課題 各１時間＞　孟子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
10	10．人間の本質とは②　本講義では、中国の戦国時代末期に活動した荀子についてみていく。そして、荀子が唱えた「性悪説」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　荀子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
11	11．健康について①　古代中国における予防医学について考える。古代中国においてすでに言われていた「未病」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　予防医学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
12	12．健康について②　食育について考える。「医食同源」といわれるように、食と健康とは切ってもきれないものである。幼児期の子どもたちにどのように食事の楽しさ、そして、大切さを伝えていくのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　食育について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
13	13．文化の伝播について①　古代中国の東西交流を見ていく。外来のものをどのように受容し、そして変容させたのか。それを踏まえて現代の地域における多様性について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　東西交流の中でおきた受容と変容について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
14	14．文化の伝播について②　日本語の表記には、漢字、カタカナ、ひらがなの３種類があります。これらの文字は、漢字から生まれたものである。本講演では、東アジア世界の中の日本という視点から、３世紀末から８世紀にかけて、文字のない日本で漢字がどのように受容されたかを考察する。そして、現代の教育界で課題となっているLDの子どもにどのように対応するのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　事例検討を行い、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
15	15．文化の伝播について③　東アジアの儒教「論語」 明治維新前の東アジアでは「論語」は常識であった。しかし、「論語読みの論語知らず」と言われるように、現在では『論語』の位置づけが変わってきている。なぜそのような言葉が生まれたのか。本講演では、東アジアにおける『論語』の位置づけを再確認し、今後の教育のあり方について受講生と一緒に考えてみたい。	＜復習・課題 各１時間＞　現代教育について考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
成績評価方法と基準			割合
①授業ごとの課題<DP③>　②小レポート課題<DP③>　③レポート課題<DP③>			①50%　②20% ③30%

授業科目名	西洋史概説（検査）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20013	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

明治維新以降、日本は西欧列強の国々から様々な知識や技術を得て、今日まで長らえてきた。そのなかで近年はヨーロッパの考え方に対して、たとえば「こういう考え方は日本にはなじまない」とか、逆に「日本はこういう考え方を取り入れるべきだ」といった議論がなされることが多くある。しかし、その意見はなぜ正当化されるのだろう。よくあるのは歴史上の事実を取り上げて「西欧はこうだけど日本はこうだからだ」とか、「西欧はこれでうまくいったんだから日本もこうするべきだ」という議論だ。でも、その証拠を評価するにはまず、自分の国の歴史や伝統のみならず、相手が歩んできた歴史の流れを知っておく必要があるだろう。本講義では政治史と社会史上の幾つかのトピックに話を絞って、西洋について基本的な歴史的概説を行う。こうした作業を通じて西洋史の大づかみの概要を学びつつ、普段私たちが用いる言葉や考え方そのものが場合によっては歴史の正しい理解を妨げうること、教科書的な記述にとどまらない事実をめぐる様々な議論がある点などに特に注意を促したい。　　また本学は医療大学であるため、本講義では西洋における医学史についても毎回少しずつ紹介したい。日本では中医学から影響を受けた漢方も発達してきたが、やはり現代の医療の多くは西洋で培われてきた種々の知識や理論に負うところが大きい。西洋において医学をめぐる考え方がどのように変遷していったのかを理解することは、現代の医の在り方を考える上でも重要な視点を与えてくれるだろう。

学修目標

１．歴史学がどのようなことを試みる学問かを踏まえたうえで、毎回各時代に１，２のテーマを設定し、西洋史を概観する。このことによって中高の世界史の授業ではしばしば省略される西洋史の大枠をつかむための歴史理論や、考えるべきだが見落とされがちなポイントなどを学習し、われわれの来し方行く末を考える材料としてもらう。　２．西洋史の概説に加えて今日まで影響を持ついくつかの医学史上の重要なポイントについても理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

第１回までの授業で特別必要な用意はない。これまでの人生経験に即して、西洋社会についていくらかのイメージを持っていればよい。高校時代の世界史の授業とは異なり様々なポイントを省略することがあるが、初修者でも理解しやすく努めるつもりであるし、高校の世界史を知らないことで成績評価に不利益が生じないように成績評価基準を設計する。歴史学の分野でも昔は認められていた事柄が否定されたり、表記が変わっていたりすることがあるため、中学・高校時代に世界史を履修された学生は、当時の参考書の内容が現在では改訂されている可能性があることを気に留めておくこと。また、シラバスは講義中で取り扱う内容の大まかな流れを示したものであり、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解に応じて内容を一部変更して講義を行ったりするなど、実際の講義をそのまま反映したものではないことに注意されたい。　残念ながら時間の制約上、西洋史を古代から現代までとにかく大急ぎで追いかける形になる。それゆえに、講義と講義の接続は丁寧に行うつもりだが、前に話した内容をある程度は復習し覚えておいていただくことが試験や期末レポートの前提となる。　本講義の進め方や採点基準といった基本方針は第１回の授業で説明する。オンライン講義であるため、MORIPA の通知を適宜受け取れる環境を整えておくこと。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニテストに解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。			
研究室／オフィスアワー			
授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意・「歴史学」ってそもそも何？	（予習）西洋社会・文化について自分がどういうイメージを抱いているのかを考えておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。(2 時間)	中元　洸太
2	古代ギリシア	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
3	古代ローマ	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
4	中世キリスト教社会の成立①	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
5	中世キリスト教社会の成立②	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
6	ルネサンス、宗教改革、三十年戦争	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
7	近世の国家形成と科学革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
8	期末レポート作成上の注意	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
9	プロト工業化と「啓蒙」の時代	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	産業革命とフランス革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
11	ウィーン体制と国民国家の形成	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。	中元　洸太

		（2 時間）	
12	南北アメリカの独立	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
13	第一次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
14	第二次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
15	冷戦から現在へ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
成績評価は数回にかけて随時行うミニテスト 60%、期末レポート 40%で採点する。　ミニテストは第 1 回～第 15 回の授業内容に即し、随時実施する予定である。試験中、レジュメやノートの閲覧は自由であるが、テストの方法・回数・〆切・制限時間の設定については第 1 回授業のガイダンスで指示する。授業内容の確認テストの色彩が強いため解説などのフィードバックは行わない。　期末レポートでは指定した範囲内で興味を持ったトピックを選んでもらい、その内容を一定の字数以上で要約できるか、それに対し受講生がどのように感想や意見を表明できるかを問う（ノートやレジュメなどを参照してかまわない）。レポート課題の詳細や採点基準は授業内で伝え、希望者のみ得点の開示を行う。課題の要求が専門的な文献解釈などを要するレベルのものではないため、また課題の性質上それぞれの学生が取り上げるテーマはバラバラになるため、レポート執筆における一般的な注意がある場合を除き、全体に対するフィードバックは行わない。			①ミニテスト 60%　②期末レポート 40%

授業科目名	英会話（検査）				
主担当教員	Kiarra Waldburg		担当教員	Kiarra Waldburg	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Describing people Wh～questions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②>： ②小テスト<DP②> ③確認テスト<DP②> 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	医学英語（検査）				
主担当教員	藤重　仁子		担当教員	藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20017	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため、臨床現場で患者の主訴等の発話を正確に理解したり、患者に正確な指示を伝えたりするために必要となる表現や語彙を習得する。また、医学関連の文献や論文、その他情報の収集方法と論文の構成を習得し、専門分野における最先端の研究情報を得るためのスキルを身につける。　将来医療従事者となる皆さんに、ぜひ受講をお勧めする。

学修目標

最低限患者とコミュニケーションがとれる。〈DP②〉　最低限の医学用語が理解できる。〈DP②〉　医学分野の英語の論文がどのような構成になっているのか理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　　宿題や予習（特にリーディング）は必ずしてから授業に臨むこと。　携帯電話の使用、私語は慎むこと。

教科書

実践看護英語（竹林修一、英宝社、2014）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Medical terminology / Getting to know the patients 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
2	Getting to know the patients 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
3	Getting to know the patients 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
4	Getting to know the patients 4	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
5	Examination 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重

		おくこと	
6	Examination 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
7	Instructing medication	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
8	Treating the patients 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
9	Treating the patients 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
10	Treating the patients 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
11	Operation / Pubmedについて、論文の構成について	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
12	Pregnancy / Articles on Medical Technology 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
13	In the hospital / Articles on Medical Technology 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
14	Emergencies / Articles on Medical Technology 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
15	Living a healthy life / Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
成績評価方法と基準			割合
小テスト〈DP②〉　プレゼンテーションおよびその他課題〈DP②〉　　授業参加態度〈DP②〉　2/3 回以上の出席が必要。			30%　40% 30%

授業科目名	基礎英語演習（検査）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①確認テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（検査）				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Unit 9 Advertising	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Unit 10 Meetings	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	藤重

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Unit 11 Finance	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	接続詞（理由・譲歩・時）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Unit 12 Offices	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	前置詞・接続詞対比	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Unit 13 Daily Life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　③Review Test<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②20%　③40%

授業科目名	医療コミュニケーション（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小宮山　恭弘／関根　将／小林　渉／野田　大孝	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床検査技師の専門知識を生かして、医師を中心としたチーム医療に参画するためのコミュニケーションスキルを学ぶ。授業では、対人コミュニケーション方の基本を学ぶほか、ブレーンシトーミングや KJ 法といった問題分析の進め方、PDCA サイクルなどの医療スタッフ間での問題提起やその解決方法を探る具体的な方法論を実践を交えて習得していく。

学修目標

医療職種間でのコミュニケーションスキルを学び、実践可能な知識・技術を習得する。　〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業内ではグループディスカッションを行う機会が多いので、積極的に参画できるようにしてください。

教科書

JAMT 教本シリーズ　臨床検査技師のためのチーム医療読本

参考書

適時配布資料を用いる

研究室／オフィスアワー

木曜日１８時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	チーム医療とは	P2-8 第一章を予習しておくこと	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
2	チーム医療に必要な問題解決能力スキル 1	傾聴　3 つのクエスチョンスタイル　沈黙の意味　について予習しておく	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
3	チーム医療に必要な問題解決能力スキル 2	K-J 法　ブレーンストーミングについて予習しておく	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
4	チーム医療に必要な問題解決能力スキル 3	PDCA サイクルについて予習しておく	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
5	患者とのコミュニケーションスキル 1	教科書 P114-140　予習しておく	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
6	チーム医療に必要な問題解決能力スキル 2	教科書 P114-140　予習しておく	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
7	チーム医療に必要となるスキルの実際 1	教科書 P172-183　予習しておく	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
8	チーム医療　まとめ	テキスト熟読しておく	関根　小宮山 脇　小林渉 野田
成績評価方法と基準			割合

授業内での課題 30%　定期試験 70%　　2/3 以上の出席を要する　〈DP②③〉　　授業冒頭に前回授業の振り返りと簡単なテストを実施し、学生の習熟度を確認する。	課題 30%　試験 70%

授業科目名	チーム医療論（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小宮山　恭弘／前川　佳敬／関根　将／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは，「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と臨床検査技師がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
2	医療系専門職種の介入｜１【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
3	医療系専門職種の介入｜２【診療放射線技師】	予習：本学診療放射線学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で診療放射線技師の仕事について	授業内にて案内

		調べておくこと。(30 分)　復習：診療放射線技師の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	
4	医療系専門職種の介入｜３【臨床検査技師】	予習：臨床検査技師の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜４【臨床工学技士】	予習：本学臨床工学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床工学技士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床工学技士の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜５【理学療法士】	予習：本学理学療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で理学療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：理学療法士の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜６【作業療法士】	予習：本学作業療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で作業療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：作業療法士の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の介入｜７【言語聴覚士】	予習：本学言語聴覚学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で言語聴覚士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：言語聴覚士の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜８【鍼灸師】	予習：本学鍼灸学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で鍼灸師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：鍼灸師の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の理解｜９【看護師】	予習：本学看護学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で看護師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：看護師の職能や役割を理解し，臨床検査技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での臨床検査技士の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	科目担当者 ゲスト
12	症例検討｜１	予習：臨床検査技士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での臨床検査技士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
13	症例検討｜２	予習：臨床検査技士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での臨床検査技士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
14	症例検討｜３	予習：臨床検査技士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチ	授業内にて案内

		ーム医療内での臨床検査技士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	
15	授業全体のまとめ	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習：チーム医療での臨床検査技士の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	授業内にて案内
成績評価方法と基準			割合
①「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(他職種)についての報告　②「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(自職種)についての報告　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①と②で100%

授業科目名	IPW 論（検査）				
主担当教員	関根　将		担当教員	関根　将／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20005	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各学科において、他学科の連携や知識・技術に触れることを目的に看護学・鍼灸学・作業療法学・臨床検査学・臨床工学・放射線技術学および理学療法学を学び、IPW（Interprofessional Work = 専門職連携）を 7 学科協働で演習形式にて実践する。　2 年次後期「チーム医療論」で学んだ各分野の特徴やチーム内での役割とその専門性を理解しつつ、看護・鍼灸・作業療法・臨床検査・臨床工学・診療放射線・理学療法の各分野で共通する疾患や障害を基に、IPW の実際について、討議・経験・学修する。他職種と連携する中で違った視点や新たな知識を学ぶ機会となり、キャリアをデザインしていく上で考えておくべき多様な視点を学修することができる。

学修目標

各分野の専門性を理解しつつ、実際の症例を基に IPW を経験し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と倫理観を養う。＜DP②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。　3）出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

必要であれば、各自準備すること

研究室／オフィスアワー

都度、指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　（チームの顔合せ、授業概要の説明、チーム医療論の復習等）	予習：各分野の専門性について復習し、Case Conference を再度視聴しておく。IPW(Interprofessional Work =専門職連携）について再確認しておく。（１時間以上）　復習：IPW(Interprofessional Work =専門職連携）についてまとめる。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
2	症例提示におけるアプローチ立案とその考察①	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
3	症例提示におけるアプローチ立案とその考察②	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
4	IPW①【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
5	IPW②【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議した	担当教員　ゲスト　朝倉

		ことをまとめておく。（１時間以上）	智仁
6	IPW③【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
7	IPW④【ディスカッション】	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
8	IPW⑤【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備。（１時間以上）　復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①ディスカッション時におけるプロセス評価＜DP②③④＞　②プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP②③④＞　出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①30% ②70%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（検査）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、健康や疾病予防に関する基礎的な知識と健康管理に関する方法を学修する。また、運動不足の健康への影響を学び、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

学生のための健康管理学（改訂 3 版） 山野美容芸術短期大学 教授・副学長 木村康一 著 山野美容芸術短期大学 教授 永松俊哉 著 ISBN 978-4-525-62053-0

参考書

健康・スポーツ科学の基礎（出村慎一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	予習：シラバス・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
2	健康の指標と現状（なぜ健康が重要なのか？）	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
3	生活習慣と健康について１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
4	生活習慣と健康について２	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
5	生活習慣と健康について３	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
6	生活習慣と健康について４	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
7	生活習慣と健康について５	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
8	生活習慣と健康について６	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
9	疾病の予防１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
10	疾病の予防２	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二

11	疾病の予防３	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
12	健康のための運動１	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
13	健康のための運動２，健康管理の考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
14	総合復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
15	期末試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP③④〉			①70%　②30%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（検査）				
主担当教員	伊黒　浩二		担当教員	伊黒　浩二	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない　②喋らない　③内職しない　④スマホを触らない　以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

特にありません

参考書

学生のための健康管理学（木村康一，永松俊哉・南山堂）　健康・スポーツ科学の基礎（出村愼一監修・杏林書院）　健康・スポーツ科学テキスト　トレーニング科学（北川薫編集・文光堂）　特定健診・保健指導に役立つ　健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂)、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康について	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
2	健康の現状	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
3	中高年者の身体的特徴と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
4	骨粗鬆症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
5	変形性関節症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
6	生活習慣病と運動１　メタボリックシンドローム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
7	生活習慣病と運動２　高血圧症	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
8	生活習慣病と運動３　糖尿病	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
9	生活習慣病と運動４　高脂血症	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二

10	生活習慣病と運動５　虚血性心疾患	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
11	運動（エクササイズ）の基本と考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
12	筋力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
13	全身持久力と筋持久力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
14	ウォーミングアップとクーリングダウンの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
15	講義全体のまとめ	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　〈DP③④〉　授業の 2/3 回以上の出席が必要			①70%　②30%

授業科目名	栄養学（検査）				
主担当教員	南方　克之		担当教員	南方　克之	
科目ナンバリング	CS20010	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

国民総医療費は 38 兆 5850 億円に達し、その医療費の 55.6%は 65 歳以上の高齢者が占めているとのことである。2013 年度の高齢者数は 3190 万人（全人口の 25.1%）であるが、2030 年度には 3685 万人（31.6%）に達すると予測されている。総医療費の半分以上を占める高齢者が、15 年後には 3 人に 1 人の割合になることを考えると、いかにして高齢者の健康寿命を長くするかがとても重要になる。1 人でも多くの高齢者が健康で過ごせるように医療従事者が食事指導できることが大切と考え、健康の保持増進に欠くことのできない「栄養」に関する正しい知識を学修する。

学修目標

1．栄養素の種類と働きについて理解し、食生活と疾病の関係性について説明できる。　2．消化と吸収およびエネルギー代謝について説明できる。　3．ライフサイクルと栄養摂取について理解し、栄養アセスメントについて説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．「人体の仕組み」に興味を持って授業に臨んでください。　2．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

『イラスト基礎栄養学第 4 版』大口健司・小野廣紀・田村明／東京教学社

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

森ノ宮医療大学：E 棟 1F 非常勤講師控室／授業外対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	第 1 章「栄養の概念」	予習：教科書（P1～13）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
2	第 2 章「食物の摂取」	予習：教科書（P15～21）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
3	第 3 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」①	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
4	第 4 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」②	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
5	第 4 章「炭水化物の栄養」①	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
6	第 4 章「炭水化物の栄養」②	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
7	第 5 章「脂質の栄養」①	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
8	第 5 章「脂質の栄養」②	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
9	第 6 章「たんぱく質の栄養」①	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
10	第 6 章「たんぱく質の栄養」②	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
11	第 7 章「ビタミンの栄養」①	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方

12	第 7 章「ビタミンの栄養」②	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
13	第 8 章「ミネラルの栄養」①	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
14	第 8 章「ミネラルの栄養」②	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
15	第 9 章「水・電解質の栄養的意義」	予習：教科書（P127～136）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
成績評価方法と基準			割合
定期試験　出題範囲：授業内で扱った範囲			定期試験 100%

授業科目名	身体運動科学（検査）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	CS20011	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

運動・身体活動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズム、適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法および運動療法の実施について学修する。

学修目標

１．運動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズムについて理解し、具体的に述べることができる。【DP③】　２．適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法について理解し、具体的に述べることができる。【DP③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．シラバスに明記されている予習復習を必ず行うこと。　２．授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　３．運動・身体活動に関わる学問であり、解剖学・生理学・運動学の復習が必要です。　４．質問等があれば、授業後に直接研究室に来る、もしくは MORIPA クラスプロファイル「Q&A」から連絡ください。

教科書

資料を配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

杉本　圭： E 棟 4 階研究室／水曜日 4 限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	なぜ、運動が必要なのか？　-運動を無理なく続けられる秘訣を探ってみよう！-	予習：身体にとって運動が必要な理由について考えておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が必要な理由について理解する。(2 時間)	杉本
2	筋肉はどのように収縮するのか？　-運動で用いられる骨格筋について学ぼう！-	予習：骨格筋の構造と収縮の仕組みについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が骨格筋に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
3	セルフチェック①　-まずは自分の身体に目を向けてみよう！-	予習：身体組成に関わる評価方法について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、評価結果と効果的な運動療法の実践について理解する。(2 時間)	杉本
4	運動時の生理機能は？　-運動による身体の反応について学ぼう！-	予習：運動時の生理機能について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の生理機能について理解する。(2 時間)	杉本
5	疾病の予防と治療のための栄養・運動　-生活習慣病予防に必要な取り組み方を学ぼう！-	予習：生活習慣病とは何か調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、生活習慣病の予防と治療のための栄養管理と運動療法について理解する。(2 時間)	杉本
6	ストレッチングの基礎と実際　-使えていない関節を探してみよう！-	予習：ストレッチングの種類、生理学について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、ストレッチングが運動に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本

7	有酸素運動の基礎と実際　-効率の良い走り方とは？-	予習：有酸素運動はどのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、有酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
8	無酸素運動の基礎と実際　-筋肉量が増えるのは良いことか？-	予習：無酸素運動は、どのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、無酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
9	運動と環境　-運動すると体温はどうなる？-	予習：熱中症の病態について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の熱中症の予防および治療方法について理解する。(2 時間)	杉本
10	運動と栄養・食生活　- 青年・中年期の生活習慣を見直そう -	予習：栄養素の役割および食事バランスガイドを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、日常の食事と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
11	運動と疲労　-運動して疲れた身体を超回復！-	予習：運動における疲労について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動と疲労の関係について理解する。(2 時間)	杉本
12	エイジング（加齢、老化）と運動　-歳を重ねると身体はどうなる？-	予習：加齢によって起こる身体の変化について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、老化と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
13	運動と心の健康：メンタルヘルス　-運動の精神機能への影響は？-　セルフチェック②　-継続は力なり。身体は変化する！-	予習：メンタルヘルスについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動習慣定着のための介入方法を理解する。(2 時間)	杉本
14	運動と医療　-運動と医療の関わりについて考えてみよう！-	予習：運動が身体に及ぼす影響について確認しておく．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，運動と医療の関係性について理解する．(2 時間)	杉本
15	講義全体のまとめ	予習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)　復習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)	杉本
成績評価方法と基準			割合
１．筆記試験【DP③】　２．毎回の授業後に課すレポート課題【DP③】　＊試験・課題に対して，必要に応じて随時解説を実施する。			１．60%　２．40%

授業科目名	東洋医療概論（検査）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	CS20012	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

主要な補完代替医療である東洋医学の概要について講義し、初歩的な理論や治療を解説する。

学修目標

東洋医学の基本を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

下記の授業計画表に記載の講義を中心とするが、鍼灸実技も行う。　西洋医学とは異なる体系であることを理解する。

教科書

平馬直樹・浅川要・辰巳洋監、　東洋医学の教科書、　ナツメ社、　ISBN コード 978-4-8163-5540-0

参考書

東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学概論、　医道の日本社　東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学臨床論（はりきゅう編)、　南江堂

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス	復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
2	東洋医学の歴史	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
3	陰陽・五行学説、天人相関思想ほか中国思想	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
4	陰陽・五行の相互関係	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
5	医学における陰陽・五行	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
6	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
7	生理物質	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
8	臓腑学説	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
9	臓腑学説	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
10	病因	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
11	四診	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
12	経絡・経穴	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
13	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻

14	治療理論	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
15	まとめ	予習:これまでの講義を振り返る　復習:これまでの資料・教科書を見る	辻
成績評価方法と基準			割合
期末試験　授業態度			90%　10%

授業科目名	統合医療概論（検査）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／増山 祥子／森 美侑紀	
科目ナンバリング	CS20013	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:必修 スポーツ:選択

授業概要

統合医療という言葉が医療の中で使われるようになってきたが、実際に統合医療が何を指し、どうあるべきなのかについては合意が得られていない。本授業では、統合医療の概念と現状について解説するとともに、統合医療の重要な構成要素である EBM と補完療法について概説する。また、各種治療の有効性と安全性について、エビデンスにもとづく批判的吟味のポイントについても解説する。

学修目標

1．統合医療の概念と現状について理解する。 2．EBM の概念と手法について理解する。 3．補完療法の種類と概要について説明できる。 4．主要な補完療法についてエビデンスにもとづく批判的吟味ができる。 〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療や行政において統合医療は賛否両論である。医師その他の医療従事者も支持派と反対派に分かれる。なぜ賛否両論があるのか、よく考えながら受講していただきたい。

教科書

資料を配布する。

参考書

各教員が必要に応じて授業担当時に紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下 仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療におけるエビデンスの重要性	健康関連商品の広告に目を通す	山下
2	EBM	EBM について調べる	山下
3	EBM シミュレーション	自分の専門領域のエビデンスについて調べる	増山
4	EBM と診療ガイドライン	自分の専門領域または興味のある疾患の診療ガイドラインを調べる	山下
5	健康産業と研究倫理・利益相反	利益相反状態と利益相反行為の違いについて調べる	山下
6	補完療法概論	代替医療と補完医療の違いについて調べる	山下
7	代表的な補完療法	自分が興味のある補完療法についてネットや図書館で調べる	山下
8	鍼灸のエビデンス	鍼灸に関する書籍や雑誌を図書館で調べる	山下
9	アロマセラピー①	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
10	アロマセラピー②	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
11	ヨガ・マインドフルネス	ヨガ・マインドフルネスに関するネット動画を見る	増山

12	サプリメント	興味のあるサプリメントを幾つか選んでその広告の内容に関する疑問点を調べる	山下
13	統合医療とスピリチュアルと NBM	スピリチュアルという概念について調べる	山下
14	緩和ケア・難病ケアと統合医療	末期がんまたは難病の患者の実情について調べる	増山
15	総括：統合医療は何を統合するのか	14 回までに習った内容を整理する	山下
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②課題提出物　　〈DP③〉			①70%　②30%

授業科目名	生化学実習（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司／佐伯　康匠／野田　大孝	
科目ナンバリング	SB20BMTB008	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限、木曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体を構成する有機物質および高分子物質の性質と機能ならびにそれらの合成と分解のメカニズムを理解する。生化学および生化学各論の講義で学んだ生体構成物質それぞれについて特異的な定性法や定量法、また混合物から特定の生体成分の分離同定をおこなう。酵素反応に関しては反応速度の実験から酵素の性質や機能について学修する。これら生化学的実験を通して生命現象は様々な物質と化学反応から構成されるものであることを理解する。

学修目標

以下のような事項を理解し実践できるようにする。　1．分光光度計をはじめ機器の正しい取り扱いができる　2．生化学実験の組み立てと論理の進め方を理解できる。　3．生体物質分析の原理について説明できる　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習を通して生化学をより深く理解し、科学的操作や物質の定量的測定法になれ、分析することの重要性を修得する。共同実験者と協調的かつ丁寧に実習すること。

教科書

配布する実習書

参考書

シンプル生化学　（南江堂）

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション､機器の基本的な取り扱いについて	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
2	アミノ酸の定性／定量－１	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
3	〃	〃	森
4	アミノ酸の定性／定量－２	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
5	〃	〃	森
6	糖質の定性／定量－１	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
7	〃	〃	森
8	糖の定性／定量－２	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
9	〃	〃	森
10	酵素活性の測定	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
11	〃	〃	森
12	タンパク質の分離／精製	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
13	〃	〃	森

14	タンパク質の定量法	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとにレポートを作成する	森
15	〃	〃	森
成績評価方法と基準			割合
テーマごとにレポートをまとめ期限内に提出すること。　レポートの点数が基準点に満たないものは救済として再試験期間中に筆記試験をおこなう。　評価について希望があれば開示する。評価法の詳細は実習書に記載がある。　4/5 以上の出席が必要。DP①④			レポート 100%

授業科目名	小児医学（検査）				
主担当教員	前川　佳敬		担当教員	前川　佳敬	
科目ナンバリング	SB20BMTB010	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

未来を担う子どもたちの健やかな成長は、人類共通の願いであると言える。子どもをとりまく医療水準は、近年、飛躍的進歩を遂げているが、他方、今日でもなお、病気で苦しむ子どもたちが多いことも事実である。本講義では、小児期に特徴的な疾患の知識・考え方について学修する。

学修目標

1.　各種臓器に起こる小児疾患の特徴・病態を、論理的に理解する。〈DP①②〉　2．各種小児疾患の原因、病理、症状などについて、説明できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．　講義は教科書を中心に進めるが、講義を聞かずに教科書を読んでも理解が難しいと考えられるので、講義には出席すること。　２．　わからないことは、積極的に質問すること。

教科書

小児臨床看護各論　（医学書院）

参考書

標準小児科学　第８版、医学書院

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室２／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	先天異常	学習予定の教科書の部分を予習すること。「先天異常」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
2	新生児疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「新生児疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
3	小児代謝性疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児代謝性疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
4	小児内分泌疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児内分泌疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
5	免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
6	小児感染症	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児感染症」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
7	小児呼吸器疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児呼吸器疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
8	小児循環器疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児循環器疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川

9	小児消化器疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児消化器疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
10	小児血液・造血器疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児血液・造血器疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
11	小児悪性新生物	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児悪性新生物」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
12	小児腎・泌尿器・生殖器疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児腎・泌尿器・生殖器疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
13	小児神経疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児神経疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
14	小児耳鼻咽喉科疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児耳鼻咽喉科疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
15	小児眼疾患	学習予定の教科書の部分を予習すること。「小児眼疾患」について、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと。	前川
成績評価方法と基準			割合
定期試験を行う。〈DP①②〉			定期試験 100%

授業科目名	老年医学（検査）				
主担当教員	前川　佳敬		担当教員	前川　佳敬	
科目ナンバリング	SB20BMTB011	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

現在の日本は、これまで先進国が経験したことがないスピードで超高齢社会に突入している。高齢者医療・介護・福祉は、現代社会における大きな課題であり、これからの医療者にとって老年医学は必要不可欠の学問である。

学修目標

１高齢社会の現況とその対策　２老化による生体の構造や機能の変化　３高齢者の代表的疾患と特徴　４高齢者の介護・福祉などを習得する DP①②

履修上の注意(学生へのメッセージ)

老年医学に関する知識や情報を習得するだけではなく、自分の意見をもち、かつそれを表出できるようになってほしい。

教科書

指定の教科書はありません。　随時資料を配布します。

参考書

老年医学　系統講義テキスト　日本老年医学会　老年病・認知症～長寿の秘訣～　監修：荻原俊男

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室２／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	老年医学総論	毎回レジュメは用意し、参考書などから図表を抜粋する。授業で学んだ内容を再確認しておくこと。	前川
2	老年医学を学ぶうえでの基本的な事項	〃	前川
3	老化メカニズムと老化制御	〃	前川
4	高齢者の診かたと高齢者総合機能評価	〃	前川
5	老年症候群	〃	前川
6	臓器の加齢変化と老年疾患の発症（１）	〃	前川
7	臓器の加齢変化と老年疾患の発症（２）	〃	前川
8	老年疾患の臨床に必要な基礎知識（１）	〃	前川
9	老年疾患の臨床に必要な基礎知識（２）	〃	前川
10	高齢者における主な疾患（１）	〃	前川
11	高齢者における主な疾患（２）	〃	前川
12	高齢者における主な疾患（３）	〃	前川
13	高齢者における主な疾患（４）	〃	前川
14	高齢者の介護と在宅医療	〃	前川
15	高齢者の緩和医療・終末期医療	〃	前川

成績評価方法と基準	割合
筆記テスト DP①②	筆記テスト 100%

授業科目名	薬理学（検査）				
主担当教員	小林　吉晴		担当教員	小林　吉晴	
科目ナンバリング	SB20BMTB013	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

体内で薬物と生体内分子がどのように関わりあい、作用を示すのか学ぶ。

学修目標

薬物の主作用、副作用、相互作用,中毒作用、解毒薬などを説明できる。　DP②③

履修上の注意（学生へのメッセージ）

生化学、人体の構造と機能、生物学の知識が必要なのでこれらの科目と合わせて復習をしておくこと。

教科書

シンプル薬理学 南江堂　ISBN 978-4-524-24658-8

参考書

はじめの一歩のイラスト薬理学 羊土社

研究室／オフィスアワー

講義終了後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	薬理学総論Ⅰ受容体	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
2	薬理学総論Ⅱ　トランスポーター、オータコイド、サイトカイン	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
3	自律神経系と骨格筋に作用する薬物、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
4	統合失調症、躁うつ病、睡眠障害治療薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
5	麻薬性鎮痛薬、全身麻酔薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
6	てんかん、アルツハイマー病、パーキンソン病治療薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
7	高血圧症、狭心症、うっ血性心不全に用いられる薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
8	ジギタリス中毒について。抗不整脈薬の分類と代表的な薬物、作用機序	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
9	関節リウマチ、痛風・高尿酸血症、の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
10	非ステロイド性抗炎症薬、副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
11	呼吸器系薬物、消化性潰瘍治療薬、下剤と止瀉薬、利尿薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
12	糖尿病治療薬、脂質低下薬、性ホルモン薬、甲状腺疾患治療薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
13	骨粗鬆症、貧血治療薬,抗血液凝固作用薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
14	抗感染症薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴

15	抗腫瘍薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
成績評価方法と基準			割合
１．小テスト：(DP2)２０点　２．定期試験：(DP2,3)８０点			小テスト 20% 定期試験 80%

授業科目名	リハビリテーション概論（検査）				
主担当教員	三木屋　良輔		担当教員	三木屋　良輔／杉本　圭／松下　太／金森　幸／小川　泰弘／鍵野　将平／戸田　淳氏／舘　幸枝	
科目ナンバリング	SB20BMTC014	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

リハビリテーションは障害を有する者を対象とする．医学や医療技術の進歩，超高齢化社会の到来とともに，障害とかかわって生活することは誰にでも起こりうる社会となった．もちろん，リハビリテーション関連職以外の医療従事者にも「リハビリテーション」の知識が求められる時代である．本授業ではリハビリテーションの基本理念，生活機能とその障害を正しく理解し，リハビリテーション医療の特性と包括的なアプローチを学修する．

学修目標

1）社会におけるリハビリテーションの位置づけや役割，歴史，目的を理解する．<DP②③>　2）リハビリテーションの諸領域と専門職連携について理解する．<DP②③>　3）特にリハビリテーション医療における臨床検査技師とリハビリテーション専門職との連携を考える．<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語，メールなどには厳しく対処する．　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること．　3）第 11～15 回（言語聴覚領域）は対面授業で行います。検査道具・機器の取り扱いは丁寧に行うこと．

教科書

資料を配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

三木屋良輔：研究室／金曜日以外平日５限目以降（時間は事前に相談してください）　杉本　圭　：研究室／水曜日 4 限目以降（時間は事前に相談してください）　舘　幸枝　：研究室／時間は事前に相談してください　戸田淳氏　：研究室／時間は事前に相談してください　鍵野将平　：研究室／時間は事前に相談してください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	リハビリテーション医療の概要	予習：リハビリテーションの概念について調べておく．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，リハビリテーション医療の概念・理念・定義について理解する．(2 時間)	三木屋、杉本
2	疾病と障害（障害学）	予習：リハビリテーションにおける「障害」とは何か？を調べ，まとめる．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，リハビリテーションにおける障害像を理解する．(2 時間)	三木屋、杉本
3	片麻痺体験、ワークショップ　【片麻痺体験キットで動いてみよう】	予習：障害について自分の考えをまとめておく．(2 時間)　復習：体験後の感想をまとめる．(2 時間)	三木屋、杉本
4	理学療法の実際｜1（神経障害系）	予習：理学療法について調べ，まとめる．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，理学療法における実際について理解を深める．(2 時間)	三木屋、杉本
5	理学療法の実際｜2（内部障害系）	予習：理学療法について調べ，まとめる．	三木屋、杉本

		（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，理学療法における実際について理解を深める．（2 時間）	
6	作業療法の実際｜1（作業療法について）	予習：作業療法について調べ，まとめる．（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，作業療法における実際について理解を深める．（2 時間）	鍵野
7	作業療法の実際｜2（目標設定について）	予習：目標設定について調べ，まとめる．（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，目標設定における実際について理解を深める．（2 時間）	鍵野
8	作業療法の実際｜3（ICF について）	予習：ICF について調べ，まとめる．（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，ICF における実際について理解を深める．（2 時間）	鍵野
9	作業療法の実際｜4（作業療法トピックス）	予習：作業療法トピックスについて調べ，まとめる．（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，作業療法トピックスにおける実際について理解を深める．（2 時間）	鍵野
10	作業療法の実際｜5（作業療法トピックス）	予習：作業療法トピックスについて調べ，まとめる．（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，作業療法トピックスにおける実際について理解を深める．（2 時間）	鍵野
11	言語聴覚療法の実際｜1（認知症の評価）	予習：認知症について調べ，まとめる．（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，認知症の評価を理解する．（2 時間）	戸田
12	言語聴覚療法の実際｜2(高次脳機能障害の評価）	予習：高次脳機能障害について調べ，まとめる．（2 時間）　復習：授業内容をまとめ，高次脳機能障害の評価を理解する．(2 時間）	戸田
13	言語聴覚療法の実際｜3　聴力検査（純音聴力検査　実技含む）	予習：純音聴力検査について事前の配布資料をもとに予習を行う．（2 時間）　復習：純音聴力検査の手技に習熟する．（2 時間）	舘
14	言語聴覚療法の実際｜4　聴力検査（純音聴力検査、語音聴力検査　実技含む）	予習：語音聴力検査について事前の配布資料をもとに予習を行う．（2 時間）　復習：純音･語音聴力検査の手技に習熟する．(2 時間）	舘
15	言語聴覚療法の実際｜5　聴力検査（ティンパノメトリー　実技含む）	予習：ティンパノメトリーについて事前の配布資料をもとに予習を行う．(2 時間）　復習：ティンパノメトリーの手技に習熟する．（2 時間）	舘
成績評価方法と基準			割合
1.　レポート課題　※各学科（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科）から課せられるレポート課題を期限内に MORIPA クラスプロファイル「課題提出」へ提出すること。【DP②③】			1. 100%

授業科目名	病理学（検査）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／小林　彩香／田路　英作	
科目ナンバリング	SB20BMTB017	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

病理学とは、病気の原因、発症メカニズム、病態、形態変化などを解明する学問である。また病理学は、臨床医学を学修する際に、その基本となる。先ず病理学総論として、病理学の意義、染色体・遺伝子の異常、組織細胞傷害と修復、物質代謝異常、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍などに関する病理学の基本的概念を学ぶ。次に、病理学各論として、各臓器における主な病気に関する病理学を学ぶ。

学修目標

１．各臓器における主な疾患の病因、成り立ち、病理学的特徴などを説明できる。　２．病理学で学ぶ「医学用語」は、病理検査学や臨床医学を学ぶ基本となるので、正しく理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．人体の正常構造や正常機能を理解していないと、病理学を理解することはできないので、１年次の解剖学、組織学、生理学の教科書を復習してから、病理学の講義にのぞむこと。　２．病理学の講義は、教科書を中心に進めるが、講義を聞かずに教科書を読んでも理解が難しいと考えられるので、講義には出席すること。　３．わからないことは、積極的に質問すること。

教科書

病理学／病理検査学　（医歯薬出版）

参考書

1. 標準病理学 第 5 版. 医学書院. 2015 年　2. 入門組織学 改訂第 2 版. 南江堂. 2020 年

研究室／オフィスアワー

川畑　浩久　　C 棟研究室 707／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階(研究室番号 13)/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　　C 棟 7 階(職員室)／在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	第 1 章　病理学総論：「病理学とは何か」、「染色体・遺伝子・発生の異常」	予習：人体の構造、人体の構造実習、人体の機能で学んだ組織・細胞の確認（解剖学、生理学教科書の当該箇所）。教科書 p1～5 についての予習ならびにシラバスの確認。　復習：　授業で学んだ内容（教科書 p1～5）ついて復習すること。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	第 1 章　病理学総論：「組織細胞傷害とその修復機構」、「物質代謝異常」	予習：教科書 p6～21 についての予習ならびにシラバスの確認。　復習：　復習：　授業で学んだ内容（教科書 p6～21）ついて復習すること。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
3	第 1 章　病理学総論：「循環障害」	予習：教科書 p21～26 についての予習ならびにシラバスの確認。　復習：　復習：　授業で学んだ内容（教科書 p21～26）ついて復習すること。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
4	第 1 章　病理学総論：「炎症」	予習：教科書 p26～35 についての予習ならびにシラバスの確認。　復習：　復習：　授	川畑

		業で学んだ内容（教科書 p26～35）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	
5	第 1 章　病理学総論：「免疫異常」	予習：教科書 p35～42 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p35～42）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
6	第 1 章　病理学総論：「腫瘍」	予習：教科書 p42～53 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p42～53）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	第 2 章　病理学各論：「循環器系」	予習：教科書 p55～66 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p55～66）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	第 2 章　病理学各論：「呼吸器系」	予習：教科書 p67～80 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p67～80）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	第 2 章　病理学各論：「消化器系」1	予習：教科書 p80～93 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p80～93）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	第 2 章　病理学各論：「消化器系」2	予習：教科書 p94～103 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p94～103）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	第 2 章　病理学各論：「内分泌系」	予習：教科書 p103～120 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p103～120）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	第 2 章　病理学各論：「泌尿器系」、「生殖器および乳腺」	予習：教科書 p121～141 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p121～141）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
13	第 2 章　病理学各論：「造血臓器系」	予習：教科書 p141～156 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p141～156）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
14	第 2 章　病理学各論：「神経系」、「運動器系」	予習：教科書 p157～180 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p157～180）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
15	第 2 章　病理学各論：「感覚器系」、「皮膚系」、「膠原病（自己免疫疾患）」	予習：教科書 p181～198 についての予習ならびにシラバスの確認。 復習： 復習： 授業で学んだ内容（教科書 p181～198）ついて復習すること。 なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験〈DP1〉　2. 授業内の小テストや課題は翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示する。			100%

授業科目名	医用工学概論（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小林　渉／中村　有希／吉田　靖	
科目ナンバリング	SB20BMTB020	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療の分野で行われる生体情報の収集，分析や治療における臨床検査領域のおける理工学技術の基本となる電気電子工学の基礎を習得する．医用工学の意義，生体の特性に基づく生体計測機器，診断装置，治療機器の使用目的，原理，構造，特徴について概説するとともに，医用機器と設備の安全対策について学習する

学修目標

電気電子工学の基礎を理解する．　生体計測機器，医療機器の概要を理解する．　医用機器，設備の安全対策を理解する．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医用工学の専門用語や概念が難解ですが，医療資格として不可欠な基礎的な内容が多いので教科書を通読し，講義のサブノートを作成して習得すべきポイントを項目ごとに整理し理解する．

教科書

嶋津秀昭ほか(2018)「最新臨床検査学講座 医用工学概論」(医歯薬出版)

参考書

西山篤(2016)「医用工学演習―よくわかる電気電子の基礎知識―」(医療科学社)

研究室／オフィスアワー

担当教員に確認すること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	科目内容の説明、医用工学の役割、生体の物理的特異性	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
2	生体物性の基礎	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
3	電気・電子の基礎(1) 電気回路の基本	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
4	電気・電子の基礎(2) 直流回路	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
5	電気・電子の基礎(3) 交流回路	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
6	電気・電子の基礎(4) 能動素子	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
7	医用電子回路(1) アナログ回路（電源回路、増幅回路）	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
8	医用電子回路(2) アナログ回路（差動増幅器、フィルタ回路）	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
9	医用電子回路(3) デジタル回路（論理回路・発振回路）	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。　復習：講	吉田靖

		義資料をポイントごとに整理する	
10	医用電子回路(4) デジタル回路（変換、通信の基礎）	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。 復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
11	生体情報の収集(1) 生体計測、物理量（変位、振動）センサトランスデューサ	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。 復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
12	生体情報の収集(2) 物理量（流量、熱、光）・化学量センサトランスデューサ	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。 復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
13	生体情報の収集(3) マッチング､記録器､表示器、医用画像、治療機器	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。 復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
14	電気的安全対策(1) 電撃とその対策、医用電気機器の安全基準	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。 復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
15	電気的安全対策(2) 病院電気設備の安全基準	予習：教科書の該当項目を通読し不明な用語などを調べ，内容をまとめる。 復習：講義資料をポイントごとに整理する	吉田靖
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験 ②授業中に行う小テスト 2/3 以上の出席を必要とする			①80% ②20%

授業科目名	医用工学実習（検査）				
主担当教員	吉田　靖		担当教員	吉田　靖／脇　英彦／小林　渉／中村　有希	
科目ナンバリング	SB20BMTB021	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

電気電子工学の基礎実験，医用エレクトロニクス回路の特性解析，医療測定装置，変換機器などの安全性試験や特性試験などの実験を行う.

学修目標

測定値を適切に処理できる.　電気素子の測定原理と測定方法を理解し，正しく測定できる.　オシロスコープを用いて，各種電気現象を解析できる.　医療測定機器を用いて，生体信号を正しく測定できる.

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実験をする前に必ず実験の目的、原理、方法、注意事項、機器及び電子部品の構造、特性などを良く理解しておくこと。数人が共同にて実験を行うので各自協力して円滑に実験を行う。　レポートは、簡潔で要領を得たものとすること。　実験終了後は必ず器具を片付け、万一機器及び電子部品を破損させたときは直ちに教官に報告すること。

教科書

嶋津秀昭ほか(2018)「最新臨床検査学講座 医用工学概論」(医歯薬出版)

参考書

必要に応じてプリント・資料を配布する.

研究室／オフィスアワー

担当教員に確認すること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション／実習レポート作成概要／実習使用機器	配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。	吉田靖,中村有希,田中勇真,太田雄土,田靡幸樹
2	テスタ，オシレータ，オシロスコープの取扱と基本操作	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖,中村有希,田中勇真,太田雄土,田靡幸樹
3	抵抗素子・コンデンサの特徴	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖,中村有希,田中勇真,太田雄土,田靡幸樹
4	C-R 結合回路の周波数特性と時定数の測定	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖,中村有希,田中勇真,太田雄土,田靡幸樹
5	R-C 結合回路の周波数特性と時定数の測定	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖,中村有希,田中勇真,太田雄土,田靡幸樹
6	ダイオードの特性/半波整流・全波整流回路	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖,中村有希,田中勇真,太田雄土,田靡幸樹
7	ダイオードを用いた平滑回路	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理	吉田靖,中村有希,田中勇真,

		解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	太田雄土, 田靡幸樹
8	トランジスタの増幅度測定	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
9	トランジスタの特性の測定	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
10	オペアンプの特性	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
11	オペアンプの各種演算回路	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
12	各種論理回路の特性	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
13	各種論理回路の動作確認	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
14	サーミスタと光電素子の動作	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
15	医用機器安全	予習：教科書の該当範囲を予め調べ，配布資料による実習手順，履修目的と論理を理解する。　復習：実験内容と課題を実習レポートに整理する。	吉田靖, 中村有希, 田中勇真, 太田雄土, 田靡幸樹
成績評価方法と基準			割合
①実習レポート：提出期限を厳守，評価基準により到達目標の達成度を評価　②相互評価および実習への参加度　4/5 以上の出席を必要とする			①実習レポート（70%）　②相互評価および実習への参加度（30%）

授業科目名	臨床病態学Ⅰ（検査）				
主担当教員	前川　佳敬		担当教員	前川　佳敬	
科目ナンバリング	SS20BMTB001	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な臨床病態学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、検査結果から治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

１．各種臓器の働きを理解する。〈DP①②〉　２．各種疾病の本質・病態を論理的に理解する。〈DP①②〉　３．各種疾病の臨床症状・検査法・治療法が合理的に説明できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床病態学に関する知識や情報を習得するだけではなく、自分の意見をもち、かつそれを表出できるようになってほしい。講義内容にあらかじめ目を通し、自分の考えをもっておくことが望ましい。

教科書

病態学/臨床検査医学総論（医歯薬出版株式会社）

参考書

病気がみえる　シリーズ　MEDIC MEDIA　教材がある場合は適宜配布する。

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室２／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医学概論	教科書の目次通りのタイトルであり、授業の順番も目次どおりに行う。授業に該当する疾患臓器などの解剖・生理機能については、必ず自宅学習で知識を確実にしておくこと。学んだ疾患の病態・検査・治療を合理的に説明できるようにしておくこと。小テストや課題提出の可能性もあります。	前川
2	循環器疾患（１）	〃	前川
3	循環器疾患（２）	〃	前川
4	循環器疾患（３）	〃	前川
5	呼吸器疾患（１）	〃	前川
6	呼吸器疾患（２）	〃	前川
7	消化器疾患（１）	〃	前川
8	消化器疾患（２）	〃	前川
9	肝・胆・膵疾患（１）	〃	前川
10	肝・胆・膵疾患（２）	〃	前川
11	感染症（１）	〃	前川
12	感染症（２）	〃	前川

13	感染症（３）	〃	前川
14	感染症（４）	〃	前川
15	授業全体のまとめ	授業での総復習を確認しつつ、総合的な復習を自宅で行うこと。	前川
成績評価方法と基準			割合
筆記テスト<DP①②>			筆記テスト 100%

授業科目名	臨床病態学Ⅱ（検査）				
主担当教員	前川　佳敬		担当教員	前川　佳敬	
科目ナンバリング	SS20BMTB002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な臨床病態学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにすると同時に、検査結果から治療の必要性の有無が判断できる能力を身につける。

学修目標

１．各種臓器の働きを理解する。〈DP①②〉　２．各種疾病の本質・病態を論理的に理解する。〈DP①②〉　３．各種疾病の臨床症状・検査法・治療法が合理的に説明できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床病態学に関する知識や情報を習得するだけではなく、自分の意見をもち、かつそれを表出できるようになってほしい。講義内容にあらかじめ目を通し、自分の考えをもっておくことが望ましい。

教科書

病態学/臨床検査医学総論（医歯薬出版株式会社）

参考書

病気がみえる　シリーズ　MEDIC MEDIA　教材がある場合は適宜配布する。

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室２／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	血液・造血器疾患（１）	教科書の目次通りのタイトルであり、授業の順番も目次どおりに行う。授業に該当する疾患臓器などの解剖・生理機能については、必ず自宅学習で知識を確実にしておくこと。学んだ疾患の病態・検査・治療を合理的に説明できるようにしておくこと。	前川
2	血液・造血器疾患（２）	〃	前川
3	血液・造血器疾患（３）	〃	前川
4	内分泌疾患（１）	〃	前川
5	内分泌疾患（２）	〃	前川
6	腎・尿路疾患	〃	前川
7	男性・女性生殖器疾患	〃	前川
8	神経・運動器疾患（１）	〃	前川
9	神経・運動器疾患（２）	〃	前川
10	アレルギー性疾患、膠原病、免疫不全症（１）	〃	前川
11	アレルギー性疾患、膠原病、免疫不全症（２）	〃	前川
12	代謝・栄養障害（１）	〃	前川

13	代謝・栄養障害（２）	〃	前川
14	感覚器疾患（眼・耳鼻）　　中毒	〃	前川
15	染色体・遺伝子異常症　皮膚および乳腺の疾患	〃	前川
成績評価方法と基準			割合
筆記テスト<DP①②>			筆記テスト 100%

授業科目名	血液検査学Ⅰ（検査）				
主担当教員	藤原　牧子		担当教員	藤原　牧子	
科目ナンバリング	SS20BMTB003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

血液検査は、貧血、白血病、凝固異常症などの診断や、炎症の有無、抗凝固療法のモニタリングなど各種疾患のスクリーニング、治療後の効果判定、経過観察などに用いられている。最も一般的に行われる検査であり、正確な検査結果を報告するためには、血液の構成要素について熟知し、検査の原理、異常値の出る要因についての知識を修得することが必要である。血液検査学Ⅰでは血液検査の基礎となる血球、凝固・線溶系について基礎知識を習得し、検査方法と結果の判定について学ぶ。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1.血球の機能を理解し、産生と崩壊について説明できる。〈 DP① 〉　2.血球の形態が判別できる。〈 DP① 〉　3.凝固・線溶機構について理解し、分子マーカーについて説明できる。〈 DP① 〉　4.血液検査の意義を理解し、異常値について考察できる。〈 DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

血液検査Ⅰは血液検査学Ⅱ（2 年次後期)、血液検査学実習（3 年次前期）の基礎知識として非常に重要な内容です。毎回予習、復習に努め、知識を積み重ねてください。

教科書

『最新臨床検査学講座　血液検査学　第３版』　奈良信雄・東田修二　編　/医歯薬出版株式会社

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

Ｃ棟７階職員室　17 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	第１章血液の基礎①　血液の成分　造血	予習：教科書を読んでくる(2 時間)　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
2	第１章血液の基礎②　検体の採取と保存　自動分析法	予習：教科書を読んでくる(2 時間)　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
3	第２章赤血球①　赤血球の産生と崩壊　赤血球の機能　エネルギー代謝	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
4	第２章赤血球②　鉄の代謝　ビタミン･葉酸の代謝	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
5	第２章血小板、白血球	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
6	第３章止血機構①	予習：今まで習った範囲を復習（2 時間）　復習：授業をもとに重要個所を各自整理する（2 時間）	藤原
7	第３章止血機構②	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
8	第４章凝固・線溶系①	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2	藤原

		時間）	
9	第４章凝固・線溶系②	予習:教科書を読んでくる(2 時間)　復習:講義内容を整理し、再確認する（2 時間）	藤原
10	第４章凝固・線溶系③	予習:教科書を読んでくる(2 時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
11	第９章血液検査結果の評価（赤血球系）	予習:教科書を読んでくる(2 時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
12	第９章血液検査結果の評価（白血球系）	予習:教科書を読んでくる(2 時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
13	第９章血液検査結果の評価（造血器腫瘍）	予習:教科書を読んでくる(2 時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
14	第９章血液検査結果の評価（血小板の異常）	予習:教科書を読んでくる(2 時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
15	第９章血液検査結果の評価（凝固・線溶因子の異常）	予習：これまで習った範囲を教科書で確認する（2 時間）　復習：講義内容を整理し、再確認する（2 時間）	藤原
成績評価方法と基準			割合
1.小テスト　〈 DP①〉　2.定期試験　〈 DP①〉　【フィードバック方法】　小テストについては講義内で解答・解説を行います。			1. 20%　2. 80%

授業科目名	血液検査学Ⅱ（検査）				
主担当教員	藤原　牧子		担当教員	藤原　牧子	
科目ナンバリング	SS20BMTB004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

血液検査は、貧血、白血病、凝固異常症などの診断や、炎症の有無、抗凝固療法のモニタリングなど各種疾患のスクリーニング、治療後の効果判定、経過観察などに用いられている。最も一般的に行われる検査であり、正確な検査結果を報告するためには、血液の構成要素について熟知し、検査の原理、異常値の出る要因についての知識を修得することが必要である。血液検査学Ⅱでは血液検査学Ⅰで修得した知識を検査結果の評価と診断への応用、疾患の鑑別に用いる過程について学ぶ。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1.血液検査結果が正しく評価できる 。　2.主要な血液疾患についての知識を習得し、診断に用いられる検査項目を列挙することができる。　〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

血液検査Ⅱでは、より臨床に即した知識を修得します。血液検査学Ⅰ（2 年次前期）が基礎知識として必要であるため、前期の学修内容を含めて毎回予習、復習に努め、知識を積み重ねてください。

教科書

『最新臨床検査学講座　血液検査学　第 3 版』　奈良信雄・東田修二　編/医歯薬出版株式会社

参考書

必要に応じて紹介する

研究室／オフィスアワー

C棟７階職員室　17 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	赤血球系疾患①　血球数算定法(用手・機械)　赤血球数恒数　形態異常	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
2	赤血球系疾患②　貧血・多血症	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
3	赤血球系疾患③　貧血の検査	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
4	赤血球系疾患④	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
5	血小板の異常による出血性素因①　血小板機能検査　偽性血小板減少症	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
6	血小板の異常による出血性素因②　血小板減少・増加症　血小板機能異常症	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
7	凝固・線溶因子の異常①　凝固検査　線溶検査　分子マーカー　血友病　VWD	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2 時間）	藤原
8	凝固・線溶因子の異常②　クロスミキシング試験　循環抗凝血素　DIC APS	予習：教科書を読んでくる（2 時間）　復習：授業をもとに教科書を再確認する（2	藤原

		時間）	
9	血管の異常・血管性紫斑病・血栓性素因　紫斑病　先天性血栓性素因　深部静脈血栓症	予習:教科書を読んでくる(2時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2時間）	藤原
10	凝固・線溶因子の異常	予習:教科書を読んでくる(2時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2時間）	藤原
11	白血球系疾患①　末梢血標本作製法　正常血液像　形態異常　白血球増加･減少症　リンパ球の異常	予習:教科書を読んでくる(2時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2時間）	藤原
12	造血器の疾患①　白血病　FAB 分類　骨髄像　特殊染色	予習:教科書を読んでくる(2時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2時間）	藤原
13	造血器の疾患②　白血病　WHO 分類　細胞表面抗原検査　遺伝子・染色体検査	予習:教科書を読んでくる(2時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2時間）	藤原
14	造血器の疾患③　白血病　WHO 分類　細胞表面抗原検査　遺伝子・染色体検査	予習:教科書を読んでくる(2時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2時間）	藤原
15	造血器の疾患④　慢性骨髄増殖性疾患　骨髄腫	予習:教科書を読んでくる(2時間)　復習:授業をもとに教科書を再確認する（2時間）	藤原
成績評価方法と基準			割合
1.小テスト〈DP①〉　2.定期試験〈DP①〉　【フィードバック方法】　小テストについては講義内で解答・解説を行います。			1. 20%　2. 80%

授業科目名	血液検査学実習（検査）					
主担当教員	藤原　牧子		担当教員	藤原　牧子／野田　大孝		
科目ナンバリング	SS20BMTC005	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限、水曜 3 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

血液検査学Ⅰ、Ⅱで学んだ知識をもとに、実際の血液検査法の臨床的意義について理解を深めながら基本的手技を学ぶ。本実習では、計数学的検査及び形態学的検査、血小板機能検査、止血凝固検査を行い、手技を学ぶとともに測定原理や臨床的意義、アーチファクトの原因について考察する。

学修目標

1．検査目的について説明できる〈DP①〉　2・正しい手技で検査を実施することができる〈DP①〉　3．検査結果について考察することができる〈DP①④〉　4．クラスメートと協力して実習を進めることができる〈DP①②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

予め教科書や動画視聴によって、目的や手順を十分理解して実習に臨んでください。

教科書

血液細胞ノートー形態速習アトラスー　文光堂　【ISBN 978-4-8306-1418-7】　実習手順書（1 回目の授業で配布する）

参考書

『血液検査学第 2 版』奈良信雄他／医歯薬出版株式会社 ISBN 978-4-263-22381-9

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階職員室　17 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習オリエンテーション　血球数目視算定　薄層塗抹標本作製①	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
2	正常血液標本の観察①	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
3	血球数目視算定　薄層塗抹標本作製②	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
4	正常血液標本の観察②	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
5	血沈　ヘマトクリット　赤血球浸透圧抵抗試験　薄層塗抹標本作製②	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
6	血液疾患の標本観察①（末梢血・骨髄）　特殊染色①	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
7	血液疾患の標本観察②（末梢血・骨髄）特殊染色②	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて	藤原　野田

		確認する（2 時間）	
8	血液疾患の標本観察③（末梢血・骨髄）特殊染色③	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
9	血液疾患の標本観察④（末梢血・骨髄）特殊染色④　特殊染色標本の観察①	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
10	特殊染色標本の観察②　血小板粘着能　血小板数算定	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
11	特殊染色標本の観察③　凝固検査①	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
12	血液疾患の標本観察⑤　凝固検査②	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
13	血液疾患の標本観察⑥　凝固検査③	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
14	血液疾患の標本観察⑦　凝固検査④	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：次回実習する内容について手順書と教科書を用いて確認する（2 時間）	藤原　野田
15	総合テスト	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱの講義で学んだ内容を復習する（2 時間）　復習：手順書と教科書を用いて実習内容を振り返る（2 時間）	藤原　野田
成績評価方法と基準			割合
１．実習中の手技確認、総合テスト〈DP①④〉　２．毎回のレポート提出〈DP①④〉　※提出期限・作成方法・評価基準等は授業内で説明します　【フィードバック方法】　必要に応じてコメントを付記して返却する			１．50% ２．50%

授業科目名	病理検査学（検査）				
主担当教員	小林　彩香		担当教員	小林　彩香／川畑　浩久／田路　英作	
科目ナンバリング	SS20BMTC006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

病理検査は、人体から採取された組織や細胞の一部を顕微鏡で観察し、病変の有無や種類、広がりなどを調べるもので、患者の診断や治療方針にも直結する重要な検査の１つである。正しい病理診断には、迅速で誤りのない標本作製が必須であり、標本作製を担当する臨床検査技師の知識・技量が大きく関わる。本講義では、病理検査法の意義、種類、標本作製法などを学び、人体の臓器、組織、細胞の形態と機能の変化を通じて、疾患の原因・成り立ち・経過・転帰を理解する。

学修目標

1.　病理検査の意義と標本作製法が説明できる。　2.　様々な染色法の意義・目的・原理・手技などを説明することができ、病理検査学実習へスムーズに移行できる。　3.　上記の知識を習得し、これを用いて正常形態や病的形態を、肉眼レベル・顕微鏡レベルで判断できる。　DP①

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．人体の構造および人体の構造実習（組織学）を理解しておくこと。　２．項目ごとに小テストを行うので、講義後に教科書をよく読み復習を十分に行うこと。

教科書

著書名：「病理学／病理検査学」　医歯薬出版　出版社　：　医歯薬出版　ISBN-10：4263223640　ISBN-13　：　978-4263223642

参考書

「入門組織学」　南江堂　「臨床検査学入門」　KTC 中央出版　「標準病理学」　医学書院　「シンプル病理学」　南江堂　臨床検査学講座「解剖学」　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

川畑　浩久　　C 棟研究室 707／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階(研究室番号 13)/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　　C 棟 7 階(職員室)／在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病理学的検査の意義（組織検査・細胞診検査の意義と検査)、業務管理、病理解剖について	予習：「人体の構造」「病理学」を復習してくる。　復習：授業内容をノートにまとめる。　（各 2 時間）	小林彩香
2	病理組織標本作製法①　（固定、切り出し、脱脂、脱灰)、組織検査法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
3	病理組織標本作製法②　（包埋、薄切)、凍結切片標本作製法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
4	染色法の一般理論と操作概要	予習：教科書の該当部分を学習してくる。復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
5	ヘマトキシリン・エオジン染色	予習：教科書の該当部分を学習してくる。復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
6	細胞学的検査法①　（意義、処理法)、細胞診検査法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香

7	細胞学的検査法②　（染色、スクリーニング）	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。 （各 2 時間）	小林彩香
8	結合組織の染色法①　（膠原線維）　線維素の染色法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。 （各 2 時間）	小林彩香
9	結合組織の染色法②　（弾性線維、細網線維）	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
10	多糖類、腎糸球体基底膜の染色法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
11	脂質、核酸、アミロイド、組織内無機物質の染色法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
12	生体内色素、内分泌細胞の染色法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
13	組織内病原体、神経組織の染色法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
14	免疫組織化学染色法、遺伝子の染色法（病理遺伝子解析の意義）	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
15	電子顕微鏡標本作製法	予習：教科書の該当部分を学習してくる。 復習：授業内容をノートにまとめる。（各 2 時間）	小林彩香
成績評価方法と基準			割合
1.　授業中に行う小テスト DP①　小テストに対するフィードバック方法：実施後に解答を開示し解説を行う。　2.　定期試験 DP①　出題範囲：講義で扱った範囲（講義内で配布した資料・ワークブックから出題）　出席基準　2/3 以上			1.小テスト 30%　2.定期試験　70%

授業科目名	病理検査学実習（検査）				
主担当教員	小林　彩香		担当教員	小林　彩香／川畑　浩久／田路　英作	
科目ナンバリング	SS20BMTC007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

病理検査学で学習した項目(固定、薄切、HE 染色、特殊染色など)を習得する。標本作製に関した専門的知識の重要性と必要性を理解する。特殊染色と疾患との関連性について学ぶ。

学修目標

１．固定、包埋、薄切～染色までの病理組織学的検査法の一連の流れを説明できる。　２．HE 染色・特殊染色の原理、染色手順、結果を説明できる。　３．観察目的に応じた染色法を選択できる。　実習を通じて、学習したことについて知識と技術の定着を図る。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．実習中は、安全な服装に白衣を着用し長い髪は束ねる。鋭利な刃物、有害な薬品等の使用も多いためケガや事故には十分注意する。諸注意を聞かない状態での途中入室は認めない。(詳細は、事前のオリエンテーションと実習計画書を参照)　２．スケッチは色鉛筆を使用するので持参すること。　３．本実習では、病理検査学の講義内容と関連づけて理解すること。

教科書

１．著書名 :「病理学／病理検査学」　出版社 : 医歯薬出版　ISBN-10 : 4263223640　ISBN-13 : 978-4263223642　２．著書名 : 「入門組織学」　出版社 : 南江堂　ISBN-10 : 4524216170　ISBN-13 : 978-4524216178　３．実習計画書、参考資料、ワークブック（事前に配布する）

参考書

「最新 染色法のすべて」　医歯薬出版　「臨床検査学入門」　KTC 中央出版　「標準病理学」　医学書院

研究室／オフィスアワー

川畑　浩久　　C 棟研究室 707／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階(研究室番号 13)/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　　C 棟 7 階(職員室)／在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	1,2 ガイダンス（実習内容の説明・注意事項)、染色の準備　固定、切り出し、脱灰、脱脂、パラフィン浸透、HE 染色の試薬作成	予習：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習：実習内容をレポートにまとめる。　（２時間）	川畑　浩久 田路　英作 小林　彩香
2	3,4 包埋、薄切、脱パラフィン～HE 染色(検査結果の解析と評価)　細胞学的検査法（検体の観察と処理・保存）パパニコロウ染色、封入	予習：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習：実習内容をレポートにまとめる。　（２時間）	川畑　浩久 田路　英作 小林　彩香
3	5,6 結合組織の染色法（アザン染色、マッソン・トリクローム染色)、検査結果の解析と評価	予習：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習：実習内容をレポートにまとめる。　（２時間）	川畑　浩久 田路　英作 小林　彩香
4	7,8 結合組織の染色法（EVG 染色、渡邉の鍍銀染色)、検査結果の解析と評価	予習：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習：実習内容をレポートにまとめる。　（２時間）	川畑　浩久 田路　英作 小林　彩香
5	9,10 腎糸球体の染色（PAS 反応、PAM 染色)、検査結果の解析と評価	予習：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習：実習内容をレポートにまとめる。　（２時間）	川畑　浩久 田路　英作 小林　彩香
6	11,12 無機物質の染色（ベルリン青染色)、脂肪染色（オイル赤 O 染色)、多糖類染色（アルシアン青染色）　検査結果の解析と評価	予習：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習：実習内容をレポートにまとめる。　（２時間）	川畑　浩久 田路　英作 小林　彩香

7	13,14,15 免疫組織化学染色（酵素抗体法）　検査結果の解析と評価	予習：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習：実習内容をレポートにまとめる。　（２時間）	川畑　浩久 田路　英作 小林　彩香
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
成績評価方法と基準			割合
１．レポート　提出期限：実習内で説明します。出席した実習のレポートは全て提出すること。　フィードバックの方法：レポートは評価後、全て本人に返却する。　２．定期試験　出題範囲：病理検査学の講義、本実習で扱った範囲（ワークブックの内容から出題します）　３．実習での積極性　実習計画書の注意事項を守り、安全に実習できているかを評価します。　注意点：安全上、服装や態度が不適切な者は、実習を退出していただきます。その際、出欠は、「欠席」になります。　服装等の指示は、実習計画書に記載しており、オリエンテーションでも説明します。　DP①④　出席基準　4/5 以上の出席を必要とする。			１．40% ２．50% ３．10%

授業科目名	一般検査学（検査）				
主担当教員	小林　涉		担当教員	小林　涉／小宮山　恭弘／小林　彩香	
科目ナンバリング	SS20BMTB008	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

尿・便・髄液・その他の体腔液検査について学びます。　・臨床検査総論で学んだことをよく復習しておくこと。　・様々な検査の集合です。それぞれの検査同士のつながりは薄い点が、難しく感じるかもしれません。　・顕微鏡検査が多いです。が、スクリーニング検査（正確性よりも迅速性が求められる）であるため、病理学で習った細胞の見方との違いに戸惑うかもしれません。　・例えば、病理学は正常な臓器を固定したキレイな細胞ですが、尿沈渣は脱落し変性した細胞です。また、採取時に様々なゴミが混入します。　・つまり、『何か判別がつきにくい成分』を『(ある程度の正確性で）迅速に分類する』ことが求められます。　　このような一般検査の特色を、一年で習ったことと結びつけながら、実感して頂ければと思います。

学修目標

実習内で別途指示します。　全てに共通した目標は、『自身で説明できること』です。　　特に重要な項目は、　・尿定性試験紙の偽反応を説明できる。　・尿沈渣の主要成分の形態的特徴、出現する疾患を説明できる。　・便 Hb 検査の方法と特徴を説明できる。　・便外観検査を説明できる。　・髄液検査の検査結果と疑われる疾患を説明できる。細胞鑑別ができる。　です。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・実習と同じく、5 分の 4 以上の出席が必須です。　・他の実習のように 2 コマ続きではありません。1 コマで説明と実習を行うため、ちゃんと予習復習を行うこと。　・臨地実習と同等の身だしなみが必要です。　・感染性の検体はほとんどありませんが、『感染性があるもの』として扱います。手袋を着用すること。髪が検体や実験台に触れないように束ねること。手指衛生のためネイルアートは不可。飲食不可。検体や染色液が私物に付着しないよう、白衣を着用し、私物の置き場に注意すること。　　・実習の運用は、進行度に合わせて変更することがあります。

教科書

JAMT 技術教本シリーズ　一般検査学　一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会

参考書

「臨床検査学入門」　KTC 中央出版　「臨床検査法提要」　金原出版

研究室／オフィスアワー

小林涉　研究室/　　直接連絡してください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	顕微鏡の取り扱い方	顕微鏡は、みんなの共用物品で、非常に高価です。　他の学生に迷惑をかけないため、また自身の眼を守るために正しい使い方を学びましょう。	小林　涉/小林彩香
2	尿沈渣（血球）	赤血球、白血球を見分けられるようになりましょう。　他の成分の大きさを測るための、比較対象になります。大きさを修得すること。	小林　涉/小林彩香
3	尿沈渣（円柱）	円柱の鑑別方法、出現する病態について学ぶ。	小林　涉/小林彩香
4	尿沈渣（上皮）	各上皮細胞の鑑別方法、出現する病態について学ぶ	小林　涉/小林彩香
5	尿沈渣（結晶）	各結晶の鑑別方法、出現する病態について学ぶ	小林　涉/小林彩香

6	尿沈渣（その他細胞）	異型細胞、ウイルス感染細胞などの鑑別方法、出現する病態について学ぶ	小林　渉/小林彩香
7	尿沈渣（特殊染色）	尿沈渣の特殊染色について学ぶ。　マイナーなため、手順を覚えるというより、『何のための検査かを記憶する』ための実体験です。　一度でも体験しておくと、現場で直面したときに役に立ちます。	小林　渉/小林彩香
8	便潜血、脂肪染色、外観検査	便潜血、脂肪染色、外観検査について学ぶ。	小林　渉/小林彩香
9	髄液検査（バーチャルスライド）	髄液検査の臨床例を体験し、基礎を学ぶ。	小林　渉/小林彩香
10	髄液検査（サムソン染色）	模擬検体を使用し、髄液検査を実施する。	小林　渉/小林彩香
11	尿試験紙１	様々な偽反応について体験し、整理する。	小林　渉/小林彩香
12	尿試験紙２	様々な偽反応について体験し、整理する。	小林　渉/小林彩香
13	尿沈渣（総まとめ）	実際の報告形式に従い、尿沈渣検査を実施してみます。	小林　渉/小林彩香
14	問題演習	国試問題のうちこれまでの実習内容に則した問題を解いてみます。	小林　渉/小林彩香
15	体腔液（調べ学習）	体腔液検査について調べ、レポートにまとめる。	小林　渉/小林彩香
成績評価方法と基準			割合
１．レポート課題（加点はありませんが、定期試験で重要となる知識をレポート提出させます。また知識が誤っている場合に訂正するための方法としてレポートを用います。）　２．定期試験　３．4/5 以上の出席が必要です。　　実習授業では白衣着用　爪は短く切って長い髪は束ねておくこと　教員が安全に実習ができないと判断する　身だしなみである場合には退席させ欠席とする。			１．0%　２．100%

授業科目名	臨床化学検査学Ⅰ（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司／前田　育宏	
科目ナンバリング	SS20BMTB009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

基本的な臨床化学分析法について解説し、各生体成分の測定原理、疾患との関連について解説する。また、臨床化学分析によって得られるデータから、総合的に病態を理解できるようになり、さらに検査データが疾病の早期発見や治療効果の判定に用いられることを習得する。

学修目標

臨床検査値の臨床的意義を理解できるとともに、生体成分の測定法の原理について学ぶ。病態の変動に伴う検査データから病態を解析できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生化学、人体の構造と機能、生物学の知識が必要なのでこれらの科目と合わせて復習をしておくこと。

教科書

最新 臨床検査学講座臨床化学検査学 第 2 版　医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-22386-4

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

森 誠司研究室/在室であれば随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床化学分析とその意義、単位と標準物質、測定値の管理	予習：教科書による事前学習　復習：教科書を参考にした講義内容確認	前田育宏
2	基準範囲、臨床判断値、生理的変動と測定技術変動	予習：教科書による事前学習　復習：教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
3	臨床化学分析の標準体系、分析法の選択	予習：教科書による事前学習　復習：教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
4	分光光度分析法、クロマトグラフィ	予習：教科書による事前学習　復習：教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
5	電気泳動法、マススペクトロメトリ	予習：教科書による事前学習　復習：教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
6	免疫化学的定量分析法、電気化学分析	予習：教科書による事前学習　復習：教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
7	酵素的分析法、自動分析装置	予習：教科書による事前学習　復習：教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
8	電解質と微量分析の分析法と意義①	予習：当該範囲の教科書を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森 誠司
9	電解質と微量分析の分析と意義②	予習:当該範囲の教科書を読んでくる(2 時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2 時間)	森 誠司
10	糖質及び血糖関連検査の分析と意義	予習:当該範囲の教科書を読んでくる(2 時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2 時間)	森 誠司
11	脂質とリポ蛋白の分析と意義①	予習:当該範囲の教科書を読んでくる(2 時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2 時間)	森 誠司

12	脂質とリポ蛋白の分析と意義②	リン脂質～ケトン体(教科書P168-182予習)	森 誠司
13	蛋白質と蛋白分画の分析と意義	予習：当該範囲の教科書を読んでくる（2時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森 誠司
14	その他蛋白・窒素化合物の分析と意義	予習：当該範囲の教科書を読んでくる（2時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森 誠司
15	非蛋白性窒素化合物の分析と意義	予習：当該範囲の教科書を読んでくる（2時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森 誠司
成績評価方法と基準			割合
第７回までの範囲（担当：前田）とそれ以降（担当：森）に分けて問題は作成され、それぞれの評価の合算を成績とする。			期末試験 100%(DP1)

授業科目名	臨床化学検査学Ⅱ(放射性同位元素学含む)(検査)				
主担当教員	森 誠司		担当教員	森 誠司／前田 育宏	
科目ナンバリング	SS20BMTB010	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床化学分析の標準法とその原理について学修する。分析項目の測定値と疾患との関連性について病態を交えて知識を深める。その基礎から検査データが疾病の早期発見や治療効果判定に用いられることを習得する。また、放射性同位体を用いた各種の検査法について、基礎的事項から安全管理まで学修する。

学修目標

臨床検査値の臨床的意義を理解できるとともに、生体成分の測定法の原理について学修する。疾患の進行に伴う検査データ変化から病態を解析できるようになる。放射線の性質について理解し、医療への応用について説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

国家試験の出題頻度の高い履修科目であり、学修する検査項目も多いため、事前の予習をしっかりと行い準備をすること。

教科書

最新 臨床検査学講座 臨床化学検査学 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22386-4 臨床検査学講座 放射性同位元素検査技術学 第 2 版 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22394-9

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

森 誠司研究室 在室であれば随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	酵素活性分析と意義① AST、ALT	予習：当該部分の教科書を読んでくる（1 時間） 復習：配布資料を参考にまとめる（1 時間）	森 誠司
2	酵素活性分析と意義② LD、CK	予習：当該部分の教科書を読んでくる（1 時間） 復習：配布資料を参考にまとめる（1 時間）	森 誠司
3	酵素活性分析と意義③ ALP、ｇGT、ChE	予習：当該部分の教科書を読んでくる（1 時間） 復習：配布資料を参考にまとめる（1 時間）	森 誠司
4	酵素活性分析と意義④ AMY、Lipase	予習：当該部分の教科書を読んでくる（1 時間） 復習：配布資料を参考にまとめる（1 時間）	森 誠司
5	放射線の性質	予習： 復習：重要事項をノートにまとめる	森 誠司
6	放射線の測定	予習：前回の講義を理解してくる 復習：重要事項をノートにまとめる	森 誠司
7	放射性物質を用いた検体検査法	予習：前回の講義を理解してくる 復習：重要事項をノートにまとめる	森 誠司
8	放射線損傷と細胞応答	予習：前回の講義を理解してくる 復習：重要事項をノートにまとめる	森 誠司
9	放射線の安全取扱法と管理法	予習:前回の講義を理解してくる 復習:重要事項をノートにまとめる	森 誠司
10	骨代謝マーカー分析と意義	予習:教科書による事前学習 復習:教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏

11	肝臓、胆道、膵臓系疾、循環器系および腎臓における疾患と臨床化学検査	予習:教科書による事前学習　復習:教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
12	酸塩基平衡、代謝性疾患と臨床化学検査	予習:教科書による事前学習　復習:教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
13	炎症と腫瘍における臨床化学検査	予習:教科書による事前学習　復習:教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
14	薬物の体内動態と薬物血中濃度測定	予習:教科書による事前学習　復習:教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
15	臨床化学検査のスクリーニング検査結果の病態解釈	予習:教科書による事前学習　復習:教科書を参考にした講義内容確認	前田 育宏
成績評価方法と基準			割合
第 9 回までの範囲（担当：森）とそれ以降（担当：前田）に分けて問題は作成され、それぞれの評価の合算を成績とする。			定期試験 100% DP1

授業科目名	臨床化学検査学実習（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司／関根　将／小林　渉	
科目ナンバリング	SS20BMTC011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限、水曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床化学の検体検査で用いられる器具や機器の取り扱いを習熟する。同時に検体の取り扱い方について学ぶ。また、生体成分の中の代表的な検査法の測定原理を理解し、各生体成分を用手法により測定して測定手技を修得する。さらに、得られた検査結果を病態と関連させて考察する。あわせて薬物などが検査結果に影響を与えることを確認する。レポートの書き方も学修する。

学修目標

（1）検体の取り扱い方、注意点を習得する。　（2）測定法の実技を習得し、測定項目の目的や臨床的意義を理解する。　（3）得られた結果を考察し、レポートとしてまとめる能力を養う。　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1mm 方眼紙、A4 レポート用紙を持参すること。積極的に実習に取り組み、実習レポートは毎回期日までに提出すること。

教科書

配布する実習書及び臨床化学検査学　医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22363-5 C3347

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	分光光度分析の基礎、器具・試薬・検体およびデータの取り扱い方、レポートの書き方	実験手順を再確認する。レポートの書き方を確認する。	森 誠司、関根 将、小林 渉
2	血清グルコースのグルコースオキシダーゼ･ペルオキシダーゼ・色素生成法による測定。検体中のアスコルビン酸のグルコース測定に及ぼす影響。測定法の特異性の確認（フルクトース、ガラクトースによる呈色）。	予習：当該範囲の教科書を読んでくる。事前レポートの作成（2 時間）　復習：レポートにまとめる（2 時間）	森 誠司、関根 将、小林 渉
3	血清尿酸のウリカーゼ・ペルオキシダーゼ・色素生成法による測定。総コレステロールのコレステロールオキシダーゼ・ペルオキシダーゼ・色素生成法コレステロールオキシダーゼ･ペルオキシダーゼ・色素生成法による測定。	予習：当該範囲の教科書を読んでくる。事前レポートの作成（2 時間）　復習：レポートにまとめる（2 時間）	森 誠司、関根 将、小林 渉
4	血清総タンパク質を屈折計法、ビュレット法、電気泳動法で測定。	予習：当該範囲の教科書を読んでくる。事前レポートの作成（2 時間）　復習：レポートにまとめる（2 時間）	森 誠司、関根 将、小林 渉
5	血清乳酸脱水素酵素　(LD) 活性を紫外部吸収法（UV 法）で測定。アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）を紫外部吸収法で測定。	予習：当該範囲の教科書を読んでくる。事前レポートの作成（2 時間）　復習：レポートにまとめる（2 時間）。	森 誠司、関根 将、小林 渉
6	血清クレアチニンをヤッフェ反応直接法で測定。クレアチニンクリアランスを求める。	予習：当該範囲の教科書を読んでくる。事前レポートの作成（2 時間）　復習：レポートにまとめる（2 時間）。	森 誠司、関根 将、小林 渉
7	血清総ビリルビンを Evelyn-Malloy 変法で測定。ドライケミストリーによる検体測定。	予習：当該範囲の教科書を読んでくる。事前レポートの作成（2 時間）　復習：レポートにまとめる（2 時間）	森 誠司、関根 将、小林 渉

8	血清鉄をバソフェナンスロリン直接法で測定。血清アルカリホスファターゼを Kind-King 法で測定。	予習：当該範囲の教科書を読んでくる。事前レポートの作成（2 時間）　復習：レポートにまとめる（2 時間）	森 誠司、関根 将、小林 渉
成績評価方法と基準			割合
各項目ごとにレポートをまとめ期限内に提出すること(DP1,4)。4/5 回以上の出席が必要。			100%

授業科目名	遺伝子検査学（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司	
科目ナンバリング	SS20BMTB012	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

遺伝子検査は分子生物学的解析技術の進歩に伴い、発展の著しい臨床検査の分野である。感染症や血液疾患を中心に一部は日常検査として定着している。講義では実際の遺伝子検査について具体的な検査項目を取り上げ教授する。とくに先進的な医療での応用例なども積極的に紹介し遺伝子検査の可能性を学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

以下の事項を修得する。 1.遺伝子とその発現機構について説明できる。 2.遺伝子の基本的な取扱について説明できる。 3.遺伝子解析法の原理と遺伝子検査の実際を説明できる。 DP1.2

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生物基礎（DNA、遺伝子、ゲノム）に関して理解してくること。また一年次の生物、生化学の核酸についても復習しておくこと。

教科書

最新臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学 第 2 版　ISBN978-4-263-22378-9

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	遺伝子を構成する要素は何か､そして遺伝子が有する機能について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
2	遺伝子の変異と多型について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
3	遺伝の規則性（メンデル遺伝）について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
4	遺伝子の異常が疾患をもたらす仕組みについて学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
5	遺伝子が関連する疾患について学ぶ(遺伝性疾患①)。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
6	遺伝子が関連する疾患について学ぶ(遺伝性疾患②)。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
7	遺伝性疾患の遺伝子検査と原理について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
8	悪性腫瘍の遺伝子検査と原理について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森

9	移植医療における遺伝子検査と原理について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森
10	染色体検査の対象と検査法について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森
11	染色体異常の種類と疾患について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森
12	ファーマコゲノミクスとゲノム医療について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森
13	病原微生物の遺伝子検査について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森
14	核酸検査（遺伝子検査）のために必要な原理と技術について学ぶ（検査前手技）。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森
15	核酸検査（遺伝子検査）のために必要な原理と技術について学ぶ（各種検査と解析）。　遺伝子検査の可能性について学ぶ。	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2時間）	森
成績評価方法と基準			割合
小テストと期末テストの結果で評価する。小テストの回答と解説は講義内で行う。　DP1,2			小テストと期末テストの割合は以下の通り。　1. 20% 2. 80%

授業科目名	遺伝子検査学実習（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司／佐伯　康匠／野田　大孝	
科目ナンバリング	SS20BMTB013	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限、水曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

遺伝子検査学の講義で学んだ知識をもとに基礎的な遺伝子分析技術を修得し、臨床検査への応用に必要な基礎技術を学ぶ。組織から DNA・RNA の抽出を試み、その原理と方法を修得する。制限酵素を利用した DNA の組み換えや形質転換、ポリメラーゼ連鎖反応（PCR 法）による DNA の増幅、電気泳動による遺伝子を分離同定する技術などを修得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

遺伝子検査に必要なサンプルを適切に取扱うことができる。　DNA および RNA の抽出と定量が適切にできる。　PCR 法の原理を理解し実施できる。　核酸の電気泳動ができる。　これら実習を通して遺伝子検査学の基本的な技術を修得し理論を体得することを目標とする。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

手順書を熟読し原理を予習してくること。

教科書

事前に手順書を配布する。

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	組織からの核酸の抽出と定量①	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森
2	組織からの核酸の抽出と定量①	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森
3	PCR 法を用いた多型解析（ARMS 法）	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森
4	PCR 法を用いた多型解析（RFLP 法）	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森
5	遺伝子発現定量、RNA 抽出と逆転写反応・PCR①	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森
6	遺伝子発現定量、RNA 抽出と逆転写反応・PCR②	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森
7	遺伝子組換え実験①	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森
8	遺伝子組換え実験②	予習：実習書を熟読し理解してくること（2 時間）　復習：テーマごとにレポートを作成する（2 時間）	森

9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
成績評価方法と基準			割合
テーマごとにレポートをまとめ期限内に提出する事。　レポートが基準に満たない場合は再試験期間中に筆記試験を課す。　評価について希望があれば開示する。評価法の詳細は実習書に記載がある。　4/5以上の出席が必要。DP①④			レポート 100%

授業科目名	生命工学概論（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司	
科目ナンバリング	SS20BMTB014	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

生命工学は生命が持つ多様な機能を解き明かすことを目指した学問であり、それを利用する技術である。医薬品開発、食品生産、品種改良、環境保全など多くの分野に応用されており、基礎研究を通して新しい生物機能の開発や生理活性物質の探索など人々の生活に活用されることがさらに期待されている。反面バイオハザードの危険性、倫理的な問題もあり医学における生命工学の課題についても学ぶ。将来この分野の知識を生して活躍できるように遺伝子工学、タンパク質工学、細胞工学の基礎的知識と技術を教授する。

学修目標

遺伝子工学でもちいる酵素の特性や使用法を理解する。　遺伝子増幅法の各種応用、および遺伝子組み換え技術とその応用を理解する。　広く産業界で利用されるタンパク質工学、細胞工学の基礎的事項を理解する　遺伝子工学の医療への応用を理解する。
DP①

履修上の注意(学生へのメッセージ)

バイオテクノロジーはさまざまな分野で応用されており発展は目覚ましい、興味ある領域に関しては自ら進んで情報収集をしてほしい。講義ではどの分野であっても理解できる基礎的知識を修得してもらいたい。

教科書

資料等は配布する。

参考書

基礎から学ぶ遺伝子工学　羊土社　理系総合のための生命科学　第３版　東京大学生命科学教科書編集委員会／編

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生物工学の基礎：遺伝子工学イントロ・基礎	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる（1 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
2	生物工学の技術①：クローニング、増殖法	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる　復習：重要事項をノートにまとめる	森
3	生物工学の技術②：遺伝子導入	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる（1 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
4	生物工学の技術③：タンパク質工学	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる（1 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
5	細胞工学①:培養技術、核酸導入（発現量の制御）	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる　復習：重要事項をノートにまとめる	森
6	細胞工学②：培養技術、応用	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる（1 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
7	生殖・発生工学	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる（1 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
8	ゲノム医療・創薬	予習：生化学・遺伝子検査学を復習してくる（1 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森

9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
成績評価方法と基準			割合
期末試験と小試験の結果で評価する。小テストの回答と解説は講義内で行う。　DP①			期末試験と小テストの割合は以下である。　80% 20%

授業科目名	微生物検査学Ⅱ（検査）				
主担当教員	木下　承皓		担当教員	木下　承皓	
科目ナンバリング	SS20BMTB016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

感染症の原因微生物について学習し、その病態と強毒微生物、常在菌、日和見感染菌の関係を理解する。感染症検査に必要な知識と考え方および微生物の病原性・毒素を解説する。　臨床材料から原因微生物を分離・同定をするために必要な顕微鏡観察、培養方法、性状試験と薬剤感受性や耐性菌の考え方を学ぶ。培養・同定検査以外の迅速診断検査（POCT）や検出法についても理解する。また、臨床的に重要なウイルス感染症および真菌（酵母や糸状菌）の病態を学び、補助診断としての検出法を説明する。

学修目標

感染症診断に必要な基本的な微生物検査法（グラム染色、培養、同定、感受性）を理解する。　臨床検査材料から分離される病原微生物の種類と感染症の病態を理解し説明できる。　無菌材料と常在菌が混入する検査材料を理解し、原因微生物を考える。　診断に求められる新たな検査法（遺伝子検査、質量分析法、迅速診断検査、血清学的検査）を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

微生物名は学名で覚える必要があるため、普段から菌種名を書くようにする。　塗抹検査においてグラム染色・抗酸菌染色による細菌分類を理解し説明できる。　培養に用いる培地選択と培養法を理解する。　感染症の診断に必要な微生物検査法の理論と実際を習得する。

教科書

最新　臨床検査学講座　臨床微生物学　医歯薬出版株式会社　編集　松本哲哉

参考書

新・カラーアトラス微生物検査　山中喜代治／編集　医歯薬出版　医科ウイルス学　南山堂　高田賢藏

研究室／オフィスアワー

講義の日、連絡及び問い合わせメール kino@med.kobe-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	感染症・病原微生物の対応と検査法	予習・復習：教科書 p323-339　課題：臨床材料から検査の進め方、各種染色法、分離・選択培地	木下
2	グラム陽性球菌の性状・病原性・検査法	予習：教科書 p107-119　復習：配布資料、ミニテストの確認　課題：ブドウ球菌、連鎖球菌、腸球菌の分類	木下
3	グラム陰性菌の性状･病原性･検査法　グラム陰性桿菌（腸内細菌科）の概要	予習：教科書 p120-126、p127-130　復習：同上、配布資料　課題：ナイセリア、モラクセラ、腸内細菌科	木下
4	グラム陰性桿菌 1 の性状・病原性・検査法	予習：教科書 p131-149　復習：同上、配布資料　課題：腸内細菌科の菌種名と性状理解	木下
5	グラム陰性桿菌 2 の性状・病原性・検査法	予習：教科書 p150-168　復習：同上、配布資料　課題：ビブリオ、エロモナス、ヘモフィルス	木下
6	グラム陽性桿菌 3 の性状・病原性・検査法	予習：教科書 p169-183　復習：同上、配布資料　課題：ブドウ糖非発酵菌、レジオネラ	木下
7	グラム陰性らせん菌の性状･病原性･検査法　グラム陽性桿菌の性状・病原性・検査法	予習：教科書 184-196　復習：同上、配布資料　課題：微好気性菌、バチルス、リス	木下

		テリア、コリネバクテリウム	
8	抗酸菌の性状・病原性・検査法	予習：教科書 p197-207　復習：同上、配布資料　課題：結核菌、ノカルジア	木下
9	偏性嫌気性菌の性状・病原性・検査法	予習：教科書 p208-231　復習：同上、配布資料　課題:クロストリジウム、バクテロイデス、フゾバクテリウム、グラム陽性球菌	木下
10	その他細菌の性状・病原性・検査法	予習：教科書 p232-249　復習：同上、配布資料　課題：マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、ボレリア、スピロヘータ	木下
11	真菌の分類および病原性・検査法	予習：教科書 p250-280　復習：同上、配布資料　課題:輸入真菌症、皮膚糸状菌、酵母・糸状菌、同定、β-D グルカン	木下
12	ウイルス学総論（構造・形態・分類）　ウイルスの各論（DNA ウイルス）	予習：教科書 p282-296　復習：同上、配布資料　課題:病態、抗ウイルス薬、ヘルペスウイルス	木下
13	ウイルスの各論（RNA ウイルス 1）	予習：教科書 p297-306　復習：同上、配布資料　課題：インフルエンザウイルス、麻疹・水痘・風疹・ムンプスウイルス	木下
14	ウイルスの各論（RNA ウイルス 2）	予習：教科書 p306-315　復習：同上、配布資料　課題：HIV、肝炎ウイルス	木下
15	臨床検査材料の採取･取り扱いと病原微生物の分離法・同定	予習：教科書 p340-359　復習：同上、配布資料　課題:血液･髄液、腸管感染症、尿路･泌尿器培養、上気道･下気道等の培養法と考え方	木下
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験：70%　2. 小テスト：30%			1. 70%　2. 30%

授業科目名	微生物検査学実習（検査）				
主担当教員	木下　承皓		担当教員	木下　承皓／佐伯　康匠／松尾　明彦	
科目ナンバリング	SS20BMTB017	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

実習を通じて感染症の原因となる微生物について学び、微生物検査を行うのに必要な知識を理解する。臨床検査材料の取扱者が感染しないことや周囲環境の汚染を起こさないように消毒・殺菌および標準予防策を学ぶ。　細菌を中心とした微生物の基本的な取り扱い方法と無菌操作、標本作成法と顕微鏡観察、培養・同定法、薬剤感受性法の理論と手技を学び習得する。

学修目標

感染症診断に必要である基本的な微生物検査法の考え方を理解する。　実習を通して無菌操作、顕微鏡観察法、分離・同定法、薬剤感受性検査法を習得する。　各種染色法により細菌・真菌を推定できるようにする。DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

日頃から健康状態に注意すること。　自己の感染防御に注意するとともに疑義があるときは個人で判断せずに教官に申し出ること。　環境汚染や取り扱いで事故等がある場合は必ず教官等に連絡して対処すること。　実習レポートは実際に行った方法（培地・試薬）・結果・考察などを記載し、できる限り実習後直ちに提出すること。

教科書

最新　臨床検査学講座　臨床微生物学　医歯薬出版株式会社　編集　松本哲哉

参考書

新・カラーアトラス微生物検査　山中喜代治／編集　医歯薬出版　JAMT「臨床微生物検査技術教本」　丸善出版

研究室／オフィスアワー

講義の日、連絡及び問い合わせメール kino@med.kobe-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習ガイダンスと器材の取り扱い	無菌操作、器材の取り扱い、培地調整、消毒と滅菌、標準予防策（手洗い、手袋、マスク、エプロンなど）	木下
2	環境検査、手指の検査　培地作成、各種培養法	培地接種、釣菌法、菌数定量、培養法　培地の取り扱い（手指検査用寒天培地、血液寒天培地、チョコレート寒天培地、選択培地）	木下
3	塗抹標本作製とグラム染色法	標準菌株（GPC,GNR）等の標本作成　グラム染色、芽胞染色	木下
4	顕微鏡による観察・発育集落観察	グラム染色、芽胞染色、生鮮標本（運動性）	木下
5	グラム陽性球菌の分離・同定	ブドウ球菌、連鎖球菌、腸球菌の性状試験	木下
6	グラム陰性桿菌の培地選択・集落観察	腸内細菌、ブドウ糖非発酵菌の分離	木下
7	グラム陰性桿菌の分離・同定	腸内細菌、ブドウ糖非発酵菌の同定	木下
8	腸管感染症の毒素検査と O 抗原検査	大腸菌、赤痢菌、サルモネラ、ビブリオ	木下
9	その他グラム陰性菌の分離・集落観察・同定	ヘモフィルス、リステリア、ナイセリア	木下
10	嫌気培養・微好気培養法	バクテロイデス、クロストリジウムの培養（BBE 寒天培地、HK 半流動寒天培地、CCMA 寒天培地)、キャンピロバクターの培養（ス	木下

		キロー寒天培地）	
11	薬剤感受性試験 1、ディスク拡散法	同定およびディスク拡散法の実施・判定、抗菌薬の選定	木下
12	薬剤感受性試験 2、MIC 法	MIC 測定、同定感受性の判定、耐性菌の簡易鑑別（MRSA、ESBL、CPE、MDRP/A）	木下
13	抗酸菌の染色と培地観察、真菌培養	チールネルセン染色法・鏡検、小川培地、スライド培養	木下
14	真菌の分離培養､集落およびスライド培養標本の観察	サブローデキストロース寒天（平板・斜面）酵母、皮膚糸状菌、アスペルギルス	木下
15	迅速診断検査法とまとめ	尿中抗原､各種ウイルス検査（イムノクロマトグラフィー）	木下
成績評価方法と基準			割合
1. 実習試験：30%　2. 実技・レポート：70%　DP①④			1. 50%　2. 50%

授業科目名	寄生虫検査学（検査）					
主担当教員	関根　将		担当教員	関根　将／松尾　明彦		
科目ナンバリング	SS20BMTC018	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

寄生虫の生活史およびそれらが引き起こす病気について理解する。　さらに検体中から寄生虫を検出する方法を習得する。

学修目標

寄生虫の生活史を通じてヒトへの感染経路や寄生部位を理解し、病態や検査値の変化、治療方法について他職種へ説明・助言できるようにする。　寄生虫検査法である糞便検査法や血液検査法などを習得し、検出した寄生虫の特徴的な形態を観察することによってこれら寄生虫を鑑別し同定できるようにする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

空欄を含む資料を事前に配布するので教科書を参考に、当てはまる単語を予習しておくこと。　実習の一部は補講にて対応予定である。詳細は第 1 回の講義時に説明する。　実習では教科書、白衣、色鉛筆、その他必要に応じて各種資料を持参すること。

教科書

寄生虫学テキスト 第 4 版 文光堂

参考書

図説人体寄生虫学 改定 10 版　医動物学第２版、平山謙二、医歯薬出版株式会社

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階教員室　在籍であれば随時対応する。月曜は外部研修日のため不在。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	寄生虫総論（配布資料 P.1~11）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。予習・復習は各 2 時間とする。	関根
2	原虫類①（配布資料 P.12~23）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。原虫類の総論を見返しておく。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。　予習・復習は各 2 時間とする。	関根
3	原虫類②（配布資料 P.24~37）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。原虫類の総論を見返しておく。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。　予習・復習は各 2 時間とする。	関根
4	線虫類①（配布資料 P.38~51）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。線虫類の総論を見返しておく。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。　予習・復習は各 2 時間とする。	関根
5	原虫類①（配布資料 P.52~65）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。線虫類の総論を見返しておく。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。　予習・復習は各 2 時間とする。	関根

6	吸虫類（配布資料 P.66~77）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。吸虫類の総論を見返しておく。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。　予習・復習は各 2 時間とする。	関根
7	条虫類（配布資料 P.78~89）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。条虫類の総論を見返しておく。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。　予習・復習は各 2 時間とする。	関根
8	中間テスト / 衛生動物、寄生虫検査法（配布資料 P.90~98）	予習：教科書を参考に配布資料内容を確認する。　復習：講義の内容を含め、資料内容の理解及び適宜必要事項の追加を行う。予習・復習は各 2 時間とする。	関根
成績評価方法と基準			割合
① 中間テスト　② 定期試験　※ 4/5 回以上の出席がなければ定期試験の受験資格を喪失する。　それぞれの試験範囲及び内容については講義内で説明を行う。			① 30%　② 70%

授業科目名	免疫検査学実習（検査）				
主担当教員	関根　将		担当教員	関根　将／小林　渉／松尾　明彦	
科目ナンバリング	SS20BMTC021	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限、金曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

免疫検査学の座学でで学修した免疫の仕組みと生体防御、免疫と疾患の関わり、免疫学的検査法の知識を基に試験管内での抗原抗体反応をはじめとする免疫検査法について理解を深める。　実習する検査法の測定原理と検査手技を修得し、各実習について検査結果の解析と評価ができるようになる。

学修目標

1. 各測定法の原理を理解し説明できる。　2. 分析時に適切なピペット操作を行うことができる。　3. 分析機器等の適切な取り扱いができる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習を通して免疫検査学について、より理解を深め検体検査全般に関連する免疫学の重要性を認識する。　実習は限られた時間内で行うため、共同実験者とのコミュニケーションを図り、疑問点はそのままにせずに１つ１つ丁寧に理解できるよう心掛ける。　予習・復習は 2 時間ずつ行う。

教科書

実習書を配布する。　適宜、免疫検査学で購入した教科書を参照すること。

参考書

臨床免疫検査 技術教本　丸善出版

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階教員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習　：実習で行う内容について確認を行う。　復習：検体の取り扱い方や実習の注意事項について確認する。	関根　将　小林　渉　松尾　明彦
2	ELISA 法 ①	予習　：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。　復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根　将　小林　渉　松尾　明彦
3	ELISA 法 ②	予習　：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。　復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根　将　小林　渉　松尾　明彦
4	梅毒検査 ①	予習　：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。　復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根　将　小林　渉　松尾　明彦
5	梅毒検査 ②	予習　：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。　復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根　将　小林　渉　松尾　明彦
6	抗核抗体検査 ①	予習　：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。　復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根　将　小林　渉　松尾　明彦
7	抗核抗体検査 ②	予習　：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。　復	関根　将　小林　渉　松尾

		習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	明彦
8	CH50 の測定 ①	予習 ：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。 復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
9	CH50 の測定 ②	予習 ：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。 復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
10	自動分析器での CRP 測定 ①	予習 ：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。 復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
11	自動分析器での CRP 測定 ②	予習 ：実習内容について、予習レポート（目的・方法・対象）を作成する。 復習：テーマ毎にレポート（結果、考察、結語）を作成し提出する。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
12	実習内容の発表 ①	予習 ：各班が担当する内容について資料を作成する。 復習：他の班の発表を聞き、レポートにまとめる。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
13	実習発表の内容 ②	予習 ：各班が担当する内容について資料を作成する。 復習：他の班の発表を聞き、レポートにまとめる。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
14	免疫電気泳動	予習 ：実習内容について、予習し手技や対象となる疾患について理解を深める。 復習：結果の読み方や病気の判定について実習で得られた知見をまとめる。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
15	まとめ	予習 ：これまでに行った実習及び発表内容について確認を行う。 復習：まとめの内容を含むようにし、上記の予習資料の充実を図る。	関根 将 小林 渉 松尾 明彦
成績評価方法と基準			割合
出席基準：4/5 以上 テーマごとにレポートを作成する。 実習への参加およびレポートの提出をもって出席を認める。 成績評価は発表内容と定期試験で行う。 実習時は白衣を着用し、足の甲を覆い、かつ踵を固定できる靴を着用すること。 また髪が長い場合には邪魔にならないよう纏めること。 上記注意点が守られない場合には退出を命じ、当日は欠席したものとして扱う。 DP①④			発表内容: 20% 定期試験: 80%

授業科目名	輸血･移植検査学実習（検査）					
主担当教員	佐伯　康匠			担当教員	佐伯　康匠／松尾　明彦	
科目ナンバリング	SS20BMTC023	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

輸血を安全に実施するために最低限必要な基本的な技術の習得、および検査結果の解析と評価が行えるように、血液型検査、赤血球不規則抗体検査、交差適合試験と適合血の選択、間接抗グロブリン試験、直接抗グロブリン試験などについて実習する。

学修目標

安全な輸血療法を実施するために下記の項目について実習することで、輸血検査に関する正しい知識を得ること、基本的な技術を習得できることを目標とする。　各実習時に検査結果を発表し、レポートを作成することで検査結果の解釈、説明、評価ができることを目標とする。　実習項目は ABO, RhD 血液型検査、抗体価の測定、赤血球不規則抗体検査、交差適合試験と適合血の選択、直接抗グロブリン試験および直接抗グロブリン試験陽性時の精査（抗体の解離および感作抗体の特異性の確認）とする。〈DP①②④〉

履修上の注意（学生へのメッセージ）

予習：輸血・移植検査学の講義資料・実習資料に目を通す　復習：レポート作成を通じて検査の目的、検査原理、技術、結果の解釈について理解する。

教科書

臨床検査学講座　免疫検査学（医歯薬出版株式会社）、輸血・移植検査学講義での配布資料、輸血・移植検査学実習時の配布資料

参考書

臨床検査学講座　免疫検査学（医歯薬出版株式会社）　輸血・移植検査技術教本（一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会）

研究室／オフィスアワー

キャナルポート 7 階教職員室および 6 階実習室／火・木・金曜日随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	輸血検査の流れ、検体に関する注意点、試薬・器具の取り扱い方、その他実習時における注意点 ABO 血液型検査、RhＤ血液型検査 ①　試験管法、スライド法（ABO 血液型オモテ検査のみ）	予習：講義資料および配布資料に目を通しておくこと　復習：レポート作成を通して、実習内容を理解する。	佐伯　康匠 松尾　明彦
2	ABO 血液型検査、RhＤ血液型検査 ②　カラム凝集法、試験管法　ABO オモテ検査・ウラ検査不一致時の精査、吸着解離試験　RhD 陰性確認試験（間接抗グロブリン法）	予習：講義資料および配布資料に目を通しておくこと　復習：レポート作成を通して、実習内容を理解する。	佐伯　康匠 松尾　明彦
3	抗体価の測定。 凝集抑制試験による唾液中の血液型物質の測定　赤血球不規則抗体検査（消去法のシミュレーション）	予習：講義資料および配布資料に目を通しておくこと　復習：レポート作成を通して、実習内容を理解する。	佐伯　康匠 松尾　明彦
4	赤血球不規則抗体検査（不規則抗体スクリーニング検査、不規則抗体同定検査）　試験管法（生理食塩液法、間接抗グロブリン法）、カラム凝集法（間接抗グロブリン法）	予習：講義資料および配布資料に目を通しておくこと　復習：レポート作成を通して、実習内容を理解する。	佐伯　康匠 松尾　明彦
5	交差適合試験と適合血の選択	予習：講義資料および配布資料に目を通しておくこと　復習：レポート作成を通して、実習内容を理解する。	佐伯　康匠 松尾　明彦
6	直接抗グロブリン試験　直接抗グロブリン試験陽性時の精査　直接抗グロブリン試験陽性検体からの感作抗体の解離、解離液中の抗体特異性	予習：講義資料および配布資料に目を通しておくこと　復習：レポート作成を通して、実習内容を理解する。	佐伯　康匠 松尾　明彦

	の決定		
7	実技試験　　ABO,RhD 血液型検査　　不規則抗体検査　　交差適合試験と適合血の選択　　検査結果報告書の作成	輸血検査の流れ、検査内容、特に血液型、赤血球不規則抗体検査、交差適合試験、適合血の選択、報告書の作成について理解しておくこと。	佐伯　　康匠 松尾　明彦
8	輸血･移植検査学実習のまとめ　　実習内容の復習と確認	輸血・移植検査実習のまとめ	佐伯　康匠 松尾　明彦
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
成績評価方法と基準			割合
①定期試験　②レポート点、実技試験			①70% ②30%

授業科目名	生理機能検査学Ⅱ（検査）					
主担当教員	小宮山　恭弘		担当教員	小宮山　恭弘		
科目ナンバリング	SS20BMTB025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

生理機能検査学Ⅰでの学修内容をベースに、各々の検査での異常所見について学修を深める。検査所見の特徴とそこから予測される疾患を学修する。　内容は、循環器系検査（各種異常心電図、各種異常心音図、脈波伝搬速度、足関節上腕血圧比)、神経・筋機能検査（脳波、針筋電図、神経伝導検査、脳幹誘発脳波（術中生体情報モニタリング含む)、精密呼吸機能検査（機能的残気量・クロージングボリューム・DLco)、終夜睡眠ポリグラフ検査、動脈血ガス分析、磁気共鳴画像法（MRI)などの諸検査について、測定意義（検査目的）や注意点、検査にあたっての安全・感染対策について学修する。　これらの生理学的検査を通して、臨床検査技師の役割、病院の外来・病棟・手術室などにおける検査の多様なニーズについても学修する。　さらに、臨床現場で起こりうる患者急変時（パニック値）での対応法についても教授する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

循環器・呼吸器・神経生理・その他検査での測定原理・基本的な検査手技を学修する。　各検査での、異常所見と疾患名の紐付けが行えるように系統的に学習する。　1. 生理機能検査業務での患者対応、患者心理を理解する。　2. 異常心電図（頻脈性・徐脈性不整脈）の臨床的意義を理解する。　3. 異常心電図（心筋疾患）の臨床的意義を理解する。運動負荷心電図の負荷量の決定方法、陽性（異常）判定基準を理解する。　4. ホルター心電図と安静時 12 誘導心電図法との違い、ホルター心電図検査の適応疾患を理解する。　5. 脈波伝搬速度、足関節上腕

履修上の注意(学生へのメッセージ)

異常所見を見る際に重要なことは、基本的知識がきちんと整理できているかが重要となる。　正常所見をしっかり学修した上で、どこに違いがあり、なぜ違いが生じるかを学んで欲しい。　検査目的（検査意義）はもちろん、各種検査の異常から予想される疾患とその特徴をきちんと理解し、　正しい検査結果の解釈法を学ぶことで臨床側の多様なニーズに応える臨床検査技師を目指して欲しい。

教科書

JAMT　技術教本シリーズ循環器機能検査技術教本　　じほう社　JAMT　技術教本シリーズ呼吸機能検査技術教本　　じほう社　JAMT 技術教本シリーズ神経生理検査技術教本　　じほう社

参考書

適時プリント配布し補足する　15 回目講義はインターネット情報などを閲覧する

研究室／オフィスアワー

脇　英彦研究室　（月）16：30～17：30　（火）16：30～17：30　小宮山　恭弘研究室　（月）16：30～17：30　（火）16：30～17：30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	異常心電図　　頻脈性不整脈①	期外収縮について調べておく。	脇　小宮山
2	異常心電図　徐脈性不整脈②	人工ペースメーカーについて調べておく。	脇　小宮山
3	異常心電図　伝導異常	伝導障害について調べる	脇　小宮山
4	異常心電図　虚血性心疾患	急性心筋梗塞について調べておく。	脇　小宮山
5	負荷心電図　マスター2 段階負荷心電図　トレッドミル心電図　ホルター心電図	発作性心房細動、異形（安静時）狭心症について調べておく。	脇　小宮山

6	精密呼吸機能検査（機能的残気量・クロージングボリューム・DLco）	肺での拡散について調べておく。	脇　小宮山
7	異常心音図　脈波伝搬速度	収縮期雑音・拡張期雑音　脈波について調べる	脇　小宮山
8	動脈硬化と脈管系検査　足関節上腕血圧比(ABI)	PAD（下肢動脈閉塞性疾患）について調べる	脇　小宮山
9	異常脳波　①　てんかん	てんかんの種類を調べる	脇　小宮山
10	異常脳波　②　代謝性疾患　ウイルス感染等が原因の異常脳波	プリオンについて調べておく。	脇　小宮山
11	異常筋電図　　脳幹誘発反応　（ABR　SEP(術中モニタリング含む）VEP　事象関連電位（P-300）認知機能検査（認知症の検査）	脳幹の働きと大脳の部位別役割について調べる	脇　小宮山
12	異常筋電図　針筋電図	筋原性疾患と神経原性疾患について調べておく。	脇　小宮山
13	睡眠呼吸検査　中枢型・閉塞型・混合型　低呼吸	睡眠時無呼吸症候群について調べる	脇　小宮山
14	眼底検査　　光トポグラフィー検査	高血圧症・糖尿病での眼底所見について理解する。緑内障の眼底所見特徴について調べる	脇　小宮山
15	味覚検査・嗅覚検査・聴力検査	味覚異常・臭覚異常について調べる	脇　小宮山
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト　30 点　　2 講義目より前回の授業範囲の重要部分について小テストを実施。　　解説を行い前回授業の習熟度のチェックを行う。　2. 定期試験　70 点			1. 30%　2. 70%

授業科目名	生理機能検査学実習Ⅰ（検査）					
主担当教員	小宮山　恭弘		担当教員	小宮山　恭弘／脇　英彦／田上　展子		
科目ナンバリング	SS20BMTB026	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

生理機能検査学Ⅰ　Ⅱでの学修内容をベースに、各種機器の特徴やその取扱い、医療現場における多様なニーズについて学修する。　検査時の患者対応と注意点（患者プライバシー保護）、安全に検査を実施するための方法・感染症対策について学修する。　内容は、循環器系検査（安静心電図、マスター負荷心電図）、神経・筋機能検査（脳波、神経伝導検査）について、機器の設定や　検査方法を模擬患者（学生同士）を用いて実践する。　これらの生理学的検査を通して、臨床検査技師の役割、病院の外来・病棟・手術室などにおける検査の多様なニーズについても学修する。　さらに、臨床現場で起こりうる患者急変時（パニック値）での対応法についても教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

生理機能検査の手技　機器の取り扱いの習得を目指す〈DP①④〉　①患者プライバシーに配慮した、患者対応について説明できる。②安静時心電図の測定方法と心電図機器の機器規格や安全対策方法を説明できる。。四肢誘導・胸部誘導電極を装着できる。　アーチファクトの種類とその対応方法を説明できる。　③マスター負荷心電図を測定できる。検査の禁忌を説明できる。　④神経伝導速度検査の測定方法が説明できる。　⑤脳幹誘発反応検査の電極位置を説明できる。　⑥脈波伝搬速度　足関節上腕血圧比の測定方法を説明できる。　アーチファクト

履修上の注意(学生へのメッセージ)

心電図　呼吸機能　脳波　筋電図　脈波伝搬速度の検査手技　検査意義について事前に学習のこと　実習時には白衣着用のこと　爪は短くしマニュキア類は塗らないこと　長髪の場合、髪は束ねること　　教員が実習実施に際し安全に行えないと判断した場合は途中退席として欠席とする。

教科書

JAMT 技術教本シリーズ　循環器機能検査　JAMT 技術教本シリーズ　呼吸機能検査　JAMT 技術教本シリーズ　神経生理検査

参考書

適時資料配布

研究室／オフィスアワー

木曜日１８時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心電図検査 1	患者呼び込み　心電図誘導法について学ぶ	小宮山　脇
2	心電図検査 2	心電図誘導法（復習）　心電図アーチファクトについて学ぶ	小宮山　脇
3	心電図検査 3	心電図誘導（復習）心電図ファイリングシステムについて学ぶ	小宮山　脇
4	心電図検査 4	四肢誘導　胸部誘導の手技について実技試験を行う	小宮山　脇 田上
5	呼吸機能 1	患者呼び込み　肺活量測定法について学ぶ	小宮山　脇
6	呼吸機能 2	肺活量測定法について学ぶ(復習)　努力性肺活量について学ぶ	小宮山　脇
7	呼吸機能 3	肺活量及び努力性肺活量測定時のデータ妥当性についての検証方法を学ぶ	小宮山　脇

8	呼吸機能 4	肺活量測定手技において実技試験を行う	小宮山　脇
9	呼吸機能 5	努力性肺活量測定手技について実技試験を行う	小宮山　脇
10	脈波伝搬速度　足関節上腕血圧比	脈波伝搬速度　足関節上腕血圧比　測定手技を学ぶ	小宮山　脇
11	脳波 1	CZ　A1　A2　FP1　FP2　O1　O2　T3　T4 の各電極位置を予習しておく	小宮山　脇
12	脳波 2	前回授業で習得した電極位置に加え、F7 F8　T5　T6　の電極位置について予習しておく	小宮山　脇
13	脳波 3(総合)	前回授業で習得した電極位置に加え、F3 F4 C3　C4　P3　P4 の電極位置を予習しておくこと	小宮山　脇
14	神経伝導速度検査	運動神経 NCS について予習しておく	小宮山　脇
15	ホルター心電図解析	不整脈について予習しておく	小宮山　脇
成績評価方法と基準			割合
心電図及び呼吸機能実技試験　20%　　実技試験にて授業の習熟度についてのチェックを行う。 定期試験　70%　　レポートの提出　10%　4/5 以上の出席を要する　〈DP①④〉　　実習時には白衣着用のこと　爪は短くしマニュキア類は塗らないこと　長髪の場合、髪は束ねること　　教員が実習実施に際し安全に行えないと判断した場合は途中退席として欠席とする。			実技 20　レポート 10　試験 70

授業科目名	生理機能検査学実習Ⅱ（検査）					
主担当教員	小宮山　恭弘		担当教員	小宮山　恭弘／脇　英彦／田上　展子		
科目ナンバリング	SS20BMTB027	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

生理機能検査学Ⅰ　Ⅱでの学修内容をベースに、各種機器の特徴やその取扱い、医療現場における多様なニーズについて学修する。　検査時の患者対応と注意点（患者プライバシー保護）、安全に検査を実施するための方法・感染症対策について学修する。　内容は、循環器系検査（血圧・脈波、マスター負荷心電図　CVR-R 検査　ホルター心電図）、神経生理検査（腱反射・脳波賦活、神経伝導検査、脳波賦活検査）味覚・嗅覚検査、サーモグラフィ検査、MRI について、機器の設定や検査方法を模擬患者（学生同士）を用いて実践する。　これらの生理学的検査を通して、臨床検査技師の役割、病院の外来・病棟・手術室などにおける検査の多様なニーズについても学修する。　さらに、臨床現場で起こりうる患者急変時（パニック値）での対応法についても教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

生理機能検査の手技　機器の取り扱いの習得を目指す〈DP①④〉　①患者プライバシーに配慮した、患者対応について説明できる。②血圧測定　脈波測定の方法を説明できる。　③マスター負荷心電図を測定できる。検査の禁忌を説明できる。24 時間ホルター心電図の電極装着ができる。　④神経腱反射の方法が説明できる。　⑤味覚検査、嗅覚検査について説明できる。　⑥脈波伝搬速度　足関節上腕血圧比の測定方法を説明できる。　アーチファクトの種類とその対応方法を説明できる。　⑦脳波賦活法について説明できる。　⑧サーモグラフィ検査につ

履修上の注意(学生へのメッセージ)

心電図　呼吸機能　脳波　筋電図　脈波伝搬速度の検査手技　検査意義について事前に予習をして臨むこと　実習時には白衣着用のこと　爪は短くしマニュキア類は塗らないこと　長髪の場合、髪は束ねること　教員が実習実施に際し安全に行えないと判断した場合は途中退席として欠席とする。

教科書

JAMT 技術教本シリーズ　循環器機能検査　JAMT 技術教本シリーズ　呼吸機能検査　JAMT 技術教本シリーズ　神経生理検査

参考書

適時資料配布

研究室／オフィスアワー

木曜日１８時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	血圧測定　脈波測定①	血圧測定　脈波検査法について予習しておく	小宮山　脇
2	血圧測定　脈波測定②	血圧測定　脈波検査法について予習しておく	小宮山　脇
3	マスター負荷心電図　CV-Ｒ－Ｒ検査①	マスター負荷心電図　CV-Ｒ－Ｒ検査について予習しておく	小宮山　脇
4	マスター負荷心電図　CV-Ｒ－Ｒ検査②	マスター負荷心電図　CV-Ｒ－Ｒ検査ついて予習しておく	小宮山　脇 田上
5	24 時間ホルター心電図	ホルター心電図誘導法について予習しておく	小宮山　脇
6	腱反射測定	腱反射について予習しておく	小宮山　脇

7	脈波伝搬速度　足関節上腕血圧比測定	脈波伝搬速度　足関節上腕血圧比について予習しておく	小宮山　脇
8	味覚検査　嗅覚検査について学ぶ	味覚検査　嗅覚検査について予習しておく	小宮山　脇
9	MRI 検査について	MRI の測定原理について予習しておく	小宮山　脇
10	超音波検査の物理特性	超音波検査の測定法について予習しておく。	小宮山　脇
11	造影超音波検査（造影剤投与）	造影超音波検査について予習しておく	小宮山　脇
12	MRI　サーモグラフィ検査　脳波賦活検査　①	MRI　サーモグラフィ検査　脳波賦活検査ついて予習しておく	小宮山　脇
13	MRI　サーモグラフィ検査　脳波賦活検査　②	MRI　サーモグラフィ検査　脳波賦活検査について予習しておくこと	小宮山　脇
14	MRI　サーモグラフィ検査　脳波賦活検査　③	MRI　サーモグラフィ検査　脳波賦活検査ついて予習しておく	小宮山　脇
15	1-14　総復習	1-14 授業内容について復習しておく	小宮山　脇
成績評価方法と基準			割合
レポート　30%　　レポートにて授業の習熟度についてのチェックを行う。 定期試験　70%　　4/5 以上の出席を要する　〈DP①④〉　　実習時には白衣着用のこと　爪は短くしマニュキア類は塗らないこと　長髪の場合、髪は束ねること　　教員が実習実施に際し安全に行えないと判断した場合は途中退席として欠席とする。			レポート 30 試験 70

授業科目名	画像検査学（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小宮山　恭弘	
科目ナンバリング	SS20BMTC028	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限、金曜 4 限、金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

画像検査学では、診療・治療等で広く行われている画像診断技術について学修する。主に画像検査装置の原理、手順、測定方法、データ管理・保存の方法、安全対策、画像所見判読を学修する。臨床検査技師が業務として行える生理検査は限られている。しかし、医療現場の画像診断は、多くの方法で得られた画像と生化学検査を総合的に判断する能力が必要とされている。症例から得られた各種画像検査と血液検査の結果から考えられる疾患と病態について学修する。

学修目標

超音波検査、MRI 等の画像の基礎的知識を習得し、実症例画像を判読する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

診療の実践で行われている画像診断を模擬経験し、病院で行われている診断・治療の内容を理解できるように心がける。

教科書

生理機能検査学　東條尚子 他　医歯薬出版　ISBN978-4-263-22310-0 C3347

参考書

生理機能検査学（第２版）　医歯薬出版　ISBN　978-4-263-22385-7　C3347

研究室／オフィスアワー

脇　英彦研究室　（月）16：30～17：30　（火）16：30～17：30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	MRI 検査の原理と造影剤の種類	MRI の原理を調べる。(2 時間)	脇英彦
2	超音波検査の基本的解剖構造（循環器）	循環器の解剖学的構造を調べる。(2 時間)	脇英彦
3	超音波検査の基本的解剖構造（肝胆膵）	肝胆膵の解剖学的構造を調べる。(2 時間)	脇英彦
4	超音波検査の基本的解剖構造（表在臓器）	乳腺、甲状腺の解剖学的構造を調べる。(2 時間)	脇英彦
5	画像診断　症例分析 1　（循環器）	提示症例の疾病について予習・復習する。(2 時間)	脇英彦
6	画像診断　症例分析 2　（循環器）	提示症例の疾病について予習・復習する。(2 時間)	脇英彦
7	画像診断　症例分析 3　（循環器）	提示症例の疾病について予習・復習する。(2 時間)	脇英彦
8	画像診断　症例分析 4　（循環器）	提示症例の疾病について予習・復習する。(2 時間)	脇英彦
9	画像診断　症例分析 5　（循環器）	提示症例の疾病について予習･復習する。(2 時間)	脇英彦
10	画像診断　症例分析 1　（肝胆膵）	提示症例の疾病について予習･復習する。(2 時間)	脇英彦
11	画像診断　症例分析 2　（肝胆膵）	提示症例の疾病について予習･復習する。(2 時間)	脇英彦
12	画像診断　症例分析 3　（肝胆膵）	提示症例の疾病について予習･復習する。(2 時間)	脇英彦

13	画像診断　症例分析 4　（肝胆膵）	提示症例の疾病について予習・復習する。(2時間)	脇英彦
14	画像診断　症例分析 1　（表在臓器）	提示症例の疾病について予習・復習する。(2時間)	脇英彦
15	画像診断　症例分析 2　（表在臓器）	提示症例の疾病について予習・復習する。(2時間)	脇英彦
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト　2.定期試験　フィードバック：低解答率問題の解説を行う。定期試験の返却はなし。			1. 小テスト 20%　2.定期試験　80%

授業科目名	超音波検査学Ⅰ（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小宮山　恭弘／田上　展子	
科目ナンバリング	SS20BMTC029	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

心臓超音波検査及び血管（頚動脈・下肢静脈）検査基本技術を習得する。　超音波の性質（物理特性）　アーチファクトや機器の設定方法を習得する。　臓器別（血管別）の検査方法を習得する。　超音波装置における機器構造と取り扱い方法を理解するとともに、検査にあたっての患者心理と対応方法・安全対策・感染対策方法を習得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

心臓超音波検査(B モード　M モード　Doppler THI　)各モードでの検査ができる。　正常断層像を描出することができる。頚動脈検査及び下肢静脈検査ができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

心臓及び血管の超音波検査は、計測系の検査であり、超音波の基本原理をしっかりとイメージしながら　きれいな画像を描出するテクニック（技術）を身に付けてもらいます。

教科書

医歯薬出版　心臓超音波テキスト　第 3 版　日本超音波検査学会　監修　増田喜一　遠田栄一 編集　医歯薬出版　血管超音波テキスト第 2 版　日本超音波検査学会監修

参考書

生理機能検査学　（臨床検査学講座）　第 3 版　東條　尚子　川良　徳弘著　　医師薬出版 ISBN9784-263-22403-8

研究室／オフィスアワー

脇研究室/月曜　火曜　18 時～　小宮山研究室/月曜　火曜　18 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心臓超音波検査総論	心臓構造と循環生理を理解しておく	脇、小宮山、田上
2	心臓超音波 B モード画像	左室短軸像　左室長軸像　心尖部像	脇、小宮山、田上
3	心臓超音波　左心機能計測	左心機能計測法を調べておく	脇、小宮山、田上
4	心臓超音波　Doppler 法	4 つの弁の狭窄、閉鎖不全調べておく	脇、小宮山、田上
5	心臓超音波　THI 法	拡張能の計測法について調べておく	脇、小宮山、田上
6	頚部動脈超音波総論	頚動脈　椎骨動脈の解剖を理解する	脇、小宮山、田上
7	頚部動脈超音波 IMT 計測	IMT 計測法と年齢毎基準値を調べる	脇、小宮山、田上
8	頚部超音波　Doppler 法	頚部血管流速波形を調べておく	脇、小宮山、田上
9	経頭蓋超音波総論	事前配布資料にて予習	脇、小宮山、田上
10	経頭蓋超音波　Doppler 法	事前配布資料にて予習	脇、小宮山、田上
11	下肢血管超音波総論	下肢血管の検査意義を調べる	脇、小宮山、田上

12	下肢血管超音波　動脈　Doppler 法	下肢動脈の構造を理解しておく	脇、小宮山、田上
13	下肢血管超音波　静脈　B モード法	下肢静脈の構造を理解しておく	脇、小宮山、田上
14	下肢血管超音波　静脈　Doppler 法	深部静脈血栓症について調べる	脇、小宮山、田上
15	演習全体のまとめと振り返り	1-14 演習内容を復習しておく	脇、小宮山、田上
成績評価方法と基準			割合
1.　レポート 30%　　レポート課題について解説を行い、前回授業の習熟度のチェックを行う。　2. 実技試験+定期試験　70%　3.　4/5 以上の出席が必要			1.30% 2.70%

授業科目名	超音波検査学Ⅱ（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小宮山　恭弘／田上　展子	
科目ナンバリング	SS20BMTC030	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

腹部超音波検査及び表在（甲状腺・乳腺）検査基本技術を習得する。　超音波の性質（物理特性）　アーチファクトや機器の設定方法を習得する。　臓器別の検査方法を習得する。　超音波装置における機器構造と取り扱い方法を理解するとともに、検査にあたっての患者心理と対応方法・安全対策・感染対策方法を習得する。　腹部造影超音波検査法を理解する。造影剤の副作用・禁忌事項を理解する。　　静脈ルート確保法と側管からの造影剤注入法について理解する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

腹部超音波検査(上腹部　消化管　腎尿路系)検査ができる。　正常断層像を描出することができる。甲状腺・乳腺超音波基本断面が描出できる。　超音波装置における機器構造と取り扱い方法を説明できる。　検査にあたっての患者心理と対応方法･安全対策･感染対策方法について説明できる。　腹部造影超音波での造影剤の副作用・禁忌事項を説明できる。　　静脈ルート確保法と側管からの造影剤注入法について理解し説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

腹部、甲状腺、乳腺超音波検査は、診断系の検査であり、超音波の基本原理をしっかりとイメージしながら　きれいな画像を描出するテクニック（技術）を身に付けてもらいます。またレポートについても学びます。

教科書

医歯薬出版　日超検　腹部超音波テキスト　第 3 版　　日本超音波検査学会　監修　関根智紀　南里和秀　編集

参考書

生理機能検査学　（臨床検査学講座）　第 3 版　東條　尚子　川良　徳弘著　　医師薬出版 ISBN9784-263-22403-8

研究室／オフィスアワー

脇研究室/月曜　火曜　18 時～　小宮山研究室/月曜　火曜　18 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	腹部超音波検査総論	各臓器の解剖を理解しておく	脇、小宮山、田上
2	腹部超音波　肝臓 1	肝臓のクイノ-8 区域を理解しておく	脇、小宮山、田上
3	腹部超音波　肝臓 2	胆管　門脈　肝動脈を理解する	脇、小宮山、田上
4	腹部超音波　胆嚢	胆嚢の構造を理解しておく	脇、小宮山、田上
5	腹部超音波　脾臓　腎臓	脾臓　腎臓の構造を理解しておく	脇、小宮山、田上
6	腹部超音波　膵臓	膵臓の構造を理解しておく	脇、小宮山、田上
7	腹部超音波　胃　大腸	胃　小腸　大腸の構造を理解する	脇、小宮山、田上
8	腹部超音波　Doppler 法	門脈　肝静脈流速波形を調べておく	脇、小宮山、田上
9	腹部超音波　泌尿器　婦人科	膀胱　前立腺　婦人科臓器を調べる	脇、小宮山、田上
10	甲状腺超音波総論	甲状腺の構造を理解しておく	脇、小宮山、田上

11	甲状腺及び副甲状腺	甲状腺検査の意義を調べる	脇、小宮山、田上
12	腹部造影検査　　患者急変時の対応方法	肝臓の血流支配（門脈・肝動脈）について調べておく。　クッパ―細胞の機能について調べておく。	脇、小宮山、田上
13	乳腺超音波　B モード法	乳腺超音波での走査法を理解する	脇、小宮山、田上
14	乳腺超音波 SW エラストグラフィ-	Shear wave 法について調べる	脇、小宮山、田上
15	腹部・甲状腺・乳腺超音波検査、腹部造影検査の検査結果の解析と評価	1-14 演習内容を復習しておく	脇、小宮山、田上
成績評価方法と基準			割合
1.　レポート　30 点　　レポート課題について解説を行い　前回授業の習熟度チェックを行う。　2.　実技試験+定期試験　70 点　・全授業のうち出席 4/5 以上を必要とする			1.30%　2.70%

授業科目名	検査総合管理学（検査）				
主担当教員	小林　涉		担当教員	小林　涉	
科目ナンバリング	SS20BMTC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

検査総合管理学は、”検査結果が正確である”ことを保証するための学問です。　”検査”のみならず、その前後や背景まで学び、運用していく能力が求められています。　・臨床検査技師の役割と使命、そして臨床検査の管理に必要な事項を総括的に知ること。　・日々変化する医療状況の中で臨床検査室の管理体制をどのように構築するのか？を考えていきます。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

臨床検査部門における臨床検査技師の職業倫理と守秘義務、検査体制と業務内容、組織、人事、情報、財務、物品、検査機器等の管理と医療安全、感染性廃棄物の管理について学修する。また、検査成績の信頼性を高める精度管理と品質保証について学修する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 医療人としての臨床検査技師の心構えを理解する。　2. 臨床検査の精度管理を理解するように努める。　3. 講義終了後のノート整理とまとめの作業で、検査総合管理学の理解と確認をする。　4. 予習・復習は 2 時間ずつする。

教科書

検査総合管理学 高木 康､三村邦裕編　医歯薬出版　ISBN978―4―263―22366―6 C3347　標準採血法ガイドライン　GP4-A3　JCCLS 日本臨床検査標準協議会

参考書

バイオサイエンスの統計学　市原　清志著　　必要な資料を随時配布

研究室／オフィスアワー

小林渉/　在室時随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. ISO15189 概要	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
2	2. 監査（ISO15189）	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
3	3. プロセス管理、不適合・是正処置、予防処置、リスクマネジメント､アドバイスサービス･苦情･要望（ISO15189）	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
4	4. 文書管理・記録管理（ISO15189）	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
5	5. 検査準備マニュアル、生物学的基準範囲・臨床判断値設定、SOP（ISO15189）	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
6	6. 危機管理、停電対策、検査室環境、感染防止、廃棄物、化学物質（ISO15189）	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
7	7. 機材管理、試薬・消耗品、委託・購買管理、LIS 管理（ISO15189）	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
8	8. サービスの合意・検査依頼、検体管理、検査報告、緊急検査処理（ISO15189）	予習：特に無し　復習：講義内容をノート整理する。	小林　涉
9	9. 教育訓練（ISO15189）、検査に必要な統計	予習:特に無し　復習:講義内容をノート整理する。	小林　涉
10	10. 精度管理	予習:特に無し　復習:講義内容をノート整理する。	小林　涉
11	11. 精度管理	予習:特に無し　復習:講義内容をノート整理する。	小林　涉

12	12. 検査手順検証・妥当性確認	予習:特に無し　復習:講義内容をノート整理する。	小林　渉
13	13. 検査手順検証・妥当性確認	予習:特に無し　復習:講義内容をノート整理する。	小林　渉
14	14. 臨床検査技師の役割、臨床検査の意義、業務と管理	予習:特に無し　復習:講義内容をノート整理する。	小林　渉
15	15. 総合管理学まとめ	予習:特に無し　復習:講義内容をノート整理する。	小林　渉
成績評価方法と基準			割合
①出席基準 2/3 以上　②小テスト　　20 点　③定期テスト　80 点			②20%　③80%

授業科目名	医療情報科学（検査）				
主担当教員	小宮山　恭弘		担当教員	小宮山　恭弘	
科目ナンバリング	SS20BMTC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1 年次から 3 年次で学習した専門科目の学習内容と、その報告形式や報告形態について学修する。　病院（医療）情報システムと臨床検査情報システム（検体・輸血・微生物・病理・生理検査）について学修する。　コンピュータネットワークについて学修する。ネットワーク構成と通信プロトコルについて学修する。　臨床検査部門システムや電子カルテとの連携　病院セキュリティを学修する。　医療情報の概念と情報収集及びその処理法について学修する。　医療情報システムを利用する際の、情報倫理と危機管理法について学修する。　　個人情報保護、情報の秘匿・暗号化、情報の 1 次利用と 2 次利用について学修する。

学修目標

情報系・統計に強い研究能力の高い、臨検査技師を目指す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床検査技師として働く際に、役立つ情報管理技術知識と、3 年間学習してきた専門科目の内容を授業に盛り込みます。臨地実習で学んだ知識と学校で学んだ知識を再確認する良い機会にしてください。

教科書

医療情報 情報処理技術編 （日本医療情報学会医療情報技師育成部会）　篠原出版　医療情報 医療情報システム編 （日本医療情報学会医療情報技師育成部会）　篠原出版

参考書

医葉薬出版　臨床検査学講座　一般検査、血液検査、臨床化学、移植輸血学、微生物学、病理学、生理機能検査学　を適時教員の指示により使用する。

研究室／オフィスアワー

小宮山研究室/月　木　18 時以降

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	コンピュータシステムと情報の概念及び情報収集法・処理法について　医療情報の危機管理　個人情報保護法の制定と背景　情報の秘匿と暗号化の必要性について　情報の 1 次利用と 2 次利用について	P3-64	小宮山
2	プログラミング　データベース	P65-115	小宮山
3	ネットワーク技術と情報セキュリティー　ネットワーク構成と通信プロトコル･ネットワークセキュリティについて	P119-349	小宮山
4	臨床検査情報システム	適時指示する	小宮山
5	臨床検査とシステム 2	適時指示する	小宮山
6	臨床検査とシステム 3	適時指示する	小宮山
7	臨床検査とシステム 4	配布資料	小宮山
8	臨床検査とシステム 5	配布資料	小宮山

9	病院部門システム　医事　薬剤　看護	配布資料	小宮山
10	病院部門システム　臨床検査 1	配布資料	小宮山
11	病院部門システム　臨床検査 2	配布資料	小宮山
12	病院部門システム　画像情報管理　DICOM 接続	配布資料	小宮山
13	画像情報機器とネットワーク接続	配布資料	小宮山
14	臨床検査部門での精度管理手法 1	配布資料	小宮山
15	臨床検査部門での精度管理手法 2	配布資料	小宮山
成績評価方法と基準			割合
1　小テスト　30 点　　2 講義目より前回の授業範囲の重要部分について小テストを実施。解説を行い前回授業の習熟度のチェックを行う。　2.　定期試験　70 点　　授業は各担当教員のオムニバス形式で行うため、時間割については担当教員の指示に従うこと。　　出席は補講を含め 2/3 以上とする。			①　30%　②　70%

授業科目名	関係法規（検査）				
主担当教員	小林 涉		担当教員	小林 涉	
科目ナンバリング	SS20BMTC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

関係法規は、臨床検査技師として臨床検査業務に必要な法規を学び、業務遂行の指針とする知識を教授する。また、チーム医療で適切な行動がとれるよう関連領域の法規や臨床検査に関連して起こりやすい医療過誤を知り、それらを未然に防ぐ医療安全を教授する。

学修目標

医事法学の概要、臨床検査技師等に関する法律と政令、臨床検査技師等に関する省令、臨床検査技師に関する通達または通知、医療従事者の法規、医療関係法規について学修する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．医療人としての臨床検査技師の心構えを理解する。　２．臨床検査技師の法律を理解するように努める。　３．講義終了後のノート整理とまとめの作業で、関係法規の理解と確認が重要である。

教科書

公衆衛生がみえる,出版社　：　メディックメディア,ISBN-10　：　4896327799,ISBN-13　：　978-4896327793

参考書

最新臨床検査学講座　　関係法規 宮島喜文他　医歯薬出版　ISBN978―4―263―22383―3　C3347　　その他必要資料は随時配布する。

研究室／オフィスアワー

火曜日 16：00-17：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	憲法および関係法規　臨床検査技師等に関する法律（免許、試験）	予習：臨床検査技師等に関する法律（免許、試験）について調べる。(1 時間)　復習：講義内容をノート整理する。(1 時間)	小林涉
2	臨床検査技師等に関する法律(業務､衛生検査所)	予習：臨床検査技師の業務について調べる。(1 時間)　復習：講義内容をノート整理する。(1 時間)	小林涉
3	医事法規（医療法、医師法）の概論	予習：医事法規（医療法、医師法）について調べる。(1 時間)　復習：講義内容をノート整理する(1 時間)	小林涉
4	医事法規（保健師助産師看護師法、診療放射線技士法、臨床工学技士法）の概論	予習：保健師助産師看護師法、診療放射線技士法、臨床工学技士法について調べる。(1 時間)　復習：講義内容をノート整理する。(1 時間)	小林涉
5	薬事法規の概論	予習：薬事法規について調べる。(1 時間)　復習：講義内容をノート整理する。(1 時間)	小林涉
6	保健衛生法規（地域保健法、健康増進法、高齢者の医療、精神保健)、予防衛生法規（感染症法、予防接種法、検疫法）の概論	予習：地域保健法、健康増進法、高齢者の医療、精神保健、予防衛生法規について調べる。(1 時間)　復習：講義内容をノート整理する。(1 時間)	小林涉
7	環境衛生法規（食品衛生法、環境基本法)、労働衛生法規（労働基準法、労働安全衛生法)、社会福祉法法規の概論	予習：環境衛生法規、労働衛生法規、社会福祉法法規についてを調べる。(1 時間)　復習：講義内容をノート整理する。(1 時間)	小林涉

8	関係法規の総括、確認試験	予習：臨床検査技師に関わる関係法規をまとめる。(1 時間)	小林渉
成績評価方法と基準			割合
小テスト 20 点　確認試験　80 点　フィードバック：小テストは返却し、低解答率問題の解説を行う。 定期試験の返却はなし。			小テスト 20% 確認試験 80%

授業科目名	医療安全管理学（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小宮山　恭弘	
科目ナンバリング	SS20BMTC034	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限、金曜 1 限、金曜 2 限
授業形態	講義 （タスクシフトは実習含む）	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床検査業務を行う上で重要な臨床倫理、患者接遇とコミュニケーションスキル、患者同意、感染防御の標準予防策、チーム医療、医療過誤、危機管理、リスクマネージメントについて学習する。臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全と患者接遇に配慮して、適切に採血(静脈路確保、電解質輸液の注入を含む)、静脈路への成分採血装置の接続並びに操作、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着(針電極含む)・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、持続皮下グルコース測定、検体採取(経口、経鼻又は気管カニューレ内部か らの喀痰吸引、消化管内視鏡検査による組織検体の採取を含む)が現場で実施できる実践的知識・技術を身につける。採血・検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。医療事故等発生の要因分析とその対策について学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

標準予防策の実践を理解する。　患者同意の必要性を理解する。　リスクマネージメントを理解する。　法令改正に伴いタスク・シフト/シェアを推進する業務を理解する。　安全な検体採取の方法を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療安全、感染管理、検体採取、医師のタスクシフトの伴う業務は，　医療従事者として極めて重要な知識である。　医療事故等発生の要因分析とその対策について十分に学ぶ。

教科書

医療安全管理学　第 2 版　諏訪部章他　医歯薬出版　ISBN978-4-263-22391-8 C3347

参考書

随時プリントを配布

研究室／オフィスアワー

脇英彦研究室　（月）16：00～17：00　（火）16：00～17：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	患者と医療技術者の関わりについて学ぶ。　(1) 接遇とコミュニケーション　(2) 技師による検査説明　(3) チーム医療と臨床検査技師の関わり　(4) 守秘義務	予習：医療安全の重要性について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	脇英彦
2	医療倫理について学ぶ。　(1) 医療倫理　(2) リスクマネージメント	予習：生命倫理４原則について調べる。(1 時間)　復習：授業に内容をまとめる。(1 時間)	脇英彦
3	リスクマネージメント･医療事故の対応について学ぶ。	予習：インシデント、アクシデントについて予習する。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	脇英彦
4	感染管理の意義について学ぶ。	予習：標準予防策、パンデミックについて調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	脇英彦
5	各種採血法と注意事項・安全管理について学ぶ。(1) 採血時の安全管理　(2) 採血行為の範囲　(3) 採血の種類　(4) 採血に際しての注意事項	予習：採血の種類、手技、合併症とその対策について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	脇英彦

6	検体採取と注意事項・安全管理について学ぶ。（1）鼻腔・咽頭からの検体採取　（2）肛門からの検体採取	予習：鼻腔・咽頭、肛門からの検体採取に必要な知識・技能・安全管理について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	脇英彦
7	表皮からの検体採取と味覚検査､嗅覚検査について学ぶ。　(1）表皮からの検体採取　（2）味覚検査　（3）嗅覚検査	予習：）味覚検査、嗅覚検査に必要な知識・技能・安全管理について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	脇英彦
8	医療事故の事例分析について学ぶ。 過去の医療事故例を分析し、再発防止の対策を立てる。	予習：医療事故の分析法である根本原因分析について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	脇英彦
9	タスクシフトに関わる業務　(1）採血に伴い静脈路を確保し電解質輸液に接続する行為　(2）持続皮下グルコース検査(当該機器を行うための機器の装着と脱着）　(3）直腸肛門検査（バルーン、トランスデューサーの挿入、送気）	予習：静脈路確保、皮下グルコース検査、直腸肛門検査に必要な知識・技能・安全管理について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	小宮山恭弘
10	タスクシフトに関わる業務　(4）運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に関わる電極（針電極）の装着と脱着について　(5）経口、経鼻、気管カニューレ内部からの喀痰吸引について　(6）成分輸血の概略と成分採血の方法（静脈路確保から止血、成分採血装置の操作）	予習：運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査、経口、経鼻、気管カニューレ内部からの喀痰吸引、成分輸血に関わる必要な知識・技能・安全管理について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	小宮山恭弘
11	タスクシフトに関わる業務　(7）内視鏡検査・治療の概要と生検鉗子を用いて消化管からの組織検体を採取する方法について　(8）造影超音波検査の概要と方法（静脈路確保から造影剤注入、止血）	予習：内視鏡検査・治療、造影超音波に必要な知識・技能・安全管理について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	小宮山恭弘
12	医療事故分析（過去の医療事故を分析し、その原因を調べる。）①	予習：医療過誤について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	小宮山恭弘
13	医療事故分析（過去の医療事故を分析し、対策を考える。）②	予習：医療事故の発生頻度と対策について調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	小宮山恭弘
14	医療安全に関する過去の国家試験問題を検証する。	予習：医療安全に関する過去の国家試験を調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	小宮山恭弘
15	医療安全管理の確認試験	予習：安全管理に関する国家試験過去問題を調べる。(1 時間)　復習：授業内容についてまとめる。(1 時間)	小宮山恭弘
成績評価方法と基準			割合
1. 小テストまたはレポート　20 点　2.　医療安全管理の確認試験 80 点　　実習授業については翌週レポート提出のこと　フィードバック：小テストは返却し、低解答率問題の解説を行う。定期試験の返却はなし。			小テスト（脇）レポート提出（タスクシフト　小宮山）20%、医療安全管理の確認試験 80%

授業科目名	臨床薬理学（検査）				
主担当教員	小林　吉晴		担当教員	小林　吉晴	
科目ナンバリング	SS20BMTC035	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

薬理学・薬剤学の基礎知識を深め、主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の理論と実際について学習する。また、小児、女性(妊婦)、高齢者等、年齢による特性、個体差のある薬理作用と主要薬物の安全管理を学ぶ.

学修目標

・薬理学・薬剤学の基礎知識を深め、薬物治療の基本概念を理解できる.　・薬物の作用機序、生体内動態、及び薬理作用と副作用の関係を説明できる.　・医薬品の開発、治験、製造承認に関する知見を理解できる.　・各種疾病の病態生理や病状を考慮した上で、薬理学的根拠に基づいた適切な治療薬物の使用方法を検討できる.　・主要薬物の安全管理と処方の理論を理解できる.

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生化学、生理学、人体の機能、人体の構造などの講義と合わせて復習する。

教科書

「シンプル薬理学」南江堂　ISBN978-4-524-24658-8

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

講義終了後、非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	薬理学の分類､臨床薬理学とは何を学ぶのか　薬物の作用（リガンド、受容体、薬の役割、剤形）	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
2	薬の体内動態（吸収・分布・代謝・排泄)、副作用、相乗効果	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
3	薬物の相互作用・多剤併用　①　薬物の吸収に対する作用　②　薬物の体内分布に及ぼす作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
4	薬物の相互作用・多剤併用　③　薬物の代謝に及ぼす作用　④　薬物の排泄に対する作用 糸球体ろ過、分泌、再吸収	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
5	ヘルシンキ宣言について　　背景と意義	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
6	新医薬品開発の流れ ①　　医薬品開発の倫理性 非臨床試験	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
7	新医薬品開発の流れ ②　　臨床試験（治験） 製造販売後臨床試験	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
8	科学的薬効評価　　クロスオーバー試験　　無作為化プラセボ対照二重盲検試験	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
9	高齢者の薬物動態 ①　　薬物代謝・吸収・排泄の特徴　　個人差・多疾患の併発と治療	講義を受講後､配布プリントを参考に､まとめノートを作成する。	小林吉晴
10	高齢者の薬物動態 ②　　加齢による整理亭変動因子とその薬物に及ぼす影響　　腎機能検査（eGFR、Cockcraft-Gault の式）	講義を受講後､配布プリントを参考に､まとめノートを作成する。	小林吉晴
11	小児の薬物動態とその特徴	講義を受講後､配布プリントを参考に､まとめノートを作成する。	小林吉晴

12	甲状腺の機能とその関連疾患・治療	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
13	副腎の機能とその関連疾患・治療	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
14	インスリン抵抗性と糖尿病・治療薬	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
15	ホルモンの分類と機能	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
成績評価方法と基準			割合
①小テスト（DP1）20 点　②定期試験　（DP1）80 点			①20%　②80%

授業科目名	食品衛生学（検査）				
主担当教員	南方　克之		担当教員	南方　克之	
科目ナンバリング	SS20BMTC036	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 2 限、木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

食品衛生学は、現在の食中毒発生状況を認識し、食品がもたらす様々な危害について具体的な事例を通して講義するとともに、食中毒発生を防止するための対処法について基本的な知識を教授する。また、臨床検査技師の視点から、食品衛生行政、経口感染症、食品関係施設における衛生管理、食品などの規格基準などについて教授する。さらに、残留農薬、遺伝子組み換え食品、有害物質による食品汚染など食品衛生学が抱える新たな課題についても教授する。

学修目標

氾濫する健康食品等に対して、 一般消費者がこの分野における様々な情報を正確にかつタイムリーに得て、自らの健康維持増進の目的にあった食品を選択し、安全な生活ができるようにアドバイスできる知識を得る。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

課される「課題」や「練習問題」に取り組み、期末試験に備えてください。

教科書

食の機能と健康の科学（一般社団法人 日本食品安全協会）

参考書

健康食品管理士認定試験のための問題解説集（一般社団法人 日本食品安全協会）

研究室／オフィスアワー

森ノ宮医療大学：E 棟 1F 非常勤講師控室／授業外対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	１．保健機能食品総論①	授業内容の復習	南方
2	１．保健機能食品総論②	授業内容の復習	南方
3	２．保健機能食品各論①	授業内容の復習	南方
4	２．保健機能食品各論②	授業内容の復習	南方
5	２．保健機能食品各論③	授業内容の復習	南方
6	３．医薬品と食品の相互作用①	授業内容の復習	南方
7	３．医薬品と食品の相互作用②	授業内容の復習	南方
8	３．医薬品と食品の相互作用③	授業内容の復習	南方

成績評価方法と基準	割合
定期試験　出題範囲：授業内で扱った範囲	定期試験 100%

授業科目名	食品関係法規（検査）				
主担当教員	竹岡　啓子		担当教員	竹岡　啓子	
科目ナンバリング	SS20BMTC037	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限、木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

食品関係法規の講義では、健康食品の専門家として、消費者に寄り添う健康食品管理士/食の安全管理士養成のために、「食の機能と健康の科学」を学修し、必要な関係法規も概要について学修する。さらに、コミュニケーション技法、消費者のニーズに応えるアドバイザリースタッフの役割、食品の製造・品質の管理、食品のリスク管理・評価等の内容についても学修する。

学修目標

「機能性表示食品制度」の整備が進められている状況にあって、食全般の安全安心と健康に関することを学修する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

食品関係法規は履修上、授業前に「食の機能と健康科学」のテキストを予習すると理解度が向上するので、　予習をして下さい。予習・復習は必ずする。

教科書

食の機能と健康科学　（一般社団法人 日本食品安全協会）

参考書

健康食品管理士認定試験のための問題解説集　第 5 版　（一般社団法人 日本食品安全協会）

研究室／オフィスアワー

木曜日　12：10～12：55

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	4　病態解析と臨床検査①	予習：テキストを予習する.　復習：講義内容を復習	竹岡
2	4　病態解析と臨床検査②	予習：テキストを予習する.　復習：講義内容を復習	竹岡
3	5　病態と栄養管理①	予習：テキストを予習する.　復習：講義内容を復習	竹岡
4	5　病態と栄養管理②	予習：テキストを予習する.　復習：講義内容を復習	竹岡
5	6　食品の安全性①	予習：テキストを予習する.　復習：講義内容を復習	竹岡
6	6　食品の安全性②	予習：テキストを予習する.　復習：講義内容を復習	竹岡
7	7　食品の表示　　8　リスクコミュニケーション①	予習：テキストを予習する.　復習：講義内容を復習、次週の小テストに備える.	竹岡
8	8　リスクコミュニケーション②　臨床検査技師として出来る事とは	予習：4「病態解析と臨床検査』から 8「リスクコミュニケーション」まで復習する	竹岡

成績評価方法と基準	割合
成績評価方法と基準　　1. 出席基準 2/3 以上　2.. 定期試験	2. 100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（検査):松尾				
主担当教員	松尾　明彦		担当教員	松尾　明彦	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床微生物学に関する研究を行う。　臨床微生物学領域の文献検索方法、研究計画の立て方、基本的な実験手法、研究データの解析方法、論文の書き方、研究発表方法について学ぶ。

学修目標

1. 研究領域に関連する資料や文献収集ができる。　2. 研究計画を作成できる。　3. 基本的な実験手法を習得する。　4. 得られた結果を分析し、考察できる。　5. 研究データをまとめて論文にできる。　6. 研究成果をプレゼンテーションできる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めていくが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

特に定めない。

参考書

適宜プリント及び資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階教職員室および 6 階実習室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の理解	担当教員から研究領域についての説明を聞き、理解する。	松尾
2	研究領域の理解	担当教員から研究領域についての説明を聞き、理解する。	松尾
3	研究領域に関連する文献取集	文献検索を行い、研究領域に関連する分野の知識を身につける。	松尾
4	研究領域に関連する文献取集	文献検索を行い、研究領域に関連する分野の知識を身につける。	松尾
5	研究領域に関連する文献取集	文献検索を行い、研究領域に関連する分野の知識を身につける。	松尾
6	研究領域に関連する文献取集	文献検索を行い、研究領域に関連する分野の知識を身につける。	松尾
7	研究計画の作成	担当教員とディスカッションして研究計画を作成する。	松尾
8	研究計画の作成	担当教員とディスカッションして研究計画を作成する。	松尾
9	研究計画の作成	担当教員とディスカッションして研究計画を作成する。	松尾
10	実験プロトコルの作成	研究計画をもとに実験プロトコルを作成する。	松尾
11	実験プロトコルの作成	研究計画をもとに実験プロトコルを作成する。	松尾
12	実験プロトコルの作成	研究計画をもとに実験プロトコルを作成する。	松尾
13	予備実験	予備実験を行い、実験条件を確立する。　得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカ	松尾

		ッションして研究を進める。	
14	予備実験	予備実験を行い、実験条件を確立する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
15	予備実験	予備実験を行い、実験条件を確立する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
16	予備実験	予備実験を行い、実験条件を確立する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
17	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
18	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
19	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
20	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
21	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
22	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
23	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
24	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
25	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
26	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
27	実験	予備実験の結果をふまえて本実験を行い、データを収集する。 得られた実験結果を担当教員と適宜ディスカッションして研究を進める。	松尾
28	中間報告の発表準備	得られた実験結果をまとめて中間報告会の配布資料や発表スライドを作成する。	松尾
29	中間報告の発表準備	得られた実験結果をまとめて中間報告会の配布資料や発表スライドを作成する。	松尾
30	中間報告の発表準備	得られた実験結果をまとめて中間報告会の配布資料や発表スライドを作成する。	松尾
成績評価方法と基準			割合

卒業研究報告会での発表および卒業論文を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要である。	1

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):野田				
主担当教員	野田　大孝		担当教員	野田　大孝	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

細胞形態学に関する研究を行います。　卒業研究Ⅰでは、文献の抄読、課題の選定、病理検査学技術、細胞診断学技術の基礎を学ぶことができます。

学修目標

1. 研究倫理について理解ができる。〈DP①〉　2. 当該研究領域における関連する資料および文献収集ができる。〈DP①〉　3. 当該研究における実験または調査などの研究方法を理解ができる。〈DP①〉　4. 実現可能な研究計画を作成し、実行ができる。〈DP①〉　5. 研究によって得られた結果を分析し、考察ができる。〈DP①④〉　6. 研究成果をプレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学生自身の主体性を重視する。指導教員は適宜対応する。

教科書

特に定めない。

参考書

特に定めない。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に応じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の概要と研究活動のオリエンテーション	予習：細胞形態基礎に関わる細胞診のテキストや病理学、血液学などについて図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：細胞形態基礎について復習しておくこと。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
2	パパニコロウ染色における細胞形態基礎の理解	予習：パパニコロウ染色における細胞形態基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：パパニコロウ染色における細胞形態基礎について復習しておくこと。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
3	ギムザ染色における細胞形態基礎の理解	予習：ギムザ染色における細胞形態基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：ギムザ染色における細胞形態基礎について復習しておくこと。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
4	ステルンハイマー染色における細胞形態基礎の理解	予習：ステルンハイマー染色における細胞形態基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：ステルンハイマー染色における細胞形態基礎について復習しておくこと。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
5	無染色における細胞および結晶形態基礎の理解	予習：無染色における細胞および結晶形態	野田

		基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：無染色における細胞および結晶形態基礎について復習しておくこと。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
6	HE 染色における細胞および組織形態基礎の理解	予習：HE 染色における細胞および組織形態基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：HE 染色における細胞および組織形態基礎について復習しておくこと。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
7	特殊染色基礎の理解	予習：特殊染色基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：特殊染色基礎について復習しておくこと。なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
8	免疫組織化学染色基礎の理解	予習：免疫組織化学染色基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。復習：免疫組織化学染色基礎について復習しておくこと。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
9	免疫細胞化学染色基礎の理解	予習：免疫細胞化学染色基礎について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。復習：免疫細胞化学染色基礎について復習しておくこと。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
10	R-CPC	予習：R-CPC について図書館等を活用し、概略を調査しておくこと。　復習：R-CPC 例について復習しておくこと。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
11	研究テーマの設定	予習：これまでの学修内容を踏まえ、研究テーマの素案を作成する。 復習：研究テーマについて復習しておくこと。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
12	先行研究や類似研究の調査	予習：先行研究や類似研究ついて情報をまとめる。 復習：先行研究や類似研究と比較して、本研究の独自性を確認する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
13	予備実験	予習：研究テーマに応じた研究の実現可能性を確認する。 復習：予備実験を通して得た情報を記録する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
14	研究テーマの再設定	予習：予備実験で得た情報を踏まえ、研究テーマの素案を推敲する。 復習：指摘内容等を反映して、推敲する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
15	小括的ディスカッション	予習：これまでの研究活動を復習し、指導員との確認事項をまとめる。 復習：指摘内容等を反映して、研究デザイン素案となる根拠をまとめる。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
16	研究デザイン	予習：研究デザインついて根拠をまとめる。復習：指摘内容等を反映して、推敲する。なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
17	研究計画書(プロトコール)の立案	予習：研究計画書立案について情報をまとめる。　復習：指摘内容等を反映して、推敲する。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
18	研究計画書(プロトコール)の作成	予習：研究計画書作成について情報をまとめる。　復習：指摘内容等を反映して、推敲する。　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田

19	倫理審査：研究倫理審査の必要性と申請	予習：研究倫理について調べる。 復習：学修内容をもとに倫理審査の必要性と重要性の理解を深める。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
20	実験環境の確立①	予習：実験環境を構築する。 復習：実験環境を改善する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
21	実験環境の確立②	予習：実験環境を構築する。 復習：実験環境を改善する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
22	実験①	予習：実験内容の確認をする。 復習：実験結果を記録、分析する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
23	実験②	予習：実験内容の確認をする。 復習：実験結果を記録、分析する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
24	実験③	予習：実験内容の確認をする。 復習：実験結果を記録、分析する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
25	結果からの考察①	予習：引用文献を吟味する 復習：指摘内容等を反映して、推敲する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
26	結果からの考察②	予習：引用文献を吟味する 復習：指摘内容等を反映して、推敲する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
27	結果からの考察③	予習：引用文献を吟味する 復習：指摘内容等を反映して、推敲する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
28	抄録の作成	予習：研究内容をまとめる。 復習：指摘内容等を反映して、推敲する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
29	プレゼンテーション	予習：発表練習を行う。 復習：指摘内容を反映した発表を改善する。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
30	総括的ディスカッション	予習：プレゼンテーションスライドの修正確認、抄録の確認 復習：卒業研究 II に向かえるよう、卒業研究 I を通して得たことをまとめる。 なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
成績評価方法と基準			割合
1.抄録の提出もしくは中間発表会〈DP①④〉 2.出席は 4/5 以上とする。			1:100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):小林渉				
主担当教員	小林 渉		担当教員	小林 渉	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(木曜5限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床検査領域に既存の情報技術を応用する研究を行います。 卒業研究Ⅰでは、文献の抄読を通して課題の抽出、研究に必要な読解力を養うこと、および主な情報技術、統計手法の基礎を学ぶことを行います。

学修目標

1. 研究倫理について理解することができる。〈DP①〉 2. 当該研究領域に関連する資料および文献収集ができる。〈DP①〉 3. 当該研究における実験または調査などの研究方法を理解する。〈DP①〉 4. 実現可能な適切な研究計画を作成でき、実行できる。〈DP①〉 5. 得られた結果を分析しまとめ考察ができる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

特に定めない。

参考書

特に定めない。

研究室／オフィスアワー

教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の概要と研究に向けてのオリエンテーション	予習：医学領域への情報技術の応用について図書館などを利用して、概略を調べておくこと。 復習：医学領域への情報技術の応用について復習しておくこと。 なお予習復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	小林
2	研究に必要な統計手法についての理解①	予習：研究に必要な統計手法について図書館などを利用して、概略を調べておくこと。 復習：研究に必要な統計手法について復習しておくこと。 なお予習復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	小林
3	研究に必要な統計手法についての理解②	予習：研究に必要な統計手法について図書館などを利用して、概略を調べておくこと。 復習：研究に必要な統計手法について復習しておくこと。 なお予習復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	小林
4	文献検索・抄読①	予習：研究領域について文献を読み、要約を作成する。 復習：学習内容の要約を作成する。 なお予習復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	小林
5	文献検索・抄読②	予習：研究領域について文献を読み、要約を作成する。 復習：学習内容の要約を作成する。 なお予習復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	小林
6	文献検索・抄読③	予習：研究領域について文献を読み、要約を作成する。 復習：学習内容の要約を作	小林

		成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
7	文献検索・抄読④	予習：研究領域について文献を読み、要約を作成する。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
8	文献検索・抄読⑤	予習：研究領域について文献を読み、要約を作成する。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
9	文献検索・抄読⑥	予習：研究領域について文献を読み、要約を作成する。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
10	情報活用の基礎①	予習：データの収集、活用法について調べておくこと。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
11	情報活用の基礎②	予習：データの収集、活用法について調べておくこと。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
12	情報活用の基礎③	予習：データの収集、活用法について調べておくこと。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
13	情報活用の基礎④	予習：データの収集、活用法について調べておくこと。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
14	情報活用の基礎⑤	予習：データの収集、活用法について調べておくこと。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
15	情報活用の基礎⑥	予習：データの収集、活用法について調べておくこと。　復習：学習内容の要約を作成する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
16	研究テーマの仮設定①	予習：これまでの知識と技術を基礎として、課題の発見、調査を行う。　復習：検討内容を踏まえ計画の改善を行う。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
17	研究テーマの仮設定②	予習：これまでの知識と技術を基礎として、課題の発見、調査を行う。　復習：検討内容を踏まえ計画の改善を行う。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
18	予備実験①	予習：設定した課題に対して予備実験を行う。　復習：予備実験の結果をまとめ考察する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
19	予備実験②	予習：設定した課題に対して予備実験を行う。　復習：予備実験の結果をまとめ考察する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
20	研究テーマの決定　：先行研究の現状と実現可能性を踏まえて研究テーマ決定	予習：これまで講義内で行ってきた説明や議論から、最終的に研究テーマを遂行するための根拠（設備や環境）を確認しておくこと。　復習：決定した研究テーマについて、先行研究や講義内で得られた情報を整理し、理解を深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
21	研究デザイン：　リサーチ・クエスチョンに適合した研究デザインの決定とその限界の考察	予習：研究デザインを決定するための根拠（設備や環境も含めて）を確認しておくこ	小林

		と。　復習：講義内で得られた情報を整理し、研究デザインにういての理解を深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
22	研究計画の立案：　研究計画書（プロトコール）の立案と作成	予習：研究計画書の立案のために必要な資料を収集し、まとめておくこと。　復習：講義内での説明・議論や収集資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
23	研究計画の立案：　研究計画書（プロトコール）の立案と作成	予習：研究計画書の立案のために必要な資料を収集し、まとめておくこと。　復習：講義内での説明・議論や収集資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
24	倫理審査：　研究倫理審査の必要性と申請	予習：研究倫理について調べておくこと。復習：講義内での説明・議論や資料をもとに研究　倫理審査の必要性と重要性の理解を深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
25	実験環境の確立①	予習内容：立案した実験計画を実施するための実験環境を構築する。　復習内容：指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
26	実験環境の確立②	予習内容：立案した実験計画を実施するための実験環境を構築する。　復習内容：指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
27	実験の遂行（データの収集、分析）①	予習内容：実施する実験の手順を要約する。復習内容：実施した内容の要約を作成する。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
28	実験の遂行（データの収集、分析）②	予習内容：実施する実験の手順を要約する。復習内容：実施した内容の要約を作成する。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
29	結果の考察	予習内容：収集したデータをまとめ、発表資料を作成する。　復習内容：指摘内容を反映し、発表資料を改善する。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
30	プレゼンテーション	予習内容：発表練習を行う。　復習内容：指摘内容を反映した発表を改善する。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	小林
成績評価方法と基準			割合
1. 抄録の提出もしくは中間発表会（DP①④）　2. 出席は 4/5 以上とする。			1：100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):川畑				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1. 1～2 年生で学んだ知識と技術を基礎として、実験病理学領域について研究する。 2. 担当教員の指導を基に研究計画、結果のまとめ方、発表方法の基礎について学ぶ。 3. 卒業発表に向けての基礎実践力を養う。

学修目標

1. 研究倫理について理解することができる。〈DP①〉 2. 当該研究領域に関連する資料および文献収集ができる。〈DP①〉 3. 当該研究における実験または調査などの研究方法を理解する。〈DP①〉 4. 実現可能な適切な研究計画を作成でき、実行できる。〈DP①〉 5. 得られた結果を分析しまとめ考察ができる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 調査・研究テーマについて十分に理解し、積極的に行う。 2. 疑問点は指導教員への質問や討論を通して理解に努める。 3. 学生として節度ある行動に心がける。

教科書

1. 適宜プリントおよび資料を配布する。

参考書

1. 新染色法のすべて. 医歯薬出版株式会社 著. 医歯薬出版株式会社 1999 年. 2. 渡辺・中根 酵素抗体法. 名倉 宏ほか編集. 学際企画. 2002 年. 3. バイオ実験イラストレイテッド①、②. 中山広樹、西方敬人著. 学研メディカル秀潤社. 1995 年. 4. マウス解剖イラストレイテッド. 野村慎太郎著. 学研メディカル秀潤社. 2013 年.

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室 707／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実験病理学（組織学、分子生物学）の概要と研究に向けてのオリエンテーション	予習：組織学・分子生物学の研究手法について図書館などを利用して、概略を調べておくこと。 復習：組織学・分子生物学の研究手法について復習しておくこと。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
2	実験病理学による病態の理解①:組織修復(骨折、皮膚創傷など)	予習：骨折修復過程、皮膚の創傷治癒過程について調べておくこと。 復習：骨折修復過程、皮膚の創傷治癒過程における細胞組織・遺伝子発現の変化について復習しておくこと（配布資料参照)。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
3	実験病理学による病態の理解②:メタボリック症候群関連疾患（非アルコール性脂肪性肝炎）	予習：非アルコール性脂肪性肝炎の病態について調べておくこ。 復習：非アルコール性脂肪性肝炎の病態における細胞組織・遺伝子発現の変化について復習しておくこと（配布資料参照)。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
4	実験病理学による病態の理解③：皮膚疾患	予習：アレルギー性皮膚炎の病態について調べておくこと。 復習：アレルギー性皮膚炎の病態における細胞組織・遺伝子発現の変化について復習しておくこと（配布資	川畑

		料参照)。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
5	実験病理学による病態の理解④：炎症性腸炎	予習：炎症性腸炎の病態について調べておくこと。 復習：炎症性腸炎の病態における細胞組織・遺伝子発現の変化について復習しておくこと（配布資料参照)。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
6	実験病理学による病態の理解⑤：腫瘍	予習：腫瘍について調べておくこと。 復習：腫瘍における組織学的特徴、腫瘍関連分子の遺伝子発現について復習しておくこと（配布資料参照)。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
7	研究テーマの仮設定 ：可能性のある研究テーマのリストアップ	予習：リストアップした研究テーマとその内容について調べて把握しておくこと。 復習：講義で説明、議論した内容について整理し、研究テーマを絞っておくこと。またその内容についての理解も深めておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
8	研究テーマの仮設定 ：可能性のある研究テーマのリストアップ	予習：リストアップした研究テーマとその内容について調べて把握しておくこと。 復習：講義で説明、議論した内容について整理し、研究テーマを絞っておくこと。またその内容についての理解も深めておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
9	研究テーマの仮設定 ：可能性のある研究テーマのリストアップ	予習：リストアップした研究テーマとその内容について調べて把握しておくこと。 復習：講義で説明、議論した内容について整理し、研究テーマを絞っておくこと。またその内容についての理解も深めておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
10	研究テーマの決定 ：先行研究の現状と実行可能性を踏まえて研究テーマ決定	予習：これまで講義内で行ってきた説明や議論から、最終的に研究テーマを遂行するための根拠（設備や環境）を確認しておくこと。 復習：決定した研究テーマについて、先行研究や講義内で得られた情報を整理し、理解を深めておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
11	研究デザイン： リサーチ・クエスチョンに適合した研究デザインの決定とその限界の考察	予習：研究デザインを決定するための根拠（設備や環境も含めて）を確認しておくこと。 復習：講義内で得られた情報を整理し、研究デザインにういての理解を深めておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
12	研究計画の作案： 研究計画書（プロトコール）の作案と作成	予習：研究計画書の作案のために必要な資料を収集し、まとめておくこと。 復習：講義内での説明・議論や関連資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
13	研究計画の作案： 研究計画書（プロトコール）の作案と作成	予習：研究計画書の作案のために必要な資料を収集し、まとめておくこと。 復習：講義内での説明・議論や関連資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
14	研究計画の作案： 研究計画書（プロトコール）の作案と作成	予習：研究計画書の作案のために必要な資料を収集し、まとめておくこと。 復習：講義内での説明・議論や関連資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
15	倫理審査： 研究倫理審査の必要性と申請	予習：研究倫理について調べておくこと。 復習：講義内での説明・議論や資料をもとに	川畑

		研究倫理審査の必要性と重要性の理解を深めておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
16	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
17	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
18	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
19	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
20	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
21	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
22	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
23	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
24	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
25	データ収集: 実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習 : 関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。 復習 : 実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。 なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑

26	結果の考察:　先行研究と関連文献を参考に結果を考察する	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果についての考察を行い、自分の研究の妥当性を確認しておくこと。また疑問点や改善点がある場合には、抽出しておくこと。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
27	結果の考察:　先行研究と関連文献を参考に結果を考察する	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果についての考察を行い、自分の研究の妥当性を確認しておくこと。また疑問点や改善点がある場合には、抽出しておくこと。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
28	発表準備:　中間報告会のスライドおよび配布資料の作成	予習：予備研究の結果についてスライドおよび配布資料を作成しておくこと。　復習:作成したスライドおよび配布資料について、講義での説明・議論をもとに修正しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
29	中間報告会　:中間報告会における発表と質疑応答	予習：作成したスライドおよび配布資料について十分に理解し、質疑にも対応できるように準備しておくこと。　復習:中間報告会での質疑をもとに、スライドおよび配布資料を吟味し、必要に応じて修正しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
30	中間報告会　:報告会における質疑応答と問題点指摘を踏まえた研究計画の修正	予習：プロトコール発表会における質疑応答と問題点指摘を踏まえて、必要に応じて研究計画の修正を図ること。　復習:プロトコール発表会での質疑をもとに、スライドおよび配布資料を吟味し、必要に応じて修正しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 抄録の提出もしくは中間報告会〈DP①④〉　2. 出席は 4/5 以上とする。　3. 研究に対するフィードバック：実験時や中間報告時に、必要に応じて指導、解説する。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):関根				
主担当教員	関根　将		担当教員	関根　将	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

主にウイルス，寄生虫といった病原微生物を対象とした研究を行う。　希望者がいれば実験動物を用いた臨床化学的な研究も可能 (要相談)。　卒業研究Ⅰでは研究計画，結果の解析，発表方法について学ぶ。　また、外国語文献の読解力を養う。

学修目標

1. 研究倫理について理解することができる。〈DP①〉　2. 当該研究領域に関連する資料および文献収集ができる。〈DP①〉　3. 当該研究における実験または調査などの研究方法を理解する。〈DP①〉　4. 実現可能な適切な研究計画を作成でき、実行できる。〈DP①〉　5. 得られた結果を分析しまとめ考察ができる。〈DP①④〉　6. 研究成果をプレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 調査・研究テーマについて十分に理解し、積極的に行う。　2. 疑問点は指導教員への質問や討論を通して理解に努める。　3. 学生として節度ある行動に心がける。

教科書

1. 適宜プリントおよび資料を配布する。

参考書

1. 図説人体寄生虫学 南山堂　2. 寄生虫学テキスト 文光堂　3. 顧みられない熱帯病 - グローバルヘルスへの挑戦 東京大学出版　4. 標準微生物学 医学書院　5. 医科ウイルス学 南江堂

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階教員室 (在室時は随時)　月曜は終日不在のことが多いです。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	寄生虫，ウイルスの概要と研究に向けてのオリエンテーション	予習：寄生虫学，ウイルス学の研究手法について図書館などを利用して、概略を調べておくこと。　復習：寄生虫学，ウイルス学の研究手法について復習しておくこと。なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
2	寄生虫症についての理解① : 原虫類	予習：原虫類およびその疾患について調べておくこと。　復習：原虫類およびその疾患について復習しておくこと (配布資料参照)。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
3	寄生虫症についての理解② : 蠕虫類-1	予習：蠕虫類およびその疾患について調べておくこと。　復習：蠕虫類およびその疾患について復習しておくこと (配布資料参照)。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
4	寄生虫症についての理解② : 蠕虫類-2	予習：蠕虫類およびその疾患について調べておくこと。　復習：蠕虫類およびその疾患について復習しておくこと (配布資料参照)。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
5	ウイルス感染症についての理解① : DNA ウイル	予習：DNA ウイルスおよびその疾患につい	関根

	ス	て調べておくこと。　復習：DNA ウイルスおよびその疾患について復習しておくこと（配布資料参照）。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
6	ウイルス感染症についての理解② ： RNA ウイルス	予習：RNA ウイルスおよびその疾患について調べておくこと。　復習：RNA ウイルスおよびその疾患について復習しておくこと（配布資料参照）。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
7	研究テーマの仮設定　:可能性のある研究テーマのリストアップ	予習：リストアップした研究テーマとその内容について調べて把握しておくこと。復習：講義で説明、議論した内容について整理し、研究テーマを絞っておくこと。またその内容についての理解も深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
8	研究テーマの仮設定　:可能性のある研究テーマのリストアップ	予習：リストアップした研究テーマとその内容について調べて把握しておくこと。復習：講義で説明、議論した内容について整理し、研究テーマを絞っておくこと。またその内容についての理解も深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
9	研究テーマの仮設定　:可能性のある研究テーマのリストアップ	予習：リストアップした研究テーマとその内容について調べて把握しておくこと。復習:講義で説明、議論した内容について整理し、研究テーマを絞っておくこと。またその内容についての理解も深めておくこと。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
10	研究テーマの決定　:先行研究の現状と実行可能性を踏まえて研究　テーマ決定	予習：これまで講義内で行ってきた説明や議論から、最終的に研究テーマを遂行するための根拠（設備や環境）を確認しておくこと。　復習：決定した研究テーマについて、先行研究や講義内で得られた情報を整理し、理解を深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
11	研究デザイン：　リサーチ・クエスチョンに適合した研究デザイン　の決定とその限界の考察	予習：研究デザインを決定するための根拠（設備や環境も含めて）を確認しておくこと。　復習：講義内で得られた情報を整理し、研究デザインにういての理解を深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
12	研究計画の立案：　研究計画書（プロトコール）の立案と作成	予習：研究計画書の立案のために必要な資料を入手し、まとめておくこと。　復習：講義内での説明・議論や資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
13	研究計画の立案：　研究計画書（プロトコール）の立案と作成	予習：研究計画書の立案のために必要な資料を入手し、まとめておくこと。　復習：講義内での説明・議論や資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
14	研究計画の立案：　研究計画書（プロトコール）の立案と作成	予習：研究計画書の立案のために必要な資料を入手し、まとめておくこと。　復習：講義内での説明・議論や資料をもとに研究計画書を作成しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
15	倫理審査：　研究倫理審査の必要性と申請	予習：研究倫理について調べておくこと。復習：講義内での説明・議論や資料をもとに研究倫理審査の必要性と重要性の理解を深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根

16	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
17	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
18	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
19	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
20	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
21	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
22	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
23	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
24	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
25	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果について正確に分析し、実験ノートをまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ2時間ずつ行うこと。	関根
26	結果の考察:　先行研究と関連文献を参考に結果を考察する	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結	関根

		果についての考察を行い、自分の研究の妥当性を確認しておくこと。また疑問点や改善点がある場合には、抽出しておくこと。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
27	結果の考察:　先行研究と関連文献を参考に結果を考察する	予習:関連分野の論文や資料を入手し、自分の研究との関連性や結果の整合性について検討、把握しておくこと。　復習:実験の結果についての考察を行い、自分の研究の妥当性を確認しておくこと。また疑問点や改善点がある場合には、抽出しておくこと。なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
28	発表準備:　中間報告会のスライドおよび配布資料の作成	予習：予備研究の結果についてスライドおよび配布資料を作成しておくこと。　復習:作成したスライドおよび配布資料について、講義での説明・議論をもとに修正しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
29	中間報告会　:中間報告会における発表と質疑応答	予習：作成したスライドおよび配布資料について十分に理解し、質疑にも対応できるように準備しておくこと。　復習:中間報告会での質疑をもとに、スライドおよび配布資料を吟味し、必要に応じて修正しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
30	中間報告会　:報告会における質疑応答と問題点指摘を踏まえた研究計画の修正	予習：プロトコール発表会における質疑応答と問題点指摘を踏まえて、必要に応じて研究計画の修正を図ること。　復習:プロトコール発表会での質疑をもとに、スライドおよび配布資料を吟味し、必要に応じて修正しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	関根
成績評価方法と基準			割合
1. 抄録の提出もしくは中間発表会〈DP①④〉　2. 出席は 4/5 以上とする。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):田路･小林彩香				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、データ解析などを行う。　細胞診領域の研究を行う。　研究成果として、中間報告をまとめる。

学修目標

1.研究倫理について理解することができる。　2.専門領域について文献収集ができる。　3.専門領域における実験などの研究方法を理解する。　4.研究に関して、論理的思考・解析・考察ができる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.教員とよく話し合って研究活動を進めること。　2.期日を守ること。

教科書

特に定めない。

参考書

特に定めない。

研究室／オフィスアワー

田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義　オリエンテーション	研究領域について自己学習を行う。　学習した内容をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
2	文献検索・抄読①	研究領域や研究の流れについて文献を読む。　文献の内容についてまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
3	文献検索・抄読②	研究領域や研究の流れについて文献を読む。　文献の内容についてまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
4	文献検索・抄読③	研究領域や研究の流れについて文献を読む。　文献の内容についてまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
5	文献検索・抄読④	研究領域や研究の流れについて文献を読む。　文献の内容についてまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
6	文献検索・抄読⑤	研究領域や研究の流れについて文献を読む。　文献の内容についてまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
7	研究テーマの設定①　（研究テーマについて指導教員とディスカッションする）	研究テーマについて検討を行う。　ディスカッションの内容について再検討し、まとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
8	研究テーマの設定②　（研究テーマについて指導教員とディスカッションする）	研究テーマについて検討を行う。　ディスカッションの内容について再検討し、まとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
9	研究テーマの設定③　（研究テーマについて指導	研究テーマについて検討を行う。　ディス	田路英作　小

	教員とディスカッションする）	カッションの内容について再検討し、まとめる。　課題学習（1.5 時間）	林彩香
10	研究テーマの設定④　（研究テーマについて指導教員とディスカッションする）	研究テーマについて検討を行う。　ディスカッションの内容について再検討し、まとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
11	研究テーマの参考文献抄読①	研究テーマに関する参考文献を読み、理解する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
12	研究テーマの参考文献抄読②	研究テーマに関する参考文献を読み、理解する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
13	研究テーマの参考文献抄読③	研究テーマに関する参考文献を読み、理解する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
14	研究テーマの参考文献抄読④	研究テーマに関する参考文献を読み、理解する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
15	研究テーマの参考文献抄読⑤	研究テーマに関する参考文献を読み、理解する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
16	研究計画の立案①	研究計画をたて、まとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
17	研究計画の立案②	研究計画をたて、まとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
18	研究データの収集と解析①	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
19	研究データの収集と解析②	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
20	研究データの収集と解析③	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
21	研究データの収集と解析④	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
22	研究データの収集と解析⑤	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
23	研究データの収集と解析⑥	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
24	研究データの収集と解析⑦	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
25	中間報告の準備①	文献を読み、中間報告の準備をする。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
26	中間報告の準備②	文献を読み、中間報告の準備をする。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
27	中間報告の準備③	文献を読み、中間報告の準備をする。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
28	中間報告の準備④	文献を読み、中間報告の準備をする。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
29	中間報告作成①	中間報告をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
30	中間報告作成②	中間報告をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
成績評価方法と基準			割合
1.研究成果として、指導教員に中間報告を行う。期限までに中間報告をまとめる。　2.全授業の 4/5 の出席を必要とする。　DP①④			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):藤原				
主担当教員	藤原　牧子		担当教員	藤原　牧子	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療に関する研究の一連の流れを修得するために、特に血液検査（形態学的検査、止血凝固検査）を用いて疑問を解決する方法について学ぶ。この講義ではまず自らテーマを選定し、研究計画の作成を行う。その過程でテーマの妥当性を文献検索など各方面からの情報収集によって確認することや、倫理的配慮など研究者にとって必要な知識や手続きについて学修する。研究計画に沿って実際に研究に取り組みながらデータのとり方、解析方法、結果の表し方について学び、考察する。

学修目標

・研究計画書を作成することができる〈DP①④〉　・研究発表することができる〈DP①④〉　・論文形式でまとめることができる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・研究を計画的に進めるために、自ら積極的に行動することが望ましいです。　・初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考書

適宜指示します

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階職員室　　17 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究オリエンテーション　研究を実施するために必要な基礎知識の概要説明	予習：血液検査学Ⅰ、Ⅱ、血液検査学実習で学んだ内容の中から研究テーマ候補を考えてくる（2 時間）　復習：講義で学んだ内容を参考に研究テーマを決定する（2 時間）	藤原
2	研究計画書の作成①　研究に関する倫理指針ガイダンス	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　復習：研究計画書の作成（2 時間）	藤原
3	研究計画書の作成②　統計処理について	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　復習：研究計画書の作成（2 時間）	藤原
4	研究計画の進捗発表	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　発表用資料の作成　復習：研究計画書の作成（2 時間）	藤原
5	研究計画書の作成③	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　復習：研究計画書の作成（2 時間）	藤原
6	実験プロトコルの作成①	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験に必要な器具のリストアップ　復習：実験プロトコルの作成（2 時間）	藤原

7	実験プロトコルの作成②	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験に必要な器具のリストアップ　復習：実験プロトコルの作成（2 時間）	藤原
8	実験プロトコルの作成③	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験に必要な器具のリストアップ　復習：実験プロトコルの作成（2 時間）	藤原
9	実験・データ収集①	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験プロトコルの確認　復習：実験記録の作成と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
10	実験・データ収集②	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験プロトコルの確認　復習：実験記録の作成と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
11	実験・データ収集③	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験プロトコルの確認　復習：実験記録の作成と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
12	実験・データ収集④	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験プロトコルの確認　復習：実験記録の作成と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
13	実験・データ収集⑤	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験プロトコルの確認　復習：実験記録の作成と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
14	実験データの解析と追加実験①	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験データの確認　復習：実験記録の作成と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
15	実験データの解析と追加実験②	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験データの確認　復習：実験記録の作成と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
16	結果と考察の作成①	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験データの確認　復習：実験データの解析と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
17	結果と考察の作成②	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験データの確認　復習：実験データの解析と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
18	結果と考察の作成③	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験データの確認　復習：実験データの解析と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
19	結果と考察の作成④	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　実験データの確認　復習：実験データの解析と振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
20	中間報告　各自の研究についての進捗報告会を行う	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）　発表用資料の作成　復習：報告会での指摘事項を踏まえた振り返り、課題抽出（2 時間）	藤原
21	卒業論文の作成①	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　復習:論文執筆（2 時間）	藤原
22	卒業論文の作成②	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　復習:論文執筆（2 時間）	藤原

23	卒業論文の作成③	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　　復習：論文執筆（2 時間）	藤原
24	卒業論文の作成④	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　　復習：論文執筆（2 時間）	藤原
25	卒業論文の作成⑤	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　　復習：論文執筆（2 時間）	藤原
26	卒業論文の作成⑥	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　　復習：論文執筆（2 時間）	藤原
27	卒業論文の作成⑦	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　　復習：論文執筆（2 時間）	藤原
28	研究結果報告会	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索（2 時間）結果報告会の資料作成　復習：論文執筆（2 時間）	藤原
29	論文修正、校閲の実施	予習：研究テーマに関連する分野の情報収集と学術論文の検索(2 時間)　　復習：論文執筆（2 時間）	藤原
30	論文完成・提出	予習：提出用論文の確認（2 時間）　　復習：研究実施の一連の流れについて振り返り、記録を確認する。(2 時間)	藤原
成績評価方法と基準			割合
１．論文の提出もしくは途中実施する進捗報告会〈DP①④〉　　【フィードバック方法】　　講義内で適宜説明する。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（検査):佐伯				
主担当教員	佐伯　康匠		担当教員	佐伯　康匠	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

微生物検査に関する研究をおこなう。卒業研究 II では、まず当該研究のバックグラウンドから課題を抽出し方向性を見極める。「卒業研究Ⅰ」に引き続き実現可能な研究計画を立案する。仮説の検証のための実験を中心に研究を進める。最終的には、得られたデータをまとめ、考察を加え、論文の作成をおこなう。

学修目標

１．当該研究領域に関連する資料および文献収集ができる　２．当該研究における実験または調査などの研究方法を理解する。３．実現可能な適切な研究計画を作成でき、実行できる　４．得られた結果を分析しまとめ考察ができる。　５．研究成果をプレゼンテーションおよび論文作成ができる。　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指示する。

参考書

指示する。

研究室／オフィスアワー

キャナルポート 7 階教職員室および 6 階実習室／火・木・金曜日随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	佐伯
2	研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	佐伯
3	研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	佐伯
4	実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	佐伯
5	実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	佐伯
6	実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	佐伯
7	プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	佐伯
8	プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	佐伯
9	プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	佐伯
10	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯
11	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯
12	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯
13	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯

14	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
15	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
16	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
17	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
18	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
19	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
20	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
21	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
22	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
23	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
24	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
25	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
26	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
27	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
28	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
29	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
30	30 回：プレゼンテーションの準備	図表等の発表資料の作成。論理的に説明する	佐伯
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間報告会での発表を評価対象とする　4/5 以上の出席が必要　　DP①④　　計画書・発表内容は随時添削を行う。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):小宮山				
主担当教員	小宮山　恭弘		担当教員	小宮山　恭弘	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

小宮山　医学、臨床検査分野での興味あるテーマについて、超音波検査やその他の生理機能検査について、先行研究にて明らかになっている論理点とその根拠を理解し、未だ明らかにされていない未開の部分を自らのクリティカルな発想により明らかにする。　　藤原　臨床血液学、血液疾患、各種血液、凝固系検査やそれに関連する病態について、先行研究にて明らかになっている論理点とその根拠を理解し、未だ明らかにされていない未開の部分を自らのクリティカルな発想により明らかにする。

学修目標

研究倫理について理解することができる。これまで大学で学修した医学、臨床検査分野の知識から個々に研究テーマを設定する。研究で得られた結果がどのような意味を持つものかを考える。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究とは明らかになっていない疑問点をどのように解釈していくかの 1 手法である。超音波診断や新しい超音波検査手法、生理機能検査手法,また臨床血液学、凝固系検査、血液疾患などについて学ぶとともに、血液データも加えた総合診断能力を身につけるようにともに勉強しましょう。

教科書

超音波技術教本　　じほう　　血液検査学　医歯薬出版

参考書

研究論文篇　　クリティカルシンキング　　J・メルツォフ著　中澤　潤　監訳　北大路書房

研究室／オフィスアワー

小宮山研究室/月曜　、木曜　18 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマ選定	1-30 まで随時指示をする	小宮山
2	研究方法と研究について		小宮山
3	最新の血液疾患治療		小宮山
4	最新の超音波診断技術		小宮山
5	研究デザインに対する考え方　　研究テーマ決定		小宮山
6	それぞれの研究テーマに沿った関係文献を読み込む		小宮山
7	それぞれの研究テーマに沿った関係文献を読み込む		小宮山
8	それぞれの研究テーマに沿った関係文献を読み込む		小宮山
9	卒業研究データ収集　1		小宮山
10	卒業研究データ収集　2		小宮山
11	卒業研究データ収集　3		小宮山

12	卒業研究データ収集　4		小宮山
13	卒業研究データ収集　5		小宮山
14	卒業研究データ収集　6		小宮山
15	研究中間データ報告会	発表用データ持参すること	小宮山
16	文献抄読会 1		小宮山
17	文献抄読会 2		小宮山
18	文献抄読会 3		小宮山
19	研究結果統計解析 1		小宮山
20	研究結果統計解析 2		小宮山
21	研究結果統計解析 3		小宮山
22	研究結果統計解析 4		小宮山
23	研究結果統計解析 5		小宮山
24	研究結果統計解析 6		小宮山
25	研究室内発表会予演会		小宮山
26	研究内容まとめ（研究データ作成）		小宮山
27	研究内容まとめ　修正予備日　1		小宮山
28	研究内容まとめ　修正予備日　2		小宮山
29	研究内容まとめ　修正予備日　3		小宮山
30	中間発表会	発表用データ持参すること	小宮山
成績評価方法と基準			割合
1. 中間データ報告会　15 コマ目　2. 中間発表会及び抄録の提出　30 コマ目　・全授業のうち 4/5 以上の出席を必要とする　DP①④			1. 40%　2. 60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):森				
主担当教員	森 誠司		担当教員	森 誠司	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜1限)、後期(木曜5限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

がんの進展メカニズムについて in vitro の解析法を主体に研究をおこなう。卒業研究Ⅰではとくに研究に必要な基礎的素養を見つける。まず当該研究のバックグラウンドから課題を抽出することに十分な時間を割き方向性を見極める。この過程を通して外国語論文の読解力を養うとともに、論文作成の基礎を修得する。次に、卒業研究 II を視野に入れて研究計画を立案する。実験の施行にあたっては、まず実験系の確立と予備実験をおこなう。最終的には、得られたデータから仮説の検証等の考察を加え、他者に説明できるようにする。

学修目標

1. 研究倫理について理解することができる。 2. 当該研究領域に関連する資料および文献収集ができる。 3. 当該研究における実験または調査などの研究方法を理解する。 4. 実現可能な適切な研究計画を作成でき、実行できる。 5. 得られた結果を分析しまとめ考察ができる。 6. 研究成果をプレゼンテーションができる。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指示する

参考書

指示する

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	1から6回：研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	森
2	7から9回：実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	森
3	10から12回：プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	森
4	13から15回：実験系の確立	実験手法を修得するとともに予備実験をおこなう	森
5	16から25回：実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	森
6	26から29回：結果のまとめ、解釈	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	森
7	30回：プレゼンテーションの準備	図表等の発表資料の作成。論理的に説明する	森
8			
9			
10			
11			

12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
研究計画書および実験記録の内容 30%、実験の取り組み 30%、中間報告会での発表 40%を評価対象とする。 4/5 以上の出席が必要 DP①④			30% 30% 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(検査):脇				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦	
科目ナンバリング	SS20BMTC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 1 限)、後期(木曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1～2 年生で学んだ知識と技術を基礎として、臨床病態学の検査領域について研究する。　担当教員の指導を基に研究計画、結果のまとめ方、発表方法の基礎について学ぶ。　卒業発表に向けての基礎実践力を養う。

学修目標

①　研究倫理について理解することができる。　②　本講座を通して、探究心を養う。　③　調査方法と結果のまとめ方を養う。④　結果の発表方法を学ぶ。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

調査･研究テーマについて十分に理解し、積極的に行う。　疑問点は指導教員への質問や討論を通して理解に努める。　研究室のメンバーとして、節度ある行動に心がける。

教科書

特に定めない。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

研究室における指導に準じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	超音波診断学における（循環器、消化器疾患）での研究テーマ、研究方法、結果のまとめ方、発表方法の概論①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
2	超音波診断学における（循環器、消化器疾患）での研究テーマ、研究方法、結果のまとめ方、発表方法の概論②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
3	超音波診断学における（循環器、消化器疾患）での研究テーマ、研究方法、結果のまとめ方、発表方法の概論③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
4	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編　①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
5	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編　②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
6	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編　③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
7	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編　④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
8	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編　⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。(1 時間)	脇英彦
9	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編　⑥	予習:調査･研究テーマについて十分に理解する。(1 時間)　復習：疑問点を理解する。	脇英彦

		（1 時間）	
10	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編⑦　研究デザインの組み方①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
11	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の手技基礎編⑧　研究デザインの組み方②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
12	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編①　研究デザイン設定	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
13	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編②　研究課題設定	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
14	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編③　研究課題決定	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇　英彦
15	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
16	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編卒業研究に必要なデータ収集②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
17	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
18	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
19	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
20	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑥	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
21	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑦	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
22	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑧	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
23	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑨	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
24	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑩中間報告への小括準備①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
25	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑪中間報告への小括準備②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
26	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑫中間報告への小括準備③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
27	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑬中間報告への小括準備④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
28	心臓超音波検査、肝胆膵超音波検査、血管超音波検査の実践編　卒業研究に必要なデータ収集⑭中間報告への小括準備⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：疑問点を理解する。（1 時間）	脇英彦
29	中間発表会①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。（1 時間）　復習：問題点を見つける。（1 時間）	脇英彦

30	中間発表会②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：問題点を見つける。(1 時間)	脇英彦
成績評価方法と基準			割合
1、出席は 4/5 以上とする。　2、抄録の提出　フィードバック：各ステップごとに進行状況を提出、追加実験も含めて修正し、研究を進める。			抄録 100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（検査）:松尾				
主担当教員	松尾　明彦		担当教員	松尾　明彦	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床微生物学に関する研究を行う。　臨床微生物学領域の文献検索方法、研究計画の立て方、基本的な実験手法、研究データの解析方法、論文の書き方、研究発表方法について学ぶ。

学修目標

1. 研究領域に関連する資料や文献収集ができる。　2. 研究計画を作成できる。　3. 基本的な実験手法を習得する。　4. 得られた結果を分析し、考察できる。　5. 研究データをまとめて論文にできる。　6. 研究成果をプレゼンテーションできる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めていくが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

特に定めない。

参考書

適宜プリント及び資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階教職員室および 6 階実習室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	中間報告の振り返り	中間報告を踏まえて今後の研究の方向性を担当教員とディスカッションする。	松尾
2	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
3	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
4	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
5	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
6	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
7	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
8	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
9	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
10	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
11	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
12	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
13	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
14	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾
15	実験	実験を行い、データを収集する。	松尾

16	データの考察	得られた実験結果を解析し、考察する。	松尾
17	データの考察	得られた実験結果を解析し、考察する。	松尾
18	データの考察	得られた実験結果を解析し、考察する。	松尾
19	データの考察	得られた実験結果を解析し、考察する。	松尾
20	データの考察	得られた実験結果を解析し、考察する。	松尾
21	卒業論文作成	研究成果をまとめて論文を作成する。　論文の作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
22	卒業論文作成	研究成果をまとめて論文を作成する。　論文の作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
23	卒業論文作成	研究成果をまとめて論文を作成する。　論文の作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
24	卒業論文作成	研究成果をまとめて論文を作成する。　論文の作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
25	卒業論文作成	研究成果をまとめて論文を作成する。　論文の作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
26	卒業論文発表準備	研究成果をスライドにまとめて発表準備を行う。　研究発表スライドの作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
27	卒業論文発表準備	研究成果をスライドにまとめて発表準備を行う。　研究発表スライドの作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
28	卒業論文発表準備	研究成果をスライドにまとめて発表準備を行う。　研究発表スライドの作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
29	卒業論文発表準備	研究成果をスライドにまとめて発表準備を行う。　研究発表スライドの作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
30	卒業論文発表準備	研究成果をスライドにまとめて発表準備を行う。　研究発表スライドの作成方法については担当教員が適宜指導する。	松尾
成績評価方法と基準			割合
卒業研究報告会での発表および卒業論文を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要である。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(検査):野田				
主担当教員	野田　大孝		担当教員	野田　大孝	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

卒業研究 Ⅰ で扱った内容を発展的に研究する。

学修目標

1. 研究倫理について理解する。〈DP①〉　2. 当該研究に関連する文献検索ができる。〈DP①〉　3. 当該研究に関連する研究内容を理解する。〈DP①〉　4. 実現可能な研究計画を作成し、実行ができる。〈DP①〉　5. 研究結果を分析、考察ができる。〈DP①④〉　6. 研究成果を論文作成、プレゼンテーションができる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学生自身の主体性を重視する。指導教員は適宜対応する。

教科書

特に定めない。

参考書

特に定めない。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に応じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の振り返り	卒業研究　Ⅰ で扱った内容を復習する。	野田
2	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討①	予習：関連研究の文献調査　復習：卒業研究 Ⅰ の内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	野田
3	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討②	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討②
4	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討③	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	野田
5	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討④	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	野田
6	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑤	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	野田
7	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑥	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	野田
8	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑦	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	野田
9	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑧	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ2時間ずつ行うこと。	野田

10	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑨	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
11	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑩	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
12	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑪	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
13	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑫	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
14	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑬	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
15	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の小括	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
16	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑭	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
17	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑮	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
18	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑯	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
19	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑰	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
20	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑱	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
21	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑲	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
22	卒業研究　Ⅰ で扱った内容の発展的内容の検討⑳	予習：関連研究の文献調査　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
23	卒業論文 原案 作成①	予習：関連研究論文の書式、項目等の確認　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
24	卒業論文 原案 作成②	予習：関連研究論文の確認　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
25	卒業論文 原案 作成③	予習：関連研究論文の確認　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
26	卒業論文　推敲①	予習：関連研究論文の確認　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
27	卒業論文　推敲②	予習：関連研究論文の確認　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
28	卒業論文　推敲③	予習：関連研究論文の確認　復習：これまでの内容確認　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
29	卒業論文の客観的評価	予習：関連研究論文の確認　復習：指摘された点の適宜修正　なお、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	野田
30	卒業論文	予習：卒業論文の確認　復習：評価された点、指摘を受けた点、所要時間や、予測していたより時間を要した作業の振り返り　な	野田

		お、予習と復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
成績評価方法と基準			割合
1.卒業論文の提出および内容プレゼンテーション			1:100% 〈DP①④〉

授業科目名	卒業研究Ⅱ(検査):小林 渉				
主担当教員	小林 渉		担当教員	小林 渉	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

1～3 年生で学んだ知識と技術を基礎として、臨床病態学の検査領域について研究する。 担当教員の指導を基に研究計画、結果のまとめ方、発表方法について学ぶ。 卒業発表に向けての実践力を養う。

学修目標

① 調査方法と結果のまとめ方を養う。 ② 結果の発表方法を学ぶ。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

調査・研究テーマについて十分に理解し、積極的に行う。 疑問点は指導教員への質問や討論を通して理解に努める。 研究室のメンバーとして、節度ある行動に心がける。

教科書

特に定めない。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

研究室における指導に準じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究に必要なデータ収集①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
2	卒業研究に必要なデータ収集②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
3	卒業研究に必要なデータ収集③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
4	卒業研究に必要なデータ収集④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
5	卒業研究に必要なデータ収集⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
6	卒業研究に必要なデータ収集⑥	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
7	卒業研究に必要なデータ収集⑦	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
8	卒業研究に必要なデータ収集⑧	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
9	データの解析と分析①	予習:調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
10	データの解析と分析②	予習:調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
11	データの解析と分析③	予習:調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
12	データの解析と分析④	予習:調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
13	データの解析と分析⑤	予習:調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林
14	データの解析と分析⑥	予習:調査・研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	小林

15	データの解析と分析⑦	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
16	データの解析と分析⑧	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
17	データの解析と分析⑨	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
18	データの解析と分析⑩	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
19	データの解析と分析⑫	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
20	データの解析と分析⑬	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
21	データの解析と分析⑭	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
22	データの解析と分析⑮	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
23	データの解析と分析⑯	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
24	データの解析と分析⑰	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
25	データの解析と分析⑱	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
26	成果発表①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
27	成果発表②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
28	成果発表③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
29	成果発表④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
30	成果発表⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	小林
成績評価方法と基準			割合
1、出席は 4/5 以上とする。　2、発表会もしくは抄録の提出　　DP①④			発表もしくは抄録 100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（検査):関根				
主担当教員	関根　将		担当教員	関根　将	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

今までに学んだ知識と技術を基礎にして研究活動を行う。　担当教員の指導を基に研究計画、結果のまとめ方、発表方法について学ぶ。　卒業発表に向けての実践力を養う。

学修目標

調査方法と結果をまとめる技術を身につける。　結果の発表方法を学ぶ。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究テーマについて十分に理解し、積極的に参加する。　疑問点は質問や議論を通じて解決を図る。　研究室のメンバーとして節度ある行動に努める。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書

適宜指示を行う。

研究室／オフィスアワー

在室時は適宜。　月曜は終日不在のことが多いです。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	データ収集 1	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
2	データ収集 2	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
3	データ収集 3	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
4	データ収集 4	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
5	データ収集 5	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
6	データ収集 6	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
7	データ収集 7	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
8	データ収集 8	予習：研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。	関根
9	データの解析と分析 1	予習：研究テーマについて十分に理解する。復習：疑問点を理解する。	関根
10	データの解析と分析 2	予習：研究テーマについて十分に理解する。復習：疑問点を理解する。	関根
11	データの解析と分析 3	予習：研究テーマについて十分に理解する。復習：疑問点を理解する。	関根
12	データの解析と分析 4	予習：研究テーマについて十分に理解する。復習：疑問点を理解する。	関根
13	データの解析と分析 5	予習：研究テーマについて十分に理解する。復習：疑問点を理解する。	関根
14	データの解析と分析 6	予習：研究テーマについて十分に理解する。復習：疑問点を理解する。	関根

15	データの解析と分析 7	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
16	データの解析と分析 8	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
17	データの解析と分析 9	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
18	データの解析と分析 10	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
19	データの解析と分析 11	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
20	データの解析と分析 12	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
21	データの解析と分析 13	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
22	データの解析と分析 14	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
23	データの解析と分析 15	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
24	データの解析と分析 16	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
25	データの解析と分析 17	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
26	成果発表 1	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
27	成果発表 2	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
28	成果発表 3	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
29	成果発表 4	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
30	成果発表 5	予習：研究テーマについて十分に理解する。 復習：疑問点を理解する。	関根
成績評価方法と基準			割合
出席は 4/5 以上とする。　発表会もしくは抄録の提出。			発表会もしくは抄録 100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（検査):佐伯				
主担当教員	佐伯　康匠		担当教員	佐伯　康匠	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

微生物検査に関する研究をおこなう。卒業研究 II では、まず当該研究のバックグラウンドから課題を抽出し方向性を見極める。「卒業研究 I」に引き続き実現可能な研究計画を立案する。仮説の検証のための実験を中心に研究を進める。最終的には、得られたデータをまとめ、考察を加え、論文の作成をおこなう。

学修目標

１．当該研究領域に関連する資料および文献収集ができる　２．当該研究における実験または調査などの研究方法を理解する。３．実現可能な適切な研究計画を作成でき、実行できる　４．得られた結果を分析しまとめ考察ができる。　５．研究成果をプレゼンテーションおよび論文作成ができる。　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指示する。

参考書

指示する。

研究室／オフィスアワー

キャナルポート 7 階教職員室および 6 階実習室／火・木・金曜日随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	佐伯
2	研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	佐伯
3	研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	佐伯
4	実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	佐伯
5	実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	佐伯
6	実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	佐伯
7	プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	佐伯
8	プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	佐伯
9	プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	佐伯
10	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯
11	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯
12	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯
13	実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	佐伯
14	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯

15	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
16	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
17	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
18	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
19	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
20	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
21	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
22	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
23	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
24	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
25	実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	佐伯
26	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
27	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
28	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
29	結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	佐伯
30	30 回：プレゼンテーションの準備	図表等の発表資料の作成。論理的に説明する	佐伯
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、卒業研究報告会での発表および卒業研究論文を評価対象とする。〈DP①④〉　4/5 以上の出席が必要　　発表内容・論文については随時添削を行う。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(検査):藤原				
主担当教員	藤原　牧子		担当教員	藤原　牧子	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療に関する研究の一連の流れを修得するために、特に血液検査（形態学的検査、止血凝固検査）を用いて疑問を解決する方法について学ぶ。この講義では卒業研究Ⅰで実施した研究内容について客観的な視点からその妥当性や追加検討の必要性について考察し、最終的な結論としてまとめる。その過程でプレゼンテーションスキルの向上と研究の研鑽を目的とした研究発表の機会を設ける。

学修目標

・研究発表をすることができる〈DP①④〉　・論文形式でまとめることができる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究を計画的に進めるために自ら行動することが望ましい

教科書

必要に応じて資料を配布する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階職員室 16 時～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究 1 の進捗報告会①	卒業研究Ⅰの成果をパワーポイントにまとめる	藤原
2	卒業研究 1 の進捗報告会②	卒業研究Ⅰの成果をパワーポイントにまとめる	藤原
3	研究の振り返りと追加実験①	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
4	研究の振り返りと追加実験②	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
5	研究の振り返りと追加実験③	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
6	研究の振り返りと追加実験④	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
7	研究の振り返りと追加実験⑤	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
8	研究の振り返りと追加実験⑥	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
9	研究の振り返りと追加実験⑦	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原

10	研究の振り返りと追加実験⑧	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
11	研究の振り返りと追加実験⑨	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
12	研究の振り返りと追加実験⑩	過去に実施された類似の研究論文を検索し、研究内容の整合性を確認する　追加実験計画の立案と実施	藤原
13	論文作成①	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
14	論文作成②	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
15	論文作成③	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
16	論文作成④	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
17	論文作成⑤	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
18	論文作成⑥	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
19	論文作成⑦	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
20	論文作成⑧	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
21	論文作成⑨	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
22	論文作成⑩	過去に実施された類似の研究論文を参考に卒業論文としてまとめる。　背景、目的、方法、結果、考察の流れで、図表やグラフを用いてわかりやすく記載すること。　論文の形式などは適宜具体的に指示する。	藤原
23	論文提出と修正①	1 稿目の提出　適宜修正箇所について具体的に指示する。　指摘箇所について、関連する論文による考察を追加するなど修正を加えながら第２稿を作成する。	藤原

24	論文提出と修正②	1 稿目の提出　適宜修正箇所について具体的に指示する。 指摘箇所について、関連する論文による考察を追加するなど修正を加えながら第２稿を作成する。	藤原
25	論文提出と修正③	1 稿目の提出　適宜修正箇所について具体的に指示する。 指摘箇所について、関連する論文による考察を追加するなど修正を加えながら第２稿を作成する。	藤原
26	論文提出と修正④	1 稿目の提出　適宜修正箇所について具体的に指示する。 指摘箇所について、関連する論文による考察を追加するなど修正を加えながら第２稿を作成する。	藤原
27	論文提出と修正⑤	1 稿目の提出　適宜修正箇所について具体的に指示する。 指摘箇所について、関連する論文による考察を追加するなど修正を加えながら第２稿を作成する。	藤原
28	論文提出と修正⑥	1 稿目の提出　適宜修正箇所について具体的に指示する。 指摘箇所について、関連する論文による考察を追加するなど修正を加えながら第２稿を作成する。	藤原
29	論文提出と修正⑦	1 稿目の提出　適宜修正箇所について具体的に指示する。 指摘箇所について、関連する論文による考察を追加するなど修正を加えながら第２稿を作成する。	藤原
30	論文提出（最終）	最終的な文書の校正をおこない、卒業論文として提出する	藤原
成績評価方法と基準			割合
論文の提出と講義内に実施する進捗報告会での発表〈DP①④〉　【フィードバック方法】講義内で適宜説明する			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(検査):田路・小林彩香				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、データ解析などを行う。　細胞診領域の研究を行う。　研究成果として、卒業研究報告書をまとめる。

学修目標

1.研究倫理について理解することができる。　2.専門領域について文献収集ができる。　3.専門領域における実験などの研究方法を理解する。　4.研究に関して、論理的思考・解析・考察ができる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.教員とよく話し合って研究活動を進めること。　2.期日を守ること。

教科書

特に定めない。

参考書

特に定めない。

研究室／オフィスアワー

田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　中間報告を踏まえて今後の方向性を検討	再検討内容をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
2	研究データの収集と解析①	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
3	研究データの収集と解析②	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
4	研究データの収集と解析③	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
5	研究データの収集と解析④	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
6	研究データの収集と解析⑤	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
7	研究データの収集と解析⑥	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
8	研究データの収集と解析⑦	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
9	研究データの収集と解析⑧	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
10	研究データの収集と解析⑨	研究データを収集し、解析する。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
11	卒業研究報告書作成準備①	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
12	卒業研究報告書作成準備②	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
13	卒業研究報告書作成準備③	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香

14	卒業研究報告書作成準備④	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
15	卒業研究報告書作成準備⑤	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
16	卒業研究報告書作成準備⑥	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
17	卒業研究報告書作成準備⑦	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
18	卒業研究報告書作成準備⑧	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
19	卒業研究報告書作成準備⑨	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
20	卒業研究報告書作成準備⑩	文献を読み、卒業研究報告書の準備をする。課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
21	卒業研究報告書作成①	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
22	卒業研究報告書作成②	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
23	卒業研究報告書作成③	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
24	卒業研究報告書作成④	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
25	卒業研究報告書作成⑤	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
26	卒業研究報告書作成⑥	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
27	卒業研究報告書作成⑦	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
28	卒業研究報告書作成⑧	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
29	卒業研究報告書作成⑨	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
30	卒業研究報告書作成⑩	卒業研究報告書をまとめる。　課題学習（1.5 時間）	田路英作　小林彩香
成績評価方法と基準			割合
1.研究成果として、指導教員に卒業研究報告を行う。期限までに卒業研究報告書作成をまとめる。　2.全授業の 4/5 の出席を必要とする。　DP①④			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（検査）:小宮山				
主担当教員	小宮山　恭弘		担当教員	小宮山　恭弘	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

演習

学修目標

3 年次実施した研究前のデータ収集法より求めた、実験データから予測された結果との相違点や　その理由など、過去の文献などから考察する。　今回の実験方法の検証結果、方法、結果、考察にまとめ参考引用文献を加え卒業論文を作成する。　DP①④

履修上の注意（学生へのメッセージ）

3 年次に実施した実験方法の検証データをまとめておくこと。

教科書

卒業研究 1 で使用したものを継続して使用する。

参考書

演習内で適時配布する。

研究室／オフィスアワー

月曜日 18 時以降

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究方法に関連する過去の文献の整理。	統計手法確認しておく。	小宮山
2	研究方法に関連する過去の文献の整理。	統計手法確認しておく。	小宮山
3	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
4	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
5	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
6	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
7	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
8	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
9	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
10	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
11	収集データ　統計学的検討	適時具体的に指示する。	小宮山
12	収集データ　統計学的検討	適時具体的に指示する。	小宮山
13	実験計画に基づきデータ収集	適時具体的に指示する。	小宮山
14	卒業論文下書き	適時具体的に指示する。	小宮山
15	卒業論文下書き	卒業論文下書き　誤字脱字　フォント等体裁に問題がないか自信でチェック	小宮山
16	卒業論文　下書き	卒業論文下書き　誤字脱字　フォント等体裁に問題がないか自信でチェック	小宮山

17	図表　グラフ　作成	医療で用いる統計学的手法を学習しておく	小宮山
18	図表　グラフ　作成	医療で用いる統計学的手法を学習しておく	小宮山
19	実験データ　統計解析と検証	過去の関係文献と比較して検証を行っておく	小宮山
20	実験データ　統計解析と検証	過去の関係文献と比較して検証を行っておく	小宮山
21	実験データ　統計解析と検証	過去の関係文献と比較して検証を行っておく	小宮山
22	実験データ　統計解析と検証	過去の関係文献と比較して検証を行っておく	小宮山
23	追加実験　検証作業	自身の作成した図表と関連文献とを比較して検証を行っておく	小宮山
24	追加実験　検証作業	自身の作成した図表と関連文献とを比較して検証を行っておく	小宮山
25	論文作成作業	自身の作成した論文下書きと関連文献とを比較して検証を行っておく	小宮山
26	論文作成作業	自身の作成した論文下書きと関連文献とを比較して検証を行っておく	小宮山
27	予演会	自身の作成した論文下書きと関連文献とを比較して検証を行っておく	小宮山
28	論文修正作業	参考引用文献を整理	小宮山
29	論文修正作業	参考引用文献を整理	小宮山
30	論文完成	論文を自身で校正しておく。	小宮山
成績評価方法と基準			割合
卒業論文提出をもって単位取得とする。　2/3 以上の出席が必要。　DP①④			論文提出 100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(検査):川畑				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

1～3 年生で学んだ知識と技術を基礎として、実験病理学の検査領域について研究する。　担当教員の指導を基に研究計画、結果のまとめ方、発表方法について学ぶ。　卒業発表に向けての実践力を養う。

学修目標

①　調査方法と結果のまとめ方を養う。　②　結果の発表方法を学ぶ。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

調査・研究テーマについて十分に理解し、積極的に行う。　疑問点は指導教員への質問や討論を通して理解に努める。　研究室のメンバーとして、節度ある行動に心がける。

教科書

適宜資料などを配布いたします。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室 707／木、金 17：00 以降ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究に必要なデータ収集①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
2	卒業研究に必要なデータ収集②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
3	卒業研究に必要なデータ収集③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
4	卒業研究に必要なデータ収集④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
5	卒業研究に必要なデータ収集⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
6	卒業研究に必要なデータ収集⑥	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
7	卒業研究に必要なデータ収集⑦	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑

8	卒業研究に必要なデータ収集⑧	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
9	データの解析と分析①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
10	データの解析と分析②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
11	データの解析と分析③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
12	データの解析と分析④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
13	データの解析と分析⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
14	データの解析と分析⑥	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
15	データの解析と分析⑦	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
16	データの解析と分析⑧	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
17	データの解析と分析⑨	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
18	データの解析と分析⑩	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
19	データの解析と分析⑪	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
20	データの解析と分析⑫	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
21	データの解析と分析⑬	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
22	データの解析と分析⑭	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
23	データの解析と分析⑮	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
24	データの解析と分析⑯	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
25	データの解析と分析⑰	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
26	成果発表①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
27	成果発表②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
28	成果発表③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予	川畑

		習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	
29	成果発表④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
30	成果発表⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。　復習：疑問点を理解する。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間はおこなうこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 卒業論文（もしくは抄録）の提出　DP①④　2. 出席は 4/5 以上とする。　3. 研究に対するフィードバック：実験時や卒業論文作成時に、必要に応じて指導、解説する。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（検査）:森				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

がんの進展メカニズムについて in vitro の解析法を主体に研究をおこなう。卒業研究 II では、まず当該研究のバックグラウンドから課題を抽出し方向性を見極める。「卒業研究 I」に引き続き実現可能な研究計画を立案する。仮説の検証のための実験を中心に研究を進める。最終的には、得られたデータをまとめ、考察を加え、論文の作成をおこなう。

学修目標

１．当該研究領域に関連する資料および文献収集ができる　２．当該研究における実験または調査などの研究方法を理解する。３．実現可能な適切な研究計画を作成でき、実行できる　４．得られた結果を分析しまとめ考察ができる。　５．研究成果をプレゼンテーションおよび論文作成ができる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指示する。

参考書

指示する。

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	1 から 3 回：研究領域の理解と文献抄読	背景について担当教員と議論し理解する	森
2	4 から 6 回：実験仮説と方法の立案	論文検索をおこない課題を抽出する	森
3	7 から 9 回：プロトコルの作成	論理的かつ実現可能な計画を策定する	森
4	10 から 13 回：実験系の確立	実験条件の決定のため予備実験をおこなう	森
5	14 から 25 回：実験実施（データ収集、解析）	実験データを収集し適宜解釈を加え方向性を見極める	森
6	26 から 29 回：結果のまとめ、解釈	得られたデータを考察する。論文作成。	森
7	30 回：プレゼンテーションの準備	図表等の発表資料の作成。論理的に説明する	森
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①研究計画書および実験記録の内容　②実験の取り組み　③研究発表　④研究報告書（卒業論文）　を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要　　DP①④			① 20%　② 20%　③ 20%　④ 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(検査):脇				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦	
科目ナンバリング	SS20BMTC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1～3 年生で学んだ知識と技術を基礎として、超音波診断学の検査領域について研究する。 担当教員の指導を基に研究計画、結果のまとめ方、発表方法について学ぶ。 卒業発表に向けての実践力を養う。

学修目標

① 調査方法と結果のまとめ方を養う。 ② 結果の発表方法を学ぶ。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

調査･研究テーマについて十分に理解し、積極的に行う。 疑問点は指導教員への質問や討論を通して理解に努める。 研究室のメンバーとして、節度ある行動に心がける。

教科書

特に定めない。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

研究室における指導に準じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究に必要なデータ収集①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)	脇英彦
2	卒業研究に必要なデータ収集②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
3	卒業研究に必要なデータ収集③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
4	卒業研究に必要なデータ収集④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
5	卒業研究に必要なデータ収集⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
6	卒業研究に必要なデータ収集⑥	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
7	卒業研究に必要なデータ収集⑦	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
8	データの解析と分析①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
9	データの解析と分析②	予習:調査･研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習:疑問点を理解する。(2 時間)	脇英彦
10	データの解析と分析③	予習:調査･研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習:疑問点を理解する。	脇英彦

		（2 時間）	
11	データの解析と分析④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
12	データの解析と分析⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
13	データの解析と分析⑥	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
14	データの解析と分析⑦	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
15	データの解析と分析⑧	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
16	データの解析と分析⑨	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
17	データの解析と分析⑩	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
18	卒業研究報告書作成準備①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
19	卒業研究報告書作成準備②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
20	卒業研究報告書作成準備③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
21	卒業研究報告書作成準備④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
22	卒業研究報告書作成準備⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
23	卒業研究報告書作成①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
24	卒業研究報告書作成②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
25	卒業研究報告書作成③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
26	卒業研究報告書作成④	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
27	卒業研究報告書作成⑤	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
28	成果発表①	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
29	成果発表②	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦
30	成果発表③	予習：調査・研究テーマについて十分に理解する。(2 時間)　復習：疑問点を理解する。（2 時間）	脇英彦

成績評価方法と基準	割合
1. 抄録「研究テーマの実験結果と考察」(1200 文字程度) ＜DP1＞　2.　実技演習　研究テーマについて実技演習もしくは発表を行う。＜DP1＞　※提出期限・作成方法等は授業内で説明　　※評価基準：ルーブリックを提示　※【フィードバック方法】　ルーブリック評価の結果とともに必要によりコメントを付記して返却する。　　出席基準：出席率は 4/5 以上とする。　　DP①④	演習発表もしくは抄録 100%

授業科目名	臨地実習（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／松尾　明彦	
科目ナンバリング	SS20BMTC043	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	7 単位	必修･選択	必修

授業概要

学内での臨地実習前教育（OSCE）　1 単位　臨床検査技師　臨地実習ハンドブック使用　臨地実習　11 単位（9 月最終週から 12 月 1 週目　合計 11 週間）合計 12 単位で評価する。　OSCE は臨地実習同様欠席・遅刻は認めない　服装は臨地実習時同様。　臨地実習病院で臨床検査を体験し、学習する。　検体検査と生理検査の複数部署で診療の現場行われている検査を見学、体験して学習する。　臨地実習ガイドラインに沿って、到達目標を定め検査手技のみではなく、患者のプライバシー保護を考慮した患者対応ができる　ことを目指す。　臨地実習での機器取り扱いについては、医療安全を第一に優先しながら、機器操作手順を遵守する。　病院情報システムの利用に際しては、データ漏洩防止はもちろん、ネチケット・データの 1 次利用・2 次利用についても学修する。

学修目標

①　実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。　②　採血業務と生理検査では、患者に対するマナーと接遇の仕方を理解する。　③　臨床検査技師のチーム医療への役割について理解する。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

病院職員に礼儀正しい態度をとること。　病院は患者の治療を行う施設であるため､実習中の行動には十分配慮する。　今まで学習したことが基礎となるため、予習と復習を怠らず、臨床現場の検査を有意義に学ぶように努める。　以下に記載されている授業内容を実習中に行います(進捗は各施設により異なります)。　白衣・名札着用のこと。　デイリーレポート・各部署のまとめについて、期限を守って提出のこと。臨地実習中の体調不良や交通機関の遅延による　遅刻・休みなどは実習先の長へ電話連絡すること。　臨地実習中も体温チェックなどの体調管理を必ず実施すること。　臨床実習施設は患者への接遇を十分に配慮すること。　特に「身だしなみ（患者接遇に適さない服装、髪型等)」､「言葉遣い」「感染対策」に注意すること。　上記の接遇に反する行為が明らかな場合、単位不取得になることがあるので注意すること。

教科書

臨床検査技師　臨地実習ハンドブック　医歯薬出版株式会社　ISBN　978-4-263-22699-5　C3047

参考書

実習病院で配布される資料を用いる。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指導に準じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学内での臨地実習前教育（OSCE）　臨床検査技師臨地実習ハンドブックを用いて　生理機能検査、一般検査、臨床化学検査、血液学検査、輸血免疫学検査、微生物検査、採血について実習前に必要な技術と知識を確認評価する。	臨床検査技師　臨地実習ハンドブックの生理機能検査、一般検査、臨床化学検査、血液学検査、輸血免疫学検査、微生物検査、採血についてそれぞれ予習しておくこと。	学科　各科目担当教員
2	臨床現場での臨床検査の意義を学ぶ　医療現場の安全管理	医療安全学を復習する。(2 時間)　検査管理学を確認する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師

3	医療現場の感染対策	標準予防策を確認する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
4	採血業務の見学	採血手順を確認する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
5	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　①	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
6	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　②	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
7	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　③	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
8	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　④	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
9	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑤	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
10	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑥	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
11	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑦	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
12	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑧	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
13	検体部門（臨床微生物・病理等）　①	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
14	検体部門（臨床微生物・病理等）　②	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
15	検体部門（臨床微生物・病理等）　③	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
16	検体部門（臨床微生物・病理等）　④	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
17	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑤	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
18	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑥	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
19	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑦	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
20	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑧	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
21	臨床生理部門　①	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
22	臨床生理部門 ②	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
23	臨床生理部門 ③	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師

24	臨床生理部門 ④	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
25	臨床生理部門 ⑤	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
26	臨床生理部門 ⑥	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
27	臨床生理部門 ⑦	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
28	臨床生理部門 ⑧	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
29	緊急検査　①	実習病院で行われている緊急検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
30	緊急検査　②	実習病院で行われている緊急検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
成績評価方法と基準			割合
学内での臨地実習前教育（OSCE）　1 単位　臨地実習　11 単位　合計 12 単位として評価する　OSCE は臨地実習同様欠席・遅刻は認めない　服装は臨地実習時同様。　　臨地実習病院の指導者の評価と施設担当教員からの報告をもとに、学科長が総合評価をする。　DP①④　　フィードバック：各施設担当教員が、実習病院の巡回を行い学生の習熟度チェックを行う。　　隣地実習終了後に提出されたレポートをもとに口頭試問を行い、学修到達目標へ達しているかのチェックを行う。			5 段階評価

授業科目名	臨床細胞学概論（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTB044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限、木曜 4 限、木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

細胞診検査は腫瘍の良悪を判定する検査である。対象とする臓器は多岐にわたり、臓器により細胞採取方法が異なる。本科目では、細胞診が有用とされる臓器を中心に、検体の取り扱いおよび処理方法を学び、さらに細胞診断学を学ぶ上で必要な細胞像、組織像の形態的相違について理解する。剥離細胞診、擦過細胞診、穿刺細胞診など採取方法による細胞像の相違について学び、細胞診断学が発展した歴史的背景や細胞検査士の役割についても学ぶ。

学修目標

1.細胞診検査における標本作製法・染色法の原理と意義を説明できる。　2.細胞診が有用とされる臓器の細胞像、組織像の形態的相違について理解できる。　3.悪性腫瘍の形態学的特徴を説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　各論で示されている臓器の基本的な組織像と細胞像について理解しておくこと。

教科書

「病理学／病理検査学」松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章・小松京子・古田則行/医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-22364-2

参考書

「スタンダード細胞診テキスト」　　医歯薬出版株式会社

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	細胞診の役割と細胞検査士	予習（0.5 時間）：細胞診検査の対象臓器と細胞検査士の役割について調べる。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	組織診断と細胞診断の違い	予習（0.5 時間）：組織診標本と細胞診標本の違いについて調べる。　復習：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	各臓器における検体採取と処理法	予習（0.5 時間）：教科書の該当部分を読んで理解する。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	細胞診発展の経緯と展望	予習（0.5 時間）：細胞診検査発展の歴史について調べる。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
5	正常細胞と悪性細胞の特徴	予習（0.5 時間）：教科書の「スクリーニングの目的と実際」の項を読んで理解する。	田路英作　小林彩香　野田

		復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	大孝　由谷親夫
6	細胞診の組織型推定	予習（0.5 時間）：細胞診検査対象臓器の正常細胞種類について調べる。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	婦人科細胞診の判定方法と基本的な見方	予習（0.5 時間）：教科書の該当部分を読んで理解する。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	呼吸器細胞診の判定方法と基本的な見方	予習（0.5 時間）：教科書の該当部分を読んで理解する。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	消化器細胞診の判定方法と基本的な見方	予習（0.5 時間）：教科書の該当部分を読んで理解する。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	乳腺・甲状腺細胞診の判定方法と基本的な見方	予習（0.5 時間）：乳腺腫瘍と甲状腺腫瘍について調べる。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	泌尿器細胞診の判定方法と基本的な見方	予習（0.5 時間）：教科書の該当部分を読んで理解する。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	体腔液細胞診の判定方法と基本的な見方	予習（0.5 時間）：教科書の該当部分を読んで理解する。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	その他領域で実施される細胞診	予習（0.5 時間）：教科書の「脳髄液の細胞診と穿刺細胞診」の該当部分を読んで理解する。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	液状化細胞診の特徴	予習（0.5 時間）：細胞診の液状化検体について調べる。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	集団検診における細胞診	予習（0.5 時間）：集団検診に使われる細胞診判定区分について調べる。　復習（1 時間）：授業内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
成績評価方法と基準			割合
1.小テスト　2.定期試験			1.20%　2.80%

授業科目名	臨床細胞学実習Ⅰ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷　親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTB045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

細胞診標本には多数の細胞が塗抹されており、一例を挙げると子宮頸部細胞診では１枚の標本に数万個の細胞が塗抹されている。細胞検査士は、スクリーニングにより標本中の異型細胞を検出し、良性・悪性・境界領域の判定をする。本科目では、標本中に僅かに出現している異型細胞を検出するためのスクリーニングの基礎実習を行う。これにより、各臓器の正常細胞の基本形態を習得するとともに、悪性細胞を含む異型細胞形態についても学ぶ。また、顕微鏡の取り扱いや標本作製法についても学ぶ。

学修目標

1.顕微鏡の原理と取り扱い方が説明できる。 2.細胞診標本の作製法が説明できる。 3.特徴的形態を示す悪性細胞が判定できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

標本作製実習中は白衣を着用のこと。　諸注意を聞かない状態での途中入室は認めない。　スケッチを行うので、色鉛筆とスケッチノートを持参すること。　国家試験では写真問題も出題されるので特徴的な細胞像は講義内容と関連付けて理解すること。

教科書

「病理学／病理検査学」松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章・小松京子・古田則行/医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-22364-2

参考書

「スタンダード細胞診テキスト」　　医歯薬出版株式会社

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	顕微鏡の取り扱い方法	予習（0.5 時間）：光学顕微鏡の構造について調べる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	スクリーニングの実際	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	尿細胞診検体の作成法	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。（液状検体作成を中心に）　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	Papanicolaou 染色法	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。（Papanicolaou 染色を中心に）　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫

5	子宮頸部の正常扁平上皮細胞と扁平上皮癌	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。（正常細胞と扁平上皮癌細胞を中心に）　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
6	子宮頸部の正常腺細胞と腺癌	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。（正常細胞と腺癌細胞を中心に）　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	子宮頸部扁平上皮系の前癌病変	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。（LSIL と HSIL を中心に）　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	喀痰細胞診の正常細胞と扁平上皮癌	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	喀痰細胞診の扁平上皮癌と腺癌	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	胃捺印標本の良性細胞と腺癌	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	乳腺穿刺細胞診の良性細胞と悪性細胞	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	甲状腺穿刺細胞診の良性細胞と悪性細胞	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	尿路上皮の正常細胞、ウイルス感染細胞、尿路上皮癌	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	反応性中皮細胞と転移性腺癌細胞	予習（0.5 時間）：前期講義「臨床細胞学概論」の該当部分を復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	細胞学実習総括　（実習で鏡検した細胞像のまとめ）	予習（0.5 時間）：実習で鏡検した特徴的な悪性細胞像について復習してくる。　復習（1 時間）：実習内容をノートに整理する。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
成績評価方法と基準			割合
1.レポート　提出期限：実習内で説明します。　フィードバックの方法：レポートは評価後、全て本人に返却する。　2.定期試験　出題範囲：本講義・実習で扱った範囲。			1.30%　2.70%

授業科目名	臨床細胞学実習Ⅱ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷　親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC046	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限、火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

細胞診の基本染色は Papanicoloau 染色・Giemsa 染色であるが、細胞診断学の発展に伴い、特殊染色や免疫化学染色が実施され、より詳細な細胞診断が行われるようになった。これらの染色では染色までの前処理が重要である。本科目では、染色の前処理方法である、塗抹固定法を学び、各種染色技術についての実習を行う。また LBC 法、顕微鏡写真の撮影方法や、撮影画像を用いた細胞画像解析方法についても学ぶ。

学修目標

1.Papanicoloau 染色・Giemsa 染色・PAS 反応・Alcian blue 染色・免疫染色の原理、染色手順、結果が説明できる。　2.特殊染色と免疫染色の使用方法とマーカーの適応が選択できる。　3.顕微鏡のメンテナンスと写真撮影が行える。　4.顕微鏡写真で画像解析を行い細胞面積、N/C 比が計測できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.標本作製実習中は白衣を着用のこと。　2.諸注意を聞かない状態での途中入室は認めない。　3.スケッチは色鉛筆を使用するので持参すること。

教科書

1.「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-22684-1　2.実習計画書、参考資料（事前に配布する）

参考書

標準病理学　医学書院　細胞検査技術教本　丸善出版

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1.2　顕微鏡の基礎知識と操作法　写真撮影法	予習（1 時間）: 教科書「顕微鏡とその取扱い」を熟読しておくこと。また顕微鏡写真の画質について調べる。　復習（1 時間）: 講義内容を整理し理解しておくこと。また実習内容をレポートにまとめる。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	3.4　塗抹（LBC 法を含む）と湿固定法 Papanicolaou 染色	予習（1 時間）: 実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習（1 時間）: 講義内容を整理し理解しておくこと。また実習内容をレポートにまとめる。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	5.6　喀痰塗抹法と乾燥固定法　Giemsa 染色	予習（1 時間）: 実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習（1 時間）: 講義内容を整理し理解しておくこと。また実習内容をレポートにまとめる。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	7.8　細胞診スクリーニング　PAS 反応	予習（1 時間）: 実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習（1 時間）: 講義内容を整理し理解しておくこと。また実習内容をレポートにまとめる。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫

5	9.10　細胞診スクリーニング　Alcian blue 染色	予習（1 時間）：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。また実習内容をレポートにまとめる。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
6	11.12.13　免疫細胞化学染色Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　（免疫染色の原理、染色手順、結果）	予習（1 時間）：実習計画書の該当項目を勉強してくる。　復習（2 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。また実習内容をレポートにまとめる。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	14.15　細胞画像解析法Ⅰ・Ⅱ　（顕微鏡写真を使用した像解析法）	予習（1 時間）：画像解析ソフト ImageJ を使用しての細胞面積、N/C 比計測方法について調べる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。また実習内容をレポートにまとめる。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1.レポート　提出期限：実習内で説明します。　フィードバックの方法：レポートは評価後、全て本人に返却する。　2.定期試験　出題範囲：本講義・実習で扱った範囲。　3.実習での積極性　実習計画書の注意事項を守り、安全に実習できているかで評価します。			1. 40%　2. 50%　3. 10%

授業科目名	臨床細胞学総論Ⅰ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／森　誠司／小宮山　恭弘／脇英彦／小林　彩香／野田　大孝／由谷　親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC047	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限、水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、正常細胞の基本構造、臓器により異なる細胞の種類と特徴など、細胞基本形態と組織構築像に加え、悪性腫瘍の細胞像についても学ぶ。癌は遺伝子異常の蓄積により発症し、細胞形態に変化が現れることから腫瘍遺伝子学についても理解を深める。細胞診断は細胞形態のみで行うのではなく様々な臨床情報が重要であることから、近年大きく進歩した腫瘍画像診断の知識も養う。

学修目標

細胞小器官、細胞像、組織像について構造と機能について説明できる。　悪性腫瘍の細胞像や腫瘍遺伝子学・腫瘍画像診断学の基礎知識を身に付ける。　医療安全管理と労働安全管理について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　臓器の基本的な組織像と細胞像について理解しておくこと。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院　細胞検査技術教本　丸善出版

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	細胞と細胞小器官	予習（1 時間）: 教科書「細胞の構造」を熟読しておくこと。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	細胞分裂と細胞の分化	予習（1 時間）: 教科書「細胞周期（cell cycle）と細胞分裂（cell division)」を読む。また、組織の胚葉由来について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	細胞の種類と形態	予習（1 時間）: 四大組織の細胞種類と形態について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	病理組織学基礎　（各臓器の組織像）	予習（1 時間）: 各臓器の組織像について調べる。　復習（1 時間）: 講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
5	細胞の組織構築	予習（1 時間）: 細胞診で出現する細胞集塊の特徴について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこ	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親

		と。	夫
6	細胞診の適応と臓器	予習（1 時間）：細胞診の対象臓器について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	細胞像と組織診像の対比　（扁平上皮と腺上皮について）	予習（1 時間）：扁平上皮・腺上皮について組織像と細胞像の形態的類似点と相違点について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	癌の細胞像	予習（1 時間）：癌の細胞像の特徴について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	腫瘍遺伝子学Ⅰ　（発がんにおける遺伝子変異）	予習（1 時間）：発がんにおける遺伝子変異について調べる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。	森誠司
10	腫瘍遺伝子学Ⅱ　（病理検査で使われる遺伝子検査方法）	予習（1 時間）：病理検査で使われる遺伝子検査方法について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	森誠司
11	良性腫瘍と悪性腫瘍Ⅰ　（上皮性腫瘍の種類と特徴）	予習（1 時間）：上皮性腫瘍の種類と特徴について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	良性腫瘍と悪性腫瘍Ⅱ　（非上皮性腫瘍の種類と特徴）	予習（1 時間）：非上皮性腫瘍の種類と特徴について調べる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	腫瘍画像診断学Ⅰ　（放射線を使用した画像診断法）	予習（1 時間）：放射線を使用した画像診断法の種類とその画像について調べる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。	脇英彦　小宮山恭弘
14	腫瘍画像診断学Ⅱ　（超音波を使用した画像診断法）	予習（1 時間）：超音波を使用した画像診断法とその画像について調べる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。	脇英彦　小宮山恭弘
15	細胞診の精度・危機管理	予習（1 時間）：医療安全管理と労働安全管理及び細胞診の内部精度管理と外部精度管理について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			

29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト　　小テストは 2 回実施する。　　※次回の授業で、採点したものを返却し解説を行います。 2. 定期試験　　※出題範囲：授業で扱った範囲			1. 20%　2. 80%

授業科目名	臨床細胞学総論Ⅱ（検査）				
主担当教員	田路 英作		担当教員	田路 英作／小林 彩香／野田 大孝／由谷親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC048	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、子宮頸癌の判定方式である Bethesda System に端を発し、泌尿器の Paris System など臓器ごとに異なる判定方式が採用されている。本科目では、各臓器の判定区分や組織型について学ぶ。細胞診の基本染色である Papanicoloau 染色・Giemsa 染色、鑑別診断のための特殊染色や免疫細胞化学染色法の染色原理・方法および検体処理方法についても学ぶ。また、各種顕微鏡の種類や原理についても理解を深める。

学修目標

各種顕微鏡の原理や特徴を説明できる。 Papanicoloau 染色・Giemsa 染色・特殊染色・免疫化学染色法の特徴を理解し、目的に応じた染色法を選択できる。 各臓器の判定区分や腫瘍の組織型について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」 水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学 医学書院 細胞検査技術教本 丸善出版

研究室／オフィスアワー

由谷 親夫 C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。 田路 英作 C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。 小林 彩香 C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。 野田 大孝 C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	顕微鏡の種類と原理	予習（1 時間）: 教科書「顕微鏡とその取扱い」を熟読しておくこと。 復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫
2	細胞診スクリーニング法	予習（1 時間）: 教科書「スクリーニングの実際」を熟読しておくこと。 復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫
3	各臓器毎に実施されている採取法	予習（1 時間）: 各臓器毎に実施されている採取法について調べる。 復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫
4	細胞診で使用される各種染色に対する固定法	予習（1 時間）: 細胞診で使用される各種染色に適した固定法について調べる。 復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫
5	Papanicolaou 染色の原理と染色法	予習（1 時間）: Papanicolaou 染色の原理と染色法について調べる。 復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫

6	Giemsa 染色法の原理と染色法	予習（1 時間）：Giemsa 染色法の原理と染色法について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	細胞診で使用される特殊染色の種類と鑑別診断	予習（1 時間）：細胞診で使用される特殊染色の種類と鑑別診断のための選択方法について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	免疫細胞化学染色法Ⅰ　（酵素抗体法の種類と原理）	予習（1 時間）：酵素抗体法の種類と原理について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	免疫細胞化学染色法Ⅱ　（酵素抗体法のマーカー種類と適応）	予習（1 時間）：酵素抗体法のマーカー種類と適応について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	FISH 法の原理と利点	予習（1 時間）：FISH 法の原理と利点について調べる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	電子顕微鏡の基礎知識	予習（1 時間）：透過型と走査型の違いについて調べる。　復習（1 時間）：講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	細胞診の判定分類法Ⅰ　（婦人科、呼吸器の判定様式）	予習（1 時間）：婦人科、呼吸器の判定様式について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	細胞診の判定分類法Ⅱ　（消化器、その他領域の判定様式）	予習（1 時間）：消化器、その他領域の判定様式について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	組織型の推定Ⅰ　（婦人科、呼吸器の悪性腫瘍分類）	予習（1 時間）：婦人科、呼吸器の悪性腫瘍分類について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	組織型の推定Ⅱ　（消化器、その他領域の悪性腫瘍分類）	予習（1 時間）：消化器、その他領域の悪性腫瘍分類について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
成績評価方法と基準			割合
1.小テスト　　小テストは 2 回実施する。　　※次回の授業で、採点したものを返却し解説を行います。 2.定期試験　　※出題範囲：授業で扱った範囲			1.20%　2.80%

授業科目名	臨床細胞学各論Ⅰ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC049	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

婦人科、呼吸器、縦隔の細胞診判定を行うために、各臓器の組織構築を理解し、構成細胞の種類と大きさを含めた細胞基本形態像を理解する。また炎症を伴う良性疾患で生じる細胞像の変化や、各臓器特有の良性腫瘍細胞像・悪性細胞像について学ぶ。

学修目標

婦人科、呼吸器、縦隔の各臓器構造と正常組織像、細胞像を説明できる。　婦人科、呼吸器、縦隔の各臓器の良性疾患と腫瘍性病変を説明できる。　婦人科、呼吸器、縦隔の各臓器で罹患率の高い、良性疾患と腫瘍性病変の組織像と細胞像を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　臓器の基本的な組織像と細胞像について理解しておくこと。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	子宮頸部、外陰・膣の病変とコルポスコピー、ホルモン細胞診	予習（1 時間）：教科書の婦人科で組織発生、構造と機能、子宮頸部、外陰・膣、コルポスコピー、ホルモン細胞診の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	子宮体部、卵巣の病変	予習（1 時間）：教科書の子宮体部、絨毛性疾患、卵巣の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	子宮頸部、外陰・膣の組織像	予習（1 時間）：子宮頸部、外陰・膣の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	子宮体部、卵巣の組織像	予習（1 時間）：子宮体部、卵巣の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
5	子宮頸部、外陰・膣の細胞像	予習（1 時間）：子宮頸部、外陰・膣の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫

6	子宮体部、卵巣の細胞像	予習（1 時間）：子宮体部、卵巣の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	呼吸器の良性疾患	予習（1 時間）：教科書の呼吸器で組織発生、構造と機能、細胞診検体の採取・処理法、良性疾患（感染症を含む）の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	呼吸器の前癌病変を含む悪性腫瘍	予習（1 時間）：教科書の呼吸器で悪性腫瘍（前癌病変を含む）の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	呼吸器の正常組織像､感染症を含む良性疾患組織像	予習（1 時間）：呼吸器の正常組織像、良性疾患（感染症を含む）の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	呼吸器の前癌病変を含む悪性腫瘍組織像	予習（1 時間）：呼吸器の悪性腫瘍（前癌病変を含む）の組織像について調べる。 復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	呼吸器の正常細胞像､感染症を含む良性疾患細胞像	予習：(1 時間）呼吸器の正常組織像、良性疾患（感染症を含む）の細胞像について調べる　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	呼吸器の前癌病変を含む悪性腫瘍細胞像	予習（1 時間）：呼吸器の悪性腫瘍（前癌病変を含む）の細胞像について調べる。 復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	縦隔と胸腺の病変	予習（1 時間）：縦隔と胸腺の病変について調べる。教科書の縦隔腫瘍の部分を読む。復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	縦隔と胸腺の腫瘍病変の組織像	予習（1 時間）：縦隔と胸腺の腫瘍病変の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	縦隔と胸腺の腫瘍病変の細胞像	予習（1 時間）：縦隔と胸腺の腫瘍病変の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験　　※出題範囲：授業で扱った範囲			100%

授業科目名	臨床細胞学各論Ⅱ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC050	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

体腔、消化器、乳腺、甲状腺の細胞診判定を行うために、各臓器の組織構築を理解し、構成細胞の種類と大きさを含めた細胞基本形態像を理解する。また炎症を伴う良性疾患で生じる細胞像の変化や、各臓器特有の良性腫瘍細胞像・悪性細胞像について学ぶ。

学修目標

「授業展開及び授業計画」で示された各臓器構造の正常組織像、細胞像を説明できる。　「授業展開及び授業計画」で示された各臓器の良性疾患と腫瘍性病変を説明できる。　「授業展開及び授業計画」で示された各臓器で罹患率の高い、良性疾患と腫瘍性病変の組織像と細胞像を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　臓器の基本的な組織像と細胞像について理解しておくこと。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	唾液腺、口腔・咽頭、食道、胃、小腸・大腸、肛門の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）: 教科書の唾液腺、口腔・咽頭、食道、胃、小腸・大腸、肛門の部分を読む。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	肝臓、胆道・膵臓の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）: 教科書の肝臓、胆道・膵臓の部分を読む。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	唾液腺、口腔・咽頭、食道、胃、小腸・大腸、肛門の組織像	予習（1 時間）: 唾液腺、口腔・咽頭、食道、胃、小腸・大腸、肛門の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	肝臓、胆道・膵臓の組織像	予習（1 時間）: 肝臓、胆道・膵臓の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
5	唾液腺、口腔・咽頭、食道、胃、小腸・大腸、肛門の細胞像	予習（1 時間）: 唾液腺、口腔・咽頭、食道、胃、小腸・大腸、肛門の良性疾患、腫	田路英作　小林彩香　野田

		瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	大孝　由谷親夫
6	肝臓、胆道・膵臓の細胞像	予習（1 時間）：肝臓、胆道・膵臓の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	乳腺の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）：教科書の乳腺の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	乳腺の組織像	予習（1 時間）：乳腺の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	乳腺の細胞像	予習（1 時間）：乳腺の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	甲状腺の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）：教科書の甲状腺の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	甲状腺の組織像	予習（1 時間）：甲状腺の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	甲状腺の細胞像	予習（1 時間）：甲状腺の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	体腔の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）：教科書の体腔液の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	体腔の組織像	予習（1 時間）：体腔の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	体腔液の細胞像	予習（1 時間）：体腔液の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験　　※出題範囲：授業で扱った範囲			100%

授業科目名	臨床細胞学各論Ⅲ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC051	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限、水曜 4 限、水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

泌尿器、リンパ節、骨軟部、造血器、脳腫瘍の細胞診判定を行うために、各臓器の組織構築を理解し、構成細胞の種類と大きさを含めた細胞基本形態像を理解する必要がある。また炎症を伴う良性疾患で生じる細胞像の変化や、各臓器特有の良性腫瘍細胞像・悪性細胞像について学ぶ。

学修目標

「授業展開及び授業計画」で示された各臓器構造の正常組織像、細胞像を説明できる。　「授業展開及び授業計画」で示された各臓器の良性疾患と腫瘍性病変を説明できる。　「授業展開及び授業計画」で示された各臓器で罹患率の高い、良性疾患と腫瘍性病変の組織像と細胞像を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　臓器の基本的な組織像と細胞像について理解しておくこと。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	泌尿器の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）: 教科書の泌尿器の部分を読む。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	泌尿器の組織像	予習（1 時間）: 泌尿器の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	泌尿器の細胞像	予習（1 時間）: 泌尿器の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	リンパ節の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）: 教科書のリンパ節の部分を読む。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
5	リンパ節の組織像	予習（1 時間）: リンパ節の良性疾患、腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）: 教科書と講義内容を整理し理解	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親

		しておくこと。	夫
6	リンパ節の細胞像	予習（1 時間）：リンパ節の良性疾患、腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	骨・軟部の分類と構造及び腫瘍性病変	予習（1 時間）：教科書の骨・軟部腫瘍の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	骨・軟部の組織像	予習（1 時間）：骨・軟部腫瘍の腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	骨・軟部の細胞像	予習（1 時間）：骨・軟部腫瘍の腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	造血器（骨髄）の機能と構造及び良性疾患と腫瘍性病変	予習（1 時間）：教科書の造血器（骨髄）の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	造血器（骨髄）の組織像	予習（1 時間）：造血器（骨髄）の腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	造血器（骨髄）の細胞像	予習（1 時間）：造血器（骨髄）の腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	中枢神経の機能と構造及び脳の腫瘍性病変	予習（1 時間）：教科書の中枢神経の部分を読む。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	脳の組織像	予習（1 時間）：脳の腫瘍性疾患の組織像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	脳の細胞像	予習（1 時間）：脳の腫瘍性疾患の細胞像について調べる。　復習（1 時間）：教科書と講義内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験　　※出題範囲：授業で扱った範囲			100%

授業科目名	細胞診断学実習Ⅰ（検査）				
主担当教員	田路 英作		担当教員	田路 英作／小林 彩香／野田 大孝／由谷 親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC052	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜3限、月曜4限、月曜5限、火曜3限、火曜4限
授業形態	実習	単位数	3単位	必修・選択	選択

授業概要

細胞診の基本となる子宮頸部細胞診における正常細胞、良性病変や悪性病変の細胞判定基準を学ぶ。また、子宮頸部は発がんにいたるプロセスが解明されており前癌病変が存在するため、その細胞像についても学ぶ。本科目では、子宮頸部、体部、卵巣腫瘍、その他婦人科腫瘍性病変について各臓器の標本を用いての実習を行う。

学修目標

婦人科で好発する疾患について臨床像・病理組織像を理解し細胞像で判定できること。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。 婦人科疾患の基本的な臨床像・組織像・細胞像について理解しておくこと。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」 水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学 医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷 親夫 C棟7階（研究室23）/在室時には、いつでも訪問可です。 田路 英作 C棟7階（研究室13）/在室時には、いつでも訪問可です。 小林 彩香 C棟7階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。 野田 大孝 C棟7階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	授業1と2 婦人科 スケッチ①②	授業1 予習（1時間）：扁平上皮癌の細胞像について復習しておくこと。 復習（1時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。 授業2 予習（1時間）：子宮頸部腺癌の細胞像について復習しておくこと。 復習（1時間）：実習内容を整理し理解しておくこと	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫
2	授業3と4 授業3：婦人科 正常扁平上皮 授業4：婦人科 正常腺細胞	予習（1時間）：組織像、細胞像について教科書と3年次の講義内容を復習しておくこと。 復習（1時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫
3	授業5〜7 授業5:婦人科 内分泌細胞診 授業6:婦人科 炎症・感染症 授業7:婦人科 良性病変	予習（1時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と3年次の講義内容を復習しておくこと。 復習（1時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫
4	授業8〜11 婦人科 前癌病変①〜④	予習（1時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と3年次の講義内容を復習しておくこと。 復習（1時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作 小林彩香 野田大孝 由谷親夫

5	授業 12～18　授業 12 と 13:婦人科　扁平上皮癌①②　授業 14～18：婦人科　扁平上皮内病変①～⑤	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
6	授業 19～23　婦人科　腺癌関連病変①～⑤	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	授業 24～36　婦人科　頸部　鑑別症例①～⑬	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	授業 37～39　授業 37：婦人科　正常内膜細胞 授業 38 と 39：体部良性病変①②	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	授業 40～44　婦人科　体部腺癌①～⑤	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	授業 45～47　婦人科　体部上皮性腫瘍①～③	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	授業 48～55　婦人科　体部　鑑別症例①～⑧	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	授業 56 と 57　婦人科　絨毛性疾患①②	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	授業 58～65　婦人科　卵巣腫瘍①～⑧	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	授業 66～68　婦人科 その他腫瘍性病変①～③	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15			
成績評価方法と基準			割合
1.実習態度　　実習での積極性　2.定期試験　　※出題範囲：実習をおこなった範囲			1.20%　2.80%

授業科目名	細胞診断学実習Ⅱ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷　親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC053	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限、水曜 3 限、水曜 4 限、水曜 5 限、木曜 3 限
授業形態	実習	単位数	3 単位	必修･選択	選択

授業概要

呼吸器・乳腺は、感染症に伴う炎症性変化や良性病変の種類が多い臓器である。本科目では、喀痰細胞診、呼吸器擦過細胞診、呼吸器穿刺細胞診、乳腺分泌物細胞診、乳腺穿刺細胞診標本を用いて、呼吸器細胞診、乳腺細胞診の細胞判定基準を学ぶための実習を行う。

学修目標

呼吸器・乳腺領域で好発する疾患について臨床像・病理組織像を理解し細胞像で判定できること。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　呼吸器・乳腺疾患の基本的な臨床像・組織像・細胞像について理解しておくこと。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業 1～4　授業 1 : 呼吸器　正常細胞（検体による差異）　授業 2～4 : 呼吸器　感染症と反応性変化①～③	授業 1　予習（1 時間）: 組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。　授業 2～4　予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	授業 5～8　呼吸器　良性腫瘍①～④	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	授業 9～12　呼吸器　扁平上皮癌Ⅰ①～④	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	授業 13～16　呼吸器　扁平上皮癌Ⅱ①～④	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫

5	授業 17～20　呼吸器　扁平上皮癌と鑑別症例①	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
6	授業 21～24　呼吸器　腺癌Ⅰ①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	授業 25～28　呼吸器　腺癌Ⅱ①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	授業 29～32　呼吸器　腺癌と鑑別症例Ⅰ①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	授業 33～36　呼吸器　腺癌と鑑別症例Ⅱ①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	授業 37～40　呼吸器　その他のがんと腫瘍類似病変①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	授業 41～44　呼吸器　転移性腫瘍①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	授業 45～48　呼吸器　縦隔腫瘍①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	授業 49～52　呼吸器　良性・悪性病変①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	授業 53～57　授業 53：乳腺　正常細胞　授業 54～57：乳腺　良性病変①～④	授業 53　予習（1 時間）：組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。　授業 54～57 予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	授業 58～62　乳腺　悪性病変①～⑤	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
16	授業 63 と 64　乳腺　分泌細胞①②	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
17	授業 65～68　乳腺　鑑別症例①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
18			
19			
20			
21			

22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1.実習態度　　実習での積極性　2.定期試験　　※出題範囲：実習をおこなった範囲			1.20%　2.80%

授業科目名	細胞診断学実習Ⅲ(検査)				
主担当教員	田路 英作		担当教員	田路 英作／小林 彩香／野田 大孝／由谷親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC054	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限、火曜 3 限、火曜 4 限
授業形態	実習	単位数	3 単位	必修･選択	選択

授業概要

現在の細胞診断学は、穿刺細胞診をはじめ様々な細胞採取法を用いて多様な臓器の診断に寄与している。本科目では、甲状腺、消化器、泌尿器、体腔、リンパ節、造血器、骨軟部、脳細胞診標本を用いて、甲状腺、消化器、泌尿器、体腔液、リンパ節、造血器、骨軟部、脳腫瘍細胞診の細胞判定基準を学ぶための実習を行う。

学修目標

甲状腺、消化器、泌尿器、体腔、リンパ節、造血器、骨軟部、脳領域で好発する疾患について臨床像・病理組織像を理解し細胞像で判定できること。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　甲状腺、消化器、泌尿器、体腔、リンパ節、造血器、骨軟部、脳疾患の基本的な臨床像・組織像・細胞像について理解しておくこと。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業 1 と 2　甲状腺　正常・良性病変①②	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	授業 3～6　甲状腺　悪性病変①～④	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	授業 7～10　甲状腺　良性・悪性病変①	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	授業 11 と 12　授業 11:消化器　口腔領域良性病変　授業 12 : 消化器　口腔領域悪性病変	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
5	授業 13 と 14　消化器　口腔領域良性・悪性病変①②	予習（1 時間）: 臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）: 実習内容を	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親

		整理し理解しておくこと。	夫
6	授業 15 と 16　授業 15:消化器　消化管　良性病変　授業 16：消化器　消化管　悪性病変	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	授業 17 と 18　消化器　消化管　良性・悪性病変①②	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	授業 19～22　授業 19:消化器　肝・胆・膵正常細胞　授業 20：消化器　肝・胆・膵　非腫瘍性疾患　授業 21 と 22：消化器　肝・胆・膵　腫瘍性疾患①②	授業 19　予習（1 時間）：組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。　授業 20～22 予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	授業：23～26　消化器　肝・胆・膵　良性・悪性病変①～④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	授業 27～29　授業 27：泌尿器　自然尿の正常細胞　授業 28 と 29：泌尿器　非腫瘍性病変①②	授業 27　予習（1 時間）：組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。　授業 28 と 29 予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	授業 30 と 31　泌尿器　尿路上皮癌①②	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	授業 32 と 33　泌尿器　腎盂・尿管カテーテル尿①②	予習（1 時間）：カテーテル尿の意義と細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	授業 34 と 35　泌尿器　腎臓良性・悪性病変①②	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	授業 36 と 37　泌尿器　前立腺良性・悪性病変①②	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15	授業 38 と 39　授業 38:体腔液　良性細胞　授業 39：体腔液　悪性細胞	授業 38　予習（1 時間）：細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。 授業 39　予習(1 時間)：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
16	授業：40 と 41　授業 40：体腔液　胸水の悪性細胞　授業 41：体腔液　腹水の悪性細胞	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
17	授業 42～44　授業 42 と 43:体腔液　悪性中皮腫①②　授業：44 体腔液　悪中皮腫と鑑別細胞	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
18	授業 45～47　授業 45：体腔液　体腔洗浄液細胞	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像に	田路英作　小

	診　授業 46 と 47：体腔液　良性・悪性細胞①②	ついて教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	林彩香　野田大孝　由谷親夫
19	授業 48～52　授業 48：リンパ節　正常・炎症性疾患　授業 49～51：リンパ節　悪性リンパ腫①～③　授業 52：リンパ節　悪性細胞	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
20	授業 53～55　授業 53 と 54:造血器　白血病①②　授業 55：造血器　骨髄増殖性疾患	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
21	授業 56～59　骨軟部腫瘍　良性病変･悪性病変 1-①～1-④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
22	授業 60～63　骨軟部腫瘍 良性病変･悪性病変 2-①～2-④	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
23	授業 64～68　脳腫瘍 良性病変と悪性病変①～⑤	予習（1 時間）：臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1.実習態度　　実習での積極性　2.定期試験　　※出題範囲：実習をおこなった範囲			1.20%　2.80%

授業科目名	細胞診断学特別実習Ⅰ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷　親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC055	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜 4 限、木曜 5 限、金曜 3 限)、後期(火曜 5 限、水曜 3 限、水曜 4 限、水曜 5 限、木曜 3 限)
授業形態	実習	単位数	3単位	必修・選択	選択

授業概要

細胞診を日常業務で行うには、１枚の標本を一定の時間内にスクリーニングし異型細胞を検出し、正確に細胞診判定を行う必要がある。細胞診が頻繁に実施されている臓器である、婦人科、呼吸器、乳腺、甲状腺、消化器、泌尿器、体腔液細胞診標本を用いてスクリーニング実習を行う。また、検体処理や染色の実習、全科領域の細胞判定基準習得のためのスライド写真判定実習も行う。

学修目標

細胞検査士試験に合格できるレベルに達すること。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　1 症例あたりの鏡検時間を細胞検査士試験に対応できるスピードにし細胞像のクライテリアを確立すること。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	授業 1～4　検体処理・染色①～④	予習（1 時間）：喀痰細胞診標本の作製と血液標本の作製方法及び Pap 染色・Giemsa 染色について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	授業 5～7　細胞診断スライド①～③	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	授業 8～14　総合スライド同定①～⑦	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	授業 15～30　婦人科ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～⑯	予習（1 時間）：婦人科領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義	田路英作　小林彩香　野田

		内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	大孝　由谷親夫
5	授業 31～40　呼吸器ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～⑩	予習（1 時間）：呼吸器領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
6	授業 41～44　乳腺ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～④	予習（1 時間）：乳腺領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	授業 45～48　甲状腺ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～④	予習（1 時間）：甲状腺領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	授業 49～54　消化器ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～⑥	予習（1 時間）：消化器領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	授業 55 と 56　唾液腺ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①②	予習（1 時間）：唾液領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	授業 57～60　泌尿器ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～④	予習（1 時間）：泌尿器領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	授業 61～64　体腔液ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～④	予習（1 時間）：体腔液領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	授業 65～68　その他ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定①～④	予習（1 時間）：その他領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			

27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1.実習態度　　実習での積極性　2.定期試験　　※出題範囲：実習をおこなった範囲			1.20%　2.80%

授業科目名	細胞診断学特別実習Ⅱ（検査）				
主担当教員	田路　英作		担当教員	田路　英作／小林　彩香／野田　大孝／由谷　親夫	
科目ナンバリング	SS20BMTC056	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 4 限、金曜 5 限)、後期(木曜 4 限、木曜 5 限、金曜 3 限、金曜 4 限、金曜 5 限)
授業形態	実習	単位数	3 単位	必修・選択	選択

授業概要

細胞診の日常業務では、細胞診が頻繁に実施されている臓器がある一方、細胞診実施が稀である臓器もあり、多種多様な検体が提出される。細胞診断に用いられるあらゆる臓器についてスクリーニング実習を行い、異型細胞を検出し、正確に細胞診判定することを学ぶ。また、一定の時間内にスクリーニングすることができるよう実習を行う。

学修目標

細胞検査士試験に合格できるレベルに達すること。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業準備のために下記の「授業展開及び授業計画」に示されている予習をしっかり行う。　1 症例あたりの鏡検時間を細胞検査士試験に対応できるスピードにし細胞像のクライテリアを確立すること。

教科書

「スタンダード細胞診テキスト」　水口國雄/医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22684-1

参考書

標準病理学　医学書院

研究室／オフィスアワー

由谷　親夫　C 棟 7 階（研究室 23）/在室時には、いつでも訪問可です。　田路　英作　C 棟 7 階（研究室 13）/在室時には、いつでも訪問可です。　小林　彩香　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。金曜日は不在です。　野田　大孝　C 棟 7 階（職員室）/在室時には、いつでも訪問可です。水曜日は不在です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	授業 1～5　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
2	授業 6～10　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
3	授業 11～15　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
4	授業 16～20　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
5	授業 21～25　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容	田路英作　小林彩香　野田

		を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	大孝　由谷親夫
6	授業 26～30　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
7	授業 31～35　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
8	授業 36～40　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
9	授業 41～45　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
10	授業 46～50　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
11	授業 51～55　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
12	授業 56～60　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
13	授業 61～65　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
14	授業 66～68　総合ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ同定	予習（1 時間）：全領域の臨床像、組織像、細胞像について教科書と 3 年次の講義内容を復習しておくこと。　復習（1 時間）：実習内容を整理し理解しておくこと。	田路英作　小林彩香　野田大孝　由谷親夫
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			

29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1. 実習態度　　実習での積極性　2. 定期試験　　鏡検による実技試験			1. 20%　2. 80%

授業科目名	免疫検査学（検査）				
主担当教員	中山　小太郎純友		担当教員	中山　小太郎純友	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜5限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

多くの病態の発現原因には免疫反応が関係している。また、免疫反応を利用した検査法も多く、臨床検査において、免疫学の理解は必要不可欠である。当講義では、免疫学の基礎から臨床免疫までの内容を広く学ぶ。具体的には、免疫学の基礎として、免疫系の役割と特徴、自然免疫と獲得免疫、免疫担当細胞、免疫系の組織・器官、リンパ球の発生と多様性の獲得、リンパ球の抗原認識と活性化など免疫系の仕組みと働き、抗原の種類とエピトープ、免疫グロブリンの構造、抗体作製法、補体や炎症マーカー、接着分子とサイトカインについて学ぶ。免疫関連疾患としては、補体異常、各種感染症、梅毒、ウイルス肝炎、ATL、AIDS、アレルギー分類と機序、自己免疫疾患、腫瘍細胞と免疫、免疫不全症について学ぶ。なお、病院・臨床検査部に長年勤務した経験を有する教員が解説する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

正確な免疫学的検査法を実施するために、免疫防御や組織・細胞の関連を知り、抗原抗体反応の機序、測定原理だけでなく、免疫学的検査法の種類や各種疾患における臨床的意義についても説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

配布資料には目を通し、分からないことはそのままにせず、担当教員に確認すること。メール等で気兼ねなく問い合わせしてください。

教科書

最新臨床検査学講座　免疫検査学／輸血・移植検査学　窪田哲朗・藤田清貴・高橋克典・梶原道子・細井英司・国分寺晃編著　発行年月：2024年3月　ISBN978-4-263-22400-7

参考書

毎回の配布資料

研究室／オフィスアワー

授業日の非常勤講師控室　メールでの問い合わせも随時受け付けます

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	免疫学の基礎	予習：教科書の該当箇所(p.1-13)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
2	自然免疫、抗原提示	予習：教科書の該当箇所(p.14-26)を読んでおく。　復習：授業配布資料料(問題も含む)の再確認をする。	中山
3	免疫グロブリン	予習：教科書の該当箇所(p.27-36, 210-213, 218-219)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
4	獲得免疫	予習：教科書の該当箇所(p.37-51)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
5	能動免疫・受動免疫・免疫の発達と老化、腫瘍免疫、腫瘍マーカー、CRP	予習：教科書の該当箇所(p.51-52, 58-61, 205-209, 222-223)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
6	補体系、補体検査	予習：教科書の該当箇所(p.53-57, 219-	中山

		222)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	
7	免疫学的検査の原理	予習：教科書の該当箇所(p.103-130)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
8	非標識/標識免疫測定法	予習：教科書の該当箇所(p.131-145)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
9	電気泳動法、M 蛋白、温度依存性蛋白	予習：教科書の該当箇所(p.98-99, 146-156, 213-218)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
10	細菌・真菌・寄生虫感染症	予習：教科書の該当箇所(p.63-68, 80-82, 157-169)を読んでおく。　復習:授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
11	ウイルス感染症	予習：教科書の該当箇所(p.69-80, 169-187)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
12	アレルギー	予習：教科書の該当箇所(p.83-85, 188-191)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
13	自己免疫疾患	予習：教科書の該当箇所(p.86-97, 192-201)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
14	免疫不全症	予習：教科書の該当箇所(p.99-102, 202-204)を読んでおく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
15	総まとめ	予習:理解不足部分を洗い出しておく。　復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	中山
成績評価方法と基準			割合
3 分の 2 以上出席した者を成績評価の対象とする。　評価は小テストを 20%、定期試験(筆記試験)を 80%とする。			小テスト 20% 定期試験(筆記試験 80%)

授業科目名	輸血･移植検査学Ⅰ（検査）					
主担当教員	米田　孝司			担当教員	米田　孝司	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

輸血は貧血や出血に伴う補充療法が基本であるが、輸液点滴とは違い多くの免疫応答が関係するのでマルチな移植と考えた方が良い。特に、輸血副反応などのリスクを考えて、適正な血液製剤の使用を選択する必要がある。本授業では安全かつ適正な輸血療法や各種血液製剤の使用、輸血検査(赤血球膜の ABO 血液型、亜型、Rh-D 血液型検査、交差適合試験など)、輸血副反応(母児不適合妊娠、輸血溶血性副作用、新生児溶血性疾患など)についての理解と知識を習得する。また、造血幹細胞移植時における血液製剤の選択についても学ぶ。

学修目標

輸血や移植医療に必要となる抗原や抗体の種類、輸血検査（血液型検査・不規則抗体検査・交差適合試験)、輸血療法、母児不適合妊娠、移植医療における必要な知識を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

配布資料には目を通し．分からないことはそのままにせず、担当教員に確認すること。

教科書

最新臨床検査学講座　免疫検査学/輸血・移植検査学　第 2 版（医歯薬出版）

参考書

新版臨床免疫学（講談社サイエンティフィク)、毎回の配布資料

研究室／オフィスアワー

非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	輸血療法とは、輸血と免疫の関連、献血者血液の検査、血液介在性感染症の検査、輸血の歴史	予習：教科書(p225-229)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
2	血液製剤の種類と量の決定､供血者と患者との適合性、血液製剤の保存法、保護液、有効期間、 管理法、血液バッグのセグメント、血液型検査の反応性	予習：教科書(p230-252)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
3	自己血輸血(適応、方法、採血基準)、学内実習および臨地実習に向けての基礎知識､成分採血と静脈確保	予習：教科書(p253-267)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
4	ABO 血液型(スライド法・試験管法・カラム凝集法)、ABO 血液型(抗原構造・遺伝・出現頻度)、キメラとモザイク、分泌型と非分泌型, 遺伝子転移酵素	予習：教科書(p268-278)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
5	ABO 血液型の亜型と変種(レクチン凝集法を含む)、ABO 血液型物質の変化(後天性 B など)、ABO 血液型検査のおもて・うら不一致	予習：教科書(p279-285)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
6	Rh 血液型(Rh 系に属する抗原の種類, 遺伝、出現頻度)、Rh 血液型の変異型、Rh 血液型(weak D、partial D)	予習：教科書(p286-294)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
7	輸血前検査(血液型検査、不規則抗体スクリーニング、交差適合試験)、ABO,Rh 以外の血液型	予習：教科書(p295-308)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田

8	赤血球不規則抗体の同定(パネル血球、ブロメリン法、アルブミン法、生理食塩液法、PEG・間接抗グロブリン試験､LISS･間接抗グロブリン試験)	予習：教科書(p309-320)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
9	抗グロブリン試験(間接グロブリン試験と直接グロブリン試験)	予習:教科書(p321-324)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
10	交差適合試験の主試験・副試験の操作と不適合、輸血の安全を守るための工夫　交差適合試験と輸血用血液(造血幹細胞移植時も含む)の製剤選択	予習:教科書(p325-333)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
11	カラム凝集法の原理・方法・結果の解釈(部分凝集など)	予習:教科書(p334-341)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
12	母児不適合妊娠(血液型不適合妊娠、母児の血液型、母体血の間接抗グロブリン試験、臍帯・児血の直接抗グロブリン試験､交換輸血時の適合性検査、新生児溶血性疾患の予防)	予習:教科書(p342-357)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
13	輸血副作用・合併症(溶血性副作用輸血後 GVHD、その他の非溶血性副作用 アレルギー反応、輸血関連急性 肺障害、輸血関連循環過 負荷、輸血後紫斑病、輸血後感染症)	予習:教科書(p334-341)を読む。今までの振り返り。 復習：理解不足部分を解消する。	米田
14	不規則抗体検査(スクリーニング・同定・消去法・Fisher 確率計算)、非溶血性輸血反応(PT-GVHD、TRALI、TACO、輸血後感染症など)、自己免疫性溶血貧血、母児不適合妊娠、血管内溶血と血管外溶血など	予習:教科書(p225-366)を読んでおく。 復習：授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
15	移植、輸血・移植検査学Ⅰ(輸血に必要な知識と検査)のまとめ	予習:教科書(p225-366)を読んでおく。過去全ての授業配布資料を読んでおく。 復習:授業配布資料(問題も含む)の再確認をする。	米田
成績評価方法と基準			割合
3 分の 2 以上出席した者を成績評価の対象とする。　評価は定期試験(筆記試験)を 80%とし、参加度を 20%とする。			定期試験(筆記試験)80%とし、参加度を 20%とする。

授業科目名	輸血･移植検査学Ⅱ（検査）				
主担当教員	藤原　牧子		担当教員	藤原　牧子	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臓器移植とは、機能しなくなった臓器を正常な臓器と取り換えることによって機能を回復させる医療と定義される。免疫系には自己と非自己を識別する仕組みがあり、非自己である他人の臓器によって免疫応答が起こることがある。移植を成功させるためには、非自己である臓器の免疫応答による排除を回避する必要がある。本講義では、「免疫検査学」で学んだ内容を振り返りながら、移植に関する検査や治療法について理解を深める。

学修目標

1. 臓器移植や造血幹細胞移植における免疫反応について理解する。 2. 移植時に必要な検査及び治療法について説明することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

移植検査学の知識を深めるためには「免疫検査学」で学んだ内容が土台となります。毎回予習、復習に努め、知識を積み重ねてください。

教科書

最新臨床検査学講座「免疫検査学／輸血・移植検査学第 2 版」医歯薬出版株式会社　【ISBN978-4-263-22400-7】　JAMT 技術教本シリーズ輸血・移植検査技術教本第 2 版　一般社団法人日本臨床衛生検査技師会監修　【ISBN978-4-621-30791-5】

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階職員室　17：00～

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	移植とは	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
2	造血幹細胞移植とは	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
3	主要組織適合性抗原複合体１	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
4	主要組織適合性抗原複合体２	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
5	自己寛容について	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
6	ヒト白血球抗原の分類	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
7	同種免疫応答の機序１	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
8	同種免疫応答の機序２	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
9	免疫抑制剤と治療	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
10	移植関連検査①　HLA 検査１	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
11	移植関連検査②　HLA 検査２	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原

12	移植関連検査③　造血幹細胞の検査１	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
13	移植関連検査④　造血幹細胞の検査２	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
14	移植関連検査⑤　造血幹細胞移植前後の輸血検査と輸血療法１	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
15	移植関連検査⑥　造血幹細胞移植前後の輸血検査と輸血療法２	予習：教科書の確認（2 時間）　復習：授業資料を用いた教科書の再確認（2 時間）	藤原
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト　2. 定期試験　【フィードバック方法】　小テストについては講義内で適宜解説を行います。			1.　20%　2. 80%

授業科目名	形態系検査学特論Ⅰ（検査）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／前川佳敬／脇　英彦／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／竹下　ひかり／松尾　明彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、火曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床検査学が網羅する学問領域は多岐にわたり、個々の専門科目は独立して学ぶため科目間の横断的な理解が必要となる。本演習では専門科目群について科目間のつながりを理解し多様な情報を分析し統合できるようになることを目標とする。分析等により得られた検査データを的確に読み取り疾患を多角的に把握できる能力を養う。形態系検査学特論Ⅰでは、とくに病理検査学、血液検査学、一般検査学、微生物検査学といった形態系検査学が、病態の理解にどのように用いられるのか基礎的事項から実践まで演習形式で教授する。

学修目標

1）病態理解の基盤となる基礎医学(解剖学や生理学、生化学など)の知識を修得する。　2）各検査法を実践するために不可欠な原理・原則について理解を深める。　3）各種疾患に対して行われる臨床検査から得られるデータから各疾患の病態を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）詳細な日程は教員の指示に従うこと。　2）授業進行には十分な予習と復習が必要であるため、自宅学習は計画的に継続しておこなうこと。　3）理解の足りないところ、苦手なところは後回しにせず早期に克服すること。

教科書

担当教員より連絡するので、指定された教科書を持参すること。

参考書

1）担当教員より案内する。　2）適宜プリントを配布する

研究室／オフィスアワー

各教員は随時対応する。ただし、事前に連絡、予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床病態学：循環器系疾患の病態	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
2	臨床病態学：呼吸器系疾患の病態	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
3	臨床病態学:消化器系疾患および泌尿器・生殖器系疾患の病態	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
4	臨床病態学：内分泌疾患の病態	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
5	血液検査学：血球検査総論 1	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
6	血液検査学:赤血球に関する検査法の基本的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員

7	血液検査学：血液像の観察と血液疾患 1	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
8	血液検査学:血液細胞の塗抹標本作製法および染色法 1	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
9	血液検査学：血液凝固検査の基本的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
10	病理学・病理検査学：解剖学および病理学総論 1（循環障害、炎症、腫瘍）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
11	病理学・病理検査学：病理学各論 1（各臓器の病理）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
12	病理学・病理検査学：組織標本作製の基本的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
13	病理学・病理検査学：各種特殊染色の基本的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
14	病理学・病理検査学：細胞検査学の基本的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
15	一般検査学：尿沈査・脳脊髄液・糞便・喀痰検査	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）定期試験により判定する。　2）4/5 以上の出席を必要とする。　3）試験に対するフィードバックの方法:小テストや課題については採点後に返却し、必要に応じて解説する。			1）定期試験 100%

授業科目名	形態系検査学特論Ⅱ（検査）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／前川佳敬／脇　英彦／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／竹下　ひかり／松尾　明彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、火曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

専門科目群における科目相互の横断的理解を重視し、多様な情報を分析し統合して理解させることを目指す。形態系検査学特論 II では、病態把握における、病理検査学、血液検査学、一般検査学、微生物検査学といった形態検査学の役割を検査相互の関連性もふまえ演習形式でより深く学修する。また最新の医学知見まで重要なポイントを整理し教授する。

学修目標

1）病態理解の基盤となる基礎医学(解剖学や生理学、生化学など)の基礎医学の知識を修得する。　2）各検査法を実践するために不可欠な原理・原則について理解を深める。　3） 各種疾患に対して行われる臨床検査から得られるデータから各疾患の病態を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）詳細な日程は教員の指示に従うこと。　2）授業進行には十分な予習と復習が必要であるため、自宅学習は計画的に継続しておこなうこと。　3）理解の足りないところ、苦手なところは後回しにせず早期に克服すること。

教科書

担当教員より連絡するので、指定された教科書を持参すること。

参考書

1）担当教員より案内する。　2）適宜プリントを配布する

研究室／オフィスアワー

各教員は随時対応する。ただし、事前に連絡、予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床病態学：感染症	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
2	臨床病態学：血液・造血器疾患	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
3	臨床病態学：神経筋疾患	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
4	臨床病態学：代謝疾患・栄養障害	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
5	血液検査学：血球検査総論２	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
6	血液検査学：赤血球に関する検査法と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員

7	血液検査学：血液像の観察と血液疾患２	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
8	血液検査学:血液細胞の塗抹標本作製法および染色法２	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
9	血液検査学：血液凝固検査の方法と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
10	血液検査学:血液細胞の塗抹標本作製法および染色法２	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
11	病理学・病理検査学：病理学各論２（各臓器の病理）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
12	病理学・病理検査学：組織標本作製の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
13	病理学・病理検査学：各種特殊染色の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
14	病理学・病理検査学：病理解剖と病理業務	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
15	一般検査学：脳脊髄液・糞便・喀痰検査	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）定期試験により判定する。　2）4/5 以上の出席を必要とする。　3）試験に対するフィードバックの方法:小テストや課題については採点後に返却し、必要に応じて解説する。			1）定期試験 100%

授業科目名	分析系検査学特論Ⅰ（検査）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／前川　佳敬／脇　英彦／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／竹下　ひかり／松尾　明彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、水曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床検査学が網羅する学問領域は多岐にわたり、個々の専門科目は独立して学ぶため科目間の横断的な理解が不可欠である。分析系検査学特論Ⅰでは、とくに生化学検査学、免疫学的検査学、遺伝子検査学、輸血検査学、微生物学的検査学といった分析系の検査が病態の理解にどのように用いられているのか、基礎的事項から実践まで演習形式で教授する。

学修目標

1）病態理解の基盤となる基礎医学(解剖学や生理学、生化学など)の基礎医学の知識を修得する。　2）各検査法を実践するために不可欠な原理・原則について理解を深める。　3） 各種疾患に対して行われる臨床検査から得られるデータから各疾患の病態を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）詳細な日程は教員の指示に従うこと。　2）授業進行には十分な予習と復習が必要であるため、自宅学習は計画的に継続しておこなうこと。　3）理解の足りないところ、苦手なところは後回しにせず早期に克服すること。

教科書

担当教員より連絡するので、指定された教科書を持参すること。

参考書

1）担当教員より案内する。　2）適宜プリントを配布する

研究室／オフィスアワー

各教員は随時対応する。ただし、事前に連絡、予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床化学：生物化学分析の原理と方法 1	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
2	臨床化学：糖代謝の基本的知識と検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
3	臨床化学：脂質代謝の基本的知識と検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
4	臨床化学：蛋白質代謝の基本的知識と検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
5	臨床化学：酵素反応の基本的知識と検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
6	遺伝子検査学：遺伝子検査の基本的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員

7	免疫検査学：免疫の異常と疾患	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
8	免疫検査学：免疫学的検査の基礎的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
9	免疫検査学：輸血療法の基礎	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
10	免疫検査学:輸血に関連する検査法の基本的知識と技術	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
11	微生物検査学：微生物検査の基礎	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
12	微生物検査学：滅菌と消毒、化学療法 1	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
13	微生物検査学：細菌検査の基本的知識と検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
14	微生物検査学：真菌検査の基本的知識と検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
15	微生物検査学:ウイルス検査の基本的知識と検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）定期試験により判定する。　2）4/5 以上の出席を必要とする。　3）試験に対するフィードバックの方法:小テストや課題については採点後に返却し、必要に応じて解説する。			1）定期試験 100%

授業科目名	分析系検査学特論Ⅱ（検査）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／前川　佳敬／脇　英彦／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／竹下　ひかり／松尾　明彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限、水曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

専門科目群における科目相互の横断的理解を重視し、多様な情報を分析し統合して理解させることを目標とする。分析系検査学特論 II では、病態把握における、生化学的検査学、免疫学的検査学、輸血検査学、遺伝子検査学、微生物学的検査学といった生物化学分析検査および病因生体防御検査の役割を検査相互の関連性もふまえ演習形式でより深く学修する。分析等により得られた検査データを的確に読み取り疾患を多角的に把握できる能力を養う。また最新の医学知見まで重要なポイントを整理し教授する。

学修目標

1）病態理解の基盤となる基礎医学(解剖学や生理学、生化学など)の基礎医学の知識を修得する。　2）各検査法を実践するために不可欠な原理・原則について理解を深める。　3）　各種疾患に対して行われる臨床検査から得られるデータから各疾患の病態を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）詳細な日程は教員の指示に従うこと。　2）授業進行には十分な予習と復習が必要であるため、自宅学習は計画的に継続しておこなうこと。　3）理解の足りないところ、苦手なところは後回しにせず早期に克服すること。

教科書

担当教員より連絡するので、指定された教科書を持参すること。

参考書

1）担当教員より案内する。　2）適宜プリントを配布する

研究室／オフィスアワー

各教員は随時対応する。ただし、事前に連絡、予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床化学：生物化学分析の原理と方法２	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
2	臨床化学：糖代謝の検査法の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
3	臨床化学：脂質代謝の検査法の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
4	臨床化学：蛋白質代謝の検査法の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
5	臨床化学：内分泌検査法の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員

6	遺伝子検査学：遺伝子検査の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
7	免疫検査学：免疫異常と免疫学的検査法	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
8	免疫検査学：免疫学的検査（免疫機能検査）の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
9	免疫検査学：免疫学的検査（抗原抗体反応）の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
10	免疫検査学：輸血の副反応と管理	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
11	微生物検査学：微生物検査の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
12	微生物検査学：滅菌と消毒、化学療法２	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
13	微生物検査学：細菌検査の評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
14	微生物検査学：真菌検査の評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
15	微生物検査学：ウイルス検査の評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）定期試験により判定する。　2）4/5 以上の出席を必要とする。　3）試験に対するフィードバックの方法:小テストや課題については採点後に返却し、必要に応じて解説する。			1）定期試験 100%

授業科目名	生体検査学特論Ⅰ（検査）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／前川佳敬／脇　英彦／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／竹下　ひかり／松尾　明彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 1 限、木曜 2 限、金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床検査学が網羅する学問領域は多岐にわたり、個々の専門科目は独立して学ぶため科目間の横断的な理解が不十分である。生体検査学特論Ⅰでは、心電図検査、脳波検査、呼吸器検査、超音波検査といった生理学的検査法を中心に、これら検査が、病態の理解にどのように用いられているのか、また医療安全管理学、検査総合管理学についても実践ふまえ演習形式で教授する。また公衆衛生学、医用工学・医療情報学といった専門基礎分野についてもここで整理しなおし学修する。

学修目標

1）病態理解の基盤となる基礎医学(解剖学や生理学、生化学など)の基礎医学の知識を修得する。　2）各検査法を実践するために不可欠な原理・原則について理解を深める。　3）　各種疾患に対して行われる臨床検査から得られるデータから各疾患の病態を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）詳細な日程は教員の指示に従うこと。　2）授業進行には十分な予習と復習が必要であるため、自宅学習は計画的に継続しておこなうこと。　3）理解の足りないところ、苦手なところは後回しにせず早期に克服すること。

教科書

担当教員より連絡するので、指定された教科書を持参すること。

参考書

1）担当教員より案内する。　2）適宜プリントを配布する

研究室／オフィスアワー

各教員は随時対応する。ただし、事前に連絡、予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生学：医の倫理と公衆衛生の概念	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
2	公衆衛生学：人口統計と保健統計	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
3	公衆衛生学：疫学・環境保健	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
4	医用工学：電気回路の基本的知識	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
5	医用工学：生体物性・生体計測・安全対策の基本的知識	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
6	医療情報学：医療情報システムと情報処理	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員

7	生理機能検査学：循環器系疾患の検査法（基本的知識と技術）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
8	生理機能検査学：呼吸器系疾患検査法（基本的知識と技術）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
9	生理機能検査学：神経系疾患の検査法（基本的知識と技術）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
10	生理機能検査学：循環器疾患の画像検査（基本的知識と技術）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
11	生理機能検査学：消化器系疾患の画像検査（基本的知識と技術）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
12	生理機能検査学：婦人科系疾患の画像検査（基本的知識と技術）	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
13	検査総合管理学：検査部門の業務と管理、精度保証、検体検査の基礎	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
14	関係法規:臨床検査技師に関する法律ならびに医療関連法規 1	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
15	医療安全管理学：医療安全 と感染対策	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）定期試験により判定する。　2）4/5 以上の出席を必要とする。　3）試験に対するフィードバックの方法:小テストや課題については採点後に返却し、必要に応じて解説する。			1）定期試験 100%

授業科目名	生体検査学特論Ⅱ（検査）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／前川　佳敬／脇　英彦／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／竹下　ひかり／松尾　明彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限、木曜 2 限、金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

専門科目群における科目相互の横断的理解を重視し、多様な情報を分析し統合して理解させることを目標とする。生体検査学特論 II では、病態把握における、心電図検査、脳波検査、呼吸器検査、超音波検査などの生理学的検査法の役割を、検査相互の関連性もふまえ演習形式でより深く学修する。また生理学的な検査と、検体系検査を横断的に学び、検査データを多角的に把握できる能力を養う。また医療安全管理学、検査総合管理学についても実践ふまえ演習形式で教授する。また公衆衛生学、医用工学・医療情報学といった専門基礎分野についてもここで整理しなおし学修する。

学修目標

1）病態理解の基盤となる基礎医学(解剖学や生理学、生化学など)の基礎医学の知識を修得する。　2）各検査法を実践するために不可欠な原理・原則について理解を深める。　3）　各種疾患に対して行われる臨床検査から得られるデータから各疾患の病態を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）詳細な日程は教員の指示に従うこと。　2）授業進行には十分な予習と復習が必要であるため、自宅学習は計画的に継続しておこなうこと。　3）理解の足りないところ、苦手なところは後回しにせず早期に克服すること。

教科書

担当教員より連絡するので、指定された教科書を持参すること。

参考書

1）担当教員より案内する。　2）適宜プリントを配布する

研究室／オフィスアワー

各教員は随時対応する。ただし、事前に連絡、予約すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生学：環境保健	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
2	公衆衛生学：健康保持増進	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
3	公衆衛生学：国際保健	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
4	医用工学：医用電子回路	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
5	医用工学：生体情報の収集・電気的安全対策	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員

6	医療情報：医療情報システム	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
7	生理機能検査学：循環器系疾患の検査法と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
8	生理機能検査学：呼吸器系疾患検査法と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
9	生理機能検査学：神経系疾患の検査法と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
10	生理機能検査学:循環器系疾患の画像検査と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
11	生理機能検査学：消化器疾患の画像検査と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
12	生理機能検査学：骨盤腔の画像検査と評価	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
13	検査総合管理学：精度保証、検体検査の実際	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
14	関係法規:臨床検査技師に関する法律ならびに医療関連法規２	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
15	医療安全管理学：安全衛生管理	予習:教科書の該当範囲を予習する。(2 時間)　復習:ノート・配布資料等を活用し知識を定着させる。(2 時間)	臨床検査学科教員
成績評価方法と基準			割合
1）定期試験により判定する。　2）4/5 以上の出席を必要とする。　3）試験に対するフィードバックの方法:小テストや課題については採点後に返却し、必要に応じて解説する。			1）定期試験 100%

授業科目名	臨地実習（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／川畑　浩久／森　誠司／小宮山　恭弘／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／松尾　明彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	12 単位	必修･選択	必修

授業概要

学内での臨地実習前教育（OSCE）　1 単位　臨地実習　11 単位（9 月最終週から 12 月 1 週目　合計 11 週間）合計 12 単位で評価する。　OSCE は臨地実習同様欠席・遅刻は認めない　服装は臨地実習時同様。　臨地実習病院で臨床検査を体験し、学習する。　検体検査と生理検査の複数部署で診療の現場行われている検査を見学、体験して学習する。　臨地実習ガイドラインに沿って、到達目標を定め検査手技のみではなく、患者のプライバシー保護を考慮した患者対応ができることを目指す。　臨地実習での機器取り扱いについては、医療安全を第一に優先しながら、機器操作手順を遵守する。　病院情報システムの利用に際しては、データ漏洩防止はもちろん、ネチケット・データの 1 次利用・2 次利用についても学修する。

学修目標

①　実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。　②　採血業務と生理検査では、患者に対するマナーと接遇の仕方を理解する。　③　臨床検査技師のチーム医療への役割について理解する。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

病院職員に礼儀正しい態度をとること。　病院は患者の治療を行う施設であるため、実習中の行動には十分配慮する。　今まで学習したことが基礎となるため、予習と復習を怠らず、臨床現場の検査を有意義に学ぶように努める。　以下に記載されている授業内容を実習中に行います(進捗は各施設により異なります)。　白衣・名札着用のこと。　デイリーレポート・各部署のまとめについて、期限を守って提出のこと。臨地実習中の体調不良や交通機関の遅延による　遅刻・休みなどは実習先の長へ電話連絡すること。　臨地実習中も体温チェックなどの体調管理を必ず実施すること。　臨床実習施設は患者への接遇を十分に配慮すること。　特に「身だしなみ（患者接遇に適さない服装、髪型等)」、「言葉遣い」「感染対策」に注意すること。　上記の接遇に反する行為が明らかな場合、単位不取得になることがあるので注意すること。

教科書

臨床検査技師　臨地実習ハンドブック

参考書

実習病院で配布される資料を用いる。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指導に準じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学内での臨地実習前教育（OSCE）　臨床検査技師臨地実習ハンドブックを用いて　生理機能検査、一般検査、臨床化学検査、血液学検査、輸血免疫学検査、微生物検査、採血について実習前に必要な技術と知識を確認評価する。	臨床検査技師　臨地実習ハンドブックの生理機能検査、一般検査、臨床化学検査、血液学検査、輸血免疫学検査、微生物検査、採血についてそれぞれ予習しておくこと。	指導教員　臨地病院担当技師
2	臨床現場での臨床検査の意義を学ぶ　医療現場の安全管理	医療安全学を復習する。(2 時間)　検査管理学を確認する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師

3	医療現場の感染対策	標準予防策を確認する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
4	採血業務の見学	採血手順を確認する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
5	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　①	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
6	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　②	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
7	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　③	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
8	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　④	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
9	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑤	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
10	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑥	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
11	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑦	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
12	検体部門（臨床化学・免疫・輸血等）　⑧	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
13	検体部門（臨床微生物・病理等）　①	実習病院で行われている検体検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
14	検体部門（臨床微生物・病理等）　②	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
15	検体部門（臨床微生物・病理等）　③	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
16	検体部門（臨床微生物・病理等）　④	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
17	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑤	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
18	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑥	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
19	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑦	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
20	検体部門（臨床微生物・病理等）　⑧	実習病院で行われている病理・微生物検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
21	臨床生理部門　①	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
22	臨床生理部門 ②	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
23	臨床生理部門 ③	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師

24	臨床生理部門 ④	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
25	臨床生理部門 ⑤	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
26	臨床生理部門 ⑥	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
27	臨床生理部門 ⑦	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
28	臨床生理部門 ⑧	実習病院で行われている生理検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
29	緊急検査　①	実習病院で行われている緊急検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
30	緊急検査　②	実習病院で行われている緊急検査の進め方と検査技術を理解する。(2 時間)	指導教員　臨地病院担当技師
成績評価方法と基準			割合
学内での臨地実習前教育（OSCE）　1 単位　臨地実習　11 単位　合計 12 単位として評価する　OSCE は臨地実習同様欠席・遅刻は認めない　服装は臨地実習時同様。　　臨地実習病院の指導者の評価と施設担当教員からの報告をもとに、学科長が総合評価をする。　DP①④　　フィードバック：各施設担当教員が、実習病院の巡回を行い学生の習熟度チェックを行う。　　隣地実習終了後に提出されたレポートをもとに口頭試問を行い、学修到達目標へ達しているかのチェックを行う。			5 段階評価

授業科目名	基礎ゼミナール（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／阿部　秀高／森　誠司／小宮山　恭弘／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田　大孝／松尾　明彦／高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20001	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限、火曜 2 限、水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

【脇英彦、森誠司、小宮山恭弘、藤原牧子、小林彩香、佐伯康匠、関根将、小林渉、松尾明彦・8 回】　本演習は、新入生が大学生としての役割を身につけることができるように、学生を支援することを目的としている。具体的には、(1) 講義ノートの取り方・教科書の読み方、レポート・論文の書き方や文献の探し方、(2)大学での学修に必要で、かつ高等学校までの教育において取得すべき内容の教育、 (3)大学生に求められる一般常識や態度、(4)専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育などについて、グループに分かれてディスカッションを交えて演習を行う。　【阿部秀高・7 回】　大学では､「自ら問いを立て答えを導く」という与えられた課題に対して主体的に文献を集め、レポートにまとめていく技法が必要になる。本科目では、そのために必要となる技能を基礎から学び習得していくことを目指す。

学修目標

【脇英彦、森誠司、小宮山恭弘、小林彩香、佐伯康匠、藤原牧子、関根将、小林渉、松尾明彦・8 回】　1．レポートの書き方、文献検索などのスタディスキル・アカデミックスキルを修得する。　2．大学生に求められる基礎学力と社会常識を理解する。3．医学を学ぶという自覚を確立する。　4．臨床検査学の各分野で必要な基礎的知識を理解する。DP②③④　【阿部秀高】　自分の考えを理論的な文章として表現できるようにすることを重視する。具体的には、 ①ノートを取ろう（ノートの取り方） ②大学図書館の利用方法（文献検索） ③文章表現について（大学のレポートにふさわしい用語・符号の使い方や構成など文章表現）を学んでいく。DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

在学中はもちろんのこと卒業後も新しい知識や技術を学び身につけていく必要がある。そのために効果的な学習法の修得が重要である。自分にあった学習スタイルを早期に獲得し、生涯にわたり役立ててもらうことを期待する。また検査学科教員より提供される話題から臨床検査に求められている基礎的な知識・技能とはどのようなものか積極的な議論を通して理解してもらいたい。

教科書

【脇英彦、森誠司、小宮山恭弘、小林彩香、佐伯康匠、藤原牧子、関根将、小林渉、松尾明彦・8 回】　適宜資料を配布する。　【阿部秀高】　特に指定はしない。授業時にプリントを配布するので、各自紛失しないようにファイリングし毎回持参すること。

参考書

【脇英彦、森誠司、小宮山恭弘、小林彩香、佐伯康匠、藤原牧子、関根将、小林渉、松尾明彦・8 回】　担当教員が適宜指示する。　【阿部秀高】　講義内で適宜指示する

研究室／オフィスアワー

臨床検査学科　各研究室に準じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション（講義への取り組み方・大学生としての自分を見つめる）	予習：シラバスの確認。（２時間）　復習：学びの履歴シートによる大学生として	阿部秀高

		必要な資質/能力についてのまとめ（２時間）	
2	大学生として身につけたい力	予習：自身が大学生として身につけたい力を想起しておく（２時間）　復習：講話から学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
3	大学生として身につけたい学び方	予習：大学生として身につけたい学び方について想起しておく。（２時間）　復習：講話から学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
4	コミュニケーションスキル・学修スキル向上	④予習：レポートの書き方について高校までに学んだことを想起しておく（２時間）復習：学んだレポートの書き方について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
5	論理的文章の書き方・資料活用の方法	予習：言語技術について、高校までに学んだことを想起しておく（２時間）　復習：学んだ言語技術について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部秀高
6	プレゼンテーション・スキル	予習：プレゼンテーションについて高校までに学んだことを想起しておく。（２時間）　復習：プレゼンテーションの作り方、発表の仕方についてまとめる。（２時間）	阿部秀高
7	本授業における学びのまとめ・振り返り	予習：自分の作成したプレゼンテーションの練習）（２時間）　復習：７回の講義で学んだ社会人基礎力に関してまとめておく。（２時間）	阿部秀高
8	医療における微生物検査の目的について理解し、具体的にどのように活用されているかを考える。(松尾明彦)	予習：食中毒の原因微生物について調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめる。(2 時間)	松尾明彦
9	寄生虫に関わる医療について考える。(関根将)	予習:寄生虫について調べる。(2 時間)　復習：授業内容をまとめる。(2 時間)	関根将
10	生理機能検査はどのような場合に実施されるのか、その目的と有用性について考える。(小宮山恭弘)	予習：生理機能検査にはどの様な検査があるのか調べておく。(2 時間)	小宮山　恭弘
11	臨床検査に関わる一般検査についての概論(小林渉)	予習：臨床検査の関わる一般検査について調べる。(2 時間)　復習：授業内容をまとめる。(2 時間)	小林渉
12	遺伝子検査・遺伝学的検査のメリット・デメリットについて議論する。(森誠司)	予習：DTC（Direct-to-Consumer Genetic Testing）にどのようなものがあるか調べる。(2 時間)　復習：検査から得られる遺伝情報の扱いについて考える。(2 時間)	森　誠司
13	病理検査とは何か。基本的な知識と技術を理解し、イメージをつかむ。(小林彩香)	予習：組織診検査と細胞診検査とは何かについて調べておく。(2 時間)　復習：病理検査の役割を知る。(2 時間)	小林彩香
14	微生物と感染症の関連性、および感染制御の重要性について考える。(佐伯康匠)	予習:「標準予防策」について調べておく。(2 時間)　復習:効果的な感染防御法を習慣づける。(2 時間)	佐伯康匠
15	血液検査が医療現場でどのように活用されているか考える。(藤原牧子)	予習：自分や家族が今まで受けた健康診断の血液検査結果用紙を確認してくる。血液検査項目より１項目選び、検査の意義などを調べてくる。(2 時間)　復習：血液検査の意義を考える。また、将来自分がどのような臨床検査技師になりたいか考える。(2 時間)	藤原牧子
成績評価方法と基準			割合
①【臨床検査学科教員】 教員ごとに小テストを行い評価する。 50%　②【阿部秀高】平常点評価（授業内での課題小テストなど）30%。　講義最終回に作成したアウトラインに基づく課題レポート 20%。　①及び②での評価各々50%ずつを合計したものを総合評価とする。　全体の 2/3 以上の出席が必要。 DP②③④			①50%　②50%

授業科目名	物理学（検査）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

さまざまな自然現象をよく観察してみると簡単な基本原理に基づいていることがわかる。物理学とはそのような基本原理を論理的に説明する学問であり、工学はもとより生物学、医学などの幅広い分野の基礎となっている。本講義は力学・熱力学・電磁気学などについて幅広い知識を学習し、医療現場で実際に活用できる知識を習得できる授業構成である。

学修目標

電気(回路計算)、電磁気の基本知識　コイル・コンデンサ　注射器の先端が皮膚に及ぼす圧力について　血圧とは　　上記の内容を学修していく。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識する。　２．配布された資料を使用し、講義を行う。　３．出席は重視する。　４．身近な自然現象を物理学の観点で考察する。　５．疑問点は大切にし、解決に向けて努力する。

教科書

プリント使用

参考書

電気基礎講座１プログラム学習による基礎電気工学　直流編

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜　木曜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	基本法則の誕生　クーロンの法則について	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **静電気の基本原理**：- 静電気は物体間の電子移動によって発生することを確認する。　- クーロンの法則　- 帯電の種類：正電荷と負電荷。2. **電流の基本原理**：　- 電流は電子の流れ（単位：アンペア [A]）。　- 電流の計算式　- 電流と静電気の違い（移動する電荷の状態）。　3. **日常的な	久国　正章

		例**：　　- 静電気：衣類のまとわりつき、ドアノブに触れたときの放電。　　- 電流：電池で動く電子機器、家庭の電気回路。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **静電気の応用と影響**：静電気の発生メカニズムと、それを防ぐ方法（例：湿度調整、導電性素材）を整理する。　2. **電流の理解**：　　- 電流の計算問題を解き直し、時間、電荷量、電流の関係を確認する。　- 電流が回路内でどのように流れるか、電圧や抵抗との関係を考える。　3. **応用例を考察**：　　- 電流と静電気が関連する技術（例：電子機器、防静電処理）を調べる。　　- 静電気と電流が異なる現象であることを、図や文章で整理する。	
3	電圧・抵抗について　オームの法則を用いた計算	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **電圧の定義**：　　- 電圧の単位：ボルト（V）。　　- 電圧が高いほど、電流を流す力が強くなる。　2. **抵抗の定義**：　　- 抵抗は、電流の流れにくさを表す。　　- 抵抗の単位：オーム（Ω）。　　- 抵抗が大きいほど、同じ電圧で流れる電流が少なくなる。　3. **オームの法則**：電流、電圧、抵抗の関係を表す基本式　4. **日常的な例**：　　- 電圧：家庭用電源（例：100 V、220 V）。　- 抵抗：電球のフィラメントや電気ヒーターの材料。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **電圧と電流の関係**：　　- 電圧が増えると電流がどのように変化するかを考える。　- 抵抗が一定のとき、電圧と電流が比例することをグラフで示す。　2. **抵抗の影響**：　　- 抵抗が大きくなると電流が減少する理由をオームの法則で説明する。　- 異なる抵抗値を持つ部品（例：LED、電熱線）を使った場合の挙動を考察する。	久国　正章
4	直列回路の考え方について	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **直列回路の基本特性**：　　- 直列回路では、電流はすべての部品で同じ大きさで流れる。　　- 総抵抗 ¥(R_{¥text{total}} ¥) は各抵抗の合計：　2. **オームの法則の復習**：直列回路に適用して、電圧、電流、抵抗の関係を確認する。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **直列回路の計算**：　　- 抵抗の合成を正確に計算できるようにする。　　- 各抵抗器にかかる電圧を求める練習をする。　2. **直列回路の特性の理解**：　　- 直列回路で1つの抵抗器が切れると回路全体がどうなるかを考える。　　- 電圧の分配が回路設計にどう影響するかを考察する。	久国　正章
5	抵抗率・キルヒホッフの法則について	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **キルヒホッフの法則**：　　- 任意の接続点において、流入する電流の総和と流出する電流の総和は等しい　　- 電流の流れが接続点で途切れないことを確認する。　2. **キルヒホッフの	久国　正章

		電圧の法則**：任意の閉回路（ループ）において、電圧の総和はゼロ　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. 各接続点の電流の総和がゼロになるように、具体的な例を使って確認する。　2. 各ループでの電圧の釣り合いを計算し、閉じた回路内の電圧降下と電源電圧の関係を理解する。	
6	電池の内部抵抗　並列回路の考え方について	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **電池の内部抵抗**：　- **基本概念**：　　- 電池には内部抵抗 ¥(r ¥) があり、これは電流が流れるときにエネルギー損失を引き起こす。　- **端子電圧の計算式**：　2. **並列回路の特性**：　　- **電流と電圧**：　- 並列回路では、各枝にかかる電圧が等しい。　　- 各枝を流れる電流の和が全体の電流に等しい：　　- **合成抵抗**：　　- 並列接続された抵抗の合成抵抗：　　**復習課題**:　　- 授業で扱った電池の内部抵抗や並列回路の計算問題を解き直し、正確に解答できるようにする。　- 並列回路における電流の分配を計算し、グラフ化して整理する。　　- 内部抵抗が異なる複数の電池を直列・並列に接続した場合の端子電圧を計算してみる。	久国　正章
7	並列回路２回目	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **並列回路の基本特性**：　　- 並列回路では、各支路にかかる電圧が等しい　　- 電流は支路ごとに分配される　　- 並列回路の合成抵抗の公式　2. **オームの法則の復習**：並列回路に適用し、各支路の電流を計算する方法を確認する。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **並列回路の計算**：　　- 合成抵抗を正確に計算できるようにする。　　- 各支路の電流を計算し、電流がどのように分配されるか理解する。　2. **並列回路の特性の理解**：　　- 並列接続が回路全体の抵抗を小さくする理由を考える。　　- 1つの支路に障害が起きても他の支路が動作を続ける仕組みを理解する。	久国　正章
8	ブリッジ回路	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **ブリッジ回路の基本構造：4つの抵抗が橋のように配置された回路構造。　2. **平衡条件**　**復習**　1. **平衡条件の理解**：平衡条件を使った抵抗値の計算問題を解き直す。	久国　正章
9	コイル(インダクタ)　コイルのリアクタンス(誘導性リアクタンス)	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **コイル（インダクタンス）の基本特性**：　　- コイル（インダクタンス）は、電流の変化に対抗する性質を持つ。　　- インダクタンス ¥(L ¥) の定義　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **コイルの理解**：　- 電流の変化に伴う誘導起電力を計算し、インダクタンスの意味を確認する。	久国　正章
10	コンデンサ(キャパシタ)　コンデンサのリアク	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義	久国　正章

	タンス(容量性リアクタンス)	資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **コンデンサ（キャパシタンス）の基本特性**： - コンデンサは電荷を蓄える能力を持つ。 - キャパシタンス ¥(C ¥) の定義： **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください: 1. **コンデンサの理解**： - 電荷と電圧の関係を計算し、キャパシタンスの意味を確認する。	
11	位相・RL 直列回路	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください: 1. **RL 直列回路の構造**: - 抵抗とコイルが直列に接続された回路。 - 抵抗とコイルが電流に対して異なる振る舞いをすることを確認。 2. **直流 RL 回路での応答**： - 電流の立ち上がり： - コイルによる誘導起電力の影響で電流が徐々に増加する。 - 電流の時間変化 3. **位相の基本概念**： - **位相**: 波や円運動における現在の位置や進行度合いを表す角度（ラジアン単位）。	久国　正章
12	RC 直列回路　RLC 直列回路	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **RC 直列回路の基本特性**: 2. **RLC 直列回路の基本特性** **復習** 1. **RC 直列回路の特性理解**： - 直流と交流におけるコンデンサの挙動を整理する。	久国　正章
13	音波　デシベル	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください: 1. **音の基本的な性質**: - 音波は媒質を伝わる縦波であり、周波数、振幅、速度の基本概念を確認する。 - 音の周波数（Hz）が音の高さ（高音・低音）を決め、振幅が音の大きさを決める。 2. **デシベル（dB）**: デシベルは音圧レベルの対数スケールで表現される。 3. **日常的な例**： - 音の例：会話（60 dB）、図書館（30 dB）、ロックコンサート（120 dB）。 - 音の大きさと健康への影響（例：騒音、聴覚保護の重要性）。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **音と周波数の理解**： - 音波の基本的な性質（周波数、振幅）を整理する。 - 音の高低や大きさが物理量としてどのように表現されるかを具体例とともに確認する。 2. **デシベル**： - 音圧レベルの計算練習を行い、基準音圧との関係を明確にする。 - 音圧レベルが 2 倍、4 倍、10 倍になる場合の変化を計算して整理する。 3. **応用例を考察**： - 音の大きさが健康に与える影響（例：騒音公害、耳栓の利用）を考える。	久国　正章
14	圧力・水圧・気圧について	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を用いて、以下の内容を確認してください： 1. **圧力の定義**：圧力（P）は単位面積あたりに働く力として定義される（P = F / A)。 2. **圧力の単位**：パスカル（Pa）を基本単位とし、N/m²との関係を理解する。 3. **気圧の概念**：大気圏中の圧力の性質、標準気圧（1 気圧 = 101325 Pa）について調べる。 **復習** - 授業内容を復習し、以下の点を整理してく	久国　正章

		ださい： 1. 圧力の計算方法と、力や面積の変化が圧力にどう影響するかを理解する。 2. 気圧が高度や温度によってどのように変化するかを図を用いて整理する。 3. 圧力や気圧の知識が、日常生活や専門分野でどのように応用されるかを考える。	
15	血圧・ベルヌーイの定理	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **ベルヌーイの定理**： - ベルヌーイの定理の公式： - 高速で流れる流体では圧力が低下する現象の理解。 2. **日常的な例**： - 飛行機の翼（揚力の発生）。 - 水道ホースの先を細めると流速が速くなる仕組み。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **ベルヌーイの定理の理解**： - ベルヌーイの公式を使った計算問題を解き、圧力、流速、高さの関係を理解する。 - 実験や観察から得られた結果をベルヌーイの定理で説明する。 2. **応用例の分析**：飛行機の揚力がベルヌーイの定理でどのように説明されるかを考える。 3. **具体例の考察**：ベルヌーイの定理が日常生活で観察できる例を挙げ、それを図や文章で説明する。	久国　正章
成績評価方法と基準			割合
①　毎回の小テスト課題１００点<DP③>			①１００％

授業科目名	生物学（検査）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

専門科目の理解を深めるための基礎的な生物学を学習する。　具体的には、下記単元を中心に、ヒトのからだについて理解を深める。　【細胞の構造】細胞小器官の種類とその働き　【代謝】代謝・消化・吸収　【個体の恒常性と調節】恒常性の維持・ホルモン

学修目標

ヒトの生命の仕組みについて、その基本的事項を習得することを目的とする。〈DP③〉　好気呼吸の過程を理解する。〈DP③〉　恒常性について理解を深める。〈DP③〉　体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講座を通して基礎用語を確認することが出来ます。高校で生物を学習していない、または不得意科目であった学生はぜひ受講して下さい。

教科書

書籍名：視覚でとらえる生物図録　著者名：鈴木孝仁　監修　出版社名：数研出版

参考書

カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第 1 巻 細胞生物学

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜、水曜・木曜の午前中、金曜の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	細胞の構造とその働き　遺伝子	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「遺伝子」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：核、細胞膜、細胞質、ミトコンドリア、リボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソームなど - 細胞小器官の役割（例：ミトコンドリアはエネルギー産生、リボソームはタンパク質合成）　- DNA と RNA の違い	久国
2	細胞の構造とその働き　細胞を構成する物質(有機物と無機物)　浸透	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「浸透」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：細胞膜、細胞壁（植物細胞の場合）、細胞質、細胞小器官（核、ミトコンドリア、小胞体など） - 細胞膜の構造とその機能（選択的透過性）　- 浸透の定義と原理：浸透圧、半透膜、溶液の種類（高張液、等張液、低張液）	久国
3	物質の輸送(能動輸送と受動輸送)　細胞を構成する物質（タンパク質）	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「物質の輸送」と「タンパク質」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- **物質の輸送**　- 細胞膜の構造（リン脂質二重層、タンパク質の埋め込み）　- 輸送の種類：拡散、浸透、能動輸送、受動輸送　- **タ	久国

		ンパク質とは**	
4	タンパク質の立体構造　タンパク質の種類と働き	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「タンパク質の構造」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ タンパク質の一次構造：アミノ酸の配列とペプチド結合　－ 二次構造：α ヘリックス、β シートの形成と水素結合の役割　－ 三次構造：立体構造を形成するジスルフィド結合など　－ 四次構造：複数のポリペプチド鎖が集合して形成される機能的タンパク質（例：ヘモグロビン）　－ タンパク質の構造と機能の関連性を示す例（例：酵素の活性部位）を調べ、予習として理解を深める。	久国
5	炭水化物　組織	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「炭水化物の構造と分類」に関する章を読み、主要な用語（単糖、二糖、多糖など）を確認する。　組織における炭水化物の役割について簡単に調べる。　必要に応じて、授業で取り扱う関連動画や資料を視聴し、基礎的な概念を理解する	久国
6	酵素の性質と働き　外呼吸と内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　活性部位、基質特異性、酵素-基質複合体、最適条件（温度、pH)、酵素阻害　酵素が化学反応の速度をどのように変化させるのかを簡単に調べる。　酵素の具体例（アミラーゼ、カタラーゼなど）を調べる。	久国
7	内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　外呼吸：肺でのガス交換（酸素の取り込みと二酸化炭素の排出）　内呼吸：細胞でのガス交換（酸素の利用と二酸化炭素の生成）　外呼吸と内呼吸の違いと関連性について簡単にまとめておく。	久国
8	消化器	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「消化器系」の章を読み、以下の用語を確認する：　－ 主な消化器官（口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）－ 各器官の役割（例：胃はタンパク質の消化、小腸は栄養素の吸収）　－ 消化酵素（ペプシン、アミラーゼ、リパーゼなど）の働きと分泌場所　食物が消化器系を通過する過程（消化・吸収の流れ）を簡単にまとめる。	久国
9	恒常性　血球	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「恒常性と血球」に関する章を読み、以下の概念を確認する：　－ 恒常性の定義と重要性 － 血球の種類（赤血球、白血球、血小板）とその役割　－ 赤血球：酸素運搬 － 白血球：免疫反応　－ 血小板：血液凝固	久国
10	酸素解離曲線　血液凝固	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の以下の章を読み、基本的な用語を確認する：－ 酸素解離曲線：ヘモグロビンと酸素の結合に関する曲線(酸素分圧、飽和度）　－ 酸素解離曲線の右方シフト・左方シフトの要因（pH、二酸化炭素濃度、体温など）－ 血液凝固の基本プロセス：血小板の役割、フィブリン形成の流れ	久国
11	伴性遺伝　血管	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「伴性遺伝」と「血管」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ **伴性遺伝**：性染色体（X染色体）に関連する遺伝の特徴。　－ X連鎖性疾患（例：血友	久国

		病、色覚多様性）の具体例　　－ 伴性遺伝の遺伝形式（家系図での遺伝のパターン）　　－ **血管の構造と機能**：動脈、静脈、毛細血管の違いと役割。	
12	心臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「心臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　　－ 心臓の構造（心房、心室、弁：三尖弁、僧帽弁、大動脈弁、肺動脈弁）　　－ 血液循環（肺循環と体循環の違い）　　－ 心拍の基本的な仕組み（洞房結節、刺激伝導系）　　－ 血液の流れを模式図にして、自分で描いて確認する（酸素を含む血液と二酸化炭素を含む血液の流れを明確に）。	久国
13	肝臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「肝臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する　　－ 肝臓の構造（肝細胞、肝小葉、肝門脈、肝動脈、胆管）　　－ 肝臓の主要な機能（代謝、解毒、胆汁の生成、栄養素の貯蔵）　　－ 肝臓が行う物質代謝（炭水化物、脂質、タンパク質）　　－ 胆汁が生成される仕組みとその役割（脂肪の乳化）を簡単に調べる。	久国
14	腎臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「腎臓」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　　－ 腎臓の構造　　－ 尿生成の流れ（糸球体でのろ過 → 尿細管での再吸収・分泌 → 集合管での尿濃縮）　－ 腎臓が体液の恒常性をどのように維持しているかを簡単に調べる。	久国
15	総復習	＜復習 4 時間＞　第１回～第１４回の復習問題を扱います。	久国
成績評価方法と基準			割合
①定期試験１００点のうち、６０点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	化学（検査）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解することができる。それらが生理機能に密接に連関することを認識できる。　＜DP③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「コ・メディカル　化学」　裳華房

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
2	電子配置とイオン化	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
3	化学結合	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
4	物質の三態	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
5	化学平衡と反応速度論 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
6	化学平衡と反応速度論 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講	安部

		義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
15	「化学」のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP③＞			1　100%

授業科目名	情報処理（検査 B）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	情報処理（検査 A）					
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊		
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉　2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉　3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉　4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること　2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること　3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること　4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する　※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目　（空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方）　コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。復習：授業内容の確認と課題。　※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論②　情報セキュリティと情報モラル　Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：Lesson5【表の作成】を読む　　復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	統計学（検査）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20006	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

統計学の基礎や概念を学び、実験や調査で得られたデータをどのような統計手法を用いて分析し、どのように解釈すればよいかを理解し、それらを元に実際に自分たちでデータを分析することによって、基礎的な統計処理を身につけることを目指す。

学修目標

1．統計学の基礎を理解する〈DP③〉　2．推定と検定の考え方を理解し，説明することができる〈DP③〉　3．量的データに対して適切な分析方法を選択することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の授業のつながりが非常に重要です．また，毎回小テストを実施しますので，欠席のないように留意すること

教科書

向後千春・冨永敦子，ファーストブック 統計学がわかる，技術評論社，ISBN13: 978-4774131900

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　「統計学」とはどのような学問か，また，医療従事者にとって統計学がなぜ必要なのかについて解説する.	シラバスを確認して，テキスト「はじめに」を読む（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）.【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	統計の基本概念とキーワード１:統計学に必須の基礎的知識　数の分類,測定値の性質について解説する.	数の分類や，尺度水準に関して参考書，web 等を利用してそれぞれの用語について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
3	統計の基本概念とキーワード２:統計学に必須の基礎的知識　母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度について解説する.	母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度に関して，教科書（１章，２章），参考書，web 等を利用して調べる，【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
4	相関：２変数のデータの関係の表現方法　「データの記述」の観点から，「相関」及び「相関係数」について解説する.	教科書では取り扱っていない内容なので，参考書や web を活用して，ピアソンの積率相関係数，スピアマンの順位相関係数，ケンドールの順位相関係数について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
5	検定の原理:検定法の共通原理　統計学的な手法は多様であるが，共通する部分も存在する．ここでは,多くの手法に共通する考え方について解説する.	教科書３章１節を読み．一般的な検定の流れについて調べておく．特に，「帰無仮説」とはなにか考える.【2】　MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口

6	検定：頻度・割合の検定１　　前回解説した「検定法の共通原理」に基づいた具体的な検定手法について，頻度・割合の検定を例に，「観測値」と「期待値」の考え方について解説する.	教科書３章２節，３節を読む.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
7	検定：頻度・割合の検定２　　観測値と期待値についておさらいしつつ，「カイ２乗検定」について解説し，実際に，検定統計量（カイ２乗値）や，その生起確率を求め，検定結果について判定を行う.	教科書３章４節を読み，必要な指標の求め方を調べておく.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
8	推定：平均値の信頼区間　　標本（得られた測定値）の平均値は，母集団の平均値（母平均）と一致しているかどうか検討するため，推定の手法について解説する.	教科書２章３節を読み，推定の考え方について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
9	推定：平均値の差の信頼区間　　１標本の平均値から母平均の信頼区間を求めることを拡張し，２標本の平均値の差の信頼区間を求める方法について解説する.	教科書４章１節，２節を読み，平均値の差の推定の考え方について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
10	検定：ｔ検定（対応のない２群の平均値の差の検定）　　収集したデータの「対応」とは何かを解説し，２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がない場合（特にウェルチの方法）について解説する．ウェルチの方法については，教科書に記述がないため，資料を配布する.	参考書，あるいは web を調べて．対応のないｔ検定の中でも，「ウェルチの方法」について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
11	検定：ｔ検定（対応のある２群の平均値の差の検定）　　２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がある場合について解説する.	教科書５章を読み，対応のある２群の平均値の差の検定について調べ，参考書，web を活用して「一標本ｔ検定」について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
12	３群以上の差の検定１-1：一元配置分散分析（１要因分散分析）　　ｔ検定は，測定条件が３群以上になると適用することができなくなる．３群以上の条件がある場合の検定について解説する.	教科書６章１節，２節を読み，条件が３群以上になるとｔ検定が利用できなくなる理由について調べつつ，分散分析の原理・考え方について理解する.【4】	井手口
13	３群以上の差の検定１-2：一元配置分散分析（１要因分散分析)演習　　前回解説した，１要因で，３水準以上の条件がある場合の検定に関する演習を行う.	教科書６章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順を調べる.【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
14	３群以上の差の検定２-1：二元配置分散分析（２要因分散分析）　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定について解説する.	教科書７章１節，２節を読み，「要因」と「水準」の考え方を再度確認し，２要因ある場合の分散分析の計算手順を調べる.【4】	井手口
15	３群以上の差の検定：二元配置分散分析（２要因分散分析）演習　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定に関する演習を行う.	教科書７章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順，及び，新たな要素である「交互作用」について調べる【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
成績評価方法と基準			割合
① 定期試験〈DP③〉　② 小テスト〈DP③〉			① 80%　② 20%

授業科目名	心理学（検査）				
主担当教員	海蔵寺　陽子		担当教員	海蔵寺　陽子	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

心理学は、人の心の仕組みや働きがどのようになっているかを研究する学問です。授業では人の性格、知覚や感情のほか、人の成長過程や人間関係の心理などについても学習します。

学修目標

１．人間の一般的心理、基本的心理、行動を理解することができる〈DP③〉　２．身近な経験について心理学的に説明することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義形式を中心に授業を進める。レポート提出を求めたり、小テストを課すことがある。

教科書

イラストレート心理学入門　斎藤勇　著　　誠信書房

参考書

心理学の基礎　　今田寛・宮田洋・賀集寛　共編　　培風館　その他、適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心理学とは	予習：教科書の目次を読み、わからない用語等について調べをしておく（2 時間） 復習：復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
2	知覚と認知１	予習：認知機能について教科書を読む。（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
3	知覚と認知２	予習：ヒトの情報処理システムについて教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
4	感情と情動	予習：情動表出について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
5	欲求と動機付け１	予習：生理的欲求、心理的欲求について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
6	欲求と動機付け２	予習：心理的欲求について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
7	学習１	予習：古典的条件付けについて教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
8	学習２	予習：学習理論について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
9	記憶	予習：記憶について教科書を読む（2 時間） 復習:本時を振り返り、ポイントをまとめる	海蔵寺

		（2 時間）	
10	性格と気質	予習：性格について教科書を読む（2 時間） 復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
11	臨床心理	予習：臨床心理について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
12	無意識と深層心理１	予習：無意識について教科書を読む（2 時間） 復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
13	無意識と深層心理２	予習：自我防衛機制について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
14	発達心理	予習：発達段階とその特徴について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
15	社会心理	予習：自己評価について教科書を読む（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	海蔵寺
成績評価方法と基準			割合
①定期試験<DP③>　②小テスト・レポート等<DP③>			①80%　②20%

授業科目名	生命倫理学（検査）				
主担当教員	田中　美子		担当教員	田中　美子	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

「生命倫理学」の主なトピックを取り上げながら、その是非について一緒に真剣に考える時間をもちます。また、いのちの大切さについても考えます。授業は講義が中心ですが、ディスカッションも行う予定です。

学修目標

1.「『いのち』は誰が決めるのか」と、どの現場でも考えられる習慣を身につける。〈DP③〉　2.「誰のための医療か」「誰のためのケアか」を、他の人の立場でも考えられる。(DP③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書『はじめて学ぶ生命倫理』を購入してください。　ノートなどを用意してください。　授業の内容は、時事問題等の関係で、変更することがあります。

教科書

『はじめて学ぶ生命倫理』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書 167（筑摩書房）　2011 年

参考書

『シリーズ　大学生の学びをつくる　生命の倫理学』　三崎和志他著　大月書店　2023 年　『生命倫理学とは何か』　アラステア・Ｖ・キャンベル著　山本圭一郎他訳　勁草書房　2016 年　『生命倫理の教科書』　黒崎剛・野村俊明編著　ミネルヴァ書房　2014 年　『生命倫理・医事法』塚田敬義・前田和彦編　医療科学社　2015 年　『QOL って何だろう』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書　2018 年 『看護師という生き方』 宮子あずさ著　ちくまプリマー新書　2013 年 『いのちはなぜ大切なのか』　小澤竹俊著　ちくまプリマー

研究室／オフィスアワー

授業の前後に、質問等を受け付けます。　出校日には、非常勤講師控室でも対応します。　自宅への電話でも受け付けます。番号は改めてお伝えします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理学で考えること	いのちに関わる問題をピックアップしておきましょう。	田中　美子
2	いのちはなぜ大切なのか	いのちとはどういうものか、自分の言葉で考えてみましょう。	田中　美子
3	人体実験からインフォームドコンセントへ	自己決定が求められるようになった歴史的背景を知りましょう。	田中　美子
4	言葉のポリティクス	言葉の使用法に込められた意図を考えてみましょう。	田中　美子
5	いのちをめぐる自己決定	教科書第 1 章を読みましょう。	田中　美子
6	安楽死・尊厳死の現在	いのちの終わりをめぐる現在の状況を知りましょう。	田中　美子
7	判断能力の判断は誰がするのか	教科書第３章を読みましょう。	田中　美子
8	認知症当事者の声	当事者の立場から認知症を捉え直してみましょう。	田中　美子
9	中高生の自己決定	教科書第 2 章を読みましょう。	田中　美子
10	人のいのちと心を支えるもの	自分にとっての支えが何かを考えてみましょう。	田中　美子

11	いのちの始まりはいつからか	教科書第 7 章を読みましょう。	田中　美子
12	いのちの尊厳の根拠	いのちはなぜ大切なのかを、改めて考えましょう。	田中　美子
13	いのちの質は誰が決めるのか	教科書第 4 章を読みましょう。	田中　美子
14	生殖医療の現在	いのちの始まりをめぐる現在の状況について調べましょう。	田中　美子
15	いのち・時間・美	いのちを大切にすることがどういうことか、多角的に考えてみましょう。	田中　美子
成績評価方法と基準			割合
①毎授業の「振り返り（ミニレポート）」。〈DP③〉　　授業の内容が反映されていること。 ②学期末の「レポート」。〈DP③〉　　調べた内容が客観的にまとめられていること。　　自分の考察が書かれていること。			①約 50%　②約 50%

授業科目名	哲学（検査）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。			
研究室／オフィスアワー			
授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	社会福祉学（検査）				
主担当教員	伊東　香純		担当教員	伊東　香純	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

本講義では、社会福祉学の基本的な概念や理論を学習し、それらを用いて社会を観察、分析する力を養う。家族や地域、病院など身近なテーマについて、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

学修目標

家族や地域、病院など福祉に関する身近なテーマについて、社会福祉学の基本的な概念や理論を用いて批判的、相対的な視点から考察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進捗状況等により、講義の順序や内容は変更する可能性がある。

教科書

指定なし

参考書

授業の中で適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

連絡先電子メール：itokasumi24(at)gmail.com (at)→@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
2	障害者の自立生活運動	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
3	介助の現場	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
4	社会保障制度の歴史	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
5	生活保護制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
6	家族制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
7	少子高齢社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペ	伊東

		ーパーの提出	
8	グローバルエイズ	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
9	国際協力	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
10	在日コリアン	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
11	開発原病・帝国医療	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
12	リスク社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
13	医療化	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
14	ジェンダー	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
15	自己決定？	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
成績評価方法と基準			割合
授業参加度（コミュニケーションペーパー）（検査鍼灸ともにＤＰ③）　最終レポート（検査鍼灸ともにＤＰ③）			60%　40%

授業科目名	日本国憲法（検査）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、コ・メディカルをもとに、診療の補助の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 臨床検査学科における『臨床検査技師等に関わる法律』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の現状とその是非についての理解を深める。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福追求権)　　包括的基本権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	植田

6	基本的人権規定③　　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田
7	人権問題　　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田
8	衛生法規並び衛生行政　　衛生法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田
9	関係法規①　　コ・メディカルに対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認　復習：講義内容をもとに、施術者の役割を確認する	植田
10	関係法規②　　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の中の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
11	医療過誤と法的責任①　　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
12	医療過誤と法的責任②　　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
13	日本の政治体制と三権分立　　国会・内閣規定より、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習：1 票の格差問題について理解を深める	植田
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：講義事項についての確認	植田
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(検査B)				
主担当教員	齊藤 裕己		担当教員	齊藤 裕己／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜4限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟1階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(検査 A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Occupations	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	At the dinner table	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験<DP②>　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(検査 B)				
主担当教員	齊藤 裕己		担当教員	齊藤 裕己／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021） 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟１階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	齋藤

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(検査 A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語 I に引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking (角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021) 英語 I で使用したテキストを引き続き使用する。英語 I を履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	藤重

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(検査)				
主担当教員	関根　将		担当教員	関根　将／前川　佳敬／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。　また、履修に関することや教育課程（カリキュラム)、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。　医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③〉　・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③〉　・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③〉　・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】【理事長､学長×学部長対談！】　テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上)　復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長　内田学部長　前川学部長　森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】【学科長対談！】　テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
5	コミュニケーション入門【コスモホール】（コミュニケーションって何？コミュニケーション	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コ	科目担当教員 橋本　弘子

	のメリットは？「話を聞く」､「伝える」ってどういうこと？） テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	ミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】 ～チームで学ぶ医療の基礎～ テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上) IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】 ～チームで学ぶ医療の基礎～ テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】 テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上) 復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【D②③】 ②レポート課題 テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【D②③】 ＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。 ①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30% ②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（検査）					
主担当教員	関根　将		担当教員	関根　将／朝倉　智仁		
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についてし知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8 学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁
3	IPW 論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁
5			
6			
7			
8			

成績評価方法と基準	割合

レポート課題〈DP②③〉　　「施設見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」 1600 字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。	100%

授業科目名	基礎体育（検査）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について（オリエンテーション+軽運動を実施）　　授業開始時間には、C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(学科指定の更衣室にて更衣後、C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること）　・運動が可能なスポーツウェア（NG：綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です）　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　　以下は毎回の注意事項服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション 軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習 1 時間	授業内で案内
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	授業内で案内
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	授業内で案内
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	授業内で案内
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	授業内で案内
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	授業内で案内

7	応用技術の習得　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
8	応用技術の習得　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
9	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
10	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
11	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
12	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
13	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
14	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
15	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	授業内で案内
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(検査)				
主担当教員	小田 啓之		担当教員	小田 啓之	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける (DP③)。　・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する (DP③)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回配布する資料と授業中に作成したノートを用いて、必ず復習してください。

教科書

パワーポイントを用いて授業を実施する。適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年　田中喜代次編「健康運動の支援と実践」金芳堂、2006 年

研究室／オフィスアワー

東棟 4F 月曜日

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康とは？	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
2	運動・栄養と肥満症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
3	運動・栄養と糖尿病との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
4	運動・栄養と脂質異常症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
5	三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
6	微量栄養素（ビタミン・ミネラル）と水の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
7	消化器の構造と機能	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
8	食品群の理解と応用	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
9	エネルギー摂取量と消費量との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
10	運動時におけるエネルギー産生メカニズム	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
11	運動処方の原則と実際	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
12	運動と食欲の関係－最新のトピックス－	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
13	日本人の食事摂取基準について	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田

14	健康づくりに関する本邦の取り組み	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
15	講義全体のまとめと振り返り	予習： これまでのプリントの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
成績評価方法と基準			割合
①授業内試験で評価する（DP③）。 15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 課題・テスト後、各設問の解答を解説する。希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			①100%

授業科目名	人体の構造Ⅰ（検査）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	SB20BMTA001	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体の構造Ⅰでは、ヒトの身体の構造の基礎的知識と概念を学ぶ。医療ではヒトの身体の構造と機能の基本的知識の修得と理解は必要不可欠である。人体の構造Ⅰでは、細胞と組織、運動器系と循環器系を学修し、基本的概念の把握と解剖学用語の修得を目指す。運動器系ではヒトの日常生活の基盤を支える骨格系、筋系の基本的知識を習得する。循環器系では、体液の調整を介してヒトの生命活動の基盤を支えている心血管系、リンパ系について学習する。これらの学習を通じてヒトを構成する構造の理解を深める。

学修目標

（1）細胞の構造、組織の概要、細胞・組織・器官の層序性を説明できる（DP②③）　（2）運動器（骨格系、筋系）の構成や存在部位を学修し、運動器が人体で果たす機能との関わりを説明できる（DP②③）　（3）循環器系の構成と体内での分布や拡がりを学修し、循環器系が人体で果たす機能との関わりを説明できる（DP②③）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書を中心に進めます。自発的な予習と復習を心掛けて下さい。適宜資料を配布します。講義時の重要事項の整理や、復習時に活用して理解を深めて下さい。講義の進行・予定や単位認定の詳細などについては初回講義時に説明します。

教科書

秋田恵一、星　治「最新臨床検査学講座　解剖学」　医歯薬出版

参考書

「日本人体解剖学（改訂 20 版）」上・下巻　金子丑之助、金子勝治、穐田真澄（南山堂）

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義の概要、解剖学総論	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
2	組織と細胞	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
3	ヒトの発生、骨格系総論	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
4	頭蓋骨	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
5	体幹の骨	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
6	体肢の骨	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
7	細胞、組織、骨格系のまとめ	細胞、組織、骨格系の形態について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を	森谷

		十分に復習して下さい（4 時間）。	
8	筋系総論、頭部、頸部、胸部、腹部、背部の筋	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
9	上肢の筋	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	下肢の筋	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	血管系、心臓、小循環	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	大循環の動脈系	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	大循環の静脈系	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	リンパ系	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	筋系、循環器系のまとめ	筋系、循環器系の形態について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（90%）（DP②③）　②課題等の提出（10%）（DP②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。			①90% ②10%

授業科目名	人体の構造Ⅱ（検査）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	SB20BMTA002	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

人体の構造Ⅱでは、人体の構造Ⅰの講義内容を踏まえてヒトの身体の構造の基礎的知識と概念を学ぶ。人体の構造Ⅱでは、消化器系、呼吸器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系を学修し、基本的概念の把握と解剖学用語の修得を目指す。これらの学習を通じてヒトを構成する構造の理解を深める。

学修目標

（1）消化器系の基本的構成を説明できる（DP②③）　（2）呼吸器系の基本的構成を説明できる（DP②③）　（3）内分泌系の基本的構成を説明できる（DP②③）　（4）泌尿器系の基本的構成を説明できる（DP②③）　（5）生殖器系の基本的構成を説明できる（DP②③）　（6）神経系の基本的構成を説明できる（DP②③）　（7）感覚器系の基本的構成を説明できる（DP②③）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

講義は教科書を中心に進めます。自発的な予習と復習を心掛けて下さい。適宜資料を配布します。講義時の重要事項の整理や、復習時に活用して理解を深めて下さい。講義の進行・予定や単位認定の詳細などについては初回講義時に説明します。

教科書

秋田恵一、星　治「最新臨床検査学講座　解剖学」　医歯薬出版

参考書

「日本人体解剖学（改訂 20 版）」上・下巻　金子丑之助、金子勝治、穐田真澄（南山堂）

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	消化器系（総論、口腔～小腸）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
2	消化器系（大腸、実質性臓器）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
3	呼吸器系（鼻～喉頭）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
4	呼吸器系（気管～肺、縦隔）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	内分泌系
5	泌尿器系（腎臓）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
6	泌尿器系（尿管～尿道）　生殖器系（男性生殖器）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
7	生殖器系（女性生殖器）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
8	消化器系、呼吸器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系のまとめ	細胞、組織、骨格系の形態について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を	森谷

		十分に復習して下さい（4 時間）。	
9	神経系（総論、中枢神経系）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	神経系（中枢神経系、伝導路）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	末梢神経（脳神経）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	末梢神経（脊髄神経、自律神経）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	感覚器（視覚器、平衡聴覚器）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	感覚器（味覚器、嗅覚器、皮膚）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	筋系、循環器系のまとめ	筋系、循環器系の形態について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（90%）（DP②③）　②課題等の提出（10%）（DP②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。			①90% ②10%

授業科目名	人体の構造実習（検査）					
主担当教員	川畑　浩久			担当教員	川畑　浩久／小林　彩香	
科目ナンバリング	SB20BMTA003	科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	後期		曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

人体の構造的、機能的最小単位である細胞には様々な形態を有しているものがあり、器官・臓器はそれらが一定の秩序に従って構成されている。本実習ではヒトの身体から頂いた組織標本の顕微鏡観察を通じて、これまで学習した「人体の構造」と「人体の機能」について、ミクロからマクロまで関連づけながら理解を深めるとともに、生命の尊厳についても学習する。

学修目標

生物の最小単位である細胞がいかなる「形態」を有し、どのような「機能」を発揮しうるのかについて「観察」を通じて理解を深めることで、各器官・臓器の機能についてもより深く理解し、さらに疾病における形態変化がどのような機能障害を生じるかについても考察できるようにする。〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 組織学の理解を深めることは、解剖学や生理学のみならず病理学や病態学の理解を深めることにつながることから、積極的に学習すること。　2. 顕微鏡観察においては観察力を身につける努力をすること。　3. 毎回テーマが異なるため極力欠席をしないようにすること。　4. 実習で扱う顕微鏡やプレパラートは精密機器かつ貴重な資料であることから、丁寧に取り扱うこと。　5. 実習室は精密機器を扱うことから飲食を禁止する。　6. 受講にあたっては最低限の礼儀をわきまえること。また私語などは授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる場

教科書

1. 入門組織学 改訂第 2 版. 牛木辰男 著. 南江堂. 2016 年. ISBN978-4-524-21617-8.　2. その他適宜プリントを配布する

参考書

1. 伊藤隆、阿部和厚　著. 組織学　第 19 版.　南山堂. 2005 年.　2. 野上晴雄　著. 新組織学 (Q シリーズ) 改訂第 6 版. 日本医事新報社. 2016 年.

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室 707：木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実習の進め方、組織学の歴史、組織学総論（4 大組織）についての解説、顕微鏡の使用方法	予習：人体の構造、機能で学んだ組織・細胞の確認（解剖学 p7-24,169-181）　復習： 4 大組織について復習すること（解剖学 p7-24,169-181、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	上皮組織 1：上皮組織（皮膚組織）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p29-44,295-302）の確認　復習：観察した上皮組織および皮膚組織の構造について復習すること（教科書 p29-44,295-302、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
3	消化器系 1：消化管（食道、胃）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p164-172）の確認　復習：観察した食道、胃の構造について復習すること（教科書 p164-172、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

4	消化器系 2：消化管（小腸、大腸）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p172-183）の確認　復習：観察した小腸、大腸の構造について復習すること（教科書 p172-183、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
5	消化器系 3：肝臓、膵臓（外分泌）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p183-196）の確認　復習：観察した肝臓、膵臓（外分泌）の構造について復習すること（教科書 p183-196、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
6	消化器系 4：甲状腺、膵臓（ランゲルハンス島）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p278-282,192-198）の確認　復習：観察した甲状腺、膵臓（ランゲルハンス島）の構造について復習すること（教科書 p278-282,196-198、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	呼吸器系：気管、肺についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p202-210）の確認　復習：観察した気管、肺の構造について復習すること（教科書 p202-210、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	循環器系：心・血管（動静脈）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p104-116）の確認　復習：観察した心・血管（動静脈）の構造について復習すること（教科書 p104-116、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	泌尿器系：腎（糸球体および尿細管）についての観察および解説	予習：シラバス・教科書（p211-226）の確認　復習：観察した腎、膀胱の構造について復習すること（教科書 p211-226、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	筋組織：横紋筋、平滑筋、心筋についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p69-82）の確認　復習：観察した筋組織の構造について復習すること（教科書 p69-82、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	骨格系：骨・軟骨組織（気管軟骨・骨端軟骨）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p58-67）の確認　復習：観察した骨・軟骨組織の構造について復習すること（教科書 p58-67、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	神経組織：神経組織（脊髄、大脳、小脳）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p83-97）の確認　復習：観察した神経組織の構造について復習すること（教科書 p83-97、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
13	生殖器系：生殖腺（精巣、前立腺、卵巣、子宮）についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p227-236,245-258）の確認　復習：観察した精巣、卵巣、子宮の構造について復習すること（教科書 p227-236,245-258、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
14	生殖器系：感覚器（眼球（角膜・網膜））についての解説および観察	予習：シラバス・教科書（p319-335）の確認　復習：観察した眼球（角膜・網膜）の構造について復習すること（教科書 p319-335、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
15	組織学のまとめ：これまで観察してきた正常組織像の総復習	予習：これまでの講義を振り返る（教科書、配布資料）　復習：教科書、配布資料などの振り返りを行うこと。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 実習レポートの提出〈DP②～④〉　（※実習レポートは授業終了後必ず提出すること。評価基準は授業開始時に提示する。なおレポートの未提出は欠席とみなす場合もある。）　2. 定期試験〈DP④〉　3. 4/5 以上の出席が必要　4. 実習レポートに対するフィードバックの方法：実習レポートや授業内の小テストは翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示する。			1. 50%　2. 50%

授業科目名	人体の機能Ⅰ（検査）				
主担当教員	竹下 ひかり		担当教員	竹下 ひかり	
科目ナンバリング	SB20BMTA004	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学について学ぶ。人体の正常な機能について学習し、医学の他の分野を学ぶための基礎を身につけることを目的とする。人体の機能Ⅰでは、循環器・呼吸器・消化器をはじめとした内臓系を中心に取り扱う。

学修目標

・体細胞の構造と機能の概要を述べることができる。(DP②③)　・心臓と血管のあらましを説明できるとともに、循環調節について概説することができる。(DP②③)　・呼吸力学とガスの運搬を概説できるとともに、呼吸調節について説明できる。(DP②③)　・腎臓の働きについて説明できるとともに、体液調節の仕組みについて述べることができる。(DP②③)　・消化器の働きを説明できるとともに、栄養素の消化・吸収・代謝について概説できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

奈良信雄・和田隆志　編集、『臨床検査学講座　生理学』　ISBN978-4-263-22373-4 医歯薬出版

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室はC棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripaでご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生理学序論	予習：要さない　復習：講義プリント　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
2	人体組織論・体液	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
3	細胞膜電位・循環器（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
4	循環器（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
5	循環器（３）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
6	循環器（４）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
7	呼吸器（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
8	講義前半部分まとめ授業　呼吸器（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
9	腎・尿路（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
10	腎・尿路（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり

11	消化器・代謝（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
12	消化器・代謝（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
13	振り返りまとめ授業　消化器・代謝（３）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
14	消化器・代謝（４）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間　（別途、練習問題を解く時間を要する）	竹下 ひかり
15	講義全体の総復習　定期試験	予習・復習：第１～１５回講義、定期試験準備	竹下 ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験（DP②③）			100%

授業科目名	人体の機能Ⅱ（検査）				
主担当教員	竹下 ひかり		担当教員	竹下 ひかり	
科目ナンバリング	SB20BMTA005	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学について学ぶ。人体の正常な機能について学習し、医学の他の分野を学ぶための基礎を身につけることを目的とする。人体の機能Ⅱでは、血液・内分泌・神経を中心に取り扱う。

学修目標

・血液と血球の働きを説明できる。(DP②③)　・さまざまなホルモンの分泌の仕組みと働きについて説明できる。(DP②③)　・生殖と発生のあらましを説明できる。:さまざまなホルモンの分泌の仕組みと働きについて説明できる。(DP②③)　・神経細胞とシナプスについて概説することができる。中枢神経の主要部位の構造とその主な機能を述べることができる。(DP②③)　・感覚の受容について述べることができる。(DP②③)　・筋肉の収縮・弛緩について述べることができる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助と

教科書

奈良信雄・和田隆志　編集、『臨床検査学講座　生理学』　ISBN978-4-263-22373-4 医歯薬出版

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室はC棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripaでご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	血液（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
2	血液（２）・生体リズム	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
3	内分泌・生殖（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
4	内分泌・生殖（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
5	内分泌・生殖（３）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
6	内分泌・生殖（４）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
7	神経生理（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
8	前半部分振り返りまとめ授業　神経生理（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
9	神経生理（３）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
10	神経生理（４）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり

11	感覚器（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
12	感覚器（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
13	振り返りまとめ授業　運動器（１）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
14	運動器（２）	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
15	講義全体の総復習　定期試験	復習：第１～１５回講義　学習所要時間目安：合計二時間　（別途、定期試験準備の必要がある）	竹下 ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験（DP②③）			100%

授業科目名	生化学（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司	
科目ナンバリング	SB20BMTA006	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生化学は生命現象を分子レベルで学ぶ学問である。本講義では人体を構成している化学物質の生体内での生物化学反応と生命維持との関わりについて学ぶ。糖質、アミノ酸、タンパク質、脂質、核酸などの主要な生体構成物質の構造と機能について学び、生命が多様な物質より構成されていることを理解する。

学修目標

生体を構成する糖質、タンパク質、脂質といった分子の構造と性質について説明できる。　生体内での化学反応、すなわち酵素反応について説明できる。　DP1, 2

履修上の注意(学生へのメッセージ)

高校までの生物と化学について復習しておくこと。

教科書

シンプル生化学　（南江堂）ISBN : 978-4-524-24659-5

参考書

マッキー生化学　（化学同人）　リッピンコットシリーズイラストレイテッド生化学　（丸善）　カラーイラストで学ぶ集中講義　生化学　（メジカルビュー社）

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命現象と生化学	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
2	糖の定義と分類	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
3	単糖類、オリゴ糖類、多糖類	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
4	糖タンパク質とプロテオグリカン	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
5	脂質の定義と分類	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
6	脂肪酸の基本的な構造と性質	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
7	単純脂質と複合脂質	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
8	アミノ酸の構造と性質	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森

9	タンパク質の構造と性質	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
10	核酸とヌクレオチドの構造と性質	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
11	DNA・RNA の構造と性質	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
12	酵素の一般的な構造と性質	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
13	酵素の構造と活性中心	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
14	酵素反応速度論	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
15	酵素活性の調節	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間） 復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
成績評価方法と基準			割合
小テストと期末テストの結果で評価する小テストの回答と解説は講義内で行う。 DP1,2			小テストと期末テストの割合は以下の通り。 ① 20% ② 80%

授業科目名	生化学特論（検査）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司	
科目ナンバリング	SB20BMTA007	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生化学は生命現象を分子レベルで学ぶ学問である。本講義では人体を構成している化学物質の生体内での生物化学反応と生命維持との関わりについて学ぶ。糖質、脂質、アミノ酸、核酸などの合成と分解の代謝経路の詳細について学修することで、生命活動が多様なシステムより構築されていることを理解する。また免疫反応や腫瘍における生化学，分子生物学，ゲノム解析学，実験技術などの最新の進歩に関しても学修する。

学修目標

糖質、脂質、アミノ酸、核酸の代謝経路を説明できる。　ミトコンドリアにおけるエネルギー代謝を説明できる。　それぞれの代謝経路の相互関係と調節機構を説明できる。　DP1，2

履修上の注意(学生へのメッセージ)

前期の「生化学」について復習をしておくこと。

教科書

シンプル生化学　（南江堂）ISBN : 978-4-524-24659-5

参考書

マッキー生化学　（化学同人）　リッピンコットシリーズイラストレイテッド生化学　（丸善）　カラーイラストで学ぶ集中講義　生化学　（メジカルビュー社）

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生体内におけるビタミンの働き	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
2	生体膜の構造と物質輸送	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
3	消化と吸収	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
4	糖質の代謝・解糖系	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
5	グリコーゲン合成と分解	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
6	クエン酸回路・糖新生・ペントースリン酸回路	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
7	脂質の代謝・貯蔵と動員	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森
8	脂肪酸の分解・脂肪酸の生合成	予習：教科書の該当部分を読んでくる（2 時間）　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森

9	リン脂質・ステロイド化合物の代謝	予習:教科書の該当部分を読んでくる(2時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2時間)	森
10	アミノ酸の分解	予習:教科書の該当部分を読んでくる(2時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2時間)	森
11	アミノ酸から合成される生体物質	予習:教科書の該当部分を読んでくる(2時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2時間)	森
12	アミノ酸の生合成	予習:教科書の該当部分を読んでくる(2時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2時間)	森
13	新生経路によるモノヌクレオチドの代謝	予習:教科書の該当部分を読んでくる(2時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2時間)	森
14	デオキシリボヌクレオチドの合成	予習:教科書の該当部分を読んでくる(2時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2時間)	森
15	ヌクレオチドの代謝分解と再生経路	予習:教科書の該当部分を読んでくる(2時間)　復習:重要事項をノートにまとめる(2時間)	森
成績評価方法と基準			割合
小テストと期末テストの結果で評価する。小テストの回答と解説は講義内で行う。　DP1,2			小テストと期末テストの割合は以下の通り。　①　20%　②　80%

授業科目名	分析化学（検査）				
主担当教員	小林　吉晴		担当教員	小林　吉晴	
科目ナンバリング	SB20BMTA009	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

臨床検査で生体分子を測定するために必要な代表的な分析法（各種クロマトグラフィー、電気泳動、紫外・可視吸光度測定法、蛍光光度測定法、質量分析などの原理）や検体の前処理法と分析学の基礎理論を修得する。

学修目標

１．生体を構成する元素、原子、分子、化合物を理解する。　２．溶液の濃度、電解質、イオン強度、について理解する。　３．酸と塩基、酸化・還元反応について説明できる。　４．電気泳動法の原理を説明できる。　５．化学物質の分離・精製方法について理解する。　６．電磁波について説明できる。　７．紫外可視分析法、蛍光・りん光分析、赤外分光法を理解する。　８．核磁気共鳴法、質量分析法、原子吸光法の原理を理解し、臨床検査での利用を理解する。　９．　クロマトグラフィーの原理を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．分析化学は臨床検査の基礎となる学問であることを認識する。　２．生体成分の分析は生体を構成する元素、原子、分子、化合物を分析することと認識する。　３．種々の分析法の特徴について理解し、どの分析法が目的物質の分析に最適か考える。

教科書

「よくわかる最新分析化学の基本と仕組み」秀和システム　・津村ゆかり著　ISBN978-4-7980-4650-1

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

講義終了後、非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	水素、窒素、炭素、酸素などの元素としての特徴や元素周期表を学ぶ。	予習：不要　復習：元素周期表を第３周期まで自分で書ける。	小林吉晴
2	水素、窒素、炭素、酸素などの電子軌道を学ぶ。電子について理解する。	予習：不要　復習：水素、窒素、炭素、酸素の電子軌道を書ける。	小林吉晴
3	溶液の濃度の単位や電解質の意味を理解する。	予習：不要　復習：授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
4	酸と塩基の定義を理解する。 水素イオン濃度の計算ができる。	予習：不要　復習：授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
5	酸化還元反応を理解する。	予習：不要　復習：授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
6	分析化学で使用する試薬､ガラス器具の使用方法を正しく理解する。	予習：不要　復習：授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
7	電気泳動法の原理を理解し､臨床検査での応用例を説明できる。	予習：不要　復習：授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
8	電磁波の種類とその特徴について説明できる。	予習：不要　復習：授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
9	紫外･可視分析法の特徴とランバートベアの法則を説明できる。 関連する計算問題が解けるようになる。	予習:不要　復習:授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
10	蛍光とりん光の違いを説明できる。	予習:不要　復習:授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴

11	赤外分光法の原理と測定法の特徴を説明できる。	予習:不要　復習:授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
12	核磁気共鳴法の原理と測定法の特徴を説明できる。	予習:不要　復習:授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
13	質量分析法の原理と測定法の特徴を説明できる。	予習:不要　復習:授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
14	原子吸光法の原理と測定法の特徴を説明できる。	予習:不要　復習:授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
15	クロマトグラフィーの原理を説明できる。	予習:不要　復習:授業内容をノートにまとめる。	小林吉晴
成績評価方法と基準			割合
１．小テスト(DP1)：２０点　２．定期試験(DP1)：８０点			小テスト 20% 本試験 80%

授業科目名	臨床検査学総論（検査）				
主担当教員	小林 涉		担当教員	小林 涉	
科目ナンバリング	SB20BMTA015	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

・本講義では、臨床検査学の全体像や用語など、今後の専門科目の学習に必要な『基礎知識』を習得します。　・代表的な検査として、一般検査を学びます。一般検査学（演習）前の予備知識となります。　・その他、検体採取、安全管理学、総合管理学の概要についても触れます。

学修目標

1. 臨床検査技師の役割と使命、心構えと一般的注意、行われる場所　2. 採血法・検体の取り扱い方　3. 採血法・検体の取り扱い方　4. 尿検査概要（定性・沈渣）　5. 尿検査基礎（定性）　6. 尿検査基礎（沈渣）　7. 尿検査応用（定性・沈渣）　8. 臨床検査総論中間まとめ　9. 糞便検査　10. 脳脊髄液検査　11. 胸水・腹水・心嚢液・関節液・喀痰　12. その他の一般検査　13. 尿化学検査・腎機能検査　14. 尿化学検査・腎機能検査　15. 臨床検査総論まとめ

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．疾病と臨床検査の関係を理解するように努める。　２．各種測定法の原理を理解し、生体成分の測定意義を説明できるようにする。　３．講義終了後のノート整理とまとめの作業で、理解の確認が大切。　４．臨床検査データの読める臨床検査技師を目指す。　5. 予習・復習は 2 時間ずつする。

教科書

JAMT 技術教本シリーズ　一般検査技術教本　一般社団法人　日本臨床衛生検査技師会　　標準採血法ガイドライン GP4-A3　JCCLS 日本臨床検査標準協議会

参考書

最新臨床検査学講座　検査総合管理学　高木　康　三村邦裕　編 医歯薬出版　ISBN978-4-263-22366-6 C3347　臨床検査ガイドライン　JSLM2018　日本臨床検査医学会　標準臨床検査学　臨床検査総論　伊藤機一・松尾収二　編　医学書院　臨床検査提要　第 35 版　金原出版

研究室／オフィスアワー

在室時随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. 臨床検査技師の役割と使命、心構えと一般的注意、行われる場所	予習：必要なし　復習：心構えを持つこと	小林　涉
2	2. 採血法・検体の取り扱い方	予習：標準採血法ガイドライン　GP4-A3 の採血法をよく読んでおくこと　復習：重要点、不明点をメモしておくこと。わからなければわかるまで調べる。教員に聞くなどすること。	小林　涉
3	3. 採血法・検体の取り扱い方	予習：採血管の種類や、適した検査についてみておくこと。　復習：暗記が重要となる分野です。長期記憶となるよう定期的に復習すること。	小林　涉
4	4. 尿検査概要（定性・沈渣）	予習：技術教本の定性・沈渣の臨床的意義をみておくこと　復習：疾患の種類をなるべく多く知っておくこと。尿検査がどのように役立つかを知っておくこと。	小林　涉
5	5. 尿検査基礎（定性）	予習：技術教本の定性の偽反応についてみておくこと　復習：偽反応の用語を知っておく。暗記が重要となる分野です。長期記	小林　涉

		憶となるよう定期的に復習すること。	
6	6. 尿検査基礎（沈渣）	予習：技術教本の尿沈渣成分（写真）についてみておくこと　復習：暗記が重要となる分野です。長期記憶となるよう定期的に復習すること。	小林　渉
7	7. 尿検査応用（定性・沈渣）	予習：尿定性沈渣の原理まで深く学びます。これまでの知識を復習しておくこと。復習：一度では理解できないと思います。いつか役に立つと思って整理しておいてください。	小林　渉
8	8. 臨床検査総論中間まとめ	予習：国試問題を解いてみます。これまでの知識を復習しておくこと。　復習：大事だと伝えた問題は、全てを理解しておくこと。（その他の問題はその後にすること）	小林　渉
9	9. 糞便検査	予習：技術教本の糞便検査（特に外観と便潜血検査）についてみておくこと　復習：国試に出るポイントをまとめておく	小林　渉
10	10. 脳脊髄液検査	予習：技術教本の髄液検査（特に外観と細胞分類）についてみておくこと　復習：国試に出るポイントをまとめておく	小林　渉
11	11. 胸水・腹水・心嚢液・関節液・喀痰	予習：技術教本の体腔液検査とどのような診断に役立つかについてみておくこと　復習：国試に出るポイントをまとめておく	小林　渉
12	12. その他の一般検査	予習：必要なし　復習：どんな検査があるか？必要になったときに調べる方法を身に着けておく。	小林　渉
13	13. 尿化学検査・腎機能検査	予習：腎臓の構造と役割を調べておくこと 復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめ、理解し学修する。	小林　渉
14	14. 尿化学検査・腎機能検査	予習：腎臓の構造と役割を調べておくこと 復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめ、理解し学修する。	小林　渉
15	15. 臨床検査総論まとめ	予習：国試問題に取り組みます。これまでの知識を整理しておくこと。　復習：国試問題を改変し定期試験を行います。重要な問題とそうでない問題の見極め。重要な問題は深く理解しておくこと。	小林　渉
成績評価方法と基準			割合
１．小テスト(DP1)：２０点　２．定期試験(DP1)：８０点			小テスト 20% 定期試験 80%

授業科目名	検査技術科学序論（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／森　誠司／小宮山　恭弘／前川佳敬／佐伯　康匠／藤原　牧子／小林　彩香／関根　将／田路　英作／小林　渉／野田大孝／松尾　明彦／久国　正章	
科目ナンバリング	SB20BMTA016	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限、水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床検査は科学技術（テクノロジー）に基礎をなす学問でありその応用である。検体検査および生理学検査ともに機械工学、電子工学、生命工学といった技術に基づいて発展し、現在の高度化・効率化された検査を構築している。またこれら科学技術を用いて検査を実践するのは臨床検査技師であり、そのために検体や生体あるいは機器を取り扱うために専門的な技能（スキル）を修得する必要がある。各種検査をおこなう上で必要な基礎的な知識から先端技術までを各教員の専門領域の紹介も含めオムニバス形式で講義する。　【脇英彦・1 回】、【小宮山恭弘・2 回】、【森誠司・2 回】、【藤原牧子・2 回】、【久国正章・2 回】、【小林彩香・1 回】、【関根将・1 回】、【佐伯康匠・1 回】、【小林渉・1 回】、【野田大孝・1 回】、【松尾明彦・1 回】

学修目標

1．臨床検査を技術的観点からとらえ、それを支える基礎的事項について理解する。　2．医療において技術を駆使するのは医療従事者でありスキルの重要性を理解する。　3．科学の進歩に伴い臨床検査の技術も日々進歩していることを理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各教員の専門とする検査領域の学問的・技術的な背景が講義の主軸となるが、最新の医療技術についての紹介もある。1 年次後期ではまだ十分な知識が備わってないこともあるので、分からないことは積極的に質問すること。また学習内容と事前指導を確認し準備をしておくこと。

教科書

適宜資料を配布する

参考書

担当教員が適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

臨床検査学科　各研究室　月-金曜日　18 時以降

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	日本の医療現場と臨床検査の業務範囲　　担当：脇英彦	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する．(2 時間)	脇英彦
2	病理学検査の基礎から最新技術　担当：小林彩香	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する（2 時間）	小林彩香
3			
4	一般検査の基礎から最新技術　担当：小林渉	予習：不要　復習：講義の内容をﾉｰﾄに整理する（2 時間）	小林渉
5	生理学的検査の基礎から最新技術 ①　　担当：小宮山恭弘	予習：臨床生理学の心電図検査とはどのようなものか理解してくること。(2 時間) 復習：心電図と他の循環器機能検査との違いを考える。(2 時間)	小宮山　恭弘
6	生理学的検査の基礎から最新技術 ②　担当：小宮山恭弘	予習：臨床生理学デジタル脳波検査とはどのようなものか理解してくること。(2 時	小宮山　恭弘

		間)　復習：脳波記録時に波形に影響を与える要因について考える。 (2 時間)	
7	微生物検査の基礎から最新技術　担当:松尾明彦	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する。(2 時間)	松尾明彦
8	病理検査の基礎から最新技術　担当:野田大孝	予習：不要　復習：講義の内容をﾉｰﾄに整理する。(2 時間)	野田大孝
9	生化学・遺伝子検査の基礎から最新技術 ①　担当：森誠司	予習：高校の生物基礎（DNA、遺伝子、ゲノム）に関して理解してくること。(2 時間)　復習：キーワードの再確認 (2 時間)	森　誠司
10	生化学・遺伝子検査の基礎から最新技術② 担当：森誠司	予習:「オーダーメード医療」という言葉を理解してくること。(2 時間)　復習:遺伝子工学の医療への応用について考える。(2 時間)	森　誠司
11	臨床検査に必要な物理 ①　直流と交流の違い・ジュール熱　担当：久国正章	予習:不要　復習:講義資料を見直し、用語・公式等、確認をする。(2 時間)	久国正章
12	臨床検査に必要な物理 ②　電力の計算・電磁誘導　担当：久国正章	予習:不要　復習:計算問題をもう一度解いてみる。電磁誘導のページについてはプリントを一通り読み直す。(2 時間)	久国正章
13	寄生虫感染症の現状　担当：関根将	予習：寄生虫疾患 (特に顧みられない感染症) について調べてくる。(2 時間)　復習： 寄生虫感染症の現状と対策について確認する。(2 時間)	関根将
14	微生物学検査の基礎から最新技術　担当:佐伯康匠	予習:微生物学の検査（主に細菌）の手法にどのようなものがあるかを理解してくること。(2 時間)　復習:微生物の検査結果の活用について考える。(2 時間)	佐伯康匠
15	血液学検査の基礎から最新技術　担当:藤原牧子	予習:赤血球、白血球、血小板が生体内で担う役割について調べてくること。(2 時間)　復習:赤血球、白血球、血小板のいずれかが数的あるいは機能的に異常となった場合について、考えられることをまとめる。(2 時間)	藤原牧子
成績評価方法と基準			割合
1.授業中に行う小テスト ※次回の授業で採点したものを返却する。　2.小テストを合算し、定期試験の振替とする。　100%			1. 100%

授業科目名	医学概論（検査）				
主担当教員	前川 佳敬		担当教員	前川 佳敬／脇 英彦／関根 将	
科目ナンバリング	SB20BMTA018	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

医学・医療技術の革新的進歩、超高齢社会の到来、価値観の多様化、社会構造の変化などに伴い、医療を取巻く環境は大きく変化している。本講座では、医療の本質、現代医療の問題点、生命倫理、患者の権利、EBM(evidence based medicine)、インフォームドコンセント、医療経済等を概説し、医療人の基盤となるべき精神・考え方・知識を学修する。さらに、チーム医療の重要性を鑑み、他医療専門職分野の知識・現状も概説し、広く横断的な視点を持ちつつ、医療における臨床検査学の在り方を教授する。

学修目標

1．大学生に求められる基礎学力と社会常識を修得する。 2．医療従事者になるという動機を明確なものとして確立する。 3．臨床検査学の各分野で必要な基礎的知識を理解する。 〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医学・医療に対する考え方や、よき医療人になるための意識・心構えを培うための講座である。 医学・医療に関する知識や情報を習得するだけではなく、自分の意見をもち、かつそれを表出できるようになってほしい。講義内容にあらかじめ目を通し、自分の考えをもっておくことが望ましい。 古代医学の誕生から近代医学誕生までの歴史の変遷を学び、医療従事者の一員として臨床検査の成り立ちから今日までの臨床検査の歴史を学び､臨床検査の将来展望と検査技術の発展について学ぶ。

教科書

系統看護学講座 別巻 総合医療論 医学書院

参考書

なし 教材がある場合は適宜配布する。参考書は特に指定しないが、テーマごとに図書館などを利用して積極的に学習する。

研究室／オフィスアワー

前川：C棟研究室２／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。 脇：在室時は対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生きることと死ぬこと①	私たち人間にとってかけがえのない命と健康について予習し、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと	前川
2	生きることと死ぬこと②	老化と終末期医療について予習し、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと	前川
3	医学と医療①	医学の歴史について予習し、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと	前川
4	医学と医療②	疫学とEBMについて予習し、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと	前川
5	保健・医療・介護を取り巻く社会環境の変化	少子高齢化や疾病構造の変化について予習し、授業で学んだ内容を教科書で再確認しておくこと	前川
6	わが国の医療システム:①病院と診療所②受診から入院まで③地域医療連携	予習：各医療従事者の業務範囲を調べる。（2時間） 復習：講義内容をまとめる。（2時間）	脇

7	救急医療・集中医療：①心肺蘇生②救急医療体制③災害医療④集中医療	予習：心肺蘇生の手順を調べる。(2 時間) 復習：講義内容をまとめる（2 時間）	脇
8	医療の概要:①がん治療②周産期医療③画像診断④チーム医療⑤リハビリテーション⑥介護	予習：がん治療の概要と画像診断の種類について調べる。(2 時間)　復習：講義内容をまとめる（2 時間）	脇
9	医療と社会:①医の倫理②生命倫理③患者の権利④研究倫理⑤医療安全	予習：医の倫理、生命倫理、患者の権利について調べる（2 時間）　復習：講義内容をまとめる（2 時間）	脇
10	医療と社会:①医薬品②先端医療③再生医療④ゲノム医療⑤医療情報⑥医療政策	予習：最近の医療政策についての概要をまとめる。(2 時間)　復習：講義内容をまとめる（2 時間）	脇
11	臨床疫学，患者の安全を守るための仕組み	臨床疫学について調べる。　講義の内容と教科書を照らし合わせ、自分自身の考えをまとめることで復習を行うこと。　予習復習は各 2 時間。	関根
12	医療技術評価、医療テクノロジーの進歩	医療技術評価の　方法や、最新の医療テクノロジーについて調べる。　講義の内容と教科書を照らし合わせ、自分自身の考えをまとめることで復習を行うこと。　予習復習は各 2 時間。	関根
13	プライマリケアとチーム医療	プライマリケアとは何か調べておく。　臨床検査技師が参加する医療チームについて調べておく。　講義の内容と教科書を照らし合わせ、自分自身の考えをまとめることで復習を行うこと。　予習復習は各 2 時間。	関根
14	感染症予防	感染症を起こす生物や感染症が関連する歴史的事項について調べる。　世界中の人々の健康を守るためにどのような取り組みがなされているか調べる。　講義の内容と教科書を照らし合わせ、自分自身の考えをまとめることで復習を行うこと。	関根
15	これまでのまとめ	これまでの講義内容について総復習を行う。　理解が不十分な部分について各自で確認を行っておくこと。 予習復習は各 2 時間。	関根
成績評価方法と基準			割合
筆記テスト　〈DP①②〉			筆記テスト (100%)

授業科目名	公衆衛生学（検査）				
主担当教員	小林　彩香		担当教員	小林　彩香	
科目ナンバリング	SB20BMTA019	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

個人水準で健康を扱う臨床医学に対して、公衆衛生学は社会水準で健康を取り扱うので社会医学とも呼ばれます。その範囲は多岐にわたり、健康に影響をおよぼす様々なリスクを同定し、予防活動に結びつける学問です。本講義では、多要因から成る健康の成り立ちを理解し、健康的な生活の保持増進と疾病の予防のために、広い視野に立って考え行動することができるように、知識と方法論を修得します。

学修目標

広い視野に立って、人々の健康的な生活の保持増進と疾病予防のために考え行動することができるように、以下のことを修得します。　1）健康事象を人と社会・環境の相互作用として捉え、理解できる。　2）人間集団の観察技術を身につけ、社会集団や地域における健康問題を分析・考察できる。　3）広い社会的視野を持ち、社会変動と健康の関係を洞察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

公衆衛生学に関する知識や情報を習得するだけではなく、自分の意見をもち、かつそれを表出できるようになってほしい。講義内容にあらかじめ目を通し、自分の考えをもっておくことが望ましい。

教科書

1.公衆衛生がみえる　出版社　：メディックメディア　ISBN-10 : 4896327799　ISBN-13 : 978-4896327793

2.講義プリント

参考書

1.最新臨床検査学講座 公衆衛生学（医歯薬出版）　2.シンプル衛生公衆衛生学（南江堂）

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階職員室／部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。金曜日は不在にしています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	公衆衛生の意義について　健康・疾病・予防　a 疾病予防と健康増進　b 一次予防、二次予防、三次予防　c スクリーニング、健康診断　d 疾病・障害の概念一一 国際疾病分類<ICD>、国際生活機能分類<ICF>　e ノーマライゼーションの考え方	予習：学修内容のキーワードを参考に公衆衛生の概念や意義について予習しておく。復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。　（各２時間）	小林彩香
2	人口統計と健康水準について　A人口静態統計　a 日本の人口 一一年少人口、生産年齢人口、老年人口、従属人口　b 国勢調査　B 人口動態統計　a 出生、出生率、合計特殊出生率、再生産率　b 死亡、粗死亡率、年齢調整死亡率、死産　c 婚姻、離婚　d 平均余命と平均寿命、生命表　C 疾病・障害統計　a 国民生活基礎調査、有訴者率　b 患者調査、受療率	予習：学修内容のキーワードを参考に人口統計と健康水準について予習しておく。復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。　（各２時間）	小林彩香
3	疫学と疫学的分析法①　A 疫学の考え方　a 公衆衛生と疫学　b リスクとリスクファクター　c 妥当性　d バイアスとエラー、交絡因子　e 疫学と因果関係、Hillの基準　B 疫学指標　a 頻度を表す指標 一一死亡率、罹患率、有病率　b 関連を表す指標 一一相対危険度、寄与危険度、オッ	予習：学修内容のキーワードを参考に疫学について予習しておく。　復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。　（各２時間）	小林彩香

	ズ比など		
4	疫学と疫学的分析法② C 疫学調査法 a 記述疫学､分析疫学 b 縦断研究と横断研究 c コホート研究、症例対照研究 d ランダム化比較対照試験〈RCT〉 ――臨床試験、治験 e システマティックレビュー f メタ分析〈メタアナリシス〉	予習：学修内容のキーワードを参考に疫学について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
5	衛生行政① 医療法と医療体制 A 衛生行政 a 一般衛生行政 b 労働衛生行政 c 環境保全行政 B 医療制度、地域保健（地域包括ケアシステムを含む） a 地域医療計画と一次医療、二次医療、三次医療 b 保健所の役割 c 地域包括支援センター ―― 地域包括ケアシステム d 救急医療 e 災害医療―― 災害派遣医療チーム〈DMAT〉、災害拠点病院 f 僻地医療	予習：学修内容のキーワードを参考に環境と健康について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
6	衛生行政② 社会保障と医療経済 C 社会保険 a 医療保険――医療費 b 年金保険 c 雇用保険 d 労災保険 e 介護保険 ――介護保険施設[介護老人福祉施設〈特別養護老人ホーム〉、介護老人保健施設、介護療養型医療施設] D 社会福祉 a 児童福祉・母子福祉 b 老人福祉 c 心身障害者福祉	予習：学修内容のキーワードを参考に環境と健康について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
7	健康の保持増進と予防医学① A 成人保健 a 生活習慣病の発症と予防、リスクファクター b 国民健康づくり対策 ――健康日本 21 B 母子保健 a 母子保健の指標 ――乳児死亡､周産期死亡､幼児死亡､妊産婦死亡 b 妊産婦、乳幼児健康診査 c 少子化社会対策 ――健やか親子 21 d 新生児マス・スクリーニング	予習：学修内容のキーワードを参考に環境と健康について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
8	健康の保持増進と予防医学② C 老人保健 a 高齢者福祉対策 ――認知症、閉じこもり、廃用症候群、フレイル、サルコペニア b 在宅医療 D 精神保健 a 精神保健福祉対策､精神保健福祉センター b 入院形態、精神保健指定医 ――措置入院、医療保護入院など c 薬物依存	予習：学修内容のキーワードを参考に健康の保持増進について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
9	健康の保持増進と予防医学③ 感染症 E 生物環境 a 感染の成立要因〈感染源、感染経路､感受性〉 b 新興感染症、再興感染症、検疫感染症――結核を含む c 医療関連感染〈院内感染〉 d 感染予防〈感染源･感染経路･感受性対策〉 e 予防接種 f 感染症流行予測事業・発生動向調査事業 F 栄養保健 a 国民栄養の現状 b 国民健康･栄養調査 G 食品安全および食品衛生 a 食品添加物 b 食中毒 c 食品監視 ――ハサップ法〈HACCP〉 d 輸	予習：学修内容のキーワードを参考に健康の保持増進について予習しておく。 復習:授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
10	健康の保持増進と予防医学④ H 学校保健 a 健康教育・保健管理 b 学校伝染病 c 学校精神保健 d 学校安全 e 健康診断 I 産業保健 a 労働災害と業務上疾病 b 労働衛生管理 c 一般健康診断・特殊健康診断 d 交代制勤務 e 産業疲労､過重労働〈過労死〉 f トータル・ヘルス・プロモーション	予習：学修内容のキーワードを参考に衛生行政について予習しておく。 復習:授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
11	環境と健康① A 地球環境 a 地球環境問題 b 地球温暖化 c オゾン層破壊 d 酸性雨 B 生活環境 a 屋内環境 b 上水 c 下水 ――	予習：学修内容のキーワードを参考に衛生行政について予習しておく。 復習:授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香

	生物化学的酸素要求量<BOD>、化学的酸素要求量<COD>、溶存酸素量<DO>など　d 廃棄物　e 悪臭　f 環境たばこ煙と受動喫煙　g 温熱環境		
12	環境と健康②　C 物理環境　a 電離放射線　b 非電離放射線　c 寒冷・高温 ーー 熱中症　d 気圧 ーー減圧症　e 騒音 ーー騒音性難聴　f 振動　D 化学環境　a 大気　b 有害ガス　c 粉じん　d 石綿<アスベスト> ーー石綿肺　e 有機物質　f 金属　g 発がん物質 ーー職業がん　h 内分泌かく乱物質　i 大気汚染 ーーPM2.5 を含む　j 水質汚濁　k 土壌汚染　l 公害のエピソード ーー水俣病を含む	予習：学修内容のキーワードを参考に国際保健について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
13	環境と健康③　E 環境リスクの評価　a 量反応関係、閾値、LOEL、NOEL、LD50、ED50　b 環境基準、許容濃度　c 1日許容摂取量　d 生物学的モニタリング　e リスク評価とリスク管理　F 環境検査法　a 水質検査、空(大)気試験	予習：学修内容のキーワードを参考に関係法規について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
14	国際保健　A 国際機関・医療協力　a 国際連合<UN>　b 世界保健機関<WHO>　c 国際労働機関<ILO>　d 国連環境計画<UNEP>　e 国際協力機構<JICA>ーー 政府開発援助<ODA>、二国間協力、多国間協力など　B 世界の保健状況　a 世界の人口　b 死亡統計　c 感染症の実態ーー HIV、結核、マラリアなど　d プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーションーーSDGs<持続可能な開発目標>	予習：学修内容のキーワードを参考に関係法規について予習しておく。 復習：授業で学んだ内容を教科書と講義プリントで再確認しておくこと。 （各２時間）	小林彩香
15	講義の総復習	1～14 回の講義について、総復習をする。	小林彩香
成績評価方法と基準			割合
①小テスト(DP③)　フィードバック方法：実施後に解答を開示し解説を行う。　②定期テスト(DP③) 出題範囲：授業で扱った範囲（教科書と講義資料から出題）　出席基準　2/3 以上			①小テスト 20%、②定期テスト 80%

授業科目名	微生物検査学Ⅰ（検査）				
主担当教員	木下　承皓		担当教員	木下　承皓	
科目ナンバリング	SS20BMTA015	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

微生物は人類と共存し生命活動に必須ですが、一方で人類の健康や生命を脅かす病原微生物による感染症を起こします。微生物検査は感染症の診断・治療に必須の検査で、細菌、真菌、寄生虫、ウイルスに分類されます。主に臨床的に重要な微生物の分類・形態、基本的な性状について解説し、その感染経路や予防法、患者検体の取り扱いに必要な滅菌・消毒の仕方について説明します。細菌の培養法、化学療法剤と問題となっている薬剤耐性菌について講義します。微生物感染のメカニズム、感染症の治療と感染対策、法律についても概説します。

学修目標

微生物の歴史と微生物の基本構造や性質･形態について理解します。 病原微生物の病原因子と感染症を起こす病態を理解します。感染経路を理解し、必要な消毒・滅菌法および予防対策を説明できるようにする。 常在細菌叢を理解し、感染症との関連性を考えます。 基本的な顕微鏡的検査法・培養法・同定法について説明できるようにします。 化学療法薬について作用機序と特徴を理解し、薬剤耐性菌の重要性を考えます。 感染症で用いられる医学的用語（日和見感染、院内感染、敗血症、化学療法など）を理解し、患者さんに説明できるようにします。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

微生物名は学名で覚える必要があるため、普段から菌種名を書くようにする。 グラム染色による細菌分類を理解し説明できる。 感染症の診断に必要な微生物検査法の理論と実際を習得する。

教科書

「最新　臨床検査学講座　臨床微生物学」　医歯薬出版株式会社　編集／松本哲也

参考書

新・カラーアトラス微生物検査　山中喜代治／編集　医歯薬出版　医科ウイルス学　南山堂　高田賢藏

研究室／オフィスアワー

講義の日

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	感染症・微生物学の歴史、微生物の分類	予習：細菌・真菌・原虫・ウイルスの理解 復習：教科書 p1-9・配布資料	木下
2	細菌の形態と構造	予習：細菌の構造・配列と性状、形態　復習：教科書 p10-15・配布資料	木下
3	細菌の代謝と発育	予習：細菌の発育、栄養要求、呼吸と発酵 復習：教科書 p15-22・配布資料	木下
4	顕微鏡の種類と細菌の観察法・染色法	予習：顕微鏡による観察法、微生物の染色 復習：教科書 p22-31・配布資料	木下
5	細菌の発育に必要な環境および栄養	予習：細菌の栄養素、培地の分類と成分 復習：教科書 p31-40、p331-332・配布資料	木下
6	細菌の培養法および集落観察・同定	予習：培地の種類と目的、培養法と集落観察　復習：教科書 p41-45、p333-338・配布資料	木下
7	微生物の遺伝・変異と遺伝子診断	予習：遺伝子の構成、形質転換、形質導入、接合、プラスミド、遺伝子診断　復習：教科書 p46-52・配布資料	木下
8	滅菌および消毒	予習：滅菌・消毒の概念、消毒薬の種類と方法　復習：教科書 p52-59・配布資料	木下

9	化学療法の概念と抗菌薬・抗ウイルス薬	予習：抗菌薬の種類と特徴、抗結核薬、抗ウイルス薬　復習：教科書 p59-66・配布資料	木下
10	薬剤耐性菌、ワクチンの概念・種類	予習：細菌の薬剤耐性機序、ワクチン接種 復習：教科書 p66-73・配布資料	木下
11	正常細菌叢の分布と感染	予習：正常細菌叢の概念、分布、役割　復習：教科書 p72-79・配布資料	木下
12	病原性と抵抗力	予習：感染経路、感染因子、生体防御と免疫応答、菌交代現象、日和見感染　復習：教科書 p79-85・配布資料	木下
13	各種感染症の概念、標準予防策と感染経路別予防策、バイオセーフティ	予習：各種感染症の感染経路と概念、新興・再興感染症、性感染症　復習：教科書 p85-94・配布資料	木下
14	医療関連感染と感染制御チーム	予習：市中感染と院内感染、感染防止対策 復習：教科書 p94-99・配布資料	木下
15	感染症細菌検査の精度管理、感染症関連法規、感染症法・食品衛生法等、まとめ	予習：感染症法と特定病原体、検疫法　復習：教科書 p99-105・配布資料	木下
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト　　30 点　2. 定期試験　70 点			1. 30%　2. 70%

授業科目名	生理機能検査学Ⅰ（検査）					
主担当教員	小宮山　恭弘		担当教員	小宮山　恭弘		
科目ナンバリング	SS20BMTA024	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜4限	
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修	

授業概要

生理機能検査学Ⅰは、診療等で行われている生理検査につき、測定装置、原理、測定方法、検査の目的や臨床的意義を学修する。生理検査機器を用いて被検者から生理的情報を取得・解析し、そのデータの臨床的意義を教授する。さらにそのデータを基に疾病の診断、治療に役立たせることを学修する。学修に際しては、検査に使用する機器の構造や取り扱い方法と検査実施に際して安全対策・感染対策についても教授する。　内容は、循環器系検査（心電図、心音図、脈波）、神経・筋機能検査（脳波、筋電図、神経伝導検査）、呼吸機能検査、聴覚・平衡検査、基礎代謝、眼底検査などである。　これらの生理学的検査を通して、臨床検査技師の役割、病院の外来・病棟・手術室（術中生体情報モニタリング含む）などにおける検査の多様なニーズについて学ぶ。　さらに、臨床現場で起こりうる患者急変時（パニック値）での対応法についても教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 生理機能検査の業務範囲と特徴を理解する。心臓の機能と心電図の基礎を理解する　2. 異常心電図（不整脈）の臨床的意義を理解する。　3. 異常心電図（心筋疾患）の臨床的意義を理解する。運動負荷心電図の臨床的意義を理解する。　4. ホルター心電図、ヒス束心電図、加算平均心電図の臨床的意義を理解する。　5. 心音図の臨床的意義を理解する。　6. 脈波の臨床的意義を理解する。　7. 脳波の臨床的意義を理解する。　8. 筋電図の臨床的意義を理解する。　9. 呼吸機能の臨床的意義を理解する。　10. 動脈血液ガス分析の臨床的意義を理解する。　11. 睡眠呼吸検査の臨床的意義を理解する。　12. 基礎代謝の検査の臨床的意義を理解する。　13. 聴覚検査の臨床的意義を理解する。　14. 平衡機能検査の臨床的意義を理解する。　15. 眼底検査の臨床的意義を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 医療人としての臨床検査技師の心構えを理解する。　2. 疾病と生理検査の関係を理解するように努める。　3. 各種測定法の原理を理解し、その臨床的意義を説明できるようにする。　4. 講義終了後のノート整理とまとめの作業で、生理検査の理解と確認が重要である。　5. 臨床検査データの読める臨床検査技師を目指す。

教科書

生理機能検査学　（臨床検査学講座）　第3版　東條　尚子　川良　徳弘著　　医師薬出版 ISBN9784-263-22403-8

参考書

心電図を学ぶ人のために　医学書院　ISBN978-4-260-33381-8　臨床検査提要　第３４版　金原出版

研究室／オフィスアワー

小宮山恭弘研究室/月曜日　16：00-18：00　火曜日 16：00-18：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	臨床検査技師等に関する法律で定義されている生理検査の業務範囲を理解する。 検査時の注意事項、患者心理と対応方法について理解する。心臓機能と心電図の成り立ちを理解する。	予習：生理検査の種類を調べる　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
2	異常心電図（不整脈）の心電図波形を理解する。	予習：不整脈の種類について調べる。　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
3	異常心電図(心筋疾患)の心電図波形を理解する。運動負荷試験臨床的意義を理解する。	予習：心筋梗塞、心筋炎について調べる。復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
4	ホルター心電図、ヒス束心電図、加算平均心電図の臨床的意義を理解する。	予習：不整脈の種類について調べる。　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘

5	心周期と心音の成り立ち、心雑音の性質、心疾患と心雑音について理解する。	予習：心臓弁膜症の概要について調べる 復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
6	脈管系検査の臨床的意義（脈波伝搬速度検査、足関節上腕血圧比、血管内皮機能検査）について理解する。　熱画像検査（サーモグラフィ）の臨床的意義を理解する。	予習：動脈硬化の概要について調べる。 復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
7	脳波検査の臨床的意義、正常脳波、年齢による脳波の変化、異常脳波を示す疾患について理解する。	予習：脳の解剖生理について調べる。　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
8	筋電図検査と誘発筋電図検査の臨床的意義と異常を示す疾患について理解する。	予習：　神経の解剖生理について調べる。 復習：　授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
9	呼吸機能検査の臨床的意義、肺気量分画、フローボリューム曲線について理解する。	予習：　換気機能について調べる。　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
10	動脈血液ガス分析の臨床的意義を理解する。検体採取法と検体の取り扱いについて理解する。	予習：酸塩基平衡について調べる。　復習:授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
11	睡眠呼吸検査の臨床的意義を理解する。睡眠ポリグラフ(PSG)について理解する。	予習：睡眠と呼吸生理について調べる　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
12	眼底検査・眼底撮影の臨床的意義を理解する。	予習:眼の構造と機能について調べる。　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
13	純音聴覚検査の臨床的意義を理解する。	予習:難聴の種類について調べる。　復習:授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
14	味覚・嗅覚検査の臨床的意義を理解する。	予習：　味覚障害、嗅覚障害の原因について調べておく。　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
15	生理機能諸検査における検査結果の解釈と評価方法	予習:1-14 の講義内容を復習しておく。　復習：授業内容をﾉｰﾄにまとめる。	小宮山　恭弘
成績評価方法と基準			割合
１．小テスト：30 点　　2 講義目より前回の授業範囲の重要部分について小テストを実施。解説を行い前回授業の習熟度のチェックを行う。　　２．定期試験：70 点			1.30%　2.70%

授業科目名	病態生理学（検査）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／川畑　浩久／小宮山　恭弘	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜4限、水曜1限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

病態生理学は生体の正常機能を学ぶ生理学に対して、正常機能の破綻と調節異常の原因を解明し、疾病の機序と経過を理解する学問である。病態生理学が網羅する領域は多岐にわたり、健康に影響をおよぼす生理学上の特徴を捉え診断・病状・治療についての知識を学ぶ。体系しては体液病態生理学、循環病態生理学、代謝病態生理学、神経病態生理学、呼吸病態生理学について理解する。　（オムニバス方式／全８回）　（1　川畑　浩久/２回）　体液病態生理学、代謝病態生理学の概要について理解する。　（2　脇　英彦/３回）　呼吸器病態疾患、循環病態疾患、消化器病態疾患の概要について理解する。　（３　小宮山　恭弘/３回）　代謝リウマチ病態疾患、血液病態疾患、腎尿路系病態疾患、脳神経病態疾患、感染性病態疾患について理解する。

学修目標

人体の構造Ⅰ　Ⅱ　人体の機能　Ⅰ　Ⅱの授業で学修した人体の構造・機能の知識を総合して病態額として理解できる。呼吸器系疾患、循環器系疾患、消化器系疾患、代謝性疾患、血液疾患、腎尿路系疾患、脳神経疾患、感染性疾患について、その概要を説明できる。　①呼吸器系疾患　閉塞性障害・拘束性障害の病態について説明できる　②循環器系疾患　心不全　代表的な先天性疾患　心筋症　虚血性心疾患　不整脈　の各病態について説明できる。　③消化器系疾患　胃　食道　大腸の代表的な疾患について説明できる。　肝疾患　胆道系疾患　膵疾患の各病態について説明できる。　④代謝系疾患　糖尿病　脂質代謝異常　リウマチ　甲状腺疾患の各病態について説明できる。　⑤血液疾患　貧血　止血(凝固)異常　白血病　悪性リンパ腫　の各病態について説明できる。　⑥腎尿路系疾患　腎不全　腎炎の病態について説明できる。　⑦脳神経系疾患　パーキンソン氏病　認知症の病態について説明できる。　⑧感染症　細菌性　ウイルス性感染症の病態について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

人体の機能　人体の構造の復習をきちんと行って授業に参加すること。

教科書

病態生理　基礎のキソ　学研メディカル　秀潤社　竹田津　文俊　著　ISBN：978-4-7809-1087-2

参考書

人体組織図譜　南江堂　相磯　貞和　著　ISBN：978-4-524-26004-1

研究室／オフィスアワー

脇　英彦研究室　（月）16：30～17：30　（火）16：30～17：30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	呼吸器系・循環器系の解剖生理学	予習：呼吸器・循環器の構造と機能を復習しておく（2時間）　復習：講義で学んだ内容について復習する（2時間）	川畑　浩久
2	消化器系・内分泌系の解剖生理学	予習：消化器・内分泌の構造と機能を復習しておく（2時間）　復習：講義で学んだ内容について復習する（2時間）	川畑　浩久
3	呼吸器系疾患　閉塞性障害・拘束性障害の病態	内呼吸　外呼吸について予習しておく。(2時間)	脇　英彦
4	循環器系疾患　心不全　代表的な先天性疾患　心筋症　虚血性心疾患　不整脈　の各病態	急性冠症候群と狭心症の違いについて調べておく。(2時間)	脇　英彦

5	胃　食道　大腸の代表的な疾患　肝疾患　胆道系疾患　膵疾患の病態	肝臓の働き　肝・膵臓の働き（内分泌　外分泌）について調べておく。(2 時間)	脇　英彦
6	代謝系疾患　　糖尿病　脂質代謝異常　リウマチ　甲状腺疾患の各病態	糖尿病の 3 大合併症について調べておく。（2 時間）	小宮山　恭弘
7	血液疾患　　貧血　止血（凝固）異常　白血病　悪性リンパ腫　の各病態	大球性貧血　小球性貧血について調べておく。(2 時間)	小宮山　恭弘
8	腎尿路系疾患　腎不全　腎炎の病態　脳神経系疾患　パーキンソン氏病　認知症の病態　感染症　　細菌性　ウイルス性感染症の病態	認知症と物忘れの違いについて調べておく。(2 時間)	小宮山　恭弘
成績評価方法と基準			割合
①小テスト：2 講義目より前回の授業範囲の重要部分について小テストを実施し、解説を行い、前回授業の習熟度のチェックを行う。　②定期試験　フィードバック：小テストは返却もしくは解説を行う。			①小テスト 30%　②定期試験 70%

授業科目名	臨床実習（工学）				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／加納　寛也／布江田　友理／藤江　建朗／大久保　さやか／中村　有希／楠元　直樹／川村　勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	4.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

大学指定の臨床実習病院の手術部、集中治療部、人工透析部、高気圧酸素治療部及び ME 管理部において臨床工学技士の業務を実際に体験し学習する。 人工心肺業務、脈管カテーテル治療業務、人工呼吸器業務、人工透析業務、高気圧酸素治療業務及び医用機器の保守点検管理業務を学ぶことで、その重要性を理解し、体験する。

学修目標

1.病院の各部署で行われる臨床工学技士の業務の進め方や業務技術を理解できる。〈DP①④〉　2.集中治療室業務、人工透析業務及び高気圧酸素治療業務では患者に対するマナーや接遇の仕方を理解できる。〈DP③〉　3.臨床工学技士のチーム医療への寄与ができる。〈DP①③④〉　4.臨床工学技士の病院での業務を体験し、その重要性を理解できる。＜DP①④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各教科書および授業資料により、生体機能代行装置学をはじめ、医用治療機器学、医用機器安全管理学、生体計測装置学、臨床関連医学、などの復習・予習をしておくとともに、実習に関する配布資料や施設のホームページなどを参考に、各施設の特性や臨床工学技士業務の概要を理解しておく。

教科書

臨床工学科作成の臨床実習指導書　臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本，高橋純子 編，丸善出版（株）

参考書

これまでに履修した科目の教科書および参考図書、授業資料

研究室／オフィスアワー

全担当教官

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	各臨床実習施設の実習指導者の指示に従う。	実習計画に基づいて、予習復習を 1 時間ずつ行う。	全教員

成績評価方法と基準	割合
各臨床実習病院の実習指導者の評価を元に総合 100%で評価する。　全て出席し、レポート提出を必須とする。　〈DP①③④〉　臨床実習終了後、面談をおこない実習についてフィードバックする	100%

授業科目名	医用生体工学特講（工学）				
主担当教員	稲田　慎		担当教員	稲田　慎／井本　勝久／川村　勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC034	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 3 限、金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

医用生体工学特講では、計測工学、バイオメカニクス、生体物性工学、生体材料工学の 4 科目について、相互に関連させながら系統的に復習し、理解を深めることを目的とする。生体物性工学と生体材料工学の間では互いに関連する項目も多く、生体内で起こる種々の受動的・能動的反応を含め、幅広く講義する。

学修目標

生体に関連する基本的な物理化学的現象について、工学的観点から説明することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容について、理解が不十分な項目については早急に対処し、理解できるようにすること。

教科書

使用しない。講義内容に関連した資料を配付する。

参考書

計測工学、バイオメカニクス、生体物性工学、生体材料工学で使用した教科書および配付資料。

研究室／オフィスアワー

稲田：C 棟 7 階研究室 14　川村：C 棟 7 階共同研究室（職員室）火曜日 5 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	バイオメカニクス（流体力学）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
2	バイオメカニクス（機械力学）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
3	バイオメカニクス（材料力学）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
4	バイオメカニクス（熱）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
5	バイオメカニクス（音、波動）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
6	生体物性工学（電気）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
7	生体物性工学（熱、音）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
8	生体物性工学（光、放射線）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
9	生体材料工学（金属材料、無機材料）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
10	生体材料工学（高分子材料）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	稲田
11	計測工学（単位、差動増幅、雑音）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	川村
12	計測工学（電極、トランスデューサ）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	川村
13	計測工学（入力インピーダンス）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	川村

14	計測工学（センサ：力、圧力）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	川村
15	計測工学（センサ：超音波、温度、光）	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容，演習問題の復習（2 時間）	川村
成績評価方法と基準			割合
試験<DP①>			100%

授業科目名	医用機器学特講（工学）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC035	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限、火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

医用機器学特講では、生体計測装置学、医用治療機器学、医用機器安全管理学の 3 科目について、相互に関連させながら系統的に復習し、理解を深めることを目的とする。さらに、生体計測装置学では、生体の信号発生メカニズム及び各種計測の原理・解析方法について十分な知識を獲得する。医用治療機器学では、治療機器の原理構造、操作運用、主な疾患、治療方法について統合的な知識を獲得する。医用機器安全管理学では、関係法規、病院設備（電気設備、医療ガス設備、感染症）の安全対策、個別機器（治療機器、生体計測機器等）の原理および保守点検技術を中心とした安全管理技術について統合的な知識を獲得する。

学修目標

臨床工学技士国家試験の問題に相当する知識を有することが最低限の目標である。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各科目において、理解が不十分な項目については早急に対処し、理解する。

教科書

臨床工学技士標準テキスト　ISBN：978-4-307-77180-1　臨床工学技士国家試験　Check　UP！医用治療機器学／生体計測装置学／医用機器安全管理学 ISBN：978-4-263-73207-6

参考書

生体計測装置学、医用治療機器学、医用機器安全管理学で使用した教科書、講義資料、ME の基礎知識と安全管理　等

研究室／オフィスアワー

各担当教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療機器の安全基準（漏れ電流・クラス分類、システム安全）	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	布江田
2	電気的安全性の測定	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	布江田
3	病院電気設備の安全基準と安全対策（関係法規、医用接地方式、非常用電源、電磁環境）	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	布江田
4	病院における医用ガス設備（種類・危険性・管理方法・配管設備・事故）	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時	布江田

		間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	
5	医療機器の安全対策、感染対策	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	楠元
6	電磁気治療機器 1	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	楠元
7	電磁気治療機器 2	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	楠元
8	機械的治療器 1	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	楠元
9	機械的治療器２、手術支援ロボット	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	楠元
10	光治療機器、超音波治療機器内視鏡機器、熱治療機器	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	楠元
11	生体物理情報の計測（血圧・血流速度　等）	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	大久保
12	生体電気信号の計測（心電図・脳波・筋電図・誘発筋電図）	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	大久保
13	画像計測（超音波・X 線 CT・MRI・内視鏡）	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	大久保
14	生体磁気計測（脳磁図・心磁図）と電磁波	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	大久保

15	生体化学計測（pH・ガス分圧　等）	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	大久保
成績評価方法と基準			割合
2/3 以上の出席が必要。　1. 試験<DP①>　　＜フィードバックの方法＞　各講義で行う小テストついて、講義内または終了ごとに回答する。			1.　100%

授業科目名	生体機能代行技術特講（工学）				
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗／加納　寛也／辻　義弘／中村有希	
科目ナンバリング	SS20BMEC036	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限、水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

生体機能代行技術には血液浄化関連、体外循環関連、人工呼吸器関連の科目について技術・治療の相互に関連させながら系統的に復習し、理解を深めさせる。そのための講義法としてグループディスカッション、ディベート、グループワークなどのアクティブラーニングなども活用し学生の主体的な学修を促す。これらの機器の原理・使用目的・構成・操作方法及び適応疾患、禁忌事項について説明できるレベルの知識を修得させることを目標とし、これらの業務に関連した内容について教授する。　不整脈・補助循環：中村 3 回、体外循環関連：加納４回、呼吸関連：中村２回、藤江３回、血液浄化関連：辻３回

学修目標

生体機能代行装置の原理・使用目的・構成・操作方法について十分理解でき説明できる　DP①　生体機能代行装置に対する適応疾患・禁忌事項について十分理解でき、説明できる。　DP①

履修上の注意(学生へのメッセージ)

国家試験に重要な領域になるので必ず講義前には事前学習をし講義を受け十分な知識を習得するように取り組むこと。講義後には必ず受けた講義内容について復習をし国家試験対策の一環に取り組むこと。

教科書

臨床工学技士国家試験 cheku up 2023　生体機能代行装置学　（医歯薬出版）　各教員の指示に従う

参考書

各担当教員の指示に従う

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従う

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心臓ペースメーカー､脈管カテーテル等の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	中村
2	不整脈、補助循環に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	中村
3	不整脈、補助循環に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	中村
4	体外循環の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	加納

5	体外循環の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	加納
6	体外循環の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	加納
7	体外循環の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	加納
8	人工呼吸器の機器業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	中村
9	人工呼吸器の機器業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	中村
10	人工呼吸器業務および集中治療室業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	藤江　建朗
11	人工呼吸器業務および集中治療室業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	藤江　建朗
12	人工呼吸器業務および集中治療室業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	藤江　建朗
13	血液浄化の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	辻
14	血液浄化の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を少なくとも 2 時間は行う	辻
15	血液浄化の業務に関連した内容	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め自己学習を少なくとも 2 時間は行う	辻
成績評価方法と基準			割合
各講義の出席および講義ごとの中間テスト、定期テスト　DP①　テストの返却はしない。希望者には評価を開示する。			100% DP①

授業科目名	関連臨床医学特講（工学）				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／加納　寛也／藤江　建朗／大久保さやか／井本　勝久／五十嵐　淳介	
科目ナンバリング	SS20BMEC037	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限、木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

関連臨床医学特講では、医学概論として人体の構造及び機能、公衆衛生学、臨床生理学、病理学概論、臨床生化学、臨床免疫学、臨床薬理学、関係法規について、臨床医学総論として内科学概論、外科学概論及び各論として呼吸器系、循環器系、内分泌・代謝系、神経・筋肉系、腎臓・泌尿器・生殖器系、消化器系、血液系、感染症等について、相互に関連させながら系統的に復習し、理解を深めることを目的とし、臨床工学技士業務において必要な医学的知識について統合的な知識を獲得する。

学修目標

臨床工学技士国家試験の問題に相当する知識を有することが最低限の目標である。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各科目において、理解が不十分な項目については早急に対処し、理解する。

教科書

使用しない。講義内容に関連した資料を配付する。

参考書

医学概論、臨床医学総論としての各科目で使用した教科書、講義資料、臨床工学技士標準テキスト　等

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従え

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生学・関係法規	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
2	人の構造	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
3	人の機能	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
4	臨床生理学・病理学概論・臨床薬理学	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保

		べ、講義内容をノートにまとめる。	
5	臨床生化学・臨床免疫学	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
6	内科学概論	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
7	外科学概論	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
8	循環器系疾患	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
9	呼吸器系疾患	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
10	腎臓・泌尿器系疾患	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
11	消化器系、神経・筋肉系疾患	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
12	内分泌・代謝系疾患	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
13	血液系疾患	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
14	麻酔化学、救急・集中治療医学	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	五十嵐　加納　藤江　辻　大久保
15	臨床生理学検査、免疫・移植	予習時間:2 時間　予習内容:前回の講義ノ	五十嵐　加納

		ートを確認し、シラバスや講義予告をもとに講義準備をノートに作成する。　復習時間:2 時間　復習内容:　講義にて配布する資料について理解が難しい用語などを調べ、講義内容をノートにまとめる。	藤江　辻　大久保
成績評価方法と基準			割合
1. 試験<DP①>			1. 100%

授業科目名	基礎工学特講（工学）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭／中沢　一雄	
科目ナンバリング	SS20BMEC038	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

1 年次から 3 年次まで学習した基礎工学分野に関して、臨床工学技士として必要な観点から統合的に再学習を行う。具体的には、医用電気電子工学を構成する電気工学、電子工学、情報処理工学およびシステム工学の 4 つの科目について臨床工学分野での活用内容を踏まえながら、科目関を関連させて説明することで、医用電気電子工学のより深い理解を目指す。

学修目標

1. 臨床工学技士として必要とされる医用電気電子工学の知識を習得し、医療チームにおいて臨床工学分野を先導できる能力を獲得する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 3 年次までに学習した電気工学 1・2、電子工学 1・2、システム制御工学、医療情報処理工学および関連科目について予め復習しておくこと。また、 復習に際しては、臨床工学技士国家試験出題基準に医用電気電子工学として記載されている内容を確認し、その内容に沿って行うこと。

教科書

臨床工学技士国家試験　Check UP！ 医用電気電子工学/医用機械工学/生体物性材料工学 2024（ISBN: 978-4-263-73216-8／出版社名: 医歯薬出版株式会社）講義開始までに 2024 から 2025 にバージョンアップされる可能性があります。この場合は 2025 となります(ISBN も変化しますの注意してください) 3 年次までに購入した関連科目（電気工学 1, 電気工学 2, 電子工学 1, 電子工学 2, システム制御工学, 情報処理工学）の教科書

参考書

3 年次までに購入した関連科目（電気工学 1, 電気工学 2, 電子工学 1, 電子工学 2, システム制御工学, 情報処理工学）の参考書を用います。

研究室／オフィスアワー

原 C 棟 7F 研究室 19 / 月曜日 5 限　中沢 C 棟 7F 研究室 20/金曜日 1 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	直流回路:　・オームの法則、合成抵抗、分圧、分流を説明できるようになる。　・キルヒホッフの法則、テブナンの定理、ミルマンの定理を説明できるようになる。　・ホイートストーンブリッジ回路を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
2	交流回路:　・交流波形の表示方法を説明できるようになる。　・複素数を用いて受動素子のインピーダンスを説明できるようになる。　・複数の受動素子を合成して合成複素インピーダンスを算出できるようになる。　・共振回路が説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
3	電力　・直流回路および交流回路における受動素子の消費電力を説明できるようになる。　・交流回路での電力を皮相電力、無効電力、有効電力を用いて説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭

4	過渡応答とフィルタ回路　・RC および RL 回路の時定数を説明できるようになる。　・時定数を用いて過渡応答を説明できるようになる。　・時定数および複素インピーダンスを用いてフィルタ回路を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
5	半導体と半導体素子　・半導体の構造と性質を説明できるようになる。　・ダイオードの仕組みと代表的な回路を説明できるようになる。　・トランジスタの種類と仕組みを説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
6	オペアンプ　・増幅回路を説明できるようになる　・オペアンプの特性を説明できるようになる。　・オペアンプの基本的回路を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
7	電磁気学: 静電界　・静電界の特徴を説明できるようになる。　・コンデンサの静電容量を求める式の説明ができるようになる。　・コンデンサの合成静電容量を求める式の説明ができるようになる。　・コンデンサに充電されるエネルギの式を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
8	電磁気学: 磁界　・磁界の特徴を説明できるようになる。　・コイルの自己インダクタンスの導出式を説明できるようになる。　・誘導起電力について発生理由を説明でき、その大きさを算出できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
9	電力装置及びセンサ　・変圧器の仕組みについて説明できるようになる。　・コンバータやインバータの仕組みについて説明できるようなる。　・ブラシ付き DC モータおよびブラシレス DC モータが回転する仕組みについて説明できるようになる。　・代表的な力学センサの種類と仕組みについて説明できるようになる。　・代表的な温度センサの種類と仕組みについて説明できるようになる。　・代表的な光センサ(受光素子)の種類と仕組みについて、また、代表的な発光素子や装置の種類と仕組みについて説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
10	システムの特徴と制御方法の種類　・システムとは何かについて概要を説明できるようになる。　・システムの安全性や稼働率などシステムに求められる性質について説明できるようになり、信頼性などの特徴量は算出できるようになる。　・制御方法の種類と特徴を説明できるようになる。　・伝達関数を説明できるようになる。　・ブロック線図を説明できるようになる。　・一次遅れ要素とローパスフィルタの関係性を説明できるようになる。　・二次遅れ要素と共振回路の関係性を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
11	通信工学　・アナログ回路とデジタル回路の基礎について説明できるようになる。　・情報量について説明できるようになる。　・AD 変換と DA 変換について説明できるようになる。　・アナログ変調とデジタル変調の代表的な種類と特徴を説明できるようになる。　・振幅変調では変調度と周波数特性について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	原良昭
12	通信速度と電磁波　・通信速度について説明できるようになる。　・代表的な多重化方式について説明できるようになる。　・電磁波の特性につい	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。	原良昭

	て説明できるようになる。　・代表的なアンテナの種類と特性について説明できるようになる。	復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	
13	情報の表現　・情報の表現方法を説明できるようになる。　・論理回路を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	中沢一雄
14	ネットワークと情報セキュリティ　・ネットワークの仕組み・構成を説明できるようになる。　・情報セキュリティについて内容や対策を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	中沢一雄
15	医療における情報技術　・医療情報システムの種類や内容などを説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容: 事前に配布した問題を行い、講義中に質問する問題と理解が不十分な箇所をリストアップする。 復習時間: 2 時間　復習内容: 理解が不十分であった箇所を説明するノートを作成する。	中沢一雄
成績評価方法と基準			割合
1. 試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。配点については講義初回に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1. 100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):中村				
主担当教員	中村　有希		担当教員	中村　有希	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

補助循環装置の研究は、ECMO のモニタリング方法の確立と人工心臓の教育方法について行う。　生体情報計測の研究は、近赤外分光装置や副交感神経活動を数値化する装置を用いて、人間の心の数値化を行う。　人工呼吸関連の研究では、モデル肺を用いて、各人工呼吸装置の性能評価などを行う。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

臨床工学技士国家試験問題解説集

参考書

臨床工学技士国家試験 Check UP！　研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時: ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時	中村　有希

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする	1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):川村				
主担当教員	川村　勇樹		担当教員	川村　勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

機械工学を用いて、医療機器の新しい技術の確立や既存の課題を解決するための機器開発を目指した研究を行う。4 年次では、3 年次に立てた研究計画をもとに実験を行う。実験で得られた結果から何が明らかとなったのかを考察し、どのように次の課題に繋げていくのかを総括することで、更なるステップアップを図ることを目的とする。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

毎週の活動時間中に受け付ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時	川村　勇樹

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
成績評価方法と基準			割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする			1. 50%　2. 50%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):大久保				
主担当教員	大久保 さやか		担当教員	大久保 さやか	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

3 年時は、既修得知識や演習での知識を活用し、研究内容を考える。また、研究とは何かを考える。 4 年時は、臨地実習等の経験を生かし、虚血性心疾患治療、カテーテル検査関連で得られる生体情報解析、あるいは、アロマセラピーが人体に及ぼす役割について臨床工学の視点から解析していく。 各自のテーマに沿った文献研究とそれらより生じた新たな問題点や疑問点を解明する。希望する者は可能な限り学会発表もしくは本学学術大会での発表を目標に進める。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

火曜日、外勤日 他曜日に関しては随時: ただし、事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容: 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内	大久保

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	
7	実験仮設の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
8	実験仮設の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
9	実験仮設の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
10	実験仮設の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
11	実験仮設の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
12	実験仮設の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
成績評価方法と基準			割合
1.　提出された研究計画書<DP①>　2.　プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5以上の出席を必要とする			1.60%　2.40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):藤江				
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

生体機能計測あるいは人工呼吸器に関するテーマの中から自ら選択し，実験，分析，文章作成とプレゼンテーションを通して研究手法について学ぶ．具体的には，生体計測記録装置を使った生体信号（電気信号や画像など）の記録，保存，解析を行い，生理現象との関連性について解明する．人工呼吸器については，人工呼吸器のトラブルに対するシミュレーション教育の確立，各機種の性能評価を行い特徴について整理し新たな機能の開発を行っていきたい．

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内	担当教員全員

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
8	実験仮説の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
9	実験仮説の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
10	実験仮説の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
成績評価方法と基準			割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする			1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):辻				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

血液浄化療法一般、総合的生体情報解析を研究テーマとする．総合的生体情報解析では、人間の行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を調べ，人間の感性という主観的で論理的に説明しにくい反応を科学的手法によって説明し，研究成果を血液浄化療法分野，実社会に還元・応用することを目的とする.

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容：　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容：　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容：　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容：　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容：　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容：　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容：　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容：　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容：　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容：　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容：　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容：　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合	担当教員全員

		算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容: 実験仮説を考える。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
8	実験仮説の立案②	予習内容: 実験仮説を考える。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
9	実験仮説の立案③	予習内容: 実験仮説を考える。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
10	実験仮説の立案④	予習内容: 実験仮説を考える。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
11	実験仮説の立案⑤	予習内容: 実験仮説を考える。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
12	実験仮説の立案⑥	予習内容: 実験仮説を考える。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
13	実験環境の確立①	予習内容: 立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
14	実験環境の確立②	予習内容: 立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
15	実験環境の確立③	予習内容: 立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
16	実験環境の確立④	予習内容: 立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。 復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員

23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容: 計測結果に対する考察を考える。 復習内容: 指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容: 計測結果に対する考察を考える。 復習内容: 指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容: 計測結果に対する考察を考える。 復習内容: 指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容: 発表資料を作成する。 復習内容: 指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容: 発表資料を作成する。 復習内容: 指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
成績評価方法と基準			割合
1. 提出された研究計画書<DP①> 2. プレゼンテーション内容<DP①④> 4/5 以上の出席を必要とする			1. 60% 2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):布江田				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

１．ICT 教材の活用報告は多数されており、ICT 教材を用いた国家試験および各試験対策の教材作成および評価を行います。　２．ウェアラブルデバイスを利用した実習動画教材作成・評価を行い、学習支援法を検討します。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

特になし

参考書

臨床工学技士国家試験 Check UP！ 臨床工学技士国家試験問題解説集　研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時: ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時	布江田

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
成績評価方法と基準			割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5以上の出席を必要とする			1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（工学):中沢				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

シミュレーション医工学に関わる研究を行う。生体情報や医療情報に関連する広範な領域において、モデルや可視化・コンピュータシミュレーションを応用した診療支援を図るためのシステム開発やシステム評価などを実施する。基本的に、一般的な情報処理や機器の取り扱いなどに関わる知識を習得した上で、個々の課題の設定から解決、さらに学会発表や研究論文の作成など、研究成果の公表に至るプロセスについても（可能な限り）体験させる予定である。

学修目標

1. 研究論文執筆要領について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験･調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容：　研究論文執筆要領について調べて要約を作成する。　復習内容：　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容：　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容：学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容：　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容：学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容：　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容：学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容：　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容：学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容：　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容：学習内容の要	中沢　一雄

		約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄
22	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢　一雄

23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間。	中沢 一雄
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間。	中沢 一雄
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容: 実施する実験の手順を要約する。 復習内容: 実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間。	中沢 一雄
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容: 考察の発表資料を作成する。 復習内容: 指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢 一雄
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容: 考察の発表資料を作成する。 復習内容: 指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢 一雄
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容: 考察の発表資料を作成する。 復習内容: 指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢 一雄
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容: 発表資料を作成する。 復習内容: 指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢 一雄
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容: 発表資料を作成する。 復習内容: 指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間。	中沢 一雄
成績評価方法と基準			割合
1. 提出された研究計画書や要約・資料など<DP①> 2. プレゼンテーション内容<DP①④> 4/5 以上の出席を必要とする			1. 50% 2. 50%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):稲田				
主担当教員	稲田 慎		担当教員	稲田 慎	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

卒業研究では研究手法の習得を目的とし，研究テーマの設定，課題解決のための計画立案，研究実施，学内外での研究成果の発表までを 2 年間で行う．研究テーマは，心臓の不整脈発生メカニズム解析を目指した電気現象のシミュレーションや心電図の解析等がある．研究を進めるために必要なプログラミングや可視化手法の技術等を身につけてもらうことを原則とする．

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容: 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内	稲田

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
8	実験仮説の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
9	実験仮説の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
10	実験仮説の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	稲田
成績評価方法と基準			割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする			1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):五十嵐				
主担当教員	五十嵐 淳介		担当教員	五十嵐 淳介	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

卒業研究Ⅰにおいて、研究倫理について理解し、研究に必要な資料を収集し、実験・調査などの研究方法を理解し、研究計画を作成し、得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得、研究成果をプレゼンテーションすることができるといった研究についての一連の方法論を再確認する。 ゼミ生は、専門知識と実験技術を問題解決に利用できる能力を修得し、さらに計画的に問題解決を遂行する能力を身につけることを目的として、個別のテーマを持って研究を実施する。また、論文作成や発表会を通して、基本的なプレゼンテーション能力を会得する。

学修目標

1. 研究テーマの目的を、社会的背景や既往の研究と関連付けて理解できるようになる。〈DP①④〉 2. 研究目的に沿って実験を遂行し、その結果を観察・記録し、実験ノートに整理できるようになる。〈DP①④〉 3. 得られた実験データから導かれる解釈を正しく理解できるようになる。〈DP①④〉 4. 実験成果を取りまとめ、論理的に文章で記述できるようになる。〈DP①④〉 5. 実験成果を口頭で発表し、討論において的確に受け答えができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

毎週の活動時間中に受け付ける

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の決定①	予習内容: 研究倫理について確認する。 復習内容: 授業内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
2	研究領域の決定②	予習内容: 研究領域の要約を作成する。 復習内容: 重業内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
3	研究課題の絞込みと文献検索①	予習内容: 研究領域の要約を確認し、課題を検討する。 復習内容: 授業での協議内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
4	研究課題の絞込みと文献検索②	予習内容: 研究領域の要約を確認し、課題を検討する。 復習内容: 授業での協議内容の要約を作成し、抄読する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
5	研究課題の絞込みと文献検索③	予習内容: 研究領域の文献を抄読し、レジメを作成する。 復習内容: 文献の内容確認と他の文献の抄読を行う。 予習時間と復習時間の合算は 2 時間	五十嵐

6	研究課題の絞込みと文献検索④	予習内容:　研究領域の文献を抄読し、レジメを作成する。　復習内容:　文献の内容確認と他の文献の抄読を行う。　予習時間と復習時間の合算は 2 時間	五十嵐
7	研究課題の決定①	予習内容:　実験課題を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験課題を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 2 時間	五十嵐
8	研究課題の決定②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
9	研究計画書作成①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
10	研究計画書作成②　倫理的配慮	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
11	研究計画書作成③　倫理審査用書類の作成・審査	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
12	研究環境の確立①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
13	研究環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
14	研究環境の確立③　データの収集と分析法	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
15	研究環境の確立④　データの収集と分析法	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
16	研究の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
17	研究の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
18	研究の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
19	研究の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
20	研究の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	五十嵐
21	研究の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算	五十嵐

		は1時間	
22	研究の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
23	研究の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
24	結果の解析と考察①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
25	結果の解析と考察②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
26	卒業論文作成①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
27	卒業論文作成②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
28	卒業論文作成③　抄録作成・提出	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
29	卒業研究の発表準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
30	卒業研究の発表準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	五十嵐
成績評価方法と基準			割合
＜成績評価＞　1. 卒業論文<DP①>　2. 卒業論文発表内容<DP①④>　4/5以上の出席を必要とする　＜フィードバックの方法＞　研究活動を通じて相互の議論を深める。参加学生が自発的に疑問・仮説を設定してある程度まで自分で探求できる状態を目指す。			1. 70%　2. 30%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(工学):原				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	SS20BMEC050	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2.00 単位	必修・選択	必修

授業概要

医療・教育に対する工学的支援を軸に研究を行います。履修者は原則、3 年次の卒業研究Ⅰで実施した研究テーマの発展を行って頂きます。本ゼミの目的は、前述した研究テーマの遂行を通じて、課題解決を目的とした計画立案能力や信号・統計処理に基づく各種データの活用能力といった医療人として必要な能力を養うことです。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階 教職員室 / 前期:金曜日 4 限, 後期:月曜日 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時	原　良昭

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
成績評価方法と基準			割合
1. 研究成果のプレゼンテーション内容<DP①④> ※評価内容: 講義にて説明します。 ※提出期限: 講義にて説明します。　4/5 以上の出席を必要とする			1. 100%

授業科目名	哲学（工学）				
主担当教員	中元 洸太		担当教員	中元 洸太	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「人の生き方」や「世界の真理」に関する直球の（「あなたはこう生きなさい」とか「これが世界の真理です」といった）答えを求める人にはあまり受講をオススメできないことは先に申し上げておきたい。　また、数学の証明やある理論の歴史を解説していく場合のように、哲学上の問題を設定して議論を追いかけていくには出発点とその結末だけでなく、議論の過程が大事になってくる。講義内のトピックもそれぞれ関連しているため、あるトピックで出てきたキーワードが別のトピックで登場することもある。そのため毎回の授業に滞りなくついてくるためには最低限、これまでの話の流れを押さえるための復習が必要となることに留意されたい。　本講義の基本的な採点方法は第１回の授業で説明する。シラバスは講義の大まかな流れを示したものであ

り、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解度に応じて内容を一部変更したりするなど、多少の変更がありうることをご承知いただきたい。また、授業中、他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠、無許可での退室、遅刻、私語など）はしないこと。妨害行為が著しい場合は退室を命ずることがある。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	英会話（工学）				
主担当教員	Kiarra Waldburg		担当教員	Kiarra Waldburg	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②>： ②小テスト<DP②> ③確認テスト<DP②> 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	基礎英語演習（工学）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重　仁子

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
成績評価方法と基準			割合
①確認テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（工学）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
3	Unit 9 Advertising	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
5	Unit 10 Meetings	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	藤重　仁子

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Unit 11 Finance	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
8	接続詞（理由・譲歩・時）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
9	Unit 12 Offices	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
10	前置詞・接続詞対比	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
11	Unit 13 Daily Life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重　仁子
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　③Review Test<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②20% ③40%

授業科目名	医療コミュニケーション（工学）				
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗／大久保　さやか	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

現代の医療は，高度化と細分化により各専門職種は互いに連携しチームとして治療に携わることが必然となっている．また，厚生労働省の在宅医療推進により，臨床工学技士も在宅医療チームに参加しはじめており，臨床工学技士が携わるチーム医療の規模は膨らみつつある．それらの現状を踏まえ，本科目では臨床工学技士の専門性とチーム医療内での役割を理解し，医療人の対象となる個人，あるいは集団について理解し，対象に対して必要なコミュニケーション能力（基盤となる聞く・表現する・話し合うの 3 技法）の基本を身に着ける．

学修目標

1.　臨床工学技士の役割について理解し説明ができる．<DP2-3>　2.　チーム医療を実践するためのコミュニケーション能力について理解し習得できる．<DP2-3>　　（具体的には，他者の立場や意見を理解し，自らの意見を表現することがきでる）　3.　我々の対象となる個人，あるいは集団について理解し説明ができる．<DP2-3>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業中は適宜，グループワークを行います．限られた時間内に意見をまとめ，どのようにしてグループ内の意見を作り上げればよいか考えてみてください．

教科書

看護がみえる vol.5 対象の理解Ⅰ，医療情報科学研究所（編集），メディックメディア，ISBN-13　：　978-4896329230
（この教科書は 2 年生後期でも使用します）

参考書

1.　福原麻希：チーム医療を成功させる 10 か条ー現場に学ぶチームメンバーの心得．中山書店．　2.　水本清久他編：実践チーム医療論．医歯薬出版．　3.　東京慈恵会医科大学付属病院　看護部・医療安全管理部編著：TeamSTEPPS を活用したヒューマンエラー防止策．日本看護協会出版会．

研究室／オフィスアワー

在席していれば，いつでも対応可　藤江：水曜日は大学不在日で対応できません．　　大久保：火曜日は大学不在日で対応できません．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本科目のガイダンス　専門職とは　倫理観について　対象となる個人，あるいは集団について	予習：　指定教科書の 2 ページから 55 ページまで読んでおく．(1 時間)　復習：　学修内容 1 で学んだ事をまとめる．(1 時間)	藤江，大久保
2	対象となる個人，あるいは集団について　患者の心理とキーパーソンの心理について	予習：　指定教科書の 458 ページから 589 ページまで読んでおく．(1 時間)　復習：　学修内容 2 で学んだ事をまとめる．(1 時間)	藤江，大久保
3	健康状態ごとの個人の理解	予習：　指定教科書の 252 ページから 391 ページまで読んでおく．(1 時間)　復習：　学修内容 3 で学んだ事をまとめる．(1 時間)	藤江，大久保
4	”聞く”について考える	予習：　傾聴とは何かについて調べてくる．(1 時間)　復習：　学修内容 4 で学んだ事をまとめる．(1 時間)	藤江，大久保
5	”伝わる”について考える	予習：　発言するとは何かについて調べて	藤江，大久保

		くる.（1 時間） 復習： 学修内容 5 で学んだ事をまとめる.（1 時間）	
6	”表現する”について考える	予習： ディスカッションとは何か調べてくる.（1 時間） 復習： 学修内容 6 で学んだ事をまとめる.（1 時間）	藤江，大久保
7	”話し合う”について考える	予習： ディスカッションとは何か調べてくる.（1 時間） 復習： 学修内容 7 で学んだ事をまとめる.（1 時間）	藤江，大久保
8	アンガーマネジメントについて	予習： なぜ人は怒ってしまうのかについて調べてくる.（1 時間） 復習： 学修内容 8 で学んだ事をまとめる.（1 時間）	藤江，大久保
成績評価方法と基準			割合
1. 授業参加度＜DP2-3＞ 2. 定期試験＜DP2-3＞			1. 30% 2. 70%

授業科目名	チーム医療論（工学）				
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗／前川　佳敬／大久保　さやか／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは，「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と臨床工学技士がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

看護がみえる vol.5 対象の理解 I，医療情報科学研究所（編集），メディックメディア，ISBN-13　:　978-4896329230
（この教科書は 12 回目以降の症例検討 1，2，3 の講義で使用します）

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
2	医療系専門職種の介入｜1【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
3	医療系専門職種の介入｜2【診療放射線技師】	予習：本学診療放射線学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕	授業内にて案内

		事図鑑」で診療放射線技師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：診療放射線技師の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	
4	医療系専門職種の介入｜３【臨床検査技師】	予習：本学臨床検査学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床検査技師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床検査技師の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜４【臨床工学技士】	予習：臨床工学技士の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜５【理学療法士】	予習：本学理学療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で理学療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：理学療法士の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜６【作業療法士】	予習：本学作業療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で作業療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：作業療法士の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の介入｜７【言語聴覚士】	予習：本学言語聴覚学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で言語聴覚士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：言語聴覚士の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜８【鍼灸師】	予習：本学鍼灸学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で鍼灸師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：鍼灸師の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の介入｜９【看護師】	予習：本学看護学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で看護師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：看護師の職能や役割を理解し，臨床工学技士との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での臨床工学技士の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	科目担当者 ゲスト
12	症例検討｜１	予習：臨床工学技士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での臨床工学技士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
13	症例検討｜２	予習：臨床工学技士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での臨床工学技士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内

14	症例検討｜3	予習：臨床工学技士の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での臨床工学技士の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
15	授業全体のまとめ	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習：チーム医療での臨床工学技士の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	授業内にて案内
成績評価方法と基準			割合
①「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(他職種)についての報告　②「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(自職種)についての報告　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①と②で100%

授業科目名	IPW 論（工学）				
主担当教員	藤江 建朗		担当教員	藤江 建朗／辻 義弘／朝倉 智仁	
科目ナンバリング	CS20005	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各学科において、他学科の連携や知識・技術に触れることを目的に看護学・鍼灸学・作業療法学・臨床検査学・理学療法学・放射線技術学および臨床工学を学び、IPW（Interprofessional Work = 専門職連携）を 7 学科協働で演習形式にて実践する。 2 年次後期「チーム医療論」で学んだ各分野の特徴やチーム内での役割とその専門性を理解しつつ、看護・鍼灸・作業療法・臨床検査・理学療法・診療放射線・臨床工学の各分野で共通する疾患や障害を基に、IPW の実際について、討議・経験・学修する。他職種と連携する中で違った視点や新たな知識を学ぶ機会となり、キャリアをデザインしていく上で考えておくべき多様な視点を学修することができる。

学修目標

各分野の専門性を理解しつつ、実際の症例を基に IPW を経験し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と倫理観を養う。＜DP②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。 2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。 3）出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。 ＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

必要であれば、各自準備すること

研究室／オフィスアワー

都度、指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション （チームの顔合せ、授業概要の説明、チーム医療論の復習等）	予習：各分野の専門性について復習し、Case Conference を再度視聴しておく。IPW(Interprofessional Work =専門職連携）について再確認しておく。（１時間以上） 復習：IPW(Interprofessional Work =専門職連携）についてまとめる。（１時間以上）	担当教員 ゲスト 朝倉智仁
2	症例提示におけるアプローチ立案とその考察①	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上） 復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
3	症例提示におけるアプローチ立案とその考察②	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上） 復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
4	IPW①【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上） 復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員 ゲスト 朝倉智仁
5	IPW②【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上） 復習：IPW で討議した	担当教員 ゲスト 朝倉

		ことをまとめておく。（１時間以上）	智仁
6	IPW③【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
7	IPW④【ディスカッション】	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
8	IPW⑤【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備。（１時間以上）　復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①ディスカッション時におけるプロセス評価＜DP②③④＞　②プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP②③④＞　出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①30% ②70%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（工学）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、健康や疾病予防に関する基礎的な知識と健康管理に関する方法を学修する。また、運動不足の健康への影響を学び、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

学生のための健康管理学（改訂 3 版） 山野美容芸術短期大学 教授・副学長 木村康一 著 山野美容芸術短期大学 教授 永松俊哉 著 ISBN 978-4-525-62053-0

参考書

健康・スポーツ科学の基礎（出村慎一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	予習：シラバス・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
2	健康の指標と現状（なぜ健康が重要なのか？）	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
3	生活習慣と健康について１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
4	生活習慣と健康について２	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
5	生活習慣と健康について３	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
6	生活習慣と健康について４	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
7	生活習慣と健康について５	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
8	生活習慣と健康について６	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
9	疾病の予防１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
10	疾病の予防２	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二

11	疾病の予防３	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
12	健康のための運動１	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
13	健康のための運動２，健康管理の考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
14	総合復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
15	期末試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP③④〉			①70%　②30%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（工学）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

特にありません

参考書

学生のための健康管理学（木村康一，永松俊哉・南山堂） 健康・スポーツ科学の基礎（出村愼一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂)、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康について	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
2	健康の現状	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
3	中高年者の身体的特徴と運動	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
4	骨粗鬆症と運動	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
5	変形性関節症と運動	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
6	生活習慣病と運動１ メタボリックシンドローム	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
7	生活習慣病と運動２ 高血圧症	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
8	生活習慣病と運動３ 糖尿病	予習：シラバスの確認 復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二
9	生活習慣病と運動４ 高脂血症	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒 浩二

10	生活習慣病と運動５　虚血性心疾患	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
11	運動（エクササイズ）の基本と考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
12	筋力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
13	全身持久力と筋持久力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
14	ウォーミングアップとクーリングダウンの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
15	講義全体のまとめ	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　〈DP③④〉　授業の 2/3 回以上の出席が必要			①70%　②30%

授業科目名	病理学（工学）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	SB20BMEB008	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患を中心に、その病因や成り立ち、病態を理解できるよう、さまざまな疾患についての詳細な説明と演習を行う。

学修目標

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患について、その病因や成り立ち、病態を把握し　<DP①>　理解できる。<DP②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

病理学の専門用語やいろいろな病態に対する概念は、他の医学分野でも共通に用いるものである。それらをしっかりと理解し、自らも用いることができ、かつ的確に表現できなければならない。そのためにはそれらを確実に理解し、記憶に留めておかなければならない。

教科書

「系統看護学講座　病理学」　医学書院

参考書

「新病理学（Ｑシリーズ)」　日本医事新報社

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病理学の概要	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	病因論	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	退行性病変	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	進行性病変	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	循環障害	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫

6	免疫	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
7	炎症	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	感染症	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	腫瘍	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	腫瘍２	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	放射線障害	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	老化	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	先天異常	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	総論のまとめと振り返り１	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	総論のまとめと振り返り２	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
１　期末試験　＜DP①・②＞			１ 100%

授業科目名	免疫学（工学）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	SB20BMEB009	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床工学技士に求められる免疫学を体系的に学習する。

学修目標

臨床の現場で必要とされる免疫学的知識が得られる。　<DP①･②>　国家試験で出題される免疫学的知識を理解することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

はじめて聞く用語や概念が続々と出てくるため、予習復習は欠かせない。

教科書

「薬系免疫学」　南江堂

参考書

「免疫生物学」　南江堂

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	免疫の基本的背景	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	自然免疫	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	獲得免疫	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	抗原レセプター	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	抗原提示	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
6	リンパ球の分化	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめ	安部　辰夫

		るよう努力して欲しい。	
7	抗体の構造と種類	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	抗体遺伝子再構成	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	サイトカインの機能	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	免疫不全	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	アレルギーの分類１	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	アレルギーの分類２	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	移植免疫	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	自己免疫疾患	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	腫瘍免疫	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
１　期末試験　＜DP①・②＞			１ 100%

授業科目名	薬理学（工学）				
主担当教員	小林　吉晴		担当教員	小林　吉晴	
科目ナンバリング	SB20BMEB010	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

体内で薬物と生体内分子がどのように関わりあい、作用を示すのか学ぶ。

学修目標

薬物の主作用、副作用、相互作用,中毒作用、解毒薬などを説明できる。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生化学、人体の構造と機能、生物学の知識が必要なのでこれらの科目と合わせて復習をしておくこと。

教科書

シンプル薬理学 南江堂　ISBN 978-4-524-24658-8

参考書

はじめの一歩のイラスト薬理学 羊土社

研究室／オフィスアワー

講義終了後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	薬理学総論Ⅰ受容体	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
2	薬理学総論Ⅱ　トランスポーター、オータコイド、サイトカイン	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
3	自律神経系と骨格筋に作用する薬物、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
4	統合失調症、躁うつ病、睡眠障害治療薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
5	麻薬性鎮痛薬、全身麻酔薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
6	てんかん、アルツハイマー病、パーキンソン病治療薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
7	高血圧症、狭心症、うっ血性心不全に用いられる薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
8	ジギタリス中毒について。抗不整脈薬の分類と代表的な薬物、作用機序	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
9	関節リウマチ、痛風・高尿酸血症、の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
10	非ステロイド性抗炎症薬、副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
11	呼吸器系薬物、消化性潰瘍治療薬、下剤と止瀉薬、利尿薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
12	糖尿病治療薬、脂質低下薬、性ホルモン薬、甲状腺疾患治療薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
13	骨粗鬆症、貧血治療薬,抗血液凝固作用薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
14	抗感染症薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴

15	抗腫瘍薬の薬物名、作用機序、副作用	講義を受講後、配布プリントを参考に、まとめノートを作成する。	小林吉晴
成績評価方法と基準			割合
１．小テスト：(DP2)２０点　２．定期試験：(DP2,3)８０点			小テスト 20% 定期試験 80%

授業科目名	基礎医学実習（工学 B）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／辻　義弘／大久保　さやか／井本　勝久	
科目ナンバリング	SB20BMEB012	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

①生理機能を測定し、測定法やその技術を学び、 得られた結果からその生理学的意義について理解する。 ②生体構成主要成分である糖質・脂質・タンパク質・核酸について、それぞれ の構造・性質・代謝を、実習を通して理解する。

学修目標

①生体の働きについてのメカニズムの基本的事項を，人体構造学の知識を基盤に人体の生理機能を理解させる事を目標とする。＜DP①②＞ ②生物体を構成する物質の構造、性質、機能、分布、存在状態などを学び、物質の示す生物学的機能と化学構造との関係や生命現象における意義について理解することを目的とする。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。無断の遅刻・欠席は厳禁です。　白衣の着用がないと、受講できません。

教科書

オリエンテーション時に実習書を配布します。

参考書

1 年及び 2 年前期までに開講された人体の構造、人体の機能、生化学及び病理学の教科書・講義資料

研究室／オフィスアワー

各実習担当のオフィスアワー

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床工学科担当教員カンファレンス(実習書の説明、履修方法、レポートの書き方)	予習：シラバスの確認　復習：実習書の熟読・実習準備　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
2	【生理機能実習】心拍測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田
3	【生理機能実習】血圧測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保
4	【生理機能実習】心電計の構成および操作	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	大久保
5	【生理機能実習】心電図測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
6	【生理機能実習】酸素飽和度計の構成および操作	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	井本
7	【生理機能実習】酸素飽和度測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
8	【生理機能実習】超音波診断装置の講義・実習	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	脇　英彦

9	【実技試験】非観血式血圧測定	予習：実習書の熟読・実技試験準備　復習：実技試験到達度確認　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
10	【生化学実習】実験器具の指導およびレポートの書き方指導	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポートの書き方の見直し　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
11	【生化学実習】糖：グルコース測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
12	【生化学実習】蛋白質：総蛋白測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
13	【生化学実習】脂質：中性脂肪測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
14	【生化学実習】非蛋白性窒素：クレアチニン測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
15	【病理学実習】組織標本の顕微鏡観察	予習：レポート作成　復習：本講義総まとめ1時間予習・復習（レポート含む）を行う。	川畑　浩久
成績評価方法と基準			割合
出席基準：4/5 以上。出席は、各実習に対するレポート提出も行う事を必須とする。　【臨床工学科教員】　①平常点および課題評価（受講態度、議論への貢献度、レポート提出、レポート内容など）<DP①②>　②実技試験および筆記試験<DP①②>　【臨床検査学科教員】　①平常点評価（受講態度、発表内容、議論への貢献度など）<DP①②>　②課題評価（レポート提出、内容など）<DP①②>　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭またはMOIRIPA「課題管理」内のフィード			【臨床工学科教員】　①20%　②30%　【臨床検査学科教員】　①20%　②30%

授業科目名	基礎医学実習（工学 A）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／辻　義弘／大久保　さやか／井本　勝久	
科目ナンバリング	SB20BMEB012	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

①生理機能を測定し、測定法やその技術を学び、 得られた結果からその生理学的意義について理解する。 ②生体構成主要成分である糖質・脂質・タンパク質・核酸について、それぞれ の構造・性質・代謝を、実習を通して理解する。

学修目標

①生体の働きについてのメカニズムの基本的事項を，人体構造学の知識を基盤に人体の生理機能を理解させる事を目標とする。＜DP①②＞ ②生物体を構成する物質の構造、性質、機能、分布、存在状態などを学び、物質の示す生物学的機能と化学構造との関係や生命現象における意義について理解することを目的とする。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。無断の遅刻・欠席は厳禁です。　白衣の着用がないと、受講できません。

教科書

オリエンテーション時に実習書を配布します。

参考書

1 年及び 2 年前期までに開講された人体の構造、人体の機能、生化学及び病理学の教科書・講義資料

研究室／オフィスアワー

各実習担当のオフィスアワー

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床工学科担当教員カンファレンス(実習書の説明、履修方法、レポートの書き方)	予習：シラバスの確認　復習：実習書の熟読・実習準備　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
2	【生理機能実習】心拍測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田
3	【生理機能実習】血圧測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保
4	【生理機能実習】心電計の構成および操作	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	大久保
5	【生理機能実習】心電図測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
6	【生理機能実習】酸素飽和度計の構成および操作	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	井本
7	【生理機能実習】酸素飽和度測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
8	【生理機能実習】超音波診断装置の講義・実習	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1 時間予習・復習(レポート含む）を行う。	脇　英彦

9	【実技試験】非観血式血圧測定	予習：実習書の熟読・実技試験準備　復習：実技試験到達度確認　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田、辻、大久保、井本
10	【生化学実習】実験器具の指導およびレポートの書き方指導	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポートの書き方の見直し　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
11	【生化学実習】糖：グルコース測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
12	【生化学実習】蛋白質：総蛋白測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
13	【生化学実習】脂質：中性脂肪測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
14	【生化学実習】非蛋白性窒素：クレアチニン測定	予習：実習書の熟読・実習準備　復習：レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	森　誠司、関根　将、小林　渉
15	【病理学実習】組織標本の顕微鏡観察	予習：レポート作成　復習：本講義総まとめ1時間予習・復習（レポート含む）を行う。	川畑　浩久
成績評価方法と基準			割合
出席基準：4/5 以上。出席は、各実習に対するレポート提出も行う事を必須とする。　【臨床工学科教員】　①平常点および課題評価（受講態度、議論への貢献度、レポート提出、レポート内容など）<DP①②>　②実技試験および筆記試験<DP①②>　【臨床検査学科教員】　①平常点評価（受講態度、発表内容、議論への貢献度など）<DP①②>　②課題評価（レポート提出、内容など）<DP①②>　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭またはMOIRIPA「課題管理」内のフィード			【臨床工学科教員】　①20%　②30%　【臨床検査学科教員】　①20%　②30%

授業科目名	応用数学（工学）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄	
科目ナンバリング	SB20BMEB015	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

国家試験や第 2 種 ME 検定、さらに電気関係の資格試験や初歩的な電磁気学で必要となる数学の知識を身につける。

学修目標

①電気工学で必要となる三角関数、指数関数、対数関数について復習する。〈DP①〉 ②複素数を使った交流の表記法及び周波数特性について理解する。〈DP①〉 ③必要とされる微分・積分の具体的な計算を体得し、過渡特性と微分方程式との関係を理解する。〈DP①〉 ④微分方程式を解析する手法としてのラプラス変換を理解する。〈DP①〉 ⑤周期関数としての任意の波形を数学的に表記するフーリエ級数について理解する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容に従って、理解を深めるための演習を行う。復習を忘れないように行い、分からないことは質問して、放置しないことが重要です。

教科書

徹底図解　基本からわかる電気数学　ナツメ社　著者：ノマド・ワークス　ISBN978-4-8163-6696-3

参考書

実用　電気系学生のための基礎数学　コロナ社　著者：葛谷幹夫　ISBN978-4-339-00872-2

研究室／オフィスアワー

C棟 7 階研究室 20／金曜日 9 時～10 時 30 分

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【数と計算】分数の計算、指数の計算、平方根と無理数、対数	予習：２時間　教科書 pp.8-34　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
2	【式の計算と方程式】文字式、一次方程式、連立一次方程式、二次方程式	予習：２時間　教科書 pp.36-66　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
3	【三角関数１】三平方の定理、三角比、三角関数、余弦定理と加法定理、	予習：２時間　教科書 pp.68-89　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
4	【三角関数２】加法定理から導かれる公式、弧度法（ラジアン）、三角関数とグラフと交流	予習：２時間　教科書 pp.90-114　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
5	【ベクトルと複素数１】ベクトルの計算、成分表示と極座標、複素数とベクトル、複素数によるベクトル演算	予習：２時間　教科書 pp.116-138　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
6	【ベクトルと複素数２】ベクトルと交流、交流電力とベクトル	予習：２時間　教科書 pp.139-172　復習：２時間　小テスト-各項目の確認２時間	中沢　一雄
7	【微分と電気１】微分とはなにか、微分の基本公式、いろいろな微分の計算	予習：２時間　教科書 pp.174-189　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
8	【微分と電気２】三角関数の微分、指数関数の微分、対数関数の微分、微分法と最大・最小問題、オイラーの公式の証明	予習：２時間　教科書 pp.190-214　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
9	【積分と電気１】積分とはなにか、積分の基本公式、いろいろな関数の積分、定積分	予習：２時間　教科書 pp.216-236　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
10	【積分と電気２】電位と電位差、ビオ・サバールの法則と積分、アンペアの周回積分の法則	予習：２時間　教科書 pp.237-254　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
11	【微分方程式とラプラス変換１】微分方程式とは、いろいろな過渡現象	予習：２時間　教科書 pp.256-269　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄

12	【微分方程式とラプラス変換２】ラプラス変換、ラプラス変換と微分方程式、自動制御とラプラス変換	予習：２時間　教科書 pp. 270-292　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄
13	【フーリエ変換１】フーリエ級数、複素フーリエ級数	予習：２時間　教科書 pp. 294-308　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄（ゲストスピーカー）
14	【フーリエ変換２】フーリエ変換	予習：２時間　教科書 pp. 309-316　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄（ゲストスピーカー）
15	【応用数学まとめ】応用数学と電磁気学　応用数学の便利さを味わう	予習：２時間　教科書 pp. 8-316　復習：２時間　小テスト-各項目の確認	中沢　一雄（ゲストスピーカー）
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②小テスト			①40% ②60%

授業科目名	応用物理学（工学）				
主担当教員	稲田　慎		担当教員	稲田　慎／川村　勇樹	
科目ナンバリング	SB20BMEB016	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療機器を扱う臨床工学技士は，生体計測や治療において，エネルギーの生体への作用を安全かつ効果的に行うために，人体生理の機序や医用機器の動作原理を熟知している必要がある．そのための基礎となる科目が物理学や電気工学である．物理学を学ぶ目的の一つは，少数の原理を用いて多様な現象を理解・説明するという，理学・工学的思考法を習得することである．応用物理学では，物理学や電気工学など，これまでに学んだ基礎科目と生体現象や医療機器とがどのように関係しているかを理解し，説明できるようにすることを目標とする．

学修目標

1. 基本単位，組立単位について理解し，説明することができる　2. 力および力のつり合いについて理解し，説明することができる　3. 等速運動および等加速度運動について理解し，説明することができる　4. 運動方程式の基礎について理解し，説明することができる　5. 振動現象の基礎について理解し，説明することができる　6. 熱力学の基礎について理解し，説明することができる　7. 音波の基礎について理解し，説明することができる　8. 電気回路およびフィルタ回路の基礎について理解し，説明することができる　9. 光および電子の基礎について理解し，説明することができる　10. 原子核および放射線の基礎について理解し，説明することができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容に関連した国家試験および ME2 種の過去問を演習問題として配付する．これらの問題を用いて復習をしっかり行うこと．理解が不十分な項目については早めに対応し，理解できるように努力すること．

教科書

廣岡秀明ほか，医療系の基礎としての物理，学術図書出版社，2019 年．　ISBN: 978-4-7806-0774-1

参考書

必要に応じて参考書を紹介する．

研究室／オフィスアワー

稲田：C 棟 7 階研究室 14　川村：C 棟 7 階共同研究室（職員室）火曜日 5 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	単位と次元	復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
2	力のつり合い	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
3	物体の運動１：変位，速度，加速度	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
4	物体の運動２：運動方程式	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
5	物体の運動３：等速円運動	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
6	物体の運動４：単振動	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
7	仕事とエネルギー	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
8	熱力学：熱伝導，ボイル・シャルルの法則	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
9	音波：波，音の伝わり方，ドップラー効果	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田

10	前半のまとめ	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
11	直流と交流	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	川村
12	フィルタ回路	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	川村
13	光と電子	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	川村
14	原子核と放射線	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	川村
15	後半のまとめ	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	川村
成績評価方法と基準			割合
１．　定期試験			１．　100%

授業科目名	応用化学（工学）				
主担当教員	稲田　慎		担当教員	稲田　慎	
科目ナンバリング	SB20BMEB017	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本科目は，血液浄化装置や体外循環装置の動作原理の理解に必要な化学の基礎知識を高めることを目的とした演習科目である．これらの装置の動作原理を理解するためには，有機化学や血液の流体力学，溶液中の物質移動現象について理解する必要がある．本科目では，血液浄化装置や体外循環装置で用いられている材料の基礎となる有機化合物，濃度や浸透圧などの溶液化学について概説する．

学修目標

1．有機化学の基礎を理解し，説明できる　2．溶液化学の基礎を理解し．説明できる　3．流体力学の基礎を理解し，血液の性質および流動特性を説明できる　4．血液浄化装置の動作原理である透析，濾過，吸着について理解し，説明できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容に関連した国家試験および ME2 種の過去問を演習問題として配付する．これらの問題を用いて復習をしっかり行うこと．理解が不十分な項目については早めに対応し，理解できるように努力すること．

教科書

使用しない．講義内容に関する資料を配付する．また，必要に応じて参考書を紹介する．

参考書

必要に応じて参考書を紹介する．

研究室／オフィスアワー

稲田：C 棟 7 階研究室 14，金曜日 3 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業形態の説明，化学の基礎に関する小テスト	復習：小テストの復習（1 時間）	稲田
2	原子軌道と原子配置	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
3	有機化合物の命名法	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
4	官能基，有機化合物の反応	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
5	官能基，有機化合物の反応	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
6	有機化学（糖質，脂質）	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
7	有機化学（アミノ酸，タンパク質，核酸）	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
8	物質量と濃度，当量，規定度，拡散，浸透圧	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
9	物質量と濃度，当量，規定度，拡散，浸透圧	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
10	物質量と濃度，当量，規定度，拡散，浸透圧	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
11	流体力学（血液の性質，血液の流動特性）	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
12	流体力学（血液の性質，血液の流動特性）	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田

13	血液浄化（透析，濾過，吸着の原理とその応用）	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
14	血液浄化（透析，濾過，吸着の原理とその応用）	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
15	講義全体のまとめ	予習：全講義内容，全演習問題の確認（1 時間）　復習：全講義内容，全演習問題の復習（2 時間）	稲田
成績評価方法と基準			割合
１．　定期試験			１．　100%

授業科目名	電気工学実習（工学 B）					
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭／稲田　慎		
科目ナンバリング	SB20BMEB020	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

電気工学 I および電気工学 II では、受動素子の特性や静電気・磁気について学習した。電気工学実習では、電気現象を計測するために計測機器の取り扱いを学び、受動素子にかかる電圧などを計測する。電気工学 I や電気工学 II で学習した理論から求めた値と実際に計測された値を比較し、差異について考察することで電気工学 I 及び電気工学 II で学んだ理論の定着を図る。

学修目標

計測機器の取り扱いを学習し、電気工学 I および電気工学 II で学んだ理論値と計測された値の比較やシミュレーションによる再現などを主体的に取り組むことで、電気回路 I と電気回路 II に関する知識を深める。具体的には、 1. オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、テスタといった計測装置を適切に取り扱えるようになる。〈DP①④〉 2. 複数の抵抗器を組み合わせた合成抵抗器の値を計測したり、閉回路における起電力と降下電圧を計測したりすることで、合成抵抗及びキルヒホッフの法則の理解を深める。〈DP①④〉 3. LCR 回路を構築し、周波数、回路におけるインダクタンスとキャパシタンスと抵抗器の両端電圧の関係を明らかにすることで、共振周波数に関する知識を深める。〈DP①④〉 4. パルス波形が入力された CR 回路の抵抗器およびキャパシタの両端電圧を計測し､CR 回路の時定数が出力波形に及ぼす影響を明らかにすることで､過渡応答に関する理解を深める｡〈DP①④〉 5. CR 回路で構築したハイパス及びローパスフィルタについて、入力される電圧信号の周波数、抵抗器の抵抗及びキャパシタの静電容量が出力波形に及ぼす影響を計測することで、CR フィルタ回路に関する知識を深める。〈DP①④〉 である。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習手順をイメージできるように、配布する手順書を事前に熟読してください。

教科書

備考: 事前に手順書を配布します。

参考書

1 年次で学習した電気工学 1 および電気工学 2 の教科書と参考書

研究室／オフィスアワー

原　 C 棟 7 階 研究室 19 / 金曜日 4 限　稲田 C 棟 7 階 研究室 14 / 月曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション:　・実習での服装や機器の保管場所や取扱方法など実習に関する注意事項を説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間　予習内容:　 電気工学 I および電気工学 II の復習　 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　 配布された実習の注意事項の確認	原　良昭　稲田　慎
2	計測装置の取り扱い①:　・直流安定化電源およびテスタを使用できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　 実習内容の要約を作成する。	原　良昭　稲田　慎
3	計測装置の取り扱い②:　・オシロスコープと周波数発振器を使用できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　 実習内	原　良昭　稲田　慎

		容の要約を作成する。	
4	回路シミュレータを用いた直流回路のシミュレーション: ・回路シミュレータを用いて、1 年生後期の電気工学 1 などで学習した直流回路の代表的なシミュレーションを行う事ができるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
5	回路シミュレータによるフィルタ回路のシミュレーション: ・回路シミュレータを用いて LR フィルタ回路のシミュレーションを行えるようになる。 ・LR フィルタ回路のシミュレーション結果から、LR フィルタ回路についての理解を深め、より適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
6	レポートで必要となる図の作成方法: ・レポートに掲載する図を表計算ソフトウェアを用いて作成する方法を学習し、実際に適切な図を作成できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
7	実機を用いたフィルタ回路の確認: ・実際に構築した CR フィルタ回路に対して、模擬された心電図波形を入力し、C や R の端子間電圧を観察することで、フィルタ回路の特性に対する理解を深め、CR フィルタ回路に対するより適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
8	回路シミュレータによる過渡応答: ・回路シミュレータを用いて LR 回路の過渡応答をシミュレーションすることができるようになる。 ・LR 回路の過渡応答に対するシミュレーション結果から、LR 回路についての理解を深め、過渡応答のより適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
9	実機を用いた過渡応答の確認: ・実際に構築した CR 回路に対して、矩形波を入力し、C や R の端子間電圧を観察することで、過渡応答への理解を深め、過渡応答へのより適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
10	入出力インピーダンスが及ぼす影響: ・周波数発振器の出力インピーダンスが回路に及ぼす影響を実感し説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
11	回路シミュレータを用いた共振回路のシミュレーション: ・回路シミュレータを用いて共振回路のシミュレーションを行い、共振回路に対する理解を深め、より適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
12	電気による仕事の測定: ・電気による仕事として水を電気によって温めることにより、電気が行う仕事であるジュール熱を説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
13	四端子法による抵抗値の計測 ・計測機器のインピーダンスに対して著しく低い抵抗値を持つ抵抗器の抵抗値を四端子法を用いて計測できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
14	コイルに生じる逆起電力の確認: ・コイルの巻	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義	原 良昭 稲

	き数に応じて逆起電力が変化することを確認することで､コイルに発生する逆起電力と変圧器の仕組みについて説明できるようになる。 ・コイルに流れる電流に応じて逆起電力が変化することを確認することで､コイルに発生する逆起電力と変圧器の仕組みについて説明できるようになる。	開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし､わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	田 慎
15	DC モータの特性評価: ･DC モータの動作には電圧に加えて一定以上の電流が必要なことを理解し、説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし､わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験<DP①④> ※出題範囲: 実習で行った内容及び 1 年生後期必修科目である電気工学 I および電気工学 II で学習した範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。 ※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。 ※注意事項: 実習内容に対するレポートを課す場合があります。この場合、レポートが未提出であれば、定期試験の点数は大幅に減点されます。また、内容が不十分であれば、不十分さに応じて応じて定期試験の点数を減点します。レポートの提出期限、内容、評価基準は講義中		1. 100%

授業科目名	電気工学実習（工学 A）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭／稲田　慎	
科目ナンバリング	SB20BMEB020	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

電気工学 I および電気工学 II では、受動素子の特性や静電気・磁気について学習した。電気工学実習では、電気現象を計測するために計測機器の取り扱いを学び、受動素子にかかる電圧などを計測する。電気工学 I や電気工学 II で学習した理論から求めた値と実際に計測された値を比較し、差異について考察することで電気工学 I 及び電気工学 II で学んだ理論の定着を図る。

学修目標

計測機器の取り扱いを学習し、電気工学 I および電気工学 II で学んだ理論値と計測された値の比較やシミュレーションによる再現などを主体的に取り組むことで、電気回路 I と電気回路 II に関する知識を深める。具体的には、 1. オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、テスタといった計測装置を適切に取り扱えるようになる。〈DP①④〉 2. 複数の抵抗器を組み合わせた合成抵抗器の値を計測したり、閉回路における起電力と降下電圧を計測したりすることで、合成抵抗及びキルヒホッフの法則の理解を深める。〈DP①④〉 3. LCR 回路を構築し、周波数、回路におけるインダクタンスとキャパシタンスと抵抗器の両端電圧の関係を明らかにすることで、共振周波数に関する知識を深める。〈DP①④〉 4. パルス波形が入力された CR 回路の抵抗器およびキャパシタの両端電圧を計測し､CR 回路の時定数が出力波形に及ぼす影響を明らかにすることで､過渡応答に関する理解を深める｡〈DP①④〉 5. CR 回路で構築したハイパス及びローパスフィルタについて、入力される電圧信号の周波数、抵抗器の抵抗及びキャパシタの静電容量が出力波形に及ぼす影響を計測することで、CR フィルタ回路に関する知識を深める。〈DP①④〉 である。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習手順をイメージできるように、配布する手順書を事前に熟読してください。

教科書

備考: 事前に手順書を配布します。

参考書

1 年次で学習した電気工学 1 および電気工学 2 の教科書と参考書

研究室／オフィスアワー

原　 C 棟 7 階 研究室 19 / 金曜日 4 限　稲田 C 棟 7 階 研究室 14 / 月曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション:　・実習での服装や機器の保管場所や取扱方法など実習に関する注意事項を説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間　予習内容:　電気工学 I および電気工学 II の復習　復習時間: 0.5 時間　復習内容:　配布された実習の注意事項の確認	原　良昭　稲田　慎
2	計測装置の取り扱い①:　・直流安定化電源およびテスタを使用できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	原　良昭　稲田　慎
3	計測装置の取り扱い②:　・オシロスコープと周波数発振器を使用できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内	原　良昭　稲田　慎

		容の要約を作成する。	
4	回路シミュレータを用いた直流回路のシミュレーション: ・回路シミュレータを用いて、1 年生後期の電気工学 1 などで学習した直流回路の代表的なシミュレーションを行う事ができるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
5	回路シミュレータによるフィルタ回路のシミュレーション: ・回路シミュレータを用いて LR フィルタ回路のシミュレーションを行えるようになる。 ・LR フィルタ回路のシミュレーション結果から、LR フィルタ回路についての理解を深め、より適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
6	レポートで必要となる図の作成方法: ・レポートに掲載する図を表計算ソフトウェアを用いて作成する方法を学習し、実際に適切な図を作成できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
7	実機を用いたフィルタ回路の確認: ・実際に構築した CR フィルタ回路に対して、模擬された心電図波形を入力し、C や R の端子間電圧を観察することで、フィルタ回路の特性に対する理解を深め、CR フィルタ回路に対するより適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
8	回路シミュレータによる過渡応答: ・回路シミュレータを用いて LR 回路の過渡応答をシミュレーションすることができるようになる。 ・LR 回路の過渡応答に対するシミュレーション結果から、LR 回路についての理解を深め、過渡応答のより適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
9	実機を用いた過渡応答の確認: ・実際に構築した CR 回路に対して、矩形波を入力し、C や R の端子間電圧を観察することで、過渡応答への理解を深め、過渡応答へのより適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
10	入出力インピーダンスが及ぼす影響: ・周波数発振器の出力インピーダンスが回路に及ぼす影響を実感し説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
11	回路シミュレータを用いた共振回路のシミュレーション: ・回路シミュレータを用いて共振回路のシミュレーションを行い、共振回路に対する理解を深め、より適切な説明を行えるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
12	電気による仕事の測定: ・電気による仕事として水を電気によって温めることにより、電気が行う仕事であるジュール熱を説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
13	四端子法による抵抗値の計測 ・計測機器のインピーダンスに対して著しく低い抵抗値を持つ抵抗器の抵抗値を四端子法を用いて計測できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
14	コイルに生じる逆起電力の確認: ・コイルの巻	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義	原 良昭 稲

	き数に応じて逆起電力が変化することを確認することで､コイルに発生する逆起電力と変圧器の仕組みについて説明できるようになる。 ・コイルに流れる電流に応じて逆起電力が変化することを確認することで､コイルに発生する逆起電力と変圧器の仕組みについて説明できるようになる。	開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし､わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	田 慎
15	DC モータの特性評価: ･DC モータの動作には電圧に加えて一定以上の電流が必要なことを理解し、説明できるようになる。	予習時間: 0.5 時間 予習内容: 講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし､わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間 復習内容: 実習内容の要約を作成する。	原 良昭 稲田 慎
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験<DP①④> ※出題範囲: 実習で行った内容及び 1 年生後期必修科目である電気工学 I および電気工学 II で学習した範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。 ※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。 ※注意事項: 実習内容に対するレポートを課す場合があります。この場合、レポートが未提出であれば、定期試験の点数は大幅に減点されます。また、内容が不十分であれば、不十分さに応じて応じて定期試験の点数を減点します。レポートの提出期限、内容、評価基準は講義中		1. 100%

授業科目名	電子工学Ⅰ（工学）				
主担当教員	川村　勇樹		担当教員	川村　勇樹／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SB20BMEB021	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜4限、火曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

医療機器を取り扱う臨床工学技士にとって、医療機器に組み込まれている電子回路の動作・仕組みを理解することは必要不可欠である。電子工学Ⅰでは、電子回路の基本となるダイオードやトランジスタ、オペアンプの仕組みを学ぶ。また、これらを組み合わせて構築される様々な電子回路についても取り組む。

学修目標

1. ダイオードの仕組みや基本特性について説明できるようになる〈DP①〉 2. ダイオードを用いた整流回路をはじめとする波形整形回路の仕組みや基本特性を説明できるようになる〈DP①〉 3. トランジスタの種類や仕組み、基本特性について説明できるようになる〈DP①〉 4. トランジスタを用いた増幅回路について説明できるようになる〈DP①〉 5. オペアンプの種類や特性などについて説明できるようになる〈DP①〉 6. オペアンプを用いた反転増幅回路や非反転増幅回路など基本的な回路について動作を説明できるようになる〈DP①〉 7. オペアンプを用いた微分回路・積分回路について、オペアンプを用いないCR回路と比較して特性および動作を説明できるようになる〈DP①〉 8. オペアンプを用いた差動増幅回路について同相除去比を用いて特性を説明できるようになる〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 電子工学Ⅰは積み上げ型の教科であるため、各講義内容は、以前の講義内容を理解していることを前提としています。したがって、わからない箇所を放置すると、それ以降の講義が全てわからなくなります。そのため、講義終了後には必ず復習を行い、授業内容の理解度について確認して下さい。復習中にわからないことがあれば、必ず質問に来て下さい。 2. 電気工学Ⅰと電気工学IIの内容を確認しておくこと

教科書

1. 臨床工学講座　医用電子工学　第２版　一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会監修　医歯薬出版株式会社 ISBN: 978-4-263-73416-2

参考書

1. 臨床工学シリーズ9　改訂医用電子工学　日本エム・イー学会監修，松尾正之，根本幾，南谷晴之，内山明彦著　コロナ社　ISBN:978-4-339-07125-2　2. 臨床工学技士のための基礎電子工学　稲岡秀検，野城真理著　コロナ社　ISBN:978-4-339-07224-2　3. 臨床工学技士国家試験　Check UP！医用電気電子工学／医用機械工学／生体物性材料工学　臨床工学技士国家試験研究会編　医歯薬出版株式会社　ISBN: 978-4-263-73209-0　4. 医療系資格試験のための電気-臨床工

研究室／オフィスアワー

C棟7階 教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	半導体の概要とエネルギーバンド理論　・半導体の性質を導体と絶縁体と比較しながら説明できるようになる。	予習時間: 2時間　予習内容:　電気工学1及び電気工学2の復習および教科書①pp.1-12までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。　復習時間: 2時間　復習内容:　講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	楠元
2	フェルミ・ディラックの分布関数と不純物半導体　・フェルミ・ディラックの分布関数について説明できるようになる　・フェルミ準位，アクセ	予習時間: 2時間　予習内容:　教科書p1-p12までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。　復習時間: 2時間　復習	楠元

	プタ準位，ドナー準位について説明できるようになる	内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	
3	pn 接合とダイオード ・ダイオードの仕組みを pn 接合と拡散電位を用いて説明できるようになる ・LED やフォトダイオードなどダイオードの種類について説明できるようになる ・ツェナーダイオードについて特徴を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p13-p20 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	楠元
4	整流平滑回路 ・ダイオードを用いた整流回路の仕組みを説明できるようになる。 ・半波整流回路及び全波整流回路の違いを平滑化の観点から説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p21-p27 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	楠元
5	波形整形回路 ・ダイオードを用いた波形整形回路として、クリッパ回路、リミッタ回路、スライサ回路、クランプ回路の動作を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p29-p40 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	楠元
6	トランジスタの基礎 ・トランジスタの種類や特徴を説明できるようになる。 ・信号増幅について、電流利得、電圧利得、電力利得の違いを説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p41-p50 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	楠元
7	バイポーラトランジスタ ・バイポーラトランジスタの入力特性や電流伝達特性といった静特性について説明できるようになる。 ・エミッタ接地、コレクタ接地、ベース接地の各回路について動作および特徴を説明できるようになる。 ・入出力特性や周波数特性といった増幅回路の性質について説明できるようになる。 ・負帰還について説明できるようになる。 ・入力インピーダンスと出力インピーダンスを用いてインピーダンス変換回路の特徴を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p51-p80 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	川村
8	電界効果トランジスタ ・電界効果トランジスタの仕組みを説明できるようになる。 ・電界効果トランジスタの特徴を電流制御と電圧制御の観点から説明できるようになる。	予習時間: 3 時間 予習内容: 教科書 p81-p92 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 1 時間 復習内容: 講義により露わになった理解が不十分であった内容についてノートに要約を作成する。	川村
9	オペアンプの基本特性 ・オペアンプの基本特性や種類、特徴を説明できるようになる。 ・オペアンプが容易にコンパレータとして利用できることを、オペアンプの特性を用いて説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p93-p104 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	川村
10	オペアンプによる反転増幅回路 ・反転増幅回路の仕組みについて、数式を用いて説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p104-p107 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	川村
11	オペアンプによる非反転増幅回路: ・非反転増幅回路の仕組みについて、数式を用いて説明できるようになる。 ・ボルテージフォロワー回路をインピーダンス変換の観点から説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p108-p111 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	川村
12	オペアンプを用いた積分回路 ・オペアンプを用いた積分回路の仕組みと特徴を、オペアンプを用	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p111-p114 までを確認し、理解が難しかった	川村

	いない CR 回路と比較して説明できるようになる。 ・積分回路における抵抗器とキャパシタをインピーダンスとして扱うことで、反転増幅回路を等価であることを説明できるようになる。	事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	
13	オペアンプを用いた微分回路 ・オペアンプを用いた微分回路の仕組みと特徴を、オペアンプを用いない CR 回路と比較して説明できるようになる。 ・微分回路における抵抗器とキャパシタをインピーダンスとして扱うことで、反転増幅回路を等価であることを説明できるようになる。 ・負帰還増幅回路の周波数特性について、オペアンプのスルーレートを用いて説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p115-p118 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	川村
14	オペアンプを用いた差動増幅回路 ・生体信号計測とノイズ対策の観点から差動増幅回路の有益性を説明できるようになる。 ・同相信号除去比について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p118-p120 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	川村
15	オペアンプを用いた加減算回路と比較回路 ・加減算回路の仕組みと動作を説明できるようになる ・ヒステリシス特性がある比較回路について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 p120-p126 までを確認し、理解が難しかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間 復習内容: 講義内容をノートに要約する。また、講義でも理解が難しいことがあった場合は、教員に確認すること	川村
成績評価方法と基準			割合
1.中間試験<DP①> 2.定期試験<DP①> ※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。 ※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1. 30% 2. 70%

授業科目名	電子工学Ⅱ（工学）				
主担当教員	川村　勇樹		担当教員	川村　勇樹／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SB20BMEB022	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限、火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療機器を取り扱う臨床工学技士にとって、医療機器に組み込まれている電子回路の動作・仕組みを理解することは必要不可欠である。電子工学 II では、ディジタル回路を主題として、論理回路や A/D 及び D/A 変換回路などを学ぶ。また、変調・復調回路を取り扱う。

学修目標

1. LED や受光素子など代表的な電子回路部品や主なセンサなどの特徴や仕様を説明できるようになる。〈DP①〉 2. アナログとディジタルの差異を理解し、二進法を使いこなせるようになる。〈DP①〉 3. 論理代数を理解し、ベン図やカルノー図を活用しながら論理演算を行うことができるようになる。〈DP①〉 4. 論理演算を実際の電子回路で行うために、各論理素子における回路の動作を説明できるようになる。〈DP①〉 5. フリップフロップ回路及びカウンタ回路の動作を説明できるようになる。〈DP①〉 6. A/D 及び D/A 変換回路を説明できるようになる。〈DP①〉 7. 発振回路を構築し、その動作を説明できるようになる。〈DP①〉 8. 変調・復調の方法を理解し、その動作を説明できるようになる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 電子工学 II は積み上げ型の教科であるため、各講義内容は、以前の講義内容を理解していることを前提としています。したがって、わからない箇所を放置すると、それ以降の講義が全てわからなくなります。そのため、講義終了後には必ず復習を行い、授業内容の理解度について確認して下さい。復習中にわからないことがあれば、必ず質問に来て下さい。

教科書

1. 『臨床工学講座　医用電子工学　第２版』監修 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会、医歯薬出版株式会社, ISBN: 978-4-263-73416-2

参考書

1. 臨床工学シリーズ 9　改訂医用電子工学　日本エム・イー学会監修, 松尾正之, 根本幾, 南谷晴之, 内山明彦著　コロナ社　ISBN:978-4-339-07125-2　2. 臨床工学技士のための基礎電子工学　稲岡秀検, 野城真理著　コロナ社　ISBN:978-4-339-07224-2　3. 臨床工学技士国家試験　Check UP！医用電気電子工学／医用機械工学／生体物性材料工学　臨床工学技士国家試験研究会編　医歯薬出版株式会社　ISBN: 978-4-263-73209-0　4. 医療系資格試験のための電気-臨床工

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階 職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	電子回路部品:　･LED や受光素子など代表的な電子回路部品の特徴や仕様を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　教科書 pp.127-133 を確認し、わからなかった事柄を要約する。　復習時間: 2 時間　復習内容:　講義内容についてノートに要約を作成する。	楠元
2	電子回路における主なセンサ　･電子回路で用いられる代表的なセンサの特徴について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　教科書 pp.133-136 を確認し、わからなかった事柄を要約する。　復習時間: 2 時間　復習内容:　講義内容についてノートに要約を作成する。	楠元
3	アナログとディジタルの基礎:　･アナログとディジタルの差異を説明できるようになる。　･二進法を含む N 進法での計算を説明できるように	予習時間: 2 時間　予習内容:　教科書 pp.137-142 を確認し、わからなかった事柄を要約する。　復習時間: 2 時間　復	楠元

	なる。	習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	
4	論理代数: ・論理代数の説明及び実際の計算ができるようになる	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.143-145 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	楠元
5	論理ゲート ・AND, OR, NOT といった基本的な論理素子の回路図をダイオードやトランジスタを用いて作成できるようになる。作成した回路の動作を説明できるようになる。 ・NAND, NOR, ExOR を含む基本的な論理素子の動作を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.146-150 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	川村
6	ベン図とカルノー図: ・ベン図やカルノー図の説明ができるようになる。具体的にはベン図を用いた論理演算の可視化でき、カルノー図を用いた論理演算の簡略化ができるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.150--158 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	川村
7	論理ゲートの組み合わせによる論理回路 ・基本的な論理素子を組み合わせて半加算器回路や全加算回路、一致回路などを構築できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.158-162 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	川村
8	フリップフロップ回路とカウンタ回路 ・フリップフロップ回路の動作を説明できる。 ・一般的なカウンタ回路を構築し、動作を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.163-176 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	川村
9	A/D 変換回路および D/A 変換回路 ・A/D 変換における基本的な用語である標本化やサンプリング定理、量子化などを説明できるようになる。 ・A/D 変換を行う各方法について、基本的な仕組みに加えてメリット・デメリットなどを説明できるようになる。 ・復号化や補間、アパーチャ効果など D/A 変換で用いる用語について説明できるようになる。 ・D/A 変換を行う回路について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.177-188 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	川村
10	発振回路 ・発振回路の基本的な仕組みを説明できるようになる ・様々な発振回路から代表的な発振回路である LC 発振回路の種類やその仕組みと特徴を説明できるようななる。 ・水晶発振回路の説明ができるようなる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.189-195 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	川村
11	マルチバイブレータ ・マルチバイブレータの概念を説明できるようになる。 ・無安定マルチバイブレータの動作を説明できるようなる。 ・単安定マルチバイブレータの動作を説明できるようになる。 ・双安定マルチバイブレータの動作を説明できるようなる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.195-200 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	川村
12	通信の基礎 ・現在社会における通信の果たす役割の概要を説明できるようになる。 ・変調・復調の概念について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.201-223 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	楠元
13	アナログ変調・復調 ・振幅変調の概念を理解し、振幅変調及び復調を行う回路の動作を説明できるようになる。 ・周波数変調の概念を理解し、その内容を説明できるようになる。 ・位相変調の概念を理解し、その内容を説明できるようなる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 先の講義で指定された教科書の範囲を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作成する。	楠元
14	ディジタル信号を対象とした変調・復調 ・ディジタル信号を対象とした変調・復調方法の原理と特徴を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間 予習内容: 教科書 pp.223-234 を確認し、わからなかった事柄を要約する。 復習時間: 2 時間 復習内容： 講義内容についてノートに要約を作	楠元

		成する。	
15	機器制御で用いられている電子回路　・機器制御で用いられている主な電子回路について説明できるようになる。	予習時間: 3 時間　予習内容:　前回までに学習した内容について、ノートを確認し、不明瞭な項目をリスト化する。リスト化した項目について学習する。　　復習時間: 1 時間　復習内容:　講義内容についてノートに要約を作成する。	楠元
成績評価方法と基準			割合
1. 中間試験<DP①>　2. 定期試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1. 30%　2. 70%

授業科目名	電子工学実習（工学 B）				
主担当教員	川村　勇樹		担当教員	川村　勇樹／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SB20BMEB023	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 3 限、水曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

医療機器には電子回路が含まれており、電子回路の深い理解は、医療機器を扱う臨床工学技士にとって必須である。本字集では、電子工学 1 及び電子工学 2 で学習した電子工学の回路を、実際に組み上げ作成し特性評価を行うことで、電子工学 1 及び電子工学 2 で学習した知識の定着を図る。

学修目標

電子工学 I および電子工学 II で学習した知識と実際の電子回路での計測値を比較することで、電子回路に関する知識を深める。具体的には、 1. ダイオードを用いた波形整形回路を構築することで、ダイオードの特性および波形整形回路の特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 2. トランジスタを用いた増幅回路を構築することで、トランジスタの特性および増幅回路の特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 3. オペアンプを用いた反転増幅回路・非反転増幅回路を構築し特性を評価することで、オペアンプの特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 4. オペアンプを用いた加算/差動/積分/微分回路を構築し特性を評価することで、オペアンプの特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 5. 論理素子からなるディジタル回路を構築し動作を確認することで、論理演算に関する知識を深める。〈DP①④〉 6. 発振回路を構築し動作を確認することで、発振回路に関する知識を深める。〈DP①④〉 7. 発振回路の出力電流をトランジスタで増幅しモータを回転させることで、ディジタル回路とアナログ回路の理解を深める。〈DP①④〉 である。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習手順をイメージできるように、配布する手順書を事前に熟読してください。

教科書

事前に手順書を配布します

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

川村 C 棟 7F 教職員室　 楠元 C 棟 7F 教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション:　・レポートの書き方等を理解する	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
2	回路シミュレータによるダイオードおよびトランジスタを利用した回路のシミュレーション:　・回路シミュレータを用いて基本的なトランジスタの回路に対するシミュレーションが行えるようになる　・シミュレーションを行う事でトランジスタの特性及び特性を利用した回路への理解を深め、より適切な説明が行えるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
3	トランジスタを用いた電流増幅回路:　・トランジスタを用いることで微弱な電流を増幅できる	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習	川村　楠元

	ことを確認する。これによりトランジスタについて理解を深め、トランジスタを用いた電流増幅回路について説明できるようになる。	書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	
4	ダイオードを用いた半波整流回路及び AM 復調:　・正弦波を入力すると半波整流されることを確認することで、ダイオードの特性や回路についての理解を深めこれらについて説明できるようになる。　・半波整流回路に AM 変調された信号を入力すると復調できることを確認することで、変調・復調についての理解を深めこれらについて説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
5	ダイオードを用いた出力電圧制限回路:　・リミッタ回路を作成し、回路内の直流電源の電源電圧よりも大きな電圧がカットされることを確認することでダイオードを用いた回路について理解を深め、ダイオードについてより適切な説明を行えるようになる。　・ツェナーダイオードを用いると直流電源を用いなくても出力を一定の電圧に抑えられることを確認することで、ダイオードを用いた回路について理解を深め、ダイオードについてより適切な説明を行えるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
6	回路シミュレータを用いたオペアンプのシミュレーション:　・回路シミュレータを用いて、オペアンプの代表的な回路である非反転増幅回路、反転増幅回路及び加算増幅回路, 微分増幅回路、積分増幅回路を作成し、各回路における各点の電圧や電流など回路の特性について説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
7	オペアンプを用いた回路:　・オペアンプを用いた代表的な回路である反転増幅回路と加算増幅回路をブレッドボード上に構築できるようになる。　・オペアンプを用いた代表的な回路である反転増幅回路と加算増幅回路の仕組みについての理解を更に深め、フィードバック抵抗が大きくできない理由などを説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
8	回路シミュレーションを用いたディジタル回路　・回路シミュレータを用いてディジタル素子の特性を確認し、ディジタル素子を用いた回路が作成できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
9	IC トレーナーによるディジタル回路の作製　・IC トレーナーを用いてディジタル回路を作製し、論理演算に関する理解を深める。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
10	回路シミュレーションによる発振回路　・回路シミュレータを用いて発振回路を作成し、その動作を説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
11	オペアンプおよびディジタル素子を用いた発振回路　・オペアンプを用いて矩形波と三角波を発振する回路を作成することで、オペアンプへの理解を深める。　・ディジタル素子を用いてリングオシレータを作成し、ディジタル素子を動作させる電源電圧に応じて発振周波数が変化することを確認することで、ディジタル素子への理解を深める。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元

12	光センサを含む回路:　・光センサを用いて、周辺の明かりによって LED が点灯する回路を作成する。これにより、光センサ、トランジスタ、LED に対する理解を深め、これらについてより適切な説明ができるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
13	サーミスタを用いた温度計測:　・ペルチェ素子の特性、活用方法に関して理解を深める。　・サーミスタの抵抗値―温度特性を理解し、温度の計測方法を説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
14	回路シミュレータを用いた様々なセンサ及び簡易心電計の動作確認:　・回路シミュレータを用いて力センサや光センサについて理解を深め、これらについてより適切な説明が行えるようになる。　・回路シミュレータを用いて簡易心電計について理解を深め、心電計の仕組みについてより適切な説明が行えるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
15	オペアンプを用いたノイズ除去:　・オペアンプによる差動増幅を利用して、心電図波形（信号）に混入したノイズ（雑音）を除去する手法について理解を深める。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
成績評価方法と基準			割合
1. レポート<DP①④>　2. 定期試験<DP①④>			1. 50%　2. 50%

授業科目名	電子工学実習（工学 A）				
主担当教員	川村　勇樹		担当教員	川村　勇樹／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SB20BMEB023	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 3 限、水曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

医療機器には電子回路が含まれており、電子回路の深い理解は、医療機器を扱う臨床工学技士にとって必須である。本実習では、電子工学 1 及び電子工学 2 で学習した電子工学の回路を、実際に組み上げ作成し特性評価を行うことで、電子工学 1 及び電子工学 2 で学習した知識の定着を図る。

学修目標

電子工学 I および電子工学 II で学習した知識と実際の電子回路での計測値を比較することで、電子回路に関する知識を深める。具体的には、 1. ダイオードを用いた波形整形回路を構築することで、ダイオードの特性および波形整形回路の特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 2. トランジスタを用いた増幅回路を構築することで、トランジスタの特性および増幅回路の特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 3. オペアンプを用いた反転増幅回路・非反転増幅回路を構築し特性を評価することで、オペアンプの特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 4. オペアンプを用いた加算/差動/積分/微分回路を構築し特性を評価することで、オペアンプの特性に関する知識を深める。〈DP①④〉 5. 論理素子からなるディジタル回路を構築し動作を確認することで、論理演算に関する知識を深める。〈DP①④〉 6. 発振回路を構築し動作を確認することで、発振回路に関する知識を深める。〈DP①④〉 7. 発振回路の出力電流をトランジスタで増幅しモータを回転させることで、ディジタル回路とアナログ回路の理解を深める。〈DP①④〉 である。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習手順をイメージできるように、配布する手順書を事前に熟読してください。

教科書

事前に手順書を配布

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

川村 C 棟 7F 教職員室　 楠元 C 棟 7F 教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション:　・レポートの書き方等を理解する	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
2	回路シミュレータによるダイオードおよびトランジスタを利用した回路のシミュレーション:　・回路シミュレータを用いて基本的なトランジスタの回路に対するシミュレーションが行えるようになる　・シミュレーションを行う事でトランジスタの特性及び特性を利用した回路への理解を深め、より適切な説明が行えるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
3	トランジスタを用いた電流増幅回路:　・トランジスタを用いることで微弱な電流を増幅できる	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習	川村　楠元

	ことを確認する。これによりトランジスタについて理解を深め、トランジスタを用いた電流増幅回路について説明できるようになる。	書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	
4	ダイオードを用いた半波整流回路及び AM 復調:　・正弦波を入力すると半波整流されることを確認し、ダイオードの特性や回路についての理解を深め、これらについて説明できるようになる。　・半波整流回路に AM 変調された信号を入力すると復調できることを確認し、変調・復調についての理解を深めこれらについて説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
5	ダイオードを用いた出力電圧制限回路:　・リミッタ回路を作成し、回路内の直流電源の電源電圧よりも大きな電圧がカットされることを確認することでダイオードを用いた回路について理解を深め、ダイオードについてより適切な説明を行えるようになる。　・ツェナーダイオードを用いると直流電源を用いなくても出力を一定の電圧に抑えられることを確認することで、ダイオードを用いた回路について理解を深め、ダイオードについてより適切な説明を行えるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
6	回路シミュレータを用いたオペアンプのシミュレーション:　・回路シミュレータを用いて、オペアンプの代表的な回路である非反転増幅回路、反転増幅回路及び加算増幅回路, 微分増幅回路、積分増幅回路を作成し、各回路における各点の電圧や電流など回路の特性について説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
7	オペアンプを用いた回路:　・オペアンプを用いた代表的な回路である反転増幅回路と加算増幅回路をブレッドボード上に構築できるようになる。　・オペアンプを用いた代表的な回路である反転増幅回路と加算増幅回路の仕組みについての理解を更に深め、フィードバック抵抗が大きくできない理由などを説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
8	回路シミュレーションを用いたディジタル回路　・回路シミュレータを用いてディジタル素子の特性を確認し、ディジタル素子を用いた回路が作成できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
9	IC トレーナーによるディジタル回路の作製　・IC トレーナーを用いてディジタル回路を作製し、論理演算に関する理解を深める。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
10	回路シミュレーションによる発振回路　・回路シミュレータを用いて発振回路を作成し、その動作を説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
11	オペアンプおよびディジタル素子を用いた発振回路　・オペアンプを用いて矩形波と三角波を発振する回路を作成することで、オペアンプへの理解を深める。　・ディジタル素子を用いてリングオシレータを作成し、ディジタル素子を動作させる電源電圧に応じて発振周波数が変化することを確認することで、ディジタル素子への理解を深める。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元

12	光センサを含む回路:　・光センサを用いて、周辺の明かりによって LED が点灯する回路を作成する。これにより、光センサ、トランジスタ、LED に対する理解を深め、これらについてより適切な説明ができるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
13	サーミスタを用いた温度計測:　・ペルチェ素子の特性、活用方法に関して理解を深める。　・サーミスタの抵抗値―温度特性を理解し、温度の計測方法を説明できるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
14	回路シミュレータを用いた様々なセンサ及び簡易心電計の動作確認:　・回路シミュレータを用いて力センサや光センサについて理解を深め、これらについてより適切な説明が行えるようになる。　・回路シミュレータを用いて簡易心電計について理解を深め、心電計の仕組みについてより適切な説明が行えるようになる。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
15	オペアンプを用いたノイズ除去:　・オペアンプによる差動増幅を利用して、心電図波形（信号）に混入したノイズ（雑音）を除去する手法について理解を深める。	予習時間:　0.5 時間　予習内容:　講義開始時から実習を遅滞なく行うため、実習書を熟読し理解しておくこと。もし、わからないことがあれば、教員に確認すること 復習時間: 0.5 時間　復習内容:　実習内容の要約を作成する。	川村　楠元
成績評価方法と基準			割合
1. レポート<DP①④>　2. 定期試験<DP①④>			1. 50%　2. 50%

授業科目名	放射線工学概論（工学）				
主担当教員	奥村　雅彦		担当教員	奥村　雅彦／今井　信也／西浦　素子／山本　浩一／大鷹　豊	
科目ナンバリング	SB20BMEB024	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

放射線工学概論では放射線医学に関する基礎を学習し、多職種との連携に必要な放射線全般の知識を身に付ける。また、近年飛躍的に進歩を遂げている放射線治療の原理や治療の流れについて概説する。さらに放射線の身体への影響およびその防護方法についても学習する。

学修目標

① 医療における放射線の役割を説明できる。〈DP①〉 ② 放射線を用いた各検査における臨床工学技士の役割を説明できる。〈DP①〉 ③ 放射線治療に用いる照射法と腫瘍各論について説明できる。〈DP①〉 ④ 放射線における障害である確定的影響と確率的影響について説明できる。〈DP①〉 ⑤ 放射線防護の概要について説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義中の私語は慎むこと。

教科書

「≪系統看護学講座 別巻≫ 臨床放射線医学（第 10 版)」医学書院　 ISBN:978-4-260-04217-8

参考書

「臨床工学講座 生体計測装置学」医歯薬出版 石原 謙 ISBN:978-4-263-73406-3

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F 各教員研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【概要】　放射線工学概論について	予習：シラバスと教科書・参考書を確認する（2 時間）　復習：放射線工学概論で学ぶ内容と学習計画を立てる（2 時間）	奥 村　今 井 大 鷹　山 本 西浦
2	【放射線の基礎】 電離放射線とその性質　臨床工学技士と放射線の関わり	予習：教科書 p2-9、臨床工学技士と放射線の関わりを考える（2 時間）　復習：臨床工学技士が放射線に関わるときの注意を整理しノートにまとめる　（2 時間）	大鷹
3	【放射線医学の基礎】 放射線関連検査・治療の概要　臨床工学技士と診療放射線技師との関わり	予習：教科書 p10-15 （2 時間）　復習：新たに学んだ知識を整理しノートにまとめる（2 時間）	西浦
4	【放射線治療概論】 放射線治療の現状と生物学	予習：教科書　p182-195（2 時間）　復習：放射線の種類と生物学的効果の違いについて整理しノートにまとめる　（2 時間）	山本
5	【放射線治療装置と治療法】 直線加速装置の構造と外部照射法・内部照射法	予習：教科書 p196-209（2 時間）　復習：放射線発生の原理と各治療法の目的を整理しノートにまとめる（2 時間）	奥村
6	【放射線治療各論】 各部位における放射線治療の実際	予習：教科書 p224-262（2 時間）　復習：疾患別の放射線治療の現状について整理しノートにまとめる（2 時間）	奥村
7	【放射線による障害と防護①】　放射線障害	予習：教科書 p266-270（2 時間）　復習：放射線による人体への影響について整理しノートにまとめる（2 時間）	今井

8	【放射線による障害と防護②】　放射線防護	予習：教科書 p270-280（2 時間）　復習：放射線防護の基本的な考え方について整理しノートにまとめる（2 時間）	今井
成績評価方法と基準			割合
① 定期テスト　② 授業に取り組む姿勢　授業の出席は、授業時間数の 2/3 以上とする。(6 回の出席が必要なので注意すること）			①80%　②20%

授業科目名	情報処理工学（工学）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄	
科目ナンバリング	SB20BMEB025	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、 デジタル信号の表現と論理演算、論理回路、コンピュータの基本構成とコンピュータの動作原理、オペレーティングシステム、プログラム開発とプログラミング言語、ユーザインタフェース、データ処理アルゴリズム、データベース、データ通信とネットワーク、コンピュータによる計測・制御の考え方と方法、コンピュータが構成要素となっている医療・治療機器事例や計測システム、医療情報システム事例、医療現場でのセキュリティ対策など情報技術の基礎を学ぶ。

学修目標

医療従事者として知っておいてもらいたいコンピュータの基本技術や情報処理の基礎的考え方を理解する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

情報処理工学に関する基本的な知識を身につけ、専門用語に親しんでください。

教科書

寺嶋廣克ほか著　「はじめて学ぶコンピュータ概論　ハードウェア・ソフトウェアの基本」コロナ社　ISBN978-4-339-02850-8

参考書

監修：日本臨床工学技士教育施設協議会　編集：戸畑裕志ほか「臨床工学講座　医用情報処理工学」第 2 版 医歯薬出版 ISBN978-4-263-73423-0

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 20/金曜日 9 時～10 時 30 分

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス	予習：特になし　復習：講義資料の確認 学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
2	10 進数と 2 進数、ビットとバイト、数の表現	予習：教科書の確認（pp.1-9）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
3	基数変換、2 進数の演算、負数の表現方法	予習：教科書の確認（pp.10-19）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
4	論理演算、論理回路	予習：教科書の確認（pp.24-32）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
5	コンピュータの種類と特徴､コンピュータの構成要素：CPU、記憶装置、入出力装置、インタフェース	予習：教科書の確認（pp.39-57）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
6	小テスト、小テスト問題の解説	予習：教科書（pp.1-57）・これまでの講義資料の確認　復習：小テスト問題の確認　学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
7	情報処理システムの構成：処理形態、利用形態、システム構成、システムの信頼性、データの信頼性	予習：教科書の確認（pp.58-72）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
8	ソフトウェア：システムソフト、アプリケーショ	予習：教科書の確認（pp19-23, 73-76）	中沢　一雄

	ン、オープンソース、数の表現：実数の表し方、誤差	復習：講義資料の確認　学習所要時間目安：4 時間	
9	オペレーティングシステム：API、ジョブ管理、タスク管理、主記憶管理、入出力管理、ファイル管理	予習：教科書の確認（pp.78-87）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安:4 時間	中沢　一雄
10	ＡＤ変換：生体信号処理・解析、データ転送、応用ソフトウェア：種類、代表的なソフトウェア	予習：教科書の確認（pp.88-94）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安:4 時間	中沢　一雄
11	ユーザインタフェース：進展と構成要素、GUI 部品、画面設計、帳票設計、Web デザイン、ユニバーサルデザイン	予習：教科書の確認（pp.95-102）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安:4 時間	中沢　一雄
12	ネットワーク：インターネット、プロトコル、ネットワークの接続形態、接続装置、ＩＰアドレス	予習：ネットワークについての確認　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安：4 時間	中沢　一雄
13	マルチメディア：文字、画像、情報セキュリティ：概念、定義、脅威と脆弱性、セキュリティ対策	予習：教科書の確認（pp.103-118）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安:4 時間	中沢　一雄
14	データベース：関係データベース、設計、正規化、操作、トランザクション処理	予習：教科書の確認（pp.119-137）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安:4 時間	中沢　一雄
15	プログラム言語：種類、アルゴリズム、データ構造	予習：教科書の確認（pp.139-150）　復習：講義資料の確認　学習所要時間目安:4 時間	中沢　一雄
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験<DP①>　②小テスト<DP①>　小テストの解答は終了後に開示する。			①80% ②20%

授業科目名	医療統計学（工学）					
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭		
科目ナンバリング	SB20BMEB026	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

統計学は医学の急速な発展の土台となった学問であり、統計学を修めていることは医療従事者の責務といえる。本科目では医療従事者として必要な統計学の基礎を学習する。

学修目標

1. 統計的仮説検定の論理について理解する。〈DP①〉 2. 母集団と確率変数の概念について理解する。〈DP①〉 3. 代表的な確率分布の特徴を理解する。〈DP①〉 4. データの代表値や散布度を表す特徴量について理解する。〈DP①〉 5. 信頼区間について理解する。〈DP①〉 6. 代表的な仮説検定の方法を取得する。〈DP①〉 7. 相関分析について理解する。〈DP①〉 8. 回帰分析の方法を取得する。〈DP①〉 9. カイ二乗検定の方法を取得する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本科目は積み上げ型の科目となります。講義でわからないところがあれば、残りの講義もわからなくなります。その回の内容は次回までにわかるように予習・復習を行ってください。

教科書

1. 『基礎から学ぶ統計学』,中原治, 羊土社, ISBN-13: 978-4-7581-2121-7

参考書

1. 『データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門』,阿部真人, ソシム, ISBN-13: 978-4-802-61319-4

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 19 ／ 金曜日 4 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	統計学の歴史と学ぶ意義　･医療の発展に果たした統計学の役割について説明できるようになる。	予習時間:3 時間　予習内容:　･教科書を一通り読んで学習する内容の概説を把握しておく。　復習時間:1 時間　復習内容:　･講義内容の要約を作成する。	原
2	検定の論理:　･二項検定について説明できるようになる	予習時間:2 時間　予習内容:　･前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　･講義内容の要約を作成する。	原
3	統計検定量:　･Wilcoxon-Mann-Whitney 検定について説明できるようになる　･統計量について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　･前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　･講義内容の要約を作成する。	原
4	第 1 種の過誤と第 2 種の過誤:　･統計検定の結果に対する解釈の仕方について注意すべき過誤を説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　･前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　･講義内容の要約を作成する。	原
5	母集団と標本:　･平均値について説明できるようになる。　･分散について説明できるようになる。　･標準偏差について説明できるようになる。　･自由度について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　･前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　･講義内容の要約を作成する。	原

6	正規分布:　・正規分布の特徴について説明できるようになる。　・データの標準化と標準正規分布の特徴について説明できるようになる。　・中心極限定理について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
7	信頼区間と t 分布:　・標準正規分布の 95%信頼区間を説明できるようになる。　・正規分布に従うデータが与えられたとき、データに基づいて 95%信頼区間を算出できるようになる。　・t 分布の特徴を定性的に説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
8	対応のある t 検定:　・2 群のデータに対応がある場合の t 検定について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
9	対応のない t 検定:と P 値:　・2 群のデータに対応がない場合の t 検定について説明できるようになる。　・有意差について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
10	一元配置分散分析:　・データを与えられたとき、一元配置分散分析を実施することができるようになる。　・一元配置分散分析の特徴を t 検定と比較して説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
11	多重比較:　・多重比較の概念を説明できるようになる。　・研究において多重性を考慮すべき理由について説明できるようになる。　・ボンフェローニ法について説明できるようになる。　・チューキー･クレーマー法について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
12	相関分析:　・データが与えられたとき、相関係数を算出できるようになる。　・因果関係と相関関係の違いについて説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
13	単回帰分析:　・データが与えられたとき、傾きや切片を算出できるようになる。　・決定係数と相関係数の関係を定量的に説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
14	統計的独立とカイ二乗検定　・統計的独立について説明できるようになる　・データを与えられたとき、カイ二乗検定を実施できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
15	高度な統計方法:　・重回帰分析、ロジスティック回帰分析､生存時間分析の概要を定性的に説明できるようになる。　・感度と特異度の概念を説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1. 100%

授業科目名	システム制御工学（工学）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	SB20BMEB027	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生体や臨床工学技士が扱う医療機器の仕組みを理解するにはシステムとして把握することが重要である。また、医療機器の多くは機械的・電子的に制御されているため、臨床工学技士にとって制御工学の理解は必須である。本講義では、工学的見地からシステムについての説明を行い、システムの信頼性などを学ぶ。その後、制御工学として、制御方式の一般的な説明を皮切りに、ラプラス変換・逆変換、伝達関数、ブロック線図、過渡応答、周波数応答を学習する。そして、特に重要な制御方式であるフィードバック制御の 1 つである PID 制御の特徴について理解を深める。

学修目標

・複数のサブシステムから構築されるシステムの信頼度を数式を用いて説明できるようになる。<DP①>　・ラプラス変換・逆変換を数式を用いて説明できるようになる。<DP①>　・比例要素、積分要素、微分要素、一次遅れ要素、二次遅れ要素の伝達関数について説明できる。<DP①>　・各要素を繋ぐブロック線図を作成することができる。また、ブロック線図の等価変換を行うことができる。<DP①>　・比例要素、積分要素、微分要素、一次遅れ要素、二次遅れ要素について、過渡応答および周波数応答が説明できる。<DP①>　・ボード線図に見方について説明できる。<DP①>　・フィードバック制御の特徴を説明できるようになる。<DP①>　・PID 制御の特徴を説明できるようになる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　システム制御工学は積み上げ型の教科であるため、各講義内容は、以前の講義内容を理解していることを前提としています。したがって、わからない箇所を放置すると、それ以降の講義が全てわからなくなります。そのため、講義終了後には必ず復習を行い、授業内容の理解度について確認して下さい。復習中にわからないことがあれば、必ず質問に来て下さい。　2.　システム制御工学では、「システムの信頼性」や「周波数応答」などの算出に数学的知識が必要となります。数学演習で学んだ三角関数や微分積分については、十分に慣れるまで復習しておくことが望ましいです。

教科書

1.『最新臨床工学講座　医用システム・制御工学』, 医歯薬出版株式会社, 嶋津秀昭・堀内邦雄, ISBN: 978-4-263-73466-7　2.　『絵ときでわかる機械制御 第 2 版』, オーム社, 宇津木論, ISBN:978-4-274-22255-9

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階 研究室 19 / 金曜日 4 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	システムの設計と生体システム　・システム工学の基本的な考え方であるサブシステムについて説明できるようになる。	予習時間:２時間　予習内容:　教科書１の pp.1-35 までを確認し、理解が不十分であったことをまとめておくこと　復習時間:２時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること	原　良昭
2	システムの信頼性と安全性　・システムの信頼度を数式を用いて説明できるようになる。　・平均修理時間と平均故障間隔を数式を用いて説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　教科書１の pp.36-43 までを確認し、理解が不十分であったことをまとめておくこと　復習時間:２時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノー	原　良昭

		トにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること	
3	システムの故障解析　・代表的な故障解析法である FTA と FEMA について、両手法の特徴を説明できるようになる。　・フールプルーフやフェイルセーフを具体的な例を挙げながら説明できるようになる。	予習時間: ２時間　予習内容:　教科書 1 の pp.37-60 までを確認し、理解が不十分であったことをまとめておくこと　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること	原　良昭
4	自動制御の概要　・制御方法の種類や各制御方法の特徴を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること	原　良昭
5	制御系における関数の扱い　・線形関数について説明できるようになる。　・ラプラス変換とラプラス逆変換について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
6	伝達関数の基本　・伝達関数について説明ができるようになる。　・比例・積分・微分要素について説明ができるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
7	一次遅れ要素の伝達関数　・一次遅れ要素について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
8	二次遅れ要素の伝達関数　・二時遅れ要素の説明ができるようになる。　・むだ時間について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
9	ブロック線図:　・ブロック線図について説明できるようになる。　・結合則を用いてブロック線図を等価変換できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
10	基本要素と一次遅れの過渡応答　・過渡応答に用いる代表的な入力信号を説明できる　・比例要素、積分要素、微分要素の過渡応答を説明できる　・一次遅れ要素の過渡応答を説明できる	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭

11	基本要素と一次遅れの過渡応答　・過渡応答に用いる代表的な入力信号を説明できる。　・比例要素、積分要素、微分要素の過渡応答を説明できる。　・一次遅れ要素の過渡応答を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
12	基本要素と一次遅れの周波数応答　・周波数応答の表示に用いるボード線図を説明できる。　・比例要素、積分要素、微分要素の周波数応答を説明できる。　・一次遅れ要素の周波数応答を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
13	2 次遅れ要素の過渡応答と周波数応答　・2 次遅れ要素の過渡応答を説明できるようになる。　・2 次遅れ要素の周波数応答を説明できるようになる。　・過渡応答と周波数応答の関係を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
14	フィードバック制御系　・正帰還と負帰還について説明できるようになる。　・フィードバック制御における各指標を説明できるようになる。　・フィードバック制御における指標として、特に、定常偏差について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること。	原　良昭
15	PID 制御　・P 制御について説明できるようになる。　・PI 制御について説明できるようになる。　・PID 制御について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。 復習時間: 2 時間　復習内容:　予習でわからなかったことを中心に講義内容を再確認し、ノートにまとめる。復習でもわからなかった内容がある場合は、教員に確認すること	原　良昭
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			100%

授業科目名	情報処理･システム制御工学実習（工学 B）					
主担当教員	中沢 一雄			担当教員	中沢 一雄／原 良昭／川村 勇樹	
科目ナンバリング	SB20BMEB028	科目区分	専門基礎分野		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

１．２年次前期で学習した「情報処理工学」の内容を実習において確認する。エクセルを基本に実用的なデータの表示や処理、さらにアルゴリズムの基本となる考え方を実践する。　２．2 年次前期で学習した「システム制御工学」の内容を実習において確認する。特に医療機器の制御で用いられている各制御方法の特徴について実習を通じて理解を深める ３．自作プログラムの入力方法、実行方法を習得するとともに、データ処理の基本を体験する。

学修目標

１．医療従事者として必要と思われる実務的なデータ処理が実行できる。〈DP①④〉　２．実習を通じて PID 制御方法の特徴に対する理解を深め、適切な制御方法を選択できる知識を習得する。〈DP①④〉　３．プログラミングの基礎を習得する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

無断の遅刻・欠席は厳禁です。全体の実習計画の遅延につながるので注意願います。　実習書は、必ず事前に目を通しておいてください。　目的意識を持って積極的に実習を行ってください。　実習終了後は必ず実習機材を片付け、実習機材を破損させたときは直ちに教員に報告してください。

教科書

30 時間でマスター　Word&Excel2021（Windows11 対応）　編：実教出版企画開発部　ISBN978-4-407-35939-8　実習の手順を記載した手引書は配布します。

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階 研究室 20 /金曜日 9 時～ 10 時 30 分　原　：C 棟 7 階 研究員室 19 / 月曜日 5 限　川村：C 棟 7 階 教職員室 /

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンスと情報リテラシーの復習	予習：エクセル・ワードの基本機能の確認 実習書の確認　復習：実習内容の確認　学習所要時間目安：2 時間	中沢　一雄
2	エクセル：ワークシートで関数グラフをつくる（１）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
3	エクセル：ワークシートで関数グラフをつくる（２）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
4	エクセル：VBA で組む簡単プログラム（１）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
5	エクセル：VBA で組む簡単プログラム（２）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
6	エクセル：VBA で組むグラフィックス（１）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
7	エクセル：VBA で組むグラフィックス（２）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹

8	マイコンボードを用いたPID制御実習(1)：　・対象となるマイコンの仕組み及び開発環境を説明できるようになる。　・マイボードとPCをシリアル通信で接続するプログラムを作成できるようになる	予習時間：１時間　予習内容：　・実習書を確認し、対象となるマイコンボードや開発環境について予習を行う　・シリアル通信について調べ、実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
9	マイコンボードを用いたPID制御実習(2)：　・プログラムにおける変数と定数及び関数について説明できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し、変数と定数及び関数について実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
10	マイコンボードを用いたPID制御実習(3)：　・引数や戻り値を持つ関数について説明できるようになる　・制御構文について説明できるようになる	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し、引数や戻り値を伴う関数および制御構文について調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
11	マイコンボードを用いたPID制御実習(4)：　・マイコンボードでA/D変換を行えるようになる。　・マイコンボードでD/A変換を行えるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し､A/D変換とD/A変換について調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
12	マイコンボードを用いたPID制御実習(5)：　・On-Off制御のプログラムを作成できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し、On-Off制御について、また、違いについても調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
13	マイコンボードを用いたPID制御実習(6)：　・P制御を行うプログラムを作成できるようになる。　・PI制御を行うプログラムを作成できるようになる。　・PD制御を行うプログラムを作成できるようになる。　・PID制御を行うプログラムを作成できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し､PID制御について調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
14	マイコンボード間の通信及びサーボモータの制御方法　・マイコンボード間を通信するプログラムを作成できるようになる。　・サーボモータの回転数を制御できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：　・マイコンボード間の通信に利用されている通信規格を調べてまとめる。　・サーボモータの仕組みを調べてまとめる。	原　良昭
15	マイコンボード実機を用いたパルスオキシメータの開発　・簡易なパルスオキシメータを開発できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：　・パルスオキシメータの仕組みを調べてまとめる。	原　良昭
成績評価方法と基準			割合
①　レポート課題<DP①④>　※内容：講義にて説明します。　※評価内容：講義にて説明します。　※提出期限：講義にて説明します。　②　定期試験<DP①④>　※出題範囲：2年生前期必修科目である情報処理工学およびシステム制御工学で扱った範囲に加えて実習で説明した内容を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法：システム制御工学の試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			①25% ②75%

授業科目名	情報処理･システム制御工学実習（工学 A）					
主担当教員	中沢 一雄			担当教員	中沢 一雄／原 良昭／川村 勇樹	
科目ナンバリング	SB20BMEB028	科目区分	専門基礎分野		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

１．２年次前期で学習した「情報処理工学」の内容を実習において確認する。エクセルを基本に実用的なデータの表示や処理、さらにアルゴリズムの基本となる考え方を実践する。　２．2 年次前期で学習した「システム制御工学」の内容を実習において確認する。特に医療機器の制御で用いられている各制御方法の特徴について実習を通じて理解を深める ３．自作プログラムの入力方法、実行方法を習得するとともに、データ処理の基本を体験する。

学修目標

１．医療従事者として必要と思われる実務的なデータ処理が実行できる。〈DP①④〉　２．実習を通じて PID 制御方法の特徴に対する理解を深め、適切な制御方法を選択できる知識を習得する。〈DP①④〉　３．プログラミングの基礎を習得する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

無断の遅刻・欠席は厳禁です。全体の実習計画の遅延につながるので注意願います。　実習書は、必ず事前に目を通しておいてください。　目的意識を持って積極的に実習を行ってください。　実習終了後は必ず実習機材を片付け、実習機材を破損させたときは直ちに教員に報告してください。

教科書

30 時間でマスター　Word&Excel2021（Windows11 対応）　編：実教出版企画開発部　ISBN978-4-407-35939-8　実習の手順を記載した手引書は配布します。

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階 研究室 20 /金曜日 9 時～ 10 時 30 分　原　：C 棟 7 階 研究員室 19 / 月曜日 5 限　川村：C 棟 7 階 教職員室 /

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンスと情報リテラシーの復習	予習：エクセル・ワードの基本機能の確認 実習書の確認　復習：実習内容の確認　学習所要時間目安：2 時間	中沢　一雄
2	エクセル：ワークシートで関数グラフをつくる（１）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
3	エクセル：ワークシートで関数グラフをつくる（２）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
4	エクセル：VBA で組む簡単プログラム（１）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
5	エクセル：VBA で組む簡単プログラム（２）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
6	エクセル：VBA で組むグラフィックス（１）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹
7	エクセル：VBA で組むグラフィックス（２）	予習：エクセルの基本機能の確認　実習書の確認　復習：実習内容の確認　レポート作成　学習所要時間目安：2 時間	中 沢　一 雄 川村　勇樹

8	マイコンボードを用いたPID制御実習(1)：　・対象となるマイコンの仕組み及び開発環境を説明できるようになる。　・マイボードとPCをシリアル通信で接続するプログラムを作成できるようになる	予習時間：１時間　予習内容：　・実習書を確認し、対象となるマイコンボードや開発環境について予習を行う　・シリアル通信について調べ、実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
9	マイコンボードを用いたPID制御実習(2)：　・プログラムにおける変数と定数及び関数について説明できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し、変数と定数及び関数について実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
10	マイコンボードを用いたPID制御実習(3)：　・引数や戻り値を持つ関数について説明できるようになる　・制御構文について説明できるようになる	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し、引数や戻り値を伴う関数および制御構文について調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
11	マイコンボードを用いたPID制御実習(4)：　・マイコンボードでA/D変換を行えるようになる。　・マイコンボードでD/A変換を行えるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し､A/D変換とD/A変換について調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
12	マイコンボードを用いたPID制御実習(5)：　・On-Off制御のプログラムを作成できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し、On-Off制御について、また、違いについても調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
13	マイコンボードを用いたPID制御実習(6)：　・P制御を行うプログラムを作成できるようになる。　・PI制御を行うプログラムを作成できるようになる。　・PD制御を行うプログラムを作成できるようになる。　・PID制御を行うプログラムを作成できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：実習書を確認し､PID制御について調べ実習中に教員に確認することをまとめる。	原　良昭
14	マイコンボード間の通信及びサーボモータの制御方法　・マイコンボード間を通信するプログラムを作成できるようになる。　・サーボモータの回転数を制御できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：　・マイコンボード間の通信に利用されている通信規格を調べてまとめる。　・サーボモータの仕組みを調べてまとめる。	原　良昭
15	マイコンボード実機を用いたパルスオキシメータの開発　・簡易なパルスオキシメータを開発できるようになる。	予習時間：１時間　予習内容：　・パルスオキシメータの仕組みを調べてまとめる。	原　良昭
成績評価方法と基準			割合
①　レポート課題<DP①④>　※内容：講義にて説明します。　※評価内容：講義にて説明します。　※提出期限：講義にて説明します。　②　定期試験<DP①④>　※出題範囲：2年生前期必修科目である情報処理工学およびシステム制御工学で扱った範囲に加えて実習で説明した内容を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法：システム制御工学の試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			①25% ②75%

授業科目名	生体物性工学（工学）					
主担当教員	稲田　慎		担当教員	稲田　慎／川村　勇樹		
科目ナンバリング	SS20BMEB001	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

臨床において使用される生体計測機器や治療機器の多くは，様々な物理エネルギーを生体に加えている．そのため，これらの機器を安全かつ効果的に使用するためには，生体へのエネルギーの作用に対する応答を予測することが重要であり，そのためには生体の物理的特性を理解する必要がある．本講義では，物理学や応用物理学で学んだ内容を基盤とし，物理的エネルギーと生体との関係について講義する．

学修目標

1．生体物質について理解し，説明することができる　2．生体の電気的特性について理解し，説明することができる　3．生体の音響特性について理解し，説明することができる　4．生体の流体的特性について理解し，説明することができる　5．生体の熱的特性について理解し，説明することができる　6．生体の力学的特性について理解し，説明することができる　7．生体の光特性について理解し，説明することができる　8．生体の放射線特性について理解し，説明することができる　9．計測工学，生体計測装置学，治療機器学，医療機器安全管理学など，3 年生で学ぶ科目へ向けた視野を獲得する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容に関連した国家試験および ME2 種の過去問を演習問題として配布する．これらの問題を用いて講義内容に関する復習をしっかり行うこと．理解が不十分な項目については早めに対応し，理解できるように努力すること．

教科書

池田研二，嶋津秀昭，生体物性／医用機械工学　改訂第 2 版，秀潤社，2020 年．　ISBN: 978-4-7809-0414-7

参考書

村林俊，臨床工学技士のための生体物性，コロナ社，ISBN978-4-339-07231-0　中島章夫，氏平政伸編著，生体物性・医用材料工学，医歯薬出版，ISBN978-4-263-73407-0

研究室／オフィスアワー

稲田：C 棟 7 階研究室 14　川村：C 棟 7 階共同研究室（職員室）火曜日 5 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生体物性概論	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
2	生体の受動的電気特性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
3	生体の能動的電気特性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
4	電流の生体作用	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
5	電磁界と生体物性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
6	生体の音波，超音波に対する性質	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
7	生体の流体力学的特性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
8	脈管系の生体物性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
9	生体の熱に対する性質	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田

10	前半のまとめ	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
11	生体の力学的静特性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
12	生体の力学的動特性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
13	生体の光特性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
14	生体の放射線特性	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
15	後半のまとめ	予習：講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験			1.　100%

授業科目名	生体材料工学（工学）				
主担当教員	稲田 慎		担当教員	稲田 慎／川村 勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEB002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

現代の医療では様々な医用材料が医療用具や医療機器に用いられている．安全かつ適切な医療を提供するためには，医用材料の特性を正しく理解する必要がある．本講義では，まず医用材料を学ぶために必要な化学の基礎について講義し，次に医用材料の種類，性質，用途，生体適合性等について講義する．

学修目標

1．医用材料の基礎となる化学の基礎（金属材料，無機材料，有機材料）について理解し，説明することができる　2．医用材料の種類について理解し，説明することができる　3．医用材料の応用について理解し，説明することができる　4．医用材料と生体との相互作用について理解し，説明することができる　5．医用材料の生体適合性について理解し，説明することができる　6．医用材料の滅菌について理解し，説明することができる　7．医用材料の安全性評価について理解し，説明することができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容に関連した国家試験および ME2 種の過去問を演習問題として配付する．これらの問題を用いて復習をしっかり行うこと．理解が不十分な項目については早めに対応し，理解できるように努力すること．

教科書

堀内孝，村林俊，医用材料工学，コロナ社，2006 年．　ISBN: 978-4-339-07112-2

参考書

中島章夫，氏平政伸編著，生体物性・医用材料工学，医歯薬出版，ISBN978-4-263-73407-0

研究室／オフィスアワー

稲田：C 棟 7 階研究室 14　川村：C 棟 7 階共同研究室（職員室）火曜日 5 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	授業形態の説明，医用材料の概要	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
2	材料の基礎（原子の結合と材料）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
3	材料の基礎（化学反応）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
4	材料の基礎（金属材料①）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
5	材料の基礎（金属材料②）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
6	材料の基礎（無機材料①）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
7	材料の基礎（無機材料②）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
8	材料の基礎（有機材料①）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
9	材料の基礎（有機材料②）	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
10	前半のまとめ	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
11	医用材料の応用例	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村

12	材料・生体相互作用	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
13	医用材料の滅菌	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
14	医用材料の安全性評価	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村
15	後半のまとめ	予習：全講義内容，全演習問題の確認（2 時間）　復習：全講義内容，全演習問題の復習（2 時間）	川村
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験			1.　100%

授業科目名	バイオメカニクス（工学）				
主担当教員	稲田 慎		担当教員	稲田 慎／川村 勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEB003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

バイオメカニクスは，生体の構造や機能を力学的に解析し，医学に役立てる学問である．本講義では，流体力学，熱力学，機械力学，材料力学等を講義する．

学修目標

1. 力のつり合いについて理解し，問題を解くことができる　2. エネルギーと仕事について理解し，問題を解くことができる　3. 圧力について理解し，問題を解くことができる　4. 流体力学に関する基礎的な定理，法則を理解し，問題を解くことができる　5. 音波，超音波に関する法則を理解し，問題を解くことができる　6. 熱に関する概念，法則を理解し，問題を解くことができる　7. 質点および剛体の力学に関する原理を理解し，問題を解くことができる　8. 機械要素の強度，変形に関する概念，法則を理解し，問題を解くことができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容に関連した国家試験および ME2 種の過去問を演習問題として配付する．これらの問題を用いて復習をしっかり行うこと．理解が不十分な項目については早めに対応し，理解できるように努力すること．

教科書

池田研二，嶋津秀昭，生体物性／医用機械工学　改訂第 2 版，秀潤社，2020 年．　ISBN: 978-4-7809-0414-7

参考書

馬渕清資，医用機械工学，コロナ社，ISBN978-4-339-07111-5　西村生哉，臨床工学技士のための機械工学，コロナ社，ISBN978-4-339-07232-7

研究室／オフィスアワー

稲田：C 棟 7 階研究室 14　川村：C 棟 7 階共同研究室（職員室）火曜日 5 限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	医用機械工学概論	復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
2	力のつり合い	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
3	エネルギーと仕事	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
4	圧力１：圧力の基本的な概念	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
5	圧力２：医療で現れるさまざまな圧力	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
6	流体力学１：流体の運動	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
7	流体力学２：流体に関係する医療機器	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
8	音波と超音波	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
9	熱力学：熱現象	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
10	前半のまとめ	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
11	機械力学①（静力学と動力学）　目標：力の種類，力およびモーメントのつり合い，等加速度運動，	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2 時間）　復習：講義内容の復習（2 時間）	川村

	Newtonの運動法則，仕事とエネルギー，エネルギー保存則，等速円運動について理解する。		
12	機械力学②（機械的振動）　目標：単振動，減衰振動，強制振動について理解する。	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2時間）　復習：講義内容の復習（2時間）	川村
13	材料力学①（材料特性と応力―ひずみ曲線）　目標：応力とひずみ，応力とひずみに間にある関係性について理解する。	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2時間）　復習：講義内容の復習（2時間）	川村
14	材料力学②（材料の強度と応力集中）　目標：応力集中と安全率，降伏点を超えて生じる塑性変形について理解する。	予習：教科書を用いた講義内容の確認（2時間）　復習：講義内容の復習（2時間）	川村
15	材料力学③（粘弾性）　目標：時間経過によって生じる応力やひずみの変化を理解する。	予習：全講義内容，全演習問題の確認（2時間）　復習：全講義内容，全演習問題の復習（2時間）	川村
成績評価方法と基準			割合
１．　定期試験			１．　100%

授業科目名	バイオレオロジー（工学）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄／福島　修一郎／川村　勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

生体組織の力学的特性は弾性・粘性・塑性のいずれか 1 つに分類される単純なものではなく、これら 3 つの特性が混在した複雑な様相を呈する。こうした力学的特性を対象とする学問分野をレオロジーといい、とりわけ生体組織を対象とするレオロジーをバイオレオロジーという。血管の変形や血液の流動といった複雑な現象の理解には、単純化された数理モデルから出発することがその助けとなるため、単に現象の定性的記述にとどまらず、数式を用いた現象の表現などを教授する。

学修目標

バイオレオロジーを理解するための数学・物理学の基礎を理解する。循環器病の診断に用いられるカテーテルや超音波装置で得られる心臓や血管内の圧や血流速度の合理的解釈を身につける。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

やや高度な数学や物理学の理解が必要になります。数式が示す意味や物理的な解釈の方法に慣れてください。

教科書

無し。講義資料を配布する。

参考書

菅原基晃、前田信治 著、血流のレオロジー、コロナ社、2003

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階研究室 20/金曜日９時～１０時３０分　福島：E 棟１階非常勤講師控室／授業の前後のみ対応可能　川村：Ｃ棟７階教職員室／

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	入門、バイオレオロジーとは何か	予習：特になし　復習：講義資料の確認　小テスト　復習時間の目安は 4 時間	中沢　一雄 福島 修一郎 川村　勇樹
2	力学の基礎	予習：特になし　復習：講義資料の確認　小テスト　復習時間の目安は 4 時間	福島修一郎
3	固体の変形の記述方法	予習：材料力学　復習：講義資料の確認　小テスト　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	福島修一郎
4	流体の流動の記述方法	予習：流体力学　復習：講義資料の確認　小テスト　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	福島修一郎
5	“中間的性質（粘弾性）”をもつ物体の記述方法	予習：材料力学・流体力学　復習：講義資料の確認　小テスト　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	福島修一郎
6	生体組織のレオロジー的特性	予習：生体物性工学　復習：講義資料の確認　小テスト　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	福島修一郎
7	臨床工学における血液レオロジー	予習：血液ポンプと補助人工心臓　復習：授業資料の確認.　小テスト・レポート課題　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	福島修一郎
8	生体組織のバイオレオロジー　（骨・関節のレオロジーと人工股関節）	予習：弾性要素と粘性要素　復習：授業資料の確認.　小テスト　予習時間と復習時	川村　勇樹

		間の合算は 4 時間	
成績評価方法と基準			割合
①課題評価（小テスト・レポート課題）〈DP①〉			①100%

授業科目名	計測工学（工学）				
主担当教員	川村　勇樹		担当教員	川村　勇樹／井本　勝久	
科目ナンバリング	SS20BMEC005	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

生体医用計測機器は日進月歩で技術が進化しており、臨床工学に必須の技術であり、電子工学の応用である様々な手法が開発されている。生体情報の性質や生体計測法の基本技術である運動系、電気電子系、熱系、生体系の各システムにおいて利用されているセンサの原理、計測用センサについての電気・電子工学的知識を修得し、センシングを有した新たな機器・システム開発の基礎を修得し、医用計測の原理とその応用機器について学びます。

学修目標

1．生体計測の基礎が理解できる。〈DP①〉　2．医療現場で用いられる生体計測装置の構造と機能が理解できる。〈DP①〉　3．種々の測定機器の原理を知り、説明できる。〈DP①〉　4．アナログ式とディジタル式の測定器の、それぞれの特徴や長所を説明できる。〈DP①〉　5．応用技術が理解できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

電磁気学、電気回路、電子回路などに関する基礎的な知識と理解のあることが前提となります。　電気工学、電子工学を十分に復習しておいてください。

教科書

1．最新臨床工学講座 生体計測装置学　日本臨床工学技士教育施設協議会監修　医歯薬出版株式会社　ISBN：978-4263734629

参考書

1．臨床工学シリーズ 13　生体計測学　日本生体医工学会監修　コロナ社　ISBN：978-4-339-07113-9　2．臨床工学技士のための生体計測装置学　西村生哉，三田村好矩著　コロナ社　ISBN：978-4-339-07243-3　3．臨床工学技士国家試験 Check UP！医用治療機器学／生体計測装置学／医用機器安全管理学 2024　臨床工学技士国家試験研究会編　医歯薬出版株式会社　ISBN：978-4-263-73219-9　4．生体計測工学入門　橋本成広著　コロナ社　ISBN：978-4-339

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	単位系とトレーサビリティ:基本単位と組立単位 目標:日常的に使用されている単位を分類できるようになる。　基本単位の国家標準を知ることで、トレーサビリティを理解する。	予習：(1 時間)目的、授業計画、到達目標を知る。　復習：(1 時間)単位系、次元についてまとめる。	川村
2	誤差の種類と特徴　目標:計測すると必ず不随する誤差を理解し、正しい計測法を実施できるようになる。	予習：(1 時間)誤差について教科書を読む。　復習：(1 時間)系統誤差、偶然誤差についてまとめる。	川村
3	雑音とその対策　目標:信号に重畳した雑音の発生源と対策について知り、より良いデータを取得できる術を理解する。	予習：(1 時間)雑音について教科書を読む。　復習：(1 時間)雑音とその対策についてまとめる。	川村
4	差動増幅と CMRR　目標：差動増幅器の性能を表す CMRR について学び、雑音除去の方法を理解する。	予習：(1 時間)雑音について教科書を読む。　復習：(1 時間)差動増幅と CMRR についてまとめる。	川村
5	トランスデューサと入力インピーダンス　目標:計測対象の物理量を電気信号に変換するトランスデューサの種類と原理について理解する。	予習：(1 時間)トランスデューサについて調べる。　復習：(1 時間)トランスデューサについてまとめる。	川村
6	電極（Ag-AgCl 電極と接触インピーダンス）　目標:生体からの電気信号を取得するために貼付さ	予習：(1 時間)電極について調べる。　復習：(1 時間)電極についてまとめる。	川村

	れる電極の特性について理解する。		
7	抵抗型センサ(ストレインゲージ等)　目標:ストレインゲージの特性を理解する。　観血式血圧計で用いられる圧トランスデューサの機能を理解する。	予習：(1 時間)抵抗型センサについて調べる。　復習：(1 時間)抵抗型センサについてまとめる。	川村
8	圧センサ(変位→抵抗)　目標:ポテンショメータなどの変位を抵抗に変化させるトランスデューサの仕組みを理解する。　その他の変位・力センサとして差動トランスや感圧ダイオードについて知ること。	予習：(1 時間)圧センサについて調べる。 復習：(1 時間)圧センサについてまとめる。	川村
9	圧センサ(圧電素子)　目標:力および振動を起電力に変換する圧電効果について理解する。圧力と起電力の関係から、超音波振動子へ応用できることを理解する。	予習：(1 時間)圧電素子について調べる。 復習：(1 時間)圧電素子についてまとめる。	川村
10	超音波センサ１　目標:超音波の基本的性質を理解する。　圧電素子によって、超音波を電気信号の変換できることを理解する。	予習：(1 時間)超音波について調べる。　復習：(1 時間)超音波についてまとめる。	川村
11	超音波センサ２　目標：超音波を用いた計測法（超音波ドプラ法,トランジット法)を理解する。	予習：(1 時間)ドプラ法について調べる。 復習：(1 時間)ドプラ法についてまとめる。	川村
12	温度センサ１　目標:温度を電気抵抗に変換するサーミスタについて理解する。　主に腋窩温を測定する電子体温計の仕組みと特徴を理解する。	予習：(2 時間)サーミスタについて調べる。 復習：(2 時間)サーミスタについてまとめる。	川村
13	温度センサ２　目標:赤外線を利用する熱電対とゼーベック効果について理解する。　温度の非接触測定法（鼓膜式体温計やサーモグラフィ）の原理を理解する。	予習：(1 時間)サーモパイルについて調べる。　復習：(1 時間)サーモパイルについてまとめる。	川村
14	光センサ１　目標:光を電気信号に変換するトランスデューサの種類と原理を理解する。	予習：(1 時間)光センサについて調べる。 復習：(1 時間)光センサについてまとめる。	川村
15	光センサ２　目標:赤色光と赤外光を用いて非接触で動脈血酸素飽和度を測定するパルスオキシメータの測定原理を理解する。　赤外光で呼気二酸化炭素分圧を測定するカプノメータの測定原理について理解する。	予習：(1 時間)赤外光について調べる。　復習：(1 時間)赤外光についてまとめる。	川村
成績評価方法と基準			割合
①中間試験<DP①>　②定期試験<DP①>　出席基準：2/3 以上			① 30%　② 70%

授業科目名	生体情報処理工学（工学）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄／稲田　慎	
科目ナンバリング	SS20BMEB006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

生体情報の基礎となる知識を身につける、特に脳神経系および心臓循環器系の情報処理機構を学び、AI を含めた生体情報の理論的基礎や処理手法について学習する。さらに、医用画像処理や人工心臓についても基本知識や最新の研究成果などについて知識を広める。

学修目標

脳神経系および心臓循環器系を中心に種々の生体情報の特性を理解する。〈DP①〉　生体情報のデータ処理やモデル・シミュレーションの手法の考え方を身につける。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床工学技士として業務に役立つ知識を身につけ、できれば研究分野への応用にも興味を広げてほしいと思います。

教科書

無し。講義資料を配布する。

参考書

授業の中で紹介します。

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階研究室 20/金曜日金曜日９時～１０時３０分　稲田：C 棟 7 階研究室 14/金曜日 3 時限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：生体の情報処理に学ぶ	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポートの作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄
2	脳神経系の情報処理（１）：ニューロンと神経回路	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄
3	脳神経系の情報処理（２）　学習・記憶・AI	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄
4	脳の疾患と外科治療:脳神経外科領域での手術支援の進歩	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄（ゲストスピーカ）
5	脳神経系の情報処理（３）：AI その２	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄
6	脳神経系の情報処理（４）：AI　その３	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄
7	心臓循環器系の情報処理（１）：心臓の機能と構造，心臓電気生理学概論	予習：特になし　復習：講義資料、講義内容の確認　学習所要時間の目安：4 時間	稲田慎
8	心臓循環器系の情報処理（２）：心電図解析による不整脈発生起源の同定	予習：特になし　復習：講義資料、講義内容の確認　学習所要時間の目安：4 時間	稲田慎
9	心臓循環器系の情報処理（３）：計算科学概論，活動電位モデル・心臓形状モデルの構築	予習：特になし　復習：講義資料、講義内容の確認　学習所要時間の目安：4 時間	稲田慎
10	心臓循環器系の情報処理（４）：計測とシミュレーションによる心臓刺激伝導系の解析	予習：特になし　復習：講義資料、講義内容の確認　学習所要時間の目安：4 時間	稲田慎
11	心臓循環器系の情報処理（５）：スーパーコンピュータを用いた大規模シミュレーションによる不整脈	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	稲田　慎
12	人工心臓:血液循環に使用される医療機器の解説	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄（ゲストスピーカ

			ー）
13	医用画像処理（１）	予習：特になし　　復習：講義資料の確認 レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄（ゲストスピーカ）
14	医用画像処理（２）	予習：特になし　　復習：講義資料の確認 レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄（ゲストスピーカ）
15	医用画像処理（３）	予習：特になし　　復習：講義資料の確認 レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢一雄（ゲストスピーカ）
成績評価方法と基準			割合
課題評価（レポート提出、小テストなど）〈DP①〉			100%

授業科目名	医用機器学概論（工学）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／井本　勝久／川村　勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEB007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医用機器の全体像と臨床医療における医用機器の役割を教授する。

具体的には、医療現場で使用される様々な医療機器について、基本的な原理、構造、使用方法、安全管理について学習する。医療機器の定義や安全対策から始まり、生命維持管理装置（人工心肺装置、人工呼吸器、人工腎臓装置）、医用物品、治療機器、手術機器、各種計測機器について詳しく学ぶ。医療の高度化に伴い重要性が増している医療機器について、その特性や使用上の注意点を理解し、安全かつ効果的な運用能力を養うことを目指す。

※本科目は臨床工学技士の実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 様々な医療機器の構造・機能の特徴・概要について説明できる。〈DP①④〉

2. 第 2 種 ME 検定試験問題に対応できる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

「授業計画」欄に記載されている内容に相当する部分を予め調べ、講義後は、疑問点を放置せず、自ら解決できるように努力し、授業内容を自分自身の言葉でまとめ直すこと。

教科書

臨床工学技士標準テキスト　ISBN978-4-307-77180-1

参考書

ME の基礎知識と安全管理改訂第 6 版　（監修）日本生体医工学会 ME 技術教育委員会　南江堂　ISBN:　978-4-524-26959-4

医療機器＆材料ディテールＢＯＯＫ 医学通信社　ISBN: 978-4-87058-660-4

「イラスト図解医療機器と検査・治療のしくみ」日本実業出版社

研究室／オフィスアワー

研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療機器とは	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
2	医療機器の安全対策	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	布江田
3	医療機器の安全基準と分類	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	布江田
4	生体代行装置 1（人工心肺装置）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
5	生体代行装置 2（人工呼吸器）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本

6	生体代行装置 3（人工透析）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
7	医用物品 1（シリンジ、輸液セット等）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
8	医用物品 2（カテーテル等）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習：キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
9	清潔・無菌操作、薬剤容器の種類	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習:キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
10	治療機器（輸液ポンプ、除細動等）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習:キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
11	手術機器（電気メス、レーザメス等）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習:キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
12	計測機器 1（心電計、脳波計、筋電計）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習:キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
13	計測機器 2（パルスオキシメータ）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習:キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	川村
14	計測機器 3（血圧計、体温計等）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習:キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本
15	計測機器 4（画像診断装置）	予習：シラバス確認・講義内容の把握 復習:キーワードの確認・授業をもとに自己学習ノート作成	井本

成績評価方法と基準	割合
1. 平常点評価（受講態度、小テスト、課題）＜DP①④＞ 2. 定期試験　出題範囲:授業内に扱った全範囲（配布したプリントも含む）＜DP①④＞ 3. 2/3 回以上出席が必要である。 【フィードバック方法】 講義前に、前回の復習を行う。 MORIPA「テスト管理」のフィードバック機能を活用する。 小テストまたは課題の提出締切後に講評を発表する。	1．30% 2．70%

授業科目名	生体計測装置学（工学）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／藤江　建朗／石川　倫子	
科目ナンバリング	SS20BMEC008	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

生体計測は様々な生体現象を計測対象としている。従って、生体現象である能動的電気現象、熱輸送現象、生体内圧や血流等の物理現象及び受動的物理エネルギの反応現象を理解するために、生体電気計測機器、生体温度計測機器、血圧・血流計測機器、呼吸機能計測機器及び画像計測機器の原理、仕組み、得られるデータの特性などについて学びます。

学修目標

1. 生体計測装置学の原理を理解するための電気・電子工学の知識を深める。〈DP①〉 2. 生体計測装置により計測させる生体現象を理解するように努める。〈DP①〉 3. 生体計測装置の原理を理解し、その特徴を説明できるようにする。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書の「授業計画」欄に記載されている内容に相当する部分を予め読み、講義後は、疑問点を放置せず、自ら解決できるように努力し、授業内容を自分自身の言葉でまとめ直すこと。

教科書

臨床工学講座 生体計測装置学　日本臨床工学技士教育施設協議会監修　医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-73462-9

参考書

最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子・川良徳弘緒　医歯薬出版 ISBN-13: 978-4263223680　ME の基礎知識と安全管理　南江堂　ISBN:　978-4-524-26959-4

研究室／オフィスアワー

（臨床工学科）C 棟 7 階　個人研究室　※各教員、不在日が異なるため訪問の際は必ず事前予約をしてください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生体情報の計測に用いる生体計測装置について	予習：(２時間)目的、授業計画、到達目標を知る。　復習：(２時間)授業内容をノートにまとめる。	布江田
2	血圧計、脈波	予習：(２時間)血圧計、脈波について教科書を読む。　復習：(２時間)授業内容をノートにまとめる。	石川
3	血流計	予習：(２時間)血流計について教科書を読む。　復習：(２時間)授業内容をノートにまとめる。	布江田
4	超音波	予習：(２時間)超音波について教科書を読む。　復習：(２時間)授業内容をノートにまとめる。	石川
5	心拍出量計	予習：(２時間)心拍出量計について教科書を読む。　復習：(２時間)授業内容をまとめる。	布江田
6	心電計	予習：(２時間)心電計について教科書を読む。　復習：(２時間)授業内容をまとめる。	藤江
7	脳波計	予習：(２時間)脳波計について教科書を読む　復習：(２時間)脳波計についてまとめる。	石川
8	筋電計	予習：(２時間)筋電計について教科書を読む。　復習：(２時間)筋電計についてまとめる。	石川

9	呼吸機能計測機器	予習：(２時間)呼吸機能計測機器について教科書を読む。　復習：(２時間)呼吸機能計測機器についてまとめる。	藤江
10	血液ガス分析装置	予習：(２時間)血液ガス分析装置について教科書を読む。　復習：(２時間)血液ガス分析装置についてまとめる	布江田
11	X 線と X 線 CT 装置	予習：(２時間)X 線と X 線 CT 装置について教科書を読む。　復習：(２時間)X 線と X 線 CT 装置についてまとめる。	石川
12	核磁気共鳴画像計測装置	予習：(２時間)核磁気共鳴画像計測装置について教科書を読む。　復習：(２時間)核磁気共鳴画像計測装置についてまとめる。	石川
13	内視鏡装置	予習：(２時間)内視鏡装置について教科書を読む。　復習：(２時間)内視鏡装置についてまとめる。	布江田
14	体温計	予習：(２時間)体温計ついて教科書を読む。復習：(２時間)体温計についてまとめる。	布江田
15	生体計測装置のまとめ　到達度テスト	予習：(２時間)これまでの講義について振り返る　復習：(２時間)疑問点を解決する。	布江田
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①平常点評価（受講態度、小テスト<DP①>など）　②定期試験<DP①>　【フィードバック方法】　小テスト・レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭または MOIRIPA「課題管理」内のフィードバック機能を活用する。			①　30%　②　70%

授業科目名	生体計測装置学実習（工学 B）				
主担当教員	大久保 さやか		担当教員	大久保 さやか／小宮山 恭弘／脇 英彦／布江田 友理／藤江 建朗／玉元 由果莉／川村 勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限、金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

生体計測装置は日進月歩で技術が進化しており、臨床工学に必須の技術であり、電子工学の応用である様々な手法が開発されている。生体情報の性質や生体計測法の基本技術である電気的手法、物理学的手法に基づく生体計測の機器構成とその操作法について実習を通して学修する。

学修目標

1. 生体計測装置の原理や構造について理解する。〈DP①④〉 2. 生体計測装置の適切な操作および保守点検ができるようになる。〈DP①④〉 3. 生体計測装置の検査結果を理解し、生理的現象について理解できるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。　人体の構造と機能および臨床生理学について復習し、生体計測装置学や計測工学で学んだ知識を実習で整理できるよう取り組んでください。　注意事項：無断の遅刻・欠席は厳禁。白衣、実習書は持参するように。

教科書

臨床工学講座 生体計測装置学　日本臨床工学技士教育施設協議会監修　医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-73462-9

参考書

最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子・川良徳弘緒　医歯薬出版 ISBN-13: 978-4263223680

研究室／オフィスアワー

各実習担当のオフィスアワーに準じる。　事前にメールなどで予約を取ることを推奨する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認　復習：注意事項の確認予習　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	大久保
2	観血式血圧計	予習：観血式血圧計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
3	血圧脈波検査装置	予習：血圧脈波検査装置について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
4	レイノルズ数計測	予習：レイノルズ数について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
5	スパイロメータ・カプノメータ・PSG	予習：スパイロメータ・カプノメータ・PSG について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保

6	非観血圧計まとめ　到達度テスト	予習：非観血式血圧計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
7	血流計	予習：血流計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
8	心電図検査	予習：心電計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
9	負荷心電図	予習：負荷心電図の種類について調べる 復習：負荷心電図の意義についてまとめる 1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
10	呼吸機能検査実習1	予習：呼吸機能検査について教科書を読む 復習:実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
11	呼吸機能検査実習2	予習：呼吸機能検査について教科書を読む 復習:実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
12	筋電図検査(神経伝導速度検査)	予習：筋電図検査について教科書を読む 復習:実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
13	超音波検査1 Bモード法	予習：超音波査について教科書を読む　復習：実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
14	超音波検査2 カラードプラ法	予習：超音波査について教科書を読む　復習：実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
15	超音波検査3 FFT解析	予習：超音波査について教科書を読む　復習：実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
成績評価方法と基準			割合
全実習の出席が望ましい。各項目のレポートを提出することが必要である。　①課題評価（レポート提出、内容など）<DP①④>　③定期試験<DP①④>　　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭またはMOIRIPA「課題管理」内のフィードバック機能を活用する。			1. 60%　3. 40%

授業科目名	生体計測装置学実習（工学 A）				
主担当教員	大久保 さやか		担当教員	大久保 さやか／小宮山 恭弘／脇 英彦／布江田 友理／藤江 建朗／玉元 由果莉／川村 勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限、金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

生体計測装置は日進月歩で技術が進化しており、臨床工学に必須の技術であり、電子工学の応用である様々な手法が開発されている。生体情報の性質や生体計測法の基本技術である電気的手法、物理学的手法に基づく生体計測の機器構成とその操作法について実習を通して学修する。

学修目標

1. 生体計測装置の原理や構造について理解する。〈DP①④〉 2. 生体計測装置の適切な操作および保守点検ができるようになる。〈DP①④〉 3. 生体計測装置の検査結果を理解し、生理的現象について理解できるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。　人体の構造と機能および臨床生理学について復習し、生体計測装置学や計測工学で学んだ知識を実習で整理できるよう取り組んでください。　注意事項：無断の遅刻・欠席は厳禁。白衣、実習書は持参するように。

教科書

臨床工学講座 生体計測装置学　日本臨床工学技士教育施設協議会監修　医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-73462-9

参考書

最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子・川良徳弘緒　医歯薬出版 ISBN-13: 978-4263223680

研究室／オフィスアワー

各実習担当のオフィスアワーに準じる。　事前にメールなどで予約を取ることを推奨する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認　復習：注意事項の確認予習　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	大久保
2	観血式血圧計	予習：観血式血圧計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
3	血圧脈波検査装置	予習：血圧脈波検査装置について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
4	レイノルズ数計測	予習：レイノルズ数について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
5	スパイロメータ・カプノメータ・PSG	予習：スパイロメータ・カプノメータ・PSG について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保

6	非観血圧計まとめ　到達度テスト	予習：非観血式血圧計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
7	血流計	予習：血流計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江、布江田、川村、大久保
8	心電図検査	予習：心電計について教科書を読む。　復習：実習結果からレポートを作成する。1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
9	負荷心電図	予習：負荷心電図の種類について調べる 復習：負荷心電図の意義についてまとめる 1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
10	呼吸機能検査実習1	予習：呼吸機能検査について教科書を読む 復習:実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
11	呼吸機能検査実習2	予習：呼吸機能検査について教科書を読む 復習:実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
12	筋電図検査(神経伝導速度検査)	予習：筋電図検査について教科書を読む 復習:実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
13	超音波検査1 Bモード法	予習：超音波査について教科書を読む　復習：実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
14	超音波検査2 カラードプラ法	予習：超音波査について教科書を読む　復習：実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
15	超音波検査3 FFT解析	予習：超音波査について教科書を読む　復習：実習内容についてまとめる　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	小宮山　脇
成績評価方法と基準			割合
全実習の出席が望ましい。各項目のレポートを提出することが必要である。　①課題評価（レポート提出、内容など）<DP①④>　③定期試験<DP①④>　　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭またはMOIRIPA「課題管理」内のフィードバック機能を活用する。			1. 60%　3. 40%

授業科目名	医用治療機器学（工学）				
主担当教員	中村　有希		担当教員	中村　有希／辻　義弘／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC010	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限、水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床医学における治療には様々あり、薬剤療法における内科的療法、手術や人工臓器療法を中心とした外科的療法、物理エネルギーを用いた理学・放射線療法、精神療法に大別される。最近では、薬剤と何らかの物理的作用を併用した薬剤溶出性ステントや、画像支援下のナビゲーション手術による経内視鏡や経カテーテル的治療法があり、治療機器を用いて治療が行われることが多い。そのため、臨床工学技士の業務内容は拡大しており、原理や機能、操作運用、保守管理に関わる基礎知識をもつ必要がある。本講義では、各治療機器の原理および構造を学び、治療効果ならびに保守管理技術を教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1.　医用治療機器学における各機器について、原理構造、操作運用、保守管理に関わる基礎知識を深め、理解する。〈DP①④〉　2.　臨床工学技士国家試験の範囲内容を理解する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

「授業計画」欄に記載されている内容に相当する部分を予め読み、講義後は、疑問点を放置せず、自ら解決できるように努力し、授業内容を自分自身の言葉でまとめ直すこと。

教科書

最新臨床工学講座 医用治療機器学 医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-73461-2

参考書

ME の基礎知識と安全管理　　南江堂　ISBN:978-4-524-24656-4

研究室／オフィスアワー

各教員　適宜相談に応じる

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	治療の基礎	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	中村 有希
2	電磁気治療機器(除細動器、AED、ICD)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	中村 有希
3	内視鏡・手術支援ロボット	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	中村 有希
4	機械的治療機器(吸引器)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	中村 有希
5	機械的治療機器　(輸液ポンプとシリンジポンプ)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	楠元 直樹
6	熱治療機器	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	楠元 直樹
7	超音波治療機器	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノート	楠元 直樹

		の完成(2 時間)	
8	電磁気治療機器(電気メス･マイクロ波手術装置)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	楠元 直樹
9	カテーテルアブレーション装置	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保 さやか
10	心臓ペースメーカー(体外式・体内式 PM と CRT)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保 さやか
11	機械的治療機器(大動脈と末梢血管に対するインターベンション)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保 さやか
12	機械的治療機器(冠動脈インターベンション)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保 さやか
13	光治療機器	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	辻 義弘
14	機械的治療機器(結石砕石装置)	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	辻 義弘
15	講義全体のまとめ	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	中村 有希
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①平常点評価（受講態度、講義内で行われた小テストまたは課題を含む）　②試験評価＜DP①④＞　　＜フィードバックの方法＞　講義開始前に、前回の復習を行う。　小テストまたは課題について、講義後に講評を発表する。			①20% ②80%

授業科目名	医用治療機器学実習（工学 B）				
主担当教員	中村　有希		担当教員	中村　有希／辻　義弘／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限、水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

生体に物理的エネルギーを加えて治療を行う医療機器について、原理や構造を含めて治療効果および組織障害などの副作用について、医用治療機器学で学修しました。本講義では、その知識をもとに、実際に治療機器を触れながら、治療機器の原理および操作方法、保守管理技術を学修する。さらに、医用治療機器の概要及び注意点について説明できる能力を身につける。

学修目標

1. 医用治療機器の機能および構造と保守管理技術を理解させ、実践できる。<DP①④>　2. 医用治療機器に用いる物理エネルギーによる生体および他の機器への影響を理解し、説明できる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

無断の遅刻・欠席は厳禁です。外部講師を招待するため、臨床実習を想定し、実習に取り組んで下さい。　あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。　白衣を着用しなければ、受講できません。

教科書

実習前に配布される実習書や参考資料（プリント）

参考書

開講中の医用治療機器学および２年までに開講された医用工学、医用機器学概論、の教科書・講義資料　・ME の基礎知識と安全管理　南江堂　ISBN: 978-4-524-20417-5　・最新臨床工学講座 医用治療機器学 医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-73461-2

研究室／オフィスアワー

各実習担当のオフィスアワー

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
2	【ブタ心臓解剖】構造の理解	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
3	【不整脈解析装置】特性･原理･操作技術の演習･実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
4	【心臓ペースメーカ】特性・原理の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
5	【心臓ペースメーカ】操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元

		含む）を行う。	直樹
6	【心臓ペースメーカ】保守点検の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
7	【電気手術器】特性・原理操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
8	【経皮的血管内治療器】特性・原理の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
9	【経皮的血管内治療器】操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
10	【内視鏡外科・内科手術器】特性・原理の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
11	【内視鏡外科・内科手術器】操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
12	【超音波凝固切開装置】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
13	【光学治療機器】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
14	【冷凍手術器】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
15	【仙骨刺激装置・脳深部刺激装置】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席が必要であるが、全実習の出席を求む。　また、各項目のレポートを提出することが必要であり、提出遅れは減点とする。　①平常点評価（受講態度、発表内容、議論への貢献度など）＜DP①④＞　②課題評価（レポート提出、内容など）＜DP①④＞　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭または MOIRIPA「課題管理」内のフィードバック機能を活用する。			①10%　②90%

授業科目名	医用治療機器学実習（工学 A）				
主担当教員	中村　有希		担当教員	中村　有希／辻　義弘／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限、水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

生体に物理的エネルギーを加えて治療を行う医療機器について、原理や構造を含めて治療効果および組織障害などの副作用について、医用治療機器学で学修しました。本講義では、その知識をもとに、実際に治療機器を触れながら、治療機器の原理および操作方法、保守管理技術を学修する。さらに、医用治療機器の概要及び注意点について説明できる能力を身につける。

学修目標

1. 医用治療機器の機能および構造と保守管理技術を理解させ、実践できる。<DP①④>　2. 医用治療機器に用いる物理エネルギーによる生体および他の機器への影響を理解し、説明できる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

無断の遅刻・欠席は厳禁です。外部講師を招待するため、臨床実習を想定し、実習に取り組んで下さい。　あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。　白衣を着用しなければ、受講できません。

教科書

実習前に配布される実習書や参考資料（プリント）

参考書

開講中の医用治療機器学および２年までに開講された医用工学、医用機器学概論、の教科書・講義資料　・ME の基礎知識と安全管理　南江堂　ISBN: 978-4-524-20417-5　・最新臨床工学講座 医用治療機器学 医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-73461-2

研究室／オフィスアワー

各実習担当のオフィスアワー

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
2	【ブタ心臓解剖】構造の理解	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
3	【不整脈解析装置】特性･原理･操作技術の演習･実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
4	【心臓ペースメーカ】特性・原理の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
5	【心臓ペースメーカ】操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元

		含む）を行う。	直樹
6	【心臓ペースメーカ】保守点検の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
7	【電気手術器】特性・原理操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
8	【経皮的血管内治療器】特性・原理の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
9	【経皮的血管内治療器】操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
10	【内視鏡外科・内科手術器】特性・原理の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
11	【内視鏡外科・内科手術器】操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
12	【超音波凝固切開装置】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
13	【光学治療機器】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
14	【冷凍手術器】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
15	【仙骨刺激装置・脳深部刺激装置】特性・原理・操作技術の演習・実習	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	中村 有希・辻 義弘・ 大久保 さやか・楠元 直樹
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席が必要であるが、全実習の出席を求む。　また、各項目のレポートを提出することが必要であり、提出遅れは減点とする。　①平常点評価（受講態度、発表内容、議論への貢献度など）＜DP①④＞　②課題評価（レポート提出、内容など）＜DP①④＞　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭または MOIRIPA「課題管理」内のフィードバック機能を活用する。			①10%　②90%

授業科目名	画像診断装置学（工学）				
主担当教員	楠元 直樹		担当教員	楠元 直樹／山口 功	
科目ナンバリング	SS20BMEB012	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜1限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

人体を傷つけることなく、外部からは目視できない生体内部を画像化し、断層像や3次元画像を得る医用画像装置の普及は目覚ましいものがある。本講義では、臨床現場で利用されているX線撮影装置、X線CT装置、MRI装置、核医学診断装置などの原理を学び、さらに医用画像装置の臨床応用から安全管理に至るまで幅広く講義する。また、臨床現場で利用されている医用画像分野における情報通信工学の技術者となるために必要な基礎知識を習得する。

学修目標

1. 各種医用画像装置の撮像原理、構造、要素技術の概要を理解する。<DP①> 2. 各種医用画像装置の臨床での役割、臨床工学技士との関わりおよび各種医用画像の特徴を理解する。<DP①> 3. 各種医用画像装置の安全管理方法の概要を理解する。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。 2. 授業を受講するマナーを守ること。

教科書

「≪系統看護学講座 別巻≫ 臨床放射線医学（第10版)」 医学書院 尾尻博也 ISBN：978-4-260-04217-8

参考書

「臨床工学講座 生体計測装置学」 医歯薬出版 石原謙 ISBN：978-4-263-73406-3

研究室／オフィスアワー

南棟7階（楠元)、さくら棟5階研究室（山口）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	【概要】 画像診断装置学について	予習：シラバスと教科書・参考書を確認する（2時間） 復習：放射線工学概論で学ぶ内容と学習計画を立てる（2時間）	楠元
2	【X線画像計測】 透過像計測①	予習：教科書p30-51を確認する（2時間） 復習：X線検査について整理しノートにまとめる（2時間）	山口
3	【X線画像計測】 透過像計測②	予習：教科書p158-177を確認する（2時間） 復習：IVR・血管造影検査について整理しノートにまとめる（2時間）	山口
4	【X線画像計測】 X線CT	予習：教科書p54-73を確認する（2時間） 復習：X線CT検査について整理しノートにまとめる（2時間）	山口
5	【核磁気共鳴画像計測】 MRI	予習：教科書p78-97を確認する（2時間） 復習：MRI検査について整理しノートにまとめる（2時間）	山口
6	【RIによる画像計測】 SPECT・PET	予習：教科書p128-155を確認する（2時間） 復習：核医学検査について整理しノートにまとめる（2時間）	山口
7	【放射線機器の安全管理】	予習：放射線機器の安全管理について調べる（2時間） 復習：医療機器の安全管理体制について整理しノートにまとめる（2時間）	山口

8	【総括】 画像診断装置学のまとめ　学習到達度の確認テスト	予習：第 1 回～第 7 回の授業内容を復習する（2 時間）　復習：確認テストを見直して復習する（2 時間）	山口
成績評価方法と基準			割合
① 学習到達度の確認テスト　② 授業に取り組み姿勢　　・試験・課題に対するフィードバック方法 確認テストは基本的に返却しないが、希望者には評価を開示する。			①80%　②20%

授業科目名	体外循環装置学（工学）				
主担当教員	加納　寛也		担当教員	加納　寛也／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEB014	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

生命維持管理装置の一つである人工心肺システムを構成する材料をはじめ血液ポンプ、人工肺、フィルター、リザーバなどについてその基礎から最新の技術面を含めて教授する。まず、血液ポンプ、人工肺、人工心肺の原理と構成について解説する。次に血液に対する影響、内分泌、免疫への影響、循環動態などの体外循環の病態生理について解説し、さらに人工心肺充填液、適正灌流量、モニタリング、心筋保護などの体外循環技術を学習させる。また体外循環のトラブル対策、合併症など安全管理について教授する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

人工心肺の歴史から現在の臨床現場で使用されているシステム構成と特徴が説明できる。<DP①>　体外循環の病態生理が説明できる。<DP①>　人工心肺装置の操作に必要なモニターや充填液組成、心筋保護液組成などが説明できる。<DP①>　人工心肺装置のトラブルや合併症の対策について、説明できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

人工心肺装置は、全身の生理学や解剖学、血液学など、非常に多岐にわたる基礎知識を患者さんの病態に合わせて結びつけながら学習しなければなりません。さらに人工心肺の管理中は、非生理学と言われる程、人体は非常に特殊な状況になります。　予習・復習を必ず実施してください。

教科書

臨床工学講座「生体機能代行装置学　体外循環装置」、医歯薬出版株式会社、監修：一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会　編集：見目 恭一、福長 一義、ISBN978-4-263-73411-7 C3347　最新人工心肺　理論と実際　：　名古屋大学出版会　ISBN 978-4-8158-1171-6 C3047

参考書

日本体外循環技術医学会ホームページ「http://jasect.sakura.ne.jp/」　近畿地方会ホームページ「http://jasect-k.umin.jp/」

研究室／オフィスアワー

金曜日以外、随時アポイント

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	人工心肺とは（血液ポンプ）	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納　楠元
2	人工心肺とは（人工肺）	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納　楠元
3	人工心肺回路１	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納　楠元
4	人工心肺回路２	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納

5	人工心肺と生体機能１	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
6	人工心肺と生体機能２	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
7	人工心肺と生体機能３	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
8	振り返りおよび中間テスト	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納　楠元
9	心筋保護	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
10	人工心肺の実際１	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
11	人工心肺の実際２	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
12	人工心肺の実際３	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
13	人工心肺の安全管理	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
14	補助循環	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納
15	総括　試験	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて自修を１時間実施する。	加納　楠元
成績評価方法と基準			割合
1、中間テスト(DP1)　2、定期テスト(DP1)　フィードバック：中間評価のみ翌週返却			1、 30%　2、 70%

授業科目名	体外循環療法学（工学）				
主担当教員	加納　寛也		担当教員	加納　寛也	
科目ナンバリング	SS20BMEC015	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生命維持管理装置の一つである人工心肺装置を必要とする心臓血管外科手術の主な対象疾患である、虚血性心疾患・心臓弁膜症・大血管疾患・静脈疾患・先天性心疾患などを解説し、これら疾患に対する人工心肺操作の必要性に繋げ心臓血管外科手術内容の理解を深め、人工心肺装置にかかわる合併症などについても教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

人工心肺の構成、原理が説明できる DP1　各疾患ごとの病態生理が説明できる DP1　各疾患に対する人工心肺操作の手順、原理について説明できる DP1

履修上の注意(学生へのメッセージ)

心臓血管外科手術は他の外科的手術とは異なり、特異性が増します。人工心肺装置と患者が手術中に繋がるなかで、その疾患を理解した人工心肺管理ができるよう身につけてください。体外循環学はもちろん病理学、血液学など幅が広いですが、気になることは調べて予習復習に取り組んでください。

教科書

最新人工心肺　理論と実際　第 6 版　：名古屋大学出版　　ISBN 978-4-8158-1171-6　臨床工学技士標準テキスト　第４版　：金原出版　臨床工学講座　生体機能代行装置学　体外循環、医歯薬出版株式会社（2 年後期：体外循環装置学指定教科書）

参考書

日本循環器学会ガイドラインシリーズ　http://j-circ.or.jp/guideline/　体外循環装置学で使用した資料一式　心臓血管外科手術のまずはここから：メジカルビュー社　心臓血管外科手術エクセレンス・弁膜症の手術：中山書店　心臓血管外科手術エクセレンス２弁膜症の手術：中山書店　心臓血管外科手術エクセレンス・冠動脈疾患の手術：中山書店　心臓血管外科手術エクセレンス・大動脈疾患手術：中山書店　臨床工学技士イエローノート（臨床編）：メジカルビュー社

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階：研究室 21（事前予約制：金曜日を除く）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心臓血管外科手術とは	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
2	人工心肺歴史/静脈疾患	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
3	虚血性心疾患	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
4	弁膜症疾患	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納

5	心不全	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
6	大動脈疾患（大動脈瘤）	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
7	大動脈疾患（急性大動脈解離）	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
8	１～７回までのまとめと中間評価	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
9	先天性心疾患	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
10	急性大動脈解離に合併する臓器灌流不全	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
11	胸腹部大動脈疾患１	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
12	胸腹部大動脈疾患２	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
13	急性大動脈解離に合併する臓器灌流不全	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
14	特殊症例	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納
15	総論、まとめおよび評価	予習：今までの講義内容に沿った教科書および参考資料、作成ノートを用いて確認復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深めこれまでの項目において自宅で合計 30 時間程度の自己学習をしておくこと	加納
成績評価方法と基準			割合
1、中間テスト(DP1)　2、定期テスト(DP1)　フィードバック：中間評価のみ翌週に解答返却			1、 30%　2、 70%

授業科目名	体外循環実習（工学 B）				
主担当教員	加納　寛也		担当教員	加納　寛也／中村　有希／楠元　直樹／渡邉　恵三	
科目ナンバリング	SS20BMEC016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

体外循環装置学、体外循環療法学を教授し、実際の人工心肺装置や補助循環装置に触れ操作し、実臨床で必要な技術知識を習得させる。実臨床に近い形で、シミュレータを用いた人工心肺操作や、トラブルシューティング等を習得し、模擬患者情報の収集から手術プランまでのカンファレンスを実施し、各疾患症例に対する人工心肺プランの提示、模擬手術の実際にいたるまで教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1、人工心肺回路のプライミングができる〈DP①④〉 2、心疾患の症例に応じた手術プラン、人工心肺管理プランの提示ができる〈DP①④〉 3、人工心肺操作を振り返り、術後経過についてプレゼンテーションができる〈DP①④〉 4、補助循環(ECMO/IABP/人工心臓)について理解できる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習毎にて学生自身で手順書を作成しまとめていきます。体外循環装置学、体外循環療法学を十分に復習し理解したうえで実習に挑んでください。(購入した白衣・ズボン・シューズ持参の事)　病院での業務同様に準備から実習となります。2 班に分け各項目を隔週で行い、班別からさらに２グループに分けし実習します。実習室内での行動は病院内での行動と同様と考えてください。(実習態度評価)　時間厳守で開始できるよう事前確認を担当教員に確認してください

教科書

動画と写真でまるわかり　体外循環　(秀潤社)　ISBN 978-4-7809-0451-2　臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7　体外循環装置学および体外循環療法学に使用した教科書、資料

参考書

日本循環器学会ガイドラインシリーズ　http://j-circ.or.jp/guideline/　関連する講義で用いた資料、参考書

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階：教職員室、研究室 21（事前予約制、金曜日不在：加納）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション・模擬患者カンファレンス	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時間以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
2	人工心肺回路プライミング①遠心ポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
3	人工心肺回路プライミング①遠心ポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉

4	人工心肺回路プライミング②ローラーポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
5	人工心肺回路プライミング②ローラーポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
6	流量計測（ポンプ流量実測定、吸引ポンプ含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
7	流量計測（ポンプ流量実測定、吸引ポンプ含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
8	補助循環：ECMO/IABP（原理、保守点検含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
9	補助循環：ECMO/IABP（原理、保守点検含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
10	模擬手術 1（遠心ポンプ:患者シミュレータ使用）の実施	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
11	模擬手術 1（遠心ポンプ:患者シミュレータ使用）の実施	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
12	模擬手術２（ローラポンプ：シミュレーター未使用、VR 使用）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
13	模擬手術２（ローラポンプ：シミュレーター未使用、VR 使用）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
14	人工心臓：体外式補助人工心臓、埋込型補助人工心臓（構造、機能確認）	予習：模擬手術の実際の手順を班員で話し合いまとめ 5 分のスライドを作成する。 復習：各班の模擬手術の実際をまとめ、わか	加納　中村 楠元　渡邉

		らなかったことを自己学習で 2 時以上は調べる	
15	人工心臓：体外式補助人工心臓、埋込型補助人工心臓（構造、機能確認）	予習：模擬手術の実際の手順を班員で話し合いまとめ班ごとに発表 5 分のスライドを作成する。　復習：各班の模擬手術の実際をまとめ、わからなかったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
成績評価方法と基準			割合
1、課題評価（レポート提出内容、期限内厳守、班・チームごとにおける実習に対する協力体制、実習態度など）、模擬手術実技対応〈DP①④〉　フィードバック：モリパを通じコメント記載。レポートの返却はしない。			1、100%

授業科目名	体外循環実習（工学 A）				
主担当教員	加納　寛也		担当教員	加納　寛也／中村　有希／楠元　直樹／渡邉　恵三	
科目ナンバリング	SS20BMEC016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

体外循環装置学、体外循環療法学を教授し、実際の人工心肺装置や補助循環装置に触れ操作し、実臨床で必要な技術知識を習得させる。実臨床に近い形で、シミュレータを用いた人工心肺操作や、トラブルシューティング等を習得し、模擬患者情報の収集から手術プランまでのカンファレンスを実施し、各疾患症例に対する人工心肺プランの提示、模擬手術の実際にいたるまで教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1、人工心肺回路のプライミングができる〈DP①④〉 2、心疾患の症例に応じた手術プラン、人工心肺管理プランの提示ができる〈DP①④〉 3、人工心肺操作を振り返り、術後経過についてプレゼンテーションができる〈DP①④〉 4、補助循環(ECMO/IABP/人工心臓)について理解できる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習毎にて学生自身で手順書を作成しまとめていきます。体外循環装置学、体外循環療法学を十分に復習し理解したうえで実習に挑んでください。(購入した白衣・ズボン・シューズ持参の事)　病院での業務同様に準備から実習となります。2 班に分け各項目を隔週で行い、班別からさらに２グループに分けし実習します。実習室内での行動は病院内での行動と同様と考えてください。(実習態度評価)　時間厳守で開始できるよう事前確認を担当教員に確認してください

教科書

動画と写真でまるわかり　体外循環　(秀潤社)　ISBN 978-4-7809-0451-2　臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7　体外循環装置学および体外循環療法学に使用した教科書、資料

参考書

日本循環器学会ガイドラインシリーズ　http://j-circ.or.jp/guideline/　関連する講義で用いた資料、参考書

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階：教職員室、研究室 21（事前予約制、金曜日不在：加納）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション・模擬患者カンファレンス	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時間以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
2	人工心肺回路プライミング①遠心ポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
3	人工心肺回路プライミング①遠心ポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉

4	人工心肺回路プライミング②ローラーポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
5	人工心肺回路プライミング②ローラーポンプ	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
6	流量計測（ポンプ流量実測定、吸引ポンプ含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
7	流量計測（ポンプ流量実測定、吸引ポンプ含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
8	補助循環：ECMO/IABP（原理、保守点検含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること 復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
9	補助循環：ECMO/IABP（原理、保守点検含む）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
10	模擬手術 1（遠心ポンプ:患者シミュレータ使用）の実施	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
11	模擬手術 1（遠心ポンプ:患者シミュレータ使用）の実施	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
12	模擬手術２（ローラポンプ：シミュレーター未使用、VR 使用）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
13	模擬手術２（ローラポンプ：シミュレーター未使用、VR 使用）	予習：講義開始から実習を遅滞なく行うため、体外循環装置学で得た知識を自己学習で復習し理解しておくこと。また、わからない事があれば、教員に確認すること　復習：レポート作成時にわからなくなったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
14	人工心臓：体外式補助人工心臓、埋込型補助人工心臓（構造、機能確認）	予習：模擬手術の実際の手順を班員で話し合いまとめ 5 分のスライドを作成する。 復習：各班の模擬手術の実際をまとめ、わか	加納　中村 楠元　渡邉

		らなかったことを自己学習で 2 時以上は調べる	
15	人工心臓：体外式補助人工心臓、埋込型補助人工心臓（構造、機能確認）	予習：模擬手術の実際の手順を班員で話し合いまとめ班ごとに発表 5 分のスライドを作成する。　復習：各班の模擬手術の実際をまとめ、わからなかったことを自己学習で 2 時以上は調べる	加納　中村 楠元　渡邉
成績評価方法と基準			割合
1、課題評価（レポート提出内容、期限内厳守、班・チームごとにおける実習に対する協力体制、実習態度など）、模擬手術実技対応〈DP①④〉　フィードバック：モリパを通じコメント記載。レポートの返却はしない。			1、100%

授業科目名	血液浄化装置学（工学）					
主担当教員	辻　義弘			担当教員	辻　義弘／人見　泰正	
科目ナンバリング	SS20BMEB017	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

血液浄化療法は，腎機能の低下により，慢性腎臓病に陥り体液の恒常性を維持できなくなった状態を体外循環技術を応用して是正する治療法である．　本講義では，血液浄化療法について，原理・適応疾患・装置構成・操作方法について総合的に概説する．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

本講義では，血液透析を中心とした血液浄化療法の原理，人工腎臓，透析液，バスキュラーアクセスなどを理解する．また，血液浄化装置の構造及び保守点検管理，水処理システムなどを学び，治療の実際と患者管理についての基礎知識の習得を目標とする．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)毎回，講義スライドを印刷したプリントと演習問題のプリントを配布する．各講義の予習・復習は必ず行うこと．　2)適宜，小テスト，課題，レポートを課す．　3)血液浄化装置学は臨床工学技士にとって非常に重要な科目の 1 つであるので積極的な態度と姿勢で授業へ参加すること．

教科書

生体機能代行装置学　血液浄化療法装置　竹澤真吾他編　医歯薬出版　ISBN 978-4-263-73464-3

参考書

血液浄化療法ハンドブック 2025　透析療法合同専門委員会 企画・編集　協同医書出版社

研究室／オフィスアワー

在室していればいつでも対応します．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	腎臓病の病態と症状，血液透析の適応について	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	辻
2	血液浄化装置の構成とその周辺装置について，血液回路の構成と役割	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	辻
3	血液透析の原理	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	辻
4	血液透析器の種類と特徴 ①	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	辻
5	血液透析器の種類と特徴 ②	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	辻
6	バスキュラーアクセス ①	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	人見
7	バスキュラーアクセス ②	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	人見
8	透析液の種類	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布した演習問題を行う	辻
9	血液浄化療法における抗凝固薬	予習:教科書の当該範囲を読む　復習:配布した演習問題を行う	辻
10	血液濾過と血液透析濾過の原理 ①	予習:教科書の当該範囲を読む　復習:配布した演習問題を行う	辻
11	血液濾過と血液透析濾過の原理 ②	予習:教科書の当該範囲を読む　復習:配布した演習問題を行う	辻
12	水処理装置と透析液の清浄化	予習:教科書の当該範囲を読む　復習:配布した演習問題を行う	辻

13	血液透析の実際	予習:教科書の当該範囲を読む　復習:配布した演習問題を行う	辻
14	長期透析に伴う合併症	予習:教科書の当該範囲を読む　復習:配布した演習問題を行う	人見
15	適正透析について	予習:教科書の当該範囲を読む　復習:配布した演習問題を行う	辻
成績評価方法と基準			割合
出席は 4/5 以上を必要とし，その基準を満たした者について成績評価を行う.　1.小テスト・課題・レポート　2.定期試験　〈フィードバックの方法〉　講義終了後に，課題に関する講評を発表する.			1.10%　2.90%

授業科目名	血液浄化療法学（工学）				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／人見　泰正	
科目ナンバリング	SS20BMEC018	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限、金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では，腎不全（急性期，保存期，末期，慢性）の理解，患者管理，心理的ケアなど，血液浄化療法に必要な基礎知識の習得に向けて学習する．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 腎疾患の病態と進行度の変化について理解し，患者の状態および検査結果から病状が理解できる．〈DP①〉 2. 臨床工学技士に必要な透析患者の基礎的な管理方法について習得できる．〈DP①〉 3. 臨床工学技士に必要な透析患者のケアのについて理解できる．〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 外部講師を招聘して講義を行うため，シラバスの学修内容が前後する場合がある．その場合，事前に授業中に説明する．　2. 血液浄化装置学の内容について復習をしておくこと．　3. 予習・復習をしなければ，学習の理解が追い付かないため継続した自己学習を推奨する．

教科書

血液浄化療法ハンドブック 2025　協同医書出版社，透析療法合同専門委員会 企画・編集

参考書

臨床工学講座　生体機能代行装置学　血液浄化療法装置 第 2 版　竹澤真吾他編　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

在室していればいつでも対応可能．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	腎疾患の病態と生理 ①	予習：血液浄化装置学の内容　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見
2	腎疾患の病態と生理 ②	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見
3	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ①	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見
4	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ②	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見
5	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ③	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見
6	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ④	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見
7	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑤	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見
8	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑥	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	人見

9	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑦	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻
10	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑧	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻
11	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑨	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻
12	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑩	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻
13	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑪	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻
14	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 ⑫	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻
15	長期透析に伴う合併症と透析患者の管理 総括	予習：シラバス・教科書の確認　復習：期末テストに向けて 15 コマの授業内容を復習する（30 時間）	辻
成績評価方法と基準			割合
①期末試験　〈DP①〉			①100%

授業科目名	血液浄化実習（工学 B）					
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／人見　泰正		
科目ナンバリング	SS20BMEC019	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 4 限、金曜 5 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

血液浄化療法は，腎機能の低下により，慢性腎臓病に陥り体液の恒常性を維持できなくなった状態を体外循環技術を応用して是正する治療法である．血液浄化実習では，透析室を模した実習室にて実際に作業やデータ解析を行う．臨床工学技士の血液浄化業務に関する一連の流れを理解することを目的に血液浄化療法の原理，装置構成，機器原理や操作方法，関連する医療材料の特性，トラブルシューティングの詳細について総合的に教授する．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

臨床工学技士として血液浄化業務における基礎的な知識と実践能力を身につけ，チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目標とする．また，各種血液浄化法の構成と基礎的な構造および動作原理，血液浄化器の機能，血液浄化監視装置の構成と機能，各種血液浄化療法の実際について，水処理装置の保守管理について体系的な知識を修得することを目標とする．　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・血液浄化学は臨床工学技士にとって非常に重要な科目の 1 つであるので積極的な態度と姿勢で授業へ参加すること．　・講義開始時間には遅れずに入室していること。講義開始後の入室は遅刻とする。また、講義中の飲食、及び携帯電話等の使用については禁止とする．　・白衣またはスクラブを着用し，名札を必ずつけること．標準予防策（スタンダードプリコーション）として，マスク，ゴーグル，手袋を必ず着用し，手洗いを徹底すること．また必要時，ガウンを着用すること．　・逸脱した行為を行なった者に対しては，担当教員の判断で実習を停止する．　・客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination：OSCE) は、態度，身だしなみ，服装も評価対象とする．病院実習と同等の態度で臨むこと．　・各実習テーマに関連した講義科目（2 年次後期に履修した「血液浄化装置学」，3 年次に履修した「血液浄化療法学」）について，十分な予習・復習を行っておくこと．また，「レポートの書き方」や「論文の書き方」などの参考図書を実習前に熟読し，レポートの下書きを作成しておくこと．

教科書

血液浄化療法ハンドブック 2025、共同医書出版社　臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7

参考書

生体機能代行装置学　血液浄化療法装置　竹澤真吾他編　医歯薬出版　ISBN 978-4-263-73464-3

研究室／オフィスアワー

在室していればいつでも対応します．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス(実習の心得及び注意事項など)	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと	担当教員全員
2	プライミング実技練習・血液透析業務に必要な周辺機器	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
3	プライミング実技練習・血液透析業務に必要な周辺機器	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容に	担当教員全員

		ついて復習すること	
4	透析液の管理と作成	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
5	透析液の管理と作成	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
6	水処理装置と透析液，透析用水の管理	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
7	水処理装置と透析液，透析用水の管理	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
8	血液浄化器の性能評価	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
9	血液浄化器の性能評価	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
10	バスキュラーアクセスの管理	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
11	バスキュラーアクセスの管理	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
12	患者監視装置の仕組みと操作，各種設定	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
13	患者監視装置の仕組みと操作，各種設定	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
14	客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination：OSCE)	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法などをよく理解しておくこと　復習：接遇や身だしなみなど注意を受けた項目について臨床実習までに改善すること	担当教員全員
15	客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination：OSCE)	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法などをよく理解しておくこと　復習：接遇や身だしなみなど注意を受けた項目について臨床実習までに改善すること	担当教員全員
成績評価方法と基準			割合
① 課題、実習態度・意欲等を総合的に評価　② 実習報告書・発表　DP①④			①30[%] ②70[%]

授業科目名	血液浄化実習（工学 A）					
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／人見　泰正		
科目ナンバリング	SS20BMEC019	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 4 限、金曜 5 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

血液浄化療法は，腎機能の低下により，慢性腎臓病に陥り体液の恒常性を維持できなくなった状態を体外循環技術を応用して是正する治療法である．血液浄化実習では，透析室を模した実習室にて実際に作業やデータ解析を行う．臨床工学技士の血液浄化業務に関する一連の流れを理解することを目的に血液浄化療法の原理，装置構成，機器原理や操作方法，関連する医療材料の特性，トラブルシューティングの詳細について総合的に教授する．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

臨床工学技士として血液浄化業務における基礎的な知識と実践能力を身につけ，チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目標とする．また，各種血液浄化法の構成と基礎的な構造および動作原理，血液浄化器の機能，血液浄化監視装置の構成と機能，各種血液浄化療法の実際について，水処理装置の保守管理について体系的な知識を修得することを目標とする．　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・血液浄化学は臨床工学技士にとって非常に重要な科目の 1 つであるので積極的な態度と姿勢で授業へ参加すること．　・講義開始時間には遅れずに入室していること。講義開始後の入室は遅刻とする。また、講義中の飲食、及び携帯電話等の使用については禁止とする．　・白衣またはスクラブを着用し，名札を必ずつけること．標準予防策（スタンダードプリコーション）として，マスク，ゴーグル，手袋を必ず着用し，手洗いを徹底すること．また必要時，ガウンを着用すること．　・逸脱した行為を行なった者に対しては，担当教員の判断で実習を停止する．　・客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination：OSCE) は、態度，身だしなみ，服装も評価対象とする．病院実習と同等の態度で臨むこと．　・各実習テーマに関連した講義科目（2 年次後期に履修した「血液浄化装置学」，3 年次に履修した「血液浄化療法学」）について，十分な予習・復習を行っておくこと．また，「レポートの書き方」や「論文の書き方」などの参考図書を実習前に熟読し，レポートの下書きを作成しておくこと．

教科書

血液浄化療法ハンドブック 2025、共同医書出版社　臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7

参考書

生体機能代行装置学　血液浄化療法装置　竹澤真吾他編　医歯薬出版　ISBN 978-4-263-73464-3

研究室／オフィスアワー

在室していればいつでも対応します．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス(実習の心得及び注意事項など)	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと	担当教員全員
2	プライミング実技練習・血液透析業務に必要な周辺機器	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
3	プライミング実技練習・血液透析業務に必要な周辺機器	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容に	担当教員全員

		ついて復習すること	
4	透析液の管理と作成	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
5	透析液の管理と作成	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
6	水処理装置と透析液，透析用水の管理	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
7	水処理装置と透析液，透析用水の管理	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
8	血液浄化器の性能評価	予習：配布資料を熟読し，実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと　復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
9	血液浄化器の性能評価	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
10	バスキュラーアクセスの管理	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
11	バスキュラーアクセスの管理	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
12	患者監視装置の仕組みと操作，各種設定	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
13	患者監視装置の仕組みと操作，各種設定	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法をよく理解しておくこと 復習：教科書の当該範囲を読み内容について復習すること	担当教員全員
14	客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination：OSCE)	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法などをよく理解しておくこと　復習：接遇や身だしなみなど注意を受けた項目について臨床実習までに改善すること	担当教員全員
15	客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination：OSCE)	予習:配布資料を熟読し,実習の各テーマにおいて目的や方法などをよく理解しておくこと　復習：接遇や身だしなみなど注意を受けた項目について臨床実習までに改善すること	担当教員全員
成績評価方法と基準			割合
① 課題、実習態度・意欲等を総合的に評価　② 実習報告書・発表　DP①④			①30[%] ②70[%]

授業科目名	人工呼吸装置学（工学）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理	
科目ナンバリング	SS20BMEB020	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

補助装置を含めた人工呼吸器の構造・装置・操作について総合的に教授する。まず、人工呼吸器の目的と医用ガスの物性と気体力学などの原理および人工呼吸器の種類と構造について学習させる。人工呼吸の技術として、自発呼吸と人工呼吸、換気モード、開始基準、人工呼吸器の設定、患者状態の把握等について解説する。さらに、在宅呼吸管理（酸素療法、人工呼吸）、安全管理の手法として各機器の安全管理、日常・定期点検、消毒と洗浄などについて解説する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．人工呼吸器の構造・原理・機能、さらに付属部品の必要性について説明ができる。〈DP①〉　２．臨床工学技士が関わる呼吸治療業務を把握し、現状を説明ができる。〈DP④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１.「授業計画」に記載されている学習内容に相当する内容を教科書で確認し、予習しておく。　２．講義後は復習（課題）を行い、理解度を確認する。　３．疑問点があれば、次回の講義までに解決しておく。

教科書

これならわかる！人工呼吸器の使い方 初期対応から設定、管理、抜管まで　ナツメ社 ISBN 978-4-8163-6451-8　病気がみえる　呼吸器　　MEDIC MEDIA 社 ISBN 978-4-89632-730-4

参考書

臨床工学技士のための呼吸治療ガイドブック　MEDICAL VIEW 社 ISBN 978-4-7583-1480-0

研究室／オフィスアワー

C 棟 7F 研究室 10

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	呼吸療法総論　　呼吸療法の歴史･現状　呼吸管理に必要な解剖・呼吸器系の役割など	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
2	呼吸不全の病態	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
3	酸素療法	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
4	高気圧酸素療法	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
5	人工呼吸器１　基本構造・付属品	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
6	人工呼吸器２　管理・医療ガスの基礎	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
7	人工呼吸器の機能１　換気方式	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田

8	人工呼吸器の機能 2　設定項目の意味	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに教科書の確認・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
9	人工呼吸器の機能 3　換気モード	予習:シラバス・教科書の確認(2 時間)　復習:授業をもとに教科書の確認・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
10	講義 1～9 のまとめ	予習:講義 1～9 の課題の見直し、シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：授業をもとに教科書の確認・講義 9～10 の課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
11	人工呼吸器の機能 4　モニタ―波形（正常と異常）	予習:シラバス・教科書の確認(2 時間)　復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
12	人工呼吸器の機能 5　各種アラームと対応 1	予習:シラバス・教科書の確認(2 時間)　復習:授業をもとに教科書の確認・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
13	人工呼吸器の機能 6　各種アラームと対応 2	予習:シラバス・教科書の確認(2 時間)　復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
14	人工呼吸器の機能 7　トラブルシューティング	予習:シラバス・教科書の確認(2 時間)　復習：授業をもとに教科書の確認・課題・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
15	講義 11～14 回のまとめ	予習:講義 11～14 までの講義内容を見直す。（2 時間）　復習：授業をもとに教科書の確認・自己学習ノート作成（2 時間）	布江田
成績評価方法と基準			割合
１．小テストまたは課題＜DP①④＞　２．定期試験　　出題範囲：授業内に扱った全範囲（配布したプリントも含む）＜DP①④＞　３．4/5 回以上の出席が必要である。　【フィードバック方法】　MORIPA「テスト管理」を活用し、提出後に解答を開示する。次回の講義で解説する。			１．30%　２．70%

授業科目名	人工呼吸療法学（工学）				
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗	
科目ナンバリング	SS20BMEC021	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1 年次に学習した人工呼吸療法学に関する解剖生理学について復習し，人工呼吸療法が必要な病態について学習する．また，人工呼吸装置および周辺機器を使用した人工呼吸療法技術のための知識を習得し，患者管理，呼吸療法に関するトラブルシューティング，災害と医療安全管理対策の基礎について学ぶ．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

人工呼吸療法が必要な病態生理，人工呼吸管理の基礎を理解し，臨床工学技士として必要な人工呼吸療法の基礎知識，トラブルシ対応を身に付け説明することができる．〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・呼吸器系に関する人体の構造，人体の機能と人工呼吸装置学について復習しておくこと．　・講義は，指定教科書 2 冊により進めますが，参考書の内容も使用します．参考書については，適宜内容をまとめたものをプリントで配布する予定です．

教科書

・患者がみえる新しい「呼吸の教科書」かんテキ 肺保護にこだわる人工呼吸，メディカ出版，ISBN-13 ： 978-4-8404-8151-9　・人工呼吸ケアトラブル回避力アップガイド，みんなの呼吸器 Respica 2022 年冬季増刊（株）メディカ出版　（3 年生の医療機器安全管理学で購入）　・病気がみえる vol.4. 呼吸器 第 3 版.（株）メディックメディア（※2 年生の時に購入済）　・これならわかる！人工呼吸器の使い方 ~初期対応から設定，管理，抜管まで~．ナツメ社.（※2 年生の時に購入済）

参考書

授業中に適宜紹介する．

研究室／オフィスアワー

在席していれば適宜対応します．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本科目のガイダンス　･自発呼吸について理解する　･酸素化と換気について考える	予習：人工呼吸装置学の内容　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
2	人工呼吸器装着患者のアセスメント　フィジカル編	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
3	人工呼吸器装着患者のアセスメント　ベンチレーター編	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
4	気道管理と気道クリアランスについて理解する	予習：シラバス・教科書の確認　人工呼吸装置学のグラフィックモニタを復習しておく．　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
5	人工呼吸中に必要な薬理学	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
6	血液ガスと酸塩基を理解する	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授	藤江

		業内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	
7	人工呼吸器トラブルシューティングの基礎	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	藤江
8	人工呼吸器の換気様式，コンプライアンス，レジスタンスと人工呼吸器設定　－ グラフィック波形を中心に －	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	藤江
9	COPD と人工呼吸療法	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
10	人工呼吸器合併症の基礎知識　主に VAP と VILI 肺保護換気①	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
11	肺保護換気②　肺リクルータビリィ	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
12	人工呼吸器からの離脱とその後の管理	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
13	非侵襲的換気療法の管理　導入，維持・管理，離脱，在宅管理	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
14	睡眠中の呼吸管理　・睡眠時無呼吸症候群の疫学，検査，治療　・睡眠中の肺胞低換気の考え方	予習：シラバス・教科書の確認　復習：授業内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	藤江
15	人工呼吸器に関連した災害対策の考え方	予習：シラバス・教科書の確認　復習：期末テストに向けて 15 コマの授業内容を復習する（30 時間）	藤江
成績評価方法と基準			割合
1. 期末試験　＜DP①＞			1. 100%

授業科目名	人工呼吸実習（工学 B）					
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗／布江田　友理／玉元　由果莉		
科目ナンバリング	SS20BMEC022	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限、火曜 4 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

①人工呼吸装置学，人工呼吸療法学の知識をもとに，人工呼吸装置および周辺機器の操作方法や保守管理方法の技術の習得を目指す．　②人工呼吸器が必要な病態について理解を深め，各疾患に対する人工呼吸器管理技術の基礎知識の習得を身に付ける．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

人工呼吸装置学，人工呼吸療法学の知識をもとに，臨床工学技士に必要な人工呼吸療法技術の基礎が習得できる．〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・事前に実習内容について予習を行い，積極的に実習に取り組みようにしてください．　・無断の遅刻・欠席は厳禁です．また外部講師も招聘して実習を行うため，実習態度，言葉使いなどには十分配慮すること．　・客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination ： OSCE) は，態度，身だしなみ，服装も評価対象とする．臨床実習と同等の態度で臨むこと．　・学内実習は臨床実習前の大切な実習の位置づけであるため，出席については遅刻も含め厳しく評価する．

教科書

臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7　適宜，資料を配布します．

参考書

・人工呼吸装置学，人工呼吸療法学で使用した教科書　・その他の参考書については，実習中に適宜紹介します．

研究室／オフィスアワー

各担当教員が在室時に適宜対応します．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人工呼吸器回路試験	予習・復習　人工呼吸器の回路構成について実技試験を行うため，人工呼吸装置学，人工呼吸療法学の授業の復習を行い理解しておくこと．　また，ビデオオンデマンドで人工呼吸器の回路構成について配信を行うため予習を行っておくこと．	玉元，布江田，藤江
2	実習１:各モードの正常グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
3	実習１:各モードの正常グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
4	実習２:肺メカニクスが変化した時の人工呼吸器グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
5	実習２:肺メカニクスが変化した時の人工呼吸器グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
6	実習３：人工呼吸器の使用前点検，使用中点検，アラーム対応	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
7	患者対応力強化①	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
8	実習４：心肺蘇生法，用手換気，気管内挿管，気管内吸引	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
9	実習４：心肺蘇生法，用手換気，気管内挿管，気管内吸引	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江

10	実習５：人工呼吸器のトラブルシューティング	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
11	実習５：人工呼吸器のトラブルシューティング	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
12	実習６：ネーザルハイフローセラピー	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
13	実習６：NPPV と SBT	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
14	患者対応力強化②	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
15	人工呼吸実習実技試験	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
成績評価方法と基準			割合
①試験（実技試験，口頭試問，筆記試験）<DP①④>　②課題評価（レポート提出，内容など）<DP①④>			①80%　②20%

授業科目名	人工呼吸実習（工学 A）					
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗／布江田　友理／玉元　由果莉		
科目ナンバリング	SS20BMEC022	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限、火曜 4 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

①人工呼吸装置学，人工呼吸療法学の知識をもとに，人工呼吸装置および周辺機器の操作方法や保守管理方法の技術の習得を目指す．　②人工呼吸器が必要な病態について理解を深め，各疾患に対する人工呼吸器管理技術の基礎知識の習得を身に付ける．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

人工呼吸装置学，人工呼吸療法学の知識をもとに，臨床工学技士に必要な人工呼吸療法技術の基礎が習得できる．〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・事前に実習内容について予習を行い，積極的に実習に取り組みようにしてください．　・無断の遅刻・欠席は厳禁です．また外部講師も招聘して実習を行うため，実習態度，言葉使いなどには十分配慮すること．　・客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination ： OSCE) は，態度，身だしなみ，服装も評価対象とする．臨床実習と同等の態度で臨むこと．　・学内実習は臨床実習前の大切な実習の位置づけであるため，出席については遅刻も含め厳しく評価する．

教科書

臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7　適宜，資料を配布します．

参考書

・人工呼吸装置学，人工呼吸療法学で使用した教科書　・その他の参考書については，実習中に適宜紹介します．

研究室／オフィスアワー

各担当教員が在室時に適宜対応します．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人工呼吸器回路試験	予習・復習　人工呼吸器の回路構成について実技試験を行うため，人工呼吸装置学，人工呼吸療法学の授業の復習を行い理解しておくこと．　また，ビデオオンデマンドで人工呼吸器の回路構成について配信を行うため予習を行っておくこと．	玉元，布江田，藤江
2	実習１:各モードの正常グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
3	実習１:各モードの正常グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
4	実習２:肺メカニクスが変化した時の人工呼吸器グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
5	実習２:肺メカニクスが変化した時の人工呼吸器グラフィック波形の描画	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
6	実習３：人工呼吸器の使用前点検，使用中点検，アラーム対応	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
7	患者対応力強化①	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
8	実習４：心肺蘇生法，用手換気，気管内挿管，気管内吸引	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江
9	実習４：心肺蘇生法，用手換気，気管内挿管，気管内吸引	1 時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う．	玉元，布江田，藤江

10	実習５：人工呼吸器のトラブルシューティング	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
11	実習５：人工呼吸器のトラブルシューティング	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
12	実習６：ネーザルハイフローセラピー	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
13	実習６：NPPV と SBT	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
14	患者対応力強化②	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
15	人工呼吸実習実技試験	1時間ずつ予習・復習（レポート作成）を行う.	玉元，布江田，藤江
成績評価方法と基準			割合
①試験（実技試験，口頭試問，筆記試験）<DP①④>　②課題評価（レポート提出，内容など）<DP①④>			①80%　②20%

授業科目名	人体機能補助装置学（工学）				
主担当教員	中村　有希		担当教員	中村　有希／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEB023	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

人体機能補助装置学では、循環器系の補助装置である大動脈内バルーンパンピング（IABP)、体外式膜型人工肺（ECMO)、および補助人工心臓などの目的、原理、使用する物品・機器および装着手順と操作法について解説し、動作チェックおよびトラブル対策について教授する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

各種補助循環装置およびカテーテル治療機器の歴史から現在の臨床現場で使用されているシステム構成と特徴が説明できる。〈DP①〉　各種補助循環装置およびカテーテル治療機器の病態生理が説明できる。〈DP①〉　各種補助循環装置およびカテーテル治療機器の特徴や操作の流れが説明できる。〈DP①〉　各種補助循環装置およびカテーテル治療機器のトラブルや合併症の対策について説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

手術室、集中治療室、心臓カテーテル室、救急外来など多くの現場で使用する機器です。装置と患者が繋がるなかで、その疾患を理解した管理ができるよう身につけてください。人体機能補助循環学はもちろん病理学、血液学など幅が広いですが、気になることは調べて予習復習に取り組んでください。

教科書

体外循環装置学および体外循環療法学に使用した教科書、資料

参考書

人体のメカニズムから学ぶ臨床工学「循環器治療学」、メジカルビュー社、監修：的場　聖明、編集：白山　武司、八木克史、ISBN978-4-7583-1716-0 C3347　日本体外循環技術医学会ホームページ「http://jasect.sakura.ne.jp/」　近畿地方会ホームページ「http://jasect-k.umin.jp/」　日本人工臓器学会ホームページ「http://www.jsao.org/」

研究室／オフィスアワー

各教員　適宜相談に応じる。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	各種補助循環装置の総論	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
2	循環不全と血行動態モニタリング	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる　合わせて 1 時間程度自修すること。	楠元
3	IABP を要する疾患及び循環状態状態	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	楠元
4	IABP における合併症・IABP からの離脱	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	楠元
5	心臓再同期療法（CRT）	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容	大久保

		をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	
6	心補助を目的とした ECMO	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	大久保
7	ECMO における合併症・ECMO からの離脱	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	大久保
8	呼吸補助を目的とした ECMO	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習：授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
9	小児補助循環	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
10	カテーテルポンプ	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
11	各種補助循環デバイスの選択基準と併用	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
12	集中治療室での補助循環の役割・管理	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
13	体外設置型補助人工心臓について	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
14	脳死・移植について	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
15	植込み型補助人工心臓について	予習：教科書および参考資料を用いて関連する事項に目を通す。　復習:授業の内容をまとめる。　合わせて 1 時間程度自修すること。	中村
成績評価方法と基準			割合
1、定期試験　＜DP①＞　2、2/3　以上の出席が必要			1、100%

授業科目名	人体機能補助実習（工学 B）				
主担当教員	中村　有希		担当教員	中村　有希／加納　寛也／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限、木曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

人体機能補助装置学、人体機能補助療法学を教授し、実際の機能補助装置に触れ操作し、実臨床で必要な技術知識を習得させる。実臨床に近い形で、シミュレータを用いた操作や、トラブルシューティング等を習得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1、IABP のセッティングができ、トラブル対応ができる DP1,4　2、ECMO のプライミングができ、トラブル対応ができる DP1,4　3、補助循環装着患者に対する患者搬送の対応ができる DP1,4

履修上の注意(学生へのメッセージ)

手術室、集中治療室、心臓カテーテル室、救急外来など多くの現場で使用する機器です。装置と患者が繋がるなかで、その疾患を理解した管理ができるよう技術・知識を身につけてください　・購入した白衣・シューズ持参の事　病院での業務同様に準備から実習となります。時間厳守で開始できるよう事前確認を前回の班もしくは担当教員に確認してください

教科書

臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7　人体機能循環装置学、人体機能循環装置学および体外循環療法学に使用した教科書、資料

参考書

日本循環器学会ガイドラインシリーズ　http://j-circ.or.jp/guideline/　関連する講義で用いた資料、参考書

研究室／オフィスアワー

要相談。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、加納、大久保、楠元
2	ECMO プライミング、カニューレーション、ECMO の開始から終了と清掃まで	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、楠元
3	ECMO プライミング、カニューレーション、ECMO の開始から終了と清掃まで	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、楠元
4	ECMO 回路の交換	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、楠元
5	ECMO 回路の交換	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、楠元
6	IABP の動作原理とトラブルシューティング	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自	大久保、楠元

		修は１時間実施すること	
7	IABP の動作原理とトラブルシューティング	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保、楠元
8	IABP の導入操作、保守点検管理	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保、楠元
9	IABP の導入操作、保守点検管理	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保、楠元
10	補助循環トラブルシューティング､事例症例報告	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保、楠元
11	補助循環トラブルシューティング､事例症例報告	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保、楠元
12	補助循環装置装着患者搬送実技	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、加納、大久保、楠元
13	補助循環装置装着患者搬送実技	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、加納、大久保、楠元
14	補助循環（ECMO)プレゼンテーション	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、加納、大久保、楠元
15	補助循環（ECMO)プレゼンテーション	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村、加納、大久保、楠元
成績評価方法と基準			割合
1､課題評価（レポート提出：期限内厳守､班・チームごとにおける実習に対する協力体制など） DP(1,4) 2、レポート提出 DP(4)			1,80%　2,20%

授業科目名	人体機能補助実習（工学 A）				
主担当教員	中村　有希		担当教員	中村　有希／加納　寛也／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限、木曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

人体機能補助装置学、人体機能補助療法学を教授し、実際の機能補助装置に触れ操作し、実臨床で必要な技術知識を習得させる。実臨床に近い形で、シミュレータを用いた操作や、トラブルシューティング等を習得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1、IABP のセッティングができ、トラブル対応ができる DP1,4　2、ECMO のプライミングができ、トラブル対応ができる DP1,4　3、補助循環装着患者に対する患者搬送の対応ができる DP1,4

履修上の注意(学生へのメッセージ)

手術室、集中治療室、心臓カテーテル室、救急外来など多くの現場で使用する機器です。装置と患者が繋がるなかで、その疾患を理解した管理ができるよう技術・知識を身につけてください　・購入した白衣・シューズ持参の事　病院での業務同様に準備から実習となります。時間厳守で開始できるよう事前確認を前回の班もしくは担当教員に確認してください

教科書

臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本　改訂 2 版　ISBN978-4-621-30768-7　人体機能循環装置学、人体機能循環装置学および体外循環療法学に使用した教科書、資料

参考書

日本循環器学会ガイドラインシリーズ　http://j-circ.or.jp/guideline/　関連する講義で用いた資料、参考書

研究室／オフィスアワー

要相談。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　大久保　楠元
2	ECMO プライミング、カニューレーション、ECMO の開始から終了と清掃まで	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　楠元
3	ECMO プライミング、カニューレーション、ECMO の開始から終了と清掃まで	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　楠元
4	ECMO 回路の交換	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　楠元
5	ECMO 回路の交換	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　楠元
6	IABP の動作原理とトラブルシューティング	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自	大久保　楠元

		修は１時間実施すること	
7	IABP の動作原理とトラブルシューティング	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保　楠元
8	IABP の導入操作、保守点検管理	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保　楠元
9	IABP の導入操作、保守点検管理	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保　楠元
10	補助循環トラブルシューティング､事例症例報告	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保　楠元
11	補助循環トラブルシューティング､事例症例報告	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	大久保　楠元
12	補助循環装置装着患者搬送実技	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　大久保　楠元
13	補助循環装置装着患者搬送実技	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　大久保　楠元
14	補助循環（ECMO)プレゼンテーション	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　大久保　楠元
15	補助循環（ECMO)プレゼンテーション	実習内容に関係する箇所について、人体機能補助装置学および人体機能補助療法学をしっかり復習すること　予習復習含めて自修は１時間実施すること	中村　大久保　楠元
成績評価方法と基準			割合
1､課題評価（レポート提出：期限内厳守､班・チームごとにおける実習に対する協力体制など） DP(1,4) 2､ レポート提出 DP(4)			1,80%　2,20%

授業科目名	臨床医学総論(内科学･外科学)（工学）					
主担当教員	五十嵐 淳介		担当教員		五十嵐 淳介／久保 忠彦／久保 湧奨	
科目ナンバリング	SS20BMEC029	科目区分	専門基礎分野		ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	後期		曜日･時限	水曜 1 限、金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

臨床工学技士として必要な内科学・外科学の基礎を理解し、病院実習のために必要な知識を修める。

学修目標

本講座では、内科学・外科学の基礎を学び、兆候から診断、治療について、総合的に理解することを目的とする。外科学の基礎を理解し、代表的疾患を通じてその病態生理の理解と、応用ができる学力を養成することを目標とする。内科８コマ・外科７コマの講義を行う。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

外科学：講義は基本的に教科書に準じて進め、試験も講義内容から出題するため、日々の講義内容を理解することに努め、予習復習を旨として欲しい。評価に際し、出席、小テストは重視します。　内科学：講義は配布プリントと教科書を用いて実施します。講義後に確認テストも実施します（MORIPA アンケート機能利用)。期限厳守で提出ください。　※私語による妨害は厳禁とします。違反者は退場させます。

教科書

外科学：

看護のための臨床病態学　改定 5 版（南山堂）

内科学：

１）標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野（医学書院、ISBN：978-4-260-05608-3）

２）臨床工学講座 臨床医学総論 第 2 版（医歯薬出版、ISBN978-4-263-73424-7）

※二冊とも、内科学各論でも共通に用いる

参考書

国家試験過去問題集

研究室／オフィスアワー

外科学：アポイントメント: 大阪ベイクリニック 06-6655-0057　内科学：junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp まで照会ください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	症候学概論（１）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
2	症候学概論（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
3	電解質代謝・酸塩基平衡	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
4	内分泌・代謝（１）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
5	内分泌・代謝（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐

6	消化器（１）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
7	消化器（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
8	消化器（３）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
9	外科概論１	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保
10	外科概論２	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保
11	新しい医療１：再生医療	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保
12	新しい医療２：臓器移植など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保
13	プライマリケアー	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保
14	形成、皮膚科疾患	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保
15	まとめ	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保

成績評価方法と基準	割合
内科学領域　①確認テスト：三割程度を配点（講義後に毎回実施したものを八回分合計する）　②期末テスト：七割程度を配点（マーク式）　①については、各回とも締切までに未提出の場合は０点とする　②については、期末定期試験期間内に、外科学領域とは別日程で実施する　最終成績評価は、①・②の合計を最終成績とする。　外科学領域　１．定期試験 DP1,2　２．小テスト DP1,2	内科学領域 ①､②により得られた点数をもとに 50 点分として算出する　外科学領域　1．９０％　2．１０％ 内科・外科の合算にて最終成績とする

授業科目名	内科学各論(循環器･呼吸器･腎･感染症)(工学)				
主担当教員	五十嵐 淳介		担当教員	五十嵐 淳介	
科目ナンバリング	SS20BMEC030	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

よき医療人になる上で必要不可欠な内科学の知識・考え方について講義する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにする。関連科目「臨床医学総論」と一体的に講義を進める。

学修目標

1．循環・呼吸・腎尿路・生体防御・血液・神経の各種臓器の働きを理解する。

2．症状・症候の病的意義が説明できる。

3．各種疾病の病態を理解し、そこから臨床症状が合理的に説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業態度：集中して講義を聴講すること。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布する。それをもとに、各自が可能な限り詳しくノートを作成すること。講義中の私語は厳禁とする。私語を止められない者は退席させる。

2）予習・復習：講義内容は膨大であるから、講義ごとの予習復習は必須である。科目の性質上、講義後に多くの疑問点が生じるはずである。いかなる内容でも歓迎するので、積極的に質問を行うこと。

3）ビデオ補講：時間の都合上、一部の内容は VOD による補講として実施する。

4）確認テスト：全コマで、確認テストを実施する。MORIPA アンケート機能利用。期限内に必ず提出せよ。

教科書

1）標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野（医学書院、ISBN：978-4-260-05608-3）

2）臨床工学講座 臨床医学総論 第 2 版（医歯薬出版、ISBN：978-4-263-73424-7）

※二冊とも、臨床医学総論（内科学分野）でも共通に用いる

参考書

国家試験過去問題集

研究室／オフィスアワー

junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp まで照会ください

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	循環器（1） ※動脈硬化をもたらす代謝疾患についても取り扱う	予習：人体の機能・人体の構造 復習：講義プリント・教科書 学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
2	循環器（2）	予習：人体の機能・人体の構造 復習：講義プリント・教科書 学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
3	循環器（3）	予習：人体の機能・人体の構造 復習：講義プリント・教科書 学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
4	循環器（4）	予習：人体の機能・人体の構造 復習：講義プリント・教科書 学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
5	呼吸器（1）	予習：人体の機能・人体の構造 復習：講義プリント・教科書 学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐

6	呼吸器（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
7	呼吸器（３）・腎尿路（１）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
8	腎尿路（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
9	血液（１）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
10	血液（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
11	膠原病・感染症（１）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
12	感染症（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
13	感染症（３）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
14	神経（１）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
15	神経（２）	予習：人体の機能・人体の構造　復習：講義プリント・教科書　学習書用時間目安：合計二時間	五十嵐
成績評価方法と基準			割合
①確認テスト：講義後に毎回実施したものを十五回分合計する　②期末テスト：マーク式　①については、各回とも締切までに未提出の場合は０点とする　②については、期末定期試験期間内に実施する最終成績評価は、①・②の合計を最終成績とする。			①：三割程度 ②：七割程度

授業科目名	外科学各論(循環・呼吸・泌尿器・麻酔・集中治療学)(工学)					
主担当教員	久保　忠彦		担当教員		久保　忠彦	
科目ナンバリング	SS20BMEC031	科目区分	専門基礎分野		ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	後期		曜日・時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修・選択	必修

授業概要

臨床工学技士として必要な外科学の基礎を理解し、病院実習のために必要な知識を修める。

学修目標

本講座では、外科学の基礎を学び、兆候から診断、治療について、総合的に理解することを目的とする。外科学の基礎を理解し、代表的疾患を通じてその病態生理の理解と、応用ができる学力を養成することを目標とする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は基本的に教科書に準じて進め、試験も講義内容から出題するため、日々の講義内容を理解することに努め、予習復習を旨として欲しい。評価に際し、出席、小テストは重視します。

教科書

臨床工学講座　臨床医学総論（篠原一彦著、医歯薬出版株式会社）

参考書

参考書　　分かりやすい外科学（馬場秀夫著、文光堂）

研究室／オフィスアワー

アポイントメント:大阪ベイクリニック 06-6655-0057

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	イントロダクション：授業計画、総論	予習：　復習：　学習時間：	久保　忠彦
2	循環器系の外科１：心筋梗塞、心停止、ショック、弁置換術など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
3	循環器系の外科２：心筋梗塞、心停止、ショック、弁置換術など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
4	呼吸器系および胸部の外科：肺がんなど	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
5	消化器系の外科１：胃がん、大腸がん、食道がん、胆石など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
6	消化器系の外科２：胃がん、大腸がん、食道がん、胆石など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
7	消化器系の外科３：胃がん、大腸がん、食道がん、胆石など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
8	まとめ	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
9	乳腺、内分泌の外科：乳がん、子宮がんなど	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
10	脳神経系の外科：脳腫瘍、脳動脈瘤など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
11	整形外科：人工関節置換術、脊椎手術、先天性股関節脱臼など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
12	腎・泌尿器の外科：前立腺肥大、前立腺がん、膀胱がんなど	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
13	麻酔学：全身、硬膜外麻酔など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦
14	外傷外科	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	久保　忠彦

15	まとめ	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間:合計約1時間	久保　忠彦
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験 DP1,2　２．小テスト DP1,2			1. ９０％　2. １０％

授業科目名	臨床医学演習（工学）				
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗	
科目ナンバリング	SS20BMEC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

臨床工学演習は基本的な生命維持管理技術の理解と治療効果およびチーム医療の中での臨床工学技士の役割や責任等について解説し、臨床実習での事前準備となる臨床工学技士の使命を自覚し臨床工学技士業務に必要な医学知識・臨床推論法・技能・態度を身につけさせることを目標とする。　また、本講義では、地方独立行政法人大阪府立病院機構に勤務されている臨床工学技士の方を招聘し、臨床工学技士の業務を中心に講義を進めていく予定である。また、国立大阪医療センター付属看護学校の学生、本学作業療法学科学生との合同 IPW 論も 2 コマ実施予定である（10 月を予定）。

学修目標

1、臨床工学技士業務における、呼吸・循環・代謝の 3 本柱となる人工呼吸器・人工心肺・人工透析の知識・技能を身につける〈DP①②④〉 2、新たに臨床工学技士の業務となった分野について、知識、技能を身につける〈DP①②④〉 3、臨床実習に必要な態度、能力について自己分析しまとめることができる)〈DP①②④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極性と自主性をもって講義に臨むことを希望します。　時間厳守で開始できるよう予習復習を行い積極的に取り組んでください。

教科書

関連する科目に相当する教科書および資料

参考書

ネットなでで事前に基礎的なサイトを確認しておいてください。

研究室／オフィスアワー

各担当教員の指示に従うこと

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	植え込みデバイス	予習：モードについて調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	木田
2	アブレーション	予習：対象疾患について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	青木
3	特殊血液浄化	予習：対象疾患について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	小西
4	消化管内視鏡	予習：内視鏡の原理、構成について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	宇座
5	麻酔補助	予習：麻酔基礎、モニタリングについて調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	印藤
6	神経モニタリング	予習：神経モニタリングの基礎について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2	祝

		時間程度行うこと	
7	内視鏡外科	予習：内視鏡外科の基礎について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	仕田原
8	末梢血幹細胞採取	予習：対象疾患について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	岩田
9	バスキュラーアクセス	予習：シャントエコーと VA について調べておく　復習:授業や資料をもとに確認･自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	小西
10	小児体外循環	予習:対象疾患について調べておく　復習:授業や資料をもとに確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	塩屋
11	血液浄化	予習：急性期～慢性期の血液浄化について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認･自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	中村
12	安全管理	予習：臨床で実施される安全対策について調べておく　復習：授業や資料をもとに確認･自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	上野山
13	呼吸管理	予習：呼吸器のモードについて調べておく復習:授業や資料をもとに確認･自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	塩屋
14	国立大阪医療センター付属看護学校の学生、本学作業療法学科学生との合同 IPW 論　（10 月に開催予定，日程調整中）	予習：前期で行った IPW 論の症例について復習しておくこと　復習：授業をもとに教科書の確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	藤江
15	国立大阪医療センター付属看護学校の学生、本学作業療法学科学生との合同 IPW 論　（10 月に開催予定，日程調整中）	予習：前期で行った IPW 論の症例について復習しておくこと　復習：授業をもとに教科書の確認・自己学習ノートの作成し自己学習を 2 時間程度行うこと	藤江
成績評価方法と基準			割合
1、授業の参加度，積極性＜DP①④＞　2、定期試験＜DP①②④＞　3、4/5 以上出席すること			1、30%　2、60%

授業科目名	先進科学技術論（工学）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄／稲田　慎／原　良昭	
科目ナンバリング	SS20BMEC039	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

先進科学技術論では、臨床工学や医療機器に関する最先端の知識や学際的な知識を広く学習させることにより、医療人としての将来像の構築、研修・研究などの動機づけの一助とすることを目標として教授する。現在進歩が著しく、将来の発展が期待されている分野のトピックスなどを紹介・教授する。

学修目標

1. 代表的な学習方法について説明できるようになる〈DP①④〉 2. 脳の視覚情報処理機構の知識を身につける。〈DP①④〉 3. 心臓や心筋細胞の働きをイオンチャネルから説明できる。〈DP①④〉 4. 最新の不整脈アブレーション治療の知識を身につける。〈DP①④〉 5. 心臓の電気現象の計測手法に関する知識を身につける。〈DP①④〉 6. コンピュータシミュレーションの医学研究への応用に関する知識を身につける。〈DP①④〉 7. AI 研究の背景・基礎を理解する。〈DP①④〉 8. 医療人として必要な情報セキュリティに関する知識を身につける。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

最新の研究事情やトピックスに触れて、医療人としての知識の幅を広げて欲しいと思います。

教科書

無し。講義資料を配布する。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階研究室 20/金曜日９時～１０時３０分　稲田：C 棟 7 階研究室 14/金曜日 3 限目　原　：C 棟 7 階研究室 19/月曜日 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス及び行動特性に基づいた学習方法　・継続して学習することが必要な医療人として、現在までに提案されている代表的な学習方法を学び、それらの利点･欠点を説明できるようになる。	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	原　良昭
2	心房細動リアルタイム映像化手法に基づくアブレーション治療	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄(ゲストスピーカー)
3	視覚情報処理	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄(ゲストスピーカー)
4	生命科学と医学をつなぐ生体機能シミュレーション	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄(ゲストスピーカー)
5	イメージング科学　･心筋細胞の電気現象の計測原理について説明できるようにする　･マッピングの原理について説明できるようにする	予習：2 時間　電極を用いた細胞外電位の計測原理を理解するためには，電気工学で学んだ電気回路，生体物性工学で学んだ生体の電気的特性を復習しておく必要がある．また，計測対象である洞結節の役割についての知識も必要である．　復習：2 時間講義資料の確認、レポート作成	稲田　慎

6	シミュレーションの医学研究への応用　・コンピュータシミュレーションを不整脈研究に応用した研究の概要を理解する	予習：2時間　講義資料、関連論文の概要を確認し、関連事項について調べる　復習：2時間　講義内容についてまとめ、レポートを作成する	稲田　慎
7	ＡＩ研究の基礎知識　ＡＩ（人工知能）に関して研究の背景や基本用語の理解ができるようになる。	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4時間	中沢　一雄
8	情報処理システムにおける代表的な攻撃手法とセキュリティ対策　・医療現場に対して代表的な攻撃手法が行われた場合にどのような被害が生じるかを学習することで､セキュリティ対策の重要性・必要生を説明できるようになる。	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4時間	原　良昭
成績評価方法と基準			割合
1. 課題評価（レポート提出、内容など）〈DP①④〉　2. 定期試験〈DP①④〉　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は1回目の講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1. 75%　2. 25%

授業科目名	先進計測技術学（工学）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／中村　有希／川村　勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC040	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 2 限、水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

生体計測の基礎としての光、レーザー、超音波などの物理的性質の基盤の元に、周術期および集中治療部門で生体モニタリングに使用されている。先進計測技術学では、近赤外線分光法や電気的速度測定法を用いた循環動態の時間分解分析、電気分析法を用いた体循環における血液ガス分析、電気刺激法を用いた運動誘発電位分析などについて解説し、計測機器の構成及び構造について教授する。さらに、得られた情報を効率よく利用するための時系列データの分析法について教授し、生体の酸素分布情報と組織の機能および循環動態との関連について学びます。

学修目標

1．近赤外分光分析法、電気的速度測定法、電気分析法の計測原理と方法を理解する。<DP①④>　2．組織中の酸素化ヘモグロビン、脱酸素化ヘモグロビンについて理解する。<DP①④>　3．時系列データの分析法について理解する。<DP①④>　4．生体の酸素分布情報と組織の機能および循環動態との関連について理解する。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

近赤外分光分析法はパルスオキシメータの測定原理であるので、この原理を再確認しておくこと。時系列データの分析法は、心電図や脳波のデータ分析に使用されている分析法を再確認しておくこと。

教科書

講義ごとに資料を配布する。

参考書

必要時に講義毎に指定する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7F 教職員室／　面談は可能な限り事前予約すること。メール等により事前連絡・在室時は何時でも大丈夫です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	計測技術学を用いた医療社会の現状	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	布江田
2	近赤外分光分析法の計測原理・近赤外分光分析機器の構造	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	中村
3	機能的近赤外分光分析機器の構造	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	中村
4	電気刺激法の計測原理と機器の構造	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	中村
5	高気圧酸素下における生体の酸素分布	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	川村
6	高気圧酸素下における組織機能との関連	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	川村
7	呼吸機能評価と呼吸介助	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	布江田
8	計測技術学を用いた臨床工学技士業務と現状	予習：　復習：講義内容をまとめる。　2 時間ずつ予習・復習を行う。	布江田

成績評価方法と基準	割合
①定期試験評価<DP①④>　②講義ごとのレポート・課題評価<DP①④>　【フィードバック方法】　講義前後に質問時間を設ける。	①70%　②30%

授業科目名	先進治療技術学（工学）				
主担当教員	五十嵐　淳介		担当教員	五十嵐　淳介／加納　寛也／藤江　建朗／辻　義弘	
科目ナンバリング	SS20BMEC041	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

最新の医療技術について学ぶ。医療ニーズに対応して臨床医学がどのように進歩してきたかをさまざまな観点から俯瞰する。分野で述べると、分子細胞生物学・免疫感染症学・腫瘍医学・組織再生医療学・生体機能代行装置学・臓器細胞工学などである。

学修目標

大目標：　医学・医療進歩の歴史・現状・未来展望について、自らの考えを述べることができる　個別目標：　1）医療技術の進歩によって可能になった新しい診療内容について述べることができる　2）1）の技術的背景について、医学生物学的な知識を踏まえて説明できる　3）1）によって新たに満たされた医療ニーズについて述べることができる　4）1）によっても未だ解決できていない医療ニーズの例を挙げることができる　5）今後どのような医療技術が開発されることが望まれるか、論じることができる　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は一回完結方式とする。特段の予習は要しない。講義は集中して聴講し、授業内レポート（小テスト）を注意深く作成・提出せよ。講義後は配布資料を材料に、医学・医療の過去・現在・未来展望について学習せよ。その際、これまでに履修した医学生物学系科目の内容を基盤とせよ。自らが今後の医療技術発展に貢献するとの意志を持ち、主体的に学習することが望まれる。

教科書

指定しない

参考書

指定しない

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に適宜従うこと

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	動脈硬化予防における血管内皮の役割	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	五十嵐
2	虚血性心疾患に対する血管新生促進治療	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	五十嵐
3	特殊体外循環についての疾患対応	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	加納
4	腸管虚血について	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	加納
5	人工呼吸器関連肺傷害の構成要素と肺保護換気戦略	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	藤江
6	患者-人工呼吸器間の同調性と非同調性因子の対応	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	藤江
7	特殊血液浄化療法について①	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	辻
8	特殊血液浄化療法について②	予習：要しない　復習：講義資料を基に行え（目安：２時間）	辻

成績評価方法と基準	割合
＜評価＞　授業内レポート（小テスト）：各教員の指示に従い、締切厳守で提出せよ：DP①④　※評価は講義単位で実施する：再提出等の指示があった場合は厳守すること　※講義ごとの評点を集計して合格点に満たない場合、再々評価は実施しない　＜評価基準＞　#講義中に提示された題材について、背景と内容を理解している　#上記について、自分の意見を述べられる　#上記について、今後どのような改良案が考えられるか述べられる　#締切までに提出がなかった場合、当該講義評点を 0 点とする　＜フィードバックの方法＞　講義終了後に、授業内レ	100%

授業科目名	機能評価学演習（工学）				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／藤江　建朗／大久保　さやか／楠元　直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

機能評価分析学演習では、生体内の臓器と人工臓器の機能的な違いや特性、さらに具体的な機能評価の方法について理解する。　それぞれの人工臓器、生体機能の測定方法や機能を理解させ解説を行いデータの分析・評価法を教授し、その結果から生体臓器との違いについて理解させる。

学修目標

1、臨床工学技士業務における、呼吸・循環・代謝の 3 本柱となる心臓・腎臓・肺の人工臓器について工学的観点から臨床に必要な知識・技能を身につける。　〈DP①④〉　2、演習に必要な態度、能力について自己分析しまとめることができる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は一回完結方式とする。他の講義にて得た知識をしっかりと復習しておくこと。講義は集中して聴講し、授業内レポート（小テスト）を注意深く作成・提出せよ。自らが今後の医療技術発展に貢献するとの意志を持ち、主体的に学習することが望まれる。

教科書

関連する科目に相当する教科書および資料

参考書

関連する科目に相当する教科書および資料

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従うこと　メール等により事前連絡・在室時は適時対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	機能評価のおけるデータ解析、総論	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
2	血液浄化における機能評価 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
3	血液浄化における機能評価 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
4	血液浄化における機能評価 ③	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
5	人工呼吸器と陽圧人工換気装置	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	藤江
6	人工呼吸器のトリガー機構と換気モード	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次	藤江

		回授業までに自己学習を 2 時間行う	
7	人工呼吸器と Positive End-Expiratory Pressure	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	藤江
8	人工呼吸器のまとめ	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	藤江
9	冠動脈の構造と機能 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	大久保
10	冠動脈の構造と機能 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	大久保
11	冠動脈の構造と機能 ③	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	大久保
12	人工肺の機能 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	楠元
13	人工肺の機能 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	楠元
14	タスクシフトによる CE の役割	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	大久保
15	機能評価学 まとめ	予習：今までの講義内容に沿った教科書および参考資料、作成ノートを用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深めこれまでの項目において自宅で合計 30 時間程度の自己学習をしておくこと	辻
成績評価方法と基準			割合
出席は 4/5 以上の出席を必要とし，その基準を満たした者について成績評価を行う．　1. 小テスト・課題・レポート　2. 定期試験＜DP①④＞			1. 40%　1. 60%

授業科目名	医療情報システム学演習（工学）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄／入江　真行	
科目ナンバリング	SS20BMEC045	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

医療の情報化は着実に進展し、医療のあり方や医療現場の環境を変革しつつある。医療従事者にはその環境の変化に対応するための知識と対応力が求められる。医療情報システム学演習では、医療の情報化の現状、各種の医療情報システムの機能、医療の情報化に関連する法規やガイドライン等を教授するとともに、個人情報としての医療情報の取り扱いについて解説する。さらに、これらの知識を演習問題によって確認させる。

学修目標

医療情報技師能力検定試験（医療情報システム系）に合格できる水準の知識を習得する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療情報の重要性や、病院における部門間の業務連携と情報の流れを理解し、実践に役立てるようにしてください。

教科書

医療情報　第 8 版　医療情報システム編　ISBN978-4-86705-825-1　篠原出版社

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階 研究室 20 / 金曜日９時～１０時３０分　入江：E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction　医療情報システム学を学ぶ重要性	課題：講義の振り返り、レポート作成　復習：講義資料の再確認　学習所要時間目安：2 時間	中沢　一雄 入江　真行
2	医療分野の情報化と医療情報の特性	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
3	病院情報システムの機能（１）	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
4	病院情報システムの機能（２）	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
5	病院情報システムの機能（３）	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
6	病院情報システムの機能（４）	課題：講義の振り返り、レポート作成　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
7	病院情報システムの機能（５）	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
8	病院情報システムの機能（６）	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
9	病院情報システムの機能（７）	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：	入江　真行

		講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	
10	病院情報システムの導入	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
11	病院情報システムの運用	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
12	保健・医療・介護を支える情報システム	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
13	医療情報分野の標準規格	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
14	医療情報分野の関連法規とガイドライン	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
15	医療情報のデータ解析／医療情報分野の今後の展望	課題：講義の振り返り、確認テスト　復習：講義資料、確認テストの再確認　学習所要時間目安：2 時間	入江　真行
成績評価方法と基準			割合
１．各回の講義毎にレポート、演習問題等の課題を課す。〈DP①④〉　２．定期試験〈DP①④〉　１．２．の成績により講義内容が確実に理解できていると評価できれば「可」とする。　4/5 以上の出席を必要とする。			１．30%　２．70%

授業科目名	先進科学技術演習（工学）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭／布江田　友理／五十嵐　淳介	
科目ナンバリング	SS20BMEC048	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限、木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では先進的な医療技術を学ぶための基礎を習得することを目的に、医療ロボット工学の基礎と遺伝子検査学の基礎を演習を通じて学習する。

学修目標

1. ロボットの知覚となるセンサについて説明できるようになる。〈DP①④〉 2. 制御信号の加工を行なう回路について説明できるようになる。〈DP①④〉 3. 制御信号の伝送方法について説明できるようになる。〈DP①④〉 4. センサから得た信号に基づいて出力器の出力を制御するプログラムを作成できるようになる。〈DP①④〉 5. ヒトにおける遺伝の基本を理解し、実践に用いることができる〈DP①④〉 6. 遺伝子検査に用いる機器や器具操作を理解し、実践できる〈DP①④〉 7. 遺伝子検体の基本的な取扱を理解し、実践できる〈DP①④〉 8. 遺伝子解析法の原理と遺伝子検査を理解し、実践できる〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本科目では医療ロボット工学と遺伝子検査学の基礎を学習します。これらの科目では、1 年次から 3 年次前期までの幅広い分野の知識が前提となります。これらの範囲において十分な復習を行っておいてください。

教科書

理系総合のための生命科学 第 5 版～分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ, 東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社, ISBN: 978-4758121026

参考書

RNA 実験ノート 上巻 RNA の基本的な取り扱いから解析手法まで,稲田利文, 羊土社, ISBN: 978-4-89706-924-1　RNA 実験ノート 下巻 小分子 RNA の解析から RNAi への応用まで,稲田利文, 羊土社, ISBN: 978-4-89706-925-8

研究室／オフィスアワー

原　　C 棟 7F 研究室 19 / 月曜日 5 限　布江田　C 棟 7 F 研究室 10　五十嵐　C 棟 7 F 研究室 15

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーションおよび WEB アプリによるライントレースロボットのシミュレーション　・On-Off 制御のプログラムを作成できるようになる。　・P 制御のプログラムを作成できるようになる。　・PID 制御のプログラムを作成できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　・手引書を確認し、教員に確認することをまとめる。 復習時間: 2 時間　復習内容:　・実習内容について要約をまとめる。	原
2	基礎遺伝学（１）: 核酸の構造と DNA の複製	予習時間: 3 時間　予習内容:　・教科書（理系総合のための生命科学 p61-70）を熟読しておくこと。　復習時間: 1 時間 復習内容:　・講義内容について要約をまとめる。	五十嵐
3	基礎遺伝学（２）: 遺伝子の発現	予習時間: 3 時間　予習内容:　・教科書（理系総合のための生命科学 p71-81）を熟読しておくこと。　復習時間: 1 時間 復習内容:　・講義内容について要約をまとめる。	五十嵐
4	基礎遺伝学（３）: 有性生殖と個体の遺伝	予習時間: 3 時間　予習内容:　・教科書（理系総合のための生命科学 p82-92）を熟読しておくこと。　復習時間: 1 時間 復習内容:　・講義内容について要約をまとめる。	五十嵐

5	遺伝子検査学（１）：遺伝子検査学とは	予習時間：2 時間　予習内容：　・遺伝子検査を理解し、検査方法を理解する。　復習時間：1 時間　復習内容：　・遺伝子検査学に使用する試薬や器具、および検査方法を説明できる。	布江田
6	遺伝子検査学（２）：動物組織から DNA 抽出１（エタノール沈殿法）	予習　実習資料を確認する　予習時間：2 時間　予習内容：　・核酸抽出法を理解する。　復習時間：1 時間　復習内容：　・実習に使用した試薬や器具の役割を説明できる。	布江田
7	遺伝子検査学（３）：動物組織から DNA 抽出２（DNA 濃度の定量測定）	予習　実習資料を確認する　予習時間：2 時間　予習内容：　・遺伝子増幅法を理解する。　復習時間：1 時間　復習内容：　・実習に使用した試薬や器具の役割を説明できる。	布江田
8	遺伝子検査学（４）：動物組織から抽出した DNA の増幅（PCR 法）	予習　実習資料を確認する　予習時間：2 時間　予習内容：　・遺伝子解析法を理解する。　復習時間：1 時間　復習内容：　・実習に使用した試薬や器具の役割を説明できる。	布江田
9	遺伝子検査学（５）：動物組織から抽出した DNA の定性評価（電気泳動法）	予習　実習資料を確認する　予習時間：2 時間　予習内容：　・遺伝子解析法を理解する。　復習時間：1 時間　復習内容：　・実習に使用した試薬や器具の役割を説明できる。	布江田
10	医療におけるロボット工学　・医療機器で利用される代表的なセンサについて仕組みを説明できるようになる。　・医療機器で利用される代表的なアクチュエータである DC モータとブラシレス DC モータについて仕組みを説明できるようになる。	予習時間：2 時間　予習内容：　・配布資料を確認し、教員に確認することをまとめる。復習時間：2 時間　復習内容：　・講義内容について要約をまとめる。	原
11	制御信号　・医療機器やロボットのサブシステム同士を通信する電気信号を発生・加工する電気・電子回路について説明できるようになる。	予習時間：2 時間　予習内容：　・配布資料を確認し、教員に確認することをまとめる。復習時間：2 時間　復習内容：　・講義内容について要約をまとめる。	原
12	制御信号の伝送方法(1)　・AD/DA 変換について説明できるようになる。　・デジタルデータにおける符号化について説明できるようになる。　・AM 変調について、変調度を交えて説明できるようになる。　・FM 変調と PM 変調の特徴を他の変調方法と比べて説明	予習時間：2 時間　予習内容：　・配布資料を確認し、教員に確認することをまとめる。復習時間：2 時間　復習内容：　・講義内容について要約をまとめる。	原
13	制御信号の伝送方法(2)　・ASK,FSK,PSK の特徴を説明できるようになる。　・パルス変調について説明できるようになる。　・有線通信で利用されている伝送路について説明できるようになる。　・アンテナの特徴について説明できるようになる。	予習時間：2 時間　予習内容：　・配布資料を確認し、教員に確認することをまとめる。復習時間：2 時間　復習内容：　・講義内容について要約をまとめる。	原
14	ライントレースロボットの作成(1)　・On-Off 制御するライントレースロボット(カメラ 1 台)を作成できるようになる。　・PID 制御するライントレースロボット(カメラ 1 台)を作成できるようになる。	予習時間：2 時間　予習内容：　・手引書を確認し、教員に確認することをまとめる。復習時間：2 時間　復習内容：　・実習内容について要約をまとめる。	原
15	ライントレースロボットの作成(2)　・2 つのカメラを有するライントレースロボットを対象とした On-Off 制御のプログラムを作成できるようになる。	予習時間：2 時間　予習内容：　・手引書を確認し、教員に確認することをまとめる。復習時間：2 時間　復習内容：　・実習内容について要約をまとめる。	
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験<DP①>　※出題範囲：講義にて扱った範囲としますが、詳細は講義中に説明します。　※フィードバック：試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。　2. レポート<DP①④>　※内容：実習内容　※提出期限：講義中に説明します。　※評価内容：講義中に説明します。　※フィードバック：実習終了後に、説明します。			1. 70%　2. 30%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):楠元				
主担当教員	楠元 直樹		担当教員	楠元 直樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

細菌、真菌などの微生物を目標としたオゾン殺菌システムに関する研究を行う。 他にも有害物質や悪臭物質の分解や高分子材料へのオゾン暴露の影響を実験を通して評価する。 研究成果を医療材料のリユースや滅菌コストの抑制などで社会にフィードバックすることを目的とする。 他にも研究可能なテーマを独自で調べ、自主的に研究を行うことも可能である。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し、説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学生自身の積極的な姿勢が大切である。

教科書

指定の教科書はない。

参考書

適宜論文などを参考にする。

研究室／オフィスアワー

随時(要アポイントメント)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容： 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	担当教員全員
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	担当教員全員
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	担当教員全員
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	担当教員全員
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の	担当教員全員

		要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容：　実験仮説を考える。　復習内容：　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	担当教員全員
8	実験仮説の立案②	予習内容：　実験仮説を考える。　復習内容：　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	担当教員全員
9	実験仮説の立案③	予習内容：　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	担当教員全員
10	実験仮説の立案④	予習内容：　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	担当教員全員
11	実験仮説の立案⑤	予習内容：　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	担当教員全員
12	実験仮説の立案⑥	予習内容：　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	担当教員全員
13	実験環境の確立①	予習内容：　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容：指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
14	実験環境の確立②	予習内容：　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容：指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
15	実験環境の確立③	予習内容：　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容：指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
16	実験の遂行①	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
17	実験の遂行②	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
18	実験の遂行③	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
19	実験の遂行④	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
20	実験の遂行⑤	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
21	実験の遂行⑥	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
22	実験の遂行⑦	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
23	実験の遂行⑧	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
24	実験の遂行⑨	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
25	実験の遂行⑩	予習内容：　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作	担当教員全員

		成する。　予習と復習の合算は 4 時間	
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容：　実験結果に対する考察をする。 復習内容：　指摘内容を反映した考察をする。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容：　実験結果に対する考察をする。 復習内容：　指摘内容を反映した考察をする。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容：　実験結果に対する考察をする。 復習内容：　指摘内容を反映した考察をする。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
29	プレゼンテーション準備①	予習内容：　発表資料を作成する。 復習内容：　指摘内容を反映した発表内容を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
30	プレゼンテーション準備②	予習内容：　発表資料を作成する。 復習内容：　指摘内容を反映した発表内容を作成する。　予習と復習の合算は 4 時間	担当教員全員
成績評価方法と基準			割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>			30%　70%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):中村				
主担当教員	中村 有希		担当教員	中村 有希	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

補助循環装置の研究は、ECMOのモニタリング方法の確立と人工心臓の教育方法について行う。 生体情報計測の研究は、近赤外分光装置や副交感神経活動を数値化する装置を用いて、人間の心の数値化を行う。 人工呼吸関連の研究では、モデル肺を用いて、各人工呼吸装置の性能評価などを行う。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

臨床工学技士国家試験問題解説集

参考書

臨床工学技士国家試験 Check UP！ 研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時: ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容: 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村 有希
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村 有希
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村 有希
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村 有希
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村 有希
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時	中村 有希

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	中村　有希

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	中村　有希

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする	1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):川村				
主担当教員	川村　勇樹		担当教員	川村　勇樹	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

機械工学を用いて、医療機器の新しい技術の確立や既存の課題を解決するための機器開発を目指した研究を行う。3 年次では、先行研究を調べ、どのような課題があるのかを把握する。そして具体的な解決策を提案し、課題解決に向けた研究計画を立てることを目的とする。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

毎週の活動時間中に受け付ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時	川村　勇樹

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	川村　勇樹

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	川村　勇樹

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする	1. 50%　2. 50%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):大久保				
主担当教員	大久保 さやか		担当教員	大久保 さやか	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

3年時は、既修得知識や演習での知識を活用し、研究内容を考える。また、研究とは何かを考える。 4年時は、臨地実習等の経験を生かし、虚血性心疾患治療、カテーテル検査関連で得られる生体情報解析、あるいは、アロマセラピーが人体に及ぼす役割について臨床工学の視点から解析していく。 各自のテーマに沿った文献研究とそれらより生じた新たな問題点や疑問点を解明する。希望する者は可能な限り学会発表もしくは本学学術大会での発表を目標に進める。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

火曜日、外勤日 他曜日に関しては随時: ただし、事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容: 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内	大久保

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	
7	実験仮設の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
8	実験仮設の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
9	実験仮設の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
10	実験仮設の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
11	実験仮設の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
12	実験仮設の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容: 指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	大久保

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	大久保

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①> 2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5以上の出席を必要とする	1.60% 2.40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):辻				
主担当教員	辻 義弘		担当教員	辻 義弘	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

血液浄化療法一般、総合的生体情報解析を研究テーマとする．総合的生体情報解析では、人間の行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を調べ，人間の感性という主観的で論理的に説明しにくい反応を科学的手法によって説明し，研究成果を血液浄化療法分野，実社会に還元・応用することを目的とする．

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時: ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容: 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時	担当教員全員

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする	1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):藤江				
主担当教員	藤江 建朗		担当教員	藤江 建朗	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

生体機能計測あるいは人工呼吸器に関するテーマの中から自ら選択し，実験，分析，文章作成とプレゼンテーションを通して研究手法について学ぶ．具体的には，生体計測記録装置を使った生体信号（電気信号や画像など）の記録，保存，解析を行い，生理現象との関連性について解明する．人工呼吸器については，各機種の性能評価を行い特徴について整理し新たな機能の開発を行っていきたい．

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容： 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容： 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容： 学習内	担当教員全員

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
8	実験仮説の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
9	実験仮説の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
10	実験仮説の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする	1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):布江田				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

1．ICT 教材の活用報告は多数されており、ICT 教材を用いた国家試験および各試験対策の教材作成および評価を行います。　2．ウェアラブルデバイスを利用した実習動画教材作成・評価を行い、学習支援法を検討します。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

特になし

参考書

臨床工学技士国家試験 Check UP！ 臨床工学技士国家試験問題解説集　研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時: ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時	布江田

		間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
8	実験仮説の立案②	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
9	実験仮説の立案③	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
10	実験仮説の立案④	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　実験仮説を考える。　復習内容:　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
13	実験環境の確立①	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
14	実験環境の確立②	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
15	実験環境の確立③	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
16	実験環境の確立④	予習内容:　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	布江田

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	布江田

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①> 2. プレゼンテーション内容<DP①④> 4/5 以上の出席を必要とする	1. 60% 2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):原				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療・教育に対する工学的支援を軸に研究を行っており、研究テーマとしては統計・データ処理環境の構築・整備や学習支援機器の開発などです。履修生に割り当てられる具体的な研究テーマは、履修者と対話を重ね決定していきます。本ゼミの目的は、前述した研究テーマの遂行を通じて、課題解決を目的とした計画立案能力や信号・統計処理に基づく各種データの活用能力といった医療人として必要な能力を養うことです。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理科し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階 教職員室 / 前期:金曜日 4 限, 後期:月曜日 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容:　研究倫理について調べて要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容:　研究領域および文献内容の要約を作成する。　復習内容:　学習内	原　良昭

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
8	実験仮説の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
9	実験仮説の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
10	実験仮説の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	原　良昭
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	原　良昭

成績評価方法と基準	割合
1. 研究成果<DP①④> ※評価内容: 講義にて説明します。 ※提出期限: 講義にて説明します。 4/5以上の出席を必要とする	1. 100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):稲田				
主担当教員	稲田 慎		担当教員	稲田 慎	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

卒業研究では研究手法の習得を目的とし，研究テーマの設定，課題解決のための計画立案，研究実施，学内外での研究成果の発表までを 2 年間で行う．研究テーマは，心臓の不整脈発生メカニズム解析を目指した電気現象のシミュレーションや心電図の解析等がある．研究を進めるために必要なプログラミングや可視化手法の技術等を身につけてもらうことを原則とする．

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容: 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内	稲田

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
8	実験仮説の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
9	実験仮説の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
10	実験仮説の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	稲田
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 1 時間	担当教員全員

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は1時間	担当教員全員

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする	1. 60%　2. 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(工学):中沢				
主担当教員	中沢 一雄		担当教員	中沢 一雄	
科目ナンバリング	SS20BMEC049	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜1限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

シミュレーション医工学に関わる研究を行う。生体情報や医療情報に関連する広範な領域において、モデルや可視化・コンピュータシミュレーションを応用した診療支援を図るためのシステム開発やシステム評価などを実施する。基本的に、一般的な情報処理や機器の取り扱いなどに関わる知識を習得した上で、個々の課題の設定から解決、さらに学会発表や研究論文の作成など、研究成果の公表に至るプロセスについても（可能な限り）体験させる予定である。

学修目標

1. 研究倫理について理解し説明できるようになる。〈DP①〉 2. 研究に必要な資料を収集できるようになる。〈DP①④〉 3. 実験・調査などの研究方法を理解し説明できるようになる。〈DP①〉 4. 実現可能な研究計画を作成し、遂行できるようになる。〈DP①④〉 5. 得られた結果を分析し、分析結果から妥当な考察を得ることができるようになる。〈DP①④〉 6. 研究成果をプレゼンテーションすることができるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 指導教員との十分なディスカッションのもと研究活動を進めるが、学生自身の積極的かつ主体的な取り組みも重要である。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料や論文などを随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時: ただし、可能な限り事前に予約を得ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究領域の理解と文献抄読①	予習内容: 研究倫理について調べて要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	中沢 一雄
2	研究領域の理解と文献抄読②	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	中沢 一雄
3	研究領域の理解と文献抄読③	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	中沢 一雄
4	研究領域の理解と文献抄読④	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	中沢 一雄
5	研究領域の理解と文献抄読⑤	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は4時間	中沢 一雄
6	研究領域の理解と文献抄読⑥	予習内容: 研究領域および文献内容の要約を作成する。 復習内容: 学習内	中沢 一雄

		容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	
7	実験仮説の立案①	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
8	実験仮説の立案②	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
9	実験仮説の立案③	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
10	実験仮説の立案④	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
11	実験仮説の立案⑤	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
12	実験仮説の立案⑥	予習内容:　　実験仮説を考える。　復習内容:　　指摘内容を踏まえ、実験仮説を改善する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
13	実験環境の確立①	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
14	実験環境の確立②	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
15	実験環境の確立③	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
16	実験環境の確立④	予習内容:　　立案した実験計画を実施するための実験環境を考案する。　復習内容:指摘内容を踏まえ、実験環境の改善を考える。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
17	実験の遂行（データ収集、分析）①	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
18	実験の遂行（データ収集、分析）②	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
19	実験の遂行（データ収集、分析）③	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
20	実験の遂行（データ収集、分析）④	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
21	実験の遂行（データ収集、分析）⑤	予習内容:　　実施する実験の手順を要約する。　復習内容:　　実施した内容の要約を作成する。　予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄

22	実験の遂行（データ収集、分析）⑥	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
23	実験の遂行（データ収集、分析）⑦	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
24	実験の遂行（データ収集、分析）⑧	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
25	実験の遂行（データ収集、分析）⑨	予習内容:　実施する実験の手順を要約する。 復習内容:　実施した内容の要約を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
26	結果のまとめ、解釈①	予習内容:　計測結果に対する考察を考える。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
27	結果のまとめ、解釈②	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
28	結果のまとめ、解釈③	予習内容:　考察の発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した考察を考える。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
29	プレゼンテーションの準備①	予習内容:　発表資料を作成する。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄
30	プレゼンテーションの準備②	予習内容:　発表練習を行う。 復習内容:　指摘内容を反映した発表内容を作成する。 予習時間と復習時間の合算は 4 時間	中沢　一雄

成績評価方法と基準	割合
1. 提出された研究計画書<DP①>　2. プレゼンテーション内容<DP①④>　4/5 以上の出席を必要とする	1. 50%　2. 50%

授業科目名	薬理学（放射線２年）				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一	
科目ナンバリング	SB20BRSB016	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	３年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜１限
授業形態	講義	単位数	１単位	必修・選択	必修

授業概要

1.　疾患の薬物治療を主点に置き、主要薬物の薬理作用を解説することで、なぜ薬物は病気に効くのか理解することを目指す。　2.　この講義を理解するには生理学・生化学の知識が必要となるため、これらの内容も概説する。　3.　放射線検査時（特に造影検査時）に用いられる医薬品について理解を深める。　4.　チーム医療を担う医療従事者として他のスタッフとともに適切な医薬品の使用に貢献できるようになることを目指す。

学修目標

1. 医薬品の作用機序について理解し、他者に説明できるようになる。　2. X線造影剤・MRI造影剤とはどのようなものか理解し、他者に説明できるようになる。　3.　造影剤の使用によって現れる有害作用について理解し、他者に説明できるようになる。　4. 造影剤の使用によって現れる有害作用の予防方法、回避方法について理解し、他者に説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各回講義時に小テスト（試験範囲は前回講義内容）を実施しますので、復習を欠かさず行ってください。
各種疾患（循環器疾患、感染症、免疫疾患など）に使用する薬剤や、造影剤の種類とその使用時に現れる有害作用について講義します。
化学式などは極力使わず、なぜその薬を使うのか？体はどう反応するのか？に絞って講義していきます。
講義は主に配付資料にて行いますが、関連する他講義（生理学・生化学・病理学・内科学など）の教科書や資料も随時参照して下さい。

教科書

特に指定しない。

参考書

○×問題でマスター薬理学　第３版　執筆：山本浩一　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

さくら棟5F　研究室６　不在の時があるため、事前にメール（kouichi_yamamoto@morinomiya-u.ac.jp）にてアポイントメントを取って頂くと助かります。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	薬理学総論１　「薬・クスリ・医薬品」とは	シラバスを確認しておく	山本浩一
2	薬理学総論２　「薬の効き方、効かせ方」	第１回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
3	中枢神経に作用する薬物	第２回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
4	末梢神経に作用する薬物	第３回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
5	循環器系に作用する薬物	第４回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
6	消化器系に作用する薬物	第５回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリント	山本浩一

		を確認しておく。	
7	代謝機能に作用する薬物	第 6 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
8	内分泌機能に作用する薬物	第 7 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
9	炎症を治療する薬物・免疫系に作用する薬物	第 8 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
10	感染症対策に使用する薬物	第 9 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
11	腎臓・泌尿器系に作用する薬物	第 10 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
12	造影剤の薬理学	第 11 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
13	造影剤の有害作用対策	第 12 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
14	放射線検査と医薬品	第 13 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
15	講義全体のまとめ	第 14 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一

成績評価方法と基準	割合
中間試験と期末試験による評価とします。　なお、出席が規定の回数を満たない場合は期末試験の受験を許可しません。　状況によっては別途課題を与えることがあります。詳細は第 1 回目講義時に説明します。	1 回目中間試験 25%、2 回目中間試験 25%、期末試験 50%を予定しています。変更も有りうるので、詳細は第 1 回目講義時に説明します。

授業科目名	薬理学（放射線３年）				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一	
科目ナンバリング	SB20BRSB016	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	３年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜３限
授業形態	講義	単位数	１単位	必修・選択	必修

授業概要

1.　疾患の薬物治療を主点に置き、主要薬物の薬理作用を解説することで、なぜ薬物は病気に効くのか理解することを目指す。　2.　この講義を理解するには生理学・生化学の知識が必要となるため、これらの内容も概説する。　3.　放射線検査時（特に造影検査時）に用いられる医薬品について理解を深める。　4.　チーム医療を担う医療従事者として他のスタッフとともに適切な医薬品の使用に貢献できるようになることを目指す。

学修目標

1. 医薬品の作用機序について理解し、他者に説明できるようになる。　2. X線造影剤・MRI造影剤とはどのようなものか理解し、他者に説明できるようになる。　3.　造影剤の使用によって現れる有害作用について理解し、他者に説明できるようになる。　4. 造影剤の使用によって現れる有害作用の予防方法、回避方法について理解し、他者に説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各回講義時に小テスト（試験範囲は前回講義内容）を実施しますので、復習を欠かさず行ってください。　各種疾患（循環器疾患、感染症、免疫疾患など）に使用する薬剤や、造影剤の種類とその使用時に現れる有害作用について講義します。化学式などは極力使わず、なぜその薬を使うのか？体はどう反応するのか？に絞って講義していきます。　講義は主に配付資料にて行いますが、関連する他講義（生理学・生化学・病理学・内科学など）の教科書や資料も随時参照して下さい。

教科書

特に指定しない。

参考書

○×問題でマスター薬理学　第３版　執筆：山本浩一　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

さくら棟5F　研究室６　不在の時があるため、事前にメール（kouichi_yamamoto@morinomiya-u.ac.jp）にてアポイントメントを取って頂くと助かります。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	薬理学総論１　「薬・クスリ・医薬品」とは	シラバスを確認しておく	山本浩一
2	薬理学総論２　「薬の効き方、効かせ方」	第１回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
3	中枢神経に作用する薬物	第２回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
4	末梢神経に作用する薬物	第３回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
5	循環器系に作用する薬物	第４回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
6	消化器系に作用する薬物	第５回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
7	代謝機能に作用する薬物	第６回講義時にTake home messageを伝えるので、それに関連する教科書・プリント	山本浩一

		を確認しておく。	
8	内分泌機能に作用する薬物	第 7 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
9	炎症を治療する薬物・免疫系に作用する薬物	第 8 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
10	感染症対策に使用する薬物	第 9 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
11	腎臓・泌尿器系に作用する薬物	第 10 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
12	造影剤の薬理学	第 11 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
13	造影剤の有害作用対策	第 12 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
14	放射線検査と医薬品	第 13 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
15	講義全体のまとめ	第 14 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
成績評価方法と基準			割合
中間試験と期末試験による評価とします。　なお、出席が規定の回数を満たない場合は期末試験の受験を許可しません。　状況によっては別途課題を与えることがあります。詳細は第 1 回目講義時に説明します。			1 回目中間試験 25%、2 回目中間試験 25%、期末試験 50%を予定していますが、変更もあります。詳細は第 1 回目講義時に説明します。

授業科目名	ICT 活用の理論と実践（教職課程:看護）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング		科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

ICT 活用の理論と実践では、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方並びに児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

学修目標

１．情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。　２．情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。　３．生徒に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教育実習に向けて学校現場での ICT の活用について知っておこう。

教科書

適宜指示する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４F　第 11 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ICT 活用の理論と実践のオリエンテーション	自身の ICT スキル、学校での活用経験などを確認しておく。	阿部
2	ICT 教育の現状：学校現場への導入と活用の現状	学校現場における現状の活用状況についてまとめる。	阿部
3	ICT 教育の理論:ICT 機器活用による効果(個別最適化・プログラミング)	各校種における ICT 教育の基礎理論についてまとめる	阿部
4	ICT 教育の理論：情報共有の利点と活用に必要な情報モラル	教育すべき情報モラルについてまとめる。	阿部阿部
5	ICT 教育の理論：情報セキュリティの保障について	学校で必要となるセキュリティについてまとめる。	阿部
6	ICT 教育の実践：学習指導と校務システム（教科学習・カリキュラムマネジメント）	ICT 活用事例を検索し、その特徴をまとめる（課題）	阿部
7	ICT 教育の実践：ｅポートフォリオの活用（個別指導支援計画・学習成果履歴管理）	ｅポートフォリオ活用の利点、効果をまとめる。	阿部（AT 依頼）
8	ICT 教育の可能性：ICT を活用した学習環境デザイン	ICT を活用した未来の教室、学校のデザインを考える（課題）	阿部

成績評価方法と基準	割合
① ICT 活用の環境デザインについてのレポート　② ICT を活用した指導案と模擬授業　③ ICT 教育の理論と実践のまとめレポート　④ 各授業における振り返り　によって、総合的に判断する。	①20% ②30%　③20% ④30%

授業科目名	臨床支援技術学（工学）				
主担当教員	大久保 さやか		担当教員	大久保 さやか／中村 有希／楠元 直樹／川村 勇樹	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床支援技術学では、医療現場において臨床工学技士が担う役割や必要な技術、知識を学ぶことを目的とする。 本科目では、内視鏡機器や心血管カテーテル関連機器の取扱い、患者支援技術、チーム医療における役割分担について学習し、実践的な技術を習得する。

学修目標

1, 臨床支援技術に必要な医療機器の取扱い方法を理解する。〈DP①〉 2, 内視鏡治療・検査および心血管カテーテル技術の基礎を習得する。〈DP①〉 3, チーム医療の一員として適切に役割を果たすことができる。〈DP①〉 4, 安全管理および保守点検技術を習得する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

必要に応じて外部講師を招くことがある。 欠席数が規定以上の場合、単位取得が認められないことがある。 グループディスカッションも必要な場合は適宜取り入れる。 教員は外勤や出張などで不在の場合があるため、質問や相談がある場合は事前にアポイントメントを取り、スムーズな連絡・対応に努めること。

教科書

1、やさしくわかる心臓カテーテル第二版 齋藤滋 監 高橋佐枝子 編 島袋朋子編 照林社 9784796524971 2、消化器 内視鏡看護 青木亜由美/河上真紀子著 秀和システム ISBN:978-4-7980-6198-6 C3047

参考書

開講中の医用治療機器学および２年までに開講された医用工学、医用機器学概論、の教科書 配布資料がある場合は配布資料 ・ME の基礎知識と安全管理 南江堂 ISBN: 978-4-524-20417-5 ・最新臨床工学講座 医用治療機器学 医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-73461-2 ・臨床工学技士標準テキスト

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階 教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床支援技術学総論	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間) 復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか
2	臨床的な病態の理解 - 心疾患（虚血性心疾患、心不全、不整脈)、血管疾患（血管閉塞、動脈瘤)、消化器疾患、呼吸器疾患、泌尿器疾患	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間) 復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希 川村勇樹 楠元直樹
3	内視鏡関連技術① - 解剖と病態、基本操作手順	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間) 復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希 川村勇樹 楠元直樹
4	内視鏡関連技術② - 検査技術	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間) 復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希 川村勇樹 楠元直樹
5	内視鏡関連技術③ - カメラワークの特徴	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間) 復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希 川村勇樹 楠元

			直樹
6	心・血管カテーテル治療① – 解剖・疾患（虚血）	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
7	心・血管カテーテル治療② – 解剖・疾患（不整脈）	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
8	心・血管カテーテル治療の実際 – 臨床応用	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
9	心･血管カテーテル関連機器と血管イメージング – IVUS、OCT、FFR、OFDI	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
10	PCI の基礎と技術 – 手技と合併症対策	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
11	アブレーションの基礎と原理と装置の特徴	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
12	アブレーションの機器の実際（術中対応）	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
13	植込み型心臓デバイスの原理・構造 – 装置の基本設計と構造	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
14	植込み型心臓デバイス機器管理の実際 – 装着から退院後の管理	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
15	総括	予習：シラバス確認・講義内容の把握(2 時間)　復習：キーワード確認・講義ノートの完成(2 時間)	大久保さやか 中村有希　川村勇樹　楠元直樹
成績評価方法と基準			割合
①課題評価（レポート提出、内容など）＜DP①④＞　③定期試験＜DP①④＞			①レポート提出（40%）　②定期試験（60%）

授業科目名	特殊血液浄化療法学（工学）				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

臨床工学技士の業務の中でも重点的に関わりの多い血液浄化業務について，本講義では血液浄化の対象となる疾患やその病態に対する血液浄化療法（アフェレーシス療法）について講義する.

学修目標

血液浄化療法（アフェレーシス療法）についての基礎知識の習得を目標とする.

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)毎回，講義スライドを印刷したプリントと演習問題のプリントを配布する．各講義の予習・復習は必ず行うこと．　2)適宜，小テスト，課題，レポートを課す．　3)血液浄化業務は臨床工学技士にとって非常に重要な科目の 1 つであるので積極的な態度と姿勢で授業へ参加すること.

教科書

人体のメカニズムから学ぶ臨床工学　血液浄化学　メジカルビュー社（ISBN978-4-7583-1715-3）

参考書

臨床工学講座　生体機能代行装置学　血液浄化療法装置　日本臨床工学技士教育施設協議会　医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-73464-3

研究室／オフィスアワー

在室していればいつでも対応します.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	血液浄化療法の基礎 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
2	血液浄化療法の基礎 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
3	血液浄化の対象となる各疾患とその病態 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
4	血液浄化の対象となる各疾患とその病態 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
5	血液浄化の対象となる各疾患とその病態 ③	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
6	血漿交換療法 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
7	血漿交換療法 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考	辻

		資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	
8	血漿交換療法 ③	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
9	血漿交換療法 ④	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
10	血漿交換療法 ⑤	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
11	血漿吸着療法 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
12	血漿吸着療法 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
13	血漿吸着療法 ③	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
14	直接血液吸着療法 ①	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
15	直接血液吸着療法 ②	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	辻
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験評価　出席：4/5 以上を必要とし，その基準を満たした者について成績評価を行う.			1. 100%

授業科目名	医療機器安全管理学（工学）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／藤江　建朗	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

医療の進化が、医療機器を進化させ、近年、病院では医療機器安全管理責任者が設置されている。臨床工学技士業務の一つとして医療機器の安全管理があるため、医療機器安全管理責任者は臨床工学技士がなることが望ましい。本講義では、医療機器の安全管理の基礎概念から点検方法を含めた安全対策、病院の電気設備および事故事例をもとに医療機器の安全管理を教授する。

学修目標

1. 医療機器の生体および他の機器への影響を説明できる。〈DP①④〉 2. 医療機器の安全基準について学び、そのための安全対策法を説明できる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書の「授業計画」欄に記載されている内容に相当する部分を予め読み、講義後は、疑問点を放置せず、自ら解決できるように努力し、授業内容を自分自身の言葉でまとめ直すこと。

教科書

ME の基礎知識と安全管理　南江堂　ISBN:　978-4-524-26959-4　人工呼吸ケア トラブル回避力アップガイド　ISBN-13 : 978-4-8404-7747-5

参考書

・臨床工学講座 医用機器安全管理学 医歯薬出版株式会社 ISBN: 978-4-263-73415-5　・講義中に紹介する書籍

研究室／オフィスアワー

各教員　研究室および教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	安全管理とは	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	布江田
2	エネルギーと生体反応の関係・電撃に対する生体特性ーマクロショック・ミクロショック	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	布江田
3	医用機器の漏れ電流と許容値	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	布江田
4	病院電気設備の安全基準１－接地・EPR システム	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	布江田
5	病院電気設備の安全基準２－非接地配線方式・非常電源	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	布江田
6	医療ガスに関する安全基準	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	布江田
7	電磁環境	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	布江田
8	安全管理技術１―保守点検技術	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノー	布江田

		トの完成（2 時間）	
9	安全管理技術２－システム安全	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）。	布江田
10	まとめ１	予習：講義１～９の復習（2 時間）　復習：キーワード確認･講義ノートの完成(2 時間)	藤江、布江田
11	洗浄・消毒・滅菌	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	藤江
12	リスク・マネジメント	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	藤江
13	危険予知トレーニング	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	藤江
14	医療安全管理の実際	予習：シラバス確認・講義内容の把握（2 時間）　復習：キーワード確認・講義ノートの完成（2 時間）	藤江
15	まとめ２	予習：講義１～14 の復習（2 時間）　復習：キーワード確認･講義ノートの完成(2 時間)	藤江、布江田
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①平常点評価（受講態度、小テストなど）　②試験評価＜DP①④＞ ＜フィードバックの方法＞　小テストまたは課題について、講義後に講評を発表する。			①30% ②70%

授業科目名	患者支援学（工学）					
主担当教員	藤江　建朗		担当教員		藤江　建朗／加納　寛也	
科目ナンバリング		科目区分			ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

医療機器の操作に関連した臨床支援を行うにあたり，患者の状態を把握する能力であるフィジカルアセスメントに着目し，臨床工学技士に必要なフィジカルアセスメント能力の基礎が身に付くよう授業を進めていきます．具体的には，患者を理解するため，個人の理解と疾患の理解に重きを置き情報収集能力の基礎を身につけれるよう進めていきます．また，患者を理解するうえで，患者観察法と評価法，薬剤と薬剤投与に関する患者観察法，患者の安楽となる体位の評価法，医療関連機器圧迫創傷の評価，その予防と管理などについて知識を深めれるよう講義を進めていきます．　　また，本講義ではグループワークを頻回に行っていきます．

学修目標

・フィジカルアセスメントに関心を抱き，能動的，かつ協働的に取り組むことができる．<DP①>　・疾患の理解や患者個人の役割や理解をする過程を経て，フィジカルアセスメントの基礎知識を身につけることを到達目標としています．<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・人体の構造，および人体の機能で習った知識が必要となります．かなりの復習をして講義に臨んでください．　・講義は指定教科書により進めますが，参考書の内容も使用します．また，必要に応じて内容をまとめたものをプリントで配布する予定です．

教科書

１．フィジカルアセスメントがみえる，医療情報科学研究所（編集），メディックメディア，ISBN-13 ： 978-4896325669
２．看護がみえる vol.5 対象の理解Ⅰ，医療情報科学研究所（編集），メディックメディア，ISBN-13 ： 978-4896329230
（この教科書は 2 年生前期で購入済）

参考書

授業内で適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

月曜 13：00 から 1 時間ですが在席していればいつでも可．アポイントメントを取ると確実にコンタクト可能です．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	この教科の目的，ガイダンス　フィジカルアセスメントの概要について　患者の理解①　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
2	患者の理解①　グループワーク　理解した患者について発表する（まずは教員から）	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
3	患者の理解②　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
4	患者の理解②　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
5	患者の理解②　グループワーク　理解した患者の発表	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
6	患者の理解③　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要	藤江

		時間目安：合計二時間）	
7	患者の理解③　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
8	患者の理解③　グループワーク　理解した患者の発表	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
9	患者の理解④　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
10	患者の理解④　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
11	患者の理解④　グループワーク　理解した患者の発表	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
12	患者の理解⑤　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
13	患者の理解⑤　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
14	患者の理解⑤　グループワーク	予習：人体の構造，人体の機能の授業内容 復習：講義プリント，指定教科書　（所要時間目安：合計二時間）	藤江
15	患者の理解⑤　グループワーク　理解した患者の発表	予習：シラバス・教科書の確認　復習：期末テストに向けて15コマの授業内容を復習する（30時間）	藤江
成績評価方法と基準			割合
①授業の参加度，積極性＜DP①＞　②定期試験＜DP①＞			①30%　②70%

授業科目名	医療機器安全管理学実習（工学 B）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／藤江　建朗／大久保　さやか／川村　勇樹	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限、火曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床工学技士の重要な業務である医用機器安全管理業務について、実習を通して学ぶ。実習では、医用電気安全通則や病院電気設備の JIS による安全基準を理解するため、医用機器の漏れ電流や電源プラグの保持力などを測定する。また、医療ガスに関する安全基準を点検器具を用いて測定する。さらに、医用機器の操作方法を理解し、事故を防止するための保守点検方法（定期点検、日常点検など）を理解し、実践する。最後に、医療機器の危険状態を模擬し、危険予知トレーニングを行う。

学修目標

医用機器安全管理学で習得した知識をもとに、実際に医用機器の操作及び安全点検を行うことができる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。無断の遅刻・欠席は厳禁です。また、臨床現場で実践している外部講師も招待するため、臨床実習を想定し、実習に取り組んで下さい。

教科書

人工呼吸ケア トラブル回避力アップガイド　ISBN-13 ： 978-4-8404-7747-5

参考書

･ME の基礎知識と安全管理　南江堂　ISBN: 978-4-524-26959-4　･臨床工学講座 医用機器安全管理学 第 2 版 医歯薬出版株式会社 ISBN; 978-4-263-73415-5　･実習前に配布される実習書や参考資料（プリント）

研究室／オフィスアワー

各教員　研究室および教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療ガス　保守点検技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　大久保
2	医療ガス配管設備とアウトレット　保守点検技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
3	清潔・不潔の操作技術取得 1	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　大久保
4	清潔・不潔の操作技術取得 2	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　大久保
5	保護接地線抵抗測定、消費電流測定	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成	川村

		含む）を行う。	
6	電気手術器の保守点検の技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　大久保
7	生体情報モニタの保守点検の技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　大久保
8	除細動器の保守点検の技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　大久保
9	輸液ポンプ･シリンジポンプの保守点検の技術習得1	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
10	輸液ポンプ･シリンジポンプの保守点検の技術習得2	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
11	医療機器のトラブル対応1（危険予知トレーニング）	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　布江田
12	医療機器のトラブル対応２（シミュレーション）	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　布江田
13	麻酔器　特性などの基礎知識	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
14	麻酔器　保守点検および技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
15	まとめ（実技復習）	予習：シラバスの確認・実習内容の見直し　復習：キーワードの確認・実技復習　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　藤江 大久保　川村
成績評価方法と基準			割合
全実習の出席を求む。各項目のレポートを提出することが必要である。　①平常点評価（受講態度、発表内容、議論への貢献度など）<DP①④>　②課題　実技評価(レポート提出内容など)<DP①④>　③定期試験<DP①④>　　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭またはMOIRIPA「課題管理」内のフィードバック機能を活用する。			1. 10%　2. 60%　3. 30%

授業科目名	医療機器安全管理学実習（工学 A）				
主担当教員	布江田　友理		担当教員	布江田　友理／藤江　建朗／大久保　さやか／川村　勇樹	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限、火曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床工学技士の重要な業務である医用機器安全管理業務について、実習を通して学ぶ。実習では、医用電気安全通則や病院電気設備の JIS による安全基準を理解するため、医用機器の漏れ電流や電源プラグの保持力などを測定する。また、医療ガスに関する安全基準を点検器具を用いて測定する。さらに、医用機器の操作方法を理解し、事故を防止するための保守点検方法（定期点検、日常点検など）を理解し、実践する。最後に、医療機器の危険状態を模擬し、危険予知トレーニングを行う。

学修目標

医用機器安全管理学で習得した知識をもとに、実際に医用機器の操作及び安全点検を行うことができる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

あらかじめ実習書・講義資料・教科書などを参考に、実習内容について十分下調べを行った上で、目的意識を持って積極的に実習に臨んでください。無断の遅刻・欠席は厳禁です。また、臨床現場で実践している外部講師も招待するため、臨床実習を想定し、実習に取り組んで下さい。

教科書

人工呼吸ケア トラブル回避力アップガイド　ISBN-13 ： 978-4-8404-7747-5

参考書

･ME の基礎知識と安全管理　南江堂　ISBN: 978-4-524-26959-4　･臨床工学講座 医用機器安全管理学 第 2 版 医歯薬出版株式会社 ISBN; 978-4-263-73415-5　･実習前に配布される実習書や参考資料（プリント）

研究室／オフィスアワー

各教員　研究室および教職員室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療ガス　保守点検技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　大久保
2	医療ガス配管設備とアウトレット　保守点検技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
3	清潔・不潔の操作技術取得 1	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　大久保
4	清潔・不潔の操作技術取得 2	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　大久保
5	保護接地線抵抗測定、消費電流測定	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1 時間予習・復習（レポート作成	川村

		含む）を行う。	
6	電気手術器の保守点検の技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　大久保
7	生体情報モニタの保守点検の技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　大久保
8	除細動器の保守点検の技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　大久保
9	輸液ポンプ･シリンジポンプの保守点検の技術習得1	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
10	輸液ポンプ･シリンジポンプの保守点検の技術習得2	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
11	医療機器のトラブル対応1（危険予知トレーニング）	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　布江田
12	医療機器のトラブル対応２（シミュレーション）	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	藤江　布江田
13	麻酔器　特性などの基礎知識	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
14	麻酔器　保守点検および技術習得	予習：シラバスの確認・実習書の熟読・実習準備　復習：キーワードの確認・レポート作成　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田
15	まとめ（実技復習）	予習：シラバスの確認・実習内容の見直し　復習：キーワードの確認・実技復習　1時間予習・復習（レポート作成含む）を行う。	布江田　藤江 大久保　川村
成績評価方法と基準			割合
全実習の出席を求む。各項目のレポートを提出することが必要である。　①平常点評価（受講態度、発表内容、議論への貢献度など）<DP①④>　②課題　実技評価(レポート提出内容など)<DP①④>　③定期試験<DP①④>　　【フィードバック方法】　レポートの返却はしない。　レポートで指摘・注意が必要な場合は、口頭またはMOIRIPA「課題管理」内のフィードバック機能を活用する。			1. 10%　2. 60%　3. 30%

授業科目名	総合評価実習（工学）				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／加納　寛也／布江田　友理／藤江　建朗／大久保　さやか／中村　有希／楠元　直樹／井本　勝久／川村　勇樹／教員未確定	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床実習は養成課程において臨床現場で直接学ぶことのできる最初にして唯一の機会であり，幅広い知識・技能の習得を極めて短い期間で要求される．　本講義・実習を通して臨床実習に臨むために必要な知識・技術，患者対応及び臨床実習の効果を確認し，臨床工学技士としての基礎的な実践能力を身につける．

学修目標

医療における臨床工学の重要性を理解し，かつ，患者への対応について臨床現場で学習し，チーム医療の一員としての責任と役割を理解する．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学生自身の主体的かつ積極的な取り組みを求める．

教科書

臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本 改訂 2 版，髙橋純子，丸善出版，ISBN 978-4621307687

参考書

これまでに履修した科目の教科書および参考図書，授業資料

研究室／オフィスアワー

随時：ただし，可能な限り予約を得ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	接遇と個人情報の取扱いについて	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
2	基礎的な知識・技術について	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
3	対人関係技術について	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，

			川村 勇樹，井元 勝久
4	レポートの書き方・指導	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
5	血液浄化療法関連実習 ①	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
6	血液浄化療法関連実習 ②	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
7	呼吸療法関連実習 ①	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
8	呼吸療法関連実習 ②	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各1時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
9	循環器関連実習 ①	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
10	循環器関連実習 ②	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直樹，川村 勇樹，井元 勝久
11	治療機器関連実習 ①	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納 寛也．布江田 友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有

			希，楠元 直 樹，川村 勇 樹，井元 勝久
12	治療機器関連実習 ②	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納寛也．布江田友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直 樹，川村 勇 樹，井元 勝久
13	医療機器管理業務関連実習	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納寛也．布江田友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直 樹，川村 勇 樹，井元 勝久
14	臨床実習の基本的な流れについて	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納寛也．布江田友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直 樹，川村 勇 樹，井元 勝久
15	臨床実習に対する目標作成	予習：教科書の当該範囲を読む　復習：講義内容の整理と不明点を理解する　各 1 時間ずつ	辻 義弘，加納寛也．布江田友理，藤江 達朗，大久保 さやか，中村 有希，楠元 直 樹，川村 勇 樹，井元 勝久
成績評価方法と基準			割合
1．課題，実習および授業態度・意欲等を総合的に評価する　2．実習報告書および各実習内で行う実技試験　DP ①④			1．20%　2．80%

授業科目名	教育行政学（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	松田　智子		担当教員		松田　智子／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACB007	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

教育行政とは、「国や地方公共団体の自治体が、教育政策を実現するため、教育法規を基礎に教育制度を運営し、教育条件の整備と教育活動の規制・助成を行うこと」である。　教育行政学に関して、受講者がこれまでの学校教育の中で経験した教育行政の一端を振り返り、現状の学校での法的な課題等を理解する。　教育行政施策に関するマスコミ報道等を手掛かりとしながら、日本の教育行政の現状と今後の課題について把握し、法律を教職生活に有効に活用できるようにする。

学修目標

１．現代の学校教育について制度的事項について基本的な知識を身につける　２．教育行政を巡る今日的な課題について理解することができる。　３．学校と地域との連携に関する課題や今後の在り方を理解する。　４．学校安全への対応に関する基本的知識を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーナーになること。　２．限られた時間内で一定程度の文章を書く習慣を身に付けること。　３．問題意識を持って受講すること。　４．授業中の携帯電話等の使用はしないこと。

教科書

「人間教育を実践する教師への道―教師の仕事と教育行政―」　阿部秀高著　　株式会社 ERP

参考書

必要に応じて紹介する。

研究室／オフィスアワー

事前にメールで連絡を取り、来室すること。随時受け付ける。　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　「教育行政学」の学びのアウトラインを知る	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに今後の学修方法を確認する（2 時間）	松田　智子
2	公教育の原理と思想について学ぶ　公教育の概念や公教育の原理について、憲法と教育基本法を中心に学ぶ	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：三原則の具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
3	教育基本法と憲法の関係性を理解する。　日本の法体系の基本を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：憲法・教育基本法・(2 時間)	松田　智子
4	教育基本法を根底とした学校教育法を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめ、ミニテストの学習をする。(2 時間)	松田　智子
5	学校教育法と学校教育法施行規則を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：法律と政令と規則と条例の関係についてまとめる 400 字（2 時間）	松田　智子
6	教育職員免許法と同法施行規則を理解する。　教員養成法の歴史的な流れと、今後に期待されていることを理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：現在の教員制度の課題を３つまとめる(2 時間)	松田　智子
7	地方教育行政の組織及び運営に関する法律について理解する　地方教育行政の役割と教育委員会の制度について理解する。　学校教育法から地方教育委員会の条例への連続性について把握する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：教育委員会の法的な業務が、自分の学校生活にどのように関係をしていたかを振り返る（2 時間）	松田　智子

8	教育課程行政　教育課程に関する法制度と教科書採択等について理解する　義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：義務教育諸学校の教科用図書の無償措置の 5 条について具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
9	教育財政と学校財務　教育費の基本原理や教職員にかかる経費について学ぶ　学校における財政を具体的に把握して、教育財政を身近なものと理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
10	学校保健安全法と同法施行規則を理解する。 防犯・安全対策及び学校事故への安全対策と災害に対する備えについて学ぶ　学校事故の現状を理解し、過去の判例から具体的に教員の安全義務の責務を知る　感染症等の対応や健康診断の位置づけを理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校保健安全について、国と都道府県と市町村と学校の義務と責任について整理する。	松田　智子
11	地方公務員法について理解する　公立学校の教師としての禁止事項、制限事項、義務等について理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：過去の具体的な教師の問題行動を調べ、地方公務員法と照らし合わせる（2 時間）	松田　智子
12	教育公務員特例法について理解する　公務員である教員と一般公務員との違いを理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
13	いじめ防止対策法について理解する　いじめ問題への対応及び学校における衛生・健康管理について、法的な根拠を明確にして学ぶ　いじめの 4 層構造と学級構造の関係を理解し、過去の判例から具体的に教員の責務を知る	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：実際の事例から、いじめ防止対策法の成果と限界について調べる（2 時間）	松田　智子
14	労働基準法について理解する　社会人の一員として働く基本の法律を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校の教員の働き方改革と労働基準法との関係を調べる(2 時間)	松田　智子
15	課題レポート　講義全体を振り返り、学修状況を確認する。	予習：講義内容の振り返りをしておく（2 時間）　復習：振り返りのミニレポートを書く 8000 字（2 時間）	松田　智子
成績評価方法と基準			割合
１．授業中記録した学びの履歴シート【５０%】　２．最終回の課題レポート【３０%】　３．授業での発言、主体的な学びの姿勢【２０%】			１．５０% ２．３０% ３．２０%

授業科目名	教育心理学（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACB008	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 6 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育心理学は心理学で得られた知見を教育現場に応用する科学である。学校教育を考える上で、教育心理学に関するさまざまな知識や技術を習得し、それらを利用しながら教育に関わる現象を分析的に捉えることは重要である。また、近年、「不登校」「いじめ」「学級崩壊」「学習障害」といった学校をめぐる出来事が社会問題化してきている。この授業では、教育心理学の基本的知識を正確に理解し、実際の教育現場をイメージしながら考える基礎を養うことを主な目的としている。

学修目標

(1) 乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達及び発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得している。 (2) 主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方などについて、発達の特徴と関連づけて理解している (3) 教育における心理学の意義を理解し、具体的な問題解決を志向する態度を身につけている。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業前に配布する資料を熟読して授業に備えること。授業後には講義内容を復習し、次回授業冒頭の小テストに備えること。小テストは自己採点して、答えられなかった部分については、前回資料をよく復習して、知識を確実なものにしておくこと。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	発達と教育①　－乳幼児期～幼児期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
2	発達と教育②　－学童期～思春期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
3	発達と教育③　－青年期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
4	記憶のしくみを知る　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
5	記憶に残る教授法を考える　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
6	学習のしくみを知る　－学習心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
7	行動のしくみを知る　－応用行動分析－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テス	高木

		トを見直して知識を確認すること	
8	「やる気」の心理学　ー動機づけ心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
9	授業に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
10	評価の心理的影響を知る	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
11	性格の把握と学べる集団作りを知る　ー性格心理学・社会心理学―	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
12	発達障害への対応を知る　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
13	児童生徒に見られる心の問題　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
14	教師の専門性とカウンセリングマインド　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
15	個別指導に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習としてまとめテストに備えること、復習としてまとめテストの誤答を見直して知識を確認すること	高木
成績評価方法と基準			割合
①毎回の講義で実施される、グループワークによる課題　②毎回の講義で個人で作成する、講義内容に関するリフレクションシート　③期末テスト			①25%　②25%　③50%

授業科目名	教育課程論（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	河原　和之		担当教員	河原　和之	
科目ナンバリング	SE20BACB010	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育課程とは、カリキュラム（Curriculum）の訳語であり、学校における教育計画の全体像といってよい。この時間は、日本における教育課程の編成と具体的事例について提案し議論する

学修目標

日本における教育課程をめぐる現実の問題と課題、そして具体例について習得する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ネット情報や新聞をよく読むとともに、メディアの報道にも日常的に注意を払いながら、日本における現実の教育問題について把握するように努力してほしい。

教科書

なし。授業時に資料やワークシートを用意する。

参考書

授業中において適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業時に連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認(30)　復習：学習の心構えや受講注意　アイスブレーキング(30)	河原
2	教育課程の歩み	予習：学習指導要領の歴史の概略を知る(45)復習：学習指導要領変化の要因を確認(15)	河原
3	教育課程と学習観	予習：系統主義か問題解決学習か(45)　復習：テーマによる学習方法の違いを確認(15)	河原
4	教育課程と学習指導要領	予習：部活動の位置づけや変化など(10)復習：上記について自分の意見を書く(60)	河原
5	主体的、対話的な深い学び１	予習：学習指導要領を読む(30)　復習：授業を受けポイントをまとめる(45)	河原
6	主体的、対話的な深い学び２	予習：河原　ＮＨＫわくわく授業の分析(60)　復習：河原授業の成果と課題の整理(15)	河原
7	主体的、対話的な深い学び３	予習：実践事例を書く(60)　復習：分析をまとめる(20)	河原
8	主体的、対話的な深い学び４	予習：学生による実践事例を読む　(30)復習：分析をまとめる(30)	河原
9	キーコンピテンシー１	予習：コミュニケーション力を中心に予習(15)　復習：授業時のワークショップを整理(45)	河原
10	キーコンピテンシー２	予習：ディベート力を中心に予習(30)　復習：授業時のワークショップを整理(30)	河原
11	キーコンピテンシー３	予習:発表力を中心に予習(15)　復習:他者のプレゼンの成否について整理(45)	河原

12	キーコンピテンシー４	予習：企画・参画力を中心に(15)　復習：企画・参画型の事例を開発(60)	河原
13	キーコンピテンシー５	予習：学校行事の具体例の調べる(30)　復習：学校行事の意義についてまとめる(45)	河原
14	キーコンピテンシー６	予習：総合的な学習の意義と具体的事例(45)　復習：総合的な学習の事例の分析(45)	河原
15	講義全体のまとめと振り返り	予習：授業から学んだことの整理（15）　復習：　まとめの感想を書く(60)	河原
成績評価方法と基準			割合
１　レポート　授業指導案、総合的な学習、各種行事など　２　プレゼン　授業、各種発表など　３　最終レポート「授業をうけて学んだこと考えたこと」　４　授業への姿勢　　詳細は、授業中に説明する			１　３０％ ２　３０％ ３　２０％ ４　２０％

授業科目名	保健体育科教育法Ⅰ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC001	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

・学習指導要領の歴史的変遷を学び、その時代に求められてきた保健体育科教育を取り巻く実情を理解する。　・保健体育科教育に求められる安全でかつ運動に親しむ能力を高め、心身の健康の増進を図り、体力の向上をめざした理論を学ぶ。　・学習指導要領に示された各運動領域における特性やねらいを実際の教育現場で活用できるよう単元計画及び学習指導案を作成し，模擬授業において実践する。

学修目標

① 学習指導要領における高等学校の科目体育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 高等学校の科目体育の学習評価の考え方を理解している。 ④ 高等学校の科目体育の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・教員免許取得のための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・高等学校保健体育科教諭一種（中学校保健体育科教諭一種）の資格取得をめざすための授業です。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

高等学校学習指導要領　中学校学習指導要領　その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学習指導要領及びその解説の内容把握及び授業計画立案能力、学習指導案作成能力の育成	予習：学習指導要領解説保健体育編・体育編　第 1 章総説　第 1 節改定の経緯及び基本方針（P1～P5）の通読　復習：保健体育科の目標、科目体育の目標の確認	酒井　智　荒木寛巳
2	学習指導要領の歴史的変遷「改定の経緯及び基本方針」	予習：教科書　①学習指導要領の解説（P6～P12）の通読　復習：心と身体の一体化について、論じられるようにしておく	酒井　智　荒木寛巳
3	学習指導要領の特性「保健体育科改訂の趣旨及び要点」	予習：学習指導要領　第 1 章総説　第 2 節保健体育科改定の趣旨及び要点の 1.2（P6～P12）の通読　復習：学習指導要領改訂の基本的な考え方（三本柱）について、確認する。	酒井　智　荒木寛巳
4	学習指導要領「保健体育科の目標及び内容」	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　第 2 節各科目の目標及び内容「体育」(P28～32）の通読　復習：　科目体育の目標を確認しておく	酒井　智　荒木寛巳

5	保健体育科教育の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　第2章保健体育科の目標及び内容　第2節各科目の目標及び内容「体育」　の通読（P33～41）　復習：アクティブラーニングについて確認する。	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り(体つくり運動:実生活に生かす運動の計画）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（器械運動：マット運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（陸上競技：走運動、短距離走）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（陸上競技：跳運動、走り幅跳び）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（球技：ゴール型、バスケットボール）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（球技：ネット型、バレーボール）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（ダンス）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業実施　　体育理論　　内容確認と教材づくり	予習：学習指導要領保健体育編　P176～ｐ186 通読　復習:リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
14	保健体育科教員に求められる資質と能力	予習：保健体育科教員に求められる資質と能力について考えを求めておく　復習：教員について、資質や適性について確認する	酒井　智　荒木寛巳
15	高等学校科目体育の講義全体のまとめ	予習:リフレクションペーパー整理　復習:科目体育の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①　授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②　学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの作成　③　課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①　20%　②　50%　③　30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅱ（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	荒木　寛巳			担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC002	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

・高等学校における保健体育科教育の学習内容を理解したうえで，高等学校での科目保健の内容を理解するとともに、科目の単元計画や学習指導案を立案する。また，立案した学習指導案にそって模擬授業を行う。　・保健体育科教育法Ⅰで学習している知識や技能関連付けて総合的、実践的に理解を深める。また、発達段階に応じた校種の連携を考慮しつつ、高等学校における科目保健の授業に求められる心身ともに安全で健康的な生活を送るための理論と実践を学び、科目保健の各単元におけるねらいを実際の教育現場で活用できる方法を考える。

学修目標

① 学習指導要領における高等学校の科目保健の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 高等学校の科目保健の学習評価の考え方を理解している。 ④ 高等学校の科目保健の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・教員免許取得のための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・高等学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。授業準備に特に時間をかけて臨んでください。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

・高等学校学習指導要領　・中学校学習指導要領　・高橋健夫ほか　「体育科教育学入門」　大修館書店　・その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学習指導要領の主旨と法的根拠	予習：学習指導要領　保健体育編　解説 P1～P16 を読んでおく　復習：本時の授業の振り返りをしておく	酒井　智　荒木寛巳
2	科目保健の目標と教材研究の実際	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P197～198）の通読　復習：「健康」についての理解を深めておく	酒井　智　荒木寛巳
3	科目保健の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P137～140）の通読　復習：改訂後新しく単元として入った内容について、理解しておく	酒井　智　荒木寛巳

4	科目保健の指導案作成と教材作り	予習：学習指導要領　第2章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P137～140）及び解説（P16～18）の通読　復習：本時の学修内容の振り返りを行う	酒井　智　荒木寛巳
5	健康と安全、健康についての課題の学修を深める	予習：学習指導要領　解説第2章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P198～215）の通読　復習：本時の学修内容の振り返りを行う	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施とリフレクション（現代社会と健康「現代の感染症とその予防」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施とリフレクション（現代社会と健康「精神疾患の予防と回復」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施とリフレクション（安全な社会生活「応急手当」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施とリフレクション（生涯を通じる健康「生涯の各段階における健康」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施とリフレクション（生涯を通じる健康「労働と健康」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施とリフレクション（健康を支える環境づくり「食品と健康」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施とリフレクション（安全な社会生活「安全な社会づくり」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施とリフレクション（現代社会と健康「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
14	情報機器を用いた指導案の作成	予習：体育の授業で活用可能なICT教育について調べておく　復習：ナレーションを入れた教授用資料を作る	酒井　智　荒木寛巳
15	高等学校科目保健の講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：科目保健の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの記入・活用　③課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅲ(教職課程:鍼灸)				
主担当教員	荒木 寛巳		担当教員	荒木 寛巳／酒井 智	
科目ナンバリング	SE20BACC003	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

・学習指導要領の歴史的変遷を学び、その時代に求められてきた保健体育科教育を取り巻く実情を理解する。 ・保健体育科教育に求められる安全でかつ運動に親しむ能力を高め、心身の健康の増進を図り、体力の向上をめざした理論を学ぶ。 ・学習指導要領に示された各運動領域における特性やねらいを実際の教育現場で活用できるよう単元計画及び学習指導案を作成し，模擬授業において実践する。

学修目標

① 学習指導要領における中学校の科目体育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 中学校の科目体育の学習評価の考え方を理解している。 ④ 中学校の科目体育の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・中学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。 ・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示） 解説 保健体育編」 東山書房 ・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示） 解説 保健体育編・体育編」 東山書房 ・「現代高等 保健体育」 （保体 701）大修館書店 ・「最新中学校 保健体育」（保体 050-72） R7 新刊 大修館書店 ・ステップアップ高校スポーツ 大修館書店 ・ステップアップ中学体育 大修館書店 保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

・高等学校学習指導要領 ・中学校学習指導要領 ・高橋健夫ほか 「体育科教育学入門」 大修館書店, 2013 その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階 研究室９ 火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	中学校学習指導要領及び中学校学習指導要領解説 保健体育科編の学修 （学習指導要領の変遷や解説の総説への理解）	予習：中学校学習指導要領、学習指導要領解説の P1～P5 の通読 復習：学修した内容の振り返りをする	酒井 智 荒木寛巳
2	中学校学習指導要領解説 保健体育科編の内容の学修 現代の中学生の現状理解	予習：中学校学習指導要領解説 保健体育科編の内容を通読する 復習：新しい学力観について、論じられるようにしておく	酒井 智 荒木寛巳
3	中学校学習指導要領 解説 保健体育科編における体育分野の目標についての学修	予習：中学校学習指導要領 解説 保健体育科編 第 2 章保健体育科の目標及び内容 第 1 節教科の目標及び内容（P24～P29）の通読 復習：体育分野の目標について理解を深める	酒井 智 荒木寛巳
4	中学校体育分野における授業計画及び単元計画の作成方法の学修 中学生の発育発達の理解	予習：学習指導要領 解説 保健体育科編 第 2 章保健体育科の目標及び内容 第 2 節各科目の目標及び内容 体育分野 1.2.3 年（P30～P43）の通読 復習：本時の学修の	酒井 智 荒木寛巳

		振り返りを行う	
5	体育学習における観点別評価の学修	予習：指導案の目標と評価について考察しておく　復習：評価の目的と評価の方法を振り返っておく	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施と事後検討　（体つくり運動：体ほぐし運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施と事後検討（器械運動：跳び箱運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施と事後検討(器械運動:鉄棒運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施と事後検討（陸上競技：跳運動、走り高跳び）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施と事後検討（陸上競技：ハードル走）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施と事後検討（球技：ネット型、バドミントン）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施と事後検討（球技：ベースボール型）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施と事後検討（体育理論）	予習：体育学習指導要領解説　保健体育科編　体育理論について（P70～P75）の通読 復習:オリンピック・パラリンピックについて資料を通じ理解を深める	酒井　智　荒木寛巳
14	体育分野の教材であるスポーツのについての関連する法律や実施施策等の学修	予習:スポーツに関連した新聞、ネット記事を見ておく　復習：スポーツの文化的価値について、資料を振り返り、理解を深める	酒井　智　荒木寛巳
15	教科教育法Ⅲの講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：体育分野全般の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの記入・活用　③課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅳ（教職課程：鍼灸）					
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智		
科目ナンバリング	SE20BACC004	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択		

授業概要

・中学校学習指導要領における保健分野の目標、内容等を理解するとともに、校種間の連携を考慮しつつ中学校における保健分野に求められる心身ともに安全で健康的な生活を実践できるための理論と技能を学修する。　・学校現場で活用できるよう保健分野の単元計画及び学習指導案を作成し、模擬授業において実践方法を学修する。

学修目標

① 学習指導要領における中学校の科目保健の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。　② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。　③ 中学校の科目保健の学習評価の考え方を理解している。　④ 中学校の科目保健の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。　⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

・中学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。店

参考書

中学校学習指導要領　高等学校学習指導要領　日本保健教育学会　「保健科教育法入門」　大修館書店　その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	学習指導要領の主旨と法的根拠、学習指導要領解説　保健体育編の総則の学修	予習：中学校学習指導要領解説や保健体育科編の総説の要点を理解しておく　復習：本時の学修を振り返る	酒井　智　荒木寛巳
2	保健分野の目標、内容と校種間の連携	予習：学習指導要領解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「健康な生活と疾病予防」の読通	酒井　智　荒木寛巳
3	保健分野の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「心身の機能の発達と心の健康」の通読	酒井　智　荒木寛巳
4	保健分野の単元計画と学習指導案作成	予習：学習指導要領解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「傷害の防止」の通読	酒井　智　荒木寛巳

5	健康、安全と体育との関連についての学修	予習：学習指導要領解説　保健体育科編　第2章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書　単元「健康と環境」通読	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施と事後検討(健康な生活と疾病の予防「健康の成り立ちと疾病の発生要因」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施と事後検討(健康な生活と疾病の予防「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施と事後検討(健康な生活と疾病の予防「感染症の予防」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施と事後指導(応急手当の意義と実際)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施とリフレクション(欲求やストレスへの対処と心の健康)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施とリフレクション(自然災害による傷害の防止)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施と事後検討(飲料水や空気の衛生管理)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施とリフレクション(身体機能の発達)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
14	保健関係における校種間の組織の連携	予習：地域・家庭・保健所・養護教諭と保健の授業との関連について調べておく　復習：中学校と高等学校の体育、保健の関連性について考察する	酒井　智　荒木寛巳
15	教科教育法Ⅳの講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：授業全体の考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業の取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成　（模擬授業の実践指導、リフレクションペーパー記入・活用　③課題レポート　（授業内容の把握、課題内容の充実）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	道徳教育論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	福島 信也		担当教員		福島 信也	
科目ナンバリング	SE20BACB011	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日・時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修・選択	必修

授業概要

本授業では、『特別の教科・道徳』の授業づくり（中学校５０分）を実践的に学びます。 2018 年度から小学校、2019 年度から中学校で特別の教科「道徳科」になり、教科書が配布されています。中学校の教育実習では、道徳科授業も 担当する学校が増えています。 また、新高等学校学習指導要領(2019.4/1～2022.3/31 移行期間.2022 年 4/1 より施行)の主な改善事項の一つに、「道徳教育の充実」が挙げられ、 全ての教師が協力して道徳教育を展開することを規定(総則)しています。 生徒たちが興味をもって深い学びを得られる授業をどうしたらできるでしょうか。 学校現場の様子(出前授業等の録画視聴もあります)も説明しながら、受講者同士の話し合い（グループ活動)、教材 や授業方法の検討、学習指導案作成、プチ模擬授業(個人またはグループ)などを通して、これらの問題を考えていきます

学修目標

※学校における道徳教育の位置づけやねらい、内容について理解する ●『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成 29 年 7 月)』 の重要事項について、答えることができる。 ●「道徳とは何か」、「なぜ必要なのか」など、説明することができる。 ※道徳科授業の実践に資する知識や技能を身につける ●生徒たちの道徳性の発達や興味・関心、社会的要請などを踏まえ、50 分の道徳科指導案を作成する。(全員必修) ●作成した学習指導案をもとに、プチ模擬授業(個人またはグループ)をする。(全員必修) ●道徳科授業に興味・関心をもち、教育実習では道徳科授業に活かすことができるようにする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

●授業で配布したプリントは、必ずファイル（綴じ込んで保存） すること。 ●プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること。 ●授業で配布した課題プリントは、必ず提出すること。 ●教材をじっくり読み込んで(何回も)、学習指導案を作成をすること。

教科書

使用しない。プリントを配布します。

参考書

●文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」平成２９年７月 ●授業は配布するプリントに基づいて行います。 学校現場で役立つ内容が含んでいるプリントを用意します。 プリントは実践に活かすことができるので、ファイル(綴じ込んで保存)すること。 その他、参考となる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	道徳科の素晴らしさ ～ オリエンテーション・出前授業の様子 ～ 【プリント以外で配布するもの】 ・学習指導要領解説(特別の教科 道徳編) ・道徳教材集(冊子)	「道徳教材集」読む(2 時間)	福島信也
2	道徳科授業を知る（１） ～ 流れを知る！導入・展開・終末 ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)	福島信也
3	道徳科授業を知る（２） ～ 展開・板書について ～	プリント復習(0.5 時間) 課題プリント(1 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)	福島信也
4	「特別の教科 道徳」の改訂のポイント ～ 教科化になった理由など ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間) 「道	福島信也

		徳教材集」読む(1 時間)	
5	道徳科授業の指導法 （1） ～ 指導案作成のポイント ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間)	福島信也
6	道徳科授業の指導法（2） ～ 評価･中心発問について ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間) 「道徳教材集」を読み、教材分析(1 時間)	福島信也
7	道徳科授業の指導法（3） ～ 発問の工夫･教材分析について ～	プリント復習(0.5 時間) 課題プリント(1 時間) 「道徳教材集」を読み、教材分析(1 時間)	福島信也
8	道徳科授業の指導法 （4） ～ 多様な手法を使って、多面的・多角的な思考を促す ～ ・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習(1 時間) 課題プリント(1 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間)	福島信也
9	道徳科授業の指導法 （5） ～ 問題解決的な学習・体験的な学習について ～	プリント復習(1 時間) 指導案作成(1 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間)	福島信也
10	道徳科授業の指導法（6） ～「総合学習」と関連させた授業(展開)について ～ ・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
11	道徳科授業の指導法 （7） ～ 指導案をチェックして、指導案作成に役立てる ～ ・研究授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
12	道徳科授業の指導法 （8） ～ 指導案をグループで高め合う､授業のトラブル＆ピンチについて ～ ・プチ模擬授業準備 ・指導案提出	プリント復習､模擬授業準備(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
13	プチ模擬授業(個人またはグループ)（1） ～ みんなで討議 ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1.5 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
14	プチ模擬授業(個人またはグループ)（2） ～ みんなで討議 ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1.5 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
15	プチ模擬授業(個人またはグループ)（3） ～ みんなで討議、まとめ(理想の道徳科授業) ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業の準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●プチ模擬授業は全員が行います。 ●学習指導案は全員が提出します。(学習指導案は、コメント等を記載してから返却します) ●授業では、課題（プリント・学びのプロセス 等）を提出します。(課題プリントは、コメント等を記載してから返却します)			●プチ模擬授業(個人またはグループ)：20～25% ●道徳指導案 ：20～25% ●授業内課題 ：50～60%

授業科目名	特別活動論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	天野　義美		担当教員	天野　義美		
科目ナンバリング	SE20BACB013	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

①「人間形成の重要な部分を特別活動が担う」という視点から、特別活動の特質や意義、活動内容、指導方法などについて考察する。　②一方的な講義に終始するのではなく、話し合いや担当者自身の教育実践の紹介を織り交ぜながら、特別活動の大切さを共に追究する。　③本授業では、特別活動の理論と指導法について、概論（第１回）→総論（第２～４回）→各論（第５～８回）→細論（第９～１４回）→まとめ（第１５回）で展開し、それぞれの理解を図ったうえで、最後にレポートの提出を課す。

学修目標

①本授業に積極的に参加し、特別活動に関する基礎的な知識を修得できるようにする。　②授業内容を踏まえて、特別活動の教育的意義について自己の考えを確立できるようにする。　③教育の今日的課題の解決に向けて、特別活動の果たすべき役割を理解できるようにする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①中高生の現状や課題に関心を持ち、その原因と対策、解決への道筋などを教育課題として、主体的に授業に臨むこと。②「為すことによって学ぶ」という特別活動の方法原理に基づいて、授業中のグループワークや演習にも、自主的、実践的に参加すること。　③授業での配布資料として、「PowerPoint のスライド画面」と「復習用補助説明」を提供するので、それを活用して学修内容の定着に努めること。　④資料の末尾に【本日の課題】を提示しているので、授業日を含めた 3 日以内に、添付の課題回答用紙を用いて MORIPA で提出すること。　⑤授業中のスマホ使用は認めない。（減点の対象になる場合もあるので厳守のこと）

教科書

なし（講義の中で資料を配布する）

参考書

「やさしく学ぶ特別活動」　赤坂雅裕他（ミネルヴァ書房）　「中学校学習指導要領解説　特別活動編」　　文部科学省（ぎょうせい）　「高等学校学習指導要領解説　特別活動編」　文部科学省（海文堂出版）　「学級・学校文化を創る特別活動　中学校編」　　国立教育政策研究所（東京書籍）

研究室／オフィスアワー

授業終了後、教室内及び講師控室で質問を受ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	特別活動の概要　　・特別活動とは何か？　　・学校教育での位置付け	予習：学校教育における特別活動とは何か。(90 分)　復習：教育課程に位置付いている特別活動の内容を確認する。(90 分)　課題：第１回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
2	特別活動の特質　　・子どもの現状と課題　　・特質と方法原理	予習：教育の課題解決に向けて、特別活動が果たす役割とは何か。(90 分)　復習：特別活動の特質、方法原理を確認する。(90 分)　課題：第２回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野

3	特別活動の変遷　・歴史的な歩み　・今回の学習指導要領の改訂	予習：特別活動の歩みと指導要領との関連はどうなっているのか。(90 分)　復習：特別活動の変遷と、今回の学習指導要領の改訂の主旨を理解する。(90 分)　課題：第３回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
4	特別活動の目標と内容　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　・校種間の関連	予習：小・中・高の特別活動の目標、教育的意義、内容とは何か。(90 分)　復習：特別活動の目標・意義・内容について確認する。(90 分)　課題：第４回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
5	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　・展開事例	予習：学級活動の目標、及び、それを達成するための内容にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：学級活動の目標・意義・内容について理解する。(90 分)　課題：第５回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
6	生徒会活動の目標と内容　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　・展開事例	予習：生徒会活動の目標、及び、それを達成するための内容にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：生徒会活動の目標・意義・内容について理解する。(90 分)　課題：第６回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
7	学校行事の目標と内容①　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　〇儀式的行事　〇文化的行事	予習：学校行事の目標、及び、それを達成するための内容（儀式的行事、文化的行事）にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：学校行事の目標・意義・内容について理解する。(90 分)　課題：第７回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
8	学校行事の目標と内容②　・内容とその取扱い　〇健康安全・体育的行事　〇旅行・集団宿泊的行事　〇勤労生産・奉仕的行事　・展開事例	予習：学校行事の目標、及び、それを達成するための内容（健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事）にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：学校教育における学校行事の果たす役割について整理する。(90 分)　課題：第８回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
9	特別活動の指導計画　・全体計画　・３内容の相互関連　・年間指導計画	予習：特別活動を効果的に展開するための指導計画はどのようになっているのか。(90 分)　復習：特別活動の全体計画、並びに、それぞれの年間指導計画を理解する。(90 分)　課題：第９回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
10	特別活動と他の教育活動との関連　・各教科との関連　・道徳科との関連　・総合的な学習の時間との関連	予習：特別活動と、教育課程に位置付く他の教育活動との相互関係はどうなっているか。(90 分)　復習：各教科・道徳科・総合的な学習の時間との教育的な関連を整理する。(90 分)　課題：第１０回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
11	特別活動と学校・学年・学級経営　・人間関係の形成　・社会性の育成（社会参画）　・生徒指導の充実（自己実現）	予習：円滑な学級経営を図る上で、特別活動が果たす役割や機能をどう捉えるべきか。(90 分)　復習：学校・学年・学級経営にお	天野

		ける特別活動の役割や重要性を理解する。（90 分） 課題:第１１回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	
12	特別活動の指導実践ー学級活動の(1)【学級や学校における生活づくりへの参画】を中心にー ・指導の実際 ・事前―本時ー事後の流れ ・学習指導案の作成	予習:学習指導案の一般的な形式・書式、書き方、内容はどのようになっているのか。（90 分） 復習:学級活動の活動過程と、一時間の学習指導案の要点を把握する。(90 分） 課題:第１２回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
13	特別活動の評価 ・学力の捉え方 ・特別活動で育つ力 ・評価の実際	予習:評価の持つ意味と、特別活動の評価のあり方とは何か。(90 分） 復習：生徒のよさを積極的に認めて評価することの意義を理解する。(90 分） 課題：第１３回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
14	特別活動をめぐる諸問題 ・理解の深化 ・学校力・教師力 ・活動時間の確保	予習:特別活動の充実を図るために、学校や教師に必要なこととは何か。(90 分） 復習:特別活動の活動時間の確保について、考察する。(90 分） 課題：第１４回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
15	これからの学校教育と特別活動、講義のまとめ ・課題と展望 ・特別活動に求められるもの ・キーワードでの振り返り ・全体のまとめ	予習:これからの学校教育の中で、特別活動に期待されることとは何か。授業で出てきたキーワードをもとに、特別活動論の講義を振り返る。(90 分） 復習：特別活動に関する知識・理解を確実なものにする。(90 分) 課題：第１５回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
成績評価方法と基準			割合
①レポート（DP④に対応)、課題等の提出物（DP④に対応)、授業参加度・授業態度により、総合的に評価する。 ・注：授業中のスマホ使用は厳禁。声掛けに従わない場合は、減点の対象とする。 ②全授業回数の３分の１を超えて欠席している者は、評価対象外とする。(正当な理由のない遅刻・中抜け・早退は、２回で欠席１回相当とみなす。） ・例：欠席５回と遅刻または早退１回で、評価対象外となる。 ③フィードバック ・レポート:提出期限後の数週間以内に MORIPA で授業者の所見を提供するので、提出したレポート内容と比較して考え			・レポート（５０%） ・課題回答等の提出物（３０%） ・授業参加度、授業態度（２０%）

授業科目名	教育方法論（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング	SE20BACC014	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）では、これからの社会を担う生徒に求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用しながら、授業、教育活動を行う上で必要となる基礎的な知識・技能を身に付ける。

学修目標

学校における教育課程を編成，展開する教育方法についての基礎的基本的な内容を学び，教育方法の技術の基礎を身に付けることを目標とする。あわせて，学生自身が受けてきた授業を相対化することによって，教育方法を柔軟に捉え直すことを目指す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の課題に対して自分の学びをレポートすることによって、教育方法や技術に対する理解を深め、日常生活においても活用してもらいたい。

教科書

適宜指示する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４F　第５研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育内容と教育方法　生徒に何を（教育内容）どのように（教育方法）教えるのかをその一連の過程における原理と方法を学ぶための導入を行う。	「教育方法」の意味について調べておく。学んだ教育の原理・方法を簡潔にまとめる。	阿部
2	基礎的･基本的な知識及び技能を確実に習得させるための教育方法　　学力の重要な要素の一つである基礎的･基本的な知識及び技能を育成する教育方法について学ぶ。	基礎的・基本的知識技能について学んだことをまとめる。	阿部
3	思考力・判断力・表現力等を育むための教育方法　学力の重要な要素の一つである思考力・判断力・表現力等を育成する教育方法について学ぶ。	思考力・判断力・判断力の内実、関係をまとめる。	阿部
4	主体的に学習に取り組む態度を養うための教育方法　　学力の要素の一つである主体的に学習に取り組む態度，学習意欲を高める教育方法について学ぶ。	学習意欲の喚起、主体的な学びができた場面を想起しておく。（課題）	阿部
5	個性を生かす教育の充実を図るための教育方法　個に応じた指導の充実など，現在求められている指導の工夫改善等について幅広く考える。	既有知識を確認し、授業内容を予想しておく。求められている指導の工夫改善について簡潔にまとめる。	阿部
6	生徒理解の方法と実践　　生徒理解の重要性と教育相談のあり方､人間関係の構築の方法などについて学ぶ。	生徒指導や相談について経験を想起しておく。　生徒理解の重要性について自分の考えをまとめる。	阿部
7	これからの時代に求められる資質･能力と教育方法　　学習指導要領の理念である生きる力や，求められるスキル等を育成する教育の実践について考える。	「求められる資質・能力」とは？について考えをまとめておく。これから求められる教育実践の方向性についてまとめる。	阿部
8	教育課程編成の理論と方法　　学習指導要領に基づいた，各学校における教育課程編成の実際に	教育課程の編成について学んだことをまとめる。	阿部

	ついて学ぶ。		
9	年間の指導と評価の計画の作成方法　　各学校の教育課程に基づく具体的な年間の指導と評価の計画の作成について考える。	年間指導計画作成の重要性についてまとめる	阿部
10	学習指導案の作成方法　　各学校の年間の指導と評価の計画に基づく具体的な学習指導案の作成について考える。	学習指導要領について情報を集める。学習指導案の試案について自分の考えをまとめる。(課題)	阿部
11	授業づくりと教材研究の方法　　学習指導要領において求められる各教科等の授業づくりと教材研究の在り方を考える。	教材研究の方法について学んだことをまとめる。	阿部
12	メディアと教育方法　　学習指導におけるＩＣＴ等の活用について学び、授業に活用する方法について考える。	ICT 活用授業の経験を想起しておく。これからの ICT 活用方法についてまとめる。(課題)	阿部
13	学習評価の意義と方法　　指導と評価の一体化の重要性を学びその具体的な展開について考える。	学習評価についての経験を想起しておく。指導と評価の一体化の重要性についてまとめる。	阿部
14	近年の教育問題について確認しておく。興味を持った教育時事について考えをまとめる。	タイムリーな課題　　各回で取り上げることが出来なかった話題で，タイムリーなものや現代教育の課題について学ぶ。	阿部
15	授業の総括として，これまでの学びである教育方法の習得についてふり返り、まとめる。	これまで書いた各回の振り返りをもとに自分の問題意識をレポートする準備をしておく。	阿部
成績評価方法と基準			割合
①毎回の授業にて書くレポート　②課題　③論述試験としての最終レポート　④授業中の発言・プレゼン			①30% ②30% ③30% ④10%

授業科目名	教育相談の基礎と方法（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉		
科目ナンバリング	SE20BACB016	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

教育相談は、児童・生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしたながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。原題社会の児童・生徒の発達の状況を理解し、個々の心理的特質や教育的課題を適切にアセスメントし、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。

学修目標

（1）学校における教育相談の意義と理論を理解できるようになる。　（2）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（アセスメント法・カウンセリング技法）を理解できるようになる。　（3）教育相談の具体的な進め方やポイント、組織的な取組や連携の必要性を説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ロールプレイ・議論等のアクティブ・ラーニングを実施しますので、積極的な参加を期待します。

教科書

文部科学省『生徒指導提要』教育図書

参考書

講義時に適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育相談の意義と課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
2	教育相談の定着に向けた課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
3	教育相談に関わる心理学の基礎理論	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
4	学校教育におけるカウンセリングマインドの意義と問題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
5	カウンセリングの技法：受容・傾聴・共感的理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及	高木

		び各自のノートを学習しておくこと。	
6	カウンセリングの基礎（1）：行動療法	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
7	カウンセリングの基礎（2）：認知行動療法とマインドフルネス	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
8	カウンセリングの基礎(3):パーソンセンタード・アプローチとブリーフ・カウンセリング	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
9	教育相談計画：チーム学校と保護者理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
10	教育相談の展開（1）：いじめ・不登校	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
11	教育相談の展開（２）：虐待・非行	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
12	予防的な教育相談:アセスメントとソーシャルスキル	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
13	協働としての教育相談：カウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
14	専門機関（医療・福祉・心理等）との連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	講義全体の配布資料を確認しておくとともに、重要部分について復習をしておく。	高木
成績評価方法と基準			割合
毎回の講義で、グループワークによる課題解決型の課題を実施する。また、毎回の講義の最後に、個人ごとにリフレクションシートを作成する。講義の最後に、講義全体に対する確認テストを行う。			グループワーク課題（20%）　リフレクションシート（30%）　確認テスト（50%）

授業科目名	教育実習事前事後指導（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智／阿部　秀高／松田智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC017	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育実習にあたり、教育実習の意義を認識させるとともに、実習に対する基本的な心構えや指導技能を学修し、実習に対する実践力を身に付ける。　また、教育実習終了後においても、実習評価簿及び教育実習ノートに記載された内容により、改善事項を考察するとともに、事後の大学生活に活かす能力を身に付ける。

学修目標

教育実習に活用できる実践力を身に付けるとともに、事後に反省を生かす取組を進める。また、教員としての使命感、倫理観、授業展開力を養う。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学校教育現場の具体的な場面を想定しての授業を展開するので、体験してきた中学校、高等学校生活をも参考に、生徒に具体的に指導できる方法考えておくこと。

教科書

文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編」　文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　保健体育・体育編」

参考書

新・めざそう保健体育教師（朝日出版）

研究室／オフィスアワー

11 研究室　火曜日 13:00～14：30　　金曜日１０：４０－１４：３０　９研究室　火曜日 16：20～17：50

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	・教育実習の目的と意義　・教育実習の心構え・準備しておくべき事項　・教育実習経験者（4 年生）から話を聞く	予習：教育実習の内容について情報を収集し、準備に必要なものを調べておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部秀高　酒井　智　荒木寛巳
2	・ラジオ体操の基本技術・理論の理解　・学校における保健体育科教員の業務	予習：実技の準備体操で多用されるラジオ体操の歴史、特長等について調べておく。（1 時間）　予習：保健体育科教員の仕事内容について、調べておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
3	授業展開方法①(体育実技種目の理解と実技力修得)	予習：。学校で指導される競技種目の特長、歴史、ルールについて理解する。実技の課題の整理しておく。((1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。体育実技の準備体操に多用されるラジオ体操の基本について理解を深める。(1 時間)	酒井　智　荒木寛巳
4	授業展開方法②(体育実技種目の理解と実技力修得)	予習：学校で指導される競技種目の特長、歴史、ルールについて理解する。実技の課題の整理しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。(理解した基本に基づき、実践力をつけるため、繰り返し練習する) (1 時間)	酒井　智　荒木寛巳
5	授業展開方法③(体育実技種目の理解と実技力修	予習：学校現場で教材となる競技種目の特	酒井　智　荒

	得）	長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	木寛巳
6	授業展開方法④(体育実技種目の理解と実技力修得）	予習：学校現場で教材となる競技種目の特長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
7	授業展開方法⑤(体育実技種目の理解と実技力修得）	予習：学校現場で教材となる競技種目の特長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
8	学校教育の概要と教員に求められる資質	予習：教育の現状及び教員に求められる資質について調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
9	学級活動、ホームルームの課題と展開	予習：学級活動・ホームルームについて情報を収集し、準備に必要なものを調べておく。（1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
10	特別支援教育の現状と課題	予習：特別支援教育についての情報を収集しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
11	学校体育と障がい者スポーツ	予習：障がい者スポーツについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
12	ＩＣＴを活用した授業実践	予習：ＩＣＴを活用した授業についての情報を収集し整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
13	学校の課題の現状と理解①	予習：学校の課題について、情報を収集し整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
14	学校の課題の現状と理解②	予習：前時に学修した内容について整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
15	授業のまとめと課題整理	予習：学修した教育実習受講時の要領および要点を整理し、課題解決方策のため情報を収集する。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高 酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①　筆記試験（競技ルール）　②　実技理解試験　③　授業への取組姿勢			60%　30%　10%

授業科目名	特別支援教育概論（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	加藤　美朗		担当教員	加藤　美朗	
科目ナンバリング	SE20BACB009	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

通常の学級にも在籍している特別な教育的ニーズを有する幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法、および特別支援教育を推進するための施策や連携のあり方等について学修する。

学修目標

１．障害のある幼児、障害特性および基本的な支援について説明できる。　２．特別支援教育の基本的理念やシステムについて説明できる。　３．障害者に対する差別の現状と課題について背景も含めて理解し、理解啓発について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．毎回の授業で課すワークシートへの記入を行うこと。　２．授業全般をとおして、より適切な自己の障害観の構築に努めること。　３．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

なし

参考書

大阪府教育センター作成冊子「大阪の支援教育（https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/9319/r6_pdf.pdf)」　上記以外にも授業中に適宜資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟１階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	特別支援教育の前提となる障害者の処遇や歴史	予習：「大阪の支援教育」をダウンロードして目をとおしておく　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
2	近年の障害者施策(ノーマライゼーションからインクルージョンへ)	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
3	特別支援教育の特徴およびシステム	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
4	知的障害あるいは自閉症のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
5	発達障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
6	肢体不自由や重複障害のある児童生徒の障害特性および自立活動	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗

7	視覚障害や聴覚障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
8	外国人やLGBTQである児童生徒について、および授業全体の振り返りと確認テスト	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：これまでの講義についてふり返る	加藤　美朗
成績評価方法と基準			割合
１．毎回提出するワークシート　２．最終授業内に行うテスト　　※評価基準：ルーブリックを提示します			１．25%　２．75%

授業科目名	総合的な学習の時間の指導法（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	福島　信也		担当教員		福島　信也	
科目ナンバリング	SE20BACB012	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

「総合的な学習の時間」について、創設された背景やその後の経過を知り、その理念や意義について理解する。　また、「総合的な学習の時間」の目標や内容を理解するとともに、下記の項目について理解を深める。　〇新学習指導要領における「総合的な学習の時間」で育てようとする資質や能力について理解する　〇横断的・総合的な学習や探究的な学習について理解する　〇指導計画の作成について理解する　「総合的な学習の時間」は、授業内容や方法は各学校の指導にゆだねられているので、創意工夫を生かした特色ある　教育活動を展開する必要がある。中学校(高等学校)の具体的な実践事例などを通して、「総合的な学習の時間」を構　想できる基礎的・基本的な知識・技能を身につけることを主眼としている。

学修目標

・総合的な学習の時間は、探究的な見方考え方を働かせて横断的・総合的な学習を通して、よりよく課題を解決する学びであることを知る。　・上記の課題解決を通して、自己の生き方を考えていくための資質能力を育成することが最終の目標であることを理解する。　・各教科等での学びを活用し、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会の課題を発見する能力を身につける。　・具体的な指導計画の作成、指導の仕方、学習活動に対する評価についての知識・技能を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)」などは、講義の中で適宜取り上げていきますが、全てを網羅することはできません。授業後は必ずプリントを読み返し、理解を深めてください。　※授業で配布したプリントは、必ずファイル(綴じ込んで保存)すること　※プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること　※授業で配布した課題プリントは、必ず提出すること

教科書

使用しない。　プリントを配布します。

参考書

〇文部科学省「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」　〇ぎょうせい 「平成 29 年改正 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間」　その他、参考になる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	「総合的な学習の時間」の導入について　～ オリエンテーション、導入された背景等について ～　【プリント以外で配布するもの】　・中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
2	育成する資質・能力の意義について　～ 意義・学力の関係など ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
3	教育課程と校内体制　その 1　～ 教育課程における位置づけ ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
4	教育課程と校内体制　その 2　～ 「総合的な学習の時間」の学習内容 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也

5	全体計画・年間計画・単元計画　～ 指導計画の基本的な考え方 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
6	「総合的な学習の時間」の評価　～ 評価のポイント・評価方法 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
7	「総合的な学習の時間」の学習指導 ①　～『思考ツール』の活用　～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
8	「総合的な学習の時間」の学習指導 ②　～【情報の収集】【まとめ・表現】について ～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
9	「総合的な学習の時間」の学習指導 ③　～「保健体育」や「道徳」と組み合わせて考える ～	プリント復習(1 時間)　事例集を読む(1 時間)	福島信也
10	単元計画の作成①　～ 事例から単元計画を作成しよう ～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
11	単元計画の作成②　～ 作成を工夫する(検討会)　～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)　課題プリント（1 時間）	福島信也
12	持続可能な世界を創るために　～ 発表会① ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
13	持続可能な世界を創るために　～ 発表会② ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
14	持続可能な世界を創るために　～ 発表会③ ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
15	これからの「総合的な学習の時間」の授業づくり　～ 森ノ宮中学校の総合学習を考えよう ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●12～14 回の発表会で、全員が提出したレポートの内容を【まとめ・表現】として発表します　●授業では、課題（プリント・コメントシート等）を提出します			●レポート：20%～25%　●発表：20%～25%　●授業内課題：50%～60%

授業科目名	生徒指導・進路指導論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	杉山　雅		担当教員	杉山　雅		
科目ナンバリング	SE20BACB015	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

現代社会を生きる子ども達の心身の健全な発達について、ＨＲ指導や個別指導を中心に生徒指導の観点から考察します。子どもの権利条約と生徒指導の基本原理を学び、厳罰主義をのりこえ、生徒の自主性を伸ばす指導法を身につけることができます。又、教育現場での具体的な教育実践を取り上げ、生徒指導の実践的な指導力を身につけることができます。

学修目標

・思春期を生きる子どもたちの発達の課題を理解し、自立への過程を理解できる。　・体罰や不適切な指導をのり越え、生徒の心に響くしなやかな指導の在り方を身につけることができる。　・生徒への個別接近の方法を学び、生徒の内面を理解し、共感的な指導法を身につけることができる。　・問題行動への取り組み方と専門機関との連携の仕方を理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

復習に力を入れてください。受講後、授業で配布された資料を読みなおし、資料の中の設問をしっかり理解してください。授業のテーマと関連のある資料に目を通し、さらに理解を深めてください。　又、日常的に教育問題や教育事件に関わるニュースに目を通し、自分の意見をまとめてみてください。

教科書

毎回、授業テーマに基づいたレジュメや資料を配布します。又、ニュース等で流れた最近の生徒指導にまつわる事件や諸問題を取り上げますので、自分なりに分析し、考察しておいて下さい。

参考書

「教師の仕事を考える」杉山雅　2012 年　学文社　その他、必要に応じて資料を配布します。

研究室／オフィスアワー

講義のある日に講師控室へ来てください。　緊急の場合は、mack-.sugiyama@nifty.com　へ連絡ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生徒指導とは何か。子どもの権利条約に保障された子どもの人権を尊重し、その精神を生かした生徒指導法を学ぶ。　子どもを理解するためには、子どもの目線に立って考えてみることが大切です。　18 才成人の成立や体罰全面禁止などの法改正と生徒指導の関わりについても考察します。	予習と復習	杉山
2	体罰とは何か。その定義を学び、体罰を克服する指導のあり方を身につける。　体罰を受けると子どもの内面にどのような影響があるのかを学ぶ。そのために、生徒の内面を理解し自主性を伸ばす指導法を学ぶ。	予習と復習	杉山
3	部活動と体罰を考える　明治の近代教育の成立以来、一貫して法律では体罰が禁止されているのに、なぜ、部活動で体罰が絶えないのだろうか？暴力の否定と科学的な指導法を打ち立てた近代スポーツの精神について学び、部活動のあり方を検討します。　近年、体罰やしごきをのりこえた指導が成果を挙げています。「マジック・レシオ」や「ペップ・トーク」など、新しい指導の実践例も紹介します。	予習：復習	杉山
4	遅刻や清掃指導を通してクラス討論を軸に、日常の生活習慣の指導方法を学びます。　そのために	予習と復習	杉山

	班活動を中心にリーダーを育て、自主的な取り組みを育てる方法を学びます。		
5	文化祭等の行事とクラスづくりの指導のあり方を学ぶ。　球技大会や文化祭などの行事を通じて、生徒の自主活動の育成を図る。　組体操の危険性等、学校事故の観点からも行事を見直し、事故を予防する力を高める。　又、どのようにして行事の目標を達成するのか。様々な教育実践から学びます。	予習：復習	杉山
6	登校拒否・不登校の概念と、その変遷について考察します。登校拒否は病気ではありません。思春期における登校拒否の意味を考察します。　『不登校は、どの子にも起こる現象である』という見解に基づいて、不登校・登校拒否の原因を考察します。　中一ギャップの問題や、国連『子どもの権利委員会』の勧告など、様々な観点から不登校・登校拒否の問題を考察します。	予習と復習	杉山
7	不登校・登校拒否の児童・生徒への対応の仕方や、専門機関との連携の方法について考察します。不登校・登校拒否からの立ち上がりの 4 つの段階を理解し、適切な対応をすれば、不登校に悩む児童・生徒は必ず立ち上がります。　具体的な実践を参考に、その教訓を学びます。	予習：ミニレポート『登校拒否の教育実践の評価』	杉山
8	なぜ、いじめをするのか？いじめの原因について考察します。　いじめの定義、いじめの 3 つのピークなど、日本における「いじめ問題の経過」について学ぶ。　いじめ「「四層構造論」に基づいて、いじめが起こるメカニズムを考察する。	予習と復習	杉山
9	いじめ問題を克服する筋道を学びます。　いじめの『六層構造論』を学び、共感者という概念を中心に、いじめを克服する取り組みについて考察します。　いじめを克服した優れた教育実践（小・中・高）を取り上げ、その教訓を学びます。	予習と復習	杉山
10	児童虐待について考察します。　児童虐待とは何か。その定義、現状について学ぶ。	予習と復習	杉山
11	児童虐待について、その取り組み方について学ぶ。　児童虐待について、校内体制や専門家との連携の仕方について考察します。　児童虐待に取り組んだ教育実践を読み、そこから教訓を学びます。	予習と復習	杉山
12	DV とデート DV について学ぶ。　DV が起こるメカニズムを考察し、その対応の仕方について学ぶ。	予習と復習	杉山
13	子どもの貧困問題を考察する。　先進国における子どもの貧困の現れ方の特徴は何か。　子どもがどのような状態にあれば、貧困といえるのだろう？子どもの貧困の定義を考える。　子どもの貧困問題に取り組む教育実践について学ぶ。	予習と復習	杉山
14	見えない貧困問題と進路保障の問題を考える。進路問題に悩むヤングケアラーの問題を考察する。	予習と復習	杉山
15	全体のまとめ、および筆記試験。	予習と復習	杉山
成績評価方法と基準			割合
定期試験（筆記）　　ミニレポート（筆記）			定期試験　７０％　ミニレポート　３０％

授業科目名	ICT 活用の理論と実践（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高		
科目ナンバリング		科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

ICT 活用の理論と実践では、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方並びに児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

学修目標

１．情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。　２．情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。　３．生徒に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教育実習に向けて学校現場での ICT の活用について知っておこう。

教科書

適宜指示する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４F　第 11 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ICT 活用の理論と実践のオリエンテーション	自身の ICT スキル、学校での活用経験などを確認しておく。	阿部
2	ICT 教育の現状 : 学校現場への導入と活用の現状	学校現場における現状の活用状況についてまとめる。	阿部
3	ICT 教育の理論:ICT 機器活用による効果(個別最適化・プログラミング)	各校種における ICT 教育の基礎理論についてまとめる	阿部
4	ICT 教育の理論 : 情報共有の利点と活用に必要な情報モラル	教育すべき情報モラルについてまとめる。	阿部阿部
5	ICT 教育の理論 : 情報セキュリティの保障について	学校で必要となるセキュリティについてまとめる。	阿部
6	ICT 教育の実践 : 学習指導と校務システム（教科学習・カリキュラムマネジメント）	ICT 活用事例を検索し、その特徴をまとめる（課題）	阿部
7	ICT 教育の実践 : e ポートフォリオの活用（個別指導支援計画・学習成果履歴管理）	e ポートフォリオ活用の利点、効果をまとめる。	阿部（AT 依頼）
8	ICT 教育の可能性 : ICT を活用した学習環境デザイン	ICT を活用した未来の教室、学校のデザインを考える（課題）	阿部

成績評価方法と基準	割合
① ICT 活用の環境デザインについてのレポート　② ICT を活用した指導案と模擬授業　③ ICT 教育の理論と実践のまとめレポート　④ 各授業における振り返り　によって、総合的に判断する。	①20% ②30%　③20% ④30%

授業科目名	基礎ゼミナール（工学）				
主担当教員	辻　義弘		担当教員	辻　義弘／阿部　秀高／中沢　一雄／中村　有希／五十嵐　淳介／高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20001	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限、金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床工学科教員の専門的関心を背景にした素材を通じて、真の勉強(研究)の仕方やその成果の発表(報告)の仕方などを学び、その後、大学で学ぶことの初歩から専門的分野まで、そして資料の読み方から、議論の仕方、レポート・論文の作成まで幅広く学んでいきます。　大学生としての資質　阿部・高木：7 回　臨床工学関連　辻：1 回、中村 3 回、五十嵐 2 回、中沢 2 回

学修目標

①講義を聞いて、学術的な文章を読んでその内容を理解できる。〈DP②③④〉　②調べたいテーマに関する文献を検索・収集でき、テーマに即した論理的な文章を書くことができる。〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

履修上の注意・履修要件 無断の遅刻・欠席は厳禁です。一人ひとりの自主性を尊重しますので、目的意識を持って積極的にゼミナール活動に参加してください。

教科書

使用しない（資料を講義時に配布）

参考書

使用しない

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従うこと

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション（講義への取り組み方・大学生としての自分を見つめる）	予習：シラバスの確認（２時間）　復習：学びの履歴シートによる大学生として必要な資質/能力についてのまとめ（２時間）	阿部
2	アカデミックスキルズ｜１　大学生としての学びの姿勢　授業における記録の取り方・扱い方	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと（2 時間）　復習：学びの履歴シートをもとに講義を振り返りまとめる（2 時間）	阿部
3	アカデミックスキルズ｜２　資料･文献の活用法　意見の述べ方・交流の仕方　討論の作法	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと（2 時間）　復習：学びの履歴シートをもとに講義を振り返りまとめる（2 時間）	阿部
4	アカデミックスキルズ｜３　論理的な文章(レポート）の書き方①　場に応じた適切な表現方法	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと（2 時間）　復習：学びの履歴シートをもとに講義を振り返りまとめる（2 時間）	阿部
5	アカデミックスキルズ｜４　論理的な文章(レポート）の書き方②　場に応じた適切な表現方法	予習：事前に配布する資料を読んでおくこと（2 時間）　復習：これまで３回の学びの履歴シートをまとめる（2 時間）	阿部
6	アカデミックスキルズ｜５　プレゼンテーションスキル	予習：プレゼンテーションについて高校までに学んだことを想起しておく（２時間） 復習：プレゼンテーションの作り方、発表の仕方についてまとめる（２時間）	阿部
7	第 1～6 回分の授業における学びのまとめ・振り返り	予習：自分の作成したプレゼンテーションの練習）（２時間）　復習：７回の講義で学んだ社会人基礎力に関してまとめておく（２時間）	阿部

8	臨床工学技士カリキュラムについてと臨床現場	予習：臨床工学技士になるための教養科目について調べる（２時間）　復習：カリキュラムと臨床現場についてまとめる（２時間）	辻
9	臨床工学技士について（役割、業務等について）１	予習：シラバスの確認　復習：キーワード調査・レポート作成　2 時間予習・復習を行う。	中村
10	臨床工学技士について（役割、業務等について）２	予習：シラバスの確認　復習：キーワード調査・レポート作成　２時間予習・復習を行う。	中村
11	臨床工学技士について（役割、業務等について）３	予習：シラバスの確認　復習：キーワード調査・レポート作成　２時間予習・復習を行う。	中村
12	医療の世界：心臓と血管	予習：シラバスの確認　復習：キーワード調査・レポート作成　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
13	医療の世界：腎臓と体液	予習：シラバスの確認　復習：キーワード調査・レポート作成　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
14	工学のすすめ１：シミュレーション医学・医療（工学的考え・技術文章の作成について）	予習：シラバスの確認　復習：講義資料の確認　課題：レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢
15	工学のすすめ２：シミュレーション医学・医療（工学研究のトピックスなど）	予習：シラバス・前回講義資料の確認　復習：講義資料の確認　課題：レポート作成　学習所要時間目安：4 時間	中沢
成績評価方法と基準			割合
【臨床工学科教員】　①平常点評価（受講態度、発表内容、議論への貢献度など）〈DP②③④〉　②課題評価（レポート提出、内容など）〈DP②③④〉　学生へのフィードバックは各講義もしくはモリパにて指示。　【阿部・高木】　①平常点評価（授業内での課題小テストなど）〈DP②③④〉　②講義最終回に作成したアウトラインに基づく課題レポート〈DP②③④〉			【臨床工学科教員】　①60%　②40%　【阿部】　①60%　②40%

授業科目名	物理学（工学）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

さまざまな自然現象をよく観察してみると簡単な基本原理に基づいていることがわかる。物理学とはそのような基本原理を論理的に説明する学問であり、工学はもとより生物学、医学などの幅広い分野の基礎となっている。本講義は力学・熱力学・電磁気学などについて幅広い知識を学習し、医療現場で実際に活用できる知識を習得できる授業構成である。

学修目標

電気(回路計算)、電磁気の基本知識　直流と交流の違いについて　ベルヌーイの定理・血圧とは　　上記の内容を学修していく。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識する。　2．配布された資料を使用し、講義を行う。　3．出席は重視する。　4．身近な自然現象を物理学の観点で考察する。　5．疑問点は大切にし、解決に向けて努力する。

教科書

プリント使用

参考書

電気基礎講座 1 プログラム学習による基礎電気工学　直流編

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜、水曜と木曜の午前中、金曜の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	基本法則の誕生　クーロンの法則について　電流	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **静電気の基本原理**：- 静電気は物体間の電子移動によって発生することを確認する。　- クーロンの法則　- 帯電の種類：正電荷と負電荷。2. **電流の基本原理**：　- 電流は電子の流れ（単位：アンペア [A]）。　- 電流の計算式　- 電流と静電気の違い（移動する電荷の状態）。　3. **日常的な	久国　正章

		例**：　　- 静電気：衣類のまとわりつき、ドアノブに触れたときの放電。　　- 電流：電池で動く電子機器、家庭の電気回路。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **静電気の応用と影響**：静電気の発生メカニズムと、それを防ぐ方法（例：湿度調整、導電性素材）を整理する。　2. **電流の理解**：　　- 電流の計算問題を解き直し、時間、電荷量、電流の関係を確認する。　- 電流が回路内でどのように流れるか、電圧や抵抗との関係を考える。　3. **応用例を考察**：　　- 電流と静電気が関連する技術（例：電子機器、防静電処理）を調べる。　　- 静電気と電流が異なる現象であることを、図や文章で整理する。	
3	電圧・抵抗について　オームの法則を用いた計算	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **電圧の定義**：　　- 電圧の単位：ボルト（V）。　　- 電圧が高いほど、電流を流す力が強くなる。　2. **抵抗の定義**：　　- 抵抗は、電流の流れにくさを表す。　　- 抵抗の単位：オーム（Ω）。　　- 抵抗が大きいほど、同じ電圧で流れる電流が少なくなる。　3. **オームの法則**：電流、電圧、抵抗の関係を表す基本式　4. **日常的な例**：　　- 電圧：家庭用電源（例：100 V、220 V）。　- 抵抗：電球のフィラメントや電気ヒーターの材料。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **電圧と電流の関係**：　　- 電圧が増えると電流がどのように変化するかを考える。　- 抵抗が一定のとき、電圧と電流が比例することをグラフで示す。　2. **抵抗の影響**：　　- 抵抗が大きくなると電流が減少する理由をオームの法則で説明する。　- 異なる抵抗値を持つ部品（例：LED、電熱線）を使った場合の挙動を考察する。	久国　正章
4	直列回路の考え方について。	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **直列回路の基本特性**：　　- 直列回路では、電流はすべての部品で同じ大きさで流れる。　　- 総抵抗 ¥(R_{¥text{total}} ¥) は各抵抗の合計：　2. **オームの法則の復習**：直列回路に適用して、電圧、電流、抵抗の関係を確認する。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **直列回路の計算**：　　- 抵抗の合成を正確に計算できるようにする。　　- 各抵抗器にかかる電圧を求める練習をする。　2. **直列回路の特性の理解**：　　- 直列回路で1つの抵抗器が切れると回路全体がどうなるかを考える。　　- 電圧の分配が回路設計にどう影響するかを考察する。	久国　正章
5	抵抗率・キルヒホッフの法則について	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **キルヒホッフの法則**：　　- 任意の接続点において、流入する電流の総和と流出する電流の総和は等しい　　- 電流の流れが接続点で途切れないことを確認する。　2. **キルヒホッフの	久国　正章

		電圧の法則**：任意の閉回路（ループ）において、電圧の総和はゼロ　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. 各接続点の電流の総和がゼロになるように、具体的な例を使って確認する。　2. 各ループでの電圧の釣り合いを計算し、閉じた回路内の電圧降下と電源電圧の関係を理解する。	
6	キルヒホッフの法則２回目	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **複数のループを含む回路**：　- 複数のループを持つ回路における電流と電圧の関係を整理する。　- 各ループにおける電流の方向を仮定して、計算を進める方法を学ぶ。　2. **キルヒホッフの法則を複雑な回路に適用**：電流が複数のループにまたがる場合の電流の分配。　**復習課題**:　- 授業で扱った複数ループ回路の計算問題を解き直し、理解を深める。　- 電流、電圧、抵抗の関係を計算し、キルヒホッフの法則が成り立つことを確認する。	久国　正章
7	並列回路について	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **並列回路の基本特性**：　- 並列回路では、各支路にかかる電圧が等しい　- 電流は支路ごとに分配される　- 並列回路の合成抵抗の公式　2. **オームの法則の復習**：並列回路に適用し、各支路の電流を計算する方法を確認する。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **並列回路の計算**：　- 合成抵抗を正確に計算できるようにする。　- 各支路の電流を計算し、電流がどのように分配されるか理解する。　2. **並列回路の特性の理解**：　- 並列接続が回路全体の抵抗を小さくする理由を考える。　- 1 つの支路に障害が起きても他の支路が動作を続ける仕組みを理解する。	久国　正章
8	ブリッジ回路	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **ブリッジ回路の基本構造：4 つの抵抗が橋のように配置された回路構造。　2. **平衡条件**　**復習**　1. **平衡条件の理解**：平衡条件を使った抵抗値の計算問題を解き直す。	久国　正章
9	ブリッジ回路２回目　直流と交流の違い	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **交流（AC）の基本的な性質**：　- 交流とは、電流や電圧が時間とともに周期的に変化するもの。　- 交流の波形（正弦波）　- 周期と周波数の関係　2. **実効値**：　- 実効値は交流の大きさを定量化する指標　- 実効値は、直流電圧と同じ効果を持つ交流電圧を表す。　3. **日常的な例**：　- 家庭用電源（例：日本では 100 V、50 Hz または 60 Hz）。　- 発電所から送電される電力の仕組み。	久国　正章
10	交流回路２回目　最大値・振幅・瞬時値・平均値・実効値	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **交流の基本概念**：正弦波	久国　正章

		交流の表現　2. **各値の定義と意味**: - **最大値(振幅)**　- **瞬時値**　- **平均値**　- **実効値**　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください:　1. **交流の値の計算**:　- 最大値と実効値の関係を整理し、計算練習する。　- 瞬時値を特定の時刻に対して計算し、波形上の位置を確認する。　2. **各値の物理的意味の理解**:　- 実効値が電力にどのように関係するかを考察する。 - 瞬時値が波形のどの位置を示しているか、グラフを使って視覚的に整理する。	
11	交流　等速円運動　位相	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **等速円運動の基本特性**: - **等速円運動の定義**　- **速度と加速度**　- **角速度**　2. **位相の基本概念**:　- **位相**：波や円運動における現在の位置や進行度合いを表す角度（ラジアン単位)。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください:　1. **等速円運動の理解**:　- 接線速度と向心加速度の関係を計算で確認する。　- 半径や周期を変化させた場合の運動の変化を考察する。	久国　正章
12	交流　電磁誘導	＜予習・復習 各 2 時間＞　＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **交流（AC）の基本**:　- 交流の定義：電流が周期的に方向を変える電流。　- 周波数（Hz）と周期（秒）の関係:　- 実生活での例：家庭用電源（例：日本では 50 Hz または 60 Hz)。　2. **電磁誘導の原理**：ファラデーの法則　3. **日常的な例**:　- 交流：発電機、電灯、電化製品。 - 電磁誘導：自転車のダイナモライト、電磁調理器。　**復習**　1. **交流の理解**:　2. **電磁誘導の応用**:　3. **応用例を考察**:　- 発電機や電動機の仕組みを電磁誘導を使って説明する。　- 交流と電磁誘導が使われている技術(例:送電、家電）を調べる。	久国　正章
13	コイル　コンデンサ	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **コイル（インダクタンス）の基本特性**:　- コイル（インダクタンス）は、電流の変化に対抗する性質を持つ。　- インダクタンス ¥(Ｌ¥）の定義 2. **コンデンサ（キャパシタンス）の基本特性**:　- コンデンサは電荷を蓄える能力を持つ。　- キャパシタンス ¥(Ｃ¥）の定義:　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください:　1. **コイルの理解**:　- 電流の変化に伴う誘導起電力を計算し、インダクタンスの意味を確認する。　2. **コンデンサの理解**: - 電荷と電圧の関係を計算し、キャパシタンスの意味を確認する。	久国　正章
14	RL 直列回路	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **RL 直列回路の構造**:　- 抵抗とコイルが直列に接続された回路。 - 抵抗とコイルが電流に対して異なる振る	久国　正章

		舞いをすることを確認。 2. **直流 RL 回路での応答**: - 電流の立ち上がり: - コイルによる誘導起電力の影響で電流が徐々に増加する。 - 電流の時間変化	
15	RC 直列回路　RLC 直列回路	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください: 1. **RC 直列回路の基本特性**: 2. **RLC 直列回路の基本特性** **復習** 1. **RC 直列回路の特性理解**: - 直流と交流におけるコンデンサの挙動を整理する。	久国　正章
成績評価方法と基準			割合
①定期試験５５点<DP③> ②小テスト４５点<DP③> 合計１００点のうち、６０点以上で単位認定する。 ※ただし、オンデマンド配信時は変更する場合がある。			①５５% ②４５%

授業科目名	生物学（工学）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療人にとって必要な生物学的知識を学習し、この後に展開する基礎医学への理解を容易にする。

学修目標

生物に共通する生体のシステムやその仕組みについて理解を深めることができ、人体と連関して思考できる。<DP③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生物学自体は高校までの教科としてすでに学んでいるかもしれないが、医学に直結する領域についてはまだ学んでいないか、理解が不十分であろうと思われる。既に学んでいる、知っている学問という認識は排除して新たな教科を学ぶ姿勢で臨んでほしい。

教科書

「新しい教養のための生物学」　裳華房

参考書

生物学　カレッジ版　医学書院

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命と栄養と代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
2	糖質の種類	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
3	糖代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
4	脂質とその代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
5	ビタミンの種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
6	細胞の構造とオルガネラ	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
7	核酸の種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
8	転写と翻訳	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
9	タンパク質の種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫

10	細胞のシグナル伝達	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
11	細胞分裂と増殖	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
12	発生と分化	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
13	免疫システム	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
14	細胞の初期化と再生医療	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
15	細胞死とアポトーシス	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
1　定期試験　＜DP③＞			1 100%

授業科目名	化学（工学）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解し、それらが生理機能に密接に連関することを理解して欲しい。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「コ・メディカル　化学」　裳華房

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	電子配置とイオン化	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	化学結合	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	物質の三態	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	化学平衡と反応速度論 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
6	化学平衡と反応速度論 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめ	安部　辰夫

		るよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	「化学」のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
①期末試験			①100%

授業科目名	情報処理（工学 B）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	情報処理（工学 A）					
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊		
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択	

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	統計学（工学）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20006	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

統計学の基礎や概念を学び、実験や調査で得られたデータをどのような統計手法を用いて分析し、どのように解釈すればよいかを理解し、それらを元に実際に自分たちでデータを分析することによって、基礎的な統計処理を身につけることを目指す。

学修目標

１．統計学の基礎を理解する〈DP③〉　２．推定と検定の考え方を理解し，説明することができる〈DP③〉　３．量的データに対して適切な分析方法を選択することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の授業のつながりが非常に重要です．また，毎回小テストを実施しますので，欠席のないように留意すること

教科書

向後千春・冨永敦子，ファーストブック 統計学がわかる，技術評論社，ISBN13: 978-4774131900

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　「統計学」とはどのような学問か，また，医療従事者にとって統計学がなぜ必要なのかについて解説する.	シラバスを確認して，テキスト「はじめに」を読む（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）.【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	統計の基本概念とキーワード１:統計学に必須の基礎的知識　数の分類,測定値の性質について解説する.	数の分類や，尺度水準に関して参考書，web 等を利用してそれぞれの用語について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
3	統計の基本概念とキーワード２:統計学に必須の基礎的知識　母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度について解説する.	母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度に関して，教科書（１章，２章），参考書，web 等を利用して調べる，【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
4	相関：２変数のデータの関係の表現方法　「データの記述」の観点から，「相関」及び「相関係数」について解説する.	教科書では取り扱っていない内容なので，参考書や web を活用して，ピアソンの積率相関係数，スピアマンの順位相関係数，ケンドールの順位相関係数について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
5	検定の原理:検定法の共通原理　統計学的な手法は多様であるが，共通する部分も存在する．ここでは,多くの手法に共通する考え方について解説する.	教科書３章１節を読み．一般的な検定の流れについて調べておく．特に，「帰無仮説」とはなにか考える.【2】　MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口

6	検定：頻度・割合の検定１　　前回解説した「検定法の共通原理」に基づいた具体的な検定手法について，頻度・割合の検定を例に，「観測値」と「期待値」の考え方について解説する.	教科書３章２節，３節を読む.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
7	検定：頻度・割合の検定２　　観測値と期待値についておさらいしつつ，「カイ２乗検定」について解説し，実際に，検定統計量（カイ２乗値）や，その生起確率を求め，検定結果について判定を行う.	教科書３章４節を読み，必要な指標の求め方を調べておく.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
8	推定：平均値の信頼区間　　標本（得られた測定値）の平均値は，母集団の平均値（母平均）と一致しているかどうか検討するため，推定の手法について解説する.	教科書２章３節を読み，推定の考え方について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
9	推定：平均値の差の信頼区間　　１標本の平均値から母平均の信頼区間を求めることを拡張し，２標本の平均値の差の信頼区間を求める方法について解説する.	教科書４章１節，２節を読み，平均値の差の推定の考え方について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
10	検定：ｔ検定（対応のない２群の平均値の差の検定）　　収集したデータの「対応」とは何かを解説し，２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がない場合（特にウェルチの方法）について解説する．ウェルチの方法については，教科書に記述がないため，資料を配布する.	参考書，あるいは web を調べて．対応のないｔ検定の中でも，「ウェルチの方法」について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
11	検定：ｔ検定（対応のある２群の平均値の差の検定）　　２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がある場合について解説する.	教科書５章を読み，対応のある２群の平均値の差の検定について調べ，参考書，web を活用して「一標本ｔ検定」について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
12	３群以上の差の検定１-1：一元配置分散分析（１要因分散分析）　　ｔ検定は，測定条件が３群以上になると適用することができなくなる．３群以上の条件がある場合の検定について解説する.	教科書６章１節，２節を読み，条件が３群以上になるとｔ検定が利用できなくなる理由について調べつつ，分散分析の原理・考え方について理解する.【4】	井手口
13	３群以上の差の検定１-2：一元配置分散分析（１要因分散分析)演習　　前回解説した，１要因で，３水準以上の条件がある場合の検定に関する演習を行う.	教科書６章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順を調べる.【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
14	３群以上の差の検定２-1：二元配置分散分析（２要因分散分析）　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定について解説する.	教科書７章１節，２節を読み，「要因」と「水準」の考え方を再度確認し，２要因ある場合の分散分析の計算手順を調べる.【4】	井手口
15	３群以上の差の検定：二元配置分散分析（２要因分散分析）演習　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定に関する演習を行う.	教科書７章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順，及び，新たな要素である「交互作用」について調べる【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
成績評価方法と基準			割合
① 定期試験〈DP③〉　② 小テスト〈DP③〉			① 80%　② 20%

授業科目名	心理学（工学）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜１限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

心理学が扱う問題・領域は多岐にわたっているが，それらに共通しているのは，「心」を理解しようとしていることである．しかしながら，一見すると，一体どこに「心」があるのか疑問になるような問題を扱っていることも多い．　本講義では，心理学における基礎的領域について概説した後に，生活や健康，心理臨床の領域に関わる応用的領域について解説を展開する．　また，医療の現場では，様々な状況に置かれた人々と関わりを持つ機会が非常に多い．心理学を学び，「心」に関する知識を修得することで，医療人としての皆さんに，直接的に，また，間接的に役立つことを期待している．

学修目標

１．「心」の働きをつくる諸機能について説明できる〈DP③〉　２．「心」と，生活や健康との関わりについて説明できる〈DP③〉
３．「心」の基礎的領域と応用的領域の知見について系統立てて説明できる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

PC によるプレゼンテーション資料や動画資料を活用した講義形式を中心に授業を進める．講義ごと，あるいは，扱う領域ごとに MORIPA 上で小テストを課すことがある．　講義で使用する動画資料は MORIPA 上で公開するので，やむを得ず欠席する場合は，動画を視聴しておくこと．また，最後の成績評価にある通り，小テストは成績に反映されるので，忘れずに回答すること．

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 編，「心理学［第５版 補訂版］」，東京大学出版会，ISBN13: 978-4130121170

参考書

大川一郎・土田宣明・高木美保 編著，「基礎から学べる 医療現場で役立つ心理学」，ミネルヴァ書房　樫村正美・野村俊明 編著，「医療系のための心理学」，講談社　大竹文雄・平井啓 編著，「医療現場の行動経済学―すれ違う医者と患者―」，東洋経済新報社　その他、適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	こころを捉える：こころとはなにか？	テキスト第１章を読む．　（単に調べるだけではなく，わからない専門用語等について下調べをし，イメージ（ゆるふわで良い）を持っておく．以下同様）【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口　範男
2	こころを捉える：行動の基本様式	テキスト第２章を読む【4】	井手口　範男
3	こころを捉える：遺伝と環境	テキスト第３章を読む【4】	井手口　範男
4	学習：条件付け	テキスト第４章１節を読む【4】	井手口　範男
5	学習：技能学習と社会学習	テキスト第４章 2，3 節を読む【4】	井手口　範男
6	記憶：短期記憶と長期記憶	テキスト第４章４節を読む【4】	井手口　範男
7	学習・記憶の神経学的基礎	テキスト第４章５節を読む【4】	井手口　範男

8	感覚：感覚様相と閾	テキスト第５章１節を読む【4】	井手口　範男
9	知覚：視覚系の生理学	テキスト第５章２節，1，2 項を読む【4】	井手口　範男
10	知覚：視知覚の特性	テキスト第５章２節，3，4，5，6，7 項を読む【4】	井手口　範男
11	思考・言語：問題解決と認知発達	テキスト第６章 1，2，3，4 節を読む【4】	井手口　範男
12	思考・言語：言語・非言語コミュニケーション	テキスト第６章 5，6 節を読む【4】	井手口　範男
13	動機づけ：達成動機づけ	テキスト第７章４節を読む【4】	井手口　範男
14	社会行動：社会的認知	テキスト第９章 1，2 節を読む【4】	井手口　範男
15	社会行動：態度と説得・社会的影響	テキスト第９章 3，4 節を読む【4】	井手口　範男
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP③〉　②平常点（MORIPA 上で実施する小テスト）〈DP③〉			①80%　②20%

授業科目名	生命倫理学（工学）				
主担当教員	田中　美子		担当教員	田中　美子	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

「生命倫理学」の主なトピックを取り上げながら、その是非について一緒に真剣に考える時間をもちます。また、いのちの大切さについても考えます。授業は講義が中心ですが、ディスカッションも行う予定です。

学修目標

1.「『いのち』は誰が決めるのか」と、どの現場でも考えられる習慣を身につける。〈DP③〉　2.「誰のための医療か」「誰のためのケアか」を、他の人の立場でも考えられる。(DP③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書『はじめて学ぶ生命倫理』を購入してください。　ノートなどを用意してください。　授業の内容は、時事問題等の関係で、変更することがあります。

教科書

『はじめて学ぶ生命倫理』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書 167（筑摩書房）　2011 年

参考書

『シリーズ　大学生の学びをつくる　生命の倫理学』　三崎和志他著　大月書店　2023 年　『生命倫理学とは何か』　アラステア・Ｖ・キャンベル著　山本圭一郎他訳　勁草書房　2016 年　『生命倫理の教科書』　黒崎剛・野村俊明編著　ミネルヴァ書房　2014 年　『生命倫理・医事法』塚田敬義・前田和彦編　医療科学社　2015 年　『QOL って何だろう』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書　2018 年 『看護師という生き方』 宮子あずさ著　ちくまプリマー新書　2013 年 『いのちはなぜ大切なのか』　小澤竹俊著　ちくまプリマー

研究室／オフィスアワー

授業の前後に、質問等を受け付けます。　出校日には、非常勤講師控室でも対応します。　自宅への電話でも受け付けます。番号は改めてお伝えします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理学で考えること	いのちに関わる問題をピックアップしておきましょう。	田中　美子
2	いのちはなぜ大切なのか	いのちとはどういうものか、自分の言葉で考えてみましょう。	田中　美子
3	人体実験からインフォームドコンセントへ	自己決定が求められるようになった歴史的背景を知りましょう。	田中　美子
4	言葉のポリティクス	言葉の使用法に込められた意図を考えてみましょう。	田中　美子
5	いのちをめぐる自己決定	教科書第 1 章を読みましょう。	田中　美子
6	安楽死・尊厳死の現在	いのちの終わりをめぐる現在の状況を知りましょう。	田中　美子
7	判断能力の判断は誰がするのか	教科書第３章を読みましょう。	田中　美子
8	認知症当事者の声	当事者の立場から認知症を捉え直してみましょう。	田中　美子
9	中高生の自己決定	教科書第 2 章を読みましょう。	田中　美子
10	人のいのちと心を支えるもの	自分にとっての支えが何かを考えてみましょう。	田中　美子

11	いのちの始まりはいつからか	教科書第 7 章を読みましょう。	田中　美子
12	いのちの尊厳の根拠	いのちはなぜ大切なのかを、改めて考えましょう。	田中　美子
13	いのちの質は誰が決めるのか	教科書第 4 章を読みましょう。	田中　美子
14	生殖医療の現在	いのちの始まりをめぐる現在の状況について調べましょう。	田中　美子
15	いのち・時間・美	いのちを大切にすることがどういうことか、多角的に考えてみましょう。	田中　美子
成績評価方法と基準			割合
①毎授業の「振り返り（ミニレポート）」。〈DP③〉　　授業の内容が反映されていること。 ②学期末の「レポート」。〈DP③〉　　調べた内容が客観的にまとめられていること。　　自分の考察が書かれていること。			①約 50%　②約 50%

授業科目名	社会福祉学（工学）				
主担当教員	伊東　香純		担当教員	伊東　香純	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

本講義では、社会福祉学の基本的な概念や理論を学習し、それらを用いて社会を観察、分析する力を養う。家族や地域、病院など身近なテーマについて、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

学修目標

家族や地域、病院など福祉に関する身近なテーマについて、社会福祉学の基本的な概念や理論を用いて批判的、相対的な視点から考察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進捗状況等により、講義の順序や内容は変更する可能性がある。

教科書

指定なし

参考書

授業の中で適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

連絡先電子メール：itokasumi24(at)gmail.com (at)→@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
2	障害者の自立生活運動	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
3	介助の現場	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
4	社会保障制度の歴史	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
5	生活保護制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
6	家族制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
7	少子高齢社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペ	伊東

		ーパーの提出	
8	グローバルエイズ	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
9	国際協力	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
10	在日コリアン	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
11	開発原病・帝国医療	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
12	リスク社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
13	医療化	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
14	ジェンダー	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
15	自己決定？	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
成績評価方法と基準			割合
授業参加度（コミュニケーションペーパー）（ＤＰ③）　最終レポート（ＤＰ③）			60%　40%

授業科目名	日本国憲法（工学）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、コ・メディカルをもとに、診療の補助の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 臨床工学科における『臨床工学士法』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の現状とそ

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田　重幸
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田　重幸
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田　重幸
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福追求権)　　包括的基本権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸

6	基本的人権規定③　　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田　重幸
7	人権問題　　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田　重幸
8	衛生法規並び衛生行政　　衛生法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田　重幸
9	関係法規①　　コ・メディカルに対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認　復習：講義内容をもとに、施術者の役割を確認する	植田　重幸
10	関係法規②　　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の中の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
11	医療過誤と法的責任①　　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
12	医療過誤と法的責任②　　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田　重幸
13	日本の政治体制と三権分立　　国会・内閣規定より、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習：1 票の格差問題について理解を深める	植田　重幸
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田　重幸
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：講義事項についての確認	植田　重幸
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(工学B)				
主担当教員	吉村 幸		担当教員	吉村 幸／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜2限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟1階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(工学A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜2限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験<DP②>　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(工学B)				
主担当教員	吉村 幸		担当教員	吉村 幸／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜2限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021） 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟1階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
4	Social network	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	吉村

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	吉村
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(工学 A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021） 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	藤重

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(工学)				
主担当教員	藤江　建朗		担当教員	藤江　建朗／中村　有希／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。　また、履修に関することや教育課程（カリキュラム)、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。　医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③〉　・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③〉　・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③〉　・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】【理事長､学長×学部長対談！】　テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上)　復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長　内田学部長　前川学部長　森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】【学科長対談！】　テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
5	コミュニケーション入門【コスモホール】（コミュニケーションって何？コミュニケーション	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コ	科目担当教員 橋本　弘子

	のメリットは？「話を聞く」､「伝える」ってどういうこと？） テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	ミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】 ～チームで学ぶ医療の基礎～ テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上) IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】 ～チームで学ぶ医療の基礎～ テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】 テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上) 復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト 朝倉智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【D②③】 ②レポート課題 テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【D②③】 ＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。 ①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30% ②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（工学）					
主担当教員	大久保 さやか		担当教員	大久保 さやか／楠元 直樹／朝倉 智仁		
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③	
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜4限	
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修	

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についてし知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁
3	IPW論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPWで討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者 ゲスト　朝倉智仁

成績評価方法と基準	割合
レポート課題<DP②③>　「施設見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」1600字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。	100%

授業科目名	基礎体育（工学）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について（オリエンテーション+軽運動を実施）　　授業開始時間には、C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(学科指定の更衣室にて更衣後、C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること）　・運動が可能なスポーツウェア（NG：綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です）　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　　以下は毎回の注意事項
服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション 軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信

			江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(工学)				
主担当教員	小田 啓之		担当教員	小田 啓之	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける (DP③)。　・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する (DP③)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回配布する資料を用いて、必ず復習してください。

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年　田中喜代次編「健康運動の支援と実践」金芳堂、2006 年

研究室／オフィスアワー

東棟 4F　火曜 15:00-18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康とは？	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
2	運動・栄養と肥満症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
3	運動・栄養と糖尿病との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
4	運動・栄養と脂質異常症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
5	三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
6	微量栄養素（ビタミン・ミネラル）と水の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
7	消化器の構造と機能	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
8	食品群の理解と応用	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
9	エネルギー摂取量と消費量との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
10	運動時におけるエネルギー産生メカニズム	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
11	運動処方の原則と実際	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
12	運動と食欲の関係－最新のトピックス－	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
13	日本人の食事摂取基準について	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田

14	健康づくりに関する本邦の取り組み	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
15	講義全体のまとめと振り返り	予習： これまでのプリントの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
成績評価方法と基準			割合
①授業内試験で評価する（DP③）。 15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 課題・テスト後、各設問の解答を解説する。希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			①100%

授業科目名	医学概論（工学）				
主担当教員	五十嵐 淳介		担当教員	五十嵐 淳介	
科目ナンバリング	SB20BMEA001	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

少子高齢化の進展する今日、医療施設においては IT 化、入院期間の短縮化、疾病に対する高度な治療技術の導入が進んでいる。　本教科目では、現代医療をめぐる社会環境の変化・動向を把握し、患者中心の医療が成果をあげるために、まずは進歩する現代医療の実態を把握するとともに、各専門職のチームワークが重要であることを、広い視点から学修する。医療の本質、現代医療の課題、EBM（Evidence Based Medicine)、医療の対象としての個人や集団、インフォームドコンセント、医療安全、生命の誕生と死（脳死)、臓器移植、医療経済、各種専門職の役割、IPW（Inter-professional Work)、IPE（Inter-professional Education）等について学修する。

学修目標

DP①②③④に対応し、医療者を目指す内発的動機を涵養するための授業科目である。　1．社会環境や疾病構造の変化を理解する。　2．患者の権利宣言や医療倫理に関する事項を理解する。　3．患者に提供されている医療の実態を把握し，現状を理解する。　4．医療の対象としての人間（生と死、個人・家族・集団）について考え、理解する。　5．医療の成果を挙げるための仕組みやチーム医療、各学科の垣根を越えた専門職種間連携（IPW）について理解する。　6．実験的最新医療の臨床応用と災害医療における生命倫理について考え、理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．医療者の考えと患者の医療に対する考えのずれを認識する。　2．医療システムと上手な受診、医療者のモラルを考える。　3．「医学概論」は医療する側の原点であることを認識する。　4．グループ討議には積極的に参加する。　5．日々の学生生活の中から現代医療に関する情報を収集し、考える習慣をつける。

教科書

現代医学概論第3版：医歯薬出版（ISBN:978-4-263-73211-3）

参考書

中島泉：医学概論　医学のコンセプトと医療のエッセンス　南江堂　厚生の指標　増刊　61(9)　国民衛生の動向 2014/2015 厚生労働統計協会.　その他，講義時に紹介する

研究室／オフィスアワー

月曜日昼休みのうち、掲示するもの。C棟七階15番研究室。電子メールによる面談予約を推奨。junsuke_igarashi@morinomiya-u.ac.jp　※上記以外の希望時間がある場合、事前にメールで相談すること。面談予約なき訪問には対応しない場合がある。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	医療者の心構え・医療倫理	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
2	医療の高度化・生命倫理	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
3	生と死の倫理	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
4	診療録／医療記録・患者-医療者関係	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
5	医療事故の発生と再発の防止	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
6	院内感染対策	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐

7	医薬品・医療機器の副作用・不具合	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
8	医学研究	予習：教科書　復習：講義プリント・教科書　学習所要時間目安：合計二時間	五十嵐
成績評価方法と基準			割合
＜成績評価＞　１）１～８コマの講義終了後に確認テストを実施する（小テスト）。選択式。MORIPA アンケート利用。講義資料・教科書を見ながら解答して構わない。講義終了後７２時間以内に提出せよ。正答率とともに、期限内に提出したか否かを重視する。未提出者は当該テストの評点を０点とする。（DP①②③④）　２）期末レポート。記述式。課題は８コマめの講義で発表する。(DP①②③④)　※期末レポートにおいてネット情報や他者による文章等から剽窃を行った場合・および著しく不適切な内容であった場合は科目全体の評点を０点とし、			評価：　１）40%　２）60%

授業科目名	公衆衛生学（工学）				
主担当教員	神田　靖士		担当教員	神田　靖士	
科目ナンバリング	SB20BMEA002	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

公衆衛生学は、ひとびとの健康維持、増進を実践する方法や技術を学ぶ専門科です。すなわち、何が健康を邪魔しているのか、何をすれば健康が守れるのか、どのような仕組みを作れば健康の維持、増進にプラスになるのかなどを科学的に解析し、それらを実践する学問です。　本講義では、衛生･公衆衛生学の総論、衛生行政、予防医学、健康、老人・成人保健、生活習慣病や難病疾患、産業衛生、母子保健、衛生統計などについて学習する。

学修目標

国民の基本的人権としての健康を保障するための科学、技術、倫理を医学の観点から学ぶ学問である。国民の健康を守るべき看護学生として、国民の健康状態と保健、衛生、福祉の体制を正しく理解し、国民の健康を守るための保健医療サービスと公衆衛生事業のしくみと方法について学習し、会得することが目標である。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．講義を積極的に受講すれば行政のしくみや法におよび統計を理解できるようにしています。　２．講義内容の他に社会の福祉・保健・統計については新聞に記載されることがあり、日頃から注意してみることで学ぶことができます。新聞を読んでください。　３．出席者は、私語・スマホの使用は厳禁。講義中の私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。　４．最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

わかりやすい公衆衛生学（ヌーヴェルヒロカワ）

参考書

国民衛生の動向（厚生統計協会）

研究室／オフィスアワー

在室時は訪問可。　質問がある場合は授業終了時に各自申し出て下さい。また、メールでも随時受付を行います。　メールアドレス：kandas@hirakata.kmu.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生学概論と歴史	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に配布資料確認（2 時間）	神田　靖士
2	疫学	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：意義と現状、疫学とその応用について学ぶ。(2 時間)	神田　靖士
3	人口統計	予習：人口の諸問題を考える。(2 時間) 復習：授業を基に配付資料・教科書の確認（2 時間）	神田　靖士
4	保健統計　出生と死亡	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に配布資料・教科書の確認（2 時間）	神田　靖士
5	感染症とその予防	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に微生物・予防接種法など確認（2 時間）	神田　靖士
6	食品保健と公衆衛生栄養	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に配布資料・教科書の確認（2 時間）	神田　靖士
7	生活環境保全	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：配布資料を基に重要語句の確認（2	神田　靖士

		時間）	
8	医療の制度（医療保険、公費負担制度）	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：配付資料を基に重要語句の確認（2 時間）	神田　靖士
9	地域保健活動	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料を基に重要語句の確認（2 時間）	神田　靖士
10	母子保健	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：配付資料を基に重要語句の確認。（2 時間）	神田　靖士
11	学校保健	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：配付資料を基に重要語句の確認（2 時間）	神田　靖士
12	生活習慣病対策	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：疾病の種類、リスクと予防の確認（2 時間）	神田　靖士
13	介護保険制度と難病対策	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：高齢者医療の仕組みと介護制度、難病対策の確認（2 時間）	神田　靖士
14	精神保健福祉	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：精神保健福祉法、インフォームドコンセントを確認。（2 時間）	神田　靖士
15	産業保健	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：授業を基に配付資料・教科書の確認（2 時間）	神田　靖士
成績評価方法と基準			割合
定期試験<DP①②>			100%

授業科目名	人体の構造Ⅰ（工学）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	SB20BMEA003	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体に関する基本事項を形態機能学を基盤に学修する。当科目では細胞・組織など生体を構成する要素の概要、神経系、運動器系、感覚器系を取り扱う。臨床系専門科目に先駆けて、細胞・組織、神経系、運動器系、感覚器系を系統立てて学修し理解を深める。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者としてヒトの身体の基盤となる知識や論理的思考能力を身につける。

学修目標

生命現象の基盤となる細胞や組織の概要について説明できる。(DP②③)　神経系、運動器系、感覚器系の機能と形態について概要を説明できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）講義は教科書を中心に進めます。適宜「参考書」を活用しつつ、自発的な予習と復習を心掛けて下さい。　2)「資料」を配付します。復習時に活用して理解を深めて下さい。　3）講義の進行・予定や単位認定の詳細等については、初回講義時に説明します。学習内容の特性を踏まえて、積極的に学習に取り組んで下さい。　4)「人体の機能Ⅰ」と共通の教科書で並行して講義が進行します。両科目での学習項目を整理して十分に理解するように心掛けて下さい。

教科書

上田晃、内田さえ、鍵谷方子、原田彰宏「人体の構造と機能（第 6 版)」　医歯薬出版

参考書

坂井建夫　岡田隆夫　『専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①』　医学書院　日本人体解剖学（南山堂)、人体解剖学（南江堂)、標準生理学（医学書院)、生理学テキスト（文光堂）など

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義の概要、生命現象、細胞	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
2	組織・器官・器官系	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
3	神経細胞と神経組織	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
4	大脳	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
5	大脳、間脳、脳幹	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
6	小脳、脊髄、神経伝導路	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
7	神経伝導路、末梢神経系	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を	森谷

		参考に復習して下さい（2 時間）。	
8	細胞・組織・器官・器官系、神経系の形態と機能のまとめ	細胞・組織・器官・器官系、神経系の形態と機能について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
9	運動器系総論（骨と関節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	運動器系総論（骨格筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	運動器系総論（運動の調節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	感覚の一般的性質、視覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	聴覚と平衡感覚、味覚と嗅覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	体性感覚と内臓感覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	運動器系と感覚器系の形態と機能に関するまとめ	運動器系と感覚器系の形態と機能について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（90%）（DP②③）　②課題等の提出（10%）（DP②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。			①90% ②10%

授業科目名	人体の構造Ⅱ（工学）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	SB20BMEA004	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体に関する基本事項を形態機能学を基盤として学修する。当科目では局所解剖と、内分泌、生殖と妊娠、体温調節と生体リズムについて恒常性維持の視点から形態機能学的特徴を取り扱う。臨床系専門科目に先駆けて、局所解剖と恒常性維持に関わる器官系について学修し理解を深める。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者として基盤となる知識や論理性のある思考能力を身につける。

学修目標

局所解剖について概要を学修する（DP②③）。　内分泌系の機能と形態について概要を説明できる（DP②③）。　体温調節、生体リズムの形成に関わる仕組みの概要について説明できる（DP②③）。　生殖と成長・加齢について概要を説明できる（DP②③）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）教科書と配布資料を用いて講義を進行します。また、課題の提出を課すので、必ず提出して下さい。　２）前期の「人体の構造Ⅰ」、「人体の機能Ⅰ」と密接に関連している事項を学習します。必要に応じて、前期の関連項目を十分に復習して下さい。　３）初回講義時に講義の進行について説明します。学習内容の特性を踏まえて、積極的に学習に取り組んで下さい。　４）「人体の機能Ⅱ」と共通の教科書で並行して講義が進行します。両科目での学習項目を十分に整理して理解するように心掛けて下さい。

教科書

上田晃、内田さえ、鍵谷方子、原田彰宏「人体の構造と機能（第 6 版）」　医歯薬出版

参考書

坂井建夫　岡田隆夫　『専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①』　医学書院　日本人体解剖学（南山堂）、人体解剖学（南江堂）、標準生理学（医学書院）、生理学テキスト（文光堂）など

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人体の腔所、全身の骨格（脊柱、胸郭）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
2	全身の骨格（四肢の骨と関節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
3	全身の骨格（頭蓋骨）、全身の骨格筋（体幹の筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
4	全身の骨格筋（四肢の筋、頭頸部の筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
5	末梢神経系（脳神経、脊髄神経）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
6	末梢神経系（脊髄神経）、体循環（動脈系）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷

7	体循環（静脈系、胎児循環、リンパ系）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
8	局所解剖のまとめ	局所解剖について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
9	内分泌系（総論、視床下部・下垂体）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	内分泌系（甲状腺・副甲状腺・膵島）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	内分泌系（副腎皮質・副腎髄質）、体温調節・生体リズム	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	生殖（女性生殖器）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	生殖（男性生殖器）、妊娠と発生	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	身体の加齢変化	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	内分泌系、体温調節、生体リズム、妊娠と発生、身体の加齢変化のまとめ	内分泌系、体温調節、生体リズム、妊娠と発生、身体の加齢変化について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（DP②③）　②課題等の提出（DP②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。課題等の解説は講義時間内に行います。			①90%　②10%

授業科目名	人体の機能Ⅰ（工学）				
主担当教員	今村　行雄		担当教員	今村　行雄	
科目ナンバリング	SB20BMEA005	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、臨床工学技士として必要な基礎医学の一環として、人体の構造・機能に関する基本的な知識を学びます。　特に、循環器系や血液の構造と機能に焦点を当て、各器官や組織の役割と相互関係を理解することを目的とします。　これにより、臨床現場での実践力を養い、患者さんの症状や状態を的確に把握できる能力を培います。

学修目標

・人体の基本構造の理解：循環器系や血液の構造と機能を正しく説明できる。　・各器官・組織の役割の把握：各器官や組織の役割とその相互関係を理解し、説明できる。　・臨床応用力の育成：得た知識を基に、臨床現場での具体的な症例に適切に対応できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本講義は、臨床工学技士としての専門知識を深めるための重要な基礎となります。　講義内容を確実に理解するために、事前の予習と講義後の復習を徹底してください。　また、関連する解剖学や生理学の知識も積極的に学び、総合的な理解を深めることが求められます。　疑問点があれば、積極的に教員に質問し、理解を深めてください。

教科書

上田　晃他　著　『人体の構造と機能（第 6 版)』　医歯薬出版株式会社

参考書

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	循環器(1)：循環系とは	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
2	循環系(2)：心臓の構造	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
3	循環系(3)：心臓の活動	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
4	循環器(4)：血管の構造と機能	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
5	循環器(5)：血液循環と循環調節	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
6	循環器(6)：リンパ系	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
7	前半のまとめと小テスト	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
8	血液(1)：総論、赤血球	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
9	血液(2)：白血球と血小板	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
10	血液(3)：生体防御とは	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
11	血液(4)：生体防御における白血球の役割	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄

12	液性因子と免疫応答 1	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
13	液性因子と免疫応答 2	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
14	リンパ系組織	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
15	後半のまとめと小テスト	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
成績評価方法と基準			割合
①定期試験（筆記試験）　②課題・レポート　③授業への参加態度　④小テスト			①60%　②20% ③10%　④10%

授業科目名	人体の機能Ⅱ（工学）				
主担当教員	今村　行雄		担当教員	今村　行雄	
科目ナンバリング	SB20BMEA006	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、臨床工学技士として必要な基礎知識をさらに深めるため、呼吸器系、泌尿器系、消化器系、代謝に関する構造と機能を学びます。　臓器や系統ごとの特徴を理解し、それらがどのように機能し調和しているかを学ぶことで、　臨床応用を視野に入れた体系的な知識を身につけることを目指します。

学修目標

・呼吸器系の構造と機能の理解: 呼吸の調節機構や疾患との関連を説明できる。　・泌尿器系の理解: 腎臓の構造、体液調節、排尿の仕組みを理解し、説明できる。　・消化器系の理解:　食物の消化と吸収のメカニズムを説明できる。　・代謝と栄養の理解: 糖質や脂質の代謝機構を説明し、栄養の重要性を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

後期では、前期の基礎知識を土台にして、より実践的で応用的な内容を学びます。　毎回の授業で扱う内容をしっかり復習し、総合的な理解を深めてください。　また、講義で疑問に思った点は必ず質問し、臨床現場で役立つ知識を積極的に吸収してください。

教科書

上田　晃他　著　『人体の構造と機能（第 6 版)』　医歯薬出版株式会社

参考書

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	呼吸器系(1): 換気、気道、肺、胸郭	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
2	呼吸器系(2):呼吸の調節 1	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
3	呼吸器(3): 呼吸の調節 2 と疾患	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
4	泌尿器(1): 泌尿器系・腎臓の機能と尿生成	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
5	泌尿器(2):腎機能と排尿	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
6	体液(1): 体液と物質移動	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
7	体液(2): 浸透圧と酸塩基平衡	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
8	前半のまとめと小テスト	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
9	消化器系(1): 消化器系、咀嚼と嚥下	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
10	消化器系(2): 胃・小腸	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄
11	消化器系(3): 大腸	復習：講義プリント。　学習所要時間目安 1 時間以上	今村　行雄

12	消化器(4)： 膵臓など	復習：講義プリント。　学習所要時間目安１時間以上	今村　行雄
13	代謝と栄養(1)：同化と異化など	復習：講義プリント。　学習所要時間目安１時間以上	今村　行雄
14	代謝と栄養(2)： 糖質、脂質など	復習：講義プリント。　学習所要時間目安１時間以上	今村　行雄
15	後半のまとめと小テスト	復習：講義プリント。　学習所要時間目安１時間以上	今村　行雄
成績評価方法と基準			割合
①定期試験（筆記試験）　②課題・レポート　③授業への参加態度　④小テスト			①60%　②20% ③10%　④10%

授業科目名	生化学（工学）				
主担当教員	森　誠司		担当教員	森　誠司	
科目ナンバリング	SB20BMEA007	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生化学は生命現象を分子レベルで学ぶ学問である。糖質、アミノ酸、タンパク質、脂質、核酸などの主要な生体構成物質の構造と機能について学び、生命が多様な物質より構成されていることを理解する。またこれら人体を構成している化学物質の生体内での生物化学反応と生命維持との関わりについて学ぶ。

学修目標

生体を構成する糖質、タンパク質、脂質といった分子の構造と性質について説明できる。　生体内での化学反応、すなわち酵素反応について説明できる。　糖質、脂質、アミノ酸、核酸の代謝経路を説明できる。　ミトコンドリアにおけるエネルギー代謝を説明できる。　それぞれの代謝経路の相互関係と調節機構を説明できる。　DP1, 2

履修上の注意(学生へのメッセージ)

高校までの生物と化学について復習しておくこと。

教科書

シンプル生化学　（南江堂）ISBN : 978-4-524-24659-5

参考書

マッキー生化学　（化学同人）　リッピンコットシリーズイラストレイテッド生化学　（丸善）　カラーイラストで学ぶ集中講義　生化学　（メジカルビュー社）

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	糖の定義と分類	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
2	単糖類、オリゴ糖類、多糖類	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
3	脂質の定義と分類	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
4	脂肪酸の基本的な構造と性質	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
5	アミノ酸の構造と性質	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
6	タンパク質の構造と性質	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
7	核酸とヌクレオチドの構造と性質	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
8	酵素の構造と性質	予習：前回の講義を理解してくる　復習：重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
9	酵素反応の調節	予習:前回の講義を理解してくる　復習:重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
10	糖質の代謝・解糖系・糖新生・ペントースリン酸回路	予習:前回の講義を理解してくる　復習:重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司
11	クエン酸回路・電子伝達系	予習:前回の講義を理解してくる　復習:重要事項をノートにまとめる	森　誠司
12	脂肪酸の分解・脂肪酸の生合成	予習:前回の講義を理解してくる　復習:重要事項をノートにまとめる（2 時間）	森　誠司

13	アミノ酸の分解	予習:前回の講義を理解してくる　復習:重要事項をノートにまとめる（2時間）	森　誠司
14	アミノ酸から合成される生体物質	予習:前回の講義を理解してくる　復習:重要事項をノートにまとめる（2時間）	森　誠司
15	ヌクレオチドの代謝分解と再生経路	予習:前回の講義を理解してくる　復習:重要事項をノートにまとめる（2時間）	森　誠司
成績評価方法と基準			割合
期末試験と小テストで評価する。小テストの回答と解説は講義内で行う。　DP1，2			期末テストと小テストの割合は以下の通り。　80% 20%

授業科目名	医用工学（工学）				
主担当教員	楠元　直樹		担当教員	楠元　直樹／井本　勝久	
科目ナンバリング	SB20BMEA013	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医用工学は医学と工学の融合された学問で、この歴史的発展を追いながら、生体情報の収集・分析に使用される生体計測機器の原理，構造，特徴，安全対策を講義した後、臨床工学技士業務で使用する治療機器、生体機能代行装置の使用目的、原理、構造、特徴について教授する。

学修目標

1. 医用工学の領域と意義、生体の構造・機能の特徴概要について説明できる。<DP①④>　2. 様々な医療機器について知り、その原理や用途についての概要が説明できる。<DP①④>　3.第 2 種 ME 実力検定試験に対する基礎学力を高める。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

「授業計画」欄に記載されている内容に相当する部分を予め読み、講義後は、疑問点を放置せず、自ら解決できるように努力し、授業内容を自分自身の言葉でまとめ直すこと。

教科書

ME の基礎知識と安全管理　南江堂　ISBN:　978-4-524-24656-4

参考書

「イラスト図解医療機器と検査・治療のしくみ」 日本実業出版社　講義中に紹介する参考書

研究室／オフィスアワー

適宜相談に応じる

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医用工学の歴史と発展　人体の構造と機能	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
2	生体物性と医用材料	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
3	安全管理と医療情報システム	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
4	生体の計測法と生体計測機器および､心電計と心電図モニタ	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
5	脳波計、筋電計、電気眼振計、血圧計	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
6	血流計と呼吸計測装置	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
7	超音波診断装置と医用画像診断装置	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
8	生体の治療と治療機器および心臓ペースメーカ	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成 1 時間予習・復習を行う。	楠元
9	除細動器と血液浄化機器	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成　1	楠元

		時間予習・復習を行う。	
10	呼吸療法機器と麻酔器	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成　1時間予習・復習を行う。	楠元
11	体外循環装置と内視鏡治療	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成　1時間予習・復習を行う。	楠元
12	コンピュータ外科とインターベンション	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成　1時間予習・復習を行う。	楠元
13	輸液ポンプと結石破砕装置	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成　1時間予習・復習を行う。	楠元
14	がん治療装置と電気メス	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成　1時間予習・復習を行う。	楠元
15	手術用機器と ME 機器の滅菌・消毒	予習：シラバス確認・講義内容の把握　復習：キーワード確認・講義ノートの完成　1時間予習・復習を行う。	楠元
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　②試験評価＜DP①④＞　③2/3 回以上の出席が必要である。　＜フィードバックの方法＞　講義終盤に小テストを行う。			①30% ②70%

授業科目名	数学演習（工学）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	SB20BMEA014	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜2限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床工学技士として、生体の特性や医療機械の理解に必要となる数学の基本的な事項について、「高校数学」で学修した指数関数、対数関数、三角関数などを演習形式で計算問題を中心に具体的に例題等を提示しながら概説する。さらに各種数式等について実際にグラフを書く演習と徹底した解説を通して、数学的なものの見方・考え方および表現方法について理解を深めることを目標とする。高校段階で数学Ⅲ・Cまで履修していない学生にも対応した内容となります。

学修目標

1. 三角関数の性質や相互関係を理解し、その応用やそれを用いた計算ができる。〈DP①〉 2. 指数関数と対数関数の性質を理解し、計算できる。〈DP①〉 3. 関数の微分・積分の考え方を理解し、それを用いた計算ができる。〈DP①〉 4. 複素数の性質や相互関係を理解し、その応用やそれを用いた計算ができる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 教科書を購入して、その日の学習部分は事前に予習して、読んでくること。 2. 重要事項は各自がノートに記載すること。 3. 授業では、主として例題等について解説をしていきますが、各自それに関連する練習問題を解かないと力が付きません。 4. 授業内演習のほかに、復習を中心として自宅での演習を進めていきましょう。分からないことは出来る限り次の講義の前までに解決すること。 5. グループワークを取り入れる予定であり、受講生にも発言を求めます。 6. 高校段階で数学Ⅲ・Cまで履修した学生には物足りない授業となる可能性が高

教科書

Primary 大学テキスト これだけはおさえたい理工系の基礎数学, 金原粲など編集, 実務出版株式会社 ISBN978-4-407-31830-2

参考書

高校課程の教科書、参考書等

研究室／オフィスアワー

E棟4階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日5限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） 三角比	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：高校数学課程の内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様	佐久間
2	三角関数①（単位円、定理【正弦・余弦】）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
3	三角関数②(弧度法、グラフ、三角関数の方程式)	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
4	三角関数③（三角関数の不等式、加法定理）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
5	三角関数④（2倍角・半角の公式、三角関数の合成） 指数関数①（指数法則）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
6	指数関数②(グラフ、指数の方程式・不等式) 対	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書	佐久間

	数関数①（対数法則）	を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	
7	対数関数②（対数法則【続】、グラフ）	＜予習・復習 各 2 時間＞　復習：授業内容の確認と問題の解答　予習 1 時間と復習 1 時間を行う	佐久間
8	対数関数③（対数の方程式・不等式、常用対数）微分①（極限）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
9	微分②（極限【続】、導関数・積の微分）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
10	微分③（積の微分【続】、商・合成関数の微分）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
11	微分④（合成関数の微分【続】、三角関数・対数関数・指数関数の微分）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
12	微分⑤（マクローリン展開）　積分①（不定積分、いろいろな関数の積分）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
13	積分②（いろいろな関数の積分【続】）　複素数①（複素数の計算、複素平面、絶対値）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
14	複素数②（極形式）　三角関数⑤（極座標）　微分⑥（オイラーの公式）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
15	学修内容の総括（期末試験）	＜予習・復習 各 2 時間＞　数学演習の学習を振り返り、整理しよう。　期末試験に備えておくこと。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP①〉　②期末試験（授業内で実施）〈DP①〉　〈課題・期末試験に対するフィードバック方法〉　授業課題については次回以降に個別に返却講評します。　期末試験の点数は希望者のみ評価を開示する。			①　40%　②　60%

授業科目名	電気工学Ⅰ（工学）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	SB20BMEA018	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜1限、金曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

人工心肺装置や人工透析装置といった臨床工学技士が取り扱う医療機器の多くは電気を動力源としており、内部では様々な電気回路が動作している。また、神経信号の伝達や筋肉の収縮などは電気が重要な役目を果たしている。したがって、臨床工学技士にとって電気に関する知識は必要不可欠である。電気工学1では、電気回路の基礎的な知識習得を目的に、電荷や電圧といった電気に関する基礎的な要素から始め、直流回路、交流回路、電力、共振回路について学習する。

学修目標

1.電荷や電圧、電流といった電気工学の基礎的な専門用語について数値的な定義に基づき説明できる。〈DP①〉 2.受動素子からなる直流回路について、オームの法則やキルヒホッフの法則などを用いて、回路中の電圧や電流などの計算ができる。〈DP①〉 3.受動素子の特性について、数式を用いて説明できる。〈DP①〉 4.受動素子からなる交流回路についても、回路中の電圧や電流、インピーダンスなどを計算できる。また、求めた値を用いて、回路をベクトル図や複素数を用いて表現できる。〈DP①〉 5.電力を数値的な定義に基づき説明

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.電気工学Ⅰは積み上げ型の教科であるため、各講義内容は、以前の講義内容を理解していることを前提としています。したがって、わからない箇所を放置すると、それ以降の講義が全てわからなくなります。そのため、講義終了後には必ず復習を行い、授業内容の理解度について確認して下さい。復習中にわからないことがあれば、必ず質問に来て下さい。

教科書

1.『最新臨床工学講座 医用電気工学 1』監修 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会 / 医歯薬出版株式会社, ISBN: 978-4-2637-3468-1

参考書

1. 『臨床工学技士国家試験 Check UP！医用電気電子工学／医用機械工学／生体物性材料工学』(編)臨床工学技士国家試験研究会, 医歯薬出版株式会社, ISBN: 978-4-263-73209-0

研究室／オフィスアワー

C棟7階 研究室19 / 月曜日5限　面談は可能な限り事前予約すること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	電気工学の基礎 ・臨床工学技士にとって電気工学の知識が不可欠な理由を説明できる ・電流、電位などを説明できるようになる。 ・電圧計、電流計の接続方法を説明できるようになる	予習時間: 2時間 予習内容: 前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書1(pp.1-11, 153-156)の要約を作成 復習時間: 2時間 復習内容: 講義内容の要約を作成	原　良昭
2	オームの法則と抵抗の性質 ・オームの法則を用いて回路の電圧、電流及び抵抗を算出できる。 ・直列接続された抵抗、並列接続された抵抗の合成値を算出できる。	予習時間: 2時間 予習内容: 前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書1(pp.22-32)の要約を作成 復習時間: 2時間 復習内容: 講義内容の要約を作成	原　良昭
3	キルヒホッフの法則と重ねの理 ・キルヒホッフの法則を用いて複雑な回路を解くことができる。 ・重ねの理を用いて複雑な回路を解くことができる	予習時間: 2時間 予習内容: 前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書1(pp.33-39)の要約を作成 復習時間: 2	原　良昭

		時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	
4	抵抗・電圧・電流の測定方法　・抵抗を測定する方法を説明できる。　・電圧を測定する方法を説明できる。　・電流を測定する方法を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.13-21, 15-158)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
5	ブリッジ回路と電圧源の内部抵抗　・電圧源の内部抵抗を数式で説明できる　・ブリッジ回路の平衡条件を数式で説明できる。また、未知抵抗の抵抗値を計算できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.39-50)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
6	直流回路の電力　・電流による発熱作用を数式で説明できる。また、発熱量を計算できる。　・電力について、定義の説明、供給電力が最大になる条件の説明と最大供給電力の算出ができる。　・送配電について、送配電における電力損失及び漏電と感電について説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.51-61, 42-43)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
7	複雑な回路の解法　・テブナンの定理を用いて複雑な回路を解くことができる。　・ミルマンの定理を用いて複雑な回路を解くことができる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.63-75)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
8	交流の特性　・直流と交流の違いを説明できる。　・周波数や位相など交流波形を特徴付ける値を説明できる。　・三角関数を用いて交流波形を表現できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.77-89, 158-162)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
9	交流回路における受動素子（抵抗、インダクタ、キャパシタ）の特性　・ベクトルで交流波形を表すことができる。　・交流回路における抵抗の特性を数式で説明できる。　・交流回路におけるインダクタの特性を数式で説明できる。　・交流回路におけるキャパシタの特性を数式で説明できる。　・インピーダンスの説明と算出ができる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.89-100)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
10	受動素子を直列に接続した交流回路の特性　・RL 直列回路、RC 直列回路及び RLC 直列回路の各回路について、特性の説明、電圧、電流及びインピーダンスの計算ができる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.100-106)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
11	受動素子を並列に接続した交流回路の特性と複素数　・RL 並列回路、RC 並列回路及び RLC 並列回路の各回路について、特性の説明、電圧、電流及びインピーダンスの計算ができる。　・複素数の性質について説明できる	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.107-113, 163-168)の要約を作成　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
12	直列回路の複素数表記　・RL 直列回路、RC 直列回路及び RLC 直列回路の各回路について、複素数を用いた表現及び電圧・電流・インピーダンスの算出ができる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.113-118)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
13	並列回路の複素数表記　・RL 並列回路、RC 並列回路及び RLC 並列回路の各回路について、複素数を用いた表現及び電圧・電流・インピーダンスの算出ができる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書 1(pp.118-120)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭

14	交流回路の電力　・交流回路における電力の特徴である、瞬時電圧、電圧と電流の位相差が電力に及ぼす影響、力率について数式で説明できる。　・皮相電力、有効電力、無効電力について数式で説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書1(pp.120-125)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
15	共振回路について　・共振回路の特徴を電力に関連づけて説明できる。　・直列共振回路の特性について数式を用いて説明できる。　・並列共振回路の特性について数式を用いて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲について要約を作成。指定がない場合は、教科書1(pp.125-135)の要約を作成　　復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成	原　良昭
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1. 100%

授業科目名	電気工学Ⅱ（工学）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	SB20BMEA019	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜1限、金曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

電気工学 II では、電気工学 I で学習した直流回路と磁気の発展として、静電気と交流回路を学ぶ。　静電気では、電界や電束について理解を深め、キャパシタの静電容量を導出できる知識を身につける。　交流回路では、交流回路における抵抗器やキャパシタ、インダクタの特性を学習する。その後、交流回路を解析する手法としてベクトルでの表示法や複素数での表示法について示す。　また、電気工学 I で学習した知識と併せて、医療機器の取り扱いで重要な基礎知識であるフィルタ回路や過渡応答、電力装置、電磁波についても学習する。

学修目標

1. 電気力線、電束、仕事に対する電圧と電位の関係といった静電気に関して説明できるようになる。〈DP①〉 2. キャパシタに関しては、誘電率や導体形状が静電容量に及ぼす影響、複数のキャパシタを連結したときの合成静電容量及びキャパシタが蓄えるエネルギーなどを説明できるようになる。また、実際のどの様な種類のキャパシタがあるかについて説明できるようになる。〈DP①〉 3. 受動素子の特性について、数式を用いて説明できるようになる。〈DP①〉 4. 受動素子からなる交流回路についても、回路中の電圧や電流、インピー

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 電気工学 II は積み上げ型の教科であるため、各講義は、以前の講義内容及び電子工学 I を理解していることを前提としています。したがって、わからない箇所を放置すると、それ以降の講義が全てわからなくなります。そのため、講義終了後には必ず復習を行い、授業内容の理解度について確認して下さい。復習中にわからないことがあれば、必ず質問に来て下さい。

教科書

1.『最新臨床工学講座 医用電気工学 1』 監修 一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会 / 医歯薬出版株式会社, ISBN:978-4-263-73468-1　2.『最新臨床工学講座 医用電気工学 2』 監修 一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会 / 医歯薬出版株式会社, ISBN:978-4-263-73469-8

参考書

1.　『臨床工学技士国家試験　Check UP！医用電気電子工学／医用機械工学／生体物性材料工学』(編)臨床工学技士国家試験研究会, 医歯薬出版株式会社, ISBN: 978-4-263-73209-0

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階 研究室 19 / 月曜日 5 限　面談は可能な限り事前予約すること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	フィルタ回路　・キャパシタと抵抗で構成されるフィルタ回路の特性について数式を用いて説明できる。　・コイルと抵抗で構成されるフィルタ回路の特性について数式を用いて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 1(pp.141-152)の確認　復習時間: 2 時間　復習内容:　講義内容の確認	原　良昭
2	過度現象　・電気回路における過渡現象として、充放電時及び方形波入力時における電圧及び電流の変化を数式に基づいて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　電気工学 1 の最後の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 1(p.137-140)及び教科書 2(p. 182-190)の確認　復習時間: 2 時間　復習内容:　講義内容の確認。特に、微分と積分の考え方には十分に慣れること	原　良昭

3	電荷と電界　・電荷と電界についてクーロンの法則に基づいて数式で説明できる　・電気力線と電束を数式で説明できる	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 1-18)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
4	電圧と電位 1　・電荷と電界の関係を物理的な仕事として説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 19-36)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
5	電圧と電位 2　・電位を電界から求めることができる。　・電位を物理における仕事と関連付けて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 37-49)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
6	静電界の性質　・静電界における導体及び絶縁体の性質について数式を用いて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 51-66)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
7	キャパシタの性質　・電流の定義を理解し、電流密度や導線を流れる電流と電界について説明できる。　・静電容量が説明できる。また、誘電率や導体形状が静電容量に及ぼす影響を数式に基づき説明できる。　・キャパシタの種類や特性を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 67-82)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
8	キャパシタの合成静電容量　・複数のキャパシタを接続した際の合成静電容量を計算できる。　・キャパシタが蓄えるエネルギーや充放電特性につて数式で説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 82-96)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
9	磁気の性質　・磁極におけるクーロンの法則を数式に基づいて説明できる。　・磁界、磁束、磁束密度について数式を用いて説明できる。　・磁化とヒステリシスを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 97-106)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
10	電流による磁界　・電流による磁界について数式を用いて説明できる。　・ローレンツ力について数式を用いて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 107-117)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
11	電磁誘導　・ファラデーの電磁誘導の法則、レンツの法則とフレミングの右手の法則を説明できる。　・誘導起電力について数式を用いて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 119-125)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
12	インダクタ　・自己誘導、相互誘導及びインダクタに蓄えられるエネルギーについて数式を用いて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 127-134)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
13	電磁力　・フレミングの左手の法則について説明できる。　・電流力について数式を交えながら説明できる。　・電磁力によって行われる仕事について数式を用いて説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 135-142)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認	原　良昭
14	電力装置　・変圧器の仕組みについて数式に基づき説明できるようになる。　・コンバータとインバータを説明できるようになる。　・電動機の仕組みについて数式を用いて説明できるようになる。　・電動機と発電機の関係を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp. 143-157)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認。	原　良昭

15	電磁波の性質　・電磁波の種類と性質について数式を交えながら説明できるようになる。　・電磁波障害とノイズ対策について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指定された教科書の範囲を確認。指定がない場合は、教科書 2(pp.159-173)の確認 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義内容の確認。	原　良昭
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1. 100%

授業科目名	関係法規（工学）				
主担当教員	遠藤　宏和		担当教員	遠藤　宏和	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜1限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

臨床工学技士法に基づく臨床工学技士の身分及び業務について理解し、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保に関する薬機法について学び、医療機器に関する知識を習得し、医療事故防止に寄与できるようにする。加えて、臨床工学技士が業務を行なう病院等に関する医療制度を規定した医療法について学び、社会保障の内容を理解し、臨床工学技士として責任を持った行動ができるような知識を備える。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1．臨床工学技士法に規定されている身分及び業務について理解する。〈DP①②〉　2．臨床工学技士の相対的欠格事由について熟知する。〈DP①②〉　3．医療機器関連法について理解し、有効性及び安全性の確保についての知識を備える。〈DP①②〉　4．医療法について理解し、医療制度に関して熟知する。〈DP①②〉　5．医師法、看護師法を理解し、チーム医療に寄与できるようにする。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

配布した資料の内容につき、教科書のみならず厚生労働省ホームページの「所管の法令等」を閲覧し、内容の確認に務めてください。

教科書

臨床工学講座 関係法規　日本臨床工学技士教育施設協議会監修　医歯薬出版株式会社　ISBN978-4-263-734 14-8

参考書

看護・医療を学ぶ人のための よくわかる関係法規 (Basic&Practice 看護学テキスト専門基礎分野)　松原孝明著　学研メディカル秀潤社　ISBN-13: 978-4780913866

研究室／オフィスアワー

E棟1階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	法について（法とは、法体系、成分法、不文法）	予習：目的、授業計画、到達目標を知る。 復習：講義内容をノートにまとめる。　1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
2	厚生労働省施策について	予習：学習内容について教科書を読む。 復習：講義内容をノートにまとめる。　1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
3	医療支援策に関する法	予習：学習内容について教科書を読む。 復習：講義内容をノートにまとめる。　1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
4	臨床工学技士法１	予習：学習内容について教科書を読む。 復習：講義内容をノートにまとめる。　1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
5	臨床工学技士法２（臨床工学技士施行令・臨床工学技士法施行規則）	予習：学習内容について教科書を読む。 復習：講義内容をノートにまとめる。　1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
6	臨床工学技士法３（臨床工学技士業務指針 2010 およびタスクシフトについて）	予習：学習内容について教科書を読む。 復習：講義内容をノートにまとめる。　1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
7	医療職種に関する法１（言語聴覚士法、救命救急士法、視能訓練士法、あん摩マッサージ指圧師、	予習：学習内容について教科書を読む。 復習：講義内容をノートにまとめる。　1	遠藤　宏和

	はり師、きゅう師等に関する法律）	時間予習・復習を行う。	
8	医療職種に関する法２(理学療法士及び作業療法士法、臨床検査技師法、診療放射線技士法)	予習：学習内容について教科書を読む。 復習：講義内容をノートにまとめる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
9	医療職種に関する法３（医師法、保健師助産師看護師法）	予習:学習内容について教科書を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
10	医療法１	予習:学習内容について教科書を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
11	医療法２（医療法施行令・医療法施行規則）	予習:学習内容について教科書を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
12	医薬品医療機器等法１	予習:学習内容について教科書を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
13	医薬品医療機器等法２（毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法、大麻取締法、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律）	予習:学習内容について教科書を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
14	その他の関連法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療の関する法律、臓器の移植に関する法律、健康増進法)	予習:学習内容について教科書を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
15	医療事故及び医療過誤について、関係法規に関するまとめ	予習：まとめのノートを確認する。 復習：追加・訂正等を行い、ノートを仕上げる。 1時間予習・復習を行う。	遠藤　宏和
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3回以上必要である。 ①平常点評価（講義ノートの確認、レポート提出など） ②試験評価＜DP①②＞ ＜フィードバックの方法＞ 講義開始前に、前回の復習を行う。			① 15% ② 85%

授業科目名	アスレティックトレーナー概論（鍼灸 AT）					
主担当教員	小田 啓之		担当教員	小田 啓之		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

スポーツ現場で活躍しているアスレティックトレーナーとは、どのような役割なのか？スポーツ環境が変化していく中でアスレティックトレーナーの役割も変化しつつある。本講義では、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPO-AT）養成のため、JSPO-AT を基準としたアスレティックトレーナーの歴史や業務、倫理、責任等アスレティックトレーナーとしての役割についての授業を展開する。

学修目標

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの歴史的背景を理解し、説明ができる（DP①③） 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPO-AT）の業務を理解し、その説明ができる事。(DP①③) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの倫理観や責任を理解し、その説明ができる事。(DP①③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを受験希望する者は必ず受講すること。 アスレティックトレーナーは、運動指導者として位置づけられているので、運動指導者として相応しい受講態度をとること。 授業内でディスカッションを行う時は積極的に発言し、活発な議論を行うこと。

教科書

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 1「アスレティックトレーナーの役割」

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階火曜 15：00-18：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：アスレティックトレーナーの職業領域についてインターネットで調べる 復習：アスレティックトレーナーの働き方についてまとめる （各 2 時間）	小田
2	JSPO-AT とは	予習：アスレティックトレーナーの役割を調べる 復習：アスレティックトレーナーの変遷についてまとめる （各 2 時間）	小田
3	JSPO-AT の業務 （外傷・障害予防，コンディショニング）	予習：アスレティックトレーナーの役割をインターネットや書籍を用いて調べる 復習：講義内容を踏まえて外傷・障害予防におけるアスレティックトレーナーの役割をまとめる （各 2 時間）	小田
4	JSPO-AT の業務 （リコンディショニング，救急対応）	予習：アスレティックトレーナーの役割をインターネットや書籍を用いて調べる 復習：講義内容を踏まえてリコンディショニング、救急対応におけるアスレティックトレーナーの役割をまとめる （各 2 時間）	小田
5	JSPO-AT の活動と倫理	予習：倫理とは何か調べる 復習：講義内容を踏まえてアスレティックトレーナーに必要な倫理観をまとめる （各 2 時間）	小田
6	JSPO-AT の活動環境	予習：アスレティックトレーナーの職域について調べる 復習：講義内容を踏まえて	小田

		アスレティックトレーナーの活動場所をまとめる　（各 2 時間）	
7	スポーツ現場での JSPO-AT の活動　-各種競技への理解-	予習：様々なスポーツのルールを調べておく　復習：アスレティックトレーナーが競技特性を理解する必要性について復習する　（各 2 時間）	小田
8	組織運営と管理	予習：アスレティックトレーナー専門テキスト 1 の確認　復習：アスレティックトレーナーが組織マネジメントを行う必要性・意義について復習する　（各 2 時間）	小田
9	安全管理とセルフマネジメント①	予習：スポーツ現場の安全管理について調べておく　復習：講義内容を踏まえてスポーツ現場での安全管理の重要性をまとめる（各 2 時間）	小田
10	安全管理とセルフマネジメント②	予習：運動指導者がスポーツ現場で行う安全管理についてインターネットや書籍を用いて調べる　復習：講義内容を踏まえてアスレティックトレーナーにとってセルフマネジメントが何故重要なのかまとめておく（各 2 時間）	小田
11	スポーツ医科学チームとの連携	予習：プレーヤーを取り巻く環境について予習しておく　復習：プレーヤーを取り巻く環境の中でアスレティックトレーナーの立ち位置についてまとめる　（各 2 時間）	小田
12	エビデンスに基づいた　アスレティックトレーニング	予習：EBT（evidence based training）について調べる　復習：アスレティックトレーナーが活動する中でのエビデンスの重要性をまとめる　（各 2 時間）	小田
13	JSPO-AT としてのスキルアップ	予習：アスレティックトレーナーが取得している資格について調べる　復習：アスレティックトレーナーが学ぶべき内容についてまとめる　（各 2 時間）	小田
14	関係者・対象者とのコミュニケーション	予習:運動指導者に求められる「コミュニケーション能力」とは何か調べる　復習:コミュニケーション方法についてまとめる（各 2 時間）	小田
15	講義全体のまとめ	これまでの講義内容を確認しておく	小田
成績評価方法と基準			割合
1、 レポート課題　＊レポート内容や提出期日などは授業内で説明します　2、 筆記試験　＊テスト結果は適宜フィードバックを行います			1、30%　2、70%

授業科目名	スポーツ健康管理学（鍼灸 AT）					
主担当教員	相原　望		担当教員	相原　望		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

本授業では，スポーツ現場における安全・健康管理やスポーツ外傷・傷害の予防を実践するための必要な知識を身につけることを狙いとして授業を展開する.

学修目標

・健康管理の重要性や目的を理解する　・スポーツ外傷・障害の発生要因を理解し予防方策を立案できる　・科学的根拠に基づいた安全・健康管理を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に予習・復習に取り組んでください

教科書

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 2「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	スポーツ現場における安全・健康管理とは	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
2	スポーツ現場における安全・健康管理の実態	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
3	各種要因と安全・健康管理	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
4	安全・健康管理と組織体制	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
5	対象者の理解と安全健康管理	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
6	競技特性の把握と安全・健康管理	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
7	重大事故への対応	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
8	安全･健康管理とアスレティックトレーナーの役割	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
9	スポーツ外傷･障害予防①－疫学調査とその活用法－	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
10	スポーツ外傷･障害予防②－発症要因とその理解－	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
11	スポーツ外傷･障害予防③－予防プログラムの立案－	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
12	科学的根拠に基づいたスポーツ外傷･障害予防プログラム	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
13	スポーツ外傷・障害に対する予防手段	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
14	スポーツ活動への復帰の考え方	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
15	まとめ	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原

成績評価方法と基準	割合
①筆記試験	①100%

授業科目名	コンディショニング論（鍼灸 AT）				
主担当教員	春木　淳二		担当教員	春木　淳二	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

プレーヤーがより良い状態でパフォーマンスを発揮するために，アスレティックトレーナーが安全に且つ効果的にコンディショニングを行うことは必要不可欠である．本授業では，アスレティックトレーナーとして必要不可欠なコンディショニングの基礎知識の習得を目指す．

学修目標

・コンディショニングの実施計画を作成するための基礎知識を身につける　・対象者の特徴に合わせたコンディショニング実施計画を作成できるようにする

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的に授業に参加してください

教科書

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 3「コンディショニング」

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション－コンディショニングとは－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
2	コンディショニングにおける基礎知識	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
3	コンディショニングの要素とその管理	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
4	コンディショニングのプログラムデザイン	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
5	ウォーミングアップ	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
6	リカバリー	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
7	競技特性の理解①	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
8	競技特性の理解②	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
9	環境変化とコンディショニング	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
10	特異的な対象者に対するコンディショニング①－女性アスリート－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
11	特異的な対象者に対するコンディショニング②－成長期－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
12	特異的な対象者に対するコンディショニング③－高齢者・障がい者－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
13	減量・増量のコンディショニング	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
14	コンディショニングテクノロジー	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木

15	まとめ	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験			①100%

授業科目名	医療技術入門（工学）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／松尾　明彦／中村　有希	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

選択医療技術は科学技術（テクノロジー）に基礎をなす学問であり、その応用である。それは技術に基づいて発展し、現在の高度化された医療を支えている。その技術を用いて医療を実践するのが医療技術者である。本講義では生体機器を取り扱うために必要な専門的な知識と技能（スキル）を修得させることを目的とする。また、臨床検査・臨床工学・診療放射線が関わる分野について、学科の垣根を超えて医療技術の基礎と技術を教授し、多職種の理解が深まるように解説する。

学修目標

臨床の現場で必要である医療技術の基礎を学ぶ。　1．医療を技術的観点からとらえ、それを支える基礎的事項について理解する。　2．医療において技術を駆使するのは医療従事者でありスキルの重要性を理解する。　3．科学の進歩に伴い医療の技術も日々進歩していることを理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療の学問的・技術的な背景が講義の主軸となるが、最新の医療技術についても紹介する。1年次前期ではまだ十分な知識が備わってないこともあるので、分からないことは積極的に質問すること。また学習内容と事前指導を確認し準備をしておくこと。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書

担当教員が適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

臨床検査学科　脇研究室　（月）16：30～17：30　（火）16：30～17：30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. 臨床で使用される医療機器の紹介	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
2	2. 日常臨床で使用される 3 方活栓の使い方（実習）	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、中村有希
3	3. 循環器系疾患で使用される医療機器（臨床例提示）	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
4	4. 静脈確保の実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、松尾明彦
5	5. 消化器系疾患で使用される医療機器（臨床例提示）	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
6	6. 生検鉗子の使用実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、中村有希
7	7. 脳・神経系で使用される医療機器（臨床例提示	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
8	8. 頸動脈エコー実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦

成績評価方法と基準	割合
1. 授業内に行う小テスト　2.　実習レポートを含む実習評価　フィードバック：低解答率問題の解説を行う。	1. 授業中に行う小テスト（20%）　2. 実習レポート

	を含む実習評価（80%）

授業科目名	BLS テクニカル演習（工学）				
主担当教員	加納　寛也		担当教員	加納　寛也／布江田　友理／藤江　建朗／中村　有希	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

突然の心停止はその予防に関して重要な進歩を遂げているにも関わらず、多くの国では死亡原因の第 1 位である。そして、院外での心停止の予後は依然不良である。この講義では、医療技術職に関わる学生が、世界基準の心肺蘇生（CPR）について学び、高い CPR スキルの実施を修得する。その第一歩として学科の垣根を越えて、一次救命処置（BLS）を修得し救命率を向上させる医療人のタマゴの育成を目指す。　アメリカ心臓病協会 AHA による一次救命処置（BLS）プロバイダーコースを受講することで AHA, BLS 修了認定する。　DP 1,2,3

学修目標

- 質の高い CPR の重要性および生存に対するその効果を説明できる
- 救命の連鎖という BLS の概念を適用できる
- CPR を要する徴候を認識できる
- 成人・小児・乳児に対して質の高い CPR を実施できる
- 自動体外式除細動器（AED）の早期使用の重要性を説明できる
- AED を適切に使用できる
- 感染防具を使用して効果的な人工呼吸が実施できる
- 異物による気道閉塞を解除する処置を説明できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①本科目は定員制のため、受講希望者が多い場合は教務課にて抽選により選出する。また履修登録修正期間に枠が空いた場合は、抽選者の中から繰り上げ定員とする。　②講義７，８は実技＋試験としてアメリカ心臓病協会 AHA による一次救命処置（BLS）プロバイダーコースを受講となる。実施日は土曜日となる。　③②について受講は任意、受講者は実技、資格登録等で別途 16,000 円（2024/11 月時点）が必要となる。AHA 登録期間 2 年間有効。

教科書

一次救命処置　AHA ガイドライン 2020 準拠　プロバイダーマニュアル　：　シナジー　American Heart Association 著　ISBN 978-4-910915-04-3 C3347

参考書

写真と動画でわかる一次救命処置　：　学研　ISBN 978-4-7809-1242-5 C3047

研究室／オフィスアワー

各講義終了後または、各担当教員にアポイントを取って各研究室にて指導を受けること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	一次救命処置の必要性について学ぶ	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納　中村 布江田　藤江
2	救命処置について学ぶ	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納　中村 布江田　藤江

3	BLS について理解を深める	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
4	気道確保について	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
5	AED について	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
6	救助者の心理・メンタルケア	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
7	AHA, BLS 実技	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江 大阪ライフサポート協会
8	AHA, BLS 実技	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納　中村 布江田　藤江 大阪ライフサポート協会
成績評価方法と基準			割合
1、課題評価（レポート提出内容、期限内厳守、班・チームごとにおける演習等に対する協力体制、態度など）、〈DP①②③〉　フィードバック：モリパを通じコメント記載。レポートの返却はしない。			1，100%

授業科目名	循環器診断技術演習（工学）				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一／小縣　裕二	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

循環器疾患では、病気の範囲や重症度を判定し治療の計画を役立てるために、さまざまな診断法が開発されている。臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師等の医療技術者は、専門的技術を用いて医療を実践することで現在の高度化された循環器疾患診療を支えている。臨床検査・臨床工学・診療放射線の 3 職種が関わる分野について、学科の垣根を超えて一緒に循環器疾患の診断に関する基礎を学ぶことで、それぞれの専門的な技能（スキル）の修得に繋げると共に、多職種理解を目指す。

学修目標

臨床の現場で必要である循環器診断技術の基礎を学ぶ。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

履修上の注意（学生へのメッセージ）　1　全出席を原則とする。　2　課題を出しますので、提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。　3　課題（模型作成）では模型代金（4,000 円程度）の実費を徴収します。　　価格は予定であって、変更となる可能性もあります。　4　模型作成の時は土曜日に開講する予定です（日程は調整中）。※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

指定しない

参考書

指定しない

研究室／オフィスアワー

山本浩一　さくら棟 5F　研究室 6

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス・循環器系解剖講義	予習：循環器系の解剖教科書を熟読し理解してくること　復習：実習の内容をまとめる	
2	心臓の解剖演習	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
3	心臓について②(模型作成)	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
4	心臓について③（模型作成）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
5	超音波検査(演習を含む)	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
6	心電図検査（演習を含む）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
7	循環器に関する放射線検査（造影剤に関して）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
8	循環器に関する自律神経薬理学実習	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	

成績評価方法と基準	割合
授業ごとに課題（レポート等）を課します。詳細は 1 回目に伝えます。	課題の評価を 100%としま

	す。詳細は1回目に伝えます。

授業科目名	教職論（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング	SE20BACA006	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について理解し、教職への意欲を高め、さらに適性を判断しながら、必要となる資質能力の習得に見通しを持つ。

学修目標

１．教職の意義及び教師の役割に関する基礎的知識を習得する。　２．教師の課題解決に必要な考え方と行動を理解する。　３．教職に関わる制度を理解する。　４．教職の未来を描き、意欲や志望意識を高める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の課題に対して自分の学びをレポートすることによって、教職に対する理解を深め、自らの将来像をイメージすることに役立ててもらいたい。

教科書

人間教育を実践する教師への道―教師の仕事と教育行政　株式会社 ERP

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４階第５研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業の目的、概要―学習ルールとマナー、評価、参考文献の紹介等	シラバスを読んでおく。学んだことを簡潔にまとめておく。	阿部
2	教育とは何―教員としてのあり方､教員を目指す学生のあり方　教育の目的	「教員の役割」について既習事項をまとめる。教員を目指すものとしての意識をまとめる。	阿部
3	学級経営―学級経営の課題と方法､そこから見える教員としてのあり方、授業力と生徒指導力	前回の授業のポイントを確認しておく。 授業力と生徒指導力の関係についてまとめる（課題）	阿部
4	求められる教員のあり方―教員採用試験合格者から分析した教員としてのあり方	教員採用試験合格ために必要なことについてまとめる。	阿部
5	教員採用試験から見えてくる求められる教員の資質・能力―教育委員会の文書、教員採用試験の面接・場面指導・模擬授業等から分析した教員としての在り方	教員として求められる資質能力についてまとめる。	阿部
6	教員の仕事―小学校、中学校、特別支援学校の教員の一日	教員の仕事について既有知識を確認しておく。　各学校種に応じた教師の仕事をまとめる。(課題)	阿部
7	学校の組織力―職員会議、校務分掌、学年経営、学校経営、危機管理	前回の授業のポイントを確認しておく。 学校の組織図を作る。	阿部
8	教員の身分と服務―教員の服務、身分保障と分限・懲戒処分	前回の授業のポイントを確認しておく。 教員の身分と服務についてまとめる。	阿部
9	教員の問題行動とメンタルヘルス―教職員の不祥事、教員の精神疾患	前回の授業のポイントを確認しておく。近年の教師の問題行動について調査レポートをする。(課題)	阿部
10	教員の資質向上と研修―研修について､初任者研修、10 年目研修、校内研修、官制研修	教員研修についての既有知識を確認しておく。　教員研修の必要性について考えをまとめる。	阿部

11	教員養成の歴史―戦前、戦後の教員養成	教員採用の歴史についてまとめる。	阿部
12	学習指導要領（１）―3 つの柱	思考力･表現力の育成、人間性の涵養についてポイントをまとめる。	阿部
13	学習指導要領（２）―主体的で深い学び、ICT、個別最適化、協働力の育成	学習指導要領のトピックを選んでレポートする。（課題）	阿部
14	教育実習の意義と心得―教育実習の目的､求められる実習生の意欲・態度	教育実習について既有知識を確認しておく。教育実習に向けての思いをまとめる。	阿部
15	まとめ―獲得できた学びと課題を振り返り､まとめ、交流する。進路選択への視点を明確にする。	これまで書いた各回の振り返りをもとに自分の問題意識をレポートする準備をしておく	阿部
成績評価方法と基準			割合
①毎回行う振り返りレポート　②課題　③論述試験としての最終レポート　④授業内での発言・プレゼン			①３０％　②３０％　③３０％　④１０％

授業科目名	教育原理（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	松田　智子		担当教員	松田　智子		
科目ナンバリング	SE20BACA005	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

①教育の基礎・基本的な原理を学ぶために教育の歴史や思想などの視点から各時代において教育や学校がどのように位置づけられてきたかについて理解を深める。　②諸外国の教育について学び、現在の日本の教育がどのような思想的・歴史的背景を有しているのかを理解することで、学校教育や社会教育の在り方について理解する。　③現代における教育の課題や教育改革等の動きにも理解を深め、現代に求められる教師として必要な資質能力を習得できるようにする。

学修目標

①教育の基礎･基本的な原理を学ぶために教育の歴史や思想などの視点から各時代において教育や学校がどのように現れてきたかについて理解を深める。　②諸外国の教育について学び、現在の日本の教育がどのような思想的・歴史的背景を有しているのかを理解することで、学校教育や社会教育の在り方について理解する。　③これまでの教育や学校の営みがどのようにとらえられ、変遷してきたかを理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を購入して、その日の学習部分は事前に予習して、読んでくること。　授業の終わりに、毎時間、理解度をチェックするミニレポートを書くので、予習は不可欠である。

教科書

「哲学する教育原理」教育情報出版　伊藤潔志編集　（２０１９年）

参考書

授業中に適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業に関して何か質問等ありましたら、メールで、学籍番号・氏名を明記した上で送信してください（携帯メール不可）。
東棟　4 階　松田研究室　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育学と教育の成り立ちについての､学び方の基本を身に付ける。 自分が受けてきた教育を振り返り、日本の教育の特色を理解する。	予習：「教育とは何か」について考えをまとめる（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
2	西洋の教育思想を学ぶ(古代・近世)　古代ギリシヤから近世までの社会的な背景と教育の関係を理解する	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
3	西洋の教育思想を学ぶ(近代・現代)　義務教育の概念が広がった以降から現在までの教育の変遷を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
4	日本の教育思想を学ぶ（古代・中世・近世）　日本の飛鳥時代から江戸時代までの､社会的な背景と教育の関係を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
5	日本の教育思想を学ぶ(近代・戦後)　明治以降の義務教育の変遷と､戦後から現在までの教育の変遷と目的を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
6	教育を基礎から考える（教育とは何か）　今までの西洋と日本の教育史を振り返り､現在の教育がどのように成立したかを考え､教育の本質を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
7	教育を基礎から考える（子どもとは何か）　ルソ	予習：前時を振り返り、記録を読み返す	松田

	一から子ども観が変わる過程を理解し、現在の子どもの状況と権利について知る。	（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	
8	教育を基礎から考える（学校とは何か）　学校が歴史的に果たした役割の変化に焦点を当てて、現在の学校の長所と課題を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
9	教育を哲学する　・どうすれば学校で哲学が可能になるのか、学校組織と人的な構成から考え、哲学できる教室にするため必要なことを知る。　・対話・会話・議論の違いを理解し、対話が学習となる学級の在り方、教師の在り方を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
10	教育することの倫理　・教育は善と、古代ギリシャから言われてきたが、歴史的過程において教育とは何かを理解する。　・教育の本質を、哲学的に対話を通して、学校で実現するための方策を身に付ける。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
11	教師と子供の関係性　・教師と子どもの信頼関係は、教育には不可欠であるが、現代の学校教育での現状を知る。　・子どもと教師の信頼関係を獲得するために、具体的な方策を身に付ける。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
12	公教育の役割と位置づけ　・公教育の意義とともにデメリットを理解する　・義務教育制度の成果と課題について、世界と比較しつつ日本の教育を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
13	学校園と理論を結ぶ哲学　・幼児教育の現場と理論について理解する。　・就学するまでに育てたい 10 の力と学校教育の関連性を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
14	学校園と理論を結ぶ哲学　・初等教育の現場と理論を知る。　・中学校と小学校のシステムの違いを理解し、義務教育学校の在り方を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
15	学校園と理論を結ぶ哲学　・中等教育の現場と理論を理解する。　・高大連携やキャリア教育の在り方を考える。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
成績評価方法と基準			割合
①毎回の授業後のレポート　②定期試験			①70%　②30%

授業科目名	西洋史概説（放射線）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20013	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜１限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

明治維新以降、日本は西欧列強の国々から様々な知識や技術を得て、今日まで長らえてきた。そのなかで近年はヨーロッパの考え方に対して、たとえば「こういう考え方は日本にはなじまない」とか、逆に「日本はこういう考え方を取り入れるべきだ」といった議論がなされることが多くある。しかし、その意見はなぜ正当化されるのだろう。よくあるのは歴史上の事実を取り上げて「西欧はこうだけど日本はこうだからだ」とか、「西欧はこれでうまくいったんだから日本もこうするべきだ」という議論だ。でも、その証拠を評価するにはまず、自分の国の歴史や伝統のみならず、相手が歩んできた歴史の流れを知っておく必要があるだろう。本講義では政治史と社会史上の幾つかのトピックに話を絞って、西洋について基本的な歴史的概説を行う。こうした作業を通じて西洋史の大づかみの概要を学びつつ、普段私たちが用いる言葉や考え方そのものが場合によっては歴史の正しい理解を妨げうること、教科書的な記述にとどまらない事実をめぐる様々な議論がある点などに特に注意を促したい。　　また本学は医療大学であるため、本講義では西洋における医学史についても毎回少しずつ紹介したい。日本では中医学から影響を受けた漢方も発達してきたが、やはり現代の医療の多くは西洋で培われてきた種々の知識や理論に負うところが大きい。西洋において医学をめぐる考え方がどのように変遷していったのかを理解することは、現代の医の在り方を考える上でも重要な視点を与えてくれるだろう。

学修目標

１．歴史学がどのようなことを試みる学問かを踏まえたうえで、毎回各時代に１，２のテーマを設定し、西洋史を概観する。このことによって中高の世界史の授業ではしばしば省略される西洋史の大枠をつかむための歴史理論や、考えるべきだが見落とされがちなポイントなどを学習し、われわれの来し方行く末を考える材料としてもらう。　２．西洋史の概説に加えて今日まで影響を持ついくつかの医学史上の重要なポイントについても理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

第１回までの授業で特別必要な用意はない。これまでの人生経験に即して、西洋社会についていくらかのイメージを持っていればよい。高校時代の世界史の授業とは異なり様々なポイントを省略することがあるが、初修者でも理解しやすく努めるつもりであるし、高校の世界史を知らないことで成績評価に不利益が生じないように成績評価基準を設計する。歴史学の分野でも昔は認められていた事柄が否定されたり、表記が変わっていたりすることがあるため、中学・高校時代に世界史を履修された学生は、当時の参考書の内容が現在では改訂されている可能性があることを気に留めておくこと。また、シラバスは講義中で取り扱う内容の大まかな流れを示したものであり、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解に応じて内容を一部変更して講義を行ったりするなど、実際の講義をそのまま反映したものではないことに注意されたい。　残念ながら時間の制約上、西洋史を古代から現代までとにかく大急ぎで追いかける形になる。それゆえに、講義と講義の接続は丁寧に行うつもりだが、前に話した内容をある程度は復習し覚えておいていただくことが試験や期末レポートの前提となる。　本講義の進め方や採点基準といった基本方針は第１回の授業で説明する。授業中はその他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠や私語など）はしないこと。妨害行為が酷い場合は退室を命じる。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。　最後に。本講義は関西万博による交通の混雑のため、ライブではなくオンライン講義となる可能性がある。その際は MORIPA を通じて告知をするため、通知を確認できるようにしておくこと。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニテストに解答できるわけではな

い。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意・「歴史学」ってそもそも何？	（予習）西洋社会・文化について自分がどういうイメージを抱いているのかを考えておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。(2 時間)	中元　洸太
2	古代ギリシア	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
3	古代ローマ	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
4	中世キリスト教社会の成立①	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
5	中世キリスト教社会の成立②	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
6	ルネサンス、宗教改革、三十年戦争	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
7	近世の国家形成と科学革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
8	期末レポート作成上の注意	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
9	プロト工業化と「啓蒙」の時代	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	産業革命とフランス革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太

11	ウィーン体制と国民国家の形成	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	南北アメリカの独立	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	第一次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	第二次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	冷戦から現在へ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太

成績評価方法と基準	割合
成績評価は数回にかけて随時行うミニテスト 60%、期末レポート 40%で採点する。　ミニテストは第 1 回～第 15 回の授業内容に即し、随時実施する予定である。試験中、レジュメやノートの閲覧は自由であるが、テストの方法・回数・〆切・制限時間の設定については第 1 回授業のガイダンスで指示する。授業内容の確認テストの色彩が強いため解説などのフィードバックは行わない。　期末レポートでは指定した範囲内で興味を持ったトピックを選んでもらい、その内容を一定の字数以上で要約できるか、それに対し受講生がどのように感想や意見を表明できるかを問う（ノートやレジュメなどを参照してかまわない）。レポート課題の詳細や採点基準は授業内で伝え、希望者のみ得点の開示を行う。課題の要求が専門的な文献解釈などを要するレベルのものではないため、また課題の性質上それぞれの学生が取り上げるテーマはバラバラになるため、レポート執筆における一般的な注意がある場合を除き、全体に対するフィードバックは行わない。	①ミニテスト 60%　②期末レポート 40%

授業科目名	IPW 論（放射線）				
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子／大橋　明日香／星野　貴志／上田　淳平／髙木　聡志／渡邊　翔太／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20005	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各学科において、他学科の連携や知識・技術に触れることを目的に看護学・鍼灸学・作業療法学・臨床検査学・臨床工学・放射線技術学および理学療法学を学び、IPW（Interprofessional Work = 専門職連携）を 7 学科協働で演習形式にて実践する。　2 年次後期「チーム医療論」で学んだ各分野の特徴やチーム内での役割とその専門性を理解しつつ、看護・鍼灸・作業療法・臨床検査・臨床工学・診療放射線・理学療法の各分野で共通する疾患や障害を基に、IPW の実際について、討議・経験・学修する。他職種と連携する中で違った視点や新たな知識を学ぶ機会となり、キャリアをデザインしていく上で考えておくべき多様な視点を学修することができる。

学修目標

各分野の専門性を理解しつつ、実際の症例を基に IPW を経験し、チーム医療の実践に求められる豊かな感性と倫理観を養う。＜DP②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。　3）出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

必要であれば、各自準備すること

研究室／オフィスアワー

都度、指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　（チームの顔合せ、授業概要の説明、チーム医療論の復習等）	予習：各分野の専門性について復習し、Case Conference を再度視聴しておく。IPW(Interprofessional Work =専門職連携）について再確認しておく。（１時間以上）　復習：IPW(Interprofessional Work =専門職連携）についてまとめる。（１時間以上）	担当教員　朝倉　智仁
2	症例提示におけるアプローチ立案とその考察①	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員（西浦･大橋･星野･上田・髙木・渡邊）
3	症例提示におけるアプローチ立案とその考察②	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員（西浦･大橋･星野･上田・髙木・渡邊）
4	IPW①【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議した	担当教員　朝倉　智仁

		ことをまとめておく。（１時間以上）	
5	IPW②【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　朝倉　智仁
6	IPW③【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　朝倉　智仁
7	IPW④【ディスカッション】	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　朝倉　智仁
8	IPW⑤【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備。（１時間以上）　復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員（西浦・大橋・星野・上田・髙木・渡邊）
成績評価方法と基準			割合
①ディスカッション時におけるプロセス評価＜DP②③④＞　②プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）＜DP②③④＞　出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①30% ②70%

授業科目名	薬理学（放射線 3 年）					
主担当教員	山本 浩一		担当教員	山本 浩一		
科目ナンバリング	SB20BRSB016	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

1. 疾患の薬物治療を主点に置き、主要薬物の薬理作用を解説することで、なぜ薬物は病気に効くのか理解することを目指す。 2. この講義を理解するには生理学・生化学の知識が必要となるため、これらの内容も概説する。 3. 放射線検査時（特に造影検査時）に用いられる医薬品について理解を深める。 4. チーム医療を担う医療従事者として他のスタッフとともに適切な医薬品の使用に貢献できるようになることを目指す。

学修目標

1. 医薬品の作用機序について理解し、他者に説明できるようになる。 2. X 線造影剤・MRI 造影剤とはどのようなものか理解し、他者に説明できるようになる。 3. 造影剤の使用によって現れる有害作用について理解し、他者に説明できるようになる。 4. 造影剤の使用によって現れる有害作用の予防方法、回避方法について理解し、他者に説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各回講義時に小テスト（試験範囲は前回講義内容）を実施しますので、復習を欠かさず行ってください。 各種疾患（循環器疾患、感染症、免疫疾患など）に使用する薬剤や、造影剤の種類とその使用時に現れる有害作用について講義します。化学式などは極力使わず、なぜその薬を使うのか？体はどう反応するのか？に絞って講義していきます。 講義は主に配付資料にて行いますが、関連する他講義（生理学・生化学・病理学・内科学など）の教科書や資料も随時参照して下さい。

教科書

特に指定しない。

参考書

○×問題でマスター薬理学 第 3 版 執筆：山本浩一 医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F 研究室 6 不在の時があるため、事前にメール（kouichi_yamamoto@morinomiya-u.ac.jp）にてアポイントメントを取って頂くと助かります。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	薬理学総論 1 「薬・クスリ・医薬品」とは	シラバスを確認しておく	山本浩一
2	薬理学総論 2 「薬の効き方、効かせ方」	第 1 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
3	中枢神経に作用する薬物	第 2 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
4	末梢神経に作用する薬物	第 3 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
5	循環器系に作用する薬物	第 4 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
6	消化器系に作用する薬物	第 5 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
7	代謝機能に作用する薬物	第 6 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリント	山本浩一

		を確認しておく。	
8	内分泌機能に作用する薬物	第 7 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
9	炎症を治療する薬物・免疫系に作用する薬物	第 8 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
10	感染症対策に使用する薬物	第 9 回講義時に Take home message を伝えるので、それに関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
11	腎臓・泌尿器系に作用する薬物	第 10 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
12	造影剤の薬理学	第 11 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
13	造影剤の有害作用対策	第 12 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
14	放射線検査と医薬品	第 13 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
15	講義全体のまとめ	第 14 回講義時に Take home message を伝えるので、関連する教科書・プリントを確認しておく。	山本浩一
成績評価方法と基準			割合
中間試験と期末試験による評価とします。　なお、出席が規定の回数を満たない場合は期末試験の受験を許可しません。　状況によっては別途課題を与えることがあります。詳細は第 1 回目講義時に説明します。			1 回目中間試験 25%、2 回目中間試験 25%、期末試験 50%を予定していますが、変更もあります。詳細は第 1 回目講義時に説明します。

授業科目名	基礎医学演習（放射線）				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BRSB018	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

チーム医療が求められる中、医療人として修得すべき、共有すべき知識は膨大なものとなっている。　これらの知識について集中講義、演習を実施することで、医療人として・診療放射線技師として必要な知識を習得する。

学修目標

解剖・生理学、病態学、治療学など、医療人として修得すべき事項の総復習を行い、医療人（診療放射線技師）として求められる知識を修得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義に際しては演習問題を事前に配布します。　これらの解説・解答については、反転講義も実施する予定であり、指定された問題については人前で発表できる程度まで必ず予習してくること。　単位認定については、課題に対する対応（反転講義)、講義内テストにて成績評価を行う。

教科書

特に教科書は指定しない

参考書

特に指定しないが、内科学・外科学で使用した教科書、配布資料等を参考図書としてご利用ください。

研究室／オフィスアワー

MORIPA にて随時掲載しておりますのでご確認ください。　ただし、在室中であれば、Web 会議等でない限りは対応可能であるため、随時質問に来ていただいて構いません。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	解剖学。生理学、病態・病理学、治療学、等についての課題に対し､正確に解説を行う(反転講義、一部教員による補助解説)	与えられた課題に対する回答資料を作成し、他の学生の前で解説できるように発表の準備を行う。	松崎
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

成績評価方法と基準	割合
課題への取り組み、作成した資料に対して評価を行う　出席は成績評価判定にのみ使用し、点数化しない。	発表課題評価（出席課題）：40%　講義内実施試験：60%

授業科目名	外科学（放射線）				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BRSB019	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

①医療人として必要な外科学・救急医学の基礎を理解し、病院実習のために必要な知識を修める。　②臨床症例に対するアプローチを通して、症候（徴候・症状）・検査値から症例の病態を把握する能力の修得する。

学修目標

本講座では、外科学の基礎を学び、兆候から診断、治療について、総合的に理解することを目的とする。　外科学の基礎を理解し、代表的疾患を通じてその病態生理の理解と、応用ができる学力を養成することを目標とする。　関連する内科学で学んだ主要疾患の病態生理の理解、および病態に基づく治療選択について、総合的に理解・説明できることを目標とする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は基本的に配布資料に準じて進める。　試験については、講義内容から出題するため、日々の講義内容を理解することに努め、予習復習を旨として欲しい。　評価に際し、小テストは重視する。

教科書

教科書はしていしないが、講義の際は参考図書が必要となる。　内科学 1・内科学 2 の指定教科書などを講義の際に持参すること。

参考書

看護師・看護学生のためのレビューブック 2024（メディックメディア）　人体のメカニズムから学ぶ画像診断技術学（MEDICAL VIEW）　わかりやすい外科学（文光堂）　改訂第３版 救急撮影ガイドライン：救急撮影認定技師標準テキスト日本救急撮影技師認定機構 （監修） へるす出版　救急検査指針：救急検査認定技師テキストへるす出版　救急蘇生法の指針２０１５（医療従事者用、改訂第５版） へるす出版　看護のための臨床病態学　改定 5 版　南山堂

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟 5 階 508 研究室　　部屋にいれば基本的にはいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。　確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。　e-mail： shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	プライマリーケア（１）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
2	プライマリーケア（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
3	周術期・麻酔	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
4	整形外科領域	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
5	皮膚科・眼科領域、その他	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3	松﨑

		時間	
6	膠原病	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
7	泌尿器・生殖器疾患（１）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
8	泌尿器・生殖器疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
9	免疫・感染症（１）	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	松﨑
10	免疫・感染症（２）	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	松﨑
11	症例検討１	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	松﨑
12	症例検討２	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	松﨑
13	症例検討３	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約１時間	松﨑
14	症例検討４	予習：外科学で学んだ全範囲に対して復習をして臨むこと。　復習:試験終了後に自らの回答を振り返り、次回までに再度症例に対する検討を実施する　学習時間:合計約2時間	松﨑
15	総まとめテストの解説	予習：第14週で実施した問題・症例についての解説を出来るように発表準備を行う。復習：各症例についての解説内容の理解を深めるべく、再度各症例・問題に対する検討を実施する。　学習時間：約１時間	松﨑
成績評価方法と基準			割合
①講義内実施小テスト　②総まとめテスト　③症例検討　　①については、内科学・外科学講義範囲の学びを振り返るための小テストである。理由の如何に関わらず再試験・追試験は実施しない　②問題に出てくる症例に対する理解力を見るため、記述またはマークシート試験を実施することを予定している。③課題症例報告に対する評価点　最終成績評価は、①②③の合計を最終成績とする。　　出席は受験資格の判定のみに使用する。　出席回数は点数化はしないが、講義開始時に行う小テストは成績へと点数化される。			①～③の合計点（最大100点）で成績評価を行う

授業科目名	CT･MRI 撮影技術学（放射線）				
主担当教員	星野 貴志		担当教員	星野 貴志／上田 淳平	
科目ナンバリング	SS20BRSB006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本科目は、CT･MRI 機器工学、画像解剖学などの専門科目の知識を基礎として、X 線 CT 検査および MRI 検査を実施するための基本的撮影（撮像）法、画像表示法、画像評価などの基礎的事項を学修する。そして、具体的な画像診断技術を学ぶ臨床画像解析学および臨床実習に接続する基礎を習得する。　＊実務経験を有する教員が授業を行う。

学修目標

1. 各部位における X 線 CT 検査、MRI 検査の基本的撮影（撮像）法について説明できる。〈 DP①②〉 2. 各部位における X 線 CT 検査、MRI 検査の画像表示法および正常画像解剖について説明できる。〈 DP①②〉 3. X 線 CT 検査、MRI 検査に関わる安全管理について説明できる。〈 DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。 2. CT･MRI 機器工学で学んだ知識および CT･MR 画像の基本的な画像解剖は理解していることを前提に講義を進める。

教科書

「CT 撮影技術学 第 4 版」 オーム社　日本放射線技術学会　ISBN：978-4-274-23000-4　「MR 撮影技術学 第 4 版」 オーム社　日本放射線技術学会　ISBN： 978-4-274-23262-6

参考書

「MR･超音波･眼底 基礎知識図解ノート 第 2 版」 金原出版　新津 守　ISBN:978-4-307-07107-9

研究室／オフィスアワー

星野：さくら棟 5 階 研究室 1 随時対応可能（在室時）　上田：さくら棟 5 階 共同研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	「撮影パラメータと画質」	予習：教科書 p172～176 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：X 線 CT の撮影パラメータと画質の関係を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
2	「CT 造影検査技術」	予習：シラバスを確認し授業内容を把握する。教科書 p148～159 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 用造影剤の特性を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
3	「CT 撮影技術（頭部・頸部)」	予習：頭部･頸部の解剖の復習および教科書 p177～188 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：頭部･頸部の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
4	「CT 撮影技術（胸部・腹部)」	予習：胸部・腹部の解剖の復習および教科書 p189～204 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：胸部・腹部の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
5	「CT 撮影技術（心臓・血管)」	予習：心臓・血管の解剖の復習および教科書 p205～214 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：心臓・血管の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整	星野

		理し、ノートにまとめる。(2 時間)	
6	「CT 撮影技術（脊椎・骨関節)」	予習：脊椎・四肢の解剖の復習および教科書 p215～222 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：脊椎・骨関節の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
7	「CT 撮影技術（安全管理)」　「まとめ（CT 確認テスト)」	予習：1～6 回の授業内容の復習および教科書 p162～169 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 安全管理のポイントと確認試験の内容を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
8	「MR 造影検査技術」　「MRI における撮像パラメータと画質」	予習：教科書 9 章 p192～204 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：MR 用造影剤の特性および撮像パラメータと画質を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
9	「特殊撮像法 1 (MRA)」	予習：教科書 8 章 p166～188 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：MRA についてを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
10	「特殊撮像法 2」	予習：教科書 7 章, 10 章 p210～224, p229～236, 第 11 章を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：各特殊撮像法についてを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
11	「MR 撮像技術（頭部・頸部)」	予習：教科書 11 章を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：頭頸部領域の撮像法についてを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
12	「MR 撮像技術（脊椎・脊髄)」	予習：教科書 12 章を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：脊椎・脊髄領域の撮像法についてを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
13	「MR 撮像技術（心臓・乳房)」	予習：教科書 16 章, 18 章 p437-441 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：心臓・乳房領域の撮像法についてを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
14	「MR 撮像技術（腹部・骨盤部)」	予習：教科書 17 章, 18 章 p422-437 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：腹部・骨盤領域の撮像法についてを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
15	「MR 撮像技術（骨・関節)」	予習：教科書 19 章を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：骨軟部領域の撮像法についてを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
成績評価方法と基準			割合
1. 確認テスト<DP①②>　2. 定期試験 <DP①②>　　・試験、課題に対するフィードバック方法　　確認テストは模範解答を公開し、希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			1. 20%　2. 80%

授業科目名	撮影技術学･機器工学実験Ⅱ（放射線）				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功／星野　貴志／上田　淳平	
科目ナンバリング	SS20BRSB009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	実験	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

撮影技術学・機器工学実験Ⅱは、「X 線撮影技術学」「放射線撮影技術学」「CT・MRI 機器工学」「CT・MRI 撮影技術学」で学んだそれぞれの検査法を実践する能力を身につける。X線撮影装置、X線 TV 装置、X線 CT 装置、超音波装置および眼底カメラ等を使用してファントムを撮影する実験・実習を行うことで、臨床の現場で行われているそれぞれの検査法について検査目的、画像表示法、検査の安全性、写真の見方などを学修する。また、実習内容を報告書にまとめることでに臨床で行われている画像検査に関する必要な知識と専門技術を確認し、診療放射線技術を実践能力を高める。　＊実務経験を有する教員が授業を行う。

学修目標

・脊椎の X 線撮影法を理解し、ポジショニングと X 線入射方法について説明できる。〈 DP①②〉　・上部消化管造影検査法を理解し、患者対応と検査の手順について説明できる。〈 DP①②〉　・X 線 CT 画像を理解し、撮影条件にともなう画質の変化について説明できる。〈 DP①②〉　・MR 画像を理解し、撮像条件にともなう画質の変化およびアーチファクトの発生について説明できる。〈 DP①②〉　・超音波検査における上腹部、乳房の基本的走査法と画像解剖が説明できる。〈 DP①②〉　・眼底写真撮影の基本的検査法と画像解剖が説明できる。〈 DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 全出席を原則とする。　2. 実習時の服装はケーシー上下、白衣、白い靴とする。　3. レポートの提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

実習書を配布する

参考書

「新・医用放射線技術実験―臨床編― 第 4 版」共立出版　安部真治　ISBN：978-4-320-06196-5　「MR･超音波･眼底 基礎知識図解ノート 第 2 版」 金原出版　新津 守　ISBN：978-4-307-07107-9

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 2　山口研究室　随時（在室時は対応します）　さくら棟 5 階 共同研究室（星野、上田）随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション①【1～3 回】　各実験内容を詳細に説明する。	予習：実験に関連する講義科目の学修内容を復習する。　復習：実験の内容を確認しグループで共有する。	山口　星野　上田
2	人体ファントムを用いた X 線撮影技術【4～6 回】	予習：実験に関連する講義科目の学修内容を復習し、グループで実験計画を共有する。　復習：実験目的および結果をグループで共有し、考察をまとめてレポートを提出する。	山口　星野　上田
3	CT 画像の画質評価【7～9 回】	予習：実験に関連する講義科目の学修内容を復習し、グループで実験計画を共有する。　復習：実験目的および結果をグループで共有し、考察をまとめてレポートを提出する。	山口　星野　上田

4	MR 画像のアーチファクト【10～12 回】	予習：実験に関連する講義科目の学修内容を復習し、グループで実験計画を共有する。　復習：実験目的および結果をグループで共有し、考察をまとめてレポートを提出する。	山 口　　星 野 上田
5	オリエンテーション②【13～15 回】　各実験内容を詳細に説明する。	予習：実験に関連する講義科目の学修内容を復習する。　復習：実験の内容を確認しグループで共有する。	山 口　　星 野 上田
6	上腹部・乳房超音波検査、眼底写真撮影【16～18 回】	予習：実験に関連する講義科目の学修内容を復習し、グループで実験計画を共有する。　復習：実験目的および結果をグループで共有し、考察をまとめてレポートを提出する。	山 口　　星 野 上田
7	上部消化管造影検査【19～21 回】	予習：実習に関連する講義科目の学修内容を復習し、グループで実験計画を共有する。　復習：実習目的および結果をグループで共有し、考察をまとめてレポートを提出する。	山 口　　星 野 上田
8	MRI の画質評価【22～24 回】	予習：実習に関連する講義科目の学修内容を復習し、グループで実験計画を共有する。　復習：実習目的および結果をグループで共有し、考察をまとめてレポートを提出する。	山口　星野 上田
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　評価項目：　1. レポート　2. 筆記試験　3. 態度　本実験における成績不良者に対して行う「再試験」は筆記試験で評価する。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。			1. 30%　2. 30%　3. 40%

授業科目名	画像解剖学演習（放射線）					
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子／今井　信也		
科目ナンバリング	SS20BRSB011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限、木曜 4 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

画像解剖学演習は、「画像解剖学」「臨床画像解析学」で学んだ知識を基盤として、診療放射線技師として必要な「診療画像技術学」を総合的に修得することを目標とする。特に頭部、胸郭、脊柱、上肢、下肢などの骨撮影および胸・腹部撮影を中心とする正常Ｘ線単純撮影像および CT 画像および MRI、超音波、眼底解剖に関する知識について演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図り画像解剖学的なものの見方・考え方を教授する。

学修目標

国家試験科目「診療画像検査学」および「X 線撮影技術学」の画像解剖（Ⅰ）（Ⅱ）の整理と統合化を図り診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

解剖学（人体の構造）をしっかりと復習し、3 次元的な位置関係を把握すること。<DP①④>　X 線投影理論、単純および造影 X 線検査、CT、MR 検査についての知識を整理すること。<DP①④>　正常像、異常像の形成要因と形成表現を理解しておくこと。<DP①④>　関連科目、模擬試験、国家試験問題の見直しを十分に行うこと。<DP①④>

教科書

単純・造影 X 線：『若葉マークの画像解剖学』磯辺智範 編/メジカルビュー社　　『診療放射線技術』　上巻改訂第 14 版　小塚隆弘・稲邑清也・監、南江堂　CT、MRI 画像：『人体のメカニズムから学ぶ画像診断技術学』森　墾, 他編/メジカルビュー社　『若葉マークの画像解剖学』磯辺智範 編/メジカルビュー社　超音波検査：『MR･超音波･眼底 基礎知識図解ノート 第 2 版 補訂版』 金原出版　新津 守　眼底検査：『MR･超音波･眼底 基礎知識図解ノート 第 2 版 補訂版』 金原出版　新津 守　※すべて 3 年次後期配当科目で使用した授業テキストです。　※他、必要に応じて掲示等で通知　　関連する授業で使用した教科書

参考書

適宜指示

研究室／オフィスアワー

担当教員の MORIPA オフィスアワーを確認すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	単純 X 線画像①　頭部・脊柱・体幹部・四肢・乳房・軟部・口腔	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分）　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。（30 分）	西浦
2	単純 X 線画像②　頭部・脊柱・体幹部・四肢・乳房・軟部・　口腔	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分）　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。（30 分）	西浦
3	単純 X 線画像③　頭部・脊柱・体幹部・四肢・乳房・軟部・　口腔	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分）　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。（30 分）	西浦
4	造影 X 線画像①　消化器系・泌尿器系・生殖器系・　脊髄腔・関節腔・IVR（non-vascular）	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分）　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。（30 分）	西浦

5	造影 X 線画像②　循環器・IVR（vascular）	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	西浦
6	造影 X 線画像③　循環器・IVR（vascular）	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	西浦
7	X 線 CT・MRI 画像①　頭部	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	今井
8	X 線 CT・MRI 画像②　頭頸部・胸部	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	今井
9	X 線 CT・MRI 画像③　腹部・骨盤部	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	今井
10	X 線 CT・MRI 画像④　四肢	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	今井
11	X 線 CT・MRI 画像⑤　椎体	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	今井
12	X 線 CT・MRI 画像⑥　循環器	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	今井
13	US①	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山口
14	US②	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山口
15	眼底①	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分)　復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山口
成績評価方法と基準			割合
(1)定期試験＜DP①④＞			(1)100%

授業科目名	機器工学演習				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	星野　貴志／大鷹　豊	
科目ナンバリング	SS20BRSB012	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 1 限、2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

機器工学演習は、「X 線機器工学」「放射線機器工学」「CT・MRI 機器工学」「医用工学」「放射線物理学」などで 3 年後期までに学修した知識を基盤として、診療放射線技師として必要な「機器工学」を総合的に概説する。また、X 線発生装置、診断用 X 線装置システム、X 線 CT 装置、核磁気共鳴画像装置に関する知識について演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに、機器工学に関係する基礎的部分として医用工学領域についても概説する。

学修目標

国家試験科目「X 線機器工学」および「医用工学」における知識の整理と統合化を図り診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

X 線機器工学の内容をしっかりと復習し、X 線管の構造や高電圧発生装置、映像装置/画像処理装置、X 線装置（CT 含む）についての知識を整理・理解すること。＜DP①④＞

関連する医用工学領域や放射線物理学領域についての知識を整理・理解すること。＜DP①④＞

関連科目、模擬試験、国家試験問題の見直しを十分に行うこと。＜DP①④＞

教科書

特に指定しない

参考書

X 線機器工学・医用工学・放射線物理学で使用した教科書類を参照すること

研究室／オフィスアワー

山本浩一（研究室 6）・星野貴志（研究室 1）・大鷹豊（共同研究室）

担当教員の MORIPA オフィスアワーを確認すること。

MORIPA やメール等でアポイントメントを取ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	放射線の発生	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分） 復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山本
2	X 線管	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分） 復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山本
3	高電圧発生装置の基礎・変圧器の基礎	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分） 復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山本
4	高電圧発生装置の応用・インバータ回路の基礎	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分） 復習：授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山本
5	JIS 規格	予習：シラバスを確認し、関連科目をまとめる。（30 分）	山本

		復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	
6	X 線撮像装置・画像処理装置	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	星野
7	X 線装置に関連・附属する機器	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	星野
8	X 線装置システム①	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	星野
9	X 線装置システム②	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	星野
10	CT①	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	星野
11	CT②	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	星野
12	超音波画像診断装置	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	大鷹
13	電磁気学の基礎(静電界、電流と磁界)	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山本 髙木聡志准教授
14	MRI 装置	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	大鷹
15	電気工学の基礎(電気回路、交流回路と電力)	予習:シラバスを確認し、関連科目をまとめる。(30 分) 復習:授業内容の理解を深め、関連する過去問題に取り組む。(30 分)	山本 髙木聡志准教授
成績評価方法と基準			割合
期末試験により判定する。＜DP①④＞			100%

授業科目名	核医学検査技術学実験（放射線）				
主担当教員	垣本 晃宏		担当教員	垣本 晃宏／渡邊 翔太／大鷹 豊	
科目ナンバリング	SS20BRSB015	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	実験	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

核医学検査技術学実験は、医療機関で実施されている核医学検査における患者接遇と非密封放射性物質の取扱いに関する医療技術を実践的に学修し、手技と知識を定着させることを目標とする。また、「核医学検査技術学Ⅰ」にて学修した撮像原理、画像評価、保守管理、「核医学検査技術学Ⅱ」にて学修した核医学検査法、診断薬の特性、「専門基礎科目」･「放射線安全管理学」にて学修した安全な放射線の使用、管理、廃棄について再度理解を深めさせる。加えて、タスク・シフト／シェアに伴う放射性医薬品投与のための静脈路確保、抜針および止血行為を模擬的に実施し、核医学検査に関連した接遇や医療技術の習得を目指す。

学修目標

核医学検査技術学ⅠおよびⅡで履修した内容を踏まえて、機器の特性や生体内の代謝現象を説明できる。〈 DP①②〉 核医学検査概要および使用される診断薬に応じた画像特性を理解し、検査に応じた画像処理法の内容とその影響を説明できる。〈DP①②〉 放射性医薬品を取扱う危険性を把握し、医療安全に配慮した行為や協調性のあるチーム連携ができる。〈 DP④〉 得られたデータに基づいて文章で記述する能力、図表を用いたレポート作成能力を向上する。〈 DP④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 全出席を原則とする。 2. 実習時の服装はケーシー上下、白衣、白い靴とする。 （非密封放射性医薬品の取扱いを想定すること） 3. レポートの提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。 ※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

配布する実習書

参考書

放射線技術学シリーズ「核医学検査技術学 改訂第 4 版」、大西英雄、他編(オーム社)、ISBN： 978-4-274-22826-1 放射線技術学シリーズ「放射線安全管理学 改訂第 2 版」、磯部智範、他編(オーム社)、ISBN： 978-4-274-21133-1 放射線技術学スキル UP シリーズ「標準 核医学画像評価」、大西英雄、編著(オーム社)、ISBN： 978-4-274-22169-9

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階共同研究室 随時 （在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【01～03 コマ】オリエンテーション① 各実験内容を詳細に説明する。	予習：核医学検査技術学Ⅰ・Ⅱで学習した基礎知識を復習する。 復習：実習書を熟読し、座学で学んだ知識を理解する。	垣本 渡邊 大鷹
2	【04～06 コマ】RI の取扱いに関する教育訓練 放射線管理区域の入退室訓練、表面汚染密度検査等を実践する。	事前課題：入退室、汚染密度検査、放射性物質の廃棄に関する調査。 レポート：実技訓練の結果に基づき、定量的かつ客観的に作成する。	垣本 渡邊 大鷹
3	【07～09 コマ】タスク･シフト／シェア業務の研修 模擬ファントムを用いて、静脈穿刺、CT 造影剤および RI 投与 に関する患者接遇および医療手技を訓練する。	参考：放射線科医から診療放射線技師へのタスク・シフト/シェアガイドライン 事前課題：上記業務[診療放射線技師法(2021/10/1 施行)]の調査。 レポート：実技訓練の結果に基づき、定量的かつ客観的に作成する。	垣本 渡邊 大鷹

4	【10～12 コマ】放射性医薬品の分注操作(Cold Run)　Cold Run にて、バイアルとシリンジを用いた分注操作を実践する。	事前課題：実習書に記載の使用物品、衛生管理やコアリングの調査。　レポート：実技訓練の結果に基づき、定量的かつ客観的に作成する。	垣本　渡邊　大鷹
5	【13～14 コマ】オリエンテーション②　【15 コマ】放射線業務従事者のための教育訓練講習各実験内容を詳細に説明する。	事前課題：放射性同位元素等の規制に関する法律の「教育訓練」の調査　小テスト：講習会の内容から出題する。	垣本　渡邊　大鷹
6	【16～18 コマ】ジェネレータの取扱い(Cold Run) Hot Run に備えて、ジェネレータ、非密封 RI の取扱いを訓練する。	事前課題：99Mo-99mTc ジェネレータの構造、原理、使用方法の調査。　レポート：Cold Run の改善点や問題点を洗い出し、客観的に評価する。	垣本　渡邊　大鷹
7	【19～21 コマ】ジェネレータの取扱い(Hot Run) Cold Run によるシミュレーション通り、実際の非密封 RI を用いて、　ジェネレータ、分注操作、表面汚染密度検査を実践する。	事前課題：校正日に基づき、非密封放射線源の放射能を算出する。　レポート：実技訓練の結果に基づき、定量的かつ客観的に作成する。	垣本　渡邊　大鷹
8	【22～24 コマ】レポート指導	予習：実習前にレポートを完成させておく。　復習：指摘された箇所を修正し、レポートを再作成する。	垣本　渡邊　大鷹
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　評価項目：　1. レポート　：　実験目的の理解およびレポートの記述内容を総合的に評価する。　2. 筆記試験　：　実習内容の理解度を評価する。　3. 態度　：　実験前の予習、実験中の態度、主体性、協調性、貢献度を評価する。　本実験における成績不良者に対して行う「再試験」は筆記試験で評価する。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。			1. 30%　2. 30%　3. 40%

授業科目名	放射性薬品学（放射線）				
主担当教員	山本 浩一		担当教員	山本 浩一／垣本 晃宏	
科目ナンバリング	SS20BRSB016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

核医学検査で用いられる医薬品の他、放射線検査や放射線治療の際に併用される医薬品に関して、診療放射線技師が知っておくべき基礎知識を概説する。

学修目標

1）核医学検査で用いられる放射性医薬品にはどのようなものがあり、なぜそれらを用いる必要があるかを理解し、他者に説明できるようになる。 2）CT や MRI などの画像検査の際に併用される医薬品にはどのようなものがあり、なぜそれらを用いる必要があるかを理解し、他者に説明できるようになる。 3）放射線によるがん治療の際に併用される医薬品にはどのようなものがあり、なぜそれらを用いる必要があるかを理解し、他者に説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各回講義時に小テスト（試験範囲は前回講義内容）を実施しますので、復習を欠かさず行ってください。 1 年後期～3 年前期に習得した放射化学・薬理学・核医学技術学の内容を復習し、放射性医薬品に関する理解を深めてください。

教科書

特に指定しない

参考書

新 放射化学・放射性医薬品学 改訂第 4 版　佐治英郎・前田稔・小島周二　南江堂

研究室／オフィスアワー

山本 浩一（さくら棟 5F　研究室 6／オフィスアワーは初回講義時に伝える）　垣本 晃宏（さくら棟 5F　共同研究室／水曜日 13:00～14:00）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	シラバスを確認しておく	山本浩一/垣本晃宏
2	放射線検査の際に用いる薬　その 1	第 1 回目講義終了時に Take home message を伝えるので、その内容を予習復習しておく。	山本浩一
3	放射線検査の際に用いる薬　その 2	第 2 回目講義終了時に Take home message を伝えるので、その内容を予習復習しておく。	山本浩一
4	放射線治療の際に用いる薬	第 3 回目講義終了時に Take home message を伝えるので、その内容を予習復習しておく。	山本浩一
5	核医学検査の際に用いる薬　その 1	第 4 回目講義終了時に Take home message を伝えるので、その内容を予習復習しておく。	垣本晃宏
6	核医学検査の際に用いる薬　その 2	第 5 回目講義終了時に Take home message を伝えるので、その内容を予習復習しておく。	垣本晃宏
7	期末試験		山本浩一/垣本晃宏
8	期末試験の解説講義		山本浩一/垣本晃宏
成績評価方法と基準			割合

1.事後学習を評価するため講義開始時に小テスト　2.期末試験　1 と 2 を総合評価して判定するが、状況によっては別途課題を与えることがあります。詳細は講義時に説明します。	1. 20%　2. 80%

授業科目名	放射線治療技術学実験（放射線）				
主担当教員	奥村　雅彦		担当教員	奥村　雅彦／大橋　明日香／木下　尚紀	
科目ナンバリング	SS20BRSB019	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	実験	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

放射線治療技術学実験では、「放射線治療技術学 I」および「放射線治療技術学 II」で得た知識をベースに、測定ビームデータおよび放射線治療計画装置を用いて、高エネルギーX 線、電子線における深部線量評価、物理特性ならびに CT 値－相対電子濃度曲線の取り扱いについて学修する。この実験を通じて、高エネルギーX 線、電子線を用いた放射線治療における物理技術知識の重要性を認識することを目標とする。

学修目標

1.高エネルギーX 線の深部量百分率を説明できる。DP（①②④）　2. CT 値-相対電子濃度変換テーブルの CT 撮影最適条件を説明できる。DP（①②④）　3. 高エネルギー電子線深部量百分率曲線を作成できる。DP（①②④）　4. X 線の出力係数と矩形照射野における反転効果を説明できる。DP（①②④）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　全出席を原則とする。　2.　実習時の服装はケーシー上下、白衣、白靴とする。　3.　グループ内でディスカッションを十分に行ない、協調性をもって実験に取り組むこと。　4.　レポートの提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。

教科書

実験書を配布する。

参考書

新・医用放射線技術実験-臨床編-第 4 版（共立出版）　ISBN:9784320061965　診療放射線技術 下巻(改訂第 14 版）（南江堂）ISBN:9784524258611　外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法―標準計測法 12（通称産業研究社）ISBN:9784860451202

研究室／オフィスアワー

授業中に指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション①　各回の実験内容を詳細に説明する。	予習：各実験に関する予習を行う。　復習：配布資料およびオリエンテーションの理解を深める。	奥村、大橋、木下
2	オリエンテーション②　各回の実験内容を詳細に説明する。	予習：各実験に関する予習を行う。　復習：配布資料およびオリエンテーションの理解を深める。	奥村、大橋、木下
3	高エネルギーX 線の深部量百分率	予習：実験手順の理解　復習：高エネルギーX 線の深部量百分率	奥村、大橋、木下
4	CT 値－相対電子濃度ファントム変換テーブル	予習：実験手順の理解　復習：CT 値－相対電子濃度ファントム変換テーブル	奥村、大橋、木下
5	高エネルギー電子線の深部量百分率曲線	予習：実験手順の理解　復習：高エネルギー電子線の深部量百分率曲線	奥村、大橋、木下
6	X 線の出力係数（OPF）	予習：実験手順の理解　復習：X 線の出力係数（OPF）	奥村、大橋、木下
7			

8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

成績評価方法と基準	割合
1.　平常評価 50%　・・・実験前の予習、実験中の態度、主体性、協調性、貢献度を評価する　2.　レポート評価 50%　3. 本実験における成績不良者に対して「再試験」は実施しない。　4. 詳細についてはオリエンテーション時に別途説明を行う。　4/5 以上の出席を必要とする	1.　50%　2.　50%

授業科目名	放射線治療学（放射線）					
主担当教員	川守田　龍		担当教員	川守田　龍		
科目ナンバリング	SS20BRSB020	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

放射線治療学では，「放射線物理学」「放射線生物学」「放射線治療技術学Ⅰ，Ⅱ」の知識を基礎とし，癌の発生・増殖・進展・転移・再発などを理解し腫瘍の病理と病期．正常組織と腫瘍の放射線感受性，放射線治療指針，放射線と他の治療法との併用について概説する．また，各種癌（部位別）に対する放射線療法と有害事象について必要な知識を身に付け，診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す．

学修目標

①放射線治療学では，「放射線物理学」で学んだ放射線種類の物理特性，「放射線生物学」で学んだ内容をもとに，各種放射線治療方法（X 線，電子線，小線源，粒子線）の目的と特徴を理解すること．　②がん医療の概念および治療方法を理解，説明できることを目標とする．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

放射線治療（腫瘍）学は，解剖学，放射線物理学，放射線生物学，放射線治療技術学等多くの科目が関連しています．皆さんが，なぜ多くの科目を学ぶ必要があるのかここで理解できると思いますので，本科目の受講前には，放射線治療学に関連する科目（特に放射線生物学）の復習を行ってください．

教科書

①新医用放射線科学講座 放射線腫瘍学 ISBN978-4-263-20649-2 松本光弘 監修，医歯薬出版株式会社

参考書

①人体のメカニズムから学ぶ放射線生物学　松本義久編集　メジカルビュー社　②放射線治療 基礎知識図解ノート　榮武二・櫻井英幸・監　金原出版株式会社

研究室／オフィスアワー

非常勤講師のため大学内には居りません．質問があれば，授業終了後にお願いします．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	放射線生物学の復習（正常細胞，がん細胞，4R，LQ モデル，α/β 値）と概要	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
2	放射線治療概論（放射線治療の特徴，ターゲットの種類と目的，分割照射法）	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
3	放射線治療法(通常照射，強度変調放射線治療，定位放射線治療)	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
4	脳腫瘍（良性，悪性，原発性，転移性）における放射線療法と有害事象	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
5	頭頸部腫瘍（上，中，下咽頭，副鼻腔，口腔，喉頭）における放射線療法と有害事象	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
6	食道癌における放射線療法と有害事象	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
7	乳癌における放射線療法と有害事象	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
8	肺癌，縦郭腫瘍における放射線療法と有害事象	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
9	肝臓，胆のう，膵臓における放射線療法と有害事象	予習:学習内容に関する項目　復習:講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
10	子宮癌，卵巣がんにおける放射線療法と有害事象	予習:学習内容に関する項目　復習:講義内容の重要項目の理解を深める	川守田

11	前立腺癌における放射線療法と有害事象	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
12	直腸癌・膀胱癌における放射線療法と有害事象	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
13	転移性腫瘍，悪性リンパ腫，白血病（ＴＢＩ）	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
14	皮膚癌，小児癌	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
15	緩和照射，良性腫瘍	予習：学習内容に関する項目　復習：講義内容の重要項目の理解を深める	川守田
成績評価方法と基準			割合
①期末試験　②受講態度			①80%　②20%

授業科目名	放射線関係法規（放射線）					
主担当教員	山口　和也		担当教員	山口　和也		
科目ナンバリング	SS20BRSB026	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

診療放射線技師の身分法と診療用放射線に係る法令を解説する。　① 診療放射線技師法　② 医療法/医療法施行規則　③ 放射性同位元素等の規制に関する法律　④ 労働安全衛生法/電離放射線障害防止規則 これらの法令について以下の内容を学習する。　・ 法体系、法令の構成　・ 法令の目的、規制対象、規制内容、防護・管理基準 等　・ 法令の制定経緯、法令改正の動向と背景 等

学修目標

1）診療放射線技師の業務に係る放射線関係法令の種類、その関連性が理解でき、説明できる。〈DP②〉 2）診療用放射線の人体への照射業務等とその責務が理解でき、説明できる。〈DP①②〉 3）診療用放射線に係る法令の目的、規制対象、規制内容、防護基準等が理解でき、説明できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）講義は教科書と配布資料を使用して行う。教科書を必ず持参すること。 2）毎回、理解度テストを実施する。 3）教科書の次回講義範囲をあらかじめ読み（予習 30 分以上)、講義に臨むこと。 4）講義後は、必ず配布資料と教科書の講義箇所を照らし合わせ､かつ理解度テストの振返りを行い､これらを整理して理解すること｡(復習 60 分以上)。　その後、法令の条文を読み、理解を深めること。 5）限られた時間数での講義のため、欠席しないこと。定期試験受験資格を確保すること。 6）本科目は必修科目であり、診療放射線技師国家試験の出題科目である。

教科書

放射線関係法規概説―医療分野を含めて―、川合恵一著、通商産業研究社、ISBN978-4-86045-142-4

参考書

1）詳解テキスト 医療放射線法令〔第四版〕、西澤邦秀 編、名古屋大学出版会、2022 年 2）Gold Standard 詳解 放射線関係法規、坂野康昌 編、コロナ社、2022 年

研究室／オフィスアワー

講義終了後、教室にて質問を受け付けます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1．診療用放射線に係る法令　2．法体系、法令の構成　3.診療放射線技師法　・ 総則　・ 免許　・ 試験　・ 業務等　・ 罰則	教科書：①P15~16、②P17~P21、③P253～P261、④（条文）P262～P274　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと。(以下、同様)	山口
2	医療法　・ 法体系、法律の目的　医療法施行規則　・ 装置等の定義及び届出	教科書：①P135～P141、②P142~P148、③（条文）P184～P188　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと	山口
3	医療法、医療法施行規則　・ 装置等の防護基準　・ 使用室等の構造設備基準　・ 濃度限度、線量限度	教科書：①P149～P152、②P153～P159、③P160~161、④P177 、⑤（条文）P188~P191、P191~P197, P205~206　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと	山口
4	医療法施行規則　・ 管理者の義務　医療法　・ 診療用放射線の安全管理	教科書：①P162～P176、②P178～P181、③（条文）P197~P205、P182~184　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと	山口
5	放射性同位元素等の規制に関する法律　・ 法	教科書：①P27～P34、②P35～P48、③P116	山口

	律の目的・規制対象　・　法体系、法令の構成　・　定義及び規制値　・　手続き	～P129　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと	
6	放射性同位元素等の規制に関する法律　（１）放射線障害の防止　・　施設基準　・　取扱いの基準　・　事業者の義務等　・　放射線取扱主任者　（２）特定放射性同位元素の防護	教科書：①P49～P59、②P60～P74、③P75～P95、④P96～P99、⑤P100～P115　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと	山口
7	労働安全衛生法、電離放射線障害防止規則　・　法体系、法令の構成　電離放射線障害防止規則　・　総則　・　手続き　・　管理区域　・　線量限度　・　外部放射線の防護　・　放射性物質による汚染の防止　・　緊急措置　・　作業環境測定　・　健康診断	教科書：①P213～P230　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと	山口
8	講義全体の総まとめ　・　放射線関係法令の比較	教科書：P231～P251　予習復習は履修上の注意（学生へメッセージ）を参照のこと	山口
成績評価方法と基準			割合
定期試験〈DP①、②〉　形式：筆記試験　出題範囲：授業で講義した範囲（理解度テストの内容を含む）			100%

授業科目名	医療安全管理学（放射線）				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功	
科目ナンバリング	SS20BRSB028	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

本科目は、診療放射線技師の責任および業務範囲（診療の補助行為を含む）を理解し、感染管理および医療安全に配慮して、造影剤の投与など適切な検査行為を行うための基礎的事項を学修する。そして、造影剤投与に伴う危険因子を認識し、アナフィラキシーなど重篤な合併症の発生時に適切に対処する能力を習得する。　＊実務経験を有する教員が授業を行う。

学修目標

1. 医療安全の目的および医療事故の発生メカニズムとその防止対策について説明できる。〈DP①②③〉 2. 放射線診療における安全管理（感染対策、造影剤、一次救命処置など）について説明できる。〈DP①②③〉 3. 放射線検査別の安全に関する留意点について説明できる。〈DP①②③〉 4. 静脈路確保等の診療の補助行為について安全な実施方法について説明できる。〈DP①②③〉 5. STAT 画像における画像所見について説明できる。〈DP①②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。

教科書

「放射線技術学シリーズ 医療安全管理学　改訂 2 版」 オーム社　日本放射線技術学会　ISBN：978-4-274-23234-3

参考書

WHO 患者安全カリキュラムガイド：多職種版 2011（東京医科大学医学教育学分野 HP より日本語翻訳版閲覧可）

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 2　山口研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	「医療安全の基礎知識①」	予習：シラバスを確認し授業内容を把握する。教科書 p2～16 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：医療安全の目的およびヒューマンエラーについて整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
2	「医療安全の基礎知識②」	予習：教科書 p17～35 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：医療安全とコミュニケーションについて整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
3	「医療安全の基礎知識③」	予習：教科書 p35～46 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：医療機関における医療安全管理体制について整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
4	「放射線診療における安全管理①」	予習：教科書 p52～69 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：感染対策の方法および体内インプラントの特徴について整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
5	「放射線診療における安全管理②」	予習：教科書 p70～93 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：造影剤使用に伴う副作用と発現時の対応について整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口

6	「放射線診療における安全管理③」	予習：教科書 p95～140 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：インシデントの改善策および検査説明の必要性について整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
7	「放射線診療別の安全に関する留意点①」一般撮影･造影検査・超音波検査	予習：教科書 p142～152 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：一般撮影･造影検査・超音波検査の安全に関する留意点を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
8	「放射線診療別の安全に関する留意点②」CT 検査の安全管理	予習：教科書 p154～166 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 検査の安全に関する留意点を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
9	「放射線診療別の安全に関する留意点③」MR 検査の安全管理	予習：教科書 p168～181 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：MR 検査の安全に関する留意点を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
10	「放射線診療別の安全に関する留意点④」血管造影検査の安全管理	予習：教科書 p182～198 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：血管造影検査の安全に関する留意点を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
11	「放射線診療別の安全に関する留意点⑤」放射線治療の安全管理	予習：教科書 p218～230 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：放射線治療の安全に関する留意点を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口・奥村
12	「放射線診療別の安全に関する留意点⑥」核医学検査の安全管理	予習：教科書 p200～214 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：核医学検査の安全に関する留意点を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口・渡邊
13	「放射線機器の安全管理」	予習：教科書 p234～262 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：医療機器の安全管理体制について整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
14	「診療の補助行為に関する安全管理」	予習：診療放射線技師が実施する診療の補助行為について項目を調べる。(2 時間)　復習：診療の補助行為に関する安全管理について整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
15	「診療の補助行為_STAT 画像所見報告」	予習：診療放射線技師が実施する診療の補助行為について項目を調べる。(2 時間)　復習：診療の補助行為に関する安全管理について整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
成績評価方法と基準			割合
1. グループディスカッションおよびプレゼンテーション〈DP①②③〉　2. 定期試験〈DP①②③〉　　・試験、課題に対するフィードバック方法　　定期試験は模範解答を公開し、希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			1. 20%　2. 80%

授業科目名	臨床実習Ⅰ（放射線）				
主担当教員	小縣　裕二		担当教員	小縣　裕二／山口　功／船橋　正夫／奥村　雅彦／今井　信也／垣本　晃宏／西浦　素子／山本　浩一／大橋　明日香／星野　貴志／上田　淳平／髙木　聡志／渡邊　翔太／大鷹　豊／木下　尚紀	
科目ナンバリング	SS20BRSC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	6.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床実習Ⅰでは、主に画像診断分野に関する診療放射線技師の業務の流れについて臨床の現場で確認し修得することを目標とする。医療現場におけるコミュニケーション、患者との対人関係、チーム医療、診療放射線技師の役割と義務について学修する。臨床実習施設の臨床実習指導者と連携し、Ｘ線単純撮影、造影検査、Ｘ線 CT 検査、MRI 検査、核医学検査、超音波検査など画像診断検査に必要な診療放射線技術を実践するための基礎能力を向上させる。

学修目標

画像診断分野に関する診療放射線技師の職務を理解し、必要とされる知識、技術及び態度の基盤を形成する。　患者および医療チームとのコミュニケーションを実践的に学修し、医療人としての姿勢及び態度を息生する。(DP①②)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床実習施設のルールに従い、行動すること。知りうる患者の個人情報ならび施設に関する情報に関しての漏洩には十分注意し、臨床実習指導者の指示に従うこと。

教科書

RT 臨床実習ルートマップ ISBN：978-4-7583-1710-8　【編集】橋本光康　MEDICALVIEW

参考書

図解診療放射線技術実践ガイド ISBN：978-4-8306-4213-9　　遠藤啓吾（編集主幹）　文光堂

研究室／オフィスアワー

適宜対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	画像診断分野に関する知識を臨床の現場で再確認し､個々で不足している専門知識を習得するために以下の内容を中心に臨床施設において実習する。　1.診断部門の検査の流れ　2.前処置･事前準備･感染対策　3.画像診断装置の QA/QC　4.患者接遇　5.チーム医療コミュニケーション 各臨床実習施設の臨床実習指導者の指示に従う。	臨床実習計画書に基づいて、予習復習を 1 時間ずつ行う。	全教員
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
成績評価方法と基準			割合
臨床実習施設の臨床教育指導者による評価、臨床実習レポートをもとに、担当教員が総合評価を行う。			100%

授業科目名	臨床実習Ⅱ（放射線）				
主担当教員	奥村　雅彦		担当教員	奥村　雅彦／山口　功／船橋　正夫／今井信也／垣本　晃宏／西浦　素子／山本　浩一／大橋　明日香／星野　貴志／上田　淳平／髙木　聡志／渡邊　翔太／大鷹　豊／木下尚紀／小縣　裕二	
科目ナンバリング	SS20BRSC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床実習 II では、主に放射線治療技術および放射線安全管理学分野に関する診療放射線技師の業務の流れについて臨床の現場で確認し習得することを目的とする。放射線治療現場における患者とのコミュニケーションや対人関係、チーム医療、診療放射線技師の役割と義務について学修する。臨床実習施設の臨床実習指導者と連携し、放射線治療および放射線安全管理などに必要な診療放射線技術を実践するための基礎能力を向上させることを目指す。

学修目標

放射線治療領域における診療放射線技師の職務を理解し、必要とされる知識、技術及び態度の基盤を形成する。　放射線治療患者および医療チームとのコミュニケーションを実践的に学修し、医療人としての姿勢及び態度を習得する。　外部照射装置ならびに小線源治療に関する安全な取り扱いおよび管理技術について習得する。(DP①②)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床実習施設のルールに従い、行動すること。　知りうる患者の個人情報ならび施設に関する情報に関しての漏洩には十分注意し、施設の臨床実習指導者の指示に従うこと。

教科書

RT 臨床実習ルートマップ ISBN：978-4-7583-1710-8　【編集】橋本光康　MEDICALVIEW

参考書

図解診療放射線技術実践ガイド ISBN：978-4-8306-4213-9　　遠藤啓吾（編集主幹）　文光堂

研究室／オフィスアワー

適宜対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	放射線治療に関する知識を臨床の現場で再確認し､個々で不足している専門知識を習得するために以下の内容を中心に臨床施設において実習する。 1.放射線治療の流れ　2.患者セットアップ　3.放射線治療装置の精度管理　4.患者接遇　5.チーム医療コミュニケーション	予習：予め提示された課題の学修を行う。 復習：実習時における課題について教科書その他で調べてまとめる。	全教員　各実習施設の指導者
2			
3			
4			
5			
6			
7			

8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
成績評価方法と基準			割合
臨床実習施設の臨床教育指導者による評価、臨床実習レポートをもとに、担当教員が総合評価を行う。			100%

授業科目名	臨床実習Ⅲ(放射線)				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫／山口　功／奥村　雅彦／今井信也／垣本　晃宏／西浦　素子／山本　浩一／大橋　明日香／星野　貴志／上田　淳平／髙木　聡志／渡邊　翔太／大鷹　豊／小縣　裕二	
科目ナンバリング	SS20BRSC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床実習Ⅲでは、臨床実習Ⅰ・Ⅱで学んだ画像診断分野及び放射線治療分野に関する診療放射線技師の業務の流れの中から自己の重点的に習得を目指す学習目標を修得する。医療現場におけるコミュニケーション、患者との対人関係、チーム医療、診療放射線技師の役割と義務について学修する。臨床実習施設の臨床実習指導者と連携し、画像診断検査・放射線治療に必要な診療放射線技術を実践するための基礎能力を向上させる。

学修目標

臨床における診療放射線技師の職務を理解し、必要とされる知識、技術及び態度の基盤を形成する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

臨床実習施設のルールに従い、行動すること。知りうる患者の個人情報ならび施設に関する情報に関しての漏洩には十分注意し、臨床実習指導者の指示に従うこと。

教科書

RT 臨床実習ルートマップ ISBN：978-4-7583-1710-8　【編集】橋本光康　MEDICALVIEW

参考書

図解診療放射線技術実践ガイド ISBN：978-4-8306-4213-9　　遠藤啓吾（編集主幹）　文光堂

研究室／オフィスアワー

担当教員の指示による

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床実習Ⅰ・Ⅱで得た知識を臨床の現場で再確認し､個々で目指す専門知識を習得するために自己の立てた目標を中心に臨床施設において実習する。	臨床実習計画書に基づいて、予習復習を 1 時間ずつ行う。	担当教員
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

10			
11			
12			
13			
14			
15			
成績評価方法と基準			割合
臨床実習施設の臨床教育指導者による評価、臨床実習レポートをもとに、担当教員が総合評価を行う。			100%

授業科目名	臨床実習ゼミナール（放射線）				
主担当教員	星野　貴志		担当教員	星野　貴志／山口　功／船橋　正夫／奥村　雅彦／今井　信也／垣本　晃宏／西浦　素子／松﨑　伸介／山本　浩一／大橋　明日香／上田　淳平／髙木　聡志／渡邊　翔太／大鷹　豊／木下　尚紀／小縣　裕二	
科目ナンバリング	SS20BRSC034	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 3 限)、後期(木曜 4 限、木曜 5 限)
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床実習ゼミナールは、臨床実習に必要な診療放射線技術学に関する知識を教授し、医療現場で実践できることを目標とする。実際の臨床現場で必要となる診療放射線技術学、コミュニケーション能力、患者との対人関 係能力、チーム医療の実践について概説し、OSCE など臨床技能教育を通して基本的な臨床技能について学修する。臨床の現場で診療放射線技師の業務の流れやチーム医療の実践に必要な診療放射線技術を実践するための基 礎的な能力を高め、臨床実習に繋げていく。

学修目標

1. 臨床実習の意義、位置付けおよび臨床期間中の注意事項が説明できる。(DP①)　2. 臨床実習に必要な基礎知識（接遇、身だしなみ、情報管理、感染対策）を説明できる。(DP②③)　3. 臨床実習に必要な検査、治療技術を説明できる。(DP①)　4. 臨床実習における日誌（レポート)、報告会に関する内容を理解し説明できる。(DP①)　5. 具体的な臨床技能（患者接遇、検査技術、移乗動作介助）を説明、再現できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1　全出席を原則とする。　2　実習時の服装はケーシー上下、白衣、白い靴とする。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。　　講義は教科書、配布レジュメ（要旨）を中心に実施する。各自で専用のノートに重要な内容は記録すること。授業中は、私語厳禁、スマートフォンは電源オフまたはマナーモードで鞄に入れて保管すること。

教科書

RT 臨床実習ルートマップ ISBN：978-4-7583-1710-8　【編集】橋本光康　MEDICALVIEW

参考書

図解診療放射線技術実践ガイド ISBN：978-4-8306-4213-9　　遠藤啓吾（編集主幹）　文光堂

研究室／オフィスアワー

授業中に指示するオリエンテーション

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	星野
2	臨床実習に必要な基礎知識：情報管理	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	垣本
3	臨床実習に必要な基礎知識：接遇	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	西浦
4	臨床実習に必要な基礎知識：感染対策	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	松崎
5	臨床実習に必要な基礎知識：感染対策	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	今井　木下
6	臨床実習に必要な技術：放射線治療	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	奥村

7	臨床実習に必要な技術：医療安全	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	山口
8	臨床実習に必要な技術：一般撮影	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	小縣
9	臨床実習に必要な技術：造影検査	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	高木
10	臨床実習に必要な技術：血管造影	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	船橋
11	臨床実習に必要な技術：CT	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	星野
12	臨床実習に必要な技術：MR	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	上田
13	臨床実習に必要な技術：核医学検査	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	渡邊
14	臨床実習に必要な技術：放射線安全管理	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	山本
15	臨床実習に必要な技術：まとめ、評価	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	星野
16	臨床実習に関するオリエンテーション	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	星野
17	臨床技能教育ガイダンスⅠ	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
18	臨床技能教育ガイダンスII	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
19	臨床実習指導教員臨床講義Ⅰ	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	外部講師
20	臨床実習指導教員臨床講義II	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	外部講師
21	臨床技能教育１	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
22	臨床技能教育１	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
23	臨床技能教育２	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
24	臨床技能教育２	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
25	臨床技能教育３	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
26	臨床技能教育３	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
27	臨床技能教育４	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
28	臨床技能教育４	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
29	OSCE（客観的臨床能力試験）	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
30	OSCE（客観的臨床能力試験）	指定された教科書を基に、臨床実習に関する知識、技術の予習、復習を行うこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
期末テスト（筆記試験と客観的臨床能力試験のそれぞれが合格基準を満たすこと）			100%

授業科目名	診療画像技術学特講（放射線）				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功／今井　信也／垣本　晃宏／星野　貴志／上田　淳平	
科目ナンバリング	SS20BRSC035	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

診療画像技術学特講は、「診療画像機器学」「診療画像検査学」「医療画像情報学」などで 4 年前期までに学修した知識を基盤として、診療放射線技師として必要な「診療画像技術学」を総合的に修得する。また、放射線診療を実践するために必要な知識と技術について演習を通して体系づけを行う。

学修目標

知識の整理と統合化を図ることで放射線技術学の問題解決能力を養うことを目標とする。　1. 診療放射線技師国家試験「エックス線撮影機器学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉　2. 診療放射線技師国家試験「診療画像検査学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉　3. 診療放射線技師国家試験「医療画像情報学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。　2. 必要に応じて、補習授業を開講する。　3. 補習授業の対象と判断された学生は、必ず出席すること。

教科書

必要に応じて、参考文献、参考資料などを配布する。

参考書

各自必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

別途、公開する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療画像情報学①　「情報処理学・医療画像」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
2	医療画像情報学②　「医療画像・医療情報」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
3	診療画像検査学①　「MRI 装置」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
4	診療画像検査学②　「MRI 検査」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
5	診療画像検査学②　「超音波検査、眼底カメラ検査、眼底画像」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
6	診療画像検査学③　「MR 画像、超音波画像」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習	担当教員

		問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	
7	エックス線撮影機器学①　「X 線源装置、X 線高電圧装置、X 線映像装置、Ｘ線画像処理装置」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
8	エックス線撮影機器学②　「関連・付属機器、装置システム、X 線 CT 装置、品質安全管理」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
1. 診療放射線技術特講総合試験①～③の合計得点で判定する。〈DP①④〉　・合格基準：3 回の合計得点が 360 点以上で診療放射線技術特講 4 科目（4 単位）の単位認定を行う。　ただし合計得点が 360 点未満の者には、2 月上旬に診療放射線技術特講科目総合試験の追加試験　（200 点満点）で追加判定を行うことがある。　・追加試験の合格基準：120 点以上で特講 4 科目の単位認定を行う。　・不合格の場合上記試験の合格基準に達しなかった場合、試験の得点を分野ごとに対応する特講科目に分配し、　60%以上得点した科目のみ単位認定を行う。　2. 診療放射線技術特講に配当される診療放射線技師国家試験科目は「2025 年度 国家試験対策の手引き」に記載する。			1. 100%

授業科目名	核医学･放射線治療学特講（放射線）				
主担当教員	奥村　雅彦		担当教員	奥村　雅彦／今井　信也／渡邊　翔太／木下　尚紀	
科目ナンバリング	SS20BRSC036	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

核医学・放射線治療学特講は、「核医学検査技術学」「放射線治療技術学」「放射線計測学」などで 4 年前期までに学修した知識を基盤として、診療放射線技師として必要な「核医学・放射線治療学」を総合的に修得する。また、放射線診療を実践するために必要な知識と技術について演習を通して体系づけを行う。

学修目標

知識の整理と統合化を図ることで放射線技術学の問題解決能力を養うことを目標とする。　1. 診療放射線技師国家試験「核医学検査技術学および放射化学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉　2. 診療放射線技師国家試験「放射線治療技術学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉　3. 診療放射線技師国家試験「放射線計測学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。　2. 必要に応じて、補習授業を開講する。　3. 補習授業の対象と判断された学生は、必ず出席すること。

教科書

必要に応じて、資料などを配布する。

参考書

各自必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

別途、公開する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	核医学検査技術学①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
2	核医学検査技術学②	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
3	放射化学①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
4	放射線治療技術学①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
5	放射線治療技術学②	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
6	放射線治療技術学③	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習	担当教員

		問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	
7	放射線計測学①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
8	放射線計測学②	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
1. 診療放射線技術特講総合試験①～③の合計得点で判定する。〈DP①④〉　・合格基準：3 回の合計得点が 360 点以上で診療放射線技術特講 4 科目（4 単位）の単位認定を行う。　ただし合計得点が 360 点未満の者には、2 月上旬に診療放射線技術特講科目総合試験の追加試験　（200 点満点）で追加判定を行うことがある。　・追加試験の合格基準：120 点以上で特講 4 科目の単位認定を行う。　・不合格の場合上記試験の合格基準に達しなかった場合、試験の得点を分野ごとに対応する特講科目に分配し、　60%以上得点した科目のみ単位認定を行う。　2. 診療放射線技術特講に配当される診療放射線技師国家試験科目は「2023 年度 国家試験対策の手引き」に記載する。			100%

授業科目名	放射線技術学特講（放射線）				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫／山口　功／髙木　聡志／大鷹豊	
科目ナンバリング	SS20BRSC037	科目区分	専門特論	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

放射線技術学特講は、「X 線撮影技術学」「放射線安全管理学」「放射化学」「医用工学」「画像工学」などで 4 年前期までに学修した知識を基盤として、診療放射線技師として必要な「放射線技術学」を総合的に修得する。また、放射線診療を実践するために必要な知識と技術について演習を通して体系づけを行う。

学修目標

知識の整理と統合化を図ることで放射線技術学の問題解決能力を養うことを目標とする。 1. 診療放射線技師国家試験「X 線撮影技術学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉 2. 診療放射線技師国家試験「放射線物理学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉 3. 診療放射線技師国家試験「医療安全管理学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉 4. 診療放射線技師国家試験「医用工学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉 5. 診療放射線技師国家試験「画像工学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。 2. 必要に応じて、補習授業を開講する。 3. 補習授業の対象と判断された学生は、必ず出席すること。

教科書

医用放射線辞典　第 5 版 ISBN: 9784320061750　医用放射線辞典編集委員会　共立出版（1 年次購入済み）　必要に応じて、資料などを配布する。

参考書

各自必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

別途、公開する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	X 線撮影技術学①「単純撮影影」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。 復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
2	X 線撮影技術学②「造影検査」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。 復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
3	X 線撮影技術学③ 「X 線 CT 検査・その他の撮影と検査」	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。 復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
4	放射線物理学①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。 復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
5	放射線物理学②	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。 復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成す	担当教員

		る。	
6	医療安全管理学	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
7	医用工学	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
8	画像工学	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
1. 診療放射線技術特講総合試験①～③の合計得点で判定する。〈DP①④〉　・合格基準：3 回の合計得点が 360 点以上で診療放射線技術特講 4 科目（4 単位）の単位認定を行う。　ただし合計得点が 360 点未満の者には、2 月上旬に診療放射線技術特講科目総合試験の追加試験　（200 点満点）で追加判定を行うことがある。　・追加試験の合格基準：120 点以上で特講 4 科目の単位認定を行う。　・不合格の場合上記試験の合格基準に達しなかった場合、試験の得点を分野ごとに対応する特講科目に分配し、　60%以上得点した科目のみ単位認定を行う。　2. 診療放射線技術特講に配当される診療放射線技師国家試験科目は「2025 年度 国家試験対策の手引き」に記載する。			100%

授業科目名	基礎医学特講（放射線）				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一／西浦　素子／松﨑　伸介／大橋　明日香／木下　尚紀	
科目ナンバリング	SS20BRSC038	科目区分	専門特講	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

基礎医学特講では、4 年前期までに学修した「基礎医学大要」、「放射線生物学」、「放射線物理学」での知識を基盤として、診療放射線技師として必要となる「基礎医学」領域を総合的に修得する。また、放射線診療を実践するために必要な知識と技術について演習を通して体系づけを行う。

学修目標

知識の整理と統合化を図ることで放射線技術学の問題解決能力を養うことを目標とする。　1. 診療放射線技師国家試験「基礎医学大要」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉　2. 診療放射線技師国家試験「放射線生物学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉　3. 診療放射線技師国家試験「放射線安全管理学」に関連する知識を総合的に学修し習得する。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁とする。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。　2. 必要に応じて、補習授業を開講する。　3. 補習授業の対象と判断された学生は、必ず出席すること。　4. 講義に関する詳細は 1 回目の講義時に説明するので、必ず出席すること。

教科書

必要に応じて、資料などを配布する。

参考書

各自必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

山本浩一　（さくら棟　研究室 6）／　オフィスアワーは 1 回目の講義で連絡する。　西浦素子　（さくら棟　研究室 7）／　オフィスアワーは 1 回目の講義で連絡する。　松﨑伸介　（さくら棟　研究室 8）／　オフィスアワーは 1 回目の講義で連絡する。　大橋明日香　（さくら棟　共同研究室）／　オフィスアワーは 1 回目の講義で連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	基礎医学大要①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	山本・西浦・松﨑
2	基礎医学大要②	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	山本・西浦・松﨑
3	基礎医学大要③	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	山本・西浦・松﨑
4	基礎医学大要④	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	山本・西浦・松﨑
5	放射線生物学①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関	山本・大橋

		連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	
6	放射線生物学②	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	山本・大橋
7	放射線安全管理学①	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	山本
8	放射線安全管理学②	予習：4 年前期までに学んだ学修内容に関連事項を整理し、復習する。　復習：演習問題を解き、問題の解説ノートを作成する。	山本
成績評価方法と基準			割合
1. 診療放射線技術特講総合試験①～③の合計得点で判定する。〈DP①④〉　・ 合格基準：3 回の合計得点が 360 点以上で本科目（基礎医学特講）を含む診療放射線技術特講 4 科目（4 単位）の単位認定を行う。ただし合計得点が 360 点未満の者には、2 月上旬に診療放射線技術特講科目総合試験の追加試験（200 点満点）で追加判定を行うことがある。　・追加試験の合格基準：120 点以上で本科目（基礎医学特講）を含む特講 4 科目の単位認定を行う。　・不合格の場合　上記試験の合格基準に達しなかった場合、試験の得点を分野ごとに対応する特講科目に分配し、60%以上得点した科目のみ単位認定を行う。　2. 本科目（基礎医学特講）に配当される診療放射線技師国家試験科目は「2025 年度 国家試験対策の手引き」に記載する。			100%

授業科目名	先進核医学（放射線）				
主担当教員	渡邊　翔太		担当教員	渡邊　翔太	
科目ナンバリング	SS20BRSC039	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

先進核医学では、核医学分野を含む画像診断分野における先進科学技術の見識を広め、それらの知識を応用する思考力を身に着けることを目的とする。これまで学んだ核医学に関する知識を基盤として、核医学を含む画像検査全般の最先端技術に対応する基礎的な知識と技術、さらに問題解決力を系統的に論理的に教授する。診療放射線技師として最新の医療技術に対応した最善の画像情報を標準的に提供し、安全を担保する。

学修目標

1. 最新の核医学検査および治療について説明できる。<DP①④>　2. 最新の画像検査について説明できる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁とする。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。

教科書

特に指定しない。

参考書

核医学検査技術学ⅠおよびⅡで使用した教科書・参考書

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階共同研究室　在室時は随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	総論（先進核医学に必要な基礎知識）	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員
2	先進核医学①	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員
3	先進核医学②	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員
4	先進核医学③	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員
5	先進核医学④	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員
6	先進核医学⑤	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員
7	先進核医学⑥	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員
8	まとめ　核医学検査技術学に関する確認テスト	予習：核医学検査技術学の復習（2 時間） 復習：先進核医学の学修目標を整理する（2 時間）	担当教員

成績評価方法と基準	割合

1. 毎テーマごとのレポート〈DP①④〉　2. 核医学検査技術学に関する確認テスト〈DP①〉 以上の出席を必要とする。	・2/3	1. 40%　2. 60%

授業科目名	先進放射線治療学（放射線）					
主担当教員	奥村　雅彦		担当教員	奥村　雅彦／木下　尚紀		
科目ナンバリング	SS20BRSC040	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 1 限、金曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

先進放射線治療学は、放射線治療分野における先進科学技術の見識を広め、それらの知識を応用する思考力を身に付けさせることを目的とする。これまでに学んだ放射線治療に関する知識を基盤として、先端技術に対応するために必要な基礎的な知識と技術、さらに問題解決方法を系統的に教授する。診療放射線技師として最新の医療技術に対応した最善の放射線治療技術を標準的に提供し、安全を担保することで、国民の福祉と社会の発展に寄与する専門領域における十分な知識経験を持ち、患者から信頼され標準的な診療放射線技術を提供する専門放射線技師制度についても解説する。

学修目標

1. 最新型リニアックの構造と臨床における優位性を説明できる。(DP①)　2. 陽子線治療装置の構造と臨床における優位性について説明できる。(DP①)　3. 最新の放射線治療計画装置の特徴を説明できる。(DP①)　4. 光子線、電子線の相互校正法を説明できる。(DP①)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は配布レジュメ（要旨）を中心に実施する。各自で専用のノートに重要な内容は記録すること。授業中は、私語厳禁、スマートフォンは電源オフまたはマナーモードで鞄に入れて保管すること。

教科書

なし（当日の資料を配布する）

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

授業中に指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	放射線治療計画装置の歴史から最新まで	予習：治療計画装置について調べる　復習：講義内容の理解を深める	外部講師
2	放射線治療計画装置の歴史から最新まで	予習：治療計画装置について調べる　復習：講義内容の理解を深める	外部講師
3	陽子線治療装置の概要およびその臨床 1,2	予習：陽子線治療の装置および臨床について調べる　復習：講義内容の理解を深める	外部講師
4	陽子線治療装置の概要およびその臨床 1,2	予習：陽子線治療の装置および臨床について調べる　復習：講義内容の理解を深める	外部講師
5	高エネルギーX 線を用いた最新の外部放射線治療	予習：リニアックを用いた高精度外部放射線治療について調べる　復習：講義内容の理解を深める	外部講師
6	高エネルギーX 線を用いた最新の外部放射線治療	予習：リニアックを用いた高精度外部放射線治療について調べる　復習：講義内容の理解を深める	外部講師
7	高エネルギー光子線･高エネルギー電子線の水吸収線量計測と相互校正	予習：相互校正について調べる　復習：講義内容の理解を深める	奥村
8	高エネルギー光子線および高エネルギー電子線の水吸収線量変換係数と相互校正	予習：相互校正について調べる　復習：講義内容の理解を深める	奥村

成績評価方法と基準	割合
授業態度（DP①）　授業毎のレポート提出（DP①）　授業の出席は、授業時間数の 2/3 以上とする。	20%　80%

授業科目名	先進画像解析学（放射線）				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫	
科目ナンバリング	SS20BRSC041	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限、水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

先進画像解析学は、これまで学んだ撮影技術学、臨床画像解析学、医用画像情報学、画像工学に関する知識を基盤として、先端技術に対応するために必要な基礎的な知識と技術、さらに問題解決方法を系統的に教授する。診療放射線技師として最新の医療技術に対応した最善の診療画像情報を標準的に提供し、安全を担保することで、国民の福祉と社会の発展に寄与する専門領域における十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な診療放射線技術を提供する。

学修目標

診療画像技術および画像診断・技術分野における先進科学技術の見識を広め、それらの知識を応用する思考力を身に付けることを目的とする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

現在の最先端の画像技術を学び、視野の広い診療放射線技師を目指してほしい。

教科書

無し

参考書

無し

研究室／オフィスアワー

さくら棟　5 階　　研究室 4　月～木曜日　講義時間以外。金曜日研修日にて不在。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	先進画像解析学概論Ⅰ	予習：　復習：画像解析の流れを理解する	船橋
2	先進画像解析学概論Ⅱ(AI の現在と未来)	予習：　復習：講義内容をまとめる	船橋、外部講師
3	一般撮影領域の画像処理Ⅰ	予習：X 線撮影技術学Ⅰ・Ⅱを予習　復習：講義内容をまとめる	船橋、外部講師
4	一般撮影領域の画像処理Ⅱ	予習：X 線撮影技術学Ⅰ・Ⅱを予習　復習：講義内容をまとめる	船橋、外部講師
5	放射線画像解析（CT/MR/IVR）Ⅰ	予習：　復習：講義内容をまとめる	船橋、外部講師
6	放射線画像解析（CT/MR/IVR）Ⅱ	予習：　復習：講義内容をまとめる	船橋、外部講師
7	放射線画像解析(CT・MRI・IVR)	予習：　復習：講義内容をまとめる	船橋、外部講師
8	先進画像解析前臨床研究	予習：　復習：講義内容をまとめる	船橋

成績評価方法と基準	割合
1. 平常評価：　平常評価（講義の出席、学修に関する講演等への参加）　2. レポート：　レポート内容を評価する	1.60% 2.40%

授業科目名	先進医学（放射線）				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功	
科目ナンバリング	SS20BRSC042	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限、金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

先進医学では、放射線医学や医療機器に関する最先端の知識や学際的な知識を広く学習することにより、医療人としての将来像の構築、研究の動機づけの一助とすることを目標として教授する。進歩が著しい医学において、発展が期待されている分野で実際に研究・開発・プロジェクトに関わった人をゲストスピーカーとしてお招きして、開発コンセプトや最新の研究成果やトピックスなどを紹介・教授する。

学修目標

1.　放射線医学の背景・基礎を理解する。〈DP①④〉　2.　コンピュータの医学研究への応用に関する知識を身につける。〈DP①④〉
3. 臨床現場で応用できる医療情報技術の重要性・必要性を説明できるようになる。〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

最新の研究やトピックスに触れて、医療人・医療技術者としての知識の幅を広げて欲しい。

教科書

特になし。講義資料を配布する。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 2　山口研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	先進医学①	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）
2	先進医学②	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）
3	先進医学③	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）
4	先進医学④	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）
5	先進医学⑤	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）
6	先進医学⑥	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）
7	先進医学⑦	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）
8	先進医学⑧	予習：特になし　　復習：講義資料の確認　　レポート作成(3 時間)	山口（ゲストスピーカー）

成績評価方法と基準	割合
①課題評価（レポート提出、内容など）〈DP①④〉	①100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):木下				
主担当教員	木下 尚紀		担当教員	木下 尚紀	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 5 限)、後期(木曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め，先行研究レビューおよび研究計画書を作成する． 学習成果として，研究計画および予備実験等の結果を中間発表会で報告する． 当研究室の今年度の研究テーマは，「国内や海外の標準計測法の違いによる高エネルギーX 線の水吸収線量の差について」や「ペンシルビームスキャニング法による陽子線の水吸収線量測定の疑わしさの定量化」を実施する.

学修目標

1. 研究法および研究倫理について理解することが出来る. 2. 専門領域における資料および文献収集などが出来る. 3. 専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる. 4. 実験計画書の立案およびその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る.

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくとともに，学生自身の主体的な研究活動を求める.

教科書

必要に応じて，参考文献や参考資料を配布する.

参考書

各自，研究に必要な図書や参考文献を探すこと.

研究室／オフィスアワー

メール連絡の上，随時.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認&卒論の位置づけ.	山口
2	「Radiological Science 研究法」(1)の全体講義	研究に対する考え方&倫理に関する内容.	小縣
3	「Radiological Science 研究法」(2)の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する.	西浦
4	「Radiological Science 研究法」(3)の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する.	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み，要約を作成する.	木下
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み，要約を作成する.	木下
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み，要約を作成する.	木下
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み，要約を作成する.	木下
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書の作成	木下
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書の作成	木下
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書の作成	木下
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書の作	木下

		成	
13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	木下
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	木下
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	木下
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	木下
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	木下
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	木下
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	木下
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	木下
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	木下
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	木下
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	木下
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	木下
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	木下
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	木下
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	木下
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	木下
29	実験結果のまとめ①	個々の実験内容の結果に基づく考察	木下
30	実験結果のまとめ②	個々の実験内容の結果に基づく考察	木下
成績評価方法と基準			割合
・ 研究への取り組み姿勢，研究計画書，中間発表会を総合的に評価する．なお，研究計画書および中間発表会用資料は適宜，個別指導を行い，最終的には返却する．　・ 4/5 以上の出席が必要.			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):大鷹				
主担当教員	大鷹　豊		担当教員	大鷹　豊	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室では、　①　核医学イメージング用放射線検出器の開発　②　半導体素子の放射線試験　③　医療系学生のリメディアル教育（数学・理科系科目等）についての意識調査　を主テーマとして研究・展開していく。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

必要に応じ、文献や参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

桜棟5階　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	文献検索に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	大鷹
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	大鷹
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	大鷹
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	大鷹
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大鷹
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大鷹
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大鷹
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大鷹

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	大鷹
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	大鷹
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	大鷹
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	大鷹
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大鷹
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大鷹
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大鷹
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大鷹
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大鷹
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大鷹
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大鷹
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大鷹
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	大鷹
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	大鷹
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	大鷹
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	大鷹
29	実験結果のまとめ①	個々の実験内容の結果に基づく考察	大鷹
30	実験結果のまとめ②	個々の実験内容の結果に基づく考察	大鷹
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢、研究計画書、中間発表会を総合的に評価する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):上田				
主担当教員	上田 淳平		担当教員	上田 淳平	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め，先行研究レビュー及び研究計画書を作成する． 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する． 当研究室は，MRI に関する研究を行う．疾患モデルの小動物を対象としたMRI による病態評価や，臨床用 MRI の精度検討等を行う．

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る．(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る．(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる．(DP①④) 4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る．(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに，学生自身の主体的な研究活動を求める．

教科書

特にしている教科書はない．必要に応じて，参考文献，参考資料などを配布する．

参考書

各自，研究に必要な図書や参考文献を探すこと．

研究室／オフィスアワー

桜棟5階 共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ	山口
2	Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	研究領域の理解および文献抄読①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する	上田
6	研究領域の理解および文献抄読②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する	上田
7	研究領域の理解および文献抄読③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する	上田
8	研究領域の理解および文献抄読④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する	上田
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	上田
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	上田
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	上田
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	上田
13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	上田

14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	上田
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	上田
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	上田
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	上田
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	上田
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	上田
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	上田
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	上田
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	上田
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	上田
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	上田
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実践	上田
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実践	上田
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実践	上田
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実践	上田
29	実験結果のまとめ①	実験内容の結果に基づく考察	上田
30	実験結果のまとめ②	実験内容の結果に基づく考察	上田
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢，研究計画書，中間発表会を総合的に評価する．　4/5 以上の出席が必要.			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):渡邊				
主担当教員	渡邊　翔太		担当教員	渡邊　翔太	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室では、核医学画像やX線CT画像の画質評価、撮影体位や撮影条件の最適化に関する研究を行う。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４，実験計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

必要に応じ、文献や参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

桜棟5階　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	渡邊
6	先行研究レビュー②	研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	渡邊
7	先行研究レビュー③	研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	渡邊
8	先行研究レビュー④	研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	渡邊
9	研究計画書の作成①	研究テーマに関する研究計画書作成	渡邊
10	研究計画書の作成②	研究テーマに関する研究計画書作成	渡邊
11	研究計画書の作成③	研究テーマに関する研究計画書作成	渡邊
12	研究計画書の作成④	研究テーマに関する研究計画書作成	渡邊

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	渡邊
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	渡邊
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	渡邊
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	渡邊
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	渡邊
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	渡邊
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	渡邊
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	渡邊
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	渡邊
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	渡邊
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	渡邊
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	渡邊
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	渡邊
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	渡邊
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	渡邊
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	渡邊
29	実験結果のまとめ①	個々の実験内容の結果に基づく考察	渡邊
30	実験結果のまとめ②	個々の実験内容の結果に基づく考察	渡邊
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢、研究計画書、中間発表会を総合的に評価する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):髙木				
主担当教員	髙木 聡志		担当教員	髙木 聡志	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。 当研究室では以下のテーマに関する研究を行う。 ① 低線量肺がん CT 検診の画像を用いる乳房内病変の評価 ② 単純 X 線検査における体動の自動検出 ③ 汎用スキャナによる医療フィルムのデジタル化 ④ 胸部単純 X 線画像に対する骨抑制処理の有用性

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④) 4，実験計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくとともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

研究テーマに関連する書籍とする。

参考書

必要に応じて教員が紹介する。

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階 研究室１ / 随時対応（要事前連絡）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけを理解する。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容を理解する。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	髙木
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	髙木
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	髙木
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	髙木
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書を作成する。	髙木
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書を作成する。	髙木
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書を作成する。	髙木

12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書を作成する。	髙木
13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備をする。	髙木
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備をする。	髙木
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備をする。	髙木
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備をする。	髙木
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論を検討する。	髙木
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論を検討する。	髙木
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論を検討する。	髙木
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論を検討する。	髙木
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づき研究計画書を修正する。	髙木
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づき研究計画書を修正する。	髙木
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づき研究計画書を修正する。	髙木
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づき研究計画書を修正する。	髙木
25	本実験①	修正された実験計画書に基づき実験する。	髙木
26	本実験②	修正された実験計画書に基づき実験する。	髙木
27	本実験③	修正された実験計画書に基づき実験する。	髙木
28	本実験④	修正された実験計画書に基づき実験する。	髙木
29	実験結果のまとめ①	個々の実験内容の結果に基づき考察する。	髙木
30	実験結果のまとめ②	個々の実験内容の結果に基づき考察する。	髙木
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢、研究計画書、中間発表会を総合的に評価する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):星野				
主担当教員	星野 貴志		担当教員	星野 貴志	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。 当研究室では、X線CTの被ばくと画質、および造影テクニックなどの検査技術や画像解析・処理に関する研究を行う。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④) 4．実験計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

必要に応じて、参考文献、参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

さくら棟5階 研究室1 随時対応可能（在室時）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	文献検索に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	星野
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	星野
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	星野
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	星野
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	星野
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	星野
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	星野
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	星野

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	星野
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	星野
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	星野
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	星野
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	星野
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	星野
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	星野
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	星野
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	星野
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	星野
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	星野
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	星野
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	星野
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	星野
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	星野
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	星野
29	実験結果のまとめ①	修正された実験計画書に基づく実験	星野
30	実験結果のまとめ②	修正された実験計画書に基づく実験	星野
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢、研究計画書、中間発表会を総合的に評価する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（放射線):大橋				
主担当教員	大橋　明日香		担当教員	大橋　明日香	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(木曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室では、以下のテーマに基づき研究を実施する。　①　診療放射線技術に関する研究　②　マンモグラフィに関する研究　③　国家試験に関する調査研究

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	文献検索に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	研究領域の理解および文献抄読①	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	大橋
6	研究領域の理解および文献抄読②	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	大橋
7	研究領域の理解および文献抄読③	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	大橋
8	研究領域の理解および文献抄読④	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	大橋
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大橋
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大橋
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大橋
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	大橋

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	大橋
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	大橋
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	大橋
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	大橋
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大橋
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大橋
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大橋
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	大橋
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大橋
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大橋
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大橋
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	大橋
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
29	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	大橋
30	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	大橋
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):垣本				
主担当教員	垣本 晃宏		担当教員	垣本 晃宏	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。 当研究室は、認知症患者のMRやPET画像、運動機能に関連する骨・関節および筋のMR画像、バーチャル・リアリティ(VR)システム等を用いて、主に画像処理や解析技術に関する研究を行う。研究に必要な各ソフトウェアの使用方法やプログラミング技術を習得するとともに、人工知能(AI)や深層学習(Deep Learning)についての根幹部分の基礎理解を深める。将来、診療放射線技師として働く自身の付加価値の一つとして有効活用できるよう、能動的な研究活動を期待する。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④) 4．実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員と良く相談して研究活動を進める。

教科書

なし。

参考書

暫時、文献、参考資料などを配布する。

研究室／オフィスアワー

垣本 晃宏（さくら棟5F 共同研究室／水曜日16:20～17:50、その他応相談）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	文献検索に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	垣本
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	垣本
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	垣本
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	垣本
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	垣本
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	垣本

11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	垣本
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	垣本
13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	垣本
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	垣本
15	倫理申請書の作成①	研究倫理に基づいて倫理申請書類作成	垣本
16	倫理申請書の作成②	研究倫理に基づいて倫理申請書類作成	垣本
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	垣本
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	垣本
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	垣本
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	垣本
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	垣本
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	垣本
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	垣本
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	垣本
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	垣本
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	垣本
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	垣本
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	垣本
29	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	垣本
30	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	垣本
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):今井				
主担当教員	今井 信也		担当教員	今井 信也	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 5 限)、後期(木曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。 当研究室は、①IVR や CT 検査における放射線業務従事者や患者の水晶体被ばく測定とその防護方法の検討 ②水晶体用線量計を装備した次世代型放射線防護メガネの開発 ③VR を用いた体験型臨床実習用ソフトの開発 ④ビッグデータを用いた高額医療機器に対する費用対効果 などについての研究を行う。これらの研究から、放射線計測装置の特性や使用方法学習し、放射線検査の手順や白内障に対するリスクについての理解を深める。また、既存の放射線防護メガネの問題点を改良して、社会実装に繋げるプロセスを学ぶ。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。 4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員と良く相談して研究活動を進める

教科書

暫時、文献、参考資料などを配布する

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

今井信也（さくら棟 5F 共同研究室）随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ	山口
2	Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	文献検索に関する内容	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	今井
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	今井
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	今井
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	今井
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	今井
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	今井

11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	今井
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	今井
13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	今井
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	今井
15	倫理申請書の作成①	研究倫理に基づいて倫理申請書類作成	今井
16	倫理申請書の作成②	研究倫理に基づいて倫理申請書類作成	今井
17	予備実験①	個々の予備実験の方法＆実践	今井
18	予備実験②	個々の予備実験の方法＆実践	今井
19	予備実験③	個々の予備実験の方法＆実践	今井
20	予備実験④	個々の予備実験の方法＆実践	今井
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	今井
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	今井
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	今井
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	今井
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実践	今井
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実践	今井
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実践	今井
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実践	今井
29	実験結果のまとめ①	個々の実験内容の結果に基づく考察	今井
30	実験結果のまとめ②	個々の実験内容の結果に基づく考察	今井
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):松﨑				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(木曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　　当研究室では、以下の研究テーマに基づき研究を実施する。　①細胞生物学的手技に基づく、タンパク質修飾機構に対する検討　②医療機器の効果検証　③サプリメントの効果の検討　④最新の知見に基づく各種疾患の病態・検査・治療に対する検討

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	小縣
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容。	大西
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	研究領域の理解および文献抄読①	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	松﨑
6	研究領域の理解および文献抄読②	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	松﨑
7	研究領域の理解および文献抄読③	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	松﨑
8	研究領域の理解および文献抄読④	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	松﨑
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	松﨑
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	松﨑
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	松﨑
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	松﨑

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	松﨑
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	松﨑
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	松﨑
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	松﨑
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	松﨑
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	松﨑
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	松﨑
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	松﨑
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	松﨑
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	松﨑
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	松﨑
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	松﨑
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	松﨑
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	松﨑
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	松﨑
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	松﨑
29	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	松﨑
30	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	松﨑
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):西浦				
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(木曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室は、　①乳腺に関する医用画像に関して　②ブレストアウェアネスに関して　調査を行うことで、現在の問題点を洗い出し、それを解決する方法について検証を行う。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

関連する文献、参考資料などを配布、紹介する。

参考書

適宜、文献、参考資料などを紹介する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ることがのぞましい。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	西浦
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	西浦
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	西浦
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	西浦
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	西浦
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	西浦
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	西浦
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	西浦

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	西浦
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	西浦
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	西浦
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	西浦
17	予備実験①	個々の予備実験の方法＆実践	西浦
18	予備実験②	個々の予備実験の方法＆実践	西浦
19	予備実験③	個々の予備実験の方法＆実践	西浦
20	予備実験④	個々の予備実験の方法＆実践	西浦
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	西浦
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	西浦
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	西浦
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	西浦
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	西浦
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	西浦
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	西浦
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	西浦
29	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	西浦
30	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	西浦
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):山本				
主担当教員	山本 浩一		担当教員	山本 浩一	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 5 限)、後期(木曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。 当研究室は、行動薬理学的研究アプローチを駆使して①病態モデル動物を開発して病気の原因を探り、治療薬の作用機構を解析する研究を行う。また、②放射線障害を含む様々な病態発症における情報伝達機構を解析する研究を行う。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④) 4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。研究を行う上での倫理観（生命の尊さを考える、礼儀を重んじる、不正行為をしない）は必須とします。

教科書

必要に応じて、参考文献、参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 6 山本浩一研究室 在室時には対応します。 不在も多いため、できる限りアポイントメントを取って下さい。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ	山口
2	Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	研究領域の理解および文献抄読①	個々の研究テーマに関する文献を読み要約を作成する。	山本
6	研究領域の理解および文献抄読②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	山本
7	研究領域の理解および文献抄読③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	山本
8	研究領域の理解および文献抄読 4	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	山本
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山本
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山本
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山本

12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山本
13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	山本
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	山本
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	山本
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	山本
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山本
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山本
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山本
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山本
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山本
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山本
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山本
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山本
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実践	山本
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実践	山本
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実践	山本
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実践	山本
29	実験結果のまとめ①	個々の実験内容の結果に基づく考察	山本
30	実験結果のまとめ②	個々の実験内容の結果に基づく考察	山本
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢、研究計画書、中間発表会を総合的に評価する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):奥村				
主担当教員	奥村 雅彦		担当教員	奥村 雅彦	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。 当研究室は、バーチャル教育ソリューション「VERT」(外部照射装置システム)および治療計画装置(ECLIPSE)を用いて、臨床実習前の学内実習システムの具体的方法を構築するための研究を行う。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④) 4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	研究領域の理解および文献抄読①	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	奥村
6	研究領域の理解および文献抄読②	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	奥村
7	研究領域の理解および文献抄読③	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	奥村
8	研究領域の理解および文献抄読④	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	奥村
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	奥村
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	奥村
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	奥村
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	奥村

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	奥村
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	奥村
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	奥村
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	奥村
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	奥村
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	奥村
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	奥村
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	奥村
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	奥村
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	奥村
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	奥村
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	奥村
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	奥村
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	奥村
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	奥村
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	奥村
29	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	奥村
30	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	奥村
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):船橋				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 5 限)、後期(木曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室は以下の研究を行う。、①デジタル画像処理におけるフィルタ処理の研究。②被写体内散乱線についての研究。③一般撮影領域の被ばく線量の新しい算出法の研究。研究成果は学内発表するとともに、学会地方会などで発表する。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	研究領域の理解および文献抄読①	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	船橋
6	研究領域の理解および文献抄読②	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	船橋
7	研究領域の理解および文献抄読③	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	船橋
8	研究領域の理解および文献抄読④	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	船橋
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	船橋
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	船橋
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	船橋
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	船橋

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	船橋
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	船橋
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	船橋
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	船橋
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	船橋
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	船橋
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	船橋
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	船橋
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	船橋
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	船橋
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	船橋
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	船橋
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	船橋
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	船橋
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	船橋
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	船橋
29	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	船橋
30	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	船橋
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):山口				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室は、「病理解剖学に基づいた単純Ｘ線画像解析および撮影法の開発」「X線CT・MRIにおける非侵襲的生体イメージング法および解析法の開発と画像評価」を実施する。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４，実験計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

必要に応じて、参考文献、参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

さくら棟5階 研究室2　山口研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	研究に対する考え方＆倫理に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	先行研究レビュー①	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	山口
6	先行研究レビュー②	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	山口
7	先行研究レビュー③	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	山口
8	先行研究レビュー④	個々の研究テーマに関する文献を読み、要約を作成する。	山口
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山口
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山口
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山口
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	山口

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	山口
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	山口
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	山口
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	山口
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山口
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山口
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山口
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	山口
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山口
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山口
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山口
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	山口
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	山口
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	山口
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	山口
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	山口
29	実験結果のまとめ①	個々の実験内容の結果に基づく考察	山口
30	実験結果のまとめ②	個々の実験内容の結果に基づく考察	山口
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢、研究計画書、中間発表会を総合的に評価する。 4/5 以上の出席が必要 ・研究計画書および中間発表会用資料は適宜、個別指導を行い、最終的には返却する。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(放射線):小縣				
主担当教員	小縣 裕二		担当教員	小縣 裕二	
科目ナンバリング	SS20BRSC043	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜5限)、後期(木曜1限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。 学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。 当研究室では、 ① 診療放射線技術に関する研究 ② クルックス管から発生するX線の解析と測定法に関する研究 ③ 放射線イメージングカメラによるエネルギー分析に関する研究 ④ 国家試験に関する調査研究

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④) 4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山口
2	「Radiological Science 研究法」（１）の全体講義	文献検索に関する内容。	小縣
3	「Radiological Science 研究法」（２）の全体講義	「質的研究」に関する内容を把握する。	西浦
4	「Radiological Science 研究法」（３）の全体講義	「量的研究」に関する内容を把握する。	山本
5	研究領域の理解および文献抄読①	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	小縣
6	研究領域の理解および文献抄読②	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	小縣
7	研究領域の理解および文献抄読③	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	小縣
8	研究領域の理解および文献抄読④	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究対象機器の操作をマスターする。	小縣
9	研究計画書の作成①	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	小縣
10	研究計画書の作成②	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	小縣
11	研究計画書の作成③	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	小縣
12	研究計画書の作成④	個々の研究テーマに関する研究計画書作成	小縣

13	中間発表の準備①	研究計画書に関するレクチャーの準備	小縣
14	中間発表の準備②	研究計画書に関するレクチャーの準備	小縣
15	中間発表の準備③	研究計画書に関するレクチャーの準備	小縣
16	中間発表の準備④	研究計画書に関するレクチャーの準備	小縣
17	予備実験①	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	小縣
18	予備実験②	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	小縣
19	予備実験③	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	小縣
20	予備実験④	研究対象のパートにおける予備実験と研究方法論の検討	小縣
21	研究計画書の再考①	予備実験の結果に基づく計画書の修正	小縣
22	研究計画書の再考②	予備実験の結果に基づく計画書の修正	小縣
23	研究計画書の再考③	予備実験の結果に基づく計画書の修正	小縣
24	研究計画書の再考④	予備実験の結果に基づく計画書の修正	小縣
25	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	小縣
26	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	小縣
27	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	小縣
28	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	小縣
29	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	小縣
30	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	小縣
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):髙木				
主担当教員	髙木 聡志		担当教員	髙木 聡志	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

卒業研究Ⅰに引き続き、研究指導教員の下で卒業研究を進め、卒業論文および卒業研究発表会用プレゼンテーション資料を作成する。 研究成果として、卒業論文および卒業研究発表会で報告する。 当研究室では以下のテーマに関する研究を行う。 ① 低線量肺がん CT 検診の画像を用いる乳房内病変の評価 ② 単純 X 線検査における体動の自動検出 ③ 汎用スキャナによる医療フィルムのデジタル化 ④ 胸部単純 X 線画像に対する骨抑制処理の有用性

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④) 2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④) 3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④) 4．卒業論文の作成および要点を絞った研究発表が出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくとともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

研究テーマに関連する書籍とする。

参考書

必要に応じて教員が紹介する。

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階 研究室１ / 随時対応（要事前連絡）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証①	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	髙木
2	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証②	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	髙木
3	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証③	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	髙木
4	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証④	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	髙木
5	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証⑤	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	髙木
6	追加実験およびデータ整理①	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	髙木
7	追加実験およびデータ整理②	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	髙木
8	追加実験およびデータ整理③	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	髙木
9	追加実験およびデータ整理④	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	髙木
10	追加実験およびデータ整理⑤	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	髙木
11	実験結果のまとめ①	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果	髙木

		をまとめる。	
12	実験結果のまとめ②	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	髙木
13	実験結果のまとめ③	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	髙木
14	実験結果のまとめ④	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	髙木
15	実験結果のまとめ⑤	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	髙木
16	卒業論文の作成①	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
17	卒業論文の作成②	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
18	卒業論文の作成③	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
19	卒業論文の作成④	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
20	卒業論文の作成⑤	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
21	卒業論文の作成⑥	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
22	卒業論文の作成⑦	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
23	卒業論文の作成⑧	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
24	卒業論文の作成⑨	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
25	卒業論文の作成⑩	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	髙木
26	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成①	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	髙木
27	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成②	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	髙木
28	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成③	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	髙木
29	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成④	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	髙木
30	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成⑤	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	髙木
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み，卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし，総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):大鷹				
主担当教員	大鷹　豊		担当教員	大鷹　豊	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(金曜2限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で卒業研究Ⅰの研究を進め、卒業論文および研究発表会用プレゼンテーション資料を作成する。　学習成果として、卒業論文および卒業研究発表会で報告する。　当研究室では、　①　核医学イメージング用放射線検出器の開発　②　半導体素子の放射線試験　③　医療系学生のリメディアル教育(数学・理科系科目等)についての意識調査　を主テーマとして研究・展開していく。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

必要に応じ、文献や参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

桜棟5階　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証 ①	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	大鷹
2	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証 ②	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	大鷹
3	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証 ③	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	大鷹
4	追加実験およびデータ整理 ①	卒業研究Ⅰの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	大鷹
5	追加実験およびデータ整理 ②	卒業研究Ⅰの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	大鷹
6	追加実験およびデータ整理 ③	卒業研究Ⅰの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	大鷹
7	追加実験およびデータ整理 ④	卒業研究Ⅰの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	大鷹
8	追加実験およびデータ整理 ⑤	卒業研究Ⅰの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	大鷹
9	追加実験およびデータ整理 ⑥	卒業研究Ⅰの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	大鷹
10	追加実験およびデータ整理 ⑦	卒業研究Ⅰの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	大鷹
11	卒業論文の作成 ①	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹

12	卒業論文の作成 ②	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
13	卒業論文の作成 ③	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
14	卒業論文の作成 ④	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
15	卒業論文の作成 ⑤	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
16	卒業論文の作成 ⑥	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
17	卒業論文の作成 ⑦	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
18	卒業論文の作成 ⑧	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
19	卒業論文の作成 ⑨	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
20	卒業論文の作成 ⑩	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	大鷹
21	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成①	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	大鷹
22	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成②	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	大鷹
23	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成③	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	大鷹
24	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成④	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	大鷹
25	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成⑤	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	大鷹
26	論文の推敲 ①	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	大鷹
27	論文の推敲 ②	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	大鷹
28	論文の推敲 ③	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	大鷹
29	論文の推敲 ④	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	大鷹
30	論文の推敲 ⑤	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	大鷹
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み、卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし、総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):上田				
主担当教員	上田　淳平		担当教員	上田　淳平	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め，先行研究レビュー及び研究計画書を作成する．　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する．　当研究室は，MRI に関する研究を行う．疾患モデルの小動物を対象とした MRI による病態評価や，臨床用 MRI の精度検討等を行う．

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る．(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る．(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる．(DP①④)　４，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る．(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに，学生自身の主体的な研究活動を求める．

教科書

特にしている教科書はない．必要に応じて，参考文献，参考資料などを配布する．

参考書

各自，研究に必要な図書や参考文献を探すこと．

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実施した本実験の検証①	実施した本実験の結を検証し，追加実験の必要性を検討する．	上田
2	実施した本実験の検証②	実施した本実験の結果を検証し，追加実験の必要性を検討する．	上田
3	実施した本実験の検証③	実施した本実験の結果を検証し，追加実験の必要性を検討する．	上田
4	実施した本実験の検証④	4 実施した本実験の検証④ 実施した本実験の結果を検証し，追加実験の必要性を検討する．　上田	上田
5	実施した本実験の検証⑤	実施した本実験の結果を検証し，追加実験の必要性を検討する．	上田
6	追加実験およびデータ整理①	追加実験を行い，得られたデータをまとめる．	上田
7	追加実験およびデータ整理②	追加実験を行い，得られたデータをまとめる．	上田
8	追加実験およびデータ整理③	追加実験を行い，得られたデータをまとめる．	上田
9	追加実験およびデータ整理④	追加実験を行い，得られたデータをまとめる．	上田
10	追加実験およびデータ整理⑤	追加実験を行い，得られたデータをまとめる．	上田
11	結果の整理①	本実験，予備実験の結果を整理する．	上田

12	結果の整理②	本実験，予備実験の結果を整理する.	上田
13	結果の整理③	本実験，予備実験の結果を整理する.	上田
14	結果の整理④	本実験，予備実験の結果を整理する.	上田
15	結果の整理⑤	本実験，予備実験の結果を整理する.	上田
16	卒業論文の作成①	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
17	卒業論文の作成②	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
18	卒業論文の作成③	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
19	卒業論文の作成④	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
20	卒業論文の作成⑤	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
21	卒業論文の作成⑥	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
22	卒業論文の作成⑦	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
23	卒業論文の作成⑧	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
24	卒業論文の作成⑨	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
25	卒業論文の作成⑩	まとめた結果に基づき卒業論文を作成する.	上田
26	卒業研究発表会用プレゼンテーションの作成①	卒業研究発表会用のプレゼンテーションを作成する.	上田
27	卒業研究発表会用プレゼンテーションの作成②	修正された実験計画書に基づく実践	上田
28	卒業研究発表会用プレゼンテーションの作成③	卒業研究発表会用のプレゼンテーションを作成する.	上田
29	卒業研究発表会用プレゼンテーションの作成④	卒業研究発表会用のプレゼンテーションを作成する.	上田
30	卒業研究発表会用プレゼンテーションの作成⑤	卒業研究発表会用のプレゼンテーションを作成する.	上田
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出，卒業研究の取り組み，卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし，総合的に判断する．4/5 以上の出席が必要.			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):渡邊				
主担当教員	渡邊　翔太		担当教員	渡邊　翔太	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で卒業研究Ｉの研究を進め、卒業論文および研究発表会用プレゼンテーション資料を作成する。　学習成果として、卒業論文および卒業研究発表会で報告する。　当研究室では、核医学画像や X 線 CT 画像の画質評価、撮影体位や撮影条件の最適化に関する研究を行う。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４．卒業論文の作成および要点を絞った研究発表が出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

必要に応じ、文献や参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証 ①	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	渡邊
2	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証 ②	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	渡邊
3	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証 ③	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	渡邊
4	追加実験およびデータ整理 ①	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	渡邊
5	追加実験およびデータ整理 ②	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	渡邊
6	追加実験およびデータ整理 ③	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	渡邊
7	追加実験およびデータ整理 ④	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	渡邊
8	追加実験およびデータ整理 ⑤	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	渡邊
9	追加実験およびデータ整理 ⑥	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	渡邊
10	追加実験およびデータ整理 ⑦	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	渡邊
11	卒業論文の作成 ①	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
12	卒業論文の作成 ②	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊

13	卒業論文の作成 ③	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
14	卒業論文の作成 ④	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
15	卒業論文の作成 ⑤	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
16	卒業論文の作成 ⑥	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
17	卒業論文の作成 ⑦	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
18	卒業論文の作成 ⑧	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
19	卒業論文の作成 ⑨	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
20	卒業論文の作成 ⑩	個々の実験結果に基づいて卒業論文の作成	渡邊
21	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成①	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	渡邊
22	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成②	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	渡邊
23	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成③	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	渡邊
24	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成④	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	渡邊
25	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成⑤	卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	渡邊
26	論文の推敲 ①	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	渡邊
27	論文の推敲 ②	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	渡邊
28	論文の推敲 ③	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	渡邊
29	論文の推敲 ④	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	渡邊
30	論文の推敲 ⑤	最終的な卒業論文構成の検討及び修正	渡邊
成績評価方法と基準			割合
研究への取り組み姿勢、研究計画書、中間発表会を総合的に評価する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):星野				
主担当教員	星野　貴志		担当教員	星野　貴志	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で卒業研究Ｉの研究を進め、卒業論文および研究研究発表会用プレゼンテーション資料を作成する。学習成果として、卒業論文および卒業研究発表会で報告する。　当研究室では、X 線 CT の被ばくと画質，および造影テクニックなどの検査技術や画像解析・処理に関する研究を行う。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４．卒業論文の作成および要点を絞った研究発表が出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

随時、関連の文献や参考資料などを配布する。

参考書

各領域の文献

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 1 随時対応可能（在室時）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証 ①	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	星野
2	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証 ②	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	星野
3	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証 ③	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	星野
4	追加実験およびデータ整理 ①	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	星野
5	追加実験およびデータ整理 ②	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	星野
6	追加実験およびデータ整理 ③	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	星野
7	追加実験およびデータ整理 ④	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	星野
8	追加実験およびデータ整理 ⑤	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	星野
9	追加実験およびデータ整理 ⑥	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	星野
10	追加実験およびデータ整理 ⑦	卒業研究Ｉの実験のデータを整理する。必要に応じて追加実験を行う。	星野
11	卒業論文の作成 ①	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
12	卒業論文の作成 ②	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野

13	卒業論文の作成 ③	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
14	卒業論文の作成 ④	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
15	卒業論文の作成 ⑤	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
16	卒業論文の作成 ⑥	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
17	卒業論文の作成 ⑦	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
18	卒業論文の作成 ⑧	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
19	卒業論文の作成 ⑨	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
20	卒業論文の作成 ⑩	個々の実験内容の結果に基づく考察及び文献検討	星野
21	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成①	卒業論文をもとに卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	星野
22	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成②	卒業論文をもとに卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	星野
23	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成③	卒業論文をもとに卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	星野
24	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成④	卒業論文をもとに卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	星野
25	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成⑤	卒業論文をもとに卒業研究発表会のプレゼンテーション資料を作成する。	星野
26	論文の推敲 ①	最終的な論文構成及び修正	星野
27	論文の推敲 ②	最終的な論文構成及び修正	星野
28	論文の推敲 ③	最終的な論文構成及び修正	星野
29	論文の推敲 ④	最終的な論文構成及び修正	星野
30	論文の推敲 ⑤	最終的な論文構成及び修正	星野
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み、卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（放射線):大橋				
主担当教員	大橋　明日香		担当教員	大橋　明日香	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で卒業論文を作成し、学習成果として卒業研究発表会で報告する。　当研究室では、以下のテーマに基づき研究を実施する。　①　診療放射線技術に関する研究　②　マンモグラフィに関する研究　③　国家試験に関する調査研究

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４．卒業論文の作成及びその成果を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
2	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
3	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
4	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
5	本実験⑤	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
6	本実験⑥	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
7	本実験⑦	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
8	本実験⑧	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
9	本実験⑨	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
10	本実験⑩	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
11	本実験⑪	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
12	本実験⑫	修正された実験計画書に基づく実験	大橋
13	卒業論文の作成①	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
14	卒業論文の作成②	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋

15	卒業論文の作成③	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
16	卒業論文の作成④	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
17	卒業論文の作成⑤	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
18	卒業論文の作成⑥	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
19	卒業論文の作成⑦	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
20	卒業論文の作成⑧	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
21	卒業論文の作成⑨	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
22	卒業論文の作成⑩	個々の研究テーマに関する卒業論文の作成	大橋
23	卒業研究発表の準備①	卒業研究に関するプレゼンテーションの準備	大橋
24	卒業研究発表の準備②	卒業研究に関するプレゼンテーションの準備	大橋
25	卒業研究発表の準備③	卒業研究に関するプレゼンテーションの準備	大橋
26	卒業研究発表の準備④	卒業研究に関するプレゼンテーションの準備	大橋
27	卒業研究発表の準備⑤	卒業研究に関するプレゼンテーションの準備	大橋
28	研究成果のまとめ①	本実験に基づく研究成果のまとめ	大橋
29	研究成果のまとめ②	本実験に基づく研究成果のまとめ	大橋
30	研究成果のまとめ③	本実験に基づく研究成果のまとめ	大橋
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み、卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし、総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):垣本				
主担当教員	垣本 晃宏		担当教員	垣本 晃宏	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(金曜3限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

卒業研究Ⅰでは、研究テーマの決定、先行研究のレビュー、研究計画書及び倫理書類の作成、解析に必要なプログラミング技術の習得を中心に活動した。　卒業研究Ⅱでは、ヒトを対象として、MRやUS等のModalityを用いた画像データの収集、および、VR操作時の視線や脳波データを計測する。また、実際に収集した医用画像及び計測データを用いて統計学的な解析を行い、実験結果を考察する。さらに、研究全体の理解を深めるとともに、卒業論文をまとめる文書作成能力や卒論発表によるプレゼンテーション能力の向上を図る。以上より、研究計画から研究結果をアウトプットするまでの全工程を一人で実践する能力を身に付ける。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4．実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員と良く相談して研究活動を進める。

教科書

なし。

参考書

随時、文献、参考資料などを配布する。

研究室／オフィスアワー

垣本 晃宏（さくら棟5F　共同研究室／水曜日16:20～17:50、その他応相談）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	大西
2	卒業論文や卒論発表に関するガイダンス	研究報告や発表に関する内容。	大西
3	本実験①	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
4	本実験②	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
5	本実験③	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
6	本実験④	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
7	本実験⑤	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
8	本実験⑥	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
9	本実験⑦	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
10	本実験⑧	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本

11	本実験⑨	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
12	本実験⑩	ヒトを対象とした実験の倫理書類や実験計画書の把握	垣本
13	計測データの解析①	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
14	計測データの解析②	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
15	計測データの解析③	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
16	計測データの解析④	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
17	計測データの解析⑤	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
18	計測データの解析⑥	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
19	計測データの解析⑦	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
20	計測データの解析⑧	ソフトウェアを用いた解析、プログラミング技術の習得	垣本
21	卒業論文のまとめ①	フォーマットに基いた文書の作成	垣本
22	卒業論文のまとめ②	フォーマットに基いた文書の作成	垣本
23	卒業論文のまとめ③	フォーマットに基いた文書の作成	垣本
24	卒業論文のまとめ④	フォーマットに基いた文書の作成	垣本
25	プレゼン資料の作成①	卒論発表資料の作成	垣本
26	プレゼン資料の作成②	卒論発表資料の作成	垣本
27	プレゼン資料の作成③	卒論発表資料の作成	垣本
28	プレゼン資料の作成④	卒論発表資料の作成	垣本
29	卒論発表会	抄録の作成および当日の発表	垣本
30	卒業論文の提出	卒業論文の最終版をまとめる	垣本
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み，卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし，総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（放射線）:今井				
主担当教員	今井　信也		担当教員	今井　信也	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室は、①IVR や CT 検査における放射線業務従事者や患者の水晶体被ばく測定とその防護方法の検討　②水晶体用線量計を装備した次世代型放射線防護メガネの開発　③VR を用いた体験型臨床実習用ソフトの開発　④ビッグデータを用いた高額医療機器に対する費用対効果　などについての研究を行う。これらの研究から、放射線計測装置の特性や使用方法学習し、放射線検査の手順や白内障に対するリスクについての理解を深める。また、既存の放射線防護メガネの問題点を改良して、社会実装に繋げるプロセスを学ぶ。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。　４，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員と良く相談して研究活動を進める

教科書

暫時、文献、参考資料などを配布する

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

今井信也（さくら棟 5F 共同研究室）随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	実験データの整理	先行研究の検索	今井
2	実験データの整理	先行研究の検索	今井
3	実験データの整理	先行研究の検索	今井
4	実験データの整理	先行研究の検索	今井
5	実験データの整理	先行研究の検索	今井
6	結果のまとめ	図・表の作成	今井
7	結果のまとめ	図・表の作成	今井
8	結果のまとめ	図・表の作成	今井
9	結果のまとめ	図・表の作成	今井
10	結果のまとめ	図・表の作成	今井
11	考察の整理	先行研究との比較・分析	今井

12	考察の整理	先行研究との比較・分析	今井
13	考察の整理	先行研究との比較・分析	今井
14	考察の整理	先行研究との比較・分析	今井
15	考察の整理	先行研究との比較・分析	今井
16	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
17	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
18	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
19	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
20	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
21	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
22	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
23	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
24	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
25	卒業論文の作成	参考文献の検索	今井
26	研究発表用ポスターの作成		今井
27	研究発表用ポスターの作成		今井
28	研究発表用ポスターの作成		今井
29	研究発表用ポスターの作成		今井
30	研究発表用ポスターの作成		今井
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み，卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし，総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):松﨑				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　　当研究室では、以下の研究テーマに基づき研究を実施する。　①細胞生物学的手技に基づく、タンパク質修飾機構に対する検討　②医療機器の効果検証　③サプリメントの効果の検討　④最新の知見に基づく各種疾患の病態・検査・治療に対する検討

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松崎
2	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松崎
3	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松崎
4	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松崎
5	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
6	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
7	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
8	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
9	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
10	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
11	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑

12	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
13	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
14	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
15	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
16	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
17	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
18	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
19	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
20	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
21	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ正	松﨑
22	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
23	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
24	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
25	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
26	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	研究データのまとめ	松﨑
27	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	修正された実験計画書に基づく実験	松﨑
28	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	修正された実験計画書に基づく実験	松﨑
29	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	本実験に基づく実験結果のまとめ	松﨑
30	研究対象のパートにおける予備実験と研究　方法論の検討	本実験に基づく実験結果のまとめ	松﨑
成績評価方法と基準			割合
研究計画書の提出、中間発表会での発表を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):西浦				
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

卒業研究は、担当教員の指導を受けながら 4 年間に学んだ診療放射線技術学の総括することを目的とする。卒業研究Ⅰで設定した研究テーマに基づき調査･研究をより深化させるために卒業研究 Ⅰ で修得した研究方法等を活用しより研究に関する理解を深める。研究結果についてはこれまでの研究プロセス（文献調査、実験･計測、分析・解析、論文作成など）を基にアウトプットを作成し発表を行う。調査・研究結果をまとめ公表することで基礎的な研究能力のを養うとともに診療放射線技術学を総括する。　・研究指導教員の下で前年度に引き続き、卒業論文および研究研究発表会用資料を作成する。　・学習成果として、卒業論文および卒業研究発表会で報告する。　・当研究室は、主に乳腺領域に関する分野について多面的に活動を行う。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4．卒業論文の作成および要点を絞った研究発表が出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学生自身の主体的な研究活動を求める。　礼節を重んじる。

教科書

必要に応じて、参考文献、参考資料などを適宜配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 7　西浦研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証①	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	西浦
2	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証②	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	西浦
3	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証③	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	西浦
4	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証④	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	西浦
5	卒業研究Ⅰで実施した本実験の検証⑤	卒業研究Ⅰで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	西浦
6	追加実験およびデータ整理①	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	西浦
7	追加実験およびデータ整理②	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	西浦
8	追加実験およびデータ整理③	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	西浦
9	追加実験およびデータ整理④	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	西浦

10	追加実験およびデータ整理⑤	卒業研究Ⅰの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	西浦
11	実験結果のまとめ①	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	西浦
12	実験結果のまとめ②	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	西浦
13	実験結果のまとめ③	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	西浦
14	実験結果のまとめ④	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	西浦
15	実験結果のまとめ⑤	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	西浦
16	卒業論文の作成①	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
17	卒業論文の作成②	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
18	卒業論文の作成③	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
19	卒業論文の作成④	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
20	卒業論文の作成⑤	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	山口
21	卒業論文の作成⑥	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
22	卒業論文の作成⑦	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
23	卒業論文の作成⑧	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
24	卒業論文の作成⑨	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
25	卒業論文の作成⑩	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。	西浦
26	卒業研究発表会資料作成①	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	西浦
27	卒業研究発表会資料の作成②	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	西浦
28	卒業研究発表会資料の作成③	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	西浦
29	卒業研究発表会資料の作成④	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	西浦
30	卒業研究発表会資料の作成⑤	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	西浦
成績評価方法と基準			割合
① 決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み、卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし、総合的に判断する。 ② 4/5 以上の出席が必要。			①：100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):山本				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

指導教員の下で実験を行ってデータを収集し、データを解析することで質を評価し、卒業論文として成果をまとめる。学習成果として、卒業論文としてまとめ、成果発表会で報告する。　当研究室は、行動薬理学的研究アプローチを駆使して①病態モデル動物を開発して病気の原因を探り、治療薬の作用機構を解析する研究を行う。また、②放射線障害を含む様々な病態発症における情報伝達機構を解析する研究を行う。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。研究を行う上での倫理観（生命の尊さを考える、礼儀を重んじる、不正行為をしない）は必須とします。

教科書

必要に応じて、参考文献、参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 6　山本浩一研究室　　在室時には対応します。　不在も多いため、できる限りアポイントメントを取って下さい。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究のガイダンス（全体講義）	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	山本
2	研究計画書の再々考①	卒業研究Ⅰで実施した実験の結果に基づく研究計画書の最終版を構築する。	山本
3	研究計画書の再々考②	卒業研究Ⅰで実施した実験の結果に基づく研究計画書の最終版を構築する。	山本
4	研究計画書の再々考③	卒業研究Ⅰで実施した実験の結果に基づく研究計画書の最終版を構築する。	山本
5	本実験①	修正された実験計画書に基づく実験	山本
6	本実験②	修正された実験計画書に基づく実験	山本
7	本実験③	修正された実験計画書に基づく実験	山本
8	本実験④	修正された実験計画書に基づく実験	山本
9	本実験⑤	修正された実験計画書に基づく実験	山本
10	本実験⑥	修正された実験計画書に基づく実験	山本
11	本実験⑦	修正された実験計画書に基づく実験	山本

12	本実験⑧	修正された実験計画書に基づく実験	山本
13	データの解析と分析①	得られたデータを解析する。	山本
14	データの解析と分析②	得られたデータを解析する。	山本
15	データの解析と分析③	得られたデータを解析する。	山本
16	データの解析と分析④	得られたデータを解析する。	山本
17	データの解析と分析⑤	得られたデータを解析する。	山本
18	データの解析と分析⑥	得られたデータを解析する。	山本
19	データの解析と分析⑦	得られたデータを解析する。	山本
20	データの解析と分析⑧	得られたデータを解析する。	山本
21	データの解析と分析⑨	得られたデータを解析する。	山本
22	データの解析と分析⑩	得られたデータを解析する。	山本
23	卒業論文作成①	解析結果に基づき、論文を作成する。	山本
24	卒業論文作成②	解析結果に基づき、論文を作成する。	山本
25	卒業論文作成③	解析結果に基づき、論文を作成する。	山本
26	卒業論文作成④	解析結果に基づき、論文を作成する。	山本
27	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	山本
28	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	山本
29	成果発表①	成果発表時の質疑，意見を整理する．他者の研究についての意見を述べる．	山本
30	成果発表①	成果発表時の質疑，意見を整理する．他者の研究についての意見を述べる．	山本
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み，卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし，総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):奥村				
主担当教員	奥村 雅彦		担当教員	奥村 雅彦	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜5限)、後期(金曜3限)
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

業研究IIでは、卒業研究Ⅰに引き続き、バーチャル教育ソリューション「VERT」(外部照射装置システム)および治療計画装置(ECLIPSE)を用いて、臨床実習前の学内実習システムの具体的方法を構築するための研究を行う。VERTが保有する臨床・物理技術に関する各機能の操作と目的を理解し、各パートの使用方法を通して臨床実習における取り組み方ならびにバーチャルリアリィティーおける利点と問題点を明らかにしていく。

学修目標

1．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　2．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　3．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　4，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	本実験①	実験の結果に基づく検討	奥村
2	本実験②	実験の結果に基づく検討	奥村
3	本実験③	実験の結果に基づく検討	奥村
4	本実験④	実験の結果に基づく検討	奥村
5	本実験⑤	実験の結果に基づく検討	奥村
6	実験結果のまとめ①	本実験に基づく実験結果のまとめ	奥村
7	実験結果のまとめ②	本実験に基づく実験結果のまとめ	奥村
8	実験結果のまとめ③	本実験に基づく実験結果のまとめ	奥村
9	実験結果のまとめ④	本実験に基づく実験結果のまとめ	奥村
10	実験結果のまとめ⑤	本実験に基づく実験結果のまとめ	奥村
11	追試実験①	実験の結果に基づく再考	奥村
12	追試実験②	実験の結果に基づく再考	奥村
13	追試実験③	実験の結果に基づく再考	奥村

14	追試実験④	実験の結果に基づく再考	奥村
15	追試実験⑤	実験の結果に基づく再考	奥村
16	抄録の作成①	抄録執筆のための情報収集	奥村
17	抄録の作成②	抄録執筆のための情報収集	奥村
18	抄録の作成③	抄録執筆のための情報収集	奥村
19	抄録の作成④	抄録執筆のための情報収集	奥村
20	抄録の作成⑤	抄録執筆のための情報収集	奥村
21	卒業研究論文の作成①	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
22	卒業研究論文の作成②	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
23	卒業研究論文の作成③	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
24	卒業研究論文の作成④	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
25	卒業研究論文の作成⑤	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
26	卒業研究論文の完成①	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
27	卒業研究論文の完成②	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
28	卒業研究論文の完成③	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
29	卒業研究論文の完成④	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
30	卒業研究論文の完成⑤	卒業研究論文の作成のための情報収集	奥村
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文の提出およびと発表会での発表内容を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（放射線）:船橋				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室は以下の研究を行う。、①デジタル画像処理におけるフィルタ処理の研究。②被写体内散乱線についての研究。③一般撮影領域の被ばく線量の新しい算出法の研究。研究成果は学内発表するとともに、学会地方会などで発表する。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	年間行動予定の確認＆卒論の位置づけ。	船橋
2	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	文献を検索する	船橋
3	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	文献を検索する	船橋
4	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	文献を検索する	船橋
5	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
6	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
7	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
8	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
9	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
10	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験データをまとめる	船橋
11	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験データをまとめる	船橋

12	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
13	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
14	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
15	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	全体をまとめて検討する	船橋
16	個々の研究テーマに関する文献等を読み、研究を進める。	実験を行う	船橋
17	卒業論文・発表の構想を立てる	現状以外で必要なデータを検討する	船橋
18	卒業論文・発表の構想を立てる	現状以外で必要なデータを検討する	船橋
19	卒業論文・発表の構想を立てる	補足的実験が必要かどうかの判断	船橋
20	卒業論文・発表の構想を立てる	補足的実験が必要かどうかの判断	船橋
21	卒業論文・発表データを作成する	必要な実験を追加する	船橋
22	卒業論文・発表データを作成する	必要な実験を追加する	船橋
23	卒業論文・発表データを作成する	補足的実験や参考文献の追加が必要かどうかの判断	船橋
24	卒業論文・発表データを作成する	必要な実験を追加する	船橋
25	卒業論文・発表データを作成する	卒論・発表の資料を整理する	船橋
26	卒論・発表の資料を作成する	卒論・発表の資料を整理する	船橋
27	卒業論文・発表データを作成する	卒論・発表の資料を整理する	船橋
28	卒業論文・発表データをまとめる	データをまとめる	船橋
29	卒業論文・発表データを最終チェックする	全ての研究のまとめ	船橋
30	卒業論文・発表データをプレゼンテーションする。		船橋
成績評価方法と基準			割合
研究に取り組む姿勢、実験に対する貢献度、卒論発表会での発表とその内容を評価対象として、総合的に判断する。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):山口				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で卒業研究Ｉの研究を進め、卒業論文および研究研究発表会用プレゼンテーション資料を作成する。学習成果として、卒業論文および卒業研究発表会で報告する。　当研究室は､「病理解剖学に基づいた単純Ｘ線画像解析および撮影法の開発」「X 線 CT・MRI における非侵襲的生体イメージング法および解析法の開発と画像評価」を実施する。

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４．卒業論文の作成および要点を絞った研究発表が出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

必要に応じて、参考文献、参考資料などを配布する。

参考書

各自、研究に必要な図書や参考文献を探すこと。

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 2　山口研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証①	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	山口
2	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証②	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	山口
3	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証③	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	山口
4	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証④	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	山口
5	卒業研究Ｉで実施した本実験の検証⑤	卒業研究Ｉで実施した実験結果を検証し、追加実験の必要性を検討する。	山口
6	追加実験およびデータ整理①	卒業研究Ｉの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	山口
7	追加実験およびデータ整理②	卒業研究Ｉの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	山口
8	追加実験およびデータ整理③	卒業研究Ｉの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	山口
9	追加実験およびデータ整理④	卒業研究Ｉの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	山口
10	追加実験およびデータ整理⑤	卒業研究Ｉの実験で不足していた実験を実施し、データを整理する。	山口
11	実験結果のまとめ①	卒業研究Ｉおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	山口

12	実験結果のまとめ②	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	山口
13	実験結果のまとめ③	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	山口
14	実験結果のまとめ④	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	山口
15	実験結果のまとめ⑤	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱで得られた実験データを整理し、研究目的に沿って結果をまとめる。	山口
16	卒業論文の作成①	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
17	卒業論文の作成②	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
18	卒業論文の作成③	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
19	卒業論文の作成④	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
20	卒業論文の作成⑤	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
21	卒業論文の作成⑥	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
22	卒業論文の作成⑦	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
23	卒業論文の作成⑧	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
24	卒業論文の作成⑨	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
25	卒業論文の作成⑩	卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの結果に基づき、卒業論文を作成する。 結果→方法→緒言→考察の順番で記述し、IMRAD 形式で作成する。	山口
26	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成①	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	山口
27	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成②	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	山口
28	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成③	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	山口
29	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成④	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成	山口

		する。	
30	卒業研究発表会プレゼンテーション資料の作成⑤	卒業論文をもとに卒業研究発表会の発表要綱に従ってプレゼンテーション資料を作成する。	山口
成績評価方法と基準			割合
決められた日時内での卒業論文提出、卒業研究の取り組み，卒業論文の内容及び卒業研究発表などを評価対象とし，総合的に判断する。 4/5 以上の出席が必要。 ・卒業研究報告書および卒業研究発表会用プレゼンテーション資料は適宜、個別指導を行い、最終的には返却する。			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(放射線):小縣				
主担当教員	小縣　裕二		担当教員	小縣　裕二	
科目ナンバリング	SS20BRSC044	科目区分	研究分野	ディプロマポリシー該当項目	①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(火曜 5 限)、後期(金曜 3 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

研究指導教員の下で研究テーマを決め、先行研究レビュー及び研究計画書を作成する。　学習成果として、研究計画及び予備実験等の結果を中間発表会で報告する。　当研究室では、　①　診療放射線技術に関する研究　②　クルックス管から発生するＸ線の解析と測定法に関する研究　③　放射線イメージングカメラによるエネルギー分析に関する研究　④　国家試験に関する調査研究

学修目標

１．研究法及び研究倫理について理解することが出来る。(DP①④)　２．専門領域における資料及び文献収集などが出来る。(DP①④)　３．専門領域における実験または調査などの研究法を理解できる。(DP①④)　４，実健計画書の立案及びその実行性を伴うプレゼンテーションが出来る。(DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

指導教員との十分なディスカッションのもとに研究を進めていくこととともに、学生自身の主体的な研究活動を求める。

教科書

指定する教科書はない。

参考書

研究内容に関する資料等は随時提示する。

研究室／オフィスアワー

随時：事前にアポイントメントを取ること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマのデータ収集と整理①	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
2	研究テーマのデータ収集と整理②	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
3	研究テーマのデータ収集と整理③	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
4	研究テーマのデータ収集と整理④	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
5	研究テーマのデータ収集と整理⑤	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
6	研究テーマのデータ収集と整理⑥	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
7	研究テーマのデータ収集と整理⑦	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
8	研究テーマのデータ収集と整理⑧	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
9	研究テーマのデータ収集と整理⑨	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
10	研究テーマのデータ収集と整理⑩	個々の研究テーマに関するデータ収集・整理、文献収集を行う。	小縣
11	卒業論文の作成①	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣

12	卒業論文の作成②	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
13	卒業論文の作成③	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
14	卒業論文の作成④	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
15	卒業論文の作成⑤	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
16	卒業論文の作成⑥	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
17	卒業論文の作成⑦	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
18	卒業論文の作成⑧	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
19	卒業論文の作成⑨	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
20	卒業論文の作成⑩	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
21	卒業論文の作成⑪	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
22	卒業論文の作成⑫	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
23	卒業論文の作成⑬	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
24	卒業論文の作成⑭	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
25	卒業論文の作成⑮	個々の研究テーマに関する研究成果を卒業論文にまとめる。	小縣
26	卒業論文の校正①	卒業論文の推敲を行う。	小縣
27	卒業論文の校正②	卒業論文の推敲を行う。	小縣
28	卒業論文の校正③	卒業論文の推敲を行う。	小縣
29	卒業論文の校正④	卒業論文の推敲を行う。	小縣
30	卒業論文の校正⑤	卒業論文の推敲を行う。	小縣
成績評価方法と基準			割合
提出された卒業論文を評価対象とする。　4/5 以上の出席が必要			100%

授業科目名	臨床画像解析学（放射線）					
主担当教員	山口　功			担当教員	山口　功	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	後期		曜日･時限	火曜 3 限、火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

画像診断は現在の医療に不可欠のものであり、診療放射線技師に、正確かつ良質な医療画像を提供できる撮影技術が要求される。チーム医療の推進とともに、診療放射線技師の業務拡大が計られ、撮影技術に加えて画像解析、すなわち画像読影の能力が求められている。「臨床画像解析学」は、医師の要求に対し、適切かつ良質の画像を提供する知識と技術の修得を目標とする。画像処理・画像解析、画像診断に伴って必要な病態生理学、臨床解剖学を理解し、診療放射線業務を行う上で必要な画像診断における読影補助について学修する。

学修目標

①適切な診療画像を医師に提供するための診療放射線技師に要求される画像診断に必要な知識と専門技術を身につける。<DP①②> ②診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を構築する。<DP①②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。 2. X 線撮影技術、X 線 CT 検査、MRI 検査等の画像検査技術の基本的な知識は習得していることを前提に講義を進める。 3. 各自で下記の Web サイトにアクセスできる PC またはタブレットを準備し、持参する。 Web サイト：https://radiopaedia.org/?lang=us

教科書

「人体のメカニズムから学ぶ　画像診断技術学」メジカルビュー社　編集：森　墾、小倉　明夫　ISBN：978-4-7583-2020-7

参考書

「若葉マークの画像解剖学」メジカルビュー社　監修：松村　明、阿武　泉　ISBN：978-4-7583-1930-0

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階研究室 2　山口研究室　随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	総論（臨床画像解析学に必要な基礎知識）	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
2	骨・関節①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
3	骨・関節②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
4	頭部・頭頸部①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
5	頭部・頭頸部②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
6	脊椎・脊髄①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
7	脊椎・脊髄②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリ	山口

		ジナルテキストを作成する。(2 時間)	
8	2 回～7 回のまとめ　確認テスト①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
9	胸　部①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
10	胸　部②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
11	腹部・骨盤部①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
12	腹部・骨盤部②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
13	画像下治療（IVR）①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
14	画像下治療（IVR）②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
15	9 回～14 回のまとめ　確認テスト②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口
成績評価方法と基準			割合
1. 確認テスト<DP①>　2. 各回のレポート <DP①>　　・試験、課題に対するフィードバック方法　　定期試験は模範解答を公開し、希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			1. 50%　2. 50%

授業科目名	医療画像情報学（放射線 3 年）				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫／垣本　晃宏	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

現在の医療現場ではフィルムレスかつデジタルデータが主流であり、各 Modality で画像が生成された後に大量のデータが PACS にストレージされている。日々これらの医療画像情報を扱う診療放射線技師にとって、関連知識や取扱法の習得は必須である。本講義では、診療放射線技師にとって重要なポイントに焦点を当て、医療画像の構成・生成、保存・管理、ハードウェアやソフトウェア、ネットワークに関する基礎から応用までを講ずる。さらに、正確性の高い画像を提供するための画像評価項目、読影しやすい画像を生成するための解析処理法、サポートツールとしての診断支援法や AI 技術についても触れる。

学修目標

1.　医療画像情報学に関する基礎および専門知識を定着させる　2.　診療放射線技師国家試験の出題基準に該当する技術用語を網羅的に習得する　3.　医療画像を取扱う専門職として、実践的な技術力を身に付ける

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　初回の授業で講義の詳細、単位認定・評価の方法を説明する　2.　教科書をベースとし、必要に応じて参考書等で補足する

教科書

実践！医用画像情報学　基礎から実験・演習まで　監修：　福士政広　MEDICALVIEW　ISBN：978-4-7583-2021-4

参考書

参考書：　オーム社　よくわかる医用画像情報学　石田隆行　参考書：　オーム社　ディジタル X 線画像計測　石田隆行

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F　研究室 4　水曜日 13:00～15:00　masao_funahashi@morinomiya-u.ac.jp　さくら棟 5F　共同研究室　水曜日 13:00～14:30　akihiro_kakimoto@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、CR/FPD の構造と特性	予習：X 線撮影技術学全般　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋・垣本
2	画質因子と評価方法	予習：p175～180　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
3	入出力特性、解像特性	予習：p181～194　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
4	雑音特性、信号検出理論	予習：p195～208　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
5	ROC、DQE、NEQ	予習：p209～230　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
6	臨床で用いる画像処理　画質と被ばく線量･管理（EI）	予習：1～5 回講義　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
7	情報の表現、論理回路	予習：p1～22　キーワード・重要語句の確認	垣本
8	コンピュータと情報処理の基礎	予習：p23～66、83～88　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
9	画像形成	予習：p23～35、83～88　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本

10	空間周波数とフーリエ変換　（総説）	予習：p89～98　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
11	空間周波数とフーリエ変換　（二次元画像処理）	予習：p89～98　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
12	画像作成、階調処理	予習：p99～128　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
13	周波数処理	予習：p129～140　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
14	データ圧縮、画像間演算	予習：p141～152　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
15	三次元表示、CAD、AI	予習：p153～174　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験　出題範囲は国試基準に準ずる　100%　2.　合格点は 60 点以上　3.　2／3 以上の出席を必要とする			定期試験：100%

授業科目名	医療画像情報学実験（放射線）				
主担当教員	小縣　裕二		担当教員	小縣　裕二／髙木　聡志	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	実験	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療画像情報学実験は、アナログ画像およびディジタル画像の画像形成、画質評価、画像解析、画像伝送に関する実験を行うことで、臨床の現場で行われている画質評価法や画像情報の管理上で施される種々の画像処理の理論と手法などの理解を深めさせる。また、実験内容を報告書にまとめることで「画像工学」および「医療画像情報学」に関する必要な知識と専門技術を修得させ、診療放射線技術を実践する能力を高めることを目指す。

学修目標

「X線機器工学」の知識を基に画像を形成し、「画像工学」および「医療画像情報学」で学んだ画像処理を実践する能力を身に付けさせることを目標とする。〈DP①②④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1 全出席を原則とする。　2 実習時の服装はケーシー上下、白衣、白い靴とする。　3 レポートの提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

実習書を配布する

参考書

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階研究室／随時対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：「画像工学」および「医用画像情報学」について調べておく　復習：実験の内容を確認しておく	小縣・髙木
2	医用画像情報学実験①	予習：実験書をよく読み実験内容について調べておく　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	小縣・髙木
3	医用画像情報学実験②	予習：実験書をよく読み実験内容について調べておく　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	小縣・髙木
4	医用画像情報学実験③	予習：実験書をよく読み実験内容について調べておく　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	小縣・髙木
5	医用画像情報学実験④	予習：実験書をよく読み実験内容について調べておく　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	小縣・髙木
6			
7			
8			
9			

10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　評価項目：1. レポート、2. 筆記試験、3. 態度　本実験における成績不良者に対して行う「再試験」は筆記試験で評価する。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。			1. 30%　2. 30%　3. 40%

授業科目名	臨床画像学（放射線）					
主担当教員	今井 信也		担当教員	今井 信也		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜3限	
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修	

授業概要

画像診断を行う上で重要なCT・MRIに関する画像の成り立ちや全身の正常画像解剖について解説する。また、病態の異常画像に関する知識についても解説し、人体や生命活動のメカニズムの内容を習得する。さらに、医療現場における放射線機器等の取扱い、患者への対応及び検査に関わる説明、チーム医療及び他職種との連携、医療情報の取扱いについて実践的に教授する。また、抜針及び止血の手技、肛門へのカテーテル挿入からの造影剤及び空気注入の手技、併せて、放射線安全管理学と医療安全管理学で学んだ放射線防護、安全管理について実践的に学修し、病院等で臨床実習を行うのにふさわしい技能や医療者としての態度を身につけることを目指す。

学修目標

1. 各種画像の成り立ちについて理解する。 2. CT及びMRIの正常画像解剖について理解する。 3. 各臓器の病態と異常画像について理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業でシラバスの詳細を説明します。 私語は慎むこと。

教科書

人体のメカニズムから学ぶ画像診断技術学 森 墾, 小倉 明夫 編/メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-2020-7 若葉マークの画像解剖学 第3版 松村 明, 阿武 泉/メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-1930-0

参考書

診療放射線技師 画像診断マスター・ノート 土屋 一洋/メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-0657-7

研究室／オフィスアワー

初回授業で説明します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	頭部の正常画像解剖	予習：頭部の画像解剖について調べておく（2時間） 復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2時間）	今井
2	頭部の異常画像	予習：頭部の異常画像について調べておく（2時間） 復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2時間）	今井
3	頸部の正常画像解剖及び異常画像	予習：頸部の画像解剖について調べておく（2時間） 復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2時間）	今井
4	胸部及び心臓の正常画像解剖及び異常画像	予習：胸部及び心臓の画像解剖について調べておく（2時間） 復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2時間）	今井
5	腹部の正常画像解剖及び異常画像(消化管・肝臓・胆嚢)	予習：消化管・肝臓・胆嚢の画像解剖について調べておく（2時間） 復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2時間）	今井
6	腹部の正常画像解剖及び異常画像（副腎・腎臓・膵臓）	予習：副腎・腎臓・膵臓の画像解剖について調べておく（2時間） 復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2時間）	今井

7	骨盤部の正常画像解剖及び異常画像	予習：骨盤部の画像解剖について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
8	脊椎の正常画像解剖及び異常画像	予習：脊椎の画像解剖について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
9	血管の正常画像解剖及び異常画像	予習：血管の画像解剖について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
10	乳房の正常画像解剖及び異常画像	予習：乳房の画像解剖について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
11	運動器（関節）の正常画像解剖及び異常画像	予習：各関節の画像解剖について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
12	放射線機器等の取扱い	予習：CT・MRI・核医学の各装置の取り扱い方について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
13	静脈路確保・抜針及び止血の手技	予習：静脈路確保や抜針及び止血の手技について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
14	下部消化管検査の手技（カテーテル挿入・造影剤及び空気注入）	予習：下部消化管検査の手技について調べておく（2 時間）　復習：資料を中心に授業内容を振り返りノートにまとめる（2 時間）	今井
15	学修全体の総括	予習：全資料及びノートの内容を振り返っておく（2 時間）　復習：全資料及びノートの内容について知識を定着させる（2 時間）	今井
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験　2.　小テスト			1.　80%　2.　20%

授業科目名	哲学（放射線）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「人の生き方」や「世界の真理」に関する直球の（「あなたはこう生きなさい」とか「これが世界の真理です」といった）答えを求める人にはあまり受講をオススメできないことは先に申し上げておきたい。　また、数学の証明やある理論の歴史を解説していく場合のように、哲学上の問題を設定して議論を追いかけていくには出発点とその結末だけでなく、議論の過程が大事になってくる。講義内のトピックもそれぞれ関連しているため、あるトピックで出てきたキーワードが別のトピックで登場することもある。そのため毎回の授業に滞りなくついてくるためには最低限、これまでの話の流れを押さえるための復習が必要となることに留意されたい。　本講義の基本的な採点方法は第１回の授業で説明する。シラバスは講義の大まかな流れを示したものであ

り、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解度に応じて内容を一部変更したりするなど、多少の変更がありうることをご承知いただきたい。また、授業中、他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠、無許可での退室、遅刻、私語など）はしないこと。妨害行為が著しい場合は退室を命ずることがある。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	東洋史概説（放射線）				
主担当教員	重信　あゆみ		担当教員	重信　あゆみ	
科目ナンバリング	LA20012	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、人々の行動の積み重ねである歴史を公認心理師の観点から再検討する。そのうえで、現代社会における課題を歴史的事例を通して考えていく。

学修目標

1.多様性について理解し、事例を挙げながら説明することができる。　2.現代社会における課題（教育・福祉・医療・産業など）を取り上げ、歴史を通じて解決の糸口を考えることができる。　〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 配付された資料には必ず目を通すこと。　2. 出席は重視する。　3. 疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書

川口幸弘『文化人類学へようこそ。異文化のフィールドワークをするあなたへ』、昭和堂、2017 年。　福島哲夫、 尾久裕紀、山蔦圭輔　『公認心理師必携テキスト 改訂第 2 版』、学研メディカル秀潤社、2020 年。

研究室／オフィスアワー

授業後、非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1 現代社会と歴史　歴史は､人間の行動を記したものである。また、文字のない時代にも人間は生活を営み活動をしていた。今なぜ歴史を学ぶのかについて考え、今後の講義の概要を述べる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　半期でする時代の流れを復習すること。また、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
2	2．教育について①　アドラー心理学を取り上げ、古代中国のおける「礼」と比較し、現代社会での「礼」について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　アドラー心理学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
3	3.教育について②　発達障害について講義をする。そして、応用行動分析法を用いて、教育現場での事例を検討していく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　教育、保育現場の事例を検討し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
4	4．家族とは①　人間は、古代より集団で社会生活を営んできた。なぜ、集団で生活するのかについて､古代の人類を比較して考える。そのうえで、人間のライフサイクル理論を見ていく。	＜復習・課題 各 1 時間＞　ライフサイクル理論について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
5	5．家族とは②　「夫婦」や「家族」について考える。古代の家族形態である宗族を学び、現代社会における愛着形成の課題を取り上げる。	＜復習・課題 各 1 時間＞　愛着形成について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
6	6.宗教とは①　人間はときによりどころとして宗教を選択することがある。宗教とは何かを定義づける。そして、中国の宗教である道教の神である西王母を取り上げ､中国文化の基礎について考える。	＜復習・課題 各 1 時間＞　中国文化の基礎である道教について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
7	7.宗教とは②　送葬儀礼や死後の世界を考えることは、人間の一つの特徴である。それは、想像力の賜物であると同時に見えないものへの不安でもある。どのような世界を描いていたのかを図	＜復習・課題 各 1 時間＞　グリーフケアについて考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ

	像を通してみていく。そのうえで、グリーフケアについて考える。		
8	８．不老不死と安楽死　高齢化社会の中で、不老不死の研究もんでいる。この不老不死は、古代中国では願われていたことである。一方で、「安楽死」という問題も残っている。長寿社会において医療人はどのように寄りそっていくべきかを心理的ケアより見ていく。	＜復習・課題 各１時間＞　不老不死と安楽死、そして、心理的ケアについて復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
9	９．人間の本質とは①　「人間の本質とは？」は古来より考えられてきた課題である。本講義では、人間の本質を中国の戦国時代に生きた孟子の思想より考える。	＜復習・課題 各１時間＞　孟子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
10	10．人間の本質とは②　本講義では、中国の戦国時代末期に活動した荀子についてみていく。そして、荀子が唱えた「性悪説」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　荀子が考える人間の本質について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
11	11．健康について①　古代中国における予防医学について考える。古代中国においてすでに言われていた「未病」について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　予防医学について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
12	12．健康について②　食育について考える。「医食同源」といわれるように、食と健康とは切ってもきれないものである。幼児期の子どもたちにどのように食事の楽しさ、そして、大切さを伝えていくのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　食育について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
13	13．文化の伝播について①　古代中国の東西交流を見ていく。外来のものをどのように受容し、そして変容させたのか。それを踏まえて現代の地域における多様性について考える。	＜復習・課題 各１時間＞　東西交流の中でおきた受容と変容について復習し、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
14	14．文化の伝播について②　日本語の表記には、漢字、カタカナ、ひらがなの３種類があります。これらの文字は、漢字から生まれたものである。本講演では、東アジア世界の中の日本という視点から、３世紀末から８世紀にかけて、文字のない日本で漢字がどのように受容されたかを考察する。そして、現代の教育界で課題となっているLDの子どもにどのように対応するのかを考える。	＜復習・課題 各１時間＞　事例検討を行い、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
15	15．文化の伝播について③　東アジアの儒教「論語」 明治維新前の東アジアでは「論語」は常識であった。しかし、「論語読みの論語知らず」と言われるように、現在では『論語』の位置づけが変わってきている。なぜそのような言葉が生まれたのか。本講演では、東アジアにおける『論語』の位置づけを再確認し、今後の教育のあり方について受講生と一緒に考えてみたい。	＜復習・課題 各１時間＞　現代教育について考え、提出課題を行うこと。	重信　あゆみ
成績評価方法と基準			割合
①授業ごとの課題<DP③>　②小レポート課題<DP③>　③レポート課題<DP③>			①50%　②20% ③30%

授業科目名	英会話（放射線 B）				
主担当教員	Corinne Pitt		担当教員	Corinne Pitt	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC 総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②>： ②小テスト<DP②> ③確認テスト<DP②> 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	英会話（放射線 A）				
主担当教員	Corinne Pitt		担当教員	Corinne Pitt	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など)、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　：Challenger α1　著者名／Authors　：ECC 総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
6	Making an Appointment Making suggestions	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	担当教員

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Going to an Appointment Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe? Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves? Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②>： ②小テスト<DP②> ③確認テスト<DP②> 10 回以上の出席が必要。			①20% ②60% ③20%

授業科目名	医学英語（放射線）				
主担当教員	藤重　仁子		担当教員	藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20017	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため、臨床現場で患者の主訴等の発話を正確に理解したり、患者に正確な指示を伝えたりするために必要となる表現や語彙を習得する。また、医学関連の文献や論文、その他情報の収集方法と論文の構成を習得し、専門分野における最先端の研究情報を得るためのスキルを身につける。　将来医療従事者となる皆さんに、ぜひ受講をお勧めする。

学修目標

最低限患者とコミュニケーションがとれる。〈DP②〉　最低限の医学用語が理解できる。〈DP②〉　医学分野の英語の論文がどのような構成になっているのか理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　　宿題や予習（特にリーディング）は必ずしてから授業に臨むこと。　携帯電話の使用、私語は慎むこと。

教科書

実践看護英語（竹林修一、英宝社、2014）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Medical terminology / Getting to know the patients 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
2	Getting to know the patients 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
3	Getting to know the patients 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
4	Getting to know the patients 4	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
5	Examination 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾

		おくこと	
6	Examination 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
7	Instructing medication	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
8	Treating the patients 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
9	Treating the patients 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
10	Treating the patients 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
11	Operation / Pubmedについて、論文の構成について	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
12	Pregnancy / Articles on Radiological Sciences 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
13	In the hospital / Articles on Radiological Sciences 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
14	Emergencies / Articles on Radiological Sciences 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
15	Living a healthy life / Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	長尾
成績評価方法と基準			割合
小テスト〈DP②〉　プレゼンテーションおよびその他課題〈DP②〉　授業参加態度〈DP②〉　2/3 回以上の出席が必要。			30%　40% 30%

授業科目名	基礎英語演習（放射線）				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①確認テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（放射線）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉　TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita　/ 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Unit 9 Advertising	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Unit 10 Meetings	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	藤重

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Unit 11 Finance	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	接続詞（理由・譲歩・時）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Unit 12 Offices	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	前置詞・接続詞対比	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Unit 13 Daily Life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　③Review Test<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②20%　③40%

授業科目名	医療コミュニケーション（放射線）				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫／髙木　聡志	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療現場において、医療の専門性を発揮し、患者に適切な医療を行うためには患者とのコミュニケーションは欠かすことができない。また、他の 医療従事者と連携をして患者の治療にあたることが求められるが、コミュ ニケーションは連携のための重要な手段１つである。本講義では、患者や医療従事者とコミュニケーションをとるために必要な知識、技術を教授する。

学修目標

１．　人に共感し、人に物事を伝えるというコミュニケーションの基本を理解する。　２．　医療におけるコミュニケーションの特徴を理解する。　３．　放射線部門でのコミュニケーションのあり方を学ぶ。　４．　グループワークを通じてコミュニケーションを実践し、成果をプレゼンテーションし人に伝える。　〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

コミュニケーション能力は医療だけにかかわらず社会人として求められる基本能力であり、チーム医療の一員として貢献するための重要な要素であるため、真摯に取り組んでほしい。

教科書

1.　診療放射線技術上巻　小塚隆弘　南江堂　978-4-524-26324-0　　（購入済み）

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

さくら棟　5 階　　研究室 4　月～木曜日授業時間以外。金曜日研修日にて不在。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療コミュニケーションの概念	予習：医療コミュニケーションについて調べる。　復習：　講義の内容をまとめる	船橋
2	医療コミュニケーションの実際　グループワークによるコミュニケーションの実践。	予習：前回講義内容を確認する　復習：グループワークの内容をまとめる	船橋　高木
3	一般撮影領域（乳房検査含む）のコミュニケーション　CT,MRI 検査におけるコミュニケーション	予習：講義分野の内容を調べる　復習：講義の内容をまとめる	山口　西浦
4	造影検査､血管撮影領域におけるコミュニケーション、チームの中のコミュニケーション	予習：講義分野の内容を調べる　復習：講義の内容をまとめる	今井、星野
5	放射線治療におけるコミュニケーション　核医学検査におけるコミュニケーション	予習：講義分野の内容を調べる　復習：講義の内容をまとめる	奥村　渡邊
6	グループワーク	予習：これまでの講義内容を確認する　復習：グループワークの内容をまとめる	船橋　高木
7	グループワーク、発表用 PPT 作成	予習：これまでの講義内容を確認する　復習：グループワークの内容をまとめる	船橋　高木
8	グループワーク発表　総括	予習：発表の準備を行う　復習：医療コミュニケーションの講義全体についてまとめる	船橋　高木

成績評価方法と基準	割合
1. 平常評価 50%　講義前の予習、グループワーク中の態度、主体性、協調性、貢献度グループワーク発表内容を総合的に評価判断する。　2. レポート評価および 50%　考察を重視する　全て出席することを原則とする	1.50% 2.50%

授業科目名	チーム医療論（放射線）				
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子／増山　祥子／国宗　翔／外村　昌子／市後　昌代／水本　英佑／前川　佳敬／松尾　明彦／藤江　建朗／大久保　さやか／中西　一／由利　禄巳／大橋　明日香／上田　淳平／髙木　聡志／五十嵐　淳介／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは，「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と診療放射線技師がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

資料を配布する

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
2	医療系専門職種の介入｜1【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を	授業内にて案内

		理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	
3	医療系専門職種の介入｜２【診療放射線技師】	予習：診療放射線技師の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分) 復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
4	医療系専門職種の介入｜３【臨床検査技師】	予習：本学臨床検査学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床検査技師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床検査技師の職能や役割を理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜４【臨床工学技士】	予習：本学臨床工学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床工学技士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床工学技士の職能や役割を理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜５【理学療法士】	予習：本学理学療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で理学療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：理学療法士の職能や役割を理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜６【作業療法士】	予習：本学作業療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で作業療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：作業療法士の職能や役割を理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の理解｜７【言語聴覚士】	予習：本学言語聴覚学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で言語聴覚士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：言語聴覚士の職能や役割を理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜８【鍼灸師】	予習：本学鍼灸学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で鍼灸師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：鍼灸師の職能や役割を理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の介入｜９【看護師】	予習：本学看護学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で看護師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：看護師の職能や役割を理解し，診療放射線技師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での診療放射線技師の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	科目担当者 ゲスト

12	症例検討｜１	予習：診療放射線技師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での診療放射線技師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
13	症例検討｜２	予習：診療放射線技師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での診療放射線技師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
14	症例検討｜3	予習：診療放射線技師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での診療放射線技師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
15	授業全体のまとめ	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習：チーム医療での診療放射線技師の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	授業内にて案内
成績評価方法と基準			割合
①①「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(他職種)についての報告　②「チーム医療での医療系専門職種による介入の実際と理解」(自職種)についての報告　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①と②で100%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（放射線）				
主担当教員	伊黒 浩二		担当教員	伊黒 浩二	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、健康や疾病予防に関する基礎的な知識と健康管理に関する方法を学修する。また、運動不足の健康への影響を学び、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない ②喋らない ③内職しない ④スマホを触らない 以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

学生のための健康管理学（改訂 3 版） 山野美容芸術短期大学 教授・副学長 木村康一 著 山野美容芸術短期大学 教授 永松俊哉 著 ISBN 978-4-525-62053-0

参考書

健康・スポーツ科学の基礎（出村慎一監修・杏林書院） 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学（北川薫編集・文光堂） 特定健診・保健指導に役立つ 健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂）、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	予習：シラバス・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
2	健康の指標と現状（なぜ健康が重要なのか？）	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
3	生活習慣と健康について１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
4	生活習慣と健康について２	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
5	生活習慣と健康について３	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
6	生活習慣と健康について４	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
7	生活習慣と健康について５	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
8	生活習慣と健康について６	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
9	疾病の予防１	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二
10	疾病の予防２	予習:シラバスの確認 復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒 浩二

11	疾病の予防３	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
12	健康のための運動１	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
13	健康のための運動２，健康管理の考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
14	総合復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
15	期末試験	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　・全授業のうち 2/3 以上の出席が必要　〈DP③④〉			①70%　②30%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（放射線）				
主担当教員	伊黒　浩二		担当教員	伊黒　浩二	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。 〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①寝ない　②喋らない　③内職しない　④スマホを触らない　以上のルールを守って熱心に学習して下さい。

教科書

特にありません

参考書

学生のための健康管理学（木村康一，永松俊哉・南山堂）　健康・スポーツ科学の基礎（出村愼一監修・杏林書院）　健康・スポーツ科学テキスト　トレーニング科学（北川薫編集・文光堂）　特定健診・保健指導に役立つ　健康運動指導マニュアル（佐藤祐造編集・文光堂)、他

研究室／オフィスアワー

授業開始前は非常勤講師室にいます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康について	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
2	健康の現状	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
3	中高年者の身体的特徴と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
4	骨粗鬆症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
5	変形性関節症と運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
6	生活習慣病と運動１　メタボリックシンドローム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
7	生活習慣病と運動２　高血圧症	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
8	生活習慣病と運動３　糖尿病	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
9	生活習慣病と運動４　高脂血症	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二

10	生活習慣病と運動５　虚血性心疾患	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
11	運動（エクササイズ）の基本と考え方	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
12	筋力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
13	全身持久力と筋持久力エクササイズの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
14	ウォーミングアップとクーリングダウンの基本と方法	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
15	講義全体のまとめ	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	伊黒　浩二
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②授業毎の小テスト・課題提出　〈DP③④〉　授業の 2/3 回以上の出席が必要			①70%　②30%

授業科目名	栄養学（放射線）				
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀	
科目ナンバリング	CS20010	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

栄養素の種類や働きを学び、消化吸収と代謝経路およびその調節系を理解する。

学修目標

1）三大栄養素（糖・脂質・タンパク質）の消化吸収・代謝の基礎を説明できる。〈DP③〉　2）食事摂取基準および身体活動に応じた消費エネルギー算出の理論を説明できる。〈DP③〉　3）ビタミンの作用と欠乏症について説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を中心に講義を行いますが、板書内容や配布資料も参考にして理解を深めてください。

教科書

『イラスト基礎栄養学』大口健司　他著/東京教学社

参考書

系統看護学講座　栄養学　人体の構造と機能 ③

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	栄養の概念	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
2	食物の摂取	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
3	炭水化物の栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
4	炭水化物の栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
5	タンパク質の栄養	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
6	脂質の栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
7	脂質の栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行う	森

		こと。	
8	エネルギー代謝・カロリー計算	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
9	消化・吸収と栄養素の体内動態①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
10	消化・吸収と栄養素の体内動態②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
11	ビタミンの栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
12	ビタミンの栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
13	ミネラルの栄養①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
14	ミネラルの栄養②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も併せて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	森
成績評価方法と基準			割合
1. 授業内レポート＜DP③＞　2. 筆記試験〈DP③〉　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。			1. 10%　2. 90%

授業科目名	身体運動科学（放射線）				
主担当教員	杉本　圭		担当教員	杉本　圭	
科目ナンバリング	CS20011	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

運動・身体活動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズム、適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法および運動療法の実施について学修する。

学修目標

１．運動が身体にもたらす生理学的な反応やメカニズムについて理解し、具体的に述べることができる。【DP③】　２．適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に実施する方法について理解し、具体的に述べることができる。【DP③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．シラバスに明記されている予習復習を必ず行うこと。　２．授業が実技形式の場合には、ジャージ上下、および本学指定の上履きを着用して参加すること。　３．運動・身体活動に関わる学問であり、解剖学・生理学・運動学の復習が必要です。　４．質問等があれば、授業後に直接研究室に来る、もしくは MORIPA クラスプロファイル「Q&A」から連絡ください。

教科書

資料を配布する

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

杉本　圭： E 棟 4 階研究室／水曜日 4 限目以降（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	なぜ、運動が必要なのか？　-運動を無理なく続けられる秘訣を探ってみよう！-	予習：身体にとって運動が必要な理由について考えておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が必要な理由について理解する。(2 時間)	杉本
2	筋肉はどのように収縮するのか？　-運動で用いられる骨格筋について学ぼう！-	予習：骨格筋の構造と収縮の仕組みについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動が骨格筋に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
3	セルフチェック①　-まずは自分の身体に目を向けてみよう！-	予習：身体組成に関わる評価方法について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、評価結果と効果的な運動療法の実践について理解する。(2 時間)	杉本
4	運動時の生理機能は？　-運動による身体の反応について学ぼう！-	予習：運動時の生理機能について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の生理機能について理解する。(2 時間)	杉本
5	疾病の予防と治療のための栄養・運動　-生活習慣病予防に必要な取り組み方を学ぼう！-	予習：生活習慣病とは何か調べておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、生活習慣病の予防と治療のための栄養管理と運動療法について理解する。(2 時間)	杉本
6	ストレッチングの基礎と実際　-使えていない関節を探してみよう！-	予習：ストレッチングの種類、生理学について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、ストレッチングが運動に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本

7	有酸素運動の基礎と実際　-効率の良い走り方とは？-	予習：有酸素運動はどのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、有酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
8	無酸素運動の基礎と実際　-筋肉量が増えるのは良いことか？-	予習：無酸素運動は、どのような運動が当てはまるのかを確認しておく。(2 時間) 復習：授業内容をまとめ、無酸素運動が身体に及ぼす影響について理解する。(2 時間)	杉本
9	運動と環境　-運動すると体温はどうなる？-	予習：熱中症の病態について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動時の熱中症の予防および治療方法について理解する。(2 時間)	杉本
10	運動と栄養・食生活　- 青年・中年期の生活習慣を見直そう -	予習：栄養素の役割および食事バランスガイドを確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、日常の食事と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
11	運動と疲労　-運動して疲れた身体を超回復！-	予習：運動における疲労について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動と疲労の関係について理解する。(2 時間)	杉本
12	エイジング（加齢、老化）と運動　-歳を重ねると身体はどうなる？-	予習：加齢によって起こる身体の変化について確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、老化と運動の関係について理解する。(2 時間)	杉本
13	運動と心の健康：メンタルヘルス　-運動の精神機能への影響は？-　セルフチェック②　-継続は力なり。身体は変化する！-	予習：メンタルヘルスについて確認しておく。(2 時間)　復習：授業内容をまとめ、運動習慣定着のための介入方法を理解する。(2 時間)	杉本
14	運動と医療　-運動と医療の関わりについて考えてみよう！-	予習：運動が身体に及ぼす影響について確認しておく．(2 時間)　復習：授業内容をまとめ，運動と医療の関係性について理解する．(2 時間)	杉本
15	講義全体のまとめ	予習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)　復習：講義全体を復習しておくこと。(2 時間)	杉本
成績評価方法と基準			割合
１．筆記試験【DP③】　２．毎回の授業後に課すレポート課題【DP③】　＊試験・課題に対して，必要に応じて随時解説を実施する。			１．60%　２．40%

授業科目名	看護学概論（放射線）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング	SB20BRSB017	科目区分	専門分野Ⅰ	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	選択

授業概要

看護とは？　この講義は、この問いに対する解を探求するものであり、以下の観点から、看護専門職による実践の根源である看護学の全体像を概観する。　・ヒューマン・ケアリングと看護倫理を基盤とした看護の原点を学ぶ。　・看護実践における対象論・目的論・方法論の概要を学ぶ。　・人間科学としての看護学の視座をふまえて，人間を多面的・統合的・全体的存在として捉える看護の人間観を育む。　・人間科学としての看護学の視座をふまえて，環境との相互作用の中で営まれる人間の健康生活をとらえる看護の健康観を育む。　・豊かな看護実践を支える看護学の知識体系とその構築の重要性を学ぶ。　・人々の健康ニーズを充足する保健医療福祉教育システム構築における看護専門職の機能と役割を展望する。

学修目標

1.看護職に期待される役割と機能、看護専門職育成の現状と課題について説明できる。DP①
2.近代看護の成り立ちにおけるナイチンゲールの業績について説明できる。DP①
3.看護の対象、目的、方法をふまえた看護の定義、及び、看護の構成要素を説明できる。DP①
4.看護の対象である人間の特質を、成長・発達、ライフサイクルの側面から説明できる。DP①③
5.看護の対象である人間の特質を、ニードの充足、自律性の側面から説明できる。DP①③
6.看護の対象である人間の特質を、環境との相互作用、適応の側面から説明できる。DP①③
7.人間科学としての看護の視座、及び、看護実践過程の構造について説明できる。DP①③
8.看護実践の源泉としてのヒューマン・ケアリング、及び、専門職としての実践における責務について説明できる。DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

主体性的に取り組んで下さい。　予習・復習・課題は一定の時間をかけて果たし、ノート・PC等にまとめておくこと。学修習慣を深めて下さい。　配布された資料はよく読み、整理しておくこと。　身近な経験を通して看護を考え、考えたことはクラスメート等と語って下さい。　疑問点は大切にし、解決のためによく調べて下さい。　クラスメートとよく話し、よく聞き、コミュニケーション力を高めること。

教科書

茂野香おる他著/系統看護学講座　専門分野１　［基礎看護学１］　看護学概論　　医学書院

参考書

1.フローレンス・ナイチンゲール/薄井坦子他訳:『看護覚え書』、現代社、2016　2.ミルトン・メイヤロフ『ケアの本質生きることの意味』ゆるみ出版 、1993　3.高橋みや子監修『日本の看護120年―歴史を作るあなたへ』日本看護協会出版会　4.「看護法令要覧」　日本看護協会出版会、2018　5.E・H・エリクソン/村瀬孝雄他訳『ライフサイクル、その完結』みすず書房　6.中野明『マズロー心理学入門―人間性心理学の源流を求めて』アルテ　7.サラ T.フライ/片田範子他訳『看護実践の倫理（第3版）倫理的意思決

研究室／オフィスアワー

研究室：西棟2階240　/　オフィスアワー：時間を調整するのでメールでアポを取ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教科目ガイダンス　現代の看護,専門職としての看護職に期待される役割と責務､専門職としての看護職の育成	予習：看護職（保健師・助産師・看護師）の活動内容について調べまとめる。→授業の際に発表・質問できるように準備してお	内田宏美

		く。　復習：学修した内容を、ノートやPCに記述し、知識を活用できるよう整理しておく。	
2	看護の起源と看護学､ナイチンゲールの業績と近代看護の成り立ち、看護の定義	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、予習ノートやPCに加筆し、知識を活用できるよう整理しておく。	内田宏美
3	看護の構成要素、人間－健康－看護：成長・発達する人間	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、予習ノートやPCに加筆し、知識を活用できるよう整理しておく。	内田宏美
4	人間－健康－看護：ニードを充足する人間	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、予習ノートやPCに加筆し、知識を活用できるよう整理しておく。	内田宏美
5	人間－健康－看護：環境との相互作用、文化と役割	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、予習ノートやPCに加筆し、知識を活用できるよう整理しておく。	内田宏美
6	人間－健康－看護：適応する人間	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、予習ノートやPCに加筆し、知識を活用できるよう整理しておく。	内田宏美
7	人間科学としての看護学の実践プロセス	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、予習ノートやPCに加筆し、知識を活用できるよう整理しておく。	内田宏美
8	看護実践における倫理と看護職の責務､看護実践の源泉としてのヒューマンケアリング	予習：授業内容について、テキストの該当箇所をよく読み、余裕があれば参考図書にも目を通しておく。⇒授業で確認できるように、重要な語句や内容についてノートやPCにピックアップしておく。　復習：学修した内容を、予習ノートやPCに加筆し、知識を活用できるよう整理しておく。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
１．平常評価（毎回の学びのレアクションペーパー）＜DP①③＞　２．筆記試験による評価＜DP①③＞ ※記述試験（出題範囲）：授業で扱った内容			１．平常点50%　２．筆記試験50%

授業科目名	専門基礎科目実験（放射線）				
主担当教員	山本 浩一		担当教員	山本 浩一／垣本 晃宏／大橋 明日香／星野 貴志／髙木 聡志／大鷹 豊	
科目ナンバリング	SB20BRSB033	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限、火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	実験	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

専門基礎科目に該当する「人体の構造・機能」「医用工学」「情報処理工学」「放射化学」「放射線物理学」「放射線計測学」「放射線生物学」の各講義で学んだ内容について学習実験を通して基礎知識や技能をより深めていくこと目的とする。また、実験の基礎であるデータの取り扱い方や処理方法について学び、レポートの作成手順を習得する。

学修目標

・実験を通して探求心を養うとともに、専門基礎科目の知識や技術を説明し、実践できる。(DP ①)　・チームの一員としての協調性、リーダーシップ、コミュニケーション能力、ディスカッション能力、問題解決能力を養うことが出来る。(DP④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

履修上の注意（学生へのメッセージ）　1　全出席を原則とする。　2　実習時の服装はケーシー上下、白衣、白い靴とする。　3　レポートの提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

実習書を配布する。　マルマン スケッチブック B4(352X251mm) S120

参考書

各科目の教科書を参考する。

研究室／オフィスアワー

オリエンテーションにて通知する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション①	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとに実験内容を確認する	全担当教員
2	オリエンテーション②	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：テーマごとに実験内容を確認する	全担当教員
3	データ処理	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	全担当教員
4	レポートの書き方	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	全担当教員
5	放射化学実験①	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成する	垣本
6	放射化学実験②	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成する	垣本
7	医用工学実験①	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成する	髙木
8	医用工学実験②	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成する	髙木
9	放射線物理学実験①	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成	山本

		する	
10	放射線生物学・遺伝子工学実験	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成する	山本
11	放射線物理学実験②	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成する	星野・大鷹
12	放射線物理学実験③	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実験内容の確認及びレポートを作成する	大鷹
13	解剖学実習（骨格器）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習内容の確認及びレポートを作成する	大橋
14	解剖学実習（循環器）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習内容の確認及びレポートを作成する	大橋
15	各実習のまとめ	予習：すべての実験について整理する　復習：テーマごとのレポートを再修正する	全担当教員
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　評価項目：　1. レポート、　2. 筆記試験、　3. 態度　本実験における成績不良者に対して行う「再試験」は筆記試験で評価する。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。			1. 30%　2. 30%　3. 40%

授業科目名	X線撮影技術学Ⅰ（放射線）					
主担当教員	船橋　正夫		担当教員		船橋　正夫／大橋　明日香	
科目ナンバリング	SS20BRSB002	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

本科目では診療放射線技師の基礎となるＸ線単純撮影技術を通して、Ｘ線画像の成り立ちや撮影法の成り立ち、およびＸ線撮影装置の使用法を学び、画像読影のポイントや解剖学的知識を習得する。診療放射線技師として適切なＸ線画像を医師に提供するためのＸ線撮影技術について、具体的には頭部、胸郭、脊柱、上肢、下肢などの骨撮影および胸・腹部を中心とするＸ線単純撮影法を概説する。患者の視点に立って医療における撮影技術学を理解する授業である。　　＊実務経験を有する教員が授業を行う。

学修目標

1.　Ｘ線画像の成り立ちや撮影法の成り立ちを理解し、Ｘ線撮影の意義を述べることができる。　2.　人体の各部位ごとの撮影技術を習得し、患者やスタッフに説明することができる。　3.　疾患と画像の関係を理解し、患者の状況を把握し対応を考えることができる。　〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

診療放射線技師としての素養の基礎となる科目なので、確実に理解し、応用できる撮影技術を身に着けてほしい。

教科書

X 線撮影技術学　小田敍弘　オーム社　978-4-274-22598-7

参考書

診療放射線技術上巻　小塚隆弘　南江堂　978-4-524-26324-0　（購入済み）

研究室／オフィスアワー

さくら棟　5 階　　研究室 4　月～木曜日授業時間以外。金曜日不在。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	X 線撮影技術学概論　X 線画像基本知識	予習：教科書（p24－41）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p24－41）の確認	船橋
2	撮影基礎・基準面・体表解剖	予習：教科書（p24－41）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p24－41）の確認	船橋
3	一般撮影　胸部撮影	予習：教科書（p70－88）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p70－88）の確認	船橋
4	一般撮影　胸郭	予習：教科書（p91－97）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p91－97）の確認	船橋
5	一般撮影　腹部・骨盤	予習：教科書（p98－105）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p98－105）の確認	船橋
6	.一般撮影　頭部Ⅰ,グループワーク	予習：教科書（p44－48）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p44－48）の確認	船橋
7	一般撮影　頭部Ⅱ	予習：教科書（p52－59）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p52－67）の確認	船橋

8	一般撮影　脊椎Ⅰ	予習：教科書（p164－182）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p164－182）の確認	船橋
9	一般撮影　脊椎Ⅱ	予習：教科書（p183－204）の確認　復習：授業をもとに配布資料･教科書(p183－204)の確認	船橋
10	一般撮影　上肢Ⅰ	予習：教科書（p206－226）の確認　復習：授業をもとに配布資料･教科書(p206－226)の確認	船橋　大橋
11	一般撮影　上肢Ⅱ	予習：教科書（p227－257）の確認　復習：授業をもとに配布資料･教科書(p227－257)の確認	船橋　大橋
12	一般撮影　股関節・下肢Ⅰ	予習：教科書（p260－283）の確認　復習：授業をもとに配布資料･教科書(p206－283)の確認	船橋　大橋
13	一般撮影　下肢Ⅱ	予習：教科書（p284－310）の確認　復習：授業をもとに配布資料･教科書(p284－310)の確認	船橋　大橋
14	一般撮影　乳腺　歯科パノラマ	予習：教科書（p110－124,p60-67）の確認　復習：授業をもとに配布資料･教科書(p110－124,p60-67）の確認	船橋
15	一般撮影　小児　病室撮影、術中撮影、Exposure Index　撮影技術Ⅰ全体のまとめ	予習：教科書（p88, p158-161）の確認　復習：授業をもとに配布資料・教科書（p88, p158-161）の確認	船橋
成績評価方法と基準			割合
1.　平常評価 20% 講義の出席、講義前の予習、講義中の態度を評価する。グループワーク中の態度、主体性、協調性、貢献度を評価する。講義と関連する学会・講演会・研修会への出席とレポートを評価する。　2.　定期試験評価 80%　2/3 以上出席することを原則とする　〈DP①②〉			1.20% 2.80%

授業科目名	X線撮影技術学Ⅱ（放射線）					
主担当教員	船橋　正夫			担当教員	船橋　正夫／大橋　明日香	
科目ナンバリング	SS20BRSB003	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修・選択	必修

授業概要

Ｘ線撮影技術学Ⅱは、Ｘ線による画像検査法や造影検査法および検査装置の操作法を学び、診療放射線技師として適切なＸ線画像を医師に提供するためのＸ線撮影技術を教授する。Ｘ線 TV、血管造影、IVR,Ｘ線断層撮影、トモシンセシスなど特殊撮影法について概説する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

それぞれの検査の特徴、 検査目的、画像形成理論、撮影方法、画像解剖、写真の見方、被曝の低減と防護など画像検査技術に関する専門知識を身に付け、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

一般撮影検査と異なり、造影剤などの薬剤を使用し、カテーテルなどの機材を使用しながら検査がすすめられ、医師、看護師。臨床工学技士などとチームを組んで患者に取り組むことが多い検査や治療である。検査や病態を理解しながら、チーム医療の実践について考える機会としてほしい。

教科書

診療放射線技術 上下巻

参考書

「基礎からわかる！実践できる　造影検査学」　監修　神島　保　　著者　杉森　博之　メジカルビュー社

研究室／オフィスアワー

さくら棟　5 階　　研究室 4　月～木曜日　授業時間以外。金曜日研修日にて不在。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	X 線 TV 検査①上部消化管撮影	予習：教科書（p226－233）の確認　復習：授業をもとに教科書（p226－233）の確認	船橋
2	X 線 TV 検査②上部/下部消化管撮影	予習：教科書(p226－235)の確認　復習：授業をもとに教科書（p226－235）の確認	船橋
3	X 線 TV 検査②下部消化管撮影	予習：教科書(p233－235)の確認　復習：授業をもとに教科書（pp233－235）の確認	船橋
4	X 線 TV 検査③肝胆膵の造影検査	予習：教科書(p235－236, ｐ241-242)の確認　復習：授業をもとに教科書（p235－236, ｐ241-242)の確認	船橋
5	血管撮影①頭部系 IVR 含む　（血管撮影法の基礎、清潔と不潔の概念）	予習：教科書(p242－246、ｐ257-258)の確認　復習：授業をもとに教科書(p242－246、ｐ257-258)の確認	船橋　大橋
6	血管撮影①頭部系②IVR 含む	予習：教科書(p242－246、ｐ257-258)の確認　復習：授業をもとに教科書(p242－246、ｐ257-258)の確	船橋　大橋
7	血管撮影②心臓・循環器系①IVR 含む	予習：教科書(p249－255、ｐ261-267)の確認　復習：授業をもとに教科書(p249－255、ｐ261-267)の確認	船橋
8	血管撮影②心臓・循環器系②IVR 含む	予習：教科書(p249－255、ｐ261-267)の確認　復習：授業をもとに教科書(p249－255、ｐ261-267)の確認	船橋
9	血管撮影②心臓・循環器系③IVR 含む	予習:教科書(p249－255、ｐ261-267)の確認　復習：授業をもとに教科書(p249－255、ｐ261-267)の確認	船橋

10	血管撮影③腹部系 IVR 含む	予習:教科書(p242－249、p259-261)の確認 復習：授業をもとに教科書(p242－249、p259-261)の確認	船橋
11	血管撮影大動脈・泌尿器・婦人科	予習:教科書(p242－249、p259-262)の確認 復習：授業をもとに教科書(p242－249、p259-262)の確認	船橋
12	その他の血管 IVR 含む	予習：教科書(p257－267)の確認　復習：授業をもとに教科書(p257－267)の確認	船橋
13	非血管性病変の検査	予習:教科書(p235-242, p257－267)の確認 復習：授業をもとに教科書(p235-242, p257－267)の確認	船橋
14	骨密度とトモシンセシス	予習：教科書(p95-96、p147-148, p272, p351-362)の確認　復習：授業をもとに教科書(p95-96、p147-148, p272, p351-362)の確認	船橋　大橋
15	講義全体のまとめ　（被ばく線量への理解）	予習：特になし　復習：特になし	船橋
成績評価方法と基準			割合
1.　平常評価 20% 講義の出席、学修に関連する学会、講演会、研究会等への参加、レポート等を評価する　2.　定期試験評価 80%　　全て出席することを原則とする			1.20% 2.80%

授業科目名	X線機器工学（放射線）					
主担当教員	星野　貴志		担当教員	星野　貴志		
科目ナンバリング	SS20BRSB004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

診療放射線技師として安全に X 線を制御し、放射線医学に貢献するためには、X 線発生装置に関する機器の知識を身につける必要がある。本講義では主に診断用 X 線装置の主要構成要素である X 線発生装置に関して、診療放射線技術に必要な専門知識を身につけることを目的とする。

学修目標

1．　X 線の発生に関する基本的な知識を習得している。<DP①>　2．　X 線管、高電圧装置、制御装置などの構造および動作原理について学修している。<DP①>　3．　X 線発生装置の特性について十分に理解している。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

『改訂新版 放射線機器学（I)』(青柳泰司他,コロナ社) ISBN：9784339072419

参考書

『医用放射線辞典 第 5 版』(医用放射線辞典編集委員会編,共立出版) ISBN:978432006175（1 年次購入済み）

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 1 随時対応可能（在室時）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　X 線機器工学総論	予習：画像検査に用いられる医療機器の種類と概要を調べる。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
2	X 線発生装置の基本構成　①　X 線管の構造と機能	予習：キーワード「X 線管」「フィラメント」「陽極・陰極」を中心に X 線管装置の構造を教科書・参考書などで調べる。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
3	X 線発生装置の基本構成　②　X 線管の性能と特性	予習：キーワード「焦点外 X 線」「ヒール効果」「空間電荷制限領域」を中心に X 線管装置の性能と特性について教科書・参考書などで調べる。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
4	X 線発生装置の基本構成 ③　X 線可動絞り、X 線装置の総ろ過、特殊 X 線管	予習：キーワード「照射野」「固有ろ過と付加ろ過」「付加フィルタ」を中心に X 線可動絞り、X 線装置の総ろ過について教科書・参考書などで調べる。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
5	X 線高電圧装置 ①　X 線制御装置､高電圧発生装置、変圧器式・定電圧式 X 線高電圧発生装置	予習：キーワード「制御回路」「高電圧変圧器」「整流器」「リプル百分率」を中心に X 線制御装置、高電圧発生装置について教科書・参考書などで調べる。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野

6	X 線高電圧装置 ② コンデンサ式 X 線高電圧発生装置	予習：キーワード「グライナッヘル回路」「コッククロフト回路」「波尾切断」を中心にコンデンサ式 X 線高電圧発生装置について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
7	X 線高電圧装置 ② インバータ式 X 線高電圧発生装置	予習：キーワード「インバータユニット」「直流電圧可変回路」「チョッパ回路」「デューティ比」を中心にインバータ式 X 線高電圧発生装置について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
8	X 線高電圧装置 ③ X 線高電圧ケーブル、自動露出制御機構、許容負荷	予習：キーワード「フォトタイマ」「フィードバック制御」「動作特性」「許容負荷」を中心に自動露出制御機構について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
9	X 線機械装置 X 線映像装置 X 線テレビ装置、I.I.、CCD カメラ	予習：キーワード「イメージインテンシファイア」「変換係数」「コントラスト比」「CCD」を中心に X 線映像装置について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
10	X 線画像処理装置 DR・DF 装置、CR 装置、FPD 装置	予習：キーワード「輝尽性蛍光体」「薄層トランジスタ」「間接変換方式」「直接変換方式」を中心に X 線画像処理装置について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
11	関連・付属機器 散乱線除去グリッド、画像表示モニタ	予習：キーワード「散乱 X 線」「グリッド比」「グリッド密度」「GSDF」を中心に関連・付属機器について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
12	X 線装置システム ① 一般 X 線撮影装置、乳房用 X 線装置、トモシンセシス	予習：キーワード「管電圧」「管電流」「自動露出制御」「トモシンセシス」を中心に一般 X 線撮影装置、乳房用 X 線装置について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
13	X 線装置システム ② X 線透視撮影装置、循環器用 X 線装置	予習：キーワード「フレームレート」「DSA」「バイプレーン装置」「コーンビーム CT」を中心に X 線透視撮影装置、循環器用 X 線装置について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
14	X 線装置システム ③ 移動形 X 線撮影装置、骨密度測定装置、歯科用 X 線装置	予習：キーワード「移動形 X 線撮影装置」「骨密度」「DXA 法」「パノラマ X 線撮影装置」を中心に移動形 X 線撮影装置、骨密度測定装置、歯科用 X 線装置について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
15	品質・安全管理 受入と保守、管理体制と対策、関係法規、関連規格	予習：キーワード「受入試験」「不変性試験」「JIS 規格」を中心に品質・安全管理について教科書・参考書などで調べる。(2h) 復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	星野
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト（全 14 回）＜DP①＞ 2. 定期試験＜DP①＞			1. 10% 2.

	90%

授業科目名	CT･MRI 機器工学（放射線)別途開講				
主担当教員	星野 貴志		担当教員	星野 貴志／上田 淳平	
科目ナンバリング	SS20BRSB007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	集中講義
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本科目は、放射線計測学、放射線物理学、医用工学などの専門基礎科目の知識を基礎として、X 線 CT および MRI の基本的撮影（撮像）原理、装置の構成、画像再構成理論、性能評価などの基礎的事項を学修する。そして、具体的な臨床検査法を学ぶ CT･MRI 撮影技術学、臨床画像解剖学に接続する基礎を習得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. X 線 CT、MRI の基本的撮影（撮像）原理について説明できる。〈DP①②〉 2. X 線 CT 装置の構成、性能評価、線量評価について説明できる。〈DP①②〉 3. MR 装置の構成、画像再構成理論、基本的なパルスシーケンスとその特徴について説明できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。 2. アクティブ・ラーニングとして、当日レポート方式（BRD） を取り入れる。 3. 毎時間実施する BRD のテーマは次回の講義冒頭で解説を行う。

教科書

「CT 撮影技術学 第 4 版」 オーム社　日本放射線技術学会　ISBN：978-4-274-22132-3 「MR 撮影技術学 第 3 版」 オーム社　日本放射線技術学会　ISBN：978-4-274-22109-5

参考書

「MR･超音波･眼底 基礎知識図解ノート 第 2 版 補訂版」 金原出版　新津 守　ISBN:978-4-307-07128-4

研究室／オフィスアワー

星野：さくら棟 5 階 研究室 1　随時（在室時は対応します）

上田：さくら棟 5 階 共同研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	「CT 装置の原理と構造」　X 線発生機構および X 線検出機構について解説する。	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：X 線発生機構および X 線検出機構の役割を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
2	「画像再構成と画像表示」　投影データの取得、CT 値、画像再構成法および画像表示法について解説する。	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる（2 時間）　復習：CT の画像再構成法および画像表示法の特徴を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
3	「CT スキャン」　マルチスライス CT の特徴、画像再構成法、画像特性について解説する。	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：マルチスライス CT の特徴、画像再構成法、画像特性を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
4	「X 線 CT 画像のアーチファクト」　CT 画像に生じるアーチファクトと発生機序について解説する。	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 画像に生じるアーチファクトと発生機序を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
5	「CT の性能評価」　CT 画像の画質評価法について解説する。	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 画像の画質評価項目、測定法および影響因子を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野

6	「CT の線量評価」　CT 撮影における線量測定法および評価法について解説する。	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 検査における線量測定法および評価法を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	星野
7	「CT の画像処理」 CT 画像フィルタリング処理、3 次元画像処理について基礎と臨床応用を解説する。　「まとめ、確認テスト①」　第 1～6 回までの授業内容を総括する。確認テストを実施する。	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　第 1 回～第 6 回までの授業内容をノートで確認し、疑問点を抽出する。(2 時間)　復習：CT 画像フィルタリング処理、3 次元画像処理を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)　確認テストを見直し、講義ノートを整理し完成する。(2 時間)	星野
8	「MR 撮像技術の原理」　MR 検査の概要および RF パルスを送ることで生じる励起および緩和現象について解説する。	予習：教科書 p2～19、p134-152 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：MR の撮像原理を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
9	「画像再構成理論」　傾斜磁場による空間エンコード方法について理解する。周波数空間(k 空間)と実空間、フーリエ変換について解説する。	予習：教科書 p21～26 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：空間エンコード方法と周波数空間の特徴を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
10	「MR 装置、性能評価」　MR 装置の構成と特徴および性能評価法について解説する。	予習：教科書 p110～130、p208～220 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：MR 装置の構成と性能評価法を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
11	「撮像パラメータと組織コントラスト（SE 法)」基本的な撮像パラメータ（繰り返し時間、エコー時間、加算回数、マトリクス、FOV、バンド幅等）について解説する。	予習：教科書 p30～35 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：SE 法におけるパラメータと組織コントラストを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
12	「MRI のパルスシーケンス」　マルチエコー法、高速 SE 法、反転回復法、GRE 法、EPI 法について解説する。	予習：教科書 p35～50 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：それぞれのパルスシーケンスの原理と特徴を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
13	「MR angiography」　flow void、time of flight 法、phase contrast 法について解説する。	予習：教科書 p54～76 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：MRA の TOF 法、PC 法の原理と特徴を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
14	「MR 画像のアーチファクト」　MR 画像に生じるアーチファクトの発生機序について解説する。	予習：教科書 p110～130 を読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：MR 画像のアーチファクトの発生機序と対策を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	上田
15	「まとめ、確認テスト②」　第 8～14 回までの授業内容を総括する。　確認テストを実施する。	予習：第 8 回～第 14 回までの授業内容をノートで確認し、疑問点を抽出する。(2 時間)　復習:確認テストを見直し、講義ノートを整理し完成する。(2 時間)	上田
成績評価方法と基準			割合
1.学習態度(予習・復習、BRD、出席等）〈DP①②〉　2.確認テスト〈DP①②〉　3.定期試験〈DP①②〉　・試験・課題に対するフィードバック方法　　BRD のテーマは次回の講義冒頭で解説し、希望者には返却する。　　確認テスト、定期試験は模範解答を公開し、希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			1. 10%　2. 20%　3. 70%

授業科目名	核医学検査技術学Ⅰ（放射線）				
主担当教員	渡邊 翔太		担当教員	渡邊 翔太	
科目ナンバリング	SS20BRSB013	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

核医学検査技術学Ⅰは、放射性同位元素を使用する核医学の検査法および治療法、測定装置の基礎知識を教授する。核医学診断に関する基礎知識を得るために、シンチレーションカメラ装置、SPECT 装置及び PET 装置を用いて取得する核医学画像の各種補正、画像再構成法および性能評価と保守管理について概説する。また、PET 検査や核医学治療の概要や集積機序及びそれに伴う撮像方法、また動態解析法など必要な知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。

学修目標

核医学画像の補正、画像再構成方法を正確に理解して、核医学検査技術の概念を説明できる。〈DP①〉 核医学画像の性能評価と保守管理について説明できる。〈DP①〉 PET 検査や核医学治療の内容や特徴を説明できる。＜DP①＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

これまでに履修した専門基礎科目や核医学機器工学の知識を総動員して、非密封放射性同位元素を用いた検査機器の構成や役割を十分理解する。 診療放射線技師国家試験の関連科目の合格水準への到達を目指す。 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。

教科書

放射線技術学シリーズ 核医学検査技術学　改訂4版 大西英雄、他編（オーム社）ISBN：：978-4-274-22826-1

参考書

新核医学技術総論　技術編　山代印刷株式会社　新核医学技術総論　臨床編　山代印刷株式会社

研究室／オフィスアワー

さくら棟5階共同研究室　在室時に随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	核医学検査機器の特徴　シンチレーションカメラ・SPECT 装置・PET 装置	予習：核医学機器工学の学習内容について再学習する。(2時間)　復習：核医学検査機器の特徴について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
2	核医学画像論①　標本化･量子化･フィルタ処理･空間分解能	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間)　復習：標本化・量子化・フィルタ処理・空間分解能について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
3	核医学画像論②　シンチレーションカメラ・SPECT の撮像原理	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間)　復習：シンチレーションカメラ・SPECT の撮像原理について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
4	SPECT 画像再構成と補正　フィルタ逆投影法・逐次近似再構成・各種補正方法	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間)　復習：フィルタ逆投影法・逐次近似再構成・各種補正方法について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
5	シンチレーションカメラ･SPECT の性能評価と保守管理	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間)　復習：シンチレーションカメラ・SPECT の性能評価と保守管理について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
6	確認試験①　確認試験①解説	予習：第1回～第5回までの授業内容を確認し、知識を整理する。(2時間)　復習：	渡邊

		確認試験を見直し、知識を整理する。(2 時間)	
7	PET 装置の概要・撮像原理・SUV 計算	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：PET 装置の概要・撮像原理・SUV 計算について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
8	PET 画像再構成方法と補正	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：PET 画像再構成方法と補正について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
9	PET の性能評価と保守管理	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：PET の性能評価と保守管理について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
10	薬物動態解析と画像解析方法	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：薬物動態解析と画像解析方法について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
11	確認試験②　確認試験②解説	予習：第 7 回～第 10 回までの授業内容を確認し、知識を整理する。(2 時間)　復習：確認試験を見直し、知識を整理する。(2 時間)	渡邊
12	全身 PET（腫瘍・心臓）	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：全身 PET（腫瘍・心臓）について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
13	頭部 PET（認知症・脳血流）	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：頭部 PET（認知症・脳血流）について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
14	核医学治療	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：核医学治療について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
15	確認試験③　確認試験③解説	予習：第 12 回～第 14 回までの授業内容を確認し、知識を整理する。(2 時間)　復習：確認試験を見直し、知識を整理する。(2 時間)	渡邊
成績評価方法と基準			割合
下記の確認試験と定期試験の点数で総合的に評価する。　1.　確認試験①～③の合計　2.　定期試験 2/3 以上の出席を必要とする			1. 30%　2. 70%

授業科目名	放射線治療技術学Ⅰ（放射線）				
主担当教員	奥村 雅彦		担当教員	奥村 雅彦	
科目ナンバリング	SS20BRSB017	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

高エネルギーX線、電子線による放射線治療に関する知識の修得を目的とする。悪性腫瘍と良性腫瘍の特徴を学ぶとともに放射線治療の適応と選択および放射線治療計測に関する理論と演習を修得する。人体に高エネルギーX線、電子線を照射する責任と重要度に関する知識を身につけることで診療放射線技師としての基礎的能力を高めることを目指す。

学修目標

1. 放射線治療の原則、特徴と適応と選択について説明できる。(DP①) 2. 治療計画用コンピュータの計算アルゴリズム、システム構成について説明できる。(DP①) 3. 高エネルギーX線、電子線の線量計測方法について生命できる。(DP①) 4. 高エネルギーX線、電子線の深部量関数、モニタ単位について説明できる。(DP①)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書、配布レジュメ（要旨）を中心に実施する。各自で専用のノートに重要な内容は記録すること。授業中は、私語厳禁、スマートフォンは電源オフまたはマナーモードで鞄に入れて保管すること。

教科書

① 放射線治療基礎知識図解ノート 第2版 ISBN：978-4-307-07117-8 榮武二・櫻井英幸・監 金原出版 ② 診療放射線技術書 放射線治療技術学 ISBN：978-4-525－27961－5 佐々木智成 南山堂

参考書

・やさしくわかる放射線治療学 ISBN:978-4-7809-0975-3 日本放射線腫瘍学会 秀潤社 ・外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法―標準計測法12 ISBN：9784860451202 日本医学物理学会編 通称産業研究社

研究室／オフィスアワー

授業中に指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	放射線治療概論Ⅰ（悪性腫瘍・TNM・治療可能比）	予習：悪性腫瘍・TNM・治療可能比（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村
2	放射線治療概論Ⅱ(治療の目的・有害事象・耐容線量)	予習：治療の目的・有害事象・耐容線量（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村
3	放射線治療計画Ⅰ(治療計画の流れ・体積の定義・位置誤差とマージン・ICRU基準点)	予習：治療計画の流れ・体積の定義・位置誤差とマージン・ICRU基準点（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村
4	放射線治療計画Ⅱ（線量計算アルゴリズム）	予習：線量計算アルゴリズム（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村
5	放射線治療計画Ⅲ（DVH）	予習： DVH（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村
6	放射線治療計測(計測概論・トレーサービリティ)	予習：計測概論・トレーサービリティ（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村
7	放射線治療計測（電離箱線量計・電位計・ファントム）	予習：電離箱線量計・電位計・ファントム（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村
8	放射線治療計測（水吸収線量計測の各種補正係数）	予習：水吸収線量計測の各種補正係数（2時間） 復習：講義内容の理解を深める（2時間）	奥村

9	深部線量関数（X 線）	予習：PDD、TMR 等の深部量関数（2 時間） 復習：教科書・配布資料（2 時間）	奥村
10	深部線量関数（電子線）	予習：PDD、TMR 等の深部量関数（2 時間） 復習：教科書・配布資料（2 時間）	奥村
11	X 線の水吸収線量計測	予習：水吸収線量計測による出力校正（2 時間） 復習：講義内容の理解を深める（2 時間）	奥村
12	電子線の水吸収線量計測	予習：水吸収線量計測による出力校正（2 時間） 復習：講義内容の理解を深める（2 時間）	奥村
13	出力係数	予習：出力係数に関する予習（2 時間） 復習：教科書・配布資料（2 時間）	奥村
14	モニタ単位（MU 単位）	予習：MU 単位に関する予習（2 時間） 復習：教科書・配布資料（2 時間）	奥村
15	講義全体の総括・確認テスト	前期コマの講義内容の復習	奥村
成績評価方法と基準			割合
期末テスト（DP①） 授業態度（小テスト・確認テスト含む）（DP①） 授業の出席は、授業時間数の 2/3 以上とする。			80% 20%

授業科目名	画像工学（放射線)別途開講					
主担当教員	小縣　裕二		担当教員	小縣　裕二		
科目ナンバリング	SS20BRSB021	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	集中講義	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

画像工学は、アナログ画像およびディジタル画像の画像形成・画像解析および画質評価技術に関する知識を修得させることを目的とする。特に、医用画像の形成、入出力特性、解像特性、雑音特性など画像の特性および定量評価法、画像解析、画像処理について教授する。　　＊実務経験を有する教員が授業を行う。

学修目標

１．　X線を用いた画像形成を理解している。<DP①>　２．　診療放射線技師として画質評価に関する知識を習得している。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

診療放射線技術　上巻改訂第 14 版　ISBN: 9784524258598　小塚隆弘・稲邑清也・監　南江堂

参考書

『医用放射線辞典 第 5 版』(医用放射線辞典編集委員会編,共立出版) ISBN:978432006175

研究室／オフィスアワー

小縣　裕二　さくら棟 5 階　研究室 1　／　随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	画像工学とは？	予習：キーワード「診療放射線技師」「X 線撮影技術学」「画像」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
2	画像の形成と画像情報の伝達・変換	予習：キーワード「伝達路」「信号変換」「雑音」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
3	写真濃度	予習：キーワード「透過濃度」「化学濃度」「光学濃度」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
4	特性曲線①	予習：キーワード「入出力特性」「露光量」「感度」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
5	特性曲線②	予習：キーワード「階調渡」「相反則不軌」「センシトメトリー」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
6	コントラスト	予習：キーワード「増感紙」「散乱線」「線質」を中心に教科書・参考書などで調べて	小縣

		おく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	
7	鮮鋭度①	予習：キーワード「不鋭」「チャート」「C-D ダイアグラム」「を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
8	鮮鋭度②	予習：キーワード「チャート」「「空間周波数」「広がり関数」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
9	鮮鋭度③	予習：キーワード「スリット法」「インパルス応答」「コルトマンの補正式」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習:授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
10	鮮鋭度④	予習：キーワード「幾何学的因子」「偽解像」「アパーチュア」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習:授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
11	粒状度(性) ①	予習：キーワード「mottle」「粒状模様」「統計的ゆらぎ」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
12	粒状度(性) ②	予習：キーワード「RMS 粒状度」「自己相関関数」「Wiener スペクトル」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習:授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
13	ROC 解析①	予習：キーワード「信号検出理論」「刺激－反応行列」「感度・特異度」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習:授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
14	ROC 解析②	予習：キーワード「真陽性率」「評定実験」「確率密度」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
15	画像工学のまとめ	予習：キーワード「コントラスト」「鮮鋭度」「粒状性」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
成績評価方法と基準			割合
定期試験＜DP①＞			100%

授業科目名	画像工学（放射線）				
主担当教員	小縣　裕二		担当教員	小縣　裕二	
科目ナンバリング	SS20BRSB021	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

画像工学は、デジタル画像の画像形成・画像解析および画質評価技術に関する知識を修得させることを目的とする。特に、医用画像の形成、入出力特性、解像特性、雑音特性など画像の特性および定量評価法、画像解析、画像処理について教授する。　　＊実務経験を有する教員が授業を行う。

学修目標

１．　Ｘ線を用いた画像形成を理解している。<DP①>　２．　診療放射線技師として画質評価に関する知識を習得している。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

診療放射線技術　上巻改訂第 15 版　ISBN: 9784524258598　小塚隆弘・稲邑清也・監　南江堂

参考書

『医用放射線辞典 第 6 版』(医用放射線辞典編集委員会編,共立出版) ISBN:978432006175

研究室／オフィスアワー

小縣　裕二　さくら棟 5 階　研究室 1　／　随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	画像工学とは？	予習：キーワード「診療放射線技師」「X 線撮影技術学」「画像」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
2	デジタルＸ線画像	予習：キーワード「Ｘ線画像」「画像形成」「デジタルシステム」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
3	入出力特性	予習：キーワード「入出力特性」「露光量」「感度」「階調渡」「相反則不軌」「センシトメトリー」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
4	コントラスト	予習：キーワード「コントラスト」「散乱線」「線質」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
5	解像特性①	予習：キーワード「不鋭」「チャート」「C-D ダイアグラム」「「空間周波数」「広がり関数」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣

6	解像特性②	予習：キーワード「スリット法」「インパルス応答」「コルトマンの補正式」「幾何学的因子」「偽解像」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
7	雑音特性	予習：キーワード「mottle」「粒状模様」「統計的ゆらぎ」「自己相関関数」「Wienerスペクトル」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
8	ROC 解析	予習：キーワード「信号検出理論」「刺激ー反応行列」「感度・特異度」「真陽性率」「評定実験」「確率密度」を中心に教科書・参考書などで調べておく。(2h)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2h)	小縣
成績評価方法と基準			割合
定期試験＜DP①＞			100%

授業科目名	放射線安全管理学（放射線）					
主担当教員	木下　尚紀		担当教員	木下　尚紀		
科目ナンバリング	SS20BRSB025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

放射線安全管理の基本的考え方や放射線安全管理システムの構築と運用に必要な基礎を学び，医療現場で必要とされる放射線安全管理の基礎知識を身につける．　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．放射線防護の概念や放射線防護で扱う量を説明できる．　2．放射線を扱う施設，人および環境に関わる放射線安全管理の基礎を説明できる．　3．放射線事故，緊急作業および緊急被ばく医療における放射線安全管理に関する基本な知識を説明できる．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．特別な理由がない限り，欠席はしないこと．　2．遅刻・早退は，原則として認めない．　3．私語はしないこと．　4．予習と復習を必ず行うこと．

教科書

放射線技術学シリーズ　放射線安全管理学 改訂 3 版　（オーム社）ISBN:978-4-274-22418-8

参考書

放射線概論　第 1 種放射線取扱主任者試験受験用テキスト　（第 14 版）　通商産業研究社　ISBN: 978-4-86045-153-0**購入不要

研究室／オフィスアワー

オフィスアワー: メール連絡の上，随時．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	放射線防護の概念	予習: 教科書 pp. 2-11 を読む．　復習: 学習内容を復習してノートにまとめる．	木下
2	放射線防護に関する組織	予習: 教科書 pp. 14-30 を読む．　復習: 学習内容を復習してノートにまとめる．	木下
3	放射線防護で扱う量	予習: 教科書 pp. 32-45 を読む．　復習: 学習内容を復習してノートにまとめる．	木下
4	放射線管理に関する法令　環境管理	予習: 教科書 pp. 48-99 を読む．　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下
5	環境管理	予習: 教科書 pp. 74-99 を読む．　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下
6	放射線取り扱い施設の管理	予習: 教科書 pp. 106-125 を読む．　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下
7	1 回から 6 回までの復習	予習: 1 回から 6 回までの内容を復習． 復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下
8	1 回から 6 回までの内容確認試験（中間テスト）	試験範囲: 1 回から 7 回までの内容．　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下
9	安全取り扱い	予習: 教科書 pp. 128-153 を読む．　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下
10	放射性廃棄物の処理	予習: 教科書 pp. 156-182 を読む．　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下
11	個人の管理	予習: 教科書 pp. 186-211 を読む．　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる．	木下

12	医療被ばく	予習: 教科書 pp. 214-267 を読む.　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる.	木下
13	医療被ばく　放射線事故・放射線災害，原子力災害と対策	予習: 教科書 pp. 214-292 を読む.　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる.	木下
14	被ばくに関する説明　全体のまとめ	予習: 1回から13回までの内容を復習する. 教科書 pp. 296-304 を読む.　復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる.	木下
15	全体のまとめ	予習: 1回から14回までの内容を復習する. 復習: 学習内容を復習して，ノートにまとめる.	木下
成績評価方法と基準			割合
①修学態度・中間テスト　②定期試験*　*2/3 以上の出席を必要とする.			1. 50%　2. 50%

授業科目名	医療画像情報学（放射線 2 年）					
主担当教員	垣本 晃宏		担当教員	垣本 晃宏／船橋 正夫		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

本講義では、「医療画像情報学序論」で学んだ基礎知識を基盤に、医療画像に関する知識を深化させ、応用力を養成することを目的とする。医療画像の形成過程や処理技術を体系的に学ぶことで、画像データを正確に解析・活用する能力を身に付ける。まず、空間周波数とフーリエ変換の基礎を学び、医療画像の特性を周波数領域から解析する手法を習得する。次に、医療画像作成技術や画像伝送技術（DICOM 規格など）を理解し、医療現場における画像管理の全体像を把握する。さらに、階調処理や周波数処理、データ圧縮、画像間演算といった画像処理技術の基礎を習得し、それらを応用した効率的な画像管理・解析のスキルを育成する。また、三次元画像処理（ボリュームレンダリングや MPR）の実践や応用に触れ、3D 画像の操作と解析に必要な知識を深める。加えて、コンピュータ診断支援（CAD）や人工知能（AI）を活用した医療画像解析の最新技術を学び、革新的な技術の理解と実践的活用を目指す。本講義では、診療放射線技師国家試験出題基準に準拠した教育内容を通じ、医療画像情報学の専門知識と現場で役立つ実践的スキルを体系的に習得することを目標とする。

学修目標

1. 医療画像形成および処理に関する専門知識を深める 2. 診療放射線技師国家試験出題基準に準拠した技術の応用力を養う 3. 医療画像解析の実践的スキルを習得する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 初回授業で講義の概要や単位認定・評価方法について説明する 2. 配布資料や医療画像データの取り扱いには特に注意を払うこと 3. 「医療画像情報学序論」の内容を十分に理解していることが前提となる 4. 一部の講義で PC を使用するため、基礎的な ICT スキルが必要である

教科書

実践！医用画像情報学 基礎から実験・演習まで 監修： 福士政広 MEDICALVIEW ISBN：978-4-7583-2021-4

参考書

参考書： オーム社 よくわかる医用画像情報学 石田隆行 参考書： オーム社 ディジタル X 線画像計測 石田隆行

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F 研究室 4 水曜日 13:00～15:00 masao_funahashi@morinomiya-u.ac.jp さくら棟 5F 共同研究室 水曜日 13:00～14:30 akihiro_kakimoto@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、情報処理学の復習	予習：p1～66 復習：キーワード・重要語句の確認	船橋・垣本
2	画像形成	予習：p23～35、83～88 復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
3	空間周波数とフーリエ変換 （総説）	予習：p89～98 復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
4	空間周波数とフーリエ変換 （二次元画像処理）	予習：p89～98 復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
5	画像作成、階調処理	予習：p99～128 復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
6	周波数処理	予習：p129～140 復習：キーワード・重要語句の確認	垣本

7	データ圧縮、画像間演算	予習：p141～152　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
8	三次元表示、CAD、AI	予習：p153～174　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
9	デジタル画像の復習および確認テスト	予習：p1～174　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
10	確認テストの解説	予習：p1～174　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
11	CR/FPD の構造と特性　画質因子と評価方法	予習：p175～180　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
12	入出力特性、解像特性	予習：p181～194　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
13	雑音特性、信号検出理論	予習：p195～208　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
14	ROC、DQE、NEQ	予習：p209～230　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
15	臨床で用いる画像処理　画質と被ばく線量･管理（EI）	予習：11～14 回講義　復習：キーワード・重要語句の確認	船橋
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験　出題範囲は国試基準に準ずる　100%　2.　合格点は 60 点以上とする　3.　2／3 以上の出席を必要とする			定期試験：100%

授業科目名	臨床医学Ⅰ（放射線）					
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介		
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜1限	
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修	

授業概要

医療人として必要不可欠な内科学の知識・考え方について学修する。　診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。　各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療（外科治療を含む）を論理的に理解・説明できるようにする。

学修目標

1．各種臓器の働きを理解する。　2．症状・症候の病的意義が説明できる。　3．各種疾病の病態を理解し、それら知識に基づき臨床症状・治療（外科治療を含む）が合理的に説明できる。　〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書と補助プリントを併用して行ないます。初回講義を除き、次回の講義範囲について指示する教科書の範囲に目を通してきてください。　講義項目毎に復習課題を提示しますので､それらを中心に講義内容を復習してください。　復習課題をもとに出席を兼ねた復習テストを実施し、成績評価に使用します。　講義中の質問等は問題ございませんが私語は慎んでください。　積極的な参加も成績評価に加味します。

教科書

看護のための臨床病態学　改定5版　南山堂　解剖生理と疾病の特性　改定3版　南山堂　ISBNｺｰﾄﾞ:978-4-525-50903-3　本体価格：2,500円

参考書

病気が見えるシリーズ　なるほどなっとく！内科学（改定2版）（南山堂）　わかりやすい内科学　（第4版）（文光堂）　標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野　内科学(第4版)　（医学書院）　人体のメカニズムから学ぶ画像診断技術学（MEDICAL VIEW）

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟5階 508研究室　　部屋にいればいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。　　確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。　e-mail：shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	代謝・内分泌性疾患（１）	予習：特に必要なし　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
2	代謝・内分泌性疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
3	代謝・内分泌性疾患（３）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
4	代謝・内分泌性疾患（4）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
5	消化器・肝胆膵疾患（１）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3	松﨑

		時間	
6	消化器・肝胆膵疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
7	消化器・肝胆膵疾患（３）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
8	消化器・肝胆膵疾患（4）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
9	消化器・肝胆膵疾患（5）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
10	呼吸器疾患（１）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
11	呼吸器疾患（２）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
12	呼吸器疾患（３）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
13	呼吸器疾患（４）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
14	呼吸器疾患（５）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
15	総まとめ学習	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
成績評価方法と基準			割合
①講義内実施小テスト（4 回程度予定）　②総まとめテスト　③加点課題を実施する可能性あり（絶対ではない）　①については、理由の如何に関わらず再試験・追試験は実施しない　②問題に出てくる症例に対する理解力を見る試験である。マーク式試験または記述試験を実施することを予定している。最終成績評価は、①②③を用いて算出する。　出席は受験資格の判定のみに使用する。　出席回数は点数化はしないが、講義期間中に行う小テストは成績へと点数化される。　〈DP①②〉			①最大 40 点程度　①②の合計で 100 点満点とする ③加点課題（最大 20 点程度）　①-③の合計で成績評価を行う。

授業科目名	臨床医学Ⅱ（放射線）				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療人として必要不可欠な内科学の知識・考え方について学修する。　診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。　各種疾患について臓器別に講義を行い、その病態・治療（外科治療を含む）を論理的に理解・説明できるようにする。

学修目標

１．各種臓器の働きを理解する。　２．症状・症候の病的意義が説明できる。　３．各種疾病の病態を理解し、それら知識に基づき臨床症状・治療（外科治療を含む）が合理的に説明できる。　〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書と補助プリントを併用して行ないます。初回講義を除き、次回の講義範囲について指示する教科書の範囲に目を通してきてください。 講義項目毎に復習課題を提示しますので､それらを中心に講義内容を復習してください。 復習課題をもとに出席を兼ねた復習テストを実施し、成績評価に使用します。　講義中の質問等は問題ございませんが私語は慎んでください。　積極的な参加も成績評価に加味します。

教科書

両者ともに臨床医学Ⅰで使用したものと同じです。　看護のための臨床病態学　改定 5 版　南山堂　解剖生理と疾病の特性　改定 3 版　南山堂　　ISBN ｺｰﾄﾞ：978-4-525-50903-3　本体価格：2,500 円

参考書

病気が見えるシリーズ　なるほどなっとく！内科学（改定 2 版）（南山堂）　わかりやすい内科学　（第 4 版）（文光堂）　標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野　内科学(第 4 版)　（医学書院）　人体のメカニズムから学ぶ画像診断技術学（MEDICAL VIEW）

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟 5 階 508 研究室　　部屋にいればいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。　　確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。　e-mail：shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	腎・泌尿器疾患（１）	予習：特に必要なし　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
2	腎・泌尿器疾患（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
3	腎・泌尿器疾患（3）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
4	腎・泌尿器疾患（4）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3 時間	松﨑
5	免疫・アレルギー・膠原病（１）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3	松﨑

		時間	
6	免疫・アレルギー・膠原病（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
7	感染症（１）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
8	感染症（２）	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
9	感染症（３）	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
10	整形外科疾患	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
11	皮膚疾患	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
12	眼科疾患	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
13	耳鼻科疾患	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
14	老年疾患	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
15	総まとめ学習	予習:講義内で範囲を指示します　復習:講義内容をまとめ、復習課題に取り組み、復習テストに備えること。　学習時間：3時間	松﨑
成績評価方法と基準			割合
①講義内実施小テスト　②総まとめテスト　　③加点課題（実施する場合がある）　　①については、内科学・外科学講義範囲の学びを振り返るための小テストである。理由の如何に関わらず再試験・追試験は実施しない　②問題に出てくる症例に対する理解力を見るため、記述試験を実施する。　　最終成績評価は、①②の合計を最終成績とする。　　公欠による小テスト不参加者は追試験を受験可能とするが、得点の 80%を持点とする。　自己都合による小テスト不参加者は再試験の受験を認めない。　　出席は受験資格の判定のみに使用する。　出席回数は点			①最大 40 点程度　①②の合計で 100 点満点とする ③加点課題（最大 20 点程度）　①-③の合計で成績評価を行う。

授業科目名	放射線計測学Ⅱ（放射線）					
主担当教員	今井 信也		担当教員		今井 信也／奥村 雅彦	
科目ナンバリング		科目区分			ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2年	開講学期	前期		曜日･時限	月曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位		必修･選択	必修

授業概要

放射線計測学Ⅱでは放射線計測の基礎や放射線測定の理論をもとに様々な計測装置の構造を学び、特徴を理解する。また、それらの測定装置を使用した放射線量や放射能の測定方法を学び、それらを応用して放射線のエネルギー測定方法も理解する。

学修目標

1. 放射線測定装置の特徴について説明できる。<DP①> 2. 放射線や放射能およびエネルギーの測定方法を説明できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 講義中の私語は慎むこと。 2. 予習と復習を必ず行うこと。 3. 初回授業でシラバスについて説明します。

教科書

放射線計測学 改訂第２版 メジカルビュ-社 福士政広 ISBN：9784758319188

参考書

・診療放射線技術 上巻(改訂第14版) 南江堂 小塚隆弘 ISBN：9784524258598 ・診療放射線技術 下巻(改訂第14版) 南江堂 小塚隆弘 ISBN：9784524258611 ・医用放射線辞典 第５版 共立出版 医用放射線辞典編集委員会 ISBN：9784320061750

研究室／オフィスアワー

授業中に指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	電離箱	予習：シラバス・教科書（P88 ~102 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P88 ~102 ）の確認	今井
2	比例計数管	予習：シラバス・教科書（P103 ~108）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P103 ~108）の確認	今井
3	GM計数管	予習：シラバス・教科書（P109 ~116）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P109 ~116 ）の確認	今井
4	シンチレーション検出器	予習：シラバス・教科書（P117~138 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P117~138）の確認	今井
5	半導体検出器 小テスト①	予習：シラバス・教科書（P139 ~148 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P139 ~148 ）の確認	今井
6	熱蛍光線量計・蛍光ガラス線量計・OSL線量計	予習：シラバス・教科書（P149~164）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P149~164）の確認	今井
7	画像記録媒体・固体飛跡線量計	予習：シラバス・教科書（P166~173）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P166~173）の確認	今井
8	電子式線量計・化学線量計・その他の線量計	予習：シラバス・教科書（P174 ~182）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P174 ~182）の確認	今井

9	線量の測定	予習：シラバス・教科書（P192 ~215 ）の確認　復習：授業をもとにシラバス・教科書（P192 ~215 ）の確認	今井
10	放射能の測定　小テスト②	予習：シラバス・教科書（P216 ~225 ）の確認　復習：授業をもとにシラバス・教科書（P216 ~225 ）の確認	今井
11	放射線エネルギーの測定	予習：シラバス・教科書（P226~235）の確認　復習：授業をもとにシラバス・教科書（P226~235）の確認	今井
12	高エネルギー光子線の水吸収線量測定	予習：シラバス・教科書（P205 ）の確認　復習：配布資料・教科書（P205）の確認	奥村
13	高エネルギー電子線の水吸収線量測定	予習：シラバス・教科書（P206）の確認　復習：配布資料・教科書（P206）の確認	奥村
14	電離箱線量計の各補正係数	予習：シラバス・教科書（P207 - 209）の確認　復習：配布資料・教科書（P207 - 209）の確認	奥村
15	全体のまとめ	予習：シラバス・教科書（P88 ~238）の確認　復習：授業をもとにシラバス・教科書（P88 ~238）の確認	今井
成績評価方法と基準			割合
1.　小テスト　2.　定期試験〈DP1〉　　※出題範囲：授業で扱った範囲			1. 20%　2. 80%

授業科目名	放射線撮影技術学(US・眼底)(放射線)					
主担当教員	山口 功		担当教員	山口 功		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜1限	
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修	

授業概要

本科目は、放射線物理学、医用工学などの専門基礎科目の知識を基礎として、眼底写真撮影および超音波検査の基本的撮影原理、装置の構成、安全管理ならびに基本的検査技術などの基礎的事項を学修する。そして、具体的な画像解析法を学ぶ臨床画像解剖学、臨床画像解析学に接続する基礎を習得する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 眼底写真撮影・超音波検査の基本的撮影原理について説明できる。〈DP①②〉 2. 眼底写真撮影装置の構成、撮影手技および、基本的眼底像について説明できる。〈DP①②〉 3. 超音波検査装置の構成、画像表示法、安全管理、および、基本的検査法について説明できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。 2. 授業初回に配布するCT画像で基本的な画像解剖を習得する。(予習・復習として行うこと) 3. 各自、下記のWebサイトを閲覧できるPCまたはタブレットを準備し持参すること。(第10～14回)　https://www.jss.org/e-learning/

教科書

「MR・超音波・眼底 基礎知識図解ノート 第2版 補訂版」 金原出版　新津 守　ISBN：978-4-307-07128-4

参考書

「解剖と正常像がわかる！エコーの撮り方　完全マスター」 医学書院　種村 正　ISBN：978-4-260-02018-3

研究室／オフィスアワー

さくら棟5階 研究室2　山口研究室　随時（在室時は対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	「超音波の基礎」 超音波検査の概略および超音波の物理特性について解説する。	予習：シラバスを確認し授業内容を把握する。教科書 p348～358を確認し、超音波の特性について調べる。(2時間)　復習：超音波の物理特性を整理し、ノートにまとめる。(2時間)	山口
2	「超音波診断装置」 超音波診断装置の構成、深触子の構成と役割および超音波画像の空間分解能について解説する。	予習：教科書 p360～364を確認し、超音波診断装置の構成について調べる。(2時間) 復習：超音波診断装置の構成、深触子の構成と役割を整理し、ノートにまとめる。(2時間)	山口
3	「超音波画像」 超音波画像の空間分解能、画像表示法について解説する。	予習：教科書 p359、p365～371を確認し、空間分解能、超音波画像表示について調べる。(2時間)　復習：超音波の空間分解能、画像表示法を整理し、ノートにまとめる。(2時間)	山口
4	「ドプラ法」 ドプラ法の原理、ドプラ法の種類について解説する。	予習：教科書 p372～380を確認し、ドプラ法について調べる。(2時間)　復習：ドプラ法の原理、ドプラ法の種類を整理し、ノートにまとめる。(2時間)	山口
5	「超音波画像のアーチファクト」 超音波の物理特性によって画像上に発生するアーチファクトについて解説する。	予習：教科書 p381～394を確認し、超音波画像のアーチファクトについて調べる。(2時間)　復習：超音波の物理特性によって	山口

		画像上に発生するアーチファクトを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	
6	「ハーモニックイメージング､超音波装置の安全性」 ハーモニックイメージング､装置の安全性、安全性の指標および保守管理について解説する。	予習：教科書 p385～p394、p503～516 を確認し、ハーモニックイメージングおよび超音波装置の安全性について調べる。(2 時間) 復習：超音波装置の安全性、安全性の指標および保守管理を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
7	「眼底写真撮影検査の基礎と手法」 眼底写真撮影検査の概略および眼底写真撮影に必要な解剖生理学、無散瞳眼底写真の撮影原理、検査の流れについて解説する。	予習：教科書 p518～529 を確認し、視覚の解剖生理学を復習する。(2 時間) 復習：眼球、眼底の構造および無散瞳眼底写真の撮影原理、検査の流れを整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
8	「装置、アーチファクト、眼底像」 眼底カメラ装置、眼底写真に発生するアーチファクトおよび、基本的な眼底像について解説する。	予習：教科書 p530～545 を確認し、眼底カメラ装置およびアーチファクトについて調べる。(2 時間) 復習：眼底カメラ装置の構造、眼底写真に発生するアーチファクトおよび、基本的な眼底像の特徴を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
9	「まとめ、確認テスト①」 第 1～8 回までの授業内容を総括する。 確認テストを実施する。	予習：第 1 回～第 8 回までの授業内容をノートで確認し、疑問点を抽出する。(2 時間) 復習:確認テストを見直し、講義ノートを整理し完成する。(2 時間)	山口
10	「超音波画像の基礎」 超音波検査の基本的検査法および超音波画像の基本断面について解説する。	予習：教科書 p395～400 を確認し、超音波画像の見え方について調べる。(2 時間) 復習：超音波断層画像の基本的な観察方法を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
11	「超音波検査の臨床（上腹部領域)」 上腹部領域超音波検査の概要と画像解剖について解説する。	予習:教科書 p401～429、p437～443 を確認し、上腹部の解剖生理学を復習する。(2 時間) 復習:上腹部領域超音波検査の概要と画像解剖を整理し､ノートにまとめる。(2 時間)	山口
12	「超音波検査の臨床（体表臓器、血管)」 体表臓器（乳房・甲状腺）および血管領域超音波検査の概要と画像解剖について解説する。	予習:教科書 p444～466、p488～502 を確認し、乳房、頚部および頸部血管、下肢血管の解剖生理学を復習する。(2 時間) 復習：体表臓器（乳房・甲状腺）および頸部血管、下肢血管の超音波検査の概要と画像解剖を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
13	「超音波検査の臨床（腹部・骨盤部領域)」 腹部･骨盤部領域超音波検査の概要と画像解剖について解説する。	予習：教科書 p430～436 を確認し、腎臓・骨盤部の解剖生理学を復習する。(2 時間) 復習:腹部･骨盤部超音波検査の概要と画像解剖を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
14	「超音波検査の臨床（心臓)」 心臓領域超音波検査の概要と画像解剖について解説する。	予習：教科書 p467～487 を確認し、心臓の解剖生理学を復習する。(2 時間) 復習：心臓領域超音波検査の概要と画像解剖を整理し、ノートにまとめる。(2 時間)	山口
15	「まとめ、確認テスト②」 第 10～14 回までの授業内容を総括する。 確認テストを実施する。	予習：第 10 回～第 14 回までの授業内容をノートで確認し、疑問点を抽出する。(2 時間) 復習:確認テストを見直し、講義ノートを整理し完成する。(2 時間)	山口
成績評価方法と基準			割合
1.確認テスト<DP①②> 2.定期試験 <DP①②> ・試験、課題に対するフィードバック方法 確認テスト、定期試験は模範解答を公開し、希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			1. 20% 3. 80%

授業科目名	X 線 CT 技術学(機器・検査)(放射線)				
主担当教員	星野 貴志		担当教員	星野 貴志	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

本科目は、放射線計測学、放射線物理学、医用工学などの専門基礎科目の知識を基礎として、X 線 CT の基本的撮影原理、装置の構成、画像再構成理論、性能評価、基本的撮影法、画像表示法、画質評価などの基礎的事項を学修する。そして、具体的な画像診断技術を学ぶ臨床画像解析学および臨床実習に接続する基礎を習得する。　＊実務経験を有する教員が授業を行う。

学修目標

1. X 線 CT の基本的撮影（撮像）原理について説明できる。〈DP①②〉 2. X 線 CT 装置の構成、性能評価、線量評価について説明できる。〈DP①②〉 3. 各部位における X 線 CT 検査の基本的撮影法について説明できる。〈 DP①②〉 4. 各部位における X 線 CT 検査の画像表示法および正常画像解剖について説明できる。〈 DP①②〉 5. X 線 CT 検査に関わる安全管理について説明できる。〈 DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。 2. X 線機器工学で学んだ知識および基本的な解剖について理解していることを前提に講義を進める。

教科書

「CT 撮影技術学 第 4 版」 オーム社　日本放射線技術学会　ISBN：978-4-274-23000-4

参考書

「新・医用放射線科学講座 X 線撮影機器学」医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5 階 研究室 1 随時対応可能（在室時）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	「CT 装置の原理と構造」　X 線発生機構および X 線検出機構について解説する。	予習：シラバスを確認し授業内容を把握する。教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：X 線発生機構および X 線検出機構の役割を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
2	「画像再構成と画像表示」　投影データの取得、CT 値、画像再構成法および画像表示法について解説する。	予習：教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる（2 時間）　復習：CT の画像再構成法および画像表示法の特徴を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
3	「CT スキャン」　マルチスライス CT の特徴、画像再構成法、画像特性について解説する。	予習：教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：マルチスライス CT の特徴、画像再構成法、画像特性を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
4	「X 線 CT 画像のアーチファクト」　CT 画像に生じるアーチファクトと発生機序について解説する。	予習：教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 画像に生じるアーチファクトと発生機序を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
5	「CT の性能評価」　CT 画像の画質評価法について解説する。	予習：教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 画像の画質評価項目、測定法および影響因子を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野

6	「CT の線量評価」　CT 撮影における線量測定法および評価法について解説する。	予習：教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 検査における線量測定法および評価法を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
7	「CT の画像処理」 CT 画像フィルタリング処理、3 次元画像処理について基礎と臨床応用を解説する。	予習：教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 画像フィルタリング処理、3 次元画像処理を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
8	「X 線 CT 装置まとめ」　中間テスト	予習：第 1 回～第 7 回までの授業内容をノートで確認し、疑問点を抽出する。(2 時間)　復習：中間テストを見直し、講義ノートを整理し完成する。(2 時間)	星野
9	「撮影パラメータと画質」	予習:教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：X 線 CT の撮影パラメータと画質の関係を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
10	「CT 造影検査技術」	予習:教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：CT 用造影剤の特性を整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
11	「CT 撮影技術（頭部・頭頸部)」	予習:教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：頭部･頭頸部の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
12	「CT 撮影技術（胸部・心臓・大血管)」	予習：胸部・心臓・大血管の解剖の復習および教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：胸部・心臓・大血管の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
13	「CT 撮影技術（腹部・骨盤)」	予習：腹部・骨盤の解剖の復習および教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：腹部・骨盤の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
14	「CT 撮影技術（脊椎・四肢)」	予習：脊椎・四肢の解剖の復習および教科書の該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：脊椎・四肢の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
15	「CT 撮影技術（IVR-CT、その他)」	予習:9～14 回の講義内容の復習および IVR-CT について調べる。(2 時間)　復習：VR-CT の CT 検査法および撮影・画像表示のポイントを整理しノートにまとめる。(2 時間)	星野
成績評価方法と基準			割合
1. 小テスト（全 12 回）〈DP①②〉　2. 中間試験＜DP①②＞　3. 定期試験〈DP①②〉			1. 10%　2. 40%　3. 50%

授業科目名	放射線技術学実習Ⅰ(撮影系)(放射線)				
主担当教員	船橋　正夫		担当教員	船橋　正夫／西浦　素子／上田　淳平	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜3限、火曜4限、火曜5限
授業形態	実験	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

実際のＸ線装置を用いて骨撮影および胸・腹部・乳房撮影、Ｘ線ＣＴ検査・Ｘ線透視検査などを中心にポジショニングから撮影までを行うことで、検査目的、画像表示法、検査の安全性、写真の見方および機器の原理と構造、装置の操作法、装置に関する関連規格と品質管理について理解を深めさせる。また、実験内容を報告書にまとめることでＸ線検査に関する必要な知識と技術を修得させ、診療放射線技術の実践能力を高めることを目指す。

学修目標

撮影技術学・機器工学実験Ⅰは、「Ｘ線撮影技術学Ⅰ」「Ｘ線撮影技術 学Ⅱ」「Ｘ線機器工学」で学んだ知識を実践する能力を身に付けさせることを目標とする。〈DP①②④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1　全出席を原則とする。　2　実習時の服装はケーシー上下、白衣、白い靴とする。　3　レポートの提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

実習書を配布する

参考書

新・医用放射線技術実験―臨床編― 第4版　978-4-320-06196-5

研究室／オフィスアワー

さくら棟　5階　研究室4　　月～木曜日　授業時間以外。金曜日不在。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション①　各回の実験内容を詳細に説明する	予習：X線撮影技術学1機器工学①で学んだことを確認する　復習：実験の内容を確認しておく	船橋　上田　西浦
2	オリエンテーション②　各回の実験内容を詳細に説明する	予習：X線撮影技術学1機器工学①で学んだことを確認する　復習：実験の内容を確認しておく	船橋　上田　西浦
3	撮影の幾何学的配置①　撮影方向･撮影距離の変化と画質	予習：実験の配置を確認する　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	上田
4	撮影の幾何学的配置②　距離の逆自乗則と撮影線量の関係	予習：実験の配置を確認する　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	上田
5	照射線量と画像の変化①　撮影線量と画質の関係	予習：実験の配置を確認する　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	船橋
6	照射線量と画像の変化②　散乱線と画質の関係	予習：実験の配置を確認する　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	船橋
7	乳房X線撮影実習①	予習：実験の配置を確認する　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	西浦
8	乳房X線撮影実習①	予習：実験の配置を確認する　復習：実験結果をまとめてレポートを提出する	西浦
9	人体ファントムを用いた撮影技術③　線減弱係数とCT値、ウインドウ条件と画像比較	予習:実験の配置を確認する　復習:実験結果をまとめてレポートを提出する	船橋
10	線減弱係数とCT値、ウインドウ条件と画像比較	予習:実験の配置を確認する　復習:実験結果をまとめてレポートを提出する	船橋
11	乳房X線撮影実習②	予習:実験の配置を確認する　復習:実験結	西浦

		果をまとめてレポートを提出する	
12	乳房 X 線撮影実習②	予習 : 実験の配置を確認する　復習 : 実験結果をまとめてレポートを提出する	西浦
13	X 線画像検出器の性能比較	予習 : 実験の配置を確認する　復習 : 実験結果をまとめてレポートを提出する	上田
14	X 線画像検出器の性能比較	予習 : 実験の配置を確認する　復習 : 実験結果をまとめてレポートを提出する	上田
15	実験・実習のまとめ　レポート指導	実験・実習のまとめ　レポート指導	船橋　西浦 上田
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　評価項目 :　1. レポート、　2. 筆記試験、　3. 態度　本実験における成績不良者に対して行う「再試験」は筆記試験で評価する。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。			1. 30%　2. 30%　3. 40%

授業科目名	画像解剖学Ⅰ(単純X線画像)(放射線)					
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜2限	
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修	

授業概要

画像解剖学の目的およびX線を使用した単純X線撮影の診療画像に関する正常解剖の知識を習得する。

学修目標

1. 画像の基礎知識を理解する。 2. 単純X線：骨・関節・胸部・腹部・乳房撮影などについて、撮影目的と画像解剖を理解する。〈DP①②〉 3. 各部位のX線検査で得られる画像の異常像の形成要因と形状表現を理解する。〈DP①②〉 4. 検査対象部位の二次元画像から三次元画像の立体解剖が構築できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

正常な画像解剖を理解するためには、人体の構造（名称・位置関係）に関する知識は必須です。 臨床実習等でも指導者から画像を示され、「この臓器の名称を答えなさい」というケースは良くみられます。 既に関連する履修科目についてしっかり復習し、授業に臨むようにしてください。

教科書

『若葉マークの画像解剖学』磯辺智範 編/メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-1930-0

『人体解剖カラーアトラス(電子書籍付)(原書第8版)』佐藤 達夫 (翻訳), 秋田 恵一 (翻訳)/南江堂 ISBN-13 : 978-4524227648

※必要に応じて持参のこと（他科目でも購入しますので教科書として扱います）

『X線撮影技術学』 小田敍弘 オーム社 ISBN：978-4-274-22598-7

『診療放射線技術』 上巻改訂第14版 小塚隆弘・稲邑清也・監、南江堂、ISBN: 9784524258598

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

さくら棟 研究室7/随時（不在のことが多いため、事前アポイントがあった方がのぞましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	骨格(正常解剖の理解)	予習：骨格の基本的解剖について理解する。(1時間) 復習：授業をもとに教科書の再確認（2時間）	西浦
2	胸部（縦隔・肺）の正常解剖および各撮影法の基本と画像の位置関係 を理解する。	予習：胸部の基本的構造と機能について理解する。(1時間) 復習：授業をもとに教科書の再確認（2時間）	西浦
3	腹部の正常解剖および各撮影法の基本と画像の位置関係を理解する。	予習：腹部の基本的解剖について理解する。(1時間) 復習：授業をもとに教科書の再確認（2時間）	西浦
4	骨格確認小テスト 上肢の単純X線画像	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（1時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2時間）	西浦
5	下肢、股関節の単純X線画像	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（1時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2時間）	西浦
6	椎体、骨盤の単純X線画像	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（1時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2時間）	西浦

7	頭部の単純 X 線画像	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（1 時間）　復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間）	西浦
8	乳房の単純 X 線画像	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（1 時間）　復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間）	西浦
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験<DP①>　2.　第 4 回で実施する骨格に関する正常解剖の小テスト　3. 授業開始前に実施する小テスト試験<DP①>　※　100 点満点の 60%（60 点）以上を単位認定します。			1. 70%　2. 20%　3.　10%

授業科目名	画像解剖学Ⅱ(造影 X 線画像)(放射線)					
主担当教員	西浦 素子		担当教員	西浦 素子		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

画像解剖学の目的および X 線を使用した血管造影撮影、消化管造影撮影など診療画像に関する正常解剖の知識を習得する。

学修目標

1. 画像の基礎知識を理解する。 2. X 線造影：消化管造影や血管造影などについて、撮影目的と画像解剖を理解する。〈DP①②〉 3. 各部位のX線検査で得られる画像の異常像の形成要因と形状表現を理解する。〈DP①②〉 4. 検査対象部位の二次元画像から三次元画像の立体解剖が構築できる。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

正常な画像解剖を理解するためには、人体の構造（名称・位置関係）に関する知識は必須です。 臨床実習等でも指導者から画像を示され、「この臓器の名称を答えなさい」というケースは良くみられます。 既に関連する履修科目についてしっかり復習し、授業に臨むようにしてください。

教科書

『若葉マークの画像解剖学』磯辺智範 編/メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-1930-0 ※必要に応じて持参のこと（他科目でも購入しますので教科書として扱います） 『X 線撮影技術学』 小田敍弘 オーム社 ISBN：978-4-274-22598-7 『診療放射線技術』 上巻改訂第 14 版 小塚隆弘・稲邑清也・監、南江堂、ISBN: 9784524258598

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

さくら棟 研究室 7/随時（不在のことが多いため、事前アポイントがあった方がのぞましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	・造影剤について 「尿路系・生殖器系」「関節腔」「脊髄腔」 尿路系・生殖器系、関節腔、脊髄腔造影検査法を復習（予習）し、それぞれにおける正常および異常像の形成要因と形状表現を解説する。	予習：「尿路系・生殖器系」「関節腔」「脊髄腔」の正常解剖、検査法を調べておく。（1 時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間） ※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦
2	・「膵胆道系」その他 膵胆道系造影検査法を復習（予習）し、膵胆道系造影における正常および異常像の形成要因と形状表現を解説する。	予習：造影剤および「膵胆道系」正常解剖、検査法を調べておく。(1 時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間） ※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦
3	・「消化管」その他 消化管造影検査法を復習(予習）し、消化管造影における正常および異常像の形成要因と形状表現を解説する。 予習：造影剤および「上部消化管・下部消化管」の正常解剖、検査法を調べておく。(1 時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間）	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（1 時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間） ※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦
4	「腹部血管」 腹部血管造影検査法を復習(予習）し、腹部血管造影における正常および異常像の形成要因と形状表現を解説する。	予習：「腹部血管」の正常解剖、検査法を調べておく。(1 時間） 復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間） ※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦

5	「心臓・大血管血管」　心臓・大血管血管造影検査法を復習（予習）し、心臓・大血管血管造影における正常および異常像の形成要因と形状表現を解説する。	予習：「心臓・大血管血管」の正常解剖、検査法を調べておく。(1 時間)　復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間）　※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦
6	「頭頸部血管」　頭頸部血管造影検査法を復習（予習）し、頭頸部血管造影における正常および異常像の形成要因と形状表現を解説する。	予習：「頭頸部血管」の正常解剖、検査法を調べておく。(1 時間)　復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間）　※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦
7	「画像下治療（Interventional Radiology：IVR）血管系 IVR、心臓系 IVR、非血管系 IVR の種類と特徴を概説し、治療や生検に必要な画像とその意義を解説する。	予習：「Interventional Radiology：IVR」の概要を調べておく。(1 時間)　復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間）　※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦
8	その他画像解剖	予習：正常画像解剖を理解しておくこと（1 時間）　復習：授業をもとに教科書の再確認（2 時間）　※当日予習に基づいた解剖小テストを実施（10 分程度）	西浦
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験<DP①>　2.　第 4 回で実施する正常解剖の小テスト　3. 授業開始前に実施する小テスト試験<DP①>　※　100 点満点の 60%（60 点）以上を単位認定します。			1. 70%　2. 20%　3.　10%

授業科目名	核医学機器工学（放射線）					
主担当教員	渡邊 翔太			担当教員	渡邊 翔太	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	前期		曜日・時限	水曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位		必修・選択	必修

授業概要

核医学機器工学は、放射性同位元素を使用する核医学における測定装置の基礎知識を教授する。核医学診断に関する基礎知識を得るために、シンチレーションカメラ装置、SPECT装置及びPET装置など核医学検査で用いられる装置の構造、原理及び付属機器などについて概説する。核医学機器の構成や役割に関する知識を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目指す。

学修目標

放射性医薬品を用いた生体機能画像化を行う核医学検査の特徴を理解し説明できる。〈DP①〉 核医学機器の構成や役割を正確に理解して、核医学検査技術の概念を説明できる。〈DP①〉 各種検査機器や動態機能検査解析法に関する原理や性能の基本的な内容を説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

これまでに履修した専門基礎科目の知識を総動員して、非密封放射性同位元素を用いた検査機器の構成や役割を十分理解する。 診療放射線技師国家試験の関連科目の合格水準への到達を目指す。 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。

教科書

放射線技術学シリーズ 核医学検査技術学(改訂4版)オーム社 大西 英雄 編、本村 信篤 編、松友 紀和 編 ISBN: 978-4-274-22826-1

参考書

新核医学技術総論 技術編 山代印刷株式会社

研究室／オフィスアワー

さくら棟5階共同研究室 在室時に随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	核医学検査の概要（放射線・薬品・装置）	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間) 復習：核医学検査で用いる放射線・放射性医薬品・撮影装置について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
2	シンチレーションカメラの概要と構成① シンチレータ・光電子増倍管・位置演算	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間) 復習：シンチレータ・光電子増倍管・位置演算について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
3	シンチレーションカメラの概要と構成② エネルギー弁別・コリメータ・撮影手法	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間) 復習：エネルギー弁別・コリメータ・撮影手法について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
4	シンチレーションカメラの概要と構成③ SPECT・半導体検出器・試料測定装置	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2時間) 復習：SPECT・半導体検出器・試料測定装置について整理し、まとめる。(2時間)	渡邊
5	講義全体のまとめおよび小テスト 第1～4回までの授業内容を総括し、小テストを実施する。	予習：第1回～第4回までの授業内容を確認し、知識を整理する。(2時間) 復習：小テストを見直し、知識を整理する。(2時間)	渡邊

6	PET 装置の概要と構成①　PET 装置の測定原理や装置構成・サイクロトロン	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：PET 装置の測定原理や装置構成・サイクロトロンについて整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
7	PET 装置の概要と構成②　シンチレータ・検出器・同時計数	予習：教科書 該当ページを読み、必要な項目を調べる。(2 時間)　復習：シンチレータ・検出器・同時計数について整理し、まとめる。(2 時間)	渡邊
8	講義全体のまとめおよび確認テスト 第 1～7 回までの授業内容を総括し、確認テストを実施する。	予習：第 1 回～第 7 回までの授業内容を確認し、知識を整理する。(2 時間)　復習：確認テストを見直し、知識を整理する。(2 時間)	渡邊
成績評価方法と基準			割合
1. 授業中に行う小テスト　2. 確認テスト①と確認テスト②の合計　　2/3 以上の出席を必要とする			1. 20%　2. 80%

授業科目名	放射線治療機器工学（放射線）				
主担当教員	奥村 雅彦		担当教員	奥村 雅彦	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜5限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

放射線治療機器工学は放射線治療で用いる医用直線加速器、円形加速器、粒子線治療装置、放射線治療計画装置、密封小線源治療装置、治療計画用位置決め装置（X線、CT装置）の基礎知識を教授する。これにより、各装置の基本構成、動作原理および特性に関する基礎知識を身につけさせ、放射線治療技術学Ⅰや放射線治療技術学ⅠⅠを学ぶための基礎的な能力を高めることを目指す。

学修目標

1. 放射線治療装置の放射線発生原理、構成機器、性能について説明できる。(DP①) 2. 放射線治療計画に用いるX線シミュレータ、CT装置の画像機器の構成と制御を説明できる。(DP①) 3. 治療計画用コンピュータの計算アルゴリズム、システム構成について説明できる。(DP①) 4. 密封小線源治療に用いる装置と付属機器、使用する線源の使用目的について説明できる。(DP①)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書、配布レジュメ（要旨）を中心に実施する。各自で専用のノートに重要な内容は記録すること。授業中は、私語厳禁、スマートフォンは電源オフまたはマナーモードで鞄に入れて保管すること。

教科書

① 放射線治療基礎知識図解ノート 第2版 ISBN：978-4-307-07117-8 榮武二・櫻井英幸・監 金原出版 ② 診療放射線技術書 放射線治療技術学 ISBN：978-4-525－27961－5 佐々木智成 南山堂

参考書

・やさしくわかる放射線治療学 ISBN:978-4-7809-0975-3 日本放射線腫瘍学会 秀潤社 ・外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法―標準計測法12 ISBN：9784860451202 日本医学物理学会編 通称産業研究社

研究室／オフィスアワー

授業中に指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	放射線治療・治療装置概論	予習：放射線治療全般に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
2	X線・CTシミュレータ、治療計画装置	予習：治療計画に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
3	直線加速装置１（装置の構成・制御・電子銃）	予習：直線加速装置に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
4	直線加速装置２（加速管・ヘッド構造）	予習：直線加速装置に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
5	直線加速装置３（付属機器）	予習：直線加速装置に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
6	円形加速器	予習：円形加速器に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
7	高精度治療装置・中性子捕捉療法	予習：高精度治療装置・中世捕捉療法に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
8	密封小線源治療装置	予習：密封小線源治療装置に関する予習（2時間） 復習：教科書・配布資料（2時間）	奥村
成績評価方法と基準			割合

期末テスト（DP①）　授業態度（小テスト・確認テスト含む）（DP①）　授業の出席は、授業時間数の 2/3 以上とする。	80%　20%

授業科目名	放射線技術学実習Ⅱ(安全管理系)(放射線)				
主担当教員	今井 信也		担当教員	今井 信也／渡邊 翔太／木下 尚紀	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜3限、火曜4限、火曜5限
授業形態	実験	単位数	1単位	必修･選択	必修

授業概要

放射線技術学実習Ⅱは、専門基礎科目および放射線安全管理学で得た知識をベースに、実際の放射線源、放射線発生装置、放射線計測機器を取扱うことで、それらの基本的な操作手技の習得および放射線防護意識の定着を目標とする。実験を通して、放射線防護の三原則である「時間・距離・遮へい」の重要性、放射線の種類に応じた適切な遮へい方法、放射能や線量当量などの計算方法を実践的に学ぶ。また、「安全管理学」分野では、医療従事者としてのリスクマネジメントについてグループ内でディスカッションする。

学修目標

1. 放射線源および放射線発生装置を安全に取扱うことができる 2. 放射線の種類によって適切な放射線計測器や防護方法を選択することができる 3. 医療従事者として患者、チームスタッフ、自身を安全に守るための行動がとれる <DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 全出席を原則とします。 2. 実習時の服装はケーシー上下、白衣、白い靴とします。 ※身だしなみはオリエンテーション時に説明します。 3. 放射線源の取扱いには十分注意してください。 4. グループ内でよく対話し、サポートしあいながら協調性をもって実験に取り組んでください。 5. レポートの提出期限を遵守して下さい。原則的に締切後の提出は認めません。 ※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

実習書を配布する

参考書

新・医用放射線技術実験―基礎編― 第4版 (共立出版) 978-4-320-06195-8 放射線技術学シリーズ 放射線安全管理学 改訂2版 (オーム社) 978-4-274-21133-1 アイソトープ手帳 12版 ポケット版 日本アイソトープ協会 (丸善) 978-4-89073-277-7

研究室／オフィスアワー

今井 信也（さくら棟5F 研究室9／オフィスアワーは初回講義時に説明する） 木下 尚紀（さくら棟5F 共同研究室） 渡邊 翔太（さくら棟5F 共同研究室）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション【1～3回】 各回の実験内容を詳細に説明する	オリエンテーション【1～3回】 各回の実験内容を詳細に説明する	今井／木下／渡邊
2	GM係数管のプラトー特性【4～6回】	予習：実習書の「事前課題」についてノートにまとめる 復習：実習書の「考察と検討」についてレポートにまとめる	今井
3	医療安全管理学：BLS、患者移動、移乗動作支援【7～9回】	予習：実習書の「事前課題」についてノートにまとめる 復習：実習書の「考察と検討」についてレポートにまとめる	渡邊
4	散乱線および管理区域漏洩線量の測定【10～12回】	予習：実習書の「事前課題」についてノートにまとめる 復習：実習書の「考察と検討」についてレポートにまとめる	木下
5	分析時間・計数効率の測定【13～15回】	予習：実習書の「事前課題」についてノートにまとめる 復習：実習書の「考察と検討」についてレポートにまとめる	今井

6	人体ファントムによる撮影実習①:上肢･下肢【16～18 回】	予習：実習書の「事前課題」についてノートにまとめる　復習：実習書の「考察と検討」についてレポートにまとめる	渡邊
7	サーベイメータの特性【19～21 回】	予習：実習書の「事前課題」についてノートにまとめる　復習：実習書の「考察と検討」についてレポートにまとめる	木下
8	実験実習のまとめ　レポート指導【22～24 回】	予習：実習班ごとに発表内容をまとめてる 復習：実習班ごとに実習および考察内容を振り返る	今井／木下／渡邊
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。 なお､評価には以下の条件をつける。　1.　平常評価 50%　<DP1><DP4> 実験前の予習、実験中の態度、主体性、協調性、貢献度を評価する　2.　レポート評価 50%　<DP1><DP4> 考察を重視する　3.　本実習において、成績不良者に対し「再試験」は実施しない。　※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。			1. 50%　2. 50%

授業科目名	基礎ゼミナール（放射線）				
主担当教員	今井　信也		担当教員	今井　信也／阿部　秀高／大橋　明日香／星野　貴志／大鷹　豊／小縣　裕二／高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20001	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本演習では、学生を少人数のグループに分けて担当教員を配属し、(1) 大学での学修に必要で、かつ高等学校までの教育において修得すべき内容の教育、(2) 講義ノートの取り方・教科書の読み方、レポート・論文の書き方や文献の探し方、(3) 大学生に求められる一般常識や態度、(4) 専門教育への橋渡しとなるような基礎的知識・技能の教育などについて、ディスカッションを交えて演習を行う。

学修目標

1．　大学生として必要な基礎学習能力を身に着けている。<DP④>　2．　自分の想いを伝え、相手の想いを理解することができる。<DP②③>　3．　テーマについて問題点の発見と解決策についてディスカッションすることができる。<DP④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．　初回授業で実施の詳細を説明します。　2．　与えられた学修内容に関連したテーマについて、ディスカッションできるように十分に準備して授業に臨むこと。　3．　グループディスカッションには積極的に参加すること。

教科書

診療放射線技術　上巻改訂第 14 版　ISBN: 9784524258598　小塚隆弘・稲邑清也・監　南江堂　診療放射線技術　下巻改訂第 14 版　ISBN: 9784524258611　小塚隆弘・稲邑清也・監　南江堂

参考書

放射線について考えよう。　ISBN: 9784991034800　多田将　明幸堂　医用放射線辞典 第 5 版　　ISBN: 9784320061750　医用放射線辞典編集委員会　共立出版

研究室／オフィスアワー

小縣　裕二　さくら棟 5 階　研究室 1　／　随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	スタディーズスキル，自己紹介	予習：シラバスを確認する。(2h)　復習：講義から学んだことをレポートにまとめる。(2h)	今井　信也、小縣　裕二、星野　貴志、大橋　明日香、大鷹　豊
2	自然科学を学ぶための超基礎講座（数学・物理を中心に）	予習：高校数学の内容を見直す。(指数対数を中心に) (2h)　復習：これから学ぶ講義に必要な知識を整理する。(2h)	大橋　明日香
3	「大学」について考える	予習：与えられたテーマについて調べる。(2h)　復習：講義から学んだことをレポートにまとめる。(2h)	小縣　裕二
4	「単位制度」について考える	予習：与えられたテーマについて調べる。(2h)　復習：講義から学んだことをレポートにまとめる。(2h)	小縣　裕二
5	レポートの書き方	予習：資料を確認する。(2h)　復習：講義から学んだことをレポートにまとめる。(2h)	大橋　明日香、大鷹　豊
6	図書館の利用方法と情報検索	予習：与えられたテーマについて調べる。(2h)　復習：講義から学んだことをレポートにまとめる。(2h)	図書館司書、今井　信也、星野　貴志、

7	ワークアウトセッション①	予習：ワークアウトについて調べる。(2h) 復習：ワークアウトで学んだことをレポートにまとめる。(2h)	今井　信也、星野　貴志、大橋　明日香、大鷹　豊
8	ワークアウトセッション②	予習：ワークアウトについて調べる。(2h) 復習：ワークアウトで学んだことをレポートにまとめる。(2h)	今井　信也、 星野　貴志、 大橋　明日香、大鷹　豊
9	オリエンテーション（講義への取り組み方・大学生としての自分を見つめる）	予習：シラバスの確認。（２時間）　復習：学びの履歴シートによる大学生として必要な資質/能力についてのまとめ（２時間）	阿部　秀高
10	大学生として身につけたい力	予習：大学生として必要な力の確認。（２時間）復習：講話から学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部　秀高
11	大学生として身につけたい学び方	予習：大学生として身につけたい学び方について調べておく。（２時間）　復習：講話から学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部　秀高
12	コミュニケーションスキル・学修スキル向上	予習：レポートの書き方について高校までに学んだことを想起しておく（２時間）復習：学んだレポートの書き方について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部　秀高
13	論理的文章の書き方・資料活用の方法	予習：言語技術について、高校までに学んだことを想起しておく（２時間）　復習：学んだ言語技術について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部　秀高
14	プレゼンテーション・スキル	予習：プレゼンテーションについて高校までに学んだことを想起しておく。（２時間） 復習：プレゼンテーションの作り方、発表の仕方についてまとめる。（２時間）	阿部　秀高
15	本授業における学びのまとめ・振り返り	予習：自分の作成したプレゼンテーションの練習）（２時間）　復習：７回の講義で学んだ社会人基礎力に関してまとめておく。（２時間）	阿部　秀高
成績評価方法と基準			割合
【学科教員】　①授業中討論し、発表した内容を期日までにレポートにまとめ提出する。＜DP②③④＞ 【阿部秀高】　②平常点評価（授業毎回の振り返りなど）６０％＜DP②③④＞　　講義最終回に作成した課題レポート４０％＜DP②③④＞			①50%　②50%

授業科目名	物理学（放射線）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

さまざまな自然現象をよく観察してみると簡単な基本原理に基づいていることがわかる。物理学とはそのような基本原理を論理的に説明する学問であり、工学はもとより生物学、医学などの幅広い分野の基礎となっている。本講義は力学・熱力学・電磁気学などについて幅広い知識を学習し、医療現場で実際に活用できる知識を習得できる授業構成である。

学修目標

電気(回路計算)、電磁気の基本知識　直流と交流の違いについて　ベルヌーイの定理・血圧とは　　上記の内容を学修していく。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識する。　2．配布された資料を使用し、講義を行う。　3．出席は重視する。　4．身近な自然現象を物理学の観点で考察する。　5．疑問点は大切にし、解決に向けて努力する。

教科書

プリント使用

参考書

電気基礎講座１プログラム学習による基礎電気工学　直流編

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜、水曜と木曜の午前中、金曜の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	基本法則の誕生　クーロンの法則について　電流	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **静電気の基本原理**：- 静電気は物体間の電子移動によって発生することを確認する。　- クーロンの法則　- 帯電の種類：正電荷と負電荷。2. **電流の基本原理**：　- 電流は電子の流れ（単位：アンペア [A]）。　- 電流の計算式　- 電流と静電気の違い（移動する電荷の状態）。　3. **日常的な	久国　正章

		例**：　　- 静電気：衣類のまとわりつき、ドアノブに触れたときの放電。　　- 電流：電池で動く電子機器、家庭の電気回路。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **静電気の応用と影響**：静電気の発生メカニズムと、それを防ぐ方法（例：湿度調整、導電性素材）を整理する。　2. **電流の理解**：　　- 電流の計算問題を解き直し、時間、電荷量、電流の関係を確認する。　- 電流が回路内でどのように流れるか、電圧や抵抗との関係を考える。　3. **応用例を考察**：　　- 電流と静電気が関連する技術（例：電子機器、防静電処理）を調べる。　　- 静電気と電流が異なる現象であることを、図や文章で整理する。	
3	電圧・抵抗について　オームの法則を用いた計算	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **電圧の定義**：　　- 電圧の単位：ボルト（V）。　　- 電圧が高いほど、電流を流す力が強くなる。　2. **抵抗の定義**：　　- 抵抗は、電流の流れにくさを表す。　　- 抵抗の単位：オーム（Ω）。　　- 抵抗が大きいほど、同じ電圧で流れる電流が少なくなる。　3. **オームの法則**：電流、電圧、抵抗の関係を表す基本式　4. **日常的な例**：　　- 電圧：家庭用電源（例：100 V、220 V）。　- 抵抗：電球のフィラメントや電気ヒーターの材料。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **電圧と電流の関係**：　　- 電圧が増えると電流がどのように変化するかを考える。　- 抵抗が一定のとき、電圧と電流が比例することをグラフで示す。　2. **抵抗の影響**：　　- 抵抗が大きくなると電流が減少する理由をオームの法則で説明する。　- 異なる抵抗値を持つ部品（例：LED、電熱線）を使った場合の挙動を考察する。	久国　正章
4	直列回路の考え方について。	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **直列回路の基本特性**：　　- 直列回路では、電流はすべての部品で同じ大きさで流れる。　　- 総抵抗 ¥(R_{¥text{total}} ¥) は各抵抗の合計：　2. **オームの法則の復習**：直列回路に適用して、電圧、電流、抵抗の関係を確認する。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **直列回路の計算**：　　- 抵抗の合成を正確に計算できるようにする。　　- 各抵抗器にかかる電圧を求める練習をする。　2. **直列回路の特性の理解**：　　- 直列回路で1つの抵抗器が切れると回路全体がどうなるかを考える。　　- 電圧の分配が回路設計にどう影響するかを考察する。	久国　正章
5	抵抗率・キルヒホッフの法則について	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **キルヒホッフの法則**：　　- 任意の接続点において、流入する電流の総和と流出する電流の総和は等しい　　- 電流の流れが接続点で途切れないことを確認する。　2. **キルヒホッフの	久国　正章

		電圧の法則**：任意の閉回路（ループ）において、電圧の総和はゼロ　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. 各接続点の電流の総和がゼロになるように、具体的な例を使って確認する。　2. 各ループでの電圧の釣り合いを計算し、閉じた回路内の電圧降下と電源電圧の関係を理解する。	
6	キルヒホッフの法則２回目	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **複数のループを含む回路**：　- 複数のループを持つ回路における電流と電圧の関係を整理する。　- 各ループにおける電流の方向を仮定して、計算を進める方法を学ぶ。　2. **キルヒホッフの法則を複雑な回路に適用**：電流が複数のループにまたがる場合の電流の分配。　**復習課題**:　- 授業で扱った複数ループ回路の計算問題を解き直し、理解を深める。　- 電流、電圧、抵抗の関係を計算し、キルヒホッフの法則が成り立つことを確認する。	久国　正章
7	並列回路について	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **並列回路の基本特性**：　- 並列回路では、各支路にかかる電圧が等しい　- 電流は支路ごとに分配される　- 並列回路の合成抵抗の公式　2. **オームの法則の復習**：並列回路に適用し、各支路の電流を計算する方法を確認する。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください：　1. **並列回路の計算**：　- 合成抵抗を正確に計算できるようにする。　- 各支路の電流を計算し、電流がどのように分配されるか理解する。　2. **並列回路の特性の理解**：　- 並列接続が回路全体の抵抗を小さくする理由を考える。　- 1 つの支路に障害が起きても他の支路が動作を続ける仕組みを理解する。	久国　正章
8	ブリッジ回路	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **ブリッジ回路の基本構造：4 つの抵抗が橋のように配置された回路構造。　2. **平衡条件**　**復習**　1. **平衡条件の理解**：平衡条件を使った抵抗値の計算問題を解き直す。	久国　正章
9	ブリッジ回路２回目　直流と交流の違い	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **交流（AC）の基本的な性質**：　- 交流とは、電流や電圧が時間とともに周期的に変化するもの。　- 交流の波形（正弦波）　- 周期と周波数の関係　2. **実効値**：　- 実効値は交流の大きさを定量化する指標　- 実効値は、直流電圧と同じ効果を持つ交流電圧を表す。　3. **日常的な例**：　- 家庭用電源（例：日本では 100 V、50 Hz または 60 Hz）。　- 発電所から送電される電力の仕組み。	久国　正章
10	交流回路２回目　最大値・振幅・瞬時値・平均値・実効値	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **交流の基本概念**：正弦波	久国　正章

		交流の表現　2. **各値の定義と意味**: - **最大値(振幅)**　- **瞬時値**　- **平均値**　- **実効値**　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください:　1. **交流の値の計算**:　- 最大値と実効値の関係を整理し、計算練習する。　- 瞬時値を特定の時刻に対して計算し、波形上の位置を確認する。　2. **各値の物理的意味の理解**:　- 実効値が電力にどのように関係するかを考察する。 - 瞬時値が波形のどの位置を示しているか、グラフを使って視覚的に整理する。	
11	交流　等速円運動　位相	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **等速円運動の基本特性**: - **等速円運動の定義**　- **速度と加速度**　- **角速度**　2. **位相の基本概念**:　- **位相**：波や円運動における現在の位置や進行度合いを表す角度（ラジアン単位)。　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください:　1. **等速円運動の理解**:　- 接線速度と向心加速度の関係を計算で確認する。　- 半径や周期を変化させた場合の運動の変化を考察する。	久国　正章
12	交流　電磁誘導	＜予習・復習 各 2 時間＞　＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **交流（AC）の基本**:　- 交流の定義：電流が周期的に方向を変える電流。　- 周波数（Hz）と周期（秒）の関係:　- 実生活での例：家庭用電源（例：日本では 50 Hz または 60 Hz)。　2. **電磁誘導の原理**：ファラデーの法則　3. **日常的な例**:　- 交流：発電機、電灯、電化製品。 - 電磁誘導：自転車のダイナモライト、電磁調理器。　**復習**　1. **交流の理解**:　2. **電磁誘導の応用**:　3. **応用例を考察**:　- 発電機や電動機の仕組みを電磁誘導を使って説明する。　- 交流と電磁誘導が使われている技術(例:送電、家電）を調べる。	久国　正章
13	コイル　コンデンサ	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **コイル（インダクタンス）の基本特性**:　- コイル（インダクタンス）は、電流の変化に対抗する性質を持つ。　- インダクタンス ¥(Ｌ¥）の定義 2. **コンデンサ（キャパシタンス）の基本特性**:　- コンデンサは電荷を蓄える能力を持つ。　- キャパシタンス ¥(Ｃ¥）の定義:　**復習**　授業内容を整理し、以下の点を深めてください:　1. **コイルの理解**:　- 電流の変化に伴う誘導起電力を計算し、インダクタンスの意味を確認する。　2. **コンデンサの理解**: - 電荷と電圧の関係を計算し、キャパシタンスの意味を確認する。	久国　正章
14	RL 直列回路	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください:　1. **RL 直列回路の構造**:　- 抵抗とコイルが直列に接続された回路。 - 抵抗とコイルが電流に対して異なる振る	久国　正章

		舞いをすることを確認。 2. **直流 RL 回路での応答**: - 電流の立ち上がり: - コイルによる誘導起電力の影響で電流が徐々に増加する。 - 電流の時間変化	
15	RC 直列回路　RLC 直列回路	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください: 1. **RC 直列回路の基本特性**: 2. **RLC 直列回路の基本特性** **復習** 1. **RC 直列回路の特性理解**: - 直流と交流におけるコンデンサの挙動を整理する。	久国　正章
成績評価方法と基準			割合
①毎回の小テスト課題をもって評価します。１００点<DP③>			①100%

授業科目名	生物学（放射線）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療人にとって必要な生物学的知識を学習し、この後に展開する基礎医学への理解を容易にする。

学修目標

生物に共通する生体のシステムやその仕組みについて理解を深めることができ、人体と連関して思考できる。<DP③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生物学自体は高校までの教科としてすでに学んでいるかもしれないが、医学に直結する領域についてはまだ学んでいないか、理解が不十分であろうと思われる。既に学んでいる、知っている学問という認識は排除して新たな教科を学ぶ姿勢で臨んでほしい。

教科書

「新しい教養のための生物学」　裳華房

参考書

生物学　カレッジ版　医学書院

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命と栄養と代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
2	糖質の種類	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
3	糖代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
4	脂質とその代謝	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
5	ビタミンの種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
6	細胞の構造とオルガネラ	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
7	核酸の種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
8	転写と翻訳	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
9	タンパク質の種類と機能	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部

10	細胞のシグナル伝達	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
11	細胞分裂と増殖	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
12	発生と分化	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
13	免疫システム	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
14	細胞の初期化と再生医療	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
15	細胞死とアポトーシス	予習　テキストを読み込んでおいてほしい。(2 時間)　復習　講義内容の確認をしておくこと。(2 時間)	安部
成績評価方法と基準			割合
1　定期試験　＜DP③＞			1 100%

授業科目名	化学（放射線）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

放射性物質などを取り扱う際、必要とされる基本的な化学的知識が得られる。さらに、生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解し、それらが生理機能に密接に連関することを理解得られすることができる。　<DP③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「コ・メディカル　化学」　裳華房

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
2	電子配置とイオン化	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
3	化学結合	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
4	物質の三態	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
5	化学平衡と反応速度論 1	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
6	化学平衡と反応速度論 2	<予習・復習 各 2 時間>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講	安部

		義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
15	「化学」のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP③＞			1　100%

授業科目名	情報処理（放射線）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜１限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本講義では、科学論文形式のレポートや成果発表時に必要となるプレゼンテーション資料を作成できる技能の習得を目標とする．　データ収集から発表（資料作成）までの過程を通して，コンピュータ利用に関する必要な基礎知識のほか、レポート作成等に役立つ基礎的な情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

１．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉　２．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉　３．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉　４．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉　５．インターネットを利用した情報検索のスキルを習得する〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1-1．初回の講義時に，受講人数の調査をする．この調査によっては，２クラス（A，B）ではなく１クラスで実施する場合がある．　1-2．２クラス展開となった場合，初回の講義に出席していない場合は，教員により強制的にクラスを指定するので注意すること．　２．PC を使った演習が必須となるので，休むことなく参加すること．　３．自己所有の PC があれば，利用を推奨する．もちろん，備え付けの PC があるので所有している必要はない．　４．PC 演習室ての飲食は禁止(机の上に置くのも禁止）する．　５．PC の操作に長けている人には物足りない授業となる可能性が高いので，留意すること．

教科書

特に指定しない．　適宜資料を配付する．

参考書

適宜指示する．

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス	授業をすすめるに際して，また今後の学生生活においても必要となるアイテムについて説明をする．　そのアイテムは，次回までに用意すること..【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	情報セキュリティと情報モラル	情報セキュリティに関する意識の欠如や，情報モラルの欠如によって，主にインターネット上で起こった，問題事例について調べる..【4】	井手口
3	コンピュータを利用した錯視実験の実施	ミューラー・リヤー錯視について調べる【4】	井手口

4	Excel 基礎-１- Excel の基本操作の習得	前回収集したデータを，分析しやすい形に成形する【4】	井手口
5	Excel 基礎-２- 関数を使った計算の基礎	成形したデータの基本的な統計量を算出する【4】	井手口
6	Excel 応用-1- データの図式化	算出した統計量の特徴に応じて，適切な図を作成する【4】	井手口
7	Excel 応用-2- 図や表を大学レポート向けに修正する	レポートとして利用する際の注意点に従って，適切な形式に修正する【4】	井手口
8	Word 基礎-1- Word の基本操作の習得	キーボード操作に習熟するため，タイピングの練習を継続して実施する【4】	井手口
9	Word 基礎-2- 文書のレイアウト機能の習得	レイアウト操作および操作結果を確認する【4】	井手口
10	Word 応用 Excel で作成した図表の利用	Excel から図表を取り込む際の方法の違いを理解し，使い分けられるようにする【4】	井手口
11	PowerPoint 基礎-1- PowerPoint の基本操作の習得	スライドの概念について理解し，実験データの発表の流れについて考える【4】	井手口
12	PowerPoint 基礎-2- スライドの修飾	スライドを修飾し，興味関心を引く工夫をする【4】	井手口
13	PowerPoint 応用 アニメーションの設定	より強調したい箇所について考え，特に注目してもらえるように工夫する【4】	井手口
14	プレゼンテーション-1- 錯視実験のデータについて発表を行う	これまでに作成したスライドを使用して，クラスで発表する内容を考える【4】	井手口
15	プレゼンテーション-2- 錯視実験のデータについて発表を行う	前回の発表を参考に，より良い発表ができるように工夫する【4】	井手口
成績評価方法と基準			割合
1. MORIPA に提出する課題の完成度〈DP③〉 1.1. Excel 資料〈DP③〉 1.2. Word 資料〈DP③〉 1.3. Powerpoint 資料〈DP③〉			1. 100% 1.1. 40% 1.2. 40% 1.3. 20%

授業科目名	統計学（放射線）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20006	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜１限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

統計学の基礎や概念を学び、実験や調査で得られたデータをどのような統計手法を用いて分析し、どのように解釈すればよいかを理解し、それらを元に実際に自分たちでデータを分析することによって、基礎的な統計処理を身につけることを目指す。

学修目標

１．統計学の基礎を理解する〈DP③〉　２．推定と検定の考え方を理解し，説明することができる〈DP③〉　３．量的データに対して適切な分析方法を選択することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の授業のつながりが非常に重要です．また，毎回小テストを実施しますので，欠席のないように留意すること

教科書

向後千春・冨永敦子，ファーストブック 統計学がわかる，技術評論社，ISBN13: 978-4774131900

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　「統計学」とはどのような学問か，また，医療従事者にとって統計学がなぜ必要なのかについて解説する.	シラバスを確認して，テキスト「はじめに」を読む（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）.【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	統計の基本概念とキーワード１:統計学に必須の基礎的知識　数の分類,測定値の性質について解説する.	数の分類や，尺度水準に関して参考書，web 等を利用してそれぞれの用語について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
3	統計の基本概念とキーワード２:統計学に必須の基礎的知識　母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度について解説する.	母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度に関して，教科書（１章，２章），参考書，web 等を利用して調べる，【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
4	相関：２変数のデータの関係の表現方法　「データの記述」の観点から，「相関」及び「相関係数」について解説する.	教科書では取り扱っていない内容なので，参考書や web を活用して，ピアソンの積率相関係数，スピアマンの順位相関係数，ケンドールの順位相関係数について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
5	検定の原理:検定法の共通原理　統計学的な手法は多様であるが，共通する部分も存在する．ここでは,多くの手法に共通する考え方について解説する.	教科書３章１節を読み．一般的な検定の流れについて調べておく．特に，「帰無仮説」とはなにか考える.【2】　MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口

6	検定：頻度・割合の検定１　　前回解説した「検定法の共通原理」に基づいた具体的な検定手法について，頻度・割合の検定を例に，「観測値」と「期待値」の考え方について解説する.	教科書３章２節，３節を読む.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
7	検定：頻度・割合の検定２　　観測値と期待値についておさらいしつつ，「カイ２乗検定」について解説し，実際に，検定統計量（カイ２乗値）や，その生起確率を求め，検定結果について判定を行う.	教科書３章４節を読み，必要な指標の求め方を調べておく.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
8	推定：平均値の信頼区間　　標本（得られた測定値）の平均値は，母集団の平均値（母平均）と一致しているかどうか検討するため，推定の手法について解説する.	教科書２章３節を読み，推定の考え方について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
9	推定：平均値の差の信頼区間　　１標本の平均値から母平均の信頼区間を求めることを拡張し，２標本の平均値の差の信頼区間を求める方法について解説する.	教科書４章１節，２節を読み，平均値の差の推定の考え方について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
10	検定：ｔ検定（対応のない２群の平均値の差の検定）　　収集したデータの「対応」とは何かを解説し，２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がない場合（特にウェルチの方法）について解説する．ウェルチの方法については，教科書に記述がないため，資料を配布する.	参考書，あるいは web を調べて．対応のないｔ検定の中でも，「ウェルチの方法」について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
11	検定：ｔ検定（対応のある２群の平均値の差の検定）　　２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がある場合について解説する.	教科書５章を読み，対応のある２群の平均値の差の検定について調べ，参考書，web を活用して「一標本ｔ検定」について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
12	３群以上の差の検定１-1：一元配置分散分析（１要因分散分析）　　ｔ検定は，測定条件が３群以上になると適用することができなくなる．３群以上の条件がある場合の検定について解説する.	教科書６章１節，２節を読み，条件が３群以上になるとｔ検定が利用できなくなる理由について調べつつ，分散分析の原理・考え方について理解する.【4】	井手口
13	３群以上の差の検定１-2：一元配置分散分析（１要因分散分析)演習　　前回解説した，１要因で，３水準以上の条件がある場合の検定に関する演習を行う.	教科書６章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順を調べる.【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
14	３群以上の差の検定２-1：二元配置分散分析（２要因分散分析）　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定について解説する.	教科書７章１節，２節を読み，「要因」と「水準」の考え方を再度確認し，２要因ある場合の分散分析の計算手順を調べる.【4】	井手口
15	３群以上の差の検定：二元配置分散分析（２要因分散分析）演習　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定に関する演習を行う.	教科書７章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順，及び，新たな要素である「交互作用」について調べる【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
成績評価方法と基準			割合
① 定期試験〈DP③〉　② 小テスト〈DP③〉			① 80%　② 20%

授業科目名	心理学（放射線）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜１限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

心理学が扱う問題・領域は多岐にわたっているが，それらに共通しているのは，「心」を理解しようとしていることである．しかしながら，一見すると，一体どこに「心」があるのか疑問になるような問題を扱っていることも多い．　本講義では，心理学における基礎的領域について概説した後に，生活や健康，心理臨床の領域に関わる応用的領域について解説を展開する．　また，医療の現場では，様々な状況に置かれた人々と関わりを持つ機会が非常に多い．心理学を学び，「心」に関する知識を修得することで，医療人としての皆さんに，直接的に，また，間接的に役立つことを期待している．

学修目標

１．「心」の働きをつくる諸機能について説明できる〈DP③〉　２．「心」と，生活や健康との関わりについて説明できる〈DP③〉
３．「心」の基礎的領域と応用的領域の知見について系統立てて説明できる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

PC によるプレゼンテーション資料や動画資料を活用した講義形式を中心に授業を進める．講義ごと，あるいは，扱う領域ごとに MORIPA 上で小テストを課すことがある．　講義で使用する動画資料は MORIPA 上で公開するので，やむを得ず欠席する場合は，動画を視聴しておくこと．また，最後の成績評価にある通り，小テストは成績に反映されるので，忘れずに回答すること．

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 編，「心理学［第５版 補訂版］」，東京大学出版会，ISBN13: 978-4130121170

参考書

大川一郎・土田宣明・高木美保 編著，「基礎から学べる 医療現場で役立つ心理学」，ミネルヴァ書房　樫村正美・野村俊明 編著，「医療系のための心理学」，講談社　大竹文雄・平井啓 編著，「医療現場の行動経済学―すれ違う医者と患者―」，東洋経済新報社　その他、適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	こころを捉える：こころとはなにか？	テキスト第１章を読む．　（単に調べるだけではなく，わからない専門用語等について下調べをし，イメージ（ゆるふわで良い）を持っておく．以下同様）【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	こころを捉える：行動の基本様式	テキスト第２章を読む【4】	井手口
3	こころを捉える：遺伝と環境	テキスト第３章を読む【4】	井手口
4	学習：条件付け	テキスト第４章１節を読む【4】	井手口
5	学習：技能学習と社会学習	テキスト第４章 2，3 節を読む【4】	井手口
6	記憶：短期記憶と長期記憶	テキスト第４章４節を読む【4】	井手口
7	学習・記憶の神経学的基礎	テキスト第４章５節を読む【4】	井手口

8	感覚：感覚様相と閾	テキスト第５章１節を読む【4】	井手口
9	知覚：視覚系の生理学	テキスト第５章２節，1，2 項を読む【4】	井手口
10	知覚：視知覚の特性	テキスト第５章２節，3，4，5，6，7 項を読む【4】	井手口
11	思考・言語：問題解決と認知発達	テキスト第６章 1，2，3，4 節を読む【4】	井手口
12	思考・言語：言語・非言語コミュニケーション	テキスト第６章 5，6 節を読む【4】	井手口
13	動機づけ：達成動機づけ	テキスト第７章 4 節を読む【4】	井手口
14	社会行動：社会的認知	テキスト第９章 1，2 節を読む【4】	井手口
15	社会行動：態度と説得・社会的影響	テキスト第９章 3，4 節を読む【4】	井手口
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP③〉　②平常点（MORIPA 上で実施する小テスト）〈DP③〉			①80%　②20%

授業科目名	生命倫理学（放射線）				
主担当教員	田中　美子		担当教員	田中　美子	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

「生命倫理学」の主なトピックを取り上げながら、その是非について一緒に真剣に考える時間をもちます。また、いのちの大切さについても考えます。授業は講義が中心ですが、ディスカッションも行う予定です。

学修目標

1.「『いのち』は誰が決めるのか」と、どの現場でも考えられる習慣を身につける。〈DP③〉　2.「誰のための医療か」「誰のためのケアか」を、他の人の立場でも考えられる。(DP③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書『はじめて学ぶ生命倫理』を購入してください。　ノートなどを用意してください。　授業の内容は、時事問題等の関係で、変更することがあります。

教科書

『はじめて学ぶ生命倫理』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書 167（筑摩書房）　2011 年

参考書

『シリーズ　大学生の学びをつくる　生命の倫理学』　三崎和志他著　大月書店　2023 年　『生命倫理学とは何か』　アラステア・Ｖ・キャンベル著　山本圭一郎他訳　勁草書房　2016 年　『生命倫理の教科書』　黒崎剛・野村俊明編著　ミネルヴァ書房　2014 年　『生命倫理・医事法』塚田敬義・前田和彦編　医療科学社　2015 年　『QOL って何だろう』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書　2018 年 『看護師という生き方』 宮子あずさ著　ちくまプリマー新書　2013 年 『いのちはなぜ大切なのか』　小澤竹俊著　ちくまプリマー新書　2007 年　『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』　安藤泰至著　岩波ブックレット　2019 年　『安楽死が合法の国で起こっていること』児玉真美著　ちくま新書　2023 年　『境を超えて Part1　このまま死ねるか?』岡部宏生著　ぶどう社　2023 年

研究室／オフィスアワー

授業の前後に、質問等を受け付けます。　出校日には、非常勤講師控室でも対応します。　自宅への電話でも受け付けます。番号は改めてお伝えします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理学で考えること	いのちに関わる問題をピックアップしておきましょう。	田中　美子
2	いのちはなぜ大切なのか	いのちとはどういうものか、自分の言葉で考えてみましょう。	田中　美子
3	人体実験からインフォームドコンセントへ	自己決定が求められるようになった歴史的背景を知りましょう。	田中　美子
4	言葉のポリティクス	言葉の使用法に込められた意図を考えてみましょう。	田中　美子
5	いのちをめぐる自己決定	教科書第１章を読みましょう。	田中　美子
6	安楽死・尊厳死の現在	いのちの終わりをめぐる現在の状況を知りましょう。	田中　美子
7	判断能力の判断は誰がするのか	教科書第３章を読みましょう。	田中　美子
8	認知症当事者の声	当事者の立場から認知症を捉え直してみましょう。	田中　美子

9	中高生の自己決定	教科書第 2 章を読みましょう。	田中　美子
10	人のいのちと心を支えるもの	自分にとっての支えが何かを考えてみましょう。	田中　美子
11	いのちの始まりはいつからか	教科書第 7 章を読みましょう。	田中　美子
12	いのちの尊厳の根拠	いのちはなぜ大切なのかを、改めて考えましょう。	田中　美子
13	いのちの質は誰が決めるのか	教科書第 4 章を読みましょう。	田中　美子
14	生殖医療の現在	いのちの始まりをめぐる現在の状況について調べましょう。	田中　美子
15	いのち・時間・美	いのちを大切にすることがどういうことか、多角的に考えてみましょう。	田中　美子
成績評価方法と基準			割合
①毎授業の「振り返り（ミニレポート）」。〈DP③〉　　授業の内容が反映されていること。 ②学期末の「レポート」。〈DP③〉　　調べた内容が客観的にまとめられていること。　　自分の考察が書かれていること。			①約 50%　②約 50%

授業科目名	社会福祉学（放射線）				
主担当教員	掛川　直之		担当教員	掛川　直之	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

〈貧困〉という問題をつうじて、社会福祉の基礎を学ぶ。社会福祉にかんする考え方、制度、課題等について、時事的な問題や映像素材などをとおして、医療との関係にも留意しながら具体的に学んでいく。一方通行にならないように、受講生の意見を聴いたり、グループワークをとりいれるなど、できるだけ退屈にならないような参加型の講義を心がける。

学修目標

日本社会に生起するさまざまな社会（福祉）問題とその背景について、社会福祉の観点から理解することで、その解決に向けて自分の考えを自分のことばで説明できるコメディカルとなることを目標とする。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義の進め方や成績評価の方法等の詳細については、初回の授業において説明する。なお、講義毎に、質問や感想を記したコミュニケーションペーパーの提出を求める。ここで出された質問等については、次回の講義の冒頭で解説をくわえる。

教科書

使用しない。毎回の講義においてレジュメを moripa にアップするので各自必要に応じてプリントアウト等をおこない活用されたい。

参考書

岩田正美『社会福祉への招待』（放送大学教育振興会、2016 年）　圷洋一・金子充・室田信一『問いからはじめる社会福祉学：不安・不利・不信に挑む』（有斐閣、2016 年）　掛川直之『犯罪からの社会復帰を問いなおす：地域共生社会におけるソーシャルワークのかたち』（旬報社、2020 年）

研究室／オフィスアワー

講義の前後、あるいはメール等にて質問等を受け付ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	〔オリエンテーション〕貧困問題から社会福祉を考える：あなたはどんな「溜め」をもっている？	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
2	〔社会福祉の基本①〕社会（福祉）問題の見方を身につける：ワードがワールドをつくる	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
3	〔社会福祉の基本②〕自助・共助・公助？：人間はひとりでは生きられない	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
4	〔社会福祉の基本③〕社会保障のしくみ：国や自治体の役割を考える	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
5	〔社会福祉の基本④〕ソーシャルワークの考え方：ソーシャルワーカーは何をする人なのか？	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
6	〔社会福祉の基本⑤〕ドラマ『サイレント・プア』から考えるソーシャルワーク：ソーシャルワーカーと連携していくために	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
7	〔社会福祉の分野①〕拡大する高齢者の貧困：地域包括ケアシステムについて考える	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之

8	〔社会福祉の分野②〕病気や障害をもつ人と貧困：適切な医療を受けるために	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
9	〔社会福祉の分野③〕女性やマイノリティは貧困に陥りやすい？：ジェンダーについて考える	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
10	〔社会福祉の分野④〕漫画『健康で文化的な最低限度の生活』から考える生活保護制度：生きるための最後の砦	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
11	〔社会福祉の分野〕映画『わたしは、ダニエル・ブレイク』から考える生活保護受給とバッシング：差別と偏見の背後にある誤解	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
12	〔社会福祉の応用①〕釜ヶ崎とホームレス問題：医療・保健・福祉の機能が集約された逃れのまち	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
13	〔社会福祉の応用②〕どうして〈犯罪者〉に福祉が必要なの？：貧困・社会的排除のスパイラル	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
14	〔社会福祉の応用③〕社会の〈障害〉をみつける：社会を変えることはできるのか？	＜予習・復習 各 2 時間＞　今回の講義内容について見直し、次回の講義テーマについて調べる	掛川　直之
15	〔社会福祉の応用④〕医療と福祉はつながっている　：第 1 回～第 14 回のまとめ	＜予習・復習 各 2 時間＞　本講義全体を見直す	掛川　直之
成績評価方法と基準			割合
①定期試験<DP③>　②コミュニケーションペーパー<DP③>　＊各回、1 点（ほとんど授業内容を理解できてない感想・質問しか書けていない）/2 点（あまり授業内容が理解できていない感想・質問しか書けていない）/3 点（概ね授業内容を理解した感想・質問が書けている）/4 点（授業内容を理解した感想・質問が書けている）/5 点（十分に授業内容を理解した感想・質問が書けている）の 5 段階で評価する　＊出席はとらない			①25%　②75%

授業科目名	日本国憲法（放射線）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、コ・メディカルをもとに、診療の補助の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 診療放射線学科における『診療放射線技師法』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福追求権)　　包括的基本権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	植田

6	基本的人権規定③　　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田
7	人権問題　　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田
8	衛生法規並び衛生行政　　衛生法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田
9	関係法規①　　コ･メディカルに対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習･復習 各 2 時間＞　予習:シラバス･テキスト冊子の確認　復習：講義内容をもとに、施術者の役割を確認する	植田
10	関係法規②　　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の中の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
11	医療過誤と法的責任①　　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
12	医療過誤と法的責任②　　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：医療過誤に関する事例を調べる　復習：特に民事責任に関して確認を行う	植田
13	日本の政治体制と三権分立　　国会･内閣規定より、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習:1 票の格差問題について理解を深める	植田
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より､キーワードの確認　復習:講義事項についての確認	植田
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(放射線B)				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉　基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking（角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction　/ Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	At the dinner table	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(放射線 A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題(特にリーディングの予習)は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking (角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	Getting to know each other	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Occupations	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	Talking about different occupations	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	At the dinner table	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重

6	Practicing how to order a meal in a restaurant	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	Sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	Talking about sports	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Health	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	Discussing symptoms of illnesses	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	What's on your playlist?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	Talking about types of music and musical performers	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	At the movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Discussing different kinds of movies	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test : Unit 1-6	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験<DP②>　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(放射線 B)				
主担当教員	長尾 晋宏		担当教員	長尾 晋宏／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期科目の英語 I に引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking (角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021) 英語 I で使用したテキストを引き続き使用する。英語 I を履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	長尾

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(放射線 A)				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

前期科目の英語 I に引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Live Escalate Book 2: Trekking (角山照彦・LiveABC editors 共著、成美堂、2021) 英語 I で使用したテキストを引き続き使用する。英語 I を履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Review Unit 1 - 6	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	Technology in daily life	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Describing household appliances	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	Social network	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Describing social network terms	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	藤重

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	Looking on the bright side	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
7	Talking about the power of staying positve	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	Love Affairs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Talking about different kinds of relationships	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	Storytelling	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Introducing the origin and purpose of fables	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	The power of words	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Talking about how to give compliments	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	Review: Unit 7-12, Medical terminology	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review test: Unit 7-12	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(放射線)				
主担当教員	小縣　裕二		担当教員	前川　佳敬／木下　尚紀／小縣　裕二／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。　また、履修に関することや教育課程（カリキュラム）、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。　医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③〉　・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③〉　・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③〉　・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】【理事長､学長×学部長対談！】　テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上)　復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長　内田学部長　前川学部長　森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】【学科長対談！】　テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁

5	コミュニケーション入門【コスモホール】　（コミュニケーションって何？コミュニケーションのメリットは？「話を聞く」、「伝える」ってどういうこと？）　テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 橋本　弘子
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上)　IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】　テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上)　復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 朝倉　智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【D②③】　②レポート課題　テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【D②③】　＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。　①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30%　②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（放射線）				
主担当教員	上田　淳平		担当教員	上田　淳平／垣本　晃宏／大鷹　豊／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についてし知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8 学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
3	IPW 論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者 朝倉　智仁
5			
6			
7			
8			

9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レポート課題〈DP②③〉　「見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」1600 字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。			100%

授業科目名	基礎体育（放射線）					
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之		
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について（オリエンテーション+軽運動を実施）　　授業開始時間には、C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(学科指定の更衣室にて更衣後、C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること）　・運動が可能なスポーツウェア（NG：綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です）　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　　以下は毎回の注意事項　服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計などの破損、貴重品や装飾品の紛失について担当教員は責任を負わない。授業に不必要なモノはロッカーを利用して各自が管理すること。　　注意事項　（１）集合場所　：C 棟体育館　　日にち（特に雨天時）によって、授業を行う場所を変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。　　（２）運動施設　　C 棟学内体育館、グリーンスクエア（屋外人工芝グラウンド）を使用します。　（３）運動種目　　フットサル、バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール、アルティメット、ボッチャ、モルックなど　（４）運動実施に伴う配慮について　　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション 軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩

			加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習 1 時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(放射線)				
主担当教員	小田 啓之		担当教員	小田 啓之	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける (DP③)。　・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する (DP③)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回配布する資料を用いて、必ず復習してください。

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年　田中喜代次編「健康運動の支援と実践」金芳堂、2006 年

研究室／オフィスアワー

東棟 4F　火曜 15:00-18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康とは？	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
2	運動・栄養と肥満症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
3	運動・栄養と糖尿病との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
4	運動・栄養と脂質異常症との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
5	三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
6	微量栄養素（ビタミン・ミネラル）と水の役割	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
7	消化器の構造と機能	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
8	食品群の理解と応用	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
9	エネルギー摂取量と消費量との関係	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
10	運動時におけるエネルギー産生メカニズム	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
11	運動処方の原則と実際	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
12	運動と食欲の関係－最新のトピックス－	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
13	日本人の食事摂取基準について	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田

14	健康づくりに関する本邦の取り組み	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
15	講義全体のまとめと振り返り	予習： これまでのプリントの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
成績評価方法と基準			割合
①授業内試験で評価する（DP③）。 15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 課題・テスト後、各設問の解答を解説する。希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			①100%

授業科目名	数学（放射線）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	SB20BRSA001	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

数学は数量および空間図形の性質について理解する学問であり、自然科学の学修には数学の基礎知識とシンボルを用いた表現力は不可欠である。本講義では放射線科学・技術の理解を深めるために必要となる三角関数、指数関数・対数関数、ベクトル、微分・積分、複素数などを中心に数学的なものの見方・考え方に関する基礎を教授する。前期「数学演習」の習得済を前提とした内容となります。

学修目標

1. 三角関数の性質や相互関係を理解し、その応用やそれを用いた計算ができる。〈DP①〉 2. 指数関数と対数関数の性質を理解し、計算できる。〈DP①〉 3. 関数の微分・積分の考え方を理解し、それを用いた計算ができる。〈DP①〉 4. ベクトルや複素数の性質や相互関係を理解し、その応用やそれを用いた計算ができる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 教科書を購入して、その日の学習部分は事前に予習して、読んでくること。 2. 重要事項は各自がノートに記載すること。 3. 授業では、主として例題等について解説をしていきますが、各自それに関連する練習問題を解かないと力が付きません。 4. 授業内演習のほかに、復習を中心として自宅での演習を進めていきましょう。分からないことは出来る限り次の講義の前までに解決すること。 5. グループワークを取り入れる予定であり、受講生にも発言を求めます。 6. 前期「(選) 数学演習」の習得済を前提とした内容となるので、未履修の学生は事前に基本公式などを確認しておくこと。
※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

Primary 大学テキスト これだけはおさえたい理工系の基礎数学、金原粲など編集、実務出版株式会社 ISBN978-4-407-31830-2

参考書

高校課程の教科書、参考書等

研究室／オフィスアワー

E棟4階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日5限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） 三角比の復習	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：高校数学課程の内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
2	三角関数の復習	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
3	指数・対数関数の復習	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
4	ベクトル①（ベクトルとスカラー）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
5	ベクトル②（内積と成分）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間

6	微分の復習	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
7	微分②（合成関数の復習・マクローリン展開）	＜予習・復習 各 2 時間＞　復習：授業内容の確認と問題の解答　予習 1 時間と復習 1 時間を行う	佐久間
8	微分③（マクローリン展開【続】、関数の増減と極大・極小）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
9	微分④（変曲点）　積分の復習	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
10	積分②（定積分、合成関数の積分、置換積分）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
11	積分③（置換積分【続】、置換積分法の定積分への適用、部分積分）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
12	積分④（部分積分の定積分）　複素数①（複素数の計算）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
13	複素数②（複素平面、絶対値）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
14	複素数③（極形式、ド・モアブルの定理）　三角関数②（極座標）　微分⑤（オイラーの公式）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
15	学修内容の総括（期末試験）	＜予習・復習 各 2 時間＞　数学の学習を振り返り、整理しよう。 期末試験に備えておくこと。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP①〉　②期末試験（授業内で実施）〈DP①〉　〈課題・期末試験に対するフィードバック方法〉 授業課題については次回以降に個別に返却講評します。　期末試験の点数は希望者のみ評価を開示する。			① 40%　② 60%

授業科目名	数学演習（放射線）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	SB20BRSA002	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜2限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	選択

授業概要

診療放射線技師として放射線科学・技術の理解に必要な高校数学を学習する。基礎的事項について、「高校数学」で学修した指数関数、対数関数、三角関数などを演習形式で計算問題を中心に具体的に例題等を提示しながら概説する。さらに各種数式等について実際にグラフを書く演習と徹底した解説を通して、数学的なものの見方・考え方および表現方法について理解を深めることを目標とする。高校段階で数学Ⅱ・Bまで履修していない学生にも対応した内容となります。

学修目標

1. 三角関数の性質や相互関係を理解し、その応用やそれを用いた計算ができる。〈DP①〉 2. 指数関数と対数関数の性質を理解し、計算できる。〈DP①〉 3. 関数の微分・積分の考え方を理解し、それを用いた計算ができる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 教科書を購入して、その日の学習部分は事前に予習して、読んでくること。 2. 重要事項は各自がノートに記載すること。 3. 授業では、主として例題等について解説をしていきますが、各自それに関連する練習問題を解かないと力が付きません。 4. 授業内演習のほかに、復習を中心として自宅での演習を進めていきましょう。分からないことは出来る限り次の講義の前までに解決すること。 5. グループワークを取り入れる予定であり、受講生にも発言を求めます。 6. 高校段階で数学Ⅲ・Cまで履修した学生には物足りない授業となる可能性が高いので留意すること。 ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

Primary 大学テキスト これだけはおさえたい理工系の基礎数学, 金原粲など編集, 実務出版株式会社 ISBN978-4-407-31830-2

参考書

高校課程の教科書、参考書等

研究室／オフィスアワー

E棟4階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日5限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） 三角比	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：高校数学課程の内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様	佐久間
2	三角関数①（単位円・定理【正弦・余弦定理】）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
3	三角関数②（定理【続】、角の公式【負角・余角・補角】）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
4	三角関数③（グラフ、三角関数の方程式・不等式）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
5	三角関数④（加法定理、積和・和積の公式）	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書を用いた学修内容の確認 復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
6	三角関数⑤（2倍角・半角の公式、三角関数の合	＜予習・復習 各2時間＞ 予習：教科書	佐久間

	成）　指数関数①（指数法則）	を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	
7	指数関数②（指数法則【続】、グラフ、指数の方程式・不等式）	＜予習・復習 各2時間＞　復習：授業内容の確認と問題の解答　予習1時間と復習1時間を行う	佐久間
8	対数関数①（対数法則、グラフ、対数の方程式）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
9	対数関数②（対数の不等式、常用対数）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
10	微分①（極限、導関数の微分）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
11	微分②（積・商・合成関数・逆関数の微分）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
12	微分③（いろいろな関数の微分）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
13	積分①（不定積分、三角関数・指数関数の積分）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
14	積分②（定積分）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：教科書を用いた学修内容の確認　復習：授業内容の確認と問題の解答	佐久間
15	学修内容の総括（期末試験）	＜予習・復習 各2時間＞　数学演習の学習を振り返り、整理しよう。　期末試験に備えておくこと。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP①〉　②期末試験（授業内で実施）〈DP①〉　〈課題・期末試験に対するフィードバック方法〉　授業課題については次回以降に個別に返却講評します。　期末試験の点数は希望者のみ評価を開示する。			①　40%　②　60%

授業科目名	物理学演習（放射線）				
主担当教員	稲田 慎		担当教員	稲田 慎	
科目ナンバリング	SB20BRSA003	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

診療放射線技師として放射線科学・技術の理解に必要となる物理学の基礎的事項について，自然現象を定量的に理解するために必要な数学的事項，物体の運動を理解する力学，波の性質，光の性質，相対性理論，原子と原子核などについて演習形式で概説し，物理学的なものの見方・考え方および表現方法について理解を深めることを目標とする.

学修目標

1. 力学の基礎について理解し，説明することができる 2. 熱力学の基礎について理解し，説明することができる 3. 波動工学の基礎について理解し，説明することができる 4. 光学の基礎について理解し，説明することができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容に関連した資料および演習問題を配付する．演習問題を用いて復習をしっかりすること．理解が不十分な項目については早めに対応し，理解できるように努力すること.

教科書

廣岡秀明ほか，医療系の基礎としての物理，学術図書出版社，2019 年. ISBN: 978-4-7806-0774-1

参考書

大塚徳勝，これならわかる物理学，共立出版，2012 年.

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	力：力の単位，質量，重さなど	復習：講義内容の復習（2 時間）	稲田
2	運動の法則：等速運動，等加速度運動，運動の法則，運動方程式など	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
3	重力による運動，万有引力：自由落下，鉛直投射，放物運動，斜面の運動など	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
4	円運動：角速度，周期，向心力，遠心力など	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
5	単振動：ばね振り子，単振り子，振動のエネルギーなど	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
6	仕事，エネルギー：仕事の原理，仕事率，力学的エネルギー保存の法則など	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
7	運動量，力積：運動量保存の法則，はね返り係数，衝突など	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
8	熱と温度：熱，温度，ボイルの法則，シャルルの法則，ボイル・シャルルの法則，気体の状態方程式	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
9	熱の移動と物質の状態変化：熱伝導，対流，熱放射，飽和蒸気圧，湿度	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
10	気体分子の運動と熱力学：気体の圧力，気体の温度，内部エネルギー，熱力学の第 1 法則	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
11	波動：波，縦波，横波，波動，波動のエネルギー，定常波など	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
12	波の伝わり方：ホイヘンスの原理，反射，屈折，干渉，回折，うなりなど	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
13	音波：音の 3 要素，共鳴，超音波，衝撃波など	予習：講義内容の確認（1 時間） 復習：講	稲田

		義内容の復習（1 時間）	
14	光：光，光速，屈折，全反射など	予習：講義内容の確認（1 時間）　復習：講義内容の復習（1 時間）	稲田
15	光波，スペクトル：光の干渉，光の回折，偏光，分散，スペクトルなど	復習：全講義内容，全演習問題の復習	稲田
成績評価方法と基準			割合
１．　定期試験			１．　100%

授業科目名	生物学演習（放射線）					
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫		
科目ナンバリング	SB20BRSA004	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 1 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

これまでで生物学を学んできたものの、いまひとつ理解できないでいるという人や全く学習してないという人の為に一から生物学を見直そうとする授業となる。

学修目標

生物学の基本的事項を確認でき、それらが何を意味するのかが理解できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生物学を履修していない、あるいは、履修はしたけれどあまり得意ではないといった学生もいると思う。そうした学生の不安を取り除くべく講義を展開したいと考えている。

教科書

「ビギナーズ生物学」　化学同人

参考書

「理工系のための生物学」　裳華房

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ヒトの体とエネルギー	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
2	糖の種類とエネルギー	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
3	資質の構造と性質	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
4	脂質の構造と性質	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
5	脂質の代謝	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
6	ビタミンの働き	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講	安部

		義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	
7	細胞の構造と機能	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
8	DNA の構造と働き	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
9	タンパク室の働き	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
10	細胞分裂のしくみ	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
11	発生と分化	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
12	細胞のストレス応答機構	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
13	免疫とは何か	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
14	ES 細胞と iPS 細胞と再生医療	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
15	細胞死とアポトーシス	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
成績評価方法と基準			割合
1　終了試験　＜DP①＞			1 100%

授業科目名	化学演習（放射線）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	SB20BRSA005	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

放射性物質などの取り扱いには化学的知識が必要となる。その理解に役立つ事項を取り上げ、解説する。

学修目標

化学の基本的事項の確認ができ、今後の各分野でさまざまに展開される化学の理解がより深まる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

化学を履修していない、あるいは、履修はしたけれどあまり得意ではないといった学生もいると思う。そうした学生の不安を取り除くべく講義を展開したいと考えている。

教科書

「まるわかり基礎化学」　南山堂

参考書

「ライフサイエンスのための化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	暮らしの中の化学	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
2	原子と元素	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
3	化学結合	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
4	エネルギーと暮らし	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
5	食品とエネルギー	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
6	物理変化と化学変化	<予習・復習 各 30 分>　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめ	安部

		るよう努力して欲しい。	
7	水と溶液と気体	＜予習・復習 各30分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
8	酸と塩基	＜予習・復習 各30分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
9	放射能の化学	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
10	電子移動とエネルギー	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
11	きれいの化学	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
12	クスリと遺伝子	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
13	石油化学と環境汚染	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
14	食品の成分	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
15	生命科学の中の化学	＜予習・復習 各 30 分＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
成績評価方法と基準			割合
1　終了試験　＜DP①＞			1 100%

授業科目名	医学概論（放射線)別途開講				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BRSB006	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	集中講義
授業形態	基本的に講義形式。ただし、学生による発表、ディスカッション等を課す場合もある	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

本科目では，医療人、診療放射線技師としての必要となる内科、外科、病態学の導入を行うものである。講義の中では、医療の本質、現代医療の課題、 EBM（Evidence Based Medicine)、医療の対象としての個人や集団、インフォームドコンセント、脳死、臓器移植、医療経済、専門職の役割等について学修する。また、現代医療をめぐる社会環境の動向を把握するとともに、専門職のチームワークが重要であることを広い視点から学修する。さらには、２年・３年生時に学ぶ、内科学・外科学を理解する上で必要となる症候論についても学習する。

学修目標

１．社会環境や疾病構造の変化を理解する．　２．各種疾患で認められる症候についての理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書と補助プリントを併用して行ないます。初回講義を除き、次回の講義範囲について指示する教科書の範囲に目を通してきてください。　講義中の質問等は問題ございませんが私語は慎んでください。

教科書

看護のための臨床病態学 改定 5 版

参考書

わかりやすい内科学 （第 4 版）（文光堂）　その他，講義時に紹介します。

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟 5 階 508 研究室　部屋にいればいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。　確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。　Shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	血液疾患①	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
2	血液疾患②	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
3	循環器系疾患①	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
4	循環器系疾患②	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
5	循環器系疾患③	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
6	脳血管障害①	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑

7	脳血管障害②	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
8	オリエンテーション・救急	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
9	症候論１	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。学習時間：3 時間	松﨑
10	症候論２	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。学習時間：3 時間	松﨑
11	症候論３	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。学習時間：3 時間	松﨑
12	症候論４	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。学習時間：3 時間	松﨑
13	総復習テスト（第 8 回～第 12 回）	講義内で実施	松﨑
14	放射線医学概論	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。学習時間：3 時間	山口
15	放射線医学概論②	予習：講義内で範囲を指示します 復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。学習時間：3 時間	山口
成績評価方法と基準			割合
①前期講義（第 1 回 ～ 第 7 回）に対する試験　⇒　60 点以上で成績評価②の対象とする　②後期講義（第 8 回 ～ 第 12 回）に対する試験　⇒　最終成績評価とする			①講義中の課題への取り組み、対応について点数化して評価する ②100 点 ①と②の合計 点が 100 点を 超えた場合 は、100 点と する。

授業科目名	医学概論（放射線）				
主担当教員	松﨑　伸介		担当教員	松﨑　伸介／山口　功	
科目ナンバリング	SB20BRSB006	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜1限
授業形態	基本的に講義形式。ただし、学生による発表、ディスカッション等を課す場合もある	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

本科目では，医療人、診療放射線技師としての必要となる内科、外科、病態学の導入を行うものである。講義の中では、医療の本質、現代医療の課題、 EBM（Evidence Based Medicine)、医療の対象としての個人や集団、インフォームドコンセント、脳死、臓器移植、医療経済、専門職の役割等について学修する。また、現代医療をめぐる社会環境の動向を把握するとともに、専門職のチームワークが重要であることを広い視点から学修する。さらには、２年・３年生時に学ぶ、内科学・外科学を理解する上で必要となる症候論についても学習する。

学修目標

１．社会環境や疾病構造の変化を理解する．　２．各種疾患で認められる症候についての理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書と補助プリントを併用して行ないます。初回講義を除き、次回の講義範囲について指示する教科書の範囲に目を通してきてください。　講義中の質問等は問題ございませんが私語は慎んでください。

教科書

看護のための臨床病態学　改定5版　南山堂　解剖生理と疾病の特性　改定3版　南山堂　ISBNｺｰﾄﾞ:978-4-525-50903-3　本体価格：2,500円　　上記は、2年生以降の臨床病態学でも使用します。

参考書

その他，講義時に紹介します。

研究室／オフィスアワー

研究室：サクラ棟5階 508研究室　部屋にいればいつでも訪問可です。質問等いつでも対応します。　確実に訪問したい場合は、事前にメールにて連絡ください。　Shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　現代の医療を取り巻く環境	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3時間	松﨑
2	症候論1	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3時間	松﨑
3	症候論2	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3時間	松﨑
4	症候論3	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3時間	松﨑
5	症候論4	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3時間	松﨑
6	診療放射線と医療①	予習：講義内で範囲を指示します　復習：	山口

		講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	
7	診療放射線と医療②	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	松﨑
8	診療放射線と医療③	予習：講義内で範囲を指示します　復習：講義内容をまとめ、復習課題に取り組むこと。　学習時間：3 時間	山口
成績評価方法と基準			割合
①講義期間中に実施する課題への取り組み　②総まとめテスト（記述 OR マーク）　両者の合計で判定する			①講義中の課題への取り組み、対応について点数化して評価する ②100 点（症候論に対する試験）　①と②の合計点が 100 点を超えた場合は、100 点とする。

授業科目名	公衆衛生学（放射線）				
主担当教員	神田　靖士		担当教員	神田　靖士	
科目ナンバリング	SB20BRSB007	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

公衆衛生学は、ひとびとの健康維持、増進を実践する方法や技術を学ぶ専門科です。すなわち、何が健康を邪魔しているのか、何をすれば健康が守れるのか、どのような仕組みを作れば健康の維持、増進にプラスになるのかなどを科学的に解析し、それらを実践する学問です。　本講義では、衛生･公衆衛生学の総論、衛生行政、予防医学、健康、老人・成人保健、生活習慣病や難病疾患、産業衛生、母子保健、衛生統計などについて学習する。

学修目標

国民の基本的人権としての健康を保障するための科学、技術、倫理を医学の観点から学ぶ学問である。国民の健康を守るべき看護学生として、国民の健康状態と保健、衛生、福祉の体制を正しく理解し、国民の健康を守るための保健医療サービスと公衆衛生事業のしくみと方法について学習し、会得することが目標である。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．講義を積極的に受講すれば行政のしくみや法におよび統計を理解できるようにしています。　２．講義内容の他に社会の福祉・保健・統計については新聞に記載されることがあり、日頃から注意してみることで学ぶことができます。新聞を読んでください。　３．出席者は、私語・スマホの使用は厳禁。講義中の私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させます。その場合、速やかに退室すること。　４．最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

わかりやすい公衆衛生学（ヌーヴェルヒロカワ）

参考書

国民衛生の動向（厚生統計協会）

研究室／オフィスアワー

在室時は訪問可。　質問がある場合は授業終了時に各自申し出て下さい。また、メールでも随時受付を行います。　メールアドレス：kandas@hirakata.kmu.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生学概論と歴史	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に配布資料確認（2 時間）	神田
2	疫学	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：意義と現状、疫学とその応用について学ぶ。(2 時間)	神田
3	人口統計	予習：人口の諸問題を考える。(2 時間) 復習：授業を基に配付資料・教科書の確認（2 時間）	神田
4	保健統計　出生と死亡	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に配布資料・教科書の確認（2 時間）	神田
5	感染症とその予防	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に微生物・予防接種法など確認（2 時間）	神田
6	食品保健と公衆衛生栄養	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業を基に配布資料・教科書の確認（2 時間）	神田
7	生活環境保全	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：配布資料を基に重要語句の確認（2	神田

		時間）	
8	医療の制度（医療保険、公費負担制度）	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：配付資料を基に重要語句の確認（2 時間）	神田
9	地域保健活動	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：配布資料を基に重要語句の確認（2 時間）	神田
10	母子保健	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：配付資料を基に重要語句の確認。（2 時間）	神田
11	学校保健	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：配付資料を基に重要語句の確認（2 時間）	神田
12	生活習慣病対策	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：疾病の種類、リスクと予防の確認（2 時間）	神田
13	介護保険制度と難病対策	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：高齢者医療の仕組みと介護制度、難病対策の確認（2 時間）	神田
14	精神保健福祉	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：精神保健福祉法、インフォームドコンセントを確認。（2 時間）	神田
15	産業保健	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間）　復習：授業を基に配付資料・教科書の確認（2 時間）	神田
成績評価方法と基準			割合
定期試験<DP①②>			100%

授業科目名	人体の構造Ⅰ（放射線）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	SB20BRSB008	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体に関する基本事項を形態機能学を基盤に学修する。当科目では細胞・組織など生体を構成する要素の概要、神経系、運動器系、感覚器系を取り扱う。臨床系専門科目に先駆けて、細胞・組織、神経系、運動器系、感覚器系を系統立てて学修し理解を深める。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者としてヒトの身体の基盤となる知識や論理的思考能力を身につける。

学修目標

生命現象の基盤となる細胞や組織の概要について説明できる。(DP②③)　神経系、運動器系、感覚器系の機能と形態について概要を説明できる。(DP②③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）講義は教科書を中心に進めます。適宜「参考書」を活用しつつ、自発的な予習と復習を心掛けて下さい。　2)「資料」を配付します。復習時に活用して理解を深めて下さい。　3）講義の進行・予定や単位認定の詳細等については、初回講義時に説明します。学習内容の特性を踏まえて、積極的に学習に取り組んで下さい。　4)「人体の機能Ⅰ」と共通の教科書で並行して講義が進行します。両科目での学習項目を整理して十分に理解するように心掛けて下さい。

教科書

上田晃、内田さえ、鍵谷方子、原田彰宏「人体の構造と機能（第 6 版)」　医歯薬出版

参考書

坂井建夫　岡田隆夫　『専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①』　医学書院　日本人体解剖学（南山堂)、人体解剖学（南江堂)、標準生理学（医学書院)、生理学テキスト（文光堂）など

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義の概要、生命現象、細胞	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
2	組織・器官・器官系	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
3	神経細胞と神経組織	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
4	大脳	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
5	大脳、間脳、脳幹	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
6	小脳、脊髄、神経伝導路	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間)。	森谷
7	神経伝導路、末梢神経系	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間)。また、配布資料を	森谷

		参考に復習して下さい（2 時間）。	
8	細胞・組織・器官・器官系、神経系の形態と機能のまとめ	細胞・組織・器官・器官系、神経系の形態と機能について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
9	運動器系総論（骨と関節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	運動器系総論（骨格筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	運動器系総論（運動の調節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	感覚の一般的性質、視覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	聴覚と平衡感覚、味覚と嗅覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	体性感覚と内臓感覚	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	運動器系と感覚器系の形態と機能に関するまとめ	運動器系と感覚器系の形態と機能について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（90%）（DP②③）　②課題等の提出（10%）（DP②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。			①90% ②10%

授業科目名	人体の構造Ⅱ（放射線）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	SB20BRSB009	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

人体に関する基本事項を形態機能学を基盤として学修する。当科目では局所解剖と、内分泌、生殖と妊娠、体温調節と生体リズムについて恒常性維持の視点から形態機能学的特徴を取り扱う。臨床系専門科目に先駆けて、局所解剖と恒常性維持に関わる器官系について学修し理解を深める。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者として基盤となる知識や論理性のある思考能力を身につける。

学修目標

局所解剖について概要を学修する（DP②③）。　内分泌系の機能と形態について概要を説明できる（DP②③）。　体温調節、生体リズムの形成に関わる仕組みの概要について説明できる（DP②③）。　生殖と成長・加齢について概要を説明できる（DP②③）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）教科書と配布資料を用いて講義を進行します。また、課題の提出を課すので、必ず提出して下さい。　２）前期の「人体の構造Ⅰ」、「人体の機能Ⅰ」と密接に関連している事項を学習します。必要に応じて、前期の関連項目を十分に復習して下さい。　３）初回講義時に講義の進行について説明します。学習内容の特性を踏まえて、積極的に学習に取り組んで下さい。　４）「人体の機能Ⅱ」と共通の教科書で並行して講義が進行します。両科目での学習項目を十分に整理して理解するように心掛けて下さい。

教科書

上田晃、内田さえ、鍵谷方子、原田彰宏「人体の構造と機能（第 6 版）」　医歯薬出版

参考書

坂井建夫　岡田隆夫　『専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①』　医学書院　日本人体解剖学（南山堂）、人体解剖学（南江堂）、標準生理学（医学書院）、生理学テキスト（文光堂）など

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人体の腔所、全身の骨格（脊柱、胸郭）	事前に教科書の目次などを参考に、学習内容を概観して下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
2	全身の骨格（四肢の骨と関節）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
3	全身の骨格（頭蓋骨）、全身の骨格筋（体幹の筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
4	全身の骨格筋（四肢の筋、頭頸部の筋）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
5	末梢神経系（脳神経、脊髄神経）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
6	末梢神経系（脊髄神経）、体循環（動脈系）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷

7	体循環（静脈系、胎児循環、リンパ系）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
8	局所解剖のまとめ	局所解剖について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
9	内分泌系（総論、視床下部・下垂体）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
10	内分泌系（甲状腺・副甲状腺・膵島）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
11	内分泌系（副腎皮質・副腎髄質）、体温調節・生体リズム	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
12	生殖（女性生殖器）	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
13	生殖（男性生殖器）、妊娠と発生	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
14	身体の加齢変化	事前に教科書の該当部分を読んで予習しておいて下さい（2 時間）。また、配布資料を参考に復習して下さい（2 時間）。	森谷
15	内分泌系、体温調節、生体リズム、妊娠と発生、身体の加齢変化のまとめ	内分泌系、体温調節、生体リズム、妊娠と発生、身体の加齢変化について、教科書、配布資料などでこれまでの学修内容を十分に復習して下さい（4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験（DP②③）　②課題等の提出（DP②③）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。試験答案の返却はしませんが、希望者に閲覧できる機会を設けます。課題等の解説は講義時間内に行います。			①90%　②10%

授業科目名	人体の機能Ⅰ（放射線）				
主担当教員	竹下 ひかり		担当教員	竹下 ひかり	
科目ナンバリング	SB20BRSB010	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜3限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学・解剖学を含めた、人体に関する基本事項について学ぶ。当科目では自律機能（不随意機能）を有する臓器を中心に取り扱う。

学修目標

ホメオスタシス（生体の恒常性）について説明できる。　体液の分類および、細胞の構造と機能のあらましを述べられる。　血液と血球の働きを説明できる。　心臓と血管のあらましを説明できるとともに、循環調節について概説することができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　２）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　３）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助としてください。　４）質問は歓迎します。　５）他科目との関連：当講義は別科目「人体の構造」と共通の教科書を用いて進めます。内容も密接に関係しているので、並行して学習してください。

教科書

人体の構造と機能 第6版 医歯薬出版株式会社 上田晃・内田さえ・鍵谷方子・原田彰宏（ISBN978-4-263-71061-6）

参考書

図表は指定教科書・参考書以外からも多数引用しますが、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室はC棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripaでご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス・生体の恒常性	予習：要さない　復習：講義プリント　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
2	体液	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
3	血液（１）：総論、赤血球	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
4	血液（２）：血小板、止血機構	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
5	血液（３）：血液型	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
6	生体防御（１）：非特異的防御機構	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
7	生体防御（２）：特異的防御機構、リンパ系器官	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間（別途、中間試験準備の必要がある）	竹下 ひかり
8	講義前半の振り返り（小テスト形式）	予習：第１～７回講義　復習：小テスト問題　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
9	循環器（１）：循環器の概観、心臓の構造、心臓電気生理	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり

10	循環器（２）：心臓興奮収縮連関、心電図、心周期	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
11	循環器（３）：血管の構造と機能	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
12	循環器（４）：人体各部位の血管	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
13	振り返りまとめ授業　循環器（５）：血圧の成因、心機能調節	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
14	循環器（６）：血圧の調節、循環器系のストレス応答、リンパ管	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間　（別途、練習問題を解く時間を要する）	竹下　ひかり
15	講義全体の総復習　定期試験	予習・復習：第１～１５回講義・定期試験準備	竹下 ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験（マークシート式）（DP②③）			100%

授業科目名	人体の機能Ⅱ（放射線）				
主担当教員	竹下 ひかり		担当教員	竹下 ひかり	
科目ナンバリング	SB20BRSB011	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜4限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

生理学・解剖学を含めた、人体に関する基本事項について学ぶ。当科目では自律機能（不随意機能）を有する臓器を中心に取り扱います。

学修目標

呼吸力学とガスの運搬を概説できるとともに、呼吸調節について説明できる。　腎臓の働きについて説明できるとともに、体液調節の仕組みについて述べることができる。　消化器の働きを説明できるとともに、栄養素の消化・吸収について概説できる。　人体における代謝の仕組みについて説明できる。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業態度について：集中して講義を聴講してください。毎回、講義スライドを印刷したプリントを配布します。それをもとに、各自がまとめノートを作成してください。講義中の私語は厳禁です。私語を止められない場合は退席していただきます。　2）予習・復習について：講義内容は膨大なため、講義ごとの予習復習は必須です。一コマあたり２～４ヶ所で「小括」を設けます。問題形式にしてあるので、講義後に自力で解くことで復習の一助としてください。　3）確認テストについて：ほとんどの授業で『確認テスト』を行います。こちらも復習の一助としてください。　4）質問は歓迎します。　5）他科目との関連：当講義は別科目「人体の構造」と共通の教科書を用いて進めます。内容も密接に関係しているので、並行して学習してください。

教科書

人体の構造と機能 第6版 医歯薬出版株式会社 上田晃・内田さえ・鍵谷方子・原田彰宏（ISBN978-4-263-71061-6）

参考書

図表等、指定教科書以外からも多数引用しますが、その都度、可能な限り個々の出典を示します。

研究室／オフィスアワー

研究室はC棟七階の教職員室です。　オフィスアワーは別途、Moripaでご確認ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	呼吸器（1）：概観、上気道	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
2	呼吸器（2）：肺、換気力学	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
3	呼吸器（3）：ガスの交換と輸送	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
4	呼吸器（4）：呼吸調節	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
5	腎・泌尿器（1）：ネフロン、腎機能測定	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
6	腎・泌尿器（2）：腎機能調節、蓄尿・排尿	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
7	酸塩基平衡	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書　学習所要時間目安：合計二時間（別途、中間試験準備の必要がある）	竹下 ひかり
8	講義前半の振り返りまとめ授業（小テスト形式）	予習：第１～７回講義　復習：小テスト学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
9	消化と代謝（1）：概観、上部消化管運動	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり

10	消化と代謝（２）：下部消化管運動	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
11	消化と代謝（３）：消化液の分泌	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
12	消化と代謝（４）：栄養素の消化と吸収	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
13	振り返りまとめ授業　栄養素の代謝	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
14	生体物質の代謝	予習：教科書　復習：講義プリント、教科書 学習所要時間目安：合計二時間	竹下 ひかり
15	講義全体の総復習・定期試験	予習・復習：第１～１５回講義、定期試験準備	竹下 ひかり
成績評価方法と基準			割合
期末定期試験（マークシート式）（DP②③）			100%

授業科目名	病理学（放射線１年）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	SB20BRSB013	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	水曜２限
授業形態	講義	単位数	１単位	必修･選択	必修

授業概要

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患を中心に、その病因や成り立ち、病態を理解できるよう、さまざまな疾患についての詳細な説明と演習を行う。

学修目標

学生が将来臨床の現場に立つ時に目の当たりにする疾患について、その病因や成り立ち、病態を把握し　<DP①>　理解できる。<DP②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

病理学の専門用語やいろいろな病態に対する概念は、他の医学分野でも共通に用いるものである。それらをしっかりと理解し、自らも用いることができ、かつ的確に表現できなければならない。そのためにはそれらを確実に理解し、記憶に留めておかなければならない。

教科書

「疾病の成り立ちと回復の促進　病理学　第３版」　メヂカルフレンド社

参考書

「新病理学（Ｑシリーズ)」　日本医事新報社

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病気と病理学	＜予習・復習 各２時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
2	老化と死	＜予習・復習 各２時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
3	生体の基本反応１　細胞傷害と修復	＜予習・復習 各２時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
4	創傷治癒	＜予習・復習 各２時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
5	急性炎症	＜予習・復習 各２時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫

6	慢性炎症	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
7	免疫のしくみ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
8	アレルギー（Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ　型）	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
9	アレルギー（ⅠⅠⅠ・Ⅳ　型）	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
10	移植と拒絶反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
11	循環障害１　出血・止血・水腫	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
12	循環障害２　血栓・塞栓・うっ血・浮腫	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
13	先天異常	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
14	腫瘍	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
15	難病	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部　辰夫
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP①・②＞			1　100%

授業科目名	医用工学（放射線）				
主担当教員	髙木 聡志		担当教員	髙木 聡志	
科目ナンバリング	SB20BRSB022	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

診療放射線技師が使用する画像診断装置や放射線計測装置の原理を理解するために必要な電磁気学・電気工学・電子工学と医用電気機器の安全対策の知識を学修する。本科目で学修する内容は 2 年次以降の「X 線機器工学」、「放射線計測学Ⅱ」、「MRI 撮像技術学Ⅰ（機器・検査）」を理解するために必要不可欠である。

学修目標

1. 電磁気学（静電界、電流と磁界）を説明できる。 2. 電気工学（電流と導体、電気回路、電力装置）を説明できる。 3. 電子工学（半導体、各種回路素子、増幅器、応用回路）を説明できる。 4. 医用電気機器の安全対策を説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療に特化していない基礎的な電磁気学・電気工学・電子工学に関しては、多くの無料教材（動画等）が公開されている。自分と相性の良い補助教材を探して予習・復習に努めること。演習により理解度を深めるために、選択科目である「医用工学演習」の履修を強く推奨する。

教科書

医用工学 改訂第 2 版（診療放射線技師 スリム・ベーシック） 小倉泉著・福祉政広編集 メジカルビュー社 ISBN: 978-4-7583-1917-1

参考書

改訂新版 図解でわかる はじめての電気回路 大熊康弘著 技術評論社 ISBN: 978-4-7741-9131-7 改訂新版 図解でわかる はじめての電子回路 大熊康弘著 技術評論社 ISBN: 978-4-7741-9379-3

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階 研究室 1 / 随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	電界と磁界(1) ・電荷とクーロンの法則 ・電界と電位	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
2	電界と磁界(2) ・静電容量とコンデンサの性質 ・電界中で電子に働く力 ・磁界と磁気力	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
3	電流と磁界との相互作用	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
4	直流回路(1) ・電流と電荷 ・オームの法則 ・導体の抵抗 ・回路とその計算	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
5	直流回路(2) ・電力と発生熱量 ・CR 回路の過渡現象	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
6	交流回路(1) ・交流現象 ・素子の働き	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時	髙木

		間)　復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	
7	交流回路(2)　・正弦波交流回路の計算	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間)　復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
8	交流回路(3)　・共振現象　・電圧、電流、電力	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間)　復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
9	交流回路(4)　・変圧器	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
10	半導体(1)　・絶縁体、導体、半導体　・真性半導体と不純物半導体　・整流素子	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
11	半導体(2)　・増幅素子　・光素子　・スイッチング素子　・センサ	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
12	電子回路(1)　・直流電源回路　・パルス回路　・フィルタ回路	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
13	電子回路(2)　・増幅回路　・オペレーションアンプ	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
14	電子回路(3)　・D-A 変換､A-D 変換　・電子管　・レーザー	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
15	生体への影響と安全対策	予習：教科書や補助教材を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
成績評価方法と基準			割合
1. 講義中に実施する小テスト　※当日の講義内で解説します。　2. 定期試験			1. 20%　2. 80%

授業科目名	医療統計学（放射線）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	SB20BRSB025	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

統計学に関する知識や技術は，文系も含めた，あらゆる領域において必要とされるようになってきており，医療の領域においては必須と言って良い．かつては，多大な労力を必要とした統計学的分析も，現在は，コンピュータ関連技術の発達によって，その労力はかなり軽減されている．しかしながら，データの性質や分析手法に関する知識が不十分なためか，必ずしも正しく処理されていない場合もある．　　データを通して正しく現象を理解するためには，データの性質・特徴を理解し，収集・分析を正しく行うことが重要であるが，データの収集・分析方法は多岐にわたり，研究内容に応じて適切に選択するための知識と技術が必要となる．　　本講義では，医療に関連する様々な現象を，データに基づいて明らかにするために必要な，統計学的知識と技術を身につけることを目標としている．

学修目標

1）データ分析を考慮したデータ収集方法を説明・選択できる．〈DP①④〉　2）データの性質・特徴を的確に捉え，適切な分析手法を説明・選択できる．〈DP①④〉　3）公表されている統計資料を分析し，社会の健康や安全に貢献できる．〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

８回の講義であることと，演習形式を取り入れますので，一度の欠席が理解に大きな影響を与えます．休むことの無いよう，出席して下さい．

教科書

適宜資料を配付する．

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：医療データの統計処理	日常場面で目にする医療関連領域のデータやその解釈について意識し，どのようにしてそのデータが得られたのか，なぜ，そのような解釈がなされるのかを考える（２時間．以下，文末の括弧内の数は，予習復習の時間を示す）	井手口
2	母集団と標本と無作為抽出	予習）母集団と標本の違いと，無作為抽出の必要性について調べる（3）　復習）予習で調べた内容と，講義内容・配付資料を照らし合わせて，どの程度理解できたか確認する（2）	井手口
3	代表値・散布度・相関	予習）代表値と散布度，および相関について調べる（3）　復習）予習で調べた内容と，講義内容・配付資料を照らし合わせて，どの程度理解できたか確認する（2）	井手口
4	データ収集方法と尺度水準	予習）データ収集方法と尺度水準，また，データ収集方法と尺度水準の対応について調べる（3）　復習）予習で調べた内容と，講義内容・配付資料を照らし合わせ	井手口

		て，どの程度理解できたか確認する（2）	
5	データの特徴と統計手法	予習）データの特徴に応じた統計手法を調べる（3）　復習）予習で調べた内容と，講義内容・配付資料を照らし合わせて，どの程度理解できたか確認する（2）	井手口
6	バイアスの取り扱い	予習）バイアス・交絡，またその制御方法について調べる（3）　復習）予習で調べた内容と，講義内容・配付資料を照らし合わせて，どの程度理解できたか確認する（2）	井手口
7	データに適した分析手法を考える	予習）配付のデータに対して，異なる分析手法を用いて分析し，分析結果を解釈してみる（3）　復習）予習で調べた内容と，講義内容・配付資料を照らし合わせて，どの程度理解できたか確認する（2）	井手口
8	国や自治体が公表している統計資料の活用	予習）厚生労働省や地方自治体の web サイトにアクセスして，公表されている統計資料を調べる（3）　復習）予習で調べた内容と，講義内容・配付資料を照らし合わせて，どの程度理解できたか確認する（2）	井手口
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験〈DP①④〉　　（状況によって，レポートを課す場合があります）　２．小テスト・小レポート〈DP①④〉			１．80% ２．20%

授業科目名	放射化学（放射線）				
主担当教員	垣本 晃宏		担当教員	垣本 晃宏	
科目ナンバリング	SB20BRSB026	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

放射化学は、放射線科学・技術の修得に必要な放射線の化学的性質について基礎的な知識を身に付けさせることを目標とする。放射性同位体と核種、放射性壊変の種類と壊変の法則、放射平衡、天然放射性核種の種類と人工放射性核種の製造法、放射性同位元素（RI）の化学的諸性質と分離、RI 標識化合物の合成法について教授し、必要な計算力を高める。診療放射線技術の修得と実践に必要な放射化学に関する知識を身に付け、専門科目である「核医学検査技術学Ⅰ」「核医学検査技術学Ⅱ」「放射線安全管理学」などを理解するために必要となる基礎学力を修得させる。

学修目標

1.　放射線の化学的性質を理解し、有益な作用と有害な作用の二面性を説明できる　2.　現代社会において利用されている放射線や放射性同位体元素を説明できる　3.　国家試験・放射線取扱主任者試験のためのベースとなる知識を習得する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　初回の授業で講義の詳細、単位認定・評価の方法を説明する　2.　レポート等の提出期限を厳守すること　3.　教科書をベースとし、必要に応じて参考書等で補足する

教科書

『診療放射線技師　スリム・ベーシック　放射化学　(改訂第 2 版)』　編集・福士政広／MEDICAL VIEW　ISBN：978-4-7583-1916-4

参考書

※今後必要　12 版　アイソトープ手帳　ポケット版　(日本アイソトープ協会)　ISBN：978-4-89073-277-7　　※購入不要　『放射線概論　－第 1 種放射線取扱主任者試験受験用テキスト－　(改訂第 14 版)』　ISBN：978-4-86045-153-0

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F 共同研究室：　水曜日 13:00～14:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	［ガイダンス］　講義の詳細、単位認定・評価方法の説明	課題：放射能発見の歴史	垣本
2	元素の性質	予習：教科書 p15～23　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
3	放射能と単位	予習：教科書 p24～33　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
4	放射性壊変	予習：教科書 p33～45　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
5	放射性核種	予習：教科書 p47～66　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
6	ジェネレータ	課題：ジェネレータ	垣本
7	放射性核種の製造(1)	予習：教科書 p67～80　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
8	放射性核種の製造(2)	予習：教科書 p81～98　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
9	放射性核種の分離(1)	予習：教科書 p99～110　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
10	放射性核種の分離(2)	予習:教科書 p111～124　復習:キーワード・重要語句の確認	垣本

11	放射性標識化合物	予習:教科書 p125～140　復習:キーワード・重要語句の確認	垣本
12	放射性核種の化学的利用	予習:教科書 p141～162　復習:キーワード・重要語句の確認	垣本
13	1～12 回目の復習テスト	予習:教科書全範囲　復習:テスト問題の復習	垣本
14	問題解説および確認試験	予習:教科書全範囲　復習:確認試験の復習	垣本
15	確認試験の問題解説	予習:教科書全範囲　復習:確認試験の復習	垣本
成績評価方法と基準			割合
1.　課題　〈DP1〉　※提出期限・作成方法等は授業内で説明する　※評価基準はルーブリックを提示する　※期限内に課題を提出していない者は再試験の受験資格を与えないので注意すること　2.　確認試験　2/3 以上の出席を必要とする			1. 30%　2. 70%

授業科目名	放射線生物学（放射線）				
主担当教員	山本 浩一		担当教員	山本 浩一	
科目ナンバリング	SB20BRSB027	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

1. 放射線の被ばくによって分子・細胞・組織・個体に発生する生物的な影響とその発症機序を概説する。 2. なぜ放射線でがん治療が可能なのかについて、基礎的な機序を概説する。 3. 放射線被ばくを受けたとしても、どのようにその障害から回復していくか機序を概説する。

学修目標

1. 放射線が発生する生物学的な影響が発症する機序について理解し、他者に説明できるようになる。 2. 放射線の急性障害・晩発障害・遺伝的影響について理解し、他者に説明できるようになる。 3. 主要臓器に対する放射線の影響（感受性）について理解し、他者に説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各回講義時に小テスト（試験範囲は前回講義内容）を実施しますので、復習を欠かさず行ってください。 講義は主に配付資料にて行います。教科書を使って予習・復習をしてください。講義に関する説明を行うため、第 1 回目は必ず参加してください。

教科書

診療放射線技師スリムベーシック放射線生物学　福士政広編集　メジカルビュー社

参考書

1. 人体のメカニズムから学ぶ放射線生物学　松本義久編集　メジカルビュー社　2. 診療放射線技師国家試験　受験対策本（放射線生物学）　3. 放射線取扱主任者　受験対策本（放射線生物学）

研究室／オフィスアワー

さくら棟研究室 6 番　不在もあるので、可能ならばメール（kouichi_yamamoto@morinomiya-u.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	放射線生物学とは　放射線による生命現象への影響とは	予習：どのような内容を学習する講義かを知るため、教科書を眺めておく。 復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
2	放射線の基礎（1）　α 線、β 線、γ 線、X 線　放射線の単位	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。 復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
3	放射線の基礎（2）　被ばくとは（内部・外部被ばく）　放射性核種	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。 復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
4	生物学の基礎（1）　細胞の構造と機能　DNA の複製	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。 復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
5	生物学の基礎（2）　細胞分裂と細胞死　細胞周期とは	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。 復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一

6	分子・細胞レベルでの放射線影響(1)　直接作用・間接作用、ラジカルとは　放射線の遺伝子への影響	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
7	分子・細胞レベルでの放射線影響(2)　染色体異常･細胞死　放射線による細胞障害からの回復	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
8	分子・細胞レベルでの放射線影響(3)　LET・RBE・OER とは　細胞周期と放射線感受性	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
9	組織・個体レベルでの放射線影響(1)　正常細胞・正常組織の放射線感受性　ベルゴニー・トリボンドーの法則　臓器への影響	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
10	組織・個体レベルでの放射線影響(2)　全身被曝の影響　急性放射線症候群	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
11	組織・個体レベルでの放射線影響(3)　内部被曝における核種と決定臓器　放射線による発がん・遺伝的影響	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
12	放射線治療に影響を与える要因(1)　生存率モデル・標的論　1 標的 1 ヒット、多標的 1 ヒット	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
13	放射線治療に影響を与える要因(2)　生存率モデル・LQ モデル　α/β 値	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
14	放射線治療に影響を与える要因(3)　分割照射・4 つの R・　腫瘍細胞の α/β 値	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
15	放射線治療に影響を与える要因(4)　粒子線治療・BNCT・温熱療法　講義のまとめ	予習：シラバスを確認し、学習内容の用語を調べておく。　復習：講義終了時に Take home message を伝えるので、確認しておく。	山本浩一
成績評価方法と基準			割合
原則、期末試験による評価とします。　なお、出席が規定の回数を満たない場合は試験受験を許可しません。　状況によっては別途課題を与えることがあります。詳細は講義時に説明します。			期末試験 100%

授業科目名	放射線化学･生物学演習（放射線）					
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一／垣本　晃宏		
科目ナンバリング	SB20BRSB028	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

放射線化学・生物学演習は、「放射化学」「放射線生物学」で学んだ知識を基盤として、診療放射線技師として必要な“保健医療福祉における理工学的基礎に関する知識並びに放射線の科学及び技術”について理解を深めさせる。特に（1）放射性核種の製造、（2）放射性核種の化学的作用、（3）放射線の人体への影響、（4）放射線の生物学的効果に関する知識について演習を通して理論的な体系づけを行う。さらに知識の整理と統合化を図り診療放射線技師としての物の見方・考え方および表現方法を身に付けさせ、診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることを目標とする。

学修目標

1.「放射化学」「放射線生物学」の習得にあたり、必須な基礎的知識を説明できる〈DP①〉　2.「放射化学」「放射線生物学」の習得にあたり、必須な基礎演習問題を解くことができる〈DP④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

当科目は「放射化学」「放射線生物学」の補習的位置づけの科目です。　演習内容・解説をもとに各自復習し、「放射化学」「放射線生物学」の理解・習得が可能なレベルに到達することを目標としてください。

教科書

『診療放射線技師　スリム・ベーシック　放射化学　(改訂第 2 版)』　編集・福士政広／MEDICAL VIEW　ISBN：978-4-7583-1916-4　『診療放射線技師　スリム・ベーシック　放射線生物学　(改訂第 2 版)』　編集・福士政広／MEDICAL VIEW　ISBN：978-4-7583-2025-2　『アイソトープ手帳　12 版　ポケット版』　編集・発行／日本アイソトープ協会　ISBN：978-4-89073-277-7

参考書

『放射線概論　－第 1 種放射線取扱主任者試験受験用テキスト－　(改訂第 14 版)』　2023 年 12 月発刊予定

研究室／オフィスアワー

山本 浩一（さくら棟 5F　研究室 6／オフィスアワーは 1 回目の講義時に説明します）　垣本 晃宏（さくら棟 5F　共同研究室／水曜日 13:00～14:00）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスを確認しておく　復習：演習課題	山本浩一／垣本晃宏
2	【放射化学演習１】　元素の性質	予習：教科書 p15～33　復習：講義中に配布する演習課題	垣本晃宏
3	【放射化学演習２】　放射性壊変および放射性核種	予習：教科書 p33～66　復習：講義中に配布する演習課題	垣本晃宏
4	【放射化学演習３】　ジェネレータ	予習：教科書 p53～66、p92～98　復習：講義中に配布する演習課題	垣本晃宏
5	【放射化学演習４】　放射性核種の製造	予習：教科書 p67～98　復習：講義中に配布する演習課題	垣本晃宏
6	【放射化学演習５】　放射性核種の分離	予習：教科書 p99～124　復習：講義中に配布する演習課題	垣本晃宏
7	【放射化学演習６】　放射性標識化合物	予習：教科書 p125～140　復習：講義中に配布する演習課題	垣本晃宏
8	【放射化学演習７】　放射性核種の化学的利用	予習：教科書 p141～160　復習：講義中に配布する演習課題	垣本晃宏
9	【放射線生物学演習１】　直接作用と間接作用	予習：教科書 P14-32　復習：講義中に配布	山本浩一

		する演習課題	
10	【放射線生物学演習２】　DNA への影響と細胞死	予習：教科書 P32-60　復習：講義中に配布する演習課題	山本浩一
11	【放射線生物学演習３】　組織・臓器への影響	予習：教科書 P72-82　復習：講義中に配布する演習課題	山本浩一
12	【放射線生物学演習４】　放射線の感受性と傷害からの回復	予習：教科書 P102-103、123-125　復習：講義中に配布する演習課題	山本浩一
13	【放射線生物学演習５】　LET・RBE・OER の関係	予習：教科書 130-134　復習：講義中に配布する演習課題	山本浩一
14	【放射線生物学演習６】　標的論と直線-二次曲線モデル	予習：教科書 P51-59　復習：講義中に配布する演習課題	山本浩一
15	【放射線生物学演習７】　分割照射と 4R	予習：教科書 P126-129　復習：講義中に配布する演習課題	山本浩一
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験			1.　100%

授業科目名	放射線物理学（放射線）				
主担当教員	大鷹　豊		担当教員	大鷹　豊	
科目ナンバリング	SB20BRSB029	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

放射線物理学は、放射線科学・技術の修得に必要な放射線の物理的性質に関する基礎的な知識について教授する。原子と原子核、放射線の発生、物質との相互作用、超音波、核磁気共鳴について概説する。医用画像を作成するために必要な基礎概念と電離放射線の測定原理や管理方法などの診療放射線技術の修得と実践に必要な知識を教授し、専門科目である「Ｘ線撮影技術学Ⅰ」「Ｘ線撮影技術学Ⅱ」「放射線撮影技術学」「CT・MRI 撮影技術学」「放射線治療技術学Ⅰ」「放射線治療技術学Ⅱ」「放射線安全管理学」などを理解するために必要となる基礎学力を修得させる。

学修目標

1　診断・治療に用いられる電離放射線の種類と特徴を正しく説明できる。<DP①>　2　原子物理の基礎的事項を理解し、各種電離放射線の発生原理とエネルギーを概念図を示して正しく説明できる。<DP①>　3　電離放射線と物質との多様な相互作用の現象と特徴を概念図を示して正しく説明できる。<DP①>　4　種々の電離放射線の物質中における減弱過程と物質へのエネルギー伝達過程を正しく説明できる。<DP①>　5　上記 2～4 の説明に必要な式やグラフの挙動を正しく理解し，具体的な計算をすることができる．<DP①>　6　診療放射線技師国家試験科目の「放射線物理学」および第一種放射線取扱主任者試験課目の「物理学」の問題に対応できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各回講義時に復習テスト（試験範囲は前回講義内容）を実施しますので、復習を欠かさず行ってください。　講義は主に配付資料にて行います。教科書を使って予習・復習をしてください。講義に関する説明を行うため、第 1 回目は必ず参加してください。

教科書

診療放射線技師スリムベーシック放射線物理学　第 2 版　福士政広編集　メジカルビュー社　978-4758319157

参考書

放射線医学物理学 第 3 版増補　文光堂社　放射線取扱主任者参考書（物理学分野）

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理量と単位	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
2	放射線の定義と種類	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
3	X 線	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
4	放射線の量と単位(1)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
5	放射線の量と単位(2)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹

6	中間テスト 1（第 1 回～第 5 回）	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
7	電子と物質との相互作用	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
8	重荷電粒子と物質との相互作用	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
9	中性子と物質との相互作用	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
10	中間テスト 2（第 7 回～第 9 回）	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
11	放射線発生装置(1)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
12	放射線発生装置(2)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
13	核磁気共鳴	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
14	超音波	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
15	まとめ	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
成績評価方法と基準			割合
①期末試験、②中間テスト 1、③中間テスト 2 で評価します。　なお、出席が規定の回数を満たない場合は期末試験の受験を許可しません。			①80%　②10% ③10%

授業科目名	解剖学演習（放射線）				
主担当教員	大橋　明日香		担当教員	大橋　明日香	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本演習では「人体の構造Ⅰ」「人体の構造Ⅱ」「人体の機能Ⅰ」「人体の機能Ⅱ」で学修する内容に関する知識の定着を教授する。特に人体の解剖を中心に 3 次元的な位置関係を理解しながら理解を深めさせ、次年度以降で学ぶ専門科目「X 線撮影技術学Ⅰ」「X 線撮影技術学Ⅱ」「画像解剖学Ⅰ」「画像解剖学Ⅱ」「画像解剖学Ⅲ」へ円滑につなげる内容で演習形式を用いて教授する。

学修目標

人体の解剖において、臓器、骨格器、循環器の名称や 3 次元的な位置関係を説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

解剖学の中でも診療放射線技師にとって特に必要な臓器、骨格器、循環器をメインに名称や位置関係を学びます。次年度の専門科目へつながるので、履修することを強く推奨します。

教科書

『新版　運動・からだ図解　解剖学の基本』　松村譲兒 監修　マイナビ出版　ISBN：978-4-8399-7225-7

参考書

特に指定なし

研究室／オフィスアワー

共同研究室／訪問の際は事前にアポイントを取ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	呼吸器	予習：教科書 p102～121　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
2	消化器（口腔～胃、肝胆膵）	予習：教科書 p80～89、98、99、228、229 復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
3	消化器（腸）	予習：教科書 p90～97　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
4	泌尿器、生殖器	予習：教科書 p150～167　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
5	脳	予習：教科書 p178～189　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
6	骨格器（頭部）	予習：教科書 p34、35、40～43　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
7	骨格器（体幹）	予習：教科書 p44、45、50、51　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
8	骨格器（上肢）①	予習：教科書 p46、47　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
9	骨格器（上肢）②	予習：教科書 p46、47　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
10	骨格器（下肢）①	予習：教科書 p48、49　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
11	骨格器（下肢）②	予習：教科書 p48、49　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
12	循環器（胸部）	予習：教科書 p124、125、130～135　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行	大橋

		う	
13	循環器（頭頸部）	予習：教科書 p138、139　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
14	循環器（腹部）①	予習：教科書 p138、139　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
15	循環器（腹部）②	予習：教科書 p138、139　復習：教科書と配布資料を合わせて振り返りを行う	大橋
成績評価方法と基準			割合
定期試験			100%

授業科目名	生化学（放射線）					
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀		
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP②	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

生体の恒常性維持に必要な基本物質の構造と機能、それらの代謝に関する知識を学ぶ。

学修目標

1）細胞の基本構造と細胞内小器官の役割について説明できる。〈DP②〉 2）三大栄養素（タンパク質・糖質・脂質）の構造と機能、代謝の概略について説明できる。〈DP②〉 3）酵素の反応機構ならびに調節機構の概略を説明できる。〈DP②〉 4）核酸の構造と機能、遺伝情報からのタンパク質合成について説明できる。〈DP②〉 5）無機質やホルモンの作用について説明できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を中心に講義を行いますが、配布資料も参考にして理解を深めてください。

教科書

『イラスト　生化学入門ー栄養素の旅ー』相原英孝　他著/東京教学社

参考書

医学書院　生化学　人体の構造と機能②

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人体の仕組み	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
2	生体の恒常性を保つシステム	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
3	水・電解質のはたらき	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
4	生体の防御システムー免疫ー	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
5	核酸の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
6	核酸の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
7	酵素の性質とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行う	森

		こと。	
8	酵素の性質とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
9	タンパク質の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
10	タンパク質の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
11	糖質の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
12	糖質の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
13	脂質の構造とはたらき①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
14	脂質の構造とはたらき②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	森
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験<DP②>　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。			①100%

授業科目名	医用工学演習（放射線）					
主担当教員	小縣　裕二			担当教員	小縣　裕二	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	後期		曜日･時限	火曜4限
授業形態	演習	単位数	1単位		必修･選択	必修

授業概要

放射線診療で使用する医療機器の原理を理解するために必要となる医用工学分野の知識を修得させることを目標とする。具体的には、機器工学の学修に必要な電気・電子回路の基礎知識および医療安全の確保に必要な電子工学的技術について概説する。X線を発生するのに必要な交流回路、変圧器・高電圧回路および整流回路などを演習を通して学ぶことで、放射線診療機器の原理を理解していく上で必要となる力を身に付けさせることを目指す。

学修目標

1．直流回路の電圧、電流、電力を説明できる。〈DP①〉　2．交流回路のインピーダンス、電圧、電流、それらの周波数特性について説明できる。〈DP①〉　3．変圧器の原理と特性について説明できる。〈DP①〉　4．二極真空管について説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医用放射線機器の動作や取り扱いに関する理解を深めるために必要科目なので、教科書・配布資料・演習問題を利用して予習・復習に努めてください。

教科書

医用工学 改訂第 2 版 （診療放射線技師 スリム・ベーシック）　小倉泉著・福祉政広編集 メジカルビュー社 ISBN-13: 978-4758319171

参考書

診療放射線基礎テキストシリーズ医用工学　富永孝宏他著　共立出版　ISBN 978-4-320-06187-3

研究室／オフィスアワー

小縣　裕二　さくら棟5階　研究室1　／　随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	導体の抵抗	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予習2時間と復習2時間を行う。	小縣
2	直流回路の計算	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予習2時間と復習2時間を行う。	小縣
3	複雑な直流回路の計算	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予習2時間と復習2時間を行う。	小縣
4	電池の接続	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予習2時間と復習2時間を行う。	小縣
5	電力と熱量	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予習2時間と復習2時間を行う。	小縣
6	交流現象	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予習2時間と復習2時間を行う。	小縣
7	受動素子の働き	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予習2時間と復習2時間を行う。	小縣
8	回路と計算	予習：学習内容を教科書等で調べておく。復習：講義内容をノートにまとめる。　予	小縣

		習 2 時間と復習 2 時間を行う。	
9	共振現象	予習：学習内容を教科書等で調べておく。 復習:講義内容をノートにまとめる。 予習 2 時間と復習 2 時間を行う。	小縣
10	変圧器の原理	予習：学習内容を教科書等で調べておく。 復習:講義内容をノートにまとめる。 予習 2 時間と復習 2 時間を行う。	小縣
11	実際の変圧器	予習：学習内容を教科書等で調べておく。 復習:講義内容をノートにまとめる。 予習 2 時間と復習 2 時間を行う。	小縣
12	変圧器の特性	予習：学習内容を教科書等で調べておく。 復習:講義内容をノートにまとめる。 予習 2 時間と復習 2 時間を行う。	小縣
13	整流回路	予習：学習内容を教科書等で調べておく。 復習:講義内容をノートにまとめる。 予習 2 時間と復習 2 時間を行う。	小縣
14	二極真空管	予習：学習内容を教科書等で調べておく。 復習:講義内容をノートにまとめる。 予習 2 時間と復習 2 時間を行う。	小縣
15	まとめ	予習：学習内容を教科書等で調べておく。 復習:講義内容をノートにまとめる。 予習 2 時間と復習 2 時間を行う。	小縣
成績評価方法と基準			割合
①平常点評価（受講態度、講義ノートの確認、小テストなど）＜DP①＞ ②定期試験＜DP①＞			① 30% ② 70%

授業科目名	ICT 序論（放射線）				
主担当教員	髙木 聡志		担当教員	髙木 聡志	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

ICT（Information and Communication Technology）序論では、大学生活においてコンピュータやネットワークを活用する上で必要な基礎知識を学修する。また、本学の学務システム「MORIPA」と「Microsoft 365」の各種アプリの基本操作を習得する。本科目で学修する内容は 1 年次後期の「医療画像情報学序論」を理解するために必要不可欠である。

学修目標

1． ICT を理解し説明できる。 2． 診療放射線技師に必要な情報処理技術を説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自身のノート PC を持参してアクティブラーニングを実施する。

教科書

【令和７年度】 いちばんやさしい IT パスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集 SB クリエイティブ 高橋 京介
ISBN：978-4-8156-2938-0

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階 研究室１ / 随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	本学の学務システム「MORIPA」の操作方法	予習：学生用「MORIPA」利用マニュアルを確認する。(2 時間) 復習：「MORIPA」の操作方法を復習する。(2 時間)	髙木
2	「Microsoft 365」の各種アプリの操作方法	予習：「Microsoft 365」の各種アプリに関して調べる。(2 時間) 復習：「Microsoft 365」の各種アプリの操作方法を復習する。(2 時間)	髙木
3	コンピュータシステム	予習：教科書を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
4	ハードウェア	予習：教科書を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
5	ソフトウェア	予習：教科書を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
6	データベース	予習：教科書を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
7	ネットワーク	予習：教科書を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間) 復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深	髙木

		める。(2 時間)	
8	情報セキュリティ	予習：教科書を用いて学修内容の重要部分をノートにまとめる。(2 時間)　復習：教科書や国家試験の問題を解いて理解度を深める。(2 時間)	髙木
成績評価方法と基準			割合
1. 講義中に実施する小テスト等 ※当日の講義内で解説します。 2. 定期試験			1. 20%　2. 80%

授業科目名	放射線物理学序論（放射線）				
主担当教員	大鷹　豊		担当教員	大鷹　豊	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

放射線物理学序論は、放射線科学・技術の修得に必要な放射線の物理的性質に関する基礎的な知識について教授する。一般的な「物理学」の学修を基盤として、放射線の種類や性質、原子と原子核、放射線の発生について概説する。特に、原子核の質量欠損や結合エネルギー、および壊変定数など、放射線を扱う上で重要な数値計算やグラフ作成能力を習得する。放射線物理学を理解するために必要となる基礎学力を修得させる。

学修目標

1. 放射線の種類と性質について理解し、他者に説明できるようになる。　2. X 線の発生について理解し、他者に説明できるようになる。　3. X 線（光子）が物質との間でどのような作用を及ぼすかについて、その用語について理解し、他者に説明できるようになる。　4. 放射壊変について、その用語を理解し、他者に説明できるようになる。　5. 原子核の構造や性質について、その用語を理解し、他者に説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各回講義時に復習テスト（試験範囲は前回講義内容）を実施しますので、復習を欠かさず行ってください。　講義は主に配付資料にて行います。教科書を使って予習・復習をしてください。講義に関する説明を行うため、第 1 回目は必ず参加してください。

教科書

診療放射線技師スリムベーシック放射線物理学　第 2 版　福士政広編集　メジカルビュー社　978-4758319157

参考書

放射線医学物理学 第 3 版増補　文光堂社　放射線取扱主任者参考書（物理学分野）

研究室／オフィスアワー

桜棟 5 階　共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	放射線とは	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
2	量子論・特殊相対性理論	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
3	ボーアの理論・排他原理	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
4	中間テスト 1（第 1 回～第 3 回）	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
5	X 線の定義と種類，X 線の発生	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
6	光子と物質の相互作用(1)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
7	光子と物質の相互作用(2)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・	大鷹

		教科書を参考にまとめる。	
8	X 線束の性質	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
9	中間テスト 2（第 5 回～第 8 回）	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
10	放射性物質	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
11	原子核の構造	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
12	原子核の崩壊(1)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
13	原子核の崩壊(2)	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
14	核反応，核分裂，核融合	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
15	まとめ	予習：該当する内容の教科書範囲を読んでおく。　復習：講義で使用したレジュメ・教科書を参考にまとめる。	大鷹
成績評価方法と基準			割合
①期末試験、②中間テスト 1、③中間テスト 2 で評価します。　なお、出席が規定の回数を満たない場合は期末試験の受験を許可しません。			①80%　②10% ③10%

授業科目名	放射線計測学Ⅰ(放射線)					
主担当教員	今井 信也		担当教員	今井 信也		
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜2限	
授業形態		単位数	2単位	必修・選択	必修	

授業概要

放射線計測学は人間の感覚でとらえられない放射線について放射線計測機器を用いて計測する技術を学ぶ学問である。ここでは放射線の基礎として「放射線の種類・質」、「放射線量」、「放射能」、「放射線防護量」「放射線の量と単位」について広く理解する。また、放射線と物質がどのように相互作用するのかを正しく理解し、放射線検出の原理や特徴など基礎的な知識を習得する。これらを学習することで各放射線計測装置の特徴や実際の放射線計測方法を学ぶ放射線計測学Ⅱに繋げる。

学修目標

1. 放射線測定に必要な放射線の量や単位を説明できる。<DP①> 2. ブラッググレイの空洞原理を説明できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 講義中の私語は慎むこと。 2. 予習と復習を必ず行うこと。 3. 初回授業でシラバスについて説明します。

教科書

放射線計測学 改訂第２版 メジカルビュ-社 福士政広 ISBN：9784758319188

参考書

・診療放射線技術 上巻(改訂第14版) 南江堂 小塚隆弘 ISBN：9784524258598 ・診療放射線技術 下巻(改訂第14版) 南江堂 小塚隆弘 ISBN：9784524258611 ・医用放射線辞典 第５版 共立出版 医用放射線辞典編集委員会 ISBN：9784320061750

研究室／オフィスアワー

授業中に指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	放射線計測の基本	予習：シラバス・教科書（P3 ~7 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P3 ~7 ）の確認	今井
2	放射線計測学の目的と対象	予習：シラバス・教科書（P10 ~17 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P10 ~17 ）の確認	今井
3	放射線に関する量と単位①	予習：シラバス・教科書（P19 ~28）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P19 ~28 ）の確認	今井
4	放射線に関する量と単位②	予習：シラバス・教科書（P19~28 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P19 ~28 ）の確認	今井
5	放射線の種類と発生源 小テスト①	予習：シラバス・教科書（P30 ~40 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P30 ~40 ）の確認	今井
6	光子と物質の相互作用	予習：シラバス・教科書（P41~45）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P41~45）の確認	今井
7	物質内のおける光子の減弱	予習：シラバス・教科書（P46 ~51）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P46~51）の確認	今井

8	電子と物質との相互作用	予習：シラバス・教科書（P52 ~59 ）の確認　復習：授業をもとにシラバス・教科書（P52~59）の確認	今井
9	重荷電粒子と物質との相互作用	予習：シラバス・教科書（P60 ~66 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P60 ~66 ）の確認	今井
10	中性子と物質との相互作用	予習：シラバス・教科書（P67 ~71 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P67 ~71 ）の確認	今井
11	小テスト②　これまでのまとめ	予習：シラバス・教科書（P3 ~71 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P3 ~71 ）の確認	今井
12	二次電子平衡	予習：シラバス・教科書（P72 ~75 ）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P72 ~75）の確認	今井
13	ブラッグ・グレイの空洞原理	予習:シラバス･教科書(P76~78)の確認　復習：授業をもとにシラバス・教科書（P76 ~78 ）の確認	今井
14	測定値の処理	予習：シラバス・教科書（P79 ~83）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P79 ~83）の確認	今井
15	全体のまとめ	予習：シラバス・教科書（P3 ~85）の確認 復習：授業をもとにシラバス・教科書（P3 ~85）の確認	今井
成績評価方法と基準			割合
1.　小テスト　2.　定期試験〈DP1〉　　※出題範囲：授業で扱った範囲			1. 20%　2. 80%

授業科目名	放射線概論（放射線）					
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子		
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜4限	
授業形態	講義	単位数	1単位	必修･選択	必修	

授業概要

放射線医学全般に関する基本知識と診療放射線技師の役割・義務について概説する。放射線の科学・取扱技術及び放射線機器の原理・構造を学ぶために必要な理工学の基礎的知識を習得すると同時に、チーム医療の一員として診療に寄与するのに必要な知識を身に付ける。幅広い視野のもと診療放射線技術を実践するための基礎的な能力を高めることができるように教授する。

学修目標

1. 診療放射線技師という職業や職場の概要を理解する。〈DP①②〉 2. 診療放射線技師が行う業務内容について理解する。〈DP①②〉 3. 画像検査に放射線の基礎的知識を理解する。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

診療放射線技師を目指す学生として知っておくべき基本的な内容について本講義は組み立てられています。 ※ノートPCが必須となります。　詳細は第1回目にお伝えします。

教科書

『診療放射線技術』上巻改訂第14版　小塚隆弘・稲邑清也・監、南江堂、ISBN: 9784524258598　　『アイソトープ手帳』日本アイソトープ協会、丸善書店、ISBN: 9784890732777　『Q&A放射線物理 改訂2版』、大塚 徳勝 他、共立出版、ISBN:978-4-320-03592-8

参考書

適宜紹介

研究室／オフィスアワー

さくら棟 研究室7/随時（不在のことが多いため、事前アポイントがあった方がのぞましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	放射線医学の歴史　･放射線医学、診療放射線技師の歴史について概説する。　･診療放射線技師について学ぶ。	予習：放射線医学について調べる。(30分)　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30分)	西浦
2	診療放射線技師とは①　･診療放射線技師の職業についてグループワークを行う。	予習：診療放射線技師の職業、法的な制度について調べる。(30分)　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30分)	西浦
3	診療放射線技師とは②　･診療放射線技師の職業について調べたことを発表する。	予習：診療放射線技師の職業、法的な制度について調べたことをまとめておく。(30分)　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30分)	西浦
4	放射線と放射能	予習：放射線と放射能について調べる（30分)　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30分)	西浦
5	小テスト　小テストの解説	予習：第1回～第4回までの内容をまとめる（30分)　復習：小テストの復習を行う。(30分)	西浦
6	放射線とは①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（30分)　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30分)	西浦
7	放射線とは②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（30分)　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30分)	西浦

8	X 線の基本特性と放射線防護の基本	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと（30 分）　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30 分)	西浦
9	X 線画像の形成	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと。（30 分）　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30 分)	西浦
10	撮影に必要な人体の構造（体表ポイント）	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと。（30 分）　復習：授業をもとに教科書の再確認（30 分）	西浦
11	撮影体位、投影方向	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと。（30 分）　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30 分)	西浦
12	小テスト②および解説	予習：第 6 回～第 11 回の内容をまとめる。（30 分）　復習：学習内容を復習してノートをまとめる。(30 分)	西浦
13	「診療放射線技師の仕事①　症例を通して」　・胸部疾患（感染症による肺炎）について　・多職種連携にふれる	予習：事前に与えられた症例について調べる。(30 分)　復習：授業をもとに教科書の再確認（30 分）	西浦
14	「診療放射線技師の仕事②　症例を通して」　・癌疾患（肝細胞癌）について　・多職種連携にふれる	予習：事前に与えられた症例について調べる。(30 分)　復習：授業をもとに教科書の再確認（30 分）	西浦
15	「診療放射線技師の仕事③　症例を通して」　・心疾患（虚血性心疾患、心筋梗塞）について　・多職種連携にふれる	予習：事前に与えられた症例について調べる。(30 分)　復習：授業をもとに教科書の再確認（30 分）	西浦
成績評価方法と基準			割合
1.　定期試験<DP①>　2.　第 5 回で実施する小テスト<DP①>　3.　第 12 回で実施する小テスト<DP①>　4. グループワークプレゼンテーション<DP①>　※　100 点満点の 60%（60 点）以上を単位認定します。			1.　60%　2.　15%　3.　15%　4.　10%

授業科目名	医療画像情報学序論（放射線）				
主担当教員	垣本　晃宏		担当教員	垣本　晃宏	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療画像情報学序論は、「ICT 演習」で習得した知識を基盤とし、医療画像で用いられるデジタル画像の基礎知識を身に付けさせる。特に情報の表現と論理演算、論理回路を概説し、医療画像の基礎となる画像の種類と単位、およびデジタル画像作成過程に必須となる画素、画素値、標本化、量子化等を教授する。診療放射線技術に関連した医療画像情報学の基礎知識を身に付けさせ、専門科目である「医療画像情報学」「医療情報学」等を理解するために必要な基礎知識の習得を目標とする。

学修目標

1.　医用画像情報学に関する基礎知識を定着させる　2.　診療放射線技師国家試験の出題基準に該当する技術用語を網羅的に習得する　3.　医用画像を取扱う専門職として、実践的な技術力を身に付ける

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　初回の授業で講義の詳細、単位認定・評価の方法を説明する　2.　教科書をベースとし、必要に応じて参考書等で補足する　3.　PC 設定について事前に案内するので、講義までに準備しておくこと

教科書

『実践！医用画像情報学　基礎から実験・演習まで』　監修・福士政広／MEDICAL VIEW　ISBN：978-4-7583-2021-4

参考書

参考書：　オーム社　よくわかる医用画像情報学　石田隆行　参考書：　オーム社　ディジタル X 線画像計測　石田隆行

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F 共同研究室：　水曜日 13:00～14:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、数の表現	予習：p1～11　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
2	論理素子	予習：p12～22　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
3	医用画像の基礎	予習：p23～35　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
4	コンピュータの基礎	予習：p36～64　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
5	デジタル画像(画素、画像データ量)　※PC 使用演習	予習：p83～85　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
6	デジタル画像(画像の標本化・量子化)　※PC 使用演習	予習：p86～88　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
7	デジタル画像(空間周波数とフーリエ変換)　※PC 使用演習	予習：p89～94　復習：キーワード・重要語句の確認	垣本
8	確認試験および解説	予習：第 1～7 回講義の全範囲　復習：試験解説	垣本

成績評価方法と基準	割合
1.　定期試験　出題範囲は国試基準に準ずる	1.　100%

授業科目名	医療技術入門（放射線）					
主担当教員	脇　英彦			担当教員	脇　英彦／松尾　明彦／中村　有希	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	選択

授業概要

選択医療技術は科学技術（テクノロジー）に基礎をなす学問であり、その応用である。それは技術に基づいて発展し、現在の高度化された医療を支えている。その技術を用いて医療を実践するのが医療技術者である。本講義では生体機器を取り扱うために必要な専門的な知識と技能（スキル）を修得させることを目的とする。また、臨床検査・臨床工学・診療放射線が関わる分野について、学科の垣根を超えて医療技術の基礎と技術を教授し、多職種の理解が深まるように解説する。

学修目標

臨床の現場で必要である医療技術の基礎を学ぶ。　1．医療を技術的観点からとらえ、それを支える基礎的事項について理解する。　2．医療において技術を駆使するのは医療従事者でありスキルの重要性を理解する。　3．科学の進歩に伴い医療の技術も日々進歩していることを理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療の学問的・技術的な背景が講義の主軸となるが、最新の医療技術についても紹介する。1年次前期ではまだ十分な知識が備わってないこともあるので、分からないことは積極的に質問すること。また学習内容と事前指導を確認し準備をしておくこと。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書

担当教員が適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

臨床検査学科　脇研究室　（月）16：30～17：30　（火）16：30～17：30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. 臨床で使用される医療機器の紹介	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
2	2. 日常臨床で使用される 3 方活栓の使い方（実習）	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、中村有希
3	3. 循環器系疾患で使用される医療機器（臨床例提示）	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
4	4. 静脈確保の実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、松尾明彦
5	5. 消化器系疾患で使用される医療機器（臨床例提示）	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
6	6. 生検鉗子の使用実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、中村有希
7	7. 脳・神経系で使用される医療機器（臨床例提示	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
8	8. 頸動脈エコー実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦

成績評価方法と基準	割合
1. 授業内に行う小テスト　2.　実習レポートを含む実習評価　フィードバック：低解答率問題の解説を行う。	1. 授業中に行う小テスト（20%）　2. 実習レポート

	を含む実習評価（80%）

授業科目名	BLS テクニカル演習（放射線）				
主担当教員	加納　寛也		担当教員	加納　寛也／布江田　友理／藤江　建朗／中村　有希	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

突然の心停止はその予防に関して重要な進歩を遂げているにも関わらず、多くの国では死亡原因の第 1 位である。そして、院外での心停止の予後は依然不良である。この講義では、医療技術職に関わる学生が、世界基準の心肺蘇生（CPR）について学び、高い CPR スキルの実施を修得する。その第一歩として学科の垣根を越えて、一次救命処置（BLS）を修得し救命率を向上させる医療人のタマゴの育成を目指す。　アメリカ心臓病協会 AHA による一次救命処置（BLS）プロバイダーコースを受講することで AHA, BLS 修了認定する。　DP 1,2,3

学修目標

- 質の高い CPR の重要性および生存に対するその効果を説明できる
- 救命の連鎖という BLS の概念を適用できる
- CPR を要する徴候を認識できる
- 成人・小児・乳児に対して質の高い CPR を実施できる
- 自動体外式除細動器（AED）の早期使用の重要性を説明できる
- AED を適切に使用できる
- 感染防具を使用して効果的な人工呼吸が実施できる
- 異物による気道閉塞を解除する処置を説明できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①本科目は定員制のため、受講希望者が多い場合は教務課にて抽選により選出する。また履修登録修正期間に枠が空いた場合は、抽選者の中から繰り上げ定員とする。　②講義７，８は実技＋試験としてアメリカ心臓病協会 AHA による一次救命処置（BLS）プロバイダーコースを受講となる。実施日は土曜日となる。　③②について受講は任意、受講者は実技、資格登録等で別途 16,000 円（2024/11 月時点）が必要となる。AHA 登録期間 2 年間有効。

教科書

一次救命処置　AHA ガイドライン 2020 準拠　プロバイダーマニュアル　：　シナジー　　American Heart Association 著　　ISBN 978-4-910915-04-3 C3347

参考書

写真と動画でわかる一次救命処置　：　学研　　ISBN 978-4-7809-1242-5 C3047

研究室／オフィスアワー

各講義終了後または、各担当教員にアポイントを取って各研究室にて指導を受けること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	一次救命処置の必要性について学ぶ	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納　中村 布江田　藤江
2	救命処置について学ぶ	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納　中村 布江田　藤江

3	BLS について理解を深める	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
4	気道確保について	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
5	AED について	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
6	救助者の心理・メンタルケア	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
7	AHA, BLS 実技	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江 大阪ライフサポート協会
8	AHA, BLS 実技	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納　中村 布江田　藤江 大阪ライフサポート協会
成績評価方法と基準			割合
1、課題評価（レポート提出内容、期限内厳守、班・チームごとにおける演習等に対する協力体制、態度など）、〈DP①②③〉　フィードバック：モリパを通じコメント記載。レポートの返却はしない。			1，100%

授業科目名	循環器診断技術演習（放射線）				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一／小縣　裕二	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

循環器疾患では、病気の範囲や重症度を判定し治療の計画を役立てるために、さまざまな診断法が開発されている。臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師等の医療技術者は、専門的技術を用いて医療を実践することで現在の高度化された循環器疾患診療を支えている。臨床検査・臨床工学・診療放射線の 3 職種が関わる分野について、学科の垣根を超えて一緒に循環器疾患の診断に関する基礎を学ぶことで、それぞれの専門的な技能（スキル）の修得に繋げると共に、多職種理解を目指す。

学修目標

臨床の現場で必要である循環器診断技術の基礎を学ぶ。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

履修上の注意（学生へのメッセージ）　1　全出席を原則とする。　2　課題を出しますので、提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。　3　課題（模型作成）では模型代金（4,000 円程度）の実費を徴収します。　　価格は予定であって、変更となる可能性もあります。　4　模型作成の時は土曜日に開講する予定です（日程は調整中）。※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

指定しない

参考書

指定しない

研究室／オフィスアワー

山本浩一　さくら棟 5F　研究室 6

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス・循環器系解剖講義	予習：循環器系の解剖教科書を熟読し理解してくること　復習：実習の内容をまとめる	
2	心臓の解剖演習	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
3	心臓について②(模型作成)	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
4	心臓について③（模型作成）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
5	超音波検査(演習を含む)	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
6	心電図検査（演習を含む）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
7	循環器に関する放射線検査（造影剤に関して）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
8	循環器に関する自律神経薬理学実習	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	

成績評価方法と基準	割合
授業ごとに課題（レポート等）を課します。詳細は 1 回目に伝えます。	課題の評価を 100%としま

	す。詳細は1回目に伝えます。

授業科目名	附属施術所応用実習（鍼灸スポーツ）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太／尾﨑　朋文	
科目ナンバリング	SS403	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 1 限、火曜 2 限、火曜 3 限、火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

１．教員の指導下で、施術活動に補助として参加する。　２．問診や診察により病態を推察し、治療計画や評価について教員と意見交換をする。　３．観察あるいは施術補助した症例や疾患について、文献検索などを用いて調べ、power point 等を用いてカンファレンスで発表し討論する。

学修目標

１．基本的な患者応対、問診、診察補助、鍼灸適否判断、施術補助、記録ができる。　２．患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身に付ける。　３．観察した症例を正確に記し、病態や治療効果を客観的に分析してプレゼンできる。　４．現代医学、東洋医学の両面で患者の病態を把握できる力を身につける。　５．模擬患者を対象として実際に治療ができる技術を身に付ける。　DP①④

履修上の注意（学生へのメッセージ）

１．実習マニュアルにもとづき、身だしなみや態度などに細心の注意を払うこと。　２．遅刻は、臨床業務に支障を来たす行為であり、臨床実習における心構えの観点からも認めない。　３．指定された時間に附属鍼灸施術所に集合し、出席確認・身だしなみチェック・必要備品のチェック・注意事項などを行った上で実習を開始する。　４．施術準備を手伝う。　５．少数人数に分かれ教員のブースで見学や施術補助を行う。　６．片付けを手伝う。　７．疑問点や学んだことをメモして、臨床実習終了後に調べてまとめ、グループや担当教員と意見交換を行う。

教科書

各授業時に配付された資料に基づく

参考書

１．工藤慎太郎編著＜運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学、医学書院＞　２．工藤慎太郎編著＜運動療法の「なぜ？」がわかる超音波剖学、医学書院＞

研究室／オフィスアワー

報告書の提出時に、書く指導教員の指定する日時・場所にて実施する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	１．施術所における実習　　１）小グループによるローテーションとする。　　２）指導教員の下で、患者案内、問診、診察、施術補助などを行う。　　３）模擬カルテに記録し、不明な点を調べて加筆した後、 実習簿にあるカンファレンス用紙に記載する。模擬カルテの書き方は SOAP 方式に沿って記載する。実習簿にあるカンファレンス用紙は、意見交換した施術担当教員の印をもらう。　２．臨床カンファレンス（隔回で実施する）　１）観察・施術補助した症例、あるいは与えられた課題疾患について調べる。２）プレゼン資料を作成する。（最低 1 文献以上は論文検索を行うこと）　３）資料（配布または power point 等）に基づき症例の発表をする。　４）討論して意見交換を行う。	予習：経絡経穴学、現代医学系鍼灸実習、東洋医学系鍼灸実習、附属施術所基礎実習で学んだ内容を実習に入る前に確認すること。　復習：附属施術所で見学した症例について各自で調べ、power point 等にまとめること。	

	３．医療面接トレーニング（時間的に余裕がある場合に実施する）　　１）小グループで協力患者または模擬患者を相手に医療面接を行う。　２）学生全体で問題点を指摘し合う。　　３）教員から改善点の指導を受ける。　　４．診察トレーニング（隔回で実施する）　　１）徒手検査、東洋医学検査を模擬患者相手に実施し、修練する。　　２）全ての学生が検査と診察をスムーズに出来るように実施する。　　３）模擬患者を相手に診察から施術までのロールプレイ式トレーニングを行う。　　４）初回に限り、文献検索の方法も合わせて指導する。		
成績評価方法と基準			割合
①実習態度・身だしなみ・質疑応答・施術補助能力に関するチェックを行う。　②カンファレンスにおける発表や取り組みを学内ルーブリックに基づき評価する。　※カンファレンスは全て出席し、症例報告のプレゼン、発言、知識のチェックを行う。　※割り当てられた全てのローテーションへの出席を必要とする。　DP①④　上記全ての項目が認められて、初めて成績として評価を行う。　但し、学年末試験が 60 点以上とれていない場合は再試験を受けなければならない。　出席では公欠の場合に補講を実施するが、その他の遅刻・欠席の補講は認めず、成績を不可とする。			①60%　②40%

授業科目名	情報処理（鍼灸 B）				
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊	
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉　2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉　3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉　4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること　2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること　3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること　4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する　※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目　（空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方）　コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。復習：授業内容の確認と課題。　※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論②　情報セキュリティと情報モラル　Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：Lesson5【表の作成】を読む　　復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	情報処理（鍼灸 A）					
主担当教員	佐久間 俊		担当教員	佐久間 俊		
科目ナンバリング	LA20005	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

本講義では、コンピュータを利用する上で必要な基礎知識のほか、レポート作成等役立つ情報処理技術、すなわちワープロや表計算、プレゼンテーションを中心としたソフトウェアの基礎知識と基本操作の習得を目標とする。また、コンピュータ利用技術の習得に加えて、情報化社会に必要な倫理観と情報の保護を学ぶために、技術的な面に加えて個人情報保護法等の法令や指針についても学ぶ。なお、コンピュータのオペレーティングシステム(OS)は Windows を、ソフトウェアはマイクロソフトの Word, Excel, PowerPoint 等を使用する。

学修目標

1．PC 利用に限らず，広く，情報倫理と個人情報保護の重要性を理解し，説明できる〈DP③〉 2．Word による文書（レポート，論文）の作成ができる〈DP③〉 3．Excel による基本的なデータの集計・解析ができる〈DP③〉 4．PowerPoint を用いて資料を作成し，効果的なプレゼンテーションができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．PC を使った演習を行なうので、出席をすること 2．学校の PC で Moripa を使用するので、ID とパスワードを忘れずにメモしてくること 3．作業内容（作成したファイル等）を保存するための USB メモリを用意すること 4．PC 演習室での飲食は禁止(机の上に置くのも禁止) する ※下記授業計画は予定であり、学生の修得状況により前後することがあるので留意すること。

教科書

中村健壽監修，森由紀著，医療従事者のための情報リテラシー，日経 BP 社

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 MANABEL PROGRESS CENTER【MPC】/月曜日 5 限目 （空いていたら適宜対応しますので事前に相談してください）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス（授業の進め方） コンピュータ概論①	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：PC の操作方法やマイクロソフト Office（Word、Excel、PowerPoint）について教科書等によって概要を調べる。USB を用意する。 復習：授業内容の確認と課題。 ※課題については、毎回の授業内で指示します。以下同様。	佐久間
2	コンピュータ概論② 情報セキュリティと情報モラル Word①(文字入力やファイル管理等の基本操作)	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson1【コンピュータ概論】、Lesson15【情報セキュリティと情報モラル】、Lesson2【文字入力とファイル管理】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
3	Word②（基本的な文章の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson3【基本的な文書の作成】、Lesson4【ビジネス文書の作成】を読む 復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
4	Word③（表の作成）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 予習：Lesson5【表の作成】を読む 復習：授業内容の	佐久間

		確認と課題。	
5	Word④（図形とイラストの挿入）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson6【図形とイラストの挿入】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
6	Word⑤（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Wordに関する操作・機能を確認。復習テストに備えておくこと。	佐久間
7	Excel①（表計算の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：テキストLesson7【集計表の作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
8	Excel②（関数を使った表計算）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson8【関数を使った表計算1】、Lesson9【関数を使った表計算2】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
9	Excel③（統計処理）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson10【統計処理】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
10	Excel④（グラフ作成）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson11【データとグラフ】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
11	Excel⑤（データの活用）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson12【データの活用】を読む　復習:授業内容の確認と課題。	佐久間
12	Excel⑥（復習テスト）	＜予習・復習 各2時間＞　Excelに関する操作・機能を確認する。復習テストに備えておくこと	佐久間
13	PowerPoint①（資料作成の基礎）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson13【プレゼンテーションの作成】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
14	PowerPoint②（プレゼンテーションの実行方法・資料作成の演習）	＜予習・復習 各2時間＞　予習：Lesson14【プレゼンテーションのデザイン】を読む　復習：授業内容の確認と課題。	佐久間
15	PowerPoint③（プレゼンテーション）	＜予習・復習 各2時間＞　予習:PowerPointに関する操作・機能を確認し、資料の作成内容を決定する。	佐久間
成績評価方法と基準			割合
出席基準：2/3 回以上必要である。　①課題の提出状況及び完成度、授業態度含む〈DP③〉　②小テスト（授業内で実施）WORD及びEXCEL〈DP③〉　③Power Point発表資料〈DP③〉　〈課題・小テストに対するフィードバック方法〉　授業課題についてはMoripaにて個別に講評します。　全講義終了後に希望者のみ成績評価を開示する。			①30%　②50%　③20%

授業科目名	統計学（鍼灸）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20006	科目区分	教養科目群	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	月曜１限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:選択　スポーツ:必修

授業概要

統計学の基礎や概念を学び、実験や調査で得られたデータをどのような統計手法を用いて分析し、どのように解釈すればよいかを理解し、それらを元に実際に自分たちでデータを分析することによって、基礎的な統計処理を身につけることを目指す。

学修目標

１．統計学の基礎を理解する〈DP③〉　２．推定と検定の考え方を理解し，説明することができる〈DP③〉　３．量的データに対して適切な分析方法を選択することができる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の授業のつながりが非常に重要です．また，毎回小テストを実施しますので，欠席のないように留意すること

教科書

向後千春・冨永敦子，ファーストブック 統計学がわかる，技術評論社，ISBN13: 978-4774131900

参考書

市原清志 著，「バイオサイエンスの統計学 -正しく活用するための実践理論-」，南江堂　古川俊之 監修，丹後俊郎 著，「統計ライブラリー 医学への統計学 第３版」，朝倉書店

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　「統計学」とはどのような学問か，また，医療従事者にとって統計学がなぜ必要なのかについて解説する．	シラバスを確認して，テキスト「はじめに」を読む（単に読むだけではなく，わからない専門用語等について下調べをしておく，以下同様）．【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	統計の基本概念とキーワード１:統計学に必須の基礎的知識　数の分類，測定値の性質について解説する．	数の分類や，尺度水準に関して参考書，web 等を利用してそれぞれの用語について調べる．【3】　MORIPA 上の小テストに回答する．【1】	井手口
3	統計の基本概念とキーワード２:統計学に必須の基礎的知識　母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度について解説する．	母集団・標本・無作為抽出，度数分布，代表値・散布度に関して，教科書（１章，２章），参考書，web 等を利用して調べる，【3】　MORIPA 上の小テストに回答する．【1】	井手口
4	相関：２変数のデータの関係の表現方法　「データの記述」の観点から，「相関」及び「相関係数」について解説する．	教科書では取り扱っていない内容なので，参考書や web を活用して，ピアソンの積率相関係数，スピアマンの順位相関係数，ケンドールの順位相関係数について調べる．【3】　MORIPA 上の小テストに回答する．【1】	井手口
5	検定の原理:検定法の共通原理　統計学的な手法は多様であるが，共通する部分も存在する．ここでは，多くの手法に共通する考え方について解	教科書３章１節を読み．一般的な検定の流れについて調べておく．特に，「帰無仮説」とはなにか考える．【2】　MORIPA 上の	井手口

	説する.	小テストに回答する.【2】	
6	検定:頻度・割合の検定１　　前回解説した「検定法の共通原理」に基づいた具体的な検定手法について，頻度・割合の検定を例に，「観測値」と「期待値」の考え方について解説する.	教科書３章２節，３節を読む.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
7	検定:頻度・割合の検定２　　観測値と期待値についておさらいしつつ，「カイ２乗検定」について解説し，実際に，検定統計量（カイ２乗値）や，その生起確率を求め，検定結果について判定を行う.	教科書３章４節を読み，必要な指標の求め方を調べておく.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
8	推定:平均値の信頼区間　　標本（得られた測定値）の平均値は，母集団の平均値（母平均）と一致しているかどうか検討するため，推定の手法について解説する.	教科書２章３節を読み，推定の考え方について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
9	推定:平均値の差の信頼区間　　１標本の平均値から母平均の信頼区間を求めることを拡張し，２標本の平均値の差の信頼区間を求める方法について解説する.	教科書４章１節，２節を読み，平均値の差の推定の考え方について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
10	検定：ｔ検定（対応のない２群の平均値の差の検定）　　収集したデータの「対応」とは何かを解説し，２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がない場合（特にウェルチの方法）について解説する．ウェルチの方法については，教科書に記述がないため，資料を配布する.	参考書，あるいは web を調べて．対応のないｔ検定の中でも，「ウェルチの方法」について調べる.【3】　MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
11	検定：ｔ検定（対応のある２群の平均値の差の検定）　　２群のデータの平均値を検定する手法であるｔ検定のうち，データに対応がある場合について解説する.	教科書５章を読み，対応のある２群の平均値の差の検定について調べ，参考書，web を活用して「一標本ｔ検定」について調べる.【3】 MORIPA 上の小テストに回答する.【1】	井手口
12	３群以上の差の検定１-1:一元配置分散分析（１要因分散分析）　　ｔ検定は，測定条件が３群以上になると適用することができなくなる．３群以上の条件がある場合の検定について解説する.	教科書６章１節，２節を読み，条件が３群以上になるとｔ検定が利用できなくなる理由について調べつつ，分散分析の原理・考え方について理解する.【4】	井手口
13	３群以上の差の検定１-2:一元配置分散分析（１要因分散分析)演習　　前回解説した，１要因で，３水準以上の条件がある場合の検定に関する演習を行う.	教科書６章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順を調べる.【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
14	３群以上の差の検定２-1:二元配置分散分析（２要因分散分析）　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定について解説する.	教科書７章１節，２節を読み，「要因」と「水準」の考え方を再度確認し，２要因ある場合の分散分析の計算手順を調べる.【4】	井手口
15	３群以上の差の検定:二元配置分散分析（２要因分散分析）演習　　３群以上の差の検定について，さらに複雑な，要因が２つ以上ある場合の検定に関する演習を行う.	教科書７章３節を読み，分散分析表を埋めるための計算手順，及び，新たな要素である「交互作用」について調べる【2】　演習内容を参考にし，MORIPA 上の小テストに回答する.【2】	井手口
成績評価方法と基準			割合
① 定期試験〈DP③〉　② 小テスト〈DP③〉			① 80%　② 20%

授業科目名	心理学（鍼灸）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	LA20007	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

心理学が扱う問題・領域は多岐にわたっているが，それらに共通しているのは，「心」を理解しようとしていることである．しかしながら，一見すると，一体どこに「心」があるのか疑問になるような問題を扱っていることも多い．　本講義では，心理学における基礎的領域について概説した後に，生活や健康，心理臨床の領域に関わる応用的領域について解説を展開する．　また，医療の現場では，様々な状況に置かれた人々と関わりを持つ機会が非常に多い．心理学を学び，「心」に関する知識を修得することで，医療人としての皆さんに，直接的に，また，間接的に役立つことを期待している．

学修目標

1．「心」の働きをつくる諸機能について説明できる〈DP③〉　2．「心」と，生活や健康との関わりについて説明できる〈DP③〉
3．「心」の基礎的領域と応用的領域の知見について系統立てて説明できる〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

PC によるプレゼンテーション資料や動画資料を活用した講義形式を中心に授業を進める．講義ごと，あるいは，扱う領域ごとに MORIPA 上で小テストを課すことがある．　講義で使用する動画資料は MORIPA 上で公開するので，やむを得ず欠席する場合は，動画を視聴しておくこと．また，最後の成績評価にある通り，小テストは成績に反映されるので，忘れずに回答すること．

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 編，「心理学［第５版 補訂版］」，東京大学出版会，ISBN13: 978-4130121170

参考書

大川一郎・土田宣明・高木美保 編著，「基礎から学べる 医療現場で役立つ心理学」，ミネルヴァ書房　樫村正美・野村俊明 編著，「医療系のための心理学」，講談社　大竹文雄・平井啓 編著，「医療現場の行動経済学―すれ違う医者と患者―」，東洋経済新報社　その他、適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	こころを捉える：こころとはなにか？	テキスト第１章を読む．　（単に調べるだけではなく，わからない専門用語等について下調べをし，イメージ（ゆるふわで良い）を持っておく．以下同様）【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	こころを捉える：行動の基本様式	テキスト第２章を読む【4】	井手口
3	こころを捉える：遺伝と環境	テキスト第３章を読む【4】	井手口
4	学習：条件付け	テキスト第４章 1 節を読む【4】	井手口
5	学習：技能学習と社会学習	テキスト第４章 2，3 節を読む【4】	井手口
6	記憶：短期記憶と長期記憶	テキスト第４章 4 節を読む【4】	井手口
7	学習・記憶の神経学的基礎	テキスト第４章 5 節を読む【4】	井手口

8	感覚：感覚様相と閾	テキスト第５章１節を読む【4】	井手口
9	知覚：視覚系の生理学	テキスト第５章２節，1，2 項を読む【4】	井手口
10	知覚：視知覚の特性	テキスト第５章２節，3，4，5，6，7 項を読む【4】	井手口
11	思考・言語：問題解決と認知発達	テキスト第６章 1，2，3，4 節を読む【4】	井手口
12	思考・言語：言語・非言語コミュニケーション	テキスト第６章 5，6 節を読む【4】	井手口
13	動機づけ：達成動機づけ	テキスト第７章 4 節を読む【4】	井手口
14	社会行動：社会的認知	テキスト第９章 1，2 節を読む【4】	井手口
15	社会行動：態度と説得・社会的影響	テキスト第９章 3，4 節を読む【4】	井手口
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP③〉　②平常点（MORIPA 上で実施する小テスト）〈DP③〉			①80%　②20%

授業科目名	生命倫理学（鍼灸）				
主担当教員	田中　美子		担当教員	田中　美子	
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

「生命倫理学」の主なトピックを取り上げながら、その是非について一緒に真剣に考える時間をもちます。また、いのちの大切さについても考えます。授業は講義が中心ですが、ディスカッションも行う予定です。

学修目標

1.「『いのち』は誰が決めるのか」と、どの現場でも考えられる習慣を身につける。〈DP③〉　2.「誰のための医療か」「誰のためのケアか」を、他の人の立場でも考えられる。(DP③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書『はじめて学ぶ生命倫理』を購入してください。　ノートなどを用意してください。　授業の内容は、時事問題等の関係で、変更することがあります。

教科書

『はじめて学ぶ生命倫理』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書 167（筑摩書房）　2011 年

参考書

『シリーズ　大学生の学びをつくる　生命の倫理学』　三崎和志他著　大月書店　2023 年　『生命倫理学とは何か』　アラステア・Ｖ・キャンベル著　山本圭一郎他訳　勁草書房　2016 年　『生命倫理の教科書』　黒崎剛・野村俊明編著　ミネルヴァ書房　2014 年　『生命倫理・医事法』塚田敬義・前田和彦編　医療科学社　2015 年　『QOL って何だろう』　小林亜津子著　ちくまプリマー新書　2018 年 『看護師という生き方』 宮子あずさ著　ちくまプリマー新書　2013 年 『いのちはなぜ大切なのか』　小澤竹俊著　ちくまプリマー新書　2007 年　『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』　安藤泰至著　岩波ブックレット　2019 年　『安楽死が合法の国で起こっていること』児玉真美著　ちくま新書 2023 年　『境を超えて Part1　このまま死ねるか?』岡部宏生著　ぶどう社　2023 年

研究室／オフィスアワー

授業の前後に、質問等を受け付けます。　出校日には、非常勤講師控室でも対応します。　自宅への電話でも受け付けます。番号は改めてお伝えします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生命倫理学で考えること	いのちに関わる問題をピックアップしておきましょう。	田中　美子
2	いのちはなぜ大切なのか	いのちとはどういうものか、自分の言葉で考えてみましょう。	田中　美子
3	人体実験からインフォームドコンセントへ	自己決定が求められるようになった歴史的背景を知りましょう。	田中　美子
4	言葉のポリティクス	言葉の使用法に込められた意図を考えてみましょう。	田中　美子
5	いのちをめぐる自己決定	教科書第１章を読みましょう。	田中　美子
6	安楽死・尊厳死の現在	いのちの終わりをめぐる現在の状況を知りましょう。	田中　美子
7	判断能力の判断は誰がするのか	教科書第３章を読みましょう。	田中　美子
8	認知症当事者の声	当事者の立場から認知症を捉え直してみましょう。	田中　美子

9	中高生の自己決定	教科書第 2 章を読みましょう。	田中　美子
10	人のいのちと心を支えるもの	自分にとっての支えが何かを考えてみましょう。	田中　美子
11	いのちの始まりはいつからか	教科書第 7 章を読みましょう。	田中　美子
12	いのちの尊厳の根拠	いのちはなぜ大切なのかを、改めて考えましょう。	田中　美子
13	いのちの質は誰が決めるのか	教科書第 4 章を読みましょう。	田中　美子
14	生殖医療の現在	いのちの始まりをめぐる現在の状況について調べましょう。	田中　美子
15	いのち・時間・美	いのちを大切にすることがどういうことか、多角的に考えてみましょう。	田中　美子
成績評価方法と基準			割合
①毎授業の「振り返り（ミニレポート）」。〈DP③〉　　授業の内容が反映されていること。 ②学期末の「レポート」。〈DP③〉　　調べた内容が客観的にまとめられていること。　　自分の考察が書かれていること。			①約 50%　②約 50%

授業科目名	社会福祉学（鍼灸）				
主担当教員	伊東　香純		担当教員	伊東　香純	
科目ナンバリング	LA20010	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

本講義では、社会福祉学の基本的な概念や理論を学習し、それらを用いて社会を観察、分析する力を養う。家族や地域、病院など身近なテーマについて、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

学修目標

家族や地域、病院など福祉に関する身近なテーマについて、社会福祉学の基本的な概念や理論を用いて批判的、相対的な視点から考察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進捗状況等により、講義の順序や内容は変更する可能性がある。

教科書

指定なし

参考書

授業の中で適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

連絡先電子メール：itokasumi24(at)gmail.com (at)→@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
2	障害者の自立生活運動	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
3	介助の現場	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
4	社会保障制度の歴史	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
5	生活保護制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
6	家族制度	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
7	少子高齢社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペ	伊東

		ーパーの提出	
8	グローバルエイズ	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ、考える　課題：コミュニケーションペーパーの提出	伊東
9	国際協力	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
10	在日コリアン	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
11	開発原病・帝国医療	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
12	リスク社会	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
13	医療化	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
14	ジェンダー	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
15	自己決定？	予習：学修内容に関する文献や出来事を調べる　復習：関心をもった事柄をさらに調べ､考える　課題:コミュニケーションペーパーの提出	伊東
成績評価方法と基準			割合
授業参加度（コミュニケーションペーパー）（検査鍼灸ともにＤＰ③）　最終レポート（検査鍼灸ともにＤＰ③）			60%　40%

授業科目名	東洋史概説（鍼灸）				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	LA20012	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

3 年次では歴史の試練に耐え発展してきた東洋医学を中心に東洋史・東洋思想を扱い、また普遍的思想を講義する。

学修目標

鍼灸師としての幅を広げるために、東洋医学史と東洋医学概論の知識を深め、医学以外の古典にも触れて教養を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各時代・医家の診断治療理論などが理解できるよう、1・2 年で学んだ「東洋医学概論」を復習しておくこと。

教科書

授業配布プリント

参考書

・東洋療法学校協会編、　東洋医学概論　新版、　医道の日本社　　・東洋療法学校協会編、　医療概論、　医歯薬出版

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	中国・日本の歴史 1。　オリエンテーション	授業の内容を振り返る	熊野
2	中国・日本の歴史 2。　漢文・熟語	授業の内容を振り返る	熊野
3	中国医学史　　古代～。　松下幸之助の思想	授業の内容を振り返る	熊野
4	中国医学思想・理論　古代～。　松下幸之助の思想	授業の内容を振り返る	熊野
5	中国医学史　　～漢。　野村克也と中国思想	授業の内容を振り返る	熊野
6	中国医学思想・理論　～漢。　新渡戸稲造の思想	授業の内容を振り返る	熊野
7	中国医学史　　～宋。　新渡戸稲造の思想	授業の内容を振り返る	熊野
8	中国医学思想・理論　～宋。　西郷隆盛の思想	授業の内容を振り返る	熊野
9	中国医学史　　～現代。　西郷隆盛の思想	授業の内容を振り返る	熊野
10	中国医学思想・理論　～現代。　佐藤一斎と儒学	授業の内容を振り返る	熊野
11	日本医学史　　～近世。　佐藤一斎と儒学	授業の内容を振り返る	熊野
12	日本医学思想・理論　～近世。　中国明代の洪応明の思想	授業の内容を振り返る	熊野
13	日本医学史　　～現代。　中国明代の洪応明の思想	授業の内容を振り返る	熊野
14	日本医学思想･理論　～現代。　中国秦の始皇帝･韓非の思想	授業の内容を振り返る	熊野

15	講義全体のまとめ	これまでの講義を振り返る	熊野
成績評価方法と基準			割合
期末筆記試験、授業態度			100%

授業科目名	西洋史概説（鍼灸）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20013	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

明治維新以降、日本は西欧列強の国々から様々な知識や技術を得て、今日まで長らえてきた。そのなかで近年はヨーロッパの考え方に対して、たとえば「こういう考え方は日本にはなじまない」とか、逆に「日本はこういう考え方を取り入れるべきだ」といった議論がなされることが多くある。しかし、その意見はなぜ正当化されるのだろう。よくあるのは歴史上の事実を取り上げて「西欧はこうだけど日本はこうだからだ」とか、「西欧はこれでうまくいったんだから日本もこうするべきだ」という議論だ。でも、その証拠を評価するにはまず、自分の国の歴史や伝統のみならず、相手が歩んできた歴史の流れを知っておく必要があるだろう。本講義では政治史と社会史上の幾つかのトピックに話を絞って、西洋について基本的な歴史的概説を行う。こうした作業を通じて西洋史の大づかみの概要を学びつつ、普段私たちが用いる言葉や考え方そのものが場合によっては歴史の正しい理解を妨げうること、教科書的な記述にとどまらない事実をめぐる様々な議論がある点などに特に注意を促したい。　　また本学は医療大学であるため、本講義では西洋における医学史についても毎回少しずつ紹介したい。日本では中医学から影響を受けた漢方も発達してきたが、やはり現代の医療の多くは西洋で培われてきた種々の知識や理論に負うところが大きい。西洋において医学をめぐる考え方がどのように変遷していったのかを理解することは、現代の医の在り方を考える上でも重要な視点を与えてくれるだろう。

学修目標

１．歴史学がどのようなことを試みる学問かを踏まえたうえで、毎回各時代に１，２のテーマを設定し、西洋史を概観する。このことによって中高の世界史の授業ではしばしば省略される西洋史の大枠をつかむための歴史理論や、考えるべきだが見落とされがちなポイントなどを学習し、われわれの来し方行く末を考える材料としてもらう。　２．西洋史の概説に加えて今日まで影響を持ついくつかの医学史上の重要なポイントについても理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの授業で特別必要な用意はない。これまでの人生経験に即して、西洋社会についていくらかのイメージを持っていればよい。高校時代の世界史の授業とは異なり様々なポイントを省略することがあるが、初修者でも理解しやすく努めるつもりであるし、高校の世界史を知らないことで成績評価に不利益が生じないように成績評価基準を設計する。歴史学の分野でも昔は認められていた事柄が否定されたり、表記が変わっていたりすることがあるため、中学・高校時代に世界史を履修された学生は、当時の参考書の内容が現在では改訂されている可能性があることを気に留めておくこと。また、シラバスは講義中で取り扱う内容の大まかな流れを示したものであり、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解に応じて内容を一部変更して講義を行ったりするなど、実際の講義をそのまま反映したものではないことに注意されたい。　残念ながら時間の制約上、西洋史を古代から現代までとにかく大急ぎで追いかける形になる。それゆえに、講義と講義の接続は丁寧に行うつもりだが、前に話した内容をある程度は復習し覚えておいていただくことが試験や期末レポートの前提となる。　本講義の進め方や採点基準といった基本方針は第１回の授業で説明する。授業中はその他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠や私語など）はしないこと。妨害行為が酷い場合は退室を命じる。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニテストに解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。			
研究室／オフィスアワー			
授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意・「歴史学」ってそもそも何？	（予習）西洋社会・文化について自分がどういうイメージを抱いているのかを考えておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。(2 時間)	中元　洸太
2	古代ギリシア	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
3	古代ローマ	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
4	中世キリスト教社会の成立①	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
5	中世キリスト教社会の成立②	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
6	ルネサンス、宗教改革、三十年戦争	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
7	近世の国家形成と科学革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
8	期末レポート作成上の注意	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
9	プロト工業化と「啓蒙」の時代	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	産業革命とフランス革命	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
11	ウィーン体制と国民国家の形成	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間)　（復習）レジュメプリント･資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。	中元　洸太

		（2 時間）	
12	南北アメリカの独立	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
13	第一次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
14	第二次世界大戦前後	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
15	冷戦から現在へ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間） （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は数回にかけて随時行うミニテスト 60%、期末レポート 40%で採点する。　ミニテストは第 1 回～第 15 回の授業内容に即し、随時実施する予定である。試験中、レジュメやノートの閲覧は自由であるが、テストの方法・回数・〆切・制限時間の設定については第 1 回授業のガイダンスで指示する。授業内容の確認テストの色彩が強いため解説などのフィードバックは行わない。　期末レポートでは指定した範囲内で興味を持ったトピックを選んでもらい、その内容を一定の字数以上で要約できるか、それに対し受講生がどのように感想や意見を表明できるかを問う（ノートやレジュメなどを参照してかまわない）。レポート課題の詳細や採点基準は授業内で伝え、希望者のみ得点の開示を行う。課題の要求が専門的な文献解釈などを要するレベルのものではないため、また課題の性質上それぞれの学生が取り上げるテーマはバラバラになるため、レポート執筆における一般的な注意がある場合を除き、全体に対するフィードバックは行わない。			①ミニテスト 60%　②期末レポート 40%

授業科目名	英会話（鍼灸）				
主担当教員	Corinne Pitt		担当教員	Corinne Pitt	
科目ナンバリング	LA20016	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:選択　スポーツ:必修

授業概要

英会話では、基本的な英語によるコミュニケーション能力を習得することを目的とする。英会話の基本的ルールである、（１）主語の存在、（２）語順（主語・動詞、疑問文、疑問詞など）、（３）瞬発力、を意識しながら、日常生活の中で、道を尋ねる、買い物をする、自己紹介をするなどといった他人と関わる際に最低限必要な会話力を身につける。

学修目標

・自己紹介ができる。〈DP②〉　・最低限の日常会話ができる。〈DP②〉　・自分の考えを最低限伝えることができる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ペアワーク、グループワークなどによる会話の練習が多いため、積極的に授業に参加すること。前回の授業の復習を必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

書名／Title　:Challenger α1　著者名／Authors　: ECC 総合教育研究所　出版社・出版年／ ECC

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

なし

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Course introduction, Classroom English Introducing yourself	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
2	Today Past simple and activities	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
3	Your Day Be going to + base verb	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
4	Do you like celery? Talk about likes and dislikes	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
5	Food You Like Talk about the kinds of food you like	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員

6	Making an Appointment　Making suggestions	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
7	Going to an Appointment　Formal expressions	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
8	What did you do in Europe?　Past tense with irregular and regular verbs	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
9	Past Trips　Describe trips and activities	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
10	Around the City　Talk about things to do in a city	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
11	What's a nice place to see the fall leaves?　Giving recommendations	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
12	Family Members　Talk about family members	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
13	Relatives　Talk about family members' personalities	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
14	Catching Up　Ask for details about someone's life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
15	講義全体のまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①授業への積極的参加度<DP②>：　②小テスト<DP②>　③確認テスト<DP②>　10回以上の出席が必要。			①20%　②60%　③20%

授業科目名	医学英語（鍼灸）				
主担当教員	藤重　仁子		担当教員	藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20017	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療従事者に必要な英語のコミュニケーション能力を身につけるため、臨床現場で患者の主訴等の発話を正確に理解したり、患者に正確な指示を伝えたりするために必要となる表現や語彙を習得する。また、医学関連の文献や論文、その他情報の収集方法と論文の構成を習得し、専門分野における最先端の研究情報を得るためのスキルを身につける。　将来医療従事者となる皆さんに、ぜひ受講をお勧めする。

学修目標

最低限患者とコミュニケーションがとれる。〈DP②〉　最低限の医学用語が理解できる。〈DP②〉　医学分野の英語の論文がどのような構成になっているのか理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　　宿題や予習（特にリーディング）は必ずしてから授業に臨むこと。　携帯電話の使用、私語は慎むこと。

教科書

実践看護英語（竹林修一、英宝社、2014）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Medical terminology / Getting to know the patients 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
2	Getting to know the patients 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
3	Getting to know the patients 3	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
4	Getting to know the patients 4	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
5	Examination 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重

		おくこと	
6	Examination 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
7	Instructing medication	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
8	Treating the patients 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
9	Treating the patients 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
10	Treating the patients 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
11	Operation / Pubmedについて、論文の構成について	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
12	Pregnancy / Articles on Acupuncture 1	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
13	In the hospital / Articles on Acupuncture 2	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
14	Emergencies / Articles on Acupuncture 3	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
15	Living a healthy life / Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと	藤重
成績評価方法と基準			割合
小テスト〈DP②〉　プレゼンテーションおよびその他課題〈DP②〉　　授業参加態度〈DP②〉　2/3 回以上の出席が必要。			30%　40% 30%

授業科目名	基礎英語演習（鍼灸）				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏／藤重　仁子	
科目ナンバリング	LA20018	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

基本的な文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC500 点相当の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。　宿題は必ずしてから授業に臨むこと。　私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 1 Travel	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	品詞①：名詞（可算名詞・不可算名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Unit 2 Dining Out	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	品詞②：形容詞（名詞修飾、補語）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Unit 3 Media	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
6	品詞③：副詞（動詞・形容詞修飾）	＜予習・復習 各 2 時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	藤重

		おくこと。	
7	Unit 4 Entertainment	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	時制（現在・過去・未来・現在進行形）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Unit 5 Purchasing	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	3単現のs（修飾語句を伴う主語）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Unit 6 Clients	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	能動態・受動態（感情を表す表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Unit 7 Recruiting	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
14	動詞の後ろの動名詞・不定詞（前置詞の後ろの動名詞、定型表現）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①確認テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②60%

授業科目名	応用英語演習（鍼灸）				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20019	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本授業では、TOEIC 形式の練習問題を解きながら、リーディング力とリスニング力を強化することを目的とする。頻出の語彙、熟語、慣用句を確認しつつ、日常生活を送るうえで相手と十分意思疎通を図ることのできる英語力を身に着ける。

学修目標

文法、語彙、表現を徹底的に習得する。〈DP②〉 TOEIC550 点相当程度の英語力を身に着ける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Score Booster for the TOEIC L&R Test Pre-Intermediate (Yumiko Mizoguchi, Machiko Yanagita / 金星堂, 2019)
（前期に基礎英語演習を履修した者は、再度購入する必要はありません）

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 14

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / Unit 8 Personnel	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
2	代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
3	Unit 9 Advertising	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
4	比較（比較級、最上級、as ... as）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
5	Unit 10 Meetings	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
6	前置詞（理由・譲歩・時、定型表現）	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わか	藤重

		らない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
7	Unit 11 Finance	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
8	接続詞（理由・譲歩・時）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
9	Unit 12 Offices	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
10	前置詞・接続詞対比	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
11	Unit 13 Daily Life	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
12	関係代名詞（主格・所有格・目的格）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
13	Unit 14 Sales & Marketing　語彙①（名詞・形容詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重藤重
14	Unit 15 Events　語彙②（動詞・副詞）	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
15	Review	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	藤重
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP②>　②その他課題・授業態度・参加<DP②>　③Review Test<DP②>　2/3以上の出席が必要。			①40%　②20%　③40%

授業科目名	医療コミュニケーション（鍼灸 B）					
主担当教員	鍋田　智之			担当教員	鍋田　智之／宮武　大貴	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目		ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

現代のはり師きゅう師は、単に治療法を習得するだけではなく、現在の患者や医療をとりまく社会環境を充分に理解、認識し、患者とのコミュニケーションを図る必要がある。医療コミュニケーションでは複雑な社会に生活する患者とのコミュニケーション形成を主体にし、医療面接技法を活用し、患者を取り巻く状況を理解することを目指す。

学修目標

患者ー医療者間のコミュニケーションの重要性を理解し、医療者としての基本的な態度や技術(検査等）を身につける。DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝについては、参加型の授業を実施するため、欠席しないようにすること.

教科書

臨床医学総論 公社団法人　東洋療法学校協会 編　奈良　信雄　著

参考書

目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂　リハビリテーション医学　社団法人　東洋療法学校協会 編　土肥　信之　著　経絡経穴概論　日本理療教員連盟　社団法人　東洋療法学校協会 編　教科書執筆小委員会　著

研究室／オフィスアワー

担当教員の研究室にて対応します.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　臨床医学総論　第１～２章　診察の概要と方法　医療機関とのコミュニケーション）	予習：診察について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/週行う。	鍋田
2	医療面接　1　（医療面接と病態把握）	予習：医療面接について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/週行う。	鍋田
3	医療面接　2　（医療面接と病態把握）　評価レポート提出①	予習：医療面接について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/日行う。	鍋田
4	検査と医療コミュニケーション　（検査と病態把握）	予習：各種検査について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/日行う。	鍋田
5	検査と医療コミュニケーション　（検査と病態把握）	予習：各種検査について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/日行う。	鍋田
6	医療面接・検査・病態把握の一連の流れを体験する。	予習：対象とする病態から適切な検査について予習する。　課題：医療面接の評価項目を確認する。	鍋田
7	医療面接トレーニング　複数の症例を用いて、医療面接、カルテ記入、評価の練習を繰り返す。	予習：医療面接における評価事項および患者への質問内容・順序を繰り返し確認する。　復習：モデル症例を用いて、友人・家族を対象として反復練習する。	鍋田
8	医療面接試験を実施、カルテ提出	予習：OSCE に対応する、医療面接を予習する。	鍋田
成績評価方法と基準			割合

①　第 8 講時に医療面接実技試験を行い、提出されたカルテで採点を行う。　2/3 以上の出席が必要 DP②③　60 点以上で単位認定する。	①　100%

授業科目名	医療コミュニケーション（鍼灸 A）					
主担当教員	鍋田　智之			担当教員	鍋田　智之／宮武　大貴	
科目ナンバリング	CS20003	科目区分	学部共通科目		ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

現代のはり師きゅう師は、単に治療法を習得するだけではなく、現在の患者や医療をとりまく社会環境を充分に理解、認識し、患者とのコミュニケーションを図る必要がある。医療コミュニケーションでは複雑な社会に生活する患者とのコミュニケーション形成を主体にし、医療面接技法を活用し、患者を取り巻く状況を理解することを目指す。

学修目標

患者ー医療者間のコミュニケーションの重要性を理解し、医療者としての基本的な態度や技術(検査等）を身につける。DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝについては、参加型の授業を実施するため、欠席しないようにすること.

教科書

臨床医学総論 公社団法人　東洋療法学校協会 編　奈良　信雄　著

参考書

目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂　リハビリテーション医学　社団法人　東洋療法学校協会 編　土肥　信之　著　経絡経穴概論　日本理療教員連盟　社団法人　東洋療法学校協会 編　教科書執筆小委員会　著

研究室／オフィスアワー

担当教員の研究室にて対応します.

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　臨床医学総論　第１～２章　診察の概要と方法　医療機関とのコミュニケーション）	予習：診察について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/週行う。	鍋田
2	医療面接　1　（医療面接と病態把握）	予習：医療面接について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/週行う。	鍋田
3	医療面接　2　（医療面接と病態把握）　評価レポート提出①	予習：医療面接について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/日行う。	鍋田
4	検査と医療コミュニケーション　（検査と病態把握）	予習：各種検査について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/日行う。	鍋田
5	検査と医療コミュニケーション　（検査と病態把握）	予習：各種検査について調べてくること　課題：次回授業内容の予習と当日授業内容の復習を２時間/日行う。	鍋田
6	医療面接・検査・病態把握の一連の流れを体験する。	予習：対象とする病態から適切な検査について予習する。　課題：医療面接の評価項目を確認する。	鍋田
7	医療面接トレーニング　複数の症例を用いて、医療面接、カルテ記入、評価の練習を繰り返す。	予習：医療面接における評価事項および患者への質問内容・順序を繰り返し確認する。　復習：モデル症例を用いて、友人・家族を対象として反復練習する。	鍋田
8	医療面接試験を実施、カルテ提出	予習：OSCE に対応する、医療面接を予習する。	鍋田
成績評価方法と基準			割合

①　第 8 講時に医療面接実技試験を行い、提出されたカルテで採点を行う。　2/3 以上の出席が必要 DP②③　60 点以上で単位認定する。	①　100%

授業科目名	チーム医療論（鍼灸）				
主担当教員	増山　祥子		担当教員	増山　祥子／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20004	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限、木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

チーム医療とは，「医療に従事する多様な医療スタッフが，各々の高い専門性を基に，目的と情報を共有し，業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い，対象者（患者・利用者）の状況に的確に対応した医療を提供すること」である。医療の高度化・細分化に伴い，医療スタッフの知識・技術の向上は必須である。さらに，質が高く，安心・安全な医療の提供を対象者やその家族から求められるようになってきている。このように質の高い医療等を提供するには一人一人の医療スタッフの専門性を高め，その専門性に委ねつつも，各スタッフが協働し，それらの専門性をチーム医療によって統合することが不可欠である。　本学は 8 つ学科を擁する医療系総合大学である。本授業ではその強みを活かし，チーム医療の構成となる他職種の理解を深める。さらに実際の症例検討を通じて，他職種と鍼灸師がどのように連携する必要があり，またどのようにチーム医療が実践されているのかを理解・経験する。そしてキャリアデザインにおいても患者の視点を忘れずに、自分のキャリアがどのように患者に貢献できるかを考慮に入れたキャリアデザインが構築できるスキルを身につける。

学修目標

1)　医療専門職種が理解（職能・役割等）できる　2)　対象者・疾患におけるチーム医療の重要性を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)　授業中の私語，携帯電話使用などには厳しく対処する。　2)　疑問点を大切にし，常に自己で調べたり，質問したり解決する行動をとること。　3)　グループ討論を行うときには，積極的に発言すること。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、教員大学メール（masuyama@morinomiya-u.ac.jp)からの質問でも構いません。MORIPA クラスプロファイル「Q & A」ではなく教員大学メールでお願いします。

教科書

資料を配布する

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

都度，指示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	イントロダクション　チーム医療論の授業の進め方　チーム医療とは？	予習：各専門職の理解（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
2	医療系専門職種の介入｜１【医師】	予習：医師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：医師の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
3	医療系専門職種の介入｜２【診療放射線技師】	予習：本学診療放射線学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で診療放射線技師の仕事について	授業内にて案内

		調べておくこと。(30 分)　復習：診療放射線技師の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	
4	医療系専門職種の介入｜３【臨床検査技師】	予習：本学臨床検査学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床検査技師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床検査技師の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
5	医療系専門職種の介入｜４【臨床工学技士】	予習：本学臨床工学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で臨床工学技士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：臨床工学技士の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
6	医療系専門職種の介入｜５【理学療法士】	予習：本学理学療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で理学療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：理学療法士の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
7	医療系専門職種の介入｜６【作業療法士】	予習：本学作業療法学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で作業療法士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：作業療法士の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
8	医療系専門職種の理解｜７【言語聴覚士】	予習：本学言語聴覚学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で言語聴覚士の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：言語聴覚士の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
9	医療系専門職種の理解｜８【鍼灸師】	予習：鍼灸師の専門性（職能・役割等），チーム医療の重要性について，自分の考えをまとめておくこと。(30 分)　復習：チーム医療の重要性について理解する。(30 分)	授業内にて案内
10	医療系専門職種の介入｜９【看護師】	予習：本学看護学科のカリキュラムに目を通しておく。また，本学ホームページ（以下，HP）の「まるわかり 医療の仕事図鑑」で看護師の仕事について調べておくこと。(30 分)　復習：看護師の職能や役割を理解し，鍼灸師との接点を理解する。(30 分)	授業内にて案内
11	チーム医療の実際　【教員による Case Conference】	予習：各医療スタッフの専門性（職能・役割等）について再確認しておく。(30 分)　復習：教員による Case Conference を通じ，チーム医療での鍼灸師の役割を理解し，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	科目担当者 ゲスト
12	症例検討｜１	予習：鍼灸師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での鍼灸師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
13	症例検討｜２	予習：鍼灸師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医療内での鍼灸師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	授業内にて案内
14	症例検討｜3	予習：鍼灸師の職能・役割等を再確認しておく。(30 分)　復習：症例を通してチーム医	授業内にて案内

		療内での鍼灸師の役割，チーム医療の重要性を理解する。(30 分)	
15	授業全体のまとめ	予習：これまでの授業を復習しておく。(30 分)　復習：チーム医療での鍼灸師の役割やチーム医療の重要性についてまとめる。(30 分)	授業内にて案内
成績評価方法と基準			割合
①　鍼灸担当授業に必ず出席し「チーム医療での鍼灸と医療系専門職種による介入の実際と理解」についての課題レポート提出。　②　教員カンファレンスに必ず出席し、課題レポート提出。　③　各グループごとプレゼン発表の成果。　④　その他レポート提出および授業態度　＊報告形式は各担当教員による（授業内で案内あり）			①②③④で100%

授業科目名	IPW 論（鍼灸）				
主担当教員	増山　祥子		担当教員	増山　祥子／山下　仁／大川　祐世／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20005	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

各学科において、他学科の連携や知識・技術に触れることを目的に看護学・鍼灸学 ・ 作業療法学・臨床検査学・臨床工学・放射線技術学および理学療法学を学び、IPW(Interprofessional Work =専門職連携）を 7 学科協働で演習形式にて実践する。　2 年次後期「チーム医療論」で学んだ各分野の特徴やチーム内での役割とその専門性を理解しつつ、看護・鍼灸 ・ 作業療法・臨床検査・臨床工学・診療放射線・理学療法の各分野で共通する疾患や障害を基に、IPW の実際について、討議 ・経験・学修する。他職種と連携する中で違った視点や新たな知識を学ぶ機会となり、キャリアをデザインしていく上で考えておくべき多様な視点を学修することができる。

学修目標

各分野の専門性を理解しつつ、実際の症例を基にチーム医療の実践に求められる豊かな感性と倫理観を養う。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）授業中の私語、メールなどには厳しく対処する。　2）疑問点を大切にして常に自己で調べて解決するように行動すること。　3）出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う。

教科書

指定なし。必要に応じて資料を配布する。

参考書

指定なし。図書館の蔵書を適宜利用すること。

研究室／オフィスアワー

木曜５限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　（チームの顔合せ、授業概要の説明、チーム医療論の復習等）	予習：各分野の専門性について復習し、Case Conference を再度視聴しておく。IPW(Interprofessional Work =専門職連携）について再確認しておく。（１時間以上）　復習：IPW(Interprofessional Work =専門職連携）についてまとめる。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
2	症例提示におけるアプローチ立案とその考察①	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
3	症例提示におけるアプローチ立案とその考察②	予習：自職種と他職種について理解しておく。（１時間以上）　復習：立案したアプローチを各分野に説明できるように準備しておく。（１時間以上）	担当教員
4	IPW①【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
5	IPW②【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。（１時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（１時間以上）	担当教員　ゲスト　朝倉智仁

6	IPW③【ディスカッション】(4 回～6 回は 3 コマ連続)	予習：各分野の専門性について復習しておく。(１時間以上)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
7	IPW④【ディスカッション】	予習：各分野の専門性について復習しておく。(１時間以上)　復習：IPW で討議したことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員　ゲスト　朝倉智仁
8	IPW⑤【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備。(１時間以上)　復習：IPW や発表で得たことをまとめておく。(１時間以上)	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①ディスカッション時におけるプロセス評価<DP②③④>　②プレゼンテーション（提示するルーブリックに基づき評価する）<DP②③④>　出席は 2/3 以上を必要とし、その基準を満たした者について成績評価を行う　＊プレゼンテーション終了後に総評を伝える。			①30% ②70%

授業科目名	健康管理学Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	家光　恵子		担当教員	家光　恵子	
科目ナンバリング	CS20008	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病の危険因子が明らかにされつつある。危険因子を多く有する人は疾患に罹患する確率が高くなることから、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、運動不足の健康への影響を学び、ライフステージに応じた健康づくりのための身体活動基準、目的に応じた効果的なトレーニング法の原理・原則を学修する。特に、有酸素性運動の健康上の必要性を学び、運動処方の条件（強度・時間・頻度）に関する知識を養う。また、運動強度の指標を理解し、ウオーミングアップとクーリングダウン、及びレジスタンス運動を含めた、運動処方プログラムの構成についても学修する。

学修目標

1. 健康管理と疾病の予防に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康づくりのための運動に必要な知識、生活習慣病予防に役立つ基礎知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講義では、健康実践指導者の資格取得に向けて運動や健康に関する基礎を学びます。

教科書

健康運動実践指導者養成用テキスト（健康体力づくり事業財団）

参考書

健康運動実践指導者試験 筆記対策 分野別&模擬問題集(NESTA JAPAN) 「健康運動実践指導者」認定試験対策問題集(西端 泉)

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室／授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康管理と運動の効果	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
2	運動不足と健康への影響	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
3	健康づくりのための身体活動基準 2013	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
4	健康づくりのための運動プログラム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
5	トレーニングの原理・原則	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
6	運動処方の条件	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
7	運動強度の指標	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
8	運動処方プログラムの構成	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
9	ウォーミングアップとクーリングダウン	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントの確認	家光

10	有酸素性運動とその効果	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
11	有酸素性運動の強度	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
12	有酸素性運動の運動時間・頻度	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
13	有酸素性運動の指導上の留意点	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
14	レジスタンス運動	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
15	健康づくりの運動プログラムの実際	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントの確認	家光
成績評価方法と基準			割合
筆記試験またはレポート			100%

授業科目名	健康管理学Ⅱ（鍼灸）				
主担当教員	家光　恵子		担当教員	家光　恵子	
科目ナンバリング	CS20009	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきている。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、第一次予防の視点に立って運動が健康づくり、特に生活習慣病予防・介護予防に役立つ根拠について学修する。生活習慣病とロコモ―ティブシンドロームを予防し、健康寿命を延伸するための理論、並びに具体的な実践方法についても理解を深める。

学修目標

1. 生活習慣病・加齢に伴う生活機能低下に関する基礎知識を習得し、予防医学の重要性を理解する。 2. 健康寿命の延伸に必要な基礎知識、生活習慣病予防・介護予防に役立つ健康づくり運動の知識を説明できる。 3. 健康管理のための正しい知識を身につけ、健康の保持増進に役立てることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講義では、健康実践指導者の資格取得に向けて運動や健康に関する基礎を学びます。

教科書

健康運動実践指導者養成用テキスト（健康体力づくり事業財団）

参考書

健康運動実践指導者試験 筆記対策 分野別&模擬問題集(NESTA JAPAN) 「健康運動実践指導者」認定試験対策問題集(西端 泉)

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室／授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	疾病構造の変化と健康管理	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
2	身体運動に関する筋肉・骨・関節	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
3	関節運動と筋機能	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
4	運動発現のメカニズム	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
5	骨格筋の収縮とエネルギー供給	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
6	筋繊維の種類とその特徴	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
7	筋収縮の様式と筋力	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
8	トレーニングと骨格筋	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
9	体力・基本的動作スキルの発達	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにノート・プリントを確認	家光

10	老化に伴う身体機能の変化	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
11	姿勢と歩行の発達と退行	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
12	運動実践の効果	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
13	健康管理の進め方と実際１	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
14	健康管理の進め方と実際２	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
15	健康管理の進め方と実際３	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにノート・プリントを確認	家光
成績評価方法と基準			割合
筆記試験またはレポート			100%

授業科目名	栄養学（鍼灸）				
主担当教員	南方　克之		担当教員	南方　克之	
科目ナンバリング	CS20010	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

国民総医療費は 38 兆 5850 億円に達し、その医療費の 55.6%は 65 歳以上の高齢者が占めているとのことである。2013 年度の高齢者数は 3190 万人（全人口の 25.1%）であるが、2030 年度には 3685 万人（31.6%）に達すると予測されている。総医療費の半分以上を占める高齢者が、15 年後には 3 人に 1 人の割合になることを考えると、いかにして高齢者の健康寿命を長くするかがとても重要になる。1 人でも多くの高齢者が健康で過ごせるように医療従事者が食事指導できることが大切と考え、健康の保持増進に欠くことのできない「栄養」に関する正しい知識を学修する。

学修目標

1．栄養素の種類と働きについて理解し、食生活と疾病の関係性について説明できる。　2．消化と吸収およびエネルギー代謝について説明できる。　3．ライフサイクルと栄養摂取について理解し、栄養アセスメントについて説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．「人体の仕組み」に興味を持って授業に臨んでください。　2．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

『イラスト基礎栄養学第 4 版』大口健司・小野廣紀・田村明／東京教学社

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

森ノ宮医療大学：E 棟 1F 非常勤講師控室／授業外対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	第 1 章「栄養の概念」	予習：教科書（P1～13）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
2	第 2 章「食物の摂取」	予習：教科書（P15～21）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
3	第 3 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」①	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
4	第 4 章「消化・吸収と栄養素の体内動態」②	予習：教科書（P23～44）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
5	第 4 章「炭水化物の栄養」①	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
6	第 4 章「炭水化物の栄養」②	予習：教科書（P45～57）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
7	第 5 章「脂質の栄養」①	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
8	第 5 章「脂質の栄養」②	予習：教科書（P59～72）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
9	第 6 章「たんぱく質の栄養」①	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
10	第 6 章「たんぱく質の栄養」②	予習：教科書（P73～87）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
11	第 7 章「ビタミンの栄養」①	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方

12	第 7 章「ビタミンの栄養」②	予習：教科書（P79～111）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
13	第 8 章「ミネラルの栄養」①	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
14	第 8 章「ミネラルの栄養」②	予習：教科書（P113～125）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
15	第 9 章「水・電解質の栄養的意義」	予習：教科書（P127～136）の確認　復習：授業をもとに授業内容の確認	南方
成績評価方法と基準			割合
定期試験　出題範囲：授業内で扱った範囲			定期試験 100%

授業科目名	身体運動科学（鍼灸）				
主担当教員	今井 大喜		担当教員	今井 大喜	
科目ナンバリング	CS20011	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

ヒトはどのような目的のために運動やスポーツをおこなうのか。本講義では、このような最も基本的な事柄から紐解き、運動やスポーツを通じた身体活動の意義とその方法について、身体適応といった観点から科学的根拠に基づいて解説する。

学修目標

運動やスポーツを実施することの意義や目的を理解し、各々の目的に応じた適応を自ら積極的に獲得できるような専門的知識を習得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎時間小テスト（Forms）を実施して、授業内容についてのポイントや理解度を確認する。コメントや質問などについては、必要に応じて授業の冒頭で紹介したり返答したりする。

教科書

使用しない

参考書

必要に応じて紹介する

研究室／オフィスアワー

授業時限の前後 20 分

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康の捉え方	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
2	体力の諸要素	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
3	体力と身体運動	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
4	運動（筋活動について）	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
5	体力における精神的要素	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
6	運動時の体温調節（暑熱環境）	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
7	運動時の体温調節（寒冷環境）	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
8	運動と脱水	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
9	スポーツイベントと運動強度	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
10	筋力トレーニング	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
11	持久力トレーニング	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
12	運動トレーニングとエネルギー消費量	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井

13	エネルギー補給とからだづくり	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
14	コンディショニングのための栄養	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
15	講義全体のまとめと振り返り	配布資料（Web 掲載）を参考に学修内容を整理しておくこと	今井
成績評価方法と基準			割合
①定期試験　②小テスト			①60%　②40%

授業科目名	東洋医療概論（鍼灸）				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子／尾﨑　朋文／大川　祐世	
科目ナンバリング	CS20012	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

（1）森ノ宮医療学園の歴史を知る。　（2）東洋医学史を学ぶ。　（3）現代医療にまつわる基本的な概論を学ぶ。

学修目標

鍼灸師として備えておきたい基本的知識を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

鍼灸師として重要な「医療概論」に必要な知識も含まれると念頭に置くこと。

教科書

（1）東洋療法学校協会編、　医療概論、　医歯薬出版　（2）東洋療法学校協会編、　東洋医学概論　新版、　医道の日本社

参考書

適宜指示

研究室／オフィスアワー

西棟 1F　･　東棟 4F　各研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	森ノ宮医療学園の歴史	授業の内容を振り返る	尾﨑
2	東洋医学史　1	授業の内容を振り返る	熊野
3	東洋医学史　2	授業の内容を振り返る	熊野
4	東洋医学史　3	授業の内容を振り返る	熊野
5	東洋医学史　4	授業の内容を振り返る	熊野
6	東洋医学史　5	授業の内容を振り返る	熊野
7	東洋医学史　6	授業の内容を振り返る	熊野
8	東洋医学史　7	授業の内容を振り返る	熊野
9	医療概論　1	授業の内容を振り返る	大川
10	医療概論　2	授業の内容を振り返る	大川
11	医療概論　3	授業の内容を振り返る	大川
12	医療概論　4	授業の内容を振り返る	大川
13	医療概論　5	授業の内容を振り返る	大川
14	医療概論　6	授業の内容を振り返る	大川
15	医療概論　7	授業の内容を振り返る	大川

成績評価方法と基準	割合
期末試験（筆記、レポートなど）、授業内課題、授業態度。	100%

授業科目名	統合医療概論（鍼灸）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／増山 祥子／森 美侑紀	
科目ナンバリング	CS20013	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:必修　スポーツ:選択

授業概要

統合医療という言葉が医療の中で使われるようになってきたが、実際に統合医療が何を指し、どうあるべきなのかについては合意が得られていない。本授業では、統合医療の概念と現状について解説するとともに、統合医療の重要な構成要素である EBM と補完療法について概説する。また、各種治療の有効性と安全性について、エビデンスにもとづく批判的吟味のポイントについても解説する。

学修目標

１．統合医療の概念と現状について理解する。　２．EBM の概念と手法について理解する。　３．補完療法の種類と概要について説明できる。　４．主要な補完療法についてエビデンスにもとづく批判的吟味ができる。　〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療や行政において統合医療は賛否両論である。医師その他の医療従事者も支持派と反対派に分かれている。本学学生も卒業すればいずれその議論に巻き込まれる。なぜ賛否両論があるのか、よく考えながら受講していただきたい。

教科書

資料を配布する。

参考書

各教員が必要に応じて授業担当時に紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下　仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療におけるエビデンスの重要性	健康関連商品の広告に目を通す	山下
2	EBM	EBM について調べる	山下
3	EBM シミュレーション	自分の専門領域のエビデンスについて調べる	増山
4	EBM と診療ガイドライン	自分の専門領域または興味のある疾患の診療ガイドラインを調べる	山下
5	健康産業と研究倫理・利益相反	利益相反状態と利益相反行為の違いについて調べる	山下
6	補完療法概論	代替医療と補完医療の違いについて調べる	山下
7	代表的な補完療法	自分が興味のある補完療法についてネットや図書館で調べる	山下
8	鍼灸のエビデンス	鍼灸に関する書籍や雑誌を図書館で調べる	山下
9	アロマセラピー①	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
10	アロマセラピー②	エッセンシャルオイルの種類について調べる	森
11	ヨガ・マインドフルネス	ヨガ・マインドフルネスに関するネット動画を見る	増山

12	サプリメント	興味のあるサプリメントを幾つか選んでその広告の内容に関する疑問点を調べる	山下
13	統合医療とスピリチュアルと NBM	スピリチュアルという概念について調べる	山下
14	緩和ケア・難病ケアと統合医療	末期がんまたは難病の患者の実情について調べる	増山
15	総括：統合医療は何を統合するのか	14 回までに習った内容を整理する	山下
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②課題提出物　　〈DP③〉			①70%　②30%

授業科目名	運動学（鍼灸）				
主担当教員	髙橋　秀郎		担当教員	髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SB20BACB007	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

関節の動きを理解する。　関節の構成体である骨、筋を理解し、動力源である筋の作用を理解する。

学修目標

各関節の具体的な動きを理解、体験する。　筋の作用と実際の動きを関連付けさせる。　DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

従前の解剖学の知識を復習する事　遅刻の申告、延着証明の提出は当日に限り有効とする

教科書

新版リハビリテーション医学　東洋療法学校協会編　・安保雅博監修　・文光堂

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

共同研究室 /月曜日、水曜日、金曜日　各曜日 9:00～17:45　但し講義時間以外

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　歩行とは　歩行サイクル	歩行の動作について　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
2	歩行　歩行の期　重心の軌跡とメカニズム	動きと筋の作用の合致　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
3	異常歩行の種類　説明	歩行に関する筋について　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
4	関節運動とてこ　トルク　てこの３種類	動きと筋の作用の合致　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
5	空間における関節運動　運動面と軸　重心線　下肢の荷重　異常姿勢	関節構造の理解　起始、停止の理解　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
6	運動路と感覚路　錐体路と錐体外路　2 次ニューロン　反射　反射弓	反射の構成要素　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
7	脊髄反射､姿勢反射と立ち直り反射　　連合反応と共同運動	反射の構成要素　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
8	随意運動と不随意運動　フィードバック制御　フィードフォワード制御　脊柱体幹の機能	運動の種類について　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
9	脊柱の動きと筋の作用　胸郭の動きと呼吸筋の作用肩甲帯と肩の機能	関節構造の理解　起始停止の理解　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
10	肩甲帯・肩とは、肩甲帯・肩の構造　　肩甲骨の動きと作用する筋	動きと筋の作用の合致　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
11	肩甲帯・肩とは、肩甲帯・肩の構造　　肩甲骨の動きと作用する筋	関節構造の理解　起始停止の理解　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
12	肘と前腕の機能	動きと筋の作用の合致　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
13	手と手指の機能　手指の内転と外転まで	関節構造の理解　起始停止の理解　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
14	母指に作用する筋　手の変形　骨盤と股関節	動きと筋の作用の合致　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋

15	膝関節の機能　骨の構造　半月板　膝関節の靭帯	関節構造の理解　起始停止の理解　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
成績評価方法と基準			割合
定期試験　DP①③　試験結果の開示　希望学生には個別解説			100%

授業科目名	生化学（鍼灸）				
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀	
科目ナンバリング	SB20BACB008	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

生体の恒常性維持に必要な基本物質の構造と機能、それらの代謝に関する知識を学ぶ。

学修目標

1）細胞の基本構造と細胞内小器官の役割について説明できる。〈DP②〉 2）三大栄養素（タンパク質・糖質・脂質）の構造と機能、代謝の概略について説明できる。〈DP②〉 3）酵素の反応機構ならびに調節機構の概略を説明できる。〈DP②〉 4）核酸の構造と機能、遺伝情報からのタンパク質合成について説明できる。〈DP②〉 5）無機質やホルモンの作用について説明できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を中心に講義を行いますが、配布資料も参考にして理解を深めてください。

教科書

『イラスト　生化学入門－栄養素の旅－』相原英孝　他著/東京教学社

参考書

医学書院　生化学　人体の構造と機能②

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	人体の仕組み	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
2	タンパク質の構造と働き①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
3	タンパク質の構造と働き②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
4	糖質の構造と働き①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
5	糖質の構造と働き②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
6	脂質の構造と働き①	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
7	脂質の構造と働き②	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行う	森

		こと。	
8	核酸の構造と働き	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
9	酵素の性質と働き	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
10	ビタミンの種類と働き	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
11	水・無機質の働き	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
12	栄養素の消化と吸収	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
13	生体の恒常性を保つシステム	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
14	エネルギーの消費と供給	予習：教科書の該当部分を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も合わせて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	森
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験<DP②>　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。			①100%

授業科目名	病理学（鍼灸）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久	
科目ナンバリング	SB20BACB009	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

解剖学に重ねて、各臓器の機能、その間を流れる物の代謝を理解し、正常（健康）な状態の身体を理解し、異常（病的）な状態（病理学）と比較することで、病的状態の程度を診断できる力を身につける。

学修目標

身体（臓器）の働き（機能）を学び、正常（健康）な身体のメカニズムを理解した上で、疾病の病因や成り立ち、病態を理解する。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 病理学の理解を深めることは、解剖学や生理学のみならず病態学の理解を深めることにつながることから、積極的に学習すること。　2. 疑問点は大切にし、解決に向けて積極的に行動すること。　3. 出席は授業の理解にも影響することから、欠席をしないようにすること。　　4. 私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる場合がある。その場合、速やかに退室すること。　5. 受講にあたっては最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

1. 病理学概論　第 2 版. 社団法人東洋療法学校協会　監修. 医歯薬出版. 2004.　2. 必要に応じて、適宜プリントを配布する。

参考書

1. 標準病理学　第 5 版. 坂本 穆彦監修. 医学書院. 2015 年.

研究室／オフィスアワー

川畑. C 棟研究室 707／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	病理学の概要（概論、疾病について）	予習：人体の構造、機能で学んだ組織・細胞の確認（解剖学、生理学教科書の当該箇所)、シラバスの確認　復習：　授業で学んだに病理学の概要（概論、疾病について）ついて復習すること（病理学概論 p1-5、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	病因 1（内因、栄養障害）	予習：シラバス・教科書（p7-17）の確認　復習：授業で学んだ病因（内因、栄養障害）について復習すること（教科書 p7-17、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
3	病因２（物理的外因、化学的外因、生物学的外因）	予習：シラバス・教科書（p17-26）の確認　復習：授業で学んだ病因（物理的外因、化学的外因、生物学的外因）について復習すること（教科書 p17-26、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
4	循環障害 1（充血、うっ血、貧血・虚血、出血）	予習：シラバス・教科書（p27-32）の確認　復習：授業で学んだ循環障害（充血、うっ血、貧血・虚血、出血）について復習すること（教科書 p27-32、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
5	循環障害 2（血栓、塞栓、梗塞、浮腫）	予習：シラバス・教科書（p32-38）の確認	川畑

		復習：授業で学んだ循環障害（血栓、塞栓、梗塞、浮腫）について復習すること（教科書 p32-38、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	
6	退行性病変 1（萎縮、変性）	予習：シラバス・教科書（p39-44）の確認 復習：授業で学んだ退行性病変（萎縮、変性）について復習すること（教科書 p39-44、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	退行性病変 2（加齢と老化、生活習慣病、壊死と死）	予習：シラバス・教科書（p44-48）の確認 復習：授業で学んだ退行性病変（加齢と老化、生活習慣病、壊死と死）について復習すること（教科書 p44-48、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	進行性病変（肥大・増殖、再生、化生、移植、創傷治癒・異物の処理）	予習：シラバス・教科書（p49-58）の確認 復習：授業で学んだ進行性病変（肥大・増殖、再生、化生、移植、創傷治癒・異物の処理）について復習すること（教科書 p49-58、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	炎症（炎症の一般、分類）	予習:シラバス・教科書(p59-69)の確認　復習：授業で学んだ炎症（炎症の一般、分類）について復習すること（教科書 p59-69、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	腫瘍 1（腫瘍の形態と構造、腫瘍細胞、組織学、分類、発生諸段階）	予習:シラバス・教科書(p71-81)の確認　復習：授業で学んだ腫瘍（腫瘍の形態と構造、腫瘍細胞、組織学、分類、発生諸段階）　について復習すること（教科書 p71-81、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	腫瘍（生体に及ぼす影響、発生原因、良性・悪性腫瘍）	予習:シラバス・教科書(p82-90)の確認　復習：授業で学んだ腫瘍（生体に及ぼす影響、発生原因、良性・悪性腫瘍）について復習すること（教科書 p82-90、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	免疫異常 1（免疫の仕組み、アレルギー）	予習:シラバス・教科書(p91-94)の確認　復習：授業で学んだ免疫異常（免疫の仕組み、アレルギー）について復習すること（教科書 p91-94、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
13	免疫異常 2（免疫不全、自己免疫疾患）	予習:シラバス・教科書(p94-97)の確認　復習：授業で学んだ免疫異常（免疫不全、自己免疫疾患）について復習すること（教科書 p94-97、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
14	先天異常（奇形、遺伝性疾患、染色体異常）	予習：シラバス・教科書（p99-108）の確認 復習：授業で学んだ先天異常（奇形、遺伝性疾患、染色体異常）について復習すること（教科書 p99-108、配布資料）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
15	病理学概論のまとめ	予習：シラバス・教科書の確認　復習：教科書や板書内容、配布資料も合わせて復習を行うこと。　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験〈DP②〉　2. 授業内の小テストや課題は翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示する。			1.100%

授業科目名	臨床医学総論(症候学)(鍼灸)				
主担当教員	辻丸　泰永		担当教員	辻丸　泰永	
科目ナンバリング	SB20BACC010	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

良き医療人になるためには、適切な診察法を理解し、疾患の主な症候を理解することが重要である。内科学・整形外科学を基盤とした診察法・検査所見・症候学の理解を深める.

学修目標

1. 症候の理解を深める。　2. 各症候、診察結果、検査結果から考えられる疾患を想起出来る様にする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 医療人として重要な知識であることを認識する。　2. 疑問点は大切にし、解決の向けて努力すること。　3. 授業中の許可のない入退室および睡眠は認めない。　4. 最低限度の礼儀をわきまえること。　5. 3 分の 2 以上の出席を求める。　6. 各講義毎に予習 1 時間、復習 1 時間を必ずおこなって下さい。

教科書

臨床医学総論（東洋療法学校協会編　医歯薬出版株式会社）

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

水曜日、木曜日

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	頸肩腕痛（肩こり)、肩痛、上肢痛	予習：頸肩腕痛（肩こり)、肩痛、上肢痛の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習 1 時間、復習 1 時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
2	腰下肢痛、関節痛（肘・膝)、運動麻痺	腰下肢痛、関節痛（肘・膝)、運動麻痺の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習 1 時間、復習 1 時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
3	歯痛、眼精疲労、頭痛、顔面痛	歯痛、眼精疲労、頭痛、顔面痛の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習 1 時間、復習 1 時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
4	疲労・倦怠感、不眠	疲労、倦怠感、不眠の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習 1 時間、復習 1 時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
5	難聴、耳鳴り、めまい、眼振	難聴、耳鳴り、めまい、眼振の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習 1 時間、復習 1 時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸

6	動悸、胸痛、腹痛	動悸、胸痛、腹痛の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
7	鼻汁・鼻閉、咳・咳嗽、血痰・喀血	鼻汁・鼻閉、咳・咳嗽、血痰・喀血の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
8	呼吸困難、悪心・嘔吐、食欲不振	呼吸困難、悪心・嘔吐、食欲不振の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
9	便秘、下痢、吐血・下血、発熱	便秘、下痢、吐血・下血、発熱の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
10	出血傾向、ショック、貧血	出血傾向、ショック、貧血の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。以下同様におこなって下さい。	辻丸
11	意識障害、のぼせ・冷え、胸水	意識障害、のぼせ・冷え、胸水の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
12	肥満、るいそう、嚥下困難	肥満、るいそう、嚥下困難の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。以下同様におこなって下さい。	辻丸
13	月経異常・不正器出血	月経異常・不正器出血の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
14	排尿障害、乏尿・無尿、多尿、浮腫	排尿障害、乏尿・無尿、多尿、浮腫の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。　以下同様におこなって下さい。	辻丸
15	易感染性、発疹、口渇、嗄声	易感染性、発疹、口渇、嗄声の分類、発生機序を理解する。　復習：診察・検査から原因疾患を想起出来る様にすること。　各講義ごとに予習１時間、復習１時間おこなう事。以下同様におこなって下さい。	辻丸
成績評価方法と基準			割合
1.筆記テスト100%　2.3分2以上の出席			1.100%　※3分の2以上の出席がないと受験資格がありません

授業科目名	整形外科学（鍼灸）				
主担当教員	髙橋　秀郎		担当教員	髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SB20BACC011	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

整形外科疾患は、四肢・体幹の運動器の疾患で、鍼灸やスポーツ医学では特に重要である。四肢体幹の診断・治療をすすめていく上で知っておくべき整形外科学を学ぶ。

学修目標

1. 基本は運動器の解剖である。　2. 整形外科疾患の保存療法と手術療法を学ぶ。　3. 整形外科疾患に対する治療をすすめる上で必要な整形外科学基礎知識を学ぶ。　4. 整形外科疾患が原因の身体障害者に対する基本的動作能力の回復を図るには、何が必要かを学ぶ。運動器の問題点を見つける目を育てる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

整形外科学は解剖学、生理学、臨床病態学を土台とするものである。教科書を中心に授業を進めるが、これまでに他の講義で学んできた局所解剖や運動機能の評価方法等について質問することから始める。質問は座席表にしたがって行う。教科書にない疾患や病態も重要なものは一部講義対象にするが、これらは配布するプリントでカバーする。　注意事項　１．講義を聞かずに教科書だけ読んでも理解困難と考えられるため、出席して講義を聞くこと。　２．疾患について理論的なイメージを持ち、理解する努力をすること。　３．疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。　４．私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる。最低限の礼儀を辨えること。　６．遅刻の申告、延着証明の提出は当日限り有効とする　７．座席表にしたがって、着席すること。

教科書

臨床医学各論（第２版）医歯薬出版 121 頁～192 頁

参考書

標準整形外科学　医学書院

研究室／オフィスアワー

共同研究室 /月曜日、水曜日、金曜日　各曜日 9:00～17:45　但し講義時間以外

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　保存療法と観血療法　画像診断　放射線を使った画像診断法	それぞれの治療法の違いについて理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
2	画像診断 MRI、関節炎　関節可動域の異常	疾患概念について学習すること。　運動器の解剖、関節の動き（基本）について解剖学で学んだことを予習しておくこと。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
3	五十肩　変形性関節症　変形性股関節症	疾患概念の理解、画像の特徴を学習すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
4	関節疾患（１）変形性関節症復習　変形性股関節症　変形性膝関節症	関節の構造、関節症について復習し理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
5	関節疾患（２）変形性足関節症　変形性肘関節症　ヘバーデン結節　ブシャール結節	関節の構造、関節症について復習し理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
6	骨代謝性疾患、骨粗鬆症　骨軟化症　くる病	骨粗鬆症、くる病・骨軟化症について授業内容を復習し理解を深めること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
7	骨腫瘍　転移性骨腫瘍　骨肉腫　骨軟骨腫　筋・腱疾患　筋肉炎・筋膜炎	それぞれの疾患概念、特徴について理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
8	特殊な筋炎･筋膜炎　腱鞘炎　ばね指　ドケルバン病	各疾患の特徴とその運動器の構造について理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋

9	重症筋無力症　先天性股関節脱臼　斜頚	先天性股関節脱臼、内反足、筋性斜頸、重症筋無力症について理解を深めること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
10	脊椎疾患（１）側弯症　外反母趾　先天性内反足	側弯症　外反母趾　先天性内反足について理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
11	脊椎疾患（２）椎間板ヘルニア　後縦靭帯骨化症	椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症、変形性脊椎症について理解を深めること。 予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
12	脊椎疾患（３）頚部変形性脊椎症　腰部変形性脊椎症　頚部脊柱管狭窄症　腰部脊柱管狭窄症　腰痛症	それぞれの疾患の画像の特徴、疾患概念について理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
13	骨及び軟部組織の外傷（1）頚椎捻挫・むちうち損傷　脊髄損傷	用語の理解と疾患概念について理解すること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
14	骨及び軟部組織の外傷（2）スポーツ外傷・障害　テニス肘　ゴルフ肘　野球肘　野球肩	スポーツ障害（テニス肘、ゴルフ肘、野球肘野球肩、ジャンパー膝）について復習して理解を深めること。　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
15	ジャンパー膝　胸郭出口症候群　頚腕症候群、頚頚腕症候群　ガングリオン手根管症候群	ジャンパー膝　胸郭出口症候群　頚腕症候群、頚頚腕症候群　ガングリオン手根管症候群について復習して理解を深めること。予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
成績評価方法と基準			割合
定期試験　試験結果を開示する　希望者には個別指導を行う			100%

授業科目名	内科学（鍼灸）				
主担当教員	森 優也		担当教員	森 優也	
科目ナンバリング	SB20BACC012	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	2年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

内科領域の各臓器の構造や機能（解剖学・生理学）を理解した上で、病態生理を把握し、診断学・症候学を理解して、臨床現場で応用できるようにする。また各種疾患について臓器別に学び、その病態・治療を論理的に理解・説明できるようにする。

学修目標

1．消化器系、循環器系、呼吸器系の各種臓器の働きを理解する。　2．症状・症候の病的意義が説明できる。　3．各種疾病の病態を理解し、そこから臨床症状が合理的に説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 内科学の理解を深めることは、鍼灸臨床における鑑別や正確な判断につながることから、積極的に学習すること。 2. 各疾患の病態を理解するには、構造や機能（解剖学・生理学）の知識が必要であることから、復習しておくこと。 3. 講義内容は膨大となるため、予習・復習は欠かさないこと。また、出席は授業の理解にも影響することから、欠席をしないようにすること。 4. 講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、正解と解説についても確認すること。 5. 授業内容や確認テストの内容が分からなければ、「MORIPA」の Q&A から質問もできるので「わからない」をそのままにしないこと。 6. 受講にあたっては礼儀をわきまえ、私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる場合がある。 7. 講義は教科書内容で進めますが、授業プリントを配布し適宜パワーポイントを使用します。 8. 教科書に記載がない疾患であっても、重要な疾患については授業プリントやパワーポイントで説明します。 9. オンライン授業になった場合は、内科学の学習意義や内容について、講義前にオンデマンドで配信しますので、授業開始までに視聴してください。

教科書

1. 臨床医学各論 第2版. 医歯薬出版株式会社. 東洋療法学校協会編. ISBN978-4-263-24168-4　2. 適宜プリントや資料を配布する。

参考書

1. 臨床医学総論 第2版. 東洋療法学校協会編/奈良信雄著. 医歯薬出版株式会社.　2. 病気がみえる vol1、2, 4（消化器、循環器、呼吸器）. MEDIC MEDIA.　3. なるほどなっとく内科学（改訂2版）南山堂　4. その他講義内で適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

E棟1階（事務室）午後5時～午後6時　適時E棟学生ホールを巡回しますので、質問があれば呼び止めてください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	消化管疾患-1（内科学総論・口腔疾患）について 到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p21-23）を読んでおくこと。あわせて口腔との解剖学、生理学についても確認しておくこと。(自修0.5時間)　復習：授業で学んだ消化器疾患（口腔疾患）について復習すること（教科書p21-25、ノート、配布資料等)。(自修1時間)　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。(自修0.5時間)	森・前川

2	消化管疾患-2（食道疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p24-26）を読んでおくこと。あわせて食道の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ消化器疾患（食道疾患）について復習すること（教科書 p26-31、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
3	消化管疾患-3（胃・十二指腸疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p26-31）を読んでおくこと。あわせて胃・十二指腸の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ消化器疾患（胃・十二指腸疾患）について復習すること（教科書 p31-40、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
4	消化器疾患-4（腸疾患＜腸炎・クローン病・虫垂炎＞）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p31-36）を読んでおくこと。あわせて消化管の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ消化器疾患（腸疾患＜腸炎・クローン病・虫垂炎＞）について復習すること（教科書 p31-36、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
5	消化器疾患-5（腸閉塞・大腸癌・その他の腸疾患・腹膜疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p36-40）を読んでおくこと。あわせて大腸や腹膜の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ消化器疾患（胆嚢・膵臓疾患）について復習すること（教科書 p36-40、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
6	肝胆膵疾患-1（急性肝炎）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p41-51）を読んでおくこと。あわせて肝臓の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ消化器疾患（肝疾患）について復習すること（教科書 p41-51、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
7	肝胆膵疾患-2（慢性肝炎・肝硬変・肝癌）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p41-51）を読んでおくこと。あわせて肝臓の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ消化器疾患（肝疾患）について復習すること（教科書 p41-51、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
8	肝胆膵疾患-3（胆嚢・膵臓疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p51-56）を読んでおくこと。あわせて胆嚢、膵臓の解剖	森・前川

		学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ消化器疾患（胆嚢・膵臓疾患）について復習すること（教科書 p51-56、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	
9	循環器疾患-1　（心不全・心臓弁膜症）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p193-206）を読んでおくこと。あわせて心臓の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ心疾患について復習すること（教科書 p193-206、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
10	循環器疾患-2（弁膜症・不整脈・先天性心疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p196-208）を読んでおくこと。あわせて心臓、動脈の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ心疾患について復習すること（教科書 p196-208、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
11	循環器疾患-3（虚血性心疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p208-212）を読んでおくこと。あわせて心臓、動脈（血圧）の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ虚血性心疾患について復習すること（教科書 p208-212、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
12	循環器疾患-4(動脈疾患・血圧異常)について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p212-219）を読んでおくこと。あわせて心臓、動脈（血圧）の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ動脈疾患および高血圧について復習すること（教科書 p212-219、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
13	呼吸器疾患-1（感染性呼吸器疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p57-65）を読んでおくこと。あわせて呼吸器の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ感染性呼吸器疾患について復習すること（教科書 pp57-65、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。（自修 0.5 時間）	森・前川
14	呼吸器疾患-2（閉塞性・拘束性呼吸器疾患）について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書（p65-73）を読んでおくこと。あわせて呼吸器の解剖学、生理学についても確認しておくこと。（自修 0.5 時間）　復習：授業で学んだ閉塞性・拘束性呼吸器疾患について復習すること（教科書 p65-73、配布資料）。（自修 1 時間）　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説	森・前川

		についても確認してください。(自修 0.5 時間)	
15	呼吸器疾患-3(気胸・肺癌・気管支拡張症)について　到達目標：上記を説明できる。	予習：シラバス・教科書(p74-80)を読んでおくこと。あわせて呼吸器の解剖学、生理学についても確認しておくこと。(自修 0.5 時間)　復習：授業で学んだ気胸、肺癌、気管支拡張症などについて復習すること(教科書 p74-80、配布資料)。(自修 1 時間)　課題：講義後、本講時内容の確認テストを「MORIPA」から配信しますので回答し、解説についても確認してください。(自修 0.5 時間)	森・前川
成績評価方法と基準			割合
※成績評価を受けるには　2/3　以上の出席が必要です。　①筆記試験(90%)＜DP①②＞　②小テスト課題の提出回数(10%)＜DP①②＞　最終的に筆記試験の点数と課題の提出回数(10 回以上で満点)で評価をします。　講義終了後、「MORIPA」から小テスト等の課題を 10 回以上配信しますので、必ず回答してください。　小テストの回答後、解答と解説について確認し、自身の理解度をチェックするとともに筆記試験に備えること。　具体的な内容については、初回講義時に説明します。			①90% ②10%

授業科目名	臨床医学各論Ⅰ(脳神経外科・神経内科・心療内科)(鍼灸)				
主担当教員	久保　忠彦		担当教員	久保　忠彦	
科目ナンバリング	SB20BACC013	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸師として必要な外科学の基礎を理解し、臨床実習のために必要な知識を修める。本講座では、脳神経、外科学の基礎を学び、兆候から診断、治療について、総合的に理解することを目標とする。

学修目標

代表的疾患を通じてその病態生理、診断、治療の理解と、応用ができる学力を養成することを目標とする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は基本的に教科書に準じて進め、試験も講義内容から出題するため、日々の講義内容を理解することに努め、予習復習を旨として欲しい。評価に際し、出席、小テストは重視します。

教科書

臨床医学各論　東洋療法学校協会編　医歯薬出版株式会社

参考書

徹底攻略国家試験過去問題集　明治東洋医学院編集委員会　医道の日本社

研究室／オフィスアワー

アポイントメント: 大阪ベイクリニック 06-6655-0057

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	イントロダクション：授業計画、総論	予習：　復習：　学習時間：	久保
2	神経内科概論	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
3	神経内科：脳血管障害	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
4	神経内科：神経変性疾患	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
5	神経・心療内科：神経炎症性疾患など	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
6	外科概論 1	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
7	外科概論 2	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
8	まとめ	予習：教科書の授業内容テーマ　復習：小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
9	脳・脊髄外科検査	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
10	脳外科疾患	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
11	脳・脊髄外科 1 ; 変性疾患	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
12	脳・脊髄外科 2 ; 外傷	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
13	脳・脊髄外科 3 ; 腫瘍など	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保
14	脳・脊髄外科 4 ; 末梢神経疾患	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間：合計約 1 時間	久保

15	まとめ	予習:教科書の授業内容テーマ　復習:小テスト　学習時間:合計約１時間	久保
成績評価方法と基準			割合
１．定期試験 DP1,2　２．小テスト DP1,2			1. ９０％　2. １０％

授業科目名	臨床医学各論Ⅱ(外科学・麻酔科学・小児科・産婦人科)(鍼灸)					
主担当教員	森　優也		担当教員		森　優也／小黒　亮輔	
科目ナンバリング	SB20BACC014	科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日・時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修・選択	必修

授業概要

臨床医学各論Ⅱでは、神経内科、血液内科、婦人科、小児科、精神科領域について基本的な知識を身につけることを目的とする。神経内科領域では、脳・脊髄・末梢神経の障害によって起こるさまざまな疾患について学び、各疾患の病態、症状、診断、治療について学修する。血液内科については、各疾患の病態、症状、診断、治療について学修する。婦人科系では、子宮癌、乳癌、月経異常や更年期障害を中心に学修する。小児科系では小児神経症や夜尿症を中心に学修する。精神科領域では精神科疾患や心療内科の主な疾患を中心に学修する。内容は教科書に準拠するが、必要と思われる領域については追加で解説を行う。

学修目標

1）各種疾患・病態を理解し、論理的に説明できる。　2）病態から治療が合理的に説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．授業内容の理解のために、事前に教科書を読むことをお勧めします。　2．教科書に記載のない項目について補足として解説するので、出席して講義を聞いて下さい。　3．私語は授業の進行に支障を来し、他学生への迷惑行為となりますので慎んでください。

教科書

東洋療法学校協会編：臨床医学各論　医歯薬出版株式会社

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

小黒亮輔：木曜日 4 時限の授業前後　/　非常勤講師控室　森　優也：月曜日 4 限目以降　/　E 棟 1 階事務室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	脳血管疾患	予習：教科書 236～243 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。(自修 1 時間)	小黒
2	感染性疾患	予習：教科書 243～246 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。(自修 1 時間)	小黒
3	基底核変性疾患	予習：教科書 252～255 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。(自修 1 時間)	小黒
4	その他の変性疾患	予習：教科書 255～257 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。(自修 1 時間)	小黒

5	認知症性疾患	予習：教科書 257～260 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。（自修 1 時間）	小黒
6	運動ニューロン疾患	予習：教科書 263～264 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。（自修 1 時間）	小黒
7	機能性疾患	予習：教科書 272～274 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。（自修 1 時間）	小黒
8	小児科疾患	予習：教科書 286～287 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。授業で解説した問題を解いてみる。（自修 1 時間）	小黒
9	血液疾患①（赤血球疾患）	予習：教科書 221～226 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：本授業を振り返りノートにまとめる。MORIPA 配信の小テストを解いてみる。（自修 1 時間）	森
10	血液疾患②（白血球疾患、その他）	予習：教科書 227～233 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：本授業を振り返りノートにまとめる。MORIPA 配信の小テストを解いてみる。（自修 1 時間）	森
11	末梢神経性疾患	予習：教科書 264～269 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：本授業を振り返りノートにまとめる。MORIPA 配信の小テストを解いてみる。（自修 1 時間）	森
12	神経痛、筋疾患	予習：教科書 260～262、269～271 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：本授業を振り返りノートにまとめる。MORIPA 配信の小テストを解いてみる。（自修 1 時間）	森
13	婦人科疾患	予習：教科書 311～314 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：配布された講義資料を参照しながら本授業を振り返りノートにまとめる。MORIPA 配信の小テストを解いてみる。（自修 1 時間）	森
14	精神科領域疾患	予習：教科書 322～326 ページを読んでおく（自修 1 時間）　復習：本授業を振り返りノートにまとめる。MORIPA 配信の小テストを解いてみる。（自修 1 時間）	森
15	授業の振り返りとまとめ	予習：学修した教科書の範囲、配布したプリント等について復習する。（自修 1 時間）　復習：授業で扱った問題等について、再度解くとともに全体のまとめ作業を行う。（自修 1 時間）	森
成績評価方法と基準			割合
※成績評価を受けるには　2/3　以上の出席が必要です。　定期試験（筆記試験）＜DP②＞			100%

授業科目名	臨床医学各論Ⅲ(感覚器)(鍼灸)				
主担当教員	仲西　宏元		担当教員	仲西　宏元	
科目ナンバリング	SB20BACC015	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

感覚器には聴覚器・視覚器・触覚器などがあり、特に授業では耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科領域の基礎知識、各領域の重要な疾患、および診察法を学習する。

学修目標

耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科領域の構造と機能、領域の疾患の特徴を理解し、病態生理・検査方法・治療法が説明できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．配布された資料にも眼を通すこと。　２．出席は重視する。　３．復習・予習を必ず各 1 時間すること。

教科書

配布資料

参考書

系統看護学講座　成人看護学［12］皮膚　渡辺晋一　医学書院　系統看護学講座　成人看護学［13］眼　大鹿哲朗　医学書院　系統看護学講座　成人看護学［14］耳鼻咽喉　小松浩子　医学書院

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室９　昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	耳鼻咽喉科１　耳・鼻・口腔・咽喉頭の解剖学的な構造と機能	予習：解剖学と生理学を再度確認すること。　復習：基本的な構造を覚えること。	仲西
2	耳鼻咽喉科２　重要な症状の病態生理	予習：症状から考えられる疾患を理解すること。　復習：疾患の病態生理と症状を理解すること。	仲西
3	耳鼻咽喉科３　耳鼻科の検査と治療法	予習：簡易な検査方法の名称を理解すること。　復習：検査方法の意義を確認すること。	仲西
4	耳鼻咽喉科４　耳・鼻の重要な疾患について	予習：耳・鼻の構造と症状について理解すること。　復習：耳・鼻の疾患と症状の関連性について理解すること。	仲西
5	耳鼻咽喉科５　咽喉頭の重要な疾患について	予習：咽喉頭の構造と機能について理解すること。　復習：咽喉頭の重要疾患について理解すること。	仲西
6	耳鼻咽喉科６　疾患の要点	予習：耳鼻咽喉科疾患について理解すること。　復習：重要な疾患とその検査法と治療法について理解すること。	仲西
7	眼科１　眼の解剖学的な構造と機能	予習：解剖学と生理学を再度確認すること。　復習：基本的な構造を覚えること。	仲西
8	眼科２　重要な症状の病態生理	予習：眼科の症状について理解すること。復習：眼科の症状と考えられる疾患の関連性について理解すること。	仲西
9	眼科３　眼科の検査と治療法	予習：眼科の検査には何があるか理解すること。　復習:検査結果と疾患の関連性について理解すること。	仲西
10	眼科４　眼の重要な疾患について	予習:眼の疾患について調べ理解すること。復習:眼の疾患と症状、検査方法を理解する	仲西

		こと。	
11	皮膚科１　皮膚の解剖学的な構造と機能	予習：解剖学・生理学を再度確認すること。 復習：基本的な構造を覚えること	仲西
12	皮膚科２　重要な症状と病態生理	予習：皮膚の症状について理解すること。 復習：皮膚科の症状と考えられる疾患の関連性について理解すること。	仲西
13	皮膚科３　皮膚科の検査と治療法	予習：皮膚科の検査について理解すること。 復習：検査結果と疾患の関連性について理解すること。	仲西
14	皮膚科４　皮膚の重要な疾患について	予習：皮膚の構造と症状につい理解すること。　復習：皮膚科の疾患と症状の関連性について理解すること。	仲西
15	眼科・皮膚科　疾患の要点	予習：眼科・皮膚科の疾患について理解すること。　復習：重要な疾患とその検査法と治療法について理解すること。	仲西
成績評価方法と基準			割合
定期試験の受験資格は２/３以上の出席。　定期試験を実施して評価を行う。（60%以上）〈DP②〉			100%

授業科目名	スポーツ医学（鍼灸）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／松﨑　伸介	
科目ナンバリング	SB20BACB016	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

2 年次の整形外科学で学んだ運動器の解剖とスポーツ傷害について、メディカルチェックや症状、対処法などについてより理解を深め、またスポーツ外傷における救急処置の重要性についても学ぶ。あわせてスポーツ現場で遭遇しやすい内科疾患についてもメディカルチェックや症状について学ぶ。

学修目標

1. 重症度と緊急度を理解し、スポーツ現場で発生する最も重篤な心肺停止に対応できるようになること、また、発生頻度の高い脳震盪と頭部外傷、熱中症の病態を理解し、発生現場における予防や救急処置法を習得する。〈DP①②③〉　2. さらにスポーツ現場で遭遇する運動器の外傷や障害、内科疾患についてのメディカルチェックや対処法についても習得する。〈DP①②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

スポーツ医学は、運動器の解剖学、生理学を土台にするもので、他の講義で学んだ局所解剖や運動機能の評価方法、理学所見の取り方等を質問することから始める。ほとんどの授業内容は、資料として配付するスライドを中心に進めるので、講義に出席せず、資料だけを見ても理解困難である。心停止や頭部外傷、熱中症等の傷害発生の理論的なイメージを獲得する努力をすることが重要である。

教科書

配布プリント（適宜配布いたします。）

参考書

1. 臨床医学各論（第 2 版）医歯薬出版 179 頁～185 頁、288 頁～301 頁　2. 救急蘇生法の指針 2015（医療従事者用、改訂第 5 版）へるす出版　3. 標準整形外科学 第 12 版.中村利孝/松野丈夫 監修.医学書院.2014.　4. 新版 スポーツ整形外科マニュアル.福林徹 監修. 中外医学社.2013.　5. スポーツ整形外科学.中嶋寛之 編集.南江堂.1998 年.

研究室／オフィスアワー

松﨑伸介（S 棟研究室 508）／部屋にいれば、いつでも訪問可です。確実に連絡とる場合は、shinsuke_matsuzaki@morinomiya-u.ac.jp までメールください。　川畑浩久（C 棟研究室 707）／木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	スポーツ障害の総論：　1）運動器疾患に対する健診およびメディカルチェック　2）運動器外傷に対する応急処置　3）内科的疾患に対する健診およびメディカルチェック	予習：スポーツにより発生する主な運動器疾患ならびに内科的疾患について予習しておくこと（臨床医学各論の該当箇所）　復習：これまで学んだ運動器疾患ならびに内科的疾患の検査法、治療法などについて復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
2	肩関節のスポーツ外傷・障害：　1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：肩関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照）　復習：授業で学んだ肩関節の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論（教科書）の該当箇所参照）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

3	肩関節のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：肩関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ肩関節の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
4	肘関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：肘関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ肘関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
5	手関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：手関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ手関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
6	指関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：指関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ指関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
7	股関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：股関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ股関節の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
8	膝関節のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：膝関節の解剖学、運動学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ膝関節の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
9	膝関節のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：膝関節の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ膝関節の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
10	下腿部・足関節・足部のスポーツ外傷・障害： 1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法（スポーツの中止と応急処置(テーピング法の実際)ならびにその後の治療法）	予習：下腿、足関節、足部の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ下腿、足関節、足部の外傷について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
11	下腿部・足関節・足部のスポーツ外傷・障害： 1）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：下腿、足関節、足部の解剖学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ下腿、足関節、足部の障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
12	体幹（頚部、胸部、腰部）のスポーツ外傷・障害：1）急性外傷の症状（自覚症状・他覚所見）と処置方法(スポーツの中止と応急処置ならびにその後の治療法） 2）慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：頚部、胸部、腰部の解剖学、運動学について予習しておくこと（解剖学（教科書）の該当箇所参照） 復習：授業で学んだ頚部、胸部、腰部の外傷、障害について復習すること（配布資料ならびに臨床医学各論の該当箇所参照） なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑

13	スポーツ外傷の救急処置：　重症度と緊急度、心肺蘇生について	予習：整形外科学の外傷部分（臨床医学総論、各論の当該箇所）　復習：配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所を参照　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	松﨑
14	スポーツ外傷の救急処置：　脳震盪と頭部外傷、脊髄損傷、熱中症について	予習：スポーツにより発生する重篤な外傷として、頭部外傷や脊髄損傷、熱中症の講義が他の講座で行われていれば、その部分をみなおしておくこと（臨床医学総論、各論の当該箇所参照）　復習：配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所を参照なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	松﨑
15	スポーツによる内科的疾患：　1）循環器・呼吸器疾患における慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法　2）消化器・泌尿器疾患における慢性的な障害の症状（自覚症状・他覚所見）と治療法ならびに予防法	予習：スポーツにより発生する主な循環器、呼吸器、消化器、泌尿器などの疾患の症状などについて予習しておくこと（臨床医学総論、各論の当該箇所）　復習：これまで学んだ循環器、呼吸器、消化器、泌尿器疾患について復習すること（配布プリントならびに臨床医学総論、各論の当該箇所）　なお予習、復習はそれぞれ 2 時間は行うこと。	川畑
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験〈DP①②③〉　2. 試験に対するフィードバックの方法：授業内の小テストは翌回の授業時間に返却し、あわせてフィードバックも行う。また希望者には試験答案を開示し、必要に応じて解説を行う。			1.100%

授業科目名	リハビリテーション医学（鍼灸）				
主担当教員	髙橋　秀郎		担当教員	髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SB20BACC017	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの概念や、代表的疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの実際を概説する

学修目標

他職種である理学療法士との情報共有するための基礎知識を習得する　DP①②

履修上の注意(学生へのメッセージ)

新しい知見の習得に努めること　遅刻の申告、延着証明の提出は当日に限り有効とする

教科書

新版ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学　東洋療法学校協会編　・安保雅博監修　・文光堂

参考書

和才　嘉昭、細川　一郎　共著：リハビリテーション技術全書；株式会社　医学書院

研究室／オフィスアワー

共同研究室　月曜日、水曜日、金曜日　各曜日の 9：00～17：45　但し講義の時間は除く

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	A ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝと障害　基本理念　自立生活 B ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学と医療　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学の概念	教科書の熟読ノートの整理　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
2	C 障害の評価　心身機能・身体構造の評価　活動の評価	身体構造の理解と解剖学の復習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
3	C 障害の評価　参加の評価　合併症（廃用症候群）の評価　失行、失認ﾃｽﾄ	身体構造の理解と解剖学の復習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
4	D 医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ　装具療法と義肢	身体構造の理解と解剖学の復習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
5	D 医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ　装具療法と義肢	身体構造の理解と解剖学の復習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
6	脳卒中のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ脳卒中とは評価急性期のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ理学療法、作業療法	教科書の用語の理解評価方法の復習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
7	脳卒中のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ回復期のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ理学療法、作業療法言語療法脳卒中ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝのｺﾞｰﾙ	教科書の用語の理解評価方法の復習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
8	脊髄損傷のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ　脊髄損傷とは　脊髄損傷による症状と障害	脊髄の構造について予習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
9	脊髄損傷のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ　急性期のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ回復期のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	教科書の用語の理解ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの目的の理解　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
10	切断のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ　切断の原因と分類　合併症	教科書の熟読ノートの整理　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
11	小児のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ　小児のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの特徴脳性麻痺のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	教科書の用語の理解ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの目的の理解　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
12	骨関節疾患末梢神経麻痺関節リウマチ呼吸器疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ慢性閉塞性肺疾患	解剖学の復習特に末梢神経について　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
13	正常歩行と異常歩行歩行とは歩行のサイクル	下肢関節の構造と筋肉の予習　予習 2 時間、復習 2 時間予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
14	正常歩行と異常歩行　歩行の速度とエネルギー消費　歩行の分析　異常歩行	下肢関節の構造と筋肉の予習　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋

15	講義全体のまとめと振り返り	講義全体のまとめ　　予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋
成績評価方法と基準			割合
定期試験（100%）　DP①②　試験結果を開示する　希望者には個別指導を行う			100%

授業科目名	画像診断学（鍼灸）				
主担当教員	髙橋　秀郎		担当教員	髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SB20BACC018	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

放射線の歴史を学び、画像診断とは、医療においてどのような役割を占めているのか、一般撮影、CT、MRI、超音波などの検査の種類や基礎的なことを学ぶと共に専門職として鍼灸師を目指す学生にも、様々な医療画像を読める力をつける。

学修目標

1.各画像より局所の構造を理解する　4.正常像を理解し局所の異常を見出す努力をする。　6.検査の目的を理解する。　7.色々な検査や疾患との関わりを理解する　8.各画像より疾患の概要を理解する。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.各検査機器での画像診断の特徴を認識する。　2.配布された講義資料に目を通すこと。　3.授業内容での講義内容に耳を傾けること。　4.画像症例を通して、読影力を身につける。　6.解剖学や疾患に対する知識が必要とされる。　7.医療職種として必要な知識なので興味を持って欲しい。

教科書

使用しない（プリント配布)。

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階共同研究室　月　水　金　但し講義時間を除く

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	肩関節読影（1）　肩関節骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
2	肩関節読影（2）　肩関節骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
3	肩関節読影（3）　肩関節骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
4	股関節読影（1）股関節骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
5	股関節読影（2）股関節骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
6	膝関節読影（1）膝関節骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
7	膝関節読影（2）膝関節骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
8	脊柱読影（1）脊柱骨格復習	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
9	脊柱読影（2）脊柱骨格復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
10	脊柱読影（3）脊柱骨格復習　足関節読影（1）足関節骨格復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
11	足関節読影（2）　足関節骨格復習　肘関節読影（1）　肘関節骨格復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
12	肘関節読影（2）　肘関節骨格復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
13	肘関節読影（3）肘関節骨格復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋

14	手関節読影（1）　手関節骨格復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
15	手関節読影（2）　手関節骨格復習	予習:シラバスの確認　復習:授業をもとにシラバスとプリントの確認	髙橋
成績評価方法と基準			割合
期末試験　平常点を考慮することがある　DP②③			100%

授業科目名	衛生学公衆衛生学（鍼灸）				
主担当教員	下埜　敬紀		担当教員	下埜　敬紀	
科目ナンバリング	SB20BACB019	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

臨床医学が個人の疾病を対象とするのに対して、衛生学、公衆衛生学は集団の健康を対象とする。衛生学、公衆衛生は人間の健康に関係するあらゆる事象を研究し健康の維持増進をはかる学問である。「公衆」はどういう集団を指すのか具体的な事象と対策、法規を学び、将来の健康づくりと疾病の予防に貢献できる力を養う。

学修目標

・産業保健、食品衛生、感染症対策、生活習慣病対策、国際保健、医療・介護の保障制度など公衆衛生が取り扱う主要な分野について個々に学習し、健康・疾病と生活を支える保健医療福祉制度や法的枠組みについて理解する　・集団における健康問題を把握するための方法である疫学や保健統計の基礎について理解する　ことを目標とする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

公衆衛生学は、学生時代には把握しにくい学問です。しかし、保健医療従事者として現場に立つと多用な面で公衆衛生学の重要性をあらためて実感する時がきますので、そのことを踏まえて学習に取り組んで下さい。

教科書

指定の教科書はありません。講義時に資料を配布します。

参考書

わかりやすい公衆衛生学（第 4 版）　発行：ヌーヴェルヒロカワ

研究室／オフィスアワー

非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	公衆衛生とは	課題：公衆衛生とは何か、健康の概念、国際協力活動について説明できる。	下埜
2	健康の指標（保健統計） 1	課題：社会環境の変動、人口静態統計について説明できる。	下埜
3	健康の指標（保健統計） 2	課題：人口動態統計、死因統計について説明できる。	下埜
4	健康の指標（保健統計） 3	課題：健康状態と受療状況、疾病統計について説明できる。	下埜
5	生活環境の保全（環境保健）	課題：環境と健康疾病との関係、気候変動・対策、公害対策、ゴミ・廃棄物の処理について説明できる。	下埜
6	感染症とその予防（感染症対策)、食品保健 1	課題：感染症とは、予防接種に意義と現状、病原対策（消毒・滅菌）について説明できる。食中毒の分類、現状について説明できる。	下埜
7	感染症とその予防（感染症対策)、食品保健 2	課題：感染症とは、予防接種に意義と現状、病原対策（消毒・滅菌）について説明できる。食中毒の分類、現状について説明できる。	下埜
8	生活習慣病とその予防（成人保健）	課題：社会環境の変動、人口静態統計について説明できる。	下埜
9	疫学的方法 1	課題：疫学の概念、疫学研究のデザインについて説明できる。	下埜
10	疫学的方法 2	課題：疫学・検査の指標（スクリーニングテスト、感度・特異度等）について説明できる。	下埜

11	疫学的方法３	課題：相対危険度、寄与危険度、オッズ比を求めることができる。	下埜
12	医療（社会保障と医療経済）・介護の保障制度１	課題：日本における医療保障、医療保険、国民医療費について説明できる。	下埜
13	医療（社会保障と医療経済）・介護の保障制度２	課題：わが国の高齢者医療制度、介護保険制度について説明できる。	下埜
14	地域保健活動	課題：保健所、市町村保健センターの機能、医療サービスの供給体制、救急医療、災害医療について説明できる。	下埜
15	定期試験		下埜
成績評価方法と基準			割合
試験（90%）と授業態度（10%）で成績を評価する。　単位認定基準及び試験受験資格は大学の規定に従う。			試験 90%　受講態度 10%

授業科目名	保健医療倫理(社会保障・職業倫理を含む)（鍼灸）					
主担当教員	辻　涼太		担当教員		辻　涼太／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	SB20BACB020	科目区分	専門基礎科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期		曜日・時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

鍼灸師は、人として、社会人として、医療専門職であるためにその資質と能力の獲得のために「医療の倫理」を学修することが求められている。　具体的には、医療人としての倫理観を持ち、患者中心の医療を理解し、同時に「死生観」や「哲学」を確立するためにも多様な知識の獲得を目指し、学修する必要も出てこよう。　また、鍼灸師としての使命・役割そしてその責務を正しく理解し、高い倫理観をもつことが医療のプロフェッショナルとして要請されていることも明らかである。　それらの学修の中で、施術者としてあらためて医療の倫理やバイオエシックス、医学研究の倫理指針とその利益相反についても認識しておくことも一層求められている。　一方、医療者の側だけではなく、患者及び社会の倫理についても学修を深める重要性は論を俟たない。すなわち、患者の権利、生命の質（QOL)、ノーマライゼーション、　ターミナルケア、臓器移植・脳死、尊厳死と安楽死等、生命倫理に関する諸宣言も必要となっている。　本講義では、現在の保健医療倫理について各方面で議論されている社会的事象・実例を通して、批評的視点で学ぶ。　さらに、施術者としての倫理観の醸成やその涵養について基本的な知識の取得と社会的情勢の中で得られている諸問題について多くの事例とともに理解し、　応用できることを講義の主題においている。

学修目標

1．学修者は、一般的目標として、医療倫理の基礎的考え方、倫理の概念と重要性、概略について知識を持ち、理解する。　2．個別到達目標としては、医療倫理の考え方を学修することで、施術者として、患者として、さらに広く社会の構成員たる社会人として、医療倫理の概括的知理解と問題解決の方法の一部を理解することができる。　3．プロフェッショナルリズムの概要を知ることにより、鍼灸師としての使命・役割とその責務について理解を深めることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．配布された講義資料を読み、自分自身でさらに考えを深め、コメントを付け加えることができるような批評的視点を持つこと。　2．出された課題は提出すること。　3．社会のあらゆる経済活動について、立場や役割を代えて視点を持つ、また思考する訓練を実践してみること。

教科書

プリント教材「保健医療倫理入門（サブテキスト）2024 年版」　（毎回講義時に該当部分を配布します）

参考書

・三隅一人他『ジレンマの社会学』ミネルヴァ書房　2020 年　・東洋療法学校協会編『医療概論』医歯薬出版　2019 年　・長尾和宏『死の授業』ブックマン社　2015 年　・千代豪昭他『学生のための医療概論第 3 版増補版』医学書院　2014 年　・レイモンド S ファイファー『48 のケースで学ぶ職業倫理』同友館 2014 年　・戸田山和久『哲学入門』ちくま新書　2014 年

研究室／オフィスアワー

木曜日１・２限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	医療倫理とは何か	予習：シラバスの確認と東洋療法学校協会編『医療概論』のうち、第 3 章「医療従事者の倫理」を読んでおく　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	安田
2	バイオエシックスの概要	予習：事前配布プリントの確認と東洋療法学校協会編『医療概論』のうち、第 3 章	安田

		「医療従事者の倫理」を読んでおく。「医療倫理入門（サブテキスト)」の事前予習プリントの提出　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	
3	医学研究に関する倫理指針と利益相反について	予習：事前配布プリント「医療倫理入門（サブテキスト)」の事前予習プリントの提出　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	安田
4	生命の質（QOL)、患者の権利、ノーマライゼーション	予習：事前配布プリント「医療倫理入門（サブテキスト)」の事前予習プリントの提出　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	安田
5	ターミナルケア、脳死、臓器移植、尊厳死と安楽死について	予習：事前配布プリント「医療倫理入門（サブテキスト)」の事前予習プリントの提出　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	安田
6	生命倫理に関する諸宣言	予習：事前配布プリント「医療倫理入門（サブテキスト)」の事前予習プリントの提出　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	安田
7	職業倫理とは何か。 コンプライアンスとアドヒアランス､守秘義務と個人情報保護制度について	予習：事前配布プリント「医療倫理入門（サブテキスト)」の事前予習プリントの提出　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	安田
8	インフォームドコンセントとインフォームドアセント、患者の自己決定権	予習：事前配布プリント「医療倫理入門（サブテキスト)」の事前予習プリントの提出　復習：授業をもとにプリント教材の作成提出	安田
成績評価方法と基準			割合
1.各講義後の課題または確認問題の提出　2.講義終了時の理解度確認テスト及びレポート試験			1.20%　2.80%

授業科目名	経穴局所解剖演習Ⅰ（鍼灸 B）				
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨	
科目ナンバリング	SS20BACB003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

経穴局所解剖は、経絡経穴学で学んだ経絡名、経穴名、取穴の知識を踏まえ、さらに経穴の局所解剖学的見地から三次元的に考察する。すなわち、各経穴の筋、運動神経、知覚神経、血管、および経穴部に存在する神経幹や動脈幹などを学修する。さらに各経穴の主治や要穴、および奇穴（新穴含む）36 穴の経穴名・取穴部位・主治も学修する。および経絡・経穴の現代的研究も学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 各経穴の局所解剖（筋肉・運動神経・知覚神経・血管）を理解する。 2. 各経穴の主治を理解する。 3. 奇経八脈、要穴を理解する。 4. 奇穴（新穴）の経穴名と取穴と主治を理解する。 5. 経絡・経穴の現代的研究を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 白衣の着用を義務とする。 2. 授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。 3. 取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。 4. 取穴の際、実技道具にある「灸点ペン」を持参する。

教科書

1.「経絡経穴概論」医道の日本社 教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他） 2.「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」 南江堂

参考書

大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18 月曜日 5 限　仲村：4 階女子共同研究室 金曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	経穴局所解剖演習概論　奇穴（新穴を含む） 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　奇穴（四神聡～患門）の確認（P216～223）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	奇穴（新穴を含む） 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　奇穴（肩内陵～脚気八処の穴）の確認（P224～229）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	胸腹部 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　胸部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	胸腹部 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　腹部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	胸腹部 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　胸腹部の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
6	胸腹部 4	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲	尾﨑 朋文　仲

		（教科書）を読むこと（1 時間）　胸腹部の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	村 正子　久保 湧奨
7	背腰部 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の浅層筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
8	背腰部 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の深層筋と殿筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
9	背腰部 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
10	背腰部 4	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
11	上肢 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　上肢帯筋・上腕の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
12	上肢２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　前腕の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
13	上肢３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　手の筋、上肢の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
14	上肢 4	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　上肢の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
15	前期まとめと復習	前期のまとめと復習	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）　50%　④期末試験（口答試問）　40%　評価は①～④の合算（100%）とする。　基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。　②の合格で③④の受験資格とする。　4/5 以上の出席を必要とする。　小テストは翌週に返却する。			①小テスト 10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）　50%　④期末試験（口答試問）　40%

授業科目名	経穴局所解剖演習Ⅰ（鍼灸 A）				
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨	
科目ナンバリング	SS20BACB003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

経穴局所解剖は、経絡経穴学で学んだ経絡名、経穴名、取穴の知識を踏まえ、さらに経穴の局所解剖学的見地から三次元的に考察する。すなわち、各経穴の筋、運動神経、知覚神経、血管、および経穴部に存在する神経幹や動脈幹などを学修する。さらに各経穴の主治や要穴、および奇穴（新穴含む）36 穴の経穴名・取穴部位・主治も学修する。および経絡・経穴の現代的研究も学修する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 各経穴の局所解剖（筋肉・運動神経・知覚神経・血管）を理解する。 2. 各経穴の主治を理解する。 3. 奇経八脈、要穴を理解する。 4. 奇穴（新穴）の経穴名と取穴と主治を理解する。 5. 経絡・経穴の現代的研究を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 白衣の着用を義務とする。 2. 授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。 3. 取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。 4. 取穴の際、実技道具にある「灸点ペン」を持参する。

教科書

1.「経絡経穴概論」医道の日本社 教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他） 2.「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」 南江堂

参考書

大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18 月曜日 5 限　仲村：4 階女子共同研究室 金曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	経穴局所解剖演習概論　奇穴（新穴を含む） 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　奇穴（四神聡～患門）の確認（P216～223）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	奇穴（新穴を含む） 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　奇穴（肩内陵～脚気八処の穴）の確認（P224～229）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	胸腹部 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　胸部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	胸腹部 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　腹部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	胸腹部 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　胸腹部の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
6	胸腹部 4	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲	尾﨑 朋文　仲

		（教科書）を読むこと（1 時間）　胸腹部の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	村 正子　久保 湧奨
7	背腰部 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の浅層筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
8	背腰部 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の深層筋と殿筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
9	背腰部 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
10	背腰部 4	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　背腰部の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
11	上肢 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　上肢帯筋・上腕の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
12	上肢２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　前腕の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
13	上肢３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　手の筋、上肢の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
14	上肢 4	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　上肢の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
15	前期まとめと復習	前期のまとめと復習	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）　50%　④期末試験（口答試問）　40%　評価は①～④の合算（100%）とする。　基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。　②の合格で③④の受験資格とする。　4/5 以上の出席を必要とする。　小テストは翌週に返却する。			①小テスト 10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）　50%　④期末試験（口答試問）　40%

授業科目名	経穴局所解剖演習Ⅱ（鍼灸 B）				
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨	
科目ナンバリング	SS20BACB004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

経穴局所解剖は、経絡経穴学で学んだ経絡名、経穴名、取穴の知識を踏まえ、経穴の局所解剖学的見地から三次元的に考察する。各経穴の筋、運動神経、知覚神経、血管、および経穴部に存在する神経幹や動脈幹などを学修する、さらに各経穴の主治や要穴を学修する。および経絡・経穴の現代学的研究も学習する。また、主要経穴の局所解剖も含め刺鍼の安全深度等も学修する。　　＊本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

１．各経穴の局所解剖（筋肉、運動神経、知覚神経、血管）を理解する。　２．各経穴の主治を理解する。　３．奇経八脈、要穴を理解する。　４．奇穴（新穴）の経穴名と取穴と主治を理解する。　５．経絡・経穴の現代学的研究を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 白衣の着用を義務とする。　2. 必ず教科書、参考図書を持参する。　3. 常に触診や取穴時にモデル役ができる服装であること。　4. 触診や取穴の際に必要な水性ペン・または灸点ペンを常備しておくこと。

教科書

「経絡経穴概論」医道の日本社、教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）　「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」南江堂、大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（北村清一郎、尾﨑朋文他）

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日５限　仲村：4 階研究室 13　金曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	総論、下肢１	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　大腿の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	下肢２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　下腿の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	下肢３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　足の筋と下肢の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	下肢４	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　下肢の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	頭頸部 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頸部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
6	頭頸部２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭顔面	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保

		部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	湧奨
7	頭頸部３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭顔面部の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
8	頭顔面部４	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭顔面部の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
9	奇経八脈	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　奇経八脈　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
10	経絡・経穴の現代的研究	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　経絡現象、経穴現象　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
11	経穴の局所解剖１	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　神経幹・動脈幹と経穴、解剖構造物と経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
12	経穴の局所解剖２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　主要経穴と安全（安全深度）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
13	要穴まとめ１	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　五兪穴・八会穴・四総穴・八総穴・下合穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
14	要穴まとめ２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　五行穴・五要穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
15	後期のまとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　後期のまとめ　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）50%　④期末試験（口答試問）30%　評価は①～④の合算（100%）とする。　基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。　②の合格で③④の受験資格とする。　4/5 以上の出席を必要とする。			①10% ③50% ④40%

授業科目名	経穴局所解剖演習Ⅱ（鍼灸 A）				
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨	
科目ナンバリング	SS20BACB004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

経穴局所解剖は、経絡経穴学で学んだ経絡名、経穴名、取穴の知識を踏まえ、経穴の局所解剖学的見地から三次元的に考察する。各経穴の筋、運動神経、知覚神経、血管、および経穴部に存在する神経幹や動脈幹などを学修する、さらに各経穴の主治や要穴を学修する。および経絡・経穴の現代学的研究も学習する。また、主要経穴の局所解剖も含め刺鍼の安全深度等も学修する。　　＊本科目は実務経験のある教員等による授業科目です。

学修目標

1．各経穴の局所解剖（筋肉、運動神経、知覚神経、血管）を理解する。　2．各経穴の主治を理解する。　3．奇経八脈、要穴を理解する。　4．奇穴（新穴）の経穴名と取穴と主治を理解する。　5．経絡・経穴の現代学的研究を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 白衣の着用を義務とする。　2. 必ず教科書、参考図書を持参する。　3. 常に触診や取穴時にモデル役ができる服装であること。　4. 触診や取穴の際に必要な水性ペン・または灸点ペンを常備しておくこと。

教科書

「経絡経穴概論」医道の日本社、教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）　「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」南江堂、大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（北村清一郎、尾﨑朋文他）

参考書

特に指定しない

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日５限　仲村：4 階研究室 13　金曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	総論、下肢１	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　大腿の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	下肢２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　下腿の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	下肢３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　足の筋と下肢の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	下肢４	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　下肢の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	頭頸部１	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頸部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
6	頭頸部２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭顔面	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保

		部の筋と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	湧奨
7	頭頸部３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭顔面部の皮神経と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
8	頭顔面部４	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭顔面部の血管と経穴の確認　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
9	奇経八脈	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　奇経八脈　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
10	経絡・経穴の現代的研究	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　経絡現象、経穴現象　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
11	経穴の局所解剖１	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　神経幹・動脈幹と経穴、解剖構造物と経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
12	経穴の局所解剖２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　主要経穴と安全（安全深度）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
13	要穴まとめ１	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　五兪穴・八会穴・四総穴・八総穴・下合穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
14	要穴まとめ２	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　五行穴・五要穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
15	後期のまとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　後期のまとめ　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）50%　④期末試験（口答試問）30%　評価は①～④の合算（100%）とする。　基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。　②の合格で③④の受験資格とする。　4/5 以上の出席を必要とする。			①10% ③50% ④40%

授業科目名	鍼灸科学概論Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明	
科目ナンバリング	SS20BACB005	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸科学概論では、人体における感覚器の機能的役割を正確に理解し、人体に対し鍼灸刺激がどのように作用するかについて学習する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

人体における感覚器の機能的役割を正確に理解し、そのことを説明できる。　鍼灸刺激の治療効果のメカニズムを理解し、説明できる。　臨床の場で、容易な言葉で患者に説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.出席を重視する。　2.授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3.配布された講義資料にも目を通すこと。　4.疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。

教科書

教科書執筆小委員会「はりきゅう理論」医道の日本社

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	痛み感覚の受容と伝導～内因性発痛物質（P.43-46）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1 時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1 時間)	松熊
2	求心性神経線維の種類と特徴（P.46-48）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1 時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1 時間)	松熊
3	痛覚投射部位～関連痛（P.48-49）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1 時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1 時間)	松熊
4	温度感覚の受容と伝達（P.50-51）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1 時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1 時間)	松熊
5	触圧感覚の受容と伝達～触覚の伝導路(P.52-54)	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1 時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1 時間)	松熊
6	筋の伸張刺激および筋の振動の受容と伝導（P.54）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1 時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1 時間)	松熊
7	鍼灸刺激と反射～鍼麻酔（P.54-60）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1 時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1 時間)	松熊

8	鍼鎮痛～SPA（P.61-62）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1時間)	松熊
9	鍼鎮痛の発現機構（P.63-64）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1時間)	松熊
10	鍼鎮痛の発現機構～ゲートコントロール説（P.64-67）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1時間)	松熊
11	刺激と反応～内臓求心性神経（P.67-75）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1時間)	松熊
12	自律神経系の化学的伝達と受容体～血管の自律神経性調節機序（P.75-77）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1時間)	松熊
13	鍼の血流に及ぼす影響～体性自律反射による鍼の効果（P.78-79）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1時間)	松熊
14	体性自律反射による鍼の効果～鍼刺激とポリモーダル受容器（P.80-83）	予習：シラバスを見て、次回の講義の範囲(教科書)を読むこと。(1時間)　復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(1時間)	松熊
15	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響～白血球機能への影響（P.84-86）	復習：講義資料、教科書を見てまとめること。(2時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP1>　②期末試験<DP1>　・試験・課題に対するフィードバック方法　定期試験問題および模範解答は開示し、必要に応じて再試験対象者には解説を行う。			①30%　②70%

授業科目名	鍼灸科学概論Ⅱ(鍼灸)					
主担当教員	大川 祐世		担当教員	大川 祐世		
科目ナンバリング	SS20BACB006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜3限	
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修	

授業概要

鍼灸科学概論Ⅱでは鍼灸の有効性や安全性について科学的に考察する方法、および現時点において明らかになっている鍼灸治療のエビデンス(科学的根拠) について学習する

学修目標

1. ＥＢＭについて説明できる　2. 必要なエビテンスを自ら探すことが出来る　3. 鍼灸治療のエビテンスについて平易な言葉で説明できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

将来皆さんが患者やその家族、他の医療従事者に対して鍼灸治療について説明をしなければいけない場面で科学的な視点から鍼灸治療を紹介できるようになっていただきたいとおもいます。本授業ではそのための考え方や伝え方を学習します。グループワークやグループディスカッションも行いますので、積極的に授業に参加してください。

教科書

授業内で資料配布

参考書

川喜田健司, 矢野忠. 「鍼灸臨床最新科学メカニズムとエビデンス」. 2014. 医歯薬出版株式会社. 神田善伸. 「ゼロから始めて一冊でわかる! みんなのEBMと臨床研究」. 2016. 南江堂. 東洋療法学校協会 編. 教科書執筆小委員会 著. 「はりきゅう理論」第3版. 2021. 医道の日本社.

研究室／オフィスアワー

木曜日5限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Evidence-Based Medicine (EBM)	EBMについて調べ概要を予習してくる	大川
2	Evidence-Based Medicine (EBM)と臨床研究デザイン	前回学習した内容を復習しておく　臨床研究について調べて概要を理解しておく	大川
3	診療ガイドライン	前回学習した内容を復習しておく　診療ガイドラインについて調べ概要を理解しておく	大川
4	文献検索　理論編	前回学習した内容を復習しておく　医学文献データベースについて調べて概要を理解しておく	大川
5	文献検索　実践編	前回学習した内容を復習しておく　鍼灸に関連した研究テーマを考えてくる	大川
6	鍼灸に関する研究論文の批判的吟味	前回学習した内容を復習しておく　鍼灸に関する文献に目を通してくる	大川
7	鍼灸臨床試験における偽鍼	前回学習した内容を復習しておく　鍼灸臨床で用いられる偽鍼について調べてくる	大川
8	鍼灸治療の安全性①	前回学習した内容を復習しておく　鍼灸治療に関連した有害事象について調べてくる	大川
9	鍼灸治療の安全性②	前回学習した内容を復習しておく　鍼灸安全対策ガイドライン（全日本鍼灸学会臨床情報部安全性委員会　編集）に目を通しておく	大川
10	痛みに対する鍼灸治療　基礎編	前回学習した内容を復習しておく　鍼灸の鎮痛機序について予習してくる	大川

11	痛みに対する鍼灸治療　臨床編	前回学習した内容を復習しておく　鍼麻酔について調べてくる	大川
12	鍼麻酔を体験する	前回学習した内容を復習しておく	大川
13	筋骨格系疾患に対する鍼灸治療の有効性	前回学習した内容を復習しておく　筋骨格系疾患に対する鍼灸治療の文献を調べてくる	大川
14	内科疾患に対する鍼灸治療の有効性	前回学習した内容を復習しておく　内科疾患に対する鍼灸治療に文献を調べてくる	大川
15	神経系疾患における鍼灸治療の有効性	前回学習した内容を復習しておく　神経系疾患に対する鍼灸治療に文献を調べてくる	大川
成績評価方法と基準			割合
1.課題提出 DP①　2.筆記試験 DP①　2 /3 以上の出席を必要とする			1.課題提出 50%　2.筆記試験 50%

授業科目名	東洋医学概論Ⅲ(鍼灸)				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	SS20BACB009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

東洋医学的な診察・治療法、弁証論治を講義する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

国家試験的・臨床的に必要な診察・治療法の知識を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．1 年次の東洋医学概論Ⅰ・Ⅱをふまえているので復習すること。

２．今後学ぶ東洋医学系授業の前提知識として身につけること。

３．鍼灸臨床における東洋医学的診断・治療の基礎となる重要な箇所であると認識すること。

４．繰り返し学んで慣れることが必要な科目。反復して理解・記憶を増強すること。

教科書

・東洋医学概論　新版、　東洋療法学校協会編、　医道の日本社　（1 年次東洋医学概論と同）

参考書

・東洋医学臨床論　新版、　東洋療法学校協会編、　南江堂　・でる兄無双の東洋医学概論！あん摩マッサージ指圧師、はり師・きゅう師国家試験対策問題集、　医道の日本社（ ISBN　:　978-4752914440 ）

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1 年次の東洋医学概論を振り返る。望聞問切　導入	復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
2	切診	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
3	切診	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
4	切診	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
5	望診	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
6	望診	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
7	聞診	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
8	聞診	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
9	問診	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
10	問診	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
11	弁証：1 年の復習、基礎弁証、臓腑関係、伝変・波及	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
12	弁証：1 年の復習、臓腑関係、伝変・波及	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野

13	論治：治則	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
14	論治：治法	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	熊野
15	論治：治療法。　講義全体のまとめ	これまでの講義を振り返る	熊野
成績評価方法と基準			割合
（1）期末筆記試験　（2）授業態度			（1）90% （2）10%

授業科目名	鍼灸安全学(はき適応を含む)(鍼灸)					
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／古瀬 暢達		
科目ナンバリング	SS20BACB010	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

鍼灸臨床におけるリスクを減らして患者および施術者の安全を確保するために必要な理論と手法を学ぶ。

学修目標

1．医療におけるリスクマネージメントの基本的な考え方が理解できる。　2．鍼灸臨床における患者および施術者の安全管理ができる。　3．主要な鍼灸医療事故の対処・分析・予防ができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

患者と自身を守る重要な知識と心得なので真剣に取り組んでいただきたい。

教科書

なし　(必要に応じて資料を配布する)

参考書

マンガ鍼灸臨床インシデント（増補改訂版）　山下仁監修・犬養ヒロ画　医道の日本社　鍼灸安全対策ガイドライン 2020 年版　全日本鍼灸学会安全性委員会編(https://safety.jsam.jp/pg157.html)　鍼灸安全対策マニュアル　全日本鍼灸学会臨床情報部安全性委員会ほか編（医歯薬出版）

研究室／オフィスアワー

山下　仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ヒューマンエラーとシステム要因	自分の経験したリスクを想起し列記する	山下
2	医療安全に関する概念モデルと実践モデル	自分の経験したリスクをモデルに当てはめる	山下
3	鍼灸の有害事象（１）　疫学的特徴	インターネットで関連有害事象を調べる	古瀬
4	鍼灸の有害事象（２）　気胸	インターネットで関連有害事象を調べる	山下
5	鍼灸の有害事象（３）　その他の臓器損傷と折鍼	インターネットで関連有害事象を調べる	山下
6	鍼灸の有害事象（４）　神経傷害	インターネットで関連有害事象を調べる	山下
7	鍼灸の有害事象（５）　感染	インターネットで関連有害事象を調べる	古瀬
8	鍼灸の有害事象（６）　その他の有害事象	インターネットで関連有害事象を調べる	山下
9	副作用とインフォームド・コンセント	施術前に患者に説明する事項を考える	山下
10	感染制御	有害事象として報告されている主な細菌・ウイルス感染について調べる	山下
11	鍼灸関連器具・機器と医療廃棄物	主要な鍼灸関連医療機器の仕様を調べる	山下
12	患者の権利、情報管理、信頼維持	リスボン宣言について調べる	山下
13	鍼灸の適応症と禁忌	適応症と禁忌について調べる	山下
14	事故発生後の対応・対処	過去の訴訟と判例についてネットで調べる	山下

15	授業総括と関連情報収集方法	附属図書館のデータベースと図書を調べる	山下
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験　②ワーク提出物			①70%　②30%

授業科目名	臨床生理学（鍼灸）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	SS20BACB011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

一般臨床医学において遭遇する症状を生理学的に読み解き、病態理解につなげる。また、模擬症例から生理的反応を読み解き、鍼灸治療のアプローチ目的を推察できるようにする。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

①症状から病態を推察できる。 ②病態を生理学的に解釈することができる。 ③臨床検査結果から病態を読み解くことができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①授業の履修態度が著しく不良の場合は、退室を指示します。 ②教科書および教材（レジメ）を必ず持参してください。

教科書

臨床医学総論　東洋療法学校協会編

参考書

はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　生理学　東洋療法学校協会編

研究室／オフィスアワー

E 棟４階研究室　在室時（主に昼休みにいます）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	バイタルサイン（体温・脈拍）	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
2	バイタルサイン（血圧・呼吸）	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
3	第４章　顔貌・精神状態・言語	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
4	身体計測・体格・栄養状態、姿勢と体位　・歩行	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
5	皮膚・粘膜・皮下組織・爪・リンパ節	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
6	小テスト１、第５章　局所の診察　頭部・顔面・眼・鼻	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
7	耳・口腔・頭部・胸部・乳房・肺	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
8	心臓・腹部・背部・四肢	予習：教科書を事前に学習すること　復習：授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
9	第６章　神経系（運動機能検査法以外）	予習:教科書を事前に学習すること　復習:授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
10	第７章　運動機能検査　麻痺と運動	予習:教科書を事前に学習すること　復習:	鍋田

		授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	
11	不随意運動・協調運動・ADL	予習:教科書を事前に学習すること　復習:授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
12	小テスト２、第８章　救急法	予習:教科書を事前に学習すること　復習:授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
13	第９章　臨床検査　血液検査	予習:教科書を事前に学習すること、身近な者の血液検査結果を予め目を通し、可能なら当日持参すること。 復習:授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
14	第９章　臨床検査　尿検査・生化学的検査	予習:教科書を事前に学習すること。身近な者の尿検査結果を予め目を通し、可能なら当日持参すること。 復習:授業で配布する問題を次回授業までに回答してくること	鍋田
15	まとめ	予習:8, 9 章の内容に関するテスト対策をすること。 復習:期末試験対策として、小テスト 1, 2 および 15 講時の内容を復習すること	鍋田
成績評価方法と基準			割合
全授業の２／３を出席すること　①小テスト　40 点　（20 点×2 回）　②期末試験　60 点			①４０％　②６０％

授業科目名	臨床鍼灸学（鍼灸）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	SS20BACC012	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

はり師・きゅう師になるにあたり重要である「東洋医学臨床論」は、現代医学領域と東洋医学領域に大別される。現代医学領域では、整形外科疾患をはじめとして、外科・麻酔科・神経内科、心療内科、脳神経外科、歯科、眼科など他領域に渡って鍼灸治療の診察・治療法が出題されている。これらの出題内容を実際の臨床に照らし合わせて治療学するのが本講義の目的である。本講義を通じて、診察で得た情報から適切な病態把握を行い、検査・治療を実践する能力を養う。

学修目標

1）短文の症例から病態把握を行い、適切な検査の選択と実践ができる。　2）短文の症例から病態把握を行い、治療計画の策定が出来る。　3）短文の症例は国家試験過去問題を基本とするため、これらの理解が出来る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1）本講義は附属施術所基礎実習の教育内容と連動している。適切に受講し、臨床力の向上に努めること。　2）本講義における居眠り、無断退室、私語などは認めない。

教科書

なし

参考書

東洋療法学校協会編　「東洋医学臨床論」

研究室／オフィスアワー

研究室に相談に来ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	東洋医学臨床論現代系 肩こり・頭痛	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
2	東洋医学臨床論現代系 頚肩腕症候群・胸郭出口症候群・頚椎症	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
3	東洋医学臨床論現代系 肩関節障害	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
4	東洋医学臨床論現代系 上肢のスポーツ障害	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
5	東洋医学臨床論現代系 下肢のスポーツ障害	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
6	東洋医学臨床論現代系 腰痛・腰下肢痛	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
7	東洋医学臨床論現代系 末梢神経障害	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
8	東洋医学臨床論現代系 運動器疾患複合問題	予習：当該分野を事前に学習すること　復習：授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田

9	東洋医学臨床論現代系 過誤副反応・内科	予習：当該分野を事前に学習すること　復習:授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
10	東洋医学臨床論現代系 脳神経外科、神経内科、心療内科	予習：当該分野を事前に学習すること　復習:授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
11	東洋医学臨床論現代系 婦人科・泌尿器科	予習：当該分野を事前に学習すること　復習:授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
12	東洋医学臨床論現代系 歯科・眼科・フレイル・カルテ記載	予習：当該分野を事前に学習すること　復習:授業内容を理解し、小テスト対策を行うこと　予習・復習に要する時間：1 時間	鍋田
13	小テスト２　筆記試験対策	1-12 単元で学習した内容について復習してくること	鍋田
14	OSCE 対策練習	OSCE の手順を理解し、学習した全範囲の復習をすること　復習に要する時間：1 時間	鍋田
15	OSCE 対策練習	OSCE の手順を理解し、学習した全範囲の復習をすること　復習に要する時間：1 時間	鍋田
成績評価方法と基準			割合
①小テストを 25 問×2 回行う。　②4 択問題 50 問の筆記試験を行う。　2/3 以上の出席を必要とする。 ①＋②で 60 点以上で単位を認定する。			①５０％　②５０％

授業科目名	生体観察（鍼灸 B）					
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨		
科目ナンバリング	SS20BACB013	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

鍼灸師にとって人体の構造と機能を理解することは重要である。また、経穴の取穴の際、骨や筋や動脈などの生体観察がなければ、経穴が取穴できない。そのためには生体を観察して身体各部の状態を知ることは重要である。さらに鍼灸臨床を行うにあたり、生体観察は重要である。骨指標、関節、筋、筋束、神経、血管などの触診を中心に学習し、経穴も学習する。

学修目標

1．人体の観察で全体の形態や動き、皮膚や組織の状態、左右差を観察し学習する。　2．骨、関節、筋、神経、血管などの触診を習得する。　3．履修した経穴を取穴することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．白衣の着用を義務とする。　2．授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。　3．触診や取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。　4．触診や取穴の際に必要な水性ペンを持参する。

教科書

「運動・からだ図解　筋と骨格の触診術の基本」、株式会社マイナビ出版（藤縄理）　「新版　経絡経穴概論」、医道の日本（日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会）

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」南江堂、大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（北村清一郎、尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日 5 限　仲村：4 階共同研究室　月曜日 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生体観察総論	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　観察と触診　　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
2	体幹前面 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　胸腹部の骨、胸筋、腹筋、横隔膜、膻中と胸骨裂孔　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
3	体幹前面 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　腹部大動脈、心臓、肺、内臓投影、経穴と内臓　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
4	体幹後面 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　棘突起、肩甲骨、骨盤、背部筋　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
5	体幹後面 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　肋間神経、肺、腎臓、内臓投影、経穴、膏肓、肩井　復習：講義資料、教科書を見てまとめ	尾 﨑　仲 村　久保

		ること（1 時間）	
6	上肢 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　上肢、前腕、手の骨、上肢・前腕・手の筋　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　　仲 村 久保
7	上肢 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　血管、神経、靭帯、上肢の経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　　仲 村 久保
8	上肢３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　経穴、合谷　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
9	下肢 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　大腿、下腿、足の骨、筋　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
10	下肢 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　血管、神経、靭帯、経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
11	下肢 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　下肢の経穴、太渓と後脛骨動脈、脛骨動脈、　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
12	頭頸部 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頸部の骨、筋、胸膜頂と経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
13	頭頸部 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭部、頸部の骨、表情筋、咀嚼筋、頸部の筋、下関、翳風　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
14	頭頸部 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭部、血管、神経、瘂門、天柱、頭頂孔と経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
15	会陰部・腋窩部とまとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　会陰の筋、神経、血管、経穴、まとめ　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　　10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）50%　④期末試験（口頭試問）40%　評価は①～④の合算（100%）とする。　基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。②の合格で③④の受験資格とする。　4/5 以上の出席を必要とする　小テストは翌週に返却する。			①10%　③50%　④40%

授業科目名	生体観察（鍼灸 A）					
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨		
科目ナンバリング	SS20BACB013	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

鍼灸師にとって人体の構造と機能を理解することは重要である。また、経穴の取穴の際、骨や筋や動脈などの生体観察がなければ、経穴が取穴できない。そのためには生体を観察して身体各部の状態を知ることは重要である。さらに鍼灸臨床を行うにあたり、生体観察は重要である。骨指標、関節、筋、筋束、神経、血管などの触診を中心に学習し、経穴も学習する。

学修目標

1．人体の観察で全体の形態や動き、皮膚や組織の状態、左右差を観察し学習する。　2．骨、関節、筋、神経、血管などの触診を習得する。　3．履修した経穴を取穴することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．白衣の着用を義務とする。　2．授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。　3．触診や取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。　4．触診や取穴の際に必要な水性ペンを持参する。

教科書

「運動・からだ図解　筋と骨格の触診術の基本」、株式会社マイナビ出版（藤縄理）　「新版　経絡経穴概論」、医道の日本（日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会）

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」南江堂、大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（北村清一郎、尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日 5 限　仲村：4 階共同研究室　月曜日 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	生体観察総論	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　観察と触診　　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
2	体幹前面 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　胸腹部の骨、胸筋、腹筋、横隔膜、膻中と胸骨裂孔　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
3	体幹前面 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　腹部大動脈、心臓、肺、内臓投影、経穴と内臓　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
4	体幹後面 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　棘突起、肩甲骨、骨盤、背部筋　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　仲 村　久保
5	体幹後面 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　肋間神経、肺、腎臓、内臓投影、経穴、膏肓、肩井　復習：講義資料、教科書を見てまとめ	尾 﨑　仲 村　久保

		ること（1 時間）	
6	上肢 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　上肢、前腕、手の骨、上肢・前腕・手の筋　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　　仲 村 久保
7	上肢 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　血管、神経、靭帯、上肢の経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾 﨑　　仲 村 久保
8	上肢３	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　経穴、合谷　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
9	下肢 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　大腿、下腿、足の骨、筋　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
10	下肢 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　血管、神経、靭帯、経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
11	下肢 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　下肢の経穴、太渓と後脛骨動脈、脛骨動脈、　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
12	頭頸部 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頸部の骨、筋、胸膜頂と経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
13	頭頸部 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭部、頸部の骨、表情筋、咀嚼筋、頸部の筋、下関、翳風　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
14	頭頸部 3	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　頭部、血管、神経、瘂門、天柱、頭頂孔と経穴　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
15	会陰部・腋窩部とまとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　会陰の筋、神経、血管、経穴、まとめ　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑　仲村 久保
成績評価方法と基準			割合
①小テスト　　10%　②経穴暗記確認テスト　③期末試験（筆記試験）50%　④期末試験（口頭試問）40%　評価は①～④の合算（100%）とする。　基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。②の合格で③④の受験資格とする。　4/5 以上の出席を必要とする　小テストは翌週に返却する。			①10%　③50%　④40%

授業科目名	運動機能検査法（鍼灸 B）				
主担当教員	宮武　大貴		担当教員	宮武　大貴／伊奈　新太郎	
科目ナンバリング	SS20BACB014	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

①整形外科疾患の治療を行う際に必須となる,病態把握（診断）やその手順（診察）の方法を学ぶ　②整形外科疾患の病態を学習し、治療の適応であるかを適切に判断する手法を学習する　以上の知識、技術を用いた運動機能検査法を習得する

学修目標

①検査における「意義」「方法」「陽性所見」を学び、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践することができる　②患者の状態から考えうる整形外科疾患を考察することができる　③適応疾患であることを見極め、安全な治療を計画的に行うことができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①実技、実習なので積極的に参加する事　②多くのモデルが存在する講義実習なのでたくさんのモデルを経験する事　③実技授業の予習と復習を２時間/日行う事

教科書

臨床医学総論　奈良信雄　著　公益社団法人東洋療法学校協会　目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂

参考書

S.Hoppenfeld 著, 野島元雄 監訳　「図解四肢と脊椎の診かた」　医歯薬出版　臨床医学総論　奈良信雄　著　公益社団法人東洋療法学校協会

研究室／オフィスアワー

共同研究室／月曜日～　金曜日 13：00～（不定期なため事前に確認が必要）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	肩関節疾患　肩部の解剖　1 ﾀﾞｰﾊﾞﾝｻｲﾝ　2 腕落下ﾃｽﾄ　3ｽﾋﾟｰﾄﾞﾃｽﾄ　4ﾔｰｶﾞｿﾝﾃｽﾄ　5ペインフルアークサイン	関節構造の理解　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
2	肩関節疾患　肩部の解剖　腱板損傷の発生機序　上腕二頭筋損傷の症状　1 ﾀﾞｰﾊﾞﾝｻｲﾝ　2 腕落下ﾃｽﾄ　3 ｽﾋﾟｰﾄﾞﾃｽﾄ　4　ﾔｰｶﾞｿﾝﾃｽﾄ　5　アプリヘイジョンテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
3	肘関節周囲の疾患　肘部の解剖　1 中指伸展ﾃｽﾄ　2 ﾁｪｱﾃｽﾄ　3　ﾁﾈﾙ徴候　4 ﾌｧﾚﾝﾃｽﾄ　5　手根管のﾁﾈﾙ徴候 6 ﾌｨﾝｹﾙｽﾀｲﾝﾃｽﾄ　7 ｷﾞﾖﾝ管のﾁﾈﾙ徴候　8 ﾄﾑｾﾞﾝﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
4	肘関節周囲の疾患　肘部の解剖　1 中指伸展ﾃｽﾄ　2 ﾁｪｱﾃｽﾄ　3　ﾁﾈﾙ徴候　4 ﾌｧﾚﾝﾃｽﾄ　5　手根管のﾁﾈﾙ徴候 6 ﾌｨﾝｹﾙｽﾀｲﾝﾃｽﾄ　7 ｷﾞﾖﾝ管のﾁﾈﾙ徴候　8 ﾄﾑｾﾞﾝﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
5	頚部及び上肢の解剖　1 ｱﾄﾞｿﾝﾃｽﾄ 2 肋鎖（ｴﾃﾞﾝ）ﾃｽﾄ　3 ﾗｲﾄﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈

6	頚部及び上肢の解剖　1ｱﾄﾞｿﾝﾃｽﾄ 2 肋鎖（ｴﾃﾞﾝ）ﾃｽﾄ　3ﾗｲﾄﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
7	頚部・背部の解剖　1ｼﾞｬｸｿﾝ側屈圧迫ﾃｽ　2ｼﾞｬｸｿﾝ回旋圧迫ﾃｽﾄ　3ｽﾊﾟｰﾘﾝｸﾞﾃｽﾄ　4 肩引き下げﾃｽﾄ　5 棘突起叩打ﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
8	頚部・背部の解剖　1ｼﾞｬｸｿﾝ側屈圧迫ﾃｽ　2ｼﾞｬｸｿﾝ回旋圧迫ﾃｽﾄ　3ｽﾊﾟｰﾘﾝｸﾞﾃｽﾄ　4 肩引き下げﾃｽﾄ　5 棘突起叩打ﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
9	腰部の解剖　1 棘突起叩打ﾃｽﾄ　2 下肢伸展挙上テスト　3ﾗｾｰｸﾞﾃｽﾄ　4ﾌﾞﾗｶﾞｰﾄﾞﾃｽﾄ　5 大腿神経伸展ﾃｽﾄ　6ｹﾝﾌﾟﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
10	仙骨周囲の解剖　1 仙腸関節ｽﾄﾚｯﾁﾃｽﾄ　2ﾄｰﾏｽﾃｽﾄ　3ﾄﾚﾝﾌﾞﾙｸﾞﾃｽﾄ　4ﾊﾟﾄﾘｯｸﾃｽﾄ　5 ゲンスレンテスト　6　ドレーマンテスト・徴候	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
11	膝部の解剖　半月板損傷の症状　1 ｱﾌﾟﾚｰ圧迫ﾃｽﾄ　2ﾏｯｸﾏﾚｰﾃｽﾄ　3ｱﾌﾟﾚｰ牽引ﾃｽﾄ　4　ピボットテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
12	膝部の解剖　1 ｱﾌﾟﾚｰ圧迫ﾃｽﾄ　2 ﾏｯｸﾏﾚｰﾃｽﾄ　3 ｱﾌﾟﾚｰ牽引ﾃｽﾄ 4 ピボットテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
13	膝部の解剖　1 ﾗｯｸﾏﾝﾃｽﾄ　2 後方引き出し徴候 3 外反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ　4 内反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ　（ベーラー徴候）	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
14	膝部の解剖　1 ﾗｯｸﾏﾝﾃｽﾄ　2 後方引き出し徴候 3 外反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ　4 内反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
15	膝関節疾患　　1 膝蓋骨圧迫ﾃｽﾄ　2 膝蓋骨不安感ﾃｽﾄ　3 膝蓋跳動ﾃｽﾄ　　足関節部の解剖　4 足根管のﾁﾈﾙ徴候　5 トンプソンテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
成績評価方法と基準			割合
①授業中に行う小テスト（実技・筆記）〈DP①〉　②定期試験〈DP①〉※出題範囲：授業で扱った範囲　4/5以上の出席を必要とする			①30%　②70%

授業科目名	運動機能検査法（鍼灸 A）					
主担当教員	宮武 大貴		担当教員		宮武 大貴／伊奈 新太郎	
科目ナンバリング	SS20BACB014	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日・時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

①整形外科疾患の治療を行う際に必須となる,病態把握（診断）やその手順（診察）の方法を学ぶ　②整形外科疾患の病態を学習し、治療の適応であるかを適切に判断する手法を学習する　以上の知識、技術を用いた運動機能検査法を習得する

学修目標

①検査における「意義」「方法」「陽性所見」を学び、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践することができる　②患者の状態から考えうる整形外科疾患を考察することができる　③適応疾患であることを見極め、安全な治療を計画的に行うことができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①実技、実習なので積極的に参加する事　②多くのモデルが存在する講義実習なのでたくさんのモデルを経験する事　③実技授業の予習と復習を２時間/日行う事

教科書

臨床医学総論　奈良信雄　著　公益社団法人東洋療法学校協会　目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂

参考書

S.Hoppenfeld 著, 野島元雄 監訳　「図解四肢と脊椎の診かた」　医歯薬出版　臨床医学総論　奈良信雄　著　公益社団法人東洋療法学校協会

研究室／オフィスアワー

共同研究室／月曜日～　金曜日 13：00～（不定期なため事前に確認が必要）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	肩関節疾患　肩部の解剖　1 ﾀﾞｰﾊﾞﾝｻｲﾝ　2 腕落下ﾃｽﾄ　3ｽﾋﾟｰﾄﾞﾃｽﾄ　4ﾔｰｶﾞｿﾝﾃｽﾄ　5ペインフルアークサイン	関節構造の理解　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
2	肩関節疾患　肩部の解剖　腱板損傷の発生機序　上腕二頭筋損傷の症状　1 ﾀﾞｰﾊﾞﾝｻｲﾝ　2 腕落下ﾃｽﾄ　3 ｽﾋﾟｰﾄﾞﾃｽﾄ　4　ﾔｰｶﾞｿﾝﾃｽﾄ　5　アプリヘイジョンテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
3	肘関節周囲の疾患　肘部の解剖　1 中指伸展ﾃｽﾄ　2 ﾁｪｱﾃｽﾄ　3　ﾁﾈﾙ徴候　4 ﾌｧﾚﾝﾃｽﾄ　5　手根管のﾁﾈﾙ徴候 6 ﾌｨﾝｹﾙｽﾀｲﾝﾃｽﾄ　7 ｷﾞﾖﾝ管のﾁﾈﾙ徴候　8 ﾄﾑｾﾞﾝﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
4	肘関節周囲の疾患　肘部の解剖　1 中指伸展ﾃｽﾄ　2 ﾁｪｱﾃｽﾄ　3　ﾁﾈﾙ徴候　4 ﾌｧﾚﾝﾃｽﾄ　5　手根管のﾁﾈﾙ徴候 6 ﾌｨﾝｹﾙｽﾀｲﾝﾃｽﾄ　7 ｷﾞﾖﾝ管のﾁﾈﾙ徴候　8 ﾄﾑｾﾞﾝﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
5	頚部及び上肢の解剖　1 ｱﾄﾞｿﾝﾃｽﾄ 2 肋鎖（ｴﾃﾞﾝ）ﾃｽﾄ　3 ﾗｲﾄﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈

6	頚部及び上肢の解剖　1ｱﾄﾞｿﾝﾃｽﾄ 2 肋鎖（ｴﾃﾞﾝ）ﾃｽﾄ　3ﾗｲﾄﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
7	頚部・背部の解剖　1ｼﾞｬｸｿﾝ側屈圧迫ﾃｽ　2ｼﾞｬｸｿﾝ回旋圧迫ﾃｽﾄ　3ｽﾊﾟｰﾘﾝｸﾞﾃｽﾄ　4 肩引き下げﾃｽﾄ　5 棘突起叩打ﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
8	頚部・背部の解剖　1ｼﾞｬｸｿﾝ側屈圧迫ﾃｽ　2ｼﾞｬｸｿﾝ回旋圧迫ﾃｽﾄ　3ｽﾊﾟｰﾘﾝｸﾞﾃｽﾄ　4 肩引き下げﾃｽﾄ　5 棘突起叩打ﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。　実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
9	腰部の解剖　1 棘突起叩打ﾃｽﾄ　2 下肢伸展挙上テスト　3ﾗｾｰｸﾞﾃｽﾄ　4ﾌﾞﾗｶﾞｰﾄﾞﾃｽﾄ　5 大腿神経伸展ﾃｽﾄ　6ｹﾝﾌﾟﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
10	仙骨周囲の解剖　1 仙腸関節ｽﾄﾚｯﾁﾃｽﾄ　2ﾄｰﾏｽﾃｽﾄ　3ﾄﾚﾝﾌﾞﾙｸﾞﾃｽﾄ　4ﾊﾟﾄﾘｯｸﾃｽﾄ　5 ゲンスレンテスト　6　ドレーマンテスト・徴候	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
11	膝部の解剖　半月板損傷の症状　1 ｱﾌﾟﾚｰ圧迫ﾃｽﾄ　2ﾏｯｸﾏﾚｰﾃｽﾄ　3ｱﾌﾟﾚｰ牽引ﾃｽﾄ　4　ピボットテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
12	膝部の解剖　1 ｱﾌﾟﾚｰ圧迫ﾃｽﾄ　2 ﾏｯｸﾏﾚｰﾃｽﾄ　3 ｱﾌﾟﾚｰ牽引ﾃｽﾄ 4 ピボットテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
13	膝部の解剖　1 ﾗｯｸﾏﾝﾃｽﾄ　2 後方引き出し徴候 3 外反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ　4 内反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ　（ベーラー徴候）	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
14	膝部の解剖　1 ﾗｯｸﾏﾝﾃｽﾄ　2 後方引き出し徴候 3 外反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ　4 内反ｽﾄﾚｽﾃｽﾄ	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
15	膝関節疾患　　1 膝蓋骨圧迫ﾃｽﾄ　2 膝蓋骨不安感ﾃｽﾄ　3 膝蓋跳動ﾃｽﾄ　　足関節部の解剖　4 足根管のﾁﾈﾙ徴候　5 トンプソンテスト	関節構造の理解　検査における「意義」「方法」「陽性所見」が言えて、ストレスをかける方向と力加減（運動学）を実践できる。実技授業の予習と復習を２時間/日行う。	宮武・伊奈
成績評価方法と基準			割合
①授業中に行う小テスト（実技・筆記）〈DP①〉　②定期試験〈DP①〉※出題範囲：授業で扱った範囲　4/5以上の出席を必要とする			①30%　②70%

授業科目名	現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）（鍼灸 B）					
主担当教員	佐藤　正人			担当教員	佐藤　正人／辻丸　泰永／鈴木　信／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACC015	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	火曜 2 限、水曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

鍼灸臨床で最も多い愁訴の中から頸肩腕痛、腰下肢痛の２症候を取り上げて、それぞれの痛みの発生機序（基礎知識）から診察～治療までの知識と技術を学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 自覚／医療者としての自覚を育て、その責任の元に鍼灸師として行動ができる。 2. 知識／鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して基本的な診察、鑑別ができ、安全でより確実な治療法を工夫できる。 3. 技術／正確な診察法、治療技術を駆使することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 常に対患者をイメージして愛護的態度を養いかつ正確な診察、治療技術の習得に励む。 2. 診察は推察で有り、積極的に推察力を高め、またそれを行動に移す癖を身につける。 3. 徒手検査、治療に支障の無い服装で臨む。

教科書

・授業時に配付する佐藤作成のテキスト（資料）配付する資料

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

講師控え室／授業の前後の時間帯

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	診察および治療に関するオリエンテーション（鍼灸師と診察、適応不適応についてなど）	予習／シラバスの確認　復習／「鍼灸不適応疾患・病態」暗記	佐藤・鈴木・辻丸
2	治療に関するオリエンテーション （これまでに学んできた学習内容の復習）	予習／シラバス確認　復習／受講内容の再確認	佐藤・鈴木・辻丸
3	診察法総論　1.（臨床とカルテ、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容の目を通す　復習／「鍼灸不適応疾患・病態」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
4	治療技術基礎　1.	予習／シラバス確認　復習／受講内容の再確認	佐藤・鈴木・辻丸
5	診察法総論　2.　（深部反射、病的反射の実習、ペーパーテスト）	予習／テキスト内容に目を通す　復習／「深部反射」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
6	治療技術基礎　2.	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
7	頸肩腕痛の診察法　1.　（頸肩腕部の解剖、鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
8	治療技術基礎　3.	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
9	頸肩腕痛の診察法　2.　（頸肩腕痛の病態、理学検査、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
10	頸肩腕痛の治療法　1.　（鍼灸基礎技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
11	頸肩腕痛の診察法　3.　（頸肩腕痛の問診、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛の身体診察法」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸

12	頸肩腕痛の治療法　２．　（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
13	頸肩腕痛の診察法　４．　（インフォームドコンセント、頸肩腕痛の診察まとめ）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛のインフォームドコンセント」のやり方をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
14	腰下肢痛の治療法　３．（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
15	腰下肢痛の診察法　１．　（腰～下肢の解剖、と腰下肢痛の鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰下肢痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
16	頸肩腕痛の治療法　４．　（診察～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
17	腰下肢痛の診察法　２．　（腰痛の理学検査、病態把握、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰下肢痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
18	腰下肢痛の治療法　１．　（鍼灸基礎技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
19	腰下肢痛の診察法　３．　（下肢痛の病態把握、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰痛の身体診察法」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
20	腰下肢痛の治療法　２．　（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
21	腰下肢痛の診察法　４．　（腰下肢痛の問診、身体診察）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰下肢痛の身体診察法」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
22	腰下肢痛の治療法　３．　（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
23	腰下肢痛の診察法　５．　（腰下肢痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／「医療面接を交えた診察法」考案　復習／配付資料の内容再認識	佐藤・鈴木・辻丸
24	腰下肢痛の治療法　４．（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
25	診察法の総括　1.　（頸肩腕痛、腰下肢痛のインフォームドコンセント）	予習／全症候の学習内容の確認　復習／全症候の診察法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
26	腰下肢痛の治療法　５．　（診察～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
27	診察法の総括　２．　（頸肩腕痛、腰下肢痛のインフォームドコンセント、身体所見実技）	予習／全症候の診察時に必要かつ基本的なインフォームドコンセントを列挙する　復習／学生同士で問診、身体診察をシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
28	治療法の総括　（頸肩腕痛、腰下肢痛の治療法）	予習／全症候の学習内容のチェック　復習／全症候の治療法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
29	診察法の総括　３．　（頸肩腕痛、腰下肢痛の問診、身体診察、インフォームドコンセント全般）	予習／全症候の診察時に必要かつ基本的なインフォームドコンセントを列挙する　復習／学生同士で問診、身体診察をシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
30	診察法と治療法の総括　（頸肩腕痛、腰下肢痛の診察～治療）	予習／診察～治療までをイメージしてみる　復習／学生同士で診察～治療までをシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
成績評価方法と基準			割合
１）本試験＜DP①＞　２）授業内でのペーパーテスト、提出物、授業中の態度の評価＜DP①＞　上記の１）と２）を総合する。　　授業中の態度としては以下の点が守られずに忠告を受け、その場で即座に改善されない者に対して行う。　１.「実技授業に適さない身だしなみ」は、授業が始まる前に全て整えることを怠らない。　２．ベット上、およびその周りには、授業に関わらない物（飲食物、カバン、上着など）は一切置かない。また、ワゴンの上段は清潔を保つこと。　３．授業中のやむ得ない「退出」は、その「理由」を教員に告げて了解を得え、「入室」時も教員に帰ってきたことを告げて着席する。			①80%　②20%

授業科目名	現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）（鍼灸 A）					
主担当教員	佐藤　正人			担当教員	佐藤　正人／辻丸　泰永／鈴木　信／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACC015	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	火曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

鍼灸臨床で最も多い愁訴の中から頸肩腕痛、腰下肢痛の２症候を取り上げて、それぞれの痛みの発生機序（基礎知識）から診察～治療までの知識と技術を学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1. 自覚／医療者としての自覚を育て、その責任の元に鍼灸師として行動ができる。 2. 知識／鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して基本的な診察、鑑別ができ、安全でより確実な治療法を工夫できる。 3. 技術／正確な診察法、治療技術を駆使することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 常に対患者をイメージして愛護的態度を養いかつ正確な診察、治療技術の習得に励む。 2. 診察は推察で有り、積極的に推察力を高め、またそれを行動に移す癖を身につける。 3. 徒手検査、治療に支障の無い服装で臨む。

教科書

・授業時に配付する佐藤作成のテキスト（資料）配付する資料

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

講師控え室／授業の前後の時間帯

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	診察および治療に関するオリエンテーション（鍼灸師と診察、適応不適応についてなど）	予習／シラバスの確認　復習／「鍼灸不適応疾患・病態」暗記	佐藤・鈴木・辻丸
2	治療に関するオリエンテーション （これまでに学んできた学習内容の復習）	予習／シラバス確認　復習／受講内容の再確認	佐藤・鈴木・辻丸
3	診察法総論　1.（臨床とカルテ、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容の目を通す　復習／「鍼灸不適応疾患・病態」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
4	治療技術基礎　1.	予習／シラバス確認　復習／受講内容の再確認	佐藤・鈴木・辻丸
5	診察法総論　2.　（深部反射、病的反射の実習、ペーパーテスト）	予習／テキスト内容に目を通す　復習／「深部反射」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
6	治療技術基礎　2.	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
7	頸肩腕痛の診察法　1.　（頸肩腕部の解剖、鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
8	治療技術基礎　3.	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
9	頸肩腕痛の診察法　2.　（頸肩腕痛の病態、理学検査、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
10	頸肩腕痛の治療法　1.　（鍼灸基礎技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
11	頸肩腕痛の診察法　3.　（頸肩腕痛の問診、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛の身体診察法」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸

12	頸肩腕痛の治療法　２．　（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
13	頸肩腕痛の診察法　４．　（インフォームドコンセント、頸肩腕痛の診察まとめ）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頸肩腕痛のインフォームドコンセント」のやり方をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
14	腰下肢痛の治療法　３．（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
15	腰下肢痛の診察法　１．　（腰～下肢の解剖、と腰下肢痛の鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰下肢痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
16	頸肩腕痛の治療法　４．　（診察～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
17	腰下肢痛の診察法　２．　（腰痛の理学検査、病態把握、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰下肢痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
18	腰下肢痛の治療法　１．　（鍼灸基礎技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
19	腰下肢痛の診察法　３．　（下肢痛の病態把握、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰痛の身体診察法」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
20	腰下肢痛の治療法　２．　（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
21	腰下肢痛の診察法　４．　（腰下肢痛の問診、身体診察）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「腰下肢痛の身体診察法」の技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
22	腰下肢痛の治療法　３．　（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
23	腰下肢痛の診察法　５．　（腰下肢痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／「医療面接を交えた診察法」考案　復習／配付資料の内容再認識	佐藤・鈴木・辻丸
24	腰下肢痛の治療法　４．（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
25	診察法の総括　1.　（頸肩腕痛、腰下肢痛のインフォームドコンセント）	予習／全症候の学習内容の確認　復習／全症候の診察法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
26	腰下肢痛の治療法　５．　（診察～治療技術）	予習／テスト範囲の学習。診察授業で学んだ範囲に目を通す　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを追試してみる	佐藤・鈴木・辻丸
27	診察法の総括　２．　（頸肩腕痛、腰下肢痛のインフォームドコンセント、身体所見実技）	予習／全症候の診察時に必要かつ基本的なインフォームドコンセントを列挙する　復習／学生同士で問診、身体診察をシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
28	治療法の総括　（頸肩腕痛、腰下肢痛の治療法）	予習／全症候の学習内容のチェック　復習／全症候の治療法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
29	診察法の総括　３．　（頸肩腕痛、腰下肢痛の問診、身体診察、インフォームドコンセント全般）	予習／全症候の診察時に必要かつ基本的なインフォームドコンセントを列挙する　復習／学生同士で問診、身体診察をシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
30	診察法と治療法の総括　（頸肩腕痛、腰下肢痛の診察～治療）	予習／診察～治療までをイメージしてみる　復習／学生同士で診察～治療までをシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
成績評価方法と基準			割合
１）本試験＜DP①＞　２）授業内でのペーパーテスト、提出物、授業中の態度の評価＜DP①＞　上記の１）と２）を総合する。　　授業中の態度としては以下の点が守られずに忠告を受け、その場で即座に改善されない者に対して行う。　１.「実技授業に適さない身だしなみ」は、授業が始まる前に全て整えることを怠らない。　２．ベット上、およびその周りには、授業に関わらない物（飲食物、カバン、上着など）は一切置かない。また、ワゴンの上段は清潔を保つこと。　３．授業中のやむ得ない「退出」は、その「理由」を教員に告げて了解を得え、「入室」時も教員に帰ってきたことを告げて着席する。			①80%　②20%

授業科目名	現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）（鍼灸 B）				
主担当教員	佐藤　正人		担当教員	佐藤　正人／辻丸　泰永／鈴木　信／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACC016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 2 限、水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸臨床で最も多い愁訴の中から肩痛、膝痛、頭痛の３症候を取り上げて、それぞれの痛みの発生機序（基礎知識）から診察～治療までの知識と技術を学ぶ。

学修目標

1. 情操／医療者としての自覚を育て、その責任のもとに鍼灸師として行動ができる。　2. 知識／鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して基本的な診察、鑑別ができ、安全でより確実な診察法を工夫できる。　3. 技術／正確な診察法、治療技術を駆使することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 常に対患者をイメージして愛護的態度を養いかつ正確な診察、治療技術の習得に励む。　2. 診察は推察であり、積極的に推察力を高め、またそれを行動に移す癖を身につける。　3. 徒手検査、治療に支障の出ない服装で臨む。

教科書

授業時に配付する佐藤作成のテキスト（資料）

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

講師控え室／授業の前後の時間帯

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	診察法　基礎　1．診察法に関するオリエンテーション（2 年次の復習）	予習／シラバスの確認　復習／配布資料の内容再認識	佐藤・鈴木・辻丸
2	治療法　基礎　1．(2 年次の復習／取穴、刺鍼、施灸)	予習／シラバスの確認　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
3	肩関節痛の診察法　1．　（肩関節の解剖、鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
4	肩関節痛の治療　1．(鍼灸基礎技術)	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
5	肩関節痛の診察法　2．（肩関節痛の病態把握、理学検査、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
6	肩関節痛の治療　2.（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
7	肩関節痛の診察法　3．（肩関節痛の身体診察、問診、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛の身体診察法」技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
8	肩関節痛の治療　3.（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
9	肩関節痛の診察法　4．　（肩関節痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛のインフォームドコンセント」をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
10	肩関節痛の治療　4.（診察～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
11	膝関節痛の診察法　1．　（膝関節の解剖、鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
12	膝関節痛の治療　1．(鍼灸基礎技術)	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施	佐藤・鈴木・

		灸、触診など学んだことを復習する。	辻丸
13	膝関節痛の診察法　2．（膝関節痛の理学検査、病態把握、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
14	膝関節痛の治療　2.（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
15	膝関節痛の診察法　3．　（膝関節痛の問診、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の身体診察法」の技術習得	佐藤・鈴木・辻丸
16	膝関節痛の治療　3.（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
17	膝関節痛の診察法　4．　（膝関節痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛のインフォームドコンセント」をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
18	膝関節痛の治療　4.（診察～治療技術）	予習／テキスト内容に目を通す　復習／「身体診察法」の復習	佐藤・鈴木・辻丸
19	頭痛の診察法　1.（頭痛とは、NIHA の理解）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
20	頭痛の治療　1.（鍼灸基礎技術）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の診察スタートライン」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
21	頭痛の診察法　2.（頭痛の神経学的検査、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
22	頭痛の治療　2.（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
23	頭痛の診察法　3.（頭痛の一次性頭痛とは、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛の身体診察法」の技術習得	佐藤・鈴木・辻丸
24	頭痛の治療　3.（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
25	頭痛の診察法　4．　（二次性頭痛、頭痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛のインフォームドコンセント」をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
26	頭痛の治療　4.（診察～治療技術）	予習／テキスト内容に目を通す　復習／「頭痛の身体診察法」の復習	佐藤・鈴木・辻丸
27	診察法の総括(1)　　1．　（肩関節、膝関節、頭痛の診察法）	予習／全症候の学習内容に目を通す　復習／全症候の診察法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
28	治療法の総括（肩関節痛、膝関節痛、頭痛の治療）	予習／全症候の学習内容に目を通す　復習／全症候の治療法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
29	診察法の総括(2)　2．　（インフォームドコンセントを中心に）	予習／各症候の診察時に必要かつ基本的なインフォームドコンセントを列挙する。復習／学生同士で診察をシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
30	診察法と治療法の総括	予習／診察～治療までをイメージしてみる復習／学生同士で診察～治療までをシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
成績評価方法と基準			割合
①本試験　②授業内でのペーパーテスト、提出物、授業中の態度評価　①と②を総合する。　　授業中の態度としては､以下の点が守られずに忠告を受け､その場で即座に改善されない者に対して行う。　1．「実技授業に適さない身だしなみ」は、授業が始まる前に全て整えることを怠らない。　2．ベット上、およびその周りには、授業に関わらない物（飲食物、カバン、上着など）は一切置かない。また、ワゴンの上段は清潔を保つこと。　3．授業中のやむ得ない「退出」は、その「理由」を教員に告げて了解を得え､「入室」時も教員に帰ってきたことを告げて着席する。			①80%　②20%

授業科目名	現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）（鍼灸 A）					
主担当教員	佐藤　正人			担当教員	佐藤　正人／辻丸　泰永／鈴木　信／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACC016	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

鍼灸臨床で最も多い愁訴の中から肩痛、膝痛、頭痛の３症候を取り上げて、それぞれの痛みの発生機序（基礎知識）から診察～治療までの知識と技術を学ぶ。

学修目標

1. 情操／医療者としての自覚を育て、その責任のもとに鍼灸師として行動ができる。　2. 知識／鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して基本的な診察、鑑別ができ、安全でより確実な診察法を工夫できる。　3. 技術／正確な診察法、治療技術を駆使することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 常に対患者をイメージして愛護的態度を養いかつ正確な診察、治療技術の習得に励む。　2. 診察は推察であり、積極的に推察力を高め、またそれを行動に移す癖を身につける。　3. 徒手検査、治療に支障の出ない服装で臨む。

教科書

授業時に配付する佐藤作成のテキスト（資料）

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

講師控え室／授業の前後の時間帯

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	診察法　基礎　1．診察法に関するオリエンテーション（2 年次の復習）	予習／シラバスの確認　復習／配布資料の内容再認識	佐藤・鈴木・辻丸
2	治療法　基礎　1．(2 年次の復習／取穴、刺鍼、施灸)	予習／シラバスの確認　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
3	肩関節痛の診察法　1．　（肩関節の解剖、鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
4	肩関節痛の治療　1．(鍼灸基礎技術)	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
5	肩関節痛の診察法　2．（肩関節痛の病態把握、理学検査、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
6	肩関節痛の治療　2.（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
7	肩関節痛の診察法　3．（肩関節痛の身体診察、問診、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛の身体診察法」技術確認	佐藤・鈴木・辻丸
8	肩関節痛の治療　3.（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
9	肩関節痛の診察法　4．　（肩関節痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「肩関節痛のインフォームドコンセント」をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
10	肩関節痛の治療　4.（診察～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
11	膝関節痛の診察法　1．　（膝関節の解剖、鑑別法など）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
12	膝関節痛の治療　1．(鍼灸基礎技術)	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施	佐藤・鈴木・

		灸、触診など学んだことを復習する。	辻丸
13	膝関節痛の診察法　2．（膝関節痛の理学検査、病態把握、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
14	膝関節痛の治療　2.（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
15	膝関節痛の診察法　3．　（膝関節痛の問診、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の身体診察法」の技術習得	佐藤・鈴木・辻丸
16	膝関節痛の治療　3.（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
17	膝関節痛の診察法　4．　（膝関節痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛のインフォームドコンセント」をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
18	膝関節痛の治療　4.（診察～治療技術）	予習／テキスト内容に目を通す　復習／「身体診察法」の復習	佐藤・鈴木・辻丸
19	頭痛の診察法　1.（頭痛とは、NIHA の理解）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
20	頭痛の治療　1.（鍼灸基礎技術）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「膝関節痛の診察スタートライン」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
21	頭痛の診察法　2.（頭痛の神経学的検査、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛の鑑別指標」の暗記	佐藤・鈴木・辻丸
22	頭痛の治療　2.（鍼灸治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
23	頭痛の診察法　3.（頭痛の一次性頭痛とは、身体診察、ペーパーテスト）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛の身体診察法」の技術習得	佐藤・鈴木・辻丸
24	頭痛の治療　3.（病態鑑別～治療技術）	予習／テスト範囲の学習　復習／刺鍼、施灸、触診など学んだことを復習する。	佐藤・鈴木・辻丸
25	頭痛の診察法　4．　（二次性頭痛、頭痛の診察まとめ、インフォームドコンセント）	予習／テキストの内容に目を通す　復習／「頭痛のインフォームドコンセント」をまとめる	佐藤・鈴木・辻丸
26	頭痛の治療　4.（診察～治療技術）	予習／テキスト内容に目を通す　復習／「頭痛の身体診察法」の復習	佐藤・鈴木・辻丸
27	診察法の総括(1)　　1．　（肩関節、膝関節、頭痛の診察法）	予習／全症候の学習内容に目を通す　復習／全症候の診察法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
28	治療法の総括（肩関節痛、膝関節痛、頭痛の治療）	予習／全症候の学習内容に目を通す　復習／全症候の治療法の要点チェック	佐藤・鈴木・辻丸
29	診察法の総括(2)　2．　（インフォームドコンセントを中心に）	予習／各症候の診察時に必要かつ基本的なインフォームドコンセントを列挙する。復習／学生同士で診察をシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
30	診察法と治療法の総括	予習／診察～治療までをイメージしてみる復習／学生同士で診察～治療までをシュミレーションしてみる	佐藤・鈴木・辻丸
成績評価方法と基準			割合
①本試験　②授業内でのペーパーテスト、提出物、授業中の態度評価　①と②を総合する。　　授業中の態度としては､以下の点が守られずに忠告を受け､その場で即座に改善されない者に対して行う。　1．「実技授業に適さない身だしなみ」は、授業が始まる前に全て整えることを怠らない。　2．ベット上、およびその周りには、授業に関わらない物（飲食物、カバン、上着など）は一切置かない。また、ワゴンの上段は清潔を保つこと。　3．授業中のやむ得ない「退出」は、その「理由」を教員に告げて了解を得え､「入室」時も教員に帰ってきたことを告げて着席する。			①80%　②20%

授業科目名	現代医学系鍼灸学Ⅲ(内科系)(鍼灸 B)					
主担当教員	鈴木 信		担当教員	鈴木 信		
科目ナンバリング	SS20BACC017	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

鍼灸臨床での common disease としての内科疾患を取り上げる。疾患の詳細のついては他科にゆずり、鑑別のための身体診察の習熟に focus する。

学修目標

各種疾患を鑑別するための身体診察技術を習得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業時間の半分は診察実技としてペアでの練習になるが、常に「患者さん」を意識した思考と行動を徹底して欲しい。

教科書

毎時間の配布資料。

参考書

「刺鍼基本テクニックのマスター教本」

研究室／オフィスアワー

授業時間の前後/兼任講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　確認小テスト	予習：深部反射、兪穴の取穴　復習：同上	鈴木
2	血圧測定　上肢深部反射	予習：血圧測定方法　深部反射　復習：同上	鈴木
3	血圧測定　上肢深部反射小テスト	予習：前回と同様　復習：同上	鈴木
4	血圧測定　下肢深部反射	予習：下肢深部反射　下肢病的反射　復習：同上	鈴木
5	胸部心音聴診プレゼン	予習：心音聴診　復習：同上	鈴木
6	虚血性心疾患プレゼン	予習：虚血性心疾患　復習：同上	鈴木
7	下肢深部反射小テスト　胸部呼吸音聴診	予習：呼吸音聴診　復習：同上	鈴木
8	兪穴診察 1　症例検討	予習：背部兪穴の取穴　復習：同上	鈴木
9	兪穴診察 2	予習：同上　復習：同上	鈴木
10	気胸プレゼン	予習：気胸について　復習：同上	鈴木
11	督脈・兪穴取穴小テスト	予習：督脈・兪穴の取穴　復習：同上	鈴木
12	腹部診察	予習：腹部の診察について　復習：同上	鈴木
13	顔面神経麻痺プレゼン	予習：顔面神経麻痺について　復習：同上	鈴木
14	総合症例検討	予習：上記までの診察実技　復習：同上	鈴木
15	錐体路・錐体外路疾患プレゼン	予習：錐体路・錐体外路について　復習：同上	鈴木
成績評価方法と基準			割合

①授業内で行う診察実技小テスト　②後期総合試験　合計で評価する。また授業態度をそれに加味する。	①50%　②50%

授業科目名	現代医学系鍼灸学Ⅲ(内科系)(鍼灸 A)					
主担当教員	鈴木 信		担当教員	鈴木 信		
科目ナンバリング	SS20BACC017	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 4 限	
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

鍼灸臨床での common disease としての内科疾患を取り上げる。疾患の詳細のついては他科にゆずり、鑑別のための身体診察の習熟に focus する。

学修目標

各種疾患を鑑別するための身体診察技術を習得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業時間の半分は診察実技としてペアでの練習になるが、常に「患者さん」を意識した思考と行動を徹底して欲しい。

教科書

毎時間の配布資料。

参考書

「刺鍼基本テクニックのマスター教本」

研究室／オフィスアワー

授業時間の前後/兼任講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　確認小テスト	予習：深部反射、兪穴の取穴　復習：同上	鈴木
2	血圧測定　上肢深部反射	予習：血圧測定方法　深部反射　復習：同上	鈴木
3	血圧測定　上肢深部反射小テスト	予習：前回と同様　復習：同上	鈴木
4	血圧測定　下肢深部反射	予習：下肢深部反射　下肢病的反射　復習：同上	鈴木
5	胸部心音聴診プレゼン	予習：心音聴診　復習：同上	鈴木
6	虚血性心疾患プレゼン	予習：虚血性心疾患　復習：同上	鈴木
7	下肢深部反射小テスト　胸部呼吸音聴診	予習：呼吸音聴診　復習：同上	鈴木
8	兪穴診察 1　症例検討	予習：背部兪穴の取穴　復習：同上	鈴木
9	兪穴診察 2	予習：同上　復習：同上	鈴木
10	気胸プレゼン	予習：気胸について　復習：同上	鈴木
11	督脈・兪穴取穴小テスト	予習：督脈・兪穴の取穴　復習：同上	鈴木
12	腹部診察	予習：腹部の診察について　復習：同上	鈴木
13	顔面神経麻痺プレゼン	予習：顔面神経麻痺について　復習：同上	鈴木
14	総合症例検討	予習：上記までの診察実技　復習：同上	鈴木
15	錐体路・錐体外路疾患プレゼン	予習：錐体路・錐体外路について　復習：同上	鈴木
成績評価方法と基準			割合

①授業内で行う診察実技小テスト　②後期総合試験　合計で評価する。また授業態度をそれに加味する。	①50%　②50%

授業科目名	東洋医学系検査法（鍼灸 B）				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央／辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACB018	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1 年生で学習した東洋医学的な診察法である四診法について実技を行う。　中医学では体の異常を四診（望診・問診・聞診・切診）で診察し、診断を行い治療方法の計画を立て経穴に刺鍼や施灸が行えるように技術を修得する。

学修目標

鍼灸治療には「理・法・方・穴・術」という流れによって弁証論治をおこなう。治療に行うのに必要となる情報を得るための四診法を修得する。(DP①)　本授業では主に望診と切診について学び実施できるようになる。　多くの脈や舌を診ることで違いを感じられるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．配布された講義資料にも目を通すこと。　２．授業態度を重視する。積極的に実技の練習を行うこと。　３．予習復習を各 1 時間実施する。

教科書

新版　東洋医学概論（東洋療法学校協会）　（編：公益社団法人東洋療法学校協会、著者：教科書検討小委員会、ISBN:978-4-7529-5173-5）　配布テキスト

参考書

鍼灸学基礎編 第３版

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階　研究室　　昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義概要　中医学基礎理論と四診法	予習：四診法に必要な虚実の判定について勉強すること　復習：虚実について理解・説明できる	堀川　辻
2	切診　脈診①中医脈診	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
3	切診　脈診②　経絡治療脈診	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
4	切診　脈診③脈状診	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
5	切診　脈診④脈診応用	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
6	切診 脈診⑤まとめ	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
7	望診　舌診①舌質について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：舌診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
8	望診　舌診②舌苔について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習:舌診の所見を理解・説明できる	堀川　辻

9	望診　舌診③舌質、舌苔応用	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習:切診の所見を理解・説明できる	堀川　辻
10	望診　舌診④	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：舌診からの基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
11	切診望診　腹診　顔面診	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習:切診、望診から所見を理解・説明できる	堀川　辻
12	問診、聞診の概要　四診　応用練習　グループ学習	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：四診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
13	まとめ　グループ学習　問診・望診	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：望診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
14	四診法の実施①　グループ学習	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：四診法からの情報を理解・説明できる	堀川　辻
15	四診法の実施②　グループ学習	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：四診法からの情報を理解・説明できる	堀川　辻
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　筆記試験（課題提出を含む)50%（DP①)、実技試験 50%（DP④）で評価する。　ただし、実技試験においては 60%以上の取得で単位を認定する。　但し、筆記試験は定期試験期間中で実施し、実技試験は授業期間内に実施する。			筆記 50%、実技 50%

授業科目名	東洋医学系検査法（鍼灸 A）				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央／辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACB018	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1 年生で学習した東洋医学的な診察法である四診法について実技を行う。　中医学では体の異常を四診（望診・問診・聞診・切診）で診察し、診断を行い治療方法の計画を立て経穴に刺鍼や施灸が行えるように技術を修得する。

学修目標

鍼灸治療には「理・法・方・穴・術」という流れによって弁証論治をおこなう。治療に行うのに必要となる情報を得るための四診法を修得する。(DP①)　本授業では主に望診と切診について学び実施できるようになる。　多くの脈や舌を診ることで違いを感じられるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．配布された講義資料にも目を通すこと。　２．授業態度を重視する。積極的に実技の練習を行うこと。　３．予習復習を各 1 時間実施する。

教科書

新版　東洋医学概論（東洋療法学校協会）　（編：公益社団法人東洋療法学校協会、著者：教科書検討小委員会、ISBN:978-4-7529-5173-5）　配布テキスト

参考書

鍼灸学基礎編 第３版

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階　研究室　　昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義概要　中医学基礎理論と四診法	予習：四診法に必要な虚実の判定について勉強すること　復習：虚実について理解・説明できる	堀川　辻
2	切診　脈診①中医脈診	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
3	切診　脈診②　経絡治療脈診	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
4	切診　脈診③脈状診	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
5	切診　脈診④脈診応用	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
6	切診 脈診⑤まとめ	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：脈診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
7	望診　舌診①舌質について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：舌診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
8	望診　舌診②舌苔について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習:舌診の所見を理解・説明できる	堀川　辻

9	望診　舌診③舌質、舌苔応用	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習:切診の所見を理解・説明できる	堀川　辻
10	望診　舌診④	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：舌診からの基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
11	切診望診　腹診　顔面診	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習:切診、望診から所見を理解・説明できる	堀川　辻
12	問診、聞診の概要　四診　応用練習　グループ学習	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：四診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
13	まとめ　グループ学習　問診・望診	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：望診の基本的な所見を理解・説明できる	堀川　辻
14	四診法の実施①　グループ学習	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：四診法からの情報を理解・説明できる	堀川　辻
15	四診法の実施②　グループ学習	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：四診法からの情報を理解・説明できる	堀川　辻
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　筆記試験（課題提出を含む)50%（DP①)、実技試験 50%（DP④）で評価する。　ただし、実技試験においては 60%以上の取得で単位を認定する。　但し、筆記試験は定期試験期間中で実施し、実技試験は授業期間内に実施する。			筆記 50%、実技 50%

授業科目名	東洋医学各論Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACB019	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

中医診断学および中医弁証概論　弁証による治療応用について　症状に対する東洋医学的なとらえ方

学修目標

中医診断学である、四診法の理論習得と弁証学の基礎を習得する。　さらに弁証に応ずる治療原則を習得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

東洋医学概論を基礎とした応用の理論になります。東洋医学的治療の要になります。治療家になる上での楽しさを一緒に共有できればと思いますので、一緒にやり遂げましょう。

教科書

新版　東洋医学概論　教科書　授業プリント

参考書

『針灸学[基礎篇]』

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階　研究室 17

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	東洋医学的診断と意義	1 年前期に行った五行色体表を復習してきてください	辻
2	弁証の種類と意義	2 年までに行った弁証に関する分類などを復習しておいてください。	辻
3	四診法（望診）	自宅や大学内で、望診を練習してみて下さい	辻
4	四診法（聞診）演習	実技を踏まえた内容になりますので、これまでの復習を行うこと	辻
5	四診法（問診）演習	1 年次に行った五臭と五声を確認して下さい	辻
6	四診法（切診）演習	講義内で行った問診項目について、まとめ作成などの復習を必ずして下さい	辻
7	レポート作成　弁証方法の決定について	講義内で行った内容をまとめ、レポートを作成してください。	辻
8	各弁証の治療応用について①	八綱弁証、気血津液弁証の治療原則を学びます。	辻
9	各弁証の治療応用について②	臓腑弁証の治療原則を学びます。	辻
10	レポート作成　弁証方法の決定について	各弁証の概要と治療への応用についてをまとめてください。	辻
11	症状に対する東洋医学的なとらえ方①	単位評価に関わりますので、試験勉強をして来てください。	辻
12	症状に対する東洋医学的なとらえ方②	単位評価に関わりますので、試験勉強をして来てください。	辻
13	症状に対する東洋医学的なとらえ方③	単位評価に関わりますので、試験勉強をして来てください。	辻
14	総まとめ講義	配布する総まとめプリントを仕上げてください。	辻

15	グループワーク	総まとめ資料に基づき、グループで学習を行ってください。	辻
成績評価方法と基準			割合
講義内試験（四診法と弁証）：60 点満点　小課題・レポート：40 点満点　合計 100 点満点で評価する。			100%

授業科目名	東洋医学各論Ⅱ（鍼灸）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACB020	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、1 年次の東洋医学概論、2 年次の東洋医学各論Ⅰの応用科目として講義を行う。　臓腑弁証の立て方から治療までの概要、六経病証や三陰三陽病証、経脈弁証や奇形病証など幅広い弁証論治を習得する。

学修目標

①弁証を立てることが出来る。　②弁証を立て、さらに治療を構築できるようになる。　③各弁証の病理や説明が出来るようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この科目は応用科目であり、これまでの東洋医学に関する知識が非常に重要です。これまでの講義資料を参考にして下さい。　分からないことなどはそのままにせず、積極的に質問に来てください。

教科書

新版　東洋医学概論　（医道の日本社　東洋療法学校協会　編）　新版　東洋医学臨床論（南江堂　東洋療法学校協会　編）　授業プリント

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	これまでの復習	授業で行う内容について、各自復習してください。	辻
2	八綱弁証を治療に活かす	東洋医学各論Ⅰの復習となります。予習としては東洋医学各論Ⅰの授業資料を参照してください。	辻
3	気血津液弁証を治療に活かす	東洋医学各論Ⅰの復習となります。予習としては東洋医学各論Ⅰの授業資料を参照してください。	辻
4	弁証練習　八綱・気血津液弁証の立て方	課題学習となります。講義で行ったことを参考にして症例問題に取り組んでください。	辻
5	弁証練習　八綱・気血津液弁証の立て方　解説	第 4 講で取り組んだ課題の解説を行います。　解説は全てメモし、自身の資料に記載してください。	辻
6	臓腑弁証を立てる。	これまでに行ってきた四診法や弁証の理解を再確認します。しっかり予習をお願いします。	辻
7	臓腑弁証（肝・心）の概要と治療	症例を交えながら、臓腑弁証の弁証論治を習得します。これまでの資料も参考にして予習復習をして下さい。	辻
8	臓腑弁証（脾・肺）の概要と治療	症例を交えながら、臓腑弁証の弁証論治を習得します。これまでの資料も参考にして予習復習をして下さい。	辻
9	臓腑弁証（腎・六腑の病証）の概要と治療	症例を交えながら、臓腑弁証の弁証論治を習得します。これまでの資料も参考にして予習復習をして下さい。	辻

10	八綱・気血津液・臓腑弁証　　症例演習	症例問題の演習を行います。課題に取り組んでください。	辻
11	六経病証と三陰三陽病証	難易度が高い分野です。講義で行った内容について、自宅で復習をしておいて下さい。	辻
12	経脈弁証と奇経病証	難易度が高い分野です。講義で行った内容について、自宅で復習をしておいて下さい。	辻
13	各中医弁証の説明	中医弁証の病理や状態の解説を行います。試験範囲にもなりますのでしっかり復習をお願いします。	辻
14	総復習	総復習プリントを配布します。自宅で仕上げてきてください。	辻
15	総復習	総復習プリントの解説をします。テストも近いですので、必ず覚えこんでください。	辻
成績評価方法と基準			割合
授業内に小テストや小課題を提出物として行う。提出物は評価に加える。　全講義数の 5 分の 3 以上、必ず出席すること。下回る場合は評価しない。			①授業内小テスト・小課題：30 点　②期末評価：70 点　①②の合計 100 点で評価し、60 点以上を合格とする。

授業科目名	鍼灸経営論（鍼灸）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACB021	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

はり師・きゅう師は医療職の中でも数少ない独立開業権を有している資格である。将来、開業に向けて現在鍼灸についての勉強に励む学生も多く、卒業生に至っても開業を成し得た者は少なくはない。しかし、開業や運営に関しての講義、特に経理面や開業メソッド、他資格や他業種との連携など、現代の鍼灸院開業にはいろいろな知っておかなければならないことがある。本講義では、企業経営の基本概念はもちろんのこと、開業に向けた一連の流れ、経営に関する法的な学習、経理面・人材面における経営論、様々な業態における開業のメリットデメリットなどを、教員をはじめとした実際に開業している鍼灸師や経営コンサルタントなどから講義を受け、開業経営のリアルを体験する。そしてグループワークやレポート作成を通じながら将来開業する際に役に立つ知識と考察力を身につける。

学修目標

1．学修者は、開業方法、開業経営に関する法規、レセプトや同意書、経理用語とルール、様々な業態によるルールの違いなどについて理解する。　2．到達目標としては、開業および経営の基本的ルールを理解し、将来に役立てれるように経営ビジョンを立てられることである。　3．鍼灸経営と関連する他業種への理解を深め、将来の鍼灸院業務展開を模索できる力をつける。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

1．都度配布する講義資料に講義で行う内容をメモし、レポートやグループワークをこなしながらさらに考えを深め、複雑な開業および経営のルールを学んでほしい。　2．出された課題は点数化するため、必ず提出すること。

教科書

教科書指定　なし　　（毎回講義で配布する講義資料）

参考書

参考書指定　なし　　（毎回講義で配布する講義資料）

研究室／オフィスアワー

東棟４階　研究室１７

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　鍼灸開業①　「はり師・きゅう師の開業業態・形態を知ろう。開業届も書いてみよう。」	よく復習をしておくこと	辻　涼太
2	鍼灸開業②　開業に関する規定について　「鍼灸院開業と経営の法規について」	国家試験にも出題される内容の為、復習をよくしておくこと。	辻　涼太
3	鍼灸開業③　開業に関するリアル　「開業時の心構え　レセプトと同意書の書き方と事務処理方法などについて」	特にレセプトと同意書の書き方は復習を良くしておくこと	辻　涼太　ゲストスピーカー（開業鍼灸師）
4	鍼灸開業④　経営のリアル　「鍼灸経営にまつわるお金の話　損益分岐の立て方　経理面などについて」	復習を良くしておくこと	辻　涼太　ゲストスピーカー（開業鍼灸師）
5	鍼灸開業⑤　これまでのまとめ　グループワーク	これまでの講義をまとめていく。まとめる課題は教員から各班に指示する。	辻　涼太
6	鍼灸開業⑥　グループワーク発表	各班、第５講で指示された内容についてパワーポイントを作成し、当日までに配布資料を添えて発表すること。	辻　涼太

7	中間試験①	これまでの内容を良く勉強しておくこと	辻　涼太
8	鍼灸経営①　色々な業種の鍼灸経営　「美容鍼灸院を経営するには。コスト、経費、患者が求めるニーズ、他資格の必要性など」	良く復習をしておくこと	辻　涼太 ゲストスピーカー（開業美容鍼灸師）
9	鍼灸経営②　色々な業種の鍼灸経営　「フリーランストレーナーの現状　経理面、やりがいや難しさなど」	良く復習をしておくこと	辻　涼太 ゲストスピーカー（フリーランストレーナー鍼灸師）
10	鍼灸経営③　色々な業種の鍼灸経営　「グループ院経営について　地域密着型から全国展開までとその方法やかかる費用、社員教育の重要性、必要なマーケティングとは。」	良く復習をしておくこと	辻　涼太 ゲストスピーカー（グループ院創業者または役員など）
11	鍼灸経営④　色々な業種の鍼灸経営　「介護の世界で活躍する鍼灸　往療費のルールと申請方法、清算方法　介護保険適用範囲と介護施設との連携について」	良く復習をしておくこと	辻　涼太 ゲストスピーカー（介護往診系で開業した鍼灸師）
12	中間試験②	これまでの内容を良く勉強しておくこと	辻　涼太
13	鍼灸開業法①　マーケティングのススメ　「鍼灸院を建てるなら？開業に関わる費用（開業形態別の立地やテナント）や患者のニーズ、地域調査方法や物件リサーチ方法などの紹介。」	良く復習を行うこと	辻　涼太 ゲストスピーカー（鍼灸経営コンサルタント）
14	鍼灸開業法②　グループワーク　「開業立地と概算をプレゼンしよう。」	開業業態別で班分けを行い、各班で開業に関わる土地や費用などについてプレゼン資料を作成する。	辻　涼太
15	期末評価　グループ発表＆レポート提出	第14講で指示した内容について作成したプレゼン資料を提出する。	辻　涼太
成績評価方法と基準			割合
1：グループワーク発表①　2：中間試験①　3：中間試験②　4：グループワーク②発表とプレゼン資料提出			1：20点　2：20点　3：20点　4：40点（20点＋20点）

授業科目名	関係法規（鍼灸）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	SS20BACA022	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

医療系国家資格にはすべからず国家試験出題基準に法規の単元が入っており、医療に携わるものとしてのルールについて学ぶことは非常に重要であると言える。医療人として重要な専門職に関する法規、また業務に関係する様々な医療分野の法規についてを解説し、実務に則した知識が身に付くよう授業を進行する。

学修目標

学習する者は、法律の基礎的考え方から倫理性を備えた法規への理解と法規の重要性を認識し、医療分野を取り巻く社会や様々な問題などに関心を持てるようになるまで理解すること。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教科書および講義資料について、よく読み自分自身の考え方を深める事。　復習が重要であるため、定期的に小テストを実施する予定。

教科書

公益社団法人東洋療法学校協会編　前田和彦著　「関係法規第 7 版」（医歯薬出版株式会社）

参考書

研究室／オフィスアワー

東棟 4F 研究室 17（辻）　東棟 1F（朝倉）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	法と社会、法の体系、法哲学、法律の基礎	復習：講義内容を復習すること（60 分）	朝倉　辻
2	あはき法の制定と目的	予習：あはき法の条項について、事前にどのようなものがあるのかを確認しておくこと（30 分）　復習：講義内課題を行うこと（30 分）	朝倉　辻
3	あはき法内の免許と業務に関する事項	復習：あはき法の免許に対する要件および名簿登録という制度、鍼灸師の行う業務の種別や医療資格区分についてよく復習しておくこと（60 分）	朝倉　辻
4	医業類似行為とは　小テスト①	予習：医業類似行為についてどんな行為があるのかを各自で調べておくこと	朝倉　辻
5	医療資格養成校および国家試験について	復習：はり師きゅう師国家試験についての制度や建てつけ、養成校の状況や設立要件について復習しておくこと（60 分）	朝倉　辻
6	あはき法による罰則について　小テスト②	復習：各々の要件により異なる罰則があるため、内容を整理しまとめておくこと（60 分）	朝倉　辻
7	医療関係法規（医療法、医師法をはじめとする医療従事者の法律）小テスト③	予習：鍼灸師が関わるあはき法以外の法律にはどのようなものがあるのかを調べておくこと（30 分）　復習：法規も多くあり、各々の法規がどのような特徴を持ちどのような職域に対する法規なのかをまとめておくこと（30 分）	朝倉　辻
8	衛生関係法規、社会福祉関連の法規について	復習：衛生関係法規や社会福祉関係法規について、自分の周囲に存在している具体的な事案について調べて見ること（60 分）	朝倉　辻

9	国民皆保険制度、後期高齢者医療制度など	予習：皆保険制度の成立や後期高齢者医療制度成立に至った当時の日本の社会的状況を調べておくこと（30 分）　復習：現行の皆保険制度の仕組みや問題点を書き出しておくこと（30 分）	朝倉　辻
10	保険事業について（医療保険、介護保険、生命保険、年金、労災など）	予習：介護保険について、各被保険者の負担率や要介護度についての認定基準などを調べておくこと（30 分）　復習：講義で紹介した様々な保険についてまとめておくこと（30 分）	朝倉　辻
11	開業関連法規について（業、出張、滞在など）　小テスト④	復習：開業に関わる様々な法規について必要な項目が多くあるため、よくまとめておくこと（60 分）	朝倉　辻
12	あはき法に関する問題演習	復習：講義内問題の間違えた箇所について重点的にやり直し等を行い理解しておくこと（60 分）	朝倉　辻
13	あはき法以外の法規に関する問題演習	復習：講義内問題の間違えた箇所について重点的にやり直し等を行い理解しておくこと（60 分）	朝倉　辻
14	これまでの授業まとめ①	これまでの内容を復習し、テストに向けての学習を各自行っておくこと（90 分）	朝倉　辻
15	これまでの授業まとめ②　テスト	これまでの内容を復習し、テストに向けての学習を各自行っておくこと（90 分）	朝倉　辻
成績評価方法と基準			割合
①小テスト（10 点×4 回＝40 点）　②期末試験（60 点）　計 100 点満点で評価　60 点以上を合格とする。			①40% ②60%

授業科目名	応用鍼灸実技Ⅰ（特殊鍼法）（鍼灸 B）					
主担当教員	松熊　秀明		担当教員		松熊　秀明／大川　祐世	
科目ナンバリング	SS20BACB027	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

特殊鍼法（小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、低周波鍼通電法、耳鍼）および、様々な刺鍼中の手技や灸術について学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、低周波鍼通電法、耳鍼を行うことが出来る。　様々な刺鍼中の手技や灸術を行うことができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実技、実演を多用する予定　積極的に実技に参加すること　1. 出席を重視する。　2. 授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。

教科書

なし

参考書

図解 鍼灸臨床手技の実際　尾崎昭弘　医歯薬出版株式会社　教科書執筆小委員会「はりきゅう理論」医道の日本社　教科書執筆小委員会「はりきゅう実技（基礎編）」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション、刺鍼中の手技①	予習：参考資料等で刺鍼中の手技について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
2	刺鍼中の手技②	予習：参考資料等で刺鍼中の手技について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
3	刺鍼中の手技総括	予習：参考資料等で刺鍼中の手技について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
4	小児鍼	予習：予習：参考資料等で小児鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
5	灸頭鍼法①	予習：予習：参考資料等で灸頭鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
6	灸頭鍼法②	予習：予習：参考資料等で灸頭鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
7	灸頭鍼法総括	予習：予習：参考資料等で灸頭鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
8	皮内鍼・円皮鍼、耳鍼①（粒鍼）	予習：予習：参考資料等で皮内鍼・円皮鍼、耳鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
9	耳鍼②（美容鍼）、直流電気鍼法	予習：参考資料等で皮内鍼・円皮鍼、耳鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習	松熊、大川

		した内容を追試すること。(1 時間)	
10	低周波鍼通電療法①	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
11	低周波鍼通電療法②	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
12	低周波鍼通電療法③	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
13	低周波鍼通電療法総括	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
14	総括①（特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術）	予習：参考資料等で特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
15	総括②（特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術）	予習：参考資料等で特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP1>　②期末試験<DP1>　・試験・課題に対するフィードバック方法　必要に応じて小テスト、定期試験の解説を行う。			①30%　②70%

授業科目名	応用鍼灸実技Ⅰ（特殊鍼法）（鍼灸 A）					
主担当教員	松熊　秀明		担当教員		松熊　秀明／大川　祐世	
科目ナンバリング	SS20BACB027	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日・時限	水曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

特殊鍼法（小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、低周波鍼通電法、耳鍼）および、様々な刺鍼中の手技や灸術について学ぶ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、低周波鍼通電法、耳鍼を行うことが出来る。　様々な刺鍼中の手技や灸術を行うことができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実技、実演を多用する予定　積極的に実技に参加すること　1. 出席を重視する。　2. 授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。

教科書

なし

参考書

図解 鍼灸臨床手技の実際　尾崎昭弘　医歯薬出版株式会社　教科書執筆小委員会「はりきゅう理論」医道の日本社　教科書執筆小委員会「はりきゅう実技（基礎編）」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション、刺鍼中の手技①	予習：参考資料等で刺鍼中の手技について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
2	刺鍼中の手技②	予習：参考資料等で刺鍼中の手技について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
3	刺鍼中の手技総括	予習：参考資料等で刺鍼中の手技について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
4	小児鍼	予習：予習：参考資料等で小児鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
5	灸頭鍼法①	予習：予習：参考資料等で灸頭鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
6	灸頭鍼法②	予習：予習：参考資料等で灸頭鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
7	灸頭鍼法総括	予習：予習：参考資料等で灸頭鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
8	皮内鍼・円皮鍼、耳鍼①（粒鍼）	予習：予習：参考資料等で皮内鍼・円皮鍼、耳鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
9	耳鍼②（美容鍼）、直流電気鍼法	予習：参考資料等で皮内鍼・円皮鍼、耳鍼について学習すること。(1 時間)　復習：学習	松熊、大川

		した内容を追試すること。(1 時間)	
10	低周波鍼通電療法①	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
11	低周波鍼通電療法②	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
12	低周波鍼通電療法③	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
13	低周波鍼通電療法総括	予習：参考資料等で低周波鍼通電療法について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
14	総括①（特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術）	予習：参考資料等で特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
15	総括②（特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術）	予習：参考資料等で特殊鍼法、様々な刺鍼中の手技や灸術について学習すること。(1 時間)　復習：学習した内容を追試すること。(1 時間)	松熊、大川
成績評価方法と基準			割合
①小テスト<DP1>　②期末試験<DP1>　・試験・課題に対するフィードバック方法　必要に応じて小テスト、定期試験の解説を行う。			①30%　②70%

授業科目名	応用鍼灸実技Ⅱ(ロールプレイ・施術所見学)(鍼灸 B)					
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太		
科目ナンバリング	SS20BACB028	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 3 限、金曜 4 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

ロールプレイを通じて、診療の流れを理解する。また、自身が患者になることによって、患者の立場を理解する。ロールプレイおよびカンファレンスでは積極的にディスカッションに参加する。附属施術所の見学を行い、3 年次以降の実習に参加する心構えを持つ。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

①医療者として自覚と責任ある行動ができるようになる。　②患者の立場を理解する。　③診療の流れを身に着ける。　④ディスカッションに自らの意見を持って積極的に参加する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①常にそばに患者がいると想定しながら、現場を意識して授業に臨む。　②学習は問診～治療までの方法と意義を学ぶ。　③学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。　　2025 年日本国際博覧会開催に伴い、一部オンデマンド授業を取り入れて行います。授業スケジュールは教員の指示またはモリパの配信等で確認してください。

教科書

授業中に配付する資料（テキスト）

参考書

目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂　リハビリテーション医学　社団法人　東洋療法学校協会 編　土肥　信之　著　経絡経穴概論　日本理療教員連盟　社団法人　東洋療法学校協会 編　教科書執筆小委員会　著

研究室／オフィスアワー

報告書の提出時に、各指導教員の指定する日時・場所にて実施する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　症例のロールプレイの練習	単元 1 で配布される実習所を熟読し、服装や髪型について十分に注意すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
2	カンファレンス　　ロールプレイ①　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系)、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。 復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。 学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
3	カンファレンス　　ロールプレイ②　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系)、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。 復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。 学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
4	カンファレンス　　ロールプレイ③　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系)、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。 復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。	髙﨑

		学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	
5	カンファレンス　ロールプレイ④　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
6	カンファレンス　ロールプレイ⑤　下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
7	カンファレンス　ロールプレイ⑥　下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
8	3 年生との合同実習　3 年生の患者として診療を受ける。	自身の治療終了後、受けた治療内容について次回のカンファレンスまでに検討すること　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
9	3 年生との合同実習　3 年生の患者として診療を受ける。	自身の治療終了後、受けた治療内容について次回のカンファレンスまでに検討すること　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
10	3 年生との合同カンファレンス　各自が診療を受けた内容について、２・3 年生がディスカッションする。	カンファレンスで議論した内容について、レポートを作成する。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
11	3 年生との合同カンファレンス　各自が診療を受けた内容について、２・3 年生がディスカッションする。	カンファレンスで議論した内容について、レポートを作成する。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
12	附属施術所見学　施術所にて準備･施設についての説明を受ける。　教員が行う診療を見学する。	実習書を熟読してくること。　実習終了後に指定のレポート用紙を用いて、報告書を作成し、1 週間以内に担当者へ提出すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
13	附属施術所見学　施術所にて準備･施設についての説明を受ける。　教員が行う診療を見学する。	実習書を熟読してくること。　実習終了後に指定のレポート用紙を用いて、報告書を作成し、1 週間以内に担当者へ提出すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
14	3 年生との合同実習　3 年生の患者として診療を受ける。	施術所見学を踏まえて、自身の症状に対する診療内容を事前に検討してくること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
15	3 年生との合同カンファレンス　各自が診療を受けた内容について、２・3 年生がディスカッションする。	カンファレンスを経て、報告書を提出すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
成績評価方法と基準			割合
①カンファレンス報告書　1 回　②施術所見学報告書　1 回　報告書を全て提出すること。　③原則全出席とする。　ロールプレイ教材の全てを終える必要がある。習熟度別班で 2 年次前期までの復習から開始した班は、補習に出席して全教材を終えなければ評価しない。　※到達目標 1 について、評価する。			①50%　②50%

授業科目名	応用鍼灸実技Ⅱ(ロールプレイ・施術所見学)(鍼灸 A)					
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太		
科目ナンバリング	SS20BACB028	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限、金曜 2 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

ロールプレイを通じて、診療の流れを理解する。また、自身が患者になることによって、患者の立場を理解する。　ロールプレイおよびカンファレンスでは積極的にディスカッションに参加する。附属施術所の見学を行い、3 年次以降の実習に参加する心構えを持つ。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

①医療者として自覚と責任ある行動ができるようになる。　②患者の立場を理解する。　③診療の流れを身に着ける。　④ディスカッションに自らの意見を持って積極的に参加する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①常にそばに患者がいると想定しながら、現場を意識して授業に臨む。　②学習は問診～治療までの方法と意義を学ぶ。　③学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。　2025 年日本国際博覧会開催に伴い、一部オンデマンド授業を取り入れて行います。授業スケジュールは教員の指示またはモリパの配信等で確認してください。

教科書

授業中に配付する資料（テキスト）

参考書

目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂　リハビリテーション医学　社団法人　東洋療法学校協会 編　土肥　信之　著　経絡経穴概論　日本理療教員連盟　社団法人　東洋療法学校協会 編　教科書執筆小委員会　著

研究室／オフィスアワー

報告書の提出時に、各指導教員の指定する日時・場所にて実施する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　症例のロールプレイの練習	単元 1 で配布される実習所を熟読し、服装や髪型について十分に注意すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
2	カンファレンス　　ロールプレイ①　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系)、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。 復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。 学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
3	カンファレンス　　ロールプレイ②　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系)、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。 復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。 学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
4	カンファレンス　　ロールプレイ③　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系)、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。 復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。	髙﨑

		学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	
5	カンファレンス　ロールプレイ④　上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
6	カンファレンス　ロールプレイ⑤　下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
7	カンファレンス　ロールプレイ⑥　下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　④治療	予習：現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）、運動機能検査法、チーム医療とコミュニケーションを再度確認しておくこと。復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
8	3 年生との合同実習　3 年生の患者として診療を受ける。	自身の治療終了後、受けた治療内容について次回のカンファレンスまでに検討すること　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
9	3 年生との合同実習　3 年生の患者として診療を受ける。	自身の治療終了後、受けた治療内容について次回のカンファレンスまでに検討すること　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
10	3 年生との合同カンファレンス　各自が診療を受けた内容について、２・3 年生がディスカッションする。	カンファレンスで議論した内容について、レポートを作成する。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
11	3 年生との合同カンファレンス　各自が診療を受けた内容について、２・3 年生がディスカッションする。	カンファレンスで議論した内容について、レポートを作成する。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
12	附属施術所見学　施術所にて準備･施設についての説明を受ける。　教員が行う診療を見学する。	実習書を熟読してくること。　実習終了後に指定のレポート用紙を用いて、報告書を作成し、1 週間以内に担当者へ提出すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
13	附属施術所見学　施術所にて準備･施設についての説明を受ける。　教員が行う診療を見学する。	実習書を熟読してくること。　実習終了後に指定のレポート用紙を用いて、報告書を作成し、1 週間以内に担当者へ提出すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
14	3 年生との合同実習　3 年生の患者として診療を受ける。	施術所見学を踏まえて、自身の症状に対する診療内容を事前に検討してくること。学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
15	3 年生との合同カンファレンス　各自が診療を受けた内容について、２・3 年生がディスカッションする。	カンファレンスを経て、報告書を提出すること。　学修内容に準じた予習・まとめ等を、2 時間/週行う。	髙﨑
成績評価方法と基準			割合
①カンファレンス報告書　1 回　②施術所見学報告書　1 回　報告書を全て提出すること。　③原則全出席とする。　ロールプレイ教材の全てを終える必要がある。習熟度別班で 2 年次前期までの復習から開始した班は、補習に出席して全教材を終えなければ評価しない。　※到達目標 1 について評価する。			①50%　②50%

授業科目名	現代医学系鍼灸学実習Ⅰ（鍼灸 B）				
主担当教員	宮武　大貴		担当教員	宮武　大貴	
科目ナンバリング	SS20BACC029	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

整形外科的検査法のうち、関節可動域検査（ROM)、徒手筋力検査（MMT）に着目し、適切な検査法を学習する。また、検査値に問題があった場合の病態理解および治療計画についても学習し、治療の実践も行う。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．各関節の可動域検査を実施できる。　２．主要な筋の徒手筋力検査を実施できる。　３．検査結果から、主動筋・拮抗筋・関節の問題に分類して病態把握ができる。　４．治療計画を作成し、実践できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本授業では、無駄な私語や許可がない退室は認めない。　指示以外の行為を行った場合、および授業妨害と認められる場合は、退室を指示することがある。　課題として、練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行うこと。

教科書

なし

参考書

医歯薬出版株式会社　リハビリテーション医学

研究室／オフィスアワー

教員の研究室にて対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	肩関節の ROM・MMT	肩関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
2	肩関節の ROM・MMT	肘関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
3	肘関節の ROM・MMT	股関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
4	股関節の ROM・MMT	膝関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
5	膝関節の ROM・MMT	手・足関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
6	足関節の ROM・MMT	頸部を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
7	手関節の ROM・MMT	腰部を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
8	腰部の ROM・MMT	肩関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
9	頸部の ROM・MMT	肘関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業	宮武　大貴

		の予習または復習を２時間/日行う。	
10	肩部の症例トレーニング	股関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
11	下肢部の症例トレーニング	膝関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
12	上肢の症例トレーニング	足・手関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
13	腰部の症例トレーニング	頸部の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
14	頸部の症例トレーニング	腰部の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
15	第１回目～第１５回目の要点確認とまとめ	これまでに学習した代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
成績評価方法と基準			割合
①授業中に行う小テスト【実技・筆記】〈DP①〉　②定期試験〈DP①〉※出題範囲:授業で扱った範囲　4/5以上の出席を必要とする			①30%　②70%

授業科目名	現代医学系鍼灸学実習Ⅰ（鍼灸 A）				
主担当教員	宮武　大貴		担当教員	宮武　大貴	
科目ナンバリング	SS20BACC029	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

整形外科的検査法のうち、関節可動域検査（ROM)、徒手筋力検査（MMT）に着目し、適切な検査法を学習する。また、検査値に問題があった場合の病態理解および治療計画についても学習し、治療の実践も行う。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．各関節の可動域検査を実施できる。　２．主要な筋の徒手筋力検査を実施できる。　３．検査結果から、主動筋・拮抗筋・関節の問題に分類して病態把握ができる。　４．治療計画を作成し、実践できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本授業では、無駄な私語や許可がない退室は認めない。　指示以外の行為を行った場合、および授業妨害と認められる場合は、退室を指示することがある。　課題として、練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行うこと。

教科書

なし

参考書

医歯薬出版株式会社　リハビリテーション医学

研究室／オフィスアワー

教員の研究室にて対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	肩関節の ROM・MMT	肩関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
2	肩関節の ROM・MMT	肘関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
3	肘関節の ROM・MMT	股関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
4	股関節の ROM・MMT	膝関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
5	膝関節の ROM・MMT	手・足関節を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
6	足関節の ROM・MMT	頸部を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
7	手関節の ROM・MMT	腰部を構成する筋肉と作用を学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
8	腰部の ROM・MMT	肩関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
9	頸部の ROM・MMT	肘関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業	宮武　大貴

		の予習または復習を２時間/日行う。	
10	肩部の症例トレーニング	股関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
11	下肢部の症例トレーニング	膝関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
12	上肢の症例トレーニング	足・手関節の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
13	腰部の症例トレーニング	頸部の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
14	頸部の症例トレーニング	腰部の代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
15	第１回目～第１５回目の要点確認とまとめ	これまでに学習した代表的な障害と検査法を事前に学習してくること　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	宮武　大貴
成績評価方法と基準			割合
①授業中に行う小テスト【実技・筆記】〈DP①〉　②定期試験〈DP①〉※出題範囲:授業で扱った範囲　4/5以上の出席を必要とする			①30%　②70%

授業科目名	現代医学系鍼灸学実習Ⅱ（鍼灸 B）				
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太	
科目ナンバリング	SS20BACC030	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

筋骨格系の障害に対する対処法として、硬結・圧痛点の形成メカニズムと対処法を学ぶ。これらの延長上にあるトリガーポイント鍼治療についても理解し、実施が出来ることを目指す。筋骨格系の鍼灸治療とストレッチングの組み合わせは重要であり、一部骨格診断法や手技療法等を用いた運動器系のスペシャリストを目指す。

学修目標

①硬結・圧痛点の形成メカニズムについて理解できる。　②トリガーポイントの成因と特徴を理解できる。　③代表的な筋トリガーポイントの検索ができる。　④代表的な筋へのストレッチングができる。　⑤運動器障害の診察と治療ができる。　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本講義は運動器疾患を取り扱う上で基本とされる技術の修得を目指している。よって、実技中の私語や教員の許可ない退室は認めない。また、指示事項以外の行動に対して、注意しても改善が見られない場合は退室を指示する。　2025 年日本国際博覧会開催に伴い、一部オンデマンド授業を取り入れて行います。授業スケジュールは教員の指示またはモリパの配信等で確認してください。

教科書

リハビリテーション医学　出版社名：医歯薬出版株式会社　ISBN:978-4-263-24173-8　※第４版

参考書

圧痛点と鍼灸臨床　医道の日本社　はじめてのトリガーポイント鍼治療　医道の日本社

研究室／オフィスアワー

教員の研究室で対応する。　授業時間外に技術の練習をしたいものは、教員が可能な場合に実技室を開室して対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	筋硬結･圧痛点の形成メカニズムとトリガーポイント(講義)	1 年次生理学の筋および痛覚（特にポリモーダル受容器）について復習してくること 実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
2	身体のバランスと筋痛のメカニズム	講義後に家族・友人の身体バランスを観察すること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
3	骨格の視診・触診と罹患筋の検索	頸肩部上肢の筋を復習し、関節 ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
4	脊柱・骨盤の触診・診察	腰部・股関節周囲筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
5	頸肩部の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
6	頸肩部の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
7	肩関節の症例トレーニング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/	髙﨑　雷太

		週行う	
8	肩関節の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
9	腰部の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
10	腰部の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
11	上肢の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
12	上肢の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
13	下肢の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
14	下肢の症例トレーニング　試験対策	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
15	授業内試験	成績評価方法①～④について筆記試験を行う	髙﨑　雷太
成績評価方法と基準			割合
筆記試験(50 点×２回実施)　①硬結・圧痛点・トリガーポイントの形成メカニズム　②骨格診察　③代表的な筋トリガーポイント　④代表的な筋上の経穴と経絡　〈DP①④〉			原則として授業時間数の 4/5 以上の出席を必要とし、60 点以上で単位認定する。　①～④ 100%

授業科目名	現代医学系鍼灸学実習Ⅱ（鍼灸 A）				
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太	
科目ナンバリング	SS20BACC030	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

筋骨格系の障害に対する対処法として、硬結・圧痛点の形成メカニズムと対処法を学ぶ。これらの延長上にあるトリガーポイント鍼治療についても理解し、実施が出来ることを目指す。筋骨格系の鍼灸治療とストレッチングの組み合わせは重要であり、一部骨格診断法や手技療法等を用いた運動器系のスペシャリストを目指す。

学修目標

①硬結・圧痛点の形成メカニズムについて理解できる。　②トリガーポイントの成因と特徴を理解できる。　③代表的な筋トリガーポイントの検索ができる。　④代表的な筋へのストレッチングができる。　⑤運動器障害の診察と治療ができる。　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本講義は運動器疾患を取り扱う上で基本とされる技術の修得を目指している。よって、実技中の私語や教員の許可ない退室は認めない。また、指示事項以外の行動に対して、注意しても改善が見られない場合は退室を指示する。　2025 年日本国際博覧会開催に伴い、一部オンデマンド授業を取り入れて行います。授業スケジュールは教員の指示またはモリパの配信等で確認してください。

教科書

リハビリテーション医学　出版社名：医歯薬出版株式会社　ISBN:978-4-263-24173-8　※第４版

参考書

圧痛点と鍼灸臨床　医道の日本社　はじめてのトリガーポイント鍼治療　医道の日本社

研究室／オフィスアワー

教員の研究室で対応する。　授業時間外に技術の練習をしたいものは、教員が可能な場合に実技室を開室して対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	筋硬結･圧痛点の形成メカニズムとトリガーポイント(講義)	1 年次生理学の筋および痛覚（特にポリモーダル受容器）について復習してくること 実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
2	身体のバランスと筋痛のメカニズム	講義後に家族・友人の身体バランスを観察すること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
3	骨格の視診・触診と罹患筋の検索	頸肩部上肢の筋を復習し、関節 ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
4	脊柱・骨盤の触診・診察	腰部・股関節周囲筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
5	頸肩部の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
6	頸肩部の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
7	肩関節の症例トレーニング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　筋と ROM・MMT を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/	髙﨑　雷太

		週行う	
8	肩関節の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
9	腰部の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
10	腰部の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
11	上肢の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
12	上肢の症例トレーニング	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
13	下肢の診察とトリガーポイント･ストレッチング	対象部位の筋上の経穴・循経経絡を復習してくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
14	下肢の症例トレーニング　試験対策	前回授業内容を復習し、関連部位の運動器疾患を調べてくること　実技授業の予習と復習を２時間/週行う	髙﨑　雷太
15	授業内試験　成績評価方法①～④について筆記試験を行う	髙﨑　雷太	
成績評価方法と基準			割合
筆記試験(50 点×２回実施)　①硬結・圧痛点・トリガーポイントの形成メカニズム　②骨格診察　③代表的な筋トリガーポイント　④代表的な筋上の経穴と経絡　〈DP①④〉　原則として授業時間数の 4/5 以上の出席を必要とし、60 点以上で単位認定する。			①～④　100%

授業科目名	現代医学系鍼灸応用実習（鍼灸 B）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	SS20BACC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1-3 年生に学習した知識と技術を駆使し、臨床能力の向上を目指す。「臨床鍼灸学」の講義で学習した内容について事前に課題を指示し、その内容について実技を行う。 〈DP①④〉

学修目標

「東洋医学臨床論」の現代系出題内容について、知識・技術を高める。 患者を対象とした臨床を想定し、適切な医療コミュニケーションを身に着ける。 〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

3-14 単元で事前に指示される提出課題が期末評価となる。授業に必ず出席し、課題を提出すること。 公欠の場合は課題を提出することで評価に採用する。 公欠以外の欠席では課題を提出しても評価として認めない。

教科書

レジメ

参考書

整形外科学検査法、東洋医学臨床論、経絡経穴学概論、臨床医学総論、臨床医学各論、 リハビリテーション医学　他　1-3 年次の全授業で利用した教科書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階　研究室 12　担当授業時間外にて対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	問診から適切な検査の選択トレーニング	予習：運動機能検査法について再確認すること　復習：運動検査法に対応した症例を検討すること	鍋田
2	治療技術の確認　十七手技、小児鍼、円皮鍼、その他の手技	予習：身体各部の主要な部位に対する施術を思い出すこと　復習：鍼の技術を復習すること	鍋田
3	肩こり・頭痛	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
4	頚椎症・胸郭出口症候群	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
5	肩関節障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
6	上肢の障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
7	下肢の障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
8	腰下肢の障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
9	末梢神経障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成するこ	鍋田

		と　復習：授業内容を反復練習すること	
10	顔面神経麻痺・三叉神経痛	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
11	中枢神経障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
12	循環器系障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
13	泌尿器疾患・耳鼻咽喉科疾患	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
14	フレイル・ロコモティブシンドローム	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
15	評価トレーニング	予習：これまでの授業内容について復習すること	鍋田
成績評価方法と基準			割合
3-14 単元に対して指示される予習課題（各単元 2 症例）を提出すること　12 種類の課題（24 症例）×10 点＝120 点のうち、60%以上（72 点）で合格とする。　各症例は、検査、治療目的、治療法などについて評価する。　〈DP①④〉			100%

授業科目名	現代医学系鍼灸応用実習（鍼灸 A）					
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之		
科目ナンバリング	SS20BACC031	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

1-3 年生に学習した知識と技術を駆使し、臨床能力の向上を目指す。「臨床鍼灸学」の講義で学習した内容について事前に課題を指示し、その内容について実技を行う。 〈DP①④〉

学修目標

「東洋医学臨床論」の現代系出題内容について、知識・技術を高める。 患者を対象とした臨床を想定し、適切な医療コミュニケーションを身に着ける。 〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

3-14 単元で事前に指示される提出課題が期末評価となる。授業に必ず出席し、課題を提出すること。 公欠の場合は課題を提出することで評価に採用する。 公欠以外の欠席では課題を提出しても評価として認めない。

教科書

レジメ

参考書

整形外科学検査法、東洋医学臨床論、経絡経穴学概論、臨床医学総論、臨床医学各論、 リハビリテーション医学　他　1-3 年次の全授業で利用した教科書

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階　研究室 12　担当授業時間外にて対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	問診から適切な検査の選択トレーニング	予習：運動機能検査法について再確認すること　復習：運動検査法に対応した症例を検討すること	鍋田
2	治療技術の確認　十七手技、小児鍼、円皮鍼、その他の手技	予習：身体各部の主要な部位に対する施術を思い出すこと　復習：鍼の技術を復習すること	鍋田
3	肩こり・頭痛	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
4	頚椎症・胸郭出口症候群	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
5	肩関節障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
6	上肢の障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
7	下肢の障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
8	腰下肢の障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
9	末梢神経障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成するこ	鍋田

		と　復習：授業内容を反復練習すること	
10	顔面神経麻痺・三叉神経痛	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
11	中枢神経障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
12	循環器系障害	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
13	泌尿器疾患・耳鼻咽喉科疾患	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
14	フレイル・ロコモティブシンドローム	予習：臨床鍼灸学講義で配布する症例について検査・治療について資料を作成すること　復習：授業内容を反復練習すること	鍋田
15	評価トレーニング	予習：これまでの授業内容について復習すること	鍋田
成績評価方法と基準			割合
3-14 単元に対して指示される予習課題（各単元 2 症例）を提出すること　12 種類の課題（24 症例）×10 点＝120 点のうち、60%以上（72 点）で合格とする。　各症例は、検査、治療目的、治療法などについて評価する。　〈DP①④〉			100%

授業科目名	東洋医学系鍼灸実習Ⅰ（鍼灸 B）				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央／辻　涼太／仲西　宏元	
科目ナンバリング	SS20BACC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸臨床を行うにあたって、必要となる東洋医学的診察法である四診を中心とした弁証を修得する。　特に東洋医学的基礎を理解し、その中でもに四診法と弁証構成から弁証論治ができ、それに準じた治療法を考え身に着けること。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．四診法（望・問・聞・切）を理解し、説明できる(DP①)　2．四診法から患者の病態（弁証）ができ鍼灸治療に応用できる(DP④)　3．各疾患の弁証を理解し、鍼灸治療に応用できる(DP④)　4．弁証を理解し、説明できる(DP④)　5．八綱弁証・病邪弁証・気血津液弁証・臓腑弁証などを理解し、説明できる(DP④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．前期　東洋医学系検査法で使用したテキスト・後期新たに配布する授業テキストに目を通すこと。　2．出席は重視する。　3．予習復習を各 1 時間実施する。

教科書

1.「新版　東洋医学概論」東洋療法学校協会　2.配布テキスト

参考書

鍼灸学基礎編

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階　研究室　昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	概要説明（弁証構成）	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：基本的な構成を覚えること	堀川　仲西
2	八綱弁証①　表裏・寒熱について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：虚実・寒熱の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
3	八綱弁証②　虚実・陰陽について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：虚実・陰陽の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
4	病邪弁証　概要説明　傷寒・温病について　内因・外因・不外内因について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：傷寒・温病の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
5	気血津液弁証①　気の病証について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎 気について復習しておくこと。　復習：気の病理変化を理解する。	堀川　仲西
6	気血津液弁証②　血の病証について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎 血を復習しておくこと。　復習：気の病理変化、血の病理変化を理解する。	堀川　仲西
7	気血津液弁証③　津液の病証について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎津液について復習しておくこと。　復習：気、血、津液の病理変化を理解し、気血津液弁証の説明ができる。	堀川　仲西
8	小テスト（第 1 回目～第 7 回目の総まとめ）	予習：1～7 回目の授業の復習　復習：テストで理解できてなかったところを再学習し、次回の授業に挑むこと。	堀川　仲西

9	臓腑弁証①　肝・胆の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
10	臓腑弁証②　心・小腸の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
11	臓腑弁証③　脾・胃の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
12	臓腑弁証④　肺・大腸の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
13	臓腑弁証⑤　腎・膀胱の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
14	実技試験（東洋医学系鍼灸実習Ⅰの総まとめ）	予習:実技試験の課題練習　復習:実技試験での反省点を整理し、練習する。	堀川　仲西
15	学生同士で弁証論治から治療まで実施する	東洋医学的な治療方法について自分自身で考え治療ができるように	堀川　仲西
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　　筆記試験（課題提出を含む)50%（DP①)、実技試験 50%（DP④）で評価する。　ただし、実技試験においては 60%以上の取得で単位を認定する。　但し、筆記試験は定期試験期間中で実施し、実技試験は授業期間内に実施する。			筆記 50%、実技 50%

授業科目名	東洋医学系鍼灸実習Ⅰ（鍼灸 A）				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央／辻　涼太／仲西　宏元	
科目ナンバリング	SS20BACC032	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸臨床を行うにあたって、必要となる東洋医学的診察法である四診を中心とした弁証を修得する。　特に東洋医学的基礎を理解し、その中でもに四診法と弁証構成から弁証論治ができ、それに準じた治療法を考え身に着けること。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．四診法（望・問・聞・切）を理解し、説明できる(DP①)　2．四診法から患者の病態（弁証）ができ鍼灸治療に応用できる(DP④)　3．各疾患の弁証を理解し、鍼灸治療に応用できる(DP④)　4．弁証を理解し、説明できる(DP④)　5．八綱弁証・病邪弁証・気血津液弁証・臓腑弁証などを理解し、説明できる(DP④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．前期　東洋医学系検査法で使用したテキスト・後期新たに配布する授業テキストに目を通すこと。　2．出席は重視する。　3．予習復習を各 1 時間実施する。

教科書

1.「新版　東洋医学概論」東洋療法学校協会　2.配布テキスト

参考書

鍼灸学基礎編

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階　研究室　昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	概要説明（弁証構成）	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：基本的な構成を覚えること	堀川　仲西
2	八綱弁証①　表裏・寒熱について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：虚実・寒熱の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
3	八綱弁証②　虚実・陰陽について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：虚実・陰陽の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
4	病邪弁証　概要説明　傷寒・温病について　内因・外因・不外内因について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：傷寒・温病の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
5	気血津液弁証①　気の病証について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎 気について復習しておくこと。　復習：気の病理変化を理解する。	堀川　仲西
6	気血津液弁証②　血の病証について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎 血を復習しておくこと。　復習：気の病理変化、血の病理変化を理解する。	堀川　仲西
7	気血津液弁証③　津液の病証について	予習：1 年生で学習した東洋医学の基礎津液について復習しておくこと。　復習：気、血、津液の病理変化を理解し、気血津液弁証の説明ができる。	堀川　仲西
8	小テスト（第 1 回目～第 7 回目の総まとめ）	予習：1～7 回目の授業の復習　復習：テストで理解できてなかったところを再学習し、次回の授業に挑むこと。	堀川　仲西

9	臓腑弁証①　肝・胆の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
10	臓腑弁証②　心・小腸の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
11	臓腑弁証③　脾・胃の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
12	臓腑弁証④　肺・大腸の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
13	臓腑弁証⑤　腎・膀胱の病証について	予習:1年生で学習した東洋医学の基礎を復習しておくこと　復習：臓腑弁証の説明と鍼灸治療できるように	堀川　仲西
14	実技試験（東洋医学系鍼灸実習Ⅰの総まとめ）	予習:実技試験の課題練習　復習:実技試験での反省点を整理し、練習する。	堀川　仲西
15	学生同士で弁証論治から治療まで実施する	東洋医学的な治療方法について自分自身で考え治療ができるように	堀川　仲西
成績評価方法と基準			割合
4/5 以上の出席を必要とする。　　筆記試験（課題提出を含む)50%（DP①)、実技試験 50%（DP④）で評価する。　ただし、実技試験においては 60%以上の取得で単位を認定する。　但し、筆記試験は定期試験期間中で実施し、実技試験は授業期間内に実施する。			筆記 50%、実技 50%

授業科目名	東洋医学系鍼灸実習Ⅱ（鍼灸 B）				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	SS20BACC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸臨床では各疾患を外感病と内傷病に分類し治療を行う病因論がある。そのためには診察法である四診を中心とした弁証を修得することが重要である。　この科目では、東洋医学的基礎を理解し、四診法と弁証構成から弁証論治ができ、それに準じた治療法を考え身に付ける。

学修目標

東洋医学における診断・治療の重要な手段である弁証論治について理解し、説明できる。〈DP①〉　1．外感病に用いる弁証方法である六経弁証・三焦弁証について理解し説明できる。〈DP④〉　2．傷寒と六経弁証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　3．臓腑相関弁証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　4．温病と三焦弁証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　5．経絡弁証と経病証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　6．経筋治療について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．テキスト・配布された資料に目を通すこと。　2．出席は重視する。

教科書

・針灸学　臨床篇　東洋学術出版社　（ ISBN　:　978-4924954939　）　・授業配布プリント

参考書

・東洋医学概論　新版　医道の日本社　（東洋医学概論　教科書）　・東洋医学臨床論（はりきゅう編）　新版　南江堂（東洋医学臨床論　教科書）　・針灸学　基礎編　東洋学術出版社

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、2 年迄の復習	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
2	難経六十九難治療	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
3	経脈病治療 1	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
4	経脈病治療 2	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
5	経脈病治療 3	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
6	鍼灸処方学	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
7	臓腑相関弁証	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
8	傷寒、温病	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
9	経筋病治療 1	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
10	経筋病治療 2	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野

11	内科疾患別中医治療	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
12	腹診など四診復習	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
13	撚鍼、病邪弁証・治療	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
14	これまでの授業全体のまとめ・復習	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
15	実技試験	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
成績評価方法と基準			割合
成績評価には 4/5（15 回中 12 回）以上の出席を必要とする。　15 回うち 3.5 回～欠席で無資格。【大学手帳の「出席の取り扱い」を読むこと】　（1）筆記試験、課題　（2）実技試験、授業態度			50%　50%

授業科目名	東洋医学系鍼灸実習Ⅱ（鍼灸 A）				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	SS20BACC033	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸臨床では各疾患を外感病と内傷病に分類し治療を行う病因論がある。そのためには診察法である四診を中心とした弁証を修得することが重要である。　この科目では、東洋医学的基礎を理解し、四診法と弁証構成から弁証論治ができ、それに準じた治療法を考え身に付ける。

学修目標

東洋医学における診断・治療の重要な手段である弁証論治について理解し、説明できる。〈DP①〉　1．外感病に用いる弁証方法である六経弁証・三焦弁証について理解し説明できる。〈DP④〉　2．傷寒と六経弁証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　3．臓腑相関弁証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　4．温病と三焦弁証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　5．経絡弁証と経病証について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP④〉　6．経筋治療について理解し、鍼灸治療に応用できる。〈DP

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．テキスト・配布された資料に目を通すこと。　2．出席は重視する。

教科書

・針灸学　臨床篇　東洋学術出版社　（ ISBN　:　978-4924954939　）　・授業配布プリント

参考書

・東洋医学概論　新版　医道の日本社　（東洋医学概論　教科書）　・東洋医学臨床論（はりきゅう編）　新版　南江堂（東洋医学臨床論　教科書）　・針灸学　基礎編　東洋学術出版社

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、2 年迄の復習	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
2	難経六十九難治療	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
3	経脈病治療 1	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
4	経脈病治療 2	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
5	経脈病治療 3	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
6	鍼灸処方学	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
7	臓腑相関弁証	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
8	傷寒、温病	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
9	経筋病治療 1	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
10	経筋病治療 2	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野

11	内科疾患別中医治療	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
12	腹診など四診復習	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
13	撚鍼、病邪弁証・治療	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
14	これまでの授業全体のまとめ・復習	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
15	実技試験	予習：1・2 年生で学習した弁証論治を確認する　復習：授業の内容を振り返る	熊野
成績評価方法と基準			割合
成績評価には 4/5（15 回中 12 回）以上の出席を必要とする。　15 回うち 3.5 回～欠席で無資格。【大学手帳の「出席の取り扱い」を読むこと】　（1）筆記試験、課題　（2）実技試験、授業態度			50%　50%

授業科目名	東洋医学系鍼灸応用実習（鍼灸 B）				
主担当教員	赤丸　敏行		担当教員	赤丸　敏行	
科目ナンバリング	SS20BACC034	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸臨床で遭遇しうる症状を症例を基に、各症状を紹介し、適応する鍼灸の守備範囲を理解する。また種々の症候に対する東洋医学的な伝承思想や手技、および現代医学的な治効理論や科学的情報の活用を学び、効果的な鍼灸施術の構築を考える。

学修目標

鍼灸臨床において四診や現代医学的な検査および既往から得られた情報を速やかに解析し、的確な施術を構築提供できる技術を習得する。つまり、伝承された医学思想および現代医療に対応した臨床情報の活用を学ぶ。　本講座では Reality of The Bedside をテーマに一般症状から難病に付随する症状あるいは不定で広範囲に渡る症状などに対し、臨場感のある臨床を想定し、対応できる技量を身につけることを目標とする。加えて、大きな目標である「必要とされる臨床家」としての適応力、つまり、現代医療に携わる医療人（臨床家）とし

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業では白衣着用。

教科書

講義毎にテキストを配布する。

参考書

参考になる書籍・引用文献は内容に応じて紹介します。

研究室／オフィスアワー

授業開始前・講義後に対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	四診の重要性の確認:望聞問切の重要性を理解する。 問診表の作成を行い施術に入る前の臨床上の確認情報を認識する。	現代臨床に結びつく四診を理解する。各診察法の特徴を理解する。問診表の作成。 復習：望聞問切の四診で、何を診るのか確認する。	赤丸
2	鍼灸臨床で遭遇の多い､老化症状や疲労症状を有する患者の弁証から灸法の効果を検証する。	疲労や老化の症状を検証し、適応する灸技を磨く。陰虚と陽虚の症例を基に補瀉の必要性を考える。　復習：一般的な灸法の種類、良い艾の特徴を知っておく。下肢腎経の流れを確認しておきたい。	赤丸
3	鍼灸臨床において多く遭遇する腰痛を例に､使用鍼によって得られる鍼の響きの違いなどから補瀉を理解する。 腰部兪穴中心に膀胱経の経穴を学ぶ。	腰痛の施術構築を行うと共に鍼の響きや刺入感を確認する。　復習：腰部督脈と膀胱経を縦横の並びの経穴を確認する。	赤丸
4	肩背部の凝り症状の緩和について考えたい。 患者の中には既存の疾病を有する場合がある｡持参した検査結果も理解したい。	肩背部を通る経絡を確認したい。　また今回は、血液検査を持参した患者から、検査情報なども理解したい。	赤丸
5	難病に伴う症状において鍼灸の守備範囲を理解する。 難病における鍼灸の対応を紐解いてみたい｡その中で鍼灸が適応する症状と適応するドーゼを認識する。	特定疾患の中にも鍼灸が適応する疾患や症状が存在する。その導入には注意点も多く、鍼灸の守備範囲を理解したい。　今回、下肢の神経障害を有するスモンや動作が緩慢となるパーキンソンに注目した。 復習：紹介した難病の特徴を知っておきた	赤丸

		い。充分な鍼刺激を必要とする場合が臨床上存在する。	
6	消化器症状を有する症例を基に素因と現症を理解し、施術の構築導入を考える。	脾胃の経絡から灸の響きや鍼の刺入感を体験する。　復習：脾胃の腹部、脛部の経穴は重要。	赤丸
7	末梢性顔面神経麻痺の特徴と鍼灸施術の効果を認識する。	末梢性顔面神経麻痺の特徴と適応する鍼種や鍼施術の対応を考えたい。　復習：末梢性顔面神経麻痺の症状を確認しておきたい。知覚神経障害も存在する。また脳神経を確認しておく。	赤丸
8	不眠や入眠障害などの睡眠異常に適応する鍼灸施術を考える。	鍼灸の不眠改善効果は興味深いものがあり、その効果発現と施術構築を学ぶ。　復習：不眠の種類を覚えておきたい。	赤丸
9	更年期症状から波及する症状を基に集合穴などの灸穴を理解する。	男女の更年期特有症状に対する鍼灸を念頭に仙骨部や脾経・腎経における灸療法を実施する。性ホルモンの種類や作用を理解しておきたい。　復習:婦人科症状にく用いられる脾経や仙骨部穴を確認しておく。	赤丸
10	肩・膝関節の症状に対する鍼灸的対応を考える。奇穴の臨床応用に有効性を見つける場合がある。	関節痛に対する灸法を学ぶ。　正穴を埋めるように配置される奇穴を理解し、その運用を検証する。灸法を基本に実技実習の中で奇穴を確認する。　復習:紹介した奇穴を見直しておきたい。	赤丸
11	VDT や難聴を例に感覚器に対する総合的な施術の構築を行う。	ＶＤＴや難聴の感覚器における渡る症状を理解する。症状の改善・順応を意識し波及する後頚部、肩背部、腰部および関連する経絡に注目する。　復習:VDT の症状を確認する。	赤丸
12	卒中後遺症など四肢の麻痺性症状に対する鍼灸の施術を考える。	上肢の麻痺や異常歩行あるいは失語など脳血管障害後の症状ついて症例をもとに適応する鍼灸効果を検証する。　興味深い灸法や井穴への施灸も取り上げる。　復習:四肢の麻痺の形態を認識しておきたい。失語症ではブロカ失語症の特徴を認識する。	赤丸
13	心身症に伴う種々の症状を基に問診術と適応する手技を考える。	心理状態の変動をとらえる技術も臨床では必要である。　心理試験から鍼灸の適応範囲を検証し、自律神経の緊張緩和に用いられる経穴の有効性を検証する。	赤丸
14	アンチエイジングの領域での鍼灸の守備範囲を考える。つまり鍼灸の治効理論を理解し検証することである。　また、終末医療や老人医療における鍼灸の実際と今後を考える。フレイルなどの消耗性症状や認知症への移行における鍼灸の関わりを考える。	アンチエイジング゛に関わる鍼灸の治効理論と理解し、療法としての可能性を検証し、養生への反映を考える。　復習:鍼灸の治効理論を理解する。終末医療や老人医療におけるフレイルなどの虚弱症状に対する鍼灸の守備範囲を理解し、補陰・補陽・補血・補気・鎮痛・安神を目標とした施術を検証する。現代医療の中で鍼灸が貢献できる根拠を作用機序だけでなく、施術、養生法としての歴史的経験値を含めて検証したい。	赤丸
15	鍼灸的知識と技術の確認を行なうため、臨床現場を念頭におき、問診からカルテ記入を行う。　その結果から施術構築を行い臨床に反映させる技量を経験する。臨床情報の活用を復習し、経験知を確認する。	より具体的な臨床を経験するために四診情報をカルテに記入し、施術構築を検討する。（施術の実際は別途用意したもので行いたい）　復習：四診の手法内容をもう一度確認する。	赤丸
成績評価方法と基準			割合
筆記試験結果を評価対象とする。授業への取り組み方も重視します。			100%

授業科目名	東洋医学系鍼灸応用実習（鍼灸 A）				
主担当教員	赤丸　敏行		担当教員	赤丸　敏行	
科目ナンバリング	SS20BACC034	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 5 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸臨床で遭遇しうる症状を症例を基に、各症状を紹介し、適応する鍼灸の守備範囲を理解する。また種々の症候に対する東洋医学的な伝承思想や手技、および現代医学的な治効理論や科学的情報の活用を学び、効果的な鍼灸施術の構築を考える。

学修目標

鍼灸臨床において四診や現代医学的な検査および既往から得られた情報を速やかに解析し、的確な施術を構築提供できる技術を習得する。つまり、伝承された医学思想および現代医療に対応した臨床情報の活用を学ぶ。　本講座では Reality of The Bedside をテーマに一般症状から難病に付随する症状あるいは不定で広範囲に渡る症状などに対し、臨場感のある臨床を想定し、対応できる技量を身につけることを目標とする。加えて、大きな目標である「必要とされる臨床家」としての適応力、つまり、現代医療に携わる医療人（臨床家）とし

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業では白衣着用。

教科書

講義毎にテキストを配布する。

参考書

参考になる書籍・引用文献は内容に応じて紹介します。

研究室／オフィスアワー

授業開始前・講義後に対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	四診の重要性の確認:望聞問切の重要性を理解する。 問診表の作成を行い施術に入る前の臨床上の確認情報を認識する。	現代臨床に結びつく四診を理解する。各診察法の特徴を理解する。問診表の作成。 復習：望聞問切の四診で、何を診るのか確認する。	赤丸
2	鍼灸臨床で遭遇の多い､老化症状や疲労症状を有する患者の弁証から灸法の効果を検証する。	疲労や老化の症状を検証し、適応する灸技を磨く。陰虚と陽虚の症例を基に補瀉の必要性を考える。　復習：一般的な灸法の種類、良い艾の特徴を知っておく。下肢腎経の流れを確認しておきたい。	赤丸
3	鍼灸臨床において多く遭遇する腰痛を例に､使用鍼によって得られる鍼の響きの違いなどから補瀉を理解する。 腰部兪穴中心に膀胱経の経穴を学ぶ。	腰痛の施術構築を行うと共に鍼の響きや刺入感を確認する。　復習：腰部督脈と膀胱経を縦横の並びの経穴を確認する。	赤丸
4	肩背部の凝り症状の緩和について考えたい。 患者の中には既存の疾病を有する場合がある｡持参した検査結果も理解したい。	肩背部を通る経絡を確認したい。　また今回は、血液検査を持参した患者から、検査情報なども理解したい。	赤丸
5	難病に伴う症状において鍼灸の守備範囲を理解する。 難病における鍼灸の対応を紐解いてみたい｡その中で鍼灸が適応する症状と適応するドーゼを認識する。	特定疾患の中にも鍼灸が適応する疾患や症状が存在する。その導入には注意点も多く、鍼灸の守備範囲を理解したい。　今回、下肢の神経障害を有するスモンや動作が緩慢となるパーキンソンに注目した。 復習：紹介した難病の特徴を知っておきた	赤丸

		い。充分な鍼刺激を必要とする場合が臨床上存在する。	
6	消化器症状を有する症例を基に素因と現症を理解し、施術の構築導入を考える。	脾胃の経絡から灸の響きや鍼の刺入感を体験する。　復習：脾胃の腹部、脛部の経穴は重要。	赤丸
7	末梢性顔面神経麻痺の特徴と鍼灸施術の効果を認識する。	末梢性顔面神経麻痺の特徴と適応する鍼種や鍼施術の対応を考えたい。　復習：末梢性顔面神経麻痺の症状を確認しておきたい。知覚神経障害も存在する。また脳神経を確認しておく。	赤丸
8	不眠や入眠障害などの睡眠異常に適応する鍼灸施術を考える。	鍼灸の不眠改善効果は興味深いものがあり、その効果発現と施術構築を学ぶ。　復習：不眠の種類を覚えておきたい。	赤丸
9	更年期症状から波及する症状を基に集合穴などの灸穴を理解する。	男女の更年期特有症状に対する鍼灸を念頭に仙骨部や脾経・腎経における灸療法を実施する。性ホルモンの種類や作用を理解しておきたい。　復習:婦人科症状にく用いられる脾経や仙骨部穴を確認しておく。	赤丸
10	肩・膝関節の症状に対する鍼灸的対応を考える。奇穴の臨床応用に有効性を見つける場合がある。	関節痛に対する灸法を学ぶ。　正穴を埋めるように配置される奇穴を理解し、その運用を検証する。灸法を基本に実技実習の中で奇穴を確認する。　復習:紹介した奇穴を見直しておきたい。	赤丸
11	VDT や難聴を例に感覚器に対する総合的な施術の構築を行う。	ＶＤＴや難聴の感覚器における渡る症状を理解する。症状の改善・順応を意識し波及する後頚部、肩背部、腰部および関連する経絡に注目する。　復習:VDT の症状を確認する。	赤丸
12	卒中後遺症など四肢の麻痺性症状に対する鍼灸の施術を考える。	上肢の麻痺や異常歩行あるいは失語など脳血管障害後の症状ついて症例をもとに適応する鍼灸効果を検証する。　興味深い灸法や井穴への施灸も取り上げる。　復習:四肢の麻痺の形態を認識しておきたい。失語症ではブロカ失語症の特徴を認識する。	赤丸
13	心身症に伴う種々の症状を基に問診術と適応する手技を考える。	心理状態の変動をとらえる技術も臨床では必要である。　心理試験から鍼灸の適応範囲を検証し、自律神経の緊張緩和に用いられる経穴の有効性を検証する。	赤丸
14	アンチエイジングの領域での鍼灸の守備範囲を考える。つまり鍼灸の治効理論を理解し検証することである。　また、終末医療や老人医療における鍼灸の実際と今後を考える。フレイルなどの消耗性症状や認知症への移行における鍼灸の関わりを考える。	アンチエイジングに関わる鍼灸の治効理論と理解し、療法としての可能性を検証し、養生への反映を考える。　復習:鍼灸の治効理論を理解する。終末医療や老人医療におけるフレイルなどの虚弱症状に対する鍼灸の守備範囲を理解し、補陰・補陽・補血・補気・鎮痛・安神を目標とした施術を検証する。現代医療の中で鍼灸が貢献できる根拠を作用機序だけでなく、施術、養生法としての歴史的経験値を含めて検証したい。	赤丸
15	鍼灸的知識と技術の確認を行なうため、臨床現場を念頭におき、問診からカルテ記入を行う。　その結果から施術構築を行い臨床に反映させる技量を経験する。臨床情報の活用を復習し、経験知を確認する。	より具体的な臨床を経験するために四診情報をカルテに記入し、施術構築を検討する。（施術の実際は別途用意したもので行いたい）　復習：四診の手法内容をもう一度確認する。	赤丸
成績評価方法と基準			割合
筆記試験結果を評価対象とする。授業への取り組み方も重視します。			100%

授業科目名	応用鍼灸治療学（鍼灸 B）					
主担当教員	奥村　裕一		担当教員		奥村　裕一／藤本　新風	
科目ナンバリング	SS20BACC035	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期		曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

実際の鍼灸臨床の現場で『東洋医学概論』『東洋医学臨床論』の内容をどのように応用できるのか、を実感していただくことを目的としている。　四診のうち、主として切診を用い、八綱弁証や臓腑経絡弁証が行えるよう実習を行います。

学修目標

1. 東洋医学的診察・診断に必要な知識を再確認する。　2. 鍼灸臨床に必要な「経穴」の反応を読み取る体表観察技術を身に付ける。　3. 鍼灸臨床に必要な病態把握能力を高める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 卒業後の各人の鍼灸との関わり方、を踏まえて授業を進めます。　2. ただし、授業態度を最も重視します。真剣かつ楽しみながら受講してください。　3. 経穴・ツボ、とは実際の臨床においてどのように反応を表すのものなのか、実感ください。経穴・ツボ・体表のすべてはデリケートに触れることで、その本質を見せてくれます。　4. 実技に適した服装（腹部や背部、肘から手、膝から足先がすぐに診れるような）で受講ください。

教科書

『体表観察学』藤本蓮風著　緑書房　『新版　東洋医学概論』医道の日本社　『新版　東洋医学臨床論（はりきゅう編)』南江堂

参考書

『胃の気の脈診』藤本蓮風著　森ノ宮医療学園出版部　『鍼灸舌診アトラス』藤本蓮風著　緑書房

研究室／オフィスアワー

1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	各種診法の意義と特長　解説　鍼灸臨床デモンストレーション	体表観察学	藤本
2	背候診①　解説・実技デモ・実技指導	予習：体表観察学 P68～76　P131～143　復習：背部兪穴の位置とタッチの確認	奥村
3	背候診②　実技指導	予習：体表観察学 P68～76　P131～143　復習：背部兪穴の位置とタッチの確認	奥村
4	背候診③　実技指導　（＋刺鍼）	予習：体表観察学 P68～76　P131～143　復習：背部兪穴の位置とタッチの確認	奥村
5	背候診確認テスト（7 分）　原穴診①　解説・実技デモ・実技指導	予習：体表観察学 P91～93　P174～190　復習：原穴の位置とタッチの確認	奥村
6	原穴診②　実技指導	予習：体表観察学 P91～93　P174～190　復習：原穴の位置とタッチの確認	奥村
7	原穴診確認テスト（7 分）　原穴診と背候診の相関性について　解説・実技デモ・実技指導	予習：体表観察学 P91～93　P174～190　復習：原穴診と背候診の相関性	奥村
8	夢分流腹診の解説・デモ　打鍼デモ	予習：体表観察学 p. 76～91　p. 159～172 復習：体表観察学 p. 76～91　p. 159～172	奥村
9	夢分流腹診　実技指導　背候診･原穴診との対比解説	予習：体表観察学 p. 76～91　p. 159～172 復習：体表観察学 p. 76～91　p. 159～172	藤本
10	夢分流腹診確認テスト（7 分）　胃の気の脈診解説・実技指導	予習:体表観察学 p. 76～91､p. 159～172　復習：配布資料（胃の気の脈診）	藤本
11	胃の気の脈診　実技指導	予習：配布資料（胃の気の脈診）　復習：配布資料（胃の気の脈診）	藤本

12	胃の気の脈診確認テスト（7 分）　舌診　解説・実技　その他　※課題発表	予習：東洋医学概論 p. 202～212　復習：配布資料（胃の気の脈診）	藤本
13	1～12 までの　復習解説＆指導	今までの講義内容の復習	藤本
14	体表観察からの八綱弁証･臓腑経絡弁証　実技デモ・解説	予習：東洋医学概論 p. 270～273、275～280 復習：東洋医学概論 p. 270～273、275～280 東洋医学臨床論 p. 7～8	藤本
15	体表観察からの八綱弁証・臓腑経絡弁証　実技・まとめ　※課題提出最終	予習：東洋医学概論 p. 270～273、275～280 東洋医学臨床論 p. 7～8	藤本
成績評価方法と基準			割合
１．確認テスト　２．課題提出　３．授業態度と課題内容による加点　※４／５の出席を必要とする。			１．40% ２．20% ３．40%

授業科目名	応用鍼灸治療学（鍼灸 A）					
主担当教員	中野　正得		担当教員		中野　正得／山内　健太郎	
科目ナンバリング	SS20BACC035	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期		曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

よくなおる※経絡治療※日本はり医学会方式の理論を学び実習する。　※経絡治療とは・・・正経十二経と奇経八脈を含む経絡系統の気血の虚実を弁え補瀉調整することで生命力を強化し、疾病からの回復と予防をはかる日本伝統鍼灸術である。　※日本はり医学会方式とは・・・一般社団法人日本はり医学が長年の臨床実践により再構築したよくなおる経絡治療である。　　よくなおる経絡治療・日本はり医学会方式は、以下の術式からなる。　1）「本治法」・・・疾病の根本的原因である主たる変動経絡の気血の虚実を補瀉調整し生命力を強化する術式。鍼灸を含む伝統医術の最高峰に位置する治療法。　2）「標治法」・・・症状の現れている局所の虚実を補瀉調整して症状の緩和をはかる術式。　3）「補助療法」・・・即効性のある特殊な治療を施しさらなる症状の緩和をはかる術式。　これには、　①宮脇奇経治療　②子午治療　③古野式経絡骨盤調整療法　④刺絡鍼法　等がある。　このように、本・標・補助による三位一体の治療を駆使して、患者を病苦から救うために研究開発されたのが、よくなおる経絡治療・日本はり医学会方式である。　　【前半 7 回】　よくなおる経絡治療・日本はり医学会方式を習得するための理論を学び実習する。　これを行うために、四診法、特に脈診・腹診、証決定、治療法則、補法の基本刺鍼を習得する。　中でも、この演習のメインのひとつである補法の基本刺鍼は、数千年前の医学書に伝統鍼灸術究極奥義として記載されている。　この奥義を、時空を超えてみんなに伝承できることが何よりの幸せである。　是非楽しんで習得してもらいたい。（中野）　　【後半 7 回】　第二の経絡治療「宮脇奇経治療」を習得するための理論を学び実習する。　宮脇経治療は経絡治療の補助療法であり、手足の 2 つのツボだけであらゆる症状を治療することができる魔法のような治療法である。　高速道路のように即効性があり、臨床だけでなく、鍼灸ボランティア（スポーツイベントでのアスリートのケアや災害医療における被災者のケア）で活用することができ、治療法として実際に使用できるよう理論と手技手法を修得してもらいたい。　このような実績から、海外では Miyawaki Style の呼び名で親しまれていて大人気である。　将来は、海外まで活躍の場を広げたい学生諸君は是非習得すべきである。（山内）　宮脇奇経治療↓　https://hariqfantsist.amebaownd.com/pages/1267893/page_201709122318　その他、子午治療や標治法（経絡治療における局所治療）を実習する。　　全 14 回の演習では、共通して痛くない鍼と熱くないお灸で行う。　痛くなく、熱くなく、怖くなく、人にやさしい安心・安全・完全な鍼灸医療を世界中の患者に提供できるように成ろう！　その修得を行う。15 回目の講義中に試験を行う。（中野・山内）

学修目標

1.経絡治療特に本治法が理解でき、実践できる。　2.証の決定が実践できる。　3.脈診・腹診が実践できる。　4.補法の鍼が実践できる。　5.奇経治療が実践できる。　6.子午治療が実践できる。　7.経絡治療における標治法が実践できる。　8.時代のニーズに合った治療が実践できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.積極的に実習に参加する。　2.東洋医学を心得た治療のできる医療人になってほしい。　3.様々な患者に対応できる医療人になる。　　最後に一言　中野:「みんなは鍼灸が好きですか？私は大好きです。こんなに素晴らしい職業は他にはありません！」　山内:「みんなにも是非この素晴らしさを実感してもらえるように精一杯お伝えします！」

教科書

なし

参考書

宮脇和登著　よくわかる経絡治療　たにぐち書店　宮脇和登著　よくわかる奇経治療　たにぐち書店

研究室／オフィスアワー			
１階非常勤講師控室/授業前後のみ対応可能			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	講義：経絡治療総論　実技：日本はり医学会方式の経絡治療による「公開臨床」	予習：経絡治療とは↓ https://hariqfantsist.amebaownd.com/pages/1262184/page_201709110128　復習：経絡治療とは↑	中野
2	講義：脈診　実技：脈診の仕方／「公開臨床」	予習：脈診とは↓ https://hariqfantsist.amebaownd.com/pages/1262184/page_201709110128　復習：暇さえあれば自分の脈を診てみる。	中野
3	講義：腹診　実技：腹診の仕方／「公開臨床」	予習：腹診とは↓ https://hariqfantsist.amebaownd.com/pages/1262184/page_201709110128　復習：就寝時・起床時に自分のお腹を診てみる。	中野
4	講義：証決定と治療法則　実技：証決定の仕方／「公開臨床」	予習：証決定と治療法則とは↓ https://hariqfantsist.amebaownd.com/pages/1262184/page_201709110128　復習：自分の脈や腹を診て自分なりに証を立ててみる。	中野
5	実技：補法の基本刺鍼	予習：補法の基本刺鍼とは↓ https://youtu.be/MofUMpuLC-g　復習：毎日自分の大腿部に鍼をして補法の基本刺鍼を練習する。	中野
6	実技：経絡治療の診察診断から治療まで	予習：経絡治療の診察診断から治療の流れとは↓ https://hariqfantsist.amebaownd.com/pages/1262184/page_201709110128　復習：経絡治療で自己治療をしてみる。	中野
7	実技:経絡治療の診察診断から治療までのまとめ	予習：経絡治療の診察診断から治療の流れとは↓ https://hariqfantsist.amebaownd.com/pages/1262184/page_201709110128　復習：経絡治療で自己治療をしてみる。	中野
8	奇経治療基礎理論と実技	予習：奇経八脈の種類を覚える　復習：適応症を覚える	山内
9	奇経腹診の方法と実習	予習:腹診の注意点　復習:奇経腹診の方法を覚える	山内
10	奇経治療の取穴、治療方法と実技	予習:奇経の治療穴を取穴する　復習:特殊な治療穴を覚える	山内
11	奇経治療の診察診断～治療まで	予習:知熱灸施術のやり方　復習:病因・病症を覚える	山内
12	経絡頚肩部調整療法､経絡骨盤調整療法の理論と実習	予習：頸肩部、鼠径部の経穴を見直す　復習：接触鍼を自分に行う	山内
13	標治法と子午治療の理論と実習	予習：背部兪穴、原・郄・絡穴を覚える　復習：標治法を実践する	山内
14	臨床に即した経絡治療の流れと総まとめ	予習：奇経治療・本治法・標治法・補助療法の流れと使用穴､手技を確認する　復習:臨床に即した経絡治療を実践する	山内
15	経絡治療・奇経治療の診察診断法テスト(実技と口頭試問)	予習:脈診・腹診の部位や注意点　復習:日本はり方式経絡治療の流れを把握する。	山内
成績評価方法と基準			割合
1.口頭試問　2.実技テスト　3.平常点（授業態度、参加姿勢等）　4/5 回以上の出席が必要です。　※追試験・再試験はレポートでの評価になります。			1.30%　2.30%　3.40%

授業科目名	臨床灸実習（鍼灸 B）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／紀野　江理	
科目ナンバリング	SS20BACC036	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

国家試験に出題された症例に対し、様々な灸法を用いて治療を行う。

学修目標

1. 医療者としての自覚と責任ある行動ができる。　2. 様々な灸法を行うことができる。　3. 各種の症例に対し灸治療ができる。
DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.出席を重視する。　2.授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3.次回行う症例を事前に渡すので、病態と治療部位を調べ、治療部位に関しては適切に取穴できること。　4.毎回小テスト（病態、治療部位、取穴）を行う。

教科書

教科書執筆小委員新版「経絡経穴概論」医道の日本社

参考書

中村辰三著「お灸入門」医歯薬出版　　岡田明三「まるごとお灸百科」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
2	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
3	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
4	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
5	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
6	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復	松熊

		習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	
7	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
8	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
9	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
10	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
11	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
12	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
13	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
14	これまでに学習した症例の中から受講者が選び治療をする。	復習：これまでに習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(2 時間)	松熊
15	治療法の総括	予習:テスト範囲を学習すること。(1 時間) 復習:学んだことを追試してみること。(1 時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合
①期末試験<DP1,4>　②小テスト<DP1,4>　4/5 以上の出席を必要とする。　・試験・課題に対するフィードバック方法　小テストの解説は毎回実施する。必要に応じて定期試験の解説を行う。			①52%　②48%

授業科目名	臨床灸実習（鍼灸 A）					
主担当教員	松熊　秀明		担当教員		松熊　秀明／紀野　江理	
科目ナンバリング	SS20BACC036	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	後期		曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

国家試験に出題された症例に対し、様々な灸法を用いて治療を行う。

学修目標

1. 医療者としての自覚と責任ある行動ができる。　2. 様々な灸法を行うことができる。　3. 各種の症例に対し灸治療ができる。
DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.出席を重視する。　2.授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3.次回行う症例を事前に渡すので、病態と治療部位を調べ、治療部位に関しては適切に取穴できること。　4.毎回小テスト（病態、治療部位、取穴）を行う。

教科書

教科書執筆小委員新版「経絡経穴概論」医道の日本社

参考書

中村辰三著｢お灸入門｣医歯薬出版　　岡田明三「まるごとお灸百科」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
2	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
3	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
4	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
5	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
6	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復	松熊

		習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	
7	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
8	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習：次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習：習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
9	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
10	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
11	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
12	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
13	臨床に準じた症例に対し、透熱灸と知熱灸を行う。	予習:次回行う症例を渡すので、病態および治療部位を考えること。(1 時間)　復習:習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(1 時間)	松熊
14	これまでに学習した症例の中から受講者が選び治療をする。	復習：これまでに習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習すること。(2 時間)	松熊
15	治療法の総括	予習:テスト範囲を学習すること。(1 時間) 復習:学んだことを追試してみること。(1 時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合
①期末試験<DP1,4>　②小テスト<DP1,4>　4/5 以上の出席を必要とする。　・試験・課題に対するフィードバック方法　小テストの解説は毎回実施する。必要に応じて定期試験の解説を行う。			①52%　②48%

授業科目名	特殊鍼灸治療学(刺絡・通電等)(鍼灸 B)					
主担当教員	大川　祐世		担当教員		大川　祐世／髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC037	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期		曜日・時限	金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

１．　刺絡鍼法、耳鍼療法、灸頭鍼法、鍼通電療法など様々な鍼灸の特殊手技について指導する（刺絡鍼法に関しては法的な諸問題についても解説する）　２．　それぞれの特殊手技の特徴や応用領域について指導する　３．　様々な特殊手技を安全かつ正確に実践する方法を指導する

学修目標

１．　刺絡鍼法、耳鍼療法、灸頭鍼法、鍼通電療法など様々な鍼灸の特殊手技を習得する（刺絡鍼法に関しては法的な諸問題についても理解する）　２．　それぞれの特殊手技の特徴や応用領域について理解する　３．　様々な特殊手技を安全かつ正確に実践できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．　遅刻をしない（理由：授業前半に手技の解説を行うため)、欠席をしない（理由：各手技を学ぶ機会がそれぞれ１コマもしくは２コマしかないため）　２．　実習における身なりを整える。(施術者として清潔な身だしなみを心がける。白衣またはケーシーを着用し、装飾品を外す。爪は短く切る。）　３．　始業時間には、実技に必要な準備を済ませておく

教科書

授業内で資料配布

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

（髙橋）　不定期のため事前に要確認　（大川）　不定期のため事前に要確認

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	鍼通電療法①	予習：上肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：鍼治療に関連した衛生操作について復習しておく	髙橋
2	鍼通電療法②	予習：上肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
3	鍼通電療法③	予習：体幹部の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
4	鍼通電療法④	予習：体幹部の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
5	鍼通電療法⑤	予習：下肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
6	鍼通電療法⑥	予習：下肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
7	鍼通電療法総復習	予習：鍼通電療法の応用について予習してくる　復習：これまでに学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
8	鍼通電療法総復習	予習：鍼通電療法の応用について予習してくる　復習：これまでに学習した鍼通電療	髙橋

		法について復習しておく	
9	灸頭鍼療法①	予習：灸頭鍼療法について調べてくる　復習：学習した内容を復習しておく	大川
10	灸頭鍼療法②	予習：灸頭鍼療法について調べてくる　復習：学習した内容を復習しておく	大川
11	身体部位別刺鍼法①	予習：肩関節、頸部、腰部、肘関節の解剖を予習してくる　復習：本授業内容について復習しておく	大川
12	身体部位別刺鍼②	予習：肩関節、頸部、腰部、肘関節の解剖を予習してくる　復習：本授業内容について復習しておく	大川
13	吸角法①	予習：吸角法について予習しておく　復習：本授業内容について復習しておく	大川
14	吸角法②	予習：吸角法について予習しておく　復習：本授業内容について復習しておく	大川
15	刺絡概論	予習：刺絡について予習してくる　復習：本授業内容について復習しておく	大川
成績評価方法と基準			割合
１．（高橋）授業内評価実施（実技）　２．（大川）授業内評価実施（実技および筆記）　4/5 回以上の出席を必要とし，基準を満たした者について成績評価を実施する			１．50% ２．50%

授業科目名	特殊鍼灸治療学(刺絡・通電等)(鍼灸 A)				
主担当教員	大川　祐世		担当教員	大川　祐世／髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC037	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

１．　刺絡鍼法、耳鍼療法、灸頭鍼法、鍼通電療法など様々な鍼灸の特殊手技について指導する（刺絡鍼法に関しては法的な諸問題についても解説する）　２．　それぞれの特殊手技の特徴や応用領域について指導する　３．　様々な特殊手技を安全かつ正確に実践する方法を指導する

学修目標

１．　刺絡鍼法、耳鍼療法、灸頭鍼法、鍼通電療法など様々な鍼灸の特殊手技を習得する（刺絡鍼法に関しては法的な諸問題についても理解する）　２．　それぞれの特殊手技の特徴や応用領域について理解する　３．　様々な特殊手技を安全かつ正確に実践できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．　遅刻をしない（理由：授業前半に手技の解説を行うため)、欠席をしない（理由：各手技を学ぶ機会がそれぞれ１コマもしくは２コマしかないため）　２．　実習における身なりを整える。(施術者として清潔な身だしなみを心がける。白衣またはケーシーを着用し、装飾品を外す。爪は短く切る。)　３．　始業時間には、実技に必要な準備を済ませておく

教科書

授業内で資料配布

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

（髙橋）　不定期のため事前に要確認　（大川）　不定期のため事前に要確認

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	鍼通電療法①	予習：上肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：鍼治療に関連した衛生操作について復習しておく	髙橋
2	鍼通電療法②	予習：上肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
3	鍼通電療法③	予習：体幹部の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
4	鍼通電療法④	予習：体幹部の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
5	鍼通電療法⑤	予習：下肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
6	鍼通電療法⑥	予習：下肢の解剖を予習してくる（特に筋、神経の走行）　復習：新しく学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
7	鍼通電療法総復習	予習：鍼通電療法の応用について予習してくる　復習：これまでに学習した鍼通電療法について復習しておく	髙橋
8	鍼通電療法総復習	予習：鍼通電療法の応用について予習してくる　復習：これまでに学習した鍼通電療	髙橋

		法について復習しておく	
9	灸頭鍼療法①	予習：灸頭鍼療法について調べてくる　復習：学習した内容を復習しておく	大川
10	灸頭鍼療法②	予習：灸頭鍼療法について調べてくる　復習：学習した内容を復習しておく	大川
11	身体部位別刺鍼法①	予習：肩関節、頸部、腰部、肘関節の解剖を予習してくる　復習：本授業内容について復習しておく	大川
12	身体部位別刺鍼②	予習：肩関節、頸部、腰部、肘関節の解剖を予習してくる　復習：本授業内容について復習しておく	大川
13	吸角法①	予習：吸角法について予習しておく　復習：本授業内容について復習しておく	大川
14	吸角法②	予習：吸角法について予習しておく　復習：本授業内容について復習しておく	大川
15	刺絡概論	予習：刺絡について予習してくる　復習：本授業内容について復習しておく	大川
成績評価方法と基準			割合
１．（高橋）授業内評価実施（実技）　２．（大川）授業内評価実施（実技および筆記）　4/5 回以上の出席を必要とし，基準を満たした者について成績評価を実施する			１．50% ２．50%

授業科目名	附属施術所基礎実習（鍼灸 B）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之／髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC038	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 1 限、金曜 2 限)、後期(金曜 3 限、金曜 4 限)
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

【附属施術所実習】　附属施術所実習では、教員の診療を見学して患者への対応力・知識・技術を理解する。学習の進度によるが、患者の検査、治療の補助を指示することがある。3 年次の実習では、特に整形外科・運動器系疾患に対する現代医学的な対処法について学習する。　【カンファレンス】　3 年次に開講される本講義のカンファレンスは、整形外科系疾患に関する診療について理解することを目的にしている。各講義で提示される課題について討議し、問題を解決することを繰り返す。また、ロールプレイ方式を用いて疾患に関する医療面接、検査、病態把握、治療方針決定、治療の実践の全てを行い、実践力を養う。後期後半には 2 年次生と合同カンファレンスを行い、2 年次生を患者として診察・治療を実施する。

学修目標

【附属施術所実習】　①教員の診療を見学し、学習する。　②医療面接を行い、病態を理解する。　③必要な検査を選択し、患者に実施して病態把握に結び付けることができる。　④医療面接・検査結果から病態把握を行い、治療計画を策定できる。　【カンファレンス】　①模擬症例を用いたロールプレイを経て、診療の一連の流れを理解する。　②施術所実習を経て得た情報に基づいて小グループにて討議する。　③施術所実習を経て得た情報に基づいて、検査、治療計画の立案と実践を行うことができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

【附属施術所実習】　指定された集合時間を遵守すること。特別な事情がない限り遅刻は認めない。　指定された服装、髪型などについて遵守すること。不適切な場合は参加を認めない。　積極的に討議に参加すること。　実習をやむを得ない理由で欠席した場合は、補習を実施することがある。この場合、追評価の扱いとなる。　実習をやむを得ない理由以外で欠席あるいは参加を認められなかった場合、評価を受ける資格を喪失するため、評価を行わない。この場合、補習の実施については学科会議にて協議して決定するが、認められた場合は再評価の扱いとなる。　【カンファレンス】　指定された集合時間を遵守すること。特別な事情がない限り遅刻は認めない。　指定された服装、髪型などについて遵守すること。不適切な場合は参加を認めない。　積極的に討議に参加すること。　模擬患者の診察・治療において知りえた事実について、守秘義務を遵守すること。

教科書

特に指定しない。

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

【附属施術所実習】　実習時の指導者の指示に従うこと。　【カンファレンス担当：鍋田】　月～金の昼休み時間　東棟 4 階 12 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	カンファレンス　1，2 単元　ロールプレイ①上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　　報告書の作成方法指導　文献検索	予習：鍼灸診断治療学、運動機能検査法、医療コミュニケーションを再度確認しておくこと。　復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめる	鍋田

	方法指導	こと。	
2	カンファレンス　3,4 単元　ロールプレイ②頸肩部･上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成	予習：対象疾患の鍼灸治療について学習すること　復習：治療法を復習すること 対象疾患の文献を 1 編検索して学習すること	鍋田
3	カンファレンス　5,6 単元　ロールプレイ③腰部･腰下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成	予習：対象疾患の鍼灸治療について学習すること　復習：治療法を復習すること 対象疾患の文献を 1 編検索して学習すること	鍋田
4	カンファレンス　7,8 単元　ロールプレイ④下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成	予習：対象疾患の鍼灸治療について学習すること　復習：治療法を復習すること 対象疾患の文献を 1 編検索して学習すること	鍋田
5	カンファレンス　9,10　施術所見学症例を用いたカンファレンス　　直近の施術所実習で学習した症例について､同一奨励を担当した学生同士で報告用 PPT を作成し､引用文献に基づいて 1 グループ 10 分間の発表を行い、ディスカッションを行う。	予習：直近の施術所実習にて学習した症例について、報告用 PPT を作成すること　復習：カンファレンスの指摘事項について整理すること	鍋田
6	カンファレンス　11,12 単元　模擬患者(2 年生)を対象とした診察・治療トレーニング	予習：鍼灸診断治療学、運動機能検査法、医療コミュニケーションを再度確認しておくこと。　復習：症例について病態、治療法などをまとめること。	高橋
7	カンファレンス　13,14 単元　カンファレンス 11,12 単元の診療内容に関するカンファレンス（2 年生へ指導）	予習：自身の診療内容にいて、報告できるように準備する。　復習：症例について病態、治療法などをまとめること。	高橋
8	カンファレンス　15,16 単元　模擬患者(2 年生)を対象とした診療トレーニングと解説訓練	予習：鍼灸診断治療学、運動機能検査法、医療コミュニケーションを再度確認しておくこと。　復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。	高橋
9	附属施術所実習　1, 2 単元　教員の診療見学	医療面接における注意事項を再確認して臨むこと。　集合時間を厳守し、服装･髪型に注意すること。　患者側の立場に立った言動を心がけ、医療人とは何かを考えてくること。	鍋田・高橋
10	附属施術所実習　単元 3,4　医療面接トレーニング・症例報告	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。 終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
11	附属施術所実習　単元 5,6　医療面接から病態把握をし、検査を選択するトレーニング	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。 終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
12	附属施術所実習　単元 7,8　医療面接・検査結果から病態把握をし､治療方針を打ち出すトレーニング	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。 終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
13	附属施術所実習　単元 9,10　医療面接・検査結果から病態把握をし､治療方針を打ち出すトレーニング。治療補助。	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。 終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
14	附属施術所実習　単元 11,12　診療の一連の流れを学生患者を用いて全て実践するトレーニング	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。 終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
15	附属施術所実習　期末評価トレーニング　模擬	予習：国家試験対象科目である東洋医学臨	鍋田・高橋

	症例の問診　問診結果から筆記試験を解答する ①病態把握　②必要な検査と想定される陽性所見　③治療計画　④治療内容　⑤患者指導	床論の現代系で出題される各種疾患への対応を学習すること。	
成績評価方法と基準			割合
附属施術所実習 60%　カンファレンス 40%とし、100 点満点で評価する。60 点以上を合格とする。　担当教官に報告書を提出して評価を受けること。　全出席を必要とする。　以下の全てに合格することを評価上の必須事項とする。　①客観的臨床能力試験（OSCE）（医療面接・検査・鍼灸治療）　面接、病態把握、運動機能検査の 3 試験を各 100 点で評価する。総合点で 60%以上、各試験で 50%以上を必要とする。　鍼灸治療の試験は、東洋療法学校協会実技試験の合否を評価とする。　②筆記　4 択問題を実施する。東洋医学概論、経絡経穴学、東洋医学臨床論より 100 問を出題し、60 点以上を合格とする。DP①④　③合同企業勉強会に出席すること　【カンファレンス】　模擬患者の診療報告 10 点×4 回＝40 点とする。　【附属施術所実習】　レポート評価 10 点×6 回＝60 点とする。		附属施術所実習 60%　カンファレンス 40%

授業科目名	附属施術所基礎実習（鍼灸 A）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之／髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC038	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

【附属施術所実習】　附属施術所実習では、教員の診療を見学して患者への対応力・知識・技術を理解する。学習の進度によるが、患者の検査、治療の補助を指示することがある。3 年次の実習では、特に整形外科・運動器系疾患に対する現代医学的な対処法について学習する。　【カンファレンス】　3 年次に開講される本講義のカンファレンスは、整形外科系疾患に関する診療について理解することを目的にしている。各講義で提示される課題について討議し、問題を解決することを繰り返す。また、ロールプレイ方式を用いて疾患に関する医療面接、検査、病態把握、治療方針決定、治療の実践の全てを行い、実践力を養う。後期後半には 2 年次生と合同カンファレンスを行い、2 年次生を患者として診察・治療を実施する。

学修目標

【附属施術所実習】　①教員の診療を見学し、学習する。　②医療面接を行い、病態を理解する。　③必要な検査を選択し、患者に実施して病態把握に結び付けることができる。　④医療面接・検査結果から病態把握を行い、治療計画を策定できる。　【カンファレンス】　①模擬症例を用いたロールプレイを経て、診療の一連の流れを理解する。　②施術所実習を経て得た情報に基づいて小グループにて討議する。　③施術所実習を経て得た情報に基づいて、検査、治療計画の立案と実践を行うことができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

【附属施術所実習】　指定された集合時間を遵守すること。特別な事情がない限り遅刻は認めない。　指定された服装、髪型などについて遵守すること。不適切な場合は参加を認めない。　積極的に討議に参加すること。　実習をやむを得ない理由で欠席した場合は、補習を実施することがある。この場合、追評価の扱いとなる。　実習をやむを得ない理由以外で欠席あるいは参加を認められなかった場合、評価を受ける資格を喪失するため、評価を行わない。この場合、補習の実施については学科会議にて協議して決定するが、認められた場合は再評価の扱いとなる。　【カンファレンス】　指定された集合時間を遵守すること。特別な事情がない限り遅刻は認めない。　指定された服装、髪型などについて遵守すること。不適切な場合は参加を認めない。　積極的に討議に参加すること。　模擬患者の診察・治療において知りえた事実について、守秘義務を遵守すること。

教科書

特に指定しない。

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

【附属施術所実習】　実習時の指導者の指示に従うこと。　【カンファレンス担当：鍋田】　月～金の昼休み時間　東棟 4 階 12 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	カンファレンス　1，2 単元　ロールプレイ①上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成　　報告書の作成方法指導　文献検索	予習：鍼灸診断治療学、運動機能検査法、医療コミュニケーションを再度確認しておくこと。　復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめる	鍋田

	方法指導	こと。	
2	カンファレンス　3,4 単元　ロールプレイ②頸肩部･上肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成	予習：対象疾患の鍼灸治療について学習すること　復習：治療法を復習すること 対象疾患の文献を 1 編検索して学習すること	鍋田
3	カンファレンス　5,6 単元　ロールプレイ③腰部･腰下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成	予習：対象疾患の鍼灸治療について学習すること　復習：治療法を復習すること 対象疾患の文献を 1 編検索して学習すること	鍋田
4	カンファレンス　7,8 単元　ロールプレイ④下肢の整形外科疾患に基づいたロールプレイ　①症例の問診　②検査の選択と実施　③治療計画の作成	予習：対象疾患の鍼灸治療について学習すること　復習：治療法を復習すること 対象疾患の文献を 1 編検索して学習すること	鍋田
5	カンファレンス　9,10　施術所見学症例を用いたカンファレンス　　直近の施術所実習で学習した症例について､同一奨励を担当した学生同士で報告用 PPT を作成し､引用文献に基づいて 1 グループ 10 分間の発表を行い、ディスカッションを行う。	予習：直近の施術所実習にて学習した症例について、報告用 PPT を作成すること　復習：カンファレンスの指摘事項について整理すること	鍋田
6	カンファレンス　11,12 単元　模擬患者(2 年生)を対象とした診察・治療トレーニング	予習：鍼灸診断治療学、運動機能検査法、医療コミュニケーションを再度確認しておくこと。　復習：症例について病態、治療法などをまとめること。	高橋
7	カンファレンス　13,14 単元　カンファレンス 11,12 単元の診療内容に関するカンファレンス（2 年生へ指導）	予習：自身の診療内容にいて、報告できるように準備する。　復習：症例について病態、治療法などをまとめること。	高橋
8	カンファレンス　15,16 単元　模擬患者(2 年生)を対象とした診療トレーニングと解説訓練	予習：鍼灸診断治療学、運動機能検査法、医療コミュニケーションを再度確認しておくこと。　復習：提示症例や外来診察して症例について病態、治療法などをまとめること。	高橋
9	附属施術所実習　1, 2 単元　教員の診療見学	医療面接における注意事項を再確認して臨むこと。　集合時間を厳守し、服装･髪型に注意すること。　患者側の立場に立った言動を心がけ、医療人とは何かを考えてくること。	鍋田・高橋
10	附属施術所実習　単元 3,4　医療面接トレーニング・症例報告	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。　終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
11	附属施術所実習　単元 5,6　医療面接から病態把握をし、検査を選択するトレーニング	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。　終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
12	附属施術所実習　単元 7,8　医療面接・検査結果から病態把握をし､治療方針を打ち出すトレーニング	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。　終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
13	附属施術所実習　単元 9,10　医療面接・検査結果から病態把握をし､治療方針を打ち出すトレーニング。治療補助。	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。　終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
14	附属施術所実習　単元 11,12　診療の一連の流れを学生患者を用いて全て実践するトレーニング	集合時間を厳守し､服装･髪型に注意すること。　患者に対するために何をすべきかを考え､必要な予習をして臨むこと。　終了後は 1 週間以内にレポートを完成させ、指導教員の確認を受けてから提出すること。	鍋田・高橋
15	附属施術所実習　期末評価トレーニング　模擬	予習：東洋医学臨床論の現代系の各種疾患	鍋田・高橋

	症例の問診　問診結果から筆記試験を解答する ①病態把握　②必要な検査と想定される陽性所見　③治療計画　④治療内容　⑤患者指導	への対応を学習すること。	
成績評価方法と基準			割合
附属施術所実習 60%　カンファレンス 40%とし、100 点満点で評価する。60 点以上を合格とする。　担当教官に報告書を提出して評価を受けること。　全出席を必要とする。　以下の全てに合格することを評価上の必須事項とする。　①客観的臨床能力試験（OSCE）（医療面接・検査・鍼灸治療）　面接、病態把握、運動機能検査の 3 試験を各 100 点で評価する。総合点で 60%以上、各試験で 50%以上を必要とする。　鍼灸治療の試験は、東洋療法学校協会実技試験の合否を評価とする。　②筆記　4 択問題を実施する。東洋医学概論、経絡経穴学、東洋医学臨床論より 100 問を出題し、60 点以上を合格とする。DP①④　③合同企業勉強会に出席すること　【カンファレンス】　模擬患者の診療報告 10 点×4 回＝40 点とする。　【附属施術所実習】　レポート評価 10 点×6 回＝60 点とする。			附属施術所実習 60%　カンファレンス 40%

授業科目名	附属施術所応用実習（鍼灸 B）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太／尾﨑　朋文	
科目ナンバリング	SS20BACC039	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜 1 限、火曜 2 限、火曜 3 限、火曜 4 限、火曜 5 限)、後期(実習)
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

１．教員の指導下で、施術活動に補助として参加する。　２．問診や診察により病態を推察し、治療計画や評価について教員と意見交換をする。　３．観察あるいは施術補助した症例や疾患について、文献検索などを用いて調べ、power point 等を用いてカンファレンスで発表し討論する。

学修目標

１．基本的な患者応対、問診、診察補助、鍼灸適否判断、施術補助、記録ができる。　２．患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身に付ける。 ３．観察した症例を正確に記し、病態や治療効果を客観的に分析してプレゼンできる。　４．現代医学、東洋医学の両面で患者の病態を把握できる力を身につける。　５．模擬患者を対象として実際に治療ができる技術を身に付ける。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．実習マニュアルにもとづき、身だしなみや態度などに細心の注意を払うこと。　２．遅刻は、臨床業務に支障を来たす行為であり、臨床実習における心構えの観点からも認めない。　３．指定された時間に附属鍼灸施術所に集合し、出席確認・身だしなみチェック・必要備品のチェック・注意事項などを行った上で実習を開始する。　４．施術準備を手伝う。　５．少数人数に分かれ教員のブースで見学や施術補助を行う。　６．片付けを手伝う。　７．疑問点や学んだことをメモして、臨床実習終了後に調べてまとめ、グループや担当教員と意見交換を行う。

教科書

各授業時に配付された資料に基づく

参考書

１．工藤慎太郎編著＜運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学、医学書院＞　２．工藤慎太郎編著＜運動療法の「なぜ？」がわかる超音波剖学、医学書院＞

研究室／オフィスアワー

報告書の提出時に、書く指導教員の指定する日時・場所にて実施する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	１．施術所における実習　　１）小グループによるローテーションとする。　　２）指導教員の下で、患者案内、問診、診察、施術補助などを行う。　　３）模擬カルテに記録し、不明な点を調べて加筆した後、 実習簿にあるカンファレンス用紙に記載する。模擬カルテの書き方は SOAP 方式に沿って記載する。実習簿にあるカンファレンス用紙は、意見交換した施術担当教員の印をもらう。　２．臨床カンファレンス（隔回で実施する）　１）観察・施術補助した症例、あるいは与えられた課題疾患について調べる。２）プレゼン資料を作成する。（最低 1 文献以上は論文検索を行うこと）　３）資料（配布または power point 等）に基づき症例の発表をする。　４）討論して意見交換を行う。	予習：経絡経穴学、現代医学系鍼灸実習、東洋医学系鍼灸実習、附属施術所基礎実習で学んだ内容を実習に入る前に確認すること。　復習：附属施術所で見学した症例について各自で調べ、power point 等にまとめること。	辻

	３．医療面接トレーニング（時間的に余裕がある場合に実施する）　　１）小グループで協力患者または模擬患者を相手に医療面接を行う。　２）学生全体で問題点を指摘し合う。　　３）教員から改善点の指導を受ける。　　４．診察トレーニング（隔回で実施する）　　１）徒手検査、東洋医学検査を模擬患者相手に実施し、修練する。　　２）全ての学生が検査と診察をスムーズに出来るように実施する。　　３）模擬患者を相手に診察から施術までのロールプレイ式トレーニングを行う。　　４）初回に限り、文献検索の方法も合わせて指導する。		
成績評価方法と基準			割合
①実習態度・身だしなみ・質疑応答・施術補助能力に関するチェックを行う。　②カンファレンスにおける発表や取り組みを学内ルーブリックに基づき評価する。　※カンファレンスは全て出席し、症例報告のプレゼン、発言、知識のチェックを行う。　※割り当てられた全てのローテーションへの出席を必要とする。　DP①④　上記全ての項目が認められて、初めて成績として評価を行う。　但し、学年末試験が 60 点以上とれていない場合は再試験を受けなければならない。　出席では公欠の場合に補講を実施するが、その他の遅刻・欠席の補講は認めず、成績を不可とする。			①60%　②40%

授業科目名	附属施術所応用実習（鍼灸 A）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太／尾﨑　朋文	
科目ナンバリング	SS20BACC039	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限)、後期(実習)
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

附属施術所における見学実習に必要な診察上の基礎知識や、医療従事者としての常識を身につける。ロールプレイを通じて、診療の流れを理解する。自身が患者になることによって、患者の立場を理解する。積極的にディスカッションに参加する。　　また、スポーツ現場において、安全かつ計画的に鍼灸師が治療を行うのに必要な検査・病態把握・対処法について学ぶ。スポーツ障害の基本を理解するとともに、傷害の予防法・治療法をテーピング、目的筋別のストレッチ法などを用いて、アスリートのコンディション、パフォーマンス向上についての知識・技術の習得およびスポーツ外傷の応置を習得する。

学修目標

①医療者として自覚と責任ある行動ができるようになる。　②患者の立場を理解する。　③診療の流れを身に着ける。　④ディスカッションに自らの意見を持って積極的に参加する。　⑤スポーツ鍼灸に必要なテーピング・ストレッチの知識を習得し説明できる。　⑥スポーツ外傷の処置の知識を習得し説明できる。　⑦スポーツに必要な関連領域の事項について理解し説明できる。
DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

常にそばに患者がいると想定しながら、現場を意識して授業に臨む。　実習室を使用する際には白衣の着用を義務付け，態度不良な場合は、減点の対象とする。

教科書

各授業時に配付された資料に基づく

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

報告書の提出時に、各指導教員の指定する日時・場所にて実施する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1．施術所における実習　1）小グループによるローテーションを行う。　2）指導教員下で、患者案内、問診、診断、施術補助を行う。　3）模擬カルテに記載し、不明な点を調べて加筆した後、実習簿のあるカンファレンス用紙に記載する。模擬カルテの書き方は SOAP 方式に沿って記載する。実習簿にあるカンファレンス用紙は、意見交換した担当教員に印をもらう。　2、臨床カンファレンス（隔回の実施）　1）観察。施術補助した症例、あるいは与えられた課題疾患について調べる。　2）プレゼン資料を作成する。(1 文献以上の論文検索を行う)　3）資料（配布または Power　Point 等)に基づき症例を発表する。4）討論して意見交換を行う。　3、医療面接トレーニング（時間的に余裕のある場合に実施）1）小グループで協力患者または模擬患者相手に	予習：経絡経穴学、現代医学系鍼灸実習、スポーツ医学等について付属施術所基礎実習で学んだ内容を実習前に確認する。 復習：附属施術所で見学した症例について各自で調べ、power　point 等にまとめる。	仲西・橋垣

	実施する。 2)学生全体で問題点を指摘し合う。3）教員から改善点の指導を受ける。 4、徒手検査､テーピング､ストレッチトレーニング(隔回の実施) 1）スポーツ障害等の症例に対する検査を、診察をスムーズに行うように実施する。2）模擬患者を相手に診察から、対処法（テーピング､ストレッチ等）をロールプレイ式でトレーニングを行う。 3）文献検索の方法も合わせて指導する。		
成績評価方法と基準			割合
①実習態度・身だしなみ・質疑応答・施術補助能力に関するチェックを行う。 ②カンファレンスにおける発表や取り組みを学内ルーブリックに基づき評価する。 ※カンファレンスは全て出席し、症例報告のプレゼン、発言、知識のチェックを行う。 ※割り当てられた全てのローテーションへの出席を必要とする。 上記全ての項目が認められて、初めて成績として評価を行う。 但し、学年末試験が 60 点以上とれていない場合は再試験を受けなければならない。 出席では公欠の場合に補講を実施するが、その他の遅刻・欠席の補講は認めず、成績を不可とする。 DP①④			①60% ②40%

授業科目名	鍼灸総合演習Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太／鍋田　智之／堀川　奈央／森　優也／山口　修平	
科目ナンバリング	SS20BACC041	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限、水曜 2 限、水曜 4 限、木曜 3 限、金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

卒業年次を迎えて、これまで学習した事項を整理し、改めて学習することで認識が深まることを目的とする。ここでは、鍼灸臨床を行う上で頻度の高い項目について、「解剖学」「生理学」「東洋医学概論」「経絡経穴学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」を関連付けて学習する。

学修目標

3 年次までの学習で鍼灸臨床を行う上で重要な知識を再認識したと考える。4 年次に改めて学習することで、知識を完成させて卒業後の臨床で活用できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①開講される全ての科目において 3 分の 2 以上の出席を求める。　②自主的かつ計画的に自宅学習を行うこと。　③授業中の許可ない入退室および睡眠は認めない。

教科書

新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）編集 ： 公益社団法人東洋療法学校協会　ISBN ： 978-4-524-23116-4

参考書

東洋療法学校協会編　「解剖学」「生理学」「東洋医学概論」「経絡経穴学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従うこと。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	気血津液弁証　　臓腑弁証	予習：気血津液のさまざまな病的状態を確認する。各臓腑の特徴を確認する。　復習：各弁証の特徴的な症状を覚える。臓腑の失調で出現する特徴的な症状を覚える。	鍼灸学科教員
2	経脈病証　　六経弁証	予習：経脈病証について、教科書で予習する。六経弁証について、教科書で予習しておく。　復習：経脈の流注上の症状を確実に覚えてから、その他の症状を覚えていく。授業で習った六経ごとの症状を、確実に覚える。	鍼灸学科教員
3	奇経八脈病証　　黄帝内経中の疾病	予習：奇経八脈の流注や八総穴を覚える。内経中に出てくる様々な疾病名は難しい名称が多いため、教科書で予習しておく。復習：奇経八脈の病証を理解し、覚える。各疾病を理解して覚える。	鍼灸学科教員
4	脈診、腹診、舌診	予習：脈診、腹診、舌診について確認する。　復習：弁証と絡めて覚える。	鍼灸学科教員
5	難経６９難、難経７５難	予習：難経 69 難について確認する。　復習：難経 69 難によって導き出される経穴を覚える。	鍼灸学科教員
6	補瀉の手技　　古代鍼法	予習：補瀉の手技を確認する。古代九鍼と古代刺法を確認する。　復習：補瀉の手技	鍼灸学科教員

		を覚える。古代九鍼を 3 つの分類ごとに覚え、それらを用いて行う古代刺法を覚える。	
7	解剖学の基礎　骨学、筋学（体幹）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
8	骨学、筋学（上肢、下肢）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
9	脈管（心臓）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
10	脈管（動脈、静脈）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
11	内臓（消化管、呼吸器）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
12	内臓（腎臓、生殖器）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
13	神経系（中枢神経）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
14	神経系（自律神経）	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
15	血液・心臓	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
16	血圧、呼吸器の機能	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
17	消化器の機能、代謝	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
18	体温、腎機能	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
19	内分泌、生殖器の機能	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
20	神経の機能（神経、シナプス、末梢神経）　中枢の機能	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
21	筋の作用機序、反射	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
22	感覚器の機能　生体の防御系	毎回、前回の学習分について小テストを行います。復習を怠らないようにしてください。	鍼灸学科教員
23	骨度法	経穴を取るための骨度について予習してください。	鍼灸学科教員
24	経絡の流注	経絡の接続や流れを確認する。	鍼灸学科教員
25	総経穴の学習	経穴の書き取りテストを実施する。要予習。	鍼灸学科教員
26	胸部・腹部の経穴の確認	主に横並びについての学習を行う。小テストなども行うので要復習のこと。	鍼灸学科教員
27	経穴に関する解剖学	経穴に関係した局所解剖についての講義。要復習。	鍼灸学科教員
28	要穴の学習	要穴について、小テストも複数回行う。要復習。	鍼灸学科教員

29	奇経八脈の学習	小テストなども行う。要復習。	鍼灸学科教員
30	演習問題の学習	演習問題で誤った問題についてノートに解説を作成し、１週間以内に提出すること。	鍼灸学科教員
成績評価方法と基準			割合
１５週で構成される科目が４種類ある。全体で３分の２以上の出席が必要である。　学期末評価として５科目によって構成される１００問の試験を実施する。６０点以上で合格とする。			期末評価 100%

授業科目名	鍼灸総合演習Ⅱ(鍼灸):別途開講				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之／髙橋　秀郎／安部　辰夫／森優也／山本　哲也	
科目ナンバリング	SS20BACC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	集中講義
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

卒業年次を迎えて、これまで学習した事項を整理し、改めて学習することで認識が深まることを目的とする。ここでは、現代医学を遂行する上で必要な一般臨床医学に繋がる知識について、「医療概論」「公衆衛生学」「関係法規」「解剖学」「生理学」「病理学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」「リハビリテーション医学」を関連付けて学習する。

学修目標

3 年次までの学習で医学知識および技術を遂行する上で重要な知識を再認識したと考える。4 年次に改めて学習することで、知識を完成させて卒業後の臨床で活用できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①開講される全ての科目において３分の２以上の出席を求める。　②自主的かつ計画的に自宅学習を行うこと。　③授業中の許可ない入退室および睡眠は認めない。

教科書

特に指定しない。

参考書

東洋療法学校協会編　「医療概論」「公衆衛生学」「関係法規」「解剖学」「生理学」「病理学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従うこと。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	社会保障制度、医療制度について理解する。医療倫理について理解する。 医療関係法規について理解する。	予習：我が国の社会保障制度について調べる。我が国の法制度について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
2	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律を深く理解する。	予習：関係法規を確認しておく。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
3	公衆衛生活動の概要を理解する。 ライフスタイル、食品衛生や運動と健康との関係を理解する。	予習：予防医学について調べる。食中毒の種類、原因、症状を調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
4	環境と健康①　生活環境と健康との関係を理解する。	予習：病理学の病因分類を確認しておく。復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
5	環境と健康②　公害、環境問題について理解する。	予習：環境問題について情報を収集する。復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
6	産業保健を理解する。　精神保健、精神障害を理解する。	予習：労働衛生、精神保健について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
7	母子保健について理解する。 成人保健および高齢者保健につい理解する。	予習：母子保健統計、生活習慣病について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員

8	感染症とその対策について理解する。	予習：感染症法について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
9	消毒法消毒法の種類と内容について理解する。疫学と保健統計について理解する。	予習：消毒薬、分析疫学について調べる。復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
10	診察学・疾患各論　①診察の方法、神経疾患	予習：シラバスを確認する。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
11	診察学・疾患各論　②生命徴候の診察、整形外科疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
12	診察学・疾患各論　③局所の診察、循環器・呼吸器疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
13	診察学・疾患各論　④全身の診察、内分泌疾患、肝胆膵疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
14	診察学・疾患各論　⑤神経系の診察、血液・造血器疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
15	診察学・疾患各論　⑥神経系の診察、膠原病、代謝・栄養疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
16	診察学・疾患各論　⑦運動機能検査、感染症	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
17	診察学・疾患各論　⑧臨床検査法、消化管疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
18	診察学・疾患各論　⑨その他の診察、主な症状の診察法、泌尿器疾患、一般外科	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
19	診察学・疾患各論　⑩主な症状の診察法、麻酔科・耳鼻科疾患・眼科疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
20	診察学・疾患各論　⑪主な症状の診察法、その他の疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
21	感覚器系（視覚）	解剖学全範囲の 4 択問題を実施します。誤った部分の解説を作成しなさい。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
22	感覚器系（聴覚）	解剖学全範囲の 4 択問題を実施します。誤った部分の解説を作成しなさい。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
23	解剖学総合学習	解剖学全範囲の 4 択問題を実施します。誤った部分の解説を作成しなさい。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
24	疾病についての基本的考え方、病因	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
25	循環障害	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
26	退行性病変	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
27	進行性病変	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
28	植物生理学復習	予習：特になし　復習：課題ノートの提出　復習 4 時間	鍼灸学科教員
29	動物生理学復習	予習：特になし　復習：課題ノートの提出　復習 4 時間	鍼灸学科教員
30	生理学総合演習	予習：特になし　復習：課題ノートの提出　復習 4 時間	鍼灸学科教員

成績評価方法と基準	割合
開講される全ての科目（分類はオリエンテーションで指定）を総合して３分の２以上の出席を必要とする。　後期に実施される６回の単位認定試験（１８０問）のうち、当該科目にあたる問題数のうち、以下の条件を必要とする。　①６回の試験の平均で６割以上　②１～４の試験で５割以上で、かつ５，６回試験の平均で６割以上　①あるいは②の条件を満たしたものを合格とする。	100%

授業科目名	鍼灸総合演習Ⅱ（鍼灸）				
主担当教員	髙橋　秀郎		担当教員	髙橋　秀郎／鍋田　智之／安部　辰夫／森優也／山本　哲也	
科目ナンバリング	SS20BACC042	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(水曜 1 限、水曜 2 限)、後期(水曜 1 限、木曜 1 限、木曜 2 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

卒業年次を迎えて、これまで学習した事項を整理し、改めて学習することで認識が深まることを目的とする。ここでは、現代医学を遂行する上で必要な一般臨床医学に繋がる知識について、「医療概論」「公衆衛生学」「関係法規」「解剖学」「生理学」「病理学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」「リハビリテーション医学」を関連付けて学習する。

学修目標

3 年次までの学習で医学知識および技術を遂行する上で重要な知識を再認識したと考える。4 年次に改めて学習することで、知識を完成させて卒業後の臨床で活用できる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

①開講される全ての科目において３分の２以上の出席を求める。　②自主的かつ計画的に自宅学習を行うこと。　③授業中の許可ない入退室および睡眠は認めない。

教科書

特に指定しない。

参考書

東洋療法学校協会編　「医療概論」「公衆衛生学」「関係法規」「解剖学」「生理学」「病理学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従うこと。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	社会保障制度、医療制度について理解する。医療倫理について理解する。　医療関係法規について理解する。	予習：我が国の社会保障制度について調べる。我が国の法制度について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
2	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律を深く理解する。	予習：関係法規を確認しておく。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
3	公衆衛生活動の概要を理解する。　ライフスタイル、食品衛生や運動と健康との関係を理解する。	予習：予防医学について調べる。食中毒の種類、原因、症状を調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
4	環境と健康①　生活環境と健康との関係を理解する。	予習：病理学の病因分類を確認しておく。復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
5	環境と健康②　公害、環境問題について理解する。	予習：環境問題について情報を収集する。復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
6	産業保健を理解する。　精神保健、精神障害を理解する。	予習：労働衛生、精神保健について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定	鍼灸学科教員

		着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	
7	母子保健について理解する。 成人保健および高齢者保健につい理解する。	予習：母子保健統計、生活習慣病について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
8	感染症とその対策について理解する。	予習：感染症法について調べる。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
9	消毒法消毒法の種類と内容について理解する。疫学と保健統計について理解する。	予習：消毒薬、分析疫学について調べる。 復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。　予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
10	診察学・疾患各論　①診察の方法、神経疾患	予習：シラバスを確認する。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
11	診察学・疾患各論　②生命徴候の診察、整形外科疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
12	診察学・疾患各論　③局所の診察、循環器・呼吸器疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
13	診察学・疾患各論　④全身の診察、内分泌疾患、肝胆膵疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
14	診察学・疾患各論　⑤神経系の診察、血液・造血器疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
15	診察学・疾患各論　⑥神経系の診察、膠原病、代謝・栄養疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
16	診察学・疾患各論　⑦運動機能検査、感染症	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
17	診察学・疾患各論　⑧臨床検査法、消化管疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
18	診察学・疾患各論　⑨その他の診察、主な症状の診察法、泌尿器疾患、一般外科	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
19	診察学・疾患各論　⑩主な症状の診察法、麻酔科・耳鼻科疾患・眼科疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
20	診察学・疾患各論　⑪主な症状の診察法、その他の疾患	予習：配布課題の解答解説をする。　復習：配布資料を活用した知識の定着を図る。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
21	感覚器系（視覚）	解剖学全範囲の 4 択問題を実施します。誤った部分の解説を作成しなさい。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
22	感覚器系（聴覚）	解剖学全範囲の 4 択問題を実施します。誤った部分の解説を作成しなさい。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
23	解剖学総合学習	解剖学全範囲の 4 択問題を実施します。誤った部分の解説を作成しなさい。 予習 2 時間、復習 2 時間	鍼灸学科教員
24	疾病についての基本的考え方、病因	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
25	循環障害	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
26	退行性病変	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
27	進行性病変	予習：特になし　復習：授業をもとに・教科書の確認　復習 4 時間	鍼灸学科教員
28	植物生理学復習	予習：特になし　復習：課題ノートの提出 復習 4 時間	鍼灸学科教員

29	動物生理学復習	予習：特になし　復習：課題ノートの提出 復習 4 時間	鍼灸学科教員
30	生理学総合演習	予習：特になし　復習：課題ノートの提出 復習 4 時間	鍼灸学科教員
成績評価方法と基準			割合
開講される全ての科目（分類はオリエンテーションで指定）を総合して３分の２以上の出席を必要とする。　後期に実施される６回の単位認定試験（１８０問）のうち、当該科目にあたる問題数のうち、以下の条件を必要とする。　①６回の試験の平均で６割以上　②１～４の試験で５割以上で、かつ５，６回試験の平均で６割以上　①あるいは②の条件を満たしたものを合格とする。			100%

授業科目名	鍼灸総合演習Ⅲ（鍼灸）				
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太／松熊　秀明／堀川　奈央／山口　修平	
科目ナンバリング	SS20BACC043	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限、水曜 3 限、水曜 4 限、金曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

卒業年次を迎えて、これまで学習した事項を整理し、改めて学習することで認識が深まることを目的とする。ここでは、鍼灸臨床を行う上で頻度の高い項目について、「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」「経絡経穴学」「はり理論・きゅう理論」を関連付けて学習する。

学修目標

3 年次までの学習で鍼灸臨床を行う上で重要な知識を再認識したと考える。4 年次に改めて学習することで、知識を完成させて卒業後の臨床で活用できる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

①開講される全ての科目において３分の２以上の出席を求める。　②自主的かつ計画的に自宅学習を行うこと。　③e-ラーニングを活用すること。　④授業中の許可ない入退室および睡眠は認めない。

教科書

新版経絡経穴概論、東洋療法学校協会編、医道の日本　新版東洋医学概論、東洋療法学校協会編、医道の日本　東洋医学臨床論 はりきゅう編、東洋療法学校協会編、医道の日本

参考書

東洋療法学校協会編　「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」「経絡経穴学」「はりきゅう理論」　東洋学術出版社　「鍼灸学（臨床編）」

研究室／オフィスアワー

各教員の指示に従うこと。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	気血津液や蔵象の復習（東洋医学概論）	予習：東洋医学概論の振り返り　復習：授業でのキーワードを振り返り、まとめること	堀川
2	八綱弁証、気血津液弁証、臓腑弁証の解説（東洋医学概論）	予習：蔵象の振り返り　復習：配布する症例問題から弁証を立てられるように日頃より取り組んでください	堀川
3	東洋医学症例　過去問題での対策（東洋医学臨床論　東洋）	臓腑のキーワードを振り返りながら、練習問題のキーワードを確認する。	堀川
4	東洋医学症例、過去問題の解答（東洋医学臨床論東洋）	練習問題を確認する。	堀川
5	東洋臨床論問題作成と解説作成（東洋医学臨床論東洋）	出来る限り東洋的キーワードを押さえながら、症例を考えてきてください。	堀川
6	東洋医学臨床論　問題演習①	予習：特になし　復習：問題解説を確認して下さい	堀川
7	東洋医学臨床論　問題演習②	予習：特になし　復習：問題解説を確認して下さい	堀川
8	東洋医学臨床論　問題演習③	予習：特になし　復習：問題解説を確認して下さい	堀川
9	経絡経穴　問題演習①	予習:特になし　復習:問題解説を確認して下さい	山口

10	経絡経穴　問題演習②	予習:特になし　復習:問題解説を確認して下さい	山口
11	経絡経穴　問題演習③	予習:特になし　復習:問題解説を確認して下さい	山口
12	経絡経穴　問題演習④	予習:特になし　復習:問題解説を確認して下さい	山口
13	東洋医学臨床論（現代）　腰下肢の疾患と鍼灸治療	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	髙﨑　山口
14	東洋医学臨床論（現代）　上肢のスポーツ障害と鍼灸治療	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	髙﨑　山口
15	東洋医学臨床論（現代）　下肢のスポーツ障害と鍼灸治療	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	髙﨑　山口
16	東洋医学臨床論（現代）　顔面神経麻痺、三叉神経痛、後頭神経痛と鍼灸治療	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	髙﨑　山口
17	東洋医学臨床論（現代）　内科　神経内科	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	髙﨑　山口
18	東洋医学臨床論（現代）　外科・麻酔科	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	髙﨑　山口
19	東洋医学臨床論（現代）　心療内科・歯科・眼科・その他	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	髙﨑　山口
20	五要穴確認	予習:要穴を振り返ってください　復習:要穴表をマスターするまで反復してください	山口
21	背部兪穴の確認	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	山口
22	腹部・胸部の経穴の確認	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	山口
23	頭部の経穴の確認	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	山口
24	上腕部・大腿部の経穴の確認	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	山口
25	4 択問題を通して、全経絡・全経穴の確認	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	山口
26	鍼灸の基礎知識	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	松熊
27	リスク管理	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	松熊
28	鍼灸治効の基礎	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	松熊
29	鍼灸療法の一般治効理論	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	松熊
30	関連学説	予習：特になし　復習：課題ノートの提出	松熊
成績評価方法と基準			割合
開講される全ての科目（分類はオリエンテーションで指定）を総合して３分の２以上の出席を必要とする。　後期に実施される６回の単位認定試験（１６０問）のうち、当該科目にあたる問題数のうち、以下の条件を必要とする。　①６回の試験の平均で６割以上　②１～４の試験で５割以上で、かつ５，６回試験の平均で６割以上　①あるいは②の条件を満たしたものを合格とする。　＜DP①＞			100%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これら一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を習得する。成果は報告書（抄録）として提出し報告集として印刷される。

学修目標

① 研究倫理について理解することが出来る (DP①④)
② 指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を習得できる (DP①④)
③ 関連文献の収集に関する方法を習得できる (DP①④)
④ 関連論文を批判的に吟味し、情報の質を評価できる (DP①④)
⑤ 質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる (DP①④)
⑥ 論理的な文章構成を用いて論文を作成できる (DP①④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

① ゼミの指導教員の指示に従って 30 単元以上の活動を行ってください
② 指導教員 1 名につき所属できるゼミ生は最大 4 名とします
③ 規程に従って、論文および報告書の提出をしてください
④ 研究計画を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部の承認を得て実施すること
⑤ 研究倫理を遵守すること

教科書

指導教員の指示に従う

参考書

指導教員の指示に従う

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容を考えておく 復習：教員との協議後、研究内容を具体的にまとめる	小田
2	文献の調べ方①	研究テーマに応じてキーワード検索を行い、学術論文の収集を行う	小田
3	文献の調べ方②	研究テーマに応じてキーワード検索を行い、学術論文の収集を行	小田
4	文献抄読会	収集した文献をまとめ、ゼミ内で発表する	小田
5	文献抄読会	収集した文献をまとめ、ゼミ内で発表する	小田

6	文献抄読会	収集した文献をまとめ、ゼミ内で発表する	小田
7	文献抄読会	収集した文献をまとめ、ゼミ内で発表する	小田
8	文献抄読会	収集した文献をまとめ、ゼミ内で発表する	小田
9	研究計画の作成	データ収集に向けて研究計画書を作成する	小田
10	研究計画の作成	データ収集に向けて研究計画書を作成する	小田
11	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
12	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
13	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
14	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
15	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
16	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
17	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
18	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
19	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
20	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
21	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
22	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめる	小田
23	データ収集、データ分析	卒業論文作成に向けた実験を実施し、データをまとめるrtttttt

授業科目名	卒業研究Ⅰ（鍼灸):共通教育				
主担当教員	長尾　晋宏		担当教員	長尾　晋宏	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

興味のある鍼灸分野における海外の論文と、日本の論文の比較研究を行う。どちらの言語もそれぞれいくつかの論文を読み、その治療法や効果を比較検討する。その中で、最も効果的であると考えられるものはどの治療であるのか、また、海外と日本では治療法の主流などに違いがあるのか等の情報を収集する。そして、それらの情報を元に、治療法についての考察を進めていく。その結果、論文上ではあるが、最も効果的であると考えられる治療法についての新しい視軸を提供することを目的とする。

学修目標

・学術活動を通じて、正しい情報の収集の仕方を学ぶ。　・集めた情報を整理し、分析し、そこから得られる結果について正しく判断できるようにする。　・鍼灸治療の有効性を検証し、その有効性を他者に論理的に説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・主体的に取り組むこと。　・地道に努力し続けること。　・何かわからない場合などは指導教員に相談すること。

教科書

なし

参考書

適時配布します。

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階 14 研究室　木曜日 1 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	論文収集のための知識について:論文収集の仕方を身につける	予習：興味のある鍼灸分野を決め、それについての知識を得ておくこと　復習：講義で得た知識を基に、実際に論文を検索し読んでみる	長尾
2	日本語論文精読と情報の収集①	予習：日本語の論文を２編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
3	英語論文精読と情報収集①	予習：英語の論文を１編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
4	日本語論文の精読と情報収集②	予習：日本語の論文を２編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
5	英語論文の精読と情報収集②	予習：英語の論文を１編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
6	日本語論文の精読と情報収集③	予習：日本語の論文を２編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
7	英語論文精読と情報収集③	予習：英語の論文を１編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文	長尾

		情報の整理	
8	これまでに収集した情報を考察する	予習：これまでに論文から得た情報を自分なりにまとめておく　復習：講義で得た知識をくわえ、論文情報を洗練させる	長尾
9	英語論文精読と情報収集④	予習：英語の論文を１編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
10	英語論文精読と情報収集⑤	予習：英語の論文を１編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
11	英語論文精読と情報収集⑥	予習：英語の論文を１編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
12	日本語論文精読と情報収集④	予習：英語の論文を２編読み、情報を収集する。　復習：講義で得た知識を基に論文情報の整理	長尾
13	比較研究の開始	予習：これまでに収集した情報をまとめておく　復習：講義内容をふまえ、収集した情報を洗練させる	長尾
14	中間報告準備	予習：中間報告のための発表要旨、パワーポイントの作成　復習：講義内容を基に、作成したものをさらに洗練させる	長尾
15	中間報告	予習：発表のリハーサル　復習：指摘事項の修正	長尾
16	第 16 回～第 30 回目は、担当者の指示に従うこと	第 16 回～第 30 回目は、担当者の指示に従うこと	長尾
成績評価方法と基準			割合
①ゼミ活動への積極的なかかわり　②中間報告資料（抄録・パワーポイント）と発表			①40% ②60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):共通教育				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

自分で選択したテーマについて深く掘り下げ、研究活動を行う。自分が選んだテーマについて文献を収集、講読し、どのような課題や問題、議論があるのか、社会的・歴史的背景はどのようなものか、などについて考察・分析する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　各自の研究について、定期的に順番に発表をしてもらう。発表後はクラス全体でディスカッションをし、より良い研究になるよう、互いに切磋琢磨する。　各自選んだテーマについて発表をすることで論理的な発表の方法を学び、人の発表を聞くことで批判的思考力を養う。　授業では共通の文献も購読する。　【テーマ】　医療従事者の国際移動についての研究　アメリカにおける補完代替医療についての研究　その他、学生の提案で指導可能と判断した研究

学修目標

1. 自ら選んだテーマについて、課題や問題の設定ができる。　2. 関連文献の収集に関する方法を修得できる。　3. 英語の文献や資料を読み、まとめ、自分が決めたテーマについて研究発表ができる　4. 様々な問題や課題に対して、批判的な目をもって考察できる。　5. 論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。　6. 抄録を英語で執筆できる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

適宜授業で指示を出す。

参考書

適宜授業で指示を出す。

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの検討　講読のための文献紹介	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
2	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。　テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	藤重
3	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
4	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重

5	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
6	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
7	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習：具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
8	研究テーマについて文献検索	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。　復習：具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
9	研究テーマについて文献検索	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
10	研究テーマについて発表	予習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。所定の文献を読んでおくこと。　復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
11	研究テーマについて発表	予習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。所定の文献を読んでおくこと。　復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
12	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
13	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
14	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
15	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
16	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
17	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
18	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
19	研究テーマについて研究発表	予習：自分が選んだ研究内容について報告できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。　復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重

20	研究テーマについて研究発表	予習：自分が選んだ研究内容について報告できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
21	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
22	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
23	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
24	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
25	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
26	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
27	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
28	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
29	卒業研究報告会（ゼミ内）	予習：自分が選んだ研究内容について報告できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
30	卒業研究報告会（ゼミ内）	予習：自分が選んだ研究内容について報告できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重

成績評価方法と基準	割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　中間発表の準備（資料作成など）と発表成果を 40%、ゼミ活動への積極的関与や購読準備などの平常の取り組みを 60%でそれぞれ評価する。　DP①④	中間発表 40% 平常の取り組み（講読準備、ゼミ活動への積極性など）60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):共通教育				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【担当教員とテーマ】　井手口：感覚・知覚（特に視知覚）に関する実験心理学的研究を中心に，基礎心理学分野に関する研究をテーマとする.

学修目標

①研究倫理について理解することができる。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	井手口
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	井手口
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	井手口
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	井手口
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	井手口
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	井手口
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	井手口

8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	井手口
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	井手口
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	井手口
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	井手口
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	井手口
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	井手口
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	井手口
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	井手口
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	井手口
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	井手口
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	井手口
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	井手口
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	井手口
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	井手口
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。　DP①④			報告書 60% 平常の取り組み 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):鍼灸情報系				
主担当教員	大川 祐世		担当教員	大川 祐世	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

あるテーマについて研究を行う。または研究に必要な知識や技術を学ぶ。テーマはゼミ開始後に決定。

学修目標

一つのテーマについて疑問を明確にし、その領域に関する先行研究をレビューして現状を把握する。そしてまだ明らかになっていない課題について研究し答えを出すことができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自ら進んでゼミ活動を行える自主性を大切にしてください。

教科書

ゼミ内で必要資料があれば配布

参考書

神田善伸. 「ゼロから始めて一冊でわかる! みんなの EBM と臨床研究」. 2016. 南江堂.

研究室／オフィスアワー

木曜 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ゼミについての紹介	課題：鍼灸に関する日常の疑問を複数リストアップしてくる	大川
2	研究テーマの協議	課題：研究デザインについて予習・復習してくる	大川
3	文献検索	課題：インターネットを使って学術論文を検索してくる	大川
4	文献検索	課題：興味のある研究テーマについて関連する文献を収集してくる	大川
5	学術文献の読み方	課題：学術論文の構成を復習しておく	大川
6	学術文献の読み方	課題：批判的吟味のポイントを復習しておく	大川
7	論文抄読会	課題：収集した論文を熟読しプレゼンの準備をする	大川
8	論文抄読会	課題：収集した論文を熟読しプレゼンの準備をする	大川
9	論文抄読会	課題：収集した論文を熟読しプレゼンの準備をする	大川
10	論文抄読会	課題：収集した論文を熟読しプレゼンの準備をする	大川
11	研究計画書の作成	課題:テーマの新規性、実現可能性などを考慮して研究計画書を作成する	大川
12	研究計画書の作成	課題:テーマの新規性、実現可能性などを考慮して研究計画書を作成する	大川
13	研究計画書の作成	課題:テーマの新規性、実現可能性などを考慮して研究計画書を作成する	大川

14	研究計画書の作成	課題：テーマの新規性、実現可能性などを考慮して研究計画書を作成する	大川
15	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
16	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
17	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
18	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
19	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
20	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
21	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
22	データ収集	課題：研究データを収集する	大川
23	データ整理	課題：収集したデータを表管理ソフトなどを活用して整理する	大川
24	データ整理	課題：収集したデータを表管理ソフトなどを活用して整理する	大川
25	研究報告会準備	課題：報告用パワーポイントを準備する	大川
26	研究報告会準備	課題：報告用パワーポイントを準備する	大川
27	報告会	課題：指定時間通りに発表を終えられるよう練習してくる	大川
28	論文作成	課題：報告会での指摘事項をうけて、論文を作成する	大川
29	論文作成	課題：報告会での指摘事項をうけて、論文を作成する	大川
30	論文報告書の提出	課題：作成した論文の内容について報告書を作成し提出する	大川
成績評価方法と基準			割合
①最終報告書を期限までに提出する　②ゼミ出席および研究活動への取り組み（平常評価）			①60% ②40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):鍼灸情報系				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。 【指導教員とテーマ】 山下 仁（教授）・大川祐世（講師）：安全な鍼灸施術に関する実験的研究、日本鍼灸のエビデンスのデータベース作成、鍼灸のエビデンスの情報収集と情報整備、世界の鍼灸事情に関する文献からの情報抽出、または代田文誌の遺した資料の調査を行う。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。 増山祥子（准教授）：婦人科領域における鍼灸のエビデンス（文献調査･問題点抽出)、緩和ケア領域における鍼灸のエビデンス（文献調査・問題点抽出)、鍼灸臨床における衛生操作情報のアート表現、または低周波鍼通電療法による鎮痛に関する実験を行う。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。 復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	山下、増山、大川
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	山下、増山、大川
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	山下、増山、大川

4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	山下、増山、大川
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	山下、増山、大川
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	山下、増山、大川
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	山下、増山、大川
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	山下、増山、大川
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	山下、増山、大川
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	山下、増山、大川
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	山下、増山、大川
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	山下、増山、大川
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	山下、増山、大川
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	山下、増山、大川
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	山下、増山、大川
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	山下、増山、大川
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	山下、増山、大川
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。　DP①④			報告書 60% 平常の取り組み 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):睡眠障害自律神経系				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之／松熊　秀明／髙橋　秀郎／堀川　奈央／宮武　大貴	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

睡眠障害を中心として、鍼灸治療が自律神経系に与える影響を検証する。心電図を用いて心拍を測定し、周波数解析を行って交感神経・副交感神経活動を数値化する。また、皮膚接触型の鍼や温灸（台座灸）などを用いたセルフケアで、睡眠障害の改善および関連疾患（アスリートのパフォーマンス、月経関連障害、高血圧を代表とする生活習慣病）の改善について臨床研究を行う。なお、同様の領域内であれば、当ゼミを希望する学生と直接協議して研究内容を決定することがある。

学修目標

・学術活動を通じて、正しい情報の収集、整理、分析、報告の手順を学習する。　・学術活動を通じて、社会人として適切な情報収集と管理、プレゼンテーション能力を高める。　・鍼灸治療の有用性を検証することで、医療他職種に自身の領域を適切に説明し、また他職種に対する適切な理解の元、共同出来る人材となる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・主体的に取り組むこと。　・共同研究者と協調して活動すること。　・学習過程で生じた問題点については、論理的に議論して協議すること。　・各指導教員との報告・連絡・相談を適切に行うこと。

教科書

なし

参考書

研究分野よって紹介する。

研究室／オフィスアワー

各指導教員と協議すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	睡眠障害の社会的状況について	予習：睡眠障害の事前学習　復習：学習内容の整理	鍋田
2	睡眠障害の基礎と分類	予習：睡眠のメカニズムの予習　復習：睡眠障害のスクリーニングの整理	鍋田
3	自律神経の基礎と障害メカニズム	予習：自律神経の生理学　復習：自律神経関連症状の整理	鍋田
4	ゼミ所属教員の研究プレゼン	予習：ゼミ所属教員の研究について　復習：希望分野の調査	各担当
5	研究計画法	予習：基礎―RCT まで　復習：自身の希望する研究デザイン	各担当
6	被験者の権利、説明と同意	予習：インフォームドコンセント（IC） 復習：自身の研究における IC とは	各担当
7	被験者のリクルートメント	予習：説明書・同意書の作成　復習：参加者情報の整理	各担当
8	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
9	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノ	各担当

		ートの整理	
10	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
11	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
12	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
13	研究成果の確認と分析	予習：データの Excel 入力　復習：報告用図表の準備	各担当
14	中間報告準備	予習：現状の研究成果の確認　復習：PowerPoint の作成	各担当
15	中間報告	予習：PowerPoint の作成　復習：指摘事項の修正	全担当
16	第 16 回目～第 30 回目は、担当者の指示に従うこと。	第 16 回目～第 30 回目は、担当者の指示に従うこと。	第 16 回目～第 30 回目は、授業内で案内
成績評価方法と基準			割合
①ゼミ活動への積極的な関わり　②中間報告資料（抄録・PowerPoint）と発表			①20% ②80%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（鍼灸):鍼灸東洋臨床				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

卒業研究実施に向けて、先行研究や文献講読を行う。

学修目標

4 年次の卒業研究Ⅱ開始までに、研究デザインを完成させる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ゼミには積極的に参加のこと。

教科書

なし

参考書

・東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学概論、　医道の日本社　（東洋医学概論　教科書）　・東洋療法学校協会編、新版　東洋医学臨床論、　南江堂　（東洋医学臨床論　教科書）　ほか適宜指示

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	熊野
2	研究についてのガイダンス	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
3	執筆について	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
4	論文作法について	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
5	テーマ選定について	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
6	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
7	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
8	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
9	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
10	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
11	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
12	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
13	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
14	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	

15	文献講読	都度の指示内容を予習。内容を振り返る。	
成績評価方法と基準			割合
出席評価と発表の評価を行う。			活動評価：60点　発表評価：40点　合計100点で評価を行い、60点以上を合格とする。

授業科目名	卒業研究Ⅰ（鍼灸):鍼灸現代臨床				
主担当教員	辻丸　泰永		担当教員	辻丸　泰永	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　鍋田智之（教授）：睡眠のメカニズムについて学習し、鍼灸治療が睡眠に与える効果を検証する。　松熊秀明（准教授）：鍼灸の抗炎症作用に関する文献的研究、鍼灸の抗ストレス作用に関する研究　辻丸泰永（講師）：慢性疼痛　高橋秀郎（講師）：スポーツ障害に対する鍼灸治療　髙崎雷太（講師）：足関節捻挫における鍼灸治療後の運動力学的検証　その他、各教員が指導可能と判断した研究を実施する。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。(DP①)　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。（ＤＰ①）　③関連文献の収集に関する方法を修得できる。（ＤＰ④）　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。（ＤＰ④）　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。（ＤＰ④）　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究に必要な論文の検索等に 1 時間、論文熟読などに 1 時間おこなう事　⑥研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	第 1 回目～第 30 回目 辻丸
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	

5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	

成績評価方法と基準	割合
①全授業の 5 分の 4 以上の出席を必要とする。 ②研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。 ③研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。（ＤＰ①、④）	40% 60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):鍼灸基礎系				
主担当教員	仲村　正子		担当教員	仲村　正子	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

婦人科系疾患（不妊症、月経周期異常、月経痛など）や美容分野に、鍼灸治療が与える影響の検証や実態調査を行う。なお、同様の領域内であれば、当ゼミを希望する学生と直接協議して研究内容を決定することがある。

学修目標

・学術活動を通じて、正しい情報の収集、整理、分析、報告の手順を学習する。研究倫理について理解することができる。　・学術活動を通じて、社会人として適切な情報収集と管理、プレゼンテーション能力を高める。　・鍼灸治療の有用性を検証することで、医療他職種に自身の領域を適切に説明し、また他職種に対する適切な理解の元、共同出来る人材となる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・主体的に取り組むこと。　・共同研究者と協調して活動すること。　・学習過程で生じた問題点については、論理的に議論して協議すること。　・各指導教員との報告・連絡・相談を適切に行うこと。

教科書

なし

参考書

研究分野によって紹介する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階鍼灸学科女子共同研究室／木曜 1 限（時間は事前に相談することが望ましい）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：興味がある分野についてどのような研究がされているか調べること。　復習：研究するテーマについて調べること。	第 1 回目～第 30 回目：仲村
2	文献検索	予習：文献の検索方法を学習すること。 復習：検索した文献を読み、PC を用いてレビューを作成すること。	
3	文献検索	検索した文献を読み、PC を用いてレビューを作成すること。	
4	文献検索	検索した文献を読み、PC を用いてレビューを作成すること。	
5	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
6	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	倫理委員会提出書類の作成	倫理委員会提出書類を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。　研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	プレ実験の実施	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	

12	プレ実験の実施	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集に向けての微調整	プレ実験のデータをもとにデータ収集に向けた微調整を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	第 16 回目～第 30 回目は担当教員の指示に従うこと。		
成績評価方法と基準			割合
①ゼミ活動への積極的な関わり　②中間報告資料（抄録・PowerPoint）と発表			①50% ②50%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):鍼灸情報系				
主担当教員	増山　祥子		担当教員	増山　祥子	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　増山祥子（准教授）:鍼灸のエビデンスの情報収集と情報整備およびナラティブ・メディスンの理解を深める。緩和ケア領域、高齢者領域、婦人科・美容領域など幅広く鍼灸に関するエビデンス（文献調査･問題点抽出）と病いや死生学に関わるナラティブ・メディスンの追求、鍼灸臨床に関する情報のアート表現など。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。　③関連文献の収集に関する方法を修得できる。　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	増山
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	増山
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	増山
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	増山

5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	増山
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	増山
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	増山
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること	増山
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備するうえで必要な事項を整理すること。	増山
10	研究環境の整備。対象の確保	研究対象の確保を行うこと。	増山
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	増山
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	増山
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	増山
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	増山
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	増山
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	増山
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	増山
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	増山
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	増山
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	増山
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。　DP①④			報告書 60% 平常の取り組み 40%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【テーマ】　・慢性足関節不安定症と足関節に関する運動テスト　・StarExcurtion test や Ybalance test と CAI との関連性　・サッカーに関すること全般　・ゲーム分析　・競技中や練習中の運動強度　・映像を用いた指導法　・コーチング全般　・動的バランスに関すること　その他、学生の希望テーマにおいて対応可能と判断した内容

学修目標

①研究倫理について理解することができる(DP①④)。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる(DP①④)。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる (DP①④)。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる (DP①④)。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる (DP①④)。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる (DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	伊奈
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	伊奈
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	伊奈
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	伊奈
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	伊奈

6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	伊奈
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	伊奈
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	伊奈
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	伊奈
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	伊奈
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	伊奈
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	伊奈
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	伊奈
23	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	伊奈
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	伊奈
25	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	伊奈
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	伊奈
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	伊奈
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	伊奈
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	伊奈
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	伊奈
成績評価方法と基準			割合
研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。 -1 研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。-2 4/5 以上の出席を必要とする			1 40% 2 60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	信江　彩加		担当教員	信江　彩加	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　以下の各生理学的研究テーマ（①～⑧）については、中原英博（教授），信江彩加（講師）の 2 名の教員が協力して指導に当たります。また、学校保健体育科教育に関する⑩⑪の研究テーマは、阿部秀高（教授）が指導に当たります。　①生体の統合的呼吸・循環調節機構の解明。　②長期運動トレーニングによる生体適応のメカニズムに関する研究（トレーニング効果）。②③運動負荷に対する生体反応のメカニズムに関する研究（運動生理）。　④高強度運動時の骨格筋糖脂質代謝動態の定量解析。　⑤システム定量解析を用いた新しいトレーニング評価システムの開発に関する研究。　⑥システム定量解析を用いた運動時換気亢進の病態生理機構の解明（主に動物実験）。　⑦スポーツウエアの着圧が生理学的パラメータに及ぼす影響の検討。　⑧鍼刺激療法を用いた新規循環制御システムの構築。　⑨アロマセラピーに用いる精油の芳香刺激が生体に及ぼす影響。　⑩体育の授業教材の意義についての一考察。　⑪体育と保健の授業での取り扱いについての一考察。⑫上記内容に関わらず、学生が希望する内容で各教員が指導可能と判断したもの。

学修目標

①研究倫理について理解することができる (DP①④)。　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる (DP①④)。③関連文献の収集に関する方法を修得できる (DP①④)。　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる (DP①④)。　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる (DP①④)。　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる (DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	第 1 回目～第 30 回目　信江
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収	

		集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究中間発表準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究中間発表準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究中間発表（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
成績評価方法と基準			割合
研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。　研究成果と			1 40%　2

して、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。 4/5 以上の出席を必要とする　　課題に対するフィードバック方法　メール機能等を利用し、課題物に対して、解説・コメント・修正を付け返却する。	60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　以下の各生理学的研究テーマ（①～⑨）については、中原英博（教授），信江彩加（講師）の 2 名の教員が協力して指導に当たります。また、学校保健体育科教育に関する⑩⑪の研究テーマは、老田準司（教授），阿部秀高（教授）が指導に当たります。①生体の統合的呼吸・循環調節機構の解明。　②長期運動トレーニングによる生体適応のメカニズムに関する研究（トレーニング効果）。　②③運動負荷に対する生体反応のメカニズムに関する研究（運動生理）。　④スポーツバイオメカニクス的アプローチによる動作特性の解明。　⑤健康寿命延伸に向けた運動プログラム開発。　⑥ヒトの全身反応時間の限界とそのトレーニングの可能性。　⑦腱構造に対する超音波アプローチの開発。　⑧鍼刺激療法を用いた新規循環制御システムの構築。　⑨アロマセラピーに用いる精油の芳香刺激が生体に及ぼす影響。　⑩体育の授業教材の意義についての一考察。　⑪体育と保健の授業での取り扱いについての一考察。　⑫上記内容に関わらず、学生が希望する内容で各教員が指導可能と判断したもの。

学修目標

①研究倫理について理解することができる (DP①④)。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる (DP①④)。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる (DP①④)。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる (DP①④)。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる (DP①④)。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる (DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	第 1 回目～第 30 回目　阿部
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収	

		集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
成績評価方法と基準			割合
研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。 -1 研究成			1 40% 2

果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。-2　4/5 以上の出席を必要とする	60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（鍼灸):鍼灸現代臨床				
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　鍋田智之（教授）：睡眠のメカニズムについて学習し、鍼灸治療が睡眠に与える効果を検証する。　松熊秀明（准教授）：鍼灸の抗炎症作用に関する文献的研究、鍼灸の抗ストレス作用に関する研究　高橋秀郎（准教授）：スポーツ障害に対する鍼灸治療　辻丸泰永（講師）：慢性疼痛　髙崎雷太（講師）：歩行動作における鍼灸治療等の運動力学的検証　その他、各教員が指導可能と判断した研究を実施する。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。(DP①)　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。（ＤＰ①）　③関連文献の収集に関する方法を修得できる。（ＤＰ④）　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。（ＤＰ④）　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。（ＤＰ④）　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究に必要な論文の検索等に 1 時間、論文熟読などに 1 時間おこなう事　⑥研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	第 1 回目～第 30 回目 髙﨑
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	

5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
成績評価方法と基準			割合
①全授業の 5 分の 4 以上の出席を必要とする。 ②研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。 ③研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。（ＤＰ①、④）			②40% ③60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	中原　英博		担当教員	中原　英博	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　以下の各生理学的研究テーマ（①～⑨）については、中原英博（教授），信江彩加（講師），小田啓之（講師）の 3 名の教員が協力して指導に当たります。また、学校保健体育科教育に関する⑩⑪の研究テーマは、阿部秀高（教授）が指導に当たります。　①生体の統合的呼吸・循環調節機構の解明。　②長期運動トレーニングによる生体適応のメカニズムに関する研究（トレーニング効果）。　②③運動負荷に対する生体反応のメカニズムに関する研究（運動生理）。　④スポーツバイオメカニクス的アプローチによる動作特性の解明。　⑤健康寿命延伸に向けた運動プログラム開発。　⑥ヒトの全身反応時間の限界とそのトレーニングの可能性。　⑦腱構造に対する超音波アプローチの開発。　⑧鍼刺激療法を用いた新規循環制御システムの構築。　⑨アロマセラピーに用いる精油の芳香刺激が生体に及ぼす影響。　⑩体育の授業教材の意義についての一考察。　⑪体育と保健の授業での取り扱いについての一考察。　⑫上記内容に関わらず、学生が希望する内容で各教員が指導可能と判断したもの。

学修目標

①研究倫理について理解することができる (DP①④)。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる (DP①④)。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる (DP①④)。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる (DP①④)。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる (DP①④)。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる (DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	中原・阿部・信江・小田
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収	中原・阿部・信江・小田

		集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	中原・阿部・信江・小田
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	中原・阿部・信江・小田
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	中原・阿部・信江・小田
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	中原・阿部・信江・小田
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	中原・阿部・信江・小田
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	中原・阿部・信江・小田
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	中原・阿部・信江・小田
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	中原・阿部・信江・小田
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	中原・阿部・信江・小田
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	中原・阿部・信江・小田
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	中原・阿部・信江・小田
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	中原・阿部・信江・小田
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	中原・阿部・信江・小田
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	中原・阿部・信江・小田
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	中原・阿部・信江・小田
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	中原・阿部・信江・小田
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	中原・阿部・信江・小田
成績評価方法と基準			割合

研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。 -1 研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。-2 4/5 以上の出席を必要とする	1 40% 2 60%

授業科目名	卒業研究Ⅰ（鍼灸):鍼灸東洋臨床				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACC044	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(金曜 3 限、金曜 4 限)、後期(金曜 1 限、金曜 2 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要
卒業研究実施に向けた、研究論文の収集、研究デザインの構築、統計手法の習得を行います。
学修目標
4 年次の卒業研究Ⅱ開始までに、研究デザインを完成させる。　統計的手法の習得を行う。
履修上の注意(学生へのメッセージ)
ゼミには積極的に参加して下さい。課題などが多くなりますが、必ず期日までに行ってきてください。
教科書
なし
参考書
なし
研究室／オフィスアワー
東棟 4 階共同研究室
授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	統計的手法の習得	課題を渡すので、期日までにやってくること。	辻
2	研究デザインの打合せ	自らが行いたい研究の概要を説明できるように準備しておくこと	辻

成績評価方法と基準	割合
出席評価と発表の評価を行う。	活動評価：60 点　発表評価：40 点　合計 100 点で評価を行い、60 点以上を合格とする。

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):共通教育				
主担当教員	藤重 仁子		担当教員	藤重 仁子	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

自分で選択したテーマについて深く掘り下げ、研究活動を行う。自分が選んだテーマについて文献を収集、講読し、どのような課題や問題、議論があるのか、社会的・歴史的背景はどのようなものか、などについて考察・分析する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　各自の研究について、定期的に順番に発表をしてもらう。発表後はクラス全体でディスカッションをし、より良い研究になるよう、互いに切磋琢磨する。　各自選んだテーマについて発表をすることで論理的な発表の方法を学び、人の発表を聞くことで批判的思考力を養う。　授業では共通の文献も購読する。　【テーマ】　医療従事者の国際移動についての研究　アメリカにおける補完代替医療についての研究　その他、学生の提案で指導可能と判断した研究

学修目標

1. 自ら選んだテーマについて、課題や問題の設定ができる。　2. 関連文献の収集に関する方法を修得できる。　3. 英語の文献や資料を読み、まとめ、自分が決めたテーマについて研究発表ができる　4. 様々な問題や課題に対して、批判的な目をもって考察できる。　5. 論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。　6. 抄録を英語で執筆できる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

適宜授業で指示を出す。

参考書

適宜授業で指示を出す。

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 22

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの検討　講読のための文献紹介	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
2	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。　テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	藤重
3	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
4	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
5	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。　復習：具体的なテーマをまとめ	藤重

		ること。	
6	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習：具体的なテーマをまとめること。	藤重
7	研究テーマの検討　文献講読	予習：希望する研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習：具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
8	研究テーマについて文献検索	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。　復習：具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
9	研究テーマについて文献検索	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
10	研究テーマについて発表	予習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。所定の文献を読んでおくこと。　復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
11	研究テーマについて発表	予習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。所定の文献を読んでおくこと。　復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
12	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
13	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
14	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
15	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
16	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
17	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
18	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
19	研究テーマについて研究発表	予習：自分が選んだ研究内容について報告できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。　復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
20	研究テーマについて研究発表	予習：自分が選んだ研究内容について報告	藤重

		できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	
21	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
22	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
23	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
24	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
25	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
26	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
27	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
28	研究テーマについて文献検索　文献講読	予習：自分が選んだ研究内容について考えてくること。所定の文献を読んでおくこと。復習:具体的なテーマについて、これまで調べたことやわかったことをまとめること。	藤重
29	卒業研究報告会（ゼミ内）	予習：自分が選んだ研究内容について報告できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
30	卒業研究報告会（ゼミ内）	予習：自分が選んだ研究内容について報告できるようにまとめてくること。所定の文献を読んでおくこと。 復習:発表で指摘されたこと、自分で考察したことをまとめ、これからの方向性を再考すること。	藤重
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　中間発表の準備（資料作成など）と発表成果を 40%、ゼミ活動への積極的関与や購読準備などの平常の取り組みを 60%でそれぞれ評価する。　DP①④			中間発表 40% 平常の取り組み（講読準備、ゼミ活動への積極性など）60%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):睡眠障害自律神経系				
主担当教員	宮武 大貴		担当教員	宮武 大貴	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(金曜5限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸師業界のリーダーとして貢献できる人材を育成する目的で、適切なエビデンスに基づく臨床および研究の基礎を身に着ける。研究活動を通じて、調べる、収集する、分析整理する、報告する、の一連の手順を習得する。

学修目標

1.学術研究の基本を身に着ける。 ①エビデンスの収集・整理 ②研究デザインの構築 ③データの収集と分析 ④報告 2.研究活動における倫理を理解すること。 〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究倫理に十分な配慮を行うこと。特に被験者の人権に配慮すること。また、データの改ざん、盗作などに注意すること。5名の教員が担当する研究班に分かれるが、各班員は協力してデータ収集に臨むこと。 睡眠・自律神経ゼミ全体で予行会などを行い、質の高い最終報告会を行うこと。 出来るだけ学外の学術発表に臨むこと。

教科書

各教員の指示に従うこと

参考書

各教員の指示に従うこと。但し、学術論文を基本とし、WEB情報などは利用しないこと。

研究室／オフィスアワー

各指導教員と相談して行うこと

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究Ⅰで学習した知識、立案計画した研究デザインおよび手順に従ってデータ取得を行う。研究結果を整理し、ppt を作成して報告する。研究結果を報告書にまとめて提出する。	データ取得は必須 研究テーマごとに進行し、適時オフィスワークで相談すること。	鍋田、松熊、高橋、宮武、堀川

成績評価方法と基準	割合
1.研究活動における行動を評価する。 2.最終報告会の内容について評価する。 3.研究報告書の内容について評価する。 〈DP①④〉	1.20% 2.40% 3.40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(金曜5限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【テーマ】　・慢性足関節不安定症と足関節に関する運動テスト　・StarExcurtion testやYbalance testとCAIとの関連性　・サッカーに関すること全般　・ゲーム分析　・競技中や練習中の運動強度　・映像を用いた指導法　・コーチング全般　その他、学生の希望テーマにおいて対応可能と判断した内容

学修目標

①研究倫理について理解することができる(DP①④)。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる(DP①④)。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる(DP①④)。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる(DP①④)。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる(DP①④)。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる(DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員1名につき、所属できるゼミ生は最大4名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	第1回目～第30回目　伊奈
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PCを用いてデータベースを作成すること。	

7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
成績評価方法と基準			割合
研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。 -1 研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。-2 4/5 以上の出席を必要とする 課題に対するフィードバック方法 メール機能等を利用し、課題物に対して、解説・コメント・修正を付け返却する。			1 40% 2 60%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(金曜5限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【テーマ】　・慢性足関節不安定症と足関節に関する運動テスト　　・StarExcurtion test や Ybalance test と CAI との関連性　　・サッカーに関すること全般　　・ゲーム分析　　・競技中や練習中の運動強度　　・映像を用いた指導法　　・コーチング全般　　その他、学生の希望テーマにおいて対応可能と判断した内容

学修目標

①研究倫理について理解することができる(DP①④)。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる(DP①④)。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる(DP①④)。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる(DP①④)。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる(DP①④)。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる(DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員1名につき、所属できるゼミ生は最大4名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	第1回目～第30回目　伊奈
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PCを用いてデータベースを作成すること。	

7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
成績評価方法と基準			割合
研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。 -1 研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。-2 4/5 以上の出席を必要とする 課題に対するフィードバック方法 メール機能等を利用し、課題物に対して、解説・コメント・修正を付け返却する。			1 40% 2 60%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（鍼灸):睡眠障害自律神経系				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

睡眠を主とし月経・美容への影響及び美容鍼の主観的、客観的効果の検討　研究テーマ　①睡眠障害と月経の関連性　継続的な睡眠コントロールが月経随伴症状に及ぼす影響　②美容分野　顔面部刺鍼が自覚及び客観的評価に与える絵お経

学修目標

研究プロトコールの作成からデータ集積、解析を計画的に実施する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自主的に行動しスケジュール管理をしっかりするようにしてください。　自分の研究テーマについて探求心をもってください。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階　研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学生によって研究の進行具合によりゼミの集合は適宜決定する。　3 年生の期間に研究プロトコールを作成し、試行試験から本試験まで実行する。　4 年生では追加データが必要な場合は集積し、最終報告会に向けて内容をまとめる。	予習：自身の睡眠に興味を持ち、睡眠習慣や睡眠環境を見直す。1 週間から 2 週間の睡眠をスリープスキャンで測定し実際の自身の睡眠を客観的にみる。　復習：正しい睡眠環境の知識と自身の睡眠状況を照らし合わせ改善点を見つける。	堀川

成績評価方法と基準	割合
4 年生時に実施する最終報告会での発表と抄録の提出をもって評価する。	最終報告会での発表 50% 抄録の提出 50%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（鍼灸):鍼灸東洋臨床				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

日本または中国の医古典を検討する。

学修目標

文献学的な研究の初歩を修得すること。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

なし

参考書

・東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学概論、　医道の日本社　（東洋医学概論　教科書）　・東洋療法学校協会編、新版　東洋医学臨床論、　南江堂　（東洋医学臨床論　教科書）　ほか適宜指示

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	都度教員の指示に従うこと	熊野
2	文献検索	都度教員の指示に従うこと	熊野
3	文献検索	都度教員の指示に従うこと	熊野
4	文献検索の内容をまとめ	都度教員の指示に従うこと	熊野
5	文献検索の内容をまとめ	都度教員の指示に従うこと	熊野
6	対象とする医古典など資料の検討	都度教員の指示に従うこと	熊野
7	対象とする医古典など資料の検討	都度教員の指示に従うこと	熊野
8	対象とする医古典など資料の検討	都度教員の指示に従うこと	熊野
9	対象とする医古典など資料の検討	都度教員の指示に従うこと	熊野
10	対象とする医古典など資料の検討	都度教員の指示に従うこと	熊野
11	対象とする医古典など資料の検討	都度教員の指示に従うこと	熊野
12	対象とする医古典など資料の検討	都度教員の指示に従うこと	熊野
13	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
14	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
15	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野

16	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
17	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
18	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
19	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
20	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
21	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
22	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
23	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
24	卒業論文執筆	都度教員の指示に従うこと	熊野
25	推敲	都度教員の指示に従うこと	熊野
26	推敲	都度教員の指示に従うこと	熊野
27	推敲	都度教員の指示に従うこと	熊野
28	推敲	都度教員の指示に従うこと	熊野
29	推敲	都度教員の指示に従うこと	熊野
30	卒業論文報告書（抄録）提出	都度教員の指示に従うこと	熊野
成績評価方法と基準			割合
（1）授業態度、研究への取り組み・姿勢、研究活動の状況について評価する。　（2）論文の内容。研究成果として、論文の提出が必要となる。規程に従って、期間までに指導教員に提出すること。			40%　60%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

3 年次の卒業研究Ⅰで作成した研究方法や調査に基づいて実施した実験について、その結果集積・データ解析を行い、データから導いた結果を考究し、報告書を作成する 。これらの研究を実施することによって、研究の一連の流れを習得する。

学修目標

学術研究の基本的知識の構築とそれを遂行する能力を身に着ける　①エビデンスの収集・整理　②研究デザインの構築　③研究倫理・インフォームドコンセントについて　④データの収集と分析　⑤抄録の作成、発表原稿の作成　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究倫理、データの改ざんなどには注意し、研究を遂行する。 研究スケジュールは各自が調整を行うこと。

教科書

特に指定教科書はない。各教員の指示に従うこと 。

参考書

各教員の指示に従うこと 。　学術論文や専門書。

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	①卒業研究Ⅰで得た学術論文からの情報に基づき研究デザインを計画すること。 ②卒後研究Ⅰで得た実験結果からデータの解析を行うこと。 ③全ての研究結果を整理し報告書を作成すること。 ④最終報告である学内発表に向けて PPT を作成すること。	各研究テーマごとに、その進行状況について随時オフィスワークで相談すること。	仲西

成績評価方法と基準	割合
①研究データの集積及び解析の遂行によって評価する。 ②報告書の作成の内容について評価する。 ③研究の発表の内容について評価する。　〈DP①④〉	①30% ②30% ③40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（鍼灸):鍼灸現代臨床				
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

授業概要　鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】
髙崎雷太（講師）: 歩行動作等における鍼灸治療等の運動力学的検証

学修目標

①研究倫理について理解することができる。(DP①)　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。(ＤＰ①)　③関連文献の収集に関する方法を修得できる。(ＤＰ④)　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。(ＤＰ④)　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。(ＤＰ④)　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究に必要な論文の検索等に 1 時間、論文熟読などに 1 時間おこなう事　⑥研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	

8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ収集	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ収集	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
成績評価方法と基準			割合
①全授業の 5 分の 4 以上の出席を必要とする。 ②研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。 ③研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。（ＤＰ①、④）			②40% ③60%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):睡眠障害自律神経系				
主担当教員	髙橋　秀郎		担当教員	髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸師業界のリーダーとして貢献できる人材を育成する目的で、適切なエビデンスに基づく臨床および研究の基礎を身に着ける。研究活動を通じて、調べる、収集する、分析整理する、報告する、の一連の手順を習得する。

学修目標

1.学術研究の基本を身に着ける。　①エビデンスの収集・整理　②研究デザインの構築　③データの収集と分析　④報告　2．研究活動における倫理を理解すること。　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究倫理に十分な配慮を行うこと。特に被験者の人権に配慮すること。また、データの改ざん、盗作などに注意すること。

教科書

各教員の指示に従うこと

参考書

各教員の指示に従うこと。但し、学術論文を基本とし、WEB 情報などは利用しないこと。

研究室／オフィスアワー

各指導教員と相談して行うこと

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究Ⅰで学習した知識､立案計画した研究デザインおよび手順に従ってデータ取得を行う。研究結果を整理し、ppt を作成して報告する。研究結果を報告書にまとめて提出する。	データ取得は必須　研究テーマごとに進行し、適時オフィスワークで相談すること。予習 2 時間、復習 2 時間	髙橋

成績評価方法と基準	割合
1.研究活動における行動を評価する。　2．最終報告会の内容について評価する。　3．研究報告書の内容について評価する。　〈DP①④〉	1.20%　2.40%　3.40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):鍼灸現代臨床				
主担当教員	辻丸　泰永		担当教員	辻丸　泰永	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(金曜5限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要
鍼灸師業界のリーダーとして貢献できる人材を育成する目的で、適切なエビデンスに基づく臨床および研究の基礎を身に着ける。研究活動を通じて、調べる、収集する、分析整理する、報告する、の一連の手順を習得する。
学修目標
1.学術研究の基本を身に着ける。　①エビデンスの収集・整理　②研究デザインの構築　③データの収集と分析　④報告　2．研究活動における倫理を理解すること。　〈DP①④〉
履修上の注意(学生へのメッセージ)
研究倫理に十分な配慮を行うこと。特に被験者の人権に配慮すること。また、データの改ざん、盗作などに注意すること。
教科書
各教員の指示に従うこと
参考書
各教員の指示に従うこと。但し、学術論文を基本とし、WEB情報などは利用しないこと。
研究室／オフィスアワー
各指導教員と相談して行うこと
授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究Ⅰで学習した知識､立案計画した研究デザインおよび手順に従ってデータ取得を行う。研究結果を整理し、ppt を作成して報告する。研究結果を報告書にまとめて提出する。	データ取得は必須　研究テーマごとに進行し、適時オフィスワークで相談すること。	辻丸

成績評価方法と基準	割合
1.研究活動における行動を評価する。　2．最終報告会の内容について評価する。　3．研究報告書の内容について評価する。　〈DP①④〉	1.20%　2.40%　3.40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	信江　彩加		担当教員	信江　彩加	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　以下の各生理学的研究テーマ（①～⑧）については、中原英博（教授），信江彩加（講師）の 2 名の教員が協力して指導に当たります。また、学校保健体育科教育に関する⑩⑪の研究テーマは、老田準司（教授）が指導に当たります。　①生体の統合的呼吸・循環調節機構の解明。　②長期運動トレーニングによる生体適応のメカニズムに関する研究（トレーニング効果）。②③運動負荷に対する生体反応のメカニズムに関する研究（運動生理）。　④高強度運動時の骨格筋糖脂質代謝動態の定量解析。　⑤システム定量解析を用いた新しいトレーニング評価システムの開発に関する研究。　⑥システム定量解析を用いた運動時換気亢進の病態生理機構の解明（主に動物実験）。　⑦スポーツウエアの着圧が生理学的パラメータに及ぼす影響の検討。　⑧鍼刺激療法を用いた新規循環制御システムの構築。　⑨アロマセラピーに用いる精油の芳香刺激が生体に及ぼす影響。　⑩体育の授業教材の意義についての一考察。　⑪体育と保健の授業での取り扱いについての一考察。⑫上記内容に関わらず、学生が希望する内容で各教員が指導可能と判断したもの。

学修目標

①研究倫理について理解することができる (DP①④)。　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる (DP①④)。③関連文献の収集に関する方法を修得できる (DP①④)。　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる (DP①④)。　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる (DP①④)。　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる (DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	第 1 回目～第 30 回目　信江
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	

3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	

成績評価方法と基準	割合
研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。 -1 研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。-2 4/5 以上の出席を必要とする　　課題に対するフィードバック方法　メール機能等を利	1 40%　2 60%

用し、課題物に対して、解説・コメント・修正を付け返却する。	

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):鍼灸基礎系				
主担当教員	仲村　正子		担当教員	仲村　正子	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。　③関連文献の収集に関する方法を修得できる。　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2 時間)	仲村
2	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2 時間)	仲村
3	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2 時間)	仲村
4	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2 時間)	仲村
5	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2 時間)	仲村
6	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2 時間)	仲村
7	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2	仲村

		時間)	
8	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
9	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
10	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して､研究データの収集を行うこと。(2時間)	仲村
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。(2時間)	仲村
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。(2時間)	仲村
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。(2時間)	仲村
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し､研究目的に対する結果､考察を議論する。(2時間)	仲村
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。(2時間)	仲村
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。(2時間)	仲村
27	卒業研究報告会	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。(2時間)	仲村
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。(2時間)	仲村
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。(2時間)	仲村

30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。(2 時間)	仲村
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。<DP1,4>　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。<DP1,4>			100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（鍼灸):睡眠障害自律神経系				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

睡眠障害を中心として、鍼灸治療が自律神経系に与える影響を検証する。心電図を用いて心拍を測定し、周波数解析を行って交感神経・副交感神経活動を数値化する。また、皮膚接触型の鍼や温灸（台座灸）などを用いたセルフケアで、睡眠障害の改善および関連疾患（アスリートのパフォーマンス、月経関連障害、高血圧を代表とする生活習慣病）の改善について臨床研究を行う。

学修目標

・学術活動を通じて、正しい情報の収集、整理、分析、報告の手順を学習する。　・学術活動を通じて、社会人として適切な情報収集と管理、プレゼンテーション能力を高める。　・鍼灸治療の有用性を検証することで、医療他職種に自身の領域を適切に説明し、また他職種に対する適切な理解の元、共同出来る人材となる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・主体的に取り組むこと。　・共同研究者と協調して活動すること。　・学習過程で生じた問題点については、論理的に議論して協議すること。　・各指導教員との報告・連絡・相談を適切に行うこと。

教科書

なし

参考書

研究分野よって紹介する。

研究室／オフィスアワー

各指導教員と協議すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究の実施	予習：睡眠障害の事前学習　復習：学習内容の整理	各ゼミ担当教員
2	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
3	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
4	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
5	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
6	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
7	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
8	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
9	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
10	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
11	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当

12	研究の実施	予習：研究資料・機器の準備　復習：研究ノートの整理	各担当
13	研究成果の確認と分析	予習：データの Excel 入力　復習：報告用図表の準備	各担当
14	最終報告会の準備	予習：現状の研究成果の確認　復習：PowerPoint の作成	各担当
15	最終報告会	予習：PowerPoint の作成　復習：指摘事項の修正	全担当
16	第 16 回目～第 30 回目は、担当者の指示に従うこと。	第 16 回目～第 30 回目は、担当者の指示に従うこと。	第 16 回目～第 30 回目は、授業内で案内
成績評価方法と基準			割合
①ゼミ活動への積極的な関わり　②最終報告会の資料（抄録・PowerPoint）と発表			①20% ②80%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):鍼灸情報系				
主担当教員	増山　祥子		担当教員	増山　祥子	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　増山祥子（准教授）:鍼灸のエビデンスの情報収集と情報整備およびナラティブ・メディスンの理解を深める。緩和ケア領域、高齢者領域、婦人科・美容領域など幅広く鍼灸に関するエビデンス（文献調査･問題点抽出）と病いや死生学に関わるナラティブ・メディスンの追求、鍼灸臨床に関する情報のアート表現など。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。　③関連文献の収集に関する方法を修得できる。　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	増山
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	増山
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	増山
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	増山
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	増山

6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	増山
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	増山
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	増山
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	増山
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	増山
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	増山
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	増山
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	増山
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	増山
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	増山
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	増山
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	増山
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	増山
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	増山
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	増山
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	増山
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。　DP①④			報告書 60% 平常の取り組み 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):教職・スポーツ特修系				
主担当教員	中原　英博		担当教員	中原　英博	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　以下の各生理学的研究テーマ（①～⑨）については、中原英博（教授)，信江彩加（講師），小田啓之（講師）の３名の教員が協力して指導に当たります。また、学校保健体育科教育に関する⑩⑪の研究テーマは、阿部秀高（教授）が指導に当たります。　①生体の統合的呼吸・循環調節機構の解明。　②長期運動トレーニングによる生体適応のメカニズムに関する研究（トレーニング効果)。　②③運動負荷に対する生体反応のメカニズムに関する研究（運動生理)。　④スポーツバイオメカニクス的アプローチによる動作特性の解明。　⑤健康寿命延伸に向けた運動プログラム開発。　⑥ヒトの全身反応時間の限界とそのトレーニングの可能性。　⑦腱構造に対する超音波アプローチの開発。　⑧鍼刺激療法を用いた新規循環制御システムの構築。　⑨アロマセラピーに用いる精油の芳香刺激が生体に及ぼす影響。　⑩体育の授業教材の意義についての一考察。　⑪体育と保健の授業での取り扱いについての一考察。　⑫上記内容に関わらず、学生が希望する内容で各教員が指導可能と判断したもの。

学修目標

①研究倫理について理解することができる (DP①④)。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる (DP①④)。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる (DP①④)。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる (DP①④)。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる (DP①④)。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる (DP①④)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	中原・阿部・信江・小田
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	中原・阿部・信江・小田

3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	中原・阿部・信江・小田
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	中原・阿部・信江・小田
5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	中原・阿部・信江・小田
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	中原・阿部・信江・小田
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	中原・阿部・信江・小田
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	中原・阿部・信江・小田
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	中原・阿部・信江・小田
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	中原・阿部・信江・小田
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	中原・阿部・信江・小田
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	中原・阿部・信江・小田
23	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	中原・阿部・信江・小田
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	中原・阿部・信江・小田
25	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	中原・阿部・信江・小田
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	中原・阿部・信江・小田
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	中原・阿部・信江・小田
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	中原・阿部・信江・小田
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	中原・阿部・信江・小田
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	中原・阿部・信江・小田
成績評価方法と基準			割合

研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める（DP①④）。　-1　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する（DP①④）。-2　　4/5 以上の出席を必要とする	1　40%　2　60%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):鍼灸東洋臨床				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

3 年次の卒業研究 I 内で作成した研究デザインや行った研究に基づき、研究の完結ならびに結果集計や考察を考え、報告を作成する

学修目標

データ集計方法を会得する。結果を分析し、参考文献などを引用した考察を作成する方法を身に着ける。自らデザインした研究を報告できる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この単元では自主性を最も重要視します。スケジュールを作成し、スケジュールを順守してください。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階共同研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究デザインの確認	昨年度の資料確認をしておいて下さい	第 1 回目～第 30 回目　辻
2	被験者募集、研究準備	スケジュールを順守してください	
3	研究①　資料作成①	研究を遂行してください	
4	研究②　資料作成②	研究を遂行してください	
5	研究③　資料作成③	研究を遂行してください	
6	研究④　資料作成④	研究を遂行してください	
7	研究データ集計①	集計方法について復習をしておいて下さい	
8	研究データ集計②	指導した集計を行ってください	
9	研究データ分析①	分析方法について復習をしておいて下さい	
10	研究データ分析②	指導した分析を行ってください	
11	研究内容まとめ①	参考文献を整理しておいて下さい	
12	研究内容まとめ②	目的･方法･結果･考察をまとめてください	
13	研究内容まとめ③	目的･方法･結果･考察をまとめてください	
14	研究内容まとめ④	目的･方法･結果･考察をまとめてください	
15	研究報告	まとめた内容を報告してください	

成績評価方法と基準	割合
平常の研究遂行、ゼミ参加（60%）報告内容（40%）　＜DP①④＞　2/3 以上の出席を必要とする。	100%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):睡眠障害自律神経系				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(木曜1限)、後期(金曜5限)
授業形態	演習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

鍼灸師業界のリーダーとして貢献できる人材を育成する目的で、適切なエビデンスに基づく臨床および研究の基礎を身に着ける。研究活動を通じて、調べる、収集する、分析整理する、報告する、の一連の手順を習得する。

学修目標

1.学術研究の基本を身に着ける。　①エビデンスの収集・整理　②研究デザインの構築　③データの収集と分析　④報告　2．研究活動における倫理を理解すること。　〈DP①④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究倫理に十分な配慮を行うこと。特に被験者の人権に配慮すること。また、データの改ざん、盗作などに注意すること。5名の教員が担当する研究班に分かれるが、各班員は協力してデータ収集に臨むこと。　睡眠・自律神経ゼミ全体で予行会などを行い、質の高い最終報告会を行うこと。　出来るだけ学外の学術発表に臨むこと。

教科書

各教員の指示に従うこと

参考書

各教員の指示に従うこと。但し、学術論文を基本とし、WEB情報などは利用しないこと。

研究室／オフィスアワー

各指導教員と相談して行うこと

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	卒業研究Ⅰで学習した知識、立案計画した研究デザインおよび手順に従ってデータ取得を行う。研究結果を整理し、ppt を作成して報告する。研究結果を報告書にまとめて提出する。	データ取得は必須　研究テーマごとに進行し、適時オフィスワークで相談すること。	鍋田、松熊、高橋、宮武、堀川

成績評価方法と基準	割合
1.研究活動における行動を評価する。　2．最終報告会の内容について評価する。　3．研究報告書の内容について評価する。　〈DP①④〉	1.20%　2.40%　3.40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ(鍼灸):鍼灸情報系				
主担当教員	大川　祐世		担当教員	大川　祐世	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。　【指導教員とテーマ】　山下　仁（教授）・大川祐世（講師）：安全な鍼灸施術に関する実験的研究、日本鍼灸のエビデンスのデータベース作成、鍼灸のエビデンスの情報収集と情報整備、世界の鍼灸事情に関する文献からの情報抽出、または代田文誌の遺した資料の調査を行う。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。　増山祥子（准教授）：婦人科領域における鍼灸のエビデンス（文献調査・問題点抽出)、緩和ケア領域における鍼灸のエビデンス（文献調査・問題点抽出)、鍼灸臨床における衛生操作情報のアート表現、または低周波鍼通電療法による鎮痛に関する実験を行う。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。　②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。　③関連文献の収集に関する方法を修得できる。　④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。　⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。　⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。　②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。　③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。　④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。　⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。　復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	山下、増山、大川
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	山下、増山、大川
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	山下、増山、大川
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	山下、増山、大川

5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	山下、増山、大川
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	山下、増山、大川
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	山下、増山、大川
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	山下、増山、大川
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	山下、増山、大川
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	山下、増山、大川
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	山下、増山、大川
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	山下、増山、大川
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	山下、増山、大川
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	山下、増山、大川
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	山下、増山、大川
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	山下、増山、大川
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	山下、増山、大川
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。　DP①④			報告書 60% 平常の取り組み 40%

授業科目名	卒業研究Ⅱ（鍼灸):鍼灸情報系				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁	
科目ナンバリング	SS20BACC045	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(木曜 1 限)、後期(金曜 5 限)
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸学科教員が担当するゼミに所属し、指導教員の指示に従って研究活動を行い、卒業論文を作成する。情報を収集し、批判的吟味を経て情報の質を評価し、研究計画を立案作成する。計画に基づいてデータ収集を行い、分析・評価を経て論文としてまとめ上げる。これらの一連の過程を経ることによって、社会人として求められる情報を精査し、計画・立案する能力を修得する。成果は報告書（抄録）として提出し、報告集として印刷される。 【指導教員とテーマ】 山下 仁（教授）・大川祐世（講師）：安全な鍼灸施術に関する実験的研究、日本鍼灸のエビデンスのデータベース作成、鍼灸のエビデンスの情報収集と情報整備、世界の鍼灸事情に関する文献からの情報抽出、または代田文誌の遺した資料の調査を行う。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。 増山祥子（准教授）：婦人科領域における鍼灸のエビデンス（文献調査･問題点抽出)、緩和ケア領域における鍼灸のエビデンス（文献調査・問題点抽出)、鍼灸臨床における衛生操作情報のアート表現、または低周波鍼通電療法による鎮痛に関する実験を行う。その他、学生の提案で指導可能と判断した研究も可能とする。

学修目標

①研究倫理について理解することができる。 ②指導教員の指示に従って、関連領域の知識・技術を修得できる。 ③関連文献の収集に関する方法を修得できる。 ④関連文献を批判的に吟味し、情報の質を評価できる。 ⑤質の高い方法論を用いて、データの収集・分析ができる。 ⑥論理的な文章構成を用いて論文を作成できる。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①ゼミの指導教員の指示に従って、30 単元以上の活動を行ってください。 ②指導教員 1 名につき、所属できるゼミ生は最大 4 名とします。 ③規定に従って、論文および報告書の提出をしてください。 ④研究計画書を作成し、学術研究委員会研究倫理審査部会の承認を得て実施すること。 ⑤研究倫理を遵守すること。

教科書

指導教員の指示に従う。

参考書

指導教員の指示に従う。

研究室／オフィスアワー

指導教員の指示に従う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究テーマの協議	予習：希望する研究内容について考えてくること。必ず資料に基づいて検討すること。 復習：指導教員の指示に従って、具体的なテーマをまとめること。	山下、増山、大川
2	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	山下、増山、大川
3	文献検索	テーマに応じてキーワードを決定し、指定された検索サイトを利用して学術論文の収集を行う。	山下、増山、大川
4	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	山下、増山、大川

5	論文抄読会	収集した文献を熟読し、要点をまとめたレポートを作成すること。	山下、増山、大川
6	データベースの作成	収集した文献に番号を付け、PC を用いてデータベースを作成すること。	山下、増山、大川
7	研究計画の作成	研究計画を作成すること。	山下、増山、大川
8	研究計画の作成。倫理委員会提出書類の作成。	研究計画を作成すること。	山下、増山、大川
9	備品・消耗品の発注。研究機材の確保。研究環境の整備。	研究環境を整備する上で必要な事項を整理すること。	山下、増山、大川
10	研究環境の整備。対象の確保。	研究対象の確保を行うこと。	山下、増山、大川
11	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
12	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
13	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
14	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
15	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
16	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
17	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
18	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
19	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
20	データ収集	倫理委員会の承認を得た後、倫理規定を遵守して、研究データの収集を行うこと。	山下、増山、大川
21	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	山下、増山、大川
22	データ整理	収集したデータを、表管理ソフトなどを活用して整理する。	山下、増山、大川
23	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。	山下、増山、大川
24	データ解析	収集したデータを、必要に応じて統計を用いながら解析する。解析結果を指導教員に報告し、研究目的に対する結果、考察を議論する。	山下、増山、大川
25	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	山下、増山、大川
26	卒業研究報告会準備	報告用のパワーポイントを作成する。	山下、増山、大川
27	卒業研究報告会（ゼミ内）	報告用のパワーポイントを作成し、既定の時間内で発表および質疑応答を行う。	山下、増山、大川
28	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
29	卒業論文作成	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
30	卒業論文報告書（抄録）提出	報告会での指摘事項を受けて、論文を作成する。	山下、増山、大川
成績評価方法と基準			割合
全授業の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。　研究活動の状況について評価する。平常評価として、最終評価の 40%を占める。　研究成果として、論文および報告書の提出が必要となる。規定に従って、期限までに指導教員へ提出する。　DP①④			報告書 60% 平常の取り組み 40%

授業科目名	学外見学実習Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／高橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACB046	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

3 年次に臨床実習を行う前に、社会人として自覚し、求められる姿勢について理解する場として、本実習を実施する。学生各自が多様な分野で実習を行い、社会に求められる人材として成長することを期待している。

学修目標

①社会人として求められる「礼」について実践できる。　②組織の一員として、指示事項を的確に遂行できる。　③活動に自主的かつ積極的に取り組む。　④チーム活動ではメンバーと協調性を持って進めることができる。　⑤議論には積極的に参加し、論理的に物事を考え、論理的に行動に移すことができる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

単元 1.14,15 は全員参加にて開催する。指定する日時に必ず出席すること。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

科目担当者の研究室にて随時受け付ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　社会人マナー研修	社会人としてあるべき姿について、考えてくるように。	松熊、高橋
2	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
3	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
4	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
5	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
6	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋

7	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
8	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
9	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
10	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
11	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。(	松熊、高橋
12	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
13	学外活動　大学指定実習先での活動　　※社会人としての姿勢として、主体性・協調性・論理性をもに着けてくること。	実習先について事前に調査し、適切な準備をすること。特に指定されている服装および準備物は怠らないこと。また、事前に指示を受けた事項については必ず実行してから実習に臨むこと。	松熊、高橋
14	学外活動､見学実習で学んだことについてグループワークを行う。	社会人として求められる姿勢についてまとめてくること。	松熊、高橋
15	OB・OG シンポジウムと企業勉強会を実施する。	事前に企業勉強会参加企業の情報を調べ、事後は業界の情報をまとめること。	松熊、高橋
成績評価方法と基準			割合
100%の出席を必須とする。　①活動報告書の提出を必須とする。(DP1,4)　②グループワーク後に作成する報告書を重視する(DP1,4)　　実習先より、実習中に不適切な言動から実習を中止された場合、評価を行わない。　　・実習態度・レポートに対するフィードバック方法　必要に応じて実習態度・レポートに対する個別指導を行う。			①40%　②60%

授業科目名	学外見学実習Ⅱ（鍼灸 B）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC047	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限)、後期(実習)
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

学外の鍼灸あるいは現代医療の臨床施設を訪問し、見学を行う。学内では得ることのできない緊張感や体験を通じて職業意識を強く持たせる。また、その内容を詳細に記録し、見学した症例と診断治療について調べてレポートで報告する。スポーツ特修コース・教職課程の学生は、特別支援学校実習およびコース長が定める学外施設において実習を行う。　一般企業での就業を目指す学生で希望する者は、企業におけるインターンシップ実習を行う。　実習は、30 時間以上を必須とする。

学修目標

臨床現場の雰囲気を鋭く感じ取り、臨機応変な判断と言動ができる。　患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身に付ける。　観察した症例を正確に記し、病態や治療効果を冷静に分析して報告できる。　スポーツ特修コース・教職課程の学生、及び一般企業におけるインターンシップを履修する者は、各施設における実習を通じて就業意識を高める。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．疑問点は早期に解決するように積極的に行動すること。　２．態度・姿勢には十分気をつけること。

教科書

特になし

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	授業計画　１．オリエンテーション　１）注意事項。　２）見学施設の選定。　３）見学施設の決定と見学計画立案。　２．学外見学（前期期間中の定められた曜日または夏期休暇を利用して実施する）　１）決定した見学先の訪問と見学。遅刻は欠席と同等に扱う。　２）見聞したこと、指導を受けたことを詳細に記録する。　３．レポート提出　１）見学した症例や治療法について文献を参考にして詳しく調べる。　２）レポートを書く。　教科書 配付資料　参考書 ？ 授業の進め方 ｸﾞﾙｰﾌﾟごとに決められた実習施設へ参加する。　成績評価方法と基準 実習態度と身だしなみ(見学施設からのフィードバック含む）50%　レポート 50%　割り当てられた見学実習先での遅刻なき参加が必要	予習：患者への対応、四診法について勉強しておくこと。(10 時間)　復習：各自症例について内容をまとめ病態を理解すること。(20 時間)	松熊・髙橋

成績評価方法と基準	割合
課題レポートの提出することによって単位の認定を行う。(DP1,4)　遅刻、欠席は認められない。　・実習態度・レポートに対するフィードバック方法　必要に応じて実習態度・レポートに対する個別指導を行う。　実習先より、実習中に不適切な言動から実習を中止された場合、評価を行わない。	100%

授業科目名	学外見学実習Ⅱ（鍼灸 A）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC047	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日・時限	前期(火曜 1 限、火曜 2 限、火曜 3 限、火曜 4 限、火曜 5 限)、後期(実習)
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

学外の鍼灸あるいは現代医療の臨床施設を訪問し、見学を行う。学内では得ることのできない緊張感や体験を通じて職業意識を強く持たせる。また、その内容を詳細に記録し、見学した症例と診断治療について調べてレポートで報告する。スポーツ特修コース・教職課程の学生は、特別支援学校実習および大学が定める学外施設において実習を行う。　一般企業での就業を目指す学生で希望する者は、企業におけるインターンシップ実習を行う。　実習は、30 時間以上を必須とする。

学修目標

臨床現場の雰囲気を鋭く感じ取り、臨機応変な判断と言動ができる。　患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身に付ける。　観察した症例を正確に記し、病態や治療効果を冷静に分析して報告できる。　スポーツ特修コース・教職課程の学生、及び一般企業におけるインターンシップを履修する者は、各施設における実習を通じて就業意識を高める。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．疑問点は早期に解決するように積極的に行動すること。　２．態度・姿勢には十分気をつけること。

教科書

特になし

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	授業計画　１．オリエンテーション　１）注意事項。　２）見学施設の選定。　３）見学施設の決定と見学計画立案。　２．学外見学（前期期間中の定められた曜日または夏期休暇を利用して実施する）　１）決定した見学先の訪問と見学。遅刻は欠席と同等に扱う。　２）見聞したこと、指導を受けたことを詳細に記録する。３．レポート提出　１）見学した症例や治療法について文献を参考にして詳しく調べる。　２）レポートを書く。　教科書 配付資料　参考書 ？ 授業の進め方 ｸﾞﾙｰﾌﾟごとに決められた実習施設へ参加する。　成績評価方法と基準 実習態度と身だしなみ(見学施設からのフィードバック含む）50%　レポート 50%　割り当てられた見学実習先での遅刻なき参加が必要	予習：患者への対応、四診法について勉強しておくこと。(10 時間)　復習：各自症例について内容をまとめ病態を理解すること。(20 時間)	松熊・髙橋

成績評価方法と基準	割合
課題レポートの提出することによって単位の認定を行う。(DP1,4)　遅刻、欠席は認められない。　・実習態度・レポートに対するフィードバック方法　必要に応じて実習態度・レポートに対する個別指導を行う。　実習先より、実習中に不適切な言動から実習を中止された場合、評価を行わない。	100%

授業科目名	運動生理学（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	中原　英博		担当教員		中原　英博	
科目ナンバリング	SS20BACB060	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日・時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修・選択	必修

授業概要

本講義では、運動負荷時にはじめて出現する生理現象の固有の変化、長期トレーニングによる器官、組織の構造的変化やそれに伴う運動生理機能の向上、不活動（運動不足）による生理機能低下などについて、特に、呼吸器系、循環器系およびそれらをコントロールする自律神経系を中心した、個体レベルでの生体制御システムの運動適応の過程について、運動生理学、スポーツ科学の観点から解説する。これにより、第１次予防の視点に立って運動が健康づくり、 特に生活習慣病予防に役立つ根拠を示す。　また、実際の医療やスポーツ科学の現場において広く活用されている「心肺運動負荷試験の基礎理論とその評価法」を学ぶことで、運動の制限因子や呼吸・循環器疾患における運動不能の原因およびその症状を鑑別するための基礎と臨床応用についての理解を深める。

学修目標

・第１次予防の視点に立って、運動が健康づくり、特に生活習慣病予防に役立つ根拠を説明できる (DP①)。　・スポーツ選手の運動機能の評価や、呼吸循環器疾患における運動不能の原因、およびその症状を識別するため方法論や、それを実施することの意義を理解できる (DP①)。　・1 年次に学んだ生理学の知識を基に、運動時の生理学的応答の測定方法や、長期トレーニングによる生体の量的・時間的変化、および適応メカニズムを理解する。また、体力レベルや体力測定の評価方法を学び、その結果に基づいた生理学的反応のメカニズムについて説明（

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1，2 年次の生理学、健康スポーツ科学演習、トレーニング科学演習にて得た知識、経験をベースとした授業を展開するため、運動生理学の履修にあたっては、1、2 年次に学んだ上記科目内容について、再度見直しをしておくこと、特に、体力や呼吸循環代謝系に関する各測定項目についての知識や理解を深めておくこと。授業内容の予習、復習については、私のホームページ（www.respiratorycontrol.com）を活用してください。

教科書

アメリカ体育学会 編,日本体力医学会体力科学編集委員会 監訳「運動処方の指針-運動負荷試験と運動プログラム-原著第７版」南江堂,２００６年

参考書

参考書・参考資料等　宮村実晴 編集「新運動生理学(下巻)」真興交易(株)医書出版部中野昭一 著「図説・運動の仕組みと応用―運動・生理・生化学・栄養　(普及版)」医歯薬出版,２００１年

研究室／オフィスアワー

E 棟４階（研究室 12）:原則　月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康の増進と運動:　健康増進における運動の意義、身体運動の生理学的基礎、および体力測定の重要性	1，2 年次の生理学、健康スポーツ科学演習、トレーニング科学演習にて得た知識（特に用語）の再確認をしておくこと	中原
2	運動と代謝システム:運動時のエネルギー供給機構、有酸素性代謝と無酸素性代謝	授業内で案内	中原
3	運動時のエネルギー代謝:運動時の糖質代謝、脂質代謝	授業内で案内	中原
4	運動時の循環調節:運動時の圧反射システムによる心拍、血圧制御機構	授業内で案内	中原

5	運動と呼吸システム:運動時の肺換気、ガス交換、呼吸運動の神経性および液性調節	授業内で案内	中原
6	運動時の呼吸調節:運動時の化学反射システムによる呼吸調節機構	授業内で案内	中原
7	運動と体温:運動時の体温調節機構	授業内で案内	中原
8	運動と環境:特殊環境下における運動の生理	授業内で案内	中原
9	長期トレーニングと生体システムの運動適応:長期トレーニング、不活動（運動不足）による生体システムの運動適応変化	授業内で案内	中原
10	運動と病態生理:運動制限をきたす疾患の病態生理	授業内で案内	中原
11	運動負荷試験の基礎と実際(1):運動負荷に対する呼吸循環代謝システムの連関メカニズムの概要	授業内で案内	中原
12	運動負荷試験の基礎と実際(2):運動に対する生理学的応答の測定・評価	授業内で案内	中原
13	運動処方の実際(1): 運動による生活習慣病の予防効果と体力評価	授業内で案内	中原
14	運動処方の実際(2):運動による生活習慣病の予防のプログラム作成	授業内で案内	中原
15	運動処方の実際(3):子ども、妊娠、障害者の運動プログラム作成	授業内で案内	中原
成績評価方法と基準			割合
課題レポート（DP①） 筆記試験（DP①） 上記平均点の結果、６０点以上で単位認定とする。			課題レポート80% 筆記試験（授業内）20%

授業科目名	運動生理機能学演習（鍼灸スポーツ）				
主担当教員	中原　英博		担当教員	中原　英博／信江　彩加／伊藤　剛／小田　啓之／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACC061	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、運動生理学の体験学習を交えた学生参加型の授業を展開する。授業では小班単位で演習課題に取り組み、自らの力でレポートを作成するという過程を通じて、運動時の生体機能に関する知識や理解を深める。

学修目標

スポーツ選手の運動機能の評価や、呼吸循環器疾患における運動不能の原因、およびその症状を識別するため方法論や、それを実施することの意義を理解できる(DP①)。　1 年次に学んだ生理学の知識をベースとして、運動時における生理学的応答の測定方法や長期トレーニングによる生体反応の量的、時間的動態や適応変化を理解し、その評価方法やその反応のメカニズムに関する説明（考察）ができる(DP①)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

運動生理学の知識をベースとした演習授業を展開するため、運動生理機能学演習の履修にあたっては、原則として運動生理学講義を履修し、単位を取得したものに限ります。　　演習前の準備　運動生理学の授業で用いた教科書（運動処方の指針）などを調べて、体力や呼吸循環代謝系に関する各測定項目についての知識や理解を深めておく。　　演習で修得すべき専門知識、専門技術を調べておく。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康増進における運動の意義､身体運動の生理学的基礎　（講義）	スポーツ選手の運動機能の評価や、呼吸循環器疾患における運動不能の原因、およびその症状を識別するための各種方法論についての理解を深めておく。	
2	運動時における呼吸循環代謝システムの連関メカニズムの概要　（講義）		
3	運動時における生理学的応答（高次脳機能･脳循環・呼吸調節機能）の測定・評価方法　（講義）		
4	運動時のエネルギー代謝機構(有酸素性代謝と無酸素性代謝)の量的、時間的動態　（講義）		
5	最大酸素摂取量の測定及び評価①　（実習）：直接法を用いて最大酸素摂取量を測定し、評価する。		
6	最大酸素摂取量の測定及び評価②（実習）：間接法を用いて最大酸素摂取量を測定し、評価する。		
7	無酸素性作業閾値の測定及び評価　（実習）：ランプ運動負荷試験､炭酸ガス及び低酸素ガス負荷試験､肺機能試験によって運動時換気亢進反応の決定機構を定量的に評価する方法を学習する。		

8	新体力テストの測定とその評価方法の学習①(実習):20～64 歳を対象にした、体力テストによって体力を測定し、評価する。		
9	新体力テストの測定とその評価方法の学習②（実習):65～74 歳を対象にした、新体力テストによって体力を測定し、評価する。		
10	運動時における生理学的応答の測定及び評価（実習):体力テスト実施中の生理学的応答（心拍数及び血圧などの自律神経活動の評価､深部体温、心エコー検査、筋電図解析等）を測定し、評価する。		
11	身体組成の測定とその評価　（実習):皮脂厚計及びインピーダンス法を用いて体脂肪量を測定し、それぞれ評価する。		
12	フィールドにおける体力指標の測定及び評価（実習):フィールド場面で用いられる、体力指標（腕時計型心拍計、乳酸、血糖、Borg スケール）の測定法を学習し、測定する。		
13	バイオメカニクスにおける分析法とその評価①（実習):身体動作を運動学的手法（映像撮影法等）を用いて測定し、評価する。		
14	バイオメカニクスにおける分析法とその評価②（実習):身体動作を生理学性手法（筋電図等）を用いて測定し、評価する。		
15	課題レポートの提出とそれに基づくプレゼンテーションと質疑応答		

成績評価方法と基準	割合
1. 課題レポート(DP①)。　4/5 以上の出席を必要とする。	1. 100%

授業科目名	美容鍼灸学総論（鍼灸）					
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀		
科目ナンバリング	SS20BACB048	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

心身の健康と美を内面から高める手法としてのアロマセラピーを科学的に学ぶ。アロマセラピーに関する基礎知識、禁忌や注意事項、精油の選択方法、状況に応じたケア方法など「安全かつ的確に用いる」ための理論と実践方法を学ぶ。

学修目標

1.補完代替医療の中でのアロマセラピーの役割を理解する。〈DP①〉　2.安全かつ的確な実践方法を学ぶ。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実技にも積極的に参加し、自らの心身両面を通してアロマセラピーの有用性・危険性を感じ、学んでいただきたいと思います。遅刻・欠席・忘れ物のないように。

教科書

『もっと身近にアロマセラピー　メディカルから日常まで　改定増補版』/森美侑紀著/森ノ宮医療学園出版部

参考書

配布プリント

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	アロマセラピーの概要	予習：テキスト p6-18 を読んでおくこと 復習：配布資料や板書内容も併せて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
2	精油の化学成分と禁忌	予習：テキスト p127-133 を読んでおくこと　復習：配布資料や板書内容も併せて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
3	植物精油の基礎知識	予習：テキスト p118-126 を読んでおくこと　復習：配布資料や板書内容も併せて振り返りを行うこと。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
4	アロマセラピーの実践　①上肢のトリートメント座位	上肢のケアにおける注意事項の予習復習 ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
5	アロマセラピーの実践　②上肢のトリートメント背臥位	上肢のケアにおける注意事項の予習復習 ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
6	アロマセラピーの実践　③下肢のトリートメント	下肢のケアにおける注意事項の予習復習 ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
7	アロマセラピーの実践　④上下肢のトータルケア	上肢・下肢のケアにおける注意事項の予習復習　ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
8	アロマセラピーの実践　⑤背部へのトリートメント	背部のケアにおける注意事項の予習復習 ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森

9	アロマセラピーの実践　⑥背部から頭部へのトリートメント	背部・頭部のケアにおける注意事項の予習復習　ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
10	アロマセラピーの実践　⑦腹部のトリートメント	腹部のケアにおける注意事項の予習復習ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
11	アロマセラピーの実践　⑧フェイストリートメントの基礎	フェイスケアにおける注意事項の予習復習ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
12	アロマセラピーの実践　⑨フェイストリートメントの応用	フェイスケアにおける注意事項の予習復習ならびに手技の復習。予習復習を各 2 時間行うこと。	森
13	アロマセラピーの実践　⑩トータルケア１	4～12 回までのケアの総復習　復習を 4 時間行うこと。	森
14	アロマセラピーの実践　⑪トータルケア２	4～12 回までのケアの総復習　復習を 4 時間行うこと。	森
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	森
成績評価方法と基準			割合
1.実技レポート〈DP①〉　2.筆記試験〈DP①〉　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。　4/5 以上の出席を必要とする			1. 10%　2. 90%

授業科目名	テーピング技術論（鍼灸）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／朝倉　智仁／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACB049	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

トレーナーやスポーツ指導者が現場で目の当たりにする外傷や障害に対し、予防や痛みの軽減を目的としたテーピング技術を習得すること

学修目標

各部位におけるｽﾎﾟｰﾂ外傷や障害に対するﾃｰﾋﾟﾝｸﾞを機能的に巻くことができる（DP①）　競技特性を理解し、数種類のﾃｰﾋﾟﾝｸﾞにて応用を効かせて機能的に巻くことができる（DP①）　疲労軽減・除痛を目的に機能的に巻くことができる（DP①）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回は E222 で行います。　履修人数が多い場合や教室の都合がつかない場合は、初回は合同でオリエンテーションを行い、2 回目以降は 2 グループに分け、予防テーピンググループと固定テーピンググループを 7 回目で入替ります。　上肢/体幹には肩関節・腰部を扱う為、露出が可能な服装にて受講して下さい。　下肢は大腿部・膝関節・足関節を扱う為、大腿部から足趾までが露出が可能な服装（ハーフパンツ）にて受講して下さい。　欠席の翌週の授業時までに欠席日のﾃｰﾋﾟﾝｸﾞを引き取りに来ない場合は、保管場所が無い為、授業で使わせて頂きます。　徴収金（材料費）について　本科目で用いるテーピングは種類が多岐に渡ることや、授業時間をフルに使い、実際にテーピングを複数回に巻いて覚えることを中心に授業展開を構成していることから、材料費として費用を別途徴収しております。　徴収方法や徴収金額は、対象学年に対して履修登録開始頃には MORIPA 掲示を用いてアナウンスを行いますが、履修配当学年以外で履修を希望される方は、予め研究室（伊奈）まで必ずお越し下さい。　材料費徴収方法：Ｅ棟 1F フロアにある各種申請端末にて支払い、領収書（Ａ４）サイズを初回授業時に提出してもらいます。(会計課へ提出する都合上、ご家庭で各種申請に必要な方は、コピーの提出でも可)　授業で用いるテーピングは同一種類、同一個数を各授業開始時に必要な本数を配布します。授業時間で余ったテーピングは自習用と次回使用予定のモノも含まれます。また、先輩などから譲って頂いたテーピングは授業では用いず、自習用に使用して下さい。

教科書

適宜資料を配布する

参考書

ｽﾎﾟｰﾂ外傷障害からみたﾃｰﾋﾟﾝｸﾞの実技と理論（第 5 版）、文光堂、山本幾栄・野田哲由・平沼憲治

研究室／オフィスアワー

東棟 4F 共同研究室／月曜日 13:00～　（不定期なため事前に確認が必要）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ　ﾃｰﾋﾟﾝｸﾞの基礎知識　足関節捻挫の予防テーピングの巻き方(ルイジアナ)	ｼﾗﾊﾞｽの確認　予習・復習 1 時間	伊 奈 新 太 郎 朝倉 智仁
2	足関節捻挫の予防テーピングの巻き方と実践①（ルイジアナ)、踵部	前回の理解　解剖：足関節の解剖　予習・復習 1 時間	伊 奈 新 太 郎 朝倉 智仁
3	足関節捻挫の予防テーピングの巻き方と実践②、足底筋膜炎	前回の理解　解剖：足関節の解剖　予習・復習 1 時間	伊 奈 新 太 郎 朝倉 智仁
4	足関節捻挫の予防テーピングの巻き方と実践③、バスケットウィーブ、外反母趾	前回の理解　解剖：足関節の解剖　予習・復習 1 時間	伊 奈 新 太 郎 朝倉 智仁
5	足関節捻挫の予防テーピングの巻き方と実践④、伸縮性の違い、実技テスト	前回の理解　解剖：足関節の解剖　予習・復習 1 時間	伊 奈 新 太 郎 朝倉 智仁

6	膝関節・靭帯損傷の復帰予防テーピング①、大腿部打撲	前回の理解　解剖：膝関節の解剖　予習・復習 1 時間	伊 奈 新 太 郎 朝倉 智仁
7	膝関節・靭帯損傷の復帰予防テーピング②、ハムストリングスの肉離れ	前回の理解　解剖：膝関節の解剖　予習・復習 1 時間	伊 奈 新 太 郎 朝倉 智仁
8	足関節捻挫予防のテーピング実技テスト	前回の理解　解剖：足関節の解剖　予習・復習 1 時間	伊奈新太郎 朝倉 智仁
9	肩関節脱臼に対するテーピング	予習：肩関節の解剖、肩関節前方脱臼の理解 復習：授業で実施した実技の練習	伊奈新太郎 朝倉 智仁
10	肘関節の外傷に対するテーピング①	予習：肘関節の解剖と肘関節の外傷の理解 復習：授業で実施した内容の練習	伊奈新太郎 朝倉 智仁
11	肘関節の外傷に対するテーピング②	前回の理解　予習：肘関節の解剖と肘関節の外傷の理解　復習：授業で実施した実技の練習	伊奈新太郎 朝倉 智仁
12	肘関節のテーピング　【実技小テスト】	予習：実技小テストの練習　復習：授業で実施した実技の練習	伊奈新太郎 朝倉 智仁
13	手関節の外傷に対するテーピング	予習：手関節の解剖、手関節の外傷の理解 復習：授業で実施した実技の練習	伊奈新太郎 朝倉 智仁
14	手指の外傷に対するテーピング	予習：指の解剖、手指の外傷の理解　復習：授業で実施した実技の練習	伊奈新太郎 朝倉 智仁
15	手関節・指のテーピング　【実技小テスト】	予習：実技小テストの練習　復習：授業で実施した実技の練習	伊奈新太郎 朝倉 智仁
成績評価方法と基準			割合
1.実技ﾃｽﾄ評価内容（順序、技術、仕上り、機能性）（DP①）　2.授業の取り組む姿勢（DP①）　予防テーピング（朝倉）：実技テスト 2 回（肘関節の予防テーピング・手指の予防テーピング）　固定テーピング（伊奈）：実技テスト 2 回（ルイジアナ・足関捻挫固定テーピング）　実技テストの再試験は行わない。4/5 以上の出席を必要とする。			1.80%　2.20%

授業科目名	コンディショニング技術論（鍼灸）				
主担当教員	宮武　大貴		担当教員	宮武　大貴／伊奈　新太郎	
科目ナンバリング	SS20BACB050	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

コンディショニングとは「目的とする試合に向けての期間を限定された中での調整と、日常的なトレーニングをいかによりよい状態で効果的に継続していくかということへの対応」である。※引用：日本オリンピック委員会　スポーツ現場におけるコンディショニングをあらゆる方向から学習（経験）し、選手をよりよい状態で目的とする試合に臨めるように、自ら身体を動かしながら実践形式で学んでいく。

学修目標

・選手へのウォーミングアップおよびクールダウンのメニュー作りができるようになる。〈DP①〉　・あらゆるトレーニングから状況に応じた効果的なトレーニングを選択し、選手のニーズに対応できるようになる。〈DP①〉　・ペアストレッチング等より選手の疲労回復に努めることができるようになる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①積極的に授業に参加する。　②準備から片付けはみんなで協力して行う。

教科書

特に無し

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

東棟 4F

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【コンディショニング 1】　ガイダンス	予習：シラバスの確認　解剖学　復習：解剖学　骨学・筋学を主に行う。　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈
2	【コンディショニング２】 ウォーミングアップの実践（SAQ）	予習：解剖学　骨学・筋学を主に行う。 復習：ガイダンスの内容　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈
3	【コンディショニング３】　体力測定	予習：解剖学　骨学・筋学を主に行う。 復習：ウォーミングアップの実践（SAQ)で学んだこと。　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈
4	【コンディショニング４】 サーキットトレーニング	予習：解剖学　骨学・筋学を主に行う。 復習：体力測定で学んだこと。　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈
5	【コンディショニング５】 下肢ストレッチングの実践①	予習：下肢の筋学を主に覚えておく　復習：サーキットトレーニングで学んだこと。　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈
6	【コンディショニング６】 下肢ストレッチングの実践②	予習：下肢の筋学を主に覚えておく　復習：下肢ストレッチングの実践①　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈
7	【コンディショニング７】 上肢ストレッチングの実践①	予習：下肢の筋学を主に覚えておく　復習：下肢ストレッチングの実践②　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈
8	【コンディショニング８】 上肢ストレッチングの実践②	予習：上肢の筋学を主に覚えておく　復習：上肢ストレッチングの実践①　予習・復習 1 時間	宮武・伊奈

9	【コンディショニング９】 コーディネーショントレーニング	予習：上肢の筋学を主に覚えておく　復習：上肢ストレッチングの実践②　予習・復習１時間	宮武・伊奈
10	【コンディショニング１０】 ファンクショナルトレーニング	予習：ウォーミングアップについて　復習：コーディネーショントレーニング　予習・復習１時間	宮武・伊奈
11	【コンディショニング１１】 ムーブメントプレパレーション	予習：ウォーミングアップについて　復習：ファンクショナルトレーニング　予習・復習１時間	宮武・伊奈
12	【コンディショニング１２】 ウエイトトレーニング①	予習：ウォーミングアップについて　復習：ムーブメントプレパレーション　予習・復習１時間	宮武・伊奈
13	【コンディショニング１３】 ウエイトトレーニング②	予習：ウォーミングアップについて　復習：ウエイトトレーニング　予習・復習１時間	宮武・伊奈
14	【コンディショニング１４】 プライオメトリクストレーニング	予習：グループワークのための準備　復習：ウエイトトレーニング　予習・復習１時間	宮武・伊奈
15	【コンディショニング１５】 講義全体のまとめ	予習：グループワークのための準備　復習：プライオメトリクストレーニングについて　予習・復習１時間	宮武・伊奈
成績評価方法と基準			割合
①授業中に行う小テスト【課題や指示した内容の達成度に応じて】〈DP①〉　②試験〈DP①〉※出題範囲：授業で扱った範囲　体力測定評価に対するレポート、コンディショニングチェックに対するレポート（伊奈）　2/3 以上の出席を必要とする			①30%　②70%

授業科目名	スポーツ鍼灸学総論（鍼灸）					
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太／宮武　大貴		
科目ナンバリング	SS20BACB051	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	集中講義	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択	

授業概要

スポーツ傷害の整形外科疾患に対して専門的観点から臨床に応用できるように教授する。講義によって臨床に必要な事項について理解を深め、さらに実習によって診察・治療技術を習得する。　内容として、全身各部位のスポーツ傷害に対し、その原因、症状をもとに患者の局所的症状および総合的症状に対する基本的な診察と治療が行える能力を習得する。　コンディショニングに関連しストレッチ及び、テーピングと包帯法を状況に応じた利用ができる事を目的とする。

学修目標

１．外傷の知識を習得し説明できる。　２．代表的なスポーツ傷害における診察手順と病態、鍼灸治療について理解し実践できる。３．コンディショニングとして、ストレッチおよびテーピングと包帯法等が適切に行える。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

スポーツ外傷について対応方法を教授するため、想像力を働かすこと　実際の損傷組織をイメージしどのような根拠のもとに対応するのか理解することに努力する事

教科書

授業時に配付する資料

参考書

東洋医学臨床論　はりきゅう編　　公益社団法人東洋療法学校協会　目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂

研究室／オフィスアワー

月曜日　水曜日　金曜日　但し講義の時間は除く

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　頸肩部、上肢の解剖　頸肩部、上肢の運動機能特性について　包帯法、シーネ固定等	予習：頸肩部上肢の筋・骨格について予習する。　復習：学習した手技は反復練習すること。　課題：練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
2	肩部のスポーツ傷害と鍼灸治療　肩関節の障害　肩関節周囲のストレッチング　肩関節関連筋群の筋力増強訓練　包帯法、シーネ固定等	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害について調べる　復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題：練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
3	肘部のスポーツ傷害と鍼灸治療　肘関節の障害　肘関節周囲のストレッチング　肘関節関連筋群の筋力増強訓練　包帯法、シーネ固定等	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害について調べる　復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題：練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
4	頚部から腰部のスポーツ傷害と鍼灸治療　頸部・腰部のスポーツ傷害　頸椎捻挫 頚椎ヘルニアの病態　　腰椎すべり症　筋筋膜性腰痛の治療　包帯法、シーネ固定等	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害について調べる　復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題：練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
5	足関節・下腿部の障害と鍼灸治療１　足根管症候	予習：シラバスおよび教科内容の確認およ	

	群の症状　アキレス腱炎とアキレス腱断裂の鑑別　足関節捻挫の症状　包帯法、シーネ固定等確認テスト	び代表的なスポーツ傷害について調べる 復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
6	足関節・下腿部の障害と鍼灸治療 2　シンスプリントの病態　コンパートメント症候群の症状と対応	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害について調べる 復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
7	現場トレーニング 1　下肢障害モデルに対して鍼灸治療・手技・ストレッチ・テーピングを複合的に実施する。	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害に対するテーピング等の対応を学ぶ　復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
8	現場トレーニング 2　下肢障害モデルに対して鍼灸治療・手技・ストレッチ・テーピングを複合的に実施する	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害に対するテーピング等の対応を学ぶ　復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
9	膝関節部のスポーツ傷害と鍼灸治療１　外側側副靭帯損傷　内側側副靭帯損傷　　前十字靭帯損傷　後十字靭帯損傷　半月板損傷の病態と鑑別	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害について調べる 復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
10	膝関節の障害と鍼灸治療 2　ジャンパー膝　オスグッド病　鵞足炎　腸脛靭帯炎　　膝関節周囲筋群のストレッチと疼痛緩和について	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害について調べる 復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
11	現場トレーニング 3　下肢障害モデルに対して鍼灸治療・手技・ストレッチ・テーピングを複合的に実施する。	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害に対するテーピング等の対応を学ぶ　復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
12	現場トレーニング 4　下肢障害モデルに対して鍼灸治療・手技・ストレッチ・テーピングを複合的に実施する。	予習：シラバスおよび教科内容の確認および代表的なスポーツ傷害に対するテーピング等の対応を学ぶ　復習：授業をもとに内容確認　学習した知識を活用した鍼灸治療を組み立てる　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
13	症例トレーニング１　上肢を中心とした症例に対し、適切な検査から治療に至る実技を行う。	予習：授業で実施した治療法について反復練習しておくこと　復習：授業で実施した実技について技術習得が確実となるように自己練習する　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
14	症例トレーニング 2　下肢を中心とした症例に対し、適切な検査から治療に至る実技を行う。	予習：授業で実施した治療法について反復練習しておくこと　復習：授業で実施した実技について技術習得が確実となるように自己練習する　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	
15	症例トレーニング確認　複合体育室にて障害モデルに対して鍼灸治療・手技・ストレッチ・テーピングを複合的に実施する。	予習：授業で実施した治療法について反復練習しておくこと　復習：授業で実施した実技について技術習得が確実となるように自己練習する　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/日行う。	

成績評価方法と基準	割合
①授業内テスト（実技・筆記）〈DP①〉　②試験【指定日に実施される試験】〈DP①〉※出題範囲：授業で扱った範囲　4/5 以上の出席を必要とする	①50%　②50%

授業科目名	スポーツ鍼灸学各論（鍼灸）					
主担当教員	髙﨑　雷太		担当教員	髙﨑　雷太／宮武　大貴		
科目ナンバリング	SS20BACC052	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

安全かつ計画的に鍼灸師が治療を行うのに必要なスポーツ医学の基本を理解するとともに、スポーツによる傷害の予防法・治療法だけでなく、臨床(整形外科領域)に必要な診察の進め方、アスリートのコンディション、パフォーマンス向上についての知識・技術の習得およびスポーツ外傷の応置を教授し実技において習得する。また、これからの高齢社会、余暇社会を視野においた時代的な要求に応えられる幅広い知識を深めるため、スポーツ活動が身体にどのように影響するかといった基本的事項等も学習する。

学修目標

１．スポーツ傷害に必要な知識、特に基礎的な整形外科領域を習得し説明できる。　２．スポーツ外傷の処置の知識を習得し説明できる。　３．スポーツ鍼灸に必要な関連領域の事項について理解し説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習室を使用する際には白衣の着用を義務付ける。　実技においては鍼灸治療のほか、ストレッチング・テーピング・包帯法等を行うため、実技に対応する服装で参加すること。　授業態度（準備不足）不良な場合は、1 回目は注意とし 2 回目からは成績より減点する。　公欠者に関して→レポート課題を評価する。

教科書

授業時に配付する資料等

参考書

１．東洋療法学校協会著＜スポーツ東洋療法ハンドブック、医道の日本社＞　２．内田淳正監修、＜標準整形外科学第 11 版、医学書院＞　３．東洋医学臨床論　はりきゅう編　公益社団法人東洋療法学校協会　４．目で見る運動機能検査法　竹内義享　澤田規　著　南江堂

研究室／オフィスアワー

担当教員により指導を行う。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　　トレーナー活動の概要と実施	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題：予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
2	暑熱対策①（熱中症、動静脈吻合クーリング等）	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題：予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
3	暑熱対策②（熱中症、動静脈吻合クーリング等)、トレーニングに関する科学的知見	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題：予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
4	アンチドーピング①（禁止薬物、TUE 申請等）	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題：予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
5	アンチドーピング②(禁止薬物､TUE 申請等)　確認テスト	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題：予習復習を含めた学習を 2H/日	髙﨑・宮武

		行う	
6	頸肩部のスポーツ障害と外傷に対する治療等	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題：予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
7	症例から対応する処置の評価①	予習：授業をもとに重要事項と配付資料の確認　課題：これまで学んだ事項を練習する 2H/日	髙﨑・宮武
8	腰部と股関節の基本構造と障害､対処法について	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題：予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
9	腰部と股関節のスポーツ障害と外傷に対する治療等	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題:予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
10	膝関節の基本構造と障害、対処法について	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題:予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
11	膝関節のスポーツ障害と外傷に対する治療等	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題:予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
12	足関節のスポーツ障害と外傷に対する治療等	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題:予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
13	足関節のスポーツ障害と外傷に対する治療等	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題:予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
14	症例練習、まとめ	予習：授業内容について事前に調べておく 復習：授業をもとに重要事項の練習等を行う　課題:予習復習を含めた学習を 2H/日行う	髙﨑・宮武
15	症例から対応する処置の評価②	予習：これまでに習ったことを学習する 復習：授業をもとに重要事項と配付資料の確認	髙﨑・宮武
成績評価方法と基準			割合
①授業内テスト（実技・筆記）〈DP①〉　②試験【指定日に実施される試験】〈DP①〉※出題範囲：授業で扱った範囲　4/5 以上の出席を必要とする			①50% ②50%

授業科目名	介護学概論（鍼灸）				
主担当教員	上田　喜敏		担当教員	上田　喜敏	
科目ナンバリング	SS20BACB053	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

この授業では、日本の高齢者や障がいのある人々のケアをする意義について理解し、それに基づいた様々な援助技術の基本を理解する。具体的には、介護保険制度や介護の基本事項について理解する。

学修目標

1.ケア（介護）について理解することができる。<DP②>　2.日本の社会保障制度について理解することができる。<DP①>　3.介護保険制度について理解することができる。<DP①>　4.高齢者支援の方法について理解することができる。<DP②>　5.車いすについて理解できる。<DP②>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.配布した講義資料については事前に読むこと。　2.疑問点があれば、必ず聞くこと、講義メモをとること。　3.今まで聞いたことのない用語が出るので復習をすること。　4.講義中の携帯電話はカバンの中にしまうこと勿論。使用は禁じる。　5.授業の進行状況により、内容の変更等がある。　6.介護に興味を持つように心がけること。

教科書

配布資料にて実施。

参考書

介護支援専門員テキスト

研究室／オフィスアワー

研究室 7/毎木曜日午前

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	科目ガイダンスと介護について	復習：今後の人口動態について確認（2 時間）	上田
2	日本の社会保障制度と介護について、介護保険制度導入の背景について	予習：社会保障とは何か調べる（2 時間） 復習：社会保障と介護保険の背景を確認（2 時間）	上田
3	日本の社会保障制度 2（これからの社会保障について）	予習：これから日本の社会保障制度について調べる（2 時間）　復習：医療介護の 2025 年以降を確認（2 時間）	上田
4	介護保険制度 1	予習：介護保険について調べる（2 時間） 復習：介護保険制度について確認（2 時間）	上田
5	介護保険制度 2	予習：施設について調べる（2 時間）　復習：介護保険制度について確認（2 時間）	上田
6	介護保険制度 3 介護予防	予習：介護予防について調べる（2 時間） 復習：介護予防について確認（2 時間）	上田
7	車いすについて	予習：車いすについて調べる（2 時間） 復習：車いすの種類・技術について確認（2 時間）	上田
8	車いす技術（実技）	復習：車いす名称について確認（2 時間）	上田
9	高齢者身体特性	予習:高齢者の身体について調べる(2 時間) 復習：高齢者の身体特性について確認（2 時間）	上田
10	高齢者身体特性とてんかん	予習:てんかんについて調べる(2 時間)　復習：身体特性とてんかんについて確認（2 時	上田

		間）	
11	言葉遣いと高齢者虐待	予習：虐待について調べる（2 時間） 復習：言葉遣いと高齢者虐待について確認（2 時間）	上田
12	高齢者支援展開論 1	予習：身体介護と家事援助について調べる（2 時間） 復習：介護と食事の介護について確認（2 時間）	上田
13	高齢者支援展開論 2	予習：失禁について調べる（2 時間） 復習：排泄と失禁について確認（2 時間）	上田
14	高齢者支援展開論 3	予習：褥瘡について調べる（2 時間） 復習：褥瘡とその対策について確認（2 時間）	上田
15	高齢者支援展開論 4 とまとめ	予習：睡眠、入浴、口腔について調べる（2 時間） 復習：睡眠、入浴、口腔のかいごについて確認（2 時間）	上田
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験（100 点）の結果、60 点以上で単位を認定する。＜DP①②＞ 2.2/3 以上の出席が必要。			100%

授業科目名	老年ケア演習（鍼灸）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC054	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	集中講義
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

はり師きゅう師も高齢者の実態を知り、積極的なケアが必要である。また、鍼灸臨床においては高齢者や障害者に接する機会は少なくないため介助・介護のあり方および方法の理解は重要である。そこで老年ケア演習では、ベッド、車イスの場合の介護方法と日常生活で必要な食事・排泄・入浴という三つのケアの手順や基本的事項についてシュミレーショントレーニングを交えながら教授する。

学修目標

施設の雰囲気を鋭く感じ取り、臨機応変な判断と言動ができる。　利用者を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身に付ける。　観察した経験を正確に記し、利用者・スタッフの行動を冷静に分析して報告できる。　DP①②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

欠席や遅刻をした場合、単位を認められないことがあります。　授業の進め方 学外の施設で実施するので、事前に説明会を行う。　グループを決め、グループごとに期間を設け、実施する。

教科書

配付プリント

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

事務局に常駐しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業計画　1～15 回の授業は、特別養護老人ホーム等で 1 週間の集中した演習を実施する。　1．オリエンテーション　2．学外見学　・見聞きしたこと､指導を受けたことを詳細に記録する。　・見学した利用者の状況について文献を参考にして詳しく調べる。	担当する部門の利用者の状況に応じて必要な知識・技術を予習・復習する。(30 時間)	

成績評価方法と基準	割合
1.実習態度（見学施設からのフィードバック含む）　2.レポート(DP1,2,3,4)　4/5 以上の出席が必要とする。　・実習態度・レポートに対するフィードバック方法　必要に応じて実習態度・レポートに対する個別指導を行う。	1.50%　2.50%

授業科目名	美容鍼灸学各論Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央／白井　麻衣子	
科目ナンバリング	SS20BACC055	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

美容鍼灸を行うにおいて必要な解剖学、生理学、経路経穴学を基礎から学ぶ。また鍼灸師としての立ち振る舞いはもちろんのこと美容独特の作法も学ぶ。

学修目標

①社会人としての常識や接客マナーを身に付ける。〈DP①〉　②美容業界(西洋医学及び東洋医学を含む)の現在までの歴史や現状を把握し、将来の美容鍼灸師としてどのように活躍したいか創造することができる。〈DP①〉　③美容鍼灸における治効理論を理解し説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．出席は重視する。　２．予習復習を各 2 時間実施する。

教科書

「新版 経絡経穴概論」医道の日本社 教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）　「解剖学」社団法人東洋療法学校協会編　「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」　南江堂

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階 研究室　授業前後の時間

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業内容の説明および評価方法､授業を受ける心構えや持ち物についての説明を行う。 また､1･2年生学んだ解剖学と経絡経穴学の知識を確認するテストを実施する。	予習：本科目の講義内容、評価に関してシラバスを用いて把握すること。１・２年生の解剖学と経絡経穴学で学んだ（筋の作用や血管神経の走行）を復習すること。(2 時間)　復習：顔面部の筋や血管、神経の走行を図でまとめる。顔面部の経穴を取穴できるようにする。(2 時間)	堀川奈央
2	顔面部の解剖(筋肉の配置と作用や血管の走行など)を学び、顔面部の経穴の復習を行う。　取穴シールを用い、実際に取穴する。	予習：顔面部の解剖生理経穴の復習を行う。(2 時間)　復習：次回顔面部に刺鍼するので経穴の位置を覚え取穴できるようになること。(2 時間)	堀川奈央
3	経穴の復習および刺鍼練習	予習：顔面部の解剖生理経穴の復習を行う。(2 時間)　復習：次回顔面部に刺鍼するので経穴の位置を覚え取穴できるようになること。(2 時間)	堀川奈央
4	肌トラブル､悩みに対する美容鍼灸と美容医療の対応	予習：自身が受けて気持ちが良い対応とはどんなものかを実体験を踏まえ考える。(2 時間)　復習：美容医療についての知識を復習する。(2 時間)	堀川奈央
5	顔面部の刺鍼：安全に顔面に刺鍼する。　顔面部の動脈静脈の走行を考え安全な刺鍼ができるよう学ぶ。	予習：顔面部の筋肉血管神経について復習し触診の練習を行う。(2 時間)　復習：授業内で行った刺鍼部位、方法を復習する。実技室開にて教員の監視下で四診の練習を行うのも可（2 時間）	堀川奈央
6	睡眠の知識を学ぶ（西洋と東洋からみた）	予習：自身の眠りについて 1 週間 OSA 睡眠	堀川奈央

		質問票の記載と PSQI の解答を行う。 (2 時間) 復習：学んだ内容から自身の眠りについて改善すべきところを書きだし実践する。(2 時間)	
7	自律神経に働きかける対処法（ヘッドスパ） 頭皮や耳介のストレッチとヨガ呼吸法を学ぶ。	予習：頭部の解剖学を復習する。経絡の流れを復習しておくこと。 (2 時間) 復習：実技室開放を利用し、手技の復習を行う。(2 時間)	堀川奈央
8	臨床現場 見せ方 実際の患者が求めていることを学ぶ。	予習：治療を受けたときのおもてなしや対応で心地よかったことと不快だったことを思い返しておく。(2 時間) 復習：自身が臨床に出る際、実践したい内容をまとめる。(2 時間)	白井麻衣子
9	年代別 悩み別の対応法、治療法を学ぶ。	予習：自身の肌に関する悩みについて確認し対処は何をしているかかき出す。 復習：対応法を復習する。	白井麻衣子
10	主に美容鍼灸に関するカウンセリング方法を学ぶ。 東洋医学的診察を含めた内容	予習：四診法の復習を行う。 復習：カウンセリングの練習を行う。	白井麻衣子
11	四虚証別治療法を学ぶ。	予習：臓腑弁証の復習を行う。 復習：四虚証別の治療穴を覚え、刺鍼の練習をする。	白井麻衣子
12	総復習(美容医療を含む肌トラブルへの対応から四虚証別治療まで)	予習：今までの復習を全体的に行ってくること。 復習：実技室開放を利用し、手技の復習を行う。	白井麻衣子 堀川奈央
13	治療実践 カウンセリングから治療を 60 分以内に実施する。 お互い評価し、フィードバックする。	予習：カウンセリングの練習と治療穴等を覚え治療できるようにしてくること。 復習：本日の自身の治療に対して良かった点、悪かった点を出し、改善方法をかき出す。	白井麻衣子 堀川奈央
14	治療実践 美容に関連する体の治療 仰臥位、着衣状態で行える顔面および頸、頭、デコルテへの刺鍼および施灸	予習：前回までに習った内容を復習し、実技室開放にて実技を練習する。 復習：本日の自身の治療に対して良かった点、悪かった点を出し、改善方法をかき出す。	白井麻衣子 堀川奈央
15	筆記試験	予習：座学、実技で学んだ内容を復習すること。 復習：講義で学んだ内容をまとめる。	堀川奈央 白井麻衣子
成績評価方法と基準			割合
1.授業内で実施する筆記試験（DP①） 2.授業課題提出（DP①）			１．80% ２．20%

授業科目名	美容鍼灸学各論Ⅱ（鍼灸）				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央	
科目ナンバリング	SS20BACC056	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

１．頭顔面部の解剖、を経穴を含めて復習する。　２．治療手技だけでなく、経営や接客に必要な様々な知識を、多数の臨床鍼灸師の先生から学ぶ。　（臨床での鍼灸治療の内容を経営から接客、治療について実技を含めてお話していただきます。）

学修目標

美容鍼灸分野の多様性に触れ、自身の将来像を想像することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．出席は重視する。　２．外部から講師を招くため、失礼のないよう、体調不良以外での欠席・遅刻は避けること。

教科書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」　南江堂

参考書

「新版 経絡経穴概論」医道の日本社 教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）　「解剖学」医道の日本社 教科書執筆小委員会

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室／授業前後の休み時間

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	評価基準や授業内容の概要を説明する。 今後スケジュールの確認と持ち物について説明する。	予習：本科目の講義内容、評価に関してシラバスを用いて把握すること。 復習：顔面部の解剖・生理・経穴をまとめること。	堀川
2	美容鍼灸①エステティック	予習：前期の復習（頭部顔面部の筋学と経穴）(2 時間) 復習：自身の顔で手技の練習を行う。(2 時間)	堀川　ゲストスピーカー
3	美容鍼灸①エステティック	予習：美容鍼灸学各論Ⅰの内容を総復習する。(2 時間) 復習：エステテックの授業で学んだ知識、技術を復習し練習する。(2 時間)	堀川　ゲストスピーカー
4	顔面部への安全な刺鍼	予習：低学年で学んだ解剖学や生理学の知識を復習する。(2 時間) 復習：頭顔面部の解剖学生理学を総復習する。 (2 時間)	堀川
5	鍼灸治療応用①耳介療法	予習：耳にあるツボについて調べ取穴をできるようにする。(2 時間) 復習：耳介療法の実施おける注意点や実施方法を復習する。(2 時間)	堀川
6	鍼灸治療応用①箱灸	予習：腹部にあるツボについて調べ取穴をできるようにする。(2 時間) 復習：箱灸の原理を理解し、実施おける注意点や実施方法を復習する。(2 時間)	堀川
7	美容鍼灸②　電気を流さない顔鍼	予習：前回の内容をまとめる。(2 時間) 復習：手順や力加減の復習を行う。(2 時間)	堀川
8	美容鍼灸②　電気を流さない顔鍼	予習：前回の内容をまとめる。(2 時間) 復習：手順や力加減の復習を行う。(2 時	堀川

		間）	
9	鍼灸治療応用②いろいろな温灸の応用（顔面部や腹部、肩頸部）	予習：顔面部、肩頸部、腹部にある経穴の復習。取穴できるようにすること。（2 時間） 復習：次回質問できるよう、前回の講義内容について質問を考えておく。（2 時間）	堀川
10	美容鍼灸③鍼通電	予習：低周波鍼通電療法について調べる。（2 時間）　復習：刺鍼部位や低周波鍼療法における注意点を復習する。（2 時間）	堀川　ゲストスピーカー
11	美容鍼灸③鍼通電	予習：低周波鍼通電療法について調べる。（2 時間）　復習：刺鍼部位や低周波鍼療法における注意点を復習する。（2 時間）	堀川　ゲストスピーカー
12	美容鍼灸③鍼通電　応用編	予習：前回の内容をまとめる。（2 時間）　復習：次回質問できるよう、前回の講義内容について質問を考えておく。（2 時間）	堀川　ゲストスピーカー
13	美容鍼灸③鍼通電　応用編	予習：前回の内容をまとめる。（2 時間）　復習：鍼通電を用いた美容鍼灸の理論と手技の復習を行う。（2 時間）	堀川　ゲストスピーカー
14	オリジナルメニュー作成と練習	予習：前回の内容をまとめる。（2 時間）　復習：次回質問できるよう、前回の講義内容について質問を考えておく。（2 時間）	堀川
15	オリジナルメニュー実施	自分自身の将来像（鍼灸師として、美容鍼灸師として）を今一度考える。	堀川
成績評価方法と基準			割合
１．実技評価（メニュー表実践）　　２．レポート　　ただし 4/5 以上の出席を必要とする。			1.60%　2.40%

授業科目名	応用鍼灸学Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	仲村　正子		担当教員	仲村　正子／尾﨑　朋文／中村　真理	
科目ナンバリング	SS20BACC057	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

産婦人科鍼灸学では、婦人科・産科領域の主な症状や代表的な疾患を取り上げ、現代医学および東洋医学的の両面からの発生機序や治療方針、または鑑別診断が可能となるように指導する。　女性の生理や月経異常、更年期障害、妊娠嘔吐、授乳分泌不足などの代表的疾患の主症状や疾患に対する鍼灸治療の基本的な技術と知識を教授する。　また、小児鍼鍼灸学では、大阪で発達した小児はりを中心に小児に対する鍼施術の基本と、様々な技術を教授する。　また、小児に特に多くみられる疾患についての知識や診察方法を修得することによって、症状が急激に変化しやすい小児に対応できる臨床能力を養う。（中村真理）

学修目標

女性のライフサイクルの中で出現する症状として「美容」「脱毛症（増毛）」　「顔面神経麻痺（妊娠中はステロイド治療できない）」「肩こり」などが挙げられる。　これら症状に対して鍼灸で臨床に応用できるように、四診法から弁証を確立し、中医弁証配穴法により鍼灸治療して、患者様の変化を診られるようにする。講義と実技を組み合わせて総合的な応用鍼灸の臨床力を高める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

東洋医学概論、東洋医学臨床論が基礎知識として必要である。　特に気血津液弁証、臓腑弁証について理解する必要がある。　実技ではお互いに顔面部や頭部に刺鍼する。授業までに教科書に目を通しておくこと。（中村真理）

教科書

東洋医学概論（医道の日本社）　新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）（南江堂）

参考書

鍼灸学「基礎編」　「臨床編」　「経穴編」　（東洋学術出版社）　中医診断学ノート　内山恵子著　（東洋学術出版社）

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階共同研究室 水曜日 3 限（仲村正子）　西棟 1 階研究室 月曜日 5 限（尾﨑朋文）　授業前後の時間（中村真理）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	臨床美容鍼灸	予習：気血津液の各々の症状について確認 復習：	中村
2	臨床美容鍼灸（実技・プレゼンテーション）	予習：　復習：前回授業内容の復習	中村
3	臨床増毛鍼灸	予習：東洋医学臨床論の「脱毛」 復習：	中村
4	臨床増毛鍼灸（実技・デモンストレーション）	予習：　復習：前回授業内容の復習	中村
5	臨床顔面神経麻痺と実技（リハビリ含む）	予習：顔面神経麻痺の基礎知識　復習：	中村
6	臨床肩こり実技	予習：東洋医学臨床論の「肩こり」　復習：	中村
7	テスト（30 分）不眠（60 分）	予習：東洋医学臨床論の「不眠」　復習：	中村
8	子供の発育	予習：子供の発育について調べること　復習：授業内容の復習	尾﨑
9	小児鍼の実技	予習:シラバスの確認　復習:小児鍼の使い方について練習すること	尾﨑
10	小児鍼の応用	予習：小児鍼の練習と認知症と擦過鍼について調べること　復習：授業内容の復習	尾﨑
11	婦人科の基礎（解剖・生理・病理・総論・各論・	予習:国家試験過去問題　復習:授業内容の	仲村

	東臨）	まとめ	
12	婦人科　月経関連症状と鍼灸	予習：月経に関する解剖や生理機能を確認すること　復習：授業内容の復習	仲村
13	婦人科　婦人科疾患・不妊症と鍼灸	予習：婦人科疾患について調べること　復習：授業内容の復習	仲村
14	婦人科　周産期・産後と鍼灸	予習：妊娠期の女性ホルモンの働きについて　復習：授業内容の復習	仲村
15	婦人科　更年期障害と鍼灸、総括	予習：更年期症状について調べること　復習：授業内容の復習	仲村
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験および総合的に評価する（中村真理）　②筆記試験および総合的に評価する（仲村正子・尾崎朋文）　③出席は 4/5 回以上を必要とし，基準を満たした者について試験を実施する.			①50% ②50%

授業科目名	応用鍼灸学Ⅱ（鍼灸）				
主担当教員	髙橋　秀郎		担当教員	髙橋　秀郎	
科目ナンバリング	SS20BACC058	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日・時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

外傷後や老年期に起こりえる身体の動きの不調についての改善策を検討する。　歩行を含めた日常生活動作の不調を主訴とした患者の、関節の動きや身体の使い方を観察する　これからの高齢社会、余暇社会を視野においた時代的な要求に応えられる幅広い知識を深めるため、整形外科疾患による　身体構造の変化がどのように日常生活に影響するかといった基本的事項等も学習する。

学修目標

整形外科疾患患者の身体変化を観察できる　関節の動きを観察、評価することができる　歩行訓練、体位変換、可動域訓練の基本的事項を実践できる

履修上の注意（学生へのメッセージ）

実技、実演を多用する予定　積極的に実技に参加すること　1. 出席を重視する。　2. 授業態度が不良（私語、携帯を見ること等）の者は減点対象とする。　3. 遅刻の申告、延着証明の提出は当日に限り有効とする

教科書

標準整形外科学第 11 版　　内田淳正　監修　　医学書院　解剖学　　河野邦夫

伊藤隆造　著　東洋療法学校協会

参考書

都度指示する

研究室／オフィスアワー

月曜日、水曜日、金曜日　各曜日 9:00～17:45　但し講義時間以外

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	歩行　歩行サイクルの説明	歩行サイクルの用語について復習する　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
2	歩行　歩行の観察	歩行サイクルの用語について復習する　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
3	歩行　歩行時の筋活動	歩行サイクルの用語について復習する　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
4	腰部疾患　腰痛の原因となる疾患　画像読影　適応の判断	標準整形外科学の学習　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
5	腰部疾患　疼痛の発生原因とその対策	標準整形外科学の学習　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
6	腰部疾患　適応外の判断と医療安全を考慮した計画	標準整形外科学の学習　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
7	頚部疾患　頚部疾患の症状と診断	頚部疾患の特徴の予習　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
8	頚部疾患　変形性頚椎症　頚椎ヘルニア　画像読影　適応の判定	頚部の骨格の復習　頚部の軟部組織の復習　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
9	頚部疾患　治療の原則　頚椎疾患の及ぼす影響	頚部神経の復習　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
10	肩関節疾患　肩関節疾患の鑑別　治療方針の原則	肩関節周囲の解剖　構造の理解　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
11	肩関節疾患　肩関節疾患の症状　適応外診断	肩関節周囲の骨格の理解　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
12	肩関節疾患　画像読影　安全性を考慮しての可	肩関節周囲の構造　軟部組織の構造の理解	髙橋

	動域訓練	予習 1 時間、復習 1 時間	
13	膝関節疾患　膝関節疾患とその症状	膝関節の解剖　軟部組織の構造の理解　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
14	膝関節疾患　膝関節疾患の症状が歩行に与える影響	歩行サイクル　歩容の観察　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
15	総合演習	総合復習　予習 1 時間、復習 1 時間	髙橋
成績評価方法と基準			割合
レポートにより評価を行う。　4/5 以上の出席が必要。　レポートの内容を考慮した個別指導を行う			100%

授業科目名	スポーツ経営学（鍼灸）				
主担当教員	禿 慧二		担当教員	禿 慧二	
科目ナンバリング	SS20BACB059	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	4年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜5限
授業形態	講義	単位数	1単位	必修・選択	選択

授業概要

1. 我が国のスポーツ行政のねらいとしくみを学び、地域におけるスポーツ組織の経営の基本を習得する。
2. 様々な領域で実践されているスポーツマネジメントの事例から課題を見つけ、課題解決のためにどのようなマネジメントが必要なのか指摘できる力を養うことを目標とする。

学修目標

1. スポーツ組織に関する基礎的な知識が説明できる。〈DP①〉 2. スポーツ組織のマネジメントに関する基礎的な知識が説明できる。〈DP①〉 3. 現代社会におけるスポーツの意義について基礎的な知識が説明できる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本科目はスポーツ指導者養成科目になっています。あなた自身は、学習の主体であると同時に、他の受講生にとっては学習環境の一部でもあります。スポーツ指導者としてふさわしい受講態度を心がけるようにしてください。

教科書

Reference Book　公益財団法人日本スポーツ協会

参考書

テキスト 体育・スポーツ経営学 柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏編著 大修館書店
公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅱ 公益財団法人日本スポーツ協会

研究室／オフィスアワー

E棟1階非常勤講師控室／授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス及び導入	予習：シラバスと教科書を照らし合わせて確認する　復習：講義内容をウェブで確認	禿
2	スポーツ組織の持続可能性	予習：教科書を事前に確認する　復習：講義内容をウェブで確認	禿
3	地域におけるスポーツ振興	予習：教科書を事前に確認する　復習：講義内容をウェブで確認	禿
4	総合型地域スポーツクラブのマネジメント	予習：教科書を事前に確認する　復習：講義内容をウェブで確認	禿
5	スポーツ組織の特性とマネジメント	予習：教科書を事前に確認する　復習：講義内容をウェブで確認	禿
6	スポーツの産業化	予習：教科書を事前に確認する　復習：講義内容をウェブで確認	禿
7	スポーツ組織に必要な法整備	予習：教科書を事前に確認する　復習：講義内容をウェブで確認	禿
8	授業全体のまとめおよび確認テスト	予習：これまでの講義についてふり返る	禿

成績評価方法と基準	割合
1.筆記試験〈DP①〉　※出題範囲：授業で扱った範囲から出題します　2.小レポート〈DP①〉　※提出されたレポート内容について解説を行います。詳細は授業内で説明します。	1. 80%　2. 20%

授業科目名	スポーツ実習Ⅱ球技A(鍼灸スポーツ)					
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎		
科目ナンバリング	SS20BACB063	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	3年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜1限	
授業形態	実習	単位数	1単位	必修・選択	必修	

授業概要

本授業では、ゴール型ゲームとしてハンドボール及びサッカーを介し、個人での各スポーツにおける技能の習得のほか、ゴール型ゲームが持つ固有の対戦、競争課題からゲーム状況下における技能の発揮や戦術展開について学ぶ。それによる集団技術の熟達を目指すとともに、ゴール型ゲームの指導者としての資質の向上を目指す。

学修目標

ゴール型ゲームのルールの理解と個人技能の習得<DP①>　集団技術の習得、および指導実践（デモンストレーション）が出来る<DP①>　ゴール型ゲームの指導実践の中で、中学校・高等学校の保健体育授業における指導計画の作成・実践・評価を行うことが出来る<DP①③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

基本的に体育館にて行いますが、天気予報とグラウンド状況によってグリーンスクエアで実施する場合もあることから、両方施設に対応可能な用意をしておくようにしてください。　　持ち物　笛・バインダー・筆記用具・時計　適切なシューズ（体育館と屋外人工芝）・適切なウェア　※身体接触のある実技を行う関係上、装飾品は一切不可とし、ｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞは脱落しないもの、ﾒｶﾞﾈの場合は、脱落防止対策を必ず行って下さい。

教科書

適宜、資料等を配布する。

参考書

サッカー　公益財団法人日本サッカー協会「サッカー指導教本2016　JFA公認C級コーチ」2016年　財団法人日本サッカー協会「JFAキッズドリル」2005年　財団法人日本サッカー協会「JFAキッズドリル2アイスブレイク集」2010年

研究室／オフィスアワー

東棟4F共同研究室　月13:00~

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ゴール型ゲームの歴史およびﾙｰﾙについて　指導実践ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	歴史とﾙｰﾙ、ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ　予習・復習	伊奈
2	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：ﾊﾟｽ&ｺﾝﾄﾛｰﾙ　静止・動き　対人：1対1　ﾎﾞｰﾙｷｰﾌﾟ・ﾁｪｲｽ　GAME：ﾌﾞﾗｲﾄﾞｻｯｶｰ・ｳｫｰｷﾝｸﾞｻｯｶｰ	配布資料のｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を理解する予習・復習	伊奈
3	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：ﾄﾞﾘﾌﾞﾙ・ﾎﾞｰﾙﾌｨｰﾘﾝｸﾞ　対人：2対1　攻撃GAME：背面ｺﾞｰﾙ	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
4	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：ﾛﾝｸﾞ/ﾐﾄﾞﾙｷｯｸ　対人：1対2　守備　GAME：ﾗｲﾝ通過・止める（4ｺﾞｰﾙ）	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
5	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：ｼｭｰﾄ、ｺﾞｰﾙｷｰﾊﾟｰ　対人：2対2　ﾎﾞｰﾙｷｰﾌﾟGAME：4対4+GK	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
6	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：ｼｭｰﾄ2　ﾎﾞｰﾙを受ける・ﾏｰｸを外す動き　対人：2対2　攻撃方向　GAME：5対5+GK	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
7	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：ﾎﾞﾚｰ&ﾍﾃﾞｨﾝｸﾞ　対人：3対2　攻撃　2対3守備　GAME：5vs5+GK	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈

8	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：ｸﾛｽﾎﾞｰﾙ　対人：3 対 3　攻撃方向　GAME：5vs5+GK	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
9	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：指導実践　対人：指導実践　GAME：6vs6	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
10	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：指導実践　対人：指導実践　GAME：6vs6	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
11	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：指導実践　対人：指導実践　GAME：6vs6	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
12	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：指導実践　対人：指導実践　GAME：6vs6	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
13	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：指導実践　対人：指導実践　GAME：6vs6	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
14	ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ・ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ　技術：指導実践　対人：指導実践　GAME：6vs6	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
15	GAME①：6vs6　GAME②：6vs6　GAME③：6vs6　GAME④：6vs6	ｷｰﾌｧｸﾀｰと留意点を意識した指導と指導された内容に沿ったﾌﾟﾚｰを心掛ける　予習・復習	伊奈
成績評価方法と基準			割合
1.指導案作成・内容＜DP①＞　（作成、詳細・注意点・作図）　2.授業への取り組み＜DP③＞（物品の準備、片付け、ﾌﾟﾚｰ時の取り組み）　3.指導実践時の指導力＜DP①＞　（笛・時間配分・説明・ﾒﾆｭｰの準備・指導）			1.40%　2.40%　3.20%

授業科目名	スポーツ実習Ⅱ球技Ｂ(鍼灸スポーツ)					
主担当教員	信江　彩加		担当教員	信江　彩加		
科目ナンバリング	SS20BACB064	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

球技（ネット型スポーツ）の基礎知識、技術習得、指導実践を実技を通して学習する。

学修目標

・球技（ネット型スポーツ）の基本技術を習得し、デモンストレーションができる。〈DP①〉　・基礎的技術や理論を習得し、指導できるようになる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

トレーニングウエア、シューズを持参すること。

教科書

適宜、資料等を配布する。

参考書

必要に応じて提示する。

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 3/ 原則月曜日 3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　球技（ネット型スポーツ）の歴史およびルール　競技特性、用具の理解	球技（ネット型スポーツ）の歴史、ルール、競技特性、用具について理解する。予習・復習各 1 時間	信江
2	テニスの基本技術の習得①　ラケッティング、ミニテニス	予習・復習各 1 時間	信江
3	基本技術の習得②　グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	予習・復習各 1 時間	信江
4	基本技術の習得③　ネットプレー（ボレー、スマッシュ）	予習・復習各 1 時間	信江
5	基本技術の習得④　サービス	予習・復習各 1 時間	信江
6	ダブルスのルール、戦術、ゲーム実践	予習・復習各 1 時間	信江
7	ダブルスのゲーム実践	予習・復習各 1 時間	信江
8	シングルスのルール、戦術、ゲーム実践	予習・復習各 1 時間	信江
9	シングルスのゲーム実践	予習・復習各 1 時間	信江
10	グループ対抗戦　（シングルス、ダブルス）	予習・復習各 1 時間	信江
11	さまざまなミニゲームの実践	予習・復習各 1 時間	信江
12	指導実践①　指導案作成、実践、評価	予習・復習各 1 時間	信江
13	指導実践②　指導案作成、実践、評価	予習・復習各 1 時間	信江
14	指導実践③　指導案作成、実践、評価	予習・復習各 1 時間	信江
15	全体のまとめと振り返り　基本技術、ルールの確認	予習・復習各 1 時間	信江

成績評価方法と基準	割合
1.基礎技術習得（実技テスト）〈DP①③〉　2.指導実践力、指導案、実技ノート内容〈DP①③〉　3.授業への取り組み〈DP③〉　4.課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：実技テストについては、点数の提示と解説を実施する。	1.40% 2.40% 3.20%

授業科目名	スポーツ実習Ⅱ球技C(鍼灸スポーツ)					
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之		
科目ナンバリング	SS20BACB065	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	3年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜5限	
授業形態	実習	単位数	1単位	必修･選択	必修	

授業概要

本授業では、ベースボール型ゲームとしてソフトボールや野球型ゲームを介し、個人での各スポーツにおける技能の習得、ベースボール型ゲームが持つ固有の対戦、競争課題からゲーム状況下における技能の発揮や戦術展開について学ぶ。さらに、学校体育の現場にてベースボール型ゲームを実践できる能力（特に雨天時や生徒数が少人数であった時の対応）を身につける。

学修目標

ベースボール型ゲームのルールの理解と個人技能の習得<DP①>　集団技術の習得、および指導実践（デモンストレーション）が出来る<DP①>　ベースボール型ゲームの指導実践の中で、中学校・高等学校の保健体育授業における指導計画の作成・実践・評価を行うことが出来る<DP①③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

基本的に体育館にて行いますので、体育館シューズを予め用意しておくようにしてください。舞洲で実施する場合もあります。舞洲で実施する場合は、事前に連絡します。　＊私服での参加は、認めません。　　持ち物　適切なシューズ（体育館と屋外人工芝）・適切なウェア　※身体接触のある実技を行う関係上、装飾品は一切不可とし、ｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞは脱落しないもの、ﾒｶﾞﾈの場合は、脱落防止対策を必ず行って下さい。

教科書

適宜、資料等を配布する。

参考書

特に無し

研究室／オフィスアワー

東棟４階　火曜 15：00-18：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ベースボール型ゲームのﾙｰﾙについて　オリエンテーション	教室にてオリエンテーションを行う。　ソフトボールのルールを予習しておく。	小田
2	投げる・捕る・キャッチボール・守備	キャッチボールの方法を理解し、守備の方法を復習する。	小田
3	キャッチボール型ゲーム	「ボールを捕る、投げる」を基にしたゲームを行うので、これまでの授業を復習しておく。	小田
4	バッティング・攻撃・走塁	バットの握り方、ボールの打ち方を予習しておく。走者の動き方を予習しておく。	小田
5	バッティング型ゲーム	バットの握り方、ボールの打ち方を復習しておく。	小田
6	ベースボール型ゲーム①　ティーボール	ソフトボールのルール（特に走塁）について予習・復習しておく。	小田
7	ベースボール型ゲーム②　ベースボール5	ベースボール5のルールを予習しておく	小田
8	ベースボール型ゲーム③　屋内ソフトボール	1～7回目までの授業を基にソフトボールのルールを把握する。	小田
9	ベースボール型ゲーム④　ソフトボール	1～8回目までの授業を基にソフトボールを実践する。	小田
10	ベースボール型ゲーム⑤　ソフトボール	1～8回目までの授業を基にソフトボールを	小田

		実践する。	
11	ベースボール型ゲーム⑥　ソフトボール	1～8 回目までの授業を基にソフトボールを実践する。	小田
12	ベースボール型ゲーム⑦　ソフトボール	1～8 回目までの授業を基にソフトボールを実践する。	小田
13	実技実践①	雨天や少人数を考慮した屋内でできるベースボール型ゲームを考える（予習）	小田
14	実技実践②	雨天や少人数を考慮した屋内でできるベースボール型ゲームを考える（予習）	小田
15	実技実践③	雨天や少人数を考慮した屋内でできるベースボール型ゲームを考える（予習）	小田
成績評価方法と基準			割合
1.授業への取り組み＜DP③＞　　（物品の準備、片付け、ﾌﾟﾚｰ時の取り組み）　2.実技実践時の指導力（1 回目からの修正度合）＜DP①＞　　（笛・時間配分・説明・準備・指導・後片付け）			1.80%　2.20%

授業科目名	スポーツ実習Ⅳ柔道（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	老田　準司		担当教員	老田　準司		
科目ナンバリング	SS20BACB067	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 3 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修	

授業概要

柔道の歴史、礼法などの構成、基本姿勢、基本動作、基本技術について、主に実技をその実技を通して学修する。

学修目標

・　日本の伝統的な武道の一つの柔道について、その歴史や礼法などの精神的な面の尊重、基本動作、技術などの修得を通して、学校体育として活用される意義について学習する。　・　中学校、高等学校の授業で活用されている柔道の基本姿勢、基本動作、基礎技術や理論を修得し、指導できるようになる。DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・　安全を確保にするため、自己の体調管理を徹底しておくこと。　・　ビデオカメラ等の IT 機器を活用し、柔道の動作の確認、修正を行うので、効果効率的に授業が展開するよう協力姿勢を持つこと。

教科書

・　文部科学省「中学校学習指導要領解説　保健体育編」　東山書房　・　文部科学省「高等学校学習指導要領解説　保健体育・体育編」　東山書房

参考書

新しい柔道の授業づくり（大修館書店）

研究室／オフィスアワー

・　東棟 1 階　非常勤講師室(木曜日 15：00-16：20)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	・　柔道の歴史及び礼法を資料、PPT を通して学修するとともに、柔道場の設置（畳を敷く）、柔道着の着用方法、受け身等の基本動作を学修する。　基本動作　受け身の修得：仰臥姿勢からの両受け身　横臥姿勢からの片受け身長座位姿勢からの後方受け身	予習：体調管理の徹底を図っておくこと。柔道の歴史について調べておくこと。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
2	・　柔道の基本姿勢、基本動作及び受け身の基本の学修　①　受け身の基本(仰臥姿勢での受け身)　②　横臥姿勢からの片受け身　③　中腰からの受け身の学修（片、両の受け身）　２人組での後方受け身学修　④　２人で組んで、片膝立ちから支え釣込み足を利用しての受け身学修（柔道の技を修得しながらの受け身練習）	予習：柔道着等の清潔を維持する方策を立てておくこと。前時の授業内容について学びを深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
3	・　受け身（投げ技支えつり込み足を利用しての片膝附から受け身学修）　・　受け身（支え釣込み足を利用して、右前回りの捌きから前回り受け身の学修）　・　柔道の基本動作（崩しとつくり）の理解　・　固め技（袈裟固め）とその逃れ方の学修	予習：前時に学修した内容について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
4	・　組手から中腰姿勢での受け身と前回り受け身の学修　・　支え釣り込み足を利用して受け身の学修(受けは片膝をついてから受け身)　・　固め技　横四方固めとその逃れ方の学修及び袈裟固復習	予習：前時に学修した内容について理解を深めるため情報を収集しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司

5	・　形の大腰を利用しての受け身の学修（ソフトマット・マット両方利用）　・固め技　・　固め技の肩固めの固め方とその逃れ方の学修　・　袈裟固め、横四方固めの復習　・　学修した固め技の約束練習（背中合わせからの攻防）	予習：前時に学修した内容、特に受身について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
6	・　形の払い腰と足払いを利用した受け身の学修（ソフトマット・マット両方利用）　・　形の送り足払いと送り足払いを利用した受け身の学修　・　固め技　　上四方固めの修得及び袈裟固、横四方固、肩固めの復習	予習：前時に学修した内容、特に投げ技について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
7	・　受け身(前回り受身）の学修　・　投げ技（形を利用しての払腰）とその受け身の学修（ソフトマット・マット両方利用）　・固め技　　袈裟固、横四方固、肩固、上四方固の復習と約束練習	予習：前時に学修した内容、特に固技について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
8	・　受け身(前回り受身）の学修　・　投げ技（大内刈り、小内刈り、小外刈り）とそれらの受け身の学修（ソフトマット・マット両方利用）	予習：前時に学修した内容の課題を整理し、次時の取組を工夫する。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
9	・　受け身（前回り受け身）の学修　・　投げ技（形を利用しての一本背負い)とその受け身の学修（ソフトマット・マット利用）　・　投げ技の約束練習（投げたら投げられるを約束する）	予習:前時に学修した内容、特に投げ技について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
10	・　受け身(前回り受身）の学修　・　立ち技から寝技への連絡の動きの学修（マット利用）	予習:前時に学修した内容、特に約束練習について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
11	・　固め技の連絡方法の学修　・　試合の方法と試合審判規定の学修	予習:立ち技と寝技の連絡方法について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
12	・　固め技、立ち技の復習　・　約束練習の学修:動きの中で技を掛ける練習	予習:前時に学修した内容、特に試合のルールについて理解を深めておく。。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
13	・　形の手技、腰技とその受け身の学修　・　固め技の復習	予習：柔道の形の意義について理解しておく。(1 時間)。　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
14	・　前回り受け身の復習　・　学習してきた前回り受け身の試験　・　形の足技とその受け身の学修　・　形を通しての投げ技の試験	予習:形の意義について理解し、基本動作について理解を深めておく。　復習:本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
15	・　投げ技、固め技の復習　・　約束練習の学修:動きの中で技を掛ける練習　・　技術の確認(前回り受身、立ち技の試験)	予習:柔道の木基本動作、基本となる技について整理し、理解し、説明できるようにしておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	老田準司
成績評価方法と基準			割合
1　基礎実技試験、　　①受身（前回り受け身）　　②形による立技（掛けと受け身）　2　リフレクションペーパー　3　授業の取り組み姿勢（積極的な授業参加度、授業内容への関心度・仲間との協力度・授業への貢献度）　DP①③			1　55%　2　15%　3　30%

授業科目名	スポーツ実習Ⅵ器械運動（鍼灸スポーツ）				
主担当教員	山中　恕		担当教員	山中　恕	
科目ナンバリング	SS20BACB069	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	集中講義
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

器械運動は非日常的な要素が多く含まれているため敬遠されがちである。しかし、その運動の多くは，体力・運動能力・空間での身体調整能力などを高めるための基礎であり、大変重要な役割を担っている。　本授業は学習指導要領に取り上げられている技を系統的・段階的に指導し、その技の習得をはかる。　また、技を安全に実施できるための幇助法についても習得することを目的とする。

学修目標

・器械運動の基本的な技を習得する。　・器械運動における段階練習の方法や補助方法を習得する。　DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業時に説明します。

教科書

講義中に適宜必要に応じ指示します。

参考書

講義中に適宜必要に応じ指示します。

研究室／オフィスアワー

授業前後の時間、兼任講師控室等にて

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス／器械運動とは？　授業の進め方を確認する。　種目特性について理解する。	授業の進め方と種目特性および注意点，テスト種目について理解する	山中
2	体つくり運動　器械運動の導入にあたる様々な運動を体験する。	器械運動の導入段階としてからだづくり運動を実施する。手で支える運動から倒立を段階的に習得する。	山中
3	マット運動①　マット運動の種目特性､技群を理解する。	接点技群の実施（指導方法・技の習得を含む）ゆりかご，前転，後転の習得	山中
4	マット運動②　支える運動と転がる運動､倒立の体験	接点技群・翻転技群を実施（指導方法・技の習得を含む）および習得する	山中
5	マット運動③　接点技群の段階練習を体験する。技の習得を目指し、補助方法を学習する。	前方倒立回転跳びを中心に，倒立回転系の技を習得	山中
6	マット運動④　倒立回転技群の段階練習を体験する。　技の習得を目指し､補助方法を学習する。	技の組み合わせによる連続・テスト種目の練習および習得	山中
7	マット運動⑤　グループごとにテストを実施する（習得した技を発表する）	技の組み合わせによる連続・テストとその解説	山中
8	跳び箱運動①　跳び箱運動の種目特性､技群を理解する。	切り返し系・回転系の基本技の実施。（抱え込み跳び・台上前転）	山中
9	跳び箱運動②　跳び箱の導入運動､段階練習を体験する。	回転系の基本技の実施（指導方法･技の習得を含む）倒立回転跳び	山中
10	跳び箱運動③　切り返し系の技の習得を目指す。	跳び箱運動（切り返し系・回転系）のテストとその解説	山中
11	跳び箱運動③　回転系の技の習得を目指す。	懸垂系・腕立て支持系の基本技の実施。	山中
12	鉄棒運動①　鉄棒の種目特性、技群を理解する。	懸垂系・腕立て支持系の基本技の実施。	山中

13	鉄棒運動②　支持回転の習得を目指す。	技の組み合わせによる連続・テスト種目の練習（上がる、回る、下りる）	山中
14	鉄棒運動③　「上がる、回って、降りる」技の習得を目指す。　グループ毎にテストを実施する	技の組み合わせによる連続・テストとその解説	山中
15	全体のまとめと振り返り	ノートを提出する。	山中
成績評価方法と基準			割合
1.実技点　2.授業への取り組み　DP①③			1.60%　2.40%

授業科目名	スポーツ実習Ⅶ水泳（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	野尻　奈央子			担当教員	野尻　奈央子	
科目ナンバリング	SS20BACB070	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	集中講義
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

水泳は全身運動であり、競技スポーツおよび生涯スポーツとしても多くの人々に親しまれている。しかし、水中運動経験のある者とない者との習熟度は二極化傾向にあり、とりわけ水泳指導については多くの工夫が必要である。本授業では、初級として平泳ぎ・クロール・背泳ぎを正しい泳法で 25m完泳すること。中級では平泳ぎ・クロール・背泳ぎ・バタフライを正しい泳法で 50m完泳すること。上級では 4 泳法を正しく 50m以上の泳力を修得できるようにする。

学修目標

・水中活動に関するスキルとリスク管理、安全管理が理解できる。<DP①>　・正しく泳ぐコツとその指導法を修得する。<DP①④>　・水の特性を理解し、4 泳法を身につける。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・競泳用水着、キャップ、ゴーグルを着用すること。　・毎回の授業前に健康チェックシートを記入し提出すること。

教科書

なし

参考書

学校体育実技指導資料第 4 集　水泳指導の手引き　（文部科学省）

研究室／オフィスアワー

大学の講義時は非常勤講師室におります。それ以外の時間帯に質問などがありましたらメールで連絡してください。　n-nojiri.1222@gmail.com

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	評価方法と授業目的､注意点およびスケジュールについてのオリエンテーション　･シラバスを基に授業の目的と内容､評価方法について説明。　･安全管理について、着衣、貴重品の管理、体調管理などについて学修する。	予習：食事睡眠を十分にとり、体調を整える。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
2	水泳・水中の安全管理　･衛生上の留意点、救急法、起こりうる事故について学修する。	予習：水中運動の危険性を確認する。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
3	泳力チェック①　･クロールと平泳ぎの泳力を確認し、初級、中級、上級の 3 グループに分ける。	予習：各泳法を調べ、確認する。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
4	泳力チェック②　･クロールと平泳ぎ 25mのタイム計測を行う	予習：水泳の動画を検索し、きれいに泳ぐイメージを事前につけておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
5	水泳の基本動作　･浮き身、ストリームライン、キックの基本について学修する。	予習：　ストリームラインについて調べる。また壁を蹴るタイミングと距離を予め把握しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
6	クロールの基本動作　･プル練習とローリングの修得。	予習：クロールの泳法について調べる。推進力が得られるためにはどのような動きをすればよいか、事前に考察しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子

7	クロールの泳力向上　・初級：プル練習とローリングの修得。　・中級、上級：泳ぎこみを行う。	予習：クロールの上達法について調べる。クロールの正しい動作について動画をみて予習しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
8	平泳ぎの基本動作　・キック動作とブレスの修得	予習：平泳ぎの泳法について調べる。平泳ぎの正しい動作について動画をみて予習しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
9	平泳ぎの泳力向上　・初級：キック動作とブレスの修得　・中級、上級：泳ぎこみを行う。	予習：平泳ぎの上達法について調べる。陸でも平泳ぎのキック動作を確認しておく。復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
10	背泳ぎの基本動作　・伏し浮きとキックの修得。	予習：背泳ぎの泳法について調べる。背泳ぎの正しい動作について動画をみて予習しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
11	背泳ぎの泳力向上　・初級：伏し浮きとキックの修得。　・中級、上級：泳ぎこみを行う。	予習：背泳ぎの上達法について調べる。背泳ぎの手のタイミングを、壁を使って把握しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
12	バタフライの基本動作　・キックとストロークの修得	予習：バタフライの泳法について調べる。バタフライの正しい動作について動画をみて予習しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
13	バタフライの泳力向上　・初級：キックとストロークの修得　・中級、上級：泳ぎこみを行う。	予習：バタフライの上達法について調べる。バタフライにおける手と足の一連の動作を事前に把握しておく。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
14	距離を泳ぐ　・集団遠泳を行う。	予習：遠泳についての注意点を調べる。　復習：リフレクションシートを完成させて次回に提出する。	野尻　奈央子
15	泳力テスト　・100m個人メドレーのタイム計測を行う。	予習：これまでの授業について振り返る。	野尻　奈央子
成績評価方法と基準			割合
1. レポート：授業内で説明します。＜DP①＞　2. 泳力テスト＜DP①＞　3. リフレクションシート：毎回の提出＜DP①④＞　4/5 以上の出席を必要とする。			1. 30%　2. 40%　3. 30%

授業科目名	スポーツ実習Ⅷ生涯スポーツ（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	濱口　幹太		担当教員	濱口　幹太		
科目ナンバリング	SS20BACB071	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限	
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修	

授業概要

本スポーツ実習では、ゲーム主体の授業を行う中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図るのみならず、スポーツを行う楽しさや喜びを通じて生涯にわたり行えるスポーツ実践を図る。また、実習全体を通じて、学生同士の交流や人間関係を育むことも本実習の大きな狙いである。授業では、競技スポーツのような高強度運動だけではなく、軽スポーツ、球技スポーツ、レクリエーションスポーツなど多種多様なスポーツ種目を楽しみながら実施する。

学修目標

1．スポーツ活動を通じて、「体を動かす爽快さ」や「スポーツの楽しさ」を経験することにより、生涯にわたり楽しく計画的に、かつ安全にスポーツを実践する習慣を身につける。　2．スポーツ活動を通じて、基礎体力や技術が向上する。　3．スポーツ活動を通じて、学生同士の交流や豊かな人間関係を構築する。　4．グループ学習を通じて、コミュニケーション能力や課題解決能力を高める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・身体活動が可能な服装（装飾品は不可）　・大学生として節度ある態度で授業に臨むこと

教科書

なし

参考書

必要に応じて授業中に指示する

研究室／オフィスアワー

非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：シラバスの確認　復習：次回の体力測定項目の確認	濱口
2	体力測定	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：体力測定項目の確認　復習：体力測定結果について理解する	濱口
3	屋内団体スポーツ①：基本技術の習得	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：屋内スポーツについて調べる　復習：実践したスポーツの技能の確認	濱口
4	屋内団体スポーツ②:技術の実践　ゲームの展開	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：前回の屋内スポーツの実践について検討する　復習：実践したスポーツの運用の確認	濱口
5	屋外団体スポーツ①：基本技術の習得	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：屋外スポーツについて調べる　復習：実践したスポーツの技能の確認	濱口
6	屋外団体スポーツ②:技術の実践　ゲームの展開	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：前回の屋外スポーツの実践について検討する　復習：実践したスポーツの運用の確認	濱口
7	屋内個人スポーツ①：基本技術の習得	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：屋内スポーツについて調べる　復習：実践したスポーツの技能の確認	濱口

8	屋内個人スポーツ②:技術の実践　ゲームの展開	＜事前事後学習：1時間＞　予習：前回の屋内スポーツの実践について検討する　復習：実践したスポーツの運用の確認	濱口
9	屋外個人スポーツ①：基本技術の習得	＜事前事後学習:1時間＞　予習:屋外スポーツについて調べる　復習：実践したスポーツの技能の確認	濱口
10	屋外個人スポーツ②:技術の応用と実践　ゲームの展開	＜事前事後学習:1時間＞　予習:前回の屋外スポーツの実践について検討する　復習：実践したスポーツの運用の確認	濱口
11	ニュースポーツ①：基本技術の習得	＜事前事後学習:1時間＞　予習:ニュースポーツについて検討する　復習：実践したスポーツの技能の確認	濱口
12	ニュースポーツ②　ゲームの展開	＜事前事後学習:1時間＞　予習:前回のニュースポーツの実践について検討する　復習：実践したスポーツの運用の確認	濱口
13	レクリエーションスポーツ	＜事前事後学習:1時間＞　予習:レクリエーションスポーツについて調べる　復習：実践したスポーツの技能の確認	濱口
14	障害者スポーツ	＜事前事後学習:1時間＞　予習:障害者スポーツについて調べる　復習：実践したスポーツの技能の確認	濱口
15	体力測定	＜事前事後学習:1時間＞　予習:前回の体力測定結果を確認する　復習：前後の測定結果について検討する	濱口
成績評価方法と基準			割合
１．授業への取り組み・態度（積極性、協調性等）・貢献度　２．技能の理解・習熟　３．授業で指示した課題			60%　20%　20%

授業科目名	学校保健(小児保健・精神保健)(鍼灸スポーツ)					
主担当教員	浪花　裕子		担当教員	浪花　裕子		
科目ナンバリング	SS20BACA072	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 3 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

学校保健（含小児保健・精神保健）を学ぶ意義や目的を理解し、学校現場での実践方法について学ぶ。　保健体育の教員を目指す立場から、学校保健におけるチーム学校の主体者として、養護教諭やその他の教員との連携を、実際の学校現場をイメージしながら身に付ける。

学修目標

①児童生徒等の健康を保持増進し、安全安心な学校生活を送らせるための知識とその実践方法を学ぶ　②児童生徒等を取り巻く現代的健康課題や精神的な健康課題を学び、将来学校現場での指導に活かすことができる実践力を身に付ける

履修上の注意(学生へのメッセージ)

現代的健康課題に興味を持ち、学校現場において保健教育・安全教育のリーダーとして貢献できるよう積極的に授業に臨んでください。

教科書

「学校保健概説」浪花　裕子　（株）ERP

参考書

学校保健の課題とその対応－令和 2 年度改訂―　日本学校保健会

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階　非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション「学校保健」　学校保健の概要　領域と構造	予習：学校保健について調べ、自身の経験を思い出す(2H)　復習：教科書で復習（第１章第１節）(2H)	浪花裕子
2	学校安全の概要　領域と構造　組織活動・学校保健委員会	予習：学校で安全に過ごすためにどのような手立てがあったか調べる(2H)　復習：教科書で復習（第１章第１節　第２章第２節）(2H)	浪花裕子
3	学校保健の実際（養護教諭・保健主事等）　学校保健計画・学校安全計画	予習：学校安全計画（小・中・高）一部印刷し違いを考える(2H)　復習：教科書で復習（第１章第２節）(2H)	浪花裕子
4	保健室（機能と役割）救急処置	予習：病院に移送するけがの処置や対応について経験談等を調べる(2H)　復習：教科書で復習（第２章第１・３節　第３章第１節）(2H)	浪花裕子
5	健康診断（就学時・小・中・高）健康観察	予習：健康観察結果をどのように活用すればよいか考える(2H)　復習：教科書で復習（第３章第２・３節）(2H)	浪花裕子
6	疾病の管理と感染症予防	予習：学校で予防すべき感染症について調べる(2H)　復習：教科書で復習（第３章第４節）(2H)	浪花裕子
7	学校環境衛生とプールの管理	予習：プールの管理はそのようなことがあるか調べる(2H)　復習：教科書で復習（第３章第５節）(2H)	浪花裕子
8	健康相談と保健指導	予習：指導案を作成するならどの内容を選ぶかその根拠も考える(2H)　復習：教科書で復習（第５章）(2H)	浪花裕子

9	保健教育	予習：指導案を作成するならどの内容を選ぶかその根拠も考える(2H)　復習：教科書で復習（第４章）(2H)	浪花裕子
10	学校安全（災害含む）と危機管理	予習:学校で起こった事故・事件とその対応を調べる(2H)　復習:教科書で復習(第２章第５節）(2H)	浪花裕子
11	学校精神保健とその対応	予習：現代的健康課題にはどのようなものがあるか調べる(2H)　復習：教科書で復習（第２章第４節）(2H)	浪花裕子
12	性教育の現状と課題	予習：指導案を作成するならどの内容を選ぶかその根拠も考える(2H)　復習：教科書で復習（第４章）(2H)	浪花裕子
13	喫煙・飲酒防止教育の現状と課題	予習：指導案を作成するならどの内容をするかその根拠も考える(2H)　復習：教科書で復習（第４章）(2H)	浪花裕子
14	配慮を要する児童生徒（特別支援教育含む）	予習：個別の教育支援計画と個別の指導計画を一部印刷してくる(2H)　復習：教科書で復習（第６章）(2H)	浪花裕子
15	総括　学校保健のまとめ	予習:模擬授業（内容問わず）の練習をしてくる(2H)　復習：教科書で復習（第４章）(2H)	浪花裕子
成績評価方法と基準			割合
①レポート・課題　②講義中の発表・発言等　③筆記試験			①２０％　②２０％　③６０％

授業科目名	学校保健(学校安全・救急処置)(鍼灸スポーツ)					
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員		荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SS20BACB073	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期		曜日・時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修・選択	必修

授業概要

学校保健及び学校安全の意義や構造やその内容、課題並びに応急手当の理論及びその実施方法を学修する。

学修目標

学校保健は、保健教育、保健管理、保健組織活動によって成り立っていることを学修する。　学校安全では、心肺蘇生法を含む応急手当法や、自然災害及び防災や減災、交通安全、生活安全について学修する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

アクティブラーニングを用いた授業を展開するので、自分の考えを他の人に理解してもらえるよう、説明方法を工夫・改善するよう努力すること。　(模擬授業を展開する中で、学校保健・安全の内容、課題について意見交換するので、自分の考えを相手に伝える技術について学んでおくこと。)

教科書

現代高等保健体育　　50 大修館書店（保体 701）　最新中学校保健体育　　50 大修館書店（保体 050-72）　R7 新刊　文部科学省高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　保健体育編　体育編　東山書房　文部科学省中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編　　東山書房

参考書

学校保健マニュアル（南山堂）

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	科目オリエンテーション及び学校保健・学校安全の意義と構造についての学修	予習：関係資料を検索、一覧し,概要を整理しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
2	①　学校における「保健」に関する課題についての検討　②　授業形態の中心である課題解決学習方法、アクティブラーニングについての学修	予習：課題解決学習やアクティブラーニングの概要について理解を進めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
3	①　子どもの発達発育についての学修	予習：関係資料を検索、一覧し、概要を把握しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
4	「学校環境衛生の基準」についての学修	予習：関係資料を検索、一覧し、概要を把握しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
5	保健学習の意義と内容の学修　　中学校保健分野の内容についての発表と評価の検討①	予習：保健分野の発表される単元について、内容を調べるとともに、発表についての評価方法を考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
6	保健学習　　中学校保健分野の内容についての発表と評価の検討②	予習：保健分野の発表される単元について、内容を調べるとともに、発表についての評価方法を考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳

7	保健学習　　高等学校科目保健の内容についての発表と評価の検討①	予習：高等学校科目保健の発表される単元について、内容を調べるとともに、発表についての評価方法を考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
8	保健学習　　高等学校科目保健の内容についての発表と評価の検討②	予習：高等学校科目保健の発表される単元について、内容を調べるとともに、発表についての評価方法を考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
9	保健学習　　高等学校科目保健の内容についての発表と評価の検討③	予習：高等学校科目保健の発表される単元について、内容を調べるとともに、発表についての評価方法を考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
10	保健学習のまとめ　　学修した内容をまとめる。配付された資料を活用した知識の定着	予習：学修した内容について振り返っておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
11	学校安全の学修１　学校安全の意義とその内容についての学修	予習：学校の安全教育、安全管理について資料などで考察をしておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
12	学校安全の学修２　学校安全の構造と領域についての学修	予習：学校安全の意義等について、関係資料を検索、一覧し理解しておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
13	学校安全の学修３　日常的な応急手当（けがの応急手当等）について、実技を含めての学修	予習：止血法を含むけがの応急手当について資料などで考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
14	学校安全の学修４　　〇　心肺蘇生法を含む応急手当についての学修　　〇　AED,蘇生シュミレーターを使用しての実習	予習：心肺蘇生法の方法について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
15	学校安全の学修のまとめ　　〇生活安全、交通安全についてのまとめ　　〇自然災害と防災や減災についてのまとめ	予習：関係資料を検索、一覧し、理解しておく。特に自然災害とその二次予防について考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
1　課題発表　2　課題テスト　3　授業取組姿勢			1 40%　2 50% 3 10%

授業科目名	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学演習Ⅲ(ﾚｼﾞｽﾀﾝｽｴｸｻｻｲｽﾞ 2・水中運動)(鍼灸スポーツ)					
主担当教員	中原　英博		担当教員	中原　英博／家光　恵子		
科目ナンバリング	SS20BACB076	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	集中講義	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択	

授業概要

運動を安全かつ効果的に行う上で必要不可欠な知識と考え方を学習する。さまざまな環境で運動指導が安全にできるようになる。持久的トレーニングの効果を理解し、適切な指導ができるようになる。

学修目標

1.運動の効果を理解する（DP①③）。 2.持久的・間欠的トレーニングを適切に指導できる（DP①③）。 3.水中運動を適切に指導できる（DP①③）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

※重要※　健康運動実践指導者　資格試験を受講する者は必ずこの講座を履修してください　資格試験実技テスト対策となります　その他は初回授業にて説明いたします

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

健康運動実践指導者養成用テキスト（健康体力づくり事業財団）

研究室／オフィスアワー

中原：E 棟 4 階研究室　水曜日 17：00～18：00　家光：E 棟 1 階非常勤講師控室／授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	持久的トレーニングの効果の理解	シラバスの確認とトレーニングの種類について予習しておくこと。	中原・家光
2	水中ウォーキング動作の確認	水中ウォーキングの効果を理解する。	中原・家光
3	水中ウォーキングの動作練習	水中ウォーキングの特性および種類を理解する。	中原・家光
4	水中ウォーキング実践	水中ウォーキングの効果について合理的説明ができるように復習すること。	中原・家光
5	水中運動の利点・問題点の理解	水中運動と陸運動の違いについて説明できるように予習しておくこと。	中原・家光
6	水中運動における心拍数と強度の関係の理解	心拍数の測定及びＲＰＥの計測方法について予習しておくこと	中原・家光
7	水中ウォーキング実習　指導練習	水中ウォーキングの意義について予習しておくこと。	中原・家光
8	水中ウォーキング、筋コンディショニング実習　指導者テスト	水中運動の利点・問題点について合理的説明ができるように復習すること。	中原・家光

成績評価方法と基準	割合
水中実習指導者試験（７０%）、講義中の意欲・態度（３０%）（DP①③）。　４／５以上の出席が必要。	実技試験 70%　講義中の意欲・態度　30%

授業科目名	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学演習Ⅳ(指導実習)（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	中原　英博		担当教員		中原　英博／家光　恵子	
科目ナンバリング	SS20BACB077	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	3 年	開講学期	後期		曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	選択

授業概要

健康運動実践指導者にとって必要となる、「適切な運動プログラムを構成する能力」･「自ら見本を示せる実演能力」を養う。　また、健康づくり運動に必要となる、ウォーキング・ジョギング・水中運動を必要に応じて演習プログラムに取り入れて行う。

学修目標

健康運動実践指導者になるための基礎知識を身につける（DP①）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講義では、健康実践指導者の資格取得試験に向けた対策を行います。一緒に頑張っていきましょう。

教科書

健康運動実践指導者養成用テキスト

参考書

健康運動実践指導者試験 筆記対策 分野別&模擬問題集(NESTA JAPAN)　「健康運動実践指導者」認定試験対策問題集(西端 泉)

研究室／オフィスアワー

中原：E 棟 4 階研究室　水曜日 17：00～18：00　　家光：E 棟 1 階非常勤講師控室／授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	健康づくり施設概論について	シラバスを確認しておくこと。	中原・家光
2	運動生理学について	テキストの運動生理学に関連する章を読んでおくこと。	中原・家光
3	機能解剖とバイオメカニクスについて	テキストのバイオメカニクスに関連する章を読んでおくこと。	中原・家光
4	栄養摂取と運動について	テキストの栄養摂取と運動に関連する章を読んでおくこと。	中原・家光
5	体力の測定と評価について	テキストの体力測定に関連する章を読んでおくこと。	中原・家光
6	健康づくりと運動プログラムについて	テキストの運動プログラムに関連する章を読んでおくこと。	中原・家光
7	運動指導の心理学的基礎について	テキストの運動と心理学に関連する章を読んでおくこと。	中原・家光
8	運動障害と予防・応急処置について	テキストの運動障害と予防に関連する章を読んでおくこと。	中原・家光

成績評価方法と基準	割合
1. 筆記試験（DP①）　2. 講義中の意欲・態度（DP①）　４／５以上の出席が必要。	1. 70%　2. 30%

授業科目名	スポーツバイオメカニクス（鍼灸スポーツ）				
主担当教員	信江　彩加		担当教員	信江　彩加	
科目ナンバリング	SS20BACC079	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

スポーツや身体運動をバイオメカニクス的に考えるために必要な基礎知識を学習するとともに，歩・走・跳・投・泳などの具体的な身体運動のメカニズムを探る。

学修目標

動きや力に関連する学問であるバイオメカニクス（生体力学）の視点からスポーツや身体運動を分析・考察する能力を養うとともに，体育・スポーツの研究や指導の現場に役立つ基礎知識を身につける（DP①）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.解剖生理学，機能解剖学，運動生理学と関連付けて学修するため，既に受講済みである授業の内容について復習しておくこと。　2.基本的な数学，物理学の知識を必要とすることがあるが，できるだけ解りやすく行う。　3.力学計算を行うので，定規および電卓は毎時間必携である。

教科書

テキストは使用しない．講義にはパワーポイントを使用し，適宜，資料を配付する。

参考書

1. James G. Hay　著「スポーツ技術のバイオメカニクス」ブックハウス HD，2011 年　2. 中村隆一・齋藤宏・長崎浩　著「基礎運動学　第 6 版」医師薬出版，2003 年

研究室／オフィスアワー

東棟４F／月曜日

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：バイオメカニクスとは何か，運動指導におけるバイオメカニクスの意義	予習：　シラバスの確認．　復習：　配布プリント，キーワードの確認．以下各 2 時間.	信江
2	筋のしくみと筋電図：筋の種類と特性，筋収縮の仕組み，感覚と反射	予習：　解剖生理学，機能解剖学の確認. 復習：　配布プリント，キーワードの確認.	信江
3	運動と力学１：力学の基礎，ニュートンの運動方程式	予習：　高校までの数学，物理の復習. 復習：　配布プリント，キーワードの確認.	信江
4	運動と力学 2：ニュートンの運動方程式，落下運動	予習：　高校までの数学，物理の復習. 復習：　配布プリント，キーワードの確認	信江
5	運動と力学 3：落下運動，力学的エネルギー	予習：　高校までの数学，物理の復習. 復習：　配布プリント，キーワードの確認.	信江
6	運動と力学 4：運動量，力積，てこの原理	予習：　高校までの数学，物理の復習. 復習：　配布プリント，キーワードの確認.	信江
7	筋のしくみと筋電図：筋電図	予習：　解剖生理学，機能解剖学の確認. 復習：　配布プリント，キーワードの確認.	信江
8	「立つ」のバイオメカニクス:立位姿勢の安定性，身体重心	予習：　立つ動作に関わる筋を調べる. 復習：　配布プリント，キーワードの確認.	信江
9	「立つ」のバイオメカニクス：姿勢調節，よい姿勢	予習：　ヒトの立ち姿を観察する．　復習：配布プリント，キーワードの確認.	信江

10	「歩く」のバイオメカニクス:歩行の流れと名称，歩行率，競歩	予習：　歩く動作に関わる筋を調べる．他人の歩行を観察する．　復習：　配布プリント，キーワードの確認．	信江
11	「走る」のバイオメカニクス：ピッチとストライド，速く走るための動作	予習：　アスリートの走る動作を観察し，速く走る動きについて考える．　復習：　配布プリント，キーワードの確認．	信江
12	「跳ぶ」のバイオメカニクス：　跳躍動作の特徴，筋の弾性と弾性エネルギー，地面反力と抜重	予習：　垂直跳びを実践し，高く飛ぶ動きについて考える．　復習：　配布プリント，キーワードの確認．	信江
13	「投げる」のバイオメカニクス：投動作の特徴と共通点，運動連鎖，ボールの飛行と空気抵抗	予習：　投動作にみられる運動について考える．　復習：　配布プリント，キーワードの確認．	信江
14	「泳ぐ」のバイオメカニクス：水の抵抗と揚力，泳動作，泳速度の決定因子	予習：　アスリートの泳ぐ動作を観察し，速く走る動きについて考える．　復習：　配布プリント，キーワードの確認．	信江
15	授業全体のまとめと振り返り	予習：　授業全体を振り返り，バイオメカニクスの意義を考える．　復習：　試験内容の確認．	信江
成績評価方法と基準			割合
①授業中の意欲・態度（DP①）　②課題・テスト（DP①）　　課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法　課題・テスト後、各設問の解答を解説する。希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			①30% ②70%

授業科目名	体育原理（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	荒木　寛巳			担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SS20BACB080	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	3 年	開講学期	前期		曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	選択

授業概要

体育という用語が含む意味を問うとともに、日本の体育科の歴史と内容を把握する中で、体育の授業で活用する教材としてのスポーツについて、その歴史、特徴、体育とスポーツの諸課題について学修する.

学修目標

体育やスポーツについて、その用語が含むものや特徴、歴史について理解できるようになる。DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

アクティブラーニングを活用しての課題解決学習を取り入れるので、能動的な姿勢で授業に臨んでください。

教科書

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編（文部科学省）　東山書房　高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　保健体育編　体育編（文部科学省）　東山書房　必要に応じて資料を配付します。

参考書

教養としての体育原理　　友添秀則・岡出美則　編　大修館書店義（大修館）

研究室／オフィスアワー

東棟４階　第９研究室　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	①　オリエンテーション　②　体育原理の概要について　③　体育という用語について　④　体育の存在意義について	予習：体育原理について情報を収集し、概要を調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
2	①　日本の体育の歴史　②　体育とスポーツの違いについて　③　体育と人間形成について	予習：体育とは何かを資料を集め考察しておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
3	①　スポーツの歴史　②　日本の運動文化について　③　教材としてのスポーツについて　④　体育とスポーツの関係について	予習：スポーツの歴史について調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
4	①　教材としてのスポーツについて　②　スポーツを教えること､スポーツで教えることについて　③　競技スポーツの変遷について	予習：競技スポーツの歴史について考察しておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
5	①　古代オリンピックについて　②　近代オリンピックの誕生背景について　③　近代オリンピックとオリンピックムーブメント　④　オリンピックのシンボルマークについて	予習：近代オリンピックについて考察しておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
6	①　オリンピズムについて　②　ドーピングについて　③　オリンピックとドーピングについて	予習：ドーピングについて調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
7	①　障がい者スポーツの歴史について　②　パラリンピックについて	予習：パラリンピックについて調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
8	①　運動技術とルール・用具の関係について	予習：発表のスポーツ種目の歴史、ルールについて考察しておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳

9	①　体育の教材としてのスポーツについての考察と発表Ⅰ　　（アクティブラーニング）	予習：発表されるスポーツ種目について調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
10	①　体育の教材としてのスポーツについての考察、発表Ⅱ　　（アクティブラーニング）	予習：発表されるスポーツについて調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
11	①　体育の教材としてのスポーツについての考察、発表Ⅲ　　（アクティブラーニング）	予習：発表されるスポーツについて調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
12	①　体育の教材としてのスポーツについての考察、発表Ⅳ　　（アクティブラーニング）	予習：発表されるスポーツについて調べておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
13	①　学校における運動部活動について	予習：学校の運動部活動について考察しておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
14	①学校体育の可能性と教材としてのスポーツの可能性について	予習：学校体育や教材としてのスポーツの可能性について考察しておく。（１時間） 復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
15	①　体育・スポーツの諸課題の整理　②　授業のまとめ	予習：体育とスポーツの課題について考察しておく。（１時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る。（１時間）	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
1　課題の発表　2　まとめテスト　DP①③　3　授業への取組姿勢			1 30%　2 60% 3 10%

授業科目名	スポーツ心理学（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	中原　英博		担当教員	中原　英博		
科目ナンバリング	SS20BACB081	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択	

授業概要

心理状態は我々の行動に影響を及ぼし、positive な心理状態は良い performance をもたらし、negative な心理状態は悪い performance を生み出す。またその心理状態は、自律神経系を介した呼吸循環応答を表出させる。　授業では、スポーツ現場において必要と考えられる心理学の基礎知識について解説し、スポーツ場面・運動指導時における心理的影響の重要性を理解させるとともに、競技中・指導中の心理状態を外部より知る術を学習する。

学修目標

・心理学の基礎知識を学び、スポーツ場面・指導時における心理的状態がもたらす精神的・身体的影響を理解する（DP①）。　・自分自身の競技生活やスポーツの指導場面において、本講義で学んだことが反映できるようになる（DP①）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義内容の詳細を説明するために、初回の授業に必ず出席すること。

教科書

その都度資料を配布します。

参考書

特になし

研究室／オフィスアワー

東棟４階研究室　水曜日 17：00～18：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心理学の基礎知識	シラバスを確認すること。	中原
2	スポーツ現場における心理学の重要性	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
3	運動実践にかかわる社会・心理・環境要因ついて	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
4	運動指導にかかる効率と効果について	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
5	心理状態とそれに関連する脳領域	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
6	心理状態と呼吸循環応答	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
7	視覚・音がもたらす知覚認知	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
8	不快（不安と緊張）の情動がもたらす生体反応	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
9	快の情動がもたらす生体反応	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
10	心理的尺度とその測定方法	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
11	心理生理指標とその測定方法	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
12	リラクゼーション方法	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
13	運動スキルの遂行における身体制御	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
14	運動技能の学習	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原

15	スポーツ現場での心理学の応用	授業に関連する内容を調査しておくこと。	中原
成績評価方法と基準			割合
レポートを課す。学習態度・意欲などにより総合的に判断する（DP①）。			レポート 80% 学習態度・意欲　20%

授業科目名	スポーツ傷害学･栄養学（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎		
科目ナンバリング	SS20BACB082	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択	

授業概要

スポーツ選手にとって、体力の維持および競技成績の向上という具体的な目標を達成するためや、将来の指導者としてジュニア期や生活習慣病の予防・改善を指導するために、幅広い栄養的知識が必要である。本講義ではそれらをふまえた栄養知識と食事のあり方を学ぶ。また、スポーツ外傷や運動を起因とする疾病について、それらの発生メカニズムを知り、運動中のケガと疾病の予防およびその対処方法を理解することは重要である。本授業においては、これらをあわせて学ぶ。

学修目標

スポーツ現場に従事する者として，状況に見合った適切な栄養管理・指導ができるよう，現場で活躍できる知識を身につける。〈DP①〉　スポーツ現場で遭遇する運動器の障害の病態について正確に理解し、メディカルチェックや対処法についても根拠をもって実施できるよう知識を深める。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進捗状況により、適宜内容を変更を行う場合がありますが、予め説明致します。　1.栄養学，運動生理学と関連付けて学修するため，既に受講済みである授業の内容について復習しておくこと。　2.基本的な数学を必要とすることがあるが，できるだけ解りやすく行う。　1. スポー傷害学は、運動器の解剖学、生理学などを土台にするもので、他の講義で学んだ局所解剖や運動機能の評価方法、理学所見の取り方などを復習しておくこと。　2. 疑問点は大切にし、解決に向けて積極的に行動すること。　3. 出席は授業の理解にも影響することから、欠席をしないようにすること。　4. 私語は授業妨害・他学生への迷惑行為なので退室させる場合がある。その場合、速やかに退室すること。　5. 受講にあたっては最低限の礼儀をわきまえること。

教科書

1. 適宜プリントや資料などを配布する。

参考書

1. 樋口満　編著「コンディショニングのスポーツ栄養学」，2001 年　2. 小林修平・樋口満　編著「アスリートのための栄養・食事ガイド」，2001 年　3. 新版 スポーツ整形外科マニュアル.福林徹 監修. 中外医学社.2013.　4. スポーツ傷害 23 最新整形外科学大系.越智隆弘総編集;糸満盛憲（ほか）編. 2007　5. 日本スポーツ医学検定機構. 「スポーツ医学検定公式テキスト ；スポーツを愛するすべての人に」，2017

研究室／オフィスアワー

東棟 4F 共同研究室　月・木　10:00～15:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	スポーツ実施時の代謝と栄養	予習：　栄養学，運動生理学の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.　なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈
2	スポーツ選手の基本の食事　（試合期・休養期の食事）	予習：　普段の食事バランスの確認　復習：　配布プリント，キーワードの確認　なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈　新太郎
3	スポーツ選手の体づくり　（増量と減量）	予習：　競技特性についての確認　復習：　配布プリント，キーワードの確認　なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈　新太郎
4	スポーツ選手の障害予防のための栄養	予習：　スポーツ障害学等の確認　復習：　配布プリント，キーワードの確認　なお予	伊奈　新太郎

		習、復習を各 1 時間行うこと	
5	スポーツ・健康とサプリメント、ドーピング	予習： 自ら摂取中のサプリメントの確認 復習： 配布プリント，キーワードの確認 なお予習、復習を各 1 時間行うこと。	伊奈 新太郎
6	病気とライフステージ・肥満	予習： 親世代のスポーツ履歴と現状の確認 復習： 配布プリント，キーワードの確認 なお予習、復習を各 1 時間行うこと。また本授業の総まとめを 12 時間自宅学習すること。	伊奈 新太郎
7	救急処置・創傷	予習：運動器疾患の救急処置と創傷について予習しておくこと。 復習：授業で学んだ救急処置と創傷について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈 新太郎
8	頭部・頸部・胸部、足部・足関節のスポーツ障害	予習：頭部・足部・足関節の解剖学について予習しておくこと 復習：授業で学んだ頭部・足部・足関節について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈 新太郎
9	足部・足関節のスポーツ障害②	予習：足部・足関節の解剖学について予習しておくこと 復習：授業で学んだ足部・足関節の障害について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈 新太郎
10	下腿部・膝関節のスポーツ障害①	予習：下腿部・膝関節の解剖学について予習しておくこと 復習：授業で学んだ下腿部・膝関節スポーツ障害について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈 新太郎
11	下腿部・膝関節のスポーツ障害②	予習：下腿部・膝関節の解剖学について予習しておくこと 復習：授業で学んだ股関節の障害について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈 新太郎
12	大腿部・股関節・腰部のスポーツ障害	予習：大腿部・股関節・腰部の解剖学について予習しておくこと 復習：授業で学んだ大腿部・股関節・腰部の障害について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈 新太郎
13	肩関節のスポーツ障害	予習：肩関節の解剖学について予習しておくこと 復習：授業で学んだ肩関節の障害について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと	伊奈 新太郎
14	肘関節・手関節・手指のスポーツ障害	予習：肘関節・手関節の解剖学について予習しておくこと 復習：授業で学んだ肘関節・手関節の障害について復習すること（配布資料参照）。 なお予習、復習を各 1 時間行うこと。	伊奈 新太郎
15	総復習・テスト（スポーツ傷害・スポーツ障害・スポーツ栄養）	予習：今までの授業で学んだ全てについて予習しておくこと 復習：授業で学んだスポーツ障害・栄養学について復習すること（配布資料参照） なお予習、復習を各 1 時間行うこと。また本授業の総まとめを 18 時間自宅学習すること。	伊奈 新太郎
成績評価方法と基準			割合
授業期間内にて①レポート課題（不定期）・②筆記試験（最終回）を実施する。〈DP①〉 出席条件を満たすこと。			1. 50% 2. 50%

授業科目名	教育行政学（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	松田　智子		担当教員		松田　智子／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACB007	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

教育行政とは、「国や地方公共団体の自治体が、教育政策を実現するため、教育法規を基礎に教育制度を運営し、教育条件の整備と教育活動の規制・助成を行うこと」である。　教育行政学に関して、受講者がこれまでの学校教育の中で経験した教育行政の一端を振り返り、現状の学校での法的な課題等を理解する。　教育行政施策に関するマスコミ報道等を手掛かりとしながら、日本の教育行政の現状と今後の課題について把握し、法律を教職生活に有効に活用できるようにする。

学修目標

１．現代の学校教育について制度的事項について基本的な知識を身につける　２．教育行政を巡る今日的な課題について理解することができる。　３．学校と地域との連携に関する課題や今後の在り方を理解する。　４．学校安全への対応に関する基本的知識を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーナーになること。　２．限られた時間内で一定程度の文章を書く習慣を身に付けること。　３．問題意識を持って受講すること。　４．授業中の携帯電話等の使用はしないこと。

教科書

「人間教育を実践する教師への道―教師の仕事と教育行政―」　阿部秀高著　　株式会社 ERP

参考書

必要に応じて紹介する。

研究室／オフィスアワー

事前にメールで連絡を取り、来室すること。随時受け付ける。　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　「教育行政学」の学びのアウトラインを知る	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに今後の学修方法を確認する（2 時間）	松田　智子
2	公教育の原理と思想について学ぶ　公教育の概念や公教育の原理について､憲法と教育基本法を中心に学ぶ	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：三原則の具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
3	教育基本法と憲法の関係性を理解する。　日本の法体系の基本を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：憲法・教育基本法・(2 時間)	松田　智子
4	教育基本法を根底とした学校教育法を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめ、ミニテストの学習をする。(2 時間)	松田　智子
5	学校教育法と学校教育法施行規則を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：法律と政令と規則と条例の関係についてまとめる 400 字（2 時間）	松田　智子
6	教育職員免許法と同法施行規則を理解する。　教員養成法の歴史的な流れと､今後に期待されていることを理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：現在の教員制度の課題を３つまとめる(2 時間)	松田　智子
7	地方教育行政の組織及び運営に関する法律について理解する　地方教育行政の役割と教育委員会の制度について理解する。　学校教育法から地方教育委員会の条例への連続性について把握する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：教育委員会の法的な業務が、自分の学校生活にどのように関係をしていたかを振り返る（2 時間）	松田　智子

8	教育課程行政　教育課程に関する法制度と教科書採択等について理解する　義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：義務教育諸学校の教科用図書の無償措置の 5 条について具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
9	教育財政と学校財務　教育費の基本原理や教職員にかかる経費について学ぶ　学校における財政を具体的に把握して、教育財政を身近なものと理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
10	学校保健安全法と同法施行規則を理解する。 防犯・安全対策及び学校事故への安全対策と災害に対する備えについて学ぶ　学校事故の現状を理解し、過去の判例から具体的に教員の安全義務の責務を知る　感染症等の対応や健康診断の位置づけを理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校保健安全について、国と都道府県と市町村と学校の義務と責任について整理する。	松田　智子
11	地方公務員法について理解する　公立学校の教師としての禁止事項、制限事項、義務等について理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：過去の具体的な教師の問題行動を調べ、地方公務員法と照らし合わせる（2 時間）	松田　智子
12	教育公務員特例法について理解する　公務員である教員と一般公務員との違いを理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
13	いじめ防止対策法について理解する　いじめ問題への対応及び学校における衛生・健康管理について、法的な根拠を明確にして学ぶ　いじめの 4 層構造と学級構造の関係を理解し、過去の判例から具体的に教員の責務を知る	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：実際の事例から、いじめ防止対策法の成果と限界について調べる（2 時間）	松田　智子
14	労働基準法について理解する　社会人の一員として働く基本の法律を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校の教員の働き方改革と労働基準法との関係を調べる(2 時間)	松田　智子
15	課題レポート　講義全体を振り返り、学修状況を確認する。	予習：講義内容の振り返りをしておく（2 時間）　復習：振り返りのミニレポートを書く 8000 字（2 時間）	松田　智子
成績評価方法と基準			割合
１．授業中記録した学びの履歴シート【５０％】　２．最終回の課題レポート【３０％】　３．授業での発言、主体的な学びの姿勢【２０％】			１．５０％ ２．３０％ ３．２０％

授業科目名	教育心理学（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACB008	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 6 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育心理学は心理学で得られた知見を教育現場に応用する科学である。学校教育を考える上で、教育心理学に関するさまざまな知識や技術を習得し、それらを利用しながら教育に関わる現象を分析的に捉えることは重要である。また、近年、「不登校」「いじめ」「学級崩壊」「学習障害」といった学校をめぐる出来事が社会問題化してきている。この授業では、教育心理学の基本的知識を正確に理解し、実際の教育現場をイメージしながら考える基礎を養うことを主な目的としている。

学修目標

(1) 乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達及び発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得している。 (2) 主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方などについて、発達の特徴と関連づけて理解している (3) 教育における心理学の意義を理解し、具体的な問題解決を志向する態度を身につけている。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業前に配布する資料を熟読して授業に備えること。授業後には講義内容を復習し、次回授業冒頭の小テストに備えること。小テストは自己採点して、答えられなかった部分については、前回資料をよく復習して、知識を確実なものにしておくこと。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	発達と教育①　－乳幼児期～幼児期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
2	発達と教育②　－学童期～思春期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
3	発達と教育③　－青年期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
4	記憶のしくみを知る　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
5	記憶に残る教授法を考える　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
6	学習のしくみを知る　－学習心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
7	行動のしくみを知る　－応用行動分析－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テス	高木

		トを見直して知識を確認すること	
8	「やる気」の心理学　ー動機づけ心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
9	授業に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
10	評価の心理的影響を知る	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
11	性格の把握と学べる集団作りを知る　ー性格心理学・社会心理学―	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
12	発達障害への対応を知る　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
13	児童生徒に見られる心の問題　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
14	教師の専門性とカウンセリングマインド　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
15	個別指導に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習としてまとめテストに備えること、復習としてまとめテストの誤答を見直して知識を確認すること	高木
成績評価方法と基準			割合
①毎回の講義で実施される、グループワークによる課題　②毎回の講義で個人で作成する、講義内容に関するリフレクションシート　③期末テスト			①25%　②25%　③50%

授業科目名	教育課程論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	河原　和之		担当教員	河原　和之		
科目ナンバリング	SE20BACB010	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

教育課程とは、カリキュラム（Curriculum）の訳語であり、学校における教育計画の全体像といってよい。この時間は、日本における教育課程の編成と具体的事例について提案し議論する

学修目標

日本における教育課程をめぐる現実の問題と課題、そして具体例について習得する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ネット情報や新聞をよく読むとともに、メディアの報道にも日常的に注意を払いながら、日本における現実の教育問題について把握するように努力してほしい。

教科書

なし。授業時に資料やワークシートを用意する。

参考書

授業中において適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業時に連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認(30)　復習：学習の心構えや受講注意　アイスブレーキング(30)	河原
2	教育課程の歩み	予習：学習指導要領の歴史の概略を知る(45)復習：学習指導要領変化の要因を確認(15)	河原
3	教育課程と学習観	予習：系統主義か問題解決学習か(45)　復習：テーマによる学習方法の違いを確認(15)	河原
4	教育課程と学習指導要領	予習：部活動の位置づけや変化など(10)復習：上記について自分の意見を書く(60)	河原
5	主体的、対話的な深い学び１	予習：学習指導要領を読む(30)　復習：授業を受けポイントをまとめる(45)	河原
6	主体的、対話的な深い学び２	予習：河原　ＮＨＫわくわく授業の分析(60)　復習：河原授業の成果と課題の整理(15)	河原
7	主体的、対話的な深い学び３	予習：実践事例を書く(60)　復習：分析をまとめる(20)	河原
8	主体的、対話的な深い学び４	予習：学生による実践事例を読む　(30)復習：分析をまとめる(30)	河原
9	キーコンピテンシー１	予習：コミュニケーション力を中心に予習(15)　復習：授業時のワークショップを整理(45)	河原
10	キーコンピテンシー２	予習：ディベート力を中心に予習(30)　復習：授業時のワークショップを整理(30)	河原
11	キーコンピテンシー３	予習:発表力を中心に予習(15)　復習:他者のプレゼンの成否について整理(45)	河原

12	キーコンピテンシー４	予習：企画・参画力を中心に(15)　復習：企画・参画型の事例を開発(60)	河原
13	キーコンピテンシー５	予習：学校行事の具体例の調べる(30)　復習：学校行事の意義についてまとめる(45)	河原
14	キーコンピテンシー６	予習：総合的な学習の意義と具体的事例(45)　復習：総合的な学習の事例の分析(45)	河原
15	講義全体のまとめと振り返り	予習：授業から学んだことの整理（15）　復習：　まとめの感想を書く(60)	河原
成績評価方法と基準			割合
１　レポート　授業指導案、総合的な学習、各種行事など　２　プレゼン　授業、各種発表など　３　最終レポート「授業をうけて学んだこと考えたこと」　４　授業への姿勢　　詳細は、授業中に説明する			１　３０％ ２　３０％ ３　２０％ ４　２０％

授業科目名	保健体育科教育法Ⅰ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC001	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

・学習指導要領の歴史的変遷を学び、その時代に求められてきた保健体育科教育を取り巻く実情を理解する。　・保健体育科教育に求められる安全でかつ運動に親しむ能力を高め、心身の健康の増進を図り、体力の向上をめざした理論を学ぶ。　・学習指導要領に示された各運動領域における特性やねらいを実際の教育現場で活用できるよう単元計画及び学習指導案を作成し，模擬授業において実践する。

学修目標

① 学習指導要領における高等学校の科目体育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 高等学校の科目体育の学習評価の考え方を理解している。 ④ 高等学校の科目体育の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・教員免許取得のための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・高等学校保健体育科教諭一種（中学校保健体育科教諭一種）の資格取得をめざすための授業です。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

高等学校学習指導要領　中学校学習指導要領　その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学習指導要領及びその解説の内容把握及び授業計画立案能力、学習指導案作成能力の育成	予習：学習指導要領解説保健体育編・体育編　第 1 章総説　第 1 節改定の経緯及び基本方針（P1～P5）の通読　復習：保健体育科の目標、科目体育の目標の確認	酒井　智　荒木寛巳
2	学習指導要領の歴史的変遷「改定の経緯及び基本方針」	予習：教科書　①学習指導要領の解説（P6～P12）の通読　復習：心と身体の一体化について、論じられるようにしておく	酒井　智　荒木寛巳
3	学習指導要領の特性「保健体育科改訂の趣旨及び要点」	予習：学習指導要領　第 1 章総説　第 2 節保健体育科改定の趣旨及び要点の 1.2（P6～P12）の通読　復習：学習指導要領改訂の基本的な考え方（三本柱）について、確認する。	酒井　智　荒木寛巳
4	学習指導要領「保健体育科の目標及び内容」	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　第 2 節各科目の目標及び内容「体育」(P28～32）の通読　復習：　科目体育の目標を確認しておく	酒井　智　荒木寛巳

5	保健体育科教育の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　第2章保健体育科の目標及び内容　第2節各科目の目標及び内容「体育」　の通読（P33～41）　復習：アクティブラーニングについて確認する。	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り(体つくり運動:実生活に生かす運動の計画)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（器械運動：マット運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（陸上競技：走運動、短距離走）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（陸上競技：跳運動、走り幅跳び）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（球技：ゴール型、バスケットボール）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（球技：ネット型、バレーボール）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（ダンス）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業実施　　体育理論　　内容確認と教材づくり	予習：学習指導要領保健体育編　P176～ｐ186 通読　復習:リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
14	保健体育科教員に求められる資質と能力	予習：保健体育科教員に求められる資質と能力について考えを求めておく　復習：教員について、資質や適性について確認する	酒井　智　荒木寛巳
15	高等学校科目体育の講義全体のまとめ	予習:リフレクションペーパー整理　復習:科目体育の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①　授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②　学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの作成　③　課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①　20%　②　50%　③　30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅱ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC002	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

・高等学校における保健体育科教育の学習内容を理解したうえで，高等学校での科目保健の内容を理解するとともに、科目の単元計画や学習指導案を立案する。また，立案した学習指導案にそって模擬授業を行う。　・保健体育科教育法Ⅰで学習している知識や技能関連付けて総合的、実践的に理解を深める。また、発達段階に応じた校種の連携を考慮しつつ、高等学校における科目保健の授業に求められる心身ともに安全で健康的な生活を送るための理論と実践を学び、科目保健の各単元におけるねらいを実際の教育現場で活用できる方法を考える。

学修目標

① 学習指導要領における高等学校の科目保健の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 高等学校の科目保健の学習評価の考え方を理解している。 ④ 高等学校の科目保健の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・教員免許取得のための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・高等学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。授業準備に特に時間をかけて臨んでください。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

・高等学校学習指導要領　・中学校学習指導要領　・高橋健夫ほか　「体育科教育学入門」　大修館書店　・その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学習指導要領の主旨と法的根拠	予習：学習指導要領　保健体育編　解説 P1～P16 を読んでおく　復習：本時の授業の振り返りをしておく	酒井　智　荒木寛巳
2	科目保健の目標と教材研究の実際	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P197～198）の通読　復習：「健康」についての理解を深めておく	酒井　智　荒木寛巳
3	科目保健の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P137～140）の通読　復習：改訂後新しく単元として入った内容について、理解しておく	酒井　智　荒木寛巳

4	科目保健の指導案作成と教材作り	予習：学習指導要領　第2章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P137～140）及び解説（P16～18）の通読　復習：本時の学修内容の振り返りを行う	酒井　智　荒木寛巳
5	健康と安全､健康についての課題の学修を深める	予習：学習指導要領　解説第2章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P198～215）の通読　復習：本時の学修内容の振り返りを行う	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施とリフレクション(現代社会と健康「現代の感染症とその予防」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施とリフレクション(現代社会と健康「精神疾患の予防と回復」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施とリフレクション(安全な社会生活「応急手当」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施とリフレクション(生涯を通じる健康「生涯の各段階における健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施とリフレクション(生涯を通じる健康「労働と健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施とリフレクション(健康を支える環境づくり「食品と健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施とリフレクション(安全な社会生活「安全な社会づくり」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施とリフレクション(現代社会と健康「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
14	情報機器を用いた指導案の作成	予習：体育の授業で活用可能なICT教育について調べておく　復習：ナレーションを入れた教授用資料を作る	酒井　智　荒木寛巳
15	高等学校科目保健の講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：科目保健の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの記入・活用　③課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅲ(教職課程:鍼灸)				
主担当教員	荒木 寛巳		担当教員	荒木 寛巳／酒井 智	
科目ナンバリング	SE20BACC003	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

・学習指導要領の歴史的変遷を学び、その時代に求められてきた保健体育科教育を取り巻く実情を理解する。 ・保健体育科教育に求められる安全でかつ運動に親しむ能力を高め、心身の健康の増進を図り、体力の向上をめざした理論を学ぶ。 ・学習指導要領に示された各運動領域における特性やねらいを実際の教育現場で活用できるよう単元計画及び学習指導案を作成し，模擬授業において実践する。

学修目標

① 学習指導要領における中学校の科目体育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 中学校の科目体育の学習評価の考え方を理解している。 ④ 中学校の科目体育の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・中学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。 ・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示） 解説 保健体育編」 東山書房 ・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示） 解説 保健体育編・体育編」 東山書房 ・「現代高等 保健体育」 （保体 701）大修館書店 ・「最新中学校 保健体育」（保体 050-72） R7 新刊 大修館書店 ・ステップアップ高校スポーツ 大修館書店 ・ステップアップ中学体育 大修館書店 保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

・高等学校学習指導要領 ・中学校学習指導要領 ・高橋健夫ほか 「体育科教育学入門」 大修館書店，2013 その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階 研究室９ 火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	中学校学習指導要領及び中学校学習指導要領解説 保健体育科編の学修 （学習指導要領の変遷や解説の総説への理解）	予習：中学校学習指導要領、学習指導要領解説の P1～P5 の通読 復習：学修した内容の振り返りをする	酒井 智 荒木寛巳
2	中学校学習指導要領解説 保健体育科編の内容の学修 現代の中学生の現状理解	予習：中学校学習指導要領解説 保健体育科編の内容を通読する 復習：新しい学力観について、論じられるようにしておく	酒井 智 荒木寛巳
3	中学校学習指導要領 解説 保健体育科編における体育分野の目標についての学修	予習：中学校学習指導要領 解説 保健体育科編 第 2 章保健体育科の目標及び内容 第 1 節教科の目標及び内容（P24～P29）の通読 復習：体育分野の目標について理解を深める	酒井 智 荒木寛巳
4	中学校体育分野における授業計画及び単元計画の作成方法の学修 中学生の発育発達の理解	予習：学習指導要領 解説 保健体育科編 第 2 章保健体育科の目標及び内容 第 2 節各科目の目標及び内容 体育分野 1.2.3 年（P30～P43）の通読 復習：本時の学修の	酒井 智 荒木寛巳

		振り返りを行う	
5	体育学習における観点別評価の学修	予習：指導案の目標と評価について考察しておく　復習：評価の目的と評価の方法を振り返っておく	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施と事後検討　（体つくり運動：体ほぐし運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施と事後検討（器械運動：跳び箱運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施と事後検討(器械運動:鉄棒運動)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施と事後検討（陸上競技：跳運動、走り高跳び）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施と事後検討（陸上競技：ハードル走）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施と事後検討（球技：ネット型、バドミントン）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施と事後検討（球技：ベースボール型）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施と事後検討（体育理論）	予習：体育学習指導要領解説　保健体育科編　体育理論について（P70～P75）の通読 復習:オリンピック・パラリンピックについて資料を通じ理解を深める	酒井　智　荒木寛巳
14	体育分野の教材であるスポーツのについての関連する法律や実施施策等の学修	予習:スポーツに関連した新聞、ネット記事を見ておく　復習：スポーツの文化的価値について、資料を振り返り、理解を深める	酒井　智　荒木寛巳
15	教科教育法Ⅲの講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：体育分野全般の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの記入・活用　③課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅳ（教職課程：鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC004	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	

授業概要

・中学校学習指導要領における保健分野の目標、内容等を理解するとともに、校種間の連携を考慮しつつ中学校における保健分野に求められる心身ともに安全で健康的な生活を実践できるための理論と技能を学修する。　・学校現場で活用できるよう保健分野の単元計画及び学習指導案を作成し、模擬授業において実践方法を学修する。

学修目標

① 学習指導要領における中学校の科目保健の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。　② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。　③ 中学校の科目保健の学習評価の考え方を理解している。　④ 中学校の科目保健の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。　⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

・中学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法Ⅰから Ⅳで共通して使用します。店

参考書

中学校学習指導要領　高等学校学習指導要領　日本保健教育学会　「保健科教育法入門」　大修館書店　その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	学習指導要領の主旨と法的根拠、学習指導要領解説　保健体育編の総則の学修	予習：中学校学習指導要領解説や保健体育科編の総説の要点を理解しておく　復習：本時の学修を振り返る	酒井　智　荒木寛巳
2	保健分野の目標、内容と校種間の連携	予習：学習指導要領解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「健康な生活と疾病予防」の読通	酒井　智　荒木寛巳
3	保健分野の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「心身の機能の発達と心の健康」の通読	酒井　智　荒木寛巳
4	保健分野の単元計画と学習指導案作成	予習：学習指導要領解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「傷害の防止」の通読	酒井　智　荒木寛巳

5	健康、安全と体育との関連についての学修	予習：学習指導要領解説　保健体育科編　第2章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書　単元「健康と環境」通読	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施と事後検討（健康な生活と疾病の予防「健康の成り立ちと疾病の発生要因」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施と事後検討（健康な生活と疾病の予防「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施と事後検討（健康な生活と疾病の予防「感染症の予防」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施と事後指導（応急手当の意義と実際）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施とリフレクション（欲求やストレスへの対処と心の健康）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施とリフレクション（自然災害による傷害の防止）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施と事後検討（飲料水や空気の衛生管理）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施とリフレクション（身体機能の発達）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
14	保健関係における校種間の組織の連携	予習：地域・家庭・保健所・養護教諭と保健の授業との関連について調べておく　復習：中学校と高等学校の体育、保健の関連性について考察する	酒井　智　荒木寛巳
15	教科教育法Ⅳの講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：授業全体の考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業の取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成　（模擬授業の実践指導、リフレクションペーパー記入・活用　③課題レポート　（授業内容の把握、課題内容の充実）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	道徳教育論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	福島　信也		担当教員		福島　信也	
科目ナンバリング	SE20BACB011	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

本授業では、『特別の教科・道徳』の授業づくり（中学校５０分）を実践的に学びます。　2018 年度から小学校、2019 年度から中学校で特別の教科「道徳科」になり、教科書が配布されています。中学校の教育実習では、道徳科授業も　担当する学校が増えています。　また、新高等学校学習指導要領(2019.4/1～2022.3/31 移行期間.2022 年 4/1 より施行)の主な改善事項の一つに､「道徳教育の充実」が挙げられ、　全ての教師が協力して道徳教育を展開することを規定(総則)しています。　生徒たちが興味をもって深い学びを得られる授業をどうしたらできるでしょうか。　学校現場の様子(出前授業等の録画視聴もあります)も説明しながら、受講者同士の話し合い（グループ活動)、教材　や授業方法の検討、学習指導案作成、プチ模擬授業(個人またはグループ)などを通して、これらの問題を考えていきます

学修目標

※学校における道徳教育の位置づけやねらい、内容について理解する　●『中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編（平成 29 年 7 月)』 の重要事項について、答えることができる。　●「道徳とは何か」､「なぜ必要なのか」など、説明することができる。　※道徳科授業の実践に資する知識や技能を身につける　●生徒たちの道徳性の発達や興味・関心、社会的要請などを踏まえ､50 分の道徳科指導案を作成する。(全員必修)　●作成した学習指導案をもとに、プチ模擬授業(個人またはグループ)をする。(全員必修)　●道徳科授業に興味・関心をもち、教育実習では道徳科授業に活かすことができるようにする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

●授業で配布したプリントは、必ずファイル（綴じ込んで保存） すること。　●プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること。　●授業で配布した課題プリントは､必ず提出すること。　●教材をじっくり読み込んで(何回も)、学習指導案を作成をすること。

教科書

使用しない。プリントを配布します。

参考書

●文部科学省「中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」平成２９年７月　●授業は配布するプリントに基づいて行います。　学校現場で役立つ内容が含んでいるプリントを用意します。　プリントは実践に活かすことができるので、ファイル(綴じ込んで保存)すること。　その他、参考となる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	道徳科の素晴らしさ　～ オリエンテーション・出前授業の様子 ～　【プリント以外で配布するもの】　・学習指導要領解説(特別の教科 道徳編)　・道徳教材集(冊子)	「道徳教材集」読む(2 時間)	福島信也
2	道徳科授業を知る（１）　～ 流れを知る！導入・展開・終末 ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)	福島信也
3	道徳科授業を知る（２）　～ 展開・板書について ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)	福島信也
4	「特別の教科 道徳」の改訂のポイント　～ 教科化になった理由など ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)　「道	福島信也

		徳教材集」読む(1 時間)	
5	道徳科授業の指導法 （1） ～ 指導案作成のポイント ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間)	福島信也
6	道徳科授業の指導法（2） ～ 評価･中心発問について ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間) 「道徳教材集」を読み、教材分析(1 時間)	福島信也
7	道徳科授業の指導法（3） ～ 発問の工夫･教材分析について ～	プリント復習(0.5 時間) 課題プリント(1 時間) 「道徳教材集」を読み、教材分析(1 時間)	福島信也
8	道徳科授業の指導法 （4） ～ 多様な手法を使って、多面的・多角的な思考を促す ～ ・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習(1 時間) 課題プリント(1 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間)	福島信也
9	道徳科授業の指導法 （5） ～ 問題解決的な学習・体験的な学習について ～	プリント復習(1 時間) 指導案作成(1 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間)	福島信也
10	道徳科授業の指導法（6） ～「総合学習」と関連させた授業(展開)について ～ ・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
11	道徳科授業の指導法 （7） ～ 指導案をチェックして、指導案作成に役立てる ～ ・研究授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
12	道徳科授業の指導法 （8） ～ 指導案をグループで高め合う､授業のトラブル＆ピンチについて ～ ・プチ模擬授業準備 ・指導案提出	プリント復習､模擬授業準備(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
13	プチ模擬授業(個人またはグループ)（1） ～ みんなで討議 ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1.5 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
14	プチ模擬授業(個人またはグループ)（2） ～ みんなで討議 ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1.5 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
15	プチ模擬授業(個人またはグループ)（3） ～ みんなで討議、まとめ(理想の道徳科授業) ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業の準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●プチ模擬授業は全員が行います。 ●学習指導案は全員が提出します。(学習指導案は、コメント等を記載してから返却します) ●授業では、課題（プリント・学びのプロセス 等）を提出します。(課題プリントは、コメント等を記載してから返却します)			●プチ模擬授業(個人またはグループ)：20～25% ●道徳指導案 ：20～25% ●授業内課題 ：50～60%

授業科目名	特別活動論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	天野　義美		担当教員	天野　義美		
科目ナンバリング	SE20BACB013	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

①「人間形成の重要な部分を特別活動が担う」という視点から、特別活動の特質や意義、活動内容、指導方法などについて考察する。　②一方的な講義に終始するのではなく、話し合いや担当者自身の教育実践の紹介を織り交ぜながら、特別活動の大切さを共に追究する。　③本授業では、特別活動の理論と指導法について、概論（第１回）→総論（第２～４回）→各論（第５～８回）→細論（第９～１４回）→まとめ（第１５回）で展開し、それぞれの理解を図ったうえで、最後にレポートの提出を課す。

学修目標

①本授業に積極的に参加し、特別活動に関する基礎的な知識を修得できるようにする。　②授業内容を踏まえて、特別活動の教育的意義について自己の考えを確立できるようにする。　③教育の今日的課題の解決に向けて、特別活動の果たすべき役割を理解できるようにする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①中高生の現状や課題に関心を持ち、その原因と対策、解決への道筋などを教育課題として、主体的に授業に臨むこと。②「為すことによって学ぶ」という特別活動の方法原理に基づいて、授業中のグループワークや演習にも、自主的、実践的に参加すること。　③授業での配布資料として、「PowerPoint のスライド画面」と「復習用補助説明」を提供するので、それを活用して学修内容の定着に努めること。　④資料の末尾に【本日の課題】を提示しているので、授業日を含めた 3 日以内に、添付の課題回答用紙を用いて MORIPA で提出すること。

教科書

なし（講義の中で資料を配布する）

参考書

「やさしく学ぶ特別活動」　赤坂雅裕他（ミネルヴァ書房）　「中学校学習指導要領解説　特別活動編」　　文部科学省（ぎょうせい）　「高等学校学習指導要領解説　特別活動編」　文部科学省（海文堂出版）　「学級・学校文化を創る特別活動　中学校編」　　国立教育政策研究所（東京書籍）

研究室／オフィスアワー

授業終了後、教室内及び講師控室で質問を受ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	特別活動の概要　　・特別活動とは何か？　　・学校教育での位置付け	予習：学校教育における特別活動とは何か。(90 分)　復習：教育課程に位置付いている特別活動の内容を確認する。(90 分)　課題：第１回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
2	特別活動の特質　　・子どもの現状と課題　　・特質と方法原理	予習：教育の課題解決に向けて、特別活動が果たす役割とは何か。(90 分)　復習：特別活動の特質、方法原理を確認する。(90 分)　課題：第２回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
3	特別活動の変遷　　・歴史的な歩み　　・今回の学習指導要領の改訂	予習：特別活動の歩みと指導要領との関連はどうなっているのか。(90 分)　復習：特	天野

		別活動の変遷と、今回の学習指導要領の改訂の主旨を理解する。(90 分) 課題：第３回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	
4	特別活動の目標と内容 ・目標と教育的意義 ・内容とその取扱い ・校種間の関連	予習：小・中・高の特別活動の目標、教育的意義、内容とは何か。(90 分) 復習：特別活動の目標・意義・内容について確認する。(90 分) 課題：第４回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
5	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容 ・目標と教育的意義 ・内容とその取扱い ・展開事例	予習：学級活動の目標、及び、それを達成するための内容にはどのようなものがあるのか。(90 分) 復習：学級活動の目標・意義・内容について理解する。(90 分) 課題：第５回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
6	生徒会活動の目標と内容 ・目標と教育的意義 ・内容とその取扱い ・展開事例	予習：生徒会活動の目標、及び、それを達成するための内容にはどのようなものがあるのか。(90 分) 復習：生徒会活動の目標・意義・内容について理解する。(90 分) 課題：第６回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
7	学校行事の目標と内容① ・目標と教育的意義 ・内容とその取扱い 〇儀式的行事 〇文化的行事	予習：学校行事の目標、及び、それを達成するための内容（儀式的行事、文化的行事）にはどのようなものがあるのか。(90 分) 復習：学校行事の目標・意義・内容について理解する。(90 分) 課題：第７回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
8	学校行事の目標と内容② ・内容とその取扱い 〇健康安全・体育的行事 〇旅行・集団宿泊的行事 〇勤労生産・奉仕的行事 ・展開事例	予習：学校行事の目標、及び、それを達成するための内容（健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事）にはどのようなものがあるのか。(90 分) 復習：学校教育における学校行事の果たす役割について整理する。(90 分) 課題：第８回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
9	特別活動の指導計画 ・全体計画 ・３内容の相互関連 ・年間指導計画	予習：特別活動を効果的に展開するための指導計画はどのようになっているのか。(90 分) 復習：特別活動の全体計画、並びに、それぞれの年間指導計画を理解する。(90 分) 課題：第９回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
10	特別活動と他の教育活動との関連 ・各教科との関連 ・道徳科との関連 ・総合的な学習の時間との関連	予習：特別活動と、教育課程に位置付く他の教育活動との相互関係はどうなっているか。(90 分) 復習：各教科・道徳科・総合的な学習の時間との教育的な関連を整理する。(90 分) 課題：第１０回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
11	特別活動と学校・学年・学級経営 ・人間関係の形成 ・社会性の育成（社会参画） ・生徒指導の充実（自己実現）	予習：円滑な学級経営を図る上で、特別活動が果たす役割や機能をどう捉えるべきか。(90 分) 復習：学校・学年・学級経営における特別活動の役割や重要性を理解する。(90 分) 課題：第１１回復習用補助説明を	天野

		読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	
12	特別活動の指導実践ー学級活動の(1)【学級や学校における生活づくりへの参画】を中心にー　・指導の実際　・事前―本時ー事後の流れ　・学習指導案の作成	予習：学習指導案の一般的な形式・書式、書き方、内容はどのようになっているのか。（90 分） 復習：学級活動の活動過程と、一時間の学習指導案の要点を把握する。（90 分） 課題：第１２回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
13	特別活動の評価　・学力の捉え方　・特別活動で育つ力　・評価の実際	予習：評価の持つ意味と、特別活動の評価のあり方とは何か。(90 分） 復習：生徒のよさを積極的に認めて評価することの意義を理解する。(90 分） 課題：第１３回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
14	特別活動をめぐる諸問題　・理解の深化　・学校力・教師力　・活動時間の確保	予習：特別活動の充実を図るために、学校や教師に必要なこととは何か。(90 分） 復習：特別活動の活動時間の確保について、考察する。(90 分） 課題：第１４回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
15	これからの学校教育と特別活動、講義のまとめ　・課題と展望　・特別活動に求められるもの　・キーワードでの振り返り　・全体のまとめ	予習：これからの学校教育の中で、特別活動に期待されることとは何か。授業で出てきたキーワードをもとに、特別活動論の講義を振り返る。(90 分） 復習：特別活動に関する知識・理解を確実なものにする。(90 分) 課題：第１５回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
成績評価方法と基準			割合
①レポート（DP④に対応)、課題等の提出物（DP④に対応)、授業参加度・授業態度により、総合的に評価する。　・注：授業中のスマホ使用は厳禁。声掛けに従わない場合は、減点の対象とする。　②全授業回数の３分の１を超えて欠席している者は、評価対象外とする。(正当な理由のない遅刻・中抜け・早退は、２回で欠席１回相当とみなす。)　・例：欠席５回と遅刻または早退１回で、評価対象外となる。③フィードバック　・レポート：提出期限後の数週間以内に MORIPA で授業者の所見を提供するので、提出したレポート内容と比較して考え			・レポート（５０%）　・課題回答等の提出物（３０%）　・授業参加度、授業態度（２０%）

授業科目名	教育方法論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高		
科目ナンバリング	SE20BACC014	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）では、これからの社会を担う生徒に求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用しながら、授業、教育活動を行う上で必要となる基礎的な知識・技能を身に付ける。

学修目標

学校における教育課程を編成，展開する教育方法についての基礎的基本的な内容を学び，教育方法の技術の基礎を身に付けることを目標とする。あわせて，学生自身が受けてきた授業を相対化することによって，教育方法を柔軟に捉え直すことを目指す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の課題に対して自分の学びをレポートすることによって、教育方法や技術に対する理解を深め、日常生活においても活用してもらいたい。

教科書

適宜指示する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４F　第５研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育内容と教育方法　生徒に何を（教育内容）どのように（教育方法）教えるのかをその一連の過程における原理と方法を学ぶための導入を行う。	「教育方法」の意味について調べておく。学んだ教育の原理・方法を簡潔にまとめる。	阿部
2	基礎的･基本的な知識及び技能を確実に習得させるための教育方法　　学力の重要な要素の一つである基礎的･基本的な知識及び技能を育成する教育方法について学ぶ。	基礎的・基本的知識技能について学んだことをまとめる。	阿部
3	思考力・判断力・表現力等を育むための教育方法　学力の重要な要素の一つである思考力・判断力・表現力等を育成する教育方法について学ぶ。	思考力・判断力・判断力の内実、関係をまとめる。	阿部
4	主体的に学習に取り組む態度を養うための教育方法　　学力の要素の一つである主体的に学習に取り組む態度，学習意欲を高める教育方法について学ぶ。	学習意欲の喚起、主体的な学びができた場面を想起しておく。（課題）	阿部
5	個性を生かす教育の充実を図るための教育方法　個に応じた指導の充実など，現在求められている指導の工夫改善等について幅広く考える。	既有知識を確認し、授業内容を予想しておく。求められている指導の工夫改善について簡潔にまとめる。	阿部
6	生徒理解の方法と実践　　生徒理解の重要性と教育相談のあり方､人間関係の構築の方法などについて学ぶ。	生徒指導や相談について経験を想起しておく。　生徒理解の重要性について自分の考えをまとめる。	阿部
7	これからの時代に求められる資質･能力と教育方法　　学習指導要領の理念である生きる力や，求められるスキル等を育成する教育の実践について考える。	「求められる資質・能力」とは？について考えをまとめておく。これから求められる教育実践の方向性についてまとめる。	阿部
8	教育課程編成の理論と方法　　学習指導要領に基づいた，各学校における教育課程編成の実際に	教育課程の編成について学んだことをまとめる。	阿部

	ついて学ぶ。		
9	年間の指導と評価の計画の作成方法　　各学校の教育課程に基づく具体的な年間の指導と評価の計画の作成について考える。	年間指導計画作成の重要性についてまとめる	阿部
10	学習指導案の作成方法　　各学校の年間の指導と評価の計画に基づく具体的な学習指導案の作成について考える。	学習指導要領について情報を集める。学習指導案の試案について自分の考えをまとめる。(課題)	阿部
11	授業づくりと教材研究の方法　　学習指導要領において求められる各教科等の授業づくりと教材研究の在り方を考える。	教材研究の方法について学んだことをまとめる。	阿部
12	メディアと教育方法　　学習指導におけるＩＣＴ等の活用について学び、授業に活用する方法について考える。	ICT 活用授業の経験を想起しておく。これからの ICT 活用方法についてまとめる。(課題)	阿部
13	学習評価の意義と方法　　指導と評価の一体化の重要性を学びその具体的な展開について考える。	学習評価についての経験を想起しておく。指導と評価の一体化の重要性についてまとめる。	阿部
14	近年の教育問題について確認しておく。興味を持った教育時事について考えをまとめる。	タイムリーな課題　　各回で取り上げることが出来なかった話題で，タイムリーなものや現代教育の課題について学ぶ。	阿部
15	授業の総括として，これまでの学びである教育方法の習得についてふり返り、まとめる。	これまで書いた各回の振り返りをもとに自分の問題意識をレポートする準備をしておく。	阿部
成績評価方法と基準			割合
①毎回の授業にて書くレポート　②課題　③論述試験としての最終レポート　④授業中の発言・プレゼン			①30% ②30% ③30% ④10%

授業科目名	教育相談の基礎と方法（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACB016	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育相談は、児童・生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしたながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。原題社会の児童・生徒の発達の状況を理解し、個々の心理的特質や教育的課題を適切にアセスメントし、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。

学修目標

（1）学校における教育相談の意義と理論を理解できるようになる。　（2）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（アセスメント法・カウンセリング技法）を理解できるようになる。　（3）教育相談の具体的な進め方やポイント、組織的な取組や連携の必要性を説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ロールプレイ・議論等のアクティブ・ラーニングを実施しますので、積極的な参加を期待します。

教科書

文部科学省『生徒指導提要』教育図書

参考書

講義時に適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育相談の意義と課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
2	教育相談の定着に向けた課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
3	教育相談に関わる心理学の基礎理論	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
4	学校教育におけるカウンセリングマインドの意義と問題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
5	カウンセリングの技法：受容・傾聴・共感的理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及	高木

		び各自のノートを学習しておくこと。	
6	カウンセリングの基礎（1）：行動療法	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
7	カウンセリングの基礎（2）：認知行動療法とマインドフルネス	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
8	カウンセリングの基礎(3):パーソンセンタード・アプローチとブリーフ・カウンセリング	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
9	教育相談計画：チーム学校と保護者理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
10	教育相談の展開（1）：いじめ・不登校	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
11	教育相談の展開（２）：虐待・非行	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
12	予防的な教育相談:アセスメントとソーシャルスキル	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
13	協働としての教育相談：カウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
14	専門機関（医療・福祉・心理等）との連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	講義全体の配布資料を確認しておくとともに、重要部分について復習をしておく。	高木
成績評価方法と基準			割合
毎回の講義で、グループワークによる課題解決型の課題を実施する。また、毎回の講義の最後に、個人ごとにリフレクションシートを作成する。講義の最後に、講義全体に対する確認テストを行う。			グループワーク課題（20%）　リフレクションシート（30%）　確認テスト（50%）

授業科目名	教育実習事前事後指導（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智／阿部　秀高／松田智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC017	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育実習にあたり、教育実習の意義を認識させるとともに、実習に対する基本的な心構えや指導技能を学修し、実習に対する実践力を身に付ける。　また、教育実習終了後においても、実習評価簿及び教育実習ノートに記載された内容により、改善事項を考察するとともに、事後の大学生活に活かす能力を身に付ける。

学修目標

教育実習に活用できる実践力を身に付けるとともに、事後に反省を生かす取組を進める。また、教員としての使命感、倫理観、授業展開力を養う。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学校教育現場の具体的な場面を想定しての授業を展開するので、体験してきた中学校、高等学校生活をも参考に、生徒に具体的に指導できる方法考えておくこと。

教科書

文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編」　文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　保健体育・体育編」

参考書

新・めざそう保健体育教師（朝日出版）

研究室／オフィスアワー

11 研究室　火曜日 13:00～14：30　　金曜日１０：４０－１４：３０　９研究室　火曜日 16：20～17：50

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	・教育実習の目的と意義　・教育実習の心構え・準備しておくべき事項　・教育実習経験者（4 年生）から話を聞く	予習：教育実習の内容について情報を収集し、準備に必要なものを調べておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部秀高　酒井　智　荒木寛巳
2	・ラジオ体操の基本技術・理論の理解　・学校における保健体育科教員の業務	予習：実技の準備体操で多用されるラジオ体操の歴史、特長等について調べておく。（1 時間）　予習：保健体育科教員の仕事内容について、調べておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
3	授業展開方法①(体育実技種目の理解と実技力修得)	予習：。学校で指導される競技種目の特長、歴史、ルールについて理解する。実技の課題の整理しておく。((1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。体育実技の準備体操に多用されるラジオ体操の基本について理解を深める。(1 時間)	酒井　智　荒木寛巳
4	授業展開方法②(体育実技種目の理解と実技力修得)	予習：学校で指導される競技種目の特長、歴史、ルールについて理解する。実技の課題の整理しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。(理解した基本に基づき、実践力をつけるため、繰り返し練習する) (1 時間)	酒井　智　荒木寛巳
5	授業展開方法③(体育実技種目の理解と実技力修	予習：学校現場で教材となる競技種目の特	酒井　智　荒

	得）	長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	木寛巳
6	授業展開方法④(体育実技種目の理解と実技力修得）	予習：学校現場で教材となる競技種目の特長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
7	授業展開方法⑤(体育実技種目の理解と実技力修得）	予習：学校現場で教材となる競技種目の特長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
8	学校教育の概要と教員に求められる資質	予習：教育の現状及び教員に求められる資質について調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
9	学級活動、ホームルームの課題と展開	予習：学級活動・ホームルームについて情報を収集し、準備に必要なものを調べておく。（1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
10	特別支援教育の現状と課題	予習：特別支援教育についての情報を収集しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
11	学校体育と障がい者スポーツ	予習：障がい者スポーツについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
12	ＩＣＴを活用した授業実践	予習：ＩＣＴを活用した授業についての情報を収集し整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
13	学校の課題の現状と理解①	予習：学校の課題について、情報を収集し整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
14	学校の課題の現状と理解②	予習：前時に学修した内容について整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
15	授業のまとめと課題整理	予習：学修した教育実習受講時の要領および要点を整理し、課題解決方策のため情報を収集する。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高 酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①　筆記試験（競技ルール）　②　実技理解試験　③　授業への取組姿勢			60%　30%　10%

授業科目名	教育実習Ⅰ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／荒木　寛巳／酒井　智／松田智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC018	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1　中学校で、実践的指導力のある指導教員の下での体験を通じ、教育実践の基礎基本的な能力を身に付ける。　2　教育実践に関わることを通じて、生徒理解を深め、教員になるうえでの課題を把握する。　3　教育現場で実習することにより、現場の教員の業務内容の一端を把握する。

学修目標

1　教科指導においては、保健分野、体育分野の学習指導案作成方法や生徒の実態を踏まえた指導の基礎基本（情報機器の活用方法含）について理解でき、授業ができるようになる。　2　学級担任や分掌業務等について、職務内容を実地に即して理解できるようになる。　3　生徒との積極的な関わりを通して、生徒理解を深めるとともに、生徒とのコミニュケーション方法を習得する。　4　教育実習から得られた課題について、今後の大学生活で、知識技能を中心に課題解決に努める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

専門教科の学習については、十分な準備をするとともに、生徒に対応することを念頭に、服装、態度、言葉遣いに細心の注意を払っての行動をとること。

教科書

中学校学習指導要領　中学校学習指導要領解説保健体育編　実習校での該当教科書

参考書

めざそう保健体育教師（朝日出版）

研究室／オフィスアワー

研究室１４　　火曜日　１６時３０分～１８時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育実習校でオリエンテーション　1　教育方針、校訓等について説明を聞く。　2　実習中の注意事項について説明を受ける。　3　実習の予定の確認を受ける。　4　校内の施設設備、用具について説明を受ける１	予習：実習日までに、大学で習得した知識、技能について整理し、実習に備えておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
2	中学校における教育実習の留意点及び､実習方法の説明	予習：資料アンケート調査結果で得られた不安への対処法について考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
3	①　中学校教員の業務についての理解　②　指導案作成	予習：学校業務について考察をしておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
4	中学校学習指導要領に従って実施されている授業の参観①	予習：学習指導要領の内容についての理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
5	中学校学習指導要領に従って実施されている授業の参観②	予習：中学校で実施されている各教科の授業について情報を収集しておく。(1 時間) 復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
6	中学校学習指導要領に従って実施されている授業の参観③	予習：中学校で実施去れている教科、特に保健体育科の授業について情報を収集しておく。(1 時間)　復習：本時の授業におけ	阿 部　荒 木 高木　松田

		る学びを振り返る（1 時間）	
7	中学校における学級活動の実習体験	予習：中学校における学級活動の内容についての情報を収集しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
8	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習①	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
9	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習②	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
10	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習③	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
11	中学校学習指導要領に従って行われている実習校の授業での指導の実習④	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
12	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習⑤	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
13	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習⑥	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
14	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習⑦	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
15	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習（研究授業での発表）	予習：研究授業での担当単元内容について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
成績評価方法と基準			割合
1 実習校からの評価　2 教育実習ノート（日誌）の内容　評価			1　90%　2　10%

授業科目名	教育実習Ⅱ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／荒木　寛巳／酒井　智／松田智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC019	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

１　高等学校で、実践指導力のある指導教員の下での教科等指導の体験を通じ、教育実践の基礎基本的能力を身に付ける。２　教育実践に関わることを通じて、生徒理解を深め、教員になるうえでの課題を把握する。 ３　実習校での教員の動きに触れることにより、教員の業務内容を理解する。

学修目標

１　教科指導においては、科目保健、科目体育の学習指導案作成方法や生徒の実態を踏まえた指導の基礎基本（情報機器の活用方法含）について理解し、授業の実習ができるようになる。 ２　学級担任や分掌業務等について、実習を通じ理解に努める。３　生徒との積極的な関わりを通して、生徒理解を深めるとともに、生徒とのコミニュケーション方法を習得する。 ４　教育実習から得られた課題について、実習後の大学生活を通じて積極的に課題解決に努める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教育現場での実習なので、教科指導力や生徒対応力等を向上などの準備をしておくとともに、服装、態度、言葉遣いに細心に注意した行動をとること。

教科書

高等学校学習指導要領　高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編　実習校での該当教科書

参考書

めざそう保健体育教師（朝日出版）

研究室／オフィスアワー

研究室１４　火曜日亜１６時３０分～１８時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育実習校でオリエンテーション　1　教育方針、校訓等について説明を聞く。　2　実習中の注意事項について説明を受ける。　3　実習の予定の確認を受ける。　4　校内の施設設備、用具について説明を受ける。	予習：実習日までに大学で習得した知識、技能について整理し、実習に備える。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
2	実習校における教育実習の留意点及び実習への対処の説明。	予習：学修した教育実習での不安への対処について考察する。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
3	実習校での授業見学①	予習：高等学校での教科の内容について、調べておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
4	実習校での授業見学②	予習：高等学校での教科の内容につて理解を深めておく。　(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
5	高実習校での授業見学③（保健体育科）	予習：高等学校保健体育科の科目の内容について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
6	実習校での授業見学④（保健体育科）	予習：高等学校保健体育科の科目の内容について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田

7	実習校での科目体育の実習①	予習:　学習指導要領で担当単元内容ついて理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　　荒 木 高木　松田
8	実習校での科目体育の実習②	予習：:学習指導要領で担当単元内容ついて理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
9	実習校での科目体育の実習③	予習：:学習指導要領で担当単元内容ついて理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
10	実習校での科目体育の実習④	予習：学習指導要領で担当単元内容の理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
11	実習校での HR の実習体験	予習：ロングホームルームやショートホームルーム、学校行事について生徒への支援方法を調べておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
12	実習校での科目保健の実習　⑤	予習：学習指導要領で担当単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
13	実習校での科目保健の実習　⑥	予習：学習指導要領で担当単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
14	実習校での科目保健の実習　⑦	予習：学習指導要領で担当単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
15	実習校での科目体育・科目保健の研究授業実習	予習：学習指導要領で担当単元内容の理解を深めておく。.（1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
成績評価方法と基準			割合
1　実習校からの評価　2　教育実習ノート（日誌）の内容			1 90%　2 10%

授業科目名	教職実践演習(中・高)(教職課程:鍼灸)				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智／阿部　秀高／松田　智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC020	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

○　教員としての必要な知識,技能を確認するとともに、教職に就くにあたり、自己の課題を把握し、解決の道筋を探る能力を身に付ける内容を学修する。　○　教育実習で体得した教育の基礎的技術をより応用の効く技術にするため、事例研究、グループ討議、模擬授業を適切に組み合わせて授業を展開できる能力を身に付ける内容を学修する。

学修目標

○　これまで学修してきた教科、教職に関する事項を確認し、教員としての基礎基本の定着を図る。　○　教科内容の理解を深め、学習指導案作成や授業スキルの修得を図る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教える立場としての意識を持って授業に臨み、積極的に授業に参加する姿勢を持つこと。

教科書

適宜指示する。

参考書

高等学校学習指導要領（文部科学省）　中学校学指導要領要領（文部科学省）　教育法規（教育開発研究所）

研究室／オフィスアワー

東棟４F　5 研究室　火曜日１６時３０分～１８時の予定

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション､演習の進め方と評価方法の説明、 教育実習の振り返りー教育実習全体の課題整理	予習：積極的な討議参加するため教育実習の体験をまとめておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びをレポートに記入する。(1 時間)	阿 部　荒 木　高木　松田
2	教育実習を振り返る---前時にまとめた教育実習の課題について、課題解決方策についての検討	予習：教科指導での課題を整理しグループ内で発表できるようにしておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
3	自分自身の教師適性を確認する～自分の強みと課題	予習：履修カルテを確認しておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
4	自分の教師適性、課題についてまとめ、発表する（課題）	予習：成績を踏まえて、課題をまとめておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
5	自分の学習計画を立てる（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育などから自分の課題を選択）	予習：自分に必要な再学習分野を決める（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
6	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）①　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
7	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）②　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田

8	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）③　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
9	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）④　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
10	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑤　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
11	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑥　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
12	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑦　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
13	教師に求められる資質・能力について、教職経験者との意見交流①	予習：自身の教師の仕事への思い、意見をまとめておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
14	教師に求められる資質・能力について、教職経験者との意見交流②	予習：最近の学校での課題を整理しておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
15	演習のまとめ　教師として求められる資質・能力を身につけることができたかどうかについて振り返る。	予習：これまでの授業内容について課題等を整理する。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
成績評価方法と基準			割合
1　指導案作成内容，　2　実技実践への積極的態度　3　授業参加姿勢　3　教職理解			1 20%　2 30% 3 20%　4 30%

授業科目名	特別支援教育概論（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	加藤　美朗		担当教員	加藤　美朗	
科目ナンバリング	SE20BACB009	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

通常の学級にも在籍している特別な教育的ニーズを有する幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法、および特別支援教育を推進するための施策や連携のあり方等について学修する。

学修目標

１．障害のある幼児、障害特性および基本的な支援について説明できる。　２．特別支援教育の基本的理念やシステムについて説明できる。　３．障害者に対する差別の現状と課題について背景も含めて理解し、理解啓発について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．毎回の授業で課すワークシートへの記入を行うこと。　２．授業全般をとおして、より適切な自己の障害観の構築に努めること。　３．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

なし

参考書

大阪府教育センター作成冊子「大阪の支援教育（https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/9319/r6_pdf.pdf)」　上記以外にも授業中に適宜資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟１階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	特別支援教育の前提となる障害者の処遇や歴史	予習：「大阪の支援教育」をダウンロードして目をとおしておく　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
2	近年の障害者施策(ノーマライゼーションからインクルージョンへ)	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
3	特別支援教育の特徴およびシステム	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
4	知的障害あるいは自閉症のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
5	発達障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
6	肢体不自由や重複障害のある児童生徒の障害特性および自立活動	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗

7	視覚障害や聴覚障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
8	外国人やLGBTQである児童生徒について、および授業全体の振り返りと確認テスト	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：これまでの講義についてふり返る	加藤　美朗
成績評価方法と基準			割合
１．毎回提出するワークシート　２．最終授業内に行うテスト　　※評価基準：ルーブリックを提示します			１．25%　２．75%

授業科目名	総合的な学習の時間の指導法（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	福島　信也		担当教員		福島　信也	
科目ナンバリング	SE20BACB012	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

「総合的な学習の時間」について、創設された背景やその後の経過を知り、その理念や意義について理解する。　また、「総合的な学習の時間」の目標や内容を理解するとともに、下記の項目について理解を深める。　〇新学習指導要領における「総合的な学習の時間」で育てようとする資質や能力について理解する　〇横断的・総合的な学習や探究的な学習について理解する　〇指導計画の作成について理解する　「総合的な学習の時間」は、授業内容や方法は各学校の指導にゆだねられているので、創意工夫を生かした特色ある　教育活動を展開する必要がある。中学校(高等学校)の具体的な実践事例などを通して、「総合的な学習の時間」を構　想できる基礎的・基本的な知識・技能を身につけることを主眼としている。

学修目標

・総合的な学習の時間は、探究的な見方考え方を働かせて横断的・総合的な学習を通して、よりよく課題を解決する学びであることを知る。　・上記の課題解決を通して、自己の生き方を考えていくための資質能力を育成することが最終の目標であることを理解する。　・各教科等での学びを活用し、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会の課題を発見する能力を身につける。　・具体的な指導計画の作成、指導の仕方、学習活動に対する評価についての知識・技能を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)」などは、講義の中で適宜取り上げていきますが、全てを網羅することはできません。授業後は必ずプリントを読み返し、理解を深めてください。　※授業で配布したプリントは、必ずファイル(綴じ込んで保存)すること　※プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること　※授業で配布した課題プリントは、必ず提出すること

教科書

使用しない。　プリントを配布します。

参考書

〇文部科学省「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」　〇ぎょうせい 「平成 29 年改正 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間」　その他、参考になる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	「総合的な学習の時間」の導入について　～ オリエンテーション、導入された背景等について ～　【プリント以外で配布するもの】　・中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
2	育成する資質・能力の意義について　～ 意義・学力の関係など ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
3	教育課程と校内体制　その 1　～ 教育課程における位置づけ ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
4	教育課程と校内体制　その 2　～ 「総合的な学習の時間」の学習内容 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也

5	全体計画・年間計画・単元計画　～ 指導計画の基本的な考え方 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
6	「総合的な学習の時間」の評価　～ 評価のポイント・評価方法 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
7	「総合的な学習の時間」の学習指導 ①　～『思考ツール』の活用　～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
8	「総合的な学習の時間」の学習指導 ②　～【情報の収集】【まとめ・表現】について ～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
9	「総合的な学習の時間」の学習指導 ③　～「保健体育」や「道徳」と組み合わせて考える ～	プリント復習(1 時間)　事例集を読む(1 時間)	福島信也
10	単元計画の作成①　～ 事例から単元計画を作成しよう ～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
11	単元計画の作成②　～ 作成を工夫する(検討会)　～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)　課題プリント（1 時間）	福島信也
12	持続可能な世界を創るために　～ 発表会① ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
13	持続可能な世界を創るために　～ 発表会② ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
14	持続可能な世界を創るために　～ 発表会③ ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
15	これからの「総合的な学習の時間」の授業づくり　～ 森ノ宮中学校の総合学習を考えよう ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●12～14 回の発表会で、全員が提出したレポートの内容を【まとめ・表現】として発表します　●授業では、課題（プリント・コメントシート等）を提出します			●レポート：20%～25%　●発表：20%～25%　●授業内課題：50%～60%

授業科目名	生徒指導・進路指導論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	杉山　雅		担当教員	杉山　雅		
科目ナンバリング	SE20BACB015	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

現代社会を生きる子ども達の心身の健全な発達について、ＨＲ指導や個別指導を中心に生徒指導の観点から考察します。子どもの権利条約と生徒指導の基本原理を学び、厳罰主義をのりこえ、生徒の自主性を伸ばす指導法を身につけることができます。又、教育現場での具体的な教育実践を取り上げ、生徒指導の実践的な指導力を身につけることができます。

学修目標

・思春期を生きる子どもたちの発達の課題を理解し、自立への過程を理解できる。　・体罰や不適切な指導をのり越え、生徒の心に響くしなやかな指導の在り方を身につけることができる。　・生徒への個別接近の方法を学び、生徒の内面を理解し、共感的な指導法を身につけることができる。　・問題行動への取り組み方と専門機関との連携の仕方を理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

復習に力を入れてください。受講後、授業で配布された資料を読みなおし、資料の中の設問をしっかり理解してください。授業のテーマと関連のある資料に目を通し、さらに理解を深めてください。　又、日常的に教育問題や教育事件に関わるニュースに目を通し、自分の意見をまとめてみてください。

教科書

毎回、授業テーマに基づいたレジュメや資料を配布します。又、ニュース等で流れた最近の生徒指導にまつわる事件や諸問題を取り上げますので、自分なりに分析し、考察しておいて下さい。

参考書

「教師の仕事を考える」杉山雅　2012 年　学文社　その他、必要に応じて資料を配布します。

研究室／オフィスアワー

講義のある日に講師控室へ来てください。　緊急の場合は、mack-.sugiyama@nifty.com　へ連絡ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生徒指導とは何か。子どもの権利条約に保障された子どもの人権を尊重し、その精神を生かした生徒指導法を学ぶ。　子どもを理解するためには、子どもの目線に立って考えてみることが大切です。　18 才成人の成立や体罰全面禁止などの法改正と生徒指導の関わりについても考察します。	予習と復習	杉山
2	体罰とは何か。その定義を学び、体罰を克服する指導のあり方を身につける。　体罰を受けると子どもの内面にどのような影響があるのかを学ぶ。そのために、生徒の内面を理解し自主性を伸ばす指導法を学ぶ。	予習と復習	杉山
3	部活動と体罰を考える　明治の近代教育の成立以来、一貫して法律では体罰が禁止されているのに、なぜ、部活動で体罰が絶えないのだろうか？暴力の否定と科学的な指導法を打ち立てた近代スポーツの精神について学び、部活動のあり方を検討します。　近年、体罰やしごきをのりこえた指導が成果を挙げています。「マジック・レシオ」や「ペップ・トーク」など、新しい指導の実践例も紹介します。	予習：復習	杉山
4	遅刻や清掃指導を通してクラス討論を軸に、日常の生活習慣の指導方法を学びます。　そのために	予習と復習	杉山

	班活動を中心にリーダーを育て、自主的な取り組みを育てる方法を学びます。		
5	文化祭等の行事とクラスづくりの指導のあり方を学ぶ。　球技大会や文化祭などの行事を通じて、生徒の自主活動の育成を図る。　組体操の危険性等、学校事故の観点からも行事を見直し、事故を予防する力を高める。　又、どのようにして行事の目標を達成するのか。様々な教育実践から学びます。	予習：復習	杉山
6	登校拒否・不登校の概念と、その変遷について考察します。登校拒否は病気ではありません。思春期における登校拒否の意味を考察します。　『不登校は、どの子にも起こる現象である』という見解に基づいて、不登校・登校拒否の原因を考察します。　中一ギャップの問題や、国連『子どもの権利委員会』の勧告など、様々な観点から不登校・登校拒否の問題を考察します。	予習と復習	杉山
7	不登校・登校拒否の児童・生徒への対応の仕方や、専門機関との連携の方法について考察します。不登校・登校拒否からの立ち上がりの 4 つの段階を理解し、適切な対応をすれば、不登校に悩む児童・生徒は必ず立ち上がります。　具体的な実践を参考に、その教訓を学びます。	予習：ミニレポート『登校拒否の教育実践の評価』	杉山
8	なぜ、いじめをするのか？いじめの原因について考察します。　いじめの定義、いじめの 3 つのピークなど、日本における「いじめ問題の経過」について学ぶ。　いじめ「「四層構造論」に基づいて、いじめが起こるメカニズムを考察する。	予習と復習	杉山
9	いじめ問題を克服する筋道を学びます。　いじめの『六層構造論』を学び、共感者という概念を中心に、いじめを克服する取り組みについて考察します。　いじめを克服した優れた教育実践（小・中・高）を取り上げ、その教訓を学びます。	予習と復習	杉山
10	児童虐待について考察します。　児童虐待とは何か。その定義、現状について学ぶ。	予習と復習	杉山
11	児童虐待について、その取り組み方について学ぶ。　児童虐待について、校内体制や専門家との連携の仕方について考察します。　児童虐待に取り組んだ教育実践を読み、そこから教訓を学びます。	予習と復習	杉山
12	DV とデート DV について学ぶ。　DV が起こるメカニズムを考察し、その対応の仕方について学ぶ。	予習と復習	杉山
13	子どもの貧困問題を考察する。　先進国における子どもの貧困の現れ方の特徴は何か。　子どもがどのような状態にあれば、貧困といえるのだろう？子どもの貧困の定義を考える。　子どもの貧困問題に取り組む教育実践について学ぶ。	予習と復習	杉山
14	見えない貧困問題と進路保障の問題を考える。進路問題に悩むヤングケアラーの問題を考察する。	予習と復習	杉山
15	全体のまとめ、および筆記試験。	予習と復習	杉山
成績評価方法と基準			割合
定期試験（筆記）　　ミニレポート（筆記）			定期試験　７０％　ミニレポート　３０％

授業科目名	ICT 活用の理論と実践（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング		科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

ICT 活用の理論と実践では、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方並びに児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

学修目標

１．情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。　２．情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。　３．生徒に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教育実習に向けて学校現場での ICT の活用について知っておこう。

教科書

適宜指示する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４F　第 11 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ICT 活用の理論と実践のオリエンテーション	自身の ICT スキル、学校での活用経験などを確認しておく。	阿部
2	ICT 教育の現状 : 学校現場への導入と活用の現状	学校現場における現状の活用状況についてまとめる。	阿部
3	ICT 教育の理論:ICT 機器活用による効果(個別最適化・プログラミング)	各校種における ICT 教育の基礎理論についてまとめる	阿部
4	ICT 教育の理論 : 情報共有の利点と活用に必要な情報モラル	教育すべき情報モラルについてまとめる。	阿部阿部
5	ICT 教育の理論 : 情報セキュリティの保障について	学校で必要となるセキュリティについてまとめる。	阿部
6	ICT 教育の実践 : 学習指導と校務システム（教科学習・カリキュラムマネジメント）	ICT 活用事例を検索し、その特徴をまとめる（課題）	阿部
7	ICT 教育の実践 : e ポートフォリオの活用（個別指導支援計画・学習成果履歴管理）	e ポートフォリオ活用の利点、効果をまとめる。	阿部（AT 依頼）
8	ICT 教育の可能性 : ICT を活用した学習環境デザイン	ICT を活用した未来の教室、学校のデザインを考える（課題）	阿部

成績評価方法と基準	割合
① ICT 活用の環境デザインについてのレポート　② ICT を活用した指導案と模擬授業　③ ICT 教育の理論と実践のまとめレポート　④ 各授業における振り返り　によって、総合的に判断する。	①20% ②30%　③20% ④30%

授業科目名	教育行政学（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	松田　智子		担当教員		松田　智子／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACB007	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期		曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

教育行政とは、「国や地方公共団体の自治体が、教育政策を実現するため、教育法規を基礎に教育制度を運営し、教育条件の整備と教育活動の規制・助成を行うこと」である。　教育行政学に関して、受講者がこれまでの学校教育の中で経験した教育行政の一端を振り返り、現状の学校での法的な課題等を理解する。　教育行政施策に関するマスコミ報道等を手掛かりとしながら、日本の教育行政の現状と今後の課題について把握し、法律を教職生活に有効に活用できるようにする。

学修目標

１．現代の学校教育について制度的事項について基本的な知識を身につける　２．教育行政を巡る今日的な課題について理解することができる。　３．学校と地域との連携に関する課題や今後の在り方を理解する。　４．学校安全への対応に関する基本的知識を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーナーになること。　２．限られた時間内で一定程度の文章を書く習慣を身に付けること。　３．問題意識を持って受講すること。　４．授業中の携帯電話等の使用はしないこと。

教科書

「人間教育を実践する教師への道―教師の仕事と教育行政―」　阿部秀高著　　株式会社 ERP

参考書

必要に応じて紹介する。

研究室／オフィスアワー

事前にメールで連絡を取り、来室すること。随時受け付ける。　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　「教育行政学」の学びのアウトラインを知る	予習：シラバス・教科書の確認（2 時間） 復習：授業をもとに今後の学修方法を確認する（2 時間）	松田　智子
2	公教育の原理と思想について学ぶ　公教育の概念や公教育の原理について､憲法と教育基本法を中心に学ぶ	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：三原則の具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
3	教育基本法と憲法の関係性を理解する。　日本の法体系の基本を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：憲法・教育基本法・(2 時間)	松田　智子
4	教育基本法を根底とした学校教育法を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめ、ミニテストの学習をする。(2 時間)	松田　智子
5	学校教育法と学校教育法施行規則を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：法律と政令と規則と条例の関係についてまとめる 400 字（2 時間）	松田　智子
6	教育職員免許法と同法施行規則を理解する。　教員養成法の歴史的な流れと､今後に期待されていることを理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：現在の教員制度の課題を３つまとめる(2 時間)	松田　智子
7	地方教育行政の組織及び運営に関する法律について理解する　地方教育行政の役割と教育委員会の制度について理解する。　学校教育法から地方教育委員会の条例への連続性について把握する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：教育委員会の法的な業務が、自分の学校生活にどのように関係をしていたかを振り返る（2 時間）	松田　智子

8	教育課程行政　教育課程に関する法制度と教科書採択等について理解する　義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律を理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：義務教育諸学校の教科用図書の無償措置の 5 条について具体例を調べる（2 時間）	松田　智子
9	教育財政と学校財務　教育費の基本原理や教職員にかかる経費について学ぶ　学校における財政を具体的に把握して、教育財政を身近なものと理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
10	学校保健安全法と同法施行規則を理解する。 防犯・安全対策及び学校事故への安全対策と災害に対する備えについて学ぶ　学校事故の現状を理解し、過去の判例から具体的に教員の安全義務の責務を知る　感染症等の対応や健康診断の位置づけを理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校保健安全について、国と都道府県と市町村と学校の義務と責任について整理する。	松田　智子
11	地方公務員法について理解する　公立学校の教師としての禁止事項、制限事項、義務等について理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：過去の具体的な教師の問題行動を調べ、地方公務員法と照らし合わせる（2 時間）	松田　智子
12	教育公務員特例法について理解する　公務員である教員と一般公務員との違いを理解する。	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学修内容を４００字程度でまとめる（2 時間）	松田　智子
13	いじめ防止対策法について理解する　いじめ問題への対応及び学校における衛生・健康管理について、法的な根拠を明確にして学ぶ　いじめの 4 層構造と学級構造の関係を理解し、過去の判例から具体的に教員の責務を知る	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：実際の事例から、いじめ防止対策法の成果と限界について調べる（2 時間）	松田　智子
14	労働基準法について理解する　社会人の一員として働く基本の法律を理解する	予習：教科書を読んでおく（2 時間）　復習：学校の教員の働き方改革と労働基準法との関係を調べる(2 時間)	松田　智子
15	課題レポート　講義全体を振り返り、学修状況を確認する。	予習：講義内容の振り返りをしておく（2 時間）　復習：振り返りのミニレポートを書く 8000 字（2 時間）	松田　智子
成績評価方法と基準			割合
１．授業中記録した学びの履歴シート【５０％】　２．最終回の課題レポート【３０％】　３．授業での発言、主体的な学びの姿勢【２０％】			１．５０％ ２．３０％ ３．２０％

授業科目名	教育心理学（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACB008	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 6 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育心理学は心理学で得られた知見を教育現場に応用する科学である。学校教育を考える上で、教育心理学に関するさまざまな知識や技術を習得し、それらを利用しながら教育に関わる現象を分析的に捉えることは重要である。また、近年、「不登校」「いじめ」「学級崩壊」「学習障害」といった学校をめぐる出来事が社会問題化してきている。この授業では、教育心理学の基本的知識を正確に理解し、実際の教育現場をイメージしながら考える基礎を養うことを主な目的としている。

学修目標

(1) 乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達及び発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得している。 (2) 主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方などについて、発達の特徴と関連づけて理解している (3) 教育における心理学の意義を理解し、具体的な問題解決を志向する態度を身につけている。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業前に配布する資料を熟読して授業に備えること。授業後には講義内容を復習し、次回授業冒頭の小テストに備えること。小テストは自己採点して、答えられなかった部分については、前回資料をよく復習して、知識を確実なものにしておくこと。

教科書

なし

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	発達と教育①　－乳幼児期～幼児期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
2	発達と教育②　－学童期～思春期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
3	発達と教育③　－青年期－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
4	記憶のしくみを知る　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
5	記憶に残る教授法を考える　－認知心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
6	学習のしくみを知る　－学習心理学－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
7	行動のしくみを知る　－応用行動分析－	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テス	高木

		トを見直して知識を確認すること	
8	「やる気」の心理学　ー動機づけ心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
9	授業に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
10	評価の心理的影響を知る	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
11	性格の把握と学べる集団作りを知る　ー性格心理学・社会心理学―	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
12	発達障害への対応を知る　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
13	児童生徒に見られる心の問題　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
14	教師の専門性とカウンセリングマインド　ー臨床心理学ー	＜予習・復習 各2時間＞　予習として配布資料を熟読すること、復習として小テストを見直して知識を確認すること	高木
15	個別指導に必要な心理学的知識に関するまとめ	＜予習・復習 各2時間＞　予習としてまとめテストに備えること、復習としてまとめテストの誤答を見直して知識を確認すること	高木
成績評価方法と基準			割合
①毎回の講義で実施される、グループワークによる課題　②毎回の講義で個人で作成する、講義内容に関するリフレクションシート　③期末テスト			①25%　②25%　③50%

授業科目名	教育課程論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	河原　和之		担当教員	河原　和之		
科目ナンバリング	SE20BACB010	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

教育課程とは、カリキュラム（Curriculum）の訳語であり、学校における教育計画の全体像といってよい。この時間は、日本における教育課程の編成と具体的事例について提案し議論する

学修目標

日本における教育課程をめぐる現実の問題と課題、そして具体例について習得する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ネット情報や新聞をよく読むとともに、メディアの報道にも日常的に注意を払いながら、日本における現実の教育問題について把握するように努力してほしい。

教科書

なし。授業時に資料やワークシートを用意する。

参考書

授業中において適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業時に連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認(30)　復習：学習の心構えや受講注意　アイスブレーキング(30)	河原
2	教育課程の歩み	予習：学習指導要領の歴史の概略を知る(45)復習：学習指導要領変化の要因を確認(15)	河原
3	教育課程と学習観	予習：系統主義か問題解決学習か(45)　復習：テーマによる学習方法の違いを確認(15)	河原
4	教育課程と学習指導要領	予習：部活動の位置づけや変化など(10)復習：上記について自分の意見を書く(60)	河原
5	主体的、対話的な深い学び１	予習：学習指導要領を読む(30)　復習：授業を受けポイントをまとめる(45)	河原
6	主体的、対話的な深い学び２	予習：河原　ＮＨＫわくわく授業の分析(60)　復習：河原授業の成果と課題の整理(15)	河原
7	主体的、対話的な深い学び３	予習：実践事例を書く(60)　復習：分析をまとめる(20)	河原
8	主体的、対話的な深い学び４	予習：学生による実践事例を読む　(30)復習：分析をまとめる(30)	河原
9	キーコンピテンシー１	予習：コミュニケーション力を中心に予習(15)　復習：授業時のワークショップを整理(45)	河原
10	キーコンピテンシー２	予習：ディベート力を中心に予習(30)　復習：授業時のワークショップを整理(30)	河原
11	キーコンピテンシー３	予習:発表力を中心に予習(15)　復習:他者のプレゼンの成否について整理(45)	河原

12	キーコンピテンシー４	予習：企画・参画力を中心に(15)　復習：企画・参画型の事例を開発(60)	河原
13	キーコンピテンシー５	予習：学校行事の具体例の調べる(30)　復習：学校行事の意義についてまとめる(45)	河原
14	キーコンピテンシー６	予習：総合的な学習の意義と具体的事例(45)　復習：総合的な学習の事例の分析(45)	河原
15	講義全体のまとめと振り返り	予習：授業から学んだことの整理（15）　復習：　まとめの感想を書く(60)	河原
成績評価方法と基準			割合
１　レポート　授業指導案、総合的な学習、各種行事など　２　プレゼン　授業、各種発表など　３　最終レポート「授業をうけて学んだこと考えたこと」　４　授業への姿勢　　詳細は、授業中に説明する			１　３０％ ２　３０％ ３　２０％ ４　２０％

授業科目名	保健体育科教育法Ⅰ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC001	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

・学習指導要領の歴史的変遷を学び、その時代に求められてきた保健体育科教育を取り巻く実情を理解する。　・保健体育科教育に求められる安全でかつ運動に親しむ能力を高め、心身の健康の増進を図り、体力の向上をめざした理論を学ぶ。　・学習指導要領に示された各運動領域における特性やねらいを実際の教育現場で活用できるよう単元計画及び学習指導案を作成し，模擬授業において実践する。

学修目標

① 学習指導要領における高等学校の科目体育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 高等学校の科目体育の学習評価の考え方を理解している。 ④ 高等学校の科目体育の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・教員免許取得のための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・高等学校保健体育科教諭一種（中学校保健体育科教諭一種）の資格取得をめざすための授業です。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

高等学校学習指導要領　中学校学習指導要領　その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学習指導要領及びその解説の内容把握及び授業計画立案能力、学習指導案作成能力の育成	予習：学習指導要領解説保健体育編・体育編　第 1 章総説　第 1 節改定の経緯及び基本方針（P1～P5）の通読　復習：保健体育科の目標、科目体育の目標の確認	酒井　智　荒木寛巳
2	学習指導要領の歴史的変遷「改定の経緯及び基本方針」	予習：教科書　①学習指導要領の解説（P6～P12）の通読　復習：心と身体の一体化について、論じられるようにしておく	酒井　智　荒木寛巳
3	学習指導要領の特性「保健体育科改訂の趣旨及び要点」	予習：学習指導要領　第 1 章総説　第 2 節保健体育科改定の趣旨及び要点の 1.2（P6～P12）の通読　復習：学習指導要領改訂の基本的な考え方（三本柱）について、確認する。	酒井　智　荒木寛巳
4	学習指導要領「保健体育科の目標及び内容」	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　第 2 節各科目の目標及び内容「体育」(P28～32）の通読　復習：　科目体育の目標を確認しておく	酒井　智　荒木寛巳

5	保健体育科教育の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　第2章保健体育科の目標及び内容　第2節各科目の目標及び内容「体育」　の通読（P33～41）　復習：アクティブラーニングについて確認する。	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り(体つくり運動:実生活に生かす運動の計画)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（器械運動：マット運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（陸上競技：走運動、短距離走）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（陸上競技：跳運動、走り幅跳び）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（球技：ゴール型、バスケットボール）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（球技：ネット型、バレーボール）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施、運動領域の特性とねらい、教材作り（ダンス）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業実施　　体育理論　　内容確認と教材づくり	予習：学習指導要領保健体育編　P176～ｐ186 通読　復習:リフレクションペーパーでの学修内容確認	酒井　智　荒木寛巳
14	保健体育科教員に求められる資質と能力	予習：保健体育科教員に求められる資質と能力について考えを求めておく　復習：教員について、資質や適性について確認する	酒井　智　荒木寛巳
15	高等学校科目体育の講義全体のまとめ	予習:リフレクションペーパー整理　復習:科目体育の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①　授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②　学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの作成　③　課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①　20%　②　50%　③　30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅱ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC002	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

・高等学校における保健体育科教育の学習内容を理解したうえで，高等学校での科目保健の内容を理解するとともに、科目の単元計画や学習指導案を立案する。また，立案した学習指導案にそって模擬授業を行う。　・保健体育科教育法Ⅰで学習している知識や技能関連付けて総合的、実践的に理解を深める。また、発達段階に応じた校種の連携を考慮しつつ、高等学校における科目保健の授業に求められる心身ともに安全で健康的な生活を送るための理論と実践を学び、科目保健の各単元におけるねらいを実際の教育現場で活用できる方法を考える。

学修目標

① 学習指導要領における高等学校の科目保健の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 高等学校の科目保健の学習評価の考え方を理解している。 ④ 高等学校の科目保健の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・教員免許取得のための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・高等学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。授業準備に特に時間をかけて臨んでください。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

・高等学校学習指導要領　・中学校学習指導要領　・高橋健夫ほか　「体育科教育学入門」　大修館書店　・その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学習指導要領の主旨と法的根拠	予習：学習指導要領　保健体育編　解説 P1～P16 を読んでおく　復習：本時の授業の振り返りをしておく	酒井　智　荒木寛巳
2	科目保健の目標と教材研究の実際	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P197～198）の通読　復習：「健康」についての理解を深めておく	酒井　智　荒木寛巳
3	科目保健の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　第 2 章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P137～140）の通読　復習：改訂後新しく単元として入った内容について、理解しておく	酒井　智　荒木寛巳

4	科目保健の指導案作成と教材作り	予習：学習指導要領　第2章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P137～140）及び解説（P16～18）の通読　復習：本時の学修内容の振り返りを行う	酒井　智　荒木寛巳
5	健康と安全､健康についての課題の学修を深める	予習：学習指導要領　解説第2章保健体育科の目標及び内容　科目保健（P198～215）の通読　復習：本時の学修内容の振り返りを行う	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施とリフレクション(現代社会と健康「現代の感染症とその予防」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施とリフレクション(現代社会と健康「精神疾患の予防と回復」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施とリフレクション(安全な社会生活「応急手当」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施とリフレクション(生涯を通じる健康「生涯の各段階における健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施とリフレクション(生涯を通じる健康「労働と健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施とリフレクション(健康を支える環境づくり「食品と健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施とリフレクション(安全な社会生活「安全な社会づくり」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施とリフレクション(現代社会と健康「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションでの内容確認	酒井　智　荒木寛巳
14	情報機器を用いた指導案の作成	予習：体育の授業で活用可能なICT教育について調べておく　復習：ナレーションを入れた教授用資料を作る	酒井　智　荒木寛巳
15	高等学校科目保健の講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：科目保健の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの記入・活用　③課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅲ(教職課程:鍼灸)				
主担当教員	荒木 寛巳		担当教員	荒木 寛巳／酒井 智	
科目ナンバリング	SE20BACC003	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

・学習指導要領の歴史的変遷を学び、その時代に求められてきた保健体育科教育を取り巻く実情を理解する。 ・保健体育科教育に求められる安全でかつ運動に親しむ能力を高め、心身の健康の増進を図り、体力の向上をめざした理論を学ぶ。 ・学習指導要領に示された各運動領域における特性やねらいを実際の教育現場で活用できるよう単元計画及び学習指導案を作成し，模擬授業において実践する。

学修目標

① 学習指導要領における中学校の科目体育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③ 中学校の科目体育の学習評価の考え方を理解している。 ④ 中学校の科目体育の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・中学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。 ・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示） 解説 保健体育編」 東山書房 ・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示） 解説 保健体育編・体育編」 東山書房 ・「現代高等 保健体育」 （保体 701）大修館書店 ・「最新中学校 保健体育」（保体 050-72） R7 新刊 大修館書店 ・ステップアップ高校スポーツ 大修館書店 ・ステップアップ中学体育 大修館書店 保健体育科教育法ⅠからⅣで共通して使用します。

参考書

・高等学校学習指導要領 ・中学校学習指導要領 ・高橋健夫ほか 「体育科教育学入門」 大修館書店，2013 その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階 研究室９ 火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	中学校学習指導要領及び中学校学習指導要領解説 保健体育科編の学修 （学習指導要領の変遷や解説の総説への理解）	予習：中学校学習指導要領、学習指導要領解説の P1～P5 の通読 復習：学修した内容の振り返りをする	酒井 智 荒木寛巳
2	中学校学習指導要領解説 保健体育科編の内容の学修 現代の中学生の現状理解	予習：中学校学習指導要領解説 保健体育科編の内容を通読する 復習：新しい学力観について、論じられるようにしておく	酒井 智 荒木寛巳
3	中学校学習指導要領 解説 保健体育科編における体育分野の目標についての学修	予習：中学校学習指導要領 解説 保健体育科編 第 2 章保健体育科の目標及び内容 第 1 節教科の目標及び内容（P24～P29）の通読 復習：体育分野の目標について理解を深める	酒井 智 荒木寛巳
4	中学校体育分野における授業計画及び単元計画の作成方法の学修 中学生の発育発達の理解	予習：学習指導要領 解説 保健体育科編 第 2 章保健体育科の目標及び内容 第 2 節各科目の目標及び内容 体育分野 1.2.3 年（P30～P43）の通読 復習：本時の学修の	酒井 智 荒木寛巳

		振り返りを行う	
5	体育学習における観点別評価の学修	予習：指導案の目標と評価について考察しておく　復習：評価の目的と評価の方法を振り返っておく	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施と事後検討　（体つくり運動：体ほぐし運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施と事後検討（器械運動：跳び箱運動）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施と事後検討(器械運動:鉄棒運動)	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施と事後検討（陸上競技：跳運動、走り高跳び）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施と事後検討（陸上競技：ハードル走）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施と事後検討（球技：ネット型、バドミントン）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施と事後検討（球技：ベースボール型）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施と事後検討（体育理論）	予習：体育学習指導要領解説　保健体育科編　体育理論について（P70～P75）の通読 復習:オリンピック・パラリンピックについて資料を通じ理解を深める	酒井　智　荒木寛巳
14	体育分野の教材であるスポーツのについての関連する法律や実施施策等の学修	予習:スポーツに関連した新聞、ネット記事を見ておく　復習：スポーツの文化的価値について、資料を振り返り、理解を深める	酒井　智　荒木寛巳
15	教科教育法Ⅲの講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：体育分野全般の再考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業への取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成、模擬授業の実践指導、リフレクションペーパーの記入・活用　③課題レポート（授業内容の把握、課題内容の充実等）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	保健体育科教育法Ⅳ（教職課程：鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智	
科目ナンバリング	SE20BACC004	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	

授業概要

・中学校学習指導要領における保健分野の目標、内容等を理解するとともに、校種間の連携を考慮しつつ中学校における保健分野に求められる心身ともに安全で健康的な生活を実践できるための理論と技能を学修する。　・学校現場で活用できるよう保健分野の単元計画及び学習指導案を作成し、模擬授業において実践方法を学修する。

学修目標

① 学習指導要領における中学校の科目保健の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。　② 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。　③ 中学校の科目保健の学習評価の考え方を理解している。　④ 中学校の科目保健の内容と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。　⑤ 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

・中学校保健体育科教諭一種の資格取得をめざすための授業です。積極的な姿勢で授業に取り組んでください。　・学習指導案の作成及び、それをもとにした授業実践（模擬授業）が最終目標になります。授業形態は講義になっていますが実技教科と同様と理解して受講してください。

教科書

・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）　解説　保健体育編」　東山書房　・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）　解説　保健体育編・体育編」　東山書房　・「現代高等　保健体育」　（保体 701）大修館書店　・「最新中学校　保健体育」（保体 050-72）　R7　新刊　大修館書店　・ステップアップ高校スポーツ大修館書店　・ステップアップ中学体育　大修館書店　保健体育科教育法Ⅰから Ⅳで共通して使用します。店

参考書

中学校学習指導要領　高等学校学習指導要領　日本保健教育学会　「保健科教育法入門」　大修館書店　その他、必要に応じて資料を配付します。

研究室／オフィスアワー

東館４階　研究室９　火曜日１６：２０～１７：５０

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	学習指導要領の主旨と法的根拠、学習指導要領解説　保健体育編の総則の学修	予習：中学校学習指導要領解説や保健体育科編の総説の要点を理解しておく　復習：本時の学修を振り返る	酒井　智　荒木寛巳
2	保健分野の目標、内容と校種間の連携	予習：学習指導要領解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「健康な生活と疾病予防」の読通	酒井　智　荒木寛巳
3	保健分野の内容と指導上の留意点	予習：学習指導要領　解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「心身の機能の発達と心の健康」の通読	酒井　智　荒木寛巳
4	保健分野の単元計画と学習指導案作成	予習：学習指導要領解説　保健体育科編第 2 章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書の単元「傷害の防止」の通読	酒井　智　荒木寛巳

5	健康、安全と体育との関連についての学修	予習：学習指導要領解説　保健体育科編　第2章保健体育科の目標及び内容　保健分野（P206～228）の通読　復習：教科書　単元「健康と環境」通読	酒井　智　荒木寛巳
6	模擬授業の実施と事後検討（健康な生活と疾病の予防「健康の成り立ちと疾病の発生要因」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
7	模擬授業の実施と事後検討（健康な生活と疾病の予防「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
8	模擬授業の実施と事後検討（健康な生活と疾病の予防「感染症の予防」）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
9	模擬授業の実施と事後指導（応急手当の意義と実際）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
10	模擬授業の実施とリフレクション（欲求やストレスへの対処と心の健康）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
11	模擬授業の実施とリフレクション（自然災害による傷害の防止）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
12	模擬授業の実施と事後検討（飲料水や空気の衛生管理）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
13	模擬授業の実施とリフレクション（身体機能の発達）	予習：模擬授業担当内容についての準備 復習：リフレクションペーパーへの記録	酒井　智　荒木寛巳
14	保健関係における校種間の組織の連携	予習：地域・家庭・保健所・養護教諭と保健の授業との関連について調べておく　復習：中学校と高等学校の体育、保健の関連性について考察する	酒井　智　荒木寛巳
15	教科教育法Ⅳの講義全体のまとめ	予習：リフレクションペーパーの整理　復習：授業全体の考察	酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①授業の取組状況（授業中の発表・討議の内容、積極的な授業参加等）　②学習指導案の作成　（模擬授業の実践指導、リフレクションペーパー記入・活用　③課題レポート　（授業内容の把握、課題内容の充実）			①20% ②50% ③30%

授業科目名	道徳教育論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	福島　信也		担当教員	福島　信也		
科目ナンバリング	SE20BACB011	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

本授業では、『特別の教科・道徳』の授業づくり（中学校５０分）を実践的に学びます。　2018 年度から小学校、2019 年度から中学校で特別の教科「道徳科」になり、教科書が配布されています。中学校の教育実習では、道徳科授業も　担当する学校が増えています。　また、新高等学校学習指導要領(2019.4/1～2022.3/31 移行期間.2022 年 4/1 より施行)の主な改善事項の一つに､「道徳教育の充実」が挙げられ、　全ての教師が協力して道徳教育を展開することを規定(総則)しています。　生徒たちが興味をもって深い学びを得られる授業をどうしたらできるでしょうか。　学校現場の様子(出前授業等の録画視聴もあります)も説明しながら、受講者同士の話し合い（グループ活動)、教材　や授業方法の検討、学習指導案作成、プチ模擬授業(個人またはグループ)などを通して、これらの問題を考えていきます

学修目標

※学校における道徳教育の位置づけやねらい、内容について理解する　●『中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編（平成 29 年 7 月)』 の重要事項について、答えることができる。　●「道徳とは何か」､「なぜ必要なのか」など、説明することができる。　※道徳科授業の実践に資する知識や技能を身につける　●生徒たちの道徳性の発達や興味・関心、社会的要請などを踏まえ､50 分の道徳科指導案を作成する。(全員必修)　●作成した学習指導案をもとに、プチ模擬授業(個人またはグループ)をする。(全員必修)　●道徳科授業

履修上の注意(学生へのメッセージ)

●授業で配布したプリントは、必ずファイル（綴じ込んで保存） すること。　●プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること。　●授業で配布した課題プリントは､必ず提出すること。　●教材をじっくり読み込んで(何回も)、学習指導案を作成をすること。

教科書

使用しない。プリントを配布します。

参考書

●文部科学省「中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」平成２９年７月　●授業は配布するプリントに基づいて行います。　学校現場で役立つ内容が含んでいるプリントを用意します。　プリントは実践に活かすことができるので、ファイル(綴じ込んで保存)すること。　その他、参考となる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	道徳科の素晴らしさ　～ オリエンテーション・出前授業の様子 ～　【プリント以外で配布するもの】　・学習指導要領解説(特別の教科 道徳編)　・道徳教材集(冊子)	「道徳教材集」読む(2 時間)	福島信也
2	道徳科授業を知る（１）　～ 流れを知る！導入・展開・終末 ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)	福島信也
3	道徳科授業を知る（２）　～ 展開・板書について ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)	福島信也
4	「特別の教科 道徳」の改訂のポイント　～ 教科化になった理由など ～	プリント復習(0.5 時間)　「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間)　「道	福島信也

		徳教材集」読む(1 時間)	
5	道徳科授業の指導法 （1） ～ 指導案作成のポイント ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間)	福島信也
6	道徳科授業の指導法（2） ～ 評価･中心発問について ～	プリント復習(0.5 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1.5 時間) 「道徳教材集」を読み、教材分析(1 時間)	福島信也
7	道徳科授業の指導法（3） ～ 発問の工夫･教材分析について ～	プリント復習(0.5 時間) 課題プリント(1 時間) 「道徳教材集」を読み、教材分析(1 時間)	福島信也
8	道徳科授業の指導法 （4） ～ 多様な手法を使って、多面的・多角的な思考を促す ～ ・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習(1 時間) 課題プリント(1 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間)	福島信也
9	道徳科授業の指導法 （5） ～ 問題解決的な学習・体験的な学習について ～	プリント復習(1 時間) 指導案作成(1 時間) 「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間)	福島信也
10	道徳科授業の指導法（6） ～「総合学習」と関連させた授業(展開)について ～ ・出前授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
11	道徳科授業の指導法 （7） ～ 指導案をチェックして、指導案作成に役立てる ～ ・研究授業の録画視聴(一部)	プリント復習、「中学校学習指導要領解説 道徳編」読む(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
12	道徳科授業の指導法 （8） ～ 指導案をグループで高め合う､授業のトラブル＆ピンチについて ～ ・プチ模擬授業準備 ・指導案提出	プリント復習､模擬授業準備(1 時間) 指導案作成(2 時間)	福島信也
13	プチ模擬授業(個人またはグループ)（1） ～ みんなで討議 ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1.5 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
14	プチ模擬授業(個人またはグループ)（2） ～ みんなで討議 ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1.5 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
15	プチ模擬授業(個人またはグループ)（3） ～ みんなで討議、まとめ(理想の道徳科授業) ～ ・評価表提出	プリント復習、模擬授業の準備(1 時間) 「道徳教材集」読む(1 時間) 模擬授業の評価・自己評価	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●プチ模擬授業は全員が行います。 ●学習指導案は全員が提出します。(学習指導案は、コメント等を記載してから返却します) ●授業では、課題（プリント・学びのプロセス 等）を提出します。(課題プリントは、コメント等を記載してから返却します)			●プチ模擬授業(個人またはグループ)：20～25% ●道徳指導案 ：20～25% ●授業内課題 ：50～60%

授業科目名	特別活動論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	天野　義美		担当教員	天野　義美		
科目ナンバリング	SE20BACB013	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

①「人間形成の重要な部分を特別活動が担う」という視点から、特別活動の特質や意義、活動内容、指導方法などについて考察する。　②一方的な講義に終始するのではなく、話し合いや担当者自身の教育実践の紹介を織り交ぜながら、特別活動の大切さを共に追究する。　③本授業では、特別活動の理論と指導法について、概論（第１回）→総論（第２～４回）→各論（第５～８回）→細論（第９～１４回）→まとめ（第１５回）で展開し、それぞれの理解を図ったうえで、最後にレポートの提出を課す。

学修目標

①本授業に積極的に参加し、特別活動に関する基礎的な知識を修得できるようにする。　②授業内容を踏まえて、特別活動の教育的意義について自己の考えを確立できるようにする。　③教育の今日的課題の解決に向けて、特別活動の果たすべき役割を理解できるようにする。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①中高生の現状や課題に関心を持ち、その原因と対策、解決への道筋などを教育課題として、主体的に授業に臨むこと。②「為すことによって学ぶ」という特別活動の方法原理に基づいて、授業中のグループワークや演習にも、自主的、実践的に参加すること。　③授業での配布資料として、「PowerPoint のスライド画面」と「復習用補助説明」を提供するので、それを活用して学修内容の定着に努めること。　④資料の末尾に【本日の課題】を提示しているので、授業日を含めた 3 日以内に、添付の課題回答用紙を用いて MORIPA で提出すること。　⑤授業中のスマホ使用は認めない。（減点の対象になる場合もあるので厳守のこと）

教科書

なし（講義の中で資料を配布する）

参考書

「やさしく学ぶ特別活動」　赤坂雅裕他（ミネルヴァ書房）　「中学校学習指導要領解説　特別活動編」　　文部科学省（ぎょうせい）　「高等学校学習指導要領解説　特別活動編」　文部科学省（海文堂出版）　「学級・学校文化を創る特別活動　中学校編」　　国立教育政策研究所（東京書籍）

研究室／オフィスアワー

授業終了後、教室内及び講師控室で質問を受ける。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	特別活動の概要　　・特別活動とは何か？　　・学校教育での位置付け	予習：学校教育における特別活動とは何か。(90 分)　復習：教育課程に位置付いている特別活動の内容を確認する。(90 分)　課題：第１回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
2	特別活動の特質　　・子どもの現状と課題　　・特質と方法原理	予習：教育の課題解決に向けて、特別活動が果たす役割とは何か。(90 分)　復習：特別活動の特質、方法原理を確認する。(90 分)　課題：第２回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野

3	特別活動の変遷　・歴史的な歩み　・今回の学習指導要領の改訂	予習：特別活動の歩みと指導要領との関連はどうなっているのか。(90 分)　復習：特別活動の変遷と、今回の学習指導要領の改訂の主旨を理解する。(90 分)　課題：第３回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
4	特別活動の目標と内容　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　・校種間の関連	予習：小・中・高の特別活動の目標、教育的意義、内容とは何か。(90 分)　復習：特別活動の目標・意義・内容について確認する。(90 分)　課題：第４回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
5	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　・展開事例	予習：学級活動の目標、及び、それを達成するための内容にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：学級活動の目標・意義・内容について理解する。(90 分)　課題：第５回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
6	生徒会活動の目標と内容　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　・展開事例	予習：生徒会活動の目標、及び、それを達成するための内容にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：生徒会活動の目標・意義・内容について理解する。(90 分)　課題：第６回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
7	学校行事の目標と内容①　・目標と教育的意義　・内容とその取扱い　〇儀式的行事　〇文化的行事	予習：学校行事の目標、及び、それを達成するための内容（儀式的行事、文化的行事）にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：学校行事の目標・意義・内容について理解する。(90 分)　課題：第７回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
8	学校行事の目標と内容②　・内容とその取扱い　〇健康安全・体育的行事　〇旅行・集団宿泊的行事　〇勤労生産・奉仕的行事　・展開事例	予習：学校行事の目標、及び、それを達成するための内容（健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事）にはどのようなものがあるのか。(90 分)　復習：学校教育における学校行事の果たす役割について整理する。(90 分)　課題：第８回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
9	特別活動の指導計画　・全体計画　・３内容の相互関連　・年間指導計画	予習：特別活動を効果的に展開するための指導計画はどのようになっているのか。(90 分)　復習：特別活動の全体計画、並びに、それぞれの年間指導計画を理解する。(90 分)　課題：第９回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
10	特別活動と他の教育活動との関連　・各教科との関連　・道徳科との関連　・総合的な学習の時間との関連	予習：特別活動と、教育課程に位置付く他の教育活動との相互関係はどうなっているか。(90 分)　復習：各教科・道徳科・総合的な学習の時間との教育的な関連を整理する。(90 分)　課題：第１０回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
11	特別活動と学校・学年・学級経営　・人間関係の形成　・社会性の育成（社会参画）　・生徒指導の充実（自己実現）	予習：円滑な学級経営を図る上で、特別活動が果たす役割や機能をどう捉えるべきか。(90 分)　復習：学校・学年・学級経営にお	天野

		ける特別活動の役割や重要性を理解する。（90 分） 課題:第１１回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	
12	特別活動の指導実践ー学級活動の⑴【学級や学校における生活づくりへの参画】を中心にー ・指導の実際 ・事前―本時ー事後の流れ ・学習指導案の作成	予習：学習指導案の一般的な形式・書式、書き方、内容はどのようになっているのか。（90 分） 復習：学級活動の活動過程と、一時間の学習指導案の要点を把握する。（90 分） 課題：第１２回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
13	特別活動の評価 ・学力の捉え方 ・特別活動で育つ力 ・評価の実際	予習：評価の持つ意味と、特別活動の評価のあり方とは何か。（90 分） 復習：生徒のよさを積極的に認めて評価することの意義を理解する。（90 分） 課題：第１３回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
14	特別活動をめぐる諸問題 ・理解の深化 ・学校力・教師力 ・活動時間の確保	予習：特別活動の充実を図るために、学校や教師に必要なこととは何か。（90 分） 復習：特別活動の活動時間の確保について、考察する。（90 分） 課題：第１４回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
15	これからの学校教育と特別活動、講義のまとめ ・課題と展望 ・特別活動に求められるもの ・キーワードでの振り返り ・全体のまとめ	予習：これからの学校教育の中で、特別活動に期待されることとは何か。授業で出てきたキーワードをもとに、特別活動論の講義を振り返る。（90 分） 復習：特別活動に関する知識・理解を確実なものにする。（90 分） 課題：第１５回復習用補助説明を読んでの感想と、【本日の課題】の回答を授業日を含めた３日以内に MORIPA で提出する。	天野
成績評価方法と基準			割合
①レポート（DP④に対応）、課題等の提出物（DP④に対応）、授業参加度・授業態度により、総合的に評価する。 ・注：授業中のスマホ使用は厳禁。声掛けに従わない場合は、減点の対象とする。 ②全授業回数の３分の１を超えて欠席している者は、評価対象外とする。（正当な理由のない遅刻・中抜け・早退は、２回で欠席１回相当とみなす。） ・例：欠席５回と遅刻または早退１回で、評価対象外となる。 ③フィードバック ・レポート：提出期限後の数週間以内に MORIPA で授業者の所見を提供するので、提出したレポート内容と比較して考えを深めること。 ・各回の課題：次の週に配布する復習用補助説明の【はじめに】の欄に、所見を記すので参考にすること。			・レポート（５０%） ・課題回答等の提出物（３０%） ・授業参加度、授業態度（２０%）

授業科目名	教育方法論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高		
科目ナンバリング	SE20BACC014	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）では、これからの社会を担う生徒に求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用しながら、授業、教育活動を行う上で必要となる基礎的な知識・技能を身に付ける。

学修目標

学校における教育課程を編成，展開する教育方法についての基礎的基本的な内容を学び，教育方法の技術の基礎を身に付けることを目標とする。あわせて，学生自身が受けてきた授業を相対化することによって，教育方法を柔軟に捉え直すことを目指す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の課題に対して自分の学びをレポートすることによって、教育方法や技術に対する理解を深め、日常生活においても活用してもらいたい。

教科書

適宜指示する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４F　第５研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育内容と教育方法　生徒に何を（教育内容）どのように（教育方法）教えるのかをその一連の過程における原理と方法を学ぶための導入を行う。	「教育方法」の意味について調べておく。学んだ教育の原理・方法を簡潔にまとめる。	阿部
2	基礎的･基本的な知識及び技能を確実に習得させるための教育方法　　学力の重要な要素の一つである基礎的･基本的な知識及び技能を育成する教育方法について学ぶ。	基礎的・基本的知識技能について学んだことをまとめる。	阿部
3	思考力・判断力・表現力等を育むための教育方法　学力の重要な要素の一つである思考力・判断力・表現力等を育成する教育方法について学ぶ。	思考力・判断力・判断力の内実、関係をまとめる。	阿部
4	主体的に学習に取り組む態度を養うための教育方法　　学力の要素の一つである主体的に学習に取り組む態度，学習意欲を高める教育方法について学ぶ。	学習意欲の喚起、主体的な学びができた場面を想起しておく。（課題）	阿部
5	個性を生かす教育の充実を図るための教育方法　個に応じた指導の充実など，現在求められている指導の工夫改善等について幅広く考える。	既有知識を確認し、授業内容を予想しておく。求められている指導の工夫改善について簡潔にまとめる。	阿部
6	生徒理解の方法と実践　　生徒理解の重要性と教育相談のあり方､人間関係の構築の方法などについて学ぶ。	生徒指導や相談について経験を想起しておく。　生徒理解の重要性について自分の考えをまとめる。	阿部
7	これからの時代に求められる資質･能力と教育方法　　学習指導要領の理念である生きる力や，求められるスキル等を育成する教育の実践について考える。	「求められる資質・能力」とは？について考えをまとめておく。これから求められる教育実践の方向性についてまとめる。	阿部
8	教育課程編成の理論と方法　　学習指導要領に基づいた，各学校における教育課程編成の実際に	教育課程の編成について学んだことをまとめる。	阿部

	ついて学ぶ。		
9	年間の指導と評価の計画の作成方法　　各学校の教育課程に基づく具体的な年間の指導と評価の計画の作成について考える。	年間指導計画作成の重要性についてまとめる	阿部
10	学習指導案の作成方法　　各学校の年間の指導と評価の計画に基づく具体的な学習指導案の作成について考える。	学習指導要領について情報を集める。学習指導案の試案について自分の考えをまとめる。(課題)	阿部
11	授業づくりと教材研究の方法　　学習指導要領において求められる各教科等の授業づくりと教材研究の在り方を考える。	教材研究の方法について学んだことをまとめる。	阿部
12	メディアと教育方法　　学習指導におけるＩＣＴ等の活用について学び、授業に活用する方法について考える。	ICT 活用授業の経験を想起しておく。これからの ICT 活用方法についてまとめる。(課題)	阿部
13	学習評価の意義と方法　　指導と評価の一体化の重要性を学びその具体的な展開について考える。	学習評価についての経験を想起しておく。指導と評価の一体化の重要性についてまとめる。	阿部
14	近年の教育問題について確認しておく。興味を持った教育時事について考えをまとめる。	タイムリーな課題　　各回で取り上げることが出来なかった話題で，タイムリーなものや現代教育の課題について学ぶ。	阿部
15	授業の総括として，これまでの学びである教育方法の習得についてふり返り、まとめる。	これまで書いた各回の振り返りをもとに自分の問題意識をレポートする準備をしておく。	阿部
成績評価方法と基準			割合
①毎回の授業にて書くレポート　②課題　③論述試験としての最終レポート　④授業中の発言・プレゼン			①30% ②30% ③30% ④10%

授業科目名	教育相談の基礎と方法（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	高木　悠哉		担当教員	高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACB016	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育相談は、児童・生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしたながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。原題社会の児童・生徒の発達の状況を理解し、個々の心理的特質や教育的課題を適切にアセスメントし、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。

学修目標

（1）学校における教育相談の意義と理論を理解できるようになる。　（2）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（アセスメント法・カウンセリング技法）を理解できるようになる。　（3）教育相談の具体的な進め方やポイント、組織的な取組や連携の必要性を説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ロールプレイ・議論等のアクティブ・ラーニングを実施しますので、積極的な参加を期待します。

教科書

文部科学省『生徒指導提要』教育図書

参考書

講義時に適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内で案内する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育相談の意義と課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
2	教育相談の定着に向けた課題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
3	教育相談に関わる心理学の基礎理論	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
4	学校教育におけるカウンセリングマインドの意義と問題	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
5	カウンセリングの技法：受容・傾聴・共感的理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及	高木

		び各自のノートを学習しておくこと。	
6	カウンセリングの基礎（1）：行動療法	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
7	カウンセリングの基礎（2）：認知行動療法とマインドフルネス	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
8	カウンセリングの基礎(3):パーソンセンタード・アプローチとブリーフ・カウンセリング	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
9	教育相談計画：チーム学校と保護者理解	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
10	教育相談の展開（1）：いじめ・不登校	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
11	教育相談の展開（２）：虐待・非行	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
12	予防的な教育相談:アセスメントとソーシャルスキル	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
13	協働としての教育相談：カウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
14	専門機関（医療・福祉・心理等）との連携	＜予習・復習各２時間＞　本時の講義内容について、講義前の予習として、テキストの該当部分を読了しておくこと。また、講義後の復習として、講義で配付した資料及び各自のノートを学習しておくこと。	高木
15	講義全体のまとめおよび確認テスト	講義全体の配布資料を確認しておくとともに、重要部分について復習をしておく。	高木
成績評価方法と基準			割合
毎回の講義で、グループワークによる課題解決型の課題を実施する。また、毎回の講義の最後に、個人ごとにリフレクションシートを作成する。講義の最後に、講義全体に対する確認テストを行う。			グループワーク課題（20%）　リフレクションシート（30%）　確認テスト（50%）

授業科目名	教育実習事前事後指導（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智／阿部　秀高／松田智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC017	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	3 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

教育実習にあたり、教育実習の意義を認識させるとともに、実習に対する基本的な心構えや指導技能を学修し、実習に対する実践力を身に付ける。　また、教育実習終了後においても、実習評価簿及び教育実習ノートに記載された内容により、改善事項を考察するとともに、事後の大学生活に活かす能力を身に付ける。

学修目標

教育実習に活用できる実践力を身に付けるとともに、事後に反省を生かす取組を進める。また、教員としての使命感、倫理観、授業展開力を養う。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

学校教育現場の具体的な場面を想定しての授業を展開するので、体験してきた中学校、高等学校生活をも参考に、生徒に具体的に指導できる方法考えておくこと。

教科書

文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編」　文部科学省「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　保健体育・体育編」

参考書

新・めざそう保健体育教師（朝日出版）

研究室／オフィスアワー

11 研究室　火曜日 13:00～14：30　　金曜日１０：４０－１４：３０　９研究室　火曜日 16：20～17：50

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	・教育実習の目的と意義　・教育実習の心構え・準備しておくべき事項　・教育実習経験者（4 年生）から話を聞く	予習：教育実習の内容について情報を収集し、準備に必要なものを調べておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部秀高　酒井　智　荒木寛巳
2	・ラジオ体操の基本技術・理論の理解　・学校における保健体育科教員の業務	予習：実技の準備体操で多用されるラジオ体操の歴史、特長等について調べておく。（1 時間）　予習：保健体育科教員の仕事内容について、調べておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。（1 時間）	酒井　智　荒木寛巳
3	授業展開方法①(体育実技種目の理解と実技力修得)	予習：。学校で指導される競技種目の特長、歴史、ルールについて理解する。実技の課題の整理しておく。((1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。体育実技の準備体操に多用されるラジオ体操の基本について理解を深める。(1 時間)	酒井　智　荒木寛巳
4	授業展開方法②(体育実技種目の理解と実技力修得)	予習：学校で指導される競技種目の特長、歴史、ルールについて理解する。実技の課題の整理しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る。(理解した基本に基づき、実践力をつけるため、繰り返し練習する) (1 時間)	酒井　智　荒木寛巳
5	授業展開方法③(体育実技種目の理解と実技力修	予習：学校現場で教材となる競技種目の特	酒井　智　荒

	得）	長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	木寛巳
6	授業展開方法④(体育実技種目の理解と実技力修得）	予習：学校現場で教材となる競技種目の特長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
7	授業展開方法⑤(体育実技種目の理解と実技力修得）	予習：学校現場で教材となる競技種目の特長、歴史、ルールについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
8	学校教育の概要と教員に求められる資質	予習：教育の現状及び教員に求められる資質について調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
9	学級活動、ホームルームの課題と展開	予習：学級活動・ホームルームについて情報を収集し、準備に必要なものを調べておく。（1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
10	特別支援教育の現状と課題	予習：特別支援教育についての情報を収集しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
11	学校体育と障がい者スポーツ	予習：障がい者スポーツについて調べておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	酒井　智　荒木寛巳
12	ＩＣＴを活用した授業実践	予習：ＩＣＴを活用した授業についての情報を収集し整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
13	学校の課題の現状と理解①	予習：学校の課題について、情報を収集し整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
14	学校の課題の現状と理解②	予習：前時に学修した内容について整理しておく。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高
15	授業のまとめと課題整理	予習：学修した教育実習受講時の要領および要点を整理し、課題解決方策のため情報を収集する。(1時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1時間）	阿部秀高 酒井　智　荒木寛巳
成績評価方法と基準			割合
①　筆記試験（競技ルール）　②　実技理解試験　③　授業への取組姿勢			60%　30%　10%

授業科目名	教育実習Ⅰ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／荒木　寛巳／酒井　智／松田智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC018	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

1　中学校で、実践的指導力のある指導教員の下での体験を通じ、教育実践の基礎基本的な能力を身に付ける。　2　教育実践に関わることを通じて、生徒理解を深め、教員になるうえでの課題を把握する。　3　教育現場で実習することにより、現場の教員の業務内容の一端を把握する。

学修目標

1　教科指導においては、保健分野、体育分野の学習指導案作成方法や生徒の実態を踏まえた指導の基礎基本（情報機器の活用方法含）について理解でき、授業ができるようになる。　2　学級担任や分掌業務等について、職務内容を実地に即して理解できるようになる。　3　生徒との積極的な関わりを通して、生徒理解を深めるとともに、生徒とのコミニュケーション方法を習得する。　4　教育実習から得られた課題について、今後の大学生活で、知識技能を中心に課題解決に努める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

専門教科の学習については、十分な準備をするとともに、生徒に対応することを念頭に、服装、態度、言葉遣いに細心の注意を払っての行動をとること。

教科書

中学校学習指導要領　中学校学習指導要領解説保健体育編　実習校での該当教科書

参考書

めざそう保健体育教師（朝日出版）

研究室／オフィスアワー

研究室１４　　火曜日　１６時３０分～１８時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育実習校でオリエンテーション　1　教育方針、校訓等について説明を聞く。　2　実習中の注意事項について説明を受ける。　3　実習の予定の確認を受ける。　4　校内の施設設備、用具について説明を受ける１	予習：実習日までに、大学で習得した知識、技能について整理し、実習に備えておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
2	中学校における教育実習の留意点及び､実習方法の説明	予習：資料アンケート調査結果で得られた不安への対処法について考察しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
3	①　中学校教員の業務についての理解　②　指導案作成	予習：学校業務について考察をしておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
4	中学校学習指導要領に従って実施されている授業の参観①	予習：学習指導要領の内容についての理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
5	中学校学習指導要領に従って実施されている授業の参観②	予習：中学校で実施されている各教科の授業について情報を収集しておく。(1 時間) 復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
6	中学校学習指導要領に従って実施されている授業の参観③	予習：中学校で実施去れている教科、特に保健体育科の授業について情報を収集しておく。(1 時間)　復習：本時の授業におけ	阿 部　荒 木 高木　松田

		る学びを振り返る（1 時間）	
7	中学校における学級活動の実習体験	予習：中学校における学級活動の内容についての情報を収集しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
8	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習①	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
9	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習②	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
10	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習③	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
11	中学校学習指導要領に従って行われている実習校の授業での指導の実習④	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
12	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習⑤	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
13	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習⑥	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
14	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習⑦	予習：実習担当分野の単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
15	中学校学習指導要領に従って行われている実習校での授業の実習（研究授業での発表）	予習：研究授業での担当単元内容について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
成績評価方法と基準			割合
1 実習校からの評価　2 教育実習ノート（日誌）の内容　評価			1　90%　2　10%

授業科目名	教育実習Ⅱ（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／荒木　寛巳／酒井　智／松田智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC019	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

１　高等学校で、実践指導力のある指導教員の下での教科等指導の体験を通じ、教育実践の基礎基本的能力を身に付ける。２　教育実践に関わることを通じて、生徒理解を深め、教員になるうえでの課題を把握する。 ３　実習校での教員の動きに触れることにより、教員の業務内容を理解する。

学修目標

１　教科指導においては、科目保健、科目体育の学習指導案作成方法や生徒の実態を踏まえた指導の基礎基本（情報機器の活用方法含）について理解し、授業の実習ができるようになる。 ２　学級担任や分掌業務等について、実習を通じ理解に努める。３　生徒との積極的な関わりを通して、生徒理解を深めるとともに、生徒とのコミニュケーション方法を習得する。 ４　教育実習から得られた課題について、実習後の大学生活を通じて積極的に課題解決に努める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教育現場での実習なので、教科指導力や生徒対応力等を向上などの準備をしておくとともに、服装、態度、言葉遣いに細心に注意した行動をとること。

教科書

高等学校学習指導要領　高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編　実習校での該当教科書

参考書

めざそう保健体育教師（朝日出版）

研究室／オフィスアワー

研究室１４　火曜日亜１６時３０分～１８時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育実習校でオリエンテーション　1　教育方針、校訓等について説明を聞く。　2　実習中の注意事項について説明を受ける。　3　実習の予定の確認を受ける。　4　校内の施設設備、用具について説明を受ける。	予習：実習日までに大学で習得した知識、技能について整理し、実習に備える。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
2	実習校における教育実習の留意点及び実習への対処の説明。	予習：学修した教育実習での不安への対処について考察する。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
3	実習校での授業見学①	予習：高等学校での教科の内容について、調べておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
4	実習校での授業見学②	予習：高等学校での教科の内容につて理解を深めておく。　(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
5	高実習校での授業見学③（保健体育科）	予習：高等学校保健体育科の科目の内容について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田
6	実習校での授業見学④（保健体育科）	予習：高等学校保健体育科の科目の内容について理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木 高木　松田

7	実習校での科目体育の実習①	予習:　学習指導要領で担当単元内容ついて理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　　荒 木 高木　松田
8	実習校での科目体育の実習②	予習：:学習指導要領で担当単元内容ついて理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
9	実習校での科目体育の実習③	予習：:学習指導要領で担当単元内容ついて理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
10	実習校での科目体育の実習④	予習：学習指導要領で担当単元内容の理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
11	実習校での HR の実習体験	予習：ロングホームルームやショートホームルーム、学校行事について生徒への支援方法を調べておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
12	実習校での科目保健の実習　⑤	予習：学習指導要領で担当単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
13	実習校での科目保健の実習　⑥	予習：学習指導要領で担当単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
14	実習校での科目保健の実習　⑦	予習：学習指導要領で担当単元内容について、理解を深めておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
15	実習校での科目体育・科目保健の研究授業実習	予習：学習指導要領で担当単元内容の理解を深めておく。.（1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
成績評価方法と基準			割合
1　実習校からの評価　2　教育実習ノート（日誌）の内容			1 90%　2 10%

授業科目名	教職実践演習(中・高)(教職課程:鍼灸)				
主担当教員	荒木　寛巳		担当教員	荒木　寛巳／酒井　智／阿部　秀高／松田　智子／高木　悠哉	
科目ナンバリング	SE20BACC020	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	4 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

○　教員としての必要な知識,技能を確認するとともに、教職に就くにあたり、自己の課題を把握し、解決の道筋を探る能力を身に付ける内容を学修する。　○　教育実習で体得した教育の基礎的技術をより応用の効く技術にするため、事例研究、グループ討議、模擬授業を適切に組み合わせて授業を展開できる能力を身に付ける内容を学修する。

学修目標

○　これまで学修してきた教科、教職に関する事項を確認し、教員としての基礎基本の定着を図る。　○　教科内容の理解を深め、学習指導案作成や授業スキルの修得を図る。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教える立場としての意識を持って授業に臨み、積極的に授業に参加する姿勢を持つこと。

教科書

適宜指示する。

参考書

高等学校学習指導要領（文部科学省）　中学校学指導要領要領（文部科学省）　教育法規（教育開発研究所）

研究室／オフィスアワー

東棟４F　5 研究室　火曜日１６時３０分～１８時の予定

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション､演習の進め方と評価方法の説明、 教育実習の振り返りー教育実習全体の課題整理	予習：積極的な討議参加するため教育実習の体験をまとめておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びをレポートに記入する。(1 時間)	阿 部　荒 木　高木　松田
2	教育実習を振り返る---前時にまとめた教育実習の課題について、課題解決方策についての検討	予習：教科指導での課題を整理しグループ内で発表できるようにしておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
3	自分自身の教師適性を確認する～自分の強みと課題	予習：履修カルテを確認しておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
4	自分の教師適性、課題についてまとめ、発表する（課題）	予習：成績を踏まえて、課題をまとめておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
5	自分の学習計画を立てる（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育などから自分の課題を選択）	予習：自分に必要な再学習分野を決める（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
6	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）①　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田
7	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）②　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿 部　荒 木　高木　松田

8	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）③　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
9	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）④　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
10	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑤　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
11	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑥　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
12	個々の課題解決のための再学習（特別支援教育、生徒指導、教育相談、保健体育科教育法、教育方法、教育行政、ICT 教育など）⑦　それぞれの課題分野に分かれて学習する	予習：課題分野についての学びを確認する（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
13	教師に求められる資質・能力について、教職経験者との意見交流①	予習：自身の教師の仕事への思い、意見をまとめておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
14	教師に求められる資質・能力について、教職経験者との意見交流②	予習：最近の学校での課題を整理しておく。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
15	演習のまとめ　教師として求められる資質・能力を身につけることができたかどうかについて振り返る。	予習：これまでの授業内容について課題等を整理する。（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部　荒木 高木　松田
成績評価方法と基準			割合
1　指導案作成内容，　2　実技実践への積極的態度　3　授業参加姿勢　3　教職理解			1 20%　2 30% 3 20%　4 30%

授業科目名	特別支援教育概論（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	加藤　美朗		担当教員	加藤　美朗	
科目ナンバリング	SE20BACB009	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

通常の学級にも在籍している特別な教育的ニーズを有する幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法、および特別支援教育を推進するための施策や連携のあり方等について学修する。

学修目標

１．障害のある幼児、障害特性および基本的な支援について説明できる。　２．特別支援教育の基本的理念やシステムについて説明できる。　３．障害者に対する差別の現状と課題について背景も含めて理解し、理解啓発について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．毎回の授業で課すワークシートへの記入を行うこと。　２．授業全般をとおして、より適切な自己の障害観の構築に努めること。　３．初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

なし

参考書

大阪府教育センター作成冊子「大阪の支援教育（https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/9319/r6_pdf.pdf)」　上記以外にも授業中に適宜資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟１階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	特別支援教育の前提となる障害者の処遇や歴史	予習：「大阪の支援教育」をダウンロードして目をとおしておく　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
2	近年の障害者施策(ノーマライゼーションからインクルージョンへ)	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
3	特別支援教育の特徴およびシステム	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
4	知的障害あるいは自閉症のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
5	発達障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
6	肢体不自由や重複障害のある児童生徒の障害特性および自立活動	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗

7	視覚障害や聴覚障害のある児童生徒の障害特性と支援	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：講義内容や事前資料を踏まえて振り返りシートに記入し次回授業時に提出する	加藤　美朗
8	外国人やLGBTQである児童生徒について、および授業全体の振り返りと確認テスト	予習：事前掲示資料の重要ポイントに下線を引く　復習：これまでの講義についてふり返る	加藤　美朗
成績評価方法と基準			割合
１．毎回提出するワークシート　２．最終授業内に行うテスト　　※評価基準：ルーブリックを提示します			１．25%　２．75%

授業科目名	総合的な学習の時間の指導法（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	福島　信也		担当教員		福島　信也	
科目ナンバリング	SE20BACB012	科目区分	教職に関する科目		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期		曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位		必修･選択	必修

授業概要

「総合的な学習の時間」について、創設された背景やその後の経過を知り、その理念や意義について理解する。　また、「総合的な学習の時間」の目標や内容を理解するとともに、下記の項目について理解を深める。　〇新学習指導要領における「総合的な学習の時間」で育てようとする資質や能力について理解する　〇横断的・総合的な学習や探究的な学習について理解する　〇指導計画の作成について理解する　「総合的な学習の時間」は、授業内容や方法は各学校の指導にゆだねられているので、創意工夫を生かした特色ある　教育活動を展開する必要がある。中学校(高等学校)の具体的な実践事例などを通して、「総合的な学習の時間」を構　想できる基礎的・基本的な知識・技能を身につけることを主眼としている。

学修目標

・総合的な学習の時間は、探究的な見方考え方を働かせて横断的・総合的な学習を通して、よりよく課題を解決する学びであることを知る。　・上記の課題解決を通して、自己の生き方を考えていくための資質能力を育成することが最終の目標であることを理解する。　・各教科等での学びを活用し、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会の課題を発見する能力を身につける。　・具体的な指導計画の作成、指導の仕方、学習活動に対する評価についての知識・技能を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)」などは、講義の中で適宜取り上げていきますが、全てを網羅することはできません。授業後は必ずプリントを読み返し、理解を深めてください。　※授業で配布したプリントは、必ずファイル(綴じ込んで保存)すること　※プリントを適宜読み返し、授業で学んだことを復習すること　※授業で配布した課題プリントは、必ず提出すること

教科書

使用しない。　プリントを配布します。

参考書

〇文部科学省「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」　〇ぎょうせい 「平成 29 年改正 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間」　その他、参考になる文献などは授業中に適宜紹介していきます。

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室/授業の前後のみ対応可能です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	「総合的な学習の時間」の導入について　～ オリエンテーション、導入された背景等について ～　【プリント以外で配布するもの】　・中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
2	育成する資質・能力の意義について　～ 意義・学力の関係など ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
3	教育課程と校内体制　その 1　～ 教育課程における位置づけ ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
4	教育課程と校内体制　その 2　～ 「総合的な学習の時間」の学習内容 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也

5	全体計画・年間計画・単元計画　～ 指導計画の基本的な考え方 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
6	「総合的な学習の時間」の評価　～ 評価のポイント・評価方法 ～	プリント復習(1 時間)　「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)	福島信也
7	「総合的な学習の時間」の学習指導 ①　～『思考ツール』の活用　～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
8	「総合的な学習の時間」の学習指導 ②　～【情報の収集】【まとめ・表現】について ～	プリント復習(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
9	「総合的な学習の時間」の学習指導 ③　～「保健体育」や「道徳」と組み合わせて考える ～	プリント復習(1 時間)　事例集を読む(1 時間)	福島信也
10	単元計画の作成①　～ 事例から単元計画を作成しよう ～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)　課題プリント(1 時間)	福島信也
11	単元計画の作成②　～ 作成を工夫する(検討会)　～	プリント復習及び「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」読む(1 時間)　課題プリント（1 時間）	福島信也
12	持続可能な世界を創るために　～ 発表会① ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
13	持続可能な世界を創るために　～ 発表会② ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
14	持続可能な世界を創るために　～ 発表会③ ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
15	これからの「総合的な学習の時間」の授業づくり　～ 森ノ宮中学校の総合学習を考えよう ～	プリント復習(0.5 時間)　課題プリント(1.5 時間)	福島信也
成績評価方法と基準			割合
●12～14 回の発表会で、全員が提出したレポートの内容を【まとめ・表現】として発表します　●授業では、課題（プリント・コメントシート等）を提出します			●レポート：20%～25%　●発表：20%～25%　●授業内課題：50%～60%

授業科目名	生徒指導・進路指導論（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	杉山　雅		担当教員	杉山　雅		
科目ナンバリング	SE20BACB015	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

現代社会を生きる子ども達の心身の健全な発達について、ＨＲ指導や個別指導を中心に生徒指導の観点から考察します。子どもの権利条約と生徒指導の基本原理を学び、厳罰主義をのりこえ、生徒の自主性を伸ばす指導法を身につけることができます。又、教育現場での具体的な教育実践を取り上げ、生徒指導の実践的な指導力を身につけることができます。

学修目標

・思春期を生きる子どもたちの発達の課題を理解し、自立への過程を理解できる。　・体罰や不適切な指導をのり越え、生徒の心に響くしなやかな指導の在り方を身につけることができる。　・生徒への個別接近の方法を学び、生徒の内面を理解し、共感的な指導法を身につけることができる。　・問題行動への取り組み方と専門機関との連携の仕方を理解できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

復習に力を入れてください。受講後、授業で配布された資料を読みなおし、資料の中の設問をしっかり理解してください。授業のテーマと関連のある資料に目を通し、さらに理解を深めてください。　又、日常的に教育問題や教育事件に関わるニュースに目を通し、自分の意見をまとめてみてください。

教科書

毎回、授業テーマに基づいたレジュメや資料を配布します。又、ニュース等で流れた最近の生徒指導にまつわる事件や諸問題を取り上げますので、自分なりに分析し、考察しておいて下さい。

参考書

「教師の仕事を考える」杉山雅　2012 年　学文社　その他、必要に応じて資料を配布します。

研究室／オフィスアワー

講義のある日に講師控室へ来てください。　緊急の場合は、mack-.sugiyama@nifty.com　へ連絡ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	生徒指導とは何か。子どもの権利条約に保障された子どもの人権を尊重し、その精神を生かした生徒指導法を学ぶ。　子どもを理解するためには、子どもの目線に立って考えてみることが大切です。　18 才成人の成立や体罰全面禁止などの法改正と生徒指導の関わりについても考察します。	予習と復習	杉山
2	体罰とは何か。その定義を学び、体罰を克服する指導のあり方を身につける。　体罰を受けると子どもの内面にどのような影響があるのかを学ぶ。そのために、生徒の内面を理解し自主性を伸ばす指導法を学ぶ。	予習と復習	杉山
3	部活動と体罰を考える　明治の近代教育の成立以来、一貫して法律では体罰が禁止されているのに、なぜ、部活動で体罰が絶えないのだろうか？暴力の否定と科学的な指導法を打ち立てた近代スポーツの精神について学び、部活動のあり方を検討します。　近年、体罰やしごきをのりこえた指導が成果を挙げています。「マジック・レシオ」や「ペップ・トーク」など、新しい指導の実践例も紹介します。	予習：復習	杉山
4	遅刻や清掃指導を通してクラス討論を軸に、日常の生活習慣の指導方法を学びます。　そのために	予習と復習	杉山

	班活動を中心にリーダーを育て、自主的な取り組みを育てる方法を学びます。		
5	文化祭等の行事とクラスづくりの指導のあり方を学ぶ。　球技大会や文化祭などの行事を通じて、生徒の自主活動の育成を図る。　組体操の危険性等、学校事故の観点からも行事を見直し、事故を予防する力を高める。　又、どのようにして行事の目標を達成するのか。様々な教育実践から学びます。	予習：復習	杉山
6	登校拒否・不登校の概念と、その変遷について考察します。登校拒否は病気ではありません。思春期における登校拒否の意味を考察します。　『不登校は、どの子にも起こる現象である』という見解に基づいて、不登校・登校拒否の原因を考察します。　中一ギャップの問題や、国連『子どもの権利委員会』の勧告など、様々な観点から不登校・登校拒否の問題を考察します。	予習と復習	杉山
7	不登校・登校拒否の児童・生徒への対応の仕方や、専門機関との連携の方法について考察します。不登校・登校拒否からの立ち上がりの 4 つの段階を理解し、適切な対応をすれば、不登校に悩む児童・生徒は必ず立ち上がります。　具体的な実践を参考に、その教訓を学びます。	予習：ミニレポート『登校拒否の教育実践の評価』	杉山
8	なぜ、いじめをするのか？いじめの原因について考察します。　いじめの定義、いじめの 3 つのピークなど、日本における「いじめ問題の経過」について学ぶ。　いじめ「「四層構造論」に基づいて、いじめが起こるメカニズムを考察する。	予習と復習	杉山
9	いじめ問題を克服する筋道を学びます。　いじめの『六層構造論』を学び、共感者という概念を中心に、いじめを克服する取り組みについて考察します。　いじめを克服した優れた教育実践（小・中・高）を取り上げ、その教訓を学びます。	予習と復習	杉山
10	児童虐待について考察します。　児童虐待とは何か。その定義、現状について学ぶ。	予習と復習	杉山
11	児童虐待について、その取り組み方について学ぶ。　児童虐待について、校内体制や専門家との連携の仕方について考察します。　児童虐待に取り組んだ教育実践を読み、そこから教訓を学びます。	予習と復習	杉山
12	DV とデート DV について学ぶ。　DV が起こるメカニズムを考察し、その対応の仕方について学ぶ。	予習と復習	杉山
13	子どもの貧困問題を考察する。　先進国における子どもの貧困の現れ方の特徴は何か。　子どもがどのような状態にあれば、貧困といえるのだろう？子どもの貧困の定義を考える。　子どもの貧困問題に取り組む教育実践について学ぶ。	予習と復習	杉山
14	見えない貧困問題と進路保障の問題を考える。進路問題に悩むヤングケアラーの問題を考察する。	予習と復習	杉山
15	全体のまとめ、および筆記試験。	予習と復習	杉山
成績評価方法と基準			割合
定期試験（筆記）　　ミニレポート（筆記）			定期試験　７０％　ミニレポート　３０％

授業科目名	ICT 活用の理論と実践（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング		科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

ICT 活用の理論と実践では、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方並びに児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

学修目標

１．情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。　２．情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。　３．生徒に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を身に付ける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教育実習に向けて学校現場での ICT の活用について知っておこう。

教科書

適宜指示する

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４F　第 11 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ICT 活用の理論と実践のオリエンテーション	自身の ICT スキル、学校での活用経験などを確認しておく。	阿部
2	ICT 教育の現状 : 学校現場への導入と活用の現状	学校現場における現状の活用状況についてまとめる。	阿部
3	ICT 教育の理論:ICT 機器活用による効果(個別最適化・プログラミング)	各校種における ICT 教育の基礎理論についてまとめる	阿部
4	ICT 教育の理論 : 情報共有の利点と活用に必要な情報モラル	教育すべき情報モラルについてまとめる。	阿部阿部
5	ICT 教育の理論 : 情報セキュリティの保障について	学校で必要となるセキュリティについてまとめる。	阿部
6	ICT 教育の実践 : 学習指導と校務システム（教科学習・カリキュラムマネジメント）	ICT 活用事例を検索し、その特徴をまとめる（課題）	阿部
7	ICT 教育の実践 : e ポートフォリオの活用（個別指導支援計画・学習成果履歴管理）	e ポートフォリオ活用の利点、効果をまとめる。	阿部（AT 依頼）
8	ICT 教育の可能性 : ICT を活用した学習環境デザイン	ICT を活用した未来の教室、学校のデザインを考える（課題）	阿部

成績評価方法と基準	割合
① ICT 活用の環境デザインについてのレポート　② ICT を活用した指導案と模擬授業　③ ICT 教育の理論と実践のまとめレポート　④ 各授業における振り返り　によって、総合的に判断する。	①20% ②30%　③20% ④30%

授業科目名	基礎ゼミナール（鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／中原　英博／鍋田　智之／辻涼太／宮武　大貴／高木　悠哉	
科目ナンバリング	LA20001	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義では、大学における学びの概略を知り、自ら考えて問題を解決する能力を養うことを目的としている。第一に大学における学習方法や課題作成における注意事項を学ぶ。また、大学での情報収集のハード面・ソフト面について理解する。実際に課題作成および報告のトレーニングも行う。　本学教員による大学における学びと研究の現状について、専任教員からの説明を受ける。　鍼灸学科で学ぶ実技授業について理解する。

学修目標

1)与えられたテーマについて調査、整理、報告のプロセスを実践する。 2)大学での学習における情報編集能力（収集・加工・創造・表現）およびプレゼンテーション能力を習得する。 3)批判的思考および主体的な問題解決方略を探求する態度・姿勢を身につける。 4)図書館などの大学施設を利用した学習方法を身に着ける。 5)グループワークの進行方法や討論方法について学ぶ。 6)鍼灸学科教員の研究や専門分野を知る。 7)鍼灸学科で学習する実技について知る。 DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1)前半 7 回は大学における学びについて指導を受ける 2)後半 4 回は学科教員の専門分野について説明を受ける。 3)最後の 4 回は鍼灸学科の実技授業について体験する。

教科書

特に指定しない。

参考書

授業時に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業時の教員指示に従う。原則、各教員の研究室にて実施する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション（講義への取り組み方・大学生としての自分を見つめる） 大学生として身につけたい社会人基礎力について	予習：シラバスの確認。（２時間） 復習：学びの履歴シートによる大学生として必要な資質/能力についてのまとめ（２時間）	阿部教授
2	PROG テスト①（リテラシー）と解説	予習：前時のふり返りと社会人基礎力の確認。（２時間）復習：学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部・高木
3	PROG テスト②（ジェネリックスキル）と解説	予習：コミュニケーション力について調べる。（２時間） 復習：講話から学んだことを記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部・高木
4	コミュニケーションスキル・学修スキル向上	予習：レポートの書き方について高校までに学んだことを想起しておく（２時間） 復習：学んだレポートの書き方について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部・高木
5	論理的文章の書き方・資料活用の方法	予習：言語技術について、高校までに学んだことを想起しておく（２時間） 復習：学んだ言語技術について記録をもとにまとめる。（２時間）	阿部・高木
6	プレゼンテーション・スキル	予習：プレゼンテーションについて高校までに学んだことを想起しておく。（２時	阿部・高木

		間）　復習：プレゼンテーションの作り方、発表の仕方についてまとめる。（２時間）	
7	７回の授業における学びのまとめ・振り返り	予習：自分の作成したプレゼンテーションの練習）（２時間）　復習：７回の講義で学んだ社会人基礎力に関してまとめておく。（２時間）	阿部・高木
8	（鍼灸学科教員による専門分野講義）　鍼灸教育と森ノ宮医療大学、森ノ宮医療学園の歴史（自校教育の一貫として）　１．アドラーのライフスタイル分析　２．FACT FULNESS　３．マズローの欲求階層説　　４．タイムマネジメントについて　５．学習スタイルの点検　　６．森ノ宮医療大学と鍼灸学科(戦後鍼灸の流れと森ノ宮医療大学ができるまで)	事後に鍼灸学の教育についての先人の考えについての　批判的な視点での小論文を提出すること課題にします。	鍼灸学科教員（安田）
9	鍼灸学科教員による専門分野講義	鍼灸治療について予め調べること。　講義内容について復習すること。	鍼灸学科教員
10	鍼灸学科教員による専門分野講義	鍼灸治療について予め調べること。　講義内容について復習すること。	鍼灸学科教員
11	鍼灸学科教員による専門分野講義	鍼灸治療について予め調べること。　講義内容について復習すること。	鍼灸学科教員
12	体験実技授業１　検査法	11 単元で説明する事前学習内容について調べてくること	鍼灸学科教員
13	体験実技授業１　検査法	11 単元で説明する事前学習内容について調べてくること	鍼灸学科教員
14	体験実技授業２	事前に指示する事項について調べてくること	鍼灸学科教員
15	体験実技授業２	事前に指示する事項について調べてくること	鍼灸学科教員
成績評価方法と基準			割合
【学科教員】　50 点　①各教員の講義に対するレポート　10 点×5　２/３以上の出席　　【阿部秀高】50 点　②平常点評価（授業毎回の振り返りなど）　30 点＜DP②③④＞　③講義最終回に作成した課題レポート　20 点＜DP②③④＞			【学科教員】①50%　　【阿部秀高】②30%　③20%

授業科目名	物理学（鍼灸）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20002	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

さまざまな自然現象をよく観察してみると簡単な基本原理に基づいていることがわかる。物理学とはそのような基本原理を論理的に説明する学問であり、工学はもとより生物学、医学などの幅広い分野の基礎となっている。本講義は力学・熱力学・電磁気学などについて幅広い知識を学修し、医療現場で実際に活用できる知識を習得できる授業構成である。

学修目標

水の比熱と日本の気候との関係について　てこの原理の人体中での応用　注射針の先端が皮膚に及ぼす圧力について　血圧とは電磁気の基本知識　　上記の内容を学修していく。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．自然現象を理解するための基本となる科目であることを認識する。　２．配布された資料を使用し、講義を行う。　３．出席は重視する。　４．身近な自然現象を物理学の観点で考察する。　５．疑問点は大切にし、解決に向けて行動する。

教科書

プリント使用

参考書

ベッドサイドを科学する　平田雅子　著　Gakken

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜　木曜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	物理を扱う上で単位を知っておく必要があります。 単位記号と接頭語について学習していきます。	＜予習・復習 各２時間＞　**予習** - 教科書や参考資料から、以下の内容を確認してください：　1. SI 単位系（国際単位系）の基本単位と補助単位について調べる。　2. よく使われる単位（メートル、キログラム、秒など）の意味とその使用例を理解する。　3. 単位変換（例えば、mm から m、kg から g など）の計算例を練習する。　**復習** - 授業で取り扱った内容を整理し、ノートにまとめましょう。特に以下の点を意識してください：1. 単位の定義と役割について説明できるか確認する。　2. 単位変換の計算練習を繰り返し、正確さを高める。　3. 日常生活や専門分野で「単位」がどのように役立つか具体例を挙げる。	久国　正章
2	水の性質・比熱について	＜予習・復習 各 2 時間＞　**予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **水の物理的特性**：- 密度、比熱容量、熱伝導率について学ぶ。　- 水の特異性（例：4℃での最大密度）を確認する。　2. **水の状態変化**　3. **日常的な例**：　- 水が冷える、温まる、蒸発する、凍るといった現象を調べる。　**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：	久国　正章

		1. **水の物理特性**：　　- 水の比熱容量が高いことが気候や生物に与える影響を考える。　　- 水の熱伝導率が生活や技術にどのように応用されているかを整理する。　2. **水の状態変化**：氷が浮く理由や、凍結や融解の際のエネルギー変化を図示する。	
3	代謝　重力　運動の法則	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使って以下の内容を確認してください：　1. **代謝とエネルギー**：　- 代謝が生体エネルギーをどのように生み出すか調べる。　- ATP（アデノシン三リン酸）生成と消費におけるエネルギー変換の仕組みを理解する。　- 身体活動が代謝とエネルギー消費に与える影響を調べる。　2. **重力の影響**：　- 重力が人体に及ぼす影響を調べる。　- 重力加速度について確認する。　3. **運動の法則**：　- ニュートンの運動の3法則（慣性の法則、加速度の法則、作用・反作用の法則）の基礎を学ぶ。　- 身近な運動（例：ジャンプ、ランニング）を運動の法則で説明してみる。　**復習課題**　- 重力が代謝や運動に及ぼす具体的な例を挙げ、関連性を考察してください。　- スポーツや日常動作を例に取り、代謝、重力、運動の法則がどのように関わるかをまとめてください。	久国　正章
4	運動の法則　作用反作用の法則について	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を使用して、以下の内容を確認してください：　1. **運動方程式**：　- ニュートンの第2法則　- 力と運動の関係を理解する（例：加速度が力に比例し、質量に反比例する）。　- 運動方程式の具体的な例（例：物体を押す、車が加速する）。　2. **作用反作用の法則**：　- ニュートンの第3法則：　「すべての作用には、それと大きさが等しく、方向が逆の反作用がある」。　- 作用と反作用が異なる物体に働くことを理解する。　- 実生活の例：ジャンプ、ボールを投げる、ロケットの推進。　3. **日常的な例**：　- 自転車をこぐとき、足でペダルを押す力（作用）とペダルからの反作用。　- 地面を蹴る力（作用）と地面からの反作用で進む歩行。　**復習**　1. **運動方程式**：　- 力、質量、加速度の関係を理解する。　- 斜面や摩擦力が加わる場合の運動方程式を整理する。　2. **作用反作用の法則**：　- 実生活の現象を例に挙げ、作用と反作用のペアを見つけて整理する。　- ロケット推進や船が水を押し返す際の力の流れを図示する。	久国　正章
5	圧力、気圧について	＜予習・復習 各2時間＞　**予習**　講義資料を用いて、以下の内容を確認してください：　1. **圧力の定義**：圧力（P）は単位面積あたりに働く力として定義される（P = F / A）。　2. **圧力の単位**：パスカル（Pa）を基本単位とし、N/m²との関係を理解する。　3. **気圧の概念**：大気圏中の圧力の性質、標準気圧（1気圧 = 101325 Pa）について調べる。　**復習**　- 授業内容を復習し、以	久国　正章

		下の点を整理してください： 1. 圧力の計算方法と、力や面積の変化が圧力にどう影響するかを理解する。 2. 気圧が高度や温度によってどのように変化するかを図を用いて整理する。 3. 圧力や気圧の知識が、日常生活や専門分野でどのように応用されるかを考える。	
6	水圧・沸点　酸素ボンベ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **水圧**： - 水深と水圧の関係：水圧が深さに比例して増加することを理解する。 2. **沸点**： - 沸点は外部圧力に依存すること（低圧環境では沸点が低下し、高圧環境では上昇する）。 - 標準沸点（100℃）とそれが気圧の変化でどのように変化するかを調べる。 3. **酸素ボンベ**： - 酸素ボンベの仕組みと用途。 **復習** 1. **水圧**： - 水圧の公式を用いて、異なる水深での圧力を計算する練習をする。 - 潜水時に体にかかる圧力の影響を整理する（例：耳の痛み、窒素酔い）。 2. **沸点**： - 圧力が沸点に与える影響を具体的な例（例：圧力鍋、登山での調理）を通じて理解する。 - 沸点の変化を示すグラフを作成し、気圧との関係をまとめる。 3. **酸素ボンベ**： - 酸素ボンベの中の圧縮ガスの圧力を確認し、それが使用時にどのように変化するかを考える。 - ボンベの容量、圧力、酸素供給量の関係を計算する問題を解く。	久国　正章
7	ベルヌーイの定理について	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **ベルヌーイの定理**： - ベルヌーイの定理の公式： - 高速で流れる流体では圧力が低下する現象の理解。 2. **日常的な例**： - 飛行機の翼（揚力の発生）。 - 水道ホースの先を細めると流速が速くなる仕組み。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **ベルヌーイの定理の理解**： - ベルヌーイの公式を使った計算問題を解き、圧力、流速、高さの関係を理解する。 - 実験や観察から得られた結果をベルヌーイの定理で説明する。 2. **応用例の分析**：飛行機の揚力がベルヌーイの定理でどのように説明されるかを考える。 3. **具体例の考察**：ベルヌーイの定理が日常生活で観察できる例を挙げ、それを図や文章で説明する。	久国　正章
8	力のモーメント　第１種のてこ　第２種のてこ	＜予習・復習 各2時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **力のモーメント**： - 力のモーメントの定義 - モーメントの単位（N・m）とその意味。 2. **てこの原理**：てこがどのように力を増幅または減少させるかを確認する。 3. **3種類のてこ**： - **第１種のてこ**：支点が力点と作用点の間にある（例：シーソー、てこの棒）。 - **第2種のてこ**：作用点が支点と力点の間にある（例：くるみ割り器、荷車）。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてくださ	久国　正章

		い： 1. **力のモーメント**： - 力のモーメントを用いた問題を解き、力と距離の関係を理解する。 - 力点の距離が増えるとモーメントがどのように変化するかを考える。 2. **てこの原理**：てこの効率（例：力を少なくして重い物を動かす）の仕組みを整理する。 3. **応用例を考察**： - 実生活で使われているてこ（例：ハサミ、ペンチ）の動作原理を考え、力のモーメントと関連付ける。 - スポーツや医療分野でのてこの役割（例：野球のスイング、リハビリ器具）について考える。	
9	力のモーメント　第３種のてこ	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： **3 種類のてこ**： - **第 1 種のてこ**：支点が力点と作用点の間にある（例：シーソー、てこの棒）。 - **第 2 種のてこ**:作用点が支点と力点の間にある（例：くるみ割り器、荷車）。 - **第 3 種のてこ**:力点が支点と作用点の間にある（例：ピンセット、人間の腕）。 **復習** ３種類のてこについて、筋肉に働く力の違いについて確認しておきましょう。	久国　正章
10	腰にかかる力について　運動量	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **腰にかかる負担の基礎**：- 腰にかかる負担（モーメント）と姿勢の関係。 - 力のモーメントを用いた計算：- 前屈姿勢や物を持ち上げる際に腰にかかる力を増幅させる要因。 2. **運動量の基礎**： - 運動量の定義： 運動量 = 質量 × 速度 - 運動量保存の法則：- 外力が働かない限り、運動量の総和は一定。 - 衝突や物体の移動における運動量の変化。 3. **日常的な例**： - 腰に負担がかかる例：重い荷物を前かがみで持つ。 - 運動量の例：走っている車と止まっている車の衝突。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください：1. **腰にかかる負担の理解**： - 腰にかかるモーメントが姿勢によってどう変化するかを考える。 - 腰への負担を軽減するための方法（例：膝を曲げて物を持ち上げる）を整理する。 2. **運動量の応用**：運動量が変化するときの力（衝撃力）の計算と、その軽減方法（例：クッション材の利用）を考察する。 **復習課題**: - 運動量保存則を使った衝突問題を解いて、計算結果を確認してください。 - 腰に負担をかけない持ち方や姿勢を図示し、それを説明してください。	久国　正章
11	運動量と衝撃力　静電気	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **運動量と衝撃力**： - **運動量の定義**： 運動量 = 質量 × 速度 - **衝撃力**：運動量の変化を時間で割ったもの。 - 衝突時の運動量保存則： 「閉じた系では運動量の総和が一定」。 2. **静電気**： - 静電気の発生：摩擦により電子が移動し、物体が帯電する。 - 帯電の種類：正の電荷、負の電荷。 - クーロンの法則 3. **日	久国　正章

		常的な例**： - 衝撃力：車のエアバッグやスポーツでの衝突時の衝撃緩和。 - 静電気：衣類のまとわりつき、静電気除去ブラシの利用。 **復習** 1. **運動量と衝撃力**： - 衝突時に衝撃力を減らすための手段（例：クッションやエアバッグ）を考える。 - 運動量保存則を使って、2 物体の衝突後の速度を計算する練習をする。 2. **静電気**： - 静電気が発生する仕組みと、その制御方法（例：湿度調整、導電性素材の使用）を整理する。 - クーロンの法則を用いた電気力の計算問題を解き直す。 3. **応用例を考察**： - 衝撃力の緩和技術（例：スポーツ用品、交通安全装置）の原理をまとめる。 - 静電気の応用例（例：コピー機、塗装技術、静電除去器具）を調べる。	
12	電気　オームの法則	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください。 1. **電流の定義と基本式**：- 電流の定義：単位時間あたりに流れる電荷の量。 - 電流の流れる方向（電子の流れる方向とは逆）。 2. **オームの法則**：電圧（単位：ボルト [V]） 電流（単位：アンペア [A]） 抵抗（単位：オーム [Ω]） 3. **日常的な例**： - 電流が流れる例：電池を使ったライトや電子機器。- 電流が体験できる例：乾電池で点灯する LED ライト。 **復習** 1. **電流の特性**： - 電流の定義と計算方法を具体例で確認する。 - 電流の大きさが電圧と抵抗によってどのように決まるかをオームの法則を使って考える。 **復習課題**- 電圧が異なる場合、抵抗が一定なら電流がどのように変化するかグラフにして整理してください。 - 電流を利用した技術の例（例：充電器、ヒーター）を 1 つ挙げ、その仕組みを簡単に説明してください。	久国　正章
13	交流　電磁誘導	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **交流（AC）の基本**： - 交流の定義：電流が周期的に方向を変える電流。 - 周波数（Hz）と周期（秒）の関係： - 実生活での例：家庭用電源（例：日本では 50 Hz または 60 Hz）。 2. **電磁誘導の原理**：ファラデーの法則 3. **日常的な例**： - 交流：発電機、電灯、電化製品。 - 電磁誘導：自転車のダイナモライト、電磁調理器。 **復習** 1. **交流の理解**： 2. **電磁誘導の応用**： 3. **応用例を考察**： - 発電機や電動機の仕組みを電磁誘導を使って説明する。 - 交流と電磁誘導が使われている技術（例：送電、家電）を調べる。	久国　正章
14	音　デシベル	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **音の基本的な性質**： - 音波は媒質を伝わる縦波であり、周波数、振幅、速度の基本概念を確認する。 - 音の周波数（Hz）が音の高さ（高音・低音）を決め、振幅が音の大きさを決める。 2. **デシベル（dB）**：デシベルは音圧レベルの対数スケールで表現される。 3. **日常的	久国　正章

		な例**：　　- 音の例：会話（60 dB）、図書館（30 dB）、ロックコンサート（120 dB）。- 音の大きさと健康への影響（例：騒音、聴覚保護の重要性）。 **復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **音と周波数の理解**：　　- 音波の基本的な性質（周波数、振幅）を整理する。　- 音の高低や大きさが物理量としてどのように表現されるかを具体例とともに確認する。 2. **デシベル**：　　- 音圧レベルの計算練習を行い、基準音圧との関係を明確にする。　　- 音圧レベルが 2 倍、4 倍、10 倍になる場合の変化を計算して整理する。 3. **応用例を考察**：　　- 音の大きさが健康に与える影響（例：騒音公害、耳栓の利用）を考える。　　- 音響機器（例：スピーカー、マイク）や医療（例：聴覚検査）でのデシベルの役割を調べる。	
15	光・紫外線	＜予習・復習 各 2 時間＞ **予習** 講義資料を使用して、以下の内容を確認してください： 1. **光の基本的な性質**：　- 光は電磁波の一種であり、波長によって可視光、紫外線、赤外線に分けられる。　- 光の波長と色の関係：　　- 短波長（紫～青）：高エネルギー。　　- 長波長（赤）：低エネルギー。 2. **紫外線（UV）の特性**：　　- 紫外線は可視光より波長が短く、高エネルギー。　　- 紫外線の種類：- UVA（長波長、320-400 nm）：肌の老化に影響。　　- UVB（中波長、280-320 nm）：日焼けや DNA 損傷の原因。　　- UVC（短波長、200-280 nm）：地表にはほぼ到達せず、殺菌効果がある。　　- 紫外線の影響と防止策（例：日焼け止め、UV カット素材）**復習** 授業内容を整理し、以下の点を深めてください： 1. **光の理解**：光の波長、振動数、エネルギーの関係式を確認する 2. **紫外線の応用と影響**：　　- 紫外線が生体や材料に与える影響（例：皮膚の健康、プラスチックの劣化）。　　- 紫外線の技術応用（例：殺菌）を調べる。 3. **応用例を考察**：日常での紫外線防止策の効果を具体例で考える。	久国　正章
成績評価方法と基準			割合
①毎回の小テスト課題をもって評価します。１００点<DP③>			①　100%

授業科目名	生物学（鍼灸）				
主担当教員	久国　正章		担当教員	久国　正章	
科目ナンバリング	LA20003	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

専門科目の理解を深めるための基礎的な生物学を学習する。　具体的には、下記単元を中心に、ヒトのからだについて理解を深める。　【細胞の構造】細胞小器官の種類とその働き　【代謝】代謝・消化・吸収　【個体の恒常性と調節】恒常性の維持・ホルモン

学修目標

ヒトの生命の仕組みについて、その基本的事項を習得することを目的とする。〈DP③〉　好気呼吸の過程を理解する。〈DP③〉　恒常性について理解を深める。〈DP③〉　体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

この講座を通して基礎用語を確認することが出来ます。高校で生物を学習していない、または不得意科目であった学生はぜひ受講して下さい。

教科書

書籍名：視覚でとらえる生物図録　著者名：鈴木孝仁　監修　出版社名：数研出版

参考書

カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第 1 巻 細胞生物学

研究室／オフィスアワー

非常勤控室　月曜、水曜・木曜の午前中、金曜の午後

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	細胞の構造とその働き　遺伝子	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「遺伝子」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：核、細胞膜、細胞質、ミトコンドリア、リボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソームなど - 細胞小器官の役割（例：ミトコンドリアはエネルギー産生、リボソームはタンパク質合成）　- DNA と RNA の違い	久国
2	細胞の構造とその働き　細胞を構成する物質(有機物と無機物)　浸透	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「細胞の構造と働き」「浸透」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- 細胞の基本構造：細胞膜、細胞壁（植物細胞の場合）、細胞質、細胞小器官（核、ミトコンドリア、小胞体など） - 細胞膜の構造とその機能（選択的透過性）　- 浸透の定義と原理：浸透圧、半透膜、溶液の種類（高張液、等張液、低張液）	久国
3	物質の輸送(能動輸送と受動輸送)　細胞を構成する物質（タンパク質）	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「物質の輸送」と「タンパク質」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　- **物質の輸送**　- 細胞膜の構造（リン脂質二重層、タンパク質の埋め込み）　- 輸送の種類：拡散、浸透、能動輸送、受動輸送　- **タ	久国

		ンパク質とは**	
4	タンパク質の立体構造　タンパク質の種類と働き	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「タンパク質の構造」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ タンパク質の一次構造：アミノ酸の配列とペプチド結合　－ 二次構造：α ヘリックス、β シートの形成と水素結合の役割　－ 三次構造：立体構造を形成するジスルフィド結合など　－ 四次構造：複数のポリペプチド鎖が集合して形成される機能的タンパク質（例：ヘモグロビン）　－ タンパク質の構造と機能の関連性を示す例（例：酵素の活性部位）を調べ、予習として理解を深める。	久国
5	炭水化物　組織	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「炭水化物の構造と分類」に関する章を読み、主要な用語（単糖、二糖、多糖など）を確認する。　組織における炭水化物の役割について簡単に調べる。　必要に応じて、授業で取り扱う関連動画や資料を視聴し、基礎的な概念を理解する	久国
6	酵素の性質と働き　外呼吸と内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　活性部位、基質特異性、酵素-基質複合体、最適条件（温度、pH)、酵素阻害　酵素が化学反応の速度をどのように変化させるのかを簡単に調べる。　酵素の具体例（アミラーゼ、カタラーゼなど）を調べる。	久国
7	内呼吸	＜予習・復習 各2時間＞　外呼吸：肺でのガス交換（酸素の取り込みと二酸化炭素の排出）　内呼吸：細胞でのガス交換（酸素の利用と二酸化炭素の生成）　外呼吸と内呼吸の違いと関連性について簡単にまとめておく。	久国
8	消化器	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「消化器系」の章を読み、以下の用語を確認する：　－ 主な消化器官（口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）－ 各器官の役割（例：胃はタンパク質の消化、小腸は栄養素の吸収）　－ 消化酵素（ペプシン、アミラーゼ、リパーゼなど）の働きと分泌場所　食物が消化器系を通過する過程（消化・吸収の流れ）を簡単にまとめる。	久国
9	恒常性　血球	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「恒常性と血球」に関する章を読み、以下の概念を確認する：　－ 恒常性の定義と重要性 － 血球の種類（赤血球、白血球、血小板）とその役割　－ 赤血球：酸素運搬 － 白血球：免疫反応　－ 血小板：血液凝固	久国
10	酸素解離曲線　血液凝固	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の以下の章を読み、基本的な用語を確認する：－ 酸素解離曲線：ヘモグロビンと酸素の結合に関する曲線(酸素分圧、飽和度）　－ 酸素解離曲線の右方シフト・左方シフトの要因（pH、二酸化炭素濃度、体温など）－ 血液凝固の基本プロセス：血小板の役割、フィブリン形成の流れ	久国
11	伴性遺伝　血管	＜予習・復習 各2時間＞　教科書の「伴性遺伝」と「血管」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　－ **伴性遺伝**：性染色体（X染色体）に関連する遺伝の特徴。　－ X連鎖性疾患（例：血友	久国

		病、色覚多様性）の具体例　　－ 伴性遺伝の遺伝形式（家系図での遺伝のパターン）　　－ **血管の構造と機能**：動脈、静脈、毛細血管の違いと役割。	
12	心臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「心臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する：　　－ 心臓の構造（心房、心室、弁：三尖弁、僧帽弁、大動脈弁、肺動脈弁）　　－ 血液循環（肺循環と体循環の違い）　　－ 心拍の基本的な仕組み（洞房結節、刺激伝導系）　　－ 血液の流れを模式図にして、自分で描いて確認する（酸素を含む血液と二酸化炭素を含む血液の流れを明確に）。	久国
13	肝臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「肝臓」に関する章を読み、以下の基本的な用語と概念を確認する　　－ 肝臓の構造（肝細胞、肝小葉、肝門脈、肝動脈、胆管）　　－ 肝臓の主要な機能（代謝、解毒、胆汁の生成、栄養素の貯蔵）　　－ 肝臓が行う物質代謝（炭水化物、脂質、タンパク質）　　－ 胆汁が生成される仕組みとその役割（脂肪の乳化）を簡単に調べる。	久国
14	腎臓	＜予習・復習 各 2 時間＞　教科書の「腎臓」に関する章を読み、以下の基本概念を確認する：　　－ 腎臓の構造　　－ 尿生成の流れ（糸球体でのろ過 → 尿細管での再吸収・分泌 → 集合管での尿濃縮）　－ 腎臓が体液の恒常性をどのように維持しているかを簡単に調べる。	久国
15	総復習	＜復習 4 時間＞　第１回～第１４回の復習問題を扱います。	久国
成績評価方法と基準			割合
①定期試験１００点のうち、６０点以上で単位認定する。〈DP③〉　※ただし、オンデマンド配信時には変更あり。			①100%

授業科目名	化学（鍼灸）				
主担当教員	安部　辰夫		担当教員	安部　辰夫	
科目ナンバリング	LA20004	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

基礎医学科目に必要な化学的事項を正しく理解できることを念頭に置いている。

学修目標

生体反応に見られる各種の化学反応を正しく理解することができる。それらが生理機能に密接に連関することを認識できる。　＜DP③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

たとえすでに化学を履修していようとも、基礎医学科目で取り上げられる化学はある種生体内の反応に特化しているため、新たに学びなおす必要があると捉えておいて欲しい。

教科書

「まるわかり基礎化学」　南山堂

参考書

「理工系の基礎化学」　化学同人

研究室／オフィスアワー

火曜日から金曜日在室　　イーストポート４階　研究室　１９

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	原子の構造と周期表	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
2	電子配置とイオン化	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
3	化学結合	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
4	物質の三態	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
5	化学平衡と反応速度論 1	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
6	化学平衡と反応速度論 2	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講	安部

		義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	
7	酸と塩基の反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
8	酸化と還元反応	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
9	炭化水素化合物1	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
10	炭化水素化合物2	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
11	糖質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
12	脂質の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
13	タンパク質・アミノ酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
14	核酸の構造と働き	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
15	講義全体のまとめと振り返り	＜予習・復習 各2時間＞　予習として、学習予定にあたるテキストの部分を読み込み、十分理解しておいて欲しい。また、講義で学習した内容を復習し、記憶にとどめるよう努力して欲しい。	安部
成績評価方法と基準			割合
1　期末試験　＜DP③＞			1　100%

授業科目名	哲学（鍼灸）					
主担当教員	中元　洸太		担当教員	中元　洸太		
科目ナンバリング	LA20008	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講学期	後期	曜日・時限	火曜１限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択	

授業概要

古代ギリシア語の「ピロソピアー」、即ち「知を愛する」が語源となるように、「哲学」の営みは理論的であれ実践的であれ、知恵や知識を抜きにしては語れないところがある。しかしよくよく考えてみると、そもそも普段私たちが持ちうる「意見」や「憶測」と、「知識」は何が違うのだろう。何となく直感的にこれは知識であれは意見だと思っていても、具体的に知識とは何で、それはどのようなものなのかと言われると戸惑う人もたくさんいるだろう。知識は確実なものだと言えば済みそうだけど、たとえば今私たちが知識だと思っているものは本当に確実だと言い切れるのだろうか。私たちが知識だと思っていたことが改訂されることも、（私たちが普段確実だと思っているかもしれない）科学の歴史のなかでさえよくあったんじゃないだろうか。　あるいはこういうのはどうだろう。知識がどんどん増え続けるなら、それは知識のレンガを積み重ねて高い塔にしていくような知識観になるかもしれない。でも知識がもし確実じゃないというのなら、時々積み重ねられたレンガはぶち壊されてしまう。知識の要素同士の関係について、ほかにどういう知識観が考えられるだろう。また、関西に住んでいると肉じゃがの肉は牛肉がメジャーだが、実は関東では豚肉が主流だったりする。私たちが「常識」だと思っているものは時や場所によって意外と簡単に変わりうる。それでも子供が電車の椅子に土足で登っていたら「常識がないなあ」と怒りたくなることもあるかもしれない――「守られないといけない常識」だってあるんじゃないか？　こうした問いにいきなり理論的に迫ることは難しいし、なぜそんなことをする必要があるのかが分かりにくいだろう。そこで本講義では講師が実際に経験してきた思い出話（これはきっと皆さんにもある程度共感してもらえるものだと思う）をきっかけに、４つのトピックをもとに話を進める。それぞれのトピックで、知識の本性、その中でも重要とされてきた確実性、そして知識同士の関係（知識の構造）、さらには私たちがしばしば用いる（かもしれない）「常識」をテーマに、知識の哲学の重要なポイントを幾つか押さえていく。

学修目標

１．知識がそもそもどのようなものとして捉えられ、なぜ大事なものだと思われてきたかを現代の「知識の標準分析」とそれに対する批判をベースに理解する。　２．知識の大事な要素だと長らく思われていた「知識の確実性」をめぐって、その魅力と問題点、代替案である可謬主義という考え方を理解する。　３．知識間の関係、あるいは知識の構造をめぐって、「基礎づけ主義」と「整合説」という二つの大きな考え方について理解する。　４．以上の三つの学修目標を基礎に、私たちが「常識」に対して持ちうる二つの態度を知識論の観点から整理し、特にその静的性格を理解する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

第１回までの講義で特別必要な用意はない。哲学や知識について大まかでもイメージを持ってもらうだけで十分である。本来、哲学は日常の経験を通して少しずつ考えていく学問である（はずだと担当者は思う）から、まずはこれまで 20 年前後の人生経験があれば十分である。ただし、哲学の議論は普段私たちが考えない問題を検討していくし、その問題には未だ答えが出ていないことがほとんどである。なぜそうなっているかという事情については第１回授業で受講上の注意として示すが、何かを勉強して「分かった！」という爽快感が好きな人や、哲学に何か「人の生き方」や「世界の真理」に関する直球の（「あなたはこう生きなさい」とか「これが世界の真理です」といった）答えを求める人にはあまり受講をオススメできないことは先に申し上げておきたい。　また、数学の証明やある理論の歴史を解説していく場合のように、哲学上の問題を設定して議論を追いかけていくには出発点とその結末だけでなく、議論の過程が大事になってくる。講義内のトピックもそれぞれ関連しているため、あるトピックで出てきたキーワードが別のトピックで登場することもある。そのため毎回の授業に滞りなくついてくるためには最低限、これまでの話の流れを押さえるための復習が必要となることに留意されたい。　本講義の基本的な採点方法は第１回の授業で説明する。シラバスは講義の大まかな流れを示したものであ

り、たとえば説明しきれなかった事項を次回授業にまわしたり受講生の理解度に応じて内容を一部変更したりするなど、多少の変更がありうることをご承知いただきたい。また、授業中、他の受講生に迷惑をかけうる行動（いびきを伴う睡眠、無許可での退室、遅刻、私語など）はしないこと。妨害行為が著しい場合は退室を命ずることがある。お互い嫌な思いをしないようにしましょう。

教科書

毎回レジュメプリントを配布し、適宜資料プリントを配布する。ただしレジュメは授業で扱う話題の大まかな流れや関連事項を示したものであり、レジュメだけを見て授業の全容が分かるわけではないし、ミニレポートや試験に解答できるわけではない。必要なメモは取るようにしましょう。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業内容について質問があるときは、授業時間の前後に直接講師に質問すること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	受講上の注意と「知識の哲学」のややこしさ―チザムの個別主義と方法主義	（予習）「哲学」および「知識」についてのイメージを自分なりに考えておくこと。（2 時間）　（復習）レジュメプリント・資料プリントに目を通し、授業内容に対する理解を深めておくこと。（2 時間）	中元　洸太
2	【A-1】知識とはそもそもなんだろう？―都市伝説の噂をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
3	【A-2】知識の標準分析「正当化された真なる信念」	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
4	【A-3】ゲティア問題とその応答	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
5	【B-1】知識は確実じゃなきゃいかんのか？―医薬品の副作用をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
6	【B-2】デカルトの方法的懐疑	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
7	【B-3】絶対確実な知識観への反論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太
8	【B-4】代案としての可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。（2 時間）（復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。（2 時間）	中元　洸太

9	【C-1】正しく石を積み上げれば知識は進歩する？―天才の非業の死をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
10	【C-2】基礎づけ主義と可謬主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
11	【C-3】トマス・クーンの議論	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
12	【C-4】整合説という提案	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
13	【D-1】「常識」は乗り越えられるべきものか？―知識論と常識をめぐって	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
14	【D-2】漸進的進歩主義	（予習）前回までの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
15	【D-3】守られるべき常識はあるのか？・講義全体のまとめ	（予習）これまでの授業内容を振り返り、理解を十分に深めておくこと。(2 時間) （復習）レジュメプリント・資料プリントを何度も読み返し、授業内容の理解に努めること。(2 時間)	中元　洸太
成績評価方法と基準			割合
成績評価は期末試験（60%）、授業内で告知するミニレポート４回(10%×４回)で採点する。授業内で告知するミニレポートでは、授業の内容を参考に、受講生の経験を指定した哲学上の理論をもとに解釈してもらう。何となく察せられるとおりミニレポートは各トピックの授業につき１つずつ告知されるが、必ずしも各トピック授業の最終回とは限らない点に留意されたい。期末試験では、基本的な人名やキーワード、理論の名前などを押さえているか、重要な概念の内容を簡潔に説明できるかなどを問う。			①期末試験 60%　②ミニレポート 40%

授業科目名	日本国憲法（鍼灸）				
主担当教員	植田　重幸		担当教員	植田　重幸	
科目ナンバリング	LA20011	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:選択　スポーツ:必修　AT:選択

授業概要

社会規範たる法の理念を理解する中で、法体系のしくみ並びに日本の最高法規としての日本国憲法の現行の概要解釈と、今日の基本的人権規定に関する論点について解説を行うとともに、時事関連・医療関連条項に関わる問題点及び今後の課題に対しても説明を進める。また、国家資格をもとに、施術者の一員として業務に従事するにおいて、必要不可欠な保健衛生に関する法規（保健衛生関連法規）の理解と把握、並びに職務遂行に伴う人権に対する法的責任の現状について、更なる理解を深めるための指導を行う。

学修目標

1. 日本国憲法の成立経緯と特色を理解する。〈DP③〉 2. 基本的人権の尊重規定をもとに、個人の尊厳に関して法的側面から、その理解を深める。〈DP③〉 3. 医療と人権に関する大切さを理解する。〈DP③〉 4. 鍼灸学科における『あはき法』をもとに、今後の業務遂行に必要な関係法規のしくみを学習し理解する。〈DP③〉 5. 現在の医療過誤に関する状況と、人権に対する法的責任の実態を検証する。〈DP③〉 6. 時事関連問題として、高齢者の増加に伴う業務連絡に関わる行政面の諸対応や憲法改正論議の現状とその是非についての理解を深める。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 日本国憲法の内容理解とともに、医療法規に関する指導説明が加わることから、補充解説たる板書筆記が重要となる。 2. 指導内容に即した市販書籍は多数に亘るため、教科書代用の資料冊子にて講義を行う。 3. 疑問点や分かりにくい事項が生じた場合は、適宜質問を行うことで理解を進めること。 4. 将来の業務実践を見据え、指導内容に対する人権・人格の尊重に十分留意し積極的取り組みを求める。

教科書

指定しない。

参考書

特になし。

研究室／オフィスアワー

授業前後の非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	法と社会生活①　　法の成立並びに社会と規範	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
2	法と社会生活②　　法と道徳、法の支配、法体系のしくみ	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：社会規範としての法の意義を考える　復習：法の概念の理解と確認を行う	植田
3	日本国憲法の制定史と特色　　日本国憲法の基本理念と基本原理　　明治憲法との比較	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：日本国憲法の成立経緯を確認する　復習：講義内容をもとに、基本的人権規定の各事項を理解し把握する	植田
4	基本的人権規定①　　基本的人権の成立経緯と人権規定	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習：重要語句について再チェックする	植田
5	基本的人権規定②　　新しい人権(人格権と幸福	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキス	植田

	追求権）　包括的基本権	ト冊子より第 13 条の役割を確認する　復習：講義内容の完全理解に努める	
6	基本的人権規定③　自律的自己決定権	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、本項の確認を行う　復習：講義内容の完全理解に努める	植田
7	人権問題　人権保障の成立経緯と今日の人権問題	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：人権侵害の現状と今後の対応と必要性を探る	植田
8	衛星法規並び衛星行政　衛星法規の体系と分類	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：シラバス・テキスト冊子の確認　復習：保健衛生法規のしくみの理解と確認を行う	植田
9	関係法規①　施術者に対する関係法規のしくみと位置づけ、名称独占、業務独占	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習:シラバス・テキスト冊子の確認　復習：講義内容をもとに、施術者の役割を確認する	植田
10	関係法規②　免許取得、欠格条件等	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の中の法律用語の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
11	医療過誤と法的責任①　医療過誤の実態と権利侵害	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子の本項の確認を行う　復習：キーワード、重要語句の確認を行う	植田
12	医療過誤と法的責任②　医療過誤における法的責任	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：医療過誤に関する事例を調べる　復習：特に民事責任に関して確認を行う	植田
13	日本の政治体制と三権分立　国会・内閣規定より、選挙制度並びに議員内閣制	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行の選挙制度を確認する　復習:1 票の格差について理解を深める	植田
14	日本国憲法の改正手続	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：現行憲法の改正の必要性を調べる　復習：国民投票法の改正における影響を確認する	植田
15	今後の課題と検討	＜予習・復習 各 2 時間＞　予習：テキスト冊子より、キーワードの確認　復習:講義事項についての確認	植田
成績評価方法と基準			割合
①指導項目に関し、筆記試験を行う。※60 点以上で単位認定する。〈DP③〉			①100%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(鍼灸B)				
主担当教員	長尾 晋宏		担当教員	長尾 晋宏／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜3限
授業形態	演習	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie 共著、金星堂、2016年初版) ISBN 978-4-7647-4011-2

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟4階研究室4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	It’s so nice to see you!	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	挨拶をする	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	Is he a popular professor?	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	自己紹介をする	＜予習・復習 各2時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	長尾

		おくこと。	
6	He showed me a way.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	感想を述べる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	For here or to go？	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	注文をする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	She is so beautiful.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	お願いをする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	Catching a cab	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	場所を説明する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	How romantic! 人を描写する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test : Unit 1-7	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅰ(初級)(鍼灸 A)				
主担当教員	齊藤 裕己		担当教員	齊藤 裕己／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20014	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

英語Ⅰでは、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。また、教科書に基づく学習以外にも、医学用語の基礎知識を学習する。

学修目標

日常生活で目や耳にする英語に親しみ、それらを最低限理解できる。〈DP②〉 基本的な文法、語彙、表現を身につける。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie 共著、金星堂、2016 年初版) ISBN 978-4-7647-4011-2

参考書

英和辞書

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	Introduction / Placement Test	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
2	It’s so nice to see you!	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
3	挨拶をする	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
4	Is he a popular professor?	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
5	自己紹介をする	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認して	齋藤

		おくこと。	
6	He showed me a way.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
7	感想を述べる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
8	For here or to go？	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
9	注文をする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
10	She is so beautiful.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
11	お願いをする	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
12	Catching a cab	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
13	場所を説明する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
14	How romantic! 人を描写する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
15	Review test : Unit 1-7	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(鍼灸 B)				
主担当教員	長尾 晋宏		担当教員	長尾 晋宏／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie 共著、金星堂、2016 年初版) ISBN 978-4-7647-4011-2 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階研究室 4

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / I’m not feeling well.	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
2	体調を述べる	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
3	Tickets for a Yankee game	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
4	誘う	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
5	What’s on the shopping list?	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	長尾

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	誘いを断る	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
7	MoMA is fun!	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
8	聞き直す	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
9	The ”Fourth of July” is coming up.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
10	予定を尋ねる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
11	Who is that guy?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
12	提案する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
13	You are my best friend.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
14	We are going to be late！	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
15	Review test: Unit 8-15	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	長尾
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	英語Ⅱ(中級)(鍼灸 A)				
主担当教員	齊藤 裕己		担当教員	齊藤 裕己／藤重 仁子	
科目ナンバリング	LA20015	科目区分	教養科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

前期科目の英語Ⅰに引き続き、本授業でも、日常生活で最低限必要とされる、スピーキング、リスニング、リーディングのスキルを総合的に習得する。基本的な文法を復習し、単語・熟語・慣用句などの語彙を増やしながら、最低限自己表現できるコミュニケーション力を身につける。また、多くのリスニングをこなし、英語に耳を慣らしていく。授業を通して、英語に対する抵抗感をなくし、英語を学ぶことは楽しいという感覚を習得する。前期同様、医学用語の学習も続ける。

学修目標

基本的な文法、語彙を確実に身につける。〈DP②〉 英語で最低限のコミュニケーションが取れる。〈DP②〉 簡単な英文を正確に理解できる。〈DP②〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に授業に参加すること。 宿題（特にリーディングの予習）は必ずしてから授業に臨むこと。 私語、携帯電話の使用などは慎むこと。

教科書

Hello New York (Takehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, and Braven Smillie 共著、金星堂、2016 年初版) ISBN 978-4-7647-4011-2 英語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用する。英語Ⅰを履修していない者のみ、購入すること。

参考書

英和辞典

研究室／オフィスアワー

東棟 1 階講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Introduction / I’m not feeling well.	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
2	体調を述べる	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
3	Tickets for a Yankee game	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
4	誘う	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
5	What’s on the shopping list?	＜予習・復習 各 2 時間＞ 次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業	齋藤

		後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	
6	誘いを断る	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
7	MoMA is fun!	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
8	聞き直す	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
9	The ”Fourth of July” is coming up.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
10	予定を尋ねる	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
11	Who is that guy?	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
12	提案する	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
13	You are my best friend.	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
14	We are going to be late！	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
15	Review test: Unit 8-15	＜予習・復習 各2時間＞　次回学習する範囲に目を通し、語彙や表現、その他わからない箇所について調べてくること。授業後の復習では、それらをもう一度確認しておくこと。	齋藤
成績評価方法と基準			割合
①定期試験〈DP②〉　②クラスワーク（小テスト・課題・プレゼンテーション・授業態度・授業参加度など）〈DP②〉　2/3以上の出席が必要。			①50%　②50%

授業科目名	MBS(Morinomiya Basic Seminar)(鍼灸)				
主担当教員	増山　祥子		担当教員	増山　祥子／山下　仁／大川　祐世／前川佳敬／朝倉　智仁	
科目ナンバリング	CS20001	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限、火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は、大学生としての学習や生活をスムーズにスタートさせるために、大学生としてふさわしい「学び方」や「スキル」を身につけること、学園の歴史や建学の精神の意味やディプロマポリシーを理解することで、本学への帰属意識を確立させることを目的とする。　また、履修に関することや教育課程（カリキュラム）、学生生活に関するルール等を理解することで、大学で学ぶために必要な能力を身につけることを目的とする。　医療の歴史及び医療の現在と未来を知ることで、医療全体への興味をより深めることを目的とする。

学修目標

・本学の建学の精神及びディプロマポリシーを理解している。〈DP②③〉　・大学で学ぶために必要な能力を身につけている。〈DP②③〉　・生徒から学生へ移行する（主体的・能動的な学習スタイルを身につける）〈DP②③〉　・医療人を目指す学生であることに対しての自覚を強く持つ。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理想の大学生活とは？想像している内容と異なる話を聞くこともあるでしょうが、4 年間を有意義に過ごせるようこれからの生活を考えるきっかけとなることを願います。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜1【VOD 配信授業】【理事長､学長×学部長対談！】　テーマ：本学の歩みと未来 / 医療人に求められるもの	予習：本学の Web サイトで「建学の精神」「森ノ宮医療学園の歴史」「本学の特徴」について調べる。(1 時間以上)　復習：大学生・医療人としての心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 清水理事長 青木学長　内田学部長　前川学部長　森谷学部長
2	新入生研修会（８学科混成）【コスモホール】	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
3	本学の歩みと未来／生徒から学生へ｜2【VOD 配信授業】【学科長対談！】　テーマ：医療専門職を目指す者の心得	予習：本学の Web サイトで「本学の８学科」の専門職と医療倫理について調べる。(1 時間以上)　復習：医療・医学を学ぶ上での心得をまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 各学科長
4	BLS(一次救命処置)トレーニング【シミュレーションセンター】	予習：BLS(一次救命処置)について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：BLS(一次救命処置)について学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁

5	コミュニケーション入門【コスモホール】　（コミュニケーションって何？コミュニケーションのメリットは？「話を聞く」、「伝える」ってどういうこと？）　テーマ：コミュニケーションの基本的な理論と実践	予習：コミュニケーションの種類について調べてまとめる。(1 時間以上)　復習：コミュニケーションについて学んだことと自分の考えをまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 橋本　弘子
6	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	予習：本学内にある学科の職種内容を調べておく。(1 時間以上)　IPW とは何か？を調べる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
7	「3 学部合同 体験型脱出ゲーム」【 2 時限連続：コスモホール・体育館・シミュレーションセンター】　～チームで学ぶ医療の基礎～　テーマ：立ちはだかる課題をグループで協力して解決しながら医療の基礎を脱出ゲームで学んでみよう！	復習：IPW とは何かについてまとめる。(2 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
8	ディベート型グループディスカッション【コスモホール】　テーマ：グループワークを通じて，論理的に意見を述べよう！	予習：ディスカッションを通じた学びについて調べる。(1 時間以上)　復習：「ディスカッションを通じて議論すること」についてまとめる。(1 時間以上)	科目担当教員 ゲスト　朝倉智仁
成績評価方法と基準			割合
①毎回のコメントシート【D②③】　②レポート課題　テーマ「今後の大学生活ですべきこと」1600 字程度【D②③】　＊レポート課題の解説を行う。提出物は基本的に返却しませんが、希望者のみに返却します。　①②を右記の割合で計算し、60%以上の者を合格とする。			①30%　②70%

授業科目名	チーム医療見学実習（鍼灸）				
主担当教員	増山　祥子		担当教員	増山　祥子／山下　仁／大川　祐世／朝倉智仁	
科目ナンバリング	CS20002	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

1．医療の実践の場を模擬的に体験することにより、医療職への理解を深める。　2．自己の目指す専門職の役割や機能を知ると共にチーム医療を構成する様々な専門職の役割・機能についてし知識を深める。　3．医療における多職種連携の重要性を知る。

学修目標

1．実習を通じて医療の全体的な業務や役割について知ることができる。<DP②>　2．実習を通じてチーム医療の構成を知り、目指す専門職の役割および責任を自覚することができる。<DP②>　3．実習を通じて医療人としての姿勢を養い、学習への意欲向上のきっかけとし、専門的学習に臨む上での自己の考えを述べることができる。<DP②③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

見学時は、迷惑がかからない行動を取るとともに、積極的に取り組むこと。また、集合場所や時間等は引率教員の指示に従うこと。

教科書

JOB GUIDE BOOK・資料を配布することもある。

参考書

指定しない。

研究室／オフィスアワー

別途連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	事前授業（実習前オリエンテーション）	予習：本学に設置されている学科の仕事内容を調べる。大学生としてのマナー、社会人としてのマナーについて調べる。（1時間以上）　復習：授業内容をまとめ、チーム医療についての考えと大学生としてのマナーについてまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁
2	見学実習（2～6回の全5回）　オリエンテーション、体験授業(8 学科混成)	予習：チーム医療の重要性について調べる。（1時間以上）　復習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁
3	IPW 論	予習：IPW(多職種連携・協働)について調べる。（1時間以上）　復習：IPW で討議したことをまとめておく。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁
4	これまでのまとめ	予習：見学実習での学びをまとめる。（1時間以上）　復習：チーム医療での各自の役割をまとめる。（1時間以上）	科目担当者　ゲスト　朝倉智仁
5			
6			
7			
8			

成績評価方法と基準	割合
レポート課題<DP②③>　　「施設見学を終えて、チーム医療の重要性について自己の考えを述べよ」1600 字程度　＊レポートの書き方については、オリエンテーション時に配布した「JOB GUIDE BOOK pp.14-17」を参照のこと。	100%

授業科目名	基礎体育（作業 B）					
主担当教員	伊奈　新太郎			担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目		ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期		曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位		必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　・クラス分けを行うため、必ず出席のこと　・運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　・大阪万博開催期間に伴い、履修人数次第では、1 限目:オンデマンド（課題配信・提出型)、2 限目:通常体育（体育館にて種目実施型）を併用して入替ながら実施する場合があります。　　服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計などの破損、貴重品や装飾品の紛失について担当教員は責任を負わない。授業に不必要なモノを持ち込まず、各自のロッカーを活用して個人管理を徹底して下さい。　　注意事項　（１）集合場所　:C 棟体育館　　日にち（特に雨天時）によって、授業を行う場所を変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。（２）運動施設　　C 棟学内体育館、グリーンスクエア（屋外人工芝グラウンド）を使用します。　（３）運動種目　　フットサル、バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール、アルティメットなど　（４）運動実施に伴う配慮について　　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3時限目・4時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス 軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之

14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	基礎体育（作業 A）					
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之		
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

1．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　2．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　3．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　4．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　・クラス分けを行うため、必ず出席のこと　・運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　・大阪万博開催期間に伴い、履修人数次第では、1 限目:オンデマンド（課題配信・提出型)、2 限目:通常体育（体育館にて種目実施型）を併用して入替ながら実施する場合があります。　服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計などの破損、貴重品や装飾品の紛失について担当教員は責任を負わない。授業に不必要なモノを持ち込まず、各自のロッカーを活用して個人管理を徹底して下さい。　注意事項　（１）集合場所　:C 棟体育館　日にち（特に雨天時）によって、授業を行う場所を変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。（２）運動施設　C 棟学内体育館、グリーンスクエア（屋外人工芝グラウンド）を使用します。　（３）運動種目　フットサル、バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール、アルティメットなど　（４）運動実施に伴う配慮について　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3時限目・4時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス 、軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之

14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	基礎体育（理学 B）				
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③④〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③④〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　・クラス分けを行うため、必ず出席のこと　・運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　・大阪万博開催期間に伴い、履修人数次第では、1 限目:オンデマンド（課題配信・提出型)、2 限目:通常体育（体育館にて種目実施型）を併用して入替ながら実施する場合があります。　服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計などの破損、貴重品や装飾品の紛失について担当教員は責任を負わない。授業に不必要なモノを持ち込まず、各自のロッカーを活用して個人管理を徹底して下さい。　注意事項　（１）集合場所　:C 棟体育館　日にち（特に雨天時）によって、授業を行う場所を変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。（２）運動施設　C 棟学内体育館、グリーンスクエア（屋外人工芝グラウンド）を使用します。　（３）運動種目　フットサル、バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール、アルティメットなど　（４）運動実施に伴う配慮について　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3時限目・4時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス、軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加
9	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習1時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之

14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③④〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	基礎体育（理学 A）					
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員	伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／小田　啓之		
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③④	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限	
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択	

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲームを自主的に運営する能力を養う。また、スポーツの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③④〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③④〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回について(オリエンテーション)　1 限目:理学 A･作業 A　2 限目:理学Ｂ･作業 B　合同オリエンテーション　　10:40（2 限目）に合同オリエンテーションを実施します　　C（キャナル）棟 1F 体育館に集合して下さい。(C 棟エレベーターホール左奥の体育倉庫から入室、体育館シューズに履き替えて、体育館フロアへ入ること)　・クラス分けを行うため、必ず出席のこと　・運動が可能なスポーツウェア(NG:綿パン・ジーパン・スカート)・体育館シューズで参加すること（中学・高校時代の体操服等でも結構です)　・飲料用水分は事前に用意しておくこと　・大阪万博開催期間に伴い、履修人数次第では、1 限目:オンデマンド（課題配信・提出型)、2 限目:通常体育（体育館にて種目実施型）を併用して入替ながら実施する場合があります。　　服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計などの破損、貴重品や装飾品の紛失について担当教員は責任を負わない。授業に不必要なモノを持ち込まず、各自のロッカーを活用して個人管理を徹底して下さい。　　注意事項　（１）集合場所　:C 棟体育館　　日にち（特に雨天時）によって、授業を行う場所を変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。（２）運動施設　　C 棟学内体育館、グリーンスクエア（屋外人工芝グラウンド）を使用します。　（３）運動種目　　フットサル、バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール、アルティメットなど　（４）運動実施に伴う配慮について　　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

原則月曜日　3時限目・4時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス、軽運動	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
3	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
4	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、、信江　彩加、小田　啓之
5	基本技術の習得　　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
6	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
7	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
8	応用技術の習得　　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
9	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
10	基本・応用技術の発展　　模擬ゲームの実施とルールの理解②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
11	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営①	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
12	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営②	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
13	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営③	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之

14	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営④	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
15	ゲームの展開　　学生主体のゲーム運営⑤・レポート	実技種目の競技特性理解を行う　予習・復習１時間	伊奈　新太郎、中原　英博、信江　彩加、小田　啓之
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(10 コマ)以上出席すること。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。　①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③④〉　　その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	健康科学(スポーツ社会学を含む)(鍼灸)				
主担当教員	小田 啓之		担当教員	小田 啓之	
科目ナンバリング	CS20007	科目区分	学部共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	鍼灸:選択 スポーツ:選択 AT:必修

授業概要

健康に対する意識が高まり、健康食品や健康器具などがブームとなっている近年、マスメディアを通じて流されている情報には、科学的根拠が乏しいものも少なくはない。本授業では、生活習慣病、地域社会における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方、運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につけることを目標とする。

学修目標

・運動や食事指導に関する科学的根拠に基づいた専門的な知識を身につける (DP③)。 ・本邦における健康維持、増進に関わる取り組みや考え方について理解する (DP③)。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回配布する資料と授業中に作成したノートを用いて、必ず復習してください。

教科書

パワーポイントを用いて授業を実施する。適宜、資料を配布する。

参考書

出村慎一監修「健康・スポーツ科学講義」杏林書院、2005 年 田中喜代次編「健康運動の支援と実践」金芳堂、2006 年

研究室／オフィスアワー

東棟 4F 火曜 15：00-18：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康とは？	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
2	運動・栄養と肥満症との関係	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
3	運動・栄養と糖尿病との関係	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
4	運動・栄養と脂質異常症との関係	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
5	三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）の役割	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
6	微量栄養素（ビタミン・ミネラル）と水の役割	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
7	消化器の構造と機能	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
8	食品群の理解と応用	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
9	エネルギー摂取量と消費量との関係	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
10	運動時におけるエネルギー産生メカニズム	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
11	運動処方の原則と実際	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
12	運動と食欲の関係－最新のトピックス－	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田

13	日本人の食事摂取基準について	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
14	健康づくりに関する本邦の取り組み	予習： シラバスの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
15	講義全体のまとめと振り返り	予習： これまでのプリントの確認. 復習： 配布プリント，キーワードの確認.	小田
成績評価方法と基準			割合
①授業内試験で評価する（DP③）。 15 回の講義に対し、必要な時間数の出席が必須である。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 課題・テスト後、各設問の解答を解説する。希望者には個別に採点後の試験答案を開示する。			①100%

授業科目名	基礎体育（鍼灸）					
主担当教員	伊奈　新太郎		担当教員		伊奈　新太郎／中原　英博／信江　彩加／濱口　幹太／小田　啓之／内田　昌孝／藤戸　靖則／教員未確定	
科目ナンバリング	CS20006	科目区分	共通科目		ディプロマポリシー該当項目	DP③
配当年次	1 年	開講学期	後期		曜日･時限	水曜 1 限、水曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位		必修･選択	鍼灸:選択　スポーツ:必修　AT:必修

授業概要

本科目では、学生が自らの適正に応じてスポーツ・トレーニング種目を選択できるよう、軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンス、レジスタンス運動など多種多様なスポーツ・トレーニング種目を用意し、各種目特性を生かして、「思いっきり体を動かす爽快感」と「プレーを通じて感じる理屈抜きの楽しさ」を存分に経験できるようなゲーム主体の授業プログラムを提供する。その中で、体力のレベルアップや身体動作の向上を図ると同時に、ゲーム等を自主的に運営する能力を養う。また、スポーツ・トレーニングの実践を通じて、学生同士の心の交流や人間関係を育み、生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツ・トレーニングを実践する習慣を育成することも本実習の大きな狙いである。

学修目標

１．スポーツ活動を通じて、学科の枠を超えた学生同士の心の交流や人間関係を育むことができる。〈DP③〉　２．スポーツ活動を通じて、基礎体力や、技術が向上する。　３．スポーツ活動を通じて、チームワークの重要性を認識できる。〈DP③〉　４．生涯にわたり楽しく、計画的にスポーツを実践する習慣を身につけることができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業について　本科目は、学外施設を使用して実施する関係上、履修者の人数を把握してからクラス編成を行います。初回オリエンテーション時の服装等は下記と同様として、必ず出席すること。　集合場所：学内体育館 9:00 集合　※スポーツ特修コース希望者は別途アナウンスを行う場合があります。MORIPA の掲示やメールを注意しておいて下さい。服装について　（１）各教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。　（２）シューズは屋外用、屋内用ともにゴム底の運動靴を用意すること。 屋外でのスポーツ種目を実施するクラスの者は、雨天により急きょ屋内種目に変更する場合があるので、毎回の授業時において、屋内用シューズは必ず用意しておくこと。　（３）授業中におけるメガネや時計、装飾品の紛失・破損、貴重品の盗難などについて担当教員は責任を負わない。ピアスやネックレスなどの装飾品は必ず外し、スマートホンなど科目に不必要なモノはカバンやロッカーで管理すること。　注意事項　（１）集合場所　日にち（特に雨天時）によって、各クラス担当教員ごとに、授業を行う場所やバス運行時刻等が変更する場合があります。特別指示がない場合においても、毎回、注意して掲示（MORIPA）を見る習慣をつけること。　（２）各運動施設までの移動手段について　本学体育館や近隣の代替運動施設を利用して、基礎体育を行います。近隣（バスで約 10～20 分）の運動施設までの移動には、大学前から現地まで貸し切りバスをチャーターし、みなさんを送迎します。現地集合の設定などは適宜アナウンス致します。　（３）運動実施に伴う配慮について　身体を積極的に動かす科目ですが、予め複数回や長期的に種目参加が難しいことが想定される方や疾患を抱えて履修や参加が不安な方は、事前に健康管理センターへ相談をして下さい。または、初回のオリエンテーション時に担当教員へ直接相談して頂いても結構です。　※　鍼灸学科スポーツ特修コース希望者は、資格取得のため必要な運動種目（レジスタンス運動）を選択する必要があります。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー			
原則月曜日　3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。			
授業展開及び授業計画表			
回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション クラス分けガイダンス スポーツ種目の選択、コースの決定	軽スポーツ、球技スポーツ、ニュースポーツ、ダンスなど多種多様なスポーツ種目の特性について理解を深めておく。	授業内で案内
2	スポーツ種目特性の理解　種目･用具特性の把握	予習・復習 1 時間	授業内で案内
3	基本技術の習得　スポーツ種目に応じた基本技術の習得①	予習・復習 1 時間	授業内で案内
4	基本技術の習得　スポーツ種目に応じた基本技術の習得②	予習・復習 1 時間	授業内で案内
5	基本技術の習得　スポーツ種目に応じた基本技術の習得③	予習・復習 1 時間	授業内で案内
6	応用技術の習得　スポーツ種目に応じた応用技術の習得①	予習・復習 1 時間	授業内で案内
7	応用技術の習得　スポーツ種目に応じた応用技術の習得②	予習・復習 1 時間	授業内で案内
8	応用技術の習得　スポーツ種目に応じた応用技術の習得③	予習・復習 1 時間	授業内で案内
9	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解①	予習・復習 1 時間	授業内で案内
10	基本・応用技術の発展　模擬ゲームの実施とルールの理解②	予習・復習 1 時間	授業内で案内
11	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営①	予習・復習 1 時間	授業内で案内
12	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営②	予習・復習 1 時間	授業内で案内
13	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営③	予習・復習 1 時間	授業内で案内
14	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営④	予習・復習 1 時間	授業内で案内
15	ゲームの展開　学生主体のゲーム運営⑤	予習・復習 1 時間	授業内で案内
16	健康づくりとレジスタンス運動	予習・復習 1 時間	授業内で案内
17	形態測定、身体組成の評価	予習・復習 1 時間	授業内で案内
18	レジスタンス運動の運類①	筋の活動様式から見た分類とその特徴　等尺性筋収縮：アイソメトリックトレーニング　等張性筋収縮：アイソトニックトレーニング　等速性筋収縮：アイソキネティックトレーニング	授業内で案内
19	レジスタンス運動の運類②	運動様式から見た分類	授業内で案内
20	アイソトニックトレーニングの実際①	適切なプログラムの立案の基礎	授業内で案内
21	アイソトニックトレーニングの実際②	基礎体力の養成	授業内で案内
22	アイソトニックトレーニングの実際③	目的別トレーニング	授業内で案内
23	アイソトニックトレーニングの実際④	最大筋力の測定法	授業内で案内
24	アイソトニックトレーニングの実際⑤	フリーウェイトトレーニングとマシントレーニング	授業内で案内
25	アイソトニックトレーニングの実際⑥	長所と短所	授業内で案内
26	身体各部のレジスタンストレーニング①	胸部のトレーニング種目	授業内で案内
27	身体各部のレジスタンストレーニング②	上肢の筋群（上腕部・前腕部）のトレーニング種目	授業内で案内

28	身体各部のレジスタンストレーニング③	背部の筋群のトレーニング種目	授業内で案内
29	身体各部のレジスタンストレーニング④	肩腕部・腹部の筋群のトレーニング種目	授業内で案内
30	身体各部のレジスタンストレーニング⑤	下肢の筋群（脚部・臀部）のトレーニング種目	授業内で案内
成績評価方法と基準			割合
授業回数の 2/3(20 コマ)以上出席すること（本授業科目においては１日で２コマ分の授業となっているので 10 日以上出席が必要です)。授業開始後、30 分を超えての遅刻は欠席とみなす。成績の評価は、原則として 2/3 以上出席した者を対象とする。 ①技能・理解・積極性などを総合的に判定するとともに、授業最終日にはレポートの提出を義務づける。〈DP③〉 その成績が６０点未満の者は不可とし単位を認定しない。			①100%

授業科目名	生理学Ⅰ（動物生理学）（鍼灸）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	SB20BACB004	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生理学Ⅰでは、神経の基礎、筋運動、感覚について学習する。

学修目標

1．神経の興奮と伝達について理解する。　2．筋収縮のメカニズムについて理解する。　3．脊髄反射について理解する。　4．皮膚感覚について理解する。　5．特殊感覚について理解する。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本講義で行う内容は、漏らさずに記録すること。　2．講義内容と病気・診察・鍼灸治療法などを関連づけて説明するので、鍼灸師になるために必要な科目であることを十分に理解して臨むこと。　3．前回の授業内容について、5-10 問程度の小テストを毎講義前に行うので、必ず復習して臨むこと。

教科書

「生理学」　東洋療法学校協会編　医歯薬出版

参考書

目で見るからだのメカニズム　堺章著　医学書院

研究室／オフィスアワー

昼休みを中心として、研究室に在室中はいつでも相談に来ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	第 1 章：細胞　体液の組成　物質移動	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
2	第 11 章：ニューロン　興奮伝導	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
3	第 11 章：興奮伝達　脊髄	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
4	第 13 章：筋線維の種類　骨格筋の構造	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
5	第 13 章：興奮収縮連関　筋の収縮型	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
6	第 13 章：筋のエネルギー代謝	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
7	第 14 章：骨格筋の神経支配と伸張反射	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業	鍋田

		中に重要と述べて項目を学習すること	
8	第 14 章：拮抗抑制　自己抑制　屈曲反射	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること　中間テスト対策：1-8 単元での学習内容について、国家試験出題形式（4 肢択一）にて 20 問出題するので、再学習すること。	鍋田
9	第 14 章：その他の反射　中間テスト	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
10	第 15 章：感覚の一般　二点弁別測定	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
11	第 15 章：触圧覚　温度覚	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
12	第 15 章：痛覚	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
13	第 15 章：深部感覚　内臓感覚　味覚　嗅覚	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
14	第 15 章：聴覚　平衡覚	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
15	第 15 章：視覚	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。	鍋田
成績評価方法と基準			割合
①講義前に実施する全ての小テスト評価　正解数／10 問×4 回＝40 点（最大）　②期末テスト（筆記）60 点　全評価合計で 60%以上を取得すること。　DP②③			①40%　②60%

授業科目名	生理学Ⅱ(植物生理学)(鍼灸)				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	SB20BACB005	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生理学Ⅱでは、血液、心臓、呼吸、消化、代謝について学習する。

学修目標

1．血液の組成と凝固について理解する。　2．心臓の機能を理解する。　3．循環の調節について理解する。　4．呼吸の調節について理解する。　5．消化・吸収・排泄について理解する。　6．代謝と体温調節について理解する。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本講義で行う内容は、漏らさずに記録すること。　2．講義内容と病気・診察・鍼灸治療法などを関連づけて説明するので、鍼灸師になるために必要な科目であることを十分に理解して臨むこと。　3．前回の授業内容について、5-10 問程度の小テストを毎講義前に行うので、必ず復習して臨むこと。

教科書

「生理学」　東洋療法学校協会編　医歯薬出版

参考書

目で見るからだのメカニズム　堺章著　医学書院

研究室／オフィスアワー

月曜から木曜のお昼休み。その他、研究室にいればいつでも。予定表は東棟 4 階研究室 20 のドアに貼っています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	前期確認テストと解説	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
2	第 2 章：血液の組成　血液凝固	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
3	第 2 章：血液型　大・小循環	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
4	第 3 章：心臓	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
5	第 3 章：血管運動と血圧	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
6	第 3 章：循環の調節　リンパ系	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること　中間テスト対策として、これまでの再学習をすること	鍋田

7	中間テスト　第 4 章：呼吸運動と肺の機能	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
8	第 4 章：ガス交換と呼吸調節	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
9	第 5 章：口腔内の消化　嚥下	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
10	第 5 章：胃　十二指腸の消化	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
11	第 5 章：小腸の消化と吸収	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
12	第 5 章：大腸の機能と排便	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
13	第 6 章：栄養素と代謝	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
14	第 7 章：産熱と放熱	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
15	第 7 章：体温調節の仕組み	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。	鍋田
成績評価方法と基準			割合
①講義前に実施する全ての小テスト評価　正解数／10 問×4 回＝40 点（最大）　②期末テスト（筆記）60 点　全評価合計で 60%以上を取得すること。　DP②③			①40%　②60%

授業科目名	生理学Ⅲ(応用生理学)(鍼灸)				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	SB20BACB006	科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

生理学Ⅲでは、自律神経系、大脳による調節、生体の防御機構、排尿、内分泌について学習する。

学修目標

1．自律神経による生体の調節について理解する。　2．脳が生体情報をどのようにコントロールしているかを理解する。　3．生体が外敵からどのように身を守っているかを理解する。　4．尿の生成と排泄について理解する。　5．内分泌による生体の調節について理解する。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本講義で行う内容は、漏らさずに記録すること。　2．講義内容と病気・診察・鍼灸治療法などを関連づけて説明するので、鍼灸師になるために必要な科目であることを十分に理解して臨むこと。

教科書

「生理学」　東洋療法学校協会編　医歯薬出版。

参考書

目で見るからだのメカニズム　堺章著　医学書院

研究室／オフィスアワー

昼休みを中心として、研究室に在室中はいつでも相談に来ること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	第 12 章：自律神経総論　交感神経系	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
2	第 12 章：副交感神経系	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
3	第 12 章：自律神経調節と反射	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
4	第 11 章：脳幹　間脳　小脳	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
5	第 11 章：大脳　生体のフィードバック機構	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
6	第 16 章：炎症	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
7	第 16 章：免疫	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業	鍋田

		中に重要と述べて項目を学習すること　中間テストに向けて、これまでの学習内容を再学習すること	
8	第 17 章：生体のリズム	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
9	第 8 章：腎臓の構造と働き	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
10	第 8 章：尿の生成と体液調節	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
11	第 8 章：蓄尿と排尿　内分泌総論	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
12	第 9 章：視床下部　下垂体　甲状腺　副甲状腺	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
13	第 9 章：副腎皮質　副腎髄質	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
14	第 9 章：性ホルモン　血糖調節	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。　復習：本単元の学習内容について、次単元にて小テストを行うので、授業中に重要と述べて項目を学習すること	鍋田
15	第 10 章：生殖器の作用	予習：教科書の該当部分を予め読んでくること。	鍋田
成績評価方法と基準			割合
①講義前に実施する全ての小テスト評価　正解数／10 問×4 回＝40 点（最大）　②期末テスト（筆記）60 点　全評価合計で 60%以上を取得すること。　DP②③			①40%　②60%

授業科目名	経絡経穴学Ⅰ（鍼灸 B）				
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨	
科目ナンバリング	SS20BACB001	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

経絡経穴は鍼灸の根幹をなすものである。その中で 1 年次には入門編の位置づけとし、経絡の種類、それに属する経穴名、経穴を取穴するために必要な解剖学的知識、経穴の取穴部位などを学修する。　経絡経穴学Ⅰでは、任脈、督脈、手の太陰肺経、手の陽明大腸経、足の陽明胃経、足の太陰脾経、手の少陰心経の 158 穴の名称名、部位等を学修する。取穴に際しては骨度法や同身寸を理解すると共に、基準となる骨、筋腱、動脈拍動部などを学修し、経穴の正確な部位の特定ができるよう学修する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．経絡と経穴を理解する。　2．骨度法・同身寸法について理解する。　3．経穴を取穴するために必要な解剖学的名称を触り説明できる。　4．履修した経穴を取穴することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 白衣の着用を義務とする。　2. 授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。　3. 取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。　4. 取穴の際に必要な「水性のペン」を持参する。

教科書

「経絡経穴概論」医道の日本社　教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」　南江堂　　大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日 5 限　　仲村：4 階共同研究室　月曜日 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	経絡経穴学概論 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　経絡・経穴の基礎（P2～P9）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	経絡経穴学概論 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　骨度法、解剖学的肢位と方向に関する用語の確認（P9～P23）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	任脈 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　任脈（会陰～中脘）の確認（P40～P47）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	任脈 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　任脈(上脘～承漿）の確認（P46～P51）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	督脈 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　督脈（長強～大椎）の確認（P26～P33）　復	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨

		習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	
6	督脈２（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 督脈（癒門～齦交）の確認（P32～P39） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
7	手の太陰肺経（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の太陰肺経（中府～少商）の確認（P52～P59） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
8	手の陽明大腸経１（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の陽明大腸経（商陽～曲池）の確認（P60～P67） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
9	手の陽明大腸経２（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の陽明大腸経（肘髎～迎香）の確認（P66～P71)） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
10	足の陽明胃経１（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の陽明胃経（承泣～屋翳）の確認（P72～P79） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
11	足の陽明胃経２（経絡と経穴名と取穴）	復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認 予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の陽明胃経（膺窓～気衝）の確認（P78～P85）復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
12	足の陽明胃経３（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の陽明胃経（髀関～厲兌）の確認（P84～P91） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
13	足の太陰脾経１（経絡と経穴名と取穴）	予習：足の太陰脾経（隠白～衝門）の確認（P92～P99） 復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
14	足の太陰脾経２（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の太陰脾経（府舎～大包）の確認（P98～P103 習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
15	手の少陰心経（経絡と経穴名と取穴） 前期まとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の少陰心経（極泉～少衝）の確認（P104～P109） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト 10% ②経穴暗記確認テスト ③期末試験（筆記試験）50% ④期末試験（口答試問）40% 評価は①～④の合算（100%）とする。 基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。②の合格で③④の受験資格とする。 2/3 以上の出席を必要とする。			①小テスト 10% ②経穴暗記確認テスト ③期末試験（筆記試験）50% ④期末試験（口答試問）40%

授業科目名	経絡経穴学Ⅰ（鍼灸 A）				
主担当教員	尾﨑　朋文	担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨		
科目ナンバリング	SS20BACB001	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

経絡経穴は鍼灸の根幹をなすものである。その中で 1 年次には入門編の位置づけとし、経絡の種類、それに属する経穴名、経穴を取穴するために必要な解剖学的知識、経穴の取穴部位などを学修する。　経絡経穴学Ⅰでは、任脈、督脈、手の太陰肺経、手の陽明大腸経、足の陽明胃経、足の太陰脾経、手の少陰心経の 158 穴の名称名、部位等を学修する。取穴に際しては骨度法や同身寸を理解すると共に、基準となる骨、筋腱、動脈拍動部などを学修し、経穴の正確な部位の特定ができるよう学修する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．経絡と経穴を理解する。　2．骨度法・同身寸法について理解する。　3．経穴を取穴するために必要な解剖学的名称を触り説明できる。　4．履修した経穴を取穴することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 白衣の着用を義務とする。　2. 授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。　3. 取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。　4. 取穴の際に必要な「水性のペン」を持参する。

教科書

「経絡経穴概論」医道の日本社　教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」　南江堂　　大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日 5 限　　仲村：4 階共同研究室　月曜日 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	経絡経穴学概論 1	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　経絡・経穴の基礎（P2～P9）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	経絡経穴学概論 2	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　骨度法、解剖学的肢位と方向に関する用語の確認（P9～P23）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	任脈 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　任脈（会陰～中脘）の確認（P40～P47）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	任脈 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　任脈(上脘～承漿）の確認（P46～P51）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	督脈 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　督脈（長強～大椎）の確認（P26～P33）　復	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨

		習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	
6	督脈２（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 督脈（癒門～齦交）の確認（P32～P39） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
7	手の太陰肺経（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の太陰肺経（中府～少商）の確認（P52～P59） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
8	手の陽明大腸経１（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の陽明大腸経（商陽～曲池）の確認（P60～P67） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
9	手の陽明大腸経２（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の陽明大腸経（肘髎～迎香）の確認（P66～P71)） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
10	足の陽明胃経１（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の陽明胃経（承泣～屋翳）の確認（P72～P79） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
11	足の陽明胃経２（経絡と経穴名と取穴）	復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認 予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の陽明胃経（膺窓～気衝）の確認（P78～P85）復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
12	足の陽明胃経３（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の陽明胃経（髀関～厲兌）の確認（P84～P91） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
13	足の太陰脾経１（経絡と経穴名と取穴）	予習：足の太陰脾経（隠白～衝門）の確認（P92～P99） 復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
14	足の太陰脾経２（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 足の太陰脾経（府舎～大包）の確認（P98～P103 習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
15	手の少陰心経（経絡と経穴名と取穴） 前期まとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 手の少陰心経（極泉～少衝）の確認（P104～P109） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト 10% ②経穴暗記確認テスト ③期末試験（筆記試験）50% ④期末試験（口答試問）40% 評価は①～④の合算（100%）とする。 基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。②の合格で③④の受験資格とする。 2/3 以上の出席を必要とする。			①小テスト 10% ②経穴暗記確認テスト ③期末試験（筆記試験）50% ④期末試験（口答試問）40%

授業科目名	経絡経穴学Ⅱ（鍼灸 B）				
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨	
科目ナンバリング	SS20BACB002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

経絡経穴は鍼灸の根幹をなすものである。その中で 1 年次には入門編という位置づけとし、経絡の種類、それに属する経穴名、経穴を取穴するために必要な解剖学的知識、経穴の取穴部位などを学修する。　経絡経穴学Ⅰでは、手の太陽小腸経、足の太陽膀胱経、足の少陰腎経、手の厥陰心包経、手の少陽三焦経、足の少陽胆経、足の厥陰肝経の 203 穴の名称名、部位等を学修する。取穴に際しては骨度法や同身寸を理解すると共に、基準となる骨、筋腱、動脈拍動部などを学修し、経穴の正確な部位の特定ができるよう学修する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．経絡と経穴を理解する。　２．骨度法・同身寸法について理解する。　３．経穴を取穴するために必要な解剖学的名称を触り説明できる。　４．履修した経穴を取穴することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．白衣の着用を義務とする。　2．授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。　3．取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。　4．取穴の際に必要な「水性のペン」を持参する。

教科書

「経絡経穴概論」医道の日本社　教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」　南江堂　　大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日 5 限　　仲村：4 階研究室 13　金曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	手の太陽小腸経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　少沢～曲垣（P110～P117）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	手の太陽小腸経 2（経絡と経穴名と取穴）　足の太陽膀胱経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　肩外俞～聴宮、晴明～天柱（P116～124）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	足の太陽膀胱経 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　大杼～大腸俞）の確認（P126～P130）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	足の太陽膀胱経 3（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　関元俞～委中の確認（P132～P136）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	足の太陽膀胱経 4（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　附分～秩辺の確認（P138～P143）　復習：講義資	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨

		料、教科書を見てまとめること（1 時間）	
6	足の太陽膀胱経 5（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 合陽～至陰の確認（P144～P149） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
7	足の少陰腎経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 湧泉～陰谷の確認（P150～P155） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
8	足の少陰腎経 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 横骨～兪府の確認（P156～P163） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
9	手の厥陰心包経（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 天池～中衝の確認（P164～P169)） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
10	手の少陽三焦経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 関衝～天井の確認（P170～P175） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
11	手の少陽三焦経 2（経絡と経穴名と取穴）	復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認 予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 清冷淵～糸竹空の確認（P176～P181） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
12	足の少陽胆経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 瞳子髎～足臨泣の確認（P182～P189） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
13	足の少陽胆経 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 目窓～環跳の確認（P190～P194） 復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
14	足の少陽胆経 3（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 風市～足竅陰の確認（P196～P201） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
15	足の厥陰肝経（経絡と経穴名と取穴） まとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 大敦～の期門の確認（P202～P209） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト 10% ②経穴暗記確認テスト ③期末試験（筆記試験）50% ④期末試験（口答試問）40% 評価は①～④の合算（100%）とする。 基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。②の合格で③④の受験資格とする。 2/3 以上の出席を必要とする。			①10% ③50% ④40%

授業科目名	経絡経穴学Ⅱ（鍼灸 A）				
主担当教員	尾﨑　朋文		担当教員	尾﨑　朋文／仲村　正子／久保　湧奨	
科目ナンバリング	SS20BACB002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

経絡経穴は鍼灸の根幹をなすものである。その中で 1 年次には入門編という位置づけとし、経絡の種類、それに属する経穴名、経穴を取穴するために必要な解剖学的知識、経穴の取穴部位などを学修する。　経絡経穴学Ⅰでは、手の太陽小腸経、足の太陽膀胱経、足の少陰腎経、手の厥陰心包経、手の少陽三焦経、足の少陽胆経、足の厥陰肝経の 203 穴の名称名、部位等を学修する。取穴に際しては骨度法や同身寸を理解すると共に、基準となる骨、筋腱、動脈拍動部などを学修し、経穴の正確な部位の特定ができるよう学修する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

１．経絡と経穴を理解する。　２．骨度法・同身寸法について理解する。　３．経穴を取穴するために必要な解剖学的名称を触り説明できる。　４．履修した経穴を取穴することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．白衣の着用を義務とする。　2．授業には、必ず教科書、参考図書を持参する。　3．取穴の際しては、いつでもモデル役ができるよう服装に気をつけること。　4．取穴の際に必要な「水性のペン」を持参する。

教科書

「経絡経穴概論」医道の日本社　教科書執筆小委員会（尾﨑朋文他）

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス」　南江堂　　大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座鍼灸解剖グループ（尾﨑朋文他）

研究室／オフィスアワー

尾﨑：4 階研究室 18　月曜日 5 限　　仲村：4 階研究室 13　金曜日 2 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	手の太陽小腸経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　少沢～曲垣（P110～P117）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
2	手の太陽小腸経 2（経絡と経穴名と取穴）　足の太陽膀胱経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　肩外俞～聴宮、晴明～天柱（P116～124）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
3	足の太陽膀胱経 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　大杼～大腸俞）の確認（P126～P130）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
4	足の太陽膀胱経 3（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　関元俞～委中の確認（P132～P136）　復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨
5	足の太陽膀胱経 4（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間）　附分～秩辺の確認（P138～P143）　復習：講義資	尾﨑 朋文　仲村 正子　久保 湧奨

		料、教科書を見てまとめること（1 時間）	
6	足の太陽膀胱経 5（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 合陽～至陰の確認（P144～P149） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
7	足の少陰腎経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 湧泉～陰谷の確認（P150～P155） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
8	足の少陰腎経 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 横骨～兪府の確認（P156～P163） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
9	手の厥陰心包経（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 天池～中衝の確認（P164～P169)） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
10	手の少陽三焦経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 関衝～天井の確認（P170～P175） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
11	手の少陽三焦経 2（経絡と経穴名と取穴）	復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認 予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 清冷淵～糸竹空の確認（P176～P181） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
12	足の少陽胆経 1（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 瞳子～足臨泣の確認（P182～P189） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
13	足の少陽胆経 2（経絡と経穴名と取穴）	予習：予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 目窓～環跳の確認（P190～P194） 復習：授業をもとにシラバス・教科書の確認	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
14	足の少陽胆経 3（経絡と経穴名と取穴）	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 風市～足竅陰の確認（P196～P201） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
15	足の厥陰肝経（経絡と経穴名と取穴） まとめ	予習：シラバスを見て、次回講義の範囲（教科書）を読むこと（1 時間） 大敦～の期門の確認（P202～P209） 復習：講義資料、教科書を見てまとめること（1 時間）	尾﨑 朋文 仲村 正子 久保 湧奨
成績評価方法と基準			割合
①小テスト 10% ②経穴暗記確認テスト ③期末試験（筆記試験）50% ④期末試験（口答試問）40% 評価は①～④の合算（100%）とする。 基準は③・④とも 60 点以上で単位認定とする。②の合格で③④の受験資格とする。 2/3 以上の出席を必要とする。			①10% ③50% ④40%

授業科目名	東洋医学概論Ⅰ（鍼灸）				
主担当教員	辻　涼太		担当教員	辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACB007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸師として東洋医学的な診断・治療をするための基礎を講義する。

学修目標

1．陰陽論・五行論などを理解し、社会や人体、病態での応用を理解する。　2．精気血津液などの生理物質を理解する。　3．東洋医学的な臓腑の役割を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本科目は東洋医学の入門科目であり、不明な箇所を放置しないように取り組むこと。　2．鍼灸臨床における診断・治療の基礎となる重要な箇所であると認識すること。　3．反復して理解・記憶を増強すること。

教科書

新版　東洋医学概論、東洋療法学校協会編、医道の日本社

参考書

配布プリント　配布動画

研究室／オフィスアワー

E 棟　4F　研究室 17　　在室時は随時。他教員の迷惑にならないようにすること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	序論：東洋思想と東洋医学（対面講義）	復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
2	精・気・血・津液とは①（オンデマンド）	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書・動画を見る	辻
3	精・気・血・津液とは②（オンデマンド）	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書・動画を見る	辻
4	虚・実　標・本とは（オンデマンド）	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
5	陰陽論・五行論とは①（対面講義）	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
6	陰陽論・五行論とは②（対面講義）	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
7	これまでの復習①　中間確認試験（対面　筆記）	予習：これまでの内容について対面による試験を行う　復習：出題のあった箇所を見直すこと	辻
8	これまでの復習②　中間口頭試験(対面　口頭試問)	予習：指示された内容について対面による口頭試問を行う　復習：出題のあった箇所を見直すこと	辻
9	蔵象学①　肝・心（オンデマンド）	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
10	蔵象学②　脾・肺（オンデマンド）	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
11	蔵象学③　腎・心包（オンデマンド）	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
12	蔵象学④　六腑（オンデマンド）	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
13	蔵象学⑤　奇恒の腑・その他（オンデマンド）	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻

14	本試験対策講義（蔵象学まとめ　対面講義）	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
15	筆記試験（対面　試験）	予習:これまでの講義を振り返る　復習:これまでのプリント・教科書を見る	辻
成績評価方法と基準			割合
（1）中間確認試験 30%　期末本試験 50%　（2）中間口頭試問 20%　その他、講義態度も考慮する　　出席要件：3/5 以上の出席を要する			成績評価方法に記載の通り

授業科目名	東洋医学概論Ⅱ（鍼灸）				
主担当教員	堀川　奈央		担当教員	堀川　奈央／辻　涼太	
科目ナンバリング	SS20BACB008	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

鍼灸師として東洋医学的な診断・治療をするための知識を身につけるべく講義する。

学修目標

1．　五臓六腑の相互関係を理解する。　2．　気機の流れ、経絡の流れを理解する。　3．　病因・病機、内傷・外感を理解する。　4．　弁証論治の基礎を修得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．前期より難易度が上がってきます。前期の内容をしっかり踏まえた上で臨むこと。　2．鍼灸臨床における診断・治療の基礎となる重要な箇所であると認識すること。　3．反復して理解・記憶を増強すること。

教科書

新版　東洋医学概論、東洋療法学校協会編、医道の日本社

参考書

配布プリント　前期「東洋医学概論Ⅰ」動画

研究室／オフィスアワー

E 棟　4F　研究室 17　　在室時は随時。他教員の迷惑にならないようにすること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	前期の復習①　気血津液の概念	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
2	前期の復習②　蔵象学	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
3	五臓の相互作用	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
4	五臓と六腑の相互作用と関連	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
5	気機の流れ・経脈の流れについて	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
6	中間確認試験　（筆記）	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
7	病因・病機、内傷、外感について①	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
8	病因・病機、内傷、外感について②	予習：教科書の該当部分を見る　復習：授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
9	弁証入門・弁証紹介	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
10	各弁証の概要と考え方①　八綱弁証	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
11	各弁証の概要と考え方②　気血津液弁証	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
12	各弁証の概要と考え方③　臓腑弁証	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
13	各弁証の概要と考え方④　経脈弁証　口頭試問および本試験対策講義（病因･病機、弁証まとめ）	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻
14	病因・病機　口頭試問	予習:教科書の該当部分を見る　復習:授業範囲のプリント・教科書を見る	辻

15	弁証入門　筆記試験（本試験）	予習：これまでの講義を振り返る　復習：これまでのプリント・教科書を見る	辻
成績評価方法と基準			割合
（1）中間確認試験 40%　期末本試験 40%　（2）中間口頭試問 20%　その他、講義態度も考慮する　　出席要件：3/5 以上の出席を要する			成績評価方法に記載の通り

授業科目名	基礎鍼実技Ⅰ（鍼灸B）				
主担当教員	大川　祐世		担当教員	大川　祐世／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACA023	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜2限
授業形態	実習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

1．刺鍼における衛生的操作と基本操作を指導する　2．正確かつ安全な刺鍼を指導する　3．自身・他人の体への刺鍼を練習する　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．刺鍼における衛生的操作と基本実技を理解することができる　2．正確かつ安全な刺鍼を体得することができる　3．自身・他人の体への刺鍼を体得することができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本実習は鍼灸施術の根幹をなすものであることを認識する。　2．出席は重視する。　3．始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。　4．実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。　5．実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。　　6．片手挿管の練習及び実技授業の復習を２時間/週以上行う。　7．鍼実技においては、学内（実習室開放日等を利用）にて教員等の指導下で行う。

教科書

「鍼灸安全対策マニュアル」　医歯薬出版株式会社　監修：坂本歩、編集：形井秀一、全日本鍼灸学会臨床情報部安全性委員会　ISBN：978-4-263-24099-1

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス　改訂第２版」　南江堂　北村清一郎、熊本賢三　ISBN：978-4-524-25072-1　「鍼灸医療安全ガイドライン」　尾崎昭弘、坂本歩、鍼灸安全性委員会　ISBN：978-4-263-24211-7

研究室／オフィスアワー

大川：東棟4階（不定期なため事前に確認が必要）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション：教員紹介、資料配布、評価基準告知、道具確認、実技室のマナー・身だしなみについて説明　手洗い､消毒について教科書を中心に学習する。	自身が興味を持つ鍼灸の分野について予習してくる。（美容鍼灸、スポーツ鍼灸など）　練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
2	古代九鍼と現在日本で使われている鍼と鍼法を学習する。鍼については鍼各部の名称、規格、材質、などを学習する。　鍼の刺し方、両手挿管の操作を学習し、習得する。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
3	両手挿管の学習：復習・練習　片手挿管の学習：片手挿管を学習し、習得する	鍼枕を用いて両手挿管、片手挿管を復習する。練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
4	片手挿管を練習する。　鍼灸に関連する医療過誤、有害事象について学習する。	「鍼灸安全対策マニュアル」に目を通し、鍼灸の医療事故、有害事象について予習する。　練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
5	片手挿管の練習､送り込み刺入を学習する　人体刺鍼の学習：説明(資料・教科書)・ゼリー鍼台で練習する(安全深度・手技等)	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
6	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:自身の下肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川

7	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の下肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
8	片手挿管の小テストを実施する。1 分間に 8 回を最高点とし、8 回未満は減点する。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
9	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の下肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
10	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の上肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
11	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の下腿後面に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
12	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の腰部に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
13	本試験（人体刺鍼）の説明を行、練習する。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
14	片手挿管の小テストを実施する。　1 分間に 10 回を最高点とし、12 回未満は減点する。	課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
15	人体刺鍼の実技試験を行う:刺鍼のための身だしなみ、準備、衛生操作、刺鍼操作について評価を行う。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
成績評価方法と基準			割合
１．授業内試験（一連の準備・消毒・刺鍼操作について評価）　　２．授業内テスト①（片手挿管の連続操作　8 回）　　３．授業内テスト②（片手挿管の連続操作　10 回）　　授業時間数の 4/5 以上の出席を必要とし、60 点以上で単位認定する。　※１～３は、到達目標１～３にて評価する。			１、70%　２、15%　３、15%

授業科目名	基礎鍼実技Ⅰ（鍼灸A）				
主担当教員	大川　祐世		担当教員	大川　祐世／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACA023	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜1限
授業形態	実習	単位数	1単位	必修・選択	必修

授業概要

1．刺鍼における衛生的操作と基本操作を指導する　2．正確かつ安全な刺鍼を指導する　3．自身・他人の体への刺鍼を練習する　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．刺鍼における衛生的操作と基本実技を理解することができる　2．正確かつ安全な刺鍼を体得することができる　3．自身・他人の体への刺鍼を体得することができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本実習は鍼灸施術の根幹をなすものであることを認識する。　2．出席は重視する。　3．始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。　4．実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。　5．実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。　　6．片手挿管の練習及び実技授業の復習を２時間/週以上行う。　7．鍼実技においては、学内（実習室開放日等を利用）にて教員等の指導下で行う。

教科書

「鍼灸安全対策マニュアル」　医歯薬出版株式会社　監修：坂本歩、編集：形井秀一、全日本鍼灸学会臨床情報部安全性委員会　ISBN：978-4-263-24099-1

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス　改訂第２版」　南江堂　北村清一郎、熊本賢三　ISBN：978-4-524-25072-1　「鍼灸医療安全ガイドライン」　尾崎昭弘、坂本歩、鍼灸安全性委員会　ISBN：978-4-263-24211-7

研究室／オフィスアワー

大川：東棟4階（不定期なため事前に確認が必要）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション：教員紹介、資料配布、評価基準告知、道具確認、実技室のマナー・身だしなみについて説明　手洗い､消毒について教科書を中心に学習する。	自身が興味を持つ鍼灸の分野について予習してくる。（美容鍼灸、スポーツ鍼灸など）　練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
2	古代九鍼と現在日本で使われている鍼と鍼法を学習する。鍼については鍼各部の名称、規格、材質、などを学習する。　鍼の刺し方、両手挿管の操作を学習し、習得する。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
3	両手挿管の学習：復習・練習　片手挿管の学習：片手挿管を学習し、習得する	鍼枕を用いて両手挿管、片手挿管を復習する。練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
4	片手挿管を練習する。　鍼灸に関連する医療過誤、有害事象について学習する。	「鍼灸安全対策マニュアル」に目を通し、鍼灸の医療事故、有害事象について予習する。　練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
5	片手挿管の練習､送り込み刺入を学習する　人体刺鍼の学習：説明(資料・教科書)・ゼリー鍼台で練習する(安全深度・手技等)	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
6	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:自身の下肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川

7	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の下肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
8	片手挿管の小テストを実施する。1 分間に 8 回を最高点とし、8 回未満は減点する。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
9	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の下肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
10	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の上肢に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
11	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の下腿後面に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
12	片手挿管の練習　人体刺鍼の学習:他人の腰部に安全に刺鍼を行う（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
13	本試験（人体刺鍼）の説明を行い、練習する。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
14	片手挿管の小テストを実施する。　1 分間に 10 回を最高点とし、12 回未満は減点する。	課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
15	人体刺鍼の実技試験を行う:刺鍼のための身だしなみ、準備、衛生操作、刺鍼操作について評価を行う。	練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
成績評価方法と基準			割合
１．授業内試験（一連の準備・消毒・刺鍼操作について評価）　　２．授業内テスト①（片手挿管の連続操作　8 回）　　３．授業内テスト②（片手挿管の連続操作　10 回）　　授業時間数の 4/5 以上の出席を必要とし、60 点以上で単位認定する。　※１～３は、到達目標１～３にて評価する。			１、70%　２、15%　３、15%

授業科目名	基礎鍼実技Ⅱ（鍼灸 B）				
主担当教員	大川　祐世		担当教員	大川　祐世／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACA024	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本講義は、前期までの基礎的な刺鍼操作の復習から始まり、現在鍼灸臨床上で主として行われている様々な刺法を習得し、かつ解剖を理解した上で、体表指標から刺鍼点を捉えることが出来るようになることを目的としている。その他、鍼灸臨床上必要な技術として、血圧測定の方法・意義とその修練を行う。また、知識や技術だけでなく、患者に対する適切な態度や配慮・衛生概念も併せて学習する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．鍼における基本実技を行える　2．刺鍼部位に合わせた正確かつ安全な刺鍼を体得する　3．自身・他人の体への安全かつ衛生的な刺鍼を体得する　4．各種鍼法の基本を理解し、正しく行うことができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。　2．出席は重視する。　3．始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。　4．実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。　5．実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。　　6．片手挿管の練習及び実技授業の復習を２時間/週行う。　7．鍼実技においては、学内（実習室開放日等を利用）にて教員等の指導下で行う。

教科書

「鍼灸安全対策マニュアル」　医歯薬出版株式会社　監修：坂本歩、編集：形井秀一、全日本鍼灸学会臨床情報部安全性委員会　ISBN：978-4-263-24099-1

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス　改訂第２版」　南江堂　北村清一郎、熊本賢三　ISBN：978-4-524-25072-1　「鍼灸医療安全ガイドライン」　尾崎昭弘、坂本歩、鍼灸安全性委員会　ISBN：978-4-263-24211-7

研究室／オフィスアワー

大川：東棟 4 階（不定期なため事前に確認が必要）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション:後期試験評価課題と基準説明　刺鍼中の十七手技の学習：資料配布	衛生的な髪型および服装の確認。刺鍼の十七手技について予習してくる。　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
2	十七手技・堅物通しの学習：ゼリー鍼台での練習（安全深度・手技等）　人体刺鍼（横刺、斜刺）の学習：ゼリー鍼台での練習	十七手技について復習してくる。　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
3	十七手技・堅物通しの学習：ゼリー鍼台での練習（安全深度・手技等）　人体刺鍼（横刺、斜刺）の学習：自分の下肢に練習	刺鍼の基本衛生操作を復習してくる（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
4	片手挿管･堅物通しの練習　バイタルサインの学習・バイタルサインを確認する	バイタルサインについて予習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
5	片手挿管・堅物通しの練習　血圧測定の学習・練習　人体刺鍼の学習：腰部への安全な刺鍼	血圧測定について予習してくる　腰部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川

6	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：後頸部への安全な刺鍼	後頸部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
7	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：後頸部への安全な刺鍼	後頸部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
8	８．片手挿管テスト　1 分間に 12 回行う。　評価として、12 回未満は減点する。	課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
9	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：肩背部への安全な刺鍼	肩背部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
10	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：肩背部への安全な刺鍼	肩背部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
11	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：頭顔面部への安全な刺鍼	頭顔面部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
12	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：腹部・前頸部への安全な刺鍼	腹部・前頸部の解剖について復習してくる課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
13	本試験（実技）の説明、練習を行う	衛生操作、適切な刺鍼操作について復習してくる。　課題:片手挿管･堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
14	片手挿管テスト　1 分間に 15 回行う。　評価として、15 回未満は減点する。	衛生的な髪型および服装と、正しい方法による片手挿管を評価する。　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
15	本試験を行う　内容：安全な刺鍼（深度、角度）、一連の刺鍼操作において衛生的な行動をとることができるかどうかを評価する	鍼実技に必要な準備および衛生的操作ほか、後期実技授業の内容を総合に評価する。課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
成績評価方法と基準			割合
１．授業内試験（一連の刺鍼操作や特殊鍼法・各種鍼法の刺鍼操作）　２．授業内テスト①（片手挿管の連続操作　12 回）　３．授業内テスト②（片手挿管の連続操作　15 回）　授業時間数の 4/5 以上の出席を必要とし、60 点以上で単位認定する。			1．70%　2．15%　3．15%

授業科目名	基礎鍼実技Ⅱ（鍼灸 A）				
主担当教員	大川 祐世		担当教員	大川 祐世／教員未確定	
科目ナンバリング	SS20BACA024	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

本講義は、前期までの基礎的な刺鍼操作の復習から始まり、現在鍼灸臨床上で主として行われている様々な刺法を習得し、かつ解剖を理解した上で、体表指標から刺鍼点を捉えることが出来るようになることを目的としている。その他、鍼灸臨床上必要な技術として、血圧測定の方法・意義とその修練を行う。また、知識や技術だけでなく、患者に対する適切な態度や配慮・衛生概念も併せて学習する。　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

1．鍼における基本実技を行える　2．刺鍼部位に合わせた正確かつ安全な刺鍼を体得する　3．自身・他人の体への安全かつ衛生的な刺鍼を体得する　4．各種鍼法の基本を理解し、正しく行うことができる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1．本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。　2．出席は重視する。　3．始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。　4．実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。　5．実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。　6．片手挿管の練習及び実技授業の復習を２時間/週行う。　7．鍼実技においては、学内（実習室開放日等を利用）にて教員等の指導下で行う。

教科書

「鍼灸安全対策マニュアル」　医歯薬出版株式会社　監修：坂本歩、編集：形井秀一、全日本鍼灸学会臨床情報部安全性委員会　ISBN：978-4-263-24099-1

参考書

「鍼灸師・柔道整復師のための局所解剖カラーアトラス　改訂第２版」　南江堂　北村清一郎、熊本賢三　ISBN：978-4-524-25072-1　「鍼灸医療安全ガイドライン」　尾崎昭弘、坂本歩、鍼灸安全性委員会　ISBN：978-4-263-24211-7

研究室／オフィスアワー

大川：東棟 4 階（不定期なため事前に確認が必要）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション:後期試験評価課題と基準説明　刺鍼中の十七手技の学習：資料配布	衛生的な髪型および服装の確認。刺鍼の十七手技について予習してくる。　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
2	十七手技・堅物通しの学習：ゼリー鍼台での練習（安全深度・手技等）　人体刺鍼（横刺、斜刺）の学習：ゼリー鍼台での練習	十七手技について復習してくる。　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
3	十七手技・堅物通しの学習：ゼリー鍼台での練習（安全深度・手技等）　人体刺鍼（横刺、斜刺）の学習：自分の下肢に練習	刺鍼の基本衛生操作を復習してくる（手洗い、消毒、廃鍼、医療廃棄物の処理を確実に行う）　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
4	片手挿管・堅物通しの練習　バイタルサインの学習・バイタルサインを確認する	バイタルサインについて予習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
5	片手挿管・堅物通しの練習　血圧測定の学習・練習　人体刺鍼の学習：腰部への安全な刺鍼	血圧測定について予習してくる　腰部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川

6	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：後頸部への安全な刺鍼	後頸部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
7	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：後頸部への安全な刺鍼	後頸部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
8	８．片手挿管テスト　1 分間に 12 回行う。　評価として、12 回未満は減点する。	課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
9	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：肩背部への安全な刺鍼	肩背部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
10	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：肩背部への安全な刺鍼	肩背部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
11	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：頭顔面部への安全な刺鍼	頭顔面部の解剖について復習してくる　課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
12	片手挿管･堅物通しの練習　血圧測定の練習　人体刺鍼の学習：腹部・前頸部への安全な刺鍼	腹部・前頸部の解剖について復習してくる課題:片手挿管・堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
13	本試験（実技）の説明、練習を行う	衛生操作、適切な刺鍼操作について復習してくる。　課題:片手挿管･堅物通しの練習、授業内容の復習・予習を２時間/週行う。	大川
14	片手挿管テスト　1 分間に 15 回行う。　評価として、15 回未満は減点する。	衛生的な髪型および服装と、正しい方法による片手挿管を評価する。　課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
15	本試験を行う　内容：安全な刺鍼（深度、角度）、一連の刺鍼操作において衛生的な行動をとることができるかどうかを評価する	鍼実技に必要な準備および衛生的操作ほか、後期実技授業の内容を総合に評価する。課題:練習及び実技授業の予習または復習を２時間/週行う。	大川
成績評価方法と基準			割合
１．授業内試験（一連の刺鍼操作や特殊鍼法・各種鍼法の刺鍼操作）　２．授業内テスト①（片手挿管の連続操作　12 回）　３．授業内テスト②（片手挿管の連続操作　15 回）　授業時間数の 4/5 以上の出席を必要とし、60 点以上で単位認定する。			1．70%　2．15%　3．15%

授業科目名	基礎灸実技Ⅰ（鍼灸 B）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／紀野　江理	
科目ナンバリング	SS20BACA025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

きゅう師に必要な灸の基礎実技を知り、正確かつ安全に身体へ施灸することができるよう知識・技能を学修する。施灸技術に習熟するには技術の鍛錬・研鑽が必要であり大切である。散艾から艾炷(米粒大、半米粒大など)を作る方法を学び、形状と大きさが均一の艾炷を連続作成できるようにする。作り方によって燃焼温度が上下することを理解し、一定の燃焼温度に成るよう艾炷の作成技法を習得する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

正確かつ安全に身体へ施灸することができるよう知識・技能を学修する。

散艾から一定の大きさおよび温度の艾炷(米粒大、半米粒大など)を作成できる。

一定の速さで艾炷に点火できる技術を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.出席を重視する。　2.授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3.宿題は全て提出すること。

教科書

中村辰三著「お灸入門」医歯薬出版

参考書

教科書執筆小委員会「はりきゅう実技(基礎編)」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ひもの作成	復習：ひも作りの作成(2 時間)	松熊
2	艾炷の作成(米粒大)	復習：艾炷の作成(米粒大)(1 時間)　課題：ひも作りが出来ること。(1 時間)	松熊
3	艾炷（米粒大）のスムーズな作成	復習：施灸板を用いた施灸訓練(2 時間)	松熊
4	艾炷（米粒大）のスムーズな作成および点火	復習：施灸板を用いた施灸訓練(2 時間)	松熊
5	施灸用紙を用いた、一定時間内での施灸訓練(米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(2 時間)	松熊
6	紙上施灸(米粒大)、板上施灸(半米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練　(2 時間)	松熊
7	スピード練習(米粒大)、紙上施灸(半米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練　(2 時間)	松熊
8	スピード練習(米粒大、半米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練　(2 時間)	松熊
9	紙上施灸(米粒大、半米粒大)、スピード練習(米粒大、半米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊
10	紙上施灸(米粒大、半米粒大)、スピード練習(半米粒大)、小テスト(スピード：米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊
11	紙上施灸(米粒大、半米粒大)、小テスト(スピード：半米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸	松熊

		訓練(1 時間)	
12	小テスト（紙上施灸：米粒大、半米粒大）	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊
13	小テスト(スピード、紙上施灸：米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊
14	小テスト(スピード、紙上施灸：半米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊
15	総復習:板上施灸、紙上施灸（米粒大、半米粒大）	復習：板上施灸、紙上施灸訓練(2 時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合
1.宿題<DP1>　2.授業中に行う小テスト<DP1>　3.定期試験。<DP1>　・試験・課題に対するフィードバック方法　宿題は翌週以降にコメントをつけて返却する。必要に応じて小テスト、定期試験の解説を行う。			1.20%　2.40%　3.40%

授業科目名	基礎灸実技Ⅰ（鍼灸 A）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／紀野　江理	
科目ナンバリング	SS20BACA025	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

きゅう師に必要な灸の基礎実技を知り、正確かつ安全に身体へ施灸することができるよう知識・技能を学修する。施灸技術に習熟するには技術の鍛錬・研鑽が必要であり大切である。散艾から艾炷(米粒大、半米粒大など)を作る方法を学び、形状と大きさが均一の艾炷を連続作成できるようにする。作り方によって燃焼温度が上下することを理解し、一定の燃焼温度に成るよう艾炷の作成技法を習得する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

正確かつ安全に身体へ施灸することができるよう知識・技能を学修する。　散艾から一定の大きさおよび温度の艾炷(米粒大、半米粒大など)を作成できる。　一定の速さで艾炷に点火できる技術を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.出席を重視する。　2.授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3.宿題は全て提出すること。

教科書

中村辰三著「お灸入門」医歯薬出版

参考書

教科書執筆小委員会「はりきゅう実技(基礎編)」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ひもの作成	復習：ひも作りの作成(2 時間)	松熊
2	艾炷の作成(米粒大)	復習：艾炷の作成(米粒大)(1 時間)　課題：ひも作りが出来ること。(1 時間)	松熊
3	艾炷（米粒大）のスムーズな作成	復習：施灸板を用いた施灸訓練(2 時間)	松熊
4	艾炷（米粒大）のスムーズな作成および点火	復習：施灸板を用いた施灸訓練(2 時間)	松熊
5	施灸用紙を用いた、一定時間内での施灸訓練(米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(2 時間)	松熊
6	紙上施灸(米粒大)、板上施灸(半米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練　(2 時間)	松熊
7	スピード練習(米粒大)、紙上施灸(半米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練　(2 時間)	松熊
8	スピード練習(米粒大、半米粒大)	復習：施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練　(2 時間)	松熊
9	紙上施灸(米粒大、半米粒大)、スピード練習(米粒大、半米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊
10	紙上施灸(米粒大、半米粒大)、スピード練習(半米粒大)、小テスト(スピード：米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊
11	紙上施灸(米粒大、半米粒大)、小テスト(スピード：半米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1 時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1 時間)	松熊

12	小テスト（紙上施灸：米粒大、半米粒大）	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1時間)	松熊
13	小テスト(スピード、紙上施灸：米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1時間)	松熊
14	小テスト(スピード、紙上施灸：半米粒大)	復習:施灸板を用いた、一定時間内での施灸訓練(1時間)　課題:施灸用紙を用いた施灸訓練(1時間)	松熊
15	総復習:板上施灸、紙上施灸（米粒大、半米粒大）	復習：板上施灸、紙上施灸訓練(2時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合
1.宿題<DP1>　2.授業中に行う小テスト<DP1>　3.定期試験。<DP1>　・試験・課題に対するフィードバック方法　宿題は翌週以降にコメントをつけて返却する。必要に応じて小テスト、定期試験の解説を行う。			1.20%　2.40% 3.40%

授業科目名	基礎灸実技Ⅱ（鍼灸 B）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明／紀野　江理	
科目ナンバリング	SS20BACA026	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜 1 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

人体への施灸を練習する。身体各部の構造的特徴、施灸方法と注意点を理解し実践する。施灸の簡単な部位から行い、技術の向上に沿って施灸が困難な部位を実施する。また、無痕灸も併せて実施する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

身体各部の構造的特徴と注意点を理解し、お互いに施灸できる。　直接灸および間接灸について理解し、実践することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.出席を重視する。　2.授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3.宿題は全て提出すること。

教科書

中村辰三著「お灸入門」医歯薬出版

参考書

教科書執筆小委員会「はりきゅう実技(基礎編)」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	後期の授業内容、評価方法の説明。大腿部への連続施灸の練習。スピードテストの練習。	予習：スピードテストの練習。(0.5 時間) 復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(0.5 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
2	乾燥よもぎから艾の作成	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
3	小テスト：スピードテスト（米粒大）　棒灸作り	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
4	小テスト：スピードテスト（半米粒大）　箱灸、温筒灸	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
5	隔物灸	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
6	小テスト：大腿部への連続施灸　透熱灸（下肢）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間)　復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
7	透熱灸（上肢）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間)　復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間)　課題：施灸用	松熊

		紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	
8	透熱灸（背部）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
9	透熱灸（腹部）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
10	透熱灸（頭部）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
11	小テスト：スピードテスト（米粒大） 糸状灸	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
12	小テスト：スピードテスト（米粒大） 多壮灸	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
13	小テスト：大腿部への連続施灸 知熱灸	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
14	複数の部位への透熱灸 1	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
15	複数の部位への透熱灸 2	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合
1.宿題<DP1> 2.授業中に行う小テスト<DP1> 3.定期試験。(ただし、期末試験で 29 点以下のものは不合格とする)<DP1> ・試験・課題に対するフィードバック方法 宿題は翌週以降にコメントをつけて返却する。必要に応じて小テスト、定期試験の解説を行う。			1.20% 2.30% 3.50%

授業科目名	基礎灸実技Ⅱ（鍼灸 A）					
主担当教員	松熊　秀明		担当教員		松熊　秀明／紀野　江理	
科目ナンバリング	SS20BACA026	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期		曜日・時限	木曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修・選択	必修

授業概要

人体への施灸を練習する。身体各部の構造的特徴、施灸方法と注意点を理解し実践する。施灸の簡単な部位から行い、技術の向上に沿って施灸が困難な部位を実施する。また、無痕灸も併せて実施する。　　※本科目は実務経験のある教員等による授業科目です

学修目標

身体各部の構造的特徴と注意点を理解し、お互いに施灸できる。　直接灸および間接灸について理解し、実践することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.出席を重視する。　2.授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3.宿題は全て提出すること。

教科書

中村辰三著「お灸入門」医歯薬出版

参考書

教科書執筆小委員会「はりきゅう実技(基礎編)」医道の日本社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	後期の授業内容、評価方法の説明。大腿部への連続施灸の練習。スピードテストの練習。	予習：スピードテストの練習。(0.5 時間)　復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(0.5 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
2	乾燥よもぎから艾の作成	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
3	小テスト：スピードテスト（米粒大）　棒灸作り	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
4	小テスト：スピードテスト（半米粒大）　箱灸、温筒灸	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
5	隔物灸	予習/復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。(1 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
6	小テスト：大腿部への連続施灸　透熱灸（下肢）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間)　復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間)　課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
7	透熱灸（上肢）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間)　復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間)　課題：施灸用	松熊

		紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	
8	透熱灸（背部）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習：スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題：施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
9	透熱灸（腹部）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
10	透熱灸（頭部）	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
11	小テスト：スピードテスト（米粒大） 糸状灸	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
12	小テスト：スピードテスト（米粒大） 多壮灸	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
13	小テスト：大腿部への連続施灸 知熱灸	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
14	複数の部位への透熱灸 1	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
15	複数の部位への透熱灸 2	予習：指定された経穴を取穴できること。(0.5 時間) 復習:スピードテストの練習と大腿部への連続施灸の練習。習った内容をスムーズに行なえるようになるまで、何度も練習する。(0.5 時間) 課題:施灸用紙を用いた施灸訓練。(1 時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合
1.宿題<DP1> 2.授業中に行う小テスト<DP1> 3.定期試験。(ただし、期末試験で 29 点以下のものは不合格とする)<DP1> ・試験・課題に対するフィードバック方法 宿題は翌週以降にコメントをつけて返却する。必要に応じて小テスト、定期試験の解説を行う。			1.20% 2.30% 3.50%

授業科目名	キャリアデザイン（鍼灸）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之／宮武　大貴	
科目ナンバリング	SS20BACA040	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

大学進学は将来の自分像を考え、ステップアップするための重大な選択である。自身が描いた将来像を実現するために、大学生活を有意義に過ごす必要がある。そのためには、1 年次に明確な将来計画を考え、大学在学中に何をしなければならないかを決める必要がある。自身が考え、実践した結果が社会に求められる人材への成長に繋がり、就職活動とその結果にも結び付く。本授業では、業界研究を通じて自身のキャリアデザインを作成し、社会人として求められる「主体性」「協調性」「論理性」の基礎を身につける。

学修目標

１．本大学を選んだ進路選択理由について自己確認することができる。　２．鍼灸業界の現状と将来性について理解し、業界研究を通じて自分のキャリアデザインを作成できる。　３．自己分析を通じて自分自身を知り、自己変革に繋げることができる。　４．社会人としてのマナーや態度を理解し、大学生活における生活習慣を身に付けることができる。　５．目標とする資格について理解し、大学生活における学習目標を明確にすることができる。　DP②③④

履修上の注意（学生へのメッセージ）

１．大学生活を有意義に過ごすだけでなく、卒業後の将来計画にも関係する科目であることを理解する。　２．社会人へのステップとして、大学では自ら情報を収集し、整理、報告しなければならないことを理解し、主体的に取り組むこと。３．グループワークでは、互いの考えを尊重するとともに、自分の意見を相手に説明する力が必要となる。　４．自分のキャリアデザインについては、家族や周囲の助言を受けつつも、自分自身が考えて決めなければいけないことを理解すること。　５．業界セミナーについては、講師の都合により日程が予定と異なる場合がある。この場合、講義順序の変更を行うことがある。

教科書

特にありません。

参考書

授業時に紹介します。

研究室／オフィスアワー

教員の研究室で対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション　グループワーク「鍼灸学科を選択した理由と将来の目標」 各自 3 分間の発表	「鍼灸学科を選択した理由と将来の目標」について、指定の用紙に記入して持参すること。(2 時間)	鍋田
2	図書館セミナー　図書館利用方法、WEB による文献検索、収集方法について	医療の諸問題について」のグループワーク、レポート作成のために、学習した情報収集作業を駆使して準備すること。(2 時間)	鍋田
3	社会人・医療人としてのマナーと態度　自己分析と自己アピール　グループワーク	自分の長所、短所について各 10 種類列記し、それぞれ事例をもってアピールできるように準備してくること。(2 時間)　社会人・医療人としてのマナーを心掛けて学生生活を送ること。	鍋田
4	鍼灸学科のカリキュラムと履修モデル	学生手帳のカリキュラムや授業に関する項目を読んでくること。(2 時間)	鍋田

5	鍼灸師資格とその他の資格との関連について 専門性の高い資格・技術の応用範囲について	興味をもった資格情報を自身で調査すること。(2 時間)	鍋田
6	業界セミナー１　「鍼灸業界団体」	興味を持った内容について、WEB などを用いて情報を収集すること。(2 時間)	鍋田
7	業界セミナー２　「スポーツ鍼灸」	興味を持った内容について、WEB などを用いて情報を収集すること。(2 時間)	鍋田
8	業界セミナー３　「美容鍼灸」	興味を持った内容について、WEB などを用いて情報を収集すること。(2 時間)	鍋田
9	業界セミナー４　「治療院の役割」	興味を持った内容について､WEB などを用いて情報を収集すること。(2 時間)	鍋田
10	業界研究①　WEB による業界情報の収集	自身の目指す将来構想をまとめてくること。　授業で調べた希望する業界情報を整理してくること。(2 時間)	鍋田
11	業界研究②　WEB による業界情報の収集　求人情報の閲覧　勤務希望地域、アクセス、希望条件の検討	架空でよいが、希望する就職条件を考えてくること。　授業で調査した結果をレポートにまとめること。(2 時間)	鍋田
12	業界研究結果に関するグループワーク	同じ目標を持つ者同士で業界の現状、目指す資格、求められる技術、在学中のプラン、就職活動についてまとめ、次回の発表用のパワーポイントなどプレゼンテーションの準備をすること。(2 時間)	鍋田
13	業界研究結果に関するグループ発表　パワーポイントによる発表	同じ目標を持つ者同士で業界の現状、目指す資格、求められる技術、在学中のプラン、就職活動についてまとめ、次回の発表用のパワーポイントなどプレゼンテーションの準備をすること。(2 時間)	鍋田
14	業界研究結果に関するグループ発表　パワーポイントによる発表	履歴書を作成するための基礎情報を整理してくること。　自身の考えるキャリアプランについて､保護者と話してくること｡(2 時間)	鍋田
15	履歴書の記載。 キャリアデザインの作成と提出	面接試験のトレーニングを行うこと。(2 時間)	鍋田
成績評価方法と基準			割合
①業界研究レポート<DP2,3,4>　②業界研究グループ発表<DP2,3,4>　③面接実技試験<DP2,3,4>　上記の総合評価の結果、60 点以上で単位認定する。　DP②③④　・レポート、キャリアプラン、面接実技試験に対するフィードバック方法　必要に応じて・レポート、キャリアプラン、面接実技試験に対する個別指導を行う。			①20%　②20%　③60%

授業科目名	スポーツ実習Ⅰ体つくり運動（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之		
科目ナンバリング	SS20BACA062	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①	
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜3限	
授業形態	実習	単位数	1単位	必修・選択	必修	

授業概要

本授業では、自己の身体に関心を持ち、体力・運動能力に関する課題をもって体をほぐし、体力を高めることを目的とする。特に、ウォーミングアップやクーリングダウンに関する基礎的な知識を習得することや多様なストレッチングの特徴を理解することを目的とする。

学修目標

・自己の身体の特徴を把握し、それに応じた体つくり運動を実践できるようにする（DP①）。　・科学的根拠に基づき、適切なストレッチングを選択し、ウォーミングアップやクーリングダウンを行える能力を養う（DP①）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業を見学する際もスポーツウェアに着替えてください。

教科書

文部科学省「中学校学習指導要領解説　保健体育編」東山書房、2017年　文部科学省「高等学校学習指導要領解説　保健体育編・体育編」東山書房、2009年

参考書

細江文利編「動きの『感じ』と『気づき』を大切にした体つくり運動の授業づくり」教育出版、2011年

研究室／オフィスアワー

東棟4F　火曜15:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	体つくり運動の意義と目的	予習：　シラバスの確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
2	ストレッチングの種類と特性	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
3	ストレッチングの目的と効果	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
4	ストレッチングの実際	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
5	ストレッチング実施上のポイントと注意点	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
6	ウォーミングアップとクーリングダウンとは？	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
7	ウォーミングアップとクーリングダウンの目的と効果	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
8	ウォーミングアップとクーリングダウンの実際	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
9	ウォーミングアップとクーリングダウンの注意点	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
10	体ほぐしの運動①　自分や仲間の体や心の状態の確認	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
11	体ほぐしの運動②　体の状態を整える運動	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
12	体ほぐしの運動③　仲間と交流を豊かにするための運動	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田

13	体力を高める運動①　調整力	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
14	体力を高める運動②　筋力	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
15	体力を高める運動③　持久力	予習：　学習指導要領の確認.　復習：　配布プリント，キーワードの確認.	小田
成績評価方法と基準			割合
①授業への取り組み 70%、③授業内課題 30%で評価する（DP①）。　　課題に対するフィードバックの方法　模擬授業後、指導案や授業内容に対して解説をする。　学生間のフィードバックレポートがある場合についても取りまとめ、教師役へ返却する。			①70%　②30%

授業科目名	スポーツ実習Ⅲ陸上競技（鍼灸スポーツ）				
主担当教員	濱口　幹太		担当教員	濱口　幹太	
科目ナンバリング	SS20BACB066	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

本授業は教職課程認定科目の一つであり，中高体育科教育を教授するに足る専門的知識および技能を修得することを一目標とする。受講生が，陸上競技における正しい記録測定の方法と実技中の安全対策を学修するとともに，技能向上に積極的に取り組み，記録挑戦や競争への楽しさや喜びを体感することを期待する。　高等学校学習指導要領に基づき，トラック種目として 50m，100m，リレー，50mハードル及び 1500m競争を，フィールド種目として跳躍種目は走り幅跳び，走り高跳び及び三段跳びを，投てき種目は砲丸投げとやり投げ（ターボジャブ使用）の計 10 種目の記録測定を実施する。

学修目標

本授業の学修目標は以下の 3 点とする。　1）受講生自身が教育現場で見本をみせられるよう，各種目の基本的および効率の良い動きを身につけることができるようにする。〈DP①③〉　2）陸上競技のルールやマナーを理解し記録測定を正確に実施できるようにする。〈DP①③〉　3）陸上競技各種目の技術の名称や特有の動きのポイント，体力の高め方，運動観察の方法を理解するとともに，安全性に配慮できるようにする。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１回の授業で，複数の種目を組み合わせて練習や記録測定を実施するため，以下の授業計画表のまま進まないこともあります（詳細はオリエンテーションにおいて）。　なお，天候，気温により計画等を変更する場合もある。陸上競技の面白さの部分である，自己記録の更新と相手記録との競争であるため、体験してもらう。　毎週，より高い記録を出すため研究，創意工夫，準備して授業に臨んでほしい。　ランニングシューズとジャージの着用は必須です（見学の場合でも）。

教科書

特になし

参考書

日本陸連　公式サイト　陸上競技ルールブック　　http://www.jaaf.or.jp/athlete/rule/

研究室／オフィスアワー

非常勤講師室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション（授業の進め方，各種目の記録測定および記録の点数化についての説明，ウォーミングアップの実施）	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：陸上競技の種目について調査する（種目のルール，動画）　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
2	短距離走 100m（正しいランニングフォームのための練習。スタートダッシュ～加速～中間走～フィニッシュまでの流れを学修する。練習 50m走の記録測定方法など）	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：学修内容について予習（種目のルール，動画）　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
3	短距離走 400m（特に中間走の高いスピードを維持して走ることをねらう）	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：学修内容について予習（種目のルール，動画）　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
4	ハードル走①（インターバルを 3 歩でリズミカルに走る。ハードルを低く走り越す）	＜事前事後学習：1 時間＞　予習：学修内容について予習（種目のルール，動画）　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口

5	ハードル走②(振り上げ脚を振り下ろしながら抜き脚を素早く前へ引き出す。50m走とハードル走とのタイム差からハードリング技能を検証)	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習（種目のルール，動画） 復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
6	リレー　4×100m（4名の100m走の合計タイムをおおよそ揃えてチーム分けし，バトンパス練習をする）	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習（種目のルール，動画） 復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
7	中長距離走 1500m（自己に適したペースを維持して走ること。）	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習（種目のルール，動画） 復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
8	走り幅跳び　（スピードに乗った助走と力強い踏切，空中動作から効率良い着地動作まで）	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習（種目のルール，動画） 復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
9	走り高跳び（ベリーロールの修得。はさみ跳びから背面跳びへの移行。用具の安全性への配慮）	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習(種目のルール，動画)　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
10	三段跳び（ホップ・ステップ・ジャンプの一連の身体の使い方）	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習(種目のルール，動画)　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
11	砲丸投げ(サイドステップやグライドからの投出し速度の獲得。事故防止などの安全対策)	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習(種目のルール，動画)　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
12	やり投げ（クロスステップから投出し速度の獲得。事故防止などの安全対策）	＜事前事後学習：1時間＞　予習：学修内容について予習(種目のルール，動画)　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
13	希望種目の記録更新への再トライアル(トラック種目)	＜事前事後学習：1時間＞　予習：ルールおよび測定方法の復習　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
14	希望種目の記録更新への再トライアル(跳躍種目)	＜事前事後学習：1時間＞　予習：ルールおよび測定方法の復習　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
15	希望種目の記録更新への再トライアル(投てき種目)	＜事前事後学習：1時間＞　予習：ルールおよび測定方法の復習　復習：実践した種目のルールや特性について復習	濱口
成績評価方法と基準			割合
1.技能点(測定記録を得点化し，短距離走，跳躍，投てきおよび長距離走の計10種目の平均点)<DP①③> 2.レポート<DP①③>　を評価の対象とする。			1.70%　2.30%

授業科目名	スポーツ実習Ⅴダンス（鍼灸スポーツ）					
主担当教員	古薮　直樹			担当教員	古薮　直樹	
科目ナンバリング	SS20BACB068	科目区分	専門科目		ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	前期		曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	実習	単位数	1 単位		必修･選択	必修

授業概要

ダンスの基礎的な身体の使い方、ダンスの指導法を学び、教育現場等での指導力を身につける。授業のまとめとして、グループによる作品発表を通して、踊る・創る・観るという総合的な視点でダンスを学習する。また、体つくり運動の効果的な指導法や、運動の苦手な学習者に対しての教育的配慮方法等も学習する。

学修目標

①ダンスの基礎的な身体の使い方を学び、創る、踊る、観るという総合的な視点でダンスの技能を身につける。（リズムダンスについては、エアロビックダンス等を取り入れ、健康効果についても学習する。） ②共同作業を通して、互いの表現を認め合い、自己表現力を高め、積極的に取り組む姿勢を身につける。 ③教育現場等での指導力をみにつける。 DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

●本授業は基本的に裸足で授業を行なっていきます。怪我等靴が必要な受講者以外、体育館シューズは必要ありません。●本授業ではグループワークを中心とし、授業の成果として毎回発表を行います。仲間とコミュニケーションをとりながら積極的に取り組んでください。 ●教育研究の目的として、ビデオ撮影を行う場合があります。撮影にあたっては、学生の権利・名誉を侵害することのないよう充分配慮します。

教科書

なし

参考書

健康運動実践指導者養成用テキスト（健康・体力づくり事業財団） 中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編（文部科学省）

研究室／オフィスアワー

質問・相談はメールで受け付けております。 問い合わせ：furuyabu.27@gmail.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	第１回　オリエンテーション	予習：シラバスの確認　復習：シラバス・学習指導要領を確認	古薮
2	第２回 学校体育におけるダンス授業について（１）創作ダンスについて	予習：授業資料の確認　復習：授業記録の作成	古薮
3	第３回　学校体育におけるダンス授業について（２）　フォークダンスについて	予習：授業資料の確認　復習：授業記録の作成	古薮
4	第４回　学校体育におけるダンス授業について（３）　現代的なリズムのダンスについて　リズムダンスについては､エアロビックダンスを取り入れ学習する。(エアロビックダンスの健康効果や正しい動作・基本のステップ等)	予習：授業資料の確認　復習：授業記録の作成	古薮
5	第５回　学習指導要領のまとめ／体つくり運動／即興的な表現	予習：授業資料の確認　復習：授業記録の作成	古薮
6	第６回　動きの探求①日常的な動作をもとに動きを工夫する／変化をつける	予習：授業資料の確認　復習：授業記録の作成	古薮
7	第７回　動きの探求②ひとの流れ動き	予習：授業資料の確認　復習：授業記録の作成	古薮
8	第８回　動きの探求③身近な物をつかった表現	予習：授業資料の確認　復習：授業記録の作成	古薮
9	第９回　創作ダンスの指導法①：グループ創作	予習:授業資料の確認　復習:授業記録の作	古薮

	①(多様なテーマからイメージにあう効果的な動きの探求)	成	
10	第 10 回　創作ダンスの指導法②：グループ創作②(動きの変化・発展・空間構成、ひとの流れ動き、ひとまとまりの表現を見つける)	予習:授業資料の確認　復習:授業記録の作成	古薮
11	第 11 回　実技試験：グループよる創作ダンスの発表	予習:授業資料の確認　復習:授業記録の作成	古薮
12	第 12 回　リズムダンスの指導法	予習:授業資料の確認　復習:授業記録の作成	古薮
13	第 13 回　学習指導案の作成	予習:授業資料の確認　復習:授業記録の作成	古薮
14	第 14 回　ダンスの評価	予習:授業資料の確認　復習:授業記録の作成	古薮
15	第 15 回　まとめと映像鑑賞（予定）	予習:授業資料の確認　復習:授業記録の作成	古薮
成績評価方法と基準			割合
①平常点　②授業内発表　③出席&レポート提出　DP①③			①50% ②20% ③30%

授業科目名	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学演習Ⅰ(ﾚｼﾞｽﾀﾝｽｴｸｻｻｲｽﾞ1)(鍼灸スポーツ)				
主担当教員	信江　彩加		担当教員	信江　彩加	
科目ナンバリング	SS20BACB074	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜5限
授業形態	演習	単位数	1単位	必修･選択	選択

授業概要

トレーニング科学および身体運動学等の学問分野に関する基本的な知識をベースとして、本演習では、バーベルやダンベルなどのフリーウェイト・マシン機器を用いた最大筋力の評価や、パワー、筋持久力、全身持久力、柔軟性などの体力指標の評価を行い、そこで得られたデータを基にスポーツ種目、個人に応じたスポーツ・レジスタンス系エクササイズトレーニングプログラムの作成に取り組む。

学修目標

・科学的なトレーニングに関する理論とその実践方法について学習する。〈DP①〉　・レジスタンストレーニングに関する基礎理論をベースとして、安全で科学的なトレーニングを実践、指導できる能力を身につける。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

服装について　教員からの指示がない限り、トレーニング用シャツ・パンツ・シューズは毎週持参し、更衣した後、授業に臨むこと。

教科書

特に指定しない。

参考書

授業の進行に応じて都度教示します。

研究室／オフィスアワー

E棟4階研究室3/ 原則月曜日3時限目・4時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	トレーニング科学理論の概略	健康づくりとレジスタンス運動　予習・復習各2時間	信江
2	レジスタンストレーニングの基礎理論（1）	トレーニングの目的　予習・復習各2時間	信江
3	レジスタンストレーニングの基礎理論（2）	身体特性の評価　予習・復習各2時間	信江
4	レジスタンストレーニングの応用展開（1）	最大有酸素能力向上のための条件　予習・復習各2時間	信江
5	レジスタンストレーニングの応用展開（2）	最大無酸素性能力向上のための条件　予習・復習各2時間	信江
6	レジスタンストレーニングの応用展開（3）	最大筋力・筋パワー・筋持久力向上のための条件　予習・復習各2時間	信江
7	レジスタンストレーニングの実践	自重や身近な用具を使ったトレーニングの実際　インターバルトレーニングやサーキットトレーニングの実際　予習・復習各2時間	信江
8	トレーニング適応の効果と適応	呼吸・循環・代謝及び筋骨格系の形態及び機能のトレーニング適応変化　予習・復習各2時間	信江

成績評価方法と基準	割合
成績の評価は原則として4／5以上出席した者を対象とし、①課題レポート（70点）〈DP①〉と②演習内容に取り組む姿勢や理解度（30点）〈DP①③〉を総合的に評価する。　課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：レポート課題については、模範解答の提示と解説を実施する。	①70%　②30%

授業科目名	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学演習Ⅱ(ｴｱﾛﾋﾞ・ｳｫｰｷﾝｸﾞ・ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ)(鍼灸スポーツ)				
主担当教員	家光　恵子		担当教員	家光　恵子	
科目ナンバリング	SS20BACB075	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

運動（スポーツ）トレーニングを実施する目的は、競技力向上、健康増進、筋力・持久力向上、ダイエット等、実施する個人によって多種、多様である。本演習では、有酸素系エクササイズを演習プログラムの一環として取り入れ、主に有酸素代謝機能の向上やダイエットを目的とする効果的なトレーニング方法の理論と実践を体験学習できるような授業を展開する。また、健康体力に関する測定、講義も行いトレーニング科学および運動生理学等の学問分野に関する基礎的な知識を養う。

学修目標

・エアロビックエクササイズの運動効果を理解し、安全に実践できる。　・ウォーキングとジョギングの特性と効果を理解し説明できる　・対象者に応じた効果的な運動プログラムの作成と、安全な運動指導ができる。　DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

※重要※　健康運動実践指導者　資格試験を受験する学生は必ずこの講座を受講してください　資格試験実技テストの試験対策となります　その他は初回授業オリエンテーションで説明いたします　受講迷ってる学生は初回オリエンテーションで決定してください

教科書

適宜、資料を配布する。

参考書

健康運動実践指導者養成用テキスト（健康体力づくり事業財団）

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室／授業の前後のみ対応可能

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	健康づくりとエアロビックエクササイズ	予習：シラバスの確認　復習：授業をもとにシラバス・プリントの確認　エアロビクス動きの練習	家光　恵子
2	エアロビクス動作練習	予習：健康づくり運動について考える　復習：エアロビクス動きの練習	家光　恵子
3	ウォーキングの運動効果と特性　エアロビクス動作練習	予習：健康ウォーキング法について考える　復習：授業をもとにプリントの確認	家光　恵子
4	ウォーキング測定　歩行速度・歩幅・歩数・心拍数　エアロビクス動作練習・指導練習	予習：ウォーキング運動について考える　復習：測定結果をもとに歩行分析をする　エアロビクス動きの練習・動画確認	家光　恵子
5	ウォーキングプログラム作成・フォーム・指導上の留意点　エアロビクス動作練習・指導練習	予習：運動プログラムを考える　復習：授業をもとにプリントの確認　エアロビクス動きの練習	家光　恵子
6	ジョギングの運動効果・指導上の留意点　エアロビクス指導練習	予習：ウォーキングとジョギングの違いについて考える　復習：授業をもとにプリント・指導内容の確認　エアロビクス指導練習・試験対策	家光　恵子
7	ジョギング測定　心拍数・RPE　プログラム作成　エアロビクス指導練習、指導テスト	予習：運動プログラムを考える・指導練習　復習：測定結果を分析する　エアロビクス指導練習	家光　恵子
8	エアロビックエクササイズの実践指導	予習：運動プログラムを考える・指導練習　復習：指導の自己評価を行う　エア	家光　恵子

		ロビクス指導練習・動画確認・実技テスト	
成績評価方法と基準			割合
①授業に取り組む姿勢や態度（積極性、協調性）、参加、貢献の程度（７０％）　②エアロビクス実技指導テスト　技能の理解、習熟度、運動能力の水準、およびレポート（３０％）をそれぞれ評価する。　４／５以上の出席が必要。　DP①③			①70%　②30%

授業科目名	体力トレーニング論（鍼灸スポーツ）				
主担当教員	信江　彩加		担当教員	信江　彩加	
科目ナンバリング	SS20BACA078	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本講義では、体力トレーニングに関連する機能解剖学や運動生理学などについて、講義形式にて学びを深める。トレーニングによる組織や器官（器官系）の構造的・機能的変化やそれに伴う生理機能の変化などについて学ぶとともに、各種トレーニングの効果について最新の学術的根拠についても解説する。また各種トレーニングを実践するとともに、安全かつ効果的なトレーニング方法の取得と指導方法などについても学ぶ。さらに目的に応じたトレーニングプログラム作成が可能となるよう授業を進めていく。

学修目標

１．体力・トレーニングに関連した機能解剖学・運動生理学・トレーニング科学を理解する。　２．安全かつ効果的なトレーニングの実践および指導が可能となる。　３．目的に応じたトレーニングプロラムの作成が可能となる。　〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．実技を実施するので動きやすい服装および室内用運動シューズ、屋外用運動シューズを準備すること。　２．実技では得手不得手は問わないので積極的に参加すること。

教科書

特になし。必要に応じてプリントなどを配布する。

参考書

『体力トレーニングの理論と実際』その他、必要に応じて提示する

研究室／オフィスアワー

E 棟 4 階研究室 3/ 原則月曜日 3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス/体力トレーニング論とは	予習：シラバスの確認（2 時間）　復習：体力の定義について確認（2 時間）	信江
2	レジスタンストレーニングのプログラムデザイン	予習：筋肉の運動生理学的基礎を確認（2 時間）　復習：自身の競技特性を考慮してまとめる（2 時間）	信江
3	パワートレーニングのプログラムデザイン	予習：筋肉の運動生理学的基礎を確認（2 時間）　復習：自身の競技特性を考慮してまとめる（2 時間）	信江
4	スピードトレーニングのプログラムデザイン	予習：スピードの概念と運動の法則を確認（2 時間）　復習：自身の競技特性を考慮してまとめる（2 時間）	信江
5	持久的トレーニングのプログラムデザイン	予習：呼吸・循環系の運動生理学的基礎を確認（2 時間）　復習：自身の競技特性を考慮してまとめる（2 時間）	信江
6	ウォーミングアップ・クールダウン	予習：ストレッチの各種形態をまとめる（2 時間）　復習：自身の競技特性を考慮し、応用する（2 時間）	信江
7	レジスタンストレーニング 1（実習）	予習：上半身の機能解剖を確認（2 時間） 復習：自身の目的に応じて応用実践する（2 時間）	信江
8	レジスタンストレーニング 2（実習）	予習：下肢の機能解剖を確認（2 時間） 復習：自身の目的に応じて応用実践する（2 時間）	信江

9	スピードトレーニング　スプリントと方向転換（実習）	予習：加速・減速・方向転換について確認（2時間）　復習：自身の目的に応じて応用実践する（2時間）	信江
10	有酸素系トレーニング1（実習）	予習：呼吸・循環器機能についての確認（2時間）　復習：キーワード・重要語句の確認（2時間）	信江
11	有酸素系トレーニング2（実習）	予習：サーキットトレーニングをまとめる（2時間）　復習：指定参考書の確認（2時間）	信江
12	ピリオダイゼーション（期分けとは）	予習：トレーニング計画の立案について確認（2時間）　復習：キーワード・重要語句の確認（2時間）	信江
13	トレーニングプログラムの作成	予習：自身の競技特性についての理解（2時間）　復習：自身の目的に応じて応用実践する（2時間）	信江
14	トレーニング指導者の役割とプログラム指導	予習：指導者の役割について確認（2時間） 復習：現場での応用を自己でまとめる（2時間）	信江
15	体力トレーニングにおける安全対策	予習：CPR／RICE処置を確認しておく（2時間）　復習：現場での応用を自己でまとめる（2時間）	信江
成績評価方法と基準			割合
1．原則3分の2以上の出席者を評価の対象とする。　2．1.授業への参加度〈DP①〉50% ・ 2.グループ発表〈DP①〉40% ・ 3.授業内レポート〈DP①〉10%　3．授業への参加度とは、得手不得手に関わらない能動的な実技への参加と、講義において教員からの質問に対する論理的かつ積極的な発言などを評価する。　4．課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：レポート課題については、模範解答の提示と解説を実施する。			2-1:50　2-2:40　2-3:10

授業科目名	解剖学Ⅰ(骨)(鍼灸)				
主担当教員	宮武 大貴		担当教員	宮武 大貴	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜1限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

解剖学Ⅰ(骨)では、人体の基礎を構成し、運動器系の中心的な役割を担う骨を学習する。　骨については、分類・構造などの総論と、各骨の部位や形態的特徴などを学習する。　これらの理解を通じて、骨が運動器として機能するときにどのような連携しているか考えるとともに、運動時に重要な役割を果たしている関節や靱帯の形態と機能についても理解を深める。

学修目標

骨格系に関わる主要構造や主要部位の名称が言えるとともに、これらがどう配置しているかが説明できる。DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書と配布プリントの内容を中心に解説を行う。　適宜、小テストを行うので暗記作業をしっかりすること。

教科書

解剖学 第2版（公益社団）東洋療法学校協会編、医歯薬出版会社

参考書

プロメテウス解剖学コアアトラス　坂井健雄、医学書院

研究室／オフィスアワー

月曜日、火曜日、水曜日　9：00～16：00　但し講義時間を除く

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	骨学(1)：骨格系：骨の形状・骨の連結・関節の種類	予習と復習：解剖学第２版 骨格系　P.160～163まで　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
2	骨学（2)：脊柱：構成・各部の椎骨・脊柱の彎曲	予習と復習：解剖学第２版 脊柱：構成・各部の椎骨・脊柱の彎曲P.169～176まで※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
3	骨学（3)：胸郭：胸骨・肋骨　上肢の骨格：鎖骨	予習と復習：解剖学第２版 胸郭：胸骨・肋骨P.177～179　上肢の骨格：鎖骨P.179まで　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
4	骨学（4)：上肢の骨格：肩甲骨・上腕骨・尺骨・橈骨	予習と復習：解剖学第２版 上肢の骨格：肩甲骨・上腕骨・尺骨・橈骨P.179～182※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
5	骨学（5)：上肢の骨格：手の骨（手根骨、中手骨、指骨）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の骨格：手の骨（手根骨、中手骨、指骨）P.182～183　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
6	骨学（6)：下肢の骨格（寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨）	予習と復習：解剖学第２版 下肢の骨格（寛骨P.187～188、大腿骨、膝蓋骨、脛	宮武

		骨、腓骨 P.190～192）　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	
7	骨学（7）：下肢の骨格　足の骨（足根骨、中足骨、足の指骨）	予習と復習：解剖学第２版 下肢の骨格　足の骨（足根骨、中足骨、足の指骨）P.192　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
8	骨学（8）：上肢の関節①（胸鎖関節、肩鎖関節、肩関節）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の関節①（胸鎖関節、肩鎖関節、肩関節）P.183、184　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
9	骨学（9）：上肢の関節②（肘関節、橈骨手根関節～指の関節）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の関節②（肘関節、橈骨手根関節～指の関節）P.184～187　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
10	骨学（10）：下肢の関節①（股関節、膝関節～指の関節まで）	予習と復習：解剖学第２版 下肢の関節①（股関節、膝関節～指の関節まで）P.194～197　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
11	骨学（11）：頭蓋骨①（脳頭蓋）	予習と復習：解剖学第２版 頭蓋骨①（脳頭蓋）P.198～203　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
12	骨学（12）：頭蓋骨②（顔面頭蓋）	予習と復習：解剖学第２版 頭蓋骨②（顔面頭蓋）P.203～204　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
13	骨学（13）：頭蓋骨③（脳頭蓋をつくる骨）（顔面頭蓋をつくる骨）	予習と復習：解剖学第２版 頭蓋骨　③（脳頭蓋をつくる骨）P.204～207　（顔面頭蓋をつくる骨）P.207～210　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
14	骨学（14）：頭蓋骨④顎関節	予習と復習：解剖学第２版 頭蓋骨④顎関節 P.210　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
15	骨学（15）：骨盤	予習と復習:解剖学第２版 骨盤 P.188～190 ※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4 時間	宮武
成績評価方法と基準			割合
①授業中に行う小テスト〈DP②③〉　②定期試験〈DP②③〉※出題範囲：授業で扱った範囲　2/3 以上の出席を必要とする			①30%　②70%

授業科目名	解剖学Ⅱ（内臓・脈管）（鍼灸）					
主担当教員	森　優也		担当教員	森　優也		
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用するためには、正常な人体の構造を理解しておくことが必須となる。したがって、解剖学は他職種との協調や連携、コミュニケーションを図る上で最も重要な基礎専門科目のひとつである。　解剖学Ⅱ（内臓・脈管）では、循環系と内臓系とを中心に人体の正常構造について系統解剖学の立場から基本的な概念と知識の習得を目指す。臨床系専門科目に先駆けて、心臓血管系、リンパ系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系など多岐におよぶ学習範囲を系統立てて学習する。単なる名称の記憶にとどまらず、形態と機能との関わりを考え、医療に携わる者として基盤となる知識や論理性のある思考能力を身につける。

学修目標

（1）人体の基本構成について説明できる。　（2）内臓系（消化器、呼吸器、泌尿器）の基本的構成を説明できる。　（3）循環系（心臓血管系、リンパ系など）の基本的構成を説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書内容を記載したプリント中心に進めます。適宜資料を配付するので、復習時の参考として理解を深めて下さい。講義の進行・予定や単位認定の詳細等については、初回講義時に説明します。

教科書

社団法人東洋療法学校協会編　『解剖学（第 2 版）』　医歯薬出版株式会社

参考書

藤田恒太郎『人体解剖学　改訂第 42 版』（南江堂）　「からだがみえる」人体の構造と機能（株式会社メディックメディア）

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階（事務室）　月曜日午後 5 時～午後 6 時、各日適時 E 棟学生ホールを巡回します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	解剖学総論　第１章　人体の構成１（細胞）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
2	第１章　人体の構成２（組織）　①上皮組織、②結合組織、筋組織、④神経組織	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
3	第１章　人体の構成３（体表構造〈皮膚〉）　内臓系総論	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森

4	第４章　消化器１（口腔、咽頭、食道）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
5	第４章　消化器２（胃、小腸）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
6	第４章　消化器３（大腸、腹膜）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
7	第４章　消化器４（肝臓、胆嚢、膵臓）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
8	第３章　呼吸器１（鼻腔、咽頭、喉頭、気管）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
9	第３章　呼吸器２（気管支、肺、縦隔）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
10	第３章　泌尿器（腎臓、尿管、膀胱、尿道）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
11	第２章　循環器１（循環器総論、血管総論）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
12	第２章　循環器２（心臓）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
13	第２章　循環器３（動脈系①）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
14	第２章　循環器４（動脈系②、静脈系）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
15	第２章　循環器５（胎児循環、リンパ系）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：MORIPA から配信する小テストの回答、配布資料へ	森

		の再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	
成績評価方法と基準			割合
※全授業の２/３以上出席すること　① 筆記試験（90%）　② MORIPA 小テストの回答提出（10%）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。			①90%　②10%

授業科目名	解剖学Ⅲ(筋)(鍼灸)				
主担当教員	宮武 大貴		担当教員	宮武 大貴	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	火曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	必修

授業概要

解剖学Ⅲ(筋)では、人体の基礎を構成し、運動器系の中心的な役割を担う筋を学習する。　筋については、分類・構造などの総論に加えて、各筋の起始、停止、支配神経、作用などを学習する。これらの理解を通じて、骨と筋が運動器として機能するときにどのような連携しているか考える。

学修目標

（1）筋肉系に関わる主要構造や主要部位の名称が言えるとともに、これらがどう配置しているかが説明できる。　（2）筋のはたらきの概要が説明できる。　（3）主要関節の構造とそれに係わる筋の作用が説明できる。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書と配布プリントの内容を中心に解説を行う。　適宜、小テストを行うので暗記作業をしっかりすること。

教科書

解剖学 第2版（公益社団）東洋療法学校協会編、医歯薬出版会社

参考書

プロメテウス解剖学コアアトラス　坂井健雄、医学書院

研究室／オフィスアワー

月曜日、火曜日、水曜日　9：00～16：00　但し講義時間を除く

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	筋学(1)：筋　系：筋の付着・形・神経・補助装置・筋の作用と運動と　筋学(2)：体幹の筋（浅胸筋：大胸筋、小胸筋、鎖骨下筋、前鋸筋）	予習と復習：解剖学第２版筋系P.163～168、P.211～212まで　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
2	筋学(3)：体幹の筋（深胸筋）と（腹筋）	予習と復習：解剖学第２版 体幹の筋（深胸筋）P.212～214と（腹筋）P.214～218　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
3	筋学(4)：体幹の筋（浅背筋）	予習と復習：解剖学第２版 筋学(4)：体幹の筋（浅背筋）P.220～222　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
4	筋学(5)：体幹の筋（深背筋）	予習と復習：解剖学第２版 体幹の筋（深背筋）P.222～224　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
5	筋学(6)：上肢の筋（上肢帯の筋）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の筋（上肢帯の筋）P.237～238　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
6	筋学(7)：上肢の筋（上腕の筋）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の筋（前腕の筋：屈筋群）P.242～245　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
7	筋学(8)：上肢の筋（前腕の筋：屈筋群）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の筋（前腕の筋：伸筋群）P.245～249　※教科書で	宮武

		学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	
8	筋学(9)：上肢の筋（前腕の筋：伸筋群）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の筋（前腕の筋：屈筋群）P.242～245　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
9	筋学(10)：上肢の筋（手の筋）	予習と復習：解剖学第２版 上肢の筋（手の筋）P.249～252　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
10	筋学(11)：下肢の筋（下肢帯の筋）と（大腿の筋：伸筋群）	予習と復習：解剖学第２版 下肢の筋（下肢帯の筋）P.212～214 と（大腿の筋：伸筋群）P.269～272　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
11	筋学(12)：下肢の筋（大腿の筋：内転筋群）と（大腿の筋：屈筋群）	予習と復習：解剖学第２版 下肢の筋（大腿の筋：内転筋群）P.272 と（大腿の筋：屈筋群）と（腹筋）P.272～274　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと 予習・復習に要する時間：4時間	宮武
12	筋学(13)：下肢の筋（下腿の筋：伸筋群、腓骨筋群、屈筋群）	予習と復習：解剖学第２版 下肢の筋（下腿の筋：伸筋群、腓骨筋群、屈筋群）P.274～279　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
13	筋学(14)：下肢の筋（足の筋）	予習と復習：解剖学第２版 下肢の筋（足の筋）P.279～282　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
14	筋学(15)：体幹・上肢・下肢の運動と局所解剖	予習と復習：解剖学第２版 体幹・上肢・下肢の運動と局所解剖　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
15	筋学(まとめ)：頭頚部の筋・運動と局所解剖と会陰筋	予習と復習：解剖学第２版 頭頚部の筋・運動と局所解剖 P.297～316 会陰筋 P.218～220　※教科書で学習し、授業を元にノートの加筆を行うこと　予習・復習に要する時間：4時間	宮武
成績評価方法と基準			割合
①授業中に行う小テスト〈DP②③〉　②定期試験〈DP②③〉※出題範囲：授業で扱った範囲　2/3以上の出席を必要とする			①30%　②70%

授業科目名	解剖学Ⅳ(神経)(鍼灸)				
主担当教員	森 優也		担当教員	森 優也	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用するためには、正常な人体の構造を理解しておくことが必須となる。したがって、解剖学は他職種との協調や連携、コミュニケーションを図る上で最も重要な基礎専門科目のひとつである。　解剖学Ⅲ（神経）では、系統解剖学の立場から、中枢神経、末梢神経、感覚器、内分泌器について学習する。これらは、臨床系専門科目で学ぶ神経疾患や内分泌系、感覚系領域を理解するための基礎となり、これらの形態と構造に関わる基礎的知識を習得する。単なる暗記学問とならないためにも、人体の各構造物の形態と機能に興味を持ち、医療に携わる者として基盤となる知識や論理性のある思考能力を身につける。

学修目標

（1）中枢神経の基本的構成を説明できる。<DP①>　（2）末梢神経の基本的構成を説明できる。<DP①>　（3）感覚器の種類と基本的構造を説明できる。<DP①>　（4）感覚器、末梢神経、中枢神経による情報処理の仕組みの概要を説明できる。<DP①>　（5）内分泌器の種類と構造や機能を説明できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

講義は教科書を中心に進めます。適宜資料を配付するので、復習時の参考として理解を深めて下さい。講義の進行・予定や単位認定の詳細等については、初回講義時に説明します。

教科書

社団法人東洋療法学校協会編　『解剖学（第 2 版)』　医歯薬出版株式会社　「からだがみえる」人体の構造と機能（株式会社メディックメディア）

参考書

藤田恒太郎『人体解剖学　改訂第 42 版』(南江堂)

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階（事務室）　月曜日午後 5 時～午後 6 時、各日適時 E 棟学生ホールを巡回します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	神経系の概要　中枢神経１（脊髄の構造）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
2	中枢神経２（脳幹の構造①）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
3	中枢神経３（脳幹の構造、小脳）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。(自修１時間)	森
4	中枢神経４（終脳、脳室）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。(自修１時間)　復習：配布	森

		資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	
5	中枢神経５（伝導路、まとめ）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
6	末梢神経１（脳神経① 第Ⅰ～Ⅵ脳神経）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
7	末梢神経２（脳神経②第Ⅶ～ⅩⅡ脳神経）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
8	末梢神経３（脊髄神経）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
9	末梢神経４（自律神経、まとめ）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
10	感覚器１（視覚器①）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
11	感覚器２（視覚器②、平衡聴覚器）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
12	感覚器３（味覚器、嗅覚器、まとめ）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
13	生殖器１（男性生殖器）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
14	生殖器２（女性生殖器）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
15	生殖器３（受精・発生、まとめ）	予習：事前に教科書の該当部分を読んでおいて下さい。（自修１時間）　復習：配布資料への再記入、授業の振り返り等、復習を怠らないようにして下さい。（自修１時間）	森
成績評価方法と基準			割合
※全授業の２/３以上出席すること　①筆記試験（90%）　②課題等の提出（10%）　評価の具体的な内容については、初回講義時に説明します。			①90%　②10%

授業科目名	医療技術入門（鍼灸）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／松尾　明彦／中村　有希	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	火曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	選択

授業概要

医療技術は科学技術（テクノロジー）に基礎をなす学問であり、その応用である。それは、技術に基づいて発展し、現在の高度化された医療を支えている。その技術を用いて医療を実践するのが、医療技術学部で養成される臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師等で生体機器を取り扱うために専門的な知識や技能（スキル）の修得が必要とされる職種である。そのような医療技術系の職種（他職種）が関わる分野について、鍼灸師を目指す学生に対して医療技術の基礎を教授し、多職種の理解が深まるように解説する。

学修目標

臨床の現場で必要である医療技術の基礎を学ぶ。　1．医療を技術的観点からとらえ、それを支える基礎的事項について理解する。　2．医療において技術を駆使するのは医療従事者でありスキルの重要性を理解する。　3．科学の進歩に伴い医療の技術も日々進歩していることを理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

医療の学問的・技術的な背景が講義の主軸となるが、最新の医療技術についても紹介する。１年次前期ではまだ十分な知識が備わってないこともあるので、分からないことは積極的に質問すること。また学習内容と事前指導を確認し準備をしておくこと。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書

担当教員が適宜指示する。

研究室／オフィスアワー

臨床検査学科　脇研究室　（月）16：30～17：30　（火）16：30～17：30

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	1. 臨床で使用される医療機器の紹介	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
2	2. 日常臨床で使用される 3 方活栓の使い方（実習）	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、中村有希
3	3. 循環器系疾患で使用される医療機器（臨床例提示）	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
4	4. 静脈確保の実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、松尾明彦
5	5. 消化器系疾患で使用される医療機器（臨床例提示）	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
6	6. 生検鉗子の使用実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦、中村有希
7	7. 脳・神経系で使用される医療機器（臨床例提示	予習：不要　復習：講義内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦
8	8. 頸動脈エコー実習	予習：不要　復習：実習内容を整理・確認する.（1 時間）	脇英彦

成績評価方法と基準	割合
1. 授業内に行う小テスト　2.　実習レポートを含む実習評価　フィードバック：低解答率問題の解説を行う。	1. 授業中に行う小テスト

	（20%） 2. 実習レポートを含む実習評価（80%）

授業科目名	BLS テクニカル演習（鍼灸）				
主担当教員	加納　寛也		担当教員	加納　寛也／布江田　友理／藤江　建朗／中村　有希	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

突然の心停止はその予防に関して重要な進歩を遂げているにも関わらず、多くの国では死亡原因の第 1 位である。そして、院外での心停止の予後は依然不良である。この講義では、医療技術職に関わる学生が、世界基準の心肺蘇生（CPR）について学び、高い CPR スキルの実施を修得する。その第一歩として学科の垣根を越えて、一次救命処置（BLS）を修得し救命率を向上させる医療人のタマゴの育成を目指す。　アメリカ心臓病協会 AHA による一次救命処置（BLS）プロバイダーコースを受講することで AHA, BLS 修了認定する。　DP 1,2,3

学修目標

- 質の高い CPR の重要性および生存に対するその効果を説明できる
- 救命の連鎖という BLS の概念を適用できる
- CPR を要する徴候を認識できる
- 成人・小児・乳児に対して質の高い CPR を実施できる
- 自動体外式除細動器（AED）の早期使用の重要性を説明できる
- AED を適切に使用できる
- 感染防具を使用して効果的な人工呼吸が実施できる
- 異物による気道閉塞を解除する処置を説明できる

履修上の注意(学生へのメッセージ)

①本科目は定員制のため、受講希望者が多い場合は教務課にて抽選により選出する。また履修登録修正期間に枠が空いた場合は、抽選者の中から繰り上げ定員とする。　②講義７，８は実技＋試験としてアメリカ心臓病協会 AHA による一次救命処置（BLS）プロバイダーコースを受講となる。実施日は土曜日となる。　③②について受講は任意、受講者は実技、資格登録等で別途 16,000 円（2024/11 月時点）が必要となる。AHA 登録期間 2 年間有効。

教科書

一次救命処置　AHA ガイドライン 2020 準拠　プロバイダーマニュアル　：　シナジー　　American Heart Association 著　　ISBN 978-4-910915-04-3 C3347

参考書

写真と動画でわかる一次救命処置　：　学研　　ISBN 978-4-7809-1242-5 C3047

研究室／オフィスアワー

各講義終了後または、各担当教員にアポイントを取って各研究室にて指導を受けること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	一次救命処置の必要性について学ぶ	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
2	救命処置について学ぶ	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江

3	BLS について理解を深める	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
4	気道確保について	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
5	AED について	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
6	救助者の心理・メンタルケア	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江
7	AHA, BLS 実技	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加 納　　中 村 布江田　藤江 大阪ライフサポート協会
8	AHA, BLS 実技	予習：講義内容に沿った教科書および参考資料を用いて確認　復習：講義内容時に作成した自身のノートを見直し理解を深め次回授業までに自己学習を 2 時間行う	加納　中村 布江田　藤江 大阪ライフサポート協会
成績評価方法と基準			割合
1、課題評価（レポート提出内容、期限内厳守、班・チームごとにおける演習等に対する協力体制、態度など）、〈DP①②③〉　フィードバック：モリパを通じコメント記載。レポートの返却はしない。			11

授業科目名	循環器診断技術演習（鍼灸）				
主担当教員	山本　浩一		担当教員	山本　浩一／小縣　裕二	
科目ナンバリング		科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	選択

授業概要

循環器疾患では、病気の範囲や重症度を判定し治療の計画を役立てるために、さまざまな診断法が開発されている。臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師等の医療技術者は、専門的技術を用いて医療を実践することで現在の高度化された循環器疾患診療を支えている。臨床検査・臨床工学・診療放射線の 3 職種が関わる分野について、学科の垣根を超えて一緒に循環器疾患の診断に関する基礎を学ぶことで、それぞれの専門的な技能（スキル）の修得に繋げると共に、多職種理解を目指す。

学修目標

臨床の現場で必要である循環器診断技術の基礎を学ぶ。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

履修上の注意（学生へのメッセージ）　1　全出席を原則とする。　2　課題を出しますので、提出期限を遵守すること。原則的に締切後の提出は認めない。　3　課題（模型作成）では模型代金（4,000 円程度）の実費を徴収します。　　価格は予定であって、変更となる可能性もあります。　4　模型作成の時は土曜日に開講する予定です（日程は調整中）。※詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

教科書

指定しない

参考書

指定しない

研究室／オフィスアワー

山本浩一　さくら棟 5F　研究室 6

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス・循環器系解剖講義	予習：循環器系の解剖教科書を熟読し理解してくること　復習：実習の内容をまとめる	
2	心臓の解剖演習	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
3	心臓について②(模型作成)	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
4	心臓について③（模型作成）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
5	超音波検査(演習を含む)	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
6	心電図検査（演習を含む）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
7	循環器に関する放射線検査（造影剤に関して）	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	
8	循環器に関する自律神経薬理学実習	予習：実習書を熟読し理解してくること 復習：実習の内容をまとめる	

成績評価方法と基準	割合
授業ごとに課題（レポート等）を課します。詳細は 1 回目に伝えます。	課題の評価を 100%としま

	す。詳細は1回目に伝えます。

授業科目名	スポーツ経営学（鍼灸）				
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:選択　スポーツ:選択　AT:必修

授業概要
我が国のスポーツ行政の基礎を身につける。　スポーツを行う意義について解説するとともに、グループワークを通じて自らの考えを述べることができる力を養う。
学修目標
1. スポーツ組織に関する基礎的な知識が説明できる。〈 DP① 〉 2. スポーツ組織のマネジメントに関する基礎的な知識が説明できる。〈 DP① 〉 3. 現代社会におけるスポーツの意義について基礎的な知識が説明できる。〈 DP① 〉
履修上の注意(学生へのメッセージ)
授業内にアクティビティー（ワーク）を行うこともあるので、積極的に授業に参加すること。
教科書
日本スポーツ協会 Reference book
参考書
なし
研究室／オフィスアワー
東棟 4 階火曜日 15：00-18：00
授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：スポーツ経営学、スポーツ社会学に関してインターネットを使って調べる　復習：講義資料の確認　（各 2 時間）	担当教員
2	スポーツ組織の持続可能性	予習：スポーツの持続可能性を支えるにはどのようなマネジメントが必要かを調べる 復習：授業を受けてスポーツの持続可能性について纏める　（各 2 時間）	担当教員
3	地域におけるスポーツ振興	予習：地域スポーツクラブの運営について調べる　復習：地域スポーツクラブが発展するために重要なことを纏める　（各 2 時間）	担当教員
4	総合型地域スポーツクラブのマネジメント	予習：総合型地域スポーツクラブとは何か調べ得ておく　復習：日本で総合型スポーツクラブが発展するためには方策を纏める（各 2 時間）	担当教員
5	スポーツ組織の特性とマネジメント	予習：スポーツ組織について事前に調べておく　復習：講義資料の確認　（各 2 時間）	担当教員
6	スポーツの産業化	予習：スポーツ産業とは何かを調べておく 復習：スポーツ産業が発展するための方策を纏める　（各 2 時間）	担当教員
7	スポーツ組織に必要な法整備	予習・復習：スポーツ基本法を確認する（各 2 時間）	担当教員
8	スポーツの意義と価値	予習：「スポーツとは何かを」書籍やインターネットで調べる　復習：スポーツの価値を高めるためにスポーツ指導者としてできることを纏める　（各 2 時間）	担当教員

9	スポーツと自治－ガバナンスとコンプライアンス－	予習：ガバナンスとは何か？コンプライアンスとは何かを調べておく　復習：講義資料を基にスポーツにおけるガバナンスとコンプライアンスについて纏める　（各 2 時間）	担当教員
10	スポーツにおけるハラスメント	予習：近年、スポーツで起こったハラスメント事例を調べておく　復習：ハラスメントが起きないようにスポーツ指導者としてどのように指導を行うべきかを纏める　（各 2 時間）	担当教員
11	スポーツのインティグリティ	予習：近年、スポーツで起こったインティグリティに関する事例を調べておく　復習：不正が起こらないようにするために指導者としてできることを纏める　（各 2 時間）	担当教員
12	スポーツ事故と法的責任	予習：法的責任が発生したスポーツ事故の事例を調べておく　復習：スポーツ指導者として法的責任が生じないようにできることを纏めておく　（各 2 時間）	担当教員
13	スポーツ倫理	予習：スポーツ倫理に関する実際の事例を調べる　復習：プレーヤーに倫理観を教育するために指導者としてできることを纏める　（各 2 時間）	担当教員
14	障がい者とスポーツ	予習：障がい者のスポーツ参画に関する事例をインターネットで調べる　復習：障がい者が積極的にスポーツに参加するためには何をすればいいかを纏める　（各 2 時間）	担当教員
15	講義全体のまとめ	復習：これまでの講義資料と教本を確認	担当教員
成績評価方法と基準			割合
①レポート課題　②筆記試験			①50% ②50%

授業科目名	スポーツコーチング論（鍼灸）				
主担当教員	小田　啓之		担当教員	小田　啓之	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	鍼灸:選択　スポーツ:選択　AT:必修

授業概要

スポーツ現場において、プレーヤーの能力を高めるためにコーチは必要不可欠な存在である。近年、スポーツ指導の現場では「ICT の利用」や「ハラスメント問題」「コンプライアンス」といった指導者の指導環境が刻々と変化している。そのような変化に対して柔軟に対応して行かなければならない。本講義では、スポーツ現場での多様なニーズに対応できるスポーツ指導者のスキルを身につける。

学修目標

「コーチングとは何か」を十分に理解すること。　スポーツ現場での多様なニーズに対応できる指導スキルを身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業内にアクティビティー（ワーク）を行うこともあるので、積極的に授業に参加すること。

教科書

日本スポーツ協会 Reference book

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

東棟４階　火曜 15：00-18：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	予習・復習：リファレンスブックの確認（各 2 時間）	小田
2	コーチングとは何か	予習：コーチとはどのような人物か調べておく　復習：リファレンスブックの確認（各 2 時間）	小田
3	コーチに求められる役割	予習：コーチに求められる役割について考えておく　復習：リファレンスブック・講義資料の確認　（各 2 時間）	小田
4	コーチに求められる知識とスキル	予習：日本におけるこれまでのコーチング方法について調べる　復習：これからの時代に向けてどのようなコーチングを行うべきが講義内容を踏まえて考える　（各 2 時間）	小田
5	対他者力とは何か	予習：リファレンスブックの確認　復習：コーチにとって対他者力が何故必要になるか講義資料を基に考える　（各 2 時間）	小田
6	対他者力トレーニング①　ーコミュニケーションスキル，プレゼンテーションスキル，ファシリテーションスキルー	予習：3 つの対他者スキルを練習する　復習：授業内のフィードバック内容の確認（各 2 時間）	小田
7	対他者力トレーニング②　ーコミュニケーションスキル，プレゼンテーションスキル，ファシリテーションスキルー	予習：3 つの対他者スキルを練習する　復習：授業内のフィードバック内容の確認（各 2 時間）	小田
8	対自己力とは何か	予習：リファレンスブックの確認　復習：コーチにとって対自己力が何故必要になる	小田

		か講義資料を基に考える　（各 2 時間）	
9	対自己力トレーニング	予習 : 前回の講義資料を確認　復習 : 授業内のフィードバック内容の確認　（各 2 時間）	小田
10	スポーツとドーピング	予習 : ドーピングとは何か調べる　復習 : コーチとしてドーピング違反をどのように防ぐことができるか考える　（各 2 時間）	小田
11	スポーツとハラスメント	予習：スポーツ現場で起こり得るハラスメントについて調べる　復習：リファレンスブックの確認　（各 2 時間）	小田
12	時代をリードするコーチング	予習：日本におけるこれまでのコーチング方法について調べる　復習：リファレンスブックの確認　（各 2 時間）	小田
13	コーチングにおけるスポーツ事故	予習：過去にスポーツ現場で発生した事故について調べておく　復習：講義資料の確認　（各 2 時間）	小田
14	ハイパフォーマンススポーツとコーチング	予習：現在日本で行われているトップアスリートに対するコーチング方法を調べる 復習：講義内容の確認　（各 2 時間）	小田
15	講義全体のまとめ	これまでの授業資料などの確認	小田
成績評価方法と基準			割合
①レポート課題　②筆記試験			①50%　②50%

授業科目名	アスレティックトレーナー概論（鍼灸 AT）					
主担当教員	小田 啓之		担当教員	小田 啓之		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 2 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修	

授業概要

スポーツ現場で活躍しているアスレティックトレーナーとは、どのような役割なのか？スポーツ環境が変化していく中でアスレティックトレーナーの役割も変化しつつある。本講義では、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPO-AT）養成のため、JSPO-AT を基準としたアスレティックトレーナーの歴史や業務、倫理、責任等アスレティックトレーナーとしての役割についての授業を展開する。

学修目標

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの歴史的背景を理解し、説明ができる（DP①③） 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPO-AT）の業務を理解し、その説明ができる事。(DP①③) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの倫理観や責任を理解し、その説明ができる事。(DP①③)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを受験希望する者は必ず受講すること。 アスレティックトレーナーは、運動指導者として位置づけられているので、運動指導者として相応しい受講態度をとること。 授業内でディスカッションを行う時は積極的に発言し、活発な議論を行うこと。

教科書

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 1「アスレティックトレーナーの役割」

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

東棟 4 階火曜 15：00-18：00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション	予習：アスレティックトレーナーの職業領域についてインターネットで調べる 復習：アスレティックトレーナーの働き方についてまとめる （各 2 時間）	小田
2	JSPO-AT とは	予習：アスレティックトレーナーの役割を調べる 復習：アスレティックトレーナーの変遷についてまとめる （各 2 時間）	小田
3	JSPO-AT の業務 （外傷・障害予防，コンディショニング）	予習：アスレティックトレーナーの役割をインターネットや書籍を用いて調べる 復習：講義内容を踏まえて外傷・障害予防におけるアスレティックトレーナーの役割をまとめる （各 2 時間）	小田
4	JSPO-AT の業務 （リコンディショニング，救急対応）	予習：アスレティックトレーナーの役割をインターネットや書籍を用いて調べる 復習：講義内容を踏まえてリコンディショニング、救急対応におけるアスレティックトレーナーの役割をまとめる （各 2 時間）	小田
5	JSPO-AT の活動と倫理	予習：倫理とは何か調べる 復習：講義内容を踏まえてアスレティックトレーナーに必要な倫理観をまとめる （各 2 時間）	小田
6	JSPO-AT の活動環境	予習：アスレティックトレーナーの職域について調べる 復習：講義内容を踏まえて	小田

		アスレティックトレーナーの活動場所をまとめる　（各 2 時間）	
7	スポーツ現場での JSPO-AT の活動　-各種競技への理解-	予習：様々なスポーツのルールを調べておく　復習：アスレティックトレーナーが競技特性を理解する必要性について復習する　（各 2 時間）	小田
8	組織運営と管理	予習：アスレティックトレーナー専門テキスト 1 の確認　復習：アスレティックトレーナーが組織マネジメントを行う必要性・意義について復習する　（各 2 時間）	小田
9	安全管理とセルフマネジメント①	予習：スポーツ現場の安全管理について調べておく　復習：講義内容を踏まえてスポーツ現場での安全管理の重要性をまとめる（各 2 時間）	小田
10	安全管理とセルフマネジメント②	予習：運動指導者がスポーツ現場で行う安全管理についてインターネットや書籍を用いて調べる　復習：講義内容を踏まえてアスレティックトレーナーにとってセルフマネジメントが何故重要なのかまとめておく（各 2 時間）	小田
11	スポーツ医科学チームとの連携	予習：プレーヤーを取り巻く環境について予習しておく　復習：プレーヤーを取り巻く環境の中でアスレティックトレーナーの立ち位置についてまとめる　（各 2 時間）	小田
12	エビデンスに基づいた　アスレティックトレーニング	予習：EBT（evidence based training）について調べる　復習：アスレティックトレーナーが活動する中でのエビデンスの重要性をまとめる　（各 2 時間）	小田
13	JSPO-AT としてのスキルアップ	予習：アスレティックトレーナーが取得している資格について調べる　復習：アスレティックトレーナーが学ぶべき内容についてまとめる　（各 2 時間）	小田
14	関係者・対象者とのコミュニケーション	予習:運動指導者に求められる「コミュニケーション能力」とは何か調べる　復習:コミュニケーション方法についてまとめる（各 2 時間）	小田
15	講義全体のまとめ	これまでの講義内容を確認しておく	小田
成績評価方法と基準			割合
1、 レポート課題　＊レポート内容や提出期日などは授業内で説明します　2、 筆記試験　＊テスト結果は適宜フィードバックを行います			1、30%　2、70%

授業科目名	スポーツ健康管理学（鍼灸 AT）					
主担当教員	相原　望		担当教員	相原　望		
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

本授業では，スポーツ現場における安全・健康管理やスポーツ外傷・傷害の予防を実践するための必要な知識を身につけることを狙いとして授業を展開する.

学修目標

・健康管理の重要性や目的を理解する　・スポーツ外傷・障害の発生要因を理解し予防方策を立案できる　・科学的根拠に基づいた安全・健康管理を理解する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

積極的に予習・復習に取り組んでください

教科書

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 2「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	スポーツ現場における安全・健康管理とは	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
2	スポーツ現場における安全・健康管理の実態	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
3	各種要因と安全・健康管理	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
4	安全・健康管理と組織体制	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
5	対象者の理解と安全健康管理	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
6	競技特性の把握と安全・健康管理	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
7	重大事故への対応	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
8	安全･健康管理とアスレティックトレーナーの役割	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
9	スポーツ外傷･障害予防①－疫学調査とその活用法－	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
10	スポーツ外傷･障害予防②－発症要因とその理解－	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
11	スポーツ外傷･障害予防③－予防プログラムの立案－	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
12	科学的根拠に基づいたスポーツ外傷･障害予防プログラム	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
13	スポーツ外傷・障害に対する予防手段	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
14	スポーツ活動への復帰の考え方	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原
15	まとめ	予習・復習：専門科目テキスト 2 の確認	相原

成績評価方法と基準	割合
①筆記試験	①100%

授業科目名	コンディショニング論（鍼灸 AT）				
主担当教員	春木　淳二		担当教員	春木　淳二	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

プレーヤーがより良い状態でパフォーマンスを発揮するために，アスレティックトレーナーが安全に且つ効果的にコンディショニングを行うことは必要不可欠である．本授業では，アスレティックトレーナーとして必要不可欠なコンディショニングの基礎知識の習得を目指す．

学修目標

・コンディショニングの実施計画を作成するための基礎知識を身につける　・対象者の特徴に合わせたコンディショニング実施計画を作成できるようにする

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的に授業に参加してください

教科書

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 3「コンディショニング」

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

E 棟 1 階非常勤講師控室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	オリエンテーション－コンディショニングとは－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
2	コンディショニングにおける基礎知識	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
3	コンディショニングの要素とその管理	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
4	コンディショニングのプログラムデザイン	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
5	ウォーミングアップ	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
6	リカバリー	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
7	競技特性の理解①	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
8	競技特性の理解②	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
9	環境変化とコンディショニング	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
10	特異的な対象者に対するコンディショニング①－女性アスリート－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
11	特異的な対象者に対するコンディショニング②－成長期－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
12	特異的な対象者に対するコンディショニング③－高齢者・障がい者－	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
13	減量・増量のコンディショニング	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
14	コンディショニングテクノロジー	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木

15	まとめ	予習・復習：専門科目テキスト 3 の確認	春木
成績評価方法と基準			割合
①筆記試験			①100%

授業科目名	教職論（教職課程:鍼灸）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高	
科目ナンバリング	SE20BACA006	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について理解し、教職への意欲を高め、さらに適性を判断しながら、必要となる資質能力の習得に見通しを持つ。

学修目標

１．教職の意義及び教師の役割に関する基礎的知識を習得する。　２．教師の課題解決に必要な考え方と行動を理解する。　３．教職に関わる制度を理解する。　４．教職の未来を描き、意欲や志望意識を高める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の課題に対して自分の学びをレポートすることによって、教職に対する理解を深め、自らの将来像をイメージすることに役立ててもらいたい。

教科書

人間教育を実践する教師への道―教師の仕事と教育行政　株式会社 ERP

参考書

適宜指示する

研究室／オフィスアワー

東棟４階第５研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	授業の目的、概要―学習ルールとマナー、評価、参考文献の紹介等	シラバスを読んでおく。学んだことを簡潔にまとめておく。	阿部
2	教育とは何―教員としてのあり方､教員を目指す学生のあり方　教育の目的	「教員の役割」について既習事項をまとめる。教員を目指すものとしての意識をまとめる。	阿部
3	学級経営―学級経営の課題と方法､そこから見える教員としてのあり方、授業力と生徒指導力	前回の授業のポイントを確認しておく。 授業力と生徒指導力の関係についてまとめる（課題）	阿部
4	求められる教員のあり方―教員採用試験合格者から分析した教員としてのあり方	教員採用試験合格ために必要なことについてまとめる。	阿部
5	教員採用試験から見えてくる求められる教員の資質・能力―教育委員会の文書、教員採用試験の面接・場面指導・模擬授業等から分析した教員としての在り方	教員として求められる資質能力についてまとめる。	阿部
6	教員の仕事―小学校、中学校、特別支援学校の教員の一日	教員の仕事について既有知識を確認しておく。　各学校種に応じた教師の仕事をまとめる。(課題)	阿部
7	学校の組織力―職員会議、校務分掌、学年経営、学校経営、危機管理	前回の授業のポイントを確認しておく。 学校の組織図を作る。	阿部
8	教員の身分と服務―教員の服務、身分保障と分限・懲戒処分	前回の授業のポイントを確認しておく。 教員の身分と服務についてまとめる。	阿部
9	教員の問題行動とメンタルヘルス―教職員の不祥事、教員の精神疾患	前回の授業のポイントを確認しておく。近年の教師の問題行動について調査レポートをする。(課題)	阿部
10	教員の資質向上と研修―研修について､初任者研修、10 年目研修、校内研修、官制研修	教員研修についての既有知識を確認しておく。　教員研修の必要性について考えをまとめる。	阿部

11	教員養成の歴史―戦前、戦後の教員養成	教員採用の歴史についてまとめる。	阿部
12	学習指導要領（１）―3 つの柱	思考力･表現力の育成、人間性の涵養についてポイントをまとめる。	阿部
13	学習指導要領（２）―主体的で深い学び、ICT、個別最適化、協働力の育成	学習指導要領のトピックを選んでレポートする。（課題）	阿部
14	教育実習の意義と心得―教育実習の目的､求められる実習生の意欲・態度	教育実習について既有知識を確認しておく。教育実習に向けての思いをまとめる。	阿部
15	まとめ―獲得できた学びと課題を振り返り､まとめ、交流する。進路選択への視点を明確にする。	これまで書いた各回の振り返りをもとに自分の問題意識をレポートする準備をしておく	阿部
成績評価方法と基準			割合
①毎回行う振り返りレポート　②課題　③論述試験としての最終レポート　④授業内での発言・プレゼン			①３０％　②３０％　③３０％　④１０％

授業科目名	教育原理（教職課程:鍼灸）					
主担当教員	松田　智子		担当教員	松田　智子		
科目ナンバリング	SE20BACA005	科目区分	教職に関する科目	ディプロマポリシー該当項目		
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限	
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修	

授業概要

①教育の基礎・基本的な原理を学ぶために教育の歴史や思想などの視点から各時代において教育や学校がどのように位置づけられてきたかについて理解を深める。　②諸外国の教育について学び、現在の日本の教育がどのような思想的・歴史的背景を有しているのかを理解することで、学校教育や社会教育の在り方について理解する。　③現代における教育の課題や教育改革等の動きにも理解を深め、現代に求められる教師として必要な資質能力を習得できるようにする。

学修目標

①教育の基礎･基本的な原理を学ぶために教育の歴史や思想などの視点から各時代において教育や学校がどのように現れてきたかについて理解を深める。　②諸外国の教育について学び、現在の日本の教育がどのような思想的・歴史的背景を有しているのかを理解することで、学校教育や社会教育の在り方について理解する。　③これまでの教育や学校の営みがどのようにとらえられ、変遷してきたかを理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

教科書を購入して、その日の学習部分は事前に予習して、読んでくること。　授業の終わりに、毎時間、理解度をチェックするミニレポートを書くので、予習は不可欠である。

教科書

「哲学する教育原理」教育情報出版　伊藤潔志編集　（２０１９年）

参考書

授業中に適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

授業に関して何か質問等ありましたら、メールで、学籍番号・氏名を明記した上で送信してください（携帯メール不可）。
東棟　4 階　松田研究室　水曜日（午前中）　木曜日（午前中）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育学と教育の成り立ちについての､学び方の基本を身に付ける。 自分が受けてきた教育を振り返り、日本の教育の特色を理解する。	予習：「教育とは何か」について考えをまとめる（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
2	西洋の教育思想を学ぶ(古代・近世)　古代ギリシヤから近世までの社会的な背景と教育の関係を理解する	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
3	西洋の教育思想を学ぶ(近代・現代)　義務教育の概念が広がった以降から現在までの教育の変遷を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
4	日本の教育思想を学ぶ（古代・中世・近世）　日本の飛鳥時代から江戸時代までの､社会的な背景と教育の関係を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
5	日本の教育思想を学ぶ(近代・戦後)　明治以降の義務教育の変遷と､戦後から現在までの教育の変遷と目的を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
6	教育を基礎から考える（教育とは何か）　今までの西洋と日本の教育史を振り返り､現在の教育がどのように成立したかを考え､教育の本質を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
7	教育を基礎から考える（子どもとは何か）　ルソ	予習：前時を振り返り、記録を読み返す	松田

	一から子ども観が変わる過程を理解し、現在の子どもの状況と権利について知る。	（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	
8	教育を基礎から考える（学校とは何か）　学校が歴史的に果たした役割の変化に焦点を当てて、現在の学校の長所と課題を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
9	教育を哲学する　・どうすれば学校で哲学が可能になるのか、学校組織と人的な構成から考え、哲学できる教室にするため必要なことを知る。　・対話・会話・議論の違いを理解し、対話が学習となる学級の在り方、教師の在り方を理解する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
10	教育することの倫理　・教育は善と、古代ギリシャから言われてきたが、歴史的過程において教育とは何かを理解する。　・教育の本質を、哲学的に対話を通して、学校で実現するための方策を身に付ける。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
11	教師と子供の関係性　・教師と子どもの信頼関係は、教育には不可欠であるが、現代の学校教育での現状を知る。　・子どもと教師の信頼関係を獲得するために、具体的な方策を身に付ける。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
12	公教育の役割と位置づけ　・公教育の意義とともにデメリットを理解する　・義務教育制度の成果と課題について、世界と比較しつつ日本の教育を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
13	学校園と理論を結ぶ哲学　・幼児教育の現場と理論について理解する。　・就学するまでに育てたい 10 の力と学校教育の関連性を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
14	学校園と理論を結ぶ哲学　・初等教育の現場と理論を知る。　・中学校と小学校のシステムの違いを理解し、義務教育学校の在り方を把握する。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
15	学校園と理論を結ぶ哲学　・中等教育の現場と理論を理解する。　・高大連携やキャリア教育の在り方を考える。	予習：前時を振り返り、記録を読み返す（2 時間）　復習：本時を振り返り、ポイントをまとめる（2 時間）	松田
成績評価方法と基準			割合
①毎回の授業後のレポート　②定期試験			①70%　②30%

授業科目名	発達健康支援看護学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／中西　伸子	
科目ナンバリング	HP20MHSB003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

発達健康支援看護学特論では、出生から死に至るまで全生涯を通じて続く発達と適応過程について理解し支援することを目的とする。また、実り豊かで幸福な人生を積み重ねるためにサクセスデベロップメント・サクセスフル･エイジングについて看護の可能性を模索する。発達段階における健康課題に関するトピックスを取り入れて授業を展開する。　授業前半では、高齢社会における社会的課題を高齢者のみならず次世代の課題と捉えて考察する。認知症高齢者およびその k 族や多死社会などの課題について考える。　授業後半においては、各ライフサイクルにおける発達と健康課題に対する理解を深め、個から家族そして社会の抱える健康課題に対する有用な看護支援について考察する。

到達目標

1.　生涯発達の思考を培い、個人・家族・社会発達について理解する。 2.　人の、全生涯で継続する適応過程と各ライフサイクルにおける共通した発達と発達の課題について理解する。 3.　育てられるものから、育てるものへ親になる過程における適応過程と発達そして発達課題について理解する。 4. 一生涯をかけてサクセスフルエイジングの適応と発達を高齢者の生き方と死から考察する。 5. 個の発達と健康が健全でより良いものであるために、有用な支援の在り方について考察する。 6. 理解し、考察したことをプレゼンテーションできる。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

柔軟な思考でディベートができるように生涯発達に関連するトピックスや書籍に良く触れること。　事前に出した課題について、適宜プレゼンテーションを行う。

教科書

必要時にプリントを配布する。

参考書

・服部祥子（2010）: 生涯人間発達論, 第 2 版, 医学書院　・舟島なをみ（2011）: 看護のための人間発達学, 第 4 版, 医学書院　・アードマン・B. パルモア（著）, 奥山正司(翻訳)(1995) : エイジズム―優遇と偏見・差別,法政大学出版局　・鈴木隆雄(2012) : 超高齢社会の基礎知識, 講談社

研究室／オフィスアワー

外村 : W 棟 332 研究室　水曜日 17 時～18 時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	「老い」と社会的価値観	エイジズムを考える。自らの「老い」に対するイメージを構築する。認知症高齢者に関する資料を収集、図書を読むこと。	外村 昌子
2	超高齢社会のサクセスフル・エイジング Successful Aging	高齢化をポジティブにいきる「サクセスフル・エイジング」の課題を模索する。	外村 昌子
3	「高齢社会」に関する社会的問題(1)	多死社会における課題を抽出し、検討する。	外村 昌子
4	「高齢社会」に関する社会的問題(2)	認知症高齢者を取り巻く課題を抽出し考察する。	外村 昌子
5	「高齢社会」に関する社会的問題(3)	認知症高齢者の介護家族における課題を抽出し考察する。	外村 昌子
6	「高齢社会」に関する社会的問題(4)	在宅高齢者における介護予防に関する課題を抽出し、検討する。	外村 昌子
7	「高齢社会」に関する社会的問題(5)	高齢社会に関する社会的課題の現状と動向	外村 昌子
8	人間発達の意義について理解し、発達理論について学ぶ。	人間と発達、発達を取り巻く理論について予習してくる。	
9	家族の発達段階について理解する。	社会における家族の現状と課題についてプレゼンテーションできるよう準備する。	
10	親になる過程における適応過程と発達そして発達課題について理解する。	親と子の現状と課題についてプレゼンテーション及びディベートできるよう準備する。	
11	人間のライフサイクルと発達について理解する。	各ライフサイクルの現状と課題についてプレゼンテーション及びディベートできるよう準備する。	
12	各ライフサイクルと発達について理解する。	各ライフサイクルの現状と課題についてプレゼンテーション及びディベートできるよう準	

		備する。	
13	各ライフサイクルと発達について理解する。	各ライフサイクルの現状と課題についてプレゼンテーション及びディベートできるよう準備する。	
14	各ライフサイクルと発達について理解する。	各ライフサイクルの現状と課題についてプレゼンテーション及びディベートできるよう準備する。	
15	まとめ・プレゼンテーション	まとめた課題についてプレゼンテーションする。	
成績評価方法と基準			割合
1）プレゼンテーション(外村）DP②③　2）レポート（外村）DP②③　3）講義時のディベート、態度　　出席 4/5 以上　1）2）とも期日等含み評価する			１ ）　40 ％ ２ ）　40 ％ ３）20%

授業科目名	運動生理学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	中原　英博		担当教員	中原　英博／信江　彩加	
科目ナンバリング	HP20MHSB005	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

呼吸化学調節系や動脈圧受容器反射系は、血液ガスや pH、血圧の恒常性維持に必要不可欠なフィードバックシステムである。この生体制御系の運動時における機能評価について、本特論では、システム生理学の手法を用いて、呼吸・循環系応答の制御メカニズムを系統的に研究分析する方法論を紹介すると同時に、様々な外乱刺激に対する呼吸循環系応答の動作原理や、運動トレーニングによる生体適応変化の法則性、および呼吸循環反応に現れる病態異常所見のメカニズムについて、最新の研究成果や我々の研究結果を基にシステム生理学、及び運動生理学の立場から解説する。

到達目標

生体の構造と機能について細胞･組織･個体レベルでそれらがどのように連携して働いているかを統合的かつ定量的な視点から理解できるようになる（DP②③）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生体システムの運動に対するダイナミックな振る舞いを理解するため、コンピュータシミュレーションを多用します。 PC やエクセル（表計算ソフト）の基本的な操作方法はすでに習得していることを前提に、授業を展開するので注意してください。

教科書

なし

参考書

Handbook of Physiology, Sect. 12, Exercise; Regulation and integration of multiple systems, Ed. By Rowell L. B. and Shepherd, J. T., Am. Physiol. Soc., New York, 1996

研究室／オフィスアワー

原則月曜日 3 時限目・4 時限目　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	運動生理機能の評価とシステム解析について	運動負荷に対する生体システムの適応能を評価する生理学的意義	中原
2	生体システムの構造同定①	フィードバックシステムの構造同定	中原
3	生体システムの構造同定②	呼吸化学調節系の制御部における構造と機能	中原
4	生体システムの構造同定③	呼吸化学調節系の制御対象部における構造と機能	中原
5	生体システムの構造同定④	循環調節系の制御部における構造と機能	中原
6	生体システムの構造同定⑤	循環調節系の制御対象部における構造と機能	中原
7	生体システムの分析①	呼吸化学調節系の動作点決定機構の定量的理解	中原
8	生体システムの分析②	循環調節系の動作点決定機構の定量的理解	中原
9	生体システムの動作原理①	運動に対する呼吸循環系応答の動作原理①	中原
10	生体システムの動作原理②	運動に対する呼吸循環系応答の動作原理②	中原
11	生体システムの適応①	運動トレーニングによる生体適応変化①	中原
12	生体システムの適応②	運動トレーニングによる生体適応変化②	中原
13	生体システムの制御①	呼吸循環反応に現れる病態異常の評価	中原
14	生体システムの制御②	呼吸循環反応に現れる病態異常のメカニズム	中原
15	生体システムの制御③	呼吸循環反応に現れる病態異常の治療原理	中原

成績評価方法と基準	割合
①講義中の討議、レポートによる総合評価（DP②③）	①100%

授業科目名	バイオメカニクス健康科学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	前田　薫		担当教員	前田　薫	
科目ナンバリング	HP20MHSB006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

人間の身体を物理学的視点からとらえることは、運動器における種々の病態を理解するとともに、それらを予防するうえで必要である。加えて、動作のパフォーマンス向上の手段を考えるうえでも有用である。この講義では、バイオメカニクスの基礎を重点的に解説しつつ、健康科学への応用についても解説する。

到達目標

・バイオメカニクスの基礎理論について理解する（DP②③）　・バイオメカニクスの健康科学への応用方法について理解する（DP②③）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

参考書は必須ではないが、理解を深めるためには購入を勧める

教科書

指定しない。

参考書

金子公宥、福永哲夫（編）、バイオメカニクス、杏林書院

研究室／オフィスアワー

基本的に、水曜 13 時～14 時 30 分ですが、事前にメール等で予約していただけると確実です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ベクトルの加算と減算	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間)。	前田
2	身体重心の位置の推定	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間)。	前田
3	モーメントと慣性モーメント	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間)。	前田
4	摩擦	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間)。	前田
5	軌道の解析と微分法	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間)。	前田
6	三角関数①	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間)。	前田
7	三角関数②	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのよ	前田

		うに適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	
8	積分と筋活動の分析①	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
9	積分と筋活動の分析②	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
10	力学的エネルギー保存の法則①	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
11	力学的エネルギー保存の法則②	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
12	2 次元および 3 次元ベクトルの座標①	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
13	2 次元および 3 次元ベクトルの座標②	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
14	リンクセグメントモデル①	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
15	リンクセグメントモデル②	予習：当該テーマについて参考書などで確認し、疑問点を明確にしておく(1 時間)。 復習：当該テーマの内容が、身体運動の説明にどのように適用されるかを考察し文章化する（1 時間）。	前田
成績評価方法と基準			割合
レポート課題			レポート 100% 60 点以上であれば単位を認定する。希望者には、レポートの講評を行う。

授業科目名	鍼灸健康科学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	鍋田　智之		担当教員	鍋田　智之	
科目ナンバリング	HP20MHSB007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

鍼灸治療に関する基礎・臨床双方のエビデンスに基づいて、各種病態に対する診療法を学ぶ。

到達目標

鍼灸に関する現時点の研究データからメカニズムや効果について理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本講義は将来教育機関で教鞭をとり、鍼灸治療を理解して医療業界の牽引できる人材育成を考えて構築しています。学部での授業内容が反復される部分がありますが、教える側の視点でとらえるようにしてください。

教科書

配布資料

参考書

鍼灸臨床最新科学　川喜田健司・矢野忠　編集　医歯薬出版株式会社　はりきゅう理論　東洋療法学校協会編

研究室／オフィスアワー

昼休みなど随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	鍼灸師業界の現状（教育と臨床）	鍼灸関連団体（業界団体・学術団体）のホームページを閲覧し、概要をまとめる。	鍋田
2	鍼灸の施術技術について生理学的に理解する。	施術の入力系について復習する。	鍋田
3	鍼鎮痛（受容器）と経穴とは	自身の体調を考慮して経穴刺激を行ってみること	鍋田
4	鍼鎮痛（中枢における修飾作用）	中枢性鎮痛機序について理解する	鍋田
5	鍼灸治療における心理的効果（プラセボ効果など）	慢性疼痛治療におけるコミュニケーションの重要性について復習する。	鍋田
6	消化器系への鍼灸治療（自律神経系）	自身の経穴を刺激して消化器系への効果を体験する	鍋田
7	循環器系に与える鍼灸治療の効果	自身の末梢血流改善を目的として刺激を体験する	鍋田
8	ストレスと鍼灸・東洋医学	自身のストレス反応を意識し、セルフメディケーションを体験する	鍋田
9	免疫と鍼灸治療	免疫系亢進を目的としたセルフケアの実践	鍋田
10	主要疾患に対する鍼灸治療の効果（生活習慣病）	自身の生活習慣を見直す	鍋田
11	主要疾患に対する鍼灸治療の効果（睡眠障害）	自身の睡眠衛生習慣を見直す	鍋田
12	主要疾患に対する鍼灸治療の効果（婦人・泌尿器疾患）	自身の罹患疾患との関係を検討する	鍋田
13	主要疾患に対する鍼灸治療の効果（スポーツ障害）	スポーツ領域での鍼灸師の役割を考える	鍋田
14	主要疾患に対する鍼灸治療の効果（美容鍼灸）	自身の肌評価を主観・客観両面から検討する	鍋田
15	文献報告	鍼灸に関する文献を１つ探して報告する	鍋田

成績評価方法と基準	割合
①講義中のディスカッション　②鍼灸の効果に関する理解度チェック　③1 文献報告評価　DP②③	①30% ②30% ③40%

授業科目名	生体防御系臨床鍼灸学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	松熊　秀明		担当教員	松熊　秀明	
科目ナンバリング	HP20MHSB009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

循環システムは生命維持の根幹をなす機能である。また、生体を維持する上で、生体防御システムは無くてはならない機構である。本特論では、関節炎等における循環システムや急性・慢性炎症機構の原因、細胞反応、形態学的パターンのほか、生体の免疫学的機序について紹介すると同時に、鍼灸がこれらの機構に及ぼす影響とその機序について、最新の研究成果や我々の研究結果を基に臨床鍼灸学の立場から解説する。

到達目標

・鍼灸の循環システムに対する作用について説明できる。　・急性・慢性炎症機構の概略を説明できる。　・鍼灸の抗炎症作用について説明できる。　・鍼灸のアレルギー・自己免疫疾患・腫瘍に対する効果について説明できる。　DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 出席を重視する。　2. 授業態度が不良(私語、携帯を見ること等)の者は減点対象とする。　3. 配布された講義資料にも目を通すこと。　4.疑問点は大切にし、解決に向けて行動すること。

教科書

特になし

参考書

「標準生理学」: 医学書院　「はりきゅう理論」医道の日本社　「解明病理学」医歯薬出版株式会社

研究室／オフィスアワー

研究室 1(東棟 4F)/月曜日 3 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	循環システム血液について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
2	鍼灸の循環システムに与える影響①　血液量、血流量、血圧への作用について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
3	鍼灸の循環システムに与える影響②　血球への作用について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
4	急性炎症の機構①　原因と微小循環系について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
5	急性炎症の機構②　組織細胞反応について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
6	急性炎症の機構③　炎症の終息と帰結について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
7	急性炎症の機構④　形態学的パターンについて。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
8	慢性炎症の機構①　原因と組織細胞反応について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
9	慢性炎症の機構②　形態学的パターンについて。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
10	鍼灸の生体防御に与える影響①　鍼灸の抗炎症効果について。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
11	アレルギー疾患　アレルギー反応の原因と発症メカニズムについて	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
12	鍼灸の生体防御に与える影響②　アレルギー疾患に対する鍼灸の効果。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
13	免疫応答　自己と非自己の識別のメカニズムについて	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
14	鍼灸の生体防御に与える影響③　自己免疫疾患に対する鍼灸の効果。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
15	鍼灸の生体防御に与える影響④　腫瘍に対する鍼灸の効果。	課題：参考資料、関連論文等で調べ、まとめること。(4 時間)	松熊
成績評価方法と基準			割合

レポート(DP2,3)　・試験・課題に対するフィードバック方法　定期試験問題および模範解答は開示し、必要に応じて再試験対象者には解説を行う。	100%

授業科目名	神経系理学療法学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	木内 隆裕		担当教員	木内 隆裕	
科目ナンバリング	HR20MHSB013	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

脳神経内科及び脳神経外科疾患による症状・障害は多彩であり、それら回復させるリハビリテーション技術は網羅されておらず、効果も限定的であることが多い。しかしながら、神経学や神経科学、及び生体医工学などの進歩に伴って従来技術の洗練や新技術の開発が着実に進んでおり、それらを積極的にリハビリテーションの臨床に応用して知の拡大を導くことのできる人材が必要である。　本授業では、前半部分で脳神経内科及び脳神経外科疾患による症状・障害に関する最新の教科書的事項について学び、それらに関する臨床経験を交えて意見交換を行う。後半部分では受講生が関心をもっている事象について先端的知見を学び、リハビリテーション技術として応用する方法やその際の障壁について議論を行う。

到達目標

1) 脳神経内科及び脳神経外科疾患患者による症状・障害、及びそのリハビリテーションに関する学術論文を読むことができる。【DP①】　2) 関心をもっている事象について、明らかになっている部分とそうでない部分を識別しながら説明することができる。【DP②③】　3) 関心をもっている事象について、リハビリテーションの臨床現場に応用する方法とその際の障壁を具体的に説明できる。【DP②③】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1) 特に後半部分は、受講生が関心をもっている事象について理解を深めていくスタイルをとる。ただし、関心事象を想い起こすことが難しい場合は、授業の前半部分における講義の中から理解を深めるテーマを選ぶ。　2) 下記「授業展開及び授業計画表」は受講者数が 2～8 名であることを想定したものであり、これから外れる場合は、講義形式の前半部分と輪番制の後半部分の分量を調整することで対応する。

教科書

特になし（適宜、資料配布）

参考書

① 森岡周, 阿部浩明(編). 標準理学療法学. 神経理学療法学. 第 3 版, 医学書院, 2022.
② 医療情報科学研究所(編). 病気がみえる. 脳･神経. 第 2 版, メディックメディア, 2017.
③ Schenkman ML ら(著). 水野昇ら(監訳). 臨床神経科学とリハビリテーション, 西村書店, 2020.

研究室／オフィスアワー

木内 隆裕：研究室／月曜日 4 限以降

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　神経系理学療法の歴史的変遷	予習(2 時間)：神経系理学療法における自身の経験と関心事象についてまとめておく。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
2	神経系理学療法における基礎①	予習(2 時間)：神経系理学療法における自身の経験と関心事象についてまとめておく。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
3	神経系理学療法における基礎②	予習(2 時間)：神経系理学療法における自身の経験と関心事象についてまとめておく。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
4	神経系理学療法における基礎③	予習(2 時間)：神経系理学療法における自身の経験と関心事象についてまとめておく。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
5	神経系理学療法における基礎④	予習(2 時間)：神経系理学療法における自身の経験と関心事象についてまとめておく。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
6	神経系理学療法における関心事象①（見本提示）	予習(2 時間)：神経系理学療法における自身の経験と関心事象についてまとめておく。　復習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。また、授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内

7	神経系理学療法における関心事象②（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
8	神経系理学療法における関心事象③（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
9	神経系理学療法における関心事象④（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
10	神経系理学療法における関心事象⑤（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
11	神経系理学療法における関心事象⑥（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
12	神経系理学療法における関心事象⑦（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
13	神経系理学療法における関心事象⑧（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
14	神経系理学療法における関心事象⑨（輪番制）	予習(2 時間)：輪番制の順番に応じて発表の補足資料を作成する。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
15	神経系理学療法における課題とは（議論）	予習(2 時間)：これまでの授業で扱った内容・扱っていない内容を含めて、神経系理学療法の主観的・客観的問題点を整理しておく。　復習(2 時間)：授業で扱ったテーマについて文献を読む。	木内
成績評価方法と基準			割合
1) 発表：発表内容及びプレゼンテーション資料による評価【DP②④】　2) 議論：各回の議論における参加度合いによる評価【DP②③④】　※ 全体の 2/3 の出席を必要とする。			1) 70%　2) 30%

授業科目名	心身健康科学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	井手口　範男		担当教員	井手口　範男	
科目ナンバリング	HP20MHSB010	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

心身の健康問題の測定法や対処法について概説する．主に，心身に関する心理学（行動科学，認知科学）に関する知見を紹介する．

到達目標

心身の健康問題に対する基本的な心理学的測定法，および対処法を修得し，活用することができる〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

心理学的な視点から講義を進めます．初めて触れる考え方もあるかもしれないが，疑問があれば，迷わず質問してくれることを期待している．

教科書

特に指定しないが，必要に応じて資料を配布する．

参考書

適宜紹介する．

研究室／オフィスアワー

Ｅ棟４Ｆ研究室１／火曜日５時限（空いていれば適宜対応します）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：心身医学における心理学的研究の意義	シラバスを確認し，現在の心理学の主要な研究対象がなんであるかを調べておく．【4 時間．以下，文末の【】内の数値は，予習復習の時間を示す】	井手口
2	心身医学とは	ガイダンスの内容をまとめておく．【4】	井手口
3	精神分析的理論	フロイトの精神分析学について、簡単にまとめておく．【4】	井手口
4	学習理論１：条件づけ（レスポンデント条件づけ，　オペラント条件づけ）	レスポンデント条件づけ，オペラント条件づけについて調べておく．【4】	井手口
5	学習理論２：条件づけ（社会的学習理論，認知的行動変容）	社会的学習理論，認知的行動変容について調べておく．【4】	井手口
6	心と身体の相互作用１：情動・感情	ジェームズ-ランゲ説とキャノン-バード説について調べておく．【4】	井手口
7	心と身体の相互作用２：ストレス	ストレスとは何か，調べておく．【4】	井手口
8	対人行動	対人コミュニケーション，非言語コミュニケーション，コミュニケーションスキル等をキーワードに調べる．【4】	井手口
9	医療における人間関係	人間関係の様相について，役割理論をキーワードに調べておく．【4】	井手口
10	対人コミュニケーション演習	対人コミュニケーションについて調べ、演習の結果をまとめる．【4】	井手口
11	アサーショントレーニング演習	アサーションについて調べ、演習の結果についてまとめる．【4】	井手口
12	心理検査１：質問紙法	質問紙法の心理検査について予習し，自分自身のテストの結果についてまとめる．【4】	井手口
13	心理検査２：投影法	投影法の心理検査について予習し，自分自身のテストの結果についてまとめる．【4】	井手口
14	精神物理学的測定法１：フェヒナーの法則	フェヒナーの法則について予習し，心理実験の結果をまとめる．【4】	井手口
15	精神物理学的測定法２：スティーブンスの法則	スティーブンスの法則について予習し，心理実験の結果をまとめる．【4】	井手口

成績評価方法と基準	割合
①講義内での課題〈DP②③〉　②講義内容に関するディスカッション等への参加状況〈DP②③〉　③レポート〈DP②③〉　上記の結果、総合 60 点以上で単位認定とする.	①25% ②35% ③40%

授業科目名	認知症作業療法学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	松下 太		担当教員	松下 太	
科目ナンバリング	HR20MHSB007	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	DP①③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

認知症の予防から重度認知症の人に対する効果的な介入をレビューする。さらに、介入自体の妥当性を検証し、その効果判定について講義する。

到達目標

1. 認知症発症のリスクを理解し、認知症予防に効果的な介入を文献レビューし、医療科学的な視点から深い洞察を加えることが できる。＜DP①③＞ 2. 認知症予防から重度認知症の人への介入効果を医療科学的な視点で説明できる。＜DP①③＞ 3. 自身が行う予定の特別研究において、認知症を対象とした介入研究を計画することができる。＜DP①③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ディスカッションを中心とした講義で、知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。 毎回のテーマに関する論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。教科書の指定はない。

参考書

質疑に応じて、適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限目（10：40-12：10）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	個別に相談して決定する	個別に相談して決定する	松下
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

成績評価方法と基準	割合
①課題レポート＜DP①③＞ ②質疑応答時に発言内容＜DP①③＞	①70% ②30%

授業科目名	緩和ケア鍼灸学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	増山　祥子		担当教員	増山　祥子	
科目ナンバリング	HR20MHSB010	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

鍼灸のがん緩和医療に関する文献を読み、がん緩和医療における鍼灸介入の現状について考察する。

到達目標

鍼灸領域におけるがん緩和医療に関する論文を読み、現状と鍼灸エビデンスおよびナラティブ・メディスンについて理解を深める。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

文献検索力も必要となります

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考書

必要に応じて資料を配布する。

研究室／オフィスアワー

木曜 5 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	がん緩和医療の標準治療	関連情報について調べる	増山
2	がん緩和医療の標準治療	関連情報について調べる	増山
3	領域におけるがん緩和領域の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
4	他領域におけるがん緩和領域の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
5	他領域におけるがん緩和領域の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
6	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
7	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
8	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
9	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
10	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
11	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
12	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
13	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
14	がん緩和領域の鍼灸の論文講読	指定された論文を熟読する	増山
15	総括	鍼灸のエビデンスを含めた現状についてまとめる	増山

成績評価方法と基準	割合
①受講に対する取り組み　②レポート	①50　% ②50%

授業科目名	古典臨床鍼灸学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	熊野　弘子		担当教員	熊野　弘子	
科目ナンバリング	HR20MHSB011	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

中国や日本の代表的な医古典文献を講読する。

到達目標

適切な版本で出典調べを行うなど学術的な手法を用いながら、医古典文献の内容を把握する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

各学生の専門領域に応じて行うも、1 つの視野に限定することなく、取り上げるに足る医古典を講読することによって、伝統医学の流れを知る。

教科書

必要に応じて資料配付

参考書

・東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学概論、　医道の日本社　（東洋医学概論　教科書）　・東洋療法学校協会編、　新版　東洋医学臨床論、　南江堂　（東洋医学臨床論　教科書）　ほか適宜指示

研究室／オフィスアワー

東棟　4F 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	次回の準備	熊野
2	古典学について	授業の内容を振り返る	熊野
3	中国医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
4	中国医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
5	中国医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
6	中国医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
7	中国医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
8	日本医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
9	日本医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
10	日本医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
11	日本医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
12	日本医古典文献講読	指定の文献を読む	熊野
13	先行研究について	指定の文献を読む	熊野
14	論文について	指定の文献を読む	熊野
15	講義全体のまとめ	指定の文献を読む	熊野

成績評価方法と基準	割合
（1）試験・課題　（2）取組姿勢・授業態度	70%　30%

授業科目名	医用機器計測制御学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	HR20MHSB016	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

物理量の工学的計測において必須となる数理的手法，信号処理手法，統計解析手法の基礎について講義する．計測データをもとにしたモデリングで用いられる数理解法の基礎を中心として学ぶが，同時に全体を通し，多変量解析，スパースモデリング，統計的機械学習，深層学習などの最新トピックについても，必要に応じて随時紹介する．　また、計測したデータを用いて機器制御を行う方法について古典制御工学と現代制御工学と異なる 2 つの観点から説明を行う。

到達目標

1.　計測制御の基礎概念を把握し、各要素の内容を理解できること　2.　センサやアクチュエーターの働きと応用具体例を提示できること　3.　シーケンス制御の概要、論理回路と回路図の基本的内容を理解できること　4.　フィードバック制御系の制御要素と応答について、その基本的概念を理解できること　5.　古典制御工学における伝達関数を説明でき、計算できるようになる。　6.　ブロック線図を伝達関数と関連付けて説明できるようになる。　7.　PID 制御を説明できるようになる。　8.　現代制御工学の概要を説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　機械や電気回路を制御するためには、その挙動を数式で表現する必要がある。また、挙動を乱す外乱は確率変数として表現される。したがって、本科目の履修者は、微分・積分学、微分方程式、線形代数、ベクトル解析および確率学を修めていることが望ましい。
2.　制御挙動の可視化として Python および R を用いるため、Python と R の基礎的文法や扱いについて習熟していることが望ましい。
3.　本科目では、教員による古典制御工学を対象とする講義後に、履修者による現代制御工学を対象とした輪講を行う。輪講では予め定めた担当範囲について、各履修者が内容説明のプレゼンテーションを実施する。自由に利用できる PC を所持していない場合は、履修前に相談に来てください。

教科書

1.　はじめての制御工学 改訂第 2 版: 佐藤和也 平元和彦 平田研二,　講談社サイエンティフィク　2.　はじめての現代制御理論:　佐藤和也，下本陽一，熊澤典良,　講談社サイエンティフィク　3.　Python による制御工学入門: 南裕樹,　オーム社

参考書

1.　『スッキリわかる Python 入門』，国本大悟 / インプレス

研究室／オフィスアワー

原　　C 棟 7F 研究室 19 / 火曜日 6 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	制御方法の種類と特徴　　・代表的な制御方法を説明できる	予習時間: 3 時間　予習内容:　　シラバス内容および教科書内容の確認　復習時間: 1 時間　復習内容:　　講義内容の要約を作成する。	原良昭
2	微分方程式とラプラス変換　・微分方程式を説明できる。　・ラプラス変換を説明できる。　・輪講における担当範囲の割当を行う。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
3	伝達関数とブロック線図　・入力信号と出力信号の関係を伝達関数として説明できるようになる。　・ブロック線図の記法を理解し、ブロック線図からシステムの伝達関数を求めることができるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
4	受動素子と伝達関数　・電気回路素子の伝達関数を説明できる。　・機械要素の伝達関数を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
5	一次遅れ要素と周波数特性　・RC 回路および LR 回路を一次遅れ要素として説明できる。　・伝達関数の周波数特性を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭

6	PID 制御　・PID 制御を説明できる	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
7	安定なシステムと不安定なシステム　・システムが安定か不安定になるかを周波数領域で評価できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された内容について要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
8	センサ　・制御に用いるデータ取得にはセンサが必要となる。代表的なセンサについて説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された内容について要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
9	校正と誤差　・計測で生じる誤差について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された内容について要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
10	古典制御と現代制御　・古典制御と現代制御の違いについて説明できるようになる・	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された内容について要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
11	状態空間モデル　・制御対象を状態空間モデルとして表現することできるようになる。　・制御対象の安定性を評価できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
12	伝達関数表現と状態空間表現　・伝達関数で表現されたシステムを状態空間表現で説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
13	システムの応答性と安定性　・システムの応答性と安定性を説明できる。　・状態フィードバック制御について説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
14	可制御性と可観測性　・可観測性を説明できるようになる。　・可制御性を説明できるようになる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
15	オブザーバとカルマンフィルタ　・オブザーバを説明できる。　・カルマンフィルタを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容　　前回の講義で指定された教科書内容の要約を作成し、わからなかった事項をまとめる。　復習時間: 2 時間　復習内容:　　予習でまとめたわからなかった事を中心に講義内容の要約を作成する。	原良昭
成績評価方法と基準			割合
1.　輪講でのプレゼンテーション　※評価内容: 講義初回に評価ポイントを記載したルーブリックを提示します。　※フィードバック方法: 評価ポイントに対する評価を開示します。　2. 定期試験　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1.　30%　2. 70%

授業科目名	放射線治療技術学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	奥村　雅彦		担当教員	奥村　雅彦／山本　浩一／木下　尚紀	
科目ナンバリング	HR20MHSB019	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

放射線治療専門技師として必要な知識を修得することを目標とする。強度変調放射線治療や定位放射線治療など高精度放射線治療では、放射線物理学、放射線計測学ならびに放射線生物学に関する理解と知識を基本に高精度放射線治療技術における精度管理能力が求められる。本講義において、物理的・技術的知識および放射線生物学を学修し専門的知識のスキルアップを目指す。

到達目標

① がん治療における放射線療法の概要が説明できる。〈DP①〉 ② 光子および荷電粒子と物質との相互作用が説明できる。〈DP①〉 ③ 高エネルギーX 線、電子線における水吸収線量計測の説明ができる。〈DP①〉 ④ 電子直線加速器の受け入れ試験、コミッショニングの説明ができる。〈DP①〉 ⑤ 高精度放射線治療における放射線生物について説明ができる。〈DP①〉 ⑥ 化学放射線療法に用いる抗悪性腫瘍薬について説明ができる。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回の課題レポート提出が必要

教科書

特になし

参考書

Faiz M.Khan,The Physics of Radiation Therapy, Third Edition, Wiiliams & Wilkins, 「放射線治療技術標準テキスト」、医学書院 「実践　放射線治療技術学　放射線治療装置を立ち上げよう」、メディカルトリビューン

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F：研究室（奥村・山本）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	放射線物理の基礎 I（放射線と物質の相互作用）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
2	放射線物理の基礎 II（ドジメトリック量）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
3	高エネルギー放射線計測 I（電離箱の原理と空洞理論）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
4	高エネルギー放射線計測 II(計測理論と計測の実際)	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
5	高エネルギー放射線計測 III（相互校正）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
6	高精度放射線治療における治療計画	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
7	医用直線加速装置の導入 （受け入れ試験とコミッショニング）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
8	医用直線加速装置の品質管理 I（装置編）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
9	医用直線加速装置の品質管理 II（治療計画・付属機器編）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村
10	医用直線加速装置の品質管理 III（線量検証・位置照合編）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	奥村

11	放射線生物・化学放射線治療　I（分子・細胞レベルでの放射線影響）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	山本
12	放射線生物・化学放射線治療　II（組織・個体レベルでの放射線影響・放射線感受性）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	山本
13	放射線生物・化学放射線治療　III（生存率モデル・標的論・α/β 値）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	山本
14	放射線生物・化学放射線治療　IV（抗悪性腫瘍薬概論）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	山本
15	放射線生物・化学放射線治療　V（化学放射線治療とは）	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	山本
成績評価方法と基準			割合
課題レポートによる評価<DP①>			100%

授業科目名	内部障害理学療法学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	堀　竜次		担当教員	堀　竜次／角田　晃啓	
科目ナンバリング	HR20MHSB015	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

呼吸理学療法技術の習得に必要な基礎知識を身に着け、呼吸療法技術に必要な人工呼吸器，および周辺機器や器具について理解する講座です．呼吸理学療法に必要な評価から介入方法についての知識と人工呼吸器の基礎とトラブルシューティングを理解して、呼吸管理下の理学療法技術の習得を行う．

到達目標

内部障害に必要な呼吸療法を理解し、理学療法の組み立てが理解できる。＜DP②③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．講義内容は、多くの障害を理解するために必要な内容である。　２．研究、臨床、教育を進める上で、疑問点について、必ず解決の行動をとること。　３．下記授業計画は時系列ではなく、授業内容はあくまでも各教員ごとに展開されるので注意すること。

教科書

教科書は使用しない　資料は随時配布する

参考書

松尾善美 編．PT・OT ビジュアルテキスト 内部障害理学療法学．羊土社　ISBN：978-4-7581-0217-9　堀　竜次.呼吸コンディショニングテクニック.メディカ出版　ISBN：978-4-8404-5363-9

研究室／オフィスアワー

堀：金曜 3・4 限目（研究室）　角田：在室時は随時（研究室）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	呼吸不全の病態生理、フィジカルアセスメント①	予習：フィジカルアセスメントについて事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にフィジカルアセスメントについて整理し理解する（120 分）	堀
2	呼吸不全の病態生理、フィジカルアセスメント②	予習：フィジカルアセスメントについて事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にフィジカルアセスメントについて整理し理解する（120 分）	堀
3	呼吸不全の病態生理、フィジカルアセスメント③	予習：フィジカルアセスメントについて事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にフィジカルアセスメントについて整理し理解する（120 分）	堀
4	コンディショニング，呼吸介助手技①	予習：コンディショニングについて事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にコンディショニングについて整理し理解する（120 分）	堀
5	コンディショニング，呼吸介助手技②	予習：コンディショニングについて事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にコンディショニングについて整理し理解する（120 分）	堀
6	コンディショニング，呼吸介助手技③	予習：コンディショニングについて事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にコンディショニングについて整理し理解する（120 分）	堀
7	超音波エコーによる呼吸評価	予習：超音波エコーによる呼吸評価について事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基に超音波エコーによる呼吸評価について整理し理解する（120 分）	堀
8	早期離床，抜管時の理学療法介入	予習：早期離床，抜管時の理学療法介入について事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基に早期離床，抜管時の理学療法介入について整理し理解する（120 分）	堀

9	酸素療法	予習：酸素療法について事前に調べておく（120分）　復習：講義資料を基に酸素療法について整理し理解する（120分）	角田
10	人工呼吸器、ECMO管理中の体位療法（腹臥位を含む）	予習：人工呼吸器、ECMO管理中の体位療法について事前に調べておく（120分）　復習：講義資料を基に人工呼吸器、ECMO管理中の体位療法について整理し理解する（120分）	角田
11	人工呼吸器回路構成とトラブルシューティング	予習：人工呼吸器回路構成のトラブルシューティングについて事前に調べておく(120分)　復習：講義資料を基に人工呼吸器回路構成のトラブルシューティングについて整理し理解する（120分）	角田
12	酸素ボンベのトラブルシューティング	予習：酸素ボンベのトラブルシューティングについて事前に調べておく（120分）　復習：講義資料を基に酸素ボンベのトラブルシューティングについて整理し理解する（120分）	角田
13	HFNC, NPPVとマスクフィッティング	予習：HFNC, NPPVとマスクフィッティングについて事前に調べておく（120分）　復習：講義資料を基にHFNC, NPPVとマスクフィッティングについて整理し理解する（120分）	角田
14	気道管理・Bagging	予習：気道管理・Baggingについて事前に調べておく（120分）　復習：講義資料を基に気道管理･Baggingについて整理し理解する(120分)	堀
15	誤嚥性肺炎の理学療法	予習：誤嚥性肺炎の理学療法について事前に調べておく（120分）　復習：講義資料を基に誤嚥性肺炎の理学療法について整理し理解する（120分）	堀
成績評価方法と基準			割合
１．講義中のディスカッション<DP②③>　２．レポートによる評価<DP②③>			1. 50% 2. 50%

授業科目名	介護予防学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

介護福祉学特論では，日本と諸外国の高齢者問題の分析から，主に介護予防・自立支援の課題について考えを深め，高齢者を対象とした研究課題や研究方法について探る.

到達目標

1.高齢者を対象とした日本・世界の課題と研究方法について説明することができる．＜DP②③＞　2.世界の高齢者施策の動向と課題を説明することができる．＜DP②③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.　日本・世界の高齢者を対象とした先行研究から知見と課題を整理します．　2.　疑問を持つことが研究のスタートです.疑問を言葉にして発信するよう努力してください．　3.高齢者の課題を多面的に検討するためには，社会のニュースに関心を持ち情報を得てください.ただし、情報は鵜呑みにせず，調査する視点を持ちましょう.

教科書

配布資料にて実施するため，指定する教科書はない.

参考書

医学的研究のデザイン　医学の質を玉ける疫学的アプローチ　木原雅子/木原正博訳　メディカル・サイエンス・インターナショナル

研究室／オフィスアワー

由利研究室／木曜午前

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	日本の高齢化（高齢者施策）	予習：日本の高齢者施策について調べる（2 時間）．　復習:高齢化の状況と高齢社会における施策の課題を考える（2 時間）.	由利
2	日本の高齢化の状況と地域包括ケアシステム	予習：地域包括ケアシステムについて調べる（２時間）．　復習:地域包括ケアシステムについて現状と課題をまとめる（2 時間）.	由利
3	高齢者を対象とした研究動向（日本）１　PICO と PECO の確認	予習：PICO と PECO について調べる（2 時間）.復習：研究論文の PICO と PECO を確認する（2 時間）.	由利
4	高齢者を対象とした研究動向（日本）２　PICO と PECO の確認	予習:研究論文における PICO と PECO を確認する（2 時間）．　復習:PICO と PECO を検討し理解できたことをまとめる（復習 2 時間）.	由利
5	高齢者を対象とした研究動向（世界）１　PICO と PECO	予習:研究論文における PICO と PECO を確認する（2 時間）．　復習:PICO と PECO を検討し理解できたことをまとめる（復習 2 時間）.	由利
6	高齢者を対象とした研究動向（世界）２　PICO と PECO	予習:研究論文における PICO と PECO を確認する（2 時間）．　復習:PICO と PECO を検討し理解できたことをまとめる（復習 2 時間）.	由利
7	高齢者を対象とした研究の理解１（背景と研究目的）	予習:高齢者を対象とした研究報告を読む(2 時間)　復習：高齢者を対象とした研究における課題の導き出し方について理解できたことをまとめる（2 時間）	由利
8	高齢者を対象とした研究の理解２（研究目的とデザイン）	予習:高齢者を対象とした研究方法のデザインを調べる（2 時間）　復習：研究デザインについて理解できたことをまとめる（2 時間）	由利
9	高齢者を対象とした研究の理解３（アウトカム指標）	予習:高齢者を対象とした研究のアウトカム指標について調べる（2 時間）　復習：アウトカム指標について理解できたことをまとめる（2 時間）	由利
10	高齢者を対象とした研究の理解４（考察・先行研究との関連）	予習:類似研究との関連性について調べる(2 時間)　復習：類似研究との関係・考察について理解できたことをまとめる（2 時間）	由利

11	高齢者を対象とした世界の研究 1（研究目的とデザイン・アウトカム）	予習:高齢者を対象とした英語文献を読む(2 時間)　復習：高齢者を対象とした研究について理解できたことをまとめる（2 時間	由利
12	高齢者を対象とした世界の研究２（考察・先行研究との関連）	予習:類似研究との関連性について調べる(2 時間)　復習：類似研究との関係・考察について理解できたことをまとめる（2 時間）	由利
13	文献の批判的吟味１	予習：バイアス、妥当性について調べる（2 時間)　復習：批判的吟味について理解できたことをまとめる（2 時間）	由利
14	文献の批判的吟味２	予習：CONSORT 声明について調べる（2 時間） 復習：批判的吟味について理解できたことをまとめる（2 時間）	由利
15	エビデンスとは	予習・復習：エビデンスについて理解できたことをまとめる（2 時間）	由利
成績評価方法と基準			割合
①課題レポートと提出物等で評価＜DP②③＞			①100%

授業科目名	医療画像読影技術学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	西浦　素子		担当教員	西浦　素子	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療画像解析学特論では臨床画像検査で得られるデータから疾患理解に有用な情報を識別するための画像形成過程を学び、画像から得られる情報を適正に表現する方法を理解する。さらに病態解析に効果的な検査手法を構築する能力を身につける。

到達目標

１．画像形成過程を理解し、説明できる。＜DP①＞　２．画像から得られる情報について説明できる。＜DP①＞　３．病態解析に効果的な検査手法について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

特に指定しないが、論文、記事、関連資料等を適宜紹介(配布)します。

参考書

特に指定しないが、論文、記事、関連資料等を適宜紹介(配布)します。

研究室／オフィスアワー

西浦　素子／適宜対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	画像解析学について	予習：画像から得られる情報について調べて置く(2 時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
2	Ｘ線画像解析①（アナログＸ線画像の画像形成）	予習：アナログＸ線画像の画像形成について調べておく(2 時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
3	Ｘ線画像解析②（ディジタル(I.I.-DR)画像の画像形成）	予習：ディジタル(I.I.-DR)画像の画像形成について調べておく(2 時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
4	Ｘ線画像解析③（ディジタル(CR)画像の画像形成）	予習：ディジタル(CR)画像の画像形成について調べておく(2 時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
5	Ｘ線画像解析④（ディジタル(FPD)画像の画像形成）	予習：ディジタル(FPD)画像の画像形成について調べておく(2 時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
6	頭部（脳）画像解析（CT 画像、MR 画像）　＊Functional imaging	予習：頭部（脳）の正常解剖と代表的な疾患について復習する(2 時間)　復習：頭部（脳）の最新画像解析法と画像の特徴をまとめる(2 時間)	西浦
7	胸部画像解析（X 線画像、CT 画像）	予習：胸部の正常解剖と代表的な疾患について復習する(2 時間)　復習：胸部（肺）の最新画像解析法と画像の特徴をまとめる(2 時間)	西浦
8	腹部画像解析（CT 画像、MR 画像）	予習：腹部の正常解剖と代表的な疾患について復習する(2 時間)　復習：腹部の最新画像解析法と画像の特徴をまとめる(2 時間)	西浦
9	骨･関節画像解析（X 線画像、CT 画像、MR 画像）	予習：骨･関節の正常解剖と代表的な疾患について復習する（2 時間）　復習：骨・関節の最新画像解析法と画像の特徴をまとめる(2 時間)	西浦
10	CT・MR 画像解析（総括）	予習：自身の研究テーマに必要な CT･MR 画像解析学をまとめ関連論文を調べる(2 時間)　復習：プレゼンテーション、ディスカッションの	西浦

		内容をレポートにまとめる(2 時間)	
11	乳腺画像解析①（正常解剖と X 線画像）	予習：乳腺の正常解剖および代表的な乳腺疾患について理解する（2 時間） 復習：予習および授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
12	乳腺画像解析②（超音波画像と MR 画像）	予習：乳腺の超音波、MR 画像の特徴についてまとめる。(2 時間) 復習：予習および授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
13	乳腺画像解析③（その他）	予習：X 線、超音波、MR 以外の乳腺疾患に対する画像診断について調べる。(2 時間) 復習：予習および授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2 時間)	西浦
14	乳腺画像解析④（グループワーク）	予習:11 回目で学んだ代表的な乳腺疾患について各モダリティの所見（画像の特徴）をまとめる（2 時間） 復習：予習および授業内容を振り返り選択した乳腺疾患についてプレゼンテーションにまとめる。	西浦
15	乳腺画像解析⑤（ディスカッション）	予習：第 14 回のグループワーク内容をプレゼンテーションできるように準備を行う 復習：グループワーク、プレゼンテーションの内容をレポートにまとめる	西浦
成績評価方法と基準			割合
① 授業内容および課題を期日までにレポートにまとめ提出する。<DP①> ② プレゼンテーションによる評価			①80 % ②20%

授業科目名	東洋医学史特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	大形 徹		担当教員	大形 徹	
科目ナンバリング	HLA20MHSA002	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

中国医学は鍼灸治療と薬物学である本草学の二つから成り立つが、大学院ではこの両者についての基礎的な知識を涵養するために、鍼灸書の古典と本草書の古典の概要を解説するとともに、それらが日本古代の医薬治療にも深く影響を与えていることをも解説する。

到達目標

講義では中国・日本・欧米の最新の研究成果にもとづいて鍼灸学と本草学を解説するが、日本語による理解だけに止まらず、できれば古典文献をも少しは読解できるように努めたい。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

漢文の原典を読んだり、一部、中国語を読んだりするかもしれません。辞書や検索の方法については、授業時に紹介します。

教科書

プリントを配付します。

参考書

中国科学技術史（医学巻） 廖育群・鄭金生ほか 科学出版社（１９９８） 中国医学古典と日本 小曾戸洋 塙書房

研究室／オフィスアワー

非常勤ですので、オフィスアワーはありません。大阪府立大学名誉教授 立命館大学 招聘研究教授です。 メールは ohgata728 アットマーク gmail.com にご連絡ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	伝統中医学の基本理念 中国医学は「気」の身体観から成り立っている	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
2	黄帝内経素問 最古の鍼灸医学の基礎的理論を説く書	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
3	霊枢経 素問よりやや実際的に鍼灸的治療を説く	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
4	八十一難経 脈診など中医の基礎理論を八十一の問答で説く	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
5	神農本草経 中国最古の薬物書であり、上中下の三品に分類される	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
6	傷寒論 漢代の急性熱性疾患の薬物による治療法を説く	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
7	鍼灸甲乙経 六朝時代に現れた鍼灸の臨床応用を説いた書。	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
8	脈経 六朝時代に出た脈搏による診断法を説いた書。	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
9	黄帝内経太素・明堂経 隋唐代の経典的鍼灸書であり、日本に深く影響した	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
10	千金要方 医聖・孫思邈の著したスタンダードな医書	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
11	唐宋時代の医学教育 唐宋時代には中央・地方に医学教育機関が成立した	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
12	医心方 我が国最古の医書	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
13	金元医学 桃山・江戸時代に曲直瀬道三を通じて実践的医術が伝来した	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
14	銅人腧穴鍼灸図経、十四経発揮 今日の経穴・経絡の基本となる書	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
15	近年出土の医薬資料 戦国秦漢墓から出土した素問・霊枢や本草に先立つ医薬書	授業で学んだことを復習しておくこと	大形
成績評価方法と基準			割合

レポートによる評価	100%

授業科目名	保健医療研究方法論（保健医療学専攻）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／井手口 範男／大川 祐世／森谷 正之／澤田 優子／由利 禄巳／五十嵐 淳介	
科目ナンバリング	HLA20MHSA003	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限、月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

保健医療学分野における研究の基本的流れ、および各領域における主な研究手法と方法論について学ぶ。複数教員によるオムニバス方式の授業形態とし、研究計画、文献検索、倫理委員会書類作成、データ分析、論文執筆、学会発表など一連の流れを解説するとともに、各分野特有の研究・実験の手法を紹介する。また、研究倫理、不正行為、論文の質の評価などについても理解させる。

到達目標

保健医療学系研究のデザインから成果発表までの一連の流れを理解する。　研究倫理や不正防止を含む基本的なルールを理解し、遵守できる。　研究プロトコールが作成できる。　自分と同じ領域の研究論文の質について批判的吟味ができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自分が行う特別研究（修士論文）の内容に当てはめて理解し、総論と各論（自身のケース）の両面から考えること。

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考書

科学を志す人びとへ　科学倫理検討委員会編　化学同人

研究室／オフィスアワー

山下　仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	研究計画と研究デザイン	自分の研究テーマについて指導教員と相談しながら具体化する	山下
2	文献の検索と収集	自分の研究テーマに関連する文献を検索・収集する　図書館における文献検索環境を確認する	山下
3	EBM とランダム化比較試験	自分の研究領域における EBM との関わりについて考える	山下
4	研究倫理（e-learning）	学術振興会の研究倫理教育のサイトほか、関連する情報をネットで調べる	山下
5	質的研究	量的研究と質的研究の違いと特徴について調べる	澤田
6	基礎研究・動物実験	予習：動物実験の方法論に関連する論文や資料を検索・入手して読んで下さい（2 時間）。　復習：講義内容と収集資料等を参考に動物実験の方法論について考察して下さい（2 時間）。	森谷
7	動物実験の研究倫理	予習：実験動物の取り扱いに関連する法令や学術論文を検索・入手して読む。　復習：講義内容と収集資料等を参考に実験動物の取り扱いに関連する法令をベースに、動物実験の倫理や規範について考察する。	森谷
8	調査研究とデータ処理	自分の研究テーマにおけるデータの種類・特性・配慮などについて考える	由利
9	システマティック・レビューとメタアナリシス	自分の領域のシステマティック・レビュー論文に目を通す	大川
10	その他の臨床研究方法論	自分の研究テーマにおけるデータの種類・特性・分析手法などについて考える	山下

11	分子生物学的研究とトランスレーショナル・リサーチ	授業で学んだトランスレーショナルリサーチの手法を理解し、研究倫理的問題への配慮についても認識しておく。	五十嵐
12	データの取り扱い・解析・提示法	自分の研究テーマにおけるデータの種類・特性・配慮などについて考える	由利
13	成果の学会発表と論文投稿	自分の研究テーマにおけるデータの種類・特性・配慮などについて考える	山下
14	統計解析Ｑ＆Ａ	自分の研究で必要になる統計処理について調べる	井手口
15	総括	授業全体を通して疑問点や理解できていない点をまとめておく	山下
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①提出レポート			①100%

授業科目名	保健医療教育特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	阿部　秀高		担当教員	阿部　秀高／高木　悠哉	
科目ナンバリング	HLA20MHSA004	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 4 限、月曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

保健医療の領域で「教育」を考える場合、2 つの視点がある。保健医療従事者としてクライエント（患者・家族・集団・地域住民等）に対する教育機能と、専門職としての保健医療従事者を育成する教育（基礎教育・卒後教育）である。前者は、主として健康上の課題達成のための行動変容を目指したかかわりを指す。後者は、各専門職教育の歴史・目的・目標・方法等がテーマとなる。いずれの場合も、教育の本質は変わらない。ここでは本質を共有しつつ、各専門職（看護・理学療法・鍼灸）を切り口にして、現状分析を試み、教育の機能を展望したい。複数教員によるオムニバス形式の授業形態をとり、受講生は他職種の役割について認識を深めながら、各自の立場における課題を考察していただきたい。

到達目標

１．教育の本質について自己の考えを表現することができる。【D①】　２．保健医療の各領域における教育のニーズを表現することができる。【D①】　３．保健医療の各領域における教育の方法や課題について表現することができる。【D①】　４．保健医療従事者としての各専門職教育（基礎教育・卒後教育）と課題について、自己の考えを表現することができる。【D①】　５．学生が主体的・創造的に学修に取り組むための方法について洞察し、自己の考えを表現することができる。【D①】

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自己の教育に関する学修のニーズを整理しておくこと。　＊質問があれば、直接研究室にお越しください。また、MORIPA クラスプロファイル「Q & A」からの質問でも構いません。

教科書

指定しない。必要に応じてサブテキスト・資料・論文を配布・紹介する。

参考書

随時紹介する。

研究室／オフィスアワー

講義の初めに各教員が連絡する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	教育について　①　教育とは何か　②教育の目標	予習：自己の教育について考えをまとめておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部
2	教師とは　①教師に求められる資質能力　②教師に必要なコミュニケーションスキル	予習：自己の臨床におけるコミュニケーションの有り様を振り返っておく（1 時間）　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部
3	教育方法・技術について　①　医療に求められる教育方法について（問題解決学習・マスタリーラーニング）　②　現代の教育の方法の概要（協働的な学び・学習調整力の育成）	予習：前回の講義内容をもとに洞察し、資料を作成する。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部
4	授業構想と教授のポイント　①主体的で対話的で深い学び　②個別最適化	予習：これまで受けた、行った授業の経験を想起しておく。(1 時間)　復習：本時の授業における学びを振り返る（1 時間）	阿部
5	・教育評価と教育課程作成（カリキュラムマネジメント）について	予習：カリキュラムマネジメントについて調べておく.（1 時間）　復習：教育の目標について教育基本法を読む.（1 時間）	阿部
6	学習者の心理について	予習：前回の講義中に論文を紹介するのでこれについて，批評的に読み込んでおく.（1 時間）復習：課題提出（1 時間）	高木
7	生徒指導・教育相談について	予習：前回の講義中に論文を紹介するのでこれについて，批評的に読み込んでおく.（1 時間）復習：課題提出（1 時間）	高木
8	教育現場の実際と時事的問題	予習：現在の教育問題について調べておく　復習：課題提出	阿部
9	授業実践演習の計画と準備	予習：これまでの教育についての学びを振り返る　復習：課題提出.	阿部

10	教育実践演習①　自らの専門領域の模擬授業を行い相互評価・自己評価を行う	予習：自分の授業を構想すること　復習：指導案・プレゼンを作成すること.	阿部
11	教育実践演習②　自らの専門領域の模擬授業を行い相互評価・自己評価を行う	予習：自分の授業を構想すること　復習：指導案・プレゼンを作成すること.	阿部
12	教育実践演習③　自らの専門領域の模擬授業を行い相互評価・自己評価を行う	予習：自分の授業を構想すること　復習：指導案・プレゼンを作成すること.	阿部
13	教育実践演習④　自らの専門領域の模擬授業を行い相互評価・自己評価を行う	予習：自分の授業を構想すること　復習：指導案・プレゼンを作成すること.	阿部
14	教育実践演習⑤　自らの専門領域の模擬授業を行い相互評価・自己評価を行う	予習：自分の授業を構想すること　復習：指導案・プレゼンを作成すること.	阿部
15	自身の教育者としての強みと課題について	予習：自身の教育者としての強み・弱みを自己内省する（1 時間）　復習：課題について考える（1 時間）	阿部
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①講義・グループワークでのディスカッション内容　②レポート（テーマは講義中に指示する）　　＊レポート課題の評定を希望者に開示する。			①30% ②70%

授業科目名	英語文献講読（保健医療学専攻）				
主担当教員	藤重　仁子		担当教員	藤重　仁子／山下　仁／前田　薫	
科目ナンバリング	HLA20MHSA008	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

英語文献を読み、基本的な単語や構文について解説する。

到達目標

１．保健医療学領域の英語論文が読める。　２．自分の専門領域の英語論文に頻出する単語や構文がわかる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

事前の単語チェックが重要である。

教科書

必要に応じて資料を配布する

参考書

必要に応じて資料を配布する

研究室／オフィスアワー

藤重　仁子：東棟 22 研究室　山下　仁：東棟 24 研究室、月・火６時限　久木元　由紀子：桜棟 11 研究室

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	英語論文読解の基礎①（藤重）	関連する基本的な英単語と表現を調べる	藤重
2	英語論文読解の基礎②（藤重）	関連する基本的な英単語と表現を調べる	藤重
3	英語論文読解の基礎③（藤重）	関連する基本的な英単語と表現を調べる	藤重
4	英語論文読解の基礎④（藤重）	関連する基本的な英単語と表現を調べる	藤重
5	英語論文読解の基礎⑤（藤重）	関連する基本的な英単語と表現を調べる	藤重
6	領域別の英語論文講読①	指定された論文の単語を調べる	山下
7	領域別の英語論文講読②	指定された論文の単語を調べる	山下
8	領域別の英語論文講読③	指定された論文の単語を調べる	山下
9	領域別の英語論文講読④	指定された論文の単語を調べる	山下
10	領域別の英語論文講読⑤	指定された論文の単語を調べる	山下
11	領域別の英語論文講読⑥	予習：英語論文の訳を行う。	
12	領域別の英語論文講読⑦	予習：英語論文の訳を行う。	
13	領域別の英語論文講読⑧	予習：自分が訳したい英語論文を準備してくる	
14	領域別の英語論文講読⑨	指定された論文の単語を調べる	
15	領域別の英語論文講読⑩	指定された論文の単語を調べる	
16			
17			
18			

19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①毎回の資料の予習（単語調べ、読み）の状況、および授業時の理解度にもとづき評価する			①100%

授業科目名	人体構造学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング	HP20MHSA001	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

咀嚼、嚥下、呼吸は生命維持の根幹をなす機能である。これらは神経系が求心性（感覚性）情報と遠心性（運動性）情報とを適正に伝達・処理・統合することによって遂行されている。本特論では、これらの情報伝達がどのような神経ネットワークの下で遂行されているのかを、これまでに明らかにされている研究成果や我々が進めている研究結果に基づいて神経解剖学の立場から解説する。講義内容を踏まえて、健康長寿と「咀嚼」、「嚥下」、「美味しく食べること」との関係性について考察していく。

到達目標

（１）咀嚼・嚥下・呼吸運動に関わる神経機構の概略を説明できる（DP②③）　（２）口腔顔面領域の感覚伝達機構の概略を説明できる（DP②③）　（３）基本的な反射回路を説明できる（DP②③）　（４）随意性運動の制御機構の概略を説明できる（DP②③）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

自分の身体の「かたち（＝形態)」と「はたらき（＝機能)」が密接に関連し、生命維持がなされていることをしっかりと学んで下さい。

教科書

特に無し

参考書

中村嘉男　「咀嚼運動の生理学」（医歯薬出版）

研究室／オフィスアワー

葵棟 5 階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	神経解剖学研究法①　　神経組織の固定法と染色法	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した神経組織の固定法と染色法について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間)。	森谷
2	神経解剖学研究法②　　神経経路学の研究法	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した神経経路学の研究法について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間)。	森谷
3	三叉神経系の基礎①　　咀嚼運動の基礎	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した咀嚼運動の基礎について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間)。	森谷
4	三叉神経系の基礎②　　咀嚼運動の末梢入力による制御	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した咀嚼運動の末梢入力による制御について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間)。	森谷
5	三叉神経系関連の論文講読①	講義で講読した論文の内容について、重要項目を整理して下さい（2 時間)。	森谷
6	三叉神経系関連の論文講読②	講義で講読した論文の内容について、重要項目を整理して下さい（2 時間)。	森谷
7	呼吸運動に関わる神経機構　　呼吸運動の中枢神経による制御	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した呼吸運動の中枢神経による制御について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間)。	森谷
8	咀嚼・呼吸・嚥下運動の制御① Premotoneuron の分布と機能（孤束核、延髄レベル）	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した Premotoneuron の分布と機能（孤束核、延髄レベル）について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間)	森谷

9	咀嚼・呼吸・嚥下運動の制御② Premotoneuron の分布と機能（中脳・橋レベル）	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間）。講義で学修した Premotoneuron の分布と機能（中脳・橋レベル）について、講義内容を参考にまとめて下さい(2 時間)。	森谷
10	咀嚼・呼吸・嚥下運動の制御③　咀嚼・呼吸・嚥下運動の相互制御機構	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した咀嚼・呼吸・嚥下運動の相互制御機構について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間）	森谷
11	中枢神経系による運動制御機構　随意性調節機構と反射の関係	当該領域の基本的知識について出来るだけ調べて下さい（2 時間)。講義で学修した運動の随意性調節機構と反射の関係について、講義内容を参考にまとめて下さい（2 時間）	森谷
12	「噛む」ことと健康長寿	「噛む」ことと健康長寿について、講義での議論を踏まえて整理して下さい（2 時間)。	森谷
13	「飲み込む」ことと健康長寿	「飲み込む」ことと健康長寿について、講義での議論を踏まえて整理して下さい（2 時間)。	森谷
14	「美味しく食べる」ことと健康長寿	「美味しく食べる」ことと健康長寿について、講義での議論を踏まえて整理して下さい（2 時間)。	森谷
15	自分自身の研究テーマと健康長寿	自分自身の研究テーマと健康長寿について、講義での議論を踏まえて整理して下さい（2 時間)。	森谷
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①講義中のディスカッション（DP②③）　②レポート（DP②③）　レポートは返却しません。評価は講義内でのディスカッション、提出して頂いたレポート等を総合して行います。詳細は初回講義時に説明します。			①60% ②40%

授業科目名	栄養･代謝生化学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	森　美侑紀		担当教員	森　美侑紀	
科目ナンバリング	HP20MHSA002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

健康と食・栄養との関係について総合的に学び、生活習慣や社会環境など様々な視点から健康づくりと食・栄養の関連性について考える。さらに疾病の発症や病態との関わりを、栄養・代謝の観点から生命科学的に説明し、考察できるようになることを目標とする。

到達目標

1.生化学・栄養学の知識をもとに、疾患と代謝の関係を科学的に考察する力を身につける。〈DP②〉　2.自らの考えを体系的かつ理論的にまとめ、レポート報告ならびにプレゼンテーションとして、適切かつ効果的に伝えることができる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・グループワークやディスカッションなど積極的に発言をしてください。　・論文から最新の情報収集を行い、知識や経験を深めてください。

教科書

配布プリント

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	栄養と代謝概論	予習：栄養と代謝について調べておくこと　復習：栄養と代謝についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
2	栄養障害①	予習：栄養障害について調べておくこと　復習：栄養障害についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
3	栄養障害②	予習：栄養障害について調べておくこと　復習：栄養障害についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
4	代謝障害①	予習：代謝障害について調べておくこと　復習：代謝障害についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
5	代謝障害②	予習：代謝障害について調べておくこと　復習：代謝障害についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
6	プレゼンテーション（栄養と代謝障害）	予習：栄養と代謝障害について調べておくこと　復習：栄養と代謝障害についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
7	社会の変化と食生活	予習：近年の食傾向について調べておくこと　復習：近年の食傾向についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
8	文献検討（食生活に関わる諸問題Ⅰ）	予習：文献を読んでおくこと　復習：文献の復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
9	文献検討（食生活に関わる諸問題Ⅱ）	予習：文献を読んでおくこと　復習：文献の復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
10	文献検討（食生活に関わる諸問題Ⅲ）	予習：文献を読んでおくこと　復習：文献の復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
11	プレゼンテーション（社会の変化と食生活）	予習：近年の食傾向について調べ資料作成をしておくこと　復習：近年の食傾向についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森
12	日本食の特徴と食文化	予習：日本食の特徴と食文化について調べておくこと　復習：日本食の特徴と食文化についての復習　予習復習を各 2 時間行うこと。	森

13	文献検討（日本食と健康の関わりⅠ）	予習：文献を読んでおくこと　復習：文献の復習　予習復習を各2時間行うこと。	森
14	文献検討（日本食と健康の関わりⅡ）	予習：文献を読んでおくこと　復習：文献の復習　予習復習を各2時間行うこと。	森
15	プレゼンテーション（日本食の特徴と食文化）	予習：日本食の食文化について調べ資料作成をしておくこと　復習：日本食の特徴と食文化についての復習　予習復習を各2時間行うこと。	森
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
１．課題レポート〈DP②〉　２．プレゼンテーション〈DP③〉　３．質問は授業内とメールでいつでも受け付ける。			50%　50%

授業科目名	臨床検査画像診断学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	脇　英彦		担当教員	脇　英彦／小宮山　恭弘	
科目ナンバリング	HR20MHSA002	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

超音波、放射線をはじめとする画像診断の原理を理解する。次いで、正常像ならびに代表的疾患の特徴的画像を学修し、画像診断の診断能力を修得する。

到達目標

超音波、放射線をはじめとする画像診断装置の原理と画像の成り立ちを理解する。次いで、正常像ならびに代表的疾患の特徴的画像を学修し、画像診断の診断能力を修得する。DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

異常所見を見る際に重要なことは、基本的知識がきちんと整理できているかが重要となる。　正常所見をしっかり学修した上で、どこに違いがあり、なぜ違いが生じるかを学んで欲しい。

教科書

適時プリント配布し補足する.

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

脇英彦研究室　（月曜、火曜　16：00～18：00）　小宮山恭弘研究室（月曜、火曜　16：00～18：00）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	超音波診断の基礎 1　超音波物理特性	超音波の基礎について復習すること	脇英彦
2	超音波診断の基礎 2　　画像表示法	超音波の基礎について復習すること	脇英彦
3	超音波診断の基礎 3　　血流表示法	ドプラ法について復習すること	脇英彦
4	超音波診断の基礎 4　　造影超音波	超音波造影剤について復習すること	脇英彦
5	超音波診断法 1　　心臓超音波	心臓の解剖について復習すること	脇英彦
6	超音波診断法 2　　腹部超音波	肝臓の解剖について復習すること	脇英彦
7	超音波診断法 3　　表在・血管超音波	四肢血管について復習すること	脇英彦
8	循環器画像診断 1	提示した循環器疾患について復習すること	小宮山恭弘
9	循環器画像診断 2	提示した循環器疾患について復習すること	小宮山恭弘
10	循環器画像診断 3	提示した循環器疾患について復習すること	小宮山恭弘
11	消化器画像診断 1	提示した肝胆膵疾患について復習すること	小宮山恭弘
12	消化器画像診断 2	提示した消化器疾患について復習すること	小宮山恭弘
13	消化器画像診断 3	提示した消化器疾患について復習すること	小宮山恭弘
14	疾病の画像診断演習 1	循環器疾患についてのレポート提出	小宮山恭弘
15	疾病の画像診断演習 2	消化器疾患についてのレポート提出	小宮山恭弘
16			
17			
18			

19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
画像判読口頭試問とレポート評価　DP②③　教員による学生の到達度（理解度）確認　授業後に提出されたレポート内容について口頭試問を行い、理解度を確認する。			画像判読口頭試問80％　レポート20%

授業科目名	リハビリテーション学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	前田　薫		担当教員	前田　薫／橋本　弘子／塚越　千尋	
科目ナンバリング	HR20MHSA004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

リハビリテーション医学の幅広い領域における近年のトピックスについて能動的に情報収集して考察する。

到達目標

リハビリテーションの意義、その重要性、方法などを理解する。＜DP②③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

能動的学習を主体とする授業です。

教科書

なし

参考書

適宜授業内で指定する。

研究室／オフィスアワー

前田：水曜日 2 限　橋本：木曜日 4 限以降(事前連絡で他日も対応可)

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	脳卒中リハビリテーションのトピックス①	予習：一般的な英文解釈（2 時間）　復習：提示された論文を読む（2 時間）	前田
2	脳卒中リハビリテーションのトピックス②	予習：一般的な英文解釈（2 時間）　復習：提示された論文を読む（2 時間）	前田
3	高次脳機能障害のリハビリテーション①	予習：高次脳機能障害についての振り返りをしておく　（2 時間）　復習：高次脳機能障害の実際や課題についてまとめる（2 時間）	東
4	高次脳機能障害のリハビリテーション②	予習：高次脳機能障害についての振り返りをしておく　（2 時間）　復習：高次脳機能障害の実際や課題についてまとめる（2 時間）	東
5	クライン・フォーゲルバッハの運動学	予習：簡単な力学について調べること（2 時間）復習：日常生活において他者の身体運動を観察すること（2 時間）	前田
6	運動におけるシナジーとストラテジー	予習：簡単な反射･反応を調べてくること（2 時間）　復習：日常生活での他者の身体運動を観察すること（2 時間）	前田
7	身体運動を考える	予習：筋膜、骨膜、靭帯、皮膚など軟部組織について調べること（2 時間）　復習：運動における軟部組織の役割をまとめること（2 時間）	前田
8	緩和ケアについて	予習：終末期医療について簡単な基礎知識を予習しておくこと（2 時間）　復習：終末期の心理状態について復習する。（２時間）	前田
9	サルコペニアについて	予習：骨格筋について予習しておくこと。(2 時間）　復習：筋力増強について復習しておくこと。（２時間）	前田
10	予防的なリハビリテーション①	予習：リハにおける予防分野について調べる（２時間）　復習：配布された論文について理解する（２時間）	前田
11	ADL・IADL に対するリハビリテーション①	予習：ADL・IADL について調べる（２時間）　復習：配布された資料について理解する（２時間）	東
12	ADL・IADL に対するリハビリテーション②	予習：ADL・IADL について調べる（2 時間）　復習：配布された資料について理解する（2 時間）	東
13	精神科におけるリハビリテーション　精神疾患を脳科学の視点で理解する１	予習：統合失調症や気分障害について（2 時間）復習:精神疾患を脳科学の視点で理解する(2 時	橋本

		間）	
14	精神科におけるリハビリテーション　精神疾患を脳科学の視点で理解する２	予習：認知症について（2 時間）　復習：精神疾患を脳科学の視点で理解する（2 時間）	橋本
15	ニューロリハビリテーションの考え方と芸術療法について	予習 ： ニューロリハビリテーションの考え方と芸術療法の接点について調べる(2 時間）　復習：ニューロリハビリテーションについてまとめる（2 時間）	橋本
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
１．レポート等にて評価＜DP②③＞			1．100%

授業科目名	柔道整復学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	川畑 浩久		担当教員	川畑 浩久／森 美侑紀	
科目ナンバリング	HR20MHSA008	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

柔道整復は運動器の外傷・障害に対する施術を主な業とすることから、運動器疾患を中心に講義を進めていく。 運動器疾患は日常生活のみならずスポーツ活動、就労活動をも妨げ、とりわけ高齢者では寝たきりの原因となり、QOL を著しく低下させることから、本講義では骨関節外傷や障害などの病態、治療法についてより深く解説し、その研究法についても概説することで、運動器疾患の病態についての理解を深めてもらう。また近年運動器疾患と生活習慣病の関連性が注目されていることから、これについても柔道整復、統合医療の観点から概説する。

到達目標

1. 柔道整復学で扱う運動器疾患（外傷、障害）の病態について組織学的・分子生物学的に理解し説明できる。〈DP②③〉 2. 柔道整復学で扱う運動器疾患と生活習慣病、酸化ストレスとの関連性について組織学的・分子生物学的に理解し説明できる。〈DP②③〉 3. 柔道整復学で扱う運動器疾患の病態や治療介入による変化を組織学的、分子生物学的に理解し、新たな研究の展開を計画できる。〈DP②③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 疑問点は大切にし、解決に向けて積極的に行動すること。 2. グループ討議には積極的に参加すること。

教科書

1. 適宜資料を配布する。

参考書

1. 標準整形外科学 第 12 版.中村利孝/松野丈夫 監修.医学書院.2014. 2. Kawahata H, et al. Continuous infusion of angiotensin II modulates hypertrophic differentiation and apoptosis of chondrocytes in cartilage formation in a fracture model mouse. Hypertens Res. 38: 382-393. 2015. 3. So

研究室／オフィスアワー

森美侑紀：S 棟 14 研究室：木曜日 17:00～19:00 に対応いたします。 川畑浩久：C 棟研究室 707：木、金曜日 17:00～18:00 ですが、部屋にいればいつでも訪問可です。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	柔道整復学概論① 柔道整復学とは	予習：柔道整復で扱う運動器疾患について調べておくこと。 復習：柔道整復学で扱う運動器疾患（骨折、脱臼、靭帯・筋損傷）の総論について復習しておくこと（配布資料参照） なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
2	運動器疾患の病理学的研究法（組織学的研究および分子生物学的研究）の概略	予習：組織学的研究および分子生物学的研究の概略について予習しておくこと。 復習：運動器疾患の病理学的研究法について復習しておくこと。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
3	運動器外傷学① 骨損傷の病態および修復過程	予習：骨折の病態について、その概略を予習しておくこと。 復習：骨折の病態、特に修復過程について復習し、レポートを提出すること。なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
4	運動器外傷学② 関節軟骨損傷の病態および治療法	予習：関節軟骨損傷の病態について、その概略を予習しておくこと。 復習：関節軟骨損傷の病態、特に修復過程について復習しておくこと。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
5	運動器外傷学③ 靭帯損傷の病態および治療法	予習：靭帯損傷の病態について、その概略を予習しておくこと。 復習：靭帯損傷の病態、特に修復過程について復習しておくこと。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
6	運動器障害学① 骨疾患（骨粗鬆症）の病態および治療法	予習：骨粗鬆症の病態について、その概略を予習しておくこと。 復習：骨粗鬆症の病態における細胞や分子の動態などについて復習し、レポートを提出すること。 なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑

7	運動器障害学②　関節疾患（関節軟骨変性疾患）の病態および治療法	予習：関節軟骨変性疾患の病態について、その概略を予習しておくこと.。　復習:関節軟骨変性疾患の病態における細胞や分子の動態などについて復習しておくこと。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
8	運動器障害学③　関節疾患（炎症性関節疾患）の病態および治療法	予習：炎症性関節疾患の病態について、その概略を予習しておくこと。　復習：炎症性関節疾患の病態における細胞や分子の動態などについて復習復習しておくこと。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
9	運動器障害学④　筋腱疾患（退行性変性ならびに外傷性疾患）の病態および治療法	予習：筋腱の退行性変性疾患や外傷の病態について、その概略を予習しておくこと。　復習：筋腱疾患や外傷の病態における細胞や分子の動態などについて復習しておくこと。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
10	運動器障害学⑤　ロコモティブシンドロームとメタボリックシンドロームの関連性	予習：ロコモティブシンドローム、メタボリックシンドロームについて、その概略を予習しておくこと。　復習：ロコモティブシンドロームとメタボリックシンドロームの関連性のメカニズムについて復習しておくこと。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
11	運動器疾患と生活習慣病の関連性	予習：生活習慣病の概略について予習しておくこと　　復習：自らの生活習慣を見直しながら復習を行う　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと	森
12	運動器疾患と糖化・酸化ストレス①　骨粗鬆症との関連性	予習：骨粗鬆症の概略について予習しておくこと　　復習：骨粗鬆症と糖化・酸化ストレスとの関連性について復習を行う　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと	森
13	運動器疾患と糖化・酸化ストレス②　変形性関節症との関連性	予習：変形性関節症の概略について予習しておくこと　復習：変形性関節症と糖化・酸化ストレスとの関連性について復習を行う　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと	森
14	運動器疾患と生活習慣病の予防法　糖化・酸化ストレスを防ぐには	予習：糖化・酸化ストレスの概略について調べておくこと。　復習：糖化・酸化ストレスを防ぐ生活習慣についてレポートを提出する。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	森
15	運動器疾患への統合医療的アプローチ　運動器疾患に対するアロマセラピーの実際	予習：アロマセラピーと植物精油の概要について調べておくこと。　復習：アロマセラピーの概要と精油の成分や使用方法、効果などについて復習すること。　なお予習復習はそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	森
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			

30			
成績評価方法と基準			割合
1. 講義中のディスカッション〈DP②③〉　2. レポート評価〈DP②③〉　3. レポートについては適宜返却し、必要に応じて解説する。			①30% ②70%

授業科目名	プログラム言語特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	HLA20MHSA006	科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

様々な業務を抱える医療従事者や研究者にとって、定型的なデータ処理を自動化することできるプログラミングの知識は必要不可欠なものである。また、プログラムによる自動処理では、処理結果が同じであっても用いたアルゴリズムによって処理に要する時間が大きくことなることが知られている。本科目では、異なる分野で幅広く利用されている Python を用いて、アルゴリズムについて学習する。

到達目標

1. ソートを行う効率的なプログラムを開発できるようになる。　2. 探索を行う効率的なプログラムを開発できるようになる。　3. 最短経路問題に対応するアルゴリズムを説明できるようになる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. アルゴリズムの学修を目的とするため、Python の文法に関する説明は最低限のものとなる。履修者は各自で Python の基本的文法を修めていることが望ましい。　2. 本科目は履修者による輪講形式で実施する。履修者は予め定められた内容についてプレゼンテーションを行うことになる。そのため、自由に利用できるノート PC を所持していない場合は、履修前に相談に来ること。

教科書

資料を配布します。

参考書

1. 『Python ではじめるアルゴリズム入門 伝統的なアルゴリズムで学ぶ定石と計算量 』, 増井 敏克　/ 翔泳社, ISBN: 978-4-798-16323-9　2. 『新・標準プログラマーズライブラリ　Python で学ぶアルゴリズムとデータ構造　徹底理解 』, 黒住敬之 / 技術評論社、 ISBN: 978-4-297-14057-1

研究室／オフィスアワー

原　C 棟 7F 研究室 19 / 金曜日 6 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	プログラム環境の構築　･python の実行環境を構築する。　･輪講の分担を決めます。	予習時間: 2 時間　予習内容:　プログラム言語の種類について調べておく　復習時間: 2 時間　復習内容:　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　良昭
2	基本的文法 1　･数値と文字の扱いを説明できる　･変数を説明できる。　･変数に対する演算子と演算結果を説明できる。　･リストとタプルを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。復習時間: 2 時間　復習内容:　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　良昭
3	基本的文法 2　･条件分岐と繰り返しを説明できる。　･リストの内包表記を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。復習時間: 2 時間　復習内容:　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　良昭
4	基本的文法 3　･関数とクラスを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。復習時間: 2 時間　復習内容:　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　良昭
5	アルゴリズムと計算量　･計算量の評価方法を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。	原　良昭

		復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	
6	ソート 1　・選択ソートを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
7	ソート 2　・挿入ソートを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
8	ソート 3　・バブルソートを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
9	ソート 4　・ヒープソートを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
10	ソート 5　・マージソートを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
11	ソート 6　・クイックソートを説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
12	探索 1　・線形探索を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
13	探索 2　・二分探索を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
14	探索 3　・木構造を説明できる。　・幅優先探索を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭

15	探索 4　・深さ優先探索を説明できる。	予習時間: 2 時間　予習内容:　　前回の講義で指示された内容について要約を作成する。 復習時間: 2 時間　復習内容:　　講義で行った内容を再度、各自で実施し、習得できていることを確認する。実施できない事項があった場合は、教員に確認するなど次回の講義までに習得する。	原　　良昭
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

成績評価方法と基準	割合
1.定期試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。	1. 100%

授業科目名	生物統計学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング	HLA20MHSA007	科目区分	専門基礎分野	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

統計学は医学の急速な発展の土台となった学問であり、統計学を修めていることは医療従事者の責務といえる。本科目では医療従事者として必要な統計学の基礎を学習する。

到達目標

1. 統計的仮説検定の論理について理解する。〈DP①〉 2. 母集団と確率変数の概念について理解する。〈DP①〉 3. 代表的な確率分布の特徴を理解する。〈DP①〉 4. データの代表値や散布度を表す特徴量について理解する。〈DP①〉 5. 信頼区間について理解する。〈DP①〉 6. 代表的な仮説検定の方法を取得する。〈DP①〉 7. 相関分析について理解する。〈DP①〉 8. 回帰分析の方法を取得する。〈DP①〉 9. カイ二乗検定の方法を取得する。〈DP①〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本科目は積み上げ型の科目となります。講義でわからないところがあれば、残りの講義もわからなくなります。その回の内容は次回までにわかるように予習・復習を行ってください。

教科書

1. 『基礎から学ぶ統計学』,中原治, 羊土社, ISBN-13: 978-4-7581-2121-7

参考書

1. 『データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門』,阿部真人, ソシム, ISBN-13: 978-4-802-61319-4

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階研究室 19 ／ 金曜日 4 限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	統計学の歴史と学ぶ意義　・医療の発展に果たした統計学の役割について説明できるようになる。	予習時間:3 時間　予習内容:　・教科書を一通り読んで学習する内容の概説を把握しておく。 復習時間:1 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
2	検定の論理:　・二項検定について説明できるようになる	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
3	統計検定量:　･Wilcoxon-Mann-Whitney 検定について説明できるようになる　・統計量について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
4	第 1 種の過誤と第 2 種の過誤:　・統計検定の結果に対する解釈の仕方について注意すべき過誤を説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
5	母集団と標本:　・平均値について説明できるようになる。　・分散について説明できるようになる。　・標準偏差について説明できるようになる。　・自由度について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
6	正規分布:　・正規分布の特徴について説明できるようになる。　・データの標準化と標準正規分布の特徴について説明できるようになる。　・中心極限定理について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
7	信頼区間と t 分布:　･標準正規分布の 95%信頼区間を説明できるようになる。　・正規分布に従うデータが与えられたとき、データに基づいて 95%信頼区間を算出できるようになる。　・t 分布の特徴を定性的に説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原

8	対応のあるｔ検定:　･2群のデータに対応がある場合の ｔ 検定について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
9	対応のないｔ検定とP値:　･2群のデータに対応がない場合のｔ検定について説明できるようになる。　・有意差について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
10	一元配置分散分析:　・データを与えられたとき、一元配置分散分析を実施することができるようになる。　・一元配置分散分析の特徴をｔ検定と比較して説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
11	多重比較:　・多重比較の概念を説明できるようになる。　・研究において多重性を考慮すべき理由について説明できるようになる。　・ボンフェローニ法について説明できるようになる。　・チューキー・クレーマー法について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
12	相関分析:　・データが与えられたとき、相関係数を算出できるようになる。　・因果関係と相関関係の違いについて説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
13	単回帰分析:　・データが与えられたとき、傾きや切片を算出できるようになる。　・決定係数と相関係数の関係を定量的に説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
14	統計的独立とカイ二乗検定　・統計的独立について説明できるようになる　・データを与えられたとき、カイ二乗検定を実施できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
15	高度な統計方法:　・重回帰分析、ロジスティック回帰分析、生存時間分析の概要を定性的に説明できるようになる。　・感度と特異度の概念を説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験<DP①>　※出題範囲:　講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法:試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1.　100%

授業科目名	発達支援リハビリテーション特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	伊藤　直子		担当教員	伊藤　直子／澤田　優子	
科目ナンバリング	HP20MHSA004	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

NICU で出生する低出生体重児やリスク児、障害児の増加に対し、在宅での育児をとぎれなく支援するために、様々な専門職が連携しチーム創りをすすめる作業が急務である。現在の周産期医療を取り巻く現状と課題を明らかにしながら、各専門職がリスクのある乳幼児と家族への支援技術を高めるための知識と技術を得る。

到達目標

①周産期に関わる専門職の役割を理解し連携できる　②NICU から地域につなぐチーム医療に貢献できる　③小児在宅医療に必要な知識と技術を得る　④療育体系の理解（子どもの生涯を考えた支援）　⑤関連研究の論文を通読する

履修上の注意(学生へのメッセージ)

低出生体重児や発達障害などのリスクをもつ乳幼児の育児に必要な知識と技術を、病院と地域で共有できるようにする。NIDCAP やデベロプメンタルケアのアプローチを地域につなぐために、それぞれの子どもに適した姿勢運動や感覚情報処理、具体的な育児方法の検討へとすすめる。乳幼児に関わる時、常に将来の健康と幸福な人生の開拓につながるように、家族を支援していく姿勢を学ぶ。

教科書

特に指定しません。随時紹介します。

参考書

田村正徳ほか監修：はじめよう ！ おうちでできる 子どものリハビリテーション&やさしいケア 小さく生まれた子どもや重い障がいのある子どもの在宅支援のために：三輪書店

研究室／オフィスアワー

月曜日 17:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	小児在宅医療とリハビリテーション	各 4 時間の自修で、関連文献の通読などで準備してください。　予習：自身の背景と課題を整理しておく　復習：「周産期医療」「小児医療」の現状と課題を調査する	伊藤
2	子どもと家族	予習：小児医療や子どもの発達　復習：正常発達知識の臨床応用の考え方を具体的に提示できる	澤田
3	低出生体重児の特徴　　小さく生まれた子どものリハビリテーション（NICU）	予習：低出生体重児や発達障害のフォローアップ体制や現状の理解　復習:NICU から在宅につなぐ関連機関での役割と役割を具体的に提示できる	澤田
4	発達評価：4 か月	予習：定型発達における原始反射や頭のコントロールの発達を確認　復習：発達の遅れやゆがみに対する対策を考える	伊藤
5	発達評価：7 か月	予習：抗重力姿勢の発達と寝返りまでの道筋と発達的意義(臨界期の確認)　復習：寝返りと感覚系の発達を考慮した育児支援	伊藤
6	発達評価:10 か月	予習：座位の獲得までの道筋　復習：三項関係獲得の条件と運動発達と認知発達の関連性	伊藤
7	発達評価：12 か月	予習：移動機能の発達と上肢機能の関連性　復習：育児支援への反映方法	伊藤
8	重症心身障害児と医療的ケア	予習：重い障害をもつ子どもの医療体制　復習：育児支援と医療ケア児に関わる施策	伊藤
9	最新研究の紹介およびディスカッション 1	予習・復習：当該領域の研究論文の抄読	澤田
10	最新研究の紹介およびディスカッション 2	予習・復習：当該領域の研究論文の抄読	澤田
11	最新研究の紹介およびディスカッション 3	予習・復習：当該領域の研究論文の抄読	澤田
12	最新研究の紹介およびディスカッション 4	予習・復習：当該領域の研究論文の抄読	澤田

13	最新研究の紹介およびディスカッション5	予習・復習：当該領域の研究論文の抄読	澤田
14	摂食・嚥下・排泄	予習：子どもの摂食嚥下・哺乳と離乳の指針 復習：保育所や学校での給食支援	伊藤
15	遊びとコミュニケーション、社会性の発達	予習：子どもの遊びと仕事　復習：自立就労に至る道筋	伊藤
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
事例報告などのレポートと実践報告で評価します。			100%

授業科目名	血液学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	藤原　牧子		担当教員	藤原　牧子	
科目ナンバリング	HR20MHSA003	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

血液は赤血球、白血球、血小板の細胞成分と血漿部分とからなり、生命維持に必須の役割を担っている。この講義では血液学の基礎知識として血液の血球成分と凝固・線溶因子について、その構造や機能、疾患や治療について広く学修する。講義の後半では、臨床 / 研究領域に於ける血液学の考え方についてディスカッションの機会を設け、理解を深めると共に総合的な知識のまとめとしたい。

到達目標

血液学についての正しい知識に基づいて、臨床検査データや研究データを解釈することができる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

血液学を「使える知識」にするために、講義の時間外で健康番組や医学雑誌、インターネットなどを活用し、多方面からの情報収集に努めてください。

教科書

なし　講義で使用する資料はその都度配布する。

参考書

なし　必要があれば講義時間内に紹介する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7 階職員室/ 水・木・金曜日 17:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	血液学入門　血液の役割・造血	予習 : 血液学の定義を調べる (2 時間)　復習 : 講義内容について各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
2	赤血球の構造・生理	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
3	赤血球系疾患	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
4	白血球の役割、細胞回転	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
5	免疫のしくみ	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
6	造血器疾患①	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
7	造血器疾患②	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
8	造血器疾患の治療　分子標的療法	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
9	血小板の構造と機能	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
10	血小板の数的異常・血小板機能異常症	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
11	凝固・線溶のしくみ	予習 : 前回までの内容を振り返る (2 時間)　復習 : 講義内容について、各自専門領域との繋が	藤原

		りを考える。(2 時間)	
12	出血傾向と血栓性素因	予習:前回までの内容を振り返る(2 時間)　復習:講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
13	各種血液検査と異常値の出るメカニズム①	予習:前回までの内容を振り返る(2 時間)　復習:講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
14	各種血液検査と異常値の出るメカニズム②	予習:前回までの内容を振り返る(2 時間)　復習:講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
15	各種血液検査と異常値の出るメカニズム③	予習:前回までの内容を振り返る(2 時間)　復習:講義内容について、各自専門領域との繋がりを考える。(2 時間)	藤原
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レポート〈DP①〉　＊テーマ、書式等については授業内に説明します　＊評価基準:ルーブリックを提示します　【フィードバック方法】　ルーブリック評価の結果とともに必要によりコメントを付記して返却する。			100%

授業科目名	運動器系理学療法学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎	
科目ナンバリング	HR20MHSA005	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

運動器疾患に対する保存療法および観血療法後の理学療法のアップデートな話題を取り上げ、実習および議論し、臨床応用可能な技術とする。

到達目標

・最新の運動器理学療法の端緒を知る（運動器が専門ではない理学療法士・作業療法士）　・最新の運動器理学療法の理論を知り、実践できる。（運動器理学療法の専門家）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業外での積極的な論文抄読および実践を求めます。　履修する際には事前にスケジュールなどを調整するため、必ず相談に来てください。

教科書

「見える！」運動器リハビリテーション（文光堂）

参考書

特に指定なし

研究室／オフィスアワー

E 棟４F17 研究室　月１限　もしくはメールにて受け付けます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	最新研究の紹介	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
2	最新の論文紹介およびディスカッション	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
3	最新の論文紹介およびディスカッション	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
4	最新の論文紹介およびディスカッション	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
5	エコーガイド下運動療法	エコー画像の解析（2h）	工藤，河西，中田
6	エコーガイド下運動療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
7	エコーガイド下運動療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
8	エコーガイド下運動療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
9	エコーガイド下運動療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
10	エコーガイド下徒手療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
11	エコーガイド下徒手療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
12	エコーガイド下徒手療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
13	エコーガイド下徒手療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
14	エコーガイド下徒手療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
15	エコーガイド下徒手療法	英語論文の抄読（2h）	工藤，河西，中田
16			
17			

18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
講義中の課題と討論の状況を持って判定します。			課 題　90 % 討論 10%

授業科目名	難病リハビリテーション特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子／東　泰弘	
科目ナンバリング	HR20MHSA006	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

多くの疾患がある中、パーキンソン病／精神科疾患／リウマチ／高次脳機能障害に焦点を置き、疾患の特性・治療学の実際・リハビリテーションの実際・ＡＤＬやＱＯＬに至る様々な視点から講義を組み立てる。

到達目標

神経筋難病における詳細や実際を知り、リハビリテーション分野における、作業療法的アプローチについて理解する。現状とともに、将来的な課題や研究の必要性・課題を模索できるように思考する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

予習復習を必ず行うこと

教科書

特に定めない

参考書

適宜、参考資料など配布、紹介

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ニューロリハビリテーションの考え方	予習：ニューロリハビリテーションについて予習しておくこと（2 時間）　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
2	ニューロリハビリテーションの適応	予習：ニューロリハビリテーションについて予習しておくこと（2 時間）　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
3	神経・筋難病（パーキンソン病）の理解とリハビリテーション	予習：パーキンソン病について予習しておくこと（2 時間）　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
4	神経・筋難病（パーキンソン病）のリハビリテーションの実際	予習：パーキンソン病について予習しておくこと（2 時間）　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
5	神経・筋難病（脊髄小脳変性症）の理解とリハビリテーション	予習：脊髄小脳変性症について予習しておくこと（2 時間）　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
6	神経・筋難病（脊髄小脳変性症）の理解とリハビリテーション	予習：脊髄小脳変性症について復習しておくこと（2 時間）　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
7	精神科疾患の理解とリハビリテーション	予習：精神疾患および心身機能について予習しておくこと（2 時間）　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
8	リウマチの理解とリハビリテーション	予習:リウマチについて予習しておくこと(2 時間)　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
9	リウマチの理解とリハビリテーション	予習:リウマチについて予習しておくこと(2 時間)　復習：授業のまとめを行うこと（2 時間）	橋本
10	脳卒中の理解とリハビリテーション（脳の機能解剖および脳画像の理解）	予習：脳の解剖学および脳画像についての予習（2 時間）　復習：授業についてまとめること（2 時間）	東
11	脳卒中の理解とリハビリテーション（高次脳機能障害の評価と支援）	予習：高次脳機能障害についての予習（2 時間）復習：授業についてまとめること（2 時間）	東
12	脳卒中の理解とリハビリテーション（脳卒中患者の観察の仕方）	予習：動作観察についての予習（2 時間）　復習：授業についてまとめること（2 時間）	東
13	脳卒中の理解とリハビリテーション（支援方法論）	予習：脳卒中の支援方法についての予習（2 時間）　復習：授業についてまとめること（2 時	東

		間）	
14	脳卒中の理解とリハビリテーション（脳卒中とADL）	予習：脳卒中と ADL の関連についての予習（2時間）　復習：授業についてまとめること（2時間）	東
15	脳卒中の理解とリハビリテーション（研究手法）	予習：脳卒中に関連する研究についての予習（2時間）　復習：授業についてまとめること（2時間）	東
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
１．授業への取り組み姿勢及びレポートなどにて評価			1.10%

授業科目名	現代臨床鍼灸学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁	
科目ナンバリング	HR20MHSA009	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

現代医療のパラダイムの中で鍼灸の施術や臨床研究を行う場合、どのようなルールに則って実施する必要があり、どのような鍼灸の特殊性に留意すべきなのか。この授業では、この疑問に答えるために鍼灸の有効性・安全性・費用対効果を検証した優れた過去の論文をレビューする。この過程を通して鍼灸のエビデンスの現状、検証上の問題点、より効率的で再現性の高い治療技術などを探るとともに、この領域における課題について考察する。

到達目標

１．現代医療と鍼灸のパラダイムの違いが説明できる。　２．現代医療のパラダイムにおける鍼灸の治療法と検証法の基本がわかる。　３．鍼灸の有効性・安全性・費用対効果のエビデンスの概要を理解している。　４．鍼灸の臨床研究に関する課題について概説できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

データベース検索と文献読解による情報収集・抽出の能力が求められる。得意でない学生は授業の予習復習で少しずつ習得していただきたい。

教科書

なし（必要に応じて資料を配布する）

参考書

必要に応じて授業中に紹介する

研究室／オフィスアワー

月水木の５～６限目

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	西洋医学と東洋医学のパラダイム	医療概論関連図書チェック	山下
2	Evidence-Based Medicine と鍼灸	EBM の基本的知識を確認	山下
3	臨床研究方法論と鍼灸①	各種研究デザインの確認	山下
4	臨床研究方法論と鍼灸②	各種研究デザインの確認	鍋田
5	臨床研究方法論と鍼灸③	各種研究デザインの確認	増山
6	コクランライブラリーと鍼灸	コクランライブラリーのサイト検索・閲覧	山下
7	診療ガイドラインと鍼灸	Minds サイトの検索・閲覧	山下
8	リスクマネジメントと鍼灸	鍼灸安全性関連の文献検索	山下
9	医療保険と鍼灸	医療システムの基本的知識の確認	山下
10	医療資格と鍼灸	鍼灸師の資格制度関連文書のチェック	山下
11	海外の医療機関における鍼灸	PubMed および各国鍼灸団体サイトの検索･閲覧	山下
12	最新論文講読①	英単語・文法チェック	山下/増山
13	最新論文講読②	英単語・文法チェック	山下/増山
14	最新論文講読③	英単語・文法チェック	山下/増山
15	最新論文講読④	英単語・文法チェック	山下/増山
16			

17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①授業中の討論内容、②レポート			①50　　% ②50%

授業科目名	シミュレーション医工学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄／稲田　慎	
科目ナンバリング	HR20MHSA017	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

理論的に生体現象を理解する上で数式を用いた数学モデルを構成することは有用である。しかし、生体現象は一般にきわめて複雑であり、数学モデルの構成だけでは十分とは言えない。そこで、可視化を含めたコンピュータシミュレーションが有効な手段となる。心臓の電気現象を主題に、先端的なシミュレーション医工学を学ぶ。

到達目標

電気生理学の基礎知識を基盤に、心臓の電気現象を理解する。さらにプログラム作成を体験して、可視化など画像処理含めたプログラミングの素養・技術を身につける。心房細動を中心に不整脈疾患についてのディテールを得る。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

不整脈現象の複雑さと奥深さについて理解して欲しいと思います。なるべく、最新の研究内容に触れるところまで進めたいと思います。

教科書

無し。講義資料を配布する。

参考書

稲田紘，児玉逸雄，佐久間一郎，中沢一雄 編著，なぜ不整脈は起こるのか　ー心筋活動電位からスパイラルリエントリーまでー，コロナ社，２００６年

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階研究室 20/金曜日９時～１０時３０分　稲田：C 棟 7 階研究室 14/月曜日１０時４０～１２時１０分

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	不整脈のあらましと最近の不整脈研究の概観ーいま不整脈研究が面白いー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
2	なぜ不整脈は起こるのか　ーその基本的なメカニズムー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
3	不整脈心電現象モデリングによる解析表示とその実験的検討　ー不整脈による突然死を防ぐ：ここまできた診断と治療ー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
4	心臓興奮膜電位計測　ー高輝度発光ダイオードを用いる心臓興奮光マッピング計測ー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
5	仮想電極分極現象の計測と解析　ー高空間・時間分解能光学マッピングシステムの応用ー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
6	高速度ビデオカメラで不整脈をみる　ースパイラルリエントリーのダイナミクスと抗不整脈の効果ー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
7	心房細動はどのようにして発生するか　ー基本的な考え方と現在のコンセンサスー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
8	ヒトでのスパイラルリエントリーは実際に起こるのか　ーバスケットカテーテルによるヒトでの観測ー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
9	不整脈をわかりやすく表現する　ーコンピュータグラフィックスの基礎と可視化技術ー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
10	スーパーコンピュータ上でつくった不整脈ーバーチャルハート（仮想心臓）におけるスパイラルリエントリー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
11	頻脈性不整脈の細動化に迫る　ースパイラルリエントリーの分裂についてー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
12	心筋の細胞外電位を考える　ーペーシングから電気ショックまでー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
13	不整脈の起こりやすさとは何か　ー心筋受攻性を考える：心筋受攻性のバイドメイン・シミュレーションー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
14	シミュレーションにより致死性不整脈のリスクを評価する　ーその具体的戦略ー	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎

15	不整脈シミュレーションはどこまで真実か ー有用性から限界までー	予習：特になし　　復習：講義資料の確認 レポート作成　学習所要時間の目安：4時間	中沢　一雄 稲田　慎
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①平常点評価＜DP①④＞　②課題評価（レポート提出、内容など）＜DP①④＞　提出されたレポートについてディスカッションを行う。			①60% ②40%

授業科目名	医療画像解析学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	小縣 裕二		担当教員	小縣 裕二	
科目ナンバリング	HR20MHSA018	科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日・時限	木曜1限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修・選択	選択

授業概要

現代医療においてX線CT、MRに代表される画像診断は不可欠なものとなっている。医療画像解析学特論では臨床におけるX線画像検査で得られるデータから疾患理解に有用な情報を識別するためのX線画像の形成過程を学び、X線画像から得られる情報を適正に表現する方法を理解する。さらに病態解析に効果的な検査手法を構築する能力を身につける。

到達目標

１．X線画像の形成過程を理解し、説明できる。<DP①>　２．X線画像から得られる情報について説明できる。<DP①>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

特に指定しないが、論文、記事、関連資料等を適宜紹介(配布)します。

参考書

特に指定しないが、論文、記事、関連資料等を適宜紹介(配布)します。

研究室／オフィスアワー

小縣　裕二／さくら棟5階研究室1　適宜対応する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	画像解析学について	予習：画像から得られる情報について調べて置く(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
2	X線画像解析①（X線画像の画像形成１）Focal Spot	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
3	X線画像解析②（X線画像の画像形成２）Tube Output	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
4	X線画像解析③（X線画像の画像形成３）Mottle	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
5	X線画像解析④(X線画像の画像形成4)　Beam Quality	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
6	X線画像解析⑤（X線画像の画像形成 5）Contrast	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
7	X線画像解析⑥（X線画像の画像形成 6）Exposure Time	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
8	X線画像解析⑦(X線画像の画像形成7)　Heel Effect	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
9	X線画像解析⑧（X線画像の画像形成８）Grids	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
10	X線画像解析⑨（X線画像の画像形成 9）Resolution	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣
11	X線画像解析⑩（X線画像の画像形成 10）Artifacts	予習：X線画像の画像形成について調べておく(2時間)　復習：ノートを中心に授業内容を振り返りレポートにまとめる。(2時間)	小縣

12	X線画像解析⑪（ディスカッション１）	予習：ディスカッション出来るように準備を行う　復習：ディスカッション、プレゼンテーションの内容をレポートにまとめる	小縣
13	X線画像解析⑫（ディスカッション２）	予習：ディスカッション出来るように準備を行う　復習：ディスカッション、プレゼンテーションの内容をレポートにまとめる	小縣
14	X線画像解析⑬（プレゼンテーション）	予習：これまで勉強した内容をプレゼンテーションできるように準備を行う　復習：プレゼンテーションの内容をレポートにまとめる	小縣
15	X線画像解析⑭（ディスカッション３）	予習：ディスカッション出来るように準備を行う　復習：ディスカッション、プレゼンテーションの内容をレポートにまとめる	小縣
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

成績評価方法と基準	割合
①　授業内容および課題を期日までにレポートにまとめ提出する。<DP①>　②　プレゼンテーションによる評価	①80　% ②20%

授業科目名	補完統合ヘルスケア特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／森 美侑紀	
科目ナンバリング		科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 2 限、金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

統合医療という言葉が知られるようになったが、その定義、概念、臨床応用、および学問体系は統一されていない。統合医療を理解し発展させるために、現代医療と補完療法・東洋伝統医療それぞれの長所と短所を理解した上で、科学的エビデンスと患者の価値観の両者を重視することの重要性を解説する。また、統合医療の重要な構成要素である補完療法の主要なものについて概説し、それぞれの有効性と安全性について批判的吟味を行う。最後に、個々の学生のもつ医療資格において、統合医療にどのような形で関与できるかを考える。

到達目標

統合医療の概念、現状、および課題について理解する。　なぜ統合医療が必要という意見があるのか、その背景が説明できる。　補完療法の主な治療法について種類と概要の説明、および批判的吟味ができる。　自身の医療資格でどのように統合医療に関与すべきか、自分なりの考えが持てる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

患者は様々な療法を受け、医薬品や健康食品を購入している。自分の持っている医療資格に関係なく、患者の立場で必要な知識やセンスを身に着けてほしい。

教科書

なし。関連学術雑誌に掲載された論文などを、必要に応じて紹介する。

参考書

医学雑誌に掲載された論文　代替治療のトリック　サイモン・シン、エツァート・エルンスト　新潮社

研究室／オフィスアワー

山下　仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	代替医療・補完医療・統合医療の定義と概念	自分または家族の補完療法・商品の利用状況を調べる	山下
2	代替療法・補完療法・統合医療の現状と背景	自分または家族が利用している療法や商品について、なぜ使用しているのかを考える	山下
3	統合医療と EBM	自分または家族が利用している療法や商品について、効果と安全性がどの程度説明されているのか調べる	山下
4	代替療法・補完療法・統合医療とプラセボ効果	自分または家族が利用している療法や商品について、それぞれプラセボ効果がどれくらい含まれるか推定する	山下
5	統合医療とスピリチュアル	自分または家族が難治性の病気になったとき、医療に何を求めるか仮想する	山下
6	各種補完療法①東洋伝統医療	附属図書館にある書籍・雑誌・資料で、東洋伝統医療に関する基本情報を調べる	山下
7	各種補完療法②ハーブ・サプリメント	附属図書館にある書籍・雑誌・資料で、ハーブ・サプリメントに関する基本情報を調べる	山下
8	各種補完療法③アロマセラピー	附属図書館にある書籍・雑誌・資料で、アロマセラピーに関する基本情報を調べる	森
9	統合医療とビジネス・利益相反	附属図書館にある学術雑誌に掲載されている代替医療の有効性検証に関する原著論文をひとつ選んで、その利益相反の関与について考える	山下
10	統合医療と NBM	日本国内の統合医療と保健医療の現状を知る	山下
11	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告①	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	山下
12	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・	山下

	告②	エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	
13	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告③	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	山下
14	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告④	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	山下
15	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告⑤	今まで授業で習ってきた知識を総合して、自身の医療資格が患者を主体とした統合医療にどのように関与できるのか考える	山下
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①講義におけるディスカッションの内容　②提出レポートの内容			①30% ②70%

授業科目名	放射線安全管理学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	今井 信也		担当教員	今井 信也	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

放射線安全管理学特論は、放射線の基礎知識と安全管理の最新技術を学ぶことを目的としている。授業では、放射線の物理的性質、生物影響、防護原則、測定技術、リスク評価、事故対応などを扱う。講義、ディスカッション、実習を通じて、医療、産業、研究分野での放射線利用と安全管理を深く理解し、リスクコミュニケーションの方法も学ぶ。

到達目標

1. 放射線の基礎知識の習得　2. 放射線の安全管理に関する最新の知見と技術の学習　3. 放射線のリスク評価と管理の方法の理解

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. グループ討議には積極的に参加すること。　2. 私語は慎むようこと。　3. 初回授業で実施の詳細を説明します。

教科書

放射線安全管理学（改訂 3 版）日本放射線技術学会 監修　オーム社　ISBN：978-4-274-22418-8

参考書

スリム・ベーシック　放射線安全管理学　福士政広　メジカルビュー社　ISBN：978-4-7583-2059-7

研究室／オフィスアワー

桜棟 5F　今井研究室／随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーションと放射線の基礎知識	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
2	放射線の生物影響と防護の基本原則	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
3	放射線測定技術とモニタリング	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
4	医療における放射線の利用と安全管理	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
5	産業における放射線の利用と安全管理	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
6	研究分野における放射線の利用と安全管理	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
7	放射線リスク評価とコミュニケーション	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
8	ケーススタディとグループディスカッション	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
9	放射線事故の対応と緊急時の管理	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
10	最新の放射線安全管理技術	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
11	放射線安全管理に関する書籍や論文の検索	予習：参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井

12	グループプロジェクト作業	予習：グループプロジェクトの事前学習　復習：グループプロジェクトのスライドを作成する	今井
13	グループプロジェクト発表	予習：グループプロジェクトのスライドを事前学習　復習：グループプロジェクトのスライドを自己評価する	今井
14	まとめ	予習：全参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
15	総括ディスカッション	予習：全参考資料や配布資料による事前学習　復習：講義で示した内容を理解しレポートを作成する	今井
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
課題レポートによる評価			100%

授業科目名	診療画像検査学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功／星野　貴志／渡邊　翔太	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー 該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

画像診断は現在の医療に不可欠のものであり、メディカルスタッフには正確かつ良質な医療画像を提供できる撮影技術が要求される。チーム医療の推進とともに、メディカルスタッフの業務拡大が計られ、撮影技術に加えて画像解析、すなわち画像読影の能力が求められている。「診療画像検査学特論」は、医師の要求に対し、適切かつ良質の画像を提供する知識と技術の修得を目標とする。画像処理・画像解析、画像診断に伴って必要な病態生理学、臨床解剖学を理解し、画像診断における読影補助について学修する。

到達目標

1. 適切な診療画像を医師に提供するための画像診断に必要な知識と専門技術を身につける。＜DP①③④＞　2. 画像診断における読影補助を実践するための基礎的な能力を構築する。＜DP①③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 遅刻早退、講義中の私語等の迷惑行為は厳禁とする。迷惑行為が正されない場合は退室を命じる。　2. X 線撮影技術、X 線 CT 検査、MRI 検査等の画像検査技術の基本的な知識は習得していることを前提に講義を進める。

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

研究室／オフィスアワー

山口：さくら棟 5 階研究室 2　　随時　星野：さくら棟 5 階共同研究室　　随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	総論　（診療画像検査学特論に必要な基礎知識）	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
2	骨・関節①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
3	骨・関節②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
4	頭部・頭頸部①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
5	頭部・頭頸部②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
6	脊椎・脊髄①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
7	脊椎・脊髄②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
8	胸　部①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
9	胸　部②	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
10	腹部・骨盤部①	予習：学修内容を調べておく。(2 時間)　復習：授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野

11	腹部・骨盤部②	予習:学修内容を調べておく。(2 時間)　復習:授業内容を復習し、自分だけのオリジナルテキストを作成する。(2 時間)	山口　星野
12	提示症例に対するグループワーク①	予習:学修内容を調べておく。(2 時間)　復習:グループワークをまとめ、プレゼンテーションの準備を進める。(2 時間)	山口　星野
13	提示症例に対するグループワーク②	予習:学修内容を調べておく。(2 時間)　復習:グループワークをまとめ、プレゼンテーションの準備を進める。(2 時間)	山口　星野
14	提示症例に対するグループワーク③	予習:学修内容を調べておく。(2 時間)　復習:グループワークをまとめ、プレゼンテーションの準備を進める。(2 時間)	山口　星野
15	プレゼンテーション	予習:プレゼンテーションの準備を進める(2 時間)　復習：プレゼンテーションの内容をレポートにまとめる。(2 時間)	山口　星野
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1. 授業内容および課題を期日までにレポートにまとめ提出する。<DP①>　2. プレゼンテーションによる評価<DP①④>			1. 70%　2. 30%

授業科目名	質的研究方法論（保健医療学専攻）				
主担当教員	伊藤　直子		担当教員	伊藤　直子／大谷　尚	
科目ナンバリング		科目区分	共通科目	ディプロマポリシー 該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	集中講義
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

今日、医療は多様な課題を抱えている．とくに、今日の医療は生物・医学的な観点からだけ構成されるのではなく、社会・文化的要因や背景によって構成されている．医療のこのような側面へのアプローチとして必要なのが質的研究である．この授業では質的研究について理解し、それを実践するための研究トレーニングを行う．

到達目標

1．質的研究方法論について理解する．　2．医療における質的研究のデザインについて理解し、実際にプロトコル（研究計画書）が書けるようになる．　3．質的データの分析について理解し、実際に SCAT を使った質的データ分析ができるようになる．

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.この集中講義はグループ作業が中心となるので、グループに迷惑をかけないためにも呈示された事前学習課題を完遂して授業に参加すること　2.延べ 3 日間の集中講義として緊密に実施するので部分参加や部分不参加を絶対にしないこと　3.質的研究は「ことば」で分析を行うものであるため、年度当初から授業参加までにことばを大切にし、ことばをきちんと使う習慣を少しでも身に付けるようにしておくこと

教科書

大谷尚(2019)質的研究の考え方：研究方法論から SCAT による分析まで．名古屋大学出版会　※購入方法は履修登録後に案内します。

参考書

参考文献として論文数本を事前学習課題として示す

研究室／オフィスアワー

講義の 2 週間程度前からメールによる参加者相互の自己紹介を開始する予定であり、そこで参加者から疑問や質問を出してもらい、講師はそれに答える．また講義後にもメール等で質問を受け付ける．

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	医療における質的研究の概説	予習：1-5 を 1 日目に実施する．1 日目までに教科書指定部分と指定論文を読むこと．また医療における量的研究について呈示した範囲で学習しておくこと．	大谷
2	医療における質的研究デザイン（質的研究プロトコル作成）		大谷
3	質的研究プロトコル作成作業		大谷
4	質的研究プロトコル作成作業		大谷
5	相互発表と相互評価	復習：配付資料や共同成果物を見て 1 日目の学習を振り返り、2 日目以降の自分の課題を持っておくこと．	大谷
6	SCAT と SCAT による質的データ分析の詳説	予習：6-15 を 2-3 日目に実施する．2 日目までに教科書指定部分と指定論文を読むこと．とくに SCAT による質的データ分析について外観を得ておくこと．	大谷
7	SCAT による分析作業：テクストを読みながら<5>を書く		大谷
8	SCAT による分析作業：テクストを読みながら<1>を書く		大谷
9	SCAT による分析作業：テクストを読みながら<2>を書く／SCAT の<3><4>についての講義		大谷
10	SCAT による分析作業：テクストを読みながら<3>を書く		大谷
11	SCAT の<4>についての講義／SCAT による分析作業：テクストを読みながら<4>を書く		大谷
12	SCAT による分析作業：テクストを読みながら<4>を書く		大谷

13	SCAT による分析作業：<4>からストーリー・ラインを書く		大谷
14	SCAT による分析作業：ストーリー・ラインから理論記述を書く		大谷
15	相互発表と相互評価	復習：配付資料と共同成果物を見て授業全体を振り返り、自分の質的研究をどのように実施するかを検討すること.	大谷
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

成績評価方法と基準	割合
1. 授業への参加と作業への貢献　2. 授業での共同成果物　3. 全出席を必要とする	1. 50% 2. 50%

授業科目名	リハビリテーション教育学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	堀　竜次		担当教員	堀　竜次／仲本　正美／堤　真大／松下　太／高木　悠哉	
科目ナンバリング		科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

リハビリテーション養成校の教員あるいは臨床実習指導者として学生教育を行う上で必要な教育に関連する知識や指導方法を修得する。

到達目標

リハビリテーション教育の特徴と教育方法を理解し、教育設計ができる。臨床実習における実習生の特徴、実施方法や評定方法を理解する。＜DP②③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

下記授業計画は時系列ではなく、授業内容はあくまでも教員ごとに展開されるので注意すること。

教科書

教科書は使用しない。　資料は随時配布する。

参考書

丸山仁司・堀本ゆかり　編著.リハビリテーション専門職のための教育学、医歯薬出版　ISBN978-4-263-26639-7　中川法一編集.セラピスト教育のためのクリニカル・クラークシップのすすめ、三輪書店　ＩＳＢＮ978－4－89590－646－3

研究室／オフィスアワー

堀：金曜日 3・4 限目（研究室）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	リハビリテーション専門職の教育の特徴	予習：リハビリテーション専門職の教育の特徴について事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にリハビリテーション専門職の教育の特徴について整理し理解する（120 分）	堀
2	教育心理学の基礎：行動理論的アプローチ	予習：教育における行動心理学的アプローチについて調べておく（120 分）　復習：医療現場において活用できる行動心理学についてまとめる（120 分）	高木
3	教育心理学の基礎：認知理論的アプローチ	予習：教育における認知心理学的アプローチについて調べておく（120 分）　復習：医療現場において活用できる認知心理学についてまとめる（120 分）	高木
4	教育心理学の基礎：動機づけ	予習：心理学的な動機付けについて調べておく（120 分）　復習：リハビリテーションにおける動機付けの重要性とその効果についてまとめる（120 分）	高木
5	臨床実習制度の理念と概要	予習：指定規則改正の経緯を調べておく　復習：臨床実習制度の理念と概要を復習する	松下
6	臨床実習のための教育方法論	予習：クリニカルクラークシップの概要について調べておく　復習：診療参加型臨床実習の方法論について復習する	松下
7	臨床実習の到達目標と修了基準①	予習：臨床実習前後の評価指標について事前に調べておく（120 分）　復習：講義内容を基に臨床実習前後の評価指標について整理し理解する（120 分）	仲本
8	臨床実習の到達目標と修了基準②	予習：臨床実習中の評価指標について事前に調べておく（120 分）　復習：講義内容を基に臨床実習中の評価指標について整理し理解する（120 分）	仲本
9	臨床実習プログラム立案	予習：臨床参加型実習について事前に調べておく（120 分）　復習：講義内容を基に臨床実習プログラムを立案する（120 分）	仲本

10	生涯学習～自律性を伸ばす教育と学習～	予習：生涯学習について調べておく(120 分) 復習：講義を振り返り、自律性を伸ばす教育と学習について整理し理解する(120 分)	堀
11	キャリア教育・教育研修	予習：キャリア教育・教育研修について事前に調べておく（120 分）　復習：講義資料を基にキャリア教育・教育研修について整理し理解する（120 分）	堀
12	研究方法　研究法	予習：研究のデザインについて調べておく（120 分）　復習：講義資料を基に研究法について整理し理解する（120 分）	堤
13	研究方法　統計学	予習：研究で使用する統計法について調べておく（120 分）　復習：講義資料を基に統計学について整理し理解する（120 分）	堤
14	研究方法　研究法演習１	予習：研究法に関する課題を行う（120 分）　復習：演習内容について整理し理解する（120 分）	堤
15	研究方法　研究法演習２	予習：研究法に関する課題を行う（120 分）　復習：演習内容について整理し理解する（120 分）	堤
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
【成績評価】　１．各教員が行う学習状況の確認のためのレポートや小テストによる評価＜DP②③＞			1．100%

授業科目名	医療画像処理学特論（保健医療学専攻）				
主担当教員	垣本 晃宏		担当教員	垣本 晃宏／髙木 聡志	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜2限
授業形態		単位数	2単位	必修･選択	

授業概要

本講義では、医療画像処理の基礎理論から高度な解析技術までを学ぶとともに、専用解析ソフトウェアを用いた実践的スキルを習得することを目的とする。医療画像の前処理、特徴抽出、画像再構成などの基礎的な処理技術を理解し、3D 画像処理や動画像解析などの高度な技術の応用を探求する。また、近年急速に発展している Deep Learning を活用した医療画像解析の基礎と応用事例を学び、自らモデルを構築して解析を実施することで、最新技術の実践的理解を深める。これにより、医療画像処理技術を専門的に運用する能力を養成する。

到達目標

1. 医療画像処理の理論と技術的基盤を深く理解する 2. 解析ソフトウェアを用いた実践的な画像処理技術を習得する
3. Deep Learning を活用した医療画像解析の手法を理解し、モデル構築と解析を行う能力を身に付ける

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. 初回授業で単位認定・評価基準を説明する 2. 基本的なプログラミングスキル（Python 等）を習得する意欲を求める
3. 一部の演習で PC を使用するため、ICT スキルが必要である 4. 医療画像データの取り扱いに関して、個人情報保護に留意すること

教科書

なし 適宜、資料を配布する

参考書

なし 適宜、文献を紹介する

研究室／オフィスアワー

さくら棟 5F 共同研究室 髙木：火曜 16～17 時 satoshi_takagi@morinomiya-u.ac.jp 垣本：水曜 13～14 時 akihiro_kakimoto@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス、文献紹介	キーワード・重要語句の確認	髙木・垣本
2	■人工知能の定義と歴史	キーワード・重要語句の確認	髙木
3	■医療画像の基礎① ・DICOM 規格	キーワード・重要語句の確認	髙木
4	■医療画像の基礎② ・標本化、量子化とデータ量 ・ウィンドウイング	キーワード・重要語句の確認	髙木
5	■Deep Learning に必要な数学① ・微分と偏微分 ・確率と期待値	キーワード・重要語句の確認	髙木
6	■Deep Learning に必要な数学② ・線形代数（ベクトル、行列）	キーワード・重要語句の確認	髙木
7	■Deep Learning に必要な数学③ ・基礎統計量	キーワード・重要語句の確認	髙木
8	■Deep Learning に必要な数学④ ・単回帰と重回帰分析	キーワード・重要語句の確認	髙木
9	■医療画像処理の基礎 ・画像前処理、特徴抽出、画像再構成技術 ・ノイズ低減、エッジ検出、フィルタ処理の基本	キーワード・重要語句の確認	垣本
10	■高度な画像処理技術 ・3D 画像処理（ボリュームレンダリング、MPR） ・動画像解析（心臓や脳の機能的画像解析）	キーワード・重要語句の確認	垣本
11	■解析ソフトウェアの活用 ・医療画像解析ソフトウェア(例: ImageJ、Python-based ツール)の使用法	キーワード・重要語句の確認	垣本
12	■解析ソフトウェアの活用 ・実データを用いた演習	キーワード・重要語句の確認	垣本
13	■Deep Learning の基礎と応用 ・CNN を中心とした医療画像解析技術	キーワード・重要語句の確認	垣本
14	■Deep Learning の基礎と応用 ・医療画像分	キーワード・重要語句の確認	垣本

	類、セグメンテーションの実践演習		
15	■医療画像解析の応用事例　・医療診断支援システム（CAD）の実際　・AI を活用した医療現場での最新技術の動向	キーワード・重要語句の確認	垣本
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
課題およびレポートにて評価する			課題・レポート：　100%

授業科目名	看護実践方法開発特論（看護後期博士）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／吉村　弥須子／岩佐　由美／森　美侑紀	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

現代社会の健康問題を包括的に捉えたうえで、多様な看護専門分野における研究・実践の動向を多角的に分析し、人々の健康の増進、回復の促進、安寧のための新たな看護ケア方法の開発や理論開発による健康課題解決の可能性を探求する。

到達目標

１）多様な看護学専門分野における研究・実践の動向を多角的に分析し、研究開発の課題と方向性を概観する。　２）看護学における看護実践方法開発の課題を自己の研究疑問に引き付けて整理し、自己の研究課題を見出す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　１）担当教員によるオムニバス形式で行う。　２）原則として直接（事情によりリモートによる）対面授業とし、活発なディスカッションにより進行する。　３）最終回に「看護システム開発学特論」との合同セッションにより知の統合を図る。

教科書

１）指定せず、各担当教員が指定する資料又は文献を使用する。

参考書

１）指定せず、各担当教員が指定する資料又は文献を使用する。

研究室／オフィスアワー

外村：W331　水曜日 17:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
2	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
3	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
4	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
5	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
6	急性期看護学領分野おける看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
7	急性期看護学領分野おける看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
8	急性期看護学領分野おける看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
9	がん看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
10	がん看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
11	代替療法分野におけるケア研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	森
12	代替療法分野におけるケア研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	森
13	難病看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	岩佐
14	難病看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	岩佐
15	知の統合　:「看護システム開発学特論」との合同セッション	看護学における看護実践方法開発の課題を自己の研究疑問に引き付けて整理し、自己の研究課題の看護学研究上の位置と意義を確認する。	外村、吉村、森、岩佐

16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レジュメ、プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。			100%

授業科目名	補完統合ヘルスケア特論（看護博士前期）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／森 美侑紀	
科目ナンバリング		科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

統合医療という言葉が知られるようになったが、その定義、概念、臨床応用、および学問体系は統一されていない。統合医療を理解し発展させるために、現代医療と代替医療・東洋伝統医療それぞれの長所と短所を理解した上で、科学的エビデンスと患者の価値観の両者を重視することの重要性を解説する。また、統合医療の重要な構成要素である補完療法の主要なものについて概説し、それぞれの有効性と安全性について批判的吟味を行う。最後に、個々の学生のもつ医療資格において、統合医療にどのような形で関与できるかを考える。

到達目標

統合医療の概念、現状、および課題について理解する。　なぜ統合医療が必要という意見があるのか、その背景が説明できる。　補完療法の主な治療法について種類と概要の説明、および批判的吟味ができる。　自身の医療資格でどのように統合医療に関与すべきか、自分なりの考えが持てる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

患者は様々な療法を受け、医薬品や健康食品を購入している。自分の持っている医療資格に関係なく、患者の立場で必要な知識やセンスを身に着けてほしい。

教科書

なし。関連学術雑誌に掲載された論文などを、必要に応じて紹介する。

参考書

医学雑誌に掲載された論文　代替治療のトリック　サイモン・シン、エツァート・エルンスト　新潮社

研究室／オフィスアワー

山下　仁：東棟 24 研究室、月・火６時限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	代替医療・補完医療・統合医療の定義と概念	自分または家族の補完療法・商品の利用状況を調べる	山下
2	代替療法・補完療法・統合医療の現状と背景	自分または家族が利用している療法や商品について、なぜ使用しているのかを考える	山下
3	統合医療と EBM	自分または家族が利用している療法や商品について、効果と安全性がどの程度説明されているのか調べる	山下
4	代替療法・補完療法・統合医療とプラセボ効果	自分または家族が利用している療法や商品について、それぞれプラセボ効果がどれくらい含まれるか推定する	山下
5	統合医療とスピリチュアル	自分または家族が難治性の病気になったとき、医療に何を求めるか仮想する	山下
6	各種補完療法①東洋伝統医療	附属図書館にある書籍・雑誌・資料で、東洋伝統医療に関する基本情報を調べる	山下
7	各種補完療法②ハーブ・サプリメント	附属図書館にある書籍・雑誌・資料で、ハーブ・サプリメントに関する基本情報を調べる	山下
8	各種補完療法③アロマセラピー	附属図書館にある書籍・雑誌・資料で、アロマセラピーに関する基本情報を調べる	森
9	統合医療とビジネス・利益相反	附属図書館にある学術雑誌に掲載されている代替医療の有効性検証に関する原著論文をひとつ選んで、その利益相反の関与について考える	山下
10	統合医療と NBM	日本国内の統合医療と看護の現状を知る	山下
11	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告①	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	山下
12	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告②	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	山下

13	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告③	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	山下
14	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告④	補完療法をひとつテーマに挙げて、その概要・エビデンス・安全性を調べてレポートにまとめる	山下
15	各種補完療法の批判的吟味：院生による調査報告⑤	今まで授業で習ってきた知識を総合して、自身の医療資格が患者を主体とした統合医療にどのように関与できるのか考える	山下
成績評価方法と基準			割合
①講義におけるディスカッションの内容　②提出レポートの内容			①30% ②70%

授業科目名	看護研究方法（看護博士前期）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美／関口　敏彰／川添　英利子／小林　妙子／岩佐　由美／下岡　ちえ／寺田　美和子／西山　忠博／高木　悠哉	
科目ナンバリング		科目区分	共通基盤	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 3 限、水曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

看護実践の経験知を可視化し、看護の学問的発展を支えるのが看護研究である。緻密な看護研究により、看護実践の意味が論理的に説明され、質の高い看護実践のための新たな知見が創造され、やがて看護学としての理論的体系化に至る。看護研究を行うことは、看護専門職としての責務である。看護研究の課題は、実践・教育・管理など自己の看護活動の問題意識に根差した、具体的で現実的なものであることが重要である。　本科目では、現実的な問題意識に端を発して、その疑問や問題を研究的に解明し検証していくための科学的方法を学ぶ。大学院修士課程修了者には、高度な看護実践者として看護の質向上に寄与することが期待されている。したがって、本科目での学習を看護学特別研究へと繋ぐことにより、看護研究を自律して実施する能力、研究の成果を看護実践に活用し、評価する能力の獲得を目指す。

到達目標

１）看護研究の目的と意義を理解する。　２）学習と研究の相違､問題解決過程と研究過程の相違をふまえ､看護研究のプロセスを理解する。　３）文献検索の方法を理解し実施できる。　４）文献クリティークの方法を理解し、質の高い論文からエビデンスを抽出できる。　５）研究方法の種類を概観し、研究テーマ・目的に沿った研究デザイン・研究方法の適用について理解する。　６）統計ソフトを用いて、基本的な統計解析(χ２乗検定､t 検定､相関係数)の方法を習得できる。　７）主な質的分析の種類と適用について理解し､質的機能的内容分析の方法を習得できる。　８）人を対象とする研究の倫理の基盤知識を習得できる（eAPRIN の受領証を取得する）　９）看護研究の実施に伴って発生し得る倫理的問題を想定でき、倫理的問題を回避するための倫理的配慮の具体的方法を提示できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　演習方式で行う。評価は、演習でのディスカッション、発表内容、課題レポートの内容等により、総合的に判断する。

教科書

１）黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step（第 6 版）,医学書院,2023

参考書

１）D.F.ポーリット,C.T.ベック,（近藤潤子訳）：看護研究 第 2 版―原理と方法,医学書院,2010　２）ホロウェイ,ウィーラー,（野口美和子訳）：ナースのための質的研究入門（第 2 版）,医学書院､2006　３）石井京子,多尾清子：ナースのための質問紙調査とデータ分析,医学書院,2002　４）看護と研究　根拠に基づいた実践　南江堂

研究室／オフィスアワー

＊メール等でアポイントメントをとって日程調整してください　内田宏美：w239/hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp　下岡ちえ：w338/chie_shimooka@　関口敏彰：s12/sekiguchi@　岩佐由美：w236/yumi_iwasa@　西山忠博：s13/tadahiro_nishiyama@　寺田美和子：w336/miwako_terada@　高木悠哉：E4/yuya_takaki@

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	看護学研究概説：看護学の発展と看護研究　・問題解決から研究へ　・看護現象の概念化と看護研究のデザイン　・主な研究方法の特徴と看護研究への適用	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し､研究活動への準備を行う。	内田宏美
2	看護学研究概説：看護学の発展と看護研究　・問題解決から研究へ　・看護現象の概念化と看護研究のデザイン　・主な研究方法の特徴と看護研究への適用	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し､研究活動への準備を行う。	内田宏美
3	研究における文献検討の意義と活用　・文献検索法	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し､研究活動への準備を行う。	下岡ちえ
4	研究における文献検討の意義と活用　・文献検索法	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し､研究活動への準	下岡ちえ

		備を行う。	
5	研究における文献検討の意義と活用　・文献クリティーク	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	下岡ちえ
6	研究における文献検討の意義と活用　・文献クリティーク	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	下岡ちえ
7	疫学研究総論　：横断研究と縦断研究、コホート研究	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	関口敏彰
8	疫学研究総論　：横断研究と縦断研究、コホート研究	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	関口敏彰
9	量的研究（1）　データ収集　：サンプリング・質問紙作成・分析準備	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
10	量的研究（1）　データ収集　：サンプリング・質問紙作成・分析準備	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
11	量的研究（2）　データ分析①：記述統計	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
12	量的研究（2）　データ分析①：記述統計	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
13	量的研究（3）　データ分析②：2 変量の解析	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
14	量的研究（3）　データ分析②：2 変量の解析	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
15	量的研究（4）　データ分析③：多変量の解析	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
16	量的研究（4）　データ分析③：多変量の解析	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
17	量的研究（5）　データ分析④：関係の分析	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
18	量的研究（5）　データ分析④：関係の分析	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	岩佐由美・高木悠哉
19	質的研究（1）：質的帰納的アプローチ①　サンプリング、データの算出	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
20	質的研究（1）：質的帰納的アプローチ①　サンプリング、データの算出	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
21	質的研究（2）質的帰納的アプローチ②　データ分析（コード化）	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。 復習：学習内容を整理し、研究活動への準	西山忠博・寺田美和子

		備を行う。	
22	質的研究（２）質的帰納的アプローチ②　データ分析（コード化）	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
23	質的研究（３）：質的帰納的アプローチ③　データ分析（カテゴリ化）	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
24	質的研究（３）：質的帰納的アプローチ③　データ分析（カテゴリ化）	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
25	質的研究（４）：質的帰納的アプローチ④　データ表示、結果の厳密性	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
26	質的研究（４）：質的帰納的アプローチ④　データ表示、結果の厳密性	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
27	質的研究（５）：質的帰納的アプローチ④　データ表示、結果の厳密性	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
28	質的研究（５）：質的帰納的アプローチ④　データ表示、結果の厳密性	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	西山忠博・寺田美和子
29	研究計画の立案と研究審査申請への準備　・看護研究における倫理的問題　・看護研究における人権侵害予防のための具体的配慮の方法	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	内田宏美
30	研究計画の立案と研究審査申請への準備　・看護研究における倫理的問題　・看護研究における人権侵害予防のための具体的配慮の方法	予習：テキスト及び関連資料の該当箇所を読み込んで概要を掴んでおき、疑問を整理して臨む。　復習：学習内容を整理し、研究活動への準備を行う。	内田宏美
成績評価方法と基準			割合
レジュメ、プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。			各担当教員の単元ごとの評価の合算で評価する：100%

授業科目名	看護倫理特論（看護博士前期）				
主担当教員	武 ユカリ		担当教員	武 ユカリ／齋藤 雅子	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

現在、病院・施設・在宅・地域などのヘルスケアの臨床現場において、クライエント（患者・利用者などケアの対象となる人）中心の医療・ケアを行うべきという認識が普及しており、クライエントの自律性を尊重した最善の医療・ケアを検討し、実施することが求められている。しかしながら、“クライエントにとっての最善”を検討することは容易でない。なぜならクライエントの意思が明確でない場合がある、本人とその家族の多様な価値観がある、病状経過について不確実性がある、様々な専門性を持つヘルスケアに関わる多職種チームや、地域の非専門職を含めた支援者との協力を要する場合があるなど、複雑な状況があるからだ。　本科目ではこのような臨床現場で看護のスペシャリストとしての実践を行うため、倫理的概念、臨床における倫理的問題とその問題を検討する手法を学び、生命倫理・医療倫理・看護倫理に関する基礎的知識を習得して問題解決力・コンサルテーション力を養う。

到達目標

１） 生命倫理・医療倫理に関する基本的知識を習得する。　２） ヘルスケアの臨床現場で起こる倫理的課題と対応するための理論・概念について理解する。　３） 看護職者を対象とした倫理綱領の基本的内容を理解する。　４） 倫理的課題に対応するためのヘルスケアチームの専門性、体制、組織文化について理解する。　５） 看護の各専門分野における倫理的課題に対する問題解決・コンサルテーションの方法を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

次の二つの形式で授業を。　① 臨床における出来事、倫理的課題について各回で学んだ知識をもとにディスカッションを行い、各回での学びと自身の意見をレポートにまとめる。(A4 用紙 1500 字程度、次回の講義で提出。第 15 回のみ講義終了後 1 週間後に提出とする。)　② 看護職としての臨床体験や時事ニュース、文献などから、各回のテーマに沿った臨床における倫理的課題について発表する。

教科書

手島恵監、看護職の基本的責務、日本看護協会出版会、2023　鶴若麻里・長瀬雅子編、看護師の倫理調整力、日本看護協会出版会、2022

参考書

赤林朗、入門・医療倫理改訂版、勁草書房、2017　赤林朗、蔵田伸雄、児玉聡監訳、臨床倫理学、株式会社新興医学出版社、2006　堂囿俊彦・竹下啓編著、臨床倫理コンサルテーションケースブック、医歯薬出版株式会社、2020　清水哲郎、医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学、医学書院、2023　尾藤誠司、患者の意思決定にどう関わるか？、医学書院、2023　堂囿俊彦・角田ますみ・北西史直・中村美智太郎編著、在宅ケアの悩みごと解決マップ　ケースで現場の問題「見える化」します、医歯薬出版株式会社、2023

研究室／オフィスアワー

武　：w240／（水）12～13 時　齋藤：w237／（火）13～14 時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　倫理とは：定義、原則、ヘルスケア従事者への社会的要請	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
2	ヘルスケア従事者の倫理：生命倫理・医療倫理の定義、歴史的発展　学生による事例提供、ディスカッション	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
3	看護倫理の基本理論、倫理的問題　学生による事例提供、ディスカッション	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
4	看護倫理と法的問題、ガイドライン　学生による事例提供、ディスカッション	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
5	意思決定プロセス、医学的適応、QOL　学生による事例提供、ディスカッション	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ

6	臨床倫理コンサルテーション　学生による事例提供、ディスカッション	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
7	生命の始まりをめぐる倫理課題：不妊治療、出生前診断、胎児や新生児の尊厳、家族支援、倫理的問題のアプローチと意思決定支援	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	斉藤雅子
8	母性看護における倫理的課題：　事例検討　学生によるプレゼンテーションとディスカッション	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	斉藤雅子
9	子どもの自己決定をめぐる倫理的課題：　子どもの権利、意思決定、家族ケア	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	斉藤雅子
10	小児看護領域における倫理的課題：事例検討学生によるプレゼンテーションとディスカッション	予習：今回のテーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	斉藤雅子
11	事例検討：救急医療　学生によるプレゼンテーションとグループディスカッション	予習:プレゼンテーション担当学生は、講義テーマについてプレゼンテーションの準備を行う。担当以外の学生は、ディスカッションの準備をする。　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
12	事例検討：精神看護　学生によるプレゼンテーションとグループディスカッション	予習:プレゼンテーション担当学生は、講義テーマについてプレゼンテーションの準備を行う。担当以外の学生は、ディスカッションの準備をする。　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
13	事例検討：人生の最終段階　学生によるプレゼンテーションとグループディスカッション	予習:プレゼンテーション担当学生は、講義テーマについてプレゼンテーションの準備を行う。担当以外の学生は、ディスカッションの準備をする。　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
14	事例検討：在宅・地域看護事例　学生によるプレゼンテーションとグループディスカッション	予習:プレゼンテーション担当学生は、講義テーマについてプレゼンテーションの準備を行う。担当以外の学生は、ディスカッションの準備をする。　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
15	検討：多問題を抱える困難事例　学生によるプレゼンテーションとグループディスカッション	予習:プレゼンテーション担当学生は、講義テーマについてプレゼンテーションの準備を行う。担当以外の学生は、ディスカッションの準備をする。　復習：講義内容を踏まえ関連したテーマでレポートを作成する	武ユカリ
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			

28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①各回の課題レポート、②ディスカッション、③発表で評価する。　④欠席した場合：資料を参考に課題レポートを提出した場合のみ、評価対象とする。			①65　%　、②15　%　、③20%、④各回の配点の80%上限

授業科目名	ヒューマンケア理論特論（看護博士前期）				
主担当教員	若村　智子		担当教員	若村　智子	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜2限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	選択

授業概要

諸科学の形成過程が看護科学の形成過程と理論的に同じ過程をたどっていることを理解し、理論構築のプロセス及び看護科学の構造について学ぶ。また、看護理論史を概観し、看護科学の発展の経緯について理解を深め、看護実践の基礎となる看護理論と看護現象とのつながりを学習する。有用な理論を、自らの看護実践に適用する能力を習得し、より看護学を発展させる基礎的視点を養う。

到達目標

１．看護理論の形成過程や看護理論の定義、構成要素、種類を説明できる。　２．看護理論の歴史的変遷やその発展過程を説明できる。　３．主たる看護理論を理解するとともにその課題を考察する。　４．様々な理論的な知見を自らの活用可能性において説明できる。　５．活用可能な看護理論を批判的に考察し、看護の質の向上に役立てる能力を養う。 DP①②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

理論家の生い立ちや業績について調べ、毎回、プレゼンできるようにしておいてください。自分が理解した内容を他者に伝えることを通して理論を学ぶ方法を採用します。受講生が多い場合は、わりつけも可能。中範囲理論に関する原著論文を、事前に授業までに用意しておいてください（日本語でもよいが、英語論文のほうが望ましい。決定までの相談に応じます。）

教科書

特に指定しません

参考書

木村敏『病因論研究』(講談社学術文庫) ISBN:978-4061591424　野島良子『看護科学のパラダイム転換　質的研究はいつ、なぜ登場したのか？』(へるす出版) ISBN:978-4892696725

研究室／オフィスアワー

京都大学大学院医学研究科内　wakamura.tomoko.5v@kyoto-u.ac.jp に連絡ください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	看護理論とは　本講義の目的と概要、すすめ方について説明する。	予習：看護理論について調べておく。　復習：授業の進め方について復習する。	若村
2	ケアとは　ケアの意味を、ヒルデガルド、ハイデッガー、ヴァイツゼッカーなどのドイツ哲学の思索から概説する。	予習：ケアの意味について事前に調べておく。復習：ケアに関しての文献を自分で読んで復習する。	若村
3	看護理論の歴史的考察　世界における看護理論家の誕生の時代的背景、アメリカで看護学が特に発展した理由を考察する。	予習：世界の看護理論家について調べておく。復習：アメリカで看護学が発展した理由を自分なりに文献を読んで復習する。	若村
4	近代看護の創始者たちとその理論　近代看護学者の理論を、フォーセットの考えを用いて概説し、それぞれの特徴を理解する。	予習：フォーセットの理論について調べておく。　復習：フォーセットの理論を使って各理論家の特徴を文献を読んで復習する。	若村
5	ナイチンゲールの経歴とその足跡　ナイチンゲールの経歴とその著書から、その当時の社会背景と看護の実情を理解する。	予習：ナイチンゲールについて調べておく。復習：ナイチンゲールに書かれている書物を読んで、その当時の実情を復習する。	若村
6	看護理論の臨床看護への活用　看護理論を臨床看護へ応用する意味を実際の具体的な例から理解する。	予習：臨床でどんな看護理論が使われて事前に調べておく。　復習：実際の臨床でどのように看護理論が使われるとよいのかを文献を読んで復習する。	若村
7	看護理論の紹介とその理論の課題①ヒューマニスティック看護論（ヘンダーソン・オレム）ヘンダーソンおよびオレムの理論を紹介し、その課題を検討する。	予習：ヘンダーソン・オレムの看護理論について調べておく。　復習：学んだことを通じて、課題は何かを文献を読んで復習する。	若村
8	看護理論の紹介とその理論の課題②ヒューマニスティック看護論（ワトソン・ベナー）ワトソンおよびベナーの理論を紹介し、その課題を検討する。	予習：ワトソン・ベナーの看護理論について調べておく。　復習：学んだことを通じて、課題は何かを文献を読んで復習する。	若村
9	看護理論の紹介とその理論の課題③対人関係論(ペプロー)　ペプローの理論を紹介し、その課題を検討する。	予習：ペプローの看護理論について調べておく。　復習：学んだことを通じて、課題は何かを文献を読んで復習する。	若村

10	看護理論の紹介とその理論の課題④適応システムとしての人(ロイ)　ロイの理論を紹介し、その課題を検討する。	予習：ロイの看護理論について調べておく。復習：学んだことを通じて、課題は何かを文献を読んで復習する。	若村
11	看護理論の紹介とその理論の課題⑤エネルギーの場としての人(ロジャーズ)　ロジャースの理論を紹介し、その課題を検討する。	予習：ロジャースの看護理論について調べておく。　復習：学んだことを通じて、事後に復習する。	若村
12	中範囲理論の紹介と看護実践への応用①　急性疼痛、体重コントロールなどの生理学的な分野を取り扱い、論文の精読を通して理解する。	予習:中範囲理論について調べておく。　復習:他の関連する論文を読んで復習する。	若村
13	中範囲理論の紹介と看護実践への応用②　健康信念モデル、慢性疾患のセルフケア概念などの認知的な分野を取り扱い、論文の精読を通して理解する。	予習：健康信念モデル、慢性疾患のセルフケア概念などについて調べておく。　復習：他の関連する論文を読んで復習する。	若村
14	中範囲理論の紹介と看護実践への応用③　共感、グリーフ、サクセスフルエージングなどの感情的な分野を取り扱い、論文の精読を通して理解する。	予習：共感、グリーフ、サクセスエージングなどについて調べておく。　復習：他の関連する論文を読んで復習する。	若村
15	まとめ　新たな看護実践のためのヒューマンケア理論の構築の戦略について概説する。	予習：今まで学んだことをまとめて、理論の全体像を調べておく。　復習：ヒューマンケア理論構築について関連論文を読んで、復習する。	若村
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①講義参加状況　②プレゼンテーション力　③レポートの内容　　により総合的に評価する。　DP①②③④			①40% ②30% ③30%

授業科目名	コンサルテーション特論（看護博士前期）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美／住田　陽子／大久保　仁司／木村　里美	
科目ナンバリング		科目区分	共通基盤	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

今日、人々の健康へのニーズの向上や多様化にともなって保健･医療･看護職に多くの期待が寄せられるようになった。しかし、ケア提供者をサポートするための相談･支援活動の普及は十分とは言えず、これからの課題である。　本科目では、保健･医療･福祉の現場における看護職をはじめとするケア提供者が職務遂行上に出会う問題を自ら解決していけるように、看護学の立場からコンサルテーションに焦点をあてて学習する。

到達目標

１）保健・医療・福祉領域のケア提供者の職務遂行上の問題解決過程における相談・支援活動の目的、理念、支援の種類およびそれぞれの特徴について理解する。　２）コンサルテーションの概念、モデル、タイプ、プロセス、コンサルタントの役割、および活動の実際について理解する。　３）看護実践の場におけるコンサルテーション事例を通して支援方法を修得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　１）専門職者間の相談・支援活動に関する専門知識について、講義、課題学習を行なう。　２）コンサルテーション活動の実際について、講義、事例紹介、一部演習を行なう。　３）各自の職業経験における相談・支援活動をふりかえりながら学習を深める。　４）評価は、授業への主体的参加度、プレゼンテーション、レポート等により総合的に行う。

教科書

１）エドガー・シャイン(金井壽宏他訳)：問いかける技術,英治出版,2014　２）エドガー・シャイン(金井壽宏他訳)：謙虚なコンサルティング,

参考書

１）宇佐美しおり他：精神看護スペシャリストに必要は理論と技法,日本専門看護師協議会､2009　２）坂田三允：リエゾン精神看護,精神看護スペシャル 16,中山書店

研究室／オフィスアワー

西棟 239/調整するのでメール（hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp）でアポを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	コンサルテーション概説　・コンサルテーションの歴史的概観,定義,概念　・コンサルテーションのモデル,プロセス	予習：テキストや参考書等の当該内容について熟読し､自己の問題意識を整理しておく。　復習：発表､ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する。	内田宏美
2	コンサルテーション概説　・コンサルティとコンサルタントの関係　・コンサルタントの役割	予習：テキストや参考書等の当該内容について熟読し､自己の問題意識を整理しておく。　復習：発表､ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する	内田宏美
3	キャリアコンサルテーション　・初期キャリア段階の看護職へのコンサルテーション	予習：テキストや参考書､資料等の当該内容について熟読し､自己の問題意識を整理しておく。　復習：発表、ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する。	住田陽子
4	キャリアコンサルテーション　・中堅看護師へのコンサルテーション	予習：テキストや参考書、資料等の当該内容について熟読し､自己の問題意識を整理しておく。　復習：発表、ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する。	住田陽子
5	キャリアコンサルテーション　・キャリア後期看護師へのコンサルテーション	予習：テキストや参考書、資料等の当該内容について熟読し､自己の問題意識を整理しておく。　復習：発表、ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する。	住田陽子
6	キャリアコンサルテーション　・看護管理者・教育研究者へのコンサルテーション	予習：テキストや参考書、資料等の当該内容について熟読し､自己の問題意識を整理しておく。　復習：発表、ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する。	住田陽子
7	看護実践領域のコンサルテーション　・がん看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表､ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する。	木村里美
8	看護実践領域のコンサルテーション　・がん看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表､ディスカッションをとおして､自己の見解を整理する。	木村里美

9	看護実践領域のコンサルテーション　・がん看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表、ディスカッションをとおして、自己の見解を整理する。	木村里美
10	看護実践領域のコンサルテーション　・がん看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表、ディスカッションをとおして、自己の見解を整理する。	木村里美
11	看護実践領域のコンサルテーション　・精神看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表、ディスカッションをとおして、自己の見解を整理する。	大久保仁司
12	看護実践領域のコンサルテーション　・精神看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表、ディスカッションをとおして、自己の見解を整理する。	大久保仁司
13	看護実践領域のコンサルテーション　・精神看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表、ディスカッションをとおして、自己の見解を整理する。	大久保仁司
14	看護実践領域のコンサルテーション　・精神看護 CNS によるｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝの実際	復習：発表、ディスカッションをとおして、自己の見解を整理する。	大久保仁司
15	まとめ：コンサルテーションによる看護の質保証	予習：コンサルテーションの考え方、方法、適用等に関する知識と課題を整理しておく　復習：発表、ディスカッションをとおして、自己の見解を整理する	内田宏美
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レジュメ、プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。			100%

授業科目名	保健医療看護政策特論（看護博士前期）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰／小野田　舞	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー 該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 4 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

保健医療福祉の支援対象者を取り巻く状況は変化し続けており、今後の超高齢かつ人口減少社会の進展により保健医療福祉の社会資源は不足する見込みがある。看護職にはその社会変動に応じて変化するニーズに対応した支援策を考案できる問題解決能力が求められている。本科目では我が国の保健医療福祉の制度および対象者の現状を理解し、それを踏まえた課題の分析や改善・対応策の検討を実践できる政策立案能力を培う。

到達目標

我が国の超少子高齢・人口減少社会の現状や、保健医療福祉の制度・政策を理解できる。　分析を通して現状の課題を見出し、その解決を目指す政策の立案方法を学び、それを踏まえて根拠に基づく現状の改善策や新たな対応策を考察できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業は講義・ディスカッション・プレゼンテーションを組み合わせて行う。　学修内容の順番の変更や土曜日に集中講義を行う場合がある。

教科書

「看護職者のための政策過程入門　第 2 版　制度を変えると看護が変わる!」

参考書

授業時に提示します。

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	我が国の人口動態からみた超少子高齢・人口減少社会	予習：人口動態統計の結果の概要および人口推計の結果の要約を見ておくこと。	関口敏彰
2	疾病構造の変化と現状	予習：人口動態統計の統計表第６表を見ておくこと。	関口敏彰
3	日本国憲法第 25 条と社会保障制度	予習：日本国憲法第 25 条を見ておくこと。	関口敏彰
4	政策と Evidence Based Healthcare	予習：教科書で政策について確認しておくこと。	関口敏彰
5	我が国の医療保険制度の仕組み	予習：日本の公的医療保険制度について調べておくこと。	小野田舞
6	我が国の診療報酬制度の仕組み	予習：日本の診療報酬制度について調べておくこと。	小野田舞
7	看護の質保証のための看護政策の実際	予習：看護の質とは何か考えておくこと。	小野田舞
8	看護政策の実際、課題と展望	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	小野田舞
9	看護職の政策の実際（医療機関）	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	関口敏彰
10	看護職の政策の実際（行政機関）	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	関口敏彰
11	政策立案の方法	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	関口敏彰
12	政策評価の方法	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	関口敏彰
13	政策策定演習（課題と目標の明確化）	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	関口敏彰
14	政策策定演習（内容）	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	関口敏彰
15	政策策定演習（評価方法）	予習：教科書で看護に関する政策を確認しておくこと。	関口敏彰
16			

17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
１．政策策定演習の成果物			1.10%

授業科目名	看護学英語文献講読（看護博士前期）				
主担当教員	渡邉　敦子		担当教員	渡邉　敦子／久木元　由紀子／齋藤　雅子	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 3 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

保健医療学や看護学領域に関する身近なトピックの英文を読み、基本的英語読解力を養う。　専門領域に関連した英語論文を検索し、読み、基本的英語読解力のみならず、その領域における専門的知識や単語、語句への理解を深める。

到達目標

1. 保健医療学や看護学領域に関する英文、英語論文が読める。<DP①④>　2. 電子データベースを使って、自身の専門領域に関連する英語論文を検索できる。<DP①④>　3. 自分の専門領域の英語論文に頻出する単語や語句、構文がわかる。<DP①④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業前に単語等を中心に辞書で調べて予習しておくことが重要である。　課題等が指定された場合、期日を守って提出する。

教科書

必要に応じて文献や資料を配布する。

参考書

必要に応じて資料を配布する。　授業の中で随時提示する。

研究室／オフィスアワー

渡　邉：西棟 335 研究室　久木元：さくら棟 11 研究室　齋　藤：西棟 237 研究室　＊メール等であらかじめ予約をとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	科目ガイダンス　看護学の英語論文講読①	予習：シラバスの確認、専門領域において興味のあるトピックを抽出しておく　復習：授業内容の整理（予習・復習 1 時間）	渡邉
2	看護学の英語論文講読②	予習:指定された論文の単語を調べる。　復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習 各 1 時間)	渡邉
3	看護学の英語論文講読③	予習:指定された論文の単語を調べる。　復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習 各 1 時間)	渡邉
4	看護学の英語論文講読④	予習:指定された論文の単語を調べる。　復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習 各 1 時間)	渡邉
5	看護学の英語論文講読⑤	予習：専門領域において興味あるトピックとそれらに関連する英単語を調べる。　復習：電子データベースを使用し、文献の検索に慣れる。（予習・復習 各 1 時間）	渡邉
6	看護学の英語論文講読⑥	予習：電子データベースを使用して探索的文献検索をする。　復習：研究テーマに関する文献検索と文献の抽出。　（予習・復習 各 1 時間）	渡邉
7	看護学の英語論文講読⑦	予習：抽出した研究論文のアブストラクト英単語や語句、構文の理解を深める。　復習：学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習 各 1 時間)	渡邉
8	看護学の英語論文講読⑧	予習:指定された論文の単語を調べる。　復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習各 1 時間)	久木元
9	看護学の英語論文講読⑨	予習:指定された論文の単語を調べる。　復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習各 1 時間)	久木元
10	看護学の英語論文講読⑩	予習:指定された論文の単語を調べる。　復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深	久木元

		める。(予習・復習各1時間)	
11	看護学の英語論文講読⑪	予習:指定された論文の単語を調べる。 復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習各1時間)	久木元
12	看護学の英語論文講読⑫	予習:指定された論文の単語を調べる。 復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習各1時間)	齋藤
13	看護学の英語論文講読⑬	予習:指定された論文の単語を調べる。 復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習各1時間)	齋藤
14	看護学の英語論文講読⑭	予習:指定された論文の単語を調べる。 復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習各1時間)	齋藤
15	看護学の英語論文講読⑮	予習:指定された論文の単語を調べる。 復習:学習した英単語や語句、構文について理解を深める。(予習・復習各1時間)	齋藤
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1. 毎回の課題の予習(単語調べ、読み等)の状況、授業時の主体的・積極的な態度および理解度にもとづき総合的に判断する。			1. 100%

授業科目名	QOL 評価法特論（看護博士前期）				
主担当教員	吉村　弥須子		担当教員	吉村　弥須子	
科目ナンバリング		科目区分	共通基盤科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 1 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

QOL（Quality of life）は「生活の質」などと訳され、さまざまな意味合いを包含する概念があるが、概ね人が充実感や満足感を持って日常生活を送ることができることを意味する。この QOL が医療分野において重視されるようになった背景には、急速に進む高齢化、がんや慢性疾患の増加、患者の自己決定権の尊重などがあり、患者の視点に立った QOL 評価の必要性が高まってきたことがあげられる。そこで本講では、QOL の評価方法やさまざまな疾患・障害等を持つ患者の QOL について学修し、実践、研究への活用について探求する。

到達目標

1.QOL について理解できる。 2.QOL 評価法について説明できる。 3.専門領域の QOL についてプレゼンテーションができる。 4.QOL 評価の実践、研究への活用について説明できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.授業は講義、ディスカッション、プレゼンテーションを組み合わせて行う。 2.専門領域における QOL について各自がプレゼンテーションを行うので、事前に準備する。

教科書

なし

参考書

・福原俊一他監訳,ピーター・M・フェイヤーズ他著：QOL 評価学,中山書店,2005 ・池上直己他編集：臨床のための QOL 評価ハンドブック,医学書院,2001 その他、授業の中で紹介する。

研究室／オフィスアワー

236 研究室（吉村）／木曜日 16:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	QOL の概論① QOL の概念、QOL 評価のための尺度	自己の研究課題や QOL について発表する。1 時間	
2	QOL の概論② QOL の評価方法	第 1 回授業の復習、配布資料の確認。 1 時間	
3	専門領域における QOL 各論① がんと QOL①	がんと QOL に関する文献検索､配布資料の確認。1 時間	
4	専門領域における QOL 各論② がんと QOL②	第 3 回授業の復習、配布資料の確認。 1 時間	
5	専門領域における QOL 各論③ 心疾患と QOL	心疾患と QOL に関する文献検索、配布資料の確認。 1 時間	
6	専門領域における QOL 各論④ 臓器移植と QOL①	臓器移植と QOL に関する文献検索、配布資料の確認。 1 時間	
7	専門領域における QOL 各論⑤ 生活習慣病と QOL②	生活習慣病と QOL に関する文献検索、配布資料の確認。 1 時間	
8	専門領域における QOL 各論⑥ 看護における QOL①	各自の専門領域または興味あるテーマの QOL についてまとめ、プレゼンテーションする（事前に準備する）。 1 時間	
9	専門領域における QOL 各論⑦ 疼痛と QOL	疼痛と QOL に関する文献検索､配布資料の確認。1 時間	
10	専門領域における QOL 各論⑧ 高齢者の QOL	高齢者の QOL に関する文献検索、配布資料の確認。 1 時間	
11	専門領域における QOL 各論⑨ ストーマ造設患者の QOL	ストーマ造設患者の QOL に関する文献検索、配布資料の確認。 1 時間	
12	専門領域における QOL 各論⑩ 家族の QOL	家族の QOL に関する文献検索、配布資料確認。1 時間	
13	専門領域における QOL 各論⑪ 骨粗鬆症と QOL	骨粗鬆症と QOL に関する文献検索、配布資料確認 1 時間	
14	専門領域における QOL 各論⑫ 看護における QOL②	各自の興味あるテーマの QOL についてまとめ、プレゼンテーションする（事前に準備する）。1 時間	

15	まとめ　QOL 評価の研究・実践への活用	QOL 評価法特論での学びと今後の活用について ディスカッション、まとめ	
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①プレゼンテーション、ディスカッション　②レポート			①70% ②30%

授業科目名	医療安全･チーム医療特論（看護博士前期）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング		科目区分	共通基盤	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

医療安全管理体制の整備が診療報酬システム上でも制度化され、医療安全を推進するための基盤は一応整ったといえる。しかし、高度化・複雑化する医療システムにおけるリスクは増大し続けており、複雑なチーム医療の中で効果的な医療安全を展開するための理論的方法を構築する必要に迫られている。本科目では、病院を中心に展開され構築されてきた医療安全の知見を踏まえつつ、保健医療福祉を包含するヘルスケアシステム全体を射程に入れた、医療の質・安全を保障する仕組みつくりへの課題についても検討する。

到達目標

１）医療リスクマネジメントの理念・概念・理論・基本的な方法を理解する。　２）現場の医療安全推進者としての活動の遂行に必要な基礎的知識と技術を修得する。　３）医療安全管理者に求められる知識と・技術を理解し、その役割を展望する。　４）医療安全の遂行における情報ネットワーキングの必要性・重要性を理解する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　１）基本テキストを熟読し、自ら文献検討を行い、問題意識を持って授業に臨む。　２）臨床現場の取組みを批判的に分析し、ディスカッションをふまえて課題を解決するための改善策を見出す。

教科書

１）東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室:医療安全実践ガイド 第 2 版 チームで活かす知見と対策,日本看護協会出版会,2021　２）細田満和子:「チーム医療」とは何か―患者本位のアプローチに向けて（第 2 版)、日本看護協会出版会 2021

参考書

１）Ｌコーン　:人は誰でも間違える、日本評論社、2000　２）内田宏美･他：実践から学ぶ病院リスクマネジメント、診断と治療社、2005　３）河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー（第 2 版）何故間違える,どう防ぐ、医学書院、2014　４）WHO 患者安全カリキュラムガイド　多職種版 2011、東京医科大学医学教育・医療安全管理学　５）細田満和子:「チーム医療」の理念と現実、日本看護協会出版会 2003

研究室／オフィスアワー

西棟 239/調整するのでメール（hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp）でアポを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	我が国の医療安全の取り組みの経緯　医療安全ネットワークの構築	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
2	チーム医療による医療の質･安全管理:概説　・医療リスクマネジメントの理念、説明ﾓﾃﾞﾙ・プロセス	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
3	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　･医療リスクマネジメントにおける PDCA サイクル	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
4	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・医療安全推進機能の組織化と協働システム	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
5	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・事故発生時の対応　・紛争・訴訟の発生防止	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
6	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・ヒューマンエラー分析の手法	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
7	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・事例検討　・背景要因の分析と事故防止対策の立案	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理	内田宏美

		する。	
8	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・事例検討　・背景要因の分析と事故防止対策の立案	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
9	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・事例検討　・背景要因の分析と事故防止対策の立案	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
10	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・事例検討　・背景要因の分析と事故防止対策の立案	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
11	チーム医療による医療の質・安全管理：理論と方法　・事例検討　・背景要因の分析と事故防止対策の立案	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
12	医療安全管理者の役割と機能　・ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟと組織変革	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
13	医療安全管理者の役割と機能　・パワーの活用	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
14	医療安全管理者の役割と機能　・変革理論の活用と安全文化の醸成	予習：テキストや資料を熟読し、テーマに関する自己の問題意識を整理して臨む　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
15	まとめ　・医療安全における看護専門職の責務と課題	予習：授業全体を振り返り、テーマに関する自己の認識を整理しておく、。　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理し、課題レポートにまとめ、提出する。	内田宏美
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
授業への主体的参加度、課題学習、プレゼンテーション、課題レポート等により総合的に行う。			100%

授業科目名	フィジカルアセスメント（看護博士前期）				
主担当教員	前川　佳敬		担当教員	前川　佳敬	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

対象患者の状態を判断あるいは把握し、必要とされる看護ケアへつなげるために、フィジカルアセスメントは非常に重要である。本科目では、フィジカルアセスメントの具体的な方法・技術、基礎となる人体の構造と機能に関する知識、臨床でよくみられる症状、徴候、異常所見、病態生理などを教授する。また、文献的考察などを加えることにより、疾病構造の変化や急激な少子・超高齢化など諸問題に対する問題解決能力を養う。

到達目標

１．病因・病態の解明や診断に有用なフィジカルアセスメントの理論や手法を説明できる。　２．国際的、学際的な研究の現況や展望などを説明できる。　３．国際的にも通用する自立した研究を実践できる。　DP①②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。　毎回のテーマに関わる論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する

参考書

フィジカルアセスメントがみえる　MEDIC MEDIA　フィジカルアセスメント　ディシジョン　Gakken　論文、記事、関連資料を適宜配布する

研究室／オフィスアワー

C 棟研究室２：部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	総論：フィジカルアセスメントの意味・目的	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
2	基本手順（問診、視診、触診、打診、聴診）１	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
3	基本手順（問診、視診、触診、打診、聴診）２	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
4	症状・症候からのアセスメント１	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
5	症状・症候からのアセスメント２	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
6	呼吸器系１	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
7	呼吸器系２	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
8	循環器系１	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
9	循環器系２	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
10	消化器系１	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
11	消化器系２	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
12	感覚器系	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
13	運動器系	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
14	中枢神経系	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
15	総合演習	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
16			
17			

18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①レポート　②質疑応答時の発言内容　DP①②③			①70% ②30%

授業科目名	看護教育学特論（看護博士前期）				
主担当教員	下岡 ちえ		担当教員	下岡 ちえ／渡邉 敦子	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜2限
授業形態		単位数	2単位	必修･選択	

授業概要

看護とは何か、教育とは何か、という本質的課題をベースに、看護学教育のあり方を考察する。まず、日本の近代看護教育がどのように始まり、今日の看護学教育に至っているか、その変遷を理解する。次いで、現代の看護学教育の全体像を把握することで問題を明確化し、看護学教育がより良い方向に向かうための教育活動への方向付けを行う。

到達目標

1. 看護と教育の本質的関連について説明することができる。DP①②④ 2. 看護学教育の特徴について説明することができる。DP①②④ 3. 日本における看護学教育の変遷について説明することができる。DP①②④ 4. 今日の看護学教育の問題について、自己の見解を述べ、ディスカッションできる。DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・看護学教育を静的に学び整理することを超えて、自己の経験や実際の教育活動における課題と向き合いながら、学修を進めることを望む。 ・授業は、資料や文献を媒体として、履修者と教員との対話をとおして進めていきたいと考えている。皆の主体的な参加を期待する。

教科書

主として文献や資料を活用し、教科書は使用しない。

参考書

・林竹二、灰谷健次郎（1979）教えることと学ぶこと,倫書房. ・日本看護歴史学会編（2014）日本の看護の歩み―歴史をつくるあなたへ―、日本看護協会出版会. ・授業の中で随時提示する。

研究室／オフィスアワー

西棟3階338／メール等で予約をとること

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	看護教育とはなにか、その本質①	予習：各自の経験を通して教育の本質を考えまとめる。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ 渡邉敦子
2	看護教育とはなにか、その本質②	予習：各自の経験を通して教育の本質を考えまとめる。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ
3	看護教育とは何かについて発表する。	予習：発表レジュメの作成。 復習：発表、ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ
4	看護教育の変遷①時代背景、教育課程について考える。	予習：文献を検索しクリティークし、我が国の看護及び看護教育の変遷を概観しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ
5	看護教育の変遷②時代背景、教育課程について考える。	予習：文献を検索しクリティークし、我が国の看護及び看護教育の変遷を概観しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ
6	看護教育の変遷（戦後～現代）について発表する。	予習：発表レジュメの作成。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ
7	現代の看護基礎教育①看護学士課程の看護学教育(コア・カリキュラム、卒業時到達能力）。	予習：資料（「21世紀の看護学教育」）や文献から、テーマに関する内容を概観し、自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ
8	現代の看護基礎教育②看護学士課程の看護学教育(コア・カリキュラム、卒業時到達能力)。	予習：資料や文献（「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」「看護学教育モデル,コアカリキュラム」）から、テーマに関する内容を概観し、自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ
9	学士課程の看護学教育について発表する。	予習：発表レジュメの作成。 復習：発表、ディスカッションをとおしての自己の見解を整	下岡ちえ

		理する。	
10	現代の看護継続教育①看護専門職業人の育成：看護職のキャリア発達と課題	予習：初期キャリア看護師の発達に関する文献をレビューし自己の問題意識を整理しておく。復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	渡邉敦子
11	現代の看護継続教育②看護専門職業人の育成：看護職のキャリア発達と課題	予習：中期以降キャリア看護師の発達に関する文献をレビューし、自己の問題意識を整理しておく。　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	渡邉敦子
12	現代の看護継続教育③看護専門職業人の育成：新人～ジェネラリストの育成	予習：新人教育、ラダーシステムのプログラムを入手し、第 10 回の授業で確認したキャリア発達課題を乗り越えるための支援の在り方について、自己の問題意識を整理しておく。　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	渡邉敦子
13	現代の看護継続教育④看護専門職業人の育成：高度実践者･管理者･教育研究者の育成、リカレント教育	予習：先に関する資料を概観し、看護専門職としての生涯学習のあり方と課題について、自己の問題意識を整理しておく。　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	渡邉敦子
14	看護継続教育について発表する。	予習：発表レジュメの作成。　復習：発表、ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	渡邉敦子
15	看護学教育への提言・これまでの学習を踏まえて、各自の看護学教育に対する問題から、看護学教育がより良い方向に向かうよう提言を行う。・ディスカッションにより提言の内容を深め、共有し、各自の教育活動への方向付けを行う。	予習：これまでの学修内容を整理して資料を作成する。　復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	下岡ちえ 渡邉敦子
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
１．授業参加度（講義内での主体的な発言、プレゼンテーションを総合的に判断する）　２．課題レポート（レポートの緻密さ、的確さ、論理性により総合的に判断する）			１．　50 % ２．50%

授業科目名	看護管理学特論（看護博士前期）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	選択

授業概要

看護専門職には、社会のヘルスニーズに対して看護の仕事の仕組みを自ら変革し、創造していく能力、保健医療福祉等の関連サービスに携わる人々と連携・協働して活動する実践能力が求められる。質の高い看護を実現するためには、組織やチームの中でメンバーを巻き込んでそれを具現化していくためのマネジメントの機能が働かなければならない。組織やチームの看護活動をマネジメントする能力は、看護管理者のみならず、CNSや大学院修了者などの高度看護実践者に必要不可欠な能力として期待されている。　看護管理における課題の解決にあたっては、保健医療そのものの知識のみならず、心理学、教育学、社会学、経営学などの多岐にわたる学問領域の知見と成果を活用することが求められる。看護に関連する保健医療システムの現状と問題点の特性を理解した上で、関連する諸理論の枠組みを活用して看護管理上の問題を批判的に分析し、解決していくための基礎的能力の修得を授業の柱とする。

到達目標

1）看護管理学の歴史と背景を理解し、今日の保健医療福祉システムの中での看護管理の位置づけと課題を展望できる。　2）組織管理に関する諸理論を活用して、看護実践･教育･研究の場における諸現象を看護管理の視点で批判的に分析することができる。　3）看護マネジメントに関する現実的な問題に対して、原因を分析し、具体的かつ効果的な解決策を計画･実行･評価する試みを通して、看護管理の問題解決過程の方法を習得する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　1）基本テキストを熟読し、自ら文献検討を行い、問題意識を持って授業に臨む。　2）組織論・リーダーシップ論・変革理論に関する文献を批判的に考察しつつ講読し、プレゼンテーションとディスカッションにより、看護管理の課題を深く探求する。　3）看護管理における発生型問題に焦点を当て、理論を手掛かりとして問題点を分析し、解決のための戦略を検討する。

教科書

1）エイミー･C･エドモンドソン(野津智子訳)：チームが機能するとはどういうことか、英知出版、2014

参考書

1）　看護管理学習テキスト全巻（第1巻～第5巻、別冊）2023年度版,日本看護協会出版会　2）　エドーガー・H・シャイン：組織文化とリーダーシップ、白桃書房、2012　3）　その他、授業の中で随時提示

研究室／オフィスアワー

西棟239/調整するのでメール（hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp）でアポを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	Ⅰ．看護専門職と看護管理の歴史的考察　・専門職とは何か　・近代看護と看護専門職	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
2	Ⅱ．看護サービス・マネジメント論　・看護サービスという考え方　・看護サービス提供プロセス	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
3	Ⅱ．看護サービス・マネジメント論　・看護サービスの標準化と看護の質保証　・プロセス評価　・アウトカム評価	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
4	Ⅱ．看護サービス・マネジメント論　・看護サービスの質評価	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
5	Ⅲ．看護組織論　・集団と組織、組織論の系譜、官僚制の特徴と逆機能	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
6	Ⅲ．看護組織論　・近代組織論・ネットワーク組織論	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美

7	Ⅲ．看護組織論　・医療組織の特徴、専門職支配と権威勾配	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
8	Ⅲ．看護組織論　・効果的な看護マネジメントのための組織化　・協働のためのチーム・マネジメント	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
9	Ⅳ．看護管理者論　・ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ理論の系譜　・看護組織におけるﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
10	Ⅳ．看護管理者論　・変革理論　・看護組織の文化風土を変革する	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
11	Ⅳ．看護管理者論　・リーダーシップと組織変革	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
12	Ⅴ．看護管理学研究　・方法、倫理、アクションリサーチ	予習：関連する文献・資料等をレビューし、テーマに対する自己の問題意識を整理しておく。 復習：ディスカッションをとおしての自己の見解を整理する。	内田宏美
13	Ⅵ．看護管理プロセスと問題解決の技法　・発生型問題の解決手法（演習）	予習：現在進行中の発生型問題の事例を準備する　復習：問題の焦点とその背景を整理する	内田宏美
14	Ⅵ．看護管理プロセスと問題解決の技法　・発生型問題の解決手法（演習）	予習：原因別の対策案を立案しておく　復習：実行計画に基づき、問題解決のためのアプローチを試み､過程と結果を踏まえてリフレクションする。	内田宏美
15	Ⅵ．看護管理プロセスと問題解決の技法　・発生型問題の解決手法（演習）	予習：リフレクションの内容を整理しておく 復習：問題解決のための更なるアプローチを行い評価する｡問題解決の考え方､方法､自己の課題を整理する。	内田宏美
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レジュメ、プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。			100%

授業科目名	急性･慢性･がん看護学特論（看護博士前期）				
主担当教員	吉村　弥須子		担当教員	吉村　弥須子／久木元　由紀子／小林　妙子	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

急激な健康状態の変化や侵襲的治療によって身体・心理・社会的危機状況にある患者、がん、慢性疾患、ストレス、臓器移植など疾病や健康障害を持ちながら生活している対象に対する看護ケアを、科学的、専門的視点から探究することを目的とする。対象の発達段階、疾病の病態生理、健康レベル等をふまえて、看護に必要な諸理論、看護実践方法等について教授し、看護実践において的確な判断力と実践力を養うための知識と技術、看護ケアのエビデンス等について探究することを目的とする。（吉村／8 コマ、久木元／7 コマ）

到達目標

1. 対象の健康問題の特徴と看護実践に必要な諸理論について説明できる。〈DP①③④〉　2. 急性・慢性・がん看護学領域における研究の動向について理解し発表できる。＜DP①②③④＞　3. 看護実践に必要な EBN に関する文献レビューができる。〈DP①③④〉　4. 諸理論の看護実践、研究への活用について考察できる。〈DP①②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1.授業は講義、ディスカッション、プレゼンテーションを組み合わせて行う。　2.プレゼンテーションのための資料を事前に準備する。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

参考書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

研究室／オフィスアワー

西棟 236 研究室／オフィスアワーは MORIPA を確認してください。必要に応じて事前にアポを取ってください。　吉村弥須子 yoshimura-y@morinomiya-u.ac.jp　　さくら棟研究室 11／事前にメール連絡をお願いします。　久木元由紀子 kukimoto@morinomiya-u.ac.jp

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	急性・慢性・がん看護学特論の概要　現代社会における健康問題	予習:社会情勢と健康問題について調べる。2 時間　復習：講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村
2	急性期にある対象の健康問題と侵襲的治療	予習：急性疾患の侵襲的治療に関する文献検討。2 時間　復習：講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村
3	危機理論を活用した看護実践と研究の動向	予習：危機理論に関する文献検討。2 時間　復習：講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村
4	ストレス理論とストレス・コーピング理論の看護への活用と研究の動向	予習：ストレス理論、ストレス・コーピング理論に関する文献検討。2 時間　復習：講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村
5	がん患者の意思決定支援	予習：がん患者の意思決定支援に関する文献検討。2 時間　復習：講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村
6	クリティカルな状態にある対象の倫理的課題と看護	予習：クリティカルな状態にある対象の倫理的課題と看護に関する文献検討。2 時間　復習：講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村
7	臓器移植における倫理的課題と看護	予習：臓器移植における倫理的課題と看護に関する文献検討。2 時間　復習：講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村
8	看護実践に必要な EBN に関する文献レビュー	予習：看護実践に必要な EBN に関する文献レビューをプレゼンテーションする。2 時間　復習:講義時間に話題になったことの論点整理をする。2 時間	吉村

9	急性・慢性・がん看護学領域の文献レビュー（検索、熟読、クリティーク、文章化）を行い、研究への活用について考察する。	予習：文献の熟読・クリティークを行う。2 時間　復習：授業内容を踏まえ文章化する。2 時間	久木元
10	急性・慢性・がん看護学領域の文献レビュー（検索、熟読、クリティーク、文章化）を行い、研究への活用について考察する。	予習：文献の熟読・クリティークを行う。2 時間　復習：授業内容を踏まえ文章化する。2 時間	久木元
11	急性・慢性・がん看護学領域の文献レビュー（検索、熟読、クリティーク、文章化）を行い、研究への活用について考察する。	予習：文献の熟読・クリティークを行う。2 時間　復習：授業内容を踏まえ文章化する。2 時間	久木元
12	急性・慢性・がん看護学領域の文献レビュー（検索、熟読、クリティーク、文章化）を行い、研究への活用について考察する。	予習：文献の熟読・クリティークを行う。2 時間　復習：授業内容を踏まえ文章化する。2 時間	久木元
13	急性・慢性・がん看護学領域の文献レビュー（検索、熟読、クリティーク、文章化）を行い、研究への活用について考察する。	予習：文献の熟読・クリティークを行う。2 時間　復習：授業内容を踏まえ文章化する。2 時間	久木元
14	急性・慢性・がん看護学領域の文献レビュー（検索、熟読、クリティーク、文章化）を行い、研究への活用について考察する。	予習：文献の熟読・クリティークを行う。2 時間　復習：授業内容を踏まえ文章化する。2 時間	久木元
15	急性・慢性・がん看護学領域の文献レビュー（検索、熟読、クリティーク、文章化）を行い、研究への活用について考察する。	予習：文献の熟読・クリティークを行う。2 時間　復習：授業内容を踏まえ文章化する。2 時間	久木元
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
・プレゼンテーション、ディスカッション 50%　・レポート 50%　〈DP①②③④〉			・50%　・50%

授業科目名	老年看護学特論（看護博士前期）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／川添　英利子／寺田　美和子	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 2 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

超高齢化社会の進展を見据え、高齢期の発達課題、加齢による身体的・心理的・社会的側面の変化を理解するための理論を修得し、保健医療福祉制度、高齢者の日常生活への影響、家族看護や倫理的課題などの理解を深める。また、高齢者を取り囲む社会の仕組みの変遷から高齢者の生きがい管、死生観や詩を取り巻く制度を概観し、今後の課題や求められる老年看護の専門性を探求する。

到達目標

高齢期の発達課題、加齢による身体的・心理的・社会的側面の変化を理解し、課題を明確化する。①②③④　家族看護や倫理的課題などの理解し、高齢者の死生観や社会福祉制度を概観し、今後の課題を考察する。①②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

老年看護に関連する社会の諸問題について関心をもち、対象となる高齢者や家族の健康問題について自分なりに整理しておいてください。

教科書

無し

参考書

看護理論(改訂第 3 版)：看護理論 21 の理解と実践への応用：南江堂

研究室／オフィスアワー

講義の初回に連絡します

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　老年看護学の成り立ち	予習：老年看護学のこれまでの経緯を確認しておく　2.0 時間　復習：今後の学修計画をまとめる　2.0 時間	外村
2	老年看護学領域における臨床研究の動向	老年看護学領域における研究の現状についての資料を熟読し、現在・未来を見据えての課題を明らかにする　自修時間 4 時間	外村
3	高齢者の発達課題と加齢による身体的・心理的・社会的側面の変化	予習：高齢者の発達段階・課題における理論を学習しておく　2.0 時間　復習：老年看護における看護理論をまとめる　2.0 時間	川添
4	高齢者の生活評価と活用できる看護理論	予習：高齢者の健康障害を評価する尺度・看護理論について学習しておく　2.0 時間　復習：評価尺度・理論について自身の考察をまとめる 2.0 時間	外村
5	高齢者の健康障害の予防と理論	予習：現在の社会における高齢者の健康問題の課題をまとめておく。2.0 時間　復習：健康問題の予防策について考察しまとめる 2.0 時間	外村
6	高齢者のエンパワーメントと権利擁護	予習：高齢者の権利擁護について学習しておく 2.0 時間　復習：高齢者のエンパワーメントについて事例をあげまとめる　2.0 時間	川添
7	認知症高齢者の現状とその課題	予習：認知症高齢者の現状について考えてくる 2.0 時間　復習:課題について考察する　2.0 時間	寺田
8	認知症高齢者を支援する制度と現状	予習：支援制度や行政の役割などを考えてくる 2.0 時間　復習：支援制度の課題をまとめる 2.0 時	寺田
9	認知症高齢者への援助の現状と課題	予習：様々な援助方法について考えてくる 2.0 時間　復習：援助方法をまとめる　2.0 時間	寺田
10	高齢者施設のおける看護援助とその課題	予習：高齢者施設の種類別の機能・役割を学習しておく　2.0 時間　復習：高齢者施設ケアにおける看護の役割をまとめる　2.0 時間	寺田

11	高齢者施設における多職種連携と看護職の役割	予習：多職種連携のあり方を考えてくる　2.0 時間　復習：看護職の役割をまとめる　2.0 時間	川添
12	海外における老年看護学の動向と現状	予習：海外における老年看護について考えてくる　2.0 時間　復習：興味のある国の老年看護についてまとめる　2.0 時間	外村
13	高齢者のエンドオブライフケア	予習：高齢者における終末期のあり方について考えてくる　2.0 時間　復習：高齢者のエンドオブライフケアについて自身の考えをまとめる 2.0 時間	外村
14	高齢者と介護家族への支援とその課題	予習：介護家族の課題を考えてくる 2.0 時間　復習：課題をまとめる　2.0 時間	外村
15	まとめ、プレゼンテーション	予習：プレゼンテーション作成　復習：評価をまとめる	外村　寺田
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
1. プレゼンテーション・ディスカッション〈①②③④〉　　2. レポート　〈①〉 3. 出席は 2/3 以上となる			1. プレゼンテーション・ディスカッション　60% 2. レポート　40%　3. 出席は 2/3 以上となる

授業科目名	在宅看護学特論（看護博士前期）				
主担当教員	武 ユカリ		担当教員	武 ユカリ／岩佐 由美	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

現代における在宅看護の歴史的変遷や理論、保健医療福祉制度を学び、地域で暮らす個人、家族、集団、コミュニティの健康課題を理解する。そしてその支援の現状と課題等について多角的視点から学び、地域におけるケアシステム構築やマネジメント、在宅看護の実践に必要な基礎的知識を修得する。これらを踏まえ、今後、在宅看護学において追及すべき事項について議論し、解決するための研究手法を探求する。

到達目標

１） 在宅看護の歴史的変遷や理論について学び、それらの活用と検証ついて理解できる。 ２） 保健医療福祉制度、地域包括ケアシステムについて学び、在宅看護における質の高いケアの実践のための視点について説明できる。 ３） 在宅看護におけるマネジメントや地域マネジメントの概念や理論を理解し、多職種チームと協働できる実践力の基礎知識を学ぶ。 ４） 在宅看護における支援の現状と課題について説明し、課題の解決のための研究手法について探求する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

① 学んだ知識をもとにディスカッションを行い、指定された回には課題レポートを作成する。(A4 用紙 1500～2000 字程度、次回の講義で提出。) ② 在宅看護に関連する臨床体験や文献などから、各回のテーマに沿った課題について発表する。

教科書

指定なし。適宜提示する。

参考書

指定なし。適宜提示する。

研究室／オフィスアワー

武 ：w335／（月）12～13 時 岩佐：w236／（火）17～18 時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション 我が国における在宅療養者支援の変遷、在宅看護学の概念	予習：講義テーマについて教科書、文献を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
2	在宅看護に関連する諸制度、地域包括ケアシステムにおける在宅看護	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
3	ケアマネジメントと社会資源	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
4	在宅看護における活用理論	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
5	家族看護アセスメント理論と方法	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
6	在宅看護におけるマネジメント、人材育成①	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
7	在宅看護におけるマネジメント、人材育成②	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
8	在宅看護におけるマネジメント、人材育成③	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する 復習：講義内容を	武

		踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	
9	地域マネジメントと協働推進①	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	岩佐
10	地域マネジメントと協働推進②	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	岩佐
11	地域マネジメントと協働推進③	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	岩佐
12	在宅看護における倫理的諸問題	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
13	地域における倫理コンサルテーション	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
14	在宅看護の研究の動向と課題①	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
15	在宅看護の研究の動向と課題②	予習：講義テーマについて教科書を参考に、自身の経験や事例を準備する　復習：講義内容を踏まえ、講義テーマについてレポートを作成する	武
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①課題レポート、②ディスカッション・発表、③欠席の場合：資料を参考に課題レポートを提出した場合のみ、評価対象			①50　%　、②50%、③各回の配点の80%上限

授業科目名	精神看護学特論（看護博士前期）				
主担当教員	西山　忠博		担当教員	西山　忠博	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー 該当項目	
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜3限
授業形態		単位数	2単位	必修･選択	

授業概要

本科目では精神看護の研究をするうえで必要な諸概念、諸理論、諸制度について教授する。また、現在の精神保健に関する問題・課題を明らかにして、現在および将来について求められている看護を展開するための必要な方策を探求するとともに、精神看護学領域の最新の研究動向についての理解を深め、精神看護の専門性を高める。

到達目標

１．精神看護の専門性を高める上で必要な諸概念、諸理論、諸制度について理解できる。＜DP①②③④＞　２．現在の精神保健に関する問題・課題について自ら探求・考察し、発表できる。＜DP①②③④＞　３．精神看護学領域における研究の動向について理解し、発表できる。＜DP①②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

事前準備をしっかりして授業に臨んでください。

教科書

必要に応じて指定します。

参考書

必要に応じて指定します。

研究室／オフィスアワー

オフィスアワー：Moripaで確認してください。事前に　tadahiro_nishiyama@morinomiya-u.ac.jp　　までメールでアポイントをとってもらえると助かります。　桜棟５階　研究室13（西山）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	心のはたらきと人格形成１	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
2	心のはたらきと人格形成２	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
3	心身の健康とストレス	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
4	精神障害と治療の歴史	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
5	精神医療の現状と課題	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
6	精神看護における諸理論・モデル１	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
7	精神看護における諸理論・モデル２	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
8	入院治療時のケアと支援	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
9	地域におけるケアと支援	自身で学修内容についてまとめ、発表できるようにしておく。	西山
10	精神看護領域における研究の動向１	自身で関心のある研究論文についてクリティークし、発表できるようにしておく。	西山
11	精神看護領域における研究の動向２	自身で関心のある研究論文についてクリティークし、発表できるようにしておく。	西山
12	精神看護領域における研究の動向３	自身で関心のある研究論文についてクリティークし、発表できるようにしておく。	西山
13	精神看護領域における研究の動向４	自身で関心のある研究論文についてクリティークし、発表できるようにしておく。	西山
14	精神看護領域における研究の動向５	自身で関心のある研究論文についてクリティークし、発表できるようにしておく。	西山
15	精神看護領域における研究の動向６	自身で関心のある研究論文についてクリティークし、発表できるようにしておく。	西山
16			

17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①プレゼンテーション、ディスカッション　②レポート			①70　　% ②30%

授業科目名	育成看護学特論（看護博士前期）				
主担当教員	齋藤　雅子		担当教員	齋藤　雅子／勝田　真由美	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

育成看護学では、人間の成長・発達の過程を知り、 各ライフサイクルの健康課題と看護支援について理解することを目的とする。さらに、個から家族そして社会の抱える健康課題に対する有用な支援について考察する。また、 各発達段階におけるリプロダクティブヘルス＆ライツの課題を学び、支援方法について理解する。

到達目標

1. 人間の成長と発達、家族の発達について学び、各ライフサイクルの発達課題と看護支援について理解する。(DP①②③④)
2. リプロダクティブヘルス＆ライツの社会的背景を学び、その重要性を理解する。(DP①②③④)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

現代社会において、母性看護学や助産学に関連する基礎知識や課題を理解したうえで講義に臨んでください。 各授業において、プレゼンテーションの課題を出すことがあります。 主体的に講義に臨んでください。

教科書

書籍、論文、関連資料を適宜示し、配布する。

参考書

随時、紹介する

研究室／オフィスアワー

齋藤研究室　W238、勝田研究室　W335　オフィスアワーは、授業時紹介する。　アポイントメントで可能。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	育成看護学の概要と動向	育成看護の対象理解について臨床等の経験から考察する。　予習復習各 2 時間	齋藤
2	女性の身体の仕組みとホルモンの働き	性周期の基礎知識を予習・復習する。　予習・復習各 2 時間	齋藤
3	ライフサイクル各期の健康課題と看護支援（胎児期）	自己の臨床経験からプレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	勝田
4	ライフサイクル各期の健康課題と看護支援（新生児・小児期）	プレゼンテーションの準備　予習・復習各 2 時間	勝田
5	ライフサイクル各期の健康課題と看護支援（思春期）	プレゼンテーションの準備　予習・復習各 2 時間	勝田
6	ライフサイクル各期の健康課題と看護支援（成熟期）	プレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	齋藤
7	ライフサイクル各期の健康課題と看護支援（更年期・老年期）	プレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	齋藤
8	家族発達の課題と看護支援	プレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	齋藤
9	現代における女性の健康課題と支援	プレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	齋藤
10	ウィメンズヘルスと次世代育成	随時相談しながら示す。　予習・復習各 2 時間	勝田
11	リプロダクティプ・ヘルス／ライツ	自己の臨床経験からプレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	齋藤
12	思春期セクシャリティ教育の現状と動向	プレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	勝田
13	妊産褥婦の教育の現状と動向	随時相談しながら示す。　予習・復習各 2 時間	齋藤
14	周産期の正常経過からの逸脱に伴い生じる母子と家族の健康問題（1）	自己の臨床経験からプレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べる。　予習・復習各 2 時間	齋藤
15	周産期の正常経過からの逸脱に伴い生じる母子と家族の健康問題（2）	自己の臨床経験からプレゼンテーションの課題に基づき先行研究の文献を調べ復習す	齋藤

		る。　予習・復習各 2 時間	
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①レポート（DP①②③④）　提出期限 ・ 作成方法は、 授業内で説明する。　評価は、ルーブリックに基づき、課題は授業内で提示し、解説する。　レポートは返却しない。希望者には評価を提示する。　②授業でのプレゼンテーション（DP①②③④）　評価は、ルーブリックに基づく。希望者には評価を提示する。			①50% ②50%

授業科目名	公衆衛生看護学特論（看護博士前期）				
主担当教員	関口　敏彰		担当教員	関口　敏彰	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態		単位数	2 単位	必修･選択	

授業概要

疾病要因や健康決定要因は複雑であり、それゆえに疾病予防や健康・回復促進の支援は容易ではない。さらに我が国では人口構造の変化や社会資源の不足、格差の拡大などの社会変動もあり、海外では戦争・紛争をはじめ貧困や人権問題、環境問題など多様な社会問題があり、健康問題の解決の困難さはますます増大している。一方で、DX（デジタルトランスフォーメーション）やソーシャルビジネスの進展などの社会変革が進められており、それらを活用した新たな問題解決手法が模索されている。本科目では健康課題を抱える対象者への公衆衛生看護的な問題解決方法について文献等の分析を通して多角的に検討し、看護職として高度かつ先駆的な実践および研究に取り組むための探究力を修得する。

到達目標

社会変動の影響を受ける我が国または国際的な健康課題の現状や今後の見込みを理解できる。　現状または今後予測される健康課題について、その影響および解決の検討に資する文献等を検索し、読み込むことができる。　文献等の分析を通して、公衆衛生の向上（疾病予防や健康の維持・増進）を目指した根拠に基づく活動や研究を検討できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業は講義・ディスカッション・プレゼンテーションを組み合わせて行う。　学修内容は履修者の興味・関心に応じた変更、履修学生の都合に応じて曜日変更や集中講義への変更を行う場合がある。(相談により変更)

教科書

授業時に提示

参考書

なし

研究室／オフィスアワー

桜棟研究室 12（関口）事前にメールでアポイントメントをとってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	各種保健統計を通した国内・国外の健康課題の探索（国の統計データベースの活用）	予習：各種データベースについて予め確認しておくこと	関口敏彰
2	各種保健統計を通した国内・国外の健康課題の探索（国の白書・計画の活用）	予習：各種データベースについて予め確認しておくこと	関口敏彰
3	各種保健統計を通した国内・国外の健康課題の探索（WHO のデータベースの活用）	予習：各種データベースについて予め確認しておくこと	関口敏彰
4	各種保健統計を通した国内・国外の健康課題の探索（OECD・UNICEF 等のデータベースの活用）	予習：各種データベースについて予め確認しておくこと	関口敏彰
5	母子保健に関する健康問題（育児不安･虐待等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
6	母子保健に関する健康問題（発達障害等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
7	高齢者保健に関する健康問題（介護予防等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
8	高齢者保健に関する健康課題（認知症・セルフネグレクト等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
9	成人保健に関する健康課題（がん予防等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
10	成人保健に関する健康課題（メタボリックシンドローム対策等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
11	感染症に関する健康課題（感染予防等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
12	障害者保健に関する健康課題（３障害に関する問題等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
13	難病保健に関する健康課題（療養生活の支援等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
14	国際保健の健康課題（途上国の保健対策等）	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰

15	その他の健康課題	予習：当該領域の健康課題に関する文献を予め入手しておくこと	関口敏彰
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
１．レポート課題　２．プレゼンテーション			１．　60 % ２．40%

授業科目名	専門分野研究方法（看護博士前期):外村				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／川添　英利子	
科目ナンバリング		科目区分	共通基盤科目	ディプロマポリシー 該当項目	DP①②④⑤
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	水曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

専門研究領域の範囲内で修士論文作成に向けて学生と相談の上テーマを決定し、そのテーマに沿った研究計画書の立案と倫理審査申請書作成までの一連のプロセスについて指導する。

到達目標

１．研究テーマに関する国内外の先行研究について検索・入手・通読し、その詳細を報告できる。<DP①④⑤>　２．国内外の研究動向を踏まえてリサーチクエスチョンを明確にできる。<DP①④⑤>　３．リサーチクエスチョンにもとづいて、適切な方法を用いた研究計画が立案できる。<DP①④⑤>　４．倫理的配慮を理解して研究倫理審査申請書が作成できる。<DP①②④⑤>　５．研究計画について必要なスライドと配布資料が作成でき、それらを用いた質疑応答ができる。<DP①②④⑤>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

事前準備をしっかりして授業に臨んでください。

教科書

特に指定しません。

参考書

必要に応じて指定します。

研究室／オフィスアワー

研究室：S13　オフィスアワー：Moripa で確認してください。事前に　tadahiro_nishiyama@morinomiya-u.ac.jp　　までメールでアポイントをとってもらえると助かります。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　今後の予定の検討と確認　研究テーマの仮決定　検索 words の仮決定	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
2	研究テーマの仮設定、検索 words の仮決定	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
3	先行研究論文等の検索	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
4	先行研究論文の講読	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
5	先行研究論文の講読	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
6	先行研究論文の講読	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
7	先行研究論文の講読	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
8	先行研究のレビュー	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
9	先行研究のレビュー	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
10	リサーチクエスチョンの設定、研究テーマの決定	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
11	先行研究論文の講読	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
12	研究計画の立案	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
13	研究計画の立案	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
14	研究倫理審査申請書の作成	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員
15	報告会準備、報告会における発表と質疑応答	入手資料をよく読み、目的、方法、結果にそってまとめておく。　適時、レジュメを用意する。質問事項をまとめておく。	西山・副指導教員

16			
17			
18			
19		。	
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
①文献検索、先行研究レビューと論文の理解度　②リサーチクエスチョン、研究計画書、倫理審査申請書の作成能力　③報告会における発表と質疑応答			①30% ②50% ②20%

授業科目名	後期特別研究Ⅱ(医療科学専攻):橋本				
主担当教員	橋本 弘子		担当教員	橋本 弘子	
科目ナンバリング		科目区分		ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	2 年	開講学期	前期	曜日・時限	金曜 5 限
授業形態		単位数	4.00 単位	必修・選択	

授業概要

後期特別研究は、1～3 年次まで継続される学位論文作成に直接関わる科目であり、各指導教員の研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する。後期特別研究Ⅱではデータ収集、解析、結果の解釈、論文執筆、学術雑誌への投稿、および中間報告会発表を行わせる。　後期特別研究Ⅰを踏まえて作成したプロトコールにもとづきデータ収集、解析、結果の解釈を行い、論文を執筆して投稿するとともに中間報告会で成果を発表させる。

到達目標

到達目標　1．研究計画と研究倫理規範にもとづいて適正なデータ収集、解析、および結果の解釈ができる。　2．結果の解釈について、先行研究や関連文献を踏まえた深い考察ができる。　3．研究の背景、目的、方法、結果、考察、および結論について論理的かつ明快に文章化できる。　4．研究の概要と結果に関する必要なスライドと配布資料が作成でき、それらを用いた発表と質疑応答ができる。　5．専門領域の学術雑誌（査読付き）に論文を投稿するまでの一連の作業ができる。DP①③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

履修上の注意（学生へのメッセージ）　研究室または臨床現場において実際にデータ収集を行い、収集されたデータの処理と解釈について個別指導する。データと関連文献をもとに文章を作成させ、それを討論と修正指導によりブラッシュアップする。データはすべてをラボノートに記録し、必要に応じ仮説の修正を随時行うこと。

教科書

教科書　論文、記事、関連資料を適宜配布する。

参考書

参考書　論文、記事、関連資料を適宜配布する。

研究室／オフィスアワー

研究室／オフィスアワー　随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集	都度指示する	全回　橋本
2	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
3	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
4	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
5	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
6	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
7	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
8	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
9	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
10	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
11	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
12	データ収集:　実験プロトコールにもとづきデータ収集		
13	データ解析・解釈:　収集したデータの統計学的解析とその解釈		
14	データ解析・解釈:　収集したデータの統計学的解析とその解釈		

15	データ解析・解釈: 収集したデータの統計学的解析とその解釈		
16	結果の考察 : 先行研究と関連文献を参考に結果を考察		
17	結果の考察 : 先行研究と関連文献を参考に結果を考察		
18	投稿論文の執筆: 学術雑誌に投稿する論文を作成		
19	投稿論文の執筆: 学術雑誌に投稿する論文を作成		
20	投稿論文の執筆: 学術雑誌に投稿する論文を作成		
21	投稿論文の執筆: 学術雑誌に投稿する論文を作成		
22	投稿論文の執筆: 学術雑誌に投稿する論文を作成		
23	投稿論文の推敲: 投稿論文に関する討論と推敲		
24	投稿論文の推敲: 投稿論文に関する討論と推敲		
25	投稿論文の推敲: 投稿論文に関する討論と推敲		
26	投稿論文の推敲: 投稿論文に関する討論と推敲		
27	中間報告会準備: 中間報告会のスライドおよび配布資料の作成		
28	中間報告会準備: 中間報告会のスライドおよび配布資料の作成		
29	中間報告会 : 中間報告会における発表と質疑応答		
30	30 投稿論文の完成・投稿: 発表会における質疑応答と問題点指摘を踏まえた投稿論文の修正と学術雑誌への投稿		
成績評価方法と基準			割合
①データ収集、統計解析、および結果解釈の完成度 ②先行研究と関連論文を踏まえた考察、論理的かつ明快な論文執筆、および図表の作成能力 ③中間報告会のスライドと資料、発表の技法と内容、質疑応答時の発言内容、および中間報告会を踏まえた投稿論文の修正能力 ①～③で総合的に判断する。			①30 % ②30 % ③40%

授業科目名	後期特別研究Ⅲ（医療科学専攻）:由利				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	4.00 単位	必修･選択	必修

授業概要

後期特別研究は、1～3 年次まで継続される学位論文作成に直接関わる科目であり、各指導教員の研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する。後期特別研究Ⅲでは、学術雑誌への投稿、査読対応、学位論文作成および最終発表（公聴会）を行わせる。　現代の医療システムに導入するにあたって必要な鍼灸の有効性または安全性の臨床的エビデンスを検証する。具体的には、後期特別研究Ⅰ・Ⅱを踏まえてデータ収集し、成果を文章化して学術雑誌に投稿した論文について、査読コメントに対応して掲載まで至らせる。また、実施した一連の研究作業と成果をまとめて学位論文（主論文）を作成させ、その内容を最終報告会で発表させる。

到達目標

１．学術雑誌に投稿した論文の査読コメントに適切に対応できる。　２．一連の特別研究の作業内容と結果と考察を博士論文としてまとめて完成させることができる。　３．研究の最終報告に必要なスライドと配布資料が作成でき、それらを用いた発表と質疑応答ができる。　４．自身の研究について指摘された問題点を冷静に分析し、適切に修正することができる。DP①③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究室において論文執筆、査読コメントへの対応、スライド作成などについて個別指導する。学位論文のセクションごとに修正点と具体的な修正方法を指導し、学位論文の完成と提出に導く。　必要な関連文献はすべて事前に検索・入手して通読し、学位論文の修正すべき点についても事前に修正案を作成しておく。授業前・中・後に行った作業、議論のポイント、変更内容、気付き、疑問、考察、投稿や査読コメント受け取りの日付など、すべてを詳細にラボノートに記録すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

参考書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	投稿した学術雑誌の査読コメントへの対応に関する討論	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
2	査読コメントへの対応決定にもとづく論文修正と提出	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
3	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
4	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
5	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
6	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
7	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
8	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
9	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
10	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
11	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
12	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
13	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利

14	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
15	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
16	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
17	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
18	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
19	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
20	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
21	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
22	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
23	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
24	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
25	公聴会における発表に関するディスカッション	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
26	公聴会の質疑応答と口頭試問の内容を踏まえて博士論文を修正して完成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
27	公聴会の質疑応答と口頭試問の内容を踏まえて博士論文を修正して完成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
28	公聴会の質疑応答と口頭試問の内容を踏まえて博士論文を修正して完成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
29	作業過程で作成した記録と収集したデータ・資料などについて所在と管理状況を確認し、分類・整理して保管	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
30	特別研究のすべての過程をレビューして評価点・反省点・改善点を抽出し、今後の展開について検討	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	由利
成績評価方法と基準			割合
①査読コメントへの対応と投稿論文修正の完成度　②公聴会の発表と質疑応答と口頭試問の対応内容　③博士論文の完成度　上記の①～③で総合的に評価する。学位審査会の評価内容、および学術雑誌の査読における評価内容も参考とする。　DP①③④			①10% ②20% ③70%

授業科目名	生物統計学後期特論（医療科学専攻）				
主担当教員	原 良昭		担当教員	原 良昭	
科目ナンバリング		科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜5限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

統計学は医学の急速な発展の土台となった学問であり、統計学を修めていることは医療従事者の責務といえる。本科目では医療従事者として必要な統計学の基礎を学習する。

到達目標

1. 統計的仮説検定の論理について理解する。〈DP②③④〉 2. 母集団と確率変数の概念について理解する。〈DP②③④〉 3. 代表的な確率分布の特徴を理解する。 〈DP②③④〉 4. データの代表値や散布度を表す特徴量について理解する。〈DP②③④〉 5. 信頼区間について理解する。〈DP②③④〉 6. 代表的な仮説検定の方法を取得する。〈DP②③④〉 7. 相関分析について理解する。〈DP②③④〉 8. 回帰分析の方法を取得する。〈DP②③④〉 9. カイ二乗検定の方法を取得する。〈DP②③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

本科目は積み上げ型の科目となります。講義でわからないところがあれば、残りの講義もわからなくなります。その回の内容は次回までにわかるように予習・復習を行ってください。

教科書

1. 『基礎から学ぶ統計学』,中原治, 羊土社, ISBN-13: 978-4-7581-2121-7

参考書

1. 『データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門』,阿部真人, ソシム, ISBN-13: 978-4-802-61319-4

研究室／オフィスアワー

C棟7階研究室19 ／ 金曜日4限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	統計学の歴史と学ぶ意義 ・医療の発展に果たした統計学の役割について説明できるようになる。	予習時間:3時間 予習内容: ・教科書を一通り読んで学習する内容の概説を把握しておく。 復習時間:1時間 復習内容: ・講義内容の要約を作成する。	原
2	検定の論理: ・二項検定について説明できるようになる	予習時間:2時間 予習内容: ・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。 復習時間:2時間 復習内容: ・講義内容の要約を作成する。	原
3	統計検定量: ･Wilcoxon-Mann-Whitney検定について説明できるようになる ・統計量について説明できるようになる。	予習時間:2時間 予習内容: ・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。 復習時間:2時間 復習内容: ・講義内容の要約を作成する。	原
4	第1種の過誤と第2種の過誤: ・統計検定の結果に対する解釈の仕方について注意すべき過誤を説明できるようになる。	予習時間:2時間 予習内容: ・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。 復習時間:2時間 復習内容: ・講義内容の要約を作成する。	原
5	母集団と標本: ・平均値について説明できるようになる。 ・分散について説明できるようになる。 ・標準偏差について説明できるようになる。 ・自由度について説明できるようになる。	予習時間:2時間 予習内容: ・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。 復習時間:2時間 復習内容: ・講義内容の要約を作成する。	原
6	正規分布: ・正規分布の特徴について説明できるようになる。 ・データの標準化と標準正規分布の特徴について説明できるようになる。 ・中心極限定理について説明できるようになる。	予習時間:2時間 予習内容: ・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。 復習時間:2時間 復習内容: ・講義内容の要約を作成する。	原
7	信頼区間とt分布: ･標準正規分布の95%信頼区間を説明できるようになる。 ・正規分布に従うデータが与えられたとき、データに基づいて95%信頼区間を算出できるようになる。 ・t分布の特徴を定性的に説明できるようにな	予習時間:2時間 予習内容: ・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。 復習時間:2時間 復習内容: ・講義内容の要約を作成する。	原

	る。		
8	対応のあるｔ検定:　･2群のデータに対応がある場合の ｔ 検定について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
9	対応のないｔ検定:とＰ値:　・2 群のデータに対応がない場合のｔ検定について説明できるようになる。　・有意差について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
10	一元配置分散分析:　・データを与えられたとき、一元配置分散分析を実施することができるようになる。　・一元配置分散分析の特徴をｔ検定と比較して説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
11	多重比較:　・多重比較の概念を説明できるようになる。　・研究において多重性を考慮すべき理由について説明できるようになる。　・ボンフェローニ法について説明できるようになる。　・チューキー・クレーマー法について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
12	相関分析:　・データが与えられたとき、相関係数を算出できるようになる。　・因果関係と相関関係の違いについて説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
13	単回帰分析:　・データが与えられたとき、傾きや切片を算出できるようになる。　・決定係数と相関係数の関係を定量的に説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された教科書の内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
14	統計的独立とカイ二乗検定　・統計的独立について説明できるようになる　・データを与えられたとき、カイ二乗検定を実施できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
15	高度な統計方法:　・重回帰分析、ロジスティック回帰分析、生存時間分析の概要を定性的に説明できるようになる。　・感度と特異度の概念を説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・前回の講義にて指定された内容を要約し、わからない事をまとめる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験<DP①>　※出題範囲:　講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法:試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			1.　100%

授業科目名	医療科学研究方法論（医療科学専攻）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／森谷 正之／澤田 優子／五十嵐 淳介	
科目ナンバリング		科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

医療科学研究に最低限必要なヘルスリテラシーおよび研究計画立案の手法を学ぶことによって、自身の行う後期特別研究に用いる研究方法の質を高め、より適切で信頼性の高い研究が実施できるための基礎固めを行う。

到達目標

１．医療科学研究における共通の規範と研究方法論について理解している。　２．医療科学研究におけるリサーチ・クエスチョンに対して適切な研究方法を選択することができる。　３．エビデンスに基づく医療（EBM）を理解し、EBMの発展に貢献する質の高い研究を見分けることが出来る。　DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

テーマに関わる論文、記事、資料を事前に指定されたときは授業までに目を通し、授業後には自身の専門分野および研究テーマに当てはめ、修得した知識・技術の応用に努めること。　第09回からは輪講形式となります。事前に担当する回を連絡するので、準備をお願いします。

教科書

1回目から7回目まで　　論文、記事、関連資料を適宜配布する。書籍等は特に指定しない。　8回目から15回目まで　　『 認知バイアス入門』,山田典一, ソシム, ISBN: 978-4-80261-426-9

参考書

必要が生じた場合は適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下 適宜対応する。　原 C棟7F研究室19 ／火曜日6限

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	EBM（１）	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	山下
2	EBM（２）	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	山下
3	EBM（３）	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	山下
4	EBM（４）	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	山下
5	EBM（５）	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	山下
6	EBM（６）	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	山下
7	EBM（７）	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	山下
8	因果推論と研究デザイン　・相関と因果関係が異なることを説明できるようになる。　・因果関係を求める代表的な研究デザインとして無作為化比較試験(RCT)の特徴を説明できるようになる。　・代表的な研究デザインであるコホート研究と症例対照研究の特徴を説明できるようになる。	授業前・授業後に提示された資料を読んで理解する。　予習2時間・復習2時間	原
9	適切なデータ分析に必要なバイアスへの理解(1)　・分析者に生ずるバイアスについて概要を説明できるようになる。	教科書の1章を熟読しノートにまとめる。　予習2時間・復習2時間	原
10	適切なデータ分析に必要なバイアスへの理解(2)　・統計的認知バイアスについて概要を説明できるようになる。	教科書の2章を熟読しノートにまとめる。　予習2時間・復習2時間	原
11	適切なデータ分析に必要なバイアスへの理解(3)　・機械学習で発生するバイアスについて概要を説明できるようになる。	教科書の3章を熟読しノートにまとめる。　予習2時間・復習2時間	原

12	適切なデータ分析に必要なバイアスへの理解(4)　・記憶由来のバイアスについて概要を説明できるようになる。	教科書の4章を熟読しノートにまとめる。　予習2時間・復習2時間	原
13	適切なデータ分析に必要なバイアスへの理解(5)　・認識由来のバイアスについて概要を説明できるようになる。	教科書の5章を熟読しノートにまとめる。　予習2時間・復習2時間	原
14	適切なデータ分析に必要なバイアスへの理解(6)　・判断由来のバイアスについて概要を説明できるようになる。	教科書の6章を熟読しノートにまとめる。　予習2時間・復習2時間	原
15	適切なデータ分析に必要なバイアスへの理解(7)　・因果関係の錯覚について概要を説明できるようになる。	教科書の7章を熟読しノートにまとめる。　予習2時間・復習2時間	原
成績評価方法と基準			割合
①レポート(9回目以降の講義では、レポートの代わりに担当された講義資料と講義内容を評価します)＜DP②③④＞　②質疑応答時の発言内容＜DP②③④＞　　＜フィードバックの方法＞　講義開始前に、前回の復習を兼ねた質疑応答を行う。			①70% ②30%

授業科目名	研究倫理特論（医療科学専攻）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁／神田 靖士	
科目ナンバリング		科目区分	共通科目	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限、月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	必修

授業概要

医療科学分野で必要な研究倫理および生命倫理について知識を深め、実際に医療科学研究を行う際に適切な判断・配慮・対処ができる能力を身に付ける。近年社会的問題となった研究倫理および生命倫理に関する事例を取り上げて、その詳細を知り問題点を分析し考察するとともに、海外および国内における関連領域の法令や指針を読み解くことによって研究公正や人権尊重の考え方を深め、どう行動すべきかを修得する。また、利益相反とそのマネージメント、患者の権利の保護、インフォームド・コンセント、研究不正の告発システム等について、その現状および取るべき行動の具体例を学ぶ。

到達目標

1．医療科学研究における研究倫理と生命倫理について、その意味を理解し、研究実施時に適切な行動　　ができる。　2．研究公正や人権尊重に関する国内外の基本的な法令および指針の内容を理解している。　3．研究倫理および生命倫理における審査申請その他の諸手続きが適切に行える。　4．医療科学分野における他者の研究発表や研究論文について倫理的観点から的確な問題指摘と修正提　　案ができる。　DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

オムニバス方式による講義で、実例の紹介と質疑応答を交えながら進行する。　毎回のテーマに関わる論文や記事を事前に検索・入手して目を通し、授業後にはそこから倫理的観点からみた問題点を抽出すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。書籍等は特に指定しない。

参考書

科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－（日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会）　人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省、厚生労働省）　科学研究における健全性の向上について（日本学術会議）

研究室／オフィスアワー

神田　靖士／在室時は訪問可。質問がある場合は授業終了時に申し出て下さい。メールでも随時受付を行います。　メールアドレス：kandas@hirakata.kmu.ac.jp　山下　仁／適宜対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【研究倫理概論】　科学者としての態度や研究公正の意味と重要性	研究公正について調べる	山下
2	【研究不正】　FFP とその具体例、不正告発システム	FFP について調べる	山下
3	【研究者・著者の責任】　研究行為の責務、オーサーシップ、著作権	オーサーシップについて調べる	山下
4	【利益相反】　利益相反の定義・範囲とそのマネージメント	利益相反について調べる	山下
5	【データの管理・保護】　ラボノート、個人情報の保護	個人情報について調べる	山下
6	【法令と指針】　国内外の関連法令および指針の通読と解説	厚労省の臨床研究に関する指針について調べる	山下
7	【倫理審査の申請・臨床試験登録】　研究倫理委員会・IRB の申請および臨床試験事前登録の実際	臨床試験登録のサイトについて調べる	山下
8	【生命倫理概論】　生命倫理とはどのような学問か		神田
9	【尊厳死と安楽死】　尊厳ある生命の終わりと安楽死との相違点		神田
10	【着床前診断と出生前診断】　受精卵、胎児の先天的遺伝性疾患の検査法、優生保護の考え方	レポート	神田
11	【脳死と臓器移植】　脳死はヒトの死か、臓器移植法の改正と臓器移植の現状		神田
12	【再生医療とクローン技術】　ES 細胞、iPS 細胞を利用した再生医療、ヒトクローン胚の考え方	レポート	神田

13	【代理出産】　代理出産とわが国における親子関係のあり方		神田
14	【インフォームド・コンセント】　医療現場における患者の権利と医療従事者の義務	レポート	神田
15	【動物を対象とした研究における倫理観】【総括】　学習した概念相互のつながりの確認と質疑応答		神田
成績評価方法と基準			割合
①レポート　②質疑応答時の発言内容　DP②③④			①70% ②30%

授業科目名	システム生理学特論（医療科学専攻）				
主担当教員	五十嵐　淳介		担当教員	五十嵐　淳介／中原　英博	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

生体には、血液ガスや pH、血圧、体温、血糖の恒常性維持に必要不可欠な動的フィードバック制御システムが備わっている。本特論では、様々な環境条件下において、生体恒常性を維持すべくダイナミックな振る舞いをみせる生体システムの動作原理や、その動的な制御機構の詳細を系統的に研究分析する方法論の基礎（動物実験を含む）と応用を学ぶ。また最新の研究成果についても解説する。

到達目標

生体システムの構造と機能を理解した上で、細胞・組織・個体レベルでそれらがどのように連携して働いているかを、統合的かつ定量的な視点（システム生理学的視点）から説明できる。　DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生理学・解剖学の基礎医学知識を身につけていく必要があります。指定教科書やその他の参考書を用いて、人体の仕組みをまずは臓器生理学のレベルで理解することを目標として下さい。

教科書

論文、資料を適宜配布する。

参考書

Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology, 13e (Guyton Physiology) ISBN-10: 1455770051 ISBN-13: 978-1455770052

研究室／オフィスアワー

五十嵐　淳介／適宜対応する　中原　英博／適宜対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【システム生理学の基礎】　生体システムの階層の理解	運動の生理学（特に呼吸循環代謝系のダイナミクス）の基本的な知識、生体システムの運動に対するダイナミックな振る舞いを理解するための、周波数解析や伝達関数を用いた定量評価に関する基本的な知識、基本的なアルゴリズムについて再確認しておくこと。	五十嵐
2	生体調節系（呼吸・代謝システム）	呼吸器・代謝系臓器の仕組みを予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
3	生体調節系（循環システム）	生体調節系（循環システム）のブロック線図	中原
4	【動的システムの機能同定①】　生体調節系（呼吸・代謝システム）による血液ガス、pH、血糖　維持調節機構の定量解析	呼吸器系のフィードバック調節の仕組みを予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
5	【動的システムの機能同定②】　生体調節系（循環・体温調節系）による、血圧、体温維持調節機構の定量解析	循環器の仕組みを予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
6	循環器系のストレス応答（１）	循環器の仕組みを予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
7	循環器系のストレス応答（２）	循環器の仕組みを予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
8	循環器系のストレス応答（３）	循環器の仕組みを予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
9	循環器系のストレス応答（４）	循環器の仕組みを予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
10	フィードバック制御システムの理解（１）	循環器と他の臓器の応答の仕組みについて予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐

11	フィードバック制御システムの理解（２）	循環器と他の臓器の応答の仕組みについて予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
12	フィードバック制御システムの理解（３）	循環器と他の臓器の応答の仕組みについて予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
13	フィードバック制御システムの解析（１）	循環器と他の臓器の応答の仕組みについて予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
14	フィードバック制御システムの解析（２）	循環器と他の臓器の応答の仕組みについて予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
15	フィードバック制御システムの解析（３）	循環器と他の臓器の応答の仕組みについて予習しておくこと。講義後は指定教科書・配布資料等を用いて復習すること。	五十嵐
成績評価方法と基準			割合
①講義中の発問・質疑応答　②レポート　DP①③			①70% ②30%

授業科目名	臨床神経解剖学特論（医療科学専攻）				
主担当教員	森谷　正之		担当教員	森谷　正之	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜5限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	選択

授業概要

生体活動の基盤は、生体外部あるいは生体内部での環境変化により生じる感覚情報が中枢神経系で処理統合され、その結果として運動が発現し恒常性維持や生活活動が遂行されることで成立している。本特論では、神経系について過去から現在に至る研究方法論や研究成果、知見を検討することを通じて、臨床上重要となる神経系の特性について、神経解剖学の立場から理解を深める。

到達目標

１．生体活動における「形態」と「機能」の関連性について、神経解剖学の立場から説明できる（DP①③）。　２．看護、リハビリテーション、伝統医学、検査技術などの領域で神経系に関連する臨床事項について、神経解剖学的視点から　　説明できる（DP①③）。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

基本的には論文、資料等の講読により講義を進行する。各講義の事前に論文、資料等を配布するのでその内容について学習しておき、講義時に議論できるように準備しておくこと。

教科書

論文、資料等を適宜配布する。書籍等は特に指定しない。

参考書

必要が生じた場合は適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

葵棟5階　　金曜日を除く平日昼休みの時間帯（12：20～12：45）は原則研究室に在室しています。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【神経解剖学とは】　神経解剖学の成り立ちについて	神経解剖学の位置付けについて考えて下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
2	【神経解剖学の歴史】　神経解剖学の歴史について	神経解剖学の歴史について考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
3	【神経解剖学の研究方法】　神経解剖学研究手法について	神経解剖学の方法論について考えて下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
4	【咀嚼と嚥下の神経解剖学】　咀嚼、嚥下機能を制御する神経機構について	咀嚼、嚥下機能を制御する神経機構について考察下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
5	【痛みの基礎知識】　痛みの定義と研究の歴史について	痛みの定義と研究の歴史について考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
6	【痛みのメカニズム】　神経系における痛みの伝達システムについて	痛みの伝達メカニズムについて考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
7	【痛みの制御】　痛みの伝達に関わる物質とその特性について	痛みの伝達に関わる物質とその特性について考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
8	【痛みの治療】　鎮痛のメカニズムについて	末梢性の鎮痛メカニズムについて考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
9	【ガンの痛み】　悪性腫瘍に伴う痛みの特性について	悪性腫瘍に伴う痛みの発生メカニズムや緩和の方法について考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
10	【看護と神経解剖学】　看護領域に関連する神経解剖学の基礎知識	アロデニアなど、看護領域で必要となる疼痛管理について考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
11	【リハビリテーションと神経解剖学】　リハビリテーション領域に関連する神経解剖学の基礎知識	複合性局所疼痛症候群（CRPS）など、リハビリテーションの領域で必要となる疼痛管理について考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
12	【伝統医学と神経解剖学】　鍼灸領域に関連する神経解剖学の基礎知識	鍼灸治療による疼痛管理について考察して下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷
13	【検査技術と神経解剖学】　検査技術に関連する神経解剖学の基礎知識	脳波について調べて下さい（予習と復習合わせて4時間）。	森谷

14	【超高齢化と神経解剖学】　高齢化に伴う神経疾患について	神経変性疾患について調べて下さい（予習と復習合わせて 4 時間）。	森谷
15	【健康長寿と神経解剖学】　健康長寿における神経系の賦活について	神経系の賦活について考察して下さい（予習と復習合わせて 4 時間）。	森谷
成績評価方法と基準			割合
①提出物（DP①③）　②講義発表内容（DP①③）　提出物は原則返却しません。評価方法等の詳細は初回講義時に説明します。			①50% ②50%

授業科目名	分子治療学特論（医療科学専攻）				
主担当教員	川畑　浩久		担当教員	川畑　浩久／前川　佳敬／荻原　俊男	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

近年さまざまな疾患において、遺伝子や様々な分子を標的とした新たな治療法の可能性が検討されている。これは多くの疾患において組織・細胞に形態的・機能的変化をもたらす中心的な因子が生体内の分子であるとする学問的裏付けに基づいている。本講義では、循環器疾患や運動器疾患を中心に、病態の分子メカニズムを分子生物学的実験手法の説明とともに概説し、関連分子を標的とした治療法の開発手法について講義する。

到達目標

1. 循環器疾患や運動器疾患の発症や病態進展における分子メカニズムを理解できる。〈DP③〉　2. またそれらを探索・検証するための実験方法（分子生物学的手法）についても理解し、研究方法について立案できる。〈DP③〉　3. 分子を標的とした治療法の効果や問題点について、実験的な検証方法を立案し、その結果について解析・考察できる。〈DP①③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. オムニバス方式による講義で、知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。　2. 毎回のテーマに関わる論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、不明な用語や手法、疾患,、病態などについては事前に調べておくこと。　3. 授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

参考書

必要が生じた場合は適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

荻原　俊男／適宜対応する　川畑　浩久／適宜対応する　前川　佳敬／適宜対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【分子を標的とした治療法の概説】　分子を標的とした治療の概念と方法	予習：分子治療法の概略について調べておくこと。　復習：分子生物学の基礎を学び、分子治療法の基本戦略について復習し、理解を深めておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	荻原
2	【高血圧症の分子メカニズム】　高血圧症の発症・病態における分子メカニズム	予習：代表的な生活習慣病である高血圧症について調べておくこと。　復習：高血圧症に関する知識と、その制圧の重要性について復習し、理解を深めること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	荻原
3	【高血圧症と分子治療】　高血圧症に対する分子治療法	予習：高血圧症の治療法の現状について調べておくこと。　復習：高血圧治療の新たな展開である分子治療の現状ついてまとめ、理解を深めること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	荻原
4	【老化と分子治療】　分子治療によるアンチエイジング	予習：アンチエイジング分野における新たな治療戦略の概略について調べておくこと。　復習：抗加齢医学の進歩を学び、アンチエイジング分野における新たな治療戦略を理解すること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	荻原
5	【核酸を標的とした分子治療法】　核酸医薬をもちいた分子治療法	予習：核酸医薬について概略を調べておくこと。　復習：核酸医薬の作用メカニズムを理解し、治療応用が期待されている疾患の病態メカニズムについても理解を深めること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	前川
6	【虚血性心疾患と分子治療】　虚血性心疾患に対する分子治療法	予習：虚血性心疾患の病態とそれに対する治療法について調べておくこと。　復習：虚血性心疾患に対する分子治療法の基本戦略と現状についてまとめ、レポートを提出すること。　な	前川

		お予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	
7	【動脈閉塞性疾患と分子治療】　動脈閉塞性疾患に対する分子治療法	予習：閉塞性動脈硬化症の病態とそれに対する治療法について調べておくこと。　復習：閉塞性動脈硬化症に対する分子治療法の基本戦略と現状についてまとめ、理解を深めること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	前川
8	【炎症性疾患と分子治療】　炎症性疾患に対する NF-kB を標的とした分子治療法	予習：アトピー性皮膚炎・炎症性腸疾患・大動脈瘤など各種炎症性疾患に対する治療法について調べておくこと。　復習：アトピー性皮膚炎・炎症性腸疾患・大動脈瘤など各種炎症性疾患に分子治療法の基本戦略と現状についてまとめ、理解を深めること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	前川
9	【関節拘縮と分子治療】　関節拘縮に対する HIF-1 を標的とした分子治療法	予習：関節拘縮の病態について、組織学的な変化や病態関連分子について調べておくこと。　復習：関節拘縮における滑膜組織の線維化メカニズムとこれに対する分子治療法のについて確認、理解しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
10	【自己免疫疾患と分子治療】　関節リウマチに対するサイトカインを標的した分子治療法	予習：関節リウマチの病態について、組織学的な変化や病態関連分子について調べておくこと。　復習：関節リウマチの病態における炎症性サイトカインの関与とそれ対する分子治療法についてまとめ、レポートを提出すること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
11	【骨疾患と分子治療】　骨粗鬆症や骨折修復に対する分子治療法	予習：骨粗鬆症や骨折の病態について、組織学的な変化や病態関連分子について調べておくこと　復習：骨粗鬆症や骨折治療に対する分子治療法について確認、理解しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
12	【分子治療法の検証方法（1)】　分子治療法の作用機序を検証するための組織学的手法（免疫組織化学染色法、in situ hybridization 法）の解説	予習：免疫組織化学染色法、in situ hybridization 法の概略について調べておくこと。　復習：免疫組織化学染色法、in situ hybridization 法の実際について確認、理解しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
13	【分子治療法の検証方法（2)】　分子治療法の作用機序を検証するための分子生物学的手法（mRNA・タンパクの抽出と定量化）の解説	予習：mRNA、タンパクの抽出と定量化の具体的な分析方法の概略について調べておくこと。　復習：mRNA、タンパクの抽出と定量化の具体的な分析手法ならびに結果解析の実際について復習し、理解しておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	川畑
14	【分子治療の現状と課題】　現在行われている分子治療の現状と課題について	予習：現在行われている分子治療の現状と課題について調査しておくこと。　復習：分子治療の現状と課題についてまとめ、レポートを提出すること。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	前川
15	【分子治療の未来】　分子を標的としたオーダーメイド医療について	予習：分子を標的としたオーダーメイド医療について調査しておくこと。　復習：オーダーメイド医療の現状と課題についてまとめておくこと。　なお予習復習をそれぞれ 2 時間ずつ行うこと。	荻原
成績評価方法と基準			割合
1. レポート〈DP①③〉　2. 討論時の発言内容〈DP①③〉　3. 出席は 2/3 とする　4. 課題に対するフィードバックの方法：レポートについては確認後に返却し、必要に応じて解説する。			①70% ②30%

授業科目名	分子病態検査学特論（医療科学専攻）				
主担当教員	前川 佳敬		担当教員	前川 佳敬／森 誠司	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜1限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	選択

授業概要

疾病の本態を解明する、基礎と臨床の両者にまたがった医学・医療の基本となる学問である。

到達目標

１．病因・病態の解明や診断に有用な検査法の理論や手法を説明できる。　２．国際的、学際的な研究の現況や展望などを説明できる。　３．国際的にも通用する自立した研究を実践できる。　DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

オムニバス方式による講義で、知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。　毎回のテーマに関わる論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。教科書の指定はない。

参考書

Robbins and Cotran: Pathologic Basis of Disease, 8th Edition, Saunders　Braunwald's Heart Disease: A Textbook of Cardiovascular Medicine, Single Volume, 10e　Hypertension: A Companion to Braunwald's Heart Disease, 3e　The Biology of Cancer 2nd edition: Robert A. Weinberg, Garland Science

研究室／オフィスアワー

上田　真喜子／C棟研究室５ ： 在室時には、いつでも訪問可です。　森　誠司／月５限以降。これ以外は事前に問い合わせてください。　前川　佳敬／C棟研究室２：部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【血管内皮細胞】　血管内皮細胞の傷害と、修復・再生	学修内容について、予習・復習をすること。	上田
2	【血管平滑筋細胞】　血管平滑筋細胞の脱分化・増殖・再分化メカニズム	学修内容について、予習・復習をすること。	上田
3	【白血球と動脈硬化】　動脈硬化の進展･不安定化メカニズムにおける好中球、単球／マクロファージの関与	学修内容について、予習・復習をすること。	上田
4	【血栓形成機構】　動脈硬化の進展・不安定化における血小板血栓形成メカニズムと、赤血球血栓増大メカニズム	学修内容について、予習・復習をすること。	上田
5	【酸化ＬＤＬと動脈硬化】　動脈硬化の形成・進展・不安定化における酸化―抗酸化バランス破綻と、酸化ＬＤＬの意義	学修内容について、予習・復習をすること。	上田
6	【血液バイオマーカー】　動脈硬化の進展・不安定化における種々の血液バイオマーカーの動態と、早期診断への応用	学修内容について、予習・復習をすること。	上田
7	【動脈硬化とステント治療】　動脈硬化症に対するステント治療と、その後の新生内膜形成・再狭窄メカニズム	学修内容について、予習・復習をすること。	上田
8	【循環器疾患】　心疾患、高血圧症における各種検査法	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
9	【遺伝子】　高血圧症、動脈硬化における遺伝的素因	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
10	【薬物治療】　各種検査による薬効評価方法	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
11	【生命予後】　各種検査を用いた生命予後の推測	学修内容について、予習・復習をすること。	前川
12	【がんの微小環境】　がんに特有な微小環境と悪性化との関連性	学修内容について、予習・復習をすること。	森
13	【がんの浸潤転移】　がんの浸潤・転移の分子メカニズム	学修内容について、予習・復習をすること。	森

14	【がんと血管新生】　がんの増殖と血管新生の分子メカニズム	学修内容について、予習・復習をすること。	森
15	【細胞外マトリックスとがん】　細胞外マトリックスと癌細胞の相互作用	学修内容について、予習・復習をすること。	森
成績評価方法と基準			割合
①レポート　②質疑応答時の発言内容　DP①③			①70% ②30%

授業科目名	計測数理モデル特論（医療科学専攻）				
主担当教員	原　良昭		担当教員	原　良昭	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 5 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

適切な数理モデルの作成はその事象への理解を大幅に高めることができます。例えば、適切な人体の数理モデルを用いると実際のヒトには行えない事項に対する結果を精度良く予測することができます。適切な数理モデルの作成には、適切な計測法により得られた精度の良い実際のデータを適切に処理する必要があります。本科目では計測法とデータ処理から始め、微分方程式による数理モデルの構築方法について学習します。

到達目標

1. 対象物に応じた適切な計測方法を理解する。　2. 微分方程式で事象を表現する考え方を習得する。　3. 微分方程式モデルの構築方法と解析方法を理解する。　DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

数理モデルの理解・構築には、微分方程式の理解が必須です。微分・積分といった数学的知識を理解していることが望ましい科目となります。本科目は輪講形式で実施します。初回に担当する回を決めます。

教科書

論文、関連資料を適宜配布する。書籍等は特に指定しない。

参考書

必要が生じた場合は適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

C 棟 7F 研究室 19) 月曜日 5 現

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　・本科目に必要となる数学知識について説明します。　・輪講の担当を決めます。　・数理モデルの基礎について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・微分と積分の基礎を復習しておく。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
2	計測の基礎　・ノイズについて説明できるようになる。　・誤差について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
3	電圧と電流の測定　・電流計の仕組みについて説明できるようになる。　・電圧計の仕組みについて説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
4	アナログ量とディジタル量　・アナログ量とディジタル量の違いについて説明できるようになる。　・AD 変換について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
5	生体計測に用いられるセンサ 1　・力や温度を計測する代表的なセンサについて説明できるようになります。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
6	生体計測に用いられるセンサ 2　・光を計測する代表的なセンサについて説明できるようになります。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
7	統計解析の基礎　・点推定と区間推定の考え方を説明できるようになる。　・仮説検定の考え方を説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
8	欠損データと回帰分析　・欠損データへの対応について説明できるようになる。　・重回帰分析について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原

9	時系列データの解析　・時系列データの扱い方について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
10	異常値の評価　・異常値の扱いについて説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
11	微分方程式入門　・微分方程式の基礎を説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
12	ラプラス変換　・ラプラス変換について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
13	数理モデルの構築と解析 1　・梁を対象とした数理モデルについて説明できるようになる。CR 回路を対象とした数理モデルについて説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
14	数理モデルの構築と解析 2　・感染症の数理モデルについて説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
15	数値解析　・数値解析の基礎について説明できるようになる。	予習時間:2 時間　予習内容:　・配布された資料に記載されている用語を調べる。　復習時間:2 時間　復習内容:　・講義内容の要約を作成する。	原
成績評価方法と基準			割合
1.定期試験<DP①>　※出題範囲: 講義内で扱った範囲を対象として筆記試験を行います。詳細は講義中に説明します。　※フィードバック方法: 試験問題は持ち帰り可とし、正答を掲示します。			①.100%

授業科目名	生体情報解析学特論（医療科学専攻）				
主担当教員	山口　功		担当教員	山口　功／山本　浩一	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜3限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	選択

授業概要

先端医療量子科学分野における生体情報は、多種多様な領域に渡り研究、開発が進んでいる。また、基礎的な分野での知識や情報が、要不可欠な領域である。特に、Biological 的なメカニズムは、量子科学分野における生体情報から、多種多様なパラメータを抽出し、それを基に解析し評価する必要がある。一方、各医療画像(MRI, CT, SPECT 及び PET)から得られる血流や代謝などの生体機能情報を解析し、分子イメージング手法を用いることで、前述したミクロ的およびマクロ的な生体情報を得て、総合的な生体情報を解析し、新たな知見や手法を開発することを目的とする。

到達目標

1.病態発症/症状悪化における生体情報の変化を定量的に抽出し・解析する方法を理解できる。(DP③)　2.神経生理学・薬理学的立場から、生体情報の変化を正常に戻すために必要な方法を説明できる。(DP③)　3.各種医療画像に含まれる生体情報を定量的に抽出し、それに伴う論理的なシミュレーション解析などの方法及び評価を理解できる。(DP③)　4.生体情報を基にした解析法や評価法について、論理的及び実験的に検証方法を立案し、その結果について解析及び評価できる。(DP①)

履修上の注意(学生へのメッセージ)

１．オムニバス方式による講義で、知識や実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。　２．毎回のテーマに関わる論文、資料を事前に準備し、その内容の理解と不明な箇所を調査しておくこと。　３．講義後に、自身の研究テーマに当てはめてしっかりと理解をすること。

教科書

基本的に英語論文、関連記事を適宜配布する。書籍などは、特に指定しない。

参考書

必要性が生じた場合は適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

山口　功/適宜対応する　山本　浩一/適宜対応する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	History and Scientific Background of Pharmacology	薬理学の原理を習得する	山本
2	Physio-Pharmacological Techniques to Measure Biological Information 1	生理学的－薬理学的手法を用いた生体情報検出技術について、その原理と応用を習得する。（in vitro study を中心）	山本
3	Physio-Pharmacological Techniques to Measure Biological Information 2	生理学的－薬理学的手法を用いた生体情報検出技術について、その原理と応用を習得する。（in vivo study を中心）	山本
4	Applications in Pharmacology of Medications used in Behavioral Disorder	行動学的異常の評価法とその薬物治療について習得する。	山本
5	Applications in Pharmacology of Medications used in Gastrointestinal disease	消化管障害の評価法とその薬物治療について習得する。	山本
6	Applications in Pharmacology of Medications used in bone disease	骨疾患の評価法とその薬物治療ついて習得する。	山本
7	Oral-presentation of applications in Pharmacology of Medications	1-6 回の内容を、60 分以内に纏めプレゼンの準備を行う。	山本・山口
8	History and Scientific Background of Medical Imaging	医用画像の原理を習得する。	山口
9	Image Reconstruction for MRI and CT	MRI＆CT 画像の再構成理論と応用を習得する。	山口
10	Image Reconstruction for SPECT and PET	SPECT&PET 画像の再構成理論と応用を習得する	山口
11	Fundamental Concept and Image Analysis-1	機能的な Imaging から、パラメータを抽出＆分析評価する方策を習得する。	山口
12	Fundamental Concept and Image Analysis-2	機能的な Imaging から、パラメータを抽出＆分析評価する方策を習得する。	山口

13	Quantitation in Biomedical Imaging with PET and MRI-1	分子イメージングの観点から、機能、代謝の情報を PET&MRI 処理から習得する（Functional PET）	山口
14	Quantitation in Biomedical Imaging with PET and MRI-2	分子イメージングの観点から、機能、代謝の情報を PET&MRI 処理から習得する（Functional MRI）	山口
15	Oral-presentation of Quantitation in Biomedical Imaging.	8-14 回の内容を、60 分以内に纏めプレゼンの準備を行う。	山口・山本
成績評価方法と基準			割合
１．レポート（DP①②）　２．討論時での発言内容(DP①③)　３．出席は 2/3 とする。			１．　70 % ２．30%

授業科目名	介護予防技術開発特論（医療科学専攻）				
主担当教員	前田　薫		担当教員	前田　薫／澤田　優子	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

医療科学の視点から、介護を要する疾患のリスク因子を知り、健康寿命延伸のために効果的な介入を紹介する。さらに、介入自体の妥当性を検証し、その効果判定について講義する。ポピュレーションアプローチとしての 1 次予防、虚弱高齢者に対する 2 次予防および疾患の重度化予防である 3 次予防における代表的な介入について講義する。

到達目標

1. 介護を要する疾患のリスクおよび介護予防に効果的な介入を文献レビューし、医療科学的な視点から深い洞察を加えることが　　できる。<DP①③>　2. 1, 2, 3 次予防の必要性を医療科学的な視点で説明できる。<DP①③>　3. 自身が行う予定の特別研究において、介護予防介入を計画することができる。<DP①③>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

オムニバス方式による講義で、知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。　毎回のテーマに関する論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。教科書の指定はない。

参考書

質疑に応じて、適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

前田／事前にアポイントメントをメールにてとってください。適宜対応します。　澤田／事前にアポイントメントをメールにてとってください。適宜対応します。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【介護予防概論】　介護予防の概念および健康寿命延伸のための戦略	予習：健康寿命に関連する文献レビュー（２時間）.　復習：講読した論文をレビュー表にまとめる（２時間）.	前田
2	【高齢医療学概論】　老化のメカニズムと病態の理解	予習：老化に関連する文献レビュー（２時間） 復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	澤田
3	【高齢者総合機能評価】　高齢者の生活機能評価と臨床応用	予習：高齢者生活機能評価に関する文献レビュー（２時間）　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	澤田
4	【多職種連携】　高齢者ケアにおけるチーム医療	予習：高齢者ケアに関する文献レビュー（１時間）　予習：チーム医療に関する文献レビュー（１時間）　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	澤田
5	【包括的医療】　高齢者における全人的医療	予習：高齢者に関する総説を読み解き、高齢者医療を考察する（２時間）　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	澤田
6	【高齢者の立位バランス】　当該テーマに関するに関する基礎研究のレビュー	予習：事前に配布する文献を読み、不明点を明らかにしておく。(２時間)　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	前田
7	【高齢者の歩行安定性】　当該テーマに関するに関する基礎研究のレビュー	予習：事前に配布する文献を読み、不明点を明らかにしておく（２時間)。　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間)。	前田
8	【高齢者の立位バランスと歩行安定性の評価】立位バランスと歩行安定性の評価法に関する研究のレビュー	予習：事前に配布する文献を読み、不明点を明らかにしておく。(２時間)　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある	前田

		事項を記録しておく（２時間）	
9	【高齢者の立位バランスの改善の試み】　該テーマに関する文献レビュー	予習：事前に配布する文献を読み、不明点を明らかにしておく。（２時間）　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	前田
10	【高齢者の歩行安定性の改善の試み】　該テーマに関する文献レビュー	予習：事前に配布する文献を読み、不明点を明らかにしておく。（２時間）　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	前田
11	【認知症発症のリスク因子】　認知症発症を結果指標とした疫学研究	予習：認知症発症のリスクに関する文献レビュー（１時間）　予習：認知機能低下抑制に関する文献レビュー（１時間）　復習；講読した論文の文献レビュー表を作成する（２時間）.	澤田
12	【認知症予防のための介入技術】　認知症予防のエビデンス	予習：認知症予防に関する総説を講読する（２時間）.　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	澤田
13	【転倒発生のリスク因子】　転倒発生を結果指標とした疫学研究	予習：転倒のリスクに関する文献レビュー（２時間）.　復習：講読した論文の文献レビュー表を作成する（２時間）.	前田
14	【転倒予防のための介入技術】　転倒予防のエビデンス	予習：転倒予防に関する総説を講読する（２時間）　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	前田
15	【介護予防介入のための効果判定】　認知症予防・転倒予防の効果判定指標	予習：認知症予防・転倒予防介入の原著論文を講読する（２時間）.　復習：講義内容から、自らの研究に取り入れられる可能性のある事項を記録しておく（２時間）	前田
成績評価方法と基準			割合
①課題レポート＜DP①③＞　②質疑応答時の発言内容＜DP①③＞			①70% ②30%　フィードバック：レポートの採点結果について希望があれば開示する。

授業科目名	生活支援技術開発特論（医療科学専攻）				
主担当教員	由利　禄巳		担当教員	由利　禄巳	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

本講義では障害者や高齢者の生活支援を対象とする．　高齢期の生活障害の評価，予防，支援方法，効果判定に関する研究や支援技術の開発に関する研究を紹介する．　研究の紹介から，障害者や高齢者の生活支援に関わるための理論や課題解決方法の探求に関して講義する．

到達目標

１．障害者や高齢者の生活支援に関する文献レビューから，これまで扱われた課題とその解決方法を理解し，説明できる．＜DP①③＞　　２．障害者や高齢者の生活支援に関わるための理論と研究手法が理解できる．＜DP①③＞　　３．生活行為障害の評価，予防，支援方法，効果判定について検討し，研究課題の提案ができる＜DP①③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

オムニバス方式による講義で，理論や知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する．　テーマに関する論文，記事，資料については，担当教員から指定するだけでなく，学生自身の自主的な提案を尊重する．　授業後に自身の専門分野や研究テーマに当てはめて，研究課題解決手法に関する理解の確認課題により理解の確認を行う．

教科書

論文，記事，関連資料を適宜配布する．教科書の指定はない．

参考書

質疑に応じて，適宜紹介する．

研究室／オフィスアワー

都度指示する

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【生活支援技術開発概論】　オリエンテーション	予習：障害者・高齢者の生活障害に関する文献を読む（２時間）　復習：関心のあるテーマやキーワードを列挙する（２時間）	由利
2	【障害者の生活支援】　障害者の生活障害の理解	予習：障害者の生活障害関する文献を読む　復習：障害者の生活障害の課題を考察する（２時間）	由利
3	【障害者の生活支援】　障害者の生活障害支援の理論	予習：障害者の生活障害支援理論に関する文献を読む（２時間）　復習：障害者の生活障害支援理論を考察する（２時間）	由利
4	【障害者の生活支援】　障害者の生活障害における評価	予習：障害者の生活障害支援評価に関する文献を読む（２時間）　復習：障害者の生活障害支援評価に関して考察する（２時間）	由利
5	【障害者の生活支援】　障害者の生活支援技術	予習：障害者の生活障害支援技術に関する文献を読む（２時間）　復習：障害者の生活障害支援技術に関して考察する（２時間）	由利
6	【障害者の生活支援】　障害者の生活支援の課題と研究手法	予習：障害者の生活障害支援技術の課題と研究手法に関する文献を読む（２時間）　復習：障害者の生活障害支援の課題と研究手法に関して考察する（２時間）	由利
7	【高齢者の生活支援】　高齢者の生活障害の理解	予習：高齢者の生活障害関する文献を読む　復習：高齢者の生活障害の課題を考察する（２時間）	由利
8	【高齢者の生活支援】　高齢者の生活障害支援の理論	予習：高齢者の生活障害支援理論に関する文献を読む（２時間）　復習：高齢者の生活障害支援理論を考察する（２時間）	由利
9	【高齢者の生活支援】　高齢者の生活障害における評価	予習：高齢者の生活障害支援評価に関する文献を読む（２時間）　復習：高齢者の生活障害支援評価に関して考察する（２時間）	由利
10	【高齢者の生活支援】　健康高齢者への介護予防	予習：健康高齢者への介護予防に関する文献を読む（２時間）　復習：健康高齢者への介護予防に関して考察する（２時間）	由利

11	【高齢者の生活支援】　高齢者の生活支援の課題と研究手法	予習：高齢者の生活障害支援技術の課題と研究手法に関する文献を読む（２時間）　復習：高齢者の生活障害支援の課題と研究手法に関して考察する（２時間）	由利
12	【介護予防概論】　健康高齢者への介護予防戦略	予習：健康高齢者の介護予防に関する文献レビュー（2 時間）.　復習：講読した論文をレビュー表にまとめる（2 時間）.	由利
13	【作業療法介入】　作業を中心とした高齢者の評価に関する研究（AMPS, COPM）	予習：作業を中心とした高齢者の評価に関する文献レビュー,　復習；講読した論文の文献レビュー表を作成する（2 時間）.	由利
14	【作業療法介入】　作業を中心とした高齢者のプログラムに関する研究（Life style redesign program）	予習・復習：Life style redesign program を講読し，考察する（4 時間）.	由利
15	【生活支援技術開発概論】　まとめ	予習・復習：生活支援技術に関して理解したことをまとめる（４時間）	由利
成績評価方法と基準			割合
①課題レポート＜DP①③＞　②質疑応答時の発言内容＜DP①③＞			①70% ②30%

授業科目名	心理社会作業療法学特論（医療科学専攻）				
主担当教員	橋本　弘子		担当教員	橋本　弘子	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日・時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	選択

授業概要

現在における様々な障害に対して、心理的要因と環境の社会的要因が身体的および精神的健康と機能する能力に及ぼす複合的な影響について、作業療法の視点から考える。

到達目標

１．心理社会的問題を健康および社会的ケアなどの幅広い観点でとらえ洞察できる＜DP①③＞　２．あらゆる障害に対して心理社会的な作業療法のアプローチを提案できる＜DP①③＞　３．自身の研究において心理社会的な視点で考察し、研究計画に反映させることができる＜DP①③＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ディスカッションを中心とした講義で、知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。　毎回のテーマに関する論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。教科書の指定はない。

参考書

質疑に応じて、適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

木曜日 2 限目（10：40-12：10）

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	個別に相談して決定する	個別に相談して決定する	橋本
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

成績評価方法と基準	割合
①課題レポート＜DP①③＞　②質疑応答時の発言内容＜DP①③＞	①70% ②30%

授業科目名	鍼灸医療技術開発特論（医療科学専攻）				
主担当教員	山下 仁		担当教員	山下 仁	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜4限
授業形態	講義	単位数	2単位	必修･選択	選択

授業概要

鍼灸が現代医療に導入されるにあたって必要な臨床的エビデンス、臨床応用可能性の検証法、治療技術開発および臨床応用の前例などを学ぶ。鍼灸における臨床研究手法、トランスレーショナル・リサーチの例、安全性検証法、安全技術の開発手法、灸の組織再生補助技術、鍼と脳高次機能解析などの知識と技法について学修する。

到達目標

鍼灸の臨床的エビデンスと研究方法を検証する。 1. ランダム化比較試験とその対照群の設定方法、安全性検証のための前向き調査の方法について理解している。。〈DP①〉 2. 安全な施術のために必要な器具・機器の仕様、およびその国際的規格とその開発方法について説明できる。〈DP③〉 3. エビデンスの示されている鍼灸の臨床応用可能性について説明できる。〈DP③〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

オムニバス方式による講義で、知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。 毎回のテーマに関わる論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。 復習・予習は各時間行うこと。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。書籍等は特に指定しない。

参考書

必要が生じた場合は適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

山下 仁／東棟4階研究室24、昼休み随時相談

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	【臨床研究方法論概論】 研究方法論とエビデンス・レベル、薬剤臨床試験と鍼灸臨床研究の違い	エビデンス・レベルについて予習すること	授業内で案内
2	【鍼灸のランダム化比較試験】 ランダム化比較試験の実際、実施上のルール、報告基準（CONSORT、STRICTA）	ランダム化比較について予習すること	授業内で案内
3	【鍼灸のメタアナリシス】 データの統合、バイアス・リスク、GRADEシステム	メタアナリシスについて予習すること	授業内で案内
4	【基礎と臨床の橋渡し】 鍼灸におけるトランスレーショナル・リサーチの解釈と実例	授業内で案内	授業内で案内
5	【安全性検証(1)】 主な検証方法論、有効性検証との違い	授業内で案内	授業内で案内
6	【安全性検証(2)】 多施設前向き調査の手法と実例	授業内で案内	授業内で案内
7	【安全性検証(3)】 安全性向上技術の手法、環境設定、臨床現場へのフィードバック	授業内で案内	授業内で案内
8	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内
9	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内
10	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内
11	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内
12	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内
13	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内
14	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内

15	最新文献講読	授業内で案内	授業内で案内
成績評価方法と基準			割合
①レポート。〈DP①、③〉　②質疑応答時の発言内容。〈DP③〉			①70% ②30%

授業科目名	臨床理学療法技術開発特論（医療科学専攻）				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎／堀　竜次	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

理学療法およびその評価を行う上で必要な基礎医学，応用科学的検証法さらに，技術開発に向けた研究手法を学ぶ.

到達目標

臨床理学療法と基礎医学の GAP を論文上から明らかにし，問題点を科学的に議論できる（DP１）　自身および他社の研究計画を客観的に吟味し，科学的批判を行い，修正案を示すことができる（DP1,2,3,4）

履修上の注意(学生へのメッセージ)

毎回のテーマに関わる論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。　復習・予習は各時間行うこと。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。書籍等は特に指定しない。

参考書

必要が生じた場合は適宜紹介する

研究室／オフィスアワー

月曜午後・水曜日午後（ただし会議等でいないこともあります）　その他、部屋にいればいつでも訪問可です。質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション	適宜，指示する	工藤
2	Clinical Question を議論する	適宜，指示する	工藤
3	Research Question に昇華する	適宜，指示する	工藤
4	PICO を Firmness で評価する	適宜，指示する	工藤
5	プレゼンテーション	適宜，指示する	工藤
6	プレゼンテーション	適宜，指示する	工藤
7	プレゼンテーション	適宜，指示する	工藤
8	批判的吟味	適宜，指示する	工藤
9	批判的吟味	適宜，指示する	工藤
10	批判的吟味	適宜，指示する	工藤
11	修正案の作成	適宜，指示する	工藤
12	修正案の作成	適宜，指示する	工藤
13	修正案の作成	適宜，指示する	工藤
14	最終プレゼンテーション	適宜，指示する	工藤
15	最終プレゼンテーション	適宜，指示する	工藤

成績評価方法と基準	割合
①レポート。〈DP①、③〉　②質疑応答時の発言内容。〈DP③	①70　% ②30%

授業科目名	バイオメディカルエンジニアリング特論（医療科学専攻）				
主担当教員	中沢　一雄		担当教員	中沢　一雄／稲田　慎	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

生物学、医学、工学の連携に向けて、数学的な基礎から臨床応用まで、コンピュータシミュレーション技術の習得を中心とした講義を行う。応用例として、不整脈シミュレーションと不整脈の治療に向けた最新の研究事例などを紹介する。

到達目標

数学・物理学を基礎として生物学・医学への応用へとつながる、シミュレーション工学の基盤技術と関連知識を身につける。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

生物学、医学、工学のコラボレーションについて学んで欲しいと思います。

教科書

なし。講義資料を配付する。

参考書

なし。

研究室／オフィスアワー

中沢：C 棟 7 階研究室 20/金曜日９時～１０時３０分　稲田：C 棟 7 階研究室 14/月曜日１０時４０～１２時１０分

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	システムとモデル	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
2	数学的準備：微分方程式	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
3	アナログ信号とディジタル信号	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
4	生体信号解析	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
5	生体リズム	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
6	生体システムの平衡点解析	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
7	非線形解析	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
8	コンパートメントモデル	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
9	神経モデル	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
10	心臓モデル	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
11	微分方程式の数値解法	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
12	数値シミュレーション	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
13	不整脈シミュレーション１	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
14	不整脈シミュレーション２	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎
15	不整脈の可視化システムと臨床応用	予習：特になし　復習：講義資料の確認　レポート作成　学習所要時間の目安：4 時間	中沢　一雄 稲田　慎

成績評価方法と基準	割合
①平常点評価＜DP①③＞　②課題評価（レポート提出、内容など）＜DP①③＞　提出されたレポートについてディスカッションを行う。	①60% ②40%

授業科目名	放射線技術開発特論（医療科学専攻）				
主担当教員	小縣　裕二		担当教員	小縣　裕二／西浦　素子	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	金曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	選択

授業概要

放射線技術は放射線診療の根幹をなす重要な領域であり、新たな技術が導入されるにあたって必要な臨床的エビデンス、臨床応用可能性の検証法、技術開発および臨床応用の前例などを学ぶ。また、放射線診療における臨床研究手法、安全性検証法、技術の開発手法、画像解析法などの知識と技法について学修する。

到達目標

1. 放射線技術について、分類することができる。　2. 自己の研究・経験をもとに、臨床的あるいは基本的な放射線技術の問題について、焦点化することができる。　3. 特定領域の放射線技術開発について新たな方向性や方法を提案できる。　DP①③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

対話型講義で、知識・実例の解説と質疑応答を交えながら進行する。　毎回のテーマに関わる論文、記事、資料を事前に指定するので目を通し、授業後には自身の専門分野と予定している研究テーマに当てはめて未解決の課題を抽出すること。　復習・予習は各時間行うこと。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。書籍等は特に指定しない。

参考書

必要が生じた場合は適宜紹介する。

研究室／オフィスアワー

小縣　裕二　さくら棟 5 階　研究室 1　／　随時対応

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	放射線技術開発特論（総論）①	自分自身の研究分野についてまとめておく。	小縣
2	放射線技術開発特論（総論）②	自分自身の研究分野についてまとめておく。	小縣
3	放射線技術開発特論（総論）③	自分自身の研究分野についてまとめておく。	小縣
4	放射線技術の問題点について①	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
5	放射線技術の問題点について②	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
6	放射線技術の問題点について③	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
7	放射線技術開発について①	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
8	放射線技術開発について②	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
9	放射線技術開発について③	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
10	新たな放射線技術の提案①	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
11	新たな放射線技術の提案②	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
12	新たな放射線技術の提案③	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
13	新たな放射線技術の評価①	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
14	新たな放射線技術の評価②	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣
15	新たな放射線技術の評価③	学修内容について、予習・復習をすること。	小縣

成績評価方法と基準	割合
「プレゼンテーション」、「質疑応答等の発言内容」等で評価する　DP①③	100%

授業科目名	後期専門演習（医療科学専攻):工藤				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー 該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	後期	曜日･時限	月曜 1 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

後期専門演習は、後期特別研究の研究指導教員の下で、前半は自身の行う研究で用いようとしている研究手法について論文や資料を読んで教員と議論しながら具体的な技術を模索し体得させる。後半は、各学生の研究領域および医療資格に最も近い臨床現場に出向き、参与観察を行いながら医療における具体的な課題を抽出し、それを解決あるいは改良できるような研究を構想する作業に取り組ませる。　　前半は特別研究で用いようとしている研究手法について論文や資料を読んで教員と討論しながら具体的な技術を模索し体得させる。後半は、臨床における問題点を通じてその解決策を図るための分析方法を検討する。

到達目標

１．自身の行う特別研究で用いる研究手法の具体的な技術を熟知しており、実行することができる。　２．自身の研究領域に関連する医療上の課題が分析でき、それを論理的に説明することができる。　３．自身の研究領域に関連する医療上の課題の解決・改善のための方策をいくつか考案でき、その検証　　作業計画を立案できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

前半は論文・資料の通読と討論を行います。　論文を事前に検索・入手して目を通し、授業後には授業で得たポイント、アイデア、問題点、および分析を文章化して記録すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

参考書

論文、書籍、関連資料など紹介する。

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	論文・書籍・資料の講読	時宜に応じた資料を提供するので読んでおく。以下同じ。	全回：研究指導教員
2	論文・書籍・資料の講読		
3	論文・書籍・資料の講読		
4	論文・書籍・資料の講読		
5	論文・書籍・資料の講読		
6	論文・書籍・資料の講読		
7	論文・書籍・資料の講読		
8	臨床現場観察（１）		
9	臨床現場観察（２）		
10	臨床現場観察（３）		
11	臨床現場観察（４）		
12	臨床現場観察（５）		
13	総括と方策立案：　前半に読んだ先行研究の内容を参考にして問題解決の方策とその検証方法を立案		
14	総括と方策立案：　問題解決の方策とその検証方法を立案したものをプレゼンテーション、修正		

15	総括と方策立案：　問題解決の方策とその検証方法を立案		
成績評価方法と基準			割合
①レポート　②討論時の発言内容で評価する。			①70% ②30%

授業科目名	後期特別研究Ⅰ（医療科学専攻):工藤				
主担当教員	工藤　慎太郎		担当教員	工藤　慎太郎	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(月曜 1 限)、後期(金曜 1 限)
授業形態	演習	単位数	4 単位	必修･選択	必修

授業概要

後期特別研究Ⅰは、後期特別研究の研究指導教員の下で、前半は自身の行う研究で用いようとしている研究手法について論文や資料を読んで教員と議論しながら具体的な技術を模索し体得させる。後半は、各学生の研究領域および医療資格に最も近い臨床現場に出向き、参与観察を行いながら医療における具体的な課題を抽出し、それを解決あるいは改良できるような研究を構想する作業に取り組ませる。　　前半は特別研究で用いようとしている研究手法について論文や資料を読んで教員と討論しながら具体的な技術を模索し体得させる。後半は、臨床における問題点を通じてその解決策を図るための分析方法を検討する。

到達目標

１．自身の行う特別研究で用いる研究手法の具体的な技術を熟知しており、実行することができる。　２．自身の研究領域に関連する医療上の課題が分析でき、それを論理的に説明することができる。　３．自身の研究領域に関連する医療上の課題の解決・改善のための方策をいくつか考案でき、その検証　　作業計画を立案できる。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

前半は論文・資料の通読と討論を行います。　論文を事前に検索・入手して目を通し、授業後には授業で得たポイント、アイデア、問題点、および分析を文章化して記録すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

参考書

論文、書籍、関連資料など紹介する。

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	論文・書籍・資料の講読	時宜に応じた資料を提供するので読んでおく。以下同じ。	全回：工藤
2	論文・書籍・資料の講読		
3	論文・書籍・資料の講読		
4	論文・書籍・資料の講読		
5	論文・書籍・資料の講読		
6	論文・書籍・資料の講読		
7	論文・書籍・資料の講読		
8	臨床現場観察（１）		
9	臨床現場観察（２）		
10	臨床現場観察（３）		
11	臨床現場観察（４）		
12	臨床現場観察（５）		
13	総括と方策立案：　前半に読んだ先行研究の内容を参考にして問題解決の方策とその検証方法を立案		
14	総括と方策立案：　問題解決の方策とその検証方法を立案したものをプレゼンテーション、修		

	正		
15	総括と方策立案：　問題解決の方策とその検証方法を立案		
成績評価方法と基準			割合
①レポート　②討論時の発言内容で評価する。			①70% ②30%

授業科目名	後期特別研究Ⅲ（看護博士後期):内田				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング		科目区分	特別研究科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	3 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 5 限
授業形態	演習	単位数	4 単位	必修･選択	必修

授業概要

後期特別研究は、1～3 年次まで継続される学位論文作成に直接関わる科目であり、各指導教員の研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する。後期特別研究Ⅲでは、学術雑誌への投稿、査読対応、学位論文作成および最終発表（公聴会）を行わせる。　　がん患者や手術患者に対する QOL 向上を目指した看護実践の検証や医療支援、サポートシステムの構築等に関する研究を行う。　具体的には、後期特別研究Ⅰ・Ⅱを踏まえてデータ収集し、成果を文章化して学術雑誌に投稿した論文について、査読コメントに対応して掲載まで至らせる。また、実施した一連の研究作業と成果をまとめて学位論文（主論文）を作成させ、その内容を最終報告会で発表させる。

到達目標

１．学術雑誌に投稿した論文の査読コメントに適切に対応できる。 ２．一連の特別研究の作業内容と結果と考察を博士論文としてまとめて完成させることができる。 ３．研究の最終報告に必要なスライドと配布資料が作成でき、それらを用いた発表と質疑応答ができる。４.自身の研究について指摘された問題点を冷静に分析し､適切に修正することができる。DP①②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究室において論文執筆、査読コメントへの対応、スライド作成などについて個別指導する。学位論文のセクションごとに修正点と具体的な修正方法を指導し、学位論文の完成と提出に導く。 必要な関連文献はすべて事前に検索・入手して通読し、学位論文の修正すべき点についても事前に修正案を作成しておく。授業前・中・後に行った作業、議論のポイント、変更内容、気付き、疑問、考察、投稿や査読コメント受け取りの日付など、すべてを詳細にラボノートに記録すること。

教科書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

参考書

論文、記事、関連資料を適宜配布する。

研究室／オフィスアワー

西棟 334 研究室／随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	投稿した学術雑誌の査読コメントへの対応に関する討論	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	全回：担当指導教員
2	査読コメントへの対応決定にもとづく論文修正と提出	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
3	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
4	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
5	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
6	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
7	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
8	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
9	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
10	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
11	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
12	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
13	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	

14	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
15	一連の研究作業と成果をまとめて博士論文を作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
16	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
17	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
18	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
19	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
20	博士論文の各セクションについて議論と修正	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
21	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
22	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
23	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
24	公聴会のスライドおよび配布資料の作成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
25	公聴会における発表に関するディスカッション	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
26	公聴会の質疑応答と口頭試問の内容を踏まえて博士論文を修正して完成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
27	公聴会の質疑応答と口頭試問の内容を踏まえて博士論文を修正して完成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
28	公聴会の質疑応答と口頭試問の内容を踏まえて博士論文を修正して完成	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
29	作業過程で作成した記録と収集したデータ・資料などについて所在と管理状況を確認し、分類・整理して保管	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
30	特別研究のすべての過程をレビューして評価点・反省点・改善点を抽出し、今後の展開について検討	関連文献を読んで質問・議論する事項をまとめておく	
成績評価方法と基準			割合
①査読コメントへの対応と投稿論文修正の完成度 ②公聴会の発表と質疑応答と口頭試問の対応内容 ③博士論文の完成度 上記の①～③で総合的に評価する。学位審査会の評価内容、および学術雑誌の査読における評価内容も参考とする。 DP①②③			①10% ②20% ③70%

授業科目名	後期特別研究Ⅰ(看護博士後期):内田				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①③④
配当年次	1年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜5限
授業形態	演習	単位数	4単位	必修･選択	必修

授業概要

後期特別研究は、1～3 年次まで継続される学位論文の研究に関わる科目であり、各指導教員のスーパーバイズの元で、各自の研究テーマにそって研究のすべての過程を遂行する。　後期特別研究Ⅰでは、リサーチ・クエスチョンに基づく研究テーマの設定、先行研究レビュー、研究計画立案、研究倫理審査申請、およびプロトコール発表を行う。

到達目標

１．研究テーマに関する国内外の先行研究について検索・入手・通読し、それらの詳細を理解している。　２．リサーチ・クエスチョンが明確であり、先行研究を踏まえて研究計画を立案することができる。　３．自分の計画した研究のオリジナリティと限界を理解しており、それを説明することができる。　４．倫理的な配慮を理解し、研究倫理審査委員会に提出する書類が作成できる。　５．研究プロトコールに関する必要なスライドと配布資料が作成でき、それらを用いた発表と質疑応答ができる。　DP①③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

研究室において論文・資料・コンピューター等を適宜用いて個別指導する。まずは自発的な発想と行動にもとづいて作成した原案を提出させ、それを討論と示唆により修正させるプロセスを反復する。　必要な先行論文は早期にすべて検索・入手して分類し、不明な用語・概念・手法については事前に調べておくこと。授業前・中・後に生じたアイデア、資料、行動、討論、指導の内容も含め、すべてをラボノートに記録すること。

教科書

特に定めない

参考書

特に定めない。　採用する研究方法について、関連図書を探索し熟読する

研究室／オフィスアワー

随時

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス：　特別研究の概要と目的、1年間の予定、留意事項など	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	全回：担当指導教員
2	研究テーマの仮設定：　可能性のある研究テーマのリストアップ	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
3	先行研究論文の検索：　文献データベースを用いた先行研究文献の検索	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
4	先行研究論文講読：　仮設定したテーマに関する研究の現状に関する情報入手	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
5	先行研究論文講読：　仮設定したテーマに関する研究の現状に関する情報入手	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
6	先行研究論文講読：　仮設定したテーマに関する研究の現状に関する情報入手	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
7	先行研究論文講読：　仮設定したテーマに関する研究の現状に関する情報入手	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
8	先行研究論文講読：　仮設定したテーマに関する研究の現状に関する情報入手	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
9	先行研究論文講読：　仮設定したテーマに関する研究の現状に関する情報入手	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
10	研究テーマの決定：　先行研究の現状と実行可能性を踏まえて研究テーマ決定	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
11	先行研究レビュー：　当該領域の研究レビューを作成	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
12	先行研究レビュー：　当該看護学領域の研究レビューを作成	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
13	先行研究レビュー：　当該看護学領域の研究レビューを作成	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	
14	先行研究レビュー：　当該領域の研究レビューを作成	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員

15	リサーチ・クエスチョン： 研究テーマのリサーチ・クエスチョンの明確化	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
16	研究デザイン： リサーチ・クエスチョンに適合した研究デザインの決定とその限界の考察	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
17	研究計画の立案： 研究計画書（プロトコール）の立案と執筆	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
18	研究計画の立案： 研究計画書（プロトコール）の立案と執筆	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
19	研究計画の立案： 研究計画書（プロトコール）の立案と執筆	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
20	研究計画の立案： 研究計画書（プロトコール）の立案と執筆	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
21	研究計画の立案： 研究計画書（プロトコール）の立案と執筆	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
22	倫理審査申請： 研究倫理審査の申請書作成と提出	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
23	倫理審査申請： 研究倫理審査の申請書作成と提出	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
24	予備研究： 予備研究の実施と問題点の抽出・分析	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
25	予備研究： 予備研究の実施と問題点の抽出・分析	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
26	予備研究： 予備研究の実施と問題点の抽出・分析	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
27	予備研究： 予備研究の実施と問題点の抽出・分析	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
28	発表準備： プロトコール発表会のスライドおよび配布資料の作成	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
29	プロトコール発表： プロトコール発表会における発表と質疑応答	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
30	プロトコール修正 発表会における質疑応答と問題点指摘を踏まえた研究計画の修正	入手資料を読んで質問事項をまとめておく	各指導教員
成績評価方法と基準			割合
①文献検索、先行研究レビュー、および研究論文の理解度 ②リサーチ・クエスチョン、プロトコール、および倫理審査申請書の作成能力 ③プロトコール発表会のスライドと資料、発表の技法と内容、および質疑応答時の発言内容 上記の①～③で総合的に評価する。 DP①③④			①30% ②30% ③40%

授業科目名	看護学研究方法特論（看護博士後期）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美／山下　仁／吉村　弥須子／外村　昌子／関口　敏彰／武　ユカリ／森　美侑紀／高木　悠哉	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

看護現象・看護実践の経験知を可視化し、看護を理論的に体系化して看護の学問的発展を支えるのが看護研究である。博士前期課程で、文献クリティークの方法、人を対象とした研究の倫理的な進め方、基本的な統計解析法、質的機能的内容分析法を修得したことを前提として、博士後期課程においては、博士前期課程での学修を発展させて、具体的で現実的な研究課題に取り組み、社会の期待に応え得る看護方法の開発や看護システムの開発に繋がる看護研究を自立して行うことが期待されている。本科目では、博士後期課程で看護研究に取り組むために活用可能な研究アプローチについて多角的に概観する。

到達目標

１）看護現象の解明に活用可能な多様な研究法の基本的方法と適用について理解する。　２）多様な研究方法の中から、自己の研究課題の究明のために用いるべき研究方法を吟味する。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　１）　オムニバス形式であるので、全授業出席を原則とし、活発な質疑により進行する。　２）　原則として対面授業とするが、事情によりリモートで行う。

教科書

１）指定しない。各教員が資料又は文献を配布する。

参考書

１）D.F.ポーリット,C.T.ベッグ,（近藤潤子訳）:看護研究 第 2 版―原理と方法,医学書院,2010

研究室／オフィスアワー

内田宏美：西棟 239/調整するのでメール（hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp）でアポを取ってください。　オムニバス担当の教員については、学生便覧に掲載の連絡先に連絡しアポを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	諸科学における看護学の位置づけ　看護現象の説明・検証のための研究方法の多様性　研究デザインの分類	参考書等により研究方法の種類と適用　について整理する	内田宏美
2	観察研究：質的記述的観察研究の方法と適用　・事例研究（ケース・スタディ）	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	外村昌子
3	観察研究：質的記述的観察研究の方法と適用　・現象学的アプローチ	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	武ユカリ
4	観察研究：質的記述的観察研究の方法と適用 ③ エスノグラフィ	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	武ユカリ
5	観察研究：質的記述的観察研究の方法と適用　・グランデッド・セオリー法	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	吉村弥須子
6	観察研究：質的記述的観察研究の方法と適用　・グランデッド・セオリー法		吉村弥須子
7	観察研究:横断研究　・横断研究(ケースコントロール研究)	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	高木悠哉
8	観察研究:横断研究　・横断研究(ケースコントロール研究)	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	高木悠哉
9	観察研究：縦断研究　・ケースコントロール研究/後ろ向きコホート研究	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	関口敏彰
10	観察研究:縦断研究　・クロスオーバー研究/コホート研究	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	関口敏彰
11	介入研究：非ランダム化研究　・準実験的研究/非実験的方法	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	森美侑紀
12	介入研究：非ランダム化研究　・準実験的研究/非実験的方法	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	森美侑紀
13	介入研究：ランダム化比較研究　・ランダム化比較試験	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	山下　仁

14	介入研究/アクションリサーチ/ミックス法	単元の研究方法を用いた優れた論文を探索し、その適用と手法について整理する。	内田宏美
15	研究方法による倫理的課題の特徴と配慮の方法	「人を対象とした研究の倫理指針」を熟読　して参加する。	内田宏美
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レジュメ、プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。			オムニバス担当教員による評価の合算

授業科目名	看護実践方法開発特論（看護後期博士）				
主担当教員	外村　昌子		担当教員	外村　昌子／吉村　弥須子／岩佐　由美／森　美侑紀	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

現代社会の健康問題を包括的に捉えたうえで、多様な看護専門分野における研究・実践の動向を多角的に分析し、人々の健康の増進、回復の促進、安寧のための新たな看護ケア方法の開発や理論開発による健康課題解決の可能性を探求する。

到達目標

１）多様な看護学専門分野における研究・実践の動向を多角的に分析し、研究開発の課題と方向性を概観する。　２）看護学における看護実践方法開発の課題を自己の研究疑問に引き付けて整理し、自己の研究課題を見出す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　１）担当教員によるオムニバス形式で行う。　２）原則として直接（事情によりリモートによる）対面授業とし、活発なディスカッションにより進行する。　３）最終回に「看護システム開発学特論」との合同セッションにより知の統合を図る。

教科書

１）指定せず、各担当教員が指定する資料又は文献を使用する。

参考書

１）指定せず、各担当教員が指定する資料又は文献を使用する。

研究室／オフィスアワー

外村：W331　水曜日 17:00～18:00

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
2	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
3	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
4	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
5	高齢者看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	外村
6	急性期看護学領分野おける看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
7	急性期看護学領分野おける看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
8	急性期看護学領分野おける看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
9	がん看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
10	がん看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	吉村
11	代替療法分野におけるケア研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	森
12	代替療法分野におけるケア研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	森
13	難病看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	岩佐
14	難病看護学分野における看護開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する。	岩佐
15	知の統合　:「看護システム開発学特論」との合同セッション	看護学における看護実践方法開発の課題を自己の研究疑問に引き付けて整理し、自己の研究課題の看護学研究上の位置と意義を確認する。	外村、吉村、森、岩佐

16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レジュメ、プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。			1

授業科目名	看護システム開発特論（看護博士後期）				
主担当教員	内田　宏美		担当教員	内田　宏美／関口　敏彰／武　ユカリ／下岡　ちえ	
科目ナンバリング		科目区分	専門科目	ディプロマポリシー該当項目	DP①②
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	月曜 4 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要

現代社会の健康問題を包括的に捉えたうえで、安全で質の高いケアを組織的・系統的に提供するためのケア提供方法や人材育成・活用方法など、ケアシステムの開発や理論開発による健康問題解決の可能性を探求する。

到達目標

１）ケア包括支援システム,安全ケアシステム,教育システム等のケアシステム開発に関する研究の課題と方向性を概観する。
２）ケアシステム開発に掛かる研究の課題を自己の研究疑問に引き付けて整理し、自己の研究課題を見出す。

履修上の注意(学生へのメッセージ)

授業の進め方　１）　担当教員によるオムニバス形式で行う。　２）　原則として直接（事情によりリモートによる）対面授業とし、活発なディスカッションにより進行する。　３）　最終回に「看護システム開発学特論」との合同セッションにより知の統合を図る。

教科書

１）指定せず、各担当教員が指定する資料又は文献を使用する。

参考書

１）指定せず、各担当教員が指定する資料又は文献を使用する。

研究室／オフィスアワー

科目責任者：内田宏美：西棟 239/調整するのでメール（hiromi_uchida@morinomiya-u.ac.jp）でアポを取ってください。　・他の科目担当教員については、学生便覧の教員連絡先一覧を参照し、メールでアポを取ってください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	ガイダンス　看護管理学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	内田宏美
2	看護管理学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	内田宏美
3	看護管理学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	内田宏美
4	看護管理学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	内田宏美
5	看護管理学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	内田宏美
6	看護教育学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	下岡ちえ
7	看護教育学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	下岡ちえ
8	公衆衛生看護学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	関口敏彰
9	公衆衛生看護学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	関口敏彰
10	地域在宅看護学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	武ユカリ
11	地域在宅看護学分野におけるシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	武ユカリ
12	倫理的問題解決のためのシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	武ユカリ
13	倫理的問題解決のためのシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	武ユカリ
14	倫理的問題解決のためのシステム開発研究の動向と課題	国内外の関連論文を検索し課題を探索する	武ユカリ
15	知の統合　:「看護実践方法開発学特論」との合同セッション	看護学における看護システム開発の課題を自己の研究疑問に引き付けて整理し、自己の研究課題の看護学研究上の位置と意義を確認する。	内田宏美、武ユカリ、関口敏彰、下岡ち

			え
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
成績評価方法と基準			割合
レジュメ、プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。			教員別の単元ごとの評価の合算による。

授業科目名	助産学総論				
主担当教員	齋藤　雅子		担当教員	齋藤　雅子／勝田　真由美／緒方　あかね	
科目ナンバリング	BM001	科目区分	基礎助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

助産の基本概念と理論、助産の歴史と変遷、助産学教育や動向など助産学の課題や助産師の役割について理解を深める。

到達目標

1. 助産の概念について理解する。〈DP①〉 2. 助産の歴史や母子保健の変遷を理解する。〈DP①〉 3. 助産ケアの理論的根拠を説明できる。〈DP①〉 4. 助産師と倫理について学ぶ。〈DP②〉 5. 女性の人権と尊厳について学ぶ。〈DP①②③〉 6. 日本における周産期医療の今後の課題と助産師の役割を考察できる。〈DP③④〉 7. 日本の助産師の継続教育と卒後教育について理解する。〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

助産学の基礎知識を学び、専門職者としての助産師の在り方を考察する一助とする。

教科書

助産師基礎教育テキスト 2025 年版　第 1 巻　助産概論・母子保健　日本看護協会出版会

参考書

･【助産学講座 1】基礎助産学 [1] 助産学概論　医学書院　･出生と死をめぐる生命倫理：連続と不連続の思想、仁志田博司　医学書院　2015

研究室／オフィスアワー

1 回目に提示する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　助産とは　助産師の定義	予習：シラバスの確認　復習：授業の振り返り 以下、各 2 時間	齋藤
2	助産師の業務　助産師の教育・研究、Evidence Based Practice	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	齋藤
3	助産師が行うケア　対象理解と基盤となる理論・概念	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
4	助産と倫理・人権	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
5	日本の母子保健の動向と課題	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
6	世界の母子保健の動向と課題	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
7	専門看護師（母性）について　卒後継続教育	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	緒方
8	まとめ	予習：テストの準備　復習：これまでの振り返り	齋藤

成績評価方法と基準	割合
筆記試験　2/3 以上の出席を必要とする。	100%

授業科目名	新生児診断･発達論				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／望月　成隆	
科目ナンバリング	BM004	科目区分	基礎助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	木曜 1 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

助産診断の基礎となる新生児と胎児の発達、生理さらにハイリスク新生児の病態について学修する。　胎内から胎外生活への移行期や移行後の助産診断に必要な形態機能学ならびに新生児の健康状態の診断、正常からの逸脱を識別するために必要な基礎的な知識（疾患と病態）について学修する。また、新生児医療の背景と胎児新生児学における倫理を学ぶ。

到達目標

新生児と胎児の発達、生理さらにハイリスク新生児の病態について理解する。新生児のフィジカルアセスメントを学び、助産学実習の助産診断に活用できる。新生児医療の背景と胎児新生児学における倫理感を述べることができる。　DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

実習では出生直後から新生児に関わり、実際にケアをしていきます。NCPR の蘇生講習においてもこの講義で学んだ基礎知識が重要になります。ＮＩＣＵも実習に行きます。新生児の観察と助産診断が適切にできるよう、予習・復習を含め、講義に真剣に取り組んでください。

教科書

・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 6 巻　産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア　日本看護協会出版会　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 7 巻　ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア　日本看護協会出版会　・出生と死をめぐる生命倫理：連続と不連続の思想　仁志田博司　医学書院　2015　・新生児学入門　第 6 版　医学書院　2024

参考書

・日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく NCPR 新生児蘇生法テキスト　メジカルビュー社　・病気がみえる vol.10 産科　メディックメディア　2018

研究室／オフィスアワー

質問等はいつでもご自由にどうぞ。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	新生児の発育・発達とその評価　（胎児・新生児の発育、成熟度の判定）	胎児・新生児の成長・発育について予習・復習しておくこと。予習：1 時間　復習：1 時間	望月成隆
2	新生児の診断　（新生児の診察方法と新生児に特徴的な所見について）	新生児の特徴と診察方法について予習復習・しておくこと。予習：1 時間　復習：1 時間	望月成隆
3	新生児の特徴と管理①　（呼吸、体温調節、水・電解質バランス）	学んだ内容について復習し、理解を深めておくこと。予習：2 時間　復習：2 時間	望月成隆
4	新生児の特徴と管理②　（黄疸、感染症、血液系、免疫）	学んだ内容について復習し、理解を深めておくこと。予習：2 時間　復習：2 時間	望月成隆
5	ＮＩＣＵ入院時の管理、ハイリスク新生児の管理	学んだ内容について復習し、理解を深めておくこと。予習：2 時間　復習：2 時間	望月成隆
6	新生児の様々な疾患の理解　（先天性代謝疾患・血液系疾患・中枢系疾患）	学んだ疾患について復習し、理解を深めておくこと。予習：2 時間　復習：2 時間	望月成隆
7	主要疾患の病態と管理	学んだ内容について復習し、理解を深めておくこと。予習：2 時間　復習：2 時間	望月成隆
8	先天異常・新生児医療における生命倫理	学んだ内容を熟考し、自分の考えを持つこと	望月成隆

成績評価方法と基準	割合
①筆記試験（100 点満点で、60 点以上を合格とする。）　2025 年度新生児診断・発達論の単位取得は、2025 年度助産学実習Ⅰ・Ⅱ履修の先修条件である。　DP①④	①100%

授業科目名	ウイメンズヘルスとリプロダクティブケア（助産）				
主担当教員	橋本　富子		担当教員	橋本　富子	
科目ナンバリング	BM006	科目区分	基礎助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

女性と次世代家族を統合的にとらえ、生涯の健康増進、QOL（生命の質）、well-being（安寧）を目指すことを目的に、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点からセクシャルヘルスのの健康課題と支援の実際を学修する。受胎調節実施指導員の認定講習となる。

到達目標

1. 女性の人権とリプロダクティブ・ヘルス/ライツについて学ぶことができる。①②③④　2. 家族計画と受胎調節の意義と目的について学ぶことができる。①②③④　3. 母体保護法、薬事法など関連法規を学び、受胎調節実施指導員の資格と業務について理解することができる。①③④　4. 女性の健康課題である性感染症の動向とリプロダクティブ・ヘルスに及ぼす影響について学ぶことができる。①④　5. 各避妊法について学ぶことができる。①②④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

1. この科目は受胎調節実施指導員認定講習である。認定講習は､｢ウイメンズヘルスとリプロダクティブケア（土曜日補講を含む)｣授業と助産学実習Ⅱで構成される。　2. 関連する母性看護学・形態機能学・臨床病態学を復習しておく。　3. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を深め、助産師としてのアイデンティティを培うこと。

教科書

1.助産師基礎教育テキスト　第 2 巻　ウィメンズヘルスケア　　日本看護協会出版会　2.受胎調節実施指導用テキストー受胎調節実施指導員認定講習会指導指針,一般社団法人日本家族計画協会

参考書

・家族計画指導の実際-少子社会における家族計画への支援　第 2 版増補版　木村好秀　医学書院　2017　・低用量ピル（経口避妊薬）とは　第 6 版　一般社団法人日本家族計画協会　2016　・改訂版_国際セクシャリティ教育ガイダンス-科学的根拠に基づいたアプローチ　ユネスコ　明石書店 2020　・病気がみえる vol.10 産科　メディックメディア　・病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科　メディックメディア　＜器材・器具＞受胎調節指導標本　株式会社京都科学、避妊指導キット　一般社団法人日本家族計画協会

研究室／オフィスアワー

事前約束のこと

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	性と生殖総論	･母性看護学に関連する科目を復習しておく(1 時間)　･今回授業の復習（1 時間）	以下、橋本が担当する。
2	リプロダクティブ・ヘルス/ライツと日本の課題	･教科書・参考書の予習（学習内容に関する現状を書籍･データ･記事などから確認しておく）（1 時間）　･復習（1 時間）	
3	性感染症の動向と関係法規	･教科書・参考書の予習（学習内容に関する現状を書籍･データ･記事などから確認しておく）（1 時間）　･復習（1 時間）	
4	性感染症がリプロダクティブヘルスへ及ぼす影響	･教科書・参考書の予習（学習内容に関する現状を書籍･データ･記事などから確認しておく）（1 時間）　･本日の復習（1 時間）	
5	助産師の行う受胎調節の意義	･助産師がリプロダクティブケアに関わる目的・意義を考えておく。教科書・参考書の予習（1 時間）　･復習（1 時間）	
6	受胎調節と倫理	･教科書・参考書の予習（学習内容に関する現状を書籍･データ･記事などから確認しておく）（1 時間）　･復習（1 時間）	
7	避妊法総論･各論	･発表に向けた課題（5 時間）　･復習（1 時間）	
8	各種受胎調節のメリット・デメリット	･教科書・参考書の予習（1 時間）　･復習（1 時間）	

成績評価方法と基準	割合
1.　プレゼンテーション点、資料（レポート）内容点（DP①④）　2.　考査点（DP①②③④）　＊試験学習を 10 時間する。　評価には 2/3 以上の出席を必要とする。	1.70% 2.30%

授業科目名	地域母子保健学（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美	
科目ナンバリング	PM007	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP②④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、火曜 3 限、水曜 2 限、水曜 3 限、木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

母子保健行政の仕組み、制度・施策・動向を理解するとともに、地域で活躍する助産師の実際を知り、助産師による地域母子保健活動の役割と機能について学修する。

到達目標

1. 地域における助産師の役割と意義を理解する。　2. 地域における包括的母子支援事業の実際を知る。　3. 地域母子保健活動における助産師の支援の場と方法を知る。　4. 日本の母子保健の現状と課題について学ぶ。　5. 日本における虐待問題の現状と課題を知り、助産師の役割を考えることができる。　6. 母子保健関係法規、母子保健制度、母子保健施策を理解する。　DP②④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

助産師は地域でも支援が求められています。地域で活躍する助産師の実際を知り、その役割と意義について理解し、将来の活躍の場の一つとして考えていきましょう。　地域で活躍される助産師を多くお招きします。講義を聞き質疑応答ができるようしっかり学んでください。

教科書

･助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 3 巻　助産サービス管理　日本看護協会出版会　･助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 2 巻　ウィメンズヘルスケア　日本看護協会出版会　･2025 年出題基準別助産師国家試験問題

参考書

・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 1 巻　助産概論・母子保健　日本看護協会出版会　･【助産学講座 9】地域母子保健・国際母子保健　医学書院　医学書院　・産み育てと助産の歴史　白井千晶　医学書院　2016

研究室／オフィスアワー

研究室にいます。適時、質問・相談に応じますが、不在の時もありますので、アポイントメントお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	日本の母子保健の現状を理解し、地域における助産師の役割とと活動について知る。	母子保健を取り巻く現状に関する書籍・記事を読んでおく。地域における助産師の必要性について意見を述べることができる。予習：1 時間　復習：1 時間	勝田
2	日本における虐待問題の現状と課題を知り、助産師の役割を考えることができる。	日本における虐待問題の現状と課題について、資料をまとめ、助産師の役割等プレゼンテーション･ディベートできるようにする。予習:1 時間　復習：1 時間	勝田
3	地域で活躍する助産師の実際①　助産師会についてと地域における包括的母子支援事業の実際を学ぶ。	地域における包括的母子支援事業について調べてくる。講義を聞き質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1 時間　復習：1 時間	ゲストスピーカー（大阪府助産師会会長平山三千代）
4	住之江区の子育て支援活動の実際　地域における助産師の活躍の場について知り、助産師の実際の活動の現状と課題などを知る。	地域における助産師の活躍の意義、役割を考えてくる。講義を聞き質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1 時間　復習：1 時間	ゲストスピーカー（修田マネージャー）
5	地域で活躍する助産師の実際②　地域で開業する助産師の実際の活動を知り、地域における助産師の役割を学ぶ。	地域における助産師の活躍の意義、役割を考えてくる。予習：1 時間　復習：1 時間	ゲストスピーカー（園田）
6	地域で活躍する助産師の実際③	地域で働く助産師の活動状況や課題を調べてくる。予習：1 時間　復習：1 時間	ゲストスピーカー（園田）
7	地域母子保健の概念と意義	講義を聞き質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1 時間　復習：1 時間	勝田

8	日本の母子保健	ディベート・プレゼンテーション準備しておく。明らかとなった課題を振り返る。予習:1時間　復習：1時間	勝田
9	地域で活躍する助産師の実際④ 助産師が行う性教育について	助産師が行う性教育について考えてくる。　講義を聞き質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1時間　復習：1時間	ゲストスピーカ（中村）
10	地域で活躍する助産師の実際⑤ 助産師が行う性教育について	助産師が行う性教育について考えてくる。　ディベート・プレゼンテーションができるよう準備しておく。予習：1時間　復習：1時間	ゲストスピーカ（中村）
11	地域で活躍する助産師の実際⑥ 地域の子育て支援 NICUを退院した児に対する地域の母子支援	講義・演習で質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1時間　復習：1時間	ゲストスピーカ（渡邊）
12	地域での集団指導・教育	講義・演習で質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1時間　復習：1時間	勝田
13	地域での集団指導・教育 出産準備教室の企画	講義を聞き質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1時間　復習：1時間	勝田
14	国際母子保健	講義を聞き質疑応答ができるよう準備しておく。予習：1時間　復習：1時間	勝田
15	地域で働く助産師について考える	今までの学びから質疑応答、プレゼンテーションができるよう準備しておく。予習:1時間　復習：1時間	勝田
成績評価方法と基準			割合
①レポート(期限厳守)　②ディベート等の発言（質疑・応答などの態度を含む）　③4/5 以上の出席を必要とする　2025 年度の地域母子保健の単位取得は、2025 年度の地域母子保健実習履修の先修条件である。DP②④			①80% ②20%

授業科目名	助産管理学（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／中村　美香	
科目ナンバリング	PM007	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 2 限、月曜 3 限、火曜 1 限、火曜2限、火曜3限、火曜 4 限、水曜 1 限、水曜 2 限、金曜 3 限、金曜 4 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

助産業務管理に必要な知識や助産業務に付随する法的責任を修得し、助産師としてのセーフティマネージメントについての対策を考察できる能力を養う。さらに、助産師としての様々な管理場面の視点を培う。

到達目標

1. 施設（病院、開業助産所等）における助産業務の管理、および関連する法規と責任を説明できる。　2. 周産期における医療事故を予防するために必要な基本的な管理を学び、助産師としてのセーフティマネジメントのあり方を考察できる。　3. 独立開業を行う場合に必要な資源、人材等の経営的視点について考察できる。　4. 周産期医療システムの連携について理解する。　5. 災害時の助産師の役割について説明できる。　DP②③④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

助産管理学の基礎知識を学び、開業権を持つ専門職者として助産施設や業務および勤務者の管理の在り方を理解する。

教科書

・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 3 巻　助産サービス管理　日本看護協会出版会　・新版 助産師業務要覧 第 4 版 Ⅰ 基礎編 2025 年版　日本看護協会出版会　・新版 助産師業務要覧 第 4 版 Ⅱ 実践編 2025 年版　日本看護協会出版会　・新版 助産師業務要覧 第 4 版 Ⅲ アドバンス編 2025 年版　日本看護協会出版会　・助産業務ガイドライン　日本助産師会 2019（2024 年改訂予定）

参考書

・【助産学講座 10】助産管理　医学書院　・日本産科婦人科学会編　産婦人科診療ガイドライン産科編 2023　日本産科婦人科学会

研究室／オフィスアワー

研究室にいます。適時、質問・相談に応じますが、不在の時もありますので、アポイントメントお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	助産師と管理	テキスト（日看協）第 1 章を読んでおくこと 助産管理の変遷と必要性を学ぶ。予習：1 時間 復習：1 時間	斎藤
2	災害時における助産管理	予習：今までに起こった災害時の対策等調べておく　災害時における助産師の役割や業務について考えておくこと：1 時間　　復習：資料に基づきさらに学習を振り返る：1 時間	勝田
3	災害時における助産管理	上に同じ。意見を求めるので発表できるようにしておく。予習：1 時間　復習：1 時間	勝田
4	助産管理とリスクマネージメント	周産期における医療安全保障のしくみ、医療安全のための支援について事例を通して学修する。リスクマネジメントについて考える。予習：1 時間　復習：1 時間	勝田
5	医療の質と助産管理	周産期における助産管理とは何かテキストを読んでおくこと　　周産期における医療の質と助産管理の関連について考察する。予習:1 時間　復習：1 時間	勝田
6	助産管理と社会保障制度	周産期の関する最近のトピックについて調べておくこと　　周産期における社会保障制度の現状や課題について学習する。予習：1 時間 復習：1 時間	勝田

7	病棟における助産業務管理	周産期のリスクマネジメントについて予習しておく。　病棟の管理の実際と看護職の責務、リスクマネジメントについて学習する。予習：1時間　復習：1時間	ゲストスピーカー（永谷）
8	助産外来の役割と管理	助産外来について予習しておく。　外来の管理の実際と助産外来の在り方、看護職の責務、リスクマネジメントについて学習する。予習：1時間　復習：1時間	ゲストスピーカー（永谷）
9	助産院における助産管理	助産に関連する法規について予習しておく。予習：1時間　復習：1時間	ゲストスピーカー（渡邊）
10	助産院における助産管理	助産に関連する法規について予習しておく。予習：1時間　復習：1時間	ゲストスピーカー（渡邊）
11	助産院における助産管理　助産所の建設にあたって管理・運営における基準を理解する。	助産院について予習しておく。　助産院の管理に関する法規を学ぶ。　助産所における業務と母子保健活動の実際、関連機関や関連職種との連携を理解する。予習：1時間　復習：1時間	中村　美香
12	助産院での分娩と助産管理	助産所における業務と母子保健活動の実際、関連機関や関連職種との連携を理解する。　助産院の分娩や管理について、ディベートできるように予習する。予習：1時間　復習：1時間	中村　美香
13	助産管理まとめ「私の理想の助産院」 グループワーク	院内助産について予習しておく。　院内助産の歴史と助産師の責務、院内助産の管理について学習する。予習：1時間　復習：1時間	勝田 齋藤
14	助産管理まとめ「私の理想の助産院」 助産管理の学びをもとに将来どのような助産院を開業したいのかグループワークをして発表する。	学びを復習しまとめる。予習：1時間　復習：1時間	勝田 齋藤
15	助産管理まとめ「私の理想の助産院」 助産管理の学びをもとに将来どのような助産院を開業したいのかグループワークをして発表する。	学びを復習しまとめる予習:1時間　復習:1時間	勝田 齋藤
成績評価方法と基準			割合
①災害時における助産管理発表（ルーブリック評価） ②「私の理想の助産院」プレゼンテーション（ルーブリック評価） ③「助産師としてのセーフティ・マネジメントのあり方」レポート（ルーブリック評価） ④「助産院での分娩と助産管理」ディベート			①20% ②30% ③40% ④10%

授業科目名	助産学実習Ⅰ（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／阪田　あみ／緒方　あかね	
科目ナンバリング	PM008	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	8 単位	必修･選択	必修

授業概要

周産期にある母子や家族を対象に助産過程を展開し、助産実践に必要な理論と技術・態度を修得する。対象の妊娠、分娩、産褥期、新生児の経過を総合的に診断し、助産計画に基づいた援助を行い、そのケアを考察する。実習を通して助産師としての倫理を学び、チーム医療としての協働の在り方、自己のアイデンティティの形成をはぐくむ。

到達目標

1. 妊産褥婦および新生児とその家族を総合的に理解し、Wellnesss 向上に必要な援助を提供することができる。 2. 科学的根拠に基づいた助産診断・技術を活用し,周産期の診断と予測を的確に行い、助産ケアを実践できる。 3. 助産技術と理論の統合に基づき、母児に対して安全で安楽な助産ケアを実践できる。 4. 助産業務における協働・連携の実際を理解する。 5. 援助の提供を通して、助産倫理の重要性を理解することができる。 6. 自己の助産師像を形成することができる。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

尊いいのちの誕生の現場に立ち、分娩介助をはじめとする助産ケアを行うことに対し、対象者に尊厳の姿勢をもち、真摯に臨地実習に臨むこと。 各実習施設において担当教員と報告・連絡・相談を十分に行い、実習に必要な学習準備やスケジュール管理を自律して行い実習に臨むこと。 実施した助産ケアを評価し、指導されたアドバイスをもとに自己の課題を見出しながら主体的に学修を積み上げていくことを期待します。 分娩介助はもとより、分娩に至らなかった事例、見学等すべての実習内容は、記録することで振り返ることができ、次への課題が明確になります。記録を怠らず、期限内に仕上げてください。

教科書

・今日の助産　マタニティサイクルの助産診断・実践過程　改訂第 4 版　南江堂　2019　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 4 巻　妊娠期の診断とケア　日本看護協会出版会　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 5 巻　分娩期の診断とケア　日本看護協会出版会　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 6 巻　産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア　日本看護協会出版会　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 7 巻　ハイリスク妊産褥婦新生児へのケア　日本看護協会出版会　・日本産科婦人科学会編　産婦人科診療ガイドライン産科編 2023　日本産科婦人科学会　・病気がみえる vol.10 産科　メディックメディア　2018

参考書

・【助産学講座 6】助産診断・技術学Ⅱ［1］　妊娠期　医学書院　・【助産学講座 7】助産診断・技術学Ⅱ［2］　分娩期・産褥期　医学書院　・【助産学講座 8】助産診断・技術学Ⅱ［3］　新生児期・乳幼児期　医学書院　・新生児学入門　第 6 版　仁志田博司　医学書院　2024　・分娩介助学　進純郎　医学書院　2014　・帝王切開バイブル　ペリネイタルケア 2018 年新春増刊　メディカ出版　・日本版救急蘇生ガイドライン 2025 に基づく NCPR 新生児蘇生法テキスト　メジカルビュー社

研究室／オフィスアワー

各教員は研究室にいます。適時、質問・相談に応じますが、不在の時もありますので、アポイントメントお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. 病院において分娩介助実習・周産期保健指導実習・新生児ケア実習の助産学実習を行う。(詳細は実習要項参照)　1) 分娩介助実習は分娩第Ⅰ期からⅣ期までを受け持ち、産婦の助産診断とケアおよび分娩介助を実施する。さらに間接介助、出生直後の児のケアを実施する。2) 原則分娩介助は 10 例実施する。必ず、介助した事例の振り返りと評価を担当指導者と実施し、分娩期の助産診断・助産ケアの習得を目指す。　3) 2）及び分娩に至らなかった受け持ち対象者、見学並びに実施したすべての内容について、必要事項を記録し、期限内に提出する。記録に対するコメントには赤で返信し、記録を完成させる。状況に応じて資料も添付し、振り返り、臨床における学びを深める。2.　妊娠期からの継続した管理・保健指導が分娩期・産褥期に関連する重要性を理解する。3. 周産期における助産師の業務の実際を学び、多職種との協働やチームメンバーとの役割について理解する。	①　事前に十分に知識の復習・技術の復習を行い、対象者の方に真摯に向き合う気持ちを持ち、実習に臨む。　② 実習・見学においては必ず行動計画を立て、目標を設定する。行動計画・目標の発表をもって実習に参加することができる。　終了後は、目標についての達成度を必ずその日のうちに振り返り記録する。	勝田 齋藤 阪田 緒方

成績評価方法と基準	割合
助産実習Ⅰ評価表に基づいて評価する	100%

授業科目名	助産学実習Ⅱ（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／阪田　あみ／緒方　あかね	
科目ナンバリング	PM009	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

妊産褥婦および新生児とその家族を総合的に理解し、妊娠期・産褥期の Wellness 向上、育児技術の向上、家族の構築に必要な援助の提供方法を習得する。実習Ⅰ・Ⅱを通して助産師としての自律性を学び、アイデンティティの形成を目指す。

到達目標

1. 受け持ち対象者の情報をアセスメントし、助産診断に基づいた助産ケアおよび保健指導の計画・立案・実施ができる。 2. 助産ケア、保健指導を通して妊産褥婦や家族との人間関係を構築することができる。 3. 対象者の価値観、個別性、家庭環境に応じた保健指導の立案、実践ができる。 DP①④

履修上の注意(学生へのメッセージ)

主に妊娠期・産褥期の助産ケアと保健指導技術の習得を目指す。妊娠、分娩経過に伴う心理社会的適応なども考慮した個別性のある助産ケア、健康教育を実施する。 可能な範囲で分娩介助した事例の産褥、新生児、育児期まで継続的に支援をする。産褥期からの受け持ち対象者も個別性を考慮した、母子とその家族への支援ができることを目指す。 可能な実習施設においては妊娠期から入院中、退院後 1 か月まで受け持ち、継続的に助産診断し、支援の必要性について考えるとともに、退院後の育児状況や家族の発達を理解する。 学生によって実習開始時期、臨地施設、実習形態が異なるため、学生は自立して実習スケジュールを立て、積極的に実習に臨むこと。情報や学びの共有を図ること。

教科書

・今日の助産　マタニティサイクルの助産診断・実践過程　改訂第 4 版　南江堂　2019　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 4 巻　妊娠期の診断とケア　日本看護協会出版会　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 5 巻　分娩期の診断とケア　日本看護協会出版会　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 6 巻　産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア　日本看護協会出版会

参考書

・【助産学講座 5】助産診断・技術学Ⅰ　医学書院　・【助産学講座 6】助産診断・技術学Ⅱ［1］ 妊娠期　医学書院　・【助産学講座 7】助産診断・技術学Ⅱ［2］ 分娩期・産褥期　医学書院　・【助産学講座 8】助産診断・技術学Ⅱ［3］ 新生児期・乳幼児期　医学書院　・新生児学入門　第 6 版　仁志田博司　医学書院　2024　・日本産科婦人科学会編　産婦人科診療ガイドライン産科編 2023　日本産科婦人科学会　・助産師のためのフィジカルイグザミネーション:アセスメント力を磨く　我部山キヨ子　医学書院　2018　・新生児ベーシックケア　家族中心のケア理念をもとに　横尾京子　医学書院　2011

研究室／オフィスアワー

各教員は研究室にいます。適時、質問・相談に応じますが、不在の時もありますので、アポイントメントお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	1. 産褥期の継続的支援を通して、継続的支援の重要性を学ぶ。 2. 母子に関わることで、産褥期の育児不安の軽減に向けた産褥入院期の母親の支援の必要性が理解できる。 3. 家族の発達形成に向けた産褥期の支援の方向性が理解できる。 4. 個別性をふまえた健康教育の企画、実施、評価ができる。 5. 外来の妊婦健康診査、マザークラスの見学実施を含み、施設における、集団・個別指導の学びを深める。 1）保健指導実施においては、学内で作成した原案をもとに施設に応じた内容、個別性を加味した内容で作成し、指導者の許可を得る。 2）実施後は、指導者に評価を得、振り返りを行い学びを深める。 6. 周産期における助産師の保健指導業務の実際を学び、多職種との共同やチームメンバーとの役割について理解する。	1）妊娠期から産褥期の継続した支援の重要性と助産師の支援の必要性を学ぶ。 2）保健指導原案は、実習に行くまでに作成し、教員の確認を得る。 実習施設で実施する際は、事前に対象者の情報を得たうえで、個別性を入れ、教員・臨床指導者の許可を得て実施する。指導案作成において指定された期限を守ること。 3）実習・見学は必ず行動計画を立て、目標を設定する。行動計画・目標の発表をもって実習に参加することができる。 終了後は、目標についての達成度を必ずその日のうちに振り返り記録する。 4）自分の助産師像が作れるよう知識やコミュニケーション能力を結集し、実習に臨む。	勝田 齋藤 阪田 緒方

成績評価方法と基準	割合
助産実習Ⅱ評価表に基づいて評価する	100%

授業科目名	補完代替医療とアロマセラピー（助産）				
主担当教員	森 美侑紀		担当教員	森 美侑紀	
科目ナンバリング	IM001	科目区分	統合助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日・時限	木曜 3 限、木曜 4 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修・選択	必修

授業概要

女性のヘルスプロモーション、とりわけ心身共に大きな変化を生じやすい妊娠期、産褥期、育児期に適したアロマセラピーを学ぶ。妊産婦にアロマセラピーを用いることの意義、アロマセラピーに関する基礎知識、禁忌や注意事項、精油の選択方法、状況に応じたケア方法など「安全かつ的確に用いる」ための実践方法を学ぶ。

到達目標

１．補完代替医療の中でのアロマセラピーの役割を理解する。〈DP③〉　２．妊産婦に対するアロマセラピーの役割を理解し、安全かつ的確な実践方法を学ぶ。〈DP③④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

アロマセラピーの有用性のみに目を向けるのではなく、禁忌や注意事項に関する理解を深め、「安全で的確な」実践方法を身につけてください。実技にも積極的に参加し、自らの心身両面を通してアロマセラピーの有用性・危険性を感じ、学んでいただきたいと思います。

教科書

・Aromacoordinator Essential oil Guide book: 日本アロマコーディネーター協会　・Aromacoordinator Lesson Text Book: 日本アロマコーディネーター協会　（教材を含む）

参考書

『もっと身近にアロマセラピー　メディカルから日常まで 改定増補版』/森 美侑紀著/森ノ宮医療学園出版部

研究室／オフィスアワー

桜棟 14 研究室/火曜日・水曜日以外の 17:00～19:00　その他、質問等あればいつでもお越しください。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習・復習・課題等	担当
1	植物精油の基礎知識：精油の扱い方を知る	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
2	精油の基礎知識：精油の生い立ちを知る　マタニティケアにおける精油選択と理解	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
3	植物オイルの基礎知識：トリートメントオイルを知る	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
4	精油のブレンド方法	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
5	香りが脳に与える影響	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
6	フェイストリートメントの効果	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
7	アロマセラピーの歴史	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
8	精油の安全性と危険性	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
9	精油の作用と身体のしくみ　妊娠初期～中期のケアと精油の選択	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
10	オイルトリートメントを知る　妊娠後期のケアと精油の選択	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
11	香りの心理作用　分娩時のケアと精油の選択	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
12	香水の知識　産褥期のケアと精油の選択	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
13	精油成分を類ごとに知る	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
14	禁忌の理由を考える	配布資料を元に復習し学習内容を整理する。予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀
15	アロマセラピーの法令・まとめ	1 回～15 回までの学習内容を整理する。　予習復習を各 2 時間行うこと。	森　美侑紀

成績評価方法と基準	割合
筆記試験〈DP③④〉　小テスト・レポート課題・問題に関しては必要に応じて解説する。	100%

授業科目名	助産学課題研究（助産）				
主担当教員	齋藤　雅子		担当教員	齋藤　雅子／勝田　真由美／阪田　あみ／緒方　あかね	
科目ナンバリング	IM002	科目区分	統合助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	前期(月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、水曜 1 限、水曜 2 限、木曜 1 限、木曜 2 限、金曜 1 限、金曜 2 限)、後期(集中講義)
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

助産実践におけるケアや妊産褥婦および女性の性と生殖に関する健康課題を明確化し、究明するための研究について理解する。国内だけでなく国外における研究を理解するための文献検索方法および購読について学修し、研究を行うための基本的能力を修得するとともに助産実践に役立つ新しい知見や支援方法を考察する。

到達目標

1. 先行研究のクリティークを行い明らかになった事象を研究に関連づけて研究課題を明確にできる。〈DP③④〉 2. 研究目的が明確であり目的に沿った倫理的および利益相反の観点から問題のない計画を立案している。 〈DP③④〉 3. 研究方法と分析の視点を示すことができる。〈DP③④〉 4. 収集したデータ分析とエビデンスおよび先行研究を踏まえて十分考察し論理的に考察している。〈DP③④〉 5. 研究から明らかになったことを整理した結論は妥当であり、助産学の発展に貢献している。〈DP③④〉 6. 1～6 を踏まえて、助産学

履修上の注意(学生へのメッセージ)

・興味・関心のあるテーマから研究担当教員を配置し、1 年間継続して指導を受ける。 ・学生は、担当教員にアポイントメントをとり主体的に研究を進めていく。 ・研究計画書・課題研究論文の提出に関しては期限を厳守すること。

教科書

【系統看護学講座 別巻】看護研究　第 2 版　医学書院　適宜、講義内容により、担当教員より資料配布する。

参考書

看護学テキスト NiCE　看護と研究　根拠に基づいた実践　南江堂

研究室／オフィスアワー

1 回目に研究室およびオフィスアワーを提示する。 必ずアポイントメントをとること。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　助産学課題研究のスケジュール　看護学・助産学研究について	予習：シラバスの確認　復習：教科書や配布資料の確認　以下各 1 時間	齋藤
2	量的研究とクリティーク	予習：教科書で確認　復習：授業の振り返り	勝田
3	質的研究とクリティーク	予習：教科書で確認　復習：授業の振り返り	勝田
4	文献検索の方法（図書館での演習）　興味・関心のあるテーマの提出・グループ分別およびグループで国外文献抄録精読	予習：興味・関心のあるテーマを選出　復習：グループで国外文献の検索・精読	齋藤
5	国外文献抄録の発表　研究倫理	予習：グループで国外文献発表準備　復習：授業の振り返り	齋藤
6	文献検索と研究計画書の作成	予習：研究テーマに関連した文献検索・入手 復習：研究テーマに関連した文献のクリティーク	全員
7	文献検索と研究計画書の作成	予習：研究テーマに関連した文献検索・入手 復習：研究テーマに関連した文献のクリティーク	全員

8	文献検索と研究計画書の作成	予習：研究テーマに関連した文献検索・入手 復習：研究テーマに関連した文献のクリティーク	全員
9	文献検索と研究計画書の作成	予習：研究テーマに関連した文献検索・入手 復習：研究テーマに関連した文献のクリティーク	全員
10	文献検索と研究計画書の作成	予習：研究テーマに関連した文献検索・入手 復習：研究テーマに関連した文献のクリティーク	全員
11	文献検索と研究計画書の作成	予習：研究テーマに関連した文献検索・入手 復習：研究テーマに関連した文献のクリティーク	全員
12	研究計画書の発表	予習：発表準備　復習：指導・意見を整理する	全員
13	研究計画書の発表	予習：発表準備　復習：指導・意見を整理する	全員
14	研究計画書の修正　（必要時研究倫理審査部会へ提出・承認）	予習：指導・意見をもとに修正点を明確する 復習：必要な文献検索	全員
15	研究計画書の修正　（必要時研究倫理審査部会へ提出・承認）	予習：指導・意見をもとに修正点を明確する 復習：必要な文献検索	全員
16	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
17	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
18	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
19	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
20	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
21	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
22	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
23	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
24	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
25	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
26	データ収集・分析・論文作成	予習：データ収集・分析・執筆の計画　復習：指導・意見を整理する	全員
27	助産学課題研究の発表	予習：発表に向けた準備　復習：指導・意見を整理する	全員
28	助産学課題研究の発表	予習：発表に向けた準備　復習：指導・意見を整理する	全員
29	助産学課題研究論文の修正　国内学会抄録の作成・投稿	予習：指導・意見をもとに修正点を明確する 復習：学会発表の準備	全員
30	助産学課題研究論文の修正　国内学会抄録の作成・投稿	予習：指導・意見をもとに修正点を明確する 復習：学会発表の準備	全員
成績評価方法と基準			割合
1.　英文購読プレゼンテーション　*評価基準はルーブリックを提示　2. ルーブルック評価表を用いて評価する　4/5 以上の出席を必要とする。			1. 10%　2. 90%

授業科目名	女性健康学総論（助産）				
主担当教員	齋藤　雅子		担当教員	齋藤　雅子／増山　祥子／勝田　真由美／緒方　あかね	
科目ナンバリング	BM003	科目区分	基礎助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、火曜 1 限、火曜 2 限、木曜 2 限
授業形態	講義	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

女性のライフサイクル各期の基礎知識、そこで生じる健康課題とケアについて学修する。 高度生殖医療など性と生殖をめぐる今日的課題、女性の生き方の変化、補完代替医療について理解し、女性のヘルスプロモーション、助産ケアの中に取り入れることの有効性について学ぶ。

到達目標

1. 女性の身体の仕組みから女性の各期の健康特徴から課題を理解し支援方法を理解できる。〈DP①〉 2. 現代の女性に特別に支援を要する健康問題を理解できる。〈DP①〉 3. 性の多様性と性感染症に関するヘルスプロモーションを理解できる。〈DP①〉 4. 代替補完医療を用いた女性の健康支援の有効性を理解する。〈DP④〉

履修上の注意(学生へのメッセージ)

女性の健康の重要性や女性の地位と権利などについて考えます。 助産師は周産期だけでなく、女性の一生に関わり支援することが必要とされるので、各ライフサイクルの健康課題の学修が必要です。

教科書

助産師基礎教育テキスト 2025 年版　第 2 巻　ウィメンズヘルスケア　日本看護協会出版会

参考書

･【助産学講座 2】基礎助産学〔2〕母子の基礎科学　医学書院　･【助産学講座 3】基礎助産学〔3〕母子の健康科学　医学書院　･【助産学講座 4】基礎助産学〔4〕母子の心理・社会学　医学書院

研究室／オフィスアワー

1 回目に説明する。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　女性の身体の仕組み（形態機能）	予習：シラバスを確認　復習：授業の振り返り 以下、各 2 時間	齋藤
2	女性の身体の仕組み　性周期とホルモン	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
3	女性の各期健康特徴と課題　思春期	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
4	女性の各期健康特徴と課題　成熟期	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
5	女性の各期健康特徴と課題　更年期	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
6	女性の各期健康特徴と課題　老年期	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
7	女性特有のがんについて	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	ゲストスピーカー
8	現代女性の健康問題　不妊・DV・月経障害・ゲノムなど	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
9	性の概念と多様性	予習：教科書の確認　復習：授業の振り返り	勝田
10	女性の健康と東洋医学①	予習：東洋医学の概要について調べる　復習：授業の振り返り	増山
11	女性の健康と東洋医学②	予習：東洋医学の概要について調べる　復習：授業の振り返り	増山
12	鍼灸と女性の健康	予習：鍼灸について調べる　復習：授業の振り返り	増山

13	鍼灸と女性の健康（演習）	予習：演習の準備　復習：授業の振り返り	増山
14	まとめ	予習：これまでの授業の確認　復習：レポート作成に必要な文献検索	勝田・齋藤
15	女性の健康支援とヘルスプロモーション　レポート作成	予習：レポート作成の準備　復習：これまでの授業の復習	齋藤
成績評価方法と基準			割合
1. 定期試験　2. レポート　*レポートの作成方法に関しては、授業内に説明する　*ルーブリックによる評価基準を示す。　2/3 以上の出席を要します。			1. 70%　2. 30%

授業科目名	ハイリスク母子支援論（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／阪田　あみ／緒方　あかね	
科目ナンバリング	PM005	科目区分	基礎助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 2 限、火曜 3 限、火曜 4 限
授業形態	講義	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

周産期における母子の健康状態をアセスメントでき、さらにリスクを評価するための知識を習得する。周産期に発症しやすい心身の異常を理解し、正常から逸脱した妊娠・分娩・産褥期、新生児期の状態や社会的ハイリスクにある女性と子ども、家族に必要な助産ケアを学ぶ。

到達目標

周産期のハイリスク母児について学修するとともに社会的ハイリスク母子やその家族に対する助産師の役割と支援の必要性について理解できる。DP②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

周産期の健康逸脱、異常予測のヘルスアセスメントは重要です。逸脱の状況を知り、予防・対応を学びましょう。また、産褥うつや児の虐待に至る、社会的リスクや家族の発達過程、母子の愛着形成などにも着目し、ハイリスク妊産褥婦とその家族に対する助産師の役割を学びましょう。

教科書

・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 7 巻　ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア　日本看護協会出版会　・帝王切開バイブル　ペリネイタルケア 2018 年新春増刊　メディカ出版　・病気がみえる vol.10 産科　メディックメディア　2018

参考書

・母体急変時の初期対応　メディカ出版　2020　・NEW はじめての NICU 看護　佐藤眞由美　メディカ出版　2022

研究室／オフィスアワー

研究室にいます。適時、質問・相談に応じますが、不在の時もありますので、アポイントメントお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	周産期におけるハイリスク母児と助産師の役割	周産期での母子のハイリスクについて予習しておく。予習復習各 2 時間。	勝田
2	帝王切開の適応と術前・術中・術後の助産ケアについて	帝王切開分娩・帝王切開について助産師として必要な知識・支援について予習しておく。予習復習各 2 時間。	緒方
3	帝王切開の適応と術前・術中・術後の助産ケアについて（帝王切開術を受ける産婦への支援）	帝王切開術を受ける産婦の心理と助産師のケアの必要性について文献等調べてくる。予習復習各 2 時間。	阪田
4	乳児院の現状と課題	乳児院における現状を理解し、助産師の支援について意見を出し合うことができるようにしておく。予習復習各 2 時間。	ゲストスピーカー（すみれ乳児院）
5	乳児院の現状と課題を知り、助産師の役割について考えることができる。	乳児院における現状を理解し、助産師の支援について意見を出し合うことができるようにしておく。予習復習各 2 時間。	ゲストスピーカー（すみれ乳児院）
6	ペリネイタルロス	里親制度について理解し、助産師としてのかかわり方を考える。予習復習各 2 時間。	勝田
7	NICU におけるデベロップメンタルケアと管理	NICU について予習しておく。 NICU における児の管理と母親とその家族へのかかわりについて学び、助産師の役割について考察する。予習復習各 2 時間。	勝田
8	NICU におけるデベロップメンタルケアと管理	NICU について予習しておく。 NICU における児の管理と母親とその家族へのかかわりについて学び、助産師の役割について考察する。予習復習各 2 時間。	勝田
成績評価方法と基準			割合

①レポート（提出期限厳守）　②ディベート・プレゼンテーション・態度・質疑応答参加状況　③出席 4/5 以上（態度・質疑応答参加状況含む）　2025 年度ハイリスク母子支援論の単位取得は、2025 年度ハイリスク母子実習履修の先修条件である。　DP②③	①80% ②20%

授業科目名	分娩介助技術学演習（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／阪田　あみ／緒方　あかね	
科目ナンバリング	PM001	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 1 限、火曜 2 限、水曜 1 限、水曜 2 限、金曜 1 限、金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

分娩介助とは何か、助産師は良いお産に向けて何ができるか、出産のあり方をこの講義の中で考えていく。　基本的介助技術の習得とともに、様々な分娩介助術について理解する。　分娩期にある胎児の状況を診断し、出生直後の児の対応に必要な助産技術を修得する。

到達目標

1.　分娩介助技術の概念を理解する。　2.　分娩介助における助産師の役割を説明できる。　3.　分娩介助技術の基本を修得できる。　4.　分娩期の胎児の状況を診断し介助できる。DP①②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

より良いお産に向けて何ができるか、考えながら技術の修得に努めること。　技術演習に関しては、各自研鑽を積み、学生が演習室の使用および準備から終了まで主体的に運用すること。

教科書

・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 5 巻　分娩期の診断とケア　日本看護協会出版会　・今日の助産　マタニティサイクルの助産診断・実践過程　改訂第 4 版　北川眞理子　南江堂　2019

参考書

・【助産学講座 7】助産診断・技術学Ⅱ［2］　分娩期・産褥期　医学書院　・日本産科婦人科学会編　産婦人科診療ガイドライン産科編 2023　日本産科婦人科学会　・エビデンスに基づく助産ガイドライン　ー妊娠期・分娩期・産褥期　2024　日本助産学会　・助産師のためのフィジカルイグザミネーション：アセスメント力を磨く　我部山キヨ子　2018 医学書院　・写真でわかる助産技術アドバンス　平澤美恵子　村上睦子　インターメディカ　2021　・新生児ベーシックケア　家族中心のケア理念をもとに　横尾京子　医学書院　2011　・THE　分娩　ビジュアルで学ぶ助産師のワザ　石川紀子　メディカ出版　2021　・正常分娩の助産術　トラブルへの対応と会陰裂傷縫合　進純郎　堀内成子　医学書院　2010　・分娩介助学　進純郎　医学書院　2014　・病気がみえる vol.10 産科　メディックメディア　2018

研究室／オフィスアワー

研究室：　オフィスアワー：

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	分娩介助における助産師の役割を考察する。会陰保護についてその必要性を考える。	分娩介助とは何か、助産師はより良いお産に向けて何ができるかディベートします。考えてきてください。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田
2	正常分娩の介助について理解する　【演習】分娩介助技術デモンストレーション導入のための基本的知識	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで、講義に臨むこと。復習：技術演習に向けて、学習した内容をしっかりと復習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田
3	正常分娩の介助について理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。内診技術技術および演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで、講義に臨むこと。復習：技術演習に向けて、学習した内容をしっかりと復習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
4	正常分娩の介助について理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。産痛緩和法/陣痛促進ケア	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
5	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。正常分娩介助技術演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
6	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復	勝田・齋藤 阪田・緒方

	正常分娩介助技術演習。	習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習する。予習：2 時間　復習：2 時間	
7	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。正常分娩介助技術演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
8	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。正常分娩介助技術演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
9	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。正常分娩介助技術演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
10	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。正常分娩介助技術演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
11	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。正常分娩介助技術演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
12	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】正常分娩の介助の実際を学ぶ。正常分娩介助技術演習。	予習：事前に配布した資料またはテキストの該当ページを読んだうえで授業に臨むこと。　復習：技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習する。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
13	正常分娩の介助技術を理解し、技術を習得する。　【演習】分娩期 OSCE	技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習し OSCE に臨んでください。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
14	分娩介助技術評価に向けた演習	技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習し OSCE に臨んでください。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
15	分娩期 OSCE	技術習得に向けて学習内容をしっかり復習し、自己演習し、評価試験に臨んでください。予習：2 時間　復習：2 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方
成績評価方法と基準			割合
技術評価試験（OSCE）			100%

授業科目名	助産診断･技術学Ⅰ（助産）				
主担当教員	緒方　あかね		担当教員	緒方　あかね／齋藤　雅子／勝田　真由美／阪田　あみ／伊田　昌功	
科目ナンバリング	PM002	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	火曜 3 限、火曜 4 限、水曜 3 限、水曜 4 限、金曜 3 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

講義・演習を通して、妊娠期にある女性の身体的・心理社会的変化について学び、正常妊娠経過とその逸脱を診断するために必要な知識と方法・助産技術を習得する。また、妊婦がより良い健康レベルを維持・増進し、主体的に妊娠期を過ごすためのセルフケア能力の向上や、自己決定できるような援助を学修する。

到達目標

1. 妊娠の生理や母体の変化などを理解でき、助産診断に必要な情報やアセスメントを理解できる＜DP①④＞
2. 妊娠期の異常やハイリスク妊娠について理解でき、助産診断に必要な情報やアセスメントを理解できる。＜DP①④＞
3. 妊娠期の診断と援助を行うための知識と技術を習得し、助産過程を展開することができる。＜DP②③＞
4. 正常妊娠経過を過ごすための援助や個別の保健指導を理解し実施することができる。＜DP①②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

母性看護学の既習の知識・技術を復習してから授業に臨んでください。自己学習のための課題は適宜提示する予定です。

教科書

・【助産学講座 6】助産診断・技術学Ⅱ［1］ 妊娠期　医学書院　・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 4 巻　妊娠期の診断とケア　日本看護協会出版会　・今日の助産　マタニティサイクルの助産診断・実践過程　改訂第 4 版　南江堂　2019

参考書

・助産師のためのフィジカルイグザミネーション : アセスメント力を磨く　我部山キヨ子　医学書院　2018　・助産業務ガイドライン　日本助産師会　2024　・周産期ケアマニュアル　第 3 版　立岡弓子　サイオ出版　2020　・日本産科婦人科学会編　産婦人科診療ガイドライン産科編 2023　日本産科婦人科学会

研究室／オフィスアワー

適宜相談に応じる

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	オリエンテーション　助産診断・技術学の概要	予習：シラバスの確認 復習：授業の見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方
2	妊娠の成立、妊娠に伴う母体の変化	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方
3	胎児の発育	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方
4	妊娠期の異常	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方
5	ハイリスク妊娠	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方
6	ハイリスク妊娠	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方
7	妊娠期の助産診断学	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方
8	妊娠期の助産診断学	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて 1 時間	緒方

9	妊娠期のフィジカルアセスメント	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
10	妊娠期のフィジカルアセスメント	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
11	妊婦と家族心理・社会的側面の診断	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
12	妊婦への支援・マイナートラブルと支援	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
13	心理社会的支援	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
14	ハイリスク妊娠・異常妊娠の妊婦のアセスメント	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
15	分娩監視装置・判読	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
16	周産期に用いる薬物	予習：教科書の該当ページを学修 復習：授業内容を見直し 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
17	【演習】　妊娠期のフィジカルアセスメント骨盤計測、腹帯指導、骨盤固定	予習：演習項目についてはあらかじめ提示します。教科書及びテキストで予習 復習：演習内容 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
18	妊娠期助産過程の展開①妊娠後期　紙上事例演習　必要な情報とアセスメント・助産診断・計画立案	予習：配布された事例について、アセスメントする 復習：講義でディスカッションしたアセスメントを完成させる。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
19	妊娠期助産過程の展開②妊娠後期　紙上事例演習　必要な情報とアセスメント・助産診断・計画立案	予習：情報の整理とアセスメント、計画立案を各自で行うこと。 復習：助産計画を完修正する。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
20	妊娠期助産過程の展開③：妊娠後期　紙上事例演習　必要な情報とアセスメント・助産診断・計画立案	予習：情報の整理とアセスメント、計画立案を各自で行うこと。 復習：助産計画を完成させる。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
21	妊娠期助産過程の展開⑤ハイリスク妊娠①必要な情報とアセスメント・助産診断・計画立案	予習：アセスメントから助産計画まで助産過程の展開について学修しておく。　配布された事例を読んでおくこと。 復習：助産診断を完成させる。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
22	妊娠期助産過程の展開⑤ハイリスク妊娠②必要な情報とアセスメント・助産診断・計画立案	予習：アセスメントから助産計画まで助産過程の展開について学習しておく。　配布された事例を読んでおくこと。 復習：助産計画を完成させる。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
23	生理的変化をふまえた保健指導演習（個人指導）妊娠後期①　指導案・媒体作成	予習：指導案、パンフレット作成　　復習：指導案、パンフレットを修正する。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
24	生理的変化をふまえた保健指導演習（個人指導）妊娠後期②　指導案・媒体作成	予習：指導案、パンフレット作成　　復習：指導案、パンフレットを修正する。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
25	【演習】妊娠期のフィジカルアセスメント（妊娠後期）　妊婦健康診査時に必要な助産技術レオポルド触診と子宮底測定、胎児心音聴取（NST）	予習：演習項目についてはあらかじめ提示します。教科書及びテキストで予習をして臨む　復習：演習内容の自己練習。 予習・復習を含めて１時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
26	胎児超音波	予習：演習項目についてはあらかじめ提示します。教科書及びテキストで予習をして臨む　復習：演習内容の自己練習。 予習・復習を含めて１時間	伊田
27	【演習】生理的変化をふまえた保健指導シミュレーション（個人指導）妊娠後期①　指導案・媒体作成（個別指導リハーサル）	予習：ロールプレイの基本的な技法について学習しておくこと、指導案完成。保健指導の意義・目的・方法について学習しておくこと。　復習：演習で出た修正点をもとに指導案修正復習：演	緒方・齋藤 勝田・阪田

		習内容の自己練習。 予習・復習を含めて 1 時間	
28	【演習】生理的変化をふまえた保健指導シミュレーション（個人指導）妊娠後期②　指導案・媒体作成（個別指導リハーサル）	予習：ロールプレイの基本的な技法について学習しておくこと、指導案完成。保健指導の意義・目的・方法について学習しておくこと。　復習：演習で出た修正点をもとに指導案修正復習：演習内容の自己練習。 予習・復習を含めて 1 時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
29	【演習】生理的変化をふまえた保健指導シミュレーション（個人指導）妊娠後期①　個別指導	予習：ロールプレイの基本的な技法について学習しておくこと、指導案完成。保健指導の意義・目的・方法について学習しておくこと。　復習：演習で出た修正点をもとに指導案修正復習：演習内容の自己練習。 予習・復習を含めて 1 時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
30	【演習】生理的変化をふまえた保健指導シミュレーション（個人指導）妊娠後期②　個別指導	予習：ロールプレイの基本的な技法について学習しておくこと、指導案完成。保健指導の意義・目的・方法について学習しておくこと。　復習：演習で出た修正点をもとに指導案修正復習：演習内容の自己練習。 予習・復習を含めて 1 時間	緒方・齋藤 勝田・阪田
成績評価方法と基準			割合
①定期試験 ②演習や講義におけるミニテスト ③グループワークやロールプレイへの参加度（ルーブリックにて評価）			①70% ②20% ③10%

授業科目名	助産診断･技術学Ⅱ（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／阪田　あみ／緒方　あかね／岩田　塔子	
科目ナンバリング	PM003	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、火曜 1 限、火曜 3 限、火曜 4 限、水曜 1 限、水曜 2 限、金曜 3 限、金曜 4 限、金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

分娩期の助産過程の展開に必要な知識を統合し、エビデンスに基づいた診断の方法を理解する。　産婦（胎児および新生児を含む）とその家族へ、安全・安楽な支援に必要な助産診断・技術を学ぶ。

到達目標

1. 分娩期の診断とアセスメントの視点を述べることができる。　2. 正常経過にある産婦と胎児の健康状態をアセスメントし、正常経過逸脱予防の視点をもった助産計画を立案できる。　3. 分娩経過に伴う正常経過逸脱を予測するための観察の視点を述べることができる。　4. 正常経過逸脱の予防的支援およびケアについて理解することができる。　5. 胎児心拍モニタリングを判読し、正常経過逸脱の対応について説明することができる。　6. 出生直後の児の観察の視点を理解、アセスメントができ、母子早期接触に向けての具体的援助について説明するこ

履修上の注意(学生へのメッセージ)

母性看護学で学んだ正常分娩経過を復習したうえで、初回の授業に臨んでください。　講義や演習は「授業を聞く」スタイルではなく、基本的にディスカッション方式で進めますので、学生には積極的な発言と活発なコミュニケーションを求めます。瞬時の判断と安全な助産実践のためには、確実な知識と技術が必要です。予復習をしっかり行い、自己学習を積み重ね研鑽していってください。

教科書

・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 5 巻　分娩期の診断とケア　日本看護協会出版会　・今日の助産　マタニティサイクルの助産診断・実践過程　改訂第 4 版　南江堂　2019

参考書

・【助産学講座 7】助産診断・技術学Ⅱ [2]　分娩期・産褥期　医学書院　・日本産科婦人科学会編　産婦人科診療ガイドライン産科編 2023　日本産科婦人科学会　・助産師のためのフィジカルイグザミネーション：アセスメント力を磨く　我部山キヨ子　医学書院　2018　・エビデンスに基づく助産ガイドライン　ー妊娠期・分娩期・産褥期 2024　日本助産学会　・図説 CTG テキスト　中井章人　メジカルビュー社　2016　・THE　分娩　ビジュアルで学ぶ助産師のワザ　石川紀子　メディカ出版　2021　・分娩介助学　進純郎　医学書院 2014　・ポジティブな出産体験のための分娩期ケア　医学書院

研究室／オフィスアワー

研究室/　オフィスアワー/適宜

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス　助産診断とは何か　分娩期の助産診断の特徴と診断類型・分娩の生理	予習：母性看護学における既習内容を復習したうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
2	分娩経過に診断に必要な知識　分娩の生理	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し，自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
3	分娩の生理	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し、自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
4	分娩期の助産診断①　入院時の診断・アセスメントとケア　分娩第 1 期の診断・アセスメントとケア	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。母性看護学で学んだ胎児心拍数モニタリングを復習しておく。　復習：授業内容を確認し、自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
5	分娩期の助産診断②　分娩第 1 期の診断・アセスメントとケア	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し、自己学習	勝田

		を深めておく。予習復習各 0.5 時間	
6	分娩期の助産診断③　分娩第 2 期のアセスメントとケア　分娩第 3 期のアセスメントとケア　出生直後の児の診断・アセスメントとケア	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し、自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
7	分娩期の助産診断④　分娩第 4 期のアセスメントとケア　出生直後から 2 時間までの児の診断・アセスメントとケア　胎児付属物のアセスメントと診断	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し、自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
8	分娩進行に伴う正常逸脱の予測と予防①	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し各自自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
9	分娩進行に伴う正常逸脱の予測と予防②	予習：教科書の該当ページを読んだうえで授業に臨む。　復習：授業内容を確認し各自自己学習を深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
10	分娩期標準助産計画の立案①	予習：助産計画とは何か。　復習：助産診断に基づいた計画の立て方について考えを深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
11	分娩期標準助産計画の立案②	予習：助産計画とは何か。　復習：助産診断に基づいた計画の立て方について考えを深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
12	分娩期標準助産計画の立案③	予習：助産計画とは何か。　復習：助産診断に基づいた計画の立て方について考えを深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
13	分娩期標準助産計画の立案④	予習：助産計画とは何か。　復習：助産診断に基づいた計画の立て方について考えを深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
14	分娩期標準助産計画の立案⑤	予習：助産計画とは何か。　復習：助産診断に基づいた計画の立て方について考えを深めておく。予習復習各 0.5 時間	勝田
15	【事例展開】　分娩期の助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田
16	【事例展開】　分娩期の助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田
17	【事例展開】　分娩期の助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田
18	【事例展開】　分娩期の助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田
19	【事例展開】　分娩期の助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田
20	【事例展開】　分娩期の助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田
21	【事例展開】　分娩期の助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田
22	【事例展開】　分娩期助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方 岩田
23	【事例展開】　分娩期助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田・齋藤 阪田・緒方 岩田
24	【事例展開】　分娩期助産過程の展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理と	勝田・齋藤 阪田・緒方 岩田

		アセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	
25	事例展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田･齋藤 阪田･緒方 岩田
26	事例展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田･齋藤 阪田･緒方 岩田
27	事例展開	予習：配布した事例を熟読して授業に臨むこと。　復習：前回までの情報の整理およびアセスメント、計画の見直し。事例の情報の整理とアセスメントを各自行う。予習復習各 0.5 時間	勝田･齋藤 阪田･緒方 岩田
28	フリースタイル分娩①	様々な分娩体位のメリットやデメリットについて予習しておく。　分娩機転を理解しておくこと。予習復習各 0.5 時間	岩田
29	フリースタイル分娩②	様々な分娩体位のメリットやデメリットについて予習しておく。　分娩機転を理解しておくこと。予習復習各 0.5 時間	岩田
30	会陰縫合術の実際 会陰切開・裂傷とその処置	これまでの講義内容を総復習し、自己学習を深めていく。予習復習各 0.5 時間	勝田
成績評価方法と基準			割合
①　定期試験　②　助産過程記録			①80% ②20%

授業科目名	助産診断･技術学Ⅲ(助産)				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	阪田　あみ／齋藤　雅子／勝田　真由美／緒方　あかね	
科目ナンバリング	PM004	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	月曜 1 限、月曜 2 限、月曜 3 限、月曜 4 限、月曜 5 限、水曜 1 限、水曜 2 限、水曜 3 限、水曜 4 限、木曜 2 限、木曜 3 限、金曜 1 限、金曜 2 限
授業形態	演習	単位数	2 単位	必修･選択	必修

授業概要

[産褥期] 産褥期における母体の生理的・心理的変化の過程を理解し、回復を促進するケアを行うための助産診断および援助技術、助産過程の展開について具体的な支援方法を修得する。 母乳育児の確立と育児支援のための診断・援助技術を修得する。 退院後の家族背景やメンタルヘルスを踏まえて、産後 2 週間健診・1 か月健診、および育児期までの保健指導、日常生活支援の援助技術を修得する。
[新生児期]
新生児期の胎外生活への適応過程を理解し、健康状態の診断を行い、成長発達を促進する援助技術を修得する。
新生児期のフィジカルアセスメントを行い、正常からの逸脱の予測と治療を要する新生児への援助技術、助産過程の展開を学修する。
生後 4 か月までの乳児の成長・発達を踏まえた健康診査と育児指導について理解し、退院後の日常生活支援の援助技術を学ぶ。

到達目標

１．産褥期・新生児期の助産診断の目的と視点について理解し、基本的知識を述べることができる。 ２．産褥期・新生児期の助産診断を行い、助産過程の展開・助産計画の立案ができる。 ３．退院後の生活を踏まえた褥婦、新生児期から乳児期の児、その家族に必要な健康教育のための保健指導計画を立案し、実施できる。 ４．産褥期および新生児期それぞれにおける助産師の役割を説明できる。 DP①②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

母性看護学の基礎知識を復習し、修得してから授業に臨んでください。毎回、授業前に授業範囲を予習し、授業後は復習してください。自宅での自己学習の課題を出します。自宅学習できる時間を毎日設け、習慣化しておいてください。課題は期限までに提出してください。

教科書

［産褥期］ ・【助産学講座 7】助産診断・技術学Ⅱ［2］ 分娩期・産褥期 医学書院 ・助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第 6 巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア 日本看護協会出版会 ・今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改訂第 4 版 南江堂 2019 ・母乳育児支援スタンダード 第 2 版 NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 医学書院 2015 ［新生児期］ ・【助産学講座 8】助産診断・技術学Ⅱ［3］ 新生児期・乳幼児期 医学書院 ・助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第 6 巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア 日本看護協会出版会 ・今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改訂第 4 版 南江堂 2019

参考書

［産褥期］ ・助産師のためのフィジカルイグザミネーション：アセスメント力を磨く 我部山キヨ子 医学書院 2018 ・写真でわかる助産技術アドバンス 平澤美恵子 インターメディカ 2021 ・母乳育児支援ベーシック・コース NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 医学書院 2011 ［新生児期］ ・日本産科婦人科学会編 産婦人科診療ガイドライン産科編 2023 日本産科婦人科学会 ・助産業務ガイドライン 日本助産師会 2024 ・周産期ケアマニュアル 第 3 版 立岡弓子 サイオ出版 2020

研究室／オフィスアワー

適宜相談に応じる

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	ガイダンス 母性看護学基礎知識の確認（事前課題） 産褥の生理：産褥期の全身の変化と特徴 産褥期の局所的な変化と特徴	予習：母性看護学での既習内容を復習したうえで授業に臨む。 復習：授業内容を確認し自己学習を深めておく。予習復習合わせて 60 分	阪田

2	産褥期の助産診断： 産褥期の助産診断の特徴と診断類型 産褥期のフィジカルアセスメント 産褥期の心理・社会的変化 褥婦への支援： 退行性変化促進の支援 産後の生活に関する支援	予習：助産学講座 7、p242～301 復習：授業資料再確認 予習復習合わせて 60 分	阪田
3	正常な産褥期の助産過程の展開： 目標設定、必要な情報取集とアセスメント 助産診断・計画立案（分娩当日～産褥 5 日目）	予習：助産学講座 7、p245、表 10-2,3,4,5 復習：提示事例での助産診断・計画立案 予習復習合わせて 60 分	阪田
4	産褥期の異常・偶発疾患： 産褥期に起こる身体的な問題、産褥期におこる精神的な問題 ハイリスク・異常褥婦へのアセスメントと支援：ハイリスク以上因子のアセスメント、ハイリスク・異常褥婦への支援	予習：助産学講座 7、p304～332 復習：提示事例での助産診断・計画立案 予習復習合わせて 60 分	阪田
5	ハイリスク・異常な産褥期の助産過程の展開：目標設定、必要な情報取集とアセスメント、助産診断・計画立案（分娩当日～産褥 5 日目）	予習：予習：助産学講座 7、p245、表 10-2,3,4,5 復習：提示事例での助産診断・計画立案 予習復習合わせて 60 分	阪田
6	【演習】産褥期のフィジカルアセスメント①：母児同室、分娩当日～産褥 5 日目までの観察	予習：作成した助産計画を実施できるようイメージトレーニング 復習：助産計画の修正・評価 予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
7	【演習】産褥期のフィジカルアセスメント②：ハイリスク・異常発生時の観察、帝王切開後の観察、STS、(分娩当日から産褥 5 日目、OP 直後から産褥 5 日目)	予習：作成した助産計画を実施できるようイメージトレーニング 復習：助産計画の修正・評価 予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
8	乳房管理： 母乳育児の推進、正常経過にある褥婦の乳房管理のためのアセスメントとケア、健康逸脱・異常状態およびハイリスク状態にある褥婦の乳房管理のためのアセスメントとケア	予習：助産学講座 7、p334～352 母乳支援スタンダード p161～174 読 復習：提示事例での助産診断・計画立案 予習復習合わせて 60 分	阪田
9	乳房管理： 目標設定、必要な情報取集とアセスメント、助産診断・計画立案（分娩当日～産褥 5 日目）	予習：助産学講座 7、p246～247 表 10-2（進行性変化）p260～261 母乳支援スタンダード p161～174 読 復習：提示事例での助産診断・計画立案 予習復習合わせて 60 分	阪田
10	【演習】乳房管理：乳房・乳頭の観察方法とアセスメント、ケアの実施、授乳指導の方法	予習：作成した助産計画を実施できるようイメージトレーニング 復習：助産計画の修正・評価 予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
11	【演習】乳房管理：乳房・乳頭の観察方法とアセスメント、ケアの実施、授乳指導の方法	予習：作成した助産計画を実施できるようイメージトレーニング 復習：助産計画の修正・評価 予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
12	新生児・乳児のケアの基本：助産ケアにおける新生児・乳児の位置づけ、児の成長・発達と助産ケア 新生児のアセスメントとケア①：新生児の適応生理と成長・発達、正常経過逸脱状態にある新生児の診断	予習：助産学講座 8、p2～46 復習：授業資料再確認 予習復習合わせて 60 分	阪田
13	新生児のアセスメントとケア②： 新生児仮死と新生児蘇生法（NCPR）、出生後 24 時間以内の新生児のアセスメントとケア、早期新生児（生後 7 日目までのアセスメントとケア）	予習：助産学講座 8、p48～101 復習：授業資料再確認 予習復習合わせて 60 分	阪田
14	新生児のアセスメントとケア①： 目標設定、必要な情報取集とアセスメント、助産診断・計画立案（分娩当日～産褥 5 日目）	予習：助産学講座 8、p64～101 復習：助産計画追加修正 予習復習合わせて 60 分	阪田
15	新生児の主な疾患： 主な治療、疾患の病態・診断・治療、治療を受ける新生児のアセスメントとケア	予習：助産学講座 8、p148～190 復習：授業資料再確認 予習復習合わせて 60 分	阪田
16	低出生体重児・早産児のケア：低出生体重児・早産児の特徴	予習：助産学講座 8、p192～225 復習：授業資料再確認 予習復習合わせて 60 分	阪田
17	新生児のアセスメントとケア②： 正常経過逸脱時の目標設定、必要な情報取集とアセスメント、助産診断・計画立案（分娩当日～産褥 5 日目）	予習：助産学講座 8、p33～62 復習：助産計画追加修正 予習復習合わせて 60 分	阪田
18	【演習】新生児の出生直後のケア①： ベビーキャッチ、NCPR、フィジカルアセスメント、身体計測、着替え、おむつ交換、STS	予習：作成した助産計画を実施できるようイメージトレーニング 復習：助産計画の修正・評価 予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
19	【演習】新生児の出生直後のケア②： 出生後 0～5 日目の新生児の観察とケア、正常経過逸脱時のケア	予習：作成した助産計画を実施できるようイメージトレーニング 復習：助産計画の修正・評価 予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
20	乳幼児のアセスメントとケア： 乳幼児の成長発達、乳幼児のアセスメントとケア	予習：助産学講座 8、p120～145 復習：助産計画追加修正 予習復習合わせて 60 分	阪田
21	乳幼児の主な疾患とケア： 疾患の病態・診断・治療、正常経過逸脱状態にある乳幼児のアセス	予習：助産学講座 8、p228～249 復習：授業資料再確認 予習復習合わせて 60 分	阪田

	メントとケア		
22	産褥期健康教育：沐浴指導	予習：健康指導の意義・目的・方法の学習、母性看護技術アドバンス p123～125､p78～97　復習：指導案作成、パンフレット作製　予習復習合わせて 60 分	阪田
23	産褥期健康教育：退院指導	予習：健康指導の意義・目的・方法の学習、助産看護技術アドバンス　復習：指導案作成、パンフレット作成　予習復習合わせて 60 分	阪田
24	OSCE 出産直後のケア：ベビーキャッチ・フィジカルアセスメント	予習：健康指導の意義・目的・方法の学習、母性看護技術アドバンス　復習：指導案作成、パンフレット作製　予習復習合わせて 60 分	阪田
25	産褥期健康教育：２週間健診、１カ月健診	予習：健康指導の意義・目的・方法の学習、母性看護技術アドバンス p123～125､p78～97　復習：指導案作成、パンフレット作製　予習復習合わせて 60 分	阪田
26	【産褥期健康教育演習】母児同室指導、沐浴指導	予習：健康指導の練習　復習：指導案・パンフレット修正　予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
27	【産褥期健康教育演習】退院指導	予習：健康指導の練習　復習：指導案・パンフレット修正　予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
28	【産褥期健康教育演習】母児同室指導	予習：健康指導の練習　復習：指導案・パンフレット修正　予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
29	【産褥期健康教育演習】退院指導	予習：健康指導の練習　復習：指導案・パンフレット修正　予習復習合わせて 60 分	阪田、齋藤勝田、緒方
30	講義全体のまとめ		阪田
成績評価方法と基準			割合
①　定期試験　②　演習・課題　③　グループワーク、ロールプレイの評価（ルーブリック）　DP①②③			①70% ②20% ③10%

授業科目名	助産診断･技術学Ⅳ（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／阪田　あみ／望月　成隆／浅井　淑子／伊田　昌功／祝原　賢幸／田中　宏幸	
科目ナンバリング	PM005	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	水曜 1 限、水曜 2 限、水曜 3 限、水曜 4 限、木曜 1 限、木曜 2 限、木曜 3 限、木曜 4 限、木曜 5 限、金曜 1 限、金曜 2 限、金曜 3 限、金曜 4 限、金曜 5 限
授業形態	演習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

周産期における母子の健康状態のアセスメントやリスクを評価するための知識を習得する。周産期に発症しやすい異常を理解し、正常から逸脱した状態にある妊娠・分娩・新生児に必要な助産ケア・医療処置を学ぶ。さらに無痛分娩・出生前診断・不妊治療など女性を取り巻く今日の医療問題を理解する。

到達目標

①周産期にある母子の異常予測の助産診断、および正常逸脱時のケアに必要な知識を学ぶ。　②妊娠期・分娩期・産褥期の母親と新生児に発症しやすい異常とその病態・検査・治療について説明できる。　③周産期の母子の異常時における助産師としての対応・医療処置について学ぶ。　④無痛分娩・出生前診断・不妊治療など女性を取り巻く今日の医療問題を理解する。DP①②③

履修上の注意(学生へのメッセージ)

周産期の母子の健康逸脱、異常予測のヘルスアセスメントは重要です。妊娠期・分娩期・産褥期の母親と新生児に発症しやすい異常とその病態・検査・治療・処置対応について理解し、ケアにつながるようしっかりと学びましょう。無痛分娩・出生前診断・不妊治療など女性を取り巻く今日の医療問題を知り、助産師の支援について考えましょう。

教科書

・助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 7 巻　ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア　日本看護協会出版会　・日本版救急蘇生ガイドライン 2025 に基づく NCPR 新生児蘇生法テキスト　メジカルビュー社　・日本産科婦人科学会編　産婦人科診療ガイドライン産科編 2023　日本産科婦人科学会　・帝王切開バイブル　ペリネイタルケア 2018 年新春増刊　メディカ出版

参考書

・図表でわかる無痛分娩プラクティスガイド　村越 毅、入駒慎吾　メジカルビュー社　2022　・最新産科学　異常編　荒木勤　文光堂　2023　・出生前診断　河合蘭　朝日新書　2020　・不妊治療を考えたら読む本　浅田義正、河合蘭　講談社　2023　・母体急変時の初期対応　メディカ出版　2020　・病気がみえる vol.10 産科　メディックメディア　2018

研究室／オフィスアワー

講義の後など、質問に応じます。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	周産期におけるハイリスク概要と助産師の役割	周産期の異常の診断について助産師として必要な知識について予習しておく。 予習復習合わせて 2 時間	勝田
2	妊娠期の異常（概説・合併症妊娠）	予習：事前課題のレポート　復習：母性看護の異常についての病態とケアについて復習しておくこと 予習復習合わせて 2 時間	田中
3	分娩時の異常	予習：提示された症例の検討　復習：妊婦健診の項目や内容、その意義について整理しておくこと 予習復習合わせて 2 時間	田中

4	ＣＴＧ	予習：提示された症例の検討　復習：合併症や類縁疾患について整理しておくこと 予習復習合わせて 2 時間	田中
5	ＣＴＧ	予習：提示された症例の検討　復習：診療項目に含まれない社会的なケアについて検討すること 予習復習合わせて 2 時間	田中
6	分娩経過の異常（概説）	予習：分娩の 3 要素について整理し、理解しておくこと　復習：異常の早期発見に有用な所見を理解しておくこと 予習復習合わせて 2 時間	勝田
7	分娩期の異常時の助産師の対応	予習：提示された症例の検討　復習：産科 DIC について整理し理解しておくこと 予習復習合わせて 2 時間	勝田
8	周産期の異常（母体救急）	予習：提示された症例の検討　復習：母体救急のアルゴリズムについて整理し理解しておくこと 予習復習合わせて 2 時間	伊田
9	産褥期の異常（概説）	予習：胎児心拍陣痛図（CTG）についての知識を整理しておくこと　復習：胎児心拍図に出現する異常について整理・理解しておくこと。 予習復習合わせて 2 時間	勝田
10	周産期におけるハイリスクと助産師の対応についてまとめ	今までの講義を復習して置く 予習復習合わせて 2 時間	勝田
11	妊娠期の特徴と異常の診断	妊娠経過における異常について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	勝田
12	NCPR（新生児蘇生講習 A コース）	NCPR2025　新生児蘇生法テキスト第 5 版を熟読し、プレテスト、蘇生演習、ポストテストに備える。 予習復習合わせて 2 時間	勝田、齋藤 緒方、阪田
13	NCPR（新生児蘇生講習 A コース）	NCPR2025　新生児蘇生法テキスト第 5 版を熟読し、プレテスト、蘇生演習、ポストテストに備える。 予習復習合わせて 2 時間	勝田、齋藤 緒方、阪田
14	NCPR（新生児蘇生講習 A コース）	NCPR2025　新生児蘇生法テキスト第 5 版を熟読し、プレテスト、蘇生演習、ポストテストに備える。 予習復習合わせて 2 時間	勝田、齋藤 緒方、阪田
15	NCPR（新生児蘇生講習 A コース）	NCPR2025　新生児蘇生法テキスト第 5 版を熟読し、プレテスト、蘇生演習、ポストテストに備える。 予習復習合わせて 2 時間	勝田、齋藤 緒方、阪田
16	NCPR（新生児蘇生講習 A コース）	NCPR2025　新生児蘇生法テキスト第 5 版を熟読し、プレテスト、蘇生演習、ポストテストに備える。 予習復習合わせて 2 時間	勝田、齋藤 緒方、阪田
17	母体救急	NCPR2025　新生児蘇生法テキスト第 5 版を熟読し、プレテスト、蘇生演習、ポストテストに備える。 予習復習合わせて 2 時間	伊田
18	無痛分娩について	無痛分娩と無痛分娩の社会的状況について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	伊田
19	無痛分娩について	無痛分娩と無痛分娩の社会的状況について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	伊田
20	母体救急と母体蘇生法	母体救急時について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	田中
21	母体救急と母体蘇生法	母体救急について予習してくる。 予習復習合わせて 2 時間	田中
22	周産期の超音波診断・技術について	周産期の超音波診断・技術について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	伊田
23	周産期の超音波診断・技術について	周産期の超音波診断・技術について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	伊田
24	不妊・出生前診断	不妊・出生前診断の社会的背景について予習してくる	浅井　淑子

		予習復習合わせて 2 時間	
25	不妊・出生前診断	不妊・出生前診断の社会的背景について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	浅井　淑子
26	不妊・出生前診断	不妊・出生前診断の社会的背景について予習してくる 予習復習合わせて 2 時間	浅井　淑子
27	無痛分娩時の助産師の診断と対応	無痛分娩時の助産師の対応について予習してくる。 予習復習合わせて 2 時間	阪田　あみ
28	分娩時の正常から逸脱の診断と対処方法	分娩時の正常から逸脱の診断と対処方法について予習してくる。 予習復習合わせて 2 時間	勝田
29	分娩時の正常から逸脱の診断と対処方法	分娩時の正常から逸脱の診断と対処方法について予習してくる。 予習復習合わせて 2 時間	勝田
30	分娩時の正常から逸脱の診断と対処方法まとめ	分娩時の正常から逸脱の診断と対処方法について予習してくる。 予習復習合わせて 2 時間	勝田
成績評価方法と基準			割合
筆記テスト			100%

授業科目名	ハイリスク母子実習（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／阪田　あみ／緒方　あかね	
科目ナンバリング	PM010	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	DP①②③④
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

周産期と育児期における身体的、心理的、社会的ハイリスク母子ならびにその家族に必要な支援についての実際を学修する。周産期のハイリスクに関する講義・演習を基礎に、ハイリスク母子とその家族への助産師のかかわりの重要性を理解する。NICU/GCU 実習では、周産期医療連携体制のシステム、母子分離時の愛着形成の促進、デベロップメンタルケア、両親への育児支援、地域母子保健活動との連携について学修する。さらに乳児院の見学を通して、社会的ハイリスクの現状を理解する。

到達目標

NICU/GCU について　1. NICU/GCU 入院児の管理とその家族への支援について理解する。　2. NICU/GCU 入院児の特徴や治療、周産期の医療システム、母子分離状態にある母子への支援、ディベロップメンタルケアについて理解する。　3. NICU/GCU 入院児の退院前後の両親に向けた育児支援、地域母子保健との連携について学ぶ。　乳児院について　1. 乳児院入所児の成長発達の促進と退院に向けた包括的介入を学び、児の発達支援、親支援となる心理的アプローチ、家族療法的アプローチ、地域資源や社会福祉サービスの提供などについて理解する。＜DP①②③④＞

履修上の注意(学生へのメッセージ)

ハイリスク母子支援論の学びをもとに、ハイリスク状態にある周産期の妊産褥婦および社会的ハイリスクの母子・家族に対し、助産師として何ができるかを常に思考しながら関わること。　NICU や乳児院の見学実習では、実習終了時に学んだことをプレゼンテーションし、レポートにまとめます。学びを深められるよう実習前から質問や意見を述べることを念頭に置いて前期の講義から準備して臨むこと。

教科書

助産師基礎教育テキスト 2024 年版　第 7 巻　ハイリスク妊産褥・新生児へのケア　日本看護協会出版会　帝王切開バイブル　ペリネイタルケア 2018 新春増刊

参考書

NICU 看護の知識と実際　メディカ出版

研究室／オフィスアワー

研究室にいます。適時、質問・相談に応じますが、不在の時もありますので、アポイントメントお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	学内においてのハイリスクの講義・演習を基に周産期のハイリスクについての知識を深める。（詳細は実習要項参照）　実習では、NICU/GCU・見学実習、乳児院の見学実習を通して、周産期の社会的ハイリスクについての理解を深め、助産師としての役割・支援について考察する。	事前の講義や演習を基に対象者への知識や意識を深め、真摯に学ぶ姿勢を持つ。実習を基に助産師としての考えを持てるように実習に臨む。　実習・見学においては必ず行動計画を立て、目標を設定する。行動計画・目標の発表をもって実習に参加することができる。　終了後は、目標についての達成度を必ずその日のうちに振り返り記録する。	勝田、齋藤 阪田、緒方

成績評価方法と基準	割合
ハイリスク母子実習評価表に基づいて評価する	100%

授業科目名	地域母子保健実習（助産）				
主担当教員	勝田　真由美		担当教員	勝田　真由美／齋藤　雅子／阪田　あみ／緒方　あかね	
科目ナンバリング	PM011	科目区分	実践助産学	ディプロマポリシー該当項目	
配当年次	1 年	開講学期	前期	曜日･時限	実習
授業形態	実習	単位数	1 単位	必修･選択	必修

授業概要

周産期にある女性とその家族を対象に対象者のセルフケア能力の向上と次世代家族の発達のための地域での支援の在り方と出産・育児力を高める保健技術指導を習得する。　開業する助産師の実際を実習に行くことで学び、助産院実習を通して自立した助産師を知る。さらに地域における助産師の役割を理解し、必要性を学ぶ。

到達目標

1. 地域における助産師の活動内容を知り、助産師の必要性と支援方法を理解する。　2. 助産所の施設実習におけるケアや保健指導の実際を学び、実践に応用できる。　3. 助産師の将来像を描くことができる。　<DP①②③④>

履修上の注意(学生へのメッセージ)

地域で活躍する助産師からは、病院の産科とは違ったかかわりが必要とされる助産師像を学ぶことができます。助産師は女性のライフサイクル全般に支援できるという視点で自分の助産師の将来像を描けるよう学んでください。

教科書

･助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 3 巻　助産サービス管理　日本看護協会出版会　･助産師基礎教育テキスト　2025 年版　第 1 巻　助産概論・母子保健　日本看護協会出版会

参考書

･【助産学講座 9】地域母子保健・国際母子保健　医学書院　･【助産学講座 10】助産管理　医学書院

研究室／オフィスアワー

研究室にいます。適時、質問・相談に応じますが、不在の時もありますので、アポイントメントお願いします。

授業展開及び授業計画表

回数	学修内容	予習･復習･課題等	担当
1	助産院、助産師会など、病院とは違う施設や地域で働く助産師の役割を実習を通して理解する。	地域母子保健学で学んだ知識を基に、地域での助産師の働き方や役割を知り、自分の助産師像を確立していけるよう学ぶ。 実習・見学においては必ず行動計画を立て、目標を設定する。 終了後は、目標についての達成度を必ずその日のうちに振り返り記録する。	勝田、齋藤 阪田、緒方

成績評価方法と基準	割合
地域母子保健実習の評価表に基づいて評価する。	100%